

CICS Transaction Server for z/OS



CICS メッセージ

バージョン 5 リリース 4

CICS Transaction Server for z/OS



CICS メッセージ

バージョン 5 リリース 4

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 2083 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM CICS Transaction Server for z/OS バージョン 5 リリース 5 (製品番号 5655-Y04) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： CICS Transaction Server for z/OS
CICS Messages
Version 5 Release 4

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1977, 2017.

目次

この PDF について	v
-----------------------	---

第 1 章 AXM サーバー環境メッセージ . . 1

AXM エラー・リカバリー・メッセージ	1
AXM イベント管理メッセージ	2
AXM スタック (LIFO) ストレージ・メッセージ	3
AXM ロック管理メッセージ	3
AXM オペレーティング・システム・インターフェース・メッセージ	3
AXM ストレージ・ページ・プール管理メッセージ	4
AXM リソース追跡メッセージ	5
AXM サーバー接続およびシステム・サービスのメッセージ	5
AXM サブシステム初期設定メッセージ	11
AXM システム領域メッセージ	11
AXM トレースおよび印刷ファイル管理メッセージ	13
AXM アドレス検索 (WHERE) メッセージ	13
AXM 仮想記憶間インターフェース・メッセージ	13

第 2 章 CICS メッセージ 15

DFH01nnnn メッセージ	15
DFH42nn メッセージ	16
DFH51nn メッセージ	16
DFH52nn メッセージ	32
DFH55nn メッセージ	47
DFH56nn メッセージ	56
DFH7xxx (DFHEXP) コマンド・レベル変換プログラム診断メッセージ	61
DFHACnnnn メッセージ	96
DFHADnnnn メッセージ	125
DFHAInnnn メッセージ	126
DFHAMnnnn メッセージ	127
DFHAPnnnn メッセージ	163
DFHASnnnn メッセージ	182
DFHAUnnnn メッセージ	184
DFHBAnnnn メッセージ	184
DFHBRnnnn メッセージ	193
DFHCAnnnn メッセージ	205
DFHCCnnnn メッセージ	308
DFHCEnnnn メッセージ	314
DFHCFnnnn メッセージ	322
DFHCPnnnn メッセージ	364
DFHCQnnnn メッセージ	381
DFHCRnnnn メッセージ	390
DFHCSnnnn メッセージ	392
DFHCZnnnn メッセージ	393
DFHDBnnnn メッセージ	453
DFHDDnnnn メッセージ	501
DFHDHnnnn メッセージ	503
DFHDMnnnn メッセージ	507
DFHDPnnnn メッセージ	511

DFHDSnnnn メッセージ	515
DFHDUnnnn メッセージ	520
DFHDXnnnn メッセージ	535
DFHECnnnn メッセージ	545
DFHEJnnnn メッセージ	570
DFHEMnnnn メッセージ	591
DFHEPnnnn メッセージ	593
DFHERnnnn メッセージ	604
DFHEXnnnn メッセージ	605
DFHFCnnnn メッセージ	610
DFHHXnnnn メッセージ	750
DFHICnnnn メッセージ	751
DFHIEnnnn メッセージ	753
DFHINnnnn メッセージ	766
DFHIRnnnn メッセージ	770
DFHISnnnn メッセージ	780
DFHJCnnnn メッセージ	817
DFHKCnnnn メッセージ	819
DFHKEnnnn メッセージ	822
DFHLDnnnn メッセージ	837
DFHLGnnnn メッセージ	872
DFHLMnnnn メッセージ	904
DFHMCnnnn メッセージ	906
DFHMEnnnn メッセージ	907
DFHMLnnnn メッセージ	928
DFHMNnnnn メッセージ	936
DFHMPnnnn メッセージ	945
DFHMQnnnn メッセージ	965
DFHMSnnnn メッセージ	1025
DFHNCnnnn メッセージ	1027
DFHNQnnnn メッセージ	1046
DFHOTnnnn メッセージ	1049
DFHPAnnnn メッセージ	1053
DFHPCnnnn メッセージ	1069
DFHPDnnnn メッセージ	1070
DFHPGnnnn メッセージ	1077
DFHPInnnn メッセージ	1098
DFHPRnnnn メッセージ	1222
DFHPSnnnn メッセージ	1223
DFHPTnnnn メッセージ	1224
DFHRDnnnn メッセージ	1225
DFHRLnnnn メッセージ	1232
DFHRMnnnn メッセージ	1284
DFHRPnnnn メッセージ	1323
DFHRSnnnn メッセージ	1432
DFHRTnnnn メッセージ	1454
DFHRUnnnn メッセージ	1461
DFHRXnnnn メッセージ	1461
DFHRZnnnn メッセージ	1465
DFHSHnnnn メッセージ	1468
DFHSInnnn メッセージ	1473

DFHSJnnnn	メッセージ	1489
DFHSKnnnn	メッセージ	1525
DFHSMnnnn	メッセージ	1527
DFHSNnnnn	メッセージ	1537
DFHSOnnnn	メッセージ	1551
DFHSRnnnn	メッセージ	1574
DFHSTnnnn	メッセージ	1579
DFHSZnnnn	メッセージ	1589
DFHTAnnnn	メッセージ	1606
DFHTCnnnn	メッセージ	1608
DFHTDnnnn	メッセージ	1622
DFHTFnnnn	メッセージ	1642
DFHTInnnn	メッセージ	1644
DFHTMnnnn	メッセージ	1647
DFHTOnnnn	メッセージ	1652
DFHTPnnnn	メッセージ	1659
DFHTRnnnn	メッセージ	1668
DFHTSnnnn	メッセージ	1682
DFHUPnnnn	メッセージ	1691
DFHUSnnnn	メッセージ	1692
DFHW2nnnn	メッセージ	1697

DFHWBnnnn	メッセージ	1707
DFHWUnnnn	メッセージ	1750
DFHXAnnnn	メッセージ	1761
DFHXCnnnn	メッセージ	1769
DFHXGnnnn	メッセージ	1785
DFHXMnnnn	メッセージ	1803
DFHXOnnnn	メッセージ	1823
DFHXQnnnn	メッセージ	1824
DFHXSnnnn	メッセージ	1845
DFHZCnnnn	メッセージ	1862
DFHZEnnnn	メッセージ	2076
DFHZNnnnn	メッセージ	2077

第 3 章 CICS に関連する IBM Health Checker for z/OS メッセージ 2081

特記事項 2083

索引 2089

この PDF について

この PDF では、CICS メッセージの形式について説明し、CICS DFH メッセージを記載しています。また、AMX サーバー環境のメッセージも含まれています。CICS TS V5.4 より前のバージョンでは、これらのメッセージは 2 つの PDF (「CICS メッセージおよびコード、第 1 巻」および「CICS メッセージおよびコード、第 2 巻」) に分けられていました。

本書で使用される用語および表記について詳しくは、IBM Knowledge Center の CICS 資料で使用されている表記規則および用語を参照してください。

この PDF の作成日

この PDF は、2018 年 12 月 14 日に作成されました。

第 1 章 AXM サーバー環境メッセージ

以下のメッセージは、許可された仮想記憶間 (AXM) サーバー環境から出されます。AXM サーバー環境は、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーによって使用されるランタイム・サービス、CICS® カップリング・ファシリティ (CF) データ・テーブル、および CICS 共用一時記憶域 (TS) キュー・プール・サーバーのパッケージです。AXM および CICS TS キュー・プール・サーバーについて詳しくは、「CICS データ共用サーバーの初期化」を参照してください。

注:

1. AXM メッセージは、CICS 領域から出されないため、CICS メッセージ・ドメインは使用しません。CMAC トランザクションで表示したり、XMEOUT ユーザー出口で抑止したりすることはできません。
2. これらのメッセージは通常、大/小文字混合の英語で表示されます。端末で小文字の英字を表示できない場合は、メッセージを大文字に変換する方法の手引きについて、「大文字変換」を参照してください。

AXM エラー・リカバリー・メッセージ

AXM ER0001 異常終了 *xxx-rr* が *address*、データ *word1 word2 word3* で発生しました。
(**ABEND *xxx-rr* occurred at *address*,
data *word1 word2 word3*.**)

説明: AXM エラー・リカバリー・ルーチンが、AXM サーバー領域 TCB で実行されているタスクで異常終了をインターセプトしました。異常終了コードは、システム完了コードを示す 3 桁の 16 進数字、またはユーザー完了コードを示す 4 桁の 10 進数字として示されます。データは、SDWA で MVS™ によって提供された PSW アドレス付近の 12 バイトで構成されます。

システムの処置: エラー・リカバリー・ルーチンはまず、AXMWH (異常終了が発生したモジュールおよびプロシーチャーを特定しようとし、特定できた場合は追加メッセージを書き込む) を呼び出します。その後、リカバリーが許可される場合、エラー・リカバリー・ルーチンは、影響を受けた AXM 内部タスクを終了し、通常の処理を再開します。許可されない場合は、エラーをパーコレートし、サーバー領域は異常終了します。

システムは通常、ジョブ・ログに症状ダンプ・メッセージを生成します。また、サーバー領域の JCL に適切な DD ステートメント (SYSUDUMP、SYSMDUMP、または SYSABEND) が存在する場合、フル・ダンプが生成されることがあります。

ユーザーの処置: 完了コードを調べて、異常終了の原因を特定してください。

モジュール: AXMER

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXM ER0002 *procname* のオフセット *offset* で **TRAP** が発生しました。(TRAP occurred at offset *offset* in *procname*.)

説明: サーバーの内部ロジック・エラーが原因で、示されている位置で TRAP マクロが実行されました。

システムは通常、ジョブ・ログに症状ダンプ・メッセージを生成します。また、サーバー領域の JCL に適切な DD ステートメント (SYSUDUMP、SYSMDUMP、または SYSABEND) が存在する場合、フル・ダンプが生成されることがあります。

システムの処置: AXM タスクが異常終了します。

ユーザーの処置: 恐らく、これはサーバー・コードのロジック・エラー、または正しいコンテキスト外でのサーバーの内部コンポーネントの使用試行を示しています。

メッセージ内のプロシーチャー名が AXM で始まっている場合、恐らく、これは、呼び出したサーバー・コードで不整合なパラメーター (主記憶域の解放時における無効なアドレスなど) が渡されたことを示しています。

モジュール: AXMER

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXM イベント管理メッセージ

AXM EV0001 AXM は MVS でのみオペレーティング・システムの WAIT をサポートします。(AXM only supports operating system WAIT on MVS.)

説明: AXM サーバー内でオペレーティング・システムの WAIT の発行が施行されましたが、サーバーが MVS で実行されていません。この場合、AXM によって使用される MVS POST 出口メカニズムは使用不可であり、オペレーティング・システムの WAIT をサポートすることはできません。

システムの処置: プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMEV

宛先: コンソール

AXM EV0003 AXM システム・サービスが使用可能でないため、AXM POST 出口を作成できませんでした。(The AXM POST exit could not be created because AXM system services are not available.)

説明: AXM サーバー領域の初期設定でオペレーティング・システム待機用に AXM によって使用される MVS POST を定義する必要がありましたが、現行 MVS イメージ内で AXM システム・サービスが使用可能でありませんでした。

システムの処置: サーバー領域は戻りコード 8 で終了します。

ユーザーの処置: まず AXM システム・サービスを始動してから、サーバー領域を再始動してください。

AXM システム・サービスは通常、サブシステム名として AXM、初期設定ルーチンとして AXMSI を指定した IEASSNxx のサブシステム定義を使用して、IPL 時に始動されます。また、SETSSI コマンドを使用して動的にサブシステムを定義することで、IPL 以外でも始動できます。

モジュール: AXMEV

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXM EV0004 AXM POST 出口を作成できませんでした。戻りコード: rc。(The AXM POST exit could not be created, return code was rc.)

説明: AXM システム・サービス・ルーチンから非ゼロ

の戻りコードが返されたため、オペレーティング・システム待機用に AXM によって使用されている MVS POST 出口を作成できませんでした。AXM システム・サービスが撤回されたことが、この唯一の既知の理由ですが、実稼働環境では起こりえないはずです。

システムの処置: サーバー領域は戻りコード 8 で終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMEV

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXMEV0005I このアドレス・スペースの AXM POST 出口は既に作成されています。(The AXM POST exit had already been created for this address space.)

説明: サーバー初期設定中に、オペレーティング・システム待機用に AXM によって使用される MVS POST がこのアドレス・スペースに対して既に作成されていることが AXM システム・サービスで検出されました。そのため、AXM は、異常終了 702-04 にならないように、同じ POST 出口を再作成する試行をバイパスしました。

これは、同じアドレス・スペース内の前のサーバー実行が異常終了したときに発生する可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMEV

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXMEV0006I AXM POST 出口を削除できませんでした。戻りコード: rc。(The AXM POST exit could not be deleted, return code was rc.)

説明: AXM システム・サービス・ルーチンから非ゼロの戻りコードが返されたため、オペレーティング・システム待機用に AXM によって使用されている MVS POST 出口を削除できませんでした。AXM システム・サービスが撤回されたことが、この唯一の既知の理由ですが、実稼働環境では起こりえないはずです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMEV

宛先: コンソール

AXM スタック (LIFO) ストレージ・メッセージ

AXMLF0001S PRV サイズが 4K を超えているため、LIFO ストレージをセットアップできません。(LIFO storage cannot be set up because the PRV size exceeds 4K.)

説明: サーバー・アプリケーション・ロード・モジュールの疑似レジスター・ベクトル (PRV) の合計リンク・エディット・サイズが、AXM でサポートされる最大サイズである 4096 を超えていることが AXM の初期設定で検出されました。PRV には、AXM リソース管理によって使用されるタスク関連の変数に加え、アセンブラー DXD 命令コードまたは Q タイプ・アドレス定数を使用するサーバー・コードによって定義されたタス

ク関連のデータ域が含まれます。

システムの処置: サーバーは異常終了します。

ユーザーの処置: サーバー・プログラマーは、PRV で定義されているタスク関連の変数のサイズを小さくする必要があります。大量のタスク関連の情報を保管する必要がある場合は、別個に取得したストレージ域 (AXM ヒープ・ストレージなど) に情報を保管し、PRV にはそれに対するポインターのみを配置するようにすることをお勧めします。

モジュール: AXMLF

宛先: コンソール

AXM ロック管理メッセージ

AXM LK0001 *address* のロックはこのタスクによって共用のために既に所有されています。(Lock at *address* is already owned for shared use by this task.)

説明: AXM サーバー・プログラムが AXM ロックの排他的所有権を取得しようとしたが、その AXM ロックは現行タスクの共用所有権状態になっていました。タスクは自己待機できないため、これは許可されません。

システムの処置: AXM ロック要求は拒否されます。

ユーザーの処置: サーバー・プログラマーは、プログラム・ロジックを変更する必要があります。例えば、AXM ロックの PROMOTE を使用して、共用ロックを排他ロックに変換できます。

モジュール: AXMLK

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXM LK0002 *function* は、*address* のロックがこのタスクによって所有されていないため、失敗しました。(function failed because lock at *address* is not owned by this task.)

説明: AXM サーバー・プログラムが AXM ロックを解放、デモート、またはプロモートしようとしたが、ロックが現行 AXM タスクによって所有されていませんでした。

システムの処置: AXM ロック要求は拒否されます。

ユーザーの処置: サーバー・プログラム・ロジックにエラーがあります。

モジュール: AXMLK

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXM オペレーティング・システム・インターフェース・メッセージ

AXMOS0001I メイン・プロシージャ・エントリー・ポイントはアドレス *address* にある *name* です。(The main procedure entry point is *name* at address *address*.)

説明: このメッセージは、AXM 初期設定時に印刷ファイルに書き込まれ、サーバー・メイン・プロシージャの名前およびエントリー・ポイント・アドレスを示します。これは主にデバッグのためのものです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMOS

宛先: 印刷ファイル

AXM OS0002 メイン・プロシージャが欠落しているか、または END ステートメントがエントリー・ポイントを指定していません。(The main procedure is missing, or the END statement does not name the entry point.)

説明: 実行されている AXM サーバー・ロード・モジュールに、AXM メイン・プロシージャとして識別さ

れているプロシージャが含まれていません。

システムの処置: サーバー領域は戻りコード 16 で終了します。

ユーザーの処置: メイン・プロシージャがリンク・エディットに正しく組み込まれていることを確認してください。組み込まれている場合は、そのエントリー・ポイント名が END ステートメントで正しく指定されている

こと、および MODULE ステートメントの前にマクロ AXMSET を配置し、MODULE ステートメントでオプション ENVIRON=AXM を指定し、AXM マクロを使用してアセンブルされていることを確認してください。

モジュール: AXMOS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

AXM ストレージ・ページ・プール管理メッセージ

AXMPG0001I 16 M を超える主フリー域がアドレス xxxxxx にありました (サイズ: nnnnK)。 (The main free area above 16M was at address xxxxxx, size nnnnK.)

説明: このメッセージは、AXM 初期設定時に印刷ファイルに書き込まれ、その時点で使用可能な 31 ビットのアドレス指定可能専用領域ストレージの最大域のサイズを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMPG

宛先: 印刷ファイル

AXMPG0002I 16 M 未満の主フリー域がアドレス xxxxxx1 にありました (サイズ: nnnnK)。 (The main free area below 16M was at address xxxxxx1, size nnnnK.)

説明: このメッセージは、AXM 初期設定時に印刷ファイルに書き込まれ、その時点で使用可能な 24 ビットのアドレス指定可能専用領域ストレージの最大域のサイズを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMPG

宛先: 印刷ファイル

AXMPG0003I ストレージ・ページ・プール areaname が作成されました。アドレス: xxxxxx、サイズ: nnnnK。 (Storage page pool areaname created, address xxxxxx, size nnnnK.)

説明: このメッセージは、作成されたそれぞれのストレージ・ページ・プールのサイズとアドレスを示すために AXM 初期設定時に印刷ファイルに書き込まれます。こ

れを実行した後は、ほとんどの AXM ストレージ要求は、MVS GETMAIN ではなく、このページ・プールから割り振られます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMPG

宛先: 印刷ファイル

AXMPG0004I ストレージ・ページ・プール areaname の使用統計: (Usage statistics for storage page pool areaname:)

説明: このメッセージは、指定されたストレージ・ページ・プールの統計を表示します (最新の統計リセットが行われた場合は、それ以降のもの)。これは、AXM 領域の終了時に印刷ファイルに自動的に書き込まれます。それ以外のときにサーバーによって要求されることもあります。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

Size	In Use	Max Used	Free	Min Free
nK	nK	nK	nK	nK
100%	n%	n%	n%	n%
	Gets	Frees	Retries	Fails
	n	n	n	n

各ストレージ統計は、2 つの形式で (K バイト数および合計サイズの割合として) 示されます。

各ファイルの意味は、以下のとおりです。

Size (サイズ)

ストレージ・プールの合計サイズ。

In Use (使用中)

現在使用中であるストレージの量。

Max Used (最大使用数)

これまで使用中だったストレージの最大量。

Free (フリー)

プール内にある現在フリーであるストレージの量。

Min Free (最小フリー)

これまでフリーであったストレージの最小量。

Gets (取得数)

プール内のストレージを取得する要求の数。

Frees (フリー数)

プール内のストレージをリリースする要求の数。

Retries (再試行数)

ストレージ要求が、最初は失敗して、隣接する小さなフリー域をマージして大きな領域を形成した後、再試行された回数。

Fails (失敗)

ストレージ要求が、要求された量のストレージを再試行しても取得することができなかった回数。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMPG

宛先: 印刷ファイル

AXM リソース追跡メッセージ

AXM RS0001 *address* のタイディアップ・ルーチンがリソース追跡セルの解放に失敗しました。

(Tidy-up routine at *address* failed to free resource tracking cell.)

説明: タスクがリソースを解放せずに終了した場合にプロシーチャーを呼び出してリソースを解放するように指定した AXM リソース追跡エレメントがサーバー・ルーチンで設定されています。AXM タスクが現在終了中で、追跡エレメントで指定されたプロシーチャーが呼び出されましたが、そのプロシーチャーが戻った後でもリソース追跡エレメントがまだ存在していました。関連す

るプロシーチャーのエントリー・ポイント・アドレスがメッセージで示されています。

システムの処置: リソースが削除されたものと想定して追跡エレメントが解放され、AXM タスク終了が続行します。

ユーザーの処置: サーバー・プログラマーは、リソースを解放するプロシーチャーがリソース追跡エレメントも解放する必要がある必要があります。

モジュール: AXMRS

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXM サーバー接続およびシステム・サービスのメッセージ

AXMSC0011I AXM システム・サービスの初期設定が進行中です。**(AXM system services initialization is in progress.)**

説明: AXM システム・サービスが始動中です。これは通常、AXM サブシステム初期設定ルーチンによって呼び出された結果として行われます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0012I AXM システム・サービスの初期設定が完了しました。**(AXM system services initialization has completed.)**

説明: 現在の MVS イメージで、AXM システム・サービスが完全に使用できるようになりました。

システムの処置: AXM 仮想記憶間サーバー接続要求および POST 出口 システム・サービスに対する要求が受け入れられるようになりました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0013 AXM システム・サービスは既に初期設定済みです。**(AXM system services have already been initialized.)**

説明: 現行 MVS イメージ内で既にアクティブな AXM システム・サービスを再度セットアップしようとした。

システムの処置: この試行は無視されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0021I AXM システム・サービスの終了が進行中です。**(AXM system services termination is in progress.)**

説明: AXM システム・サービスが撤回されています。

これが可能なのは、サブシステムの初期設定によってセットアップされたのではなく、AXM システム領域プログラム AXMSR を使用して初期設定された場合のみです。

システムの処置: AXM システム・サービス・プログラム呼び出しテーブルは削除され、AXM システム・サービス・アンカー内のすべてのエントリ・ポイントは、サービスが使用不可であることを示す標識を返すダミー・ルーチンに置き換えられます。

ユーザーの処置: 現在、任意のAXM システム・サービスを呼び出そうとした場合、その結果は予測不能であるので注意してください。AXM システム・サービスは、実稼働環境において、使用されている可能性があるときはいかなるときにも撤回してはなりません。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0022I AXM システム・サービスの終了が完了しました。(AXM system services termination has completed.)

説明: この MVS イメージの AXM システム・サービスが終了しました。

システムの処置: AXM システム・サービスは使用できなくなりました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0031I サーバー *prefix.name* への接続がオープンされました。(Connection to server *prefix.name* has been opened.)

説明: 現行領域が AXM サーバー *prefix.name* との AXM 接続を確立しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0032 サーバーが見つからなかったため、サーバー *prefix.name* への接続が失敗しました。(Connection to server *prefix.name* failed because the server was not found.)

説明: 現行領域が AXM サーバー *prefix.name* への AXM 接続を確立しようとしたことが、AXM 接続用に

使用可能になっているその名前のアクティブ・サーバーが存在しないため、確立できませんでした。

システムの処置: 接続試行は、戻りコード 8、理由コード 32 で拒否されます。

ユーザーの処置: サーバーが始動されていること、およびその名前が正しく指定されていることを確認してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0033 サーバー *prefix.name* への接続がセキュリティ・システムによって拒否されました。(Connection to server *prefix.name* was rejected by the security system.)

説明: 現行領域が AXM サーバー *prefix.name* への AXM 接続を確立しようとしたことが、要求はセキュリティ・システムによって拒否されました。

システムの処置: 接続試行は、戻りコード 8、理由コード 33 で拒否されます。

ユーザーの処置: セキュリティ検査の結果の詳細を示す、前の AXM メッセージを参照してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0034 すべての AXM 接続が使用中であるため、サーバー *prefix.name* への接続が失敗しました。(Connection to server *prefix.name* failed because all AXM connections are in use.)

説明: 現行領域が AXM サーバー *prefix.name* への AXM 接続を確立しようとしたことが、MVS イメージ内でサポートされる AXM 接続の最大数 (現在、4096) に達しています。

システムの処置: 接続は戻りコード 8、理由コード 34 で拒否されます。

ユーザーの処置: 単一の MVS イメージ内に 4096 を超える AXM サーバー接続が必要な場合は、IBM から支援を受ける必要があります。進め方に関する手引きについては、「」を参照してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0035 要求制限 *reqs* が 9999 を超えているため、サーバー *prefix.name* への接続が失敗しました。**(Connection to server *prefix.name* failed because request limit *reqs* exceeds 9999.)**

説明: 現行領域が AXM サーバー *prefix.name* への AXM 接続を確立しようとしたましたが、サポートする同時要求の最大数を指定する接続パラメーターが 9999 を超えています。

システムの処置: 接続は、戻りコード 8、理由コード 35 で拒否されます。

ユーザーの処置: サーバー・インターフェース・プログラムが、同時要求の最大数に対して正しい値を指定しているかどうかを確認してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0036 サーバー *prefix.name* への接続がサーバーによって拒否されました。**(Connection to server *prefix.name* was rejected by the server.)**

説明: 現行領域が AXM サーバー *prefix.name* への AXM 接続を確立しようとしたましたが、サーバー定義の接続出口によって要求が拒否されました。

システムの処置: 接続は、戻りコード 8、理由コード 36 で拒否されます。

ユーザーの処置: 拒否の理由は、サーバー・コードによって異なりますが、これは通常、サーバーが終了の準備をしているか、別の接続を受け入れるためのリソースが不足している場合に発生します。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0037 サーバーが終了中であるため、サーバー *prefix.name* への接続が失敗しました。**(Connection to server *prefix.name* failed because the server is terminating.)**

説明: 現行領域が AXM サーバー *prefix.name* への AXM 接続を確立しようとしたましたが、接続要求の進行中にサーバーが終了処理を開始しました。

システムの処置: 接続は戻りコード 8、理由コード 37 で拒否されます。終了中のサーバーのインスタンスは、新規接続試行から可視でなくなります。

ユーザーの処置: サーバーが再始動されたら、接続を再試行してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0038 このアドレス・スペースは既にサーバー *prefix.name* に接続されているため、このサーバーへの接続が失敗しました。**(Connection to server *prefix.name* failed because this address space is already connected to it.)**

説明: 現行領域が AXM サーバー *prefix.name* への AXM 接続を確立しようとしたましたが、同じサーバー領域への接続が既にあります。AXM では、同じ領域から同じサーバー領域への複数の接続はサポートされません。

システムの処置: 接続は戻りコード 8、理由コード 38 で拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0041I サーバー *prefix.name* への接続がクローズされました。**(Connection to server *prefix.name* has been closed.)**

説明: この領域によって明示的にクローズされた結果として、あるいは接続を最初に確立した MVS TCB の終了の結果として、示されているサーバーへの現行領域からの AXM 接続が終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0042 トークン *xxxxxxx* に対する接続のクローズが失敗しました。理由: *n*。**(Connection close failed for token *xxxxxxx*, reason is *n*.)**

説明: AXM 接続を明示的にクローズしようとしたましたが、指定された接続トークンが現行領域によって所有されているアクティブ接続を参照していなかったか、その他の理由で接続をクローズできませんでした。

理由コードは、プロシーチャー AXMSCCLS 内で失敗した妥当性検査を示しています。理由コード 9 は、接続を介して発行された要求がまだ完了していないことを示しています。その他の理由コードは、おそらくは正しくないトークンを示しています。

システムの処置: 試行は、戻りコード 8、理由コード 42 で拒否されます。

ユーザーの処置: 接続クローズ要求で正しい接続トークンを指定していること、およびその接続に対する未完了の要求がないことを確認してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0043I サーバー切断 SRB がスケジュールされました。IEAMSCHD RC=xx COMP=xx CODE=xx RSN=xx (Server disconnect SRB was scheduled, IEAMSCHD RC=xx COMP=xx CODE=xx RSN=xx)

説明: CICS クロスメモリー・サーバー領域に接続されているクライアント領域がメモリーの末尾で終了したため、クライアント領域内の AXM インターフェースが通常のサーバー切断処理を完了できませんでした。そのため、AXM の「メモリーの末尾」リソース・マネージャーは、サーバー領域に対する同期 SRB をスケジュールして、IEAMSCHD マクロを使用して、クライアント領域が切断されたことを通知します。このメッセージでは、そのマクロによって返される結果の値が 16 進数で示されます。これは、IEAMSCHD マクロについて文書化されている、戻りコード、完了タイプ、完了コード、および理由コードで構成されます。サーバー領域がまだ実行中で、切断処理が成功した場合、戻りコードはゼロになります。この場合、完了タイプと完了コードもゼロになり、ゼロ以外の理由コードは無視される可能性があります。戻りコードがゼロ以外の場合は、サーバー切断処理を完了できませんでした。この場合、切断されたクライアント領域が使用していた一部のサーバー・リソースが解放されていない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードがゼロの場合、処置は不要です。戻りコードがゼロ以外の場合は、同じサーバー領域に対する後続の要求が失敗またはハングする可能性があります。これが発生した場合、唯一の解決方法は、そのサーバー領域を取り消して再始動することです。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0051I サーバー *prefix.name* は接続用に使用可能になりました。(Server *prefix.name* is now enabled for connections.)

説明: この AXM サーバーは初期設定を完了し、他のアドレス・スペースからの接続用に使用可能になりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0052 別のアドレス・スペースで既にアクティブであるため、サーバー *prefix.name* を使用可能にすることができません。
(Server *prefix.name* cannot be enabled because it is already active in another address space.)

説明: MVS イメージ内で同時にアクティブにすることができる特定の AXM サーバー名のインスタンスは 1 つのみです。

システムの処置: サーバー・インターフェースを使用可能にしようとする試行は、戻りコード 8、理由コード 52 で拒否されました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0053 呼び出し元が APF 許可されていないため、サーバー *prefix.name* を使用可能にすることができません。(Server *prefix.name* cannot be enabled because caller is not APF authorized.)

説明: AXM では、サーバー・インターフェースを使用可能にすることができるようにするには、AXM サーバー領域が APF 許可を受けた状態で実行されている必要があります。

システムの処置: サーバー・インターフェースを使用可能にしようとする試行は、戻りコード 8、理由コード 53 で拒否されました。

ユーザーの処置: サーバー・プログラムが APF 許可されたライブラリーから実行され、AC(1) でリンク・エディットされた状態にしてください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0054 セキュリティー・システムによって要求が拒否されたため、サーバー *prefix.name* を使用可能にすることができません。(Server *prefix.name* cannot be enabled because the security system rejected the request.)

説明: サーバー領域ユーザー ID が指定されたサーバー名で AXM サーバーとして動作するために正しく許可されていないことがセキュリティ・システムで検出されました。

システムの処置: サーバー・インターフェースを使用可能にしようとする試行は、戻りコード 8、理由コード 54 で拒否されました。

ユーザーの処置: セキュリティ検査の結果の詳細を示す、前の AXM メッセージを参照してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0061I サーバー *prefix.name* は接続用に使用不可になりました。(Server *prefix.name* is now disabled for connections.)

説明: この AXM サーバーは終了中であり、他のアドレス・スペースからの接続用に使用可能でなくなっています。これは、サーバーが明示的にそのインターフェースを使用不可にした場合、またはサーバー・ジョブ・ステップ・タスクが終了した場合に発生します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0062 トークン *xxxxxxx* に対するサーバーの使用不可化が失敗しました。理由: *n*。(Server disable failed for token *xxxxxxx*, reason is *n*.)

説明: サーバー・インターフェースを使用不可にしようとしたのですが、失敗しました。これは、指定されたサーバー・インターフェース・トークンが、現行アドレス・スペースによって設定されているアクティブ・サーバー・インターフェースを正しく識別していなかったためです。

理由コードは、プロシージャ AXMSCDIS 内で失敗した妥当性検査の内部標識を示します。すべての理由コードは、恐らく、正しくないトークンを示しています。

システムの処置: サーバー・インターフェースを使用不可にしようとする試行は、戻りコード 8、理由コード 62 で拒否されました。サーバー・インターフェースがまだ使用可能になっている場合は、ジョブ・ステップ・タスクが終了すると、自動的に使用不可になります。

ユーザーの処置: サーバー・インターフェース・トークンは AXM によって内部的に保管されているため、このメッセージの唯一の既知の理由としては、サーバー領

域内でのストレージの上書きが考えられます。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0063 呼び出し元が **APF** 許可されていないため、サーバー *prefix.name* を使用不可にすることができません。(Server *prefix.name* cannot be disabled because caller is not APF authorized.)

説明: AXM では、サーバー・インターフェースを使用不可にすることができるようにするには、AXMサーバー領域が APF 許可を受けた状態で実行されている必要があります。

システムの処置: サーバー・インターフェースを使用不可にしようとする試行は、戻りコード 8、理由コード 63 で拒否されました。

ユーザーの処置: サーバー・プログラムが APF 許可されたライブラリーから実行され、AC(1) でリンク・エディットされた状態にしてください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0071 サーバー名 *prefix.name* は、アクセス検査で正しくない構文になっています。(Server name *prefix.name* has incorrect syntax for access checks.)

説明: (例えば、接頭部または名前がブランクであるため) 接続要求またはサーバー使用可能化要求で指定されている AXM サーバー名の形式が正しくないことがセキュリティ検査ルーチンで検出されました。これは、セキュリティ検査を実行できないことを意味します。

システムの処置: セキュリティ検査が失敗したことを示す戻りコードが設定されます。

ユーザーの処置: サーバーの接頭部と名前が正しく指定されていることを確認してください。接頭部は通常、サーバーによって定義されますが、名前は、ユーザー指定のサーバー・パラメーターから設定されることがあります。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0072 ファシリティ *facility* に対して *level* アクセス許可が拒否されました。(level access authorization was denied for FACILITY *facility*.)

説明: 指定されたファシリティに必要なアクセス・レ

ベルに対して現行領域が許可されていないと外部セキュリティ・マネージャーから示されました。

システムの処置: セキュリティー検査が失敗したことを示す戻りコードが設定されます。

ユーザーの処置: 指定されたファシリティ・リソース名へのアクセスが領域のユーザー ID に許可されているかどうかを確認してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0073 ファシリティ *facility* に対して *level* アクセス許可が使用不可です。(level access authorization is unavailable for FACILITY *facility*.)

説明: 指定されたファシリティに必要なアクセス・レベルに対して現行領域が許可されているかどうかを判別できないと外部セキュリティ・マネージャーから示されました。このメッセージが出されるのは、セキュリティ検査が実際に必要かどうかをセキュリティ・ルーチンが判別できない場合のみです。(例えば、外部セキュリティ・マネージャーがインストールされていないため) セキュリティー検査が不要であることが明らかな場合は、関係なくアクセスは認可されます。

システムの処置: セキュリティー検査が失敗したことを示す戻りコードが設定されます。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャーが使用可能かどうか、および指定されたファシリティのセキュリティ定義が指定されているかどうかを確認してください。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0074 RACROUTE REQUEST=AUTH で以下が出されました: R15=xxxxxxx、SAFPRRET=xxxxxxx、SAFPRREA=xxxxxxx。(RACROUTE REQUEST=AUTH gave R15=xxxxxxx、SAFPRRET=xxxxxxx、SAFPRREA=xxxxxxx.)

説明: このメッセージは、アクセスが認可されない場合にセキュリティ検査結果に関する追加詳細を提供します。詳しくは、RACROUTE マクロの説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM SC0075 RACROUTE REQUEST=STAT で以下が出されました: R15=xxxxxxx、SAFPRRET=xxxxxxx、SAFPRREA=xxxxxxx。(RACROUTE REQUEST=STAT gave R15=xxxxxxx、SAFPRRET=xxxxxxx、SAFPRREA=xxxxxxx.)

説明: このメッセージは、アクセスが認可されない場合にセキュリティ検査結果に関する追加詳細を提供します。詳しくは、RACROUTE マクロの説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0991I *address* で新規 AXM システム・サービス・アンカーを作成します。(Creating new AXM system services anchor at *address*.)

説明: このメッセージは、診断目的のために必要な場合にシステム・サービス・アンカーを見つけることができるようにするために、AXM システム・サービスの初期設定中に出されます。

システムの処置: AXM システム・サービスの初期設定処理は続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXMSC0992I *address* で古い AXM システム・サービス・アンカーを削除します。(Deleting old AXM system services anchor at *address*.)

説明: このメッセージは、AXM システム・サービスが以前にアクティブであったが、終了した場合に (これは、通常の実稼働環境ではあり得ません)、AXM システム・サービスの初期設定中に出されます。古いシステム・サービス・アンカーは、AXM の再始動時に使用するシステム LX が含まれているため、AXM の終了後も保持されます。このメッセージは、診断目的のために古いシステム・サービス・アンカーのアドレスを示します。

システムの処置: AXM システム・サービスの初期設定処理は続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSC

宛先: コンソール

AXM サブシステム初期設定メッセージ

AXMSI0001I AXM サブシステムの初期設定が進行中です。(AXM subsystem initialization is in progress.)

説明: AXM システム・サービスを初期設定するために、AXM サブシステムの初期設定プログラムが開始されました。

システムの処置: AXM システム・サービスがロードおよび初期設定されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSI

宛先: コンソール

説明: AXM サブシステム初期設定ルーチンは正常に完了しませんでした。このメッセージは、最終的な戻りコードと理由コードを示します。これは通常、AXM システム・サービス初期設定からの戻りコードです。

システムの処置: サブシステム初期設定ルーチンは、MVS に制御を返します。

ユーザーの処置: 問題の原因について説明している前の AXM メッセージを参照してください。理由コードは通常、AXMSC によって出されたエラー・メッセージの番号になります。

モジュール: AXMSI

宛先: コンソール

AXMSI0002I AXM サブシステムの初期設定が完了しました。(AXM subsystem initialization has completed.)

説明: AXM サブシステムの初期設定プログラムが実行を完了しました。

システムの処置: プログラムは、MVS に制御を返します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSI

宛先: コンソール

AXM SI0004 AXM サブシステムの初期設定は、マスター・スケジューラー・アドレス・スペースでのみ実行できます。(AXM subsystem initialization can only run in Master Scheduler address space.)

説明: マスター・スケジューラー領域 (ASID 0001) で実行されている MVS サブシステム初期設定プログラムとして以外の方法で AXM サブシステム初期設定プログラム AXMSI を呼び出そうとしました。

システムの処置: サブシステム初期設定プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSI

宛先: コンソール

AXM SI0003 AXM サブシステムの初期設定の戻りコード: *retcode*、理由コード: *rsncode*。(AXM subsystem initialization return code *retcode*, reason code *rsncode*.)

AXM システム領域メッセージ

AXMSR0001I AXM システム領域の初期設定が進行中です。(AXM system region initialization is in progress.)

説明: AXM システム領域の開始中です。これは、開発目的のためにテスト環境で AXM システム・サービスを初期設定するために使用され、IPL なしで AXM システム・サービスを終了して再始動できるようにします。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXMSR0002I AXM システム領域の初期設定が完了しました。(AXM system region initialization has completed.)

説明: AXM システム・サービスは、AXM システム領域から正常に初期設定されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム領域は、MVS STOP コマン

ドを使用して再度終了できますが、それを行うのは、MVS イメージ内で使用されている AXM サービスがないことが確かな場合のみにしてください。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXMSR0003I AXM システム領域の終了が進行中です。(AXM system region termination is in progress.)

説明: オペレーターが、MVS STOP コマンドを使用して、AXM システム領域の終了を要求しました。

システムの処置: AXM システム・サービスは終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXMSR0004I AXM システム領域の終了が完了しました。(AXM system region termination has completed.)

説明: AXM システム領域は終了を完了しました。

システムの処置: 制御が MVS に返され、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXM SR0011 AXM システム領域は、MVS/ESA でのみ実行できます。(AXM system region can only run under MVS/ESA.)

説明: 非 MVS 環境で AXM システム領域プログラム AXMSR を実行する試みが行われました。

システムの処置: システム領域プログラムは終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXM SR0012 AXM システム領域プログラム AXMSR は APF 許可する必要があります。(AXM system region program AXMSR needs to be APF authorized.)

説明: APF 許可なしで AXM システム領域プログラム AXMSR を実行する試みが行われました。

システムの処置: システム領域プログラムは終了します。

ユーザーの処置: モジュール AXMSR が APF 許可されたライブラリーに保管され、AC(1) でリンク・エディットされた状態にしてください。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXM SR0013 *name* の AXM システム領域 LOAD が次の完了コードで失敗しました:
xxx-nm。(AXM system region LOAD for *name* failed with completion code *xxx-nm*.)

説明: システム・サービス・モジュール (AXMSC) の LOAD を試みましたが、失敗しました。

システムの処置: システム領域プログラムは終了します。

ユーザーの処置: LOAD が失敗した理由について、「MVS/ESA システム・コード」のシステム完了コード *xxx* の説明を参照してください。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXM SR0021 AXM システム領域で次のコマンドがサポートされません (AXM system region does not support this command): *text*

説明: MVS MODIFY コマンドを使用して AXM システム領域へのコマンドの発行が試行されました。AXM システム領域は、MVS STOP コマンドのみをサポートし、MODIFY 経由で入力されたコマンドをサポートしません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: システム領域を終了する意図だった場合は、代わりに MVS STOP コマンドを使用してください。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXMSR0022I AXM システム領域の STOP コマンドが受け入れられました。(AXM system region STOP command has been accepted.)

説明: オペレーターが、AXM システム領域を終了するために STOP コマンドを発行しました。

システムの処置: AXM システム・サービスは終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMSR

宛先: コンソール

AXM トレースおよび印刷ファイル管理メッセージ

AXM TR0001 *ddname* 印刷ファイルをオープンできませんでした。(The *ddname* print file could not be opened.)

説明: AXM 初期設定中に、示されている DDNAME (通常、AXMPRINT または SYSPRINT) の AXM トレースおよび印刷ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 印刷ファイル出力要求は無視されます。

ユーザーの処置: 適切な DD ステートメントが存在していることを確認してください。デフォルトの DDNAME は AXMPRINT ですが、サーバーが他の目的のために名前 SYSPRINT を予約しておく必要がない場合には、サーバー・コード内の AXMTRDEF 定義によって SYSPRINT に指定変更されることがあります。

モジュール: AXMTR

宛先: コンソール

AXM アドレス検索 (WHERE) メッセージ

AXMWH0001I アドレス *address* が *modtype* モジュール *modname* の *+offset* にあります。
(Address *address* is at *+offset* in *modtype* module *modname*.)

説明: このメッセージは、異常終了または TRAP メッセージの後に、エラー・アドレスが含まれているモジュールを示すために生成されることがあります (モジュールが MVS に認識されている場合)。モジュールおよびタイプに関する情報は、MVS マクロ CSVQUERY または NUCLKUP を使用して取得されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMWH

宛先: コンソールおよび印刷ファイル

AXMWH0002I アドレス *address* がプロシージャ *procname* で *+offset* にあります。
(Address *address* is at *+offset* in procedure *procname*.)

説明: このメッセージは、ストレージが既知のモジュール内にあり、プロシージャ ID が含まれている標準 SAVE シーケンスがエラー・アドレスの前の特定の位置にある場合に、エラー・アドレスが含まれているプロシージャを識別する異常終了または TRAP メッセージの後に生成されることがあります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMWH

宛先: コンソール

AXM 仮想記憶間インターフェース・メッセージ

AXM XM0011 AXM システム・サービスが使用可能でないため、サーバー *prefix.name* を使用可能にすることができません。(Server *prefix.name* cannot be enabled because AXM system services are not available.)

説明: サーバー・インターフェースを使用可能にする試みが行われたが、AXM システム・サービスがこの MVS イメージ内で初期設定されていません。

システムの処置: サーバー使用可能化要求は拒否されます。

ユーザーの処置: AXM システム・サービスが開始されていることを確認してから、サーバーを再始動してください。

モジュール: AXMXM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

AXM XM0012 サーバー *prefix.name* の使用可能化が失敗しました。戻りコード: *retcode*、理由: *rsncode*。(Enable failed for server *prefix.name*, return code *retcode*, reason *rsncode*.)

説明: サーバー・インターフェースを使用可能にできませんでした。前の AXMSC メッセージによって、具体的な理由が示されています。

システムの処置: サーバー使用可能化要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: AXMXM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

AXM XM0021 異常終了 *xxx-rr* が *address*、データ *word1 word2 word3* で発生しました。
(**ABEND *xxx-rr* occurred at *address*,
data *word1 word2 word3*.**)

説明: AXM 仮想記憶間プログラム呼び出しルーチンの ARR ルーチンが仮想記憶間モードの AXM タスクで異常終了をインターセプトして、関連する SDWA をサーバー・アドレス・スペースのタスクに渡し、該当する診断メッセージが出されました。異常終了コードは、システム完了コードを示す 3 桁の 16 進数字、またはユーザー完了コードを示す 4 桁の 10 進数字として示されます。データは、SDWA で MVS によって提供された PSW アドレス付近の 12 バイトで構成されます。

システムの処置: このメッセージはサーバー領域によって書き込まれるため、このメッセージが出されたときに、ARR は既に処理を完了しています。リカバリーが許可される場合、ARR は影響を受けた AXM 内部タスクを終了します。その場合、仮想記憶間要求からの戻りコードは、通常の MVS 形式の完了コードになりますが、高位ビットが異常終了を示すように設定されます。リカバリーが許可されない場合、ARR は、要求側の領域に異常終了を渡して、エラーをパーコレートします。

このメッセージを書き込む診断ルーチンは、AXMWH (異常終了が発生したモジュールおよびプロシージャーを特定しようとし、特定できた場合は追加メッセージを書き込む) を呼び出します。その後、MVS SDWA を解放します。サーバーの実行は、仮想記憶間モードでの異常終了から直接的な影響を受けません。

ユーザーの処置: 完了コードを調べて、異常終了の原因を特定してください。

モジュール: AXMXM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

AXM XM0022 *procname* のオフセット *offset* で **TRAP** が発生しました。(TRAP occurred at *offset offset in procname*.)

説明: サーバー・モジュールの内部ロジック・エラーまたはサーバー要求の無効なパラメーターが原因で、仮想記憶間モードにおいて示されている位置で TRAP マクロが実行されました。

システムは通常、ジョブ・ログに症状ダンプ・メッセージを生成します。また、接続されている領域の JCL に適切な DD ステートメント (SYSUDUMP、SYSMDUMP、または SYSABEND) が

存在する場合、接続されている領域のフル・ダンプが生成されることがあります。

システムの処置: AXM タスクが異常終了します。

ユーザーの処置: 恐らく、これはサーバー・コードのロジック・エラー、または正しいコンテキスト外でのサーバーの内部コンポーネントの使用試行を示しています。

メッセージ内のプロシージャー名が AXM で始まっている場合、恐らく、これは、呼び出したサーバー・コードで不整合なパラメーター (主記憶域の解放時における無効なアドレスなど) が渡されたことを示しています。

モジュール: AXMXM

宛先: コンソール

第 2 章 CICS メッセージ

CICS は、製品のさまざまなユーザーに対して、さまざまなタイプのメッセージを生成します。メッセージは、問題判別を開始するためのクイック・リファレンスとして準備されました。CICS メッセージは文字列 DFH で始まります。

DFH01nnnn メッセージ

DFH0100 CICS サブシステムは初期設定されました
(CICS SUBSYSTEM IS NOW
INITIALIZED)

説明: SYS1.PARMLIB の IEFSSNxx メンバーの項目で識別された CICS サブシステムが正常に初期設定されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSSIN

宛先: コンソール

DFH0101 CICS サブシステムが初期設定されませんでした。(CICS SUBSYSTEM WAS NOT
INITIALIZED)

説明: SYS1.PARMLIB の IEFSSNxx メンバーの項目で識別された CICS サブシステムを正常に初期設定できませんでした。

システムの処置: システムは、サブシステムのサービスなしで続行します。

ユーザーの処置: 先行する DFH01xx メッセージを使用して、サブシステムを初期設定できなかった理由を調べてください。訂正後、MVS の再 IPL を実行して、サブシステムを初期設定してください。

モジュール: DFHSSIN

宛先: コンソール

DFH0102 CICS サブシステムがモジュール *module*
をロードできませんでした (CICS
SUBSYSTEM COULD NOT LOAD
MODULE *module*)

説明: CICS サブシステムを初期設定しようとしているときに、モジュール *module* を共通ストレージにロードできませんでした。モジュールは、MVS リンク・パックに入れるか、LOAD GLOBAL=(YES,P) マクロによっ

て MVS リンク・リスト連結内のライブラリーからロードする必要があります。

システムの処置: システムはメッセージ DFH0101 を出し、サブシステムを初期設定しません。

ユーザーの処置: モジュールをロードできなかった理由を調べてください。訂正後、MVS の再 IPL を実行して、サブシステムを初期設定してください。

モジュール: DFHSSIN

宛先: コンソール

DFH0103 CICS パラメーター・メンバー名 *member*
は無効です (CICS PARAMETER
MEMBER NAME *member* IS INVALID)

説明: CICS サブシステムのサブシステム定義の 3 番目の位置パラメーターは、8 文字を超えているため、有効なメンバー名ではありません。CICS サブシステムを定義する SYS1.PARMLIB の IEFSSNxx メンバーの項目内で、CICS 初期設定パラメーターを含むメンバーとして有効な名前ではないパラメーターがコーディングされています。

システムの処置: コーディングされているパラメーターは 8 文字になるように切り捨てられ、その結果が SYS1.PARMLIB から CICS パラメーターを読み取るためのメンバー名として使用されます。結果のパラメーターが有効かどうかに関係なく、システムは後でメッセージ DFH0101 を出し、サブシステムを初期設定しません。

ユーザーの処置: SYS1.PARMLIB の IEFSSNxx メンバー内の CICS サブシステムの定義を訂正してください。訂正後、MVS の再 IPL を実行して、サブシステムを初期設定してください。

モジュール: DFHSSIN

宛先: コンソール

DFH0104 *member - parameter* に CICS パラメーター・エラーがあります (CICS **PARAMETER ERROR IN** *member - parameter*)

説明: SYS1.PARMLIB の示されているメンバーからの CICS サブシステム初期設定パラメーターを調べているときに、構文エラーが検出されました。エラーが含まれているレコードがメッセージに示されています。

システムの処置: システムはメッセージ DFH0101 を出し、サブシステムを初期設定しません。

ユーザーの処置: サブシステム・パラメーターの構文エラーを訂正してください。サブシステム初期設定パラメーターの構文の詳細については、「CICS の相互通信」を参照してください。訂正後、MVS の再 IPL を実行して、サブシステムを再初期設定してください。

モジュール: DFHSSIN

宛先: コンソール

DFH0105 CICS サブシステムの初期設定は、この **MVS** リリースではサポートされません (CICS **SUBSYSTEM INITIALIZATION IS NOT SUPPORTED FOR THIS MVS RELEASE**)

説明: CICS サブシステムの初期設定は、MVS SP 2.2.0 より前の MVS リリースではサポートされません。

システムの処置: システムはメッセージ DFH0101 を出し、サブシステムを初期設定しません。

ユーザーの処置: MVS の前提条件リリースがインストールされるまで、CICS サブシステム・サービスの実装を据え置いてください。

モジュール: DFHSSIN

宛先: コンソール

DFH42nn メッセージ

DFH4200 *jobname tranid*

説明: *jobname* は、MVS システム内の CICS のジョブ名です。CICS トランザクション *tranid* が TC READ 要求をオペレーター・コンソールに発行しました。

システムの処置: トランザクションは中断され、応答待ちになります。

ユーザーの処置: コンソールで応答を入力してください。

モジュール: DFHZCNR

宛先: コンソール

DFH51nn メッセージ

DFH5100 S SEVERE ERROR IN MODULE
modname. ABEND CODE: abcode

説明: CSD ユーティリティ・コマンドによって呼び出されたときに、モジュール *modname* で内部エラーが起きました。

システムの処置: オペレーティング・システム・ダンプが作成され、異常終了コード *abcode* が出力され、処理は異常終了します。CSD ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。

4.

ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: 手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5101 I *command* **COMMAND EXECUTED SUCCESSFULLY.**

説明: CSD ユーティリティ・コマンド *command* の実行が正常に完了しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5102 I WARNING MESSAGES ISSUED
WHILE PROCESSING *command*
COMMAND.**

説明: CSD ユーティリティが *command* コマンドの構文検査または実行時にメッセージを出しました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: 警告メッセージを見直して、ユーティリティの処理にどのような影響があったのかを判別してください。次に、さらに CSD ユーティリティ・ジョブをサブミットする必要があるのかどうかを判断してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5103 I *command* コマンドの処理中に、エラーが発生しました。

説明: CSD ユーティリティが、ユーティリティ・コマンド *command* の構文エラーか、またはそのコマンド *command* の実行が正しく行われなかったことを検出しました。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行は終了します。

コマンドがユーティリティによって SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文のみについて調べられます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 構文エラーが原因でコマンドが失敗した場合は、コマンドを訂正してください。

コマンドが正しく実行されなかった場合には、前のエラーが原因になっている可能性があります。そのような状況では、DFH5275 などの関連したエラー・メッセージが出されているはずです。詳細については、それらのエラー・メッセージを参照してください。

すべてのエラーを訂正してから、もう一度 CSD ファイルをオープンしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5104 W SUBSEQUENT COMMANDS (EXCEPT
LIST) ARE NOT EXECUTED
BECAUSE OF ERROR(S) ABOVE.**

説明: CSD ユーティリティ・プログラムは、エラーを検出した後、(メッセージ書き込み出口ルーチンによって提供された場合とは異なり) データ・ストリームから読み取ったそれ以降のすべてのコマンドの実行を停止します。ただし、後続コマンドの構文検査は続行されます。LIST コマンドは例外であって、1 次 CSD ファイルをオープンすることができる場合であれば、エラーの起こる前と同じように実行されます。

システムの処置: 後続の CSD ユーティリティ・コマンド (LIST を除く) は無視されます。

ユーザーの処置: 使用されたコマンドに構文エラーがないかどうかを検査し、あればそれを訂正してください。

DFHCSDUP がアクティブ処理を停止させる原因となった問題を識別する関連エラー・メッセージが存在するはずで、それらのメッセージは、メッセージ DFH5104 が出される前に DFHCSDUP 出力に現れるはずで、

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5105 W *command* COMMAND NOT
EXECUTED BECAUSE OF PREVIOUS
ERROR(S).**

説明: データ・ストリームから読み取られて、前に処理されたコマンドで構文エラー (または実行エラー) が起こった場合には、それ以降のコマンド (LIST コマンドを除く) は実行されません。基本 CSD ファイルがオープンできない場合は、LIST コマンドも実行されません。

システムの処置: CSD ユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 前に処理されたコマンドに構文エラーまたは実行エラーがないかどうかを調べてください。

無効なコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5107 I COMMANDS EXECUTED
SUCCESSFULLY: *nn* COMMANDS
GIVING WARNINGS: *nn*
COMMANDS IN ERROR: *nn***

説明: CSD ユーティリティは、入力コマンドの処理を完了しました。

警告を与えているコマンドは、正常に実行された可能性も、あるいは正常に実行されなかった可能性もあります。

システムの処置: 通常の処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: エラーのあった CSD ユーティリティ・コマンドが実行された場合には、その結果が必要なものかどうかを判別してください。

必要なものではなかった場合には、コマンドを訂正し、別のジョブで再サブミットしてください。

実行されないコマンドがあった場合には、それらを再サブミットしなければなりません。(メッセージ DFH5108 を参照してください)。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5108 I COMMANDS NOT EXECUTED AFTER ERROR(S): *nn*

説明: CSD ユーティリティは、入力コマンドの処理を完了しました。エラーのために実行されなかったコマンドの数は、*nn* によって示されます。

システムの処置: 通常の処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: エラーのあるコマンドを訂正し、別のジョブでそれを再実行依頼してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5109 I END OF DFHCSDUP UTILITY JOB. HIGHEST RETURN CODE WAS: *retcode*

説明: CSD ユーティリティ・ジョブが完了しました。

システムの処置: 制御は、呼び出し側、つまりオペレーティング・システムまたは呼び出し側プログラムのいずれかに戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5110 W ERROR FOUND IN 'PARM=' PARAMETER DATA ON EXEC JOB STEP. THIS DATA IS IGNORED.

説明: DFHCSDUP ユーティリティを実行するための

JCL 内の EXEC ジョブの PARM パラメーター値が正しくありません。

システムの処置: PARM パラメーターは無視されます。CSD が読み書き操作のためにオープンされます。

ユーザーの処置: エラーのある PARM 値を訂正してください。正しくない値については、ジョブ・ステップで見つけることができます。

PARM パラメーターのコーディング方法は、CICS の資料で説明されています。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5114 S {PRIMARY | SECONDARY} CSD は初期設定されていません。COMMAND NOT EXECUTED.

説明: CSD ユーティリティ・コマンド (INITIALIZE または SERVICE コマンド以外) を実行する前に、1 次 CSD ファイルを初期設定しておく必要があります。2 次 CSD ファイルが使用される場合にも、コマンドを処理する前に必ず初期設定しておかなければなりません。CICS は、これらのいずれかの規則に違反する試みが行われた場合、または CSD ファイルを初期設定する試みを正しく完了させることができなかった場合に、このメッセージを出してきます。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: CSD ファイルを初期設定してください。その前に、前回の初期設定の試みが失敗した理由を判別する必要があるかもしれません。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5115 S THE PRIMARY CSD IS ALREADY INITIALIZED. COMMAND NOT EXECUTED.

説明: INITIALIZE コマンドまたは SERVICE コマンドが検出されましたが、1 次 CSD ファイルはすでに初期設定されていました。

システムの処置: INITIALIZE または SERVICE コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 正しい CSD ファイルが指定されたかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5116 S THE PRIMARY CSD HAS BEEN
DEFINED WITH AN INVALID KEY
LENGTH. PROCESSING IS
TERMINATED.**

説明: CSD ファイルが無効なキー長で VSAM に対して定義されているために、CSD ユーティリティは CSD ファイルを初期設定することができません。

システムの処置: CSD ファイルは初期設定されないままになり、どのようなユーティリティ・コマンドも処理されません。

ユーザーの処置: VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) を使用して、CSD ファイルを削除してください。CSD クラスターを定義する JCL で、AMS 制御ステートメントを、KEYS(22 0) を指定するように変更します。この JCL を用いて CSD ファイルを再定義し、CSD ユーティリティを用いてそれを再初期設定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5117 S THE PRIMARY CSD HAS BEEN
DEFINED WITH AN INVALID
RECORD SIZE. PROCESSING IS
TERMINATED.**

説明: CSD ファイルが無効なレコード長指定によって VSAM に対して定義されていたため、CSD ユーティリティは CSD ファイルを初期設定することができません。

システムの処置: CSD ファイルは初期設定されないままになり、どのようなユーティリティ・コマンドも処理されません。

ユーザーの処置: VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) を使用して、CSD ファイルを削除してください。CSD クラスターを定義する JCL で、AMS 制御ステートメントを、RECORDSIZE(200 2000) を指定するように変更します。この JCL を用いて CSD ファイルを再定義し、CSD ユーティリティを用いてそれを再初期設定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5120 I {PRIMARY | SECONDARY} CSD
OPENED; DDNAME: ddname -
DSNAME: dsname**

説明: JCL に指定された VSAM データ・セットが正しくオープンされ、1 次または 2 次 CSD ファイルと

して識別されています。(処理されるユーティリティ・コマンドは、すべてが同一の 1 次 CSD ファイルを使用することになります。これに対し、個別の 2 次 CSD ファイルは、個別のユーティリティ・コマンドからアクセスすることができます。)

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5121 S {PRIMARY | SECONDARY} CSD の
オープン中に入出力エラーが発生しました。
DDNAME: ddname**

説明: JCL 内で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別された VSAM データ・セットの制御レコードを読み取っているとき、または書き込んでいるときに、入出力エラーが起きました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 失敗に終わったユーティリティ・コマンドを再試行してください。問題が続くようであれば、ユーザー独自のバックアップ手順で CSD ファイルをリストアします。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5122 S {PRIMARY | SECONDARY} CSD の
オープン中に VSAM エラーが発生しまし
た。DDNAME: ddname**

説明: JCL 内で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別されたデータ・セットをオープンしているときに、VSAM エラーが起きました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 詳細な情報および手引きについては、メッセージ DFH5179 の VSAM 診断出力を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5123 I {PRIMARY | SECONDARY} CSD
CLOSED; DDNAME: ddname -
DSNAME: dsname**

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイルとして使用された VSAM データ・セットが正しくクローズされ、必要

DFH5124 S • DFH5128 S

に応じて制御レコードが更新されました。(1 次 CSD ファイルは、すべてのユーティリティー・コマンドが処理された後でクローズされます。これに対して、2 次 CSD ファイルは、それをオープンしたコマンドが終了した後でクローズされます。)

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5124 S PROCESSING TERMINATED.

{PRIMARY | SECONDARY} CSD のクローズ中に、損傷した **CSD** 制御レコードが検出されました。**DDNAME:** *ddname*

説明: ストレージが破壊されているために、CSD ファイルをクローズするときの CSD 制御レコードの更新が妨げられています。

システムの処置: これ以降の CSD ユーティリティー・コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: DFHCSDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDUP からのダンプを入手してください。さらに、IDCAMS オプションまたは DFHCSDUP LIST ALL オプションのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないで、エラーが容易に識別できます。

入手できる情報を使用して、エラーの原因を判別し、それらを訂正してください。

失敗した CSD ユーティリティー・コマンドを再実行依頼してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5125 S ERROR OCCURRED WHILE CLOSING THE *{PRIMARY | SECONDARY} CSD*. FILE IS FULL; **DDNAME:** *ddname*

説明: CSD ユーティリティー・コマンドの処理の後、データ・セットをクローズする前に CSD 制御レコードが更新されます。

データ・セット *ddname* がいっぱいであったため、更新は失敗しました。

システムの処置: ユーティリティー・コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: より大きなサイズのデータ・セットの新しい 1 次 CSD ファイルを初期設定してください。IDCAMS IMPORT および EXPORT コマンドを用いて、その大きいデータ・セット上に CSD ファイルを復元してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5126 S *{PRIMARY | SECONDARY} CSD* のクローズ中に、入出力エラーが発生しました。 **DDNAME:** *ddname*

説明: VSAM データ・セット *ddname* をクローズする前、CSD ファイルの制御レコードの読み書きをしているときに入出力エラーが起きました。

システムの処置: これ以上のユーティリティー・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 失敗したユーティリティー・コマンドを再サブミットしてください。問題が続くようであれば、ユーザー独自のバックアップ手順で CSD ファイルをリストアします。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5127 S *{PRIMARY | SECONDARY} CSD* のクローズ中に、**VSAM** エラーが発生しました。 **DDNAME:** *ddname*

説明: JCL の中で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別されたデータ・セット *ddname* をクローズしているときに、VSAM エラーが起きました。

システムの処置: これ以降の CSD ユーティリティー・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 詳細な情報および手引きについては、メッセージ DFH5179 の VSAM 診断出力を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5128 S PROCESSING TERMINATED. *{PRIMARY | SECONDARY} CSD* **ACCESSED BY ANOTHER USER** **AND COULD NOT BE SHARED.** **DDNAME:** *ddname*

説明: CSD オープンしようとしたましたが、データ・セ

ットが要求された処理のタイプで使用可能でないため、VSAM から エラーが返されました。

これは通常、以下を意味します。

- 非 RLS アクセス・モードで CSD のオープンが試行されましたが、CSD はすでに RLS アクセス・モードで別の場所からアクセスされています。

•

RLS アクセス・モードで CSD のオープンが試行されましたが、CSD はすでに非 RLS アクセス・モードで別の場所からアクセスされています。

•

非 RLS アクセス・モードで CSD をオープンしようとし、CSD はすでに非 RLS アクセス・モードでアクセスされていますが、CSD クラスターが、同時使用を制限する SHAREOPTIONS を指定して定義されています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: CSD をオープンしようとしているアクセス・モードを変更できます。

注: DFHCSDUP ユーティリティー・プログラムから RLS アクセス・モードでリカバリー可能 CSD をオープンする場合には、PARM=CSD(READONLY) を指定する必要があります。

あるいは、競合しているアクセス・モードで CSD ファイルがアクセスされなくなるか、クラスターで定義されている SHAREOPTIONS ルールに従って CSD ファイルが再び使用可能になるまで待機してください。

実行するコマンドが SHAREOPTIONS および LIST のみであるために競合が生じている場合は、PARM=CSD(READONLY) を指定できます。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5130 E UNABLE TO LOCATE MODULE DFHCICS. PRIMARY CSD NOT INITIALIZED.

説明: DFHCICS モジュールがライブラリーから欠落しています。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: DFHCICS モジュールがライブラリーの中にあることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5131 I LIST *listid* CREATED.

説明: INITIALIZE コマンドが、IBM 保護リスト用のヘッダーを作成しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5132 S UNABLE TO CREATE LIST *listid*

説明: IBM 保護グループ用の CSD ファイルに新しいリスト *listid* を作成するため CSD マネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP を呼び出しているときに、INITIALIZE コマンドが失敗に終わりました。CSD ファイルが満杯であるか、または破壊されている可能性があります。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: CSD ファイルのためのデータ・セット・サイズが十分であるかどうかを調べてください。十分でない場合には、スペースを増やしてください。

スペースに十分余裕があり、しかも CSD ファイルが破壊されていると思われる場合には、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5133 S CSD CONTAINS ONE OR MORE LISTS. NO LISTS MAY BE PRESENT ON THE CSD WHEN THE INITIALIZE COMMAND IS ISSUED.

説明: INITIALIZE コマンドの実行中に、リストを作成するために CEDA トランザクションが使用されました。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: データ・セットを定義し直して、INITIALIZE コマンドをもう一度実行してください。CSD ファイルの初期設定が正常に完了するまで、CEDA トランザクションを使用してはなりません。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5134 S ERROR OCCURRED WHILE ADDING GROUP *grpname* TO LIST *listid*

説明: グループ *grpname* の定義を IBM 保護リスト *listid* のメンバーとして CSD ファイルに書き込むための、CSD マネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP の呼び出しでエラーが発生しました。CSD ファイルが満杯であるか、または破壊されている可能性があります。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: CSD ファイルのデータ・セット・サイズを大きくして、INITIALIZE 要求を繰り返してください。これが失敗に終わった場合は、IBM からのサポートが必要となります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5135 I グループ *grpname* がリスト *listid* に追加されました

説明: グループ定義 *grpname* が、CSD ファイル上のリスト *listid* の中に正しく作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5136 W GROUP *grpname* IS ALREADY A MEMBER OF LIST *listid*

説明: グループ *grpname* が、リスト *listid* の中にすでに存在しています。CICS では、重複した項目は作成されません。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5137 E グループ *grpname* は、リスト *listid* ありません

説明: AFTER または BEFORE 名として ADD コマンドで入力されたグループ *grpname* が、リスト *listid* で見つかりませんでした。ユーザーが EXPAND コマンド

の結果を参照している間に、定義が削除された可能性があります。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: このリストにあるグループ名を使用して、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5139 W TYPE=SHARED エントリーをマイグレーションすることの影響を考慮してください。

説明: CSD ユーティリティーで、TST TYPE=SHARED 項目のマイグレーションが検出されました。DFHTST TYPE=SHARED 項目は直接マイグレーションされません。TSMODEL は、対応する TYPE=SHARED マクロで SYSID に一致している SYSIDNT を指定している TYPE=REMOTE マクロの場合にのみ作成されます。

システムの処置: CSD ユーティリティーは、MIGRATE コマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: SYSID が EXEC CICS 要求で明示的に指定されているか、グローバル・ユーザー出口プログラムによって追加され、SYSID のインテントが要求を SHARED TS プールに送信する場合、プールを使用する要求を満たすために、マイグレーションされた TST を使用する必要があります。詳細については、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5140 I TOTAL xxxxxxxx DEFINITIONS CREATED: nn

説明: CICS は、CICS テーブルの移行の後にこのメッセージを出してきます。タイプ xxxxxxxx の定義が nn 個、CSD ファイル上に作成されました。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5141 S UNABLE TO CREATE NEW GROUP *grpname*

説明: 移行中のテーブル内のデータ用に CSD ファイル上に新しいグループ *grpname* を作成するため CSD マ

ネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP を呼び出しているときに、MIGRATE コマンドが失敗に終わりました。CSD ファイルが満杯であるか、壊されているか、または初期設定されていない可能性があります。グループ名が無効である可能性があります。

システムの処置: MIGRATE コマンドの処理が中止されます。

ユーザーの処置: TOGROUP パラメーターの中のグループ名を調べます。必要であれば、データ・セットのサイズを大きくして、INITIALIZE コマンドで CSD ファイルを初期設定し直してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5142 E COMMAND NOT EXECUTED. 直前の更新に失敗したため、*lgname* は更新されませんでした。

説明: リストまたはグループ *lgname* を使用することができません。これは、DFHCSDUP オフライン・ユーティリティによるリストまたはグループの更新が失敗して完了に至らなかったからです。

これは、おそらく前の DFHCSDUP の実行で発生したエラーです。

システムの処置: このコマンドは実行されません。ジョブ・ストリーム内の後続の DFHCSDUP コマンドの実行も抑止されます。

ユーザーの処置: DFHCSDUP VERIFY コマンドを使用して、このメッセージが作成されたときに検出された未完了フラグを除去してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5143 I GROUP *grpname* CREATED.

説明: 移行されているテーブル内のデータ用に新しい CSD グループ *grpname* が作成されました。

システムの処置: 移行が続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5145 E COMMAND NOT EXECUTED. *lgname* は **APPLID:*applid* OPID:*opid*** によってロックされており、更新できません。

説明: リストまたはグループ *lgname* を使用することができません。原因は、CEDA または CEDB トランザク

ションのユーザーが他のユーザーによる更新を防止する LOCK コマンドを強制したためです。

システムの処置: コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティは後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 指定された OPID および APPLID を使用してユーザーと交渉するか、またはロックされているグループの中の定義をコピーすることにより新しいグループまたはリストを作成してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5146 E COMMAND NOT EXECUTED. *lgname* は現在 **APPLID:*applid* OPID:*opid*** によって更新中です

説明: リストまたはグループ *lgname* を使用することができません。原因は次のとおりです。

- CEDA または CEDB トランザクションのユーザーが、現在コマンドを実行してリストまたはグループを更新している。

- CEDA または CEDB を使用したリストまたはグループの以前の更新が失敗して完了に至らなかった。

システムの処置: コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティは後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 失敗したコマンドの再試行を行うためにユーティリティ・ジョブを再サブミットしてください。抑止されている後続のコマンドを実行してください。

これで問題を解決できない場合には、DFHCSDUP VERIFY コマンドを実行して、このメッセージが作成さ

れたときに検出された未完了フラグを除去してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5147 E COMMAND NOT EXECUTED. *lgrname* は {GROUP | LIST} として既に存在します

説明: ターゲット・グループ (またはリスト) 用に使われた名前が、CSD ファイル上の既存グループまたはリストの名前と重複しています。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・グループ用に別の名前を選んでください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5148 E table という名前の {FCT | RDT | LD} テーブルのストレージを取得できません

説明: テーブル *table* を求める GETMAIN 要求を満たすためのストレージが不足しています。

システムの処置: システムの処置は、指定されたテーブルによって次のように異なります。

LD (言語定義テーブル)

CSD ユーティリティは、どのコマンドを処理することもできず、終了して、ダンプが作成されます。MVS ユーザー異常終了コードは 0327 です。

FCT および RDT

CSD ユーティリティは、テーブルを移行させることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 追加のストレージを割り振ってください。TCT のアセンブリーとリンク・エディットが正しく行われた場合は、RDT はライブラリーの中にあるはずです。LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5149 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx IS IBM-PROTECTED.

説明: ユーザーは、IBM 提供のグループまたはリスト (DFH で始まる名前のグループまたはリスト) への定義の追加を試みました。This is not allowed.

システムの処置: CSD ユーティリティは、定義を作成しません。

ユーザーの処置: 入力コマンドを変更して、名前が DFH で始まらないターゲット・グループまたはリストを指定します。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5150 W restype resname の *xxxxxxx* オプションは *yyyyyyy* オプションと矛盾するため、無視されます (*xxxxxxx* **OPTION** **CONFLICTS WITH** *yyyyyyy* **OPTION** **AND IS IGNORED FOR** *restype resname*)

説明: 名前が *resname* のリソース・タイプ *restype* に対して指定されたオプション *xxxxxxx* と *yyyyyyy* は、相互に排他的です。

システムの処置: ユーティリティはオプション *xxxxxxx* を無視します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5151 I RESOURCE NOT ALTERED. *xxxxxxx* IS IBM-PROTECTED.

説明: 総称グループ名を含む ALTER コマンドの実行中に、IBM 提供のグループであり、保護されている一致するグループが見つかりました。

システムの処置: CSD ユーティリティは、指定されたグループの定義を変更しません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5155 W {TDQUEUE} *xxxxxxx* は、グループ *grpname* の IBM 提供の定義と同じ名前です。

説明: 移行されたテーブル項目名 *xxxxxxx* が、INITIALIZE コマンドで作成した IBM 保護のグループ

grpname の IBM 提供のリソース名と一致しました。

システムの処置: CICS はこの項目を通常通りに移行します。

ユーザーの処置: 必要なら、CEDA トランザクションを用いてリソースの名前を変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5156 W {TDQUEUE} DID NOT MIGRATE. ITS PROPERTIES MATCH AN IBM-SUPPLIED DEFINITION IN GROUP *grpname*.

説明: ユーザーのテーブル項目に定義されているリソースの特性が、IBM 保護のグループ *grpname* に入っている同じ名前の IBM 提供リソースの特性と同じでした。

システムの処置: ユーザーのリソースに関する項目は移行されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5159 I *resource object* DEFINED IN GROUP *grpname*

説明: CSD ユーティリティは、リソース定義を正しくグループに追加しました。ここで、

- *resource* はリソース・タイプ (CONNECTION、FILE、JOURNALMODEL、LSRPOOL、MAPSET、PARTITIONSET、PARTNER、PROFILE、PROGRAM、SESSION、TDQUEUE、TERMINAL、TRANCLASS、TRANSACTION、または TYPETERM) です。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5161 S テーブル *table* は AMODE(24)

RMODE(24) でリンク・エディットする必要があります。(TABLE *table* MUST BE LINK-EDITED WITH AMODE(24) RMODE(24).)

説明: テーブル *table* をロードした後、マイグレーション・ルーチンは、処理対象のテーブルが正しい AMODE および RMODE 属性でリンク・エディットされているかどうかを検査します。マイグレーションが目的の場合、テーブルは、AMODE(24) RMODE(24) でリンク・エディットする必要があります。

システムの処置: MIGRATE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい属性でテーブルを再リンクしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5164 W NO DEFINITION OF *resource object* CREATED. THIS DUPLICATES AN EXISTING DEFINITION IN GROUP *grpname*

説明: CSD ユーティリティは、CSD ファイルに定義を追加する前に、一致するキーをもつ CSD レコードを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: CSD ユーティリティは、このリソース定義を CSD ファイルには移行しません。(それがトランザクションである場合には、生成プロファイルも作成されません。)

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、固有の名前でリソースを定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5165 S PROCESSING IS TERMINATED. AN ERROR OCCURRED WHILE WRITING *resource object* TO THE CSD.

説明: CSD ユーティリティが、CSD ファイルにオブジェクト *object* の定義を書き込むために DFHDMP を

呼び出したとき、エラーが起きました。

CSD ファイルがいっぱいであるか、または壊れている可能性があります。

resource はリソースのタイプです。

システムの処置: CSD ファイルがいっぱいの場合、CSD ユーティリティーはメッセージ DFH5176 を出し、次に戻りコード 12 をメッセージ DFH5109 に示して異常終了します。

CSD ファイルがいっぱいでない場合、CSD ユーティリティーはメッセージ DFH5175 を出して異常終了します。通常、1 つ以上の説明メッセージ (DFH5177、DFH5178、DFH5179) が出されます。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを使用して、エラーの原因と必要なユーザー処置を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5166 E *resource* 名 *object* に、許可されていない文字があります

説明: CSD ファイル上に作成されたレコードの有効なキーを作成するためにモジュール DFHDMP を呼び出しましたが、失敗に終わりました。原因は、無効な文字が含まれているため、または移行したテーブル項目のリソース名が無効であるためです。 *resource* はリソースのタイプ、*object* はオブジェクト名です。

システムの処置: この定義のための CSD レコードは作成されません。(それがトランザクションである場合には、生成プロファイルも作成されません。)

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、有効な名前のリソースを定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5167 S THE CSECTS IN TABLE *table* HAVE BEEN LINK-EDITED IN THE WRONG ORDER.

説明: MIGRATE コマンドの処理中に、テーブル *table* 内の CSECT の順序が正しくないことが CSD ユーティリティーで検出されました。リンケージ・エディターへの入力で、CSECT を指示する制御ステートメントが省略されました。

システムの処置: CSD ユーティリティーは MIGRATE コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: IBM 提供のプロシージャ DFHAUPLK を使用して、CICS テーブルをアセンブル

およびリンク・エディットしてください。このプロシージャにより、テーブル内の CSECT の順序が正しくなります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5168 S ライブラリー・メンバー *table* からロードされたテーブルは、有効な {FCT | RDT | TCT} ではありません。

説明: テーブル *table* のロードが終わると、移行ルーチンは、ロード開始点に続くデータ域の DFHVM 拡張部分にある VMNAME フィールドを検査します。VMNAME が有効なテーブルの名前でないと、このメッセージが作成されます。

システムの処置: MIGRATE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置:

1. 正しいテーブルがライブラリー内にあることを確認し、さらに MIGRATE コマンドの TABLE パラメーターが正しいことを確認してください。
2. ORDER ステートメントがテーブルのリンク・エディットの JCL で処理されていることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5169 S PROCESSING IS TERMINATED.
TABLE *table* WAS ASSEMBLED FOR
CICS RELEASE *rrr*. REASSEMBLE
FOR RELEASE *sss*.**

説明: テーブル *table* のロードが終わると、移行ルーチンは、ロード開始点に続くデータ域の DFHVM 拡張部分にある VMVERS フィールドを検査します。このフィールドは、テーブルがアセンブルされたときの CICS リリース (*rrr*) を示しており、実行中の CICS システム (リリース *sss*) については無効です。

システムの処置: MIGRATE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: CICS の正しいリリース用にテーブルを再アセンブルしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5174 W PROCESSING IS TERMINATED.
COMMAND CANNOT BE EXECUTED
BECAUSE 'PARM=CSD(READONLY)'
WAS SPECIFIED.**

説明: このコマンドは、読み取り/書き込みアクセスのために CSD をオープンするように要求します。ユーザーのジョブ・ステップは、DFHCSDUP ユーティリティー・ジョブ・ストリーム内で CSD の読み取り専用アクセスを指定しました。

システムの処置: このコマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: JCL を修正して、「PARM=CSD(READWRITE)」を指定するようにしてください。

注: CSD がリカバリー可能であり、RLS モードでそれにアクセスしている場合は、READWRITE 権限を指定できません。コマンドを実行するには、非 RLS モードで CSD にアクセスしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5175 S PROCESSING IS TERMINATED.
UNEXPECTED RESPONSE FROM
function IN CSD MANAGER.**

説明: CSD マネージャー DFHDMP の呼び出しの結果、エラーが起きました。失敗した機能の名前は *function* です。

システムの処置: DFHCSDUP は追加メッセージを出し、次に以下を実行します。

- CSD オープン/クローズ・エラーおよび CSD 満杯条件の場合は、正常終了する。あるいは、
- それ以外の場合には、すべて異常終了する。

ユーザーの処置: CSD ファイルが正しく設定されているかどうかを確認してください。CSD ファイルを前のリリースから移行させた場合には、ブロック・サイズを 500 にまで増加させなければならなかったことに注意し

てください。必要なら、追加メッセージに示された診断を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5176 S PROCESSING IS TERMINATED. CSD
IS FULL.**

説明: CSD ファイルを収容している VSAM データ・セットが満杯です。

システムの処置: CSD ユーティリティー・コマンドの実行が終了します。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティーは後続のコマンドの処理を試みます。

DFHCSDUP ユーティリティーは、障害が起こったときに作成されていたグループについてシステム・ロックをかけたままにします。このロックは、CSD ユーティリティーまたは CEDA トランザクションによるグループの処理の妨げとなります。

ユーザーの処置: まず、DFHCSDUP VERIFY プロセスを使用して、部分的に作成されたグループに対するシステム・ロックを除去してください。それで RDO 処理が可能になり、グループ (または、不要な定義) を削除することができるようになります。

CSD ファイルの内容をリカバリーするために、より大きいデータ・セットを定義して AMS REPRO コマンドを使用してください。通常は、満杯になった CSD ファイルからの REPRO 処理が可能です。それができない場合には、バックアップ・コピーを使用してください。(満杯になった CSD ファイルからの定義の転送は、FROMCSD オプションを指定した DFHCSDUP COPY コマンドを使用して行うことができます。)

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5177 S PROCESSING IS TERMINATED. CSD
I/O ERROR OCCURRED.**

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイル上の CSD レコードの READ または WRITE を実行しているときに、入出力エラーが起きました。

システムの処置: DFHCSDUP は追加メッセージを出し、異常終了します。

ユーザーの処置: ユーザー独自のバックアップから新規データ・セットに CSD ファイルをリストアしてください。または既存の定義をリストアするために INITIALIZE、COPY、および APPEND の各コマンドを使用して、新しい CSD ファイルを作成してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5178 S PROCESSING IS TERMINATED. SEVERE CSD ERROR OCCURRED.

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイルにアクセスするために CSD マネージャー DFHDMP を実行しているときに、エラーが起きました。

システムの処置: DFHCSDUP は追加メッセージを出し、異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ DFH5179 に示される VSAM 診断を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5179 S VSAM ERROR. RETURN CODE = *nn* ERROR CODE = *ddd(yy)* CONTROL BLOCK TYPE = {RPL | ACB}

説明: VSAM は、エラーが起きたときに以下の診断を戻しました。

- *nn* は、16 進数の VSAM 戻りコードです。
- *yy* は、16 進数の VSAM エラー・コードです (*ddd* は、その 10 進等価値です)。
-

CONTROL BLOCK TYPE は、次のような関連エラー・コードのサブセットを指し示しています。

—

RPL = VSAM からの要求マクロ応答

—

ACB = OPEN/CLOSE 応答

エラー・コード:

—

CONTROL BLOCK TYPE = RPL の場合、RPL 内のフィールドバック・ワード・フィールドのバイト 3 からの理由コード (RPLERRCD)

—

CONTROL BLOCK TYPE = ACB の場合、ACB 内の ERROR フィールドの理由コード (ACBERFLG)

システムの処置: CSD ユーティリティは、コマンドの処理を終了させ、ある状況では、オペレーティング・システム・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコードおよびエラー・コードの意味については、資料「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」を参照してください。

これらの診断を解釈する際には、JCL の中で参照されているデータ・セットが存在していることを確認してください。

次のことを確認してください。

- データ・セットが、別の領域で実行されている CICS から現在アクセスされている。
- DFHCSDUP で RLS アクセス・モードを指定している場合に、リカバリー可能な CSD を READWRITE としてオープンしようとしていない。この場合、PARM=CSD(READONLY) を指定する必要があります。
- RLS アクセス・モードが指定されている場合に、LOG が基本クラスターで定義されている。

DFHCSDUP で RLS アクセス・モードが指定されている場合、「レコードが見つかりません」エラーは、CSD が初期設定されていないことを意味している可能性があります。

注: リカバリー可能な CSD を初期設定するには、非 RLS アクセス・モードを使用する必要があります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5180 S PROCESSING IS TERMINATED. {SETBROWSE | GETNEXT} {SCANSETS | SCANOBS} が CSD を読み取っている 時に、エラーが発生しました (ERROR OCCURRED WHILE CSD WAS BEING READ BY {SETBROWSE | GETNEXT} {SCANSETS | SCANOBS})

説明: LIST コマンドが CSD ファイル上のオブジェクトをスキャンするために DFHDMP を呼び出したとき、DFHDMP 機能の実行時にエラーが起きました。

システムの処置: CSD ユーティリティーは終了し、MVS 異常終了コード 0325 が出されます。

ユーザーの処置: このエラーは報告する必要があります。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5181 W 総称 {GROUP | LIST} ID xxxxxxxx と一致するものがありません

説明: 総称名またはリスト名の指定された LIST コマンドが実行されましたが、CSD ファイル上には修飾するグループまたはリストがありません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5182 W {GROUP | LIST} xxxxxxxx は存在しません。

説明: LIST コマンドまたは DELETE コマンドは、あるグループまたはリストの名前を使用して実行されましたが、そのグループまたはリストは、1 次 CSD ファイルの中に存在しません。

システムの処置: その LIST コマンドまたは DELETE コマンドは処理されません。後続のコマンドは処理されます。

ユーザーの処置: 有効なグループ名またはリスト名を使用するよう LIST コマンドまたは DELETE コマンドを訂正してください。

CSD 更新が実行されている場合は、ユーザーの処置は必要ありません。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5183 W {GROUP | LIST} xxxxxxxx が、{GROUP | LIST} 名として存在します。

説明: LIST コマンドまたは DELETE コマンドは、リスト名としてすでに使用されているグループ名、またはグループ名としてすでに使用されているリスト名を使用して実行されました。

システムの処置: その LIST コマンドまたは DELETE

コマンドは処理されません。後続のコマンドは処理されます。

ユーザーの処置: 有効なグループ名またはリスト名を使用するよう LIST コマンドまたは DELETE コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5184 S PROCESSING IS TERMINATED.
INVALID OUTPUT FROM DFHPUP.
CANNOT FORMAT DATA FOR
UTILITY LISTING.

説明: DFHCSDUP ユーティリティー・プログラムに内部論理エラーがありました。逆変換された出力バッファ内のデータが無効です。長さコードが範囲外であったり、データ・フィールドの順序に誤りがあることも考えられます。データ・フィールドの 1 つまたは複数が無効になっている場合もあります。

システムの処置: CSD ユーティリティーは終了し、MVS 異常終了コード 0326 が出されます。

ユーザーの処置: このエラーは報告する必要があります。

DFHCSDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDUP からのダンプを入手してください。さらに、IDCAMS オプションまたは DFHCSDUP LIST ALL オプションのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラー(複数の場合もある)が発生したかを示します。LIST は印刷をやめるので、エラーがどこで発生したのかを簡単に識別できます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5186 W グループ *grpname* に定義されたりソースがないか、リスト *lstid* に定義されたグループがありません (NO RESOURCES
DEFINED IN GROUP *grpname* OR NO
GROUPS DEFINED IN LIST *lstid*)

説明: LIST コマンドの実行時に、CSD ユーティリティーは、CSD ファイル上にグループまたはリストのヘッダーを見つけましたが、それに対応するグループまたはリスト・エレメントが存在していません。

システムの処置: ユーティリティーは LIST コマンドの処理を続けますが、メッセージに示されたグループま

たはリストのエレメントの作表は行いません。

ユーザーの処置: DFHCSDUP VERIFY ユーティリティーを実行します。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5187 I *resource* IS LOCKED, BUT IS NOT
THE NAME OF A GROUP OR LIST.**

説明: CSD ユーティリティーが、ロックされたリソースを検出しましたが、それはグループでもリストでもありません。これは、CEDA トランザクションまたは前のユーティリティー・ジョブの実行時に割り込みまたは障害が起こったことが原因です。ロックは作成されていましたが、それに関連するグループまたはリストがありません。

システムの処置: ユーティリティーは VERIFY コマンドの通常の処理を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5188 I {GROUP | LIST | RESERVED NAME}
resource は、現在使用できます。**

説明: VERIFY コマンドは、CEDA トランザクションまたはオフライン・コマンドのためのリソースが使用できないことを検出しました。この使用の可能性に関する制限は、使用の可能性に影響を与える先行コマンドの失敗によるものであり、現在は制限が取り除かれています。

システムの処置: VERIFY コマンドの通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5189 I CSD VERIFY PROCESS COMPLETED
SUCCESSFULLY.**

説明: VERIFY コマンドが正常に処理され、CSD ファイル上のグループおよびリストに関する内部ロックはすべて解除されました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5190 S COMMAND IS NOT EXECUTED. サ
ービス・モジュールのストレージを獲得で
きません: *progrname***

説明: DFHCSDUP によってロードされて実行されることになっていたサービス・モジュール *progrname* をロードするために使用できるストレージが不足しています。

システムの処置: ユーティリティー・コマンドの実行は終了します。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: ロード・モジュール *progrname* に、十分なストレージが割り振られるようにしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5191 I SERVICE PROGRAM *progrname* IS
RUNNING.**

説明: サービス・モジュール *progrname* が正しくロードされ、そのモジュールの実行が開始されました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5192 S COMMAND IS NOT EXECUTED.
CSD SERVICE LEVEL *ttt* IS
INCOMPATIBLE WITH CURRENT
SERVICE LEVEL *sss***

説明: SERVICE コマンドに指定された LEVEL パラメーターが間違っているか、または CSD ファイルの正しくないバージョンが 2 次 (入力) CSD ファイルとして使用されています。

システムの処置: その SERVICE コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: SERVICE コマンドは、CSD ファイルのサービス・レベルを 1 つだけ上のレベルにアップグレードすることができます。入力 CSD ファイルが意図されたものであること、LEVEL パラメーターの値が CSD ファイルの現行サービス・レベルより 1 だけ高い値であることを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5193 S COMMAND IS NOT EXECUTED.
SERVICE MODULE *proname* IS
UNABLE TO UPGRADE CSD TO
TARGET SERVICE LEVEL *ttt***

説明: SERVICE コマンドに指定された LEVEL パラメーターは、CSD ファイルに適用されようとしているサービス・モジュール *proname* の状況と矛盾しています。

システムの処置: その SERVICE コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: ここで適用されようとしているサービス・モジュール *proname* が、IBM 提供のサービス修正によって正しく更新されているかどうかを確認してください。(ターゲット・レベル *ttt* で SERVICE コマンドを処理できるように修正されていなければなりません。)

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5194 I UPGRADING SERVICE STATUS OF
CSD FROM LEVEL *sss* TO LEVEL *ttt***

説明: ロードされたサービス・モジュールは、CSD ファイルのサービス・レベル *sss* からサービス・レベル *ttt* への必要なアップグレードを行っています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5195 I EXECUTION OF SERVICE PROGRAM
proname COMPLETE.**

説明: ロードされたサービス・プログラム *proname* の実行が完了しました。制御は、CSD オフライン・ユーティリティ・プログラム DFHCSDUP へ戻されています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5196 S COMMAND IS TERMINATED.
ERROR OCCURRED WHILE
READING CONTROL SECONDARY
CSD RECORD.**

説明: 指定された CSD ファイルで入出力エラーが起きました。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 出力 (1 次) CSD ファイル用に指定されたデータ・セットのサイズが十分に大きいことを確認して、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5197 S COMMAND IS TERMINATED. 2 次
CSD の読み取り中に、認識されない制御
レコードが見つかりました。**

説明: 2 次入力 CSD の制御レコードの内容が正しくありません。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルを

DFH5198 I • DFH5203 W

オープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DDNAME が SERVICE ユーティリティ・コマンドの OLDCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

問題が解消されなければ、IBM からのサポートが必要となります。最初に、DFHCSDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDUP からのダンプを入手してください。さらに、IDCAMS オプションまたは DFHCSDUP LIST ALL オプションのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないで、簡単に識別できます。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5198 I CSD RECORD MODIFIED FOR
xxxxxxx

DFH52nn メッセージ

**DFH5200 S COMMAND NOT EXECUTED. NO
VALID LANGUAGE TABLE WAS
LOADED.**

説明: CSD ユーティリティは、RDO 言語テーブルが正しくロードされていなかったこと、またはそのテーブルに無効なデータが含まれていることを検出しました。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドの処理ができないので終了します。

ユーザーの処置: RDO 言語テーブル (DFHEITCU) の正しいバージョンがプログラム・ライブラリーの中にあるかどうか検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5201 S *command* COMMAND IS NOT VALID.
COMMAND NOT EXECUTED.**

説明: CSD ユーティリティはコマンドを確認することができません。

説明: CSD ファイル上のレコードに対して、指定された修正が行われました。

xxxxxxx はエレメント・タイプです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。変更されたレコードが GROUP または LIST 内のエレメントであれば、その日付、時刻フィールドが、出力 (1 次) CSD ファイルへコピーされるときに更新されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5199 W INVALID FIELD ENCOUNTERED IN
EXISTING RECORD FOR xxxxxx**

説明: エレメント xxxxxx に関して修正されようとしていた CSD レコードのフィールドの 1 つで、予期しない値が見つかりました。

システムの処置: 通常の処理が続けられ、無効なレコードは新しい (1 次) CSD ファイル上に未変更のまま残されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5202 S INCORRECT SYNTAX FOR *command*
COMMAND. COMMAND NOT
EXECUTED.**

説明: コマンドの構文が間違っています。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5203 W RIGHT PARENTHESIS ASSUMED
AFTER THE VALUE OF xxx.**

説明: コマンドの構文が間違っています。右括弧が省略されたか、または 256 バイトを超えるキーワード値が指定されました。

システムの処置: CSD ユーティリティは、右括弧があるかのようにそのコマンドを実行します。

ユーザーの処置: ユーティリティが行った訂正によって、必要なコマンドが生成されたかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5204 E COMMAND NOT EXECUTED. xxxx
KEYWORD IS NOT VALID.**

説明: キーワード xxxx は、このコマンド上では無効です。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5205 E COMMAND NOT EXECUTED. NO
VALUE WAS SPECIFIED FOR xxxx.**

説明: オプション xxxx は不完全です。おそらく、ある値が省略されているためです。

システムの処置: この CSD ユーティリティ・コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5206 E COMMAND NOT EXECUTED.
DUPLICATE SPECIFICATION OF
xxxx.**

説明: オプション xxxx が単一 CSD ユーティリティ・コマンドに 2 回現れています。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5207 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx DOES NOT REQUIRE A
VALUE.**

説明: CSD ユーティリティは、値を必要としないオプション xxxxxxxx に値がコーディングされている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5208 W リソースが定義されていますが、xxxxxxx
に値が指定されていません。リソースを確
実に更新してください。**

説明: 入力コマンドで、指定されたキーワード xxxxxxxx に値が含まれていないが、値が必須であることが CSD ユーティリティで検出されました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理し、指定されたキーワードを無視します。

ユーザーの処置: 入力コマンドを訂正し、定義された CICS リソースを更新してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5209 W NO COMMAND ENCOUNTERED.
THE INPUT FILE MIGHT BE EMPTY.**

説明: CSD ユーティリティは、入力コマンドが欠落していることを検出しました。有効な CSD 入力コマンドが予期されていましたが、見つかりませんでした。

システムの処置: ユーティリティは、入力ファイルの処理を続行します。

ユーザーの処置: SYSIN データ・ストリーム内に有効な DFHCSDUP 入力コマンドがあることを確認してください。UPGRADE USING(file name) コマンドを使用している場合は、入力ファイルに有効なコマンドが含まれていることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5210 E COMMAND NOT EXECUTED.
INVALID VALUE WAS SPECIFIED
FOR xxxx.**

説明: CSD ユーティリティは、オプション xxxx に

無効な値がコーディングされた入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5211 E COMMAND NOT EXECUTED.
OPERAND DELIMITER *x* WAS
MISPLACED.**

説明: CSD ユーティリティは、オプション区切り文字 *x* の場所が間違っている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 区切り文字を正しい位置に入れてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5212 E COMMAND NOT EXECUTED.
comptype string IS NOT UNIQUELY
IDENTIFIABLE.**

説明: あいまいな DFHCSDUP コマンドが指定されました。

- *comptype* は、コマンドのコンポーネント・タイプです。
- *string* は実際のコンポーネントです。

システムの処置: コマンドは実行されません。コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。コマンドの障害に関する詳細については、一緒に出されるメッセージ DFH5213 を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5213 E SPECIFIED *input* COULD BE
INTERPRETED AS *match1* OR *match2*.**

説明: あいまいな DFHCSDUP コマンドが指定されました。

- *input* は、あいまいな文字ストリングです
- *match1* および *match2* は、*input* について考えられる 2 つの解釈です。

システムの処置: コマンドは実行されません。コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5214 W *keyword* IS AN OBSOLETE
KEYWORD. IT IS IGNORED.
RESPECIFY USING THE COMPAT
OPTION.**

説明: CSD ユーティリティで、廃止されたキーワードを使用してコーディングされた入力コマンドが検出されました。このキーワードは、このリリースの CICS で無効なオプションを指定しますが、このコマンドは、以前のリリースの CSD ユーティリティへの入力として使用できます。

システムの処置: ユーティリティはキーワードを無視します。

ユーザーの処置: 結果として出されるユーティリティ・コマンドが、このリリースの CICS において正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5215 E COMMAND NOT EXECUTED. ALTER
コマンドに指定されたヌル値に、右括弧が
ありませんでした。**

説明: ALTER コマンドのキーワードに NULL 値が指定されたときに、右括弧が追加されませんでした。右括弧は、NULL 以外のキーワード値の場合、自動的に追加されます。

システムの処置: コマンドは実行されません。コマン

ドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5216 E *restype resname* がグループ *group* に存在しません。

説明: タイプ *restype* および名前 *resname* の存在しないリソースが ALTER コマンドで指定されました。

システムの処置: コマンドは実行されません。コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5217 E **COMMAND NOT EXECUTED.** *xxxx*
キーワードに、右括弧がありませんでした。

説明: DFHCSDUP DEFINE コマンドの *xxx* キーワードで右大括弧がありません。

システムの処置: DEFINE コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: DEFINE コマンド構文を訂正し、再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5218 I **ALTERING** *Resourcetype Resourcename*
IN GROUP *Groupname*

説明: 総称 ALTER コマンドの実行中に、CSD バッチ更新ユーティリティは、指定された総称リソース名または GROUP キーワード (あるいはその両方) と一致するものがないかどうか CSD ファイルをスキャンします。一致するたびにユーティリティはその要求を処理して、その結果の *resourcename* または *groupname* (あ

るいはその両方) をユーザーにそれぞれ知らせます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5219 W CSDファイルで、*Resourcetype*
Resourcename グループ *Groupname* と一
致するものが見つかりません

説明: ALTER コマンドは、総称リソースまたはグループ名 (あるいはその両方) を指定して実行されましたが、CSD ファイル上にこれに適したグループまたはリスト (あるいはその両方) が存在していません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5220 E **COMMAND NOT EXECUTED.**
xxxxxxx **MUST BE THE FIRST**
COMMAND.

説明: CSD ユーティリティは、他のコマンドのあとに INITIALIZE コマンドを見つけました。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: INITIALIZE コマンドの位置が誤っていないかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5222 E **COMMAND NOT EXECUTED.**
xxxxxxx キーワードが省略されたか、誤
って指定されました。

説明: 必要なキーワード *xxxxxxx* が CSD のユーティリティ・コマンドから欠落しています。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: キーワード *xxxxxxx* を指定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5223 E COMMAND NOT EXECUTED.

xxxxxxx キーワードが、xxxxxxx キーワードと矛盾しています。

説明: コマンドの構文が間違っています。 矛盾するキーワードが指定されています。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5224 E COMMAND NOT EXECUTED.
VALUE OF xxxxxxxx IS OUT OF
VALID RANGE.**

説明: CSD ユーティリティは、有効な範囲外の数値が値 xxxxxxxx の数値としてコーディングされている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5225 E COMMAND NOT EXECUTED. SAME
NAME SPECIFIED FOR 'TO' AND
xxxxxxx.**

説明: このメッセージは、以下の理由の 1 つにより出されました。

1. ユーティリティ COPY コマンドは、ソース・グループとターゲット・グループについて同じグループ名がコーディングされています。
2. APPEND コマンドは、ソース・リストとターゲット・リストについて同じリスト名がコーディングされています。
3. ADD コマンドは、同じグループ名とリスト名がコーディングされています。

システムの処置: CSD ユーティリティまたは CICS は、そのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 間違った名前 (複数の場合もある) を訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5227 E COMMAND NOT EXECUTED. USE
OF GENERIC NAME CONFLICTS
WITH xxxxxxxx OPTION.**

説明: CSD ユーティリティ・コマンドが、総称名 (つまり、アスタリスク (*) または正符号 (+) を含む名前) を、総称名の使用と矛盾するオプションと併用しました。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5228 E COMMAND NOT EXECUTED. ONLY
ONE RESOURCE-TYPE KEYWORD
CAN BE SPECIFIED.**

説明: CSD ユーティリティは、入力コマンドに複数のリソース・タイプ・キーワードが指定されていることを見つけました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 1 つのリソース・タイプ・キーワードだけを参照するようにコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5229 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx IS INVALID BECAUSE A
RESOURCE-TYPE KEYWORD WAS
SPECIFIED.**

説明: CSD ユーティリティは、リソース・タイプのキーワード (例えば PROGRAM、TRANSACTION など) が無効な場合に、リソース・タイプのキーワードが指定された入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5230 I ERASE COMMAND IS OBSOLETE.
USE THE DELETE COMMAND.**

説明: CSD ユーティリティは、廃止された ERASE コマンドを入力で検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、そのコマンドを DELETE コマンドとして処理します。

ユーザーの処置: 次からは、ERASE コマンドの代わりに DELETE コマンドを使用してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5231 E COMMAND NOT EXECUTED.
 xxxxxxxx は、table-type テーブルの
MIGRATE コマンドとの互換性がありません。

説明: 無効なテーブル・タイプまたは無効なキーワード (またはその両方) を指定して MIGRATE コマンドを実行する試みが行われました。

システムの処置: CSD ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5232 E COMMAND NOT EXECUTED.
 xxxxxxxx PARAMETER MUST NOT
BEGIN WITH 'DFH'.

説明: CSD ユーティリティは MIGRATE コマンドの中の xxxxxxxx パラメーターに無効なテーブル名またはグループ名が入っていました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なテーブル名またはグループ名を指定して再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5233 E COMMAND NOT EXECUTED. xxx
TABLE TYPE IS NOT SUPPORTED
BY RDO.**

説明: CSD ユーティリティは、RDO によってサポートされていない CICS テーブル・タイプを参照する TABLE パラメーターを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5234 E COMMAND NOT EXECUTED.
command IS NOT SUPPORTED.

説明: CSD ユーティリティは、入力の中に RDO によってサポートされていないコマンド *command* を検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5235 E COMMAND NOT EXECUTED.
**GROUP OR LIST MUST BE
SPECIFIED.**

説明: CSD ユーティリティは EXTRACT コマンドが実行依頼されました。GROUP または LIST 名を EXTRACT コマンドで指定しなければなりません。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。このメッセージに続いて DFH5104 が出されます。

ユーザーの処置: 有効な GROUP 名または LIST 名を追加して無効なコマンドを訂正し、ユーティリティ・ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5236 I ユーザー出口プログラムが、入力リンケージとユーザー・プログラムのキーワードに指定されました。入力リンケージに指定されたプログラムが無視されました。

説明: EXTRACT ユーザー出口プログラムが、項目パラメーター・リストで指定され、さらに EXTRACT コマンドの USERPROGRAM キーワードで指定されました。

システムの処置: USERPROGRAM キーワードで指定されたプログラムが使用されます。

ユーザーの処置: 使用されているユーザー・プログラムが意図したものであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5240 S PROCESSING TERMINATED. ERROR OCCURRED WHILE INPUT UTILITY COMMAND WAS BEING READ.

説明: 環境アダプター GETCARD ユーティリティが入力ユーティリティ・コマンドを読み取ることができません。

システムの処置: CSD ユーティリティは異常終了し、入力コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ユーティリティ・コマンドが正しく準備され、JCL の中で正しい位置に置かれているかどうか検査してください。また、出力データ・セット・スタートアップ・ジョブ・ストリームを定義する DD ステートメントが正しいかどうかについても検査してください。JCL の例については、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5241 S PROCESSING TERMINATED. INVALID RECORD LENGTH ON INPUT UTILITY COMMAND DATA STREAM.

説明: CSD ユーティリティは、SYSIN データ・ストリーム内で、形式の誤った入力を検出しました。

システムの処置: CSD ユーティリティは、どのようなコマンドも処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: 出力データ・セット・データ・ストリームの形式が、固定長の 80 バイト・レコードに設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5242 E COMMAND NOT PROCESSED. TOO MANY CONTINUATION RECORDS FOR INPUT UTILITY COMMAND.

説明: CSD ユーティリティは、長すぎて、多くのレコードにまたがっている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このメッセージは、拒否されたコマンド内のエラー、または入力ストリーム内の前のコマンドが後続のコマンドの中のエラーによって出される場合があります。コマンドのエラーを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5250 E TO(groupname) には、連続しない '*' が多過ぎます

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、TO パラメーターの引数であまりにも多くの非連続アスタリスクが指定されていることがバッチ更新ユーティリティで検出されました。

総称コピーの実行時に TO パラメーターで許可される「*」は 1 つのみです。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを拒否します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5251 I グループ grpname 内の resource object が置換されます。

説明: リソース定義がソース・グループとターゲット・グループの両方に存在しています。サブミットされた CSD ユーティリティ・コマンドに基づいて、ユーティリティは、ターゲット・グループの定義をソース・グループからの定義と置き換えました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5252 I *resource object* **COPIED TO GROUP**
grpname.

説明: CSD ユーティリティは、示されたグループにリソース定義を正しくコピーしました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5253 E CSDファイル内で、グループ *grpname* が
見つかりませんでした。DDNAME:
ddname

説明: CSD ユーティリティは、DDNAME *ddname* に指定されている CSD 内の現存していないグループ *grpname* からの定義のコピーを試みる COPY コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中のグループ名を訂正するか、または指定された CSD ファイルが正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5254 E *resource object* はすでにターゲット・グループに存在します。

説明: CSD ユーティリティは、同じ名前のオブジェクトの定義がすでに含まれているグループへ定義を追加しようとしたコマンドを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中の名前を変更するか、または既存の定義の名前を変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5255 E リスト *xxxxxxx* が CSD ファイル内で
見つかりませんでした。DDNAME:
ddname

説明: CSD ユーティリティは、DDNAME *ddname* に指定した CSD ファイル内に現存していないリストを参照する APPEND コマンドまたは REMOVE コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中のリスト名を訂正するか、または指定された CSD ファイルが正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5256 E NO RESOURCES DEFINED IN
GROUP *grpname.*

説明: LIST コマンドの実行中に、CSD ユーティリティはエレメントの存在しないグループ・ヘッダーを CSD ファイル上で見つけました。

システムの処置: CSD ユーティリティは、LIST コマンドの処理を続けますが、上記グループのエレメントはリストしません。

ユーザーの処置: DFHCSDUP VERIFY ユーティリティを実行し、グループを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5257 E 'TO' 接頭部の長さは、'GROUP' 接頭部
と同じか、それより短くなければなりません。

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、バッチ更新ユーティリティは、TO キーワードに指定された総称グループの接頭部の長さが、総称 GROUP キーワードの接頭部よりも長いことを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、TO グループ名の切り捨てを防止するためこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5258 I COPYING GROUP *grpname1* TO
 *grpname2***

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、CSD バッチ更新ユーティリティは、総称 GROUP キーワードと一致するものがないか CSD ファイルをスキャンします。一致するものがあるたびに、ユーティリティは総称 TO キーワードを解決して、その結果の *grpname1* および *grpname2* をユーザーにそれぞれ知らせます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5259 I UNRECOGNIZED RESOURCE TYPE
 FOUND IN THE CSD FILE AND
 HAS BEEN IGNORED.**

説明: CICS が、認識されていないリソース・タイプ・コードを CSD レコード内で検出しました。認識されていないコードは、言語定義テーブルの中のいずれの機能コードとも一致していません。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

1. 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2. 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3. CSD マネージャー (DFHDMP) が、無効な CSD レコード・バッファを DFHPUP に渡した。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: リソースは無視され、操作は続行されます。

ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

1. メッセージを無視します。
- 2.

実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。

3.

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5260 E 'TO' 接尾部の長さは、'GROUP' 接尾部
 の長さと同じにする必要があります。**

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、TO キーワードで指定された総称グループの接尾部の長さが、総称 GROUP キーワードの接尾部の長さとは異なることがバッチ更新ユーティリティで検出されました。

システムの処置: ユーティリティは、TO グループ名のあいまいさを防止するため、このコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5261 W RDT IS EMPTY. NO VTAM
 RESOURCES IN ASSEMBLED TABLE.**

説明: CSD ユーティリティは、RDO がサポートする端末またはセッション定義が含まれていない TCT、または TYPE=INITIAL 項目に MIGRATE=COMPLETE が指定された TCT を移行する試みを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、CSD 定義を作成しません。

ユーザーの処置: TCT ソース・コードに RDO がサポートする定義が含まれているかどうかを検査してください。含まれていれば、それが (MIGRATE=YES が指定されて) 正しくアセンブルされ、リンク・エディットされているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5262 S INSUFFICIENT STORAGE TO BUILD
 TYPE-MATCHING CHAIN.**

説明: CSD ユーティリティの処理時に、TCT の移行で内部エラーが起きました。これは、TYPETERM 定義のためのストレージが不足していたためです。

システムの処置: ユーティリティーは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティーの呼び出し側に制御を戻します。

上記のいずれの場合にも、すでに移行された定義はそのまま CSD に残されます。

ユーザーの処置:

1. DFHCSDUP VERIFY ユーティリティーを実行します。
2. 失敗に終わった MIGRATE コマンドによって作成されたグループを削除します。
3. ユーティリティーの JCL でより大きな領域サイズを割り振って、コマンドを再試行します。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5263 S ERROR IN INPUT RDT. INCORRECT SEQUENCE OF COMMANDS.

説明: CSD ユーティリティーの処理時に、TCT の移行で内部エラーが起きました。これは、アセンブルされたテーブルに異常なデータがあったために生じたエラーです。

システムの処置: ユーティリティーは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
- 4.

ユーティリティーの呼び出し側に制御を戻します。

すでに移行された定義は、そのまま CSD に残されます。MVS ユーザー異常終了コードは 0308 です。

ユーザーの処置:

1. DFHCSDUP VERIFY ユーティリティーを実行します。
2. 失敗に終わった MIGRATE コマンドによって作成されたグループを削除します。
3. 失敗に終わったテーブルのアセンブリー・リストを保存し、さらに (入手できる場合) DFHCSDUP ダンプを保存します。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5264 W RESOURCE *object* NOT DEFINED. GROUP *grpname* NOT AVAILABLE.

説明: TCT の移行の実行時に、CSD ユーティリティーは、ターゲット・グループ *grpname* を入手できなかったために、リソース *object* を定義することができませんでした。ユーティリティーは、理由を示すメッセージを前に出しています。

システムの処置: ユーティリティーは、リソース *object* については定義を作成しません。通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: 元のメッセージをよく調べてください。必要なら、TCT ソース・コード内の TYPE=GROUP マクロをコーディングし直し、適当なグループ名を指定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5265 W ACTION REQUIRED TO FIND A SUITABLE TYPETERM FOR TERMINAL *termid*.

説明: TCT を移行させているときに、CSD ユーティリティーは、対応する TYPETERM 定義を作成することができない端末定義を検出しました。

システムの処置: ユーティリティーは、端末定義を CSD ファイルに追加しますが、この装置に適当でない TYPETERM が参照されます。

DFH5266 W • DFH5274 W

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて適当な TYPETERM を定義し、新しい TERMINAL を参照するように TYPETERM 定義を変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5266 W SESSIONS *sessions* NOT DEFINED BECAUSE OF ERROR IN ASSOCIATED CONNECTION.

説明: TCT の移行時にエラーが検出されました。セッションを移行しているときに、関連 CONNECTION が正常に定義されたかどうかを DFHCSDUP が検査します。正常に定義されていない場合には、DFHCSDUP がセッション定義を異常終了します。

システムの処置: 指定された SESSION リソースは CSD に移行されません。DFHCSDUP は、後続の TCT 項目の移行を続行します。

ユーザーの処置: MIGRATE ユーティリティからの出力リスト内の診断情報を使用して、CONNECTION 定義が失敗した理由を判別してください。その後 RDO を使用することにより、CONNECTION および SESSION を CSD に DEFINE することができます。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5270 I {GROUP | LIST} xxxxxxxx は、CSD から削除されました。

説明: CSD ユーティリティは、基本 CSD ファイルからグループまたはリストを正常に削除しました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5271 S CSDから {GROUP | LIST} xxxxxxxx を削除できません。

説明: CSD ユーティリティの処理中に、CSD ファイルへのアクセス・エラーにより削除操作が失敗しました。

システムの処置: ユーティリティは DELETE コマンドを処理しません。削除されるべきグループまたはリストが、CSD ファイルに残っています。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5272 I *resource object* DELETED FROM GROUP.

説明: CSD ユーティリティは、メッセージに名前が示されたリソースを正常に削除しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5273 W *resource object* IS NOT IN GROUP *grpname*.

説明: CSD ユーティリティは、メッセージに名前が示されたグループに存在していないリソースを削除する試みを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: ユーティリティは DELETE コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: グループ名とリソース名が正しくコーディングされているかどうか検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5274 W *resource object* NOT MIGRATED. GROUP *grpname* IS NOT AVAILABLE.

説明: テーブルのマイグレーション中に、ターゲット・グループ *groupname* を入手できなかったため、CSD ユーティリティは *resource* リソースを定義できませんでした。ユーティリティは、このメッセージの前に、その理由を示すメッセージを出しています。

システムの処置: ユーティリティは、メッセージに示されたリソース *object* の定義を作成しません。通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: 元のメッセージをよく調べてください。必要なら、テーブル・ソース内の TYPE=GROUP マクロをコーディングし直し、適当なグループ名を指定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5275 W COMMAND NOT EXECUTED. グループ *grpname* は、リスト *listname* のメンバーではありません。

説明: 実行中の REMOVE コマンドが、LIST *listname* のメンバーでない GROUP を指定しています。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5276 I GROUP *grpname* REMOVED FROM LIST *listname*.

説明: REMOVE コマンドが、リスト *listname* からグループ *grpname* を正常に除去しました。

システムの処置: 通常の実行が続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5277 I LIST *list* DELETED FROM CSD.

説明: リスト *listname* から最後のグループが除去されました。このため、リストは削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5280 I PROCESSING DEFINITIONS FROM LIBRARY MEMBER *xxxxxxx*.

説明: CSD ユーティリティは、メッセージに名前が示されたライブラリー・メンバーからデータを正常にロードしました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5281 S DATA LOADED FROM LIBRARY MEMBER *xxxxxxx* IS INVALID.

説明: CSD ユーティリティは、示されたライブラリー・メンバーからロードされたデータの中にエラーを見つけました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: エラーを起こしたライブラリー・メンバーを含んでいるダンプを入手してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5282 E UNABLE TO GET STORAGE FOR LIBRARY MEMBER *xxxxxxx*.

説明: ライブラリー・メンバー *xxxxxxx* をロードするためのストレージが不足しています。

システムの処置: ユーティリティは、示されたライブラリー・メンバーへのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: ユーティリティ JCL でより大きい領域サイズを割り振って、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5283 S RDL サブコマンドが **1536** バイトを超えています: xxxxxxxx。

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: CSD ユーティリティは異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5284 E ERROR ANALYZING RDL
SUBCOMMAND: xxxxxxxx.

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5285 E INVALID VERB IN RDL
SUBCOMMAND: xxxxxxxx.

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または

MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みません。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5286 E CSD ファイルにリソース定義を作成できません。**RDL** サブコマンド: **(UNABLE TO CREATE RESOURCE DEFINITION ON CSD FILE, RDL SUBCOMMAND:)** xxxxxxxx。

説明: このメッセージは、表示された (切り捨てられた) コマンドの処理中に次のいずれかの理由で出されます。

1. CSD がいっぱいです (この場合、メッセージ DFH5175 とメッセージ DFH5176 がこのメッセージに伴います)。
2. CSD が読み取り専用として定義されています (この場合、メッセージ DFH5174 がこのメッセージに伴います)。
3. 移行中の TCT に、RDO が受け入れない名前の端末項目が入っています (この場合、メッセージ DFH5165 がこのメッセージに伴います)。
4. 前の更新命令が失敗したため、リストまたはグループが使用できません (この場合、メッセージ DFH5142 がこのメッセージに伴います)。
- 5.

CSD ファイルを初期設定 (INITIALIZE) または更新 (UPGRADE) するために使用されるリソース定義リストに、無効なリソース名またはグループ名を持つ定義が入っています。

6. DFHCSDUP に論理エラーが発生したか、またはロードされたテーブルに入っているデータに内部エラーが検出されました。
- システムの処置: システムの処置は、メッセージが出された理由によって異なります。例えば次のとおりです。
1. TCT テーブルの移行が直ちに終了します。
 2. UPGRADE コマンドまたは INITIALIZE コマンドの処理が終了します。
 3. ユーティリティは次の処理を試みます。
 - a. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
 - b. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
 - c. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
 - d. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。
 4. コマンドは実行されず、ジョブ・ストリーム内の DFHCSDUP コマンドの実行はこれ以上行われません。
 5. 上記の (3) の場合と同じです。
 6. 上記の (3) の場合と同じです。

いかなる場合でも、障害が発生した時点以前にこのコマンドにより作成されたすべての定義は CSD 上に残ります。

ユーザーの処置: ユーザー応答は、メッセージが出された理由によって異なります。例えば次のとおりです。

1. メッセージ DFH5175 および DFH5176 を参照してください。
2. メッセージ DFH5174 を参照してください。

3. 端末の名前およびそれへのすべての参照を変更してください。メッセージ DFH5165 のユーザーの処置も参照してください。
4. メッセージ DFH5142 を参照してください。
5. これは、CICS 論理エラーです。下記の 6 の指示を参照してください。
6. これは、CICS 論理エラーです。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。障害の CICS バックグラウンド・トレースが、問題の診断に役立つ場合があります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5287 E EXTRACT TERMINATED AT USER'S REQUEST. RC=retcode.

説明: バッチ・ジョブが CSD ユーティリティ EXTRACT コマンドを出しました。ユーザー出口プログラムがレジスター 15 に非ゼロ値を戻したので、EXTRACT コマンドは終了しました。後続のメッセージは、ユーティリティによって検出された問題がさらにあれば、それを示します。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行を終了します。このメッセージに続いて DFH5104 が出されます。

ユーザーの処置: 与えられた戻りコード *retcode* およびユーザー出口プログラムの関連資料を使用して、ユーザー出口プログラムにより検出されたエラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5288 E GET-COMMAND TERMINATED AT USER'S REQUEST. RC=xx.

説明: GET-COMMAND 出口から、GET-COMMAND 出口が失敗したことを示す UERCNORM ('00'X) または UERCDONE ('04'X) 以外の値が返されました。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行を終了します。

ユーザーの処置: ユーティリティを再実行する前に、GET-COMMAND ユーザー出口の操作を訂正してください。

DFH5290 W • DFH5296 W

さい。問題を診断して修正する方法については、ユーザー出口で提供されている資料またはリストを参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5290 W テーブル *tabtype* マクロ *mactype=value* はサポートされていません。値は *newvalue* に変更されます。

説明: マクロ *mactype* のテーブル *tabtype* のマイグレーション中に、*value* はサポートされません。*value* は *newvalue* としてマイグレーションされました。

システムの処置: ユーティリティーは、変更された値を使用してリソースの定義を作成します。通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: オブジェクト定義を調べて、変更された定義が受け入れられることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5291 E グループ *group* 内のオブジェクト *object* を定義できません。マイグレーションは中止されます。

説明: DFHCSDUP マイグレーション・ユーティリティーが、指定された *group* で *object* を定義できませんでした。マイグレーションは続行できません。

システムの処置: ユーティリティーは、テーブルのマイグレーションを終了します。

ユーザーの処置: 指定されたグループが正しいグループであることを確認し、前のエラーを調べて、マイグレーション・ユーティリティーがグループで定義を作成できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5292 W 以前のエラーのため、オブジェクト *object* がテーブル項目 *name* に対して定義されていません。(OBJECT *object* NOT DEFINED FOR TABLE ITEM *name* DUE TO PREVIOUS ERROR.) マイグレーションは続行します。(MIGRATION CONTINUES.)

説明: DFHCSDUP マイグレーション・ユーティリティーは、テーブル項目 *name* に対して *object* を定義できませんでした。マイグレーションは続行します。

システムの処置: ユーティリティーは、オブジェクトを定義せずにテーブルのマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 前のエラーを訂正し、スキップされたオブジェクトを手動で定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5293 W 合計 *object* 定義がエラー: *number* のためにスキップされました

説明: CICS は、CICS テーブルのマイグレーションの後にこのメッセージを出します。タイプが *object* の *number* 個の定義がマイグレーションされませんでした。このメッセージの前に出された 1 つ以上の DFH5292 メッセージを参照してください。

システムの処置: ユーティリティー処理は続行される。

ユーザーの処置: 前のエラーを訂正し、スキップされたオブジェクトを手動で定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5294 E *number object-1* は対応する *object-2* と一致しませんでした。

説明: CICS は、テーブルが正しく定義されていないために定義されなかった *object-1* テーブル定義がある場合にこのメッセージを出します。*object-1* テーブル定義は、テーブル内の *object-2* を参照する必要があります。

システムの処置: テーブルのマイグレーションは終了します。

ユーザーの処置: 現行リリースのマクロ・ソースを使用してテーブルを再アセンブルしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5296 W テーブル *tabtype* **TYPE=mactype** *parameter* は複数の値をサポートしていません。

説明: **TYPE=mactype parameter** に対して複数の値が指定されました。*tabtype* テーブルのマイグレーションでサポートされるのは、単一の値のみです。

システムの処置: マイグレーション・ユーティリティーは、追加の値を無視します。マイグレーションは続行します。

ユーザーの処置: マイグレーションされた定義を調べて、新しい単一値が受け入れられるかどうかを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5297 E command IS NO LONGER SUPPORTED.

説明: CSD ユーティリティが、RDO によってサポートされなくなったコマンド *command* を入力で検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 撤回されたコマンドを使用する必要がある場合に続行する方法の詳細については、アップグレード・ガイドを参照してください。このコマンドをサポートする CSD ユーティリティ・プログラムのバックレベル・バージョンを使用して実行できることがあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH55nn メッセージ

DFH5501 E COMMAND NOT EXECUTED. *keyword* MUST BE SPECIFIED

説明: キーワード *keyword* (コマンドに必要とされる) が省略されたか、または正しく指定されませんでした。正しく指定されなかった場合は、前に出ているメッセージからわかります。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5502 W xxxxxxx は yyyyyyy を暗黙指定します

説明: DEFINE コマンドで指定された値 xxxxxxx が、別の値 yyyyyyy (通常のデフォルトではない) としてみなされるようになりました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果生じたリソース定義が受け入れ可能かどうかを検査してください。このデフォルトを受け入れる場合は、他に処置を行う必要はありません。

結果として生じたデフォルト値を受け入れられない場合には、その定義を修正するか、または定義を削除しても

DFH5298 E resource object IS NOT IN GROUP *grpname*.

説明: CSD ユーティリティは、メッセージに名前が示されたグループに存在していないリソースをコピーする試みを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: ユーティリティは COPY コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: グループ名とリソース名が正しくコーディングされているかどうか検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

う一度開始するかを決定しなければなりません。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5503 E COMMAND NOT EXECUTED.

xxxxxx オプションは yyyyyyy オプションと矛盾するため、無視されます。

説明: 同時には使用できない 2 つのオプション xxxxxx および yyyyyyy が指定されました。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5504 E COMMAND NOT EXECUTED. USE OF xxxxxx OPTION IMPLIES yyyyyyy OPTION

説明: オプション xxxxxx は、別の値 yyyyyyy を必要とします。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: yyyyyyy を指定してください。

モジュール: DFHCSDUP

DFH5505 W • DFH5511 W

宛先: SYSPRINT

DFH5505 W プログラム DFHMSP には、最低 512 の
TWASIZE が必要です

説明: メッセージ交換プログラム DFHMSP の
DEFINE PROGRAM コマンドによって 512 バイトより
小さい TWASIZE が与えられました。それを、その
名前の CICS 提供プログラム用の定義とする場合には、
正しく実行されません。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行し
ます。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義
が、予定どおりのものであるかどうかを検査してくださ
い。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5506 E COMMAND NOT EXECUTED. FOR
xxxxxxx MANY OPTIONS,
INCLUDING yyyyyyy ARE
MEANINGLESS

説明: 他のキーワードまたは値と矛盾するキーワードま
たは値が指定されました。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無
視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5507 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx 値は yyyyyyy 値よりも大きくな
ればなりません。

説明: 他の値と矛盾する値が指定されました。 xxxxxx
は yyyyyyy より大きくなければなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無
視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5508 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx VALUE MUST BE LESS
THAN OR EQUAL TO yyyyyyy
VALUE.

説明: 他の値と矛盾する値が指定されました。 値
xxxxxxx は、yyyyyy と同じか、それより小さくなら
なければなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無
視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5509 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx NAME MUST NOT BE THE
SAME AS yyyyyyy NAME

説明: DEFINE コマンドのいくつかの値は、リソース
の名前と同じであってはなりません。 xxxxxx の名前
は、yyyyyy と同一であってはなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無
視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5510 W yyyyyyy で始まる xxxxxx は予約されて
おり、CICS により再定義されている可能
性があります

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはいけない名
前の標準プログラムおよびトランザクションを提供して
います。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行し
ます。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義
が、予定どおりのものであるかどうかを検査してくださ
い。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5511 W xxxxxx NAME yyyyyyy IS RESERVED
AND MAY BE REDEFINED BY CICS

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはいけない名
前の標準プログラムおよびトランザクションを提供して
います。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行し
ます。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義

が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5512 W PROGRAM NAME BEGINS WITH
'DFH' BUT TRANSACTION NAME
DOES NOT BEGIN WITH 'C'**

説明: CICS は、ユーザーが使用してはいけない命名規則を用いた標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5513 E COMMAND NOT EXECUTED. THE
SECOND VALUE OF xxxxxxx MUST
NOT BE GREATER THAN THE
FIRST.**

説明: キーワードのいくつかは対の値からなりますが、これらは基本的に最大値と最小値を示しています。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5514 E COMMAND NOT EXECUTED. WITH
SESSNAME THERE CAN ONLY BE
ONE COUNT AND ITS VALUE
MUST BE 1.**

説明: DEFINE SESSIONS コマンド内の SESSNAME の使用は、単一セッション (送信または受信のいずれか) を必要とすることを意味します。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5515 W AUTOPAGE(NO) HAS BEEN
SPECIFIED FOR A 3270 PRINT
DEVICE**

説明: DEFINE TYPETERM コマンドに、AUTOPAGE(NO)5516 および DEVICE(3270P) または DEVICE(LUTYPE3) があります。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5516 W THE VALUES OF DEVICE AND
SESSIONTYPE ARE EQUIVALENT
TO DEVICE(*devtype*) AND HAVE
BEEN REPLACED**

説明: DEFINE TYPETERM コマンドは有効ですが、古い DEVICE および SESSIONTYPE の組み合わせを持っています。

この DEVICE および SESSIONTYPE の組み合わせは、*devtype* に示されたより単純な同等の装置により置き換えられました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。「リソースの定義」で、同等な装置に関する詳細が説明されています。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5517 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx PFX AND COUNT
TOGETHER MAKE MORE THAN 4
CHARACTERS.**

説明: SESSIONS 定義では、RECEIVEPFX および SENDPFX の値は、それぞれのカウントに指定されたセッション数と同数のセッションの名前の接頭部として使用されます。これらの名前は、4 文字を超えてはなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

DFH5518 W • DFH5524 W

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5518 W XTRANIDS xxxxxxx は予約されており、
CICS に再定義されている可能性があります

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5519 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx 値に、無効な y が含まれています。

説明: DFHCSDUP コマンド内の文字はすべて、値に応じて、特定文字の使用を禁止する規則に従います。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

「リソースの定義」で、DFHCSDUP コマンドの構文の個々の属性におけるそれらの規則の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5520 W THE VALUE OF DEVICE IS
EQUIVALENT TO** xxxxxxx **AND HAS
BEEN REPLACED**

説明: DEFINE TYPETERM コマンドには、有効であるものの現在使用されていない DEVICE 値があります。その DEVICE 値はこれに相当するより単純な DEVICE 値に置き換えられました。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

「リソースの定義」で、それらの単純な同等の装置に関する詳細が説明されています。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5521 E COMMAND NOT EXECUTED.
xxxxxxx **VALUE** yyyyyyy **IS INVALID.**

説明: 有効でない値 yyyyyyy が、キーワード xxxxxxxx に指定されました。この値は、例えば数値でない場合もあります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5522 E COMMAND NOT EXECUTED.
**LENGTH OF "xxxxxxx VALUE IS
MORE THAN ALLOWED.**

説明: DEFINE コマンドの文字値はすべて、長さに限界があります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5523 E COMMAND NOT EXECUTED. ファイル DFHCSD は、CSD ではなく SIT に定義してください。

説明: DFHCSD が SIT ではなく CSD で定義されています。This is not allowed.

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。DFHCSD を SIT で定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5524 W BMS ROUTE FOR CONSOLE MAY
CAUSE UNPREDICTABLE RESULTS
IF MAPS OR TEXT(ACCUM) USED
ON DEVICE.**

説明: 複数行マップまたは蓄積されたテキストをコンソールにルーティングすることはサポートされていません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされていないコンソール操作が使用不可になっていることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5525 W *xxxxxxxx* **VALUE IS NOT VALID,
yyyyyyyyy HAS BEEN ASSUMED**

説明: 値 *xxxxxxxx* が有効ではありません。 値 *yyyyyyyyy* とみなされました。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5526 E *xxxxxxxx* **MUST HAVE ROWS AND
COLUMNS SPECIFIED**

説明: *xxxxxxxx* には、行と列を指定しておかなければなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5527 E **REMOTE OPTIONS ARE IGNORED
FOR PROGRAMS STARTING WITH
DFH.**

説明: CICS が、リモート属性を許可されていない標準プログラムを提供しています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: プログラム定義からリモート属性を削除して、コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5528 E **COMMAND NOT EXECUTED.
VALUE OF *keyword* IS OUT OF
VALID RANGE.**

説明: メッセージに示されたキーワードに無効な値が与えられました。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 有効なキーワード値を与えて、再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5529 E *keyword* **OR *keyword* MUST BE
SPECIFIED.**

説明: メッセージに示されたキーワードのいずれも指定されませんでした。 リソースを定義するときは、これらのキーワードのいずれかを指定しなければなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 示されたキーワードのいずれかを指定し、再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5530 W **XTRANIDS ENDING WITH *string*
ARE RESERVED AND MAY BE
REDEFINED BY CICS.**

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5531 W **XTRANIDS BEGINNING WITH *string*
ARE RESERVED AND MAY BE
REDEFINED BY CICS.**

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5532 E COMMAND NOT EXECUTED. AN
INVALID COMBINATION OF ROWS
AND COLUMNS HAS BEEN
SPECIFIED FOR ALTSCREEN.**

説明: 指定された値の 1 つがゼロで、もう 1 つが非ゼロです。この組み合わせは無効です。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 有効な組み合わせの ALTSCREEN の行と列が指定されていることを確認してください。有効な組み合わせについての詳細は、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5533 W 指定された *keyword1* 値が、*keyword2* 値よりも小さいです。デフォルト値が想定されます。

説明: *keyword2* の値と互換性のない値が *keyword1* に指定されました。

システムの処置: DFHCSDUP は、*keyword1* のデフォルト値を想定して、このコマンドを処理します。

ユーザーの処置: このリソース定義が受け入れ可能かどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5534 W DEVICE の値を変更すると、その他の値も変更される可能性があります。

説明: TYPETERM リソース定義の中の DEVICE を更新 (ALTER) するときに、バッチ更新ユーティリティーが、新しい DEVICE と合わない強制値を変更します。しかし、従属デフォルト値が変更されず、ここで値が合わなくなる可能性があります。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。詳細については、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5535 E COMMAND NOT EXECUTED. *restype* の名前 *resname* は CICS によって予約済みです。

説明: ユーザーは CICS が予約しているリソース名 *resname* をリソース・タイプ *restype* に指定しました。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 別のリソース名を指定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5536 W *keyword1* AND *keyword2* ATTRIBUTES ARE INCONSISTENT IF DEFINITION IS BEING SHARED WITH A BACK LEVEL RELEASE.

説明: *keyword1* の前に *keyword2* があります。しかし、*keyword1* は互換性のために保持されました。定義の更新後に、*keyword1* に指定された値と *keyword2* に指定された値に矛盾が生じました。

システムの処置: 定義が作成または更新されます。

ユーザーの処置: CSD ファイルをバックレベルのリリースと共用している場合、結果として生じるリソース定義が受け入れ可能であることを確認してください。共用していない場合は、メッセージを無視してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5537 W 接頭部にデフォルト値を使用できます。ただし、デフォルト値は、MRO セッションの場合にのみご使用ください。

説明: LU6.1 または MRO セッション用の送信または受信接頭部にヌル値が受け入れられました。デフォルト値の '>' は送信セッション用に、'<' は受信セッション用に CICS によって提供されます。これらの値は、MRO セッション名のデフォルトの接頭部です。これらの接頭部は、LU6.1 セッションで使用することができますが、同じ接頭部を持つ MRO セッション名が使用されている場合は使用しないでください。多数のセッションが定義されている場合には名前が重複する可能性があるためです。

システムの処置: CICS は、これらの接頭部を使用してセッション名を生成します。

ユーザーの処置: これが LU6.1 セッションである場合は、別の接頭部を選択するようお勧めします。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5538 W *x* で始まる *resource* 名が、システム・セッション名と矛盾している可能性があります。

説明: リソース *resource* は、システム生成 SESSIONS 名に使用される可能性のある、*x* の文字で始まる名前を与えられています。

システムの処置: 定義が作成または更新されます。

ユーザーの処置: リソースに与えられた名前と SESSIONS 名の間に矛盾がないことを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5539 S *keyword* が予約された文字またはストリング *string* で始まっているために無効です。

説明: キーワード *keyword* に与えた名前が、「c」または「dfh」などの予約された文字やストリングで始まっているために無効です。

システムの処置: 定義は作成されません。

ユーザーの処置: キーワードの名前を変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5540 W *xxxxxxx* 値が *yyyyyyy* 値よりも大きくなっています。小さい方の値が優先されます。

説明: 他の値と矛盾する値が指定されました。値 *xxxxxxx* が値 *yyyyyyy* より大きくなっています。値 *yyyyyyy* が優先され、大きい方の値をオーバーライドします。

システムの処置: 定義は、指定された 2 つの値で作成または更新されます。

ユーザーの処置: 2 つの値が期待どおりに定義されていることを確認してください。指定された値のままにしておいて、リソースが CICS システムにインストールされた後にオンラインで値を動的に変更するようにすることも可能です。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFH5541 E PROGRAM OR REMOTESYSTEM
MUST BE SPECIFIED.**

説明: 示されているキーワードのいずれも指定されませんでした。トランザクションを定義するときは、これらのキーワードのいずれかを指定しなければなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 示されたキーワードのいずれかを指定し、再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5544 E COMMAND NOT EXECUTED. 前の値が総称であるため、*xxxxxxx* は *yyyyyyy* として指定されなければなりません。

説明: 前のオプション値が総称として指定されているため、オプション *xxxxxxx* は *yyyyyyy* として指定する必要があります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5545 W BREXIT とともに **PROGRAM** を指定する必要があります。(PROGRAM SHOULD BE SPECIFIED WITH BREXIT.)

説明: BREXIT オプションが指定されている場合、PROGRAM オプションも指定する必要があります。CTS 1.2 のブリッジ・トランザクション定義との互換性のために、これは必須ではありませんが、PROGRAM が指定されていない場合はトランザクション定義は機能しません。

システムの処置: トランザクション定義は受け入れられます。

ユーザーの処置: CTS 1.2 からのマイグレーションを行った場合は、コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5546 E COMMAND NOT EXECUTED.

xxxxxxx はタイプ *yyyyyyyy* パラメーターとして有効ではありません。

説明: 指定されたオプションが競合しています。TYPE EJB が指定されている場合、それぞれの *ejb* タイプのオプションを指定する必要があります。ejb タイプの属性は BEANNAME および INTFACETYPE です。同様に、TYPE CORBA の場合は、corba タイプの属性を指定する必要があります。それは MODULE および INTERFACE です。TYPE GENERIC の場合は、いずれの属性も指定できますが、総称でなければなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5547 E COMMAND NOT EXECUTED.

xxxxxxx VALUE *yyyyyyyy* IS INVALID.

説明: 有効でない値 *yyyyyyyy* が、キーワード xxxxxxxx に指定されました。この値は、例えば数値でない場合もあります。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5548 E *date time applid* COMMAND NOT EXECUTED. xxxxxxxx OPTION IS INVALID FOR A BACK LEVEL REQUESTMODEL.

説明: 指定されたオプションが競合しています。CORBASERVER 名がブランクで、それぞれの前のレベルの属性 (OMGMODULE、OMGOPERATION、および OMGINTERFACE) が指定されている場合、BEANNAME、MODULE、INTERFACE、および OPERATION の使用は許可されません。バックレベルの要求モデル定義を新しい属性に指定することはできません。古い要求モデルをこのレベルの CICS で使用する必要がある場合は、古い要求モデルを破棄し、新しい属性で再定義する必要があります。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。バックレベルの CICS システム用にこのモデルを保持す

る場合は、属性

OMGMODULE、OMGOPERATION、OMGINTERFACE、および TRANSID のみを指定してください。ただし、このレベルの CICS で古い要求モデルを使用するには、古い要求モデルを破棄し、新しい属性で再定義する必要があります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5549 E COMMAND NOT EXECUTED.

xxxxxxx 値は *yyyyyyyy* 値と同じにはしてはいけません。

説明: 2 つの属性に指定される値は同じであってはなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5550 E *keyword1* は *keyword2* を暗黙指定します。デフォルト値が想定されます。

説明: *keyword1* が、*keyword2* の値と互換性のない値で指定されました。

システムの処置: DFHCSDUP は *keyword1* を変更してデフォルト値を設定し、コマンドを処理します。

ユーザーの処置: このリソース定義が受け入れ可能かどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5551 E COMMAND NOT EXECUTED.

keyword2 も総称でなければ、*keyword1* を総称として指定できません。

説明: ワイルドカード文字 (アスタリスクまたは正符号) が含まれた総称名を使用して *keyword1* が指定されました。しかし、これが許可されるのは、*keyword2* も総称名として指定されている場合のみです。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: *keyword1* が総称でなければならない場合は、*keyword2* も総称名を使用して指定してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5552 E COMMAND NOT EXECUTED.

CIPHER 値 '*value*' は無効なセット (*list*) です。

説明: CIPHER 属性が無効な値 *value* とともに指定されています。この値は、*list* で示されている有効な暗号値セットに含まれていません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: この CICS アドレス・スペースに適切な CIPHER 値セットを定義したかを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5553 E COMMAND NOT EXECUTED. *field* が '*char*' で始まることはできません。

説明: 示された属性フィールド *field* は、無効文字 *char* で始まっています。これは一般に、「*」で始まるフィールドが原因で発生しますが、これは許可されません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 許可された文字で始まるように、示された属性フィールドを変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5554 W 静的属性 *field1* の使用により *field2* が強制されます。

説明: サーバー URIMAP 属性フィールド *field1* が、静的応答を返すセット内にあります。これにより、*field2* の設定が強制されました。これは通常、ANALYZER(NO) が必要な場合に ANALYZER(YES) とともに

MEDIATYPE、CHARACTERSET、HOSTCODEPAGE、TEMPLATENAME、または HFSFILE を指定することで発生します。

システムの処置: ユーティリティーは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5555 E COMMAND NOT EXECUTED. 少なくとも 1 つの *attribute* を指定する必要があります。

説明: このリソースに対して示されている属性フィールド *attribute* の 1 つ以上を指定する必要があります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの必要な属性が指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5556 E COMMAND NOT EXECUTED. '*yyy*' で始まる *resource* 名は予約されており、使用できません。

説明: CICS は、ユーザーが使用してはいけない名前の標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。ただし、このタイプのリソースでは、予約済み CICS 名を使用してはなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: リソース定義を適切な名前に変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5557 E COMMAND NOT EXECUTED.

'*xxxxxxx*' は予約名であり、*resource* 名としては使用できません。

説明: 特定の名前は予約されており、リソース名として使用できません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: リソース定義を適切な名前に変更してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5558 W LIBRARY '*resource*' のランキング値が 10 より小さい場合、検索順で DFHRPL の前に表示されることを示します。

説明: ランキング値 10 は、DFHRPL ライブラリー用に予約済みです。10 未満のランキング値を指定した場合、LIBRARY *resource* は、ライブラリー検索順序で

DFH5559 W • DFH5601 E

DFHRPL より前に出現します。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: 本当にこの LIBRARY がライブラリー検索順序で DFHRPL より前に出現するようにするかを確認してください。そうでない場合は、10 より大きい RANKING 値を使用して LIBRARY resource を定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5559 W HOST CONFLICTS WITH IPADDRESS. HOST TAKES PRECEDENCE.

説明: HOST は、TCPIP SERVICE の IP アドレスを指定するための優先属性です。HOST と IPADDRESS の両方が TCPIP SERVICE 定義で指定されていて、それらが異なる場合、システムは HOST 値を使用し、IPADDRESS を無視します。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: IPADDRESS に優先して HOST を使

用するか、両者が同じになるようにしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5560 E COMMAND NOT EXECUTED.

Port_attribute は、HOST 属性にあるポート番号と競合しています。

説明: HOST 属性にポート番号が含まれていますが、このクライアント URIMAP の定義には異なる非ゼロの PORT 属性も指定されています。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: HOST へのポートの追加に優先して PORT を使用するか、両者が同じ値になるようにしてください。IPV6 アドレスのポート番号を指定するには、PORT を使用する必要があります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH56nn メッセージ

DFH5600 E UNABLE TO GET STORAGE FOR MODULE DFHCICS. 1 次 CSD は初期設定されていません。(PRIMARY CSD HAS NOT BEEN INITIALIZED.)

説明: モジュール DFHCICS をロードするためのストレージが不足しています。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: DFHCICS モジュールをロードするのに十分なストレージがあることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5601 E *table* という名前の {FCT | RDT | LD} テーブルをロードできません。

説明: テーブル *table* をロードできません。

システムの処置: システムの処置は、テーブルのタイプによって異なります。

LD

DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1.

前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。

2.

動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。

3.

終了出口ルーチン (与えられている場合) を呼び出します。

4.

ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

FCT または RDT

CSD ユーティリティは、テーブルをロードすることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 障害の理由を指定する、先に出された MVS メッセージを参照してください。

FCT または TCT のアセンブリーとリンク・エディットが正しく行われた場合は、FCT または RDT はライブラリーの中にあるはずです。LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5602 E *table* という名前の {FCT | RDT | LD} テーブルをアンロードできません。

説明: テーブル *table* をアンロードできません。

システムの処置: システムの処置は、テーブルのタイプによって異なります。

LD

DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチン (与えられている場合) を呼び出します。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

FCT または RDT

CSD ユーティリティは、テーブルをアンロードすることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 障害の理由を指定する、先に出された MVS メッセージを参照してください。

FCT または TCT のアセンブリとリンク・エディットが正しく行われた場合は、FCT または RDT はライブラリーの中にあるはずで、LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5603 E *table* という名前の {FCT | RDT | LD | DCT} テーブルが見つかりません。
(UNABLE TO LOCATE THE {FCT | RDT | LD | DCT} TABLE NAMED *table*.)

説明: テーブル *table* を見つけ出すことができません。

システムの処置: システムの処置は、メッセージに示されたテーブルのタイプによって異なります。

LD

DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチン (与えられている場合) を呼び出します。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

その他のテーブル

CSD ユーティリティは、テーブルを見つけることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 失敗の理由を判別してください。

テーブルのアセンブリとリンク・エディットが正しく行われた場合は、テーブルはライブラリーの中にあるはずで、LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5604 E *table* という名前の相互参照テーブル用にストレージを獲得することができませんでした。

説明: DFHCSDUP はテーブル *table* のストレージを獲得できませんでした。

システムの処置: DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 領域サイズを大きくして、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5605 E グループまたはリスト名 *object* で許可されない文字が使用されています。

説明: モジュール DFHDMP の呼び出しが、CSD ファイル上に作成されるレコードのための有効なキーを構成するのに失敗しました。これは、グループ名またはリスト名に無効な文字が入っているためです。

システムの処置: この定義のための CSD レコードは作成されません。(それがトランザクションである場合には、生成プロファイルも作成されません。)

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、有効な名前のリソースを定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5606 S COMMAND IS NOT EXECUTED.
UNABLE TO LOAD THE SERVICE
MODULE *prognam*.

説明: ストレージが不足しているためにサービス・モジュール *prognam* をロードできません。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行は終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 領域サイズを大きくして、ユーティリティ・コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5607 S COMMAND IS TERMINATED. 最初の
2 次 CSD レコードの読み取り中に、エ
ラーが発生しました。

説明: 2 次 CSD ファイル上で入出力エラーが起きました。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DDNAME が SERVICE ユーティリティ・コマンドの FROMCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5608 S COMMAND IS TERMINATED. AN
ERROR OCCURRED WHILE
READING A SECONDARY CSD
RECORD.

説明: 2 次 CSD ファイル上で入出力エラーが起きました。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DDNAME が SERVICE ユーティリティ・コマンドの FROMCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

問題が解決しない場合は、IDCAMS または DFHCSDUP LIST ALL オプションを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないもので、簡単に識別できます。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5609 S COMMAND IS TERMINATED. 1 次
CSD レコードの書き込み中にエラーが
発生しました。

説明: 1 次 CSD ファイルで入出力エラーが起きました。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 十分に大きいデータ・セットが出力 (1 次) CSD ファイルに指定されていることを確認して、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5611 E COMMAND NOT EXECUTED.
parameter パラメーターは 'DFH' で始ま
ってなければなりません。

説明: CSD ユーティリティ MIGRATE コマンドにおいて、メッセージに示されたパラメーターに無効なテーブル名またはグループ名が入っていました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なテーブル名またはグループ名を指定して MIGRATE コマンドを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5612 I グループ *grpname* 内の *resource object* は変更されません。

説明: リソース定義がソース・グループとターゲット・グループの両方に存在しています。サブミットされた CSD ユーティリティ・コマンドに基づいて、ユーティリティは、ターゲット・グループのリソース定義を置き換えました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5613 E ライブラリー・メンバー *member* が見つかりません。

説明: メンバーが、JCL で指定されたライブラリーにありません。

システムの処置: ユーティリティは、ライブラリー・メンバー *member* へのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: メンバーがライブラリーに正しくリンク・エディットされていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5614 E ライブラリー・メンバー *member* をロードできません。

説明: DFHCSDUP は、ライブラリー・メンバー *member* をロードできませんでした。

システムの処置: ユーティリティは、ライブラリー・メンバーへのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: メンバーがライブラリーに正しくリンク・エディットされていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5617 S **COMMAND IS TERMINATED.** 2 次 CSD の読み取り中に、認識されないタイプのレコードが見つかりました。

説明: 入力 CSD レコードのレコード・タイプ・フィールドが無効です。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DDNAME が SERVICE ユーティリティ・コマンドの FROMCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

問題が解決しない場合は、IDCAMS または DFHCSDUP LIST ALL オプションを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないもので、簡単に識別できます。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5618 I **DFHCSDUP** の実行中に、アテンション割り込みが要求されました。

説明: DFHCSDUP が TSO 環境で実行中に、アテンション割り込みが要求されました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

メッセージ書き込みの出口が拡張入力リンケージで指定されている場合は、制御がメッセージ書き込みの出口に渡されます。メッセージ書き込みの出口について詳しくは、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5619 W 指定された **PAGESIZE** パラメーターの値が無効です。1 ページにつき 60 行のデフォルト値が使用されます。

説明: PAGESIZE パラメーターに許可されている範囲 (4 から 9999) 外の値が指定されました。

システムの処置: デフォルト値としてページ当たり 60 行をとります。

ユーザーの処置: 今後は、有効な PAGESIZE 値を指定するようにしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5620 E {INITIALIZATION | GET-COMMAND | TERMINATION}出口から、正しくない戻りコード (**RC= ret-code**) が返されました。

説明: メッセージに示されているユーザー出口ルーチンが、許可されていない戻りコードを戻しました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理を終了します。 出口は使用不可になっていません。

ユーザーの処置: メッセージに示された出口ルーチンを調べて、正しくない戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5621 E メッセージ書き込みの出口から、ゼロ以外の戻りコードが返されました。

説明: メッセージ書き出し出口ルーチンが、許可されていない戻りコードを戻しました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理が終了して、メッセージ書き出し出口が使用不可になります。

ユーザーの処置: メッセージ書き出し出口ルーチンを調べて、正しくない戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5622 S 異常終了をインターセプトしてクリーンアップ処理をしていた間に 2 次 **CSD** がクローズされました。

説明: DFHCSDUP 処理中に異常終了が発生しました。2 次 CSD は、異常終了後のクリーンアップ処理時にクローズされました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: この問題に関する詳細については、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5623 S 異常終了をインターセプトしてクリーンアップ処理をしていた間に 1 次 **CSD** がクローズされました。

説明: DFHCSDUP 処理中に異常終了が発生しました。1 次 CSD は、異常終了後のクリーンアップ処理時にクローズされました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: この問題に関する詳細については、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5624 S 異常終了をインターセプトしてクリーンアップ処理をしていた間に抽出出口プログラムがアンロードされました。

説明: EXTRACT コマンドの処理時に異常終了が起きました。EXTRACT ユーティリティ・コマンドの USERPROGRAM キーワードで指定された抽出出口プログラムが、異常終了後の終結処理時にアンロードされました。

システムの処置: EXTRACT コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 問題の詳細については、前のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFH5625 ユーザー・プログラムが *ddname* の無効な **DDNAME** パラメーターを **DFHCSDUP** に渡しました。(THE USER PROGRAM HAS PASSED AN INVALID DDNAME PARAMETER FOR *ddname* TO DFHCSDUP.)

説明: ユーザー・プログラムは、DFHCSD、SYSIN または SYSPRINT のいずれかのパラメーターとして代替 *ddname* を与えました。代替 DDNAME は、ブランクで始まっているため、無効です。

システムの処置: 代わりにデフォルト DDNAME が使用されます。

ユーザーの処置: 無効な DDNAME パラメーターを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: コンソール

DFH5630 W IBM 提供の定義が、*resourcetype* *resourcenamename* に対して見つかりません。

説明: SCAN コマンドの実行中に、指定されたリソース・タイプが IBM 提供のいずれのグループの CSD ファイルでも見つかりませんでした。SCAN コマンドでは互換性グループは使用されないことに注意してください。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: コンソール

DFH5631 I グループ *groupname1* 内の *resourcetype* *resourcenamename* がグループ *groupname2* 内の IBM 提供の定義と一致しています。

説明: SCAN コマンドの実行中に名前が *resourcenamename* のリソース *resourcetype* がグループ *groupname1* に見つかりましたが、グループ *groupname2* の IBM 提供の定義に一致しています。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: コンソール

DFH5632 I グループ *groupname1* 内の *resourcetype* *resourcenamename* がグループ *groupname2* 内の IBM 提供の定義と一致していません。

説明: SCAN コマンドの実行中に名前が *resourcenamename*

のリソース *resourcetype* がグループ *groupname1* に見つかりましたが、グループ *groupname2* の IBM 提供の定義に一致していません。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: コンソール

DFH5633 I *resourcetype* *resourcenamename* がグループ *groupname* 内で見つかりました。

説明: SCAN コマンドの実行中に、*resourcenamename* という名前のリソース *resourcetype* がグループ *groupname* で見つかりました。比較の実行対象の IBM 提供の定義が見つかりませんでした。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: コンソール

DFH5634 W *resourcetype* *resourcenamename* がユーザー・グループの中に見つかりません。

説明: SCAN コマンドの実行中に、*resourcenamename* という名前のリソース *resourcetype* がいずれのユーザー・グループでも見つかりませんでした。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: コンソール

DFH7xxx (DFHEXP) コマンド・レベル変換プログラム診断メッセージ

診断メッセージは、アセンブラ言語、COBOL、C、または PL/I で書かれたプログラムの処理中に、コマンド・レベル変換プログラム (アセンブラ言語の場合は DFHEAP、COBOL の場合は DFHECP、C の場合は DFHEDP、PL/I の場合は DFHEPP) によって出される場合があります。

アセンブラ言語メッセージは、変換プログラム出力ファイルにマクロの注記 (MNOTES) として挿入され、その変換プログラム出力ファイルを印刷するかアセンブルすることによって見ることができます。

COBOL、C、および PL/I メッセージは SYSPRINT に送られます。

同じ診断が、コマンド・レベル解釈プログラム、マスター端末トランザクション (CEMT)、および CEDA により出されます。

診断メッセージは、3 つのコンポーネントから成ります。メッセージ番号、重大度コード、およびメッセージ・テキストです。 各メッセージは、DFH7nnnI c line text の形式で構成されています。

- nnn は番号です。
- I は通知メッセージ ID です。
- c は重大度コードです。
- line はエラーの行番号です。
- text はメッセージのテキストです。

アセンブラー言語、COBOL、C、および PL/I では、診断メッセージに重大度コードを割り当てることができます。 この重大度コードは 1 つの文字によって表され、存在する場合はメッセージの中のメッセージ番号の直後で、メッセージ・テキストの直前に表示されます。 重大度には 5 つのレベルがあります。 アセンブラー言語、C、および PL/I での重大度のレベルと COBOL での重大度のレベルは異なっています。 これらの言語のコードの意味および関連する戻りコードは、次のとおりです。

アセンブラー、C、または PL/I	戻りコード	COBOL
U = リカバリー不能	16	D = 災害
S = 重大	12	E = エラー
E = エラー	8	C = 条件付き
W = 警告	4	W = 警告
I = 通知	0	I = 通知

メッセージ・テキストはメッセージそれ自体で成り立っています。挿入部分があるときと、ないときとがあります。 挿入部分はメッセージ・テキスト内にあり、実際のメッセージでは、診断メッセージの理由に関する特定の情報が示されます。 ただし、すべての診断メッセージが挿入部分を必要とするわけではありません。

コマンド・レベル変換プログラムから出されるメッセージは、通常、説明がなくても分かるものです。DFH7000 はこのタイプのメッセージの例です。

DFH7000 I LISTING FILE CANNOT BE OPENED

説明: リスト・データ・セットがオープンされませんでした。

システムの処置: コマンド・レベル変換プログラムは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが指定されているときは、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: JCL を訂正するか、エラーの原因になっているものおよびオープンの妨げになっているものを判別します。

モジュール: DFHEAP (アセンブラー言語の場合)、DFHECP (COBOL の場合)、DFHEDP (C の場合)、DFHEPP (PL/I の場合)

宛先: コンソール

DFH7002I U 変換プログラムで次のリカバリー不能エラーが発生しました:- xxxxxxxx.xxxxxxx

の変換は中止されました。ソース・プログラムのエラーを修正して、問題を回避してください。

説明: エラーが発生し、変換プログラムが復旧して通常の処理を再開できません。

システムの処置: 変換プログラムは、このエラー・メッセージを出し、正常にオープンされたすべてのファイルをクローズすることで、適切に処理を終了します。この実行中に変換プログラムによって出されたメッセージはすべて、SYSPRINT データ・セットに送信されているはずです。

ユーザーの処置: このメッセージには、以下のテキストが挿入されていることがあります。

NOT ENOUGH MAIN STORAGE AVAILABLE

この場合、ユーザーは、変換プログラム・ジョブ・ステップの JCL EXEC ステートメントで少なくとも 2M (2048K) の REGION サイズが指定されていることを確認する必要があります。

モジュール: DFHEIM01

宛先: SYSPRINT

DFH7003I U xxxxxxxx ファイルをオープンできません。xxxxxxx の変換は中止されました。

説明: 変換プログラムが、INPUT、PUNCH、または LISTING ファイルをオープンした後にエラーを検出しました。

通常これは、ファイルのレコード・フォーマットまたはレコード長が変換プログラムでサポートされないことを意味します。

SYSIN DD ステートメントによってジョブ制御ストリームで定義された INPUT ファイルには、固定長または可変長のレコードを含めることができますが、レコード長は 100 を超えてはなりません。

SYSPUNCH DD ステートメントによってジョブ制御ストリームで定義された PUNCH ファイルには、固定長レコードが含まれている必要があり、またレコード長は 80 を超えてはなりません。

SYSPRINT DD ステートメントによってジョブ制御ストリームで定義された LISTING ファイルには、固定長レコードまたは可変長レコードを含めることができますが、その長さは 121 から 256 までの範囲内でなければなりません。

システムの処置: 変換プログラムは処理を終了します。

ユーザーの処置: エラーの原因となったファイルのレコード・フォーマットおよびレコード長を確認してください。ファイルを再作成または変更して、変換プログラムの要件を満たすようにしてください。

モジュール: DFHEIM15

宛先: SYSPRINT

DFH7004I W 指定された EXCI オプションが CICS オプションまたは CICS オプションを暗黙的に指定する別のオプションと矛盾します。CICS オプションは無視されます。

説明: 変換プログラムの EXCI オプションが指定されていますが、CICS オプションや CICS オプションを暗黙指定するオプション (例えば、SP オプション) など、指定されている別のオプションと矛盾しています。

EXCI オプションは、プログラムを非 CICS のバッチ環境で実行することを暗黙指定するため、CICS や SP などの他のオプションと矛盾します。

システムの処置: 変換プログラムは CICS オプションを無視します。すべての EXEC CICS LINK コマンドは、バッチ・コマンドとして解釈されます。

ユーザーの処置: プログラムをバッチ・プログラムとして使用する意図である場合は、CICS オプションも、CICS オプションを暗黙指定する他のオプションも、変換プログラムに指定されないようにしてください。

プログラムを CICS アプリケーションとして実行する意図である場合は、EXCI オプションを除去してください。

モジュール: DFHEIM08

宛先: SYSPRINT

DFH7005I W 指定された EXCI オプションが DLI オプションと矛盾します。DLI オプションは無視されます。

説明: EXCI と DLI の両方の変換プログラム・オプションが指定されましたが、これらの 2 つのオプションは、相互に排他的です。

システムの処置: 変換プログラムは DLI オプションを無視します。

ユーザーの処置: プログラムが DLI プログラムであることを意図している場合は、EXCI オプションの指定を除去してください。それ以外の場合は、DLI オプションを除去してください。

モジュール: DFHEIM08

宛先: SYSPRINT

DFH7010I W 無効なオプション文字列 'INS#1' は無視されました。

説明: 指定されているオプションに、変換プログラムによって認識されないオプション、またはプログラムが作成されている言語で有効でないオプションが含まれています。

例えば、COBOL プログラムで以下のオプションの指定を考えます。

CBL XOPTS(CICS DCBS)

これは、DCBS が有効なオプションでないため、無効です。この場合、DCBS は恐らく、有効なオプションの DBCS です。

また、例えば、以下のオプションの指定はどうでしょうか。

CBL XOPTS(CICS GRAPHIC)

これは、GRAPHIC オプションは変換プログラムによって認識されますが、PLI プログラムでのみ有効であるため、無効です。

システムの処置: 変換プログラムは、無効なオプションを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: オプションの指定について「CICS アプリケーションの開発」を参照し、オプションの指定を適宜修正してください。

モジュール: DFHEIM06 DFHEIM08

宛先: SYSPRINT

DFH7011I W 無効な *INS#1* の指定は無視されました。

説明: 単一または複数の値とともに指定されるオプションが、変換プログラムで受け入れることができない値とともに指定されています。

例えば、COBOL プログラムで以下のオプションの指定を考えます。

CBL XOPTS(CICS FLAG(X))

これは、FLAG に指定されている値は「I」、「W」、「E」、または「S」でなければならないため、無効です。

また、例えば、以下のオプションの指定はどうでしょうか。

CBL XOPTS(CICS LC(256))

これは、LINECOUNT オプションに関連付けられている値は 1 から 255 の範囲内でなければならないため、無効です。

オプションが整数値を取る場合、その値は常に 256 未満でなければなりません。

システムの処置: 変換プログラムはオプションを無視し、単一または複数のデフォルト値を適用します。

ユーザーの処置: オプションの指定について「CICS アプリケーションの開発」を参照し、オプションの指定を適宜修正してください。

モジュール: DFHEIM06 DFHEIM08

宛先: SYSPRINT

DFH7012I W 矛盾するオプションが指定されました。xxxxxxx が想定されました。

説明: 単一または複数の値とともに指定されたオプションが、複数回指定されているか、オプションが肯定形式と否定形式の両方で指定されているか、相互に排他的なオプションが指定されています。

例えば、COBOL プログラムで以下のオプションの指定を考えます。

CBL XOPTS(CICS FLAG(I) NOVBREF QUOTE FLAG(S) VBREF APOST)

上記により、以下の 3 つのエラー・メッセージが生成されます。

「FLAG(I) が、FLAG(S) と矛盾しています」、
「NOVBREF が、VBREF と矛盾しています」、および
「QUOTE が、APOST と矛盾しています」。

システムの処置: 変換プログラムは、各オプションで見つかった最後の定義を使用します。そのため、上記の例では、使用されるオプションは、FLAG(S)、VBREF、および APOST になります。その後、変換プログラムは通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: オプションの指定について「CICS アプリケーションの開発」を参照し、オプションの指定を適宜修正してください。

モジュール: DFHEIM06 DFHEIM08

宛先: SYSPRINT

DFH7013I W '*INS#1*' の後に右括弧が必要です。

説明: 単一または複数の値とともに指定されたオプションが、右括弧で区切られていません。

例えば、COBOL プログラムにおける以下のオプションの指定を考えます。

CBL XOPTS(CICS FLAG(I NOVBREF QUOTE)

FLAG オプションに指定されている値「I」の後には、右括弧を続ける必要があります。

システムの処置: 変換プログラムは、オプションの指定の後に右括弧が存在しているものと想定し、処理を続行します。

ユーザーの処置: オプションの指定について「CICS アプリケーションの開発」を参照し、オプションの指定を適宜修正してください。

モジュール: DFHEIM06 DFHEIM08

宛先: SYSPRINT

DFH7014I W *PROCESS カードにエラーがあります。セミコロンの後のテキストは無視されました。

説明: *PROCESS ステートメントで、ステートメントの終わりを示すセミコロンの後にテキストが配置されています。

このエラーが発生するのは、PLI で作成されたプログラムのみのはずです。

システムの処置: 変換プログラムは、誤って配置されたテキストを無視して、処理を続行します。ただし、誤って配置されたテキストは変換済みプログラムに配置されます。これにより、恐らく、コンパイラーによってエラーが検出されます。

ユーザーの処置: ユーザー処置は、誤って配置されたテキストの目的によって異なります。「CICS アプリケーションの開発」または関連するプログラミング言語資料を参照してください。

モジュール: DFHEIM07

宛先: SYSPRINT

DFH7015I W *ASM ステートメントにエラーがあります。継続は無視されました。

説明: *ASM ステートメントの 72 桁目に継続文字が含まれています。プログラム内の次の行は、変換プログラムによって無視されます。このエラーが発生するのは、アセンブラーで作成されたプログラムのみのはずです。

システムの処置: 変換プログラムは継続行を無視し、処理を続行します。ただし、*ASM ステートメントと継続行はともに変換済みプログラムに配置されます。

ユーザーの処置: ユーザー処置は、継続の目的によって異なります。「CICS アプリケーションの開発」または「High Level Assembler Programmer's Guide」を参照してください。

モジュール: DFHEIM07

宛先: SYSPRINT

DFH7016I W このバッチには既に NATLANG オプションが指定され、変更できません。矛盾する値は無視されました。

説明: COBOL 変換プログラムのバッチ機能が使用されていますが、NATLANG オプションの値を変更しようとしてしました。

システムの処置: 変換プログラムは NATLANG の指定を無視し、このバッチの開始時に設定された NATLANG の指定を使用し続けます。

ユーザーの処置: NATLANG オプションは 1 回のみ、JCL EXEC ステートメントの PARM ステートメントまたはバッチ内の最初のプログラムに先行する CBL ステートメントのいずれかで指定してください。このバッチ内のプログラムが異なる NATLANG オプションを必要とする場合は、このバッチを 2 つ以上の個別のバッチに分割し、バッチごとに適切な NATLANG 値を指定してください。

モジュール: DFHEIM06

宛先: SYSPRINT

DFH7017I W オプション処理中にメッセージが出されました。詳しくはリストの最上部を参照してください。

説明: このメッセージは、1 つ以上のメッセージがオプションの処理中に変換プログラムによって出されたことを示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: この変換に選択されたオプションのリストに続く変換プログラム・リスト・ファイルの最上部に配置されたオプション・エラー・メッセージを参照してください。

見つかったメッセージに応じて適切な処置を実行してください。

モジュール: DFHEIM01

宛先: SYSPRINT

DFH7020I S リテラル定数の途中でソース・テキストが終了しました。

説明: 変換プログラムが入力プログラムからテキストの最後の行を読み取りましたが、終了していないリテラル定数でプログラムが終了していることを検出しました。

システムの処置: 変換プログラムは、最後のリテラル定数の先頭からプログラムの末尾までのすべてのテキストを未変更のまま変換済みプログラムにコピーします。この結果、後続のコンパイラー・ステージが実行された場合にエラーが発生すると思われます。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、ほぼ確実に、プログラマーがリテラル定数の最後に必要な区切り文字をコーディングしなかったことによるものです。

欠落している区切り文字を見つけてコーディングしてから、変換プログラムを再実行してください。

モジュール: DFHEIM01 DFHEIM15

宛先: SYSPRINT

DFH7021I W プログラムが **Procedure** ステートメントで始まっていません。

説明: PLI プログラムの先頭または先頭付近で正しくコーディングされた **PROCEDURE** または **PROC** ステートメントが変換プログラムで検出されませんでした。

変換プログラムは、プログラムの先頭に ***PROCESS** ステートメントが存在しているかどうかを検査し、**%INCLUDE** などの 1 つ以上のコンパイラー・ディレクティブの存在を許容した後に、**PROCEDURE** または **PROC** ステートメントを検出することを予期しています。ステートメントが検出されると、各種構文検査が実行されます。

このメッセージは、ステートメントが見つからない場合、またはステートメントで構文エラーが見つかった場合に出されます。

システムの処置: 変換プログラムは通常どおり処理を続行します。ただし、恐らく、後続のコンパイル・ステップは、実行を許可すると失敗します。

メイン **PROCEDURE** ステートメントを検出できなかった場合、変換プログラムは、**EIB** 構造を変換済みプログラムに挿入しません。これにより、通常、後続のコンパイラー・ステージが実行されると、エラーが発生します。

ユーザーの処置: 正しくコーディングされた **PROCEDURE** ステートメントが、プログラムの先頭付近にコーディングされていることを確認してください。最初の **PROCEDURE** ステートメントの前にコーディングできるのは、***PROCESS** ステートメント (必要な場合) およびコンパイラー・ディレクティブのみです。

モジュール: DFHEIM10

宛先: SYSPRINT

DFH7022I E 初期 **Procedure** ステートメントの終わりにセミコロンが挿入されています。

説明: PLI プログラムのメイン **PROCEDURE** ステートメントの後にセミコロンが続いていません。

システムの処置: 変換プログラムは、変換されたプログラムで **PROCEDURE** ステートメントを区切るセミコロンを挿入し、処理は正常に続行します。

ユーザーの処置: **PROCEDURE** ステートメントの後にセミコロンを挿入して、後続の変換で警告メッセージが出されないようにしてください。

モジュール: DFHEIM10

宛先: SYSPRINT

DFH7023I S コメントの途中でソース・テキストが終了しました。

説明: 変換プログラムが入力プログラムからテキストの最後の行を読み取りましたが、終了していないコメントでプログラムが終了していることを検出しました。

システムの処置: 変換プログラムは、最後のコメントの先頭からプログラムの末尾までのすべてのテキストを未変更のままに変換済みプログラムにコピーします。この結果、後続のコンパイラー・ステージが実行された場合にエラーが発生すると思われます。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、ほぼ確実に、プログラマーがコメントの最後に必要な区切り文字をコーディングしなかったことによるものです。欠落している区切り文字を見つけてコーディングしてから、変換プログラムを再実行してください。

モジュール: DFHEIM01 DFHEIM11 DFHEIM15

宛先: SYSPRINT

DFH7024I S 疑似テキストの途中でソース・テキストが終了しました。

説明: 変換プログラムが **COBOL** プログラムからテキストの最後の行を読み取りましたが、疑似テキストの途中でプログラムが終了していることを検出しました。

システムの処置: 変換プログラムは、疑似テキストの先頭からプログラムの末尾までのすべてのテキストを未変更のままに変換済みプログラムにコピーします。この結果、後続のコンパイラー・ステージが実行された場合にエラーが発生すると思われます。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、ほぼ確実に、プログラマーが疑似テキストの最後に必要な区切り文字をコーディングしなかったことによるものです。欠落している区切り文字を見つけてコーディングしてから、変換プログラムを再実行してください。

モジュール: DFHEIM01 DFHEIM15

宛先: SYSPRINT

DFH7025I S プログラム名 'xxxxxxx' の直後にピリオドが必要です。このピリオドの前にファイルが終了しました。

説明: **COBOL** プログラムの **END PROGRAM** ステートメントで、プログラム名の後にピリオドがなく、ピリオドが検出される前にソース・テキストの終わりが検出されました。

システムの処置: 変換プログラムは **END PROGRAM** ステートメントを変換済みプログラムにコピーしますが、この結果、次のコンパイラー・ステップが実行され

た場合にエラーが発生します。

ユーザーの処置: END PROGRAM ステートメントを
ピリオドで区切り、変換ステップを再実行してくださ
い。

モジュール: DFHEIMSC

宛先: SYSPRINT

DFH7026I S プログラム名 'xxxxxxx' の直後にピリオ
ドが必要です。途中のテキストは無視され
ました。

説明: COBOL プログラムの END PROGRAM ステ
ートメントで、プログラム名の直後にピリオドがありませ
ん。

システムの処置: 変換プログラムは END PROGRAM
ステートメントを変換済みプログラムにコピーします
が、この結果、次のコンパイラー・ステップが実行され
た場合にエラーが発生します。

ユーザーの処置: END PROGRAM ステートメントを
編集し、プログラム名とピリオドの間のテキストを除去
し、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIMSC

宛先: SYSPRINT

DFH7027I W 文字定数は右マージンでの打ち切りが想
定されました

説明: C または C++ プログラムで、文字定数 (単一引
用符で区切られたストリング) が、引用符で区切られて
おらず、また次の行に継続もしていません。

システムの処置: 変換プログラムは、文字定数がこの行
で正しく終了しているものと想定して、文字定数を変換
済みプログラムにコピーします。コンパイルの続行が許
可された場合、恐らく、このためにコンパイラー・エラ
ー・メッセージが出されます。

ユーザーの処置: 定数を単一引用符で終了するか、定数
を次の行に継続することで、文字定数を編集してくださ
い。その後、変換を再実行してください。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7028I W 文字列は右マージンでの打ち切りが想定
されました。

説明: C または C++ プログラムで、ストリング定数
(二重引用符で区切られたストリング) が、二重引用符で
区切られておらず、また次の行に継続もしていません。

システムの処置: 変換プログラムは、ストリング定数が

この行で正しく終了しているものと想定して、文字定数
を変換済みプログラムにコピーします。コンパイルの続
行が許可された場合、恐らく、このためにコンパイラ
ー・エラー・メッセージが出されます。

ユーザーの処置: 定数を二重引用符で終了するか、定数
を次の行に継続することで、文字定数を編集してくださ
い。その後、変換を再実行してください。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7029I W 見出しファイル名は右マージンでの打ち
切りが想定されました

説明: C または C++ プログラムでは、
??

システムの処置: 変換プログラム
??

ユーザーの処置:
??
を編集してください

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7030I W コメント出現時、リテラルが継続中で
した。コメントは無視されました。

説明: COBOL プログラムで、リテラルが次の行に継続
していましたが、次の行がコメントになっています。

システムの処置: 変換プログラムはコメント標識を除去
し、リテラルを終了させます。ただし、恐らく、コメン
トまたはリテラルの継続は、変換プログラムによって破
棄されています。

ユーザーの処置: リテラルを正しく終了させるか、リテ
ラルを次の行に正しく継続することで、プログラムを訂
正してください。その後、変換プログラムを再実行して
ください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7031I W コメント出現時、EXEC コマンドが継
続中でした。コメントは無視されました。

説明: COBOL プログラムで、コメントが EXEC CICS
ステートメントに埋め込まれています。

システムの処置: 変換プログラムはコメントを無視し、
コメントは変換済みプログラムにはコピーされません。
ただし、EXEC CICS ステートメントは通常どおり処理
されます。

DFH7032I E • DFH7037I E

ユーザーの処置: コメントを除去するか、コメントを移動して EXEC CICS ステートメントの前または後に配置してください。DFHEIM14

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7032I E 'xxxxxxx' の前に引用符が必要です。非数値リテラルが継続中でした。

説明: COBOL プログラムで、非数値リテラルが継続していましたが、継続行の領域 B 内の最初の有効文字が引用符になっていません。

システムの処置: 変換プログラムは、適切な引用符を変換済みプログラム内の必要な位置に挿入します。

ユーザーの処置: リテラル継続行に適切な引用符を挿入して、プログラムを編集してください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7033I E 継続は無視されました。非数値リテラルは不完全な非数値リテラルのみを継続できません。

説明: COBOL プログラムで、非数値リテラルが継続されていますが、前の行に不完全な非数値リテラルが含まれていません。

システムの処置: 変換プログラムは、変換済みプログラムから継続標識を除去します。ただし、恐らく、コンパイル・エラーが発生します。

ユーザーの処置: 正しいリテラル継続をコーディングするか、正しくないテキストを除去して、プログラムを編集してください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7034I E 継続が想定されました。非数値リテラルが継続中でした。

説明: COBOL プログラムで、非数値リテラルが継続していましたが、継続行に継続文字がコーディングされていません。

システムの処置: 変換プログラムは、継続標識を変換済みプログラムに挿入します。

ユーザーの処置: 適切な継続文字をコーディングして、プログラムを編集してください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7035I E 継続および 2 つの引用符が想定されました。非数値リテラルが継続中でした。

説明: COBOL プログラムで、非数値リテラルが継続されていますが、次の行が有効な継続になっていません。

システムの処置: 変換プログラムは継続標識および 2 つの引用符を変換済みプログラムに挿入します。これにより、リテラルの有効な継続が行われ、リテラルが即時に終了します。このアクションによってリテラルが構文的に正しいことが保証されますが、リテラルに続くテキストがある場合、有効な COBOL ステートメントにならない可能性があります。

ユーザーの処置: 適切な継続文字および引用符をコーディングするか、継続を行わないようにして、プログラムを編集してください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7036I W プログラムが IDENTIFICATION DIVISION で始まっていません。

説明: COBOL プログラムに、IDENTIFICATION DIVISION ステートメントが含まれていません。

システムの処置: これにより、変換プログラムは、一時変数および EIB 構造をプログラムの DATA DIVISION に挿入できません。ただし、EXEC CICS コマンドおよび組み込み関数 (DFHVALUE や DFHRESP など) は通常どおり処理されます。

ユーザーの処置: 変換対象のコードがコピーブックである場合、変換プログラムは実際は成功することがあり、その場合、この警告メッセージは無視して構いません。

ただし、変換対象のコードが完全なプログラムを構成している場合、適切な IDENTIFICATION DIVISION ステートメントを挿入してプログラムを編集する必要があります。

モジュール: DFHEIM07 DFHEIM10

宛先: SYSPRINT

DFH7037I E 継続列に無効な文字があります。継続が想定されました。

説明: COBOL プログラムで、非数値リテラルが継続していましたが、継続行に無効な継続文字がコーディングされています。

システムの処置: 変換プログラムは、変換済みプログラム内で無効な継続標識を有効な継続文字に置き換えます。

ユーザーの処置: 適切な継続文字をコーディングして、

プログラムを編集してください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7038I W ソース・プログラムに xxxxxxxx シーケンス・エラーがあります。

説明: COBOL プログラムで、SEQ 変換プログラム・オプションが指定されていて、1 つ以上のステートメントのシーケンスが正しくありません。

システムの処置: リスト・ファイルで、シーケンスが正しくない各ステートメントの前に 2 つのアスタリスクが付けられます。メッセージには、シーケンスが正しくないステートメントのカウントが含まれています。それ以外は、変換プログラムはプログラムを通常どおりに処理します。

ユーザーの処置: ステートメント番号のシーケンスが正しくなるようにファイルを編集するか、すべてのシーケンス・フィールドをブランクに設定するか、変換プログラム・オプション「NOSEQ」を指定することで、メッセージが出ないようにすることができます。

ただし、このメッセージは単なる警告であり、正常な変換が妨げられるわけではないので、絶対に必要なアクションはありません。

モジュール: DFHEIMEE

宛先: SYSPRINT

DFH7039I S プログラムに **Procedure Division** がありません。

説明: このメッセージは、変換プログラムがプログラム内の最後または唯一の COBOL ステートメントとして IDENTIFICATION DIVISION を検出した場合に出されます。

システムの処置: 変換は終了します。

ユーザーの処置: 適切な PROCEDURE DIVISION を挿入してプログラムを編集してから、変換ステップを再実行する必要があります。

モジュール: DFHEIM10

宛先: SYSPRINT

DFH7040I W EXEC コマンドは 'END-EXEC' で終了する必要があります。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7041I W END カードが見つかりません。コピーブックが想定されました。

説明: アセンブラー・プログラムに、END ステートメントが含まれていません。

システムの処置: 変換プログラムは、プログラムが実際はコピーブックであると想定し、したがって、変換されたコードの最後にマクロ DFHEIRET、DFHEISTG、および DFHEIEND の呼び出しを挿入しません。

ユーザーの処置: 恐らく、このメッセージに対する応答として処置は不要ですが、ユーザーは、コピーブックを変換する際にはオプション NOPROLOG および NOEPILOG を指定する必要がある場合があることに注意する必要があります。

モジュール: DFHEIMSA

宛先: SYSPRINT

DFH7042I S xxxxxxxx が許可されるのは **AMODE(64)** の場合のみです。コマンドは変換されませんでした。

説明: AMODE(64) プログラムでのみ許可されるコマンドが指定されています。

システムの処置: コマンドは、変換プログラムによって拒否されます。

ユーザーの処置: SYSSTATE マクロが AMODE64=YES オプションを指定してコーディングされていることを確認するか、コマンドの 31 ビット・バリエーションを使用してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7045I S 少なくとも、**'ADDRESS'**、**'METADATA'**、または **'REFPARMS'** の 1 つを指定する必要があります。コマンドは変換されませんでした。

説明: このメッセージにリストされている必須オプションの少なくとも 1 つを指定せずに、EXEC CICS WSAEPR CREATE コマンドが指定されました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このコマンドの使用法の詳細について、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を

DFH7046I S • DFH7050I S

参照してから、プログラムを編集して、WSAEPR コマンドに 1 つ以上の必須オプションを挿入してください。

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7046I S 'EXIT', 'EXITALL', 'STOP', 'TASKSTART', 'SHUTDOWN', 'FORMATEDF', 'SPI' または 'PURGEABLE' オプションを指定する必要があります。コマンドは変換されませんでした。

説明: このメッセージにリストされている必須オプションの少なくとも 1 つを指定せずに、EXEC CICS DISABLE PROGRAM コマンドが指定されました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このコマンドの使用法の詳細について、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してから、プログラムを編集して、DISABLE コマンドに 1 つ以上のオプションを挿入してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7047I S 'INTO','SET','RTRANSID','RTERMID' または 'QUEUE' オプションを指定する必要があります。コマンドは変換されませんでした。

説明: このメッセージにリストされている必須オプションの少なくとも 1 つを指定せずに、EXEC CICS RETRIEVE コマンドが指定されました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このコマンドの使用法について、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してから、プログラムを編集して、RETRIEVE コマンドに 1 つ以上のオプションを挿入してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7048I E 'xxxxxxx' は無効であるため無視されました。

説明: アセンブラー・プログラムで、EXEC CICS コマンドに、オプションとして処理できないテキストが含まれています。

例えば、以下がコーディングされている場合を考えます。

EXEC CICS DELAY INTERVAL 500

上記が以下の代わりにコーディングされているものとします。

EXEC CICS DELAY INTERVAL(500)

その場合、このメッセージが生成されます。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: EXEC CICS コマンドのコーディングのルールについて詳しくは、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。上記の例で 사용되는数値リテラルなど、引数として使用される自己定義項が括弧で囲まれていることを確認してください。

この性質のエラーでは、恐らく、追加のエラー・メッセージが生成されます。同じコマンドで複数のエラー・メッセージが生成されていないかを確認してください。生成されている場合、他のメッセージのいずれかで、実際に正しくない内容が具体的に示されていることがあります。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7049I W 'xxxxxxx' は古いオプションです。'xxxxxxx' が想定されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7050I S xxxxxxxx 機能が完全に指定されていません。xxxxxxx を指定してください。コマンドは変換されませんでした。

説明: この CICS コマンドでは、修飾子が必要です。この修飾子がないと、変換プログラムは特定のコマンドを判別できません。

例えば、以下がコーディングされている場合を考えます。

EXEC CICS ISSUE CONVID(MYCONV)

上記が以下の代わりにコーディングされているものとします。

EXEC CICS ISSUE PREPARE CONVID(MYCONV)

その場合、このメッセージが生成されます。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: メッセージには、このコマンドで指定できるすべての可能な修飾子のリストが含まれています。

コマンドのコーディングについて詳しくは、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。適切な修飾子が指定されていることを確認して、コマンドを編集してください。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7051I E xxxxxxxx 名が許可されている xxxxxxxx 文字を超えています。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7052I S xxxxxxxx オプションを指定する必要があります。コマンドは変換されませんでした。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7053I E オプション 'xxxxxxx' は無効であるため無視されました。

説明: EXEC CICS コマンドの指定に、有効なオプションを表していないテキストが含まれています。

システムの処置: テキストは拒否され、その後無視されます。ただし、それ以外の点では、変換プログラムは通常どおりコマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドのコーディングについて詳しくは、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。コマンドを編集して、正しくないテキストを除去するか、有効なオプションに置き換えてください。

モジュール: DFHEIMKW DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7054I S xxxxxxxx コマンドはサポートされていないため変換されません。

説明: C、C++、または AMODE(64) アセンブラー・プログラムに、PUSH、POP、HANDLE、または IGNORE コマンドが含まれています。これらの EXEC CICS コマンドはいずれも、これらの言語でサポートされていません。ただし、PROGRAM オプションでの HANDLE ABEND は例外です。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: C、C++、および AMODE(64) アセンブラー・プログラムでは、RESP、RESP2、および NOHANDLE オプションを使用して条件処理を管理してください。

例外状態の処理については、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7055I S xxxxxxxx オプションが不完全です。コマンドは変換されませんでした。

説明:

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: 例外状態の処理については、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHEIM??

宛先: SYSPRINT

DFH7056I E xxxxxxxx オプションの冗長指定は無視されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7057I W xxxxxxxx オプションの重複指定は無視されました。

説明: 同じオプションが EXEC CICS コマンドで複数回指定されています。

システムの処置: 重複している指定は無視され、変換プログラムはコマンドの通常の処理を続行します。メッセージには、オプションの名前が含まれています。

ユーザーの処置: 重複する指定を除去し、変換プログラムを再実行してください。

モジュール: DFHEIMXS

宛先: SYSPRINT

DFH7058I E 'xxxxxxx' の後に 'xxxxxxx' が想定されました。

説明: EXEC CICS コマンドが正しく区切られていません。C、C++、および PLI プログラムでは、これは、指定されている最後のオプションの後にセミコロンがないことを意味します。COBOL プログラムでは、このメッセージは、指定されている最後のオプションの後に END-EXEC がいないことを意味します。アセンブラー・プログラムの場合、このメッセージは起こらないはずで

す。

システムの処置: 区切り文字が欠落しているため、変換プログラムがコマンドの指定が完了していることを確かめることは困難です。そのため、プログラム内の後続のテキストは、潜在的なオプションおよび引数として扱われます。変換プログラムは、次の区切り文字の検出、またはキーワードにはなり得ないテキストの検出のいずれか早い方が発生したときに、区切り文字が欠落しているものと判断します。

コマンドの直後に区切り文字なしで別の EXEC CICS コマンドが続いている場合、2 つのコマンドは 1 つのコマンドとして扱われます。これにより、多数のエラー・メッセージが生成されることがあります。

ユーザーの処置: プログラムを編集し、欠落している区切り文字を挿入してください。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7059I S xxxxxxxx コマンドは無効なため、変換されません。

説明: EXEC CICS コマンドが変換プログラムに認識されません。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このエラーは、単純なタイプミスのために発生した可能性があります。

このエラーは、変換プログラム・オプションが指定されていないために発生した可能性があります。例えば、プログラムに EXEC DLI コマンドが含まれている場合、DLI 変換プログラム・オプションを指定する必要があります。指定されていない場合、DLI コマンドは変換プログラムに「認識されません」。コマンドが認識されない理由を確認してください。CICS アプリケーション開発のリファレンスおよび CICS アプリケーションの開発を参照してください。

このエラーは、変換プログラムによって参照されるコマンド・テーブル (TABLE 変換プログラム・オプションによって示される) が、変換プログラム自体のレベルと一致しないために発生した可能性があります。一致するコマンド・テーブルが変換ステップの STEPLIB にあることを確認してください。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7060I E xxxxxxxx 値 'xxxxxxx' の指定が正しくありません。オプションは無視されました。

説明: 引数が、当該オプションの正しいデータ・タイプでないか、許可される値の範囲外である自己定義項で構成されています。例えば、次のコマンドの結果としてこのメッセージが出されます。

```
EXEC CICS DELAY INTERVAL('TIME')
EXEC CICS START TRANSID(MYTRAN) TIME(250000)
```

システムの処置: 無効な引数を持つオプションは拒否されます。ただし、変換プログラムは、コマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: 「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照して、引数が正しくない理由を確認してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7061I E 'xxxxxxx' の前に右括弧が想定されました。

説明: EXEC CICS コマンドで、または変換プログラムの組み込み関数 DFHRESP または DFHVALUE の使用時に、右側の括弧が省略されています。

システムの処置: 変換プログラムは、欠落している右側の括弧の正しい位置について想定します。ただし、想定された位置は正しくない位置である可能性があり、その場合は、実行時に正しくない結果が生成されたり、コンパイル・エラーが生じたりすることがあります。

例えば、PLI プログラムの以下のステートメントを考えます。

```
EXEC CICS SEND TEXT FROM(MYTEXT FREEKB ERASE;
```

変換プログラムは、欠落している右側の括弧の位置が、コマンドを区切っているセミコロンの直前であると想定します。これにより、オプション FREEKB および ERASE が FROM オプションの引数の一部になります。

以下に例について考えます。

```
STATUS = DFHVALUE(CONNECTED ;
```

欠落している括弧の位置に関する変換プログラムの想定は正しいため、この場合、組み込み関数は正しく処理されます。

ユーザーの処置: 欠落している括弧の正しい位置を確かめ、プログラムを適宜編集してください。

モジュール: DFHEIM11 DFHEIM12

宛先: SYSPRINT

DFH7062I S EXEC コマンドの構文が正しくありません。コマンドは変換されませんでした。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7063I E インプリメンテーションの制約: xxxxxxxx より多いオプションが 1 つのコマンドにあります。xxxxxxx オプションは無視されました。

説明: EXEC CICS コマンドに、引数を持つオプションが多すぎます。ほとんどのコマンドでは、引数を持つオプションの許可される数は、コマンド定義によって許可される最大の範囲内に収まります。正し、HANDLE や IGNORE コマンドなどの特定のコマンドでは、各コマンド・インスタンスで許可される最大よりも多くのオプションが許可されます。

システムの処置: オプションの最大数 (通常、16) に達すると、指定されている残りのオプションは拒否されます。言い換えると、コマンドと、最初に指定された 16 個のオプションが受け入れられます。

ユーザーの処置: 問題が HANDLE または IGNORE コマンドで発生した場合は、オプションを 2 つ以上のコマンドに分けてください。ただし、プログラムで多数

の条件を処理しようとしている場合は、RESP オプションおよび NOHANDLE オプションを使用することで、より簡単にこれを実現できます。

モジュール: DFHEIMS2 DFHEIMS3

宛先: SYSPRINT

DFH7064I W INS#1 オプションは INS#2 オプションと矛盾するため、無視されます。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7065I S xxxxxxxx オプションを使用する場合は、xxxxxxx オプションも指定してください。

説明: 他のオプションも指定する必要があることを暗黙に示すコマンドのオプションが指定されています。

このメッセージは通常、RESP2 オプションが指定されているが、RESP オプションが指定されていないことを意味します。

システムの処置: 変換プログラムはコマンドを拒否します。

ユーザーの処置: プログラムを編集し、欠落している必要なオプション (通常は RESP オプション) の指定を挿入してください。その後、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7066I I システム制御プログラムをトレースする前に、マスター・システムのトレース・フラグをオンにする必要があります。

説明:

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: 例外状態の処理については、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHEIM??

宛先: SYSPRINT

DFH7067I W 'xxxxxxx' は無効です。'xxxxxxx' が想定されました。

説明: EXEC CICS ステートメントでコマンドまたはオプションのスペルが間違っています。変換プログラムは、スペルが間違っている verb またはオプションを有効なオプションのスペルと比較するアルゴリズムを実行し、ほとんどの場合、ユーザーによって意図されたオプションを選択できます。

場合によっては、変換プログラムが、意図されないコマンドまたはオプションを選択することがあります。例えば、以下のスペルが間違ったコマンドについて考えます。

```
EXEC CICS SENT SYSTEM GMMTEXT('hello world')
```

SENT は SEND と想定されますが、ユーザーは明らかに SET をコーディングしようとしていました。

システムの処置: 変換プログラムは、スペルが間違ったコマンドまたはオプションを想定されたコマンドまたはオプションに置き換えます。

恐らく、これにより、変換プログラムはさらにエラーを検出し、追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: プログラムを編集し、スペルが間違ったコマンドまたはオプションのスペルを訂正してください。その後、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7068I S xxxxxxx オプションは、式または定数ではないデータ域を指定する必要があります。コマンドは変換されませんでした。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7069I S xxxxxxx オプションはサポートされていないため無視されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7070I S xxxxxxx オプションはサポートされていません。コマンドは変換されませんでした。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7071I I 最初の引数の値は -X'xxxxxxx' です。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7072I W xxxxxxx はリリース間で互換性がなくなる原因となる可能性があります。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7073I W CSA を介してアクセスされるフィールドはリリース間で互換性がなくなる可能性があります。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7074I S 'LENGTH' オプションは、'INTO' または 'SET' オプションを指定する必要があります。コマンドは変換されませんでした。

説明: LENGTH オプションを使用して EXEC CICS RETRIEVE コマンドが指定されていますが、SET も INTO オプションも指定されていません。SET オプションまたは INTO オプションも指定しない限り、LENGTH オプションは無効です。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このコマンドの使用法の詳細について、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してから、SET または INTO オプションを指定してコマンドを編集してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7075I S 'SYSID' オプションは、
'KEYLENGTH'、'RBA'、'XRBA'、または
'RRN' を指定する必要があることを暗示
します。コマンドは変換されませんでした。

説明: SYSID オプションがファイル制御コマンドのいずれかで指定されている場合は、RIDFLD および KEYLENGTH、または RBA、または XRBA、または RRN のいずれかも指定する必要があります。ローカル・ファイル管理テーブルは、リモート・ファイルについてこの情報を提供できません。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このコマンドの使用法の詳細について、「CICS アプリケーションの開発」を参照してから、1 つ以上の追加オプションを指定してコマンドを編集してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7076I S 'SYSID' オプションは、'**LENGTH**' を指定する必要があることを暗示します。コマンドは変換されませんでした。

説明: C または C++ プログラムにおいてファイル、一時ストレージ・キュー、または一時データ・キューに対して読み書きを行うコマンドで SYSID オプションが指定された場合、FROM または INTO オプションの指定時に LENGTH オプションを指定する必要があります。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: 必要に応じて、このコマンドの使用法の詳細について「CICS アプリケーションの開発」を参照してから、LENGTH オプションを指定してプログラムを編集してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7077I E 'xxxxxxx' は正しい言語定義テーブルではありません。

説明: 変換プログラムが言語定義テーブルをストレージにロードしましたが、テーブルが有効でないようです。変換プログラムは、テーブル内の特定のポインターに保持されているアドレスを検査し、また「目印」値も検査します。それらのいずれかに予期しない値が含まれている場合、変換プログラムはテーブルが破損しているものと見なし、このメッセージを出します。

システムの処置: テーブルには変換プログラムによって使用不可のフラグが立てられ、このテーブルに定義されているコマンドおよび組み込み関数の使用が許可されなくなります。

ユーザーの処置: この問題については、ご使用のインストール済み環境の CICS システム・プログラミング担当者にお問い合わせください。

モジュール: DFHEIM06

宛先: SYSPRINT

DFH7078I I xxxxxxxx で始まるリテラルが xxxxxxxx
を含んでいます。**(LITERAL
BEGINNING xxxxxxxx CONTAINS A
xxxxxxx.)** 引用符が含まれていない可能性
があります。

説明: PLI プログラムに、長さが 40 文字を超えているリテラルが含まれており、このリテラルでセミコロン文字が検出されました。これは、引用符が欠落していて、セミコロンの前にコーディングする必要があったことを示す可能性があります。

システムの処置: リテラルには括弧やセミコロンなどの区切り文字を含む任意の文字を正しく含めることができるため、変換プログラムはリテラルの範囲を想定できません。そのため、変換プログラムは、引用符が検出されるまで、プログラムのスキャンを続行します。

ユーザーの処置: これは単なる通知メッセージであり、プログラムが正しくコーディングされていないことを必ずしも示すわけではありません。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7079I W xxxxxxxx オプションの引数がアドレス
特定レジスターを使用していない。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

DFH7080I W • DFH7089I E

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7080I W EXEC コマンドの継続が無視されました。

説明: アセンブラー・プログラムで、EXEC CICS コマンドが次の行に継続されていますが、継続行の 1 桁目に非ブランク文字が含まれています。

システムの処置: 変換プログラムは継続標識を無視し、EXEC CICS コマンドがこの行で終了するものと想定します。次の行は、別のコマンドまたはアセンブラー・ステートメントの開始と想定されます。

ユーザーの処置: 継続標識を除去するか、継続行の 1 桁目にブランク文字を含めてください。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7081I S モジュール xxxxxxxx のロードで戻りコード xxxxxxxx が出ました。RET=YES オペランドの DOS ロード・マクロの説明を参照してください。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7082I W 数式オペランドは xxxxxxxx のオペランドとして適切ではありません。

説明:

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: 例外状態の処理については、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHEIM??

宛先: SYSPRINT

DFH7085I W %INCLUDE DFHEIBLK ステートメントが出現しました。EIB フィールドが既に生成されているためこれは削除されました。

説明: PLI プログラムに %INCLUDE DFHEIBLK ステートメントが含まれています。

システムの処置: 変換プログラムは PLI プログラムに

EIB 構造を自動的に生成します。%INCLUDE ステートメントは無視され、変換済みプログラムにはコピーされません。

ユーザーの処置: %INCLUDE ステートメントが入っている行を除去してください。

モジュール: DFHEIMSP

宛先: SYSPRINT

DFH7086I E コマンドの最後に右括弧が想定されました。

説明: アセンブラー・プログラムで、EXEC CICS コマンドで右側の括弧が省略されています。

システムの処置: 変換プログラムは、欠落している右側の括弧の正しい位置について想定します。ただし、想定された位置は正しくない位置である可能性があり、その場合は、実行時に正しくない結果が生成されたり、アセンブリー・エラーが生じたりすることがあります。

ユーザーの処置: 欠落している括弧の正しい位置を確かめ、プログラムを適宜編集してください。

モジュール: DFHEIM12

宛先: SYSPRINT

DFH7087I W 2 バイト文字の引用符の後にシフトアウト・コードがありません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7088I W 無効な ECGS リテラルである可能性があります。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7089I E 'LABEL' オプションはサポートされていないため無視されます。

説明: PLI、C、C++、または AMODE(64) プログラムで、HANDLE ABEND コマンドが LABEL オプションとともに指定されています。

システムの処置: コマンドは、変換プログラムによって拒否されます。

ユーザーの処置: HANDLE ABEND がサポートされるのは、PROGRAM オプションが PLI、C、C++、および AMODE(64) プログラムで定義されている場合のみです。

モジュール: DFHEIM12

宛先: SYSPRINT

DFH7090I E xxxxxxxx は既に定義されています。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7091I E xxxxxxxx は CICS では無効です。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7092I W POS に無効な入力があります。
xxxxxxx、xxxxxxx が想定されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7093I E xxxxxxxx が正しくありません。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7094I E xxxxxxxx が存在しない xxxxxxxx に指定されています。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7095I E xxxxxxxx は xxxxxxxx には無効です。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7096I E xxxxxxxx は xxxxxxxx では無効です。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7097I E xxxxxxxx が xxxxxxxx なしで指定されました。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7098I E xxxxxxxx の最大数を超えました。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7099I W ファイル xxxxxxxx に必要な xxxxxxxx
がありません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7100I E RQDLI コマンドの関数名 xxxxxxxx が無
効です。コマンドは変換されません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7101I S アプリケーションのタイプが適切な変換プ
ログラムによって処理されませんでした。
変換は終了しました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7102I W xxxxxxxx は **DB** ファイル仕様の
K-Line の仕様です。このファイル用に
PCB は生成されません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7103I E コマンドは、存在しないファイル名を参照
しています。ファイル名は無視されます。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7104I W 56-57 の位置に標識が必要です。'13'
が想定されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7105I W DB ファイル仕様でサポートされる
K-Line は 1 行だけです。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

**DFH7106I E INVALID CONTINUATION OF AN-
OR OR-LINES IN C-SPECS.**

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7107I E xxxxxxxx コマンドでは **AN-Line** または
OR-Line が許可されていません。コマン
ドは単一の命令コード xxxxxxxx によって
置換されます。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7108I E xxxxxxxx。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7109I E SSL の読み取りの際にエラーが発生しました。ブックの終わりの前にファイルの終わりが検出されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7110I U xxxxxxxx で検出されたファイルの終わりの位置が前過ぎます。変換は終了しました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7111I E UPSI ビット設定が正しくありません。変換プログラムの出力が **SYSPCH** に経路指定されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7112I U xxxxxxxx に割り当てられた装置が無効です。変換は終了しました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7113I E 1 つ以上の **SSA** が指定されずに **ELIST** コマンドが指定されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7114I E *ENTRY PLIST の自動生成を行うことができません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7115I E 単一の命令コード xxxxxxxx が無効です。スペックは削除されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7116I S xxxxxxxx が正しくありません。コマンドは変換されませんでした。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7200I E 'keyword' の引き数が多過ぎます。余分な引き数は無視されました。

説明: EXEC CICS コマンドで、オプションがコーディングされていますが、その引数が多すぎます。

現在、引数を持つオプションのほとんどで、単一の引数しか許可されません。このメッセージのテキストは、オプションが複数の引数 (またはサブオペランド・リスト) を持つことができるという可能性に備えたものです。

引数を持つほぼすべてのオプションに対するこのメッセージは現在、複数の引数がコーディングされているということを意味します。

システムの処置: 最初の引数は処理されますが、残りの引数は無視されます。それ以外の点では、コマンドは通常どおり処理されます。

DFH7201I S • DFH7206I E

ユーザーの処置: 余分な引数を除去して、変換ステップを繰り返してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7201I S '*keyword*' の引き数が足りません。コマンドは変換されませんでした。

説明: EXEC CICS コマンドで、オプションが定義されていますが、その引数が少なすぎます。

現在、引数を持つオプションのほとんどで、単一の引数しか許可されません。このメッセージのテキストは、オプションが複数の引数 (またはサブオペランド・リスト) を持っていて、最低限の数の引数を指定する必要があるという可能性に備えたものです。そのため、CICS の現在の実装では、このメッセージはめったに出現しません。

システムの処置: コマンド全体が拒否されます。

ユーザーの処置: 必要な追加の引数を挿入して、変換ステップを繰り返してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7202I S '*keyword*' の引数リストの構文に間違いがあります。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7203I U プリプロセッサのエラー *err* がモジュール *modname* で発生しました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7204I S '*keyword*' キーワードに *option* サブオペランドが必要です。ステートメントは変換されませんでした。

説明: EXEC CICS コマンドで、引数を指定せずにオプ

ションが定義されていますが、少なくとも 1 つの引数が必要です。

現在、引数を必要とするオプションのほとんどで、単一の引数しか許可されません。このメッセージのテキストは、オプションが複数の引数 (またはサブオペランド・リスト) を持つことができるという可能性に備えたものです。

システムの処置: コマンド全体が拒否されます。

ユーザーの処置: 必要な追加の引数を挿入して、変換ステップを繰り返してください。

モジュール: DFHEIMKW、DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7205I U 変換プログラムのためのストレージが足りません。理由は *reason* です。

説明: このメッセージは、変換プログラムで EXEC CICS コマンドを変換するための作業用ストレージが不足していることを示します。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このエラーの理由として最も可能性が高いのは、この変換の JCL EXEC ステートメントで指定されている REGION サイズが小さすぎることです。少なくとも 2M の REGION サイズが指定されていることを確認してください。

これがエラーの理由でない場合、この問題は、ご使用のインストール済み環境の CICS システム・プログラミング機能で解決してください。

モジュール: DFHEIMAB、DFHEIMG1、DFHEIMKW、DFHEIMS2、DFHEIMGM

宛先: SYSPRINT

DFH7206I E キーワード '*keyword*' にデフォルトを適用できません。

説明: 変換プログラムは、EXEC CICS コマンドのデフォルトの引数を提供できません。このメッセージは通常、FROM オプションが SEND MAP コマンドで省略されているか、INTO オプションが RECEIVE MAP コマンドで省略されている場合に出されます。

MAP オプションの引数がリテラル (つまり、自己定義引数) の場合、変換プログラムは、MAP 引数から必要な FROM または INTO 引数を生成できます。

ただし、MAP 引数がデータ参照 (つまり、MAP 名が含まれている変数の名前) の場合は、変換プログラムは、FROM または INTO 引数をデフォルト設定できず、このメッセージを出します。

システムの処置: エラーのあるオプションは無視されますが、変換プログラムはコマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: プログラムを編集して、FROM または INTO オプションの適切な指定を挿入してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7207I W 'type command' が検出されましたが、処理コマンドの変換プログラム・オプションではありません。コマンドは無視されました。

説明: 変換プログラムが潜在的な CICS コマンドを検出しましたが、「EXEC」または「EXECUTE」の後に「CICS」またはこれが CICS コマンドであることを示すその他のテキスト (「DLI」など) がありません。

変換プログラムは、「EXEC」、「CICS」、および「DLI」などのワードを「トリガー」として参照します。これは、それらによって変換プログラムのコマンド処理ルーチンが呼び出されるためです。

トリガーが変換プログラムに認識されなかった場合、このメッセージが出されます。

システムの処置: コマンドは無視され、変換されません。

ユーザーの処置: 必要なトリガーがコマンドでコーディングされていることを確認してください。

モジュール: DFHEIMTG

宛先: SYSPRINT

DFH7208I U インプリメンテーションの制限。ステートメントが長過ぎます。

説明: プログラムで多数の行に継続されているプログラム・ステートメントが変換プログラムで検出されました。変換プログラムは、ステートメント全体をバッファに読み取ろうとします。ただし、このバッファのサイズは相当な大きさであるため、通常、1 つのプログラム・ステートメントが 400 行を超えるようなことがない限り、このエラーは発生しません。

システムの処置: 変換プログラムは、このメッセージを出した後に、処理を終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、引用符の欠落などの構文エラーが原因で発生した可能性があります。この変換中に出された他のメッセージを確認してください。他のエラーを訂正すると、このエラーも訂正されることがあります。

プログラム・ステートメントが構文的に正しい場合は、

変換プログラムによって課されるバッファ・サイズの制限を回避するために、ステートメントを 2 つ以上のステートメントに分割する必要があります。各言語が使用しているコンパイラによっても同様の制限が課されることがあります。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7209I E 'option1' と 'option2' の間にブランクが想定されます。

説明: 変換プログラムが EXEC CICS コマンドで正しくないオプションを検出しましたが、ブランクを挿入した結果、正しいオプションの指定になったことを確認しました。

例えば、以下の正しくないコマンドを考えます。

```
EXEC CICS SEND MAP(MYMAP) FROM(MYMAPO) FREEKBERASE
```

変換プログラムは、「FREEKB」と「ERASE」の間にブランクを想定します。

システムの処置: 変換プログラムは、ブランクの挿入後に、コマンドの処理を続行します。ただし、コマンドの指定にそれでもエラーがある可能性があります。

ユーザーの処置: ステートメントの指定を確認し、欠落しているブランクを挿入してください (それが正しい処置である場合)。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7210I U モジュール 'modname' が見つかりませんでした。ライブラリーを調べてください。

説明: 変換プログラムは、言語定義テーブルなどのコンポーネントをロードしようとしたのですが、コンポーネントが、変換プログラムのこの実行で使用するために指定されているライブラリーのいずれでも検出されませんでした。

システムの処置: 変換プログラムは処理を続行しようとします。欠落しているコンポーネントが言語定義テーブルである場合は、そのテーブルで指定されているコマンドはいずれも、この変換プログラムの実行で使用できません。そのため、恐らく、変換は失敗します。

ユーザーの処置: 変換で使用するジョブ制御ステートメントを確認してください。ご使用のインストール済み環境の CICS システム・プログラミング機能で提供されているプロシージャーを使用している場合、この問題は、そこで解決してください。

独自のジョブ・ストリームを構成した場合、このメッセージで示されている欠落しているコンポーネントが含ま

DFH7211I U • DFH7216I W

れているライブラリーを JOBLIB または STEPLIB ステートメントが参照していることを確認してください。

モジュール: DFHEIM15

宛先: SYSPRINT

DFH7211I U モジュール '*modname*' のロードに必要なストレージが十分ではありません。大きな区画で再変換してください。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7212I E '*option*' はステートメントに指定された他のキーワードと矛盾します。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7213I E '*keyword*' キーワードのサブオペランド '*option*' はリテラルでなければなりません。

説明: 引数は、リテラルとしてコーディングする必要があり、オプションに含まれるのが文字引数なのか算術引数なのかに応じて、適切なデータ・タイプでなければなりません。

システムの処置: 現在の実装では、すべての引数をデータ参照にすることが許可されるため、変換プログラムがこのメッセージを出すことはありません。リテラル (つまり、自己定義項) のみにすることができる引数はありません。

ユーザーの処置: この問題は、ご使用のインストール済み環境の CICS システム・プログラミング機能で解決してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7214I E '*option*' が無効です。理由コード = *reasoncode*。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7215I W '*keyword*' キーワードのサブオペランド '*option*' はデータ・タイプ文字でなければなりません。

説明: 引数がリテラル値 (つまり、自己定義項) としてコーディングされていますが、リテラルは、予期される文字定数ではなく、数値項または長さの参照になっています。

例えば、以下の正しくないステートメントにより、このメッセージが出されます。

```
EXEC CICS SEND MAP(1234567)
```

システムの処置: これによってコンパイル時または実行時にエラーが発生する場合でも、この引数は受け入れられます。

ユーザーの処置: 必要に応じて「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、必要なタイプのリテラルをコーディングしてください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7216I W '*keyword*' キーワードのサブオペランド '*option*' はデータ・タイプ演算でなければなりません。

説明: 引数がリテラル値 (つまり、自己定義項) としてコーディングされていますが、リテラルは、予期される算術項ではなく、文字定数になっています。

例えば、以下の正しくないコマンドにより、このメッセージが出されます。

```
EXEC CICS DELAY INTERVAL('TIME')
```

システムの処置: 引数は処理のこの時点では受け入れられます。ただし、その後、引数はメッセージ 7060 で拒否されます。

ユーザーの処置: 必要に応じて「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、必要なタイプのリテラルをコーディングしてください。

上記の例では、'*TIME*' がデータ参照 ('*TIME*' という名前の変数への参照) として意図されている場合、囲んで

いる引用符を除去してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7217I S '*option*' の最初のサブオペランドはヌルであってはなりません。コマンドは変換されませんでした。

説明: 引数がヌル引数としてコーディングされています。少しだけ例外はありますが、ヌル引数は、有効な引数として予期されていません。

例えば、次のステートメントには、変換プログラムによって拒否されるヌル引数が含まれています。

```
EXEC CICS SEND TEXT FROM(      ) LENGTH( )
```

システムの処置: コマンド全体が拒否されます。

ユーザーの処置: 必要に応じて「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、必要なタイプの引数をコーディングしてください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7218I S '*option*' のサブオペランドはヌルであってはなりません。コマンドは変換されませんでした。

説明: この EXEC CICS コマンドで、オプションは引数のリスト (つまり、複数のサブオペランド) を指定して定義できますが、指定されている項目のいずれもヌル引数にすることは許可されません。

このメッセージは、リスト内の最初の引数以外の 1 つ以上の引数がヌル引数である場合に出されます。現在、引数を持つオプションのほとんどで、単一の引数しか許可されません。このメッセージのテキストは、オプションが複数の引数 (またはサブオペランド・リスト) を持つことができるという可能性に備えたものです。

したがって、CICS の現在の実装では、このメッセージはめったに出されません。

システムの処置: ステートメント全体が拒否されます。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストで示されているオプションのすべての引数が非ヌルであることを確認してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7219I E '*option1*' の前に、必要な '*option2*' が想定されました。

説明: EXEC DLI コマンド構文では、「第 2」オプションとして定義されているオプションがいくつかあります。これは、「第 2」オプションが EXEC DLI ステートメントでコーディングされている場合は、その前に関連付けられている「第 1」オプションがなければならないことを意味します。この第 2 オプションは、「PCB」、「PARENT」、「UNIQUE」、「NEXT」、および「CHECKPOINT」です。

システムの処置: 変換プログラムは、必要な先行オプションが存在しているものと想定します。例えば、先行する「USING」がない「PCB」が検出された場合、「USING」オプションが想定されます。

ユーザーの処置: 必要な「第 1」オプションが「第 2」オプションの前にコーディングされた状態にしてください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7220I E 複数回出現した '*keyword*' キーワードは無視されます。

説明: EXEC CICS コマンドで、引数を持つ同じオプションが複数回指定されています。

システムの処置: 変換プログラムは、オプション指定の最初のインスタンスを処理し、すべての追加インスタンスを無視します。

以下に例について考えます。

```
EXEC CICS SEND TEXT FROM(TEXT1) LENGTH(80) FROM(TEXT2)
```

変換プログラムは、FROM の指定として FROM(TEXT1) を使用し、FROM(TEXT2) を無視します。

ユーザーの処置: オプション指定のどのインスタンスが必要なのかを判別し、他のすべてのインスタンスを削除してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7221I U インプリメンテーションの制限 - テーブルが複雑過ぎます。*data*。

説明: このメッセージは、メッセージ 7119 の後に出されることがありますが、極めて多数のオプションが EXEC DLI ステートメントで指定されている場合、または変換プログラムの実行で指定されている REGION サイズが小さすぎる場合にのみ発生します。

DFH7222I E • DFH7226I S

このメッセージは一切出されないものと予期されています。

システムの処置: 変換プログラムは、コマンド全体を拒否します。

ユーザーの処置: この問題は、引用符の欠落などの構文エラーが原因である可能性があります。変換プログラムによって出された他のメッセージを調べてください。プログラム内の別のエラーを解決すると、この問題も解決することがあります。JCL プロシージャで適切な REGION サイズが指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7222I E 'keyword' キーワードのあとにサブオペランドがあつてはならず、これは無視されます。

説明: EXEC CICS コマンドで引数を指定してオプションがコーディングされていますが、このオプションには引数はありません。

システムの処置: この引数は無視され、変換プログラムはステートメントの処理を続行します。

例えば、以下のステートメントを考えます。

```
EXEC CICS SEND TEXT FROM(MYTEXT)
LENGTH(80) ERASE(SCREEN)
```

ERASE の後の引数「SCREEN」は無視されます。

ユーザーの処置: 正しくない引数の指定を削除してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7223I E 'option' の後にブランクが想定されます。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7224I E 'option2' オペランドの中に option1 がありません。オペランドは無視されました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7225I W 'keyword' キーワードのサブオペランド 'option' は長過ぎで、切り捨てられます。

説明: 文字リテラルが EXEC コマンドの引数としてコーディングされていますが、リテラルが引数に指定されている長さを超えています。

システムの処置: 引数は、文字ストリングの右端から文字を除去して切り捨てられます。

例えば、以下のステートメントを考えます。

```
EXEC CICS SEND MAP('HUURSLEY')
```

マップ名の長さは 7 文字でなければならないため、文字ストリング「HUURSLEY」は「HUURSLE」に切り捨てられます。変換プログラムは、この切り捨てられたマップ名を使用して、ステートメントの処理を続行します。

ユーザーの処置: 恐らく、切り捨てられた値は意図した値でなく、ランタイム・エラーが発生します。

当該引数に必要な正しい長さを判別するには、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。その後、正しい長さのリテラルを再コーディングしてください。

モジュール: DFHEIMKW、DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7226I S 'keyword' キーワードのサブオペランド 'option' は式や定数ではなく、データ参照でなければなりません。コマンドは変換されませんでした。

説明: 引数がリテラル (つまり、自己定義項) として定義されていますが、このオプションでは、データ参照タイプの引数が必要です。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このエラーの例は、次のとおりです。

```
EXEC CICS SEND MAP('MYMAP ') FROM('Hello')
```

ここで、FROM オプションはデータ参照でなければなりません。

上記のコマンドは、以下のように正しくコーディングする必要があります。

```
EXEC CICS SEND MAP('MYMAP ') FROM(MYMAP0)
```

モジュール: DFHEIMKW、DFHEIMS1、DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7227I E *option* の構文が無効です。理由は別のメッセージに示されます。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7228I E キーワード '*keyword*' のサブオペランド '*option*' は **ID** でなければなりません。

説明: このエラーは、EXEC DLI ステートメントにおいて、フィールド名が WHERE ステートメントで正しくコーディングされていない場合にのみ発生する可能性があります。

以下の例では、このメッセージが出されます。

```
WHERE(IGNORANCE = 'BLISS')
```

フィールド名「IGNORANCE」が数字で始まっているためです。

システムの処置: 正しくないフィールド名は変換プログラムで受け入れられますが、これにより、恐らく、変換済みプログラムのコンパイルが失敗します。

ユーザーの処置: フィールド名を編集して英字で始まるようにしてから、変換プログラムのステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7229I S '*option1*' は必須ですが、*option2* に対して指定されていません。コマンドは変換されませんでした。

説明: 必須のオプションが EXEC CICS コマンドで省略されており、変換プログラムがデフォルトの指定を行うことができません。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: このエラーの例は、次のとおりです。

```
EXEC CICS SEND TEXT ERASE
```

FROM オプションが省略されていますが、必須です。

欠落しているオプションの適切な指定をコーディングしてから、変換ステップを再度実行してください。

モジュール: DFHEIMXK

宛先: SYSPRINT

DFH7230I E '*option1*' は '*option2*' と矛盾し、無視されました。

説明: EXEC CICS コマンドで相互に排他的なオプションが指定されています。

システムの処置: EXEC CICS コマンドで先に出現したオプションが受け入れられ、後のオプションは無視されます。その後、変換プログラムは、コマンドの通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: このエラーの例は、次のとおりです。

```
EXEC CICS SEND PAGE RELEASE RETAIN
```

ここでは、変換プログラムは RELEASE オプションを受け入れますが、RETAIN オプションを無視します。コマンドで相互に排他的なオプションのいずれが必要なのかを判別し、競合するオプションの指定を除去してください。

モジュール: DFHEIMXK

宛先: SYSPRINT

DFH7231I E '*option1*' は *option2* に無効で、無視されます。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7232I S '*option1*' は '*option2*' の長さを指定する必要があります。

説明: 長さを指定する必須オプションが EXEC CICS コマンドで省略されており、また変換プログラムが、そのオプションのデフォルト指定を提供できません。

システムの処置: CICS API には、長さを指定する多くのオプションが含まれています。これらのオプションは通常、当該コマンド内の別のオプションで指定された可変長文字引数の長さを指定します。

例えば、EXEC CICS WRITEQ TS コマンドでは、LENGTH オプションは、FROM 引数の長さを指定します。

変換プログラムは通常、オプション間のこの関連を認識しているため、長さの指定をデフォルト設定できます。ただし、関連する引数がデータ参照である場合、変換プ

DFH7233I E • DFH7238I S

プログラムが長さの引数をデフォルト設定できるかどうかは、ユーザー・プログラムのプログラミング言語によって異なります。

言語が C または C++ の場合、変換プログラムはこのメッセージを出し、コマンド全体を拒否します。「C」言語は「sizeof」関数を提供しますが、これは、該当する言語でサポートされる一部のデータ・タイプで使用できません。

ユーザーの処置: EXEC CICS コマンドで適切な長さの指定をコーディングしてから、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIMAB DFHEIMXS

宛先: SYSPRINT

DFH7233I E 'argument' はこの位置にあってはなりません。キーワードは無視されました。

説明: *argument* の指定は、このコンテキストでは正しくありません。

システムの処置: エラーのあるキーワードは、変換プログラムによって無視されます。

ユーザーの処置: EXEC CICS コマンドで適切なキーワード引数をコーディングしてから、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIMG1, DFHEIMG2, DFHEIMG3, DFHEIMG4, DFHEIMG5, DFHEIMXS

宛先: SYSPRINT

DFH7234I S キーワード 'FROMLENGTH' にデフォルトを適用できません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7235I E *option* が *number* 回より多く出現しています。(MORE THAN *number* OCCURRENCES OF *option*.) 超過分は無視されました。

説明: EXEC DLI コマンドで SEGMENT オプションが 15 回を超えてコーディングされています。

システムの処置: SEGMENT オプションの超過インスタンスは拒否されます。変換プログラムは、コマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: このエラーは、引用符の欠落や他の構文エラーの結果として生じる可能性があります。

15 を超えるセグメントをコマンドに含める場合は、詳細情報について関連する IMS 資料を参照してください。

モジュール: DFHEIMG1

宛先: SYSPRINT

DFH7236I S キーワード 'LENGTH' にデフォルトを適用できません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7237I S 'command option' のあとの構文に誤りがあります。コマンドは変換されませんでした。

説明: 「EXEC」や「CICS」などのトリガーの後に、構文的に正しくないテキストが変換プログラムで検出されました。変換プログラムは、別の「トリガー」またはコマンドの指定を予期しています。

システムの処置: コマンド全体が拒否され、変換されません。

ユーザーの処置: このエラーは、以下の例のように、タイプミスである可能性があります。

EXEC CICS INQUIRE PROGRAM('MYPROGGY')

ここで、INQUIRE は、「I」ではなく「1」と入力されています。

変換プログラムは、この位置には「識別子」が見つかることを予期します。識別子は英字で始まる必要があり、残りの文字は英字または数字でなければなりません。テキストは、リテラルとしてコーディングしては (引用符で囲んでは) なりません。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7238I S 'type' コマンドは、*language* で作成されたプログラムでは使用できません。コマンドは無視されました。

説明: このプログラムが作成された言語では、EXEC CICS コマンドはサポートされません。

システムの処置: コマンド全体が拒否され、変換されません。

ユーザーの処置: CICS の現行の実装では、この制限は GDS コマンドにのみ適用されます。GDS コマンドは、COBOL または PLI のどちらのプログラムでも使用できません。

GDS コマンドは、アセンブラー、C、および C++ プログラムでコーディングできます。

モジュール:

DFHEIMSA、DFHEIMSC、DFHEIMSD、DFHEIMSP

宛先: SYSPRINT

DFH7239I W CSA オプションのサポートは終了しました。**CICS** が戻した **CSA** アドレスは無効で、使用してはなりません。

説明: EXEC CICS ADDRESS コマンドで CSA オプションが指定されています。

システムの処置: CSA オプションは、変換プログラムによって受け入れられます。ただし、プログラムの実行時に、プログラムを実行している CICS システムのレベルが CICS/ESA 3.1.1 または以前のバージョンの CICS でない限り、返される CSA アドレスは無効になります。

ユーザーの処置: 変換プログラムは、下位互換性を提供するために (つまり、CICS の現行リリース・レベルと以前のリリース・レベルの両方での実行が意図されたプログラムを最新レベルの変換プログラムで処理できるように)、このオプションを受け入れます。

CICS/ESA 3.1.1 より後のレベルの CICS システムで使用されたときに、このオプションを使用した結果として生じる正しくない処理に対する責任は、ユーザーが負うことになります。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7250I S 'unit' オプションは必須ですが、指定されていません。

説明: EXEC CICS コマンドに

「AT」、「AFTER」、「FOR」、または「UNTIL」オプションが含まれていますが、必須である

「HOURS」、「MINUTES」、「SECONDS」のいずれのオプションも指定されていません。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換されません。

ユーザーの処置: コマンド構文の詳細な説明について「CICS アプリケーションの開発」を参照してから、ア

プリケーション・プログラムで適切な変更を行ってください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7251I E フィールド長のオペランドが、対応する **WHERE** 文節内の比較演算子より多く存在します。超過分は無視されました。

説明: EXEC DLI コマンドで、FIELDLENGTH オプションに、先行する WHERE オプション内の修飾ステートメントの数よりも多くの式が含まれています。

以下のステートメントでは、このエラーが発生します。

```
EXEC DLI GU SEGMENT(PATIENT)
WHERE(PATNO>PATNO1 AND NAME=PATN)
FIELDLENGTH(3,4,8)
```

システムの処置: 超過分の長さは無視されます。

変換プログラムは、修飾ステートメントと長さを左から右に読み取って突き合わせます。上記の例では、長さ 8 は一致せず、無視されます。

ユーザーの処置: コマンド構文の詳細な説明について関連する IMS リファレンス・マニュアルを参照してから、アプリケーション・プログラムで適切な変更を行ってください。

モジュール: DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7252I E 'option' に対するブールの最大数に達しましたが、さらにテキストが検出されました。**'text'** は無視されました。

説明: EXEC DLI コマンドで、WHERE オプションに含まれているブール (論理) 演算子 (「AND」や「OR」など) が多すぎます。変換プログラムは、各 WHERE オプションでブール演算子は 11 個までという制限を設定しています。これにより、12 個の修飾ステートメントを接続できます。

システムの処置: WHERE オプションの残りのテキストは無視されます。

ユーザーの処置: コマンド構文の詳細な説明について関連する IMS リファレンス・マニュアルを参照してから、アプリケーション・プログラムで適切な変更を行ってください。

モジュール: DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7253I E 'option' オペランドの中に修飾ステートメントがありません。オペランドは無視されました。

説明: EXEC DLI コマンドで、WHERE オプションがブール演算子で終わっています。

ブール演算子の後には、修飾ステートメントを続ける必要があります。以下の例では、このメッセージが出されます。

```
WHERE(DOCTOR = 'SPOCK' OR DOCTOR = 'NO ' AND)
```

「AND」の後に修飾ステートメントが続いていないためです。

システムの処置: WHERE 引数の最後にあるブール演算子は無視されます。

ユーザーの処置: ブール演算子を除去するか、演算子の後に適切な修飾ステートメントをコーディングしてください。

コマンド構文の詳細な説明について関連する IMS リファレンス・マニュアルを参照してから、アプリケーション・プログラムで適切な変更を行ってください。

モジュール: DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7254I E 'option' オペランドの中に比較演算子がありません。オペランドは無視されました。

説明: EXEC DLI コマンドで、WHERE オプションに、比較演算子を持たない修飾ステートメントが含まれています。

以下の例では、このメッセージが出されます。

```
WHERE(DOCTOR 'SPOCK' OR DOCTOR = 'NO ')
```

これは、'DOCTOR' と 'SPOCK' の間に比較演算子がないためです。

システムの処置: 正しくない修飾ステートメントとそれに続くブール演算子は無視されます。上の例では、WHERE オプションは、以下に削減されます。

```
WHERE(DOCTOR = 'NO ')
```

ユーザーの処置: 正しくない修飾ステートメントに適切な比較演算子を挿入してください。

コマンド構文の詳細な説明について関連する IMS リファレンス・マニュアルを参照してから、アプリケーション・プログラムで適切な変更を行ってください。

モジュール: DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7255I E 'keyword' キーワードの引き数に比較演算子が含まれていません。キーワードは無視されました。

説明: EXEC DLI ステートメントで、WHERE オプションに 1 つのオペランドだけが含まれており、他のテキストがありません。

以下の例では、このメッセージが出されます。

```
WHERE(DOCTOR)
```

これは、フィールド名「DOCTOR」の後に比較演算子も値もないためです。

システムの処置: WHERE オプション全体が無視されます。

ユーザーの処置: コマンド構文の詳細な説明について関連する IMS リファレンス・マニュアルを参照してから、アプリケーション・プログラムで適切な変更を行ってください。

モジュール: DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7256I S 'function' の指定が不完全で、変換されません。

説明: プログラム・ステートメントが DFHRESP や DFHVALUE などの変換プログラム組み込み関数を参照していますが、関数参照の後に左括弧が続いていません。

システムの処置: 組み込み関数の指定を変換することはできません。

ユーザーの処置: DFHRESP または DFHVALUE の後には、それぞれ条件名または CVDA 名を続ける必要があります。またその名前を括弧で囲まなければなりません。

変換プログラムの組み込み関数の使用法の説明について、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7257I S 'function' が認識されず、変換されません。

説明: プログラム・ステートメントが DFHRESP や DFHVALUE などの変換プログラム組み込み関数を参照していますが、関数参照の後に、変換プログラムに認識される条件名または CVDA 名が続いていません。

システムの処置: 組み込み関数の指定を変換することはできません。

ユーザーの処置: 有効な条件 CVDA について詳しくは、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。

EXEC CICS コマンドで条件が発生する可能性がある場合、それぞれのコマンドの説明で、このコマンドのコンテキストにおける関連する条件とその意味のリストが示されます。

EXEC CICS コマンドに、CVDA を使用して引数を表現または解釈できるオプションが含まれている場合、コマンドの説明で、各オプションに有効な CVDA が示されます。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7258I S 'option1' は 'option2' に対する引き数として無効で、変換されません。

説明: プログラム・ステートメントが DFHRESP や DFHVALUE などの変換プログラム組み込み関数を参照していますが、関数参照の後に識別子の形式のテキストが続いていません。有効な識別子は、最初の文字が英字で、残りの文字が英字または数字であるテキスト・ストリングです。ストリングは、引用符で囲んではなりません。

システムの処置: 組み込み関数の指定を変換することはできません。

ユーザーの処置: このエラーは、以下のようなステートメントによって引き起こされます。

```
IF MYRESP = DFHRESP('INVREQ') ....
```

これは、DFHRESP の引数がリテラルとしてコーディングされているためです。また、以下のステートメントでもこのエラーが引き起こされます。

```
IF STATUS = DFHVALUE(228) .....
```

これは、DFHVALUE の引数が算術値であるためです。

DFHRESP および DFHVALUE 組み込み変換プログラム関数の使用方法について詳しくは、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7259I S キーワード 'INS#2' のオペランド 'INS#1' は、**COBOL** には無効です。データ値ではなく、データ域を指定する必要があります。コマンドは変換されませんでした。

説明: COBOL プログラムで、引数がデータ値としてコ

ーディングされていますが、データ参照としてコーディングする必要があります。

COBOL プログラムで引数がデータ値 (つまり、リテラルまたは自己定義項) としてコーディングされている場合、その引数は、変換プログラムによって生成された「呼び出し」ステートメントで、「内容によって」渡されます。

このエラーは、「内容によって」渡すことができないタイプのデータの場合に発生し、データ・タイプがポインターである場合にのみ発生する可能性があります。

システムの処置: EXEC CICS コマンドは拒否され、変換されません。

ユーザーの処置: このエラーは、以下のようなステートメントによって引き起こされます。

```
EXEC CICS FREEMAIN DATAPOINTER(54560) END-EXEC.
```

ここで、DATAPOINTER オプションの引数はデータ参照 (つまり、プログラム内の変数への参照) でなければならず、データ値であってはなりません。GETMAINed ストレージのアドレスをコンパイル時に把握することはできないので、いずれにせよ、このステートメントが成功することはないと思われます。

モジュール: DFHEIMAC

宛先: SYSPRINT

DFH7260I S DECLARATIVES セクションの処理でエラーがありました。**END OF DECLARATIVES** の前に **END OF FILE** がありました。

説明: COBOL プログラムで、変換プログラムによって DECLARATIVES セクションが検出されましたが、後続の END-DECLARATIVES ステートメントが検出されませんでした。

システムの処置: DECLARATIVES ステートメントの後に続く EXEC CICS コマンドは認識されず、変換もされません。

ユーザーの処置: END-DECLARATIVES ステートメントをプログラム内の適切な位置にコーディングする必要があります。

なお、COBOL で作成された CICS アプリケーションで使用する場合、DECLARATIVES の使用には制限があります。詳しくは、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHEIM10

宛先: SYSPRINT

DFH7261 W 'ins#1' のサポートは終了していますが、変換されました。

説明: 廃止されたオプションが EXEC CICS ステートメントに指定されています。

システムの処置: 廃止されたオプションは、変換プログラムによって受け入れられ、このオプションを完全にサポートする旧リリースの CICS と同じように処理されました。ただし、実行時には、このオプションの指定は無視されます。

ユーザーの処置: 変換プログラムは、下位互換性を提供するために (つまり、CICS の現行リリース・レベルと以前のリリース・レベルの両方での実行が意図されたプログラムを最新レベルの変換プログラムで処理できるように)、このオプションを受け入れます。

オプションが廃止されている CICS システムで使用されたときに、このオプションの実行時サポートの除去が原因で発生する可能性がある予期しない結果に対する責任は、ユーザーが負うことになります。

変換済みプログラムを以前のレベルの CICS で実行することを意図していない場合は、不要な警告メッセージが変換プログラムによって出されないようにするために、廃止されたオプションの指定を除去してください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7262I S 変換プログラム・オプション 'INS#1' は必須ですが、指定されていません。コマンドは変換されませんでした。

説明: EXEC CICS コマンドが変換プログラムによって認識されましたが、特定の変換プログラム・オプションが指定されていない限り許可されません。

例えば、プログラムに EXEC CICS INQUIRE コマンドが含まれているにもかかわらず、変換プログラム・オプション「SP」が指定されていない場合などです。

システムの処置: EXEC CICS コマンドは拒否され、変換されません。

ユーザーの処置: メッセージの一部として示されているオプションを指定してください。必要に応じて、変換プログラム・オプションの指定方法について、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール:

DFHEIMSA、DFHEIMSC、DFHEIMSD、DFHEIMSP

宛先: SYSPRINT

DFH7263I W 単一バイト文字のスキャンでシフトイン・コードが検出されました。シフトアウト・コードが欠落している可能性があります。

説明: これが COBOL プログラムで、変換プログラム・オプション DBCS が有効になっているため、またはこれが PLI プログラムで、GRAPHIC オプションが有効になっているため、変換プログラムが入力プログラム内の DBCS データを検証しています。

シフトアウト文字 (16 進コード X'0F') が SBCS データで検出されました。

システムの処置: 正しくないデータは変換済みプログラムにコピーされます。これにより、恐らく、コンパイラの警告またはエラーが発生します。

ユーザーの処置: 変換済み出力がコンパイルされた場合、コンパイラ・リスト内のすべてのメッセージを注意深く確認してください。

ただし、最も安全な処置としては、予期しないシフトアウト文字の理由を判別し、プログラムを適宜変更してから、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7264I W 2 バイト文字のスキャンでシフトアウト・コードが検出されました。シフトイン・コードが欠落している可能性があります。

説明: これが COBOL プログラムで、変換プログラム・オプション DBCS が有効になっているため、またはこれが PLI プログラムで、GRAPHIC オプションが有効になっているため、変換プログラムが入力プログラム内の DBCS データを検証しています。

シフトイン文字 (16 進コード X'0E') が DBCS データで検出されました。

システムの処置: 正しくないデータは変換済みプログラムにコピーされます。これにより、恐らく、コンパイラの警告またはエラーが発生します。

ユーザーの処置: 変換済み出力がコンパイルされた場合、コンパイラ・リスト内のすべてのメッセージを注意深く確認してください。

ただし、最も安全な処置としては、予期しないシフトイン文字の理由を判別し、プログラムを適宜変更してから、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7265I E 右マージンにある文字のあとにシフトイン・コードがあります。ブランクが想定されます。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7266I E DBCS 文字は右マージンで開始することはできません。ブランクが想定されます。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFH7267I W 2 バイト文字のスキャンで **END OF FILE** が検出されました。シフトイン・コードが欠落している可能性があります。

説明: これが COBOL プログラムで、変換プログラム・オプション DBCS が有効になっているため、またはこれが PLI プログラムで、GRAPHIC オプションが有効になっているため、変換プログラムが入力プログラム内の DBCS データを検証しています。

変換プログラムがソース・プログラムの終わりに達しましたが、まだ「DBCS モード」です。

システムの処置: 正しくないデータは変換済みプログラムにコピーされます。これにより、恐らく、コンパイラの警告またはエラーが発生します。

ユーザーの処置: DBCS データ・ストリングがシフトアウト文字 (16 進コード x'0F') で終了していません。

欠落しているシフトアウト文字を挿入してから、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIM01、DFHEIM15

宛先: SYSPRINT

DFH7268I S 2 バイト文字のスキャンで右マージンが検出されました。シフトイン・コードが欠落している可能性があります。

説明: これが COBOL プログラムで、変換プログラム・オプション DBCS が有効になっているため、またはこれが PLI プログラムで、GRAPHIC オプションが

有効になっているため、変換プログラムが入力プログラム内の DBCS データを検証しています。

このメッセージが出された場合、変換プログラムは DBCS ストリングをスキャンして、行の右側のマージンに達しましたが、シフトイン文字を検出しませんでした。どちらのコンパイラでも、シフトイン文字とシフトアウト文字が、使用されている各プログラム行で「一致するペア」としてコーディングされている必要があります。

システムの処置: 最後の (または唯一の) シフトアウト文字と右マージンの間には 1 文字または 2 文字しかないので、DBCS ストリングに十分なスペースがありません。変換プログラムは、変換済みプログラムにコピーされるデータから、シフトアウト文字と、シフトアウト文字に続く 1 文字または 2 文字をともに除去します。

ユーザーの処置: 変換済みプログラムは構文的には正しくなっていますが、恐らく、データ・ストリングはアプリケーションの目的から見て正しくないものになっています。

正しくないデータを調べ、プログラムに適切な変更を行い、変換ステップを再実行してください。

DBCS ストリングのコーディングに関するルールについては、関連するプログラミング言語リファレンス・マニュアルを参照してください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7269I S 2 バイト文字のスキャンで右マージンが検出されました。シフトイン・コードが想定されます。

説明: これが COBOL プログラムで、変換プログラム・オプション DBCS が有効になっているため、またはこれが PLI プログラムで、GRAPHIC オプションが有効になっているため、あるいはこれが C または C++ プログラムであるため、変換プログラムが入力プログラム内の DBCS データを検証しています。

このメッセージが出された場合、変換プログラムは DBCS ストリングをスキャンして、行の右側のマージンに達しましたが、シフトイン文字を検出しませんでした。コンパイラでは、各 DBCS ストリングがプログラム内の単一行に含まれている必要があります。

システムの処置: COBOL および PLI で作成されたプログラムの場合、変換プログラムは、行内の最後または最後から 2 番目の文字をシフトイン文字に置き換えて、シフトアウトとシフトインの間に偶数の数の文字が配置されるようにします。

以下の例では、< はシフトアウトを表し、> はシフトイ

DFH7270I S • DFH7272I E

ンを表し、「」は x'42' を表しています。行が以下のデータ文字で終了している場合を考えます。

<.A.B.C.D

変換プログラムは、上記ストリングを以下に変換します。

<.A.B.C>D

行が以下のデータ文字で終了している場合を考えます。

<.E.F.G.

変換プログラムは、上記ストリングを以下に変換します。

<.E.F.G>

C 言語で作成されたプログラムの場合、変換プログラムは、右マージンにシフトイン文字が存在しているものと想定しますが、正しくないデータ・ストリングを変換済みプログラムにコピーします。

ユーザーの処置: 変換済みプログラムは構文的には正しい可能性があります、恐らく、データ・ストリングはアプリケーションの目的から見て正しくないものになっています。

正しくないデータを調べ、プログラムに適切な変更を行い、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIM11、DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7270I S シフトアウト・コードのあと、シフトイン・コードの前に奇数個のバイトがありました。シフトイン・コードが移動されました。

説明: これが COBOL プログラムで、変換プログラム・オプション DBCS が有効になっているため、またはこれが PLI プログラムで、GRAPHIC オプションが有効になっているため、変換プログラムが入力プログラム内の DBCS データを検証しています。

このメッセージが出された場合は、変換プログラムが DBCS ストリングをスキャンしていて、このストリングを区切るシフトアウト文字とシフトイン文字の間に奇数の数の文字を検出しました。

システムの処置: 変換プログラムはシフトイン文字を移動し、シフトイン文字の直前にある文字と位置を入れ替えます。

以下の例では、「<」はシフトアウトを表し、「>」はシフトインを表し、「」は x'42' を表しています。

行に以下の DBCS ストリングが含まれている場合を考えます。

<.A.B.C.>

変換プログラムは、上記ストリングを以下に変換します。

<.A.B.C>.

上記が変換済みプログラムに入れられます。

ユーザーの処置: DBCS ストリングはこれで構文的には正しくなっていますが、恐らく、データ・ストリングはアプリケーションの目的から見て正しくないものになっています。

変換プログラムの処置が原因で、DBCS データに続く SBCS データも正しくない可能性があります。

正しくないデータを調べ、プログラムに適切な変更を行い、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7271I E 'option' のあとのデータはフィールド名の一部と見なされず、無視されます。おそらく、フィールド名を引用符で囲む必要があります。

説明: EXEC DLI ステートメントで、WHERE 節のフィールド名のスペルが間違っているか、フィールド名の後に正しくないデータが続いています。

以下の例では、このメッセージが出されます。

WHERE (DOCTOR% = 'SPOCK')

これは、英数字ではなく、「%」がコーディングされているためです。

システムの処置: 変換プログラムは、正しくないテキストを破棄し、コマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: ソース・プログラムを編集して、フィールド名内またはフィールド名の後の正しくないデータを変更または除去してください。

モジュール: DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7272I E フィールド値のあとに、ブール演算子または右括弧がなければなりません。'option' は無視されます。

説明: EXEC DLI ステートメントの WHERE オプションで、ブール演算子が省略されているかスペルが間違っています。

以下の例では、このメッセージが出されます。

WHERE (DOCTOR = 'SPOCK' OF DOCTOR = 'NO ')

ここで、ユーザーは「OR」ではなく「OF」とコーディングしています。

システムの処置: 変換プログラムは、スペルが間違っているか欠落しているブール演算子の後に英字以外が検出されるまで、このエラーを診断できません。次の英字以外のものは通常、次の修飾ステートメントの比較演算子です。

この結果、変換プログラムは、欠落しているかスペルが間違っているブール演算子の直前から開始している値フィールドを誤解釈し、スペルが間違っているか欠落しているブール演算子の後の修飾ステートメントを拒否します。

ユーザーの処置: 適切なブール演算子を挿入するか、正しくコーディングしてください。

コマンド構文の詳細な説明について関連する IMS リファレンス・マニュアルを参照してから、アプリケーション・プログラムで適切な変更を行ってください。

モジュール: DFHEIMS1

宛先: SYSPRINT

DFH7273I W DBCS 文字の 2 番目のバイトにシフトイン・コードがありました。シフトインが受け入れられました。

説明: 変換プログラムが、C または C++ プログラムで DBCS データを検証しています。このメッセージが出された場合は、変換プログラムが DBCS スtring をスキャンしていて、このStringを区切るシフトアウト文字とシフトイン文字の間に奇数の数の文字を検出しました。

システムの処置: 変換プログラムはデータを変更せずに変換済みプログラムに移動します。

ユーザーの処置: 正しくないデータを調べ、プログラムに適切な変更を行い、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIM14

宛先: SYSPRINT

DFH7274I W 無効な DBCS 文字が検出されました。これは受け入れられます。

説明: 変換プログラムが、C または C++ プログラムで DBCS データを検証しています。このメッセージが出された場合は、変換プログラムが DBCS String をスキャンしていて、無効な DBCS 文字を検出しました。

有効な DBCS 文字には、値 X'4040' が含まれている

か、X'41' 以上 X'FE' 以下の範囲の値が各バイトに含まれている必要があります。

システムの処置: 変換プログラムはデータを変更せずに変換済みプログラムに移動します。

ユーザーの処置: 正しくないデータを調べ、プログラムに適切な変更を行い、変換ステップを再実行してください。

モジュール: DFHEIM11

宛先: SYSPRINT

DFH7275I S 表意定数値 *constant* は、キーワード *keyword* の必須の引き数のデータ・タイプ '**PACKED INTEGER**' と互換ではありません。

説明: COBOL プログラムで、表意定数が、バイナリー・データ値を取るオプションの引数としてコーディングされています。

しかし、変換プログラムは、バイナリー引数に対して ZERO 表意定数 (または同等の定数 ZEROS および ZEROES) のみを受け入れます。

システムの処置: 変換プログラムはコマンドを拒否します。

ユーザーの処置: 表意定数を正しいデータ・タイプの引数に置き換えてください。

モジュール: DFHEIMAC

宛先: SYSPRINT

DFH7276I S 表意定数値 *constant* は、キーワード *keyword* の必須の引き数のデータ・タイプ '**BINARY INTEGER**' と互換ではありません。

説明: COBOL プログラムで、表意定数が、パック 10 進データ値を取るオプションの引数としてコーディングされています。

しかし、変換プログラムは、パック 10 進引数に対して ZERO 表意定数 (または同等の定数 ZEROS および ZEROES) のみを受け入れます。

システムの処置: 変換プログラムはコマンドを拒否します。

ユーザーの処置: 表意定数を正しいデータ・タイプの引数に置き換えてください。

モジュール: DFHEIMAC

宛先: SYSPRINT

DFH7277I S EXEC コマンドがクラス **ID**
PROCEDURE DIVISION にあります。
コマンドは変換されません。

説明: COBOL プログラムで、EXEC CICS コマンドが
クラスの PROCEDURE DIVISION に配置されていま
す。

COBOL コンパイラーでは、クラス内の実行可能コード
は許可されません。オブジェクト指向 COBOL プログ
ラムでは、EXEC CICS コマンドは、メソッドの
PROCEDURE DIVISION に配置する必要があります。

システムの処置: 変換プログラムはコマンドを拒否しま
す。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、COBOL の
資料を参照してください。

モジュール: DFHEIMSC

宛先: SYSPRINT

DFH7278I W EXEC コマンドは領域 **A** 内で開始して
はなりません。これは領域 **B** で検出され
たかのように処理されます。

説明: COBOL プログラムで、EXEC CICS コマンドが
領域 **A** に配置されています (つまり、12 桁目より前に
開始しています)。

変換プログラムは EXEC CICS コマンドを 1 つの
COBOL CALL ステートメントおよび 1 つ以上の
MOVE ステートメントに変換します。これらはすべ
て、領域 **B** にコーディングする必要があります。

システムの処置: 変換プログラムは通常、各 EXEC
CICS コマンドと同じ桁で開始するようにステートメン
トを生成します。ただし、このエラーが発生した場合、
変換プログラムは、生成された CALL および MOVE
ステートメントを領域 **B** に配置します (つまり、12 桁
目から開始します)。

ユーザーの処置: EXEC コマンドを領域 **B** に配置して
ください。

モジュール: DFHEIMSC

宛先: SYSPRINT

DFH7279I E 引用符またはアポストロフィが文字ストリ
ング区切り文字として使用されました。こ
れは有効な区切り文字オプションではありません。
この使用は受け入れられません。

説明: 文字ストリング区切り文字として使用されている
文字が、有効な区切り文字オプションと競合しているた
め、拒否されました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換され
ません。

ユーザーの処置: 文字ストリング区切り文字を訂正し、
トランザクション・ステップを再度実行してください。

モジュール: DFHECMAC

宛先: SYSPRINT

DFH7280I E EXEC CICS INQUIRE コマンドの必須
キーワードが省略されています。欠落キー
ワードは *keyword* です。

説明: EXEC CICS INQUIRE コマンドの必須キーワー
ドが省略されており、変換プログラムがデフォルト値を
選択できません。

システムの処置: コマンドはリジェクトされ、変換され
ません。

ユーザーの処置: EXEC CICS INQUIRE コマンドです
べての必須のキーワードをコーディングし、変換ステッ
プを再度実行してください。

モジュール: DFHEIMS2

宛先: SYSPRINT

DFH7281I S 変換プログラムの規則で許可されない
xxxxxxx コマンドが見つかりました。コ
マンドは変換されませんでした。

説明: parmlib メンバー DFHAPIR の変換プログラム
規則によって許可されていないコマンドが見つかりまし
た。

システムの処置: コマンドは無視され、変換されませ
ん。

ユーザーの処置: ご使用のシステムの CICS システ
ム・プログラマーによって、アプリケーション・プログ
ラムでのコマンドの使用が許可されていません。コマン
ドを許可する必要がある場合は、システム・プログラマ
ーにお問い合わせください。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7282I W 変換プログラムの規則で使用が推奨さ
れない xxxxxxx コマンドが見つかりまし
た。

説明: parmlib メンバー DFHAPIR の変換プログラム
規則によって警告メッセージが必要となるフラグが立て
られているコマンドが見つかりました。

システムの処置: コマンドは通常どおり変換されます。

ユーザーの処置: ご使用のシステムの CICS システ

ム・プログラマーによって警告のフラグが立てられているコマンドが見つかりました。これが行われた理由をシステム・プログラマーに確認してください。プログラムからこのコマンドを削除することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7283I S 変換プログラムの規則で許可されない
xxxxxxx キーワードが見つかりました。
コマンドは変換されませんでした。

説明: parmlib メンバー DFHAPIR の変換プログラム規則によって許可されていないキーワードを含んだコマンドが見つかりました。

システムの処置: コマンドは無視され、変換されません。

ユーザーの処置: ご使用のシステムの CICS システム・プログラマーによって、アプリケーション・プログラムでのキーワードの使用が許可されていません。コマンドを許可する必要がある場合は、システム・プログラマーにお問い合わせください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7284I W 変換プログラムの規則で使用が推奨されない xxxxxxxx キーワードが見つかりました。

説明: parmlib メンバー DFHAPIR の変換プログラム規則によって警告メッセージが必要となるフラグが立てられているキーワードを含んだコマンドが見つかりました。

システムの処置: コマンドは通常どおり変換されます。

ユーザーの処置: ご使用のシステムの CICS システム・プログラマーによって警告のフラグが立てられているキーワードが見つかりました。これが行われた理由をシステム・プログラマーに確認してください。プログラムからこのコマンドを削除することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7286I S 変換プログラムの規則で許可されない
xxxxxxxx xxxxxxxx が含まれるコマンドが
見つかりました。コマンドは変換されませんでした。

説明: parmlib メンバー DFHAPIR の変換プログラム

規則によって許可されていないコマンドが見つかりました。

システムの処置: コマンドは無視され、変換されません。

ユーザーの処置: ご使用のシステムの CICS システム・プログラマーによって、アプリケーション・プログラムでのコマンドの使用が許可されていません。コマンドを許可する必要がある場合は、システム・プログラマーにお問い合わせください。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7287I W 変換プログラムの規則で使用が推奨されない xxxxxxxx xxxxxxxx が含まれるコマンドが見つかりました。

説明: parmlib メンバー DFHAPIR の変換プログラム規則によって警告メッセージが必要となるフラグが立てられているコマンドが見つかりました。

システムの処置: コマンドは通常どおり変換されます。

ユーザーの処置: ご使用のシステムの CICS システム・プログラマーによって警告のフラグが立てられているコマンドが見つかりました。これが行われた理由をシステム・プログラマーに確認してください。プログラムからこのコマンドを削除することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHEIMAN

宛先: SYSPRINT

DFH7289I S IBM の規定で許可されない xxxxxxxx キーワードが見つかりました。コマンドは変換されませんでした。

説明: IBM によって許可されていないキーワードを含んだコマンドが見つかりました。

システムの処置: コマンドは無視され、変換されません。

ユーザーの処置: IBM によって、アプリケーション・プログラムでのキーワードの使用が許可されていません。IBM から指示された場合を除き、このコマンドは使用しないでください。

モジュール: DFHEIMKW

宛先: SYSPRINT

DFH7290 I 変換プログラムの警告メッセージが発行されました (**TRANSLATOR WARNING MESSAGE ISSUED**)

説明: parmlib メンバー DFHAPIR の変換プログラム規則によって警告メッセージが必要となるフラグがコマンドに立てられたために、変換プログラムから警告メッセージが出されました。

システムの処置: 変換ステップは戻りコード 4 で戻り

DFHACnnnn メッセージ

DFHAC2001 *date time applid* Transaction '*trandid*' is not recognized. Check that the transaction name is correct.

説明: トランザクション *trandid* は、インストール済みトランザクション定義として存在していないか、使用禁止になっているか、または無効文字が含まれています。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なトランザクション ID を入力してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHAC2002 *date time applid* To use this transaction *trandid* you must sign on or have the right security level.

説明: デフォルト *userid* を使用してサインオンされていますが、この *userid* は要求されたトランザクションへのアクセス権を持っていません。

システムの処置: CICS は、呼び出されたトランザクションの初期設定を行いません。他の処理は続行され、メッセージ DFHAC2003 が宛先 CSMT に送られます。

ユーザーの処置: 許可 *userid* を使用してサインオンを行います。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

ますが、ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: parmlib メンバー DFHAPIR で指定されているようにプログラミング規則を守ってください。

モジュール: DFHEIMAN DFHEIMKW

宛先: コンソール

DFHAC2003 *date time applid* Security violation has been detected term id = *termid*, trans id = *trandid*, userid = *userid*.

説明: ユーザー ID *userid* を持つオペレーターが、そのユーザーに許可されていない端末 *termid* でトランザクション *trandid* を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、呼び出されたトランザクションの初期設定を行いません。メッセージ

DFHAC2002 またはメッセージ DFHAC2033 のいずれかが端末オペレーターに送られます。他の CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 以前に出された CSCS ログ上のメッセージ DFHXS1111 内の *userid* を参照して、トランザクション *trandid* を呼び出そうとしている人の ID およびその目的を判断してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *userid*

宛先: CSMT

DFHAC2004 *time applid* Transaction *trandid* has failed with abend AKCC. Resource backout was successful.

説明: トランザクション *trandid* は、異常終了コード AKCC で異常終了しました。

システムの処置: トランザクション (タスク) は除去されます。

ユーザーの処置: トランザクションを再実行依頼してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2005 *time applid Transaction tranid has failed with abend abcode.*

説明: トランザクション *tranid* は、INDOUBT(WAIT) または INDOUBT(COMMIT) とともに定義され、しかもパートナー APPC システムと通信が行われていました。明示的または暗黙的な同期点で、そのセッションが INDOUBT 時にセッション障害が発生しました。すぐに同期のやり直しが行われましたが、完了することができませんでした。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。指定変更されない限り、リモート・システムが使用可能なときには APPC 再同期の再試行が行われます。

ユーザーの処置: 詳しくは、異常終了コード *abcode* を参照してください。必要な場合、異常終了の原因を取り除いた後で、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2006 *date time applid Transaction tranid program program_name abend primary_abcode at termid.*

説明: システムは、トランザクション *tranid* を実行することができませんでした。*termid* は、トランザクション *tranid* を開始した端末を識別しています。関連する端末がない場合、*termid* は『????』と表示されます。プログラム *programe* は最高レベル・プログラムで、インストール済みプログラム定義から取り出されたものです。*abcode* は CICS 異常終了コードです。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 問題の解決方法の詳細と説明については、異常終了コード *abcode* を参照してください。コードが存在しない場合は、そのコードは EXEC CICS ABEND ABCODE (*abcode*) コマンドにより生成されたユーザー・コードです。このコマンドは、ユーザー・プログラムまたは IBM プログラム (たとえば、プログラミング言語ライブラリー・モジュール) により出されます。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *primary_abcode*
7. *termid*

宛先: CSMT

DFHAC2007 *date time applid Transaction tranid cannot run as CICS shutdown is in progress.*

説明: トランザクション *tranid* は、システム静止中には実行できません。

システムの処置: システムは静止モードになっています。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

ユーザーの処置: CICS が通常の実行モードになっているときにトランザクションを入力し直すか、トランザクション・リスト・テーブル (XLT) 内にこのトランザクション用の項目を入れてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2008 *date time applid Transaction tranid has been disabled and cannot be used.*

説明: 端末 *tranid* が使用禁止になっています。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* が使用不可になったことを、この分野の担当プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2009 *date time applid Invalid non-terminal transaction tranid.*

説明: トランザクション *tranid* が入力されました。このトランザクションに関連付けられた端末がありません。トランザクション *tranid* は使用禁止のトランザクションであるか、システム静止時に実行できないトランザクションである可能性があります。あるいは、無効なトランザクション ID が入力されている可能性もあります。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* が無効である理由を突き止めて、これを訂正してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHAC2010 *time applid Transaction tranid is not executable on terminal termid.*

説明: トランザクション *tranid* の定義に指定したオプションと、端末 *termid* DFHTCT テーブル項目に指定したオプションとの間に矛盾が検出されました。たとえば、トランザクション *tranid* が VTAM 端末の使用のために予約されているが、非 VTAM 端末から入力を受け取った場合がこれに該当します。

システムの処置: 入力を無視します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* を端末 *termid* から入力しなければならない場合は、DVSUPRT のインストール済みトランザクション定義の値が DFHTCT 項目と互換性があることを確認してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2012 *date time applid Remote transaction tranid cannot be run on the local system.*

説明: トランザクション *tranid* は、リモート・トランザクションとして指定されています。実行中の CICS

システムに MRO/ISC が定義されていないか、トランザクション定義に指定されたリモート・システム名がローカル・システムの名前と同じであるため、トランザクションをリモート・システムへ経路指定する試みが失敗しました。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 次のことを確認してください。

- MRO/ISC サポートが正しく定義されているか。
- リモート・トランザクション定義が正しいか。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2014 *date time applid Transaction tranid is not executable because system sysid is not available.*

説明: トランザクション *tranid* は、リモート・トランザクションとして指定されています。リンクがサービス休止状態であるために、トランザクションをリモート・システムへ経路指定する試みが失敗しました。

このメッセージは、リモート・システムの接続定義で QUEUELIMIT と MAXQTIME が指定され、キューに入れられた割り振りが拒否された場合にも出されます。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: リンクが使用可能になるまで待機します。

QUEUELIMIT および MAXQTIME が指定され、このメッセージが頻繁に発生する場合は、「相互通信ガイド」の『システム間のセッション・キューの管理』セクションを参照してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2015 *date time applid Console consname* **has not been defined to CICS. Input is ignored.**

説明: *consname* という名前のコンソールのコンソール・オペレーターが CICS 領域に対する MODIFY コマンドを出しましたが、そのコンソールの端末定義が領域にインストールされておらず、コンソールの自動インストールは使用不可です。

システムの処置: このコンソールからの MODIFY コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡し、RDO を使用して、コンソールの名前に一致するコンソール定義を定義してインストールするか、コンソールの自動インストールを使用可能にもらってください。システム・プログラマーは、DFHCONxx の CONSNAME を指定して TERMINAL 定義を定義するか、プールされるコンソールの数を増やすことによってプールされたコンソールを使用することもできます。

モジュール: DFHACP、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *consname*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHAC2016 *date time applid Transaction tranid* **cannot run because program programname is not available.**

説明: トランザクション *tranid* 用の初期プログラムが使用できないため、トランザクション *tranid* を実行することができません。考えられる原因は次のとおりです。

1. プログラムが欠落している。
2. インストール済みプログラム定義が欠落している。
3. プログラムが使用不能である。
- 4.

インストール済みトランザクション定義のプログラム名が無効である。

5. インストール済みトランザクションがリモートとして定義されているため、プログラム名はないが、リモート・システムの名前がローカル・システムの名前と同じである。
6. プログラムでは JVM を実行する必要があるが、JVM の初期設定に失敗した。
7. プログラムをロードしようとしているときに自動インストール・プログラムが異常終了した。
8. プログラムでは JVM サーバーを実行する必要があるが、JVM サーバーが使用可能でない。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 説明 に示されているリストから、エラーの原因を判別してください。応答は、その理由によって次のように異なります。

1. プログラムを CICS プログラム・ライブラリーにロードする。
2. そのプログラム用にインストール済みプログラム定義を作成する。
3. プログラムを使用可能にする。
4. インストール済みトランザクション定義に有効なプログラム名を使用する。
5. 次のいずれか該当する処置を実行する。
 - このトランザクションのローカル・バージョンを使用する。
 - このトランザクションの正しいリモート・バージョンを使用する。
 - 正しいシステムにログオンし、トランザクションを再試行する。
- 6.

JVM プログラムについて CSMT ログで JVM の初期設定が失敗した理由に関する詳細情報を確認する。

7.

ジョブ出力で自動インストール・プログラムが異常終了した理由に関する詳細情報を確認する。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *programname*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2017 *date time applid Transaction transid cannot run because terminal profile profname for the transaction is not available.*

説明: トランザクション *transid* 用の端末プロファイルが使用できないため、このトランザクションを実行することができません。これは、端末プロファイルが定義されていないか、またはインストールされていないためです。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーもしくはシステム管理担当者に知らせてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *profname*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2018 *date time applid An unrecognized Process Initialization Parameter (PIP) has been received in ATTACH for transaction transid.*

説明: CICS が、無効な処理初期設定パラメーター

(PIP) を持つ LU タイプ 6.2 付加ヘッダーを受け取りました。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: CICS は、そのタスク生成要求を拒否します。

ユーザーの処置: 受け取られた PIP データとその関連汎用データ・ストリーム (GDS) ヘッダーを調べて、これらのパラメーターが無効である理由を判別してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2019 *date time applid Transaction transid does not support unmapped conversations.*

説明: トランザクション *transid* が、非マップ式会話にアクセスするために汎用データ・ストリーム (GDS) の使用を要求するタスク生成要求を受け取りましたが、トランザクション *transid* が GDS インターフェースの使用をサポートしていません。

システムの処置: CICS は、そのタスク生成要求を拒否します。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

ユーザーの処置: 付加ヘッダーを送り出したサブシステムを調べて、正しいトランザクションが要求されたかどうかを確認してください。要求が正しかった場合には、CICS トランザクション定義を調べてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2020 *time applid* **The conversation type requested by node *netname* was not recognized.**

説明: CICS が、TYPE=MAPPED または TYPE=UNMAPPED ではない付加ヘッダーで会話タイプ・フィールドを受け取りました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2021 *time applid* **An unsupported Data Blocking Algorithm (DBA) field in the attach Function Management Header (FMH) has been received from node *netname*.**

説明: 受信した付加ヘッダーに、予約済みデータ・ブロック化アルゴリズム (DBA) フィールドの値が含まれていました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2022 *date time applid* **Transaction *tranid* has initiated an incorrect sync point level request.**

説明: 要求された *synclevel* がバインド要求で折衝された *synclevel* と一致しないか、あるいは *synclevel* 2 が要求されたがログ名が交換されませんでした。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加ヘッダーを送り出したサブシステムを検査して、正しいトランザクションが要求されていることを確認してください。正しいトランザクションが要求されている場合には、CICS トランザクション定義を調べる必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHAC2023 *time applid* **An invalid sync point level has been requested by node *netname*.**

説明: 付加ヘッダーで要求された同期レベルは、使用されたセッションでは無効です。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。付加ヘッダー内の同期レベルの値とバインドの値を比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2024 *date time applid* **A request from node *netname* has invalid security parameters.**

説明: 受け取られた付加ヘッダーが、バインドに指定してある必要なセキュリティ・パラメーターと一致しませんでした。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。
 ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。付加ヘッダー内の ACC 要件の値とバインドの値を比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2025 *time applid* An invalid Unit of Work Identification (UOWID) has been supplied by node *netname*.

説明: 受け取られた付加ヘッダーに、無効な作業単位 ID (UOWID) が入っていました。形式が間違っていたか、同期点レベルが UOWID を要求したときに UOWID が受け取られなかったかのいずれかです。会話相関子が必要なときにそれが指定されていない場合にも、このエラーが起きることがあります。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。UOWID/ 会話相関子の値と付加ヘッダー内の同期点レベルを比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2026 *time applid* An invalid Function Management Header (FMH) has been supplied by node *netname*.

説明: 付加ヘッダー内の長さフィールドが無効でした。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を検査して、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2027 *date time applid Transaction tranid* does not support conversation restart.

説明: CICS は、再始動を要求する LU タイプ 6.2 付加ヘッダーを受け入れません。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加ヘッダーを送り出したサブシステムを検査し、再始動が要求された理由を判別してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2028 *date time applid Transaction tranid* cannot be used and has been ignored.

説明: トランザクション・コード CSAC または CESC が端末から入力されました。This is not allowed.

システムの処置: トランザクションが CSAC の場合、トランザクションは影響なく実行されます。トランザクションが CESC の場合、トランザクションは、異常終了コード ATOA で異常終了します。

ユーザーの処置: これらのトランザクションが端末から入力されていないことを確認してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2029 *date time applid Transaction tranid* is not executable. The system specified by the dynamic routing program is unavailable.

説明: トランザクション *tranid* が、リモートかつ動的なものとして指定されています。動的ルーティング・プログラムが指定したリモート・システムに、トランザクション *tranid* を動的にルーティングする試みが失敗しました。これは、リンクが使用できないためです。

このメッセージは、動的ルーティング・プログラムによって指定されたりリモート・システムの接続定義で QUEUELIMIT と MAXQTIME が指定され、キューに入れられた割り振りが拒否された場合にも出されます。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: リンクが使用可能になるまで待機し、もう一度トランザクションの動的な経路指定を試みてください。

QUEUELIMIT および MAXQTIME が指定され、このメッセージが頻繁に発生する場合は、「相互通信ガイド」の『システム間のセッション・キューの管理』セクションを参照してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2030 *date time applid All sessions are busy.*
Please try again.

説明: トランザクション *tranid* が、リモートかつ動的なものとして指定されています。すぐに使用できるセッションがないため、動的ルーティング・プログラムが指定したリモート・システムに、トランザクション *tranid* を動的にルーティングする試みが失敗しました。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セッションが使用可能になるまで待機し、もう一度トランザクションの動的な経路指定を試みてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHAC2031 *date time applid Automatic signon of operator of console consname has failed.*

説明: *consname* という名前のコンソールのコンソール・オペレーターが CICS 領域に対して MODIFY コマンドを出しましたが、コンソールは USERID(*FIRST) または USERID(*EVERY) で定義されています。CICS がオペレーターを自動的にサインオンしようとしたとき、サインオンが拒否されました。

システムの処置: このコンソールからの MODIFY コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡し、RACF (または同等の外部セキュリティ・マネージャ) を使用して、(ログの他のメッセージで識別される) コンソールで使用されているユーザー ID に、当該コンソールに対する正しいアクセス権限を付与してもらってください。

モジュール: DFHACP、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *consname*

宛先: CSML および端末エンド・ユーザー

DFHAC2032 *date time applid CICS autoinstall for console consname has failed.*

説明: *consname* という名前のコンソールのコンソール・オペレーターが CICS 領域に対する MODIFY コマンドを出しましたが、そのコンソールの端末定義が領域にインストールされておらず、その自動インストールが失敗しました。

システムの処置: このコンソールからの MODIFY コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに通知し、CICS システムのログで異常終了およびメッセージを探して、障害を調査してもらってください。MVS コンソールの自動インストールの実装については、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHACP、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *consname*

宛先: CSML

DFHAC2033 *time applid You are not authorized to use transaction tranid. Check that the transaction name is correct.*

説明: オペレーターが許可されていないトランザクション *tranid* を実行しようとしたか、または、別のトランザクションが、この端末用には許可されていないトランザクション *tranid* を開始しようとした。

システムの処置: その他の処理を続行します。メッセージ DFHAC2003 が CSMT に送られます。

ユーザーの処置: オペレーターがトランザクション *tranid* を実行しようとした理由を判別するか、許可されたトランザクション ID を入力してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2034 *time applid CICS Logic Error. An invalid error code has been passed to DFHACP. Transaction: tranid Terminal: termid.*

説明: 無効なエラー・コードが DFHACP に渡されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、トランザクション *tranid* は終了します。ダンプ・コードは AACA です。メッセージ DFHAC2035 が CSMT に送られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2035 *date time applid An invalid error code has been passed to DFHACP. Transaction tranid is terminated. Terminal termid.*

説明: 無効なエラー・コードが DFHACP に渡されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、トランザクション *tranid* は終了します。トランザクション・ダンプが取られます。ダンプ・コードは AACA です。メッセージ DFHAC2034 が端末ユーザーに送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*

宛先: CSMT

DFHAC2036 *date time applid Transaction tranid has failed with abend AKCC. Resource backout was successful.*

説明: トランザクション *tranid* が AKCC で異常終了しました。

システムの処置: トランザクション (タスク) は除去されます。

ユーザーの処置: あとでトランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHAC2037 *date time applid Transaction tranid is not executable on terminal termid.*

説明: トランザクション *tranid* の定義に指定したオプションと、端末 *termid* DFHTCT テーブル項目に指定したオプションとの間に矛盾が検出されました。たとえば、トランザクション *tranid* が VTAM 端末の使用のために予約されているが、非 VTAM 端末から入力を受け取った場合がこれに該当します。

システムの処置: 入力を見捨てます。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* を端末 *termid* から入力しなければならない場合は、DVSUPRT のインストール済みトランザクション定義の値が DFHTCT 項目と互換性があることを確認してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*

宛先: CSMT

DFHAC2038 *date time applid* **The conversation type requested by node *netname* was not recognized.**

説明: CICS が、TYPE=MAPPED または TYPE=UNMAPPED ではない付加ヘッダーで会話タイプ・フィールドを受け取りました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2039 *date time applid* **An unsupported Data Blocking Algorithm (DBA) field in the attach Function Management Header (FMH) has been received from node *netname*.**

説明: 受信した付加ヘッダーに、予約済みデータ・ブロック化アルゴリズム (DBA) フィールドの値が含まれていました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2040 *date time applid* **An invalid sync point level has been requested by node *netname*.**

説明: 付加ヘッダーで要求された同期レベルは、使用されたセッションでは無効です。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。付加ヘッダー内の同期レベルの値とバインドの値を比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2041 *date time applid* **An invalid Unit of Work Identification (UOWID) has been supplied by node *netname*.**

説明: 受け取られた付加ヘッダーに、無効な作業単位 ID (UOWID) が入っていました。形式が間違っていたか、同期点レベルが UOWID を要求したときに UOWID が受け取られなかったかのいずれかです。会話相関子が必要なときにそれが指定されていない場合にも、このエラーが起きることがあります。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。UOWID/ 会話相関子の値と付加ヘッダー内の同期点レベルを比較する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2042 *date time applid* **An invalid Function Management Header (FMH) has been supplied by node *netname*.**

説明: 付加ヘッダー内の長さフィールドが無効でした。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2043 *date time applid* **Transaction has been rejected - CICS system is being recovered. Please wait for completion of recovery.**

説明: CICS システムが XRF の引き継ぎまたは持続セッション再始動に続くセッションのリカバリー処理中に、トランザクションを開始する要求を受け取りました。このエラーは DFHZSUP によって検出され、これにより DFHACP がこのメッセージを出します。

宛先 CSMT は、非端末トランザクションの場合に限り使用されることに注意してください。

システムの処置: この端末に要求されるリカバリー通知に従って、システムはリカバリー・メッセージを送るか、この端末の *typeterm* 定義の RECOVNOTIFY オプションに指定されたリカバリー・トランザクションを開始します (詳細については、「リソースの定義」を参照)。

ユーザーの処置: ユーザーは、リカバリー通知を受け取った後で操作を続行することができます。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

106 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

宛先: 端末エンド・ユーザーおよび CSMT

DFHAC2044 *date time applid* **An error occurred while trying to send SYNCPOINT ROLLBACK to terminal *termid*.**

説明: SYNCPOINT ROLLBACK 要求を送る試みが行われました。要求の送信元が非ゼロ戻りコードを受け取りました。

システムの処置: 端末 *termid* について ABORT 処理が開始されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースを使用して、SYNCPOINT ROLLBACK 要求からの戻りコードの値を見つけてください。IRC の場合、戻りコードの意味については、マニュアル「CICS Data Areas」を参照してください。

モジュール: DFHZIS1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHAC2045 *date time applid* **CICS autoinstall for console *consname* was rejected by the autoinstall control program.**

説明: *consname* という名前のコンソールのコンソール・オペレーターが CICS 領域に対する MODIFY コマンドを出しましたが、そのコンソールの端末定義が領域にインストールされておらず、自動インストール・プログラムがインストール要求を拒否したため、その自動インストールが失敗しました。

システムの処置: このコンソールからの MODIFY コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡し、このコンソールのインストールを許可するように自動インストール・プログラムを変更してもらってください。

モジュール: DFHACP、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *consname*

宛先: CSMT

DFHAC2047 *date time applid* **While performing an attach for node *netname* a security violation was detected.**

説明: セキュリティ問題のために、リモート・トランザクションのタスク生成要求が失敗しました。トランザクション接続要求ヘッダーから抽出されたセキュリティ・フィールドがリモート・システムのユーザーにサインオンするためにセキュリティ・ドメインに渡されましたが、サインオン呼び出しが失敗しました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHSN1604 など、TDQ CSCS に書き込まれた直前のセキュリティ・メッセージを参照してください。直前のメッセージが発行されていなかった場合は、トレースを検査してサインオンが失敗した原因を判断してください。トランザクション接続要求ヘッダーで渡されているユーザー ID、パスワード、またはプロファイルが有効かどうかを確認してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHAC2050 *time applid* **An invalid function management header (FMH) has been supplied by node *netname*.**

説明: 付加ヘッダー内のアクセス・セキュリティ情報長さフィールドが無効です。

システムの処置: 無効な FMH5 を含む例外トレース項目が出されます。そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダーの妥当性を調べて、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2051 *date time applid* **An invalid Function Management Header (FMH) has been supplied by node *netname*.**

説明: 付加ヘッダー内のアクセス・セキュリティ情報の長さフィールドが無効でした。

システムの処置: 無効な FMH5 を含む例外トレース項目が出されます。そのタスク生成要求が拒否されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加機能管理ヘッダー (FMH) の妥当性を調べて、障害が起こったサブシステムを識別する必要があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2052 *time applid* **While performing an attach for node *netname* a security violation was detected.**

説明: 付加 FMH5 でパスワードが要求されましたが、そのパスワードが見つかりません。ユーザー ID は見つかりましたが、タスク生成で検査済み (AV) または持続サインオン先 (PV1) が指定されていないため、パスワードは存在するはずです。

システムの処置: 無効な FMH5 をトレースする例外トレース項目が出されます。そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加ヘッダーを送ったサブシステムを調べて、パスワードが送られなかった理由を調べてください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2053 *date time applid* **While performing an attach for node *netname* a security violation was detected.**

説明: 付加 FMH5 でパスワードが要求されましたが、そのパスワードが見つかりません。ユーザー ID は見つかりましたが、タスク生成で検査済み (AV) または持続サインオン先 (PV1) が指定されていないため、パスワードは存在するはずです。

システムの処置: 無効な FMH5 をトレースする例外トレース項目が出されます。そのタスク生成要求が拒否されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

DFHAC2054 • DFHAC2057

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。付加ヘッダーを送ったサブシステムを調べて、パスワードが送られなかった理由を調べてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2054 *time applid* **You are not authorized to access this system.**

説明: リモート・システムに送り出された付加ヘッダーが、バインドに指定してある要求されたセキュリティ・パラメーターに一致しませんでした。

システムの処置: タスク生成要求はリモート・システムによって拒否され、セッションがアンバインドされます。リモート・システムは、CSMT のメッセージ DFHAC2055 および CSNE のメッセージ DFHZC4946 を出します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。タスク生成要求が失敗した理由を調べてください。診断情報についての詳細は、リモート・システムによって出される CSMT のメッセージ DFHAC2055 および CSNE のメッセージ DFHZC4946 を参照してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2055 *date time applid* **An attach request from node *netname* has sent BIND/FMH5 security data that is invalid.**

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。しかし、FMH 付加パラメーターにエラーがあります。バインド・セキュリティ標識が許可していないタスク生成パラメーターが存在しています。

システムの処置: タスク生成要求が拒否され、セッションがアンバインドされます。コンポーネント TF の例外トレース・ポイント (番号 1737) が出され、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) をトレースします。CSNE のメッセージ DFHZC4946 には、障害の原因を識別するのに便利なセンサ情報があります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: リモート・システムにあるエラーの原

因を調べてください。例外トレース中の FMH5 を使用して、リモート・システムが無効なタスク生成要求を送信した理由を判別してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2056 *time applid* **You are not authorized to access this system.**

説明: リモート・システムに送られた付加ヘッダーが APPC プロトコルと一致しませんでした。

システムの処置: タスク生成要求はリモート・システムによって拒否され、セッションがアンバインドされます。リモート・システムは、CSMT にメッセージ DFHAC2057 および CSNE にメッセージ DFHZC4947 を生成します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。タスク生成要求が失敗した理由を調べてください。診断情報についての詳細は、リモート・システムによって出される CSMT のメッセージ DFHAC2057 および CSNE のメッセージ DFHZC4947 を参照してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2057 *date time applid* **While performing an attach for node *netname* a security violation was detected.**

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。しかし、FMH 付加パラメーターが APPC プロトコルと一致していません。

システムの処置: タスク生成要求が拒否され、セッションがアンバインドされます。コンポーネント TF の例外トレース・ポイント (番号 1737) が出され、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) をトレースします。メッセージ DFHZC4947 が出されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: リモート・システムにあるエラーの原因を調べてください。例外トレース中の FMH5 を使用して、リモート・システムが無効なタスク生成要求を送信した理由を判別してください。CSNE のメッセー

ジ DFHZC4947 には、障害の原因を識別するのに便利なセンス情報があります。

リモート・システムが旧リリースの CICS か、別のプラットフォームの CICS の場合、USEDFTUSER を設定しなければならない場合があります。「CICS セキュリティー」の Attach Time Security and the USEDFTUSER option を参照してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSMT

DFHAC2058 *date time applid A severe error has occurred.* プログラム DFHRMXN3 をロードできなかったため、システム・タスク CSKP を実行できませんでした。

説明: 活動キープポイント・タスク CSKP を実行しようとしたが、プログラム DFHRMXN3 をロードできなかったため、そうすることができませんでした。

考えられる原因は次のとおりです。

1. DFHRMXN3 を含むライブラリーが DFHRPL で欠落している。
2. DFHRMXN3 が DFHRPL 内のライブラリーで欠落している。

システムの処置: CICS は例外トレース項目を作成し、システム・ダンプを取り、メッセージ DFHAC2058 をコンソールおよび CSMT に書き込みます。CICS は処理を続行しますが、システム・ログ管理が大幅に損なわれます。

ユーザーの処置: CICS をシャットダウンすることを強くお勧めします。DFHRMXN3 をロードできなかった理由を調べて、問題を解決したら CICS を再始動してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHAC2201 *time applid Transaction tranid has lost contact with its coordinator system during syncpoint processing and has abended with code ASP1.* 接続が復元されるまで、作業単位は中断されます。
condmsg

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。同期点のコーディネーターはこの CICS システムではなく、リモートです。

「未確定ウィンドウ」と呼ばれる同期点処理の臨界期にトランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。

トランザクション定義 (WAIT YES) に従って、作業単位は完了していませんが、コーディネーター・システムとの再同期の待機が許可されます。そのトランザクションは、異常終了コード ASP1 で異常終了します。作業単位は中断され、コーディネーター・システムに戻るのを待機します。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2231 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常、異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: None. 作業単位によって実行された更新は、コーディネーターとの再同期が行われると自動的に解決されます。

あるいは、ユーザーは、作業単位をコミットまたはバックアウトするように求める CEMT 要求を行うことで、コーディネーター・システムとは関係なく、更新の解決を強制することもできます。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2202 *time applid Transaction tranid has lost contact with its coordinator system during syncpoint processing and has abended with code ASPO.* 更新は、すべて一方でコミットされます。*condmsg*

説明: 「未確定ウィンドウ」と呼ばれる同期点処理の臨界期にトランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。そのトランザクションは、異常終了コード ASPO で異常終了します。

トランザクション定義 (WAIT NO および ACTION COMMIT) に従って、作業単位によって実行されるすべてのリカバリー可能な更新が、一方的にコミットされます。なお、コーディネーター・システムが変更をコミッ

トまたはバックアウトする可能性があるため、更新の整合性は失われることがあります。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2232 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: None. トランザクション定義に従って、すべての更新が一方的にコミットされます。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2203 *time applid Transaction tranid has lost contact with its coordinator system during syncpoint processing and has abended with code ASPP.* 更新は、すべて一方でバックアウトされます。

condmsg

説明: 「未確定ウィンドウ」と呼ばれる同期点処理の臨界期にトランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。そのトランザクションは、異常終了コード ASPP で異常終了します。

トランザクション定義 (WAIT NO および ACTION BACKOUT) に従って、作業単位によって実行されるすべてのリカバリー可能な更新が、一方的にバックアウトされます。なお、コーディネーター・システムが変更をコミットまたはバックアウトする可能性があるため、更新の整合性は失われることがあります。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2233 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: None. トランザクション定義に従って、すべての更新が一方的にバックアウトされます。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2204 *time applid A commit failure has occurred during syncpoint processing for transaction tranid.* *condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのローカル・リソース (例えば、ファイル、一時ストレージ、一時データ) が更新されました。ローカル・リソ

ース所有者の同期点プロトコルのフェーズ 2 でコミット障害が発生しました。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2234 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。EXEC CICS SYNCPOINT の場合、処理は正常に完了し、処理は次の作業単位に進みます。EXEC CICS RETURN の場合、トランザクションは正常に完了します。

コミット障害の影響を受けたリソースはロックされたままになり、作業単位は中断されます。

ユーザーの処置: ローカル・リソース所有者によって出力された前のメッセージを参照して、コミット障害の原因を判別してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2205 *time applid A backout failure has occurred during syncpoint processing for transaction tranid.* *condmsg*

説明: 作業単位をバックアウトしようとしたますが、バックアウト障害が発生しました。バックアウト障害が発生したローカル・リソース所有者の場合、作業単位によって更新されたリソースはロックされたままになります。その他のリソースはすべてバックアウトされます。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2235 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。EXEC CICS SYNCPOINT の場合、処理は正常に完了し、処理は次の作業単位に進みます。EXEC CICS RETURN の場合、トランザクションは正常に完了します。

バックアウト障害の影響を受けたリソースはロックされたままになり、作業単位は中断されます。

ユーザーの処置: ローカル・リソース所有者によって出力された前のメッセージを参照して、バックアウト障害の原因を判別してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2206 *time applid Transaction tranid failed with abend abcode.* ローカルなりカバリー可能リソースに対する更新はバックアウトされました。 *condmsg*

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。現行の作業単位で実行し

たローカル・システム内のリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

abcode は、CICS トランザクション異常終了コードまたは CICS の ABEND ABCODE (*abcode*) コマンドによって生成されたユーザー異常終了コードです。このコマンドは、ユーザー・プログラムまたは IBM プログラム (たとえば、プログラミング言語ライブラリー・モジュール) によって出されます。

可能な場合には、リモート・システムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに追加されます。

リモート・トランザクションが失敗したために端末専有領域でこのメッセージが発行された場合、ローカル・システムにはバックアウトするリカバリー可能リソースがない場合があります。この場合、リモート・システムのリソースがバックアウトされたかどうかを通知する条件付きメッセージが表示されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2236 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了コード *abcode* を使用して、問題を診断してください。トランザクション・ルーティング環境では、障害の元の原因は、通常、条件メッセージに示されます。異常終了が、CICS 以外の IBM プログラム・プロダクトによって出された場合、この異常終了コードはその他のプロダクトのライブラリーに説明があります。

元の異常終了の原因を取り除いた後、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2215 *time applid* **A CICS-generated syncpoint request has failed because a connected system has requested that the UOW be rolled back. Transaction *tranid* has been abnormally terminated with code ASPF.** *condmsg*

説明: CICS は内部生成同期点要求に応じることができませんでした。作業単位をロールバックする必要があることが、接続されているシステムから通知されたためです。(これは、セッション障害やプロトコル・エラーの結果として生じることもあります)。

トランザクション *tranid* は、異常終了コード ASPF で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメ

ッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2245 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 作業単位をロールバックする指示が接続されているシステムから送信された理由を判別してください。

ロールバックする指示の原因を取り除いた後に、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2216 *time applid* **Transaction termination processing for transaction *tranid* has failed because a connected system has requested that the UOW be rolled back.** *condmsg*

説明: トランザクションが、バックアウト必須プログラム状態で EXEC CICS RETURN を出しました。このバックアウト必須プログラム状態は、アプリケーションが保護会話上でバックアウト要求を受け取ったときに設定されます。

作業単位によって更新されたりリカバリー可能リソースがバックアウトされ、ロックが解放されます。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2246 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。終了処理は継続します。

ユーザーの処置: エラーを回避するために、アプリケーションで EXEC CICS RETURN の前に EXEC CICS SYNCPOINT コマンドをコーディングする必要があります。「バックアウト要求」のプログラム状態で出された同期点により、結果的にバックアウトが実行され、EXEC CICS SYNCPOINT コマンドで ROLLEDBACK 状態が返されます。この状態が処理されると、後続の EXEC CICS RETURN は正常に完了します。

ロールバックする指示の原因を取り除いた後に、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2217 *time applid Transaction tranid has requested rollback, but was using a type of processing for which rollback is not supported.* トランザクションはコードASP8で異常終了しました。*message*

説明: アプリケーションが同期点ロールバックを要求しましたが、例えば LU6.1 など、ロールバックをサポートしていないタイプの処理を使用していました。

トランザクション *tranid* は、異常終了コード ASP8 で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

可能な場合には、リンクされているシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに追加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2247 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了 ASP8 の「説明」を参照してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2218 *time applid Transaction tranid has failed with abend ASP7 following the failure of a local resource owner in the prepare phase of syncpoint.* 更新はバックアウトされます。 *condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのローカル・リソース (例えば、ファイル、一時ストレージ、一時データ) が更新されたため、ローカル・リソース所有者に同期点要求が送信されました。2 フェーズ同期点プロトコルでローカル・リソース所有者が「Prepare」要求に対して「No」と応答しました。

トランザクション *tranid* は、異常終了コード ASP7 で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2248 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了 ASP7 の「説明」を参照してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2219 *time applid Transaction tranid has failed with abend ASP7 following the failure of a remote system in the prepare phase of syncpoint.* 更新はバックアウトされます。 *condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのリモート・リソース (例えば、リモート CICS 上のファイル、一時ストレージ、一時データや、RMI を介して通信しているデータベース・マネージャー) が更新されたため、リモート・リソース所有者に同期点要求が送信されました。2 フェーズ同期点プロトコルでリモート・リソース所有者が「Prepare」要求に対して「No」と応答しました。

トランザクション *tranid* は、異常終了コード ASP7 で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2249 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了 ASP7 の「説明」を参照してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2220 *time applid The coordinator system has indicated that the current unit of work is to be backed out. Transaction tranid has been abnormally terminated with abend ASP3.* *condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。同期点のコーディネーターはこの CICS システムではなく、リモートです。同期点プロトコル中に、作業単位はコミットできないためバックアウトする必要があるとリモート・コーディネーターが決定しました。

トランザクション *tranid* は、異常終了コード ASP3 で

異常終了しました。現行の作業単位で実行したりカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2250 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 作業単位がバックアウトされた理由を調べるために、リモート・コーディネーター・システムを参照してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2221 *time applid Transaction tranid has failed with abend ASPQ.* リモート・システムとの通信中に同期点コミット処理に失敗しました。 *condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのリモート・リソース (リモート CICS システム上のファイル、一時ストレージ、一時データなど) が更新されたため、リモート・リソース所有者に同期点要求が送信されました。同期点プロトコルのフェーズ 2 の間に障害が発生しました。

トランザクション *tranid* は、異常終了コード ASPQ で異常終了しました。リカバリー可能リソースは正常にコミットされましたが、後続のエラーが発生しました。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2251 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: システム間セッションの問題の原因を判別するために、CICS の通信コンポーネントによって既に出された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2222 *time applid Transaction tranid has lost contact with its coordinator system during syncpoint processing.* 更新はこのシステムによって行われず、コード ASPR で異常終了しました。 *condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT

を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。同期点のコーディネーターはこの CICS システムではなく、リモートです。

「未確定ウィンドウ」と呼ばれる同期点処理の臨界期にトランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。ただし、このシステムによって更新されたりカバリー可能リソースはないため、データ保全性の問題はありません。

トランザクション *tranid* は、異常終了コード ASPR で異常終了しました。

可能であれば、リンクされたシステムからの条件付きメッセージ *condmsg* がこのメッセージに付加されます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2252 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: リモート・システムでメッセージを参照して、リモート・リソースがバックアウトまたはコミットされたかどうかを判別してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2223 *time applid Transaction tranid has failed with abend ASP2 due to the links to the remote systems being in an invalid state.* 更新はバックアウトされます。 *condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのリモート・リソース (例えば、リモート CICS 上のファイル、一時ストレージ、一時データや、RMI を介して通信しているデータベース・マネージャー) が更新されたため、リモート・リソース所有者に同期点要求が送信されます。リモート・リソース所有者へのリンクは、2 フェーズ同期点プロトコルの PREPARE 要求を送信するには無効な状態です。

トランザクション *tranid* は、異常終了コード ASP2 で異常終了しました。現行の作業単位で実行したりカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

システムの処置: メッセージ DFHAC2253 がマスター端末オペレーター (宛先 CSMT) に送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 手引きについては、異常終了 ASP2 の説明を参照してください。

モジュール: DFHTFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2230 *date time applid Transaction tranid*
terminal termid not executed due to
I/O error at session startup. message

説明: 端末 *termid* のスタートアップ・プログラムに入出力エラーが発生したため、トランザクション *tranid* を実行することができませんでした。

システムの処置: トランザクション *tranid* は実行されません。

ユーザーの処置: 入出力エラーの原因を訂正してください。このエラーは、おそらく端末の電源がオンになっていないことによるものです。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *message*

宛先: CSMT

DFHAC2231 *date time applid Transaction tranid*
running program program_name term
termid has lost contact with its
coordinator system during syncpoint
and has abended with code ASP1. 接
 続が復元されるまで、作業単位は中断され
 ます。{. EXCI job = } *exci_id. condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。同期点のコーディネーターはこの CICS システムではなく、リモートです。

「未確定ウィンドウ」と呼ばれる同期点処理の臨界期にトランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。

トランザクション定義 (WAIT YES) に従って、作業単位は完了していません。コーディネーター・システムとの再同期の待機が許可されます。そのトランザクションは、異常終了コード ASP1 で異常終了します。作業単位は中断され、コーディネーター・システムに戻るのを待機します。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、Exci Job =*exci_id* が追加

されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。*stepname* および *procname* は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2201 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了コード ASP1 の説明を参照してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2232 *date time applid Transaction tranid*
running program program_name term
termid has lost contact with its
coordinator system during syncpoint
and has abended with code ASPO. All
updates will be unilaterally
committed{. EXCI job = } *exci_id.*
condmsg

説明: 「未確定ウィンドウ」と呼ばれる同期点処理の臨

界期にトランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。そのトランザクションは、異常終了コード ASPO で異常終了します。

トランザクション定義 (WAIT NO および ACTION COMMIT) に従って、作業単位によって実行されるすべてのリカバリー可能な更新が、一方的にコミットされます。なお、コーディネーター・システムが変更をコミットまたはバックアウトする可能性があるため、更新の整合性は失われることがあります。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、*Exci Job =exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。*stepname* および *procname* は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2202 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: None. トランザクション定義に従って、すべての更新が一方的にコミットされます。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*

9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2233 *date time applid Transaction tranid running program program_name term termid has lost contact with its coordinator system during syncpoint and has abended with code ASPP. All updates will be unilaterally backed out/.* EXCI job = } *exci_id*. *condmsg*

説明: 「未確定ウィンドウ」と呼ばれる同期点処理の臨界期にトランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。そのトランザクションは、異常終了コード ASPP で異常終了します。

トランザクション定義 (WAIT NO および ACTION BACKOUT) に従って、作業単位によって実行されるすべてのリカバリー可能な更新が、一方的にバックアウトされます。なお、コーディネーター・システムが変更をコミットまたはバックアウトする可能性があるため、更新の整合性は失われることがあります。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、*Exci Job =exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。*stepname* および *procname* は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2203 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: None. トランザクション定義に従って、すべての更新が一方的にバックアウトされます。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2234 *date time applid* **A commit failure has occurred during syncpoint processing for transaction *tranid*, terminal *termid*.**
 トランザクションは通常通りに完了できません。{. EXCI job = } *exci_id*. *condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのローカル・リソース (例えば、ファイル、一時ストレージ、一時データ) が更新されました。ローカル・リソース所有者の同期点プロトコルのフェーズ 2 で障害が発生しました。影響を受けた作業単位がシステム・ログに結果 (フォワードまたはバックワード) を記録しましたが、失敗したローカル・リソース所有者によって管理されているリソースはロックされたままになります。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、Exci Job =*exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。stepname および procname は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

termid は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID です。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2204 が端末ユーザーに送られます。EXEC CICS SYNCPOINT の場合、処理は正常に完了し、処理は次の作業単位に進みます。EXEC CICS RETURN の

場合、トランザクションは正常に完了します。

障害の影響を受けたリソースはロックされたままになり、作業単位は中断されます。

ユーザーの処置: ローカル・リソース所有者によって出された前のメッセージを参照して、障害の原因を判別してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

7. *exci_id*
8. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2235 *date time applid* **A backout failure has occurred during syncpoint processing for transaction *tranid*, terminal *termid*.**
 トランザクションは通常通りに完了できません。{. EXCI job = } *exci_id*. *condmsg*

説明: 作業単位をバックアウトしようとしたますが、バックアウト障害が発生しました。バックアウト障害が発生したローカル・リソース所有者の場合、作業単位によって更新されたリソースはロックされたままになります。その他のリソースはすべてバックアウトされます。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、Exci Job =*exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。stepname および procname は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

termid は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID です。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2205 が端末ユーザーに送られます。EXEC CICS SYNCPOINT の場合、処理は正常に完了し、処理は次の作業単位に進みます。EXEC CICS RETURN の場合、トランザクションは正常に完了します。

バックアウト障害の影響を受けたリソースはロックされたままになり、作業単位は中断されます。

ユーザーの処置: ローカル・リソース所有者によって出された前のメッセージを参照して、バックアウト障害の原因を判別してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

7. *exci_id*
8. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2236 *date time applid Transaction tranid*
abend *secondary_abcode* **in program**
program_name term termid. Updates to
local recoverable resources will be
backed out{. EXCI job = } exci_id.
condmsg

説明: トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード *abcode* で異常終了しました。現行の作業単位で実行したローカル・システム内のリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、EXCI Job = *exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。*stepname* および *procname* は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。

MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるた

め、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

リモート・トランザクションが失敗したために端末専有領域でこのメッセージが発行された場合、ローカル・システムにはバックアウトするリカバリー可能リソースがない場合があります。この場合、リモート・システムのリソースがバックアウトされたかどうかを通知する条件付きメッセージが表示されます。

端末専有領域でメッセージが出されると、プログラム *programe* は不明になります。

システムの処置: 可能な場合、メッセージ DFHAC2206 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。トランザクション・ルーティング環境では、障害の元の原因は、通常、条件メッセージに示されます。*abcode* が CICS 異常終了でない場合、これはユーザー・コードです。この場合、この領域の担当プログラマーと相談してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *secondary_abcode*
6. *program_name*
7. *termid*
8. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

9. *exci_id*
10. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2245 *date time applid* **A CICS-generated syncpoint request could not be completed normally because a connected system has requested that the unit of work be rolled back. Transaction *tranid* running program *program_name* term *termid* has been abnormally terminated with code ASPF{. EXCI job = } *exci_id*. condmsg**

説明: CICS は内部生成同期点要求を完了できませんでした。作業単位をロールバックする必要があることが、接続されているシステムから通知されたためです。(これは、セッション障害やプロトコル・エラーの結果として生じることもあります)。

トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード ASPF で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、Exci Job =*exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。stepname および procname は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2215 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 作業単位をロールバックする指示が接続されているシステムから送信された理由を判別してください。

ロールバックする指示の原因を取り除いた後に、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2246 *date time applid* **Transaction termination processing for transaction *tranid* could not be completed normally because a connected system has requested that the unit of work be rolled back{. EXCI job = } *exci_id*. condmsg**

説明: トランザクションが、バックアウト必須プログラム状態で EXEC CICS RETURN を出しました。このバックアウト必須プログラム状態は、アプリケーションが保護会話上でバックアウト要求を受け取ったときに設定されます。

作業単位によって更新されたりリカバリー可能リソースがバックアウトされ、ロックが解放されます。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、Exci Job =*exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。stepname および procname は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ

DFHAC2216 が端末ユーザーに送られます。終了処理は継続します。

ユーザーの処置: エラーを回避するために、アプリケーションで EXEC CICS RETURN の前に EXEC CICS SYNCPOINT コマンドをコーディングする必要があります。「バックアウト要求」のプログラム状態で出された同期点により、結果的にバックアウトが実行され、EXEC CICS SYNCPOINT コマンドで ROLLEDBACK 状態が返されます。この状態が処理されると、後続の EXEC CICS RETURN は正常に完了します。

ロールバックする指示の原因を取り除いた後に、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

6. *exci_id*
7. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2247 *date time applid Transaction tranid*
running program program_name term
termid has requested rollback, but was
using a type of processing for which
rollback is not supported. トランザクシ
 ョンはコード **ASP8** で異常終了しました
 {*. EXCI job =* *exci_id. condmsg*

説明: アプリケーションが同期点ロールバックを要求しましたが、例えば LU6.1 など、ロールバックをサポートしていないタイプの処理を使用していました。

トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード **ASP8** で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、*Exci Job =exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'*jobname.stepname.procname - MVSid*' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。*stepname* および *procname* は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョ

ブが実行されている MVS システムを識別します。

MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション・ルーティング) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID であり、表示の最後は、リンクされているシステムによって出された終了メッセージ *condmsg* です。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2217 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了コード **ASP8** の説明を参照してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2248 *date time applid Transaction tranid*
running program program_name term
termid has failed with abend ASP7
following the failure of a local
resource owner in the prepare phase
of syncpoint. Updates will be backed
out/. *EXCI job =* *exci_id. condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのローカル・リソース (例えば、ファイル、一時ストレージ、一時データ) が更新されたため、ローカル・リソース所有者に同期点要求が送信されました。2 フェーズ

同期点プロトコルでローカル・リソース所有者が「Prepare」要求に対して「No」と応答しました。

トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード ASP7 で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、Exci Job =*exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。*stepname* および *procname* は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2218 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了コード ASP7 の説明を参照してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2249 *date time applid Transaction tranid running program program_name term termid has failed with abend ASP7 following the failure partner system remote_name in the prepare phase of syncpoint.* 更新はバックアウトされません。

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して *syncpoint* を要求しました。この CICS システムのリモート・リソース (例えば、リモート CICS 上のファイル、一時ストレージ、一時データや、RMI を介して通信しているデータベース・マネージャー) が更新されたため、リモート・リソース所有者に同期点要求が送信されました。2 フェーズ同期点プロトコルでリモート・リソース所有者が「Prepare」要求に対して「No」と応答しました。

トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード ASP7 で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2219 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 異常終了コード ASP7 の説明を参照してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. *remote_name*

宛先: CSMT

DFHAC2250 *date time applid* **The coordinator system has indicated that the current unit of work is to be backed out. Transaction *tranid* running program *program_name* term *termid* has been abnormally terminated with abend ASP3{. EXCI job = } *exci_id. condmsg***

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。ローカル作業単位は、大きな作業単位の一部であり、同期点のコーディネーターではありません。コーディネーターはリモート・システムに存在するか、あるいはローカル・システム内の別の作業単位です (トランザクションが RUN SYNCHRONOUS コマンドの結果の場合)。同期点プロトコル中に、作業単位はコミットできないためバックアウトする必要があるとコーディネーターが決定しました。

トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード ASP3 で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、Exci Job =*exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'jobname.stepname.procname - MVSid' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。stepname および procname は省略可能です。MVSid は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2220 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 作業単位がバックアウトされた理由を判別するために、コーディネーター・システムを参照してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2251 *date time applid* **Transaction *tranid* running program *program_name* term *termid* has failed with abend ASPQ. Syncpoint commit processing has failed while communicating with a remote system{. EXCI job = } *exci_id. condmsg***

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのリモート・リソース (リモート CICS システム上のファイル、一時ストレージ、一時データなど) が更新されたため、リモート・リソース所有者に同期点要求が送信されました。同期点プロトコルのフェーズ 2 の間に障害が発生しました。

トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード ASPQ で異常終了しました。リカバリー可能リソースは正常にコミットされましたが、後続のエラーが発生しました。

EXCI job = *exci_id* が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、Exci job =*exci_id* が追加されます。*exci_id* は、*jobname.stepname.procname - MVSid* のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。stepname および procname は省略可能です。MVSid は EXCI は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。MVSid は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末で

はなく、EXCI クライアントと CICS 間の接続を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション・ルーティング) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID であり、表示の最後は、リンクされているシステムによって出された終了メッセージ *condmsg* です。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2221 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: システム間セッションの問題の原因を判別するために、CICS の通信コンポーネントによって既に出された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2252 *date time applid Transaction tranid in program program_name term termid has lost contact with its coordinator system during syncpoint processing. No updates have been performed by this system; it has abended with code ASPR/. EXCI job = } exci_id. condmsg*

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。同期点のコーディネーターはこの CICS システムではなく、リモートです。

「未確定ウィンドウ」と呼ばれる同期点処理の臨界期にトランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。ただし、このシステムによって更新されたりカバリー可能リソースはないため、データ保全性の問題はありません。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、*Exci Job =exci_id* が追加されます。*exci_id* は、'*jobname.stepname.procname - MVSid*' のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。*stepname* および *procname* は省略可能です。*MVSid* は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。*MVSid* は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2222 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: リモート・システムでメッセージを参照して、リモート・リソースがバックアウトまたはコミットされたかどうかを判別してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2253 *date time applid Transaction tranid*
running program program_name term
termid has failed with abend ASP2
due to the links to the remote systems
being in an invalid state. Updates will
be backed out/. EXCI job = } exci_id.
condmsg

説明: アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。この CICS システムのリモート・リソース (例えば、リモート CICS 上のファイル、一時ストレージ、一時データや、RMI を介して通信しているデータベース・マネージャー) が更新されたため、リモート・リソース所有者に同期点要求が送信されます。リモート・リソース所有者へのリンクは、2 フェーズ同期点プロトコルの PREPARE 要求を送信するには無効な状態です。

トランザクション *tranid* が、プログラム *programe* 内で異常終了コード ASP2 で異常終了しました。現行の作業単位で実行したリカバリー可能リソースに対する変更はすべて、バックアウトされます。

tranid が、非 CICS ジョブではなく外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用して実行しているサーバー・トランザクションである場合、*Exci job =exci_id* が追加されます。*exci_id* は、*jobname.stepname.procname - MVSid* のように構成されており、EXCI クライアント・ジョブを識別します。*stepname* および *procname* は省略可能です。*MVSid* は EXCI クライアント・ジョブが実行されている MVS システムを識別します。MRO/XCF を使用している場合、この CICS システムが実行されている MVS システムとは異なる場合があります。*MVSid* は SMF システム ID (SID) であるため、SMF がアクティブでない場合は省略されます。端末 *termid* は実端末ではなく、EXCI クライアントと CICS の接続関係を表しています。

MRO または ISC APPC (並列セッション) 接続システムの場合、*termid* は端末 ID (トランザクション経路指定) またはセッション ID であり、*sysid* はリンクされている CICS システムの ID です。この表示は、リンクされたシステムから出された終了メッセージ *condmsg* で終わります。

システムの処置: 可能な場合には、メッセージ DFHAC2223 が端末ユーザーに送られます。通常の異常終了処理が続けられます。

ユーザーの処置: 手引きについては、異常終了コード ASP2 の説明を参照してください。

モジュール: DFHTFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= EXCI ジョブ =

8. *exci_id*
9. *condmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2259 *date time applid Transaction tranid*
abend primary_abcode in program
program_name term termid DFHPEP not
linked.

説明: トランザクション *tranid* は、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。ユーザー作成のプログラム・エラー・プログラム (DFHPEP) へのリンクを試みるところエラーが発生しました。このエラーが、DFHPEP に制御を渡す妨げとなりました。

プログラム制御再始動に失敗したために CICS が異常終了した場合、このメッセージがシャットダウン時に表示されます。

システムの処置: 失敗の理由に応じて、CICS は異常終了する場合と継続する場合があります。

ユーザーの処置: トランザクション異常終了コード *abcode* が、元のトランザクション・エラーの理由を示しています。

DFHPEP を呼び出すことができなかった理由を突き止めてください。使用不可になっている可能性があります。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *primary_abcode*
6. *program_name*
7. *termid*

宛先: CSMT

DFHAC2260 *date time applid Transaction tranid*
disabled by DFHPEP.

説明: 異常終了したトランザクション *tranid* が、使用禁止になりました。これは DFHPEP のユーザー・コードの結果か、あるいは、トランザクションが異常終了コード ASRD または ASRE で異常終了し、しかも DISMACP=YES が開始パラメーターに指定されていたこと (またはデフォルト) が原因です。トランザクション *tranid* をこれ以上使用することはできません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 異常終了の原因を訂正して、トランザクションを使用可能にしてください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHAC2261 *System sysid sent message (sense code ccccccc).* *'tacbmsg'.*

説明: 異常終了したトランザクションが、システム *sysid* から否定応答および説明的な警告メッセージを受け取りました。メッセージ *tacbmsg* がリモート・システムから与えられました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: リモート・システムでの異常終了の原因を訂正して、トランザクションを実行し直してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2262 *date time applid System sysid sent message (sense code ccccccc).* *tacbmsg*

説明: 異常終了したトランザクションが、システム *sysid* から否定応答および説明的な警告メッセージを受け取りました。メッセージ *tacbmsg* がリモート・システムから与えられました。

tacbmsg に以下の CICS 定義のセンス・コードが含まれる可能性があります。

'A0000100'x - session failure
 'A0000110'x - task purge
 'A0010100'x - read timeout
 'A0010000'x - deadlock timeout
 'A0020000'x - logic error

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: リモート・システムでの異常終了の原因を訂正して、トランザクションを実行し直してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *cccccccc*
6. *tacbmsg*

宛先: CSMT

DFHAC2263 *date time applid Transaction tranid*
abend primary_abcode in program
program_name term termid DFHPEP has
abnormally terminated.

説明: トランザクション *tranid* が異常終了し、異常終了完了プログラム (DFHACP) がユーザー作成エラー・プログラム (DFHPEP) にリンクしました。エラー・プログラムも異常終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション異常終了コード *abcode* が、先に出されたトランザクション障害の原因を示しています。エラー・プログラム内の異常終了の原因を訂正し、トランザクションを実行し直してください。

モジュール: DFHACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *primary_abcode*
6. *program_name*
7. *termid*

宛先: CSMT

DFHAC2603 Syst.sense sysdsense,termid,taskid, No authorization

説明: オペレーターが、許可されていないトランザクションの実行を試みました。あるいは、オペレーターの権限がデフォルト・ユーザーの機能に設定されていたときに、1 より大きいセキュリティ値を持つトランザクションが要求されました。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 適切にサインオンを行うか、このトランザクションを入力して権限を確認します。詳細については、メッセージ DFHAC2002 およびメッセージ DFHAC2003 を参照してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2605 Syst.sense sysdsense,termid,taskid, Insufficient resource

説明: システムは現時点でトランザクションを実行することができませんでした。

システムの処置: トランザクションは除去されます。

ユーザーの処置: あとでトランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHACP

DFHADnnnn メッセージ**DFHAD0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。
- ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックがあった。

コード *aaa* は、該当する場合、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コードです (例えば、0C1 または D37)。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAC2606 Syst.sense sysdsense,termid,taskid, Function not executable

説明: トランザクションがシステム静止時に有効でなかったか、トランザクションの使用が禁止されていました。

システムの処置: システム処置は、エラーによって異なります。システム静止時の無効なトランザクションについては、メッセージ DFHAC2007 のシステムの処置を参照してください。

使用禁止になったトランザクションについては、メッセージ DFHAC2008 のシステムの処置を参照してください。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、エラーによって異なります。

システム静止時の無効なトランザクションについては、メッセージ DFHAC2007 のユーザーの処置を参照してください。使用禁止になったトランザクションについては、メッセージ DFHAC2008 のユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

コード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトのいずれかによって作成されたユーザー異常終了コードです。

X'offset' に値 X'FFFF' が入っている場合には、異常終了時にモジュール *modname* に制御があったことを意味しますが、プログラム状況ワード (PSW) はこのモジュールをアドレッシングしていませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS コード *aaa* がある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

modname 挿入部に値 *????* が入っている場合には、どのモジュールが異常終了したのか CICS が判別できなかったことを意味します。この場合、システム・ダンプを調べて、コードのどの部分がプログラム・チェックを発生させたのかを判別してください。

ユーザーは他のメッセージを調べて、このメッセージを出したモジュールが異常終了発生時に何をしていたかを判別してください。これらのメッセージから、どのプロダクトが異常終了コード *bbbb* を出したのかを論理的に推測することができます。*bbbb* が CICS コードとして識別された場合には、英数字または数値のいずれかになります。

- CICS コードが英数字 (例えば *AKEA*) の場合には、CICS トランザクション異常終了コードを表している。
- CICS コードが数値 (たとえば、1310) の場合には、CICS メッセージを表している (たとえば、DFHTS1310)。

ユーザー異常終了コードが別のプロダクトからのコード (例えば、IMS) である場合には、該当するメッセージおよびコードの資料を参照して、異常終了の原因を判別してください。

該当する資料の各項目は、ユーザーにエラーの性質に関する手引きを提供します。さらに、適切なユーザー処置に関する手引きについても提供することがあります。

注: ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックが発生した可能性があります。この場合には、通常、プログラム・チェックの次に ASRA トランザクション異常終了または ASRB トランザクション異常終了が続き、さらにトランザクション・ダンプが作成されます。

ASRA 異常終了および ASRB 異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、CEMT コマンドまたは EXEC CICS コマンドを使用して、ダンプ・テーブル内の項目にこれを指定する必要があります。システム・ダンプの抑止についての詳細は、「構成」で説明されています。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHADxx

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHAI0101I メッセージ

DFHAI0101I *applid* AITM initialization has started.

説明: これは、自動インストール端末モデル・マネージャー (AITM) 初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHAIIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAI0102I *applid* AITM initialization has ended.

説明: これは、自動インストール端末モデル・マネージャー (AITM) 初期設定が完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHAIIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAI0103 *applid* **AITM initialization has failed.**

説明: 自動インストール端末モデル・マネージャー (AITM) 初期設定が失敗しました。

システムの処置: メッセージ DFHSI1521 が出され、初期設定が終了します。別のドメインからさらにエラー・メッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: このエラーは、トレース項目によって識別されます。詳細については、DFHSI1521、ならびにこの他に出力されたエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAIIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAI0201 *date time applid* **Terminal Model**
modelname **has been re-installed.**

説明: これは、自動インストール端末モデル *modelname* の動的置換のレコードが一時データ宛先で作成されたことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAITM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modelname*

宛先: CAIL

DFHAI0202 *date time applid* **Terminal Model**

DFHAMnnnn メッセージ

DFHAM4800 I *applid* **New group grpname created.**

説明: 新しいグループ *grpname* が CSD 上に作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4801 I *applid* **New list lstname created.**

modelname **has been installed.**

説明: これは、自動インストール端末モデル *modelname* の動的追加のレコードが一時データ宛先で作成されたことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAITM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modelname*

宛先: CAIL

DFHAI0203 *date time applid* **Terminal Model**
modelname **has been discarded.**

説明: これは、自動インストール端末モデル *modelname* の動的削除のレコードが、DISCARD コマンドを使用して一時データ宛先で作成されたことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAITM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modelname*

宛先: CAIL

説明: 新しいリスト *lstname* が CSD 上に作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4802 E *applid name* **is an invalid name.**

説明: コマンド内の名前 *name* が無効です。

DFHAM4803 E • DFHAM4807 E

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効な名前を指定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4803 E *applid* **Install failed because an existing definition for file *filename* could not be deleted.**

説明: ファイル *filename* をインストールする試みが行われました。ファイル *filename* はすでに存在し、削除することはできません。この条件は、FCT 内または CSD 上の既存のファイル定義が、使用可能またはオープンとしてインストールされた場合に発生します。

ファイルがローカル要求キュー・ファイル (DFHLRQ) の場合は、ファイルがクローズされて使用不可になっても、ファイルを再インストールすることはできません。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: 問題を解決して、もう一度インストールを試みてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4804 E *applid* **Invalid LIST name *listname*.**

説明: システム初期設定テーブル (SIT) の GRPLIST パラメーターで、RDO で許容されない文字が含まれているリスト名 *listname* を指定しています。

システムの処置: CICS は、「ENTER ALTERNATIVE NAME OR CANCEL」という要求を出します。

ユーザーの処置: 有効なリスト名を入力するか、または「CANCEL」を入力し、SIT の GRPLIST パラメーターを訂正してから、CICS を再初期設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *listname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4805 E *applid* **Unable to perform operation: name is locked to APPLID *applid*, OPID *opid* to prevent updating.**

説明: 現時点で別のユーザーにロックされているグループまたはリストを、ロックまたは更新する試みが行われました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: グループまたはリストがロックされていないときにコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4806 E *applid* **Group name *grpname* exists as a LIST name.**

説明: システム初期設定テーブル (SIT) GRPLIST パラメーターで、使用できないグループ名 *grpname* が含まれているリストが指定されています。このグループに属するものとして定義されているリソースがなく、また同名のリストがすでに CSD の中にあるため、CICS はこのグループを見つけることができません。

注: 同じ名前のグループおよびリストは共存できません。

システムの処置: CICS は、「IS START-UP TO BE CONTINUED? REPLY GO OR CANCEL」という要求を出します。

「GO」と応答すると、CICS はリスト内のすべての有効な定義により初期設定されます。

ユーザーの処置: グループ *grpname* を必要としない場合には、「GO」を入力してください。

グループ *grpname* が必要な場合は、「CANCEL」と入力し、SIT 指定変更パラメーターとして別の GRPLIST 名を指定して、CICS を再初期設定してください。次に CEDA トランザクションを使用して、誤ったリストを調べて訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *grpname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4807 E *applid* **Install failed for LSRPOOL with LSRPOOLNUM(*lsrpoolnum*), MAXKEYLENGTHが22未満で、CSDで使用するには不適當です。**

説明: LSRPOOLNUM *lsrpoolnum* を指定して LSRPOOL をインストールしようとしたましたが、失敗しました。この LSRPOOL のインストールによって CSD が読み取り不能になることがシステムで検出されました。この LSRPOOL 定義の MAXKEYLENGTH パラメーターが、CSD によって使用される LSRPOOL に対して無効です。

システムの処置: このインストールは失敗し、以前の LSRPOOL 定義がインストールされたままになります。

ユーザーの処置: CSD に必要なキーの長さは 22 であるため、LSRPOOL 定義の MAXKEYLENGTH パラメーターは 22 以上にする必要があります。この問題を解決するために、LSRPOOL 定義を変更して 22 以上の MAXKEYLENGTH を指定するか、DFHCSD ファイル定義を変更して RLS または NSR を使用するようにしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *lsrpoolnum*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4808 E *applid* Object already exists in this group.

説明: グループ内にオブジェクトを定義する試みが行われましたが、同一名のオブジェクトがすでに存在しています。

システムの処置: ユーザーが重ね打ちできるように、CSD 上の定義が表示されます。

ユーザーの処置: 別のオブジェクト名を指定したコマンドを入力し直すか、または既存の定義を変更してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4809 E *applid* Date/time fields do not match (object updated by another user).

説明: CSD 上のオブジェクトの定義が、ユーザーが定義を変更している間に変更されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4810 E *applid* Object not found (deleted by another user).

説明: CSD 上のオブジェクトの定義が、ユーザーが定義を変更している間に削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 定義が削除された理由を突き止めてください。必要な場合、オブジェクトを再作成して更新します。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4811 E *applid name1* does not contain *name2*.

説明: 要求されたオブジェクト *name2* が、CSD 上のグループ *name1* 内に見つかりません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 定義が見つからない原因を判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *name1*
3. *name2*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4812 W *applid* LIBRARY *libname* のインストールで、データ・セット {割り振り | 連結 | ・オープン} の障害を検出しました。LIBRARYはインストールされますが、無効となります。

説明: 動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが完了しましたが、LIBRARY インストール・プロセスの正常な完了に必要なステップの 1 つが失敗しました。このエラーは、以下のいずれかを行おうとしたときに発生しました。

- LIBRARY リソース定義で DSNAME 属性のいずれかとして定義されたデータ・セットを割り振る
- データ・セットを連結する
- LIBRARY 連結を開く

DFHAM4813 W • DFHAM4815 E

メッセージ・テキストは、上記エラーのいずれが発生したのかを示しています。エラーのために、LIBRARY はインストール済みですが、使用可能化状況が「使用不可」になっています。これは、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しないことを意味します。

システムの処置: 処理を続行します。使用可能化状況を ENABLED として LIBRARY が定義されていた場合でも、そのリソースは DISABLED としてインストールされています。また、この LIBRARY は、プログラム成果物のロード時にも検索されません。そのため、LIBRARY *libname* 用に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: ローダー・ドメインによって出されたメッセージを調べて、この LIBRARY のインストール処理中に発生した障害タイプを判別してください。問題が解決したら、LIBRARY が動的ライブラリー検索順序プロセスに参加するように、LIBRARY *libname* を ENABLED に設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. 以下のオプションから選択される値。

1=割り振り,
2=連結,
3=オープン

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4813 W *applid* **LIBRARY** *libname* のインストールで、**MVS ABEND** が発生しました。**LIBRARY**はインストールされますが、無効となります。

説明: 動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが完了しましたが、LIBRARY インストール・プロセスの正常な完了に必要なステップの 1 つが失敗しました。エラーのために、LIBRARY はインストール済みですが、使用可能化状況が「使用不可」になっています。これは、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しないことを意味します。

システムの処置: 処理を続行します。使用可能化状況を ENABLED として LIBRARY が定義されていた場合でも、そのリソースは DISABLED としてインストールされています。また、この LIBRARY は、プログラム成果物のロード時にも検索されません。そのため、

LIBRARY *libname* 用に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: ローダー・ドメインによって出されたメッセージを調べて、この LIBRARY のインストール処理中に発生した障害タイプを判別してください。問題が解決したら、LIBRARY が動的ライブラリー検索順序プロセスに参加するように、LIBRARY *libname* を ENABLED に設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4814 E *applid* **List name** *listname* **exists as a group name.**

説明: システム初期設定テーブル (SIT) の GRPLIST パラメーターが、無効なリスト名 *listname* を指定しています。CICS は、同一名のグループがすでに CSD 内に存在するため、そのリストを見つけることができません。

注: 同じ名前のグループおよびリストは共存できません。

システムの処置: CICS は、「ENTER ALTERNATIVE NAME OR CANCEL」という要求を出します。

ユーザーの処置: 有効なリスト名を入力するか、または「CANCEL」を入力し、GRPLIST システム初期設定パラメーターを訂正して、CICS を再初期設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *listname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4815 E *applid* **Group** *grpname* **not found in this list.**

説明: コマンドに入力された AFTER/BEFORE 名をこのリスト上で見つけることができません。ユーザーが EXPAND コマンドの結果を参照している間に、定義が削除された可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このリスト上に存在するグループ名で

コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4816 E *applid Unable to install group
grpname - group not found.*

説明: インストールするリストに指定されたグループ *grpname* が空であることが検出されました。このエラーは、CICS 始動時におけるグループ・リスト・インストール時、または CEDA トランザクションを使用したリストのインストール時に発生することがあります。CICS 始動時にエラーが発生した場合は、システム初期設定テーブル (SIT) の GRPLIST パラメーターが、使用不可のグループ名 *grpname* を含むリストを指定しています。CICS は、このグループに属するものとして定義されたリソースがないため、グループ *grpname* を見つけることができません。

システムの処置: システム処置は、いつエラーが発生したかによって異なります。CICS 始動時におけるグループ・リスト・インストール時に、CICS は、'IS START-UP TO BE CONTINUED? REPLY GO OR CANCEL' という要求を出します。

「GO」と応答すると、CICS はリスト内のすべての有効な定義により初期設定されます。

ただし、CEDA では、完全なリストのインストールは失敗し、エラー・メッセージが端末エンド・ユーザーに返されます。有効な定義はインストールされますが、空のグループはインストールされません。

ユーザーの処置: CICS 始動時に、グループ *grpname* が必要ない場合は、「GO」と入力してください。

グループ *grpname* が必要な場合は、「CANCEL」と入力し、SIT 指定変更パラメーターとして別の GRPLIST 名を指定して、CICS を再初期設定してください。

いずれの場合も、CEDA トランザクションを使用して、障害のあるリストを確認し、訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *grpname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4817 E *applid LIBRARY libname のインストールが MVS ABEND で失敗しました。LIBRARYはインストールされません。*

説明: MVS ABEND のため、動的 LIBRARY リソー

ス *libname* のインストールが失敗しました。エラーのため、LIBRARY はインストールされていません。つまり、この LIBRARY は、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しません。

システムの処置: 処理を続行します。プログラム成果物がロードされるときにこの LIBRARY は検索されません。そのため、LIBRARY *libname* 用に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: ローダー・ドメインによって出されたメッセージを調べて、この LIBRARY のインストール処理中に発生した MVS 異常終了のタイプを判別してください。問題が解決したら、LIBRARY が動的ライブラリー検索順序プロセスに参加するように、LIBRARY *libname* を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4819 E *applid Group already exists in this list.*

説明: グループはすでにリストに存在しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: グループが存在する原因を判別し、別のグループ名を使用してコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4820 S *applid Unable to perform request - CSD full.*

説明: CSD ファイルがいっぱいです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: スペースを現在より多く使用できるときに、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHAM4821 S *applid* Unable to perform request -
I/O error to CSD.**

説明: CICS 初期設定時に CSD ファイルにアクセスを行っているとき、エラーが発生しました。これは、おそらく CSD ファイルを含むディスクが正しく取り付けられなかったためと考えられます。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: CICS 初期設定を再試行します。この問題が再発する場合は、おそらくハードウェアに障害があり、CSD のバックアップ・コピーをロードする必要があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4822 S *applid* Unable to perform request -
DFHCSD data set is invalid.**

説明: このメッセージは、初期設定時、CICS が CSD ファイル (DFHCSD) をオープンしようとして、正しくない最大レコード・サイズを検出したときに発生します。CSD ファイルは、「構成」で説明しているように特定の最大レコード・サイズを指定して定義する必要があります。また、正しくないレコード・サイズ (つまり、小さすぎるレコード・サイズ) を使用して CSD データ・セットが実行中の CICS システムに動的に割り振られた場合、CICS はそのオープンに失敗し、CEDA を使用して行われた変更はいずれも実行されません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 「構成」の説明に従って DFHCSD ファイルが定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4823 S *applid* Unable to perform request -
DFHCSD not open.**

説明: CSD ファイル (DFHCSD) がオープンされていません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: マスター端末オペレーターにファイルのオープンを依頼してください。DFHCSD は、立ち上

げ JCL または SIT (あるいはその両方) で定義されます。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4824 S *applid* Unable to perform request -
Insufficient function in file definition
for DFHCSD.**

説明: CICS は、初期設定中に SIT 内に GRPLIST パラメーターを見つけましたが、DFHCSD の定義項目にエラーがあるため、CSD ファイルにアクセスすることができません。

おそらく、DFHCSD の SIT 項目内の CSDACC パラメーターの指定が誤っていることが、このエラーの原因と思われます。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 次の CICS 初期設定を行う前に、DFHCSD のシステム初期設定パラメーターのエラーを訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

**DFHAM4825 S *applid* Unable to perform request -
File Control has returned an INVREQ
response.**

説明: ファイル制御ファイル要求ハンドラー (DFHFCFR) が、入力された CEDA コマンドをサポートするための十分な機能を持っていません。

システムの処置: CEDA コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4826 S *applid* Unable to perform request -
CSD corrupted or not initialized.

説明: CICS は、初期設定中に SIT 内に GRPLIST パラメーターを見つけましたが、次の理由で CSD ファイルにアクセスすることができません。

1. CSD ファイルが初期設定されていない、または
2. CSD 初期設定が正しく完了していない。
3. CSD ファイルが破壊されている。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 前に CSD ファイルを使用したことがなければ、オフライン・ユーティリティー DFHCSDUP を用いて CSD ファイルを初期設定し、ユーティリティーからの出力リストを見て、初期設定が正しく完了したかどうかを調べてください。

以前に CSD ファイルを使用していた場合には、それが破壊されていることも考えられます。CSD ファイルのバックアップ・コピーをロードして、壊れたファイルの代わりにそれを使用してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4827 S *applid* Unable to perform request -
DFHCSD could not be installed.

説明: 初期設定時に、CICS はシステム初期設定テーブル (SIT) 内に GRPLIST パラメーターを見つけましたが、ファイル制御でそのインストールに失敗したため、CSD ファイルにアクセスできません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 次の CICS 初期設定の前に、DFHCSD ファイルの定義用の正しいパラメーターが含まれた SITがあることを確認してください。

必要に応じて新規 SIT をアセンブルします。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4828 E *applid* Group *grpname* not found.

説明: コマンド内のグループ名 *grpname* を見つけることができません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 存在するグループ名を使用してコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *grpname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4829 S *applid* Storage violation. CSD
primary control record not updated.

説明: CSD 一次レコードのストレージ・バージョンが損傷しました。

システムの処置: CSD 上のバージョンは更新されておらず、またこれは必ずしも影響はありません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4830 E *applid* restype *resname* already exists
in the target group.

説明: ターゲット・グループ内に重複したものが見つかったため、COPY 操作を実行できません。

システムの処置: COPY コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: MERGE オプションまたは REPLACE オプションを使用して、このコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4831 E *applid* The new name *name* is
longer than the four characters
allowed for restype names.

説明: 指定された名前 *name* が 4 文字を超えるため無効です。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 有効な名前を入力してください。

DFHAM4832 E • DFHAM4835 E

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4832 E *applid* Unable to open TDQUEUE
tdqname because the DFHINTRA data
set is not open.

説明: 一時データ・キュー *tdqname* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、DFHINTRA データ・セットがオープンになっていないため、拒否されました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: DFHINTRA データ・セットが定義されてオープンされていないシステムに区画内定義をインストールすることはできません。DFHINTRA が定義されている場合、初期設定時にそのオープンに失敗した可能性があります。オープンするには、データ・セットを修復してシステムを再始動する必要があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tdqname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4833 E *applid* A security error has
occurred while attempting to install
{TDQUEUE | URIMAP} *resourcename*.
定義はインストールされていません。

説明: リソース *resourcename* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、定義に含まれているユーザー ID のセキュリティ検査の実行中にエラーが検出されたため、拒否されました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: さらなる手引きについて、セキュリティー・マネージャーによって出された関連メッセージを参照してください。エラーが訂正されたら、定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=TDQUEUE,
10=URIMAP

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4834 E *applid* インストール済み定義が無効
になっていないため、{TDQUEUE |
PROCESSTYPE | LIBRARY | URIMAP
| ATOMSERVICE} *resourcename* のイン
ストールに失敗しました。

説明: リソース *resourcename* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、リソースが使用不可になっていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 指定されたリソースをインストールするには、その前にそのリソースを使用不可にする必要があります。リソースを必要な状態にしてから、新しい定義をインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=TDQUEUE,
2=PROCESSTYPE,
5=LIBRARY,
10=URIMAP,
11=ATOMSERVICE

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4835 E *applid* Install of TDQUEUE
tdqname failed because the queue has
already been defined to the system,
and initialization is still in progress.

説明: 一時データ・キュー *tdqname* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、キューがシステムに既に定義されていて、初期設定が完了していない状態であったため、失敗しました。

CICS がまだ初期設定中の間は、TD リソース定義を置き換えることはできません。この問題は、GRPLIST 処理の一部として複数のグループがインストールされているシステムのコールド・スタートまたは初期始動時のみ発生します。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 重複したリソース定義を除去して、後

続のコールド・スタートまたは初期開始時に障害が再発生しないようにしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tdqname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4836 E *applid* **Install of DB2CONN**
db2conn-name **failed because a**
DB2CONN is already installed and is
in use.

説明: DB2CONN *db2conn-name* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、インストールされている既存の DB2CONN があり、それが CICS-DB2 アダプターによって使用中であるため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 一度に CICS システムにインストールできる DB2CONN は 1 つだけです。2 つ目の DB2CONN をインストールすると、最初の DB2CONN およびそれに関連付けられているすべての DB2ENTRY および DB2TRAN が暗黙的に破棄されます。

DB2CONN 定義は、CICS-DB2 アダプターによって使用されていない場合にのみ、置換または破棄することができます。DB2CONN 定義をインストールしようとする前に、CICS-DB2 インターフェースが停止していることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *db2conn-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4837 E *applid* **Install of{ DB2ENTRY |**
DB2TRAN } name failed because a
DB2CONN is not installed.

説明: DB2ENTRY または DB2TRAN *name* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、DB2CONN がインストールされていないため、失敗しました。DB2TRAN および DB2ENTRY は、DB2CONN がインストールされた後にのみインストールできます。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: DB2CONN 定義をインストールしてから、DB2ENTRY または DB2TRAN のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= DB2ENTRY ,
2= DB2TRAN

3. *name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4838 E *applid* **Install of DB2ENTRY**
db2entry-name **failed because an**
existing definition could not be
deleted. 既存定義は使用不可です。

説明: DB2ENTRY *db2entry-name* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、使用不可状態になっていない同じ名前の既存の DB2ENTRY があるため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 既存の DB2ENTRY 定義は、DB2ENTRY が使用不可状態の場合にのみ置き換えることができます。DB2ENTRY を使用不可にするコマンドを発行してから、インストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *db2entry-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4839 E *applid* **List listname not found.**

説明: 指定されたリスト *listname* は、CSD ファイルで見つからなかったため、インストールできません。このエラーは、CEDA トランザクションを使用してリストをインストールする場合、または CICS 始動時におけるグループ・リスト・インストール時に発生することがあります。グループ・リスト・インストールを実行する場合、CICS 始動で使用されるシステム初期設定テーブル(SIT)に GRPLIST パラメーターが含まれているが、CICS が GRPLIST で指定されているリスト *listname* を検出できないことが、エラーの原因です。

システムの処置: CEDA トランザクションでは、この

DFHAM4840 W • DFHAM4843 W

メッセージは、端末エンド・ユーザーに返されるだけです。ただし、CICS は始動時に要求「代替名を入力するか取り消してください (ENTER ALTERNATIVE NAME OR CANCEL)」を出します。

ユーザーの処置: 有効なリスト名を入力してください。

適切なユーザー定義リストが存在しない場合は、GRPLIST=DFHLIST を指定して最小機能システムを初期設定してから、CEDA トランザクションを使用して適切なリストを作成することができます。最後に、CICS を取り消し、SIT 内の GRPLIST パラメーターを訂正して、CICS を再初期設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *listname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4840 W *applid* Group *grpname* not appended - group already exists in target list.

説明: グループ *grpname* が、すでにターゲット・リストに存在します。

システムの処置: グループ定義は追加されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4841 E *applid* Install failed because definition of *restype resname* is in use by task no. *taskno* (transaction id. *tranid*).

説明: CICS 上にオブジェクト定義 *restype resname* をインストールする試みが行われましたが、タスク *taskno* によって読み取りロックがその定義上で保持されています。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: しばらくしてからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *restype*
3. *resname*

4. *taskno*

5. *tranid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4842 E *applid* Install failed because *restype resname* is currently in use.

説明: CICS システム上でオブジェクト定義 *restype resname* をインストールする試みが行われましたが、そのオブジェクト定義が使用中であったためインストールは失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: しばらくしてからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *restype*
3. *resname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4843 W *applid* GROUP/LIST *name* は、**OPID** *opid* **APPLID** *applid* に対して内部的にロックされています。

説明: 指定された GROUP または LIST *name* は、GROUP または LIST のインストールが試行されたとき、CICS システム *applid* 上でオペレーター *opid* に対して内部的にロックされています。これは、CSD を複数の CICS 領域間で共用していて、しかもそのグループまたはリスト上の操作が完了していないとき、コールド・スタートまたは初期始動時に発生した可能性があります。

システムの処置: インストールは続行します。

ユーザーの処置: インストールされた定義がユーザーの要件に対応しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. GROUP/LIST
3. *name*
4. *opid*
5. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4844 W *applid restype resname1 in group grpname1 has the same name as a restype later in group grpname2.*

説明: CHECK コマンドが重複オブジェクト名を検出しました。

システムの処置: CHECK コマンドにはありませんが、これらの定義がインストールされた場合には、前の定義は無視されます。両方とも同じ CICS テーブルに属しており、このテーブルでは重複した項目は存在できないからです。

ユーザーの処置: 重複状態が存在する理由を突き止めて、必要な場合はこれを修正してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4845 W *applid restype1 resname1 referenced by restype2 resname2 in group grpname cannot be found.*

説明: CHECK コマンドが、トランザクション定義で、存在しないオブジェクト定義の参照を検出しました。

システムの処置: CHECK コマンドでは何も行われませんが、その定義がインストールされ、使用される場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: オブジェクト定義が見つけれられない理由を突き止めて、必要な場合はこれを修正してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4846 W *applid The xxxxxxxx of transaction tranid1 in group grpname duplicates that of transaction tranid2 in group grpname.*

説明: CHECK コマンドが、別のトランザクションと同じ別名を持つトランザクション定義を見つけました。

システムの処置: CHECK コマンドについては、システムの処置は発生しません。ただし、その定義をインストールし使用した場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 重複状態が発生する理由を突き止めて、必要な場合はこれを修正してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4847 W *applid RELOAD(YES) has been specified for non-RPG program progname referenced by transaction tranid in group grpname.*

説明: CHECK コマンドが、RELOAD=YES が指定された、非 RPG II プログラムを参照するトランザクション定義を見つけました。

システムの処置: 定義がインストールされる場合、言語が RPG II でなければ、CICS は、トランザクションによって呼び出される最初のプログラムのストレージを解放しません。

ユーザーの処置: RELOAD (NO) を指定してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4848 W *applid Program progname in group grpname specifies language RPG which is not supported on CICS.*

説明: CICS Transaction Server for OS/390 で実行中の CHECK コマンドで RPG II プログラム定義が検出されました。RPG II は、CICS ではサポートされません。

システムの処置: 定義がインストールされると、プログラム言語が上書きされます。

ユーザーの処置: 必要に応じて言語を変更してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4849 W *applid NETNAME netname of {CONNECTION | TERMINAL} rsrcname1 in group grpname1 duplicates that of {CONNECTION | TERMINAL} rsrcname2 in group grpname2.*

説明: CHECK コマンドが NETNAME を持つ接続または端末定義を検出しました。これは、別の接続または端末定義で定義されている NETNAME と同じものです。

システムの処置: CHECK コマンドでは何も行われませんが、同じ NETNAME を持つ、2 台の端末または端末と接続をインストールすることはできません。また、同じ NETNAME の複数の APPC リンク、同じ NETNAME の APPC リンクと LUTYPE6.1 リンク、あるいは同じ NETNAME の複数の IRC 接続を持つこともできません。

DFHAM4850 E • DFHAM4853 E

ユーザーの処置: 重複している名前がある理由を突き止めて、問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4850 E *applid* Install of DB2TRAN
db2tran-name failed because DB2ENTRY
db2entry-name to which it refers has
not been installed.

説明: DB2TRAN *db2tran-name* を CICS システムにインストールしようとしたが、参照されている DB2ENTRY *db2entry-name* がインストールされていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: DB2TRAN 定義で DB2ENTRY の名前が正しいことを確認してください。まず必要な DB2ENTRY 定義をインストールしてから、DB2TRAN のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *db2tran-name*
3. *db2entry-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4851 E *applid* セキュリティー・エラーのため、{ DB2ENTRY | DB2TRAN | DB2CONN | LIBRARY | ATOMSERVICE } *name* のインストールに失敗しました。

説明:

ATOMSERVICE、DB2CONN、DB2ENTRY、DB2TRAN、または LIBRARY *name* を CICS システムにインストールしようとしたが、セキュリティ検査の実行中にエラーが検出されたため、拒否されました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: さらなる手引きについて、セキュリティ・マネージャーによって出された関連メッセージを参照してください。エラーを訂正してください。それから、定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. 以下のオプションから選択される値。

1= DB2ENTRY ,
2= DB2TRAN ,
3= DB2CONN ,
5= LIBRARY ,
11= ATOMSERVICE

3. *name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4852 W *applid* *restype* 名前 *resname* は、
'DFH' または 'EYU' で始まります。
(*applid* *restype* *name* *resname* begins
with 'DFH' or 'EYU'.) Such names are
reserved and may be redefined by
CICS.

説明: DFH または EYU で始まる名前が指定されました。

システムの処置: 定義がインストールされている場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 「DFH」および「EYU」で始まる名前は予約されており、さらに CICS によって再定義される場合があります。「DFH」および「EYU」で始まる名前は避けてください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4853 E *applid* Install of DB2TRAN
db2tran-name failed because another
DB2TRAN is installed with the same
transid.

説明: DB2TRAN *db2tran-name* を CICS システムにインストールしようとしたが、同じトランザクション ID を指定している別の DB2TRAN がインストールされているため、失敗しました。同じトランザクション ID が指定された 2 つの DB2TRAN をインストールすることはできません。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 照会 DB2TRAN コマンドを使用して、インストールされている DB2TRAN 定義を調べ、同じトランザクション ID を指定している DB2TRAN の名前を判別してください。適切な場合は、その DB2TRAN を破棄してから、この DB2TRAN を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *db2tran-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4854 W *applid* **The specified {GROUP | LIST} contains objtype objects but no restype found.**

説明: 指定された GROUP または LIST には、リソース・タイプ *restype* を必要とするオブジェクトが含まれていますが、該当するリソース・タイプが GROUP または LIST にリストされていません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: これはエラーでない可能性があります。GROUP または LIST をインストールする前にリソース・タイプ *restype* がインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4855 W *applid* **DVSUPRT(VTAM) must be specified for PROFILE profname referenced by transaction tranid in group grpname.**

説明: CHECK コマンドが、プロファイル *progrname* 内に DVSUPRT(VTAM) が指定されていない CICS 提供トランザクション *tranid* の定義を見つけました。

システムの処置: その定義をインストールし使用した場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: DVSUPRT(VTAM) を指定してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4856 W *applid* **INBFMH(ALL) must be specified for PROFILE profname referenced by transaction tranid in group grpname.**

説明: CHECK コマンドが、プロファイル *progrname* 内に INBFMH(ALL) が指定されていない CICS 提供トランザクション *tranid* の定義を見つけました。

システムの処置: この定義をインストールし使用した場合には、システムは異常終了コード AXFO を出して異常終了します。

ユーザーの処置: INBFMH(ALL) を指定します。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4857 W *applid* **The specified {GROUP | LIST} contains more than one objtype.**

説明: 指定された GROUP または LIST に、複数のリソース・タイプ *objtype* が含まれています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 重複を除去してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4858 S *applid* **Unable to perform request - DFHCSD not enabled.**

説明: CICS 初期設定に使用されるシステム初期設定テーブル (SIT) に GRPLIST パラメーターが含まれていますが、CSD ファイルが使用不可になっているため、CICS は CSD ファイルを使用できません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: CSD ファイルを使用する場合、次の CICS 初期設定を行う前に、DFHCSD のシステム初期設定パラメーターおよび JCL を確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4859 S *applid* **Unable to perform request - The CSDSTRNO operand in the System Initialization Table (SIT) is too small.**

説明: VSAM スtringが不足していて、CEDA が続行できません。

システムの処置: CEDA コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 他の CEDA ユーザーがセッションを終了するまで待つか、または SIT で並行 CEDA トランザクション数の 2 倍の CSDSTRNO 値を指定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4860 W *applid* The specified LIST contains DB2ENTRY or DB2TRAN definitions before a DB2CONN definition.

説明: 指定された LIST には、DB2CONN 定義を含まないグループ内の DB2ENTRY 定義または DB2TRAN 定義 (あるいはその両方) が含まれています。リストでそれより前に DB2CONN 定義がありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: DB2ENTRY および DB2TRAN 定義を正常にインストールするには、その前に、DB2CONN 定義をインストールする必要があります。DB2CONN 定義がリスト内のすべての DB2ENTRY および DB2TRAN 定義より前のグループに配置されているか、DB2ENTRY または DB2TRAN が含まれているリストの最初のグループに配置されていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4861 W *applid* XTRANID of transaction tranid in group grpname duplicates transaction ID tranid in group grpname.

説明: CHECK コマンドが、グループ *grpname* 内に、その XTRANID が前のトランザクション ID と重複するトランザクション *tranid* を見つけました。

システムの処置: CHECK コマンドについては、システムの処置は発生しません。ただし、これらの定義がインストールされると別名は無視されます。

ユーザーの処置: 重複している名前がある理由を突き止めて、問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4862 W *applid* Transaction id tranid in group grpname duplicates XTRANID of transaction tranid in group grpname.

説明: CHECK コマンドが、グループ *grpname* 内に、その XTRANID が前のトランザクション ID と重複するトランザクション *tranid* を見つけました。

システムの処置: CHECK コマンドについては、システムの処置は発生しません。ただし、これらの定義がインストールされた場合には、メッセージ内の最初のトランザクションが無視されます。

ユーザーの処置: 重複している名前がある理由を突き止めて、問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4863 I *applid* name is now locked. No group or list of that name exists.

説明: LOCK コマンドは正常に実行されましたが、名前 *name* のグループまたはリストが CSD ファイルで見つかりませんでした。

システムの処置: 名前がロックされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4864 S *applid* Unable to perform operation - DFHCSD cannot be opened.

説明: CICS 初期設定に使用されるシステム初期設定テーブル (SIT) に GRPLIST パラメーターが含まれていますが、CICS は次のいずれかの理由で CSD ファイルを使用することができません。

1. 始動 JCL に CSD ファイル (DFHCSD) の定義が含まれていません。
2. CSD ファイルの DDNAME またはデータ・セット名が始動 JCL に正しく指定されていません。
3. VSAM が、CSD ファイルをオープンできないものと診断した。
4. ジョブの REGION= パラメーターで割り振られているストレージが不十分であるため、CICS ファイル制御で DFHCSD をオープンできません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 問題を解決するための処置は、次のように原因によって異なります。

1. JCL を訂正する。
2. JCL を訂正する。
3. システム・オペレーターのコンソール上の VSAM メッセージを調べ、VSAM エラーをすべて訂正する。

4.

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくする。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4865 S *applid* Unable to perform operation - DFHCSD currently accessed by another user.

説明: CICS 初期設定に使用されるシステム初期設定テーブル (SIT) に GRPLIST パラメーターが含まれています。ただし、CICS は CSD ファイルに対する読み取り権限を取得できません。これは、別の領域がそれにアクセスしていて、SHAREOPTIONS(1) または SHAREOPTIONS(2) のいずれかを指定して CSD クラスターが VSAM に定義されているためです。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 2 つ目の CICS 領域が CSD に書き込もうとしている理由を判別してください。詳細については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4866 E *applid* Unable to perform operation: name is IBM protected.

説明: ユーザーが、「DFH」で始まるグループまたはリストの内容を変更しようと試みました。これらは、IBM により保護されています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: IBM 提供のグループまたはリストをコピーし、コピーしたグループまたはリストの変更を行うことができます。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4867 E *applid* File name DFHCSD is reserved and must not be modified.

説明: CSD を CSD 自体に定義することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: SIT オプションによって DFHCSD を定義します。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4868 W *applid* The LSRPOOLNUM of the LSRPOOL *lsrname* in group *grpname* duplicates that of LSRPOOL *lsrname* in group *grpname*.

説明: CEDA CHECK コマンドを呼び出すときに、グループ *grpname* 内に、別の LSRPOOL の LSRPOOLNUM と重複する LSRPOOL 定義 *lsrname* が見つかりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 重複している名前がある理由を突き止めて、問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4869 E *applid* Single resource install of *restype resname* in group *grpname* is not allowed.

説明: 単一リソース・インストールによる *restype resname* のインストールが許可されていません。このインストールは、グループ・インストールを介して行う必要があります。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: グループ *grpname* は、グループ・インストールを介してインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4870 E *applid* Install failed for program *progrname* - language RPG is not supported under MVS.

説明: システム初期設定テーブル (SIT) の GRPLIST パラメーターが、LANGUAGE(RPG) で定義されたプログラム *progrname* を含むグループが入ったリストを指定しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。エラーになっている定義は無視されます。

ユーザーの処置: 正しい LANGUAGE 定義を使用して、プログラム *progrname* を定義し直してください。

モジュール: DFHAMP

DFHAM4871 W • DFHAM4874 E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4871 W *applid* **File filename has been installed but set filename failed.**

説明: DSNNAME と ENABLED の設定が、FILE の INSTALL のメイン・パートとは別個に行われているため、失敗する可能性があります。

システムの処置: ファイルはインストールされていますが、その状態は設定されません。

ユーザーの処置: CEMT SET FILE コマンドを使用します。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *filename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4872 S *applid* **Unable to connect to CICS catalog.**

説明: DFHAMP が、端末インストールのための CICS カタログに接続できませんでした。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4873 S *applid* **Unable to disconnect the CICS catalog.**

説明: DFHAMP が、端末インストールのための CICS カタログを切断できませんでした。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4874 E *applid* **Install of {TSMODEL | ENQMODEL} rsrc-name1 failed because {PREFIX | ENQNAME} attribute-name already exists in {TSMODEL | ENQMODEL} rsrc-name2.**

説明: CICS システムにリソース *rsrc-name1* をインストールしようとしたましたが、属性 *attribute-name* がインストールされているリソース *rsrc-name2* に既に存在しているため、失敗しました。

インストールするリソースが ENQMODEL の場合、同じまたはより総称的なネストされた *enqname* の別の ENQMODEL がインストールされていて、有効になっています。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース *rsrc-name1* をインストールする必要があることが確かな場合は、再インストールを試行する前にリソース *rsrc-name2* を破棄する必要があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

2=*TSMODEL*,
3=*ENQMODEL*

3. *rsrc-name1*
4. 以下のオプションから選択される値。

2=*PREFIX*,
3=*ENQNAME*

5. *attribute-name*
6. 以下のオプションから選択される値。

2=*TSMODEL*,
3=*ENQMODEL*

7. *rsrc-name2*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4875 E *applid* **Unable to perform operation: name is currently being updated by APPLID *applid* OPID *opid* - please retry later.**

説明: ユーザーが参照したグループ/リストの内容を、CEDA の別のユーザーが現在変更を行っているため、ユーザーが出したコマンドが実行されません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: もう一度コマンドを出してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4876 W *applid* **PARTNER *partnername* specifies NETNAME *netname* which is not found in any CONNECTION definition that specifies access method = VTAM.**

説明: 現行グループ内に、指定されたパートナーの中で参照されるネット名のための VTAM 接続がありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4877 W *applid* **PARTNER *partnername* specifies a NETNAME and PROFILE for which there is no common implied SESSIONs definition.**

説明: パートナー定義内のネット名は関連する接続定義を意味し、したがって、セッション定義に関連付けられることになります。パートナー定義で参照されるプロファイル定義は、セッション定義と関連付けることができるモードネームを指定します。

現行グループ内には、指定されたパートナー定義により暗黙指定される共通のセッション定義はありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4878 E *applid* {IPCONN} *resourcename* は、この名前を持つものが既にインストールされ、使用中であるため、インストールできません。

説明: 指定されたリソース *resourcename* を CICS システムにインストールしようとしたますが、インストールされていて使用されているこの名前の既存のリソースが既に存在するため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 指定されたリソース定義を置換または破棄できるのは、そのリソース定義がサービス休止状態の場合のみです。リソースを再インストールしようとする前に、そのリソースをサービス休止状態にしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

9=IPCONN

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4879 W *applid* {GROUP | LIST} *name* **has been partially installed.**

説明: グループまたはリスト *name* に対する INSTALL コマンドの実行中に、グループまたはリスト内の一部のエレメントが正常にインストールされましたが、少なくとも 1 つが失敗しました。

システムの処置: 1 つまたは複数のエレメントのインストールが失敗した理由を示すメッセージが出されました。

ユーザーの処置: すでに出されたメッセージを使用し、インストールが失敗した理由を判別して問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4880 S *applid* **Unable to perform operation - not allowed by file attributes for DFHCSD.**

説明: DFHCSD のシステム初期設定テーブルの CSDACC パラメーターでは、CEDA による入力されたコマンドの完了は許可されません。CSDACC パラメー

ターは、ファイルに使用できるアクセス・タイプを指定します。これは以下のいずれかです。

READWRITE
READONLY

特定のコマンドを機能させるためには、アクセス・タイプを適切に設定する必要があります。

システムの処置: CEDA コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: SIT の CSDACC パラメーターを訂正してください。DFHCSD は、立ち上げ JCL または SIT (あるいはその両方) で定義されます。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4881 I *applid* Group name deleted.

説明: グループ *grpname* が CSD から削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 削除されたグループがどのリストにも表示されていないことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4882 W *applid* The {TPNAME | XTPNAME} of transaction *tranid* in group *grpname* duplicates the {TPNAME | XTPNAME} of transaction *tranid* in group *grpname*.

説明: CHECK コマンドが、別のトランザクションの TPNAME と一致する XTPNAME を持つトランザクションを見つけました。

システムの処置: CHECK コマンドについてシステムの処置は発生しませんが、これらの定義がインストールされると、メッセージ内の最初のトランザクションの XTPNAME または TPNAME が無視されます。

ユーザーの処置: 重複が存在する理由を突き止めてください。問題を解決するには、TPNAME または XTPNAME のいずれかの名前を変更します。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4883 I *applid* List *listname* deleted.

説明: リスト *listname* が CSD から削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 削除されたリストがコールド・スタートまたは初期始動で GRPLIST DFHSIT パラメーターとして使用されていないことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4884 S *applid* *restype* name *resname* is reserved by CICS.

説明: リソース・タイプ *restype* 用に選択した名前 *resname* は CICS によって予約されており、ユーザーは定義することができません。

システムの処置: コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置: *resname* を再定義して、コマンドを再びサブミットしてください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4885 E *applid* IPCONN *resourcename* のインストールに失敗しました。重複するアプリケーション ID *applid* が見つかりました。

説明: IPCONN リソース *resourcename* をインストールしようとしたのですが、IPCONN と同じアプリケーション ID (*applid*) が既にインストールされていることが検出されました。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: 定義をインストールする場合は、CEDA を使用してこの IPCONN のアプリケーション ID を訂正してから、定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4886I applid Installing list listname which matches specified generic list genlist.

説明: システム初期設定テーブル (SIT) の GRPLIST パラメーターで、総称文字が含まれているリスト名 *genlist* を指定しています。CSD ファイルを検索時に、指定の総称リストと一致するリスト名 *listname* が見つかりました。

システムの処置: リスト名 *listname* はインストールされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *listname*
3. *genlist*

宛先: コンソール

DFHAM4887 I applid Unrecognized resource type found in the CSD file and has been ignored.

説明: CICS が、認識されていないリソース・タイプ・コードを CSD レコード内で検出しました。認識されていないコードは、言語定義テーブルの中のいずれの機能コードとも一致していません。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

1.

新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2.

言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3.

CSD マネージャー (DFHDMP) が、無効な CSD レコード・バッファーを DFHPUP に渡した。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: リソースは無視され、操作は続行されます。

ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

- 1.

メッセージを無視します。

- 2.

実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。

- 3.

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4888 I applid Group groupname removed from list listname.

説明: DELETE コマンドの実行中に、グループ *groupname* が CSD から削除されました。その結果、リスト *listname* が更新され削除されたグループがリストから除去されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4889 E applid Install of {JOURNALMODEL | TSMODEL | TCPIPService | CORBASERVER | IPCONN | URIMAP} resourcename failed because attribute attname is invalid.

説明: *resourcename* という名前の JOURNALMODEL、TSMODEL、TCPIPService、CORBASERVER、IPCONN、または URIMAP を CICS システムにインストールしようとしたが、指定されている attribute *attname* が無効であるため、失敗しました。*attribute* が CERTIFICATE である場合、これは以下のいずれかの理由による可能性があります。

- 指定された証明書が存在しない
- 指定された証明書が正しく構成されていない
- 指定された証明書に関連付けられた秘密鍵がない
-

DFHAM4890 E • DFHAM4893 I

指定された証明書が正しい USAGE を使用して鍵リングに接続されていない

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース定義の無効なパラメーターを訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*JOURNALMODEL*,
2=*TSMODEL*,
7=*TCPIPSERVICE*,
8=*CORBASERVER*,
9=*IPCONN*,
10=*URIMAP*

3. *resourcenam*
4. *attribute*
5. *attname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4890 E *applid* **Install of TDQUEUE**
tdqname **failed because the TYPE has**
not been specified.

説明: 指定された TDQUEUE *tdqname* をローカル CICS システムにインストールしようとしたが、REMOTESYSTEM 属性を指定して定義されていて TYPE を判別できないため、失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: REMOTE 属性と TYPE の両方を指定して、定義を二重目的にしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tdqname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4891 W *applid* *restype* **name** *resname* **begins**
with 'C'. Such names are reserved and
may be redefined by CICS.

説明: C で始まるリソース名が指定されました。C で始まる名前は予約されており、CICS によって再定義される可能性があります。

システムの処置: 定義がインストールされている場合に

は、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 別のリソース名を指定してください。

モジュール: DFHAMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHAM4892 W *DATE TIME APPLID* **Install for**
group *grpname* **has completed with**
errors.

説明: グループ *grpname* のインストールが完了しました。インストールに有効なすべてのリソースがインストールされ、該当する場合は CICS カタログに記録されました。グループ内の一部のリソースのインストール時にエラーが発生し、該当するリソースがバックアウトされました。

システムの処置: CICS を続行します。CICS は、各インストール失敗の原因を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: CEDA が使用されている場合は、メッセージ・パネルで使用できる関連メッセージ、またはシステム始動時に一時データ・キュー CSMT および CADL に対して出された関連メッセージを使用して、エラーの原因を判別してください。エラーの原因が解消されたら、欠落している定義をインストールするためにグループを再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *grpname*

宛先: CADL

DFHAM4893 I *date time applid* **Install for group**
grpname **has completed successfully.**

説明: グループ *grpname* のインストールが完了しました。インストールに有効なすべてのリソースがインストールされ、該当する場合は CICS カタログに記録されました。

システムの処置: CICS は続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *grpname*

宛先: CADL

DFHAM4894 E *applid* **Install of {ENQMODEL}**
rsrcname1 **failed because installed**
{ENQMODEL} rsrcname2 is not
disabled.

説明: リソース *rsrcname1* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、リソース *rsrcname2* が既にインストールされていて使用不可になっていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース *rsrcname1* をインストールするには、その前にリソース *rsrcname2* を使用不可にするか破棄する必要があります。リソース *rsrcname2* を必要な状態にしてから、新しい定義をインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

3=*ENQMODEL*

3. *rsrcname1*

4. 以下のオプションから選択される値。

3=*ENQMODEL*

5. *rsrcname2*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4895 E *applid* **Install of TSMODEL**
resourcename **in group** *groupname* **failed**
because TS was started using an
assembled TST without the MIGRATE
option.

説明: CICS システム上でグループ *groupname* に TSMODEL *resource_name* をインストールしようとしたましたが、MIGRATE オプションを指定せずにアセンブルされた TST を使用してシステムが開始されたため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: RDO を使用して TSMODEL をインストールする場合は、TYPE=(INITIAL,MIGRATE) オプ

ションを指定してアセンブルされた TST を使用して CICS を開始するか、SIT パラメーターで TST を指定しないでください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*
3. *groupname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4896 E *applid* **Install of TDQUEUE**
tdqname **failed because the queue is**
not closed.

説明: 一時データ・キュー *tdqname* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、この区画外 TD キューに関連付けられているデータ・セットがクローズされていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 再定義するには、その前に、区画内キューを使用不可にし、区画外キューを使用不可にしてクローズする必要があります。キューが必要な状態になっていることを確認してから、新しい定義をインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tdqname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4897 W *applid* **The definition of**
{TDQUEUE | TCPIP SERVICE}
resourcename **specified**
{OPENTIME=INITIAL |
STATUS=OPEN} but the open failed.

説明: リソース名 *resourcename* を CICS システムにインストールしようとして成功しましたが、リソースをオープンすることができません。

システムの処置: 定義はインストールされています。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別して、リソースをオープンしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

DFHAM4898 E • DFHAM4901 E

2. 以下のオプションから選択される値。

1=TDQUEUE,
7=TCPIPSERVICE

3. *resourcename*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=OPENTIME=INITIAL,
7=STATUS=OPEN

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4898 E *applid* ストレージ不足のため、
{TDQUEUE | PROCESSTYPE |
LIBRARY | ATOMSERVICE}
resourcename のインストールに失敗しま
した。

説明: CICS システム上にリソース *resourcename* をイ
ンストールしようとしたが、項目を作成するための
十分なストレージが使用可能でないために失敗しまし
た。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してく
ださい。 ストレージ問題の扱い方に関する手引きにつ
いては、「トラブルシューティングおよびサポート」を
参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=TDQUEUE,
2=PROCESSTYPE,
5=LIBRARY,
11=ATOMSERVICE

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4899 E *applid* TDQUEUE *tdqname* cannot
be replaced because the existing
definition is for a different queue
type.

説明: 一時データ・キュー *tdqname* を CICS システム
にインストールしようとしたが、その定義タイプが
システムに既に定義されている定義のタイプと異なるた
め、失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: システムに現在インストールされてい
るものと同じタイプになるように新しい定義を変更する
か、現在の定義を破棄してから、新しい定義をインス
トールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tdqname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4900 W DATE TIME APPLID Install of
obsolete group *grpname* detected.

説明: 廃止されたグループ *grpname* のインストールが
検出されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: このリリースの CICS では、示され
たグループをインストールしないでください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. *grpname*

宛先: CADL

DFHAM4901 E *applid* Install of REQUESTMODEL
resourcename1 failed because a
duplicate pattern already exists in
resourcename2.

説明: リソース *resourcename1* を CICS システムにイ
ンストールしようとしたが、重複するパターンが
resourcename2 で見つかったため、失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース *resourcename1* 用にインス
トールされるパターンを、*resourcename2* 用にインス
トールされるものに照らして確認してから、インストール
を再試行してください。

モジュール: DFHAMOP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename1*
3. *resourcename2*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4902 E *applid* **Install of** { CORBASERVER | REQUESTMODEL } *resourcename* **failed because it is not a valid** { CORBASERVER | REQUESTMODEL } **for this level of CICS.**

説明: リソース *resourcename* をこの CICS システムにインストールしようとしたが、CICS の現行レベルに必要な属性が含まれていなかったため、失敗しました。定義されているリソースが REQUESTMODEL だった場合、エラーは、*corbaserver* 名がブランクであるということです。ブランクの *corbaserver* 名であることは、要求モデルがこの CICS システムの正しいレベルにないことを示します。定義されているリソースが CORBASERVER であった場合、エラーは、このレベルの CICS に必須の UNAUTH *tcipSERVICE* 名が定義で欠落していたということです。

システムの処置: リソース *resourcename* の定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 正しいレベルの CSD を使用していることを確認するか、必要に応じて新しい属性を使用してリソース *resourcename* を再定義してください。

モジュール: DFHAMOP、DFHAMEJ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= CORBASERVER ,
2= REQUESTMODEL

3. *resourcename*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= CORBASERVER ,
2= REQUESTMODEL

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4903 E *applid* **Install for TCIPSERVICE** *tcipSERVICE* **has failed because the service is open.**

説明: サービスがオープンされていたため、TCIPSERVICE *tcipSERVICE* のインストールが失敗しました。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: サービスをクローズして、インストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4904 W *applid* **Opening TCIPSERVICE** *tcipSERVICE* **has failed because port** *portno* **is already in use.**

説明: 指定したポート番号が使用中のため、TCIPSERVICE *tcipSERVICE* のオープンが失敗しました。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0109 が、一時データ・キュー CSOO に出されます。

ユーザーの処置: 指定されたポート番号が使用中でないかどうかを検査してください。詳細については、メッセージ DFHSO0109 の説明を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *portno*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4905 E *applid* **Install failed for resource.** **Option** *opt* **is not available on this system.**

説明: 現行の CICS システムは示されたオプション *opt* をサポートするよう構成されていないため、リソース *resource* のインストールが失敗しました。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: 示されたオプションをサポートするための適切なシステム初期設定パラメーターを指定して CICS システムを再構成します。その後で CICS を再始動してください。

モジュール: DFHAMDH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resource*
3. *opt*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4906 W *applid* Opening TCPIPService
*tcipSERVICE has failed because port
 portno is not authorized.*

説明: 指定したポート番号が許可されていないため、TCPIPService *tcipSERVICE* のオープンが失敗しました。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0111 が一時データ・キュー CSOO に書き込まれます。

ユーザーの処置: 許可されているポートを選択します。詳細については、メッセージ DFHSO0111 の説明を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *portno*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4907 W *applid* Opening TCPIPService
*tcipSERVICE has failed because the {IP
 address | host} is not known.*

説明: 指定された IP アドレスまたは指定されたホストが不明であるため、TCPIPService *tcipSERVICE* のオープンに失敗しました。IPv6 アドレスが明示的に使用されるか、または指定されたホストが IPv6 アドレスに解決されるために IPv6 アドレスが使用される場合、TCP/IP スタックで IPv6 がサポートされていないければ、オープンに失敗します。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0110 またはメッセージ DFHSO0117 が一時データ・キュー CSOO に書き込まれます。

ユーザーの処置: TCP/IP スタックで使用する IP アドレスのタイプがサポートされることを確認し、ホストまたは IP アドレスが認識されていることも確認してください。

IPv6 アドレスが使用されている場合は、TCP/IP スタックが IPv6 をサポートすることを確認してください。Netstat を使用してスタックに関する情報を見つける方法について、「z/OS Communications Server IP Diagnosis Guide」を参照してください。

詳細については、メッセージ DFHSO0110 またはメッセージ DFHSO0117 の説明を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. 以下のオプションから選択される値。

1=IP アドレス,
 2=ホスト

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4908 E *applid* Install of DOCTEMPLATE
*doctemplate1 failed because
 TEMPLATENAME(template) already
 exists in DOCTEMPLATE doctemplate2.*

説明: 選択した TEMPLATENAME は文書テンプレート *doctemplate2* の完全名としてすでに使用中のため、DOCTEMPLATE *doctemplate1* のインストールが失敗しました。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: *doctemplate1* に別の TEMPLATENAME を選択するか、*doctemplate2* に対する文書テンプレート定義を廃棄してください。

モジュール: DFHAMDH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *doctemplate1*
3. *template*
4. *doctemplate2*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4909 E *applid* Install of DOCTEMPLATE
*doctemplate failed. DDNAME(ddname)
 not found.*

説明: DOCTEMPLATE *doctemplate* のインストールが失敗しました。選択された DDNAME(*ddname*) が、現行 CICS ジョブの JCL 内の区分データ・セットのデータ定義ステートメントの名前でないためです。*ddname* は、文書ハンドラー・ドメインによって使用される文書テンプレートが含まれている PDS に割り振る必要があります。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: 現行 CICS ジョブの JCL 内に存在している DDNAME を選択するか、CICS を停止してから、必要な DD ステートメントを追加して CICS を再始動してください。

モジュール: DFHAMDH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *doctemplate*
3. *ddname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4910 E *applid* **Install of DOCTEMPLATE doctemplate failed. MEMBER (membername) not found in ddname.**

説明: DOCTEMPLATE *doctemplate* のインストールが失敗しました。メンバー *membername* が、*ddname* 連結で指定されている区分データ・セットのいずれでも見つからなかったためです。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: 指定したテンプレート・ライブラリーのいずれかにメンバー *membername* が存在していることを確認してから、それを参照する DOCTEMPLATE をインストールしてください。

モジュール: DFHAMDH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *doctemplate*
3. *membername*
4. *ddname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4911 W *applid* **Transaction *tranid* installed but at least one of ALIAS, TASKREQ or XTRANID failed to be replaced because it exists as a primary transaction.**

説明: トランザクション *tranid* が正常にインストールされましたが、示されている別名 (ALIAS、TASKREQ、または XTRANID) の少なくとも 1 つが、1 次トランザクションとして既に存在するため、インストールできませんでした。これには、現行トランザクションが含まれます。

システムの処置: リソースはインストールされますが、別名はインストールされません。

ユーザーの処置: どの別名が 1 次トランザクション ID と競合しているのかを判別し、その名前を変更してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *tranid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4912 E *applid* **attribute が無効であるため、resource *resourcename* のインストールに失敗しました。**

説明: *resourcename* という名前のリソース *resource* をこの CICS システムにインストールしようとしたことが失敗しました。指定された *attribute* が廃止された属性で、無効であるためです。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース定義の無効なパラメーターを除去してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resource*
3. *resourcename*
4. *attribute*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4913 E *applid* {IPCONN} *resourcename* のインストールは、この名前が **APPLID** が異なる **CONNECTION** リソースが既にインストールされているために失敗しました。

説明: 指定されたリソース *resourcename* を CICS システムにインストールしようとしたことが、別の APPLID のインストールされているこの名前の既存の CONNECTION リソースが既に存在するため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 同じ名前の IPCONN および CONNECTION は同じシステムを表す必要があるため、IPCONN APPLID および CONNECTION NETNAME は同じでなければなりません。正しくないものを設定し、再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

9=IPCONN

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4914 E *applid resourcetype resourcename* のインストールに失敗しました。指定された *targetresource* は使用できません。

説明: 関連付けられているターゲット・リソース *targetresource* が使用不能であるため、リソース *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: ターゲット・リソースが使用不能である理由を判別します。存在しないか、または使用前に定義されていなかった可能性があります。参照先のターゲット・リソースを作成または定義してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcetype*
3. *resourcename*
4. *targetresource*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4915 E *applid resourcetype resourcename* のインストールに失敗しました。データ・セット *dsname* のオープンが異常終了しました。

説明: リソース *resourcename* をインストールできません。それを含んでいるデータ・セット *dsname* のオープン中に異常終了が発生したためです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: データ・セットをオープンすることができなかった理由について説明している、前の IEC143I、IEC144I、IEC145I、IEC148I、IEC150I、または IEC153I メッセージを探してください。関連メッセージで説明されている問題をすべて訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcetype*
3. *resourcename*
4. *dsname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4916 E *applid TCPIPService tcpipservice* has not been opened because the MAXSOCKETS limit has been reached.

説明: システム内のアクティブ・ソケットの数が現行 MAXSOCKETS 値と等しいため、TCPIPService *tcpipservice* がオープンされませんでした。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: ご使用の MAXSOCKETS 設定が、通常のシステム負荷を処理するのに十分かどうかを判別してください。十分である場合は、これは、ソケットを使用している作業でのピークによって引き起こされた一時的な状態である可能性があり、作業負荷が減ってから CEMT を使用して TCPIPService をオープンできることがあります。十分でない場合は、CEMT SET SYSTEM を使用して、システム内のソケット数を増やしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcpipservice*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4917 W *applid { CORBASERVER | TCPIPService | IPCONN | URIMAP } resourcename* は CIPHER コードの削減セットでインストールされました。

説明: 指定されたリソース *resourcename* がインストールされましたが、実行中のシステムが指定された暗号のすべてはサポートしていなかったため、そのリソースが最初に定義されていた暗号コードのセットがインストール時に削減されました。

システムの処置: リソースは、削減された暗号コードのセットでインストールされます。

ユーザーの処置: CIPHERS 設定が受け入れられるかどうかを判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= CORBASERVER ,
7= TCPIPService ,
9= IPCONN ,
10= URIMAP

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4918 E *applid* 要求した **CIPHER** リストが
リジェクトされたため、{
CORBASERVER | TCPIPService |
IPCONN | URIMAP } *resourcename* のイ
ンストールに失敗しました。

説明: リソースに対して指定されたすべての暗号コード
が実行中のシステムによって拒否されたため、リソース
resourcename をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 現在の MVS システムに対して指定
する必要がある CIPHERS 設定を判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= CORBASERVER ,
7= TCPIPService ,
9= IPCONN ,
10= URIMAP

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4919 E *applid* **The installation of/**
TCPIPService | IPCONN | URIMAP
} *resourcename* has failed because
CIPHERS file *filename* was not found.

説明: CIPHERS ファイルが見つからなかったため、リ
ソース *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: CIPHERS ファイル名を訂正してくだ
さい。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

7= TCPIPService ,
9= IPCONN ,
10= URIMAP

3. *resourcename*4. *filename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4920 E *applid* **The installation of/**
CORBASERVER | DJAR | PIPELINE |
WEBSERVICE | LIBRARY | BUNDLE |
JVMSEVER } *resourcename* has failed
because it is a duplicate of one that
already exists.

説明: この名前のリソースが実行中の CICS システム
に既に存在するため、指定されたリソース *resourcename*
のインストールが失敗しました。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 一部のリソースでは、更新 (追加/置
換) を実行できません。システムに認識されていない別
のリソース名を選択してください。あるいは、同じリソ
ース名を使用する場合は、まずそのリソースを破棄する
必要があります。リソースは、破棄または更新する前に
使用不可にする必要がある場合があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= CORBASERVER ,
2= DJAR ,
3= PIPELINE ,
4= WEBSERVICE ,
5= LIBRARY ,
6= BUNDLE ,
7= JVMSEVER

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4928 E *applid* **Install of {TCPIPService |**
CORBASERVER | IPCONN | URIMAP}
***resourcename* failed because the**
specified certificate *attname* {is expired |
is not yet current | does not have a
private key | is not trusted | is not
found}.

説明: 指定された証明書が使用不可であるため、リソ
ース *resourcename* をインストールできません。メッセ
ージの説明部分にその理由が示されます。
有効期限が切れている

証明書が有効でなくなる日時が既に過ぎています。
現行ではない

証明書が有効になる日時に到達していません。
秘密鍵がない

指定された証明書に秘密鍵が含まれていません。クライアント認証を使用した SSL が可能なのは、証明書に関連付けられている秘密鍵を所有している場合のみです。

このエラーは、ユーザーが IRR.DIGTCERT.GENCERT へのアクセス権限を持たないため秘密鍵にアクセスできない場合に発生することがあります。

信頼できない

証明書には、セキュリティー管理者によって NOTRUST 属性が付与されています。これは、証明書が使用されないことを示します。

見つからない

証明書が見つかりません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 鍵リングにある証明書を使用可能な証明書に置き換えるか、別の証明書を指定してください。

「秘密鍵がない」というメッセージ挿入部分がある場合は、システム・ログを調べて、IRR.DIGTCERT.GENCERT にアクセスする権限がないことを示す RACF メッセージを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

7=TCPIPSERVICE,
8=CORBASERVER,
9=IPCONN,
10=URIMAP

3. *resourcename*
4. *attname*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=有効期限が切れている,
2=現行ではない,
3=秘密鍵がない,
4=信頼できない,
5=見つからない

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4929 E *applid {URIMAP}(resourcename) was not installed because of conflicting attributes.*

説明: リソース *resourcename* は、指定された属性が不整合であるため、インストールできません。属性の不整合は RDO DEFINE コマンドで解決する必要があるため、これは、CICS 内の内部問題を示している可能性があります。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 競合している属性を除去してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

10=URIMAP

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4930 E *applid urimap2* と同じ **URI** をマップするため、**URIMAP** (*urimap1*) はインストールしません。

説明: URIMAP *urimap1* は、既にインストールされている *urimap2* と同じ HOST および PATH (およびオプションの TCPIPSERVICE) をマップするため、インストールできません。各 URIMAP は、これらのパラメーターの固有の組み合わせをマップする必要があります。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 別の HOST、PATH、または TCPIPSERVICE 属性を指定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *urimap1*
3. *urimap2*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4931 E *applid* **The installation of WEBSERVICE** *resourcename* **failed because the associated {WSBIND file | PIPELINE} does not exist.**

説明: 関連 PIPELINE がみつからないため、

WEBSERVICE *webservice* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: PIPELINE 定義が正しく、PIPELINE がインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*
3. 以下のオプションから選択される値。

2=*WSBIND* ファイル,

3=*PIPELINE*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4932 E *applid* The installation of
{*PIPELINE* | *WEBSERVICE*}
resourcename failed because the {*zFS file*
| *PIPELINE*} setup was not correct.

説明: セットアップ・エラーのため、WEBSERVICE *webservice* または PIPELINE *pipeline* をインストールできません。*zFS* ファイルに正しい許可がないか、PIPELINE モードが正しくありません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: パイプラインおよび Web サービスの *zFS* ファイル定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

3=*PIPELINE*,

4=*WEBSERVICE*

3. *resourcename*

4. 以下のオプションから選択される値。

2=*zFS* ファイル,

3=*PIPELINE*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4933 E *applid* 指定された **WSDIR** ファイル
がアクセス不可のため、**PIPELINE**
resourcename のインストールに失敗しま
した。

説明: PIPELINE *pipeline* をインストールできません。

指定されている **WSDIR** が正しくないため、ディレクト
リにアクセスできないからです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 大/小文字が区別されることに注意
し、**WSDIR** の *zFS* ファイル定義が正しいことを確認
してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4934 E *applid* **HOSTCODEPAGE** *hcodepage*
が **CHARACTERSET** *charset* との組み合
わせでは無効のため、**URIMAP**
resourcename のインストールに失敗しま
した。

説明: **URIMAP** リソース *resourcename* は、指定され
た属性が不整合であるため、インストールできません。
ほとんどの不整合は、リソース定義時に除去されます。
ただし、**URIMAP** リソースの場合、**HOSTCODEPAGE**
属性に指定された値と **CHARACTERSET** 属性に指定さ
れた値の整合性は、インストール時まで判別できませ
ん。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: **URIMAP** に指定された

CHARACTERSET 値と **HOSTCODEPAGE** 値の組み合
わせが、リソース *resourcename* をインストールしよう
としている **CICS** システムによってサポートされている
ことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*
3. *hcodepage*
4. *charset*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4935 E *applid* **KEYRING** にデフォルトの認
証がないため、{**TCPIPSERVICE** |
CORBASERVER | **IPCONN** | **URIMAP**}
resourcename のインストールに失敗しま
した。

説明: 指定されたリソース *resourcename* はインストール
されません。**CERTIFICATE** 属性に証明書ラベルが指

定されておらず、かつこの CICS システムの鍵リングにデフォルト証明書が存在しないためです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: *resourcename* の CERTIFICATE 属性に有効な証明書ラベルを指定するか、または鍵リング内の証明書の 1 つをデフォルトとして指定してください。

z/OS Security Server (RACF) を使用している場合は、RACDCERT コマンドを使用して、デフォルトとして証明書を指定してください。

注: 証明書を追加または削除するか、証明書の状況をデフォルトに、またはデフォルトから変更することによって、鍵リングを変更した場合、その変更は CICS アドレス・スペースを再始動するまで CICS に反映されません。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

7=TCPIPService,
8=CORBASERVER,
9=IPCONN,
10=URIMAP

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4936 E *applid* **The installation of BUNDLE *resourcename* failed because the manifest found was not valid.**

説明: 見つかったマニフェストが無効であるため、BUNDLE *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: バンドルのルート・ディレクトリー内のマニフェストが有効であることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4937 E *applid* **The installation of BUNDLE *resourcename* failed because a manifest was not found.**

説明: マニフェストが見つからなかったため、BUNDLE *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: BUNDLEDIR に指定されているルート・ディレクトリーが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4938 W *applid* **BUNDLE *resourcename* has been installed as disabled because one or more of its associated resources failed to install.**

説明: BUNDLE *resourcename* の関連リソースの 1 つ以上を適切にインストールできませんでした。

システムの処置: リソースは、使用不可としてインストールされます。

ユーザーの処置: ログで出されたエラー・メッセージを調べて、関連リソースのインストール失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4939 E *applid* **The installation of ATOMSERVICE *resourcename* failed due to a configuration error.**

説明: ATOMSERVICE *resourcename* は、正常に構成できなかったため、インストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: ATOMSERVICE *resourcename* に定義されている CONFIGFILE が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4940 E *applid* **Install of MQCONN**
mqconn-name **failed because an**
MQCONN is already installed and is
in use.

説明: MQCONN *mqconn-name* を CICS システムにインストールしようとしたが、インストールされている既存の MQCONN があり、それが CICS-MQ アダプターによって使用中であるため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 一度に CICS システムにインストールできる MQCONN は 1 つだけです。2 つ目の MQCONN をインストールすると、最初の MQCONN およびそれに関連付けられている MQINI が暗黙的に破棄されます。

MQCONN 定義は、CICS-MQ アダプターによって使用されていない場合にのみ、置換または破棄することができます。MQCONN 定義をインストールしようとする前に、CICS-MQ インターフェースが停止していることを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *mqconn-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4941 E *applid* **The installation of**
{ATOMSERVICE} resourcename failed
because the {CONFIGFILE | BINDFILE}
does not exist.

説明: CONFIGFILE または BINDFILE として指定された UNIX System Services ファイルが存在しないため、指定された *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 適切なファイルが定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

11=ATOMSERVICE

3. *resourcename*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=CONFIGFILE,
2=BINDFILE

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4942 E *applid* **The installation of**
{ATOMSERVICE} resourcename failed
because CICS does not have authority
to access the {CONFIGFILE |
BINDFILE}.

説明: CONFIGFILE または BINDFILE として指定された UNIX System Services ファイルにアクセスするための許可を CICS 領域ユーザー ID が備えていないため、指定された *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: CICS 領域ユーザー ID がアクセスできる別のファイルの名前を指定するか、UNIX System Services のファイル許可機能 (chmod コマンドなど) を使用して、指定したファイルにアクセスするための許可を CICS 領域ユーザー ID に付与してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

11=ATOMSERVICE

3. *resourcename*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=CONFIGFILE,
2=BINDFILE

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4943 E *applid* **The installation of**
{ATOMSERVICE} resourcename failed
because the associated {CONFIGFILE |
BINDFILE | URIMAP} is invalid.

説明: 関連付けられている

CONFIGFILE、BINDFILE、または URIMAP が無効で

DFHAM4944 W • DFHAM4946 E

あると判明したため、指定された *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 無効な CONFIGFILE または BINDFILE を訂正してください。失敗が URIMAP に対するものである場合は、CICS にインストールされている別の URIMAP で同じパスが指定されていることが原因である可能性があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

11=ATOMSERVICE

3. *resourcename*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CONFIGFILE,
2=BINDFILE,
3=URIMAP

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4944 W *applid JVMSERVER resourcename*
は、定義で要求した数より少ないスレッド
でインストールされました。

説明: 指定された JVMSERVER *resourcename* が、リソース定義で要求された THREADLIMIT 値よりも少ないスレッドでインストールされました。

システムの処置: リソースは、制限されたスレッドでインストールされます。

ユーザーの処置: JVMSERVER 定義で正しい THREADLIMIT が指定されていることを確認してください。THREADLIMIT が正しい場合は、この JVMSERVER がより多くのスレッドを獲得できるように、他のインストールされている JVMSERVER の THREADLIMIT 値を小さくすることを検討してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4945 W *applid JVMSERVER resourcename*
has been installed as disabled with a
THREADLIMIT of 0.

説明: 指定された JVMSERVER *resourcename* は、実行中の CICS システムで使用可能なスレッドが不足しているため、THREADLIMIT 値 0 で使用不可としてインストールされました。

システムの処置: リソースは、使用不可としてインストールされます。

ユーザーの処置: JVMSERVER 定義で正しい THREADLIMIT が指定されていることを確認してください。THREADLIMIT が正しい場合は、この JVMSERVER がスレッドを獲得して使用可能になれるように、他のインストールされている JVMSERVER の THREADLIMIT 値を小さくすることを検討してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4946 E *applid* The installation of
{BUNDLE} *resourcename* failed because
CICS does not have authority to
access the manifest found in the
bundle root directory.

説明: 指定された *resourcename* はインストールできません。CICS 領域ユーザー ID が、BUNDLEDIR に指定されているバンドル・ルート・ディレクトリーにあるマニフェストにアクセスする許可を備えていないためです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: CICS 領域ユーザー ID がアクセスできる別のファイルの名前を指定するか、UNIX System Services のファイル許可機能 (chmod コマンドなど) を使用して、指定したファイルにアクセスするための許可を CICS 領域ユーザー ID に付与してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

6=BUNDLE

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4947 E *applid* 予期しないリソース・エラーが発生したため、{BUNDLE} *resourcenam*e のインストールに失敗しました。

説明: 予期しないエラーが発生したため、指定された *resourcenam*e をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 出された他のエラー・メッセージを調べ、適切な処置をとってください。問題が解決しない場合は、IBM サポート担当員に連絡してさらに支援を受けてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

6=BUNDLE

3. *resourcenam*e

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4948 E *applid* このリリースでは *resourcetype* リソースのインストールはサポートされていません。このタイプのリソースをサポートする最後のリリースは、CICS Transaction Server バージョン *version.release* でした。

説明: このリリースでは、*resourcetype* リソースの定義をインストールできません。このタイプのリソースをサポートする最後のリリースは、CICS Transaction Server バージョン *version.release* でした。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 該当するリソースの使用を確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcetype*
3. *version.release*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4949 E *applid restype resname* は既に BUNDLE リソースによってインストールされているため、インストールに失敗しました。

説明: リソース定義 *restype resname* を CICS システムにインストールしようとしたが、このリソースは BUNDLE リソースによって既にインストールされているため、インストールは失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: 新しいリソース定義をインストールするには、現在インストールされているリソースを破棄してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *restype*
3. *resname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4950 E *applid restype resname* は既にインストールされているため、BUNDLE 定義は失敗しました。

説明: BUNDLE 定義リソース *restype resname* を CICS システムにインストールしようとした。このリソースが既にインストールされているため、インストールに失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: 新しいリソース定義をインストールするには、現在インストールされているリソースを破棄してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *restype*
3. *resname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4951 E *applid BASESCOPE* 属性が無効であるため、{BUNDLE} *resourcenam*e のインストールに失敗しました。

説明: BASESCOPE 属性が無効であるため、指定された *resourcenam*e をインストールできません。

DFHAM4952 E • DFHAM4956 E

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 定義されているフォーマットについて BASESCOPE 属性が適切な形式になっていることを確認してから、リソースを再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

6=BUNDLE

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4952 E *applid* スタンドアロン CICS バンドル *resourcename* のインストールが失敗しました。その ID とバージョンが既存のスタンドアロン CICS バンドルと重複しているためです。

説明: 指定されたリソース *resourcename* のインストールが失敗しました。アプリケーションまたはプラットフォームの一部としてインストールされなかった、同じ ID およびバージョンの CICS バンドルが、実行中の CICS システムに既に含まれているためです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 新しいバンドルを作成するには、その前に、既存のバンドルを破棄する必要があります。重複したバンドルのバンドル ID およびバージョンを判別するには、一時データ・キュー CRLO に書き込まれるメッセージ DFHRL0125 を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4953 E *applid restype resname* は BUNDLE リソースから既にロードされているため、インストールに失敗しました。

説明: リソース定義 *restype resname* を CICS システムにインストールしようとしたのですが、このリソースは BUNDLE リソースによってインストールされた LIBRARY から既にロードされているため、インストールは失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: 新しいリソース定義をインストールするには、現在インストールされているリソースを破棄してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *restype*
3. *resname*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4954 W *applid* The installation of {URIMAP} *resourcename* is successful, but no certificate label was specified in the CERTIFICATE attribute, and no default certificate exists in the keyring for this CICS system.

説明: 指定された URIMAP *resourcename* は正常にインストールされますが、証明書ラベルが CERTIFICATE 属性に指定されておらず、かつこの CICS システムの鍵リングにデフォルトの証明書が存在しません。

システムの処置: URIMAP リソースは、証明書の指定なしでインストールされます。

ユーザーの処置: CERTIFICATE 設定が受け入れられるかどうかを判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

10=URIMAP

3. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4956 E *applid* Opening TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* has failed because its specific TCPIP SERVICE *specifTCPS* is not installed.

説明: TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* は、必要とする特定の TCPIP SERVICE *specifTCPS* がインストールされていないため、オープンできませんでした。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: このリソースをオープンしようとする前に、特定の TCPIP SERVICE をインストールしてオープンしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4957 E *applid* Opening TCIPSERVICE *tcipSERVICE* has failed because its specific TCIPSERVICE *specifTCPS* is not open.

説明: TCIPSERVICE *tcipSERVICE* をオープンしようとしたが、必要な特定の TCIPSERVICE *specifTCPS* がオープンでないため、失敗しました。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: このリソースをオープンしようとする前に、特定の TCIPSERVICE をオープンしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4958 E *applid* Opening TCIPSERVICE *tcipSERVICE* has failed because its specific TCIPSERVICE *specifTCPS* is in use by another TCIPSERVICE.

説明: TCIPSERVICE *tcipSERVICE* をオープンしようとしたが、必要な特定の TCIPSERVICE *specifTCPS* が別の一般的な TCIPSERVICE に現在関連付けられているため、失敗しました。任意の時点で特定の TCIPSERVICE を使用できる一般的な TCIPService は 1 つのみです。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: この TCIPSERVICE を変更して、別の特定の TCIPSERVICE の名前が含まれるようにしてから、再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *tcipSERVICE*

3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4959 E *applid* Opening TCIPSERVICE *tcipSERVICE* failed because its specific TCIPSERVICE *specifTCPS* has different security settings.

説明: TCIPSERVICE *tcipSERVICE* をオープンしようとしたが、特定の TCIPSERVICE *specifTCPS* に異なるセキュリティ設定が含まれているため、失敗しました。オープンを正常に行うには、両方のリソースに同一のセキュリティ設定が含まれている必要があります。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: これらのリソースのいずれかのセキュリティ設定を変更してから、再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4960 E *applid* Opening TCIPSERVICE *tcipSERVICE* has failed because its specific TCIPSERVICE *specifTCPS* is not one in use as a specific IPIC end point.

説明: TCIPSERVICE *tcipSERVICE* をオープンしようとしたが、特定の TCIPSERVICE *specifTCPS* が IPIC 固有のエンドポイントとして使用中のものでないため、失敗しました。一般的な TCIPSERVICE は、ローカル領域の固有の IPIC エンドポイントである TCIPSERVICE を参照する必要があります。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: リソース定義の SPECIFTCPS 属性を変更して、固有の IPIC エンドポイントとして使用できる TCIPSERVICE を指定してから、再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

DFHAM4961 E • DFHAM4965 E

2. *tcpipSERVICE*

3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4961 E *applid* **The installation of JVMSERVER *resourcename* failed because the PROFILEDIR specified is too long.**

説明: JVMSERVER *jvmserver* をインストールできません。指定されている PROFILEDIR が最大長の 240 文字より長い場合、プロファイルにアクセスできないからです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 短い名前のディレクトリーにプロファイル・ディレクトリーを配置してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *resourcename*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4962 E *applid* **Install of MQMONITOR *mqmon-name* failed because an MQMONITOR with the same name is already installed and is in use.**

説明: MQMONITOR *mqconn-name* を CICS システムにインストールしようとしたが、インストールされている既存の MQMONITOR があり、使用中であるため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 指定されたリソース定義を置換または破棄できるのは、そのリソース定義が開始も使用可能にされてもいない場合のみです。リソースの再インストールを試みる前に、リソースを使用不可にして停止してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *mqmon-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4963 E *applid* **Install of MQMONITOR *mqmon-name* failed because an MQCONN is not installed.**

説明: MQMONITOR *name* を CICS システムにインストールしようとしたが、MQCONN がインストールされていないため、失敗しました。MQMONITOR は、MQCONN のインストール後にのみインストールできます。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: MQCONN 定義をインストールしてから、MQMONITOR のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *mqmon-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4964 W *DATE TIME APPLID* **Install of obsolete group *grpname* from list *listname* detected.**

説明: 廃止されたグループ *grpname* のインストールが検出されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: このリリースの CICS で使用される指定リストからグループを除去してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*

2. *TIME*

3. *APPLID*

4. *grpname*

5. *listname*

宛先: CADL

DFHAM4965 E *applid* **Install of MQMONITOR *mqmon-name* failed because a value for MONUSERID has not been specified.**

説明: MQMONITOR *name* を CICS システムにインストールしようとしたが、MONUSERID の値が指定されていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: MONUSERID の値を指定してから、MQMONITOR のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *mqmon-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4966 E *applid* Install of MQMONITOR
mqmon-name failed because the current
user is not a surrogate of
MONUSERID.

説明: MQMONITOR *name* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、MQMONITOR をインストールする権限または関連トランザクションを開始する権限が現行ユーザーにないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: セキュリティー定義を訂正してから、MQMONITOR のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *mqmon-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHAM4967 E *DATE TIME APPLID* Obsolete LE
definitions detected. CICS は終了しま
す。

説明: CICS は、CEE グループからインストールされた、廃止された LE 定義の使用を検出しました。必要な定義を CICS システムが自動インストールするため、

DFHAPnnnn メッセージ

DFHAP0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has
occurred at offset *X'offset'* in module
modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
-

CEE グループを使用してはなりません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 前のメッセージ DFHAM4964 を参照して、CEE グループが含まれているグループ・リストを判別してください。CEE グループをグループ・リストから除去してください。また、CEDA を介して CEE グループをインストールしないでください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*

宛先: コンソールおよび CADL

DFHAM4999 E *applid resourcetype* リソースのイン
ストールはサポートされていません。

説明: リソース・タイプ *resource* をこの CICS システムにインストールしようとしたましたが、このリソース・タイプに対してインストール用のコードが使用不可であるため、インストールを試行できません。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース *resource* のリソース定義は定義できますが、フルサポートが使用可能になるまでインストールすることはできません。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resourcetype*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

ストレージが上書きされた。

•

ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックがあった。

コード *aaa* は、該当する場合、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コードです (例えば、0C1 または D37)。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁コード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトのいずれかによって作成されたユーザー異常終了コードです。

X'offset' に値 X'FFFF' が入っている場合には、異常終了時にモジュール *modname* に制御があったことを意味しますが、プログラム状況ワード (PSW) はこのモジュールをアドレッシングしていませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS コード *aaa* がある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

modname 挿入部に値 '????' が入っている場合には、どのモジュールが異常終了したのか CICS が判別できなかったことを意味します。この場合、システム・ダンプを調べて、コードのどの部分がプログラム・チェックを発生させたのかを判別してください。

ユーザーは他のメッセージを調べて、このメッセージを出したモジュールが異常終了発生時に何をしていたかを判別してください。これらのメッセージから、どのプロダクトが異常終了コード *bbbb* を出したのかを論理的に推測することができます。*bbbb* が CICS コードとして識別された場合には、英数字または数値のいずれかになります。

- CICS コードが英数字 (例えば AKEA) の場合には、CICS トランザクション異常終了コードを表している。

- CICS コードが数値 (たとえば、1310) の場合には、CICS メッセージを表している (たとえば、DFHTS1310)。

ユーザー異常終了コードが別のプロダクトからのコード (例えば、IMS) である場合には、該当するメッセージおよびコードの資料を参照して、異常終了の原因を判別してください。

該当する資料の各項目は、ユーザーにエラーの性質に関する手引きを提供します。さらに、適切なユーザー処置に関する手引きについても提供することがあります。

注: ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックが発生した可能性があります。この場合には、通常、プログラム・チェックの次に ASRA トランザクション異常終了または ASRB トランザクション異常終了が続き、さらにトランザクション・ダンプが作成されます。

ASRA 異常終了および ASRB 異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、CEMT コマンドまたは EXEC CICS コマンドを使用して、ダンプ・テーブル内の項目にこれを指定する必要があります。システム・ダンプの抑止についての詳細は、「構成」で説明されています。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHABAB, DFHAPDM, DFHAPDN, DFHAPEX, DFHAPIQ, DFHAPJC, DFHAPNT, DFHAPSM, DFHAPST, DFHAPSI, DFHAPXM, DFHAPXME, DFHDKMR, DFHEDFE, DFHEISR, DFHICXM, DFHMRXM, DFHSAIQ, DFHSIPLT, DFHSRP, DFHSTDT, DFHSTFC, DFHSTLK, DFHSTLS, DFHSTSZ, DFHSTTD, DFHSTTM, DFHSTTR, DFHSTTS, DFHSUEX, DFHTDXM, DFHTMP, DFHTSUT, DFH62XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. X'offset'
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHAP0002 *applid* A severe error (code X'code') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'code' は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成されます (メッセージ内の X'code')。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

このメッセージが DFHAPEX または DFHSUEX から出され、しかも出口点が XDUREQ の場合には、再帰的なダンプを防ぐためにシステム・ダンプはとられません。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しない

ようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム管理者に知らせてください。この障害は、CICS 内に重大エラーがあることを示しています。ダンプ・テーブルで終了を要求していなければ、CICS を終了させることもできます。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHABAB, DFHAPDM, DFHAPDN, DFHAPEX, DFHAPJC, DFHAPLI, DFHAPLJ, DFHAPSI, DFHAPSIP, DFHAPSM, DFHAPST, DFHAPTI, DFHAPTIM, DFHAPTIX, DFHAPXM, DFHAPXME, DFHDKMR, DFHERM, DFHEISR, DFHICXM, DFHPCPG, DFHSIPLT, DFHSTDT, DFHSTFC, DFHSTJC, DFHSTLK, DFHSTLS, DFHSTSZ, DFHSTTD, DFHSTTM, DFHSTTR, DFHSTTS, DFHSUEX, DFHSUZX, DFHTMP, DFHTDXM, DFHVEH, DFHXCPA, DFHXSWM, DFHZCUT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHAP0003 *applid* **Insufficient storage (code *X'code'*) in module *modname*.**

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます (メッセージ内のコード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し

側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

DSA または EDSA のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージの制御についての詳細は、「構成」または「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAPDM, DFHAPSIP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHAP0004 *applid* **A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

このメッセージが DFHAPEX または DFHSUEX から出され、しかも出口点が XDUREQ の場合には、再帰的なダンプを防ぐためにシステム・ダンプはとられません。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その

問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からサポートを得てこの問題を解決してください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAPDM, DFHAPDN, DFHAPEX, DFHAPIQ, DFHAPJC, DFHAPSM, DFHAPST, DFHAPSI, DFHAPXM, DFHAPXME, DFHDKMR, DFHEDFE, DFHEISR, DFHICXM, DFHSAIQ, DFHSIPLT, DFHSTDT, DFHSTFC, DFHSTJC, DFHSTLK, DFHSTLS, DFHSTSZ, DFHSTTD, DFHSTTM, DFHSTTR, DFHSTTS, DFHSUEX, DFHTDXM, DFHTSUT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHAP0005 *applid* **A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). MVS Store Clock found inoperative.**

説明: モジュール *module* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。MVS ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に

識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: MVS ストア・クロックを調べて、それが正しく作動しているかどうか確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCUT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHAP0006 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname* of application *application*, version *applversion*, on platform *platform*.**

説明: プラットフォーム *platform* において、アプリケーション *application* バージョン *applversion* のモジュール *modname* で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。
- ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックがあった。

コード *aaa* は、該当する場合、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コードです (例えば、0C1 または D37)。

MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁コード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトのいずれかによって作成されたユーザー異常終了コードです。

X'offset' に値 X'FFFF' が入っている場合には、異常終了時にモジュール *modname* に制御があったことを意味しますが、プログラム状況ワード (PSW) はこのモジュールをアドレッシングしていませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。 たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。 この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS コード *aaa* がある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

modname 挿入部に値 *????* が入っている場合には、どのモジュールが異常終了したのか CICS が判別できなかったことを意味します。この場合、システム・ダンプを調べて、コードのどの部分がプログラム・チェックを発生させたのかを判別してください。

ユーザーは他のメッセージを調べて、このメッセージを出したモジュールが異常終了発生時に何をしていたかを判別してください。これらのメッセージから、どのプロダクトが異常終了コード *bbbb* を出したのかを論理的に推測することができます。 *bbbb* が CICS コードとして識別された場合には、英数字または数値のいずれかになります。

- CICS コードが英数字 (例えば AKEA) の場合には、CICS トランザクション異常終了コードを表している。

- CICS コードが数値 (たとえば、1310) の場合には、CICS メッセージを表している (たとえば、DFHTS1310)。

ユーザー異常終了コードが別のプロダクトからのコード (例えば、IMS) である場合には、該当するメッセージおよびコードの資料を参照して、異常終了の原因を判別してください。

該当する資料の各項目は、ユーザーにエラーの性質に関する手引きを提供します。さらに、適切なユーザー処置に関する手引きについても提供することがあります。

注: ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックが発生した可能性があります。 この場合には、通常、プログラム・チェックの次に ASRA トランザクション異常終了または ASRB トランザクション異常終了が続ぎ、さらにトランザクション・ダンプが作成されます。

ASRA 異常終了および ASRB 異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、CEMT コマンドまたは EXEC CICS コマンドを使用して、ダンプ・テーブル内の項目にこれを指定する必要があります。 システム・ダンプの抑止についての詳細は、「構成」で説明されています。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. X'offset'
4. *modname*
5. *application*
6. *applversion*
7. *platform*

宛先: コンソール

DFHAP0100 *applid* Suffixed module *modname* cannot be loaded. Enter new suffix, YES(unsuffixed), NONE(dummy), or CANCEL

説明: AP ドメインの初期設定時に、接尾部の付いた CICS モジュールまたはテーブルをロードすることができませんでした。

システムの処置: AP ドメイン初期設定ルーチンは、オペレーターが次を入力するまで待機します。

- 代わりの 2 文字の接尾部を入力する。

- 「YES」を入力して、接尾部なしのバージョンを要求する。

- 「NONE」を入力して、プログラムまたはテーブルのダミー・バージョンをロードするように要求する。または、

- 「CANCEL」を入力する。
「CANCEL」を入力した場合、CICS は中核プロセスの終了時に異常終了します。

ユーザーの処置: 接尾部が正しいかどうかを確認してください。正しくない場合には、システムの処置で説明されている応答のいずれかを入力してください。

「CANCEL」を入力した場合には、該当するライブラリーにモジュールを追加することによってエラーを訂正してから CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSIB1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. YES
4. NONE
5. CANCEL

宛先: コンソール

DFHAP0101 *applid* Suffixed module *modname* cannot be loaded.

説明: AP ドメインの初期設定時に、接尾部の付いた CICS モジュールまたはテーブルをロードすることができませんでした。このメッセージは、前に出された DFHAP0100 メッセージに応答して CANCEL が指定された後、見つからなかったすべての接尾部可能モジュールについて出されます。

システムの処置: AP ドメイン初期設定は、中核ロード処理が終わるまで続きます。その後 CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 接尾部が正しいかどうかを確認してください。正しくない場合には、CICS の次の初期設定のために、SIT を訂正するか、または指定変更を介して正しい接尾部を指定してください。それ以外の場合には、モジュールを該当するライブラリーに追加することによってエラーを訂正してください。

モジュール: DFHSIB1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHAP0360 *date time applid* An attempt to establish security for *userid* *userid* has failed.
SAF codes are (X'*safresp*',X'*safreas*').
ESM codes are (X'*esmresp*',X'*esmreas*').

説明: ユーザー ID *userid* に関してセキュリティを確立しようとしたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。ユーザー ID が正しく定義されていることを確認してください。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。トランザクション開始の試行が失敗しました。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

モジュール: DFHICXM DFHIEXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. X'*safresp*'
6. X'*safreas*'
7. X'*esmresp*'
8. X'*esmreas*'

宛先: CSCS

DFHAP0501 *date time applid Program progname has issued an ADDRESS CSA command that is no longer supported.*

説明: プログラム *progname* は、CSA をアドレッシングしようとしていました。この機能は現在はサポートされていません。戻されたアドレスは、現在取り出し保護がかけられています。このアドレスを参照しようとすると、異常終了します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムからこのコマンドを除去してください。変換してコンパイルを行ってください。以前に戻されたアドレスへの参照をすべて除去してください。

モジュール: DFHEEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progname*

宛先: CMIG

DFHAP0601 *APPLID Force purge of transaction id tranid transaction number trannum has been deferred because the transaction is executing post commit syncpoint processing.*

説明: CICS が、トランザクションの強制除去の要求を受け取りました。強制除去されるトランザクションが、2 フェーズの同期点の第 2 フェーズを処理している途中です。この時点で除去が受け入れられた場合、対象となるトランザクションは異常終了し、それによって CICS も U0408 で異常終了します。トランザクションがこの状況にある場合には、トランザクションを除去することはできません。トランザクションが、この状態であるのはほんの短い間だけです。この後にトランザクションの強制除去を行おうとして、この条件が検出された場合、システムによって出される遅延異常終了を優先使用場合があります。この場合、遅延除去が行われるよりも速く、システムからトランザクションが除去されることになります。

システムの処置: CICS は、ターゲット・トランザクションの除去の保護が解除されるまで、除去を遅らせません。

ユーザーの処置: ターゲット・トランザクションがまだ終了していない場合は、少し間隔を置いて再び除去を試みてください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHAPXME

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *tranid*
3. *trannum*

宛先: コンソール

DFHAP0602 *APPLID Force purge of transaction id tranid transaction number trannum has been deferred because the transaction is executing transaction backout.*

説明: CICS が、トランザクションの強制除去の要求を受け取りました。強制除去されるトランザクションが(前に起こったトランザクション異常終了あるいは同期点ロールバック要求の結果として)トランザクション・バックアウト処理を行っている途中です。この時点で除去が受け入れられた場合、対象となるトランザクションは異常終了して、CICS は U0405 で異常終了します。トランザクションがこの状況にある場合には、トランザクションを除去することはできません。トランザクションが、この状態であるのはほんの短い間だけです。この後にトランザクションの強制除去を行おうとして、この条件が検出された場合、システムによって出される遅延異常終了を優先使用場合があります。この場合、遅延除去が行われるよりも速く、システムからトランザクションが除去されることになります。

システムの処置: CICS は、ターゲット・トランザクションの除去の保護が解除されるまで、除去を遅らせません。

ユーザーの処置: ターゲット・トランザクションがまだ終了していない場合は、少し間隔を置いて再び除去を試みてください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHAPXME

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *tranid*
3. *trannum*

宛先: コンソール

DFHAP0603 *applid* Forcepurge of transaction ID *tranid*, transaction number *trannum*, recovery token *X'rtoken'* has been deferred because the transaction is waiting for a DLI request in DBCTL to complete.

説明: CICS が、トランザクションの強制除去の要求を受け取りました。強制除去要求のターゲットが、DLI 要求が完了するのを DBCTL (または CICS が DBCTL であると思なしている IMS DC システム) で待機しています。この時点で強制除去が受け入れられた場合、IMS システムは失敗し、U113 異常終了が出されます。この状態の間は、ターゲット・トランザクションを除去できません。DBCTL 内の他のタスクによって保持されているデータまたはリソースをトランザクションが要求していない限り、トランザクションがこの状態であるのはほんの短い間のみです。リカバリー・トークンを使用して、タスクに対応している DBCTL スレッドを識別することができます。(該当する DBCTL に対して /DIS CCTL ALL を出してください)。恐らく、他のアクティブ・スレッドのいずれかが、待機しているリソースを保持しています。この後にトランザクションの強制除去を行おうとして、この条件が検出された場合、システムによって出される遅延異常終了を優先使用する場合があります。この場合、遅延除去が行われるよりも速く、システムからトランザクションが除去されることになりました。

システムの処置: CICS は、ターゲット・トランザクションの除去の保護が解除されるまで、強制除去を遅らせます。

ユーザーの処置: ターゲット・トランザクションがまだ終了していない場合は、少し間隔を置いて再び強制除去を試みてください。それでもなお除去が据え置かれている場合は、待機しているリソースが解放されるまで、このトランザクションを除去することはできません。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHAPXME

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *trannum*
4. *X'rtoken'*

宛先: コンソール

DFHAP0604 *applid* Forcepurge of transaction ID *tranid*, transaction number *trannum*, recovery token *X'rtoken'* has been deferred because the transaction is on a CICS-DB2 ready queue waiting for a thread or TCB to become available.

説明: CICS が、トランザクションの強制除去の要求を受け取りました。強制除去要求のターゲットが CICS-DB2 作動可能キューに入れられ、DB2 スレッドまたは TCB が使用可能になるのを待機しています。この状態の間は、ターゲット・トランザクションを除去できません。

CEMT INQUIRE TASK パネルに *htype* 値が「CDB2TCB」のタスクが示されている場合、それは、CICS-DB2 サブタスク TCB が使用可能になるのをタスクが待機していることを意味します。これは、DB2CONN 定義の TCBLIMIT に達していることを示しています。

CEMT INQUIRE TASK パネルに *htype* 値が「CDB2CONN」のタスクが示されている場合、それは、要求で使用する CICS オープン TCB に関連付ける CICS-DB2 接続が使用可能になるのをタスクが待機していることを意味します。これは、DB2 で使用できるオープン TCB の数を制限する、DB2CONN 定義の TCBLIMIT に達していることを示しています。

htype 値が「CDB2RDYQ」の場合、CICS-DB2 スレッドが使用可能になるのをタスクが待機していることを意味し、*Hvalue* はプール、またはキューに入れられる対象の特定の DB2ENTRY を示します。

トランザクションがこのような状態になっているのは、ほんの短い時間のみです。

システムの処置: CICS は、ターゲット・トランザクションの除去の保護が解除されるまで、強制除去を遅らせます。

ユーザーの処置: タスクがキューに入れられて CICS-DB2 サブタスク TCB を待機している場合は、DB2CONN で TCBLIMIT の値を増やすことができます。トランザクションが CICS-DB2 スレッドを待っている場合は、DB2ENTRY またはプールの DB2CONN で THREADLIMIT 値を増やすことができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHAPXME

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *trandid*
3. *trannum*
4. *X'rtoken'*

宛先: コンソール

DFHAP0701 *applid* An abend (code *abcode*) has occurred in exit program *progrname* at exit point *xxxxxxx*.

説明: プログラム *progrname* に異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、プログラムにエラーがあるか、予期しないデータが入力されたか、またはストレージに上書きが行われたことを意味しています。

このコードは、3桁の16進数MVSコード(該当する場合)と、次に続く4桁の英数字CICSコードから成ります。MVSコードは、システム完了コード(例えば、0C1またはD37)です。MVSコードが該当しない場合には、このフィールドは3つのハイフンで埋められます。CICSコードは、異常終了コード、またはCICSメッセージを表す番号です。(たとえば、AKEAはCICS異常終了コードです。1310はメッセージDFHTS1310のことです。)

システムの処置: CICSはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、ゼロ戻りコードを出口点に戻します。CICSは、次のいずれかの場合以外はシステム・ダンプも作成します。

- ユーザーがダンプ・テーブル内でダンプを明示的に抑止した。
- 出口点がXDUREQである。再帰的なダンプを避けるためにダンプは取られません。

次のいずれかです。ダンプ・テーブル内にCICSが終了するように指定しない限り、CICSは続行されます。

または、たとえCICSが終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなのでCICSは終了します。この場合には、ゼロ戻りコードがCICS管理モジュールに返されます。

ユーザーの処置: ユーザー出口プログラム *progrname* に論理エラーがある可能性があります。EXEC CICS DISABLE 内のEXITALLオペランドを使用して、すべての出口点からの出口プログラムを使用不可にしてからエラーを訂正してください。

ユーザー出口プログラムのコーディングのプログラミング情報については、「CICS用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHSUEX、DFHUEH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *progrname*
4. *xxxxxxx*

宛先: コンソール

DFHAP0702 *applid* An abend (code *abcode*) has occurred in exit program *progrname* at exit point *xxxxxxx* because a backlevel XPI call has been made.

説明: グローバル・ユーザー出口プログラム *progrname* が、バックレベルXPI呼び出しを行いました。結果として0C4/AKEJプログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: CICSはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、ゼロ戻りコードを出口点に戻します。CICSは、このメッセージを生成した後に、出口プログラム内で通常のプログラム・チェックとしてエラーを処理します。

ユーザーの処置: 現行CICSライブラリーを使用して、グローバル・ユーザー出口プログラム *progrname* を再アセンブルしてください。

ユーザー出口プログラムのコーディングのプログラミング情報については、「CICS用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHUEH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *progrname*
4. *xxxxxxx*

宛先: コンソール

DFHAP0703 *applid* An abend (code *abcode*) has occurred in exit program *progrname* at exit point *xxxxxxx* because a backlevel XPI call has been made.

説明: グローバル・ユーザー出口プログラム *progrname* が、バックレベルXPI呼び出しを行いました。結果として0C4/AKEJプログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: CICSはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、ゼロ戻りコードを出口点に戻します。

CICS は、次のいずれかの場合以外はシステム・ダンプも作成します。

- エラー・メッセージを生成しているモジュールが DFHUEH である。
- ユーザーがダンプ・テーブル内でダンプを明示的に抑止した。
- 出口点が XDUREQ である。再帰的なダンプを避けるためにダンプは取られません。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: 現行 CICS ライブラリーを使用して、グローバル・ユーザー出口プログラム *progrname* を再アセンブルしてください。

ユーザー出口プログラムのコーディングのプログラミング情報については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHSUEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *progrname*
4. *xxxxxxxx*

宛先: コンソール

DFHAP0704 *applid* A possible loop has been detected in exit program *progrname* at exit point *xxxxxxxx*.

説明: 出口プログラム *progrname* に制御があり、トランザクションに費やした CPU 時間が、ICVR で指定した CPU 時間を超えてしまいました。おそらくループがあるものと思われます。

システムの処置: CICS は出口点にゼロ戻りコードを戻します。CICS は、次のいずれかの場合以外はシステム・ダンプも作成します。

- ユーザーがダンプ・テーブル内でダンプを明示的に抑止した。
- 出口点が XDUREQ である。再帰的なダンプを避けるためにダンプは取られません。

ユーザーの処置: ユーザー出口プログラム *progrname* に

論理エラーがあることが考えられます。EXEC CICS DISABLE 内の EXITALL オペランドを使用して、すべての出口点からの出口プログラムを使用不可にしてからエラーを訂正してください。

ユーザー出口プログラムのコーディングについての詳細は、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

ループがないと思われる場合には、CEMT を使用して ICVR のランナウェイ・タスクの時間間隔を長くすることができます。この点については、「CICS Supplied Transactions」で説明されています。

モジュール: DFHSUEX、DFHUEH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progrname*
3. *xxxxxxxx*

宛先: コンソール

DFHAP0705 W *date time applid* The enable of task related user exit program *progrname* has caused CICS to force TASKDATALOC(BELOW) for all transactions.

説明: タスクに関連したユーザー出口プログラム *progrname* が、TASKSTART オプションおよび LINKEDITMODE オプションで使用可能になり、*progrname* が AMODE 24 でリンク・エディットされました。これにより、常に amode 24 で呼び出されます。amode 24 のタスク関連ユーザー出口プログラムは、呼び出し側トランザクションが TASKDATALOC(BELOW) で定義されている場合にのみ呼び出すことができます。

タスク開始のために AMODE 24 タスク関連ユーザー出口を使用可能にすることにより、ユーザーは、後続のすべてのトランザクションを TASKDATALOC (BELOW) で実行させるように CICS を強制しました。

システムの処置: CICS は継続しますが、この後の CICS 実行については、CICS はすべてのトランザクションを TASKDATALOC(BELOW) で実行しようとしています。

ユーザーの処置: すべてのトランザクションが TASKDATALOC(BELOW) で実行されなければならない事態を避けるには、タスク関連ユーザー出口を変更して、タスク開始のために呼び出されたときに AMODE(31) を実行できるようにします。

呼び出し側が何であっても例外なく AMODE 31 で実行されるようにタスク関連ユーザー出口を変更するのが

理想です。この場合には、出口プログラムを AMODE 31 属性でリンク・エディットすることができ、さらに LINKEDITMODE オプションで使用可能にできます。これにより、CICS はプログラムを例外なく AMODE 31 で呼び出します。

あるいは、どちらの amode でも呼び出せるようにタスク関連ユーザー出口を変更することもできます。この場合、ユーザー出口は LINKEDITMODE オプションなしで使用可能にする必要があります。このことは、ユーザー出口がその呼び出し側のアドレス指定モードで呼び出されることを意味しています。タスク開始などの CICS 呼び出しの場合、これは常に AMODE 31 ですが、amode 24 のアプリケーションからの呼び出しに対して出口を AMODE 24 で呼び出されるようにしたければ、そうすることもできます。

TASKDATALOC オプションについて詳しくは、リソースの定義を参照してください。

タスク関連ユーザー出口を使用可能にするときの LINKEDITMODE オプションのプログラミング情報については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHUEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progrname*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHAP0706 *applid* **A probable loop has been detected in task related user exit program *progrname*.**

説明: タスク関連ユーザー出口プログラム *progrname* に制御があり、トランザクションに費やした CPU 時間が、ICVR で指定した CPU 時間を超えてしまいました。おそらくループがあるものと思われます。

システムの処置: ユーザーがダンプ・テーブルで特にダンプを抑止していない限り、CICS はシステム・ダンプを行います。

ユーザーの処置: タスク関連ユーザー出口プログラム *progrname* に論理エラーがあることが考えられます。出口プログラムを使用不可にしてエラーを訂正してください。

タスク関連ユーザー出口プログラムのプログラミング情報については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

ループがない場合には、CEMT を使用して ICVR のランナウェイ・タスクの時間間隔を長くすることにより、この問題を回避することができます。この点については、「CICS Supplied Transactions」で説明されています。

モジュール: DFHERM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progrname*

宛先: コンソール

DFHAP0707 *applid* **An abend (code *abcode*) has occurred in task related user exit program *progrname*.**

説明: タスク関連ユーザー出口プログラム *progrname* に異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、出口プログラムにエラーがあるか、予期しないデータが入力されたか、またはストレージに書きが行われたことを意味しています。

このコードは、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、X'0C1' または X'D37') です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: CICS は、トレース・テーブル内に例外項目を作成します。システム・ダンプは、ダンプ・テーブル内の項目によって要求された場合に生成されます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: タスク関連ユーザー出口プログラム *progrname* に論理エラーがある可能性があります。タスク関連ユーザー出口プログラムを使用不可にしてエラーを訂正してください。

タスク関連ユーザー出口プログラムのコーディングのプログラミング情報については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHERM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *progrname*

宛先: コンソール

DFHAP0708 *applid* An abend (code *abcode*) has occurred in task related user exit program *progrname* because a backlevel XPI call has been made.

説明: タスク関連ユーザー出口プログラム *progrname* が、バックレベル XPI 呼び出しを行いました。結果として 0C4/AKEJ プログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: CICS は、トレース・テーブル内に例外項目を作成します。システム・ダンプは、ダンプ・テーブル内の項目によって要求された場合に生成されます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: 現在の CICS ライブラリーを使用して、タスク関連ユーザー出口を再アセンブルしてください。

タスク関連ユーザー出口プログラムのコーディングのプログラミング情報については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHERM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *progrname*

宛先: コンソール

DFHAP0801I *applid* z/OS 変換サービスが使用できません。

説明: z/OS 変換サービスは使用可能になっていないため、z/OS 変換サービスを使用した文字変換はできません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。z/OS 変換サービスを CICS で使用する場合は、資料「z/OS Support for Unicode」のステップに従って、z/OS 変換サービスを使用可能にする必要があります。

モジュール: DFHCCNVG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP0802 *APPLID* Data conversion using CCSID *ccsid1* and CCSID *ccsid2* is not supported by this system.

説明: CICS は一部の文字データを 1 つの CCSID エンコード方式から別の方式に変換する要求を受け取りました。この CCSID の組み合わせは、領域によって現在サポートされていません。

システムの処置: 変換処理が失敗してデータは変換されません。

ユーザーの処置: z/OS 変換サービスが使用されている場合は、この CCSID の組み合わせを変換イメージに追加してから、要求を再試行してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCCNVG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *ccsid1*
3. *ccsid2*

宛先: コンソール

DFHAP0900 *applid* CICS Web サービスの MQ サポートは使用できません。

説明: CICS Web サービスのトランスポートとして WebSphere MQ を使用しようとしたのですが、CICS 初期設定中に WebSphere MQ CSQCSTUB をロードできませんでした。WebSphere MQ ライブラリー CSQCLOAD を DFHRPL 連結に組み込む必要があります。これにより、CICS Web サービスのトランスポートとしての WebSphere MQ の使用が許可されます。

システムの処置: WebSphere MQ を CICS Web サービスのトランスポートとして使用しようとする試行は、拒否されました。今後の同様の試行も拒否され、このメッセージが再度出されます。

ユーザーの処置: WebSphere MQ ライブラリー CSQCLOAD を DFHRPL 連結に組み込む必要があります。これにより、CICS Web サービスのトランスポートとしての WebSphere MQ の使用が許可されます。これは、CICS での WebSphere MQ サポートに必要な他の WebSphere MQ ライブラリーに加えて行います。

モジュール: DFHPITQ1、DFHPILSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1006 *applid* Resource definition recovery has failed with code X'code' in module modname.

説明: 開始時にモジュール *modname* でエラーが検出されました。コード X'code' は、エラーおよびエラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成されます (メッセージ内の X'code')。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。この障害は、CICS 内に重大エラーがあることを示しています。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「CICS 診断リファレンス」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAPRDR, DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHAP1007 *applid* モジュール *modname* のリソース定義制御ブロック・コード X'code' に対して GETMAIN が失敗しました。(A GETMAIN has failed for a resource definition control block code X'code' in module *modname*.)

説明: モジュール *modname* でストレージ要求が失敗しました。コード X'code' は、エラーおよびエラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成されます (メッセージ内の X'code')。ダンプ・テーブル

で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム管理者に知らせてください。この障害は、EDSA のサイズ制限を大きくする必要がありますを表している可能性があります。EDSA のストレージ制限は、EDSALIM システム初期設定パラメーターで指定します。EDSALIM の詳細については、「構成」を参照してください。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「CICS 診断リファレンス」を参照してください。

モジュール: DFHAPRDR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHAP1200 *applid* A CICS request to the Language Environment has failed. Reason code rc.

説明: CICS が AD/Cycle 言語環境と通信しようとしたのですが、エラーのため、CICS によって要求された機能を実行できませんでした。

システムの処置: システム初期設定時にエラーが発生した場合には、初期設定は続行しますが、言語環境に対するサポートは行われません。ユーザーのアプリケーション・プログラム内にエラーが発生した場合には、トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: 言語環境の戻りコード *rc* の説明については、言語環境の資料「」を参照してください。

システム初期設定時にエラーが発生した場合には、言語環境のモジュールおよびその環境によってサポートされる言語に必要なモジュールが正しくインストールされていることを調べてください。特に次の点について確認してください。

- インターフェース・モジュール CEECCICS が、CICS 始動ジョブ・ストリームの STEPLIB DD ステートメントに連結されたライブラリーに配置されている

CSD 内の必須モジュールが定義されている (該当するモジュールは、配布テープ上のサンプル・ファイルで提供されているファイル CEESAMP にリストされています)

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *rc*

宛先: コンソール

DFHAP1203I *applid* Language Environment is being initialized.

説明: これは、CICS が言語環境のサポートを初期設定中であることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1206 *applid* CEECCICS module not found.

説明: これは、CICS が、BLDL メカニズムまたは LPA で言語環境 CEECCICS モジュールを見つけることができないため、結果として CICS が初期設定のために言語環境を呼び出すことができないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。ただし、高水準言語で書かれたアプリケーション・プログラムを実行することはできません。

ユーザーの処置: 高水準言語で書かれたプログラムを実行する場合は、言語環境 SCEERUN ライブラリーで配布される CEECCICS モジュールが STEPLIB または LPA で見つかるようにする必要があります。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1207 *applid* CEEPIPI module not found.

説明: これは、CICS が、BLDL メカニズムまたは LPA で言語環境 CEEPIPI モジュールを見つけることができないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。ただし、CICS が JVM およびソケットをサポートするために必要な事前初期設定済み環境を CICS が確立することができません。

ユーザーの処置: この CICS システムで JVM およびソケットをサポートする必要がある場合は、言語環境 SCEERUN ライブラリーで配布される CEEPIPI モジュールが STEPLIB または LPA で見つかるようにする必要があります。また、言語環境 SCEERUN2 ライブラリーが STEPLIB または LPA に含まれているようにもしてください。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1208 *applid* Language Environment cannot support the Cobol language.

説明: これは、言語環境が正常に初期設定されたが、COBOL 言語で書かれたプログラムを実行できないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。ただし、CICS が COBOL で書かれたアプリケーションを実行することはできません。

ユーザーの処置: この CICS システムで COBOL 言語をサポートする必要がある場合は、言語環境によって出されたメッセージをジョブ・ログで検索する必要があります。COBOL ランタイムへの言語環境インターフェース・モジュールである CEEEV005 プログラムが CICS システム定義 (CSD) ファイルで定義されていないことが 1 つの理由として考えられます。詳しい手引きについては、「z/OS Language Environment カスタマイズ」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1209 applid Language Environment cannot support the C/C++ languages.

説明: これは、言語環境が正常に初期設定されたが、C および C++ 言語で書かれたプログラムを実行できないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。ただし、CICS が C または C++ で書かれたアプリケーションを実行することはできません。

ユーザーの処置: この CICS システムで C および C++ 言語をサポートする必要がある場合は、言語環境によって出されたメッセージをジョブ・ログで検索する必要があります。C ランタイムへの言語環境インターフェース・モジュールである CEEEV003 プログラムが CICS システム定義 (CSD) ファイルで定義されていないことが 1 つの理由として考えられます。詳しい手引きについては、「z/OS Language Environment カスタマイズ」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1210 applid Language Environment cannot support the PL/I language.

説明: これは、言語環境が正常に初期設定されたが、PL/I 言語で書かれたプログラムを実行できないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。ただし、CICS が PL/I で書かれたアプリケーションを実行することはできません。

ユーザーの処置: この CICS システムで PL/I 言語をサポートする必要がある場合は、言語環境によって出されたメッセージをジョブ・ログで検索する必要があります。PL/I ランタイムへの言語環境インターフェース・モジュールである CEEEV010 プログラムが CICS システム定義 (CSD) ファイルで定義されていないことが 1 つの理由として考えられます。詳しい手引きについては、「z/OS Language Environment カスタマイズ」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1211I applid Language Environment initialization completed.

説明: これは、言語環境の初期設定が完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1212 DATE TIME APPLID The program *program_name* was defined as *language1* but CICS has redefined it as *language2*.

説明: ユーザーはプログラム *program_name* を *language1* として定義しました。妥当性検査の間、CICS によって *language1* が *program_name* に対して有効な言語でないと判断され、このプログラムは *language2* で再定義されました。

CICS は、プログラム言語を自動的に判別します。したがって、自動インストール出口を介してプログラムの言語を CICS に渡す必要はありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、通知メッセージです。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *program_name*
5. *language1*
6. *language2*

宛先: CSTL

DFHAP1213 applid An unexpected error has occurred during the LOAD of the *modname* module with system completion code *compcode* and reason code *reason*.

説明: CICS が必要な言語インターフェース・モジュール

ルのいずれかをロードしようとしてエラーが検出されたか、CICS に定義されている領域サイズが小さすぎます。

CICS 始動の言語初期設定の段階で、CICS が必要なサポートを初期設定していたときに予期しないエラーが発生しました。おそらく、CICS はランタイム言語サポートを正しくインストールするための十分なストレージがないと判断したと考えられます。CICS が継続すると、アプリケーション・プログラムの実行は大幅に制限される可能性があります。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: この CICS メッセージの直前にオペレーティング・システムによって出されたエラー・メッセージがないかコンソール・ログを検査してください。オペレーティング・システム・メッセージが出されなかった場合は、恐らく CICS が続行するためのストレージが不足しており、領域サイズを大きくして CICS を再始動する必要があります。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *compcode*
4. *reason*

宛先: コンソール

DFHAP1214 *applid* Language Environment global ENVAR option defined with invalid CICS program options.

説明: 言語環境のグローバル・ランタイム ENVAR オプションでエラーが検出されました。ENVAR スtringに「CICSVAR=xx....xx」という形式のサブstringが含まれていますが、「xx....xx」は無効な、またはサポートされないプログラム・オプションです。このレベルの CICS では、有効なオプションは、「OPENAPI」、「REQUIRED」、「THREADSAFE」、または「QUASIRENT」のみです。

システムの処置: 正しくない ENVAR サブstringは無視されます。

ユーザーの処置: ENVAR stringでプログラム・オプションを定義する方法については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1215 *applid* Invalid CICS program options found in ENVAR string in program *pgmname*.

説明: アプリケーション・プログラムにユーザー定義の言語環境ランタイム・オプションが含まれており、ENVAR オプションの指定でエラーが検出されました。ENVAR stringに「CICSVAR=xx....xx」という形式のサブstringが含まれていますが、「xx....xx」はサポートされない、または無効なプログラム・オプションです。このレベルの CICS では、サポートされるオプションは、

「OPENAPI」、「REQUIRED」、「THREADSAFE」、または「QUASIRENT」のみです。

システムの処置: 正しくない ENVAR サブstringは無視されます。

ユーザーの処置: ENVAR stringでプログラム・オプションを定義する方法については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *pgmname*

宛先: コンソール

DFHAP1218 DATE TIME APPLID CEEPIPI function *pipifn* failed with return code *r15rc*.

説明: CICS XPLINK が以下のいずれかのファンクション・コードを使用して CEEPIPI を呼び出しました。

- 1 = *init_main* to initialize a new PIPI execution environment
- 2 = *call_main* to invoke the main program in the PIPI environment
- 5 = *term* to terminate a PIPI execution environment
- 6 = *add_entry* to add an entry to the PIPI PreInit Table
- 11 = *delete_entry* to delete an entry from the PIPI PreInit Table

CEEPIPI からの非ゼロの戻りコードは、関数が失敗したことを示しています。

システムの処置: 言語環境が診断情報を CESE 宛先に書き込んだ可能性があります。CICS は、CEEPIPI の呼び出しの理由によって、異常終了コード ALX1、ALX2、ALX3、ALX4、または ALX5 でトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: SYSOUT または CESE 宛先で言語環境メッセージを参照してください。「z/OS Language Environment プログラミング・ガイド」で CEEPIPI 関

数およびレジスター 15 にある戻りコードの説明を参照してください。

モジュール: DFHAPLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *pipifn*
5. *r15rc*

宛先: CSMT

DFHAP1226 *date time applid* **Program program is defined as EXECKEY(USER) but transaction transaction as TASKDATAKEY(CICS): these attributes are incompatible.**

説明: TASKDATAKEY(CICS) と定義したトランザクションの一部として、EXECKEY(USER) と定義したプログラムを実行しようとしていました。これらの属性は互換性がありません。この非互換性は、プログラム定義が自動導入されている結果、起こる場合があります。プログラムの自動インストールについての詳細は、「CICS 用システム・プログラムの開発」および「リソースの定義」を参照してください。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AEZD で異常終了します。

ユーザーの処置: TASKDATAKEY(USER) を指定したトランザクション、または EXECKEY(CICS) を指定したプログラムのいずれかに、新しい定義を再定義し、インストールしてください。

このメッセージは、CICS トランザクションの実行時に起こります。これは、そのプログラムに対して CICS 提供の定義を使用していないことが原因と考えられます。ユーザー独自の CICS 提供プログラム定義のコピーを使用している場合には、そのコピーが EXECKEY(CICS) として定義されていなければなりません。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*
5. *transaction*

宛先: CSMT

DFHAP1300 *DATE TIME APPLID* **The JVM at address X'*jvm_anchor*' on thread X'*thread_anchor*' has encountered an error (reason code: X'*reason_code*') and has requested further diagnostic data from CICS. STDERR** ファイル: *stderr* にさらに詳しい情報があります。

説明: JVMPool 内の JVM のいずれかによってエラー状態が検出されました。JVM は、システム・ダンプを取り込むために CICS サービスを呼び出しました。JVM は復旧して処理を続行するか、終了する可能性があります。JVM は、このメッセージで示されている現行 *stderr* ファイルにさらにデータを書き込むことがあります。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。JVM でのクリティカル・エラーの場合、JVM は終了します。CICS プログラムが障害発生時に制御を持っていた場合は、そのプログラムが異常終了します。タスク終了時に障害が発生した場合は、現行トランザクションはロールバックされます。JVM を再作成するか、JVMPool 内の他の JVM を使用して、処理は続行します。

ユーザーの処置: JVM について STDERR ログを確認してください。JVM が自身の診断メッセージのいずれかをこの場所に書き込んでいます。JVM フォーマット設定ユーティリティを使用して、システム・ダンプを調べてください。メッセージで示されているアドレス (*jvm_anchor*) を使用して、JVM を識別してください。オプションとして、メッセージで示されているアドレス (*thread_anchor*) を使用して、JVM でのスレッドを識別してください。障害の原因は、JVM 内部エラー、またはネイティブ・メソッドまたはプラグインとして JVM によってロードされたコンポーネントである可能性があります。示されている理由コード (*reason_code*) は、シグナル・ハンドル、または JVM によって定義された他のコードである可能性があります。*stderr* ファイルに JVM によって生成された情報を使用して、問題の診断に役立ててください。

モジュール: LIBDFHAPJVM.TSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. X'*jvm_anchor*'
5. X'*thread_anchor*'
6. X'*reason_code*'
7. *stderr*

宛先: CSMT

DFHAP1301 *DATE TIME APPLID Language Environment has detected a corruption of its control blocks. Transaction transaction currently executing.*

説明: 制御ブロックが破損していることを示す戻りコード 8 を言語環境が出しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード 0C3 で異常終了します。

ユーザーの処置: 言語環境制御ブロックの破損の原因を調べてください。

モジュール: DFHAPLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *transaction*

宛先: コンソール

DFHAP1500 *applid CICS* 時刻がシステム時刻と同期してなくなっています。

説明: CICS 時刻とシステム時刻の差が 30 分を超えています。

システムの処置: CICS を続行します。ただし、SIT パラメーター AUTORESETTIME が NO に設定されているため、CICS 時刻をシステム時刻に同期するために CEMT PERFORM RESET が必要です。

ユーザーの処置: CEMT PERFORM RESET (または EXEC CICS PERFORM RESETTIME) コマンドを使用して、CICS がその現地時刻を MVS TOD 刻時機構の現地時刻に即時に再同期するようにしてください。これにより、API を含め、すべての CICS 機能によって正しい現地時刻が使用されるようになります。

モジュール: DFHAPTIM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAP1605 *DATE TIME APPLID A SIGABRT signal has been received by a JVM server. CICSは直ちにシャットダウンします。*

説明: JVM サーバーによって SIGABRT シグナルが受信され、それによって JVM がシャットダウンしまし

た。CICS は、データ保全性を保持するために、即時にシャットダウンする必要があります。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、即時にシャットダウンします。

ユーザーの処置: IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHSJSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHAP1700 *APPLID An unexpected abend has occurred. CICS はこれ以上 SSL 要求を処理できません。(CICS is unable to process any further SSL requests.)*

説明: SSL 処理に使用される IPT TCB が予期しないシグナル (恐らく、SIGCNCL シグナル) を受け取りました。CICS は、これ以上 SSL 要求を処理できません。

システムの処置: CICS は、ダンプ・コード KERNDUMP でシステム・ダンプを取ろうとします。

ユーザーの処置: CICS を再始動してください。

モジュール: DFHLEPTD

宛先: コンソール

DFHAP1900 *DATE TIME APPLID f_name user_id transaction_id output_string RESP(exec_resp) RESP2(exec_resp2).*

説明: このメッセージは、CICS が SET、PERFORM、ENABLE、DISABLE、または RESYNC コマンドを発行した場合に、CICS ジョブ・ログに送信されます。メッセージには、ネット名、ユーザー ID、トランザクション ID、コマンド、発行されたコマンドの応答が含まれています。応答が正常でない場合でも、コマンドの一部が正常に実行された可能性があります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: ログを確認してください。

モジュール: DFHEIAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*

3. *APPLID*
4. *f_name*
5. *user_id*
6. *transaction_id*
7. *output_string*
8. *exec_resp*
9. *exec_resp2*

宛先: CADS

DFHAP1901 *DATE TIME APPLID SPI audit log is available.*

説明: このメッセージは、CICS の開始時に、SPI 監査がこの領域で使用可能であることを示すためにCICS ジョブ・ログに送信されます。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHEIAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*

宛先: CADS

DFHAP1902 *DATE TIME APPLID SPI audit log is unavailable.*

説明: このメッセージは、CICS の開始時に CICS ジョブ・ログに送られ、SPI コマンドの監査がこの領域で使用できないことを示します。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。SPI コマンドの監査は、この領域でアクティブではありません。

ユーザーの処置: この領域で SPI コマンドの監査を活性化するには、CADS 一時データ・キューが使用可能であることを確認し、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHEIAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*

宛先: CSSL およびコンソール

DFHAP1903 *DATE TIME APPLID CICS failed to write SPI audit message DFHAP1900.*

説明: CICS は、CADS 一時データ・キューに監査メッセージを送信できませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CADS TDQ の状況を確認してください。

モジュール: DFHEIAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*

宛先: CSSL およびコンソール

DFHASnnnn メッセージ

DFHAS0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。この異常終了またはプログラム・チェックは、CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされました。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合、コード内の最初の 3 文字は 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。このコードにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの正しい処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、都合のよい時間に CICS を終了させて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS

を終了させる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHASAS、DFHASDM、DFHASNT、DFHASRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHAS0002 *applid* モジュール *modname* で重大エラー (コード *X'code'*) が発生しました。

説明: モジュール *modname* でエラーが発生しました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。この例外項目は、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了しない場合があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、都合のよい時間に CICS を終了させて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されたり、モジュール

modname を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHASAS、DFHASDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHAS0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ラ

ンナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されないときは、この問題を解決するために IBM のサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHASAS、DFHASNT、DFHASRM、DFHASXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHAS0100I *applid* Asynchronous services domain initialization started.

説明: DFHAS0100I は、非同期サービス・ドメイン初期設定の開始を示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHASDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAS0101I *applid* Asynchronous services domain initialization has ended.

説明: 非同期サービス・ドメインの初期設定が正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHASDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHAUnnnn メッセージ

DFHAU5003 UNABLE TO OPEN FILE *filename*. RC
return_code 理由 *reason_code*

説明: スキャナーが *filename* をオープンすることができませんでした。

システムの処置: スキャナーは終了します。

ユーザーの処置: コードがゼロの場合は、オープンに失敗したのは非 VSAM ファイルでした。

それ以外の場合、*return_code* は GPR 15 で VSAM によって返されたものであり、*reason_code* は後続の SHOWCB ACB FIELDS=(ERROR) マクロ呼び出しの結果です。「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」でそれらを確認して、エラーの原因を判別してください。

このメッセージの原因としては、ジョブを実行する JCL でファイル名が欠落しているか正しくないことが最も考えられます。問題を修正して、ジョブを再実行してください。

モジュール: CAULMS

宛先: コンソール

DFHAU5012 INVALID PARM SPECIFIED.
\$SUMMARY ASSUMED.

説明: スキャナーを呼び出すときに、有効な情報が含まれていない EXEC に PARM フィールドが指定されました。

システムの処置: スキャナーは、デフォルトの PARM である \$SUMMARY を使用します。

ユーザーの処置: 必要に応じて、PARM 情報を訂正し、再実行してください。

DFHBAAnnnn メッセージ

DFHBA0001 *applid* An abend (code *code*) has
occurred at offset *X'offset'* in module
***module*.**

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了が発生して、異常終了コード *aaa/bbbb* が出力されました。

プログラム・チェック時のプログラム状況ワード (PSW) または異常終了は、CICS がモジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で実行していたことを示しています。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊に

モジュール: CAULMS

宛先: コンソール

DFHAU5013 {GETMAIN | FREEMAIN} HAS
FAILED. RETURN CODE *return_code*

説明: スキャナー MVS GETMAIN または MVS FREEMAIN マクロが正常に実行できませんでした。

システムの処置: スキャナーは終了します。

ユーザーの処置: 該当する MVS マニュアルを参照して、*return_code* の意味を調べます。この戻りコードは、マクロ呼び出しの後の GPR 15 の値です。問題を修正して、ジョブを再実行してください。

モジュール: CAULMS

宛先: コンソール

DFHAU5041 CAUCAFDT CALL FAILED. REASON
***reason_code*.**

説明: トランザクション類縁性ユーティリティ日付フォーマッター・プログラム (CAUCAFDT) は、呼び出し側から渡されたバック済みのユリウス日付をフォーマット設定できませんでした。

システムの処置: 日付には代わりに疑問符 (?) が使用されます。

ユーザーの処置: 理由コードの意味については、を参照してください。

モジュール: CAULMS

宛先: コンソール

より引き起こされた可能性があります。

システムの処置: ダンプ・テーブルの項目で指示しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供したシステム・ダンプおよび前に出力されたすべての診断情報を使用して、プログ

ラム・チェックまたは異常終了の原因を調べてください。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBAAC, DFHBAAC1, DFHBAAC2, DFHBAAC3, DFHBAAC4, DFHBAAC5, DFHBAAC6, DFHBAAR1, DFHBABR, DFHBACO1, DFHBACR, DFHBADM, DFHBALR1, DFHBALR2, DFHBALR3, DFHBALR4, DFHBALR5, DFHBALR6, DFHBALR7, DFHBALR8, DFHBALR9, DFHBAPR, DFHBAPT1, DFHBASP, DFHBATT, DFHBAUE, DFHBAVP1, DFHBAXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *code*
3. *X'offset'*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHBA0002 *applid* **A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *module*.**

説明: BA ドメインが、CICS の他の部分から予期しないエラー応答を受け取りました。リカバリー・マネージャーが要求した操作は、コード *X'code'* で説明されています。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1.
 - 他の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2.
 - 症状ストリングを調べる。
3.
 - ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBAAC, DFHBAAC1, DFHBAAR1, DFHBABR, DFHBACO1, DFHBACR, DFHBADM, DFHBALR1, DFHBAPR, DFHBAPT1, DFHBASP, DFHBATT, DFHBAUE, DFHBAXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHBA0101 *date time applid* **An error has occurred while writing an auditlog record to log *logname*. ログイングは中断されました。**

説明: BA 監査レコード書き込み要求が失敗しました。

システムの処置: 指定されたログへの監査レコードの記録を中断した状態で、通常の処理が続行されます。

ユーザーの処置: 他の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。ログが正常に再接続されると、監査ログイングが再開されます (メッセージ DFHBA0102 を参照)。問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBAAR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *logname*

宛先: CSBA およびコンソール

DFHBA0102 *date time applid* **Auditlog writing to log *logname* has been successfully resumed.**

説明: BA 監査レコード書き込み要求が中断後に再開しました。

システムの処置: 監査ログイングが再開しました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHBAAR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHBA0103 • DFHBA0105

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *logname*

宛先: CSBA およびコンソール

DFHBA0103 *date time applid terminal userid tranid*
processtype definition entry processtype
has been deleted.

説明: これは、DISCARD コマンドを使用してプロセス・タイプ項目 *processtype* が削除されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の意味:

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHBATT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *processtype*

宛先: CSBA

DFHBA0104 *date time applid* **The root activity of**
process processname of processtype
processtype has completed status
ABENDED, code abendcode.
TRANSID(tranid) USERID(userid).

説明: これは、プロセス・タイプ *processtype* のプロセス *processname* のルート・アクティビティーが、異常終了コード *abendcode* で異常に完了したことを示しています。

- *transid* は、アクティビティーを完了した活動化のトランザクション ID です。
- *userid* は、アクティビティーを完了したトランザクションのユーザー ID です。

システムの処置: ルート・アクティビティーは通常の方法で BTS リポジトリで異常終了で完了したとマークされ、システムは正常に続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHBAAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *processname*
5. *processtype*
6. *abendcode*
7. *transid*
8. *userid*

宛先: CSBA

DFHBA0105 *date time applid terminal userid tranid*
processtype definition entry processtype
has been installed.

説明: これは、INSTALL コマンドを使用してプロセス・タイプ項目 *processtype* がシステムに追加されたか変更されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHBATT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *processtype*

宛先: CSBA

DFHBA0201 *Module module load of DFHMEBM failed, reason code X'rcode' system code X'scode'.*

説明: プログラムがモジュール DFHMEBM のロードに失敗しました。

メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、失敗したロードからの理由コードおよびシステム・コードが含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: メッセージに含まれている理由コードおよびシステム・コードを使用して、失敗したロードの理由を判別してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0202 *Module module load of modname failed, reason code X'rcode' system code X'scode'.*

説明: プログラムが言語テーブルのロードに失敗しました。

メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、言語テーブル名、失敗したロードからの理由コードおよびシステム・コードが含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: メッセージに含まれている理由コードおよびシステム・コードを使用して、失敗したロードの理由を判別してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0203 *Error opening SYSPRINT in module module.*

説明: SYSPRINT のオープン中にエラーが発生しました。

メッセージには、エラーのあるモジュールの名前が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0204 *Module module exec parameter error, missing open bracket at position position(+).*

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

左大括弧が、キーワードの後にありません。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前、および欠落している大括弧のおおよその位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0205 *Module module exec parameter error, missing close bracket at position position(+).*

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

キーワード・フィールドの後に閉じ括弧がありません。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、欠落している大括弧のおおよその位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

DFHBA0206 • DFHBA0210

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0206 Module *module* exec parameter error, invalid keyword at position *position*.

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

無効なキーワードが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、無効なキーワードの位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0207 Module *module* exec parameter error, invalid translate field at position *position*.

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

無効な translate キーワード・フィールドが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、無効なキーワード・フィールドの位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0208 Module *module* exec parameter error, duplicate translate keyword at position *position*.

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

重複する translate キーワードが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、重複する translate キーワードの位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0209 Module *module* exec parameter error, invalid pagesize field at position *position*.

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

無効な pagesize フィールドが検出されました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、無効なフィールドの位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0210 Module *module* exec parameter error, duplicate pagesize keyword at position *position*.

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

重複する pagesize キーワードが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、重複するキーワードの位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0211 Module *module* exec parameter error, invalid NATLANG field at position *position*.

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

無効な natlang フィールドが検出されました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、無効なフィールドの位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0212 Module *module* exec parameter error, duplicate NATLANG keyword at position *position*.

説明: exec パラメーター・エラーが検出されました。

重複する natlang キーワードが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、重複するキーワードの位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0213 Open of SYSIN failed in module *module*.

説明: SYSIN のオープンが失敗しました。

このメッセージには、エラーを検出したモジュールの名前が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0214 Module *module* invalid keyword at position *position*.

説明: SYSIN パラメーター・エラーが検出されました。

無効なキーワードが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、無効なキーワードの位置が含まれています。

システムの処置: すべての SYSIN パラメーターの処理後に、プログラムは戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0215 Module *module* invalid keyword field length at position *position*.

説明: sysin パラメーター・エラーが検出されました。

無効なキーワード・フィールド長が検出されました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、無効なフィールドの位置が含まれています。

システムの処置: すべての sysin パラメーターの処理後に、プログラムは戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0216 Module *module* invalid keyword field at position *position*.

説明: sysin パラメーター・エラーが検出されました。

無効なキーワード・フィールドが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、無効なキーワードの位置が含まれています。

システムの処置: すべての sysin パラメーターの処理後に、プログラムは戻りコード 12 で終了します。

DFHBA0217 • DFHBA0222

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0217 Module *module* unexpected keyword at position *position*.

説明: sysin パラメーター・エラーが検出されました。

予期しないキーワードが検出されました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、予期しないキーワードの位置が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0218 Module *module* duplicate auditlog keyword at position *position*.

説明: sysin パラメーター・エラーが検出されました。

重複する auditlog キーワードが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、重複するキーワードの位置が含まれています。

システムの処置: すべての sysin パラメーターの処理後に、プログラムは戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0219 Module *module* continuation not allowed.

説明: sysin パラメーター・エラーが検出されました。

パラメーター・カードに無効な継続文字が含まれています。このメッセージには、エラーを検出したモジュールの名前が含まれています。

システムの処置: すべての sysin パラメーターの処理後に、プログラムは戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0220 Module *module* unexpected end of file.

説明: sysin パラメーター・エラーが検出されました。

ファイルの終わりに達する前の最後の sysin カード読み取りに継続標識が含まれています。このメッセージには、エラーを検出したモジュールの名前が含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0221 Error opening file in module *module*.

説明: 監査ログのオープンが失敗しました。

このメッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、監査ログデータ・セットの名前が入っています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0222 Module *module* terminated because of errors, check SYSPRINT for details.

説明: プログラムが、終了の原因となったエラーを検出しました。

追加のエラー・メッセージが SYSPRINT に出力されました。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: SYSPRINT に出力された追加のメッセージを使用して、問題の原因を判別してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0223 Module *module* terminated because of errors, check previous console messages for details.

説明: プログラムが、終了の原因となったエラーを検出しました。

コンソールに追加のエラー・メッセージが出されました。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: コンソールで出された追加メッセージを使用して、問題の原因を判別してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0224 Gencb failed in module *module*. R15 = X'r15val' R0 = X'r0val'.

説明: Vsam gencb マクロ呼び出しが失敗しました。

メッセージには、失敗した gencb を出したモジュールの名前と、エラーの時点におけるレジスター 15 および 0 の値が含まれています。エラー時点では、レジスター 15 には戻りコードが含まれており、レジスター 0 には理由コードが含まれています。理由コードは、戻りコードが 4 の場合にのみ有効です。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの値を使用して、問題の原因を判別してください。

問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0225 Modcb failed in module *module*. R15 = X'r15val' R0 = X'r0val'.

説明: Vsam modcb マクロ呼び出しが失敗しました。

このメッセージには、エラー発生時に失敗した modcb およびレジスター 15 および 0 値を出したモジュールの名前が含まれます。エラー時点では、レジスター 15 には戻りコードが含まれており、レジスター 0 には理由コードが含まれています。理由コードは、戻りコード値が 4 の場合にのみ有効です。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの値を使用して、問題の原因を判別してください。

問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0226 Showcb failed in module *module*. R15 = X'r15val' R0 = X'r0val'.

説明: Vsam showcb マクロ呼び出しが失敗しました。

このメッセージには、エラー発生時に失敗した showcb およびレジスター 15 および 0 値を出したモジュールの名前が含まれます。エラー時点では、レジスター 15 には戻りコードが含まれており、レジスター 0 には理由コードが含まれています。理由コードは、戻りコード値が 4 の場合にのみ有効です。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの値を使用して、問題の原因を判別してください。

問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0227 Error opening file in module

```
module.R15 = X'r15val' reason code =
X'reasval'.
```

説明: Vsam open マクロ呼び出しが失敗しました。

メッセージには、オープン対象のデータ・セットの名前、open を出したモジュールの名前、エラー時点におけるレジスター 15 および理由コードの値が含まれています。エラー時点では、レジスター 15 には戻りコードが含まれています。

システムの処置: レジスター 15 の値が 4 の場合、プログラムは続行します。レジスター 15 の値が 8 以上の場合、プログラムは戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの値を使用して、問題の原因を判別してください。

問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0228 Error closing file in module module.

```
R15 = X'r15val' reason code =
X'reasval'.
```

説明: Vsam close マクロ呼び出しが失敗しました。

メッセージには、クローズ対象のデータ・セットの名前、close を出したモジュールの名前、エラー時点におけるレジスター 15 および理由コードの値が含まれています。エラー時点では、レジスター 15 には戻りコードが含まれています。

システムの処置: プログラムは続行します。これは、リポジトリ・データ・セットの問題を示している可能性があります。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの値を使用して、問題の原因を判別してください。

問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0229 Get for file failed in module module.

```
R15 = X'r15val' reason code =
X'reasval'.
```

説明: Vsam get マクロ呼び出しが失敗しました。

メッセージには、get が出された対象のデータ・セットの名前、get を出したモジュールの名前、エラー時点におけるレジスター 15 および理由コードの値が含まれています。エラー時点では、レジスター 15 には戻りコードが含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの値を使用して、問題の原因を判別してください。

問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0230 Point for file failed in module module.

```
R15 = X'r15val' reason code =
X'reasval'.
```

説明: Vsam point マクロ呼び出しが失敗しました。

メッセージには、point が失敗した対象のデータ・セットの名前、point を出したモジュールの名前、エラー時点におけるレジスター 15 および理由コードの値が含まれています。エラー時点では、レジスター 15 には戻りコードが含まれています。

システムの処置: プログラムは戻りコード 12 を出して終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの値を使用して、問題の原因を判別してください。

問題の原因判別に役立つ可能性がある、追加のシステム・メッセージが出ていないか確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0231 アクティビティに関連付けられたレコードのセット、または読み込まれているプロセスは完了していません。

説明: 読み取り対象のプロセスまたはアクティビティ

ー・レコードのセットが不完全です。

システムの処置: プログラムは、次のプロセスまたはアクティビティーの処理に進みます。

ユーザーの処置: DFHBARUP ジョブの実行中に CICS 領域によってリポジトリ・ファイルがアクセスされている場合、CICS 領域が DFHBARUP によって処理されるレコードのセットを削除しました。

そうではない場合は、さらに調査する必要があります。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0232 No records selected by module *module*.

説明: 印刷用にレコードが選択されていません。

このメッセージには、関係するモジュールの名前が含まれます。

システムの処置: プログラムは戻りコード 0 で完了します。

ユーザーの処置: 選択パラメーターが正しく、正しいファイルが処理されていることを確認してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0233 Module *module* has completed processing.

説明: 処理が完了しました。

このメッセージには、関係するモジュールの名前が含まれます。

システムの処置: プログラムは戻りコード 0 で完了します。

ユーザーの処置: なし

DFHBRnnnn メッセージ

DFHBR0201 DATE TIME APPLID Transaction TRANID *abend abcode* in bridge exit *brexid bridge transaction bridge*

説明: ブリッジ出口 *brexid* は、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。

abcode は、CICS トランザクション異常終了コードまたは CICS の ABEND ABCODE (*abcode*) コマンドによ

モジュール: DFHATUP DFHBARUP

宛先: コンソール

DFHBA0234 Module *module* has a duplicate repository keyword at position *position*.

説明: *sysin* パラメーター・エラーが検出されました。

重複するリポジトリ・キーワードが見つかりました。メッセージには、エラーを検出したモジュールの名前と、重複するキーワードの位置が含まれています。

システムの処置: すべての *sysin* パラメーターの処理後に、プログラムは戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

DFHBA0235 処理対象のコンテナ・レコードが完全ではありません。

説明: 処理対象のコンテナが不完全です。

システムの処置: プログラムは、次のプロセスまたはアクティビティーの処理に進みます。

ユーザーの処置: DFHBARUP ジョブの実行中に CICS 領域によってリポジトリ・ファイルがアクセスされている場合、DFHBARUP がコンテナ・レコードを処理しているときに CICS 領域がコンテナ・レコードを変更している可能性があります。

そうではない場合は、さらに調査する必要があります。

問題の判別や訂正ができないような場合は、IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHBARUP

宛先: SYSPRINT

って生成されたユーザー異常終了コードです。このコマンドは、ユーザー・プログラムまたは IBM プログラム (たとえば、プログラミング言語ライブラリー・モジュール) によって出されます。

ブリッジ出口が終了呼び出しまたは異常終了呼び出しを処理していたときに異常終了が起きたのであれば、この異常終了の結果、CICS が ABRQ 異常終了を出すことにもなります。この場合には、このメッセージに続

いて DFHAC2236 異常終了メッセージが出されます。
リカバリー可能リソースについての詳細は、そのメッセージを参照してください。

システムの処置: トランザクションが終了または異常終了処理のためのブリッジ出口を呼び出しているものでなければ、異常終了 ABRQ が出されます。

ユーザーの処置: 異常終了コード *abcode* を使用して、問題を診断してください。異常終了が、CICS 以外の IBM プログラム・プロダクトによって出された場合、この異常終了コードはその他のプロダクトのライブラリーに説明があります。

あるいは、ブリッジ出口プログラム *brexite* に論理エラーがある可能性もあります。ブリッジ出口プログラムのコーディングに関するプログラミング情報については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHBRIC, DFHBRMS, DFHBRSP, DFHBRTC, DFHBRXM, DFHBRRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. TRANID
5. *abcode*
6. *brexite*
7. ブリッジ

宛先: CSBR

DFHBR0202 DATE TIME APPLID USERID TRANID
Bridge facility autoinstall URM
urmmname has abended with code *abcode*.

説明: ブリッジ機能自動インストール URM が異常終了コード *abcode* で異常終了しました。

abcode は、CICS トランザクション異常終了コードまたは CICS の ABEND ABCODE (*abcode*) コマンドによって生成されたユーザー異常終了コードです。

システムの処置: 自動インストール URM は使用不可になります。これにより、新規ブリッジ機能の自動インストール、および自動インストール出口の他の機能が行われなくなります。

ユーザーの処置: 異常終了コード *abcode* を使用して、問題を診断してください。異常終了が、CICS 以外の IBM プログラム・プロダクトによって出された場合、この異常終了コードはその他のプロダクトのライブラリーに説明があります。

あるいは、自動インストール URM に論理エラーがある可能性もあります。

エラーが検出され、問題が修正された場合は、自動インストール URM を使用可能にして、メカニズムを再使用可能にします。

モジュール: DFHBRAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. USERID
5. TRANID
6. *urmmname*
7. *abcode*

宛先: CSBR

DFHBR0203 DATE TIME APPLID USERID TRANID
Bridge facility autoinstall URM
urmmname could not be linked. 自動インストール機能は使用不可になっています。

説明: ブリッジ機能自動インストール URM にリンクできませんでした。

システムの処置: 自動インストール URM は使用不可になります。これにより、新規ブリッジ機能の自動インストール、および自動インストール出口の他の機能が行われなくなります。

ユーザーの処置: 問題の原因を示す他のメッセージがこのメッセージの前でない限り、恐らく、URM が DFHRPL 連結で見つからないことが原因です。

エラーが検出され、問題が修正された場合は、自動インストール URM を使用可能にして、メカニズムを再使用可能にします。

モジュール: DFHBRAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. USERID
5. TRANID
6. *urmmname*

宛先: CSBR

DFHBR0204 *DATE TIME APPLID USERID TRANID*
Bridge facility autoinstall URM
urmname is disabled. 要求は失敗します。

説明: ブリッジ機能自動インストール URM が使用不可になっています (ブリッジによって検出されたエラーの結果として以外)。

システムの処置: これにより、新規ブリッジ機能の自動インストール、および自動インストール出口の他の機能が行われなくなります。

ユーザーの処置: この原因は恐らく、オペレーターによって、または自動インストール URM の他の機能のいずれかのアクションの結果として、URM が使用不可にされたためです。

URM を使用可能にすることで、このメカニズムを再始動できます。あるいは、コマンド SET AUTOINSTALL AIBRIDGE(AUTO) を出して、ブリッジ機能の自動生成を許可することもできます。

モジュール: DFHBRAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *USERID*
5. *TRANID*
6. *urmname*

宛先: CSBR

DFHBR0205 *DATE TIME APPLID USERID TRANID*
Bridge facility autoinstall URM
urmname returned an invalid termid name termid. 名前に無効文字が含まれています。

説明: ブリッジ機能自動インストール URM は、無効な端末 ID を返しました。ブリッジ機能の端末 ID に有効な文字セットの説明については、CICS の資料を参照してください。

システムの処置: 要求は失敗します。Link3270 メカニズムを使用している場合、要求は、理由コード BRIHRC-TERMID-INVALID で失敗します。他のブリッジ・メカニズムは、ABRU 異常終了コードで失敗します。

ユーザーの処置: 有効な端末 ID 名を生成するかクライアントから受け取るように、URM を訂正してください。

モジュール: DFHBRAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *USERID*
5. *TRANID*
6. *urmname*
7. *termid*

宛先: CSBR

DFHBR0206 *DATE TIME APPLID USERID TRANID*
Bridge facility autoinstall URM
urmname returned an invalid netname netname. 名前に無効文字が含まれています。

説明: ブリッジ機能自動インストール URM は、無効なネット名を返しました。ブリッジ機能のネット名に有効な文字セットの説明については、CICS の資料を参照してください。

システムの処置: 要求は失敗します。Link3270 メカニズムを使用している場合、要求は、理由コード BRIHRC-TERMID-INVALID で失敗します。他のブリッジ・メカニズムは、ABRU 異常終了コードで失敗します。

ユーザーの処置: 有効なネット名を生成するかクライアントから受け取るように、URM を訂正してください。

モジュール: DFHBRAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *USERID*
5. *TRANID*
6. *urmname*
7. *netname*

宛先: CSBR

DFHBR0207 *DATE TIME APPLID USERID TRANID*
Bridge facility autoinstall URM
urmname returned termid termid netname netname.

説明: ブリッジ機能自動インストール URM で端末 ID

とネット名が返されました。この情報は、監査のみを目的としています。

システムの処置: この名前は、ユーザー・トランザクションの実行時に使用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHBRAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *USERID*
5. *TRANID*
6. *urmname*
7. *termid*
8. *netname*

宛先: CSBR

DFHBR0208 *DATE TIME APPLID USERID TRANID*
Bridge facility autoinstall URM
urmname rejected termid termid
netname netname.

説明: ブリッジ機能自動インストール URM が、端末 ID およびネット名を拒否する非ゼロの戻りコードを返しました。

システムの処置: Link3270 要求は、戻りコード *brihrc_ai_rejected* で拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHBRAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *USERID*
5. *TRANID*
6. *urmname*
7. *termid*
8. *netname*

宛先: CSBR

DFHBR0403 *date time applid Transaction tranid*
definition conflicts with Bridge
Link3270 routing requirements.

説明: トランザクション定義ルーティング情報がブリッジ機能のルーティング情報と競合するため、BRIH 内のトランザクションを実行するクライアント要求を AOR 領域にルーティングできません。

ブリッジ機能を使用する最初のアプリケーション・トランザクション定義を使用して、その機能を使用するすべてのトランザクションを実行する場所が決定されます。クライアントが BRIH で指定したトランザクションのトランザクション定義が、その定義と競合しています。

ブリッジ機能の下で実行されるすべてのトランザクションは、そのブリッジ機能の下で実行される最初のトランザクションと同じルーティング特性を持っていないなりません。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: ブリッジ機能によって使用されるすべてのトランザクションのトランザクション定義でルーティングの競合が生じないようにしてください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSBR

DFHBR0410 *date time applid Dynamic transaction*
routing program prog has abended
with abend code abend.

説明: 動的トランザクション・ルーティング・プログラムは、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。

システムの処置:

1.

動的トランザクション・ルーティング・プログラムが異常終了時にルート選択、ルート選択エラー、またはルート通知要求を処理していた場合、クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれます。

2.

動的ルーティング・プログラムが異常終了時にルート終了またはルート異常終了要求を処理していた場

合、クライアントに返される BRIH には、動的トランザクション・ルーティング・プログラムの異常終了に関する情報は含まれません。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

そのコードが CICS トランザクション異常終了コードでない場合には、それはユーザー異常終了コードです。この分野を担当するプログラマーに説明を求めてください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *prog*
5. *abend*

宛先: CSBR

DFHBR0411 *date time applid* **Dynamic transaction routing program prog must be AMODE=31.**

説明: CICS は、AMODE 31 でないので、動的トランザクション・ルーティング・プログラムにリンクできませんでした。

システムの処置:

1.

ルート選択、ルート選択エラー、またはルート通知を動的トランザクション・ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれます。
2.

ルート終了またはルート異常終了を動的トランザクション・ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、動的トランザクション・ルーティング・プログラムへの失敗リンクに関する情報は含まれません。

ユーザーの処置: 動的トランザクション・ルーティング・プログラムを再コンパイルし、AMODE 31 にリンク・エディットしてください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *prog*

宛先: CSBR

DFHBR0412 *date time applid* **Dynamic transaction routing program prog resource definition not found.**

説明: CICS は、動的トランザクション・ルーティング・プログラムのリソース定義を検出できませんでした。

システムの処置:

1.

ルート選択、ルート選択エラー、またはルート通知を動的ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれます。
2.

ルート終了またはルート異常終了を動的ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、動的トランザクション・ルーティング・プログラムへの失敗リンクに関する情報は含まれません。

ユーザーの処置: システム初期設定パラメーター *DTRPGM=program name* または *EXEC CICS SET SYSTEM DTRPROGRAM(program name)* で指定された動的ルーティング・プログラムが CICS に正しく定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *prog*

宛先: CSBR

DFHBR0413 *date time applid* **Dynamic transaction routing program prog fetch failed.**

説明: CICS は、動的トランザクション・ルーティング・プログラムをロードすることができませんでした。

システムの処置:

1.

ルート選択、ルート選択エラー、またはルート通知を動的ルーティング・プログラムにリンクしている

場合、クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれます。

2.

ルート終了またはルート異常終了を動的ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、動的トランザクション・ルーティング・プログラムへの失敗リンクに関する情報は含まれません。

ユーザーの処置: システム初期設定パラメーター DTRPGM=*program name* または EXEC CICS SET SYSTEM DTRPROGRAM(*program name*) で指定された動的ルーティング・プログラムが正しく定義されていることを確認してください。さらに、CICS がアクセスできるロード・ライブラリーに、動的経路指定プログラムが入っていることを確認してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *prog*

宛先: CSBR

DFHBR0414 *date time applid* **Dynamic transaction routing program *prog* is disabled.**

説明: 動的トランザクション・ルーティング・プログラムが使用不可でした。

システムの処置:

1.

ルート選択、ルート選択エラー、またはルート通知を動的ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれます。

2.

ルート終了またはルート異常終了を動的ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、動的トランザクション・ルーティング・プログラムへの失敗リンクに関する情報は含まれません。

ユーザーの処置: システム初期設定パラメーター DTRPGM=*program name* または EXEC CICS SET SYSTEM DTRPROGRAM(*program name*) で指定された動的ルーティング・プログラムが CICS に正しく定義さ

れていて使用可能になっていることを確認してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *prog*

宛先: CSBR

DFHBR0415 *date time applid* **Dynamic transaction routing program *prog* is defined as remote.**

説明: 動的トランザクション・ルーティング・プログラムがリモートとして定義されていました。

システムの処置:

1.

ルート選択、ルート選択エラー、またはルート通知を動的ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれます。

2.

ルート終了またはルート異常終了を動的ルーティング・プログラムにリンクしている場合、クライアントに返される BRIH には、動的トランザクション・ルーティング・プログラムへの失敗リンクに関する情報は含まれません。

ユーザーの処置: システム初期設定パラメーター DTRPGM=*program name* または EXEC CICS SET SYSTEM DTRPROGRAM(*program name*) で指定された動的ルーティング・プログラムが CICS に正しく定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *prog*

宛先: CSBR

DFHBR0427 *date time applid* **The Bridge Link3270 connection for {request allocate_facility (| request delete_facility (| request continue_conversation (| request get_more_message (| request resend_message (| transaction } tranid) to system | to system } sysid has failed.**

説明: Bridge Link3270 要求がリモート CICS 領域にルーティングされました。ミラー・プログラム DFHBRMP との会話中にリカバリー不能エラーが発生しました (例えば、セッションで障害が発生した場合やサーバー領域で障害が発生した場合)。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: 接続が復元されたら、クライアントは、AOR 内のアプリケーション・トランザクションの状況を判別するために、メッセージ再送信要求を出すことができます。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=要求 *allocate_facility* (,
 2=要求 *delete_facility* (,
 3=要求 *continue_conversation* (*request*
continue_conversation) (,
 4=要求 *get_more_message* (,
 5=要求 *resend_message* (,
 6=*transaction*

5. *tranid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=) からシステム ,
 2= システム

7. *sysid*

宛先: CSBR

DFHBR0430 *date time applid* **Routing of the Bridge Link3270 request for transaction tranid to system sysid failed.** 動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。システム間テーブルにリモート・システムが見つからなかったため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

説明: BRIH でクライアントによって指定されたトランザクション *tranid* が、動的として定義されています。動的トランザクション・ルーティング・プログラムが戻りコード 8 で完了しました。Bridge Link3270 要求をリモート・システムにルーティングしようとした最後の試行は、リモート・システムがシステム間テーブルで見つからなかったため、失敗しました。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: 接続定義が正しいこと、および動的トランザクション・ルーティング URM が要求で有効なシステムを指定していることを確認してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*

宛先: CSBR

DFHBR0431 *date time applid* **Routing of the Bridge Link3270 request for transaction tranid to system sysid failed.** 動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。リモート・システムがサービス休止状態にあったため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

説明: BRIH でクライアントによって指定されたトランザクション *tranid* が、動的として定義されています。動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。リモート・システムがサービス休止状態にあったため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: リモート・システムがサービス休止状態になっている理由を調べてください。

リモート・システムがサービス中に復帰すると、クライアントは Bridge Link3270 要求を再試行できます。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*

宛先: CSBR

DFHBR0432 *date time applid* **Routing of the Bridge Link3270 request for transaction *tranid* to system *sysid* failed.** 動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。セッション割り振りがリジェクトされたため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

説明: BRIH でクライアントによって指定されたトランザクション *tranid* が、動的として定義されています。動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード 8 で完了しました。リモート・セッション割り振りが拒否されたため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: セッション割り振りの拒否の理由を調べてください。

トランザクション定義の *queuelimit* 値およびグローバル・ユーザー出口 *XZIQUE* を使用して、セッション・キューのサイズを制御し、要求を拒否するかどうかを決定できます。詳しくは、資料「リソースの定義」、「CICS 用システム・プログラムの開発」、および「CICS の相互通信」を参照してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*

宛先: CSBR

DFHBR0433 *date time applid* **Routing of the Bridge Link3270 request for transaction *tranid* to system *sysid* failed.** 動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。セッション割り振りキューがパージされたため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

説明: BRIH でクライアントによって指定されたトランザクション *tranid* が、動的として定義されています。動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。リモート・セッション割り振りキューがパージされたため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: セッション割り振りキューの除去の理由を調べてください。

トランザクション定義の *queuelimit* および *maxqtime* フィールドの値は、キューがいつ除去されるのかを決定します。グローバル・ユーザー出口 *ZXIQUE* を使用してキューを制御することもできます。詳しくは、資料「リソースの定義」、「CICS 用システム・プログラムの開発」、および「CICS の相互通信」を参照してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*

宛先: CSBR

DFHBR0434 *date time applid* **Routing of the Bridge Link3270 request for transaction *tranid* to system *sysid* failed.** 動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。リモート・システムが関数をサポートしなかったため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

説明: BRIH でクライアントによって指定されたトランザクション *tranid* が、リモートとして定義されていま

す。動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。リモート・システムが関数をサポートしなかったため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。以下のいずれかの理由で、リモート・システムがその機能をサポートしません。

1. リモート・システムが、LUTYPE 6.1 接続を介して接続されている。
2. リモート・システムで Bridge Link3270 機能がサポートされない。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: 動的トランザクション・ルーティング・プログラムが TYPE6.1 接続を介して Bridge Link3270 要求をルーティングしないこと、および Bridge Link3270 要求をサポートするために正しいレベルであるリモート領域に要求がルーティングされることを確認してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*

宛先: CSBR

DFHBR0436 *date time applid* **Routing of the Bridge Link3270 request for transaction *tranid* to system *sysid* failed.** 最初の経路選択の呼び出しの際、動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。

説明: BRIH でクライアントによって指定されたトランザクション *tranid* が、動的として定義されています。動的トランザクション・ルーティング・プログラムがルート選択呼び出し中に戻りコード 8 で完了しました。トランザクションのルーティングは試行されませんでした。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: 動的トランザクション・ルーティン

グ・プログラムがルート選択呼び出し中に戻りコード 8 で完了した理由を調べてください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*

宛先: CSBR

DFHBR0437 *date time applid* **Routing of the Bridge Link3270 request for transaction *tranid* to system *netname* 'netname' failed.** 動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。システム間テーブルにリモート・システムが見つからなかったため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

説明: BRIH でクライアントによって指定されたトランザクション *tranid* が、動的として定義されています。動的トランザクション・ルーティング・プログラムが戻りコード 8 で完了しました。Bridge Link3270 要求をリモート・システムにルーティングしようとした最後の試行は、リモート・ネット名がシステム間テーブルで見つからなかったため、失敗しました。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: 接続定義が正しいこと、および動的トランザクション・ルーティング・プログラム URM が有効なネット名ルーティング値を指定していることを確認してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *netname*

宛先: CSBR

DFHBR0438 *date time applid* **Routing of the Bridge Link3270 request for transaction tranid to system 'sysid' netname 'netname' failed.** 動的トランザクション・ルーティング・プログラムは戻りコード8で完了しました。リモート・システムとネット名が一致しないため、最後に行おうとした要求のルーティングは失敗しました。

説明: BRIH でクライアントによって指定されたトランザクション *tranid* が、動的として定義されています。動的トランザクション・ルーティング・プログラムが戻りコード 8 で完了しました。Bridge Link3270 要求をリモート・システムにルーティングしようとした最後の試行は、リモート・システム名とネット名が一致しないため、失敗しました。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: 接続定義が正しいこと、および動的トランザクション・ルーティング・プログラム URM が一致するシステム ID とネット名の値を指定していることを確認してください。

モジュール: DFHBRMR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*
6. *netname*

宛先: CSBR

DFHBR0501 *date time applid* **File filename is not available.** {The file is disabled | The file is not open | The file was not found | SMSVSAM server is not available | CFDT server is not available | The dataset is being copied | An IO error occurred | The file is defined as recoverable}.

説明: ファイルにアクセスしようとしたときに、次のいずれかのエラーが検出されました。

- ファイルが使用不可になっています。
- ファイルが開かれていない。

- ファイルが見つかりませんでした。
- SMSVSAM サーバーを使用できません。
- CFDT サーバーを使用できません。
- データ・セットがコピーされています。
- 入出力エラーが発生しました。
- ファイルがリカバリー可能として定義されています。

システムの処置: ファイルは使用不可です。クライアントに返された BRIH に失敗の戻りコードが含まれます。

ユーザーの処置: ファイルが使用不可になった原因となったエラーを調べてください。問題の原因を訂正し、失敗したトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=ファイルが使用不可になっています,
2=ファイルが開いていません,
3=ファイルが見つかりませんでした,
4=SMSVSAM サーバーを使用できません,
5=CFDT サーバーを使用できません,
6=データ・セットがコピーされています,
7=IO エラーが発生しました,
8=ファイルがリカバリー可能として定義されています

宛先: CSBR

DFHBR0502 *date time applid* **Not authorized to access file filename.**

説明: 外部セキュリティー・マネージャーは、ファイルへのアクセスを許可しません。

システムの処置: クライアントに返された BRIH に失敗の戻りコードが含まれています。

ユーザーの処置: ユーザーがファイルにアクセスできるようにするには、アクセスを許可し、トランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*

宛先: CSBR

DFHBR0503 *date time applid* **File filename is full.**

説明: ファイルがいっぱいです。ファイルに新しいレコードを追加できません。

システムの処置: クライアントに返された BRIH に失敗の戻りコードが含まれています。

ユーザーの処置: ファイルのサイズを大きくして、失敗したトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*

宛先: CSBR

DFHBR0504 *date time applid* **File filename record has been suppressed by user exit.**

説明: ユーザー出口により、ファイルへのレコードの書き込みが抑止されました。

システムの処置: クライアントに返された BRIH に失敗の戻りコードが含まれています。

ユーザーの処置: この出口が、ファイルに書き込まれるレコードを抑止できてはなりません。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*

宛先: CSBR

DFHBR0505 *date time applid* **Bridge facility ranges have reached percent percent of total allocation.**

説明: ブリッジ機能が範囲で割り振られています。ブリッジ機能範囲の割り振りが、警告しきい値を超えて割り振り済み範囲数を増加させました。このメッセージは、割り振られている使用可能な範囲のパーセントを示すものであり、割り振りによってパーセントが増加して 90% を超えた場合に出されます。このメッセージは、割り振りによって、割り振られている使用可能な範囲が 1 パーセント・ポイント増加するたびに再び出されます。

システムの処置: ユーザー・トランザクションは続行します。

ユーザーの処置: これは、ファイル DFHBRNSF を共有している CICS 領域が割り振り範囲数の制限に達しつつあることを示しています。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *percent*

宛先: CSBR およびコンソール

DFHBR0506 *date time applid* **Bridge facility ranges have reduced below percent percent of total allocation.**

説明: ブリッジ機能が範囲で割り振られています。ブリッジ機能範囲の解放により、使用可能な範囲の数が警告しきい値を下回りました。

システムの処置: ユーザー・トランザクションは続行します。

ユーザーの処置: 使用可能なブリッジ機能範囲の数が増えます。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *percent*

宛先: CSBR およびコンソール

DFHBR0507 *date time applid* **All Bridge facility ranges have been allocated.**

説明: ブリッジ機能が範囲で割り振られています。すべての範囲が割り振り済みであるため、ブリッジ機能範囲の割り振りが失敗しました。

システムの処置: クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: ブリッジ機能範囲が割り振り用に使用可能になると、要求を再試行できます。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSBR およびコンソール

DFHBR0508 *date time applid* **File filename is not available.** システム ID *sysid* エラー。

説明: リモート・ファイルにアクセスしようとしたが、*sysiderr* で失敗しました。

システムの処置: ファイルは使用不可です。クライアントに返された BRIH に失敗の戻りコードが含まれています。

ユーザーの処置: ファイルが使用不可になった原因となったエラーを調べてください。問題の原因を訂正し、失敗したトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*
5. *sysid*

宛先: CSBR

DFHBR0509 *date time applid* **You are approaching or have reached the maximum number of times a Link3270 bridge routing region can be started.**

説明: 同じ DFHBRNSF データ・セットを使用する Link3270 ブリッジ・ルーティング領域を開始できる最大回数に近づいているか、既に達しました。このような

CICS ルーティング領域が接続された回数 (connection_number) が最大を超えた場合、無効な facilitytoken が割り振られます。

同じ DFHBRNSF データ・セットを使用するルーティング領域を開始できる許容回数の 90% を超えると、このメッセージが出されます。

システムの処置: Link3270 ブリッジ要求は引き続き処理されます。同じ DFHBRNSF データ・セットを使用するルーティング領域を開始できる許容回数の 100% に達すると、要求は AEXZ で異常終了します。

ユーザーの処置: 都合のいいときに、Link3270 ブリッジ・ルーティング・データ・セット DFHBRNSF を使用するすべての領域を停止して、再定義してください。これにより、connection_number が 0 にリセットされます。ルーティング領域を再始動してください。

モジュール: DFHBRNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSBR およびコンソール

DFHBR0601 *date time applid* **Bridge Link3270 security error. User userid1 attempting to use facility allocated to userid2.**

説明: Bridge Link3270 でセキュリティー・エラーが検出されました。Bridge Link3270 機能を割り振ったユーザー ID と別のユーザー ID がその機能を使用しようとしています。

システムの処置: 要求は拒否され、クライアントに返される BRIH には、クライアントがエラーの理由を特定できるようにする情報が含まれています。

ユーザーの処置: Bridge Link3270 機能を使用するユーザーは、その機能を割り振ったのと同じユーザーのみになるようにしてください。

モジュール: DFHBRFR, DFHBRMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid1*
5. *userid2*

宛先: CSBR

DFHCAnnnn メッセージ

DFHCA4800 I *date time applid tranid* **New group**
grpname **created.**

説明: 新しいグループ *grpname* が CSD 上に作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4801 I *date time applid tranid* **New list**
lstname **created.**

説明: 新しいリスト *lstname* が CSD 上に作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *lstname*

宛先: CSMT

DFHCA4802 E *date time applid tranid* **name is an**
invalid name.

説明: コマンド内の名前 *name* が無効です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効な名前を指定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. *tranid*

5. *name*

宛先: CSMT

DFHCA4803 E *date time applid tranid* **Install failed**
because an existing definition for file
filename **could not be deleted.**

説明: ファイル *filename* をインストールする試みが行われました。 ファイル *filename* はすでに存在し、削除することはできません。 この条件は、FCT 内または CSD 上の既存のファイル定義が、使用可能またはオープンとしてインストールされた場合に発生します。

ファイルがローカル要求キュー・ファイル (DFHLRQ) の場合は、ファイルがクローズされて使用不可になっても、ファイルを再インストールすることはできません。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: 問題を解決して、もう一度インストールを試みてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CSMT

DFHCA4805 E *date time applid tranid* **Unable to**
perform operation: name is locked to
APPLID applid, OPID opid to prevent
updating.

説明: 現時点で別のユーザーにロックされているグループまたはリストを、ロックまたは更新する試みが行われました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: グループまたはリストがロックされていないときにコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHCA4806 E • DFHCA4809 E

3. *applid*
4. *tranid*
5. *name*
6. *applid*
7. *opid*

宛先: CSMT

DFHCA4806 E *date time applid tranid* **Group name**
grpname exists as a LIST name.

説明: EXEC CICS CSD コマンドで無効なグループ名が指定されました。同じ名前のリストが CSD 内に存在しています。

注: 同じ名前のグループおよびリストは共存できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なグループ名を指定してコマンドを再発行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4807 E *date time applid tranid* **Install failed for LSRPOOL with**
LSRPOOLNUM(*lsrpoolnum*).

MAXKEYLENGTHが22未満で、**CSD**で使用するには不適當です。

説明: LSRPOOLNUM *lsrpoolnum* を指定して LSRPOOL をインストールしようとしたましたが、失敗しました。この LSRPOOL のインストールによって CSD が読み取り不能になることがシステムで検出されました。この LSRPOOL 定義の MAXKEYLENGTH パラメーターが、CSD によって使用される LSRPOOL に対して無効です。

システムの処置: このインストールは失敗し、以前の LSRPOOL 定義がインストールされたままになります。

ユーザーの処置: CSD に必要なキーの長さは 22 であるため、LSRPOOL 定義の MAXKEYLENGTH パラメーターは 22 以上にする必要があります。この問題を解決するために、LSRPOOL 定義を変更して 22 以上の

MAXKEYLENGTH を指定するか、DFHCSD ファイル定義を変更して RLS または NSR を使用するようになしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *lsrpoolnum*

宛先: CSMT

DFHCA4808 E *date time applid tranid* **Object**
already exists in this group.

説明: グループ内にオブジェクトを定義する試みが行われましたが、同一名のオブジェクトがすでに存在しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 別のオブジェクト名を指定したコマンドを入力し直すか、または既存の定義を変更してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4809 E *date time applid tranid* **Date/time**
fields do not match (object updated
by another user).

説明: CSD 上のオブジェクトの定義が、ユーザーが定義を変更している間に変更されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 変更がまだ必要である場合は、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4810 E *date time applid tranid* **Object not found (deleted by another user).**

説明: CSD 上のオブジェクトの定義が、ユーザーが定義を変更している間に削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 定義が削除された理由を突き止めてください。必要な場合、オブジェクトを再作成して更新します。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4811 E *date time applid tranid name1* **does not contain name2.**

説明: 要求されたオブジェクト *name2* が、CSD 上のグループ *name1* 内に見つかりません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 定義が見つからない原因を判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *name1*
6. *name2*

宛先: CSMT

DFHCA4812 W *date time applid tranid* **Install of LIBRARY libname encountered a data set {allocation | concatenation | open} failure. LIBRARY**はインストールされますが、無効となります。

説明: 動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが完了しましたが、LIBRARY インストール・プロセスの正常な完了に必要なステップの 1 つが失敗しまし

た。このエラーは、以下のいずれかを行おうとしたときに発生しました。

- LIBRARY リソース定義で DSNAME 属性のいずれかとして定義されたデータ・セットを割り振る
- データ・セットを連結する
- LIBRARY 連結を開く

メッセージ・テキストは、上記エラーのいずれが発生したのかを示しています。エラーのために、LIBRARY はインストール済みですが、使用可能化状況が「使用不可」になっています。これは、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しないことを意味します。

システムの処置: 処理を続行します。使用可能化状況を ENABLED として LIBRARY が定義されていた場合でも、そのリソースは DISABLED としてインストールされています。また、この LIBRARY は、プログラム成果物のロード時にも検索されません。そのため、LIBRARY *libname* 用に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: ローダー・ドメインによって出されたメッセージを調べて、この LIBRARY のインストール処理中に発生した障害タイプを判別してください。問題が解決したら、LIBRARY が動的ライブラリー検索順序プロセスに参加するように、LIBRARY *libname* を ENABLED に設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *libname*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=割り振り,
2=連結,
3=オープン

宛先: CSMT

DFHCA4813 W *date time applid tranid* **Install of LIBRARY libname encountered an MVS ABEND. LIBRARY**はインストールされますが、無効となります。

説明: 動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが完了しましたが、LIBRARY インストール・プロセスの正常な完了に必要なステップの 1 つが失敗しました。エラーのために、LIBRARY はインストール済みですが、使用可能化状況が「使用不可」になっています。これは、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しないことを意味します。

システムの処置: 処理を続行します。使用可能化状況が ENABLED として LIBRARY が定義されていた場合でも、そのリソースは DISABLED としてインストールされています。また、この LIBRARY は、プログラム成果物のロード時にも検索されません。そのため、LIBRARY *libname* 用に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: ローダー・ドメインによって出されたメッセージを調べて、この LIBRARY のインストール処理中に発生した障害タイプを判別してください。問題が解決したら、LIBRARY が動的ライブラリー検索順序プロセスに参加するように、LIBRARY *libname* を ENABLED に設定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *libname*

宛先: CSMT

DFHCA4814 E *date time applid tranid* **List name listname exists as a group name.**

説明: EXEC CICS CSD コマンドで LIST を作成しようとしたますが、同じ名前のグループが CSD 内に既に存在しているため、失敗しました。

注: 同じ名前のグループおよびリストは共存できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なリスト名を指定してコマンドを再発行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *listname*

宛先: CSMT

DFHCA4815 E *date time applid tranid* **Group grpname not found in this list.**

説明: コマンドに入力された AFTER/BEFORE 名をこのリスト上で見つけることができません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このリスト上に存在するグループ名でコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4816 E *date time applid tranid* **Unable to install group grpname - group not found.**

説明: EXEC CICS CSD INSTALL LIST コマンドに指定されたリストに、使用できないグループ名 *grpname* が含まれています。CICS は、このグループに属するものとして定義されたリソースがないため、グループ *grpname* を見つけることができません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: グループ *grpname* が不要な場合は、処置は必要ありません。

グループ *grpname* が必須の場合は、それが空である理由を判別し、別のインストールを試みてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *trandid*
 5. *grpname*
 宛先: CSMT

DFHCA4817 E *date time applid trandid* **Install of LIBRARY *libname* failed with an MVS ABEND. LIBRARYはインストールされません。**

説明: MVS ABEND のため、動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが失敗しました。エラーのため、LIBRARY はインストールされていません。つまり、この LIBRARY は、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しません。

システムの処置: 処理を続行します。プログラム成果物がロードされるときにこの LIBRARY は検索されません。そのため、LIBRARY *libname* 用に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: ローダー・ドメインによって出されたメッセージを調べて、この LIBRARY のインストール処理中に発生した MVS 異常終了のタイプを判別してください。問題が解決したら、LIBRARY が動的ライブラリ検索順序プロセスに参加するように、LIBRARY *libname* を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *libname*

宛先: CSMT

DFHCA4819 E *date time applid trandid* **Group already exists in this list.**

説明: グループはすでにリストに存在しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: グループが存在する原因を判別し、別のグループ名を使用してコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
 4. *trandid*
 宛先: CSMT

DFHCA4820 S *date time applid trandid* **Unable to perform request - CSD full.**

説明: CSD ファイルがいっぱいです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: スペースを現在より多く使用できるときに、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4823 S *date time applid trandid* **Unable to perform request - DFHCSD not open.**

説明: CSD ファイル (DFHCSD) がオープンされていません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: マスター端末オペレーターにファイルのオープンを依頼してください。DFHCSD は、立ち上げ JCL または SIT (あるいはその両方) で定義されます。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4824 S *date time applid trandid* **Unable to perform request - Insufficient function in file definition for DFHCSD.**

説明: CSD ファイルで現在定義されているよりも多くの機能を必要とする EXEC CICS CSD コマンドが出されました。

このエラーの最も考えられる原因は、SIT で CSDACC パラメーターが正しくコーディングされていないこと、

DFHCA4825 S • DFHCA4830 E

あるいは DFHCSD の SET FILE コマンドが許可される機能を変更したことです。

システムの処置:

ユーザーの処置: 必要な機能が許可されているかどうかを判別し、必要に応じて、CSDACC を変更するか、CEMT SET FILE を使用して DFHCSD の属性を変更してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4825 S *date time applid trandid* **Unable to perform request - File Control has returned an INVREQ response.**

説明: ファイル制御ファイル要求ハンドラー (DFHFCFR) が、入力されたコマンドをサポートするための十分な機能を持っていません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4828 E *date time applid trandid* **Group grpname not found.**

説明: コマンド内のグループ名 *grpname* を見つけないことができません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 存在するグループ名を使用してコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4829 S *date time applid trandid* **Storage violation. CSD primary control record not updated.**

説明: CSD 一次レコードのストレージ・バージョンが損傷しました。

システムの処置: CSD 上のバージョンは更新されておらず、またこれは必ずしも影響はありません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4830 E *date time applid trandid* **restype resname already exists in the target group.**

説明: ターゲット・グループ内に重複したものが見つかったため、COPY 操作を実行できませんでした。

システムの処置: COPY コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: DUPACTION キーワードで DUPREPLACE または DUPNOREPLACE を指定してコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *restype*
6. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA4831 E *date time applid tranid* **The new name *name* is longer than the four characters allowed for *restype* names.**

説明: 指定された名前 *name* が 4 文字を超えるため無効です。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 有効な名前を入力してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *name*
6. *restype*

宛先: CSMT

DFHCA4832 E *date time applid tranid* **Unable to open TDQUEUE *tdqname* because the DFHINTRA data set is not open.**

説明: 一時データ・キュー *tdqname* を CICS システムにインストールしようとしたが、DFHINTRA データ・セットがオープンになっていないため、拒否されました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: DFHINTRA データ・セットが定義されてオープンされていないシステムに区画内定義をインストールすることはできません。DFHINTRA が定義されている場合、初期設定時にそのオープンに失敗した可能性があります。オープンするには、データ・セットを修復してシステムを再始動する必要があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tdqname*

宛先: CSMT

DFHCA4833 E *date time applid tranid* **A security error has occurred while attempting to install {TDQUEUE | URIMAP} *resourcename*. 定義はインストールされていません。**

説明: リソース *resourcename* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、定義に含まれているユーザー ID のセキュリティ検査の実行中にエラーが検出されたため、拒否されました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: さらなる手引きについて、セキュリティ・マネージャーによって出された関連メッセージを参照してください。エラーが訂正されたら、定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=TDQUEUE,
10=URIMAP

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4834 E *date time applid tranid* **Install of {TDQUEUE | PROCESSTYPE | LIBRARY | URIMAP | ATOMSERVICE} *resourcename* failed because the installed definition is not disabled.**

説明: リソース *resourcename* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、リソースが使用不可になっていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 指定されたリソースをインストールするには、その前にそのリソースを使用不可にする必要があります。リソースを必要な状態にしてから、新しい定義をインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=TDQUEUE,
2=PROCESSTYPE,
5=LIBRARY,
10=URIMAP,
11=ATOMSERVICE

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4836 E *date time applid tranid* **Install of DB2CONN db2conn-name failed because a DB2CONN is already installed and is in use.**

説明: DB2CONN *db2conn-name* を CICS システムにインストールしようとしたが、インストールされている既存の DB2CONN があり、それが CICS-DB2 アダプターによって使用中であるため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 一度に CICS システムにインストールできる DB2CONN は 1 つだけです。2 つ目の DB2CONN をインストールすると、最初の DB2CONN およびそれに関連付けられているすべての DB2ENTRY および DB2TRAN が暗黙的に破棄されます。

DB2CONN 定義は、CICS-DB2 アダプターによって使用されていない場合にのみ、置換または破棄することができます。DB2CONN 定義をインストールしようとする前に、CICS-DB2 インターフェースが停止していることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *db2conn-name*

宛先: CSMT

DFHCA4837 E *date time applid tranid* **Install of DB2ENTRY | DB2TRAN } name failed because a DB2CONN is not installed.**

説明: DB2ENTRY または DB2TRAN *name* を CICS システムにインストールしようとしたが、DB2CONN がインストールされていないため、失敗しました。DB2TRAN および DB2ENTRY は、DB2CONN がインストールされた後にのみインストールできます。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: DB2CONN 定義をインストールしてから、DB2ENTRY または DB2TRAN のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= DB2ENTRY ,
2= DB2TRAN

6. *name*

宛先: CSMT

DFHCA4838 E *date time applid tranid* **Install of DB2ENTRY db2entry-name failed because an existing definition could not be deleted.** 既存定義は使用不可です。

説明: DB2ENTRY *db2entry-name* を CICS システムにインストールしようとしたが、使用不可状態になっていない同じ名前の既存の DB2ENTRY があるため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 既存の DB2ENTRY 定義は、DB2ENTRY が使用不可状態の場合にのみ置き換えることができます。DB2ENTRY を使用不可にするコマンドを発行してから、インストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *db2entry-name*

宛先: CSMT

DFHCA4839 E *date time applid tranid* **List listname not found.**

説明: EXEC CICS CSD INSTALL LIST コマンドで、CSD ファイルに存在しないリスト *listname* が指定されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なリスト名を入力してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *listname*

宛先: CSMT

DFHCA4840 W *date time applid tranid* **Group grpname not appended - group already exists in target list.**

説明: グループ *grpname* が、すでにターゲット・リストに存在します。

システムの処置: グループ定義は追加されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4841 E *date time applid tranid* **Install failed because definition of restype resname is in use by task no. taskno (transaction id. tranid).**

説明: CICS 上にオブジェクト定義 *restype resname* をインストールする試みが行われましたが、タスク *taskno* によって読み取りロックがその定義上で保持されています。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: しばらくしてからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *restype*
6. *resname*
7. *taskno*
8. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4842 E *date time applid tranid* **Install failed because restype resname is currently in use.**

説明: CICS システム上でオブジェクト定義 *restype resname* をインストールする試みが行われましたが、そのオブジェクト定義が使用中であったためインストールは失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: しばらくしてからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *restype*
6. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA4843 W *date time applid tranid GROUP/LIST name is internally locked to OPID opid APPLID applid.*

説明: 指定された GROUP または LIST *name* は、GROUP または LIST のインストールが試行されたとき、CICS システム *applid* 上でオペレーター *opid* に対して内部的にロックされています。

システムの処置: インストールは続行します。

ユーザーの処置: インストールされた定義がユーザーの要件に対応しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *GROUP/LIST*
6. *name*
7. *opid*
8. *applid*

宛先: CSMT

DFHCA4850 E *date time applid tranid Install of DB2TRAN db2tran-name failed because DB2ENTRY db2entry-name to which it refers has not been installed.*

説明: DB2TRAN *db2tran-name* を CICS システムにインストールしようとしたが、参照されている DB2ENTRY *db2entry-name* がインストールされていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: DB2TRAN 定義で DB2ENTRY の名前が正しいことを確認してください。まず必要な DB2ENTRY 定義をインストールしてから、DB2TRAN のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *db2tran-name*

6. *db2entry-name*

宛先: CSMT

DFHCA4851 E *date time applid tranid Install of {DB2ENTRY | DB2TRAN | DB2CONN | LIBRARY | ATOMSERVICE} name failed because of a security error.*

説明:

ATOMSERVICE、DB2CONN、DB2ENTRY、DB2TRAN、または LIBRARY *name* を CICS システムにインストールしようとしたが、セキュリティ検査の実行中にエラーが検出されたため、拒否されました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: さらなる手引きについて、セキュリティー・マネージャーによって出された関連メッセージを参照してください。エラーを訂正してください。それから、定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=DB2ENTRY,
2=DB2TRAN,
3=DB2CONN,
5=LIBRARY,
11=ATOMSERVICE

6. *name*

宛先: CSMT

DFHCA4852 W *date time applid tranid restype 名前 resname は、'DFH' または 'EYU' で始まります。(name resname begins with 'DFH' or 'EYU'.) Such names are reserved and may be redefined by CICS.*

説明: DFH または EYU で始まる名前が指定されました。

システムの処置: 定義がインストールされている場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 「DFH」および「EYU」で始まる名前は予約されており、さらに CICS によって再定義され

る場合があります。「DFH」および「EYU」で始まる名前は避けてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *restype*
6. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA4853 E *date time applid tranid* **Install of DB2TRAN db2tran-name failed because another DB2TRAN is installed with the same transid.**

説明: DB2TRAN *db2tran-name* を CICS システムにインストールしようとしたが、同じトランザクション ID を指定している別の DB2TRAN がインストールされているため、失敗しました。同じトランザクション ID が指定された 2 つの DB2TRAN をインストールすることはできません。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 照会 DB2TRAN コマンドを使用して、インストールされている DB2TRAN 定義を調べ、同じトランザクション ID を指定している DB2TRAN の名前を判別してください。適切な場合は、その DB2TRAN を破棄してから、この DB2TRAN を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *db2tran-name*

宛先: CSMT

DFHCA4854 W *date time applid tranid* **The specified {GROUP | LIST} contains objtype objects but no restype found.**

説明: 指定された GROUP または LIST には、リソース・タイプ *restype* を必要とするオブジェクトが含まれていますが、該当するリソース・タイプが GROUP ま

たは LIST にリストされていません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: これはエラーでない可能性があります。GROUP または LIST をインストールする前にリソース・タイプ *restype* がインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=GROUP,
2=LIST

6. *objtype*
7. *restype*

宛先: CSMT

DFHCA4857 W *date time applid tranid* **The specified {GROUP | LIST} contains more than one objtype.**

説明: 指定された GROUP または LIST に、複数のリソース・タイプ *objtype* が含まれています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 重複を除去してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=GROUP,
2=LIST

6. *objtype*

宛先: CSMT

DFHCA4858 S *date time applid tranid* **Unable to perform request - DFHCSD not enabled.**

説明: アプリケーションによって EXEC CICS CSD コマンドが発行されましたが、CICS は、使用不可になっているため CSD ファイルを使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: CSD ファイルが使用不可になっている理由を判別し、適切な場合は EXEC CICS CSD コマンドを再発行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4859 S *date time applid tranid* **Unable to perform request - The CSDSTRNO operand in the System Initialization Table (SIT) is too small.**

説明: 使用可能な VSAM スtringが不足しているため、EXEC CICS CSD コマンドが続行できません。

システムの処置: CSD にアクセスするコマンドを実行できません。

ユーザーの処置: 他の CSD ユーザーがセッションを終了するまで待つか、または SIT で CSD にアクセスする並行トランザクション数の 2 倍の CSDSTRNO 値を指定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4860 W *date time applid tranid* **The specified LIST contains DB2ENTRY or DB2TRAN definitions before a DB2CONN definition.**

説明: 指定された LIST には、DB2CONN 定義を含まないグループ内の DB2ENTRY 定義または DB2TRAN

定義 (あるいはその両方) が含まれています。リストでそれより前に DB2CONN 定義がありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: DB2ENTRY および DB2TRAN 定義を正常にインストールするには、その前に、DB2CONN 定義をインストールする必要があります。DB2CONN 定義がリスト内のすべての DB2ENTRY および DB2TRAN 定義より前のグループに配置されているか、DB2ENTRY または DB2TRAN が含まれているリストの最初のグループに配置されていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4863 I *date time applid tranid name* **is now locked. No group or list of that name exists.**

説明: LOCK コマンドは正常に実行されましたが、名前 *name* のグループまたはリストが CSD ファイルで見つかりませんでした。

システムの処置: 名前がロックされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *name*

宛先: CSMT

DFHCA4864 S *date time applid tranid* **Unable to perform operation - DFHCSD cannot be opened.**

説明: 次のいずれかの理由で CICS はこの CSD ファイルを使用できません。

1.

CSD ファイルの DDNAME またはデータ・セット名が始動 JCL に正しく指定されていません。

2.

VSAM が、CSD ファイルをオープンできないものと診断した。

3.

ジョブの REGION= パラメーターで割り振られているストレージが不十分であるため、CICS ファイル制御で DFHCSD をオープンできません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 問題を解決するための処置は、次のように原因によって異なります。

1.

JCL を訂正する。

2.

システム・オペレーターのコンソール上の VSAM メッセージを調べ、VSAM エラーをすべて訂正する。

3.

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくする。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4865 S *date time applid trandid* **Unable to perform operation - DFHCSD currently accessed by another user.**

説明: CICS は CSD ファイルに対する読み取り権限を取得できません。これは、別の領域がそれにアクセスしていて、SHAREOPTIONS(1) または SHAREOPTIONS(2) のいずれかを指定して CSD クラスタが VSAM に定義されているためです。

システムの処置: コマンドは実行されず、CSD ファイルは使用不可状況に設定されます。

ユーザーの処置: 2 つ目の CICS 領域が CSD に書き込もうとしている理由を判別してください。詳細については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4866 E *date time applid trandid* **Unable to perform operation: name is IBM protected.**

説明: ユーザーが、「DFH」で始まるグループまたはリストの内容を変更しようと試みました。これらは、IBM により保護されています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: IBM 提供のグループまたはリストをコピーし、コピーしたグループまたはリストの変更を行うことができます。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *trandid*5. *name*

宛先: CSMT

DFHCA4867 E *date time applid trandid* **File name DFHCSD is reserved and must not be modified.**

説明: CSD を CSD 自体に定義することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: SIT オプションによって DFHCSD を定義します。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4869 E *date time applid trandid* **Single resource install of restype resname in group grpname is not allowed.**

説明: 単一リソース・インストールによる *restype resname* のインストールが許可されていません。このイ

DFHCA4871 W • DFHCA4874 E

インストールは、グループ・インストールを介して行う必要があります。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: グループ *grpname* は、グループ・インストールを介してインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *restype*
6. *resname*
7. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4871 W *date time applid trandid* **File filename has been installed but set filename failed.**

説明: DSNAMES と ENABLED の設定が、FILE の INSTALL のメイン・パートとは別個に行われているため、失敗する可能性があります。

システムの処置: ファイルはインストールされていますが、その状態は設定されません。

ユーザーの処置: CEMT SET FILE コマンドを使用します。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *filename*
6. *filename*

宛先: CSMT

DFHCA4872 S *date time applid trandid* **Unable to connect to CICS catalog.**

説明: DFHAMP が、端末インストールのための CICS カタログに接続できませんでした。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4873 S *date time applid trandid* **Unable to disconnect the CICS catalog.**

説明: DFHAMP が、端末インストールのための CICS カタログを切断できませんでした。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4874 E *date time applid trandid* **Install of {TSMODEL | ENQMODEL} rsrc-name1 failed because {PREFIX | ENQNAME} attribute-name already exists in {TSMODEL | ENQMODEL} rsrc-name2.**

説明: CICS システムにリソース *rsrc-name1* をインストールしようとしたが、属性 *attribute-name* がインストールされているリソース *rsrc-name2* に既に存在しているため、失敗しました。

インストールするリソースが ENQMODEL の場合、同じまたはより総称的なネストされた *enqname* の別の ENQMODEL がインストールされていて、有効になっています。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース *rsrc-name1* をインストールする必要があることが確かな場合は、再インストールを

試行する前にリソース *rsrce-name2* を破棄する必要があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

2=*TSMODEL*,

3=*ENQMODEL*

6. *rsrce-name1*
7. 以下のオプションから選択される値。

2=*PREFIX*,

3=*ENQNAME*

8. *attribute-name*
9. 以下のオプションから選択される値。

2=*TSMODEL*,

3=*ENQMODEL*

10. *rsrce-name2*

宛先: CSMT

DFHCA4875 E *date time applid trandid* **Unable to perform operation: name is currently being updated by APPLID *applid* OPID *opid* - please retry later.**

説明: 参照したグループ/リストの内容を、CEDA のユーザーまたは別の EXEC CICS CSD コマンドが現在変更を行っているため、出したコマンドを実行できません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: もう一度コマンドを出してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *name*
6. *applid*

7. *opid*

宛先: CSMT

DFHCA4876 W *date time applid trandid* **PARTNER *partnername* specifies NETNAME *netname* which is not found in any CONNECTION definition that specifies access method = VTAM.**

説明: 現行グループ内に、指定されたパートナーの中で参照されるネット名のための VTAM 接続がありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *partnername*
6. *netname*

宛先: CSMT

DFHCA4877 W *date time applid trandid* **PARTNER *partnername* specifies a NETNAME and PROFILE for which there is no common implied SESSIONs definition.**

説明: パートナー定義内のネット名は関連する接続定義を意味し、したがって、セッション定義に関連付けられることになります。パートナー定義で参照されるプロファイル定義は、セッション定義と関連付けることができるモードネームを指定します。

現行グループ内には、指定されたパートナー定義により暗黙指定される共通のセッション定義はありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *partnername*

DFHCA4878 E • DFHCA4881 I

宛先: CSMT

DFHCA4878 E *date time applid tranid* **Install of {IPCONN} resourcename failed because one with this name is already installed and is in use.**

説明: 指定されたリソース *resourcename* を CICS システムにインストールしようとしたが、インストールされていて使用されているこの名前の既存のリソースが既に存在するため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 指定されたリソース定義を置換または破棄できるのは、そのリソース定義がサービス休止状態の場合のみです。リソースを再インストールしようとする前に、そのリソースをサービス休止状態にしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

9=IPCONN

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4879 W *date time applid tranid* {GROUP | LIST} *name* **has been partially installed.**

説明: グループまたはリスト *name* に対する INSTALL コマンドの実行中に、グループまたはリスト内の一部のエレメントが正常にインストールされましたが、少なくとも 1 つが失敗しました。

システムの処置: 1 つまたは複数のエレメントのインストールが失敗した理由を示すメッセージが出されました。

ユーザーの処置: すでに出されたメッセージを使用し、インストールが失敗した理由を判別して問題を解決してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

220 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=GROUP,
2=LIST

6. *name*

宛先: CSMT

DFHCA4880 S *date time applid tranid* **Unable to perform operation - not allowed by file attributes for DFHCSD.**

説明: DFHCSD のシステム初期設定テーブルの CSDACC パラメーターでは、指定された EXEC CICS CSD コマンドの実行が許可されません。CSDACC パラメーターは、ファイルに使用できるアクセス・タイプを指定します。これは以下のいずれかです。

READWRITE
READONLY

特定のコマンドを機能させるためには、アクセス・タイプを適切に設定する必要があります。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: SIT の CSDACC パラメーターを訂正してください。DFHCSD は、立ち上げ JCL または SIT (あるいはその両方) で定義されます。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4881 I *date time applid tranid* **Group name deleted.**

説明: グループ *grpname* が CSD から削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 削除されたグループがどのリストにも表示されていないことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *name*

宛先: CSMT

DFHCA4883 I *date time applid trandid* **List listname deleted.**

説明: リスト *listname* が CSD から削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 削除されたリストがコールド・スタートまたは初期始動で GRPLIST DFHSIT パラメーターとして使用されていないことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *listname*

宛先: CSMT

DFHCA4884 S *date time applid trandid restype* **name resname is reserved by CICS.**

説明: リソース・タイプ *restype* 用に選択した名前 *resname* は CICS によって予約されており、ユーザーは定義することができません。

システムの処置: コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置: *resname* を再定義して、コマンドを再びサブミットしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *restype*
6. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA4885 E *date time applid trandid* **Install of IPCONN resourcename failed.** 重複するアプリケーション ID *applid* が見つかりました。

説明: IPCONN リソース *resourcename* をインストールしようとしたが、IPCONN と同じアプリケーション ID (*applid*) が既にインストールされていることが検出されました。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: 定義をインストールする場合は、この IPCONN のアプリケーション ID を訂正してから、定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *resourcename*
6. *applid*

宛先: CSMT

DFHCA4887 I *date time applid trandid* **Unrecognized resource type found in the CSD file and has been ignored.**

説明: CICS が、認識されていないリソース・タイプ・コードを CSD レコード内で検出しました。認識されていないコードは、言語定義テーブルの中のいずれの機能コードとも一致していません。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

1. 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2. 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3. CSD マネージャー (DFHDMPI) が、無効な CSD レコード・バッファを DFHPUP に渡した。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: リソースは無視され、操作は続行されます。

ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエ

ラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

1. メッセージを無視します。
2. 実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。
3. この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA4888 I *date time applid trandid* **Group**
groupname **removed from list** *listname*.

説明: DELETE コマンドの実行中に、グループ *groupname* が CSD から削除されました。その結果、リスト *listname* が更新され削除されたグループがリストから除去されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *groupname*
6. *listname*

宛先: CSMT

DFHCA4889 E *date time applid trandid* **Install of**
{JOURNALMODEL | TSMODEL |
TCPIPService | CORBASERVER |
IPCONN | URIMAP} *resourcename*
failed because attribute attname is
invalid.

説明: *resourcename* という名前の

JOURNALMODEL、TSMODEL、TCPIPService、CORBASERVER、IPCONN、または URIMAP を CICS システムにインストールしようとしたが、指定されている *attribute attname* が無効であるため、失敗しました。*attribute* が CERTIFICATE である場合、これは以下のいずれかの理由による可能性があります。

- 指定された証明書が存在しない
- 指定された証明書が正しく構成されていない
- 指定された証明書に関連付けられた秘密鍵がない
- 指定された証明書が正しい USAGE を使用して鍵リングに接続されていない

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース定義の無効なパラメーターを訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=JOURNALMODEL,
2=TSMODEL,
7=TCPIPService,
8=CORBASERVER,
9=IPCONN,
10=URIMAP

6. *resourcename*
7. *attribute*
8. *attname*

宛先: CSMT

DFHCA4890 E *date time applid tranid* **Install of TDQUEUE *tdqname* failed because the TYPE has not been specified.**

説明: 指定された TDQUEUE *tdqname* をローカル CICS システムにインストールしようとしたが、REMOTESYSTEM 属性を指定して定義されていて TYPE を判別できないため、失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: REMOTE 属性と TYPE の両方を指定して、定義を二重目的にしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tdqname*

宛先: CSMT

DFHCA4891 W *date time applid tranid restype name resname* **begins with 'C'. Such names are reserved and may be redefined by CICS.**

説明: C で始まるリソース名が指定されました。C で始まる名前は予約されており、CICS によって再定義される可能性があります。

システムの処置: 定義がインストールされている場合には、エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 別のリソース名を指定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *restype*
6. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA4892 W *date time applid tranid* **Install for group *grpname* has completed with errors.**

説明: グループ *grpname* のインストールが完了しまし

た。インストールに有効なすべてのリソースがインストールされ、該当する場合は CICS カタログに記録されました。グループ内の一部のリソースのインストール時にエラーが発生し、該当するリソースがバックアウトされました。

システムの処置: CICS を続行します。CICS は、各インストール失敗の原因を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 一時データ・キュー CSMT に出された関連メッセージを使用して、エラーの原因を判別してください。エラーの原因が解消されたら、欠落している定義をインストールするためにグループを再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4893 I *date time applid tranid* **Install for group *grpname* has completed successfully.**

説明: グループ *grpname* のインストールが完了しました。インストールに有効なすべてのリソースがインストールされ、該当する場合は CICS カタログに記録されました。

システムの処置: CICS は続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4894 E *date time applid tranid* **Install of {ENQMODEL} *rsrscname1* failed because installed {ENQMODEL} *rsrscname2* is not disabled.**

説明: リソース *rsrscname1* を CICS システムにインス

DFHCA4895 E • DFHCA4897 W

トールしようとしたましたが、リソース *rsrscname2* が既にインストールされていて使用不可になっていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース *rsrscname1* をインストールするには、その前にリソース *rsrscname2* を使用不可にするか破棄する必要があります。リソース *rsrscname2* を必要な状態にしてから、新しい定義をインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

3=ENQMODEL

6. *rsrscname1*
7. 以下のオプションから選択される値。

3=ENQMODEL

8. *rsrscname2*

宛先: CSMT

DFHCA4895 E *date time applid trandid* **Install of TSMODEL *resourcename* in group *groupname* failed because TS was started using an assembled TST without the MIGRATE option.**

説明: CICS システム上でグループ *groupname* に TSMODEL *resource_name* をインストールしようとしたましたが、MIGRATE オプションを指定せずにアセンブルされた TST を使用してシステムが開始されたため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: RDO を使用して TSMODEL をインストールする場合は、TYPE=(INITIAL,MIGRATE) オプションを指定してアセンブルされた TST を使用して CICS を開始するか、SIT パラメーターで TST を指定しないでください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *resourcename*
6. *groupname*

宛先: CSMT

DFHCA4896 E *date time applid trandid* **Install of TDQUEUE *tdqname* failed because the queue is not closed.**

説明: 一時データ・キュー *tdqname* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、この区画外 TD キューに関連付けられているデータ・セットがクローズされていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 再定義するには、その前に、区画内キューを使用不可にし、区画外キューを使用不可にしてクローズする必要があります。キューが必要な状態になっていることを確認してから、新しい定義をインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *tdqname*

宛先: CSMT

DFHCA4897 W *date time applid trandid* **The definition of {TDQUEUE | TCPIPService} *resourcename* specified {OPENTIME=INITIAL | STATUS=OPEN} but the open failed.**

説明: リソース名 *resourcename* を CICS システムにインストールしようとして成功しましたが、リソースをオープンすることができません。

システムの処置: 定義はインストールされています。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別して、リソースをオープンしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=TDQUEUE,
7=TCPIPService

6. *resourcename*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=OPENTIME=INITIAL,
7=STATUS=OPEN

宛先: CSMT

DFHCA4898 E *date time applid tranid* **Installation of {TDQUEUE | PROCESSTYPE | LIBRARY | ATOMSERVICE} *resourcename* failed because of insufficient storage.**

説明: CICS システム上にリソース *resourcename* をインストールしようとしたましたが、項目を作成するための十分なストレージが使用可能でないために失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。ストレージ問題の扱い方に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=TDQUEUE,
2=PROCESSTYPE,
5=LIBRARY,
11=ATOMSERVICE

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4899 E *date time applid tranid* **TDQUEUE *tdqname* cannot be replaced because the existing definition is for a different queue type.**

説明: 一時データ・キュー *tdqname* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、その定義タイプがシステムに既に定義されている定義のタイプと異なるため、失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: システムに現在インストールされているものと同じタイプになるように新しい定義を変更するか、現在の定義を破棄してから、新しい定義をインストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tdqname*

宛先: CSMT

DFHCA4900 W *DATE TIME APPLID* **Install of *grpname* obsolete group *grpname* detected.**

説明: 廃止されたグループ *grpname* のインストールが検出されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: このリリースの CICS では、示されたグループをインストールしないでください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA4901 E *date time applid tranid* **Install of REQUESTMODEL *resourcename1* failed because a duplicate pattern already exists in *resourcename2*.**

説明: リソース *resourcename1* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、重複するパターンが *resourcename2* で見つかったため、失敗しました。

DFHCA4902 E • DFHCA4904 W

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース *resourcename1* 用にインストールされるパターンを、*resourcename2* 用にインストールされるものに照らして確認してから、インストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMOP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *resourcename1*
6. *resourcename2*

宛先: CSMT

DFHCA4902 E *date time applid trandid* **Install of {CORBASERVER | REQUESTMODEL} *resourcename* failed because it is not a valid {CORBASERVER | REQUESTMODEL} for this level of CICS.**

説明: リソース *resourcename* をこの CICS システムにインストールしようとしたが、CICS の現行レベルに必要な属性が含まれていなかったため、失敗しました。定義されているリソースが REQUESTMODEL だった場合、エラーは、corbaserver 名がブランクであるということです。ブランクの corbaserver 名であることは、要求モデルがこの CICS システムの正しいレベルにないことを示します。定義されているリソースが CORBASERVER であった場合、エラーは、このレベルの CICS に必須の UNAUTH tcpipSERVICE 名が定義で欠落していたということです。

システムの処置: リソース *resourcename* の定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 正しいレベルの CSD を使用していることを確認するか、必要に応じて新しい属性を使用してリソース *resourcename* を再定義してください。

モジュール: DFHAMOP、DFHAMEJ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=CORBASERVER,
2=REQUESTMODEL

6. *resourcename*

7. 以下のオプションから選択される値。

1=CORBASERVER,
2=REQUESTMODEL

宛先: CSMT

DFHCA4903 E *date time applid trandid* **Install for TCPIPService *tcipSERVICE* has failed because the service is open.**

説明: サービスがオープンされていたため、TCPIPService *tcipSERVICE* のインストールが失敗しました。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: サービスをクローズして、インストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CSMT

DFHCA4904 W *date time applid trandid* **Opening TCPIPService *tcipSERVICE* has failed because port *portno* is already in use.**

説明: 指定したポート番号が使用中のため、TCPIPService *tcipSERVICE* のオープンが失敗しました。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0109 が、一時データ・キュー CSOO に出されます。

ユーザーの処置: 指定されたポート番号が使用中でないかどうかを検査してください。詳細については、メッセージ DFHSO0109 の説明を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tcipSERVICE*
6. *portno*

宛先: CSMT

DFHCA4905 E *date time applid tranid* **Install failed for resource. Option *opt* is not available on this system.**

説明: 現行の CICS システムは示されたオプション *opt* をサポートするよう構成されていないため、リソース *resource* のインストールが失敗しました。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: 示されたオプションをサポートするための適切なシステム初期設定パラメーターを指定して CICS システムを再構成します。その後で CICS を再始動してください。

モジュール: DFHAMDH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource*
6. *opt*

宛先: CSMT

DFHCA4906 W *date time applid tranid* **Opening TCIPSERVICE *tcipSERVICE* has failed because port *portno* is not authorized.**

説明: 指定したポート番号が許可されていないため、TCIPSERVICE *tcipSERVICE* のオープンが失敗しました。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0111 が一時データ・キュー CSOO に書き込まれます。

ユーザーの処置: 許可されているポートを選択します。詳細については、メッセージ DFHSO0111 の説明を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tcipSERVICE*
6. *portno*

宛先: CSMT

DFHCA4907 W *date time applid tranid* **Opening TCIPSERVICE *tcipSERVICE* has failed because the {IP address | host} is not known.**

説明: 指定された IP アドレスまたは指定されたホストが不明であるため、TCIPSERVICE *tcipSERVICE* のオープンに失敗しました。IPv6 アドレスが明示的に使用されるか、または指定されたホストが IPv6 アドレスに解決されるために IPv6 アドレスが使用される場合、TCP/IP スタックで IPv6 がサポートされていない場合、オープンに失敗します。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。メッセージ DFHSO0110 またはメッセージ DFHSO0117 が一時データ・キュー CSOO に書き込まれます。

ユーザーの処置: TCP/IP スタックで使用する IP アドレスのタイプがサポートされることを確認し、ホストまたは IP アドレスが認識されていることも確認してください。

IPv6 アドレスが使用されている場合は、TCP/IP スタックが IPv6 をサポートすることを確認してください。Netstat を使用してスタックに関する情報を見つける方法について、「z/OS Communications Server IP Diagnosis Guide」を参照してください。

詳細については、メッセージ DFHSO0110 またはメッセージ DFHSO0117 の説明を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tcipSERVICE*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=IP アドレス,
2=ホスト

宛先: CSMT

DFHCA4908 E *date time applid tranid* **Install of DOCTEMPLATE *doctemplate1* failed because TEMPLATENAME(*template*) already exists in DOCTEMPLATE *doctemplate2*.**

説明: 選択した TEMPLATENAME は文書テンプレート *doctemplate2* の完全名としてすでに使用中のため、DOCTEMPLATE *doctemplate1* のインストールが失敗しました。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: *doctemplate1* に別の TEMPLATENAME を選択するか、*doctemplate2* に対する文書テンプレート定義を廃棄してください。

モジュール: DFHAMMDH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *doctemplate1*
6. *template*
7. *doctemplate2*

宛先: CSMT

DFHCA4909 E *date time applid tranid* **Install of DOCTEMPLATE *doctemplate* failed. DDNAME(*ddname*) not found.**

説明: DOCTEMPLATE *doctemplate* のインストールが失敗しました。選択された DDNAME(*ddname*) が、現行 CICS ジョブの JCL 内の区分データ・セットのデータ定義ステートメントの名前でないためです。*ddname* は、文書ハンドラー・ドメインによって使用される文書テンプレートが含まれている PDS に割り振る必要があります。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: 現行 CICS ジョブの JCL 内に存在している DDNAME を選択するか、CICS を停止してから、必要な DD ステートメントを追加して CICS を再始動してください。

モジュール: DFHAMMDH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *doctemplate*
6. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA4910 E *date time applid tranid* **Install of DOCTEMPLATE *doctemplate* failed. MEMBER(*membername*) not found in *ddname*.**

説明: DOCTEMPLATE *doctemplate* のインストールが失敗しました。メンバー *membername* が、*ddname* 連結で指定されている区分データ・セットのいずれでも見つからなかったためです。

システムの処置: インストールは失敗します。

ユーザーの処置: 指定したテンプレート・ライブラリーのいずれかにメンバー *membername* が存在していることを確認してから、それを参照する DOCTEMPLATE をインストールしてください。

モジュール: DFHAMMDH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *doctemplate*
6. *membername*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA4911 W *date time applid tranid* **Transaction *tranid* installed but at least one of ALIAS, TASKREQ or XTRANID failed to be replaced because it exists as a primary transaction.**

説明: トランザクション *tranid* が正常にインストールされましたが、示されている別名 (ALIAS、TASKREQ、または XTRANID) の少なくとも 1 つが、1 次トランザクションとして既に存在するため、インストールできませんでした。

システムの処置: リソースはインストールされますが、別名はインストールされません。

ユーザーの処置: どの別名が 1 次トランザクション ID と競合しているのかを判別し、その名前を変更してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA4912 E *date time applid tranid* **Install of resource resourcename failed because attribute is invalid for this release.**

説明: *resourcename* という名前のリソース *resource* をこの CICS システムにインストールしようとしたましたが失敗しました。指定された *attribute* が廃止された属性で、無効であるためです。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース定義の無効なパラメーターを除去してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource*
6. *resourcename*
7. *attribute*

宛先: CSMT

DFHCA4913 E *date time applid tranid* **Install of {IPCONN} resourcename failed because a CONNECTION resource with this name and a different APPLID is already installed.**

説明: 指定されたリソース *resourcename* を CICS システムにインストールしようとしたますが、別の APPLID のインストールされているこの名前の既存の CONNECTION リソースが既に存在するため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 同じ名前の IPCONN および CONNECTION は同じシステムを表す必要があるため、IPCONN APPLID および CONNECTION NETNAME は同じでなければなりません。正しくない

ものを設定し、再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

9=IPCONN

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4914 E *date time applid tranid* **Install of resourcetype resourcename failed.** 指定された *targetresource* は使用できません。

説明: 関連付けられているターゲット・リソース *targetresource* が使用不能であるため、リソース *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: ターゲット・リソースが使用不能である理由を判別します。存在しないか、または使用前に定義されていない可能性があります。参照先のターゲット・リソースを作成または定義してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcetype*
6. *resourcename*
7. *targetresource*

宛先: CSMT

DFHCA4915 E *date time applid tranid* **Install of resourcetype resourcename failed.** データ・セット *dsname* のオープンが異常終了しました。

説明: リソース *resourcename* をインストールできません。それを含んでいるデータ・セット *dsname* のオープン中に異常終了が発生したためです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

DFHCA4916 E • DFHCA4918 E

ユーザーの処置: データ・セットをオープンすることができなかった理由について説明している、前の IEC143I、IEC144I、IEC145I、IEC148I、IEC150I、または IEC153I メッセージを探してください。関連メッセージで説明されている問題をすべて訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcetype*
6. *resourcename*
7. *dsname*

宛先: CSMT

DFHCA4916 E *date time applid tranid*
TCPIPSERVICE *tcpipservice* has not been opened because the MAXSOCKETS limit has been reached.

説明: システム内のアクティブ・ソケットの数が現行 MAXSOCKETS 値と等しいため、TCPIPSERVICE *tcpipservice* がオープンされませんでした。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: ご使用の MAXSOCKETS 設定が、通常のシステム負荷を処理するのに十分かどうかを判断してください。十分である場合は、これは、ソケットを使用している作業でのピークによって引き起こされた一時的な状態である可能性があり、作業負荷が減ってから CEMT を使用して TCPIPSERVICE をオープンできることがあります。十分でない場合は、CEMT SET SYSTEM を使用して、システム内のソケット数を増やしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tcpipservice*

宛先: CSMT

DFHCA4917 W *date time applid tranid*
{CORBASERVER | TCPIPSERVICE | IPCONN | URIMAP} *resourcename* was installed with a reduced set of CIPHER codes.

説明: 指定されたリソース *resourcename* がインストールされましたが、実行中のシステムが指定された暗号のすべてはサポートしていなかったため、そのリソースが最初に定義されていた暗号コードのセットがインストール時に削減されました。

システムの処置: リソースは、削減された暗号コードのセットでインストールされます。

ユーザーの処置: CIPHERS 設定が受け入れられるかどうかを判断してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=CORBASERVER,
7=TCPIPSERVICE,
9=IPCONN,
10=URIMAP

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4918 E *date time applid tranid* **The installation of {CORBASERVER | TCPIPSERVICE | IPCONN | URIMAP} *resourcename* has failed because its requested CIPHER list was rejected.**

説明: リソースに対して指定されたすべての暗号コードが実行中のシステムによって拒否されたため、リソース *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 現在の MVS システムに対して指定する必要がある CIPHERS 設定を判断してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=CORBASERVER,
7=TCPIPSERVICE,
9=IPCONN,
10=URIMAP

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4919 E *date time applid trandid* **The installation of {TCPIPSERVICE | IPCONN | URIMAP} *resourcename* has failed because CIPHERS file *filename* was not found.**

説明: CIPHERS ファイルが見つからなかったため、リソース *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: CIPHERS ファイル名を訂正してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

7=TCPIPSERVICE,
9=IPCONN,
10=URIMAP

6. *resourcename*

7. *filename*

宛先: CSMT

DFHCA4920 E *date time applid trandid* **The installation of {CORBASERVER | DJAR | PIPELINE | WEBSERVICE | LIBRARY | BUNDLE | JVMSEVER} *resourcename* has failed because it is a duplicate of one which already exists.**

説明: この名前のリソースが実行中の CICS システムに既に存在するため、指定されたリソース *resourcename* のインストールが失敗しました。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 一部のリソースでは、更新 (追加/置換) を実行できません。システムに認識されていない別のリソース名を選択してください。あるいは、同じリソース名を使用する場合は、まずそのリソースを破棄する必要があります。リソースは、破棄または更新する前に使用不可にする必要がある場合があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=CORBASERVER,
2=DJAR,
3=PIPELINE,
4=WEBSERVICE,
5=LIBRARY,
6=BUNDLE,
7=JVMSEVER

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4928 E *date time applid trandid* **Install of {TCPIPSERVICE | CORBASERVER | IPCONN | URIMAP} *resourcename* failed because the specified certificate *attname* {is expired | is not yet current | is not owned by this CICS | is not trusted | is not found}.**

説明: 指定された証明書が使用不可であるため、リソース *resourcename* をインストールできません。メッセージの説明部分にその理由が示されます。

有効期限切れ

証明書が有効でなくなる日時が既に過ぎています。

現行ではない

証明書が有効になる日時に到達していません。

このCICSは所有していない

指定された証明書は、現在の CICS 領域ユーザー ID 以外のユーザーに属しています。CICS で使用できるのは、CICS 領域ユーザー ID に属している証明書のみです。

トラステッドではない

DFHCA4929 E • DFHCA4931 E

証明書には、セキュリティー管理者によって NOTRUST 属性が付与されています。これは、証明書が使用されないことを示します。

非検出

証明書が見つかりません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 鍵リングにある証明書を使用可能な証明書に置き換えるか、別の証明書を指定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

7=TCPIP SERVICE,
8=CORBASERVER,
9=IPCONN,
10=URIMAP

6. *resourcename*
7. *attname*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=有効期限が切れている,
2=現行ではない,
3=この CICS は所有していない,
4=信頼できない,
5=見つからない

宛先: CSMT

DFHCA4929 E *date time applid trandid*
{URIMAP}(resourcename) was not installed because of conflicting attributes.

説明: リソース *resourcename* は、指定された属性が不整合であるため、インストールできません。属性の不整合は RDO DEFINE コマンドで解決する必要があるため、これは、CICS 内の内部問題を示している可能性があります。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 競合している属性を除去してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

10=URIMAP

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4930 E *date time applid trandid*
URIMAP(urimap1) not installed because it maps the same URI as urimap2.

説明: URIMAP *urimap1* は、既にインストールされている *urimap2* と同じ HOST および PATH (およびオプションの TCPIP SERVICE) をマップするため、インストールできません。各 URIMAP は、これらのパラメーターの固有の組み合わせをマップする必要があります。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 別の HOST、PATH、または TCPIP SERVICE 属性を指定してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *urimap1*
6. *urimap2*

宛先: CSMT

DFHCA4931 E *date time applid trandid* **The installation of WEBSERVICE *resourcename* failed because the associated {WSBIND file | PIPELINE} does not exist.**

説明: 関連 PIPELINE がみつからないため、WEBSERVICE *webservice* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: PIPELINE 定義が正しく、PIPELINE がインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *resourcename*
6. 以下のオプションから選択される値。

2=WSBIND ファイル,
3=PIPELINE

宛先: CSMT

DFHCA4932 E *date time applid trandid* **The installation of {PIPELINE | WEBSERVICE} *resourcename* failed because the {zFS file | PIPELINE} setup was not correct.**

説明: セットアップ・エラーのため、WEBSERVICE *webservice* または PIPELINE *pipeline* をインストールできません。zFS ファイルに正しい許可がないか、PIPELINE モードが正しくありません。

システムの処置: リソースはインストールされません。
ユーザーの処置: パイプラインおよび Web サービスの zFS ファイル定義が正しいことを確認してください。
モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. 以下のオプションから選択される値。

3=PIPELINE,
4=WEBSERVICE

6. *resourcename*
7. 以下のオプションから選択される値。

2=zFS ファイル,
3=PIPELINE

宛先: CSMT

DFHCA4933 E *date time applid trandid* **The installation of PIPELINE *resourcename* failed because the WSDIR file specified is not accessible.**

説明: PIPELINE *pipeline* をインストールできません。指定されている WSDIR が正しくないため、ディレクトリーにアクセスできないからです。

システムの処置: リソースはインストールされません。
ユーザーの処置: 大/小文字が区別されることに注意し、WSDIR の zFS ファイル定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4934 E *date time applid trandid* **The installation of URIMAP *resourcename* failed because HOSTCODEPAGE *hcodepage* is not valid in combination with CHARACTERSET *charset*.**

説明: URIMAP リソース *resourcename* は、指定された属性が不整合であるため、インストールできません。ほとんどの不整合は、リソース定義時に除去されます。ただし、URIMAP リソースの場合、HOSTCODEPAGE 属性に指定された値と CHARACTERSET 属性に指定された値の整合性は、インストール時まで判別できません。

システムの処置: リソースはインストールされません。
ユーザーの処置: URIMAP に指定された CHARACTERSET 値と HOSTCODEPAGE 値の組み合わせが、リソース *resourcename* をインストールしようとしている CICS システムによってサポートされていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

5. *resourcename*
6. *hcodepage*
7. *charset*

宛先: CSMT

DFHCA4935 E *date time applid tranid* **Install of {TCPIPService | CORBAServer | IPConn | URIMAP} *resourcename* failed because the KEYRING has no default certificate.**

説明: 指定されたリソース *resourcename* はインストールされません。CERTIFICATE 属性に証明書ラベルが指定されておらず、かつこの CICS システムの鍵リングにデフォルト証明書が存在しないためです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: *resourcename* の CERTIFICATE 属性に有効な証明書ラベルを指定するか、または鍵リング内の証明書の 1 つをデフォルトとして指定してください。

z/OS Security Server (RACF) を使用している場合は、RACDCERT コマンドを使用して、デフォルトとして証明書を指定してください。

注: 証明書を追加または削除するか、証明書の状況をデフォルトに、またはデフォルトから変更することによって、鍵リングを変更した場合、その変更は CICS アドレス・スペースを再始動するまで CICS に反映されません。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

7=TCPIPService,
8=CORBAServer,
9=IPConn,
10=URIMAP

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4936 E *date time applid tranid* **The installation of BUNDLE *resourcename* failed because the manifest found was not valid.**

説明: バンドル・ルート・ディレクトリーにあるマニフェストが無効であるため、BUNDLE *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: バンドルのルート・ディレクトリー内のマニフェストが有効であることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4937 E *date time applid tranid* **The installation of BUNDLE *resourcename* failed because a manifest was not found.**

説明: 指定されたバンドル・ルート・ディレクトリーにマニフェストが見つからなかったため、BUNDLE *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: BUNDLEDIR に指定されているルート・ディレクトリーが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4938 W *date time applid tranid* **BUNDLE *resourcename* has been installed as disabled because one or more of its associated resources failed to install.**

説明: BUNDLE *resourcename* の関連リソースの 1 つ

以上を適切にインストールできませんでした。

システムの処置: リソースは、使用不可としてインストールされます。

ユーザーの処置: ログで出されたエラー・メッセージを調べて、関連リソースのインストール失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4939 E *date time applid tranid* **The installation of ATOMSERVICE *resourcename* failed due to a configuration error.**

説明: ATOMSERVICE *resourcename* は、正常に構成できなかったため、インストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: ATOMSERVICE *resourcename* に定義されている CONFIGFILE が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4940 E *date time applid tranid* **Install of MQCONN *mqconn-name* failed because an MQCONN is already installed and is in use.**

説明: MQCONN *mqconn-name* を CICS システムにインストールしようとしたますが、インストールされている既存の MQCONN があり、それが CICS-MQ アダプターによって使用中であるため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 一度に CICS システムにインストールできる MQCONN は 1 つだけです。2 つ目の MQCONN をインストールすると、最初の MQCONN およびそれに関連付けられている MQINI が暗黙的に破棄されます。

MQCONN 定義は、CICS-MQ アダプターによって使用されていない場合にのみ、置換または破棄することができます。MQCONN 定義をインストールしようとする前に、CICS-MQ インターフェースが停止していることを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *mqconn-name*

宛先: CSMT

DFHCA4941 E *date time applid tranid* **The installation of {ATOMSERVICE} *resourcename* failed because the {CONFIGFILE | BINDFILE} does not exist.**

説明: CONFIGFILE または BINDFILE として指定された UNIX System Services ファイルが存在しないため、指定された *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 適切なファイルが定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

11=ATOMSERVICE

6. *resourcename*

7. 以下のオプションから選択される値。

1=CONFIGFILE,
2=BINDFILE

宛先: CSMT

DFHCA4942 E *date time applid tranid* **The installation of {ATOMSERVICE} resourcename failed because CICS does not have authority to access the {CONFIGFILE | BINDFILE}.**

説明: CONFIGFILE または BINDFILE として指定された UNIX System Services ファイルにアクセスするための許可を CICS 領域ユーザー ID が備えていないため、指定された *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: CICS 領域ユーザー ID がアクセスできる別のファイルの名前を指定するか、UNIX System Services のファイル許可機能 (chmod コマンドなど) を使用して、指定したファイルにアクセスするための許可を CICS 領域ユーザー ID に付与してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

11=ATOMSERVICE

6. *resourcename*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=CONFIGFILE,
2=BINDFILE

宛先: CSMT

DFHCA4943 E *date time applid tranid* **The installation of {ATOMSERVICE} resourcename failed because the associated {CONFIGFILE | BINDFILE | URIMAP} is invalid.**

説明: 関連付けられている CONFIGFILE、BINDFILE、または URIMAP が無効であると判明したため、指定された *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 無効な CONFIGFILE または BINDFILE を訂正してください。失敗が URIMAP に対するものである場合は、CICS にインストールされている別の URIMAP で同じパスが指定されていることが原因である可能性があります。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

11=ATOMSERVICE

6. *resourcename*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=CONFIGFILE,
2=BINDFILE,
3=URIMAP

宛先: CSMT

DFHCA4944 W *date time applid tranid* **JVMSERVER resourcename has been installed with fewer threads than requested on its definition.**

説明: 指定された JVMSERVER *resourcename* が、リソース定義で要求された THREADLIMIT 値よりも少ないスレッドでインストールされました。

システムの処置: リソースは、制限されたスレッドでインストールされます。

ユーザーの処置: JVMSERVER 定義で正しい THREADLIMIT が指定されていることを確認してください。THREADLIMIT が正しい場合は、この JVMSERVER がより多くのスレッドを獲得できるように、他のインストールされている JVMSERVER の THREADLIMIT 値を小さくすることを検討してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4945 W *date time applid tranid*
**JVMSEVER *resourcename* has been
 installed as disabled with a
 THREADLIMIT of 0.**

説明: 指定された JVMSEVER *resourcename* は、実行中の CICS システムで使用可能なスレッドが不足しているため、THREADLIMIT 値 0 で使用不可としてインストールされました。

システムの処置: リソースは、使用不可としてインストールされます。

ユーザーの処置: JVMSEVER 定義で正しい THREADLIMIT が指定されていることを確認してください。THREADLIMIT が正しい場合は、この JVMSEVER がスレッドを獲得して使用可能になれるように、他のインストールされている JVMSEVER の THREADLIMIT 値を小さくすることを検討してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4946 E *date time applid tranid* **The
 installation of {BUNDLE} *resourcename*
 failed because CICS does not have
 authority to access the manifest found
 in the bundle root directory.**

説明: 指定された *resourcename* はインストールできません。CICS 領域ユーザー ID が、BUNDLEDIR に指定されているバンドル・ルート・ディレクトリーにあるマニフェストにアクセスする許可を備えていないためです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: CICS 領域ユーザー ID がアクセスできる別のファイルの名前を指定するか、UNIX System Services のファイル許可機能 (chmod コマンドなど) を使用して、指定したファイルにアクセスするための許可を CICS 領域ユーザー ID に付与してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

6=BUNDLE

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4947 E *date time applid tranid* **The
 installation of {BUNDLE} *resourcename*
 failed because an unexpected resource
 error occurred.**

説明: 予期しないエラーが発生したため、指定された *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 出された他のエラー・メッセージを調べ、適切な処置をとってください。問題が解決しない場合は、IBM サポート担当員に連絡してさらに支援を受けてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

6=BUNDLE

6. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4948 E *date time applid tranid* **Installation
 of *resourcetype* resources is not
 supported on this release.** このタイプの
 リソースをサポートする最後のリリース
 は、**CICS Transaction Server** バージョ
 ン *version.release* でした。

説明: このリリースでは、*resourcetype* リソースの定義をインストールできません。このタイプのリソースをサポートする最後のリリースは、CICS Transaction Server バージョン *version.release* でした。

システムの処置: リソースはインストールされません。

DFHCA4949 E • DFHCA4952 E

ユーザーの処置: 該当するリソースの使用を確認してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *resourcetype*
6. *version.release*

宛先: CSMT

DFHCA4949 E *date time applid trandid* **Installation failed because restype resname has already been installed by a BUNDLE resource.**

説明: リソース定義 *restype resname* を CICS システムにインストールしようとしたが、このリソースは BUNDLE リソースによって既にインストールされているため、インストールは失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: 新しいリソース定義をインストールするには、現在インストールされているリソースを破棄してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *restype*
6. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA4950 E *date time applid trandid* **BUNDLE definition failed because restype resname has already been installed.**

説明: BUNDLE 定義リソース *restype resname* を CICS システムにインストールしようとした。このリソースが既にインストールされているため、インストールに失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: 新しいリソース定義をインストールするには、現在インストールされているリソースを破棄してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *restype*
6. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA4951 E *date time applid* **BASESCOPE** 属性が無効であるため、{BUNDLE} *resourcename* のインストールに失敗しました。

説明: BASESCOPE 属性が無効であるため、指定された *resourcename* をインストールできません。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 定義されているフォーマットについて BASESCOPE 属性が適切な形式になっていることを確認してから、リソースを再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

6=BUNDLE

5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4952 E *date time applid* **The installation of standalone CICS bundle *resourcename* failed because its ID and version are a duplicate of a standalone CICS bundle that already exists.**

説明: 指定されたリソース *resourcename* のインストールが失敗しました。アプリケーションまたはプラットフォームの一部としてインストールされなかった、同じ ID およびバージョンの CICS バンドルが、実行中の CICS システムに既に含まれているためです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 新しいバンドルを作成するには、その前に、既存のバンドルを破棄する必要があります。重複したバンドルのバンドル ID およびバージョンを判別するには、一時データ・キュー CRLO に書き込まれるメッセージ DFHRL0125 を参照してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4953 E *date time applid* **Installation failed because restype resname has already been loaded from a BUNDLE resource.**

説明: リソース定義 *restype resname* を CICS システムにインストールしようとしたのですが、このリソースは BUNDLE リソースによってインストールされた LIBRARY から既にロードされているため、インストールは失敗しました。

システムの処置: 定義はインストールされませんでした。

ユーザーの処置: 新しいリソース定義をインストールするには、現在インストールされているリソースを破棄してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*
5. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA4954 W *date time applid* **The installation of {URIMAP} resourcename is successful, but no certificate label was specified in the CERTIFICATE attribute, and no default certificate exists in the keyring for this CICS system.**

説明: 指定された URIMAP *resourcename* は正常にインストールされますが、証明書ラベルが CERTIFICATE 属性に指定されておらず、かつこの CICS システムの鍵リングにデフォルトの証明書が存在しません。

システムの処置: URIMAP リソースは、証明書の指定なしでインストールされます。

ユーザーの処置: CERTIFICATE 設定が受け入れられるかどうかを判別してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

10=URIMAP

5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4956 E *applid* **Opening TCPIP SERVICE tcpip service has failed because its specific TCPIP SERVICE specifcps is not installed.**

説明: TCPIP SERVICE *tcpip service* は、必要とする特定の TCPIP SERVICE *specifcps* がインストールされていないため、オープンできませんでした。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: このリソースをオープンしようとする前に、特定の TCPIP SERVICE をインストールしてオープンしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcpip service*
3. *specifcps*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4957 E *applid* **Opening TCPIP SERVICE tcpip service has failed because its specific TCPIP SERVICE specifcps is not open.**

説明: TCPIP SERVICE *tcpip service* をオープンしようとしたのですが、必要な特定の TCPIP SERVICE *specifcps* がオープンでないため、失敗しました。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: このリソースをオープンしようとする

DFHCA4958 E • DFHCA4961 E

前に、特定の TCPIP SERVICE をオープンしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4958 E *applid* Opening TCPIP SERVICE
tcipSERVICE has failed because its
specific TCPIP SERVICE *specifTCPS* is in
use by another TCPIP SERVICE.

説明: TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* をオープンしようとしたが、必要な特定の TCPIP SERVICE *specifTCPS* が別の一般的な TCPIP SERVICE に現在関連付けられているため、失敗しました。任意の時点で特定の TCPIP SERVICE を使用できる一般的な TCPIP SERVICE は 1 つのみです。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: この TCPIP SERVICE を変更して、別の特定の TCPIP SERVICE の名前が含まれるようにしてから、再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4959 E *applid* Opening TCPIP SERVICE
tcipSERVICE has failed because its
specific TCPIP SERVICE *specifTCPS* has
different security settings.

説明: TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* をオープンしようとしたが、特定の TCPIP SERVICE *specifTCPS* に異なるセキュリティ設定が含まれているため、失敗しました。オープンを正常に行うには、両方のリソースに同一のセキュリティ設定が含まれている必要があります。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: これらのリソースのいずれかのセキュリティ設定を変更してから、再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4960 E *applid* Opening TCPIP SERVICE
tcipSERVICE has failed because its
specific TCPIP SERVICE *specifTCPS* is
not one in use as a specific IPIC end
point.

説明: TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* をオープンしようとしたが、特定の TCPIP SERVICE *specifTCPS* が IPIC 固有のエンドポイントとして使用中のものでないため、失敗しました。一般的な TCPIP SERVICE は、ローカル領域の固有の IPIC エンドポイントである TCPIP SERVICE を参照する必要があります。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: リソース定義の SPECIFTCPS 属性を変更して、固有の IPIC エンドポイントとして使用できる TCPIP SERVICE を指定してから、再インストールしてください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4961 E *date time applid tranid* The
installation of JVM SERVER
resourcename failed because the
PROFILEDIR specified is too long.

説明: JVM SERVER *jvmserver* をインストールできません。指定されている PROFILEDIR が最大長の 240 文字より長い場合、プロファイルにアクセスできないからです。

システムの処置: リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 短い名前のディレクトリーにプロファイル・ディレクトリーを配置してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA4962 E *applid* **Install of MQMONITOR**
mqmon-name **failed because an**
MQMONITOR with the same name is
already installed and is in use.

説明: MQMONITOR *mqconn-name* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、インストールされている既存の MQMONITOR があり、使用中であるため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 指定されたリソース定義を置換または破棄できるのは、そのリソース定義が開始も使用可能にされてもいない場合のみです。リソースの再インストールを試みる前に、リソースを使用不可にして停止してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *mqmon-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4963 E *applid* **Install of MQMONITOR**
mqmon-name **failed because an**
MQCONN is not installed.

説明: MQMONITOR *name* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、MQCONN がインストールされていないため、失敗しました。MQMONITOR は、MQCONN のインストール後にのみインストールできます。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: MQCONN 定義をインストールしてから、MQMONITOR のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *mqmon-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4964 W *DATE TIME APPLID* **Install of**
obsolete group *grpname* **from list**
listname **detected.**

説明: 廃止されたグループ *grpname* のインストールが検出されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: このリリースの CICS で使用される指定リストからグループを除去してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *grpname*
5. *listname*

宛先: CSMT

DFHCA4965 E *applid* **Install of MQMONITOR**
mqmon-name **failed because a value for**
MONUSERID has not been specified.

説明: MQMONITOR *name* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、MONUSERID の値が指定されていないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: MONUSERID の値を指定してから、MQMONITOR のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *mqmon-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4966 E *applid* **Install of MQMONITOR**
mqmon-name **failed because the current**
user is not a surrogate of
MONUSERID.

説明: MQMONITOR *name* を CICS システムにインストールしようとしたましたが、MQMONITOR をインストールする権限または関連トランザクションを開始する権限が現行ユーザーにないため、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

DFHCA4967 E • DFHCA5101 I

ユーザーの処置: セキュリティー定義を訂正してから、MQMONITOR のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *mqmon-name*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHCA4967 E *DATE TIME APPLID* **Obsolete LE definitions detected. CICS は終了します。(CICS will terminate.)**

説明: CICS は、CEE グループからインストールされた、廃止された LE 定義の使用を検出しました。必要な定義を CICS システムが自動インストールするため、CEE グループを使用してはなりません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 前のメッセージ DFHCA4964 を参照して、CEE グループが含まれているグループ・リストを判別してください。CEE グループをグループ・リストから除去してください。また、CEDA を介して CEE グループをインストールしないでください。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*

宛先: コンソールおよび CSMT

DFHCA4999 E *date time applid tranid* **Install of resource type resources is not supported.**

説明: リソース・タイプ *resource* をこの CICS システムにインストールしようとしたましたが、このリソース・タイプに対してインストール用のコードが使用不可であるため、インストールを試行できません。

システムの処置: 処理を続行します。定義はインストールされません。

ユーザーの処置: リソース *resource* のリソース定義は定義できますが、フルサポートが使用可能になるまでインストールすることはできません。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *resourcetype*

宛先: CSMT

DFHCA5100 S *date time applid netname tranid*
Severe error in module modname.
Abend code: abcode

説明: CSD ユーティリティ・コマンドによって呼び出されたときに、モジュール *modname* で内部エラーが起きました。

システムの処置: オペレーティング・システム・ダンプが作成され、異常終了コード *abcode* が出され、処理は異常終了します。

CSD ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: 手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *modname*
7. *abcode*

宛先: CSMT

DFHCA5101 I *date time applid netname tranid*
command **command executed successfully.**

説明: CSD ユーティリティ・コマンド *command* の実行が正常に完了しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *command*

宛先: CSMT

DFHCA5102 I *date time applid netname tranid*
Warning message(s) issued while processing command command.

説明: CSD ユーティリティが *command* コマンドの構文検査または実行時にメッセージを出しました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: 警告メッセージを見直して、ユーティリティの処理にどのような影響があったのかを判別してください。次に、さらに CSD ユーティリティ・ジョブをサブミットする必要があるのかどうかを判断してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *command*

宛先: CSMT

DFHCA5103 I *date time applid netname tranid*
Error(s) occurred while processing command command.

説明: CSD ユーティリティが、ユーティリティ・コマンド *command* の構文エラーか、またはそのコマンド *command* の実行が正しく行われなかったことを検出しました。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行は終了します。

コマンドがユーティリティによって SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマ

ンド (LIST を除く) は、構文のみについて調べられます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 構文エラーが原因でコマンドが失敗した場合は、コマンドを訂正してください。

コマンドが正しく実行されなかった場合には、前のエラーが原因になっている可能性があります。この場合、DFHCA5275 などの関連したエラー・メッセージが出されているはずです。詳細については、それらのエラー・メッセージを参照してください。

すべてのエラーを訂正してから、もう一度 CSD ファイルをオープンしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *command*

宛先: CSMT

DFHCA5104 W *date time applid netname tranid*
Subsequent commands (except LIST) are not executed because of error(s) above.

説明: CSD ユーティリティ・プログラムは、エラーを検出した後、(メッセージ書き込み出口ルーチンによって提供された場合とは異なり) データ・ストリームから読み取ったそれ以降のすべてのコマンドの実行を停止します。ただし、後続コマンドの構文検査は続行されます。LIST コマンドは例外で、これは 1 次 CSD ファイルがオープンできる場合は実行されます。

システムの処置: 後続の CSD ユーティリティ・コマンド (LIST を除く) は無視されます。

ユーザーの処置: 使用されたコマンドに構文エラーがないかどうかを検査し、あればそれを訂正してください。

DFHCSDUP がアクティブ処理を停止させる原因となった問題を識別する関連エラー・メッセージが存在するはずです。それらのメッセージは、メッセージ DFHCA5104 が出される前に DFHCSDUP 出力に現れるはずです。

DFHCA5105 W • DFHCA5108 I

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA5105 W *date time applid netname trandid*
command command not executed
because of previous error(s).

説明: データ・ストリームから読み取られて、前に処理されたコマンドで構文エラー (または実行エラー) が起こった場合には、それ以降のコマンド (LIST コマンドを除く) は実行されません。基本 CSD ファイルがオープンできない場合は、LIST コマンドも実行されません。

システムの処置: CSD ユーティリティー・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 前に処理されたコマンドに構文エラーまたは実行エラーがないかどうかを調べてください。

無効なコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *command*

宛先: CSMT

DFHCA5107 I *date time applid netname trandid*
Commands executed successfully: ns
Commands giving warning(s): nw
Commands in error: ne

説明: CSD ユーティリティーは、入力コマンドの処理を完了しました。

警告を与えているコマンドは、正常に実行された可能性も、あるいは正常に実行されなかった可能性もあります。

システムの処置: 通常の処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: エラーのあった CSD ユーティリティー・コマンドが実行された場合には、その結果が必要なものかどうかを判別してください。

必要なものではなかった場合には、コマンドを訂正し、別のジョブで再サブミットしてください。

実行されないコマンドがあった場合には、それらを再サブミットしなければなりません。(メッセージ DFHCA5108 を参照してください。)

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *ns*
7. *nw*
8. *ne*

宛先: CSMT

DFHCA5108 I *date time applid netname trandid*
Commands not executed after error(s):
nn

説明: CSD ユーティリティーは、入力コマンドの処理を完了しました。エラーのために実行されなかったコマンドの数は、*nn* によって示されます。

システムの処置: 通常の処理が、ジョブの終わりまで続行されます。

ユーザーの処置: エラーのあるコマンドを訂正し、別のジョブでそれを再実行依頼してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *nn*

宛先: CSMT

DFHCA5109 I *date time applid netname tranid* **End of DFHCSDUP utility job. Highest return code was: *retcode***

説明: CSD ユーティリティー・ジョブが完了しました。

システムの処置: 制御は、呼び出し側、つまりオペレーティング・システムまたは呼び出し側プログラムのいずれかに戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *retcode*

宛先: CSMT

DFHCA5110 W *date time applid netname tranid*
Error found in 'PARM=' parameter data on EXEC job step. This data is ignored.

説明: DFHCSDUP ユーティリティーを実行するための JCL 内の EXEC ステートメントの PARM パラメーター値が正しくありません。

システムの処置: PARM パラメーターは無視されます。CSD が読み書き操作のためにオープンされます。

ユーザーの処置: エラーのある PARM 値を訂正してください。正しくない値については、DFHCSDUP の実行に使用されるジョブ制御言語で見つけることができます。

PARM パラメーターのコーディング方法は、CICS の資料で説明されています。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5114 S *date time applid netname tranid* **The *csdtype* CSD has not been initialized. Command not executed.**

説明: CSD ユーティリティー・コマンド (INITIALIZE または SERVICE コマンド以外) を実行する前に、1 次 CSD ファイルを初期設定しておく必要があります。2 次 CSD ファイルが使用される場合にも、コマンドを処理する前に必ず初期設定しておかなければなりません。CICS は、これらのいずれかの規則に違反する試みが行われた場合、または CSD ファイルを初期設定する試みを正しく完了させることができなかった場合に、このメッセージを出してきます。

システムの処置: CSD ユーティリティーはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: CSD ファイルを初期設定してください。その前に、前回の初期設定の試みが失敗した理由を判別する必要があるかもしれません。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *csdtype*

宛先: CSMT

DFHCA5115 S *date time applid netname tranid* **The primary CSD is already initialized. Command not executed.**

説明: INITIALIZE コマンドまたは SERVICE コマンドが検出されましたが、1 次 CSD ファイルはすでに初期設定されていました。

システムの処置: INITIALIZE または SERVICE コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 正しい CSD ファイルが指定されたかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5116 S *date time applid netname tranid* **The primary CSD has been defined with an invalid key length. Processing is terminated.**

説明: CSD ファイルが無効なキー長で VSAM に対して定義されているために、CSD ユーティリティは CSD ファイルを初期設定することができません。

システムの処置: CSD ファイルは初期設定されないままになり、どのようなユーティリティ・コマンドも処理されません。

ユーザーの処置: VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) を使用して、CSD ファイルを削除してください。CSD クラスターを定義する JCL で、AMS 制御ステートメントを、KEYS(22 0) を指定するように変更します。この JCL を用いて CSD ファイルを再定義し、CSD ユーティリティを用いてそれを再初期設定してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5117 S *date time applid netname tranid* **The primary CSD has been defined with an invalid record size. Processing is terminated.**

説明: CSD ファイルが無効なレコード長指定によって VSAM に対して定義されていたため、CSD ユーティリティは CSD ファイルを初期設定することができません。

システムの処置: CSD ファイルは初期設定されないままになり、どのようなユーティリティ・コマンドも処理されません。

ユーザーの処置: VSAM アクセス方式サービス・プログラム (AMS) を使用して、CSD ファイルを削除してください。CSD クラスターを定義する JCL で、AMS 制御ステートメントを、RECORDSIZE(200 2000) を指定するように変更します。この JCL を用いて CSD ファイルを再定義し、CSD ユーティリティを用いてそれを再初期設定してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5120 I *date time applid netname tranid csdtype* **CSD opened; ddname: ddname - dsname: dsname**

説明: JCL に指定された VSAM データ・セットが正しくオープンされ、1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別されています。(処理されるユーティリティ・コマンドは、すべてが同一の 1 次 CSD ファイルを使用することになります。これに対し、個別の 2 次 CSD ファイルは、個別のユーティリティ・コマンドからアクセスすることができます。)

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *csdtype*
7. *ddname*
8. *dsname*

宛先: CSMT

DFHCA5121 S *date time applid netname tranid I/O* **error while opening csdtype CSD; ddname: ddname**

説明: JCL 内で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別された VSAM データ・セットの制御レコードを読み取っているとき、または書き込んでいるときに、入出力エラーが起きました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 失敗に終わったユーティリティ・コマンドを再試行してください。問題が続くようであれば

ば、ユーザー独自のバックアップ手順で CSD ファイルをリストアします。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *csdtype*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5122 S *date time applid netname trandid*
VSAM error while opening csdtype
CSD; ddname: ddname

説明: JCL 内で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別されたデータ・セットをオープンしているときに、VSAM エラーが起きました。

システムの処置: そのユーティリティー・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 詳細な情報および手引きについては、メッセージ DFHCA5179 の VSAM 診断出力を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *csdtype*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5123 I *date time applid netname trandid*
csdtype CSD closed; ddname: ddname -
dsname: dsname

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイルとして使用された VSAM データ・セットが正しくクローズされ、必要に応じて制御レコードが更新されました。(1 次 CSD ファイルは、すべてのユーティリティー・コマンドが処理された後でクローズされます。これに対して、2 次 CSD ファイルは、それをオープンしたコマンドが終了

した後でクローズされます。)

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *csdtype*
7. *ddname*
8. *dsname*

宛先: CSMT

DFHCA5124 S *date time applid netname trandid*
Processing terminated. CSD のクローズ中に、損傷した *csdtype CSD* 制御レコードが検出されました。**DDNAME: ddname**

説明: ストレージが破壊されているために、CSD ファイルをクローズするときの CSD 制御レコードの更新が妨げられています。

システムの処置: これ以降の CSD ユーティリティー・コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: DFHCSDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDUP からのダンプを入手してください。さらに、IDCAMS オプションまたは DFHCSDUP LIST ALL オプションのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないで、エラーが容易に識別できます。

入手できる情報を使用して、エラーの原因を判別し、それらを訂正してください。

失敗した CSD ユーティリティー・コマンドを再実行依頼してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHCA5125 S • DFHCA5128 S

4. *netname*
5. *tranid*
6. *csdtype*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5125 S *date time applid netname tranid Error occurred while closing csdtype CSD. ファイルがいっぱいです。DDNAME: ddname*

説明: CSD ユーティリティー・コマンドの処理の後、データ・セットをクローズする前に CSD 制御レコードが更新されます。

データ・セット *ddname* がいっぱいであったため、更新は失敗しました。

システムの処置: ユーティリティー・コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: より大きなサイズのデータ・セットの新しい 1 次 CSD ファイルを初期設定してください。IDCAMS IMPORT および EXPORT コマンドを用いて、その大きいデータ・セット上に CSD ファイルを復元してください。リカバリー可能な CSD があり、RLS モードで CICS からそれを更新した場合、すべての保持ロックがデータ・セットに関連付けられたままにするために、追加ステップが必要です。それについては、「再始動とリカバリーの管理」で説明されています。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *csdtype*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5126 S *date time applid netname tranid I/O error while closing csdtype CSD; ddname: ddname*

説明: VSAM データ・セット *ddname* をクローズする前、CSD ファイルの制御レコードの読み書きをしているときに入出力エラーが起きました。

システムの処置: これ以上のユーティリティー・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 失敗したユーティリティー・コマンドを再サブミットしてください。問題が続くようであれば、ユーザー独自のバックアップ手順で CSD ファイルをリストアします。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *csdtype*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5127 S *date time applid netname tranid VSAM error while closing csdtype CSD; ddname: ddname*

説明: JCL の中で 1 次または 2 次 CSD ファイルとして識別されたデータ・セット *ddname* をクローズしているときに、VSAM エラーが起きました。

システムの処置: これ以降の CSD ユーティリティー・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 詳細な情報および手引きについては、メッセージ DFHCA5179 の VSAM 診断出力を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *csdtype*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5128 S *date time applid netname tranid Processing terminated. csdtype CSD accessed by another user and could not be shared. ddname: ddname*

説明: CSD オープンしようとしたのですが、データ・セットが要求された処理のタイプで使用可能でないため、VSAM からエラーが返されました。

これは通常、以下を意味します。

- 非 RLS アクセス・モードで CSD のオープンが試行されましたが、CSD はすでに RLS アクセス・モードで別の場所からアクセスされています。
- RLS アクセス・モードで CSD のオープンが試行されましたが、CSD はすでに非 RLS アクセス・モードで別の場所からアクセスされています。
- 非 RLS アクセス・モードで CSD をオープンしようとし、CSD はすでに非 RLS アクセス・モードでアクセスされていますが、CSD クラスターが、同時使用を制限する SHAREOPTIONS を指定して定義されています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: CSD をオープンしようとしているアクセス・モードを変更できます。

注: DFHCSDUP ユーティリティ・プログラムから RLS アクセス・モードでリカバリー可能 CSD をオープンする場合には、PARM=CSD(READONLY) を指定する必要があります。

あるいは、競合しているアクセス・モードで CSD ファイルがアクセスされなくなるか、クラスターで定義されている SHAREOPTIONS ルールに従って CSD ファイルが再び使用可能になるまで待機してください。

実行するコマンドが SHAREOPTIONS および LIST のみであるために競合が生じている場合は、PARM=CSD(READONLY) を指定できます。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *csdtype*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5130 E *date time applid netname trandid*

**Unable to locate module DFHCICS.
Primary CSD not initialized.**

説明: DFHCICS モジュールがライブラリーから欠落しています。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: DFHCICS モジュールがライブラリーの中にあることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA5131 I *date time applid netname trandid List
listid created.*

説明: INITIALIZE コマンドが、IBM 保護リスト用のヘッダーを作成しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *listid*

宛先: CSMT

DFHCA5132 S *date time applid netname trandid*

Unable to create list listid

説明: IBM 保護グループ用の CSD ファイルに新しいリスト *listid* を作成するため CSD マネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP を呼び出しているときに、INITIALIZE コマンドが失敗に終わりました。CSD ファイルが満杯であるか、または破壊されている可能性があります。

DFHCA5133 S • DFHCA5135 I

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: CSD ファイルのためのデータ・セット・サイズが十分であるかどうかを調べてください。十分でない場合には、スペースを増やしてください。

スペースに十分余裕があり、しかも CSD ファイルが破壊されていると思われる場合には、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *listid*

宛先: CSMT

DFHCA5133 S *date time applid netname tranid CSD contains one or more lists. No lists may be present on the CSD when the INITIALIZE command is issued.*

説明: INITIALIZE コマンドの実行中に、リストを作成するために CEDA トランザクションが使用されました。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: データ・セットを再定義し、INITIALIZE コマンドを再実行してください。CSD ファイルの初期設定が正常に完了するまで、CEDA トランザクションを使用してはなりません。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5134 S *date time applid netname tranid Error occurred while adding group grpname to list listid*

説明: グループ *grpname* の定義を IBM 保護リスト *listid* のメンバーとして CSD ファイルに書き込むための、CSD マネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP の呼び出しでエラーが発生しました。CSD ファイルが満杯であるか、または破壊されている可能性があります。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: CSD ファイルのデータ・セット・サイズを大きくして、INITIALIZE 要求を繰り返してください。これが失敗に終わった場合は、IBM からのサポートが必要となります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname*
7. *listid*

宛先: CSMT

DFHCA5135 I *date time applid netname tranid Group grpname added to list listid*

説明: グループ定義 *grpname* が、CSD ファイル上のリスト *listid* の中に正しく作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname*
7. *listid*

宛先: CSMT

DFHCA5136 W *date time applid netname tranid*
Group *grpname* is already a member of list *listid*

説明: グループ *grpname* が、リスト *listid* の中にすでに存在しています。CICS では、重複した項目は作成されません。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname*
7. *listid*

宛先: CSMT

DFHCA5137 E *date time applid netname tranid*
Group *grpname* not found in list *listid*

説明: AFTER または BEFORE 名として ADD コマンドで入力されたグループ *grpname* が、リスト *listid* で見つかりませんでした。ユーザーが EXPAND コマンドの結果を参照している間に、定義が削除された可能性があります。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: このリストにあるグループ名を使用して、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname*
7. *listid*

宛先: CSMT

DFHCA5139 W *date time applid netname tranid*
Consider implications of migrating TYPE=SHARED entries.

説明: CSD ユーティリティで、TST TYPE=SHARED 項目のマイグレーションが検出されました。DFHTST TYPE=SHARED 項目は直接マイグレーションされません。TSMODEL は、対応する TYPE=SHARED マクロで SYSID に一致している SYSIDNT を指定している TYPE=REMOTE マクロの場合にのみ作成されます。

システムの処置: CSD ユーティリティは、MIGRATE コマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: SYSID が EXEC CICS 要求で明示的に指定されているか、グローバル・ユーザー出口プログラムによって追加され、SYSID のインテントが要求を SHARED TS プールに送信する場合、プールを使用する要求を満たすために、マイグレーションされた TST を使用する必要があります。詳細については、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5140 I *date time applid netname tranid* **Total**
xxxxxxx definitions created: nn

説明: CICS は、CICS テーブルの移行の後にこのメッセージを出してきます。タイプ *xxxxxxx* の定義が *nn* 個、CSD ファイル上に作成されました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *nn*

DFHCA5141 S • DFHCA5145 E

宛先: CSMT

DFHCA5141 S *date time applid netname tranid*
Unable to create new group grpname

説明: 移行中のテーブル内のデータ用に CSD ファイル上に新しいグループ *grpname* を作成するため CSD マネージャー・ルーティング・プログラム DFHDMP を呼び出しているときに、MIGRATE コマンドが失敗に終わりました。CSD ファイルが満杯であるか、壊されているか、または初期設定されていない可能性があります。グループ名が無効である可能性があります。

システムの処置: MIGRATE コマンドの処理が中止されます。

ユーザーの処置: TOGROUP パラメーターの中のグループ名を調べます。必要であれば、データ・セットのサイズを大きくして、INITIALIZE コマンドで CSD ファイルを初期設定し直してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5142 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. lgname was not updated because of a previous update failure.

説明: リストまたはグループ *lgname* を使用することができません。これは、DFHCSDUP オフライン・ユーティリティによるリストまたはグループの更新が失敗して完了に至らなかったからです。

これは、おそらく前の DFHCSDUP の実行で発生したエラーです。

システムの処置: このコマンドは実行されません。ジョブ・ストリーム内の後続の DFHCSDUP コマンドの実行も抑止されます。

ユーザーの処置: DFHCSDUP VERIFY コマンドを使用して、このメッセージが作成されたときに検出された未完了フラグを除去してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *lgname*

宛先: CSMT

DFHCA5143 I *date time applid netname tranid*
Group grpname created.

説明: 移行されているテーブル内のデータ用に新しい CSD グループ *grpname* が作成されました。

システムの処置: 移行が続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5145 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. lgname has been locked by applid: applid opid: opid to prevent updating.

説明: リストまたはグループ *lgname* を使用することができません。原因は、CEDA または CEDB トランザクションのユーザーが他のユーザーによる更新を防止する LOCK コマンドを強制したためです。

システムの処置: コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティは後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 指定された OPID および APPLID を使用してユーザーと交渉するか、またはロックされているグループの中の定義をコピーすることにより新しい

グループまたはリストを作成してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *lgname*
7. *applid*
8. *opid*

宛先: CSMT

DFHCA5146 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. lgname is currently being updated by applid:
applid opid: opid

説明: リストまたはグループ *lgname* を使用することができません。原因は次のとおりです。

- CEDA または CEDB トランザクションのユーザーが、現在コマンドを実行してリストまたはグループを更新している。
- CEDA または CEDB を使用したリストまたはグループの以前の更新が失敗して完了に至らなかった。

システムの処置: コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティーは後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 失敗したコマンドの再試行を行うためにユーティリティー・ジョブを再サブミットしてください。抑止されている後続のコマンドを実行してください。

これで問題を解決できない場合には、DFHCSDUP VERIFY コマンドを実行して、このメッセージが作成されたときに検出された未完了フラグを除去してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *lgname*
7. *applid*
8. *opid*

宛先: CSMT

DFHCA5147 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. lgname は既に group-or-list として存在しています。

説明: ターゲット・グループ (またはリスト) 用に使われた名前が、CSD ファイル上の既存グループまたはリストの名前と重複しています。

システムの処置: そのユーティリティー・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・グループ用に別の名前を選んでください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *lgname*
7. *group-or-list*

宛先: CSMT

DFHCA5148 E *date time applid netname tranid*
Unable to get storage for tabletype table named table

説明: テーブル *table* を求める GETMAIN 要求を満たすためのストレージが不足しています。

システムの処置: システムの処置は、指定されたテーブルによって次のように異なります。

LD (言語定義テーブル)

CSD ユーティリティーは、どのコマンドを処理することもできず、終了して、ダンプが作成されます。MVS ユーザー異常終了コードは 0327 です。

FCT および RDT

CSD ユーティリティーは、テーブルを移行させることができず、ユーティリティー・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 追加のストレージを割り振ってください。TCT のアセンブリーとリンク・エディットが正しく行われた場合は、RDT はライブラリーの中にあるはずで、LD は、提供された事前生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *tabletype*
7. *table*

宛先: CSMT

DFHCA5149 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxxx is IBM-protected.

説明: ユーザーは、IBM 提供のグループまたはリスト (DFH で始まる名前のグループまたはリスト) への定義の追加を試みました。This is not allowed.

システムの処置: CSD ユーティリティーは、定義を作成しません。

ユーザーの処置: 入力コマンドまたは TCT ソース・データの名前を、DFH で始まらないターゲット・グループ (またはリスト) 名に変更してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5151 I *date time applid netname tranid*
Resource not altered. xxxxxxxx is IBM-protected.

説明: 総称グループ名を含む ALTER コマンドの実行中に、IBM 提供のグループであり、保護されている一致するグループが見つかりました。

システムの処置: CSD ユーティリティーは、指定されたグループの定義を変更しません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5155 W *date time applid netname tranid*
tdqueue xxxxxxxx has same name as an
IBM-supplied definition in group
grpname

説明: 移行されたテーブル項目名 xxxxxxxx が、INITIALIZE コマンドで作成した IBM 保護のグループ *grpname* の IBM 提供のリソース名と一致しました。

システムの処置: CICS はこの項目を通常通りに移行します。

ユーザーの処置: 必要なら、CEDA トランザクションを用いてリソースの名前を変更してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *tdqueue*
7. *xxxxxxx*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5156 W *date time applid netname tranid*
TDqueue xxxxxxxx **did not migrate.** この特性は、グループ *grpname* の IBM 提供の定義と一致します

説明: ユーザーのテーブル項目に定義されているリソースの特性が、IBM 保護のグループ *grpname* に入っている同じ名前の IBM 提供リソースの特性と同じでした。

システムの処置: ユーザーのリソースに関する項目は移行されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *TDqueue*
7. *xxxxxxx*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5159 I *date time applid netname tranid*
resource object **defined in group** *grpname*

説明: CSD ユーティリティは、リソース定義を正しくグループに追加しました。ここで、

- *resource* はリソース・タイプ (CONNECTION、FILE、JOURNALMODEL、LSRPOOL、MAPSET、PARTITIONSET、PARTNER、PROFILE、PROGRAM、SESSION、TDQUEUE、TERMINAL、TRANCLASS、TRANSACTION、または TYPETERM) です。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5164 W *date time applid netname tranid* **No definition of resource object created. This duplicates an existing definition in group** *grpname*

説明: CSD ユーティリティは、CSD ファイルに定義を追加する前に、一致するキーをもつ CSD レコードを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: CSD ユーティリティは、このリソース定義を CSD ファイルには移行しません。(それがトランザクションである場合には、生成プロファイルも作成されません。)

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、固有の名前でリソースを定義してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5165 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. An error occurred while writing resource object to the CSD.

説明: CSD ユーティリティーが、CSD ファイルにオブジェクト *object* の定義を書き込むために DFHDMP を呼び出したとき、エラーが起きました。

CSD ファイルがいっぱいであるか、または壊れている可能性があります。

resource はリソースのタイプです。

システムの処置: CSD が満杯の場合、CSD ユーティリティーはメッセージ DFHCA5176 を出してから終了し、メッセージ DFHCA5109 に 12 の戻りコードが表示されます。

CSD が満杯でない場合、メッセージ DFHCA5175 が出され、CSD ユーティリティーは異常終了します。通常は、このメッセージとともに、異常終了を説明する DFHCA5177、DFHCA5178、および DFHCA5179 のうちの 1 つまたは複数が出されます。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを使用して、エラーの原因と必要なユーザー処置を判別してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*

宛先: CSMT

DFHCA5166 E *date time applid netname tranid*
Disallowed character in resource name object

説明: CSD ファイル上に作成されたレコードの有効なキーを作成するためにモジュール DFHDMP を呼び出しましたが、失敗に終わりました。原因は、無効な文字が含まれているため、または移行したテーブル項目のリソース名が無効であるためです。 *resource* はリソースのタイプ、*object* はオブジェクト名です。

システムの処置: この定義のための CSD レコードは作成されません。(それがトランザクションである場合には、生成プロファイルも作成されません。)

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、

有効な名前のリソースを定義してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*

宛先: CSMT

DFHCA5167 S *date time applid netname tranid* **The CSECTs in table table have been link-edited in the wrong order.**

説明: MIGRATE コマンドの処理中に、テーブル *table* 内の CSECT の順序が正しくないことが CSD ユーティリティーで検出されました。リンケージ・エディターへの入力で、CSECT を指示する制御ステートメントが省略されました。

システムの処置: CSD ユーティリティーは MIGRATE コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: IBM 提供のプロシージャ DFHAUPLK を使用して、CICS テーブルをアセンブルおよびリンク・エディットしてください。このプロシージャにより、テーブル内の CSECT の順序が正しくなります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *table*

宛先: CSMT

DFHCA5168 S *date time applid netname tranid* **Table loaded from library member table is not a valid tabletype.**

説明: テーブル *table* のロードが終わると、移行ルーチンは、ロード開始点に続くデータ域の DFHVM 拡張部分にある VMNAME フィールドを検査します。

VMNAME が有効なテーブルの名前でないと、このメッセージが作成されます。

システムの処置: MIGRATE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置:

1.

正しいテーブルがライブラリー内にあることを確認し、さらに MIGRATE コマンドの TABLE パラメーターが正しいことを確認してください。

2.

ORDER ステートメントがテーブルのリンク・エディットの JCL で処理されていることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *netname*

5. *tranid*

6. *table*

7. *tabletype*

宛先: CSMT

DFHCA5169 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. Table table
was assembled for CICS release rrr.
Reassemble for release sss.

説明: テーブル *table* のロードが終わると、移行ルーチンは、ロード開始点に続くデータ域の DFHVM 拡張部分にある VMVERS フィールドを検査します。このフィールドは、テーブルがアセンブルされたときの CICS リリース (*rrr*) を示しており、実行中の CICS システム (リリース *sss*) については無効です。

システムの処置: MIGRATE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: CICS の正しいリリース用にテーブルを再アセンブルしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *netname*

5. *tranid*

6. *table*

7. *rrr*

8. *sss*

宛先: CSMT

DFHCA5174 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. Command
cannot be executed because
'PARM=CSD(READONLY)' was
specified.

説明: このコマンドは、読み取り/書き込みアクセスのために CSD をオープンするように要求します。ユーザーのジョブ・ステップは、DFHCSDUP ユーティリティー・ジョブ・ストリーム内で CSD の読み取り専用アクセスを指定しました。

システムの処置: このコマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: JCL を修正して、「PARM=CSD(READWRITE)」を指定するようにしてください。

注: CSD がリカバリー可能であり、RLS モードでそれにアクセスしている場合は、READWRITE 権限を指定できません。コマンドを実行するには、非 RLS モードで CSD にアクセスする必要があります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *netname*

5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5175 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. Unexpected response from function in CSD manager.

説明: CSD マネージャー DFHDMP の呼び出しの結果、エラーが起きました。失敗した機能の名前は *function* です。

システムの処置: DFHCSDUP が追加メッセージを出してから、以下を実行します。

- CSD オープン/クローズ・エラーおよび CSD 満杯条件の場合は、正常終了する。あるいは、
- それ以外の場合には、すべて異常終了する。

ユーザーの処置: CSD ファイルが正しく設定されているかどうかを確認してください。CSD ファイルを前のリリースから移行させた場合には、ブロック・サイズを 500 にまで増加させなければならなかったことに注意してください。必要なら、追加メッセージに示された診断を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *function*

宛先: CSMT

DFHCA5176 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. CSD is full.

説明: CSD ファイルを収容している VSAM データ・セットが満杯です。

システムの処置: CSD ユーティリティ・コマンドの実行が終了します。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドが、コマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP ユーティリティは後続のコマンドの処理を試みます。

DFHCSDUP ユーティリティは、障害が起こったときに作成されていたグループについてシステム・ロックをかけたままにします。このロックは、CSD ユーティリティまたは CEDA トランザクションによるグループの処理の妨げとなります。

ユーザーの処置: まず、DFHCSDUP VERIFY プロセスを使用して、部分的に作成されたグループに対するシステム・ロックを除去してください。それで RDO 処理が可能になり、グループ (または、不要な定義) を削除することができるようになります。

CSD ファイルの内容をリカバリーするために、より大きいデータ・セットを定義して AMS REPRO コマンドを使用してください。通常は、満杯になった CSD ファイルからの REPRO 処理が可能です。それができない場合には、バックアップ・コピーを使用してください。

CSD がリカバリー可能データ・セットで、RLS モードで CICS からそれを更新した場合、すべての保持ロックがデータ・セットに関連付けられたままにするために、REPRO の使用時に追加ステップが必要です。それについては、「再始動とリカバリーの管理」で説明されています。

満杯になった CSD ファイルからの定義の転送は、FROMCSD オプションを指定した DFHCSDUP COPY コマンドを使用して行うことができます。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5177 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. CSD I/O error occurred.

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイル上の CSD レコードの READ または WRITE を実行しているときに、入出力エラーが起きました。

システムの処置: DFHCSDUP は追加メッセージを出し、異常終了します。

ユーザーの処置: ユーザー独自のバックアップから新規データ・セットに CSD ファイルをリストアしてください。または既存の定義をリストアするために INITIALIZE、COPY、および APPEND の各コマンド

を使用して、新しい CSD ファイルを作成してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5178 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. Severe CSD error occurred.

説明: 1 次または 2 次 CSD ファイルにアクセスするために CSD マネージャー DFHDMP を実行しているときに、エラーが起きました。

システムの処置: DFHCSDUP は追加メッセージを出し、異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHCA5179 に示される VSAM 診断を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5179 S *date time applid netname tranid*
VSAM error. Return code = nn Error code = ddd(yy) Control block type = type

説明: VSAM は、エラーが起こったときに以下の診断を戻しました。

- *nn* は、16 進数の VSAM 戻りコードです。
- *yy* は、16 進数の VSAM エラー・コードです (*ddd* は、その 10 進等価値です)。
- CONTROL BLOCK TYPE は、次のような関連エラー・コードのサブセットを指し示しています。

– RPL = VSAM からの要求マクロ応答

– ACB = OPEN/CLOSE 応答

エラー・コード:

– CONTROL BLOCK TYPE = RPL の場合、RPL 内のフィードバック・ワード・フィールドのバイト 3 からの理由コード (RPLERRCD)

– CONTROL BLOCK TYPE = ACB の場合、ACB 内の ERROR フィールドの理由コード (ACBERFLG)

システムの処置: CSD ユーティリティは、コマンドの処理を終了させ、ある状況では、オペレーティング・システム・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコードおよびエラー・コードの意味については、資料「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」を参照してください。

これらの診断を解釈する際には、JCL の中で参照されているデータ・セットが存在していることを確認してください。

次のことを確認してください。

- データ・セットが、別の領域で実行されている CICS から現在アクセスされている。
- DFHCSDUP で RLS アクセス・モードを指定している場合に、リカバリー可能な CSD を READWRITE としてオープンしようとしていない。この場合、PARM=CSD(READONLY) を指定する必要があります。
- RLS アクセス・モードが指定されている場合に、LOG が基本クラスターで定義されている。

DFHCSDUP で RLS アクセス・モードが指定されている場合、「レコードが見つかりません」エラーは、CSD が初期設定されていないことを意味している可能性があります。

注: リカバリー可能な CSD を初期設定するには、非 RLS アクセス・モードを使用する必要があります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHCA5180 S • DFHCA5183 W

3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *nn*
7. *ddd(yy)*
8. *type*

宛先: CSMT

DFHCA5180 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. Error
occurred while CSD was being read
by function subfunction

説明: LIST コマンドが CSD ファイル上のオブジェクトをスキャンするために DFHDMP を呼び出したとき、DFHDMP 機能の実行時にエラーが起きました。

システムの処置: CSD ユーティリティは終了し、MVS 異常終了コード 0325 が出されます。

ユーザーの処置: このエラーは報告する必要があります。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *function*
7. *subfunction*

宛先: CSMT

DFHCA5181 W *date time applid netname tranid* **No**
match found for generic group-or-list
identifier xxxxxxxx

説明: 総称名またはリスト名の指定された LIST コマンドが実行されましたが、CSD ファイル上には修飾するグループまたはリストがありません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

260 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *group-or-list*
7. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5182 W *date time applid netname tranid*
group-or-list xxxxxxxx **does not exist.**

説明: LIST コマンドまたは DELETE コマンドは、あるグループまたはリストの名前を使用して実行されましたが、そのグループまたはリストは、1 次 CSD ファイルの中に存在しません。

システムの処置: その LIST コマンドまたは DELETE コマンドは処理されません。後続のコマンドは処理されます。

ユーザーの処置: 有効なグループ名またはリスト名を使用するよう LIST コマンドまたは DELETE コマンドを訂正してください。

CSD 更新が実行されている場合は、ユーザーの処置は必要ありません。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *group-or-list*
7. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5183 W *date time applid netname tranid*
group-or-list xxxxxxxx **exists as a**
list-or-group name.

説明: LIST コマンドまたは DELETE コマンドは、リスト名としてすでに使用されているグループ名、またはグループ名としてすでに使用されているリスト名を使用して実行されました。

システムの処置: その LIST コマンドまたは DELETE コマンドは処理されません。後続のコマンドは処理されます。

ユーザーの処置: 有効なグループ名またはリスト名を使

用するよう LIST コマンドまたは DELETE コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *group-or-list*
7. *xxxxxxx*
8. *list-or-group*

宛先: CSMT

DFHCA5184 S *date time applid netname tranid*
Processing is terminated. Invalid output from DFHPUP. Cannot format data for utility listing.

説明: DFHCSDUP ユーティリティ・プログラムに内部論理エラーがありました。逆変換された出力バッファ内のデータが無効です。長さコードが範囲外であったり、データ・フィールドの順序に誤りがあることも考えられます。データ・フィールドの 1 つまたは複数が無効になっている場合もあります。

システムの処置: CSD ユーティリティは終了し、MVS 異常終了コード 0326 が出されます。

ユーザーの処置: このエラーは報告する必要があります。

DFHCSDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDUP からのダンプを入手してください。さらに、IDCAMS オプションまたは DFHCSDUP LIST ALL オプションのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないで、簡単に識別できます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5186 W *date time applid netname tranid No objects defined in grpname listid*

説明: LIST コマンドの実行時に、CSD ユーティリティは、CSD ファイル上にグループまたはリストのヘッダーを見つけましたが、それに対応するグループまたはリスト・エレメントが存在していません。

システムの処置: ユーティリティは LIST コマンドの処理を続けますが、メッセージに示されたグループまたはリストのエレメントの作表は行いません。

ユーザーの処置: DFHCSDUP VERIFY ユーティリティを実行します。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *objects*
7. *grpname*
8. *listid*

宛先: CSMT

DFHCA5187 I *date time applid netname tranid resource is locked, but is not the name of a group or list.*

説明: CSD ユーティリティが、ロックされたリソースを検出しましたが、それはグループでもリストでもありません。これは、CEDA トランザクションまたは前のユーティリティ・ジョブの実行時に割り込みまたは障害が起こったことが原因です。ロックは作成されていましたが、それに関連するグループまたはリストがありません。

システムの処置: ユーティリティは VERIFY コマンドの通常の処理を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

5. *tranid*
 6. *resource*
- 宛先: CSMT

DFHCA5188 I *date time applid netname tranid*
object-type name is now available for use.

説明: VERIFY コマンドは、CEDA トランザクションまたはオフライン・コマンドのためのリソースが使用できないことを検出しました。この使用の可能性に関する制限は、使用の可能性に影響を与える先行コマンドの失敗によるものであり、現在は制限が取り除かれています。

システムの処置: VERIFY コマンドの通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *object-type*
7. *name*

宛先: CSMT

DFHCA5189 I *date time applid netname tranid CSD*
verify process completed successfully.

説明: VERIFY コマンドが正常に処理され、CSD ファイル上のグループおよびリストに関する内部ロックはすべて解除されました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5190 S *date time applid netname tranid*
Command is not executed. サービス・モジュール *progrname* のストレージを獲得できません。

説明: DFHCSDUP によってロードされて実行されることになっていたサービス・モジュール *progrname* をロードするために使用できるストレージが不足しています。

システムの処置: ユーティリティー・コマンドの実行は終了します。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: ロード・モジュール *progrname* に、十分なストレージが割り振られるようにしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *progrname*

宛先: CSMT

DFHCA5191 I *date time applid netname tranid*
Service program *progrname* is running.

説明: サービス・モジュール *progrname* が正しくロードされ、そのモジュールの実行が開始されました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *progrname*

宛先: CSMT

DFHCA5192 S *date time applid netname tranid*
Command is not executed. CSD
service level ttt is incompatible with
current service level sss

説明: SERVICE コマンドに指定された LEVEL パラメーターが間違っているか、または CSD ファイルの正しくないバージョンが 2 次 (入力) CSD ファイルとして使用されています。

システムの処置: その SERVICE コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: SERVICE コマンドは、CSD ファイルのサービス・レベルを 1 つだけ上のレベルにアップグレードすることができます。入力 CSD ファイルが意図されたものであること、LEVEL パラメーターの値が CSD ファイルの現行サービス・レベルより 1 だけ高い値であることを確かめてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *ttt*
7. *sss*

宛先: CSMT

DFHCA5193 S *date time applid netname tranid*
Command is not executed. Service
module progname is unable to upgrade
CSD to target service level ttt

説明: SERVICE コマンドに指定された LEVEL パラメーターは、CSD ファイルに適用されようとしているサービス・モジュール *progname* の状況と矛盾しています。

システムの処置: その SERVICE コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: ここで適用されようとしているサービス・モジュール *progname* が、IBM 提供のサービス修正によって正しく更新されているかどうかを確認してください。(ターゲット・レベル *ttt* で SERVICE コマンドを処理できるように修正されていなければなりません。)

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *progname*
7. *ttt*

宛先: CSMT

DFHCA5194 I *date time applid netname tranid*
Upgrading service status of CSD from
level sss to level ttt

説明: ロードされたサービス・モジュールは、CSD ファイルのサービス・レベル *sss* からサービス・レベル *ttt* への必要なアップグレードを行っています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *sss*
7. *ttt*

宛先: CSMT

DFHCA5195 I *date time applid netname tranid*
Execution of service program progname complete.

説明: ロードされたサービス・プログラム *progname* の実行が完了しました。制御は、CSD オフライン・ユーティリティ・プログラム DFHCSDUP へ戻されています。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *progname*

宛先: CSMT

DFHCA5196 S *date time applid netname tranid*
Command is terminated. Error occurred while reading control secondary CSD record.

説明: 指定された CSD ファイルで入出力エラーが起きました。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 出力 (1 次) CSD ファイル用に指定されたデータ・セットのサイズが十分に大きいことを確認して、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *netname*5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5197 S *date time applid netname tranid*
Command is terminated. 2次CSDの読み取り中に、認識されない制御レコードが見つかりました。

説明: 2 次入力 CSD の制御レコードの内容が正しくありません。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DDNAME が SERVICE ユーティリティ・コマンドの OLDCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

問題が解消されなければ、IBM からのサポートが必要となります。最初に、DFHCSDUP 実行およびその JCL のリストと一緒に DFHCSDUP からのダンプを入手してください。さらに、IDCAMS オプションまたは DFHCSDUP LIST ALL オプションのいずれかを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないもので、簡単に識別できます。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5198 I *date time applid netname tranid CSD*
record modified for resource-type
resource-name, group-or-list
group-or-list-name

説明: CSD ファイル上のレコードに対して、指定された修正が行われました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。変更されたレコードが GROUP または LIST 内のエレメントであれば、その日付、時刻フィールドが、出力 (1 次) CSD ファイルへコピーされるときに更新されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource-type*
7. *resource-name*
8. *group-or-list*
9. *group-or-list-name*

宛先: CSMT

DFHCA5199 W *date time applid netname tranid*
Invalid field encountered in existing
record for resource-type: resource-name
group-or-list: group-or-list-name

説明: エレメント *resource-name* (タイプ *resource-type*) について変更しようとしていた CSD レコードのフィールドの 1 つで、予期しない値が見つかりました。

システムの処置: 通常の処理が続けられ、無効なレコードは新しい (1 次) CSD ファイル上に未変更のまま残されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource-type*

7. *resource-name*
8. *group-or-list*
9. *group-or-list-name*

宛先: CSMT

DFHCA5200 S *date time applid netname tranid*
Command not executed. No valid
language table was loaded.

説明: ユーティリティは、RDO 言語テーブルが正しくロードされていなかったこと、またはそのテーブルに無効なデータが含まれていることを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、どのコマンドも処理できないので終了します。

ユーザーの処置: RDO 言語テーブル (DFHEITSP) の正しいバージョンがプログラム・ライブラリーの中にあるかどうか検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5201 S *date time applid netname tranid*
'command' command is not valid.
Command not executed.

説明: CSD ユーティリティはコマンドを確認することができません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *command*

宛先: CSMT

DFHCA5202 S *date time applid netname tranid*
Incorrect syntax for 'command'
command. Command not executed.

説明: コマンドの構文が間違っています。

システムの処置: CSD ユーティリティはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *command*

宛先: CSMT

DFHCA5203 W *date time applid netname tranid*
Right parenthesis assumed after the
value of 'xxxx'.

説明: コマンドの構文が間違っています。右括弧が省略されたか、または 256 バイトを超えるキーワード値が指定されました。

システムの処置: ユーティリティは、右括弧があるかのようにそのコマンドを実行します。

ユーザーの処置: ユーティリティが行った訂正によって、必要なコマンドが生成されたかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5204 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'xxxx'
keyword is not valid.

説明: キーワード *xxxx* は、このコマンド上では無効です。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5205 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. No value was
specified for 'xxxx'.

説明: オプション *xxxx* は不完全です。おそらく、ある値が省略されているためです。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5206 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. Duplicate
specification of 'xxxx'.

説明: オプション *xxxx* が単一ユーティリティ・コマンドに 2 回現れています。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5207 E *date time applid netname trandid*
Command not executed. 'xxxxxxx'
does not require a value.

説明: ユーティリティは、値を必要としないオプション *xxxxxxx* に値がコーディングされている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5208 W *date time applid netname trandid*
Resource defined but no value was
specified for 'xxxxxxx'. リソースを確実に
に更新してください。

説明: 入力コマンドで、指定されたキーワード *xxxxxxx* に値が含まれていないが、値が必須であることがユーティリティで検出されました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理し、指定されたキーワードを無視します。

ユーザーの処置: 入力コマンドを訂正し、定義された CICS リソースを更新してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

5. *trandid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5209 W *date time applid netname trandid* **No**
command encountered. 入力ファイルが
空の可能性がります。

説明: 入力コマンドが欠落していることがユーティリティで検出されました。有効な CSD 入力コマンドが预期されていましたが、見つかりませんでした。

システムの処置: ユーティリティは、入力ファイルの処理を続行します。

ユーザーの処置: 入力ファイルを調べて、入力コマンドが存在することを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA5210 E *date time applid netname trandid*
Command not executed. Invalid value
was specified for 'xxxx'.

説明: ユーティリティは、オプション *xxxx* に無効な値がコーディングされた入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5211 E *date time applid netname tranid*
**Command not executed. Operand
 delimiter 'x' was misplaced.**

説明: ユーティリティーは、オプション区切り文字 *x* の場所が間違っている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 区切り文字を正しい位置に入れてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *x*

宛先: CSMT

DFHCA5212 E *date time applid netname tranid*
**Command not executed. comptype
 'string' is not uniquely identifiable.**

説明: あいまいな DFHCSDUP または CREATE コマンドが指定されました。

- *comptype* は、コマンドのコンポーネント・タイプです。

• *string* は実際のコンポーネントです。

システムの処置: コマンドは実行されません。

DFHCSDUP については、コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。コマンドの障害に関する詳細については、一緒に出されるメッセージ DFHCA5213 を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *comptype*
7. *string*

宛先: CSMT

DFHCA5213 E *date time applid netname tranid*
**Specified input could be interpreted as
 match1 or match2**

説明: あいまいな DFHCSDUP または CREATE コマンドが指定されました。

- *input* は、あいまいな文字ストリングです
- *match1* および *match2* は、*input* について考えられる 2 つの解釈です。

システムの処置: コマンドは実行されません。

DFHCSDUP については、コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *input*
7. *match1*
8. *match2*

宛先: CSMT

DFHCA5214 W *date time applid netname tranid*
**keyword is an obsolete keyword and is
 ignored.**

説明: このリリースの CICS には無効なキーワードがコマンドで指定されています。

システムの処置: このキーワードは無視されます。

ユーザーの処置: 結果として出されるコマンドが、このリリースの CICS において正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *keyword*

宛先: CSMT

DFHCA5215 E *date time applid netname trandid*
Command not executed. ALTER コマンドに指定されたヌル値に、右括弧がありませんでした。

説明: ALTER コマンドのキーワードに NULL 値が指定されたときに、右括弧が追加されませんでした。右括弧は、NULL 以外のキーワード値の場合、自動的に追加されます。

システムの処置: コマンドは実行されません。コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA5216 E *date time applid netname trandid*
restype resname is not in group group

説明: タイプ *restype* および名前 *resname* の存在しないリソースが ALTER コマンドで指定されました。

システムの処置: コマンドは実行されません。コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている

場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *restype*
7. *resname*
8. *group*

宛先: CSMT

DFHCA5217 E *date time applid netname trandid*
Command not executed. A closing bracket has been omitted from a xxxx keyword.

説明: CREATE または DFHCSDUP DEFINE コマンドの xxxx キーワードで右大括弧がありません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5218 I *date time applid netname trandid*
Altering Resource type Resource name in group Group name

説明: 総称 ALTER コマンドの実行中に、CSD パッチ更新ユーティリティは、指定された総称リソース名または GROUP キーワード (あるいはその両方) と一致するものがないかどうか CSD ファイルをスキャンしま

DFHCA5219 W • DFHCA5222 E

す。一致するたびにユーティリティーはその要求を処理して、その結果の *resourcename* または *groupname* (あるいはその両方) をユーザーにそれぞれ知らせます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *Resourcetype*
7. *Resourcename*
8. *Groupname*

宛先: CSMT

DFHCA5219 W *date time applid netname tranid* **No match found on CSD file for**
Resourcetype Resourcename group
Groupname

説明: ALTER コマンドは、総称リソースまたはグループ名 (あるいはその両方) を指定して実行されましたが、CSD ファイル上にこれに適したグループまたはリスト (あるいはその両方) が存在していません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *Resourcetype*
7. *Resourcename*
8. *Groupname*

宛先: CSMT

DFHCA5220 S *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'xxxxxxx'
must be the first command.

説明: CSD ユーティリティーは、他のコマンドのあとに INITIALIZE コマンドを見つけました。

システムの処置: CSD ユーティリティーはコマンドを無視します。

ユーザーの処置: INITIALIZE コマンドの位置が誤っていないかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5222 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'xxxxxxx'
keyword was omitted or specified
incorrectly.

説明: 必要なキーワード *xxxxxxx* が CSD のユーティリティー・コマンドから欠落しています。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: キーワード *xxxxxxx* を指定してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5223 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'xxxxxxx'
keyword conflicts with 'xxxxxxx'
keyword.

説明: コマンドの構文が間違っています。 矛盾するキーワードが指定されています。

システムの処置: ユーティリティー・コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5224 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. The value of
operand is outside the valid range for
keyword.

説明: 数値 *operand* が検出されましたが、この値はキーワード *keyword* で許可される値の範囲外です。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *operand*
7. *keyword*

宛先: CSMT

DFHCA5225 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. Same name
specified for 'xxxxxxx' and 'xxxxxxx'.

説明: このメッセージは、以下の理由の 1 つにより出されました。

1.

ユーティリティー COPY コマンドは、ソース・グループとターゲット・グループについて同じグループ名がコーディングされています。

2.

APPEND コマンドは、ソース・リストとターゲット・リストについて同じリスト名がコーディングされています。

3.

ADD コマンドは、同じグループ名とリスト名がコーディングされています。

システムの処置: CSD ユーティリティーまたは CICS は、そのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 間違った名前 (複数の場合もある) を訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5227 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. Use of
generic name conflicts with 'xxxxxxx'
option.

説明: CSD ユーティリティー・コマンドが、総称名 (つまり、アスタリスク (*) または正符号 (+) を含む名前) を、総称名の使用と矛盾するオプションと併用しました。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHCA5228 E • DFHCA5231 E

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5228 E *date time applid netname trandid*

Command not executed. 指定できるリソース・タイプ・キーワードは1つだけです。

説明: CSD ユーティリティは、入力コマンドに複数のリソース・タイプ・キーワードが指定されていることを見つけました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 1 つのリソース・タイプ・キーワードだけを参照するようにコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA5229 E *date time applid netname trandid*

Command not executed. 'xxxxxxx' is invalid because a resource-type keyword was specified.

説明: CSD ユーティリティは、リソース・タイプのキーワード (例えば PROGRAM、TRANSACTION など) が無効な場合に、リソース・タイプのキーワードが指定された入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再サブミットしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5230 I *date time applid netname trandid*

ERASE command is obsolete. Use the DELETE command.

説明: CSD ユーティリティは、廃止された ERASE コマンドを入力で検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、そのコマンドを DELETE コマンドとして処理します。

ユーザーの処置: 次からは、ERASE コマンドの代わりに DELETE コマンドを使用してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*

宛先: CSMT

DFHCA5231 E *date time applid netname trandid*

Command not executed. 'xxxxxxx' is incompatible with the MIGRATE command for tabletype tables.

説明: 無効なテーブル・タイプまたは無効なキーワード (またはその両方) を指定して MIGRATE コマンドを実行する試みが行われました。

システムの処置: CSD ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: コマンド構文を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *xxxxxxx*

7. *tabletype*

宛先: CSMT

DFHCA5232 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'xxxxxxx'
parameter must not begin with 'DFH'.

説明: CSD ユーティリティは、MIGRATE コマンドの中の *xxxxxxx* パラメーターに無効なテーブル名またはグループ名が入っていました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なテーブル名またはグループ名を指定して再サブミットしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5233 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'tabletype' table
type is not supported by RDO.

説明: CSD ユーティリティは、RDO によってサポートされていない CICS テーブル・タイプを参照する *TABLE* パラメーターを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *tabletype*

宛先: CSMT

DFHCA5234 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'command'
command is not supported.

説明: CSD ユーティリティは、入力の中に RDO によってサポートされていないコマンド *command* を検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *command*

宛先: CSMT

DFHCA5235 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. グループまたはリストを指定してください。

説明: CSD ユーティリティは、EXTRACT コマンドが実行依頼されました。GROUP または LIST 名を EXTRACT コマンドで指定しなければなりません。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドは実行されません。このメッセージの次には DFHCA5104 が続きます。

ユーザーの処置: 有効な GROUP 名または LIST 名を追加して無効なコマンドを訂正し、ユーティリティ・ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5236 I *date time applid netname tranid A*
user-exit program has been specified on the entry linkage and on the userprogram keyword. The program specified on the entry linkage has been ignored.

説明: EXTRACT ユーザー出口プログラムが、項目パラメーター・リストで指定され、さらに EXTRACT コマンドの USERPROGRAM キーワードで指定されました。

システムの処置: USERPROGRAM キーワードで指定されたプログラムが使用されます。

ユーザーの処置: 使用されているユーザー・プログラムが意図したものであることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5240 S *date time applid netname tranid*
Processing terminated. Error occurred while input utility command was being read.

説明: 環境アダプター GETCARD ユーティリティが入力ユーティリティ・コマンドを読み取ることができません。

システムの処置: CSD ユーティリティは異常終了し、入力コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ユーティリティ・コマンドが正しく準備され、JCL の中で正しい位置に置かれているかどうか検査してください。また、出力データ・セット・スタートアップ・ジョブ・ストリームを定義する DD ステートメントが正しいかどうかについても検査してください。JCL の例については、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5241 S *date time applid netname tranid*
Processing terminated. ユーティリティ・コマンドのデータ・ストリームのレコード長が無効です。

説明: CSD ユーティリティは、SYSIN データ・ストリーム内で、形式の誤った入力を検出しました。

システムの処置: CSD ユーティリティは、どのようなコマンドも処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: 出力データ・セット・データ・ストリームの形式が、固定長の 80 バイト・レコードに設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5242 E *date time applid netname tranid*
Command not processed. Too many continuation records for input utility command.

説明: CSD ユーティリティは、長すぎて、多くのレコードにまたがっている入力コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このメッセージは、拒否されたコマン

ド内のエラー、または入力ストリーム内の前のコマンドか後続のコマンドの中のエラーによって出される場合があります。 コマンドのエラーを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5250 E *TO(groupname) contains too many non contiguous '*'*

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、TO パラメーターの引数であまりにも多くの非連続アスタリスクが指定されていることがバッチ更新ユーティリティで検出されました。

総称コピーの実行時に TO パラメーターで許可される「*」は 1 つのみです。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを拒否します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFHCA5251 I *date time applid netname tranid resource object in group grpname is replaced.*

説明: リソース定義がソース・グループとターゲット・グループの両方に存在しています。 サブミットされた CSD ユーティリティ・コマンドに基づいて、ユーティリティは、ターゲット・グループの定義をソース・グループからの定義と置き換えました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5252 I *date time applid netname tranid resource object copied to group grpname*

説明: CSD ユーティリティは、示されたグループにリソース定義を正しくコピーしました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5253 E *date time applid netname tranid Group grpname not found in CSD file - ddname: ddname*

説明: CSD ユーティリティは、DDNAME *ddname* に指定されている CSD 内の現存していないグループ *grpname* からの定義の検索を試みるコマンドを検出しました。

DFHCA5254 E • DFHCA5256 E

システムの処置: ユーティリティーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中のグループ名を訂正するか、または指定された CSD ファイルが正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *grpname*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5254 E *date time applid netname trandid*
resource object **already exists in the**
target group.

説明: CSD ユーティリティーは、同じ名前のオブジェクトの定義がすでに含まれているグループへ定義を追加しようとしたコマンドを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。

システムの処置: CSD ユーティリティーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中の名前を変更するか、または既存の定義の名前を変更してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *resource*
7. *object*

宛先: CSMT

DFHCA5255 E *date time applid netname trandid List*
xxxxxxx **not found in CSD file -**
ddname: ddname

説明: CSD ユーティリティーは、DDNAME *ddname* に指定した CSD ファイル内に現存していないリストを参照する APPEND コマンドまたは REMOVE コマンドを検出しました。

システムの処置: ユーティリティーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドの中のリスト名を訂正するか、または指定された CSD ファイルが正しいものであることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *xxxxxxx*
7. *ddname*

宛先: CSMT

DFHCA5256 E *date time applid netname trandid No*
resources defined in group grpname

説明: LIST コマンドの実行中に、CSD ユーティリティーはエレメントの存在しないグループ・ヘッダーを CSD ファイル上で見つけました。

システムの処置: CSD ユーティリティーは、LIST コマンドの処理を続けますが、上記グループのエレメントはリストしません。

ユーザーの処置: DFHCSDUP VERIFY ユーティリティーを実行し、グループを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *trandid*
6. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5257 E *date time applid netname tranid*
Length of 'TO' prefix must be less than or equal to length of 'GROUP' prefix.

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、バッチ更新ユーティリティは、TO キーワードに指定された総称グループの接頭部の長さが、総称 GROUP キーワードの接頭部よりも長いことを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、TO グループ名の切り捨てを防止するためこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5258 I *date time applid netname tranid*
Copying group grpname1 to grpname2

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、CSD バッチ更新ユーティリティは、総称 GROUP キーワードと一致するものがないか CSD ファイルをスキャンします。一致するものがあるたびに、ユーティリティは総称 TO キーワードを解決して、その結果の *grpname1* および *grpname2* をユーザーにそれぞれ知らせます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname1*
7. *grpname2*

宛先: CSMT

DFHCA5259 I *date time applid netname tranid*
Unrecognized resource type found in the CSD file and has been ignored.

説明: CICS が、認識されていないリソース・タイプ・コードを CSD レコード内で検出しました。認識されていないコードは、言語定義テーブルの中のいずれの機能コードとも一致していません。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

1.
 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2.
 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3.
 CSD マネージャー (DFHDMP) が、無効な CSD レコード・バッファを DFHPUP に渡した。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: リソースは無視され、操作は続行されます。

ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

1.
 メッセージを無視します。
2.
 実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。
3.
 この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

DFHCA5260 E • DFHCA5263 S

宛先: CSMT

DFHCA5260 E 'TO'接尾部の長さは、'GROUP'接尾部の長さと同じくする必要があります。

説明: 総称 COPY コマンドの実行中に、TO キーワードで指定された総称グループの接尾部の長さが、総称 GROUP キーワードの接尾部の長さとは異なることがバッチ更新ユーティリティで検出されました。

システムの処置: ユーティリティは、TO グループ名のあいまいさを防止するため、このコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFHCA5261 W *date time applid netname tranid* **RDT is empty. No VTAM resources in assembled table.**

説明: CSD ユーティリティは、RDO がサポートする端末またはセッション定義が含まれていない TCT、または TYPE=INITIAL 項目に MIGRATE=COMPLETE が指定された TCT を移行する試みを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、CSD 定義を作成しません。

ユーザーの処置: TCT ソース・コードに RDO がサポートする定義が含まれているかどうかを検査してください。含まれていれば、それが (MIGRATE=YES が指定されて) 正しくアセンブルされ、リンク・エディットされているかを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5262 S *date time applid netname tranid* ストレージが不十分なため、タイプの突き合わせチェーンを作成できません。

説明: CSD ユーティリティの処理時に、TCT の移行で内部エラーが起きました。これは、TYPETERM 定義のためのストレージが不足していたためです。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

上記のいずれの場合にも、すでに移行された定義はそのまま CSD に残されます。

ユーザーの処置:

1. DFHCSDUP VERIFY ユーティリティを実行します。
2. 失敗に終わった MIGRATE コマンドによって作成されたグループを削除します。
3. ユーティリティの JCL でより大きな領域サイズを割り振って、コマンドを再試行します。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5263 S *date time applid netname tranid* **Error in input RDT. Incorrect sequence of commands.**

説明: CSD ユーティリティの処理時に、TCT の移行で内部エラーが起きました。これは、アセンブルされたテーブルに異常なデータがあったために生じたエラーです。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

- 1.

前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。

2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

移行済みの定義は CSD 上に残ります。MVS ユーザー異常終了コードは 0308 です。

ユーザーの処置:

1. DFHCSDUP VERIFY ユーティリティを実行します。
2. 失敗に終わった MIGRATE コマンドによって作成されたグループを削除します。
3. 失敗に終わったテーブルのアセンブリー・リストを保存し、さらに (入手できる場合) DFHCSDUP ダンプを保存します。
4. この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5264 W *date time applid netname tranid*
Resource object not defined. Group
grpname **not available.**

説明: TCT の移行の実行時に、CSD ユーティリティは、ターゲット・グループ *grpname* を入手できなかったために、リソース *object* を定義することができません

でした。ユーティリティは、理由を示すメッセージを前に出しています。

システムの処置: ユーティリティは、リソース *object* については定義を作成しません。通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: 元のメッセージをよく調べてください。必要なら、TCT ソース・コード内の TYPE=GROUP マクロをコーディングし直し、適当なグループ名を指定してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *object*
7. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5265 W *date time applid netname tranid*
Action required to find a suitable
typeterm for terminal termid.

説明: TCT を移行させているときに、CSD ユーティリティは、対応する TYPETERM 定義を作成することができない端末定義を検出しました。

システムの処置: ユーティリティは、端末定義を CSD ファイルに追加しますが、この装置に適当でない TYPETERM が参照されます。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて適当な TYPETERM を定義し、新しい TERMINAL を参照するように TYPETERM 定義を変更してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *termid*

宛先: CSMT

DFHCA5266 W *date time applid netname tranid*
**Sessions sessions not defined, because
of error in associated connection.**

説明: TCT の移行時にエラーが検出されました。セッションを移行しているときに、関連 CONNECTION が正常に定義されたかどうかを DFHCSDUP が検査します。正常に定義されていない場合には、DFHCSDUP がセッション定義を異常終了します。

システムの処置: 指定された SESSION リソースは CSD に移行されません。DFHCSDUP は、後続の TCT 項目の移行を続行します。

ユーザーの処置: MIGRATE ユーティリティからの出力リスト内の診断情報を使用して、CONNECTION 定義が失敗した理由を判別してください。その後 RDO を使用することにより、CONNECTION および SESSION を CSD に DEFINE することができます。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *sessions*

宛先: CSMT

DFHCA5270 I *date time applid netname tranid*
group-or-list xxxxxxxx **deleted from the
CSD .**

説明: CSD ユーティリティは、基本 CSD ファイルからグループまたはリストを正常に削除しました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *group-or-list*
7. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5271 S *date time applid netname tranid*
**Unable to delete group-or-list xxxxxxxx
from the CSD .**

説明: CSD ユーティリティの処理中に、CSD ファイルへのアクセス・エラーにより削除操作が失敗しました。

システムの処置: ユーティリティは DELETE コマンドを処理しません。削除されるべきグループまたはリストが、CSD ファイルに残っています。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *group-or-list*
7. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5272 I *date time applid netname tranid*
resource object **deleted from group
grpname**

説明: CSD ユーティリティは、メッセージに名前の示されたりソースを正常に削除しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5273 W *date time applid netname tranid*
resource object is not in group grpname

説明: CSD ユーティリティは、メッセージに名前が示されたグループに存在していないリソースを削除する試みを検出しました。

- *resource* はリソースのタイプです。
- *object* はオブジェクトの名前です。
- *grpname* はグループの名前です。

システムの処置: ユーティリティは DELETE コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: グループ名とリソース名が正しくコーディングされているかどうか検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5275 E *date time applid netname tranid*
Group *grpname* is not a member of list *listname*

説明: 実行中の REMOVE コマンドが、LIST *listname* のメンバーでない GROUP を指定しています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST コマンドを除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST コマンドも処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、DFHCSDUP ジョブを再サブミットして、失敗に終わったコマンドおよび抑止された後続のコマンドのすべてを実行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname*
7. *listname*

宛先: CSMT

DFHCA5276 I *date time applid netname tranid*
Group *grpname* removed from list *listname*

説明: REMOVE コマンドが、リスト *listname* からグループ *grpname* を正常に除去しました。

システムの処置: 通常の実行が続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *grpname*
7. *listname*

宛先: CSMT

DFHCA5277 I *date time applid netname tranid List*
***list* deleted from CSD .**

説明: リスト *listname* から最後のグループが除去されました。このため、リストは削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *list*

宛先: CSMT

DFHCA5280 I *date time applid netname tranid*
Processing definitions from library
member xxxxxxxx

説明: CSD ユーティリティは、メッセージに名前が示されたライブラリー・メンバーからデータを正常にロードしました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5281 S *date time applid netname tranid* **Data**
loaded from library member xxxxxxxx
is invalid

説明: CSD ユーティリティは、示されたライブラリー・メンバーからロードされたデータの中にエラーを見つけました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1.
前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2.
動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
- 3.

終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。

4.

ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: エラーを起こしたライブラリー・メンバーを含んでいるダンプを入手してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5282 E *date time applid netname tranid*
Unable to get storage for library
member xxxxxxxx

説明: ライブラリー・メンバー xxxxxxxx をロードするためのストレージが不足しています。

システムの処置: ユーティリティは、示されたライブラリー・メンバーへのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: ユーティリティ JCL でより大きい領域サイズを割り振って、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5283 S *date time applid netname tranid RDL*
subcommand exceeds 1536 bytes: *xxxx*
xxxx xxxx....

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: CSD ユーティリティは異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxx*
7. *xxxx*
8. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5284 E *date time applid netname tranid Error*
analyzing RDL subcommand: *xxxx*
xxxx xxxx....

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1.
 - 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2.
 - 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3.
 - 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
- 4.

ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxx*
7. *xxxx*
8. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5285 E *date time applid netname tranid*
Invalid verb in RDL subcommand:
xxxx xxxx xxxx....

説明: CSD ユーティリティは、表示された (切り捨てられた) UPGRADE、INITIALIZE、または MIGRATE コマンドを処理しているときにロードされたデータの中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: ユーティリティは次の処理を試みます。

1.
 - 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2.
 - 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3.
 - 終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
4.
 - ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

DFHCA5286 E

2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxx*
7. *xxxx*
8. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5286 E *date time applid netname tranid*
Unable to create resource definition on
CSD file: xxxx xxxx xxxx...

説明: このメッセージは、表示された (切り捨てられた) コマンドの処理中に次のいずれかの理由で出されます。

1.
CSD がいっぱいです (この場合、メッセージ DFHCA5175 とメッセージ DFHCA5176 がこのメッセージに伴います)。
2.
CSD が読み取り専用として定義されています (この場合、メッセージ DFHCA5174 がこのメッセージに伴います)。
3.
移行中の TCT に、RDO が受け入れない名前の端末項目が入っています (この場合、メッセージ DFHCA5165 がこのメッセージに伴います)。
4.
前の更新命令が失敗したため、リストまたはグループが使用できません (この場合、メッセージ DFHCA5142 がこのメッセージに伴います)。
5.
CSD ファイルを初期設定 (INITIALIZE) または更新 (UPGRADE) するために使用されるリソース定義リストに、無効なリソース名またはグループ名を持つ定義が入っています。
6.
DFHCSDUP に論理エラーが発生したか、またはロードされたテーブルに入っているデータに内部エラーが検出されました。

システムの処置: システムの処置は、メッセージが出された理由によって異なります。例えば次のとおりです。

1.
TCT テーブルの移行が直ちに終了します。
- 2.

UPGRADE コマンドまたは INITIALIZE コマンドの処理が終了します。

3.
ユーティリティーは次の処理を試みます。
 - a.
前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
 - b.
動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
 - c.
終了出口ルーチンを呼び出します (提供されている場合)。
 - d.
ユーティリティーの呼び出し側に制御を戻します。
4.
コマンドは実行されず、ジョブ・ストリーム内の DFHCSDUP コマンドの実行はこれ以上行われません。
5.
上記の (3) の場合と同じです。
6.
上記の (3) の場合と同じです。

いかなる場合でも、障害が発生した時点以前にこのコマンドにより作成されたすべての定義は CSD 上に残ります。

ユーザーの処置: ユーザー応答は、メッセージが出された理由によって異なります。例えば次のとおりです。

1.
メッセージ DFHCA5175 および DFHCA5176 を参照してください。
2.
メッセージ DFHCA5174 を参照してください。
3.
端末の名前およびそれへのすべての参照を変更してください。メッセージ DFHCA5165 のユーザーの処置も参照してください。
4.
メッセージ DFHCA5142 を参照してください。
5.
これは、CICS 論理エラーです。下記の 6 の指示を参照してください。
- 6.

これは、CICS 論理エラーです。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。障害の CICS バックグラウンド・トレースが、問題の診断に役立つ場合があります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxx*
7. *xxxx*
8. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5287 E *date time applid netname tranid*
Extract terminated at user's request.
RC=retcode

説明: バッチ・ジョブが CSD ユーティリティ EXTRACT コマンドを出しました。ユーザー出口プログラムがレジスター 15 に非ゼロ値を戻したので、EXTRACT コマンドは終了しました。後続のメッセージは、ユーティリティが検出したその他の問題を示します。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行を完了します。このメッセージの次には DFHCA5104 が続きます。

ユーザーの処置: 与えられた戻りコード *retcode* およびユーザー出口プログラムの関連資料を使用して、ユーザー出口プログラムにより検出されたエラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *retcode*

宛先: CSMT

DFHCA5288 E ユーザーの要求により、GETコマンドが終了しました。**RC=retcode**

説明: GET-COMMAND 出口から、GET-COMMAND 出口が失敗したことを示す UERCNORM ('00'X) または UERCDONE ('04'X) 以外の値が返されました。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行を完了します。

ユーザーの処置: ユーティリティを再実行する前に、GET-COMMAND ユーザー出口の操作を訂正してください。問題を診断して修正する方法については、ユーザー出口で提供されている資料またはリストを参照してください。

モジュール: DFHCAP

宛先: SYSPRINT

DFHCA5290 W **Table** *tabtype* **macro** *mactype=value*
is not supported. 値は *newvalue* に変更されます。

説明: マクロ *mactype* のテーブル *tabtype* のマイグレーション中に、*value* はサポートされません。*value* は *newvalue* としてマイグレーションされました。

システムの処置: ユーティリティは、変更された値を使用してリソースの定義を作成します。通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: オブジェクト定義を調べて、変更された定義が受け入れられることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

DFHCA5291 E **Unable to define object** *object* **in**
group *group*. マイグレーションは中止されます。

説明: DFHCSDUP マイグレーション・ユーティリティが、指定された *group* で *object* を定義できませんでした。マイグレーションは続行できません。

システムの処置: ユーティリティは、テーブルのマイグレーションを完了します。

ユーザーの処置: 指定されたグループが正しいグループであることを確認し、前のエラーを調べて、マイグレーション・ユーティリティがグループで定義を作成できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFHCA5293 W Total object definitions skipped
due to error: number**

説明: CICS は、CICS テーブルのマイグレーションの後にこのメッセージを出します。タイプが *object* の *number* 個の定義がマイグレーションされませんでした。このメッセージの前に出された 1 つ以上の DFHCA5292 メッセージを参照してください。

システムの処置: ユーティリティー処理は続行される。

ユーザーの処置: 前のエラーを訂正し、スキップされたオブジェクトを手動で定義してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFHCA5294 E number object-1 were not matched
with a corresponding object-2.**

説明: CICS は、テーブルが正しく定義されていないために定義されなかった *object-1* テーブル定義がある場合にこのメッセージを出します。*object-1* テーブル定義は、テーブル内の *object-2* を参照する必要があります。

システムの処置: テーブルのマイグレーションは終了します。

ユーザーの処置: 現行リリースのマクロ・ソースを使用してテーブルを再アセンブルしてください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFHCA5296 W Table tabtype TYPE=mactype
parameter does not support multiple
values.**

説明: TYPE=mactype parameter に対して複数の値が指定されました。tabtype テーブルのマイグレーションでサポートされるのは、単一の値のみです。

システムの処置: マイグレーション・ユーティリティーは、追加の値を無視します。マイグレーションは続行します。

ユーザーの処置: マイグレーションされた定義を調べて、新しい単一値が受け入れられるかどうかを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

宛先: SYSPRINT

**DFHCA5501 E date time applid netname tranid
Command not executed. keyword must
be specified.**

説明: キーワード *keyword* (コマンドに必要とされる) が省略されたか、または正しく指定されませんでした。正しく指定されなかった場合は、前に出ているメッセージからわかります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. date
2. time
3. applid
4. netname
5. tranid
6. keyword

宛先: CSMT

**DFHCA5502 W date time applid netname tranid
xxxxxxx implies yyyyyyyy.**

説明: CREATE コマンドまたは DEFINE コマンドで指定された値 xxxxxxxx が、別の値 yyyyyyyy (通常のデフォルトではない) としてみなされるようになりました。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果生じたりソース定義が受け入れ可能かどうかを検査してください。このデフォルトを受け入れる場合は、他に処置を行う必要はありません。

結果として生じたデフォルト値を受け入れられない場合には、その定義を修正するか、または定義を削除してもう一度開始するかを決定しなければなりません。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. date
2. time
3. applid
4. netname
5. tranid
6. xxxxxxx

7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5503 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxx
option conflicts with yyyyyyy option
and is ignored.

説明: 同時には使用できない 2 つのオプション
 xxxxxxx および yyyyyyy が指定されました。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無
 視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5504 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. Use of
xxxxxxx option implies yyyyyyy option
must be specified.

説明: オプション xxxxxxx は、別の値 yyyyyyy を必要
 とします。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無
 視します。

ユーザーの処置: yyyyyyy を指定してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5505 W *date time applid netname tranid*
Program DFHMSP requires a
TWASIZE of at least 528.

説明: メッセージ交換プログラム DFHMSP の
 DEFINE コマンドまたは CREATE TRANSACTION コ
 マンドによって 528 バイトより小さい TWASIZE が与
 えられました。それを、その名前の CICS 提供プログ
 ラム用の定義とする場合には、正しく実行されません。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行し
 ます。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義
 が、予定どおりのものであるかどうかを検査してくださ
 い。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5506 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. For xxxxxxx
many options, including yyyyyyy, are
meaningless.

説明: 他のキーワードまたは値と矛盾するキーワードま
 たは値が指定されました。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無
 視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5507 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxx value
must be greater than yyyyyyy value.

説明: 他の値と矛盾する値が指定されました。 xxxxxxx は yyyyyyy より大きくなければなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5508 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxx value
must be less than or equal to yyyyyyy
value.

説明: 他の値と矛盾する値が指定されました。 値 xxxxxxx は、yyyyyyy と同じか、それより小さくなければなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5509 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxx name
must not be the same as yyyyyyy
name.

説明: DEFINE または CREATE コマンド内の一部の値は、リソースの名前と同一であってはなりません。 xxxxxxx の名前は、yyyyyyy と同一であってはなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5510 W *date time applid netname tranid*
xxxxxxx names beginning with yyyyyyy
are reserved and may be redefined by
CICS.

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはいけない名前の標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5511 W *date time applid netname tranid*
xxxxxxx name yyyyyyy is reserved and
may be redefined by CICS.

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはいけない名前の標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5512 W *date time applid netname tranid*
Program name begins with 'DFH' but
transaction name does not begin with
'C'.

説明: CICS は、ユーザーが使用してはいけない命名規則を用いた標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5513 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. The second
value of xxxxxxx must not be greater
than the first.

説明: キーワードのいくつかは対の値からなりますが、これらは基本的に最大値と最小値を示しています。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5514 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. With
SESSNAME there can only be one
COUNT and its value must be 1.

説明: DEFINE コマンドまたは CREATE SESSIONS コマンド内の SESSNAME の使用は、単一セッション (送信または受信のいずれか) を必要とすることを意味します。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5515 W *date time applid netname tranid*
AUTOPAGE(NO) has been specified
for a 3270 print device.

説明: DEFINE コマンドまたは CREATE TYPETERM

DFHCA5516 W • DFHCA5518 W

コマンドに、AUTOPAGE(NO)5516 および DEVICE(3270P) または DEVICE(LUTYPE3) があります。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5516 W *date time applid netname tranid* **The values of DEVICE and SESSIONTYPE are equivalent to DEVICE(*devtype*) and have been replaced.**

説明: DEFINE コマンド CREATE TYPETERM コマンドに、有効であるものの現在使用されていない DEVICE および SESSIONTYPE の組み合わせがあります。

この DEVICE および SESSIONTYPE の組み合わせは、*devtype* に示されたより単純な同等の装置により置き換えられました。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。「リソースの定義」で、同等な装置に関する詳細が説明されています。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *devtype*

宛先: CSMT

DFHCA5517 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. *prefix* and COUNT together make more than four characters.

説明: SESSIONS 定義では、*prefix* パラメーター (SENDPFX または RECEIVEPFX) に、対応するカウンターの値 (SENDCOUNT または RECEIVECOUNT) 以下の数値接尾部を追加してセッション名を生成します。セッション名は最大 4 文字であるため、セッションのカウン트가 99 を超える場合、接頭部は 1 文字になります。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *prefix*

宛先: CSMT

DFHCA5518 W *date time applid netname tranid*
XTRANIDS xxxxxxx are reserved and may be redefined by CICS.

説明: CICS は、ユーザーが通常使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティー処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. xxxxxxx

宛先: CSMT

DFHCA5519 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxx value contains an invalid y.

説明: CREATE および DFHCSDUP コマンド内の文字はすべて、値に応じて、特定文字の使用を禁止する規則に従います。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

「リソースの定義」で、DFHCSDUP コマンドの構文の個々の属性におけるそれらの規則の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *y*

宛先: CSMT

DFHCA5520 W *date time applid netname tranid* **The value of DEVICE is equivalent to xxxxxxx and has been replaced.**

説明: DEFINE コマンドおよび CREATE TYPETERM コマンドには、有効であるものの現在使用されていない DEVICE 値があります。その DEVICE 値はこれに相当するより単純な DEVICE 値に置き換えられました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

「リソースの定義」で、それらの単純な同等の装置に関する詳細が説明されています。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

5. *tranid*
 6. *xxxxxxx*
- 宛先: CSMT
-

DFHCA5521 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxx value yyyyyyy is invalid.

説明: 有効でない値 yyyyyyy が、キーワード xxxxxxx に指定されました。この値は、例えば数値でない場合もあります。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5522 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. Length of xxxxxxx value is more than allowed.

説明: DEFINE または CREATE コマンド内の文字値が長すぎます。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5523 E • DFHCA5527 E

DFHCA5523 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. File DFHCSD must be defined in the SIT and not the CSD.

説明: DFHCSD が SIT ではなく CSD で定義されています。This is not allowed.

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。DFHCSD を SIT で定義してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5524 W *date time applid netname tranid*
BMS route for console may cause unpredictable results if maps or TEXT(ACCUM) used on device.

説明: 複数行マップまたは蓄積されたテキストをコンソールにルーティングすることはサポートされていません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされていないコンソール操作が使用不可になっていることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5525 W *date time applid netname tranid*
xxxxxxx value is not valid, yyyyyyyy
has been assumed.

説明: 値 *xxxxxxx* が有効ではありません。値 *yyyyyyy* とみなされました。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5526 E *date time applid netname tranid*
xxxxxxx must have rows and columns specified.

説明: *xxxxxxx* には、行と列を指定しておかなければなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5527 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. Remote options are ignored for programs starting with DFH.

説明: CICS が、リモート属性を許可されていない標準プログラムを提供しています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: プログラム定義からリモート属性を削除して、コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5528 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. Value of
keyword **is out of valid range.**

説明: メッセージに示されたキーワードに無効な値が与えられました。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 有効なキーワード値を与えて、再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *keyword*

宛先: CSMT

DFHCA5529 E *date time applid netname tranid*
keyword **or keyword must be specified.**

説明: メッセージに示されたキーワードのいずれも指定されませんでした。リソースを定義するときは、これらのキーワードのいずれかを指定しなければなりません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 示されたキーワードのいずれかを指定し、再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

5. *tranid*
6. *keyword*
7. *keyword*

宛先: CSMT

DFHCA5530 W *date time applid netname tranid*
XTRANIDS ending with string are
reserved and may be redefined by
CICS.

説明: CICS は、ユーザーが通常リソース定義で使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *string*

宛先: CSMT

DFHCA5531 W *date time applid netname tranid*
XTRANIDS beginning with string are
reserved and may be redefined by
CICS.

説明: CICS は、ユーザーが通常リソース定義で使用してはならない名前のプログラムおよびトランザクションを提供しています。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHCA5532 E • DFHCA5535 E

1. *netname*
2. *tranid*
3. *string*

宛先: CSMT

DFHCA5532 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. An invalid combination of rows and columns has been specified for ALTSCREEN.

説明: 指定された値の一方がゼロ、もう一方がゼロ以外です。この組み合わせは無効です。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 有効な組み合わせの ALTSCREEN の行と列が指定されていることを確認してください。有効な組み合わせについての詳細は、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *ALTSCREEN*

宛先: CSMT

DFHCA5533 W *date time applid netname tranid*
Specified keyword1 value is less than keyword2 value. The default value has been assumed.

説明: *keyword2* の値と互換性のない値が *keyword1* に指定されました。

システムの処置: ユーティリティは、*keyword1* のデフォルト値を想定して、このコマンドを処理します。

ユーザーの処置: このリソース定義が受け入れ可能かどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

6. *keyword1*
7. *keyword2*

宛先: CSMT

DFHCA5534 W *date time applid netname tranid*
When you change the value of DEVICE many other values may be changed for you.

説明: TYPETERM リソース定義の中の DEVICE を更新 (ALTER) するときに、バッチ更新ユーティリティが、新しい DEVICE と合わない強制値を変更します。しかし、従属デフォルト値が変更されず、ここで値が合わなくなる可能性があります。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: その結果として生じるリソース定義が、予定どおりのものであるかどうかを検査してください。詳細については、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5535 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. restype name resname is reserved by CICS.

説明: ユーザーは CICS が予約しているリソース名 *resname* をリソース・タイプ *restype* に指定しました。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 別のリソース名を指定してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *restype*

7. *resname*

宛先: CSMT

DFHCA5536 W *date time applid netname tranid*
keyword1 and keyword2 attributes are
inconsistent if definition is being
shared with a back-level release.

説明: *keyword1* の前に *keyword2* があります。しかし、*keyword1* は互換性のために保持されました。リソースの更新または作成後に、*keyword1* に指定された値と *keyword2* に指定された値に矛盾が生じました。

システムの処置: リソースは作成または更新されます。

ユーザーの処置: リソースをバックレベルのリリースと共用している場合、結果として生じるリソース定義が受け入れ可能であることを確認してください。共用していない場合は、メッセージを無視してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *keyword1*
7. *keyword2*

宛先: CSMT

DFHCA5537 W *date time applid netname tranid*
Prefix allowed to default. Use of
defaults is recommended for MRO
sessions only.

説明: LU6.1 または MRO セッション用の送信または受信接頭部にヌル値が受け入れられました。デフォルト値の '*>*' は送信セッション用に、'*<*' は受信セッション用に CICS によって提供されます。これらの値は、MRO セッション名のデフォルトの接頭部です。これらの接頭部は、LU6.1 セッションで使用することができますが、同じ接頭部を持つ MRO セッション名が使用されている場合は使用しないでください。多数のセッションが定義されている場合には名前が重複する可能性があるためです。

システムの処置: CICS は、これらの接頭部を使用してセッション名を生成します。

ユーザーの処置: これが LU6.1 セッションである場合は、別の接頭部を選択するようお勧めします。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5538 W *date time applid netname tranid*
resource names starting with x may
conflict with system sessions names.

説明: リソース *resource* は、システム生成 SESSIONS 名に使用される可能性のある、*x* の文字で始まる名前を与えられています。

システムの処置: 定義が作成または更新されます。

ユーザーの処置: リソースに与えられた名前と SESSIONS 名の間に矛盾がないことを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *x*

宛先: CSMT

DFHCA5539 S *date time applid netname tranid*
keyword is not valid because it starts
with the reserved character or string
string.

説明: キーワード *keyword* に与えた名前が、『C』または『DFH』などの予約された文字やストリングで始まっているために無効です。

システムの処置: 定義は作成されません。

ユーザーの処置: キーワードの名前を変更してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

DFHCA5540 W • DFHCA5544 E

2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *keyword*
7. *string*

宛先: CSMT

DFHCA5540 W *date time applid netname xxxxxxx*
value is greater than yyyyyyy value. 小さい方の値が優先されます。

説明: 他の値と矛盾する値が指定されました。値 *xxxxxxx* が値 *yyyyyyy* より大きくなっています。値 *yyyyyyy* が優先され、大きい方の値をオーバーライドします。

システムの処置: 定義は、指定された 2 つの値で作成または更新されます。

ユーザーの処置: 2 つの値が期待どおりに定義されていることを確認してください。指定された値のままにしておいて、リソースが CICS システムにインストールされた後にオンラインで値を動的に変更するようにすることも可能です。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *xxxxxxx*
6. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5542 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxx and yyyyyyy must be the same length.

説明: 2 つのオプション値 *xxxxxxx* と *yyyyyyy* が指定されていますが、それぞれのオペランドの長さは同じでなければなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5543 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. Generic characters must be in the same position in xxxxxxx and yyyyyyy.

説明: 総称文字が含まれている 2 つのオプション *xxxxxxx* および *yyyyyyy* が指定されています。総称文字は、両方のキーワードで同じ位置に配置する必要があります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5544 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxxx must be specified as yyyyyyy because a previous value is generic.

説明: 前のオプション値が総称として指定されているため、オプション *xxxxxxx* は *yyyyyyy* として指定する必要があります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5546 E *date time applid netname tranid*

Command not executed. xxxxxxx is not valid as a type yyyyyyy parameter.

説明: 指定されたオプションが競合しています。TYPE EJB が指定されている場合、それぞれの *ejb* タイプのオプションを指定する必要があります。ejb タイプの属性は BEANNAME および INTFACETYPE です。同様に、TYPE CORBA の場合は、corba タイプの属性を指定する必要があります。それは MODULE および INTERFACE です。TYPE GENERIC の場合は、いずれの属性も指定できますが、総称でなければなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5547 E *date time applid netname tranid*

Command not executed. xxxxxxx value yyyyyyy is invalid.

説明: 有効でない値 *yyyyyyy* が、キーワード *xxxxxxx* に指定されました。この値は、例えば数値でない場合もあります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5548 E *date time applid netname tranid*

Command not executed. xxxxxx option is invalid for a back level REQUESTMODEL.

説明: 指定されたオプションが競合しています。CORBASERVER 名がブランクで、それぞれの前のレベルの属性 (OMGMODULE、OMGOPERATION、および OMGINTERFACE) が指定されている場合、BEANNAME、MODULE、INTERFACE、および OPERATION の使用は許可されません。バックレベルの要求モデル定義を新しい属性に指定することはできません。古い要求モデルをこのレベルの CICS で使用する必要がある場合は、古い要求モデルを破棄し、新しい属性で再定義する必要があります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。バックレベルの CICS システム用にこのモデルを保持する場合は、属性

OMGMODULE、OMGOPERATION、OMGINTERFACE、および TRANSID のみを指定してください。ただし、このレベルの CICS で古い要求モデルを使用するには、古い要求モデルを破棄し、新しい属性で再定義する必要があります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*

宛先: CSMT

DFHCA5549 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. xxxxxx value must not be the same as yyyyyyyy value.

説明: 2 つの属性に指定される値は同じであってはなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: そのコマンドを訂正してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *yyyyyyy*

宛先: CSMT

DFHCA5550 W *date time applid netname tranid*
keyword1 implies keyword2. The default value has been assumed.

説明: *keyword1* が、*keyword2* の値と互換性のない値で指定されました。

システムの処置: ユーティリティーは *keyword1* を変更してデフォルト値を設定し、コマンドを処理します。

ユーザーの処置: このリソース定義が受け入れ可能かどうかを確かめてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *keyword1*
7. *keyword2*

宛先: CSMT

DFHCA5551 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. keyword2 も総称でなければ、keyword1 を総称として指定できません。

説明: ワイルドカード文字 (アスタリスクまたは正符号) が含まれた総称名を使用して *keyword1* が指定されました。しかし、これが許可されるのは、*keyword2* も総称名として指定されている場合のみです。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: *keyword1* が総称でなければならない場合は、*keyword2* も総称名を使用して指定してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *keyword1*
7. *keyword2*

宛先: CSMT

DFHCA5552 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. CIPHER value 'value' is not in the valid set (list).

説明: CIPHER 属性が無効な値 *value* とともに指定されています。この値は、*list* で示されている有効な暗号値セットに含まれていません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: この CICS アドレス・スペースに適切な CIPHER 値セットを定義したかを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *value*

7. *list*

宛先: CSMT

DFHCA5553 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. *field* は 'char'
 で始まってはいけません。

説明: 示された属性フィールド *field* は、無効文字 *char* で始まっています。これは一般に、「*」で始まるフィールドが原因で発生しますが、これは許可されません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 許可された文字で始まるように、示された属性フィールドを変更してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *field*
7. *char*

宛先: CSMT

DFHCA5554 W *date time applid netname tranid Use of static attribute field1 forces field2.*

説明: サーバー URIMAP 属性フィールド *field1* が、静的応答を返すセット内にあります。これにより、*field2* の設定が強制されました。これは通常、ANALYZER(NO) が必要な場合に ANALYZER(YES) とともに

MEDIATYPE、CHARACTERSET、HOSTCODEPAGE、TEMPLATENAME、または HFSFILE を指定することで発生します。

システムの処置: ユーティリティーは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *field1*

7. フィールド 2

宛先: CSMT

DFHCA5555 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 少なくとも 1
 つの *attribute* を指定する必要があります。

説明: このリソースに対して示されている属性フィールド *attribute* の 1 つ以上を指定する必要があります。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの必要な属性が指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *attribute*

宛先: CSMT

DFHCA5556 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'yyy' で始まる
resource 名は予約されており、使用できません。

説明: CICS は、ユーザーが使用してはいけない名前の標準プログラムおよびトランザクションを提供しています。ただし、このタイプのリソースでは、予約名を使用してはなりません。

システムの処置: ユーティリティーはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: リソース定義を適切な名前に変更してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *yyy*

DFHCA5557 E • DFHCA5560 E

宛先: CSMT

DFHCA5557 E *date time applid netname tranid*
Command not executed. 'xxxxxxx' is a reserved name and cannot be used as a resource name.

説明: 特定の名前は予約されており、リソース名として使用できません。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: リソース定義を適切な名前に変更してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *xxxxxxx*
7. *resource*

宛先: CSMT

DFHCA5558 W *date time applid netname tranid A*
ranking value less than 10 for LIBRARY 'resource' means it will appear before DFHRPL in the search order.

説明: ランキング値 10 は、DFHRPL ライブラリー用に予約済みです。10 未満のランキング値を指定した場合、この LIBRARY *resource* は、ライブラリー検索順序で DFHRPL より前に出現します。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: 本当に指定された LIBRARY がライブラリー検索順序で DFHRPL より前に出現するようにするのかを確認してください。そうでない場合は、10 より大きい RANKING 値を使用して LIBRARY *resource* を定義してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

5. *tranid*
6. *resource*

宛先: CSMT

DFHCA5559 W *date time applid netname tranid*
HOST conflicts with IPADDRESS. HOSTが優先されます。

説明: HOST は、TCPIP SERVICE の IP アドレスを指定するための優先属性です。HOST と IPADDRESS の両方が TCPIP SERVICE 定義で指定されていて、それらが異なる場合、システムは HOST 値を使用し、IPADDRESS を無視します。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: IPADDRESS に優先して HOST を使用するか、両者が同じになるようにしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5560 E *date time applid netname tranid*
port_attribute conflicts with port number found in HOST attribute.

説明: HOST 属性にポート番号が含まれていますが、このクライアント URIMAP の定義には異なる非ゼロの PORT 属性も指定されています。

システムの処置: ユーティリティはそのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: HOST へのポートの追加に優先して PORT を使用するか、両者が同じ値になるようにしてください。IPV6 アドレスのポート番号を指定するには、PORT を使用する必要があります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *port_attribute*

宛先: CSMT

DFHCA5561 E *date time applid netname tranid*
Compatibility option
PRIVACY(NOTSUPPORTED) is not supported.

説明: 互換性オプション PRIVACY が、サポートされない NOTSUPPORTED に設定されています。

システムの処置: リソース定義は失敗します。

ユーザーの処置: オプション CIPHERS を使用して、使用する暗号のリストを設定してください。

モジュール: DFHSPSOV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5562 E *date time applid netname tranid*
Compatibility option
OUTPRIVACY(NOTSUPPORTED) is not supported.

説明: 互換性オプション OUTPRIVACY が、サポートされない NOTSUPPORTED に設定されています。

システムの処置: リソース定義は失敗します。

ユーザーの処置: オプション CIPHERS を使用して、使用する暗号のリストを設定してください。

モジュール: DFHSPEJV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5600 E *date time applid netname tranid*
Unable to get storage for module DFHCICS. Primary CSD not initialized.

説明: モジュール DFHCICS をロードするためのストレージが不足しています。

システムの処置: INITIALIZE コマンドの処理は中止されます。

ユーザーの処置: DFHCICS モジュールをロードするのに十分なストレージがあることを確認してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5601 E *date time applid netname tranid*
Unable to load the tabletype table named table.

説明: テーブル *table* をロードできません。

システムの処置: システムの処置は、テーブルのタイプによって異なります。

LD

DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチン (与えられている場合) を呼び出します。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

FCT または **RDT**

CSD ユーティリティは、テーブルをロードすることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 障害の理由を指定する、先に出された MVS メッセージを参照してください。

FCT または TCT のアセンブリとリンク・エディットが正しく行われた場合は、FCT または RDT はライブラリーの中にあるはずです。LD は、提供された事前

DFHCA5602 E • DFHCA5604 E

生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *tabletype*
7. *table*

宛先: CSMT

DFHCA5602 E *date time applid netname tranid*
Unable to unload the *tabletype* table
named *table*.

説明: テーブル *table* をアンロードできません。

システムの処置: システムの処置は、テーブルのタイプによって異なります。

LD

DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。ユーティリティは次の処理を試みます。

1. 前に内部でオープンされたすべてのファイルをクローズします。
2. 動的にロードされた抽出出口ルーチンをアンロードします。
3. 終了出口ルーチン (与えられている場合) を呼び出します。
4. ユーティリティの呼び出し側に制御を戻します。

FCT または **RDT**

CSD ユーティリティは、テーブルをアンロードすることができず、ユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 障害の理由を指定する、先に出された MVS メッセージを参照してください。

FCT または TCT のアセンブリーとリンク・エディットが正しく行われた場合は、FCT または RDT はライブラリーの中にあるはずで、LD は、提供された事前

生成 CICS システムのロード・ライブラリーにあります。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *tabletype*
7. *table*

宛先: CSMT

DFHCA5604 E *date time applid netname tranid*
Unable to obtain storage for the
cross-reference table named *table*.

説明: DFHCSDUP はテーブル *table* のストレージを獲得できませんでした。

システムの処置: DFHCSDUP がこのコマンドを処理できません。

コマンドが SYSIN データ・ストリームから読み取られている場合には、後続のコマンド (LIST を除く) は、構文についてのみ検査されます。(1 次 CSD ファイルをオープンすることができない場合には、LIST も処理されません。)

コマンドがコマンド読み取り出口から読み取られている場合には、DFHCSDUP は後続のコマンドの処理を試みます。

ユーザーの処置: 領域サイズを大きくして、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *table*

宛先: CSMT

DFHCA5605 E *date time applid netname tranid*
Disallowed character in group or list name object.

説明: モジュール DFHDMP の呼び出しが、CSD ファイル上に作成されるレコードのための有効なキーを構成するのに失敗しました。これは、グループ名またはリスト名に無効な文字が入っているためです。

システムの処置: この定義のための CSD レコードは作成されません。(それがトランザクションである場合には、生成プロファイルも作成されません。)

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを用いて、有効な名前のリソースを定義してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *object*

宛先: CSMT

DFHCA5606 S *date time applid netname tranid*
Command is not executed. Unable to load the service module progname.

説明: ストレージが不足しているためにサービス・モジュール *progname* をロードできません。

システムの処置: ユーティリティ・コマンドの実行は終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 領域サイズを大きくして、ユーティリティ・コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *progname*

宛先: CSMT

DFHCA5607 S *date time applid netname tranid*
Command is terminated. An error occurred while reading the first secondary CSD record.

説明: 2 次 CSD ファイル上で入出力エラーが起きました。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DDNAME が SERVICE ユーティリティ・コマンドの FROMCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5608 S *date time applid netname tranid*
Command is terminated. 2次CSDレコードの読み取り中にエラーが発生しました。

説明: 2 次 CSD ファイル上で入出力エラーが起きました。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DDNAME が SERVICE ユーティリティ・コマンドの FROMCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

問題が解決しない場合は、IDCAMS または DFHCSDUP LIST ALL オプションを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されないもので、簡単に識別できます。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHCA5609 S • DFHCA5613 E

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5609 S *date time applid netname tranid*

Command is terminated. 1次CSDレコードの書き込み中にエラーが発生しました。

説明: 1 次 CSD ファイルで入出力エラーが起きました。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 十分に大きいデータ・セットが出力 (1 次) CSD ファイルに指定されていることを確認して、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5611 E *date time applid netname tranid*

Command not executed. 'parameter' parameter must begin with 'DFH'.

説明: CSD ユーティリティ MIGRATE コマンドにおいて、メッセージに示されたパラメーターに無効なテーブル名またはグループ名が入っていました。

システムの処置: ユーティリティはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なテーブル名またはグループ名を指定して MIGRATE コマンドを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *netname*
5. *tranid*
6. *parameter*

宛先: CSMT

DFHCA5612 I *date time applid netname tranid*
resource object in group grpname is unchanged.

説明: リソース定義がソース・グループとターゲット・グループの両方に存在しています。サブミットされた CSD ユーティリティ・コマンドに基づいて、ユーティリティは、ターゲット・グループのリソース定義を置き換えました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resource*
7. *object*
8. *grpname*

宛先: CSMT

DFHCA5613 E *date time applid netname tranid*

Unable to locate the library member member.

説明: メンバーが、JCL で指定されたライブラリーにありません。

システムの処置: ユーティリティは、ライブラリー・メンバー *member* へのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: メンバーがライブラリーに正しくリンク・エディットされていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *netname*
5. *tranid*
6. *member*

宛先: CSMT

DFHCA5614 E *date time applid netname tranid*
Unable to load the library member
member.

説明: DFHCSDUP は、ライブラリー・メンバー *member* をロードできませんでした。

システムの処置: ユーティリティは、ライブラリー・メンバーへのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: メンバーがライブラリーに正しくリンク・エディットされていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *member*

宛先: CSMT

DFHCA5617 S *date time applid netname tranid*
Command is terminated. 2次CSDの読み取り中に、認識されないタイプのレコードが見つかりました。

説明: 入力 CSD レコードのレコード・タイプ・フィールドが無効です。

システムの処置: SERVICE コマンドは終了します。

ユーティリティがコマンドを SYSIN データ・ストリームから読み取っている場合には、後続のコマンドは、構文についてのみ検査されます。

ユーザーの処置: 入出力データ・セットが正しく定義されていて、しかも JCL 内の 2 次 CSD ファイル用の DDNAME が SERVICE ユーティリティ・コマンドの FROMCSD パラメーターに対応しているかどうかを検査してください。

問題が解決しない場合は、IDCAMS または DFHCSDUP LIST ALL オプションを使用して、CSD の印刷出力の入手を試みてください。LIST は、どこでエラーが発生したかを示します。エラーは印刷されない

ので、簡単に識別できます。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5618 I *date time applid netname tranid* **An attention interrupt was requested during DFHCSDUP execution.**

説明: DFHCSDUP が TSO 環境で実行中に、アテンション割り込みが要求されました。

システムの処置: 通常のユーティリティ処理を続行します。

メッセージ書き込みの出口が拡張入力リンケージで指定されている場合は、制御がメッセージ書き込みの出口に渡されます。メッセージ書き込みの出口について詳しくは、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5619 W *date time applid netname tranid* **An invalid value of the PAGESIZE parameter has been specified. The default value of 60 lines per page will be used.**

説明: PAGESIZE パラメーターに許可されている範囲 (4 から 9999) 外の値が指定されました。

システムの処置: デフォルト値としてページ当たり 60 行をとります。

ユーザーの処置: 今後は、有効な PAGESIZE 値を指定するようにしてください。

DFHCA5620 E • DFHCA5623 S

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5620 E *date time applid netname tranid* **An illegal return code (RC=ret-code) has been returned from the exit exit.**

説明: メッセージに示されているユーザー出口ルーチンが、許可されていない戻りコードを戻しました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理を終了します。 出口は使用不可になっていません。

ユーザーの処置: メッセージに示された出口ルーチンを調べて、戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *ret-code*
7. *exit*

宛先: CSMT

DFHCA5621 E *date time applid netname tranid* **A non-zero return code has been returned from the put-message exit.**

説明: メッセージ書き出し出口ルーチンが、許可されていない戻りコードを戻しました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理が終了して、メッセージ書き出し出口が使用不可になります。

ユーザーの処置: メッセージ書き出し出口ルーチンを調べて、戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5622 S *date time applid netname tranid* **The secondary CSD has been closed during clean-up processing following the interception of an abend.**

説明: DFHCSDUP 処理中に異常終了が発生しました。 ABEND 後のクリーンアップ処理中に、2 次 CSD がクローズされました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: この問題に関する詳細については、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5623 S *date time applid netname tranid* **The primary CSD has been closed during clean-up processing following the interception of an abend.**

説明: DFHCSDUP 処理中に異常終了が発生しました。 ABEND 後のクリーンアップ処理中に、1 次 CSD がクローズされました。

システムの処置: そのユーティリティ・コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: この問題に関する詳細については、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5624 S *date time applid netname tranid* **The extract exit program has been unloaded during clean-up processing following the interception of an abend.**

説明: EXTRACT コマンドの処理時に異常終了が起きました。EXTRACT ユーティリティ・コマンドの USERPROGRAM キーワードで指定された抽出出口プログラムが、ABEND 後のクリーンアップ処理時にアンロードされました。

システムの処置: EXTRACT コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 問題の詳細については、前のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHCAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*

宛先: CSMT

DFHCA5630 W *date time applid netname tranid* **No IBM supplied definition found for *resourcetype* *resourcename*.**

説明: SCAN コマンドの実行中に、指定されたリソース・タイプが IBM 提供のいずれのグループの CSD ファイルでも見つかりませんでした。SCAN コマンドでは互換性グループは使用されないことに注意してください。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resourcetype*
7. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCA5631 I *date time applid netname tranid*
resourcetype *resourcename* **in group**
groupname1 **matches the IBM supplied**
definition in group *groupname2*.

説明: SCAN コマンドの実行中に名前が *resourcename* のリソース *resourcetype* がグループ *groupname1* に見つかりましたが、グループ *groupname2* の IBM 提供の定義に一致しています。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resourcetype*
7. *resourcename*
8. *groupname1*
9. *groupname2*

宛先: CSMT

DFHCA5632 I *date time applid netname tranid*
resourcetype *resourcename* **in group**
groupname1 **does not match the IBM**
supplied definition in group
groupname2.

説明: SCAN コマンドの実行中に名前が *resourcename* のリソース *resourcetype* がグループ *groupname1* に見つかりましたが、グループ *groupname2* の IBM 提供の定義に一致していません。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resourcetype*
7. *resourcename*

8. *groupname1*
 9. *groupname2*
 宛先: CSMT

DFHCA5633 I *date time applid netname tranid*
resourcetype resourcename **found in**
group *groupname*.

説明: SCAN コマンドの実行中に、*resourcename* という名前のリソース *resourcetype* がグループ *groupname* で見つかりました。比較の実行対象の IBM 提供の定義が見つかりませんでした。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resourcetype*
7. *resourcename*

8. *groupname*
 宛先: CSMT

DFHCA5634 W *date time applid netname tranid*
resourcetype resourcename **not found in**
user groups.

説明: SCAN コマンドの実行中に、*resourcename* という名前のリソース *resourcetype* がいずれのユーザー・グループでも見つかりませんでした。

システムの処置: ユーティリティは続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCSDUP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tranid*
6. *resourcetype*
7. *resourcename*

宛先: CSMT

DFHCCnnnn メッセージ

DFHCC0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in the {*local* | *global*} catalog, module *modname***

説明: 異常終了またはプログラム・チェックがモジュール *modname* 内に発生しました。さらに、ローカル (DFHLCD) カタログまたはグローバル (DFHGCD) カタログ・ドメインのいずれかにも発生しているはずで、これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、また

は CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます。ただし、現時点でトレースが使用可能な場合に限り、システム・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する

MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、エラーが例えばプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはパーコレーションのいずれであるかがわかります。さらに、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されています。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCCC、DFHCCDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=local,
2=global

5. *modname*

宛先: コンソール

DFHCC0004 *applid* **A possible loop has been detected in the {local | global} catalog at offset X'offset' in module modname**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCDM、DFHCCCC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=local,
2=global

3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHCC0100 *applid* **Global Catalog initialization**

**failure. {GENERATE ACB | OPEN ACB
| GENERATE RPL | OPEN, SHOWCB.}**
R15 = X'yy' VSAM error code = X' zz'

説明: グローバル・カタログ初期設定時に VSAM エラーが発生しました。

示されている VSAM コードは、資料「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」で説明されています。

このメッセージの可能なバージョンには、次のテキストが含まれます。

- 『GENERATE ACB』。
 - 『GENERATE RPL』。
- GENCB が *X'yy'* で示された R15 の条件で失敗しました。
- X'zz'* コードに意味があるのは、*X'zz'* が GENCB マクロに応答して VSAM レジスター 0 によって戻されたエラー・コードであるとき、*X'yy'* が *X'04'* である場合だけです。
- 『OPEN ACB』。
- OPEN が R15 の条件コード *X'yy'* で失敗しました。その後に正常に SHOWCB が行われ、OPEN エラー・コードが *X'zz'* に入れられました。また、VSAM がオペレーター・コンソールおよびプログラマーのリストに書き込むメッセージも参照してください。

•

『OPEN, SHOWCB』。

OPEN が R15 の条件コード X'yy' で失敗しました。

その後に SHOWCB が行われて失敗し、SHOWCB からの R0 の戻りコードが X'zz' に示されます。また、VSAM がオペレーター・コンソールおよびプログラマーのリストに書き込むメッセージも参照してください。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 「」でエラー・コードを調べて、訂正してから再試行してください。

それでも失敗する場合には、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=ACB の生成 (GENERATE ACB),
 2=ACB のオープン (OPEN ACB),
 3=RPL の生成 (GENERATE RPL),
 4=オープン、SHOWCB (OPEN, SHOWCB).

3. *yy*

4. *zz*

宛先: コンソール

DFHCC0101 LOCAL CATALOG INITIALIZATION ERROR. {GENERATE ACB | OPEN ACB | GENERATE RPL | OPEN, SHOWCB.} **R15 = X'yy' VSAM ERROR CODE = X'zz'**

説明: ローカル・カタログ初期設定時に VSAM エラーが発生しました。

示されている VSAM コードは、資料「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」で説明されています。

このメッセージの可能なバージョンには、次のテキストが含まれます。

•

『GENERATE ACB』。

•

『GENERATE RPL』。

GENCB が X'yy' で示された R15 の条件で失敗しました。

X'zz' コードに意味があるのは、X'zz' が GENCB マクロに応答して VSAM レジスター 0 によって戻されたエラー・コードであるとき、X'yy'が X'04' である場合だけです。

•

『OPEN ACB』。

OPEN が R15 の条件コード X'yy' で失敗しました。その後に正常に SHOWCB が行われ、OPEN エラー・コードが X'zz' に入れられました。また、VSAM がオペレーター・コンソールおよびプログラマーのリストに書き込むメッセージも参照してください。

•

『OPEN, SHOWCB』。

OPEN が R15 の条件コード X'yy' で失敗しました。

その後に SHOWCB が行われて失敗し、SHOWCB からの R0 の戻りコードが X'zz' に示されます。また、VSAM がオペレーター・コンソールおよびプログラマーのリストに書き込むメッセージも参照してください。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が終了します。

ユーザーの処置: 「」でエラー・コードを調べて、訂正してから再試行してください。それでも失敗する場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

宛先: コンソール

DFHCC0102 applid Global Catalog data set is already in use.

説明: 先に出された DFHCC0100 メッセージに報告されている VSAM エラーは、おそらく別の CICS 領域で、グローバル・カタログがすでに使用されていることを示します。グローバル・カタログ・データ・セットは共有できません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この CICS の DFHGCD DD ステートメントが、すでに実行されている CICS ジョブとは別のグローバル・カタログ・データ・セットを指定していることを確認してください。

それでも CICS が失敗する場合は、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCC0103 LOCAL CATALOG DATA SET IS ALREADY IN USE.

説明: 先に出された DFHCC0101 メッセージに報告されている VSAM エラーは、おそらく別の CICS 領域で、ローカル・カタログがすでに使用されていることを示します。ローカル・カタログ・データ・セットは共有できません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: この CICS の DFHLCD DD ステートメントが、すでに実行されている CICS ジョブとは別のローカル・カタログ・データ・セットを指定していることを確認してください。

それでも CICS が失敗する場合は、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

宛先: コンソール

DFHCC0104 AN ABEND HAS OCCURRED DURING INITIALIZATION OF CATALOG DOMAIN IN MODULE DFHCCDM.

説明: ローカル・カタログ (CC) ドメインの事前初期設定時に、DFHCCDM のリカバリー・ルーチンが制御を受け取りました。

システムの処置: ダンプ・コード KERNDUMP のシステム・ダンプがとられ、CICS が終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCDM

宛先: コンソール

DFHCC0105 applid The {local | global} catalog is incorrectly defined.

Expected:keylen=req_keylen,

lrecl=req_lrecl.

Defined:keylen=def_keylen, lrecl=def_lrecl.

説明: カatalog・データ・セット DFHLCD または DFHGCD が、このリリースの CICS に対して誤って定義されています。キーの長さまたは最大レコード・サイズのいずれかが正しくありません。キーの長さは、予期されるキー長 *req_keylen* と等しくなければなりません。最大レコード・サイズは、予期される最大レコード・サイズ *req_lrecl* 以上でなければなりません。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます。ただし、現時点でトレースが使用可能な場合に限り、ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: このリリースの CICS のインフォメーション・センターの関連セクションの説明に従って、カタログを再作成および初期設定してください。

モジュール: DFHCCDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. 以下のオプションから選択される値。

1=*local*,

2=*global*

3. *req_keylen*

4. *req_lrecl*
5. *def_keylen*
6. *def_lrecl*

宛先: コンソール

DFHCC0106 *applid* **Insufficient MVS storage for {CC | GC} domain anchor block. Bytes requested=bytes.**

説明: カタログ・ドメインの初期設定モジュール DFHCCDM が、CC または GC ドメイン・アンカー・ブロックおよび関連ストレージに十分な MVS ストレージを取得できませんでした。CICS ローカル・カタログ・データ・セット・バッファは、CC ドメイン・アンカー・ブロックとともに配置されることに注意してください。グローバル・カタログ・データ・セット・バッファは、GC ドメイン・アンカー・ブロックとともにあります。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: CICS 領域サイズを大きくするか、EDSA のサイズを小さくして、MVS ストレージからアンカー・ブロックを取得できるようにしてください。

モジュール: DFHCCDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=CC,
2=GC

3. *bytes*

宛先: コンソール

DFHCC0107 *applid* **Local catalog data set is not initialized for this release of CICS.**

説明: ローカル・カタログ・データ・セットが現行リリースのバージョンの DFHCCUTL ユーティリティ・プログラムで初期設定されなかったことが、カタログ・ドメイン初期設定モジュール DFHCCDM で検出されました。CICS の正しい初期設定には、有効なローカル・カタログが不可欠です。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: このリリース用のバージョンの DFHCCUTL を使用してローカル・カタログ・データ・セットを初期設定してください。

モジュール: DFHCCDM

宛先: コンソール

DFHCC0200 *applid* {*local* | *global*} カタログ・データ・セットの **VSAM** エラー。(**VSAM error on the {local | global} catalog data set.**) **VSAM return code in R15 = X'yy' RPL-FDBK=X'zz'.**

説明: カタログ VSAM 操作により、メッセージに示された VSAM エラーが出されました。

例外トレース、コード CC 2B60 または GC 2B60 も作成されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が終了します。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 可能な場合には、VSAM エラーを訂正して CICS を再始動してください。戻りコードの意味については、を参照してください。

これは CICS コードにエラーがある可能性を示しているので、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCCC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*local*,
2=*global*

3. *yy*
4. *zz*

宛先: コンソール

DFHCC0201 VSAM ERROR ON THE LOCAL CATALOG DATA SET, VSAM RETURN CODE IN R15 = X'yy' FDBK=X'zz'.

説明: ローカル・カタログ VSAM 操作により、メッセージに示された VSAM エラーが出されました。

例外トレース、コード CC 2B60 または GC 2B60 も作成されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が終了します。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、VSAM エラーを訂正して CICS を再始動してください。戻りコードの意味については、を参照してください。

これは CICS コードにエラーがある可能性を示しているので、システム・プログラマーに連絡してください。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCCC

宛先: コンソール

DFHCC0202 applid The {local | global} catalog has started to use new secondary space allocation.

説明: カタログ・データ・セット DFHLCDD および DFHGCDD が定義されたときに、2 次スペースを指定することができます。このメッセージは、カタログが追加のスペース割り振りを使用し始めるときに出されます。

CICS ストレージの制御について詳しくは、構成を参照してください。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます。ただし、現時点でトレースが使用可能な場合に限りです。

ユーザーの処置: 原因としては 2 つ考えられます。

- システムが、あるループに入っている。このループは、カタログ・データ・セットに書き込むためのカタログの呼び出しを含むものです。システムが突然このメッセージを繰り返し出し始めた場合には、これが最も可能性のある原因と思われます。
-

カタログが定義されたときにそのカタログに対して割り振られた 1 次スペースが不足している。次のいずれかの場合にこのメッセージが出されたときには、これが最も可能性のある原因と思われます。

–

CICS 初期設定時またはその直後に出された場合

–

このメッセージがごくまれにしか出されない場合 (およびほとんど出されない場合)

ループの可能性のある他の症状を探して、適切に対応してください。ループが発生した場合には、次の CICS 初期始動時にシステム・プログラマーはカタログを再定義する必要があります。

CICS がループしていない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、次の CICS 初期始動時にこのデータ・セット用に割り振る 1 次スペースを大きくする必要があります。

モジュール: DFHCCCC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*local*,
2=*global*

宛先: コンソール

DFHCC0203 applid The {local | global} catalog is full.

説明: メッセージに示されたカタログ・データセット (DFHLCDD または DFHGCDD) は満杯です。このエラーには、次の 2 つの理由が考えられます。

- システムが、あるループに入っている。このループは、カタログ・データ・セットに書き込むためのカタログの呼び出しを含むものです。
- カタログが定義されたときにそのカタログに対して割り振られた 1 次スペースが不足している。このメッセージが CICS 初期設定中またはその直後に出された場合、これが主な原因です。

システムの処置: 初期設定中にエラーが起きると、システム・ダンプが生成されて、CICS は終了します。初期設定後にエラーが起きると、カタログ・サービスを呼び出したドメインが適切な処理を決定します。

ユーザーの処置: ループのその他の徴候がないか検査し

て、それに応じて処理してください。

CICS がループしていない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、このデータ・セット用に割り振る 1 次スペースを大きくする必要があります。古いデータ・セットから新規データ・セットにカタログをコピーして (これを行うには、COLD スタートの場合は DFHRMUTL を使用し、それ以外の場合は IDCAMS を使用できます) CICS を再始動するか、空のカタログで CICS の初期開始を実行します。

CICS がループしている場合、これは、エラーが CICS コード内にあることを示します。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCCCC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

DFHCEnnnn メッセージ

DFHCE3500 Unable to interpret keyword data. Sign-on is terminated.

説明: サインオン・トランザクションを呼び出すときに与えられたキーワード・データが無効です。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 正しい形式を使用して、サインオン・トランザクションを呼び出してください。正しい形式は次のとおりです。

```
CESN USERID=
      userid, GROUPID=
      groupid, PS=
      password, NEWPS=
      new_password, LANGUAGE=
      language_code
```

CICS Supplied Transactions を参照してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3501 Invalid keyword. Sign-on is terminated.

説明: 入力したキーワードが無効でした。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 1 ~ 8 文字の範囲内の有効な文字キーワードを使用してください。

1=*local*,
2=*global*

宛先: コンソール

DFHCC0300 DFHCCUTL ERROR REPORT. ERROR (OPENING DFHLCD. | WRITING TO DFHLCD. R15 = X'yy' VSAM RPL FEEDBACK CODE = X'zz'.)

説明: ローカル・カタログ・データ・セット DFHLCD の初期設定が、結果として出されたジョブ出力に示された理由により失敗しました。

システムの処置: ジョブが終了します。

ユーザーの処置: VSAM コードの意味については、を参照してください。メッセージに示されたエラーの原因を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHCCUTL

宛先: SYSPRINT

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3502 Your userid must be 1-8 characters. Sign-on is terminated.

説明: USERID キーワードの値が 1 文字未満か、もしくは 8 文字を超えています。

システムの処置: サインオンが終了します。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID を使用してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3503 Incorrect password length. Sign-on is terminated.

説明: PS キーワードの値が正しくありません。パスワードは 1 文字以上 8 文字以下です。パスワード・フレーズは 9 文字以上 100 文字以下です。最小長または最大長はセキュリティ管理者が変更できます。

システムの処置: サインオンが終了します。

ユーザーの処置: 正しい長さのパスワードを入力してください。それでも失敗する場合は、パスワードの最小長または最大長が変更されたかどうかをセキュリティ管理者に問い合わせてください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3504 Incorrect new password length.
Sign-on is terminated.**

説明: NEWPSキーワードの値が正しくありません。パスワードは 1 文字以上 8 文字以下です。パスワード・フレーズは 9 文字以上 100 文字以下です。最小長または最大長はセキュリティ管理者が変更できます。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 正しい長さのパスワードを入力してください。それでも失敗する場合は、パスワードの最小長または最大長が変更されたかどうかをセキュリティ管理者に問い合わせてください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3506 Your groupid must be 1-8 characters.
Sign-on is terminated.**

説明: GROUPID キーワードの値が 1 文字未満か、もしくは 8 文字を超えています。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 有効なグループ名を使用してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3507 Your language code must be three characters. Sign-on is terminated.

説明: LANGUAGE キーワードの値が 3 文字コードではありません。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 有効な言語コードを使用してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3520 Please type your userid.

説明: システムがユーザー ID を要求しています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: ユーザー ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3521 CICS sign-on. Please type your userid.

説明: システムがユーザー ID を要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: ユーザー ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3522 CICS sign-on. ユーザーIDを入力してください==>

説明: システムがユーザー ID を要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: ユーザー ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3523 Please type your password.

説明: システムがパスワードを要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: パスワードを入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHCE3524 パスワードを入力してください
==>@@@@@@@@**

説明: システムがパスワードを要求しています。
@@@@@@@@ は、パスワードを見えないようにするために CICS が提供している文字ストリングを表しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: パスワードを入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3525 Your password has expired. Please type your new password.

説明: システムが新しいパスワードを要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 新しいパスワードを入力してください。

DFHCE3526 • DFHCE3532

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3526 Your password has expired. 新しいパスワードを入力してください
==>@@@@@@@@

説明: システムが新しいパスワードを要求しています。
@@@@@@@@ は、新しいパスワードを見えないようするために CICS が提供している文字ストリングを表しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 新しいパスワードを入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3527 Use your magnetic (OPID) card or press ENTER to cancel.

説明: 磁気カードが必要です。

システムの処置: システムは、OPID (磁気) カードを待ちます。

ユーザーの処置: バッジを与えるか、またはトランザクションを終了してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3528 Signon failed during SECLABEL checking.

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が重大なエラーを検出したために、サインオン要求が失敗しました。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために必要な情報および処置については、CSCS ログ上のメッセージ DFHSN1108 を参照してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3529 The ESM is currently not accepting signons. Please try later.

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が静止状態にあったために、サインオン要求が失敗しました。静止状態にある場合には、特別なユーザーからの

サインオン要求だけが受け入れられます。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: ESM は、おそらく ESM データベース保守を行うために静止状態にされました。現在保守を実施中かどうか、またどの程度時間がかかるのかを確認してください。保守が完了したときには、静止状態は ESM ではなくなり、これによりユーザーは CICS に対してサインオンすることができます。ESM が静止状態に入っていない場合には、この問題を解決するために必要な情報および処置について、CSCS ログ上のメッセージ DFHSN1108 を参照してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3530 ユーザーIDまたはパスワードが無効です。両方を再入力してください。

説明: ユーザーIDまたはパスワードが無効です。

システムは、ユーザー ID およびパスワードを要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID およびパスワードを入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3531 ユーザー ID が無効です。 Please retype==>

説明: ユーザー ID が無効です。

システムがユーザー ID を要求しています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3532 ユーザーIDまたはパスワードが無効です。両方を再入力してください。

説明: 入力されたユーザー ID またはパスワードが無効でした。

システムの処置: MVS コンソールを使用している場合を除き、システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID およびパスワードを入力してください。MVS コンソールを使用してい

る場合は、有効な資格情報を使用して要求を再試行してください。

モジュール: DFH SNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3533 Your password is invalid. 再入力してください==>@@@@@@@@

説明: 入力したパスワードが無効でした。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なパスワードを入力してください。

モジュール: DFH SNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3534 Your new password is invalid. Please retype.

説明: 入力した新しいパスワードが無効でした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 有効なパスワードを入力してください。

モジュール: DFH SNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3535 Your new password is invalid. 再入力してください==>@@@@@@@@

説明: 入力した新しいパスワードが無効でした。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なパスワードを入力してください。

モジュール: DFH SNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3536 Invalid OPID. 正しいカードを使うか、またはENTERを押してキャンセルしてください。

説明: 入力した OPID が無効です。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なカードを入力するか、または ENTER を押してサインオンを取り消してください。

モジュール: DFH SNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3537 Language is invalid. Please retype.

説明: 入力した言語コードが無効です。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効な言語コードを入力してください。

モジュール: DFH SNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3538 Language is invalid. Please retype==>

説明: 入力した言語コードが無効です。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効な言語コードを入力してください。

モジュール: DFH SNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3539 Please reenter the new password for verification.

説明: ユーザーは、新規パスワードを新しいパスワード・フィールドに入力したので、新規パスワード・データを確認するために同じパスワードを再入力するように促されています。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 新規のパスワードをパスワード・フィールドに再入力してください。

モジュール: DFH SNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3540 大文字と小文字を間違えないでパスワードを入力してください。

説明: このメッセージは、パスワードおよびパスワード・フレーズをサポートする CESL で出されます。外部セキュリティ・マネージャーが大/小文字混合のパスワードをサポートするシステムでの CESN でも出されます。これは、完全に正しい小文字と大文字を使用してパスワードを入力する必要があることを喚起するものです。

システムの処置: パスワードは大文字に変換されません。

ユーザーの処置: 正しい大/小文字でパスワードを入力してください。

モジュール:

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3541 Security interface error (rc). Sign-on is terminated.

説明: 外部セキュリティ・マネージャー内にエラーが検出されました。rc は、外部セキュリティ・マネージャーからの戻りコードです。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: RACF サインオンの場合、rc は RACINIT マクロからの戻りコードです。マクロの戻りコードについての詳細は、該当する RACF 資料を参照してください。戻りコードはマクロ特有のものです。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3542 Sign-on is not allowed at this terminal. サインオンは無視されました。

説明: サインオン・トランザクションは、以下のいずれかの理由のため現行の端末で実行できません。

- 端末が、サインオンで変更できない事前設定のユーザー ID で定義されている。
- 端末は別の CICS 領域では端末のサロゲートであるが、サインオン・トランザクションが、CRTE トランザクションで設定されたセッション内で実行されていない。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: この端末でサインオン・トランザクションを使用しないでください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3543 You have cancelled your sign-on request. Sign-on is terminated.

説明: OPID カードが要求されたときにユーザーが Enter を押したか、または 3270 端末装置で PF3 を押しました。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: サインオン・プロシージャを再試行してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3544 Terminal authorization failed. Sign-on is terminated.

説明: RACF がセキュリティ要求に対して「端末が許可されていません (Terminal not authorized)」および RACF 応答コード X'30' で応答しました。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、CSCS ログ上のメッセージ DFHSN1118 を参照して、この問題を解決するのに必要な関連情報および処置を知る必要があります。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3545 Application authorization failed. Sign-on is terminated.

説明: RACF がセキュリティ要求に対して「アプリケーションが許可されていません (Application not authorized)」および RACF 応答コード X'34' で応答しました。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、CSCS ログ上のメッセージ DFHSN1119 を参照して、この問題を解決するのに必要な関連情報および処置を知る必要があります。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3546 Your signon {userid | group access} has been revoked. Signon is terminated.

説明: CICS へのサインオンに使用するユーザー ID、またはそれを含む RACF グループへのアクセス権限のいずれかが、システムによって取り消されたことを RACF からの応答が示しています。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 取り消されたユーザー ID を再び許可できる RACF 管理者に連絡してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3547 Security is not active. Sign-on cannot be performed.

説明: CICS セキュリティー・システムが活動状態でなかったために、CICS システムへのサインオンの要求が拒否されました。

ユーザーは、CICS セキュリティーが活動状態の場合にのみ、CICS にサインオンすることができます。

CICS セキュリティー・システムは、システム初期設定パラメーター SEC=YES により活動状態になります。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3548 date time applid Critical error has occurred in DFHSNP. Codes: 1,2,3,4,5.

説明: サインオン・プログラム DFHSNP がクリティカル・エラーのために異常終了しました。

エラーの原因とエラーの発生場所が 5 つのコードで示されます。

コード 1 は異常終了コードです。ASNA、ASNB、または ASNC のいずれかになります。

コード 2、3、4、および 5 は、IBM がエラーの原因を識別するのに役立つコードです。これらは、id_location、EIBFRCODE、EIBRESP、および EIBRESP2 です。

システムの処置: DFHSNP は異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。通常、DFHAC2206 が出されますが、タスクに関連する端末がない場合は、DFHAC2236 が代りに出されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHAC2206 または DFHAC2236 を参照してください。DFHAC2236 が出された場合は、おそらく端末がないことが異常終了の原因と考えられます。

メッセージに示された異常終了コードを使用し、エラーの原因を突き止めて、とるべき処置の手順を決めてください。これにより、異常終了がユーザー・エラーによるものか、または CICS コードのエラーによるものかを判断することができます。(CICS コードのエラーは、異常終了コード ASNA によって示されます。)

エラーが CICS コードにあると考えられる場合は、問題を解決するにはさらに IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. date
2. time
3. applid
4. 1
5. 2
6. 3
7. 4
8. 5

宛先: CSMT

DFHCE3549 Sign-on is complete (Language language).

説明: ユーザーが CICS システムに正常にサインオンしました。

システムの処置: CICS がユーザー・トランザクションを受け取る準備が整っています。

ユーザーの処置: CICS トランザクションの必要に応じて端末を使用してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3550 Sign-off option must be LOGOFF or GOODNIGHT. Sign-off is ignored.

説明: LOGOFF|GOODNIGHT 以外のオプションが検出されました。

システムの処置: サインオフ・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: サインオフを呼び出すときには正しいオプションを指定してください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3551 date time applid termid DFHSNP has detected an invalid COMMAREA. It has been ignored. The data is lost.

説明: CESN トランザクションの処理中に、DFHSNP のものではない COMMAREA が DFHSNP に渡されました。これは、アプリケーションが空の transid (X'00000000') を指定して EXEC CICS RETURN TRANSID(...) COMMAREA(...) を出した結果である場合があります。transid のポインターが誤って設定されているか、またはそれがシステム設計の一部となっている

DFHCE3554 • DFHCE3587

ることが原因である可能性があります。

システムの処置: DFHSNP は、CESN トランザクション処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージが、システム設計の一部として正しく出されているかどうかを調べてください。メッセージがシステム設計の一部である場合には、メッセージは無視できるエラーです。この端末での前のトランザクションを調べてください。

モジュール: DFHSNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHCE3554 変更要求でパスワードとパスワード・フレーズを混用することはできません。

説明: 新規パスワードをパスワード・フレーズで、または新しいパスワード・フレーズをパスワードによって認可することはできません。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: パスワードを変更するにはパスワードを、パスワード・フレーズを変更するにはパスワード・フレーズを使用してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3560 Sign-off is not allowed at this terminal. Sign-off is ignored.

説明: サインオフ・トランザクションは、以下のいずれかの理由のため現行の端末で実行できません。

- 端末が、サインオフで変更できない事前設定のユーザー ID で定義されている。
- 端末は別の CICS 領域では端末のサロゲートであるが、サインオフ・トランザクションが、CRTE トランザクションで設定されたセッション内で実行されていない。

システムの処置: サインオフ・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: この端末でサインオフ・トランザクションを使用しないでください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3570 Your groupid is invalid. Please retype.

説明: グループ ID が無効です。

システムはグループ ID を要求します。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なグループ ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3571 Your groupid is invalid. Please retype==>

説明: グループ ID が無効です。

システムはグループ ID を要求します。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なグループ ID を入力してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3587 You cannot signon at this terminal at this time.

説明: この時点でこの端末にサインオンすることはできません。SNSCOPE 初期設定パラメーターのため、一度に複数の端末にサインオンすることはできません。SNSCOPE 検査時に内部障害が起きると、ユーザーがすでに別の端末にサインオンしているかどうかを CICS が確認できないことになります。同時 MVS ENQ 要求の限界に達したため、障害が起きました。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。メッセージ DFHUS0120 がコンソールに書き込まれているはずです。詳細については、このメッセージの説明を参照してください。

ユーザーの処置: この問題を CICS システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3588 You are already signed on at another terminal. サインオンを実行できません。

説明: 他の端末にすでにサインオンしているため、現行の端末でサインオンすることができません。 CICS システムの SNSCOPE 初期設定パラメーターは、一度に複数の端末にサインオンすることを許しません。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 他の端末からサインオフしてから、再びサインオンを行ってください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3589 The external security manager is inactive. サインオンを実行できません。

説明: 外部セキュリティ・マネージャー・プログラムが活動状態でないため、サインオンできません。

システムの処置: サインオン・トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャーが再び活動化してから、再びサインオンを行ってください。

モジュール: DFHSNP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3590 サインオフが完了しました。

説明: ユーザーがシステムにサインオンするために CESN を出した場合には、サインオフが正常に行われたということです。ユーザーのサインオンが行われなかった場合に、CICS セキュリティが活動状態であった場合 (SEC=YES システム初期設定パラメーター) には、メッセージ DFHSN1213 が CSCS ログに書き込まれ、ユーザーがログオフしたがサインオフすることができなかったことが示されます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: この端末を CICS トランザクションに使用してください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3591 Sign-off is complete. LOGOFF option is invalid when using CRTE.

説明: 端末はこの時点でサインオフされました。指定された LOGOFF オプションは、CRTE を使用するとき

には無効なので、無視されました。

システムの処置: CRTE を通してユーザーが接続している CICS システムをサインオフしました。

ユーザーの処置: CRTE を介してサインオフするときには、LOGOFF オプションを使用しないでください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3592 Sign-off is complete. CRTEを使用して
いる場合、**GOODNIGHT**オプションは無効です。

説明: 端末はこの時点でサインオフされました。指定された GOODNIGHT オプションは、CRTE を使用するときには無効なので、無視されました。

システムの処置: CRTE を通してユーザーが接続している CICS システムをサインオフしました。

ユーザーの処置: CRTE を介してサインオフするときは、GOODNIGHT オプションを使用しないでください。

モジュール: DFHSFP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHCE3598 *date time applid* **Critical error has occurred in DFHSFP. Codes: 1,2,3,4,5.**

説明: サインオフ・プログラム DFHSFP がクリティカル・エラーのために異常終了します。

エラーの原因とエラーの発生場所が 5 つのコードで示されます。

コード 1 は異常終了コードです。これは ASFA、ASFB、または ASFC のいずれかです。

コード 2、3、4、および 5 は、IBM がエラーの原因を識別するのに役立つコードです。これらは、id_location (16 進数)、EIBFRCODE、EIBRESP、および EIBRESP2 です。

システムの処置: DFHSFP は異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。通常、DFHAC2206 が出力されますが、タスクに関連する端末がない場合は、DFHAC2236 が代りに出されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHAC2206 または DFHAC2236 を参照してください。DFHAC2236 が出された場合は、おそらく端末がないことが異常終了の原因と考えられます。

メッセージに示された異常終了コードを使用し、エラーの原因を突き止めて、とるべき処置の手順を決めてください。これにより、異常終了がユーザー・エラーによ

るものか、または CICS コードのエラーによるものかを判断することができます。(CICS コードのエラーは、異常終了コード ASFA によって示されます。)

エラーが CICS コードにあると考えられる場合は、問題を解決するにはさらに IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSFP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. 1
5. 2
6. 3
7. 4
8. 5

宛先: CSMT

DFHCFnnnn メッセージ

DFHCF0101I CF データ・テーブル・サーバーの初期設定が進行中です。(CF data table server initialization is in progress.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのプログラムが実行を開始しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0102I プール *poolname* の CF データ・テーブル・サーバーがアクティブになりました。(CF data table server for pool *poolname* is now active.)

説明: 示されているプールのカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが初期設定を完了し、接続を受け入れる準備ができました。

システムの処置: サーバーは接続要求またはオペレーター・コマンドを待機します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0103 POOLNAME パラメーターが指定されていないため、CF データ・テーブル・サーバーの初期設定に失敗しました。(CF data table server initialization failed because the POOLNAME parameter was not specified.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのプログラムは、初期設定を完了するために、関連するカップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールの名前を知っている必要があります

が、SYSIN または PARM フィールド・パラメーターにプール名が指定されていませんでした。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: パラメーター **POOLNAME=** *name* が SYSIN パラメーターまたはサーバーの JCL の PARM フィールドのいずれかに指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHCFMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0104 プログラム DFHCFMN が APF 許可されていないため、CF データ・テーブル・サーバーの初期設定が失敗しました。(CF data table server initialization failed because program DFHCFMN is not APF authorized.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのメインプログラム DFHCFMN が APF 許可で稼働していないため、初期設定を完了できません。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのプログラム DFHCFMN が APF 許可ライブラリーからロードされ、オプション AC(1) を指定してリンク・エディットされていることを確認してください。

モジュール: DFHCFMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0105 プログラム **DFHCFMN** が使用するためのライセンス交付を受けていないため、**CF** データ・テーブル・サーバーの初期設定が失敗しました。(CF data table server initialization failed because program DFHCFMN is not licensed for use.)

説明: ライセンスの妥当性検査が失敗したため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのメインプログラム **DFHCFMN** が初期設定を完了できません。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 必要なライセンス交付データ・セットを **STEPLIB DD** ステートメントに追加することで、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのプログラム **DFHCFMN** が使用するためのライセンス交付を受けた状態になるようにしてください。

モジュール: **DFHCFVL**

宛先: コンソールおよび **SYSPRINT**

DFHCF0111I プール *poolname* 用の **CF** データ・テーブル・サーバーが終了します。(CF data table server for pool *poolname* is terminating.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが終了処理を開始したため、これ以上の要求は処理されません。

システムの処置: 終了処理が続けられる。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: **DFHCFMN**

宛先: コンソールおよび **SYSPRINT**

DFHCF0112I CF data table server has terminated, return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが終了処理を完了しました。正常終了の場合、戻りコードと理由コードはともにゼロです。エラーによって終了した場合、戻りコードは 8 になり、理由コードは、終了の理由を示す前の **DFHCFnnnn** メッセージの番号になります。

システムの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのプログラムが、(AXM 終了ルーチンを介して) ジョブ・ステップ終了のために **MVS** に制御を返します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: **DFHCFMN**

宛先: コンソールおよび **SYSPRINT**

DFHCF0113 CF data table server completion code is *cmpcode*, reason code *rsncode*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが、異常終了 (ABEND) 要求をインターセプトした後に終了しました。完了コードがシステム完了コードである場合は、3 桁の 16 進数字として示され、それ以外の場合は、ユーザー完了コードを表す 4 桁の 10 進数字として示されます。関連する理由コードは、4 バイトの 16 進値として示され、理由コードが提供されなかった場合はゼロになります。

システムの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのプログラムが、(AXM 終了ルーチンを介して) ジョブ・ステップ終了のために **MVS** に制御を返します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: **DFHCFMN**

宛先: コンソールおよび **SYSPRINT**

DFHCF0121I &**SYSCLONE** がシスプレックス内で固有でない可能性があるため、自動リスタートのサポートは使用できません。
(Automatic restart support is not available because &**SYSCLONE** may not be unique within the sysplex.)

説明: サーバーが、**MVS** システムを識別するために 1 文字または 2 文字の &**SYSCLONE** 値を使用して、自動リスタートの登録で使用するデフォルト **ARM** エlement ID を生成しようとした。通常、**MVS** は、始動時に、&**SYSCLONE** がシスプレックス内で固有であるかを検証します。ただし、サーバーが稼働しているレベルの **MVS** では、この確認がオプションとなっていて実行されていないため、サーバーは固有の Element ID を生成できません。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 通常、固有の &**SYSCLONE** 値を強制しない **MVS** のレベルでサーバーを実行してはなりません。ただし、サーバー **ARMELEMENT** パラメーターで明示的に **ARM** Element 名を指定することで、この問題を回避できます。

モジュール: **DFHCFRS**

宛先: コンソールおよび **SYSPRINT**

DFHCF0122 IXCARM REQUEST=*reqtype* が失敗しました。戻りコード *retcode*、理由コード *rsncode*。

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する要求で、予期しない戻りコードが返されました。戻りコードおよび理由コードは、16 進表記で示されています。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXCARM マクロを参照してください。

モジュール: DFHCFRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0123 IXCARM REQUEST=*reqtype* が失敗しました。戻りコード *retcode*、理由コード *rsncode*。

説明: 自動リスタートのサポートは使用できません。MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) が戻りコードおよび理由コードを返し、ARM サービスが使用可能でないことが示されました。ただし、理由は意図的または不可避である可能性があるため、サーバーは、自動リスタート・サポートなしで実行し続けることが許可されます。戻りコードおよび理由コードは、16 進表記で示されています。

システムの処置: サーバーは、自動リスタート・サポートなしで初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXCARM マクロを参照してください。

モジュール: DFHCFRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0201I *type* の *parameters* を処理中 (Processing *type parameters*)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのパラメーター処理ルーチンが、指定されたパラメーター・ストリングを解釈しています。最初のワードはパラメーターのタイプ (SYSIN/PARM/SET/DISPLAY/PRINT) を示しており、残りは、指定されたパラメーターであり、オプションでその後に 1 つ以上のスペースの後に説明コメント・テキストが続きます。パラメーターがアスタリスクまたはスペースで始まる場合、行全体が説明コメントと見なされます。

システムの処置: 指定されたすべてのパラメーターが処理されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFPR

宛先: SYSPRINT

DFHCF0202 Unknown parameter keyword: *keyword*

説明: このパラメーター・キーワードは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの定義済みパラメーター・キーワードのいずれにも一致しませんでした。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター・キーワードを訂正し (または誤ったパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0203 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be a name of up to *maxlength* characters.

説明: このパラメーターの値は、示されている文字数を超えない名前として指定されている必要があります。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0204 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be a decimal number.

説明: このカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・パラメーターの値は 10 進数として指定する必要がありましたが、有効な形式ではありません

んでした。(数値パラメーターには、オプションとして、1024 の該当する累乗を示すために文字 K、M、G、または T を続けることができます)。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0205 Value *value* for parameter *keyword* is greater than the maximum allowed value *maximum*.

説明: このカップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバー・パラメーターの値が、許容される最大値 (メッセージで示されています) を超えています。接尾部「K」、「M」、「G」または「T」を使用して最大許容値より大きい値を指定できる場合でも、10 進値の数値の部分に符号なし 32 ビットの整数の最大値 (4294967295) を超えていると、このメッセージが出されます。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0206 Value *value* for parameter *keyword* is less than the minimum allowed value *minimum*.

説明: このカップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバー・パラメーターの値が、許可される最小値 (メッセージで示されています) 未満でした。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0207 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. *hh:mm:ss* または *hh:mm* 形式の時間、あるいは秒数を指定する必要があります。(It should be a time *hh:mm:ss* or *hh:mm* or a number of seconds.)

説明: このカップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバー・パラメーターの値が、時間間隔の正しい構文に準拠していませんでした。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0208 Parameter *keyword* *keyword* is not supported for *command*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのパラメーター・キーワードが無効なコンテキストで指定されました。例えば、初期設定時にのみ指定できるパラメーターを **SET** する試行や、**DISPLAY** でのみ有効なパラメーターを初期設定時に指定する試行などです。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: 初期設定時にエラーが発生した場合は、誤ったパラメーターを削除して、サーバーを再始動します。サーバー・コマンドでエラーが発生した場合は、そのコマンドおよびパラメーターが正しく入力されているかどうかを確認します。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0209 Parameter text contains invalid character: *text*

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・パラメーター処理ルーチンで、パラメーターの処理試行中に、予期しないテキストが検出されました。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し (または誤ったパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0210 Parameter keyword *keyword* should not have a value for *command*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのパラメーター・キーワードが、例えば **DISPLAY** コマンドなど、予期されていないコンテキストにおいて形式 *keyword=value* で指定されました。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。

ユーザーの処置: 表示するパラメーターの値を指定せずに、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0211I Parameter value: *keyword=value*

説明: このメッセージは、**DISPLAY** または **PRINT** コマンドに対する応答として、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・パラメーター設定の現行値を示すために出されます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0212 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be one of *validlist*.

説明: このカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・パラメーターの値は認識されませんでした。示されている値リストのいずれかとして指定する必要があります。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0213 Value for parameter *keyword* is missing. The correct form is *keyword=value*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドあるいは SYSIN または PARM パラメーター・ストリングで関連パラメーター値を指定せずにパラメーター・キーワードが指定されました。パラメーター・キーワードとその対象の値の間に入れられる文字は、等号のみです。また、スペースを含めてはならない点に注意してください。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: 正しい形式 *keyword=value* のパラメーター指定を再入力してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0214 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. このコンテキストではパターン・マッチングはサポートされません。
(Pattern matching is not supported in this context.)**

説明: パターン・マッチング (ワイルドカード) 文字「*」、「%」、または「?」のいずれかが含まれているパラメーター値が、単一識別子のみがサポートされるコ

ンテキストで指定されました。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を訂正し、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0215 Value *value* for applid.uowid parameter *keyword* is incorrect. The APPLID part should be a name of up to 8 characters.

説明: このカップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバー・パラメーターの値が、作業単位 ID の APPLID 部分の正しい構文に準拠していませんでした。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。

ユーザーの処置: パラメーター値を訂正し、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0216 Value *value* for applid.uowid parameter *keyword* is incorrect. UOWID 部分は、16 桁の 16 進数字または「*」でなければなりません。

説明: このカップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバー・パラメーターの値が、作業単位 ID の正しい構文に準拠していませんでした。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。

ユーザーの処置: パラメーター値を訂正し、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0217 Parameter keyword *keyword* requires a table name. It should be preceded by TABLE=name in the same command line.

説明: このカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・パラメーターは、特定のテーブルに対してのみ設定できますが、同じコマンド行で

TABLE= *name* パラメーターが前にありませんでした。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。

ユーザーの処置: 指定されたキーワードの前にパラメーター **TABLE=** *name* を挿入し、コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0218 テーブル関連パラメーターを指定せずに **TABLE=***table* が指定されました。
(**TABLE=***table* was specified without any table-related parameter.)

説明: 特定のテーブルを選択するために **TABLE=** *name* という形式のパラメーターを含む、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドが発行されましたが、同じコマンド内でその後にテーブル関連のパラメーターがありませんでした。

システムの処置: テーブル名パラメーターは無視されます。

ユーザーの処置: テーブル関連のパラメーターを設定した場合は、テーブル名と同じ **SET** コマンドに含まれているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHCFPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0301I コンソール・オペレーター *consname* が次のコマンドを発行しました: *command*
(Console operator *consname* issued *command*: *command*)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのオペレーター・コマンドが、MVS **MODIFY** または **STOP** コマンドを使用して発行されました。このメッセージには、コマンドを発行するために使用されたコンソール名 (または TSO ユーザー ID) と、コマンドのテキストが示されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOP

宛先: SYSPRINT

DFHCF0302I command command ignored because no valid parameters were given.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンドが発行されました。それには有効なパラメーターがありませんでしたが、それ以外は構文的に有効でした。このコマンドは何も行いませんでした。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドが正しく入力されたことを確認してください。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0303I command command has been processed.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンドが正常に処理されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0304I STOP command is waiting for connections to be closed. Number of active connections = connections.

説明: (MVS **STOP** コマンド、またはテキスト **STOP** を指定した MVS **MODIFY** コマンドを使用して) カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **STOP** コマンドが発行されましたが、サーバーへのアクティブ接続がまだ存在しているため、**STOP** コマンドはまだ実行されていません。

システムの処置: サーバーはこれ以上の新しい接続の確立を拒否しますが、既存の接続に対する要求の処理は続行します。接続が終了するたびに、アクティブな接続が残っている限り、このメッセージは繰り返し表示されます。

ユーザーの処置: まだアクティブな接続に関する詳細情報は、コマンド **DISPLAY?CONNECTIONS** を使用して取得できます。

接続がクローズされるのを待機せずにサーバーをシャットダウンする必要がある場合は、サーバーの **CANCEL** コマンドを発行します。これによりアクティブな接続はすべて即座に終了し、そのサーバーに対する以降の要求に対しては **SYSIDERR** 標識が付与されることに注意してください (MVS **CANCEL** コマンドも使用できますが、サーバーが通常の終了統計およびレポートを作成で

きなくなるため、このコマンドは使用しないことをお勧めします)。

なお、サーバーの接続または切断処理の進行中に CICS 領域が異常終了した場合、または (例えば、**FORCE** コマンドを使用して) タスクの最後の処理を完了せずに終了した場合、接続が終了したことがサーバーに通知されない可能性がわずかにあります。この場合、サーバーの **STOP** コマンドを使用してサーバーを終了できず、終了できるのはサーバーの **CANCEL** コマンドのみです。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0305I STOP command has been processed.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **STOP** コマンドの処理が正常に完了しました。これは、アクティブな接続が存在しなくなり、サーバーを終了できる状態になったことを意味します。

システムの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが終了処理を開始します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0306 CF データ・テーブル・サーバーでは次のコマンドはサポートされません: (CF data table server does not support this command:) command

説明: MVS **MODIFY** コマンドを使用してオペレーター・コマンドがカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーに出されましたが、**MODIFY** パラメーター・テキストの最初のワードが、認識されるサーバー・コマンド (**SET**、**DISPLAY**、**PRINT**、**STOP**、**CANCEL**、またはこれらのいずれかの受け入れられる省略形) ではありません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0307I CANCEL parm command has been processed. Number of active connections = connections.

説明: オペレーター・コンソールから、あるいはカップリング・ファシリティ障害などの重大なエラーに対す

る応答としてサーバーによって内部的に、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **CANCEL** コマンドが出されました。このメッセージには、コマンドで指定された再始動パラメーター、およびこのコマンドによって影響される可能性があるアクティブ接続の数が含まれています。

システムの処置: サーバーは、接続のクローズを待機せずに即時に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0308 CF データ・テーブル・サーバーでは **CICS** コマンドはサポートされません。
(**CF data table server does not support CICS commands.**) これをクローズするには、**STOP** コマンドを使用できます。**(To close it down, you can use the STOP command.)**

説明: MVS **MODIFY** コマンドを使用して、**CICS** コマンド (「CExx」という形式の 4 文字のトランザクション・コード) と思われるオペレーター・コマンドがカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー宛てに出されました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。サーバーを終了する意図の場合は、サーバーの **STOP** または **CANCEL** コマンドを使用してください。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0309 Parameter parm on CANCEL command is incorrect. The only valid parameters are RESTART=YES or RESTART=NO.

説明: 有効なパラメーター・キーワードに一致していないパラメーターを指定してカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **CANCEL** コマンドが出されました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0310 Parameter parm on STOP command is incorrect. No parameters should be specified.

説明: パラメーターを指定してカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **STOP** コマンドが出されましたが、**STOP** コマンドではパラメーターは一切サポートされません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHCFOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0321 Pool state error, reason code reason, processing request request for table table, key key, task task, region region.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの要求処理時における保全性検査で、プール・リスト構造内のデータまたは制御情報が、通常の処理では起こりえない状態であることが検出されました。理由コードは、内部カップリング・ファシリティ・インターフェースによって返された応答コードに基づいています。

•

理由コード:

2

項目が最大データ長を超えています。

3

項目が見つかりません。

4

バージョンが間違っています。

5

リスト権限が正しくありません。

6

リスト内の項目の最大数に達しています。

7

構造内にスペースが残されていません。

上記の状態はすべて、正常な処理でも発生することがあります。このメッセージが出されるのは、起こってはならない場合に状態が発生した場合、または状態発生後に通常の再試行アクションを実行できない場合のみです。例えば、カップリング・ファシリティ・インターフェースからの正しくないバージョンの応答では通常、項目が変更されたため、項目が再び読み込まれたと単に示す

だけです。これがプール状態エラーとして扱われるのは、変更された項目内のデータまたは制御情報がレコードの予期される状態と整合していない場合のみです。

システムの処置: 要求は、プール状態エラー例外で終了します。

ユーザーの処置: これは、プール内の一部のデータが不整合になったか破損したことを示しています。カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー以外のプログラムを使用してプールにアクセスした場合を除いて、これが発生する可能性がある既知の条件はありません。特定のテーブル内のデータ・レコードでこのエラーが発生した場合は、問題を解消するためにテーブルを削除する必要があることがあります。他の制御情報で発生した場合は、プールを再作成する必要があることがあります。

モジュール: DFHCFRQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0331I Table *table* maximum records limit

now set to *maxrec* (was *oldmax*).

Current number of records is *records*.

説明: **MAXRECS** パラメーターを指定したカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET TABLE** コマンドに対する応答として、指定されたテーブルに保管できるレコードの最大数が正常に変更されました。以前の最大数と現在のレコード数が示されています。新規または以前の最大数は、制限が適用されないことを示す特殊値の **NOLIMIT** と示されることもあります。(コミットされていない更新があるリカバリー可能テーブルの場合、この数には、変更されたレコードの元のバージョンも含まれます。これは、それらが必要に応じてバックアウトできるように同期点時まで保持されるためです)。

システムの処置: 最大レコード数の新しい値を使用して処理が続行します。現在のレコード数が既にこの値を超えている場合、十分なレコードを削除して現行数が制限を下回るまで、これ以上レコードを追加する (または、リカバリー可能テーブルの場合、更新する) ことはできません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0332I Table *table* was not found.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET TABLE** コマンドで指定されたテーブルが、プール内で見つかりませんでした。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: テーブル名が正しく入力されたこと、およびコマンドが正しいプール・サーバー宛てに出されたことを確認してください。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0333 テーブル *table* の **SET** コマンドの処理中にプール状態エラーが発生しました。理由コード: *reason*。(Pool state error, reason code *reason*, processing SET command for table *table*.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET TABLE** コマンドで指定されたテーブルの状況を変更できませんでした。リスト構造内の制御情報が、通常の処理では起こりえない状態であったためです。理由コードは、内部カップリング・ファシリティ・インターフェースによって返された応答コードに基づいています。

•

理由コード:

2

項目が最大データ長を超えています。

3

項目が見つかりません。

4

バージョンが間違っています。

5

リスト権限が正しくありません。

6

リスト内の項目の制限数に達しています。

7

構造内にスペースが残されていません。

上記の状態はすべて、正常な処理でも発生することがあります。このメッセージが出されるのは、起こってはならない場合に状態が発生した場合、または状態発生後に通常の再試行アクションを実行できない場合のみです。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: これは、プール内の一部のデータが不整合になったか破損したことを示しています。カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー以外のプログラムを使用してプールにアクセスした場合を除いて、これが発生する可能性がある既知の条件はあり

ません。特定のテーブルを変更しようとしてこのエラーが発生した場合は、問題を解消するためにテーブルを削除する必要が生じることがあります。他の制御情報で発生した場合は、プールを再作成する必要が生じることがあります。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0334 テーブル *table* の状況を変更できませんでした。CF アクセス・エラーです。(Table *table* status could not be modified, CF access error.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET TABLE** コマンドの処理中に、予期しないエラー応答を受け取りました。このメッセージの前にはメッセージ DFHCF0441 があり、カップリング・ファシリティ・アクセス・エラーの詳細が示されます。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: システム・ログで前にある DFHCF0441 メッセージを確認し、そのメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0335I Table *table* is now marked as available.

説明: オプション **AVAILABLE=YES** が指定されたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET TABLE** コマンドに対する応答として、指定されたテーブルの状態が使用不可から使用可能に変更されました。

システムの処置: 処理を続行します。テーブルの新しい OPEN 要求が許可されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0336I Table *table* is now marked as unavailable.

説明: オプション **AVAILABLE=NO** が指定されたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET TABLE** コマンドに対する応答として、指定されたテーブルの状態が使用可能から使用不可に変更されました。

システムの処置: 処理を続行します。テーブルが使用不可であることが示され、テーブルの新しい OPEN 要求が拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0337I Table *table* was already marked as available.

説明: これは、パラメーター **AVAILABLE=YES** が指定されたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET TABLE** コマンドに対する応答であり、テーブルが既に使用可能とマークされている場合に出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0338I Table *table* was already marked as unavailable.

説明: これは、パラメーター **AVAILABLE=NO** が指定されたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET TABLE** コマンドに対する応答であり、テーブルが既に使用不可とマークされている場合に出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0341I テーブル *table* のサーバー要求統計
(Server request statistics for table *table*):

説明: このメッセージは、現行カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのテーブル・アクセス統計を示し、前の統計リセット以降に処理された各タイプの要求の総数をリストします。**TABLESTATS** パラメーターが含まれた **DISPLAY** または **PRINT** コマンドに対する応答として出され、統計オプションに印刷ファイル出力が含まれている場合には間隔統計時に SYSPRINT ファイルで生成されることもあります。なお、すべての統計がゼロの場合、このメッセージは抑止されます。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

Table:	Open	Close	Set Attr	Delete
	n	n	n	n
Stats	n			
Record:	Point	Highest	Read	Read Del
	n	n	n	n
	Unlock	Load	Write	Rewrite
	n	n	n	n
	Delete	Del Mult		
	n	n		

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 統計の詳細は、DFHCFS7D データ域に記述されます。各ファイルの意味は、以下のとおりです。

•

テーブル要求:

Open (オープン)

テーブルに対して成功した OPEN 要求の数

Close (クローズ)

テーブルに対して成功した CLOSE 要求の数

Set Attr (設定属性)

新規テーブル状況が設定された回数

削除

その名前のテーブルが削除された回数

抽出

テーブル・アクセスの統計が抽出された回数

•

レコード要求:

Point (ポイント)

POINT 要求の数

Highest (最高位)

現行の最高位キーに対する要求の数

Read (読み取り)

READ 要求の数 (UPDATE に対する要求も含む)

Read Del (読み取り削除)

READ および DELETE が結合された要求の数。

アンロック

Number of UNLOCK requests (UNLOCK 要求数)

Loads (ロード数)

初期ロード要求により書き込まれたレコードの数

Write (書き込み)

新規レコードに対する WRITE 要求の数。

再書き込み

Number of REWRITE requests (REWRITE 要求数)

削除

DELETE 要求の数。

Del Mult (複数削除)

複数 (汎用) 削除要求の数。

カップリング・ファシリティー・アーキテクチャーは、現在 CICS ファイル制御でサポートされていない一部のオプションおよび要求タイプ (READ と DELETE の組み合わせなど) をサポートしますが、サーバーはそれらを完全性のためにサポートします。該当するオプションおよび要求タイプのサーバー要求数は常にゼロです。

モジュール: DFHCFN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0342I すべてのテーブルのサーバー要求統計
(Server request statistics for all tables):

説明: このメッセージは、現行カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの全体的な要求統計を示し、前の統計リセット以降に処理された各タイプの要求の総数をリストします。**TABLESTATS** パラメーターが含まれた **DISPLAY** または **PRINT** コマンドに対する応答として出され、統計オプションに印刷ファイル出力が含まれている場合には間隔統計時に SYSPRINT ファイルで生成されることもあります。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

Table:	Open	Close	Set Attr	Delete
	n	n	n	n
Stats	Inquire			
	n			
Record:	Point	Highest	Read	Read Del
	n	n	n	n
	Unlock	Load	Write	Rewrite
	n	n	n	n
	Delete	Del Mult		
	n	n		
UOW:	Prepare	Retain	Commit	Backout
	n	n	n	n
	Inquire	Restart		
	n	n		

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 統計の詳細は、DFHCFS8D データ域に記述されます。各ファイルの意味は、以下のとおりです。

•

テーブル要求:

Open (オープン)

テーブルに対して成功した OPEN 要求の数

Close (クローズ)

テーブルに対して成功した CLOSE 要求の数

Set Attr (設定属性)

新規テーブル状況が設定された回数

削除

その名前のテーブルが削除された回数

抽出

テーブル・アクセスの統計が抽出された回数

照会

照会テーブル要求数

レコード要求:

Point (ポイント)

POINT 要求の数

Highest (最高位)

現行の最高位キーに対する要求の数

Read (読み取り)

READ 要求の数 (UPDATE に対する要求も含む)

Read Del (読み取り削除)

READ および DELETE が結合された要求の数。

アンロック

Number of UNLOCK requests (UNLOCK 要求数)

Loads (ロード数)

初期ロード要求により書き込まれたレコードの数

Write (書き込み)

新規レコードに対する WRITE 要求の数。

再書き込み

Number of REWRITE requests (REWRITE 要求数)

削除

DELETE 要求の数。

Del Mult (複数削除)

複数 (汎用) 削除要求の数。

UOW 要求:

Prepare (準備)

作成された作業単位の数

Retain (保存)

ロックが保存された作業単位の数

Commit (コミット)

コミットされた作業単位の数

Backout (バックアウト)

バックアウトされた作業単位の数

照会

作業単位照会要求の数

Restart (再始動)

回復可能な接続が再始動された回数

カップリング・ファシリティー・アーキテクチャーは、現在 CICS ファイル制御でサポートされていない一部のオプションおよび要求タイプ (READ と DELETE の組み合わせなど) をサポートしますが、サーバーはそれらを完全性のためにサポートします。該当するオプションおよび要求タイプのサーバー要求数は常にゼロです。

モジュール: DFHCF0343I

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0343I *table* に一致した最近アクセスされたテーブルの数は *number* です。(The number of recently accessed tables matching *table* is *number*.)

説明: これは、現在の統計間隔においてこのカップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーを介してアクセスされた、指定した名前表現に一致したテーブルの数を示します。これは、DIS-

PLAY TABLESTATS= *name* コマンドに対する応答の最後に表示されます。その前には、マッチング対象のテーブルに関する DFHCF0341I メッセージおよび DFHCF0342I (すべてのテーブルが選択された場合) があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCF0343I

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0351I 接続: ジョブ *jobname* アプリケーション ID (Applid) *applid* アイドル (Idle) *idletime*

説明: これは、サーバー・コマンド

DISPLAY CONNECTIONS または

PRINT CONNECTIONSに対する応答として、CICS 領域からカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーへの単一の接続を示します。この情報は、ジョブ名、汎用アプリケーション ID、接続を使用して発行された最新のテーブル要求または照会呼び出し以降の時間 (時、分、秒) を示します。

システムの処置: この形式のメッセージが現行サーバーへのアクティブ接続ごとに出され、その後、メッセージ DFHCF0352I が出され、アクティブ接続の総数が示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCF0352I

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0352I このサーバーへの合計接続数: (Total connections to this server: connections).

説明: これは、サーバー・コマンド **DISPLAY CONNECTIONS** または **PRINT CONNECTIONS**に対する応答として、CICS 領域からカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーへのアクティブ接続の総数を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCF0352I

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0361I テーブル名: table1 table2 table3 table4 table5

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンド

DISPLAY TABLES または **PRINT TABLES** に対する応答として、最大で 5 つのテーブル名をリストします。

システムの処置: このメッセージは、すべての現行テーブル名をリストするために必要な回数出され、その後、テーブルの総数を示すためにメッセージ DFHCF0362I が出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCF0361I

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0362I プール内のテーブルの総数は tables です。(The total number of tables in the pool is tables.)

説明: これは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンド **DISPLAY** (または **PRINT**) **TABLES** または **TABLEUSERS** に対する応答として、プール内のテーブルの総数を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCF0362I

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0363I テーブル table の詳細 (Details for table table):

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンド

DISPLAY TABLE= name または **PRINT TABLE= name** に対する応答として、テーブル詳細を示します。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

Attributes:	Recsize	Keylength	Max recs	Upd Model
	n	n	n	x
	Init Load			
	x			
Status:	Available	Open mode	Access	Sharing
	x	x	x	x
	Loaded			
	x			
Statistics:	Users	Servers	Opens	Records
	n	n	n	n

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 各ファイルの意味は、以下のとおりです。

•

属性:

レコード・サイズ (Recsize)

テーブルの作成時に指定されたレコード・サイズ。

キーの長さ (Keylength)

テーブルの作成時に指定されたキーの長さ。

最大レコード数 (Max recs)

テーブル内のレコード数に対して設定されている現行限界値 (存在する場合) または「NO」(現行限界値がない場合) を示します。

更新モデル (Upd model)

使用されている更新モデルを示します。競合モデルの場合は「CONT」または「CONT+」、リカバリー不能ロック・モデルの場合は「LOCK」、リカバリー可能ロック

ク・モデルの場合は「RECOV」です。最大レコード・サイズが 63 以下の競合モデル・テーブルの場合、これは通常、「CONT+」と表示されます。これは、別個のデータ・エレメントを使用するのではなく、カップリング・ファシリティのエントリー付加属性領域にレコード・データを保管することで、アクセスがさらに最適化されていることを示しています。

Init Load

初期ロードが必要かどうかを示します (「YES」または「NO」)。

状況:

使用可能

新規オープンが現在許可されているかどうかを示します (「YES」または「NO」)。

オープン・モード (Open mode)

テーブルが読み取り/書き込みアクセス用にオープンされているのか (「R/W」)、読み取り専用アクセス用にオープンされているのか (「R/O」)、オープンされていないのか (「NONE」) を示します。

Access (アクセス)

テーブルが排他的アクセス用に現在オープンされているのか (「EXCL」)、共用されているのか (「SHR」) を示します。

共用 (Sharing)

テーブルで現在許可されている共用アクセス・レベルを示します (「R/W」、「R/O」、または「NONE」)。

Loaded

テーブルがロードされているか、ロードが不要な場合は「YES」、それ以外の場合は「NO」を示します。

統計

ユーザー

このテーブルの現在のユーザー数を示します。これは通常、このテーブルを現在オープンにしている CICS 領域の数です。1 つの CICS 領域が、異なるファイル名を使用し、同じテーブルを同時に複数回オープンにしている可能性もあります。

サーバー (Servers)

リカバリー可能アクセス用に内部的にテーブルを現在オープンにしているサーバー領域の数を示します。リカバリー不能テーブルの場合、これはゼロです。リカバリー可能テーブルの場合は、これは通常、現在テーブルをオープンにしている CICS 領域の数と同じです。ただし、未解決のリカバリー可能な変更が存在する場合、CICS 領域が明示的にテーブルをオープンしていない場合や、明示的にクローズした場合でも、サーバーが内部的にテーブルをオープンにしていることがあります。

オープン (Opens)

このテーブルが作成されてから、このテーブルに対して発行されたオープンの総数を示します。

レコード (Records)

テーブル内の現在のレコード数を示します。

モジュール: DFHCFIQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0364 *table* に一致するテーブルが見つかりませんでした。(No table was found matching *table*.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンド **DISPLAY** (または **PRINT**)

TABLE= name または **TABLEUSERS= name** で指定されているテーブル名が、プール内のいずれの既存テーブルとも一致しませんでした。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: テーブル名が正しく入力されたこと、およびコマンドが正しいプール・サーバー宛てに出されたことを確認してください。

モジュール: DFHCFIQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0365I プール内で *table* に一致しているテーブルの数は *tables* です。(The number of tables in the pool matching *table* is *tables*.)

説明: これは、テーブル名に 1 つ以上のワイルドカード文字が含まれている、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンド **DISPLAY** (または **PRINT**) **TABLES= name** または **TABLEUSERS= name** に対する応答として情報が表示されたプール内の一致するテーブルの数を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFIQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0366I テーブル *table* ユーザー: *region1 region2 region3 region4* (**Table table users:** *region1 region2 region3 region4*)

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンド **DISPLAY** (または **PRINT**) **TABLEUSERS** に対する応答として、示されているカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを現在使用している最大で 4 つの領域の名前 (通常、CICS アプリケーション ID) をリストします。領域がテーブルを使用していると見なされるのは、テーブルに対して 1 つ以上のファイルをオープンにしている場合、またはテーブルに対するリカバリー可能な更新を行った未解決の作業単位が 1 つ以上ある場合です。

システムの処置: このメッセージは、テーブルを現在使用しているすべての領域を (名前でソートして) リストするために必要な回数出されます。領域のいずれかがテーブルのロード・プロセス中であった場合、その領域を示すためにメッセージ DFHCF0367I が出されます。最後に、ユーザーの総数を示すためにメッセージ DFHCF0368I が出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFIQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0367I Table *table* is being loaded by region *region*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンド **DISPLAY** (または **PRINT**) **TABLEUSERS** で指定されたテーブルがロードのために現在オープンになっている場合、ロードしている領域の名前 (通常、CICS アプリケーション ID) を示すためにこのメッセージは出されます。この名前は、テーブルを使用している領域のリストにも表示されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFIQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0368I The number of regions using table *table* is *users*.

説明: これは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのコマンド **DISPLAY** (または **PRINT**) **TABLEUSERS** で指定されたテーブルを現在使用している領域の総数を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFIQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0371I Table *table* has now been deleted.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DELETE TABLE= name** コマンドに対する応答として、指定されたテーブルが正常に削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFQC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0372I Table *table* was not found.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DELETE TABLE= name** コマンドで指定されたテーブルがプールで見つかりませんでした。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: テーブル名が正しく入力されたこと、およびコマンドが正しいプール・サーバー宛てに出されたことを確認してください。

モジュール: DFHCFQC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0373I Table *table* cannot be deleted because it is in use.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DELETE TABLE= name** コマンドで指定されているテーブルは、現在アクセス用にオープンになっているため、削除できません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 正しいテーブル名を入力したことを確認してください。テーブルを使用しなくなっているすべての領域からテーブルがクローズされていることを確認してください。サーバー・コマンド

DISPLAY TABLE= *name* を使用して、現在テーブルをオープンにしているユーザー数、また 1 つ以上のサーバーがリカバリー可能アクセス用にテーブルをオープンにしているかどうかを判別できます。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0374 Table *table* could not be deleted, CF access error.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DELETE TABLE=** *name* コマンドの処理中に、予期しないエラー応答を受け取りました。このメッセージの前にはメッセージ DFHCF0441 があり、カップリング・ファシリティ・アクセス・エラーの詳細が示されます。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: システム・ログで前にある

DFHCF0441 メッセージを確認し、そのメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHCFOC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0381I APPLID *applid* is connected on *system*.

説明: このメッセージは、成功したカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの

DISPLAY APPLID コマンドに対する応答として出されます。これは、指定されたアプリケーション ID 名またはパターンに一致するリカバリー可能な接続ごとに、またはアプリケーション ID 値が指定されていない場合はすべてのリカバリー可能な接続に対して出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0382I APPLID *applid* is not currently connected.

説明: このメッセージは、単一のアプリケーション ID に関するカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY APPLID** コマンドに対する応答として、指定されたアプリケーション ID がアクティブなりカバリー可能接続のいずれにも一致しない場合に出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 正しいアプリケーション ID が入力

されたことを確認してください。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0383I APPLID *applid* total connections: *applids*.

説明: このメッセージはカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY APPLID** コマンドに対する応答の最後に出され、リストされている接続の合計数を要約します。一致する接続が見つからなかった場合は、合計はゼロになります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0384I アプリケーション ID *applid* UOW 状況:
indoubts 未確定、*commits* コミット中、
backouts バックアウト中、*system* でアクティブ (**APPLID *applid* UOW status:**
indoubts in doubt, commits in commit, backouts in backout, active on system)

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY UOWID** コマンドに対する応答として出されます。アプリケーション ID は、示されている MVS システム上のプールへのアクティブなりカバリー可能接続を持っている CICS 領域を示しています。UOWID の詳細が要求された場合、このメッセージは、個別の作業単位の詳細の後に続きます。*indoubts* カウントは、コミットの準備ができているが、コミットおよびバックアウトがまだスケジュールされていない作業単位を表します。*commits* カウントは、コミット処理が進行中の作業単位を表します。*backouts* カウントは、バックアウト処理が進行中の作業単位を表します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0385I アプリケーション ID *applid* UOW 状況:
indoubts 未確定、*commits* コミット中、
backouts バックアウト中、非アクティブ (**APPLID *applid* UOW status:** *indoubts in doubt, commits in commit, backouts in backout, not active*)

説明: このメッセージは、プールへのリカバリー可能接続を以前に確立し、リカバリー可能作業が保留中になっているが、現在プールに接続されていない CICS 領域を識別するアプリケーション ID についてのカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY UOWID** コマンドに対する応答として出されます。UOWID の詳細が要求された場合、このメッセージは、個別の作業単位の詳細の後に続きます。*indoubts* カウントは、コミットの準備ができていますが、コミットおよびバックアウトがまだスケジュールされていない作業単位を表します。これらは通常、接続が再開されたときに再同期処理によって解決されます。*commits* カウントは、コミット処理が開始していて、接続が再開すると完了する作業単位を表します。*backouts* カウントは、バックアウト処理が開始していて、接続が再開すると完了する作業単位を表します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0386I UOWID *applid.uowid* is in doubt.

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY UOWID** コマンドに対する応答として出されます。作業単位はコミットの準備ができていますが、コミットもバックアウトもされていません。アプリケーション ID が現在アクティブでない場合、この状態は通常、次の再始動時に再同期プロセスによって解決されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0387I UOWID *applid.uowid* is being committed.

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY UOWID** コマンドに対する応答として出されます。作業単位がコミット・プロセスを開始しました。アプリケーション ID が現在アクティブでない場合、コミット・プロセスは、次の再始動時に完了します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0388I UOWID *applid.uowid* is being backed out.

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY UOWID** コマンドに対する応答として出されます。作業単位のバックアウトが開始しました。アプリケーション ID が現在アクティブでない場合、バックアウト・プロセスは、次の再始動時に完了します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0389 UOWID *applid.uowid* was not found.

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY UOWID** コマンドに対する応答として出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 正しい UOWID が入力されたことを確認してください。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0390I UOWID *applid.uowid* total matching entries: *uowids*

説明: このメッセージはカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY UOWIDS** コマンドに対する応答の最後に出され、リストされている作業単位の合計数を要約します。一致する作業単位が見つからなかった場合は、合計はゼロになります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0391 APPLID *applid* does not have any unresolved units of work.

説明: このメッセージは、指定されたアプリケーション ID のリカバリー状況を変更しようとした、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドに対する応答として出されます。指定されたアプリケーション ID に一致した未解決の作業単位はプール内にありません。

システムの処置: 要求された関数は無視されます。

ユーザーの処置: 正しいアプリケーション ID が入力されたことを確認してください。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0392 アプリケーション ID *applid* のリカバリー状況は、接続されている間に変更できません。 (**APPLID *applid* recovery status cannot be modified while it is connected.**)

説明: このメッセージは、指定されたアプリケーション ID のリカバリー状況を変更しようとした、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドに対する応答として出されます。このサーバーまたは別のサーバーでアプリケーション ID がプールに既に接続されている場合、これはできません。

システムの処置: 要求された関数は無視されます。

ユーザーの処置: 正しいアプリケーション ID が入力されたかどうかを確認してください。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0393 接続の再始動が理由コード *reason* で失敗したため、アプリケーション ID *applid* のリカバリー状況を変更できません。 (**APPLID *applid* recovery status cannot be modified because connection restart failed with reason code *reason*.**)

説明: このメッセージは、指定されたアプリケーション ID のリカバリー状況を変更しようとした、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドに対する応答として出されます。サーバーがそのアプリケーション ID のためにリカバリー可能接続を確立することができなかったため、試行は失敗しました。失敗した内部 FCCU RESTART 関数からの理由コードが含まれています。

システムの処置: 要求された関数は無視されます。

ユーザーの処置: サーバー・トレース・ファイルおよびジョブ・ログで失敗に関する詳細を確認してください。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0394 UOWID *applid.uowid* is not in doubt.

説明: このメッセージは、特定の作業単位のリカバリー状況を変更しようとした、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドに対する応答として出されます。アプリケーション ID には、1 つ以上の未解決の作業単位があり、正常に再始動されましたが、再始動の完了後に UOWID が当該アプリケーション ID によって所有されているどの未確定の作業単位にも一致しませんでした。なお、作業単位が以前にコミットまたはバックアウトの処理中であった場合、再始動処理によって解決されています。

システムの処置: 要求された関数は無視されます。さらにメッセージが表示され、正常な再始動後に未解決のままになっている作業単位があるかどうかを示されます。

ユーザーの処置: 正しいアプリケーション ID および UOWID が入力されたことを確認してください。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0395I APPLID *applid* now has no unresolved units of work.

説明: このメッセージは、再始動処理を実行する、成功したカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドに対する応答として出されます。アプリケーション ID に関連付けられているすべての作業単位が再始動処理によって解決されました(つまり、コミットまたはバックアウト処理が行われました)。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0396I APPLID *applid* units of work remaining in doubt: *indoubts*.

説明: このメッセージは、再始動処理を実行する、成功したカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドに対する応答として出されます。1 つ以上の作業単位が未確定のままです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0397I APPLID *applid* units of work now committed: *commits*.

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドが正常に行われ、1 つ以上の作業単位がコミットされた場合の応答として発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0398I APPLID *applid* units of work now backed out: *backouts*.

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドが正常に行われ、1 つ以上の作業単位がバックアウトされた場合の応答として発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0399 UOWID *applid.uowid* syncpoint failed, reason code *reason*.

説明: このメッセージは、指定された UOWID をコミットまたはバックアウトしようとしたが失敗した、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **SET** コマンドに対する応答として出されます。失敗した内部 FCCU COMMIT または BACKOUT 関数からの理由コードが含まれています。

システムの処置: 要求された関数は無視されます。

ユーザーの処置: サーバー・トレース・ファイルおよびジョブ・ログで失敗に関する詳細を確認してください。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0401I Connected to CF structure *strname*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが、IXLCONN マクロを使用して、テーブル・プールのカップリング・ファシリティ・リスト構造への接続を正常に確立しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0402I CF structure *strname* was allocated by this connection.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプール・リスト構造が以前に存在していなかったため、接続プロセスの一環として割り振られました。

システムの処置: 必要に応じて、リスト構造の初期設定が実行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0403 Connection to CF structure *strname* failed, IXLCONN return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーをプール・リスト構造に接続する IXLCONN マクロが失敗しました。

システムの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXLCONN マクロの資料を参照してください。理由コードの形式が xxxx0C08 で、構造割り振り失敗を示している場合、このメッセージの後にメッセージ DFHCF0409 が続き、割り振りが施行された各カップリング・ファシリティのファシリティ理由コードが示されます。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0404 CF structure *strname* cannot be used because it has been allocated with attribute *attribute*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーはプール・リスト構造に正常に接続しましたが、サーバーでサポートされていない IXLCONN 構造属性キーワードを使用して構造が割り振られていることを検出しました。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: これはおそらく、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・プログラム以外のプログラムによって、構造が割り振りまたは変更

されたことを示しています。この場合は、サーバーの再始動時に構造が正しく再割り振りされるように、誤った構造を削除 (MVS SETXCF?FORCE コマンドを使用) する必要があります。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0405 CF structure *strname* element size
elemsize is incorrect. It should be a
power of 2 in the range 256 to 4096.**

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **ELEMSIZE** 初期設定パラメーターで指定されているリスト構造エレメント・サイズが 2 の累乗になっていないか、カップリング・ファシリティ・インターフェースでサポートされる範囲外です。

システムの処置: サーバーは (リスト構造に接続しようとせずに) 終了します。

ユーザーの処置: **ELEMSIZE** パラメーターを訂正し、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0406 CF 構造 *strname* の初期設定が、応答
response で失敗しました。(Initialization
failed for CF structure *strname* with
response response.)**

説明: プール・リスト構造を初期設定するためのカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの処理が、異常内部応答コードで失敗しました。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 応答コードが 8 (入出力エラー) の場合は、IXLLIST マクロが異常戻りコードを出したことを示しています。その場合は、その前に DFHCF0441 メッセージが出されており、IXLLIST 戻りコードと理由コードが示されています。この応答コードがそれ以外の値の場合は、リスト構造があってはならない状態であることを示しており、恐らく、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー以外のプログラムによって割り振られたか変更されたことを示しています。この場合は、サーバーの再始動時に構造が再割り振りされるように、構造を削除 (MVS SETXCF?FORCE コマンドを使用) する必要があります。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0407 CF structure *strname* is not available
for shared use.**

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールは、プールのアンロードや再ロード・ジョブなどの他のジョブによる排他使用のために現在ロックされています。(この直列化では、スコープが SYSTEMS で、大分類名が「SYSZDFH」で、小分類名が構造名「DFHCFLS_poolname」に等しい MVS ENQ を使用します)。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: プール保守ジョブが現在実行されているかどうかを確認してください。実行されている場合は、終了するまで待機してから、サーバーの始動を再度試行してください。次の MVS コマンドを使用して、現在プールを使用しているジョブを確認できます。

```
DISPLAY GRS,RES=(SYSZDFH,'DFHCFLS_poolname')
```

このコマンドではプール名は 8 文字ちょうどでなければならない、必要に応じて末尾スペースを埋め込む必要があることに注意してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0408 CF structure *strname* is not available
for exclusive use.**

説明: 現在のカップリング・ファシリティ・データ・テーブルのアンロードまたは再ロード・ジョブでは、プールの排他使用が必要ですが、プールの共用使用または排他使用を既に行っている他のジョブが実行中です。(この直列化では、スコープが SYSTEMS で、大分類名が「SYSZDFH」で、小分類名が構造名「DFHCFLS_poolname」に等しい MVS ENQ を使用します)。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーまたは保守ジョブが現在実行中であるかどうかを調べてください実行されている場合は、終了するまで待機してから、現行ジョブの実行を再度試行してください。次の MVS コマンドを使用して、現在プールを使用しているジョブを確認できます。

```
DISPLAY GRS,RES=(SYSZDFH,'DFHCFLS_poolname')
```

このコマンドではプール名は 8 文字ちょうどでなければならない、必要に応じて末尾スペースを埋め込む必要があることに注意してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0409 CF 構造 *strname* をファシリティー *cfname* に割り振ることができませんでした。理由コード *rsncode*。(CF structure *strname* could not be allocated in facility *cfname*, reason code *rsncode*.)

説明: カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの以前のメッセージ DFHCF0403 で、構造を割り振ることができなかったために IXLCONN 障害が示された場合、構造割り振りが失敗した理由を示すファシリティー理由コードを示すために、割り振りが試行されたカップリング・ファシリティーごとにこのメッセージが出されます。理由コードがサーバーで認識されている場合、理由コードの名前 (MVS マクロ IXLCONA で定義されている名前から「ConaRsn」接頭部を除去したもの) が示されます。それ以外の場合は、理由コードの 10 進値が示されます。

応答に InvalidStructureSize が示されている場合、(サーバー POOLSIZE パラメーターまたは CFRM ポリシーの INITSIZE パラメーターで指定される) 初期リスト構造サイズが、必要な構造制御情報を格納するのに十分な大きさでないことを意味します。制御情報のサイズは、リスト・ヘッダーの数 (サーバーの MAXTABLES パラメーターによって決定される) および CFRM ポリシーで指定されている最大構造サイズによって影響されます。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: さらに詳細情報が必要な場合は、接続応答領域をマップしている MVS マクロ IXLCONA のソースで、理由コードの説明を参照してください。

応答が InvalidStructureSize の場合は、サーバー POOLSIZE パラメーターまたは CFRM ポリシーの INITSIZE パラメーターで指定される初期構造サイズを増やし、構造制御情報に加え、他のデータにも十分なスペースが確保されるようにしてください。また、サーバーの MAXTABLES パラメーターおよび CFRM ポリシーで指定されている最大構造サイズが不必要に大きくなっていないことを確認してください。プール・サイズを見積もる方法について詳しくは、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0410 CF 構造 *strname* を使用できません。カップリング・ファシリティーの保守レベルが低すぎます。(CF structure *strname* cannot be used, coupling facility maintenance level is too low.)

説明: 割り振られたリストに対して実行された初期設定

テスト・ルーチンで正しくない結果が生まれました。これは、カップリング・ファシリティー・データ・テーブルのサポートに必要な一部の保守がカップリング・ファシリティー制御コードに含まれていないことを示しています。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 必要なレベルのカップリング・ファシリティー保守が適用されていることを確認してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0411I 現在、CF 構造 *strname* の *percentage%* のエントリーが使用中です。(CF structure *strname* now has *percentage%* of entries in use.)

説明: このメッセージは、リスト構造内で使用中のリスト・エントリーのパーセントが増加して設定されている特定のしきい値レベルを超えた場合、または前に高水準になった後にパーセントが低下してしきい値レベルを下回った場合に、カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーによって出されます。このメッセージは、構造変更要求が完了した後も、構造のサイズまたはエントリー対エレメント率の変更によってパーセントがどのように影響されたのかを示すために出されます。パーセントの計算は、正常に行われたカップリング・ファシリティー・アクセス要求から返された情報を使用して行われるため、メッセージが構造変更の完了によってトリガーされ、現行サーバーが正常に行われた要求を最近処理していない場合、情報は正確でないことがあります。

システムの処置: 警告しきい値は、使用量が増加しているのか減少しているのかに応じて、次のレベルに引き上げられる (通常、95 % 未満の場合は 5 %、それ以外の場合は 1 % 引き上げられる) か、以前の低いレベルに引き下げられます。構造の使用率が増加していて、構造のエレメント対エントリー率が使用可能なスペースをフル活用していない場合、サーバーは、比率を調整するために自動 IXLALTER 要求を発行することがあります。

ユーザーの処置: 構造がすぐにフルになって、テーブルを作成できなくなる可能性があるので注意してください。構造の現在の割り振りが最大サイズを下回っていて、カップリング・ファシリティーに十分なフリー・スペースがある場合、START,ALTER オプションを指定して MVS SETXCF コマンドを使用することで、構造のサイズを動的に大きくすることができます。そうすると、アクティブ・サーバーは、増やされたスペースを即時に使用できるようになります。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0412I 現在、CF 構造 *strname* の *percentage%* のエレメントが使用中です。(CF **structure *strname* now has *percentage%* of elements in use.**)

説明: このメッセージは、リスト構造内で使用中のリスト・データ・エレメントのパーセントが増加して設定されている特定のしきい値レベルを超えた場合、または前に高水準になった後にパーセントが低下してしきい値レベルを下回った場合に、カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーによって出されます。このメッセージは、構造変更要求が完了した後も、構造のサイズまたはエントリー対エレメント率の変更によってパーセントがどのように影響されたのかを示すために出されます。パーセントの計算は、正常に行われたカップリング・ファシリティー・アクセス要求から返された情報を使用して行われるため、メッセージが構造変更の完了によってトリガーされ、現行サーバーが正常に行われた要求を最近処理していない場合、情報は正確でないことがあります。

システムの処置: 警告しきい値は、使用量が増加しているのか減少しているのかに応じて、次のレベルに引き上げられる (通常、95 % 未満の場合は 5 %、それ以外の場合は 1 % 引き上げられる) か、以前の低いレベルに引き下げられます。構造の使用率が増加していて、構造のエレメント対エントリー率が増加可能なスペースをフル活用していない場合、サーバーは、比率を調整するために自動 IXLALTER 要求を発行することがあります。

ユーザーの処置: 構造がすぐにフルになって、テーブルを作成できなくなる可能性があるので注意してください。構造の現在の割り振りが最大サイズを下回っていて、カップリング・ファシリティーに十分なフリー・スペースがある場合、**START,ALTER** オプションを指定して **MVS SETXCF** コマンドを使用することで、構造のサイズを動的に変更することができます。そうすると、アクティブ・サーバーは、増やされたスペースを即時に使用できるようになります。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0413I Issuing alter request to adjust CF **structure *strname* entry/element ratio to *entries/elements*.**

説明: フリー・エントリー対フリー・エレメントの比率と、実際に使用されているエントリー対エレメントの比率が大幅に違うとカップリング・ファシリティー・デー

タ・テーブル・サーバーが判断しました。IXLALTER マクロを発行して、カップリング・ファシリティー・ストレージの使用効率を改善するために、比率を調整するようにカップリング・ファシリティーに要求します。

システムの処置: サーバーは、IXLALTER マクロを発行して続行します。構造変更要求が MVS によって受け入れられるか、拒否されると、さらにメッセージが出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0414I CF 構造 *strname* の変更要求が正常に開始されました。(Alter request **successfully started for CF structure *strname*.**)

説明: カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーが、リスト構造のエントリー対エレメント率を変更するための構造変更要求を正常に開始しました。

システムの処置: 構造変更要求の完了時にサーバー・イベント出口が MVS から通知を受け、その後さらにメッセージが出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0415I CF 構造 *strname* の変更要求が拒否されました。この構造に対する別の変更要求が既にアクティブです。(Alter request **rejected for CF structure *strname*, another alter request for this structure is already active.**)

説明: カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーが、リスト構造のエントリー対エレメント率を変更するために IXLALTER を使用して構造変更要求を開始しようとしたましたが、別の構造変更要求が既にアクティブであったため、システムによって拒否されました。

システムの処置: 構造変更要求の完了時にサーバー・イベント出口が MVS から通知を受け、その後さらにメッセージが出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0416 Alter request failed for CF structure
strname, IXLALTER return code *retcode*,
 reason code *rsncode*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが、リスト構造のエントリー対エレメント率を変更するための構造変更要求を開始しようとしたが、予期しない戻りコードでシステムによって拒否されました。

システムの処置: 現行構造変更試行は中止されます。最小変更間隔が経過した後に、別の試行を行うことができます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXLALTER マクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0417I Alter request completed normally for CF structure *strname*.

説明: 構造変更要求が正常に完了したと、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーがシステムから通知を受けました。

システムの処置: 構造のサイズ、エレメント数、およびエントリー数の新しい値が保管されます。このメッセージの後にメッセージ DFHCF0411 および DFHCF0412 が続き、新しい使用率 (%) が示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0418I CF 構造 *strname* の変更要求が、状況 *status* で異常終了しました。(Alter request ended abnormally for CF structure *strname* with status *status*.)

説明: 構造変更要求が異常終了したと、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーがシステムから通知を受けました。このメッセージに含まれている 2 バイトの状況情報は、(MVS マクロ IXLLEEPL で定義された) イベント出口パラメーター・リスト内の EEPLALTERENDSTATEFLAGS から取得されます。

システムの処置: この通知の結果としてアクションは実行されませんが、変更要求が失敗する原因となった問題の結果、他の関連する問題が発生することがあります。

ユーザーの処置: 詳細情報が必要な場合は、システム・ログで、構造変更要求の失敗の理由を示している MVS

メッセージを探してください。状況フラグに関する詳細については、MVS マクロ IXLLEEPL のソースを参照してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0419I Alter request ended normally for CF structure *strname* but target was not attained.

説明: 構造変更要求が正常に終了したが、ターゲット率またはターゲット・サイズが達成されなかったと、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーがシステムから通知を受けました。

システムの処置: 構造のサイズ、エレメント数、およびエントリー数の新しい値が保管されます。このメッセージの後にメッセージ DFHCF0411 および DFHCF0412 が続き、新しい使用率 (%) が示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0424 Connectivity has been lost to CF structure *strname*. The CF data table server cannot continue.

説明: プール・リスト構造が含まれているカップリング・ファシリティへの接続が失われたと、システムからカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーに通知されました。接続の喪失の原因がカップリング・ファシリティの IPL だった場合は、すべてのテーブルおよびデータ・レコードが失われます。

システムの処置: サーバーは、内部 CANCEL コマンドを発行して即時に終了します。

ユーザーの処置: 現行システムからのカップリング・ファシリティへの接続が再度確立されたら、サーバーを再始動します。接続が他のシステムからまだ使用可能な場合、影響を受けるプールへのアクセスを必要とする CICS トランザクションは、可能であればそのようなシステムに送信する必要があります。

接続の喪失の原因がカップリング・ファシリティの IPL だった場合は、再始動により、リスト構造の新しいコピーが割り振られます。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0425 CF structure *strname* has failed. The CF data table server cannot continue.

説明: カップリング・ファシリティ構造障害のためにプール・リスト構造が失われたと、システムからカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーに通知されました。プール内のすべてのテーブルおよびデータ・レコードが失われました。

システムの処置: 影響を受けるプールの各サーバーは、内部の **CANCEL** コマンドを発行して、即時に終了します。

ユーザーの処置: 別のカップリング・ファシリティが使用可能で、障害のある構造の CFRM 優先リストに含まれている場合は、サーバーを再始動して、リスト構造の新しいコピーが代替カップリング・ファシリティに割り振られるようにしてください。使用可能な別のカップリング・ファシリティがない場合は、元のカップリング・ファシリティが再び使用可能になるまで待機してから、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0431I CF 構造 *strname* のアクセス統計: (Access statistics for CF structure *strname*)

説明: このメッセージには、カップリング・ファシリティのアクセス統計情報の要約が示されます。

CFSTATS パラメーターが含まれたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY** または **PRINT** コマンドに対する応答として出され、統計オプションに印刷ファイル出力が含まれている場合には間隔統計時に SYSPRINT ファイルで生成されることもあります。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

Requests:	Reads	Writes	Rewrites	Deletes
Table data records	n	n	n	n
Data list controls	n	n	n	n
Table index list	n	n	n	n
UOW index list	n	n	n	n
APPLID index list	n	n	n	n
Lock release msgs	n	n		
Responses: Asynch	Unavail	Normal	Len	err
	Not	fnd		
Vers	chk	List	chk	List
	full	Str	full	I/O
	err			

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この統計の詳細な記述は、DFHCF0431I データ域にあります。各ファイルの意味は、以下のとおりです。

テーブル・データ・レコード要求数:

Reads (読み取り数)

データ・エン트리読み取りの数。

Writes (書き込み数)

データ・エン트리書き込みの数。

Rewrites (再書き込み数)

データ・エン트리再書き込みの数。

Deletes (削除数)

データ・エン트리削除の数。

Reads (読み取り数)

リスト使用を確認するための読み取り数 (オープンまたは照会)。

Writes (書き込み数)

新規データ・リストが割り振られた回数。

Rewrites (再書き込み数)

データ・リスト制御が変更された回数。

Deletes (削除数)

再使用のためにデータ・リストが削除された回数。

テーブル・インデックス・リスト要求数:

Reads (読み取り数)

テーブル・インデックス読み取りの数。

Writes (書き込み数)

新規テーブル作成のためのテーブル・インデックス書き込みの数。

Rewrites (再書き込み数)

テーブル状況の更新のためのテーブル・インデックス書き込みの数。

削除

テーブル・インデックス削除の数。

作業単位インデックス・リスト要求数:

Reads (読み取り数)

UOW リスト読み取りの数。

Writes (書き込み数)

UOW リスト書き込みの数 (通常は PREPARE での数)

Rewrites (再書き込み数)

UOW リスト再書き込みの数 (通常は COMMIT での数)。

Deletes (削除数)

UOW リスト削除の数 (通常は COMMIT 後の数)。

•

ロック・リリース通知メッセージ要求数:

Reads (読み取り数)

このサーバーにより読み取られたロック・リリース・メッセージの数。

Writes (書き込み数)

このサーバーにより送信されたロック・リリース・メッセージの数。

•

応答数:

Asynch (非同期)

完了が非同期であった要求の数。

正常

通常応答の数。

使用不可

構造が一時的に使用不可だった (例えば、システム管理下の再ビルドが進行中であったため) ことが原因で、要求が据え置かれた回数。

長さのエラー (Len error)

エントリー・データ量が入力バッファー長より大きかった。通常、より大容量のバッファーによる再試行が行われる。

Not fnd (無検出)

指定されたエントリー (テーブルまたは項目) が検出されなかった。

Vers chk (バージョン確認)

更新中のエントリーのバージョン確認が失敗した。別のタスクが先に更新していることを表している。

List chk (リスト確認)

リスト権限の比較が失敗した、通常はテーブルが削除の処理中であることを意味する。

List full (リスト・フル)

テーブルが項目の最大数に達し、関連するリストがフルであるとマークされた。

Str full (構造フル)

リスト構造がフルになった。

I/O err (I/O エラー)

IXLLIST により他のエラー・コードが戻された。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0432I CF 構造 *strname* のテーブル・プール統計: (Table pool statistics for CF structure *strname*:)

説明: このメッセージは、テーブル・プール・リスト構造の使用統計の要約を示します。**POOLSTATS** パラメーターが含まれたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの **DISPLAY** または **PRINT** コマンドに対する応答として出され、統計オプションに印刷ファイル出力が含まれている場合には間隔統計時に **SYSPRINT** ファイルで生成されることもあります。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

Structure:	Size	Max size	Elem size
	nK	nK	n
Tables:	Current	Highest	
	n	n	
Lists:	Total	In use	Max used
	n	n	n
	100%	n%	n%
	データ		
	n		
	n%		
Entries:	Total	In use	Max used
	n	n	n
	100%	n%	n%
	Min free	Reserve	
	n	n	
	n%	n%	
Elements:	Total	In use	Max used
	n	n	n
	100%	n%	n%
	Min free	Reserve	
	n	n	
	n%	n%	

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この統計の詳細な記述は、**DFHCF56D** データ域にあります。プール使用統計は、最新のカップリング・ファシリティ要求によって返された情報から計算され、常に非常に正確であるわけではありません。関連情報が現行サーバーから最近アクセスされていない場合には、特にそうです。テーブルの数およびリストの数は、サーバーがテーブルをオープンまたはクローズするごとに更新されますが、それ以外のときには確実に更新されるわけではありません。エレメントとエントリーのカウントは、ほとんどのタイプのカップリング・ファシリティ・アクセス要求が正常に完了した場合に更新されます。

各ファイルの意味は、以下のとおりです。

•

構造:

Size (サイズ)

リスト構造の現在の割り振りサイズ。

Max size (最大サイズ)

この構造を変更することができる最大サイズ。

Elem size (エレメント・サイズ)

構造に対して使用されるデータ・エレメントのサイズ。

テーブル:

現行 (Current)

現在存在しているテーブルの数。

Highest (最高位)

任意の時点におけるテーブルの最大数 (最終リセット以降)。

リスト:

Total (合計)

構造内のリスト・ヘッダーの最大数。

In Use (使用中)

現在使用中の数。

Max Used (最大使用数)

使用中の最大数 (最終リセット以降)。

Control (制御)

制御情報用に使用中のリストの数。

データ

テーブル・データ用に使用中のリストの数。

エントリー:

Total (合計)

現在割り振られている構造内のエントリーの合計 (構造の接続時に初期設定され、構造の変更要求の完了時に更新される)。

In Use (使用中)

現在使用中のエントリーの数。

Max Used (最大使用数)

使用中の最大数 (最終リセット以降)。

Free (フリー)

現在フリーなエントリーの数 (合計数から使用中のエントリーを減算)。

Min Free (最小フリー)

フリー・エントリーの最小数 (最終リセット以降)。

予約 (Reserve)

再書き込みおよびサーバー使用のために予約済みのエントリーの数。

エレメント (Elements):

Total (合計)

現在割り振られている構造内のデータ・エレメントの合計 (構造の接続時に初期設定され、構造の変更要求の完了時に更新される)。

In Use (使用中)

現在使用中のエレメントの数。

Max Used (最大使用数)

使用中の最大数 (最終リセット以降)。

Free (フリー)

現在フリーなエレメントの数 (合計数から使用中のエレメントを減算)。

Min Free (最小フリー)

フリー・エレメントの最小数 (最終リセット以降)。

予約 (Reserve)

再書き込みおよびサーバー使用のために予約済みのエレメントの数。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0441 CF structure *strname* request failed,
IXLLIST return code *retcode*, reason
code *rsncode*.**

説明: IXLLIST マクロを使用してカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーによって発行されたカップリング・ファシリティ・アクセス要求が、異常戻りコードを出しました。

システムの処置: 失敗した要求には入出力エラー標識が付与され、CICS API 要求から発信された場合は IOERR 状態が示されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXLLIST マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0442 CF structure *strname* request failed, structure is full.

説明: IXLLIST マクロを使用してカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーによって発行されたカップリング・ファシリティ・アクセス要求が失敗しました。構造に新規データを保管するためのフリー項目またはエレメントが不足しています。

システムの処置: 失敗した要求には、NOSPACE 標識が付与されます (その要求が CICS API 要求からのものである場合)。再ロード処理では、自動構造変更が進行中の場合、変更要求の結果が分かるまで要求は中断されてから、再試行されることがあります。使用中のエレメントおよびエントリーの数に警告しきい値を十分に下回るまでは、以降の要求が失敗しても、このメッセージが再び発行されることはありません。

ユーザーの処置: 使用されなくなったテーブルは、スペースを再利用できるように、削除する必要があります。構造の現在の割り振りが最大サイズを下回っていて、カップリング・ファシリティに十分なフリー・スペースがある場合、**START,ALTER** オプションを指定して **MVS SETXCF** コマンドを使用することで、構造のサイズを動的に大きくすることができます。そうすると、アクティブ・サーバーは、増やされたスペースを即時に使用できるようになります。ただし、このアクションが可能な場合は、通常、構造がいっぱいになる前に、以前の警告メッセージに対する応答としてこのアクションを実行したはずです。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0443 CF structure *strname* request failed, all lists are in use.

説明: IXLLIST マクロを使用してカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーによって発行されたカップリング・ファシリティ・アクセス要求が失敗しました。構造で定義されているすべてのリスト・ヘッダーが現在使用中であるためです。リスト・ヘッダーの数は、構造の割り振り時に **MAXTABLES** サーバー初期設定パラメーターによって決定されます。

システムの処置: 失敗した要求には、NOSPACE 標識が付与されます (その要求が CICS API 要求からのものである場合)。リスト・エントリーの不足状態が続いている間は、以降の要求が失敗しても、このメッセージが再び発行されることはありません。

ユーザーの処置: 使用されなくなったテーブルは、データ・リストを解放するために削除する必要があります。リストの数は構造の割り振り時に固定されるため、リストの数を増やすには、構造をアンロードし、MVS

SETXCF FORCE,STR コマンドを使用して構造を削除してから、**MAXTABLES** パラメーターを大きくして構造を再ロードする方法しかありません。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0444I 構造変更の完了を待機するため、CF 要求が中断されました。(CF request has been suspended to await structure alter completion.)

説明: (再ロード処理時に) カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのアドレス・スペースから発行されたカップリング・ファシリティ・アクセス要求がリスト構造でスペース不足になりましたが、追加スペースを解放する自動構造変更試行がこの時点で既にアクティブになっているか開始中です。そのため、構造変更試行の結果を待機するため、要求は中断されます。

システムの処置: 構造変更要求が (正常または異常に) 完了するまで要求は中断され、その後、メッセージ **DFHCF0445I** が出力され、要求が再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0445I 構造変更が完了したため、CF 要求が再試行されます。(CF request is being retried after structure alter completion.)

説明: 中断されて構造変更要求の完了を待機していたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・アクセス要求が再開されました。これは、変更要求が完了したか、失敗したためです。

システムの処置: 中断されていた要求が再開されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0446 CF structure *strname* free space is below reserve level. New records will be rejected.

説明: プール構造内のフリー・リスト項目またはデータ・エレメントの数が、サーバー・パラメーター **ENTRYRESERVEMIN**、**ENTRYRESERVEPC**、**ELEMENTRESERVEMIN**、および **ELEMENTRESERVEPC** で指定されている予備水準を

下回ったことをカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが検出しました。

システムの処置: フリー・スペースの量が予備水準を下回っている間、プール内に新規レコードまたはテーブルを作成する要求は拒否されます。失敗した要求には、NOSPACE 標識が付与されます (その要求が CICS API 要求からのものである場合)。後でフリー・スペースが増えて予備水準を超えた場合、要求が再度許可されるようになります。また、(サーバーの **ENTRYWARNINC** および **ELEMENTWARNINC** パラメーターに基づいて) フリー・スペースの量が十分なマージンをもって予備水準を超えると、メッセージ DFHCF0447 が出されます。

ユーザーの処置: サーバー・コマンドの **DISPLAY POOLSTATS** を使用して、現在のプール使用に関する詳細を取得してください。使用されなくなったテーブルは、スペースを再利用できるように、削除する必要があります。構造の現在の割り振りが最大サイズを下回っていて、カップリング・ファシリティに十分なフリー・スペースがある場合、**START,ALTER** オプションを指定して **MVS SETXCF** コマンドを使用することで、構造のサイズを動的に大きくすることができます。そうすると、アクティブ・サーバーは、増やされたスペースを即時に使用できるようになります。ただし、このアクションが可能な場合は、通常、以前の警告メッセージに対する応答としてこのアクションを実行したはずです。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0447 CF structure *strname* free space is no longer below reserve level.

説明: 最近フリー・スペースが不足したことによってメッセージ DFHCF0446 が出されたが、(サーバーの **ENTRYWARNINC** および **ELEMENTWARNINC** パラメーターに基づいて) フリー・スペースが増えて十分なマージンをもって予備水準を超えた後に、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーからこのメッセージが出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・コマンドの **DISPLAY POOLSTATS** を使用して、現在のプール使用に関する詳細を取得してください。なお、このメッセージが生成された場合でも、構造は引き続き厳しいスペース不足である可能性があり、さらなる処置が必要なことがあります (メッセージ DFHCF0446 の説明を参照)。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0451 Purge for CF structure *strname* failed, IXLPURGE return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのアクセス要求が異常終了し、サーバーが IXLPURGE マクロを発行して、入出力バッファを解放する前にアクティブ IXLIST 要求が除去されるようにしましたが、IXLPURGE マクロがゼロ以外の戻りコードを返しました。

システムの処置: このエラーは、要求が既に異常終了されている場合にのみ発生するため、無視されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXLPURGE マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0461I Disconnected from CF structure *strname*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが、終了時に、(IXLDISC マクロを使用して) プール・リスト構造から正常に切断しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0462 Disconnect from CF structure *strname* failed, IXLDISC return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーをプール・リスト構造から切断する IXLDISC マクロが失敗しました。

システムの処置: 切断はサーバーがすでに終了している場合にのみ行われるため、このエラーは無視されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXLDISC マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0471 CF 構造 *strname* では既に最大である *maxconn* 個のサーバーがアクティブになっています。(CF structure *strname* already has the maximum of *maxconn* servers active.)

説明: 追加のカップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーをプール・リスト構造に接続しようとしたが、その構造にはサーバーの現行バージョンでサポートされる最大数のアクティブ接続が既に確立されています。カップリング・ファシリティーは接続を受け入れましたが、サーバーがプールへのこの数の同時接続をサポートしないため、接続を使用できませんでした。

サーバーはプールごとに固定された最大接続数をサポートするように設計されていますが、これは、現行カップリング・ファシリティー実装でサポートされるリスト構造への最大接続数、およびシスプレックス内の最大システム数と同じです。つまり、このメッセージが発生した場合、さらに多くの接続をサポートするレベルのカップリング・ファシリティーが使用中で、該当する接続の 1 つ以上がカップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバー以外のプログラムによって使用中であると思われます (サーバーは、シスプレックス内のシステムごとに接続を 1 つだけサポートするため)。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: データ・テーブル・サーバー以外のプログラムがリスト構造に接続しないようにしてください。

モジュール: DFHCFCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0481I Waiting for structure *strname* to become available.

説明: 前の DFHCF0403 メッセージで説明されているように、環境エラー (構造が使用不可である等) のため、カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーがカップリング・ファシリティー構造に接続できませんでした。サーバーは現在この問題が修正されるのを待機しており、特定の構造が使用可能になった可能性がある、または一般的なカップリング・ファシリティー・リソースの状況の変更が発生したと ENF ファシリティーから通知を受けると、接続要求を再試行します。

システムの処置: サーバーは、関連イベントが通知されるのを待機します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただしオプションで、待機中のサーバーが不要になった場合は、MVS

CANCEL コマンドを使用してサーバーを終了できます。

モジュール: DFHCFEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0482I Retrying connection to structure *strname*.

説明: リスト構造が使用可能になった可能性がある、または一般的なカップリング・ファシリティー・リソースの状況の変更が発生したため、構造への接続をもう一度試行しようとしていると、カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーが ENF によって通知を受けました。

システムの処置: 元の IXLCONN 要求が再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0491 ENFREQ ACTION=action failed, return code retcode.

説明: カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーによって出された ENF 要求が、予期しない戻りコードを出しました。

システムの処置: これが ENFREQ ACTION=LISTEN 要求で発生し、その後サーバーがリスト構造に接続できない場合、サーバーは、構造が使用可能になるのを待機するのではなく、終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)」(GC28-1765) で ENFREQ マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHCFEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0501 外部セキュリティ・マネージャーが見つかりませんでした。テーブル・セキュリティをサポートできません。(External security manager was not found, table security cannot be supported.)

説明: カップリング・ファシリティー・データ・テーブルの OPEN、SET、および DELETE 要求に対するテーブル固有のセキュリティ検査がサーバー・パラメーターで要求されたか、デフォルトで想定されましたが、サーバー・セキュリティ・インターフェースで必要な外

部セキュリティ・マネージャーのデータ領域 (特に RCVT) が見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: このようなセキュリティ検査が必要な場合は、サーバー・パラメーターで **SECURITY=NO** を指定してください。そうした場合、サーバーへの接続が許可された各 CICS 領域は、プール内の任意のテーブルをオープンまたは削除できます。テーブル・セキュリティ検査が必要な場合は、外部セキュリティ・マネージャーがインストールされていてアクティブになっている状態にしてから、サーバーを始動してください。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0502 外部セキュリティ・マネージャーが非アクティブです。テーブル・セキュリティをサポートできません。(**External security manager is inactive, table security cannot be supported.**)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの OPEN、SET、および DELETE 要求に対するテーブル固有のセキュリティ検査がサーバー・パラメーターで要求されたか、デフォルトで想定されましたが、外部セキュリティ・マネージャーがアクティブではありません。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: このようなセキュリティ検査が必要な場合は、サーバー・パラメーターで **SECURITY=NO** を指定してください。そうした場合、サーバーへの接続が許可された各 CICS 領域は、プール内の任意のテーブルをオープンまたは削除できます。テーブル・セキュリティ検査が必要な場合は、外部セキュリティ・マネージャーがインストールされていてアクティブになっている状態にしてから、サーバーを始動してください。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0503 外部セキュリティ・マネージャーでグローバル・ストレージ内プロファイルがサポートされません。テーブル・セキュリティをサポートできません。(**External security manager does not support global in-storage profiles, table security cannot be supported.**)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの OPEN、SET、および DELETE 要求に対するテーブル固有のセキュリティ検査がサーバー・パラメータ

ーで要求されたか、デフォルトで想定されましたが、外部セキュリティ・マネージャーでセキュリティ・プロファイル (グローバル RACLIST と呼ばれる) をロードするための GLOBAL オプションがサポートされません。これは、仮想記憶間モードのセキュリティ検査をサポートするために必要です。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: このようなセキュリティ検査が必要な場合は、サーバー・パラメーターで **SECURITY=NO** を指定してください。そうした場合、サーバーへの接続が許可された各 CICS 領域は、プール内の任意のテーブルをオープンまたは削除できます。テーブル・セキュリティ検査が必要な場合は、グローバル・ストレージ内プロファイルをサポートするレベルに外部セキュリティ・マネージャーをアップグレードする必要があります。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0504 外部セキュリティ・マネージャーで仮想記憶間モードがサポートされません。テーブル・セキュリティをサポートできません。(**External security manager does not support cross-memory mode, table security cannot be supported.**)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの OPEN、SET、および DELETE 要求に対するテーブル固有のセキュリティ検査がサーバー・パラメーターで要求されたか、デフォルトで想定されましたが、外部セキュリティ・マネージャーで仮想記憶間モードでの許可 (FASTAUTH) 要求がサポートされません。これは、テーブル・セキュリティ検査を実行するために必要です。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: このようなセキュリティ検査が必要な場合は、サーバー・パラメーターで **SECURITY=NO** を指定してください。そうした場合、サーバーへの接続が許可された各 CICS 領域は、プール内の任意のテーブルをオープンまたは削除できます。テーブル・セキュリティ検査が必要な場合は、仮想記憶間モードの許可要求をサポートするレベルに外部セキュリティ・マネージャーをアップグレードする必要があります。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0505 RACROUTE REQUEST=EXTRACT から **R15=rc**、**SAFPRRET=retcode**、**SAFPRREA=rsncode** が返されました。
(**RACROUTE REQUEST=EXTRACT** gave **R15=rc**, **SAFPRRET=retcode**, **SAFPRREA=rsncode**.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの OPEN、SET、および DELETE 要求に対するテーブル固有のセキュリティ検査がサーバー・パラメーターで要求されたか、デフォルトで想定されましたが、サーバー初期設定時にユーザー ID を取得するために使用された外部セキュリティ・マネージャー の EXTRACT 関数から予期しない非ゼロの戻りコードが返されました。このメッセージは、RACROUTE レジスター 15 の戻りコードおよび外部セキュリティ・マネージャーの戻りコードと理由コード (SAF 要求パラメーター・リストで返されたもの) を示します。

システムの処置: サーバーはメッセージ DFHCF0506 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(GC88-6547) で REQUEST=EXTRACT を指定した RACROUTE マクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0506 セキュリティ EXTRACT 関数が失敗しました。テーブル・セキュリティをサポートできません。(Security EXTRACT function failed, table security cannot be supported.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの OPEN、SET、および DELETE 要求に対するテーブル固有のセキュリティ検査がサーバー・パラメーターで要求されたか、デフォルトで想定されましたが、サーバー初期設定時にユーザー ID を取得するために発行された外部セキュリティ・マネージャー の EXTRACT 関数から予期しない戻りコードが返されました。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 失敗の理由について詳しくは、前のメッセージ DFHCF0505 を参照してください。このようなセキュリティ検査が不要な場合は、サーバー・パラメーターで **SECURITY=NO** を指定してください。そうした場合、サーバーへの接続が許可された各 CICS 領域は、プール内の任意のテーブルをオープンまたは削除できます。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0507 RACROUTE
REQUEST=LIST、**ENVIR=CREATE**、**CLASS='class'**、**GLOBAL=YES** から **R15=rc**、**SAFPRRET=retcode**、**SAFPRREA=rsncode** が返されました。
(**RACROUTE REQUEST=LIST**, **ENVIR=CREATE**, **CLASS='class'**, **GLOBAL=YES** gave **R15=rc**, **SAFPRRET=retcode**, **SAFPRREA=rsncode**.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの OPEN、SET、および DELETE 要求に対するテーブル固有のセキュリティ検査がサーバー・パラメーターで要求されたか、デフォルトで想定されましたが、サーバー初期設定時にセキュリティ・プロファイルをロードするために出された外部セキュリティ・マネージャー の LIST 関数から予期しない非ゼロの戻りコードが返されました。このメッセージは、RACROUTE レジスター 15 の戻りコードおよび外部セキュリティ・マネージャーの戻りコードと理由コード (SAF 要求パラメーター・リストで返されたもの) を示します。

システムの処置: サーバーはメッセージ DFHCF0508 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(GC88-6547) で REQUEST=LIST を指定した RACROUTE マクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0508 セキュリティ LIST 関数が失敗しました。テーブル・セキュリティをサポートできません。(Security LIST function failed, table security cannot be supported.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの OPEN、SET、および DELETE 要求に対するテーブル固有のセキュリティ検査がサーバー・パラメーターで要求されたか、デフォルトで想定されましたが、サーバー初期設定時にセキュリティ・プロファイルをロードするために発行された外部セキュリティ・マネージャー の LIST 関数から予期しない戻りコードが返されました。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 失敗の理由について詳しくは、前のメ

ッセージ DFHCF0507 を参照してください。このようなセキュリティ検査が不要な場合は、サーバー・パラメーターで **SECURITY=NO** を指定してください。そうした場合、サーバーへの接続が許可された各 CICS 領域は、プール内の任意のテーブルをオープンまたは削除できます。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0511 Attempt to open table *table* was rejected because the external security manager is not available.

説明: 接続された領域が当該データ・テーブルのオープンを許可されているかどうかについてセキュリティ検査をカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが実行しようとしたが、外部セキュリティ・マネージャーが、サーバー初期設定時に使用可能であったにもかかわらず、予期せず使用不可でした。

システムの処置: テーブル・オープン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なお、外部セキュリティ・マネージャーが再活動化されない限り、今後のテーブル・オープン要求は成功しません。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0512 リソース *resource* に対する RACROUTE REQUEST=FASTAUTH から R15=rc、SAFPRRET=retcode、SAFPRREA=rsncode が返されました。(RACROUTE REQUEST=FASTAUTH for resource *resource* gave R15=rc, SAFPRRET=retcode, SAFPRREA=rsncode.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルの OPEN、SET または DELETE セキュリティ検査から非ゼロの戻りコードが返されました。このメッセージは、検査で使用されたリソース名、RACROUTE レジスター 15 の戻りコード、および外部セキュリティ・マネージャーの戻りコードと理由コード (SAF 要求パラメーター・リストで返されたもの) を示します。

システムの処置: テーブルへのアクセスは、メッセージ DFHCF0513 で拒否されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(GC88-6547) で REQUEST=FASTAUTH を

指定した RACROUTE マクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0513 Attempt to open table *table* was rejected by the external security manager.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーによってセキュリティ検査が実行され、接続されている領域が指定されたテーブルのオープンを許可されているかどうかは判別され、アクセスが許可されないことが外部セキュリティ・マネージャーによって示されました。

システムの処置: テーブル・オープン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: アクセスが拒否された特定の理由については、先行メッセージ DFHCF0512 を参照してください。正しいテーブル名が指定されたことを確認してください。クライアント領域が、CICS ファイル・リソース・クラス (通常、「FCICSFCT」) 内のテーブル名 (SECPRFX=YES が指定された場合は、サーバー領域ユーザー ID が前に付けられる) に一致するリソースへのアクセスを許可されていることを確認してください。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0521 RACROUTE REQUEST=LIST、ENVIR=DELETE、CLASS='class' から R15=rc、SAFPRRET=retcode、SAFPRREA=rsncode が返されました。(RACROUTE REQUEST=LIST, ENVIR=DELETE, CLASS='class' gave R15=rc, SAFPRRET=retcode, SAFPRREA=rsncode.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの終了時にストレージ内のセキュリティ・プロファイルをアンロードするために出された外部セキュリティ・マネージャーの LIST 関数から、予期しない非ゼロの戻りコードが返されました。このメッセージは、RACROUTE レジスター 15 の戻りコードおよび外部セキュリティ・マネージャーの戻りコードと理由コード (SAF 要求パラメーター・リストで返されたもの) を示します。

システムの処置: サーバーの終了処理が続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS Security Server RACROUTE マク

口解説書」(GC88-6547) で REQUEST=LIST を指定した RACROUTE マクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHCFXS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0601I *lasttime* 以降の間隔の統計収集を開始しています。(Starting statistics collection for interval since *lasttime*.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは、間隔統計、1 日の終わり統計、または終了統計を収集しようとしています。このメッセージは、統計が適用される時間間隔の開始 (サーバーが始動された時刻、あるいは間隔統計または 1 日の終わり統計が生成されるごとに発生する最終リセットの時刻) を示します。タイム・スタンプの形式は、yyyy-mm-dd hh:mm:ss です。

システムの処置: サーバーは、統計収集を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFST

宛先: SYSPRINT

DFHCF0602I Statistics collection completed, reset performed.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの統計が収集され、カウンターがリセットされました。これは、間隔統計および 1 日の終わり統計に対して行われます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFST

宛先: SYSPRINT

DFHCF0603I Statistics collection completed.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの統計が収集されましたが、カウンターはリセットされていません。これは通常、サーバーの停止時に行われます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0604 Timer SET failed, return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの統計サブタスクが、タイマー待機間隔をセットアップしようとしたましたが、失敗しました。

システムの処置: 間隔統計機能は、メッセージ DFHCF0606 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードを確認してください。戻りコード 4 は、複数のタイマー間隔を同時に設定しようとしたことを意味します。これは、サーバー内の論理エラーです。この場合の理由コードは、既存のタイマー間隔に対する MVS STIMERM ID です。戻りコード 8 は、MVS STIMERM マクロが失敗したことを示します。この場合、理由コードは、STIMERM SET から受け取った戻りコードを示します。

モジュール: DFHCFST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0605 Timer CANCEL failed, return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの統計サブタスクが、タイマー待機間隔を取り消そうとしたましたが、失敗しました。

システムの処置: 間隔統計機能は、メッセージ DFHCF0606 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードを確認してください。戻りコード 4 は、存在しないタイマー間隔を取り消そうとしたことを意味します。これは、サーバー内の論理エラーです。戻りコード 8 は、MVS STIMERM マクロが失敗したことを示します。この場合、理由コードは、STIMERM CANCEL から受け取った戻りコードを示します。

モジュール: DFHCFST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0606 Statistics collection function is no longer available.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの統計収集サブタスクが、処理を続行できず、終了しました。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: 間隔統計サブタスクは終了し、サーバーのこの実行に対して、これ以上の間隔統計または 1 日の終わり統計は作成されません。

ユーザーの処置: サブタスクの終了理由を示す先行のメ

ッセージを確認してください。

モジュール: DFHCFST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0610I Statistics written to SMF, return code was retcode.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの統計が SMF に送信されました。このメッセージには、SMFEWTM マクロからの戻りコードが示されています。通常、ゼロ以外の戻りコードは、現行の SMF オプションまたはインストール・システム出口により SMF の記録が抑止されていることを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードがゼロ以外だが、SMF 統計が正常に書き込まれることが予期されていた場合は、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」(GC88-6594) で SMFEWTM マクロの資料を参照し、戻りコードの詳細を確認してください。

モジュール: DFHCFST

宛先: SYSPRINT

DFHCF0651 Restart processing cannot open table, reason code reason.

説明: アプリケーション領域がカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーへの接続を再始動しようとしたましたが、その領域の未解決の作業単位が現在オープンできないテーブルを更新したため、再始動処理を完了できません。このメッセージが発生するのは、テーブルがまだ存在している場合のみです。テーブルが削除された場合、更新は単に破棄されます。理由コードは、モジュール DFHCFOC のファイル・オープン・ルーチンからのものであり、ファイルをオープンできなかった理由を示します。現在の実装では、再始動によるファイルのオープンを妨げる可能性があるユーザー機能は存在しないため、この状態は起こりえません。

システムの処置: 再始動処理は終了し、再試行が成功するまでリカバリー可能テーブルにはアクセスできません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0652 UOWID uowid、タスク task、領域 region に対する function 要求の処理中にプール状態エラー (理由コード: reason) が発生しました。(Pool state error, reason code reason, processing function request for UOWID uowid, task task, region region.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの同期点または再始動処理時における保全性検査で、リスト構造内のデータまたは制御情報が、通常の処理では起こりえない状態であることが検出されました。理由コードは、内部カップリング・ファシリティ・インターフェースによって返された応答コードに基づいています。

•

理由コード:

2

項目が最大データ長を超えています。

3

項目が見つかりません。

4

バージョンが間違っています。

5

リスト権限が正しくありません。

6

リスト内の項目の制限数に達しています。

7

構造内にスペースが残されていません。

上記の状態はすべて、正常な処理でも発生することがあります。このメッセージが出されるのは、起こってはならない場合に状態が発生した場合、または状態発生後に通常の再試行アクションを実行できない場合のみです。例えば、カップリング・ファシリティ・インターフェースからの正しくないバージョンの応答では通常、項目が変更されたため、項目が再び読み込まれたと単に示だけです。これがプール状態エラーとして扱われるのは、変更された項目内のデータまたは制御情報がレコードの予期される状態と整合していない場合のみです。

システムの処置: 現行の同期点または再始動操作は、プール状態エラー例外で終了します。

ユーザーの処置: これは、プール内の一部のデータが不整合になったか破損したことを示しています。カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー以外のプログラムを使用してプールにアクセスした場合を

除いて、これが発生する可能性がある既知の条件はありません。特定のテーブルに対する変更でこのエラーが発生した場合は、問題を解消するためにテーブルを削除する必要がありますが生じることがあります。他の制御情報で発生した場合は、プールを再作成する必要が生じることがあります。

モジュール: DFHCFSP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0701I CF data table pool *poolname* is to be unloaded.

説明: **UNLOAD** オプションを指定してカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのプログラムが開始され、テーブル・プールを順次データ・セットにアンロードするように要求されました。

システムの処置: サーバーは、アンロード要求の処理を開始します。この場合、仮想記憶間サーバー初期設定の残りは、不要になるためバイパスされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0702I CF data table pool *poolname* has been successfully unloaded.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールが正常にアンロードされました。

システムの処置: サーバーは正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0703I Number of unloaded tables: *tables*.
Blocks written: *blocks*.**

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプール・アンロード・プロセスの結果に関する追加情報を提供し、アンロードされたテーブルの数、およびアンロードされたテーブル・プール・データ・セットに書き込まれた 4K データ・ブロックの数を示します。

システムの処置: サーバーの終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0704 DFHCFUL data set for unload could not be opened.

説明: アンロードされたカップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールを含めるデータ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: アンロード処理が終了して、サーバーが終了し、メッセージ DFHCF0706 が出されます。

ユーザーの処置: アンロード・ジョブの JCL に DFHCFUL DD ステートメントが存在することを確認してください。

モジュール: DFHCFUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0705 CF 構造 *strname* へのアンロード・アクセスが応答 *response* で失敗しました。
(Unload access to CF structure *strname* failed with response *response*.)**

説明: カップリング・ファシリティ・アクセスの問題のため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプール・アンロード・プロセスが失敗しました。

システムの処置: アンロード処理が終了して、サーバーが終了し、メッセージ DFHCF0706 が出されます。

ユーザーの処置: 応答コードが 8 の場合、これは予期しない IXLIST エラーが発生したことを示します。このエラーについては、前にメッセージ DFHCF0441 が出されています。それ以外の応答コードは内部論理エラーを示します。

モジュール: DFHCFUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHCF0706 Unload for CF data table pool
poolname was unsuccessful.**

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールのアンロード・プロセスが失敗しました。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: アンロードの失敗理由を示す先行のメッセージを確認してください。この場合に生成されたアンロード・データ・セットは不完全となり、再ロード目的のために有効にならないので注意してください。

モジュール: DFHCFUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0721 CF データ・テーブル *table* が正常にアンロードされました。レコード数: *records*。
(**CF data table *table* has been successfully unloaded, records *records*.)**)

説明: 示されているカップリング・ファシリティ・データ・テーブルがアンロードされました。なお、リカバリー可能な更新が保留中であった場合、アンロードされたテーブル項目の数は、レコード数より若干大きいことがあります。これは、同期点まで元のレコードの項目が、バックアウトで必要になる場合に備えて保持されるためです。

システムの処置: アンロード処理が続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFUL

宛先: SYSPRINT

DFHCF0731 リカバリー可能接続 *applid* 用に *uowids* 作業単位がアンロードされました。
(***uowids units of work were unloaded for recoverable connection applid.***)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールのアンロード処理時に、示されているリカバリー可能接続 ID の 1 つ以上の未解決のリカバリー可能作業単位が見つかりました。

システムの処置: アンロード処理は、アンロードされたデータに作業単位の状況を組み込み、プールの再ロード後に解決できるようにします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFUL

宛先: SYSPRINT

DFHCF0801I CF data table pool *poolname* is to be reloaded.

説明: **RELOAD** オプションを指定してカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのプログラムが開始され、**UNLOAD** オプションを使用して作成された順次データ・セットからテーブル・プールを再ロードするように要求されました。

システムの処置: サーバーは、再ロード要求の処理を開始します。この場合、仮想記憶間サーバー初期設定の残りは、不要になるためバイパスされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0802I CF data table pool *poolname* has been successfully reloaded.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールが正常に再ロードされました。

システムの処置: サーバーは正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0803I 再ロードされたテーブル (**Tables reloaded**): *tables*。バイパスされたテーブル (**Tables bypassed**): *duplicates*。Blocks read: *blocks*。

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプール再ロード・プロセスの結果に関する追加情報を提供します。アンロードされたデータ・セットのテーブルは、(例えば、スペース不足のために完了できなかった以前の再ロードの結果として) プール内に既に存在する場合、再ロード処理時にバイパスされます。

システムの処置: サーバーの終了処理が続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0804 DFHCFRL data set for reload could not be opened.

説明: 再ロードされるカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールを含むデータ・セットをオープンすることができませんでした。

システムの処置: 再ロード処理が終了して、サーバーが終了し、メッセージ DFHCF0808 が出されます。

ユーザーの処置: DFHCFRL DD ステートメントが再ロード・ジョブの JCL に存在することを確認してください。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0805 CF 構造 *strname* への再ロード・アクセスが応答 *response* で失敗しました。
(**Reload access to CF structure *strname* failed with response *response*.)**)

説明: カップリング・ファシリティ・アクセスの問題のため、カップリング・ファシリティ・データ・テ

ブルのプール再ロード・プロセスが失敗しました。

システムの処置: 再ロード処理が終了して、サーバーが終了し、メッセージ DFHCF0808 が出されます。

ユーザーの処置: 応答コードが 8 の場合、これは予期しない IXLIST エラーが発生したことを示します。このエラーについては、前にメッセージ DFHCF0441 が出されています。それ以外の応答コードは内部論理エラーを示します。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0806 Unexpected end of file encountered on reload data set.

説明: アンロードされたカップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールを含むデータ・セットで、アンロードされたデータの論理的な終わりが検出される前に、ファイルの終わりが検出されました。

システムの処置: 再ロード処理が終了して、サーバーが終了し、メッセージ DFHCF0808 が出されます。

ユーザーの処置: これは、アンロードされたデータ・セットが不完全であることを示しています。アンロード・プロセスが異常終了したことがその理由である可能性があります。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0807 再ロード・データ・セットのブロック block、オフセット offset 近辺に誤ったデータが含まれています。(Reload data set contains incorrect data near block block, offset offset.)

説明: アンロードされたプール・データ・セットのフォーマットが正しくないため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプール再ロード処理が失敗しました。

システムの処置: 再ロード処理が終了して、サーバーが終了し、メッセージ DFHCF0808 が出されます。

ユーザーの処置: 正しいデータ・セットが使用されていること、およびアンロード・プロセスが正常に完了したことを確認してください。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0808 Reload for CF data table pool poolname was unsuccessful.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプール再ロード処理は完了できませんでした。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: そのプログラムは終了します。

ユーザーの処置: 再ロードの失敗理由を示す先行のメッセージを確認してください。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0809 Reload for CF structure strname failed, structure is full.

説明: 構造に新規データを保管するためのフリー項目またはエレメントが不足しているため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのプールの再ロード処理が失敗しました。

システムの処置: 再ロード処理が終了して、サーバーが終了し、メッセージ DFHCF0808 が出されます。

ユーザーの処置: 構造の現在の割り振りが最大サイズを下回っていて、カップリング・ファシリティに十分なフリー・スペースがある場合、**START,ALTER** オプションを指定して **MVS SETXCF** コマンドを使用することで、構造のサイズを動的に大きくすることができます。その後、変更要求が完了するとすぐに、再ロード・ジョブを再実行できるようになります。その場合、既に正常に再ロードされている重複情報はスキップされます。構造がその最大サイズに達している場合は、**MVS SETXCF?FORCE** コマンドを使用して構造を削除します。その後、現行 CFRM ポリシーの **SIZE** および **INITSIZE** の各パラメーターを増やして、更新されたポリシーをアクティブ化し、再ロード・ジョブを再実行します。再ロードできなかった情報量の概算は、メッセージ DFHCF0803 で示されている読み取られたブロックおよび再ロードされたテーブルの数を、アンロード・ジョブにおけるメッセージ DFHCF0703 で示されている対応する数値と比較することで見積もることができます。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0810 Reload for CF structure strname failed, all lists are in use.

説明: 構造に定義されているすべてのリスト・ヘッダーが現在使用中であるため、カップリング・ファシリティ

ー・データ・テーブルのプールの再ロード処理が失敗しました。

システムの処置: 再ロード処理が終了して、サーバーが終了し、メッセージ DFHCF0808 が出されます。

ユーザーの処置: MVS SETXCF FORCE コマンドを使用して構造を削除してから、再ロード・ジョブの MAXTABLES パラメーターを、アンロードされるデータ内のテーブル数以上の値に変更して将来の拡張を可能にしてから、再ロード・ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHCFRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHCF0821 CF データ・テーブル *table* が正常に再ロードされました。レコード数: *records*。
(CF data table *table* has been successfully reloaded, records *records*.)

説明: 示されているカップリング・ファシリティー・データ・テーブルが再ロードされました。なお、リカバリー可能な更新が保留中であった場合、再ロードされたテーブル項目の数は、レコード数より若干大きいことがあります。これは、同期点まで元のレコードの項目が、バックアウトで必要になる場合に備えて保持されるためです。

システムの処置: 再ロード処理が続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFRL

宛先: SYSPRINT

DFHCF0822 CF データ・テーブル *table* は既に定義されています。再ロードはバイパスされました。(CF data table *table* is already defined, reloading has been bypassed.)

説明: 再ロード中であったカップリング・ファシリティー・データ・テーブルが、プール内の既存のテーブルと同じ名前を持っていることが検出されました。

システムの処置: テーブルの再ロードがバイパスされ、再ロード処理は次のテーブルに進みます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFRL

宛先: SYSPRINT

DFHCF0831 リカバリー可能接続 *applid* 用に *uowids* 作業単位が再ロードされました。(uowids units of work were reloaded for recoverable connection *applid*.)

説明: カップリング・ファシリティー・データ・テーブルのプールの再ロード処理により、示されているリカバリー可能接続 ID の 1 つ以上の未解決のリカバリー可能作業単位が再ロードされました。

システムの処置: 再ロード処理は、アンロードされたデータから作業単位の状況を復元し、次の接続再始動時に解決できるようにします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFUL

宛先: SYSPRINT

DFHCF0832 リカバリー可能接続 *applid* 用に *uowids* 重複作業単位がスキップされました。
(uowids duplicate units of work were skipped for recoverable connection *applid*.)

説明: カップリング・ファシリティー・データ・テーブルのプールの再ロード処理で、アンロードされたデータ内に、現行プール内に既に存在していると判明した 1 つ以上の未解決のリカバリー可能作業単位が検出されました。そのため、この再ロード実行で、それらの作業単位はバイパスされました。これは、(例えば、プール・サイズを大きくした後に再ロードを再開する場合など) 再ロード・ジョブが複数回実行された場合にのみ発生します。

システムの処置: 再ロード処理は、現行プール内でアクティブであると既に識別されている作業単位をスキップします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCFUL

宛先: SYSPRINT

DFHCF0911I R12=prv RQ Entry function Table=table Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティーのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、FCCR パラメーター・リストからの情報が、要求モジュール DFHCFRQ への入り口でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFRQ

宛先: SYSPRINT

DFHCF0912I R12=prv RQ Exit response Table=table
Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、FCCR パラメーター・リストからの情報が、要求モジュール DFHCFRQ からの出口でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFRQ

宛先: SYSPRINT

DFHCF0913I R12=prv RQ Lock status Table=table
Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、レコード・ロックの状態がトレースされています。(このメッセージは、ロックが使用可能なレコードの読み取りやインタレストを示す他のタスクがないレコードの解放といった通常のケースでは使用されません)。

•

レコード・ロック状況の値:

OWNED

ロックは同じタスクによって既に保持されています。

BUSY

ロックは別のアクティブ・タスクによって保持されています。

RETAINED

ロックは保持済みとして以前にマークされています。

RETAIN

ロックは非アクティブ・タスク用であり、保持されます。

RECLAIM

ロックは非アクティブであり、即時に再要求できます。

BACKOUT

変更をバックアウトした後にロックが再要求されます。

POST

ロックが解放されると、他のタスクが通知されます。

WAIT

現行タスクがロックを待機するために中断されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFRQ

宛先: SYSPRINT

DFHCF0921I R12=prv IQ Entry function Table=table
Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、FCCI パラメーター・リストからの情報が、照会モジュール DFHCFIQ への入り口でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFIQ

宛先: SYSPRINT

DFHCF0922I R12=prv IQ Exit response Table=table
Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、FCCI パラメーター・リストからの情報が、照会モジュール DFHCFIQ からの出口でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFIQ

宛先: SYSPRINT

DFHCF0931I R12=prv OC Entry function Table=table
Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、FCCT パラメーター・リストからの情報が、オープン/

クローズ・モジュール DFHCFOC への入り口でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFOC

宛先: SYSPRINT

**DFHCF0932I R12=prv OC Exit response Table=table
Task=tasknum region**

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、FCCT パラメーター・リストからの情報が、オープン/クローズ・モジュール DFHCFOC からの出口でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFOC

宛先: SYSPRINT

DFHCF0933I R12=prv OC system で region のテーブル table をクローズします。(Closing table table for region on system.)

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、終了した領域またはサーバーの代わりにオープン/クローズ・モジュール DFHCFOC がテーブルをクローズしています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFOC

宛先: SYSPRINT

**DFHCF0941I R12=prv CF Entry request options
modifiers R1=parmlst table**

説明: カップリング・ファシリティ・アクセスのカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのトレースがアクティブであり、カップリング・ファシリティ・インターフェース・モジュール DFHCFCF への入り口で、要求インターフェース・パラメーター・

リストからの情報がトレースされます。内部カップリング・ファシリティ・インターフェースによって使用される 3 文字の要求ニーモニックは、操作タイプを示す 2 文字のコードと、それに続く、操作が実行されるオブジェクトのタイプを示す 1 文字のコードで構成されます。

•
カップリング・ファシリティ・インターフェースの操作:

- | | |
|-----|-------------|
| CRx | 作成 |
| DLx | 削除 |
| INx | 照会 |
| MDx | 変更 |
| RDx | Read (読み取り) |
| RWx | 再書き込み |
| WRx | 書き込み (新規) |

•
カップリング・ファシリティ・インターフェースのオブジェクト:

- | | |
|-----|------------------------------|
| xxA | アプリケーション ID エントリー |
| xxD | データ・レコード・エントリー |
| xxI | 索引エントリー |
| xxL | リスト・コントロール (データ・レコードを含むリスト用) |
| xxM | メッセージ・エントリー (ロック解放通知用) |
| xxU | 作業単位エントリー |

•

オプション・フラグには、以下の 16 進値が含まれることがあります。

80

読み取りキーが次以上

40

読み取りキーが次以下

20

エントリー・バージョンを指定値と比較

10

データ転送を抑止 (転送付加属性領域のみ)

08

同じキーを持つ最も古いエントリーにアクセス (変更前イメージ用)

04

同じキーを持つ新規エントリーを書き込み (変更後イメージ用)

02

非増加再書き込み (そのため、構造がフルの場合は再試行)

修飾子フィールドは、現在、ロック・メッセージのターゲット接続番号を 16 進形式で示すためにのみ使用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCF0942I

宛先: SYSPRINT

DFHCF0942I R12=prv CF IXLLIST Req=request
Adj=adjarea Buf=buffer List=listnum
Rsn=rsncode

説明: カップリング・ファシリティ・アクセス用のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのトレースがアクティブになっており、IXLLIST マクロからの結果がトレースされています。トレースされる情報には、実行される要求のタイプの省略形、付加属性域およびデータ・バッファのアドレス (使用されていない場合はゼロ)、アクセスされるリストの番号、およびマクロによって返された理由コードが含まれます。理由コードの説明などの詳細については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」

(GD88-6028) で IXLLIST マクロの説明を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCF0942I

宛先: SYSPRINT

DFHCF0943I R12=prv CF IXLLIST keyword=value

説明: カップリング・ファシリティ・アクセス用のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのトレースがアクティブになっており、IXLLIST パラメーターまたは結果値 (キー、権限値、またはバージョン) が 16 進形式および文字形式 (該当する場合) でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCF0943I

宛先: SYSPRINT

DFHCF0944I R12=prv CF Exit response table

説明: カップリング・ファシリティ・アクセスのカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのトレースがアクティブであり、CF 要求モジュール DFHCF0944I からの出口で、要求インターフェース・パラメーター・リストからの情報がトレースされます。

•

応答コード:

OK

正常完了。

LEN ERROR

読み取るデータがバッファ長を超えています。

NOT FOUND

指定されたキーの項目が見つかりませんでした。

DUPLICATE

キーが既に存在するため、追加は拒否されました

WRONG VER

バージョンが一致しなかったため、変更は拒否されました。

AUTH FAIL

リスト権限値が一致しませんでした。

LIST LIM

リストが最大項目数に達しました。

I/O ERROR

上記以外の IXLLIST エラー。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFCF

宛先: SYSPRINT

DFHCF0951I R12=prv SP Entry function

UOWID=uowid Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、FCCU パラメーター・リストからの情報が、同期点モジュール DFHCFSP への入り口でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFSP

宛先: SYSPRINT

DFHCF0952I R12=prv SP Exit response

UOWID=uowid Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、FCCU パラメーター・リストからの情報が、同期点モジュール DFHCFSP からの出口でトレースされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFSP

宛先: SYSPRINT

DFHCF0953I R12=prv SP Lock action UOWID=uowid Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、レコード・ロック・アクションがトレースされています。現在トレースされるロック・アクションは、別のタスクがロックへのインタレストを示した後にロックが解放される「POST」のみです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFSP

宛先: SYSPRINT

DFHCF0954I R12=prv SP UOW status UOWID=uowid Task=tasknum region

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブであり、作業単位が再始動処理中に処理されています。

•

作業単位の状況値:

INDOUBT

UOW は、クライアント領域によって解決する必要があります。

COMMIT

UOW はコミットされています。

BACKOUT

UOW はバックアウトされています。

DELETE

これ以上変更が見つからなかったため、UOW は削除されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFSP

宛先: SYSPRINT

**DFHCF0955I R12=prv SP Table table UOWID=uowid
Task=tasknum region**

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブになっており、示されているテーブルが、コミットまたはバックアウト処理の一環として処理されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFSP

宛先: SYSPRINT

**DFHCF0956I R12=prv SP Record state action
UOWID=uowid Task=tasknum region**

説明: カップリング・ファシリティのデータ・テーブル・サーバーの要求トレースがアクティブになっており、コミットまたはバックアウト処理の前に現在のレコード状態がトレースされています。

•

レコード状態には、以下の 16 進値が含まれる可能性があります。

80

レコードはロックされています。

40

レコードは何らかの方法で変更されました。

20

レコードはこの作業単位によって作成されました。

10

レコードはこの作業単位によって更新されました。

DFHCPnnnn メッセージ

DFHCP0101I applid CPI initialization has started.

説明: これは、CPI の初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 によって抑止することができます。

モジュール: DFHCPIN1

08

レコードはこの作業単位によって削除されました。

04

レコード・ロックは保持済みとマークされています。

01

これは、この作業単位によって更新された最初のレコードでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHCFSP

宛先: SYSPRINT

DFHCF0999I トレース *text* (Trace *text*)

説明: このメッセージは、サービス担当員が使用するために、複数のモジュールでの非特定デバッグ・トレース用にカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーによって使用されます。デバッグ・トレースが意図的に活動化されている場合、または内部ロジック・エラーが検出された場合を除き、通常の実行では出現しません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: 各種

宛先: SYSPRINT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCP0102I applid CPI initialization has ended.

説明: これは、CPI 初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム

初期設定パラメーター MSGLVL=0 によって抑止することができます。

モジュール: DFHCPIN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCP0103I *applid* **CPI initialization has failed.**

説明: CPI は初期設定を正常に行えませんでした。

システムの処置: このメッセージの後にメッセージ DFHSH1522 が出されます。CICS は、メッセージ DFHSH1522 に対するオペレーターの応答によって、終了するかまたは初期設定を続行します。

障害の検出時に例外トレース項目が書き込まれます。

CPI 初期設定によって呼び出される他の CICS コンポーネントも、メッセージを出すかまたはトレース項目を書き込む場合があります。

ユーザーの処置: CICS が CPI サポートなしに実行を継続できるかどうかを決定し、それに応じてメッセージ DFHSH1522 に応答してください。

CPI が初期設定に失敗した理由についても調べる必要があります。

モジュール: DFHCPIN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCP0701I *date time applid tranid program_name*
CPI-C verb verb used unrecognized
CONVERSATION_ID *Conversation_ID.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CPI-C の呼び出しの 1 つにおいて、認識されない会話 ID を使用しました。これは次のことを意味している可能性があります。

- アプリケーション・プログラムが、CMINIT (Initialize_Conversation) verb または CMACCP (Accept_Conversation) verb のいずれかを使用して会話を正しく作成しなかった。あるいは、
- アプリケーション・プログラムは、CPI-C によって間違えて与えられた会話 ID を使用した。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: どちらのエラーが発生したかを判別し、それに応じてアプリケーション・プログラムを修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *verb*
7. *Conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0702I *date time applid tranid program_name*
Conversation_ID **CPI-C verb verb was**
disallowed because of the conversation
state state.

説明: CPI-C 状態マシンが状態エラーを検出しました。これは、会話がこの verb を出すには正しくない状態にあったことを意味します。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_STATE_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 資料「共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書」(SC26-4399) で定義されている状態マシン、および CICS トレース情報を使用して、状態エラーを引き起こした、出された CPI-C 呼び出しの順序を判別してください。与えられているガイドラインに従ってアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *program_name*
6. *Conversation_ID*
7. *verb*
8. *state*

宛先: CCPI

DFHCP0705I *date time applid tranid program_name*
Conversation_ID **invalid**
conversation_type parameter
(X'conv_type') **supplied on the CMSCT**
(Set_Conversation_Type) verb.

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSCT (Set_Conversation_Type) を無効な *conversation_type* パラメーター値で呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な *conversation_type* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSCT を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *Conversation_ID*
7. *X'conv_type'*

宛先: CCPI

DFHCP0706I *date time applid tranid program_name*
conversation_ID **the supplied**
conversation_type parameter of
CM_MAPPED_CONVERSATION
conflicts with the current setting of
the fill characteristic
CM_FILL_BUFFER.

説明: アプリケーション・プログラムが以前に CMSF (Set_Fill) verb を使用して *fill* 特性を設定したときに、そのアプリケーションが

CM_MAPPED_CONVERSATION の *conversation_type* パラメーターで CMSCT (Set_Conversation_Type) を呼び出しました。

これは、CPI-C では許可されていません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、こうした無効な組み合わせでこれらの 2 つの verb が使われないようにしてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0707I *date time applid tranid program_name*
conversation_ID **the supplied**
conversation_type parameter
CM_MAPPED_CONVERSATION
conflicts with the current setting of
log_data.

説明: アプリケーション・プログラムが以前に CMSLD (Set_Log_Data) verb を使用して一部のログ・データを作成したときに、そのアプリケーションが

CM_MAPPED_CONVERSATION の *conversation_type* パラメーターで CMSCT (Set_Conversation_Type) を呼び出しました。

これは、CPI-C では許可されていません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、こうした無効な組み合わせでこれらの 2 つの verb が使われないようにしてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0708I *date time applid trandid program_name conversation_ID* **invalid deallocate_type parameter (X'deallocate_type') supplied on the CMSDT (Set_Deallocate_Type) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが無効な deallocate_type パラメーターで CMSDT (Set_Deallocate_Type) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な deallocate_type パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSDT を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'deallocate_type'*

宛先: CCPI

DFHCP0709I *date time applid trandid program_name conversation_ID* **the supplied deallocate_type parameter deallocate_type conflicts with the current setting of the sync_level characteristic sync_level.**

説明: アプリケーション・プログラムが、deallocate_type の deallocate_type で、しかも sync_level 特性が sync_level に設定された状態で、CMSDT (Set_Deallocate_Type) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *deallocate_type*
8. *sync_level*

宛先: CCPI

DFHCP0710I *date time applid trandid program_name conversation_ID* **invalid error_direction parameter (X'error_direction') supplied on the CMSED (Set_Error_Direction) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが無効な error_direction パラメーターで CMSED (Set_Error_Direction) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な `error_direction` パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSED を修正してください。

モジュール: DFHCPSCS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'error_direction'*

宛先: CCPI

DFHCP0711I *date time applid trandid program_name conversation_ID* **invalid fill parameter (X'fill') supplied on the CMSF (Set_Fill) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが、無効な充てん文字パラメーター *fill* で CMSF (Set_Fill) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な充てん文字パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSF を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPSCSD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'fill'*

宛先: CCPI

DFHCP0712I *date time applid trandid program_name conversation_ID* **CMSF (Set_Fill) call conflicts with the current conversation_type of CM_MAPPED_CONVERSATION.**

説明: アプリケーション・プログラムは、`conversation_type` が `CM_MAPPED_CONVERSATION` のときに CMSF (Set_Fill) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPSCSD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0713I *date time applid trandid program_name conversation_ID* **CMSLD (Set_Log_Data) call conflicts with the current conversation_type of CM_MAPPED_CONVERSATION.**

説明: アプリケーション・プログラムは、`conversation_type` が `CM_MAPPED_CONVERSATION` のときに CMSLD (Set_Log_Data) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0714I *date time applid trandid program_name conversation_ID log_data_length (log_data_length) supplied on CMSLD (Set_Log_Data) verb is not in the range 0-512.*

説明: アプリケーション・プログラムが、0 から 512 の範囲外の *log_data_length* パラメーターで CMSLD (Set_Log_Data) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な *log_data_length* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSLD を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *log_data_length*

宛先: CCPI

DFHCP0718I *date time applid trandid program_name conversation_ID invalid mode_name_length parameter (mode_name_length) supplied on the CMSMN (Set_Mode_Name) verb.*

説明: アプリケーション・プログラムが、0 から 8 の範囲外の *mode_name_length* パラメーターで CMSMN (Set_Mode_Name) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な *mode_name_length* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSMN を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHPCPCSF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *mode_name_length*

宛先: CCPI

DFHCP0721I *date time applid trandid program_name conversation_ID the partner_lu_name_length (partner_lu_name_len) supplied on the CMSPLN (Set_Partner_LU_Name) verb is not in the range 1-17.*

説明: アプリケーション・プログラムが、1 から 17 の範囲外の *partner_lu_name_length* パラメーターで

CMSPLN (Set_Partner_LU_Name) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 1 から 17 の範囲内の partner_lu_name_length パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSPLN を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *partner_lu_name_len*

宛先: CCPI

DFHCP0724I *date time applid tranid program_name conversation_ID* **invalid prepare_to_receive_type parameter (X'ptr_type') supplied on the CMSPTR (Set_Prep_To_Receive_Type) verb.**

説明: アプリケーション・プログラムが、無効な prepare_to_receive_type パラメーターで CMSPTR (Set_Prep_To_Receive_Type) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: prepare_to_receive_type パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSPTR を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'ptr_type'*

宛先: CCPI

DFHCP0725I *date time applid tranid program_name conversation_ID* **the supplied prepare_to_receive_type parameter CM_PREP_TO_RECEIVE_CONFIRM is incompatible with the current setting of the sync_level characteristic CM_NONE.**

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSPTR (Set_Prep_To_Receive_Type) を、CM_PREP_TO_RECEIVE_CONFIRM の prepare_to_receive_type パラメーターで、しかも sync_level 特性を CM_NONE に設定した状態で呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0726I *date time applid tranid program_name conversation_ID invalid receive_type parameter (X'receive_type') supplied on the CMSRT (Set_Receive_Type) verb.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSRT (Set_Receive_Type) を無効な receive_type パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な receive_type パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSRT を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'receive_type'*

宛先: CCPI

DFHCP0727I *date time applid tranid program_name conversation_ID invalid return_control parameter (X'return_control') supplied on the CMSRC (Set_Return_Control) verb.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSRC (Set_Return_Control) を無効な return_control パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な return_control パラメーター

を使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSRC を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSJ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'return_control'*

宛先: CCPI

DFHCP0728I *date time applid tranid program_name conversation_ID invalid send_type parameter (X'send_type') supplied on the CMSST (Set_Send_Type) verb.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSST (Set_Send_Type) を無効な send_type パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な send_type パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSST を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'send_type'*

宛先: CCPI

DFHCP0729I *date time applid tranid program_name conversation_ID* the supplied send_type parameter CM_SEND_AND_CONFIRM is incompatible with the current setting of the sync_level characteristic CM_NONE.

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSST (Set_Send_Type) を、CM_SEND_AND_CONFIRM の send_type パラメーターで、しかも sync_level 特性を CM_NONE に設定した状態で呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0730I *date time applid tranid program_name conversation_ID* invalid sync_level parameter (X'sync_level') supplied on the CMSSL (Set_Sync_Level) verb.

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSSL (Set_Sync_Level) を無効な sync_level パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な sync_level パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSSL を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'sync_level'*

宛先: CCPI

DFHCP0731I *date time applid tranid program_name conversation_ID* the supplied sync_level parameter CM_NONE is incompatible with the current setting of the send_type characteristic CM_SEND_AND_CONFIRM.

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSSL (Set_Sync_Level) を CM_NONE の sync_level パラメーターで呼び出しました。 send_type は CM_SEND_AND_CONFIRM です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0732I *date time applid tranid program_name conversation_ID the supplied sync_level parameter sync_level is incompatible with the current setting of the deallocate_type characteristic deallocate_type.*

説明: アプリケーション・プログラムが CMSSL(Set_Sync_Level) を *sync_level* の *sync_level* パラメーターで呼び出しました。 *deallocate_type* は *deallocate_type* です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *sync_level*
8. *deallocate_type*

宛先: CCPI

DFHCP0733I *date time applid tranid program_name conversation_ID the supplied sync_level parameter CM_NONE is incompatible with the current setting of the prepare_to_receive_type characteristic CM_PREP_TO_RECEIVE_CONFIRM.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSSL

(Set_Sync_Level) を CM_NONE の *sync_level* パラメーターで呼び出しました。

CM_PREP_TO_RECEIVE_CONFIRM は、*prepare_to_receive_type* です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを修正して、この矛盾を取り除いてください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0734I *date time applid tranid program_name conversation_ID tp_name_length parameter (tp_name_length) supplied on the CMSTPN (Set_TP_Name) verb is not in the range 1-64.*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSTPN (Set_TP_Name) を 1 から 64 の範囲外の *tp_name_length* パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 有効な *tp_name_length* パラメーターを使用するようアプリケーション・プログラム内の CMSTPN を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCSM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *tp_name_length*

宛先: CCPI

DFHCP0740I *date time applid trandid program_name* **No incoming conversation to accept.**

説明: 着信会話がないうちに、アプリケーション・プログラムが CMACCP (Accept_conversation) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_STATE_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 受け入れるための着信会話があることを確認してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*

宛先: CCPI

DFHCP0741I *date time applid trandid program_name*
Duplicate call to CMACCP (Accept_Conversation).

説明: アプリケーション・プログラムが、CMACCP (Accept_conversation) を 2 回以上呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_STATE_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: CMACCP を 1 回だけ呼び出すようにアプリケーション・プログラムを修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*

宛先: CCPI

DFHCP0742I *date time applid trandid program_name*
Session is not available for CPI-C as it is already in use by another process.

説明: アプリケーション・プログラムが、別のプロセス (例えば、EXEC インターフェース DTP) のためのセッションをすでに使用しているときに、CMACCP (Accept_conversation) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに、戻りコード CM_PRODUCT_SPECIFIC_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: アプリケーションがこのセッションで CPI-C のみを使用していることを確認してください。

モジュール: DFHCPCAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*

宛先: CCPI

DFHCP0743I *date time applid trandid program_name*
Unable to use CPI-C as this transaction was initiated by ATI.

説明: アプリケーション・プログラムが、自動トランザクション開始 (ATI) によって開始された後で、

CMACCP (Accept_conversation) を呼び出しました。
これはサポートされていない。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに、戻りコード

CM_PRODUCT_SPECIFIC_ERROR とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: アプリケーションがこの制約事項を守っていることを確認してください。

モジュール: DFHCPCAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*

宛先: CCPI

DFHCP0747I *date time applid trandid program_name*
conversation_ID **CMCFM (Confirm) call**
conflicts with sync_level CM_NONE.

説明: *sync_level* が CM_NONE に設定されているときに、アプリケーション・プログラムが CMCFM (Confirm) を呼び出しました。 This is not allowed.

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: こうした矛盾がこれ以上起こらないようにアプリケーション・プログラムを修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCCM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*

6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0749I *date time applid trandid program_name*
Unrecognized sym_dest_name
(sym_dest_name) supplied on the
CMINIT (Initialize_Conversation) verb.

説明: アプリケーション・プログラムが CMINIT (Initialize_Conversation) を呼び出しました。

sym_dest_name パラメーターは認識されません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: *sym_dest_name* パラメーターが正しくなるように、アプリケーション・プログラムおよびパートナー・リソース定義を修正してください。

「リソースの定義」で、パートナー・リソースの正しい使用方法が説明されています。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべてのCPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *sym_dest_name*

宛先: CCPI

DFHCP0750I *date time applid trandid program_name*
Unrecognized profile profile_name
supplied in partner resource
sym_dest_name.

説明: アプリケーション・プログラムが CMINIT (Initialize_Conversation) を呼び出しました。与えられた *sym_dest_name* 内にあるプロファイルが認識されません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに、戻りコード

CM_PRODUCT_SPECIFIC_ERROR とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: sym_dest_name パラメーターが正しくなるように、アプリケーション・プログラムおよびパートナー・リソース定義を修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

さらに、「リソースの定義」で、パートナー・リソース定義の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *profile_name*
7. *sym_dest_name*

宛先: CCPI

DFHCP0751I *date time applid trandid program_name conversation_ID* **invalid requested_length parameter requested_length supplied on CMRCV (Receive).**

説明: アプリケーション・プログラムが、32767 を超える値の requested_length パラメーターで CMRCV (Receive) を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: requested_length パラメーターに有効な値を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール: DFHCPCRI, DFHPCRW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *requested_length*

宛先: CCPI

DFHCP0752I *date time applid trandid program_name conversation_ID* **data passed on call to CMSEND contains an invalid GDS record.**

説明: アプリケーション・プログラムが CMSEND (Send_Data) を呼び出しました。この呼び出しで渡されたデータに、無効な汎用データ・ストリーム (GDS) レコードが入っています。

注: このメッセージは、基本会話でのみ出されます。つまり、conversation_type が CM_BASIC_CONVERSATION に設定されている場合です。

システムの処置: このデータは送られません。

CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: このパラメーターが正しくなるようアプリケーション・プログラムを修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、GDS レコードに関する情報とともに、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

CICS の資料で、GDS レコードに関する追加情報が提供されます。

モジュール: DFHCPCLR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0753I *date time applid tranid program_name
conversation_ID invalid send_length
parameter send_length supplied on
CMSEND (send_data).*

説明: アプリケーション・プログラムが、CMSEND (Send_Data) を、0 から 32767 バイトの範囲外の send_length パラメーターで呼び出しました。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード

CM_PROGRAM_PARAMETER_CHECK とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: send_length パラメーターは、32767 バイトを超えてはなりません。0 から 32767 バイトの範囲内のデータを送るように CMSEND を修正してください。これにより、データは 2 つのチャンクで送られることになる場合があります。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

モジュール:

DFHPCPN1、DFHPCPN2、DFHPCPN3、
DFHPCPN4、DFHPCPN5

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *send_length*

宛先: CCPI

DFHCP0754I *date time applid tranid program_name
conversation_ID data sent so far is
currently in the middle of a GDS
record so cannot send CMDEAL,
CMCFM or CMPTR requests.*

説明: このアプリケーションは基本会話を使用しています (つまり、conversation_type 特性が

CM_BASIC_CONVERSATION に設定されています。)

このアプリケーションが、最後の汎用データ・ストリーム (GDS) レコードに関連付けられたすべてのデータを送っていません。

しかし、このアプリケーションは以下のいずれかの要求を送ろうとしました。

- CMDEAL (割り振り解除)
- CMCFM (確認)、または
- CMPTR (受信準備)

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_STATE_CHECK とともに制御を戻します。

この CPI-C verb は、会話にも会話特性にも影響を与えません。

ユーザーの処置: 送信したデータを調べて、前の送信がエラーになった理由を判別してください。このエラーが、アプリケーションが最後のレコードを切り捨てたためによるものなのか、または長さフィールドの 1 つにエラーがあったために CPI-C がデータ・ストリームを誤って解釈してしまったのかを調べて、それに応じてアプリケーション・プログラムを修正してください。

共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書 (SC26-4399) で、GDS レコードに関する情報とともに、すべての CPI-C verb とその呼び出し方法の詳細が説明されています。

CICS の資料で、GDS レコードに関する追加情報が提供されます。

モジュール: DFHCPCLR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*

宛先: CCPI

DFHCP0756 *date time applid tranid program_name
conversation_ID received an
unrecognized sense_code X'sense_code'
from the partner {program | program - }
tp_name.*

説明: リモート・システムのパートナー・プログラムから受信されたセンス・コードは認識されませんでした。これは、以下の 2 つの理由のいずれかによる可能性があります。

- プロトコル・エラー
-

このパートナー・プログラムをこれ以降のリリースで実行していて、新しいセンス・コードが APPC 体系に追加されている。

システムの処置: CICS は、戻りコード CM_DEALLOCATE_ABEND または CM_PROGRAM_ERROR_PURGING のいずれかとともにアプリケーション・プログラムに制御を戻します。戻りコードは、認識されないセンス・コードがエラーとして解釈されたか、それとも会話の異常終了として解釈されたかによって異なります。

注: *tp_name* は、このメッセージがフロントエンド・システムで出されるときにのみ存在します。

ユーザーの処置: メッセージ内に示されたセンス・コードおよび 2 つの通信システムに関するユーザーの知識を活用して、エラーが上記の 2 つの状況のいずれであるかを判断してください。

エラーがプロトコル・エラーである場合は、問題解決のために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCPCLR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'sense_code'*
8. 以下のオプションから選択される値。

2=プログラム,
1=プログラム -

9. *tp_name*

宛先: CCPI

DFHCP0757I *date time applid trandid program_name conversation_ID unrecognized netname netname supplied for CMALLC (Allocate) verb.*

説明: この会話用のセッションの割り振りが、認識されないネット名 *netname* のために失敗しました。

この値は、この会話用のパートナー・リソース内、または CPI-C の CMSPLN (set_partner_lu_name) verb 上

のいずれかで指定された *partner_lu_name* から派生した値です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PARAMETER_ERROR とともに制御を戻します。

セッションの割り振りは行われません。

ユーザーの処置: 認識されるネット名を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPCLR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *netname*

宛先: CCPI

DFHCP0758I *date time applid trandid program_name conversation_ID unrecognized mode_name mode_name supplied for CMALLC (Allocate) verb.*

説明: この会話用のセッションの割り振りが、認識されないモードネーム *mode_name* のために失敗しました。

この値は、この会話用のパートナー・リソースで指定されたプロファイル内、または CPI-C の CMSMN (Set_mode_name) verb 上のいずれかで指定された値です。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PARAMETER_ERROR とともに制御を戻します。

セッションの割り振りは行われません。

ユーザーの処置: 認識される *mode_name* を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPCLR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*

6. *conversation_ID*

7. *mode_name*

宛先: CCPI

DFHCP0759I *date time applid tranid program_name*
conversation_ID invalid use of the SNA
service TP X'tp_name'

説明: 会話制御ブロック (CPC) 内で指定されたトランザクション・プログラム (TP) が SNA サービス TP であるために、会話 *conversation_id* 用のセッションの割り振りが失敗しました。 This is not allowed.

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PARAMETER_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: このプログラムが異なる TP を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPCAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *X'tp_name'*

宛先: CCPI

DFHCP0760I *date time applid tranid program_name*
conversation_ID an invalid
partner_lu_name partner_lu_name was
specified for the CMALLC (Allocate)
verb.

説明: セッションの割り振りが失敗しました。これは、会話制御ブロック (CPC) で指定された *partner_lu_name* が以下の規則に従っていないからです。

1. *partner_lu_name* は、次のいずれかの形式を取ります。
 - Netname (長さ 1 から 8 文字)、または
 - Network.netname (ここで、network と netname はそれぞれ長さが 1 から 8 文字)

2.

ネット名およびネットワークはどちらも次の文字セットで構成されています。最初の文字は例外なく英字です。

- A から Z
- a から z
- @
- \$
- #
- 0-9

注: 英小文字は英大文字に変換されます。

システムの処置: セッションの割り振りは行われません。

CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PARAMETER_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: アプリケーションに応じて、*partner_lu_name* は、(*sym_dest_name* パラメーター内の CMINIT (initialize_conversation) verb 上で指定された) パートナー・リソースまたは任意指定の CMSPLN (set_partner_lu_name) verb のいずれかからきます。この値は、上記の規則に従って変更する必要があります。

モジュール: DFHCPCAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *partner_lu_name*

宛先: CCPI

DFHCP0761I *date time applid tranid program_name*
conversation_ID an invalid mode_name
mode_name was specified for the
CMALLC (Allocate) verb.

説明: 会話 *conversation_id* 用のセッションの割り振りが失敗しました。これは、会話制御ブロック (CPC) 内

に指定された *mode_name mode_name* が認められていないためです。

システムの処置: セッションの割り振りは行われません。

CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PARAMETER_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: 異なる *mode_name* を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPCAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *mode_name*

宛先: CCPI

DFHCP0763I *date time applid trandid program_name conversation_ID the mode_name mode_name specified for the CMALLC (Allocate) verb is unknown to VTAM.*

説明: 会話 *conversation_ID* 用のセッションの割り振りが失敗しました。これは、会話制御ブロック (CPC) 内に指定された *mode_name* がリモート・システムには知られているものの、VTAM には知られていないためです。

システムの処置: セッションの割り振りは行われません。

CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PARAMETER_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: 異なる *mode_name* を使用するようアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHCPCLR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *mode_name*

宛先: CCPI

DFHCP0764I *date time applid trandid program_name Partner Resource Manager is unavailable.*

説明: アプリケーション・プログラムが CMINIT (Initialize_Conversation) を呼び出しましたが、(パートナー・リソース・テーブルへのアクセスを行えるようにする) パートナー・リソース・マネージャーが使用できません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに、戻りコード CM_PRODUCT_SPECIFIC_ERROR とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: まずメッセージ DFHPR0106 が CICS 初期設定中に出力されたかどうかを判別してください。出力されている場合には、そのメッセージに関して与えられている指示を参照してください。メッセージが出力されなかった場合には、CICS 所有のストレージ (静的ストレージ・アドレス・リスト、または PR 静的ストレージのいずれか) がオーバーレイされているようです。記憶保護違反の扱い方についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHCPCLC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*

宛先: CCPI

DFHCP0765I *date time applid trandid program_name conversation_ID CPI-C verb verb was disallowed because of the BACKOUT-REQUIRED program state.*

説明: CPI-C 状態マシンが状態エラーを検出しました。verb *verb* を BACKOUT-REQUIRED プログラム状態で出すことができません。

システムの処置: CICS は、アプリケーション・プログラムに戻りコード CM_PROGRAM_STATE_CHECK とともに制御を戻します。

ユーザーの処置: 与えられているガイドラインに従ってアプリケーション・プログラムを修正してください。CPI-C verb およびその呼び出し方法の説明が含まれている「共通プログラミング・インターフェース・コミュニ

ニケーション (CPI-C) 解説書」(SC26-4399) を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *program_name*
6. *conversation_ID*
7. *verb*

宛先: CCPI

DFHCQnnnn メッセージ

DFHCQ0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。TS1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを「z/OS MVS システム・コード」資料で調べてください。その後、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えばエラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイのいずれであるかなどがわかります。さらに、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されることがあります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもあります。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQCQ、DFHCQSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHCQ0002 *applid* **A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このエラーの重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQCQ、DFHCQSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHCQ0100I *applid* Console queue initialization has started.

説明: コンソール・キューの初期設定が開始しました。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQCQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCQ0101I *applid* Console queue initialization has ended.

説明: コンソール・キューの初期設定が正常に完了しました。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCQ0102I *applid* Console queue initialization has failed.

説明: コンソール・キューの初期設定に失敗しました。

システムの処置: 以後 CICS の初期設定を妨げるような重大エラーがない限り、初期設定時にどのようなエラーが他に発生したかによって、CICS は 2 つのメッセージのいずれかを出します。

DFHSI1521 が出された場合には、CICS 初期設定が終了します。DFHSI1522 が出された場合には、低下モードで CICS 初期設定を続行するか、または終了するかを決定してください。

ユーザーの処置: 前のコンソール・メッセージを調べてください。そのなかの 1 つで、コンソール・キューの初期設定が失敗した理由を説明しているはずです。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCQ0103I *applid MVS console queue is open.*

説明: CICS は、CICS サーバーにおいて任意の時点でキューに入れることができる変更コマンドの数に対して制限 255 (MVS の最大) を設定します。

CICS は、CEMT などのトランザクションを呼び出すために任意の時点でキューに入れることができる変更コマンドの数に対して内部制限 254 も設定します。

この内部制限に達した場合、トランザクション CEKL が呼び出された場合を除き、CICS は、それ以上の変更コマンドを拒否します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCQ0104I *applid MVS console queue is closed.*

説明: CICS は MVS からの変更コマンドを受け入れません。

システムの処置: システム終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCQ0105I *applid CICS がビジーです。(applid CICS is busy.) MVS 変更コマンドは拒否されました。(MVS modify command has been rejected.)*

説明: CICS は変更コマンドを受け入れることができません。トランザクションを呼び出すための 254 個の変更コマンドが現在キューに入れられているためです。

システムの処置: CICS は、変更コマンドを拒否します。

ユーザーの処置: このエラーの重大度は、変更コマンドを入力した時点で CICS システムに自動インストールされている端末定義の数によって異なります。

変更コマンドを再入力したときにメッセージが再発するようであれば、CEKL INQUIRE および SET コマンドを使用して、システム内のユーザー・タスク、およびシステムから除去する必要があるユーザー・タスク (該当する場合) を特定できます。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0200I *applid CEKL transaction enabled.*

説明: CICS は、CEKL INQUIRE および CEKL SET コマンドをサポートします。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: コンソール装置から CEKL INQUIRE および CEKL SET コマンドを使用できます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCQ0201I *applid CEKL transaction enabled only for INQUIRE.*

説明: CICS は、CEKL INQUIRE コマンドのみをサポートします。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

CICS Transaction Server for z/OS 2.2 での kill のサポートは、2 つの PTF で提供されており、互いに独立して適用可能です。

CEKL SET コマンドを使用する場合は、両方の PTF を適用する必要があります。

ユーザーの処置: CICS システムの実行にとって kill のサポートが重要ではない場合は、CICS の稼働を続行し、都合のいいときに CICS をダウンさせて 2 番目の PTF をインストールすることができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHCQSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHCQ0210I *applid* CEKL command ignored;
INQUIRE or SET keyword must be specified.

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

INQUIRE または SET キーワードが予期されていますが、どちらも指定されていません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0211I *applid* CEKL command ignored;
input expected.

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

キーワードが予期されていますが、指定されていません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0212I *applid* CEKL command ignored;
input beginning input is too long.

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

input で始まる入力が長すぎます。例えば、トランザクション・クラス名が 9 バイトより長くなっています。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0213I *applid* CEKL command ignored.
Keyword, keyword is repeated.

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

キーワード *keyword* が複数回指定されています。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0214I *applid* CEKL command ignored.
Keyword, *invkwd* is not supported.

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

invkwd は無効なキーワードです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0215I *applid* CEKL command ignored;
Keyword, *invkwd* is ambiguous.

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

キーワードは、短縮したキーワードが固有であれば、短縮できます。例えば、TRANSID および TRANCLASS はそれぞれ TRANS および TRANC に短縮できますが、TRAN に短縮することはできません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0216I *applid* CEKL command ignored;
invval is non-numeric.

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

数値が予期されているところで非数値のキーワード値が指定されています。例えば、TASK(12345) は有効ですが、TASK(abcde) は無効です。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0217I *applid* **CEKL command ignored;
invokwd is out of range.**

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

キーワードでサポートされる値の範囲外にあるキーワード値が指定されました。例えば、タスク番号は 1-99999 の範囲内になければなりません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0218I *applid* **CEKL command ignored;
delim expected after kywd.**

説明: CEKL コマンドは拒否されました。

左括弧「(」または右括弧「)」が予期されていますが、指定されていません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0220I *applid* **CEKL INQUIRE command
ignored; TASK keyword must be
specified.**

説明: CEKL INQUIRE コマンドは拒否されました。

TASK キーワードが予期されていますが、指定されていません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0221I *applid* **CEKL INQUIRE command
ignored; keyword expected.**

説明: CEKL INQUIRE コマンドは拒否されました。

キーワードが予期されていますが、指定されていません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0224I *applid* **CEKL INQUIRE command
ignored; keywords conflict.**

説明: CEKL INQUIRE コマンドは拒否されました。

矛盾するキーワードが指定されています。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0230I *applid* **CEKL SET command ignored;
TASK keyword must be specified.**

説明: CEKL SET コマンドは拒否されました。

TASK キーワードが予期されていますが、指定されていません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0231I *applid* **CEKL SET command ignored;
keyword expected.**

説明: CEKL SET コマンドは拒否されました。

キーワードが予期されていますが、指定されていません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0232I *applid* **CEKL SET command ignored;
task number must be specified.**

説明: CEKL SET コマンドは拒否されました。

TASK キーワードは *taskno* で修飾する必要があります。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0233I *applid* **CEKL SET command ignored; PURGE or FORCEPURGE or KILL keyword must be specified.**

説明: CEKL SET コマンドは拒否されました。

キーワード PURGE、FORCEPURGE、または KILL が予期されていますが、指定されていません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0234I *applid* **CEKL SET command ignored; keywords conflict.**

説明: CEKL SET コマンドは拒否されました。

矛盾するキーワードが指定されています。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL の構文を確認してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0240I *applid* **CEKL INQUIRE: task number taskno not found.**

説明: タスク番号 *taskno* が見つかりませんでした。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: *taskno* に指定した値を確認してください。

これが正しい場合、タスクはシステムから除去されています。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0241I *applid* **CEKL INQUIRE: task number taskno, found.**

説明: タスク番号 *taskno* が見つかりました。

システムの処置: CICS は、コンソールおよびジョブ・ログでタスク *taskno* に関する情報を表示します。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0242I *applid* **CEKL INQUIRE: no tasks matched selection criteria.**

説明: CEKL INQUIRE コマンドで指定されたオプションと一致するタスクが CICS で検出されませんでした。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL コマンドで指定したオプションを確認してください。例えば、SUSPENDED オプションに指定する値を小さくしてください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0243I *applid* **CEKL INQUIRE: notasks タスクが選択基準に一致しました。(applid CEKL INQUIRE: notasks task(s) matched selection criteria.)**

説明: CEKL INQUIRE コマンドで指定されたオプションに一致する *notasks* タスクが検出されました。

システムの処置: CICS は、コンソールおよびジョブ・ログでこれらのタスクに関する情報を表示します。

ユーザーの処置: この情報を使用して、システムから除去する必要があるタスク (存在する場合) を判別する必要があります。

タスクのリストが長すぎる場合は、別のオプションのセットを指定して、CEKL INQUIRE コマンドを再度呼び出すことができます。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0250I *applid* **CEKL SET: task number taskno not found.**

説明: システムからシステム・タスク番号 *taskno* を除去する要求が拒否されました。

タスクが見つかりません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: *taskno* に指定した値を確認してください。

これが正しい場合、タスクはシステムから除去されています。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0251I *applid CEKL SET: PURGE* 要求がタスク番号 *taskno* に対して発行されました。(applid CEKL SET: deferred PURGE request issued for task number *taskno*.)

説明: タスク *taskno* をシステムから除去する要求が、まだディスパッチャーに接続されていないため、据え置かれました。タスクが、MAXACTIVE 制限に達しているトランザクション・クラスに属しているか、システムが MXT 制限に達しています。

システムの処置: CICS は、ディスパッチャーに接続されると、タスクを除去します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0252I *applid CEKL SET: PURGE* 要求がタスク番号 *taskno* に対して発行されました。(applid CEKL SET: PURGE request issued for task number *taskno*.)

説明: タスク番号 *taskno* を除去する要求がディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL INQUIRE TASK(*taskno*) コマンドを使用して、要求の進行を表示できます。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0253I *applid CEKL SET: PURGE* 要求が無視されました。タスク番号 *taskno* が除去されます。(applid CEKL SET: PURGE request ignored; task number *taskno* is being purged.)

説明: 除去要求 (番号 *taskno*) が無視されました。

前の要求がタスクを除去するためにディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0254I *applid CEKL SET: PURGE* 要求が無視されました。タスク番号 *taskno* が強制除去されます。(applid CEKL SET: PURGE request ignored; task number *taskno* is being forcepurged.)

説明: 除去要求 (番号 *taskno*) が無視されました。

前の要求がタスクを強制除去するためにディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0255I *applid CEKL SET: PURGE* 要求が無視されました。タスク番号 *taskno* が kill されます。(applid CEKL SET: PURGE request ignored; task number *taskno* is being killed.)

説明: kill 要求 (除去番号 *taskno*) が無視されました。

前の要求がタスクを kill するためにディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0256I *applid CEKL SET: FORCEPURGE* 要求がタスク番号 *taskno* に対して発行されました。(applid CEKL SET: FORCEPURGE request issued for task number *taskno*.)

説明: タスク番号 *taskno* を強制除去する要求がディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL INQUIRE TASK(*taskno*) コマンドを使用して、要求の進行を表示できます。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0257I *applid CEKL SET: FORCEPURGE* 要求が無視されました。タスク番号 *taskno* が強制除去されます。(applid CEKL SET: FORCEPURGE request ignored; task number *taskno* is being forcepurged.)

説明: kill 要求 (強制除去番号 *taskno*) が無視されました。

前の要求がタスクを強制除去するためにディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0258I *applid* **CEKL SET: FORCEPURGE** 要求が無視されました。タスク番号 *taskno* が **kill** されます。(applid **CEKL SET: FORCEPURGE request ignored; task number taskno is being killed.**)

説明: 強制除去要求 (番号 *taskno*) が無視されました。

前の要求がタスクを kill するためにディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0259I *applid* **CEKL SET: KILL** 要求がタスク番号 *taskno* に対して発行されました。(applid **CEKL SET: KILL request issued for task number taskno.**)

説明: タスク番号 *taskno* を kill する要求がディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL INQUIRE TASK(*taskno*) コマンドを使用して、要求の進行を表示できます。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0260I *applid* **CEKL SET: KILL** 要求が無視されました。タスク番号 *taskno* が **kill** されます。(applid **CEKL SET: KILL request ignored; task number taskno is being killed.**)

説明: kill 要求 (タスク番号 *taskno*) が無視されました。

前の要求がタスクを kill するためにディスパッチャーに渡されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: CEKL INQUIRE TASK(*taskno*) コマンドを使用して、要求の進行を表示できます。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0261I *applid* **CEKL SET: PURGE** 要求がシステム・タスク番号 *taskno* に対して拒否されました。(applid **CEKL SET: PURGE request rejected for system task number taskno.**)

説明: システムからシステム・タスク番号 *taskno* を除去する要求が拒否されました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0262I *applid* **CEKL SET: FORCEPURGE** 要求がシステム・タスク番号 *taskno* に対して拒否されました。(applid **CEKL SET: FORCEPURGE request rejected for system task number taskno.**)

説明: システムからシステム・タスク番号 *taskno* を強制除去する要求が拒否されました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0263I *applid* **CEKL SET: KILL** 要求がシステム・タスク番号 *taskno* に対して拒否されました。(applid **CEKL SET: KILL request rejected for system task number taskno.**)

説明: システムからシステム・タスク番号 *taskno* を kill する要求が拒否されました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0264I *applid* **CEKL SET: PURGE** 要求が拒否されました。タスク番号 *taskno* は除去可能ではありません。(applid **CEKL SET: PURGE request rejected; task number taskno is not purgeable.**)

説明: システムからタスク番号 *taskno* を除去する要求が拒否されました。トランザクション定義で SPURGE(NO) が指定されています。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: FORCEPURGE または KILL オプションを指定してシステムからタスクを除去する要求を再試行してください。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0265I *applid* **CEKL SET: FORCEPURGE** 要求が無視されました。タスク番号 *taskno* が除去されます。(applid **CEKL SET: FORCEPURGE request ignored; task number taskno is being purged.**)

説明: 強制除去要求 (タスク番号 *taskno*) が拒否されました。

タスクをシステムから除去する要求が行われましたが、まだディスパッチャーに接続されていないため、据え置かれました。タスクが、MAXACTIVE 制限に達しているトランザクション・クラスに属しているか、システムが MXT 制限に達しています。

システムの処置: CICS は、ディスパッチャーに接続されると、タスクを除去します。

ユーザーの処置: システムがストレス下にあるためにタスクをディスパッチャーに接続できない場合は、以下のようしてください。

- CEKL INQUIRE コマンドを使用して、既にディスパッチャーに接続されている別のタスクを識別することができます。

- CEKL SET コマンドを使用してそのタスクをシステムから除去することで、ストレスを軽減できます。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCQ0266I *applid* **CEKL SET: KILL** 要求が無視されました。タスク番号 *taskno* が除去されます。(applid **CEKL SET: KILL request ignored; task number taskno is being purged.**)

説明: kill 要求 (タスク番号 *taskno*) が拒否されました。

タスクをシステムから除去する要求が行われましたが、まだディスパッチャーに接続されていないため、据え置かれました。タスクが、MAXACTIVE 制限に達しているトランザクション・クラスに属しているか、システムが MXT 制限に達しています。

システムの処置: CICS は、ディスパッチャーに接続されると、タスクを除去します。

ユーザーの処置: システムがストレス下にあるためにタスクをディスパッチャーに接続できない場合は、以下のようしてください。

- CEKL INQUIRE コマンドを使用して、既にディスパッチャーに接続されている別のタスクを識別することができます。

- CEKL SET コマンドを使用してそのタスクをシステムから除去することで、ストレスを軽減できます。

モジュール: DFHCQSY

宛先: コンソール

DFHCRnnnn メッセージ

DFHCR4300 *date time applid Transaction tranid not executed on terminal termid on system sysid. Transaction invalid on that system*

説明: リモート・システム *sysid* でのタスク開始要求が出されました。トランザクション *tranid* がシステム *sysid* で定義されていないため、その要求を実行できませんでした。

このメッセージは、次のような状況下では、静的ルーティングでも表示されます。

- トランザクション *transid* が拡張ルーティングに適格ではない

- このシステムへの接続の名前 (要求がデイジー・チェーンされている場合は、中間システムの名前) に一致しない REMOTESYSTEM 名を指定してトランザクションがシステム *sysid* で定義されている

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* とトランザクション *tranid* がシステム *sysid* で正しく定義されているかを確認してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *sysid*

宛先: CSMT

DFHCR4301 *date time applid Transaction tranid not executed on terminal termid on system sysid. Terminal invalid on that system*

説明: リモート・システム *sysid* でタスクをスケジュールするための要求が出されましたが、端末 *termid* がシステム *sysid* で定義されていないため、その要求を実行することができませんでした。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* とトランザクション *tranid* がシステム *sysid* で定義されているかを確認してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *sysid*

宛先: CSMT

DFHCR4302 *date time applid Transaction tranid not executed on terminal termid on system sysid. Schedule request failed on that system*

説明: リモート・システム *sysid* でタスクをスケジュールするための要求が出されましたが、その要求を実行できませんでした。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: リモート・システムのシステム定義テーブルを調べて、スケジュールリング要求が受け入れられなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *sysid*

宛先: CSMT

DFHCR4310 *date time applid Request from system sysid to initiate transaction tranid on that system on terminal termid was not executed. Transaction invalid on this system.*

説明: リモート・システム *sysid* のトランザクション *tranid* を端末 *termid* で開始するように、そのリモート・システム *sysid* から要求されました。トランザクション *tranid* がこのシステムで定義されていないため、その要求を満たすことができませんでした。

このメッセージは、次のような状況下では、静的ルーティングでも表示されます。

- トランザクション *transid* が拡張ルーティングに適格ではない

- 要求を送信したリモート・システム *sysid* への接続の名前 (要求がデイジー・チェーンされている場合は、中間システムの名前) に一致しない
REMOTESYSTEM 名を指定してトランザクションが定義されている

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* とトランザクション *transid* が両方のシステムで正しく定義されているかを確認してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *transid*
6. *termid*

宛先: CSMT

DFHCR4311 *date time applid* **Request from system *sysid* to initiate transaction *transid* on that system on terminal *termid* was not executed. Terminal invalid on this system.**

説明: リモート・システム *sysid* のトランザクション *transid* を端末 *termid* で開始するように、そのリモート・システム *sysid* から要求されました。端末 *termid* がこのシステムで定義されていないため、その要求を受け入れることができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* とトランザクション *transid* が両方のシステムで定義されているかを確認してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *transid*

6. *termid*

宛先: CSMT

DFHCR4312 *date time applid* **Request from system *sysid* to initiate transaction *transid* on that system on terminal *termid* was not executed. Schedule request failed**

説明: リモート・システム *sysid* のトランザクション *transid* を端末 *termid* で開始するように、そのリモート・システム *sysid* から要求されました。スケジューリング要求が失敗したため、その要求を受け入れることができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ローカル・システムのシステム定義テーブルを調べて、スケジューリング要求が受け入れられなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *transid*
6. *termid*

宛先: CSMT

DFHCR4314 *date time applid* **Request to initiate transaction *transid* on remotely owned terminal *termid* has been purged. Request was not deliverable to system *sysid* within the ATI purge delay time interval.**

説明: トランザクション *transid* を開始するための要求は、システム *sysid* に引き渡されませんでした。おそらく、システム *sysid* へのリンクが使用可能になっていなかったのが原因です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション開始要求を出してから、ATI 除去遅延時間間隔が経過するまでの間、システム *sysid* へのリンクが使用できるようになっていることを確認してください。

モジュール: DFHCRQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *sysid*

宛先: CSMT

DFHCR4315 *date time applid* Request to initiate transaction *trandid* on remotely owned terminal *termid* has been purged. System *sysid* has not responded within the ATI purge delay time interval.

説明: トランザクション *trandid* の開始要求がシステム *sysid* に送られました。システム *sysid* はその要求を認めましたが、ATI 除去遅延時間間隔内に応答しませんでした。システム *sysid* が最終的に応答しても、タスクは実行されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム *sysid* が応答しなかった理由を調べてください。以下のため、システムが応答しませんでした。

DFHCSnnnn メッセージ

DFHCS0001 EXEC カードでパラメーターが指定されていません (NO PARAMETER SPECIFIED ON EXEC CARD)

説明: ユーザーが、EXEC カードで PARM ステートメントを指定しませんでした。システム処置: バッチ・ジョブは、戻りコード 12 で終了します。

システムの処置:

ユーザーの処置: EXEC カードで有効な PARM ステートメントを指定してください。

モジュール: DFHCSVCU

宛先: コンソール

DFHCS0002 無効な SVC パラメーターが指定されました。値: (INVALID SVC PARAMETER SPECIFIED, VALUE)

説明: 指定されたパラメーターに、SVCnnn パラメーターが含まれていません。

システムの処置: バッチ・ジョブは、戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: PARM ステートメントでキーワード SVCnnn を指定して再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSVCU

1. タスクが開始されたが異常終了した。または
2. タスクがセキュリティ検査に失敗した。または
3. システム *sysid* が異常終了して、この要求すべての明細が失われた。

モジュール: DFHCRQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *sysid*

宛先: CSMT

宛先: コンソール

DFHCS0003 無効な SVC 番号が指定されました。255 より大きくなっています。(INVALID SVC NUMBER SPECIFIED, IS GREATER THAN 255.)

説明: 255 より大きい SVC (監視プログラム呼び出し) 番号が指定されました。

システムの処置: バッチ・ジョブは、戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: 199 より大きく、256 より小さい SVC 番号を指定して再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSVCU

宛先: コンソール

DFHCS0004 無効な SVC 番号が指定されました。200 より小さくなっています (INVALID SVC NUMBER SPECIFIED, IS LOWER THAN 200)

説明: 200 より小さい SVC (監視プログラム呼び出し) 番号が指定されました。

システムの処置: バッチ・ジョブは、戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: 199 より大きく、256 より小さい
SVC 番号を指定して再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSVCU

宛先: コンソール

DFHCS0005 無効なモジュール名が指定されました。長さが 8 文字を超えています。(INVALID MODULE NAME SPECIFIED, LENGTH EXCEEDS 8 CHARACTERS.)

説明: PARM ステートメントで指定されたモジュール名が 8 文字を超えています。

システムの処置: バッチ・ジョブは、戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: 8 文字以下のモジュール名を指定して再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSVCU

宛先: コンソール

DFHCS0006 SVC の SVC タイプが無効です。(THE SVC TYPE FOR SVC IS INVALID.)

DFHCZnnnn メッセージ

DFHCZ0105 *date time applid userid termid tranid*
program_name **CICS event summary:**
class::method condition=X'resp' (resptext)
minor=X'resp2'

説明: このメッセージは、メソッド `IccEvent::summary` が呼び出されるたびに出力され、イベント (CICS 呼び出し) の要約詳細を示します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込みます。

ユーザーの処置: このメッセージは通知目的でのみ出力され、応答として特定のユーザー処置を行う必要はありません。

モジュール: ICCEVTEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*

説明: 指定された SVC (監視プログラム呼び出し) 番号がタイプ 3 SVC ではありません。

システムの処置: バッチ・ジョブは、戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: タイプ 3 SVC である SVC 番号を指定して再サブミットしてください。

モジュール: DFHCSVCU

宛先: コンソール

DFHCS0007 オペレーターが要求を拒否しました
(OPERATOR REJECTED REQUEST)

説明: オペレーターが確認を求めるメッセージに No と応答しました。

システムの処置: バッチ・ジョブは、戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置: オペレーターが No と応答した理由を判別してください。

モジュール: DFHCSVCU

宛先: コンソール

6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *X'resp'*
11. *resptext*
12. *X'resp2'*

宛先: CCZM

DFHCZ0106 *date time applid userid termid tranid*
program_name **CICS exception summary:**
exceptno class::method type=type.

説明: このメッセージは、メソッド `IccException::summary` が呼び出されるたびに出力され、例外の要約詳細を示します。

例外に関連したメッセージは、メソッド `IccException::message` を呼び出して取得できます。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込みます。

ユーザーの処置: このメッセージは通知目的でのみ出され、応答として特定のユーザー処置を行う必要はありません。

モジュール: ICCEXCEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *exceptno*
9. *class*
10. *method*
11. *type*

宛先: CCZM

DFHCZ0108 *date time applid userid termid tranid program_name class::method This method failed because an internal call to CICS returned the condition condition.*

説明: CICS の内部呼び出しで障害状態が返されたため、メッセージで報告されているメソッドが失敗しました。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: このコマンドを再試行する前に、基礎となる CICS 障害の原因を訂正する必要があります。また、他のメッセージおよびトレース・ログを調べて、根本原因の詳細を示すものがないかを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCRESIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*

6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *condition*

宛先: CCZM

DFHCZ0109 *date time applid userid termid tranid program_name class::method This method failed because of a severe internal error. Diagnostic information: diaginfo1, diaginfo2.*

説明: メッセージで報告されているメソッドが、重大な内部エラーのために失敗しました。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 診断情報をメモし、IBM に連絡して支援を受けてください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCBASIC, ICCCLKEC, ICCCTLEC, ICCFILEC, ICCFLIEC, ICCRESEC, ICCRESIC, ICCTIMEC, ICCTRMEC, ICCTSKEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *diaginfo1*
11. *diaginfo2*

宛先: CCZM

DFHCZ0110 *date time applid userid termid tranid program_name class::method This constructor/operator failed because it is not supported on the current platform of env.*

説明: メッセージで報告されているコンストラクター/オペレーターは、現在のプラットフォーム (MVS) でサ

ポートされないため、失敗しました。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、このプログラムが MVS プラットフォームで実行されていた理由を判別する必要があります。その後、このメソッドを呼び出さないようにプログラムを変更するか、必要に応じてプラットフォームを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCCONEC, ICCJRNEC, ICCRIDE, ICCSESEC, ICCUSREC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *env*

宛先: CCZM

DFHCZ0111 *date time applid userid termid tranid program_name class::method* **This constructor/operator failed because the system is configured with CICS family subset enforcement.**

説明: 機能を CICS ファミリー・サブセットの機能に制限するように CICS が構成されているため、メッセージで報告されているメソッド/オペレーターが失敗しました。このメソッド/オペレーターは、このサブセットの一部ではありません。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムの場合、このメソッド/オペレーターが呼び出された理由を判別する必要があります。その後、適切な場合、CICS ファミリー・サブセットの適用をオフにするか、このメソッド/オペレーターの使用を回避するようにプログラムを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCCONEC, ICCJRNEC, ICCRIDE, ICCSESEC, ICCUSREC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0112 *date time applid userid termid tranid program_name class::method* **This method failed because it is not supported on the current platform of env.**

説明: メッセージで報告されているメソッドは、現在のプラットフォーム (MVS) でサポートされないため、失敗しました。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、このプログラムが MVS プラットフォームで実行されていた理由を判別する必要があります。その後、このメソッドを呼び出さないようにプ

ログラムを変更するか、必要に応じてプラットフォームを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCABDEC, ICCCLKEC, ICCCONEC, ICCCTLEC, ICCSESEC, ICCSRQIC, ICCTMDEC, ICCTRMEC, ICCTSKEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *env*

宛先: CCZM

DFHCZ0113 *date time applid userid termid tranid program_name class::method* **This method failed because the system is configured with CICS family subset enforcement.**

説明: CICS は、その機能を CICS ファミリー・サブセットの機能に制限するように構成されているため、メッセージで報告されたメソッドは失敗しました。このメソッドは機能に含まれていません。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、このメソッドが呼び出された理由をはっきりさせる必要があります。適切な場合は、CICS ファミリー・サブセット制約をオフに切り替えるか、このメソッドを使用しないようにプログラムを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフト

ウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCABDEC, ICCCLKEC, ICCCONEC, ICCCTLEC, ICCSESEC, ICCSRQIC, ICCTMDEC, ICCTRMEC, ICCTSKEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0114 *date time applid userid termid tranid program_name class::method* **This method failed because the object being accessed was incomplete.**

説明: 以下に示すように、アクセスされているオブジェクトが不完全であったため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

メソッド名
必要なリソース

IccSession::connectProcess

パートナー ID

IccSession::convId

会話 ID 名

IccSession::PIPList

PIP リスト

IccSession::process

プロセス名

IccSession::syncLevel

同期レベル

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例

外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合、アクセスされているオブジェクトが正しくビルドされるようにプログラムを変更する必要があります。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCSESEC

XMEOU パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0115 *date time applid userid termid trandid program_name class::method* **This method failed because the object being accessed had a reference to an input message while the program was invoked via the remote program link.**

説明: アクセスされているオブジェクトが入力メッセージへの参照を含んでおり、リモート・プログラム・リンクを使用して呼び出されたために、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。この組み合わせはサポートされていません。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合、アクセスされているオブジェクトが入力メッセージを持たないように、またはプログラムがリモート・プログラム・リンクを使用して呼び出されないように、プログラムを変更する必要があります。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCPRGEC

XMEOU パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0116 *date time applid userid termid trandid program_name class::method* **This method failed because the object being accessed was not one of the supported classes.**

説明: アクセスされているオブジェクトが、サポートされているクラス

(IccDataQueue、IccFile、IccFileIterator、IccProgram、IccStartRequestQ、IccTempStore) のいずれでもないため、メッセージで報告されたメソッドは失敗しました。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合、オブジェクトにこのようにアクセスする前に、オブジェクトが正しいタイプになるようにプログラムを変更する必要があります。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCRESEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0117 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method This method
failed because the object being
accessed was of type object_type.*

説明: アクセスされているオブジェクトが正しいタイプではなかったため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

例えばメソッド `IccSession::extractProcess()` は、Back-End タイプのオブジェクトのみにアクセスするように制限されています。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合、オブジェクトにこのようにアクセスする前に、オブジェクトが正しいタイプになるようにプログラムまたは関連 CICS 定義を変更する必要があります。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCSESEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *object_type*

宛先: CCZM

DFHCZ0118 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method This method
failed because the object being
accessed did not have a reference for
the resource resource.*

説明: アクセスされているオブジェクトに、必要なリソースのうちの一部が割り振られていなかったため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

例えば、アクセスされているオブジェクトにレコード・インデックスの有効な参照が含まれていない場合には、`IccFile::readRecord(mode, updateToken)` というメソッド呼び出しはこのように失敗します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合、オブジェクトにこのようにアクセスする前に、オブジェクトに正しいリソースが割り振られるようにプログラムを変更する必要があります。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCFILEC, ICCFILIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*

9. *method*
 10. *resource*
- 宛先: CCZM

DFHCZ0120 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method* **This method failed because the current number of nested program calls made using this method is already at the maximum of max.**

説明: メッセージで報告されたメソッドは、ネストされた呼び出しで使用するのは最大 15 回までとするように制限されていますが、現在の要求ではそれを超えるため、メソッドは失敗しました。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合、ネストの深さが 15 を超えないようにプログラムを変更する必要があります。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCPRGEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *max*

宛先: CCZM

DFHCZ0121 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method* **This method failed because the call is invalid for the object being accessed. The resource type of the object is resourcetype.**

説明: メッセージで報告されたメソッドは、制限されたリソース・タイプのセットのみに有効であり、アクセスされているオブジェクトには無効であるため、失敗しました。

このメソッドが有効であるリソース・タイプは cDataQueue、cFile、cFileIterator、cProgram、cStartRequestQ、cTempStore です。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合、このタイプのオブジェクトに対してこのメソッドを呼び出さないようにプログラムを変更する必要があります。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCFILEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *resourcetype*

宛先: CCZM

DFHCZ0122 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method* **This method failed because the optional parameter named *pname* was set, which is invalid for the current environment of *env*.**

説明: メッセージで報告されたメソッドは、現行環境では無効であるオプション・パラメーターが設定されたことを検出したため、失敗しました。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、このオプション・パラメーターが使用されていた理由をはっきりさせる必要があります。適切な場合は、環境を変更するか、このメソッドを使用しないようにプログラムを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCFILEC ICCFLIIC ICCSEMEC
ICCSSEIC ICCSRQEC ICCSYSEC ICCTIMEC
ICCTSKEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*
11. *env*

宛先: CCZM

DFHCZ0123 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method* **This method failed because the optional parameter named *pname* was set, which is invalid because the system is configured with CICS family subset enforcement.**

説明: CICS がその機能を CICS ファミリーの機能に制限するように構成されている場合には無効であるオプション・パラメーターが設定されたことを検出したため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、このオプション・パラメーターが使用された理由をはっきりさせる必要があります。適切な場合は、CICS ファミリー・サブセット制約をオフに切り替えるか、このオプションを使用しないようにプログラムを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCFILEC, ICCFLIIC, ICCSEMEC,
ICCSSEIC, ICCSRQEC, ICCSYSEC, ICCTIMEC,
ICCTSKEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*

宛先: CCZM

DFHCZ0125 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method* **This method failed because the object being accessed had a buffer containing function management headers(FMHs), which is invalid for the current environment of *env*.**

説明: 現行環境では無効である機能管理ヘッダー (FMH) を含むバッファをシステムが検出したため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

FMH ヘッダーは SNA 通信プロトコルで使用され、また、3270 端末エラー条件の際に使用されます。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、システムが FMH ヘッダーを含むバッファを使用した理由をはっきりさせる必要があります。適切な場合は、環境を変更するか、この機能を使用しないようにプログラムを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCSRQEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *env*

宛先: CCZM

DFHCZ0126 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method* **This method failed because the object being accessed had a buffer containing function management headers(FMHs), which is invalid because the system is configured with CICS family subset enforcement.**

説明: CICS がその機能を CICS ファミリーの機能に制限するように構成されている場合には無効である機能管理ヘッダー (FMH) を含むバッファをシステムが検出したため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

FMH ヘッダーは SNA 通信プロトコルで使用され、また、3270 端末エラー条件の際に使用されます。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、システムが FMH ヘッダーを含むバッファを使用した理由をはっきりさせる必要があります。適切な場合は、CICS ファミリー・サブセット制約をオフに切り替えるか、この機能を使用しないようにプログラムを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCSRQEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0127 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method This method
failed because the value of the
parameter named pname, specified as
length, was not within the range 1 to
max.*

説明: 指定されたパラメーター用に渡された値が無効であったため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

例えば定義が `IccResource::IccResourceId(cFileId,"ABC")` であるとする、長さの値 9999 は無効であるため、`assign(9999,"PQRS")` という呼び出しは失敗します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローし、余分なデータを切り捨てた要求を完了します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、呼び出し側ステートメントで無効なパラメーターをチェックする必要があります。適切な場合は、それを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCRIDEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*
11. *length*
12. *max*

宛先: CCZM

DFHCZ0128 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method This method
failed because the length of the
parameter named pname, specified as
length, was not within the range 1 to
max.*

説明: これは内部論理エラーです。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCSESEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*
11. *length*
12. *max*

宛先: CCZM

DFHCZ0129 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method This method
detected an exception which resulted
in data being truncated.*

説明: ターゲット・オブジェクトが十分な大きさではなかったか、新しいストリングを収容できるように拡張できなかったため、メッセージで報告されたメソッド/演算子が失敗しました。

例えば定義が `IccBuf buffer(5,IccBuf::fixed)` であるとする、"toolong" の長さが 5 を超えているため `buffer = "toolong"` という代入は失敗します。結果としてオブジェクト・バッファのテキスト値は "toolo" となります。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローし、余分なデータを切り捨てた要求を完了します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、呼び出し側ステートメントで無効なパラメーターをチェックする必要があります。適切な場合は、それを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCBUFIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0130 *date time applid userid termid tranid program_name class::method This method/operator failed because the parameter pname contained a string of length length, while the maximum allowed is max.*

説明: 指定されたストリング・パラメーターの 1 つに長すぎる値が含まれていたため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

例えばメソッド呼び出し IccFileId::IccFileId ("LONGFILENAME") は、値 "LONGFILENAME" が IccGI::maxFileNameLength よりも大きいため失敗します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、呼び出し側ステートメントで無効なパラメーターをチェックする必要があります。適切な場合は、それを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCCTLEC ICCRESEC ICCRIDECC ICCSRQEC ICCSRQIC ICCTSKEC ICCUSREC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*
11. *length*
12. *max*

宛先: CCZM

DFHCZ0131 *date time applid userid termid tranid program_name class::method This constructor failed to create an object because a parameter of type string contained a value that was too long. It was set to 'stringvalue...' while the maximum length allowed is maxstringlength.*

説明: 指定されたストリング・パラメーターの 1 つに長すぎる値が含まれていたため、メッセージで報告されたコンストラクター・メソッドが失敗しました。

例えばメソッド呼び出し IccFileId::IccFileId ("LONGFILENAME") は、値 "LONGFILENAME" が IccGI::maxFileNameLength よりも大きいため失敗します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例

DFHCZ0132 • DFHCZ0134

外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、呼び出し側ステートメントで無効なパラメーターをチェックする必要があります。適切な場合は、それを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCRIDECE、ICCTIMEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *stringvalue*
11. *maxstringlength*

宛先: CCZM

DFHCZ0132 *date time applid userid termid tranid program_name class::method This constructor failed to create an object because the parameter named pname contained an invalid string of length plength while the maximum length allowed is pmaxlength.*

説明: これは内部論理エラーです。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCSESEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*
11. *plength*
12. *pmaxlength*

宛先: CCZM

DFHCZ0134 *date time applid userid termid tranid program_name class::method This method failed because the parameter named pname contained an invalid value.*

説明: 指定されたパラメーターの 1 つが無効であったため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。例えば呼び出しモード値 999 は 70 から 74 までの有効な範囲から外れるため、メソッド呼び出し IccFile::readRecord(999,updateToken) は失敗します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、呼び出し側ステートメントで無効なパラメーターをチェックする必要があります。適切な場合は、それを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCBASEC ICCBUFEC ICCCLKEC ICCFILEC ICCFLIIC ICCGLBEC ICCPRGEC ICCRESEC ICCSEMEC ICCSESEC ICCSESEC ICCSRQEC ICCSYSEC ICCTMPEC ICCTRMPEC ICCTSKEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*

宛先: CCZM

DFHCZ0136 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method This method
failed because the parameter named
param_name contained conflicting flags
specified as flag1 and flag2.*

説明: 指定されたパラメーターの 1 つが無効であったため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

メソッドのこのパラメーターは、各ビットがフラグを示す整数として定義されていますが、その一部は同時に設定してはなりません。呼び出し側のパラメーターに、矛盾するフラグのペアが設定されていました。例えばメソッド呼び出し `IccFile::setAccess(3)` は、アクセス値 3 に 2 つの矛盾するフラグ `readable` および `notReadable` が含まれているため失敗します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、呼び出し側ステートメントで無効なパラメーターをチェックする必要があります。適切な場合は、それを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCFILEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *param_name*
11. *flag1*
12. *flag2*

宛先: CCZM

DFHCZ0137 *date time applid userid termid tranid
program_name class::method This
constructor failed to create an object
because the parameter named pname
contained an invalid value of pvalue.*

説明: 指定されたパラメーターの 1 つが無効であったため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

メソッドのこのパラメーターは、定義された範囲に制限されていますが、呼び出しで指定された値がその範囲内ではありませんでした。例えばコンストラクター・メソッド呼び出し `IccJournalId::IccJournalId(987)` は、`journalNum` の値 987 が 1 から 99 までの範囲から外れるため失敗します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、呼び出し側ステートメントで無効なパラメーターをチェックする必要があります。適切な場合は、それを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCRIDEDEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*
11. *pvalue*

宛先: CCZM

DFHCZ0138 *date time applid userid termid trandid
program_name class::method This method
failed because the parameter named
pname contained an invalid value of
pvalue.*

説明: 指定されたパラメーターの 1 つが無効であったため、メッセージで報告されたメソッドが失敗しました。

メソッドのこのパラメーターは、整数 (一般的な意味) として定義されていますが、呼び出しで指定された値はメソッドの機能的内容に対して適切ではありませんでした。例えばメソッド呼び出し `IccTerminal::sendLine(9876,buffer)` は、列の値 9876 が画面の高さよりも大きいために失敗します。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合は、呼び出し側ステートメントで無効なパラメーターをチェックする必要があります。適切な場合は、それを変更してください。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCBUFIC ICCONEC ICCDATEC
ICCFILEC ICCRIDE CICTIMEC ICCTMPEC
ICCTRMED ICCTSKEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *pname*
11. *pvalue*

宛先: CCZM

DFHCZ0140 *date time applid userid termid trandid
program_name class::method This
constructor failed to create an object
because it is a singleton class which
already exists.*

説明: メッセージで報告されたコンストラクター・メソッドが、オブジェクトの作成に失敗しました。そのオブジェクトが既に存在する `singleton` クラスであるためです。どの時点でも、このようなクラスのインスタンスは 1 つしか存在できません。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムがユーザー作成プログラムである場合、トランザクションごとに複数回このメソッドを呼び出すことのないようにプログラムを変更する必要があります。

メソッド `instance()` を使用することも考えられます。すべての CICS `singleton` クラスがこの名前または類似した名前のメソッドを提供します。このメソッドは固有オブジェクトへの参照を返します (まだオブジェクトが存在しない場合は作成します)。このメソッドは、複数回安全に呼び出すことができ、毎回同じオブジェクトへの参照を返します。

このような場合に障害が発生するベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCABDEC ICCONEC ICCCTLEC
ICCSRQEC ICCSYSEC ICCTMDEC ICCTRMED
ICCTSKEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0141 *date time applid userid termid trandid
program_name class::method This method
failed to create the object object
because the CICS task did not have a
terminal as its principal facility.*

説明: メッセージで報告されたメソッドが、オブジェクトの作成に失敗しました。CICS トランザクションを定義する際に、端末を基本機能としなかったためです。通常、このメソッドを呼び出すプログラムは、フロントエンド CICS 領域 (TOR) 内で端末が開始したトランザクションとして実行されていなければなりません。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: このメソッドを呼び出すプログラムが正しい環境で実行されるように、CICS 構成定義を変更する必要があります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCCTLEC ICCTMDEC ICCTRMED

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *class*

9. *method*

10. *object*

宛先: CCZM

DFHCZ0142 *date time applid userid termid trandid
program_name class::method This method
failed to create an object of type object
because the CICS task did not have a
session as its principal facility.*

説明: メッセージで報告されたメソッドが、オブジェクトの作成に失敗しました。CICS トランザクションが、セッションを基本機能として定義されなかったためです。通常、このメソッドを呼び出すプログラムは、CICS 分散トランザクション処理に関連する、システムが開始したトランザクションとして実行されます。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: このメソッドを呼び出すプログラムが正しい環境で実行されるように、CICS 構成定義を変更する必要があります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCCTLEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*
10. *object*

宛先: CCZM

DFHCZ0143 *date time applid userid termid trandid
program_name class::method This virtual
method has not been implemented by
the derived class.*

説明: メッセージで報告されたクラスのメソッドは、派

生クラスによって実装されていません。

このメソッドは、適切な場合はサブクラスによって再定義されることを目的として、仮想メソッドとして定義されています。

デフォルトの実装では、この状態のユーザーにアラートを出すために単に例外がスローされます。

詳細については、「ファウンデーション・クラス: 参照」を参照してください。

システムの処置: システムはトレース・テーブル内に例外項目を作成し、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、例外をスローします。

ユーザーの処置: このクラスを継承するクラスを作成した場合、このメソッドに適切な実装を提供する必要があります。

このクラスを継承する可能性のあるベンダー作成のソフトウェアを使用している場合は、ベンダーのサポートが必要になります。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: ICCRESEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *class*
9. *method*

宛先: CCZM

DFHCZ0200 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (AttachInitiator.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0201 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, profile)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, profile) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (AttachInitiator.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0202 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, process)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, process) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (AttachInitiator.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0203 *date time applid userid termid tranid
program_name The process name passed
to the CONNECT_PROCESS method
in module was invalid.*

説明: ネイティブ・メソッド CONNECT_PROCESS に渡されたプロセス名が無効でした。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、CONNECT_PROCESS の呼び出しを無視します。

ユーザーの処置: 必ず、正しい AttachInitiator Java オブジェクトで setProcess() メソッドを使用してプロセス名が正しく設定されるようにしてください。

モジュール: DFJ CZDTC (AttachInitiator.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0204 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetFieldID() for
DataHolder.value' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の DataHolder.value の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (Conversation.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0205 *date time applid userid termid tranid
program_name An unexpected value for
the control parameter was passed to
the ISSUE_CONTROL() method in
module.*

説明: ISSUE_CONTROL() メソッドに、コントロール・パラメーターには予測されなかった値が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の

サポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (Conversation.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0206 *date time applid userid termid trandid
program_name* **An attempt to issue an
ASSIGN ABCODE command in module
has failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコードが、ASSIGN ABEND を発行しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCAbend.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0207 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call 'FindClass()' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し FindClass() は、CicsResponseConditionException のクラスを検出できませんでした。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCCCondition.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0208 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call 'GetFieldID()' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCCCondition.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0209 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0210 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, fileName,
NULL)' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, fileName, NULL) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0211 *date time applid userid termid trandid
program_name A null filename has
been passed to a native method in
module.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーが使用するネイティブ・メソッドにヌル・ファイル名が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 関連するファイル・オブジェクトごとに setName() メソッドを使用して有効なファイル名が指定されたことを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0212 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0213 *date time applid userid termid tranid
program_name A null filename has
been passed to a native method in
module.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーが使用するネイティブ・メソッドにヌル・ファイル名が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 関連するファイル・オブジェクトごとに setName() メソッドを使用して有効なファイル名が指定されたことを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

412 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0214 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars(envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0215 *date time applid userid termid tranid
program_name An attempt in module to
delete records from a KSDS has
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内で KSDS からレコードを削除しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込みます。Java 例外またはエラーがスローされます。

ユーザーの処置: JCICS Java クラス・ライブラリーがスローした例外またはエラーをキャッチするように、アプリケーションに適切なコードを追加してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0216 *date time applid userid termid trandid program_name* **A relative record number greater than 32767 has been specified on a DELETE command in module.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーが使用する Java ネイティブ・メソッドに 32766 よりも大きい相対レコード番号が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 関連する `delete()` メソッドで指定された値が有効であることを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*

8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0217 *date time applid userid termid trandid program_name* **An attempt in module to delete records from an RRDS has failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内で RRDS からレコードを削除しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込みます。Java 例外またはエラーがスローされます。

ユーザーの処置: JCICS Java クラス・ライブラリーがスローした例外またはエラーをキャッチするように、アプリケーションに適切なコードを追加してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0218 *date time applid userid termid trandid program_name* **JNI call 'GetFieldID()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `GetFieldID()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ

いては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0220 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0221 *date time applid userid termid trandid
program_name* **A null filename has
been passed to a native method in
module.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーが使用するネイティブ・メソッドにヌル・ファイル名が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 関連するファイル・オブジェクトごとに setName() メソッドを使用して有効なファイル名が指定されたことを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0222 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0223 *date time applid userid termid trandid
program_name A null filename has
been passed to a native method in
module.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーが使用するネイティブ・メソッドにヌル・ファイル名が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 関連するファイル・オブジェクトごとに setName() メソッドを使用して有効なファイル名が指定されたことを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0224 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使われる Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetByteArrayElements() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0225 *date time applid userid termid trandid
program_name A null key has been
passed to a native method in module.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーが使用する Java ネイティブ・メソッドにヌル・キーが渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: KeyedFileBrowse オブジェクトに対して実行されるすべての関連する reset() メソッドが有効なキーを指定していることを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0226 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0227 *date time applid userid termid tranid
program_name A null filename has
been passed to a native method in
module.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーが使用するネイティブ・メソッドにヌル・ファイル名が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 関連するファイル・オブジェクトごとに setName() メソッドを使用して有効なファイル名が指定されたことを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0228 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetByteArrayElements() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0229 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetByteArrayElements() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりま

す。
ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0230 *date time applid userid termid trandid
program_name* **An attempt to allocate
storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内で、RIDFLD パラメーターとして使用するストレージを取得しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりま

す。
ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0231 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりま

す。
ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0232 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりま

す。
ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
 3. *applid*
 4. *userid*
 5. *termid*
 6. *trandid*
 7. *program_name*
 8. *module*
 宛先: CCZM

DFHCZ0233 *date time applid userid termid trandid
 program_name* **A NULL filename has
 been passed to a native method in
 module.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーが使用するネイティブ・メソッドにヌル・ファイル名が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 関連するファイル・オブジェクトごとに setName() メソッドを使用して有効なファイル名が指定されたことを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
 2. *time*
 3. *applid*
 4. *userid*
 5. *termid*
 6. *trandid*
 7. *program_name*
 8. *module*
 宛先: CCZM

DFHCZ0234 *date time applid userid termid trandid
 program_name* **JNI call
 'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
 module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
 2. *time*
 3. *applid*
 4. *userid*
 5. *termid*
 6. *trandid*
 7. *program_name*
 8. *module*
 宛先: CCZM

DFHCZ0235 *date time applid userid termid trandid
 program_name* **JNI call
 'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
 module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
 2. *time*
 3. *applid*
 4. *userid*
 5. *termid*
 6. *trandid*
 7. *program_name*
 8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0236 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, TransId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, TransId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0237 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetFieldID()' for 'DataLength.Length' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0238 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'FindClass()' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、EndOfProgramException のクラスを見つけるための JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0239 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'ThrowNew()' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成

DFHCZ0240 • DFHCZ0242

されたコード内の JNI 呼び出し ThrowNew() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0240 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'FindClass()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、TransferOfControlException のクラスを見つけるための JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*

7. *program_name*

8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0241 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'ThrowNew()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、TransferOfControlException をスローするための JNI 呼び出し ThrowNew() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0242 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'FindClass()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、TransferOfControlException のクラスを見つけるための JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ

いては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0243 *date time applid userid termid trandid*
program_name **JNI call 'ThrowNew()' in**
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、`TransferOfControlException` をスローするための JNI 呼び出し `ThrowNew()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCProgram.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0244 *date time applid userid termid trandid*
program_name **An attempt to issue an**
ASSIGN APPLID SYSID command in
module **has failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコードが、`ASSIGN APPLID(...)` `SYSID(...)` を発行しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCAbend.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0245 *date time applid userid termid trandid*
program_name **JNI call 'FindClass()' in**
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `FindClass()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0246 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call 'ThrowNew()' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `ThrowNew()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0247 *date time applid userid termid trandid
program_name A 'malloc' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の `malloc` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: アプリケーションが使用できるヒープ・ストレージの量を増やしてください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0248 *date time applid userid termid trandid
program_name A 'malloc' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の `malloc` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: アプリケーションが使用できるヒープ・ストレージの量を増やしてください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0249 *date time applid userid termid tranid
program_name* **JNI call 'FindClass(envp,
classname)' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、示されたクラスの JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *classname*
9. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0250 *date time applid userid termid tranid
program_name* **JNI call 'ThrowNew()' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し ThrowNew() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0253 *date time applid userid termid tranid
program_name* **JNI call 'NewByteArray()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し NewByteArray() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c) DFJCZDTC (Container.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0254 *date time applid userid termid tranid
program_name* **JNI call 'FindClass()' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD

キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0255 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call 'ThrowNew()' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し ThrowNew() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0256 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call 'GetFieldID()' failed in module.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0257 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call 'GetMethodID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の setState() の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0258 *date time applid userid termid tranid
program_name* **JNI call 'GetMethodID()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の `setConvId()` の JNI 呼び出し `GetMethodID()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0259 *date time applid userid termid tranid
program_name* **An attempt to allocate storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内でストレージを取得しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0260 *date time applid userid termid tranid
program_name* **JNI call 'NewObject()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、Conversation オブジェクトを構成するための JNI 呼び出し `NewObject()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0261 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetMethodID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、Conversation のコンストラクターを見つけるための JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0262 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'FindClass()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、com/ibm/cics/server/Conversation を見つけるための JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0263 *date time applid userid termid tranid
program_name An attempt to allocate storage in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内でストレージを取得しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0264 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'CallVoidMethod()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し CallVoidMethod() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD

キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0265 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'GetMethodID()'
in module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の `setConvId()` の JNI 呼び出し `GetMethodID()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0266 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call
'CallVoidMethod()' in module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `CallVoidMethod()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0267 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call
'CallVoidMethod()' in module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の `setState()` の JNI 呼び出し `CallVoidMethod()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHCZ0268 • DFHCZ0270

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0268 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call*
'CallVoidMethod()' in module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `CallVoidMethod()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0269 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call 'GetMethodID()'*
in module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の `setProcess()` の JNI 呼び出し `GetMethodID()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0270 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call*
'CallVoidMethod()' in module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `CallVoidMethod()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0271 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetMethodID()'
in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0272 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'CallVoidMethod()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し CallVoidMethod() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0273 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetMethodID()'
in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0274 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'CallVoidMethod()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し CallVoidMethod() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTC Support.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0275 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'GetMethodID()' **in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTC Support.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0276 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'CallVoidMethod()' **in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し CallVoidMethod() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTC Support.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0277 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'GetMethodID()' **in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTC Support.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0278 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'CallVoidMethod()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `CallVoidMethod()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCDZTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0279 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetMethodID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `GetMethodID()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCDZTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0280 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'NewObject()' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、`ConversationPrincipalFacility` オブジェクトの JNI 呼び出し `NewObject()` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCDZTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0281 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetMethodID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0282 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'FindClass()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の com/ibm/cics/server/ConversationPrincipalFacility の JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0283 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'FindClass()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、Conversation クラスを見つけるための JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0284 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetMethodID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD

キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCSupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0285 *date time applid userid termid trandid*
program_name **JNI call 'GetMethodID()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCSupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0286 *date time applid userid termid trandid*
program_name **JNI call 'NewObject()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し NewObject() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCSupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0287 *date time applid userid termid trandid*
program_name **An attempt to allocate storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内でストレージを取得しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHCZ0288 • DFHCZ0290

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0288 *date time applid userid termid tranid
program_name* **An attempt to allocate
storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内でストレージを取得しようとして失敗し
ました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりま
す。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0289 *date time applid userid termid tranid
program_name* **An attempt to allocate
storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内でストレージを取得しようとして失敗し
ました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりま
す。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0290 *date time applid userid termid tranid
program_name* **An attempt to allocate
storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内でストレージを取得しようとして失敗し
ました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりま
す。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0291 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetMethodID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0292 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'FindClass()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の com/ibm/cics/server/RetrievedData の JNI 呼び出し FindClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0293 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetFieldID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の taskNumber の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0294 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetFieldID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の transactionName の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

DFHCZ0295 • DFHCZ0297

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0295 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call
'GetObjectClass()' in module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetObjectClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0296 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'GetFieldID()' in
module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の principalFacility の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0297 *date time applid userid termid trandid*
program_name JNI call 'GetFieldID()' in
module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の FCI の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0298 *date time applid userid termid tranid
program_name* JNI call 'GetFieldID()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗
しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0299 *date time applid userid termid tranid
program_name* JNI call 'NewObject()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の、TerminalPrincipalFacility の JNI 呼
び出し NewObject() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0300 *date time applid userid termid tranid
program_name* JNI call 'GetMethodID()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の、TerminalPrincipalFacility コンスト
ラクターの JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しま
した。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0301 *date time applid userid termid tranid*
program_name JNI call 'FindClass()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
 されたコード内の com/ibm/cics/server/
 TerminalPrincipalFacility の JNI 呼び出し FindClass()
 は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
 キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
 サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
 いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
 ください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0302 *date time applid userid termid tranid*
program_name JNI call 'GetFieldID()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
 されたコード内の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗
 しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
 キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
 サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
 いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
 ください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0303 *date time applid userid termid tranid*
program_name JNI call
 'GetObjectClass()' in *module* **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
 されたコード内の com/ibm/cics/server/Task の JNI
 呼び出し GetObjectClass() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
 キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
 サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
 いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
 ください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0305 *date time applid userid termid tranid*
program_name JNI call
 'GetStringUTFChars(envp, abcode)' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
 されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars
 (envp, abcode) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD

キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0311 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call 'GetFieldID0' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTask.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0312 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, queueName,
NULL)' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, queueName, NULL) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTDQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0313 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTDQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0314 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, queueName,
NULL)' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, queueName, NULL) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCDTC (DTCTDQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0315 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCDTC (DTCTDQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0316 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, queueName,
NULL)' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, queueName, NULL) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCDTC (DTCTDQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0317 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTDQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0324 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetByteArrayElements() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0325 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call 'GetMethodID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、toBinary() メソッドの JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0326 *date time applid userid termid tranid
program_name A text array passed to
the SEND_TEXT() method in module
was greater than 32767 bytes. データは
切り捨てられました。*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成

DFHCZ0327 • DFHCZ0329

されたコード内の、SEND_TEXT() メソッドに渡されるテキスト配列の長さが 32767 バイトを超えていました。

システムの処置: システムはこのメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、配列内の最初の 32767 バイトを送信します。

ユーザーの処置: 必ず、sendText() メソッドに渡すテキストの長さが 32767 を超えないようにしてください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0327 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetByteArrayElements() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*

7. *program_name*

8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0328 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call 'GetMethodID()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、toBinary() メソッドの JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0329 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call 'GetFieldID()' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の TCTUALength の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0330 *date time applid userid termid trandid
program_name* **An attempt to allocate
storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内でストレージを取得しようとして失敗し
ました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0331 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call 'GetFieldID()' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の TERMCODE の JNI 呼び出し
GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0332 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call 'FindClass()' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の com/ibm/cics/server/
TerminalPrincipalFacility の JNI 呼び出し FindClass()
は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

DFHCZ0333 • DFHCZ0336

宛先: CCZM

DFHCZ0333 *date time applid userid termid tranid
program_name* **An attempt to allocate
storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内でストレージを取得しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCFile.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0334 *date time applid userid termid tranid
program_name* **JNI call 'GetFieldID()' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の TCTUAP の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTerminal.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0335 *date time applid userid termid tranid
program_name* **JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTSQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0336 *date time applid userid termid tranid
program_name* **An invalid value for
item number was passed to the
READITEM() method in module. The
value passed was item_no.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで 사용되는 Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の readItem() メソッドに、項目番号として無効な値が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 適切な TSQ Java オブジェクトの readItem() メソッドで指定された項目番号が、0 から 32767 の範囲内であることを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTSQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*
9. *item_no*

宛先: CCZM

DFHCZ0337 *date time applid userid termid trandid program_name* **TSQ name tsqname has been truncated to 16 characters in the SETNAME() method in module.**

説明: メッセージに示されている一時記憶域キューが 16 文字に切り捨てられました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を続行します。

ユーザーの処置: JCICS アプリケーションで使用されるすべての TS キュー名の長さが 16 文字以下であることを確認してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTSQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *tsqname*
9. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0338 *date time applid userid termid trandid program_name* **An invalid value for item number was passed to the REWRITE() method in module. The value passed was item_no.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の REWRITE() メソッドに、項目番号として無効な値が渡されました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、要求を無視します。

ユーザーの処置: 適切な TSQ Java オブジェクトの REWRITE() メソッドで指定された項目番号が、0 から 32767 の範囲内であることを確認してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (DTCTSQ.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*
9. *item_no*

宛先: CCZM

DFHCZ0340 *date time applid userid termid trandid program_name* **JNI call 'GetByteArrayElements()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetByteArrayElements() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ

いては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0341 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, transactionName) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0342 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0345 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, transactionName) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJ CZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0347 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の JNI 呼び出し
GetByteArrayElements() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0348 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, terminal)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars
(envp, terminal) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0349 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, SysId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars
(envp, SysId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: DFJCZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0350 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, rTransaction) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0351 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, rTerminal)'
in module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, rTerminal) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0352 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetByteArrayElements (envp, data, NULL) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (SynchronizationResource.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0353 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetByteArrayElements (envp, data, NULL) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりまします。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (SynchronizationResource.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0354 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `GetByteArrayElements(envp, CommArea, NULL)` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりまします。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (WrapperNative.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0355 *date time applid userid termid trandid
program_name JNI call
'NewByteArray(envp, Length)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し `NewByteArray(envp, Length)` は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとりまします。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (WrapperNative.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0356 *date time applid userid termid trandid
program_name non-CICS security
manager of class className installed.*

説明: *className* クラスの非 CICS セキュリティー・マネージャーがインストールされているため、Environment コンストラクターは CICS セキュリティー・マネージャーをインストールできませんでした。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込みます。

ユーザーの処置: CICS セキュリティー・マネージャーは、例えば、Java プログラムが `exit` コマンドを発行できないようにします。自分がインストールしたセキュリティ・マネージャーが、CICS Java プログラムを実行できる互換性を持つことを確認してください。

モジュール: DFJCICS
(com.ibm.cics.server.Environment.java)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *className*

宛先: CCZM

DFHCZ0380 *date time applid userid termid trandid
program_name* **An attempt to allocate
storage in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内で、RIDFLD パラメーターとして使用するストレージを取得しようとして失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(Document.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(DTCSupport.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(HttpRequest.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(TcpiInfo.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(TcpiRequest.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(WebInfo.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0381 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call
'GetByteArrayElements()' in module
failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し

GetByteArrayElements() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(Document.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(HttpResponse.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(Container.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0382 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JNI call
'GetStringUTFChars()' in module failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: libcom_ibm_cics_server_DTC.so

(Document.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (HttpRequest.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (HttpResponse.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (TcpipRequest.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (Container.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (ContainerIterator.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0383 *date time applid userid termid trandid*
program_name **JNI call 'NewObject()' in**
module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の、Conversation オブジェクトを構成するための JNI 呼び出し NewObject() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (DTCsupport.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (HttpResponse.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0384 *date time applid userid termid trandid*
program_name **JNI call 'GetMethodID()' in**
module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の setState() の JNI 呼び出し GetMethodID() は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (DTCsupport.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
 (HttpResponse.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0385 *date time applid userid termid trandid*
program_name **JNI call 'FindClass()' in**
module failed.

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し FindClass() は、CicsResponseConditionException のクラスを検出できませんでした。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: libcom_ibm_cics_server_DTC.so

(DTCsupport.c) libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(HttpResponse.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0386 *date time applid userid termid trandid
program_name* JNI call 'GetFieldID()' in
module **failed.**

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用される
Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成
されたコード内の JNI 呼び出し GetFieldID() は、失敗
しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD
キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM の
サポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ
いては、「IBM との協力による問題解決」を参照して
ください。

モジュール: libcom_ibm_cics_server_DTC.so
(DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0399 *termid trandid date time*

**COM.IBM.CICS.SERVER.WRAPPER -
library** のロード中に
UnsatisfiedLinkError が発生しました。
**(UNSATISFIEDLINKERROR
LOADING library.)**

説明: JCICS ネイティブ・ライブラリー
com_ibm_cics_server_DTC をロードしようとして
UnsatisfiedLinkError が発生しました。

システムの処置: UnsatisfiedLinkError が呼び出し側に
スローされます。タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ET/390 環境で実行している場合、
PROGRAM DFJCZDTC

(libcom_ibm_cics_server_DTC.so という別名を持つ)
が、CICS で使用可能な PDSE 内に存在することを確認
してください。JVM で実行している場合には、
libcom_ibm_cics_server_DTC.so が、CICS に対して定
義されている libpathに存在することを確認してくださ
い。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要に
なります。続行する方法の手引きについては、「IBM
との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCICS
(com.ibm.cics.server.Wrapper.java)

宛先: SYSPRINT

DFHCZ0400 *date time applid userid termid trandid
program_name* **JVMSERVER thread was
canceled in module because the
JVMSERVER is disabling.**

説明: JVMSERVERが使用不可になっているため、現行
の JVMSERVER スレッドが取り消されました。

システムの処置: CICS は、このメッセージを TD キ
ュー CCZM に書き込みます。

ユーザーの処置: 処置は取られません。

モジュール: DFJCZDTC (DTCsupport.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *trandid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHCZ0401 *date time applid userid termid tranid
program_name JNI call
'GetStringUTFChars(envp, userId)' in
module failed.*

説明: JCICS Java クラス・ライブラリーで使用する Java ネイティブ・メソッドをサポートするために作成されたコード内の JNI 呼び出し GetStringUTFChars (envp, userId) は、失敗しました。

システムの処置: システムは、このメッセージを TD キュー CCZM に書き込み、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ

いては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFJCZDTC (StartRequest.c)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *module*

宛先: CCZM

DFHDBnnnnn メッセージ

DFHDB2001 *date time applid CICS-DB2
resynchronization with db2id for unit
of work X'uowid' cannot take place
due to initial start of CICS.*

説明: CICS の初期スタートが行われたため、DB2 サブシステム *db2id* が以前の接続から保持する作業単位 (UOW) *uowid* の処理を CICS が解決できません。再同期が未解決の場合は、CICS の初期スタートを避ける必要があります。CICS のコールド・スタート、ウォーム・スタート、および緊急始動は、CICS および DB2 の接続時に自動的に行われる再同期に影響しません。

システムの処置: CICS は DB2 に接続されていますが、DB2 で UOW *uowid* は未確定のままです。

ユーザーの処置: UOW *uowid* は、DB2 の -DISPLAY THREAD および -RECOVER INDOUBT オペレーター・コマンドを使用して手動で解決する必要があります。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2id*
5. *X'uowid'*

宛先: CDB2 およびコンソール

DFHDB2003 *date time applid The CICS-DB2
attachment facility is already active.
CICS is connected to DB2 subsystem*

db2-id { | group } db2-group

説明: CICS-DB2 接続は既にアクティブであり、CICS で使用可能になっています。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能の初期設定が完了しません。

ユーザーの処置: 1 つの CICS-DB2 接続機能だけが、CICS 領域内でアクティブになることができます。

モジュール: DFHD2CM1, DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2-id*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= ,
2= グループ

6. *db2-group*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2004 *date time applid No threads were found
for plan plan-name*

説明: このメッセージは、CICS-DB2 接続機能の DSNB DISPLAY または DISCONNECT コマンドに回答して出されます。指定された計画名 *plan-name* を使用するスレッドは見つかりませんでした。*plan-name* は、特定の計画が要求されなかった場合はブランクになることがあります。

DFHDB2005 • DFHDB2010

システムの処置: CICS-DB2 接続機能コマンドが処理されません。

ユーザーの処置: 正しい計画名を指定して、コマンドを入力し直してください。

モジュール: DFHD2CC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2005 *date time applid* Transaction tran is not defined for CICS DB2.

説明: このメッセージは、CICS-DB2 接続機能の DSNB DISPLAY または MODIFY コマンドに応答して出されます。コマンドで指定されたトランザクション *tran* が、CICS DB2 トランザクションとして定義されていませんでした。すなわち、*transid* に DB2TRAN が定義されていなかったか、存在しない DB2ENTRY を DB2TRAN が参照していたか、DISPLAY コマンドの場合にトランザクションのスレッドが見つかりませんでした。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能コマンドが処理されません。

ユーザーの処置: 正しいトランザクション名を指定して、コマンドを入力し直してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2006 *date time applid* The dest destination ID is invalid.

説明: このメッセージは、CICS-DB2 接続機能の DSNB MODIFY DESTINATION コマンドに応答して出されます。変更するコマンドに指定された宛先 ID *dest* は、メッセージ・キューとして DB2CONN 内で現在定義されている宛先の ID ではありません。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能コマンドが処理されません。

ユーザーの処置: 正しい宛先 ID を指定して、コマンドを入力し直してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2007 *date time applid* The command verb is missing or invalid.

説明: CICS-DB2 接続機能は、DSNB コマンドで入力された *verb* を認識しません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい構文でコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2008 *date time applid* Keyword missing or invalid.

説明: CICS-DB2 接続機能の DSNB コマンドに、不明な定位置キーワードが含まれているか、またはキーワードが指定されていません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい構文でコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2009 *date time applid* The value in the command is invalid.

説明: DSNB modify コマンド内の数値が無効です。このエラーが出される原因は以下のいずれかです。

- コマンド内の値が 2000 を超えています。
- コマンド内の値が、DB2CONN で指定された TCBLIMIT を超えています。
- プールが (例えば CEPL というトランザクション ID を使用して) 変更される場合、値は 3 よりも小さくなります。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能コマンドが処理されません。

ユーザーの処置: 正しい値を指定してコマンドを入力し直してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2010 *date time applid tranid* Transaction abended because DB2 thread tcbs are unavailable.

説明: トランザクションのスレッドを作成するために DB2 スレッド TCB が使用できなかったため、トランザクションは異常終了しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: DB2CONN の TCBLIMIT 値を大き

くすることによって CICS-DB2 接続で使用可能なサブタスク TCB の数を増やすかどうかを決定します。TCBLIMIT 値は SET DB2CONN コマンドを使用して変更できます。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CDB2

DFHDB2011 *date time applid tranid* **Transaction abended because threads are unavailable for resource** *resname*

説明: トランザクション用に DB2 へのスレッド接続を使用できなかったため、トランザクションは異常終了しました。*Resname* は、スレッドの割り振り元とすることになっていた DB2ENTRY または POOL の名前です。このエラーは、以下の場合に発生する可能性があります。

- DB2ENTRY が Threadwait(no) を指定しており、すべてのスレッドが現在使用中である。
- DB2ENTRY が Threadwait(pool) を指定しているが、DB2CONN 内のプール定義では Threadwait(no) を指定しており、DB2ENTRY とプールの両方ですべてのスレッドが使用中である。
- トランザクションはプールを直接使用していたが、プールは Threadwait(no) を指定しており、すべてのプール・スレッドが現在使用中である。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: DB2ENTRY の THREADLIMIT 値を大きくすることによって DB2ENTRY で使用可能なスレッドの数を増やすか、DB2CONN の THREADLIMIT 値を大きくすることによって POOL で使用可能なスレッドの数を増やすかを決定します。THREADLIMIT 値は、SET DB2ENTRY および SET DB2CONN コマンドを使用して大きくすることができます。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*
5. *resname*

宛先: CDB2

DFHDB2012 *date time applid* **Stop quiesce of the CICS-DB2 attachment facility from DB2 subsystem db2-id is proceeding.**

説明: マスター端末オペレーターにより入力された DSNC STOP コマンドが処理中です。CICS は DB2 サブシステム *db2-id* から切断されます。切断が完了すると、メッセージ DFHDB2025 が端末に出力されます。

システムの処置: DB2CONN 定義内の CONNECTERROR 設定に応じて、SQL コマンドを発行しようとしている新規 CICS トランザクションが異常終了するか、負の SQL 理由コードを受け取ります。

CICS-DB2 インターフェースを使用する既存のトランザクションは、CICS-DB2 接続機能が停止される前に完了することができます。

ユーザーの処置: 許容できる期間内に静止が完了しない場合は、別の端末から DSNC STOP FORCE コマンドを発行する必要があります。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2013 *date time applid* **Display report follows for threads accessing DB2 db2-id**

説明: CICS-DB2 接続の display plan または display tran コマンドが要求され、このメッセージの後に結果が示されます。ブランクでない場合、*db2-id* は関係する DB2 サブシステムの名前です。

以下の情報が、スレッドごとに表示されます。

DB2ENTRY

スレッドが含まれる DB2ENTRY の名前。

S

スレッドの状況:

*

スレッドは作業単位内でアクティブであり、現在 DB2 で実行されていません。

A

スレッドは作業単位内でアクティブですが、現在 DB2 で実行されていません。

I

スレッドは非アクティブです。これは、新規の作業を待機している保護されたスレッドです。

PLAN

現在の計画名。

PRI-AUTH

DB2 の 1 次許可 ID。

SEC-AUTH

DB2 の 2 次許可 ID。

CORRELATION

DB2 のスレッド相関 ID。

アクティブ・スレッドの場合のみ:

TRAN

CICS トランザクション ID。

TASK

CICS タスク番号。

UOW-ID

CICS 作業単位 ID。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2-id*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2014 *date time applid* **Statistics report follows**
for *db2conn-name* **accessing DB2** *db2-id*

説明: CICS-DB2 接続機能の統計表示が要求されました。このメッセージに続いて表示されます。現在使用中の DB2CONN の名前が *db2conn-name* であり、*db2-id* は、ブランクでない場合は関係する DB2 サブシステムの名前です。

表示される統計は、最後の統計収集間隔の有効期限、1 日の終わりの有効期限、または要求されたリセットの後に累算された統計です。これらの統計は、CICS 統計の spi コマンドによって収集される CICS-DB2 グローバル

統計およびリソース統計として使用可能な統計のサブセットを表します。

以下の情報が、DB2ENTRY ごに表示され、DB2CONN のコマンド・セクションとプール・セクションについても表示されます。

- DB2ENTRY
DB2ENTRY の名前または '*COMMAND' (コマンド・セクションの場合) および '*POOL' (プール・セクションの場合)。
- PLAN
DB2 計画名
- CALLS
実行された SQL 呼び出しの総数
- AUTHS
この項目に関連するトランザクションのサインオン呼び出しの総数。サインオンでは、新しいスレッドが作成されるか、あるいは既存のスレッドが再使用されるかは示されません。スレッドが再使用される場合、DB2ENTRY の ACCOUNTREC 設定に応じてサインオンが行われる可能性があります。
- W/P
この項目に使用できるすべてのスレッドが使用中であったために、トランザクションが待機しなければなかったか、またはスレッド要求の行き先がプールに変えられた回数。
- HIGH
最後のリセット以降の任意の時点でこの DB2ENTRY に関連付けられているトランザクションが必要とする並行スレッドの最大数。
- ABORTS
ロール・バックされた作業単位の総数。
- COMMITS
この DB2ENTRY に関連付けられた DB2 トランザクションが明示的または暗黙的 (タスクの終わり) 同期点を取るたびに、以下の 2 つのフィールドのいずれかが増分されます。
-

1-PHASE

この DB2ENTRY に関連付けられたトランザクションに対する単一フェーズ・コミットの合計数。

2-PHASE

この DB2ENTRY に関連付けられたトランザクションに対する 2 フェーズ・コミットの合計数。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2conn-name*
5. *db2-id*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2015 *date time applid* **The CICS-DB2 attachment facility is in standby for DB2 subsystem *db2-id***

説明: DB2 サブシステム *db2-id* が停止して、STANDBYMODE=RECONNECT が DB2CONN で指定されたため、CICS-DB2 接続機能が待機モードになりました。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能は、DB2 サブシステムが再びアクティブになるのを待機し、DB2 サブシステムがアクティブになると自動的に再接続します。待機モードである間に、DB2CONN で CONNECTERROR=SQLCODE が指定されたか CONNECTERROR=ABEND が指定されたかに応じて、すべての SQL 要求が負の SQLCODE または AEY9 異常終了を受け取ります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2-id*

宛先: CDB2 およびコンソール

DFHDB2016 *date time applid* **CICS と DB2 の接続 {subsystem | group} *db2-id* は、理由 *X'reason-code'* で失敗しました。**

説明: DB2 サブシステムまたはグループ *db2-id* への接続中にエラーが発生したため、CICS-DB2 接続機能の始動を完了できません。DB2 からの応答は *reason-code* でした。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能の初期設定が完了しません。

ユーザーの処置: 示された DB2 理由コードと、接続エラー宛先または CDB2 TS キューに発行された以前のメッセージを分析して、エラーの原因を判別してください。次のような原因が考えられます。

- 誤った DB2 サブシステムまたはグループが指定された。

•

DB2 サブシステムまたはグループが、MVS IPL 処理中に初期設定されなかった。

•

別の CICS または IMS 領域が、このメッセージを出している領域と同じ名前を持つ DB2 コーディネーターに接続しています。CICS の場合、接続名は、*applid* と同じです。

モジュール: DFHD2STR, DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=サブシステム,
2=グループ

5. *db2-id*
6. *X'reason-code'*

宛先: CDB2

DFHDB2018 *date time applid* ***db2-id* DB2 {subsystem is not active. | グループにアクティブのメンバーが含まれていません。}**

説明: *db2-id* グループまたはサブシステムがアクティブでないため、CICS-DB2 接続機能の始動を完了できません。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能は停止します。

ユーザーの処置: DB2 を開始した後、CICS-DB2 接続機能を再始動してください。

モジュール: DFHD2STR, DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2-id*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=サブシステムがアクティブではありません。
2=グループにアクティブのメンバーが含まれていません。

宛先: CDB2

DFHDB2019 *date time applid* **The modify command is complete.**

説明: DSNC MODIFY コマンドは首尾良く完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2020 *date time applid* **The display command is complete.**

説明: DSNC DISPLAY コマンドは首尾良く完了しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2021 *date time applid* **The disconnect command is complete.**

説明: DSNC DISCONNECT コマンドが、正常に完了しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2022 *date time applid* **Stop force of the CICS-DB2 attachment facility from db2-id is proceeding.**

説明: マスター端末オペレーターにより入力された DSNC STOP FORCE コマンドが処理中です。CICS は DB2 サブシステム *db2-id* から切断されます。切断が完了すると、メッセージ DFHDB2025 が端末に出力されます。

システムの処置: SQL コマンドを発行しようとしている新規 CICS トランザクションが異常終了するか、DB2CONN 定義内の CONNECTERROR 設定に応じた負の SQL 理由コードを受け取ります。

CICS-DB2 インターフェースを使用する既存のトランザクションが、強制ページされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2023I *date time applid* **The CICS-DB2 attachment has connected to DB2 subsystem db2-id { | group } db2-group**

説明: CICS-DB2 接続機能の始動により、DB2 サブシステム *db2-id* グループ *db2-group* に正常に接続されました。

システムの処置: CICS-DB2接続機能はアクティブです。

ユーザーの処置: グループ名が表示されない場合、グループ接続はアクティブではありません。SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHD2STR, DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2-id*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= ,
2= グループ

6. *db2-group*

宛先: CDB2、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHDB2024I *date time applid* **The CICS-DB2 attachment is in standby. For resync purposes only, connection has been made to DB2 restart-light subsystem**
db2-id { | group } db2-group

説明: CICS-DB2 接続機能の始動により、DB2 サブシステム *db2-id* グループ *db2-group* に一時的に接続されました。DB2 サブシステムは restart-light モードで実行されており、単に再同期を実行できるようにするために接続が確立されています。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能は、新しい作業のために待機状態のままですが、再同期化タスクは完了させることができます。DB2 restart-light サブシステムは、再同期が完了すると終了されます。

STANDBYMODE(RECONNECT) が DB2CONN 定義で指定されているとき、および DB2 restart-light サブシステムが終了されたときは、CICS-DB2 接続機能は待機モードに戻り、別のアクティブ DB2 サブシステムへの接続が確立されます。

ユーザーの処置: グループ名が表示されない場合、グループ接続はアクティブではありません。SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHD2STR, DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2-id*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= ,
2= グループ

6. *db2-group*

宛先: CDB2、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHDB2025I *date time applid* **The CICS-DB2 attachment has disconnected from DB2 subsystem**
db2-id { | group } db2-group

説明: CICS-DB2 接続機能は、DB2 *db2-id* サブシステムのグループ *db2-group* から正常に切断しました。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能は非アクティブです。

ユーザーの処置: グループ名が表示されない場合、グループ接続は使用されていませんでした。SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHD2STP, DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2-id*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= ,
2= グループ

6. *db2-group*

宛先: CDB2、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHDB2027 *date time applid* **CICS-DB2 attachment is shutting down. DSNC DB2コマンドを入力できません。**

説明: CICS-DB2 接続機能の終了処理中または終了後には、CICS-DB2 接続機能は DB2 宛てのコマンドを受け入れることができません。

システムの処置: コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置: 代わりに、DB2 コンソールからコマンドを発行してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2028 *date time applid* **The user is not authorised to issue DB2 commands via DSNC.**

説明: ユーザーがサインオン中に、DB2 がコマンド要求を拒否しました。したがって、コマンドで要求された機能に関して、そのユーザーは許可を与えられていないと思われます。

システムの処置: コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2029 *date time applid tranid DB2 command failed with IFCARC1=rc, IFCARC2=X'reason-code'*

説明: *transaction* がサブミットした DB2 コマンドは、IFI 戻りコード *rc* および理由コード *reason-code* を受け取りました。

システムの処置: コマンドの処理は停止します。

ユーザーの処置: *rc* と *reason-code* の説明については、「Messages for CICS Db2」を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *rc*
6. *X'reason-code'*

宛先: CDB2

DFHDB2031 *date time applid CICS-DB2 command is invalid. DB2CONNはインストールされていません。*

説明: DB2CONN がインストールされていないため、DSNC コマンドを実行できません。どの DSNC コマンド (STRT コマンドを含む) でも、コマンドを発行する前に DB2CONN 定義をインストールする必要があります。

同様に、DB2CONN 定義がインストールされていなければ、CEMT または EXEC CICS SET DB2CONN CONNECTED コマンドを発行して CICS-DB2 接続機能を始動することはできません。

システムの処置: コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置: 必要な DB2CONN をインストールしてください。その後、コマンドを再発行できます。

モジュール: DFHD2CM1, DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2032 *date time applid Alternate destination display command complete.*

説明: 代替の宛先への DSNC DISPLAY コマンドが完了しました。要求された宛先で出力が使用可能になっているはずです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2033 *applid Terminal termid is not supported by BMS or is invalid.*

説明: このメッセージは、CICS-DB2 接続機能コマンド、または応答の代替宛先を要求した DB2 コマンドに応答して発行されます。*termid* という名前の要求された端末に経路指定しているときに、CICS 基本マッピング・サポート (BMS) がエラーを検出しました。

システムの処置: コマンドからの出力は抑止される場合があります。

ユーザーの処置: 端末 ID が正しく入力されていることを確認してください。そうでない場合は、システム・プログラマーに通知してください。宛先装置が BMS でサポートされていないか、または CICS に定義されていないために、このメッセージが出されることがあります。

モジュール: DFHD2CC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *termid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHDB2035 *date time applid Indoubt resolution for Unit of Work X'uwoid' is incomplete for DB2 subsystem db2id*

説明: CICS は、*uwoid* にリカバリは不要であるが、DB2 サブシステム *db2id* が未確定であることを示しています。

システムの処置: CICS は DB2 に接続されていますが、UOW は DB2 で未確定のままです。

ユーザーの処置: 未確定な UOW は、DB2 の

-DISPLAY THREAD および -RECOVER INDOUBT オペレーター・コマンドを使用して手動で解決する必要があります。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uwowid'*
5. *db2id*

宛先: CDB2 およびコンソール

DFHDB2037 *date time applid DB2 {subsystem | group} db2-id* { アクティブではありません。 | アクティブなメンバーが含まれていません。 } **CICS-DB2** 接続機能は待機中です。

説明: CICS-DB2 接続機能は、DB2 からの通知を待機しています。DB2 グループに、アクティブなサブシステムが見つかりませんでした。DB2 サブシステムが指定された場合、そのサブシステムがアクティブではありません。CICS-DB2 接続機能は、以下のいずれかが開始した後に初期設定を完了します。

- DB2 グループに属するサブシステム
または
- 特定の DB2 サブシステム

システムの処置:

ユーザーの処置: 提供された情報に従って DB2 サブシステムを開始する必要があることを、システム・プログラマーに通知してください。

モジュール: DFHD2STR,DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=サブシステム,
2=グループ

5. *db2-id*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= アクティブではありません。,
2= アクティブなメンバーが含まれていません。

宛先: CDB2、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHDB2038 *date time applid* **The command is invalid while waiting for db2id**

説明: CICS-DB2 接続機能は、DB2 サブシステムが始動するのを待機している間、DB2 宛てのコマンドを受け入れることができません。まだ操作可能になっていない DB2 サブシステムの名前は *db2id* です。

システムの処置: コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置: DB2 が開始され、接続機能が DB2 に接続してから、コマンドを再発行してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2039 *date time applid* エラーの宛先は次のとおりです: *dest1 dest2 dest3*。

説明: このメッセージは、CICS-DB2 接続機能の DSNMODIFY DESTINATION コマンドに応答して出され、接続機能が認識している現在アクティブなメッセージ宛先をリストします。'****' として示されるヌル項目は、実際の宛先を示すように変更することができます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2040 *date time applid tranid* **Module modname could not be found.**

説明: CICS-DB2 接続機能の初期設定時に、指定されたモジュールを見つけてロードしようとしたのですが、MVS LOAD マクロを介して MVS がアクセスできるどのライブラリーにも見つかりません。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能の初期設定が完了しません。

ユーザーの処置: CICS JOBLIB/STEPLIB を調べて、必要な DB2 ライブラリーがそこで定義されており、指定されたモジュールを含んでいることを確認してください。あるいは、必要な DB2 ライブラリーが MVS リンク・リスト内にあることを確認してください。

DFHDB2041 • DFHDB2045

モジュール: DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *modname*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2041 *date time applid* No active threads found.

説明: DSNCL DISPLAY TRANSACTION コマンドまたは DSNCL DISPLAY PLAN コマンドが入力されましたが、アクティブなスレッドは見つかりませんでした。CICS-DB2 接続機能は、いくつかのサブタスクを識別してサインオンしている可能性があります、どのサブタスクに対してもスレッドの作成は発行されませんでした。同様に、スレッドが以前にサブタスクで作成された可能性があります、その後、処理対象の DB2 要求がなくなったときに終了しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2042 *date time applid* Connection not authorized to *db2-id*

説明: *db2-id* DB2 サブシステムまたはグループへの接続の試みは、ユーザーが DB2 へのアクセスを許可されていないため失敗しました。RACF またはユーザー作成の接続出口のいずれかによって、許可が拒否されました。

システムの処置: CICS-DB2 接続機構は DB2 に接続しません。

ユーザーの処置: CICS ジョブに指定されたユーザー ID は、示された DB2 サブシステムまたはグループへの接続を許可されていません。DB2 へのアクセスをユーザーに許可する方法については、および CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *db2-id*

宛先: CDB2

DFHDB2044 *date time applid* Authorization parameters for *resname* have been corrupted.

説明: CICS-DB2 接続機能は、SET コマンドによって最後にインストールまたは更新されたとき以降に、*resname* の AUTHTYPE または AUTHID パラメーターが破損したことを検出しました。*Resname* は、関係する DB2ENTRY の名前です。あるいは、関係する DB2CONN のプール・スレッド許可またはコマンド・スレッド許可である場合は 'POOL' または 'COMMAND' に設定されています。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: 関係する DB2ENTRY である場合は、その DB2ENTRY を再インストールするか、または DB2ENTRY を使用可能にするために SET コマンドを使用して AUTHID または AUTHTYPE パラメーターをリセットする必要があります。

プール・スレッド許可またはコマンド・スレッド許可の場合、SET DB2CONN コマンドを発行して、AUTHID パラメーターまたは AUTHTYPE パラメーターをリセットするか、DB2CONN を再インストールする必要があります。ただし、先に CICS-DB2 接続機能を停止しなければ、DB2CONN を再インストールできないことに注意してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resname*

宛先: CDB2

DFHDB2045 *date time applid* Resource Manager *rmi-name* is unknown to the CICS-DB2 Attachment facility.

説明: CICS-DB2 接続機能は、エントリー名 *rmi-name* を持つリソース・マネージャーの要求を受け取りました。このリソース名は、CICS-DB2 接続機能に認識されていません。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AD21 で異常終了します。CICS システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

のサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rmi-name*

宛先: CDB2

DFHDB2047I *date time applid* **The CICS-DB2 Attachment cannot find DB2 {subsystem | group} id**

説明: DB2ID も DB2GROUPLD *id* も見つからないため、CICS-DB2 接続機能は接続に失敗しました。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能は非アクティブです。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=サブシステム,
2=グループ

5. *id*

宛先: CDB2、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHDB2048 *date time applid* **Unable to interpret SQL call while formatting an EDF display for transaction transid task taskid**

説明: CICS 接続機能が、その EDF プロセッサ DFHD2EDF を呼び出すことができなかったか、CICS トランザクション *transid* およびタスク *taskid* の SQL ステートメントに関連付けられたストレージを復号できませんでした。SQL 連絡域 (SQLCA) ストレージまたは RDS 入力パラメーター・リスト (RDI) ストレージのいずれかを、CICS-DB2 接続機能が解釈できませんでした。

システムの処置: CICS 接続機能がその EDF プロセッ

サー DFHD2EDF を呼び出すことができなかった場合、トランザクション・ダンプがダンプ・コード AD29 で作成されます。

DFHD2EDF が呼び出されたが、ストレージを復号できなかった場合、問題のストレージのトランザクション・ダンプが、ダンプ・コード AD22 で作成されます。

ユーザーの処置: AD29 ダンプの場合は、CICS トランザクション・ダンプのトレースを分析して、DFHD2EDF の呼び出しが失敗した理由を判別してください。AD22 ダンプの場合は、問題のストレージの CICS トランザクション・ダンプを分析してください。この状況では、SQL ステートメントに関して CICS の実行診断機能 EDF が提供する情報は、次のものから構成されます。

- EDF 状況: ABOUT TO EXECUTE または COMMAND EXECUTION COMPLETE
- 処理状況: CALL TO RESOURCE MANAGER DSNCSQL
- CICS-DB2 接続機能へのこの呼び出しに関連する ARG 値。

SQL ステートメントについては他の情報は提供されません。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *taskid*

宛先: CDB2

DFHDB2049 *date time applid* 作業単位 X'*uowid*' の CICS-DB2 再同期 (*db2-id*) は、理由コード X'*reason-code*' で失敗しました

説明: 作業単位 *uowid* で CICS から DB2 に渡された未確定の解決要求は、DB2 理由コード *reason-code* で失敗しました。関係する DB2 サブシステムは *db2id* です。

システムの処置: UOW は、DB2 内で未確定のままであり、CICS は UOW の処理状態を保持します。ダンプ・コード 00C30003 の CICS システム・ダンプがとられます。

DFHDB2050 • DFHDB2054

ユーザーの処置: 理由コードを使用して、未確定の解決の要求が失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2-id*
5. *X'uowid'*
6. *X'reason-code'*

宛先: CDB2 およびコンソール

DFHDB2050 *date time applid tranid termid Abend
abcode has occurred in dynamic plan
exit program progame*

説明: 動的計画出口プログラム *progame* が異常終了コード *abcode* を出して異常終了しました。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

そのコードが CICS トランザクション異常終了コードでない場合には、それはユーザー異常終了コードです。この分野を担当するプログラマーに説明を求めてください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *abcode*
7. *progame*

宛先: CDB2

DFHDB2051 *date time applid tranid termid Abend
abcode in DFHD2EX1 - Dynamic plan
exit program progame must be
AMODE 31.*

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラム *progame* へのリンクに失敗しました。そのプログラムがリンク・エディットされた AMODE 31 ではないためです。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 動的計画出口プログラム AMODE 31 を再リンク・エディットしてください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *abcode*
7. *progame*

宛先: CDB2

DFHDB2053 *date time applid tranid termid Abend
abcode in DFHD2EX1 - Dynamic plan
exit program progame is disabled.*

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラム *progame* へのリンクに失敗しました。そのプログラムが使用不可であるためです。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 動的計画出口プログラムを使用可能にしてください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *abcode*
7. *progame*

宛先: CDB2

DFHDB2054 *date time applid tranid termid Abend
abcode in DFHD2EX1 - Link to the
dynamic plan exit progame failed.*

説明: CICS-DB2 接続機能による動的計画出口プログラム *progame* へのリンクから予期しない戻りコードが返されました。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *abcode*
7. *progrname*

宛先: CDB2

DFHDB2055 *date time applid* **Single phase commit failed with reason code X'*reason-code*' for transaction *transid* task *taskid***

説明: CICS が DB2 からの単一フェーズ・コミットを要求しましたが、DB2 がそれに応じることができません。要求は、DB2 理由コード *reason-code* により失敗しました。

システムの処置: CICS-DB2接続機能は、異常終了コード AD2W を出してトランザクションを異常終了させました。CICS リカバリー・マネージャーは、AD2W 異常終了コードを異常終了コード ASPR に置き換えます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. X'*reason-code*'
5. *transid*
6. *taskid*

宛先: CDB2

DFHDB2057 *date time applid trandid termid* **Abend abcode in DFHD2EX1 - resource definition for dynamic plan exit program *progrname* was not found.**

説明: CICS は、動的計画出口プログラム *progrname* のリソース定義を検出できませんでした。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 動的計画出口プログラム *progrname* が CICS に対して正しく定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *abcode*
7. *progrname*

宛先: CDB2

DFHDB2058 *date time applid trandid termid* **Abend abcode in DFHD2EX1 - Fetch for dynamic plan exit program *progrname* failed.**

説明: CICS は、動的計画出口プログラム *progrname* をロードできませんでした。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 動的計画出口プログラム *progrname* が正しく定義され、CICS からアクセス可能なロード・ライブラリー内にあることを確認してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *abcode*
7. *progrname*

宛先: CDB2

DFHDB2061 *date time applid* **The INITPARM specified for the CICS-DB2 attachment is invalid. The attachment facility cannot start.**

説明: CICS-DB2 接続機能の initparm が正しい形式ではありません。INITPARM の形式は、次のとおりでなければなりません。

INITPARM=(DFHD2INI='yyyy')

ここで **yyyy** は、1 文字から 4 文字までの DB2 サブシステム ID です。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能の初期設定が完了しません。

ユーザーの処置: INITPARM を訂正して CICS 領域を再始動するか、DSNC STRT コマンドまたは DB2CONN 内で DB2 サブシステム ID を指定します。INITPARM は、DB2CONN 定義に DB2ID が含まれず、DB2ID が始動コマンドに指定されていない場合にのみ使用されます。

モジュール: DFHD2STR, DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDB2

DFHDB2063 *date time applid* **Authorization failure starting the CICS-DB2 attachment with RESP=xxxx and RESP2=yyyy**

説明: CICS-DB2 接続の開始時に許可エラーが発生しました。RESP (xxxx) および RESP2 (yyyy) の SET DB2CONN CONNECTED 応答で、具体的なエラーが示されます。

システムの処置: CICS-DB2 接続の初期設定が完了しません。

ユーザーの処置: グループ DFHDB2 内の DSNC トランザクション定義が、インストール済みの定義であることを確認してください。

モジュール: DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*
5. *yyyy*

宛先: CDB2

DFHDB2064 *date time applid* **Resynchronization outstanding for subsystem db2id after DB2 Group Attach has connected to subsystem db2id2**

説明: CICS は、DB2 グループ接続がサブシステム db2id2 に接続した後に、サブシステム db2id の再同期が未解決であることを示しています。

システムの処置: CICS は DB2 サブシステム db2id に接続されているが、UOW は DB2 サブシステム db2id2 に対しては未解決のままです。

ユーザーの処置: DB2CONN 定義に RESYNCMEMBER(NO) が指定されているか、RESYNCMEMBER(YES) が指定されていますが、CICS は、すべての未解決の UOW が未確定で中断され、DB2 との再同期を即時に実行できないことを検出しました。どちらの状況でもグループ接続は続行でき、結果として CICS が以前とは異なる DB2 サブシステムに接続されました。ユーザーは、手動で元の DB2 サブシステムに再接続する必要があります。これにより未解決の(中断されていない) 作業単位が自動的に再同期されます。中断された作業単位は、中断が解除されるのを待機します。解除された時点で、CICS が元の DB2 サブシステムに接続されていれば、再同期が行われます。

モジュール: DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2id*
5. *db2id2*

宛先: CDB2 およびコンソール

DFHDB2065 INVALID LENGTH. DATA NOT DISPLAYABLE.

説明: CICS 実行診断機能 (EDF) 下で実行されているモジュールが、誤った長さ標識を持つ入力変数または出力変数を表示しようとした。

システムの処置: EDF 処理は続行されますが、変数の値は表示されません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムの SQL ステートメントを調べてください。

モジュール: DFHD2EDF

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2066 *date time applid tranid termid Abend
abcode in DFHD2EX1 - resource
definition for dynamic plan exit
program progname defines the program
as remote.*

説明: 動的計画出口プログラム *progname* のリソース定義は、プログラムをリモートとして定義しています。動的計画出口プログラムは、この CICS システムのローカル側になければなりません。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: PROGRAM リソース定義を訂正して、プログラムをローカルとして定義してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *abcode*
7. *progname*

宛先: CDB2

DFHDB2067 *date time applid The CICS-DB2
attachment facility is already inactive.*

説明: CICS-DB2 インターフェースがすでに非アクティブであったときに、DSNC STOP コマンドまたは EXEC CICS SET DB2CONN NOTCONNECTED コマンドが発行されました。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能の停止処理は終了しています。

ユーザーの処置: これを予期していなかった場合は、前のメッセージを調べて、CICS-DB2 接続機能が非アクティブである理由を判別してください。

モジュール: DFHD2STP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2068 *applid Send text command to terminal
termid failed with eibresp X'eibresp'.*

説明: DSNC コマンドの処理中に、端末 *termid* への EXEC CICS SEND TEXT コマンドが失敗しました。EIBRESP は *eibresp* でした。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: *eibresp* の値 *eibresp* を調べて、SEND TEXT コマンドが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2CC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *termid*
3. *X'eibresp'*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHDB2069 *applid Send page command to terminal
termid failed with eibresp X'eibresp'.*

説明: DSNC コマンドの処理中に、端末 *termid* への EXEC CICS SEND PAGE コマンドが失敗しました。EIBRESP は *eibresp* でした。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: *eibresp* の値を調べて、SEND PAGE コマンドが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2CC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *termid*
3. *X'eibresp'*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHDB2070 *date time applid Syncpoint rollback
failed for transaction transid with
eibresp2 X'eibresp2'*

説明: DB2ENTRY または POOL に対して DROLLBACK(YES) が指定されたため、DB2 がデッドロックを検出し、CICS-DB2 接続機能がトランザクション *transid* に対して同期点ロールバック・コマンドを試みました。同期点ロールバック・コマンドは失敗し、EIBRESP2 が *eibresp2* に設定されました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AD2Z で異常終了します。

ユーザーの処置: *eibresp2* の値 *eibresp2* を調べて、同

DFHDB2071 • DFHDB2073

期点ロールバック要求が失敗した理由を判別してください。理由として考えられるのは、実行中のトランザクションが、SYNCONRETURN パラメーターが指定されずにクライアント・トランザクションの DPL 先となった DPL サーバー・トランザクションであることです。この場合、サーバー・トランザクションが同期点も同期点ロールバックも取得できないため、DROLLBACK(YES)は無効です。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *X'eibresp2'*

宛先: CDB2

DFHDB2071 *date time applid* The first error destination cannot be null.

説明: このメッセージは、CICS-DB2 接続機能の DSNB MODIFY DESTINATION コマンドに応答して出されます。第 1 エラー宛先を、'****' に設定してヌル化しようとした。CICS-DB2 接続機能は、第 1 エラー宛先をヌル化することを許可しません。第 2 エラー宛先と第 3 エラー宛先は、ヌル化することができます。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能コマンドが処理されません。

ユーザーの処置: 正しい宛先 ID を指定して、コマンドを入力し直してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2072 *date time applid Transaction transid , task tasknum* has been directed to the pool as DB2ENTRY *db2ename* is disabled.

説明: トランザクション *transid* は DB2ENTRY *db2ename* に関連付けられています。ただし、DB2ENTRY *db2ename* は使用不可になっているか、使用不可に設定中であり、DB2ENTRY の DISABLEDACT キーワードは、新規作業をプールに入れる必要があることを指定します。

システムの処置: トランザクションは、プールからの DB2 スレッドを使用します。

このメッセージは、使用不可になった DB2ENTRY を使

用しようとするタスクごとに出力されます。

ユーザーの処置: DB2ENTRY が使用不可になった理由を判別してください。必要に応じて DB2ENTRY を再入力してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *tasknum*
6. *db2ename*

宛先: CDB2

DFHDB2073 *date time applid Transaction transid* has been directed to the pool as DB2TRAN *db2tname* refers to DB2ENTRY *db2ename* which is not installed.

説明: トランザクション *transid* は DB2TRAN *db2tname* に関連付けられ、*db2tname* は DB2ENTRY *db2ename* を参照します。しかし、DB2ENTRY *db2ename* は CICS システムにインストールされていません。DB2TRAN *db2tname* は、存在しない DB2ENTRY を参照するという点で「オーファン」です。関連する DB2ENTRY が先にインストールされていなければ、DB2TRAN はインストールできません。したがって、DB2ENTRY がその後破棄されたか、あるいは存在しない DB2ENTRY を参照するように SET コマンドによって DB2TRAN が変更されました。

システムの処置: トランザクションは、プールからの DB2 スレッドを使用します。

このメッセージは、トランザクションの DB2ENTRY を見つけようとしたときにのみ出力されます。このプールを使用することを決定した場合、CICS-DB2 接続機能は、毎回 DB2ENTRY を探すことなく、後続の同じ名前のすべてのトランザクションに対してこのプールを使用します。どの DB2TRAN または DB2ENTRY がインストールまたは変更されたときも、これにより次のトランザクションの実行時に DB2ENTRY が強制的に再配置されます。

ユーザーの処置: DB2ENTRY がインストールされていない理由を判別してください。必要に応じて DB2ENTRY を再インストールしてください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *db2tname*
6. *db2ename*

宛先: CDB2

DFHDB2074 *date time applid CICS-DB2 Attachment facility startup cannot proceed as the currently installed DB2CONN is not useable.*

説明: CICS-DB2 接続機能は、現在インストールされている DB2CONN に破棄対象のマークが付けられていることを検出しました。これは、以前の DB2CONN の破棄が正常に完了しなかったことを意味します。

DB2CONN を破棄する場合、DB2CONN の破棄の前に、まず CICS がすべての DB2TRAN および DB2ENTRY を破棄します。最終的に DB2CONN を削除する前に、破棄要求が失敗しました。

システムの処置: CICS-DB2 インターフェースの始動は完了しません。

ユーザーの処置: DB2CONN の破棄を再発行してください。正常に破棄されたら、必要な DB2CONN、DB2ENTRY、および DB2TRAN を再インストールしてから、CICS-DB2 インターフェースの始動を再試行してください。

モジュール: DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB2080 *date time applid tranid termid Abend abcode has occurred in the set packageset program DFHD2SPS.*

説明: パッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS が異常終了して、異常終了コード *abcode* が出されました。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *abcode*

宛先: CDB2

DFHDB2083 *date time applid tranid termid Abend abcode in DFHD2EX1 - The set packageset program DFHD2SPS is disabled.*

説明: CICS-DB2 接続機能がパッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS へのリンクに失敗しました。そのプログラムが使用不可であるためです。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: DFHD2SPS プログラムを使用可能にしてください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *abcode*

宛先: CDB2

DFHDB2084 *date time applid tranid termid Abend abcode in DFHD2EX1 - Link to the set packageset program DFHD2SPS failed.*

説明: CICS-DB2 接続機能によるパッケージ・セットの設定プログラム DFHD2SPS へのリンクから、予期しない戻りコードが返されました。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHDB2087 • DFHDB2100

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *abcode*

宛先: CDB2

DFHDB2087 *date time applid trandid termid Abend
abcode in DFHD2EX1 - resource
definition for the set packageset
program DFHD2SPS was not found.*

説明: CICS は、パッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS のリソース定義を検出できませんでした。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: パッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS が CICS に対して正しく定義されていることを確認してください。DFHD2SPS の定義を自動インストールすることはできません。

DFHD2SPS の定義は、CICS が定義したグループ DFHDB2 で提供されます。CSD 定義がアップグレードされたことを確認してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *abcode*

宛先: CDB2

DFHDB2088 *date time applid trandid termid Abend
abcode in DFHD2EX1 - Fetch for the
set packageset program DFHD2SPS
failed.*

説明: CICS は、パッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS をロードすることができませんでした。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: パッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS が正しく定義され、CICS からアクセス可

能なロード・ライブラリー内にあることを確認してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *abcode*

宛先: CDB2

DFHDB2089 *date time applid trandid termid Abend
abcode in DFHD2EX1 - The CICS-DB2
set packageset program issued an
EXEC SQL SET CURRENT
PACKAGESET command which failed
with SQLCODE sqlcode.*

説明: CICS は現行のパッケージ・セット値を設定できませんでした。

システムの処置: 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: *sqlcode* を使用して、EXEC SQL SET CURRENT PACKAGESET コマンドが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2EX1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *termid*
6. *abcode*
7. *sqlcode*

宛先: CDB2

DFHDB2100 *applid Program DFHD2RP cannot be
found.*

説明: CICS は CICS/DB2 再始動プログラム (DFHD2RP) にリンクできません。

CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリーム内の DFHRPL DD ステートメントで連結されたどのデータ・セットでも DFHD2RP を検出できません。

システムの処置: CICS の初期設定が終了して、メッセ

ージ DFHSI1521 が出され、ダンプがとられます。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントで区分データ・セット内に DFHD2RP を入れます。

モジュール: DFHD2IN2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDB2101 *date time applid terminal userid tranid*
DB2CONN db2conn-name has been added.

説明: これは、DB2CONN *db2conn-name* を、INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して CICS システムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

CICS システム内に一度にインストールできる DB2CONN は 1 つのみです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2conn-name*

宛先: CDB2

DFHDB2102 *date time applid terminal userid tranid*
DB2CONN db2conn-name has been replaced.

説明: これは、INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して、DB2CONN *db2conn-name* が置き換えられたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2conn-name*

宛先: CDB2

DFHDB2103 *date time applid terminal userid tranid*
DB2CONN db2conn-name has been deleted.

説明: これは、DB2CONN *db2conn-name* を、DISCARD コマンドを使用して CICS システムから削除したことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

DFHDB2104 • DFHDB2105

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

このメッセージに続いて、定義上は現在インストールされている DB2CONN と常に関連付けられている、現在インストールされているすべての DB2ENTRY および DB2TRAN を削除したことを示すメッセージが出されます。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2conn-name*

宛先: CDB2

DFHDB2104 *date time applid terminal userid tranid*
DB2ENTRY db2entry-name has been added.

説明: これは、DB2ENTRY *db2entry-name* を、INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して CICS システムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

•

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

•

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2entry-name*

宛先: CDB2

DFHDB2105 *date time applid terminal userid tranid*
DB2ENTRY db2entry-name has been replaced.

説明: これは、INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して、RCT で DB2ENTRY *db2entry-name* が置き換えられたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

•

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

•

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2entry-name*

宛先: CDB2

DFHDB2106 *date time applid terminal userid tranid*
DB2ENTRY db2entry-name has been deleted.

説明: これは、DB2ENTRY *db2entry-name* を、DISCARD コマンドを使用して CICS システムから削除したことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2entry-name*

宛先: CDB2

DFHDB2107 *date time applid terminal userid tranid*
DB2TRAN db2tran-name has been added.

説明: これは、DB2TRAN *db2tran-name* を、INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して CICS システムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
-

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2tran-name*

宛先: CDB2

DFHDB2108 *date time applid terminal userid tranid*
DB2TRAN db2tran-name has been replaced.

説明: これは、INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して、DB2TRAN *db2tran-name* が置き換えられたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

•

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

•

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHDB2109 • DFHDB2208

4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2tran-name*

宛先: CDB2

DFHDB2109 *date time applid terminal userid tranid*
DB2TRAN db2tran-name has been deleted.

説明: これは、DB2TRAN *db2tran-name* を、DISCARD コマンドを使用して CICS システムから削除したことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2TM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2tran-name*

宛先: CDB2

DFHDB2110I *date time applid* **The total number of threads exceeds TCBLIMIT.**

説明: CICS-DB2 接続機能は、スレッド (プールおよびすべての DB2ENTRY のスレッド) の総数が DB2CONN 内の TCBLIMIT の値を超えたことを検出しました。スレッドを TCB なしで実行することはできません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: DB2CONN 内の TCBLIMIT の設定と、DB2CONN およびすべての DB2ENTRY 内の THREADLIMIT の値を確認してください。

SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHD2TM

宛先: CDB2 およびコンソール

DFHDB2207 *date time applid* **Load error rc abend-code for module modname**

説明: CICS-DB2 接続機能の初期設定で MVS LOAD マクロを使用してモジュール *modname* をロードしようとしたときに、エラー *rc* が発生し、*abend-code* が出されました。

システムの処置: CICS-DB2 接続の初期設定が完了しません。

ユーザーの処置: LOAD 戻りコードおよび異常終了コードで示された問題を解決してください。

モジュール: DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rc*
5. *abend-code*
6. *modname*

宛先: CDB2

DFHDB2208 *date time applid* **Delete error rc for module modname**

説明: CICS-DB2 インターフェースのシャットダウン中に CICS-DB2 接続機能が MVS DELETE マクロを使用してモジュール *modname* を削除しようとしたときに、エラー *rc* が発生しました。

システムの処置: CICS-DB2 接続のシャットダウンは続行されます。

ユーザーの処置: DELETE 戻りコードが示す問題を解決してください。

モジュール: DFHD2STP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *rc*
5. *modname*

宛先: CDB2

DFHDB2210 *date time applid DB2 subsystem id*
db2-id contains invalid characters.
CICS-DB2接続機能は開始されません。

説明: DSNCL STRT コマンドで指定された *db2-id* サブシステム ID に無効な文字が含まれているため、CICS-DB2 接続機能の始動が完了できません。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能は開始しません。

ユーザーの処置: DB2 サブシステム ID を訂正し、DSNCL STRT コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHD2CM1

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB2211I *date time applid Maxopentcbs value*
of xxx conflicts with the tcblimit
setting of yyyy in the DB2CONN
definition.

説明: CICS-DB2 接続機能は、CICS が DB2 バージョン 6 以降に接続していること、および MAXOPENTCBS の値が DB2CONN 定義内の TCBLIMIT 設定よりも低いことを検出しました。MAXOPENTCBS の値が指定されなかった場合、その値は最大タスク (MXT) の値 (2*MXT)+32 に基づくものになります。

CICS が DB2 バージョン 6 以降に接続されている場合、CICS-DB2 接続機能は、プライベートに管理されるサブタスク TCB ではなく、CICS オープン TCB を使用して DB2 にアクセスします。MAXOPENTCBS 値は、すべての openapi 対応のタスク関連ユーザー出口が CICS システム内で使用できるオープン TCB の最大数を定義します。DB2CONN 定義の TCBLIMIT パラメーターは、DB2 に使用できるオープン TCB の数 (すなわち DB2 で使用する MAXOPENTCBS のサブセット) を定義します。

システムの処置: CICS-DB2 接続の始動は続行されます。

ユーザーの処置: DB2CONN 内の TCBLIMIT の設定と、MAXOPENTCBS または MXT の値を確認してください。

SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHD2STR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxx*
5. *yyy*

宛先: CDB2 およびコンソール

DFHDB2212 *date time applid The DB2 subsystem ID*
db2_id specified for the CICS-DB2
attachment cannot be found. The
attachment facility cannot start.

説明: DSNCL STRT コマンドで指定された *db2_id* サブシステムが見つからないため、CICS-DB2 接続機能の始動が完了できません。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能は開始しません。

ユーザーの処置: DB2 サブシステム ID を訂正し、DSNCL STRT コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *db2_id*

宛先: CDB2

DFHDB2300 *date time applid tranid DB2 command*
output truncated (ifcabnm bytes not
shown).

説明: DB2 コマンド応答の *ifcabnm* バイトを表示できませんでした。

システムの処置: コマンドの処理は完了しますが、出力が切り捨てられます。

ユーザーの処置: 完全なコマンド出力が必要な場合は、出力量を減らすようにコマンドを変更してください。例えば -DISPLAY DATABASE(yyyy) で、アスタリスクではなく特定のデータベースを指定してください。

モジュール: DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *ifcabnm*

宛先: CDB2

DFHDB2301 *date time applid tranid* **DB2 command complete.**

説明: DB2 コマンド処理が完了します。

システムの処置: 制御はユーザーに戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2CM1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CDB2 および端末エンド・ユーザー

DFHDB8101 I *date time applid* **Connection to DBCTL xxxx is now complete. Startup Table Suffix used is xx.**

説明: DBCTL は、CICS-DBCTL 接続が完了したことを CICS に通知しました。

システムの処置: CICS は未処理の DBCTL 未解決項目を再同期化します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*
5. *xx*

宛先: CDBC

DFHDB8102 I *date time applid* **Disconnection from DBCTL xxxx is now complete.**

説明: CICS は正常に DBCTL から切断されました。

システムの処置: CICS は正常に DBCTL から切断され、クリーンアップを実行しました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBDI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

476 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ2. *time*3. *applid*4. *xxxx*

宛先: CDBC

DFHDB8103 E *date time applid* **IDENTIFY request to DBCTL xxxx has failed. MVS SSI return code rc, reason code reason.**

説明: CICS が DBCTL に接続しようとしてしました。その試みは失敗しました。DBCTL が現在実行されていないことが CICS に通知されました。PAPLRETC で報告された MVS SSI からの戻りコードは *rc* です。PAPLRCD で報告された MVS SSI からの理由コードは *reason* です。PAPLRETC および PAPLRCD で報告される戻りコードと理由コードについては、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

システムの処置: CICS は 5 秒間隔で DBCTL への接続を試み、そのたびにこのメッセージを出します。また、以下のいずれかの状況になるまで、メッセージ DFHDB8297 が 1 分間隔で出されます。

1.

CICS 提供の DBCTL サポート・メニュー・トランザクション CDBC によって、切断が要求される。

2.

10 分経過した。その後 CICS は接続の試行を停止し、IMS メッセージ DFS0690 が発行され、WAIT (接続試行を再試行する) または CANCEL (接続試行を中止する) を入力するようにオペレーターに要求します。

詳しくは、DFHDB8297 の説明を参照してください。メッセージ DFS0690 の詳細については、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

ユーザーの処置: DBCTL が稼働していない理由を調べてください。CDBC トランザクションを使用して切断要求を出すことにより、接続試行を取り消すことができます。メッセージ DFH0690 が発行された場合は、これに応答する必要があります。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*
5. *rc*
6. *reason*

宛先: CDBC

DFHDB8104 E *date time applid IDENTIFY request to DBCTL xxxx has been rejected by DBCTL.* {システム異常終了コード | IMS ユーザー異常終了コード | DBCTL 戻りコード } *rc*.

説明: CICS が DBCTL に接続しようとしていました。その試みは失敗しました。DBCTL が識別要求を拒否したことが CICS に通知されました。

システムの処置: DBCTL への接続の試行は中止され、CICS-DBCTL インターフェースに関連したストレージがクリーンアップされます。メッセージ DFHDB8102 が出力されます。

ユーザーの処置: ゼロ以外の応答コードの詳細については、*rc* の種類に応じて以下を参照してください。

- システム異常終了コードの場合は、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

- **IMS** ユーザー異常終了コードの場合は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

IMS コードの不一致があるときに、IMS ユーザー異常終了コード U0402 が発生する可能性があります。次の点について確認してください。

- CDBC パネルまたは SIT INITPARM パラメーターで正しい DRA 始動テーブル接尾部が指定されている。
- DRA 始動テーブル内の DSNAME パラメーターが正しい IMS RESLIB を指定している。
- CICS Steplib 内またはリンク・リスト内に存在していれば、正しい IMS RESLIB ライブラリーが指定されています。

- **DBCTL** 戻りコードについては、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*

5. 以下のオプションから選択される値。

1=システム異常終了コード ,
2=IMS ユーザー異常終了コード ,
3=DBCTL 戻りコード

6. *rc*

宛先: CDBC

DFHDB8105 W *date time applid Operator has requested cancellation of the connection to DBCTL.*

説明: オペレーターが IMS メッセージ DFS0690 に対して「CANCEL」と応答したことを、DBCTL が CICS に通知します。IMS メッセージ DFS0690 については、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

システムの処置: CICS は、CICS-DBCTL インターフェースに関連付けられたストレージをクリーンアップし、メッセージ DFHDB8102 を発行します。

ユーザーの処置: None. これは、通知メッセージです。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDBC

DFHDB8106 E *date time applid The DRA has abnormally terminated. CICS is no longer connected to DBCTL id xxxx.*

説明: DBCTL は、データベース・リソース・アダプター (DRA) が異常終了中であることを CICS に通知しました。

システムの処置: CICS は、CICS-DBCTL インターフェースに関連付けられたストレージをクリーンアップし、DBCTL から切断します。次に、CICS はメッセージ DFHDB8102 を発行します。

ユーザーの処置: 問題判別については、CICS 資料を参照してください。CICS を DBCTL に再接続したい場合は、メニュー・トランザクション CDBC を使用します。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*4. *xxxx*

宛先: CDBC

DFHDB8107 E *date time applid DBCTL xxxx has abnormally terminated.* 再接続が試行されます。

説明: DBCTL は、間もなく終了することを CICS に通知します。

システムの処置: CICS は DBCTL への再接続を試みます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

DBCTL システムによるメッセージ出力を探し、DBCTL が失敗した理由を判別してください。必要に応じて DBCTL を再始動します

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *xxxx*

宛先: CDBC

DFHDB8108 I *date time applid DBCTL xxxx has received a CHECKPOINT FREEZE command.* CICSはDBCTLから切断します。

説明: DBCTL は、CHECKPOINT FREEZE コマンドが発行されたために間もなく終了することを、CICS に通知します。

システムの処置: CICS は、CICS-DBCTL インターフェースに関連付けられたストレージをクリーンアップし、次にメッセージ DFHDB8102 を出力します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *xxxx*

宛先: CDBC

DFHDB8109 E *date time applid Request to DL/I failed for transaction tranid, task taskid, recovery token X'nn' {, system abend code |, IMS user abend code |, DBCTL return code } rc, DBCTL id xxxx.*

説明: アプリケーション・プログラムから DL/I 要求が出されたときに、DBCTL xxxx がゼロ以外の応答コード *rc* を返します。

システムの処置: CICS トランザクションが異常終了した可能性があります。

ユーザーの処置: CICS トランザクションが異常終了した場合には、付随する CICS トランザクション異常終了コードを参照してください。

ゼロ以外の応答コードの詳細については、*rc* の種類に応じて以下を参照してください。

- システム異常終了コードの場合は、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

- IMS ユーザー異常終了コードの場合は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

- DBCTL 戻りコードについては、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

リカバリー単位について詳しくは、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHDLIDP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *tranid*5. *taskid*6. *X'nn'*

7. 以下のオプションから選択される値。

1=, システム異常終了コード ,
2=, IMSユーザー異常終了コード ,
3=DBCTL 戻りコード

8. *rc*9. *xxxx*

宛先: CDBC

DFHDB8110 E *date time applid* **Non zero return code from DFHDBAT. Return code rc for request request.**

説明: CICS-DBCTL インターフェースのタスク関連ユーザー出口ルーチンを形成する部分であるモジュール DFHDBAT が、CICS から DBCTL に出された要求に応答してゼロ以外の戻りコードを返します。

システムの処置: DBCTL への要求は失敗します。

DBCTL への以下の 3 つのタイプの要求が、このように失敗する可能性があります。

1.
モジュール DFHDBCON からの DBCTL に接続する要求
2.
モジュール DFHDBDSC からの DBCTL から切断する要求
3.
モジュール DFHDLIDP を通じたアプリケーション・プログラムからの DL/I 要求

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 戻りコードは、次のいずれかです。

4 ? CALL NOT UNDERSTOOD

DBCTL に対して接続、切断、または DL/I 要求の発行を試みると、これが返される可能性があります。最も可能性の高い原因は、ストレージの上書きです。CICS がストレージの上書きを検出した場合は、ダンプが取られます。

8 ? REDUNDANT INTERFACE CALL

DBCTL に接続または DBCTL から切断しようとする、これが返される可能性があります。要求は無視されます。

16 ? DISCONNECT PRE-EMPTED

切断要求がすでに処理されているときに、DBCTL から切断しようとする、これが返される可能性があります。

24 ? ADAPTER NOT READY

アダプター DFHDBAT に対して要求が出されましたが、CICS はまだ DBCTL への接続処理中です。

28 ? ADAPTER IS DISABLED

これは、CICS-DBCTL インターフェースが使用できないことを示しています。

注: DBCTL にアクセスしている未了タスクが作業単位を完了した後で、DBCTL インターフェースは正常に終了します。その後、PCB スケジュールの失敗により、新規作業単位または ATI タスクがこの戻りコードを受け取る可能性があります。

モジュール: DFHDBCON、DFHDBDSC、DFHDLIDP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rc*
5. *request*

宛先: CDBC

DFHDB8111 E *date time applid* **Connection has failed. DBCTL return code rc.**

説明: CICS が DBCTL に接続しようとしたときに、DBCTL がゼロ以外の応答コードを返します。

システムの処置: 接続試行は中止されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

DBCTL 戻りコードについての詳細は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

モジュール: DFHDBCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rc*

宛先: CDBC

DFHDB8112 E *date time applid* **Unable to generate Task Token due to purge request.**

説明: モジュール DFHDBTOX が以下のいずれかの目的で呼び出されました。

- タスク・トークンをセットアップするため
- ストレージを GETMAIN で取得するため

GETMAIN は失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHDB8113 E • DFHDB8116 I

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、ストレージ管理の問題があることを示します。CICS 領域から MVS コンソールに対して発行される他のメッセージも調べてください。

ストレージ問題の扱い方に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHDBTOX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDBC

DFHDB8113 E *date time applid* **Getmain failure for storage to hold the indoubt list.** 再同期が実行されませんでした。

説明: DBCTL への接続が完了しましたが、未解決の未確定項目があります。未確定項目を保管するための GETMAIN が失敗しました。

システムの処置: CICS が DBCTL に接続されたままですが、未確定項目は解決されていません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、ストレージ管理の問題があることを示します。CICS 領域から MVS コンソールに対して発行される他のメッセージも調べてください。

ストレージ問題の扱い方に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDBC

DFHDB8114 E *date time applid* **Connection has failed. DRA startup table with suffix xx cannot be found.**

説明: CICS を DBCTL に接続しようとしたが、

接尾部が *xx* である DRA 始動テーブルが見つかりません。

システムの処置: 接続試行は中止されます。

ユーザーの処置: DBCTL サポート・メニュー・トランザクション CDBC を使用していた場合は、接尾部の値を誤って入力したかどうかを確認してください。

接尾部の値の入力が誤っていなかった場合は、システム・プログラマーに通知してください。

DRA 始動テーブルを CICS STEPLIB ライブラリーに入れてください。それを実行する方法に関する詳細な手引きについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHDBCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xx*

宛先: CDBC

DFHDB8115 E *date time applid* **Connection has failed.** モジュール DFSPRRC0 が見つかりません。

説明: CICS を DBCTL に接続しようとしたが、DRA ルーター・モジュール DFSPRRC0 が見つかりません。

システムの処置: 接続試行は中止されます。

ユーザーの処置: モジュール DFSPRRC0 を CICS STEPLIB ライブラリーに入れてください。それを実行する方法に関する詳細な手引きについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHDBCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDBC

DFHDB8116 I *date time applid* **Connection to DBCTL xxxx is proceeding. Startup Table Suffix used is xx.**

説明: CICS を DBCTL に接続する最初のフェーズが完了しました。

システムの処置: DBCTL への CICS の接続は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*
5. *xx*

宛先: CDBC

DFHDB8117 W *date time applid* **No connection to DBCTL made although the connection program is in the PLT.**

説明: 接続プログラム DFHDBCON がプログラム・リスト・テーブル (PLT) に入れられましたが、CICS の最後のシャットダウン時に CICS が接続されていませんでした。

システムの処置: CICS は DBCTL に接続しません。

ユーザーの処置: これは警告メッセージです。この場合、CICS を DBCTL に接続するのであれば、DBCTL サポート・メニュー・トランザクション CDBC を使用します。

モジュール: DFHDBCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDBC

DFHDB8118 E *date time applid* **Connection to DBCTL xxxx has been rejected by CICS. Reason code rc.**

説明: CICS は、*rc* という理由のため、DBCTL への接続試行を拒否しました。理由コード・フィールドの値は 4 です。これは、ストレージ保護には無効な IMS/ESA リリースがあることを示します。すなわち、CICS ストレージ保護がアクティブであるときに、そのストレージ保護機能をサポートしていない IMS/ESA のリリースを実行している DBCTL システムに接続しようとした。

システムの処置: フェーズ 2 の接続処理が完了すると、CICS は、DRA が終了する必要があることを、制御出口でデータベース・リソース・アダプター (DRA) に指示します。CICS は、CICS-DBCTL インターフェースのクリーンアップを完了します。インターフェースの

状況は、CICS が DBCTL に接続されていないというものです。

ユーザーの処置: この DBCTL システムへの接続は、ストレージ保護をオフにして CICS が実行されている場合にのみ可能です。ストレージ保護をオンにして実行するには、ストレージ保護機能をサポートするリリースの IMS/ESA をインストールしてください。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*
5. *rc*

宛先: CDBC

DFHDB8119 I *date time applid* **CICS is INDOUBT about the LUW with recovery token X'rectok' after issuing a single phase commit request to DBCTL, {SYSTEM ABEND CODE | IMS USER ABEND | DBCTL RETURN CODE} rc.**

説明: CICS は、リカバリー単位 X'rectok' で示された作業論理単位 (LUW) の DBCTL を通じて、IMS データベースに対して行われた更新の同期点を取得しようとしてしました。CICS は、この LUW 内の唯一のリソース・マネージャーである DBCTL に更新が行われたことを検出しました。そのため CICS は、通常の 2 フェーズ・コミット・プロセスの代わりに単一フェーズ・コミットを DBCTL に発行しました。単一フェーズ・コミットに対する予期しない応答が DBCTL から受信されたため、CICS はこの LUW に関しては INDOUBT です。CICS は、DBCTL を介して行われた更新がコミットされたか、またはバックアウトされたかを報告できません。ローカル CICS リソースは影響を受けません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、異常終了コード ADCS が出され、トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出力されるリカバリー単位 X'rectok' 出力を、IMS コンソールの IMS メッセージ DFSxxxx 出力と一緒に使用して、LUW の結果を判別できます。

IMS 領域に障害が発生した場合は、IMS 領域の再始動時に、単一フェーズ・コミット・プロトコルを使用してコミットしている LUW ごとに IMS が DFSxxxx メッセージを出力します。DFSxxxx メッセージには、このメッセージ内の出力と同じ X'rectok' リカバリー・ト

クンが含まれています。リカバリー・トークンを突き合わせているときに、同じリカバリー・トークンを含む DFSxxxx メッセージが見つかった場合は、その LUW はコミットされています。関連する DFSxxxx メッセージが見つからない場合、それは LUW がバックアウトされたことを意味します。

IMS 領域の障害ではなく、単一フェーズ・コミットへの不正な応答が個別のスレッドの障害によって発生し、LUW がコミットされていた場合、IMS はこの LUW に対してのみ DFSxxxx メッセージを出力します。

IMS メッセージ DFSxxxx の詳細については、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

ゼロ以外の応答コードの詳細については、rc の種類に応じて以下を参照してください。

- システム異常終了コードの場合は、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。
- **IMS** ユーザー異常終了コードの場合は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。
- **DBCTL** 戻りコードについては、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

モジュール: DFHDBAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'rectok'*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=システム異常終了コード,
2=IMS ユーザー異常終了コード,
3=DBCTL 戻りコード

6. *rc*

宛先: CDBC

DFHDB8120 I *date time applid* **DBCTL may be INDOUBT about the LUW with recovery token X'nn', which CICS has {committed | backed out}, {SYSTEM ABEND CODE | IMS USER ABEND CODE | DBCTL RETURN CODE} rc.**

説明: CICS は、リカバリー単位 X'nn' で示された作業論理単位 (LUW) に対するコミットまたはバックアウト

要求について DBCTL から不正な戻りコードを受け取りました

システムの処置: CICS は、この LUW をバックアウトまたはコミットしました。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 次の再接続時に、CICS と DBCTL はすべての未確定を解決します。

あるいは、LUW が INDOUBT であるかどうかを検出するように DBCTL に要求し、その LUW をコミットまたはバックアウトするように DBCTL に指示することができます。それを実行する方法については、CICS 資料を参照してください。

ゼロ以外の応答コードの詳細については、rc の種類に応じて以下を参照してください。

- システム異常終了コードの場合は、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。
- **IMS** ユーザー異常終了コードの場合は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。
- **DBCTL** 戻りコードについては、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

モジュール: DFHDBAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'nn'*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=コミットされました,
2=バックアウトされました

6. 以下のオプションから選択される値。

1=システム異常終了コード,
2=IMS ユーザー異常終了コード,
3=DBCTL 戻りコード

7. *rc*

宛先: CDBC

DFHDB8121 I *date time applid* **A failure has occurred in DBCTL during syncpoint prepare processing. {システム異常終了コード | IMS ユーザー異常終了コード | DBCTL 戻りコード | IMS ファースト・パス状況コード} rc.**

説明: CICS は、同期点の作成処理中に DBCTL で障害を検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、異常終了コード ASP7 が出され、トランザクション・ダンブが作成されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 付随する CICS トランザクションの詳細については、異常終了コード ASP7 を参照してください。

ゼロ以外の応答コードの詳細については、*rc* の種類に応じて以下を参照してください。

- システム異常終了コードの場合は、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。
- **IMS** ユーザー異常終了コードの場合は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。
- **DBCTL** 戻りコードについては、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。
- **IMS** ファースト・パス状況コードについては、メッセージの時点で EXEC DLI プログラムを実行していた場合は「IMS メッセージおよびコード: 高速機能ユーティリティの状況コードおよび理由コード」を参照し、CALL を使用していた場合は「IMS メッセージおよびコード: DL/I 状況コード」を参照してください。

モジュール: DFHDBAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=システム異常終了コード,
2=IMS ユーザー異常終了コード,
3=DBCTL 戻りコード,
4=IMS ファースト・パス状況コード

5. *rc*

宛先: CDBC

DFHDB8122I *applid* CICS は CICS シャットダウンのために DBCTL から切断しようとしています。 (CICS is about to disconnect from DBCTL for CICS shutdown.)

説明: CICS 終了が開始されたときに CICS が DBCTL

に接続されていました。CICS は切断要求を出します。

システムの処置: DBCTL からの CICS の切断は続行されます。

ユーザーの処置: None. SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHDBAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDB8123I *applid* CICS シャットダウンのための DBCTL からの CICS の切断が正常に完了しました。 (CICS disconnection from DBCTL for CICS shutdown has completed successfully.)

説明: CICS 終了が開始されたときに CICS が DBCTL に接続されていました。CICS は正常に DBCTL から切断されました。

システムの処置: CICS のシャットダウンは続行されます。

ユーザーの処置: None. SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHDBAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDB8124 E *date time applid* CICS シャットダウンのための DBCTL からの CICS の切断は (CICS disconnection from DBCTL for CICS shutdown has) {失敗しました。 (failed,) | タイムアウトになりました。 (timed out.)} {システム異常終了コード | IMS ユーザー異常終了コード | DBCTL 戻りコード | } *rc*

説明: CICS 終了が開始されたときに CICS が DBCTL に接続されていました。メッセージ・テキストに示された理由のいずれかのために、DBCTL からの CICS の切断は失敗しました。

システムの処置: CICS のシャットダウンは続行されます。

ユーザーの処置: タイムアウト条件が失敗の原因である場合、このメッセージは、CICS が切断を要求したとき

以降、DCBTL からの応答がないままで、経過時間が DRA インターフェースの TIMEOUT パラメーターで指定された間隔に達したことを示します。デフォルトの間隔は 60 秒です。

他の条件が原因で障害が発生した場合は、ゼロ以外の戻りコードが返されます。rc に応じて、以下を参照してください。

- システム異常終了コードの場合は、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。
- **IMS** ユーザー異常終了コードの場合は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。
- **DBCTL** 戻りコードについては、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

モジュール: DFHDBAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=失敗しました。(failed,) ,
2=タイムアウトになりました。(timed out.)

5. 以下のオプションから選択される値。

1=システム異常終了コード ,
2=IMS ユーザー異常終了コード ,
3=DBCTL 戻りコード ,
4=

6. *rc*

宛先: コンソール

DFHDB8128 W *date time applid* **Error linking to the CICS-DBCTL user replaceable program DFHDBUEX from module modname.**

説明: ユーザー置き換え可能モジュール DFHDBUEX を呼び出そうとしましたが、そのモジュールを使用できませんでした。

システムの処置: CICS は障害を無視して、実行を継続します。

ユーザーの処置: モジュール DFHDBUEX が使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHDBCT, DFHDBDSC.

484 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modname*

宛先: CDBC

DFHDB8129 E *date time applid* **Getmain failure in the Control Exit DFHDBCTX.**

説明: MVS GETMAIN 要求が DFHDBCTX で失敗しました。

システムの処置: CICS-DBCTL インターフェースはそのまま変わりません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、ストレージ管理の問題があることを示します。CICS 領域から MVS コンソールに対して発行される他のメッセージも調べてください。

ストレージ問題の扱い方に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHDBCTX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDBC

DFHDB8130 E *date time applid* **Disconnection has failed. DBCTL return code rc.**

説明: DBCTL で切断の試行は失敗しました。

システムの処置: CICS は、DBCTL からの切断の試行を中止します。

ユーザーの処置: DBCTL 戻りコードについての詳細は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

モジュール: DFHDBDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rc*

宛先: CDBC

DFHDB8131 E *date time applid* **The CICS-DBCTL control transaction has abnormally terminated with abend *abcode*.**

説明: CICS-DBCTL 制御トランザクション CDBO は失敗しました。

システムの処置: CICS/DBCTL インターフェースは使用できなくなりました。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abcode* の説明を参照してください。

再度 CICS システムから DBCTL を使用したい場合は、CICS を再始動する必要があります。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *abcode*

宛先: CDBC

DFHDB8199 E **CICS-DBCTL 制御作業エレメント (CWE) の GETMAIN 要求は失敗しました。 (GETMAIN REQUEST FOR CICS-DBCTL CONTROL WORK ELEMENT (CWE) HAS FAILED.)**

説明: CICS-DBCTL インターフェースの状態への変更について CICS-DBCTL 制御トランザクションに通知しているときに、CICS-DBCTL 制御作業エレメントを保持するストレージの GETMAIN 要求が失敗しました。

システムの処置: CICS は DBCTL グローバル・ブロック (DGB) 内の制御出口ストレージを使用して、制御トランザクションにエラーについて通知します。制御トランザクションは、一時データ宛先 CDBC に対してメッセージ DFHDB8129 を発行します。CICS は、CICS-DBCTL インターフェースの状態を変更する試みを中止します。

ユーザーの処置: このメッセージは、ストレージ管理の問題があることを示します。詳しい手引きについては、CICS 領域から MVS コンソールに対して発行される他のメッセージも参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDBCTX

宛先: コンソール

DFHDB8201I 押されたキーは、このパネルでは意味を持ちません。

説明: 端末オペレーターが、以下のいずれかを使用するときに間違ったキーを押しました。

- CDBI。CICS-DBCTL サポート照会トランザクション (モジュール DFHDBIQ)。
-

CDBC。CICS-DBCTL サポート・メニュー・トランザクション (モジュール DFHDBME)。

システムの処置: CICS は押されたキーを無視します。

ユーザーの処置: 画面の下部に表示される許容されるキーを確認し、有効なキーを試してください。

モジュール: DFHDBIQ、DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8202 選択は上記のいずれかでなければなりません。 (**Selection must be one of those shown above.**)

説明: 端末オペレーターは、DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC を使用しているときに、無効なオプションを入力しました。

システムの処置: CICS は、その無効なオプションを拒否します。

ユーザーの処置: 画面に表示される許容されるオプションを確認し、適切なオプションを選択してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8204 Invalid DRA startup table suffix supplied.

説明: 端末オペレーターは、DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC を使用しているときに、無効な始動テーブル接尾部を入力しました。接尾部は、区分データ・セット・メンバー名で有効な文字のみからなる 1 文字または 2 文字の長さのものでなければなりません。

システムの処置: CICS は無効な始動テーブル接尾部を拒否します。

ユーザーの処置: 始動テーブル接尾部を訂正し、やり直してください。システム・プログラマーと共に接尾部を検査することが必要な場合があります。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

**DFHDB8207D Connection to DBCTL requested.
Press PF5 to confirm.**

説明: 端末オペレーターは、CICS が DBCTL に接続されることを要求しました。

このメッセージは、コンソールで CDBC トランザクションを実行している場合には使用されません。コンソールで CDBC トランザクションを実行している場合は、端末の PF5 キーの機能 (要求を確認する) は使用されません。

システムの処置: PF5 キーを押すと、CICS は DBCTL に接続します。このメッセージに回答して他のキーが押された場合、CICS は DBCTL に接続しません。

ユーザーの処置: CICS から DBCTL への接続を続行したい場合は、PF5 キーを押します。接続を続行したくない場合は PF3 キーを押してトランザクションを終了するか、入力データを変更して Enter を押します。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

**DFHDB8208D DBCTL immediate disconnection
requested. Press PF5 to confirm.**

説明: 端末オペレーターは、CICS が直ちに DBCTL から切断されることを要求しました。

このメッセージは、コンソールで CDBC トランザクションを実行している場合には使用されません。コンソールで CDBC トランザクションを実行している場合は、端末の PF5 キーの機能 (要求を確認する) は使用されません。

システムの処置: PF5 キーを押した場合、この CICS システムから発行され、現在 DBCTL 内で処理されているすべての DL/I 要求は完了し、その後 CICS は DBCTL から切断されます。DBCTL を使用していたが、アプリケーション内で明示的に、または CICS 終了処理の結果として暗黙的に CICS SYNCPOINT をまだ発行していないタスクは、異常終了コード ASP7 を出して異常終了します。このメッセージに回答して他のキーが押された場合、CICS は DBCTL から切断されません。

ユーザーの処置: DBCTL からの CICS の即時の切断を続行したい場合は、PF5 キーを押します。切断を続行したくない場合は PF3 キーを押してトランザクションを終了するか、入力データを変更して Enter を押します。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

**DFHDB8209D DBCTL の正常な切断が要求されました。(DBCTL orderly disconnection
requested.) Press PF5 to confirm.**

説明: 端末オペレーターは、CICS が正しい手順で DBCTL から切断されることを要求しました。

このメッセージは、コンソールで CDBC トランザクションを実行している場合には使用されません。コンソールで CDBC トランザクションを実行している場合は、端末の PF5 キーの機能 (要求を確認する) は使用されません。

システムの処置: PF5 キーを押した場合、この CICS システムで実行されており、既に DBCTL を使用していたすべてのタスクは完了し、その後 CICS は DBCTL から切断されます。CICS が DBCTL に再び接続されるまでは、この CICS システムで実行されている新しいタスクは DBCTL を使用できません。このメッセージに回答して他のキーが押された場合、CICS は DBCTL から切断されません。

ユーザーの処置: 正しい手順での DBCTL からの CICS の切断を続行したい場合は、PF5 キーを押します。切断を続行したくない場合は PF3 キーを押してトランザクションを終了するか、入力データを変更して Enter を押します。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

**DFHDB8210D Connection to DBCTL is
proceeding. Check CDBC TD queue.**

説明: オペレーターがメッセージ DFHDB8207 に応答して PF5 を押したか、または DBCTL に接続するために CDBC トランザクションが MVS オペレーター・コンソールから使用されました。CICS は、CDBC 一時データ宛先への接続に関する追加のメッセージを発行します。

システムの処置: CICS は接続試行を続行します。

ユーザーの処置: トランザクションを終了するには、PF3 を押します。画面上の状況情報を最新表示するには、PF2 を押します。コンソールで CDBC トランザクションを実行している場合は、PF キー機能は使用できません。詳細なメッセージについては、CDBC 一時データ宛先を調べてください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

DFHDB8211D Orderly disconnection from DBCTL is proceeding. Check CDBC TD queue.

説明: オペレーターがメッセージ DFHDB8209 に応答して PF5 を押しました。CICS は、CDBC 一時データ宛先からの切断に関する追加のメッセージを発行します。さらに、DBCTL が MVS コンソールにいくつかのメッセージを出します。

システムの処置: CICS は切断試行を続行します。

ユーザーの処置: 端末を使用して他の機能を実行できるようになりました。リフレッシュ・キーを使用して画面上的 CICS-DBCTL 状況情報を最新表示することで、切断試行の進行状況を調べることができます。問題がある場合 (例えば CICS が DBCTL から切断しない場合)、CDBC 一時データ宛先を確認してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8212D Immediate disconnection from DBCTL is proceeding. Check CDBC TD queue.

説明: オペレーターがメッセージ DFHDB8208 に応答して PF5 を押しました。CICS は、CDBC 一時データ宛先からの切断に関する追加のメッセージを発行します。さらに、DBCTL がいくつかのメッセージを出します。

システムの処置: CICS は切断試行を続行します。

ユーザーの処置: 端末を使用して他の機能を実行できるようになりました。リフレッシュ・キーを使用して画面上的 CICS-DBCTL 状況情報を最新表示することで、切断試行の進行状況を調べることができます。問題がある場合 (例えば CICS が DBCTL から切断しない場合)、CDBC 一時データ宛先を確認してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8213 Connection to DBCTL is already in progress. Request is ignored.

説明: CICS が DBCTL に接続することを端末オペレーターが要求しましたが、CICS は既に DBCTL に接続しようとしています。

システムの処置: この接続要求は無視されます。

ユーザーの処置: PF2 キーを使用して、画面上的 CICS-DBCTL 状況情報を最新表示してください。

「DBCTL は接続済みで作動可能です (DBCTL connected and ready)」というメッセージが表示されな

い場合は、CDBC 一時データ宛先を調べて、CICS が DBCTL に接続していたときにエラーが発生しなかったことを確認してください。メッセージ DFS0690 が発行されて応答を待機している可能性があるため、オペレーターは、MVS コンソールも調べる必要があります。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8214 DBCTL への接続はすでに実行されました。(Connection to DBCTL has already been done.) Request is ignored.

説明: CICS が既に DBCTL に接続しているときに、CICS が DBCTL に接続することを端末オペレーターが要求しました。

システムの処置: この接続要求は無視されます。

ユーザーの処置: DBCTL が CICS に接続されていることを予期していなかった場合は、CDBC 一時データ宛先を調べて、CICS がいつ DBCTL に接続した時刻を確認してください (メッセージ DFHDB8101)。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8215 Orderly disconnection from DBCTL in progress. Request is ignored.

説明: 端末オペレーターが以下のいずれかを実行しました。

- CICS が既に DBCTL から切断されているときに、CICS が DBCTL から切断されるように要求した。
- CICS がまだ DBCTL からの切断処理を行っているときに、CICS が DBCTL に接続することを要求した。

システムの処置: この切断要求は無視されます。

ユーザーの処置: リフレッシュ・キーを使用して、画面上的 CICS-DBCTL 状況情報を最新表示してください。

「DBCTL が CICS に接続されていません (DBCTL not connected to CICS)」というメッセージが表示されない場合は、CDBC 一時データ宛先を調べて、CICS が DBCTL から切断していたときにエラーが発生しなかったことを確認してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

**DFHDB8216 DBCTL からの即時の切断が進行中です。
(Immediate disconnection from DBCTL
in progress.) Request is ignored.**

説明: 端末オペレーターが以下のいずれかを実行しました。

- CICS が既に DBCTL から切断されているときに、CICS が DBCTL から切断されるように要求した。
- CICS がまだ DBCTL からの切断処理を行っている間に、CICS が DBCTL に接続することを要求した。

システムの処置: この切断要求は無視されます。

ユーザーの処置: PF2 キーを使用して、画面上の CICS-DBCTL 状況情報を最新表示してください。

「DBCTL が CICS に接続されていません (DBCTL not connected to CICS)」というメッセージが表示されない場合は、CDBC 一時データ宛先を調べて、CICS が DBCTL から切断していたときにエラーが発生しなかったことを確認してください。必要な場合は、システム・プログラマーと共に CDBC 宛先の場所を確認してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

**DFHDB8217 DBCTL not currently connected to
CICS. 要求は無視されます。(Request
ignored.)**

説明: CICS が DBCTL に接続していないときに、CICS が DBCTL から切断することを端末オペレーターが要求しました。

システムの処置: この切断要求は無視されます。

ユーザーの処置: DBCTL が CICS から切断されていることを予期していなかった場合は、CDBC 一時データ宛先を調べて、CICS が DBCTL から切断された時刻と理由を確認してください (メッセージ DFHDB8102)。CDBC 宛先の場所が分からない場合は、システム・プログラマーに問い合わせてください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

**DFHDB8218 CDBC - CONNECT または
DISCONNECT を指定してください。**

説明: 端末オペレーターが MVS オペレーター・コンソールから CDBC (DBCTL サポート・メニュー・トラ

ンザクション) を使用しましたが、オプションを選択しませんでした。

システムの処置: オペレーターがオプションを選択するまでは、アクションは実行されません。

ユーザーの処置: 接続オプションまたは切断オプションと共に CDBC で入力することにより、オプションを選択してください。

CDBC の使用の手引きについては、「CICS Supplied Transactions」を参照してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

**DFHDB8219 DBCTL connection phase 1 in
progress. Request is ignored.**

説明: CICS を DBCTL に接続する最初のフェーズがまだ完了していませんが、端末オペレーターが DBCTL からの切断を要求しました。

システムの処置: この切断要求は無視されます。

ユーザーの処置: DBCTL からの CICS の切断を続行したい場合は、切断の要求を再試行してください。それでも切断できない場合は、CDBC 一時データ宛先を調べて、接続試行に問題があることを示すメッセージが発行されたかどうかを確認してください。また、DBCTL からメッセージが出されたかどうかについても確認してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

**DFHDB8220 CICS-DBCTL 接続は使用できません。
(CICS-DBCTL connection is unusable.)
Request is ignored.**

説明: CICS-DBCTL インターフェースで障害が発生しました。

システムの処置: DBCTL への接続または DBCTL からの切断の要求はすべて無視されます。

ユーザーの処置: CDBC 一時データ宛先で CICS から発行されたメッセージがあるかどうかを確認し、さらに DBCTL から発行されたメッセージがあるかどうかを確認して、エラーの原因を示す以前のメッセージを探します。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

DFHDB8221 Non zero return code *rc* from DFHDBAT. The request is ignored.

説明: モジュール DFHDBAT は、DBCTL に対して出された要求に応答してゼロ以外の戻りコードを返します。DFHDBAT はタスク関連ユーザー出口ルーチンであり、CICS-DBCTL インターフェースの一部を形成します。

システムの処置: DBCTL への要求は失敗します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ DFHDB8110 を参照してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8222 接続に失敗しました。DBCTL return code is *rc*.

説明: DBCTL は、CICS からの DBCTL への接続の要求を拒否します。

システムの処置: 接続は続行されません。

ユーザーの処置: DBCTL 戻りコードの説明は、「IMS メッセージおよびコード」を参照してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8223 DRA startup table with suffix *xx* cannot be found.Request is ignored.

説明: 接続要求が出されましたが、指定された接尾部を持つ始動テーブルが見つかりません。

システムの処置: 接続は続行されません。

ユーザーの処置: DBCTL サポート・メニュー・トランザクション CDBC を使用していた場合は、接尾部の値を誤って入力したかどうかを確認してください。

DRA 始動テーブルを CICS STEPLIB ライブラリーに入れてください。それを実行する方法に関する手引きについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8224 モジュールDFSPRRC0が見つかりません。接続を実行できません。(Connection cannot be done.)

説明: DBCTL に接続しようとしたときに、DRA ルーター・モジュール DFSPRRC0 が見つかりませんでした。

システムの処置: 接続は続行されません。

ユーザーの処置: モジュール DFSPRRC0 を CICS STEPLIB ライブラリーに入れてください。それを実行する方法に関する手引きについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8225I applid The DBCTL ID is *xxxx*. The DRA Startup Table suffix is *xx*.

説明: このメッセージは、DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC が MVS オペレーターのコンソールから使用されたときに、モジュール DFHDBME から発行されます。このメッセージは、DBCTL サポート照会トランザクションである CDBI が MVS オペレーターのコンソールから使用されたときに、モジュール DFHDBIQ から発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBME、DFHDBIQ

宛先: TERMCDBC

DFHDB8226 CDBT の開始中にエラーが発生しました。(There was an error starting CDBT.) DBCTL からの切断に失敗しました。(Disconnection from DBCTL failed.)

説明: 切断トランザクション CDBT を開始しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: 切断の試行は失敗します。

ユーザーの処置: CDBC 一時データ宛先または CSMT 一時データ宛先で、エラーの原因を示す以前のメッセージを探してください。切断トランザクション CDBT が使用可能であることを確認してください。切断モジュール DFHDBDSC が使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDBC

DFHDB8227 DFHDBCON へのリンク中にエラーが発生しました。(There was an error linking to DFHDBCON.) DBCTL への接続に失敗しました。(Connection to DBCTL failed.)

説明: DBCTL に接続しようとしたましたが、接続モジュ

ールへリンクしているときにエラーが発生しました。

システムの処置: 接続試行は失敗します。

ユーザーの処置: CDBC 一時データ宛先または CSMT 一時データ宛先で、エラーの原因を示す以前のメッセージを探してください。モジュール DFHDBCON が使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHDBME

宛先: TERMCDDBC

DFHDB8228 ピリオド(.)およびそれに続く文字が除去されました。

説明: コマンドの末尾にコメントが見つかりました。CDBM トランザクションは、IMS コマンドを送信する前にコメントを削除しました。コメントは、ピリオド文字 (.) で始まり、コマンドの末尾まで続きます。

システムの処置: IMS コマンドは、コメントなしで送信されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8229 CRC(/)の直後のスペースが除去されました。

説明: コマンド認識文字 (CRC) と IMS verb の間に 1 つ以上のスペースが見つかりました。デフォルトの CRC はスラッシュ (/) です。この位置にスペースがある場合、通常は IMS コマンドが失敗します。

システムの処置: CDBM トランザクションは、IMS コマンドを送信する前にスペースを削除します。

ユーザーの処置: None. オペレーターは、CRC とコマンドの間にスペースを追加してはなりません。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8230 押されたキーは、このパネルでは意味を持ちません。

説明: 端末オペレーターが間違ったキーを押しました。

システムの処置: CICS は押されたキーを無視します。

ユーザーの処置: 画面の下部にあるキー機能の表示を確認し、有効なキーを試してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8231 FORCE IMS LOG END OF

VOLUMEが1または2に設定されませんでした。

説明: /DBDUMP または /DBRECOVER IMS コマンドを入力する場合は、FORCE IMS LOG END OF VOLUME フィールドの値を 1 または 2 に設定する必要があります。1 を選択すると、コマンドには NOFEOV オプションが設定されます。これにより、このコマンドに IMS End OF LOG は強制されません。これを指定変更するには、オプション 2 を選択します。NOFEOV オプションは追加されません。

システムの処置: コマンドは送信されません。

ユーザーの処置: オプション 1 または 2 を選択し、Enter キーを押してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8232 最初のCRC(/)が見つかりませんでした。IMSコマンドを再入力してください。

説明: コマンド行の先頭には、コマンド認識文字 (CRC) があるものと予期されます。デフォルトの CRC はスラッシュ (/) です。

システムの処置: コマンドは送信されません。

ユーザーの処置: 先頭の文字が CRC であるコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8233 2番目のCRC(/)が見つかりました。IMSコマンドを再入力してください。

説明: コマンド・フィールドでは、1 つのコマンドのみを受け入れることができます。コマンドは、先頭がコマンド認識文字 (CRC) でなければなりません。デフォルトの CRC はスラッシュ (/) です。コマンド・フィールド内で 2 つ目の CRC の使用は許可されず、コマンドが IMS に送信される前に削除する必要があります。

システムの処置: コマンドは送信されません。

ユーザーの処置: 2 番目のコマンドを削除するか、コマンド構文を訂正して、コマンド・フィールドを訂正してください

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8234 無効なワイルドカードが見つかりました。
IMSコマンドを再入力してください。

説明: 複数のデータベース名にワイルドカードが含まれています。アスタリスク (*) を使用して任意の数の文字を参照するか、正符号 (+) を使用して 1 文字を参照することができます。ただし、コマンド内では、1 つのデータベース名のみでワイルドカード文字を使用できません。複数のデータベース名でワイルドカードを使用することは許可されず、ワイルドカードを削除する必要があります。

システムの処置: コマンドは送信されません。

ユーザーの処置: 無効なワイルドカードを削除してください。2 番目のワイルドカード・ストリングに一致するデータベースを含むように最初のワイルドカード・ストリングを変更するか、明示的にデータベースを指定してください。あるいは、最初のワイルドカード・ストリングを含むコマンドを発行し、F9 (取得) キーを押してコマンドを取得し、最初のワイルドカードを 2 番目のストリングに置き換えます。コマンド内に他のデータベース名がある場合は、コマンドを送信する前に、それらを削除しなければならないことがあります。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8235 ワイルドカードの位置が正しくありません。IMSコマンドを再入力してください。

説明: コマンド内では、データベース名を参照するためにのみ、ワイルドカード文字を使用できます。この事例では、ワイルドカード文字 (アスタリスク (*)) または正符号 (+) がコマンド内の誤った位置に置かれています。

システムの処置: コマンドは送信されません。

ユーザーの処置: データベースの名前を参照できる位置にワイルドカードを移動することによって、コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8236 IMSコマンド**verb**が無効です。IMSコマンドを再入力してください。

説明: verb が有効な IMS オペレーター・コマンドとして認識されないため、このコマンドは IMS によって拒否されました。

システムの処置: IMS はコマンドを受け入れません。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、Enter キーを押してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8237 コマンドは許可されていません。有効なIMSコマンドを入力してください。

説明: このコマンドは、CICS が使用する AIB インターフェースを使用して実行できないため、IMS によって拒否されました。

/MODIFY などの特定の IMS オペレーター・コマンドが CDBM トランザクションでは無効であり、MVS コンソールを通じて発行する必要があります。

システムの処置: IMS はコマンドを受け入れません。

ユーザーの処置: 有効な IMS オペレーター・コマンドを入力してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8238 コマンドは許可されていません。有効なIMSコマンドを入力してください。

説明: アプリケーションまたはユーザーが、入力されたコマンドを実行するために必要な許可を持っていないため、このコマンドは IMS によって拒否されました。

システムの処置: IMS はコマンドを受け入れません。

ユーザーの処置: 必要な許可を取得し、コマンドを再発行してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8239 *aaaa call failed, AIB Return X'bbbb'
Reason X'cccc'*

説明: このコマンドは IMS によって拒否されました。

システムの処置: IMS はコマンドを受け入れません。

ユーザーの処置: IMS 機能コードの場合、AIB 戻りコードおよび理由コードを調べてエラーの原因を判別してください。これらのコードの説明については、「IMS データベース管理」(SC26-8015) を参照してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8240 DBCTLが接続されていません。CDBCを実行して接続してください。

説明: CICS は、IMS コマンドを発行する前にプログラム仕様ブロック (PSB) DFHDBMP をスケジュールしようとして失敗しました。

DFHDB8241 • DFHDB8247

システムの処置: コマンドは送信されません。

ユーザーの処置: DBCTL システムが、CICS 提供のトランザクション CDBC を使用して接続されていることを確認してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8241 PSBスケジュールは失敗しました。UIB return codes (X'aaaa')

説明: CICS は、IMS コマンドを発行する前にプログラム仕様ブロック (PSB) DFHDBMP をスケジュールしようとして失敗しました。

システムの処置: コマンドは送信されません。

ユーザーの処置: PSB DFHDBMP がシステムで使用可能であることを確認してください。UIB 戻りコードの説明については、CICS 資料内の異常終了および戻りコードの要約を参照してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8242 コマンドを処理中です。/DISPLAYコマンドを発行し、状況を表示してください。

説明: IMS に送信されたコマンドはセグメントを返しませんでした。肯定応答を送信しました。

システムの処置: IMS コマンドが進行中であるか、または完了しました。

ユーザーの処置: /DISPLAY コマンドを発行して、状況を判別してください。F9 (取得) を押して IMS コマンドを取得し、そのコマンドを /DISPLAY コマンドに変更してください。あるいは、F12 (取り消し) を押し、新たにコマンドを入力して状況を表示します。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8243 No match has been found for wildcard (aaaaaaaa).

説明: CICS は、指定されたワイルドカードと一致する IMS データベースを検出しようとしたが、検出できませんでした。

システムの処置: コマンドは送信されません。

ユーザーの処置: 必要なデータベースの名前、指定されたワイルドカード、あるいはその両方を確認してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8244 要求されたコマンドがコマンド・ファイル に見つかりません。

説明: 入力されたグループ・コマンドがコマンド・ファイル内に存在しません。

システムの処置: 処置は取られません。

ユーザーの処置: グループ名とコマンドが正しく入力されたことを確認してください。使用可能なすべてのコマンドのリストは、CDBM のグループ・コマンド保守セクション内の参照機能を使用して見つけることができます。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8245 コマンド・ファイルDFHDBFKを開け ません。

説明: CDBM は、コマンド・ファイル DFHDBFK を開くことができませんでした。

システムの処置: CDBM は、ユーザーが保守セクションに入ることを許可しません。

ユーザーの処置: オープンの失敗の原因を判別し、エラーを訂正してください。CDBM 内部から保守オプションの選択を再試行してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8246 コマンド・ファイルDFHDBFKの読み取 り中にエラーが発生しました。

説明: CDBM がコマンド・ファイル DFHDBFK からレコードを読み取ろうとしたときにエラーが発生しました。

システムの処置: CDBM は、要求されたグループ・コマンドを読み取って実行することができません。

ユーザーの処置: 読み取りの失敗の原因を判別し、エラーを訂正してください。CDBM 内部からグループ・コマンドの発行を再試行してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8247 レコードが見つかりません。

説明: 指定されたグループおよびコマンドのレコードが、グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK 内にはありませんでした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: グループ・コマンド・ファイルをブラウザして、正しいレコードを見つけてください。ブラウザ要求中にこのメッセージが出された場合は、グループ・フィールドおよび名前フィールドをクリアして、ブラウザを再試行してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8248 参照中に、ファイルの終わりに達しました。**Enter**を押して折り返してください。

説明: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK に対するブラウザ要求中に、ファイルの終わりに達しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: グループ・コマンド・ファイルを最初からブラウザするには、リターン・キーを押してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8249 このグループのこのコマンドのレコードはすでに存在します。

説明: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK に、一致するグループとコマンド名を含むレコードが既に存在しています。

システムの処置: 新規グループ・コマンド・レコードはグループ・コマンド・ファイルに追加されません。

ユーザーの処置: コマンド名が正しいことを確認してください。正しい場合は、異なるグループ名を使用してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8250 更新する前にレコードを読み取る必要があります。

説明: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK 内のレコードを更新するには、まずそれを読み取る必要があります。

システムの処置: グループ・コマンド・ファイル内でそのグループ・コマンド・レコードは更新されません。

ユーザーの処置: 更新要求を出す前に、レコードを読み取り、変更を適用してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8251 削除する前にレコードを読み取る必要があります。

説明: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK 内のレコードを削除するには、まずそれを読み取る必要があります。

システムの処置: そのレコードは、グループ・コマンド・ファイルから削除されません。

ユーザーの処置: 削除要求を出す前に、レコードを読み取ってください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8252 グループとコマンドを変更してはなりません。レコードが更新されません。

説明: グループ・コマンド・レコード更新要求の間に、グループ・フィールドとコマンド・フィールドを変更してはなりません。

システムの処置: そのレコードはグループ・コマンド・ファイル DFHDBFK 内で更新されません。

ユーザーの処置: 必要なグループ・フィールドと名前フィールドを含む新規レコードを追加してください。不要なレコードは削除してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8253 グループとコマンドを変更してはなりません。レコードが削除されません。

説明: グループ・コマンド・レコード削除要求の間に、グループ・フィールドとコマンド・フィールドを変更してはなりません。

システムの処置: そのレコードはグループ・コマンド・ファイル DFHDBFK から削除されません。

ユーザーの処置: 削除要求を出す前に、正しいレコードを読み取ってください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8254 参照中は更新できません。更新するレコードを読み取ってください。

説明: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK 内のレコードを更新するには、まずそれを読み取る必要があります。

DFHDB8255 • DFHDB8260

システムの処置: グループ・コマンド・ファイル内でそのグループ・コマンド・レコードは更新されません。

ユーザーの処置: 更新要求を出す前に、レコードを読み取り、変更を適用してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8255 参照中は削除できません。削除するレコードを読み取ってください。

説明: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK 内のレコードを削除するには、まずそれを読み取る必要があります。

システムの処置: そのレコードは、グループ・コマンド・ファイルから削除されません。

ユーザーの処置: 削除要求を出す前に、レコードを読み取ってください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8256 グループとコマンドの両方を指定する必要があります。

説明: 新規グループ・コマンド・レコードをグループ・コマンド・ファイル DFHDBFK に追加するときに、グループ・フィールドとコマンド・フィールドの両方を指定する必要があります。

システムの処置: 新規グループ・コマンド・レコードはグループ・コマンド・ファイルに追加されません。

ユーザーの処置: グループ・フィールドとコマンド・フィールドの両方にデータを入力し、追加要求を出してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8257 関数が無効です。A、B、D、R、またはUでなければなりません。

説明: 要求されたアクションが無効でした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 有効なアクションの文字を入力してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8258 ファイルの (File) (書き込み (write) | 再書き込み | 削除 (delete) | 読み取り (read) | 参照) が失敗しました。
(failure.) EIBRESP=eibresp,
EIBRESP2=eibresp2.

説明: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK のファイル操作中に予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: グループ・コマンド・ファイルに対して、要求された更新は行われません。

ユーザーの処置: EIBRESP および EIBRESP2 の値を使用して、失敗の理由を判別してください。エラーの原因を修正し、操作を再試行してください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8259 グループ・コマンド *group command* が、(Group command, group command) (追加されました | 更新されました | 削除されました | 読み取られました | 参照されました)。

説明: 示された操作が、グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK に対して実行されました。

システムの処置: グループ・コマンド・ファイルが正常に変更されました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8260 レコード長が画面サイズを超えています。

説明: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK から読み取られたレコードが、画面に表示可能な量よりも多くのデータを含むことが検出されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: グループ・コマンド・ファイル DFHDBFK に関連付けられたデータ・セットが作成されましたが、そのレコード・サイズは許可されているサイズよりも大きくなっています。正しいレコード・サイズのデータ・セットを再作成し、データを再ロードしてください。

モジュール: DFHDBMP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHDB8290I DBCTL not connected to CICS.

説明: このメッセージは、CICS が DBCTL に接続されていない場合に発行されます。

DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC トランザクションを使用している場合は、モジュール DFHDBME からメッセージが発行されます。

DBCTL サポート照会トランザクションである CDBI トランザクションを使用している場合は、モジュール DFHDBIQ からメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBME、DFHDBIQ

宛先: TERMCDDBC

DFHDB8291I DBCTL connect phase 1 in progress.

説明: CICS は DBCTL への接続のフェーズ 1 であり、まだ接続処理のフェーズ 2 には移行していません。

DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC トランザクションを使用している場合、このメッセージはモジュール DFHDBME から発行されます。

DBCTL サポート照会トランザクションである CDBI トランザクションを使用している場合は、モジュール DFHDBIQ からこのメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 画面上の状況情報を最新表示するには、PF2 キーを押します。CICS-DBCTL インターフェースに関して CICS から発行されたその他のメッセージについては、CDBC 一時データ・メッセージ宛先を確認してください。

モジュール: DFHDBME、DFHDBIQ

宛先: TERMCDDBC

DFHDB8292I DBCTL connect phase 2 in progress.

説明: CICS が DBCTL への接続のフェーズ 2 です。(すなわち、接続のフェーズ 1 が完了し、CICS は、接続のフェーズ 2 が完了したことを DBCTL からまだ通知されていません。)

DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC トランザクションを使用している場合、このメッセージはモジュール DFHDBME から発行されます。

DBCTL サポート照会トランザクションである CDBI トランザクションを使用している場合は、モジュール DFHDBIQ からこのメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 画面上の状況情報を最新表示するには、PF2 キーを押します。

CICS-DBCTL インターフェースに関して CICS から発行されたその他のメッセージについては、CDBC 一時データ・メッセージ宛先を確認してください。接続しようとしている DBCTL システムが初期設定されたことを確認してください。

MVS オペレーター・コンソールで、応答が必要な IMS コンソール・メッセージ (例えばメッセージ DFS0690) があるかどうか確認してください。

モジュール: DFHDBME、DFHDBIQ

宛先: TERMCDDBC

DFHDB8293I DBCTL connected and ready.

説明: CICS が DBCTL に接続されています。

DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC トランザクションを使用している場合、このメッセージはモジュール DFHDBME から発行されます。

DBCTL サポート照会トランザクションである CDBI トランザクションを使用している場合は、モジュール DFHDBIQ からメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクションを終了するには、PF3 を押します。

画面上の状況情報を最新表示するには、PF2 キーを押します。

CICS-DBCTL インターフェースに関して CICS から発行されたその他のメッセージについては、CDBC 一時データ・メッセージ宛先を確認してください。

モジュール: DFHDBME、DFHDBIQ

宛先: TERMCDDBC

DFHDB8294I DBCTL orderly disconnect in progress.

説明: CICS が正しい手順で DBCTL から切断されています。(すなわち、この CICS システムから DBCTL を使用するすべてのタスクは、CICS が DBCTL から切断される前に終了されます。)

DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC トランザクションを使用している場合、このメッセージはモジュール DFHDBME から発行されます。

DBCTL サポート照会トランザクションである CDBI トランザクションを使用している場合は、モジュール DFHDBIQ からメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクションを終了するには、PF3 を押します。

画面上の状況情報を最新表示するには、PF2 キーを押します。

CICS-DBCTL インターフェースに関して CICS から発行されたその他のメッセージについては、CDBC 一時データ・メッセージ宛先を確認してください。

モジュール: DFHDBME、DFHDBIQ

宛先: TERMCDBC

DFHDB8295I DBCTL immediate disconnect in progress.

説明: CICS は即時の DBCTL からの切断を実行中です。(すなわち、この CICS システムから発行され、現在 DBCTL によって処理されているすべての DL/I 要求は、CICS が DBCTL から切断される前に完了します。)

DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC トランザクションを使用している場合、このメッセージはモジュール DFHDBME から発行されます。

DBCTL サポート照会トランザクションである CDBI トランザクションを使用している場合は、モジュール DFHDBIQ からこのメッセージが発行されます。

オペレーターの応答を待機している IMS コンソール・メッセージ DFS0690 がある場合、オペレーターがその IMS コンソール・メッセージに応答するまでこのメッセージが続けて表示されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクションを終了するには、PF3 を押します。

画面上の状況情報を最新表示するには、PF2 キーを押します。

CICS-DBCTL インターフェースに関して CICS から発行されたその他のメッセージについては、CDBC 一時データ・メッセージ宛先を確認してください。

モジュール: DFHDBME、DFHDBIQ

宛先: TERMCDBC

DFHDB8296I DBCTL cannot be connected to CICS.

説明: CICS-DBCTL インターフェースで障害が発生しました。

DBCTL サポート・メニュー・トランザクションである CDBC トランザクションを使用している場合、このメッ

セージはモジュール DFHDBME から発行されます。

DBCTL サポート照会トランザクションである CDBI トランザクションを使用している場合は、モジュール DFHDBIQ からメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: CDBC 一時データ宛先を確認し、DBCTL から発行されたメッセージがあればそれも確認して、エラーの原因を示す以前のメッセージを探します。

モジュール: DFHDBME、DFHDBIQ

宛先: TERMCDBC

DFHDB8297 applid CICS/DBCTL CONNECTION BEING ATTEMPTED

説明: このメッセージは、リカバリー可能サービス・テーブル (RST) がない場合のみ出されます。CICS は DBCTL に接続しようとしたが、1 回以上失敗しました。DBCTL が稼働していないか、または DBCTL 異常終了後に再始動している可能性があります。

システムの処置: CICS は 5 秒おきに接続を試行し続けます。このメッセージは、10 分間または接続されるまで、1 分ごとに再発行されます。

10 分のうちに接続されない場合、CICS は接続の試行を停止し、IMS メッセージ DFS0690 が発行されます。ユーザーが IMS DFS0690 メッセージに対して WAIT と応答すると、IMS DRA は、接続を再試行する責任を引き継ぎます。DRA 始動テーブル内の TIMER パラメータは、DRA が DBCTL への接続を再試行する頻度を指定します。

ユーザーの処置: DBCTL が稼働していない理由を調べてください。切断要求を出すことにより、CDBC トランザクションを使用して接続試行を取り消すことができます。

モジュール: DFHDXAX

宛先: コンソール

DFHDB8298 APPLID An attempt has been made to connect to DBCTL via PLT phase 1. The request has been rejected.

説明: DBCTL に接続しようとしたが、失敗しました。

始動 PLT を使用しており、DFHDBCON の要求が PLT フェーズ 1 の処理で発行されました。これは、PLT フェーズ 2 からのみ発行できます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 始動 PLT のソースを調べてください。DBCTL 始動プログラム (DFHDBCON) が、DFHDELIM を指定しているステートメントの後にあることを確認してください。

モジュール: DFHDBME、DFHDBCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHDB8300 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install the PACKAGESET
packageset because {its name contains
invalid characters. | the PACKAGESET
XML data could not be parsed. | its not
defined in a platform or application bundle.
| the PACKAGESET XML encoding is
invalid.}

説明: CICS **BUNDLE** *bundlename* は、**PACKAGESET** *packageset* のインストールに失敗しました。次の理由が考えられます。

名前に無効な文字が含まれています

PACKAGESET 名 *packageset* に無効文字が含まれています。有効な文字は、A から Z、a から z、0 から 9、および特殊文字 *_#@\$_* です。ブランク文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることはできません。

PACKAGESETのXMLデータを解析できませんでした

PACKAGESET *packageset* の XML の構文解析が失敗しました。先行する **DFHPI***mmnn* メッセージに、問題の原因に関する詳細が示されている場合があります。

プラットフォームまたはアプリケーション・バンドルで定義されていません

PACKAGESET *packageset* は、スタンドアロン CICS バンドルで定義されています。CICS は、プラットフォームまたはアプリケーションの一部としてインストールされた **PACKAGESET** のみをサポートします。

XML エンコードが無効です

XML から IBM 037 への変換が失敗しました。

システムの処置: **BUNDLE** リソースは無効となり、**PACKAGESET** は作成されません。

ユーザーの処置: **PACKAGESET** XML 内のエラーまたは不整合が原因として考えられます。以前のメッセージを確認してください。失敗の理由に関する詳細が示されている可能性があります。**PACKAGESET** の XML を

訂正し、**BUNDLE** 破棄して、再インストールします。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *packageset*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=その名前に無効文字が含まれています。,
 2=**PACKAGESET** の XML データを解析できませんでした。,
 3=プラットフォームまたはアプリケーション・バンドルで定義されていません。,
 4=**PACKAGESET** の XML エンコードが無効です。

宛先: CDB2

DFHDB8301 *date time applid Packageset name was*
not specified or is too long in
BUNDLE bundlename.

説明: リソース名が指定されなかったか、長さが 128 文字を超えているため、CICS **BUNDLE** *bundlename* は **PACKAGESET** をインストールできませんでした。

システムの処置: **BUNDLE** リソースは無効となり、**PACKAGESET** は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイル内の **PACKAGESET** リソースの名前を訂正してください。**BUNDLE** リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CDB2

DFHDB8302 *applid An abend (code aaa/bbbb) has*
occurred at offset X'offset' in module
modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上

書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHDB8303 *date time applid BUNDLE bundlename*
has successfully installed the
PACKAGESET *packageset* on platform
platformname as {enabled | disabled}.

説明: CICS BUNDLE *bundlename* は、プラットフォーム *platformname* 上に PACKAGESET *packageset* を有効または無効のいずれかとして正常にインストールしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *packageset*
6. *platformname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=有効,

2=無効

宛先: CDB2

DFHDB8304 *date time applid BUNDLE bundlename*
has successfully installed the
PACKAGESET *packageset* for
application *applicationname*, version
majorversion.minorversion.microversion, on
platform *platformname* as {enabled |
disabled}.

説明: CICS BUNDLE *bundlename* は、アプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の PACKAGESET *packageset* を、有効または無効としてプラットフォーム *platformname* に正常にインストールしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

5. *packageset*
6. *applicationname*
7. *majorversion*
8. *minorversion*
9. *microversion*
10. *platformname*
11. 以下のオプションから選択される値。

1=有効,
2=無効

宛先: CDB2

DFHDB8305 *date time applid PACKAGESET packageset on platform platformname has been {enabled | disabled}.*

説明: プラットフォーム *platformname* の PACKAGESET *packageset* が有効または無効になりました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *packageset*
5. *platformname*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=有効,
2=無効

宛先: CDB2

DFHDB8306 *date time applid PACKAGESET packageset for application applicationname, version majorversion.minorversion.microversion, on platform platformname has been {enabled | disabled}.*

説明: プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の PACKAGESET *packageset* を、有効または無効にしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *packageset*
5. *applicationname*
6. *majorversion*
7. *minorversion*
8. *microversion*
9. *platformname*
10. 以下のオプションから選択される値。

1=有効,
2=無効

宛先: CDB2

DFHDB8307 *date time applid PACKAGESET packageset on platform platformname has been discarded.*

説明: プラットフォーム *platformname* の PACKAGESET *packageset* が破棄されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *packageset*
5. *platformname*

宛先: CDB2

DFHDB8308 *date time applid PACKAGESET packageset for application applicationname, version majorversion.minorversion.microversion, on platform platformname has been discarded.*

説明: プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の PACKAGESET

packageset は破棄されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *packageset*
5. *applicationname*
6. *majorversion*
7. *minorversion*
8. *microversion*
9. *platformname*

宛先: CDB2

DFHDB8309 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install the PACKAGESET
packageset1 because a PACKAGESET
packageset2 is already installed on
platform platformname.

説明: 別の PACKAGESET *packageset2* がプラットフォーム *platformname* に既にインストールされているため、CICS BUNDLE *bundlename* は、PACKAGESET *packageset1* のインストールに失敗しました。1 つのプラットフォームにインストールできる PACKAGESET は 1 つのみです。

システムの処置: BUNDLE リソースは無効となり、PACKAGESET は作成されません。

ユーザーの処置: 重複する PACKAGESET を特定して削除し、プラットフォームを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *packageset1*
6. *packageset2*
7. *platformname*

宛先: CDB2

DFHDB8310 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install the PACKAGESET
packageset1 because a PACKAGESET
packageset2 is already installed for
application applicationname, version
majorversion.minorversion.microversion, on
platform platformname.

説明: 別の PACKAGESET *packageset2* がプラットフォーム上でアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion*用に既にインストールされているため、CICS BUNDLE *bundlename* は、PACKAGESET *packageset1* のインストールに失敗しました。1 つのアプリケーションの一部としてインストールできる PACKAGESET は 1 つのみです。

システムの処置: BUNDLE リソースは無効となり、PACKAGESET は作成されません。

ユーザーの処置: 重複する PACKAGESET を特定して削除し、アプリケーションを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *packageset1*
6. *packageset2*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*

宛先: CDB2

DFHDB8311 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install the PACKAGESET
packageset because {its schema level is not
supported | pkgsetSchemaVersion is invalid
| pkgsetSchemaRelease is invalid}:
error_data.

説明: CICS BUNDLE *bundlename* は、PACKAGESET *packageset* のインストールに失敗しました。次の理由が考えられます。

スキーマ・レベルがサポートされていません

PACKAGESET *packageset* の
pkgsetSchemaVersion および
pkgsetSchemaRelease は、このリリースの
CICS でサポートされるスキーマ・レベルより
も高くなっています。

pkgsetSchemaVersionが無効です

指定された 1 文字から 2 文字までのストリングは、数字のみ (すなわち 0 から 9 まで) で構成され、1 から 99 までの範囲の値でなければなりません。

pkgsetSchemaReleaseが無効です

指定された 1 文字から 2 文字までのストリングは、数字のみ (すなわち 0 から 9 まで) で構成され、0 から 99 までの範囲の値でなければなりません。

システムの処置: BUNDLE リソースは無効となり、PACKAGESET は作成されません。

ユーザーの処置: PACKAGESET XML 内のエラーまたは不整合が原因として考えられます。以前のメッセージ

を確認してください。失敗の理由に関する詳細が示されている可能性があります。PACKAGESET の XML を訂正し、BUNDLE 破棄して、再インストールします。

モジュール: DFHD2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *packageset*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=そのスキーマ・レベルがサポートされていません,
2=pkgsetSchemaVersionが無効です,
3=pkgsetSchemaReleaseが無効です

7. *error_data*

宛先: CDB2

DFHDDnnnn メッセージ

DFHDD0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了が発生して、異常終了コード *aaa/bbbb* が出されました。

プログラム・チェック時のプログラム状況ワード (PSW) または異常終了は、CICS がモジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で実行していたことを示しています。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊により引き起こされた可能性があります。

システムの処置: ダンプ・テーブルの項目で指示しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供したシステム・ダンプおよび前に出力されたすべての診断情報を使用して、プログラム・チェックまたは異常終了の原因を調べてください。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDDAP, DFHDDDM, DFHDDDI, DFHDDLO, DFHDDBR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHDD0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: ディレクトリー・ドメインが、CICS の他の部分から予期しないエラー応答を受け取りました。ディレクトリー・ドメインが要求した操作は、コード *X'code'* で説明されています。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

- 1.

CICS のどこか他の部分から以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。

2. 症状ストリングを調べる。
3. ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDDAP, DFHDDDM, DFHDDDI, DFHDDLO, DFHDDBR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDD0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。 モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。 このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。 したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔

(ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDDAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDD0006 *applid* モジュール *modname* に、Getmain (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。 MVS コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます (コード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が

終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DFHHDHnnnnn メッセージ

DFHHDH0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

関連する MVS コードの資料を参照して、MVS 戻りコードの診断情報を得ることができます。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHDDAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*
4. *mvscode*

宛先: コンソール

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDHHDH, DFHDHDM, DFHDHSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHHDH0002 applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'code' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHHDH, DFHHDHDM, DFHHDHSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHHDH0004 applid A possible loop has been detected at offset X'offset' in module modname.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'offset' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。そのため、ここではエラーではないことがあります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーターで指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、ICVR=0 を指定しており、しかもモジュール *modname* がループしていると考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、ICVR システム初期設定パラメーターを長くする必要があります。CEMT トランザクションを使用して、RUNAWAY 時間間隔を一時的に変更することができます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDMTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFH0100I *applid* Document domain
initialization has started.

説明: これは、ドキュメント・ドメインの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFH0100I

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFH0101I *applid* Document domain
initialization has ended.

説明: これは、ドキュメント・ドメインの初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFH0101I

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFH0105 *date time applid* Document template
definition *doctemplate* has been added
as {PDS-MEMBER | FILE | PROGRAM
| TSQUEUE | TDQUEUE | EXITPGM
| HFSFILE}(*resourcename*) with template
name *templatename*.

説明: ドキュメント・テンプレート定義 *doctemplate* がドキュメント・ハンドラー・ドメインに正常に追加されました。テンプレート定義は、以下のリソースの 1 つである *resourcename* という名前のリソースにマッピングされます。

PDS-MEMBER

区分データ・セットのメンバー

FILE

CICS ファイル

PROGRAM

CICS プログラム

TSQUEUE

CICS 一時記憶キュー

TDQUEUE

CICS 一時データ・キュー

EXITPGM

そのプログラム自身の指定のテンプレートに書かれているユーザー置き換え可能プログラム

HFSFILE

z/OS UNIX システム・サービスのファイル・システム (zFS) 内のファイル

ドキュメント・テンプレートは、*templatename* というテンプレート名を割り当てられます。

システムの処置: この定義は CICS グローバル・カタログに書き込まれ、CICS ウォーム・スタート時にリストアされます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムは、これで、名前 *templatename* を使ってテンプレートを使用することができます。

モジュール: DFH0105

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *doctemplate*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=PDS-MEMBER,
2=FILE,
3=PROGRAM,
4=TSQUEUE,
5=TDQUEUE,
6=EXITPGM,
7=HFSFILE

6. *resourcename*
7. *templatename*

宛先: CSDH

DFH0106 *date time applid* **Document template definition doctemplate has been deleted.**

説明: ドキュメント・テンプレート定義 *doctemplate* がドキュメント・ハンドラー・ドメインから正常に削除されました。

システムの処置: この定義は CICS グローバル・カタログの中から削除され、CICS ウォーム・スタートでリストアされません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムは、今後は、名前 *templatename* を使ってテンプレートを使用できません。

モジュール: DFHDHTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *doctemplate*

宛先: CSDH

DFH0107I *date time applid* **DD statement ddname not found. DOCTEMPLATE doctemplate is not installed.**

説明: 文書テンプレート定義が DDNAME 値 *ddname* を指定しましたが、その名前の DD ステートメントが CICS JCL に存在しませんでした。対応するテンプレート・データ・セットをオープンできません。

システムの処置: 文書テンプレート *doctemplate* がインストールされていません。

ユーザーの処置: 適切なテンプレート・ライブラリーが DD 名 *ddname* に割り振られた状態で CICS を再始動するか、ADYN トランザクションを使用してライブラリーを動的に割り振ってください。ADYN トランザクションについては、「CICS 用システム・プログラムの開発」で説明されています。

モジュール: DFHDHRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ddname*
5. *doctemplate*

宛先: コンソール

DFH0108I *date time applid* **Member member not found in dsname. DOCTEMPLATE doctemplate is not installed.**

説明: 文書テンプレート定義は MEMBER 名 *member* を指定しましたが、指定された DDNAME に割り振られたデータ・セット *dsname* に、そのメンバーは含まれていません。

システムの処置: 文書テンプレート *doctemplate* がインストールされていません。

ユーザーの処置: 指定されたメンバー *member* を、*dsname* という名前のデータ・セットに追加してください。その後、文書テンプレートを再インストールしてください。

モジュール: DFHDHRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *member*
5. *dsname*
6. *doctemplate*

宛先: コンソール

DFH0300 *applid* ファイル *filename* をオープンすることができませんでした (*rrrr*)。応答 *X'xxxx'*、理由 *X'yyyy'*。

説明: UNIX システム・サービスのファイル・システム内のファイル *filename* をオープンできませんでした。*rrrr* は、16 進数の USS 応答コード *xxxx* および USS 理由コード *yyyy* の簡略記号です。

ファイルが存在しないか、CICS システムがそのファイルへのアクセスを許可されていない可能性があります。

応答コード *xxxx* および *yyyy* は、UNIX システム・サービスの **inquire** 関数 (BPX1STA) によって戻されたものであり、「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」(SA88-8645) で説明されています。

システムの処置: CICS は、ファイルのオープンを要求したサービスに対してエラー応答を返します。これにより、要求側サービスでさらにエラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない場合は、ファイル名を存在するファイルの名前に変更してください。

CICS がそのファイルへのアクセスを許可されていない場合は、別のファイル名を選択するか、ファイル所有者にアクセス許可の付与を依頼してください。

モジュール: DFHDHFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

DFHDMnnnn メッセージ

DFHDM0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内に異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。ダンプ・テーブルで CICS を終了するように指定しない限り、CICS は稼働を続けます。この処置は DFHDMIQ によってとられます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この処置は、DFHMDMD、DFHMDMS、および DFHDMWQ によってとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはそれ以外のいずれであるかがわかります。また、ユーザーの処置に関する

3. *rrrr*
4. *X'xxxx'*
5. *X'yyyy'*

宛先: コンソール

何らかの手引きが提供されることもあります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMDMD, DFHDMEN, DFHDMENF, DFHDMIQ, DFHMDMS, DFHDMWQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHDM0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。ダンプ・テーブルで CICS を終了するように指定しない限り、CICS は稼働を続けます。この処置は DFHDMIQ によってとられます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この処置は、DFHMDMD、DFHMDMS、および DFHDMWQ によってとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コード内にエラーがある可能性があることを示しています。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力によ

る問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM, DFHDMEN, DFHDMENF, DFHDMIQ, DFHDMDS, DFHDMWQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDM0003 *applid* モジュール *modname* に、**GETMAIN** (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

このエラーは、16MB 境界より上で発生しました。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。ダンプ・テーブル内に CICS が終了するように指定しない限り、CICS は続行されます。この処置は、DFHDMIQ によってとられます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この処置は、DFHDMMDM と DFHDMWQ によってとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM, DFHDMIQ, DFHDMWQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDM0004 *applid* **A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内の *X'offset'* で、起こりうるループが検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。ダンプ・テーブル内に CICS が終了するように指定しない限り、CICS は続行されます。この処置は、DFHDMIQ によってとられます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この処置は、DFHDMMDM、DFHDMDS、および DFHDMWQ によってとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。このことは、モジュール *modname* が終了し、CICS は続行されることを意味しています。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からサポートを得てこの問題を解決することが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM, DFHDMEN, DFHDMENF, DFHDMIQ, DFHDMDS, DFHDMWQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDM0005 *applid* **A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.**

説明: モジュール *modname* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。MVS ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これはおそらくハードウェア・エラーです。まず MVS ストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、問題を解決するには IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM, DFHDMWQ, DFHDMDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHDM0101I *applid* **CICS is initializing.**

説明: これは、通知メッセージです。

CICS 初期設定が開始されました。ドメイン (DM) マネージャーは、ローカル CICS カタログ DFHLCD 内に定義してある各ドメインごとに初期設定タスクを生成しようとしています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDM0102I *applid* **CICS is quiescing.**

説明: これは、通知メッセージです。

CICS の制御シャットダウンが開始されました。ドメイン (DM) マネージャーは、各 CICS コンポーネントごとに静止タスクを生成しようとしています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHDMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDM0103 *applid* **Unsuccessful quiesce of domain *domain*. CICS is terminated. (CICS will terminate.)**

説明: ドメインが静止に失敗しました。

システムの処置: CICS は終了します。例外トレースおよびダンプが、エラーのあるドメインによって出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDMDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *domain*

宛先: コンソール

DFHDM0104 *applid* **Unsuccessful load of program domain. CICS は終了します。 (CICS will terminate.)**

説明: ドメイン (DM) マネージャーは、ローダーを呼び出して初期設定タスクのためにプログラムをロードしましたが、そのロードが失敗しました。モジュールが DFHRPL 連結から欠落しています。SDFHLOAD が欠落しているためであると考えられます。あるいは、メッセージ内に示されたモジュール名が適正な CICS モジュールではない場合は、CICS カタログが破損している可能性があります。

システムの処置: CICS は終了します。ダンプ・テーブル内でダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード DM0006 のシステム・ダンプがとられます。

例外トレースがドメイン・マネージャーによって出されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *domain*

宛先: コンソール

DFHDM0105 *applid* **Unsuccessful initialization of domain domain. CICS は終了します。 (CICS will terminate.)**

説明: ドメインが初期設定に失敗しました。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

診断が、エラーのあるドメインから出されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 診断を検討し、インストールに関連する問題に関して修正処置をとってください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDMDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *domain*

宛先: コンソール

DFHDM0106 *applid* **The Domain Manager records on the CICS Catalog may have been corrupted.**

説明: ドメイン (DM) マネージャー・レコードをブラウズするために CICS カタログを呼び出しているときに、問題が検出されました。たとえば、ドメイン・マネージャー・レコードが存在しない可能性があります。

このメッセージの後にメッセージ DFHDM0002 が続く場合があります。

システムの処置: たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: DFHCCUTL を使用してローカル CICS カタログ DFHLCD の再初期設定を試み、CICS の初期始動を実行してください。

それでも問題が解決しないようなら、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDPnnnn メッセージ

DFHDP0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHDP1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

に必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDP*

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHDP0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性のあることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

モジュール: DFHDPFM、DFHDPLM、DFHDPUM。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDP0100 *applid* 予期しない例外応答が理由コード *X'code'* と共に **CICS** ファイル制御によってモジュール *modname* に返されました。 (*applid An unexpected exception response with reason code X'code' has been returned by CICS file control to module modname.*) デバッグ・プロファイル・ファイル *filename* は使用できません。 (**The debugging profiles file, filename, is not usable.**)

説明: DP ドメイン・モジュールから CICS ファイル制御への呼び出しが、DFHFCFR から予期しない例外応答を受け取りました。メッセージに示された理由コードは、ファイル制御から戻ったときの FCFR パラメーター・リストからの理由です。

システムの処置: メッセージに示されたファイルは使用できません。

問題が訂正されるまで、アプリケーション・デバッグ・プロファイル・マネージャーは失敗します。CICS 提供のトランザクション CADP が、デバッグ・プロファイルを定義するために使用されている場合、CADP は ADPA 異常終了によって失敗します。

メッセージ内の理由コードの意味は次のとおりです。

- - X'08' (FCFR_CACHE_FAILURE)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMB にアクセスしようとしたときに入出力 (IO) エラーが発生しました。コンソールを調べて、エラーの理由を示すファイル制御または VSAM のメッセージを見つけてください。
 -
 - X'15' (FCFR_DATASET_BEING_COPIED)

デバッグ・プロファイル・ファイル DFHDPFMB のデータ・セットは、コピー中であるため、現在使用不可です。使用可能になったときに再試行してください。
 -
 - X'1F' (FCFR_FILE_DISABLED)

デバッグ・プロファイルの基本データ・セット

DFHDPFMB またはパス・データ・セット

DFHDPFMP のファイル定義は無効になっています。無効なファイルを有効にして、再試行してください。

•

X'20' (FCFR_FILE_NOT_OPEN)

デバッグ・プロファイルの基本データ・セット

DFHDPFMB またはパス・データ・セット

DFHDPFMP のファイル定義をオープンできません。コンソールを調べて、エラーの理由を示すファイル制御または VSAM のメッセージを見つけてください。

•

X'22' (FCFR_FILENOTFOUND)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル

DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMP の定義が見つかりませんでした。これらのファイルのサンプル定義が使用可能であり、再試行する前に定義してインストールする必要があります。

•

X'27' (FCFR_INSUFFICIENT_SPACE)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル

DFHDPFMB がいっぱいです。削除できるデバッグ・プロファイルがあるかどうかを調べてください。あるいは、基礎となる VSAM データ・セットのストレージ割り振りを増やし、再作成してください。既存のプロファイルを別のデータ・セットにバックアップしてから、JCL の一部として新たに定義されたデバッグ・プロファイル・データ・セットにコピーして、再作成することができます。これを行うには、JCL 内で REPRO INFILE を REPRO INDATASET に置き換え、SYS01 を、バックアップされたプロファイルが入っているデータ・セットの名前に置き換えます。

•

X'2B' (FCFR_IO_ERROR)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル

DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMB にアクセスしようとしたときに IO エラーが発生しました。コンソールを調べて、エラーの理由を示すファイル制御または VSAM のメッセージを見つけてください。

•

X'2D' (FCFR_ISC_NOT_SUPPORTED)

ファイル制御要求をシッしようとしたましたが、システムで ISC=NO です。ISC を YES とすべきである

か、シップが不要となるようにファイル定義を変更すべきであるかを判別し、再試行してください。

X'31' (FCFR_LOCKED)

レコードをデバッグ・プロファイル基本ファイル DFHDPFMB に書き込もうとしましたが、書き込まれるレコードのキーが保存ロックでロックされています。

X'32' (FCFR_LOST_LOCKS)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル

DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMB にアクセスしようとしたときに IO エラーが発生しました。コンソールを調べて、エラーの理由を示すファイル制御または VSAM のメッセージを見つけてください。

X'33' (FCFR_LOCK_STRUCTURE_FULL)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル

DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMB にアクセスしようとしたときに IO エラーが発生しました。コンソールを調べて、エラーの理由を示すファイル制御または VSAM のメッセージを見つけてください。

X'37' (FCFR_NOTAUTH)

ユーザーは、デバッグ・プロファイルの基本ファイル DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMB の使用を許可されていません。ユーザーがファイルにアクセスする必要がある場合は、アクセスを許可し、再試行してください。

X'39' (FCFR_PREVIOUS_RLS_FAILURE)

デバッグ・プロファイル・ファイル DFHDPFMB がレコード・レベル共用 (RLS) として定義されましたが、RLS は障害のために現在使用不可です。コンソールでファイル制御および VSAM からのメッセージを探して、RLS の障害の理由を調べてください。RLS が使用可能なときに再試行してください。

X'3B' (FCFR_READ_NOT_AUTHORISED)

外部セキュリティ・マネージャーは、デバッグ・プロファイルの基本ファイル DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMP へのアクセスを許可しません。ユーザーがファイルにアクセスする必要がある場合は、アクセスを許可し、再試行してください。

X'3D' (FCFR_RECLEN_EXCEEDS_LOGGER_BFSZ)

デバッグ・プロファイル・ファイル DFHDPFMB の定義で参照されるジャーナルは、MVS を使用しています。MVS は、推奨されている 64000 より小さい MAXBUFSIZE パラメーターで定義されたカップリング・ファシリティ構造を使用しています。ログ・ストリームが MAXBUFSIZE パラメーターを 64000 に設定して使用しているカップリング・ファシリティ構造を再定義してください。エラーのあったジャーナルは、順方向リカバリー・ログであるか、または自動アーカイブ用のジャーナルです。

X'46' (FCFR_RLS_DISABLED)

デバッグ・プロファイル・ファイル DFHDPFMB がレコード・レベル共用 (RLS) として定義されましたが、RLS は現在無効です。コンソールでファイル制御および VSAM のメッセージを調べることで、RLS が無効である理由を調査してください。RLS が使用可能なときに再試行してください。

X'47' (FCFR_RLS_FAILURE)

デバッグ・プロファイル・ファイルがレコード・レベル共用 (RLS) として定義されましたが、RLS は障害のために現在使用不可です。コンソールでファイル制御および VSAM のメッセージを調べることで、障害の理由を調査してください。RLS が使用可能なときに再試行してください。

X'4B' (FCFR_SERVREQ_VIOLATION)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル

DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMP の定義では、すべてのタイプのファイル要求の発行を許可しているわけではありません。すべてのファイル要求を許可するようにファイル定義を変更し、再試行してください。

X'4E' (FCFR_SUPPRESSED)

ユーザー出口は、デバッグ・プロファイルの基本ファイル DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMB へのレコードの書き込みを抑制しました。出口は、これらのファイルへのレコードの書き込みを抑制することを許可されていないはずですが、出口を訂正し、再試行してください。

X'4F' (FCFR_SYSIDERR)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル

DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMP のファイル定義の SYSID が、ローカル CICS 領域で

も、CONNECTION 定義によって CICS に対して定義されているリモート・システムでもない名前を指定しています。リモート・システムへのリンクが閉じられている場合にも、SYSIDERR が発生することがあります。SYSID を訂正するか、リンクを再オープンし、再試行してください。

X'52' (FCFR_TIMEOUT) ファイル制御に対する要求がタイムアウトになりました。コンソールでメッセージを調べることで、タイムアウトの理由を調査してください。

X'58' (FCFR_UPDATE_NOT_AUTHORIZED)

外部セキュリティ・マネージャは、デバッグ・プロファイルの基本ファイル DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMP へのアクセスを許可しません。ユーザーがファイルにアクセスする必要がある場合は、アクセスを許可し、再試行してください。

X'59' (FCFR_VSAM_REQUEST_ERROR)

デバッグ・プロファイルの基本ファイル DFHDPFMB またはパス・ファイル DFHDPFMB にアクセスしようとしたときに IO エラーが発生しました。コンソールを調べて、エラーの理由を示すファイル制御または VSAM のメッセージを見つけてください。

X'61' (FCFR_RREPL_VIOLATION)

ファイルに RREPL としてフラグが立てられていますが、プログラムはREPLICATORではありません。プログラムがファイルの変更を許可されている必要がある場合は、ファイルまたはプログラムの属性を変更してください。

ユーザーの処置: 示された理由に基づいてエラーを調査して訂正し、再試行してください。

モジュール: DFHDPFM、DFHDPLM、DFHDPUM。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*
4. *filename*

宛先: コンソール

DFHDP0200 *APPLID* デバッグ・ツールはバックレベルです。 (**Debug Tool is back level.**)
コンパイルされたデバッグ・プロファイルが定義されているがこのシステムで使用されていないという可能性があります。

(Compiled Debugging profiles may be defined but not used on this system.)

説明: CICS が、バージョン 3.1 より古いレベルのデバッグ・ツールで実行されています。

システムの処置: CADP トランザクションと Web インターフェースを使用して、デバッグ・プロファイルを定義することができ、活動化することができます。ただし、デバッグ・ツールは、それらのプロファイルを使用できません。

ユーザーの処置: このシステムでコンパイル済みのデバッグを実行する意図がない場合、または CADP および Web インターフェースを使用して、少なくともバージョン 3.1 レベルのデバッグ・ツールを持つ別の CICS 領域で使用するプロファイルを定義するだけの場合は、処置は必要ありません。この CICS でコンパイル済みのデバッグ・プロファイルをしようするつもりである場合は、デバッグ・ツール・バージョン 3.1 以降がインストールされている必要があります。

モジュール: DFHDPLU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHDP0300 *applid num* 個のデバッグ・プロファイルが非活動化されました。 (***applid num* debugging profile(s) have been inactivated.**)

説明: 現在活動状態のすべてのデバッグ・プロファイルを非活動化するために、トランザクション CIDP またはプログラム DFHDPIN が実行されました。*num* 個のデバッグ・プロファイルが非活動化されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPIN。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *num*

宛先: コンソール

DFHDP0301 applid The file DFHDPFMB is not available. No debugging profiles have been inactivated.

説明: 現在活動状態のすべてのデバッグ・プロファイルを非活動化するために、トランザクション CIDP またはプログラム DFHDPIN が実行されました。CADP ファイル DFHDPFMB が使用不可であったため、プロファイルを非活動化することができませんでした。

DFHDSnnnn メッセージ

DFHDS0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

1.

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

2.

次に、この資料で CICS 英数字コードを、で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

3.

システムの処置: 非活動化は取り消されます。

ユーザーの処置: CADP ファイル DFHDPFMB を使用可能にして、CIDP コマンドを再発行してください。

モジュール: DFHDPIN。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

4.

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDSAT, DFHDSBR, DFHSDSM, DFHSDS2, DFHSDS3, DFHSDS4, DFHDSIT, DFHDSKE, DFHDSSM, DFHDSSR, DFHDSST, DFHDSTCB, DFHDSUE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *aaa/bbbb*

3. *X'offset'*

4. *modname*

宛先: コンソール

DFHDS0002 applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。ダンプ・テーブルで CICS を終了するように指定しない限り、CICS は稼働を続けます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

システム処置はコンテキストによって異なります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDSAT, DFHDSBR, DFHDSMD, DFHSDS2, DFHSDS3, DFHSDS4, DFHDSIT, DFHDSKE, DFHDSSM, DFHDSSR, DFHDSST, DFHDSTCB, DFHDSUE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDS0003 *applid* **Insufficient storage (code *X'code'*) in module *modname*.**

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。このエラーは、16 M 境界より上で発生しました。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くのストレージを使用できるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA の全体のサイズ制限を増やしてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDSBR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDS0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *module* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDSAT, DFHDSBR, DFHDSDM, DFHSDS2, DFHSDS3, DFHSDS4, DFHDSIT, DFHDSKE, DFHDSSM, DFHDSSR, DFHDSST, DFHDSTCB, DFHDSUE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *X'offset'*

3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDS0005 *applid* A hardware error has occurred (code *X'code'*, module *modname*). The Time-of-Day clock is invalid.

説明: モジュール *module* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。MVS ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これはおそらくハードウェア・エラーです。まず MVS ストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDSTCB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *X'code'*

3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDS0006 *applid* モジュール *modname* に、**GETMAIN** (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。MVS コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識

別する例外トレース・ポイント ID です。

このエラーは、16M 境界より上または下で発生している可能性があります。どちらで発生しているかはコンテキストによります。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。ダンプ・テーブルで CICS を終了するように指定しない限り、CICS は稼働を続けます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

システム処置はコンテキストによって異なります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くのストレージを使用できるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

MVS 戻りコードの診断情報は、関連する MVS コードの資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で説明されています。

DSA または EDSA の全体サイズの限界を小さくするようにしてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、

「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDSAT, DFHDSDM, DFHSDS2, DFHDSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*
4. *mvscode*

宛先: コンソール

DFHDS0007 *applid* **Module** *module* **has detected a**
{suspend resume area overflow |
architecture limit} **(code** *X'code'***)**. CICS
will be terminated. **| .}**

説明: タスク指名プログラムのアーキテクチャーの制限が検出されました。これは、以下の制限のいずれかである可能性があります。

- 中斷/再開領域オーバーフロー (Suspend resume area overflow)
- アーキテクチャー制限 (Architecture limit)

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかです。メッセージで CICS が終了することが示されていない場合、ダンプ・テーブルで CICS を終了するように指定しない限り、CICS は稼働を続けます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

または、たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。CICS が終了

することがメッセージで示されます。

システム処置はコンテキストによって異なります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。例外トレースが、検出されたアーキテクチャー制限を特定するために役立つ場合があります。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、操作を再試行することによって解決できます。

この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *module*
3. 以下のオプションから選択される値。

1=中断/再開領域オーバーフロー (*Suspend resume area overflow*),

2=アーキテクチャー制限 (*Architecture limit*)

4. *X'code'*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= CICS は終了します。 (*CICS will be terminated.*),
2=

宛先: コンソール

DFHDS0010 *applid* トランザクション **ID** *transid*、トランザクション番号 *tr anum*、ユーザー **ID** *userid* で、**KILL** 要求を受け取りました。

説明: CICS タスクを **kill** する要求が受け入れられました。

システムの処置: CICS タスクに、**kill** の対象としてマークが付けられました。**kill** は、可能な限り迅速に実行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 後続のメッセージまたは異常終了コード

ドを調べて、**kill** が実行されたときのタスクの状態と、**kill** により発生しうる影響を判別してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHDSAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *transid*
3. *tr anum*
4. *userid*

宛先: コンソール

DFHDS0011 *applid* トランザクション **ID** *transid*、トランザクション番号 *tr anum*、ユーザー **ID** *userid* で、**KILL** 要求を再び受け取りました。

説明: CICS タスクを **kill** する要求が再度受け入れられました。以前にこのタスクの **kill** が受け入れられましたが、まだ実行されていません。

システムの処置: CICS タスクに、**kill** の対象としてマークが付けられました。**kill** は、可能な限り迅速に実行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 後続のメッセージまたは異常終了コードを調べて、**kill** が実行されたときのタスクの状態と、**kill** により発生しうる影響を判別してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHDSAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *transid*
3. *tr anum*
4. *userid*

宛先: コンソール

DFHDS0101 *applid* **Dispatcher cannot enable the CICS post exit.**

説明: タスク指名プログラムは、CICS のポスト出口を使用可能にする許可を取得できませんでした。これは、

CICS SVC 番号が SIT で誤って定義されていることが原因と考えられます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: SIT および SIT オーバーライドで CICS SVC 番号が正しく定義されたかどうかを確認してください。

DFHDUnnnn メッセージ

DFHDU0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

モジュール DFHDUDT の場合、(XDUREQ 出口でのユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止によって) ダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS 処理は、CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

モジュール DFHDUTM の場合には、システム・ダンプがとられます。このダンプは抑止できません。CICS 処理を続行します。

モジュール DFHDUDU の場合は、システム・ダンプをとると CICS がループする可能性があるため、システム・ダンプをとることができません。CICS 処理を続行します。

SVC およびその他のコードが、「CICS TS のインストール」で説明されているように正しくインストールされていることを確認してください。特に、CICS ポスト出口スタブ (DFHDSPEX) が LPA 内にあることを確認してください。

モジュール: DFHDSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

その他のモジュールの場合には、システム・ダンプがとられます。

CICS 処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはパーコレーションのどれであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されることもあります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

異常終了がモジュール DFHDUDT か DFHDUTM で起きた場合には、ダンプ・テーブルが使用できなくなります。したがって、ダンプ・コードに関連するすべての EXEC API コマンドは失敗し、とられたダンプはすべて、特定のダンプ・コードについてダンプ・テーブルに書き込んだ情報ではなく、デフォルト情報 (たとえば、CICS を終了するかどうか) を使用して処理されます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDUDT, DFHDUTM, DFHDUDU, DFHDUXD, DFHDUIO, DFHDUSU, DFHDUXW, DFHPCXDF, DFHSAXDF, DFHDLXDF, DFHXDXDF, DFHXRDXF, DFHTCXDF, DFHTRXDF, DFHFCXDF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHDU0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。

モジュール DFHDUDT の場合、(XDUREQ 出口でのユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止によって) ダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS 処理は、CICS を終了させるようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

モジュール DFHDUTM の場合には、システム・ダンプがとられます。このダンプは抑止できません。CICS 処理を続行します。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、呼び出し側が CICS を終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性のあることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール

modname が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール DFHDUDT または DFHDUTM でエラーが発生した場合は、ダンプ・テーブルは使用できない可能性があります。したがって、ダンプ・コードに関連するすべての EXEC API コマンドは失敗し、とられたダンプはすべて (特定のダンプ・コードについてダンプ・テーブルに書き込んだ情報ではなく) デフォルト情報 (たとえば、CICS を終了するかどうか) により処理されます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDUDT, DFHDUTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDU0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

モジュール DFHDUDT の場合、(XDUREQ 出口でのユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止によって) ダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS 処理は、CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

モジュール DFHDUTM の場合には、システム・ダンプがとられます。このダンプは抑止できません。CICS 処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDUDT, DFHDUTM, DFHDUXD, DFHDUIO, DFHDUSU, DFHDUXW, DFHPCXDF, DFHSAXDF, DFHDLXDF, DFHXDXDF, DFHXRDXDF, DFHTCXDF, DFHTRXDF, DFHFCXDF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHDU0006 *applid* モジュール *modname* に、Getmain (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。MVS コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満たすために十分なストレージが使用可能ではありませんでした。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。このエラーは、16 M 境界より上で発生しました。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目は、トレース・テーブル内に作成され (メッセージ内のコード *code*)、システム・ダンプがとられます。このダンプは抑止できません。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くのストレージを使用できるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール DFHDUTM に問題があるので、ダンプ・テーブルをブラウズするための EXEC API コマンドは実行されない可能性があります。または、ダンプ・テーブルへの追加が行われない可能性があります。

MVS 戻りコードの診断情報は、関連する MVS コードの資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で説明されています。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHDUTM

宛先: コンソール

DFHDU0102 *applid* DFHDUIO could not be loaded. Transaction dump is inoperative.

説明: CICS は、初期設定中にモジュール DFHDUIO を見つけることができませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目が作成され、CICS はトランザクション・ダンプ機能が作動不能の状態で行われます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 例外トレース項目および他のすべての

関連メッセージを利用して、モジュール DFHDUIO を使用できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDUDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDU0103 *applid* An abend has occurred during initialization of dump domain in module DFHDUDM.

説明: ダンプ・ドメインの初期設定が失敗しました。

システムの処置: CICS は終了します。

例外トレースおよびカーネル・ダンプが、ダンプ・ドメインによって出されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHDU0201 *applid* About to take SDUMP.
Dumpcode: *dumpcode*, Dumpid: *dumpid*.**

説明: エラー (おそらく以前のメッセージによって伝えられた) により、CICS ダンプ (DU) ドメインの呼び出しが行われました。ダンプ・ドメインは、以下の条件が満たされている場合には、MVS SDUMP 機能を読み出す直前にこのメッセージを出します。

- SDUMPS に対する SIT オプション DUMP=YES が指定されました。
- ダンプ・コード *dumpcode* 用のダンプ・テーブル項目が、システム SDUMP が必要であることを指定している。
- ダンプ・テーブル項目内のこのダンプ・コードのダンプ最大限度を超えていない。
- ユーザー出口 XDUREQ がこのダンプをとることを抑止しない。

ダンプ・コード *dumpcode* は、CICS 問題を識別する 8 文字のシステム・ダンプ・コードです。しかし、これらの文字の一部はブランクでも構いません。システム・ダンプ・コードは、DFH 接頭部を除いた CICS メッセージ番号です。

dumpid dumpid は、このダンプを識別する 9 文字の固有の文字列です。

システムの処置: ダンプが完了したとき、メッセージ番号 DFHDU0202 が出されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。システム・プログラマーは、*dumpcode* が示す CICS メッセージを参照して問題を解決してくれるはずです。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

DFHDU0202 *applid* SDUMP complete.

説明: このメッセージは、SDUMP が正常に完了した時点で出されます。

システムの処置: このダンプ用のダンプ・テーブル項目またはダンプ (DU) ドメインに対するダンプ呼び出しによって、CICS のシャットダウンを要求しない限り、処理が続行されます。

ユーザーの処置: 必要ならシステム・ダンプを印刷してください。直前の MVS メッセージは、このダンプが見つかる SYS1.DUMP データ・セットを示しています。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

DFHDU0203I *date time applid* A transaction dump was taken for dumpcode: *dumpcode*, Dumpid: *dumpid*, Tranid: *tranid*, Tranum: *trannum*, Program: *program*.

説明: CICS トランザクションが異常終了し (おそらく前のメッセージによって伝えられている)、CICS ダンプ (DU) ドメインがトランザクション・ダンプをとりました。

ダンプ・コード *dumpcode* は、ダンプがトランザクション異常終了の結果として要求された場合には、通常は 4 文字の CICS トランザクション異常終了コードです。それは、EXEC CICS DUMP TRANSACTION 要求の DUMPCODE オペランドの値でもある場合があります。

ダンプ ID *dumpid* は、このダンプを識別する 9 文字の固有の文字列です。

トランザクション名 *transid*、トランザクション番号 *trannum*、およびプログラム名 *program* は、ダンプが取られたときの状況に関する詳細情報を提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプは、現行の CICS ダンプ・データ・セット、すなわち DFHDMPPA または DFHDMPPB のいずれかに書き込まれます。

指定された異常終了コード用のダンプ・テーブル項目が終了を特に要求している場合には、CICS は終了することがあります。

ユーザーの処置: 必要ならトランザクション・ダンプを印刷してください。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dumpcode*
5. *dumpid*
6. *transid*
7. *trannum*
8. *program*

宛先: CDUL

DFHDU0205 *applid* **A system dump for dumpcode:**
dumpcode **was suppressed by the** *reason*.

説明: エラー (おそらく前のメッセージによって示されている) により、CICS (DU) ダンプ・ドメインの呼び出しが行われましたが、理由 *reason* によりシステム・ダンプをとるのに失敗しました。理由 *reason* は、ダンプの抑止を引き起こした原因を示しています。

-
- XDUREQ ユーザー出口
-
- ダンプ・コード *dumpcode* についてのダンプ・テーブル・オプション
-
- グローバル・システム・ダンプ抑止オプション

ダンプ・コード *dumpcode* は、CICS 問題を識別する 8 文字のシステム・ダンプ・コードです。しかし、これらの文字の一部は空白でも構いません。システム・ダンプ・コードは、DFH 接頭部を除いた CICS メッセージ番号です。

システムの処置: システム・ダンプは作成されません。ただし、このダンプ・コード用のダンプ・テーブル項目またはダンプ・ドメインの呼び出し側が CICS の終了を

要求した場合には、CICS は終了します。

ユーザーの処置: このダンプ・コードにシステム・ダンプが必要な場合、メッセージで示された理由 *reason* に該当するユーザーの処置を実行してください。

-
- ユーザー出口 XDUREQ がダンプを抑止した場合には、この出口を非活動状態にするか、もしくはより永続的な方法として、ダンプを抑止しないようユーザー出口プログラムを変更する。

-
- ダンプ・テーブルがダンプを抑止した場合には、CEMT または CECI を使用して、ダンプ・コード *dumpcode* 用のダンプ・テーブル項目を表示して更新する。

-
- グローバル・システム・ダンプ抑止オプションによりダンプが抑止された場合には、SIT で DUMP=YES を指定して、将来システム・ダンプがとられるようにします。

SET SYSTEM DUMP (NOSYSDUMP|SYSDUMP) の場合に、SIT DUMP オプションは、CEMT またはシステム・プログラミング・インターフェースを使用してオーバーライドすることができます。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

DFHDU0206I *date time applid* **A transaction dump for dumpcode: dumpcode was suppressed by the** *reason*.

説明: CICS トランザクションが異常終了し (これは、おそらく前のメッセージによって示されている)、CICS ダンプ (DU) ドメインが理由 *reason* によりトランザクション・ダンプをとるのに失敗しました。理由 *reason* は、ダンプが抑止された理由を示しています。

-
- XDUREQ ユーザー出口
-
- このダンプ・コードのダンプ・テーブル・オプション

ダンプ・コード *dumpcode* は 4 文字の CICS トランザクション異常終了コードです。

システムの処置: トランザクション・ダンプは作成されません。ただし、このダンプ・コード用のダンプ・テーブル項目またはダンプ・ドメインの呼び出し側で特に CICS の終了を要求している場合には、CICS は終了します。

ユーザーの処置: このダンプ・コードにトランザクション・ダンプが必要な場合には、メッセージで示された理

由 *reason* に該当するユーザーの処置を実行してください。

- ユーザー出口 XDUREQ がダンプを抑止した場合には、この出口を非活動状態にするか、もしくはより永続的な方法として、ダンプが抑止されないようにユーザー出口プログラムを変更する。
- ダンプ・テーブルがダンプを抑止した場合には、CEMT または CECI を使用して、ダンプ・コード *dumpcode* 用のダンプ・テーブル項目を表示して更新する。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dumpcode*
5. *reason*

宛先: CDUL

DFHDU0207I *date time applid* Transaction and system dumps for *dumpcode*: *dumpcode* were suppressed by the *reason*.

説明: EXEC CICS DUMP TRANSACTION DUMPCODE コマンドが発行されたか、または CICS トランザクションが異常終了し (これは、おそらく前のメッセージによって示されています)、CICS ダンプ (DU) ドメインが理由 *reason* によりトランザクション・ダンプもシステム・ダンプもとることができませんでした。理由 *reason* は、ダンプが抑止された原因を示しています。

- XDUREQ ユーザー出口
- このダンプ・コードのダンプ・テーブル・オプション

ダンプ・コード *dumpcode* は 4 文字の CICS トランザクション異常終了コードです。

システムの処置: トランザクション・ダンプもシステム・ダンプも作成されません。ただし、このダンプ・コード用のダンプ・テーブル項目またはダンプ・ドメインの呼び出し側でこのような要求を出している場合には、CICS は終了します。

ユーザーの処置: このダンプ・コードにトランザクション・ダンプまたはシステム・ダンプ (あるいはその両方) が必要な場合には、メッセージで示された理由 *reason*

に該当するユーザーの処置を実行してください。

- ユーザー出口 XDUREQ がダンプを抑止した場合には、この出口を非活動状態にするか、もしくはより永続的な変更としてダンプが抑止されるようにユーザー出口プログラムを変更する。
- ダンプ・テーブルがダンプを抑止した場合には、CEMT または CECI を使用して、ダンプ・コード用のダンプ・テーブル項目を表示して更新する。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dumpcode*
5. *reason*

宛先: CDUL

DFHDU0208 *applid* SDUMP がビジー - CICS は 5 秒以内に再試行します。(applid SDUMP BUSY - CICS WILL RETRY IN FIVE SECONDS.)

説明: CICS によって MVS SDUMP 要求が出された時点で、同じ MVS システム内の別のアドレス・スペースが SDUMP を取得中でした。これにより、MVS は新規要求を拒否しました。SIT 上の DURETRY パラメーターの値がゼロ以外である場合、CICS が SDUMP 要求を再発行する前に 5 秒間待機していることを意味します。

システムの処置: CICS は、CICS が 5 秒間停止する原因となった MVS STIMERM マクロを発行します。遅延間隔が満了すると、要求は再発行されます。合計時間が DURETRY SIT パラメーターに指定された秒数と等しくなるまで、CICS は 5 秒ごとに遅延と再試行を繰り返します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

DFHDU0209 *applid* Retrying SDUMP.

説明: CICS によって MVS SDUMP 要求が出された時点で、同じ MVS システム内の別のアドレス・スペースが SDUMP を取得中でした。これにより、MVS は新規要求を拒否しました。CICS は、メッセージ DFHDU0208 で示すように 5 秒間待機したので、

DFHDU0210

SDUMP 要求を再発行しようとしているところです。

システムの処置: CICS は SDUMP 要求を再発行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

DFHDU0210 *applid* SDUMPX REQUEST FAILED - *reason*.

説明: メッセージ DFHDU0201 によって伝えられた CICS からの MVS SDUMPX 要求は、正常に完了しませんでした。考えられる失敗の理由 (*reason*) は、次のとおりです。

SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' SDUMPX BUSY

CICS によって MVS SDUMPX 要求が出された時点で、同じ MVS システム内の別のアドレス・スペースが SDUMP を取得中でした。これにより、MVS は新規要求を拒否します。DURETRY SIT パラメーターにゼロ以外の値が指定された場合、CICS は、指定された期間が経過するまで 5 秒ごとに SDUMPX 要求を再試行します。このメッセージは、最後の再試行の後でも SDUMPX がまだ使用中である場合にのみ発行されます。

SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' NO DATA SET AVAILABLE

SDUMPX 要求が出された時点で、使用可能な SYS1.DUMP データ・セットはありませんでした。

SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON = X'mm'

MVS は、上記以外の何らかの理由のため、SDUMPX 要求を受け入れませんでした。X'nn' は SDUMPX 戻りコードを示し、X'mm' は SDUMPX 理由コードを示します。

STIMERM FAILED

SDUMPX BUSY 状態の後に SDUMPX を再試行するまで 5 秒間遅延するようにするため、CICS は MVS STIMERM マクロ要求を出します。MVS は、STIMERM 要求が失敗したことを示しています。

NOT AUTHORIZED IN CICS

SDUMP は、この CICS 実行に関して許可されていません。

INSUFFICIENT STORAGE

CICS は、SDUMPX 要求の処理中にサブプール 253 ストレージに対する MVS GETMAIN を発行しました。この GETMAIN は MVS により拒否されました。

DFHDUSVC FESTAE FAILED

CICS は、SDUMPX 要求の処理中に DFHDUSVC から MVS FESTAE 要求を出しました。この FESTAE は MVS により拒否されました。

IWMWQWRK RETURN CODE X'xx' REASON X'yy' REMOTE DUMPS NOT TAKEN

CICS は、関連する CICS システムのダンプに対する SDUMPX 要求の処理中に、MVS IWMWQWRK 要求を出しました。IWMWQWRK 要求は、MVS 戻りコード X'xx' および理由 X'yy' によって拒否されました。この場合、CICS は関連 CICS アドレス・スペースをダンプできませんでしたが、ローカル・アドレス・スペースのダンプを試みました。

DFHDUSVC INVALID PROBDISC

DFHDUSVC によって作成された SDUMPX PROBDISC パラメーターに無効なデータが含まれています。

システムの処置: CICS は、ダンプが成功したかのよう to 続行されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、障害が起きた原因 (*reason*) によって異なります。

SDUMPX RETURN CODE X'nn' ONLY PARTIAL DUMP.

SDUMPX 戻りコード X'nn' についての説明は、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)」を参照してください。MVS 問題判別方式を用いて、部分ダンプがとられた理由を判別してください。

SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm' SDUMPX BUSY

適切な場合は、DURETRY システム初期設定パラメーターの値を増やした後に SDUMP が再発行されるようにしてください。SDUMPX 戻りコード X'nn' および理由 X'mm' についての説明は、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)」を参照してください。

**SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'
NO DATA SET AVAILABLE**

SYS1.DUMP データ・セットをクリアしてから、SDUMP 要求が再発行されるようにしてください。SDUMPX 戻りコード X'nn' および理由 X'mm' についての説明は、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)」を参照してください。

SDUMPX RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'

ダンプが意図的に抑止されている場合には、処置は必要ありません。MVS SDUMP ルーチンのエラーが原因でダンプが失敗した場合には、MVS 問題判別方式を使用してエラーを修正してから、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。SDUMPX 戻りコード X'nn' および理由コード X'mm' についての説明は、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください

STIMERM FAILED

MVS 問題判別方式を使用して STIMERM 障害を修正し、それから SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

NOT AUTHORIZED IN CICS

SDUMPX は CICS の初期設定時に無条件に許可され、CICS の実行中は許可されているので、この理由は表示されないはずです。万一この理由が出された場合には、CICS AFCB (許可された機能制御ブロック) が誤って上書きされたものと思われます。

INSUFFICIENT STORAGE

サブプール 253 要求に対して MVS が十分なストレージを使用できるようにしてください。

DFHDUSVC FESTAE FAILED

MVS 問題判別方式を使用して FESTAE 障害を修正し、それから SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。FESTAE マクロについての説明は、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください。

**IWMWQWRK RETURN CODE X'xx' REASON
X'yy'.**

CICS は、SDUMPX 要求の処理中に MVS IWMWQWRK 要求を出しました。IWMWQWRK 要求は、MVS 戻りコード X'xx' および理由 X'yy' によって拒否されました。戻

りコードと理由コードの説明については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください。

DFHDUSVC INVALID PROBDESC

SDUMPX 要求の処理中に DFHDUSVC によって作成された SDUMPX PROBDESC パラメーターは無効です。PROBDESC パラメーターが誤って上書きされた可能性があります。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

**DFH DU0211 applid THE XDUREQ USER EXIT IS
NOT CALLED FOR DUMPCODE
dumpcode.**

説明: 重大なシステム・エラーが起きたため、システム・ダンプ *dumpcode* については XDUREQ ユーザー出口 (システム・ダンプを抑止できる) は呼び出されませんでした。

システムの処置: XDUREQ ユーザー出口は呼び出されません。

DFH DU0211 の後には、メッセージ DFH DU0201 (ダンプ *dumpcode* がとられたことを示す) か、またはメッセージ DFH DU0205 (ダンプ *dumpcode* が抑止されたことを示す) が表示されます。CICS が終了する場合は、メッセージ DFH DU0201 または DFH DU0205 に続いて、メッセージ DFH DU0309 が表示されます。

後続のシステム・ダンプのために、XDUREQ ユーザー出口が呼び出されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

**DFH DU0212 applid Requested transaction dump
code dumpcode is invalid.**

説明: 要求されたトランザクション・ダンプ・コードに、印刷不能文字があるか、または先行ブランクあるいは組み込みブランクがあります。

システムの処置: トランザクション・ダンプは、ユーザー出口 XDUREQ によって抑止されない限り、作成されます。ただし、ダンプ統計はコミットされません。トランザクション・ダンプは、メッセージ DFH DU0203 が出されると完了します。無効なダンプ・コードは、

ダンプ・ドメイン (DU) のトレース・ポイント X'0600' および X'0601' に示されています。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを印刷して、異常終了または EXEC CICS 要求が無効なダンプ・コードとともに出された理由を判断してください。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dumpcode*

宛先: コンソール

DFH DU0213 REMOTE SDUMPX REQUEST FAILED - *reason*.

説明: CICS からのリモート MVS SDUMPX 要求が正常に完了できませんでした。考えられる失敗の理由 (*reason*) は、次のとおりです。

DFHDUMPX 自動ストレージ GETMAIN は失敗しました。(DFHDUMPX AUTOMATIC STORAGE GETMAIN FAILED.)

CICS は、SDUMPX 要求の処理中にサブプール 253 ストレージに対する MVS GETMAIN を発行しました。この GETMAIN は MVS により拒否されました。

DFHDUMPX がマスター・アドレス・スペースで実行されていません。(DFHDUMPX NOT RUNNING IN THE MASTER ADDRESS SPACE.)

DFHDUMPX は MASTER アドレス・スペースで実行されていなければなりません。CICS は、DFHDUMPX が別のアドレス・スペースで実行されていることを検出した場合、リモート SDUMPX 要求の処理を停止します。

IWMWQWRK はダンプするアドレス・スペースを検出しませんでした。(IWMWQWRK FOUND NO ADDRESS SPACES TO DUMP.)

MVS IWMWQWRK サービスは、リモート SDUMPX 要求に関連する作業がある CICS アドレス・スペースを検出しませんでした。

IWMWQWRK が失敗し、警告が出されました。(IWMWQWRK FAILED WITH A WARNING.)

CICS は、リモート SDUMPX 要求の処理中に DFHDUMPX から MVS IWMWQWRK 要求を出しました。MVS は、警告戻りコードを出して、IWMWQWRK 要求を拒否しました。

IWMWQWRK はエラーにより失敗しました。(IWMWQWRK FAILED WITH AN ERROR.)

CICS は、リモート SDUMPX 要求の処理中に DFHDUMPX から MVS IWMWQWRK 要求を出しました。MVS は、エラー警告戻りコードを出して、IWMWQWRK 要求を拒否しました。

DFHDUMPX 出力作業域の GETMAIN が失敗しました (DFHDUMPX OUTPUT WORKAREA GETMAIN FAILED)

CICS は、SDUMPX 要求の処理中にサブプール 253 ストレージに対する MVS GETMAIN を発行しました。この GETMAIN は MVS により拒否されました。

DFHDUMPX リカバリー・ルーチンに入りました (DFHDUMPX RECOVERY ROUTINE ENTERED)

DFHDUMPX 内で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在することを暗黙的に示します。

あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

CICS は、MVS SDWA に診断データを追加し、SYS1.LOGREC にエントリーを作成します。

システムの処置: CICS は、ダンプが成功したかのように続行されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、障害が起きた原因 (*reason*) によって異なります。

DFHDUMPX 自動ストレージ GETMAIN は失敗しました。(DFHDUMPX AUTOMATIC STORAGE GETMAIN FAILED.)

サブプール 253 要求に対して MVS が十分なストレージを使用できるようにしてください。

DFHDUMPX がマスター・アドレス・スペースで実行されていません。(DFHDUMPX NOT RUNNING IN THE MASTER ADDRESS SPACE.)

MVS CSVDYNEX サービスが MASTER アドレス・スペースで DFHDUMPX を IEASDUMP.QUERY 出口として追加することを CICS が要求するため、これが理由となる可能性は高くありません。

この理由が出された場合は、CICS 初期設定時にエラーがあった可能性があります。

システム・プログラマーに連絡してください。

この問題を解決するためには IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引

きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

IWMWQWRK はダンプするアドレス・スペースを検出できませんでした。**(IWMWQWRK FOUND NO ADDRESS SPACES TO DUMP.)**

これがエラーになる可能性は高くありません。DFHDUMPX は、リモート SDUMPX 要求に対して SYSPLEX 内のすべての MVS イメージで呼び出されます。一部のイメージは、リモート SDUMPX 要求が発生元である CICS 関連の作業がある CICS アドレス・スペースを持っていない可能性があります。

IWMWQWRK が失敗し、警告が出されました。**(IWMWQWRK FAILED WITH A WARNING.)**

IWMWQWRK の戻りコードと理由は、GTF データ・セットに書き込まれる CICS トレース項目に含まれています。DFHDUMPX が CICS TCB の下で実行されないため、トレース項目は CICS 内部トレースまたは CICS 補助トレース・データ・セットに書き込まれません。

IWMWQWRK の戻りコードと理由の説明については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください。

IWMWQWRK はエラーにより失敗しました。**(IWMWQWRK FAILED WITH AN ERROR.)**

IWMWQWRK の戻りコードと理由は、GTF データ・セットに書き込まれる CICS トレース項目に含まれています。DFHDUMPX が CICS TCB の下で実行されないため、トレース項目は CICS 内部トレースまたは CICS 補助トレース・データ・セットに書き込まれません。

IWMWQWRK の戻りコードと理由の説明については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください。

DFHDUMPX 出力作業域の **GETMAIN** が失敗しました**(DFHDUMPX OUTPUT WORKAREA GETMAIN FAILED)**

サブプール 253 要求に対して MVS が十分なストレージを使用できるようにしてください。

DFHDUMPX リカバリー・ルーチンに入りました**(DFHDUMPX RECOVERY ROUTINE ENTERED)**

システム・プログラマーに連絡してください。

問題を解決するには、SYS1.LOGREC からデータを収集し、ダンプおよび関連メッセージをすべて収集してください。続行する方法の手引き

については、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDUMPX

宛先: コンソール

DFH DU0214 DFHDUMPX がリモート **SDUMP** を要求しようとしています。**(DFHDUMPX IS ABOUT TO REQUEST A REMOTE SDUMP.)**

説明: DFHDUMPX は MVS IEASDUMP.QUERY 出口の下で呼び出され、リモート・ダンプをとるかどうかを決定します。

以下のいずれかの条件が満たされている場合、DFHDUMPX は MVS に戻る直前にこのメッセージを出します。

- 関連ダンプが必要であることをダンプ・テーブル項目で指定した CICS ダンプ・コード用にダンプが要求され、DFHDUMPX がこの MVS イメージで関連する CICS 作業を検出した。

-

オペレーターが MVS PROBDISC パラメーター内に CICS DFHJOBN キーワードを組み込んでコンソールからリモート・ダンプを要求し、DFHDUMPX が DFHJOBN データに一致するこの MVS イメージで CICS ジョブを検出した。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDUMPX

宛先: コンソール

DFH DU0215 DFHDUMPX がリモート **SDUMPX** を抑止しようとしています。**(DFHDUMPX IS ABOUT TO SUPPRESS A REMOTE SDUMPX.)**

説明: DFHDUMPX は MVS IEASDUMP.QUERY 出口の下で呼び出され、リモート・ダンプをとるかどうかを決定します。

リモート・ダンプを抑止する必要があると判明した場合、DFHDUMPX は MVS に戻る直前にこのメッセージを出します。

リモート・ダンプは、以下のいずれかの条件のもとで抑止されます。

-

関連ダンプが必要であることをダンプ・テーブル項目で指定した CICS ダンプ・コード用にダンプが要求

され、DFHDUMPX がこの MVS イメージに関連する CICS 作業を検出しなかった。

•

オペレーターが MVS PROBDISC パラメーター内に CICS DFHJOBN キーワードを組み込んでコンソールからリモート・ダンプを要求し、DFHDUMPX が DFHJOBN データに一致するこの MVS イメージで CICS ジョブを検出できなかった。

DFHDUMPX 処理中にエラーが発生した場合にも、リモート・ダンプは抑止されます。直前の DFHDU0213 メッセージを調べて、エラーの原因を究明してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置が必要であるかどうかを判別するには、このメッセージの前に DFHDU0213 メッセージがあればそれを参照してください。

モジュール: DFHDUMPX

宛先: コンソール

DFHDU0216 PROBDISC に CICS データが含まれていません。(PROBDISC DOES NOT CONTAIN CICS DATA.)

説明: DFHDUMPX は MVS IEASDUMP.QUERY 出口の下で呼び出され、リモート・ダンプをとるかどうかが決定します。

SDUMPX PROBDISC パラメーターに CICS データが含まれていないことが判明した場合、DFHDUMPX はこのメッセージを出します。これはエラーではない可能性があります、リモート・ダンプが CICS 以外の製品によって要求されたことが考えられます。ただし、CICS リモート・ダンプを予期していた場合は、PROBDISC パラメーターが誤って上書きされた可能性があります。

システムの処置: DFHDUMPX は、MVS がリモート・ダンプを抑止し、その後処理が続行されることを要求します。

ユーザーの処置: リモート CICS ダンプを予期していた場合のみ、処置をとる必要があります。

システム・プログラマーに連絡してください。

問題を解決するには、GTF トレースからデータを収集し、ダンプおよび関連メッセージをすべて収集してください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDUMPX

宛先: コンソール

DFHDU0217 applid SDUMPX 要求が戻りコード X'04' で完了しました。ダンプは完全にまたは部分的に取られました。(A complete or partial dump has been taken.)

説明: メッセージ DFHDU0201 によって伝えられた CICS からの MVS SDUMPX 要求により、完全な SVC ダンプまたは部分的な SVC ダンプがとられました。要求が SDUMPX 戻りコード x'04' を出して完了した場合でも、ダンプがとられる原因となった問題の正しい診断を可能にする十分な情報がダンプされている可能性があります。付随するメッセージ IEA611E/IEA911E を参照して、そのダンプが正しい診断のために適切なものであるかどうかを判断する必要があります。

システムの処置: CICS は、ダンプが成功したかのように続行されます。

ユーザーの処置: SDUMPX 戻りコード X'04' の説明については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

DFHDU0218 NO PROBDISC PARAMETERS SUPPLIED TO DFHDUMPX.

説明: SDUMPX PROBDISC パラメーターが指定されなかったため、リモート MVS SDUMPX 要求が正常に完了できませんでした。

MVS は IEASDUMP.QUERY 出口の下で DFHDUMPX を呼び出します。SDUMPX PROBDISC パラメーターがない場合、DFHDUMPX はリモート・ダンプをとるか、または抑止するかを判断できません。

RELATED オプションを含むシステム・ダンプ・コード用に CICS によってリモート SDUMPX 要求が出された場合、または PROBDISC パラメーターを含むリモート SDUMPX 要求をオペレーターが入力した場合のみ、これはエラーになります。別の CICS 以外のコンポーネントが意図的に PROBDISC を指定せずに DFHDUMPX を呼び出した場合は、エラーではありません。

システムの処置: CICS は、ダンプが成功したかのように続行されます。

ユーザーの処置: これがエラーであると考えられる場合は、この問題を解決するために IBM のサポートが必要です。GTF トレースからデータを収集し、ダンプおよび関連メッセージをすべて収集した上で、これに対する処置について「トラブルシューティングおよびサポート」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHDUMPX

宛先: コンソール

DFHDU0302I *applid* Transaction Dump Data set
dataset to be closed due to *text-descr*

説明: このメッセージは、トランザクション・ダンプ・データ・セットに対してレコードの書き込みを行っているときに出力されます。 *text-descr* は次のいずれかです。

-
- DCB ABEND
-
- TASK TIMEOUT
-
- TASK CANCEL

システムの処置: *text-descr* が DCB ABEND でない限り、なし。I/O ABEND の場合には、例外項目がトレース・テーブルに作成され、システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

DCB ABEND の場合には、通常、データ・セットの問題を識別するのに役立つ MVS エラー・メッセージと一緒に出されます。

問題が CICS の大きな破壊によるものではない場合には、ダンプ・データ・セットの正常に交換すれば、トランザクション・ダンプ環境は元どおりにされます。正常に交換されない場合、XDUOUT ユーザー出口が活動状態の場合にのみトランザクション・ダンプ環境は使用可能です。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDUIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dataset*
3. *text-descr*

宛先: コンソール

DFHDU0303I *applid* Transaction Dump Data set
dataset closed.

説明: このメッセージは、次のいずれかの状態のときに出力されます。

-

ダンプ・データ・セットをクローズする要求が、オペレーターによって出された。

-

CICS システムがシャットダウンされた。

-

ダンプ・データ・セットを交換する要求が、オペレーターによって出された。

-

トランザクション・ダンプ・データ・セットがいっぱいになった。

メッセージ中の *dataset* は、クローズされるデータ・セットの名前を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

トランザクション・ダンプ・データ・セットの自動交換が活動状態でない場合には、トランザクション・ダンプ環境は、XDUOUT ユーザー出口が活動状態である場合にのみ使用できます。

自動交換が使用できる場合には、このメッセージに続いて、メッセージ DFHDU0304 と DFHDU0305 が出されます。これらは、データ・セット交換が正常に行われたことを示します。

交換が正常に行われなかった場合には、このメッセージに続いてメッセージ DFHDU0306 が出されます。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dataset*

宛先: コンソール

DFHDU0304I *applid* Transaction Dump Data set
dataset opened.

説明: このメッセージは、次のいずれかの状態が起るときに出力されます。

-

ダンプ・データ・セットをオープンする要求が、オペレーターによって出された。

-

CICS システムが立ち上がった。

-

ダンプ・データ・セットを交換する要求が、オペレーターによって出された。

-

ダンプ・データ・セット間での自動交換が実行されている。

メッセージ内の *dataset* は、オープンされているデータ・セット名を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dataset*

宛先: コンソール

DFHDU0305I *applid* Transaction Dump Data set switched to *ddname*

説明: このメッセージは、次のいずれかの状態が起きた場合に出されます。

- オペレーターが、ダンプ・データ・セットを交換するためのコマンドを出した。
- ダンプ・データ・セットがいっぱいなので、ダンプ・データ・セット間で自動交換が行われている。

このメッセージの前には、必ずメッセージ DFHDU0304 が出されています。また、旧ダンプ・データ・セットがオープンになっている場合には、メッセージ DFHDU0303 が出されています。

メッセージ内の *ddname* は、活動状態のトランザクション・ダンプ・データ・セットの DD 名 (DFHDMPPA または DFHDMPPB) を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 完了済みのダンプ・データ・セットを印刷またはコピーし、必要であれば、コマンド CEMT SET DUMP AUTO を再発行してください。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*

宛先: コンソール

DFHDU0306 *applid* Unable to open Transaction Dump Data set *dataset* - *text-descr*

説明: このメッセージは、トランザクション・ダンプ・データ・セットをオープンしようすると出されます。

text-descr は次のいずれかです。

OPEN ERROR

ダンプ・データ・セットをオープンする試みが行われ、異常終了出口が呼び出されました。この条件が起これば、通常、MVS システム・メッセージが表示されます。

INSUFFICIENT STORAGE

16 MB 境界より下のストレージを獲得するために、MVS GETMAIN が出されました。この要求は成功しませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

いずれの場合もトランザクション・ダンプ・データ・セットはオープンされません。XDUOUT 出口が活動状態でない限り、トランザクション・ダンプは操作不能です。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 詳細については、関連した MVS メッセージを参照してください。

モジュール: DFHUIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dataset*
3. *text-descr*

宛先: コンソール

DFHDU0307 *applid* Module DFHUIO is unavailable. Transaction dump is inoperative.

説明: このメッセージは、ダンプ・データ・セットのオープンまたはクローズが行われたとき、またはダンプ・データ・セット間の交換が行われたときに出されます。これは、初期設定時に CICS がモジュール DFHUIO を見つけることができなかったことをユーザーが忘れないようにするためです。CICS は初期設定時にメッセージ DFHDU0102 を出して、この条件に関してユーザーに警告します。

システムの処置: CICS は、トランザクション・ダンプ機能が操作不能のままで続行されます。

ユーザーの処置: 必要なら、メッセージ DFHDU0102

のユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDU0308I *applid* CICS will terminate because the Dump Table entry for the transaction dump code: *dumpcode* specifies shutdown.

説明: トランザクション・ダンプ・コード *dumpcode* のトランザクション・ダンプが要求されたが、関連付けられたダンプ・テーブル項目では CICS を終了することを指定している場合に、このメッセージは出されます。

このメッセージは、その項目が、CICS の終了を要求したトランザクション・ダンプ・テーブル項目であったことを示しています。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 通常の方法でトランザクション・ダンプを処理してください。

ウォーム・スタートまたは緊急始動を行うと、明示的に定義されたダンプ・テーブル項目がカタログから復元されます。 *dumpcode* のダンプ・テーブル項目を明示的に定義してあった場合には、CEMT または EXEC API コマンドを使用して、必要に応じてそれを修正し、CICS が終了しないようにすることができます。

暗黙的に定義されたダンプ・テーブル項目は、カタログに記録されないので、復元されません。 コールド・スタートまたは初期始動では、CICS はカタログからダンプ・テーブルを復元しません。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDUDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dumpcode*

宛先: コンソール

DFHDU0309I *applid* CICS will terminate because the Dump Table entry for the system dump code: *dumpcode* specifies shutdown.

説明: システム・ダンプ・コード *dumpcode* のシステム・ダンプが要求されたが、関連付けられたダンプ・テーブル項目では CICS を終了することを指定している場

合に、このメッセージが出されます。

このメッセージは、その項目が、CICS の終了を要求したシステム・ダンプ・テーブル項目であったことを示しています。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 必要に応じて、システム・ダンプを印刷してください。

ウォーム・スタートまたは緊急始動を行うと、明示的に定義されたダンプ・テーブル項目がカタログから復元されます。 *dumpcode* のダンプ・テーブル項目が明示的に定義されている場合には、CEMT または EXEC API コマンドを使用してそれを修正し、CICS が終了しないようにすることができます。

暗黙的に定義されたダンプ・テーブル項目は、カタログに記録されないので、復元されません。 コールド・スタートまたは初期始動では、CICS はカタログからダンプ・テーブルを復元しません。

モジュール: DFHDUDU

宛先: コンソール

DFHDU0310 *applid* XDUCLE 自動切り替え要求が指定変更されました。 (*applid* XDUCLE auto-switch request overridden.) トランザクション・ダンプ・データ・セットが小さすぎます。 (Transaction dump data sets are too small.)

説明: このメッセージは、以下の場合に出されます。

- トランザクション・ダンプが大きすぎて、現行のダンプ・データ・セットに収まらない。
- トランザクション・ダンプ・データ・セット間での自動切り替えの要求が、XDUCLE ユーザー出口によって出された。
- トランザクション・ダンプが大きすぎて、新たにオープンされたダンプ・データ・セットに収まらない。
- トランザクション・ダンプ・データ・セット間での自動切り替えの 2 つ目の要求が、XDUCLE によって出された。

システムの処置: トランザクション・ダンプ・データ・セットが小さすぎるため、CICS はトランザクション・ダンプをそのデータ・セットに書き込むことができません。 CICS はデータ・セットをクローズし、処理は続行されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

この問題を解決するには、CICS をダウンさせ、トランザクション・ダンプ・データ・セットのスペース割り振りを増やす必要があります。

都合の良いタイミングまで、CICS の終了を遅らせることも考えられます。コマンド CEMT SET DUMP OPEN を発行して、トランザクション・ダンプ環境を元に戻すことができますが、引き続き、大きすぎてデータ・セットに書き込むことができないダンプは失われます。

モジュール: DFHDUSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDU1601 DATA SET READ ERROR.

説明: アクセス方式が読み取りエラーを示しました。最後の CICS 実行時に、ダンプ・データ・セットがオープンされていない可能性があります。

システムの処置: そのレコードはスキップされます。

ユーザーの処置: JCL が正しいことを確認してください。または、読み取りエラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHDU720

宛先: コンソール

DFHDU1602 36 CONSECUTIVE UNIDENTIFIABLE RECORDS, DUMP UTILITY TERMINATED.

説明: 識別レコードのコードまたは形式が誤っています。このエラーに関する最も一般的な理由は、次のとおりです。

- 正しくないデータ・セットが処理されている。
- ユーティリティーが処理しようとしているダンプ・データ・セットが、現在の CICS の実行で使用されているものではない。

後者の場合、エラーが発生する理由は、現在の実行でダンプが作成されなかったか、またはそのデータ・セットが交換されていたかのいずれかです。

システムの処置: レコードがスキップされ、実行は終了して戻りコード 8 が出力されます。

ユーザーの処置: 正しいデータ・セットが処理されていることを確認してください。または、ダンプ管理プログラム (DFHDCP) にエラーがないかどうかを調べてください。

2 つのダンプ・データ・セットが使用されている場合には、処理されているデータ・セットが現行の CICS 実行で以前に使用されたものかどうか検査してください。

モジュール: DFHDU720

宛先: コンソール

DFHDU1603 NO {DUMP | PRINT} DATA SET DD CARD {DFHDMPPDS | DFHPRINT}, DUMP UTILITY TERMINATED.

説明: ダンプまたは印刷データ・セットのオープンが正しく行われませんでした。

システムの処置: オープンが正しく行われなかったのがダンプ・データ・セットである場合、システムは、このメッセージを印刷データ・セット上に出力し、実行を終了して戻りコード 12 を出します。

オープンが正しく行われなかったのが印刷データ・セットである場合には、システムは、実行を終了して戻りコード 16 を出します。

ユーザーの処置: JCL が、このメッセージに示されている DD 名に関して正しい場合には、データ・セットをオープンできない理由を判別してください。戻りコードは、DFHDU720 によって出されます。これらの戻りコードは、失敗したのがダンプなのか印刷データ・セットなのかを識別するだけです。

モジュール: DFHDU720

宛先: コンソール

DFHDU1604 END OF FILE ENCOUNTERED, LAST DUMP MAY BE INCOMPLETE.

説明: ダンプ・データ・セットがいっぱいになりました。

システムの処置: ダンプ・ユーティリティー・プログラム DFHDU720 は終了します。

ユーザーの処置: そのダンプが完全なものであるかどうか、またダンプの最後に不完全メッセージがないかどうかを調べてください。ダンプの最後に不完全メッセージがある場合には、データ・セット内の最後のダンプに必要なすべての情報が入っていない可能性があります。問題を再現させて、完全なダンプをとるように試みてください。ダンプがとられたときにダンプ・データ・セット自動交換が活動状態であった場合には、ダンプの完全なものが代替ダンプ・データ・セットに存在しています。

モジュール: DFHDU720

宛先: SYSPRINT

**DFHDU1609 36 READ ERRORS ENCOUNTERED.
DUMP UTILITY TERMINATED.**

説明: アクセス方式が、ダンプ・データ・セット内に 36 個の無効なレコードが存在することを示しています。この問題の推定原因としては、ファイルの終わりのマーカーが無効であることが考えられます。この無効なマーカーにより、アクセス方式は、データ・セット内の最後のレコード以降を読み取ろうとしました。この問題は、以下の場合にも発生する可能性があります。

- DFHDU720 が、これまで CICS によってアクセスされたことのないデータ・セットで実行されました。このデータ・セットには、無効なタイプのレコード形式が入っている可能性があります。
- DFHDU720 が、正しくないブロック・サイズとレコード形式でコピーされたデータ・セットで実行されました。

システムの処置: ダンプ・ユーティリティの実行は、DFHDU720 から戻りコード 8 を出して終了します。

ユーザーの処置: アクセスが失敗した原因を判別して、それを訂正してください。必要に応じてダンプを再作成してください。

モジュール: DFHDU720

宛先: コンソール

**DFHDU1610 DUMP FORMATTING HAS
ENCOUNTERED AN INVALID
TRACE BLOCK. TRACE ENTRIES
MAY BE LOST.**

説明: ダンプ・ユーティリティ・プログラム DFHDU410 が、トレース・データ・セットからトレース・レコードをコピーしているときに、エラーを検出しました。トレース・レコードは、定様式出力から省略されます。

システムの処置: DFHDU410 は、次のトレース・プロ

DFHDXnnnn メッセージ

**DFHDX8300I applid GETMAIN REQUEST
FAILED. NOT ATTEMPTING TO
CONNECT TO ALTERNATE
SYSTEMS.**

説明: 示されたアプリケーション ID を持つ CICS シ

ックを読み取って、トレース・レコードの形式設定を続行しようとしています。

ユーザーの処置: 問題を解決するには、ダンプを保持して IBM サポート・センターに連絡してください。IBM サポートのために情報を用意する方法の詳細については、「トラブルシューティングおよびサポート」で説明されています。この処理に精通していない場合には、IBM に連絡する前に、この手引きを参照してください。

モジュール: DFHDU720

宛先: コンソール

**DFHDU1611 FILE ERROR, FULL TRACE FAILED.
DUMP FORMATTING WILL
CONTINUE WITH ABBREVIATED
TRACE.**

説明: MVS NOTE マクロ内のエラーのため、ダンプ・ユーティリティ・プログラム DFHDU720 は、トレース・データが開始されたデータ・セットの位置を記録することができませんでした。そのため、形式設定 FULL でトレースを印刷するために省略形式のトレースを設定した後に、トレース・データの開始点に戻ることはできません。

システムの処置: トランザクション・ダンプの形式制御は、このダンプに関しては省略トレースでしか続行されません。

ユーザーの処置: 完全トレースだけが必要な場合は、NOABBREV パラメーターを設定した DFHDU410 ジョブを再実行してください。必要でない場合は、ダンプの再作成を試みてください。問題が再び発生する場合は、ダンプを保持して IBM サポート・センターに連絡してください。IBM サポートのために情報を用意する方法の詳細については、「トラブルシューティングおよびサポート」で説明されています。この処理に精通していない場合には、IBM に連絡する前に、この手引きを参照してください。

モジュール: DFHDU720

宛先: コンソール

ステムが、RST (リカバリー・サービス・テーブル) で定義された DBCTL 接続試行の順序付けを制御するための作業用ストレージを取得できませんでした。

システムの処置: CICS は、DBCTL 始動テーブルに定

義されている DBCTL サブシステムにのみ接続しようとします。

ユーザーの処置: GETMAIN 要求が純粋なスペース不足のために失敗する可能性が低くなるように、作業用ストレージを16MB 境界よりも上にすることができます。エラーが残る場合、問題を解決するには、ダンプがある CICS を取り消すことが必要となる場合があります。

モジュール: DFHDXAX

宛先: コンソール

**DFHDX8301I applid LOAD REQUEST FAILED
FOR *rstname*. NOT ATTEMPTING TO
CONNECT TO ALTERNATE
SYSTEMS.**

説明: 示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS システムは、接続先とする代替 DBCTL サブシステムの名前を探すときに、RST *rstname* をロードできませんでした。

システムの処置: CICS は、DBCTL 始動テーブルに定義されている DBCTL サブシステムにのみ接続しようとします。

ユーザーの処置: SIT 内の RST 接尾部が正しいこと、および RST が実際に許可ライブラリーに存在していることを確認してください。

モジュール: DFHDXAX

宛先: コンソール

**DFHDX8302I applid VALIDATION FAILED FOR
rstname. NOT ATTEMPTING TO
CONNECT TO ALTERNATE
SYSTEMS.**

説明: 示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS システムは、RST *rstname* が無効であることを検出しました。

それを使用して、接続先とする代替 DBCTL サブシステムの名前を探すことができません。

システムの処置: CICS は、DBCTL 始動テーブルに定義されている DBCTL サブシステムにのみ接続しようとします。

ユーザーの処置: SIT 内の RST 接尾部が正しいこと、および CICS 製品の一部として提供されている DFHRST マクロを使用して RST が正しく準備されていることを確認してください。

モジュール: DFHDXAX

宛先: コンソール

**DFHDX8303 applid DELETE REQUEST FAILED
FOR *rstname*.**

説明: 示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS システムは、DBCTL サブシステムへの接続試行を完了した後に、RST *rstname* を削除できませんでした。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: エラーが残る場合、問題を解決するには、ダンプがある CICS を取り消すことが必要となる場合があります。

モジュール: DFHDXAX

宛先: コンソール

**DFHDX8304 applid CICS/DBCTL RECONNECTION
IN PROGRESS.**

説明: このメッセージは、XRF 環境のみで出されます。CICS が DBCTL への接続を試みたが、DBCTL が再始動していないと判断している場合に、このメッセージが出されます。

このメッセージは、接続試行の 2 分後に表示され、その後は 1 分ごとに表示されます。

システムの処置: CICS は再接続の試行を繰り返します。

ユーザーの処置: DBCTL が再始動していない理由を調べてください。CDBC トランザクションを使用して接続を取り消すことができます。

モジュール: DFHDXAX

宛先: コンソール

**DFHDX8309 applid Unable to detach subtask during
CICS termination.**

説明: DBCTL の CICS XRF サポート中に接続されたサブタスクを CICS の終了時に切り離すことができないことが、CICS により検出されました。

システムの処置: CICS はコード A03 を出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: None. この異常終了は、前のエラーの結果として発生します。詳細な情報と手引きについては、前の DFHDX832x、DFHDX833x、または DFHDX834x エラー・メッセージがあるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHAPDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8310I *applid* Initiating catch-up tasks.

説明: キャッチアップ・トランザクション CXCU が制御を受け取りました。

システムの処置: キャッチアップ・トランザクションが、特定の機能区域についてキャッチアップ・タスクを開始するところです。

ユーザーの処置: None. これは単なる「作業進行中」メッセージです。このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHCXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8311I *applid* System initialized with XRF=NO. Catch-up transaction CXCU took no action.

説明: キャッチアップ・トランザクション CXCU が呼び出されましたが、CICS システムは XRF=NO を指定していました。キャッチアップ機能は関係がありません。

システムの処置: キャッチアップ・トランザクションは、何も処置をとらずに正常に終了します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHCXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8312I *applid* Catch-up transaction failed to run program *progrname*. Catch-up is incomplete.

説明: 示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS で稼働しているキャッチアップ・トランザクション CXCU は、特定のキャッチアップ・サービス・ルーチン *progrname* を呼び出すことができませんでした。これは DFHDXCU (DBCTL キャッチアップ) または DFHZXCU (端末キャッチアップ) のいずれかである可能性があります。

システムの処置: ルーチン *progrname* に関連したキャッチアップは実行されません。

活動 CICS システムおよび代替 CICS システムは続行されますが、代替システムは引き継ぎが行われた場合にあまり効力を発揮しません。

ユーザーの処置: 端末から「CXCU」を入力して再試行してください。エラーがなくならない場合には、ルーチン *progrname* がロード・ライブラリー内に存在するかどうか検査してください。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHCXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *progrname*

宛先: コンソール

DFHDX8313I *applid* Catch-up transaction failed.

説明: 特定のアプリケーション ID が与えられた CICS システムで実行中のキャッチアップ・トランザクション CXCU が、失敗しました。CXCU は、エンド・ユーザーからのトランザクション要求に応答して実行されるか、または代替 CICS システムの出現に応答して活動 CICS システムにより自動的に実行されます。その目的は、端末および DBCTL 接続に関する活動システムの状態を、代替システムに知らせることです。

システムの処置: CXCU トランザクションは異常終了し、ダンプが作成され、トランザクション異常終了コード ACXA が出されます。

活動 CICS システムも代替 CICS システムも続行されますが、代替システムは引き継ぎの場合にはあまり効力を発揮しません。例えば、端末バックアップ・セッションが設定されない可能性があります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 端末から「CXCU」を入力して再試行してください。エラーがなくならない場合には、ダンプから問題を診断してください。

モジュール: DFHCXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8315I applid XRF DBCTL state catch-up starting.

説明: 活動システムの DBCTL 状態を代替システムに送信するキャッチアップ・トランザクションが、示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS システムで開始されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8316I applid XRF DBCTL state catch-up ending.

説明: 活動システムの DBCTL 状態を代替システムに送信するキャッチアップ・トランザクションが、示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS システムで完了しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8317I applid XRF DBCTL state catch-up ignored for reason .

説明: XRF DBCTL キャッチアップ・トランザクションが、示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS システムで呼び出されました。

このシステムに DL/I がインストールされており、SIT で RST が指定されているにもかかわらず、理由 *nn* のために DBCTL のキャッチアップが不要であることが判明しました。ここで *nn* は以下のいずれかです。

理由 意味

01

DBCTL がまだ開始されていません。

02

XRF DBCTL がまだ使用されていません。

03

送信する接続状態情報がありません。

04

システムが XRF=NO として実行されています。

05

状態データを送信する代替 CICS がありません。

システムの処置: None. キャッチアップは不要です。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHDXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2.

宛先: コンソール

DFHDX8318I applid XRF DBCTL state catch-up failed for reason .

説明: XRF DBCTL キャッチアップ・トランザクションが、示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS システムで呼び出されました。

理由 *nn* のためにトランザクションが失敗しました。ここで *nn* は以下のいずれかです。

理由 意味

01

CAVM メッセージ・サービスが、識別不能な戻りコードを返しました。

02

CAVM メッセージ・サービスが、予期しない例外戻りコードを返しました。

03

CAVM メッセージ・サービスが、予期しない障害理由コードを返しました。

システムの処置: DBCTL キャッチアップ・トランザクションが終了し、ダンプが作成されます。トランザクション異常終了コードは ADXB です。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 詳細な情報と手引きについては、

CAVM データ・セットの問題に関連する他のメッセージがあるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHDXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
- 2.

宛先: コンソール

DFHDX8319I *applid* XRF DBCTL state catch-up failed.

説明: XRF DBCTL キャッチアップ・トランザクションが、示された特定のアプリケーション ID を持つ CICS システムで呼び出されました。

トランザクションが失敗しました。

システムの処置: DBCTL キャッチアップ・トランザクションが終了し、ダンプが作成されます。トランザクション異常終了コードは ADXA です。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプからエラーを診断してください。

モジュール: DFHDXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
- 宛先: コンソール

DFHDX8320I *applid* DBCTL Restart processing completed after DBCTL failure.

説明: ユーザー出口 XXDFA は DBCTL の再始動を要求しました。再始動は正常に開始されました。

システムの処置: 活動 CICS は正常に実行を継続し、DBCTL への再接続を試みます。

ユーザーの処置: None. SIT パラメーター MSGLVL=0 を指定すれば、このメッセージを抑止することができます。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
- 宛先: コンソール

DFHDX8321 *applid* 理由 X'nn' のため、DBCTL サブシステムについて JES との関係を判別できません。 (*applid* Unable to determine JES affiliation of DBCTL subsystem for reason X'nn'.)

説明: 接続先の DBCTL が CICS 自体と同じ JES の下で稼働している場合のみ、CICS は完全な XRF サポートを提供できます。

nn は以下のいずれかです。

nn 意味

X'09'

MVS GETMAIN の障害。

X'10'

MVS ATTACH の障害。

システムの処置: 活動 CICS は実行を継続しますが、障害が発生した場合、CICS は DBCTL の自動的な再始動を試みません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'nn'

宛先: コンソール

DFHDX8322 *applid* LOAD request failed for . DBCTL/XRF support will not be provided for this connection.

説明: DBCTL の障害について CICS に通知されましたが、CICS は XRF サポートが必要であるかどうかを判別するために、指定されたリカバリー・サービス・テーブル (RST) をロードすることができませんでした。

システムの処置: CICS は、障害のある DBCTL サブシステムに対して XRF サポートが要求されなかったかのように、実行を継続します。

ユーザーの処置: 有効な RST を STEPLIB に再リンク・エディットしてください。DBCTL を手動で再始動することが必要な場合があります。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
- 2.

宛先: コンソール

DFHDX8323 applid Unable to complete search for DBCTL alternate.

説明: DBCTL の障害について CICS に通知されましたが、DBCTL 代替の検索を完了できませんでした。IEFSSREQ 要求からの予期しない戻りコードが原因である可能性があります。

システムの処置: DBCTL 代替が見つからなかったかのように、CICS は実行を継続します。ADDI トランザクション・ダンプが生成されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: DBCTL を手動で再始動することが必要となる場合があります。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8324 applid Unable to restart DBCTL for reason X'nn'.

説明: CICS は、*n* の値によって示された内部障害のために、DBCTL を再始動できませんでした。*n* は以下のいずれかです。

n 意味

X'08'

MVS GETMAIN が失敗しました。

X'09'

MVS ATTACH が失敗しました。

システムの処置: 活動 CICS は実行を継続しますが、DBCTL を自動的に再始動できませんでした。ただし、通常の方法で DBCTL への再接続を試みます。

ユーザーの処置: DBCTL を手動で再始動することが必要となる場合があります。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2.

3. *X'nn'*

宛先: コンソール

DFHDX8325 applid subsysid に再始動コマンドが出されましたが理由 X'xx' X'yy' のために失敗しました。(applid Restart command issued unsuccessfully to for reason X'xx' X'yy'.)

説明: ユーザー出口 XXDFA は DBCTL の再始動を要求しました。再始動要求が *subsysid* に対して出されましたが、16 進数の理由コード *X'xx'* および *X'yy'* で拒否されました。

システムの処置: 活動 CICS は正常に実行を継続し、DBCTL への再接続を試みます。

ユーザーの処置: DBCTL を手動で再始動することが必要となる場合があります。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *subsysid*

3. *X'xx'*

4. *X'yy'*

宛先: コンソール

DFHDX8326 applid メッセージ・サービス・エラーのために DBCTL 状態メッセージが失われました。(applid DBCTL state message lost owing to message services error.)

説明: 活動 CICS システムが、DBCTL 接続状況の変化を代替システムに報告できませんでした。

システムの処置: 活動システムは、エラー項目を CAVM 状況レコードに書き込みますが、その他の作業は通常通り続行します。

ユーザーの処置: CAVM データ・セットの問題に関連する他のメッセージがあるかどうかを調べてください。

CICS 代替システムが直ちに引き継ぐと、誤った DBCTL を再始動しようとする可能性があります。データベース保全性が損なわれることはありませんが、可用性の損失や運用上の不都合が生じる可能性があります。手動で、または制御プログラム通じて、代替システムを取り消して再始動することをお勧めします。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8327 *applid* CAVM サービス障害のために
DBCTL 状態メッセージが失われました。
(*applid* DBCTL state message lost
owing to CAVM services failure.)

説明: 活動 CICS システムが、DBCTL 接続状況の変化を制御プログラムに報告できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: CAVM データ・セットの問題に関連する他の CICS メッセージ (DFH66xx) があるかどうかを調べてください。

制御プログラムが直ちに引き継ぎを制御すると、誤った DBCTL を再始動しようとする可能性があります。データベース保全性が損なわれることはありませんが、可用性の損失や運用上の不都合が生じる可能性があります。

XRF 引き継ぎを制御するために制御プログラムが使用されている場合、DBCTL から切断したり DBCTL に接続したりすると、状況レコードの再書き込みが発生します。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8328 *applid jobname (jobid)* について JES との関係性を判別できません。(*applid Unable to determine Jes affiliation of (jobname, jobid).*)

説明: 接続先の DBCTL が CICS 自体と同じ JES の下で稼働している場合のみ、CICS は完全な XRF サポートを提供できます。

システムの処置: 活動 CICS は実行を継続しますが、障害が発生した場合、CICS は DBCTL の自動的な再始動を試みません。

ユーザーの処置: 活動 CICS システムと同じ JES の下で DBCTL を実行することをお勧めします。

このメッセージは、システムまたはセットアップの問題が発生したことを示します。システムの問題がある場合は、メッセージ DFHDX8321 も表示されます。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *jobname*

3. *jobid*

宛先: コンソール

DFHDX8329 *applid* DBCTL の障害の後の再始動要求は、理由 *X'nn'* のために無視されました。(*applid Restart request after DBCTL failure ignored for reason X'nn'.*)

説明: ユーザー出口 XXDFA は DBCTL の再始動を要求しました。*nn* によって示された理由で、この要求は無視されました。

理由コード *nn* は次のいずれかです。

nn 意味

X'09'

再始動する代替 DBCTL がありません。

X'10'

おそらく、DBCTL サブシステムが、活動 CICS システムとは異なる JES の下にあります。

X'11'

DBCTL サブシステムが IMS DB/DC システムでした。

システムの処置: 活動 CICS は、ユーザー出口が「アクションなし」を示したかのように、実行を継続します。

ユーザーの処置: ユーザー出口が意図したとおりに動作していること、および CICS システムと DBCTL システムが正しいオプションを使用してセットアップされていることを確認してください。

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *X'nn'*

宛先: コンソール

DFHDX8330 *applid* IMS DB/DC 領域が XRF サポートを要求しました。(*applid IMS DB/DC region has requested XRF support.*)

説明: ユーザーが (RST を介して) XRF サポートを要求したが XRF に参加できない状態である IMS システムに CICS が接続したとき、このメッセージが生成されます。例えば、XRF オプションを指定していない IMS/DC システム内です。

システムの処置: システムは、XRF なしで実行を継続します。

ユーザーの処置: XRF 用に IMS/DC を有効にするか、RST から SSID を削除してください。

DFHDX8331 • DFHDX8334

モジュール: DFHDBCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8331 *applid* CAVM メッセージ入力サービス・エラー、X'nn'、。(applid CAVM message input service error, X'nn',.)

説明: 活動 CICS の DBCTL 接続状況の追跡を担当する代替 CICS システム・タスクは、CAVM メッセージ入力サービスからエラー応答を受け取りました。

システムの処置: 追跡トランザクションは終了します。DBCTL 状況の変更に対する応答として、それ以上の処置はとられません。グローバル出口 XXDFB および XXDTO は呼び出されず、引き継ぎの場合にも DBCTL 再始動は試行されません。ADMA トランザクション・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: CAVM データ・セットの問題に関連する他のメッセージがあるかどうかを調べてください。引き継ぎの場合は DBCTL を手動で再始動することが必要となる場合があります。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2.
3. X'nn'
4.

宛先: コンソール

DFHDX8332I *applid* Connection to notified after failure initiated takeover.

説明: 活動 CICS の DBCTL 接続状況の追跡を担当する代替 CICS システム・タスクは、グローバル・ユーザー出口 XXDFB からの引き継ぎの決定が受け入れられた後に、CAVM メッセージ入力サービスからメッセージを受け取りました。

この問題は、通常、セットアップ・エラーまたは操作エラーが原因です。

システムの処置: 引き継ぎは続行されます。このメッセージが、接続の成功の通知である場合は、グローバル・ユーザー出口 XXDTO を起動することができます。

ユーザーの処置: 活動 CICS システムが RSE のエレメントに再接続するには、DBCTL が活動 CEC で再始動されている必要があります。したがって、代替 CICS は、この新しい活動 DBCTL を終了させずに、代替

CEC 内の RSE のエレメントを再始動することはできません。

グローバル・ユーザー出口 XXDTO は、CICS 引き継ぎ処理の一部として起動されます。この出口を使用して、活動 CEC で再始動された DBCTL の引き継ぎを要求することができます。

セットアップ・エラーまたは操作エラーを探し、訂正してください。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2.
3.

宛先: コンソール

DFHDX8333 *applid* DBCTL 追跡タスクが、認識されないメッセージ・タイプを受け取りました。(applid Unrecognized message type received by DBCTL tracking task.)

説明: 活動 CICS の DBCTL 接続状況の追跡を担当する代替 CICS システム・タスクは、CAVM メッセージ入力サービスから認識されないメッセージを受け取りました。

システムの処置: 追跡トランザクションは終了します。DBCTL 状況の変更に対する応答として、それ以上の処置はとられません。グローバル出口 XXDFB および XXDTO は呼び出されず、引き継ぎの場合にも DBCTL 再始動は試行されません。ADMB トランザクション・ダンプが生成されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 引き継ぎの場合は DBCTL を手動で再始動することが必要となる場合があります。

モジュール: DFHDXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2.

宛先: コンソール

DFHDX8334 *applid* Error detected in for reason nn.

説明: 活動 CICS の DBCTL 接続状況の追跡を担当する代替 CICS システム・タスクは、CICS または DBCTL の障害の処理中に無効なりカバリー・サービス・テーブル (RST) を検出しました。

nn は以下のいずれかです。

nn 意味

01

CICS SVC が RST でエラーを検出しました。
エラーの原因については、付随する
DFHXG64xx メッセージまたは DFHXA65xx
メッセージを参照してください。

02

XRF/DBCTL 追跡タスクが RST をロードでき
なかったか、XRF/DBCTL 追跡タスクが、RST
が無効であることを検出しました。

03

初期設定中に CICS SVC が RST でエラーを
検出しました。エラーの原因については、付随
する DFHXG64xx メッセージまたは
DFHXA65xx メッセージを参照してください。

04

接続時間中に CICS SVC が RST でエラーを
検出しました。エラーの原因については、付随
する DFHXG64xx メッセージまたは
DFHXA65xx メッセージを参照してください。

システムの処置: 追跡トランザクションは、接続された
DBCTL の RST を通じて XRF サポートが要求されな
かったかのように、実行を継続します。

ユーザーの処置: 引き継ぎの場合は DBCTL を手動で
再始動することが必要となる場合があります。
XRF/DBCTL 追跡タスクの初期設定中に障害が検出され
た場合、問題を解決するには、RST をアセンブルし、リ
ンク・エディットする必要があります。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
- 2.
3. *nn*

宛先: コンソール

DFHDX8335 *applid* Unable to complete search for
DBCTL alternate.

説明: 活動 CICS の DBCTL 接続状況の追跡を担当す
る代替 CICS システム・タスクは、DBCTL 代替の検索
を完了できませんでした。おそらく IEFSSREQ 要求か
らの予期しない戻りコードが原因です。

システムの処置: DBCTL 代替が見つからなかったかの
ように、追跡トランザクションは実行を継続します。
ADMD トランザクション・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: 引き継ぎの場合は DBCTL を手動で

再始動することが必要となる場合があります。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8336 *applid* Unable to provide DBCTL/XRF
support for reason: X'*nn*'.

説明: ユーザー出口 XXDFB または XXDTO は
DBCTL の再始動を要求しました。*nn* の値によって示
された理由で、この要求は無視されました。

nn は以下のいずれかです。

nn 意味

X'46'

有効な RST が見つかりませんでした。
DFHDX8334 を参照してください。

X'50'

DBCTL サブシステムが IMS DB/DC システ
ムです。

X'51'

再始動する代替 DBCTL がありません。

X'52'

DBCTL サブシステムが、活動 CICS システム
とは異なる JES の下にあります (またはその可
能性があります)。

X'53'

活動 CICS システムが既に DBCTL の再始動
を試みました。

システムの処置: 代替 CICS は、ユーザー出口が「ア
クションなし」を示したかのように、実行を継続しま
す。

ユーザーの処置: ユーザー出口が意図したとおりに動作
していること、および CICS システムと DBCTL シス
テムが正しいオプションを使用してセットアップされて
いることを確認してください。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*nn*'

宛先: コンソール

DFHDX8337 applid Takeover request rejected by CAVM, reason code X'nn'.

説明: ユーザー出口 XXDFB は、DBCTL 障害の結果として引き継ぎを要求しましたが、CAVM は引き継ぎ要求を拒否しました。

システムの処置: 代替 CICS は、ユーザー出口が「アクションなし」を示したかのように、実行を継続します。

ユーザーの処置: ユーザー出口が意図したとおりに動作していること、および CICS システムと DBCTL システムが正しいオプションを使用してセットアップされていることを確認してください。このメッセージは、(通常、以前の問題の結果として) CICS 内部エラーが発生したことを示しています。手動による CICS 引き継ぎを開始することが必要な場合があります。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'nn'*

宛先: コンソール

DFHDX8338 applid 理由 X'nn' のため、subsysid に command コマンドを出すことができません。(applid Unable to issue command command to subsysid for reason X'nn'.)

説明: ユーザー出口 XXDFB/XXDTO が、DBCTL/XRF 追跡タスクに再始動要求を出しましたが、メッセージに示された理由のため、タスクは要求を処理できませんでした。

発行されたコマンドは、切り替えシステムのバックアップ・コマンドまたは ERE コマンドのいずれかでなければなりません。

理由コード X'nn' は次のいずれかです。

nn 意味

X'09'

MVS GETMAIN の障害。

X'10'

MVS ATTACH の障害。

システムの処置: 引き継ぎは続行されます。

ユーザーの処置: DBCTL サブシステムを手動で再始動してください。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *command*
3. *subsysid*
4. *X'nn'*

宛先: コンソール

DFHDX8339 applid subsysid に command コマンドを出しましたが、理由 X'nn' のため失敗しました。(applid command command issued unsuccessfully to subsysid for reason X'nn'.)

説明: DBCTL/XRF 追跡タスクは再始動コマンド (切り替えまたは ERE のいずれか) を代替 DBCTL サブシステムに発行しましたが、理由 nn のために要求は拒否されました。

XXDFA または XXDTO は、DBCTL による CICS 引き継ぎを要求しました。このエラーは、要求が出されたときに検出されました。

システムの処置: 引き継ぎは続行されます。

ユーザーの処置: DBCTL サブシステムを手動で再始動してください。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *command*
3. *subsysid*
4. *X'nn'*

宛先: コンソール

DFHDX8340 applid DBCTL 追跡タスクが、理由 X'nn' のために無効な環境で開始しました。(applid DBCTL tracking task started in an invalid environment reason X'nn'.)

説明: 活動 CICS の DBCTL 接続状況の追跡を担当する代替 CICS システム・タスクは、DBCTL/XRF をサポートしない環境で開始されました。

理由コード X'nn' は次のいずれかです。

nn 意味

X'65'

SIT で XRF=NO が指定されています。

X'67'

CICS システムが活動システムとして実行中です。

X'69'

MVS GETMAIN の障害。

システムの処置: 追跡トランザクションは終了します。DBCTL 状況の変更に対する応答として、それ以上の処置はとられません。グローバル出口 XXDFB および XXDTO は呼び出されず、引き継ぎの場合にも DBCTL 再始動は試行されません。

ユーザーの処置: ユーザー応答は、発行された理由コードによって異なります。

理由 X'65' および X'67' の場合、CICS コードにエラーがある可能性があります。この場合には、IBM のサポートがさらに必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

理由 X'69' の場合は、EDSA の全体のサイズの制限を小さくして設定してください。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*nn*'

宛先: コンソール

DFHDX8341I *applid* 引き継ぎ要求が受け入れられました。(applid Takeover request accepted.)

説明: ユーザー出口 XXDFB からの要求があったため、DBCTL/XRF 追跡タスクは引き継ぎ要求を発行しま

した。要求は受け入れられました。

システムの処置: 引き継ぎは続行されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 によって抑止することができます。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHDX8342I *applid* 再始動コマンドが正常に出されました。(applid Restart command issued successfully.)

説明: ユーザー出口 XXDFB/XXDTO からの要求があったため、DBCTL/XRF 追跡タスクは代替 DBCTL サブシステムへ再始動コマンドを発行しました。要求は正常に出されました。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 によって抑止することができます。

モジュール: DFHDBCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHECnnnn メッセージ

DFHEC0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset X'*offset*' in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのコンポーネントの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHECEB, DFHECEC, DFHECEI, DFHECIN1, DFHECIS, DFHECRL, DFHECSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHEC0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、呼び出し側が CICS を終了させることがあります。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コードにエラーの可能性あることを示しています。その影響の重大度は、エラーのときに実行されていた機能の重要性によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール

modname が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御された方法で CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHECDF, DFHECEB, DFHECEC, DFHECEI, DFHECIN1, DFHECIS, DFHECRL, DFHECRP, DFHECSE, DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHEC0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

このメッセージが DFHAPEX または DFHSUEX から出され、しかも出口点が XDUREQ の場合には、再帰的なダンプを防ぐためにシステム・ダンプはとられません。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からサポートを得てこの問題を解決してください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHECIN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHEC1000 *date time applid Invalid parameter list passed to EC component module modname.*

説明: 要求の処理中に AP ドメインのイベント・キャプチャー (EC) コンポーネントのモジュール *modname* への呼び出しが行われましたが、パラメーター・リストが無効でした。これは、ストレージの上書きか、または呼び出し側コンポーネントでの内部エラーのためと考えられます。

システムの処置: EC コンポーネントによって例外トレースが書き込まれ、システム・ダンプがとられ、進行中のタスクは異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、呼び出し側コンポーネントの障害を判別してください。

モジュール: DFHECEB, DFHECEC, DFHECEI, DFHECIS, DFHECRL, DFHECSC, DFHECSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modname*

宛先: CECO

DFHEC1001 *date time applid EVENTBINDING evbname from BUNDLE bundle installed successfully.*

説明: BUNDLE *bundle* の *evbname* という名前の EVENTBINDING がこのシステムに正常にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHECRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *bundle*

宛先: CECO

DFHEC1002 *date time applid EVENTBINDING evbname from BUNDLE bundle discarded successfully.*

説明: BUNDLE *bundle* の *evbname* という名前の EVENTBINDING が正常に破棄され、このシステムから削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHECRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *bundle*

宛先: CECO

DFHEC1003 *date time applid* **The CICS event capture component failed to create the EVENTBINDING resource evbname in BUNDLE bundle because {the event binding name is invalid. | XML data in the event binding could not be parsed. | the eventDispatcher is missing or invalid. | the EPADAPTER create failed. | the eventBinding is invalid. | there are no capture specifications. | the EVENTBINDING is a duplicate in the BUNDLE.}**

説明: BUNDLE bundle 内で EVENTBINDING evbname を作成する際に、エラーが発生しました。次の理由が考えられます。

イベント・バインディング名が無効です

イベント・バインディング名は 1 文字から 32 文字までとし、A から Z、a から z、0 から 9、および _ を使用できます。ブランク文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることはできません。(どのような場合でも) 名前の先頭に 0-9、_、または文字 xml を使用することはできません。

イベント・バインディング内の XML データを構文解析できません

先行する DFHPInnnn メッセージに、問題の原因に関する詳細情報が記述されています。

eventDispatcher がいない、または無効です

XML パーサーがイベント・バインディングの eventDispatcher セクションを見つけることができません。

EPADAPTER の作成が失敗しました

組み込み EP アダプター仕様の CREATE_EPADAPTER 関数から、予期しない例外を受け取りました。

eventBinding が無効です

イベント・バインディング XML の eventBinding セクションに、無効なデータが含まれています。

キャプチャー仕様がありません

イベント・バインディングには、少なくとも 1 つのキャプチャー仕様を含める必要があります。

EVENTBINDING が BUNDLE 内で重複しています

同じ名前の EVENTBINDING がこの BUNDLE から既にインストールされています。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのイベント処理スキーマと照らし合わせて、イベント・バインディングを検証します。イベント・バインディングを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHECRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *bundle*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=イベント・バインディング名が無効です。
 2=イベントバインディング内の XML データを構文解析できません。
 3=eventDispatcher がいない、または無効です。
 4=EPADAPTER の作成が失敗しました。
 5=eventBinding が無効です。
 6=キャプチャー仕様がありません。
 7=EVENTBINDING が BUNDLE 内で重複しています。

宛先: CECO

DFHEC1004 *date time applid* **Event processing found invalid data address X'address' while capturing data for CAPTURESPEC csname of EVENTBINDING evbname in capture data item description at offset offset with length length.**

説明: イベント処理は、EVENTBINDING evbname の CAPTURESPEC csname 用のデータをキャプチャー・データ項目 description 内 (オフセット offset、長さ length)

で取り込み中に、無効なデータ・アドレス *address* を検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このエラーを回避するようにキャプチャ仕様を改善し、イベント・バインディングを CICS に再デプロイしてください。

モジュール: DFHECEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'address'*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *description*
8. *offset*
9. *length*

宛先: CECO

DFHEC1005 *date time applid Event processing found invalid data address X'address' while filtering events for CAPTURESPEC csname of EVENTBINDING evbname in filter item description at offset offset with length length.*

説明: イベント処理は、EVENTBINDING *evbname* の CAPTURESPEC *csname* 用のイベントをフィルター項目 *description* 内 (オフセット *offset*、長さ *length*) でフィルタリング中に、無効なデータ・アドレス *address* を検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このエラーを回避するようにキャプチャ仕様を改善し、イベント・バインディングを CICS に再デプロイしてください。

モジュール: DFHECEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'address'*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *description*
8. *offset*

9. *length*

宛先: CECO

DFHEC1006I *applid Event processing status is {STARTED | DRAINING | STOPPED}.*

説明: このメッセージは、イベント処理状況が変更されたときに発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要なときにはいつでも、ユーザーがイベント処理状況を変更できます。

モジュール: DFHECRP DFHECIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=STARTED,
2=DRAINING,
3=STOPPED

宛先: コンソール

DFHEC1007 *date time applid Event processing found invalid packed data X'data' while filtering events for CAPTURESPEC csname of EVENTBINDING evbname in filter item description at offset offset with length length.*

説明: イベント処理は、EVENTBINDING *evbname* の CAPTURESPEC *csname* 用のイベントをフィルター項目 *description* 内 (オフセット *offset*、長さ *length*) でフィルタリング中に、無効なパック・データ *data* を検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このエラーを回避するようにキャプチャ仕様を改善し、イベント・バインディングを CICS に再デプロイしてください。

モジュール: DFHECEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'data'*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *description*

8. *offset*9. *length*

宛先: CECO

DFHEC1008 *date time applid Event processing found invalid zoned data X'data' while filtering events for CAPTURESPEC csname of EVENTBINDING evbname in filter item description at offset offset with length length.*

説明: イベント処理は、EVENTBINDING *evbname* の CAPTURESPEC *csname* 用のイベントをフィルター項目 *description* 内 (オフセット *offset*、長さ *length*) でフィルタリング中に、無効なゾーン・データ *data* を検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このエラーを回避するようにキャプチャー仕様を改善し、イベント・バインディングを CICS に再デプロイしてください。

モジュール: DFHECEC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'data'*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *description*
8. *offset*
9. *length*

宛先: CECO

DFHEC1009 *date time applid The CICS event capture component found an inconsistency in one or more values during install of EVENTBINDING evbname in BUNDLE bundle because the capture specification capspec { has an overlength formatPrecision in data item: | has an invalid formatlength in data item: } dataItem.*

説明: バンドル *bundle* 内でイベント・バインディング *evbname* をインストール中に、互換性のない可能性のある値が見つかりました。キャプチャー仕様 *capspec* のデータ項目 *dataItem* で 1 つ以上の属性が誤って指定されている可能性があります。次の理由が考えられます。

長すぎる **formatPrecision**

キャプチャー・データ項目の **formatPrecision** 値が、その項目の **formatlength** または **formatType** あるいはその両方に対して大きすぎます。例えば、以下の場合に大きすぎる場合があります。

符号、小数点、および先行桁が勘定に入れられた場合の数値項目の **formatlength**。

仮数と指数の両方の符号が勘定に入れられた場合の科学的項目の **formatlength**。

科学的項目の最大精度。16 進数の浮動小数点の最大精度は、**short** (フルワード) の場合は 6、**long** (ダブルワード) の場合は 15 です。

無効な **formatlength**

キャプチャー・データ項目の **formatlength** が、このキャプチャー・データ・タイプには無効です。このメッセージは、以下の場合に出されます。

HEX データのフォーマット長に余裕がないため、先頭に 0x を付加できない。

HEX データのフォーマット長が 2 の倍数ではない。

数値データのフォーマット長に余裕がないため、符号を付加できない。

注: IBM 提供の EP アダプターによってフォーマット設定された場合、負のデータの先頭に負符号が付加されます。IBM 提供の EP アダプターによって XML フォーマットのいずれかに設定された場合、正のデータの先頭に正符号は付加されませんが、CFE または CCE フォーマットの正のデータの先頭には正符号が付加されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

イベント・バインディングはインストールされています。IBM 提供の EP アダプターは、項目をフォーマット設定できずに、アスタリスクに置き換える場合があります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: カスタム EP アダプターに柔軟性を持たせるため、イベント仕様のフォーマット定義における不整合は許容されます。IBM 提供のアダプターを使用している場合、EVENTBINDING を使用してイベントを取り込む前に、フォーマット定義の問題を修正する必要があります。イベント・バインディング XML 内のエラーまたは不整合が原因となって他の問題が発生する可能性があります。イベント・バインディングが CICS

イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを修正し、バンドルを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHECRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *bundle*
6. *capspec*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 以下のデータ項目の *formatPrecision* が長すぎます。
 2= 以下のデータ項目の *formatlength* が無効です:

8. *dataItem*

宛先: CECO

DFHEC1011 *date time applid* **The CICS event capture component failed to create the EVENTBINDING resource *evbname* in BUNDLE *bundle* because the capture specification *capspec* { *filter predicate* could not be built. | 名前が無効です。 | 重複しています。}**

説明: キャプチャー仕様 *capspec* に問題があるため、バンドル *bundle* 内でイベント・バインディング *evbname* を作成する際に、エラーが発生しました。次の理由が考えられます。

フィルター述部を作成できなかった

BUILD_PREDICATE_LIST 関数から、予期しない例外を受け取りました。

キャプチャー仕様名が無効である

キャプチャー仕様名は 1 文字から 32 文字までとし、A から Z、a から z、0 から 9、および *_* を使用できます。ブランク文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることはできません。(どのような場合でも) 名前の先頭に 0-9、*_*、または文字 *xml* を使用することはできません。

キャプチャー仕様が重複している

イベント・バインディングに、同じ名前の別のキャプチャー仕様があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのイベント処理スキーマと照らし合わせて、イベント・バインディングを検証します。イベント・バインディングを修正し、バンドルを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHECRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *bundle*
6. *capspec*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= フィルター述部を作成できませんでした。
 2= 名前が無効です。
 3= 重複しています。

宛先: CECO

DFHEC1012 *date time applid* **The CICS event capture component failed to create the EVENTBINDING resource *evbname* in BUNDLE *bundle* because the capture specification *capspec* { has an invalid event name | exceeds the maximum number of data items | contains invalid capture data type, item number | has an invalid business information name | has an overlength *formatPrecision* in data item | has an invalid *captureDataPrecision* in data item | has an invalid *captureLength* in data item | has an invalid *formatdataType* in data item | has an invalid *formatLength* in data item | has an invalid *captureDataType* in data item | has a filter with an invalid *filterOperator* | has a filter with an invalid *keyword* | has a filter with an invalid *filterValue* | has an invalid context capture item | has an invalid *capturePoint*}; error_data.**

説明: キャプチャー仕様 *capspec* に問題があるため、バンドル *bundle* 内でイベント・バインディング *evbname* を作成する際に、エラーが発生しました。次の理由が考えられます。

イベント名が無効です

1 から 32 文字のイベント名に使用できる文字は、A-Z a-z 0-9 および _ です。空白文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることはできません。(どのような場合でも) 名前の先頭に 0-9、_、または文字 *xml* を使用することはできません。

データ項目の最大数を超えています

キャプチャー・データ項目の数は、グローバル・カタログ・レコードに収まらなければならない EPDE 記述子の最大サイズによって制限されます。

無効なキャプチャー・データ・タイプ

キャプチャー・データ項目番号 *error_data* は、不明またはサポートされないタイプです。

ビジネス情報名が無効です

1 から 32 文字のビジネス情報名に使用できる文字は、A-Z a-z 0-9 および _ です。空白文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることはできません。(どのような場合でも) 名前の先頭に 0-9、_、または文字 *xml* を使用することはできません。

無効な **formatPrecision**

小数点と先行桁を考慮すると、キャプチャー・データ項目の *formatPrecision* 値は項目の *formatlength* に対して大きすぎます。

無効な **captureDataPrecision**

キャプチャー・データの精度が、キャプチャーされる桁の合計数を超えています。

無効な **captureLength**

キャプチャー・データ長がキャプチャー・データ・タイプに対して無効です。数値キャプチャー・データ・タイプには、以下の制限があります。

- PACKED は 1 から 16 バイトであること
- ZONED は 1 から 32 バイトであること
- UHWORD は 2 バイトであること
- UFWORD は 4 バイトであること
- SHWORD は 2 バイトであること
- SFWORD は 4 バイトであること
- HEXFLOAT は 4 または 8 バイトであること
- BINFLOAT は 4 または 8 バイトであること
- DECFLOAT は 4 または 8 バイトであること

無効な **formatdataType**

フォーマット・データ・タイプがキャプチャー・データ・タイプでサポートされていないか、無効です。例えば、フォーマット・データ・タイプ *scientific* は、*xxxFLOAT* キャプチャー・データ・タイプに対してのみ有効です。

無効な **formatLength**

フォーマット設定されたデータ長がフォーマット・タイプに対して無効です。例えば、フォーマット・タイプ *scientific* では、仮数、「E」、および指数のスペースとして、少なくとも 3 バイト必要です。浮動小数点キャプチャー・データに対しては、それが *scientific* フォーマット・タイプでない限り、フォーマット長を指定する必要があります。

無効な **captureDataType**

キャプチャー・データ・タイプがサポートされていません。

無効な **filterOperator**

フィルター演算子がフィルター・キーワードに対して無効であるか、またはサポートされていません。

無効なキーワード

フィルター・キーワードがキャプチャー・ポイントに対して無効であるか、またはサポートされていません。

無効な **filterValue**

フィルター値がフィルター・キーワードに対して無効です。この状態が発生するのは、例えば、フィルター・キーワードが状況フィールドであり、指定されたフィルター値が有効な状況でない場合です。

無効なコンテキスト・キャプチャー項目

コンテキスト・キャプチャー項目がキャプチャー・ポイントに対して無効であるか、またはサポートされていません。

無効なキャプチャー・ポイント

キャプチャー・ポイント名が無効であるか、またはサポートされていないシステム・キャプチャー・ポイントです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成された場合、このメッセージは CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのイベント処理スキーマと照らし合わせて、イベント・バインディングを検証します。イベント・バインディングを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHECRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *evbname*
5. *bundle*
6. *capspec*
7. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 無効なイベント名があります,
- 2= データ項目の最大数を超過しています,
- 3= 無効なキャプチャー・データ・タイプがあります。項目番号,
- 4= 無効なビジネス情報名があります,
- 5= 以下のデータ項目の *formatPrecision* が長すぎます,
- 6= 以下のデータ項目の *captureDataPrecision* が無効です,
- 7= 以下のデータ項目の *captureLength* が無効です,
- 8= 以下のデータ項目の *formatdataType* が無効です,
- 9= 以下のデータ項目の *formatLength* が無効です,
- 10= 以下のデータ項目の *captureDataType* が無効です,
- 11= 無効な *filterOperator* を持つフィルターがあります,
- 12= 無効な *keyword* を持つフィルターがあります,
- 13= 無効な *filterValue* を持つフィルターがあります,
- 14= 無効なコンテキスト・キャプチャー項目があります,
- 15= 無効な *capturePoint* があります

8. *error_data*

宛先: CECO

DFHEC1013 *date time applid* The CICS event capture component failed to create the EVENTBINDING resource *evbname* in BUNDLE *bundle* because {the LOCALCCSID SIT parameter is not supported | the event binding schema level is not supported | the event binding USERTAG is invalid | the EP adapter name is invalid | of an invalid numeric filter value | the EP adapterset name is invalid | CICSEPSchemaVersion is invalid | CICSEPSchemaRelease is invalid}; *error_data*.

説明: バンドル *bundle* 内でイベント・バインディング *evbname* を作成する際に、エラーが発生しました。次の理由が考えられます。

LOCALCCSID SITパラメーターはサポートされていません

イベント処理は、文字データのコード・ページ変換のデフォルト CCSID として、LOCALCCSID システム初期設定パラメーターを使用します。これは、CICS でサポートされる 1 バイトまたはマルチバイト EBCDIC CCSID でなければなりません。

スキーマ・レベルがサポートされていません

イベント・バインディング *error_data* の
CICSEPSchemaVersion および
CICSEPSchemaRelease は、このリリースの
CICS でサポートされるスキーマ・レベルを超
えてはなりません。スキーマ・レベルは、
INQUIRE EVENTPROCESS コマンドを使用し
て確認できます。

USERTAG が無効です

1 から 8 文字からなるユーザー・タグの許容
される文字は A から Z、a から z、0 から
9、および _ です。ブランク文字を先頭にしたり、
埋め込んだりすることはできません。(どの
ような場合でも) 名前の先頭に 0-9、_、または
文字 *xml* を使用することはできません。

EP アダプター名が無効です

イベント・バインディング XML の
eventAdapterName が無効です。アダプター名
には、前述の *userTag* と同じ制限がありま
す。

無効なフィルター数値

値がフィルター数値述部に対して無効です。

EP アダプター・セット名が無効です

イベント・バインディング XML の
eventAdapterSetName が無効です。アダプタ
ー・セット名には、前述の *userTag* と同じ制
限があります。

CICSEPSchemaVersionが無効です

指定される 1 から 2 文字の文字列は数字のみ
(つまり 0 から 9) で構成され、1 から 99 の
範囲である必要があります。

CICSEPSchemaReleaseが無効です

指定される 1 から 2 文字の文字列は数字のみ
(つまり 0 から 9) であり、0 から 99 の範囲
である必要があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に
作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベ
ント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージの原因としては、イベ
ント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生
じていることが考えられます。イベント・バインディ
ングが CICS イベント・バインディング・エディターを使
用して作成された場合、このメッセージは CICS コード
にエラーがあることを示している可能性があります。関
連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、

CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調
べます。バンドルをインストールする先の CICS システ
ムのイベント処理スキーマと照らし合わせて、イベ
ント・バインディングを検証します。イベント・バイン
ディングを修正し、バンドルを破棄して再インストールし
ます。

モジュール: DFHECRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *bundle*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=LOCALCCSID *SIT* パラメーターはサポートされてい
ません、
2=イベント・バインディング・スキーマ・レベルがサポ
ート外、
3=イベント・バインディング USERTAG が無効です、
4=EP アダプター名が無効です、
5=無効なフィルター数値、
6=EP アダプター・セット名が無効です、
7=CICSEPSchemaVersion が無効です、
8=CICSEPSchemaRelease が無効です

7. *error_data*

宛先: CECO

DFHEC1016 *date time applid* **EVENTBINDING**
evbname **from BUNDLE bundle installed**
successfully, replacing a previously
installed version.

説明: BUNDLE *bundle* から *evbname* という
EVENTBINDING が正常にインストールされました。
以前にインストールされた同名の EVENTBINDING か
ら置き換えられました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHECRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *bundle*

宛先: CECO

DFHEC1022 *date time applid* **Event emission failed for EVENTBINDING *evbname* because the EPADAPTER *adapterName* is unavailable.**

説明: EVENTBINDING *evbname* のイベント発行は、EPADAPTER *adapterName* が使用不可であるかインストールされていないため、実行できません。

EP アダプターがインストールされて使用可能になるまで、このイベント・バインディングのイベントは発行されません。

システムの処置: 処理を続行します。

EP アダプターが使用不可で、発行モードが同期の場合、このイベント・バインディングのイベントをキャプチャーすると、次の同期点でキャプチャー側の作業単位はバックアウトされます。

ユーザーの処置: EPADAPTER をインストールして使用可能にします。イベントが不要な場合は、EVENTBINDING を使用不可にします。

モジュール: DFHECEC、DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *adapterName*

宛先: CECO

DFHEC1023 *date time applid* **EVENTBINDING *evbname* which defines one or more system events references EPADAPTER *adapterName* which specifies transactional events.** トランザクション・システム・イベントはサポートされていません。

説明: トランザクション・システム・イベントはサポートされていません。

システムの処置: 処理は続行されますが、EVENTBINDING *evbname* によって定義されたすべてのシステム・イベントは破棄されます。

ユーザーの処置: EPADAPTER *epadapter* の定義を訂正して、トランザクションのオプションを除去します。あるいは、EVENTBINDING *evbname* 内のシステム・イベントを、イベントがトランザクションであると指定されていない EPADAPTER を参照する新規イベント・バ

インディングに移動します。

モジュール: DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *adapterName*

宛先: CECO

DFHEC1024 *date time applid* **EVENTBINDING *evbname* which defines one or more system events references EPADAPTER *adapterName* which specifies synchronous event emission.** システム・イベントで同期イベント出力はサポートされていません。

説明: 同期システム・イベントはサポートされていません。

システムの処置: 処理は続行されますが、EVENTBINDING *evbname* によって定義されたすべてのシステム・イベントは破棄されます。

ユーザーの処置: EPADAPTER *epadapter* の定義を訂正して、非同期イベントを指定します。あるいは、EVENTBINDING *evbname* 内のシステム・イベントを、非同期イベントが指定されている EPADAPTER を参照する新規イベント・バインディングに移動します。

モジュール: DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *adapterName*

宛先: CECO

DFHEC1026 *applid* 重大エラーの後、CEPF はイベント処理を停止しようとしています。

説明: 以前に報告されたエラーが原因で CEPF タスクが終了し、再始動しました。

システムの処置: CEPF は EP ドメインにディスパッチャー・キューのドレーンを指示し、イベント処理が停止します。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コードにエ

DFHEC1027 • DFHEC1029

ラーの可能性があることを示しています。SET EVENTPROCESS コマンドを発行すると、イベント処理を再開できます。問題が解決しない場合、この問題を完全に解決するには IBM のサポートが必要かもしれません。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEC1027 *date time applid* **Event emission failed for EVENTBINDING *evbname* because the EPADAPTERSET *adaptersetName* is unavailable.**

説明: EVENTBINDING *evbname* のイベント発行は、EPADAPTERSET *adaptersetName* が使用不可であるかインストールされていないため、実行できません。

EP アダプター・セットがインストールされて使用可能になるまで、このイベント・バインディングのイベントは発行されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: EPADAPTERSET をインストールして使用可能にします。イベントが不要な場合は、EVENTBINDING を使用不可にします。

モジュール: DFHECEC、DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *evbname*

5. *adaptersetName*

宛先: CECO

DFHEC1028 *date time applid* **Event emission failed for EVENTBINDING *evbname* because the EPADAPTER *adapterName* specified in EPADAPTERSET *adaptersetName* is unavailable.**

説明: EVENTBINDING *evbname* のイベント発行は、EPADAPTERSET *adaptersetName* に指定された EPADAPTER *adapterName* が使用不可であるかインストールされていないため、実行できません。

EP アダプターがインストールされて使用可能になるま

で、このイベント・バインディングのイベントは発行されません。

同期発行用に構成されたが正常に発行されていないイベント処理のイベントが原因で、発信元の作業単位は次の同期点でバックアウトされます。

システムの処置: 処理を続行します。

EP アダプターが使用不可で、発行モードが同期の場合、このイベント・バインディングのイベントをキャプチャーすると、次の同期点でキャプチャー側の作業単位はバックアウトされます。

ユーザーの処置: EPADAPTER をインストールして使用可能にします。イベントが不要な場合は、EVENTBINDING を使用不可にします。

モジュール: DFHECEC、DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *evbname*

5. *adapterName*

6. *adaptersetName*

宛先: CECO

DFHEC1029 *date time applid* **EVENTBINDING *evbname* defines one or more system events for EPADAPTER *adapterName* which specifies synchronous event emission and is referenced by EPADAPTERSET *adaptersetName*.**

説明: 同期システム・イベントはサポートされていません。

システムの処置: 処理は続行されますが、EPADAPTERSET *adaptersetName* に指定された EPADAPTER *adapterName* の EVENTBINDING *evbname* によって定義されたすべてのシステム・イベントは破棄されます。

ユーザーの処置: EPADAPTER *adapterName* の定義を訂正して、非同期イベントを指定します。あるいは、EVENTBINDING *evbname* 内のシステム・イベントを、EPADAPTER に非同期イベントが指定されている EPADAPTERSET を参照する新規イベント・バインディングに移動します。

モジュール: DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *adapterName*
6. *adaptersetName*

宛先: CECO

DFHEC1030 *date time applid* **EVENTBINDING**
evbname **defines one or more system**
events for EPADAPTER *adapterName*
which specifies transactional events
and is referenced by EPADAPTERSET
adaptersetName.

説明: トランザクション・システム・イベントはサポートされていません。

システムの処置: 処理は続行されますが、EPADAPTERSET *adaptersetName* に指定された EPADAPTER *adapterName* の EVENTBINDING *evbname* によって定義されたすべてのシステム・イベントは破棄されます。

ユーザーの処置: EPADAPTER *adapterName* の定義を訂正して、トランザクションのオプションを除去します。あるいは、EVENTBINDING *evbname* 内のシステム・イベントを、EPADAPTER にトランザクションのイベントが指定されていない EPADAPTERSET を参照する新規イベント・バインディングに移動します。

モジュール: DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *adapterName*
6. *adaptersetName*

宛先: CECO

DFHEC1031 *date time applid* **Event emission failed**
for EVENTBINDING *evbname* **because**
one or more EPADAPTERs in the
EPADAPTERSET *adaptersetName* **are**
invalid.

説明: EVENTBINDING *evbname* は、EPADAPTERSET *adaptersetName* に指定された 1 つ以上の EPADAPTER に問題があるため、実行できません。内部障害が発生したため、CICS は無効な EPADAPTER の名前をメッセージ

DFHEC1028、DFHEC1029、または DFHEC1030 で報告できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常、これは getmain 障害によって発生します。無効な EPADAPTER 名について詳しくは、CICS トレースを参照してください。

モジュール: DFHECEC、DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. *adaptersetName*

宛先: CECO

DFHEC1032 *date time applid* **Event emission for**
EVENTBINDING *evbname* **has been**
successful after previous failure(s) to
emit an event through {EPADAPTER |
EPADAPTERSET} name.

説明: EP アダプター・リソースが更新され、EVENTBINDING *evbname* に定義されたイベントが正常に発行されました。以前にメッセージ DFHEC1022、DFHEC1023、DFHEC1024、DFHEC1027、DFHEC1028、DFHEC1029、DFHEC1030、DFHEC1031 (複数可) で報告されたエラーは解決しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHECEC、DFHECSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *evbname*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=EPADAPTER,
2=EPADAPTERSET

6. *name*

宛先: CECO

DFHEC2100 *applid* Program DFHECRP cannot be found.

説明: CICS は、イベント・キャプチャー再始動プログラム (DFHECRP) にリンクできません。

CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメントで連結されたデータ・セットで DFHECRP を検出できません。

システムの処置: CICS の初期設定が終了して、メッセージ DFHSI1521 が出され、ダンプがとられます。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントの区分データ・セットに DFHECRP を入れます。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEC3100 *date time applid* An error (code *X'code'*) has occurred during creation of capture specification *cs_name* in event binding *evb_name*.

説明: イベント・キャプチャー仕様 *cs_name* の作成中にエラーが発生しました。コード *X'code'* は、エラーを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID であり、ここでエラーが検出されました。以下に例を示します。

- 35AE パック 10 進数の変換中に変換エラーが発生しました。
- 35B6 コマンド応答フィルターに指定された値が正しくありません。
- 35B7 マスクの長さが正しくありません - 比較用に提供されたデータは、フィルターでターゲット・データ・タイプが許可するデータ長より長いです。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イ

ベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'code'*
5. *cs_name*
6. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3101 *date time applid* Invalid or unsupported codepage (codepage) found in capture specification *cs_name* in event binding *evb_name*.

説明: 指定されたコード・ページを CICS CCSID (コード化文字セット ID) に変換するときに問題が発生しました。指定されたコード・ページは CICS でサポートされていないか、あるいは無効な名前です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。イベント・バインディングはインストールされません。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: キャプチャー・データのイベント・バインディングに指定されているコード・ページを確認します。コード・ページが CICS 資料にサポート対象として記載されていること、およびそのコード・ページが正しく入力されていることを確認してください。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *codepage*
5. *cs_name*
6. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3102 *date time applid Invalid API Command (command) specified in capture specification cs_name in event binding evb_name.*

説明: 無効な API コマンドがイベント・バインディング XML 構成ファイルに指定されたため、バインディングを CICS にインストールできませんでした。

システムの処置: イベント・バインディングのインストールは拒否されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *command*
5. *cs_name*
6. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3103 *date time applid Invalid comparison operator (code) specified in capture specification cs_name in event binding evb_name.*

説明: 無効な演算子がイベント・バインディング XML 構成ファイルに指定されました。演算子は、指定されたフィルター・データを実行時の API パラメーターと比較するときに使用されます。この演算子が、当該パラメ

ーターで期待されるタイプではありません。有効な演算子は、以下のとおりです。

- EQ 等しい
- NEQ 等しくない
- GT/LT より大/より小
- GTE/LTE より大か等しい/より小か等しい
- EXS/NEX 存在する/存在しない
- SW/NSW 次で始まる/次で始まらない
- OFF フィルターが非アクティブ

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *code*
5. *cs_name*
6. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3104 *date time applid {PRE_API | POST_API} event point command in capture specification cs_name in event binding evb_name is not supported.*

説明: イベント・バインディング *evb_name* のキャプチャー仕様 *cs_name* に指定された *command* は、イベントが使用可能ではありません (イベントがプレ API コマンドまたは ポスト API コマンドとして使用可能ではありません)。これは、要求されたロケーションで CICS がこのフィルタリングを実行できないことを意味します。すべての CICS API 呼び出しがビジネス・イベント・フィルタリング用に公開されているとは限りません。また、公開されている CICS API 呼び出しでも、API 呼び出しの実行前または実行後のどちらかしかフィルタリング用に公開されていない可能性があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 イベント・バインディングは作成されません。

例外応答はこの機能の呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、そのイベント・バインディングが含まれるバンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=PRE_API,
2=POST_API

5. *command*
6. *cs_name*
7. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3105 *date time applid Invalid data type(datatype) was specified in capture specification cs_name in event binding evb_name.*

説明: 無効なデータ・タイプがイベント・バインディング XML 構成ファイルに指定されました。データ・タイプは、指定されたフィルター・データを実行時の API パラメーターと比較するときに使用されます。このデータ・タイプが、当該パラメーターで期待されるタイプではありません。有効なデータ・タイプは、以下のとおりです。

- CHAR 文字データ
- CHARZ ヌル (2 進ゼロ) 終了文字データ
- HEX 16 進エンコードされたバイナリー・データ (例: 'F1F2F3')
- HEXZ ヌル (2 進ゼロ) 終了の 16 進エンコードされたバイナリー・データ
- UHWORD 符号なしハーフワード数値
- UFWORD 符号なしフルワード数値
- SHWORD 符号付きハーフワード数値
- SFWORD 符号付きフルワード数値
- PACKED パック 10 進数
- ZONED ゾーン 10 進数
- HEXFLOAT 16 進浮動小数点
- BINFLOAT 2 進浮動小数点
- DECFLOAT 10 進浮動小数点

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 イベント・バインディングはインストールされません。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *datatype*
5. *cs_name*
6. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3106 *date time applid Invalid capture data source (source) in capture specification cs_name in event binding evb_name.*

説明: イベント・バインディング内のキャプチャーされるデータに対して、無効なソースが指定されました。フィルター述部が一致した場合にデータをキャプチャーできるソースは、イベント・バインディング・スキーマにリストされています。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。イベント・バインディングはインストールされません。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター

MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *source*
5. *cs_name*
6. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3107 *date time applid Invalid EIBAID value (aiddata) specified in context filter for capture specification cs_name in event binding evb_name.*

説明: イベント・バインディング内の EIBAID フィルターに、無効なマスク値が指定されました。有効な値は、以下のとおりです。

DFHENTER, DFHCLEAR, DFHPPF1, DFHPPF2, DFHPPF3, DFHPPF4, DFHPPF5, DFHPPF6, DFHPPF7, DFHPPF8, DFHPPF9, DFHPPF10, DFHPPF11, DFHPPF12, DFHPPF13, DFHPPF14, DFHPPF15, DFHPPF16, DFHPPF17, DFHPPF18, DFHPPF19, DFHPPF20, DFHPPF21, DFHPPF22, DFHPPF23, DFHPPF24, DFHPA1, DFHPA2, DFHPA3, DFHOPID, DFHMSRE, DFHTRIG, DFHPEN, DFHCLRP, DFHSTRF.

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。イベント・バインディングはインストールされません。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *aiddata*
5. *cs_name*
6. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3108 *date time applid Invalid keyword (keyword) specified in event capture specification cs_name in event binding evb_name.*

説明: 指定されたコマンド・タイプのパラメーターとして検出できないキーワードがキャプチャー仕様で指定されました。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *keyword*
5. *cs_name*
6. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3110 *date time applid Invalid filter length of 0 specified in event capture specification cs_name in event binding evb_name.*

説明: キャプチャー仕様のフィルターの 1 つに、長さゼロが指定されています。これは、「存在する」または「存在しない」以外のすべてのフィルターで無効です。

システムの処置: イベント・バインディングのインストールは拒否されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、イベント・バインディング XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。イベント・バインディングが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EC ドメイン・メッセージ・ログを調べます。イベント・バインディングを訂正し、再インストールしてください。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cs_name*
5. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3111 *date time applid The decimal floating point facility (DFP) is not installed, but is required for capture specification cs_name in event binding evb_name.*

説明: イベント・バインディング *evbname* のキャプチャー仕様 *csname* は 10 進浮動小数点 (DFP) 数の使用を指定していますが、10 進浮動小数点機能がインストールされていません。

システムの処置: イベント・バインディングのインストールは拒否されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

ユーザーの処置: イベント処理で 10 進浮動小数点を使

用するには、10 進浮動小数点機能をインストールする必要があります。これはオプションのハードウェア機能です。

10 進浮動小数点が必要な場合は、10 進浮動小数点機能をインストールし、イベント・バインディングを再インストールします。

10 進浮動小数点が必要な場合は、別のデータ・タイプを使用するようにプログラムおよびイベント・バインディングを変更し、イベント・バインディングを再インストールします。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cs_name*
5. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC3112 *date time applid* **The binary floating point facility (BFP) is not installed, but is required for capture specification *cs_name* in event binding *evb_name*.**

説明: イベント・バインディング *evbname* のキャプチャー仕様 *csname* は 2 進浮動小数点 (BFP) 数の使用を指定していますが、2 進浮動小数点機能がインストールされていません。

システムの処置: イベント・バインディングのインストールは拒否されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

ユーザーの処置: イベント処理で 2 進浮動小数点を使用するには、2 進浮動小数点機能をインストールする必要があります。これはオプションのハードウェア機能です。

2 進浮動小数点が必要な場合は、2 進浮動小数点機能をインストールし、イベント・バインディングを再インストールします。

2 進浮動小数点が必要な場合は、別のデータ・タイプを使用するようにプログラムおよびイベント・バインディングを変更し、イベント・バインディングを再インストールします。

モジュール: DFHECEI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cs_name*
5. *evb_name*

宛先: CECO

DFHEC4006 E *date time applid tranid* **Transaction start EP adapter failed to emit an event to transaction *tranid* for event binding *evbname*. START TRANSID failed with RESP=*resp* and RESP2=*resp2*.**

説明: イベント処理トランザクション開始アダプターは、イベント・バインディング *evbname* のイベントをトランザクション *tranid* に発行するために使用された START TRANSID コマンドから、CICS EIB RESP *resp* および RESP2 *resp2* を受け取りました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AEEO で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、イベント定義または EP アダプター構成内のエラーが原因である可能性が高いです。RESP 値および RESP2 値を使用して、エラーの原因を突き止めてください。以下の点について確認します。

- このイベントに指定されたトランザクションが CICS に定義されていて、有効である
- システム ID (指定されている場合) は有効であり、ターゲット・システムへの接続が定義されていて、使用可能である
- ユーザー ID (指定されている場合) は有効であり、取り消されておらず、セキュリティがアクティブである

モジュール: DFHECEAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *trandid*
6. *evbname*
7. *resp*
8. *resp2*

宛先: CECO

DFHEC4007 E *date time applid trandid* **Transaction start EP adapter failed to emit an event to transaction *trandid* for event binding *evbname*. START TRANSID failed with RESP=*resp* and RESP2=*resp2*.**

説明: イベント処理トランザクション開始アダプターは、イベント・バインディング *evbname* のイベントをトランザクション *trandid* に発行するために使用された START TRANSID コマンドから、CICS EIB RESP *resp* および RESP2 *resp2* を受け取りました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AEEO で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、トランザクション実行時の CICS 環境内の問題が原因である可能性が高いです。RESP 値および RESP2 値を使用して、エラーの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHECEAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trandid*
6. *evbname*
7. *resp*
8. *resp2*

宛先: CECO

DFHEC4008 *date time applid trandid* **TSQ EP adapter failed to emit an event to queue *queueName* for event binding *evbname*. WRITEQ TS returned with RESP=*resp* RESP2=*resp2*.**

説明: イベント処理 TSQ アダプターは、イベント・バインディング *evbname* のイベントを TSQueue

queueName に発行するために使用された WRITEQ TS コマンドから CICS EIB RESP *resp* および RESP2 *resp2* を受け取りました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AEEO で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、トランザクション実行時の CICS 環境内の問題が原因である可能性が高いです。CICS 資料で WRITEQ TS 条件を確認し、トレースを調べて、コマンドが失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHECEAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *queueName*
6. *evbname*
7. *resp*
8. *resp2*

宛先: CECO

DFHEC4009 *date time applid trandid* **TSQ EP Adapter failed to emit an event to queue *queueName* for event binding *evbname* because the queue is not defined as recoverable.**

説明: TS キュー *queueName* がリカバリー可能と定義されていないため、TSQ EP アダプターはイベント・バインディング *evbname* のイベントを発行できませんでした。同期トランザクション・イベントでは、リカバリー可能な TS キューが必要です。一致する TSMODEL が RECOVERY(YES) を指定している場合、TS キューはリカバリー可能です。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: キューの TSMODEL リソース定義を訂正するか、作成してインストールします。同名の TS キューが既にある場合はそれを削除して、キャプチャー・トランザクションを再実行します。

モジュール: DFHECEAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *queue_name*
6. *evbname*

宛先: CECO

DFHEC4010 *date time applid tranid TSQ EP Adapter failed to emit an event to queue queue_name for event binding evbname because the queue is defined as recoverable.*

説明: TS キュー *queue_name* が正しく定義されていないため、TSQ EP アダプターはイベント・バインディング *evbname* のイベントを発行できませんでした。リカバリー不能でなければなりません、リカバリー可能になっています。同期非トランザクション・イベントでは、リカバリー不能な TS キューが必要です。一致する TSMODEL が RECOVERY(YES) を指定しているか、一致する TST TYPE=RECOVERY 項目がある場合、TS キューはリカバリー可能です。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: TSMODEL リソース定義を訂正または削除します。同名の TS キューが既にある場合はそれを削除して、キャプチャー・トランザクションを再実行します。

モジュール: DFHECEAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *queue_name*
6. *evbname*

宛先: CECO

DFHEC4111 *date time applid tranid WebSphere MQ EP adapter failed to emit an event to queue queue_name for event binding evbname. WebSphere MQ function MQPUT1 returned with completion code comp_code.*

説明: イベント処理 WebSphere MQ イベント・アダプターから発行された WebSphere MQ 関数呼び出しが失敗し、ゼロ以外の戻りコードが設定されました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、トランザクション実行時の CICS または WebSphere MQ 環境内の問題が原因である可能性が高いです。「IBM MQ メッセージ」マニュアルで WebSphere MQ の理由コードを確認し、トレースを調べて、WebSphere MQ 関数呼び出しが失敗した理由を突き止めてください。この問題を解決するには、IBM のサポートが必要かもしれません。

モジュール: DFHECEAM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *queue_name*
6. *evbname*
7. *comp_code*

宛先: CECO

DFHEC4113 *date time applid tranid WebSphere MQ EP adapter failed to emit an event to queue queue_name for event binding evbname. WebSphere MQ function MQPUT1 returned with completion code comp_code.*

説明: イベント処理 WebSphere MQ イベント・アダプターから発行された WebSphere MQ 関数呼び出しが失敗し、ゼロ以外の戻りコードが設定されました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、イベント定義または EP アダプター構成内のエラーが原因である可能性が高いです。「IBM MQ メッセージ」マニュアルで WebSphere MQ の理由コードを確認し、トレースを調べて、WebSphere MQ 関数呼び出しが失敗した理由を突き止

めてください。この問題を解決するには、IBM のサポートが必要かもしれません。

モジュール: DFHECEAM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *queue_name*
6. *evbname*
7. *comp_code*

宛先: CECO

DFHEC4117 *date time applid trandid* **The WebSphere MQ EP adapter failed to emit an event for capture specification *csname* in event binding *evbname* to queue *queueName*. イベントのサイズである *buffer_length* バイトは、キューの最大メッセージ長を超えています。**

説明: 発行されるイベントのサイズが、サポートされる最大メッセージ長を超えています。

システムの処置: EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ・キューの最大メッセージ長は、発行されるイベントに対応できるだけの十分な大きさにしてください。キューの定義および管理について詳しくは、「WebSphere MQ for z/OS 概説および計画ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHECEAM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *queueName*
8. *buffer_length*

宛先: CECO

DFHEC4118 *date time applid trandid* **The TSQ EP adapter truncated an event for capture specification *csname* in event binding *evbname* to queue *queueName*. The event's size of *buffer_length* bytes exceeds the maximum length for TS queues.**

説明: 発行されるイベントのサイズが、一時記憶域キューでサポートされる最大メッセージ長を超えています。

システムの処置: イベントは切り捨てられ、処理は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 発行されるイベントの長さが、一時記憶域キューで許可される最大サイズ 32763 バイトより小さくなるようにしてください。

モジュール: DFHECEAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *queueName*
8. *buffer_length*

宛先: CECO

DFHEC4119 *date time applid trandid* **TSQ EP adapter failed to emit an event to queue *queueName* for event binding *evbname*. WRITEQ TS returned with RESP=*resp* RESP2=*resp2*.**

説明: イベント処理 TSQ アダプターは、イベント・バインディング *evbname* のイベントを TSQueue *queueName* に発行するために使用された WRITEQ TS コマンドから、CICS EIB RESP *resp* および RESP2 *resp2* を受け取りました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、イベント定義または EP アダプター構成内のエラーが原因である可能性が高いです。CICS 資料で WRITEQ TS 条件を確認し、トレー

スを調べて、コマンドが失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHECEAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *queue name*
6. *evbname*
7. *resp*
8. *resp2*

宛先: CECO

DFHEC4120 *date time applid tranid* The HTTP EP Adapter failed to emit event for capture specification *csname* in event binding *evbname* using URIMAP *urimap_name*. function returned with RESP=*resp* RESP2=*resp2*.

説明: HTTP EP アダプターから発行された WEB コマンド呼び出しが失敗し、ゼロ以外の戻りコードが設定されました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AEEO で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、トランザクション実行時の CICS 環境またはターゲット HTTP サーバー内の問題が原因である可能性が高いです。「CICS アプリケーション開発のリファレンス」の『CICS API コマンド』セクションで WEB コマンドの RESP 値および RESP2 値を確認し、トレースを調べて、WEB コマンド呼び出しが失敗した理由を突き止めてください。

コマンドが WEB CONVERSE で、RESP が TIMEOUT の場合、接続はタイムアウトになりました。ターゲット・サーバーが応答していないか、メッセージに指定された *tranid* が使用する PROFILE 上の RTIMOUT 値よりも長い時間がかかっています。

この問題を解決するには、IBM のサポートが必要かもしれません。

モジュール: DFHECEAH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *urimap_name*
8. *function*
9. *resp*
10. *resp2*

宛先: CECO

DFHEC4121 *date time applid tranid* The HTTP EP Adapter failed to emit an event for capture specification *csname* in event binding *evbname* using URIMAP *urimap_name*. Server responded with HTTP status code *http_status_code*.

説明: HTTP EP アダプターは、HTTP POST 要求に対する応答として、URIMAP *urimap_name* の対象となる HTTP サーバーから HTTP エラー・コード *http_status_code* を受け取りました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AEEO で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、トランザクション実行時の CICS 環境または HTTP サーバー内の問題が原因である可能性が高いです。CICS トレースや、HTTP サーバーからの診断を調べて、HTTP POST が失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHECEAH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *urimap_name*
8. *http_status_code*

宛先: CECO

DFHEC4122 *date time applid tranid* **The HTTP EP Adapter failed to emit event for capture specification *csname* in event binding *evbname* using URIMAP *urimap_name*. function returned with RESP=*resp* RESP2=*resp2*.**

説明: HTTP EP アダプターから発行された WEB コマンド呼び出しが失敗し、ゼロ以外の戻りコードが設定されました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、イベント・バインディングの EP アダプター・セクション内、または URIMAP 内の構成エラーである可能性が高いです。「CICS アプリケーション開発のリファレンス」の『CICS API コマンド』セクションで WEB コマンドの RESP 値および RESP2 値を確認し、トレースを調べて、WEB コマンド呼び出しが失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHECEAH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *urimap_name*
8. *function*
9. *resp*
10. *resp2*

宛先: CECO

DFHEC4123 *date time applid tranid* **The HTTP EP Adapter failed to emit an event for capture specification *csname* in event binding *evbname* using URIMAP *urimap_name*. Server responded with HTTP status code *http_status_code*.**

説明: HTTP EP アダプターは、HTTP POST 要求に対する応答として、URIMAP *urimap_name* の対象となる HTTP サーバーから HTTP エラー・コード *http_status_code* を受け取りました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、イベント・バインディングの EP アダプター・セクション内、または URIMAP 内の構成エラーが原因である可能性が高いです。CICS トレースや、HTTP サーバーからの診断を調べて、HTTP POST が失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHECEAH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *csname*
6. *evbname*
7. *urimap_name*
8. *http_status_code*

宛先: CECO

DFHEC4130 *date time applid tranid* **The TDQ EP adapter failed to emit an event to TDQUEUE *queue_name* for event binding *evbname*. WRITEQ TD returned with RESP=*resp* RESP2=*resp2*.**

説明: イベント処理一時データ (TDQ) アダプターは、イベント・バインディング *evbname* のイベントを TDQUEUE *queue_name* に発行するために使用された WRITEQ TD コマンドから、CICS EIB RESP *resp* および RESP2 *resp2* を受け取りました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。発行モードが同期の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点で、異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、トランザクション実行時の CICS 環境内の問題が原因である可能性が高いです。CICS 資料で WRITEQ TD 条件を確認し、トレースを調べて、コマンドが失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHECEAQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *queueName*
6. *evbname*
7. *resp*
8. *resp2*

宛先: CECO

DFHEC4131 *date time applid tranid* **The TDQ EP Adapter failed to emit an event to TDQUEUE *queueName* for event binding *evbname* because the queue is not defined as recoverable.**

説明: TDQUEUE *queueName* がリカバリー可能と定義されていないため、一時データ (TDQ) EP アダプターはイベント・バインディング *evbname* のイベントを発行できませんでした。同期トランザクション・イベントでは、リカバリー可能な TDQUEUE が必要です。TDQUEUE が TYPE(INTRA) として定義され、さらに RECOVSTATUS(LOGICAL) または RECOVSTATUS(PHYSICAL) が指定されている場合、TDQUEUE はリカバリー可能です。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。そのトランザクションは、異常終了コード AECC で異常終了します。

ユーザーの処置: キューの TDQUEUE リソース定義を訂正し再インストールして、キャプチャー・トランザクションを再実行します。

モジュール: DFHECEAQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *queueName*
6. *evbname*

宛先: CECO

DFHEC4132 *date time applid tranid* **The TDQ EP Adapter failed to emit an event to TDQUEUE *queueName* for event binding *evbname* because the queue is defined as recoverable.**

説明: TDQUEUE *queueName* が正しく定義されていないため、一時データ (TDQ) EP アダプターはイベント・バインディング *evbname* のイベントを発行できませんでした。リカバリー不能でなければなりませんが、リカバリー可能になっています。同期非トランザクション・イベントでは、リカバリー不能な TD キューが必要です。TDQUEUE が TYPE(INTRA) として定義され、さらに RECOVSTATUS(LOGICAL) または RECOVSTATUS(PHYSICAL) が指定されている場合、TDQUEUE はリカバリー可能です。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。そのトランザクションは、異常終了コード AECC で異常終了します。

ユーザーの処置: TDQUEUE リソース定義を訂正し再インストールして、キャプチャー・トランザクションを再実行します。

モジュール: DFHECEAQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *queueName*
6. *evbname*

宛先: CECO

DFHEC4133 *date time applid tranid* **The TDQ EP adapter failed to emit an event to TDQUEUE *queueName* for event binding *evbname*. WRITEQ TD returned with RESP=*resp* RESP2=*resp2*.**

説明: イベント処理一時データ (TDQ) アダプターは、イベント・バインディング *evbname* のイベントを TDQUEUE *queueName* に発行するために使用された WRITEQ TDS コマンドから、CICS EIB RESP *resp* および RESP2 *resp2* を受け取りました。

システムの処置: イベントは発行されていません。例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。発行モードが同期状態の場合、キャプチャー・トランザクションは次の同期点において異常終了コード ASP7 で異常終了します。

ユーザーの処置: これは、イベント定義または EP アダプター構成内のエラーが原因である可能性が高いです。CICS 資料で WRITEQ TD 条件を確認し、トレースを調べて、コマンドが失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHECEAQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *queueaname*
6. *evbname*
7. *resp*
8. *resp2*

宛先: CECO

DFHEC4134 *date time applid trandid* **The TDQ EP Adapter failed to emit an event to TDQUEUE *queueaname* for event binding *evbname* because the queue is not defined for output.**

説明: 区画外 TDQUEUE *queueaname* は出力用に定義されたデータ・セット TYPEFILE(OUTPUT) に関連付けられていないため、一時データ (TDQ) EP アダプターはイベント・バインディング *evbname* のイベントを発行できませんでした。

システムの処置: イベントは発行されていません。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。

ユーザーの処置: TDQUEUE リソース定義を訂正し再インストールして、キャプチャー・トランザクションを再実行します。

モジュール: DFHECEAQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHEJnnnn メッセージ

DFHEJ0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性のあることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード

3. *applid*
4. *trandid*
5. *queueaname*
6. *evbname*

宛先: CECO

DFHEC4135 *date time applid trandid* **The TDQ EP Adapter failed to emit an event to TDQUEUE *queueaname* for event binding *evbname* because the queue is not defined.**

説明: TDQUEUE *queueaname* が定義されていないため、一時データ (TDQ) EP アダプターはイベント・バインディング *evbname* のイベントを発行できませんでした。

システムの処置: イベントは発行されていません。EP アダプター・プログラムは、異常終了コード AECC で異常終了します。

ユーザーの処置: 必要な TDQUEUE リソース定義をインストールして、キャプチャー・トランザクションを再実行します。

モジュール: DFHECEAQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *queueaname*
6. *evbname*

宛先: CECO

(例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラ

ー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEJ**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHEJ0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。

す。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEJ**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHEJ0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。そのため、ここではエラーではないことがあります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要がありますが、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEJ**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHEJ0103 *applid* Enterprise Java ドメインの初期化に失敗しました。(Enterprise Java domain initialization has failed.)

説明: Enterprise Java (EJ) ドメインは正しく初期化されませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。

す。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもドメインが CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示される場合、または Enterprise Java ドメインを最大限に利用しないと続行できない場合は、制御されたシャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEJDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEJ0501A *applid* DFHEJDIR のファイル定義で RECOVERY(BACKOUTONLY) が指定されていません。(The file definition for DFHEJDIR does not specify RECOVERY(BACKOUTONLY).) ファイルのオープン要求が失敗しました。(File open request failed.)

説明: DFHEJDIR ファイルをオープンするための要求が出されました。このファイルの RDO ファイル定義で RECOVERY(BACKOUTONLY) が指定されていないため、要求は失敗しました。

システムの処置: ファイル DFHEJDIR は閉じたままです。

ユーザーの処置: DFHEJDIR の RDO ファイル定義を RECOVERY(BACKOUTONLY) に変更します。このファイルと CorbaServer を再インストールします。

モジュール: DFHEJDI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEJ0601 W *DATE TIME APPLID*
JRAS_informational_message

説明: CICS メッセージとして認識されていない通知メッセージが、CICS JVM で実行中の Java クラスによって発行されました。挿入部 *JRAS_informational_message* には、発行されたメッセージが入ります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストと共に、メッセージを発行したクラスおよびメソッドの名前を示す例外トレースが作成されます。

IBM 提供のクラスによってメッセージが発行された場合、この問題を解決するには IBM のサポートが必要かもしれません。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: com.ibm.cics.ras.CICSMessageService

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *JRAS_informational_message*

宛先: CJRM

DFHEJ0602 W *DATE TIME APPLID*
JRAS_warning_message

説明: CICS メッセージとして認識されていない警告メッセージが、CICS JVM で実行中の Java クラスによって発行されました。挿入部 *JRAS_warning_message* には、発行されたメッセージが入ります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストと共に、メッセージを発行したクラスおよびメソッドの名前を示す例外トレースが作成されます。

IBM 提供のクラスによってメッセージが発行された場合、この問題を解決するには IBM のサポートが必要かもしれません。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: com.ibm.cics.ras.CICSMessageService

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *JRAS_warning_message*

宛先: CJRM

DFHEJ0604 E *DATE TIME APPLID*
JRAS_error_message

説明: CICS メッセージとして認識されていないエラー・メッセージが、CICS JVM で実行中の Java クラスによって発行されました。挿入部 *JRAS_error_message* には、発行されたメッセージが入ります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストと共に、メッセージを発行したクラスおよびメソッドの名前を示す例外トレースが作成されます。

IBM 提供のクラスによってメッセージが発行された場合、この問題を解決するには IBM のサポートが必要かもしれません。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: com.ibm.cics.ras.CICSMessageService

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *JRAS_error_message*

宛先: CJRM

DFHEJ0701 I *date time applid userid CorbaServer*
CorbaServer_name has been created.

説明: CorbaServer は、CorbaServer 制御ブロックのチェーンに入れることで、Enterprise Java ドメインに追加されました。ただし、CorbaServer は解決されるまで使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。CorbaServer は、後の段階で解決されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0702 E *date time applid userid CorbaServer*
CorbaServer_name has not been created.

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* は Enterprise Java ドメインに追加されませんでした。このエラーは恐らく、重複する CorbaServer を追加しようとしたことが原因です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーの原因を示す例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0706 E *date time applid userid The EJ*
Resolution Transaction transaction_name
did not attach.

説明: CorbaServer が作成された後、別のトランザクションで解決プロセスが実施されます。しかし、このトランザクションが正常に接続されませんでした。次の CorbaServer が作成されるときに (この障害が再発しなければ) 解決トランザクションの接続がもう一度実行され、それによってこの障害が修正される可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 接続エラーの原因を示す例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *transaction_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0711 I *date time applid userid CorbaServer*
CorbaServer_name has been deleted.

説明: CorbaServer 制御ブロックは削除され、EJ ドメイン内に保持されている CorbaServer のチェーンから除去されました。その結果として、CorbaServer は使用できなくなりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0723 E *date time applid userid CorbaServer*
CorbaServer_name has failed Resolution
during Shelf creation.

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* の解決に失敗しました。解決プロセスは、この CorbaServer のシェルフを作成しようとしていました。

システムの処置: CorbaServer は DISABLED 状態になり、使用できません。

ユーザーの処置: CorbaServer のシェルフ・ディレクトリが存在すること、および CICS 領域 ID がそのディレクトリに対する読み取りおよび書き込み権限を持っていることを確認します。問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

処理を続行するには、CorbaServer *CorbaServer_name* を再度使用可能にする必要があります。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0724 E *date time applid userid Catalog read
for update during Resolution
processing for CorbaServer
CorbaServer_name failed.*

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* のグローバル・カタログの更新中に障害が発生しました。

システムの処置: CorbaServer のグローバル・カタログ内の状態は更新されません。

ユーザーの処置: CorbaServer を破棄して再インストールしてください。問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0725 E *date time applid userid Catalog
Resolution processing for CorbaServer
CorbaServer_name returned bad data.*

説明: 解決が発生したことを記録するための CorbaServer *CorbaServer_name* のグローバル・カタログ更新は、更新読み取り操作で無効なデータが返されたときに障害が発生しました。

システムの処置: CorbaServer のグローバル・カタログ内の状態は更新されません。

ユーザーの処置: CorbaServer リソースを破棄して再インストールする必要があります。問題が解決しない場合は、トレース機能を使用して問題の原因を突き止める必要があるかもしれません。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0726 E *date time applid userid Catalog
Resolution processing for CorbaServer
CorbaServer_name returned an invalid
CorbaServer.*

説明: 解決が発生したことを記録するための CORBASERVER *CorbaServer_name* のグローバル・カタログ更新は、更新読み取り操作で無効な CORBASERVER が返されたときに障害が発生しました。

システムの処置: CorbaServer のグローバル・カタログ内の状態は更新されません。

ユーザーの処置: CORBASERVER リソースを破棄して再インストールする必要があります。

問題が解決しない場合は、トレース機能を使用して問題の原因を突き止める必要があるかもしれません。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0729 E *date time applid userid State updating
failed while creating the shelf during
Resolution processing for CorbaServer
CorbaServer_name.*

説明: 解決プロセスの状況を記録するための CorbaServer *CorbaServer_name* 状態の更新は失敗しました。解決プロセスは、この CorbaServer のシェルフを作成しようとしていました。

システムの処置: CorbaServer *CorbaServer* が正しくない状態で処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS を実行している領域 ID が、シェルフ・ディレクトリを作成する zFS ディレクトリ構造領域への書き込み権限を持っていることを確認します。さらに、ディレクトリを作成するための十分なフリー・スペースがあることを確認します。

CorbaServer を破棄して再インストールする必要があります。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJCG

DFHEJ0736 E • DFHEJ0745 E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0736 E *date time applid userid* **Resolution for CorbaServer *CorbaServer_name* (related to Object Store operations on file *file_name* as store *store_name*) failed.**

説明: オブジェクト保管ファイル *file_name* に関わる CorbaServer *CorbaServer_name* の解決に失敗しました。

システムの処置: CorbaServer は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: 問題は、VSAM ファイル *file_name* のファイル定義がインストールされていないか、あるいは正しく定義されていないことであると考えられます。ファイルとファイル定義の両方が適切な属性を使用して作成されていることを確認してください。ファイルのリソース定義がインストールされていることも確認してください。ファイル DFHEJDIR および DFHEJOS のサンプル定義がグループ DFHEJVS、DFHEJCF、および DFHEJVR にあります。

リソースを破棄して再インストールしてください。問題が解決しない場合は、トレース・サービスを使用して、失敗したオブジェクト保管操作を見つける必要があるかもしれません。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*
6. *file_name*
7. *store_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0739 E *date time applid userid* **State updating failed while opening the Object Store during Resolution processing for CorbaServer *CorbaServer_name*.**

説明: 解決プロセスの状況を記録するための

CorbaServer *CorbaServer_name* の状態の更新は失敗しました。解決プロセスは、オブジェクト保管ファイルのオープンに失敗しました。

システムの処置: CorbaServer が正しくない状態で処理を続行します。

ユーザーの処置: CorbaServer を破棄して再インストールする必要があります。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0745 E *date time applid userid* **Error found during install of CorbaServer *CorbaServer_name* because TCIPSERVICE *tcipservice* is not installed.**

説明: CORBASERVER *CorbaServer_name* をインストールしていましたが、指定された TCIPSERVICE *tcipservice* がインストールされていません。

システムの処置: CORBASERVER はインストールされません。処理を続行します。

ユーザーの処置: CORBASERVER 定義を調べて、正しい TCIPSERVICE が指定されていることを確認します。次に CORBASERVER を削除し、まず TCIPSERVICE をインストールしてから、CORBASERVER のインストールを再試行します。

TCIPSERVICE をリスナー領域にインストールする必要があります。さらに、CORBASERVER がインストールされている場所 (AOR) が別の領域である場合は、AOR にもインストールする必要があります。CORBASERVER が別の領域にある場合、リスナーはシステム初期設定テーブル (SIT) に IIOPLISTENER=(YES) が指定され、AOR は IIOPLISTENER=(NO) が指定されていなければなりません。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CEJL

DFHEJ0746 E *date time applid userid* **Error found during install of CorbaServer**
CorbaServer_name **because**
TCIPSERVICE *tcipSERVICE* **named in the CorbaServer does not have a matching AUTHENTICATE parameter.**

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* をインストールしていましたが、指定された TCIPSERVICE TCIPSERVICE には TCIPSERVICE と同じ認証値がありません。

システムの処置: CorbaServer はインストールされますが、使用不可になります。処理を続行します。

ユーザーの処置: CORBASERVER 定義を調べて、正しい TCIPSERVICE が指定されていることを確認してから、TCIPSERVICE の認証パラメーターを訂正します。CorbaServer を削除し、その後、TCIPSERVICE および CorbaServer を再インストールします。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CEJL

DFHEJ0747 E *date time applid userid* **Error found during install of CorbaServer**
CorbaServer_name **because**
TCIPSERVICE *tcipSERVICE* **named in the CorbaServer for SSLUNAUTH has SSL(NO) set. SSL(YES|CLIENTAUTH)**
 に設定されている必要があります。

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* をインストールしていましたが、SSLUNAUTH に指定された TCIPSERVICE TCIPSERVICE は SSL 設定が NO になっています。指定された TCIPSERVICE は、SSL 値が YES または CLIENTAUTH でなければなりません。

システムの処置: CorbaServer は使用不可になります。処理を続行します。

ユーザーの処置: CORBASERVER 定義を調べて、正しい TCIPSERVICE が指定されていることを確認してから、TCIPSERVICE の SSL パラメーターを YES を CLIENTAUTH に変更します。CorbaServer を削除し、その後、TCIPSERVICE および CorbaServer を再インストールします。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CEJL

DFHEJ0748 E *date time applid userid* **Error found during install of CorbaServer**
CorbaServer_name **because**
TCIPSERVICE *tcipSERVICE* **named in the CorbaServer for UNAUTH has SSL(YES|CLIENTAUTH) set. SSL(NO)**
 に設定されている必要があります。

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* をインストールしていましたが、UNAUTH に指定された TCIPSERVICE TCIPSERVICE は SSL 設定が YES または CLIENTAUTH になっています。指定された TCIPSERVICE は、SSL 値が NO でなければなりません。

システムの処置: CorbaServer は使用不可になります。処理を続行します。

ユーザーの処置: CORBASERVER 定義を調べて、正しい TCIPSERVICE が指定されていることを確認してから、TCIPSERVICE の SSL パラメーターを NO に変更します。CorbaServer を削除し、その後、TCIPSERVICE および CorbaServer を再インストールします。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

DFHEJ0751 I • DFHEJ0754 I

5. *CorbaServer_name*
6. *tcpiplibservice*

宛先: CEJL

DFHEJ0751 I *date time applid userid* **About to wait for the availability of CorbaServer**
CorbaServer_name.

説明: 機能は、CorbaServer が使用可能でなければなら
ないため、CORBASERVER が使用可能になる
(INSERVICE 状態に入る) まで待機しようとしていま
す。

このメッセージは通常、CorbaServer の解決が進行中
(または保留中) のときに表示されます。ただし、この時
間の後、CorbaServer に関連する項目の整合性を処理し
ているときに発生する場合があります。

システムの処置: CorbaServer が INSERVICE になる
まで、トランザクションは待ち状態に入ります。

待機が整合性処理に関連する場合、この遅延は短くなる
可能性があります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0752 E *date time applid userid* **CorbaServer**
CorbaServer_name availability wait
ended in error as the CorbaServer was
not defined.

説明: 使用可能待機中に CorbaServer が見つかりませ
んでした。恐らく、CorbaServer が使用可能になるのを
別のトランザクションが待っている間に、CEMT を介
して CorbaServer が削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0753 I *date time applid userid* **CorbaServer**
CorbaServer_name availability wait
ended successfully.

説明: CorbaServer は使用可能になったため、使用可能
待機は正常に終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0754 I *date time applid userid* **CorbaServer**
CorbaServer_name availability wait
ended in error because the
CorbaServer was in the UNUSABLE
state.

説明: CorbaServer は UNUSABLE 状態に入ったた
め、使用可能になることはありません。そのため、使用
可能待機はこのエラー状態で終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0755 I *date time applid userid CorbaServer*
CorbaServer_name availability wait
ended in error because the
CorbaServer was in the DISABLED
state.

説明: CorbaServer は DISABLED 状態に入ったため、使用可能になることはありません。そのため、使用可能待機はこのエラー状態で終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0756 E *date time applid userid CorbaServer*
CorbaServer_name availability wait
ended in error because an error
occurred during the wait.

説明: CorbaServer の使用可能待機はエラー終了になりました。これは恐らく、CEMT を介してトランザクションがキャンセルされたことが原因です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0761 I *date time applid userid CorbaServer*
CorbaServer_name **has been set to be**
enabled.

説明: CORBASERVER は使用可能に設定されています。この操作はすぐには完了しない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0762 I *date time applid userid CorbaServer*
CorbaServer_name **has been set to be**
disabled.

説明: CorbaServer は使用不可に設定されています。この操作はすぐには完了しない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJCG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0901 I *date time applid userid DJar DJar_name*
within CorbaServer *CorbaServer_name*
has been created.

説明: DJar が作成され、DJar のチェーンに追加されました。ただし、解決されるまで使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。DJar は、後の段階で解決されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*
6. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0902 E *date time applid userid DJar DJar_name within CorbaServer CorbaServer_name was not created.*

説明: DJar *DJar_name* が作成されませんでした。通常、このエラーは、既存の DJar と同じ名前の DJar を作成しようとしたことによって発生します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: jar ファイルおよび DJar リソースを名前変更し、操作をやり直してください。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*
6. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0906 E *date time applid userid The EJ Resolution Transaction transaction_name did not attach.*

説明: DJar が作成された後、別のトランザクションで解決プロセスが実施されます。しかし、このトランザクションが正常に接続されませんでした。次の DJar が作成されるときに（この障害が再発しなければ）解決トランザクションの接続がもう一度実行され、それによってこの障害が修正される可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 接続エラーの原因を示す例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *transaction_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0921 I *date time applid userid DJar DJar_name within CorbaServer CorbaServer_name was successfully discarded.*

説明: DJar は、DJar のチェーンから正常に削除されました。DJar *DJar_name* に含まれている Bean も削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*
6. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0934 E *date time applid userid DJar DJar_name within CorbaServer CorbaServer_name has failed Resolution while it was being copied to the Shelf.*

説明: DJar *DJar_name* の解決で、シェルフへの DJar のコピーに関して障害が発生しました。

システムの処置: DJar は UNUSABLE 状態になり、使用できません。

ユーザーの処置: CICS 領域 ID が zFS シェルフ・ディレクトリーへの書き込み権限を持っていること、および使用できる十分なフリー・スペースがあることを確認します。

DJar *DJar_name* を破棄して再インストールする必要があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*
6. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0935 E *date time applid userid* **Catalog read for update during Resolution processing for DJar DJar_name failed.**

説明: 解決が発生したことを記録するための更新読み取り操作が実行されたときに、DJar DJar_name のグローバル・カタログ項目の更新は失敗しました。DJar のグローバル・カタログ内の状態は更新されていないため、次のウォーム・リスタート時に処理は期待どおりにはなりません。

システムの処置: DJar は UNUSABLE 状態になり、使用できません。

ユーザーの処置: DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0936 E *date time applid userid DJar DJar_name* **Catalog Resolution processing returned bad data.**

説明: 解決が発生したことを記録するための DJar DJar_name のグローバル・カタログ項目の更新は、更新読み取り操作で無効なデータが返されたときに障害が発生しました。DJar のグローバル・カタログ内の状態は更新されていないため、次のウォーム・リスタート時に処理は期待どおりにはなりません。

システムの処置: DJar は UNUSABLE 状態になり、使用できません。

ユーザーの処置: DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0937 E *date time applid userid DJar DJar_name* **Catalog Resolution processing returned an invalid DJar.**

説明: 解決が発生したことを記録するための DJar DJar_name のグローバル・カタログ項目の更新は、更新読み取り操作で無効な DJar が返されたときに障害が発生しました。DJar のグローバル・カタログ内の状態は更新されていないため、次のウォーム・リスタート時に処理は期待どおりにはなりません。

システムの処置: DJar は UNUSABLE 状態になり、使用できません。

ユーザーの処置: DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0940 E *date time applid userid* **State updating failed while copying the DJar to the shelf during Resolution processing for DJar DJar_name.**

説明: DJar DJar_name に関して、解決処理の状況を記録するための状態の更新に失敗しました。解決プロセスは、DJar をシェルフにコピーしようとしていました。

システムの処置: DJar が正しくない状態で処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS 領域 ID が zFS シェルフ・ディレクトリーへの書き込み権限を持っていること、および書き込み操作を正常に実行できるだけの十分なスペースがあることを確認します。

DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0946 E *date time applid userid* **The Beans contained within DJar *DJar_name* within CorbaServer *CorbaServer_name* were not correctly confirmed during Bean Resolution.**

説明: DJar *DJar_name* 内のすべての Bean が正しくロードされました。ただし、解決中にこの DJar 内の Bean を使用可能にするときにエラーが発生しました。

恐らく DJar や Bean 自体とは関係のないシステム・エラーが発生しました。

システムの処置: DJar は UNRESOLVED 状態になり、使用できません。DJar に関連付けられている Bean の削除が試行されます。

ユーザーの処置: DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*
6. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0947 E *date time applid userid* **Beans contained within DJar *DJar_name* within CorbaServer *CorbaServer_name* are invalid and unusable.**

説明: 解決の Bean コピー・フェーズで DJar *DJar_name* から Bean をインストールするときにエラーが発生しました。

この理由として最も可能性が高いのは、CorbaServer の

スコープ内に重複する Bean を 2 回インストールしようとしたことです。つまり、重複する Bean が複数の DJar で発生します。

システムの処置: DJar 内の部分的に処理された Bean が削除され、DJar は UNRESOLVED 状態になります。

ユーザーの処置: CorbaServer スコープ内で DJar の Bean がこのエラーを引き起こした理由を調べてください。最も起こりそうな場合では、CorbaServer のスコープ内に DJar の内容がまだ存在しないことを確認します (例えば、Bean をコピーし、その後、両方のコピーを使用します)。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*
6. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0948 I *date time applid userid* **Deletion of Beans contained within DJar *DJar_name* within CorbaServer *CorbaServer_name* succeeded.**

説明: 解決プロセスで DJar *DJar_name* から Bean をロードしているときにエラーが発生したため、Bean が削除されています。この削除は正常に終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: Bean がインストールに失敗した理由は、前のメッセージで説明されています。

DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*
6. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0949 E *date time applid userid* **Deletion of Beans contained within DJar DJar_name within CorbaServer CorbaServer_name failed.**

説明: DJar DJar_name の Bean 解決プロセスでエラーが発生したため、Bean が削除されています。しかし、この Bean の削除は失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: Bean がインストールに失敗した理由は、前のメッセージで説明されています。

DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*
6. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0951 E *date time applid userid* **State updating failed while loading Beans from the DJar during Resolution processing for DJar DJar_name.**

説明: DJar DJar_name に関して、Bean 解決処理の状況を記録するための状態の更新に失敗しました。Bean 解決プロセスは、DJar から Bean をロードする処理で構成されます。

システムの処置: DJar が正しくない状態で処理を続行します。

ユーザーの処置: DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0961 I *date time applid userid* **About to wait for the availability of DJar DJar_name.**

説明: 機能は、DJar が使用可能でなければならないため、DJar が INSERVICE 状態に入って使用可能になるまで待機しようとしています。

このメッセージは通常、DJar の待機中または解決処理中に生成されます。ただし、DJar に関連する項目の整合性処理中に発生する場合があります。

システムの処置: トランザクションは、DJar が INSERVICE になるまで待ち状態に入ります。

待機の原因が整合性処理である場合、この遅延は小さくなる可能性が高いです。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0962 I *date time applid userid* **DJar DJar_name availability wait ended in error because the DJar was not defined.**

説明: 使用可能待機中に DJar が見つかりませんでした。恐らく、DJar が使用可能になるのを別のトランザクションが待っている間に、CEMT を介して DJar が削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0963 I *date time applid userid DJar DJar_name*
availability wait ended successfully.

説明: DJar は使用可能になったため、使用可能待機は正常に終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0964 I *date time applid userid DJar DJar_name*
availability wait ended in error
because the DJar was in the
UNUSABLE state.

説明: DJar は UNUSABLE 状態に入ったため、使用可能になることはありません。そのため、使用可能待機はこのエラー状態で終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0965 I *date time applid userid DJar DJar_name*
availability wait ended in error
because the DJar was in the
UNRESOLVED state.

説明: DJar は UNRESOLVED 状態に入ったため、使用可能になることはありません。そのため、使用可能待機はこのエラー状態で終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0966 E *date time applid userid DJar*
DJar_name **availability wait ended in**
error because an error occurred during
the wait.

説明: DJar の使用可能待機はエラー終了になりました。これは恐らく、CEMT を介してトランザクションがキャンセルされたことが原因です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *DJar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0971 I *date time applid userid* **About to wait**
for the availability of all Beans
contained within DJars associated with
CorbaServer *CorbaServer_name.*

説明: 機能は、CorbaServer に関連する DJar 内に含まれるすべての Bean が存在しなければなりません。そのため、CorbaServer に関連するすべての DJar が解決される (それらすべてが INSERVICE 状態に入る) まで待機しようとしています。

システムの処置: CorbaServer に関連するすべての DJar が INSERVICE 状態に入るまで、トランザクションは待ち状態に入ります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0972 I *date time applid userid All Beans contained within DJars associated with CorbaServer CorbaServer_name are now available for use.*

説明: この CorbaServer に関連付けられた DJar 内に含まれるすべての Bean が存在します。これは、CorbaServer およびすべての関連 DJar が INSERVICE 状態にあることを意味します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ0973 E *date time applid userid Bean wait for DJars associated with CorbaServer CorbaServer_name failed.*

説明: この CorbaServer に関連付けられた DJar 内に含まれる一部の Bean が存在しないまま、待機が終了しました。これは恐らく、DJar または CorbaServer 処理における前のエラーの副次作用です。

これは、CorbaServer が削除されたか UNUSABLE 状態であること、DJar が UNUSABLE または UNRESOLVED 状態であること、あるいは待機が CEMT を介してキャンセルされたことの副次作用と考えられます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 待機がエラー終了する原因となった操作の失敗を示す例外トレース項目を調べます。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1101 E *date time applid userid Bean Bean_name from DJar DJar_name within CorbaServer CorbaServer_name has not been created because the CorbaServer is absent.*

説明: DJar *DJar_name* に含まれ、指定された CorbaServer に関連付けられている Bean は、CorbaServer *CorbaServer_name* が見つからなかったため、作成されていません。CorbaServer は恐らく、DJar 解決の Bean ロード・フェーズの進行中に、CEMT を介して削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: CorbaServer *CorbaServer_name* が存在する場合は、所有 DJar を削除して再インストールする必要があります。

モジュール: DFHEJBG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Bean_name*
6. *DJar_name*
7. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1102 E *date time applid userid Bean Bean_name from DJar DJar_name within CorbaServer CorbaServer_name has not been created because the CorbaServer is not in the correct state.*

説明: 指定された DJar に含まれ、指定された CorbaServer に関連付けられている Bean は、CorbaServer が INSERVICE 状態でなかったため、作成されていません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: DJar を削除する必要があります。

モジュール: DFHEJBG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHEJ1103 E • DFHEJ1106 E

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Bean_name*
6. *DJar_name*
7. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1103 E *date time applid userid Bean*
Bean_name from DJar DJar_name within
CorbaServer CorbaServer_name has not
been created because the DJar is
absent.

説明: DJar *DJar_name* に含まれ、指定された CorbaServer に関連付けられている Bean は、DJar が見つからなかったため、作成されていません。DJar は恐らく、DJar 解決の Bean コピー・フェーズの進行中に、CEMT を介して削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJBG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Bean_name*
6. *DJar_name*
7. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1104 E *date time applid userid Bean*
Bean_name from DJar DJar_name within
CorbaServer CorbaServer_name has not
been created because the DJar is not
in the correct state.

説明: 指定された DJar に含まれ、指定された CorbaServer に関連付けられている Bean は、DJar が RESOLVING 状態でなかったため、作成されていません。

システムの処置: 処理を続行します。

これは、ある種の内部競合状態を示しており、発生すべきではありません。

ユーザーの処置: IBM サービス担当員に問い合わせる必要がある可能性があります。

モジュール: DFHEJBG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Bean_name*
6. *DJar_name*
7. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1105 E *date time applid userid Bean*
Bean_name from DJar DJar_name within
CorbaServer CorbaServer_name has not
been created because the Bean is
already present.

説明: 指定された DJar に含まれ、指定された CorbaServer に関連付けられている Bean は、既に定義されていたため、作成されていません。これは恐らく、既に定義されている DJar のコピーを処理しようとしていたことを意味します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: DJar を削除する必要があります。

モジュール: DFHEJBG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Bean_name*
6. *DJar_name*
7. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1106 E *date time applid userid Bean*
Bean_name from DJar DJar_name within
CorbaServer CorbaServer_name has not
been created because the Bean is
already present in the namespace of
the CorbaServer.

説明: 指定された DJar に含まれ、指定された CorbaServer に関連付けられている Bean は、

CorbaServer のネーム・スペース内で既に認識されていたため、作成されていません。

これは恐らく、既に定義されている DJar のコピーを処理しようとしていたことを意味します。

あるいは、同名の Bean が、異なる 2 つの DJar 内に存在する可能性もあります。CorbaServer のスコープ内で、CorbaServer に関連付けられているすべての DJar 内のすべての Bean が固有でなければなりません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: DJar を削除する必要があります。

モジュール: DFHEJBG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Bean_name*
6. *DJar_name*
7. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1107 E *date time applid userid Bean
Bean_name from DJar DJar_name within
CorbaServer CorbaServer_name has not
been created.*

説明: 指定された DJar に含まれ、指定された CorbaServer に関連付けられている Bean は、作成されていません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常は、前のメッセージにエラーの原因が示されます。DJar を削除する必要があります。

モジュール: DFHEJBG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Bean_name*
6. *DJar_name*
7. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1301 *applid Enterprise Java* ドメインのエレメント部分が初期化されませんでした。
(The elements portion of the Enterprise Java Domain did not initialize.) Enterprise Java 機能は使用できません。(Enterprise Java function is unavailable.)

説明: CorbaServer、DJar、および Bean を扱う Enterprise Java (EJ) ドメインの部分は正しく初期化されていません。この EJ 機能は使用できません。

このメッセージは、EJ ドメインのエレメント部分の作成中にシステム・エラーが発生したことを示します。この処理は CorbaServer、DJar、および Bean を操作します。これは、EJ ゲートが作成されなかったか、必要な領域の GETMAIN が失敗したことを意味します。ウォーム・リスタート時に CorbaServer または DJar のリカバリーに失敗した可能性もあります。

システムの処置: すべての EJ エレメント機能が使用できません。ただし、EJ ドメインの他のコンポーネント (オブジェクト保管など) は使用できる可能性があります。

ユーザーの処置: これはシステム関連障害であり、EJ ドメインがインストールに失敗した理由は例外トレース項目に示されます。

モジュール: DFHEJGE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEJ1510 E *date time applid userid CorbaServer
CorbaServer_name previously failed
Resolution and was found in the
INITING state.*

説明: 前の解決トランザクション (CEJR) が失敗し、CorbaServer は INITING 状態のままになっていました。

システムの処置: CorbaServer は、使用されないようにするため、DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: 前のメッセージに前回のエラーの原因が示されます。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHEJ1513 E • DFHEJ1521 E

4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1513 E *date time applid userid CorbaServer
CorbaServer_name previously failed
Resolution and was found in an
intermediate state.*

説明: 前の解決トランザクション (CEJR) が失敗し、CorbaServer は中間状態のままになっていました。

システムの処置: CorbaServer は、使用されないようにするため、DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、CorbaServer 解決が失敗した理由を突き止めます。CorbaServer を破棄するか、再び使用可能にする必要があります。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1518 E *date time applid userid CorbaServer
CorbaServer_name is UNUSABLE.*

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* は、CorbaServer の関連コンポーネントが配置されるシェルフの作成を伴う解決プロセスの部分を完了できませんでした。

システムの処置: CorbaServer は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: CICS 領域 ID がシェルフ zFS ディレクトリ構造への書き込み権限を持っていることを確認します。

CorbaServer を破棄して再インストールする必要があります。

問題が解決しない場合は、トレース機能を使用して問題の原因を突き止める必要があるかもしれません。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1520 I *date time applid userid CorbaServer
CorbaServer_name is now accessible.*

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* は、CorbaServer 関連オブジェクト保管ファイルのオープンを伴う解決プロセスの部分を正常に完了しました。CorbaServer *CorbaServer_name* がアクセス可能になりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1521 E *date time applid userid CorbaServer
CorbaServer_name is DISABLED.*

説明: CorbaServer *CorbaServer_name* は、CorbaServer 関連オブジェクト保管ファイルのオープンを伴う解決プロセスの部分を完了できませんでした。

システムの処置: CorbaServer は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: CorbaServer を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1530 E *date time applid userid* **DJar**
Djar_name **previously failed Resolution**
and was found in the INITING state.

説明: 前の解決トランザクション (CEJR) が失敗し、DJar は INITING 状態のままになっていました。

システムの処置: DJar は、使用されないようにするため、UNUSABLE 状態になります。

ユーザーの処置: 通常は、前のメッセージに前回のエラーの原因が示されます。DJar を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Djar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1533 E *date time applid userid* **DJar**
Djar_name **previously failed Resolution**
and was found in the RESOLVING
state.

説明: 前の解決トランザクション (CEJR) が失敗し、DJar は RESOLVING 状態のままになっていました。

システムの処置: DJar は、使用されないようにするため、UNRESOLVED 状態になります。

ユーザーの処置: 通常は、前のメッセージに前回のエラーの原因が示されます。CorbaServer を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Djar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1538 E *date time applid userid* **DJar**
Djar_name **and the Beans it contains**
are UNUSABLE.

説明: DJAR *Djar_name* は解決に失敗しました。解決プロセスは、この DJar をシェルフにコピーしようとして失敗しました。

システムの処置: DJar は UNUSABLE 状態になっています。

ユーザーの処置: CICS 領域 ID が zFS シェルフ・ディレクトリー構造への書き込み権限を持っていることを確認します。CorbaServer を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Djar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1540 I *date time applid userid* **DJar** *Djar_name*
and the Beans it contains are now
accessible.

説明: DJar *Djar_name* は正しく解決されました。これは、解決プロセスでこの DJar からすべての Bean が正常にロードされたことを意味します。DJar *Djar_name* およびその DJar に含まれるすべての Bean はアクセス可能になり、使用できるようになりました。このメッセージは、Bean が公表されていることを意味するものではありません。DJar が公表されている場合、CICS は Bean の要求を受け入れる準備ができています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Djar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1541 E *date time applid userid* **DJar**
Djar_name **and the Beans it contains**
are UNRESOLVED.

説明: DJAR *Djar_name* は解決に失敗しました。この DJar 内に含まれる Bean が無効だったため、解決プロセスは DJar から Bean をロードしようとして失敗しました。

システムの処置: DJar は UNRESOLVED 状態になります。

ユーザーの処置: 前のメッセージで、DJar 内のエラーについて説明されているはずです。このエラーを修正し、DJar を再インストールしてください。

モジュール: DFHEJIO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Djar_name*

宛先: CEJL

DFHEJ1801 E *DATE TIME APPLID userid* **The EJ**
domain is unable to run the
Enterprise Java event URM: module. 理由(*X'reason'*)

説明: EJ ドメインは、Enterprise Java イベント URM *module* を呼び出そうとしましたが、*reason* と指定されたコードで失敗しました。

システムの処置: 例外トレース・ポイント 6000 が発行されます。エンタープライズ・リソース処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題の考えられる原因およびその解決策の指針については、以下の理由コードの意味に関するリストに示してあります。

理由 意味と解決策

1

ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で関係する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に関係されるようにしてください。

2

ユーザー出口プログラムにリソース定義がありません。ユーザー出口プログラムの

PROGRAM リソース定義がインストールされていることを確認してください。

3

ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが DFHRPL DD ステートメントで連結されているデータ・セットのいずれかに含まれていて、正しい名前が設定されていることを確認してください。

4

ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

5

ユーザー出口プログラムが使用可能になっていません。以前のエラーが原因で CICS がプログラムを使用不可にしたか、あるいはプログラムが使用不可として定義されている可能性があります。

6

CICS は、他の何らかの理由によりユーザー出口プログラムをロードできません。トレースを使用して、DFHPGLU 呼び出しが失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *userid*
5. *module*
6. *X'reason'*

宛先: CEJL

DFHEJ5032 I *date time applid userid* **DJar** *Djar* **is**
having its contents automatically
published to the namespace.

説明: DJar の解決が完了し、稼働中になると、CICS は関連 CorbaServer の自動公表設定を確認します。自動公表が YES に設定されている場合、DJar はネーム・スペースに自動的に公表されます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Djar*

宛先: CEJL

DFHEJ5034 I *date time applid userid Scan completed for CorbaServer CorbaServer, no Djars created, no DJars updated.*

説明: 指定された CorbaServer に対して CorbaServer スキャンが完了しました。このメッセージは、スキャンされた *djardir* の内容に基づいて作成された新規 DJAR リソースの数を示します。また、*djardir* 内で *jar* ファイルの新規バージョンがディスカバーされたためにアップグレードされた DJar リソースの数も示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHEMnnnn メッセージ

DFHEM0001 *applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.*

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に

4. *userid*
5. *CorbaServer*

宛先: CEJL

DFHEJ5035 W *date time applid userid The pickup directory for CorbaServer CorbaServercould not be read.*

説明: CorbaServer スキャンで、ピックアップ・ディレクトリーを読み取れないことが検出されました。これは、領域が zFS ディレクトリーに対する読み取りアクセス権を持っていないことが原因である可能性があります。

システムの処置: スキャンが終了し、*djar* リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: このディレクトリーが存在すること、および読み取りアクセス権限が設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHEJDG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *CorbaServer*

宛先: CEJL

作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。 このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。 これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。ま

た、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEMDM、DFHEMEM。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHEM0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、

CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEMDM、DFHEMEM。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHEM0100I *applid* Event Manager initialization has started.

説明: これは、イベント・マネージャー・ドメインの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHEMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEM0101I *applid* Event Manager initialization has ended.

説明: イベント・マネージャー・ドメインの初期設定は正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHEMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEPnnnn メッセージ

DFHEP0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

に必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEPAD, DFHEPAS, DFHEPDM, DFHEPEV, DFHEPRL, DFHEPRM, DFHEPUE, DFHEPXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHEP0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行でき

ない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEPAD, DFHEPDM, DFHEPDS, DFHEPEV, DFHEPRL, DFHEPRM, DFHEPST, DFHEPSY, DFHEPUE, DFHEPXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHEP0101I *applid* Event Processing domain initialization has started.

説明: これは、イベント処理ドメインの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHEPDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEP0102I *applid* イベント処理ドメインの初期設定が終了しました。(Event Processing domain initialization has ended.)

説明: イベント処理ドメインの初期設定は正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHEPDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEP0113 *applid* CEPM is stopping Event Processing after a severe error.

説明: 以前に報告されたエラーが原因で CEPM タスクが終了し、再始動しました。

システムの処置: CEPM は EP ドメインにディスパッチャー・キューのドレーンを指示し、イベント処理が停止します。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。SET EVENTPROCESS コマンドを発行すると、イベント処理を再開できます。問題が解決しない場合、この問題を完全に解決するには IBM のサポートが必要かもしれません。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEP0114 *date time applid tranid* The EPADAPTER user ID *adapter_userid* is revoked, not valid, or not defined. EVENTBINDING *evbname* のイベントが破棄されました。

説明: イベント・バインディング *evbname* の EP アダプターのユーザー ID *adapter_userid* は取り消されたか、無効であるか、または定義されていません。

システムの処置: イベントは発行されていません。

ユーザーの処置: 意図した EP アダプター・ユーザー ID を訂正します。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *adapter_userid*
6. *evbname*

宛先: CEPO

DFHEP0115 *applid* Event Processing event dispatcher task limit reached.

説明: イベント処理ディスパッチャー・タスクに使用されるオープン TCB の上限に達しました。イベント処理

では、EP ディスパッチャーに使用されるオープン TCB の数は、MAXOPENTCBS 値の 3 分の 1 に制限されます。MAXOPENTCBS が指定されていない場合は、CICS 領域に対して指定されたタスクの最大数 (MXT 値) に基づき、式 $(2 * \text{MXT 値}) + 32$ を使用して、制限値が自動設定されます。

システムの処置: イベント処理イベント・キュー・サーバー・タスクは、新規ディスパッチャー・タスクを作成できませんが、ディスパッチされる新規イベントを既存のディスパッチャー・タスクに追加します。

ユーザーの処置: 構成されたイベント・アダプターがディスパッチャー・タスクによってリンクされる場合は、イベントのコンシューマーがイベントを処理できるようにします。MAXOPENTCBS または MXT (MAXOPENTCBS がデフォルトの場合) を大きくすると、イベント処理イベント・キュー・サーバーは、より多くのディスパッチャー・タスクを開始できるようになる可能性があります。

モジュール: DFHEPSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEP0116 *applid* **Event Processing event dispatcher task limit relieved.**

説明: イベント処理ディスパッチャーのタスク制限が解消されます。

システムの処置: イベント処理イベント・キュー・サーバー・タスクは、新規ディスパッチャー・タスクを作成して新規イベントを処理することができるようになりました。

ユーザーの処置: 構成されたイベント・アダプターがディスパッチャー・タスクによってリンクされる場合は、イベントのコンシューマーがイベントを処理できるようにします。イベント処理で使用するオープン TCB の数が過剰にならないようにしてください。イベント処理では、EP ディスパッチャーに使用されるオープン TCB の数は、MAXOPENTCBS 値の 3 分の 1 に制限されます。MAXOPENTCBS が指定されていない場合は、CICS 領域に対して指定されたタスクの最大数 (MXT 値) に基づき、式 $(2 * \text{MXT 値}) + 32$ を使用して、制限値が自動設定されます。MAXOPENTCBS または MXT (MAXOPENTCBS がデフォルトの場合) を小さくすると、イベント処理イベント・キュー・サーバーは、ディスパッチャー・タスクの数を制限できるようになります。

モジュール: DFHEPSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEP0117 *applid* **EPADAPTER** トランザクション ID *adapter_tranid* は使用不可または未定義です。**EVENTBINDING** *evbname* のイベントが破棄されました。

説明: イベント・バインディング *evbname* の EP アダプターのトランザクション ID *adapter_tranid* は使用不可であるか、定義されていません。

システムの処置: イベントは発行されていません。

ユーザーの処置: 意図した EP アダプター・トランザクション ID を定義します。トランザクションの定義については、「CICS Transaction Server for z/OS リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *adapter_tranid*

3. *evbname*

宛先: コンソール

DFHEP0118 *applid* **EPADAPTER** トランザクション ID *adapter_tranid* はリモートです。**EVENTBINDING** *evbname* のイベントが破棄されました。

説明: イベント・バインディング *evbname* の EP アダプターのトランザクション ID *adapter_tranid* は、この CICS 領域のリモートとして定義されています。

システムの処置: イベントは発行されていません。

ユーザーの処置: 意図した EP アダプター・トランザクション ID を、アプリケーション ID で識別される CICS 領域のローカルとして定義します。トランザクションの定義については、「CICS Transaction Server for z/OS リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *adapter_tranid*

3. *evbname*

宛先: コンソール

DFHEP0119 *date time applid Task trannum(tranid)*
Event Processing Global Event Queue
depth: number_events_queued High
Water Mark: events_queued_hwm.

説明: イベントは、処理のためにグローバル・イベント・キューに入れられます。グローバル・イベント・キューの深さとは、グローバル・イベント・キューに現在入れられているイベントの数です。最高水準点とは、グローバル・イベント・キューに入れられているイベントの最大数です。

システムの処置: CEPM タスクは、既存のイベントの処理中であるか、終了しました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *number_events_queued*
7. *events_queued_hwm*

宛先: CEPO

DFHEP0120 *date time applid tranid The EPADAPTER transaction ID adapter_tranid is defined to start the wrong program for this type of adapter. EVENTBINDING evbname* のイベントが破棄されました。

説明: イベント・バインディング *evbname* の EP アダプターのトランザクション ID *adapter_tranid* は、このタイプの EP アダプターに対して間違ったプログラムを開始するように定義されています。

システムの処置: イベントは発行されていません。

ユーザーの処置: 意図した EP アダプター・トランザクション ID がこのタイプのアダプターに対して正しいプログラムを開始するように定義します。トランザクションの定義については、「CICS Transaction Server for z/OS リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *adapter_tranid*
6. *evbname*

宛先: CEPO

DFHEP0121 *date time applid Synchronous event emission by EPADAPTER epadapter failed for an event from EVENTBINDING evbname. UOWはバックアウトされます。*

説明: EP アダプター *epadapter* によるイベント・バインディング *evbname* の同期イベント発行が失敗したため、作業単位 (UOW) がバックアウトされます。

同期発行用に構成されたが正常に発行されていないイベント処理イベントが原因で、発信元の作業単位は次の同期点でバックアウトされます。

システムの処置: 処理を続行しますが、次の同期点で作業単位はバックアウトされます。

ユーザーの処置: 前のメッセージと、トレース・テーブル内の例外項目に、イベントが発行されなかった理由と必要なユーザーの処理が示されます。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *epadapter*
5. *evbname*

宛先: CEPO

DFHEP0122 *applid EPADAPTER* トランザクション ID *adapter_tranid* は、CICS シャットダウン時に使用可能な状態になっていません。**EVENTBINDING** *evbname* のイベントが破棄されました。

説明: イベント・バインディング *evbname* の EP アダプターのトランザクション ID *adapter_tranid* は CICS シャットダウン中に実行するように定義されていません。

システムの処置: イベントは発行されていません。

ユーザーの処置: オプション SHUTDOWN (ENABLED) を指定するように EP アダプターのトランザクション ID *adapter_tranid* を再定義します。トランザクションの定義については、「CICS Transaction

Server for z/OS リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *adapter_tranid*
3. *evbname*

宛先: コンソール

DFHEP0123 *applid* EP ドメインは静止中ですが、
adapter_tasks EP アダプター・タスクは依然としてアクティブな状態になっています。

説明: EP ドメインは静止中ですが、EP アダプター・タスクは依然としてアクティブな状態になっています。CICS は、シャットダウン時にすべての EP アダプター・タスクが完了するのを最大 2 分間待ってから、静止を続行します。

システムの処置: CICS シャットダウンが続行されて、一部のイベントは失われる可能性があります。

ユーザーの処置: CICS ログおよび EP ドメイン・メッセージ・ログを調べて、EP アダプター・タスクがまだアクティブである理由を示すメッセージがないかを確認します。

モジュール: DFHEPEV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *adapter_tasks*

宛先: コンソール

DFHEP1000 *date time applid* Invalid parameter list
passed to EP domain module *modname*.

説明: 要求の処理中にイベント処理 (EP) ドメインのモジュール *modname* の呼び出しが行われましたが、パラメーター・リストが無効でした。これは、ストレージの上書きか、または呼び出し側コンポーネントでの内部エラーのためと考えられます。

システムの処置: 例外トレースが EP ドメインによって書き込まれ、システム・ダンプが取られ、進行中のタスクは異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、呼び出し側コンポーネントの障害を判別してください。

モジュール: DFHEPRL、DFHEPAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modname*

宛先: CEPO

DFHEP1001 *date time applid* EPADAPTER
adaptername from BUNDLE *bundle*
installed successfully.

説明: BUNDLE *bundle* から EPADAPTER *adaptername* が正常にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHEPAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptername*
5. *bundle*

宛先: CEPO

DFHEP1002 *date time applid* EPADAPTER
adaptername from BUNDLE *bundle*
discarded successfully.

説明: BUNDLE *bundle* から EPADAPTER *adaptername* が正常に破棄され、このシステムから除去されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHEPAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptername*
5. *bundle*

宛先: CEPO

DFHEP1003 *date time applid* **EPADAPTER** *epadapter*
from BUNDLE bundle installed
successfully, replacing a previously
installed version.

説明: BUNDLE *bundle* から *epadapter* という EPADAPTER が正常にインストールされました。以前にインストールされた同名の EPADAPTER から置き換えられました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHEPAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *epadapter*
5. *bundle*

宛先: CEPO

DFHEP1004 *date time applid* **EPADAPTERSET**
adaptersetname **from BUNDLE bundle**
installed successfully.

説明: BUNDLE *bundle* から EPADAPTERSET *adaptersetname* が正常にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHEPAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptersetname*
5. *bundle*

宛先: CEPO

DFHEP1005 *date time applid* **EPADAPTERSET**
adaptersetname **from BUNDLE bundle**
discarded successfully.

説明: BUNDLE *bundle* から EPADAPTERSET *adaptersetname* が正常に破棄され、このシステムから除去されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHEPAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptersetname*
5. *bundle*

宛先: CEPO

DFHEP1006 *date time applid* **EPADAPTERSET**
adaptersetname **from BUNDLE bundle**
installed successfully, replacing a
previously installed version.

説明: BUNDLE *bundle* から EPADAPTERSET *adaptersetname* が正常にインストールされました。以前にインストールされた同名の EPADAPTERSET から置き換えられました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHEPAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptersetname*
5. *bundle*

宛先: CEPO

DFHEP2001 *date time applid* **The CICS event processing domain failed to create EPADAPTER resource adapter in BUNDLE bundle because the EP adapter, which is of type adapterType and emission mode emitmode {, requires a program name. | , does not support transactional events. | , requires a transaction ID. | , is invalid or unrecognised. | , has an invalid or unsupported event format. | , has an unsupported combination of attributes. | , failed the surrogate user check for some unexpected reason.}**

説明: BUNDLE *bundle* 内で EPADAPTER *adapter* を作成する際、EP アダプター仕様に問題があったためにエラーが発生しました。EPADAPTER は、別の

EPADAPTER バンドル・パーツとしてインストールされているか、または同名の EVENTBINDING バンドル・パーツの一部としてインストールされています。EPADAPTER のタイプは *adapterType* であり、その発行モードは *emitmode* です。次の理由が考えられます。プログラム名が必要です

発行モードが同期の場合、カスタム EP アダプターにはプログラム名が必要です。

トランザクション・イベントをサポートしていません

EP アダプターは、イベントをリカバリー可能トランスポートに発行しないため、保証トランザクション・イベントには使用できません。トランザクション・イベントと同期発行モードは、この EP アダプター・タイプでは相互に排他的なオプションです。

トランザクション ID が必要です

発行モードが非同期の場合、カスタム・アダプターにはトランザクション ID が必要です。

無効であるか、認識されていません

EP アダプター・タイプ、発行モード、またはその両方が、このリリースの CICS によって認識されません。

無効または非サポートのイベント・フォーマットがあります

XML 解析機能によって返された EP アダプター構成コンテナ内のフォーマット・フィールドが無効であるか、EP アダプター・タイプでサポートされていません。

非サポートの属性の組み合わせがあります

発行モードが、このタイプの EP アダプターによってサポートされていません。

代理ユーザー検査中の予期しない理由

EP アダプターをインストールするユーザー ID は、EP アダプター構成で指定されたユーザー ID の代理検査を受けます。代理ユーザー検査は、予期しない何らかの理由で失敗しました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、EP アダプター作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これが別個にインストールされた EPADAPTER の場合、この状態は、EP アダプター XML 内のエラーまたは不整合が原因であると考えられます。EVENTBINDING の一部としてインストールされた場合、この状態は、イベント・バインディング XML の *eventDispatcherSpecification* セクション内の

エラーが原因であると考えられます。XML が CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成された場合、この状態は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムの適切なイベント処理スキーマと照らし合わせて、XML を検証します。XML を修正し、BUNDLE を破棄して再インストールします。

モジュール: DFHEPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adapter*
5. *bundle*
6. *adapterType*
7. *emitmode*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=, プログラム名が必要です。,

2=, トランザクション・イベントをサポートしていません。,

3=, トランザクション ID が必要です。,

4=, 無効であるか、認識されていません。,

5=, 無効または非サポートのイベント・フォーマットがあります。,

6=, 非サポートの属性の組み合わせがあります。,

7=, 予期しない何らかの理由で代理ユーザー検査に失敗しました。

宛先: CEPO

DFHEP2002 *date time applid* The CICS event processing domain failed to create the EPADAPTER resource *adaptername* in BUNDLE *bundle* because {the EP adapter name is invalid. | the XML data for the EP adapter could not be parsed. | the eventDispatcher is missing or invalid. | the configuration data is too long. | it is a duplicate of another EPADAPTER in the BUNDLE.}

説明: BUNDLE *bundle* 内で EPADAPTER *adaptername* を作成する際に、エラーが発生しました。EPADAPTER は、別の EPADAPTER バンドル・パーツとしてインストールされているか、または同名の EVENTBINDING バンドル・パーツの一部としてイン

ストールされています。次の理由が考えられます。

EP アダプター名が無効です。

1 から 32 文字の EP アダプター名に使用できる文字は、A-Z a-z 0-9 および _ です。ブランク文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることはできません。(どのような場合でも) 名前の先頭に 0-9、_、または文字 xml を使用することはできません。

EP アダプター用の **XML** データを解析できませんでした。

先行する DFHPInnnn メッセージに、問題の原因に関する詳細情報が記述されています。

eventDispatcher がない、または無効です

イベント・バインディングまたは EP アダプターの **eventDispatcher** セクションは、XML パーサーによって見つけることができません。

構成データが長すぎます

カスタム EP アダプターに指定された構成データが長すぎます。

別の **EPADAPTER** と重複しています

インストールしようとしている **EPADAPTER** は、以前と同じ **BUNDLE** からインストールされた **EPADAPTER** と同じ名前です。
EPADAPTER は、次のいずれかです。

- スタンドアロン: **BUNDLE** 内の別の **epadapter** パーツからインストールされます。
- 組み込み: バンドル内の **evbind** パーツから **EVENTBINDING** と共にインストールされます。**EPADAPTER** は、関連する **EVENTBINDING** と同じ名前です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、イベント・バインディング作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ **DFHME0116** が生成されます。

ユーザーの処置: これが別個にインストールされた **EPADAPTER** の場合、この状態は、EP アダプター XML 内のエラーまたは不整合が原因であると考えられます。**EVENTBINDING** の一部としてインストールされた場合、この状態は、イベント・バインディング XML の **eventDispatcherSpecification** セクション内のエラーが原因であると考えられます。XML が CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成された場合、この状態は、CICS コードにエラーがあるこ

とを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのイベント処理スキーマと照らし合わせて、XML を検証します。イベント・バインディングを修正し、**BUNDLE** を破棄して再インストールします。

モジュール: DFHEPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptername*
5. *bundle*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=EP アダプター名が無効です。 ,

2=EP アダプター用の XML データを解析できませんでした。 ,

3=eventDispatcherがない、または無効です。 ,

4=構成データが長すぎます。 ,

5=BUNDLE 内の別の EPADAPTER と重複しています。

宛先: CEPO

DFHEP2003 *date time applid* The CICS event processing domain failed to create the EPADAPTER resource *adaptername* in BUNDLE *bundle* because the {LOCALCCSID SIT parameter is not supported | EP adapter schema level is not supported | CICSEPSchemaVersion is invalid | CICSEPSchemaRelease is invalid}: *error_data*.

説明: **BUNDLE bundle** 内で **EPADAPTER adaptername** を作成する際に、エラーが発生しました。次の理由が考えられます。

LOCALCCSID SITパラメーターはサポートされていません

イベント処理は、文字データのコード・ページ変換のデフォルト CCSID として、**LOCALCCSID** システム初期設定パラメーターを使用します。これは、CICS でサポートされる 1 バイトまたはマルチバイト EBCDIC CCSID でなければなりません。

スキーマ・レベルがサポートされていません

EP アダプター *error_data* の
CICSEPSchemaVersion および

CICSEPSchemaRelease が、このリリースの CICS でサポートされるスキーマ・レベルを超えてはなりません。サポートされるスキーマ・レベルは、INQUIRE EVENTPROCESS コマンドを使用して確認できます。

CICSEPSchemaVersionが無効です

指定される 1 から 2 文字の文字列は数字のみ (つまり 0 から 9) で構成され、1 から 99 の範囲である必要があります。

CICSEPSchemaReleaseが無効です

指定される 1 から 2 文字の文字列は数字のみ (つまり 0 から 9) であり、0 から 99 の範囲である必要があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、EPADAPTER 作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この原因としては、EP アダプター XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。EP アダプターが CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成されていた場合は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。BUNDLE をインストールする先の CICS システムのイベント処理スキーマと照らし合わせて、EP アダプターを検証します。EP アダプターを訂正し、BUNDLE を破棄して再インストールします。

モジュール: DFHEPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptername*
5. *bundle*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=LOCALCCSID SIT パラメーターはサポートされていません,
2=EPアダプター・スキーマ・レベルがサポートされていません,
3=CICSEPSchemaVersion が無効です,
4=CICSEPSchemaRelease が無効です

7. *error_data*

宛先: CEPO

DFHEP2004 *date time applid* The CICS event processing domain failed to create EPADAPTER resource *adapter* in BUNDLE *bundle* because the EP adapter, which is of type *adapterType* and emission mode *emitmode*, has a Transaction User ID *tranuserid* that the bundle installation user ID *installuserid* is not authorized to use.

説明: バンドル・インストールのユーザー ID *installuserid* は、EP アダプター構成で指定されたトランザクション・ユーザー ID *tranuserid* の使用を許可されていません。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答がこのコンポーネントの呼び出し元に戻され、EP アダプター作成は終了します。

EP アダプター構成がイベント・バインディングに組み込まれている場合、イベント・バインディング作成は終了します。

ユーザーの処置: バンドルをインストールするユーザー ID が必要な権限を持っていることを確認してください。これにはセキュリティ管理者のサポートが必要ながあります。必要な訂正が行われたら、バンドルを再インストールしてください。

モジュール: DFHEPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adapter*
5. *bundle*
6. *adapterType*
7. *emitmode*
8. *tranuserid*
9. *installuserid*

宛先: CEPO

DFHEP2005 *date time applid* The CICS event processing domain found an inconsistency in the advanced options during install of EPADAPTER *adaptername* with emission mode *emitmode* and type *adapterType*. オプション

ン *option* は無視されます。

説明: EPADAPTER *adaptername* のインストール中に、互換性のないオプションが見つかりました。EPADAPTER は、別の EPADAPTER バンドル・パーツとしてインストールされているか、または同名の EVENTBINDING バンドル・パーツの一部としてインストールされています。EPADAPTER のタイプは *adapterType* であり、その発行モードは *emitmode* です。次の理由が考えられます。
トランザクション ID、ユーザー ID、および優先順位

発行モードが同期の場合、EP アダプターは発信アプリケーションの作業単位 (UOW) 内で呼び出されるため、これらのオプションは関係ありません。

プログラム名

このオプションは、同期発行モードのカスタム EP アダプターの場合にのみ必要です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

互換性のないオプションは無視され、EPADAPTER インストールが続行されます。

ユーザーの処置: これが別個にインストールされた EPADAPTER の場合、これは、EP アダプター XML 内のエラーまたは不整合が原因であると考えられます。EVENTBINDING の一部としてインストールされた場合、これは、イベント・バインディング XML の *eventDispatcherSpecification* セクション内のエラーが原因であると考えられます。XML が CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成された場合、これは、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。XML を修正し、BUNDLE を破棄して再インストールします。

モジュール: DFHEPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptername*
5. *emitmode*
6. *adapterType*
7. *option*

宛先: CEPO

DFHEP2006 *date time applid* The CICS event processing domain failed to create the EPADAPTERSET resource *adaptersetName* in BUNDLE bundle because {the EP adapterset name is invalid. | the XML data for the EP adapterset could not be parsed. | it is a duplicate of another EPADAPTERSET in the BUNDLE. | no EP adapter names are specified in the EP adapterset. | the EPADAPTER name has a duplicate in the EP adapterset. | an EPADAPTER name contained in the EP adapterset is invalid.}

説明: BUNDLE bundle で EPADAPTERSET *adaptersetName* の作成中にエラーが発生しました。次の理由が考えられます。

EP アダプター・セット名が無効です

1 から 32 文字の EP アダプター・セット名に使用できる文字は、A-Z a-z 0-9 および _ です。空白文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることはできません。(どのような場合でも) 名前の先頭に 0-9、_、または文字 *xml* を使用することはできません。

EP アダプター・セット用の XML データを解析できませんでした

先行する DFHPInnnn メッセージに、問題の原因に関する詳細情報が記述されています。

別の EPADAPTERSET と重複しています

インストールしようとしている EPADAPTERSET は、以前に同じ BUNDLE からインストールされた EPADAPTERSET と同じ名前です。

EP アダプター・セット内に EP アダプター名が指定されていません

EP アダプター・セット XML データに少なくとも 1 つの EP アダプター名が指定されている必要があります。

EPADAPTER 名が重複しています

EPADAPTERSET には、重複する EP アダプター名が含まれています。

無効な EPADAPTER 名

EPADAPTERSET には、無効な EP アダプター名が含まれています。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、EPADAPTERSET 作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この状態は、EP アダプター・セット XML 内のエラーまたは不整合が原因であると考えられます。XML が CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成された場合、この状態は、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのイベント処理スキーマと照らし合わせて、XML を検証します。EP アダプター・セット XML を訂正し、BUNDLE を破棄して再インストールします。

モジュール: DFHEPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptersetname*
5. *bundle*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=EP アダプター・セット名が無効です。 ,
 2=EP アダプター・セット用の XML データを解析できませんでした。 ,
 3=BUNDLE 内の別の EPADAPTERSET と重複しています。 ,
 4=EP アダプター・セット内に EP アダプター名が指定されていません。 ,
 5=EP アダプター・セット内で EPADAPTER 名が重複しています。 ,
 6=EP アダプター・セット内に無効な EPADAPTER 名が含まれています。

宛先: CEPO

DFHEP2007 *date time applid The CICS event processing domain failed to create the EPADAPTERSET resource adaptersetname in BUNDLE bundle because the {LOCALCCSID SIT parameter is not supported | EP adapterset schema level is not supported | CICSEPSchemaVersion is invalid | CICSEPSchemaRelease is invalid}; error_data.*

説明: BUNDLE *bundle* で EPADAPTERSET *adaptersetname* の作成中にエラーが発生しました。次の理由が考えられます。

LOCALCCSID SITパラメーターはサポートされていません

イベント処理は、文字データのコード・ページ変換のデフォルト CCSID として、LOCALCCSID システム初期設定パラメーターを使用します。これは、CICS でサポートされる 1 バイトまたはマルチバイト EBCDIC CCSID でなければなりません。

スキーマ・レベルがサポートされていません

EP アダプター・セット *error_data* の CICSEPSchemaVersion および CICSEPSchemaRelease が、このリリースの CICS でサポートされるスキーマ・レベルを超えてはなりません。サポートされるスキーマ・レベルは、INQUIRE EVENTPROCESS コマンドを使用して確認できます。

CICSEPSchemaVersionが無効です

指定される 1 から 2 文字の文字列は数字のみ (つまり 0 から 9) で構成され、1 から 99 の範囲である必要があります。

CICSEPSchemaReleaseが無効です

指定される 1 から 2 文字の文字列は数字のみ (つまり 0 から 9) であり、0 から 99 の範囲である必要があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、EPADAPTERSET 作成は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、EP アダプター・セット XML 内のエラーまたは不整合が原因であると考えられます。XML が CICS イベント・バインディング・エディターを使用して作成された場合、これは、CICS コードにエラーがあることを示している可能性があります。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと EP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。BUNDLE をインストールする先の CICS システムのイベント処理スキーマと照らし合わせて、XML を検証します。EP アダプター・セットを訂正し、BUNDLE を破棄して再インストールします。

モジュール: DFHEPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *adaptersetname*

5. *bundle*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=*LOCALCCSID SIT* パラメーターはサポートされていません、

2=*EP* アダプター・セット・スキーマ・レベルはサポートされていません、

3=*CICSEPSchemaVersion* が無効です、

4=*CICSEPSchemaRelease* が無効です

7. *error_data*

宛先: CEPO

DFHERnnnn メッセージ

DFHER2813I *applid* Program DFHRCEX cannot be found

説明: CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内の連結されたどのデータ・セットでも DFHRCEX を見つけられません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントの区分データ・セット内に DFHRCEX を配置してください。

モジュール: DFHTCBP、DFHUSBP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHER5730 *applid* User recovery beginning

説明: ウォーム・スタートまたは緊急時再始動で、CICS はシステム・ログからのレコードの処理を開始するときにこのメッセージを出します。

システムの処置: グローバル・ユーザー出口 XRCINPT が使用可能な場合は呼び出され、これが最初の呼び出しであることが示されます。処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAPRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHER5731 *applid* No active user records on the system log

説明: ウォーム・スタートまたは緊急時再始動で、CICS は、システム・ログのスキャンが完了して、アクティブ・ユーザー・ジャーナル・レコードが見つからなかった場合に、このメッセージを出します。アクティブ・ユーザー・ジャーナル・レコードは、EXEC CICS WRITE JOURNAL などのコマンドを使用するユーザ

ー・アプリケーションによって書き込まれます。これらのレコードは、次のいずれかによってシステム・ログに書き込まれます。

•

前の CICS システムが終了したときに未完了または未確定だった作業単位。

•

JTYPEID 値の高位ビットが 1 に設定されたアプリケーション要求 (レコードが再始動システム・ログ・スキャンの範囲内にある場合)。

•

最後に完了したアクティビティー・キーポイントでの XAKUSER グローバル・ユーザー出口。

このようなアクティブ・ユーザー・ジャーナル・レコードがある場合は、それらがグローバル・ユーザー出口 XRCINPT に提示され、このメッセージは出されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAPRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHER5732 *applid* User recovery completed

説明: ウォーム・スタートまたは緊急時再始動で、CICS はシステム・ログからのレコードの処理を終了したときにこのメッセージを出します。アクティブ・ユーザー・ジャーナル・レコードはもうグローバル・ユーザー出口 XRCINPT に提示されました。アクティブ・ユーザー・ジャーナル・レコードとは、次のいずれかによってシステム・ログに書き込まれるレコードです。

•

前の CICS システムが終了したときに未完了または未確定だった作業単位。

•

JTYPEID 値の高位ビットが 1 に設定されたアプリケーション要求 (レコードが再始動システム・ログ・スキンの範囲内にある場合)。

最後に完了したアクティビティ・キーポイントでの XAKUSER グローバル・ユーザー出口。

システムの処置: グローバル・ユーザー出口 XRCINIT が使用可能な場合は呼び出され、これが最後の呼び出し

であることが示されます。処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAPRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHEXnnnn メッセージ

DFHEX0001 An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred in module *modname*.

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了 *aaa/bbbb* が、モジュール *modname* で発生しました。これは、外部 CICS インターフェース・コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

あるいは、予期しないデータが外部 CICS インターフェース呼び出しで渡されたか、ストレージが上書きされました。

コード *aaa/bbbb* は、該当する場合は、3 桁の 16 進 MVS システム完了コード *aaa* (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、(該当する場合) 外部 CICS インターフェースにより作成されたユーザー異常終了コードです。ユーザー異常終了コードが該当しない場合は、このフィールドは 4 つのハイフンで埋められます。

システムの処置: 例外項目が外部 CICS インターフェースの内部トレース・テーブル内、および (GTF がアクティブな場合は) GTF トレース・データ・セットに作成され、SYSMDUMP が取られます。

外部 CICS インターフェースは現行要求を終了し、さらにほかの EXCI 要求が処理できるように整合性のとれた状態にリカバリーしようとします。EXCI CALL API を使用したアプリケーションの場合は、ESTAE_INVOKED の REASON とともに EXCI_SYSTEM_ERROR の応答がアプリケーションに戻されます。EXCI EXEC API を使用したアプリケーションの場合は、呼び出しレベル ESTAE ルーチンが呼び出されたか EXEC レベル ESTAE ルーチンが呼び出されたかに応じて、ESTAE_INVOKED または EXEC_ESTAE_INVOKED の EXEC_RESP2 とともに、LINKERR の EXEC_RESP がアプリケーションに戻されます。

ユーザーの処置: MVS コード *aaa* がある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアル

の先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

異常終了コード *bbbb* が該当する場合は、そのコードの説明を参照して、詳細を確認してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXCPRH、DFHXCEIP

宛先: コンソール

DFHEX0002 A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目が EXCI 内部トレース・テーブル内に作成され、GTF がアクティブな場合は GTF にも作成されます (メッセージ内の X'*code*'). システム・ダンプがとられます。

これはクリティカル・エラーであり、EXCI 要求が終了します。外部 CICS インターフェースは、さらに他の EXCI 要求が出されるように整合性のとれた状態にリカバリーしようとします。EXCI CALL API を使用するアプリケーションの場合、アプリケーションに戻された EXCI_REASON はエラーの理由を示します。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションの場合、RETCODE 域の EXEC_RESP2 フィールドに理由が戻されます。

ユーザーの処置: この障害は、外部 CICS インターフェース・コードに重大なエラーがあることを示します。EXCI 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

DFHEX0003 • DFHEX0100

モジュール: DFHXCPRH、DFHXCEIP

宛先: コンソール

**DFHEX0003 A GETMAIN request in module
modname (code X'code') has failed.
Reason X'rc'.**

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって発行されましたが、戻りコード *rc* で失敗しました。

コード X'code' は、MVS GETMAIN が発行された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目が EXCI 内部トレース・テーブル内で作成されます (メッセージ内のコード X'code')。これはクリティカル・エラーであり、EXCI 要求が終了します。外部 CICS インターフェースは、さらに他の EXCI 要求が出されるように整合性のとれた状態にリカバリーしようとしています。

EXCI CALL API を使用するアプリケーションの場合、アプリケーションに戻された EXCI_REASON は障害の位置を示します。

EXCI EXEC API を使用するアプリケーションの場合、RETCODE 域の EXEC_RESP2 フィールドに障害の位置が戻されます。

EXCI_REASON および 603 の EXCI_RESP の場合、EXCI モジュール DFHXCPRH はさらに ESTAE 出口を駆動する異常終了 0410 を出します。メッセージ DFHEX0001 が出され、SYSMDUMP が取られます。

ユーザーの処置: MVS GETMAIN 戻りコード *rc* を、関連する MVS コード資料で調べてください。

理由が不十分なストレージである場合、バッチ EXCI ジョブの領域を大きくしてください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXCPRH、DFHXCTRI

宛先: コンソール

**DFHEX0004 Jobname: jobname, Stepname: stepname,
Procname: procname, Sysid in SMF:
sysid, Applid: applid.**

説明: このメッセージはメッセージ DFHEX0001 に付随して出され、EXCI ジョブの接続先の *jobname*、*stepname*、*procname*、*Sysid in SMF* および *applid* を示します。挿入値が不明であるか、指定されていない場合、メッセージ挿入は Unknown となります。例えば、*procname* および *stepname* は EXCI ジョブで必

須ではなく、これらが省略されて DFHEX0004 が出された場合は *procname* および *stepname* の挿入値が Unknown になります。

システムの処置: DFHEX0001 のシステム処置に従います。

ユーザーの処置: DFHEX0001 のユーザーの処置に従ってください。

モジュール: DFHXCPRH、DFHXCEIP

宛先: コンソール

**DFHEX0005 Jobname: jobname, Stepname: stepname,
Procname: procname, Sysid in SMF:
sysid, Applid: applid, Transid: transid.**

説明: このメッセージは、いくつかのメッセージ DFHEX0002 の発生に伴って出されます。このメッセージには、EXCI ジョブの *jobname*、*stepname*、*procname*、および *sysid in SMF* の値が含まれます。さらに、CICS 領域の接続先の *applid*、および関連する CICS *transid* が示されます。*jobname*、*stepname*、*procname*、*sysid in SMF*、または *applid* の値が不明であるか、指定されていない場合、メッセージ内では「Unknown」となります。例えば、*procname* および *stepname* は EXCI ジョブで必須ではなく、これらが省略されてこのメッセージが出された場合は *procname* および *stepname* の値が Unknown になります。

システムの処置: DFHEX0002 のシステム処置に従います。

ユーザーの処置: DFHEX0002 のユーザーの処置に従ってください。

モジュール:

宛先: コンソール

**DFHEX0100 インストールされている CICS SVC の
レベルでは EXCI 呼び出しはサポートされ
ません。(The installed level of CICS
SVC does not support the EXCI call.)**

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH は、使用中の CICS SVC (DFHCSVC) のレベルでは外部 CICS インターフェースがサポートされていないことを検出しました。

システムの処置: EXCI 要求を終了します。例外トレースが EXCI 内部トレース・テーブル内に作成され、GTF がアクティブな場合は GTF トレース・データ・セットにも作成されます。外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH は、ESTAE 出口を駆動する異常終了 0407 を発行します。メッセージ DFHEX0001 が出され、SYSMDUMP がとられます。

ユーザーの処置: LPA にインストールされている DFHCSVC のレベルを確認してください。外部 CICS インターフェースの場合は、CICS/ESA 4.1 レベルの DFHCSVC が必要です。通常、CICS および外部 CICS インターフェースを実行する場合は、最新レベルの DFHCSVC を使用する必要があります。DFHCSVC のインストールについて詳しくは、CICS TS のインストールを参照してください。

モジュール: DFHXCPRH

宛先: コンソール

DFHEX0101 DFHIRP レベル検査が失敗したため、領域間通信を開始できません。(Unable to start interregion communication because DFHIRP level check failed.)

説明: DFHIRP のサービス・レベルを検査するための DFHIRP の呼び出しが失敗しました。

これは、使用されている DFHIRP のバージョンが、外部 CICS インターフェース (EXCI) モジュール DFHXCPRH のバージョンよりも低いレベルであることが原因と考えられます。DFHIRP がレベル検査を行う前に障害が発生したことが理由である可能性は低いです。

システムの処置: EXCI パイプ割り振り要求は拒否されます。バッチ・アプリケーションに戻りコードが返されます。

ユーザーの処置: 使用中の最新 CICS バージョンのレベルと一致する、正しいレベルの DFHIRP が LPA 内に存在するようにしてください。

モジュール: DFHXCPRH

宛先: コンソール

DFHEX0110 EXCI SDUMP has been taken.
Dumpcode: *dumpcode*, **Dumpid:** *dumpid*.

説明: このメッセージは、外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCDCMP によって出された MVS SDUMP が正常に完了した際に出されます。前のメッセージで示されたエラーによって DFHXCDCMP が呼び出され、システム・ダンプが取られました。

ダンプ・コード *dumpcode* は、外部 CICS インターフェースの問題を識別する 8 文字のシステム・ダンプ・コードです。システム・ダンプ・コードは、接頭部 DFH を除いた EXCI メッセージ番号です。

dumpid は、このダンプを識別する固有な 9 文字の文字列です。

システムの処置: EXCI 要求を終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、*dumpcode* によって

示される EXCI メッセージを参照してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXCDCMP

宛先: コンソール

DFHEX0111 EXCI SDUMP が試行されましたが **SDUMP** はビジーです - 5 秒ごとの再試行を *nnnn* 秒間行います。(EXCI **SDUMP attempted but SDUMP is busy - will retry every five seconds for *nnnn* seconds.**)

説明: DFHXCDCMP によって MVS SDUMP 要求が出されたときに、同じ MVS システム内の別のアドレス・スペースが SDUMP の取得中でした。これにより、MVS は新規要求を拒否します。DFHXCOPT テーブルのダンプ再試行パラメーターの値がゼロ以外の場合、外部 CICS インターフェースは 5 秒待ってから SDUMP 要求を再試行します。必要であれば、外部 CICS インターフェースは、再試行パラメーターに指定された合計時間にわたって 5 秒ごとに再試行します。

システムの処置: 外部 CICS インターフェースは、5 秒間待機させる MVS STIMERM マクロを発行します。遅延間隔が満了すると、要求は再発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXCDCMP

宛先: コンソール

DFHEX0112 SDUMP 要求が失敗しました - *reason* *X'nn'*。(SDUMP request failed - *reason* *X'nn'*.)

説明: 外部 CICS インターフェースから出された MVS SDUMP 要求は正常に完了しませんでした。考えられる失敗の理由 (*reason*) は、次のとおりです。

ONLY PARTIAL DUMP

ダンプが書き込まれる SYS1.DUMP データ・セットは、ダンプされたすべてのストレージを格納するのに十分な大きさではありません。

SDUMP は使用中です (SDUMP BUSY)

EXCI によって MVS SDUMP 要求が出されたときに、同じ MVS システム内の別のアドレス・スペースが SDUMP の取得中でした。これにより、MVS は新規要求を拒否します。DFHXOPTS テーブルのダンプ再試行パラメー

ターにゼロ以外の値が指定された場合、EXCI は、指定された期間にわたって 5 秒ごとに SDUMP 要求を再試行しました。このメッセージは、最後の再試行の後に SDUMP がまだ使用中である場合にのみ発行されます。

STIMERM FAILED

「SDUMP は使用中です (SDUMP BUSY)」状態の後、SDUMP の再試行を 5 秒遅らせるために、EXCI は MVS STIMERM マクロ要求を発行します。MVS は、STIMERM 要求が失敗したことを示しています。

使用可能なデータ・セットがありません (NO DATA SET AVAILABLE)

SDUMP 要求が発行されたときに、使用可能な SYS1.DUMP データ・セットがありませんでした。

REJECTED BY MVS, REASON = X'nn'

ユーザーの処置 (例えば、MVS IPL に DUMP=NO を指定したこと)、あるいは SDUMP ルーチンにおける入出力エラーまたは終了エラーが原因で、MVS は SDUMP 要求を拒否しました。X'nn' は SDUMP 理由コードです。

NOT AUTHORIZED FOR EXCI

SDUMP は、外部 CICS インターフェースに対しては許可されていません。

INSUFFICIENT STORAGE

EXCI は、SDUMP 要求の処理中にサブプール 253 ストレージの MVS GETMAIN を発行しました。この GETMAIN は MVS により拒否されました。

システムの処置: EXCI は、ダンプが成功したかのように続行します。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、障害が起きた理由 (*reason*) によって異なります。

ONLY PARTIAL DUMP

SYS1.DUMP データ・セットのサイズを大きくして、SDUMP 要求を再発行させます。

SDUMP は使用中です (SDUMP BUSY)

適切な場合は、DFHXCOPT でダンプ再試行時間を長くした後に、SDUMP を再発行させます。

STIMERM FAILED

MVS 問題判別方式を使用して STIMERM 障害を修正し、それから SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

使用可能なデータ・セットがありません (NO DATA SET AVAILABLE)

SYS1.DUMP データ・セットをクリアしてから、SDUMP 要求が再発行されるようにしてください。

REJECTED BY MVS, REASON = X'nn'

ダンプが故意に抑止されている場合には、処置は必要ありません。MVS SDUMP ルーチンのエラーが原因でダンプが失敗した場合には、MVS 問題判別方式を使用してエラーを修正してから、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。SDUMP 理由コード X'nn' の説明については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1) を参照してください。

NOT AUTHORIZED FOR EXCI

SDUMP が、EXCI の初期設定時に無条件に許可され、EXCI の実行中は許可されているので、この理由は表示されないはずです。万一この理由が出された場合には、EXCI AFCB (許可された機能制御ブロック) は誤って上書きされたものと思われます。

INSUFFICIENT STORAGE

サブプール 253 要求に対して MVS が十分なストレージを使用できるようにしてください。

モジュール: DFHXCDMP

宛先: コンソール

DFHEX0113 EXCI trace Initialization has failed.

説明: EXCI 初期設定時の外部 CICS インターフェース (EXCI) トレース機能の初期設定の試みが失敗しました。

システムの処置: EXCI 要求はトレース機能なしで続行されます。前のメッセージは障害の原因を識別します。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別するには、前のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHXCTRI

宛先: コンソール

DFHEX0114 Incorrect data has been passed for EXCI tracing causing a program check in DFHXCTRP.

説明: 外部 CICS インターフェース (EXCI) の内部トレース・テーブルまたは GTF トレースに追加するために EXCI トレース・モジュール DFHXCTRP に渡された一部のデータに対して、アクセスしようとしたときにプログラム・チェックが発生しました。

このエラー原因は、トレース・プログラム DFHXCTRP がアクセスしようとしている、EXCI CALL API 要求で渡されたデータが誤っていることだと思われます。

システムの処置: EXCI 要求は終了し、SYSMDUMP がとられます。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、誤ったデータの原因を判別してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXCTRI

宛先: コンソール

DFHEX0115 EXCI trace services have been disabled due to a previous error.

説明: エラーが外部 CICS インターフェース (EXCI) トレース・モジュール DFHXCTRP 内で発生し、メッセージ DFHEX0001 によって示されました。エラーの原因が、DFHXCTRP に渡された誤りのあるデータにアクセスしたためではなく、DFHXCTRP でプログラム・チェックが起こったためである、とモジュール DFHXCTRI はエラーからリカバリーしようとする際に判断しました。

システムの処置: EXCI トレース機能はこれ以上エラーを防ぐことはできません。SYSMDUMP が取られません。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するには、DFHEX0001 メッセージおよび SYSMDUMP を参照してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXCTRI

宛先: コンソール

DFHEX0116 Program check occurred within global trap exit - DFHXCTRA now marked unusable.

説明: トレース項目を作成した後で、外部 CICS インターフェース (EXCI) トレース・プログラム DFHXCTRP が、EXCI フィールド開発グローバル・トラップ・プログラム DFHXCTRA を呼び出しました。DFHXCTRA の実行中にプログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: EXCI は、現在活動状態にある DFHXCTRA を使用不能としてマークを付け、この TCB のもとで行われるすべての後続の呼び出しについて、DFHXCTRP の後続の呼び出しで DFHXCTRA を無視します。EXCI 要求は終了し、SYSMDUMP が取られます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、プログラム・チェックの原因を見つけてください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHXCTRI

宛先: コンソール

DFHEX0400 チャネル・ストレージが MEMLIMIT の 5% を超えています。(Channel storage exceeds 5% of MEMLIMIT.)

説明: チャネルに割り振られた合計ストレージが MEMLIMIT の 5% を超えるため、EXCI はデータをコンテナに保管することを拒否しました。

システムの処置: EXCI はコード 0417 でトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: PROGRAM のストレージ要件を確認します。データのボリュームが正しい場合は、不要なコンテナをチャネルから削除するか、または MEMLIMIT を大きくして、プログラムが使用可能ストレージの 5% を超える量を使用しないようにしてください。

モジュール: DFHXCCR

宛先: コンソール

DFHFCnnnn メッセージ

DFHFC0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

その後、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイのどれであったかがわかります。また、詳細なガイダンスが得られることもあります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行でき

ない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCAT, DFHFCCA, DFHFCDN, DFHFCDTS, DFHFCDTX, DFHFCES, DFHFCFL, DFHFCFR, DFHFCFS, DFHFCIR, DFHFCFL, DFHFCFLJ, DFHFCMT, DFHFCQI, DFHFCQR, DFHFCQS, DFHFCQU, DFHFCRC, DFHFCRL, DFHFCBU, DFHFCRO, DFHFCRP, DFHFCRR, DFHFCRS, DFHFCRV, DFHFCSD, DFHFCST, DFHFCVR, DFHFCVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHFC0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

問題の原因を突き止めるためには、例外トレース項目とその直前の項目を調べてください。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場

合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCAT, DFHFCCA, DFHFCDN, DFHFCDTS, DFHFCDTX, DFHEIFC, DFHFCES, DFHFCFL, DFHFCFR, DFHFCFS, DFHFCIR, DFHFCFLF, DFHFCLJ, DFHFCMT, DFHFCOR, DFHFCQI, DFHFCQR, DFHFCQS, DFHFCQU, DFHFCRC, DFHFCRD, DFHFCRL, DFHFCBU, DFHFCRO, DFHFCRP, DFHFCRR, DFHFCRS, DFHFCSD, DFHFCST, DFHFCVR, DFHFCVS, DFHFCRF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHFC0003 *applid* **Insufficient storage (code *X'code'*) in module *modname*.**

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、(たとえば、ドメイン・マネージャーからの) 関連終了メッセージに注意し、これらのメッセージ

に関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHFC0004 *applid* **A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、

CICS が続行されることを意味しています。

しかし、システム初期設定パラメーターとして ICVR=0 を宣言し、しかもモジュール *modname* がループに入っただと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了しており、それがランナウェイではなかったと考えられる場合は、SIT の ICVR 時間間隔を長くしてください。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM から援助が必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCAT, DFHFCDN, DFHFCDTS, DFHFCDTX, DFHFCFR, DFHFCFS, DFHFCMT, DFHFCLRL, DFHFPCR, DFHFCSD, DFHFCST, DFHFCVR, DFHFCVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHFC0005 *applid* **A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.**

説明: モジュール *modname* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。MVS ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出力されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これはおそらくハードウェア・エラーです。まず MVS ストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からの援助が必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0100I *applid* **File Control initialization has started.**

説明: これは、ファイル制御の初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHFPCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0101I *applid* **File Control initialization has ended.**

説明: ファイル制御の初期設定が正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHFPCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0102 *applid* File Control initialization has failed.

説明: ファイル制御は、正しい初期設定に失敗しました。

システムの処置: 通常はメッセージ DFHFI1521 が出力され、初期設定が終了します。

ファイル制御初期設定中の重要な段階で障害が発生した場合、CICS 初期設定は、ダンプを作成して即時に終了します。メッセージ DFHFI1521 は出力されません。

ユーザーの処置: このエラーはトレース項目によって識別できます。また、前に出力されたメッセージによって識別される場合もあります。そのエラーに適切な処置をとってください。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0103 *applid* Required module *modname* could not be loaded.

説明: ファイル制御は、モジュール *modname* を必要としています。このモジュールは DFHRPL ライブラリー・リストから欠落しているため、ロードできませんでした。

システムの処置: システムは終了し、システム・ダンプが作成され、コード FC0103 が出力されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: モジュール *modname* が DFHRPL ライブラリー・リストに含まれるようにしてください。

上記が問題の原因でない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCIN1、DFHFCRP、DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHFC0104 *applid* Unexpected catalog error.

説明: ファイル制御は、カタログ (CC) ドメインに対して要求を出しましたが、失敗しました。これは、おそらくカタログ上の入出力エラーが原因です。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、コード FC0104 が出力されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: カatalog・ドメインから出力されるメッセージから、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0106 *applid* Insufficient storage to satisfy GETMAIN request in module *modname*.

説明: ストレージ (SM) ドメインに、CICS 初期設定時に行われた GETMAIN 要求を満たすためのスペースが不足しています。

システムの処置: システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHFC0107D *applid* Unable to load File Control table DFHFCTxx. 代わりの接尾部を入力するか、YES または NO を入力してください。(Enter either an alternative suffix, or YES, or NO.)

説明: CICS のコールド・スタート時または初期始動時に、ファイル管理テーブル DFHFCTxx が DFHRPL ライブラリー・リスト内で見つかりませんでした。

システムの処置: ファイル制御の初期設定は、このメッセージに対する応答を待ちます。

ユーザーの処置: 次のいずれかの方法で応答します。

•

1 文字または 2 文字の接尾部を入力します。これにより、ファイル制御は DFHFCTxx をロードします。

•

YES と入力します。これにより、接尾部なしの FCT がロードされます。

•

NO と入力します。これにより、FCT なしでファイル制御が初期設定されます。

モジュール: DFHFICRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xx*
3. YES
4. NO

宛先: コンソール

DFHFC0108 *applid* Invalid reply to message
DFHFC0107D. A 1 or 2 character
suffix, or YES or NO is required

説明: メッセージ DFHFC0107 に対する応答が無効でした。この応答が長すぎたか、または無効文字が含まれていた可能性があります。

システムの処置: 再度メッセージ DFHFC0107 が出され、初期設定が応答を待ちます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFC0107 に対して応答してください。

モジュール: DFHFICRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0110 *applid* Error, a *xxxx* version of
DFHFCTxx has been loaded.

説明: DFHFICRP が、CICS リリース *xxxx* 用にアセンブルされた DFHFCTxx をロードしました。前のリリースに対してアセンブルされた FCT で CICS を実行することは有効ではありません。

システムの処置: ファイル制御の初期設定ならびに CICS は終了します。

ユーザーの処置: 使用中の CICS リリース用に DFHFCTxx をアセンブルし直してください。CICS をコールド・スタートする。

モジュール: DFHFICRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xxxx*
3. DFHFCTxx

宛先: コンソール

DFHFC0111 *applid* エラー、CICS は DFP のリリース
xxxx で初期設定しようとしています。
(Error, CICS is attempting to initialize
with release *xxxx* of DFP.)

説明: DFHFICRP は、CICS がデータ機能プロダクト (DFP) レベル *xxxx* で初期設定されていることを検出しました。CICS は、このレベルの DFP をサポートしていません。

システムの処置: ファイル制御の初期設定ならびに CICS は終了します。

ユーザーの処置: このリリースの CICS でサポートされるレベルの DFP をインストールしてください。

モジュール: DFHFICRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xxxx*

宛先: コンソール

DFHFC0116 *applid* The load of callable service
IGWARLS has failed with return code
X'eeee'.

説明: 更新 SERVREQ を保有し、VSAM カタログをデータ・セット・リカバリー属性のリポジトリとして使用しているファイルをファイル制御で処理するためには、呼び出し可能サービス IGWARLS が必要です。ファイル制御初期設定によって要求された IGWARLS のロードに失敗しました。CICS は、データ・セット・リカバリー属性を指定するために、VSAM カタログの使用がサポートされる VSAM のレベルを使用しているため、これは重大な問題です。

システムの処置: CICS 初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: IGWARLS は SYS1.CSSLIB で提供されます。SYS1.CSSLIB が MVS リンク・リストまたは LPA の連結内に含まれるようにしてください。障害が解消しない場合、これは内部 CICS エラーの可能性があり、続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFICRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'eeee'*

宛先: コンソール

DFHFC0118 *applid* VSAM のレベルが RLS をサポートしていないため、RLS サポートを要求するシステム初期設定パラメーターは無視されました。(System initialization parameter requesting RLS support has been ignored because the level of VSAM does not support RLS.)

説明: CICS 始動時に RLS=YES が指定されましたが、VSAM のレベルが RLS アクセスをサポートしていません。

システムの処置: CICS 初期設定は、RLS サポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: RLS アクセスを使用する場合は、VSAM のレベルが DFSMS 1.3 以降となるようにしてください。

モジュール: DFHFICRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0119 *applid* 呼び出し可能サービス IGGCSI00 のロードが、戻りコード *X'eeee'* で失敗しました。

説明: 呼び出し可能サービス IGGCSI00 は、ファイル制御がデータ・セットのカatalog項目を調べるために必要です。ファイル制御初期設定によって要求された IGGCSI00 のロードに失敗しました。

システムの処置: CICS 初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: IGGCSI00 は SYS1.CSSLIB で提供されます。SYS1.CSSLIB が MVS リンク・リストまたは LPA の連結内に含まれるようにしてください。障害が解消しない場合、これは内部 CICS エラーの可能性あります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'eeee'*

宛先: コンソール

DFHFC0150 *date time applid termid tranid* An attempt to release locks for unit of work *X'uowid'* failed. VSAM return code *X'rrrr'* reason code *X'cccc'*.

説明: トランザクション ID *tranid* の作業単位 *uowid* はその RLS ロックを解除しようとしてしました。VSAM がエラーを検出したため、VSAM に対して行われたロック解除要求は失敗しました。

IDALKREL の応答は *rrrr* であり、理由コードは *cccc* です。

termid は、このトランザクションを実行している端末を識別します。

システムの処置: CICS は、作業単位の完了を続行します。

作業単位は中断されます。中断理由は、さらにロック解除を試行する必要があることを示します。

正常なロック解除コマンドが VSAM によって処理されるまで、一部のレコードはロックされたままになる可能性があります。

SMSVSAM サーバーが使用不可であることが障害の原因である場合は、サーバーが使用可能になると、CICS は自動的に UOW の完了を再試行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM コードを使用して問題の原因を判別します。この障害の最も考えられる原因は、エラーの時点で SMSVSAM サーバーに障害が発生していたことです。VSAM コードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

ロック解除障害を引き起こした状態が解消された場合は、以下のコマンドを使用して、作業単位を再試行する必要があるかもしれません。

CEMT SET DSNAME RETRY

または

EXEC CICS SET DSNAME(dsname) ACTION(RETRY)

.

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *X'uowid'*
7. *X'rrrr'*
8. *X'cccc'*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0151 *date time applid termid trandid* **An attempt to retain locks for unit of work *X'uowid'* failed. VSAM return code *X'rrrr'* reason code *X'cccc'*.**

説明: トランザクション *trandid* の作業単位 *uowid* は、コーディネーター・システムとの接続が失われているため、未確定になりました。その結果、CICS は、この作業単位が所有するすべての RLS ロックを保存ロックに変換しようとしてしました。VSAM がエラーを検出したため、この試行は失敗しました。

IDARETLK マクロの応答は *rrrr* であり、理由コードは *cccc* です。

termid は、このトランザクションを実行している端末を識別します。

システムの処置: CICS は、この作業単位を中断し続けます。一部のロックは、保存ロック (他のトランザクションは LOCKED 応答を検出する) としてではなくアクティブ・ロック (他のトランザクションはタイムアウト値に到達するまで待つ) として残る可能性があります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM コードを使用して問題の原因を判別します。VSAM コードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。ロックを保存ロックに変換できなかった理由として最も考えられるのは、SMSVSAM サーバーが使用できなかったことです。他の VSAM コードは、より重大なエラーを示している可能性があります。

通常、その他のアクションは不要です。接続が再度確立されると、コーディネーター・システムはこのシステムにコミットまたはバックアウトするよう指示します。コミットまたはバックアウトの最後に、すべての保存ロックおよびアクティブ・ロックが解除されます。

発生する可能性がある 1 つの問題は、一部のロックがアクティブ・ロックのままになる恐れがあります。これにより、これらのロックを待つトランザクションは

タイムアウト間隔いっぱいまで待たなければならないため、トランザクションからの応答が遅くなる (そして最終的に失敗する) 可能性があります。

この場合は、CEMT SET UOW コマンドを使用すると、作業単位を強制的にコミットまたはバックアウトしたり、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってコミットまたはバックアウトを決定したりできます。あるいは、CEMT SET DSNAMES コマンドを使用して、指定されたデータ・セットを更新したすべての未確定作業単位に対して強制的に実行することもできます。ただし、これらのコマンドを使用すると、この CICS がコーディネーター・システムと一致なくなり、結果としてデータ保全性が失われる恐れがあるため、通常は使用しないでください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *X'uowid'*
7. *X'rrrr'*
8. *X'cccc'*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0152 *date time applid termid trandid* **An attempt to retain locks for data set within unit of work *X'uowid'* failed. VSAM return code *X'rrrr'* reason code *X'cccc'*.**

説明: トランザクション *trandid* の作業単位 *uowid* は、いずれかのデータ・セットのバックアウトに失敗しました。CICS は、障害が発生したデータ・セットに関連付けられている、この作業単位所有のすべての RLS ロックを保存ロックに変換しようとしてしました。VSAM がエラーを検出したため、この試行は失敗しました。

IDARETLK の応答は *rrrr* であり、理由コードは *cccc* です。

termid は、このトランザクションを実行している端末を識別します。

このメッセージの後に、障害が発生したデータ・セット

を示すメッセージ DFHFC0312 が続きます。

システムの処置: CICS は、この作業単位を中断し続けます。一部のロックは、保存ロック (他のトランザクションは LOCKED 応答を検出する) としてではなくアクティブ・ロック (他のトランザクションはタイムアウト値に到達するまで待つ) として残る可能性があります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM コードを使用して問題の原因を判別します。VSAM コードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

ロックを保存ロックに変換できなかった理由として最も考えられるのは、SMSVSAM サーバーが使用できなかったことです。脱落ロックのリカバリー中、またはシステム初期設定の指定変更として OFFSITE=YES が指定された CICS 再始動の後、指定された論理作業単位 ID がサブシステムに存在しない (つまり、作業単位がロックを保持していない) ために障害が発生する可能性もあります。RLS 脱落ロックのリカバリーを実行している場合は、脱落ロックのリカバリーが開始したときにメッセージ DFHFC0555 が発行されます。RLS オフサイト・リカバリーを実行している場合は、ファイル制御初期設定中にメッセージ DFHFC0574 が発行されます。他の VSAM コードは、より重大なエラーを示している可能性があります。

通常、その他のアクションは不要です。バックアウト障害を引き起こした状態が解消されると、この作業単位のバックアウトが再試行されます。バックアウトの再試行が成功した場合は、すべてのロックが解除されます。

メッセージ DFHFC4701 は、バックアウト障害の原因を示します。バックアウト障害の最も一般的な原因は、入出力エラーを引き起こすハードウェア障害です。この場合、データ・セットを復元し、順方向リカバリーする必要があります。データ・セットが RLS モードでアクセスされていた場合に、CICSVR (または機能的に同等の製品) を使用して順方向リカバリーを実行すると、このデータ・セットのバックアウトに失敗した作業単位は自動的に再試行されます。データ・セットが静止していた場合は、バックアウトを成功させるためにデータ・セットを静止解除する必要があります。データ・セットが静止解除されると、CICS は自動的にバックアウトを再試行します。

以下のコマンドを使用してバックアウトを再試行することもできます。

```
CEMT SET DSNAME RETRY
```

または

```
EXEC CICS SET DSNAME(dsname) ACTION(RETRY)
```

発生する可能性がある唯一の問題は、一部のロックがアクティブ・ロックのままになる恐れがあることです。これにより、これらのロックを待つトランザクションはタイムアウト間隔いっぱいまで待たなければならないため、トランザクションからの応答が遅くなる (そして最終的に失敗する) 可能性があります。

この場合は、CEMT SET DSNAME RESETLOCKS コマンドを使用して、このデータ・セットに対して保持されているすべてのロックを解除することを確認してください。このコマンドを検討するのは、極端な場合だけにしてください。なぜならこのコマンドは、指定されたデータ・セットに対してこの CICS システムが保持する保存ロックと、すべての関連ログ・レコードの両方を破棄してしまうためです。結果として、対応するバックアウト操作は実行されず、データ安全性が失われます。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *X'uwid'*
7. *X'rrrr'*
8. *X'cccc'*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0153 *applid* SMSVSAM サーバーの前のインスタンスが失敗しました。(The previous instance of the SMSVSAM server has failed.) ファイル制御 RLS アクセスを停止しています。(File control RLS access is being closed down.)

説明: SMSVSAM サーバーは、RLS モードで行われたすべての VSAM 要求を処理する、別個の VSAM アドレス・スペースです。CICS が使用しているこのアドレス・スペースのインスタンスが終了し、CICS は障害を検出しました。CICS は、サーバーの再始動時に次の SMSVSAM サーバー・インスタンスに登録できるようにするため、ファイル制御からこの SMSVSAM サーバ

ー・インスタンスへのすべてのアクセスを停止する必要があります。

メッセージ DFHFC0568 が DFHFC0153 の前に発行された場合、CICS は、サーバーが再始動して、新規インスタンスが使用可能であることを CICS に通知するまで、障害を検出しませんでした。メッセージ DFHFC0568 が DFHFC0153 の前に発行されていない場合、CICS は、障害が発生したサーバー・インスタンスにアクセスしようとしたときに障害を検出しました。

システムの処置: CICS は、以降のすべての RLS アクセスを使用不可にし、RLS モードでオープンしていたすべてのファイルをクローズし、RLS 制御 ACB の登録解除を試みます。

事前に RLS モードでオープンしていたファイルにアクセスしようとするトランザクションは、異常終了します。異常終了コードは、障害発生時にトランザクションが実行していた内容によって異なります。

ユーザーの処置: SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースは、通常は自動的に再始動するはずですが、再始動しない場合は、SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを手動で再始動してください。SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを再始動できない場合は、より重大なエラーが発生している可能性があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0156 *applid* A failure to reset the PERMITNONRLSUPDATE state has occurred. Vsam return code X'rrrr' reason code X'cccc'.

説明: CICS が RLS オープンを発行したときに、PERMITNONRLSUPDATE バッチ・オーバーライドの応答が VSAM によって返された後、CICS は処理を完了しました。この状態をリセットしてバッチ・オーバーライド状況でないようにするために CICS から VSAM に対して行われた呼び出しは、失敗しました。

VSAM の応答は *rrrr* であり、VSAM の理由は *cccc* です。

このメッセージの後に、障害が発生したデータ・セットを示すメッセージ DFHFC0312 が続きます。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: 問題を解決するには、ダンプを保持して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'rrrr'
3. X'cccc'

宛先: コンソール

DFHFC0157 *applid tranid termid userid* ファイル *filename* コンポーネント・コード X'*code*' を介してアクセスされる基本データ・セット *dsname* で、入出力エラーが生じました。

説明: VSAM ファイル *filename* を更新する要求の後に、VSAM によって入出力エラーが報告されました。

このファイルに関連付けられている基本データ・セットの名前は *dsname* ですが、エラーは他の場所で検出された可能性があります。このことは、コンポーネント・コード X'*code*' の値によって示されます。出される可能性のある値とそれに対応するエラーの場所は、次のとおりです。

- X'00' または X'01' - 基本クラスター
- X'02' または X'03' - 代替索引
- X'04' または X'05' - 更新セット

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求は、「IOERR」応答を受け取ります。

CICS は、このエラーの VSAM 診断情報を表示するメッセージ DFHFC0158 も出します。

ユーザーの処置: 入出力エラーに対する標準的な手順に従ってください。データ・セット名およびコンポーネント・コードは問題を識別するのに役立つ場合がありますが、この特定のメッセージに応答するために特別な処置がさらに要求されることはありません。

モジュール: DFHFCCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *termid*
4. *userid*
5. *dsname*
6. *filename*

7. X'code'

宛先: コンソール

DFHFC0158 applid vsam-error-data

説明: このメッセージは、入出力エラーおよびキャッシュ障害の後に利用できる、追加の VSAM 診断情報を表示します。このメッセージは、通知のためにのみ表示されます。

メッセージ DFHFC0158 に含まれるデータの形式については、「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」内の物理的エラー・メッセージ形式に関するセクションに説明があります。これは、入出力エラーの後に他の IBM 製品で使用される共通データ形式です。

このメッセージは、メッセージ DFHFC0157、DFHFC0162、および DFHFC0163 の後に出力され、これらのメッセージに伴う追加情報を提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連する先行メッセージ (DFHFC0157、DFHFC0162、または DFHFC0163) の説明を参照してください。

モジュール: DFHFRCRS, DFHFRCVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. vsam-error-data

宛先: コンソール

DFHFC0159 applid RLS サブシステムをコールド・スタートするために発行された要求が失敗しました。(A request issued to cold start the RLS subsystem has failed.) VSAM return code X'rrrr' reason code X'cccc'.

説明: CICS のコールド・スタートまたは初期始動が要求されました。CICS は、RLS を要求した VSAM の RLS コンポーネントに対し、この CICS に関する状況をコールド・スタートするための呼び出しを行いました。VSAM RLS はコールド・スタート処理の実行中にエラーを検出したため、この要求は失敗しました。

システムの処置: CICS は初期設定を続行します。ただし、ファイル制御の RLS コンポーネントの再始動は失敗し、すべての RLS 適格ファイルが使用できません。

このメッセージではダンプは取られません。ただし、そのエラーが通常の実行中には発生しないタイプである場合は、ファイル制御の再始動により、後でメッセージ DFHFC0001 が生成され、ダンプが取られる可能性があります。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコードが、SMSVSAM サーバーに障害が発生したことを示している場合は、SMSVSAM サーバーを再始動します (まだ自動的に再始動していない場合)。CICS は RLS に関してウォーム・スタートされたため、サーバーが戻ったときに、CICS も再始動する必要があります。

SMSVSAM サーバーに障害が発生していない場合、これは CICS または VSAM 内のエラーと考えられます。メッセージ DFHFC0001 に関連したダンプを保管する必要があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. X'rrrr'
3. X'cccc'

宛先: コンソール

DFHFC0160 applid CICS がデータ・セットの脱鎖ロック処理を完了したことを VSAM に通知しようとして失敗しました。(An attempt to notify VSAM that CICS has completed lost locks processing for a data set has failed.) VSAM return code X'rrrr' reason code X'cccc'.

説明: VSAM ロック構造に障害が発生した後、VSAM はデータ・セットに、この CICS に関して脱鎖ロック状態であることを示すマークを付けました。CICS は、このデータ・セットに対するロックを解決するために必要なすべてのリカバリー処置を実行し、VSAM に対し、そのリカバリーが完了したことを通知しようとした。この試みは失敗しました。

VSAM の応答は rrrr であり、VSAM の理由は cccc です。

このメッセージの後に、障害が発生したデータ・セットを示すメッセージ DFHFC0312 が続きます。

システムの処置: VSAM 戻りコードが、SMSVSAM サーバーに障害が発生したことを示していない場合、CICS はシステム・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: この障害の最も考えられる原因は、CICS が要求を発行した時点で SMSVSAM サーバーに障害が発生していたことです。

要求が発行された時点で SMSVSAM サーバーに障害が発生していたためにこの問題が発生した場合は、SMSVSAM サーバーを再始動します (まだ自動的に再始動していない場合)。それ以外の場合は、CICS の再始動

または SMSVSAM サーバーの再始動により、VSAM への脱落ロック処理完了の通知を CICS に再試行させることができます。

ご使用のシステムが、データ・セットの削除など、何らかの処置を行い、それが原因で VSAM がデータ・セットを認識できなくなったためにエラーを返した可能性があります。メッセージ DFHFC0312 で示されたデータ・セットに関してこれが該当する場合、これ以上の処置は不要です。

VSAM の戻りコードや理由コードが内部 CICS または VSAM エラーを示している場合は、IBM からのさらなるサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rrrr'*
3. *X'cccc'*

宛先: コンソール

DFHFC0161 *applid* **Inquire recovery has failed.**
VSAM return code *X'rrrr'* **reason code**
X'cccc'.

説明: 再始動中、CICS は VSAM に照会リカバリー要求を出しました。VSAM がエラーを検出したため、この要求は失敗しました。

システムの処置: CICS の再始動は続行されます。すべての RLS ファイルが使用できません。

VSAM 戻りコードが、SMSVSAM サーバーに障害が発生したことを示していない場合、CICS は後で、関連システム・ダンプがあるメッセージ DFHFC0001 を発行します。

ユーザーの処置: この障害の最も考えられる原因は、CICS が要求を発行した時点で SMSVSAM サーバーに障害が発生していたことです。その場合、SMSVSAM サーバーがまだ自動的に再始動されていなければ、再始動してください。CICS を再始動する必要はありません。

VSAM の戻りコードや理由コードが内部 CICS または VSAM エラーを示している場合は、メッセージ DFHFC0001 からのダンプを保管してください。IBM からのさらなるサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rrrr'*
3. *X'cccc'*

宛先: コンソール

DFHFC0162 *applid* **A VSAM data cache has failed.**

説明: VSAM RLS によって使用されているデータ・キャッシュ構造が失敗しました。

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求は、「IOERR」応答を受け取ります。

CICS は、このエラーの VSAM 診断情報を表示するメッセージ DFHFC0158 も出します。失敗したキャッシュの名前は、続いて出される DFHFC0158 メッセージに表示されている情報から導き出すことができます。

データ・キャッシュが使用不可である間は、このキャッシュにバインドされたすべてのデータ・セットも使用不可です。そのようなデータ・セットの読み取りまたは書き込みを試みると、IOERR 応答が生成されます。

CICS は、キャッシュ失敗を原因とする入出力要求の失敗が初めて発生したときに、メッセージ DFHFC0162 および DFHFC0158 を出します。コンソールに大量のメッセージが表示されることを防止するために、CICS は、キャッシュがリカバリーされたことが通知されるまで、これらのメッセージを再度表示しません。複数のキャッシュが失敗した場合、DFHFC0162 および DFHFC0158 は、最初に失敗したキャッシュについてのみ表示されます。ただし、VSAM は、すべての失敗したキャッシュについてメッセージを出します。

ユーザーの処置: 新しいデータ・キャッシュを割り振り、VSAM に対してオンラインにしてください。

CICS は、新しいキャッシュが使用可能になるとすぐに通知を受け取り、適切なリカバリー処置をとることができますようになります。

モジュール: DFHFCCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0163 *applid* **VSAM RLS データ・キャッシュへの接続が失われました。(applid Connectivity to a VSAM RLS data cache has been lost.)**

説明: VSAM RLS によって使用されているデータ・キャッシュへの接続が失われました。

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求は、「IOERR」応答を受け取ります。

CICS は、このエラーの VSAM 診断情報を表示するメッセージ DFHFC0158 も表示します。失敗したキャッシュの名前は、続いて出される DFHFC0158 メッセージに表示されている情報から導き出すことができます。

データ・キャッシュが使用不可である間は、このキャッシュにバインドされたすべてのデータ・セットも使用不可です。そのようなデータ・セットの読み取りまたは書き込みを試みると、「IOERR」応答を受け取ります。

CICS は、この MVS イメージを実行しているプロセッサとデータ・キャッシュを保持するカップリング・ファシリティーとの間の接続が失われたことを原因とする入出力要求の失敗が初めて発生したときに、メッセージ DFHFC0163 および DFHFC0158 を出します。コンソールに大量のメッセージが表示されることを防止するために、CICS は、キャッシュがリカバリーされたことが通知されるまで、これらのメッセージを再度表示しません。複数のキャッシュとの接続が失われた場合、メッセージ DFHFC0163 および DFHFC0158 は、最初に失敗したキャッシュについてのみ表示されます。ただし、VSAM は、接続が失われたすべてのキャッシュについてメッセージを出します。

ユーザーの処置: CICS を実行しているプロセッサとキャッシュを含むカップリング・ファシリティーとの間の接続を再確立してください。

CICS は、接続が再確立されるとすぐに通知を受け取り、適切なリカバリー処置をとることができるようになります。

モジュール: DFHFCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0164 *date time applid tranid trannum termid userid*. RLS ロックを待って、要求がタイムアウトになりました。このロックを保持している *nm* トランザクションまたはトランザクションの **VSAM** リカバリー単位があります。

説明: このメッセージおよび続いて出される DFHFC0165 または DFHFC0175 メッセージは、トランザクションが AFCV 異常終了コードを伴って異常終了したか、アプリケーション・プログラムが RECORDBUSY 条件を受け取った場合の問題判別に役立つように出されます。

タスク番号 *trannum* のトランザクション *tranid* によっ

て、VSAM RLS モードで開いているファイルを更新しようとしたが、レコードに対するロックの取得を待機しているときに要求がタイムアウトになったために失敗しました。

VSAM RLS は、要求がタイムアウト間隔よりも長くロックを待機していたことを検出しました。しかし、RLS はデッドロックを検出できませんでした。VSAM RLS 要求と、DB2 または DBCTL などの別のリソース・マネージャーへの要求との間にデッドロックがある可能性があります。

タイムアウトが発生したときに、要求されたロックを保持している *nm* 個の他のトランザクションまたはトランザクションの VSAM リカバリー単位がありました。

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求で NOSUSPEND が指定されていた場合、要求は RECORDBUSY 条件を受け取り、続行します。要求で NOSUSPEND が指定されていなかった場合、要求は AFCV 異常終了を受け取ります。

CICS は、失敗したトランザクションおよびロックの所有者数を示すメッセージ DFHFC0164 を表示します。また、CICS は、ロック所有者ごとに 1 回ずつメッセージ DFHFC0165 または DFHFC0175 を出します。万一 VSAM RLS がロック所有者を識別できなかった場合、CICS は、DFHFC0165 または DFHFC0175 の代わりにメッセージ DFHFC0168 を出します。

ユーザーの処置: 続いて出される DFHFC0165 または DFHFC0175 メッセージは、それぞれ、要求されたロックを保持しているトランザクションおよびそれらが実行されている CICS システム、または要求されたロックを保持しているリカバリー単位およびそれが実行されているトランザクションの VSAM インスタンスを識別します。それらのトランザクションまたはリカバリー単位を調べて、それらが VSAM RLS ロックを解放しない理由を判別してください。以下に例を示します。

- VSAM RLS ロックを保持していて、端末入力を待機している可能性があります。
- VSAM RLS リソースおよび別のリソース・マネージャーのリソースの両方にアクセスしようとして、リソース・マネージャー間のデッドロックを作り出している可能性があります。

モジュール: DFHFCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHFC0165

4. *tranid*
5. *trannum*
6. *termid*
7. *userid*
8. *nn*

宛先: CSFL

DFHFC0165 *date time applid tranid trannum termid userid. MVS mvsid* 内、アプリケーション ID *applid2* のジョブ *jobname* で実行中のトランザクション *transid* (*tasknum*) 作業単位 *X'uwoid'* は、データ・セット *dsname* 内で *X'keyid'* {へのエンド・ロックの追加 | の内部ロック | キーの排他ロック | キーの共用ロック} を保持しており、それが {真 | 偽} 競合を引き起こしています。

説明: このメッセージおよび前に出されたメッセージ DFHFC0164 または DFHFC0174 は、トランザクションが AFCV または AFCW 異常終了コードを伴って異常終了したか、アプリケーションが RECORDBUSY 条件を受け取った場合の問題判別に役立つように出されます。

通常、このメッセージは、VSAM が CICS にタイムアウト応答を返した後で表示されます。ただし、ロックのプロモートの失敗の結果としてデッドロックが発生した場合は、VSAM が CICS にデッドロック応答を返した後で表示されることもあります。このメッセージが VSAM からのタイムアウト応答に関連する場合は、この前にメッセージ DFHFC0164 が出されます。このメッセージが VSAM からのデッドロック応答に関連する場合は、メッセージ DFHFC0174 に関連付けられます。

要求されたロックを現在所有しているトランザクションごとに、メッセージ DFHFC0165 が 1 回発行されます。

失敗したトランザクションの名前は *tranid* であり、そのタスク番号は *trannum* です。

このトランザクションのタイムアウトを引き起こしたロックの所有者を識別するメッセージ挿入は、以下のとおりです。

- *transid* は、ロックを所有するシステム内で実行されているトランザクションの名前です。ロックを保持するジョブが CICS システムではない場合、これは ???? として表示されます。
-

tasknum は、*transid* のタスク番号です。ロックを保持するジョブが CICS システムではない場合、これは ???? として表示されます。

- *uwoid* は、上記のトランザクションに関連する作業単位 ID です。作業単位 ID は、VSAM RLS によってトランザクションの論理作業単位 ID (*luwid*) としても使用されます。

- *jobname* は、ロックを所有する CICS システムのジョブ名です。
-

- *applid2* は、ジョブ名が上記の挿入によって示された CICS システムの *applid* です。
-

- *mvsid* は、この CICS が実行されている MVS の名前です。
-

- *dsname* は、ロックが保持されている対象のデータ・セットの名前です。
-

- *keyid* は、ロックされているキーを識別します。キーを常に文字形式で表示できるとは限らないため、キーは 16 進表記で表示されます。トランザクションがエンド・ロックの追加または内部ロックを待機していることをメッセージが示している場合、キー情報は表示されません。

このメッセージは、次のように、ロックが排他ロックと共用ロックのどちらとして保持されているかを示します。

- ロックが所有者を 1 つだけ持つことができる場合、そのロックは排他ロックです。例えば、排他ロックは更新操作を保護するために使用されます。
- ロックが多数の所有者を持つことができる場合、そのロックは共用ロックです。共用ロックは、反復可能な一貫性のある読み取り操作を保護するために使用されます。

ロックされたキーに対するロックが要求された場合、ロックは真の競合を引き起こします。別のキーに対するロックが要求されたが、キー長が 16 文字を超えているときに使用される RLS キー・ハッシュ・アルゴリズムが原因でロック要求が競合した場合、ロックは偽の競合を引き起こします。

システムの処置: このメッセージは、DFHFC0164 また

は DFHFC0174 の後に続きます。このメッセージに関連するシステムの処置についての説明は、DFHFC0164 または DFHFC0174 の説明を参照してください。

ユーザーの処置: このメッセージは、DFHFC0164 または DFHFC0174 の後に続きます。このメッセージに関連するユーザーの処置についての説明は、DFHFC0164 または DFHFC0174 の説明を参照してください。

モジュール: DFHFCSRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *termid*
7. *userid*
8. *transid*
9. *tasknum*
10. *X'uwowid'*
11. *jobname*
12. *applid2*
13. *mvsid*
14. 以下のオプションから選択される値。

1=エンド・ロックの追加、
2=内部ロック、
3=キーの排他ロック、
4=キーの共用ロック

15. *X'keyid'*
16. *dsname*
17. 以下のオプションから選択される値。

1=真、
2=偽

宛先: CSFL

DFHFC0166 *date time applid tranid termid userid.*

VSAM RLSはデッドロックを検出しました。デッドロック・チェーンに、*nn* トランザクションまたはトランザクションの **VSAM** リカバリー単位があります。

説明: このメッセージおよび続いて出される DFHFC0167 または DFHFC0177 メッセージは、トランザクションが AFCW 異常終了コードを伴って異常終了した場合の問題判別に役立つように出されます。

トランザクション *tranid* によって、VSAM RLS モードで開いているファイルを更新しようとしたが、この要求が他のトランザクションとのデッドロックを引き起こしたことを VSAM RLS が検出したために失敗しました。

タイムアウトが発生したときに、デッドロックを引き起こしたチェーンに、*nn* 個の他のトランザクションまたはトランザクションの VSAM リカバリー単位がありました。

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求は、AFCW 異常終了を受け取ります。

CICS は、失敗したトランザクションおよびデッドロック・チェーン内のトランザクションまたはリカバリー単位の数を示すメッセージ DFHFC0166 を出します。

また、CICS は、デッドロック・チェーンに関与しているトランザクションまたはリカバリー単位ごとに 1 回ずつメッセージ DFHFC0167 または DFHFC0177 を出します。DFHFC0167 および DFHFC0177 は、トランザクションまたはリカバリー単位が保持しているリソースと、トランザクションが待機しているリソースを示します。

ユーザーの処置: デッドロック・チェーン内のトランザクションまたはリカバリー単位を調べて、デッドロックの発生原因を判別してください。必要場合は、デッドロックを作り出している状態を回避するためにプログラミング論理を訂正してください。

デッドロック問題を回避するプログラムの作成方法については、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHFCSRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *userid*
7. *nn*

宛先: CSFL

DFHFC0167 *date time applid tranid termid userid.*

MVS *mvsid* 内、*jobname/applid2* で実行中の作業単位 **ID** *X'uowid'* のトランザクション *transid(tasknum)* は、データ・セット *dsname1* に *X'key1'* {へのエンド・ロックの追加 | の内部ロック | キーの排他ロック | キーの共用ロック} を保持しており、データ・セット *dsname2* で *X'key2'* {へのエンド・ロックの追加 | の内部ロック | キーの排他ロック | キーの共用ロック} を待っています。

説明: このメッセージおよび前に出された DFHFC0166 メッセージは、トランザクションが **AFCW** 異常終了コードを伴って異常終了した場合の問題判別に役立つように出されます。

前に出されたメッセージ DFHFC0166 は、デッドロックが検出されたことを報告し、デッドロック・チェーン内に存在するトランザクションの数を含んでいます。

メッセージ DFHFC0167 は、デッドロック・チェーン内のトランザクションごとに 1 回ずつ出され、そのトランザクションが保持するリソースと、そのトランザクションが待機しているリソースを含んでいます。

メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *transid(tasknum)* は、ロックを所有し、別のロックを待機しているトランザクションのトランザクション名および関連するタスク番号です。デッドロック・チェーン内のこの参加プログラムが **CICS** システムではない場合、これは *????(?????)* として表示されます。

- *uowid* は、タスク *transid(tasknum)* に関連する作業単位 **ID** です。作業単位は、**VSAM** によって論理作業単位 **ID** (*luwid*) としても使用されます。

- *jobname/applid2* は、このトランザクションが実行されている **CICS** システムのジョブ名および *applid* です。

- *mvsid* は、この **CICS** ジョブが実行されている **MVS** の名前です。

- *dsname1* は、このトランザクションがロックを保持する対象のデータ・セットの名前です。

- *key1* は、ロックされているキーを識別します。キーを常に文字形式で表示できるとは限らないため、キーは 16 進表記で表示されます。エンド・ロックの追加

または内部ロックが保持されていることをメッセージが示している場合、キー情報は表示されません。

- *dsname2* は、このトランザクションがロックを獲得しようとしている対象のデータ・セットの名前です。
- *key2* は、このトランザクションがロックしようとしているキーを識別します。トランザクションがエンド・ロックの追加または内部ロックを取得しようとしていることをメッセージが示している場合、キー情報は表示されません。

このメッセージは、次のように、ロックが排他ロックと共用ロックのどちらとして保持されているか、およびトランザクションが排他ロックと共用ロックのどちらを獲得しようとしているかを示します。

- ロックが所有者を 1 つだけ持つことができる場合、そのロックは排他ロックです。例えば、排他ロックは更新操作を保護するために使用されます。
- ロックが多数の所有者を持つことができる場合、そのロックは共用ロックです。共用ロックは、反復可能な一貫性のある読み取り操作を保護するために使用されます。

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求は、**AFCW** 異常終了を受け取ります。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFC0166 の説明を参照してください。

モジュール: DFHFRCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *userid*
7. *transid(tasknum)*
8. *X'uowid'*
9. *jobname/applid2*
10. *mvsid*
11. 以下のオプションから選択される値。

1=エンド・ロックの追加、
2=内部ロック、
3=キーの排他ロック、

4=キーの共用ロック

12. *X'key1'*

13. *dsname1*

14. 以下のオプションから選択される値。

- 1=エンド・ロックの追加、
- 2=内部ロック、
- 3=キーの排他ロック、
- 4=キーの共用ロック

15. *X'key2'*

16. *dsname2*

宛先: CSFL

DFHFC0168 *date time applid tranid trannum termid
userid, { An exclusive | A shared} lock on
key X'keyid' in data set dsname is
causing {true | false} contention but
the owner of this lock is unknown.*

説明: このメッセージおよび前に出された DFHFC0164 メッセージは、トランザクションが AFCV 異常終了コードを伴って異常終了した場合の問題判別に役立つように出されます。

メッセージ DFHFC0168 は、VSAM RLS がロックの所有者を判別できない場合には常に出されます。これは異常条件です。シスプレックス内のプロセッサが停止していることを示している可能性があります。

dsname は、ロックが保持されている対象のデータ・セットの名前です。*keyid* は、ロックされているキーを識別します。キーを常に文字形式で表示できるとは限らないため、キーは 16 進表記で表示されます。

このメッセージは、次のように、ロックが排他ロックと共用ロックのどちらとして保持されているかを示します。

- ロックが所有者を 1 つだけ持つことができる場合、そのロックは排他ロックです。例えば、排他ロックは更新操作を保護するために使用されます。
- ロックが多数の所有者を持つことができる場合、そのロックは共用ロックです。共用ロックは、反復可能な一貫性のある読み取り操作を保護するために使用されます。

ロックされたキーに対するロックが要求された場合、ロックは真の競合を引き起こします。別のキーに対するロックが要求されたが、RLS キーを作成するときに使用さ

れるハッシュ・アルゴリズムの結果としてロック要求が競合した場合、ロックは偽の競合を引き起こします。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、問題判別に役立つように出されます。

モジュール: DFHFRCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *termid*
7. *userid*
8. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 排他、
- 2= 共有

9. *X'keyid'*

10. *dsname*

11. 以下のオプションから選択される値。

- 1=真、
- 2=偽

宛先: CSFL

DFHFC0169 *date time applid termid userid.* トランザクション *tranid* (トランザクション番号 *trannum*) は、**CICS** 内のアプリケーション **ID** *applid2* の作業単位 *X'uowid'* によるデータ・セット *dsname* に、**RLS** 保持ロックがあることを検出しました。

説明: 保持 RLS ロックによって現時点でロック状態が保持されているレコードを更新しようとしてしました。

メッセージ挿入は、以下のとおりです。

- *applid2* は、ロックを所有する CICS システムの *applid* です。
- *uowid* は、ロックを所有する作業単位の ID です。
- *dsname* は、ロックが保持されている対象のデータ・セットの名前です。

このメッセージは、問題診断に役立つように出されます。要求が「LOCKED」応答で失敗する原因になっているロックの所有者を識別します。

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求は、「LOCKED」応答を受け取ります。

ユーザーの処置: 繰り返される LOCKED 応答が問題の原因になっている場合は、CICS システムの名前と作業単位の ID を記録し、この作業単位が保持ロックを保持している理由の特定を試みてください。作業単位は、以下の 3 つの理由により、保持ロックを保持することがあります。

1. 作業単位が、失敗した CICS システム内で実行されていた。この CICS システムが再始動されると、ロックは正常に解放されます。

2. 作業単位が未確定になった。未確定の障害は、2 つの CICS システムのいずれかで「LOCKED」応答が検出されたからではなく、CICS システム間の通信の失敗の結果として発生します。

applid applid2 を持つ CICS システムに接続された端末から、以下のコマンドを出してください。

```
CEMT I UOW(
uowid)
```

または

```
CEMT I UOWDSNFAIL
```

これにより、分散作業単位を調整している CICS システムの *applid* を識別してください。次に、調整している CICS とロックを所有するシステムとの間の接続の再確立を試みてください。

3. 作業単位がバックアウトに失敗した。*applid applid2* を持つ CICS システムに接続された端末から、以下のコマンドを出してください。

```
CEMT INQUIRE
UOWDSNFAIL DATASET(
dsname)
```

これにより、データ・セット *dsname* の処理中に作業単位 *uowid* がバックアウトに失敗した理由を判別してください。作業単位は、いくつかの理由により、バックアウトに失敗することがあります。それぞれの理由は、CEMT INQUIRE UOWDSNFAIL からのさまざまな理由コードによって示されます。それぞれのタイプのバックアウト失敗の解決方法については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHFRCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *trannum*
8. *dsname*
9. *X'uowid'*
10. *applid2*

宛先: CSFL

DFHFC0170 *applid RLS* によって保持されているロックを解放しようとしたましたが、CICS にはそれらのロックが認識されていなかったため、失敗しました。(applid An attempt to release locks which are held by RLS but unknown to CICS has failed.)

説明: この CICS システムのために VSAM RLS ロック・マネージャーによって保持されているロックを解放しようとしたましたが、CICS にはそれらのロックが認識されていませんでした。そのようなロックは「孤立」ロックと呼ばれます。ロックを解放しようとしたが、VSAM RLS サーバーが使用不可であるか、解放するロックがなかったために失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ロックは、VSAM RLS サーバーが再度使用可能になった後で自動的に解放されます。

これらの「孤立」ロックがあると、そのようなロックを保持するデータ・セットに対する非 RLS アプリケーションの実行が妨げられることがあります。また、CICS システム上で実行されていて、使用可能な VSAM RLS サーバーにアクセスできるアプリケーションが、ロックされたレコードを更新しようとしたか、読み取り整合性オプションの 1 つを指定してレコードを読み取ろうとした場合も、「孤立」ロックが原因で LOCKED 応答が返されることがあります。

CICS には「孤立」ロックが認識されていないため、CICS API コマンドを使用してそれらのロックに関する情報を取得することはできません。

ユーザーの処置: サーバーが使用可能になっていないために失敗した場合は、VSAM RLS サーバーが再始動するまで待機してください。自動的に再始動しない場合は、理由を判別し、手動での始動を試みてください。

解放するロックがないために失敗した場合は、データ・セットの削除などの何らかのユーザーの処置の結果としてロックが削除されたか、または重大 VSAM エラーを示している可能性があります。ユーザーの処置が原因ではない場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0171 *applid* 脱落ロックのリカバリーは、未完了トランザクションによって遅延される可能性があります。(applid Lost locks recovery might be delayed by inflight transactions.)

説明: カップリング・ファシリティー (CF) ロック構造障害が発生し、SMSVSAM はロック構造を動的に再作成できませんでした。その結果、VSAM RLS ロックの脱落が発生しました。SMSVSAM は、CICS が脱落ロックのリカバリー処理を実行できるように、このイベントを CICS に通知しました。この処理の過程で、CICS は、脱落ロック状態からのリカバリーを促進するために、1 つ以上の脱落ロックを保持する未完了トランザクションを除去しようとしていました。しかし、すべてのトランザクションを除去することはできませんでした。

RLS モードでデータ・セットを更新したすべての UOW が完了するまで、RLS の脱落ロックのリカバリーを完了することはできません。次に RLS にアクセスしようすると未完了トランザクションが異常終了するため、未完了トランザクションが脱落ロック状態で正常に完了できる可能性はほとんどありません。(いずれにしてもおそらく異常終了する場合に) 未完了トランザクションが完了するまで実行させると、長い時間がかかることがあるため、CICS は未完了トランザクションを除去しようとしています。これは、特に会話型トランザクションの場合に行われます。

システムの処置: CICS を続行します。

重大エラーが原因でトランザクションの除去が失敗した場合は、メッセージ DFHFC0002 が出され、ダンプがとられます。

ユーザーの処置: トランザクションの除去は単なる予防手段であるため、処置をとる必要はないことがあります。

このメッセージは、データ・セットを更新した後で失敗した作業単位をすべて解決した後で RECOVERLOCKS の LOSTLOCKS 値を返すデータ・セットがある場合に

のみ、まだ完了していない未完了 UOW があることを示します。(LOSTLOCKS パラメーターについては、EXEC CICS INQUIRE DSNAME(?) コマンドを参照してください。)

問題のトランザクションを識別できる場合は、それらが正常に完了するまで実行させるか、CEMT マスター端末コマンドを使用してそれらの強制除去を試みてください。しかし、この状態になることはまれであるため、代わりの解決策として、CICS の即時シャットダウンに続いて緊急再始動を実行することを検討してください。これにより、すべての未完了トランザクションがバックアウトされます。

モジュール: DFHFCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0172 *applid* 変更モード要求が失敗したため、ファイル制御は、QR TCB 上での処理に戻ることができません。(applid File control is unable to return to processing on the QR TCB because a change mode request has failed.) CICS は終了します。(CICS will terminate.)

説明: 通常、ほとんどの CICS 機能は、QR TCB と呼ばれる TCB 上で実行されます。例外的に、ファイル制御は、FO TCB と呼ばれる TCB 上で OPEN および CLOSE 要求を出します。SUBTSKS=1 が SIT で指定されている場合、ファイル制御は、CO TCB と呼ばれる TCB 上で VSAM 読み取りおよび書き込み要求を処理することもあります。

RO TCB または CO TCB 上での作業を完了した後で、ファイル制御は、QR TCB 上での処理に戻る必要があります。QR TCB に戻るために、ファイル制御は、CICS タスク指名プログラムへの CHANGE_MODE 呼び出しをしました。この要求は失敗に終わりました。

システムの処置: これは重大エラーです。続行するためには QR TCB 上で実行される必要があるため、CICS は処理を続行できません。ダンプが作成され、CICS は終了します。

タスク指名プログラム・ドメインは、CHANGE_MODE 要求での失敗を説明するメッセージを出力しました。

ユーザーの処置: 詳細については、タスク指名プログラム・ドメインが出したメッセージを参照してください。

モジュール:

DFHFCRO, DFHFCCA, DFFCRV, DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0173 *date time applid VSAM has issued a {deadlock | timeout | locked} response but cannot supply problem determination data.*

説明: 特定の失敗の後で、VSAM は、通常、問題判別情報を提供します。CICS は、この情報を使用して、診断メッセージを出し、例外トレース項目を作成します。

しかし、VSAM は、失敗が発生したことを示す戻りコードを設定しているにもかかわらず、問題判別情報を提供できません。

VSAM RLS によって検出された失敗は以下のいずれかです。

- - デッドロック - CICS は、通常、メッセージ DFHFC0166 および複数の DFHFC0167 または DFHFC0177 メッセージを出します。
- - タイムアウト - CICS は、通常、メッセージ DFHFC0164 および 1 つ以上の DFHFC0165 または DFHFC0175 メッセージを出します。
- - 保持ロックによってロック済みのレコード - CICS は、通常、メッセージ DFHFC0169 または DFHFC0179 を出します。

システムの処置: CICS は通常の方法でエラーの処理を続行しますが、通常の問題判別メッセージを出すことも、通常の例外トレース項目を作成することもできません。

CICS はダンプをとりません。しかし、通常の方法でダンプ・テーブルを介してダンプを要求できます。

ユーザーの処置: これは、VSAM RLS 内にエラーがあることを示しています。SMSVSAM サーバーのダンプをとることをお勧めします。詳細については、該当する DFSMS/MVS 資料を参照してください。

モジュール: DFHFRCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=デッドロック、
2=タイムアウト、

3=ロック済み

宛先: CSFL

DFHFC0174 *date time applid tranid trannum termid userid A deadlock has occurred as a result of a lock promote failure.* このロックを保持している *nnn* トランザクションまたはトランザクションの **VSAM** リカバリー単位があります。

説明: このメッセージおよび続いて出される DFHFC0165 または DFHFC0175 メッセージは、トランザクションが AFCW 異常終了コードを伴って異常終了したか、NOSUSPEND が指定されていたために RECORDBUSY 応答を受け取った場合の問題判別に役立つように出されます。

トランザクション番号 *trannum* のトランザクション *tranid* によって、VSAM RLS モードで開いているファイルを更新しようとしたが、共用ロックを排他ロックにプロモートしようとしていたときにデッドロックが発生したことを VSAM が検出したために失敗しました。

VSAM RLS は、デッドロックのデバッグに役立つように CICS に問題判別情報を返します。しかし、VSAM はこのタイプのデッドロックをタイムアウトとして認識するため、CICS に返される情報は、タイムアウトの後で返される情報に似ています。したがって、他のタイプのデッドロックの後に出される DFHFC0167 メッセージの代わりにこのメッセージが出され、その後に 1 つ以上の DFHFC0165 または DFHFC0175 メッセージが出されます。

デッドロックが発生したときに、要求されたロックを保持している *nnn* 個の他のトランザクションまたはトランザクションの VSAM リカバリー単位がありました。

システムの処置: トランザクションは、AFCW 異常終了または RECORDBUSY 応答を受け取ります。

CICS は、失敗したトランザクションおよびロックの所有者数を示すメッセージ DFHFC0174 を表示します。また、CICS は、ロック所有者ごとに 1 回ずつメッセージ DFHFC0165 または DFHFC0175 を出します。万一 VSAM RLS がロック所有者を識別できなかった場合、CICS は、DFHFC0165 または DFHFC0175 の代わりにメッセージ DFHFC0168 を出します。

ユーザーの処置: 続いて出される DFHFC0165 または DFHFC0175 メッセージは、それぞれ、要求されたロックを保持しているトランザクションおよびそれらが実行されている CICS システム、またはロックを保持しているリカバリー単位およびそれらが実行されているトラン

ザクションの VSAM インスタンスを識別します。それらのトランザクションまたはリカバリー単位を調べて、それらが VSAM RLS ロックを解放しない理由を判別してください。それらが獲得している他の RLS リソースを調べて、失敗したトランザクションとのデッドロックを引き起こした可能性があるかどうかを判別してください。

モジュール: DFHFCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *termid*
7. *userid*
8. *nnn*

宛先: CSFL

DFHFC0175 *date time applid tranid trannum termid userid. MVS mvsid* 内、トランザクションの **VSAM** インスタンス *TVSInstance* のジョブ *jobname* で実行中のトランザクションの **VSAM** リカバリー単位 *X'urid'* は、データ・セット *dsname* 内で *X'keyid'* {へのエンド・ロックの追加 | の内部ロック | キーの排他ロック | キーの共用ロック} を保持し、それが {真 | 偽} 競合を引き起こしています。

説明: このメッセージおよび前に出されたメッセージ **DFHFC0164** または **DFHFC0174** は、トランザクションが **AFCV** または **AFCW** 異常終了コードを伴って異常終了したか、アプリケーションが **RECORDBUSY** 条件を受け取った場合の問題判別に役立つように出されます。

通常、このメッセージは、VSAM が CICS にタイムアウト応答を返した後で表示されます。ただし、ロックのプロモートの失敗の結果としてデッドロックが発生した場合は、VSAM が CICS にデッドロック応答を返した後で表示されることもあります。このメッセージが VSAM からのタイムアウト応答に関連する場合は、この前にメッセージ **DFHFC0164** が出されます。このメッセージが VSAM からのデッドロック応答に関連する場合は、メッセージ **DFHFC0174** に関連付けられます。

要求されたロックを現在所有しているリカバリー単位ごとに、メッセージ **DFHFC0175** が 1 回発行されます。

失敗したトランザクションの名前は *tranid* であり、そのタスク番号は *trannum* です。

このトランザクションのタイムアウトを引き起こしたロックの所有者を識別するメッセージ挿入は、以下のとおりです。

- *urid* は、ロックを所有するトランザクションの VSAM インスタンス内で実行されているリカバリー単位 ID です。
- *jobname* は、ロックを所有する CICS システムのジョブ名です。
- *TVSInstance* は、ジョブ名が上記の挿入によって示されたトランザクションの VSAM インスタンスの名前です。
- *mvsid* は、このトランザクションの VSAM インスタンスが実行されている MVS の名前です。
- *dsname* は、ロックが保持されている対象のデータ・セットの名前です。
- *keyid* は、ロックされているキーを識別します。キーを常に文字形式で表示できるとは限らないため、キーは 16 進表記で表示されます。トランザクションがエンド・ロックの追加または内部ロックを待機していることをメッセージが示している場合、キー情報は表示されません。

このメッセージは、次のように、ロックが排他ロックと共用ロックのどちらとして保持されているかを示します。

- ロックが所有者を 1 つだけ持つことができる場合、そのロックは排他ロックです。例えば、排他ロックは更新操作を保護するために使用されます。
- ロックが多数の所有者を持つことができる場合、そのロックは共用ロックです。共用ロックは、反復可能な一貫性のある読み取り操作を保護するために使用されます。

ロックされたキーに対するロックが要求された場合、ロックは真の競合を引き起こします。別のキーに対するロックが要求されたが、キー長が 16 文字を超えていると

DFHFC0177

きに使用される RLS キー・ハッシュ・アルゴリズムが原因でロック要求が競合した場合、ロックは偽の競合を引き起こします。

システムの処置: このメッセージは、DFHFC0164 または DFHFC0174 の後に続きます。このメッセージに関連するシステムの処置についての説明は、DFHFC0164 または DFHFC0174 の説明を参照してください。

ユーザーの処置: このメッセージは、DFHFC0164 または DFHFC0174 の後に続きます。このメッセージに関連するユーザーの処置についての説明は、DFHFC0164 または DFHFC0174 の説明を参照してください。

モジュール: DFHFCS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *termid*
7. *userid*
8. *X'urid'*
9. *jobname*
10. *TVSInstance*
11. *mvsid*
12. 以下のオプションから選択される値。

1=エンド・ロックの追加、
2=内部ロック、
3=キーの排他ロック、
4=キーの共用ロック

13. *X'keyid'*
14. *dsname*
15. 以下のオプションから選択される値。

1=真、
2=偽

宛先: CSFL

DFHFC0177 *date time applid tranid termid userid.*

MVS *mvsid* 内、*jobname/TVSInstance* で実行中のトランザクションの **VSAM** リカバリー単位 **ID** *X'urid'* は、データ・セット *dsname1* に *X'key1'* {へのエンド・ロックの追加 | の内部ロック | キーの排他ロック | キーの共用ロック} を保持しており、データ・セット *dsname2* で *X'key2'* {へのエンド・ロックの追加 | の内部ロック | キーの排他ロック | キーの共用ロック} を待っています。

説明: このメッセージおよび前に出された DFHFC0166 メッセージは、トランザクションが **AFCW** 異常終了コードを伴って異常終了した場合の問題判別に役立つように出されます。

前に出されたメッセージ DFHFC0166 は、デッドロックが検出されたことを報告し、デッドロック・チェーン内に存在するリカバリー単位の数を含んでいます。

メッセージ DFHFC0177 は、デッドロック・チェーン内のリカバリー単位ごとに 1 回ずつ出され、そのリカバリー単位が保持するリソースと、そのリカバリー単位が待機しているリソースを含んでいます。

メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *urid* は、ロックを所有し、別のロックを待機しているリカバリー単位 **ID** です。
- *jobname/TVSInstance* は、このリカバリー単位が実行されているジョブ名および TVS インスタンスです。
- *dsname1* は、このリカバリー単位がロックを保持する対象のデータ・セットの名前です。
- *key1* は、ロックされているキーを識別します。キーを常に文字形式で表示できるとは限らないため、キーは 16 進表記で表示されます。エンド・ロックの追加または内部ロックが保持されていることをメッセージが示している場合、キー情報は表示されません。
- *dsname2* は、このリカバリー単位がロックを獲得しようとしている対象のデータ・セットの名前です。
- *key2* は、このリカバリー単位がロックしようとしているキーを識別します。リカバリー単位がエンド・ロックの追加または内部ロックを取得しようとしていることをメッセージが示している場合、キー情報は表示されません。

このメッセージは、次のように、ロックが排他ロックと共用ロックのどちらとして保持されているか、およびリカバリー単位が排他ロックと共用ロックのどちらを獲得しようとしているかを示します。

- ロックが所有者を 1 つだけ持つことができる場合、そのロックは排他ロックです。例えば、排他ロックは更新操作を保護するために使用されます。
- ロックが多数の所有者を持つことができる場合、そのロックは共用ロックです。共用ロックは、反復可能な一貫性のある読み取り操作を保護するために使用されます。

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求は、AFCW 異常終了を受け取ります。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFC0166 の説明を参照してください。

モジュール: DFHFRCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *userid*
7. *X'urid'*
8. *jobname/TVSInstance*
9. *mvsid*
10. 以下のオプションから選択される値。

1=エンド・ロックの追加、
2=内部ロック、
3=キーの排他ロック、
4=キーの共用ロック

11. *X'key1'*
12. *dsname1*
13. 以下のオプションから選択される値。

1=エンド・ロックの追加、
2=内部ロック、
3=キーの排他ロック、
4=キーの共用ロック

14. *X'key2'*
15. *dsname2*

宛先: CSFL

DFHFC0179 *date time applid termid userid*. トランザクション *tranid* (トランザクション番号 *trannum*) は、トランザクションの **VSAM** インスタンス *TVSInstance* のリカバリー単位 *X'urid'* によるデータ・セット *dsname* に、**RLS** 保持ロックがあることを検出しました。

説明: 保持 **RLS** ロックによって現時点でロック状態が保持されているレコードを更新しようとした。

メッセージ挿入は、以下のとおりです。

- *TVSInstance* は、ロックを所有するトランザクションの **VSAM** インスタンスの番号です。
- *urid* は、ロックを所有するリカバリー単位の ID です。
- *dsname* は、ロックが保持されている対象のデータ・セットの名前です。

このメッセージは、問題診断に役立つように出されます。要求が「LOCKED」応答で失敗する原因になっているロックの所有者を識別します。

システムの処置: エラーを検出したアプリケーション要求は、「LOCKED」応答を受け取ります。

ユーザーの処置: 繰り返される **LOCKED** 応答が問題の原因になっている場合は、トランザクションの **VSAM** インスタンスの名前とリカバリー単位の ID を記録し、このリカバリー単位が保持ロックを保持している理由の特定を試みてください。トランザクションの **VSAM** リカバリー単位が失敗したか、リカバリー単位でバックアウト失敗が発生した可能性があります。トランザクションの **VSAM** アプリケーションが失敗した場合、ロックは、通常、アプリケーションが再実行されると解放されます。トランザクションの **VSAM** アプリケーションでバックアウト失敗が発生した場合は、ロックを解放するために、トランザクションの **VSAM** 手順を使用して、バックアウト失敗再試行を実行する必要があります。

モジュール: DFHFRCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *userid*

6. *tranid*
7. *trannum*
8. *dsname*
9. *X'urid'*
10. *TVSInstance*

宛先: CSFL

DFHFC0200 *date time applid {RLS | Non-RLS} file filename has been allocated to data set dataset.* モジュール *module*。

説明: このメッセージは、ファイル *filename* のデータ・セット *dataset* への動的割り振りに関するレコードを提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCN、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

5. *filename*
6. *dataset*
7. *module*

宛先: CSFL

DFHFC0201 *date time applid {RLS | Non-RLS} file filename has been deallocated.* モジュール *module*。

説明: このメッセージは、ファイル *filename* の動的割り振り解除に関するレコードを提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCN、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

5. *filename*
6. *module*

宛先: CSFL

DFHFC0202 *date time applid terminal userid tranid Resource definition for FILE filename has been added.*

説明: このメッセージは、リソース定義 *filename* の動的追加に関するレコードをシステムに提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCMT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *filename*

宛先: CSFL

DFHFC0203 *date time applid terminal userid tranid Resource definition for FILE filename has been deleted.*

説明: このメッセージは、リソース定義 *filename* の動的削除に関するレコードを提供します。

このメッセージは、システムにすでに存在するファイルが RDO でインストールされている場合に出されます。このメッセージに続いて、新しいファイル定義が追加されたことを示すメッセージ DFHFC0202 が出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCMT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*

5. *userid*
6. *tranid*
7. *filename*

宛先: CSFL

DFHFC0204 *date time applid terminal userid tranid*
Resource definition for FILE *filename*
has been updated.

説明: このメッセージは、OPEN、CLOSE、ENABLE
 および DISABLE 以外のリソース定義の更新に関するレ
 コードを提供します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCMT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *filename*

宛先: CSFL

DFHFC0205 *date time applid terminal userid tranid*
SHRCTL block for LSR pool *lsrpool*
has been updated.

説明: このメッセージは、SHRCTL ブロックの更新に
 関するレコードを提供します。

VSAM LSR プール 1 から 255 についての SHRCTL
 ブロックが存在し、これは LSRPOOL オブジェクトの
 RDO インストールによって更新されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*

7. *lsrpool*

宛先: CSFL

DFHFC0208I *applid* LSR pool *n* is being built
 dynamically by CICS because all of
 the necessary parameters have not
 been supplied. Either there is no
 LSRPOOL definition or it is
 incomplete. The following are not
 defined: 'CISIZE' 'STRINGS'
 'MAXKEYLENGTH'. A delay is
 possible.

説明: LSRPOOL 定義がないかまたは不完全であるた
 めに、パラメーター (CI サイズ、ストリングおよび
 maxkeylength) のうちの 1 つまたは複数 LSR プー
 ルに関して定義されていない場合、CICS は、この LSR
 プールに割り振られたデータ・セットの VSAM カタロ
 グからの情報を使用して、サイズを計算します。

システムの処置: CICS は、LSR プール・サイズを計算
 するのに必要な情報を入手するために、SHOWCATS を
 出します。いずれかのデータ・セットが移行されている
 場合、SHOWCAT は予想以上に時間がかかることがあ
 ります。

ユーザーの処置: SHOWCAT 処理が原因でかなりの遅
 延が生じる場合には、ユーザーは、移行済みのデータ・
 セットが再呼び出しされるのを待ち、LSR プール・サイ
 ズの計算が完了するのを待つ必要があります。将来、
 同様の問題が起こるのを避けたら、LSR プールを明
 示的に定義することを考慮してください。このメッセ
 ージには、欠落パラメーターが含まれています。

通常は、遅延は生じません。その場合にはユーザーの処
 置は不要です。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター
 MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHFCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *n*
3. 'CISIZE'
4. 'STRINGS'
5. 'MAXKEYLENGTH'

宛先: コンソール

DFHFC0209I *applid* ユーザー出口 **XFCRLSCO** では、非 **RLS** ファイル *filename* は **RLS** 共存チェックを迂回することができます。

説明: 非 **RLS** ファイル *filename* が開かれているため、ユーザー出口 **XFCRLSCO** がアクティブになり、実行されました。このユーザー出口は **UERCBY**P の戻りコードで応答しました。この戻りコードは、非 **RLS** ファイルが読み取り専用権限を持ち、**RLS** ファイルが同じデータ・セットに対して既に開かれていることを意味します。**RLS** ファイルが開かれているときにデータ・セットへのアクセスを続行するには、非 **RLS** ファイルは読み取り専用モードのままである必要があります。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: **DFHFCNO**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0210I *applid* ユーザー出口 **XFCRLSCO** では、**RLS** ファイル *filename* は **RLS** 共存チェックを迂回することができます。

説明: **RLS** ファイル *filename* が開かれているため、ユーザー出口 **XFCRLSCO** がアクティブになり、実行されました。このユーザー出口は **UERCBY**P の戻りコードで応答しました。この戻りコードは、非 **RLS** ファイルが読み取り専用権限を持ち、同じデータ・セットに対して既に開かれていることを意味します。**RLS** ファイルが開かれているときにデータ・セットへのアクセスを続行するには、非 **RLS** ファイルは読み取り専用モードのままである必要があります。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: **DFHFCRO**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0300 *applid (trandid termid)* **VSAM** ファイル '*filename*' での入出力操作が不完全であるため、ページが据え置かれました。

説明: **FORCE** を使用してトランザクションが除去されようしました。トランザクション *trandid* は、現在、

VSAM ファイル *filename* での入出力操作の完了を待っています。 *termid* は、このトランザクションを実行している端末を識別します。データ・セット名は、このメッセージに続いて出されるメッセージ **DFHFC0305** に示されます。

システムの処置: トランザクションは、入出力操作が完了するのを待ち、それから除去の実行が許可されます。これは、データ保全性が損なわれないようにするためです。入出力操作が完了すると、トランザクションは終了して、トランザクション異常終了コード **AFCY** が出されます。

ユーザーの処置: トランザクションが数秒以内に終了しない場合には、入出力の待ちが本物である (例えば、別の **CEC** が **DASD** ボリュームを予約済みである) 可能性があります。この場合には、入出力状態が解除になってからもう一度試みてください。

あるいは、データの保全性を確保するために確実に **CICS** を終了させて緊急再始動をしなければならないようなシステム問題が生じている可能性があります。この場合には、**CICS** を終了し、緊急再始動を実行してください。

モジュール: **DFHFCVR**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *trandid*
3. *termid*
4. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0301 *applid (trandid termid)* **BDAM** ファイル '*filename*' での入出力操作が不完全であるため、ページが据え置かれました。

説明: **FORCE** を使用してトランザクションが除去されようしました。トランザクション *trandid* は、現在、**BDAM** ファイル *filename* での入出力操作の完了を待っています。 *termid* は、このトランザクションを実行している端末を識別します。データ・セット名は、このメッセージに続いて出されるメッセージ **DFHFC0305** に示されます。

システムの処置: トランザクションは、入出力操作が完了するのを待ち、それから除去の実行が許可されます。これは、データ保全性が損なわれないようにするためです。入出力操作が完了すると、トランザクションは終了して、トランザクション異常終了コード **AFCY** が出されます。

ユーザーの処置: トランザクションが数秒以内に終了しない場合には、入出力の待ちが本物である (例えば、別

の CEC が DASD ボリュームを予約済みである) 可能性があります。この場合には、入出力状態が解除になってからもう一度試みてください。

あるいは、データの保全性を確保するために確実に CICS を終了させて緊急再始動をしなければならないようなシステム問題が生じている可能性があります。この場合には、CICS を終了し、緊急再始動を実行してください。

モジュール: DFHFCBD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *termid*
4. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0302 *applid (tranid termid) CICS terminating.*
VSAM ファイル '*filename*' での入出力操作を待機中に障害が生じました。

説明: トランザクション *tranid* が VSAM ファイルでの入出力操作の完了を待っているときに DISASTER タイプ・エラーが発生しました。この VSAM ファイルのファイル名およびデータ・セット名は、このメッセージの後に出力されるメッセージ DFHFC0305 に示されます。 *termid* は、このトランザクションを実行している端末を識別します。

システムの処置: CICS は、システム・ダンプ (ダンプ・コード FC0302) を作成して終了します。

ユーザーの処置: この問題は、前のエラーが原因になっています。前に出されたメッセージおよび戻りコード (例えば、タスク指名プログラム・ドメインからのもの) および関連トレース項目およびダンプを調べてください。

問題がアプリケーションのエラーに結びつかない場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCVR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *termid*
4. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0303 *applid (tranid termid) CICS terminating.*
BDAM ファイル '*filename*' での入出力操作を待機中に障害が生じました。

説明: トランザクション *tranid* が BDAM ファイル *filename* に対する入出力操作の完了を待っているときに、DISASTER タイプ・エラーが発生しました。

termid は、このトランザクションを実行している端末を識別します。

システムの処置: CICS は、システム・ダンプ (ダンプ・コード FC0303) を作成して終了します。

ユーザーの処置: この問題は、前のエラーが原因になっています。前に出されたメッセージおよび戻りコード (例えば、タスク指名プログラム・ドメインからのもの) および関連トレース項目およびダンプを調べてください。

問題がアプリケーションのエラーに結びつかない場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCBD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *termid*
4. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0304 *applid Dump taken in module_name due to a file control OPEN/CLOSE error.*

説明: このメッセージは、DFHFCFS が OPEN 要求または CLOSE 要求を行った後に出されます。この OPEN 要求または CLOSE 要求は、エラーのため完了しました。この特定のエラーは、別のメッセージによって識別されています。多くの場合、エラーを識別するメッセージは、このメッセージの前に表示されますが、エラーが共用リソース・プールの作成中に発生した場合には、このメッセージの後に表示されます。

この障害は、次のいずれかとして識別されます。

- 無効な要求 (OPEN でも CLOSE でもない) が送られた。
- サブタスク障害があった。
-

「DSNAME NOT FOUND」または「VSAM CATALOG DOMAIN NOT FOUND」以外のシステム障害があった。

共用リソース・プールの構築中に障害があった。

システムの処置: トレース項目が作成され、ダンプ・コード FC0304 のダンプがとられます。

ユーザーの処置: トレース項目およびダンプを調べて障害を見つけ出してください。

モジュール: DFHFCL、DFHFCM、DFHFCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *module_name*

宛先: コンソール

DFHFC0305 *applid* Message msgno file 'filename' dsname 'dataset'.

説明: このメッセージは、メッセージ DFHFC0300、DFHFC0302、DFHFC0307、DFHFC0308 または DFHFC0309 の後に出されます。このメッセージは、これらのメッセージの中に引用されている VSAM データ・セット名を識別しています。

このメッセージが DFHFC0300 または DFHFC0302 の次に出された場合には、このメッセージは DFHFCVR から出されています。

このメッセージが DFHFC0308 または DFHFC0309 の次に出された場合には、このメッセージは DFHFCRV から出されています。

このメッセージが DFHFC0307 の次に出された場合には、このメッセージは DFHFCVS から出されています。

システムの処置: 処理は、上記の前に出されたメッセージ (該当するいずれかのもの) に指定された方法で続行されます。

ユーザーの処置: この情報を参照している前に出されたメッセージを見つけて、そのメッセージに関するユーザーの処置を行ってください。

モジュール: DFHFCVR、DFHFCVS、DFHFCRV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *msgno*
3. *filename*
4. *dataset*

宛先: コンソール

DFHFC0307 *applid* I/O error on file 'filename', component code X'code'. File is temporarily disabled.

説明: VSAM ファイル *filename* を更新する要求の後で、VSAM によって入出力エラーが報告されました。

ファイルが LSR で指定されたので、VSAM は、要求を処理するために割り当てたバッファをまだ解放していません。したがって、CICS はこれらのバッファを解放するために特別な処置をとる必要があります。

ファイルに関連付けられたデータ・セット名は、次に出されるメッセージ DFHFC0305 にありますが、このエラーは別の場所で検出された可能性があります。このことは、コンポーネント・コード X'code' の値によって示されます。出される可能性のある値とそれに対応するエラーの場所は、次のとおりです。

- X'00' または X'01' - 基本クラスター
- X'02' または X'03' - 代替索引
- X'04' または X'05' - 更新セット

システムの処置: このファイルに対するアクティビティが停止しています。VSAM 出力バッファを解放するために、このファイルは閉じた後に再オープンします。さらにアクションが必要になる場合があります。ユーザー応答セクションを参照してください。

このファイルは、クローズ操作が正常に完了するまで、このファイルを使用する可能性のある新しいユーザーに対して UNENABLED と表示されます。これらのユーザーは、ファイルの使用を要求すると NOTOPEN 応答を受け取ります。エラーを検出したアプリケーション要求は、「IOERR」応答を受け取ります。

ユーザーの処置: インストール・システムは、入出力エラーのための標準手順にしたがう必要があります。データ・セット名とコンポーネント・コードが問題の特定に役立つ場合があります。VSAM LSR 出力バッファを完全に解放するには、同じ LSRPOOL を使用するこの CICS 領域のすべてのファイルを閉じてから、それらのファイルを再オープンすることが必要になる場合があります。それが不可能な場合は、十分な量のバッファを再利用するために CICS を再始動することを検討してください。

十分な量のバッファが定義されていれば、IOERR 応答の後に後続の要求の正常な処理が妨げられることはありません。できるだけ早くすべての LSRPOOL ファイルを閉じるか、CICS を再始動する必要があります。

モジュール: DFHFCVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0308 *applid tranid termid VSAM RLS* ファイル *filename* での入出力操作が不完全であるため、ページが据え置かれました。

説明: **FORCE** を使用してトランザクションが除去されようとしていました。トランザクション *tranid* は、現在、**VSAM RLS** ファイル *filename* での入出力操作の完了を待っています。termid は、このトランザクションを実行している端末を識別します。データ・セット名は、このメッセージに続いて出されるメッセージ **DFHFC0305** に含まれています。

システムの処置: トランザクションは、入出力操作が完了するのを待ち、それから除去の実行が許可されます。これは、データ保全性が損なわれないようにするためです。入出力操作が完了すると、トランザクションは終了して、トランザクション異常終了コード **AFCY** が出されます。

ユーザーの処置: トランザクションが数秒以内に終了しない場合には、入出力の待ちが本物である (例えば、別の **CEC** が **DASD** ボリュームを予約済みである) 可能性があります。この場合には、入出力状態が解除になってからもう一度試みてください。

あるいは、データの保全性を確保するために確実に **CICS** を終了させて緊急再始動をしなければならないようなシステム問題が生じている可能性があります。この場合には、**CICS** を終了し、緊急再始動を実行してください。

モジュール: **DFHFRCRV**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *termid*
4. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0309 *applid tranid termid Failure while waiting for I/O operation on VSAM RLS file filename*

説明: トランザクション *tranid* が **VSAM RLS** ファイル *filename* に対する入出力操作の完了を待っていると、**DISASTER** タイプ・エラーが発生しました。

システムの処置: **CICS** は **VSAM** に戻り、**VSAM** が **CICS** の代わりに入出力操作の待機を完了します。**CICS** ではなく **VSAM** が入出力の待機を完了するため、操作が完了するまで **CICS** のパフォーマンスが大幅に低下する可能性があります。

ユーザーの処置: この問題は、前のエラーが原因になっています。前に出されたメッセージおよび戻りコード (例えば、タスク指名プログラム・ドメインからのもの) および関連トレース項目およびダンプを調べてください。

問題がアプリケーションのエラーに結びつかない場合は、**IBM** からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「**IBM** との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: **DFHFRCRV**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *termid*
4. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0310 *applid tranid termid RLS* 制御 **ACB** での入出力操作が不完全であるため、ページが据え置かれました。

説明: **FORCE** を使用してトランザクションが除去されようとしていました。トランザクション *tranid* は、現在、**VSAM RLS** 制御 **ACB** での入出力操作の完了を待っています。

termid は、このトランザクションを実行している端末を識別します。

システムの処置: トランザクションは、入出力操作が完了するのを待ち、それから除去の実行が許可されます。これは、データ保全性が損なわれないようにするためです。入出力操作が完了すると、トランザクションは終了して、トランザクション異常終了コード **AFCY** が出されます。

ユーザーの処置: トランザクションが数秒以内に終了しない場合には、**VSAM** の待ちが本物である (例えば、特定の要求の完了にかなり長い時間がかかっている) 可能性があります。この場合には、**VSAM** 要求が完了してからもう一度試みてください。

あるいは、データの保全性を確保するために確実に **CICS** を終了させて緊急再始動をしなければならないようなシステム問題が生じている可能性があります。この場合には、**CICS** を終了し、緊急再始動を実行してください。

DFHFC0311 • DFHFC0313I

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *termid*

宛先: コンソール

DFHFC0311 *applid tranid termid* RLS 制御 ACB での入出力操作を待機中に、障害が生じました。

説明: トランザクション *tranid* が VSAM RLS 制御 ACB に対する入出力操作の完了を待っているときに、DISASTER タイプ・エラーが発生しました。

システムの処置: CICS は VSAM に戻り、VSAM が CICS の代わりに入出力操作の待機を完了します。CICS ではなく VSAM が入出力の待機を完了するため、操作が完了するまで CICS のパフォーマンスが大幅に低下する可能性があります。

ユーザーの処置: この問題は、前のエラーが原因になっています。前に出されたメッセージおよび戻りコード (例えば、タスク指名プログラム・ドメインからのもの) および関連トレース項目およびダンプを調べてください。

問題がアプリケーションのエラーに結びつかない場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *termid*

宛先: コンソール

DFHFC0312 *applid* メッセージ *msgno* データ・セット *dsname*

説明: このメッセージは、メッセージ DFHFC0152 または DFHFC0160 の後に出されます。このメッセージは、これらのメッセージの中に引用されている VSAM データ・セット名を識別しています。

システムの処置: DFHFC0152 または DFHFC0160 のいずれかで指定されたとおりに処理を続行します。

ユーザーの処置: この情報を参照している前に出されたメッセージを見つけて、そのメッセージに関するユーザーの処置を行ってください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *msgno*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0313I *applid* VSAM has returned an error with an RPL feedback - return code : *X'rc'* component code : *X'cc'* error code : *X'ec'* for file : *filename* and *dsname* : *dataset* The data set may be out of synch with its Alternate Indices.

説明: VSAM が VSAM ファイル *filename* についてエラーを戻しました。

アプリケーションに ILLOGIC 応答が戻されます。

このことは、コンポーネント・コード *X'cc'* の値によって示されます。出される可能性のある値とそれに対応するエラーの場所は、次のとおりです。

- *X'00'* または *X'01'* - 基本クラスター
- *X'02'* または *X'03'* - 代替索引
- *X'04'* または *X'05'* - 更新セット

システムの処置: アプリケーションに ILLOGIC 応答が戻されます。

ユーザーの処置: このファイルに基づいて代替索引を削除、再定義、または再作成する必要があるかもしれません。

モジュール: DFHFVCVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rc'*
3. *X'cc'*
4. *X'ec'*
5. *filename*
6. *dataset*

宛先: コンソール

DFHFC0314I *applid* 失敗した要求を完全にバックアウトするための十分な LSR バッファが VSAM にありません。(applid VSAM has insufficient LSR buffers to fully backout the failed request.)

説明: VSAM は、DFHFC0313 で示された VSAM ファイルのエラーおよび X'98' のエラー・コードを戻しました。

アプリケーションに ILLOGIC 応答が戻されます。

このエラー・コードは、失敗した要求を完全にバックアウトするための十分な LSR バッファが VSAM にないことを示しています。

システムの処置: アプリケーションに ILLOGIC 応答が戻されます。

ユーザーの処置: LSR バッファの割り振りを増やしてください。このファイルに基づいて代替索引を削除、再定義、および再作成することが必要な場合もあります。

モジュール: DFHFCVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0400 *applid* This CICS system is not authorized to provide shared access to data tables - reason code X'code'.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしています。他の CICS システムとのテーブルの共用を行うための準備をすることができませんでした。リソース名 DFHAPPL.applid への更新アクセスのセキュリティ検査が失敗したためです。理由コード X'code' の値は、セキュリティ検査の障害の理由についての詳細を示しています。この値は、X'ffraaaa' の形式であり、ff は障害のあった許可検査を識別し、rr は SAF からのレジスター 15 の戻りコードを示し、aaaa は SAFPRRET 値です。

X'ff' の値は次のとおりです。

X'01'

アクセスが AUTH セキュリティ検査によって拒否されました。

X'02'

アクセスが、FASTAUTH セキュリティ検査によって拒否されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。ただし、権限が認められ、そのテーブルが次にオープンされ

るまで、他の CICS システムは、この CICS システムが作成したデータ・テーブルを共用することはできません。

ユーザーの処置: データ・テーブルに共用アクセスを行うために必要な権限が CICS にあるかどうかを確認してください。理由コード X'code' で報告された値の説明を読むか、または CICS システムが共用データ・テーブル・サーバーとして機能できるようにする必要がある場合にセキュリティ定義またはセットアップに対してどのような変更が必要かを判別するには、RACF 資料の AUTH または FASTAUTH のいずれかのマクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'

宛先: コンソール

DFHFC0401 *applid* This CICS system is now authorized to provide shared access to data tables.

説明: CICS がデータ・テーブルをオープンしようとしています。許可検査が失敗し、そのためこの CICS システムが、他の CICS システムとデータ・テーブルを共用する準備を行えなかったため、以前にメッセージ DFHFC0400 が出されました。検査は再試行され、成功しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。特定の許可検査を受ければ、他の CICS システムは、このシステムのデータ・テーブルを共用することができるようになります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0402 *applid* CICS が MVS サブシステムとして定義されていなかったため、CICS はデータ・テーブルへの共用アクセスを提供できません。(applid CICS cannot provide shared access to data tables because CICS is not defined as an MVS subsystem.)

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしています。他の CICS システムとのテーブルの共用を

行うための準備をすることができませんでした。CICS が MVS サブシステムとして定義されていなかったためです。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。ただし、他の CICS システムは、この CICS システムが作成したデータ・テーブルを共用することはできません。

ユーザーの処置: CICS システム間でデータ・テーブルを共用できるようにするためには、CICS が MVS サブシステムとして定義されている必要があります。

詳細については、「共用データ・テーブルの概要」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0403 *applid* CICS が MVS サブシステムとして定義されていなかったため、CICS はリモート・データ・テーブルへの共用アクセスを提供できません。(applid CICS cannot provide shared access to remote data tables because CICS is not defined as an MVS subsystem.)

説明: CICS がリモート・ファイル・リソースにアクセスしようとしています。しかし、CICS が MVS サブシステムとして定義されていなかったため、共用データ・テーブルでリモート・テーブルにアクセスすることができません。

このメッセージがリリース 3.2.1 の CICS システム上で出された場合、これは、共用データ・テーブル・モジュール DFHDTINS が LPA 内またはこの CICS システムによって使用されるロード・ライブラリー内にインストールされていること、つまり間違ってロードされたことを意味します。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。

ユーザーの処置: CICS システム間でデータ・テーブルを共用できるようにするためには、CICS が MVS サブシステムとして定義されている必要があります。

メッセージが CICS/ESA 3.2.1 システムによって出された場合は、DFHDTINS モジュールがある場所を確認してください。この CICS によって指定されたロード・ライブラリー内にある場合は、DFHDTINS を除去する必要があります。共用データ・テーブル・サポートは、3.3 より低いレベルの CICS システム上にはインストールできません。この MVS システムのリンク・パック域

(LPA) 内にある場合は、DFHDTINS を除去する必要があります。このモジュールは、データ・テーブルを使用する可能性があるリリース 3.2.1 の CICS 領域を含む MVS システムの LPA 内に配置しないでください。ただし、PTF が CICS 3.2.1 領域に適用されている場合は除きます。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0405 *applid* 前に出されたジョブ・ステップが MVS 仮想記憶間サービスを使用していたため、この CICS システムはデータ・テーブルへの共用アクセスを提供できません。(applid This CICS system cannot provide shared access to data tables because an earlier job step has used MVS cross-memory services.)

説明: 前に出されたジョブ・ステップによって MVS 仮想記憶間サービスが使用されていたため、CICS は共用データ・テーブルを使用できません。CICS が LOGON 中に項目テーブルを共用データ・テーブル・サーバーとして作成しようとしたしましたが、前に出されたジョブ・ステップがスペース切り替え項目テーブルを所有していたため、結果は MVS 052 ABEND でした。(MVS は、後続のジョブ・ステップが仮想記憶間環境を確立することを許可しません。)

システムの処置: CICS は正常に続行されます。ただし、他の CICS システムは、この CICS システムが作成したデータ・テーブルへの共用アクセスを取得することはできません。

ユーザーの処置: データ・テーブル機能への共用アクセスを使用するためには、この CICS システムを含むジョブ内のジョブ・ステップの順序を確認してください。

詳細については、「共用データ・テーブルの概要」および「z/OS MVS システム・コード」のシステム異常終了コード 052 と理由コード 0314 の説明を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0406 *applid* This CICS system is not authorized for shared access to any data tables owned by the CICS system with applid *applid2* - reason code *X'code'*.

説明: リモート・ファイル・リソースについてのファイル要求が、メッセージに示されたアプリケーション ID を持つ CICS システムに渡されます。リモート・システムは、共用データ・テーブル・サーバーとして登録されましたが、リソース名 DFHAPPL.*applid2* (*applid2* はデータ・テーブル所有 CICS システムのアプリケーション ID) への読み取りアクセスのセキュリティ検査に失敗したため、このシステムがそのテーブルにアクセスすることはできません。理由コード *X'code'* の値は、バインド・セキュリティ検査の障害の理由についての詳細を示しています。この値は、*X'ffrraaaa'* の形式であり、*ff* は障害のあった許可検査を識別し、*rr* は SAF からのレジスター 15 の戻りコードを示し、*aaaa* は SAFPRRET 値です。

X'ff' の値は次のとおりです。

X'01'

アクセスが AUTH セキュリティ検査によって拒否されました。

X'02'

アクセスが、FASTAUTH セキュリティ検査によって拒否されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。そして、認可が与えられるまで、指定のリモート・システムに向けられたこの要求およびこれ以降の要求を機能シブします。アクセスは約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: この CICS システムが、システム *applid2* の所有するデータ・テーブルにアクセスできない場合には、理由コード *X'code'* で報告された値の説明を読むか、またはセキュリティ定義またはセットアップに対してどのような変更が必要かを判別するには、RACF 資料の AUTH または FASTAUTH のいずれかのマクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *applid2*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0407 *applid* This CICS system is now authorized for shared access to data tables owned by the CICS system with applid *applid2*.

説明: 以前に失敗してメッセージ DFHFC0406 で報告されたセキュリティ検査が、正常に行われました。このシステムは、アプリケーション ID *applid2* を持つ CICS システムが所有する共用データ・テーブルへのアクセスを試みることができるようになりました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。特定のリソース許可検査を受ければ、このシステムは、リモート CICS システムが所有する共用データ・テーブルにアクセスすることができます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *applid2*

宛先: コンソール

DFHFC0408 *applid* This CICS system is not authorized for shared access to remote file *filename* - reason code *X'code'*.

説明: メッセージに示されたリモート・ファイル・リソースに対するファイル要求は、たった今処理されました。ファイル所有領域には、共用データ・テーブルが含まれています。ファイルに関連するデータ・テーブルに接続しようとしたますが、接続元の領域は、ファイル・リソースへの共用アクセスのセキュリティ検査で不合格になりました。しかし、機能シブ・アクセスが同様に妨げられることはありませんでした。

このメッセージは、リモート・ファイルに関連するデータ・テーブルがあるかどうかにかかわらず、出されることがあります。これは、テーブルが存在するかどうかは、ファイル所有領域への仮想記憶間リンケージが確立されるまで判別できないためです。リンケージの確立は、接続試行がすべてのセキュリティ検査で合格になった後でのみ行われます。仮想記憶間リンケージがセットアップされると、それ以降の接続試行は、テーブルが存在するかどうかを最初に検査できます。共用アクセス・セキュリティ検査は、データ・テーブルが使用可能であることが分かっている場合にのみ必要になります。

理由コード *X'code'* の値は、ファイル・セキュリティ検査の失敗の理由についての詳細を示しています。この値は、*X'ffrraaaa'* の形式であり、*ff* はアクセスを拒否されたユーザー ID を識別し、*rr* は SAF からのレジ

ター 15 の戻りコードを示し、aaaa は SAFPRRET 値です。

X'ff' の値は次のとおりです。

X'01'

要求側システムの独自のユーザー ID は、リモート・ファイル *filename* への読み取りアクセスを拒否されました。

X'02'

リモート・ファイル *filename* を持つ CICS システムのデフォルトのユーザー ID が、ファイルへの読み取りアクセスのセキュリティチェックで使用され、アクセスが拒否されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。そして、共用アクセスの使用認可が与えられるまで、指定されたリモート・ファイルへ向けられるこの要求およびこれ以降の要求を機能シップします。アクセスは約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: このシステムから指定のファイルへの共用アクセスが、意図されたものであるかどうかを確認してください。意図されたものであれば、理由コードで与えられた補足情報を参照して、セキュリティ定義または設定に対してどのような変更が必要であるかを判断してください。

ファイル・セキュリティチェックに使用されるユーザー ID を決定する規則についての説明は、「共用データ・テーブルの概要」を参照してください。

モジュール: DFHEIFC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. X'*code*'

宛先: コンソール

DFHFC0409 *applid* This CICS system is now authorized for shared access to remote file *filename*.

説明: 以前に失敗してメッセージ DFHFC0408 で報告されたセキュリティチェックが、成功しました。このシステムで、指定されたテーブルに共用アクセスを行うことが可能になりました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0410 *applid* Data table cannot be opened. Data table initialization has failed for reason X'*code*'.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしていますが、共用データ・テーブル・サービスを初期設定することができませんでした。理由コード X'*code*' の値は、CICS が共用データ・テーブル・サービスを初期設定できなかった理由の詳細を示しています。

理由コードの形式は、X'ffaaaaa' (ff は障害のタイプを識別する X'80' 未満の値で、aaaaaa はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、X'axxxxxr' (a は異常終了のタイプを分類する X'8' 以上の値で、rrrr には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、xxx にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

X'*code*' < X'80000000' の場合、X'ff' の値は、以下のとおりです。

X'01'

予期しない障害が発生しました。このコードは、データ・テーブル SVC が予期しないエラーを検出すると報告されます。

X'04'

タスクの終わり処理用の MVS リソース・マネージャーを確立するために呼び出された MVS RESMGR マクロによってエラーが戻されました。補足情報の最初のバイト X'aa0000' には、MVS RESMGR マクロからのレジスター 15 の戻りコードの下位バイトが含まれます。

X'06'

エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト X'aa0000' は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

X'08'

MVS DSPSERV マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報は、レジスター 15 の戻りコードを含む 1 バイトと、その後に DSPSERV によって戻されるレジスター 0 の理由コードからの中央バイトを含む 2 バイトが続きます。

X'09'

MVS ALESERV マクロによってエラーが戻されましたが、このマクロは、データ・スペースのアクセス・リスト項目、または 1 次アドレス・スペースへの参照のためのアクセス・リスト項目を作成するために呼び出されたものです。理由コード内の補足情報は、レジスター 15 の戻りコードを含む 1 バイトと、その後に障害のある要求を識別する ALESERV 機能コード (サービス・タイプ) および修飾子 (オプション) を含む 2 バイトが続いています。

X'0E'

共用データ・テーブル・サービスの使用の逐次化 (これにより、1 つのアドレス・スペースにつき 1 つの TCB のみがサービスを使用できるように becomes) に失敗しました。補足情報の最初のバイトには、ENQ 戻りコードが含まれています。

X'code' > X'80000000' の場合、X'a' の値は、以下の組み合わせになります。

X'8'

異常終了が検出されました。

X'4'

ユーザー異常終了が検出されました。この場合、xxx には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、xxx に 16 進システム完了コードが入ります)。

X'2'

異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったために十分に分析することができませんでした。

X'1'

非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出されます。これらのメッセージは、関連するテーブルでとられる処置を示しています。予期しないエラー (X'ff'=X'01') の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

X'01'

システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

X'04'

MVS RESMGR マクロの資料を参照して、理由コードで報告されたレジスター 15 の戻りコードの下位バイトを解釈してください。

X'06'

CICS SVC 呼び出しの障害の理由は、おそらくデータ・テーブル SVC モジュール DFHDTVC がロードできなかったことです。その場合には、戻りコード値は X'02' です。この場合には、DFHDTVC モジュールが LPA 内または MVS システムのリンク・リストにある許可ライブラリー内にあるかどうかを検査してください。モジュールが正しい場所にある場合は、ロードができなかった理由を調べてください。ディスク上にハードウェア障害がある場合があります。出される可能性の少ない別の戻りコードの値としては、X'06' があり、これは DFHDTVC が再びリンク・エディットされ、再入可能としてマークされなかったことを意味します。

X'08'

MVS DSPSERV マクロの資料を参照して、理由コードの補足情報の部分で報告されるレジスター 0 とレジスター 15 の戻りコードを解釈してください。

X'09'

理由コードで報告された機能コード (サービス・タイプ) および修飾子 (オプション) は、どの ALESERV 要求が行われていたかを判別するために使用することができます。MVS ALESERV の資料およびマクロを参照して、理由コードで報告された機能コード、修飾子、およびレジスター 15 の戻りコードを解釈してください。

X'0E'

これは、1 つのアドレス・スペースにおける ENQ の制限数に達したことを示しているか、またはこの CICS アドレス・スペースで実行されている他の TCB が共用データ・テーブル・サービスの要求側としてすでに初期設定されていることを示している場合があります。

> X'80'

異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補

足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0411 *applid* **Data table cannot be opened. Data table initialization has failed owing to a storage failure - reason code *X'code'*.**

説明: CICS がデータ・テーブルをオープンしようとしていますが、ストレージの獲得に失敗したため共用データ・テーブル・サービスを初期設定することができませんでした。理由コード *X'code'* の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'tnnnnnn'* であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。固定長ストレージ・ブロックの場合は、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'tt' の値は次のとおりです。

X'01'

データ・テーブル SVC によって使用される作業域の MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ

X'02'

共用データ・テーブル・サーバーによって使用されるローカル・ヘッダー・ブロックの MVS サブプール 0 からのプライベート・ストレージ

X'03'

データ・テーブル・ブロックのプールの MVS サブプール 0 からのプライベート・ストレージ

X'04'

ファイル・ブロックのプールの MVS サブプール 0 からのプライベート・ストレージ

X'08'

MVS/ESA データ・スペース・ストレージ

X'09'

領域アンカーの MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ

X'11'

ダミー・リカバリー・ブロックの MVS サブプール 0 からのプライベート・ストレージ

X'12'

DFHDTAM ロード・モジュールをロードするのに必要な MVS サブプール 252 からのストレージ

X'13'

データ・テーブル SVC によって使用されるパラメーター・リストの MVS サブプール 230 (CICS キー) からのプライベート・ストレージ

X'14'

新しい ALET リスト・セクションの MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出されます。これらのメッセージは、関連するテーブルでとられる処置を示しています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。理由コードがプライベート・ストレージを示す場合は、CICS ジョブに指定されたか、あるいは IEALIMIT または IEFUSI インストール・システム出口によってシステムのデフォルトとして設定された様々な領域サイズのパラメーターをもう一度考慮してください。MVS ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとり、VERBEXIT VSMDATA を使用してそれを処理しなければならない場合があります。

理由コードがデータ・スペース・ストレージを示す場合は、この MVS システム内のデータ・スペースのサイズが IEFUSI インストール・システム出口の使用のために制限されているかどうか検査してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0412 *applid Data table cannot be opened.* モジュールのロード障害のためにデータ・テーブルを初期設定できませんでした - 理由コード *X'code'*。 (**Data table initialization has failed owing to a module loading failure - reason code *X'code'*.**)

説明: CICS は、データ・テーブルをオープンしようとしていますが、モジュールのロード障害のために共用データ・テーブル・サービスを初期設定することができませんでした。理由コード *X'code'* の値は、どのモジュールがロードされていたのか、そしてロードを行う際に何に障害が起きたのかについて詳細を示します。

理由コードの形式は *X'mfrraaa'* であり、*m* はモジュールを識別し、*f* は障害のタイプを示すコードです。一部の障害については、*rr* には、失敗したマクロ呼び出しからのレジスター 15 の戻りコードが含まれ、*aaaa* に補足情報が含まれる場合があります。

X'm' の値は次のとおりです。

X'1'

DFHDTFOR

X'2'

DFHDTAM

X'6'

DFHMRMS

X'f' の値は次のとおりです。

X'1'

LOAD、BLDL または CSVQUERY マクロのいずれの呼び出しによってもモジュールは検出されませんでした。

X'2'

MVS LOAD マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報の 2 バイトの *X'aaaa'* には、LOAD からの完了コードが含まれています。 *X'rr'* は、レジスター 15 の戻りコードです。

X'3'

MVS CSVQUERY マクロによってエラーが戻されました。 *X'rr'* は、レジスター 15 の戻りコードです。

X'4'

MVS BLDL マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報の 2 バイトの

X'aaaa' には、BLDL によって戻された R0 の理由コードが含まれています。

X'5'

モジュールは再入可能ではありません。

X'6'

モジュールの AMODE が間違っていました。

X'7'

モジュールの RMODE が間違っていました。

CICS/ESA 3.2.1 ユーザーのための注: 追加コード *X'08000000'* は、CICS/ESA 3.2.1 システムでのみ、DFHDTINS が LPA 内またはこの CICS システムのロード・ライブラリー内にインストールされている場合、つまりこのモジュールが間違ってロードされた場合に出されます。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出されます。これらのメッセージは、関連するテーブルでとられる処置を示しています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの 2 番目の 16 進数に示されている障害の理由によって異なります。

X'1'

最初の 16 進数を使用してどのモジュールが見つからなかったかを判別して、これが正しいライブラリーにあるかどうかを確認してください。

X'2'

MVS LOAD マクロの資料を参照して、理由コードで示された戻りコードおよび完了コードを解釈してください。障害の理由を説明する MVS LOAD からのメッセージがある場合もあります。

X'3'

MVS CSVQUERY マクロの資料を参照して、*X'code'* の 2 番目のバイトで示された戻りコードを解釈してください。

X'4'

これは入出力エラーまたはストレージ割り振り障害を示します。MVS BLDL マクロの資料を参照して、理由コード *X'code'* の値を解釈してください。

X'5'、X'6'、X'7'

理由コードの最初の数字を使用して、モジュールの名前を判別し、そのモジュールの状況を検査してください。これらのエラーは、このモ

ジュールが CICS で提供されたモジュールではないか、またはモジュールが破壊されたことを示します。

CICS/ESA 3.2.1 ユーザーのための注: 理由コードが X'08000000' だった場合、共用データ・テーブル・モジュール DFHDTINS は、この CICS/ESA 3.2.1 システムによって使用されるライブラリー内に間違えてインストールされています。この CICS によって指定されたロード・ライブラリー内にある場合は、DFHDTINS を除去する必要があります。共用データ・テーブル・サポートは、3.3 より低いレベルの CICS システム上にはインストールできません。この MVS システムのリンク・パック域 (LPA) 内にある場合は、DFHDTINS を除去する必要があります。このモジュールは、データ・テーブルを使用する可能性があるリリース 3.2.1 の CICS 領域を含む MVS システムの LPA 内に配置しないでください。ただし、PTF が CICS 3.2.1 領域に適用されている場合は除きます。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. X'code'

宛先: コンソール

DFHFC0415 applid Remote data tables cannot be accessed. 理由 X'code' のために共用データ・テーブルを初期設定できませんでした (Shared data table initialization has failed for reason X'code'.)

説明: CICS がリモート・ファイル・リソースにアクセスしようとしています、このリソースに共用データ・テーブルが関連付けられている可能性があります。しかし、CICS がデータ・テーブル・サービスを初期設定することができないため、共用データ・テーブルでリモート・テーブルにアクセスすることができません。モジュール DFHDTINS を STEPLIB 連結内または LPA 内で検出した場合、CICS は、共用データ・テーブルが必要であると想定し、初期設定を試みることに注意してください。理由コード X'code' の値は、この CICS 領域が、共用データ・テーブル・サービスの要求側として機能するために必要な初期設定を実行することができない理由の詳細を提供します。

理由コードの形式は、X'ffaaaaaa' (ff は障害のタイプを識別する X'80' 未満の値で、aaaaaa はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、X'axxxxxrrrr' (a は異常終了のタイプを分類する X'8' 以上の値で、rrrr には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、xxx にはシステムまたはユーザ

ー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

X'code' < X'80000000' の場合、X'ff' の値は、以下のとおりです。

X'01'

予期しない障害が発生しました。このコードは、データ・テーブル SVC が起こりえないエラーを検出すると報告されます。

X'06'

エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト aa0000 は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

X'0E'

共用データ・テーブル・サービスの使用の逐次化 (これにより、1 つのアドレス・スペースにつき 1 つの TCB のみがサービスを使用できるようにになります) に失敗しました。補足情報の最初のバイトには、ENQ 戻りコードが含まれています。

X'code' > X'80000000' の場合、X'a' の値は、以下の組み合わせになります。

X'8'

異常終了が検出されました。

X'4'

ユーザー異常終了が検出されました。この場合、xxx には、ユーザー完了コードの 16 進価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、xxx に 16 進システム完了コードが入ります)。

X'2'

異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったために十分に分析することができませんでした。

X'1'

非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。初期設定は約 10 分後に再試行されます。予期しないエラー (X'ff'=X'01') の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コード

についてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

X'01'

システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

X'06'

CICS SVC 呼び出しの障害の理由は、おそらくデータ・テーブル SVC モジュール DFHDT SVC がロードできなかったことです。その場合には、戻りコード値は X'02' です。この場合には、DFHDT SVC モジュールが LPA 内または MVS システムのリンク・リストにある許可ライブラリー内にあるかどうかを検査してください。モジュールが正しい場所にある場合は、ロードができなかった理由を調べてください。ディスク上にハードウェア障害がある可能性があります。出される可能性の少ない別の戻りコードの値としては、X'06' があり、これは DFHDT SVC が再びリンク・エディットされ、再入可能としてマークされなかったことを意味します。

X'0E'

これは、1 つのアドレス・スペースにおける ENQ の制限数に達したことを示しているか、またはこの CICS アドレス・スペースで実行されている他の TCB が共用データ・テーブル・サービスの要求側としてすでに初期設定されていることを示している場合があります。

> X'80'

異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0416 *applid* Remote data tables cannot be accessed. Shared data table initialization has failed owing to a storage failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS がリモート・ファイル・リソースにアクセスしようとしています。しかし、ストレージの獲得に失敗したため、CICS は共用データ・テーブル・サービスを初期設定することができませんでした。理由コード *X'code'* の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'tnnnnnn'* であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'tt' の値は次のとおりです。

X'01'

モジュール DFHQSSS によって必要とされる作業域の MVS サブプール 253 (16MB 境界より下) からのプライベート・ストレージ

X'02'

この CICS がデータ・テーブル要求側として機能するのに必要な共用データ・テーブル・ヘッダー・ブロックの MVS サブプール 0 からのプライベート・ストレージ

X'09'

領域アンカーの MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ

X'0A'

修飾されたサブシステム・ブロックのサブプール 241 (キー 0) からの ECSA ストレージ

X'0B'

システム・アンカーの MVS サブプール 241 (キー 0) からの ECSA ストレージ

X'0E'

接続ヘッダー・ブロックの MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。初期設定は約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。

理由コードがプライベート・ストレージを示す場合は、CICS ジョブに指定されたか、あるいは IEALIMIT または IEFUSI インストール・システム出口によってシステムのデフォルトとして設定された様々な領域サイズのパラメーターをもう一度考慮してください。MVS ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べる

DFHFC0417

ために、CICS ジョブの SDUMP をとり、VERBEXIT VSMDATA を使用してそれを処理しなければならない場合があります。

理由コードが ECSA (拡張共通サービス域) ストレージを示す場合は、システム・パラメーター・リスト IEASYSxx で指定されたか、MVS システムの初期設定に対して CSA 指定変更を使用して指定された CSA サイズを見直してください。ESQA ストレージが使い尽くされた場合にシステムが ECSA ストレージの使用を開始した可能性があるため、ESQA のサイズも見直してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0417 *applid* Remote data tables cannot be accessed. モジュールのロード障害のために共用データ・テーブルを初期設定できませんでした - 理由コード *X'code'*。
(Shared data table initialization has failed owing to a module loading failure - reason code *X'code'*.)

説明: CICS がリモート・ファイル・リソースにアクセスしようとしています。しかし、モジュールのロードが失敗したために CICS がデータ・テーブル・サービスを初期設定することができないので、共用データ・テーブルでリモート・テーブルにアクセスすることができません。

理由コード *X'code'* の値は、どのモジュールがロードされていたのか、そしてロードを行う際に何に障害が起きたのかについて詳細を示します。

理由コードの形式は *X'mfrraaaa'* であり、*m* はモジュールを識別し、*f* は障害のタイプを示すコードです。一部の障害については、*rr* には、失敗したマクロ呼び出しからのレジスター 15 の戻りコードが含まれ、*aaaa* に補足情報が含まれる場合があります。

X'm' の値は次のとおりです。

X'3'

DFHDTAOR

X'4'

DFHDTVCV

f の値は次のとおりです。

X'1'

モジュールが LOAD によって検出されませんでした。

X'2'

MVS LOAD マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報の 2 バイトの *X'aaaa'* には、LOAD からの完了コードが含まれています。*X'rr'* には、レジスター 15 の戻りコードが含まれています。

X'5'

モジュールは再入可能ではありません。

X'6'

モジュールの AMODE が間違っていました。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。初期設定は約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの 2 番目の 16 進数に示されている障害の理由によって異なります。

X'1'

最初の 16 進数を使用してどのモジュールが見つからなかったかを判別して、これが正しいライブラリーにあるかどうかを確認してください。

X'2'

MVS LOAD マクロの資料を参照して、理由コードで報告された戻りコードおよび完了コードを解釈してください。障害の理由を説明する MVS LOAD からのメッセージがある場合もあります。

X'5'*、*X'6'

理由コードの最初の数字を使用して、モジュールの名前を判別し、そのモジュールの状況を検査してください。このエラーは、このモジュールが CICS で提供されたモジュールではないか、またはモジュールが破壊されたことを示します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0420 *applid Shared access to data tables cannot be provided by this CICS system because it has not been registered as a shared data table server - reason code X'code'.*

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしたのですが、この CICS システムが共用データ・テーブル・サーバーとして登録されていないためにデータ・テーブルをオープンすることができませんでした。理由コード X'code' の値は、CICS システムを共用データ・テーブル・サーバーとして登録 (LOGON) できなかった理由の詳細を示します。

理由コードの形式は、X'ffaaaaaa' (ff は障害のタイプを識別する X'80' 未満の値で、aaaaaa はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、X'axxxxxx' (a は異常終了のタイプを分類する X'8' 以上の値で、xxxxx には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、xxx にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

X'code' < X'80000000' の場合、X'ff' の値は、以下のとおりです。

X'01'

このコードは、データ・テーブル SVC が予期しないエラーを検出すると報告されます。

X'02'

この領域と同じアプリケーション ID を持つ MVS イメージ内の他の領域が、共用データ・テーブル・サーバーとしてすでに登録 (ログオン) されています。

X'03'

DFHDTRM がデータ・テーブル SVC に PC ベクトルの無効なアドレスを与えたか、または PC ベクトルが項目テーブル項目 (ETE) の無効な数を指定しています。後者の場合、X'aaaaaa' には要求された ETE の数が含まれています。

X'04'

メモリーの終わり処理用の MVS リソース・マネージャーを確立しようとしたときに失敗が発生しました。補足情報の最初のバイト X'aa0000' には、MVS RESMGR マクロからのレジスター 15 の戻りコードの下位バイトが含まれます。

X'05'

サーバー・アドレス・スペースを永続的にスワップ不能にしようとしたときに失敗が発生しま

した。補足情報 X'aaaaaa' には、SYSEVENT TRANSWAP マクロが出されたときに指定された ECB 内で通知されたコードの下位 3 バイトが含まれます。

X'06'

エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト X'aa0000' は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

X'0D'

所定の時間に、指定のアプリケーション ID に関して 1 つの MVS システムにおいて 1 つのサーバーのみが活動状態になるように MVS ENQ を出したとき、障害が発生しました。補足情報の最初のバイトには、ENQ からの戻りコード X'aa0000' が含まれています。

X'10'

共用データ・テーブル接続のセキュリティ検査用の環境を作成しようとしたとき、セキュリティ環境がすでに設定されていることが検出されました。

X'11'

CICS セキュリティー・ブロックの実際のバージョンと共用データ・テーブル・モジュール DFHDTXS をアセンブルする際に使用したバージョンの間に不一致があります。

X'code' > X'80000000' の場合、X'a' の値は、以下の組み合わせになります。

X'8'

異常終了が検出されました。

X'4'

ユーザー異常終了が検出されました。この場合、xxx には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、xxx に 16 進システム完了コードが入ります)。

X'2'

異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったために十分に分析することができませんでした。

X'1'

非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

DFHFC0421

システムの処置: CICS は正常に続行され、そのテーブルをローカル使用専用にオープンしようとしています。予期しないエラー (X'ff'=X'01') の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

X'01'

システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

X'02'

同じ MVS イメージ内で共用データ・テーブル・サーバーとして機能する、指定のアプリケーション ID を持つ領域が複数あってはなりません。

X'03'

このエラーは、システムの破壊が起きたこと、または CICS コードにエラーがあることを示す場合があります。

X'04'

MVS RESMGR マクロの資料を参照して、理由コードの補足情報の部分で報告される戻りコードを解釈してください。

X'05'

MVS SYSEVENT マクロの資料を参照して、理由コードの補足情報の部分で報告される ECB の内容を解釈してください。

X'06'

データ・テーブル SVC モジュール DFHDT SVC のロードと関連する CICS SVC エラーが発生しないように、サーバー初期設定は LOGON が出される前に完了させなければなりません。したがって、このエラーはおそらく論理の問題か、ユーザーのシステムの破壊を示しています。

X'0D'

MVS ENQ マクロの資料を参照して、理由コードの補足情報の部分で報告される戻りコードを解釈してください。

X'10'

このエラーは、システムの破壊が起きたこと、または CICS コードにエラーがあることを示す場合があります。

X'11'

このエラーは、PTF が必要なサービスが、基本 CICS および共用データ・テーブル・コードの両方に対して適用された場合にこれらのうちの 1 つだけが正しく更新されたか、あるいはシステムの破壊が発生したか、あるいは CICS 内にエラーがあることを示す場合があります。

> X'80'

異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0421 *applid* Shared access to data tables cannot be provided by this CICS system because a storage failure has prevented it from registering as a shared data table server - reason code *X'code'*.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとしています、そうすることができません。それは、ストレージの獲得に失敗したためにこの CICS システムを共用データ・テーブル・サーバーとして登録することができないからです。理由コード *X'code'* の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'ttnnnnnnn'* であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'tt' の値は次のとおりです。

X'01'

モジュール DFHQSSS の作業域の MVS サブプール 253 (16MB 境界より下) から、またはデータ・テーブル SVC LOGON 処理で 사용되는作業域の MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ

X'0A'

修飾されたサブシステム・ブロックの MVS サブプール 241 (キー 0) からの ECSA ストレージ

X'0B'

システム・アンカーの MVS サブプール 241 (キー 0) からの ECSA ストレージ

X'0C'

サーバー・エレメントの MVS サブプール 241 (キー 0) からの ECSA ストレージ

X'0D'

セキュリティー・ブロックの MVS サブプール 241 (キー 0) からの ECSA ストレージ

システムの処置: CICS は正常に続行され、そのテーブルをローカル使用専用にオープンしようとしています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。

理由コードがプライベート・ストレージを示す場合は、CICS ジョブに指定されたか、あるいは IEALIMIT または IEFUSI インストール・システム出口によってシステムのデフォルトとして設定された様々な領域サイズのパラメーターをおそらくもう一度考慮する必要があります。MVS ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとり、VERBEXIT VSMDATA を使用してそれを処理しなければならない場合があります。

理由コードが ECSA (拡張共通サービス域) ストレージを示す場合は、システム・パラメーター・リスト IEASYSxx で指定されたか、MVS システムの初期設定に対して CSA 指定変更を使用して指定された CSA サイズを見直してください。ESQA ストレージが使い尽くされた場合にシステムが ECSA ストレージの使用を開始した可能性があるため、ESQA のサイズも見直してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0422 *applid* Shared access to data tables cannot be provided by this CICS system because a module loading failure has prevented it from registering as a shared data table server - reason code *X'code'*.

説明: CICS はデータ・テーブルをオープンしようとし

ていますが、そうすることができません。それは、モジュールのロードが失敗したため、この CICS システムを共用データ・テーブル・サーバーとして登録することができないからです。

理由コード *X'code'* の値は、どのモジュールがロードされていたのか、そしてロードを行う際に何に障害が起きたのかについて詳細を示します。

理由コードの形式は *X'mfrraaaa'* であり、*m* はモジュールを識別し、*f* は障害のタイプを示すコードです。一部の障害については、*rr* には、失敗したマクロ呼び出しからのレジスター 15 の戻りコードが含まれ、*aaaa* に補足情報が含まれる場合があります。

X'm' の値は次のとおりです。

X'5'

DFHDTXS

X'f' の値は次のとおりです。

X'1'

モジュールが LOAD によって検出されませんでした。

X'2'

MVS LOAD マクロによってエラーが戻されました。理由コード内の補足情報の 2 バイトの *X'aaaa'* には、LOAD からの完了コードが含まれています。*X'rr'* には、レジスター 15 の戻りコードが含まれています。

X'5'

モジュールは再入可能ではありません。

X'6'

モジュールの AMODE が間違っていました。

システムの処置: CICS は正常に続行され、そのテーブルをローカル使用専用にオープンしようとしています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの 2 番目の 16 進数に示されている障害の理由によって異なります。

X'1'

最初の 16 進数を使用してどのモジュールが見つからなかったかを判別して、これが正しいライブラリーにあるかどうかを確認してください。

X'2'

MVS LOAD マクロの資料を参照して、理由コードで示された戻りコードおよび完了コードを解釈してください。障害の理由を説明する MVS LOAD からのメッセージがある場合もあります。

X'5'、X'6'

理由コードの最初の数字を使用して、モジュールの名前を判別し、そのモジュールの状況を検査してください。このエラーは、このモジュールが CICS で提供されたモジュールではないか、またはモジュールが何らかの理由で破壊されたことを示します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0430 *applid* 理由 *X'code'* のためにファイル *filename* のデータ・テーブル・オープン要求が失敗しました。(applid Data table open request for file *filename* has failed for reason *X'code'*.)

説明: CICS はファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルを作成しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出されます。これらのメッセージは、指定したテーブルでとられる処置を示しています。

ユーザーの処置: これは、内部エラーまたはシステムが破壊されたことを示します。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0431 *applid* Data table open request for file *filename* has failed owing to a storage failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS は、ファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルを作成しようとしたが、ストレージを獲得できなかったために失敗しました。16 MB 境界より上または適切なデータ・スペース内のストレージが十分ではありません。理由コード *X'code'* の値は、獲得で

きなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'tnnnnnn'* であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'tt' の値は次のとおりです。

X'03'

データ・テーブル・ブロックの MVS サブプール 0 からのプライベート・ストレージ

X'04'

ファイル・ブロックの MVS サブプール 0 からのプライベート・ストレージ

X'05'

バックアウト・セルのプールのデータ・スペース DFHDT001 からのデータ・スペース・ストレージ (オープンされるファイルが、この CICS 実行において最初にオープンされるリカバリ可能ユーザー保守テーブルである場合に、プールは作成されます)

X'06'

テーブル項目記述子ブロックのプールのデータ・スペース DFHDT001、またはテーブルをロードする際に使用する記述子ブロックのデータ・スペース DFHDT001 からのデータ・スペース・ストレージ

X'07'

データ・テーブル索引ストレージのデータ・スペース DFHDT002 からのデータ・スペース・ストレージ

X'08'

データ・テーブル・レコードのプールのデータ・スペース DFHDT003 以上からのデータ・スペース・ストレージ

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHFC0931 か DFHFC0932 が出されます。これらのメッセージは、関連するテーブルでとられる処置を示しています。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。

理由コードがプライベート・ストレージを示す場合は、CICS ジョブに指定されたか、あるいは IEALIMIT または IEFUSI インストール・システム出口によってシス

テムのデフォルトとして設定された様々な領域サイズのパラメーターをおそらくもう一度考慮する必要があります。MVS ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとり、VERBEXIT VSMDATA を使用してそれを処理しなければならない場合があります。

理由コードがデータ・スペース・ストレージを示す場合は、この MVS システム内のデータ・スペースのサイズが IEFUSI インストール・システム出口の使用のために制限されているかどうか検査してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0432 *applid* Data table request for file *filename* has failed because the table is full for reason *eibresp2*.

説明: CICS はファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルにレコードを追加または再書き込みしようとしたが、NOSPACE 状態が発生して失敗しました。eibresp2 の値は次のとおりです。

102

ユーザー保守テーブル、またはカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに指定されたテーブル項目の最大数に、すでに達している。また、コミットされていない更新が未解決のまま残っている場合で、テーブルが、許可された最大数よりも明らかに少ないレコードを含んでいるときにも、この状態が、リカバリー可能なカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して起こることがあります。

103

CICS は、書き込まれるレコード用にストレージ内テーブル項目を作成するための十分なストレージを、CICS アドレス・スペースに獲得できない。

108

レコードを保管するカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールにスペースが不足している。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: eibresp2 理由コードを調べて、NOSPACE 状態が発生した理由を判別してください。

データ・テーブルで使用できる適切なストレージを大きくするか、テーブル内で許可される項目の数を増やしてください。

モジュール: DFHEIFC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *eibresp2*

宛先: コンソール

DFHFC0435 *applid* Data table access request for remote file *filename* has failed for reason *X'code'*.

説明: 要求側領域が、実行側領域の所有するリモート・ファイル *filename* への接続を確認しようとしているときに、エラーが発生しました。理由コード *X'code'* の値は、CICS がリモート・ファイルに接続できなかった理由についての詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'ffaaaaa'* (*ff* は障害のタイプを識別する *X'80'* 未満の値で、*aaaaaa* はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、*X'axxxxxr'* (*a* は異常終了のタイプを分類する *X'8'* 以上の値で、*rrrr* には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、*xxx* にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

X'code' < X'80000000' の場合、*X'ff'* の値は、以下のとおりです。

X'01'

予期しない障害が発生しました。このコードは、データ・テーブル SVC が起こりえないエラーを検出すると報告されます。

X'06'

エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト *aa0000* は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

X'07'

データ・テーブル SVC によって戻された接続索引が、呼び出し側のモジュールによってサポートされる最大値 ($2^{20} - 1$) を超えています。

X'0A'

実行側領域の所有するファイル・チェーンをスキップしようとしたましたが失敗しました。これ

は、チェーン上に永続的に無効な項目 (チェーンに損傷が起きたことを示すもの) があるためです。

X'0B'

この要求側 CICS 領域によるリモート・ファイルへの接続が、許可された最大値 ($2^{32} - 1$) にすでに達しています。

X'0C'

要求側 CICS 領域による共用データ・テーブルへのすべての接続の詳細を記録するベクトルを拡張する必要がありますが、拡張を行うと 16MB のサイズと等しくなるか 16MB のサイズを超えてしまいます。

X'0F'

サーバーの終了を逐次化しようとしたましたが、ENQ の数がアドレス・スペースの限界に達したため失敗しました。補足情報の最初のバイト X'aa0000' には、ENQ からの戻りコードが含まれます。

X'code' > X'80000000' の場合、X'a' の値は、以下の組み合わせになります。

X'8'

異常終了が検出されました。

X'4'

ユーザー異常終了が検出されました。この場合、xxx には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、xxx に 16 進システム完了コードが入ります)。

X'2'

異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったため十分に分析することができませんでした。

X'1'

非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シッします。共用テーブルの使用は約 10 分後に再試行されます。予期しないエラー (X'ff'=X'01') の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

X'01'

システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

X'06'

データ・テーブル SVC モジュール DFHDT SVC のロードに関連する CICS SVC エラーが発生しないように、要求側初期設定は CONNECT が出される前に完了させなければなりません。したがって、このエラーはおそらく論理の問題か、ユーザーのシステムの破壊を示しています。

X'07'

この要求側領域がアクセスしようとしている、他の領域によって所有される共用データ・テーブルが多過ぎるので、ユーザーのシステム構成を変更する必要があります。使用するリモート・ファイルの数を減らすか、要求側 CICS 領域を複数の小さな領域に分割する必要があります。

X'0A'

これは、サーバー領域内のサブプール 0 ストレージの破壊を示します。

X'0B'

これは、要求側領域に $2^{32} - 1$ を超える数のリモート・ファイル定義が含まれ、これらのすべてがサーバー領域内の同じファイルを参照しているか、またはストレージが破壊されたことを示します。

X'0C'

X'07' の場合と同じ処置です。

X'0F'

MVS ENQ マクロの資料を参照して、理由コードの補足情報の部分で報告される戻りコードを解釈してください。

> X'80'

異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid

2. *filename*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0436 *applid* Data table access request for remote file *filename* has failed because of a storage failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS は、リモート・ファイル・リソース *filename* にアクセスしようとしたが、ストレージを獲得できなかったために失敗しました。

理由コード *X'code'* の値は、獲得できなかったストレージのタイプについての詳細を示しています。

理由コードの形式は、*X'ttnnnnnn'* であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'tt' の値は次のとおりです。

X'01'

モジュール DFHDTXS によって使用される作業域、またはデータ・テーブル SVC CONNECT 処理によって使用される作業域の MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ。

X'0F'

接続ベクトルの MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ

システムの処置: CICS は、正常に続行され、この要求およびこれ以降のリモート・ファイル要求を機能シップします。共用テーブルの使用は約 10 分後に再試行されます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードによって示されるストレージのタイプによって異なります。

理由コードがプライベート・ストレージを示しているため、CICS ジョブに指定されたか、あるいは IEALIMIT または IEFUSI インストール・システム出口によってシステムのデフォルトとして設定された様々な領域サイズのパラメーターをおそらくもう一度考慮する必要があります。MVS ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとり、VERBEXIT VSMDATA を使用してそれを処理しなければならない場合があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0440 *applid* Data table close request for file *filename* has failed for reason *X'code'*.

説明: CICS はファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルをクローズしようとしたが、失敗しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。そのテーブルはクローズされたものとして処理されます。

予期しないエラー (*X'ff'=X'01'*) の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

X'01'

システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

X'06'

データ・テーブル SVC モジュール DFHDT SVC のロードと関連する CICS SVC エラーが発生しないように、サーバー初期設定は LOGON が出される前に完了させなければなりません。したがって、このエラーはおそらく論理の問題か、ユーザーのシステムの破壊を示しています。

X'09'

理由コードで報告された機能コード (サービス・タイプ) および修飾子 (オプション) は、どの ALESERV 要求が行われていたかを判別するために使用することができます。MVS ALESERV の資料およびマクロを参照して、理由コードで報告された機能コード、修飾子、およびレジスター 15 の戻りコードを解釈してください。

> X'80'

異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

DFHFC0441 • DFHFC0445

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0441 *applid* Data table close request for file *filename* has failed owing to a storage failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS は、ファイル・リソース *filename* のデータ・テーブルをクローズしようとしたましたが、ストレージの解放が失敗したためクローズは失敗しました。

理由コードの形式は、*X'tnnnnnnn'* であり、*tt* はストレージのタイプを識別し、一部のコードの場合には、*nnnnnn* は獲得できなかったストレージの 16 進サイズ (バイト単位) を示します。長さが固定されているストレージ・ブロックについては、理由コードは通常はサイズを報告しません。

X'tt' の値は次のとおりです。

X'14'

新しい ALET リスト・セクションの MVS サブプール 230 (キー 0) からのプライベート・ストレージ

システムの処置: CICS は正常に続行されます。そのテーブルはクローズされたものとして処理されます。

ユーザーの処置: CICS ジョブに指定されたか、あるいは IEALIMIT または IEFUSI インストール・システム出口によってシステムのデフォルトとして設定された様々な領域サイズのパラメーターをおそらくもう一度考慮する必要があります。MVS ストレージが種々のサブプールに割り振られた仕方を調べるために、CICS ジョブの SDUMP をとり、VERBEXIT VSMDATA を使用してそれを処理しなければならない場合があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0445 *applid* Data table disconnect request for remote file *filename* has failed for reason code.

説明: CICS はリモート・データ・テーブル *filename* から切断しようとしたましたが、切断できませんでした。

要求側領域が、実行側領域が所有するリモート・ファイル *filename* への接続を中断しようとしているときに、エラーが発生しました。理由コード *X'code'* の値は、CICS がリモート・ファイルから切断できなかった理由についての詳細を示します。

理由コードの形式は、*X'ffaaaaaa'* (*ff* は障害のタイプを識別する *X'80'* 未満の値で、*aaaaaa* はいくつかの障害に対して提供される補足情報)、あるいは、異常終了が起こったときは、*X'axxxxxrrrr'* (*a* は異常終了のタイプを分類する *X'8'* 以上の値で、*rrrr* には、レジスター 15 の異常終了理由コードが入り、*xxx* にはシステムまたはユーザー完了コードが 3 個の 16 進数として含まれる) になります。

X'code' < X'80000000' の場合、*X'ff'* の値は、以下のとおりです。

X'01'

予期しない障害が発生しました。このコードは、データ・テーブル SVC が起こりえないエラーを検出すると報告されます。

X'06'

エラーが CICS SVC によって戻されました。補足情報の最初のバイト *aa0000* は、CICS SVC を呼び出すための試行からのレジスター 15 の戻りコードです。

X'code' > X'80000000' の場合、*X'a'* の値は、以下の組み合わせになります。

X'8'

異常終了が検出されました。

X'4'

ユーザー異常終了が検出されました。この場合、*xxx* には、ユーザー完了コードの 16 進等価値が入ります (ユーザー異常終了が検出されなかった場合は、*xxx* に 16 進システム完了コードが入ります)。

X'2'

異常終了が検出されましたが、SDWA が使用可能でなかったために十分に分析することができませんでした。

X'1'

非同期異常終了が検出されました (または、異常終了が同期であったか、あるいは SDWA がなかったために異常終了は分類できませんでした)。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このテーブルは、要求側の CICS システムから切断されたも

のとして処理されます。 予期しないエラー (X'ff'=X'01') の場合はシステム・ダンプがとられ、また異常終了の場合も (その異常終了コードについてダンプが要求される場合) システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 処置は、理由コードの最初のバイト内に示されている障害の理由によって異なります。

X'01'

システム・ダンプを使用して、問題の原因を判別してください。

X'06'

データ・テーブル SVC モジュール DFHDT SVC のロードに関連する CICS SVC エラーが発生しないように、要求側の初期設定は DISCONNECT が出される前に完了させなければなりません。したがって、このエラーはおそらく論理の問題か、ユーザーのシステムの破壊を示しています。

> X'80'

異常終了が検出されたことを理由コードが示している場合は、理由コードで提供されている補足情報を使用して異常終了が何であるかを調べ、異常終了コードに関する情報を参照して原因を判別してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *code*

宛先: コンソール

DFHFC0446 *applid* Data table disconnect request for remote file *filename* has failed because of a storage failure - reason code *X'code'*.

説明: CICS はリモート・データ・テーブル *filename* から切断しようとしたましたが、ストレージの解放に失敗したため切断はできませんでした。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。このテーブルは、要求側の CICS システムから切断されたものとして処理されます。

ユーザーの処置: これは、内部エラーまたはシステムの破壊を示します。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHFC0490 *applid* Unable to use data table for file *filename*.

説明: ファイル *filename* が関連するデータ・セットには、関連データ・テーブルがありますが、ストレージが不足しているため、CICS はそのテーブルのデータを使用することができません。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。テーブルからレコードを取り出せないため、ファイルへの読み取り専用アクセスのパフォーマンスは低下します。

ユーザーの処置: EDSA の外側の CICS 領域に十分なストレージがあることを確認してください。

詳細については、「共用データ・テーブルの概要」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0500 *applid* RLS OPEN of file *filename* failed. VSAM は R15 にコード *X'eeee'* を戻し、理由 *X'cccc'* を戻しました。
(VSAM has returned code *X'eeee'* in R15 and reason *X'cccc'*.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御の RLS オープン/クローズ・ルーチンは VSAM から非ゼロ戻りコードを受け取りました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照してください。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *X'eeee'*
4. *X'cccc'*

宛先: コンソール

DFHFC0501 *applid* RLS OPEN of file *filename*
**failed. VSAM has returned code 16 in
 R15. RLS access has been disabled.**

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンはレジスター 15 に戻りコード 16 を受け取りました。これは、RLS VSAM サーバーが現在使用不可であるため、ファイル制御が RLS アクセスを無効にしたことを意味します。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

RLS VSAM サーバーが再始動されると、CICS ファイル制御は RLS アクセスを再度有効にします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0502 *applid* RLS OPEN of file *filename*
failed. 同じデータ・セットでオープンされている他のファイルのアクセス・タイプが非 RLS であるときに、アクセス・タイプを RLS に切り替えようとした。
(Access type switch to RLS attempted while other files open for the same data set have non-RLS access type.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御の RLS オープン/クローズ・ルーチンは、ファイルのアクセス・タイプが RLS に変更されたが、同じデータ・セットでまだオープンされている他のファイルのアクセス・タイプが非 RLS であることを検出しました。他のファイルがすべてクローズされるまで、このファイルをオープンすることはできません。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクロー

ーズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 他のファイルをすべてクローズするか、このファイルのアクセスを変更して非 RLS に戻してください。同じデータ・セットのファイルはすべて、同じアクセス・タイプを持つ必要があります。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0503 *applid* ファイル *filename* の非 RLS オープンが失敗しました。同じデータ・セットでオープンされている他のファイルのアクセス・タイプが RLS であるときに、アクセス・タイプを非 RLS に切り替えようとした。
(Access type switch to non-RLS attempted while other files open for the same data set have RLS access type.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、ファイルのアクセス・タイプが非 RLS に変更されたが、同じデータ・セットでまだオープンされている他のファイルのアクセス・タイプが RLS であることを検出しました。他のファイルがすべてクローズされるまで、このファイルをオープンすることはできません。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 他のファイルをすべてクローズするか、このファイルのアクセスを変更して RLS に戻してください。同じデータ・セットのファイルはすべて、同じアクセス・タイプを持つ必要があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0504 *applid* RLS OPEN of file *filename*
**failed. The VSAM SHOWCB macro
 has detected a RLS VSAM server
 failure. RLS access has been disabled.**

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御の RLS オープン/クローズ・ルーチンはレジスター 15 に戻りコード X'1A' を受け取りました。これは、RLS VSAM サーバーが使用不可であるため、ファイル制御が RLS アクセスを無効にしたことを意味します。直前に検出されたオープン失敗の理由を CICS が調べようとしたときに、SHOWCB マクロによって戻りコードが戻されました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。RLS VSAM サーバーが再始動されると、CICS は RLS アクセスを再度有効にします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0505 *applid* RLS CLOSE of file *filename*
**failed. The VSAM SHOWCB macro
 has detected a RLS VSAM server
 failure. RLS access has been disabled.**

説明: CICS がファイル *filename* をクローズしていたとき、CICS ファイル制御の RLS オープン/クローズ・ルーチンは、RLS VSAM サーバーが使用不可であることを示す戻りコードを受け取りました。その結果、ファイル制御は RLS アクセスを無効にしてクローズしました。これは、残りのクローズ処理には影響しません。戻りコードは、CICS クローズ中に呼び出される SHOWCB マクロによって戻されます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。サーバーが使用不可である間に他のファイルに対する後続のクローズ要求が出された場合は、それらの要求もエラー戻りコードを受け取りますが、このメッセージを出すことはありません。RLS VSAM サーバーが再始動されると、CICS は RLS アクセスを再度有効にします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0507 *applid* RLS OPEN of file *filename*
**failed. 呼び出し可能サービス IGWARLS
 が存在しません。(Callable service
 IGWARLS is not present.)**

説明: 更新 SERVREQ を保有し、VSAM カタログをデータ・セット・リカバリー属性のリポジトリとして使用しているファイルをファイル制御で処理するためには、呼び出し可能サービス IGWARLS が必要です。CICS は、IGWARLS が LPA 内にあると想定します。IGWARLS はライブラリー SYS1.CSSLIB 内にあります。SYS1.CSSLIB が LPA 連結内にはない場合は、更新 SERVREQ を持つ RLS ファイルをオープンできません。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 更新 SERVREQ を持つファイルに対して RLS アクセスを使用する場合は、SYS1.CSSLIB が LPA 連結内に含まれていることを確認してください。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0508 *applid* RLS OPEN of file *filename*
**failed. VSAM has returned code X'AA'
 in register 15. RLS access has been
 disabled.**

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンはレジスター 15 に戻りコード X'AA' を受け取りました。これは、RLS VSAM サーバーが現在使用不可であるため、ファイル制御が RLS アクセスを無効にしたことを意味します。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

RLS VSAM サーバーが再始動されると、CICS ファイル制御は RLS アクセスを再度有効にします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0510 *applid* {RLS | Non-RLS} OPEN of file *filename* failed because the data set is unavailable. モジュール *module*。

説明: ファイル *filename* をオープンしようとしたが、CICS が内部的にデータ・セットに使用不可のマークを付けていたため、失敗しました。これは、前に出された EXEC CICS SET DSNAME UNAVAILABLE コマンドまたは CEMT の同等のコマンドの結果です。そのため、データ・セットに対して新しい RLS ファイルおよび非 RLS ファイルはオープンされません。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。この CICS 領域からのデータ・セットを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: ファイルのオープンを試みる前に EXEC CICS SET DSNAME AVAILABLE コマンド (または CEMT の同等のコマンド) が確実に出されるようにしてください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0511 *applid* RLS OPEN of file *filename* failed. この CICS には、非 RLS アクセス・モードでデータ・セット (またはそれに関連する基本データ・セット) に対してオープンしている他のファイルがあります。(This CICS has other files open for the data set (or its associated base) with non-RLS access mode.) The data set name is *dsname*.

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御の RLS オープン/クローズ・ルーチンは、この領域には、非 RLS アクセス・モードでデータ・セット *dsname* (またはそれに関連する基本データ・セット) に対してオープンしている他のファイルがあることを検出しました。これらのファイルが読み取り専用モードでデータ・セットにアクセスしている場合でも、他の非 RLS モード・ファイルがすべてクローズされるまで、このファイルを RLS アクセス・モードでオープンすることはできません。この制約により、各 CICS 領域内からのこのデータ・セットの表示の一貫性が保証されます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 他のファイルをすべてクローズするか、このファイルのアクセスを非 RLS モードに変更してください。特定の CICS 領域内から同じ基本データ・セットにアクセスするファイルはすべて、同じアクセス・モードを持つ必要があります。これには、パス・データ・セットを介したアクセスが含まれます。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0512 *applid* ファイル *filename* の非 RLS オープンが失敗しました。この CICS には、RLS アクセス・モードでデータ・セット (またはそれに関連する基本データ・セット) に対してオープンしている他のファイルがあります。(This CICS has other files open for the data set (or its associated base) with RLS access mode.) The data set name is *dsname*.

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御の非 RLS オープン/クローズ・ルーチンは、この領域には、RLS アクセス・モードでデータ・セット *dsname* (またはそれに関連する基本データ・セット) に対してオープンしている他のファイルがあることを検出しました。このファイルが読み取り専用モードでデータ・セットをオープンしている場合でも、他の RLS モード・ファイルがすべてクローズされるまで、このファイルを非 RLS アクセス・モードでオープンすることはできません。この制約により、各 CICS 領域内からのこのデータ・セットの表示の一貫性が保証されます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 他のファイルをすべてクローズするか、このファイルのアクセスを RLS モードに変更してください。特定の CICS 領域内から同じ基本データ・セットにアクセスするファイルはすべて、同じアクセス・モードを持つ必要があります。これには、パス・データ・セットを介したアクセスが含まれます。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0513 *applid* Non-RLS OPEN of file *filename* has failed. CICS has unresolved RLS recovery work for the data set (or its associated base). The data set name is *dsname*.

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御の非 RLS オープン/クローズ・ルーチンは、この領域には、データ・セット *dsname* (またはそれに関連する基本データ・セット) に対する未解決のリカバリー作業があることを検出しました。この作業では、基本データ・セットおよびすべての関連するパス・データ・セットに RLS モードでアクセスする必要があります。RLS リカバリー作業がすべて解決されるまで、このファイルをオープンすることはできません。この制約により、リカバリー作業の自動解決がデータ・セットへの非 RLS アクセスによって妨げられないことが保証されます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクロー

ーズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: INQUIRE UOWDSNFAIL コマンドを使用して、RLS リカバリー作業を調べ、それを解決するための処置をとってください。このために、バックアウト失敗作業単位を再試行し、未確定の失敗作業単位を再同期する必要が生じることがあります。作業単位の失敗およびそれらの解決について詳しくは、「再始動とリカバリーの管理」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0517 *applid* {RLS | Non-RLS} OPEN of file *filename* failed. VSAM カタログを読み取る際にエラーが検出されました。

説明: ファイルの OPEN 要求の処理の一部として、CICS は、VSAM カタログから情報を取得する必要があります。カタログ情報を取得しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: ファイル・オープン要求は失敗します。CICS によって前に出されたメッセージ DFHFC0519 に、以前のカatalog照会の失敗に関する情報が示されています。

ファイル *filename* を使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFC0519 に対する処置を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0518 *applid* ファイル制御に拡張アドレス方式の **ESDS** データ・セットが使用されています。

説明: ファイル制御は、拡張アドレス方式の ESDS を参照するファイルを少なくとも 1 つオープンしました。

システムの処置: None. これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アドレス方式の ESDS データ・セットを参照するファイルのために書き込まれる順方向リカバリー・ログ・レコードおよびファイル・ジャーナル・レコードは、新しい形式を持っています。

データ・セットが順方向リカバリー可能である場合は、新しい形式の順方向リカバリー・ログ・レコードを処理できる順方向リカバリー・ユーティリティを使用していることを確認してください。ファイル・ジャーナル処理を使用する場合は、すべてのジャーナル読み取りユーティリティが新しい形式のジャーナル・レコードを読み取ることができることを確認してください。

拡張アドレス方式の ESDS データ・セットを参照するファイルを判別するには、オペレーター・コマンド CEMT INQ FILE(*) EXTENDED を使用してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0519 *applid* データ・セット *dsname* に関する **VSAM** カタログ・ユーティリティ **IGGCSI00** に対する呼び出しが失敗しました。戻りコード *X'rrrr'* 理由コード *X'cccc'*。

説明: ファイルの OPEN 要求の処理の一部として、CICS は、VSAM カタログからデータ・セット *dsname* に関する情報を取得するために、プログラム IGGCSI00 を呼び出しました。IGGCSI00 への呼び出しが失敗しました。IGGCSI00 からの戻りコードは *rrrr*、理由コードは *cccc* でした。

システムの処置: ファイル・オープン要求は失敗します。CICS によって続いて出されるメッセージ DFHFC0517 に、オープンに失敗したファイルの名前が示されています。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: ファイルのリソース定義で正しい DSNNAME が指定されていることを確認してください。

DSNAME が正しく指定されている場合は、「z/OS DFSMS Managing Catalogs」の IGGCSI00 戻りコードおよび理由コードの説明を参照してください。

モジュール: DFHFCVC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dsname*

3. *X'rrrr'*

4. *X'cccc'*

宛先: コンソール

DFHFC0520 *applid* {RLS | Non-RLS} **OPEN of file filename failed. IGWARLS** 呼び出しは、コード *X'rrrr'* と *X'cccc'* および問題判別 *X'ddddddd'* をモジュール *module* に戻しました。(IGWARLS call returned codes *X'rrrr'*, *X'cccc'* and problem determination *X'ddddddd'* to module *module*.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンして、呼び出し可能サービス IGWARLS を使用して VSAM カタログから情報を検索していたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンはエラーを検出しました。IGWARLS からの戻りコードおよび理由コードは、それぞれ *rrrr* および *cccc* です。*ddddddd* は、使用可能な問題判別情報(ある場合)です。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: IGWARLS 理由コードを使用して、問題の原因を判別してください。IGWARLS 理由コードの意味については、z/OS DFSMSdfp Advanced Servicesを参照してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. X'rrrr'
5. X'cccc'
6. X'ddddddd'
7. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0521 *applid* RLS OPEN of file *filename*
failed. 未定義の LOG パラメーターは、更新タイプ SERVREQ を持つ RLS ファイルでは無効です。(Undefined LOG parameter is invalid for an RLS file with update type SERVREQs.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンして、呼び出し可能サービス IGWARLS を使用して VSAM カタログから情報を検索していたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、スフィアの LOG パラメーターが未定義であることを検出しました。RLS アクセス・タイプおよび更新タイプ SERVREQ を持つファイルでは LOG を指定する必要があります。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: IDCAMS ALTER を使用して、スフィアの LOG パラメーターを設定してください。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0522 *applid* {RLS | Non-RLS} OPEN of file *filename* **failed.** IGWARLS 呼び出しは、LOG パラメーターが ALL に設定されているが、LOGSTREAMID が指定されていなかったことを戻しました。
(IGWARLS call has returned that the LOG parameter is set to ALL but LOGSTREAMID has not been specified.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンして、呼び出し可能サービス IGWARLS を使用して VSAM カタログから情報を検索していたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、LOG(ALL) が LOGSTREAMID なしで指定されていたことを検出しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 順方向リカバリーが必要である場合は、IDCAMS ALTER を使用して、スフィアの LOGSTREAMID を追加してください。それ以外の場合は、順方向リカバリー設定を除去してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0523 *applid* RLS OPEN of file *filename*
failed. 順方向リカバリーの LOGSTREAMID がシステム・ログと同じです。(The LOGSTREAMID for forward recovery is the same as the system log.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、順方向リカバリーの LOGSTREAMID がシステム・ログと同じであることを検出しました。順方向リカバリーの LOGSTREAMID は、システム・ログとは異なっている必要があります。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: IDCAMS ALTER を使用して、スフィアの順方向リカバリーの LOGSTREAMID を変更してください。システム・ログとは異なっていることを確認してください。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0524 *applid* ログ・レコードを書き込もうとしましたが、そのログによってサポートされる最大長よりもレコードが長かったため、失敗しました。(applid **An attempt to write a log record failed because the record length was greater than the maximum supported by that log.**) モジュール *module*。

説明: ファイル更新操作の一部として、ログ・レコードを書き込もうとしましたが、関連するログ・ストリームによってサポートされる最大長よりもレコード内のデータが長かったため、失敗しました。

システムの処置: トレース項目が作成され、ダンプ・コード FC0524 のダンプがとられます。

ユーザーの処置: ファイル更新レコード・サイズよりも大きい MAXBUFSIZE を持つ構造を使用して、ログ・ストリームを再定義してください。

モジュール: DFHFCLJ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0525 *applid* {RLS | Non-RLS} **OPEN of file *filename* failed because the forward recovery or replication log stream could not be opened.** モジュール *module* (**Module *module***)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、スフィアの順方向リカバリーまたは複製ログ・ストリームをオープンできなかったことを検出しました。CICS ロガーへの内部呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: ログ・ストリームの名前を含む IXGxxxx メッセージがあるかどうかを確認してください。該当する「z/OS MVS システム・メッセージ 第 1 巻 (ABA-AOM)」資料および「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)」を参照してください。これで解決しない場合、この問題を解決するためには IBM からのサポートが必要になります。これに対する処置については、「トラブルシューティングおよびサポート」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0526 *applid* ファイル *filename* の順方向リカバリー・ログ・ストリームをクローズするための CICS ログ・マネージャーへの要求でエラーが発生しました。(applid **An error occurred on the request to the CICS log manager to close the forward recovery log stream for file *filename*.**) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* を処理していたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、関連するスフィアの順方向リカバリー・ログ・ストリームをクローズするための要求がエラーを戻したことを検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0527 *applid* ファイル *filename* のリカバリ属性が、カタログにある新しい設定によって指定変更されました。(applid Recovery attributes for file *filename* have been overridden by new settings found on the catalog.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、スフィアのリカバリ設定が変更されたことを検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。スフィアに対して新しいリカバリ設定が有効になっています。

ユーザーの処置: この変更が必要であることを確認してください。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0528 *applid* RLS OPEN of file *filename* failed. スフィアに対して他のファイルがまだオープンされているときに、カタログ上のリカバリ属性が変更されました。(Recovery attributes on the catalog have changed while there are other files still open for the sphere.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンして、呼び出し可能サービス IGWARLS を使用して VSAM カタログから情報を検索していたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、カタログ上のリカバリ属性が変更されたことを検出しました。現在、スフィアに対して他のファイルがオープンされていて、それらのファイルは前のリカバリ属性を想定していました。すべてのファイルがクローズされるか、リカバリ属性が前の設定に戻されるまで、後続のオープンは失敗します。関連するスフィアを使用するすべての CICS システム内でそのスフィアを最初に静止しない限り、カタログ上のリカバリ属性を変更しないでください。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: スフィアを静止し、新しい設定を使用して再度開始してください。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0529 *applid* ファイル *filename* のリカバリ属性が、アクセス・タイプの切り替えによってリセットされました。(applid Recovery attributes for file *filename* have been reset as there has been a switch of access type.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、アクセス・タイプが RLS VSAM から非 RLS VSAM に (またはその逆に) 変更されたことを検出しました。その結果、既存のリカバリ属性がクリアされ、再度開始されます。

システムの処置: 処理を続行します。スフィアに対して新しいリカバリ設定が有効になっています。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRO、DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0530 *applid* {RLS | Non-RLS} OPEN of file *filename* failed. 自動ジャーナルのストリームがシステム・ログと同じです。(The automatic journal is the same stream as the system log.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、ファイルの自動ジャーナルのストリームがシステム・ログと同じであることを検出しました。これは許可されないため、CICS ロガーへの内部呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 自動ジャーナル処理の FCTE で示さ

れたストリームがシステム・ログとは異なっていることを確認してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0531 *date time applid Automatic journal journal journalname journalname, opened for file filename is not of type MVS.* モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、自動ジャーナル *journalname* で指定されたストリームがタイプ *MVS* ではなかったことを検出しました。例えば、ダミー・ログであるか、SMF データ・セットへのジャーナル処理を行っている可能性があります。これは意図したジャーナル・タイプではない可能性があるため、このメッセージで通知されます。*journal* は、ファイル定義の際に JOURNAL に指定される数値です。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: 自動ジャーナルのストリーム・タイプが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHFCN、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journal*
5. *journalname*
6. *filename*
7. *module*

宛先: CSFL

DFHFC0532 *applid {RLS | Non-RLS} OPEN of file filename failed because the automatic journal could not be opened.* モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、ファイルの自動ジャーナルをオープンできなかったことを検出しました。CICS ロガーへの内部呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: これは、内部 CICS エラーである可能性があります。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0533 *applid* ファイル *filename* の自動ジャーナルをクローズするための CICS ログ・マネージャーへの要求でエラーが発生しました。(applid An error occurred on the request to the CICS log manager to close the automatic journal for file filename.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* を処理していたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、自動ジャーナルをクローズするための要求がエラーを戻したことを検出しました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: これは、内部 CICS エラーである可能性があります。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0534 *applid* **VSAM** カタログから前に取得されたファイル *filename* のリカバリー属性が、**FCTE** からの新しい設定によって指定変更されました。(applid Recovery attributes for file *filename* previously taken from the VSAM catalog have been overridden by new settings from the FCTE.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、スフィアのリカバリー設定が未定義に変更されたことを検出しました。非 RLS VSAM ファイルの場合は、FCTE からのリカバリー属性が有効になっています。

システムの処置: 処理を続行します。ファイルに対して新しいリカバリー設定が有効になっています。

ユーザーの処置: リカバリー属性に対するこの変更が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0535 *applid* **VSAM** カタログから前に取得されたファイル *filename* のリカバリー属性が、**VSAM** カタログからの新しい設定によって指定変更されました。(applid Recovery attributes for file *filename* previously taken from the VSAM catalog have been overridden by new settings from the VSAM catalog.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、VSAM カタログ上のス

フィアのリカバリー設定が変更されたことを検出しました。データ・セットに対して他のファイルがオープンされていないため、新しいリカバリー属性が有効になっています。

システムの処置: 処理を続行します。ファイルに対して新しいリカバリー設定が有効になっています。

ユーザーの処置: リカバリー属性に対するこの変更が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0536 *applid* **FCTE** から前に取得されたファイル *filename* のリカバリー属性が、**VSAM** カタログからの新しい設定によって指定変更されました。(applid Recovery attributes for file *filename* previously taken from FCTE have been overridden by new settings from the VSAM catalog.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、VSAM カタログ上のスフィアのリカバリー設定が未定義ではなくなったことを検出しました。データ・セットに対して他のファイルがオープンされていないため、新しいリカバリー属性が有効になっています。

システムの処置: 処理を続行します。ファイルに対して新しいリカバリー設定が有効になっています。

ユーザーの処置: リカバリー属性に対するこの変更が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0537 *applid* **OPEN of file *filename* failed. The request to write a tie up record for the OPEN failed.**

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていた

とき、OPEN の関連レコードを書き込むための要求が失敗しました。CICS は、ファイルを再度クローズし、OPEN 要求を失敗させました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: これは、内部 CICS エラーである可能性があります。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0539 *applid* {RLS | Non-RLS} OPEN of file *filename* failed. IGWARLS 呼び出しは、LOG パラメーターが ALL に設定されていないが、BWO 設定が TYPECICS として定義されていたことを戻しました。
(IGWARLS call has returned that the LOG parameter is not set to ALL but the BWO setting has been defined as TYPECICS.) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンして、呼び出し可能サービス IGWARLS を使用して VSAM カタログから情報を検索していたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、BWO が TYPECICS に設定されていたが、LOG(ALL) が指定されていなかったことを検出しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: BWO(TYPECICS) が必要である場合は、LOG(ALL) を指定してください。あるいは、設定 BWO(NO) をお勧めします。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*

4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0540 *applid* ファイル *filename* の BWO 設定が NO および TYPECICS に明示的に設定されておらず、BWO(NO) であると想定されます。(applid The BWO setting for file *filename* has not been explicitly set to NO or TYPECICS and is assumed to be BWO(NO).) モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、VSAM カタログ上のスフィアの BWO 設定が BWO(TYPECICS) および BWO(NO) のいずれとしても明示的に指定されなかったことを検出しました。設定は BWO(NO) であると想定されます。

システムの処置: 処理を続行します。ファイルに対して BWO(NO) 設定が有効になっています。

ユーザーの処置: 「オープン中のバックアップ」を使用する必要がある場合は、アクセス方式サービスの ALTER 関数を使用して、このデータ・セットに対して BWO(TYPECICS) を設定してください。「オープン中のバックアップ」を使用する必要がない場合は、何も処置をとる必要はありませんが、アクセス方式サービスの ALTER 関数を使用して、BWO(NO) を明示的に設定することをお勧めします。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0541 *applid* RLS OPEN of file *filename* failed. RLS がサポートされていません。
(RLS is not supported.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、RLS がサポートされていなかったことを検出しました。この CICS システムがシステム初期設定パラメーター RLS=NO を指定して実

行されているか、VSAM のレベルが RLS をサポートしていません。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。RLS アクセスがサポートされていない理由を判別してください。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0542 *date time applid* **Forward recovery log ID *fwdrecovlog*, journalname *journalname* opened for file *filename* is not of type MVS.** モジュール *module*。

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、モジュール *module* 内の CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、順方向リカバリー・ログ *journalname* がタイプ MVS ではなかったことを検出しました。例えば、ダミー・ログであるか、SMF データ・セットへのロギングを行っている可能性があります。これは意図したログ・タイプではない可能性があるため、このメッセージで通知されます。

fwdrecovlog は、ファイル定義の際に指定される順方向リカバリー・ログ ID です。順方向リカバリー・ログ・ストリームがファイル定義ではなく VSAM カタログで指定されている場合は、タイプ MVS である必要があります。したがって、このメッセージは、順方向リカバリー・ログがファイル定義で指定されている場合にのみ出されます。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: 意図したタイプではなかった場合は、順方向リカバリー・ログの定義を訂正してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *fwdrecovlog*
5. *journalname*
6. *filename*

7. *module*

宛先: CSFL

DFHFC0543 *applid* ファイル *filename* の非 **RLS** オープンが失敗しました。ログ・ストリーム名の属性が **VSAM** データ・セットのものと競合しています。 **Base data set *dsname***

説明: 更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE、または UPDATE 設定) のために、ファイル *filename* のオープンを試みました。CICS は、ファイルのリカバリー属性 FWDRECOVLOG が、VSAM データ・セットの LOGREPLICATE および LOGSTREAMID と一致していないことを検出しました。ファイルはオープンされませんでした。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして使用不可の状態で処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル定義からの VSAM データ・セットおよびリカバリー属性の LOGREPLICATE を使用する場合は、LOGSTREAMID が、ファイル定義の FWDRECOVLOG 属性から生成されたストリーム名と一致していることを確認してください。

あるいは、VSAM データ・セットですべてのリカバリー設定を指定してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0555 *applid* **1 つ以上のデータ・セットが脱落ロック状況にあります。(applid One or more data sets are in lost locks status.)** CICS は脱落ロックのリカバリーを実行します。(CICS will perform lost locks recovery.)

説明: カップリング・ファシリティ・ロック構造の障害の時点で、CICS には、RLS アクセス・モードでオープンされていた 1 つ以上のデータ・セットがありました。SMSVSAM は、この障害から透過的にリカバリーできませんでした。その結果、CICS がそれらのデータ・セットに対して保持していた RLS ロックが失われました。

SMSVSAM は、この CICS に関して 1 つ以上のデータ・セットが脱落ロック状態にあることを CICS に通知しました。したがって、CICS は、それらのデータ・セ

ットに対して脱落ロックのリカバリーを実行する必要があります。

これは、CICS のウォーム・リスタートまたは緊急再始動が行われるとき、および動的 RLS 再始動が行われるときに発生することがあります。CICS のコールド・スタートまたは初期始動が行われるときに、脱落ロック状況にあるデータ・セットがある場合は、この CICS に関してその状況がクリアされます。

システムの処置: 脱落ロック状況にあるデータ・セットには、一般用途に使用不可であることを示すマークが付けられます。このようなデータ・セットへのアクセスを試みる作業単位は、AFCU 異常終了コードを伴って異常終了します。

CICS は、データ・セットに対して脱落ロックのリカバリーを実行します。脱落ロックのリカバリーは、データ・セットごとに、そのデータ・セットに対してコミットされていない更新を行ったすべての作業単位が完了するまで待機します。リカバリーを実行するために、これらの作業単位には、データ・セットへのアクセスが許可されます。1 つのデータ・セットに対する脱落ロックのリカバリーが完了するごとに、CICS はこのことを SMSVSAM に報告します。データ・セットにアクセスしていたすべての CICS 領域が脱落ロックのリカバリーを完了した時点で、そのデータ・セットは再び一般用途に使用可能になります。データ・セットは、その脱落ロックのリカバリーが完了すると同時に、一般用途に使用可能になることに注意してください。すべてのデータ・セットがリカバリーされるまで待つ必要はありません。

CICS は、脱落ロックのリカバリーを促進するために、以下の処置をとります。

- バックアウト失敗作業単位およびコミット失敗作業単位は、再試行するように駆動されます。
- 動的 RLS 再始動が行われるときには、データ・セットを更新した未完了トランザクションが除去されます(ウォーム・リスタートまたは緊急再始動が行われるときには、未完了作業単位が自動的にバックアウトされます)。

ユーザーの処置: 通常、脱落ロックのリカバリーは自動的に完了し、ユーザーからの処置を必要としません。しかし、脱落ロック状況にあるデータ・セットを更新したシャント済み作業単位がある場合は、それらの作業単位が解決されるまで、脱落ロックのリカバリーは完了しません。INQUIRE UOWDSNFAIL コマンドを使用して、これらのシャント済み作業単位を調べてください。

脱落ロックのリカバリーに長い時間がかかっている場合は、IDCAMS SHCDS LISTSUBSYS(ALL) コマンドをさまざまな間隔で出して出力を取得してから、その出力を

比較して、進行状況を判別できます。

RLS 保持ロックを保持するシャント済み作業単位の解決については、「再始動とリカバリーの管理」を参照してください。

モジュール: DFHFCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0556 *applid* データ・セット *dsname* に対する脱落ロックのリカバリーの完了の予期しない通知を受け取りました。(applid Unexpected notification of completion of lost locks recovery for data set *dsname*.)

説明: CICS は、データ・セット *dsname* に対する脱落ロックのリカバリーが完了したことを示す通知を SMSVSAM から受け取りましたが、CICS にはまだそのデータ・セットに対する未解決の脱落ロックのリカバリー作業があります。したがって、この通知は間違った順序で出されています。

システムの処置: CICS の処理を続行します。データ・セットは脱落ロック状態のままであり、CICS は脱落ロックのリカバリーを続行します。データ・セットに対する新しいファイル制御要求は、AFCU 異常終了で引き続き拒否されます。すべての CICS 領域がデータ・セットに対する脱落ロックのリカバリーを完了した時点で、CICS は、有効な通知を受け取り、脱落ロック状態からデータ・セットを除去します。

予期しない通知を受け取った場合は、各 CICS システム上に各データ・セットに対するこのメッセージのインスタンスがあります。

ユーザーの処置: 脱落ロックのリカバリー処理は、ユーザー介入なしで正常に完了するはずです。

ただし、このメッセージは SMSVSAM 内の論理エラーの可能性を示しているため、シスプレックス内のすべての SMSVSAM サーバーおよびそれらに関連するデータ・スペースのダンプをとってください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0557 *applid* CICS は、失われたロックの処理を必要とするデータ・セットを復旧中です。
total のうちの *count* の処理が完了しました。

説明: CICS は、脱落ロックのリカバリーを処理しています。このメッセージは、既にリカバリーされたデータ・セットの数および脱落ロックの処理を必要とするデータ・セットの合計数を表示します。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRR。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *count*
3. *total*

宛先: コンソール

DFHFC0560 *applid* SMSVSAM サーバーが使用不可であるため、RLS 制御 ACB の登録が失敗しました。(applid The register of the RLS control ACB has failed because the SMSVSAM server is not available.) VSAM macro IDAREGP return code X'rrrr', reason code X'cccc'.

説明: CICS がファイル制御を初期設定していたとき、RLS 処理用に制御 ACB を登録するための VSAM への呼び出しがエラーを戻しました。戻りコードは、SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースが使用不可であることを意味します。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、RLS アクセスはすべて無効になります。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。SMSVSAM サーバーが再始動されると、CICS は RLS アクセスを再度有効にします。

ユーザーの処置: SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースは、自動的に再始動するはずですが、再始動しない場合は、SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを手動で再始動してください。SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを再始動できない場合は、より重大なエラーが発生している可能性があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'rrrr'
3. X'cccc'

宛先: コンソール

DFHFC0562 *applid* RLS 制御 ACB が CICS によって正常に登録されました。(applid The RLS control ACB has been successfully registered by CICS.)

説明: このメッセージは、CICS による RLS 制御 ACB の登録に関するレコードを提供します。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCCA。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0563 *applid* RLS 制御 ACB が CICS によって正常に登録抹消されました。(applid The RLS control ACB has been successfully unregistered by CICS.)

説明: このメッセージは、CICS による RLS 制御 ACB の登録抹消に関するレコードを提供します。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCCA。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0564 *applid* The register of the RLS control ACB has failed. VSAM macro IDAREGP return code X'rrrr', reason code X'cccc', error data X'dddd'.

説明: CICS が VSAM RLS へのアクセスを初期設定していたとき、RLS 制御 ACB を登録するための VSAM への呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、RLS アクセスはすべて無効になります。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM コードを使用して、問題の原

因を判別してください。VSAM コードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rrrr'*
3. *X'cccc'*
4. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHFC0565 *applid* The unregister of the RLS control ACB has failed. VSAM macro IDAUNRP return code *X'rrrr'*, reason code *X'cccc'*, error data *X'dddd'*.

説明: CICS が RLS アクセスを静止していたとき、RLS 制御 ACB を登録抹消するための VSAM への呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: CICS は処理を続行し、RLS アクセスはすべて無効になります。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM コードを使用して、問題の原因を判別してください。VSAM コードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rrrr'*
3. *X'cccc'*
4. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHFC0566 *applid* The register of the RLS control ACB has failed. VSAM macro IDAREGP return code *X'rrrr'*, reason code *X'cccc'*.

説明: CICS が VSAM RLS へのアクセスを初期設定していたとき、RLS 制御 ACB を登録するための VSAM への呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、RLS アクセスはすべて無効になります。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM コードを使用して、問題の原因を判別してください。VSAM コードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rrrr'*
3. *X'cccc'*

宛先: コンソール

DFHFC0567 *applid* The unregister of the RLS control ACB has failed. VSAM macro IDAUNRP return code *X'rrrr'*, reason code *X'cccc'*.

説明: CICS が RLS アクセスを静止していたとき、RLS 制御 ACB を登録抹消するための VSAM への呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: CICS は処理を続行し、RLS アクセスはすべて無効になります。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM コードを使用して、問題の原因を判別してください。VSAM コードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。

この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rrrr'*
3. *X'cccc'*

宛先: コンソール

DFHFC0568I *applid* File control dynamic RLS restart has started.

説明: ファイル制御の動的 RLS 再始動が開始されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHFCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0569I *applid* File control dynamic RLS restart has ended.

説明: ファイル制御の動的 RLS 再始動が正常に完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHFCRR.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0570 *applid* File control RLS access has been enabled.

説明: RLS アクセスが使用可能になりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRR.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0571 *applid* RLS access cannot be restarted.

説明: CICS の始動時に (または CICS の実行中に VSAM RLS サーバーが使用可能になったときに実行された動的 RLS 再始動時に)、VSAM RLS への CICS アクセスを再開しようとしたのですが、エラーが発生しました。このエラーのため、この CICS 実行中に VSAM RLS に再度アクセスできない可能性があります。

アクセスが再度使用可能になるのは、この MVS システム内の VSAM RLS サーバーの失敗が原因で CICS が再始動時に動的 RLS 再始動処理を実行した場合か、RLS サーバーの意図的なリサイクルを手動で選択して動的再始動をトリガーした場合のみです。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、VSAM RLS へのアクセスは無効になります (オフサイト再始動が実行されている場合を除きます)。非 RLS VSAM ファイルへのアクセスなどのその他の CICS 機能は続行するはずで。

RLS 再始動に影響するエラーが検出された時点で、CICS は 1 つ以上のメッセージを出し、システム・ダンプをとります。

内部 CICS 制御構造の破壊などが原因である場合、このエラーは、この CICS システムの他の側面にも影響します。

オフサイト再始動が実行されている場合、つまり、システム初期設定の指定変更として OFFSITE=YES が指定されていた場合、CICS は続行せずにシステム・ダンプを作成して終了します。RLS オフサイト・リカバリーが必要である場合、オフサイト再始動を完了するためには RLS が必要であるため、RLS なしで続行しても意味がありません。すべての CICS システムがオフサイト・リカバリー作業 (この作業を含む) を完了するまで、CICSplex 内の他の CICS システムも新しい RLS 作業を実行できません。

ユーザーの処置: この CICS システムから VSAM RLS ファイルにアクセスする必要がある場合は、CICS を続行できます。例えば、この CICS システムが RLS アクセス・モードでファイルをオープンする可能性がない場合や、この CICS 実行を続行するために RLS アクセスなしでの続行を希望する場合です。

この CICS から VSAM RLS ファイルにアクセスする必要がある場合は、CICS をシャットダウンしてから再始動するか、VSAM RLS サーバーをリサイクルすることを検討してください。ただし、サーバーをリサイクルすると、この MVS 内のすべての CICS システムが動

的 RLS 再始動処理の対象となるため、RLS アクセス・モードでオープンされたすべてのファイルが暗黙的にクローズされることに注意してください。

元のエラーの原因を判別するには、エラーが検出されたときに出力されたメッセージおよびシステム・ダンプを調べてください。

オフサイト再始動を実行している場合は、システム初期設定の指定変更として OFFSITE=YES が指定されたままで CICS を再始動してください。

モジュール: DFHFCRR.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0574 *applid* RLS offsite recovery will be performed. 通常の RLS アクセスは許可されません。(Normal RLS access is not allowed.)

説明: OFFSITE=YES が SIT 指定変更として指定され、RLS がこの CICS によってサポートされています (RLS=YES が指定され、DFSMS/MVS のレベルが RLS をサポートしています)。このメッセージは、この CICS 実行中に RLS オフサイト・リカバリー処理が実行されることを示すために、ファイル制御の初期設定中に出されます。

システムの処置: この CICS が RLS リカバリー作業の実行を完了するまで、RLS アクセスは許可されません。リカバリー作業を実行しているタスクにのみ、RLS アクセスが許可されます。この CICS による RLS リカバリーが完了すると、メッセージ DFHFC0575 が出力されます。この CICS がメッセージ DFHFC0575 を出し、応答 GO を受け取るまで、通常の作業のための RLS アクセスは許可されません。メッセージ DFHFC0575 の説明は、いつでもあればメッセージに安全に応答できるかを示しています。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFC0575 が出力されるまで待機してください。CICS 再始動が完了してもすぐにこのメッセージが出力されない場合は、RLS データ・セットを更新したバックアウト失敗作業単位または未確定の失敗作業単位があり、それによって RLS リカバリーの完了が現時点で遅延している可能性があります。この場合には、INQUIRE UOWDSNFAIL コマンドを使用して、そのような失敗の原因を判別し、失敗を解決してください。

正常に解決できない失敗がある場合は、未確定の作業単位についての強制的な決定を行い、バックアウト失敗作業単位のロックをリセットすることができます。RLS 保

持ロックの解決については、「再始動とリカバリーの管理」を参照してください。

メッセージ DFHFC0575 が出力される前に何らかの理由で CICS が終了した場合は、再始動時に OFFSITE=YES を指定してください。

オフサイト・リカバリーが完了し、ユーザーがメッセージ DFHFC0575 に応答するまで、すべての再始動時に OFFSITE=YES を指定する必要があります。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0575D *applid* すべての CICS 領域がオフサイト・リカバリーを完了し、このメッセージを出したら、GO と応答してください。
(*applid* Reply GO only after all CICS regions have completed offsite recovery and issued this message.)

説明: このメッセージは、CICS システムが CICSplex のオフサイト・リカバリーに参加しているときに出力されます。

このメッセージは、この CICS システムがすべての RLS リカバリー作業を完了したときに出力されます。CICS は、RLS モードでオープンされていたデータ・セットへの更新を行い、かつ 1 次サイトでの災害時に未完またはシャント済みのいずれかだった (より厳密には、CICS システム・ログを整理するために指定された共通時点でその状態にあった) 作業単位をすべてバックアウトまたはコミットしました。

システムの処置: CICS の処理は続行されますが、このメッセージを出したシステム・タスクは応答を待機します。CICS が応答を受け取り、新しい RLS 作業の実行を許可するまで、ユーザー・アプリケーションのための RLS アクセスは許可されません。『ユーザーの処置』は、いつでもあれば安全に応答できるかを示しています。

ユーザーの処置: このメッセージは、特定の CICS 領域による RLS リカバリー作業が完了したことを示します。これに応答することは、オフサイト CICSplex のすべての RLS リカバリーが完了したことを示します。CICSplex 内のすべての CICS 領域がこのメッセージを出すまで、応答しないでください。すべての領域がこのメッセージを出したら、GO と応答してください。GO と応答した後で次にこの CICS 領域を再始動するときには、システム初期設定パラメーター OFFSITE をデフォルト値の NO に戻す必要があります。

許可される応答は GO のみです。他の応答を指定する

と、新しい応答番号でメッセージが再び出されます。

CICSplex 内のいくつかの CICS 領域が RLS リカバリー作業を完了するのを妨げている問題が発生している疑いがある場合は、マスター端末を使用して、稼働しているこの CICS をシャットダウンできます。CICSplex のオフサイト・リカバリーが完了していないため、CICS 領域を再始動するときには、OFFSITE=YES を指定する必要があります。オフサイト・リカバリーが完了し、ユーザーがメッセージ DFHFC0575 に応答するまで、すべての再始動時に OFFSITE=YES を指定する必要がありますことに注意してください。

モジュール: DFHFCOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. GO

宛先: コンソール

DFHFC0577 *applid* RLS offsite recovery is now complete. RLS access is allowed.

説明: このメッセージは、CICS システムが CICSplex のオフサイト・リカバリーに参加しているときに出力されます。

このメッセージは、メッセージ DFHFC0575 に対して応答 GO が指定されたときに出力されます。

システムの処置: 応答 GO は、CICSplex 内のすべての CICS システムが RLS リカバリー作業を完了したことを意味します。したがって、RLS データ・セットの共用を許可しても安全であるため、CICS は、ユーザー・アプリケーションに RLS へのアクセスを許可します。

ユーザーの処置: このメッセージを受け取った後で、この CICS が次に再始動されるときに OFFSITE=NO が指定されるように、SIT 指定変更を再コーディングできます。

モジュール: DFHFCOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0578 *applid* ファイル制御は、リカバリー可能 *filetype* であるファイル *filename* をオープンしましたが、有効な XFCLDEL グローバル・ユーザー出口プログラムがありません。(applid File Control has opened file *filename* which is a recoverable *filetype*, however no XFCLDEL global user exit program is enabled.)

説明: VSAM ESDS または BDAM データ・セットへの書き込み操作を実行した作業単位を CICS がバックアウトする必要がある場合は、バックアウト失敗が発生します。

システムの処置: None. これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: 上記で説明した場合にバックアウト失敗が発生しないようにするには、適切な XFCLDEL 出口プログラムを有効にし、開始してください。詳細については、「出口 XFCLDEL、ファイル制御論理削除出口」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *filetype*

宛先: コンソール

DFHFC0579 *applid* 最後の XFCLDEL グローバル・ユーザー出口プログラムが無効になりました。(applid The last XFCLDEL global user exit program has been disabled.)

説明: DISABLE PROGRAM コマンドの結果として、有効な XFCLDEL グローバル・ユーザー出口プログラムがなくなりました。VSAM ESDS または BDAM データ・セットへの書き込み操作を実行した作業単位を CICS がバックアウトする必要がある場合は、バックアウト失敗が発生します。

システムの処置: None. これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: 上記で説明した場合にバックアウト失敗が発生しないようにするには、適切な XFCLDEL 出口プログラムを有効にし、開始してください。詳細については、「出口 XFCLDEL、ファイル制御論理削除出口」を参照してください。

モジュール: DFHFCMT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC0600 *date time applid* BUNDLE *bundlename* has successfully installed FILE *filename* as {Enabled | Disabled}.

説明: CICS バンドル *bundlename* は、FILE *filename* を正常にインストールしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCBU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *filename*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=有効、
2=無効

宛先: CSFL

DFHFC0601 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install FILE filename
because {the definition is invalid | of an
installation failure | the file name cannot
begin with 'DFH' | an internal error
occurred}.

説明: CICS バンドル *bundlename* は、FILE *filename* のインストールに失敗しました。エラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは無効になり、FILE は作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。以前のメッセージを確認してください。失敗の理由について、以下のような詳細情報をユーザーに提供する可能性があります。
 定義が無効である

先行する DFHCAAnnnn メッセージを調べます。例えば、REMOTESYSTEM 属性が指定されているが REMOTENAME 属性が指定されていない場合は、DFHCA5504 が出力されます。

インストールの失敗

先行する DFHAMnnnn コンソール・メッセージを調べます。例えば、同じ名前の FILE が既に存在する場合は、DFHAM4950 が出力されます。

BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHFCBU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *bundlename*
5. *filename*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=定義が無効である、
 2=インストール失敗の、
 3=ファイル名の先頭文字は 'DFH' にできない、
 4=内部エラーが発生した

宛先: CSFL

DFHFC0602 *date time applid* **File name was not specified or is too long in BUNDLE bundlename.**

説明: リソース名が指定されなかったかまたは長すぎたため、CICS バンドル *bundlename* は、FILE のインストールに失敗しました。

システムの処置: BUNDLE リソースは無効になり、FILE は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイル内のファイル・リソースの名前を訂正してください。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHFCBU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CSFL

DFHFC0920 *applid* **Open of empty file filename failed. VSAM codes - eeee,rrrr,cccc**

説明: CICS ファイル制御が VSAM ファイル *filename* に OPEN コマンドを出しましたが、このコマンドは VSAM 戻りコード *cccc* を出して失敗しました。CICS 内部エラー・コード *eeee* の値は 8509 で、*rrrr* はレジスター 15 の戻りコードです。

この失敗は、CICS が使用する前にファイルがロードされなかったことによるものと考えられます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

VSAM は、コンソール・エラー・メッセージを出します。

ユーザーの処置: CICS がアクセスする前に、ファイルがロードされたかどうか検査してください。この条件は、空のファイルを CICS に渡す際のユーザー・エラーの結果と考えられます。

VSAM 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *eeee*
4. *rrrr*
5. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0931 *applid* OPEN of data table *name* failed for reason *n*.

説明: CICS は、理由 *n* のため、ユーザー保守データ・テーブル *name* を OPEN することができませんでした。ここで、*n* には、次のいずれかの値が入ります。

1

データ・テーブル・サポート初期設定モジュール DFHDTINS をロードできませんでした。

2

データ・テーブル・サポートの初期設定が失敗しました。このメッセージは、失敗の理由を示すメッセージ DFHFC0410、DFHFC0411、または DFHFC0412 のいずれかの後に続きます。

3

データ・テーブルのソース・データ・セットが、KSDS 基本データ・セットではありません。

4

データ・テーブル OPEN モジュール DFHDTST がエラーを報告しました。このメッセージは、エラーを示すメッセージ DFHFC0430 または DFHFC0431 のいずれかの後に続きます。

6

データ・テーブルのファイル定義で、読み取りおよびブラウズのいずれのアクセスも許可されていません。

システムの処置: データ・テーブルはクローズされたままで、DISABLED になります。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 適切なユーザーの処置は、以下に示すとおり、理由コード *n* によって異なります。

1

モジュール DFHDTINS がライブラリー内にあることを確認してください。

2

前に出されたメッセージ (DFHFC0410、DFHFC0411、または DFHFC0412 のいずれか) のユーザーの処置を参照してください。

3

データ・テーブルが、意図したソース・データ・セットに関連付けられているかどうかを調べてください。

4

前に出されたメッセージ (DFHFC0430 または DFHFC0431 のいずれか) のユーザーの処置を参照してください。

6

ファイル定義内の SERVREQ を変更してください。読み取ったりブラウズしたりできないファイルに対してデータ・テーブル・サポートを使用しても、利点はありません。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *name*
3. *n*

宛先: コンソール

DFHFC0932 *applid* OPEN of data table *name* was incomplete for reason *n*.

説明: 理由 *n* のため、CICS は、CICS 保守データ・テーブルとして *name* を取り扱うことができませんでした。

システムの処置: データ・テーブルのソース・データ・セットは、アクセスのために通常の VSAM データ・セットとしてオープンされますが、主ストレージ・テーブ

ルは作成されません。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 適切なユーザーの処置は理由コード *n* によって異なります。理由コードおよびそれらに該当するユーザーの処置のリストについては、メッセージ DFHFC0931 を参照してください。

このメッセージが出されても失われる機能はないので、緊急な処置はおそらく必要ありません。ただし、READ パフォーマンスには悪影響が出る可能性があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *name*
3. *n*

宛先: コンソール

DFHFC0933 *applid* MVS FREEMAIN failure detected during CLOSE of data table *name*.

説明: データ・テーブル *name* に関連したストレージを CICS が解放しようとしていたとき、MVS FREEMAIN が出されました。エラー応答 R15=4 が戻されました。CICS アドレス・スペースのストレージの一部が解放されませんでした。このエラーの原因は、おそらく、以前にデータ・テーブル制御域が上書きされたことです。

システムの処置: CICS はデータ・テーブル *name* をクローズします。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: この条件は、データ・テーブル機能に悪影響を及ぼすことはありません。しかし、問題が再発する場合には、このメッセージが表示されたらすぐに、システム・ダンプ (SDUMP) をとってください。ダンプをとる際に、例えば、CEMT PERFORM SNAP コマンドを使用します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *name*

宛先: コンソール

DFHFC0935 *applid* SHAREOPTIONS of the source for data table *name* allow inconsistencies between table and source.

説明: データ・テーブル *name* に関連付けられたソース・データ・セットの領域間 SHAREOPTION は 3 ま

たは 4 です。あるいは、SHAREOPTION は 2 で、このテーブルは読み取りアクセスのためだけにオープンされています。この MVS システム内の別のジョブが CICS に通知しないでソースを更新することが可能です。その結果、データ・テーブルはソース・データ・セットに一致しなくなる可能性があります。

システムの処置: データ・テーブルのオープンおよびロードは、正常に続行されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: SHAREOPTION が正しく指定されていること、および DISP パラメーターが正しいことを確認してください。

テーブルを所有する CICS システムによって変更が行われた場合にのみ、ソース・データ・セットの変更がデータ・テーブルに反映されることに注意してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *name*

宛先: コンソール

DFHFC0936 *applid* Initiation of loading of data table *name* has failed.

説明: データ・テーブル *name* についてのテーブル・ロード・トランザクションを開始する試みが失敗しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。この影響として、テーブルがいつでもロード中のように見え、そのためロード完了出口 XD TLC が呼び出されません。

その結果として、このテーブルは実際には要求時にロードされることになります。これは、項目がテーブル内に作成されるのは、トランザクションが明示的にそのことを指示した場合に限ることを意味します。さらに別の結果として、ユーザー保守テーブルの場合、API 要求 (READ を除く) が例外なく LOADING 条件を引き起こすことにもなります。

ユーザーの処置: OPEN 要求のトレースならびにすべての関連メッセージとダンプによって障害の原因を判別した後で、訂正処置をとってください。テーブルはロードしないでオープンにしたままにするというシステムの処置は、ユーザーのアプリケーションに悪影響を及ぼす可能性があります。例えば、そのアプリケーションが、ロードの完了後すぐにユーザー保守テーブルを更新できることに依存する場合があります。その場合には、データ・テーブルのクローズおよび再オープンは即時応答として成功することがあります。ただし、問題が単にリソースの一時的な不足による場合に限りです。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *name*

宛先: コンソール

DFHFC0937 *applid* OPEN of *name1* as a data table was not possible. The file has been opened and will use data table *name2* which has the same source.

説明: CMT *name2* がすでに *name1* のファイル定義に指定されたソース・データ・セット用にオープンされているため、ファイル *name1* を CICS 保守データ・テーブル (CMT) としてオープンすることができませんでした。ただし、*name1* は、すでにオープンされている CMT にアクセスして共用データ・テーブル・サポートを利用することができます。

システムの処置: *name1* は、通常の CICS ファイルとしてオープンされており、したがって、可能な場合は常に既存データ・テーブル *name2* を自動的に使用します。

ユーザーの処置: 通常これは問題ではありませんが、データ・テーブル *name2* が、レコードの最大数およびデータ・テーブル・ユーザー出口の動作について要求どおりの特性になっているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *name1*
3. *name2*

宛先: コンソール

DFHFC0940 I *date time applid* CICS data table load has started for data table *name*.

説明: データ・テーブル *name* に対するオープン要求が出されていること、ならびにそのデータ・テーブルをロードするタスクが生成されていることを、CICS ファイル制御が検出しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDTLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. *name*

宛先: CSFL

DFHFC0941 I *date time applid* CICS data table load has completed successfully for data table *name*.

説明: データ・テーブル *name* をロードするために生成されたタスクが、そのロードを正常に完了しました。

システムの処置: 正常なロードを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態でユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDTLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*

宛先: CSFL

DFHFC0942 E *date time applid* CICS data table load has terminated abnormally for data table *name*, reason code = X'*xx*'.

説明: データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが理由コード X'*xx*' を受け取りました。ただし、X'*xx*' は次のいずれかの値です。

X'FB'

CICS ファイル制御は、データ・テーブル・ロードを中止するよう要求しました。これは、例えばデータ・テーブルに対してクローズ要求が行われた場合に発生します。

X'FD'

テーブル定義で指定した最大項目数を超える項目を、データ・テーブルに追加しようとした。

X'FE'

仮想記憶の不足が (DASD からの) 追加項目のサービスによって報告されました。これは、レコード用のストレージの獲得に失敗したためです。DFHDTUP トレース項目 AB 0B26 で、失敗した要求に関連する関数、応答コードと理由コード、エラー・コード、および修飾子フラグの詳細が示されています。

システムの処置: ファイル制御がロードを中止するよう要求しない限り (理由コード X'FB'), ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。この出口に渡される UEPDTORC パラメーターの値は、ロードが異常終了をしたことを示しています。レコードはこれ以上データ・テーブルにロードされません。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。

このテーブルが CICS 保守テーブルである場合は、ユーザー出口がファイルのクローズ要求を出していなければ、API 要求を満たすために、データ・テーブルに追加されなかったレコードがソース・データ・セットから取り出されます。

このテーブルがユーザー保守テーブルである場合には、追加されなかったレコードへのアクセスを要求しても、「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。このテーブルがクローズされていた場合には、API 要求に対して「使用不可」を示す応答コードが出されます。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 適切なユーザーの処置は、その理由コードによって異なります。ユーザーの処置は次のとおりです。

X'FB'

処置は必要ありません。

X'FD'

リソース定義内の MAXNUMRECS フィールドを使用して、データ・テーブル用に指定したサイズを大きくしてください。

X'FE'

データ・スペースのストレージ使用を見直してください。ストレージ不足の問題である場合、最も一般的なエラー・コードは、06 (テーブル項目記述子ストレージ)、07 (索引ノード・ストレージ)、または 08 (データ・ストレージ) です。CICS は、記述子項目用には DFHDT001、索引ノード用には DFHDT002、データ・レコード用には DFHDT003 から DFHDT100 までのデータ・スペースを使用します。項目記述子用または索引ノード用に十分なスペースがない場合は、データ・テーブルを複数の CICS 領域 (例えば、複数の FOR) に分割することを検討してください。単一のデータ・テーブルがそれ自体でスペースを使い尽くした場合、そのデータ・テーブルはスペースの制限に到達しています。この場合には、データ・テーブルを複数の独立したテーブルに分割するかどうかを検討してください。ストレージ使用について詳しくは、「CICS TS for z/OS 5.1: 共用データ・テ

ーブルの手引き」のセクション『共用データ・テーブルのストレージ使用』を参照してください。

モジュール: DFHDTLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *X'xx'*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0943 E *date time applid* **CICS data table**
load has terminated abnormally for
data table name, reason code = X'xx'.

説明: データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが、ソース・データ・セットの走査検索中に、予期しない戻りコードを CICS ファイル制御から受け取りました。理由コード X'xx' は次のいずれかです。

X'02'

ILLOGIC: 他のカテゴリーのいずれにも当てはまらない VSAM エラー。

X'0C'

NOTOPEN: ファイルがクローズされて使用不可の状態であるか、あるいはまだオープンされていて使用中であるが、CLOSE 要求が出された。

X'0D'

DISABLED: ファイルが使用不可の状態になっている。

X'80'

IOERR: 入出力エラー。

システムの処置: ロードが異常終了したことを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態で、ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。レコードはこれ以上データ・テーブルにロードされません。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。

このテーブルが CICS 保守テーブルである場合は、ユーザー出口がファイルのクローズ要求を出していなければ、API 要求を満たすために、データ・テーブルに追加されなかったレコードがソース・データ・セットから取り出されます。

このテーブルがユーザー保守テーブルである場合には、追加されなかったレコードへのアクセスを要求しても、「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。

このテーブルがクローズされていた場合には、API 要求に対して「使用できない」ことを示す応答コードが出されます。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS ファイル制御からの戻りコードの理由を調べてください。理由コードについての詳細は、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」の STARTBR および READNEXT コマンドの例外条件の説明を参照してください。

モジュール: DFHDTLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *X'xx'*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0945 E *date time applid CICS data table*
load has terminated abnormally for
data table *name*.

説明: データ・テーブル *name* をロードしていた特別な CICS トランザクションが異常終了を検出しました。

システムの処置: この異常終了の原因に応じて、CICS はシステム・ダンプまたはトランザクション・ダンプのいずれかを作成します。

ロードが異常終了したことを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態で、ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。その後、CICS はロード・トランザクションを終了させて、異常終了コード AFCM を出します。レコードはこれ以上データ・テーブルにロードされません。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。

このテーブルが CICS 保守テーブルである場合は、ユーザー出口がファイルのクローズ要求を出していなければ、API 要求を満たすために、データ・テーブルに追加されなかったレコードがソース・データ・セットから取り出されます。

このデータ・テーブルがユーザー保守テーブルである場合には、追加されていない任意のレコードに対するアクセスを要求しても、「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。このテーブルがクローズされていた場合には、API 要求に対して「使用不可」を示す応答コードが出されます。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連した CICS メッセージに関するシステム・ログを調べて、ロード・トランザクションによって検出された最初に出された異常終了を判別してください。最初に出された終了の原因に関する詳細については、異常終了コード AFCM の説明を参照してください。

システム問題の判別方法についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHDTLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0946 E *date time applid CICS data table*
load has terminated abnormally for
data table *name*, a call to FCFR has
failed for reason code = *n*.

説明: ソース・データ・セットを走査検索するためにファイル制御を呼び出している間に、データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1.
FCFR からの応答は INVALID でした。
2.
FCFR からの応答は DISASTER でした。
3.
FCFR からの応答は PURGED でした。
4.
FCFR が何らかの予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: ロードが異常終了したことを示すようパラメーター UEPDTORC が設定されて、ユーザー出口 XDTLC が呼び出されます (使用可能な場合)。その後、CICS はロード・トランザクションを終了させて、異常終了コード AFCM を出します。レコードはこれ以上データ・テーブルにロードされません。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。

このテーブルが CICS 保守テーブルである場合は、ユーザー出口がファイルのクローズ要求を出していなければ、API 要求を満たすために、データ・テーブルに追加されなかったレコードがソース・データ・セットから取り出されます。このデータ・テーブルがユーザー保守

テーブルである場合には、追加されていない任意のレコードに対するアクセスを要求しても、「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。このテーブルがクローズされていた場合には、API 要求に対して「使用できない」ことを示す応答コードが出されます。

CICS 処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ファイル制御が提供する診断情報を使用して、ドメイン呼び出しの失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDTLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *n*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0947 E *date time applid* **CICS data table load has failed to close data table *name*, a call to FCFS has failed for reason code = *n*.**

説明: データ・テーブル *name* をロードしている CICS タスクが、出口点 XDTLC で呼び出された出口プログラムの要求でファイルをクローズしようとしていたときに、失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1.
FCFS からの応答は INVALID でした。
2.
FCFS からの応答は DISASTER でした。
3.
FCFS からの応答は PURGED でした。
4.
FCFS は何らかの予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード AFCM を出します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 以前の問題がこのロードで発生したことがない限り、XDTLC 出口点で呼び出されたユーザー出口がそのファイルをクローズするよう要求することは

ほとんどありません。そのような以前の問題があれば、データ・テーブル *name* に関して出された可能性のある前のメッセージがあるかどうか調べて、その原因を判別してください。ファイル制御によって提供されている診断情報は、クローズ・ファイル呼び出しの障害を調べるのに使用することができます。

CICS 処理を続行します。

メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHDTLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *n*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0949 *date time applid* **CICS shared data table load has terminated abnormally.**
ロード・トランザクションのパラメーター検索のための DFHXMIQ の呼び出しが応答コード = *n* で失敗しました。(A call to DFHXMIQ to retrieve the parameters for the load transaction has failed with response code = *n*.)

説明: 接続中に渡されたパラメーターを照会しようとしていたときに、共用データ・テーブルをロードする CICS タスクが失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1.
XMIQ からの応答は INVALID でした。
2.
XMIQ からの応答は DISASTER でした。
3.
XMIQ からの応答は PURGED でした。
4.
XMIQ は予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: 接続パラメーターの検索の失敗はファイル名が不明であることを意味するため、ユーザー出口 XDTLC は呼び出されません。CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード AFCL を出します。レコードはデータ・テーブルにロードされません。

追加されなかったレコードへのアクセスを要求しても、

「見つからない」ことを示す応答コードが出されます。
CICS 処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS トランザクション・マネージャーが提供する診断情報を使用して、ドメイン呼び出しの失敗の原因を判別してください。

ファイルが次にオープンされるときにロードを再試行できるように、ファイルをクローズしてください。

モジュール: DFHDTLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC0950 *applid* **Warning. File *filename* Opened with VSAM SHROPT 3 or 4. CICS cannot prevent concurrent updates**

説明: VSAM 共用オプション 3 および 4 は、複数の領域からのデータ・セットの更新を可能にします。こうした状況下では、CICS は並行更新を防ぐことはできません。

このファイルは、共用オプション 3 または 4 で定義されているデータ・セットに対する更新を行うためにオープンされています。このファイルは、以下の自動ジャーナル処理オプションで定義されています。

JNLADD = BEFORE、AFTER、または ALL

システムの処置: ファイルがオープンされ、警告メッセージが出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0951 *applid* {RLS | Non-RLS} **OPEN of file *filename* failed. DSNAME は、JCL またはリソース定義から使用することはできません。モジュール *module*。**

説明: CICS は、ファイル *filename* のオープンを試みましたが、データ・セット名が JCL またはリソース定

義のいずれにも指定されていないために、そのオープンに失敗しました。

CICS ファイル制御がファイル *filename* をオープンしなかった理由は、次のとおりです。

1. 初期設定時に、スタートアップ JCL に DD ステートメントが入っておらず、さらに、
2. ユーザーがサブミットしたルーチンがファイルを動的に割り振っておらず、さらに、
3. CICS のファイルの動的割り振りを可能にする DSNAME パラメーターがリソース定義に入っていない。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: このトランザクションを再サブミットする前に、データ・セット名を JCL またはリソース定義に与える必要があります。CEMT トランザクションまたは EXEC CICS SET コマンドを使用することによって、CICS の実行中にリソース定義に名前を設定することができます。または、CEDA を使用して FCT 項目の訂正および再インストールを行ってください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0952 *applid* **Dynamic allocation of {RLS | Non-RLS} file *filename* failed. Return code X'rrrr',X'cccc' in module *module*。**

説明: ファイル *filename* を動的に割り振っていたとき、CICS ファイル制御は、MVS DYNALLOC マクロを出しました。DYNALLOC は、戻りコード cccc で失敗しました。rrrr は、レジスター 15 内の追加の戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクロ

ーズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: DYNALLOC 戻りコードの意味については、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

3. *filename*
4. *X'rrrr'*
5. *X'cccc'*
6. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0953 *applid* **Non-RLS OPEN or CLOSE of file *filename* failed. CICS logic error**
eeee,cccc

説明: ファイル *filename* をオープンまたはクローズする要求の処理中に、CICS はファイル制御サービス・プログラムの中に内部論理エラーを検出しました。 *eeee* の値により、以下のようなエラーが示されます。

8105

DFHFCFS セットのベース *dsname* ブロックが失敗しました。 *cccc* は DFHFCFS からの戻りコードです。

8302

DFHFCN への要求が、CICS に定義されていないプールに関するものです。

8701

DFHFCN への要求が、OPEN でも CLOSE でもありません。

8704

DFHFCL への要求が、BUILD でも DELETE でもありません。

8705

DFHFCL への要求が、無効なプール番号 *cccc* に関するものです。

8706

DFHFCL への要求が、CICS に定義されていないプール番号 *cccc* に関するものです。

8707

DFHFCL は、BLDVRP パラメーターの作成に失敗しました。 *cccc* はプール番号です。

8798

DFHFCN 内のオフセット *cccc* で OPEN 時の論理エラーが検出されました。

システムの処置: CICS は、タスクを異常終了させ、ダンプを作成します。そして、ファイル *filename* の状況は変えずに処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、おそらく CICS 内の論理エラーです。ただし、ファイルのオープンまたはクローズを行っている間に CICS を即時シャットダウンで終了すると、このような論理エラーが通常の出来事として発生する可能性があることに注意してください。これは、CICS が、タスクの実行とは関係なしに即時に終了したためです。

CICS によって BLDVRP マクロに関するパラメーターを計算しなければならず (LSR プール定義を指定しなかった場合がこれに該当します)、この LSR プールにあるファイルの VSAM カタログにアクセスしようとしたが、その試みがすべて失敗した場合にも、このエラーが起きる可能性があります。その他のメッセージは、個々のカタログの障害について出されます。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *eeee*
4. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0954 *applid* {*RLS* | *Non-RLS*} **OPEN of file *filename* failed.** 動的割り振りの処理が指定されていません。(No disposition specified for dynamic allocation.) モジュール *module*.

説明: ファイル *filename* が割り振られていないため、CICS ファイル制御はこのファイルをオープンできません。割り振られていない理由は、次のとおりです。

1.

初期設定時に、スタートアップ JCL に DD ステートメントが入っておらず、さらに、

2.

CICS のファイルの動的割り振りを可能にする
DISPOSITION 属性がリソース定義に入っていない。
ん。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: この実行でファイル *filename* を使用する場合は、EXEC CICS SET コマンドを使用して、CEMT トランザクションまたはユーザー・トランザクションとともに DISPOSITION 属性を指定してください。これを行うと、トランザクションはファイルに正常にアクセスできるようになります。

上記で説明した変更は、CICS システムの存続期間にのみ有効です。JCL DD ステートメントまたは CEDA DEFINE FILE コマンドを使用すると、ファイルの処理を永続的に変更できます。

モジュール: DFHFCFS DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0955 *applid* Associated data set is dataset. モジュール *module*。

説明: このメッセージは、DFHFC0952 または DFHFC0510 の後に出されます。このメッセージは、そのメッセージの中で示されている VSAM データ・セットを識別しています。

システムの処置: 処理は、DFHFC0952 または DFHFC0510 に指定された方法で続行されます。

ユーザーの処置: 状況に応じて DFHFC0952 または DFHFC0510 に関するユーザーの処置に従ってください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dataset*

3. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0956 *applid* {RLS | Non-RLS} OPEN of file *filename* failed. VSAM catalog error.
Return code - X'eeee',X'cccc' in module *module*.

説明: VSAM データ・セット *filename* をオープンするために VSAM カタログを読み取っているときに、CICS ファイル制御は、SHOWCAT マクロから戻りコード *cccc* を受け取りました。値 *eeee* は、DFHFCN からのエラー・コードです。これらのエラー・コードは、以下のとおりです。

8112

経路の AIX を求めた SHOWCAT が失敗しました。

8113

ベースのデータ・コンポーネントを求めた SHOWCAT が失敗しました。

8116

経路のベースを求めた SHOWCAT が失敗しました。

8117

アップグレード・メンバーを求めた SHOWCAT が失敗しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、システム・ダンプを作成し、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: SHOWCAT 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. X'eeee'
5. X'cccc'

6. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0958 *applid* ファイル *filename* の非 **RLS** オープンが失敗しました。 **VSAM resource usage conflict with open file.**

説明: CICS は、ファイル *filename* をオープンしませんでした。これは、アクセス方式制御ブロック (ACB) が、別の ACB が指定した (同一の基本クラスターのためにすでにオープンされている) バッファ/ストリング・リソース (NSR プールまたは LSR プール) とは異なるバッファ/ストリング・リソースを指定していることを、CICS が検出したためです。

VSAM は、同一のバッファ/ストリング・リソースを使用する ACB に限って、同一の基本クラスターのためにオープンされた種々の ACB に対して保全性を提供します。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、システム・ダンプを作成し、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 正しいバッファ/ストリング・リソースを判別し、リソース定義を変更してください。

あるいは、リソース定義に DSNSHARING (MODIFYREQS) を指定して、ファイルを読み取り専用でオープンした場合には、保全性が損なわれる危険がないため、CICS は異なるバッファ/ストリング・リソースの使用を許可します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0960 *applid* ファイル *filename* の非 **RLS** オープンが失敗しました。 **LSR** プール *n* を作成できません。戻りコード - cccc。
(Unable to build its LSR pool *n*.
Return code - cccc.)

説明: CICS は、ファイル *filename* のリソース定義で指定されたローカル共用リソース (LSR) プールの作成を VSAM に要求しました。しかし、VSAM は要求を完了することができませんでした。 *n* はプール番号であり、cccc は VSAM BLDVRP の戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、

処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

注: 初めてこのエラーが発生すると、CICS は、処理を続行する前にシステム・ダンプを作成します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: BLDVRP 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *n*
4. cccc

宛先: コンソール

DFHFC0961 *date time applid* **Calculation of LSR pool *n* parameters incomplete.** ファイル名 *filename* に **DSNAME** がありません。(Filename *filename* has no **DSNAME**.)

説明: ローカル共用リソース (LSR) プール *n* のためのパラメーターを動的に計算しているときに、CICS は、DSNAME が存在していない FILE リソース定義 (リソース定義に DSNAME がないか、または DD ステートメントが存在してしないかのいずれか) を見つけました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

DSNAME がないと、CICS は、VSAM カタログを使用してファイル属性を判別することができません。したがって、LSR 計算では、CICS は FILE リソース定義の STRINGS 属性で指定されたストリングの数を使用しますが、BUFFERS または KEYLEN の情報を使用しません。

ユーザーの処置: 各 FILE リソース定義が DSNAME またはその DATASET 名に対応する DD ステートメントのいずれかを備えていることを確認してください。

例外的に、CPSM を使用する場合は、CMAS 内のファイル EYUDREPN に関してはこのメッセージが正常であることに注意してください。CMAS の JCL 内で EYUDREPN の DSNAME または DD ステートメントを割り振ろうとしないでください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*
5. *filename*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHFC0962 *date time applid* **Calculation of LSR pool *n* parameters incomplete for file *filename*. VSAM カタログ・アクセス・エラー。(VSAM catalog access error.)**
Return code - cccc

説明: CICS が、ローカル共用リソース (LSR) プール *n* のためにパラメーターを動的に計算しているときに、VSAM SHOWCAT または VSAM LOCATE が失敗して、戻りコード *cccc* が出されました。ファイル *filename* に対するパラメーターが不完全です。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* のためのこれまでに累積された LSR パラメーターをそのまま維持して、処理を続行します。ただし、これ以降は、ファイル *filename* のための LSR パラメーターの計算は行われません。

失敗した VSAM 要求およびその戻りコードを識別する例外トレース項目がとられます。

ユーザーの処置: SHOWCAT 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照してください。LOCATE 戻りコードの意味については、z/OS DFSMSdfp Advanced Servicesを参照してください。このエラーは、VSAM カタログが破壊されたことを示しています。 カタログを復元できない場合は、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*
5. *filename*
6. *cccc*

宛先: コンソールおよび CSMT

DFHFC0963 *applid* **LSR pool *n* not deleted. Code - cccc**

説明: CICS は、ローカル共用リソース (LSR) プール *n* の削除を VSAM に要求しました。要求の処理中に、VSAM DLVRP マクロが失敗して戻りコード *cccc* が出されました。(cccc は、VSAM DLVRP の戻りコードです。)

システムの処置: CICS は、システム・ダンプをとり、プールがまだ存在している状態で処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: DLVRP 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *n*
3. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0964 *applid* ファイル *filename* の非 **RLS** オープンが失敗しました。 **VSAM codes - eeee,rrrr,cccc.**

説明: CICS ファイル制御が、VSAM ファイル *filename* に対してオープンを出しました。オープンは失敗し、VSAM 戻りコード *cccc* が出されました。*eeee* には 8502 の値が入り、これは CICS 内部エラー・コードを表しています。*rrrr* はレジスター 15 にある戻りコードを表しています。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズにして、しかもその状態を UNENABLED にしたまま処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM は、コンソール・エラー・メッセージを出すはずですが、VSAM メッセージ、および CICS メッセージ内の VSAM 戻りコードを使用して、問題を解決してください。

eeee,rrrr,cccc の値が 8502,0008,0088 である場合、これはストレージ問題であり、VSAM はデータ・セットをオープンするために必要な一部の領域で十分なストレージを取得できなかったことに注意してください。場合によっては、LSRPOOL を使用するようにファイルが定義

されていても、CICS はファイルを NSR モードでオープンします。これは、ファイルが空である場合に実行されます。ファイルが空である場合、CICS は、最初のレコードが書き込まれるまでファイルをロード・モードでオープンします。その後、ファイルはクローズされ、ファイル定義に従って LSRPOOL を使用するようにして再オープンされます。ロード・モードでオープンされた場合は、バイト FCTVSVR2 内のビット FCTDLFLG がこのことを示し、VSAM は NSR バッファに対する GETMAIN を出します。これらのバッファは CICS DSA の一部ではなく、GETMAIN のサイズは IDCAMS DEFINE コマンドで使用された BUFFERSPACE(size) によって異なります。

VSAM 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *eeee*
4. *rrrr*
5. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0965 *applid* **BDAM** ファイル *filename* のオープンに失敗しました。(applid Open of BDM file filename failed.)

説明: CICS ファイル制御は、BDAM ファイル *filename* に対してオープンを出しました。オープンが失敗しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、システム・ダンプをとり、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: BDM は、コンソール・エラー・メッセージを出すはずですが、問題を解決する方法についての詳細は、BDM メッセージを参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0966 *applid* ファイル *filename* の非 RLS オープンが失敗しました。 **Unable to position ESDS. Error codes:**
eeee,rrrr,cccc.

説明: VSAM ESDS ファイル *filename* を出力用にオープンする前に、CICS ファイル制御は、データ終了相対バイト・アドレス (RBA) を正しく判別することができませんでした。位置決めの処理時に、CICS では、次のどのステップも実行することができますが、そのそれぞれのステップに失敗することも考えられます。

- 基本クラスターを DD 名 DFHESDS に動的に割り振る (それがオープンされている経路である場合)。
- 基本クラスターを制御インターバル (CI) 処理のためにオープンする。
- ファイルの中の最後の CI を読み取る。
- ファイルの中のデータ終了を判別する。
- 基本クラスターをクローズする。
- 基本クラスターを動的に割り振り解除する。

メッセージ内の値 *eeee* は、次のように、エラーまたは障害の起こった機能を示しています。

8503

基本クラスターのオープン。 *rrrr* は、レジスター 15 内の VSAM 戻りコードです。 *cccc* は、VSAM ACB 内のエラー・フィールドです。

8504

最後の制御インターバル (CI) の読み取り。 *rrrr* は、レジスター 15 内の VSAM 戻りコードです。 *cccc* は、VSAM RPL 内の FDBK フィールドです。

8505

スパン・レコードの最後の CI の中間。

8506

基本クラスターのクローズ。 *rrrr* は、レジスター 15 内の VSAM 戻りコードです。 *cccc* は、VSAM ACB 内のエラー・フィールドです。

8507

CI を取得するためのストレージが不十分。

8508

基本の動的割り振り。 *rrrr* は、レジスター 15 内の MVS 戻りコードです。 *cccc* は MVS DYNALLOC 戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。 DYNALLOC 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。 CICS ファイル制御は、VSAM ESDS をオープンする際、制御インターバル処理を使用します。したがって、データ・セットに対して ACCESS(CONTROL) を指定しているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *eeee*
4. *rrrr*
5. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0967 *applid* Error detected while closing {RLS | Non-RLS} file *filename* - VSAM codes *X'rrrr'*, *X'cccc'* in module *module*.

説明: CICS ファイル制御が、VSAM ファイル *filename* に対してクローズを出しました。クローズは、VSAM 戻りコード *cccc* で失敗しました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: CICS 処理を続行します。VSAM がアクセス方式制御ブロック (ACB) をクローズしているはずなので、CICS はファイル *filename* にクローズのマークを付けます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: VSAM 戻りコード *cccc* および前に出された VSAM コンソール・メッセージを利用して、問題の原因を判別してください。

VSAM 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

3. *filename*
4. *X'rrrr'*
5. *X'cccc'*
6. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0968 *applid* Close of BDAM file *filename* failed

説明: CICS ファイル制御が、BDAM ファイル *filename* に対してクローズを出しました。クローズが失敗しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をオープンしたままで、システム・ダンプをとり、処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: BDAM は、コンソール・エラー・メッセージを出すはずでず。BDAM メッセージを使用して、問題を解決してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0969 *applid* Non-RLS CLOSE of file *filename* failed. CICS logic error - 8799 *rrrr,cccc*.

説明: ファイル *filename* をクローズしようとしていたとき、CICS は、ファイル制御サービス・プログラムに内部論理エラー 8799 を検出しました。*cccc* は、エラーが発生した DFHFCN 内のオフセットです。

システムの処置: CICS は、タスクを異常終了させ、システム・ダンプをとり、ファイル *filename* の状況を変更しないまま処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

DFHFC0970 • DFHFC0972

のサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *rrrr*
4. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0970 *applid* Recoverable non-RLS file
filename opened with VSAM SHROPT
3 or 4. CICS cannot ensure integrity.

説明: リカバリー可能な VSAM ファイル *filename* を更新のためにオープンするときに、CICS は、このファイルが SHAREOPTION 3 または 4 で定義されていることを検出しました。このオプションは、複数の領域からの更新を許すものです。CICS は、このメッセージを出して、データの保全性を保証できないことを警告します。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をオープンして、処理を続行します。

ユーザーの処置: データの保全性が損なわれても構わない場合には、ユーザーの処置は不要です。

データの保全性が損なわれることが計画に入っておらず、それを受け入れることができない場合には、CICS を取り消して、別の SHAREOPTION でファイル *filename* を定義し直してから再始動してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0971 *applid* ファイル *filename* の非 RLS
OPEN が ESDS の位置決め時に警告を
戻しました。(applid Non-RLS OPEN of
file *filename* returned warning when
positioning ESDS.) Error codes:
rrrr,cccc.

説明: VSAM ESDS ファイル *filename* を出力のためにオープンする前に、CICS ファイル制御はデータ終了相対バイト・アドレス (RBA) を判別する必要がありました。位置決め処理には、DD 名 DFHESDS に対する基本クラスターの動的割り振りおよび動的割り振り解除が

含まれていました。この割り振り解除が失敗しました。

MVS DYNALLOC 戻りコードは *cccc* です。*rrrr* は、レジスター 15 内の追加の戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をオープンして、処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: DYNALLOC 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *rrrr*
4. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0972 *applid* {RLS | Non-RLS} OPEN of file
filename failed. VSAM カタログ項目が見
つかりません。戻りコード - 8111
X'*cccc*', モジュール *module* 内。(VSAM
catalog entry not found, return code -
8111 X'*cccc*' in module *module*.)

説明: VSAM ファイル *filename* をオープンしているときに、CICS ファイル制御が、JCL またはリソース定義内に与えられたファイル名を使用して VSAM カタログからの情報の検索を試みました。この最初の検索は失敗し、SHOWCAT マクロから VSAM 戻りコード *cccc* が戻されました。8111 は、CICS ファイル制御内のどこでエラーが検出されたかを示しています。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: ファイルのリソース定義で正しい DSNAME が指定されていることを確認してください。DSNAME が正しく指定されている場合は、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsの SHOWCAT 戻りコードの説明を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *X'cccc'*
5. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0973 *applid* {RLS | 非 RLS} ファイル *filename* の動的割り振り解除が失敗しました。
(*applid* **Dynamic deallocation of {RLS | Non-RLS} file *filename* failed.**) **Return code - X'rrrr',X'cccc' in module *module*.**

説明: ファイル *filename* をクローズしていたとき、CICS ファイル制御は、ファイルを動的に割り振り解除するために、MVS マクロ DYNALLOC を出しました。割り振り解除は、MVS 戻りコード *cccc* で失敗しました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: ファイルはクローズされますが、割り振られたままの状態、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ユーザーがリソース定義内の DSNAME を変更し、同一の CICS の実行でそのファイルを再オープンすると、CICS は元のデータ・セットをオープンします。MVS 戻りコードの説明については、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *X'rrrr'*
5. *X'cccc'*
6. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0974 *date time applid* **Calculation of LSR pool *n* parameters incomplete for file *filename*. VSAM catalog inconsistency - 0000**

説明: ファイル *filename* のためにローカル共用リソース (LSR) パラメーターを動的に計算しているときに、VSAM SHOWCAT マクロから通常の戻りコードが与えられたことと、検索の対象となるものが論理的に正しくないことを CICS は検出しました。*n* はプール番号であり、0000 はエラーのあった VSAM オブジェクト・タイプです。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* のためのこれまでに累積された LSR パラメーターをそのまま維持して、処理を続行します。ただし、これ以降は、ファイル *filename* のための LSR パラメーターの計算は行われません。

ユーザーの処置: このエラーは、VSAM カタログが破壊されたことを示しています。カタログを復元できない場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*
5. *filename*
6. 0000

宛先: コンソールおよび CSMT

DFHFC0975 *applid* **LSR pool *n* already exists**

説明: CICS は、ローカル共用リソース (LSR) プール *n* の作成を VSAM に要求しました。しかし、このプールはすでに存在しています。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、処理を続行します。既存のプールが不適当なものであれば、後続のファイルの OPEN は失敗します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: プールの作成時刻および削除時刻について、システム・コンソール・ログおよび LSR 統計データを調べてください。ログの場合には、プールの削除に失敗しなかったかどうか調べてください。(このエラーに関する最も単純でよく見られる原因としては、以前にプール *n* を削除しようとして失敗したことが考えられます。)

モジュール: DFHFCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *n*

宛先: コンソール

DFHFC0976 *applid* {*RLS* | *Non-RLS*} **file** *filename* **not opened. DSNAME = NULLFILE or DD DUMMY.** モジュール *module*。

説明: DSNAME が NULLFILE であったか、DD ステートメントが DUMMY であったため、CICS はファイル *filename* をオープンできませんでした。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0977 *applid* {*RLS* | *Non-RLS*} **OPEN of file** *filename* **failed. VSAM catalog error.** **Return code - X'eeee',X'cccc' in module** *module*.

説明: CICS がファイル *filename* をオープンして、VSAM カタログから情報を検索していたとき、SVC 26 (LOCATE マクロ) が戻りコード *cccc* で失敗しました。*eeee* は、以下のような CICS 内部戻りコードです。

8114

SVC 26 が索引またはデータで失敗しました。

8115

SVC 26 が基本クラスターで失敗しました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: LOCATE 戻りコードの意味について

は、z/OS DFSMSdfp Advanced Servicesを参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

3. *filename*
4. X'eeee'
5. X'cccc'
6. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0978 *applid* {*RLS* | *Non-RLS*} **OPEN of file** *filename* **failed. VSAM catalog error.** 戻りコード - X'eeee'、モジュール *module* 内。(Return code - X'eeee' in module *module*.)

説明: CICS がファイル *filename* をオープンして、VSAM カタログから情報を検索していたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズは CICS 論理エラーを検出しました。*eeee* は、以下のとおりです。

8118

経路についての VSAM カタログ項目に、その最初の関連としての基本クラスターまたは AIX がありません。

8119

AIX に関する VSAM カタログ項目に、データの関連または基本クラスターの関連のいずれかが欠落しています。

811A

基本クラスターに関する VSAM カタログ項目に、データの関連または索引の関連が欠落しています。

811C

データの関連または索引の関連に対してオープンが要求されました。代わりに基本クラスター、AIX、または経路を指定する必要があります。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: ファイル *filename* 用の VSAM LISTCAT リストを入手してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*RLS*,
2=*Non-RLS*

3. *filename*
4. *X'eeee'*
5. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0979 *date time applid LSR pool n parameters incomplete for file filename because the DSNAME specified in the resource definition could not be found on the VSAM catalog. VSAM は R15 にコード rrrr を戻しました。*

説明: VSAM ローカル共用リソース (LSR) パラメーターを動的に計算しているときに、CICS は、ファイル *filename* に関するリソース定義のデータ・セット名を使用して、VSAM カタログから情報の検索を試みしました。しかし、カタログ・アクセスは失敗し、SHOWCAT マクロから VSAM 戻りコード *rrrr* が出されました。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、LSR プールの計算には、ファイル *filename* に関するパラメーターを使用しません。

ユーザーの処置: このファイルについて JCL を正しく指定していることと、このファイルを収容しているカタログが JCL に含まれていることを確認してください。これらの検査でエラーが明らかにならない場合は、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsの SHOWCAT 戻りコード *rrrr* の意味を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*
5. *filename*

6. *rrrr*

宛先: CSMT

DFHFC0980 *applid Non-RLS OPEN of base for file filename failed. CICS logic error eeee,cccc.*

説明: ファイル *filename* についてレコード挿入が要求されたときに使用された経路の VSAM ESDS ベースをオープンしようとしていたときに、CICS が内部論理エラーを検出しました。 *eeee* は、以下のとおりです。

8E01

DFHFCM への要求が、OPEN でも CLOSE でもありません。

8E99

オフセット *cccc* における DFHFCM 処理中の論理エラー。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、トランザクションを異常終了させます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *eeee*
4. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0981 *applid 非 RLS ファイル filename のベースの動的割り振りが失敗しました。(applid Dynamic allocation of base for non-RLS file filename failed.) Return code rrrr,cccc.*

説明: ファイル *filename* についてレコード挿入が要求されたときに使用された経路の VSAM KSDS ベースをオープンしようとしていたときに、CICS ファイル制御が MVS DYNALLOC コマンドを出しました。しかし、その MVS DYNALLOC は失敗し、戻りコード *cccc* が出されました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、トランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: DYNALLOC 戻りコードの意味については、z/OS でのアプリケーション・プログラミングを参照してください。

モジュール: DFHFCM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *rrrr*
4. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0982 *applid* **Non-RLS OPEN of base for file *filename* failed. VSAM codes - rrrr,cccc.**

説明: ファイル *filename* についてレコード挿入が要求されたときに使用された経路の VSAM KSDS ベースをオープンしようとしていたときに、CICS ファイル制御が OPEN コマンドを出しました。しかし、その OPEN は失敗し、ACB から VSAM エラー・コード *cccc* が出されました。*rrrr* は、レジスター 15 内の VSAM 戻りコードです。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、トランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: VSAM は、コンソール・エラー・メッセージを出します。VSAM メッセージ、および CICS メッセージ内の VSAM 戻りコードを使用して、問題を解決してください。

VSAM 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Managing Catalogsを参照してください。

モジュール: DFHFCM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *rrrr*
4. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0983 *applid* **Non-RLS CLOSE of base for file *filename* failed. CICS logic error *eeee*,cccc.**

説明: ファイル *filename* についてレコード挿入が要求されたときに使用された経路の VSAM KSDS ベースをクローズしようとしていたときに、CICS はエラーを検出しました。*eeee* は、以下のとおりです。

8E05

VSAM ベースをクローズするための DFHFCM における失敗。*cccc* は、VSAM ACB からのエラー・コードです。

8E07

DFHFCM での SVC 99 動的割り振り解除が失敗しました。*cccc* は SVC 99 エラー戻りコードです。

システムの処置: CICS は、ベースをオープンしたままシステム・ダンプをとり、処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *eeee*
4. *cccc*

宛先: コンソール

DFHFC0987 *applid* {RLS | Non-RLS} **OPEN of file *filename* failed: Not available for type of processing. VSAM codes - 0008, 00A8 in module *module*.**

説明: CICS が VSAM ファイル *filename* のオープンを試みたときに、その OPEN は失敗して、メッセージ・テキストに示される VSAM 戻りコードを出しました。障害の理由としては、データ・セットを CICS 領域内の別の ACB または別の領域が使用中であること、もしくは VSAM 共用オプションが OPEN を許可するのに必要な共用レベルを禁止していることが考えられます。

以下の 2 つの例外を除いて、RLS モードおよび非 RLS モードのいずれであっても、1 つのデータ・セットを複数のファイルによって同時にオープンすることはできません。

•

別の CICS 領域またはバッチ・プロセスは、1 つのデータ・セットが RLS モードでオープンされているのと同時に、そのデータ・セットを非 RLS 読み取り専用モードでオープンできます。

•

XFCRLSCO ユーザー出口は、デフォルトの動作を指定変更し、RLS および 非 RLS の両方のファイルを使用してデータ・セットをオープンすることができません。ただし、非 RLS ファイルが読み取り専用権限を持つ場合に限りです。

システムの処置: CICS は、ファイルをクローズにしたまま、しかもその状態を UNENABLED にして、処理を続行します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このデータ・セットを別のユーザーが使用している場合には、それが解放されるまで待つから OPEN を再試行してください。

問題が再発したがそれを解決ができない場合、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0988 *applid* ファイル *filename* の非 RLS オープンが失敗しました。 **This data set type is not supported by CICS.**

説明: ファイル *filename* をオープンしようとしたが、ファイルが、CICS によってサポートされていないタイプのデータ・セットを参照したので、ファイルのオープンに失敗しました。

CICS ファイル制御は、VSAM KSDS、ESDS、RRDS および VRRDS データ・セット、KSDS および ESDS データ・セットによる経路、および BDAM データ・セットのオープンをサポートします。それ以外のデータ・セットはサポートされません。例えば、CICS は、VSAM 線形データ・セットのオープンをサポートしません。

システムの処置: CICS は、*filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたまま、処理を続行

します。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: おそらく DSNNAME がファイル定義に正しく指定されていないはずです。ファイル定義を訂正してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC0989I *applid* ファイル *filename* の非 RLS OPEN は、関連するデータ・セット *dataset* を再呼び出し中のため遅れています。(applid Non-RLS OPEN of file *filename* will be delayed because the associated data set *dataset* is being recalled.)

説明: 関連するデータ・セットが移行され、ファイル・オープン処理を完了するにはそのデータ・セットを再呼び出しする必要があるため、ファイル *filename* をオープンするまでに予想よりも長い時間がかかっています。

システムの処置: ファイル *filename* のオープンは、それに関連するデータ・セットが再呼び出しされるまで遅れます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dataset*

宛先: コンソール

DFHFC0990 *applid* {RLS | Non-RLS} OPEN of file *filename* failed. Recovery specified, but the path is not in the upgrade set. Base data set *dsname*. モジュール *module*.

説明: 更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE または UPDATE の設定) のために、(代替索引による VSAM 経路に関連付けられた) リカバリー可能なファイルをオープンしようとした。しかし、代替索引がベースの更新セットに入っていないませんでした。CICS はこの条

件を検出し、ファイルをオープンしようとしません。

代替索引がベースの更新セットにない場合には、このベースを介して行われたすべての更新は、代替索引に反映されないことになります。したがって、この経路を介して行われた更新は、データの保全性を損なう可能性があります。 RECOVERY=ALL または RECOVERY=BACKOUTONLY が、経路のリソース定義上または基本データ・セット上で指定された場合、経路のオープンは失敗することに注意してください。

この基本データ・セットは、コールド・スタートまたは初期始動以降、そのファイルに対する更新のためにオープンされる最初のファイルのリカバリー属性をとります。これらの属性はデータ・セット上で効力を保ち、ファイルのオープン時にリソース定義およびデータ・セット間で整合性検査が実行されます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして使用不可の状態で処理を続行します。

ユーザーの処置: データ・セットをオフラインにして、代替索引のリソース定義を変更してください。 BLDINDEX ジョブを実行して、基本データ・セットに関して代替索引を最新のものにしてから、ファイルのオープンを試行してください。

モジュール: DFHFCFS、DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=RLS,
2=Non-RLS

3. *filename*
4. *dsname*
5. *module*

宛先: コンソール

DFHFC0991 *applid* ファイル *filename* の非 RLS オープンが失敗しました。 **Recovery attributes conflict with those on the VSAM data set - cccc. Base data set dsname**

説明: 更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE、または UPDATE 設定) のために、ファイル *filename* のオープンを試みました。 CICS は、ファイルのリカバリー属性が、CICS データ・セット名ブロックで記録されている VSAM データ・セットで現在有効なりカバリー属性と一致していないことを検出しました。データ保全性を維持するために、このファイルはオープンされませんでした。

このデータ・セットは、コールド・スタートまたは初期始動以降、そのファイルに対する更新のためにオープンされる最初のファイルのリカバリー属性をとります。コード cccc は見つかった不整合を識別します。このコードは、以下の値をとります。

8514

ファイルもデータ・セットも RECOVERY=ALL が指定されていますが、指定されている順方向リカバリー・ログが異なります。

8515

このデータ・セットには、RECOVERY=BACKOUTONLY または RECOVERY=NONE が指定されていて、ファイルが RECOVERY=ALL を使用してオープンしようとしています。

8516

このデータ・セットには、RECOVERY=NONE が指定されています。このファイルは、RECOVERY=BACKOUTONLY でオープンしようとしています。

851B

ファイルが RECOVERY=NONE または BACKOUTONLY を指定しました。VSAM データ・セットには RECOVERY=ALL が指定されています。

851C

ファイルが RECOVERY=NONE を指定しました。VSAM データ・セットには、BACKOUTONLY が指定されています。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして使用不可の状態で処理を続行します。

ユーザーの処置: 同じ VSAM データ・セットを参照しているファイルに、それぞれ同じリカバリー属性が指定してあることを確認してください。

FILE リソース定義を変更し、再インストールしてください。

ユーザーは、CEMT SET DSNAME REMOVE コマンドまたは EXEC CICS SET DSNAME REMOVE コマンドを出すことにより基本データ・セットのためのリカバリー属性設定を取り消すことができます。これにより基本クラスター・ブロックが削除され、この VSAM データ・セット用の前のリカバリー設定値のレコードも CICS に残りません。このデータ・セットに対して次にオープンされる最初のファイルにより、新しい基本クラスター・ブロックが作成されます。ファイルを更新処

理のためにオープンした場合には、このファイルのリカバリー属性は、基本クラスター・ブロックに複写されます。

同じ VSAM データ・セットを参照していても、バックアウトリカバリー属性が異なるファイルを持ちたい場合には、グローバル・ユーザー出口 XFNCNREC を使用してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *cccc*
4. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0995 *applid* LSR プール *n* のハイパースペース
割り振りが不完全または 0 でした。
(*applid* Hiperspace allocation for LSR
pool *n* was incomplete or zero.)

説明: ローカル共用リソース (LSR) プール番号 *n* を作成するときに、CICS はハイパースペース・バッファを提供するように VSAM に要求しましたが、要求を完全に満足させるための十分な拡張ストレージがありませんでした。

システムの処置: CICS の処理を続行します。VSAM は、提供可能だったバッファを使用します。

ユーザーの処置: ご使用のシステムによる拡張ストレージの使用を見直し、MVS 機能を使用して、割り振りを調整するか、LSRPOOL リソース定義を変更して、プール *n* のハイパースペース・バッファ所要量を削減してください。

モジュール: DFHFCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *n*

宛先: コンソール

DFHFC0996 *date time applid* {Open | Close | Enable
| Disable | Cancel of close} of file
filename suppressed due to intervention
of User Exit.

説明: メッセージに示されたファイルに対して、オープン要求、クローズ要求、使用可能要求、使用不可要求、またはクローズの取り消し要求が出されました。CICS ファイル制御のグローバル・ユーザー出口 XFCSREQ で使用可能になっている出口プログラムが、CICS に対

して、要求を実行しないように指示しました。

システムの処置: 出されている要求が使用可能、使用不可、クローズ、またはクローズの取り消しの要求である場合、ファイルの状態は変更されません。つまり、要求が出される前と同じ状態です。

要求がオープン要求である場合、クローズされた使用可能状態になっていない限り、ファイルの状態は変更されません。この状態では、そのオープン要求は暗黙のオープン要求になる場合があります (つまり、ファイルがファイル API 要求の一部としてオープンされます)。暗黙オープン要求の場合、ファイル状態は、ファイル API 要求が停止すること、および NOTOPEN 条件がアプリケーションに返されることを確実にするために、クローズ、使用不可に変更されます。

ユーザーの処置: このコマンドが抑止されている理由を調べてください。これはインストール・システムによってそれぞれ異なります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=オープン、
2=クローズ、
3=使用可能、
4=使用不可、
5=クローズの取り消し

5. *filename*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHFC0997I *applid* ファイル *filename* の RLS OPEN
は、関連するデータ・セット *dsname* を
再呼び出し中のため遅れています。(applid
RLS OPEN of file *filename* is delayed
because the associated data set *dsname*
is being recalled.)

説明: 関連するデータ・セットが移行され、ファイル・オープン処理を完了するにはそのデータ・セットを再呼び出しする必要があるため、RLS ファイル *filename* をオープンするまでに予想よりも長い時間がかかっています。

システムの処置: ファイル *filename* のオープンは、それに関連するデータ・セットが再呼び出しされるまで遅れます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0998 *applid* User exit XFCNREC is causing file *filename* to be opened even though a file recovery inconsistency of type X'code' exists. CICS cannot guarantee data integrity for base data set *dsname*

説明: 更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE または UPDATE セット) のためにファイル *filename* のオープンが試みられました。CICS は、このファイルのバックアウト・リカバリー属性が、VSAM 基本データ・セットのバックアウト・リカバリー属性と一致しないことを検出しました。CICS では、通常、不一致が検出されるとオープンは失敗します。ただし、ユーザー出口 XFCNREC で実行されるプログラムは、不整合が検出された場合でもオープンを続行できるよう指示しています。CICS は、関連データ・セットのデータ保全性を保証できなくなりました。コード X'code' は、不整合を識別し、次のいずれかの値を取ります。

X'8516'

このデータ・セットには、RECOVERY=NONE が指定されています。このファイルは、RECOVERY=BACKOUTONLY でオープンしようとしています。

X'851C'

ファイルが RECOVERY=NONE を指定しました。VSAM データ・セットには、BACKOUTONLY が指定されています。

このデータ・セットに関するこれ以降の RECOVSTATUS の INQUIRE は、NOTRECOVERABLE 応答を返します。データ・セットは、次に CEMT SET DSNAME REMOVE、EXEC CICS SET DSNAME REMOVE コマンド、あるいはコールド・スタートまたは初期始動が行われるまで、リカバリー不能のマークが付けられます。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をオープンし、ファイル定義のリカバリー設定値を使用して、バックアウト・ログを実行するかどうかを判別し、処理を続行します。

ユーザーの処置: このデータ・セットについて、バックアウト・リカバリー属性の不整合を無視してよいかどうかを確認してください。

698 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

バックアウト・リカバリー属性の不整合を無視するべきではない場合は、同じ VSAM データ・セットを参照している複数のファイルに、同じリカバリー属性があるかどうかを確認してください。ない場合は、ファイルのリソース定義を変更および再インストールしてください。

基本データ・セットに設定したリカバリー属性を取り消すには、CEMT SET DSNAME REMOVE コマンドまたは EXEC CICS SET DSNAME REMOVE コマンドを実行してください。これにより基本クラスター・ブロックが削除され、この VSAM データ・セット用の前のリカバリー設定値のレコードも CICS に残りません。このデータ・セットに対して次にオープンされる最初のファイルにより、新しい基本クラスター・ブロックが作成されます。ファイルを更新処理のためにオープンした場合には、このファイルのリカバリー属性は、基本クラスター・ブロックに複写されます。

モジュール: DFHFCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. X'code'
4. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC0999 *applid* RLS OPEN of file *filename* failed. RLS access is disabled.

説明: CICS がファイル *filename* をオープンしていたとき、CICS ファイル制御のオープン/クローズ・ルーチンは、RLS アクセスが無効であることを検出しました。前に出されたオープン要求またはレコード管理要求が VSAM から重大エラーを受け取り、RLS アクセスを無効にしました。

システムの処置: CICS は、ファイル *filename* をクローズして、その状態を UNENABLED にしたままで、処理を続行します。RLS ファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: RLS アクセスが無効になっていた理由を判別してください。

モジュール: DFHFCRO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC2813 *applid* Program DFHRCEX cannot be found.

説明: ファイル制御の初期設定中にプログラム DFHRCEX にリンクしようとしたが、失敗しました。これは重大エラーです。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS の始動は異常終了します。

ユーザーの処置: DFHRCEX を見つけられない理由を調べてください。

モジュール: DFHFCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHFC3001 *date time applid* Record not backed out because it may have been overridden by a non-RLS batch job. 診断情報がメッセージDFHFC3010にあります。 The record was updated by unit of work X'local-uowid' for file filename, base data set data-set-name

説明: ログ・レコードがバックアウトのためにファイル制御に提供されましたが、更新されたレコードが VSAM RLS ロックによって保護されていたにもかかわらず、非 RLS バッチ・ジョブはこのデータ・セットで保持されている RLS ロックを指定変更することを選択したため、レコードの状態を保証できなくなりました。更新は、基本データ・セット *data-set-name* に対して、CICS ファイル *filename* を介して、*local_uowid* によって識別される作業単位の下で行われました。

システムの処置: 更新されたレコードの状態を保証できないため、更新はバックアウトされません。代わりに、更新されたデータはコミットされます。診断情報は、このメッセージおよび後続のメッセージ DFHFC3010 によって提供されます。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、関連するメッセージ DFHFC3010 を参照してください。

モジュール: DFHFCRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. X'local-uowid'
5. *filename*
6. *data-set-name*

宛先: CSFL

DFHFC3002 *date time applid* Record backed out at request of user exit although it may have been overridden by a non-RLS batch job. 診断情報がメッセージDFHFC3010にあります。 The record was updated by unit of work X'local-uowid' for file filename, base data set data-set-name

説明: ログ・レコードがバックアウトのためにファイル制御に提供されましたが、更新されたレコードが VSAM RLS ロックによって保護されていたにもかかわらず、非 RLS バッチ・ジョブはこのデータ・セットで保持されている RLS ロックを指定変更することを選択しました。しかし、XFCBOVER 出口点で使用可能になっている出口プログラムは、非 RLS バッチ・ジョブがレコードの破壊を引き起こさなかったと判断し、バックアウトを進めるように要求しました。更新は、基本データ・セット *data-set-name* に対して、CICS ファイル *filename* を介して、*local_uowid* によって識別される作業単位の下で行われました。

システムの処置: ユーザー出口がバックアウトを進めるように要求したため、更新をバックアウトしようとしません。診断情報は、このメッセージおよび後続のメッセージ DFHFC3010 によって提供されます。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、関連するメッセージ DFHFC3010 を参照してください。

モジュール: DFHFCRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. X'local-uowid'
5. *filename*
6. *data-set-name*

宛先: CSFL

DFHFC3003 *date time applid* Record not backed out because locks for a backout-failed data set have been reset. 診断情報がメッセージDFHFC3010にあります。 The record was updated by unit of work X'local-uowid' for file filename, base data set data-set-name

説明: 作業単位 *local-uowid* によって、基本データ・セット *data set name* に対して、CICS ファイル *filename*

を介して行われた更新は、正常なバックアウトを待機している間、ロックによって保護されていましたが、このデータ・セットのロックをリセットする決定がローカルに行われました。そのため、このメッセージおよび後続のメッセージ DFHFC3010 に診断情報を提供するために、更新を表すログ・レコードがファイル制御に提供されました。

システムの処置: 更新はバックアウトされず、ロックは解放されます。データ・セットのロックのリセットの影響として、容易に訂正できない何らかの理由でバックアウトが失敗しました。診断情報は、このメッセージおよび後続のメッセージ DFHFC3010 によって提供されます。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、関連するメッセージ DFHFC3010 を参照してください。

モジュール: DFHFCRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'local-uowid'*
5. *filename*
6. *data-set-name*

宛先: CSFL

DFHFC3004 *date time applid* **Record backed out because of the forced back out of an indoubt unit of work.** 診断情報がメッセージDFHFC3010にあります。 **The record was updated by unit of work X'local-uowid' for file filename, base data set data-set-name**

説明: 分散作業単位の一部だったローカル作業単位 *local-uowid* が未確定になり、CICS がローカル作業単位をバックアウトしたため、ログ・レコードがバックアウトのためにファイル制御に提供されました。レコードをバックアウトするためのこの決定は、以下のいずれかの結果です。

- CICS は、BACKOUT を指定した SPI SET UOW または SET DSNAME コマンドを受け取りました。
- CICS は、FORCE を指定した SPI SET UOW または SET DSNAME コマンド、および BACKOUT を指定したトランザクション定義上の未確定属性を受け取りました。
-

未確定 WAIT タイムアウトが発生し、トランザクション定義が BACKOUT を指定していました。

- 作業単位に参与しているリソース・マネージャーのいずれかが未確定期間中に待機をサポートしませんでした。

バックアウトされている更新は、基本データ・セット *data-set-name* に対して、CICS ファイル *filename* を介して行われました。このメッセージおよび後続のメッセージが提供する診断情報は、分散作業単位の実際の解決がバックアウトではなくコミットだった場合に状態を訂正するために役立ちます。

システムの処置: 更新はバックアウトされます。診断情報は、このメッセージおよび後続のメッセージ DFHFC3010 によって提供されます。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、関連するメッセージ DFHFC3010 を参照してください。

モジュール: DFHFCRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'local-uowid'*
5. *filename*
6. *data-set-name*

宛先: CSFL

DFHFC3010 *date time applid* **Diagnostic information for unit of work X'local-uowid' and file filename.** 更新は {*read-update* | *write-add*} で、トランザクション *tranid* により端末 *termid* タスク番号 *tasknum* で行われました。キー長 *key-length*、データ長 *data-length*、ベース **ESDS RBA** *X'base-RBA-or-zero'*、レコード・キー *X'record-key'*

説明: このメッセージは、DFHFC3001、DFHFC3002、DFHFC3003、または DFHFC3004 の各メッセージの後に送られ、前に出されたメッセージで報告された状態の診断および訂正に役立つ補足情報を提供します。

ある特定のファイル名および作業単位に対して、CICS は、通常、1 つのタイプのメッセージのみを出します。例えば、一連の DFHFC3001 メッセージの各メッセージの後に DFHFC3010 が続き、一連の DFHFC3003 メ

ッセージの各メッセージの後に DFHFC3010 が続きます。

これに対する例外は、XFCBOVER グローバル・ユーザー出口点で使用可能になっている出口プログラムが、一部の更新をバックアウトし、その他の更新をバックアウトしないことを選択した場合です。この場合、CICS は、同じファイル名および作業単位に対して、DFHFC3001 および DFHFC3002 メッセージの組み合わせ (各メッセージの後に DFHFC3010 が続きます) を出すことがあります。

このメッセージには、以下の情報が含まれています。

local-uowid

前に出されたメッセージとの関連付けのためのローカル作業単位 ID。

filename

前に出されたメッセージとの関連付けのためのファイル名。

read-update または *write-add*

ファイル制御に提供される変更前イメージ・ログ・レコードのタイプ。ファイルに対して行われた更新が READ UPDATE、READNEXT UPDATE、または READPREV UPDATE 要求 (通常、各要求の後に REWRITE または DELETE 要求が続きます)、あるいは RIDFLD を指定した DELETE 要求のいずれかだった場合、タイプは *read-update* です。ファイルに対して行われた更新が WRITE 要求だった場合、タイプは *write-add* です。

tranid

元の更新が行われたトランザクション。

termid

元の更新を行ったトランザクションが実行されたときに使用された端末。

tasknum

元の更新を行ったトランザクションが実行されたときに使用されたタスク番号。

key-length

レコード・キーの長さ。

data-length

変更前イメージ内のデータの長さ。

base-RBA-or-zero

更新が標準アドレス方式の ESDS に対して行われた場合は基本 RBA、更新がその他の種類のデータ・セットに対して行われた場合は 0。

更新が拡張アドレス方式の ESDS に対して行われた場合は、レコード・キーでレコードの XRBA を確認できます。

record-key

レコード・キー・フィールドの値 (16 進数)。

システムの処置: 前に出されたメッセージで説明されているシステムの処置以外には、なし。

ユーザーの処置: 診断情報を使用して、データ・セットに対して行う必要があったすべての変更を判別することにより、内容が正しいかどうかを確認してください。含まれている内容が正しくなくなった可能性があるレコード、および元の更新を行ったトランザクションを識別した後で、アプリケーション・プログラムの知識に基づいて、必要な処置を判別できるはずです。

モジュール: DFHFRCRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'local-uowid'*
5. *filename*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=*read-update*、
2=*write-add*

7. *tranid*
8. *termid*
9. *tasknum*
10. *key-length*
11. *data-length*
12. *X'base-RBA-or-zero'*
13. *X'record-key'*

宛先: CSFL

DFHFC4700 *applid* {予期しない | VSAM | 長さ | ロック | タイムアウト | 予期しない削除} エラーがファイル・バックアウト中に発生しました。(applid {An unexpected | A VSAM | A length | A lock | A timeout | An unexpected delete} error has occurred during file backout.) (モジュール DFHFCFR が理由コード (X'xx'), アクセス方式コード (X'ccccccc'), および長さエラー・コード (X'yy') を戻しました。) ((Module DFHFCFR has returned reason code (X'xx'), access method code (X'ccccccc') and length error code (X'yy').))

説明: ファイル・バックアウトがその処理の一部としてモジュール DFHFCFR を呼び出し、バックアウト中には発生しないはずのエラーが戻されました。メッセージ・テキストには、発生したエラーのタイプが含まれています。

追加の診断情報が、DFHFCFR から戻された理由コード xx、呼び出されたアクセス方式から DFHFCFR に戻されたコード ccccccc、および長さエラー・コード yy によって提供されます。

長さエラー・コードは、通常、エラーが発生した要求のタイプには長さエラーが適用されないことを示す X'00' であるか、長さエラーがなかったことを示す X'01' であるかのいずれかです。X'01' より大きい値は、エラーのタイプが長さエラーであることをメッセージ・テキストが示している場合に戻されます。

システムの処置: 例外トレース・ポイントが書き込まれ、システム・ダンプがとられます。

エラーはバックアウト失敗として処理されます。XFCBFAIL 出口点で使用可能になっているユーザー出口プログラムがバックアウト失敗処理をバイパスしない限り、メッセージ DFHFC4701 または DFHFC4702 が後に出され、関与しているファイルおよびデータ・セットの詳細を提供します。

CICS を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS、VSAM、または BDAM コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、バックアウトの再試行を正常に行えるかどうかによって異なります。

バックアウトされているデータ・セットが VSAM データ・セットである場合は、バックアウトを再試行できます。データ・セットの名前はメッセージ DFHFC4701 で示され、失敗したバックアウトは SET DSNAME

RETRY を使用して再試行できます。問題の原因が何らかの一時的な条件であり、それ以降にその条件がクリアされた場合、バックアウトは成功します。

バックアウトされているデータ・セットが BDAM データ・セットである場合は、バックアウトを再試行できません。データはコミットされ、ロックは解放されます。ただし、XFCBFAIL 出口点で使用可能になっている出口プログラムが CICS を終了する場合は、緊急再始動を実行することにより、データ保全性を保持できます。

バックアウトを正常に再試行できない場合は、メッセージ・テキストに示されているエラーのタイプに応じて処置をとってください。

予期しないエラー

これは、ストレージの破壊または CICS コード内のエラーのいずれかを示している可能性があります。要求 (VSAM または BDAM) を処理するために呼び出されたアクセス方式内のエラーを示している可能性もあります。

理由コード xx は、DFHFCFR パラメーター・リストからの理由コードであり、IBM からのサポートが必要な場合に使用する追加情報として組み込まれています。

アクセス方式コード ccccccc は、エラーが VSAM によって検出された場合は VSAM RPL 内のファイル制御に戻され、エラーが BDAM によって検出された場合は BDAM DECB 内のファイル制御に戻される情報です。VSAM の場合、最初のバイトは VSAM 戻りコードであり、2 番目のバイトは VSAM 理由コードです。3 番目と 4 番目のバイトには追加 VSAM 診断情報が含まれることがあります (詳しくは、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照してください)。BDAM の場合、アクセス方式コードは、DECB からの 4 バイトの例外コード・フィールドです (詳しくは、「z/OS DFSMS データ・セットの使用法」を参照してください)。

VSAM エラー

これは、VSAM 内でエラーが発生したことを示しています。

アクセス方式コード ccccccc は、VSAM RPL 内のファイル制御に戻される情報です。最初のバイトは VSAM 戻りコードであり、2 番目のバイトは VSAM 理由コードです。3 番目と 4 番目のバイトには追加 VSAM 診断情報が含まれることがあります (詳しくは、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照してください)。

長さエラー

長さエラーが報告される場合、長さエラー・コード *yy* は X'01' より大きい値です。これは、通常、CICS、VSAM、または BDAM 処理に重大エラーがあることを示しています。BDAM データ・セットでエラーが発生した場合は、ブロック・サイズなどの不一致の結果として長さエラーが発生している可能性があるため、FCT および DCB 定義を調べてください。

ロック・エラー

これは、別の作業単位によって保持ロックとして保持されているレコードに対するロックを獲得しようとしていたときに、バックアウト処理が LOCKED 応答を検出したことを示しています。バックアウトされている作業単位によってレコードがロックされているため、この操作は不可能です。RLS モードでアクセスされているファイルでこのエラーが発生した場合は、SMSVSAM サーバー内のエラーを示している可能性があります。非 RLS モードでアクセスされているファイルでこのエラーが発生した場合は、CICS エンキュー処理内のエラーを示している可能性があります。

タイムアウト・エラー

これは、RLS ロックを獲得しようとしていたときに、バックアウト処理がタイムアウトになったことを示しています。バックアウトされている作業単位によってレコードが既にロックされているため、バックアウト中にはこの操作は不可能です。このエラーが発生した場合は、SMSVSAM サーバー内のエラーを示している可能性があります。

予期しない削除エラー

これは、バックアウトされる対象の要求が削除要求だったが、対象のファイル・タイプ (VSAM ESDS または BDAM) では削除がサポートされていないことを示しています。このエラーの原因として最も可能性が高いのはデータ・セットの破壊ですが、CICS 内のエラーまたはストレージの破壊を示している可能性もあります。

この問題を解決するには、IBM からのサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. 以下のオプションから選択される値。

- 1=予期しない、
- 2=VSAM、
- 3=長さ、
- 4=ロック、
- 5=タイムアウト、
- 6=予期しない削除

3. X'*xx*'

4. X'ccccccc'

5. X'*yy*'

宛先: コンソール

DFHFC4701 *date time applid* トランザクション *trandid*、**VSAM** ファイル *filename*、作業単位 X'*local_uowid*'、タスク *task_number*、基本データ・セット *base_dsname*、パス・データ・セット *path_dsname*、障害コード X'*bfail_code*' でバックアウトが失敗しました。(date time *applid* **Backout failed for transaction** *trandid*, **VSAM file** *filename*, **unit of work** X'*local_uowid*', **task** *task_number*, **base** *base_dsname*, **path** *path_dsname*, **failure code** X'*bfail_code*'.)

説明: ファイル・バックアウトは、VSAM データ・セットに対して、ファイル *filename* を介して、作業単位 *local_uowid* によって行われた、コミットされていない変更をバックアウトできませんでした。

このファイルは、データ・セット *path_dsname* と関連付けられています。メッセージで示された *path_dsname* と *base_dsname* が同じである場合、これは、基本クラスター・データ・セットです。2 つの名前が異なる場合、これは、メッセージで示された *base_dsname* を基本クラスターとするパス・データ・セットです。

バックアウトされている変更を最初に行ったのは、トランザクション・コード *trandid* を処理するために作業単位 *local_uowid* の下で実行されていたタスク *task_number* でした。このバックアウト自体が以前の失敗したバックアウトの再試行であるか、未確定状態の解決の後に実行されているバックアウトである場合、現在のタスク番号は、メッセージで示された元のタスク番号とは異なります。また、トランザクションが無効になっている場合、現在のトランザクション・コードは、元のトランザクション・コードとは異なります。

障害コード X'*bfail_code*' は、失敗の理由を示しています。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

作業単位のバックアウトは続行されますが、これ以降、メッセージに示された *base_dsname* に対してこの作業単位によって行われた更新をバックアウトする試みは行われません。

作業単位が可能な限りバックアウトされたときに、バックアウトできなかった更新は、バックアウトを再試行できるようになるまで、据え置かれた (シャント済み) 状態になります。

他の作業が基本クラスター・データ・セットへのアクセスを続行することは可能ですが、この作業単位によって変更されたそのデータ・セット内のレコードは、保持ロックによってロックされます。これにより、これらのレコードにアクセスしようとする、アプリケーションに LOCKED 応答が戻されます。データ保全性を保持するためには、バックアウトが正常に再試行されるまで、レコードはロックされたままである必要があります。

バックアウトが再試行されたときに、同じ理由または別の理由のために再び失敗した場合は、今回の失敗の理由を示す障害コードとともに、このメッセージが再び出されます。

ユーザーの処置: X'*bfail_code*' によって示されるエラーの場合は、データ・セットをオンラインのままにしてもかまいません。特に、バックアウト失敗が何らかの一時的な状況によるもので、再試行すれば成功する可能性があると思われる場合は、そのようにしてください。SET DSNAME RETRY コマンドを使用してバックアウトの再試行を手動で実行するか、あるいは何らかのイベントがシステム内のシャント済みバックアウトの再試行をトリガーするまで待機することができます。

最後の手段として、データ保全性を失うという負担を受け入れるのであれば、SET DSNAME RESETLOCKS コマンドを使用して、このデータ・セットに対するコミットされていない変更の据え置かれたバックアウトをバイパスできます。

ユーザーの処置は、障害コード X'*bfail_code*' の値によって異なります。

10

バックアウトは、重複キー値を固有代替索引に追加しようとして失敗しました。この代替キー値を持つ既存のレコードを削除しない限り、バックアウトを実行することはできません。その後、SET DSNAME RETRY を使用してバックアウトを再試行してください。この失敗は、非 RLS モードでアクセスされているファイルでのみ発生する可能性があります。

20

要求の処理中に、データ・セットがストレージを使い尽くしました。データ・セットに追加の

スペースを再割り振りしてから、SET DSNAME RETRY を使用してバックアウトを再試行してください。データ・セットの順方向リカバリーを行わないでください。RLS モードでファイルにアクセスした場合は、保持ロックとデータ・セットの関連付けを確実に維持するために、追加のステップが必要になります。それについては、「再始動とリカバリーの管理」で説明されています。

24

データ・セットで入出力エラーが起きました。データ・セットのリストアが必要である可能性を検討してください。特に、同じ基本クラスター・データ・セットに関してこのメッセージが多数出されていた場合や、そのデータ・セットの要求処理中にも入出力エラーが出されていた場合は、そのようにしてください。

データ・セットをリストアする場合は、以下のステップを実行してください。

1. データ・セットへのアクセスを禁止します。
2. バックアップ・コピーをリストアし、データ・セットの順方向リカバリーを行います (例えば、CICSVR を使用します)。
3. データ・セットへのアクセスを再度許可します。
4. 据え置かれたバックアウトを再試行します。

RLS モードのデータ・セットの場合、アクセスを禁止するには、SET DSNAME QUIESCED コマンドを出して、シスプレックス全体ですべてのオープン・ファイルをクローズし、それ以降の RLS オープンを禁止します。アクセスを再度許可するには、SET DSNAME UNQUIESCED コマンドを出して、据え置かれたバックアウトも自動的に再試行します。

非 RLS モードのデータ・セットの場合、アクセスを禁止するには、SET DSNAME UNAVAILABLE コマンドを出して、それ以降の非 RLS オープンを禁止してから、すべてのオープン・ファイルに対して SET FILE CLOSED コマンドを出します。アクセスを再度許可するには、SET DSNAME AVAILABLE

	コマンドを出してから、SET DSNAME RETRY を使用して、据え置かれたバックアウトを再試行します。		失われ、VSAM は、障害が発生したキャッシュ構造を再作成できなかったか、データ・セットをキャッシュ・セット内の代替キャッシュ構造にバインドできませんでした。キャッシュ構造が再度使用可能になると、バックアウトが自動的に再試行されます。
40	XFCLDEL 出口が論理削除を実行しないことを選択したか、XFCLDEL 出口が有効でなかったため、ESDS データ・セットの論理削除が実行されませんでした。	C4	VSAM が、カップリング・ファシリティー内の RLS ロック構造がいっぱいになったことを示す応答を戻しました。ロック構造への割り振りを拡張し、その内部にデータ・セットを再作成してから、SET DSNAME RETRY を使用してバックアウトを再試行してください。ロック構造への割り振りを拡張し、その内部にデータ・セットを作成する方法についての詳細は、「」(GC88-6590) および「z/OS DFSMSdfp Storage Administration」(SC88-6511) を参照してください。
41	データ・セットの DFSMSdss 非 BWO バックアップが進行中です。バックアップが完了すると、バックアウトが自動的に再試行されます。		
B0	デッドロックが検出されました。これは、非 RLS モードでオープンされたファイルでのみ発生する可能性があります。これは一時的な条件であるため、単に SET DSNAME RETRY を使用してバックアウトを再試行してください。	F0	別の代替キー値を非固有代替索引に追加するためのスペースがありませんでした。代替索引データ CI サイズを拡張して (既に最大である場合を除く) データ・セットを再作成してから、SET DSNAME RETRY を使用してバックアウトを再試行してください。RLS モードでファイルにアクセスした場合は、保持ロックとデータ・セットの関連付けを確実に維持するために、追加のステップが必要になります。それについては、「再始動とリカバリーの管理」で説明されています。データ・セットの順方向リカバリーを行わないでください。
C0	VSAM RLS サーバーの障害がこの要求によって検出されました。サーバーが再度使用可能になると、バックアウトが自動的に再試行されます。		
C1	サーバーが使用不可であるため、VSAM RLS アクセスは無効です。サーバーが再度使用可能になると、バックアウトが自動的に再試行されます。		
C2	レコードがバックアウトされていたときに、VSAM RLS サーバーがリサイクルされました (障害が発生し、サーバーが再始動されました)。この状態になるには、バックアウトされる対象のレコードが更新のために読み取られた後で、そのレコードが再書き込みまたは削除される前に障害が発生し、サーバーが再始動されなければならないため、この障害コードが戻されることは非常にまれです。バックアウトの再試行は成功するはずですが、サーバーが既に使用可能になっているため、バックアウトは自動的に再試行されません。SET DSNAME RETRY を使用してバックアウト再試行を実行してください。	FB	バックアウトのためにファイルをオープンしているときにエラーが発生しました。ファイルがオープンされない理由を判別し、訂正できる場合にはそれを訂正してから、SET DSNAME RETRY を出してバックアウトを再試行してください。データ・セットが静止されたためにエラーが発生した場合は、データ・セットが静止解除されると、バックアウトが自動的に再試行されます。VSAM RLS サーバーが使用不可だったためにエラーが発生した場合は、サーバーが再度使用可能になると、バックアウトが自動的に再試行されます。
C3	データ・セットのバインド先だった VSAM RLS キャッシュ構造で障害が発生したか接続が	FE	バックアウト中には発生しないはずの予期しないエラーが発生しました。例外トレース・ポイントが書き込まれ、メッセージ DFHFC4700 が出力され、システム・ダンプがとられます。こ

れらを使用して、エラーの原因を判別してください。問題の原因が何らかの一時的な条件であり、それ以降にその条件がクリアされた可能性があるため、SET DSNAME RETRY を使用してバックアウトを再試行すると有効な場合があります。

モジュール: DFHFCRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *X'local_uowid'*
7. *task_number*
8. *base_dsname*
9. *path_dsname*
10. *X'bfail_code'*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC4702 *date time applid* トランザクション *tranid*、**BDAM** ファイル *filename*、作業単位 *X'local_uowid'*、タスク *task_number* でバックアウトが失敗しました。(date time applid **Backout failed for transaction tranid, BDM file filename, unit of work X'local_uowid', task task_number.**)

説明: ファイル・バックアウトは、BDAM データ・セットに対して、ファイル *filename* を介して、作業単位 *local_uowid* によって行われた、コミットされていない変更をバックアウトできませんでした。

バックアウトされている変更を最初に行ったのは、トランザクション・コード *tranid* を処理するために作業単位 *local_uowid* の下で実行されていたタスク *task_number* でした。しかし、このバックアウトが未確定状態の解決を待機した後で試みられている場合、現在のタスク番号は、メッセージで示された元のタスク番号とは異なります。また、トランザクションが無効になっている場合、トランザクション・コードは、元のトランザクション・コードとは異なります。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

作業単位のバックアウトは続行され、これ以降、この BDAM データ・セットに対して行われた変更のバックアウトが失敗すると、このメッセージが再び出されます。

バックアウト失敗出口点 XFCBFAIL で呼び出されたプログラムが何らかの防止処置をとらなかった場合、他の作業が BDAM データ・セットへのアクセスを続行することは可能ですが、変更がバックアウトされていないため、データ保全性が損なわれます。

ユーザーの処置: データ保全性が失われてもデータ・セットの使用を続行する用意がある場合を除いて、この状態を訂正するために、何らかの処置をとる必要があります。例えば、データ・セットを使用しているすべてのファイルをクローズし、コミットされていない変更をオフラインでバックアウトしてください。

BDAM バックアウト失敗の考えられる原因の 1 つは、XFCLDEL 出口が論理削除を実行しないことを選択したか、XFCLDEL 出口が有効でなかったため、論理削除を実行できなかったことです。この場合には、適切な出口プログラムが XFCLDEL 出口点で確実に使用可能になるようにすると、BDAM データ・セットに対して行われた書き込みをバックアウトするための後続の試みは成功します。

モジュール: DFHFCRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *X'local_uowid'*
7. *task_number*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC4800 *date time applid* **A failure has been detected on forward recovery log stream log_stream.** 関連する RLS データ・セットが静止しました。 **Data set dsname**

説明: ロガー・ドメインが順方向リカバリー・ログ・ストリーム *log_stream* でエラーを検出しました。その結果、関連する RLS データ・セット *dsname* の使用を安全に続行できません。

システムの処置: 処理を続行します。RLS データ・セット *dsname* が静止されました。

ユーザーの処置: 最初に、データ・セットのバックアップをとって、新しい順方向リカバリー・ポイントを設定してください。その後、ログ・ストリーム失敗の原因である問題を訂正し、失敗した MVS ログ・ストリームを削除および再定義し、データ・セットを静止解除して RLS アクセスを再度許可することができます。

モジュール: DFHFCLF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *log_stream*
5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC4801 *date time applid A failure has been detected on forward recovery log stream log_stream.* 関連する非RLSデータ・セットは使用不可で、そのファイルはクローズされました。 **Data set dsname**

説明: ロガー・ドメインが順方向リカバリー・ログ・ストリーム *log_stream* でエラーを検出しました。その結果、関連する非 RLS データ・セット *dsname* の使用を安全に続行できません。

システムの処置: 処理を続行します。データ・セット *dsname* は使用不可に設定され、それに関連するすべてのファイルはクローズされました。

ユーザーの処置: 最初に、データ・セットのバックアップをとって、新しい順方向リカバリー・ポイントを設定してください。その後、ログ・ストリーム失敗の原因である問題を訂正してから、失敗した MVS ログ・ストリームを削除および再定義できます。データ・セットの順方向リカバリー・ログ・ストリームの名前が VSAM カタログ内で保持されている場合は、ここで SET DSNAME AVAILABLE を使用してデータ・セットを再度使用可能にすることができます。データ・セットの順方向リカバリー・ログ・ストリームの名前がファイル定義内で保持されている場合は、SET DSNAME AVAILABLE を使用してデータ・セットを再度使用可能にする前に、順方向リカバリー・ログに対して SET JOURNALNAME RESET を出す必要があります。

モジュール: DFHFCLF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *log_stream*
5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC4802 *date time applid A failure has been detected on auto journal journal_name. The associated file file_name has been closed.*

説明: ロガー・ドメインが自動ジャーナル *journal_name* でエラーを検出しました。その結果、自動ジャーナルを信頼できなくなりました。

システムの処置: 関連ファイル *filename* がクローズに設定されました。

ユーザーの処置: 適切な処置は、自動ジャーナルをどのように使用するか、および情報の欠落を許容できるかどうかによって異なります。

情報が欠落していない完全な自動ジャーナルが必要である場合は、何らかの処置をとって、自動ジャーナルの新しい開始点を設定する必要があります。その後、ログ・ストリーム失敗の原因であるエラーを訂正し、ログ・ストリームを削除および再定義し、SET JOURNALNAME RESET を出し、ファイルを再オープンすることができません。

完全な自動ジャーナルが必要ではない場合は、ログ・ストリームが引き続き書き込み可能であれば、SET JOURNALNAME RESET を出し、ファイルをオープンし、同じジャーナルへの自動ジャーナル処理を続行することができます。ログ・ストリーム失敗の詳細は、このメッセージの前に出されたメッセージで報告されています。

モジュール: DFHFCLF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journal_name*
5. *file_name*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC5801A *applid File OPEN has failed for VSAM data set. The BWO values in the ICF catalog indicate that data set needs to be restored and forward recovered. Data set 'dsname'.*

説明: CICS は、VSAM 基本データ・セット *dsname* のファイル・オープンを拒否しました。統合カタログ機能 (ICF) カタログの「オープン中のバックアップ」(BWO) フラグが、破壊されたデータ・セットがあることを示したため、この基本データ・セットをオープンできませんでした。

DFHFC5802A

このメッセージは、OPEN 失敗に関与しているファイルの名前を含むメッセージ DFHFC5806 とともに出されます。

システムの処置: データ・セット *dsname* のファイル・オープンに失敗します。CICS は処理を続行しますが、ファイルはクローズされ、その状態は UNENABLED に設定されます。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 以下の手順を実行してください。

1.

この VSAM データ・セットの BWO コピーが使用可能である場合:

a.

DFHSM または DFDSS (あるいはその両方) を使用して、このデータ・セットの BWO コピーをリストアします。

b.

CICS VSAM Recovery (CICSVR) などのログ適用ユーティリティを使用して、CICS 順方向リカバリー・ログを適用することにより、データ・セットを整合点まで戻します。

2.

この基本データ・セットの BWO コピーは存在しないが、正常な静止コピーが存在する場合は、通常の方法で順方向リカバリー・ログをデータ・セットに適用することにより、データ・セットを整合点まで戻します。

3.

データ・セットが障害点までリカバリーされたことを示すように ICF カタログの BWO フラグを設定します。これを行うには、CEMT SET DSNAME RECOVERED または EXEC CICS SET DSNAME RECOVERED コマンドを出します。

4.

失敗の前の元のデータ・セット名にデータ・セットの名前を変更します。

5.

データ・セットを使用可能にします。

注: CICS VSAM Recovery MVS/ESA (CICSVR MVS/ESA) バージョン 2 などの一部のログ適用ユーティリティは、CICS 順方向リカバリー・ログが適用された後で、ICF カタログの BWO フラグを RECOVERED 状態に設定します。

モジュール: DFHFCAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5802A *applid* File OPEN has failed for VSAM data set. ICF カタログ内の BWO 値は、データ・セットの順方向リカバリーが必要であることを示しています。
(The BWO values in the ICF catalog indicate that data set needs to be forward recovered.) Data set '*dsname*'.

説明: CICS は、VSAM 基本データ・セット *dsname* のファイル・オープンを拒否しました。ICF カタログの「オープン中のバックアップ」(BWO) フラグが、データ・セットがバックレベルであり順方向リカバリーが必要であることを示したため、この基本データ・セットをオープンできませんでした。この失敗は、VSAM 基本データ・セットの BWO がリストアされたが、順方向リカバリーが行われていない場合に発生します。このメッセージは、OPEN 失敗に関与しているファイルの名前を含むメッセージ DFHFC5806 とともに出されます。

システムの処置: データ・セット *dsname* のファイル・オープンに失敗します。CICS は処理を続行しますが、ファイルはクローズされ、その状態は UNENABLED に設定されます。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: 以下の手順を実行してください。

1.

CICS VSAM Recovery (CICSVR) などのログ適用ユーティリティを使用して、CICS 順方向リカバリー・ログを適用することにより、データ・セットを整合点まで戻します。

2.

データ・セットが障害点までリカバリーされたことを示すように ICF カタログの BWO フラグを設定します。これを行うには、CEMT SET DSNAME RECOVERED または EXEC CICS SET DSNAME RECOVERED コマンドを出します。

注: CICS VSAM Recovery (CICSVR) などの一部のログ適用ユーティリティは、CICS 順方向リカバリー・ログが適用された後で、ICF カタログの BWO フラグを RECOVERED 状態に設定します。

モジュール: DFHFCAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5803 *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred while inquiring/setting VSAM data set BWO attributes. Data set '*dsname*' Return Code X'xxxxxxx' Reason Code X'yyyyyyyy' Prob Det X'zzzzzzzzzzzzzzzzzzzz'.

説明: 基本データ・セット *dsname* の ICF カタログの「オープン中のバックアップ」(BWO) 属性の照会中または設定中に、DFHFCAT で重大エラーが検出されました。エラー・コードは、失敗した呼び出しを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。コード X'*code*' がとる値は以下のとおりです。

値 意味

X'0B57'

データ・セットが SMS サブシステムに認識されているかどうかを照会するための への呼び出しが失敗しました。

X'0B59'

データ・セットの BWO フラグを順方向リカバリー済み状態に更新するための への呼び出しが失敗しました。

X'0B5A'

データ・セットのリカバリー・ポイントを更新するための への呼び出しが失敗しました。

X'0B5B'

データ・セットの BWO フラグを BWO 無効状態に更新するための への呼び出しが失敗しました。

X'0B5C'

データ・セットの BWO フラグが BWO 有効状態だったかどうかを照会するための への呼び出しが失敗しました。

X'0B5D'

データ・セットの BWO フラグを BWO 有効状態に更新するための への呼び出しが失敗しました。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

値 xxxxxxxx、yyyyyyyy、および zzzzzzzzzzzzzzzzzzzzz は、ICF カタログの BWO 属性を更新/照会するための インターフェイス呼び出しからの BWO 戻りコード、理由コード、および問題判別コードです。

このメッセージは、ファイル・オープン失敗が発生した場合はメッセージ DFHFC5806 とともに出され、ファイル・クローズ失敗が発生した場合はメッセージ DFHFC5810 とともに出されます。

システムの処置: CICS は、例外トレース・ポイント項目を作成し、このメッセージを出します。システム・ダンプはとられません。どのような処置がとられるかは、エラー発生時に進行中だった操作によって異なります。

ファイルのオープン中にエラーが発生した場合、オープン要求は失敗し、ファイルはクローズされ、その状態は UNENABLED に設定されます。

ファイルのクローズ中にエラーが発生した場合、ファイルの状況は変更されません。

リカバリー・ポイントの更新中にアクティビティー・キーポイントでエラーが発生した場合、CICS は、キーポイント・ディレクトリー・エレメント (KPDE) を作成する次のアクティビティー・キーポイント上でリカバリー・ポイントを更新しようとします。

CEMT または EXEC CICS コマンドを使用してデータ・セットを RECOVERED に設定しているときにエラーが発生した場合は、OK 以外の応答が戻されます。

ユーザーの処置: 戻りコード、理由コード、および問題判別コードを使用して、 への呼び出しが失敗した理由を判別してください。詳細については、「」の『』を参照してください。

CICS が実行されているプロセッサに、適切なレベルの MVS/DFP がインストールされていることを確認してください。また、データ・セットが SMS 管理対象であり、SMS サブシステムに認識されていることも確認してください。

モジュール: DFHFCAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*code*'
3. *dsname*
4. X'xxxxxxx'
5. X'yyyyyyyy'
6. X'zzzzzzzzzzzzzzzzzzzz'

宛先: コンソール

DFHFC5804 *applid* File CLOSE failed during CICS termination. File '*filename*'.

説明: 順序正しい CICS 終了時にファイル *filename* をクローズしようとしたましたが、失敗しました。このメッセージは、単にこのファイルをクローズできなかった

DFHFC5805 • DFHFC5807

という警告として作成されます。データの保全本性は維持されています。

システムの処置: CICS の終了を続行します。

BACKUPTYPE=DYNAMIC が指定された更新のためにオープンされている基本データ・セットに対してこのファイルがオープンされた場合は、次の CICS 実行でのこの基本データ・セットに対する更新のための最初のオープン時に、以下のいずれかのメッセージが出されます。

DFHFC5807

DFHFC5808

DFHFC5809.

ユーザーの処置: この障害の再発を回避するために、このファイルがクローズされなかった理由を、終了時に出力された他の DFHFCxxxx メッセージから判別してください。

モジュール: DFHFCSD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

宛先: コンソール

DFHFC5805 *applid* File OPEN failed. RECOVERY attributes of VSAM data set are not valid. File '*filename*' data set '*dsname*'.

説明: ファイル *filename* は、更新のための「オープン中のバックアップ」が可能である

(BACKUPTYPE=DYNAMIC) として定義されています。更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE、または UPDATE 設定) のために、このファイルのオープンを試みましたが、失敗しました。CICS が、VSAM 基本データ・セット *dsname* の RECOVERY 属性が妥当性検査されていないことを検出したためです。

RECOVERY=ALL を指定せずにデータ・セットを BACKUPTYPE=DYNAMIC として定義することはできません。

システムの処置: データ・セット *dsname* のファイル・オープンに失敗します。処理は続行されますが、ファイルはクローズされ、その状態は UNENABLED に設定されます。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: これはおそらく、CICS 内の論理エラーが原因です。ただし、エラーの原因を示す他の DFHFCxxxx メッセージがあるかどうかを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5806 *applid* File OPEN failed. DFHFCAT returned an error response from a BWO action on a VSAM data set. File '*filename*' data set '*dsname*'.

説明: ファイル *filename* のオープンを試みましたが、VSAM 基本データ・セット *dsname* のためのへの呼び出しが失敗したか、への呼び出しから無効な状態が戻されたため、失敗しました。このメッセージは、報告されているエラーのタイプに応じて、以下のいずれかのメッセージとともに出されます。

DFHFC0002

DFHFC5801

DFHFC5802

DFHFC5803

システムの処置: CICS はデータ・セット *dsname* のファイル・オープン要求を実行できません。処理は続行されますが、ファイルはクローズされ、その状態は UNENABLED に設定されます。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: このエラーを解決するためにとる適切な処置については、一緒に出されるメッセージを参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5807 *applid* File OPEN failed. BACKUPTYPE 属性が、VSAM データ・セットで現在定義されている属性と競合しています。
(BACKUPTYPE attributes conflict with those currently defined for the VSAM data set.) File '*filename*' data set '*dsname*'.

説明: 更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE、または UPDATE 設定) のために、VSAM 基本データ・セット *dsname* に対して、ファイル *filename* のオープンを試みましたが、失敗しました。これは、CICS が、オープンしている側の CICS リソース定義と、更新のために既に

オープンされていた基本データ・セットの DSNB との間に、属性競合があることを検出したためです。ある DSNB に対して、BACKUPTYPE=DYNAMIC が指定された FILE リソース定義が既にオープンされているか以前にオープンされていた場合、その DSNB に対して、BACKUPTYPE=STATIC が指定された FILE リソース定義をオープンすることはできません。同様に、ある DSNB に対して、BACKUPTYPE=STATIC が指定された FILE リソース定義が既にオープンされているか以前にオープンされていた場合、その DSNB に対して、BACKUPTYPE=DYNAMIC が指定された FILE リソース定義をオープンすることはできません。

注: CICS 基本データ・セットの DSNB は、CICS 実行の途中で BACKUPTYPE を変更できません。これを行うためには、DSNB を破棄し、新しい DSNB を作成する必要があります。これを行う方法は、次の 3 つです。

- CEMT SET DSNB REMOVE
- EXEC CICS SET DSNB REMOVE
- CICS を終了し、コールド・スタートで再始動します。

以前は RECOVERY=NONE または BACKOUTONLY および BACKUPTYPE=STATIC が指定されていた DSNB の指定を変更して、BACKUPTYPE=DYNAMIC を指定する場合、DSNB で RECOVERY=NONE または BACKOUTONLY が指定されていた期間の順方向リカバリー・ロギングは存在しません。したがって、変更の前にデータ・セットのバックアップ・コピーをとる必要があります。これにより、失敗が発生してもデータ・セットを整合点までリカバリーできます。

システムの処置: データ・セット *dsname* のファイル・オープンに失敗します。CICS は処理を続行しますが、ファイルはクローズされ、その状態は UNENABLED に設定されます。このファイルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: BACKUPTYPE および RECOVERY 属性の正しい値を判別し、必要な場合は、ファイルのリソース定義を変更してください。

あるいは、既に説明したように古い DSNB を除去し、オープンを再試行してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5808 *applid* File OPEN warning. 更新のための最初のオープン時に、VSAM データ・セットは BWO が可能であるとして既に設定されています。(VSAM data set already set eligible for BWO on first open for update.) File '*filename*' data set '*dsname*'.

説明: ファイル *filename* は、更新のための「オープン中のバックアップ」が可能である

(BACKUPTYPE=DYNAMIC) として定義されています。更新処理 (SERVREQ=ADD、DELETE、または UPDATE 設定) のために、VSAM 基本データ・セット *dsname* に対して、このファイルをオープンしていたとき、CICS は、この基本データ・セットは BWO が可能であるとして ICF カタログで既に定義されていたことを検出しました。

バッチ・ジョブが前のバッチ・ウィンドウ内でこのデータ・セットを更新していて、DFHSM バックアップが同時にスケジュールされていた場合は、失敗が発生してもデータ・セットを整合点まで順方向リカバリーできないため、バッチ・ウィンドウ内で生成されたバックアップを破棄する必要があります。これは、バッチ・ウィンドウ内でデータ・セットに対して行われた更新が CICS 順方向リカバリー・ログに反映されていないためです。この状態は、CICS の終了中に CICS がファイル (BACKUPTYPE=DYNAMIC 定義) のクローズに失敗した場合に発生する可能性があります。

システムの処置: CICS は ICF カタログ・リカバリー・ポイントを更新し、オープン処理は続行します。

ユーザーの処置: 完全なデータ保全性を保証するには、この基本データ・セットに対してオープンされたすべてのファイルを静止し、バックアップ・コピーをとってください。後日、このコピーの順方向リカバリーを行って、前のバッチ・ウィンドウ内でこのデータ・セットに対して行われた更新を反映させることができます。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5809 *applid* File OPEN warning.
BACKUPTYPE 属性が、ICF カタログ内で定義された **BWO** 値と競合しています。**(BACKUPTYPE attributes conflict with BWO values defined in ICF catalog.) BWO** 値が更新されました。**(BWO values have been updated.) File 'filename' data set 'dsname'.**

説明: ファイル *filename* は、更新のための「オープン中のバックアップ」が可能ではない **(BACKUPTYPE=STATIC)** として定義されています。更新処理 (**SERVREQ=ADD**、**DELETE**、または **UPDATE** 設定) のために、VSAM 基本データ・セット *dsname* に対して、このファイルをオープンしていたとき、CICS は、この基本データ・セットは **BWO** が可能であるとして ICF カタログ内の **BWO** フラグで既に定義されていたことを検出しました。しかし、CICS リソース定義および DSNB は、この基本データ・セットは **BWO** が可能ではないとして定義しています。

バッチ・ジョブが前のバッチ・ウィンドウ内でこのデータ・セットを更新していて、DFHSM バックアップが同時にスケジュールされていた場合は、失敗が発生してもデータ・セットを整合点まで順方向リカバリーできないため、バッチ・ウィンドウ内で生成されたバックアップを破棄する必要があります。これは、バッチ・ウィンドウ内でデータ・セットに対して行われた更新が CICS 順方向リカバリー・ログに反映されていないためです。

この状態は、CICS の終了中に CICS がファイル **(BACKUPTYPE=DYNAMIC** 定義) のクローズに失敗した場合、および後続の CICS 実行でファイルが **BACKUPTYPE=STATIC** で再定義された場合に発生する可能性があります。

システムの処置: CICS は、このデータ・セットは **BWO** が可能ではなくなったことを示すために、ICF カタログを更新します。ファイル・オープン処理は続行します。

ユーザーの処置: **BACKUPTYPE** 属性の正しい値を判別し、必要な場合は、CEDA を使用して再定義してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5810 *applid* File CLOSE failed. DFHFCAT returned an error response from a **BWO** action on a VSAM data set. File **'filename' data set 'dsname'.**

説明: ファイル *filename* のクローズを試みましたが、VSAM 基本データ・セット *dsname* のための への呼び出しが失敗したため、失敗しました。このファイルは、更新のための「オープン中のバックアップ」が可能である **(BACKUPTYPE=DYNAMIC)** として定義され、更新処理 (**SERVREQ=ADD**、**DELETE**、または **UPDATE** 設定) のためにオープンされています。このメッセージは、報告されたエラーのタイプに応じて、メッセージ **DFHFC5803** または **DFHFC0002** とともに出されます。

システムの処置: データ・セット *dsname* のファイル・クローズ要求は失敗します。処理は続行され、ファイルはオープンされたままです。

ユーザーの処置: このエラーを解決するためにとる適切な処置については、一緒に出されるメッセージを参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5811 *applid* File OPEN warning.
BACKUPTYPE=DYNAMIC 属性は無視されました。**(BACKUPTYPE=DYNAMIC attribute has been ignored.) File 'filename' data set 'dsname'.**

説明: ファイル *filename* は、更新のための「オープン中のバックアップ」が可能である **(BACKUPTYPE=DYNAMIC)** として定義されています。更新処理 (**SERVREQ=ADD**、**DELETE**、または **UPDATE** 設定) のために、VSAM 基本データ・セット *dsname* に対して、このファイルのオープンを試みていたとき、以下のいずれかが発生しました。

- CICS は、VSAM の「オープン中のバックアップ」(**BWO**) サポートのために必要となる適切なレベルのソフトウェアがインストールされていなかったことを検出しました。または、
- 適切な モジュールをロードできませんでした。

システムの処置: CICS は、BACKUPTYPE=DYNAMIC パラメーターを無視し、STATIC が指定されていた場合と同様に続行します。ファイル・オープン処理は続行します。

ユーザーの処置: BWO サポートが必要である場合は、適切なレベルの がインストールされていることを確認してください。

BWO サポートが必要ではない場合は、ファイルが BACKUPTYPE=STATIC 属性を指定して定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5812 *applid* File OPEN warning.
BACKUPTYPE=DYNAMIC has been ignored for VSAM AIX data set. STATIC has been defaulted. File *filename* data set *dsname*.

説明: ファイル *filename* は、更新のための「オープン中のバックアップ」が可能である (BACKUPTYPE=DYNAMIC) として定義されています。このファイルは、VSAM AIX であるデータ・セット *dsname* に対してオープンされています。BACKUPTYPE=DYNAMIC は、VSAM AIX の有効なオプションではありません。デフォルトの BACKUPTYPE=STATIC に設定されました。

システムの処置: ファイル・オープン処理は続行します。

ユーザーの処置: CEDA を使用して、このファイルで BACKUPTYPE=STATIC が指定されるように再定義してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5813 *applid* File OPEN warning. Level of {DFHSM | DFDSS | DFHSM and DFDSS} does not support BWO.

説明: 更新のために VSAM ファイルをオープンし、リソース定義内で BACKUPTYPE=DYNAMIC を指定することにより「オープン中のバックアップ」(BWO) サポートを要求しました。しかし、CICS は、CICS が実行されているプロセッサに、BWO サポートのために必要なソフトウェア・リリース・レベルの DFHSM または DFDSS (あるいはその両方) がインストールされていなかったことを検出しました。

このメッセージは、コールド・スタートまたは初期始動の後で、更新のためにオープンされて BWO が可能であるとして定義される最初のファイルに対して、1 回出されます。

システムの処置: CICS ファイル・オープン処理は続行します。ファイル・オープンがエラーなしで完了した場合、ファイルは BWO が可能であるとして定義されます。しかし、CICS が実行されているプロセッサ上で、DFHSM または DFDSS (あるいはその両方) を使用して BWO バックアップ機能を実行することはできません。

ユーザーの処置: BWO バックアップが行われるプロセッサに、DFHSM または DFDSS (あるいはその両方) のバージョン 2.5.0 以降がインストールされていることを確認してください。

注: DFSMS/MVS 1.1 (DFSMSHsm および DFSMSdss) は、DFHSM 2.5 および DFDSS 2.5 を置き換えるものです。

モジュール: DFHFCAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHSM,
 2=DFDSS,
 3=DFHSM および DFDSS

宛先: コンソール

DFHFC5814 *applid* ICF カタログ内の VSAM データ・セット属性に対する照会中に、エラー (コード X'code') が発生しました。(applid An error (code X'code') has occurred while inquiring on VSAM data set attributes in the ICF catalog.) {SHOWCAT | LOCATE} 戻りコード X'rrrr'。({SHOWCAT | LOCATE} return

code *X'rrrr'.)* **Data set** *dsname.*

説明: データ・セット *dsname* の属性を取得するために ICF カタログを読み取っていたとき、CICS は、VSAM SHOWCAT または LOCATE マクロから戻りコード *rrrr* を受け取ったか、関連するエラーを検出しました。エラー・コード *code* は、エラーを一意的に識別する例外トレースです。とることができる値は以下のとおりです。

値 意味

X'237A'

データ・セットに対する SHOWCAT が戻りコード *rrrr* で失敗しました。

X'237B'

AIX に関する VSAM カタログ項目に、データの関連または基本クラスターの関連のいずれかが欠落しています。

X'237C'

経路の AIX に対する SHOWCAT が戻りコード *rrrr* で失敗しました。

X'237D'

経路についての VSAM カタログ項目に、その最初の関連としての基本クラスターまたは AIX がありません。

X'237E'

データ・セットに対する LOCATE が戻りコード *rrrr* で失敗しました。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「CICS 診断リファレンス」を参照してください。

システムの処置: 例外トレース項目を作成し、ダンプ・コード FC5814 のシステム・ダンプをとった後で、CICS の処理は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: SHOWCAT または LOCATE 戻りコードが存在する場合は、これらの戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。SHOWCAT 戻りコードの意味については、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Setsを参照してください。LOCATE 戻りコードの意味については、z/OS DFSMSdfp Advanced Servicesを参照してください。データ・セットの VSAM LISTCAT リストも役立つ場合があります。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続

行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. 以下のオプションから選択される値。

1=SHOWCAT,
2=LOCATE

4. *X'rrrr'*
5. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5815 *applid* An error has occurred while inquiring on VSAM data set attributes in the ICF catalog. VSAM RLS codes *X'rrrr', X'cccc'*. **Problem determination:** *X'dddddddd'*. **Data set** *dsname.*

説明: データ・セット *dsname* の RLS 属性を取得するために ICF カタログを読み取っていたとき、CICS は、VSAM IGWARLS マクロから理由コード *cccc* を受け取りました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。*ddddddd* は、使用可能な VSAM 問題判別情報(ある場合)です。

システムの処置: 例外トレース項目を作成し、ダンプ・コード FC5815 のシステム・ダンプをとった後で、CICS の処理は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: IGWARLS 理由コードおよび問題判別情報を使用して、問題の原因を判別してください。IGWARLS 理由コードの意味については、z/OS DFSMSdfp Advanced Servicesを参照してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rrrr'*
3. *X'cccc'*
4. *X'dddddddd'*

5. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC5820 *applid* Any files that are still open against the base data set may need to be closed. File *filename*, data set *dsname*.

説明: ファイル *filename* は、動的に割り振られたデータ・セット *dsname* をオープンする最初のファイルでした。このファイルは、クローズされ、同じ基本データ・セットに対して 1 つまたは複数のファイルがオープンされたままになります。しかし、これらのファイルのどれかが 2 次エクステンツを必要とする場合、その要求は、CICS ILLOGIC エラー (X'08BA0000') を出して失敗します。

システムの処置: クローズ処理は通常どおり完了します。

ユーザーの処置: 発生する可能性があるこの問題为了避免のために、基本データ・セットに対してオープンされたままのファイルをクローズして再オープンすることをお勧めします。データ・セットの関連についてよく分からない場合には、上記の基本データ・セットに対して LISTCAT を実行し、すべての関連データ・セットのリストを作成してください。どのファイルが影響を受けるかを識別するためには、CEMT INQ FILE(*) を使用します。ファイルをすべてクローズして再オープンする必要があります。その際に、例えば、CEMT SET FILE(file name) CLOSE および CEMT SET FILE(file name) OPEN を使用します。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHFC6000 *date time applid* データ・セット *dsname* を {静止 | 静止解除} しようとしています。(date time *applid* About to {quiesce | unquiesce} data set *dsname*)

説明: このメッセージは、シスプレックス全体で基本データ・セット *dsname* を静止または静止解除するための VSAM RLS への要求が行われる直前に出されます。静止または静止解除は、エンド・ユーザーが出した EXEC CICS SET DSNAMES QUIESCESTATE または CEMT の同等のコマンドによって開始されるか、CICS によって内部的に開始されます。

システムの処置: データ・セットは、メッセージで示されたように、静止または静止解除されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

5. *dsname*

宛先: CSFL

DFHFC6001 *date time applid* データ・セットが {CICS | ユーザー} によって正常に {静止 | 静止解除} されました。(date time *applid* Data set successfully {quiesced | unquiesced} by {CICS | user}.) Data set *dsname*

説明: シスプレックス全体で基本データ・セット *dsname* を静止または静止解除するための VSAM RLS への要求が正常に完了しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。ICF カタログ内のデータ・セットの静止状態は、メッセージで示されたように、静止または静止解除に設定されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

5. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

6. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6003 *date time applid Attempt by {CICS | user} to {quiesce | unquiesce} a data set has been rejected because {quiesce | unquiesce | non-BWO backup | BWO backup | unknown event} is in progress. Data set dsname*

説明: このメッセージは、競合するデータ・セット操作が同じデータ・セットに対して進行中であるために、シスプレックス全体で基本データ・セット *dsname* を静止または静止解除するための VSAM RLS への要求が拒否された後で出されます。競合する操作は、このメッセージに示されています。

システムの処置: CICS 処理を続行します。ICF カタログ内のデータ・セットの静止状態は変更されません。

ユーザーの処置: 競合するデータ・セット操作が完了するまで待機してから、EXEC CICS SET DSNAME または CEMT の同等のコマンドを使用して静止または静止解除を再試行してください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

5. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

6. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除、
3=非 BWO バックアップ、
4=BWO バックアップ、
5=不明イベント

7. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6005 *date time applid Attempt by {CICS | user} to quiesce a data set has failed. 静止は取り消されました。Data set dsname*

説明: シスプレックス全体で基本データ・セット *dsname* を静止するための VSAM RLS への要求が、参加している CICS 領域によって取り消されました。CICS 領域はシスプレックス内のいずれかの CICS です。静止は、以下のいずれかの理由で取り消されました。

- エンド・ユーザーが、EXEC CICS SET DSNAME UNQUIESCED コマンドを出した。
- グローバル出口 XFCVSDS でのユーザー・コードが、静止を抑止した。
- グローバル出口 XFCSREQ でのユーザー・コードが、データ・セットに対してオープンされているファイルのクローズを抑止した。
- 静止が完了せず、タイムアウトになった。

シスプレックス内の前に出されたコンソール・メッセージは、理由を示しています。XFCVSDS の場合、メッセージは DFHFC6023 です。XFCSREQ の場合、メッセージは DFHFC6024 です。タイムアウトの場合、メッセージは DFHFC6020 です。前に出されたメッセージがない場合は、EXEC CICS SET DSNAME UNQUIESCED が使用されています。

システムの処置: CICS 処理を続行します。ICF カタログ内のデータ・セットの静止状態は、取り消しの結果として静止解除に設定されます。

ユーザーの処置: 処置は、取り消しの理由によって異なります。前に出されたメッセージがある場合は、背景情報について、そのメッセージの説明を参照してください。

EXEC CICS SET DSNAME UNQUIESCED が理由だった場合は、実際にはどの静止状態に設定する必要があるかを判別してください。静止に設定する必要がある場合は、EXEC CICS SET DSNAME QUIESCED コマンドまたは CEMT の同等のコマンドを出してください。

出口が静止を抑止した場合は、データ・セットを静止する前に、XFCVSDS または XFCSREQ でのユーザー・コードをシスプレックス内のすべての CICS 領域上で無効にする必要があります。

静止がタイムアウトになった場合は、EXEC CICS SET DSNAME QUIESCED または CEMT の同等のコマンドを使用して、静止を再試行してください。タイムアウトが再度発生する場合は、EXEC CICS SET DSNAME IMMQUIESCED または CEMT の同等のコマンドを使用することを検討してください。これにより、データ・

セットにアクセスしているトランザクションが強制除去されるため、ファイルをクローズする速度が向上します。あるいは、データ・セットを使用している長時間実行中のトランザクションを識別し、それらを終了することを試みてください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6007 *date time applid Attempt by {CICS | user} to {quiesce | unquiesce} a data set failed because the SMSVSAM server is not available. Data set dsname*

説明: SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースが使用不可であるため、シスプレックス全体で基本データ・セット *dsname* を静止または静止解除するための VSAM RLS への要求が失敗しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースは、自動的に再始動を試みるはずです。

ICF カタログ内のデータ・セットの静止状態は予測不能です。

ユーザーの処置: SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースは、通常は自動的に再始動するはずです。再始動しない場合は、SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを手動で再始動してください。次に、EXEC CICS SET DSNAME コマンドまたは CEMT の同等のコマンドを出して、ICF カタログ内の静止状態を必要に応じて静止または静止解除に設定してください。

SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを再始動できない場合は、より重大なエラーが発生している可能性があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

5. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

6. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6008 *date time applid Attempt by {CICS | user} to {quiesce | unquiesce} a data set has failed. VSAM RLS codes X'rrrr', X'cccc'. Data set dsname*

説明: このメッセージは、シスプレックス全体で基本データ・セット *dsname* を静止または静止解除するための VSAM RLS への要求が、予期しないエラーで失敗した後で出されます。VSAM IDAQUIES マクロは、理由コード *cccc* で失敗しました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: ダンプ・コード FC6008 のシステム・ダンプをとった後で、CICS の処理は続行されます。ICF カタログ内のデータ・セットの静止状態は予測不能です。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: IDAQUIES 理由コードを使用して、問題の原因を判別してください。IDAQUIES 理由コードの意味については、z/OS DFSMSdfp 診断を参照してください。

問題が解決されたら、EXEC CICS SET DSNAME コマンドまたは CEMT の同等のコマンドを出して、ICF カタログ内の静止状態を必要に応じて静止または静止解除に設定してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

5. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

6. X'rrrr'
7. X'cccc'
8. dsname

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6009 *date time applid Attempt by {CICS | user} to {quiesce | unquiesce} a data set has failed because a VSAM data set could not be located dsname*

説明: dsname が見つからなかったため、シスプレックス全体で基本データ・セット dsname を静止または静止解除するための VSAM RLS への要求が失敗しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連するエラー・メッセージを調べて、問題の原因を見つけてから、静止または静止解除を再試行してください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. date
2. time
3. applid
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

5. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

6. dsname

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6010 *date time applid Attempt by {CICS | user} to {quiesce | unquiesce} a data set has failed because it has been migrated. Data set dsname*

説明: dsname が移行されたため、シスプレックス全体で基本データ・セット dsname を静止または静止解除するための VSAM RLS への要求が失敗しました。静止または静止解除を実行する前に、データ・セットを再呼び出しする必要があります。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: データ・セットの再呼び出しを行い、静止または静止解除を再試行してください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. date
2. time
3. applid
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

5. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

6. dsname

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6015 *date time applid データ・セット dsname の {非 BWO | BWO} バックアップを取り消そうとしています。 (date time applid About to cancel {non-BWO | BWO} backup of data set dsname)*

説明: DFSMSdss が開始した基本データ・セット dsname のバックアップを取り消すための VSAM RLS への要求が行われようとしています。これは、バックアップを抑止しているグローバル出口 XFCVSDS のユーザー・コードへの応答として実行されます。

このメッセージは、バックアップが BWO または非 BWO のどちらであることを示します。

システムの処置: バックアップは、シスプレックス全体で取り消されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. date
2. time
3. applid

4. 以下のオプションから選択される値。

1=非 BWO、
2=BWO

5. *dsname*

宛先: CSFL

DFHFC6016 *date time applid {Non-BWO | BWO}*
backup of a data set cancelled by
CICS. Data set *dsname*

説明: DFSMSdss が開始した基本データ・セット *dsname* のバックアップを取り消すための VSAM RLS への要求が正常に行われました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。BWO または非 BWO のバックアップは、シスプレックス全体で取り消されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=非 BWO、
2=BWO

5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6017 *date time applid Attempt by CICS to*
cancel a {non-BWO | BWO} backup of
a data set has been rejected because a
cancel is already underway. Data set
dsname

説明: 別の取り消しが既に進行中であるために、DFSMSdss が開始した基本データ・セット *dsname* のバックアップを取り消すための VSAM RLS への要求が拒否されました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。BWO または非 BWO のバックアップは、その別の取り消し要求によってシスプレックス全体で取り消されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=非 BWO、
2=BWO

5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6018 *date time applid Attempt by CICS to*
cancel a {non-BWO | BWO} backup of
a data set failed because the
SMSVSAM server is not available.
Data set *dsname*

説明: SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースが使用不可だったため、DFSMSdss が開始した基本データ・セット *dsname* のバックアップを取り消すための VSAM RLS への要求が失敗しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースは、自動的に再始動を試みるはずです。

BWO または非 BWO のバックアップ要求は、取り消されません。バックアップが失敗するか成功するかは、関係している SMSVSAM サーバーがバックアップを調整しているかどうかによって異なります。

ユーザーの処置: SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースは、通常は自動的に再始動するはずです。再始動しない場合は、SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを手動で再始動してください。バックアップが失敗した場合は、次に、DFSMSdss を使用して、バックアップを再試行してください。

SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを再始動できない場合は、より重大なエラーを意味しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=非 BWO、
2=BWO

5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6019 *date time applid Attempt by CICS to cancel a {non-BWO | BWO} backup of a data set has failed. VSAM RLS codes X'rrrr', X'cccc'. Data set dsname*

説明: DFSMSdss が開始した基本データ・セット *dsname* のバックアップを取り消すための VSAM RLS への要求が、予期しないエラーで失敗しました。VSAM IDAQUIES マクロは、理由コード *cccc* で失敗しました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: ダンプ・コード FC6019 のシステム・ダンプをとった後で、CICS の処理は続行されます。BWO または非 BWO のバックアップは、取り消されません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: IDAQUIES 理由コードを使用して、問題の原因を判別してください。IDAQUIES 理由コードの意味については、z/OS DFSMSdftp 診断を参照してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、より重大なエラーを意味しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=非 BWO、
2=BWO

5. *X'rrrr'*
6. *X'cccc'*
7. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6020 *date time applid Timeout has occurred while quiescing a data set. 静止は取り消されます。Data set dsname*

説明: シスプレックス全体で基本データ・セット

dsname を静止するために VSAM RLS に対して行われた要求が、タイムアウトになりました。タイムアウト限界は、システム初期設定パラメーター QUIESTIM によって指定されます。

これはおそらく、参加している CICS 領域上に長時間実行中のトランザクションが存在し、そのトランザクションが同期点に到達できないため、データ・セットに対してオープンされているファイルをクローズできないことが原因です。

システムの処置: CICS は、データ・セットの静止解除要求を出して、シスプレックス全体で静止を取り消します。静止解除要求のタイミングに応じて、以下の 2 つの状態のいずれかが発生します。

1. 通常は、即時に静止解除が処理され、静止要求は VSAM によって取り消されます。この場合には、メッセージ DFHFC6020 の後に、DFHFC6000 および静止解除の完了に関する DFHFC6001 の各メッセージが出されます。

2. 静止解除要求のタイミングに応じて、場合によっては、元の静止要求が完了してから静止解除要求が処理されることがあります。静止解除は取り消すことができないので、静止解除が完了し、それによって元の静止は取り消されます。この場合には、メッセージ DFHFC6020 の後に、DFHFC6000、DFHFC6027、静止の完了に関する DFHFC6001、および静止解除の完了に関する別の DFHFC6001 の各メッセージが出されます。

ユーザーの処置: タイムアウトが頻繁に発生する場合は、問題を解決するために以下の処置をとることができます。

- QUIESTIM SIT 値を大きくしてください。これは、システムの状態が特にビジーであるときに静止要求が出される可能性が高い場合に有効です。
- 要求を遅延させている長時間実行中のトランザクションを変更してください。トランザクションはシスプレックス内のいずれかの CICS 上で実行されていることに注意してください。

SET DSNAME IMMQUIESCED コマンドを使用して、任意のトランザクションを強制除去し、データ・セットを静止することができます。場合によっては、強制除去が原因で CICS が異常終了することがあるため、この方法は頻繁に使用しないでください。他に使用可能な方法がない場合、システム・プログラマーは、強制除去の一

部として出されたメッセージを使用して、長時間実行中のトランザクションを識別できます。

詳細については、メッセージ DFHFC6005 の説明も参照してください。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6021 *date time applid* **An error has occurred while notifying VSAM RLS of the completion of CICS processing for a data set quiesce or backup. VSAM RLS codes X'rrrr', X'cccc'. Data set dsname**

説明: CICS がデータ・セット静止あるいは BWO または非 BWO のバックアップの処理を完了したことを VSAM RLS に通知したときに、予期しないエラーが発生しました。VSAM IDAQUIES マクロは、理由コード *cccc* で失敗しました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: ダンプ・コード FC6021 のシステム・ダンプをとった後で、CICS の処理は続行されます。IDAQUIES マクロの失敗が原因で、データ・セット操作がタイムアウトになるか失敗する場合もあります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: IDAQUIES 理由コードを使用して、問題の原因を判別してください。IDAQUIES 理由コードの意味については、z/OS DFSMSdfp 診断を参照してください。

データ・セット操作が失敗した場合は、問題が解決されたら、データ・セット操作を再試行してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、より重大なエラーを意味しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *X'rrrr'*
5. *X'cccc'*
6. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6022 **STORAGE OBTAIN macro failure in CICS RLS quiesce exit. MVS code X'rrrr'**

説明: データ・セット操作要求を処理するために、CICS RLS 静止出口が VSAM RLS によって駆動されました。要求に対するストレージを取得しようとしたが、STORAGE OBTAIN マクロが失敗しました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: CICS RLS 静止出口は、GTF トレース項目を書き込みます。要求は CICS によって処理されません。データ・セット操作は、シスプレックス全体で続行されます。

ユーザーの処置: 戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。詳細については、メッセージ DFHFC6030 の説明を参照してください。戻りコードの意味については、z/OS MVS システム・コードを参照してください。

モジュール: DFHFCQX

宛先: コンソール

DFHFC6023 *date time applid* **The quiesce of a data set has been suppressed by user exit XFCVSDS. 静止は取り消されます。Data set dsname**

説明: グローバル出口 XFCVSDS でのユーザー・コードが、基本データ・セット *dsname* の静止を抑止しました。

システムの処置: CICS は、データ・セットの静止解除要求を出して、シスプレックス全体で静止を取り消します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHFC6005 の説明を参照してください。

モジュール: DFHFCQU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6024 *date time applid* **The quiesce of a data set has been suppressed by user exit XFCSREQ.** 静止は取り消されます。
Data set *dsname*

説明: グローバル出口 XFCSREQ でのユーザー・コードが、基本データ・セット *dsname* に対してオープンされているファイルのクローズを抑止しました。データ・セットが静止されていたため、ファイルがクローズされていません。

システムの処置: CICS は、データ・セットの静止解除要求を出して、シスプレックス全体で静止を取り消します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHFC6005 の説明を参照してください。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6025 *date time applid {Non-BWO | BWO}* **backup of a data set has been suppressed by user exit XFCVSDS.** バックアップは取り消されます。
Data set *dsname*

説明: グローバル出口 XFCVSDS でのユーザー・コードが、DFSMSdss が開始した基本データ・セット *dsname* のバックアップを抑止しました。

システムの処置: CICS は、シスプレックス全体でバックアップを取り消します。

ユーザーの処置: バックアップを正常に実行する必要がある場合は、その前に、XFCVSDS でのユーザー・コードをシスプレックス内のすべての CICS 領域上で無効にする必要があります。

モジュール: DFHFCQU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=非 BWO、
2=BWO

5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6026 *date time applid* **An error has occurred while notifying VSAM RLS of the completion of CICS processing for a data set quiesce or backup.** SMSVSAM サーバーを使用できません。
Data set *dsname*

説明: CICS がデータ・セット静止あるいは BWO または非 BWO のバックアップの処理を完了したことを VSAM RLS に通知しましたが、SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースが使用不可です。

システムの処置: CICS 処理を続行します。
SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースは、自動的に再始動を試みるはずですが、

データ・セット操作が失敗するか成功するかは、関係している SMSVSAM サーバーが操作を調整していたかどうかによって異なります。

ユーザーの処置: SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースは、通常は自動的に再始動するはずですが、再始動しない場合は、SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを手動で再始動してください。データ・セット操作が失敗した場合は、データ・セット操作を再試行してください。

SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースを再始動できない場合は、より重大なエラーを意味しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6027 *date time applid* **VSAM RLS has been notified of the completion of CICS processing for a quiesce or backup of data set** *dsname*

説明: CICS がデータ・セット静止あるいは BWO ま

たは非 BWO のバックアップの処理を完了したことを VSAM RLS に正常に通知しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。 関与しているすべての CICS システムが処理の完了を VSAM RLS に正常に通知するまで、データ・セット操作は、シスプレックス全体で続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: CSFL

DFHFC6028 *date time applid File Control RLS*
quiesce system transaction transid has started.

説明: CICS システム・トランザクション CFQS または CFQR が正常に開始されました。

CFQS および CFQR は、VSAM RLS データ・セットの静止と静止解除の操作、DFSMSdss が開始した BWO と非 BWO のバックアップ、およびその他の特定のデータ・セット関連操作のサポートを提供します。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*

宛先: CSFL

DFHFC6029 *date time applid File Control RLS*
quiesce system transaction transid has failed. Reattach will be attempted.

説明: CICS システム・トランザクション CFQS または CFQR が重大エラーのために失敗しました。トランザクション *transid* の再接続が試行されます。

前に出されたメッセージにエラーの原因が示されています。

CFQS および CFQR は、VSAM RLS データ・セットの静止と静止解除の操作、DFSMSdss が開始した BWO

と非 BWO のバックアップ、およびその他の特定のデータ・セット関連操作のサポートを提供します。

システムの処置: トランザクションは再接続され、CICS の処理は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの再接続が成功したことを示すメッセージ DFHFC6028 の一時データ・キュー CSFL を確認してください。再接続が失敗した場合、VSAM RLS データ・セット静止サポートは失われます。これが発生した場合は、CICS を再始動する必要があります。

VSAM RLS 静止サポートを復元できない場合は、より重大なエラーを意味しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6030 *date time applid The CICS RLS quiesce*
exit was unable to process data set
operation request X'type' for {data set |
cache} name

説明: データ・セットまたはキャッシュ *name* のデータ・セット操作要求 *type* を処理するために、CICS RLS 静止出口が VSAM RLS によって駆動されましたが、重大エラーが検出され、要求を処理できませんでした。このエラーは、通常、STORAGE OBTAIN マクロ失敗が原因です。

前に出されたコンソール・メッセージ (通常は DFHFC6022) は、エラーに関する詳細情報を提供します。

このメッセージは、CICS RLS 静止出口 DFHFCQX のために DFHFCQR によって出されます。

注: CICS RLS 静止出口は、以下のデータ・セット関連操作の処理が必要であることを CICS に通知するために、VSAM RLS によって使用されます。番号は、メッセージ内の *type* に対応します。

01

データ・セットの静止

02

データ・セットの静止解除

03

DFSMSdss 非 BWO バックアップの開始

04

DFSMSdss 非 BWO バックアップの終了

05

DFSMSdss BWO バックアップの開始

06

DFSMSdss BWO バックアップの終了

07

データ・セットの脱落ロックのリカバリー

08

データ・セットの順方向リカバリーの完了

09

カップリング・ファシリティのキャッシュ構造のリカバリー

システムの処置: ダンプ・コード FC6030 のシステム・ダンプをとった後で、CICS は続行されます。データ・セット操作要求は CICS によって処理されません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 前に出されたコンソール・メッセージを参照して、問題の原因の判別を試みてください。

CICS が要求を処理できなかったため、以降の処理が無効になることがあります。例えば、データ・セットの静止の要求だった場合は、データ・セットに対するオープン・ファイルを手動でクローズするか、EXEC CICS SET DSNAME QUIESCED または CEMT の同等のコマンドを使用して、静止を再試行する必要があります。BWO または非 BWO のバックアップに関連する要求だった場合は、バックアップが無効になることがあります。その場合は、バックアップを破棄してください。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、より重大なエラーを意味しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'type'*
5. 以下のオプションから選択される値。

724 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

1=データ・セット、
2=キャッシュ

6. *name*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6031 *date time applid Attempt by {CICS | user} to process data set operation request {quiesce | unquiesce} failed because the SMSVSAM server detected an internal error. Data set dsname*

説明: ユーザーが基本データ・セット *dsname* の静止機能要求を出そうとしましたが、SMSVSAM サーバーが内部エラーを検出したため、失敗しました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。要求は、シスプレックス全体で取り消されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

5. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

6. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6032 *date time applid Attempt by CICS to cancel {non-BWO | BWO} backup request failed because the SMSVSAM server detected an internal error. Data set dsname*

説明: CICS が基本データ・セット *dsname* のバックアップ要求を取り消そうとしましたが、SMSVSAM サーバーが内部エラーを検出したため、失敗しました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。バック

アップ要求の状態を識別するには、DFSMSdss および SMSVSAM サーバーからのメッセージを参照してください。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=非 BWO、
2=BWO

5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6033 *date time applid Attempt by CICS to notify VSAM RLS of the completion of CICS processing for a data set quiesce or backup of a data set failed because the SMSVSAM server detected an internal error. Data set dsname*

説明: CICS が基本データ・セット *dsname* のデータ・セット静止またはバックアップのための CICS 処理の完了を VSAM RLS に通知しようとしたが、SMSVSAM サーバーが内部エラーを検出したため、失敗しました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。バックアップ要求の状態を識別するには、DFSMSdss および SMSVSAM サーバーからのメッセージを参照してください。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6034 *date time applid Attempt by {CICS | user} to process data set operation request {quiesce | unquiesce} failed because the user is not authorized to access the sphere. Data set dsname*

説明: ユーザーが基本データ・セット *dsname* の静止機能要求を出そうとしたましたが、ユーザーがスフィアへのアクセスを許可されていないため、失敗しました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。要求は、シスプレックス全体で取り消されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS,
2=ユーザー

5. 以下のオプションから選択される値。

1=静止、
2=静止解除

6. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6035 *date time applid Attempt by CICS to cancel {non-BWO | BWO} backup request failed because the user is not authorized to access the sphere. Data set dsname*

説明: CICS が基本データ・セット *dsname* のバックアップ要求を取り消そうとしたましたが、ユーザーがスフィアへのアクセスを許可されていないため、失敗しました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。バックアップ要求の状態を識別するには、DFSMSdss および SMSVSAM サーバーからのメッセージを参照してください。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQS

DFHFC6036 • DFHFC6037 I

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=非 BWO、
2=BWO

5. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6036 *date time applid Attempt by CICS to notify VSAM RLS of the completion of CICS processing for a data set quiesce or backup of a data set failed because the user is not authorized to access the sphere. Data set dsname*

説明: CICS が基本データ・セット *dsname* のデータ・セット静止またはバックアップのための CICS 処理の完了を VSAM RLS に通知しようとしたましたが、ユーザーがスフィアへのアクセスを許可されていないため、失敗しました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。バックアップ要求の状態を識別するには、DFSMSdss および SMSVSAM サーバーからのメッセージを参照してください。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCQI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6037 I *DATE TIME APPLID Program PROGRAM_NAME has issued an RBA request against an extended addressing ESDS data set. File filename. Data set dsname.*

説明: プログラムが、拡張アドレス方式 ESDS データ・セットに対して、32 ビット RBA を使用して要求を出しました。このデータ・セットは、通常、64 ビット XRBA によってアクセスされます。使用されたファ

イルの名前は *filename* です。データ・セットは *dsname* です。

これは通知メッセージなので、

拡張アドレス方式 ESDS での 32 ビット RBA の使用は、拡張アドレス方式データ・セットで既存のプログラムを使用できるようにするために許可されています。提供される RBA は、実際には 64 ビット XRBA の下位 32 ビットであり、あいまいである可能性があります。そのため、このようなプログラムによって実行できる操作には、いくつかの制限があります。

レコードを書き込んだ後で先頭または末尾のいずれかからデータ・セットをブラウズする既存のプログラムは、機能します。これは、ESDS データ・セットの通常の使用方法です。

データ・セットの先頭 (RBA 0) または末尾 (RBA -1) 以外の位置での RBA によるレコードの読み取りおよびブラウズの開始の試行は、サポートされていないため、失敗します。

サポートされていない RBA 要求を出すと、サポートされていない要求が出されたファイルごとにメッセージ DFHFC6038 のインスタンスを 1 回受け取ります。

システムが大量のメッセージで占有されることを防止するために、このメッセージは、CICS 実行ごとに 1 回のみ生成されます。他のプログラムが、他の拡張アドレス方式 ESDS ファイルに対して、RBA 要求を出している可能性があります。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: None. ただし、プログラムを見直して、サポートされていない方法で RBA を使用しないようにすることをお勧めします。メッセージ DFHFC6038 のインスタンスを受け取っていないことを確認することをお勧めします。

モジュール: DFHFCVS, DFHFCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *PROGRAM_NAME*
5. *filename*
6. *dsname*

宛先: CSFL

DFHFC6038 *DATE TIME APPLID* Program
PROGRAM_NAME has issued an
unsupported type of RBA request
against an extended addressing ESDS.
要求は失敗しました。ファイル名
filename。データ・セット名 dsname。

説明: プログラムが、拡張アドレス方式 ESDS データ・セットに対して、32 ビット RBA を使用して要求を出しました。このデータ・セットは、通常、64 ビット XRBA によってアクセスされます。要求は失敗しました。拡張アドレス方式 ESDS データ・セットに対して、いくつかのタイプのファイル制御コマンドは、XRBA キーワードを指定した場合にのみサポートされ、RBA キーワードを指定した場合にはサポートされません。

使用されたファイルの名前は filename です。データ・セットは dsname です。

拡張アドレス方式 ESDS での 32 ビット RBA の使用は、拡張アドレス方式データ・セットで既存のプログラムを使用できるようにするために許可されています。提供される RBA は、実際には 64 ビット XRBA の下位 32 ビットであり、あいまいである可能性があります。そのため、このようなプログラムによって実行できる操作には、いくつかの制限があります。

ESDS データ・セットの通常の使用方法は、レコードを順次的に書き込んだ後でブラウズによってそれらのレコードを読み取ることです。拡張アドレス方式 ESDS と RBA を併用するこの使用方法がサポートされているため、拡張アドレス方式 ESDS でほとんどの既存のプログラムを使用できるはずです。ESDS にレコードを書き込むプログラムは、機能します。先頭または末尾のいずれかからデータ・セットをブラウズするプログラムは、機能します。

しかし、以下の操作はすべて RBA の値に依存しているため、サポートされていません。

- READ または READ UPDATE コマンドを使用した RBA によるレコードの読み取りの試行。
- データ・セットの先頭 (RBA 0) またはデータ・セットの末尾 (RBA -1) 以外の位置での (STARTBR による) ブラウズの開始の試行。
- データ・セットの先頭 (RBA 0) またはデータ・セットの末尾 (RBA -1) 以外の位置での (RESETBR による) ブラウズの位置変更の試行。
-

連続する READNEXT 要求の間で RBA の値を変更することによる、ブラウズの位置の変更の試行。

•

連続する READPREV 要求の間で RBA の値を変更することによる、ブラウズの位置の変更の試行。

•

READNEXT の後に READPREV を出すか、READPREV の後に READNEXT を出すことによる、ブラウズの方向の変更の試行。

システムが大量のメッセージで占有されることを防止するために、サポートされていない要求が出されたファイルごとにメッセージ DFHFC6038 のインスタンスを 1 回のみ受け取ります。他のプログラムが、同じファイルに対して、サポートされていない RBA 要求を出している可能性があります。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: データ・セット内に 4 ギガバイトを超えるデータを保管する必要がある場合は、プログラムを変更しないで、拡張アドレス方式を使用しないようにデータ・セットを変換することができます。それ以外の場合は、RBA ではなく XRBA を使用するようにプログラムを変更する必要があります。プログラムを変更する場合は、RBA を保持するすべての 4 バイト領域を、XRBA を保持する 8 バイト領域に変更するとともに、RBA キーワードを XRBA に変更する必要があります。

モジュール: DFHFVCVS, DFHFRCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. PROGRAM_NAME
5. filename
6. dsname

宛先: CSFL

DFHFC6039 *date time applid* CICS has been invoked
by VSAM RLS to process a reason of
data set dsname.

説明: データ・セット静止あるいは BWO または非 BWO のバックアップの処理を開始するために、CICS が VSAM RLS によって駆動されました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。関与しているすべての CICS システムが処理の完了を VSAM RLS に正常に通知するまで、データ・セット操作は、シスプレックス全体で続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *reason*
5. *dsname*

宛先: CSFL

DFHFC6040 I *DATE TIME APPLID* Timeout

period has expired processing a generic delete against an RLS file. タスクは一般削除の範囲を超えた、ロックされたレコードに対する更新要求のための **get** を待機していました。いったん更新要求のための **get** がタイムアウトになると、削除コマンドは完了し、タスクは通常の実行を再開します。ファイル名 *filename*。データ・セット名 *dsname*。

説明: プログラムが RLS ファイルに対する一般削除要求を出しました。この要求には、削除の範囲内のレコードを除去するための VSAM への一連の更新取得要求および消去要求が含まれます。削除の範囲外のキーを持つレコードが検出された場合、要求は完了します。別の要求にロックされているレコードが検出された場合、一般削除はその別の要求が完了するまで待機するか、最終的にタイムアウトになります。更新取得要求がタイムアウトになった場合、CICS はこれを一般削除要求の正常な完了として扱い、タスクは通常の実行を再開します。

使用されたファイルの名前は *filename* です。データ・セットは *dsname* です。

システムの処置: これは、この特定の理由により RLS ファイルに対する一般削除要求が遅延していることを示す通知メッセージです。CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要に応じて、ファイルの他のユーザーを調べてください。

モジュール: DFHFRCRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *filename*
5. *dsname*

宛先: CSFL

DFHFC6041 W *date time applid* Attempt to unquiesce data set *dsname* failed due to a conflict with another task.

説明: CICS がデータ・セット *dsname* を静止解除しようとしたが、同じデータ・セットを使用しようとしていた別のタスクとの競合のため、失敗しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。データ・セットの静止状態は予測不能です。

ユーザーの処置: UNQUIESCE オプションを指定した EXEC CICS SET DSNAME または CEMT の同等のコマンドを出すことにより、静止解除要求を再試行して、ICF カタログ内のデータ・セットの静止状態を静止解除に設定してください。

問題が続くようであれば、より重大なエラーが発生しています。ダンプ・テーブルを変更してこのメッセージのシステム・ダンプをとり、IBM にサポートを依頼してください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHFCQU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6042 W *date time applid* ファイル *filename* を破棄しようとして失敗しました。

説明: CICS がファイル *filename* を破棄しようとしたが、失敗しました。このファイルはバンドルを介して定義されたため、バンドルを介して再インストールできるように、リカバリー処理の後でファイルが破棄されます。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS は、リカバリーのみに使用されるファイルの破棄に失敗しました。CICS ログおよびトレースを調べて、このファイルを破棄できない理由を確認してください。ユーザーは、CICS が始動した後でこのファイルを手動で破棄できます。

モジュール: DFHFCBU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *filename*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6043 W *date time applid* バンドル
bundlename を使用不可にしようとした
ましたが、ファイル *filename* に保持ロックが
あるか、そのファイルが使用中であるた
め、失敗しました。

説明: CICS がバンドル *bundlename* を使用不可にしよう
としたましたが、失敗しました。バンドルによって定義
されたファイルが保持ロックを保持している場合および
使用中である場合、そのファイルを使用不可にすること
はできません。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS は、バンドルを使用不可にでき
ませんでした。バンドルは、使用不可化が進行中の状況
になります。ファイルは、使用不可化が完了した状況に
なります。ファイルが保持ロックを保持していることま
たは使用中であることが原因である可能性があります。
このメッセージに続いてメッセージ DFHFC6044 が
出される場合、このメッセージは無視してかまいません。
それ以外の場合、ユーザーは、保持ロックを解決する
か、タスクが完了するまで待機してからバンドルを使用
不可にする操作を再試行する必要があります。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *filename*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6044 I *date time applid* **File filename in
bundle bundlename has moved to
disabled status.**

説明: ユーザーがすべての保持ロックを解決し、このフ
ァイルを使用するすべてのタスクが完了しました。この
ファイルを使用不可にするようにユーザーが要求したた
め、CICS バンドルの関連するバンドル・パーツが使用
不可状況に移行します。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. ただし、CICS バンドル内の関
連するバンドル・パーツの状況を調べて、使用不可状況
であることを確認することをお勧めします。

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*
5. *bundlename*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC6045 *date time applid* **INITPARM** パラメータ
ーの **DFHFCLJ1** に無効な間隔値である
turfreq が指定されました。デフォルトの
30分になります。

説明: CICS は、INITPARM パラメーターに
DFHFCLJ1 の無効な値が指定されていると判断しまし
た。この間隔はデフォルトの 30 分になりました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: DFHFCLJ1 の INITPARM SIT パラ
メーターに指定された値を訂正してください。

モジュール: DFHFCLJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *turfreq*

宛先: CSFL

DFHFC6046 *date time applid* **CICS**は、
LOGREPLICATE属性で定義された
VSAMファイルが開いていることを検出
しました。

説明: CICSは、LOGREPLICATE属性で定義された
VSAMファイルが開いていることを検出しました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHFCFS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSFL

DFHFC7000 *applid* The maximum records parameter(*rrrr*) specified on OPEN of coupling facility data table *dddd*, poolname *pppp*, for file *filename*, differs from the current maximum records parameter(*ssss*) for the table.

説明: ファイル *filename* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN 中に、ファイル定義で指定された最大レコード数パラメーター *rrrr* が、前に出された OPEN またはサーバー SET コマンドでテーブルに対して既に指定されているパラメーターと異なることが検出されました。

システムの処置: オープンは続行されます。これは警告メッセージです。既に設定されている最大レコード数パラメーター *ssss* が適用されます。異なる最大レコード数パラメーターは無視されます。

ユーザーの処置: 予期されたとおりの最大レコード数パラメーターが使用されていることを確認してください。使用されていない場合は、テーブルを削除し、ファイル定義内の最大レコード数パラメーターを訂正した後で再オープンしてください。あるいは、正しい最大レコード数パラメーターが既に指定されている別のファイル定義を介してテーブルを再オープンするか、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー SET コマンドを使用してテーブルの最大レコード数パラメーターを変更してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *rrrr*
3. *dddd*
4. *pppp*
5. *filename*
6. *ssss*

宛先: コンソール

DFHFC7002 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because access is not allowed.

説明: アクセスが許可されていないため、ファイル *filename*、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN が失敗しました。テーブルのセキュリティ検査が失敗しました。

失敗の理由を示す戻りコードを含む RACF メッセージが、このメッセージの前に出されているはずです。

システムの処置: テーブルをオープンできません。

ユーザーの処置: RACF を使用して正しいテーブル・アクセスを設定してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7003 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because the table is not currently available for access.

説明: テーブルが現在アクセス可能ではないため、ファイル *filename*、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN が失敗しました。テーブルは、前に出されたサーバー・コマンドによって使用不可に設定されています。そのため、このテーブルに対して新しいファイルはオープンされません。

システムの処置: テーブルをオープンできません。

CICS は、テーブルをクローズして、その状態を使用不可にしたままで、処理を続行します。テーブルを使用しようとするすべてのトランザクションには、NOTOPEN 条件が送られます。

ユーザーの処置: ファイルのオープンを試みる前にテーブルを使用可能に設定するためのサーバー・コマンドが確実に出されるようにしてください。このコマンドの形式は、MODIFY server-name,SET TABLE=name,AVAILABLE=YES|NO です。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7004 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because the table is not yet loaded.

説明: テーブルがロードされている必要がありますが、

まだロードされていないため、ファイル *filename*、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN が失敗しました。ユーザーは共用アクセス用にオープンしようとしていました。共用アクセス・オープン、テーブルが既にロードされているかロードを完了した場合にのみ、正常に実行されません。

システムの処置: テーブルをオープンできません。

ユーザーの処置: テーブルがまだロードされておらずロードを開始してもいない理由を調べてください。この OPEN にロードを実行させることが適切である場合は、そのようにファイル定義を変更してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7005 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because of a shared access conflict.

説明: 共用アクセス競合のため、ファイル *filename*、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN が失敗しました。CICS は、排他オープン (ロードする場合) または共用オープン (他のすべての場合) のいずれかを要求します。

共用オープン要求の場合、このエラーは、このデータ・テーブルに対して CICS が指定したオープン・モードが、データ・テーブルの既存の排他オープンによって指定されていた共用アクセス・モードと競合することを意味します。排他オープン要求の場合、これは、オープンに対して CICS が指定した共用アクセス・モードが、データ・テーブルの 1 つ以上の既存の共用オープンと競合することを意味します。CICS は、通常、競合するオープン・モードまたは共用アクセスモードを指定することはありません。

システムの処置: ファイルをオープンできません。

ユーザーの処置: サーバー照会を使用して、プール *poolname* 内のデータ・テーブル *dddd* に対する他のオープンのアクセス・モードを調べることで、エラーがあるかどうかを判別してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7006 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because of an exclusive access conflict.

説明: 排他アクセス競合のため、ファイル *filename*、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN が失敗しました。データ・テーブルへの排他アクセスは使用不可です。このエラーは、ソース・データ・セットからデータ・テーブルをロードするために CICS が排他オープンを要求したときに、別のオープンが既に排他アクセスしていた場合に発生することがあります。このエラーは、データ・テーブルの削除を要求したときに、そのデータ・テーブルに対するオープンがあった場合にも発生することがあります。CICS は、通常、排他アクセス競合を引き起こす可能性があるアクセス・モードを指定することはありません。

システムの処置: テーブルをオープンできません。

ユーザーの処置: 例えば、サーバー照会を使用して、プール *poolname* 内のデータ・テーブル *dddd* に対する他のオープンを調べることで、アクセスが拒否されることが予期されるかどうかを判別してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7007 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because one or more attributes on the file definition are incompatible with those that were set for the table when it was created.

説明: 既存のテーブル名が指定されている OPEN 要求で、その既存のテーブルの属性と互換性がないテーブル属性が 1 つ以上指定されています。カップリング・フ

DFHFC7010 • DFHFC7012

アシリティー・データ・テーブル・サーバーは、オープンを拒否しました。

正しくない可能性がある属性は次のとおりです。

- レコード長
- キー長
- 初期ロード・オプション
- 更新モデル
- リカバリー状況

これは、テーブルをオープンしようとしているカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが、テーブルを作成したサーバーよりも低いリリース・レベルである場合にも発生することがあります。これは、新しいサーバーがテーブルを作成したときに設定した内部属性が、古いサーバーではサポートされていない可能性があるためです。

システムの処置: CICS はオープンを実行できません。

ユーザーの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー DISPLAY コマンドを使用して、テーブルの属性を表示し、以下のことを判別してください。

- オープンされた直後のテーブルのファイル定義では、サーバー値と一致するようにその属性が変更されている必要があります。
- 既に作成されたテーブルが正しくないことがあります。これは、正しくない属性を持つファイル定義がオープンされることによって、テーブルが作成された可能性があるためです。この場合には、テーブルを削除してから、ファイル定義を訂正するか、既に正しい値を持つファイル定義を介して、テーブルを再作成してください。

この問題は、複数のファイル定義で同じテーブル名を偶然使用していた場合に発生する可能性があることに注意してください。

問題が訂正されたら、オープンを再試行してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7010 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because recovery is not enabled.

説明: 読み取り/書き込みアクセスのためにリカバリー可能テーブル *dddd* をオープンしようとしたますが、クライアント領域は、このプール接続用のリカバリー・サポートを有効にするための再始動要求をまだ出していないでした。

システムの処置: オープンは失敗します。

ユーザーの処置: CICS エラー・メッセージを調べて、再始動要求がなかった理由を確認してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7012 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because there is no space in the pool.

説明: テーブル・プールのカップリング・ファシティー・リスト構造に、これ以上使用可能なスペースがありません。

システムの処置: オープンは失敗します。

ユーザーの処置: 不要になったテーブルまたはテーブル内のレコードを削除して、カップリング・ファシティー・リスト構造内のスペースを解放できるかどうかを調べてください。

あるいは、DISPLAY POOLSTATS コマンドを使用して、構造が現時点で最大サイズに到達しているかどうかを確認してください。到達していない場合は、SETXCF ALTER コマンドを使用して、サイズを大きくしてください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7013 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because the maximum number of tables has been reached.

説明: 構造に対して最初のサーバーが始動されたときに指定された最大テーブル数に到達したため、新規テーブルを作成できません。

システムの処置: オープンは失敗します。

ユーザーの処置: 数を増やすことができるかどうか、または不要になったために削除できるテーブルがあるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7014 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because there are too many users.

説明: テーブル *dddd* に対する同時オープン数が、サポートされる最大制限に到達しました。現在、この制限は 1024 です。これは、同じカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール内の同じカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを同時に参照する 1024 個のオープン・ファイルが既に存在することを意味します。

システムの処置: オープンは失敗します。

ユーザーの処置: 同時ユーザーの数 (つまり、このカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対するオープン・ファイルの数) を減らせるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*

3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7015 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because the table has been destroyed.

説明: プール *poolname* 内のテーブル *dddd* は無効になっています。原因として最も可能性が高いのは、削除要求が現在の要求とオーバーラップしたことです。

システムの処置: オープンは失敗します。

ユーザーの処置: テーブルが削除されたかどうかを調べてください。不要になったテーブルである場合、これはエラーではありません。テーブルがまだ必要である場合は、テーブルを再度オープンして、再作成してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7018 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because the table requires loading.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* 内にある関連するカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* がプリロードされている必要がありますが、このテーブルがまだロードされていないため、ファイル *filename* の OPEN が失敗しました。ファイル定義内および CICS 始動 JCL 内のいずれでも、このファイルに対してソース・データ・セットが指定されていないため、データ・テーブルの自動ロードを開始できませんでした。

システムの処置: ファイルをオープンできません。

ユーザーの処置: この失敗は、さまざまな操作エラーが原因で発生した可能性があります。

1.

アプリケーションがカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* のプリロードを必要と

しない場合。この場合には、ファイル *filename* のファイル定義から「load required」パラメーターを除くする必要があります。

2.

アプリケーションがカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* のプリロードを必要とするが、このテーブルはファイル *filename* がオープンされる前に既にロードされている必要がある場合。

この場合には、シスプレックス内の少なくとも 1 つのファイル定義でプール *poolname* 内のデータ・テーブル *dddd* が指定されている必要があり、そのファイル定義内または CICS 始動 JCL 内のいずれかでソース・データ・セットが指定されている必要があります。ソース・データ・セットを指定するファイルの 1 つに対してオープン要求を出した後で、このファイルをオープンすると成功するはずです。

今後はデータ・テーブルがロードされた後でのみこのファイルがオープンされるように、操作手順を設定することもできます。これを実現する方法の 1 つは、データ・テーブル・ロード完了グローバル・ユーザー出口点 XD TLC を使用することです。

3.

アプリケーションがカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* のプリロードを必要とし、このロードはファイル *filename* をオープンすることによって自動的に開始される必要がある場合（テーブルが既にロードされている場合を除く）。

ソース・データ・セット名は、動的割り振りまたは事前割り振りのどちらが必要であるかに応じて、それぞれ、ファイル *filename* のファイル定義内またはファイル *filename* の DD カードとしての CICS 始動 JCL 内のいずれかで指定されている必要があります。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7019 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because the table requires loading but the supplied data set is not KSDS.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* 内にある関連するカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* がプリロードされている必要がありますが、このテーブルがまだロードされていないため、ファイル *filename* の OPEN が失敗しました。ファイル定義内および CICS 始動 JCL 内のいずれでも、このファイルに対して指定されたソース・データ・セットが KSDS ではないため、データ・テーブルの自動ロードを開始できませんでした。カップリング・ファシリティ・データ・テーブルは、VSAM KSDS データ・セットからのみロードできます。

システムの処置: ファイルをオープンできません。

ユーザーの処置: このエラーの理由を調べてください。理由としては、ロードを必要とするファイルとして定義されていたこと、指定されたデータ・セット名が正しくなかったこと、または（このデータ・テーブルはこのファイルがオープンされる前に他のファイル定義を介してプリロードされている必要があるにもかかわらず）データ・セット名が指定されていたことが考えられます。ファイル定義を訂正し、再インストールし、オープンを再試行してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7032 *applid* CLOSE of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because the table has been destroyed.

説明: テーブルはプール内で無効になっています。理由として最も可能性が高いのは、削除要求が現在の要求とオーバーラップしたことです。

システムの処置: クローズは失敗します。

ユーザーの処置: テーブルが削除されたかどうかを調べてください。不要になったテーブルである場合、これはエラーではありません。テーブルがまだ必要である場合は、テーブルを再度オープンして、再作成してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*

3. *filename*

4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7051 *applid* **A request to inquire on which attributes of coupling facility data table *dddd*, file *filename*, pool *poolname*, are incompatible has failed because the table could not be found.**

説明: 要求中にテーブルが見つからなかったことが検出されたため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の照会が失敗しました。CICS ファイル制御は、互換性がないテーブル属性を原因とするオープン失敗の結果としてこの照会を出しました。照会の目的は、オープン失敗診断の一部として提供できるように、どの属性が間違っていたかを示すことでした。

システムの処置: 互換性がない属性が原因でテーブル・オープンが失敗し、どの属性が正しくないかに関する詳細情報を提供するための処理で、現時点でテーブルが見つからないことが検出されました。

ユーザーの処置: テーブルが見つからない理由を調べてください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7071 *applid* **The request to set shared access for coupling facility data table *dddd*, file *filename*, pool *poolname*, at the end of a successful table load, has failed because access is not allowed.**

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・ロードの終了時に、ソース・データ・セットがクローズされ、CICS ファイル制御は、サーバーに対して、ロードのために必要だった排他アクセスから共用アクセスにテーブル・アクセスを変更するように要求します。サーバーは、テーブルがアクセス可能ではないことを示しました。テーブルのセキュリティ検査が失敗しました。

失敗の理由を示す戻りコードを含む RACF メッセージが、このメッセージの前に出されているはずです。

システムの処置: テーブルは正常にオープンおよびロー

ドされましたが、アクセスを「共用」に設定するためのサーバーへの要求が実行されなかったため、ロードが完了したとはみなされません。ロードを再試行する次のオープン試行の準備のために、テーブルが再度クローズされます。このクローズ時にもセキュリティ・エラーが発生しますが、CICS 側のクローズは完了します。

ユーザーの処置: テーブルがアクセス可能ではない理由を調べてください。可能な場合には、RACF を使用して、必要なテーブル・アクセスを設定してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7072 *applid* **The request to set shared access for coupling facility data table *dddd*, file *filename*, pool *poolname*, at the end of a successful table load, has failed because the table cannot be found.**

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・ロードの終了時に、ソース・データ・セットがクローズされ、CICS ファイル制御は、サーバーに対して、ロードのために必要だった排他アクセスから共用アクセスにテーブル・アクセスを変更するように要求します。サーバーは、テーブルが見つからないことを戻しました。

システムの処置: テーブルは正常にオープンおよびロードされましたが、アクセスを共用に設定するためのサーバーへの要求が実行されなかったため、ロードが完了したとはみなされません。ロードを再試行する次のオープン試行の準備のために、テーブルが再度クローズされます。このクローズ時にもエラーが発生しますが、CICS 側のクローズは完了します。

ユーザーの処置: テーブルが見つからない理由を調べてください。テーブルがまだ必要である場合は、テーブルを再度オープンして、再作成および再ロードしてください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7073 *applid* The request to set shared access for coupling facility data table *dddd*, file *filename*, pool *poolname*, at the end of a successful table load, has failed because of a shared access conflict.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・ロードの終了時に、ソース・データ・セットがクローズされ、CICS ファイル制御は、サーバーに対して、ロードのために必要だった排他アクセスから共用アクセスにテーブル・アクセスを変更するように要求します。サーバーは、共用アクセス競合が原因で要求を処理できないことを戻しました。

システムの処置: テーブルは正常にオープンおよびロードされましたが、アクセスを共用に設定するためのサーバーへの要求が実行されなかったため、ロードが完了したとはみなされません。ロードを再試行する次のオープン試行の準備のために、テーブルが再度クローズされます。このクローズ時にもエラーが発生しますが、CICS 側のクローズは完了します。

ユーザーの処置: 他方のテーブルのアクセス・モードおよびそのテーブルに対してオープンされている他のファイルを調べて、エラーがあるかどうかを判別してください。カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは、この情報を提供する DISPLAY TABLE などのコマンドをサポートします。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7079 *applid* The request to set shared access for coupling facility data table *dddd*, file *filename*, pool *poolname*, at the end of a successful table load, has failed because the table has been destroyed.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・ロードの終了時に、ソース・データ・セットがクローズされ、CICS ファイル制御は、サーバーに対して、ロードのために必要だった排他アクセスから共用アクセスにテーブル・アクセスを変更するように要求します。サーバーは、テーブルが破棄されたために要求が失敗したことを戻しました。

システムの処置: このテーブルを使用する要求はすべて、同じエラーを戻します。

ユーザーの処置: テーブルが破棄された理由を調べてください。テーブルがまだ必要である場合は、テーブルを再度オープンして、再作成および再ロードしてください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7081 *applid* OPEN of coupling facility data table *dddd* for file *filename*, pool *poolname*, has failed because the key length or record length parameter on the file definition is inconsistent with the equivalent for the source data set.

説明: 実際のオープンを実行するためのサーバーの呼び出しの前に、CICS は、ファイル定義上でユーザーによって指定されたレコード長またはキー長 (あるいはその両方) が、関連するソース・データ・セットがオープンされたときに VSAM によって返された長さと一致しないことを検出したため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN が失敗しました。

システムの処置: テーブルをオープンできません。

ユーザーの処置: ファイル定義が間違っているかどうか、または正しくないデータ・セットが指定されたかどうかを確認してください。ソース・データ・セットがある場合、ファイル定義上でパラメーターを指定する必要はありません。パラメーターをクリアするか、ソースと同じ値に設定してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7082 *applid OPEN of coupling facility data table dddd for file filename, pool poolname, has failed because the key length or record length parameter for the source data set is inconsistent with the value already set for the table.*

説明: オープン時にテーブルに対して返されたレコード長またはキー長 (あるいはその両方) の値が、ファイル定義内で指定されたソース・データ・セットの値と一致しないため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN が失敗しました。

システムの処置: テーブルをオープンできません。

ユーザーの処置: 正しくないデータ・セットがファイル定義内で指定されたかどうかを確認してください。テーブルが別のユーザーによってオープンおよびロードされている場合、このユーザーが定義内でソース・データ・セットを指定する必要はありません。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7083 *applid OPEN of coupling facility data table dddd for file filename, pool poolname, has failed because the key length or record length parameter specified on the file definition is inconsistent with that already set for the table.*

説明: オープン時にテーブルに対して返されたレコード長またはキー長 (あるいはその両方) の値が、そのテーブルに対してファイル定義内で指定された値と一致しないため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の OPEN が失敗しました。

システムの処置: テーブルは再度クローズされます。

ユーザーの処置: 正しくないデータ・セットがファイル定義内で指定されたかどうかを確認してください。テーブルが別のユーザーによってオープンおよびロードされている場合、このユーザーがファイル定義上でレコード長およびキー長を指定する必要はありません。エラーがある場合は、不一致を無視するのではなく、注意深く解決してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7084 *applid OPEN of coupling facility data table dddd for file filename, pool poolname, has failed because the table cannot be found.*

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーで障害が発生すると、そのプール内のテーブルにアクセスしていたすべてのファイルに、新しいサーバー・インスタンスへの接続の後で再オープンが必要であるとしてマークが付けられます。これは、新しいインスタンス用に有効なテーブル・トークンが取得されるようにするために必要です。テーブルがこのファイルに対して最後にオープンされた後で、テーブルが失われた (カップリング・ファシリティの失敗が原因である可能性があります) ため、ファイル *filename*、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* の再オープンが失敗しました。

システムの処置: テーブルをオープンできません。後でフル・オープンを試みることでできるように、CICS はファイルをクローズし、有効にします。フル・オープンにより、テーブルが再作成されます。(テーブルが既に再作成されている必要があることが、ファイル定義で指定されている場合を除きます。この場合は、テーブルを再作成およびロードできることが指定されている別のファイル定義を、最初にオープンする必要があります。)

ユーザーの処置: テーブルが使用可能であるときに再試行してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7085 applid On a request to process {OPEN | CLOSE | EXTRACT STATISTICS} for coupling facility data table dddd for file filename, it has been found that the server for coupling facility data table pool poolname, is down. サーバーを再始動する必要があります。(The server should be restarted.)

説明: CICS は、プール poolname 内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを使用するように定義されているファイルへの要求を出しました。その時点で CICS からプールへの接続が確立されていなかったため、プールへの接続を試みる必要がありました。接続する前に、プールのサーバーが使用可能であるかどうかを検査するための照会が出されました。その時点でサーバーがダウンしていたため、照会は失敗しました。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは、そのサーバーがサービスを提供するプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して行われたすべての要求を処理する独立したアドレス・スペースです。

システムの処置: 要求がオープンである場合、CICS はカップリング・ファシリティ・データ・テーブルへの要求を実行できません。

要求がクローズである場合、CICS はクローズ処理を正常に完了できます。

要求が統計の抽出であり、ファイル制御統計の収集中に出了た場合、統計を取得するための要求は失敗します。要求が統計の抽出であり、現在の MAXNUMRECS 制限を返すために INQUIRE FILE 処理の一部として出了た場合、INQUIRE FILE 要求は正常に完了できませんが、返される MAXNUMRECS 値は現在の実際の値と異なることがあります。

このプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルへの新しい要求は、サーバーが使用可能であるかどうかを検査し、使用可能である場合は別の接続を試みます。

ユーザーの処置: 失敗の理由を判別してください。これには、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・アドレス・スペースによって出了た診断メッセージが役立ちます。このエラーの原因として最も可能性が高いのは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは自動的に再始動しないため、エラーの原因を訂正した後で、サーバーを始動するジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. 以下のオプションから選択される値。

1=OPEN,
2=CLOSE,
3=EXTRACT STATISTICS

3. dddd
4. filename
5. poolname

宛先: コンソール

DFHFC7086 applid OPEN of coupling facility data table dddd for file filename, pool poolname, has failed because the {keylength | recordsize} of the source data set is greater than the supported maximum.

説明: ファイルに対して指定されたソース・データ・セットのキー長またはレコード・サイズ (あるいはその両方) が、サポートされる値より大きいため、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール poolname 内のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル dddd に関連するファイル filename の OPEN が失敗しました。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブルでは、キー長は 16 バイト以下である必要があり、レコード・サイズは 32767 バイト以下である必要があります。

このメッセージは、大きすぎることが検出されたのはキー長またはレコード・サイズのどちらだったかを示します。

システムの処置: ファイルはクローズされたままです。

ユーザーの処置: このファイルに対して正しくないデータ・セットが (ファイル定義内または CICS 始動 JCL 内のいずれかで) 指定されたかどうか、およびこのデータ・テーブルをソース・データ・セットからプリロードする必要があるかどうかを確認してください。

正しいデータ・セットが指定されていた場合、このファイルはカップリング・ファシリティ・データ・テーブルとしての使用に適していない可能性があります。カップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してサポートされる範囲をキー長が超えていたために、この問題が発生していた場合は、ファイルをユーザー保守データ・テーブルまたは RLS ファイルとして再定義することを検討してください。

データ・テーブルをプリロードする必要がない場合は、ファイル定義上で LOAD(NO) を指定し、サポートされ

る範囲内にあるキー長およびレコード・サイズを指定してください。

モジュール: DFHFCDO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dddd*
3. *filename*
4. *poolname*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=キー長、
2=レコード・サイズ

宛先: コンソール

DFHFC7090 *date time applid CICS coupling facility data table load has started for data table dddd, file filename, pool poolname.*

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* に対するオープン要求が出されていること、ならびにそのデータ・テーブルをロードするタスクが生成されていることを、CICS ファイル制御が検出しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*
5. *filename*
6. *poolname*

宛先: CSFL

DFHFC7091 *date time applid CICS coupling facility data table load has successfully processed all records in the source data set for table dddd, file filename, pool pool.*

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* をロードするために生成されたタスクが、関連するソース・データ・セット内のすべてのレコードを正常に処理しました。しかし、ユーザー出口 XDTLC が呼び出され、テーブルにロード済みのマークが付けら

れ、テーブル・アクセスが排他から共用に変更されるまで、ロードは完了しません。

システムの処置: 正常なロードを示すためにパラメーター UEPDTRC を設定した状態でユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。テーブルにロード済みのマークを付け、アクセスを共用に設定するために、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーが呼び出されます。これらの処理が完了し、ロードが完了したことを示すために、別のメッセージ (DFHFC7095) が出されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*
5. *filename*
6. *pool*

宛先: CSFL

DFHFC7092 *date time applid CICS data table load has terminated abnormally for coupling facility data table dddd, file filename, pool poolname, because the table has been closed.*

説明: ファイルがクローズされていたためにロードを中止するように CICS ファイル制御が要求したことを、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* をロードしている CICS タスクが検出しました。

システムの処置: ロード・トランザクションは終了します。CICS 処理を続行します。既にロードされたレコードはすべてテーブル内に残ります。次のオープン時に、ロード・トランザクションが再開され、ロードが続行されます。

ユーザーの処置: ファイルがクローズされていた理由を調べてください。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*
5. *filename*

6. *poolname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC7093 *date time applid* **CICS data table load**
has terminated abnormally for
coupling facility data table dddd, file
filename, pool poolname, reason code =
X'xx'.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* をロードしている CICS タスクが理由コード *X'xx'* を受け取りました。ただし、*X'xx'* は次のいずれかの値です。

X'02'

ILLOGIC : 他のカテゴリーのいずれにも当てはまらない VSAM エラー。

X'0C'

NOTOPEN : ファイルがクローズされて使用不可の状態であるか、あるいはまだオープンされていて使用中であるが、CLOSE 要求が出された。

X'0D'

DISABLED - ファイルが使用不可の状態になっている。

X'0F'

ENDFILE : ファイルがクローズされて使用不可の状態であるか、あるいはまだオープンされていて使用中であるが、CLOSE 要求が出された。

X'80'

IOERR : 入出力エラー。

X'84'

TABLE_FULL - 最大レコード数を越えた。

X'85'

RLS_DISABLED - RLS アクセスは現在使用不可である。

X'86'

RLS_FAILURE - RLS サーバーで障害が発生した。

X'87'

PREVIOUS_RLS_FAILURE - RLS サーバーがこの作業単位内でリサイクルされた。

X'88'

CACHE_FAILURE - キャッシュ接続障害。

X'89'

CFDT_POOL_FULL - テーブル・プールのカップリング・ファシリティ構造に、これ以上使用可能なスペースがない。

X'8A'

DATASET_BEING_COPIED - DSS がシャープ・コピーを実行している。

システムの処置: ロードが異常終了したことを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態で、ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。レコードはこれ以上カップリング・ファシリティ・データ・テーブルにロードされません。

ユーザー出口がファイルのクローズを要求しなかった場合 (または XDTLC 出口点で使用可能になっているユーザー出口プログラムがなかった場合)、データ・テーブル内に既にロードされているキーの範囲内のレコードにアクセスする API 要求は成功しますが、ロードされた範囲を超えるレコードにアクセスする要求は「LOADING」条件を受け取ります。

ファイルがクローズされていた場合、API 要求は「NOTOPEN」条件を受け取ります。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS ファイル制御からの戻りコードの理由を調べてください。理由コードについての詳細は、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」の STARTBR、READNEXT、および WRITE コマンドの例外条件の説明を参照してください。

例えば、理由が DISABLED である場合にはファイルを明示的に使用可能にする、RLS サーバーで障害が発生した場合にはサーバーをリサイクルする方法、障害の原因を訂正できることがあります。エラーが TABLE_FULL である場合 (テーブル内にロードされるレコードの数が MAXNUMRECS パラメーターを超えることを意味します) は、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・コマンド SET TABLE=tablename,MAXRECS=n を使用して、このパラメーターの値を大きくすることができます。(SET FILE などを使用して CICS 内のファイル定義上で MAXNUMRECS パラメーターを変更しても、データ・テーブルの現在の設定には影響しません。しかし、不一致に関する警告メッセージを受け取ることを回避するために、このパラメーターを新しい値に設定し直すことを検討してください。) エラーが CFDT_POOL_FULL である場合は、このデータ・テーブルがあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールのサイズを大きくすることができます。

ロードの失敗の原因だった問題を訂正できた場合は、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのロー

ドを完了できます。そのためには、ロードを試みたファイルがまだクローズされていなかった場合は、そのファイルをクローズしてください。次に、そのファイルを再オープンするか、テーブルをロードできる (つまり、ソース・データ・セットにアクセスできる) 他の任意のファイルをオープンしてください。これにより、失敗したポイントからロードが再開されます。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*
5. *filename*
6. *poolname*
7. *X'xx'*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC7094 *date time applid CICS data table load has terminated abnormally for coupling facility data table dddd, file filename, pool poolname, reason code = X'xx'.*

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* のロードの終了時にソース・データ・セットをクローズするための要求が失敗しました。失敗の原因として最も可能性が高いのは、テーブルにロード済みのマークを付け、テーブル・アクセスを共用として設定するための、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーへの SET 呼び出しでのエラーです。このエラーの原因は、SET の時点でサーバーがダウンしていたこと、または処理中にファイル制御によってエラーが戻されたことです。

システムの処置: テーブルおよびソースはクローズされます。テーブルは、後続のオープンがロードを完了できる状態のままです。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル制御が提供する診断情報を使用して、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*

5. *filename*
6. *poolname*
7. *X'xx'*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC7095 *date time applid CICS coupling facility data table load has completed successfully for data table dddd, file filename, pool pool.*

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* をロードするために生成されたタスクが、そのロードを正常に完了しました。

システムの処置: ユーザー出口 XDTLC が呼び出され、ロードを受け入れました。テーブルにロード済みのマークが付けられ、テーブル・アクセスが共用に設定されました。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*
5. *filename*
6. *pool*

宛先: CSFL

DFHFC7096 *date time applid CICS has successfully performed the first connection to the Coupling Facility Data Table Server for pool pool.*

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーへの最初の接続が正常に完了しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHFCDL DFHFCDR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pool*

宛先: CSFL

DFHFC7097 *date time applid* **CICS has successfully reconnected to the Coupling Facility Data Table Server for pool pool.**

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーへの再接続が正常に完了しました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 再接続の理由を確認するには、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのジョブ・ログを調べてください。どのようなイベントが発生したか、およびデータが失われたリスクがあるかどうかの詳細を示すメッセージが、サーバーによって出力されているはずです。

モジュール: DFHFCDO DFHFCDR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pool*

宛先: CSFL

DFHFC7100 *date time applid* **CICS data table load has terminated abnormally for coupling facility data table name, file filename, pool poolname, a call to FCFR to BROWSE the source data set has failed for reason code = n.**

説明: ソース・データ・セットをブラウズするためにファイル制御を呼び出している間に、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* をロードしている CICS タスクが失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1. FCFR からの応答は INVALID でした。
2. FCFR からの応答は DISASTER でした。
3. FCFR からの応答は PURGED でした。
4. FCFR が何らかの予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: ロードが異常終了したことを示すためにパラメーター UEPDTRC を設定した状態で、ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。レコードはこれ以上カップリング・ファシリティ・データ・テーブルにロードさ

れません。CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード ACFA を出します。

ユーザー出口がファイルのクローズを要求しなかった場合 (または XDTLC 出口点で使用可能になっているユーザー出口プログラムがなかった場合)、データ・テーブル内に既にロードされているキーの範囲内のレコードにアクセスする API 要求は成功しますが、ロードされた範囲を超えるレコードにアクセスする要求は「LOADING」条件を受け取ります。

ファイルがクローズされていた場合、API 要求は「NOTOPEN」条件を受け取ります。

CICS 処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ファイル制御が提供する診断情報を使用して、ドメイン呼び出しの失敗の原因を判別してください。

ブラウズの失敗の原因だった問題を訂正できた場合は、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのロードを完了できます。そのためには、ロードを試みたファイルがまだクローズされていなかった場合は、そのファイルをクローズしてください。次に、そのファイルを再オープンするか、テーブルをロードできる (つまり、ソース・データ・セットにアクセスできる) 他の任意のファイルをオープンしてください。これにより、失敗したポイントからロードが再開されます。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *filename*
6. *poolname*
7. *n*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC7101 *date time applid* **CICS data table load has failed to close coupling facility data table dddd, file filename, pool poolname, a call to FCFR has failed for reason code = n.**

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* をロードしている CICS タスクが、出口点 XDTLC で呼び出された出口プログラムの要求でファイルをクローズしようとしていたときに、失敗しました。

理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1.
FCFS からの応答は INVALID でした。
2.
FCFS からの応答は DISASTER でした。
3.
FCFS からの応答は PURGED でした。
4.
FCFS は何らかの予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード ACFA を出します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 以前の問題がこのロードで発生したことがない限り、XDTLC 出口点で呼び出されたユーザー出口がそのファイルをクローズするよう要求することはほとんどありません。そのような以前の問題があれば、データ・テーブル *dddd* に関して出された可能性がある前のメッセージがあるかどうか調べて、その原因を判別してください。ファイル制御によって提供されている診断情報は、クローズ・ファイル呼び出しの障害を調べるのに使用することができます。

CICS 処理を続行します。

メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*
5. *filename*
6. *poolname*
7. *n*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC7103 *date time applid* CICS data table load
has terminated abnormally for
coupling facility data table *dddd*, file
filename, pool *poolname*.

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* をロードしていた特別な CICS トランザクシ

ョンが異常終了を検出しました。

システムの処置: この異常終了の原因に応じて、CICS はシステム・ダンプまたはトランザクション・ダンプのいずれかを作成します。

ロードが異常終了したことを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態で、ユーザー出口 XDTLC (使用可能な場合) が呼び出されます。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。レコードはこれ以上カップリング・ファシリティ・データ・テーブルにロードされません。CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード ACFA を出します。

ユーザー出口がファイルのクローズを要求しなかった場合 (または XDTLC 出口点で使用可能になっているユーザー出口プログラムがなかった場合)、データ・テーブル内に既にロードされているキーの範囲内のレコードにアクセスする API 要求は成功しますが、ロードされた範囲を超えるレコードにアクセスする要求は「LOADING」条件を受け取ります。

ファイルがクローズされていた場合、API 要求は「NOTOPEN」条件を受け取ります。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連した CICS メッセージに関するシステム・ログを調べて、ロード・トランザクションによって検出された最初に出された異常終了を判別してください。最初に出された終了の原因に関する詳細については、異常終了コード ACFA の説明を参照してください。

システム問題の判別方法についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

ロードの異常終了の原因だった問題を訂正できた場合は、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのロードを完了できます。そのためには、ロードを試みたファイルがまだクローズされていなかった場合は、そのファイルをクローズしてください。次に、そのファイルを再オープンするか、テーブルをロードできる (つまり、ソース・データ・セットにアクセスできる) 他の任意のファイルをオープンしてください。これにより、失敗したポイントからロードが再開されます。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*
5. *filename*
6. *poolname*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC7104 *date time applid CICS data table load has terminated abnormally for coupling facility data table dddd, file filename, pool poolname, a call to FCFR to WRITE a record has failed for reason code = n.*

説明: データ・テーブルに書き込むためにファイル制御を呼び出している間に、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル *dddd* をロードしている CICS タスクが失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1.
FCFR からの応答は INVALID でした。
2.
FCFR からの応答は DISASTER でした。
3.
FCFR からの応答は PURGED でした。
4.
FCFR が何らかの予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: ロードが異常終了したことを示すためにパラメーター UEPDTORC を設定した状態で、ユーザー出口 XD TLC (使用可能な場合) が呼び出されます。このユーザー出口は、ファイルをクローズするよう要求する場合があります。レコードはこれ以上カップリング・ファシリティ・データ・テーブルにロードされません。CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード ACFA を出します。

ユーザー出口がファイルのクローズを要求しなかった場合 (または XD TLC 出口点で使用可能になっているユーザー出口プログラムがなかった場合)、データ・テーブル内に既にロードされているキーの範囲内のレコードにアクセスする API 要求は成功しますが、ロードされた範囲を超えるレコードにアクセスする要求は「LOADING」条件を受け取ります。

ファイルがクローズされていた場合、API 要求は「NOTOPEN」条件を受け取ります。

CICS 処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ファイル制御が提供する診断情報を使用して、ドメイン呼び出しの失敗の原因を判別してください。

書き込みの失敗の原因だった問題を訂正できた場合は、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのロ

ードを完了できます。そのためには、ロードを試みたファイルがまだクローズされていなかった場合は、そのファイルをクローズしてください。次に、そのファイルを再オープンするか、テーブルをロードできる (つまり、ソース・データ・セットにアクセスできる) 他の任意のファイルをオープンしてください。これにより、失敗したポイントからロードが再開されます。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dddd*
5. *filename*
6. *poolname*
7. *n*

宛先: CSFL およびコンソール

DFHFC7110 *applid カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール poolname に接続しようとする要求がモジュール modulename によって出されましたが、失敗しました。(applid An attempt to connect to coupling facility data table pool poolname, issued by module modulename, has failed.)*

説明: CICS は、プール *poolname* 内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを使用するように定義されているファイルへの要求を出しました。その時点で CICS からプールへの接続が確立されていなかったため、プールへの接続が試みられました。この試みは失敗しました。接続の試行要求は、モジュール *modulename* から出されました。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは、そのサーバーがサービスを提供するプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して行われたすべての要求を処理する独立したアドレス・スペースです。CICS は、プール内のカップリング・ファシリティ・データ・テーブルをオープンしてアクセスする前に、サーバーに接続する必要があります。

システムの処置: CICS はカップリング・ファシリティ・データ・テーブルへの要求を実行できません。

このプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルへの新しい要求は、サーバーが使用可能であるかどうかを検査し、使用可能である場合は別の接続を試みます。

ユーザーの処置: 接続の失敗の理由を判別してください。これには、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・アドレス・スペースによって出された診断メッセージが役立ちます。このエラーの原因として最も可能性が高いのは、カップリング・ファシリティでの問題です。カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは自動的に再始動しないため、エラーの原因を訂正した後で、サーバーを始動するジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHFCDR、DFHFCDO、DFHFCDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *poolname*
3. *modulename*

宛先: コンソール

DFHFC7111 *applid* 接続トークン *X'connecttoken'* のプール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーから切断しようとする要求がモジュール *modulename* によって出されましたが、失敗しました。(applid An attempt to disconnect from the coupling facility data table server for pool poolname for connection token X'connecttoken', issued by module modulename, has failed.)

説明: CICS は、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーのインスタンスで障害が発生したことを検出しました。そのため、CICS はこのプール・サーバーから切断しようとしたのですが、この試みは失敗しました。切断の要求は、モジュール *modulename* によって出されました。*connecttoken* は、このプール・サーバーへの接続に関連付けられていたトークンです。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは、そのサーバーがサービスを提供するプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して行われたすべての要求を処理する独立したアドレス・スペースです。

システムの処置: CICS を続行します。プール・サーバーの新しいインスタンスが使用可能になるとすぐに (既に使用可能になっている可能性もあります)、CICS は、サーバーへの接続を再確立し、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル要求の処理を続行することができます。

多くの場合、CICS は後でサーバーから自動的に切断できるようになります。切断できない場合、この失敗の唯一の影響は、サーバーによって接続に割り振られた一部

のストレージが CICS の終了まで解放されないことです。この場合は、CICS が切断できなかったインスタスごとに、プール・サーバーによって切断メッセージが出されます。

ユーザーの処置: 切断の失敗の理由を判別してください。これには、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・アドレス・スペースによって出された診断メッセージが役立ちます。

モジュール: DFHFCDR、DFHFCDO、DFHFCDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *poolname*
3. *X'connecttoken'*
4. *modulename*,

宛先: コンソール

DFHFC7112 *applid* カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* を再同期する要求がモジュール *modulename* から出されましたが、失敗しました。(applid Resynchronization of coupling facility data table pool poolname issued from module modulename has failed.)

説明: CICS は、プール *poolname* 内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを使用するように定義されているファイルへの要求を出しました。その時点で CICS からこのプールのサーバーへの接続が確立されていなかったため、プール・サーバーへの接続および再同期が試みられましたが、再同期は失敗しました。再同期の試行要求は、モジュール *modulename* から出されました。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは、そのサーバーがサービスを提供するプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して行われたすべての要求を処理する独立したアドレス・スペースです。CICS がカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール・サーバーへの接続を再確立する場合は、プール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してリカバリー可能な更新を行ったすべての未解決の作業単位のリカバリー処理を完了するために、再同期を実行する必要があります。

システムの処置: CICS はカップリング・ファシリティ・データ・テーブルへの要求を実行できません。

このプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルへの他の要求は、プールが再同期されている必要がない場合には、成功します。プールが再同期

されている必要がある場合には、別の再同期を試みる場合があります。

ユーザーの処置: 再同期の失敗の理由を判別してください。これには、再同期に関与している CICS コンポーネントおよびカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・アドレス・スペースによって出された診断メッセージが役立ちます。

再同期中のどの段階で失敗が発生したかによっては、プール内のカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを使用するリカバリー可能ファイルに対する後続の要求が出されると、再同期の再試行がトリガーされることがあります。このような要求が再試行をトリガーしない場合は、このプールのサーバー領域をリサイクルしてください (サーバー・コマンドを使用してサーバー領域を停止するか取り消してから、再始動してください)。

モジュール: DFHFCDR、DFHFCDO、DFHFCDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *poolname*
3. *modulename*

宛先: コンソール

DFHFC7113 *applid* カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* の再同期を再試行しようとする要求がモジュール *modulename* から出されましたが、失敗しました。(applid An attempt to retry resynchronization of coupling facility data table pool *poolname* issued from module *modulename* has failed.)

説明: CICS は、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーへの要求を出しました。この要求では、プールが再同期されている必要があります。

その時点で CICS からプール・サーバーへの接続は確立されていましたが、プールを再同期しようとして前に出された要求が失敗したため、同期が再試行されました。この再試行も失敗しました。プールの再同期の再試行要求は、モジュール *modulename* から出されました。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは、そのサーバーがサービスを提供するプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して行われたすべての要求を処理する独立したアドレス・スペースです。CICS がカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール・サーバーへの接続を再確立した場合は、プール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してリカバリー可能な更新を行ったすべての未解決の作業単位のリカバ

リー処理を実行するために、再同期を実行する必要があります。

特定の要求を正常に実行するには、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールが再同期されている必要があります。このような要求の例を以下に示します。

- リカバリー可能なカップリング・ファシリティ・データ・テーブルを使用するように定義されているファイルに対するオープン要求 (リカバリー不能なカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対するオープン要求では、プールが再同期されている必要はありません)。
- カップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してリカバリー可能な更新を行った作業単位に対する同期点要求 (コミット要求またはバックアウト要求など)。

これらの要求では、すべての作業単位が解決されている必要はありませんが、CICS がプール・サーバーへのリカバリー可能な接続を正常に再始動している必要はありません。

システムの処置: CICS はカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールへの要求を実行できません。

このプール・サーバーへの他の要求は、プールが再同期されている必要がない場合には、成功します。プールが再同期されている必要がある場合には、別の再同期を試みます。

ユーザーの処置: 再同期の失敗の理由を判別してください。これには、再同期に関与している CICS コンポーネントおよびカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・アドレス・スペースによって出された診断メッセージが役立ちます。

モジュール: DFHFCDO、DFHFCDU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *poolname*
3. *modulename*

宛先: コンソール

DFHFC7114 *applid* カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* に対してリカバリー可能な更新を行ったトランザクション *trannum* の強制除去が失敗しました。**(applid Force purge of transaction trannum which made recoverable updates to coupling facility data table pool poolname has failed.)**

説明: トランザクション *trannum* を強制除去しようとしたが、失敗しました。このトランザクションがカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* 内にある 1 つ以上のカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してリカバリー可能な更新を行ったため、システムはトランザクションを強制除去しようとしたが、そのカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールのサーバーの再同期が実行されています。この再同期が実行されているという事実は、障害が発生したことを示しています。その結果、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* に対して行われたすべてのリカバリー可能な更新のうち、まだコミットされていない更新は、バックアウトされているはずですが、このトランザクションが行った更新はそれ以降にバックアウトされているため、他のリカバリー可能なリソースに対して行ったすべての更新も確実にバックアウトするためには、トランザクションを異常終了する必要があります。しかし、このトランザクションを除去できませんでした。

このトランザクションを除去できなかったため、他のリカバリー可能なリソースに対して行われた更新がコミットされる可能性があります。その結果、作業単位全体のコミット整合性が維持されなくなります。また、トランザクションがカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールに対して後続の更新を行おうとして、異常終了する可能性もあります。

システムの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・プールの再同期は続行します。

ユーザーの処置: トランザクションがまだアクティブである場合は、CEMT マスター端末コマンドを使用してトランザクションの強制除去を試みてください。しかし、この状態になることはまれであるため、代わりの解決策として、CICS の即時シャットダウンに続いて緊急再始動を実行することを検討してください。これにより、すべての未完了トランザクションがバックアウトされます。

モジュール: DFHFCDY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *trannum*

3. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7115 *applid* プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーで障害が発生し、サーバーが再始動されました。**(applid The coupling facility data table server for pool poolname has failed and restarted.)** プール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してリカバリー可能な更新を行った 1 つ以上の未完了トランザクションが異常終了します。**(One or more in-flight transactions which had made recoverable updates to coupling facility data tables residing in the pool will be abended.)**

説明: データ・テーブル・プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの再同期が実行されています。この再同期が実行されているという事実は、障害が発生したことを示しています。つまり、カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* に対して行われたすべてのリカバリー可能な更新のうち、まだコミットされていない更新は、バックアウトされているはずですが、このトランザクションが行った更新はそれ以降にバックアウトされているため、他のリカバリー可能なリソースに対して行ったすべての更新も確実にバックアウトするためには、データ・テーブル・プール *poolname* 内にある 1 つ以上のカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してリカバリー可能な更新を行ったすべての未完了トランザクションを異常終了する必要があります。

このメッセージは、1 つ以上のこのような未完了トランザクションが検出されたこと、および CICS がこれらのトランザクションを強制除去することによりトランザクションの異常終了とバックアウトを試みることを通知するために出されます。したがって、1 つ以上のトランザクションが ATCH トランザクション異常終了コード(場合によっては、AKC3 異常終了コードの可能性もあります)を伴って異常終了することが予期されます。

システムの処置: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバー・プールの再同期は完了し、1 つ以上の未完了トランザクションが異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

これは、データ保全性を保持するためにトランザクションが異常終了することを示す単なる通知メッセージです。

モジュール: DFHFCDY

DFHFC7120 • DFHFC7121

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *poolname*

宛先: コンソール

DFHFC7120 *applid* カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール *poolname* にはこの CICS 領域の未解決の作業単位 *X'UOWid'* がありますが、CICS にはこの作業単位が認識されていません。(*applid* **The coupling facility data table pool *poolname* has an unresolved unit of work *X'UOWid'* for this CICS region of which CICS has no knowledge.**)

説明: CICS は、プール *poolname* のカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーを再同期しています。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーは、そのサーバーがサービスを提供するプール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して行われたすべての要求を処理する独立したアドレス・スペースです。CICS がカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プール・サーバーへの接続を確立した場合は、プール内にあるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してリカバリー可能な更新を行ったすべての未解決の作業単位のリカバリー処理を実行するために、再同期を実行する必要があります。再同期には、プール・サーバーへのリカバリー可能な接続を再始動すること、および解決が既に知られているサーバーに認識されているすべての未解決の作業単位を完了することが含まれます。

サーバーには未解決の作業単位 *UOWid* がありますが、CICS にはこの作業単位のプール・サーバーへのリンクが認識されていません。リンクの認識は CICS が初期始動を実行すると失われますが、作業単位 *UOWid* の場合は、作業単位の作成後に CICS 初期始動が実行されていません。

システムの処置: CICS は、プール内のカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して行った更新をバックアウトすることにより作業単位を解決し、プールの再同期を完了します。

ユーザーの処置: CICS が作業単位を解決するはずなので、即時に処置をとる必要はありません。このメッセージは、CICS にリンクが認識されていなかった理由を理解するために役立つ診断情報を提供するために出されます。

モジュール: DFHFCDY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *poolname*
3. *X'UOWid'*

宛先: コンソール

DFHFC7121 *applid* CICS カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・ロードが異常終了しました。(*applid* **CICS coupling facility data table load has terminated abnormally.**) ロード・トランザクションのパラメーター検索のための DFHXMIQ の呼び出しが応答コード = *n* で失敗しました。(A call to DFHXMIQ to retrieve the parameters for the load transaction has failed with response code = *n*.)

説明: 接続中に渡されたパラメーターを照会しようとしていたときに、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルをロードする CICS タスクが失敗しました。理由コード *n* の値は、次のように障害のタイプを示しています。

1. XMIQ からの応答は INVALID でした。
2. XMIQ からの応答は DISASTER でした。
3. XMIQ からの応答は PURGED でした。
4. XMIQ は予期しない理由により失敗しました。

システムの処置: 接続パラメーターの検索の失敗はファイル名が不明であることを意味するため、ユーザー出口 XD TLC は呼び出されません。CICS は、ロード・トランザクションを終了して、異常終了コード ACFD を出します。レコードはデータ・テーブルにロードされません。

テーブルにアクセスする要求の結果は、「LOADING」応答コードです。

CICS 処理を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ファイル制御が提供する診断情報を使用して、ドメイン呼び出しの失敗の原因を判別してください。

ファイルが次にオープンされるときにロードを再試行できるように、ファイルをクローズしてください。

モジュール: DFHFCDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *n*

宛先: コンソール

DFHFC7130 *date time applid tranid trannum termid
userid. Unit of work X'uwoid' running
in region owner-applid in MVS system
MVSid holds a lock on key X'keyid' in
coupling facility data table tablename
in pool CFDTpool, which caused this
request to wait.*

説明: このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルにアクセスしたかまたはアクセスしようとしたトランザクションが、AFCY 異常終了コードを伴って異常終了しようとしているときに、問題判別に役立つように出されます。

このメッセージは、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルへの要求がロックを待機していたが、タイムアウトになったときにされます。カップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対するロックを必要とする要求が出されましたが、レコードが別の作業単位によってロックされていたため、待機を強制されました。以下のいずれかの処置によって待機が除去されました。

- トランザクションのタイムアウト時間を超えた。
- ストレージ不足 (SOS) 状態を緩和しようとして、CICS がトランザクションを除去した。
- トランザクションがオペレーター要求によって除去された。

失敗したトランザクションの名前は *tranid* であり、タスク番号 *trannum* の下で、端末 *termid* から、ユーザー *userid* のために実行されています。

メッセージ挿入は、このトランザクションのタイムアウトを引き起こしたロックの所有者を識別します。

- *uwoid* は、ロックを所有する領域内で実行されている作業単位のローカル UOW ID です。
- *owner-applid* は、ロックを所有する領域の *applid* です。
- *MVSid* は、ロックを所有する領域が実行されている MVS システムの名前です。

- *keyid* は、ロックされているキーを識別します。キーを常に文字形式で表示できるとは限らないため、キーは 16 進表記で表示されます。

- *tablename* は、ロックが保持されている対象のカップリング・ファシリティ・データ・テーブルの名前です。

- *CFDTpool* は、カップリング・ファシリティ (CF) データ・テーブル *tablename* があるカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・プールの名前です。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して保持されているロックは、常に排他ロックであり、所有者を 1 つだけ持つことができます。したがって、このメッセージは、要求されたロックの所有者を一意的に識別します。

システムの処置: トランザクションは AFCY 異常終了コードで異常終了します。

ユーザーの処置: このメッセージは、要求されたロックを保持している作業単位およびそれが実行されている領域を識別します。この作業単位を調べて、それがロックを解放しない理由を確認してください。例えば、以下の理由が考えられます。

- 作業単位がカップリング・ファシリティ (CF) データ・テーブル・ロックを保持していて、端末入力を待機している可能性があります。
- 作業単位がカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・リソースおよび別のリソース・マネージャーによって所有されているリソースの両方にアクセスしようとして、リソース・マネージャー間のデッドロックを作り出している可能性があります。

モジュール: DFHFCDR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *termid*
7. *userid*
8. *X'uwoid'*

9. *owner-applid*
10. *MVSid*
11. *X'keyid'*
12. *tablename*

13. *CFDTpool*

宛先: CSFL

DFHHCnnnn メッセージ

DFHHC0101I *applid* CICS は z/OS Health Checker に正常に登録されました。

説明: CICS は z/OS Health Checker に正常に登録されました。

定期的に定義を検査し、z/OS Health Checker を更新します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHHCHK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHHC0102I *applid* CICS は z/OS Health Checker での登録に失敗しました。コード (*X'code'*) 理由 (*X'reason'*) 応答 (*X'response'*)。

説明: CICS は z/OS Health Checker への登録に失敗しました: コード (code) 理由 (reason) 応答 (response)。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 失敗のコードは、失敗したマクロ呼び出しを示します。1 = GETMAIN、2 = IARV64、3 = CSVDYNEX、4 = HZSCHECK。失敗コードに応じて、以下を参照してください。

GETMAIN マクロについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference EDT-IXG」で説明されています。

IARV64 マクロについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference EDT-IXG」で説明されています。

CSVDYNEX マクロについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference ALE-DYN」で説明されています。

HZSCHECK マクロについては、「IBM Health

Checker for z/OS ユーザーズ・ガイド」で説明されています。

z/OS Health Checker がアクティブではない場合、CICS ヘルス・チェックを収集するために Health Checker を開始する必要があります。Health Checker の再始動後、この領域を再始動するか、この LPAR の新しい領域を開始して登録する必要があります。

Health Checker がアクティブである場合、IBM のサポートが必要になります。CICS と z/OS Health Checker のシステム・ダンプをとってください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHHCHK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *X'reason'*
4. *X'response'*

宛先: コンソール

DFHHC0103I *applid* ヘルス・チェックの結果 z/OS Health Checker に書き込めません。

説明: CICS は、z/OS Health Checker と共用している共通ストレージにヘルス・チェックの結果を書き込めませんでした。

システムの処置: CICS システム・トランザクション CHCK は終了し、この領域に対してさらにチェックが行われることはありません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: これはメッセージ DFHHC0102 で報告された以前のエラーの結果である可能性があります。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHHCHK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHICnnnn メッセージ

DFHIC0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

このメッセージが再発するか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、サポートが必要です。CICS を制御シャットダウンでダウンさせ、ダンプおよびメッセージ内で識別されたモジュールが送る関連メッセージを収集してください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHEIIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHIC0200 *DATE TIME APPLID* Automatic transaction restart for transaction *tranid* has failed.

説明: 開始した非端末トランザクションが異常終了していて、自動トランザクション再始動がユーザー置き換え可能モジュール DFHREST を介して要求されました。CICS がトランザクションを再始動しようとしたとき

に、重大エラーが発生しました。

システムの処置: メッセージ DFHAP0002 が、再始動の失敗の原因となった重大エラーに対してダンプとともにに出されます。再始動が要求されたトランザクションの異常終了は続行されます。トランザクションは自動的に再始動されません。

ユーザーの処置: 最初の重大エラーが起きた理由を調べてください。詳細については、メッセージ DFHAP0002 を参照してください。必要であれば、トランザクションを手動で再始動してください。

モジュール: DFHICXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *tranid*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHIC0310 *date time applid* Unable to attach transaction - *tranid* to terminal - *termid*

説明: 以下の結果として、端末 *termid* でトランザクション *tranid* を開始しようとした。

-
- START コマンド、または
-
- DFHIC TYPE=PUT マクロ、または
-
- DFHIC TYPE=INITIATE マクロ

この試みは拒否されました。原因としては、トランザクションの開始が試みられた時点では、その端末がシステムで認識されていなかった可能性がまず第一に考えられます。

このメッセージは、以下の場合にも出されます:

-
- アプリケーション所有領域 (AOR) 内で、AOR 内にリモート端末項目として存在する端末に START コマンドが出されたが、リモート端末と関連のある宛先システム ID が定義されていない場合
-

パイプライン装置、または ATI 要求に適格でないその他の装置に対して START コマンドが出された場合

システムの処置: この要求は、システムから削除されます。

ユーザーの処置: 有効な端末名が指定されているかどうかを確認してください。名前が有効であった場合は、トレース (入手できる場合) を調べて、その試みが拒否された理由を判別してください。

モジュール: DFHICP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*

宛先: コンソール

DFHIC0360 *date time applid* **An attempt to establish security for userid *userid* has failed. Transaction *tranid* cannot be started without a terminal. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: ユーザー ID *userid* に関してセキュリティを確立しようとしたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

時間配列要求 (EXEC CICS START コマンドなど) が、トランザクション *tranid* を端末なしで開始させるために、セキュリティをユーザー ID に関して確立することを要求しました。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。トランザクション開始の試行が失敗しました。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

モジュール: DFHICUS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *X'safresp'*
7. *X'safreas'*
8. *X'esmresp'*
9. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHIC0801 *applid* **CICS time altered from *hh.mm.sss* to *hh.mm.sss* - date *ddddddd* - relative day *rrr***

説明: このコンソール・メッセージは、オペレーティング・システムで維持されている時刻がロールバックまたはロールフォワードされたとき (たとえば、オペレーティング・システム刻時機構が真夜中にゼロにリセットされたとき) に印刷されます。ここで、

- *hh.mm.sss* は、時、分、および 10 分の 1 秒を表します。
- *ddddddd* は、システム初期設定テーブルにおいて DATFORM パラメーターによって指定された形式での現行日を表します。
- *rrr* は、CICS が開始された日からの日数を表します。

システムの処置: CICS は、その条件を認識し、CICS 自体の時刻がオペレーティング・システムの時刻と一致するように調節しました。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHTAJP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *hh.mm.sss*
3. *hh.mm.sss*
4. *ddddddd*
5. *rrr*

宛先: コンソール

**DFHIC0802 applid S/370 clock inoperative ...
external action required**

説明: CICS の実行は、プロセッサ時刻機構の継続作動に依存しています。この警告メッセージは、時刻調整プログラムの実行中に、システムがその時点でプロセッサ時刻機構の障害を検出した場合、コンソール・オペレーターへ送信されます。時刻機構の使用が何らかの理由で不可にされている場合には、コンソール・オペレーターが直ちに訂正処置 (可能な場合) をとる必要があります。

システムの処置: この条件が検出された後に、CICS は自動的に異常終了します。

DFHIEnnnn メッセージ

DFHIE0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

ユーザーの処置: 時刻機構を使用可能な状態にしたり、それを使用不可にできるのは、コンソール・オペレーターです。時刻機構が使用不可にされていた場合には、直ちに使用可能な状態にする必要があります。

モジュール: DFHTAJJP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHIEXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHIE0002 applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHIEEXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHIE0003 *applid* モジュール *modname* に、Getmain (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーです。

DFHIEDM がこのメッセージを出した場合には、たとえダンプ・テーブル内で CICS が終了しないよう指定されていても、CICS は終了します。

DFHIEEXM がこのメッセージを出した場合には、例外トレースおよびシステム・ダンプがとられ、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関係のある終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからのもの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くのストレージを使用できるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHIEEXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHIE0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症

状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔(ICVR はミリ秒単位で測定)を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されないときは、この問題を解決するために IBM のサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHIEXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHIE0360 *date time applid* An attempt to establish security for userid *userid* has failed. Transaction *transid* cannot be started. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: ユーザー ID *userid* に関してセキュリティを確立しようとしたましたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

時間配列要求 (EXEC CICS START コマンドなど) が、トランザクション *transid* を開始させるために、セキュ

リティーをユーザー ID に関して確立することを要求しました。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。トランザクション開始の試行が失敗しました。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

モジュール: DFHIEXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *transid*
6. *X'safresp'*
7. *X'safreas'*
8. *X'esmresp'*
9. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHIE0361 E *DATE TIME APPLID A security error has been detected whilst processing an attach from a TCP/IP attached client.*

説明: セキュリティ問題のために、トランザクションのタスク生成要求が失敗しました。付加 FMH5 から抽出されたセキュリティ・フィールドが、ユーザーをサインオンするためにセキュリティ・ドメインに渡されましたが、サインオンが失敗しました。

システムの処置: そのタスク生成要求が拒否されます。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHIE0360 など、TDQ CIEO に書き込まれた直前のセキュリティ・メッセージを参照してください。直前のメッセージが発行

されていなかった場合は、トレースを検査してサインオンが失敗した原因を判断してください。ユーザー ID またはパスワードが付加 FMH5 に渡されたのであれば、それらが有効であるかどうかを確認してください。

モジュール: DFHIEP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID

宛先: CIEO

DFHIE0998 *date time applid Mirror transaction processing ECI request from TCP/IP connected client has abended with code abcode.*

説明: TCP/IP 接続クライアントの ECI 要求を処理していたミラー・トランザクションが、指定された異常終了コードで異常終了しました。これは、ECI 要求のためにリンクされたユーザー・プログラムでのエラーまたは CICS でのエラーが原因です。異常終了処理は、失敗をクライアントに通知するために IE ドメインを呼び出しました。

システムの処置: 元の問題が IE ドメイン内で発生した場合は、適切なエラー処置が既にとられているはずです。問題が IE ドメイン以外で発生した場合は、会話を異常終了するためにクライアントに送信される FMH7 に、このメッセージがエラー・ログ・データとして付加されます。

ユーザーの処置: トランザクション異常終了からのメッセージとダンプを使用して、問題の根本原因を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. date
2. time
3. applid
4. abcode

宛先: CIEO

DFHIE0999 *DATE TIME APPLID An attempt to start transaction CIEP by something other than an attach request from sockets domain has been made. This is not allowed.*

説明: ソケット・ドメインからのトランザクション接続以外の何らかのメソッドがトランザクション CIEP を開

始しようとした。トランザクション CIEP は、システム・タスクであり、端末からは入力できません。

システムの処置: CIEP トランザクションは開始されていません。

ユーザーの処置: 端末またはその他の装置から CIEP を入力しようとししないでください。ECI 要求が TCP/IP 接続クライアントを介して行われた場合、CICS はトランザクションを開始します。ユーザー処置は不要です。

モジュール: DFHIEP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID

宛先: CIEO

DFHIE1001 *date time applid client_ip_addr tcpipservice Data received from the client violated the bracket protocol.*

説明: クライアントから受け取ったデータが、会話の開始と終了を区切るためにクライアントと CICS の間の通信で使用されるブラケット・プロトコルに違反しました。以下のいずれかの状態が発生しました。

- アクティブな会話が行われていないときに、開始ブラケットがないフローが到着しました。
- アクティブな会話が行われているときに、開始ブラケットがあるフローが到着しました。
- 終了ブラケットがない FMH7 (会話異常終了) フローを受け取りました。

これはおそらく、別のエラーが原因で、CICS とクライアントが接続上の会話の現在の状態について異なる認識を持つようになったか、伝送中のいずれかのポイントでデータが破壊されたために発生したエラーです。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取ったデータ、および CICS 内の関連する会話の状態が含まれます。その後、データは無視されます。

ユーザーの処置: このエラーの前に出された他のエラーがある場合は、それらを訂正する処置をとり、クライアント・トランザクションを再試行してください。他のエラーが見当たらない場合は、クライアント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1002 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Data received from the client violated the chaining protocol.

説明: クライアントから受け取ったデータが、クライアントと CICS の間の通信で使用されるチェーニング・プロトコルに違反しました。すべてのフローで、Only in Chain (OIC) 標識がオンに設定されている必要があります。

これはおそらく、別のエラーが原因で、伝送中のいずれかのポイントでデータが破壊されたために発生したエラーです。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取ったデータ、および CICS 内の関連する会話の状態が含まれます。その後、データは無視されます。

ユーザーの処置: このエラーの前に出された他のエラーがある場合は、それらを訂正する処置をとり、クライアント・トランザクションを再試行してください。他のエラーが見当たらない場合は、クライアント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1003 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Connection to client lost during conversation.

説明: クライアントのミラー・タスク処理作業がさらにデータを受け取るために待機していましたが、何も到着しないまま、RTIMOUT 間隔の有効期限が切れました。

次に、クライアントがまだアクティブであるかどうかを調べるために PING プロトコルが使用されましたが、これも応答を受け取ることができませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントの現在の状態に関する情報、および CICS 内の関連する会話の状態が含まれます。AIEA 異常終了がミラー・タスクに対して出されます。CICS は、クライアントのアクティブな会話の除去を試みます。クライアントへの接続は終了します。

ユーザーの処置: クライアントが応答を停止した理由を判別してください。このエラーの前に出された他のエラーがある場合は、それらを訂正する処置をとり、クライアント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行してください。他のエラーが見当たらない場合も、クライアント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行すると、解決することがあります。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1004 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Data received from the client had an invalid length field.

説明: クライアントから受け取ったデータには、標準ヘッダーが含まれています。その最初の 4 バイトには、残りのデータの長さが含まれています。この長さが、標準ヘッダーの長さより小さかったか、ECI フローで可能な最大長を超えていました。これはおそらく、別のエラーが原因で、伝送中のいずれかのポイントでデータが破壊されたために発生したエラーです。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取った 4 バイトの長さ、および CICS 内のクライアントの現在の状態を示す情報が含まれます。CICS は、クライアントのアクティブな会話の除去を試みます。クライアントへの接続は終了します。

ユーザーの処置: このエラーの前に出された他のエラーがある場合は、それらを訂正する処置をとり、クライアント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行してください。他のエラーが見当たらない場合も、クライアント接続を再始動し、クライアント・トラ

DFHIE1005 • DFHIE1008

ンザクションを再試行すると、解決することがあります。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1005 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
ECI client install failed.

説明: CICS クライアントが TCP/IP 経由で接続しようとした。内部 CICS エラーが原因で、以降のインストール処理が失敗しました。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、インストール・フロー内でクライアントから受け取ったデータが含まれます。クライアントへの接続は終了します。IE 以外の CICS のコンポーネントから、失敗の原因を示すメッセージおよび (場合によっては) ダンプが出されるはずです。

ユーザーの処置: 失敗したコンポーネントによって出されたメッセージで推奨されている手順を実行してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1006 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
ECI request received before install.

説明: CICS は、クライアント・インストール要求が到着または完了する前に、TCP/IP 接続クライアントから ECI 要求を受け取りました。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取った ECI 要求データが含まれます。クライアントへの接続は終了します。

ユーザーの処置: このエラーの前に出された他のエラーがある場合は、それらを訂正する処置をとり、クライア

ント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行してください。他のエラーが見当たらない場合も、クライアント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行すると、解決することがあります。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1007 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Invalid install request.

説明: CICS は、TCP/IP 接続 ECI クライアントをインストールまたはアンインストールするための要求を受け取りました。要求を記述するデータが無効でした。これはおそらく、前のエラーが原因で、データが破壊されたために発生したエラーです。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取った要求データが含まれます。クライアントへの接続は終了します。

ユーザーの処置: このエラーの前に出された他のエラーがある場合は、それらを訂正する処置をとってください。失敗がクライアント接続の開始中に発生した場合は、開始を再試行してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1008 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Install request received from unsupported version of the client.

説明: CICS は、TCP/IP 接続 ECI クライアントをインストールするための要求を受け取りました。要求ヘッダーは、クライアント・コードがこのレベルの CICS によってサポートされていないバージョンであることを示しました。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取った要求データが含まれます。クライアントへの接続は終了します。

ユーザーの処置: CICS によってサポートされているクライアントのバージョンを確認し、適切なバージョンを再インストールしてください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1009 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Unsupported codepage codepage
specified in client install.

説明: CICS は、TCP/IP 接続 ECI クライアントをインストールするための要求を受け取りました。要求内で指定されたクライアント・コード・ページは、この CICS システムの DFHCNV テーブルがサポートするクライアント・コード・ページではありません。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取った要求データ (クライアント・コード・ページを含む) が含まれます。クライアントへの接続は終了します。

ユーザーの処置: このクライアント・コード・ページをサポートするために必要な情報が含まれるように、DFHCNV テーブルを変更してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*
6. *codepage*

宛先: CIEO

DFHIE1010 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Data arrived when CICS in SEND
state.

説明: CICS は、CICS 側で SEND 状態だったクライ

アント会話からデータを受け取りました。

これはおそらく、別のエラーが原因で、CICS とクライアントが接続上の会話の現在の状態について異なる認識を持つようになったか、伝送中のいずれかのポイントでデータが破壊されたために発生したエラーです。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取ったデータ、および CICS 内の関連する会話の状態が含まれます。その後、データは無視されます。

ユーザーの処置: このエラーの前に出された他のエラーがある場合は、それらを訂正する処置をとり、クライアント・トランザクションを再試行してください。他のエラーが見当たらない場合は、クライアント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1011 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Invalid data received from client.

説明: CICS は、クライアントから受け取ったデータには ECI 要求または同期点フローが含まれていると予期しましたが、そのようなデータとして認識できませんでした。

これはおそらく、別のエラーが原因で、CICS とクライアントが接続上の会話の現在の状態について異なる認識を持つようになったか、伝送中のいずれかのポイントでデータが破壊されたために発生したエラーです。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取ったデータ、および CICS 内の関連する会話の状態が含まれます。その後、データは無視されます。

ユーザーの処置: このエラーの前に出された他のエラーがある場合は、それらを訂正する処置をとり、クライアント・トランザクションを再試行してください。他のエラーが見当たらない場合は、クライアント接続を再始動し、クライアント・トランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHIE1012 • DFHIE1102

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1012 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Install request from the client did not contain the client codepage.

説明: インストール要求が CICS クライアントから受け取られました。指定しなければならないパラメーターの 1 つとして、CICS クライアントが使用する予定のコード・ページがあります。このパラメーターが欠落しています。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。CICS クライアントをインストールする要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1013 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Unexpected connection level PING reply received.

説明: CICS は、要求を出さなかったときに接続レベル PING 応答を受け取りました。これはおそらく、クライアントと CICS が相互の接続状態に関して一致していないことが原因です。

システムの処置: 例外トレース項目成されます。これには、クライアントから受け取ったデータが含まれます。その後、データは無視されます。

ユーザーの処置: この状態が繰り返される場合は、クライアント接続を再始動してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1101 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Error obtaining IE domain storage. タスクは終了しました。

説明: IP ECI (IE) ドメインが出したストレージ・マネージャー *getmain* が、正常に完了しませんでした。これはおそらく、SM ドメイン内でのストレージ上書きまたは内部エラーが原因です。このメッセージの前に、SM 障害メッセージが出されているはずです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成され、IP ECI リスナー・タスク (CIEP) またはミラー・タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ストレージ・マネージャー障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1102 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Invalid parameter list passed to IE domain.

説明: 要求の処理中に IP ECI (IE) ドメインへの呼び出しが行われましたが、パラメーター・リストが無効でした。これは、ストレージの上書きか、または呼び出し側コンポーネントでの内部エラーのためと考えられます。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成され、システム・ダンプがとられ、IP ECI リスナー・タスク (CIEP) またはミラー・タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、呼び出し側コンポーネントの障害を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CIEO

DFHIE1103 *date time applid client_ip_addr tcipSERVICE*
Invalid request by mirror task.

説明: ミラー・タスクによる要求の処理中に IP ECI (IE) ドメインへの呼び出しが行われました。会話が送信状態だったときに呼び出しが受信されたか、会話が受信状態だったときに呼び出しが送信されました。これはおそらく、TCP/IP 接続上のエラーが原因でミラー・タスクと IE ドメインの間の同期が失われたことが原因ですが、IE ドメイン内での内部エラーが原因である可能性もあります。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成され、システム・ダンプがとられ、ミラー・タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、IE ドメイン内での障害を判別してください。または、接続上の他のエラーの兆候があった場合は、失敗した要求を単に再試行してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CIEO

DFHIE1104 *date time applid client_ip_addr tcipSERVICE*
Error attempting socket receive from ECI client.

説明: IP ECI (IE) ドメインが出したソケット・ドメイン *receive* が、正常に完了しませんでした。これはおそらく、SO ドメイン内でのストレージ上書きまたは内部エラーが原因です。このメッセージの前に、SO 障害メッセージが出されているはずです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成され、IP ECI リスナー・タスク (CIEP) は異常終了します。

ユーザーの処置: ソケット・ドメイン障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CIEO

DFHIE1105 *date time applid client_ip_addr tcipSERVICE*
Error attempting socket send to ECI client.

説明: IP ECI (IE) ドメインが出したソケット・ドメイン *send* が、正常に完了しませんでした。これはおそらく、SO ドメイン内でのストレージ上書きまたは内部エラーが原因です。このメッセージの前に、SO 障害メッセージが出されているはずです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成され、IP ECI リスナー・タスク (CIEP) またはミラー・タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ソケット・ドメイン障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CIEO

DFHIE1106 *date time applid client_ip_addr tcipSERVICE*
Error attempting to wait for client data.

説明: IP ECI (IE) ドメインが、クライアントからさらにデータが到着するまで待機するためのタスク指名プログラム *WAIT_MVS* をミラー・タスクから出しました。WAIT_MVS が正常に完了しませんでした。これはおそらく、DS ドメイン内でのストレージ上書きまたは内部エラーが原因です。このメッセージの前に、DS 障害メッセージが出されているはずです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成され、ミラー・タスクは異常終了します。

DFHIE1107 • DFHIE1202

ユーザーの処置: DS ドメイン障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1107 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Error freeing IE domain storage. タスクは終了しました。

説明: IP ECI (IE) ドメインが出したストレージ・マネージャー *freemain* が、正常に完了しませんでした。これはおそらく、SM ドメイン内でのストレージ上書きまたは内部エラーが原因です。このメッセージの前に、SM 障害メッセージが出されているはずです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成され、IP ECI リスナー・タスク (CIEP) またはミラー・タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ストレージ・マネージャー障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1201 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Error attaching mirror transaction id transid.

説明: IP ECI (IE) ドメインが、クライアントから受け取った ECI 要求を処理するミラー・タスクのためにトランザクション・マネージャー接続要求を出しました。接続が正常に完了しませんでした。これはおそらく、XM ドメイン内でのストレージ上書きまたは内部エラーが原因です。このメッセージの前に、XM 障害メッセージが出されているはずです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。要求の失敗を通知するために、エラー・

フロー (FMH7) がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: XM 障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*
6. *transid*

宛先: CIEO

DFHIE1202 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
ECI request timed out. 異常終了の処理が開始されました。

説明: 現在の ECI 会話が非アクティブであると認識されたため、会話 *ping* プロトコルが使用されました。クライアントと CICS を両方とも続行できなかったことをプロトコルが確認したため、会話を異常終了する決定が行われました。このエラーの原因として最も可能性が高いのは、ECI 要求内で指定されたユーザー・プログラムが出した呼び出しが原因で、ミラー・タスクが長期間にわたって待ち状態になっているために、ECI 要求への応答がクライアントに送信されていないことです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。ECI 要求の処理を行うミラー・タスクを除去しようとします。これが失敗した場合、そのタスクには、次にクライアントと通信しようとすると異常終了するようにマークが付けられます。

ユーザーの処置: ミラー・タスクが長期間にわたって待ち状態になっている理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1203 *date time applid client_ip_addr tcpip service*
EPI request attempted by TCP/IP
connected client.

説明: IP ECI (IE) ドメインが CTIN トランザクションのタスク生成要求を受け取りましたが、この要求は EPI 要求の処理でのみ使用されます。EPI は、CICS によって TCP/IP 接続クライアントのためにはサポートされていません。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。インストールが取り消されたことを通知する CTIN INSTALL エラー応答がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: TCP/IP 接続クライアントから EPI を使用しようとししないでください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpip service*

宛先: CIEO

DFHIE1204 *date time applid client_ip_addr tcpip service*
Data lost during ECI request
processing.

説明: 現在の ECI 会話が非アクティブであると認識されたため、会話 ping プロトコルが使用されました。クライアントは、CICS によって送信された会話 ping 要求に対して NOT_ABENDED を戻しました。これは、クライアントが RECEIVE 状態にあり、CICS がタイムアウトになるまで受信を待機していたデータを送信済みであることを示しています。しかし、CICS はデータを受信していません。このエラーはおそらく、会話の存続期間中に発生した他のエラーが原因です。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。会話が異常終了することを示すために、エラー・フロー (FMH7) がクライアントに送信されます。ECI 要求の処理を行うミラー・タスクを除去しようとします。これが失敗した場合、そのタスクには、次にクライアントと通信しようとする異常終了するようにマークが付けられます。

ユーザーの処置: 関連するエラーの原因を分析して、データが失われた理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpip service*

宛先: CIEO

DFHIE1205 *date time applid client_ip_addr tcpip service*
Unrecognizable data received from a
TCP/IP connected client.

説明: CICS は、TCPIP SERVICE がトランザクション ID CIEP を指定しているポート番号で、TCP/IP からデータを受け取りました。これは、CICS が ECI 要求または ECI 関連フローを予期することを意味します。このデータは、これらのいずれとしても認識できませんでした。このエラーはおそらく、正しくない TCPIP SERVICE 定義、または TCP/IP 接続でのフロー順序の破壊に関連する他のエラーが原因です。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。フローの最初の部分を ECI フローのヘッダーとして認識できた場合、CICS は、そのフローを既存の会話の状態と一致させていた可能性があります。その場合には、ECI 要求の処理を行うミラー・タスクを除去しようとします。これが失敗した場合、そのタスクには、次にクライアントと通信しようとする異常終了するようにマークが付けられます。

ユーザーの処置: 指定された TCPIP SERVICE では ECI 要求のみが送信されることを確認してください。または、関連するエラーの原因を分析して、データが破壊された理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpip service*

宛先: CIEO

DFHIE1206 *date time applid client_ip_addr tcpip service*
Mirror transaction id transid is
disabled.

説明: IP ECI (IE) ドメインが、クライアントから受け取った ECI 要求を処理するミラー・タスクのためにトランザクション・マネージャー接続要求を出しました。ミラー・タスクの指定されたトランザクション ID が無

効になっていたため、接続が正常に完了しませんでした。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。要求の失敗を通知するために、エラー・フロー (FMH7) がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: トランザクション ID が無効になっているわけではない場合は、CEMT または類似の制御トランザクションを使用して、トランザクション ID を有効にしてください。その後、ECI 要求を再試行できます。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*
6. *transid*

宛先: CIEO

DFHIE1207 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Mirror transaction id transid not found.

説明: IP ECI (IE) ドメインが、クライアントから受け取った ECI 要求を処理するミラー・タスクのためにトランザクション・マネージャー接続要求を出しました。ミラー・タスクの指定されたトランザクション ID がこの CICS システム上で定義されていなかったため、接続が正常に完了しませんでした。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。要求の失敗を通知するために、エラー・フロー (FMH7) がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 指定されたトランザクション ID の定義をインストールするか、正しいトランザクション ID を使用するようにクライアントを変更してください。その後、ECI 要求を再試行できます。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*
6. *transid*

宛先: CIEO

DFHIE1208 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Mirror transaction id transid has been disabled because CICS is shutting down.

説明: IP ECI (IE) ドメインが、クライアントから受け取った ECI 要求を処理するミラー・タスクのためにトランザクション・マネージャー接続要求を出しました。ミラー・タスクの指定されたトランザクション ID がシャットダウン中にシステムによって無効になっていたため、接続が正常に完了しませんでした。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。要求の失敗を通知するために、エラー・フロー (FMH7) がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: シャットダウン中のミラー・タスクの実行を許可する場合は、トランザクション ID を SHUTDOWN(ENABLED) として定義する必要があります。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*
6. *transid*

宛先: CIEO

DFHIE1209 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Error assigning termid to mirror task.

説明: IP ECI (IE) ドメインが、ECI 要求を処理しているミラー・タスクのために EIBTRMID 内に配置する固有値を割り振る呼び出しを出しました。この呼び出しは、何らかの内部の理由により失敗したか、非常に可能性は低いですが、すべての 46656 名が現在使用中であるために失敗しました。これはおそらく、名前を割り振る DFHZGBM ルーチン内でのストレージ上書きまたは内部エラーが原因です。このメッセージの前に、DFHZGBM からの障害メッセージが出されているはずです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。ミラー接続は、FMH7 フローで拒否されます。

ユーザーの処置: DFHZGBM 障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1210 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
ECI request timed out. クライアントは
 会話は認識されていないとしています。

説明: 現在の ECI 会話が非アクティブであると認識されたため、会話 ping プロトコルが使用されました。指定された会話がクライアントには認識されていなかったことが示されたため、CICS は、関連するミラー・タスクを除去しようとします。このエラーの原因として最も可能性が高いのは、クライアント・プログラムがエラーを検出し、現在の要求を追跡できなくなったことです。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。ECI 要求の処理を行うミラー・タスクを除去しようとします。これが失敗した場合、そのタスクには、次にクライアントと通信しようとするとは異常終了するようにマークが付けられます。

ユーザーの処置: クライアントが会話を追跡できなくなっている理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1211 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
ECI request mirror task abended
because of read time out or earlier
error.

説明: この ECI 要求ミラー・タスクには、以下のいずれかの理由で異常終了のフラグが付けられました。

- CICS がこの会話でクライアントからのデータを待機していたときに、RTIMOUT 期間内に応答がありませんでした。

会話でエラーが発生し、ミラー・タスク除去要求を完了できませんでした (おそらく、ミラーで推奨設定の SPURGE(NO) が指定されているためです)。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。ミラー・タスクはトランザクション異常終了を出します。

ユーザーの処置: クライアントがこの会話内の次のフローを送信しなかった理由を判別するか、前に出された IE ドメイン・メッセージのユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1212 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Unexpected user data received from
TCP/IP connected client.

説明: CICS は、データを予期していなかったミラー・タスクで、ユーザー・データ (ECI 要求または SYNCPOINT フロー) を受け取りました。このエラーはおそらく、TCP/IP 接続でのフロー順序の破壊に関連する他のエラーが原因です。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。ECI 要求の処理を行うミラー・タスクを除去しようとします。これが失敗した場合、そのタスクには、次にクライアントと通信しようとするとは異常終了するようにマークが付けられます。

ユーザーの処置: 関連するエラーの原因を分析して、データが破壊された理由を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*

宛先: CIEO

DFHIE1213 *date time applid client_ip_addr tcpipservice*
Client has encountered an error during
ECI processing. FMH7 sense sense
received from client.

説明: CICS は、TCP/IP 接続 ECI クライアントから FMH7 エラー・フローを受け取りました。これは、ECI 要求に関連する作業の処理中にクライアントがエラーを検出し、会話を異常終了させようとすることを示しています。センス・コードは、エラーのタイプを指定しています。

システムの処置: 例外トレースが IE ドメインによって作成されます。ECI 要求の処理を行うミラー・タスクを除去しようとします。これが失敗した場合、そのタスクには、次にクライアントと通信しようとするとは異常終了

するようにマークが付けられます。

ユーザーの処置: クライアント側での問題を判別してください。

モジュール: DFHIEIE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *client_ip_addr*
5. *tcpipservice*
6. *sense*

宛先: CIEO

DFHINnnnn メッセージ

DFHIN1001 *date time applid termid userid* **The**
indoubt tool is now active for
DFHTCIND tranclass transactions.

説明: 未確定ツールが活動状態であるため、トランザクション・クラス DFHTCIND 内に入るように定義されているトランザクションの下で実行されているすべての作業単位 (UOW) は、同期点に到達したときに未確定で失敗します。

未確定で失敗した作業単位は、リカバリー・マネージャー・ドメインによってシャントされるか、リカバリー・マネージャーによってすべて一方的にコミットされるかまたはすべて一方的にバックアウトされます。作業単位が実行されているトランザクション定義で未確定オプションとして WAIT(yes) が指定されていて、作業単位がアクセスしたどのリソースでも一方的な決定を行うように強制されない場合、その作業単位はシャントされます。

システムの処置: CICS 処理は、未確定ツールが活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINDT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *userid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHIN1002 *date time applid* **The indoubt tool is**
already active.

説明: 未確定ツールを活動化するために、CIND ON 要求が出されましたが、CICS は、未確定ツールが既に活動していることを検出しました。

システムの処置: CICS 処理は、未確定ツールが活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINDT

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHIN1003 *date time applid* **The indoubt tool is**
active for DFHTCIND tranclass
transactions.

説明: 未確定ツールの状況を照会するために、CIND INQUIRE 要求が出されました。CICS は、未確定ツールが活動していることを検出しました。

システムの処置: CICS 処理は、未確定ツールが活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINDT

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHIN1004 *date time applid termid userid* **The**
indoubt tool is no longer active for
DFHTCIND tranclass transactions.

説明: 未確定ツールを非活動化するために、CIND OFF 要求が出されました。それ以降、トランザクション・クラス DFHTCIND 内に定義されているトランザクショ

ンの下で実行されている作業単位 (UOW) は、同期点に到達したときに未確定で失敗しなくなります。

現在実行されている DFHTCIND トランザクション・クラス内の既存のトランザクションは同期点に到達すると未確定で失敗しますが、DFHTCIND トランザクション・クラス内の新規トランザクションは未確定で失敗しません。

システムの処置: CICS 処理は、未確定ツールが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINDT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *userid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHIN1005 *date time applid* **The indoubt tool is already inactive.**

説明: 未確定ツールを非活動化するために、CIND OFF 要求が出されましたが、CICS は、未確定ツールが既に活動していないことを検出しました。

システムの処置: CICS 処理は、未確定ツールが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINDT

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHIN1006 *date time applid* **The indoubt tool is not active.**

説明: 未確定ツールの状況を照会するために、CIND INQUIRE 要求が出されました。CICS は、未確定ツールが活動していないことを検出しました。

システムの処置: CICS 処理は、未確定ツールが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINDT

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHIN1007 *date time applid termid userid* **Initiation of resynchronization for units of work awaiting coordinator DFHINDSP is now complete.**

説明: CIND RESYNC COMMIT または CIND RESYNC BACKOUT 要求が出されました。未確定ツールは、コーディネーター DFHINDSP との再同期を現在待機しているすべての作業単位 (UOW) の再同期を正常に開始しました。

システムの処置: コーディネーター DFHINDSP の戻りを待機しているシャント済み UOW は、リカバリー・マネージャー (RM) ドメインによってシャント解除されます。UOW 内のすべての参加プログラムに、作業単位の結果が通知されます。作業単位の結果は、CIND のユーザーによって定義されます。例えば、CIND RESYNC COMMIT は、UOW をシャント解除およびコミットするように RM ドメインに指示します。同様に、CIND RESYNC BACKOUT は、UOW をバックアウトするように RM ドメインに指示します。これらのコマンドは、再同期された各 UOW の一時データにメッセージ DFHIN1012 を出します。

コーディネーター DFHINDSP の戻りを待機しているシャント済みではない UOW (つまり、同期点に到達する前に異常終了したか、一方的な決定が行われた UOW) について、CIND RESYNC コマンドは、単に一時データにメッセージ DFHIN1012 を出します。DFHIN1012 は、この CICS システムと DFHINDSP が同期されているかどうかを報告します。

ユーザーの処置: 関連する一時データ DFHIN1012 メッセージを参照してください。

モジュール: DFHINDT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *userid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHIN1008 *date time applid* **Invalid CIND keyword. ON, OFF, INQUIRE, RESYNC, COMMITまたはRESYNC BACKOUTのいずれかを指定してください。**

説明: 無効なキーワードを指定して CIND トランザクションが呼び出されました。

システムの処置: CICS の処理は続行され、未確定ツ

ルの状況は変更されません。

ユーザーの処置: 正しいキーワードを指定して CIND
トランザクションを再呼び出ししてください。

モジュール: DFHINDT

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHIN1009 *date time applid* **The indoubt tool has added coordinator link DFHINDSP to UOW X'uwowid' for transaction tranid task number taskno.**

説明: トランザクションが最初に開始されるときに、未確定ツールのタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHINTRU が呼び出されました。このルーチンは、そのトランザクションがトランザクション・クラス DFHTCIND の一部であることを検出しました。同期点が出されたときにトランザクションが未確定で失敗するように、コーディネーター DFHINDSP が作業単位 (UOW) に追加されました。

システムの処置: メッセージに示されたトランザクションおよび UOW は、同期点に到達したときにトランザクションが未確定で失敗するまで処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uwowid'*
5. *tranid*
6. *taskno*

宛先: CSMT

DFHIN1010 *date time applid* **Coordinator DFHINDSP is not available. The indoubt tool has caused RM domain to shunt UOW X'uwowid' for transaction tranid task number taskno.**

説明: 未確定ツールが原因で、メッセージに示されたトランザクションおよびタスクのメッセージに示された UOW が、同期点要求中に未確定で失敗しました。

システムの処置: リカバリー・マネージャー・ドメインは、UOW をシャントしてから、トランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: UOW のシャント解除を開始するには、CIND RESYNC コマンドを出してください。

モジュール: DFHINDSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uwowid'*
5. *tranid*
6. *taskno*

宛先: CSMT

DFHIN1011 *date time applid* **Coordinator DFHINDSP is not available, but UOW X'uwowid' for transaction tranid task number taskno is not indoubt and has not been shunted.**

説明: トランザクション *tranid* の UOW *X'uwowid'* は、シャント済みではありませんでしたが、未確定ツールによってモニターされているにもかかわらず、未確定ではありません。以下のいずれかが起こりました。

- 作業単位が同期点に到達する前に異常終了しました。
- 作業単位がロールバックされました。
- 作業単位が同期点時に未確定で失敗しましたが、リカバリー・マネージャー・ドメインは、UOW をシャントする代わりに一方的な決定を行うように強制されました。
- 作業単位が同期点時に未確定で失敗しましたが、リカバリー・マネージャー・ドメインは、作業単位が読み取り専用だったことを検出しました。つまり、リカバリー可能なリソースが更新されなかったため、シャントは必要ありませんでした。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 作業単位が異常終了またはロールバックされたか、あるいは一方的な決定が行われた場合、リカバリー・マネージャーは、コーディネーター DFHINDSP の戻りを保留している作業単位の解決を保持します。

UOW の結果をコーディネーター DFHINDSP と同期するには、CIND RESYNC コマンドを出してください。

モジュール: DFHINDSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
 3. *applid*
 4. *X'uwowid'*
 5. *tranid*
 6. *taskno*
- 宛先: CSMT

DFHIN1012 *date time applid The indoubt tool is resynchronizing UOW X'uwowid' for transaction tranid task number taskno. DFHINDSP coordinator UOW status is {commit. | backout.} Recovery manager UOW status is {commit. | backout. | heuristic commit. | heuristic backout.}*

説明: メッセージに示されたトランザクションおよびタスクの作業単位 *X'uwowid'* は、CIND RESYNC コマンドの結果として再同期されています。このメッセージは、コーディネーター DFHINDSP によって定義されている UOW 状況、およびリカバリー・マネージャー・ドメインによって保持されている作業単位状況を報告します。リカバリー・マネージャー・ドメインは、UOW が同期されているかどうかを報告するメッセージも出します。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINDT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uwowid'*
5. *tranid*
6. *taskno*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=コミットされます、
2=バックアウトされます

8. 以下のオプションから選択される値。

1=コミットされます、
2=バックアウトされます、
3=手動操作でコミットされます、
4=手動操作でバックアウトされます

宛先: CSMT

DFHIN1013 *date time applid termid userid No units of work awaiting resynchronization with coordinator DFHINDSP were found.*

説明: CIND RESYNC COMMIT または CIND RESYNC BACKOUT 要求が出されました。未確定ツールは、コーディネーター DFHINDSP との再同期を待機していた作業単位 (UOW) を検出しませんでした。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 再同期を開始する前に、コマンド CIND ON を使用して未確定ツールを活動化する必要があります。トランザクション・クラス DFHTCIND 内のトランザクションを実行して未確定の作業単位を作成する必要があります。

モジュール: DFHINDT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *userid*

宛先: CSMT および端末エンド・ユーザー

DFHIN1014 *date time applid The indoubt tool will not operate on transaction tranid task number taskno as it is an internal CICS system transaction.*

説明: トランザクションが最初に開始されるときに、未確定ツールのタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHINTRU が呼び出されました。このルーチンは、そのトランザクションがトランザクション・クラス DFHTCIND の一部であることを検出しました。しかし、そのトランザクションが内部 CICS システム・トランザクションであることも検出しました。CIND を内部 CICS システム・トランザクションで使用することはできません。

システムの処置: メッセージに示されたトランザクションおよびタスクは、同期点時に強制的に未確定にされることなく、処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*5. *taskno*

宛先: CSMT

DFHIN1015 *date time applid* **The Indoubt tool has already previously resynchronized UOW X'uowid' for transaction tranid task number taskno. DFHINDSP coordinator UOW status is {commit. | backout.} Recovery manager UOW status is {commit. | backout. | heuristic commit. | heuristic backout.}**

説明: メッセージに示されたトランザクションおよびタスクのメッセージに示された作業単位 (UOW) は、前に出された CIND RESYNC コマンドの結果として既に再同期されています。このメッセージは、コーディネーター DFHINDSP によって定義されている UOW 状況、およびリカバリー・マネージャー・ドメインによって保持されている作業単位状況を記述します。

この場合、リカバリー・マネージャー・ドメインはメッセージを出さず、再同期は実行されません。CICS が失敗する前に、前に出された CIND RESYNC コマンドの処理が完全に完了しませんでした。特に、作業単位のコーディネーターである DFHINDSP を除去するための CICS による「廃棄処理」が完了しませんでした。そのため、CICS が再始動時にコーディネーターとして DFHINDSP を使用して作業単位をリカバリーした結

果、その作業単位が後続の CIND RESYNC コマンドによって処理されました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHINDT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uowid'*
5. *tranid*
6. *taskno*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=コミットされます、
2=バックアウトされます

8. 以下のオプションから選択される値。

1=コミットされます、
2=バックアウトされます、
3=手動操作でコミットされます、
4=手動操作でバックアウトされます

宛先: CSMT

DFHIRnnnn メッセージ

DFHIR2122 *date time applid* **Intersystem session recovery.** データ・ベースの変更は同期化されています。**Original failure details: Time=time. Remote system=sysid. Intersystem terminal=termid. Transaction=tranid. Task number=taskno. Operator terminal=termid. Operator=operid. Unit of work ID=uowid**

説明: システム間セッション・リカバリー時にエラーが発生しましたが、現在は正常にリカバリーされ、再同期も行われました。このメッセージは、通常、メッセージ DFHRM0107 の後に出されます。(同期点処理時の重大なときにセッションが失敗した場合、その失敗の時点でメッセージ DFHRM0107 が出されていることがあります。)

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *time*
5. *sysid*
6. *termid*
7. *tranid*
8. *taskno*
9. *termid*
10. *operid*
11. *uowid*

宛先: CSMT

DFHIR2123 *date time applid Intersystem session recovery.* データベースの変更は同期していません。 **Original failure details:** **Time=***time*. **Remote system=***sysid*. **Intersystem terminal=***termid*. **Transaction=***transid*. **Task number=***taskno*. **Operator terminal=***termid*. **Operator=***operid*. **Unit of work ID=***uowid*

説明: このメッセージは、メッセージ DFHRM0107 の後に出されます。元のエラー情報が相互参照を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・データベースおよびリモート・データベースの同期を取り直してください。

モジュール: DFHCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *time*
5. *sysid*
6. *termid*
7. *transid*
8. *taskno*
9. *termid*
10. *operid*
11. *uowid*

宛先: CSMT

DFHIR2124 *date time applid Intersystem session recovery. Error when data base changes may be out of sync. Original failure details:* **Time=***time*. **Remote system=***sysid*. **Intersystem terminal=***termid*. **Transaction=***transid*. **Task number=***taskno*. **Operator terminal=***termid*. **Operator=***operid*. **Unit of work ID=***uowid*

説明: このメッセージは、メッセージ DFHRM0107 の後に出されます。セッション・リカバリー時に、システムは、データベースの変更が同期をはずしているかどうかを判別できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要なデータベース照会を行い、変更の同期がとれているかを調べてください。同期がとれていない場合は、適切なユーザー定義の処置を実行して、データベースを再同期化してください。

モジュール: DFHCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *time*
5. *sysid*
6. *termid*
7. *transid*
8. *taskno*
9. *termid*
10. *operid*
11. *uowid*

宛先: CSMT

DFHIR2321 *applid MRO/IRC Communication being Terminated. Session(s) with the following Netname(s) are still Active:*

説明: CICS が、MRO/IRC 通信をクローズしようとしています。このメッセージの後には、通常、まだ活動中である各セッションのネット名が続き、また、EXCI セッションの場合は、さらにジョブ名、ステップ名、procname、このセッション上で通信しているバッチ・プログラムの MVS ID が続きます。

EXCI セッションの場合は、GENERIC のネット名は総称パイプを示します。メッセージに出てくるバッチ・ジョブ情報については、少なくとも 1 つの DPL 要求がこのセッションで出されていなければなりません。

注: 状況によっては、メッセージの後にネット名が出されないことがあります。これは、CICS が CEC 間の通信のためにシステム間カップリング・ファシリティー (XCF) を使用していて、CICS が前に出されたメッセージを (例えば、XCF バッファがいっぱいであるために) XCF に送達できない場合に発生することがあります。

システムの処置: CICS は、IRC STOP IMMEDIATE を出して、残りのセッションを強制的にクローズします。このメッセージは、30 秒の間隔で、または最後のセッションがクローズするまで繰り返し出されます。

ユーザーの処置: なし。ただし、クローズ終了までの遅延が異常に長い場合には、処置が必要です。その場合

には、セッション (複数の場合もある) がまだ活動状態になっている理由を調べてください。セッション (複数の場合もある) がクローズできるように適切な処置をとってください。ネット名が表示されない場合は、XCF が CICS からのメッセージを受け入れることができない理由を調べてください。

モジュール: DFHZDSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3747 *APPLID CONNECTION connid with protocol(EXCI) has been connected to by a NON-BATCH system. Connection set out of service.*

説明: CICS 接続がプロトコル EXCI を指定して定義され、非バッチ・システムによって接続が行われました。

このメッセージの説明としては、次の 2 つがあげられます。

- 非バッチ・システムが間違ったターゲット接続定義と通信しようとしている。
- ターゲット接続定義が、EXCI 接続として誤って定義されている。

システムの処置: CICS は、接続をサービス対象外にします。

ユーザーの処置: 関連接続定義を調べて訂正し、サービス状態に戻してください。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

2. *connid*

宛先: コンソール

DFHIR3748 *date time applid Initial start of connected system sysid, netname netname, protocol pppp was detected.*

説明: 接続されたシステムからの MRO バインド・プロセス中に新規ログ名を受け取りました。これは、接続されたシステムの最後の通信先がこの CICS だったため、そのシステムが開始タイプ INITIAL で再始動したことを示しています。メッセージを出しているシステムに、接続の以前の使用からの作業単位に関連する再同期

データがある場合、このデータは保持されますが、システムがこのデータを使用して自動再同期を行うことはできません。

システムの処置: 接続のための新規 MRO 作業は禁止されません。

ユーザーの処置: メッセージに示された接続に対して

EXEC CICS INQUIRE UOWLINK RESYNCSSTATUS

コマンド (または CEMT の同等のコマンド) を使用して、接続の以前の使用からシステムによって保持されている再同期情報を調べるにより、RESYNCSSTATUS が COLDSTART である UOWLINK を見つけてください。この情報を使用して、このシステムまたは接続されたシステム上に存在したすべての未確定の作業単位を手動で解決できます。この情報が不要になった場合は、メッセージに示された接続に対して

EXEC CICS SET CONNECTION PENDSTATUS(NOTPENDING)

コマンド (または CEMT の同等のコマンド) を出して、以前の使用に関連する再同期データを破棄してください。新規に確立された接続のために生成された新規の再同期データは引き続き保持されることに注意してください。

モジュール: DFHCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *sysid*

5. *netname*

6. *pppp*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHIR3750 *applid Unable to stop interregion communication session during startup recovery.*

説明: 始動リカバリー処理時に領域間通信セッションを停止する異常終了が発生した結果、要求が受信されました。この要求は失敗に終わりました。

システムの処置: セッションはアクティブのままです。

ユーザーの処置: セッションを停止させなければならない場合には、再 IPL をしなければならないことがあります。(根源的な問題を診断するには、IBM サポート・センターに連絡してください。)

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3751 *applid* Unable to stop interregion communication session during shutdown.

説明: シャットダウン処理時に、領域間通信セッションを停止する要求が (システム終了、異常終了、またはマスター端末によって) 受信されました。この要求は失敗に終わりました。

システムの処置: セッションはアクティブのままです。

ユーザーの処置: セッションを停止させなければならない場合には、再 IPL をしなければならないことがあります。(根源的な問題を診断するには、IBM サポート・センターに連絡してください。)

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3760 *applid* Unable to break lines with interregion communication. (Modname: *modname*)

説明: 領域間セッションをシャットダウンするための要求が出されました。これにより、モジュール DFHZCX は、CICS と領域間通信プログラムとの間の関連を終了させるための要求を領域間通信プログラムに対して出しましたが、その要求は、システム・エラーのために失敗に終わりました。

システムの処置: 実行中のパッチ (データベース共用) プログラムが待ち状態で残っており、取り消さなければなりません。このシステムと通信中のすべての (他の CICS システムの) CICS タスクも待ち状態で残っています。これらの他の CICS システムは、CEMT SET CONNECTION(*sysid*) OUTSERVICE PURGE を出さなければなりません。ここで、*sysid* は、DFHIR3760 の発行先となるシステムの CONNECTION 名です。また、(現行または後続の CICS セッションの) 領域間セッションを再始動しようとしても失敗します。

ユーザーの処置: これ以降もパッチ CICS 領域間通信を実行するためには、再 IPL しなければなりません。根源的な問題を解決するためにはサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZIS2、DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*2. *modname*

宛先: コンソール

DFHIR3762 *date time applid* Inter-region activity now complete

説明: CEMT SET INTERREGION COMMUNICATION (IRC) CLOSED 要求がマスター端末で出されました。IRC セッションは完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*

宛先: CSMT

DFHIR3765 UNABLE TO STOP INTERREGION COMMUNICATION SESSION AFTER SYSTEM ABEND.

説明: 領域間セッションを停止する要求が (システムの終了、異常終了、またはマスター端末により) 出されましたが、この要求は失敗に終わりました。

システムの処置: セッションはアクティブのままです。

ユーザーの処置: セッションを停止させなければならない場合には、再 IPL をしなければならないことがあります。根源的な問題を解決するためにはサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRC

宛先: コンソール

DFHIR3767 *applid* The interregion startup program DFHCRSP is not present.

説明: IRC セッションを開始するには、モジュール DFHCRSP が必要であるのに、CICS プログラム・ライブラリーから欠落しているか、またはインストール済みプログラム定義がありません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: DFHCRSP 定義 (グループ DFHISC) のインストールまたはモジュール DFHCRSP の提供、あるいはその両方を行ってください。

DFHIR3771 • DFHIR3776

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3771 *applid* Unable to start interregion communication because (E)STAE macro failed.

説明: CICS は ESTAE マクロを出しましたが、実行できません。ESTAE 制御ブロック (SCB) のストレージが使用できないのが原因と思われます。SCB の詳細については、z/OS でのアプリケーション・プログラミング を参照してください。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: (E)STAE 障害の原因を訂正してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3772 *applid* Error while attempting to start interregion communication.

説明: CICS では、IRC セッションがすでに開始されていることがわかりました。その前のセッションを停止できなかったことが原因と考えられます (メッセージ DFHIR3760 と DFHIR3765 を参照)。

注: このセッションは外見上は開始していますが、使用可能な状態ではありません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 別の IPL を行ってください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3773 *applid* Unable to start interregion communication because the APPLID option has a blank value.

説明: (APPLID システム初期設定パラメーターで指定された) *applid* のデフォルト値を使用しなければならないか、またはヌル値でない値を使用しなければならないかのいずれかです。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: *applid* 値を訂正してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3775 *applid* Unable to start interregion communication because short on storage.

説明: IRC セッションを開始するためには主ストレージが必要ですが、ストレージが使用できません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: ストレージ条件が緩和するまで待つてから、マスター端末から CEMT SET IRC OPEN コマンドを出してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3776 *applid* Unable to start interregion communication because another CICS system of the same name is active.

説明: ある CICS システムが、そのアプリケーション ID 値によって指定されました。2 つの CICS システムが同じアプリケーション ID 値を持っている場合、領域間通信 SVC ではその 2 つのシステムを区別することができません。

注: この状態は、前の領域間通信 (IRC) セッションを停止することができなかった場合に発生することがあります (メッセージ DFHIR3760 を参照)。この場合に、IRC SVC は、新セッションが (停止させることのできなかった) 旧セッションと矛盾していたとみなします。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 各 CICS システムにそれぞれ別の総称アプリケーション ID を使用してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3777 applid The interregion communication table is full

説明: 領域間通信 SVC のユーザー・テーブルがいっぱいです。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 実行中のバッチ共用プログラムの数が少なくなったときに、CEMT SET IRC OPEN をマスター端末から入力してください。

このエラーの一般的な原因は、XCF シスプレックス環境での MAXGROUP の設定が低すぎることです。MAXGROUP の値を確認し、必要な場合は、環境に応じてその値を引き上げてください。詳細については、『続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。』を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3778 applid Insufficient storage is available for interregion communication blocks.

説明: IRC 制御ブロックのためのキー 0 ストレージが不十分です。ストレージは、CICS 領域から取る必要がありますが、CICS DSA 以外からでなければなりません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 十分なストレージが使用できるようにしてください。REGION サイズに関連して CICS DSA サイズ制限を決定する方法についての詳細は、『パフォーマンスの改善』を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3779 applid Insufficient storage is available for interregion communication subsystem blocks.

説明: IRC に必要な制御ブロックのためのストレージが不十分です。ストレージは、CICS 領域から取る必要がありますが、CICS DSA 以外からでなければなりません。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: 十分なストレージが使用できるようにしてください。REGION サイズに関連して CICS DSA サイズ制限を決定する方法についての詳細は、『パフォーマンスの改善』を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3780 applid Unable to start interregion communication. 戻りコード=X'retcode', 理由コード=X'rsncode'. (Return code=X'retcode', Reason code=X'rsncode').

説明: CICS は、それ自身を領域間通信 (IRC) サービスのユーザーとして設定することを試みましたが、その試みは失敗に終わりました。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コード (ある場合) は、可能性のあるさまざまなエラーに対応します。4 バイトの戻りコード・フィールドには、先頭の高位バイトから順に以下の情報が表示されます。

- 1 バイトのエラー修飾子 (ある場合)
- 1 バイトの MVS 戻りコード (ある場合)
- 2 バイトの IRC 戻りコード

戻りコードおよびエラー修飾子の完全なリストについては、『CICS Data Areas』資料の『領域制御ブロック』を参照してください。(戻りコードおよびエラー修飾子すべての名前は、それぞれ IRERR および IRERQ で始まります。)

戻りコードは、メッセージを出した CICS のバージョンではなく、使用中の IRP プログラムを提供した CICS のバージョンの資料から参照する必要があります。

以下の要件を満たしていることを確認してください。

- 適切なレベルの機能を提供する DFHIRP のコピーは、リンク・パック域 (LPA) 内にある。

CICS がオペレーティング・システム・サブシステムとして定義されている。「CICS TS のインストーラ」で、CICS をサブシステムとして定義する方法が説明されています。

•

XCF 結合データ・セットは、ご使用のシステムの要件を満たすために十分な数の XCF グループおよびグループごとのメンバーを使用して形式設定されている。

•

CICS ジョブのユーザー ID は、指定された総称 applid を使用して CICS 領域間プログラム (DFHIRP) にログオンできる許可を持っている。

•

CICS 領域は、MVS シスプレックス内で固有である総称 applid を持っている。

•

CICS DB2 接続は、以下の両方を使用している CICS システム内の IRC の最初の開始の前に初期設定されていない。

—

複数領域操作 (MRO) または CICS の共用データベース (インストール済みの MRO または CICS の共用データベース・リソース定義のいずれかが ACCESSMETHOD(XM) を指定している場合)。

—

DB2 アプリケーションを実行する DB2 CICS 接続。

これらのすべての条件が満たされているときに、このメッセージが出された場合には、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'retcode'*
3. *X'rsncode'*

宛先: コンソール

DFHIR3781 *applid* **Unable to start interregion communication because task CSNC cannot be attached.**

説明: CSNC または DFHCRNP の定義がインストールされていないか、DFHCRNP が CICS プログラム・ライブラリーから欠落しています。

システムの処置: IRC セッションは開始されません。

ユーザーの処置: CSNC または DFHCRNP を使用可能にしてください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3783 *date time applid* **Transaction transid termid termid - Connected transaction abended with message xxxx**

説明: トランザクション *transid* は、MRO リンクを通じて、別の CICS システム内のトランザクションに接続されています。接続先のトランザクションがこのメッセージで異常終了したために、ローカル・トランザクションも異常終了しました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: 接続先のトランザクションで発生した異常終了の原因を修正してください。

モジュール: DFHZCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *termid*
6. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHIR3784 *applid* **A severe error (code X'code') has occurred in module DFHCRR. Connection conname (if non-blank) has been set out of service.**

説明: モジュール DFHCRR 内にエラーが検出されました。コード X'code' は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成されます (メッセージ内の X'code')。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

エラー時点で処理中の接続 *conname* (ある場合) は、サービス休止に設定され、エラーが繰り返し発生することを防ぎます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない

限り、CICS は続行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 接続をサービス状態に戻す前に、エラーの原因を見つけて修正してください。

システム管理者に知らせてください。この障害は、CICS 内に重大エラーがあることを示しています。ダンプ・テーブルで終了を要求していなければ、CICS を終了させることもできます。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *conname*

宛先: コンソール

DFHIR3785 *applid* Interregion control task CSNC abend. Interregion activity will be abnormally terminated.

説明: CSNC が異常終了します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。CICS は、このシステムと現在通信している他の CICS 領域 (CICS の共用データベース・バッチ領域を含む) 内のすべてのタスクも異常終了させます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

この異常終了の後には、この CICS システム内で IRC を使用することはできなくなります。IRC を使用する前に CICS を再始動する必要があります。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3786 *applid* Unable to start interregion communication because module DFHSCTE could not be found.

説明: IRC モジュール DFHIRP が DFHSCTE をロードしようとしたが、そのモジュールが LPA の中ではありませんでした。

システムの処置: 領域間通信セッションは開始されません。

ユーザーの処置: DFHSCTE が使用可能であることを確かめてください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3788 *date time applid* Unexpected failure (return code=X'retcode', reason code=X'rsnocode') trying to establish connection to system *sysid*

説明: システム *sysid* が通信に使用可能であるにもかかわらず、CICS はこのシステム *sysid* に対してリンクを確立することができませんでした。

領域間通信 SVC によって戻されるコード X'retcode' の最も一般的な値は、X'68' です。これは、要求側領域への接続がターゲット領域内で定義されていないことを意味します。

領域間通信 SVC によって戻される可能性のあるコード X'retcode' のもう 1 つの値は、X'138' です。これは、要求側領域とターゲット領域が両方とも同じ MVS イメージ内で実行されていて、仮想記憶間で接続できるが、要求側領域とターゲット領域がそれぞれ異なる XCF グループに属していることを意味します。

4 バイトの戻りコード・フィールドには、先頭の高位バイトから順に以下の情報が表示されます。

- - 1 バイトのエラー修飾子 (ある場合)
- - 1 バイトの MVS 戻りコード (ある場合)
- - 2 バイトの IRC 戻りコード

戻りコードおよびエラー修飾子の完全なリストについては、「CICS Data Areas」資料の『領域制御ブロック』を参照してください。(戻りコードおよびエラー修飾子すべての名前は、それぞれ IRERR および IRERQ で始まります。)

このメッセージが出された理由としては、メッセージが表示されるシステムの *applid* が、システム *sysid* で定義されているシステム項目上のいずれの NETNAME と一致していなかったことが考えられます。

このエラーは、接続が動的に作成されているときにも発生する可能性があります。この場合、不一致は一時的であり、リモート CICS 領域上で実行されている接続作成プロセスが完了すると最終的に解決されます。

システムの処置: 不一致が一時的である場合は、接続が確立されます。

定義エラーがある場合、接続は確立されません。既存の接続には、影響はありません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 不一致が一時的である場合は、接続が確立されるはずですが、これは、CEMT を使用して接続状況を照会することにより確認できます。

applid または NETNAME の不一致が発生した場合には、そのエラーを訂正して再試行してください。

XCFGROUP の不一致が発生した場合には、そのエラーを訂正して再試行してください。

不一致がエラーの原因でない場合は、IBM のサポートが必要になるかもしれません。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'retcode'*
5. *X'rsncode'*
6. *sysid*

宛先: CSMT

DFHIR3789 *date time applid* **SEND/RECEIVE mismatch between definitions for this system and system *sysid***

説明:

•

このシステムにおけるシステム *sysid* 用の SESSIONS リソース定義に定義されている送信セッションの数が、システム *sysid* におけるこのシステム用の SESSIONS リソース定義に定義されている受信セッションの数と一致しません。または

•

このシステムにおけるシステム *sysid* 用の SESSIONS リソース定義に定義されている受信セッションの数が、システム *sysid* におけるこのシステム用の SESSIONS リソース定義に定義されている送信セッションの数と一致しません。

システムの処置: 可能な限り多くのセッションが確立されます。

ユーザーの処置: 一方または両方の SESSIONS リソース定義を変更してください。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*

宛先: CSMT

DFHIR3790 *date time applid* **Unable to connect to system *sysid* for security reasons**

説明: このシステムに関する、システム *sysid* の CONNECTION リソース定義内の SECURITYNAME 属性に、このシステムの実外部セキュリティー ID と一致しないセキュリティー名オペランドが入っていたか、もしくは、その ID が IRC に認識されていませんでした。

システムの処置: 接続は確立されません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム *sysid* を担当するシステム・プログラマーに相談してください。

モジュール: DFHCRNP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*

宛先: CSMT

DFHIR3791 *applid* **Unable to start interregion communication because ISC=NO has been specified.**

説明: ISC=NO が指定されているため、IRC 機能は使用できません。

システムの処置: 領域間通信セッションは開始されません。

ユーザーの処置: DFHSIT の ISC オペランドに NO 以外の値を指定して実行してください。そうしないと、システム初期設定が指定変更します。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3793 *applid* **Unable to start interregion communication because a severe error has occurred in the recovery manager.**

説明: リカバリー・マネージャーに出された内部要求が失敗したため、IRC 機能は使用できません。

システムの処置: 領域間通信セッションは開始されません。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIR3794 *date time applid* **Interregion usage of MVS CSA storage has reached nnnn bytes for this IPL**

説明: この IPL で CICS 領域間通信機能によって (領域間バッファー用に) これまで使用した MVS CSA の最大バイト数は、*nnnn* です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *nnnn*

宛先: CSMT

DFHIR3795 **ABNORMAL TERMINATION - STATUS CODE DHxx**

説明: IMS 高水準プログラミング・インターフェース (HLPI) で、プログラミング・エラーに起因する状態が検出されたか、または DL/I が、エラーを示す状況コードを HLPI に戻しました。xx は状況コードです。

システムの処置: バッチ・プログラムは、異常終了コード 3795 で異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、やり直してください。IMS 状況コードについての説明は、『IMS メッセージおよびコード: DL/I 状況コード』または『IMS メッセージおよびコード: 高速機能ユーティリティの状況コードおよび理由コード』を参照してください。

モジュール: DFHDRPG

宛先: コンソール

DFHIR3796 *date time applid* **Transaction tranid termid termid - A connected transaction sent issue abend with following message: xxxxxx**

説明: トランザクション *tranid* が、MRO リンクを介して、別の CICS システムのトランザクションに接続されました。この別のトランザクションがメッセージと共に ISSUE-ABEND フローを送信しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この中に含まれたメッセージの情報を調べて、状況を判断し、とるべき処置を決定してください。

モジュール: DFHZIS1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *tranid*

5. *termid*

6. *xxxxxx*

宛先: CSMT

DFHIR3798 *Applid* **IRC Not Started. Unable to load Interregion Communication Work Exit DFHIRW10.**

説明: 領域間通信初期設定の一部として、内部作業出口機構の確立が試行されました。この試みは失敗しました。

この失敗の原因として最も考えられるのは、領域間通信作業出口モジュール DFHIRW10 をロードすることができないことです。このモジュールは、CICS 領域の STEPLIB 連結にある APF 許可ライブラリー内、リンク・リスト内、または LPA 内に表示されるはずですが、

システムの処置: 領域間通信機能を (IRCSTRT DFHSIT または指定変更オプションあるいは CEMT SET IRC OPEN コマンドで) 開始しようとしたのですが、失敗しました。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 領域間通信作業出口モジュール DFHIRW10 をロードできるようにしてください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Applid*

宛先: コンソール

DFHIR3799 *applid* Unable to start interregion communication because DFHIRP

DFHISnnnn メッセージ

DFHIS0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

services are down level.

説明: 使用中の DFHIRP のバージョンが、領域間通信の使用を要求している呼び出し側のレベルより低くなっています。

システムの処置: 領域間通信セッションは開始されません。

ユーザーの処置: IRC が必要である場合は、LPA 内の DFHIRP モジュールのレベルを更新して、使用中の最新の CICS バージョンのレベルに一致するようにしてください。IRC が必要ではない場合は、システム初期設定指定変更オプション IRCSTRT=NO を指定して実行してください。

モジュール: DFHSIJ1、DFHDRPF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHISAL, DFHISCO, DFHISCU, DFHISDM, DFHISEM, DFHISFS, DFHISIC, DFHISIF, DFHISIS, DFHISJU, DFHISLQ, DFHISRE, DFHISRR, DFHISSR, DFHISUE, DFHISUOW, DFHISXF, DFHISXM, DFHISZA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHIS0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHISAL, DFHISCO, DFHISDM, DFHISEM, DFHISFS, DFHISIC, DFHISIF, DFHISIS, DFHISLQ, DFHISRE, DFHISRR, DFHISSR, DFHISST, DFHISUE, DFHISUOW, DFHISXF, DFHISXM, DFHISZA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHIS0100 *applid* Unable to start IS domain because transaction CISC cannot be attached.

説明: IS ドメインは、IPCONN 自動接続処理を実行するための CISC トランザクションの接続に失敗しました。

システムの処置: CICS は始動されません。

ユーザーの処置: トレースを使用して、CISC トランザクションの接続に失敗した理由を調べてください。失敗の理由としては、CISC のインストール済み定義がないことが考えられます。始動 GRPLIST で指定されたリストの 1 つにリソース定義グループ DFHISCIP が含まれている必要があります。

モジュール: DFHISDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHIS0998 *date time applid* A transaction processing a request using IP Interconnectivity has abended with code *abcode*.

説明: IP 相互接続を使用して要求を処理していたトランザクションが、指定された異常終了コードで異常終了しました。これは、要求で指定されたユーザー・プログラムでのエラーまたは CICS でのエラーが原因です。異常終了処理は、失敗をクライアントに通知するために IS ドメインを呼び出しました。

システムの処置: 元の問題が IS ドメイン内で発生した場合は、適切なエラー処置が既にとられているはずです。問題が IS ドメイン以外で発生した場合は、会話を異常終了するためにクライアントに送信される IS7 に、このメッセージがエラー・ログ・データとして付加されます。

ユーザーの処置: トランザクション異常終了からのメッセージとダンプを使用して、問題の根本原因を判別してください。

モジュール: DFHISIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *abcode*

宛先: CISO

DFHIS1000 *date time applid Invalid parameter list passed to IS domain module modname.*

説明: 要求の処理中に IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール *modname* への呼び出しが行われましたが、パラメーター・リストが無効でした。これは、ストレージの上書きか、または呼び出し側コンポーネントでの内部エラーのためと考えられます。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、システム・ダンプがとられ、進行中のタスクは異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、呼び出し側コンポーネントの障害を判別してください。

モジュール: DFHISCO, DFHISLQ, DFHISRR, DFHISEM, DFHISSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modname*

宛先: CISO

DFHIS1001 *date time applid Unexpected exception from domain call made by IS domain module modname.*

説明: IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール *modname* によって行われたドメイン呼び出しに、予期しない例外が戻されました。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、システム・ダンプがとられます。必要な場合、進行中のタスクは異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、呼び出し側コンポーネントの障害を判別してください。

モジュール: DFHISCO, DFHISLQ, DFHISRR, DFHISEM, DFHISSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *modname*

宛先: CISO

DFHIS1002 *date time applid IPCONN ipconn を獲得または解放できません。(Unable to acquire or release IPCONN ipconn.) IPCONNが見つかりません。Error code is (code X'errorcode').*

説明: IPCONN *ipconn* を獲得または解放するために IP 相互接続 (IS) ドメインへの呼び出しが行われましたが、IPCONN を見つけようとしたときに、NOT_FOUND 例外が返されました。これはおそらく、IPCONN を獲得または解放するために生成されたタスクが開始される前に、別のタスクが IPCONN を削除したことが原因です。エラー・コード X'errorcode' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID で、例えば次のような ID があります。

- 0508 DFHISCO で IPCONN が見つかりません
- 1906 DFHISLQ で IPCONN が見つかりません

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IS ドメイン・メッセージ・ログを調べて、IPCONN での同時アクティビティーを確認してください。CEDA または SPI コマンドを使用して、IPCONN を再作成してください。それが INSERVICEであることを確認してください。必要に応じて SET IPCONN ACQUIRED を再発行してください。

モジュール: DFHISCO, DFHISLQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. X'errorcode'

宛先: CISO

DFHIS1003 *date time applid* **Unable to {acquire | release} IPCONN ipconn. IPCONN 状態 {INSERVICE | OUTSERVICE}, {RELEASED | OBTAINING | ACQUIRED | FREEING}** は無効です。

説明: SET IPCONN(*ipconn*) ACQUIRED または RELEASED を行おうとしましたが、状態変更を実行するために IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO への呼び出しが行われた時点で、IPCONN が有効な状態ではありませんでした。IPCONN を獲得するには、その状態が INSERVICE および RELEASED である必要があります。IPCONN を解放するには、その状態が ACQUIRED または FREEING である必要があります。これはおそらく、IPCONN を獲得または解放するかあるいはサービス休止に設定するために開始された別のタスクとの競合状態が原因です。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは処理を続行します。

ユーザーの処置: IS ドメイン・メッセージ・ログを調べて、IPCONN での同時アクティビティを確認してください。IPCONN が現在正しい状態にある場合、処置は必要ありません。IPCONN が正しい状態にない場合は、SET IPCONN ACQUIRED または RELEASED を再び出してください。IPCONN 状況が OBTAINING である場合は、CISC または CISS トランザクションが応答を待機しているために、IPCONN 状態変更を完了できなくなっている可能性があります。その場合は、そのトランザクションを取り消す必要があります。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=獲得、
3=解放

5. *ipconn*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=INSERVICE,
2=OUTSERVICE

7. 以下のオプションから選択される値。

1=RELEASED,
2=OBTAINING,

3=ACQUIRED,
4=FREEING

宛先: CISO

DFHIS1004 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN ipconn. Associated TCPIPService tcpipservice not found.**

説明: IPCONN *ipconn* を獲得するために IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO への呼び出しが実行されましたが、IPCONN によって参照される TCPIPService *tcpipservice* を見つけることができませんでした。おそらく、TCPIPService がインストールされていないか、または削除されたためです。IPCONN が獲得される場合は、TCPIPService をインストールし、OPEN する必要があります。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IS ドメインおよび SO ドメインのメッセージ・ログを調べて TCPIPService および IPCONN の同時アクティビティがあるかどうかを確認します。CEDA コマンドまたは SPI コマンドおよび CEMT を使用して、TCPIPService を再インストールして開きます。必要に応じて SET IPCONN ACQUIRED を再発行してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *tcpipservice*

宛先: CISO

DFHIS1005 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN ipconn. Associated TCPIPService tcpipservice not open.**

説明: IPCONN *ipconn* を獲得するために IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO への呼び出しが実行されましたが、IPCONN によって参照される TCPIPService *tcpipservice* が正しい状態ではありませんでした。IPCONN が獲得される場合は、TCPIPService をインストールし、OPEN する必要があります。おそらく、TCPIPService が別のタスクによってクローズされたか一度もオープンされていないためです。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって

作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IS ドメインおよび SO ドメインのメッセージ・ログを調べて TCPIP SERVICE および IPCONN の同時アクティビティがあるかどうかを確認します。CEMT コマンドまたは SPI コマンドを使用して TCPIP SERVICE OPEN を設定し、必要に応じて SET IPCONN ACQUIRED を再発行します。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CISO

DFHIS1006 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN** *ipconn*. TCPIPがオープンしていません。

説明: IPCONN *ipconn* を獲得するために IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO への呼び出しが実行されましたが、TCPIP が OPEN ではありませんでした。IPCONN が獲得されるときは、TCPIP が OPEN でなければなりません。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: TCPIP OPEN を設定し、必要に応じて SET IPCONN ACQUIRED を再発行します。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1007 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN** *ipconn*. *hostname*、ポート *portnumber* に対するセッションのオープンに失敗しました。

説明: IPCONN *ipconn* の獲得の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が、ポート *portnumber* のホスト *hostname* との Web セッションのオープンに失敗しました。ホスト *hostname* のポート *portnumber* でオープンしているパートナー CICS に

TCPIP SERVICE が存在しないことが原因と考えられます。

また、明示的な IPv6 アドレスか、IPv6 アドレスに解決されるホスト名のいずれかとして HOST が指定されたが、使用される TCP/IP スタックが IPv6 をサポートしないことが原因の場合もあります。

IPv6 アドレスを使用する場合に IP 相互接続が成功するようにするには、ローカル領域およびリモート領域の両方の TCP/IP スタックが IPv6 をサポートする必要があります。

これが IPIC HA クラスターへの接続である場合、障害は、ローカル IPCONN とリモート TCPIP SERVICE のセキュリティ属性の不一致が原因で発生する可能性があります。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: ホスト名およびポートが正しいこと、および指定されたポートでプロトコル IPIC がオープン状態の TCPIP SERVICE を使用して、指定されたホストでパートナー CICS がアクティブであることを確認します。必要に応じて SET IPCONN ACQUIRED を再発行してください。

それでも問題が解消されず、IPv6 アドレスが使用されている場合は、TCP/IP スタックが IPv6 をサポートするかどうかを確認します。Netstat を使用してスタックに関する情報を見つける方法について、「z/OS Communications Server IP Diagnosis Guide」を参照してください。DFHISCO

IPIC HA クライアントの場合、ローカル IPCONN の SSL 設定をいずれかの HA サーバー領域の一般的な TCPIP SERVICE に照らして確認し、このサーバー設定と一致しない場合は訂正します。HA クラスター内のすべてのサーバー領域は、同じ一般的な TCPIP SERVICE 設定を使用する必要があります。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *hostname*
6. *portnumber*

宛先: CISO

DFHIS1008 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN ipconn.** 機能交換に対するHTTP応答が無効です。

説明: IPCONN *ipconn* の獲得の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が、パートナー CICS への機能交換要求に対する無効な応答を受け取りました。予期しない HTTP メディア・タイプまたは状況コードのいずれかを含んでいます。エラーの原因として、IPCONN で指定されたポートが、IPIC として定義されているプロトコルを持つパートナー CICS システム内の TCPIP SERVICE を参照しないことが考えられます。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: リソース定義エラーを識別できない場合は、例外トレースの応答メッセージを調べて、パートナー CICS システム内のメッセージ・ログを確認します。問題を訂正し、SET IPCONN ACQUIRED を再発行してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1009 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN ipconn.** 機能交換に対する応答がタイムアウトになりました。

説明: IPCONN *ipconn* の獲得の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO による、パートナー CICS からの機能交換要求の受信がタイムアウトしました。IPCONN 獲得を処理するために接続されたトランザクションのプロファイルに設定された RTIMOUT 値内で、機能交換要求に対する応答が受信されませんでした。これはパートナー CICS によって送信される応答を妨げるエラーが原因であるか、獲得処理を完了して応答を受け取るには RTIMOUT 値が低すぎるものが原因として考えられます。この問題は、IPCONN 獲得を開始するシステムの CISC トランザクション・インスタンスから発生するか、パートナー CISC の IPIC TCPIP SERVICE トランザクション (デフォルトは CISS) から発生することがあります。CISC の RTIMOUT には、応答を送信する前に、パートナーが開始側の CISC システムに戻すコールバック接続を確立するためのトランザクションを接続し、場合によっては IPCONN の自

動インストールを実行するための時間を見越しておく必要があることに注意してください。CISS またはそれに相当するトランザクションでは、IPCONN を自動インストールすることが必要な場合があり、その後、応答を送信する前に、パートナーが開始側の IPCONN を見つけて更新するためにトランザクションを接続するための時間を見越しておく必要があります。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: パートナー CICS システム内のメッセージ・ログを調べて、応答の送信を妨げた可能性があるエラーを確認し、検出された問題を訂正してください。必要に応じて、トランザクションの RTIMOUT 値を調整します。SET IPCONN ACQUIRED を再発行してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1010 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN ipconn.** 機能交換応答の妥当性検査中に例外が発生しました。Error code is (code X'errorcode').

説明: IPCONN *ipconn* の獲得の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が、パートナー CICS への機能交換要求に対する応答の検証中に例外を検出しました。エラー・コード X'errorcode' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID で、例えば次のような ID があります。

- 0526 応答ヘッダーが短い
- 0527 応答フィールド・タイプのエラー
- 0528 応答 WB の例外
- 0529 応答メディア・タイプのエラー
- 0537 応答の不正なソケット数
-

DFHIS1011

0599 応答のバージョンの不一致

•

2402 無効なクラスター接続応答

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CICS IPIC TCPIP SERVICE を参照する IPCONN のポート番号を確認します。例外トレースの応答メッセージを調べて、パートナー CICS システム内のメッセージ・ログを確認します。リソース定義を訂正し、SET IPCONN ACQUIRED を再発行してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *X'errorcode'*

宛先: CISO

DFHIS1011 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN *ipconn*. An {EXCEPTION | DISASTER | INVALID | KERNERROR | PURGED} response to the capability exchange was received, reason={AUTOINSTALL_FAILED | INVALID_IPCONN_STATE | INVALID_PARTNER_STATE | IPCONN_NOT_FOUND | ISCE_ERROR | ISCE_INVALID_APPLID | ISCE_TIMED_OUT | ISCE_BAD_RECOV | ISCE_BAD_RESPONSE | ISCE_ERROR | ISCE_HTTP_ERROR | ISCE_TIMED_OUT | SESSION_OPEN_FAILED | SHUTDOWN | TCPIP_CLOSED | TCPIP_SERVICE_MISMATCH | TCPIP_SERVICE_NOT_FOUND | TCPIP_SERVICE_NOT_OPEN | NO_IPCONN | ONE_WAY_IPCONN | CAPEX_RACE | SECURITY_VIOLATION | SEC_SOCKET_ERROR | CLIENT_SOCKET_ERROR | INVALID_HA_TCPIP_SERVICE | HA_RESOURCE_MISMATCH | NOT_IPIC_CLASSIFIED}.**

説明: IPCONN *ipconn* の獲得の処理中に、IP 相互接

続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が、パートナー CICS への機能交換要求に対するエラー応答を受け取りました。機能交換要求は、パートナー・システムの DFHISCO initialize_connection によって処理されます。理由ストリングは、パートナー・システムの DFHISCO 機能によって検出されたエラーに対応します。

例外応答の理由:

AUTOINSTALL_FAILED

着信 IPIC 接続に一致する IPCONN が検出されず、機能交換および後続の自動インストール試行が許可されなかったか失敗しました。

INVALID_PARTNER_STATE

状態が無効な IPCONN に対する機能交換要求を受信しました。IPCONN はサービス中であり、まだ獲得されていない状態であることが必要です。

INVALID_IPCONN_STATE

状態が無効な IPCONN に対して ISCO ACQUIRE_CONNECTION が発行されました。IPCONN はサービス中であり、解放されている必要があります。

IPCONN_NOT_FOUND

既に存在しない IPCONN に対して ISCO ACQUIRE_CONNECTION が発行されました。

ISCE_ERROR

機能交換要求は無効と判別され、パートナー CICS によって拒否されました。

ISCE_INVALID_APPLID

機能交換メッセージの server_applid またはその高位修飾子がパートナー CICS のローカル・アプリケーション ID と高位修飾子に一致しません。関連付けられた IPCONN が属性 HA(YES) を持つ CICS 領域によってこのメッセージが発行された場合、サーバー領域が、IPIC 高可用性のための IPCONN 属性 HA(YES) の使用をサポートしない以前のリリースであることが原因で、IPCONN を獲得する試行に失敗した可能性があります。この場合、アプリケーション ID は、IPIC 高可用性をサポートしない CICS 領域を含むサーバー領域の IPIC クラスターには使用できないため、無効になります。

ISCE_TIMED_OUT

TCPIPSERVICE トランザクション (デフォルトでは CISS) は ipconn のための接続を初期設定するために接続されましたが、そのトランザクション・プロファイルに定義されたタイムアウト期間内にその初期データ (機能交換要求) を受け取りませんでした。

ISCE_BAD_RECOV

受け取った機能交換要求の中に、サポートされない isce_preferred_recovery 値が含まれ、フォールバック先の一致する isce_supported_protocols フラグが設定されていませんでした。

ISCR_BAD_RESPONSE

コールバック機能交換応答には、パートナー CICS からの誤った isco 応答および理由が含まれています。

ISCR_ERROR

コールバック機能交換応答は無効であると判別されました。

ISCR_HTTP_ERROR

コールバック機能交換応答に誤った HTTP 状況コードが含まれていました。

ISCR_TIMED_OUT

DFHISCO acquire_connection は、指定されたタイムアウト期間内にその機能交換要求に対する応答を受信していません。

SESSION_OPEN_FAILED

ipconn を獲得する際に、DFHISCO は ipconn に定義されているパートナー・ホストへの Web セッションのオープンに失敗しました。

SHUTDOWN

ipconn を獲得または初期設定するために DFHISCO への呼び出しが行われましたが、CICS はこの関数が完了する前にシャットダウンされました。

TCPIP_CLOSED

DFHISCO acquire_connection が ipconn のために呼び出されましたが、tcpip がクローズしています。

TCPIPSERVICE_MISMATCH

機能交換に使用される tcpipservice とは異なる tcpipservice を使用するように定義されている IPCONN に対する機能交換要求を受け取りました。

TCPIPSERVICE_NOT_FOUND

ipconn に対して acquire_connection が呼び出されましたが、ipconn に指定された tcpipservice がインストールされていません。または、インストールされていない tcpipservice に対して release_connection が呼び出されました。

TCPIPSERVICE_NOT_OPEN

ipconn に対して DFHISCO acquire_connection が呼び出されましたが、ipconn に指定された tcpipservice がオープンではありません。

NO_IPCONN

参照元の ipconn を持たない tcpipservice に対して DFHISCO acquire_connection または release_connection が呼び出されました。

ONE_WAY_IPCONN

呼び出し元は両方向接続が必要ですが、パートナー IPCONN は片方向として定義されています。

CAPEX_RACE

IPCONN 接続の両側から同時に獲得が開始されました。このシステムからの獲得は異常終了します。パートナーはこのシステムよりもアルファベット順で低い完全修飾アプリケーション ID を持っているため、パートナー・システムからの獲得は続行されます。

SEC_SOCKET_ERROR

2 次ソケットの取得中にエラーが発生しました。

SECURITY_VIOLATION

呼び出し元のセキュリティ資格情報がパートナー・システムで受け入れられません。

CLIENT_SOCKET_ERROR

クライアント・ソケット・エラーが発生しました。

aINVALID_HA_TCPIPSERVICE

高可用性の接続を獲得しようとしたときに、TCPIPSERVICE が属性に対して無効な値を持つことが検出されました。詳しくは、他の CICS システムによってジョブ出力に生成されるメッセージを参照してください。

HA_RESOURCE_MISMATCH

高可用性の接続を獲得しようとしたときに、サーバー領域内のリソース定義が正しくないことが検出されました。この例として、サーバー領域内の IPCONN 属性 HA の値が正しくないことがあります。

NOT_IPIC_CLASSIFIED

IPIC 分類エラーでないエラーが検出されました。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって両方のシステムで作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 必要に応じて、リソース定義、メッセージ・ログ、およびトレースを両方の CICS システムで調べます。問題の原因としては次のことが考えられます。

- 2 つの CICS システムでの IPCONN の定義の不一致
- パートナー CICS の IPCONN が、着信接続要求を処理するための正しい状態ではない
- パートナー CICS システムの処理エラー
- 1 つのシステムの IPCONN の定義と、そのパートナー・システムの TCPIPService の定義の不一致。

問題を訂正し、必要に応じて SET IPCONN ACQUIRED を再発行してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. 以下のオプションから選択される値。

2=EXCEPTION,
3=DISASTER,
4=INVALID,
5=KERNERROR,
6=PURGED

6. 以下のオプションから選択される値。

1=AUTOINSTALL_FAILED,

2=INVALID_IPCONN_STATE,
3=INVALID_PARTNER_STATE,
4=IPCONN_NOT_FOUND,
5=ISCE_ERROR,
6=ISCE_INVALID_APPLID,
7=ISCE_TIMED_OUT,
8=ISCE_BAD_RECOV,
9=ISCE_BAD_RESPONSE,
10=ISCE_ERROR,
11=ISCE_HTTP_ERROR,
12=ISCE_TIMED_OUT,
13=SESSION_OPEN_FAILED,
14=SHUTDOWN,
15=TCPIP_CLOSED,
16=TCPIPService_MISMATCH,
17=TCPIPService_NOT_FOUND,
18=TCPIPService_NOT_OPEN,
19=NO_IPCONN,
20=ONE_WAY_IPCONN,
21=CAPEX_RACE,
22=SECURITY_VIOLATION,
23=SEC_SOCKET_ERROR,
24=CLIENT_SOCKET_ERROR,
25=INVALID_HA_TCPIPService,
26=HA_RESOURCE_MISMATCH,
99=NOT_IPIC_CLASSIFIED

宛先: CISO

DFHIS1012 *date time applid Invalid capability exchange request received on TCPIPService tcpipService. Error code is (code X'errorcode').*

説明: TCPIPService *tcpipService* での IPIC Web セッションのための接続要求の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO がパートナー CICS から無効な機能交換要求を受け取りました。これは、プロトコルが IPIC として定義された TCPIPService への Web セッションをオープンしている非 IPIC クライアントによって生じる可能性があります。また、TCPIPService の SSL 属性に指定されたオプションと、パートナー・システム内の IPCONN リソース定義の SSL 属性に指定されたオプションの間の不一致によって発生することもあります。エラー・コード X'errorcode' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID で、例えば次のような ID があります。

- 0520 要求にログ名がありません
- 0521 要求ヘッダーが短い

- 0522 要求フィールド・タイプのエラー
- 0523 要求 WB の例外
- 0524 要求メディア・タイプのエラー
- 0525 要求会話 ID エラー
- 0539 要求セッション数エラー

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、TCPIP SERVICE タスクは異常終了し、セッションがクローズされます。

ユーザーの処置: CICS トレースを調べて、クライアントのロケーションを判別してください。必要に応じてリソース定義を訂正してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *X'errorcode'*

宛先: CISO

DFHIS1013 *date time applid Invalid applid networkid.applid received in capability exchange request on TCPIP SERVICE tcipSERVICE from applid clntnetid.clntappid.*

説明: TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* での IPIC Web セッションのための接続要求の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が、無効な完全修飾アプリケーション ID を含む機能交換要求を受け取りました。ネットワーク ID *networkid*、アプリケーション ID *applid* のいずれか、またはその両方が正しくありません。開始側システムによって作成された機能交換要求のアプリケーション ID (*isce_server_applid*) は、このターゲットの CICS システムのアプリケーション ID と一致する必要があります。ネットワーク ID 修飾子 (*isce_server_networkid*) は、VTAM=NO であるシステム (このターゲットの CICS システム) の VTAM NETID または UOWNETQL SIT パラメーター値と一致する必要があります。パートナーが別の CICS TS である場合、アプリケーション ID およびネットワーク

ID の値はこのターゲット CICS の IPCONN 定義から取得されます。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、TCPIP SERVICE タスクは異常終了し、セッションがクローズされます。

ユーザーの処置: パートナー・システムのリソース定義を訂正してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *networkid*
5. *applid*
6. *tcipSERVICE*
7. *clntnetid*
8. *clntappid*

宛先: CISO

DFHIS1014 *date time applid Capability exchange request not received on TCPIP SERVICE tcipSERVICE.*

説明: TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* での IPIC Web セッションのための接続要求の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が開始側システムからの機能交換要求の受け取りを発行しました。機能要求は、TCPIP SERVICE トランザクションのプロファイルに指定された RTIMOUT 値の期間内に到達しませんでした。これは、おそらくネットワークの問題または TCPIP SERVICE トランザクションの RTIMOUT 値が低すぎるのが原因である可能性があります。また、プロトコルが IPIC として定義された TCPIP SERVICE への Web セッションを非 IPIC クライアントがオープンしましたが、データを何も送信していない可能性もあります。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成されます。TCPIP SERVICE タスク (デフォルトは CISS) は異常終了し、セッションがクローズされます。

ユーザーの処置: CICS トレースを調べて、クライアントのロケーションを判別してください。必要に応じてリソース定義を訂正してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tcipSERVICE*

宛先: CISO

DFHIS1015 *date time applid Unable to accept connection for IPCONN ipconn.*
IPCONNクライアント・セッション状態が無効です。 **Error code is (code X'errorcode')**.

説明: IPIC over TCP/IP (IS) ドメインのモジュール DFHISCO による新規 IPIC 接続の初期化中に、IPCONN *ipconn* についての機能交換要求を受け取りましたが、IPCONN は獲得されるための有効な状態ではありませんでした。IPCONN は FREEING ではなく INSERVICE でなければならず、その ipclient セッションは着信初期化要求を受け入れる前に RELEASED でなければなりません。これはおそらく、IPCONN がサービス休止状態であるためですが、IPCONN を解放するために開始された別のタスクとの競合状態が原因である可能性があります。エラー・コード X'errorcode' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID で、例えば次のような ID があります。

- 0515 パートナー状態が無効です
- 0539 要求されたセッションのエラー
- 0542 パートナーがサービス中ではありません
- 0543 プライマリーが獲得されていません
- 0544 使用可能な ISSS がありません
- 0545 ケース 1 を取得していません
- 0546 ケース 2 を取得していません

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、着信接続を処理するための IPIC TCIPSERVICE タスク (デフォルトは CISS) が異常終了します。

ユーザーの処置: IS ドメイン・メッセージ・ログを調べて、IPCONN での同時アクティビティを確認してください。ローカルの IPCONN が INSERVICE および RELEASED であることを確認し、SET IPCONN ACQUIRED を再発行します。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *X'errorcode'*

宛先: CISO

DFHIS1016 *date time applid Invalid recovery protocol received in capability exchange request on TCIPSERVICE tcipSERVICE.*

説明: TCIPSERVICE *tcipSERVICE* での IPIC Web セッションのための接続要求の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が、無効またはサポートされないリカバリー・プロトコル値を含む機能交換要求を受け取りました。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、TCIPSERVICE タスクは異常終了し、セッションがクローズされます。

ユーザーの処置: CICS 診断を調べて機能交換のソースを判別し、サポートされるパートナーからの要求であることを確認します。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*

宛先: CISO

DFHIS1017 *date time applid IS domain input queue error.*

説明: IS ドメイン要求/応答受信側モジュール DFHISRR は、その入力キューにリカバリー不能エラーを検出しました。これは、おそらく CICS の内部処理エラーまたはストレージの上書きによるものです。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、長期間実行されている IS ドメイン受信側タスク CISR は異常終了し、システム・ダンプが取られます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: トレース、ダンプ、および IS ドメイン・メッセージ・ログを調べて、エラーの原因を判別し

てください。CICS IP 相互接続処理を復元するために、CICS を再始動する必要があります

モジュール: DFHISRR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CISO

DFHIS1018 *date time applid IS domain error queue error.*

説明: IS ドメイン・エラーおよびメッセージ・ハンドラー・モジュール DFHISEM は、そのエラー・キューにリカバリー不能エラーを検出しました。これは、おそらく CICS の内部処理エラーまたはストレージの上書きによるものです。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、長期間実行されている IS ドメイン・エラーおよびメッセージ・タスク CISE は異常終了し、システム・ダンプが取られます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: トレース、ダンプ、および IS ドメイン・メッセージ・ログを調べて、エラーの原因を判別してください。CICS IP 相互接続処理を復元するために、CICS を再始動する必要があります

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CISO

DFHIS1019 *date time applid Conversation convid no longer active on IPCONN ipconn.*

説明: IS ドメイン要求/応答受信側モジュール DFHISRR は、アクティブな ISSB のない会話 ID を含む IPIC HTTP ヘッダーを持つ IPCONN *ipconn* についての入力メッセージを受け取りました。これはおそらく、タイムアウトしたタスクまたはその ISSB を除去して解放したタスクについての要求または応答の到達が遅延したことが原因の可能性にあります。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、長期間実行されているエラーおよびメッセージ・タスク CISE によって処理するために、IPCONN セッションが IS ドメイン・エラー・キューに追加されます。

ユーザーの処置: トレース、ダンプ、および IS ドメイン・メッセージ・ログを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *convld*
5. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1020 *date time applid Acquire for IPCONN ipconn rejected; shutdown in progress.*

説明: CICS シャットダウンが進行中のため、IPCONN *ipconn* の獲得要求が拒否されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1021 *date time applid Session error occurred on sesstype IPIC session in IPCONN ipconn.*

説明: IS ドメイン要求/応答受信側モジュール DFHISRR が、IPCONN *ipconn* に関連付けられた *sesstype* Web セッションでエラーを検出しました。セッションがパートナー・システムによって早期にクローズされたか、ネットワーク、ハートビート、またはソケットのエラーが発生した可能性があります。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、長期間実行されているエラーおよびメッセージ・タスク CISE によって処理するために、IPCONN セッションが IS ドメイン・エラー・キューに追加されます。IPCONN を使用しているすべてのユーザー・タスクおよびミラー・タスクは、即時またはパートナーとの次の通信試行時に異常終了します。IPCONN は解放されます。

ユーザーの処置: トレース、ダンプ、および CICS メ

ッセージ・ログを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sesstype*
5. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1022 *date time applid Protocol error (code X'errorcode') occurred on sesstype IPIC session in IPCONN ipconn.*

説明: IS ドメイン要求/応答受信側モジュール DFHISRR が、IPCONN *ipconn* に関連付けられた *sesstype* Web セッションの IPIC メッセージの処理を続行できません。エラー・コード X'errorcode' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID で、例えば次のような ID があります。

- 0507 内部処理エラーが発生しました。
- 0611 IPIC HTTP ヘッダーが無効です。
- 0615 IPCONN はメッセージを受信する正しい状態ではありません。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'errorcode') が、トレース・テーブル内に作成されます。長期間実行されているエラーおよびメッセージ・タスク CISE によって処理するために、IPCONN セッションが IS ドメイン・エラー・キューに追加されます。IPCONN を使用しているすべてのユーザー・タスクおよびミラー・タスクは、即時またはパートナーとの次の通信試行時に異常終了します。SEND 状態のセッションに対して IS7 エラー応答が送信されます。IPCONN は解放されます。

ユーザーの処置: トレース、ダンプ、および CICS メッセージ・ログを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *X'errorcode'*
5. *sesstype*
6. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1023 *date time applid Conversation error (code X'errorcode') occurred on IPIC session name in IPCONN ipconn.*

説明: IS ドメイン要求/応答受信側モジュール DFHISRR が、IPCONN *ipconn* のセッション・ブロック (ISSB) *name* の会話に対して処理できないデータを受け取りました。エラー・コード X'errorcode' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID で、例えば次のような ID があります。

- 0614 ISSB タスクはデータを待機していません。
- 061C ミラー・タスクまたはユーザー・タスクの再開が予期せずに失敗しました。
- 061D 新しいタスク接続要求に使用可能な ISSB がありません。
- 061E ISSB は RECEIVE 状態にありません。データは予期されていません。
- 0629 ヘッダーのチェーン状態と ISSB のチェーン状態が一致しません。
- 062A ペーシング・メッセージが送信される前にチェーン・エレメントを受信しました。
- 062D メッセージ順序番号が無効です。
- 062E チェーン順序番号が無効です。
- 062F IS ヘッダーに認識されない IBM CCSID が含まれています。
- 0630 アクティブでなくなったタスクについてのデータを受け取りました。
-

0632 前のタスクがまだアクティブで、新しいタスクのためのデータを受信できる正しい状態でないときにデータを受け取りました。

0633 前のタスクがまだアクティブであるときに無効なデータを受け取りました。ヘッダーのチェーン状態が ISQA チェーン状態と一致しません。

0634 前のタスクがまだアクティブであるときに無効なデータを受け取りました。ペーシングの前に許可されるよりも多くのチェーン・エレメントを受け取りました。

0635 前のタスクがまだアクティブであるときに無効なチェーン順序番号を含むデータを受け取りました。

0636 前のタスクがまだアクティブであるときに無効なメッセージ順序番号を含むデータを受け取りました。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *errorcode*) がトレース・テーブルに作成されます。長期間実行されているエラーおよびメッセージ・タスク CISE によって処理するために、IPCONN セッションが IS ドメイン・エラー・キューに追加されます。エラーのある ISSB を使用しているユーザー・タスクまたはミラー・タスクは、即時またはパートナーとの次の通信試行時に異常終了します。SEND 状態のセッションに対して IS7 エラー応答が送信されます。

ユーザーの処置: トレース、ダンプ、および CICS メッセージ・ログを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'errorcode'*
5. *name*
6. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1025 *date time applid* **Failed to attach mirror transaction *tranid* on IPCONN *ipconn*.**
エラー・コードは *X'errorcode'* です。

説明: IS ドメイン要求/応答受信側モジュール DFHISRR が、処理できない IPCONN *ipconn* の新規ミ

ラー・トランザクション *tranid* のデータを受け取りました。エラー・コード *X'errorcode'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID で、例えば次のような ID があります。

0618 ミラー・トランザクション・コードが見つかりませんでした。

0619 ミラー・トランザクション・コードが無効化されました。

061A ミラー・トランザクション・コードがシャットダウンのために無効化されました。

061B ミラー生成が予期せずに失敗しました。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'errorcode'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。異常条件トランザクション CSAC または長期間実行されている IS ドメイン・エラーおよびメッセージ・タスク CISE のいずれかによって、IS7 エラー応答が呼び出し側に送信されます。

ユーザーの処置: トランザクション定義が正しいことを確認し、必要に応じて CICS トレースを調べてエラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHISEM、DFHISIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *ipconn*
6. *X'errorcode'*

宛先: CISO

DFHIS1026 *date time applid* **Incorrect TCPIPService *tcipSERVICE* used for inbound connection to IPCONN *ipconn*, which is defined to use TCPIPService *ipconn_tcipSERVICE*.**

説明: IPIC 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO による新規 IPIC 接続の初期化中に、IPCONN *ipconn* についての機能交換要求を TCPIPService *tcipSERVICE* のパートナー・システムから受け取りましたが、IPCONN は別の *tcipSERVICE* である *ipconn_tcipSERVICE* を使用するように定義されてい

ました。パートナーが別の CICS システムである場合は、パートナー CICS からの IPCONN 獲得の処理中にこれが発生しました。IPCONN 獲得は、パートナー CICS システムで CEMT または CICS SPI を使用して明示的に発行された可能性があります。あるいは、IPCONN 獲得は、この CICS からローカルに発行された IPCONN 獲得の結果としてコールバック接続を確立するために出された可能性があります。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、エラー応答がクライアントに送信され、着信接続を処理するための IPIC TCPIP SERVICE タスク (デフォルトは CISS) が異常終了します。

ユーザーの処置: この CICS システムの IPCONN 定義の TCPIP SERVICE 属性を *tcipSERVICE* に変更しますまたは、*ipconn_tcipSERVICE* に定義されたポートに接続しようクライアントを変更します。クライアントが別の CICS システムである場合、これはクライアント CICS の IPCONN の PORT 属性を変更することによって実行できます。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *ipconn*
6. *ipconn_tcipSERVICE*

宛先: CISO

DFHIS1027 *date time applid* **Security violation has been detected using IPCONN *ipconn* and transaction id *transid* by userid *userid***

説明: セキュリティ問題のために、リモート・トランザクションのタスク生成要求が失敗しました。この要求は、指定された IPCONN、トランザクション ID、およびユーザー ID を使用しました。タスク生成要求からセキュリティ・フィールドを抽出し、ユーザーがサインオンするためにユーザー・ドメインおよびセキュリティ・ドメインにこれらを渡そうとしましたが、この処理に失敗しました。

システムの処置: リモート・トランザクションのタスク生成要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 使用中の IPCONN が USERAUTH 属性の正しい値で定義されていることを確認してください。詳細およびガイダンスについては、TD キュー CISC に書き込まれた直前のセキュリティ・メッセー

ジを参照してください。直前のメッセージが発行されていなかった場合は、トレースを検査して失敗した原因を判断してください。ユーザー ID やパスワードなどのセキュリティ・パラメーターがタスク生成要求に渡された場合、それらが有効であるかどうかを確認してください。ICRX が渡された場合、それが正しく定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHISXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *transid*
6. *userid*

宛先: CISO

DFHIS1028 *date time applid* **A request has been received over IPCONN *ipconn* to use transaction id *transid* by userid *userid*.**
このユーザーIDはトランザクションの使用を許可されていません。

説明: ユーザー ID *userid* を持つオペレーターが、そのオペレーターに許可されていない IP 接続 *ipconn* を使用してトランザクション *transid* を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、呼び出されたトランザクションの初期設定を行いません。接続されたシステムにメッセージ DFHIS1028 が送信されます。他の CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 以前に出された CISC TD キュー上のメッセージ DFHXS1111 内の *userid* を参照して、トランザクション *transid* を呼び出そうとしているユーザーの ID およびその目的を判断してください。

モジュール: DFHISXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *transid*
6. *userid*

宛先: CISO

DFHIS1029 *date time applid One-way IPCONN ipconn not valid for connection from applid networkid.applid.* ホスト *ipaddr* ポート *port* でのコールバックが予想されます。

説明: IPIC Web セッションの接続要求の処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO は、完全修飾されたアプリケーション ID (*networkid.applid*) が IPCONN *ipconn* のアプリケーション ID と一致する機能交換要求を受け取りましたが、IPCONN は「片方向」として定義されています。IPCONN にポート・セッションまたは送信セッションが定義されていない一方で、機能交換はホスト *ipaddr*、ポート *port* へのコールバック接続を要求します。CICS リカバリー・プロトコルを使用して CICS 通信に使用される IPCONN は、送信セッションと受信セッションの両方を持っている必要があります。片方向 IPCONN は、XA リカバリー・プロトコルを使用する JCA でサポートされます。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、TCPIP SERVICE タスクは異常終了し、セッションがクローズされます。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの送信セッションとホストおよびポートの定義を IPCONN に追加し、接続を再獲得しようとする前にこれを再インストールします。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *networkid*
6. *applid*
7. *ipaddr*
8. *port*

宛先: CISO

DFHIS1030 *date time applid Recovery value X'ipconn_recovprot' for IPCONN ipconn different from capability response recovery value X'iscer_recovprot'.*

説明: IP 相互接続 (IS) ドメインの DFHISCO の INITIALIZE_CONNECTION 機能が、そのパートナーによって開始された IPCONN *ipconn* の獲得を処理するために呼び出されました。ローカル IPCONN *X'ipconn_recovprot'* のために確立されたリカバリー・プ

ロトコルが、パートナー *X'iscer_recovprot'* から受け取った機能交換要求のリカバリー・プロトコルと一致しないことが検出されました。

システムの処置: 機能交換は拒否されます。IPCONN の接続状況は RELEASED に戻ります。

ユーザーの処置: これは、おそらく CICS の内部の問題です。CICS ログを確認して関連するエラー・メッセージがないか調べてください。問題の原因が判別できない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'ipconn_recovprot'*
5. *ipconn*
6. *X'iscer_recovprot'*

宛先: CISO

DFHIS1031 *date time applid Incoming acquire for IPCONN ipconn rejected due to race with concurrent local acquire.*

説明: IP 相互接続 (IS) ドメインの DFHISCO の INITIALIZE_CONNECTION 機能が、そのパートナーによって開始された IPCONN *ipconn* の獲得を処理するために呼び出されました。この CICS システムからの獲得が同時に進行中であることが検出され、パートナーからの着信要求が拒否されました。このような競合状態が発生した場合、完全修飾された 2 つの APPLID のうちアルファベット順で低い方を持つシステムによって開始された獲得が続行されます。

システムの処置: ローカルで開始された機能交換は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。この状態が頻繁に発生する場合、2 つの IPCONN リソース定義のいずれか 1 つの AUTOCONNECT(YES) のみを設定することもできます (現在両方に設定されている場合)。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1032 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN *ipconn*. Applid *networkid.applid* is the same as the local applid.**

説明: IPCONN *ipconn* を獲得するために IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO への呼び出しが実行されましたが、完全修飾された IPCONN アプリケーション ID が、完全修飾されたローカル・アプリケーション ID *networkid.applid* と同じでした。IPCONN 接続をローカルの CICS システムに戻すことは無効です。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、獲得を実行中の CISC タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IPCONN リソース定義のアプリケーション ID を訂正してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *networkid*
6. *applid*

宛先: CISO

DFHIS1033 *date time applid* **BIS processing error (code *X'errorcode'*) occurred during release of *sesstype* IPIC session in IPCONN *ipconn*.**

説明: IPCONN *ipconn* のリリース時に、DFHISCO がブラケット開始の停止 (BIS) の要求および応答をパートナーと交換しようとした際に、*sesstype* 側でエラーが発生しました。エラー・コード *X'errorcode'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID で、例えば次のような ID があります。

- 0531 BIS 応答に一致しない会話 ID があります。
- 0532 BIS 応答が予期される長さではありません。
- 0533 BIS 応答がエラーになっています。
- 0534 BIS 要求が予期される長さではありません。
- 0535 BIS 要求がエラーになっています。

- 0536 IPCONN 状態が BIS に対して 無効です。

- 2400 BIS 要求の送信に失敗しました。

- 2401 BIS 応答の送信に失敗しました。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'errorcode'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。未確定の作業単位 (UOW) は中断され、IPCONN の再獲得は保留されます。IPCONN の解放処理が続行されます。

ユーザーの処置: トレース、ダンプ、および CICS メッセージ・ログを調べて、エラーの原因を判別してください。エラー・コードが送信の失敗を示す場合、IPCONN に関するネットワークの問題がないかシステム・ログを検査し、パートナー CICS システムのトレース、ダンプ、および CICS メッセージ・ログを調べてください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'errorcode'*
5. *sesstype*
6. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1034 *date time applid* **Conversation *convid* no longer pending on IPCONN *ipconn*.**

説明: IS ドメイン要求/応答受信側モジュール DFHISRR は、保留中の ISSB のない以前の会話 ID を含む IPIC HTTP ヘッダーを持つ IPCONN *ipconn* についての入力メッセージを受け取りました。クライアント状態は、会話 ID *convid* の FORGET を待機している作業単位 (UOW) があることを示していますが、サーバーには IPCONN のアクティブ・チェーン上に保留されたままの対応する ISSB が存在しません。あるいは、クライアントが以前の無効な会話 ID を含むメッセージを送信した可能性もあります。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成されます。DFHISRR は長期間実行されているエラーおよびメッセージ・タスク CISE によって処理するために、システム ISSB を割り当てて IS ドメイン・エラー・キューに追加します。CISE はこのメッセージを発行し、以前の会話 ID が有効であれば、クライアントに

IS7 エラー応答を送り返します。

ユーザーの処置: トレース、ダンプ、および IS ドメイン・メッセージ・ログを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *convid*
5. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1035 *date time applid Unable to send {a START | a CANCEL | a transaction routing | an enhanced routing | a file control | a transient data | a temporary storage} request using IPCONN ipconn.*
 パートナー領域において、IPIC 経由でこの機能はサポートされていません。

説明: IPIC 接続を介してこの要求をサポートできないバックレベル・システムへの API 要求の経路指定が試行されました。

システムの処置: システムは、別のプロトコルを使用する IPCONN と同じ名前の接続を使用して要求を経路指定しようとします。接続が見つからないか獲得できない場合、要求は SYSIDERR で失敗します。

ユーザーの処置: リモート領域によってサポートできない要求が出されないようにするために、バックレベル・システムへの IPIC 接続の定義を制限します。

モジュール: DFHISIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

- 1= START,
- 2= CANCEL,
- 3= トランザクション・ルーティング,
- 4= 拡張ルーティング,
- 5= ファイル制御,
- 6= 一時データ,
- 7= 一時記憶域

5. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1036 *date time applid Unable to process Local Queue for IPCONN ipconn. IPCONN connected to system that does not support STARTs over IPIC.*

説明: スケジュールされた時刻に解放された IPCONN に対してローカルのキューに入れられた START 要求を処理するために、CISQ サービス・タスクが追加されました。このタスクはリモート領域に要求を送信できませんでした。これは、接続の獲得時に、IPIC を介した START 要求の経路指定をリモート領域がサポートしないことが検出されたためです。

システムの処置: CISQ タスクは正常に終了する前にローカル・キューを削除します。

ユーザーの処置: IPIC 接続を介した START 要求の経路指定をサポートしないシステムに最終的に接続する IPCONN のローカル・キューに、START NOCHECK 要求を保留しようとししないでください。

モジュール: DFHISLQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1037 *date time applid Log data sent on IPCONN ipconn is: 'data'.*

説明: これは通知メッセージです。トランザクションは IPIC セッションを介して通信しています。トランザクションによって、ログ・データを伝達するエラー・フロー (IS7) が送信されました。

システムの処置: このトランザクションは処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHISIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *data*

宛先: CISO

DFHIS1039 *date time applid* **IPIC Secondary socket request for *networkid.applid* has failed because a matching IPCONN could not be found.**

説明: 同じネットワーク ID およびアプリケーション ID を持つインストール済み IPCONN リソースに突き合わせできない IPIC 接続用の 2 次ソケットの確立が試行されました。要求は拒否されました。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、着信接続を処理するために接続された TCPIP SERVICE タスク CISS は終了し、受信した IPIC メッセージの処理に使用されるセッションはクローズされます。エラー応答は、元のメッセージを送信した TCP/IP クライアントに戻されます。

ユーザーの処置: クライアントとこの CICS 領域の間の TCP/IP ネットワーク構成を調べます。TCP/IP ポート共用などの TCP/IP 接続バランシング構成を使用する場合、特定の TCPIP SERVICE とクライアント領域内の一致する HA IPCONN を共に指定する一般的な TCPIP SERVICE を使用する必要があります。構成を更新または削除し、IPIC 接続の再獲得を試行します。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *networkid*
5. *applid*

宛先: CISO

DFHIS1040 *date time applid* **Unable to schedule transaction CRSR for IPCONN *ipconn*.**

説明: トランザクションを開始するためのリモート要求が失敗したため、IPCONN *ipconn* のトランザクション CRSR のスケジュールが試行されました。詳しくは、この要求の実行を要求された端末のエラー・メッセージを参照してください。

システムの処置: この要求は、システムから削除されません。

ユーザーの処置: トレース (入手できる場合) を調べて、その試みが拒否された理由を判別してください。IPCONN を解放して再取得し、ATI 要求が引き続き端末に流れることができるようにします。

モジュール: DFHISRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1041 *date time applid* **Identity Propagation error has occurred while using IPCONN *ipconn* and transaction id *transid*.**

説明: パートナー領域によって ICRX ID 伝搬トークンが要求されましたが、現行タスクに割り当てられている ICRX トークンのサイズが IPIC メッセージ・プロトコルがサポートする最大トークン・サイズより大きいため、IPIC 接続を介した要求送信の試行が失敗しました。

システムの処置: 要求はリモート・システムに送信されません。

ユーザーの処置: ICRX トークンは、CICS によって提供されません。ICRX トークンは、別の製品からのメッセージ内の領域に渡されます。このトークンは、メッセージを処理するために生成されるタスクによって継承されます。IPIC メッセージ・プロトコルは、2000 バイトより小さい ICRX トークンをサポートします。CICS に渡される ICRX トークンのサイズを確認して、2000 バイトを超えないようにする必要があります。

モジュール: DFHISXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *transid*

宛先: CISO

DFHIS1042 *date time applid* **Transaction *transid* not defined.**

説明: IS ドメインのシステム・トランザクション *transid* が定義されていません。このトランザクションは、IS ドメインを正しく機能させるために必要です。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、システム・ダンプがとられます。CICS 初期設定は続行されますが、IS ドメインは正しく機能しません。

ユーザーの処置: このメッセージは通常、新しい IS ド

メイン・システム・トランザクションが新規リリース用に追加されたものの、それらのリソース定義がインストールされていないことが原因で出されます。CSD ユーティリティー・プログラム DFHCSDUP の UPGRADE 機能を使用して、CICS 提供のリソース定義をアップグレードします。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CISO

DFHIS1043 *date time applid* **A request has been received from CICS system with applid *networkid.applid* to acquire a connection for high availability. Associated TCPIPSERVICE *tcpipservice* does not have a value for SPECIFTCPS.**

説明: 高可用性の接続を獲得するためのメッセージを IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が *networkid. applid* を使用する CICS システムから受信しましたが、TCPIPSERVICE *tcpipservice* に属性 SPECIFTCPS の有効な値がありません。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CICS システムによる IPCONN の獲得要求が成功するように、属性 SPECIFTCPS に対して有効な値を持つよう TCPIPSERVICE を訂正してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *networkid*
5. *applid*
6. *tcpipservice*

宛先: CISO

DFHIS1044 *date time* **Unable to acquire IPCONN *ipconn* for a high availability connection due to a mismatch of resource definitions in CICS system with applid *networkid.applid* and this CICS system.**

説明: IPCONN *ipconn* を獲得するための処理中に、IP 相互接続 (IS) ドメインのモジュール DFHISCO が *networkid. applid* を使用する CICS システムからのメッセージを受信しました。メッセージには、この CICS システムおよび他の CICS システムのリソース定義が高可用性接続のために正しく構成されていないことが示されています。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IPIC 高可用性を使用するように、両方の CICS システムの TCPIPSERVICE および IPCONN のリソース定義を訂正します。

このエラー・メッセージは、IPIC 高可用性をサポートしないリリースのサーバー領域への高可用性接続のために IPCONN を獲得しようとした場合に生成されることもあります。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *ipconn*
4. *networkid*
5. *applid*

宛先: CISO

DFHIS1045 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN *ipconn* for a high availability connection to CICS system with applid *networkid.applid*.**

説明: この CICS システムによる、アプリケーション ID *networkid. applid* を使用する CICS システムへの高可用性接続のための IPCONN *ipconn* 獲得の試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: 障害の処理は続行されます。

ユーザーの処置: 詳細については、この CICS システムおよびアプリケーション ID *networkid. applid* を使用する CICS システムによって発行された他のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *networkid*
6. *applid*

宛先: CISO

DFHIS1046 *date time applid* **Non-HA CAPEX request received by generic TCPIPService tcpipservice from applid clntnetid.clntappid.**

説明: TCPIPService *tcpipservice* での IPIC Web セッションの接続要求の処理中に、CICS は、この領域の汎用エンドポイントによって処理されることを意図しない標準の機能交換要求を受け取りました。ローカル・システムは IPIC HA クラスターの一部であり、この TCPIPService はその汎用エンドポイントとして動作するように構成されているため、接続の試行は拒否されました。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、TCPIPService タスクは異常終了し、この接続試行を処理するために使用していたソケットがクローズされます。

ユーザーの処置: パートナー・システムの IPCONN リソース定義を訂正してください。V5.2 システムの場合、HA 属性をオンにするか、または HOST および PORT オプションを非 HA エンドポイントの HOST および PORT に設定できます。以前のバージョンの CICS TS システムでは IPIC HA はサポートされません。以前のシステムでは、システムの HA クラスターの汎用エンドポイントへの接続を試行しないでください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcpipservice*
5. *clntnetid*
6. *clntappid*

宛先: CISO

DFHIS1050 *date time applid IPCONN ipconn* でのハートビート応答タイムアウト。

説明: CIS1 タスクは、IPIC 接続を使用して接続された CICS システムからハートビート応答を受信できません。ハートビート応答タイムアウト例外が返されて現在の IPCONN が解放され、この IPCONN を使用するすべての未処理タスクが中断または停止されます。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、CIS1 タスクは停止します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを使用して追加の DFHIS メッセージを探し、さらにリモート・システム内のメッセージを調べて IPIC 接続障害の原因を特定します。

モジュール: DFHISPH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1051 *date time applid IPCONN ipconn* が見つかりません。

説明: モジュール DFHISPRP は CICS システム内で獲得された IPIC 接続を検出できません。IPCON_NOT_FOUND 例外が返されます。この例外はおそらく IPCONN が特定の期間中に解放または破棄されたことが原因です。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成されます。

ユーザーの処置: IS ドメインのメッセージ・ログを調べて IPCONN の並行性アクティビティがあるかどうかを確認します。CEMT または SPI コマンドを使用して IPCONN が INSERVICE であることを確認し、必要に応じて IPCONN の ACQUIRE を実行します。

モジュール: DFHISPRP

宛先: CIS1

DFHIS1052 *date time applid IPCONN ipconn* でのセッション・エラー。

説明: CIS1 タスクは、CICS システム内の IPIC 接続からのセッションの割り当てに失敗しました。SESSION ERROR 例外が返されます。これは通常、IPIC 接続がビジーであり、ハートビート機能に使用可能なセッションがないことが原因です。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、CIS1 タスクは停止します。

ユーザーの処置: IPIC 接続を調べて使用中であるかどうかを判別し、IPCONN にさらに多くの送信セッションを割り当てる必要があるかどうかを検討してください。

モジュール: DFHISPH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS1053I *applid IPCONN ipconn was not restored because its cipher list could not be installed.*

説明: IPCONN *ipconn* に指定された暗号リストは、リソースのインストール時は有効でしたが、CICS の再始動時には無効でした。

システムの処置: IPCONN はカタログから復元されません。

ユーザーの処置: 暗号リストが無効になった理由を調べて、有効な暗号リストに置き換えてください。その後、IPCONN *ipconn* を手動で再インストールします。

モジュール: DFHISDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ipconn*

宛先: コンソール

DFHIS1054A *applid IPCONN ipconn was not restored because certificate certificate {is expired | is not yet current | does not have a private key | is not trusted | is not found}*

説明: IPCONN *ipconn* は、リソースのインストール時は有効でしたが、CICS の再始動時には証明書が使用不可のため無効でした。メッセージの説明部分にその理由が示されます。

有効期限が切れている

証明書が有効でなくなる日時が既に過ぎています。

現行ではない

証明書が有効になる日時に到達していません。

秘密鍵がない

指定された証明書に秘密鍵が含まれていません。クライアント認証を使用した SSL が可能なのは、証明書に関連付けられている秘密鍵を所有している場合のみです。

このエラーは、ユーザーが

IRR.DIGTCERT.GENCERT へのアクセス権限を持たないため秘密鍵にアクセスできない場合に発生することがあります。

信頼できない

証明書には、セキュリティー管理者によって NOTRUST 属性が付与されています。これは、証明書が使用されないことを示します。

見つからない

証明書が見つかりません。

システムの処置: IPCONN はカタログから復元されません。

ユーザーの処置: 鍵リングにある証明書を使用可能な証明書に置き換えるか、別の証明書を指定してください。

「秘密鍵がない」というメッセージ挿入部分がある場合は、システム・ログを調べて、IRR.DIGTCERT.GENCERT にアクセスする権限がないことを示す RACF メッセージを確認してください。

モジュール: DFHISDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ipconn*
3. *certificate*
4. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 有効期限が切れている,
 2= 現行ではない,
 3= 秘密鍵がない,
 4= 信頼できない,
 5= 見つからない

宛先: コンソール

DFHIS1055A *applid IPCONN ipconn was not restored because the KEYRING has no default certificate.*

説明: IPCONN *ipconn* は、リソースのインストール時は有効でしたが、CICS の再始動時には無効でした。このメッセージは、IPCONN で CERTIFICATE 属性に指定された証明書ラベルがなく、この CICS システムの鍵リング内にデフォルトの証明書が存在しない場合に出されます。

システムの処置: IPCONN はカタログから復元されません。

ユーザーの処置: IPCONN の CERTIFICATE 属性に有効な証明書ラベルを指定するか、または鍵リング内にいずれかの証明書をデフォルトとして指定します。

モジュール: DFHISDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ipconn*

宛先: コンソール

DFHIS2000 *date time applid Server web session sessindex with applid applid on host hostname(resolved), port portnumber acquired for IPCONN ipconn.*

説明: IPCONN *ipconn* の Web セッション *sessindex* が正常に獲得され、IP 相互接続 (IS) ドメインによって使用可能な状態になっています。

システムの処置: IPCONN のすべての送信 Web セッションが獲得されると、IPCONN 状態が ACQUIRED に変更されます。

ユーザーの処置: IPCONN のすべての送信 Web セッションが獲得され、IPCONN が ACQUIRED 状態の場合、IP 相互接続を使用するプログラムで使用するために IPCONN セッションを割り振ることができます。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessindex*
5. *applid*
6. *hostname*
7. *resolved*
8. *portnumber*
9. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS2001 *date time applid Client web session sessindex from applid applid accepted for IPCONN ipconn.*

説明: IPCONN *ipconn* の Web セッション *sessindex* が正常に初期化され、TCP/IP 経由のインバウンド IPIC 要求を受信する準備ができました。

システムの処置: IPCONN はインバウンド・セッションで更新されます。これで、この IPCONN セッションのインバウンド要求を、処理するために CISR のキューに入れることができます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessindex*
5. *applid*
6. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS2002 *date time applid Number of SEND sessions for IPCONN ipconn set to usable. 要求数: req. パートナー制限: max.*

説明: IPCONN *ipconn* は正常に獲得されましたが、要求された送信セッションの数 (ローカルの IPCONN SENDCOUNT 値 *req*) が許可された受信セッションの数 (パートナーの IPCONN RECEIVECOUNT 値 *max*) と異なります。

システムの処置: 送信セッションの最大数は、2 つの値のうち小さい方の *usable* に設定されます。セッションが定義されても全く使用されないため、高い値を持つシステムのストレージが無駄になります。

ユーザーの処置: 一方の送信セッション数が他方の受信セッション数に一致するように、1 つまたは両方の IPCONN を更新します。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *usable*
6. *req*
7. *max*

宛先: CISO

DFHIS2003 *date time applid* **Number of RECEIVE sessions for IPCONN ipconn set to usable.** 要求数: *req*. 制限: *max*.

説明: IPCONN *ipconn* は正常に初期化されましたが、パートナーによって要求された送信セッションの数 (パートナー IPCONN SENDCOUNT 値 *req*) が、この CICS システム内でローカルに定義または自動インストールされた IPCONN 用に指定された RECEIVCOUNT 値 *max* と異なります。

システムの処置: 受信セッションの最大数は、RECEIVCOUNT 値 *usable* に設定されます。高い値を持つシステムが CICS システムの場合、定義されるが全く使用されないセッションについて、CICS システム内のストレージが無駄になることがあります。

ユーザーの処置: パートナーが CICS システムの場合、一方の送信セッション数が他方の受信セッション数に一致するように、1 つまたは両方の IPCONN を更新します。このメッセージは、構成不能な IPIC 接続を持つ CICS 以外のパートナーからの接続に対して予期されることがあります。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *usable*
6. *req*
7. *max*

宛先: CISO

DFHIS2006 *date time applid* **Port ipconn_port for IPCONN ipconn different from partner port partner_port.**

説明: IP 相互接続 (IS) ドメインの DFHISCO の INITIALIZE_CONNECTION 機能が、そのパートナーによって開始された IPCONN *ipconn* の獲得を処理するために呼び出されました。ローカル IPCONN に定義されたポート番号 *ipconn_port* が、パートナーから受信した機能交換のポート番号 *partner_port* と一致しないことが検出されました。パートナー・ポートは、パートナーの IPCONN に関連付けられている TCPIPService で定義されているものです。この動作は、CICS システムとそのパートナーの間で TCP/IP アドレス変換が実行されるか、矛盾した CICS 定義の結果である場合に予期されます。

システムの処置: ローカル IPCONN のポート番号を使用して処理が続行されます。パートナーのポートは無視されます。

ユーザーの処置: 定義が矛盾している場合は、ローカルの IPCONN またはパートナーの TCPIPService のポート番号定義を訂正してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn_port*
5. *ipconn*
6. *partner_port*

宛先: CISO

DFHIS2008 *date time applid* **Receipt of msgtype for task taskno timed out on IPCONN ipconn.**

説明: IP 相互接続要求の処理中に、*msgtype* メッセージのタスク *taskno* の代わりに WB ドメインの読み取りがタイムアウトになりました。このタスクは IPCONN *ipconn* 上のセッションを使用していました。この状態は、Web セッションのデータが利用可能であることが IS ドメインに通知されたものの、タスクの *rtimout* 期間内に到達したデータが不十分なため、読み取りを完了できなかった場合に発生します。これはおそらくネットワーク・エラーが原因です。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CICS およびシステム・ログを検査して、IPCONN に関するネットワークの問題がないか調べてください。*rtimout* の期間中に部分的なメッセージが既に受信されているため、*rtimout* 値を変更しても問題が解決されることはおそらくありません。

モジュール: DFHISSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *msgtype*
5. *taskno*
6. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS2009 *date time applid Client web session
sessindex in IPCONN ipconn from
applid applid released.*

説明: IPCONN *ipconn* のインバウンド・クライアント Web セッション *sessindex* がクローズされました。これはローカル・システムまたはパートナー・システムのいずれかからオペレーターが開始した IPCONN リリースが原因であるか、エラーの結果である場合があります。

システムの処置: IPCONN の他の Web セッションはドレーンされてクローズされます。他の IPCONN Web セッションがクローズすると、IPCONN 接続状況は RELEASED に移動します。IPCONN が ACQUIRED に設定されるまでは、このセッションについての他のインバウンド要求は受け入れられません。

ユーザーの処置: この原因が通常のリリース処理によるものでない場合、CICS ログを検査して付随するエラー・メッセージを調べてください。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessindex*
5. *ipconn*
6. *applid*

宛先: CISO

DFHIS2010 *date time applid Server web session
sessindex in IPCONN ipconn with
applid applid on host hostname, port
portnumber released.*

説明: IPCONN *ipconn* のアウトバウンド・サーバー Web セッション *sessindex* がクローズされました。これはローカル・システムまたはパートナー・システムのいずれかからオペレーターが開始した IPCONN リリースが原因であるか、エラーの結果である場合があります。

システムの処置: IPCONN の他の Web セッションはドレーンされてクローズされます。他の IPCONN Web セッションがクローズすると、IPCONN 接続状況は RELEASED に移動します。IPCONN が ACQUIRED に設定されるまでは、この IPCONN についての他の *allocate_send* 要求は受け入れられません。

ユーザーの処置: この原因が通常のリリース処理によるものでない場合、CICS ログを検査して付随するエラー・メッセージを調べてください。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessindex*
5. *ipconn*
6. *applid*
7. *hostname*
8. *portnumber*

宛先: CISO

DFHIS2011 *date time applid {PURGE |
FORCEPURGE | KILL} issued
successfully for num_purged tasks using
the sesstype sessions of IPCONN
ipconn. 現在、num_active タスクがアクテ
ィブで、num_purging タスクがパージ中
です。*

説明: 接続エラーまたは SPI コマンド SET IPCONN に応答して、IS ドメインは、IPCONN *ipconn* で *sesstype* セッションを使用していた *num_purged* タスクをパージし、接続がまだ使用可能である場合は、正常にパージした各タスクの会話パートナーに対して IS パージ・コマンド・メッセージを送信しました。

IPCONN に関連付けられた *num_active* 個の *sesstype* セッションのうち、現在、*num_purging* 個が特にこの操作によってパージ中です。合計として、このセッション・タイプを使用する *num_purged* 個のタスクがこの時点でパージされたことが検出され、その一部は、接続に関するエラーがタスク自体によって検出されたためにパージされた可能性があります。

システムの処置: 接続を介してメッセージの到達を待機しているタスクは再開され、異常終了します。この接続を使用している他のタスクの異常終了が試行されました。

パージを実行するために SPI コマンドが発行された場合、正常にパージされたタスクに属する IPCONN セッションは、新しいタスクによって割り当てることができません。

ユーザーの処置: 通常の PURGE が発行され、アクティブ・タスクの数がパージされる数よりも大きいというメッセージが表示される場合、一部のタスクはパージ保護されているため存続する可能性があります。これらを除去するために FORCEPURGE を発行することが必要な場合もあります。

KILL は FORCEPURGE を試行した後のみ使用できます。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=PURGE,
2=FORCEPURGE,
3=KILL

5. *num_purged*
6. *sesstype*
7. *ipconn*
8. *num_active*
9. *num_purging*

宛先: CISO

DFHIS2012 *date time applid* **The connection status in IPCONN *ipconn* from *applid* *applid* is changed from *fromconnstats* to *toconnstats* *reason***

説明: アプリケーション ID *applid* からの IPCONN *ipconn* の接続状況が、*fromconnstats* から *toconnstats* *reason* に変更されました。

システムの処置: トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクの処理は続行されます。

ユーザーの処置: CEMT を使用して IPCONN の状況を照会します。

IS ドメイン・メッセージ・ログを調べて、IPCONN での同時アクティビティを確認してください。

IPCONN の状況が OBTAINING の場合、応答を待機しているために IPCONN の状態変更が完了することを妨げている CISC または CISS トランザクションを取り消すことが必要な場合があります。

IPCONN が正しい状態にあることを確認し、SET IPCONN ACQUIRED または RELEASED を再発行してください。

モジュール: DFHISEM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *applid*

6. *fromconnstats*

7. *toconnstats*

8. *reason*

宛先: CISO

DFHIS2040 *date time applid* **Unable to acquire IPCONN *ipconn* due to a security violation**

説明: セキュリティ問題が原因で、指定された IPCONN 獲得の試行が失敗しました。IP 相互接続の確立の試行中に、通信を許可するためのパートナー・システムのセキュリティ資格情報が有効であることが検出されませんでした。

システムの処置: IPCONN を獲得する要求は失敗します。

ユーザーの処置: 指定された IPCONN または IPCONN が参照する TCPIP SERVICE のセキュリティ属性が正しいことを確認してください。証明書がパートナー・システムによって渡されている場合は、有効なユーザー ID と関連付けられるように、外部セキュリティ・マネージャーに対して証明書が正しく定義されていることを確認します。詳細な情報およびガイダンスを示す、直前のセキュリティ・メッセージが TD キュー CISC に書き込まれている場合があります。直前のメッセージが発行されていなかった場合は、トレースを検査して失敗した原因を判断してください。

モジュール: DFHISCO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*

宛先: CISO および端末エンド・ユーザー

DFHIS2300 *date time applid* **CICS IP 接続ハートビートが開始されました。**

説明: CICS IPIC 接続のハートビート機能は既に正しく初期化されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHISCO

宛先: CISO

DFHIS2301 *date time applid* **Unable to echo heart beat from IPCONN***ipconn*

説明: モジュール DFHISPRP は、IPIC 接続を介して接続された CICS システムからエコー・ハートビート・メッセージを受信できません。その後、ECHO_TIME_OUT 例外が返されて現在の IPCONN が解放され、IPCONN を介したすべてのタスクが中断されて終了します。これはおそらく、ファイアウォールなどの外部の影響によって切断された IPCONN が、特定の期間中に未使用の IPIC 接続を切断したことが原因です。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインによって作成され、進行中のタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IS ドメインのメッセージ・ログを調べて IPCONN の並行性アクティビティーがあるかどうかを確認します。CEMT または SPI コマンドを使用して IPCONN が INSERVICE であることを確認し、必要に応じて IPCONN の ACQUIRE を実行します。

モジュール: DFHISPRP

宛先: CIS1

DFHIS3000 *date time applid IPCONN ipconn with applid networkid.applid* **autoinstalled successfully using autoinstall user program aupname and template template after a connection request was received on tcpipSERVICE** *tcpipSERVICE* **from host** *hostname*.

説明: 名前 *ipconn* の IPCONN が、ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpipSERVICE* に到達する接続フローに応答して、このシステムに正常に自動インストールされました。自動インストール・ユーザー・プログラム *aupname* およびテンプレート IPCONN *template* が自動インストールのために使用されました。テンプレート「(NONE)」は、テンプレートから値をコピーするのではなく、システム・デフォルト値が使用されたことを示します。IPCONN が、ネットワーク ID *networkid* およびアプリケーション ID *applid* でインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *ipconn*
5. *networkid*
6. *applid*
7. *aupname*
8. *template*
9. *tcpipSERVICE*
10. *hostname*

宛先: CISO

DFHIS3001 *date time applid IPCONN* **autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIP SERVICE** *tcpipSERVICE* **from host** *hostname* **because the TCPIP SERVICE has URM(NO).**

説明: ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpipSERVICE* に到達する接続フローには、インストールされた IPCONN に一致するアプリケーション ID が含まれていませんでした。TCPIP SERVICE URM 値が NO だったため、IPCONN の自動インストールは試行されませんでした。

システムの処置: 接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: IPCONN の自動インストールが必要な場合は、TCPIP SERVICE の URM 属性を適切な自動インストール・ユーザー・プログラムの名前に変更してください。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C) および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcpipSERVICE*
5. *hostname*

宛先: CISO

DFHIS3002 *date time applid IPCONN* **autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIP SERVICE** *tcpipSERVICE* **from host** *hostname*. **自動インストール・ユーザー・プログラム** *aupname* **の使用により、エラー・コード** *code* **が出されました。**

説明: ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpipSERVICE* に到達する接続フローには、インストールさ

れた IPCONN に一致するアプリケーション ID が含まれていませんでした。TCPIP SERVICE の URM 属性で指定された自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* を使用して、この接続のための IPCONN の自動インストールが試行されました。自動インストールはエラー *code* で失敗しました。

1

AUP は、*isaic_response* フィールドにゼロ以外の応答コードを設定しました。これは、自動インストールが許可されないことを示しています。

2

プログラム用のインストール済み定義がないため AUP へのリンクに失敗し、自動インストールできませんでした。

3

プログラムが使用不可だったため、AUP へのリンクに失敗しました。これは、プログラムが使用可能になっていないか、またはリモートとして定義されていることが原因の可能性があります。

4

AUP が処理中に異常終了しました。

5

AUP へのリンクは、AMODE エラーで失敗しました。

システムの処置: AUP *commarea* の例外トレースが作成されます。接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: IPCONN の自動インストールが必要な場合は、TCPIP SERVICE の URM 属性を適切な自動インストール・ユーザー・プログラムの名前に変更してください。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C) および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipservice*
5. *hostname*
6. *aupname*
7. *code*

宛先: CISO

DFHIS3003 *date time applid IPCONN autoinstall failed due to a severe error in another CICS component.*

説明: CICS の別のコンポーネントの重大エラーのため、IPCONN の自動インストールが失敗しました。

システムの処置: この自動インストールは拒否されます。障害が起きたコンポーネントは、エラーに関するメッセージ、トレース情報、およびダンプ情報を発行します。

ユーザーの処置: 障害が起きたコンポーネントからの診断の指示どおりに続行します。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CISO

DFHIS3004 *date time applid IPCONN autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIP SERVICE tcpip service from host hostname. 自動インストール・ユーザー・プログラム aupname は IPCONN 名として使用する無効な値 ipconn を返しました。*

説明: ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpip service* に到達する接続フローには、インストールされた IPCONN に一致するアプリケーション ID が含まれていませんでした。TCPIP SERVICE の URM 属性で指定された自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* を使用して、この接続のための IPCONN の自動インストールが試行されました。AUP が、IPCONN 名として使用される *isaic_ipconn* フィールドに無効な値を返したため、自動インストールは完了できませんでした。特殊値ブランクは、フィールドがブランクを返したことを示します (16 進数の 40)。

システムの処置: AUP *commarea* の例外トレースが作成されます。接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: IPCONN の自動インストールが必要な場合、有効な IPCONN 名を返すように AUP を変更します。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C) および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcpipservice*
5. *hostname*
6. *aupname*
7. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS3005 *date time applid IPCONN autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIP SERVICE tcpipservice from host hostname.* 自動インストール・ユーザー・プログラム *aupname* は **IPCONN** 名として使用する *ipconn* を返しました。この名前はすでに使用中です。

説明: ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpipservice* に到達する接続フローには、インストールされた IPCONN に一致するアプリケーション ID が含まれていませんでした。TCPIP SERVICE の URM 属性で指定された自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* を使用して、この接続のための IPCONN の自動インストールが試行されました。AUP が、IPCONN 名として使用される *isaic_ipconn* フィールドに *ipconn* を返したため、自動インストールは完了できませんでした。この名前は、システムで既に使用中です。

システムの処置: AUP *commarea* の例外トレースが作成されます。接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: IPCONN の自動インストールが必要な場合、固有の IPCONN 名を返すように AUP を変更します。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C) および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcpipservice*
5. *hostname*
6. *aupname*
7. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS3006 *date time applid IPCONN autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIP SERVICE tcpipservice from host hostname.* 自動インストール・ユーザー・プログラム *aupname* は、自動インストール・テンプレートとして *template* を返しました。この名前の **IPCONN** は存在しません。

説明: ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpipservice* に到達する接続フローには、インストールされた IPCONN に一致するアプリケーション ID が含まれていませんでした。TCPIP SERVICE の URM 属性で指定された自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* を使用して、この接続のための IPCONN の自動インストールが試行されました。AUP が、自動インストール用の IPCONN テンプレートの名前として使用される *isaic_template* フィールドに *template* を返したため、自動インストールは完了できませんでした。この名前の IPCONN は、この CICS に現在インストールされていません。

システムの処置: AUP *commarea* の例外トレースが作成されます。接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: IPCONN の自動インストールが必要な場合、有効なテンプレート名を返すように AUP を変更するか、*isaic_template* をブランクのままにしてデフォルト値が使用されるようにします。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C) および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcpipservice*
5. *hostname*
6. *aupname*
7. *template*

宛先: CISO

DFHIS3007 *date time applid IPCONN autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIP SERVICE tcpip service from host hostname.* 自動インストール・ユーザー・プログラム *aupname* は、自動インストール・テンプレートとして *template* を返しました。この **IPCONN** はサービス状態ではありません。

説明: ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpip service* に到達する接続フローには、インストールされた **IPCONN** に一致するアプリケーション ID が含まれていませんでした。TCPIP SERVICE の URM 属性で指定された自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* を使用して、この接続のための **IPCONN** の自動インストールが試行されました。AUP が、自動インストール用の **IPCONN** テンプレートの名前として使用される *isaic_template* フィールドに *template* を返したため、自動インストールは完了できませんでした。この **IPCONN** は現在サービス休止状態であるため、テンプレートとして使用できません。

システムの処置: AUP *commarea* の例外トレースが作成されます。接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: **IPCONN** の自動インストールが必要な場合、別のテンプレート名を返すように AUP を変更するか、フィールドをブランクのままにするか、テンプレート **IPCONN** をサービス状態にして再試行します。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C) および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcpip service*
5. *hostname*
6. *aupname*
7. *template*

宛先: CISO

DFHIS3008 *date time applid IPCONN autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIP SERVICE tcpip service from host hostname.* 自動インストール・ユーザー・プログラム *aupname* は **applid** として使用する *applid* を返しまし

た。これはすでに使用中です。

説明: ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpip service* に到達する接続フローには、ブランクのアプリケーション ID またはインストール済み **IPCONN** に一致しないアプリケーション ID が含まれていました。TCPIP SERVICE の URM 属性で指定された自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* を使用して、この接続のための **IPCONN** の自動インストールが試行されました。AUP が *isaic_applid* に設定した値により、**IPCONN** の完全修飾アプリケーション ID が *applid* となるため、自動インストールは完了できませんでした。このアプリケーション ID は、システムで既に使用中です。

システムの処置: AUP *commarea* の例外トレースが作成されます。接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: **IPCONN** の自動インストールが必要な場合、固有のアプリケーション ID を返すように AUP を変更します。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C) および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcpip service*
5. *hostname*
6. *aupname*
7. *applid*

宛先: CISO

DFHIS3009 *date time applid IPCONN autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIP SERVICE tcpip service from host hostname.* 自動インストール・ユーザー・プログラム *aupname* は **IPCONN** 名として使用する *sysid* を返しました。これは別の **applid** との **CONNECTION** にすでに使用中です。

説明: ホスト *hostname* から TCPIP SERVICE *tcpip service* に到達する接続フローには、ブランクのアプリケーション ID またはインストール済み **IPCONN** に一致しないアプリケーション ID が含まれていました。TCPIP SERVICE の URM 属性で指定された自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* を使用して、この接続のための **IPCONN** の自動インストール

が試行されました。AUP が、IPCONN 名として使用される `isaic_ipconn` に `sysid` の値を設定したため、自動インストールは完了できませんでした。これは現在インストールされている CONNECTION リソース定義と同じで、この CONNECTION は (`isaic_applid` 内の) IPCONN の APPLID とは異なる NETNAME 値を持つため、別のシステムを表す必要があります。

システムの処置: AUP `commarea` の例外トレースが作成されます。接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: インストールされている CONNECTION 定義と整合した名前を返すように AUP を変更します。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C) および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *hostname*
6. *aupname*
7. *sysid*

宛先: CISO

DFHIS3010 *date time applid IPCONN autoinstall rejected after a connection request was received on TCPIPService tcpipSERVICE from host hostname.* 自動インストール・ユーザー・プログラム *aupname* はポート番号として使用する無効な値 *port* を返しました。

説明: ホスト *hostname* から TCPIPService *tcpipSERVICE* に到達する接続フローには、インストールされた IPCONN に一致するアプリケーション ID が含まれていませんでした。TCPIPService の URM 属性で指定された自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* を使用して、この接続のための IPCONN の自動インストールが試行されました。AUP は、ポート番号として使用される `isaic_port` フィールドに無効な値を返したため、自動インストールは完了できませんでした。

AUP は 1 から 65535 までの範囲の任意の値を設定できますが、渡された値が -1 の場合は変更できません。

システムの処置: AUP `commarea` の例外トレースが作成されます。接続フローは拒否されます。

ユーザーの処置: IPCONN の自動インストールが必要な場合、有効なポート番号を返すように AUP を変更します。CICS 提供のサンプル自動インストール・ユーザー・プログラムは DFHISAIP (アセンブラー)、DFHISCIP (COBOL)、DFHISDIP (C)、および DFHISPIP (PL/1) です。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *hostname*
6. *aupname*
7. *port*

宛先: CISO

DFHIS3011 *date time applid Failed to invoke Autoinstall User Program aupname during discard of IPCONN ipconn.*

説明: 自動インストールされた IPCONN *ipconn* の破棄または解放時に、自動インストール・ユーザー・プログラム (AUP) *aupname* が削除機能によって呼び出されました。AUP へのリンクに失敗しました。

システムの処置: AUP `commarea` の例外トレースが作成されます。削除が完了します。

ユーザーの処置: AUP が使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *aupname*
5. *ipconn*

宛先: CISO

DFHIS3030 I *date time applid IPCONN name {installed | deleted}.*

説明: CICS が IPCONN *name* をインストールまたは削除しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. 以下のオプションから選択される値。

- 1= インストール,
2= 削除

宛先: CISL

DFHIS3031 E *date time applid Transaction tranid*
failed to establish security for userid
userid with IPCONN ipconn. SAF コー
ドは (*X'safresp',X'safreas'*)、**ESM** コード
は (*X'esmresp',X'esmreas'*) です。

説明: 指定されたトランザクション ID を使用して、指定されたユーザー ID および IPCONN のセキュリティを確立しようとしたましたが、この試行は外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

これは、IPCONN のインストール時または IPCONN を使用するタスクの接続時のいずれかで発生しました。

システムの処置: IPCONN のために定義されたセキュリティ属性に従って、IPCONN が通信に使用できないか、IPCONN の使用は継続するがセキュリティ・アクセスはデフォルト・ユーザー ID のものに設定されます。他のセキュリティ障害メッセージが発行された可能性があります。

外部セキュリティ・マネージャー (ESM) も、拒否の原因を示すメッセージを発行している場合があります。

ユーザーの処置: 指定された IPCONN のリソース定義に正しいセキュリティ属性があることを確認してください。

セキュリティ管理者に依頼して、ユーザー ID が IPCONN で使用できるようにするための正しい外部セキュリティ・マネージャー (ESM) 定義が存在するようにします。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、**RACROUTE REQUEST=VERIFY** または **RACROUTE REQUEST=EXTRACT** マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、z/OS Security

Server RACROUTE マクロ解説書 を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により他のメッセージが生成され、さらに情報を得られる場合があります。詳細な診断メッセージについてはジョブ出力を参照してください。

モジュール:

DFHISCO, DFHISIC, DFHISIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *userid*
6. *ipconn*
7. *X'safresp'*
8. *X'safreas'*
9. *X'esmresp'*
10. *X'esmreas'*

宛先: CISL

DFHIS3032 E *date time applid Transaction tranid*
using terminal termid failed to
establish security for userid userid
with IPCONN ipconn. SAF コードは
(*X'safresp',X'safreas'*)、**ESM** コードは
(*X'esmresp'*) です。

説明: 指定された端末を使用する指定されたトランザクションは、指定されたユーザー ID および IPCONN のセキュリティを確立しようとしたましたが、この試行は外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

これは、IPCONN を使用するためにトランザクションが開始されたときに発生しました。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。トランザクション開始の試行が失敗しました。

外部セキュリティ・マネージャー (ESM) も、拒否の原因を示すメッセージを発行している場合があります。

ユーザーの処置: 指定された IPCONN のリソース定義に正しいセキュリティ属性があることを確認してください。

セキュリティ管理者に依頼して、ユーザー ID が IPCONN で使用できるようにするための正しい外部セ

キュリティー・マネージャー (ESM) 定義が存在するようになります。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により他のメッセージが生成され、さらに情報を得られる場合があります。詳細な診断メッセージについてはジョブ出力を参照してください。

モジュール:

DFHISIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *termid*
6. *userid*
7. *ipconn*
8. *X'safresp'*
9. *X'safreas'*
10. *X'esmresp'*

宛先: CISL

DFHIS3040 E *date time applid* **Deletion of IPCONN ccccccc failed.** そのAID-チェーンは空ではありません。

説明: リモート・システム *cccc* のための AID 連鎖が空でなかったために、CICS は、IPCONN *cccc* を削除しませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、未解決の AID の処理が行えるように、その IPCONN を使用できる状態にしてください。次に、IPCONN をサービス休止状態にして、削除できるようにしてください。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *cccccccc*

宛先: CSMT

DFHIS3041 *date time applid nnnn* **AIDs {canceled | force-canceled} for IPCONN conname. nnnn AIDs remain.**

説明: IPCONN *conname* をキューイングしている AID が、取り消しまたは強制取り消しされました。これは、IPCONN の再インストールのためか、SPI または CEMT SET IPCONN(*conname*) CANCEL あるいは FORCECANCEL コマンドの結果です。この操作の後に残っているすべての AID も、このメッセージに列挙されます。詳細については、CICS システム・プログラミング・リファレンス を参照してください。

システムの処置: IPCONN をキューイングしている AID として表された要求は、システムから除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHISIC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnn*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 取り消し,
2= 強制的に取り消し

6. *conname*
7. *nnnn*

宛先: CSMT

DFHIS4000 *date time applid* **Conversation failure on IPCONN ipconn. Sense code (X'sense'). Message (msgtext).**

説明: 通常の要求または応答が予期されていたときに、エラー・フロー (IS7) が IPCONN *ipconn* で受信されました。エラーのセンス・コードは *sense* でした。他のシステム上のエラーに関連したメッセージは *msgtext* です。

システムの処置: IS7 および関連付けられたデータの例外トレースが作成されます。受信側のトランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: そのシステムで出された診断を使用し、他のシステムが IS7 を送信した原因を判別してください。

モジュール: DFHISZA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ipconn*
5. *X'sense'*
6. *msgtext*

宛先: CISO

DFHIS5000I *APPLID* Recovery action requested for
IP connection *name*.

説明: IP 接続に問題がある可能性があるため、XISQUE グローバル・ユーザー出口プログラムが CICS によって呼び出されました。グローバル・ユーザー出口が使用した戻りコード UERCAKLL は、接続上のスループットが異常に低く、例外的な処置が必要であることを示しています。接続のパフォーマンスの低下の原因として、以下が考えられます。

- 受信側の応答が不十分であった。
- 送信側の負荷が増大した。

このような条件は断続的なものです。 続いて、接続がリカバリーされたことを示すメッセージ DFHIS5001 が 出されることがあります。

このメッセージは、XISQUE グローバル・ユーザー出口が無効化されているが、接続が MAXQTIME で QUEUELIMIT である場合にも発生することがあります (接続定義で両方のパラメーターが指定されている場合)。

システムの処置: CICS は、接続の使用を求める未解決の (キューイングされた) 要求を持つすべてのトランザクションを取り消します。

ユーザーの処置: IP 接続のパフォーマンスの低下の原因を調べてください。また、接続されたシステムの可用性および条件を検査してください。

モジュール: DFHISAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *name*

宛先: コンソール

DFHIS5001I *APPLID* IP connection *name* operating normally following recovery action.

説明: この IP 接続に関してメッセージ DFHIS5000 が
出されました。 IP 接続はリカバリーされ、正常に働い
ています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHISAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *name*

宛先: コンソール

DFHIS5002 *date time applid nnnnnnnnnn* **queued requests to use IPCONN** *ipconn* **have been cancelled.** キューには *nnnnnnnnnn* 要求が残っています。

説明: IPCONN *ipconn* を使用するためにキューに入れている要求がキャンセルされました。これは IPCONN の再インストールが原因であるか、SPI または CEMT SET IPCONN(*ipconn*) CANCEL コマンドの結果か、または前のエラーからのリカバリーの一部である可能性があります。この操作の後に残っているキューに入れられたすべての要求も、このメッセージに列挙されます。

システムの処置: IPCONN を使用するためにキューに入れられている要求は、システムからパージされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHISAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnnnn*
5. *ipconn*
6. *nnnnnnnnnn*

宛先: CISO

DFHIS5003 *date time applid nnnnnnnn* **queued requests to use IPCONN** *ipconn have been cancelled.* キューには *nnnnnnnn* 要求が残っています。

説明: IPCONN *ipconn* を使用するためにキューに入れている要求がキャンセルされました。取り消された要求の一部は、システム要求であった可能性があります。これは IPCONN の再インストールが原因であるか、SPI または CEMT SET IPCONN(*ipconn*) FORCECANCEL コマンドの結果か、または前のエラーからのリカバリーの一部である可能性があります。この操作の後に残っているキューに入れられたすべての要求も、このメッセージに列挙されます。

システムの処置: IPCONN を使用するためにキューに入れている要求は、システムからページされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHISAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnnn*
5. *ipconn*
6. *nnnnnnnnn*

宛先: CISO

DFHIS6000 *date time applid IP Interconnectivity Recovery.* トランザクションCISXの実行中に処理エラーが発生しました。

説明: CISX トランザクションによって XID のリストを返す試みが失敗しました。これらの XID は、その領域の XA クライアントに関連した未解決の未確定作業単位に関連付けられている XID です。障害の原因は、内部ドメイン呼び出しエラーであるか、または関連タスクがシステムによってページされたためです。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインおよび失敗したドメイン呼び出しによって作成されます。この操作を要求した XA クライアントに IS7 応答メッセージが返されます。

ユーザーの処置: XID のリストを検索するための要求を再サブミットします。問題が解消されない場合、この問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHISRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CISO

DFHIS6001 *date time applid A communications failure has occurred while running transaction CISX.*

説明: CISX トランザクションによって XID のリストを返す試みが失敗しました。これらの XID は、その領域の XA クライアントに関連した未解決の未確定作業単位に関連付けられている XID です。エラーの原因は、XID のリストを呼び出し元に戻すのを妨げる通信障害です。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインおよび失敗したドメイン呼び出しによって作成されます。その後、CISX タスクによって使用されたリソースが解放されます。

ユーザーの処置: XA クライアントと CICS の間の通信が再確立されたら、要求を再サブミットできます。

モジュール: DFHISRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CISO

DFHIS6002 *date time applid IP Interconnectivity Recovery.* XID が XID のトランザクションとの再同期を試行中に、処理エラーが発生しました。

説明: メッセージに示されている XID に関連した、UOW のリカバリーまたは再同期試行を実行しようとしたが、失敗しました。この UOW は、後続の再同期の試行が成功するまで存続します。障害の原因は、内部ドメイン呼び出しエラーであるか、または関連タスクがシステムによってページされたためです。

システムの処置: 例外トレースが IS ドメインおよび失敗したドメイン呼び出しによって作成されます。この操作を要求した XA クライアントに IS7 応答メッセージが返されます。

ユーザーの処置: この作業単位を完了するための別の試行をする要求を再サブミットしてください。問題が解消されない場合、この問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。

モジュール: DFHISRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *XID*

宛先: CISO

DFHIS6003 *date time applid IP Interconnectivity*
Recovery. 通信エラーが発生しました。
XID *XID* の作業単位 *uowid* はコミット
 されました。

説明: ローカル作業単位の再同期試行の実行中に通信が失われたため、CISX タスクはその *XA* クライアントに
 応答を送信できませんでした。

システムの処置: ローカル作業単位の更新はコミットされ
 ます。CICS は例外トレースを書き込み、その CISX
 のタスクを終了します。

ユーザーの処置: CICS が正常にコミットした作業単位
 と *XA* クライアントのタスクを同期させるには、ク
 ライアント側での手動による更新の再同期が必要になる場
 合があります。

モジュール: DFHISRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *uowid*
5. *XID*

宛先: CISO

DFHIS6004 *date time applid IP Interconnectivity*
Recovery. 通信エラーが発生しました。
XID *XID* の作業単位 *uowid* はバックア
 ウトされました。

説明: ローカル作業単位の再同期試行の実行中に通信が
 失われたため、CISX タスクはその *XA* クライアントに
 応答を送信できませんでした。

システムの処置: ローカル作業単位の更新はロールバック
 されます。CICS は例外トレースを書き込み、その
 CISX のタスクを終了します。

ユーザーの処置: CICS が正常にコミットした作業単位
 と *XA* クライアントのタスクを同期させるには、ク
 ライアント側での手動による更新の再同期が必要になる場
 合があります。

モジュール: DFHISRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *uowid*5. *XID*

宛先: CISO

DFHIS6005 *date time applid IP Interconnectivity*
Recovery. **XID** が *XID* の作業単位の再
 同期を行おうとしましたが、作業単位が見
 つからなかったために失敗しました。

説明: ローカル作業単位の再同期試行の実行中に、
 CISX タスクは所定の *XID* の作業単位を検出できませ
 んでした。

システムの処置: 再同期試行が失敗し、IS7 応答が *XA*
 クライアントに返されます。CISX タスクは終了しま
 す。

ユーザーの処置: 別のタスクが CICS 作業単位を完了
 した可能性があります。*XID* がまだ有効であるかどうか
 を確認し、そうである場合は、*XID* に関連付けられた
XA クライアント・タスクを手動で完了してください。

モジュール: DFHISRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *XID*

宛先: CISO

DFHIS6006 *date time applid IP Interconnectivity*
Recovery. パートナー領域でのエラーによ
 り、以下のローカル **UOW** *X'localuowid'*
IPCONN 名 *name* トランザクション
trandid タスク番号 *trannum* 端末 *termid*
 ユーザー *userid* についての再同期化が失
 敗しました。

説明: パートナー領域での再同期試行中にエラーが発生
 したため、IPCONN の再獲得後の作業単位の再同期は
 完了できません。この作業単位は、解決可能になるまで
 保持されます。

システムの処置: 作業単位は中断されたままになり、こ
 の作業単位および他の作業単位が解決されるまで、接続
 は **PENDING** 状態になります。

ユーザーの処置: パートナー領域内のエラーの原因を特
 定するメッセージを探してください。エラーの原因が除
 去されたら、IPCONN リソースを再獲得することによ
 って追加の再同期試行を行うことができます。

モジュール: DFHISRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'localuowid'*
5. *name*
6. *tranid*
7. *trannum*
8. *termid*
9. *userid*

宛先: CSMT

DFHIS6007 *date time applid IP Interconnectivity Recovery. Resynchronization not possible, because the corresponding unit of work could not be found by the partner region, or its outcome is currently indoubt, for the following local UOW X'localuowid' associated with IPCONN ipconn.*

説明: パートナー領域が該当する作業単位を検出できなかったため、または他の領域との再同期をまだ待機中であるため、IPCONN の再獲得後または UNSHUNT 要求の伝搬後に行われる作業単位の再同期を完了できません。ローカル作業単位は、手動または後続の再同期試行によって解決可能になるまで保持されます。

システムの処置: 作業単位は中断されたままになり、この作業単位および他の作業単位が解決されるまで、接続は PENDING 状態になります。

ユーザーの処置: パートナー・システムからのレコードを調べて、該当する作業単位の結果を判別します。結果が不明である場合、これはリモート作業単位自体が別の領域との再同期試行を待機しているためである可能性があります。その試行が実行されるとローカルの作業単位は完了します。そうではなく、リモート作業単位がもはや存在しない場合、SET UOW コマンドを使用してローカルの作業単位を強制的に完了します。そのようなローカル作業単位がすべて解決されたら、接続を NOTPENDING に設定してサービス中の状態にすることができます。

モジュール: DFHISRE、DFHISCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'localuowid'*

5. *ipconn*

宛先: CSMT

DFHIS6010 *date time applid IP Interconnectivity Recovery. 以下のローカル UOW X'localuowid' IPCONN 名 name トランザクション tranid タスク番号 trannum 端末 termid ユーザー userid についての再同期化ができません。*

説明: パートナー領域が初期始動を実行し、この作業単位の結果に関するログ・データが失われたため、IPCONN の再獲得後の作業単位の再同期は完了できません。IPCONN リソースは XLN ACTION(KEEP) を指定します。これは、この作業単位が解決可能になるまで保持されることを意味します。

システムの処置: 作業単位は中断されたままになり、この作業単位および他の作業単位が解決されるまで、接続は PENDING 状態になります。

ユーザーの処置: SET UOW コマンドを使用してローカル作業単位を強制的に完了します。そのようなローカル作業単位がすべて解決されたら、接続を NOTPENDING に設定してサービス中の状態にすることができます。

モジュール: DFHISRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'localuowid'*
5. *name*
6. *tranid*
7. *trannum*
8. *termid*
9. *userid*

宛先: CSMT

DFHJCnnnn メッセージ

DFHJC4522 DDNAME *ddname* HAD A PERMANENT I/O ERROR.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティが DD ステートメント *ddname* に定義されたデータ・セットを処理しているときに、リカバリー不能な入出力エラーが起きました。

システムの処置: 出力データ・セットでエラーが発生し、複数の出力コピーが指定されていた場合は、別のコピーを使用して処理が続行されます。それ以外の場合、ジャーナル印刷ユーティリティは異常終了します。

ユーザーの処置: 出力データ・セットでエラーが起こって、もう一度実行しようとする場合には、異なるボリュームを参照するように DD ステートメントを変更して、ジョブを再サブミットしてください。可能であれば、リカバリーのために元のボリュームをオフラインにしてください。

入力データ・セットでエラーが発生した場合、リカバリー可能にするには、問題のあるボリュームのバックアップ・コピーが必要です。バックアップ・ボリュームを参照するように DD ステートメントを変更して、ジョブを再実行することができます。欠陥ディスクのバックアップ・コピーをとってあった場合には、IBM ユーティリティを使用し、欠陥トラックにフラグを付けて代替トラックを指し示すことによって、ディスクをリカバリーさせることができます。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4523 PROCESSING IS BEING TERMINATED FOR THIS OPTION.

説明: これは、OPTION カードのための処理が完了したときに CICS ジャーナル印刷ユーティリティによって出される通知メッセージです。言及されているカードは、SYSPRINT 上のこのメッセージの前にある最後の OPTION カードです。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは次のオプションの処理を続行します。

ユーザーの処置: OPTION カードとこのメッセージの間に他のメッセージが現れなかった場合は、正常な終了です。他のメッセージが出されていた場合には、それらを調べて、終了が正常であったのか、または異常であったのかを判別してください。異常終了が起こった場合には、他のメッセージ (複数の場合あり) で通知されたエラーを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4524 INVALID CONTROL CARD FORMAT.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、入力 CONTROL カードの中でエラーを検出しました。このカードは、SYSPRINT 上のこのメッセージの前の行に表示されています。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、無効なカードを無視して、標準のデフォルト値を想定します。

ユーザーの処置: 実行の出力が望んでいるものと異なっていた場合には、無効なカードを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4525 INVALID CARD TYPE.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、1 桁目から始まる次のいずれかの文字列を含んでいない入力カードを読み取りました。

「CONTROL」、「OPTION」、「*」、または「END」

この無効カードは、SYSPRINT 上のこのメッセージの前の行に表示されています。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、無効なカードを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: ジョブが失敗に終わった場合や出力が望みのものと異なっていた場合には、無効なカードを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4526 INVALID OPTION CARD OR PRIOR ERROR.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、OPTION カードの中でエラーを検出したか、または前にエラーがあったためにそのカードを無視しました。そのカードは、このメッセージの前の行に表示されません。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、そのカードを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: ジョブが失敗に終わった場合や出力が望みのものと異なっていた場合には、エラーを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4527 END OF JOB.

説明: これは、CICS ジャーナル印刷ユーティリティが正常に終了したときにそのユーティリティによって出されるジョブ終了通知メッセージです。エラーが検出された可能性があります、異常終了を引き起こすほどのものではありませんでした。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは正常に終了します。

ユーザーの処置: すべてのオプションが正常に完了したかどうかを調べてください。正常に完了しなかったオプションがある場合には、まだ必要なオプションのために別のジョブをサブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4528 NO OPTION CARDS SUPPLIED.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、1 つの CONTROL カードについて、次のことを検出しました。

1. OPTION カードがまったく与えられていない。または、
2. OPTION カードのすべてにエラーが含まれている (このメッセージよりも前に出されたメッセージで通知されている)。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、OPTION カードがなければ、CONTROL カードの処理は実行しません。

ユーザーの処置: 必要とするオプションのための正しい OPTION カードを与えて、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4529 UNABLE TO OPEN INPUT FILE.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、このメッセージの前に表示されている CONTROL カードと

関連した入力データ・セットをオープンすることができませんでした。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、次の入力カードで処理を続行します。

ユーザーの処置: JCL を検査してください。標準ラベルを持たないデータ・セットの場合には、データ・セット制御ブロック (DCB) パラメーターが与えられているか検査してください。JCL エラーを見つけた場合には、それを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4530 ELEMENT LIST ERROR.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、入力ファイルを処理しているときにエラーを検出しました。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは処理を終了して、MVS ユーザー異常終了コード 0185 が出されます。

ユーザーの処置: これは、通常、前のエラーによって起こります。そのエラーについては、メッセージが出されています。前のエラーについて何らかのエラー・メッセージが表示されている場合には、必要な訂正をして、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4531 END OF FILE ON INPUT.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティが、現行入力ファイル上の EOF に達しました。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、このメッセージが SYSPRINT 上に出される前に、CONTROL カードの処理を完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4532 OPTION COMPLETE.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、SYSPRINT 上のこのメッセージの前の OPTION カードの処理を完了しました。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティは、次の OPTION カードで処理を続行します。あるいは、END カードの前に他のオプションがなかった場合には、現在の制御カードのための処理を完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4533 UNABLE TO OPEN OUTPUT FILE.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティは、SYSPRINT 上に表示されているこのメッセージの前の最後の CONTROL カードに関連した出力データ・セットをオープンすることができませんでした。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティの処理は、この CONTROL カードについては終了し、次の CONTROL カードを使って続行されます。

ユーザーの処置: JCL を検査してください。標準ラベルを持たないデータ・セットの場合には、データ・セット制御ブロック (DCB) パラメーターが与えられているか検査してください。JCL エラーを見つけた場合には、それを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4534 NO ELEMENT LIST ADDRESS.

説明: CICS ジャーナル印刷ユーティリティの処理時に、エレメント・リストを作成しているときにエラーが起きました。

システムの処置: ジャーナル印刷ユーティリティの処理は、このエレメント・リストについては終了し、さらに異常終了して MVS ユーザー異常終了コード 0184 が出されます。

ユーザーの処置: これは、ジャーナル印刷ユーティリティ DFHJUP 内の内部エラーです。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHJC4571 AN ERROR (CODE X'*code*') HAS OCCURRED IN THE USER EXIT PROGRAM.

説明: ユーザー出口プログラム内にエラーが検出されました。コード *code* は、DFHJUP へ出口プログラムからレジスター 15 で戻された値です。ジャーナル印刷ユーティリティは、残りの OPTION カードを処理せずに終了します。

システムの処置:

ユーザーの処置: ユーザー出口プログラムのエラーを訂正して、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHJUP

宛先: SYSPRINT

DFHKCnnnn メッセージ

DFHKC0102 *date time applid terminal userid tranid*
PFT entry for *profname* has been added.

説明: これは、INSTALL コマンドを使用してプロファイル項目 *profname* を PFT に追加したことを示す監査ログ・メッセージです。

terminal は、INSTALL コマンドが入力された端末の端末 ID またはネット名です。

userid は、INSTALL コマンドを実行しているオペレーターのユーザー ID です。

tranid は、INSTALL コマンドを実行するために使用するトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKCQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *profname*

宛先: CSKL

DFHKC0104 *date time applid terminal userid tranid*
PFT entry for *profname* has been deleted.

説明: これは監査ログ・メッセージであり、プロファイル項目 *profname* が DISCARD コマンドを使用して CICS プロファイル・テーブル (PFT) から削除されたことを示しています。

terminal は、DISCARD コマンドが入力された端末の端末 ID またはネット名です。

userid は、DISCARD コマンドを実行しているオペレーターのユーザー ID です。

tranid は、DISCARD コマンドを実行するために使用するトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKCQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *profname*

宛先: CSKL

DFHKC0106 *date time applid terminal userid tranid*
PFT entry for profname has been replaced.

説明: これは監査ログ・メッセージであり、プロファイル項目 *profname* が、INSTALL コマンドを使用して CICS プロファイル・テーブル PFT の中で置換されたことを示しています。

terminal は、INSTALL コマンドが入力された端末の端末 ID またはネット名です。

userid は、INSTALL コマンドを実行しているオペレーターのユーザー ID です。

tranid は、INSTALL コマンドを実行するために使用するトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKCQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *profname*

宛先: CSKL

DFHKC0301 *applid* **Program DFHKCRP cannot be found.**

説明: トランザクション・マネージャーのリカバリー・プログラムが使用できません。CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内で連結されたどのデータ・セットからも DFHKCRP を見つけることができません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメント内の区分データ・セットに DFHKCRP を配置してください。

モジュール: DFHKCQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHKC0302 *applid* **Transaction Manager restart failed. Reason - rc.**

説明: CICS は、トランザクション・マネージャーの初期設定中に、次のステップをリストされている順序で実行します。

1

プロファイル・テーブル (PFT) ディレクトリを作成する。

8

カタログ・ドメインを使用して、グローバル・カタログからプロファイル定義をパージする。

10

カタログ・ドメインを使用して、グローバル・カタログからプロファイル定義をリストアする。

トランザクション・マネージャーの再始動が、理由 *rc* のために失敗しました。ここで、*rc* は、正常に完了しなかったジョブ・ステップを示します。その後のステップは行われていません。

システムの処置: CICS は、DFHKCRP が実行されているタスクを終了させて、AKCB 異常終了コードを出し、メッセージ DFHSI1521 を出します。

ユーザーの処置: CICS AKCB トランザクション・ダンプ内のトレースを調べて、DFHKCRP 情報が実行されているタスクの履歴を見て、障害の正確な原因に関する詳しい情報を入手してください。

モジュール: DFHKCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *rc*

宛先: コンソール

DFHKC0308I *applid* ERROR OCCURRED IN SRB MODE.

説明: サービス要求ブロック (SRB) によってスケジュールされた作業単位の実行中に、プログラム・チェックなどのエラーがオペレーティング・システムによって検出されました。VTAM 許可パス要求を発行するために、CICS によって SRB が直接的または間接的にスケジュールされました。

SRB の下での実行中にエラーが検出されたため、メッセージを発行できませんでした。

診断: エラーは DFHKCSP の機能回復ルーチン (FRR) によって処理されます。この FRR は、システム診断作業域 (SDWA) が提供されている場合はこれを保管し、CALLRTM を発行してユーザー異常終了コード 0308 で CICS TCB を終了させます。

これによって今度は DFHKESTX によって確立された ESTAE 出口が実行され、結果として CICS TCB ステータスの保管と、CICS TCB の下で実行中に発生した異常終了に関するダンプの提供が行われます。

DFHKCSP によって保管される SDWA は、次の方法によってダンプ内から見つけることができます。

- モジュール自体を検索する (「DFHKCSP」という文字列を探す)。
- 保管域を検索する (「SRB SDWA SAVE AREA」という文字列を探す)。SDWA はこの文字ストリングの後にあります。

分析: 上記で検索される SDWA は標準の MVS SDWA です。SDWA の基本内容は次のとおりです。

SDWAGRSV

汎用レジスター 0 から 15

SDWAEC1

割り込みを起こした時点でのプログラム状況ワード (PSW)。

一般的に、レジスター 12 および 13 は TCA および CSA をアドレス指定しません。

DFHKESTX によって記録されたレジスターおよび PSW は、CICS が FRR によって終了されたときの

CICS TCB の状態を示します。通常、この情報は障害の原因に関係ありませんが、SRB が実行されていた環境の手掛かりとなることがあります。

システムの処置: CICS はユーザー異常終了コード U0308 で終了します。エラー発生時に表示されるシステム診断作業域 (SDWA) は、モジュール DFHKCSP にコピーされます。DFHKCSP は保護ストレージにあり、MVS 領域ダンプから出力できます。

ユーザーの処置: DFHKCSP 内で文字列『SRB SDWA WORK AREA』の後ろにある SDWA を見つけます。これには、エラー発生時の PSW およびレジスターが含まれます。

SDWAEC1 内のアドレスが CICS コードの場合、コードを調べてこの時点で予期されるレジスター内容を判別します。明白なローカルの問題が示されない場合、SRB モード実行に関連する RPL へのポインターを探します。これは、MVS 保管域の場所を示します。

SDWAEC1 内のアドレスが (MVS 内にある) CICS コード内にない場合、レジスター 13 の内容を使用して、CICS によって提供される領域まで保管域のトレースバックを試行してください。この保管域の内容は、(DFHZHPRX 内の) CICS 内の呼び出しポイント、およびアクセス方式に渡される引数、特に RPL (レジスター 1) のアドレスを示します。アクセス方式の失敗は、RPL が正しくないことが原因の可能性があります。したがって、ACB アドレス、エントリー・ポイント、および入出力域アドレスを確認してください。

注: CICS が SRB モードで実行されている場合には、メッセージを発行できません。ただし、ユーザー異常終了コード 308 が生成され、メッセージ DFHSR0606 に表示されます。

モジュール: DFHKCSP

宛先: コンソール

DFHKEnnnn メッセージ

DFHKE0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを z/OS MVS システム・コードで調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEDS, DFHKEGD, DFHKETI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHKE0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *code* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合

合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEGD, DFHKEIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHKE0003 *applid* ライセンス・モジュール
DFHSIVT (version) は CICS リリース (version) と一致しません。(applid Licence module DFHSIVT (version) does not match the CICS Release (version))

説明: ご使用の STEPLIB で見つかったモジュール DFHSIVT は、CICS のバージョンと一致しません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: JCL を調べてください。モジュール DFHSIVT を含むアクティベーション・モジュール・ライブラリー (接尾部が SDFHLIC、SDFHVUE、または SDFHDEV) のリリース・レベルが正しくありません。JCL を更新して、このデータ・セットが他のライブラリーと一致するようにしてください。

モジュール: DFHKEIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *version*
3. *version*

宛先: コンソール

DFHKE0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEDS, DFHKEGD, DFHKETI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHKE0005 *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code X'*code*'). MVS ストア・クロックが作動不能であることが検出されました。(The MVS store clock was found inoperative.)

説明: モジュール *modname* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。MVS ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。これは、おそらくハードウェア・エラーです。まず MVS ストア・クロック機構を調べて正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKETI

宛先: コンソール

DFHKE0006 *applid* モジュール *modname* に、Getmain (コード X'*code*') を満たす十分なストレージがありません。MVS コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード X'*code*' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS 戻りコードの診断情報は、関連する MVS コードの資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で説明されています。

DSA または EDSA の全体のサイズ制限を小さくするようにしてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHKEIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*code*'
3. *modname*
4. *mvscode*

宛先: コンソール

DFHKE0007 *applid* ライセンス・モジュール DFHSIVT が見つかりません。

説明: モジュール DFHSIVT が STEPLIB で見つかりませんでした。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: JCL を調べてください。

モジュール DFHSIVT を含むアクティベーション・モジュール・ライブラリー (接尾部が SDFHLIC、SDFHVUE、または SDFHDEV) がありません。

JCL を更新して、このライブラリーを STEPLIB に含めるようにしてください。

モジュール: DFHKEIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHKE0101 *applid* DFHSIP IS NOT
APF-AUTHORIZED. CICS WILL
TERMINATE.**

説明: CICS 初期設定の一部は、APF 許可状態で行う必要があります。カーネルは、DFHSIP に APF 許可が与えられていないことを検出しました。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: STEPLIB 連結に含まれるすべてのライブラリーは APF 許可が与えられていなければなりません。また、DFHSIP を許可コード 1 でリンク・エディットする必要があります。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

**DFHKE0102 *applid* UNSUCCESSFUL
PRE-INITIALIZATION OF *domain*
DOMAIN. CICS WILL TERMINATE.**

説明: ドメインを事前初期設定することに失敗しました。そのため、システムは終了します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

この問題が CICS 初期設定において早い時期に発生したので、原因としては、ストレージがかなり不足しているか、またはローカル・カタログの破壊が考えられます。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 以前コンソールに送信されたすべてのメッセージを調べて、ドメイン事前初期設定障害の明白な原因がないか探してください。

障害の原因がメッセージから見つからない場合、システム・プログラマーに連絡してください。ダンプがとられている場合、障害を起こしたドメインが出した例外トレースを使用して、この問題を調べてください。

この問題を解決するためにはサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM と

の協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKETCB

宛先: コンソール

**DFHKE0103 *applid* IDENTIFY FAILED IN
MODULE *modname*. MVS CODE
mvscode. CICS WILL TERMINATE.**

説明: カーネルは MVS IDENTIFY を発行しましたが、これは失敗しました。

コード *mvscode* は MVS IDENTIFY 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

問題を解決するには、MVS IDENTIFY 戻りコード *mvscode* および z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 IAR-XCT マニュアルを用いて、IDENTIFY が失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHKETCB

宛先: コンソール

**DFHKE0104 *applid* CICS に正しくない SVC 番号
svcn が指定されました。(applid CICS
HAS BEEN SUPPLIED WITH
INCORRECT SVC NUMBER *svcn*.)**

説明: CICS は SVC 番号 *svcn* を妥当性検査しましたが、このリリースの CICS 用の正しい CICS タイプ 3 SVC に対応しません。CICS は、正しい CICS SVC がないと機能できません。

SVC 番号 *svcn* は、CICSSVC= パラメーターによって SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されました。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 制御がパラメーター・マネージャーに戻され、オペレーターと対話が行えるようになります。追加のアクションは、指定された PARMERR= パラメーターによって異なります。

- PARMERR=ABEND の場合、システム・ダンプが作成されて、CICS は終了します。
- PARMERR=IGNORE の場合、システム・ダンプが作成されて、CICS は終了します。
- PARMERR=INTERACT の場合、オペレーターには別の SVC 番号を入力するか、入力をバイパスすることを求めるプロンプトが出されます。オペレーターが入力をバイパスした場合、システム・ダンプが作成されて、CICS は終了します。

ユーザーの処置: CICS タイプ 3 SVC は、SYS1.PARMLIB メンバー IEASVCxx で MVS に対して定義されます。SVC *svchno* は、SVC モジュールが SYS1.LPALIB にインストールされたときに指定されたエントリー・ポイント名に等しいエントリー・ポイントを持つタイプ 3 SVC として定義する必要があります。これに該当することを確認してください。

モジュール: DFHKEGD。

宛先: コンソール

DFHKE0105 *applid* CICS INITIALIZATION IS NOT SUPPORTED ON THIS LEVEL OF OPERATING SYSTEM.

説明: カーネルは、オペレーティング・システムのリリース・レベルが CICS の実行に必要な前提条件リリース・レベルより前のものであること、またはオペレーティング・システムに必要な保守が適用されていないことを検出しました。

システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: CICS TS プログラム・ディレクトリを参照し、前提条件となるオペレーティング・システム・リリース・レベル以上をインストールしてください。また、オペレーティング・システムの前提条件となるリストされた保守が適用されていることも確認してください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

DFHKE0106 *applid* GETMAIN FAILED IN MODULE *modname*, R15=*mvscode*. CICS WILL TERMINATE.

説明: カーネルは MVS GETMAIN を発行しましたが、これは失敗しました。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

826 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、異常終了コード U1800 が戻されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

問題を解決するには、MVS GETMAIN 戻りコード *mvscode* および z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 IAR-XCT マニュアル (GC28-1154) を用いて、GETMAIN が失敗した理由を判別してください。

モジュール:

宛先: コンソール

DFHKE0107 CICS DFHSTUP IS NOT SUPPORTED ON THIS LEVEL OF OPERATING SYSTEM.

説明: オペレーティング・システムのリリース・レベルが CICS DFHSTUP の実行に必要な前提条件リリース・レベルより前のものであること、またはオペレーティング・システムに必要な保守が適用されていないことが検出されました。

システムの処置: CICS DFHSTUP ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: CICS TS プログラム・ディレクトリを参照し、前提条件となるオペレーティング・システム・リリース・レベル以上をインストールしてください。また、オペレーティング・システムの前提条件となるリストされた保守が適用されていることも確認してください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

DFHKE0108 *applid* CICS INITIALIZATION IS NOT SUPPORTED ON THIS LEVEL OF HARDWARE.

説明: カーネルは、ハードウェアのレベルが CICS の実行に必要な前提条件より前であることを検出しました。

システムの処置: CICS は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 必要な前提条件ハードウェアを確認す

るには、CICS TS プログラム・ディレクトリーを参照してください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

DFHKE0109 CICS DFHSTUP IS NOT SUPPORTED ON THIS LEVEL OF HARDWARE.

説明: ハードウェアのリリース・レベルが CICS DFHSTUP の実行に必要な前提条件より前であることが検出されました。

システムの処置: CICS DFHSTUP ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 必要な前提条件ハードウェアを確認するには、CICS TS プログラム・ディレクトリーを参照してください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

DFHKE0201 applid ABOUT TO TAKE SDUMP.
DUMPCODE: dumpcode, DUMPID:
dumpid. (MODULE modname).

説明: 事前初期設定時または終了時のエラー (おそらく前のメッセージにより出されている) により、カーネル・ドメインがダンプをとることになり、その結果 MVS SDUMP 機能呼び出す直前にこのメッセージが出されます。

ダンプ・コード *dumpcode* は、8 文字のダンプ・コード「KERNDUMP」です。

ダンプ識別名 *dumpid* は、文字列「0/0000」です。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: ダンプが完了すると、メッセージ番号 DFHKE0202 が出されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。詳細については、関連ダンプおよびエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEDS, DFHKEGD, DFHKEIN, DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0202 applid SDUMP COMPLETE. (MODULE modname).

説明: このメッセージは、SDUMP が正常に完了した時点で出されます。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 必要ならシステム・ダンプを印刷してください。以前の MVS メッセージで、このダンプを見つけることができる SYS1.DUMP データ・セットを特定できます。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEDS, DFHKEGD, DFHKEIN, DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0208 applid SDUMP がビジー - CICS は 5 秒以内に再試行します。(applid SDUMP BUSY - CICS WILL RETRY IN FIVE SECONDS.)(MODULE modname).

説明: CICS によって MVS SDUMP 要求が出された時点で、同じ MVS システム内の別のアドレス・スペースが SDUMP を取得中でした。これにより、MVS は新規要求を拒否します。SIT の DURETRY パラメーターの値がゼロ以外である場合、CICS が 5 秒間待機してから SDUMP 要求を再発行することを意味します。

システムの処置: CICS は、CICS を 5 秒間停止する MVS STIMERM マクロを発行します。遅延間隔が満了すると、要求は再発行されます。CICS は、DURETRY システム初期設定パラメーターに指定される秒数に等しい合計時間になるまで、5 秒ごとに遅延して再試行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEDS, DFHKEGD, DFHKEIN, DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0209 applid RETRYING SDUMP. (MODULE modname).

説明: CICS によって MVS SDUMP 要求が出された時点で、同じ MVS システム内の別のアドレス・スペースが SDUMP を取得中でした。これにより、MVS は新規要求を拒否しました。CICS は (メッセージ DFHKE0208 が示すように) 5 秒間待機し、今度は

DFHKE0210

SDUMP 要求を再発行します。

システムの処置: CICS は SDUMP 要求を再発行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEDS, DFHKEGD, DFHKEIN, DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0210 applid SDUMP REQUEST FAILED.
(MODULE *modname*) - *reason*.

説明: メッセージ DFHKE0201 によって伝えられた CICS からの MVS SDUMP 要求は、正常に完了しました。考えられる失敗の理由 *reason* は、以下のとおりです。

SDUMP RETURN CODE X'04' ONLY PARTIAL DUMP

ダンプが書き込まれる SYS1.DUMP データ・セットが十分に大きくなかったため、すべてのダンプ・ストレージが格納されませんでした。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'02' SDUMP BUSY

CICS によって MVS SDUMP 要求が出された時点で、同じ MVS システム内の別のアドレス・スペースが SDUMP を取得中でした。これにより、MVS は新規要求を拒否しました。

DURETRY SIT パラメーターにゼロでない値が指定された場合、CICS は指定された期間中に 5 秒ごとに SDUMP 要求を再試行します。このメッセージは、最後の再試行後も SDUMP がビジー状態の場合に発行されます。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'03' SUPPRESSED BY INSTALLATION.

インストール時の要求 (例: IPL での DUMP=NO、CHNGDUMP SET,NODUMP) によって、ダンプが抑止されました。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'04' SUPPRESSED BY SLIP.

SLIP NODUMP コマンドによって、ダンプが抑止されました。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'05' NO DATA SET AVAILABLE

SDUMP 要求について使用可能なデータ・セットがありません。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'0B' SUPPRESSED BY DAE.

ダンプ分析重複回避機能 (DAE) によって、ダンプが抑止されました。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'3E' MAXSPACE EXCEEDED.

他のダンプを処理するために最大量の仮想ストレージ (CHNGDUMP コマンドの MAXSPACE パラメーターを使用して、インストール・システムで決定される) を SVC ダンプがすでに使用しています。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'46' INSUFFICIENT DISK SPACE.

システム・リソース・マネージャー (SRM) が補助ストレージの重大な不足を検出したため、SVC ダンプはダンプを停止しました。

SDUMP RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'

上記以外の何らかの理由のため、MVS は SDUMP 要求を拒否しました。X'nn' は 16 進の SDUMP 戻りコードを示し、X'mm' は 16 進の SDUMP 理由を示します。

NOT AUTHORIZED IN CICS

SDUMP は、この CICS 実行に関して許可されていません。

INSUFFICIENT STORAGE

CICS は、SDUMP 要求の処理中にサブプール 253 ストレージについて MVS GETMAIN 要求を出しました。GETMAIN は MVS により拒否されました。

STIMERM FAILED

SDUMP ビジー状態の後、SDUMP を再試行する前に 5 秒遅延させるために、CICS は MVS STIMERM マクロ要求を出します。MVS は、STIMERM 要求が失敗したことを示しています。

DFHDUSVC FESTAE FAILED

CICS は、SDUMP 要求の処理中に DFHDUSVC から MVS FESTAE 要求を出しました。この FESTAE は MVS により拒否されました。

DFHDUSVC FUNCTION INVALID

CICS は、SDUMP 要求の処理中に DFHDUSVC を呼び出しました。DFHDUSVC に渡された機能は無効でした。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスしません。このような状況

で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、ダンプが成功したかのように続行されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、失敗の理由によって異なります。 の場合:

SDUMP RETURN CODE X'04' ONLY PARTIAL DUMP

部分ダンプがとられた理由を説明する理由コードを調べてください。このコードは MVS メッセージ IEA911E 内にあります。この理由コードの説明については、z/OS MVS システム・メッセージ 第 1 巻 (ABA-AOM)を参照してください。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'02' SDUMP BUSY

SIT の DURETRY 値を大きくすることによって SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'03' SUPPRESSED BY INSTALLATION

ダンプが意図的に抑止されている場合には、処置は必要ありません。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'04' SUPPRESSED BY SLIP.

SLIP DEL コマンドを使用して関連する SLIP トラップを削除してから、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'05' NO DATA SET AVAILABLE

SYS1.DUMP データ・セットをクリアしてから、SDUMP 要求が再発行されるようにしてください。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'0B' SUPPRESSED BY DAE.

コマンド SET DAE=xx を発行してダンプ分析重複回避機能サービスを停止します。ここで xx は、DAE=STOP を含む SYS1.PARMLIB の ADYSETxx メンバーの接尾部です。ADYSETxx については、z/OS MVS 初期設定およびチューニング解説書を参照してください。DAE が停止したら、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'3E' MAXSPACE EXCEEDED.

コマンド CHNGDUMP

SET,DUMP,MAXSPACE=xxxM を発行することによって、SVC ダンプがデータをキャプチャーするために使用できる仮想ストレージの量を増やします。ここで、xxxM は使用されるストレージのメガバイト数を指定します。次に、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

SDUMP RETURN CODE X'08' REASON X'46' INSUFFICIENT DISK SPACE.

システム・ダンプの記録に使用できるディスク・スペースの量を増やしてください。次に、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

SDUMP RETURN CODE X'nn' REASON X'mm'

ダンプが意図的に抑止されている場合には、処置は必要ありません。MVS SDUMP ルーチンのエラーが原因でダンプが失敗した場合には、MVS 問題判別方式を使用してエラーを修正してから、SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。SDUMP 戻りコード X'nn' および理由 X'mm' についての説明は、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください。

NOT AUTHORIZED IN CICS

この理由は表示されないはずです。なぜなら、SDUMP は CICS 初期設定時に無条件に許可され、CICS 実行中ずっと許可されているはずだからです。万一この理由が出された場合には、CICS AFCB (許可された機能制御ブロック) が誤って上書きされたものと思われます。

INSUFFICIENT STORAGE

サブプール 253 要求に対して MVS が十分なストレージを使用できるようにしてください。

STIMERM FAILED

MVS 問題判別方式を使用して STIMERM 障害を修正し、それから SDUMP 要求が再び出されるようにしてください。

DFHDUSVC FESTAE FAILED

MVS 問題判別方式を使用して FESTAE 障害を修正し、それから SDUMP が再び出されるようにしてください。FESTAE マクロについての説明は、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください。

DFHDUSVC FUNCTION INVALID

CICS DAFPB (ダンプ許可機能パラメーター・ブロック) が、おそらく誤って上書きされました。

システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中である場合には、CICS を終了するかどうかを決定しなければなりません。

実行の継続を決定し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することができます。

この問題を解決するには、ダンプおよび関連メッセージをすべて集めて、IBM サポート・センターに連絡してください。

IBM サポートのために情報を用意する方法については、トラブルシューティングおよびサポートで説明されています。この処理について詳しくない場合には、IBM サポートにお問い合わせいただく前に、この手引きを参照してください。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEDS, DFHKEGD, DFHKEIN, DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0217 applid SDUMPX 要求が戻りコード **X'04'** で完了しました。ダンプは完全にまたは部分的に取られました。(A complete or partial dump has been taken.)

説明: メッセージ DFHKE0201 によって通知された CICS からの MVS SDUMPX 要求により、結果として完全なまたは部分的な SVC ダンプが出された可能性があります。要求が SDUMPX 戻りコード x'04' で完了しても、ダンプが取られる原因となった問題を診断するために十分な情報がダンプされている可能性があります。

システムの処置: CICS は、ダンプが成功したかのよう続行されます。

ユーザーの処置: 付随する IEA611E メッセージまたは IEA911E メッセージを使用して、ダンプが問題判別に適しているかどうかを判別します。SDUMPX 戻りコード X'04' についての説明は、z/OS z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)を参照してください。

モジュール: DFHKEDD, DFHKEDS, DFHKEGD, DFHKEIN, DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0301 applid Insufficient storage to satisfy Getmain in module modname. MVS コード *mvscode*。

説明: カーネル (KE) ドメインがカーネル・スタック・ストレージに対して MVS GETMAIN を出しましたが、要求を満たすためのストレージが不足していました。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。トレース (TR) ドメインの呼び出し自体がカーネル・スタック・ストレージを必要とするため、例外項目はトレース・テーブル内に作成されません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS 戻りコードの診断情報は、関連する MVS コードの資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で説明されています。また、システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを参照し、カーネル・スタック・ストレージがどのような場合に使い果たされてしまうかを見てください。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHKESGM

宛先: コンソール

DFHKE0302 applid Freemain of stack storage failed in module modname. MVS コード *mvscode*。

説明: カーネル (KE) ドメインがカーネル・スタック・ストレージに対して MVS FREEMAIN を出しましたが、間違った戻りコードが戻されました。

コード *mvscode* は MVS FREEMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合

合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。トレース (TR) ドメインの呼び出し自体がカーネル・リンケージを必要とするので、例外項目はトレース・テーブル内に作成されません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

「z/OS MVS システム・コード」マニュアルを参照して、MVS 戻りコードの診断情報を得ることができます。

モジュール: DFHKEDS

宛先: コンソール

DFHKE0303 *applid* A RECURSIVE ABEND HAS BEEN DETECTED BY THE KERNEL DOMAIN.

説明: カーネル (KE) ドメインが、異常終了からのリカバリーの試行中に、現行タスクが繰り返し異常終了していることを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。トレース (TR) ドメインがループ原因になる場合があるため、例外項目はトレース・テーブル内に作成されません。

ユーザーの処置: 与えられたダンプを使用してカーネル・エラー・テーブルを調べて、失敗したタスクの初期の異常終了を診断してください。

モジュール: DFHKERRI

宛先: コンソール

DFHKE0401 *applid* 自動リスタート・マネージャーへの CICS REGISTER 呼び出しが失敗しました (戻りコード *X'resp'*、*X'reason'*)。(*applid* CICS REGISTER CALL TO AUTOMATIC RESTART MANAGER FAILED (RETURN CODES *X'resp'*, *X'reason'*)).

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する REGISTER 要求を呼び出そうとしましたが失敗しました。

コード *resp*、*reason* は、ARM からの 16 進数の応答コードおよび理由コードです。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

CICS は継続しますが、その後、ARM によって再始動することはできません。

ユーザーの処置: CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

問題診断については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」マニュアルで IXCARM マクロからの戻りコードを検索してください。

ARM を使用する方法について詳しくは、「」で見つけることもできます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEAR

宛先: コンソール

DFHKE0402 *applid* 自動リスタート・マネージャーへの CICS DEREGISTER 呼び出しが失敗しました (戻りコード *X'resp'*、*X'reason'*)。(*applid* CICS DEREGISTER CALL TO AUTOMATIC RESTART MANAGER FAILED (RETURN CODES *X'resp'*, *X'reason'*)).

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する DEREGISTER 要求を呼び出そうとしましたが失敗しました。

コード *resp*、*reason* は、ARM からの 16 進数の応答コードおよび理由コードです。

システムの処置: スタートアップ時に要求が失敗した場合、ダンプがとられて CICS は続行されます。

シャットダウン中に要求が失敗した場合、ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、トレース・テーブルに例外項目が作成され、システム・ダンプが取られます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS はシャットダウンを続行します。DEREGISTER が失敗したため、CICS の後続の失敗または IMMEDIATE シャットダウンにより、ARM で CICS が再始動される場合があります。

ユーザーの処置: 問題診断については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」マニュアルで IXCARM マクロからの戻りコードを検索してください。

ARM を使用する方法について詳しくは、「z/OS MVS シスプレックスのセットアップ」マニュアルから見つけることもできます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEAR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'resp'*
3. *X'reason'*

宛先: コンソール

DFHKE0403 *applid* 自動リスタート・マネージャーへの CICS WAITPRED 呼び出しが失敗しました (戻りコード *X'resp'*、*X'reason'*)。(*applid* CICS WAITPRED call to automatic restart manager failed (return codes *X'resp'*, *X'reason'*)).

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する WAITPRED 要求を呼び出そうとしましたが失敗しました。

コード *resp*、*reason* は、ARM からの 16 進数の応答コードおよび理由コードです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 WAITPRED 要求が失敗したことにより、CICS の初期化が完了したときに他のサブシステムが利用できない可能性があります。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

問題診断については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」マニュアルで IXCARM マクロからの戻りコードを検索してください。

ARM を使用する方法について詳しくは、「z/OS MVS シスプレックスのセットアップ」マニュアルから見つけることもできます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEAR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'resp'*
3. *X'reason'*

宛先: コンソール

DFHKE0404 *applid* 自動リスタート・マネージャーへの CICS READY 呼び出しが失敗しました (戻りコード *X'resp'*、*X'reason'*)。(*applid* CICS READY call to automatic restart manager failed (return codes *X'resp'*, *X'reason'*)).

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する READY 要求を呼び出そうとしましたが失敗しました。

コード *resp*、*reason* は、ARM からの 16 進数の応答コードおよび理由コードです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 CICS を待機している他のサブシステムには、CICS が動作の準備ができていることが通知されず、サブシステムはタイムアウトになるまで待ち続けます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

問題診断については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」マニュアルで IXCARM マクロからの戻りコードを検索してください。

ARM を使用する方法について詳しくは、「z/OS MVS シスプレックスのセットアップ」マニュアルから見つけることもできます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEAR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'resp'*
3. *X'reason'*

宛先: コンソール

DFHKE0405 *applid* 自動リスタート・マネージャーへの CICS WAITPRED 呼び出しがタイムアウトになりました (戻りコード *X'resp'*、*X'reason'*)。(*applid* CICS WAITPRED call to automatic restart manager timed out (return codes *X'resp'*, *X'reason'*)).

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に

対する WAITPRED 要求がタイムアウトになりました。

コード *resp*、*reason* は、ARM からの 16 進数の応答コードおよび理由コードです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。WAITPRED 要求のタイムアウトにより、CICS の初期化が完了したときに他のサブシステムが利用できない可能性があります。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

問題診断については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」マニュアルで IXCARM マクロからの戻りコードを検索してください。

ARM を使用する方法について詳しくは、「z/OS MVS シスプレックスのセットアップ」マニュアルから見つけることもできます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEAR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'resp'*
3. *X'reason'*

宛先: コンソール

DFHKE0406I *applid* CICS はこの領域の MVS 自動リスタート管理ポリシーで定義された先行処理を待機しようとしています。(applid CICS is about to wait for predecessors defined in the MVS automatic restart management policy for this region.)

説明: CICS は自動リスタート・マネージャーに対して WAITPRED 要求を呼び出そうとしています。これにより、CICS 処理を続行する前に遅延が生じることがあります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKEAR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHKE0407 *applid* XRF IS INCOMPATIBLE WITH AUTOMATIC RESTART MANAGER. CICS IS TERMINATING.

説明: CICS は、再始動後に MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に登録しましたが、再始動 JCL は XRF=YES を指定しています。XRF は ARM と互換性がありません

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 再始動 JCL の XRF=YES オプションが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHKEAR

宛先: コンソール

DFHKE0408D *applid* 開始タイプ「ASIS」または「AUTO」を指定してください。(applid PLEASE SPECIFY START TYPE, 'ASIS' OR 'AUTO'.)

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) での REGISTER の試行は、コールド・スタートまたは初期始動が SIT に指定されたときに失敗しました。

START=COLD または START=INITIAL を指定する JCL を使用して CICS 領域が再始動した場合、CICS は ARM に依存して、開始タイプをオーバーライドし、AUTO に変更するかどうかを決定します。REGISTER が失敗したため、CICS は ARM によって領域が再始動されるかどうかを判別できず、したがって開始タイプをオーバーライドするかどうかを認識していません。

システムの処置: CICS は、この領域で使用される START タイプをオペレーターが提供するまで待機します。

ユーザーの処置: 領域が ARM によって再始動されている場合は、AUTO を指定します。SIT 内の COLD または INITIAL の始動タイプを保持する必要がある場合は、ASIS を指定してください。

根本的な REGISTER の障害を処理するためのガイダンスについては、以前発行されたメッセージ DFHKE0401 を参照してください。

モジュール: DFHKEAR

宛先: コンソール

DFHKE0410 *applid* 自動リスタート・マネージャーへの
CICS REGISTER 呼び出しはジョブ・タイプが無効なため失敗しました。(applid
**CICS REGISTER CALL TO
 AUTOMATIC RESTART MANAGER
 FAILED BECAUSE THE JOB TYPE IS
 INVALID.)**

説明: ジョブ・タイプが ARM に対して無効であるため、MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する REGISTER 要求を呼び出そうとしましたが失敗しました。CICS は開始済みタスクまたはバッチ・ジョブとして実行中の場合にのみ ARM に登録できます。

システムの処置: CICS は継続しますが、その後、ARM によって再始動することはできません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKEAR

宛先: コンソール

DFHKE0411 *applid* 自動リスタート・マネージャーへの
CICS REGISTER 呼び出しはユーザーが最大数に到達したため失敗しました。
 (applid **CICS REGISTER CALL TO
 AUTOMATIC RESTART MANAGER
 FAILED BECAUSE MAXIMUM
 NUMBER OF USERS WAS
 REACHED.)**

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する REGISTER 要求を呼び出そうとしましたが、ARM 結合データ・セットに許可されている ARM ユーザーの最大数に達したため失敗しました。ARM が CICS を再始動中の場合、この応答が ARM によって出されることはありません。

システムの処置: CICS は継続しますが、その後、ARM によって再始動することはできません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKEAR

宛先: コンソール

DFHKE0412I *applid* 自動リスタート・マネージャーへの
CICS WAITPRED 呼び出しが完了しました。(applid **CICS WAITPRED call to
 automatic restart manager has
 completed.)**

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する WAITPRED 要求が完了しました。

ARM を使用する方法について詳しくは、「z/OS MVS

シスプレックスのセットアップ」マニュアルから見つけることもできます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHKEAR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHKE0413 *applid* モジュール DFHKESVC での
CICS REGISTER 呼び出しに失敗しました (戻りコード X'resp'. (applid **CICS
 REGISTER CALL FAILURE IN
 MODULE DFHKESVC (RETURN
 CODE X'resp').)**

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する REGISTER 要求を実行しようとしたが、モジュール DFHKESVC で失敗しました。

コード resp は DFHKESVC からの 16 進数の応答で、以下の意味があります。

-
- 08 - 要求された機能はサポートされていません。
-
- 0C - 動的ストレージの GETMAIN が失敗しました。
-
- 10 - リカバリー・ルーチンを確立できません。
-
- 14 - DFHAUTH CHECK が失敗しました。

システムの処置: CICS は継続しますが、その後、ARM によって再始動することはできません。

ユーザーの処置: CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ARM を使用する方法について詳しくは、「」で見つけることもできます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHKEAR

宛先: コンソール

DFHKE0414 MVS サービス CSRL16J からの戻りが不正です (BAD RETURN FROM MVS SERVICE CSRL16J.)

説明: MVS サービス CSRL16J (ロード 16 およびジャンプ) を呼び出す試行が、ゼロ以外の戻りコードで CICS に返されました。このサービスは、CICS カーネルの「アドレスのリセット」機能から呼び出されます。

システムの処置: CICS は意図的に特権命令を実行することによって続行し、これによって、ASRA 異常終了を発生させるコード 0C2 を使用してプログラム例外を実行します。レジスター 4 が CSRL16J サービスからの戻りコードでロードされました。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHKERET

宛先: コンソール

DFHKE0500 applid MAXPROCUSER exceeded while executing 'service-routine'.

説明: カーネルは *service-routine* 呼び出し可能サービスに呼び出しを発行し、EMVSINITIAL の応答を理由コード X'0012' で受け取りました。この理由コードは、現在の CICS 領域のユーザー ID についてのプロセス数が超過したことを示しています。

システムの処置: このドメインの呼び出し元にエラー応答が返されます。このドメインの呼び出し元によって、他のエラー・メッセージや異常終了が出されることがあります。

ユーザーの処置: このエラーが頻繁に発生する場合、SYS1.PARMLIB の BPXPRMxx メンバー内の MAXPROCUSER 値を大きくしてください。

モジュール: DFHKETCB、DFHKEDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *service-routine*

宛先: コンソール

DFHKE0501 applid カーネルは、*uss* サービス・ルーチンから戻り値 *X'rvalue'*、戻りコード *X'rcode'*、および戻された理由 *X'rreason'* を受け取りました。(*applid The Kernel received a return value of X'rvalue', a return code of X'rcode' and a return reason of X'rreason' from the uss service-routine.*)

説明: Unix システム・サービスは、CICS の初期設定

中にカーネルによって実行されたサービス・ルーチン呼び出しに対してゼロ以外の戻りコード/理由コードを返しました。

システムの処置: CICS の実行中に Unix システム・サービスが後で必要になるかどうかを判別するには早すぎるため、CICS 初期設定は続行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この応答の理由を判別します。メッセージ・テキストで示される戻りコードおよび理由コードについては、「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルの中で説明しています。

モジュール: DFHKETCB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rvalue'*
3. *X'rcode'*
4. *X'rreason'*
5. *uss*

宛先: コンソール

DFHKE0996 applid DFHKESTX は、再試行の実行中に取り消すように駆動されました。(applid DFHKESTX DRIVEN FOR CANCEL WHILE PERFORMING RETRY.) TCB TCB での完了コード *CODE*。(COMPLETION CODE *CODE* ON TCB TCB.)

説明: CICS が以前の再試行可能異常終了の再試行ポイントを見つけようとしていたときに、MVS はこの TCB に対して取り消し異常終了を出しました。

システムの処置: この TCB は強制終了されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0997 applid DFHKESTX DRIVEN FOR CLEANUP ON AN ESSENTIAL TCB WITH COMPLETION CODE *CODE*. UNABLE TO RECOVER.

説明: MVS は必須 TCB のクリーンアップのために、CICS ESTAE タイプのリカバリー・ルーチン DFHKESTX の呼び出しを行いました。この状態からのリカバリーは不可能です。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユ

ユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: モジュール DFHKESTX は、DFHKESTX によってまだ生成されていない場合にシステム・ダンプを生成します。その後 CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 異常終了完了コードは 4 バイト・フィールドです。最初のバイトには完了コードのフラグ・ビットが含まれ、次の 12 ビットにはシステム完了コードが入り、最後の 12 ビットにはユーザー完了コードが入ります。

この情報を使用して、CICS ESTAE タイプのリカバリー・ルーチンが実行された理由を判別します。

異常終了の理由を示すメッセージを探してください。異常終了コードに関する適切な資料の項目は、エラーに関する手引きをユーザーに提供し、さらに適切なユーザーの処置に関する手引きについても提供しています。

モジュール: DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0998 *applid* DFHKESTX は無効な KTCB で入力されました。(applid DFHKESTX ENTERED WITH INVALID KTCB.)

説明: カーネルは拡張サブタスク異常終了出口 (ESTAE) を確立する際に、ESTAE マクロの PARAM 値を KTCB のアドレスに設定します。オペレーティング・システムがカーネル ESTAE ルーチンを駆動すると、このルーチンは、PARAM アドレスが KTCB を指しているかどうかを検査します。

PARAM アドレスが KTCB を指していない場合、このメッセージが発行されて CICS は終了します。これは、KTCB をアドレス指定できない場合、カーネル ESTAE はエラーを処理できないためです。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: KTCB 目印が上書きされている可能性があります。ストレージの上書きが問題の原因になっているかどうかを判別し、そうである場合は上書きのソースを判別してください。そうでない場合、問題解決にはさらにサポートが必要になる場合があります。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。これに対する処置については、「トラブルシューティングおよびサポート」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE0999 *applid* MVS HAS CALLED DFHKESTX WITH NO SDWA. ABEND CODE X'code'.

説明: MVS が CICS ESTAE タイプのリカバリー・ルーチン DFHKESTX の呼び出しを行いました。それはシステム診断作業域 (SDWA) を提供しませんでした。DFHKESTX はリカバリーを続行することができません。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: モジュール DFHKESTX がシステム・ダンプを作成し、次の ESTAE ルーチンにエラーをパーコレートします。これは潜在的に重大エラーです。CICS は処理を続行しますが、エラー・パーコレーションの結果を保留します。

ユーザーの処置: 異常終了コード X'code' は、CICS ESTAE が呼び出された理由です。どのプロダクトが異常終了を起こしたかを知る必要があります。通常、そのコードは、MVS システム完了コード (例えば、D37) です。ただし、異常終了は CICS によって出された可能性もあり (例えば、異常終了 1596)、または IMS などの他の製品によって出された可能性もあります。

これに関する診断情報が少ないため、異常終了の理由を示すメッセージを参照してください。異常終了コードに関する適切な資料の項目は、エラーに関する手引きをユーザーに提供し、さらに適切なユーザーの処置に関する手引きについても提供しています。

SDWA が渡されず、リカバリーが試行されなかった理由としては、おそらくストレージの不足があげられます。このストレージの不足は、異常終了自体にも影響を与えている可能性があります。

モジュール: DFHKESTX

宛先: コンソール

DFHKE1798 *applid* FO TCB が強制終了されました。

説明: CICS の即時シャットダウン中、VSAM がすべてのデータ・セットを正常に閉じることができるよう前に、TCB を所有するファイルが切り離されました。

この TCB の切り離しは、シャットダウン中に異常終了の原因となることがあります。CICS の再始動時に、即時シャットダウンが実行されるときに更新のためにオープン状態であるすべてのデータ・セットに対して

VSAM は VERIFY を実行することが必要な場合があります、これが長期遅延の原因となることがあります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような場合には、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS の即時シャットダウンが続行されます。

ユーザーの処置: なし。

このメッセージが頻繁に出される場合には、即時シャットダウンを実行する前に、CEMT SET FILE ALL CLOSED を発行することもできます。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

DFHKE1799 *applid* TERMINATION OF CICS IS COMPLETE.

説明: このメッセージは、CICS が終了したときに出されます。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 制御はオペレーティング・システムに返されます。

ユーザーの処置: なし。

DFHLDnnnn メッセージ

DFHLD0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了が発生して、異常終了コード *aaa/bbbb* が出されました。

プログラム・チェック時のプログラム状況ワード (PSW) または異常終了は、CICS がモジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で実行していたことを示しています。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊により引き起こされた可能性があります。

システムの処置: ダンプ・テーブルの項目で指示しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

DFHKE1800 *applid* ABNORMAL TERMINATION OF CICS IS COMPLETE.

説明: CICS は、異常終了するときこのメッセージを出します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS の異常終了が続行されます。カーネルは、ユーザー 1800 異常終了を出すことにより、オペレーティング・システムに制御を返します。

異常終了を引き起こした最初のエラーにより、ダンプが作成された可能性もあります。このメッセージに伴う特定のダンプは作成されません。

ユーザーの処置: ダンプが作成された場合、ダンプを調べてエラーの原因を判別してください。「トラブルシューティングおよびサポート」を使用して、問題の判別に役立ててください。

ダンプが作成されなかった場合には、その他の CICS メッセージ、MVS メッセージ、および異常終了コードを調べて、問題の原因の判別に役立ててください。

モジュール: DFHKESIP

宛先: コンソール

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供したシステム・ダンプおよび前に出力されたすべての診断情報を使用して、プログラム・チェックまたは異常終了の原因を調べてください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLDDM, DFHLDDMI, DFHLDL, DFHLDL1, DFHLDL2, DFHLDL3, DFHLNNT, DFHLNST, DFHLDLB, DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*

4. *modname*

宛先: コンソール

DFHLD0002 *applid* **A severe error (code X'code') has occurred in module *modname*.**

説明: ローダーが、CICS のどこか他の部分またはオペレーティング・システム・サービスから予期しないエラー応答を受け取りました。ローダーが要求した操作は、X'code' で記述されています。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1. CICS のどこか他の部分から以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2. 症状ストリングを調べる。
3. ダンプを調べる。

モジュール: DFHLDDM, DFHLDDMI, DFHLDLD, DFHLDLD1, DFHLDLD2, DFHLDLD3, DFHLDNT, DFHLDST, DFHLDLB, DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHLD0004 *applid* **A possible loop has been detected at offset X'offset' in module *modname*.**

説明: CICS がコード実行ループと思われるものを検出しました。実行が中断したとき、プログラム状況ワード (PSW) は、次の命令アドレスがモジュール *modname* のオフセット X'offset' にあることを示しました。

システムの処置: ダンプ・テーブル・オプションで CICS が特に終了しないように指定しない限り、CICS は終了して、システム・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS 制御ブロックの破壊、または予期したイベントの完了不可を引き起こす可能性のあるエラー状態が以前に存在したかどうかを調べてください。以前にエラーが存在した形跡がない場合には、IBM のサポートを得て問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLDDM, DFHLDDMI, DFHLDLD, DFHLDLD1, DFHLDLD2, DFHLDLD3, DFHLDNT, DFHLDST, DFHLDLB, DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'offset'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHLD0101I *applid* **CICS nucleus module *modname* not found.**

説明: CICS ローダー (LD) はリンク・バック域 (LPA) からも DFHRPL ライブラリー連結からもモジュール *modname* のコピーを見つけることができませんでした。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目により特に禁止されていない限り、システム・ダンプがとられ、CICS 実行は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの次には、モジュール *modname* が欠落しているために機能の可用性が低下していることをユーザーに通知する 1 つまたは複数のメッセージが出されます。

LPA または DFHRPL 連結内のライブラリー (あるいはその両方) にモジュール *modname* のコピーがあるようにしてください。

モジュールが LPA に存在することが予想される場合は、始動時の指定変更として LPA=YES を指定することによって、CICS が LPA 常駐モジュールを使用するようにしてください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHLD0102 *applid* Unable to declare gate *ff* for module *modname*.

説明: その初期設定の一部として、CICS ロードーがモジュール *modname* に対してドメイン・ゲート *ff* を定義しようとしたましたが、間違った応答を受け取りました。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目により特に禁止されていない限り、システム・ダンプがとられ、CICS 実行は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS 内の内部エラーを診断します。以前のエラーが CICS を損傷状態のままにしてあったかどうかを調べてください。以前に重大エラーが存在した形跡がない場合には、IBM のサポートを得て問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ff*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHLD0103I *applid* Module Storage Compression OFF. All modules are USAGE=TRANSIENT.

説明: このメッセージの前に、通常、メッセージ DFHLD0101 またはメッセージ DFHLD0102 のいずれかが出され、ロードー (LD) ドメインがその動的プログラム・ストレージ圧縮機能を初期設定できなかったことを示しています。

システムの処置: CICS 実行は続行されますが、すべての非常駐アプリケーション・プログラムは USAGE=TRANSIENT オプションを指定して定義されたかのように処理されます。したがって、これらのプログラムは、使用カウントがゼロに達したと同時にストレージから削除されます。

一部の機能については、トランザクションの実行中にプログラムを 1 回だけではなく何回もロードできるので、結果的に性能が低下する可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージ DFHLD0101 またはメッセージ DFHLD0102 のいずれかによって診断された、モジュール DFHLDNT に関して以前に発生した問題の原因を調べてください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLD0104I *applid* Module Statistics are not being collected.

説明: このメッセージの前に、通常、メッセージ DFHLD0101 またはメッセージ DFHLD0102 のいずれかが出され、ロードー (LD) ドメインがその統計収集モジュールを初期設定できなかったことを示しています。

システムの処置: CICS 実行は続行されますが、モジュール統計は集められません。

ユーザーの処置: メッセージ DFHLD0101 またはメッセージ DFHLD0102 のいずれかによって診断された、モジュール DFHLDST に関して以前に発生した問題の原因を調べてください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLD0105 *applid* Restart of Loader Option Block (LOB) failed. System defaults in use.

説明: CICS ロードーの初期設定により、ローカル・カタログからリカバリーしたロードー・オプション・ブロック (LOB) 内に 1 つまたは複数の無効なパラメーターが検出されました。

これは、ローカル・カタログの破壊が起きたことを示している可能性があります。

システムの処置: ダンプ・テーブル・オプションにより特に禁止されていない限り、システム・ダンプがとられ、CICS 実行は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ローカル・カタログの破壊の可能性を調べてください。ローカル・カタログに破壊の可能性がある場合は、再初期設定して CICS ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLD0106 *applid* DFHRPL の OPEN で誤った応答 X'*resp*' が返されました。(applid Bad response X'*resp*' returned on an OPEN of DFHRPL.)

説明: CICS ロードは初期化中に DFHRPL ライブラリー連結をオープンしようとして応答コード *resp* を受け取りました。

システムの処置: アクセス可能なのはリンク・パック域 (LPA) 常駐モジュールだけですが、CICS 実行は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: DFHRPL 連結が JCL で正しく指定されていること、およびそれに指定されたライブラリーが操作可能であることを確認してください。戻される応答コードは、BSAM オープン要求用に解釈されることがあります。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*resp*'

宛先: コンソール

DFHLD0107I *applid modname1* が LPA 内にモジュール *modname2* を見つけることができません。DFHRPL バージョンのモジュールが使用されます。

説明: ユーザーがシステム初期設定パラメーター LPA=YES を指定しました。モジュール *modname2* は RDO により USELPACOPY=YES として定義されているか、あるいは CICS PCLASS=SYSTEM モジュールです。CICS は、リンク・パック域 (LPA) から *module2* を見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS 実行は、CICS プログラム・ライブラリー DFHRPL からモジュール *modname2* を見つけようとして、続行されます。

ユーザーの処置: 次のいずれかを実行してください。

- モジュール *modname2* が必要であり、そのモジュールが LPA 適格である場合には、そのモジュールを LPA にロードしてください (CICS モジュールの LPA 適格については、「CICS TS のインストール」を参照してください)。
-

SIT オプションとして PRVMOD=*modname2* をコーディングしてください。これにより、CICS はそのモジュールを見つけようとして LPA を探索することはなくなります。

- システム初期設定パラメーターとして LPA=NO をコーディングしてください。これにより、CICS はモジュールを見つけようとして LPA を探索することはなくなります。
-

MVS VARY コマンドを使用して、すべてのコンソールまたは選択されたコンソールでこのメッセージを禁止してください。これを行う方法について詳しくは、「CICS TS のインストール」を参照してください。

モジュール: DFHLDDMI、DFHLDLD1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname1*
3. *modname2*

宛先: コンソール

DFHLD0108I *applid* The maximum of 32767 entries that CICS allows on a BLDL has been exceeded.

説明: ウォーム・リスタートまたは緊急再始動時に、ローダー・ドメインが BLDL に適格なモジュールを 32767 より多く検出しました。

システムの処置: BLDL マクロ呼び出しが出され、最初の 32767 個のモジュールが位置指定され、残りは無視されます。CICS 初期設定は正常に続行されます。

初期設定時に位置指定されていなかったモジュールを、モジュールが初めて使用されるときに、CICS は位置指定しようとするので、これは問題ではありません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLD0109I *applid modname1* が LPA 内にモジュール *modname2* を見つけることができません。DFHRPL または動的 LIBRARY バージョンのモジュールが使用されます。

説明: ユーザーがシステム初期設定パラメーター

LPA=YES を指定しました。モジュール *modname2* は RDO により USELPACOPY=YES として定義されているか、あるいは CICS システム・モジュールです。CICS は、リンク・パック域 (LPA) から *module2* を見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS 実行は、LIBRARY 検索順序内の CICS プログラム・ライブラリー DFHRPL または動的 LIBRARY からモジュール *modname2* を見つけようとして、続行されます。CICS が *module2* を探索する LIBRARY 連結の順序は、システムで現在アクティブになっている LIBRARY 検索順序によって決まります。

ユーザーの処置: 次のいずれかを実行してください。

- モジュール *modname2* が必要であり、そのモジュールが LPA 適格である場合には、そのモジュールを LPA にロードしてください。(CICS モジュールの LPA 適格については、「CICS TS のインストール」を参照してください)。
- SIT オプションとして PRVMOD=*modname2* をコーディングしてください。これにより、CICS はそのモジュールを見つめようとして LPA を探索することはなくなります。
- システム初期設定パラメーターとして LPA=NO をコーディングしてください。これにより、CICS はモジュールを見つめようとして LPA を探索することはなくなります。
- MVS VARY コマンドを使用して、すべてのコンソールまたは選択されたコンソールでこのメッセージを禁止してください。これを行う方法について詳しくは、「CICS TS のインストール」を参照してください。

モジュール: DFHLDDL1、DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname1*
3. *modname2*

宛先: コンソール

DFHLD0110I *applid* CICS バージョン *cicsver* の初期化中に CICS *modver* バージョンの中核モジュール *modname* が見つかりました。
(*applid* A CICS *modver* version of nucleus module *modname* found when initializing CICS version *cicsver*.)

説明: CICS ロード (LD) はリンク・パック域 (LPA) または DFHRPL ライブラリー連結のいずれかから CICS 中核モジュール *modname* のバージョンをロードしました。モジュールは CICS バージョン *modver* のためのものです。

システムの処置: システム・ダンプが取られ、CICS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: ユーザー応答は、指定された中核モジュールに応じて異なります。

- *modname* が CICS 管理テーブル (DFHSRT、DFHTCT、DFHTST など) の場合、CICS バージョン *cicsver* 用のマクロ・ライブラリーを使用してテーブルを再アセンブルします。
- それ以外の場合、DFHRPL 連結のすべてのライブラリーを確認し、CICS バージョン *modver* 用のすべてのライブラリーを削除します。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modver*
3. *modname*
4. *cicsver*

宛先: コンソール

DFHLD0201 *applid* Corrupt Loader load structure detected at X'*address*'. Module marked as unavailable.

説明: CICS ロード要求の実行時に、ローダーが、ストレージ・アドレス *address* の制御ブロック・タイプ *tttt* に無効フィールドを検出しました。

システムの処置: ダンプ・テーブル・オプションにより特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、実行は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS モジュール、制御ブロック、ローカル・カタログ、またはグローバル・カタログにそれぞれ破壊の可能性がないか調べてください。

モジュール: DFHLDDL1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *load*
3. X'*address*'

宛先: コンソール

DFHLD0202 *applid* **Loader SVC svc request failed due to shortage of free storage in the region.**

説明: ローダー・ドメインは、その CICS SVC サービス・ルーチン DFHLD SVC に対して要求を出しましたが、MVS 領域にフリー・ストレージが不足していたために、この要求の実行が失敗しました。要求のタイプは、*svc* により示されます。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目により特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは実行を続行します。ローダー・サービスを要求するタスクは、異常終了コード APCT が出されて異常終了するか、もしくは PGMIDERR 条件が出されます。

ユーザーの処置: DSA または EDSA の全体サイズの限界と、CICS ジョブ JCL のジョブ・カードの REGION パラメーターによって指定される MVS 領域のサイズのバランスをとることによって、MVS 領域内に十分なフリー・ストレージを確保してください。

モジュール: DFHLDL1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *svc*

宛先: コンソール

DFHLD0203 *applid* ローダー **SVC svc** 要求がライブラリー **DFHRPL** の入出力エラーのため失敗しました。(applid Loader SVC svc request failed due to I/O errors on library DFHRPL.)

説明: ローダー・ドメインがその CICS SVC サービス・ルーチン DFHLD SVC に対して要求を出しましたが、再配置可能ライブラリー DFHRPL の入出力エラーのため、この要求の実行が失敗しました。要求のタイプは、*svc* により示されます。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目により特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは実行を続行します。ローダー・サービスを要求するタスクは、異常終了コード APCT が出されて異常終了するか、もしくは PGMIDERR 条件が出されます。

ユーザーの処置: 検出された入出力エラーの原因を調べてください。MVS システム・コンソール・ログには、アクセス方式または入出力サブシステムのメッセージの形で、問題に関する詳しい情報が入っている可能性があります。システム・ダンプ内の (全トレースからの) ローダー・ドメイン例外トレース項目は、通常、入出力エ

ラーが発生したモジュールを識別します。

この問題の考えられる原因は、DFHRPL 連結内の区分データ・セット (PDS) の圧縮です。

モジュール: DFHLDL1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *svc*

宛先: コンソール

DFHLD0204 *applid* **Bad Loader PDB for module modname recovered from the {Local | Global} catalog. Corruption suspected.**

説明: モジュール *modname* 用のローダー定義レコード PDB が、スタートアップ時にローカル・カタログ (DFHLCD) またはグローバル・カタログ (DFHGCD) のいずれかから読み取られ、そのなかに無効なデータが入っていることがわかりました。

システムの処置: 特にダンプを抑止しない限り、システム初期設定は終了し、システム・ダンプが作成されます。システム・ダンプを抑止すると、モジュール定義は無視されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージに示されたカタログ・データ・セットが破壊されておらず、しかも CICS ジョブが使用できることを確認してください。

モジュール: DFHLDDMI, DFHLDL1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. 以下のオプションから選択される値。

1= ローカル,
2= グローバル

宛先: コンソール

DFHLD0205 *applid* グローバル・カタログからリカバリーされた **LIBRARY libname** のローダー **PLDB** が正しくありません。Corruption suspected.

説明: 動的 LIBRARY *modname* 用のローダー・プログラム LIBRARY レコード PLDB がスタートアップ時にグローバル・カタログから読み取られ、そのなかに無効なデータが入っていることがわかりました。

システムの処置: 特にダンプを抑止しない限り、システ

ム初期設定は終了し、システム・ダンプが作成されます。システム・ダンプを抑止すると、動的 LIBRARY リソースは無視されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージに示されたカタログ・データ・セットが破壊されておらず、しかも CICS ジョブが使用できることを確認してください。

モジュール: DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0206 *applid* **LIBRARY** *libname* での入出力エラーのため、ローダー **SVC** *svc* 要求が失敗しました。

説明: ローダー・ドメインがその CICS SVC サービス・ルーチン DFHLDSVC に対して要求を出しましたが、動的 LIBRARY *libname* の入出力エラーのため、この要求の実行が失敗しました。要求のタイプは、*svc* により示されます。

システムの処置: システムの処置は、*svc* の要求のタイプによって異なります。

- *svc* が BLDL の場合、プログラムのロケーションについて LIBRARY 検索順序で検索中に問題が発生しました。検索は、LIBRARY 検索順序内の次の LIBRARY (存在する場合) で続行されます。この影響は、LIBRARY *libname* が LIBRARY 検索順序に含まれていない場合と同じです。

- *svc* が LOAD の場合、動的 LIBRARY の既知のロケーションからプログラムをロード中に問題が発生しました。ダンプ・テーブル項目により特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは実行を続行します。ローダー・サービスを要求するタスクは、異常終了コード APCT が出されて異常終了するか、もしくは PGMIDERR 条件が出されます。

ユーザーの処置: 検出された入出力エラーの原因を調べてください。MVS システム・コンソール・ログには、アクセス方式または入出力サブシステムのメッセージの形で、問題に関する詳しい情報が入っている可能性があります。システム・ダンプ内の (全トレースからの) ローダー・ドメイン例外トレース項目は、通常、入出力エラーが発生したモジュールを識別します。

この問題の考えられる原因は、LIBRARY 連結内の区分

データ・セット (PDS) の圧縮です。別の原因としては、動的 LIBRARY 連結内の 1 つ以上のデータ・セットが、区分データ・セット (PDS) または拡張区分データ・セット (PDSE) として正しく定義されていないことが考えられます。

モジュール: DFHLDL1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *svc*
3. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0501 I *date time applid termid tranid*
LIBRARY *libname* **is being installed**
with status {*Enabled* | *Disabled*}.

説明: 動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが開始されました。この LIBRARY に要求された使用可能化状況は、メッセージに示されているように「使用可能」または「使用不可」のいずれかです。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースのインストールを処理します。この後に続くメッセージが、インストールの結果を示します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能,
 2= 使用不可

宛先: CSLB

DFHLD0502 I *date time applid termid tranid* **Install**
of LIBRARY *libname* **has completed**
successfully. Enablement status is
 {*Enabled* | *Disabled*}.

説明: 動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが正常に完了しました。LIBRARY の使用可能化状況は、メッセージで示されているように、「使用可能」ま

DFHLD0503 W • DFHLD0504 E

たは「使用不可」に正常に設定されています。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースのインストールを処理しました。このメッセージは、LIBRARY リソースのインストール処理の開始を示すメッセージ DFHLD0501 の後に続きます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能,
2= 使用不可

宛先: CSLB

DFHLD0503 W *date time applid termid trandid* **Install of LIBRARY libname has failed to complete successfully, for reason:**
{library not found. | dynamic allocation of data set failed. | concatenation of data sets failed. | open of library concatenation failed. | close of library concatenation failed. | deconcatenation of data sets failed. | de-allocation of data set failed. | mvsabend condition. | incompatible bundle set. | library not disabled. | insufficient storage. | library lock error. | library chain error. | catalog write failed. | catalog_delete failed. | unknown.}
Enablement status is Disabled.

説明: 動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが完了しましたが、完全には成功していません。動的 LIBRARY リソースを正常にインストールするために必要なステップの 1 つが失敗しました。LIBRARY はインストール済みですが、使用可能化状況が使用不可になっています。これは、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に入らないことを意味します。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースのインストール処理を試行しました。このメッセージは、LIBRARY リソースのインストール処理の開始を示すメ

ッセージ DFHLD0501 の後に続きます。LIBRARY はプログラム成果物のロード時に検索されません。つまり、LIBRARY に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: この LIBRARY のインストール処理中に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= ライブラリーが見つかりません。,
2= データ・セットの動的割り振りに失敗しました。,
3= データ・セットの連結に失敗しました。,
4= ライブラリー連結のオープンに失敗しました。,
5= ライブラリー連結のクローズに失敗しました。,
6= データ・セットの連結解除に失敗しました。,
7= データ・セットの割り振り解除に失敗しました。,
8= MVS ABEND 条件が発生しました。,
9= バンドル・セットに互換性がありません。,
10= ライブラリーが無効になっていません。,
11= ストレージ不足です。,
12= ライブラリー・ロック・エラーです。,
13= ライブラリー・チェーン・エラーです。,
14= カタログの書き込みに失敗しました。,
15= カタログの削除に失敗しました。,
16= 不明。

宛先: CSLB

DFHLD0504 E *date time applid termid trandid* **Install of LIBRARY libname has failed because a LIBRARY of that name is already installed and enabled.**

説明: 同じ名前の LIBRARY が既にインストールされており、使用可能状態であるため、動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが拒否されました。既存の LIBRARY リソースが使用不可状態でない限り、既存の LIBRARY リソースを新しい定義で置き換えることはできません。

システムの処置: システムは続行します。既存の LIBRARY リソースが引き続き使用されます。

ユーザーの処置: LIBRARY の新しい定義をインストールすることが意図されたものであるかどうかを調べてください。その場合は、既存の LIBRARY を使用不可に設定し、新しい定義をインストールするために使用した要求を繰り返してください。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*

宛先: CSLB

DFHLD0505 I *date time applid* **Details for**
LIBRARY *libname*, **ranking:** *ranking*,
critical status: *{Critical | Noncritical}*,
enablement status: *{Enabled | Disabled}*.

説明: このメッセージは、LIBRARY *libname* のランキング、クリティカル状況、および使用可能化状況の詳細を提供します。ランキングは *ranking* によって指定され、この LIBRARY が他の LIBRARY リソースに対して検索順序内でどのように位置付けられているかを指定する数値です。クリティカル状況は、「クリティカル」または「非クリティカル」のいずれかで、この LIBRARY が CICS の始動について重要であるかどうかを示します。使用可能化状況は「使用可能」または「使用不可」で、LIBRARY が現在使用可能かどうかを示します。使用可能な LIBRARY のみが検索順序に参加できます。

システムの処置: システムは続行します。これは LIBRARY リソースの詳細情報を提供するための通知メッセージのセットの 1 つです。関連するメッセージが、この LIBRARY で定義されたデータ・セットに関する情報を提供します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *libname*
5. *ranking*
6. 以下のオプションから選択される値。

- 1= クリティカル,
- 2= 非クリティカル

7. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 使用可能,
- 2= 使用不可

宛先: CSLB

DFHLD0506 I *date time applid* **Details for**
LIBRARY *libname*, **data sets 1-8:**
dsname01, dsname02, dsname03, dsname04,
dsname05, dsname06, dsname07, dsname08.

説明: このメッセージは LIBRARY リソース *libname* で定義されたデータ・セットの詳細情報を提供します。LIBRARY 内の最大 8 個のデータ・セットが、挿入部 *dsname01, dsname02, dsname03, dsname04, dsname05, dsname06, dsname07*、および *dsname08* で示されます。これはデータ・セットが LIBRARY 定義内で現れる順序です (ブランクのデータ・セット・スロットを含む)。残りの 8 つのデータ・セット (*dsname09* から *dsname16* まで) は、後続の DFHLD0507 メッセージで提供されます。

システムの処置: システムは続行します。これは LIBRARY リソースの詳細情報を提供するための通知メッセージのセットの 1 つです。関連するメッセージが、この LIBRARY の属性および LIBRARY 内で定義されている他のデータ・セットに関する詳細情報を提供します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *libname*
5. *dsname01*
6. *dsname02*
7. *dsname03*
8. *dsname04*
9. *dsname05*
10. *dsname06*
11. *dsname07*
12. *dsname08*

宛先: CSLB

DFHLD0507 I *date time applid* **Details for**
LIBRARY *libname*, **data sets 9-16:**
dsname09, dsname10, dsname11, dsname12,
dsname13, dsname14, dsname15, dsname16.

説明: このメッセージは LIBRARY リソース *libname* で定義されたデータ・セットの詳細情報を提供します。LIBRARY 内の最大 8 個のデータ・セットの 2 番目のセットが、挿入部 *dsname09, dsname10, dsname11, dsname12, dsname13, dsname14, dsname15, および dsname16* で示されます。これはデータ・セットが LIBRARY 定義内で現れる順序です (ブランクのデータ・セット・スロットを含む)。最初の 8 つのデータ・セット (*dsname01* から *dsname08* まで) は、前の DFHLD0506 メッセージで提供されます。

システムの処置: システムは続行します。これは、この LIBRARY リソースについての詳細情報を提供するための通知メッセージのセットの 1 つです。関連するメッセージが、LIBRARY の属性および LIBRARY について定義された最初の 8 つのデータ・セット・スロットの詳細情報を提供します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *libname*
5. *dsname09*
6. *dsname10*
7. *dsname11*
8. *dsname12*
9. *dsname13*
10. *dsname14*
11. *dsname15*
12. *dsname16*

宛先: CSLB

DFHLD0508 I *date time applid termid tranid*
LIBRARY *libname* **for application**
applicationname, **version**
majorversion.minorversion.microversion **of**
platform *platformname* **is being installed**
with status {*Enabled* | *Disabled*}.

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが開始しました。この LIBRARY に要求された使用可能化状況は、メッセージに示されているように「使用可能」または「使用不可」のいずれかです。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースのインストールを処理します。この後に続くメッセージが、インストールの結果を示します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能,
 2= 使用不可

宛先: CSLB

DFHLD0509 I *date time applid termid tranid* **Install**
of LIBRARY *libname* **for application**
applicationname, **version**
majorversion.minorversion.microversion **of**
platform *platformname* **has completed**
successfully. Enablement status is
 {*Enabled* | *Disabled*}.

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが正常に完了しました。LIBRARY の使用可能化状況は、メッセージで示されているように、「使用可能」または「使用不可」に正常に設定されています。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースのイ

インストールを処理しました。このメッセージは、**LIBRARY** リソースのインストール処理の開始を示すメッセージ **DFHLD0501** の後に出されます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能,
2= 使用不可

宛先: CSLB

DFHLD0510 I *date time applid* **Details for**
LIBRARY *libname* **for application**
applicationname, version
majorversion.minorversion.microversion of
platform *platformname, ranking: ranking,*
enablement status: {Enabled | Disabled}.

説明: このメッセージは、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の **LIBRARY** *libname* のランキングおよび使用可能化状況の詳細を示します。ランキングは *ranking* によって指定され、この **LIBRARY** が他の **LIBRARY** リソースに対して検索順序内でどのように位置付けられているかを指定する数値です。使用可能化状況は「使用可能」または「使用不可」で、**LIBRARY** が現在使用可能かどうかを示します。使用可能な **LIBRARY** のみが検索順序に参加できます。

システムの処置: システムは続行します。これは **LIBRARY** リソースの詳細情報を提供するための通知メッセージのセットの 1 つです。関連するメッセージが、この **LIBRARY** で定義されたデータ・セットに関する情報を提供します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *libname*
5. *applicationname*
6. *majorversion*
7. *minorversion*
8. *microversion*
9. *platformname*
10. *ranking*
11. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能,
2= 使用不可

宛先: CSLB

DFHLD0512 I *date time applid termid trandid*
LIBRARY *libname* **has been**
successfully discarded.

説明: 動的 **LIBRARY** リソース *libname* の破棄が正常に完了しました。この **LIBRARY** リソースは、CICS システムでアクティブではなくなりました。

システムの処置: システムは、**LIBRARY** リソースの破棄を処理しました。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*

宛先: CSLB

DFHLD0513 W *date time applid termid tranid*
Discard of LIBRARY libname has failed for reason: {library not found. | dynamic allocation of data set failed. | concatenation of data sets failed. | open of library concatenation failed. | close of library concatenation failed. | deconcatenation of data sets failed. | de-allocation of data set failed. | mvs abend condition. | incompatible bundle set. | library not disabled. | insufficient storage. | library lock error. | library chain error. | catalog write failed. | catalog_delete failed. | unknown.}

説明: 動的 LIBRARY リソース libname の破棄が正常に完了しませんでした。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースの破棄を試みようとしました。動的 LIBRARY リソースを正常に破棄するために必要なステップの 1 つが失敗した場合、LIBRARY は無効な状態のままになり、プログラムおよびプログラム成果物のロード時に使用される検索順序に参加しません。このメッセージは、この名前の LIBRARY がインストールされていない場合、またはこの名前の LIBRARY が使用可能である場合に発生することもあります。

ユーザーの処置: 破棄される LIBRARY がインストール済みで、無効な状態にあることを確認してください。それがエラーの原因ではない場合、この LIBRARY の破棄処理中に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. 以下のオプションから選択される値。

- 1= ライブラリーが見つかりません。,
- 2= データ・セットの動的割り振りに失敗しました。,
- 3= データ・セットの連結に失敗しました。,
- 4= ライブラリー連結のオープンに失敗しました。,
- 5= ライブラリー連結のクローズに失敗しました。,
- 6= データ・セットの連結解除に失敗しました。,
- 7= データ・セットの割り振り解除に失敗しました。,
- 8= MVS ABEND 条件が発生しました。,

- 9= バンドル・セットに互換性がありません。,
- 10= ライブラリーが無効になっていません。,
- 11= ストレージ不足です。,
- 12= ライブラリー・ロック・エラーです。,
- 13= ライブラリー・チェーン・エラーです。,
- 14= カタログの書き込みに失敗しました。,
- 15= カタログの削除に失敗しました。,
- 16= 不明。

宛先: CSLB

DFHLD0514 W *date time applid termid tranid* **Install of LIBRARY libname for application applicationname, version majorversion.minorversion.microversion on platform platformname, has failed to complete successfully, for reason:** {library not found. | dynamic allocation of data set failed. | concatenation of data sets failed. | open of library concatenation failed. | close of library concatenation failed. | deconcatenation of data sets failed. | de-allocation of data set failed. | mvs abend condition. | incompatible bundle set. | library not disabled. | insufficient storage. | library lock error. | library chain error. | catalog write failed. | catalog_delete failed. | unknown.}
Enablement status is Disabled.

説明: プラットフォーム platformname のアプリケーション applicationname バージョン majorversion.minorversion.microversion の動的 LIBRARY リソース libname のインストールが完了しましたが、完全には成功していません。動的 LIBRARY リソースを正常にインストールするために必要なステップの 1 つが失敗しました。LIBRARY はインストール済みですが、使用可能化状況が使用不可になっています。これは、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に入らないことを意味します。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースのインストール処理を試行しました。このメッセージは、LIBRARY リソースのインストール処理の開始を示すメッセージ DFHLD0508 の後に続きます。LIBRARY はプログラム成果物のロード時に検索されません。つまり、LIBRARY に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: この LIBRARY のインストール処理中に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. 以下のオプションから選択される値。

1= ライブラリーが見つかりません。
 2= データ・セットの動的割り振りに失敗しました。
 3= データ・セットの連結に失敗しました。
 4= ライブラリー連結のオープンに失敗しました。
 5= ライブラリー連結のクローズに失敗しました。
 6= データ・セットの連結解除に失敗しました。
 7= データ・セットの割り振り解除に失敗しました。
 8= MVS ABEND 条件が発生しました。
 9= バンドル・セットに互換性がありません。
 10= ライブラリーが無効になっていません。
 11= ストレージ不足です。
 12= ライブラリー・ロック・エラーです。
 13= ライブラリー・チェーン・エラーです。
 14= カタログの書き込みに失敗しました。
 15= カタログの削除に失敗しました。
 16= 不明。

宛先: CSLB

DFHLD0515 E *date time applid termid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の **LIBRARY** *libname* のインストールが失敗しました。その名前の **LIBRARY** は既にインストールされているからです。

説明: 指定されたアプリケーションに対して同じ名前の **LIBRARY** が既にインストールされているため、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 **LIBRARY** リソース *libname* のインストールが拒否されました。

システムの処置: システムは続行します。既存の **LIBRARY** リソースが引き続き使用されます。

ユーザーの処置: **LIBRARY** 定義の 1 つを名前変更または削除して、アプリケーションを変更します。アプリケーションを使用不可にして破棄し、変更したアプリケーションをエクスポートし、アプリケーションを再インストールしてください。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*

宛先: CSLB

DFHLD0516 I *date time applid termid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の **LIBRARY** *libname* が正常に破棄されました。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 **LIBRARY** リソース *libname* の破棄が正常に完了しました。この **LIBRARY** リソースは、CICS システムでアクティブではなくなりました。

システムの処置: システムは、**LIBRARY** リソースの破棄を処理しました。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*

7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*

宛先: CSLB

DFHLD0517 W *date time applid termid tranid*
Discard of LIBRARY *libname* for application *applicationname*, version *majorversion.minorversion.microversion* on platform *platformname* has failed for reason: {*library not found.* | *dynamic allocation of data set failed.* | *concatenation of data sets failed.* | *open of library concatenation failed.* | *close of library concatenation failed.* | *deconcatenation of data sets failed.* | *de-allocation of data set failed.* | *mvs abend condition.* | *incompatible bundle set.* | *library not disabled.* | *insufficient storage.* | *library lock error.* | *library chain error.* | *catalog write failed.* | *catalog delete failed.* | *unknown.*}

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 LIBRARY リソース *libname* の破棄が正常に完了しませんでした。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースの破棄を処理しようとしていました。動的 LIBRARY リソースを正常に破棄するために必要なステップの 1 つが失敗した場合、LIBRARY は無効な状態のままになり、プログラムおよびプログラム成果物のロード時に使用される検索順序に参加しません。このメッセージは、この名前の LIBRARY がインストールされていない場合、またはこの名前の LIBRARY が使用可能である場合に発生することもあります。

ユーザーの処置: 破棄される LIBRARY がインストール済みで、無効な状態にあることを確認してください。それがエラーの原因ではない場合、この LIBRARY の破棄処理中に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. 以下のオプションから選択される値。

- 1= ライブラリーが見つかりません。,
- 2= データ・セットの動的割り振りに失敗しました。,
- 3= データ・セットの連結に失敗しました。,
- 4= ライブラリー連結のオープンに失敗しました。,
- 5= ライブラリー連結のクローズに失敗しました。,
- 6= データ・セットの連結解除に失敗しました。,
- 7= データ・セットの割り振り解除に失敗しました。,
- 8= MVS ABEND 条件が発生しました。,
- 9= バンドル・セットに互換性がありません。,
- 10= ライブラリーが無効になっていません。,
- 11= ストレージ不足です。,
- 12= ライブラリー・ロック・エラーです。,
- 13= ライブラリー・チェーン・エラーです。,
- 14= カタログの書き込みに失敗しました。,
- 15= カタログの削除に失敗しました。,
- 16= 不明。

宛先: CSLB

DFHLD0518 I *date time applid termid tranid*
LIBRARY *libname* for application *applicationname*, version *majorversion.minorversion.microversion* of platform *platformname* has been assigned a DD name of *ddname*.

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の LIBRARY リソース *libname* が動的に割り振られて DD 名 *ddname* が割り当てられました。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースのインストールを処理しました。このメッセージは、LIBRARY リソースのインストール処理の開始を示すメッセージ DFHLD0508 の後に続きます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. *ddname*

宛先: CSLB

DFHLD0519 E *date time applid termid trandid* **Install of LIBRARY *libname* has failed because a LIBRARY of that name is already installed.**

説明: 同じ名前の LIBRARY が既にインストールされているため、バンドルで定義された動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールが拒否されました。

システムの処置: システムは続行します。既存の LIBRARY リソースが引き続き使用されます。

ユーザーの処置: 次のいずれかを行ってください。

-

既存の LIBRARY リソース *libname* を破棄してから、バンドルを使用不可にし、破棄し、再インストールしてください。

-

libname の LIBRARY 定義を名前変更または削除することによってバンドルを変更します。変更したバンドルをエクスポートしてから、バンドルを使用不可にし、破棄し、再インストールしてください。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*

宛先: CSLB

DFHLD0521 I *date time applid termid trandid*

Ranking of LIBRARY *libname* changed from *oldranking* to *newranking*.

説明: LIBRARY リソース *libname* のランキング値が変更されました。元の値は *oldranking* で、新しい値は *newranking* です。これにより、検索順序内での他の LIBRARY リソースに対するこの LIBRARY の位置が変更されます。

システムの処置: システムは LIBRARY リソースのランキング値を変更しました。このメッセージの後に、システム内の LIBRARY リソースの新しい検索順序を示すメッセージのセットが続きます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*
7. *oldranking*
8. *newranking*

宛先: CSLB

DFHLD0522 I *date time applid termid trandid* **Critical status of library *libname* changed from {Critical | Noncritical} to {Critical | Noncritical}.**

説明: メッセージに示されているように、LIBRARY リソース *libname* のクリティカル状況が変更されました。LIBRARY のクリティカル状況は以下のいずれかです。

-

クリティカル: この LIBRARY は CICS の始動のために重要です。

-

非クリティカル: この LIBRARY は CICS の始動のために重要ではありません。非クリティカル LIBRARY のインストール中にエラーが発生しても、CICS の始動を続行することができます。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースのクリティカル状況を変更しました。この変更は CICS の次の始動まで効果はありません。始動時にこの LIBRARY がインストールされる場合、クリティカル状

況によってエラーの処理が決定されます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= クリティカル,
2= 非クリティカル

8. 以下のオプションから選択される値。

1= クリティカル,
2= 非クリティカル

宛先: CSLB

DFHLD0523 I *date time applid termid trandid*
LIBRARY libname has been enabled.

説明: LIBRARY リソース *libname* の使用可能化状況が「使用可能」に変更されました。使用可能な LIBRARY は、プログラム成果物のロード元を決定するために使用される、すべての LIBRARY リソースの検索順序に参加します。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースの使用可能化状況を「使用可能」に変更しました。このメッセージの後に、システム内の LIBRARY リソースの新しい検索順序を示すメッセージのセットが続きます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*

宛先: CSLB

DFHLD0524 I *date time applid termid trandid*
LIBRARY libname has been disabled.

説明: LIBRARY リソース *libname* の使用可能化状況が「使用不可」に変更されました。使用不可の LIBRARY は、プログラム成果物のロード元を決定するために使用される、すべての LIBRARY リソースの検索順序に参加しません。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースの使用可能化状況を「使用不可」に変更しました。このメッセージの後に、システム内の LIBRARY リソースの新しい検索順序を示すメッセージのセットが続きます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *libname*

宛先: CSLB

DFHLD0525 W *date time applid termid trandid*
Attempt to set attributes or status of LIBRARY libname has failed for reason: {library not found. | dynamic allocation of data set failed. | concatenation of data sets failed. | open of library concatenation failed. | close of library concatenation failed. | deconcatenation of data sets failed. | de-allocation of data set failed. | mvs abend condition. | incompatible bundle set. | library not disabled. | insufficient storage. | library lock error. | library chain error. | catalog write failed. | catalog_delete failed. | unknown.}

説明: LIBRARY リソース *libname* の属性を設定しようとして失敗しました。LIBRARY の SET 要求が処理されましたが、正常に完了しませんでした。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースに対して SET を処理しようとしたのですが、処理中にエラーが発生しました。要求された属性が設定されていない可能性があります。

ユーザーの処置: この LIBRARY の SET 処理中に発

生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. 以下のオプションから選択される値。

- 1= ライブラリーが見つかりません。,
- 2= データ・セットの動的割り振りに失敗しました。,
- 3= データ・セットの連結に失敗しました。,
- 4= ライブラリー連結のオープンに失敗しました。,
- 5= ライブラリー連結のクローズに失敗しました。,
- 6= データ・セットの連結解除に失敗しました。,
- 7= データ・セットの割り振り解除に失敗しました。,
- 8= MVS ABEND 条件が発生しました。,
- 9= バンドル・セットに互換性がありません。,
- 10= ライブラリーが無効になっていません。,
- 11= ストレージ不足です。,
- 12= ライブラリー・ロック・エラーです。,
- 13= ライブラリー・チェーン・エラーです。,
- 14= カタログの書き込みに失敗しました。,
- 15= カタログの削除に失敗しました。,
- 16= 不明。

宛先: CSLB

DFHLD0526 I *date time applid termid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion. minorversion. microversion* の **LIBRARY** *libname* が有効にされました。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の **LIBRARY** リソース *libname* の使用可能化状況が「使用可能」に変更されました。使用可能な **LIBRARY** は、プログラム成果物のロード元を決定するために使用される、すべての **LIBRARY** リソースの検索順序に参加します。

システムの処置: システムは、**LIBRARY** リソースの使用可能化状況を「使用可能」に変更しました。このメッセージの後に、システム内の **LIBRARY** リソースの新しい検索順序を示すメッセージのセットが続きます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*

宛先: CSLB

DFHLD0527 I *date time applid termid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion. minorversion. microversion* の **LIBRARY** *libname* が無効にされました。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の **LIBRARY** リソース *libname* の使用可能化状況が「使用不可」に変更されました。使用不可の **LIBRARY** は、プログラム成果物のロード元を決定するために使用される、すべての **LIBRARY** リソースの検索順序に参加しません。

システムの処置: システムは、**LIBRARY** リソースの使用可能化状況を「使用不可」に変更しました。このメッセージの後に、システム内の **LIBRARY** リソースの新しい検索順序を示すメッセージのセットが続きます。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*

10. *microversion*
 11. *platformname*

宛先: CSLB

DFHLD0528 W *date time applid termid tranid*
Attempt to set attributes or status of
LIBRARY *libname* **for application**
applicationname, **version**
majorversion.minorversion.microversion **on**
platform *platformname* **has failed for**
reason: {*library not found.* | *dynamic*
allocation of data set failed. |
concatenation of data sets failed. | *open of*
library concatenation failed. | *close of*
library concatenation failed. |
deconcatenation of data sets failed. |
de-allocation of data set failed. | *mvs*
abend condition. | *incompatible bundle set.*
 | *library not disabled.* | *insufficient*
storage. | *library lock error.* | *library*
chain error. | *catalog write failed.* |
catalog_delete failed. | *unknown.*}

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション
applicationname バージョン
majorversion.minorversion.microversion の LIBRARY リソ
 ース *libname* の属性を設定しようとして失敗しました。
 LIBRARY の SET 要求が処理されましたが、正常に完了
 しませんでした。

システムの処置: システムは、LIBRARY リソースに対
 して SET を処理しようとして失敗しましたが、処理中にエラー
 が発生しました。要求された属性が設定されていない可
 能性があります。

ユーザーの処置: この LIBRARY の SET 処理中に発生
 した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコン
 ソール・ログを調べてください。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *libname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*

11. *platformname*
 12. 以下のオプションから選択される値。

- 1= ライブラリーが見つかりません。
 2= データ・セットの動的割り振りに失敗しました。
 3= データ・セットの連結に失敗しました。
 4= ライブラリー連結のオープンに失敗しました。
 5= ライブラリー連結のクローズに失敗しました。
 6= データ・セットの連結解除に失敗しました。
 7= データ・セットの割り振り解除に失敗しました。
 8= MVS ABEND 条件が発生しました。
 9= バンドル・セットに互換性がありません。
 10= ライブラリーが無効になっていません。
 11= ストレージ不足です。
 12= ライブラリー・ロック・エラーです。
 13= ライブラリー・チェーン・エラーです。
 14= カタログの書き込みに失敗しました。
 15= カタログの削除に失敗しました。
 16= 不明。

宛先: CSLB

DFHLD0555 I *date time applid* **Current LIBRARY**
search order follows.

説明: このメッセージは、インストール済みのすべての
 使用可能な LIBRARY リソースについての検索順序内
 の現在位置をリストする、メッセージ DFHLD0556 の
 1 つ以上のインスタンスの前に出されます。これは、
 CICS システム内の LIBRARY リソースの検索順序を示
 す通知メッセージのセットを提供します。

これらのメッセージは、LIBRARY のインストール、
 LIBRARY の有効化または無効化、または LIBRARY ラ
 ンキングの変更など、LIBRARY 検索順序に影響する可
 能性がある変更が発生した際に常に出されます。メッセ
 ージは、そのような変更が CICS の始動時に発生した場
 合に出されるのではなく、CICS の始動中にインストール
 またはリカバリーされた使用可能なすべての
 LIBRARY リソースの検索順序を表示するために、CICS
 の始動の完了時にメッセージのセットが出されます。

システムの処置: システムは処理を続行します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッ
 セージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB, DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSLB

DFHLD0556 I *date time applid* **Position in search order:** *srchpos*, **LIBRARY:** *libname*.

説明: このメッセージは、LIBRARY 検索順序内の位置 *srchpos*、および現在その位置にある LIBRARY の名前 *libname* をリストします。検索順序は、すべての LIBRARY リソースでの全体的な検索順序におけるこの LIBRARY の現在の絶対位置を示す番号で、プログラム成果物のロード元を決定するために使用されます。

これは CICS システム内のインストール済みで使用可能なすべての LIBRARY リソースの検索位置を提供する、通知メッセージのセットの 1 つです。インストールされたが使用不可の LIBRARY リソースは検索順序に参加せず、メッセージのセットにも含まれません。

これらのメッセージは、LIBRARY のインストール、LIBRARY の有効化または無効化、または LIBRARY ランキングの変更など、LIBRARY 検索順序に影響する可能性がある変更が発生した際に常に出されます。これらのメッセージは、CICS 開始時にこのような変更が発生したときには発行されませんが、CICS 始動時にメッセージのセットが発行され、CICS 始動時にインストールまたはリカバリーされたすべての使用可能な LIBRARY リソースの検索順序が表示されます。

システムの処置: システムは処理を続行します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB, DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *srchpos*
5. *libname*

宛先: CSLB

DFHLD0557 I *date time applid* **Current LIBRARY search order for application** *applicationname, version* *majorversion.minorversion.microversion* **of platform** *platformname*, **follows.**

説明: このメッセージは、インストール済みのすべての使用可能な LIBRARY リソースについての検索順序内の現在位置をリストする、メッセージ DFHLD0556 の 1 つ以上のインスタンスの前に出されます。これは、CICS システム内の LIBRARY リソースの検索順序を示す通知メッセージのセットを提供します。

これらのメッセージは、LIBRARY を定義するアプリケ

ーション・バンドルの有効化または無効化などの、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の LIBRARY 検索順序に影響する可能性がある変更が発生するたびに出されます。

システムの処置: システムは処理を続行します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *applicationname*
5. *majorversion*
6. *minorversion*
7. *microversion*
8. *platformname*

宛先: CSLB

DFHLD0558 I *date time applid* **Current LIBRARY search order for application** *applicationname, version* *majorversion.minorversion.microversion* **of platform** *platformname*, **is empty.**

説明: このメッセージは、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の検索順序内の最後の LIBRARY が無効化されたときに outされます。

システムの処置: システムは処理を続行します。

ユーザーの処置: これは監査証跡を目的とした通知メッセージであり、アクションは不要です。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *applicationname*
5. *majorversion*
6. *minorversion*
7. *microversion*
8. *platformname*

宛先: CSLB

DFHLD0701 *applid* **LIBRARY** *libname* のランキングが **DFHRPL** より小さい値になっています。
ランキング値は *R* です。

説明: このメッセージは、動的 **LIBRARY** *libname* のランキング値が、静的 **LIBRARY** である **DFHRPL** のランキング値より小さいことを警告しています。ランキングは、この **LIBRARY** が他の **LIBRARY** リソースに対して検索順序内でどのように位置付けられているかを指定する数値です。インストールされていて使用可能になっている 2 つの **LIBRARY** リソースの連結内にプログラム成果物がある場合、それは、より小さいランキング値を持つ **LIBRARY** からロードされます。**DFHRPL** のランキングは常に 10 で、*libname* にはランキング値 *R* が付与されています。この値は 10 より小さく、この **LIBRARY** および **DFHRPL** 内にあるプログラム成果物はこの **LIBRARY** からロードされることを意味しています。

システムの処置: システムは続行します。プログラム成果物をロードする際に、CICS ロードーは **DFHRPL** を検索する前に **LIBRARY** *library* を検索します。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** が持つランキング値を **DFHRPL** のものよりも小さくする (したがって、プログラム成果物が **DFHRPL** ではなくこの **LIBRARY** からロードされる) ことが意図されたものであることを確認します。このことを意図していない場合、**LIBRARY** のランキングを 10 より大きい値に設定します。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *R*

宛先: コンソール

DFHLD0702D *applid* **Critical LIBRARY** *libname*
could not be installed. Reply GO or CANCEL.

説明: CICS の始動時に **LIBRARY** *libname* がインストールされ、**LIBRARY** のインストール中にエラーが発生しました。この **LIBRARY** の定義では、これは使用可能なものとしてインストールされ、クリティカル **LIBRARY** であることが指定されています。クリティカル **LIBRARY** は、CICS の始動時に使用可能でなければならないため、このメッセージは、**LIBRARY** がなくても CICS の始動の続行を許可するかどうかをユーザーが決定するために出されます。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** が使用できない場合に CICS が開始しないようにするには、この CICS 実行を終了するために「CANCEL」と応答します。

CICS が **LIBRARY** なしで続行できるようにする場合 (例えば、CICS の開始後に問題を解決する予定の場合)、CICS が続行できるようにするために「GO」と応答します。この **LIBRARY** を「クリティカル」として定義すべきでないと判断した場合、**LIBRARY** を「非クリティカル」に設定して、定義を更新します。

どちらの場合も、コンソール・ログの他のメッセージを調べて、**LIBRARY** のインストール中に起こったエラーの理由を判別し、問題を解決するための手順を実行します。このメッセージは、同じ名前の **LIBRARY** がすでにインストールされて使用可能になっていることが原因で出される場合があります。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. GO
4. CANCEL

宛先: コンソール

DFHLD0703 *applid* 非クリティカルの **LIBRARY** *libname* を使用可能としてインストールできませんでした。**CICS** の始動は続行します。

説明: CICS の始動時に **LIBRARY** *libname* がインストールされ、**LIBRARY** のインストール中にエラーが発生しました。この **LIBRARY** の定義では、これは使用可能なものとしてインストールされ、非クリティカル **LIBRARY** であることが指定されています。非クリティカル **LIBRARY** は、CICS の始動時に使用可能でなくてもよい場合、このメッセージは、**LIBRARY** のインストール中にエラーが発生したことを警告するために出されます。

システムの処置: CICS の始動は続行します。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** が正しくインストールされなかった場合に CICS を終了するオプションを今後の CICS の始動時に提供する場合は、**LIBRARY** を「クリティカル」に設定して、その定義を更新します。

コンソール・ログの他のメッセージを調べて、**LIBRARY** のインストール中に起こったエラーの理由を判別し、問題を解決するための手順を実行します。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0704 *applid* 応答 **CANCEL** を受け取りました。

説明: メッセージ DFHLD0702 に対して「CANCEL」の応答を受け取りました。これは、CICS の始動を終了する必要があることを要求しています。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLD0710 *applid* **LIBRARY** *libname* のインストールで、エラーを検出しました。**LIBRARY**はインストールされますが、無効となります。

説明: 動的 **LIBRARY** リソース *libname* のインストールが完了しましたが、完全には成功していません。動的 **LIBRARY** リソースを正常にインストールするために必要なステップの 1 つが失敗しました。**LIBRARY** 定義では、**LIBRARY** を「使用可能」としてインストールする必要があることを示しています。エラーのために、**LIBRARY** はインストール済みですが、使用可能化状況が「使用不可」になっています。これは、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しないことを意味します。

システムの処置: **LIBRARY** はプログラム成果物のロード時に検索されません。つまり、**LIBRARY** に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** のインストール処理中に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。問題が解決されたら、**LIBRARY** を「使用可能」に設定します。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0711 *applid* **LIBRARY** *libname* のインストールで、エラーを検出しました。**LIBRARY**は無効としてインストールされます。

説明: 動的 **LIBRARY** リソース *libname* のインストールが完了しましたが、完全には成功していません。使用不可の **LIBRARY** リソースを正常にインストールするために必要なステップの 1 つが失敗しました。エラーのために、**LIBRARY** は使用可能化状況が「使用不可」の状態にインストール済みですが、**LIBRARY** 定義で「使用不可」状況が指定されているため問題にはなりません。

システムの処置: 「使用不可」状況の場合、**LIBRARY** はプログラム成果物のロード時に検索されないことを意味します。このため、**LIBRARY** に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物はこの **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** のインストール処理中に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。**LIBRARY** を「使用可能」に設定する前に、問題の解決を計画する必要があります。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0712 *applid* **LIBRARY** *libname* をインストールまたは有効化しようとしていますが、データ・セット *dsname* を再呼び出し中のため遅れています。

説明: **LIBRARY** 定義 *dsname* 内のデータ・セットのいずれかがマイグレーションされ、処理が完了する前に再呼び出しされる必要があるため、**LIBRARY** *libname* をインストールまたは有効化する時間が予想よりも長くなっています。

システムの処置: **LIBRARY** *libname* のインストールまたは有効化は、データ・セット *dsname* を再呼び出しするまで遅延されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *dsname*

宛先: コンソール

DFHLD0713 *applid* **LIBRARY** *libname* を有効にしようとした際にエラーが発生しました。

LIBRARY は無効となります。

説明: 動的 **LIBRARY** リソース *libname* の使用可能化状況を「使用可能」にしようとして失敗しました。動的 **LIBRARY** リソースを正常に使用可能にするために必要なステップの 1 つが失敗しました。エラーのために、**LIBRARY** は「使用不可」のままになり、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しません。このエラーは、**LIBRARY** の使用可能状況の設定や、CICS ウォーム・リスタートまたは緊急時再始動でカタログから復元された **LIBRARY** を使用可能にする試行の結果として発生する場合があります。

システムの処置: **LIBRARY** はプログラム成果物のロード時に検索されません。つまり、**LIBRARY** に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** を使用可能にしようとしたときに発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。問題が解決されたら、**LIBRARY** を「使用可能」に設定する試行を繰り返します。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0715 *applid* **LIBRARY** *libname* を無効にする処理で、エラーを検出しました。

説明: 動的 **LIBRARY** リソース *libname* の使用可能化状況を「使用不可」にしようとしてエラーが発生しました。動的 **LIBRARY** リソースの無効化処理を正常に実行するために必要なステップの 1 つが失敗しました。

システムの処置: **LIBRARY** は「使用不可」状況に設定され、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しません。ただし、**LIBRARY** 連結内のデータ・セットの圧縮などの **LIBRARY** の保守操作が許可されない可能性があります。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** を使用不可にしようとした際に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。問題が解

決されたら、**LIBRARY** を「使用不可」に設定する試行を繰り返します。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0720 *applid* **LIBRARY** *libname* に関するデータ・セット *dsname* の動的割り振りが失敗しました。**DYNALLOC** 戻りコード: *X'rrrr'*、*X'cccc'*、*X'dddd'*。

説明: 動的 **LIBRARY** *libname* のインストールまたは有効化中に、データ・セット *dsname* の動的割り振りに失敗しました。**DYNALLOC** マクロは戻りコード *rrrr* で失敗しました。*cccc* は SVC 99 エラーの理由コード、*dddd* は追加 SVC 99 エラー情報コードです。

システムの処置: CICS は **LIBRARY** *libname* が使用不可の状態で続行します。プログラムはこの **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: **DYNALLOC** 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDLDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsname*
3. *libname*
4. *X'rrrr'*
5. *X'cccc'*
6. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHLD0721 *applid* **LIBRARY** *libname* に関するデータ・セットの動的連結が失敗しました。**DYNALLOC** 戻りコード: *X'rrrr'*、*X'cccc'*、*X'dddd'*。

説明: 動的 **LIBRARY** *libname* のインストールまたは有効化中に、**LIBRARY** 内のデータ・セットを動的に連結しようとして失敗しました。**DYNALLOC** マクロは戻りコード *rrrr* で失敗しました。*cccc* は SVC 99 エラーの理由コード、*dddd* は追加 SVC 99 エラー情報コードです。

システムの処置: CICS は **LIBRARY** *libname* が使用不

可の状態で行続します。プログラムはこの LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: DYNALLOC 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *X'rrrr'*
4. *X'cccc'*
5. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHLD0722 *applid* **LIBRARY** *libname* の **DD** のオープンに失敗しました。

説明: 動的 LIBRARY *libname* をオープンしようとしたが、ゼロ以外の VSAM 戻りコードで失敗しました。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、LIBRARY *libname* は使用不可になり、プログラムはこの LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: VSAM は、コンソール・エラー・メッセージを出すはずですが、VSAM エラー・メッセージ内の情報を使用して問題を解決してください。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0723 *applid* **LIBRARY** *libname* に関するデータ・セット *dsname* の動的割り振り解除が失敗しました。**DYNALLOC** 戻りコード: *X'cccc'*、*X'rrrr'*、*X'dddd'*。

説明: 動的 LIBRARY *libname* のデータ・セット *dsname* を動的に割り振り解除 (割り当て解除) しようとしたが、失敗しました。**DYNALLOC** マクロは戻りコード *rrrr* で失敗しました。*cccc* は SVC 99 エラーの理由コード、*dddd* は追加 SVC 99 エラー情報コードです。このエラーは、特定の SET LIBRARY DISABLED 要求の結果として、LIBRARY のインストールまたは有効化の失敗のバックアウト中に、または CICS ウォーム・リスタートまたは緊急時再始動での LIBRARY の復元の失敗時に、LIBRARY を使用不可にした際に発生

することがあります。LIBRARY を以前使用不可にしようとしたときにエラーが発生した場合、LIBRARY を破棄するときにもこのエラーが発生することがあります。

システムの処置: CICS は LIBRARY *libname* がインストール済みで使用不可の状態のまま続行します。

ユーザーの処置: DYNALLOC 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsname*
3. *libname*
4. *X'cccc'*
5. *X'rrrr'*
6. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHLD0724 *applid* **LIBRARY** *libname* に関するデータ・セットの動的連結解除が失敗しました。**DYNALLOC** 戻りコード: *X'rrrr'*、*X'cccc'*、*X'dddd'*。

説明: LIBRARY *libname* からデータ・セットを動的に連結解除しようとして失敗しました。**DYNALLOC** マクロは戻りコード *rrrr* で失敗しました。*cccc* は SVC 99 エラーの理由コード、*dddd* は追加 SVC 99 エラー情報コードです。このエラーは、特定の SET LIBRARY DISABLED 要求の結果として、LIBRARY のインストールまたは有効化の失敗のバックアウト中に、または CICS ウォーム・リスタートまたは緊急時再始動での LIBRARY の復元の失敗時に、LIBRARY を使用不可にした際に発生することがあります。LIBRARY を以前使用不可にしようとしたときにエラーが発生した場合、LIBRARY を破棄するときにもこのエラーが発生することがあります。

システムの処置: CICS は続行され、LIBRARY *libname* はインストール済みで使用不可のままになります。

ユーザーの処置: DYNALLOC 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *X'rrrr'*

4. X'cccc'
5. X'dddd'

宛先: コンソール

DFHLD0725 *applid* **LIBRARY** *libname* に関する **DD** のクローズが失敗しました。

説明: 動的 **LIBRARY** *libname* の **DD** をクローズしようとしたますが、失敗しました。このエラーは、特定の **SET LIBRARY DISABLED** 要求の結果として、**LIBRARY** のインストールまたは有効化の失敗のバックアウト中に、または **CICS** ウォーム・リスタートまたは緊急時再始動での **LIBRARY** の復元の失敗時に、**LIBRARY** を使用不可にした際に発生することがあります。**LIBRARY** を以前使用不可にしようとしたときにエラーが発生した場合、**LIBRARY** を破棄するときにもこのエラーが発生することがあります。

システムの処置: **CICS** は処理を続行し、**LIBRARY** *libname* はインストール済みで使用不可のままになります。

ユーザーの処置: **VSAM** は、コンソール・エラー・メッセージを出すはずです。**VSAM** メッセージ内の情報を使用して問題を解決してください。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0730 *applid* **LIBRARY** *libname* で { **LIBRARY** 制御域の *getmain* | 動的割り振り | 動的連結 | オープン | クローズ | 動的連結解除 | 動的割り振り解除 | **LIBRARY** 制御域の *freemain* } を実行中に **MVS** **ABEND** が発生しました。

説明: 動的 **LIBRARY** *libname* の操作を実行しようとしたときに **MVS** 異常終了条件が発生しました。このメッセージは、異常終了になった操作を示しています。これは、動的 **LIBRARY** の定義にエラーがあることを示している可能性があります。

システムの処置: **CICS** は処理を続行しますが、**LIBRARY** *libname* は使用不可になるかインストールされず、プログラムはこの **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: 異常終了条件を説明するコンソール・エラー・メッセージがオペレーティング・システムから出されます。これには **CICS** エラー・メッセージ **DFHLD0001** が付属することがあります。この情報を使

用して、問題を解決します。このエラーの原因としては、以下が考えられます (ただしこれらに限られるわけではありません)。

- 有効な **PDS** または **PDSE** データ・セットではないデータ・セットが **LIBRARY** 定義に指定されています。
- システムは、**LIBRARY** 内のデータ・セットへの読み取りアクセス権を持っていません。**RACF** などのセキュリティ・マネージャーからのメッセージを探します。アクセスが失敗したデータ・セットがメッセージに示されます。
- **LIBRARY** 連結で **PDSE** と **PDS** エクステントの合計数が限度の 255 を超えました。
- **LIBRARY** データ・セットの処理中に入出力エラーが発生しました。
- **SVC** の処理中にシステム・エラーが発生しました。**SVC** 呼び出し *nn* の異常終了コードは *Fnn* の形式になります。
- **CICS** 内部エラーが発生しました (例えばプログラム・チェック)。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= **LIBRARY** 制御域の *Getmain*,
 2= 動的割り振り,
 3= 動的連結,
 4= オープン,
 5= クローズ,
 6= 動的連結解除,
 7= 動的割り振り解除,
 8= **LIBRARY** 制御域の *freemain*

3. *libname*

宛先: コンソール

DFHLD0731 *applid* Data set *dsname* could not be allocated for **LIBRARY** *libname* because CICS could not determine that the data set is valid for a dynamic **LIBRARY**. 理由: {LOCATE エラー。
LOCATE macro | OBTAIN error.
OBTAIN macro | not enough working storage. Loader SVC | CICS internal error. Loader SVC }return code: X'rc'

説明: 動的 **LIBRARY** *libname* のインストールまたは有効化中に、CICS はメッセージに示された理由によりデータ・セット *dsname* の妥当性を判別できませんでした。LOCATE マクロまたは OBTAIN マクロが戻りコード *rc* で失敗したか、CICS 内部エラーが発生しました。

システムの処置: CICS は **LIBRARY** *libname* が使用不可の状態で行続します。プログラムはこの **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: LOCATE または OBTAIN 戻りコードの意味については、z/OS DFSMSdfp Advanced Servicesを参照してください。内部エラーが発生した場合は、IBM サポートに連絡して、CICS ジョブ・ログ出力を提供してください。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsname*
3. *libname*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= LOCATE エラー。LOCATE マクロ,
2= OBTAIN エラー。OBTAIN マクロ,
3= 不十分な作業用ストレージ。ローダー SVC,
4= CICS 内部エラー。ローダー SVC

5. X'rc'

宛先: コンソール

DFHLD0732 *applid* Data set *dsname* could not be allocated for **LIBRARY** *libname* because it is not valid for a dynamic **LIBRARY**. Reason: {not DASD volume | not partitioned organization | record format is not set to unspecified}.

説明: 動的 **LIBRARY** *libname* のインストールまたは有効化中に、CICS は、メッセージに示されている理由でデータ・セット *dsname* が動的 **LIBRARY** 内で使用するための妥当性を持たないということを判別しました。

システムの処置: CICS は **LIBRARY** *libname* が使用不可の状態で行続します。プログラムはこの **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: データ・セットのロケーションと編成、または **LIBRARY** 定義に指定されたデータ・セット名を確認し、エラーを訂正してください。データ・セットは区分編成 (PDS または PDSE) を持ち、未指定のレコード形式 (RECFM=U) でなければなりません。

モジュール: DFHLDLB2、DFHLDLB3、DFHLDLDDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsname*
3. *libname*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= DASD ボリュームではない,
2= 区分編成ではない,
3= レコード形式が未指定に設定されない

宛先: コンソール

DFHLD0733 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*、*minorversion*、*microversion* の **LIBRARY** *libname* のインストールでエラーが発生しました。
LIBRARYはインストールされますが、無効となります。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 **LIBRARY** リソース *libname* のインストールが完了しましたが、完全には成功していません。動的 **LIBRARY** リソースを正常にインストールするために必要なステップの 1 つが失敗しました。エラーのために、**LIBRARY** はインストール済みですが、使用可能化状況が「使用不可」になっています。これは、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しないことを意味します。

システムの処置: **LIBRARY** はプログラム成果物のロード時に検索されません。つまり、**LIBRARY** に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** のインストール処理中に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。問題が解決されたら、**LIBRARY** を「使用可能」に設定します。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*

宛先: コンソール

DFHLD0734 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*. *minorversion*. *microversion* の **LIBRARY** *libname* のインストールでエラーが発生しました。
LIBRARY は無効としてインストールされます。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 **LIBRARY** リソース *libname* のインストールが完了しましたが、完全には成功していません。使用不可の **LIBRARY** リソースを正常にインストールするために必要なステップの 1 つが失敗しました。エラーのために、**LIBRARY** は使用可能化状況が「使用不可」の状態です。

システムの処置: 「使用不可」状況の場合、**LIBRARY** はプログラム成果物のロード時に検索されないことを意味します。このため、**LIBRARY** に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物はこの **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: この **LIBRARY** のインストール処理中に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。**LIBRARY** を「使用可能」に設定する前に、問題の解決を計画する必要があります。

モジュール: DFHLDLB2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*

宛先: コンソール

DFHLD0735 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*. *minorversion*. *microversion* の **LIBRARY** *libname* をインストールまたは有効化しようとしています。データ・セット *dsname* を再呼び出し中のため遅れています。

説明: **LIBRARY** 定義 *dsname* 内のデータ・セットのいずれかがマイグレーションされ、処理が完了する前に再呼び出しされる必要があるため、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の **LIBRARY** *libname* をインストールまたは有効化する時間が予想よりも長くなっています。

システムの処置: **LIBRARY** *libname* のインストールまたは有効化は、データ・セット *dsname* を再呼び出しするまで遅延されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*
8. *dsname*

宛先: コンソール

DFHLD0736 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*. *minorversion*. *microversion* の **LIBRARY** *libname* を有効化しようとしたときにエラーが発生しました。**LIBRARY** は無効となります。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 **LIBRARY** リソース *libname* の使用可能化状況を設定しようとして失敗しました。動的 **LIBRARY** リソースを正常に使用可能にするために必要なステップの 1 つが失敗しました。エラーのために、**LIBRARY** は「使用不可」のままになり、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しません。このエラー

は、LIBRARY の使用可能状況を設定した結果として発生することがあります。

システムの処置: LIBRARY はプログラム成果物のロード時に検索されません。つまり、LIBRARY に定義されたデータ・セット内にあるプログラム成果物は、この LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: この LIBRARY を使用可能にしようとしたときに発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。問題が解決されたら、LIBRARY を「使用可能」に設定する試行を繰り返します。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*

宛先: コンソール

DFHLD0737 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*. *minorversion*. *microversion* の **LIBRARY** *libname* の処理の無効化でエラーが発生しました。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 LIBRARY リソース *libname* の使用可能化状況を「使用不可」に設定しようとしてエラーが発生しました。動的 LIBRARY リソースの無効化処理を正常に実行するために必要なステップの 1 つが失敗しました。

システムの処置: LIBRARY は「使用不可」状況に設定され、プログラムおよびプログラムの成果物のロード時に使用される検索順序に参加しません。ただし、LIBRARY 連結内のデータ・セットの圧縮などの LIBRARY の保守操作が許可されない可能性があります。

ユーザーの処置: この LIBRARY を使用不可にしようとした際に発生した障害を示す 1 つ以上のメッセージがないかコンソール・ログを調べてください。問題が解決されたら、LIBRARY を「使用不可」に設定する試行を繰り返します。

モジュール: DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*

宛先: コンソール

DFHLD0738 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*. *minorversion*. *microversion* の **LIBRARY** *libname* に関するデータ・セット *dsname* の動的割り振りが失敗しました。 **DYNALLOC** 戻りコード: *X'rrrr'*、*X'cccc'*、*X'dddd'*。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールまたは有効化中に、データ・セット *dsname* を動的に割り振ろうとして失敗しました。DYNALLOC マクロは戻りコード *rrrr* で失敗しました。*cccc* は SVC 99 エラーの理由コード、*dddd* は追加 SVC 99 エラー情報コードです。

システムの処置: CICS は LIBRARY *libname* が使用不可の状態で行続します。プログラムはこの LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: DYNALLOC 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsname*
3. *libname*
4. *applicationname*
5. *majorversion*
6. *minorversion*
7. *microversion*
8. *platformname*
9. *X'rrrr'*
10. *X'cccc'*
11. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHLD0739 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*、*minorversion*、*microversion* の **LIBRARY** *libname* に関するデータ・セットの動的連結が失敗しました。 **DYNALLOC** 戻りコード: *X'rrrr'*、*X'cccc'*、*X'dddd'*。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 **LIBRARY** リソース *libname* のインストールまたは有効化中に、**LIBRARY** 内のデータ・セットを動的に連結しようとして失敗しました。 **DYNALLOC** マクロは戻りコード *rrrr* で失敗しました。 *cccc* は SVC 99 エラーの理由コード、*dddd* は追加 SVC 99 エラー情報コードです。

システムの処置: CICS は **LIBRARY** *libname* が使用不可の状態で行続します。プログラムはこの **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: **DYNALLOC** 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*
8. *X'rrrr'*
9. *X'cccc'*
10. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHLD0740 *applid* **Open of DD for LIBRARY**
libname of application applicationname,
version
majorversion.minorversion.microversion on
platform platformname failed.

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 **LIBRARY** *libname* をオープンしようとして、非ゼロの **VSAM** 戻りコードで失敗しました。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、

LIBRARY *libname* は使用不可になり、プログラムはこの **LIBRARY** からロードされません。

ユーザーの処置: **VSAM** は、コンソール・エラー・メッセージを出すはずでず。 **VSAM** エラー・メッセージ内の情報を使用して問題を解決してください。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*

宛先: コンソール

DFHLD0741 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*、*minorversion*、*microversion* の **LIBRARY** *libname* に関するデータ・セット *dsname* の動的割り振り解除が失敗しました。 **DYNALLOC** 戻りコード: *X'cccc'*、*X'rrrr'*、*X'dddd'*。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 **LIBRARY** *libname* のデータ・セット *dsname* を動的に割り振り解除 (割り当て解除) しようとして失敗しました。 **DYNALLOC** マクロは戻りコード *rrrr* で失敗しました。 *cccc* は SVC 99 エラーの理由コード、*dddd* は追加 SVC 99 エラー情報コードです。このエラーは、特定の **SET LIBRARY DISABLED** 要求の結果として、あるいは **LIBRARY** のインストールまたは有効化の失敗のバックアウト中に、**LIBRARY** を使用不可にした際に発生することがあります。 **LIBRARY** を以前使用不可にしようとしたときにエラーが発生した場合、**LIBRARY** を破棄するときにもこのエラーが発生することがあります。

システムの処置: CICS は **LIBRARY** *libname* がインストール済みで使用不可の状態のまま続行します。

ユーザーの処置: **DYNALLOC** 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsname*

3. *libname*
4. *applicationname*
5. *majorversion*
6. *minorversion*
7. *microversion*
8. *platformname*
9. *X'cccc'*
10. *X'rrrr'*
11. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHLD0742 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*、*minorversion*、*microversion* の **LIBRARY** *libname* に関するデータ・セットの動的連結解除が失敗しました。 **DYNALLOC** 戻りコード: *X'rrrr'*、*X'cccc'*、*X'dddd'*。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の **LIBRARY** *libname* からのデータ・セットを動的に連結解除しようとして失敗しました。 **DYNALLOC** マクロは戻りコード *rrrr* で失敗しました。 *cccc* は SVC 99 エラーの理由コード、*dddd* は追加 SVC 99 エラー情報コードです。このエラーは、特定の SET **LIBRARY DISABLED** 要求の結果として、あるいは **LIBRARY** のインストールまたは有効化の失敗のバックアウト中に、**LIBRARY** を使用不可にした際に発生することがあります。 **LIBRARY** を以前使用不可にしようとしたときにエラーが発生した場合、**LIBRARY** を破棄するときにもこのエラーが発生することがあります。

システムの処置: CICS は続行され、**LIBRARY** *libname* はインストール済みで使用不可のままになります。

ユーザーの処置: **DYNALLOC** 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*

8. *X'rrrr'*
9. *X'cccc'*
10. *X'dddd'*

宛先: コンソール

DFHLD0743 *applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion*、*minorversion*、*microversion* の **LIBRARY** *libname* の **DD** のクローズに失敗しました。

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 **LIBRARY** *libname* の **DD** をクローズしようとして失敗しました。このエラーは、特定の SET **LIBRARY DISABLED** 要求の結果として、あるいは **LIBRARY** のインストールまたは有効化の失敗のバックアウト中に、**LIBRARY** を使用不可にした際に発生することがあります。 **LIBRARY** を以前使用不可にしようとしたときにエラーが発生した場合、**LIBRARY** を破棄するときにもこのエラーが発生することがあります。

システムの処置: CICS は処理を続行し、**LIBRARY** *libname* はインストール済みで使用不可のままになります。

ユーザーの処置: **VSAM** は、コンソール・エラー・メッセージを出すはずでず。 **VSAM** メッセージ内の情報を使用して問題を解決してください。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*

宛先: コンソール

DFHLD0744 *applid* An MVS ABEND occurred during {Getmain of LIBRARY control area | Dynamic allocation | Dynamic concatenation | Open | Close | Dynamic deconcatenation | Dynamic unallocation | Freemain of LIBRARY control area} for **LIBRARY** *libname* of application *applicationname*, **version** *majorversion.minorversion.microversion* on **platform** *platformname*.

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 LIBRARY *libname* で操作を実行しようとしたときに MVS 異常終了条件が発生しました。このメッセージは、異常終了になった操作を示しています。これは、動的 LIBRARY の定義にエラーがあることを示している可能性があります。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、LIBRARY *libname* は使用不可になるかインストールされず、プログラムはこの LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: 異常終了条件を説明するコンソール・エラー・メッセージがオペレーティング・システムから出されます。これには CICS エラー・メッセージ DFHLD0001 が付属することがあります。この情報を使用して、問題を解決します。このエラーの原因としては、以下が考えられます (ただしこれらに限られるわけではありません)。

- 有効な PDS または PDSE データ・セットではないデータ・セットが LIBRARY 定義に指定されています。
- システムは、LIBRARY 内のデータ・セットへの読み取りアクセス権を持っていません。RACF などのセキュリティ・マネージャーからのメッセージを探します。アクセスが失敗したデータ・セットがメッセージに示されます。
- LIBRARY 連結で PDSE と PDS エクステンツの合計数が限度の 255 を超えました。
- LIBRARY データ・セットの処理中に入出力エラーが発生しました。
-

SVC の処理中にシステム・エラーが発生しました。SVC 呼び出し *nn* の異常終了コードは *Fnn* の形式になります。

•

CICS 内部エラーが発生しました (例えばプログラム・チェック)。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= LIBRARY 制御域の *Getmain*,
 2= 動的割り振り,
 3= 動的連結,
 4= オープン,
 5= クローズ,
 6= 動的連結解除,
 7= 動的割り振り解除,
 8= LIBRARY 制御域の *freemain*

3. *libname*
4. *applicationname*
5. *majorversion*
6. *minorversion*
7. *microversion*
8. *platformname*

宛先: コンソール

DFHLD0745 *applid* Data set *dsname* could not be allocated for LIBRARY *libname* of application *applicationname*, **version** *majorversion.minorversion.microversion* on **platform** *platformname* because CICS could not determine that the data set is valid for a dynamic LIBRARY. 理由: {LOCATE エラー。LOCATE macro | OBTAIN error. OBTAIN macro | not enough working storage. Loader SVC | CICS internal error. Loader SVC }**return code:** X'*rc*'

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 LIBRARY リソース *libname* のインストールまたは有効化中に、CICS はメッセージに示された理由によりデータ・セット *dsname* の妥当性を判別できませんでした。LOCATE マクロまたは OBTAIN マクロが戻りコード *rc* で失敗したか、CICS 内部エラーが発生しました。

システムの処置: CICS は LIBRARY *libname* が使用不可の状態で行続します。プログラムはこの LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: LOCATE または OBTAIN 戻りコードの意味については、z/OS DFSMSdfp Advanced Servicesを参照してください。内部エラーが発生した場合は、IBM サポートに連絡して、CICS ジョブ・ログ出力を提供してください。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsname*
3. *libname*
4. *applicationname*
5. *majorversion*
6. *minorversion*
7. *microversion*
8. *platformname*
9. 以下のオプションから選択される値。

1= LOCATE エラー。LOCATE マクロ,
2= OBTAIN エラー。OBTAIN マクロ,
3= 不十分な作業用ストレージ。ローダー SVC,
4= CICS 内部エラー。ローダー SVC

10. *X'rc'*

宛先: コンソール

DFHLD0746 *applid* Data set *dsname* could not be allocated for LIBRARY *libname* of application *applicationname*, version *majorversion.minorversion.microversion* on platform *platformname* because it is not valid for a dynamic LIBRARY. Reason: {not DASD volume | not partitioned organization | record format is not set to unspecified}.

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の動的 LIBRARY *libname* のインストールまたは有効化中に、CICS は、メッセージに示されている理由でデータ・セット *dsname* が動的 LIBRARY 内で使用するための妥当性を持たないということを判別しました。

システムの処置: CICS は LIBRARY *libname* が使用不可の状態で行続します。プログラムはこの LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: データ・セットのロケーションと編成、または LIBRARY 定義に指定されたデータ・セット名を確認し、エラーを訂正してください。データ・セットは区分編成 (PDS または PDSE) を持ち、未指定のレコード形式 (RECFM=U) でなければなりません。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsname*
3. *libname*
4. *applicationname*
5. *majorversion*
6. *minorversion*
7. *microversion*
8. *platformname*
9. 以下のオプションから選択される値。

1= DASD ボリュームではない,
2= 区分編成ではない,
3= レコード形式が未指定に設定されない

宛先: コンソール

DFHLD0747 *applid* A security failure occurred during Open for LIBRARY *libname*.

説明: 動的 LIBRARY *libname* のオープン処理中にセキュリティ障害が発生しました。これは、動的 LIBRARY の定義にエラーがあることを示している可能性があります。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、LIBRARY *libname* は使用不可になり、プログラムはこの LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: 障害について説明するセキュリティー・メッセージがセキュリティー・マネージャーから出されます。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*

宛先: コンソールおよび CSLB

DFHLD0748 *applid* A security failure occurred during Open for LIBRARY *libname* of application *applicationname*, version *majorversion.minorversion.microversion* on platform *platformname*.

DFHLD0800 E • DFHLD0803 E

説明: プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の動的 LIBRARY *libname* のオープン処理中にセキュリティ障害が発生しました。これは、動的 LIBRARY の定義にエラーがあることを示している可能性があります。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、LIBRARY *libname* は使用不可になり、プログラムはこの LIBRARY からロードされません。

ユーザーの処置: 障害について説明するセキュリティ・メッセージがセキュリティ・マネージャーから出されます。

モジュール: DFHLDLB2, DFHLDLB3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *libname*
3. *applicationname*
4. *majorversion*
5. *minorversion*
6. *microversion*
7. *platformname*

宛先: コンソールおよび CSLB

DFHLD0800 E *applid* CICS コマンド・エラーのために CLDM が失敗しました。

EIBFN=X'eibfn', RESP=resp,
RESP2=resp2. Instance=instance.

説明: CICS モジュール・マッピング・プログラムで CICS コマンドに対して予期しない応答が発生しました。*eibfn* は失敗したコマンドの CICS EIB 機能コードを識別しました。*resp* は失敗したコマンドの CICS EIB RESP 値を識別しました。*resp2* は失敗したコマンドの CICS EIB RESP2 値を識別しました。*instance* は、発行されるコマンドを識別するために IBM サポートが使用できる値です。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 指定された *eibfn* の *resp* および *resp2* の値を確認し、必要な処置を取ってください。

モジュール: DFHLDMAP, DFHLDMHF,
DFHLDMHS, EYU9XLLM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'eibfn'
3. *resp*

4. *resp2*

5. *instance*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0801 E *applid* CLDM の STARTCODE が無効です。

説明: CLDM トランザクションは予期しない方法で始動されました。メインの CICS ローダー・マッピング・モジュール・プログラム DFHLDMAP が適切なコンテナで呼び出されない場合、CLDM のトランザクションはデータがある端末から開始されることを予期します。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 呼び出しメソッドに応じて、必要なパラメーターを使用して CLDM を開始します。

モジュール: DFHLDMAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0802 E *applid* CLDM の入力が無効です。形式は、CLDM PATH=value または CLDM SYSOUT=value です。
Instance=instance.

説明: CLDM への入力は無効です。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 有効な入力で CLDM を開始してください。有効な入力値については、CLDM の「CICS Supplied Transactions」の説明を参照してください。

モジュール: DFHLDMAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *instance*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0803 E *applid* CLDM の CICS カーネル照会エラーです。

説明: CLDM トランザクションは要求された CICS カーネル領域を見つけられませんでした。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 使用中の DFHLDMAP プログラムの

バージョンが、CICS リリースに対して正しいバージョンであることを確認してください。構成が正しい場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHLDMAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0804 E *applid* CLDM の CICS カーネル・アンカー・エラーです。

説明: CLDM トランザクションは要求された CICS カーネル領域を見つけられませんでした。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 使用中の DFHLDMAP プログラムのバージョンが、CICS リリースに対して正しいバージョンであることを確認してください。構成が正しい場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHLDMAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0805 E *applid* >CLDM の出力形式ルーチン *program* が失敗しました。

説明: CLDM の出力ルーチン *program* が DFHLDMAP に失敗応答を戻しました。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: DFHLDMAP、DFHLDMHF、および DFHLDMHS のバージョンが正しいこと、および使用中のリリースと一致していることを確認してください。

モジュール: DFHLDMAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *program*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0806 E *applid* CLDM file system write failed. RETCODE=X'retcode' (usserr), RSNCODE=X'rsncode', FILE=file.

説明: z/OS UNIX システム・サービスのファイル・システムへの書き込み中にエラーが発生しました。ここで、*retcode* は BPX1WRT 戻りコードです。usserr は戻

りコードの名前です。*rsncode* は BPX1WRT の理由コードです。*file* は、書き込み対象のファイルの名前です。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: エラーの詳細については、メッセージに示された応答情報を使用して、「z/OS UNIX システム・サービス・プログラミング: アセンブラー呼び出し可能サービス解説書」の BPX1WRT (write) の説明を確認してください。

モジュール: DFHLDMHF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. X'retcode'

3. *usserr*

4. X'rsncode'

5. *file*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0807 E *applid* CLDM のファイル・システム・オープンが失敗しました。

RETCODE=X'retcode' (usserr),
RSNCODE=X'rsncode', FILE=file.

説明: z/OS UNIX システム・サービス・ファイルのオープン中にエラーが発生しました。ここで、*retcode* は BPX1OPN 戻りコードです。*usserr* は戻りコードの名前です。*rsncode* は BPX1OPN の理由コードです。*file* は、オープン対象のファイルの名前です。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: エラーの詳細については、メッセージに示された応答情報を使用して、「z/OS UNIX システム・サービス・プログラミング: アセンブラー呼び出し可能サービス解説書」の BPX1OPN (open) の説明を確認してください。

モジュール: DFHLDMHF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. X'retcode'

3. *usserr*

4. X'rsncode'

5. *file*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0808 E *applid* CLDM のファイル・システム・クローズが失敗しました。

RETcode=X'*retcode*' (*usserr*),
RSNcode=X'*rsncode*', **FILE**=*file*.

説明: z/OS UNIX システム・サービス・ファイルのクローズ中にエラーが発生しました。ここで、*retcode* は BPX1CLO 戻りコードです。*usserr* は戻りコードの名前です。*rsncode* は BPX1CLO の理由コードです。*file* は、クローズ対象のファイルの名前です。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: エラーの詳細については、メッセージに示された応答情報を使用して、「z/OS UNIX システム・サービス・プログラミング: アセンブラ呼び出し可能サービス解説書」の BPX1CLO (close) の説明を確認してください。

モジュール: DFHLDMHF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*retcode*'
3. *usserr*
4. X'*rsncode*'
5. *file*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0809 E *applid* CLDM の引用符が一致していません。

説明: 一致しない引用符が CLDM トランザクションに入力されました。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: CLDM トランザクションを再度入力して、一致する引用符を指定します。

モジュール: DFHLDMHF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0810 E *applid* CLDM の絶対パス名が必要です。

説明: CLDM のトランザクションの PATH オペランドは絶対パスでなければならず、/ で始まっていなければなりません。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: CLDM トランザクションを再度入力して、絶対パス・オペランドを指定します。

モジュール: DFHLDMHF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0811 I *applid* CLDM が完了しました。
recordnum 個のデータ・レコードが出力されました。

説明: CLDM 要求が完了しました。*recordnum* データ・レコードが出力宛先に書き込まれました。

システムの処置: CLDM トランザクションが完了しました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLDMAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *recordnum*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0812 E *applid* CLDM がローダー・ドメイン状態ロックを取得できませんでした。

説明: CLDM トランザクションは、処理に必要なデータを取り込むために必要なローダー・ドメイン・ロックを取得できませんでした。

システムの処置: CLDM トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 使用中の DFHLDMAP プログラムのバージョンが、CICS リリースに対して正しいバージョンであることを確認してください。構成が正しい場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHLDMAP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHLD0850 *date time applid BUNDLE bundlename*
has successfully installed LIBRARY
library as {Enabled | Disabled}.

説明: CICS バンドル *bundlename* はライブラリー

libraryname を正常にインストールしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLDRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *library*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能,
2= 使用不可

宛先: CSLB

DFHLD0851 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install LIBRARY library
because {the definition is invalid | of an
installation failure | an internal error
occurred}.

説明: CICS バンドル *bundlename* は LIBRARY *library* のインストールに失敗しました。このエラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可であり、LIBRARY は作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。以前のメッセージを確認してください。失敗の理由について、以下のような詳細情報をユーザーに提供する可能性があります。

定義が無効である

先行する DFHCAnnnn メッセージを調べます。例えば、DSNAMEn 属性が指定されない場合、DFHCA5555 が出力されます。

インストールの失敗

先行する DFHAMnnnn コンソール・メッセージを調べます。例えば、同じ名前の LIBRARY が既に存在する場合、DFHAM4950 が出力されます。

BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHLDRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *library*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 定義が無効である,
2= インストールの失敗,
3= 内部エラーが発生した

宛先: CSLB

DFHLD0852 *date time applid Library name was not*
specified or is too long in BUNDLE
bundlename.

説明: リソース名が指定されていないか長すぎるため、CICS バンドル *bundlename* は LIBRARY のインストールに失敗しました。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可であり、LIBRARY は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイル内のライブラリー・リソースの名前を訂正してください。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHLDRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CSLB

DFHLGnnnn メッセージ

DFHLG0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

に必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLGDM, DFHLGGL, DFHLGLD, DFHLGJN, DFHLGST DFHL2HS2, DFHL2HS3, DFHL2HS4, DFHL2HS5, DFHL2HS6, DFHL2HS7, DFHL2HS8, DFHL2HS9, DFHL2HSF, DFHL2HSG, DFHL2HSJ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHLG0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLGDM, DFHLGGL, DFHLGLD, DFHLGJN, DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHLG0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要がありますが、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLGLB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHLG0101I *applid* Log manager domain initialization has started.

説明: これは、ログ・マネージャー・ドメイン初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHLGDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLG0102I *applid* ログ・マネージャー・ドメイン初期設定が終了しました。(applid Log manager domain initialization has ended.)

説明: これは、ログ・マネージャー・ドメイン初期設定が終了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHLGDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLG0103I *applid* **System log** (*journalname*)
initialization has started.

説明: これは、指定されたジャーナル (DFHLOG または DFHSHUNT のいずれか) のシステム・ログ初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHL2SLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0104I *applid* **System log** (*journalname*)
initialization has ended. Log stream
logstreamname **is connected to structure**
structurename.

説明: これは、指定されたジャーナル (DFHLOG または DFHSHUNT のいずれか) のシステム・ログ初期設定の終了を示す通知メッセージです。

メッセージ内に LOGSTREAMNAME(logstreamname) と表示される名前は、このジャーナルに関連付けられたログ・ストリームの名前です。

「*****」の値はダミー・ログであることを暗黙指定します。

メッセージ内に STRUCTNAME(structname) と表示される名前は、このジャーナルに関連付けられたログ・ストリームの構造名です。「*****」の値は、関連する構造がないことを暗黙指定します。つまり、ログ・ストリームがダミー・ログまたはタイプ

DASDONLY(YES) のいずれかであることを意味します。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHL2SLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *journalname*
3. *logstreamname*

4. *structurename*

宛先: コンソール

DFHLG019I *subsys-name* {*CONVERTER* |
ALLOCATION} 検査は {*SEVERE ERROR*
| *SYNTAX ERROR* | *MUTUAL*
EXCLUSION FAILURE} のため失敗しま
した (*subsys-name* {*CONVERTER* |
ALLOCATION} **VERIFICATION HAS**
FAILED BECAUSE OF A {*SEVERE*
ERROR | *SYNTAX ERROR* | *MUTUAL*
EXCLUSION FAILURE})

説明: CICS がアプリケーションの JCL DD ステートメントの SUBSYS オプションを検査中に、構文解析エラーが発生しました。

メッセージには、以下の挿入が含まれています。

- *subsys_name* - システム・ロガーに関してインストール・システムが定義したサブシステム名。
- *CONVERTER* - MVS JCL 変換中にエラーが検出されました。
- *ALLOCATION* - MVS 割り振り処理中にエラーが検出されました。
- *SEVERE ERROR* - パーサーは処理中に重大エラーを検出しました。
- *SYNTAX ERROR* - ステートメントは構文検査に失敗しました。エラー中のキーワードおよび受け入れ可能なキーワードを指定する MVS メッセージ ASA104I が出されます。
- *MUTUAL EXCLUSION FAILURE* - パーサーは相互排他キーワードを検出しました。エラーのキーワードを指定する MVS メッセージ ASA103I が出されません。

システムの処置: MVS JCL 変換中にエラーが検出された場合、ジョブは JCL エラーのため実行されません。

MVS 割り振り処理中にエラーが検出された場合、割り振り要求は拒否されます。

ユーザーの処置: SUBSYS= 指定を訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHLGIPI、DFHLGIMS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHLG0192 ERROR IN MVS LOGGER MACRO

macro_name **FOR REQUEST** *request_type*.
MVS LOGGER CODES
X'X'return-code' *X'X'reason-code'*

説明: CICS サブシステム出口はログにアクセスするための MVS ロガーを呼び出しました。このメッセージは、その操作の戻りコードおよび理由コードを示します。通常、このメッセージは、戻りコードが MVS ロガー・マクロのエラーを示している場合にのみ出されます。

メッセージには、以下の挿入が含まれています。

- *macro_name* MVS ロガー・マクロ
- *request_type* MVS ロガー・マクロ REQUEST パラメーター
- *return-code* MVS ロガー・マクロ戻りコード
- *reason-code* MVS ロガー・マクロ理由コード。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: サブシステム出口はログ・ストリーム読み取りを終了し、戻りコードを呼び出し側に返します。

このメッセージの後に、ログ・ストリームを指定するメッセージ DFHLG0193 が続きます。場合によっては、ダンプが作成されることもあります。

ユーザーの処置: MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して問題を診断してください。問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLGSSI, DFHLGIGT

宛先: コンソール

DFHLG0193 log-stream-name

説明: このメッセージは前の DFHLG0192 メッセージで参照されるログ・ストリームを提供します。

システムの処置: メッセージ DFHLG0192 を参照。

ユーザーの処置: メッセージ DFHLG0192 を参照。

モジュール: DFHLGSSI, DFHLGIGT

宛先: コンソール

DFHLG0194 ERROR DETECTED BY CICS

SUBSYSTEM. *error-description* *X'data1'*
X'data2' *X'data3'*

説明: CICS サブシステム出口は予期しないエラーを検出しました。エラーは *error-description* およびオプションの 16 進数データ・フィールドで記述されます。

場合によっては、ダンプが作成されることもあります。

システムの処置: サブシステム出口はログ・ストリーム読み取りを終了し、戻りコードを呼び出し側に返します。DELETE が SUBSYS キーワードの ON オプションとして指定された場合、それは無視されます。

ユーザーの処置: *error-description* を使用して、エラーの原因を判別してください。考えられる原因は、無効なストリームまたは有効なログ・ストリーム内の無効なエントリーです。CICS ロガーおよび DFHJUP は、適切なリリースの CICS レコードを含む CICS ログ・ストリームでのみ機能します。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLGSSI, DFHLGIGT

宛先: コンソール

DFHLG0195 ブロック ID *X'data1'* までのログ・ギャップ警告 (LOG GAP WARNING UP TO BLOCKID *X'data1'*)

説明: CICS サブシステム出口は IXGBRWSE マクロを使用するログ・ストリームにアクセスするために MVS ロガーを呼び出しましたが、これによって戻りコード IXGRSNCODEWARNING (*X'04'*) と理由コード *IxgRsnCodeWarningGap* (*X'0403'*) を受け取りました。ブロック ID は、ログ・ストリーム内の次に読み取り可能なデータの ID です。

システムの処置: CICS サブシステム出口はログへのアクセスを続行します。このメッセージの後にメッセージ DFHLG0196 が続きます。

ユーザーの処置: *IxgRsnCodeWarningGap* 理由コードの詳しいガイダンスについては、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。必要に応じて、DFHLG0196 で報告されたブロック ID およびタイム・スタンプを使用してさらに調査します。警告は、ログからログ・データを

削除した既知のアクティビティの結果である場合があります。

モジュール: DFHLGIGT

宛先: コンソール

DFHLG0196 STCK OF BLOCK AFTER GAP (time format): X'data1'

説明: このメッセージはメッセージ DFHLG0195 に関連して出されます。これは、報告されたギャップの後のブロック読み取りに対応するブロック ID ヘッダーからのタイム・スタンプを提供します。

システムの処置: メッセージ DFHLG0195 を参照。

ユーザーの処置: メッセージ DFHLG0195 を参照。

モジュール: DFHLGIGT

宛先: コンソール

DFHLG0197 CICS LOGR サブシステムがエラーを検出しました。これは不正な JCL によって生じることがあります。

説明: CICS LOGR サブシステム出口が予期しないエラーを検出しました。これは無効な JCL が原因である可能性があります。

システムの処置: サブシステム出口はこのメッセージを出し、処理を続行します。

ユーザーの処置: 失敗したバッチ・ジョブの JCL のログ・ストリームに対して DCB=BLKSIZE=32760 がコーディングされていることを確認してください。具体的には、DCB=RECFM=VB であってはなりません。次の JCL フラグメントは、有効な指定を示しています。//LSN DD DSN=HGPRICE.IYK2Z9S1.DFHJ98, // DCB=BLKSIZE=32760, // SUBSYS=(LOGR,DFHLGCNV, // 'FROM=(2005/181,16:00:00),TO=(2008/181,16:30:00)')

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLGSSI, DFHLGIGT

宛先: コンソール

DFHLG0301 date time applid An error has been detected for log stream stream for journal name journalname. The journal status has been set to FAILED.

説明: ジャーナル *journalname* によって使用されるログ・ストリーム *stream* についてエラーが検出されました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はジャーナルに失敗のマークを付け、ログ・ストリームに関連付けられた接続を終了します。ジャーナルの使用を試行したアプリケーションは IOERROR 応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

適切なリカバリー・アクションに関する詳細情報およびガイダンスについては、CICS または MVS システム・ロガーによって出される関連メッセージを参照してください。

ジャーナル *journalname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、ジャーナルの使用は、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME(*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって復元できます。

ジャーナル *journalname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGJN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *journalname*

宛先: CSMT

DFHLG0302 date time applid Journal name journalname has been installed. Journal type: {MVS | SMF | DUMMY} stream.

説明: ジャーナル名 *journalname* はインストール済みで使用可能です。ジャーナルのタイプと、タイプ MVS の場合のみ、ログ・ストリーム名 *stream* も表示されます。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHLGJN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalname*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=MVS,
2=SMF,
3=DUMMY

6. *stream*

宛先: CRDI

DFHLG0303 *date time applid* **An error has been detected while connecting to log stream *stream* for journal name *journalname*. The journal status has been set to FAILED.**

説明: ジャーナル *journalname* によって使用されるログ・ストリーム *stream* への接続中にエラーが検出されました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はジャーナルが失敗したというマークを付けます。ジャーナルの使用を試行したアプリケーションは IOERROR 応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

適切なリカバリー・アクションに関する詳細情報およびガイダンスについては、CICS または MVS システム・ロガーによって出される関連メッセージを参照してください。

CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうかが決定する必要があります。

ジャーナル *journalname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、ジャーナルの使用は、CEMT SET JOURNALNAME (*journalname*) RESET コマンドまたは EXEC CICS SET JOURNALNAME(*journalname*) RESET コマンドを発行することによって復元できます。

ジャーナル *journalname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGJN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *journalname*

宛先: CSMT

DFHLG0304 *date time applid* **An error has been detected writing the catalog entry for journal name *journalname*.**

説明: ジャーナル *journalname* のグローバル・カタログ・エントリーの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

この CICS の実行に新しいジャーナル・エントリーが使用されますが、CICS の再始動後は持続しません

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

適切なリカバリー・アクションに関する詳細情報およびガイダンスについては、関連する CICS メッセージを参照してください。

ジャーナル *journalname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGJN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalname*

宛先: CSMT

DFHLG0305 *date time applid* **An error has been detected deleting the catalog entry for journal name *journalname*.**

説明: ジャーナル *journalname* のグローバル・カタログ・エントリーの削除中にエラーが検出されました。

DFHLG0306 • DFHLG0403

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

古いジャーナル・エントリーを破棄できなかったため、CICS の再始動後に再表示される可能性があります

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

適切なリカバリー・アクションに関する詳細情報およびガイダンスについては、関連する CICS メッセージを参照してください。

ジャーナル *journalname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGJN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalname*

宛先: CSMT

DFHLG0306 *date time applid Journal name*
journalname has been discarded.

説明: ジャーナル名 *journalname* は破棄されて、使用できなくなりました。

これ以後ジャーナル名を使用しようとする、その時点でアクティブなジャーナル・モデル定義を使用して、ジャーナル名が再インストールされます。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLGJN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalname*

宛先: CRDI

DFHLG0401 *date time applid Journal model resource*
journalmodel has been installed.

説明: ジャーナル・モデル・リソース項目 *journalmodel* がインストールされて使用可能です。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLGLD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalmodel*

宛先: CRDI

DFHLG0402 *date time applid An error has been detected writing the catalog entry for journal model journalmodel.*

説明: ジャーナル・モデル *journalmodel* のグローバル・カタログ・エントリーの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

この CICS の実行に新しいジャーナル・モデル・エントリーが使用されますが、CICS の再始動後は持続しません

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

適切なリカバリー・アクションに関する詳細情報およびガイダンスについては、関連する CICS メッセージを参照してください。

ジャーナル・モデル *journalmodel* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGLD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalmodel*

宛先: CSMT

DFHLG0403 *date time applid An error has been detected deleting the catalog entry for journal model journalmodel.*

説明: ジャーナル・モデル *journalmodel* のグローバル・カタログ・エントリーの削除に失敗しました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

古いジャーナル・モデル・エントリーを削除できなかったため、CICS の再始動後に再表示される可能性があります

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

適切なリカバリー・アクションに関する詳細情報およびガイダンスについては、関連する CICS メッセージを参照してください。

ジャーナル・モデル *journalmodel* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGJN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalmodel*

宛先: CSMT

DFHLG0404 *date time applid Journal model resource journalmodel1 has been replaced by journalmodel2.*

説明: ジャーナル・モデル *journalmodel2* が *journalmodel1* と同じジャーナル名テンプレートを持っているため、ジャーナル・モデル・リソース項目が置き換えられました。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLGLD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalmodel1*
5. *journalmodel2*

宛先: CRDI

DFHLG0405 *date time applid Journal model journalmodel has been discarded.*

説明: ジャーナル・モデル *journalmodel* は破棄されて、使用できなくなりました。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLGLD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalmodel*

宛先: CRDI

DFHLG0501 *date time applid Log stream definition for stream suppressed by XLGSTRM user exit.*

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在していませんが、XLGSTRM ユーザー出口が自動インストールを抑制したため定義できませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできません。ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義します。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、関連するジャーナルの使用は、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME (*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって復元できます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンします。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DFHLG0502 • DFHLG0504

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*

宛先: CRDI およびコンソール

DFHLG0502 *date time applid Log stream stream*
defined to MVS using model stream
model.

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、モデル・ログ・ストリーム *model* の属性を使用して MVS システム・ロガーに正常に定義されました。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS は新しく定義されたログ・ストリームに接続してこれを使用します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *model*

宛先: CRDI

DFHLG0503 *date time applid Log stream stream,*
using model stream model, not defined
to MVS for reason X'rc'/X'reason'.

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、X'rc'/X'reason' の理由でモデル・ログ・ストリーム *model* の属性を使用して MVS システム・ロガーに定義されませんでした。

X'rc' は IXGINVNT マクロからの戻りコードで、X'reason' は IXGINVNT マクロによって返される理由コードです。これらは「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」および IXGCON マクロに記載されています。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。トレース項目にはシステム・ロガー応答域 (IXGANSAA) からの追加の診断情報が含まれています。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできないため、ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

MVS ログ・ストリーム定義ユーティリティ (IXCMIAPU) を使用して、MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義することができます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、関連するジャーナルの使用は、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME (*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって復元できます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンする必要があります。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *model*
6. X'rc'
7. X'reason'

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0504 *date time applid Log stream stream using*
model stream model not defined to
MVS due to insufficient authority.

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、権限が不足するためモデル・ログ・ストリーム *model* の

属性を使用して MVS システム・ロガーに定義できませんでした。

ログ・ストリームを定義するには、CICS に以下の権限が必要です。

- LOGSTRM クラスの *stream* に対する ALTER 権限
- LOGSTRM クラスの *model* に対する UPDATE 権限
- FACILITY クラスのリソース
IXLSTR.structure_name に対する UPDATE 権限
(XLGSTRM 出口が構造名を提供する場合)。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできないため、ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

MVS ログ・ストリーム定義ユーティリティ (IXCMIAPU) を使用して、MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義することができます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、関連するジャーナルの使用は、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME (*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって復元できます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンします。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *model*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0505 *date time applid* Log stream stream using model stream model not defined to MVS because of an invalid HLQ parameter.

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、無効な高位修飾子 (HLQ) パラメーターが原因でモデル・ログ・ストリーム *model* の属性を使用して MVS システム・ロガーに定義できませんでした。

HLQ パラメーターは、ログ・ストリーム・データ・セットに使用される高位修飾子を指定します。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできません。ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

model ロガー定義または XLGSTRM 出口あるいはその両方の HLQ パラメーターを訂正してください。

MVS ログ・ストリーム定義ユーティリティ (IXCMIAPU) を使用して、MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義することができます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、関連するジャーナルの使用は、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME (*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって復元できます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンする必要があります。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *model*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0506 *date time applid* **Log stream stream using model stream model not defined to MVS because of insufficient LOGR couple data set space.**

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、MVS システム・ロガーの LOGR 結合データ・セットのスペースが不足しているため、モデル・ログ・ストリーム *model* の属性を使用して MVS システム・ロガーに定義できませんでした。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできません。ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

このログ・ストリームおよび将来の要件のためのスペースを含むように MVS システム・ロガーの LOGR 結合データ・セットを再定義してください。

MVS ログ・ストリーム定義ユーティリティ (IXCMIAPU) を使用して、MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義することができます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、関連するジャーナルの使用は、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME (*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって復元できます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンする必要があります。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*

5. *model*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0507 *date time applid* **Log stream stream using model stream model not defined to MVS.** ストリームが最大数に達しました。

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、カップリング・ファシリティ構造のログ・ストリームの最大数に達したため、モデル・ログ・ストリーム *model* の属性を使用して MVS システム・ロガーに定義できませんでした。

MVS システム・ロガーに構造を定義する際に、構造当たりのストリームの最大数が LOGSNUM パラメーターに指定されます。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできないため、ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

model ロガー定義または XLGSTRM 出口の STRUCTNAME パラメーターを変更して、さらに多くのストリームのための余裕のある構造を指定するか、現在の構造から不要なストリームを削除します。

MVS ログ・ストリーム定義ユーティリティ (IXCMIAPU) を使用して、MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義することができます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME(*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって、関連するジャーナルの使用を復元することができます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンします。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *model*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0508 *date time applid Log stream stream not defined to MVS because model stream model does not exist.*

説明: モデル・ログ・ストリーム *model* が存在しないため、MVS ログ・ストリーム *stream* を MVS システム・ロガーに定義できませんでした。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできません。ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

MVS ログ・ストリーム定義ユーティリティ (IXCMIAPU) を使用して、MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義することができます。あるいは、同じモデルを使用して多くのログ・ストリームを定義する見込みがある場合、MVS ロガーに *model* ログ・ストリームを定義することができます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME(*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって、関連するジャーナルの使用を復元することができます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンします。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *stream*
5. *model*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0509 *date time applid Log stream stream using model stream model not defined to MVS because of an invalid structure name.*

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、カップリング・ファシリティ構造名が無効なため、モデル・ログ・ストリーム *model* の属性を使用して MVS システム・ロガーに定義できませんでした。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできないため、ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

model ロガー定義または XLGSTRM 出口あるいはその両方の STRUCTNAME パラメーターを訂正してください。

MVS ログ・ストリーム定義ユーティリティ (IXCMIAPU) を使用して、MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義することができます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME(*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって、関連するジャーナルの使用を復元することができます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンします。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*

5. *model*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0510 *date time applid Log stream stream using model stream model not defined to MVS because of an invalid stream name.*

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、*stream* が無効なストリーム名であるため、モデル・ログ・ストリーム *model* の属性を使用して MVS システム・ロガーに定義できませんでした。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできないため、ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

ストリーム名を作成するために使用される JOURNALMODEL 定義を訂正して、ストリーム名を参照するすべての JOURNAL 定義を DISCARD するか、ストリームが VSAM 順方向リカバリー・ログ・ストリームの場合は VSAM データ・セットのカタログ項目内のストリーム名を訂正します。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME(*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって、関連するジャーナルの使用を復元することができます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンします。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *model*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0511 *date time applid Log stream stream using model stream model not defined to MVS because STRUCTNAME parameter missing in model.*

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は存在せず、モデル・ログ・ストリーム定義に必要な STRUCTNAME パラメーターが含まれていないため、モデル・ログ・ストリーム *model* の属性を使用して MVS システム・ロガーに定義できませんでした。

システムの処置: イベント項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS はログ・ストリームを定義することも接続することもできません。ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

IXCMIAPU ユーティリティを使用して、MVS システム・ロガーの LOGR 結合データ・セットのモデル・ログ・ストリームを再定義することで、モデル・ストリーム定義に STRUCTNAME(*structure_name*) パラメーターが含まれるようにします。これにより、ログ・ストリームに使用するカップリング・ファシリティ構造が指定されます。代わりに、CICS 出口 XLGSTRM を使用して、MVS システム・ロガーに構造名を指定することもできます。

MVS ログ・ストリーム定義ユーティリティ (IXCMIAPU) を使用して、MVS システム・ロガーにログ・ストリームを直接定義することができます。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、関連するジャーナルの使用は、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介して SET JOURNALNAME(*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって復元できます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンする必要があります。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*
5. *model*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0512 *date time applid Log stream stream*
cannot be used as both a system log
and a general log.

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は、システム・ログおよび汎用ログの両方として使用することはできません。

おそらく、JOURNALMODEL リソース定義で、ユーザー・ジャーナルのログ・ストリーム名がシステム・ログ・ジャーナル名 (DFHLOG および DFHSHUNT) と同じだった可能性があります。

あるいは、システム・ログ・ストリーム名が、VSAM データ・セットの順方向リカバリー・ログ・ストリームとして ICF カタログ内で指定された可能性があります。

システムの処置: CICS はログ・ストリームに接続できません。ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

インストール済みのジャーナル・モデルを確認して訂正し、他のジャーナルのログ・ストリームと同じものがシステム・ログ (DFHLOG および DFHSHUNT) に使用されないようにします。CEMT DISCARD JOURNALNAME() コマンドを使用して、正しくないストリーム名でインストールされたジャーナルを削除します。

注: DFHLOG および DFHSHUNT に適用されるジャーナル・モデル定義を変更する場合は、初期始動を実行する必要があります。

ICF カタログが正しくないストリーム名を指定している場合、IDCAMS ALTER コマンドを使用して訂正してください。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*

宛先: CSMT

DFHLG0513 *date time applid Log stream stream has*
failed and new connections cannot be
accepted.

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は直前のエラーによって失敗としてマークされています。ストリームの現在のすべてのユーザーが切断され、障害の原因となった問題が解決されない限り、ストリームを再び使用することはできません。

システムの処置: CICS はログ・ストリームに接続できません。ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

CICS はログ・ストリームの使用を静止する試行を続行し、ログ・ストリームから切断します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

CICS はログ・ストリームの使用を自動的に静止しますが、CEMT INQUIRE STREAM(*stream*) でログ・ストリームの使用が継続されていることが示される場合、ログ・ストリームを順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルとして使用するファイルのクローズを妨げている長期実行トランザクションがあるかどうかを調べる必要があります。

ログ・ストリームに関する問題を解決できる場合、関連するジャーナルの使用は、CEMT または EXEC CICS インターフェースを介してコマンド SET

JOURNALNAME(*journalname*) ACTION(RESET) を発行することによって復元できます。ログ・ストリームがデータ・セット順方向リカバリー・ログまたは自動ジャーナルの場合、関連するデータ・セットを再オープンする必要があります。

ログ・ストリーム *stream* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*

宛先: CSMT

DFHLG0514 *date time applid* **Log stream stream is in use by another CICS system.**

説明: MVS ログ・ストリーム *stream* は別の CICS 領域によって使用されています。

汎用ログ・ストリームは CICS 領域間で共用できますが、それぞれの CICS 領域には固有のシステム・ログ・ストリームが必要です。

次のいずれかが発生した可能性があります。

- CICS 領域の 2 つのコピーを実行している (同じ APPLID)
- JOURNALMODEL リソース定義で、システム・ログのログ・ストリーム名が別の CICS 領域のシステム・ログ・ジャーナル名 (DFHLOG および DFHSHUNT) と同じになった可能性がある。
- JOURNALMODEL リソース定義で、ユーザー・ジャーナルのログ・ストリーム名がシステム・ログ・ジャーナル名 (DFHLOG および DFHSHUNT) と同じになった可能性がある。
- システム・ログ・ストリーム名が、VSAM データ・セットの順方向リカバリー・ログ・ストリームとして ICF カタログ内で指定された可能性がある。

システムの処置: CICS はログ・ストリームに接続できません。ストリームを使用しようとしたアプリケーションはエラー応答を受け取り、異常終了することがあります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

ストリーム *stream* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続することもできます。

MVS コンソール・コマンド DISPLAY

GRS,RES=(DFHSTRM,*stream*) を使用して、ログ・スト

リームを使用している他の 1 つまたは複数の CICS 領域を検出します。

インストール済みのジャーナル・モデルを確認して訂正し、他のジャーナルのログ・ストリームと同じものがシステム・ログ (DFHLOG および DFHSHUNT) に使用されないようにします。CEMT DISCARD JOURNALNAME() コマンドを使用して、正しくないストリーム名でインストールされたジャーナルを削除します。

注: DFHLOG および DFHSHUNT に適用されるジャーナル・モデル定義を変更する場合は、初期始動を実行する必要があります。

ICF カタログが正しくないストリーム名を指定している場合、IDCAMS ALTER コマンドを使用して訂正してください。

モジュール: DFHLGST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *stream*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHLG0730 *applid* **A severe error (code X'code') has occurred while opening the system log (journalname). CICS will be terminated.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、1 次システム・ログまたは 2 次システム・ログのオープン中に重大エラーを検出しました。エラーについては直前の CICS メッセージに示されています。コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。システム・ダンプが取られ、CICS は即時に終了します。CICS はシステム・ログについてのこのような障害を許容できません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 直前のメッセージをガイドとして使用して、問題を訂正して CICS を再始動し、データ保全性を維持するために適切な SIT START パラメーターが指定されるようにします。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2SLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0731 *applid* **A failure has occurred while opening the system log (*journalname*). CICS will be terminated.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、1 次システム・ログまたは 2 次システム・ログのオープン中に障害を検出しました。障害については直前の CICS メッセージに示されています。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、CICS は即時に終了します。CICS はシステム・ログについてのこのような障害を許容できません。

ユーザーの処置: 直前のメッセージをガイドとして使用して、問題を訂正して CICS を再始動し、データ保全性を維持するために適切な SIT START パラメーターが指定されるようにします。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2SLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0733 *applid* **SMF のログ・ストリーム・タイプがシステム・ログ (*journalname*) に要求されました。これは許可されません。(*applid* A log stream type of SMF has been requested for the system log (*journalname*). This is not allowed.)**

説明: 1 次システム・ログまたは 2 次システム・ログのいずれかについて、SMF のログ・ストリーム・タイプが JOURNALMODEL 定義に指定されました。システム・ログの JOURNALMODEL 定義には、MVS または DUMMY のログ・ストリーム・タイプがなければなりません。

システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成され、CICS が終了します。CICS は SMF システ

ム・ログを操作できません。

ユーザーの処置: MVS または DUMMY のいずれかのログ・ストリーム・タイプが指定されるように JOURNALMODEL 定義を変更してください。

モジュール: DFHL2SLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0734 *applid* **A severe error (code *X'code'*) has occurred while accessing the CICS system log. CICS will be terminated.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、1 次システム・ログまたは 2 次システム・ログの書き込みまたは読み取り中に重大エラーを検出しました。エラーについては直前の CICS メッセージに示されています。コード *code* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。システム・ダンプが取られ、CICS は即時に終了します。CICS はシステム・ログについてのこのような障害を許容できません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 直前のメッセージをガイドとして使用して、問題を訂正して CICS を再始動し、SIT START パラメーターを AUTO に指定してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHLG0735 *applid* **A failure has occurred while {writing to | reading from} the system log (*journalname*). Access to the system log has been lost. CICS will be terminated.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、システム・ログの書き込みまたは読み取り中に障害を検出しました。障害の性質については直前の CICS メッセージに示されてお

り、ログのデータが失われていないことを示しています。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、CICS は即時に終了します。CICS はシステム・ログについてのこのような障害を許容できません。

ユーザーの処置: 直前のメッセージをガイドとして使用して、問題を訂正して CICS を再始動し、データ保全性を維持するために適切な SIT START パラメーターが指定されるようにします。

問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがあります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= 書き込み,
2= 読み取り

3. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0736 *applid* A failure has occurred while reading from the system log (*journalname*). The requested data could not be found. CICS will be quiesced allowing some tasks to complete. Further work requires an initial start.

説明: CICS ログ・マネージャーが、タスクの動的バックアウト時にシステム・ログから読み取りを行ったとき、前に強化されたデータの位置を突き止められませんが、これは、システム・ログ上のデータが失われたことを暗黙に示しています。したがって、システム・ログの保全性に疑念があります。

システムの処置: システム・ログにはこれ以上のブロックは書き込まれません。CICS は、可能な限り多くのタスクを完了させるために通常シャットダウンによって停止されます。この時点から動的バックアウト状態になるすべてのタスクは中断されます。CICS の次の始動が初期始動でない場合、システム・ログ・データが失われた可能性があるため、CICS はユーザー処理の開始を許可する前に終了します。

ユーザーの処置: シャットダウン前に完了しなかったトランザクションは、CICS を再始動する前に他の方法でリカバリーする必要があります。

IBM の支援が必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0737 *applid* A failure has occurred while writing to the system log (*journalname*). A log record was longer than the maximum block size for the MVS log stream. CICS will be terminated.

説明: CICS ログ・マネージャーは、システム・ログの書き込み中に障害を検出しました。MVS ログ・ストリームに許可された最大ブロック・サイズよりも長いログ・レコードの書き込みが試行されました。サイズの不一致は、CSMT TD 宛先に書き込まれた直前の DFHLG0742 メッセージによって示されます。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、CICS は即時に終了します。CICS はシステム・ログについてのこのような障害を許容できません。

ユーザーの処置: DFHLG0742 メッセージをガイドとして使用して、システム・ログが使用する MVS ログ・ストリーム構造に対してより大きいブロック・サイズを定義します。次に、CICS を再始動し、データ保全性を維持するために適切な SIT START パラメーターが指定されるようにします。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0738 *applid* A failure has occurred while reading the system log (*journalname*). The requested data could not be found. CICS will be terminated. Further work requires an initial start.

説明: CICS ログ・マネージャーが、CICS の再始動時にシステム・ログから読み取りを実行中に、前に強化されたデータの位置を突き止められませんが、これは、システム・ログ上のデータが失われたことを暗黙に示してい

ます。したがって、システム・ログの保全性に疑念があります。

システムの処置: システム・ログにはブロックは書き込まれません。CICS の再始動は中止されます。CICS の次の始動が初期始動でない場合、システム・ログ・データが失われた可能性があるため、CICS はユーザー処理の開始を許可する前に終了します。

ユーザーの処置: 未完了トランザクションは、CICS を再始動する前に他の方法でリカバリーする必要があります。

IBM の支援が必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0739 *applid* CICS の通常シャットダウンを実行するためのトランザクション CSQC を開始する試行が失敗しました。(applid An attempt to start transaction CSQC to perform a normal shutdown of CICS has failed.) CICS の通常シャットダウンを手動で実行してください。(Perform a normal shutdown of CICS manually.)

説明: CICS ログ・マネージャーは、通常シャットダウンで CICS を静止するためにトランザクション CSQC を開始しようとしたが、その試行は失敗しました。システム・ログの保全性が疑われるため、CICS は静止されました。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、システム・ダンプが取られます。CICS の処理が続行されますが、動的バックアウト状態になるすべてのタスクは無期限に中断状態となり、未完了のままになります。

ユーザーの処置: 通常シャットダウンで CICS を静止する CEMT PERFORM SHUTDOWN を発行してください。これにより、可能な限り多くのトランザクションを完了させることができます。メッセージ DFHLG0736 および DFHLG0740 の説明を参照してください。

また、トランザクション CSQC が開始しなかった理由を特定し、問題を訂正してください。エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLG0740 *applid* While writing data to the system log (*journalname*), a lost data warning was received. CICS will be quiesced without logging, allowing tasks to complete. Further work requires an initial start.

説明: CICS ログ・マネージャーは、システム・ログへの書き込み中にデータ脱落警告を受け取りました。これは、前に強化されたデータの 1 つ以上のブロックがシステム・ログから失われたことを意味します。したがって、システム・ログの保全性に疑念があります。

システムの処置: システム・ログにはこれ以上のブロックは書き込まれません。CICS は、可能な限り多くのタスクを完了させるために通常シャットダウンによって静止されます。この時点から動的バックアウト状態になるすべてのタスクは中断されます。CICS の次の始動が初期始動でない場合、システム・ログ・データが失われた可能性があるため、CICS はユーザー処理の開始を許可する前に終了します。

ユーザーの処置: シャットダウン前に完了しなかったトランザクションは、CICS を再始動する前に他の方法でリカバリーする必要があります。

IBM の支援が必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *journalname*

宛先: コンソール

DFHLG0741 *applid* A failure to read data from the system log during dynamic backout has caused task *tasknum* to be suspended indefinitely. Tranid *tranid*, termid *termid*.

説明: *termid termid* で実行されているトランザクション ID *tranid* を持つタスク *tasknum* が無期限に中断されました。動的バックアウト時に必要となるデータの位置をシステム・ログ上で突き止められませんでした。このメッセージの後にメッセージ DFHLG0736 が続きます。

DFHLG0742 • DFHLG0744

システムの処置: タスクは中断状態になります。CICS は通常シャットダウンによる静止のプロセス中です。

ユーザーの処置: メッセージ DFHLG0736 の説明を参照してください。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tasknum*
3. *tranid*
4. *termid*

宛先: コンソール

DFHLG0742 *date time applid* **Log record too long for block. Record size rsize bytes. Block size bsize bytes. {MVS log stream | SMF journal} name.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・レコードが長すぎるため許容される最大ブロック・サイズに適合しない場合に、ログ・レコードを MVS ロガー・ログ・ストリームまたは SMF ジャーナルに書き込む試行を検出しました。

このメッセージは、ログ・レコードのサイズと、そのログ・ストリーム用のブロックの最大サイズを示します。ログ・レコードのサイズには、CICS レコード・ヘッダー (システム・ログの場合は最大 200 バイト、それ以外の場合は 56 バイト) およびすべてのユーザー・接頭部データが含まれています。また、ブロック内に CICS ブロック・ヘッダー用の十分なスペースも必要です (SMF の場合は 158 バイト、システム・ログの場合は 52 バイト、それ以外の場合は 40 バイト)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ログ・ストリームが CICS システム・ログの一部であり、ログ・レコードへの書き込みを試行したのがユーザー・アプリケーションまたは出口プログラムでなかった場合、CICS は終了します。それ以外の場合は、例外が呼び出し元に戻されます。

ユーザーの処置: 最初に、示されたサイズのログ・レコードが予期されたものであったかどうかを調べます。ログ・レコードが、EXEC CICS WRITE

JOURNALNAME または DFHJCJCX

WRITE JOURNAL DATA を使用する出口プログラムまたはユーザー・アプリケーションによって書き込まれた場合、プログラムはエラーになる可能性があります。

ログ・レコードが正しい場合は、ログ・ストリームで使用する構造のブロック・サイズをより大きく定義することによって、MVS ロガーのログ・ストリームのブロック・サイズを大きくする必要があります。SMF ジャー

ナルの場合、ブロック・サイズは 32756 バイトに固定され、変更できません。

モジュール: DFHL2LB, DFHL2WF, DFHL2CHM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rsize*
5. *bsize*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= MVS ログ・ストリーム,
2= SMF ジャーナル

7. *name*

宛先: CSMT

DFHLG0743 *date time applid* **Tail of log stream lsn deleted at block id X'blockid'.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、MVS ロガー・ログ・ストリーム *lsn* のテールをトリムしました。指定された MVS ロガー・ブロック ID *blockid* よりも前に発生した (古い) すべてのレコードが削除されました。

これは、アクティビティー・キーポイント処理中に、CICS が CICS システム・ログのログ・ストリーム上で特定の経過時間を超えるレコードを必要としなくなった場合に発生します。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHL2CHE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *lsn*
5. *X'blockid'*

宛先: CSMT

DFHLG0744 *date time applid* **All records in log stream lsn have been deleted.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、MVS ロガー・ログ・ストリーム *lsn* からすべてのレコードを削除しました。

これは、開始タイプが初期の場合に CICS の始動時に発

生するか、アクティビティー・キーポイント処理中に CICS が現在 CICS システム・ログのログ・ストリーム上に存在するすべてのレコードを必要としなくなった場合に発生します。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHL2CC、DFHL2CHE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *lsn*

宛先: CSMT

DFHLG0745I *applid* システム・ログの完全スキャンが開始されました。(*applid* **System log full scan has started.**)

説明: CICS ログ・マネージャーは、始動時にシステム・ログの完全スキャンを開始しました。

これは進行状況メッセージです。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、SIT パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHL2CHA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLG0746 *date time applid* **System log scan trim record found. Primary logstream block id X'pblock', secondary logstream block id X'sblock'.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、始動時にシステム・ログ・ストリームのスキャン中にトリム・レコードを検出しました。1 次ログ・ストリームのトリム・レコードのブロック ID は *pblock* で、2 次ログ・ストリームのトリム・レコードのブロック ID は *sblock* です。

これは通知メッセージです。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHL2CHN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *X'pblock'*
5. *X'sblock'*

宛先: CSMT

DFHLG0747I *applid* **System log scan continuing, count records processed.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、CICS の再始動時にシステム・ログ・ストリームのスキャン中に *count* 件のレコードを処理しました。

メッセージは「n」レコードごとに表示され、ここで「n」は AKPFREQ の半分または 500 のうち大きい方です。

これは進行状況メッセージです。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、SIT パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHL2CHN DFHL2CH4

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *count*

宛先: コンソール

DFHLG0748I *applid* **System log selective scan has started.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、始動時にシステム・ログの選択スキャンを開始しました。

これは進行状況メッセージです。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、SIT パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHL2CHH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLG0749I *applid* **System log scan has completed.**

説明: CICS ログ・マネージャーは、始動時にシステム・ログ・ストリームのスキャンを完了しました。

これは進行状況メッセージです。

DFHLG0750 • DFHLG0760

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、SIT パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHL2CHL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLG0750 *applid* トランザクション CSQC は CICS の通常シャットダウンの実行に失敗しました。 (*applid Transaction CSQC has failed to perform a normal shutdown of CICS.*) CICS の通常シャットダウンを手動で実行してください。 (*Perform a normal shutdown of CICS manually.*)

説明: エラーが検出されたため、トランザクション CSQC は、通常シャットダウンで CICS を静止することに失敗しました。システム・ログの健全性が疑われるため、CICS は静止されました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。CICS の処理が続行されますが、動的バックアウト状態になるすべてのタスクは無期限に中断状態となり、未完了のままになります。

ユーザーの処置: 通常シャットダウンで CICS を静止する CEMT PERFORM SHUTDOWN を発行してください。これにより、可能な限り多くのトランザクションを完了させることができます。メッセージ DFHLG0736 および DFHLG0740 の説明を参照してください。

トランザクション CSQC が CICS の静止に失敗した理由を特定し、問題を訂正してください。エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLGQC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLG0760 *date time applid Log stream lsn not trimmed by keypoint processing. Number of keypoints since last trim occurred: trimnum. History point held by transaction: transid, task number: tranum.*

説明: CICS ログ・マネージャーは、アクティビティー・キーポイント中に MVS ロガー・ログ・ストリーム

lsn のテールをトリムできませんでした。

CICS はアクティビティー・キーポイント処理中にシステム・ログのログ・ストリームをトリムして、ログ・ストリームの最も古い末尾 (テール) から冗長データを削除しようとします。

このメッセージは、1 次システム・ログ・ストリーム (DFHLOG) がキーポイント操作中にトリムされなかった場合にのみ出されることに注意してください。このメッセージは、2 次システム・ログ・ストリーム (DFHSHUNT) に対してトリムが実行されなかった場合は出されません。この理由は、1 次システム・ログ・ストリームのトリムはキーポイントごとに発生する可能性が大幅に高いことから、1 次システム・ログ・ストリームのトリムの失敗を認識して必要な場合に調査する必要があります。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: これは通知メッセージですが、1 次システム・ログ・ストリームをトリムできないキーポイントの数が増加し続ける場合は、潜在的な問題の警告として扱う必要があります。DFHLOG のトリムに失敗するキーポイントが時折検出されるのは、予期しないイベントではありません。ただし、いくつかの連続的なキーポイントによってメッセージが出される場合、さらなる調査が必要になります。

ログ・ストリームの最も古いログ・レコードが、まだ必要な作業単位 (UOW) に属しているため、キーポイント操作は DFHLOG のテールをトリムできませんでした。これは、有効な長期実行 UOW である場合もあります。または、ログ・レコードを生成するが、同期点要求を定期的に発行しないアプリケーションを実行する長期実行タスクの一部である可能性もあります。

これは変則的な長期実行 UOW による一時的な現象である可能性もあります。ログをトリムできなかったキーポイントの数を調べてください。次のアクティビティー・キーポイントのログ・ストリーム *lsn* に対して CICS が発行するメッセージを確認します。メッセージ DFHLG0743 は、ログ・ストリームが今度は正しくトリムされたことを示しています。別の DFHLG0760 メッセージは、長期実行 UOW がシステム上にまだ存在することを示しています。ログ・ストリームをまだトリムできない場合、CEMT INQUIRE UOW コマンドを使用して、システム上の最も古い UOW を調べてください。

DFHLOG 上の最も古いデータに関連する UOW を持つタスクのトランザクション ID およびタスク番号も、DFHLG0760 メッセージで提供されています。CEMT INQUIRE TASK コマンドを使用して、それらを調べることができます。

アクティビティー・キーポイント (AKPFREQ システム

定義パラメーターによって定義される) を CICS が実行する頻度を調べることもお勧めします。

注: DFHLOG 上の最も古いデータに関連する UOW を持つタスクがシステムにもはや存在していない可能性があります。これは通常、タスクがオープン TCB の元で実行され、キーポイント・タスクがログ・ストリームのヒストリー・ポイントを判別している間にタスクがその同期点をたまたま完了した場合に発生します。これに該当する場合、トランザクション ID およびタスク番号のメッセージ挿入は疑問符 (????) として表示されます。この完了した UOW のログ・データは次のキーポイントで削除の対象となります。

モジュール: DFHL2CHE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *lsn*
5. *trimnum*
6. *transid*
7. *trannum*

宛先: CSMT

DFHLG0761 *date time applid* トランザクションID *transid* を実行中のタスク番号 *trannum* により、*trimnum* アクティビティ・キーポイントによるシステム・ログのトリムが妨げられました。(date time applid Task number trannum running transid transid has prevented trimnum activity keypoints from trimming the System Log.)

説明: CICS ログ・マネージャーは、*trimnum* アクティビティ・キーポイント中にシステム・ログのログ・ストリームのテールをトリムできませんでした。

トリム操作の実行を妨げられたキーポイントごとに、メッセージ DFHLG0760 が出されました。

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: これは通知メッセージですが、CICS は 100 個のキーポイントがログ・ストリームのトリムに失敗した後にのみこのメッセージを出すため、潜在的な問題の強い警告として扱う必要があります。CICS は、キーポイントがログ・ストリームを正常にトリムするまで、10 個のキーポイントごとにこのメッセージを再び出します。

ログ・ストリームの最も古いログ・レコードが、まだ必

要な作業単位 (UOW) に属しているため、キーポイント操作は DFHLOG のテールをトリムできませんでした。これは、有効な長期実行 UOW である場合もあります。または、ログ・レコードを生成するが、同期点要求を定期的に発行しないアプリケーションを実行する長期実行タスクの一部である可能性もあります。

タスクは余分なログ・ストリーム・リソースを消費するだけでなく、CICS ロックやデータベース・ロックおよびカップリング・ファシリティー・ストレージなどの他のシステム・リソースを消費することがあります。このようなリソースの過度の消費は、アプリケーションまたはシステム全体の問題を引き起こす可能性があります。

DFHLOG 上の最も古いデータに関連する UOW を持つタスクのトランザクション ID およびタスク番号も、DFHLG0760 メッセージで提供されています。CEMT INQUIRE TASK コマンドを使用して、それらを調べることができます。

アクティビティ・キーポイント (AKPFREQ システム定義パラメーターによって定義される) を CICS が実行する頻度を調べることもお勧めします。

モジュール: DFHL2CHE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *transid*
6. *trimnum*

宛先: コンソール

DFHLG0770 *applid* ジャーナル *jname* を介してアクセスされた SMF ログへの書き込み中に重大エラーが発生しました。(applid A severe error has occurred while writing to the SMF log, which was accessed via journal jname.)SMF 応答 X'resp'。(SMF response X'resp'.)

説明: CICS ログ・マネージャーは、SMF ログの書き込み中に重大エラーを検出しました。SMF ログにはジャーナル *jname* を介してアクセスします。SMF は応答バイト X'resp' を返します。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、システム・ダンプが取られ、例外が呼び出し元に戻されます。

ユーザーの処置: SMF 応答バイトを使用して、問題を診断して訂正してください。問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエ

DFHLG0771 • DFHLG0772

ラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2LB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *jname*
3. *X'resp'*

宛先: コンソール

DFHLG0771 *date time applid A temporary error condition occurred during MVS logger operation {IXGCONN | IXGWRITE | IXGBRWSE | IXGDELET | IXGQUERY} {CONNECT | DISCONNECT | | START | READCURSOR | READBLOCK | END | ALL | RANGE} for log stream lsn. MVS logger codes: X'ret', X'rsn'.*

説明: CICS ログ・マネージャーはログにアクセスするために MVS ロガーに対する呼び出しを行い、一時エラー状態が返されました。エラー状態を戻した MVS ロガー操作はメッセージで識別されています。表示されている戻りコードと理由コードは、MVS ロガーによって戻されたコードです。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 一時エラー状態が持続する間、ログ・マネージャーは自動的に操作を再試行します。このメッセージは、最初/前回の発行以降、30 秒ごとに発行されます。

ユーザーの処置: None. これは一時的な状態です。

モジュール: DFHL2HS2, DFHL2HS3, DFHL2HS4, DFHL2HS5, DFHL2HS6, DFHL2HS7, DFHL2HS8, DFHL2HS9, DFHL2HSF, DFHL2HSG, DFHL2HSJ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=IXGCONN,
2=IXGWRITE,
3=IXGBRWSE,
4=IXGDELET,

5=IXGQUERY

5. 以下のオプションから選択される値。

1=CONNECT,
2=DISCONNECT,
3= ,
4=START,
5=READCURSOR,
6=READBLOCK,
7=END,
8=ALL,
9=RANGE

6. *lsn*
7. *X'ret'*
8. *X'rsn'*

宛先: CSMT

DFHLG0772 *applid ログ・ストリーム lsn において、z/OS ロガー操作 {IXGCONN | IXGWRITE | IXGBRWSE | IXGDELET | IXGQUERY} {CONNECT | DISCONNECT | | START | READCURSOR | READBLOCK | END | ALL | RANGE | CHECKCONNSTATUS(YES)} の際にエラーが発生しました。z/OS ロガー・コード: X'ret', X'rsn'。ログ・ストリーム属性: SYSTEMLOG({YES | NO}), DASDONLY({YES | NO}), STRUCTNAME(structname)、RETPD(X'retpd'), AUTODELETE ({YES | NO})。*

説明: CICS ログ・マネージャーはログにアクセスするために z/OS ロガーに対して呼び出しを行い、エラー状態が返されました。エラー状態を戻した z/OS ロガー操作はメッセージで識別されています。表示されている戻りコードおよび理由コードは z/OS ロガーによって戻されたものです。この後に、ログ・ストリームを定義するいくつかの属性が続きます。*****II の構造名は、このログ・ストリームによって使用されている構造がないことを示しています。

ログ・ストリーム接続時にエラーが発生した場合、これらの属性は、ログ・ストリーム用の正しい値に更新されていない可能性があり、無視する必要があります。これらの属性は、接続が成功した後にのみ有効です。

このメッセージの後に別の CICS メッセージが続くことがあります (特にログ・ストリームが CICS システム・ログの一部である場合)。

この状況は、クラッシュまたはユーザー要求のいずれかの後に z/OS ロガーが再始動した場合、CICS が廃止済みのログ・ストリーム接続トークンを使用して z/OS ロガーを呼び出すと、発生する可能性があります。z/OS ロガーの再始動は、暗黙的にすべての接続を切断します。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

注: x'0000085D' の理由コードは、z/OS ロガーから IxgRsnCodeWowError が返されたことを意味します。このログ・ストリームに割り振られたカップリング・ファシリティ構造スペースがいっぱいであるか、またはステージング・データ・セット・スペースがいっぱいです。一時ストレージ・データを DASD にオフロードしようとしたが、重大エラーが原因で失敗しました。オフロードのエラー条件がクリアされるまでは、これ以上の書き込み要求を処理することはできません。

注: x'00000804' の理由コードは、z/OS ロガーから IxgRsnCodeNoBlock が返されたことを意味します。CICS システム・ログに対する IXGDELET 要求の場合、CICS はこのエラーとは関係なく、通常どおり続行します。これは最善のオプションです。動的トランザクション・バックアウトまたはシステム再始動を行うために将来その欠落ブロックを読み取る必要がある場合を除き、CICS ではその欠落データは必要ないためです。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、状況によってはシステム・ダンプが取られます。

ログ・マネージャーは例外条件を返します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: z/OS ロガーが最近再始動された場合、CICS を AUTO で始動します。それ以外の場合は、MVS ロガーの戻りコードと理由コードを使用して問題を診断してください。問題を解決できない場合、あるいは問題が続くようであれば、サーバーにさらにエラーがある場合があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

ログ内にメッセージ IXG301I がないか調べて、エラーの原因を判別してください。汎用ログ・ストリームについては、ほとんどの場合、ステージング・データ・セットのサイズを大きくしてから CICS 領域を再始動するか、または汎用ログ・ストリームからレコードを削除する必要があります。

モジュール: DFHL2HS2, DFHL2HS3, DFHL2HS4,

DFHL2HS5, DFHL2HS6, DFHL2HS7, DFHL2HS8, DFHL2HS9, DFHL2HSF, DFHL2HSG, DFHL2HSJ, DFHL2HB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=IXGCONN,
2=IXGWRITE,
3=IXGBRWSE,
4=IXGDELET,
5=IXGQUERY

3. 以下のオプションから選択される値。

1=CONNECT,
2=DISCONNECT,
3= ,
4=START,
5=READCURSOR,
6=READBLOCK,
7=END,
8=ALL,
9=RANGE,
10=CHECKCONNSTATUS(YES)

4. *lsn*
5. *X'ret'*
6. *X'rsn'*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=YES,
2=NO

8. 以下のオプションから選択される値。

1=YES,
2=NO

9. *structname*
10. *X'retpd'*
11. 以下のオプションから選択される値。

1=YES,
2=NO

宛先: コンソール

DFHLG0773 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred while accessing (*{IXGCONN | IXGWRITE | IXGBRWSE | IXGDELET | {CONNECT | DISCONNECT | | START | READCURSOR | READBLOCK | END | ALL | RANGE}*) the log stream *lsn*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログへのアクセスの試行中に重大エラーを検出しました。コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。このメッセージの前に DFHLG0001 があり、通常は他のメッセージが続きます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。DFHLG0001 によってシステム・ダンブが取られます。ログ・マネージャーは呼び出し元に災害時状態を戻します。ログが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに災害時状態が返されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 詳しい情報およびガイダンスについては、このメッセージに続く他のメッセージを参照してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2HS2, DFHL2HS3, DFHL2HS4, DFHL2HS5, DFHL2HS6, DFHL2HS7, DFHL2HS8, DFHL2HS9, DFHL2HSF, DFHL2HSG, DFHL2HSJ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. 以下のオプションから選択される値。

1=IXGCONN,
2=IXGWRITE,
3=IXGBRWSE,
4=IXGDELET

4. 以下のオプションから選択される値。

1=CONNECT,
2=DISCONNECT,
3= ,
4=START,
5=READCURSOR,

6=READBLOCK,
7=END,
8=ALL,
9=RANGE

5. *lsn*

宛先: コンソール

DFHLG0774 *applid* The MVS logger has returned an alert during operation (*{IXGCONN CONNECT | IXGWRITE }*)for logstream *lsn*. The log stream data set directory is full. MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中に警告を検出しました。ログ・ストリームのデータ・セット・ディレクトリーがいっぱいになっています。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS は、ログ・ストリームの現在のデータ・セットがいっぱいになるまで、通常の操作を継続します。この場合、メッセージ DFHLG0772 が出されます。

ユーザーの処置: 現在のデータ・セットがいっぱいになる前にログ・ストリーム・テールからデータを削除する必要があります。データを削除する前にコピーしておくことを推奨します。あるいは、新しいログ・ストリームを使用することもできますが、これは大きな混乱を招く場合があります。

モジュール: DFHL2HS2, DFHL2HSF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=IXGCONN CONNECT,
2=IXGWRITE

3. *lsn*
4. *X'ret'*
5. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0775 *applid* The MVS logger has returned an alert during operation {IXGCONN CONNECT | IXGWRITE }for log stream *lsn*. The log stream writer offload task is failing. MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中に警告を検出しました。ログ・ストリームに対する書き込み機能オフロード・タスクが失敗します。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・ストリームの構造がいっぱいになるまで CICS は通常の操作を継続できます。この場合、DFHLG0772 が出されます。

ユーザーの処置: カップリング・ファシリティーのログ・ストリーム構造がいっぱいになる前に、MVS ロガーの一部である失敗したログ・ストリーム書き込み機能オフロード・タスクを調査して修正する必要があります。

モジュール: DFHL2HS2, DFHL2HSF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=IXGCONN CONNECT,
2=IXGWRITE

3. *lsn*
4. *X'ret'*
5. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0776 *applid* The MVS logger has returned an alert during operation IXGWRITE for log stream *lsn*. The log stream staging data set has failed. MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にアラートを検出しました。ログ・ストリームのステー징・データ・セットで障害が発生しました。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセ

ンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

CICS は通常の操作を続行しますが、ログ・ストリーム構造に書き込まれたデータは二重化されません。したがって、構造またはカップリング・ファシリティーで障害が発生した場合、データを回復することはできません。

ユーザーの処置: 可能な限り速やかに CICS をシャットダウンすることをお勧めします。データを損失せずに、障害が発生しているログ・ストリームを調査して修復する必要があります。

障害が発生しているログ・ストリームが CICS システム・ログで、CICS が即時にシャットダウンされた場合、未完了トランザクションをリカバリーするために CICS を緊急時再始動する必要があります。

モジュール: DFHL2HSF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0777 *applid* A temporary error condition occurred during MVS logger operation {IXGCONN | IXGWRITE | IXGBRWSE | IXGDELET | IXGQUERY } {CONNECT | DISCONNECT | | START | READCURSOR | READBLOCK | END | ALL | RANGE} for log stream *lsn*. MVS logger codes: *X'ret'*, *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーはログにアクセスするために MVS ロガーに対する呼び出しを行い、一時エラー状態が返されました。エラー状態を戻した MVS ロガー操作はメッセージで識別されています。表示されている戻りコードと理由コードは、MVS ロガーによって戻されたコードです。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 一時エラー状態が持続する間、ログ・マネージャーは自動的に操作を再試行します。このメッセージは、最初/前回の発行以降、30 秒ごとに発行されます。

DFHLG0778 • DFHLG0779

ユーザーの処置: None. これは一時的な状態です。

モジュール: DFHL2HS2, DFHL2HS3, DFHL2HS4, DFHL2HS5, DFHL2HS6, DFHL2HS7, DFHL2HS8, DFHL2HS9, DFHL2HSF, DFHL2HSG, DFHL2HSJ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=IXGCONN,
2=IXGWRITE,
3=IXGBRWSE,
4=IXGDELET,
5=IXGQUERY

3. 以下のオプションから選択される値。

1=CONNECT,
2=DISCONNECT,
3= ,
4=START,
5=READCURSOR,
6=READBLOCK,
7=END,
8=ALL,
9=RANGE

4. *lsn*
5. *X'ret'*
6. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0778 *applid* The MVS logger has returned an error during operation IXGCONN CONNECT for log stream *lsn*. CICS does not have authority to perform this operation. MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。CICS 領域ユーザー ID が、この操作を実行するための権限で MVS ロガーに定義されていません。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。ログが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセ

ージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに例外条件が返されます。

ユーザーの処置: 手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

CICS 領域ユーザー ID がログ・ストリームにアクセスするための権限を持つようにしてください。詳細については、「CICS セキュリティー」を参照してください。

モジュール: DFHL2HS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0779 *applid* The MVS logger has returned an error during operation IXGCONN CONNECT for log stream *lsn*. ログ・ストリームは別のプログラムによって削除中です。(The log stream is being deleted by another program.) MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。ログ・ストリームは、別のプログラムからの要求によって削除中で、CICS はこのプログラムが終了するまでログ・ストリームに接続できません。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。ログ・ストリームが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに例外条件が返されます。

ユーザーの処置: 手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

別のプログラムがログ・ストリームを削除していた理由を理解する必要があります。今後そのような競合が発生

しないようにするか、別のログ・ストリームを CICS に割り振ってください。

モジュール: DFHL2HS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0780 *applid* The MVS logger has returned an error during operation IXGCONN CONNECT for log stream *lsn*. 以前このログ・ストリームに書き込まれたデータの一部が失われました。(Some data previously written to this log stream has been lost.) MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。このログ・ストリームに書き込まれたデータの一部が永久に失われました。

このメッセージは、ログ・ストリームが汎用ログである(CICS システム・ログでない) 場合にのみ出されます。

IXGCONN マクロおよびその戻りコードと理由コードの詳細については、『「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」の『IXGCONN - ログ・ストリームに対する接続/切断』』を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。

ユーザーの処置: このログ・ストリームは汎用ログであるため、CICS で再び使用できるようにするには、これを削除して再定義する必要があります。

ログ・ストリームが順方向リカバリー・ログとして使用されている場合は、可能な限り速やかに、このログ・ストリームを使用しているすべてのデータ・セットの新しいバックアップを取ってください。

ログ・ストリームがユーザー・ジャーナルとして使用される場合、ログ・ストリームを再び使用できるようにするには、関連するジャーナルを再び使用可能にする必要があります。これを行うには、次のコマンドを発行します。

SET JOURNALNAME(...) RESET

MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

モジュール: DFHL2HS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0781 *applid* The MVS logger has returned an error during operation IXGCONN CONNECT for log stream *lsn*. ログ・ストリーム接続の数が、システム・ロガーによってサポートされる最大数に達しました。(The maximum number of log stream connections that the MVS logger can support has been reached.) MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。ログ・ストリーム接続の数が、システム・ロガーによってサポートされる最大数に達しました。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。ログが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに例外条件が返されます。

ユーザーの処置: 手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

他の作業が完了して同時トランザクションの数が削減されてから、このトランザクションを再試行できる場合があります。それ以外の場合は、シスプレックス内のログ・ストリームがどのように使用されているか調査し、同時に接続する必要があるログ・ストリームの数を削減する必要があります。

モジュール: DFHL2HS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0782 *applid* The MVS logger has returned an error during operation {IXGCONN CONNECT | IXGWRITE} for log stream *lsn*. The MVS logger does not have authority to access the log stream structure. MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。MVS ロガーには、ログ・ストリーム構造にアクセスする権限がありません。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。ログが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに例外条件が返されます。

ユーザーの処置: 手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

MVS ロガー・アドレス・スペースがログ・ストリーム構造にアクセスするための権限を持つようにしてください。

モジュール: DFHL2HS2, DFHL2HSF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=IXGCONN CONNECT,
2=IXGWRITE

3. *lsn*
4. *X'ret'*
5. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0783 *applid* The MVS logger has returned an error during operation IXGCONN CONNECT for logstream *lsn*. CICS はログ・ストリーム・モデルへの接続を試みましたが、これを行うことはできません。(CICS attempted to connect to a log stream model, which is not possible.) MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。CICS はログ・ストリーム・モデルへの接続を試みましたが、これを行うことはできません。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。ログが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに例外条件が返されます。

ユーザーの処置: 手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

ユーザー・ジャーナル定義が正しくないログ・ストリーム名で定義されたか、またはログ・ストリームが MODEL(YES) 属性を持つように誤って定義された可能性があります。ユーザー・ジャーナルの定義については、「構成」を参照してください

モジュール: DFHL2HS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0784 *applid* The MVS logger has returned an error during operation IXGCONN CONNECT for log stream *lsn*. 既に別の MVS イメージに接続されている DASDONLY ログ・ストリームに接続することはできません。(You cannot connect to a DASDONLY log stream that is already connected to another MVS image.) MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。ログ・ストリームのタイプは DASDONLY であり、既に別の MVS イメージに接続されているため、MVS ロガーは接続要求を拒否しました。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。ログが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに例外条件が返されます。

ユーザーの処置: 手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

タイプ DASDONLY のログ・ストリームは、単一の MVS イメージの有効範囲内でのみ機能するように設計されています (ただし、MVS イメージ自体は引き続きシスプレックスの一部であってもかまいません)。

以下の可能性があります。

- 接続要求が誤ったログ・ストリーム名を使用している。
- 現在の接続が誤ったログ・ストリーム名を使用している。
- ログ・ストリームがタイプ DASDONLY であると誤って定義されている。

モジュール: DFHL2HS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0785 *applid* The MVS logger has returned an error during operation IXGCONN CONNECT for log stream *lsn*. これは DASDONLY ログ・ストリームで、現行のシステム・リリース・レベルではサポートされていません。(This is a DASDONLY log stream, which is not supported by the current system release level.) MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。ログ・ストリームのタイプは DASDONLY であり、現行のシステム・リリース・レベルではサポートされていないため、MVS ロガーは接続要求を拒否しました。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。ログが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに例外条件が返されます。

ユーザーの処置: 手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

タイプ DASDONLY のログ・ストリームは、システム・リリース・レベル OS/390 2.4 以降でサポートされます。

以下の可能性があります。

- CICS が誤ったシステム上で実行されている。
- ログ・ストリームがタイプ DASDONLY であると誤って定義されている。
- 接続要求が誤ったログ・ストリーム名を使用している。

モジュール: DFHL2HS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0786 *applid* The MVS logger has returned an error during operation IXGCONN CONNECT for log stream *lsn*. MVS ロガーは、ログ・ストリーム構造に適したカップリング・ファシリティーを検出できませんでした。(The MVS logger failed to find a suitable coupling facility for the log stream structure.) MVS logger codes: *X'ret'* *X'rsn'*.

説明: CICS ログ・マネージャーは、ログ・ストリームへのアクセスの試行中にエラーを検出しました。MVS ロガーは、ログ・ストリーム構造に適したカップリング・ファシリティーを検出できませんでした。

詳細については、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」を参照してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ログ・マネージャーは呼び出し元に例外条件を返します。ログが CICS システム・ログ、順方向リカバリー・ログ、または自動ジャーナル・ログの場合、別のメッセージが出されます。それ以外の場合、アプリケーション・プログラムに例外条件が返されます。

ユーザーの処置: 手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。MVS ロガーの戻りコードおよび理由コードを使用して、問題をより詳しく診断してください。

シスプレックス内のカップリング・ファシリティーのリソースがどのように使用されているかを調査してください。

モジュール: DFHL2HS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *lsn*
3. *X'ret'*
4. *X'rsn'*

宛先: コンソール

DFHLG0787 *applid* CICS は、現行チェーンに属していないブロック ID を読み取ろうとしています。(applid CICS is attempting to read a blockid that does not belong to the current chain.) 読み取りブロック ID: *X'blkid1'*; チェーン・ヒストリー・ポイント: *X'blkid2'*。(Read blockid: *X'blkid1'*; Chain History Point: *X'blkid2'*.)

説明: 要求されたブロック ID はチェーン・ヒストリー・ポイント・ブロック ID より相対的に小さい番号です。これは、CICS ログ・マネージャーが、チェーンの現行の論理開始より前に書き込まれたブロックを要求したことを意味します。これは、CICS の内部論理エラーを示します。

要求されたブロックのブロック ID、および問題のログ・ブロック・チェーンのチェーン・ヒストリー・ポイントを表すブロック ID が、メッセージに示されています。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、システム・ダンプが取られ、CICS ログ・マネージャーは例外条件を返します。

CICS がシステム・ログから読み取っているときに障害が発生した場合、メッセージ DFHLG0736 が後に続き、CICS の静止が開始されます。

ユーザーの処置: DFHJUP ユーティリティを使用し、CICS を再始動する前にログ・ストリームを出力する必要があります。これを使用するための手引きについては、「CICS の管理」を参照してください。

注: CICS システム・ログについての障害が起きた場合は、1 次と 2 次の両方の CICS システム・ログのログ・ストリームを出力し、その後、CICS を再始動します。

詳しい手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2BLC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'blkid1'*
3. *X'blkid2'*

宛先: コンソール

DFHLG0788 *applid* システム・ログ・ジャーナル
DFHLOG および **DFHSHUNT** は同じ
MVS ログ・ストリーム (*logstream*) に定
義されています。(*applid The System
Log journals DFHLOG and
DFHSHUNT have been defined on the
same MVS logstream (logstream).*) これは
無効です。(**This is invalid.**) **CICS** は
終了します。(**CICS will terminate.**)

説明: DFHLOG ジャーナルおよび DFHSHUNT ジャーナルに接続する際、CICS ロガー・ドメインは、両方のジャーナルが同一の MVS ログ・ストリームに定義されていることを検出しました。これは無効です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。システム・ダンプが取られ、CICS は即時に終了します。CICS はシステム・ログについてのこのような障害を許容できません。

ユーザーの処置: DFHLOG ジャーナルおよび DFHSHUNT ジャーナルを定義するために使用される JOURNALMODEL 定義を訂正し、システムを再始動してください。

モジュール: DFHL2SLE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. ログ・ストリーム

宛先: コンソール

DFHLG0789 *date time applid* **Deletion of log stream
lsn data was suppressed by the Logger
Resource Manager Interface. MVS
Logger codes: X'ret', X'rsn'.**

説明: CICS ログ・マネージャーがログ・ストリームからデータを削除するために IXGDELET 要求を発行した際に、ロガー・リソース・マネージャー・インターフェースは削除操作を抑制しました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: これは予期された動作である場合があります。IXGDELET 要求からの理由コードの意味に関して、ロガー・リソース・マネージャー・インターフェースの状況と設定を確認してください。

モジュール: DFHL2CHE、DFHL2CC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *lsn*
5. *X'ret'*
6. *X'rsn'*

宛先: CSMT

DFHLG0800 *applid* **MVS** ロガーは、CICS ログ・マネージャーによって要求されたブロック ID を見つけることができませんでした。
(*applid The MVS logger failed to
locate a blockid requested by the
CICS log manager.*) 欠落したブロック
ID: X'blkid1'; チェーン・ヒストリー・ポ
イント: X'blkid2'。(**Missing blockid:
X'blkid1'; Chain History Point:
X'blkid2'.**)

説明: MVS ロガーは IxgRsnCodeNoBlock (00000804) 理由コードを CICS ログ・マネージャーに返しました。これは、CICS によって要求されたログ・ブロックを MVS ロガーが見つけられなかったことを意味します。

要求されたブロックのブロック ID、および問題のログ・ブロック・チェーンのチェーン・ヒストリー・ポイントを表すブロック ID が示されています。

システムの処置: これは通知メッセージで、欠落しているブロックのブロック ID と、要求されたブロックを含んでいなければならないチェーンのチェーン・ヒストリー・ポイントのブロック ID を提供します。

このメッセージの前には、メッセージ DFHLG0772 が表示されます。例外トレースが書き込まれ、システム・ダンプが取られました。

CICS がシステム・ログから読み取っているときに障害が発生した場合、メッセージ DFHLG0736 が後に続き、CICS の静止が開始されます。

ユーザーの処置: 要求されたブロック ID をチェーン・ヒストリー・ポイントのブロック ID と比較します。要求されたブロック ID が、チェーン・ヒストリー・ポイントと等しいか、それより相対的に大きい番号である場合、そのブロック ID は、まだ CICS において正当に関心の対象となるものであり、MVS ロガーから利用できないかもしれないログ・ブロックを表します。

要求されたブロック ID がチェーン・ヒストリー・ポイント・ブロック ID より相対的に小さい番号である場合、CICS ログ・マネージャーは、チェーンの現行の論理開始より前に書き込まれたブロックを要求しています。これは、CICS の内部論理エラーを示します。

DFHJUP ユーティリティを使用して、CICS を再始動する前にログ・ストリームを出力する必要があります。これを使用するための手引きについては、「CICS の管

理」を参照してください。CICS システム・ログについての障害が起きた場合は、1 次と 2 次の両方の CICS システム・ログのログ・ストリームを出力し、その後、CICS を再始動することに注意してください。

詳しい手引きについては、後で出されたメッセージを参照してください。

エラー状態が続く場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHL2BLC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'blkid1'*
3. *X'blkid2'*

宛先: コンソール

DFHLG0801 *applid* MVS ロガーは切断操作で有効期限切れストリーム・トークンを検出しました。(applid The MVS logger has detected an expired stream token on a disconnect operation.) CICS は切断を正常な操作として処理します。(CICS treats

the disconnect as successful.)

説明: MVS ロガーは IxgRsnCodeExpiredStmToken (0000082D) 理由コードを CICS ログ・マネージャーに返しました。

システムの処置: これは通知メッセージです。CICS は切断を正常な操作として処理します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHL2HS3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHLMnnnn メッセージ

DFHLM0001 *applid* An abend (code *abcode*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *abcode* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードが存在する場合、本書の前の方にある書籍リストに詳しく示されている関連する MVS コードの資料でこれを調べてください。次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLMMDM、DFHLMDS、DFHLMIQ、DFHLMMLM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHLM0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性あることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLMMDM、DFHLMDS、DFHLMIQ、DFHLMMLM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHLM0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行することを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。この時間間隔を永続的に設定するには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHLMMDM、DFHLMDS、DFHLMIQ、DFHLMMLM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHLM0006 *applid* モジュール *modname* に、**Getmain** (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。 **MVS** コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

このエラーは、16M 境界より上で発生しました。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

DFHMCnnnn メッセージ

DFHMC4000 CICS SYNAD EXIT TAKEN FOR
dscname, INPUT MSG TRUNCATED.

説明: このメッセージは、SYNAD 出口が入力キューに対してとられるときにされます。*dscname* は DSCNAME を表しています。

システムの処置: DCB が閉じ、再び開きます。データは、指定されたブロック・サイズに合わせて切り捨てられてから、ユーザーに渡されます。

ユーザーの処置: ブロック・サイズを大きくするか、ま

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。 CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くのストレージを使用できるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA の全体サイズの限界を小さくするようにしてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。 まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHLMMDM、DFHLMDS、DFHLMIQ、DFHLMMLM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*
4. *mvscode*

宛先: コンソール

たは入力の高さを短くしてください。

モジュール: 問題は MVS データ管理によって判別されます。このメッセージは、端末管理テーブル (TCT) 内で生成された CICS 提供の SYNAD ルーチンから出されます。

宛先: コンソール

DFHMC4001I *date time applid* Error purge delay
inoperative, {transid | invalid req |
unexpected} error

説明: 除去遅延トランザクション CSPQ の開始時に、エラー戻りコードがインターバル制御機能プログラム (ICP) から受信されました。

この戻りコードの原因には、次のものがあります。

- TRANSID エラー。
- INVALID REQ エラー。
- UNEXPECTED エラー

システムの処置: 除去遅延は、CICS のこの実行について操作をしません。 ダンプがとられます。

ユーザーの処置:

- TRANSID エラーの場合、トランザクション CSPQ を定義してください。
- INVALID REQ の場合、ICP は INITIATE 要求に応答して INVALID REQUEST 戻りコードを戻してきました。これが発生した理由を判別して、問題を訂正してください。

- UNEXPECTED エラーの場合、ICP は INITIATE 要求に応答して認識されないエラー・コードを戻してきました。そのエラー・コードは、ダンプ内のプログラム DFHMCP のラベル MCPINERR にあります。これが発生した理由を判別して、問題を訂正してください。

モジュール: DFHMCP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

- 1= トランザクション ID,
2= 無効な要求,
3= 予期しない

宛先: CSMT

DFHMEnnnn メッセージ

DFHME0001 *applid* An abend (code *xxx/yyyy*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。

コード *xxx/yyyy* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード (たとえば AKEA) または CICS メッセージを表す番号です (たとえば、1310 は CICS メッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 異常終了はメッセージ (ME) ドメイ

ン内の各国語モジュールに影響するので、CICS は自動的に終了しません。しかし、これらのモジュールなしにシステムを実行するべきでないと判断した場合には、CICS をダウンさせる必要があります。

MVS コードが存在する場合、本書の書籍リストに詳しく示されている関連する MVS コードの資料で MVS コードを調べてください。この資料で CICS 英数字コードを調べてください。このコードにより、エラーが、例えばプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはリカバリー・パーコレーションのいずれであるかがわかります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEDM、DFHMEME、DFHMESR

宛先: コンソール

DFHME0002 *applid* An error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を意図的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 間違った戻りコードがメッセージ

(ME) ドメインの呼び出し側に送られました。ドメイン・マネージャー DFHMDMDM が呼び出しを行った場合には、CICS はドメイン・マネージャーによって終了させられ、そのことを示すメッセージが出されます。しかし、メッセージがメッセージ・ドメイン・モジュールによって出された場合には、CICS を続行させることができます。

例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは CICS コード内の重大なエラーを示しているため、システム・プログラマーに連絡してください。その影響はこれらの状況によって、重大な場合も重大でない場合もあります。たとえば、メッセージが 1 回しか出されず、しかもドメイン・マネージャーが CICS を終了していない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。ただし、メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS メッセージを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMDMDM、DFHMEME、DFHMESR、DFHMEWT

宛先: コンソール

DFHME0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。この状態はエラーでない可能性があります。また、仮にエラー

であったとしても、重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。SIT でこれを指定した場合、CICS はランナウェイ・タスクをパーズします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このエラーはメッセージ生成に影響し、メッセージ (ME) ドメインは自動的に CICS を終了しません。ユーザーは、この問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部のトランザクションが CPU 時間をたくさん使用することがあるので、このメッセージは、長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。通常、CICS は、ランナウェイ・タスクと考えられるタスクを終了します。この終了は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ミリ秒単位で測定される ICVR) をタスクが超えた場合に実行されます。

ICVR=0 を宣言している場合、タスクがループに入ったと考えられるときには、ユーザーはタスクを自分で終了する必要があります。CEMT トランザクションを使用してタスクを除去してください。

CICS がこのタスクをパーズし、かつユーザーがそれをランナウェイではないと判断した場合には、SIT で ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMDMDM、DFHMESR、DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0006 *applid* モジュール *modname* に、GETMAIN (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。MVS コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。コード *X'code'* は、エラーが発生したコードの場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目が、コード *X'code'* でトレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられ

ます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。しかし、このエラーがストレージの一般的問題を示している場合には、CICS はストレージ・マネージャーによって異常終了させられる可能性があります。このことを示すメッセージが出されます。

DFHMEDM の場合に GETMAIN が失敗したときには、戻りコードがドメイン・マネージャー DFHDMMDM に送られ、CICS はドメイン・マネージャーによって終了させられます。このことを示すメッセージが出されます。

メッセージ・ドメイン DFHMEME の場合に GETMAIN が失敗したときには、4 つのいずれかで起こる可能性があります。コード X'code' は、以下のとおり、どの GETMAIN が失敗したのかを示しています。

コード 意味

X'0340' -

TD メッセージの形式設定時

メッセージは出されません。

X'0341' -

メッセージの作成時

メッセージは出されません。

X'0342' -

ユーザー出口パラメーターの作成中

メッセージは元の宛先に出されます。

X'0343' -

英語でのメッセージの再作成時

再作成済みの英語のメッセージは出されません。

X'0344' -

症状レコードの作成中。

X'0345' -

システム・イベント・パラメーター・リストの作成時。

X'0346' -

システム・イベントのメッセージ挿入の作成時。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了した場合には、ストレージ・マネージャーまたはドメイン・マネージャーからの関連終了メッセージ、および提案されたユーザーの処置に注意してください。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。

ださい。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。

問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、ストレージをもっと使用できるようになれば、問題も自然に解決されます。CICS がまだ実行されており、CICS メッセージの全セットがなくても済む場合には、続行して、適当な時間に CICS をダウンさせることもできます。

関連する MVS コードの資料を参照して、MVS 戻りコードの診断情報を得ることができます。

モジュール: DFHMEDM、DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0101 *applid* メッセージ *msgno* を一時データ・キュー *queue* に書き込んでいるときにエラー (コード X'code') が発生しました。

説明: CICS はメッセージ *msgno* を一時データ・キュー *queue* に書き込もうとしました。これは次のいずれかの理由で正常に実行されませんでした。

1.

キュー *queue* にはインストール済みリソース定義がありません。

2.

キュー *queue* は現在無効になっています。

3.

一時データ・キュー *queue* がいっぱいです。

4.

キュー *queue* への書き込み中に入出力エラーが発生しました。

コード X'code' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、CICS は続行します。

ユーザーの処置: *queue* が CICS に対して定義されていること、およびリソース定義がインストールされていることを確認します。

(1) の場合、キュー *queue* の TDQUEUE リソース定義を作成してインストールします。あるいは、*msgno* が DFHDB2xxx メッセージの場合、キュー *queue* を指定するインストール済みの DB2CONN リソース定義の *msgqueue1*、*msgqueue2*、および *msgqueue3* のいずれかのパラメーターを変更して、これらが有効な一時データ・キューを指定するようにします。

(2) の場合、CEMT を使用して、キューの状況を「有効」にリセットします。

(3) の場合、キューにより多くのスペースを割り振るか、またはトリガー・レベルをリセットします (メッセージが端末またはプリンターに出されている場合)。

(4) の場合、入出力エラーの原因を調査して訂正してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0102 *applid* **An error (code X'code') has occurred in module *modname* while producing message *msgno*.**

説明: 重大エラーが検出され、メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* を出すことができませんでした。コード X'code' は、エラーが検出された場所を意図的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 戻りコードがメッセージ (ME) ドメインの呼び出し側に送られますが、メッセージ・ドメイン・モジュールによって呼び出しが行われたので、CICS は続行されます。

例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは CICS コード内に重大なエラーがあることを示しているので、システム・プログラマーに連絡してください。しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。たとえば、メッセージが 1 回しか出されず、メッセージ *msgno* なしでも実行できる場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせることができます。

ただし、メッセージが繰り返し出されたり (繰り返されるたびに別のメッセージ番号 *msgno* が出される)、あるいはすべての CICS メッセージを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEBU、DFHMEIN、DFHMEWT、DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0103 *applid* **Insufficient 64-bit storage to load module *modname*.**

説明: 使用可能な 64 ビット・ストレージが不足していたため、メッセージ言語モジュール *modname* をロードできませんでした。この言語モジュールは、特定言語のメッセージ用に SIT 内で定義されているか、あるいはデフォルトの言語モジュールです。

一時データ・キューおよびコンソールに送信されるメッセージについては、デフォルトの言語が常に使用されます。(メッセージがコンソールに英語で送信される場合は、デフォルトの言語が 2 バイト言語である場合を除きます)。デフォルト言語モジュールをロードできない場合には、メッセージを送ることができません。端末装置では、デフォルト言語または別の選択言語でメッセージを受け取ることができます。選択された言語モジュールをロードできない場合には、端末メッセージは代わりにデフォルト言語を使用します。

システムの処置: ダンプを特にダンプ・テーブル内で抑止しない限り、トレース・テーブルに例外項目が作成され、ダンプがとられます。これは重大な状態ではない場合もあるので、(たとえダンプ・テーブル内で終了するよう指定されていても) デフォルト言語モジュールをロードできないのでない限り、CICS は終了しません。

欠落しているモジュールがデフォルト言語モジュールでない場合には、CICS は、端末へのメッセージにデフォルト言語を使用します。デフォルト言語モジュールをロードできない場合、戻りコードがドメイン・マネージャーに送られて、CICS は終了します。

ユーザーの処置: デフォルト言語が使用中で、かつ受け入れ可能な場合には、CICS をダウンさせる必要はありません。または、より都合のよい時間に CICS をダウンさせることもできます。

デフォルト言語を使用中だが、これを受け入れられない場合、またはデフォルト言語モジュール自体が欠落している場合には、CICS をダウンさせて z/OS MEMLIMIT パラメーター値を増やしてください。

あるいは、多くのストレージ・スペースを取得するために不要な言語モジュールをストレージから削除してください。これを行うためには、CICS をダウンさせ、不要な言語コードを SIT から削除するか、言語モジュールのリストを指定変更パラメーターとして再指定します。その後で CICS を再始動してください。

注: 決してデフォルト言語モジュールを SIT から削除しないでください。

モジュール:

宛先: コンソール

DFHME0105 *applid* **Insufficient storage to load module *modname*.**

説明: MVS ロードに失敗しました。使用可能なストレージが不足していたため、メッセージ言語モジュール *modname* をロードできませんでした。この言語モジュールは、特定言語のメッセージ用に SIT 内で定義されているか、あるいはデフォルトの言語モジュールです。

一時データ・キューおよびコンソールに送信されるメッセージについては、デフォルトの言語が常に使用されます。(メッセージがコンソールに英語で送信される場合は、デフォルトの言語が 2 バイト言語である場合を除きます)。デフォルト言語モジュールをロードできない場合には、メッセージを送ることができません。端末装置では、デフォルト言語または別の選択言語でメッセージを受け取ることができます。選択された言語モジュールをロードできない場合には、端末メッセージは代わりにデフォルト言語を使用します。

システムの処置: ダンプを特にダンプ・テーブル内で抑止しない限り、トレース・テーブルに例外項目が作成され、ダンプがとられます。これは重大な状態ではない場合もあるので、(たとえダンプ・テーブル内で終了するよう指定されていても) デフォルト言語モジュールをロードできないのでない限り、CICS は終了しません。

欠落しているモジュールがデフォルト言語モジュールでない場合には、CICS は、端末へのメッセージにデフォルト言語を使用します。デフォルト言語モジュールをロードできない場合、戻りコードがドメイン・マネージャーに送られて、CICS は終了します。

ユーザーの処置: デフォルト言語が使用中で、かつ受け入れ可能な場合には、CICS をダウンさせる必要はありません。または、より都合のよい時間に CICS をダウンさせることもできます。

デフォルト言語を使用中だが、これを受け入れられない場合、またはデフォルト言語モジュール自体が欠落している場合には、DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。

あるいは、多くのストレージ・スペースを取得するために不要な言語モジュールをストレージから削除してください。これを行うためには、CICS をダウンさせ、不要な言語コードを SIT から削除するか、言語モジュールのリストを指定変更パラメーターとして再指定し、CICS を再始動してください。

注: 決してデフォルト言語モジュールを SIT から削除しないでください。

モジュール: DFHMEDM

宛先: コンソール

DFHME0106 *applid* **Module *modname* could not be loaded. REGISTER 1 = X'nnnnnnnnnn' and REGISTER 15 = X'nnnnnnnnnn'**

説明: メッセージ言語モジュール *modname* をロードすることはできません。このモジュールをロードできない理由は、レジスター 1 および 15 の内容により示されます。これらは、MVS によって戻されます。

システムの処置: 欠落しているモジュールがデフォルト言語モジュールでない場合には、CICS は、メッセージにデフォルト言語を使用します。

デフォルト言語モジュールが欠落している場合には、戻りコードがドメイン・マネージャーに送られて、CICS は終了します。

ダンプを特にダンプ・テーブル内で抑止しない限り、トレース・テーブルに例外項目が作成され、ダンプがとられます。これは重大な問題ではない可能性があるので、(たとえダンプ・テーブル内で終了するよう指定されていても) デフォルト言語モジュールをロードできないのでない限り、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: デフォルト言語が有効で、しかも受け入れ可能な場合には、CICS をダウンさせる必要はありません。または、いつか都合のよい時間にダウンさせることもできます。

デフォルト言語が有効であるが、これを受け入れられない場合、あるいはデフォルト言語モジュール自体が欠落している場合には、MVS メッセージおよびコード・マニュアルを調べて、メッセージに示されている戻りコードを確認してください。これらの戻りコードは、モジュールをロードできない理由を示しています。

モジュール: DFHMEDM

宛先: コンソール

DFHME0107 *applid* **Module *modname* cannot be found in the library.**

説明: メッセージ・ロード・モジュール *modname* は、CICS ジョブの JCL に定義されているライブラリー内に見つかりませんでした。このロード・モジュールは、メッセージ用の言語モジュールです。この言語モジュールは、特定言語のメッセージ用に SIT 内で定義されているか、またはデフォルトの言語モジュールです。

デフォルトの言語は、例外なく一時データ・キューおよびコンソールに送られるメッセージに使用されます。(た

だし、2 バイト言語であってはなりません。その場合はメッセージは英語でコンソールに送られます。) デフォルト言語モジュールが欠落していると、メッセージは送ることができません。

端末装置では、デフォルト言語または別の選択言語でメッセージを受け取ることができます。選択された言語モジュールが欠落している場合には、端末メッセージは代わりにデフォルト言語を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえこれをダンプ・テーブル内で指定していたとしても (たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても)、デフォルト言語モジュールが欠落していない限り、CICS は即時には終了しません。

欠落しているモジュールがデフォルト言語モジュールでない場合には、CICS は、メッセージにデフォルト言語を使用します。デフォルト言語モジュールが欠落している場合には、戻りコードがドメイン・マネージャーに送られて、CICS は終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、ライブラリー内または SIT 内に問題があるために発生した可能性があります。デフォルト言語が有効で、しかも受け入れ可能な場合には、CICS をダウンさせる必要はありません。または、いくつか都合のよい時間にダウンさせることもできます。

この欠落しているモジュールを間違ったライブラリーに入れたか、または正しいライブラリー内で間違ったモジュール名またはつづりを誤ったモジュール名を使用している可能性があります。

デフォルト言語が有効であるが、これを受け入れることができない場合には、発生したいずれかの問題を訂正して、CICS ジョブの JCL に定義されているライブラリーに欠落しているモジュールをリンクします。これを実行するには、CICS をダウンさせる必要があります。

また、正しくない言語コード、またはつづりを誤った言語コードが SIT で使用された可能性もあります。この場合は、CICS をダウンさせて、ユーザーが選択した言語コードをシステム初期設定パラメーターとして再インストールして、CICS を再始動してください。

この言語モジュールを必要としなくなったら、次の適当な機会に SIT からその言語モジュールを削除する必要があります。

デフォルト言語モジュールが欠落している場合には、CICS はドメイン・マネージャーによって終了させられます。この場合、障害がライブラリー内または SIT のいずれにあるのかを突き止めて、上記の該当する手順に従う必要があります。

欠落しているモジュールの名前が CJDMCT1x (x は「E」、「K」、または「C」) の場合は、SEYUAUTH データ・セットを CICS 領域の STEPLIB 連結に追加する必要があります。

モジュール: DFHMEDM

宛先: コンソール

DFHME0108 applid Message msgno cannot be found in module modname.

説明: メッセージ *msgno* が本来なら渡されるべきですが、メッセージ言語モジュール *modname* の中に見つられませんでした。

このモジュールは、ユーザーにより SIT で指定された各国語モジュールであり、選択された言語でメッセージを示します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合もありますし、メッセージ番号 *msgno* なしで実行を続行するようユーザーが決定する場合もあります。

STEPLIB 連結内のどこかに保守が適用される前の古いバージョンの DFHMETxl メッセージ・モジュールがある場合には、このメッセージは、保守が CICS メッセージ・ドメインに適用された後に現れることに注意してください。

たった今保守を適用して、このメッセージが現れたなら、STEPLIB 連結内にメッセージ・モジュールの古いバージョンがないか調べて、それを除去してください。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

DFHME0109 *applid Message set setname could not be found in module modname while producing message msgno.*

説明: メッセージ・セット *setname* が、メッセージ言語モジュール *modname* の中に見つかりませんでした。

setname は、CICS メッセージ内の DFH の後の最初の 2 文字 (たとえば、LD または 21) であり、その後にはメッセージ番号が続きます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。 これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。 ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。 例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ番号 *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

DFHME0110 *applid オプション値 nn がメッセージ msgno の挿入部 ii から欠落しています。(applid Optional value nn is missing from insert ii for message msgno.)*

説明: メッセージ・ドメインの呼び出し時に、任意指定の挿入値 *nn* が挿入部 *ii* について要求されましたが、メッセージ *msgno* の定義テンプレート内に見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS は ??? を持つメッセージを挿入部 *ii* の代わりに渡します。これは、挿入部について要求されたオプション値を解決できないためです。

例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。 これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。 ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。 例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEBU

宛先: コンソール

DFHME0111 *applid Insert ii is missing for message msgno.*

説明: メッセージ *msgno* に挿入部 *ii* が必要とされています。 挿入部が見つかりませんでした。

システムの処置: CICS は ??? を持つメッセージを、欠落している挿入部分 *ii* の代わりに渡します。

例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。 このエラーは重大ではないので、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードしたことを確認してください。 つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブによってアクセスされるライブラリー連結に正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大なエラーがあることを示しています。 しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。 例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEBU

宛先: コンソール

DFHME0112 applid Insert number *ii* is invalid for message msgno (code X'code').

説明: メッセージ (ME) ドメインの呼び出し時に与えられた挿入部 *ii* が無効でした。例えば、4 バイトを超える長さの 10 進数の挿入部である可能性があります。

コード X'code' は、無効な挿入部を一意的に識別します。

システムの処置: CICS は ??? を持つメッセージを、無効な挿入部 *ii* の代わりに渡します。

コード X'code' を持つ例外項目がトレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードしたことを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブによってアクセスされるライブラリー連結に正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* を作成しないで続行するようユーザーが決定する場合があります。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEBU

宛先: コンソール

DFHME0113 applid Incorrect parameters used in call to DFHMEME for message msgno.

説明: メッセージ *msgno* のメッセージ (ME) ドメインの呼び出しが、無効な組み合わせのパラメーターで行われました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、ダンプがとられます。

たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードするようにしてください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブがアクセスするライブラリー連結に正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大なエラーがあるが、エラーの影響は重大でない場合があることを示しています。例えば、エラーが 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合があります。

問題が解決されない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0114 applid There are no destinations specified for message msgno

説明: 宛先 *destid* が、メッセージ *msgno* のメッセージ言語モジュール内に指定されていませんでした。このエラーは、メッセージ言語モジュールが破壊されているか、もしくは正しいリリース・レベルにない場合に発生する可能性があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードしたことを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブによってアクセスされるライブラリー連結に正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大なエラーがあることを示しています。しかし、その影響はそれほど深刻でない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* を作成しないで続行するようユーザーが決定する場合があります。問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、メッセージ *msgno* なしでシステムの実行を続行することができます。

問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

DFHME0115 applid modname Message module for language language not found. The default module modnameb is used.

説明: 使用可能なモジュールのリストから、言語 *language* 用のメッセージ言語モジュール *modname* が見つかりません。CICS プログラムが特定言語のメッセージをメッセージ・ドメインから呼び出しましたが、メッセージ・ドメインがその言語のメッセージを見つけることができません。

該当するメッセージ言語モジュールの LOAD が初期設定時に失敗したために、メッセージ言語モジュールを使用できない可能性があります。この場合には、その失敗した LOAD について、前に出されたメッセージがあるはずです。あるいは、端末またはユーザー ID 定義で指定された言語が SIT で指定されていなかったか、または誤って指定されていたために、このモジュールを使用できない可能性もあります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、ダンプがとられます。この状態は重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

モジュール *modname* 内の言語 *language* で表示されなければならないすべてのメッセージは、代わりにシステム・デフォルト言語 *modnameb* で表示されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、メッセージにデフォルト言語を使用することが許容できるかどうかによって異なります。許容可能な場合、CICS の実行を継続し、都合のよい時間に問題を解決できます。端末定義またはユーザー ID 定義が問題の原因である場合、それらの変更が必要になる場合もあります。

デフォルト言語の使用が許容されず、かつモジュール *modname* が初期設定時にロードに失敗した場合、取られる処置については、失敗した LOAD に関する前のメッセージを参照してください。

それ以外の場合、CICS をダウンさせ、SIT でモジュール *modname* を指定するか、言語モジュールのリストを指定変更パラメーターとして再指定します。その後で CICS を再始動してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

DFHME0116 applid (Module:modname) CICS symptom string for message msgno is symstring

説明: 起こりうる CICS エラーの結果として、メッセージ *msgno* が出されました。

症状ストリング *symstring* が作成され、IBM サポートのための追加の診断情報が提供されました。

システムの処置: このメッセージは、メッセージ *msgno* を伴い、システム処置には影響しません。 システム処置は、メッセージ *msgno* で説明されているとおりです。

ユーザーの処置: メッセージ *msgno* のユーザーの処置を参照してください。これには、このエラーが IBM サポートに報告するほど重大かどうかを判断するのに必要な情報が提供されています。

モジュール: DFHMEME

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *msgno*
4. *symstring*

宛先: コンソール

DFHME0117 applid The Message User Exit point XMEOUT is unavailable for message msgno

説明: メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* の処理時に、メッセージ・ユーザー出口点 'XMEOUT' を使用することができません。これはおそらく、CICS 初期設定で出口点の呼び出しが早過ぎたことが原因です。ユーザー出口サービス・モジュール DFHAPEX は、KERNERROR の応答をメッセージ (ME) ドメインに返します。

システムの処置: このエラーは重大ではないため、メッセージ (ME) ドメインは処理を続行します。 メッセージ・ユーザー出口は、メッセージ *msgno* の抑止も再経路指定も行いません。メッセージは、メッセージ *msgno* について定義された元の宛先に対して発行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。エラーが初期設定であまりにも早く発生したため、メッセージ *msgno* を抑止することはできません。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0118 *applid* An error has occurred when calling the Message User Exit for message *msgno*

説明: メッセージ (ME) ドメインが DFHAPEX から間違った応答を受け取りました。DFHAPEX は、メッセージ・ユーザー出口を呼び出したプログラムです。

システムの処置: このエラーは重大ではないため、メッセージ (ME) ドメインは処理を続行します。メッセージ (ME) ドメインが作成しようとしていたメッセージ *msgno* は、抑止も再経路指定もされず、元の宛先に出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、メッセージ・ユーザー出口内で起こりうるエラーを示しています。メッセージ・ユーザー出口プログラムが正しく動作していることを確認してください。

ただし、ユーザー出口サービス・モジュール DFHAPEX が破損している可能性があります。DFHAPEX は例外トレース項目を出してエラーがあることを示しますが、メッセージ (ME) ドメインを介して DFHAPEX 自体のエラー・メッセージを出すことはしません。なぜなら、このアクションによって CICS がループに入ってしまうためです。この場合には、IBM サポートにお問い合わせください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0119 *applid* Message *msgno* has an invalid {Destination | User Exit | Message Identification} component

説明: メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* の定義の中に無効なコンポーネントを検出しました。メッセージ言語モジュールは破壊されているか、もしくは間違ったリリース・レベルにあります。

システムの処置: ME ドメインは、例外トレース項目を作成し、処理を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 正しいレベルのメッセージ言語モジュールを使用していることを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブによってアクセスされるライブラリー連結に正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大なエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ番号 *msgno* なし

で続行するようユーザーが決定する場合があります。この問題が重要でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、このメッセージなしでシステムの実行を続行することができます。

問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

DFHME0120I *applid* Message *msgno* has been rerouted to its original destination.

説明: メッセージ・ドメイン・ユーザー出口点 XMEOUT が、CICS の静止中または終了中に、一時データ (TD) キューへのメッセージ *msgno* の経路指定を試みました。CICS シャットダウンの開始後は、元の宛先が TD キューであった場合に限り、メッセージを TD キューに再経路指定できます。

システムの処置: メッセージは、元の宛先に再経路指定されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。XMEOUT ユーザー出口のプログラミング情報については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *msgno*

宛先: コンソール

DFHME0121 *applid* The {first | second} attempt at formatting message *msgno*, TD queue *queuename* has failed - {Invalid DBCS format | Unknown error}

説明: このメッセージ (ME) ドメインは、(一時データ・キュー *queuename* あての) メッセージ *msgno* を作成しようとしていました。しかし、メッセージ形式設定ルーチン DFHMEFO から無効な応答が戻されました。このエラーは、メッセージ挿入部またはメッセージ・テキストのいずれかにある無効な DBCS 文字によるものです。定義時に、ミスマッチのシフトアウト文字およびシフトイン文字がないかどうか、このメッセージ・テキストは検査されます。しかし、例えば 2 バイト・メッセージ挿入部が正しく与えられていない場合には、メッセージに隣接するシフトイン文字およびシフトアウト文字が表示されることがあります。

メッセージ (ME) ドメインは、まず、メッセージの 128 バイト・セグメントへの形式設定を試みます。しかし、一時データ・キューが異なるキュー長で定義された場合には、その新しいキュー長を使用してもう一度形式設定が実行されます。(したがって、メッセージの形式設定時における最初または 2 番目の試みの理由ということになります。)

システムの処置: ダンプがとられます。メッセージ・ドメインは、形式設定されたメッセージを出しません。例外トレース項目は、形式設定ルーチン DFHMEFO によって作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、メッセージ *msgno* なしでシステムの実行を続行することができます。

問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0122 *applid* The Message User Exit has returned invalid route code information for message number *msgno*

説明: メッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* の宛先として無効な経路コードを設定しました。有効な経路コードは、番号 1 から 28 です。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは、無効な経路コードを無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* について定義された元の宛先をとります。

ユーザーの処置: ユーザーのメッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* に対して有効な経路コード情報を設定しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0123 *applid* The Message User Exit has returned invalid TD queue information for message number *msgno*

説明: メッセージ・ユーザー出口プログラムは、メッセ

ージ *msgno* の宛先として無効なキュー名を設定しました。有効なキュー名は、4 文字の英数字から成ります。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは、無効なキュー名を無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* について定義された元の宛先をとります。

ユーザーの処置: ユーザーのメッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* に対して有効なキュー名情報を設定しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0124 *applid* TD is unavailable for writing message *msgno* to TD queue *queueName*

説明: メッセージ (ME) ドメインが、一時データ・キュー *queueName* にメッセージ *msgno* を出力しようとしていました。しかし、まだ一時データ (TD) が使用可能になっていません。この状態は、CICS 初期設定の初期段階で発生する場合があります。

システムの処置: メッセージ宛先が CDBC の場合、メッセージは代わりにコンソールに再経路指定されます。メッセージ宛先が他の TD キューの場合、メッセージは失われます。

ユーザーの処置: このエラーの影響はあまり深刻ではない可能性があります。例えば、エラーが 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、メッセージ *msgno* なしでシステムの実行を続行することができます。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0125 *applid* The Message User Exit has returned an invalid return code *rc* for message *msgno*

説明: メッセージ・ユーザー出口プログラムがメッセージ *msgno* の処理時に、0 でも 4 でもない戻りコード *rc* を戻しました。(戻りコード 4 は、メッセージを抑止する必要があることを示しています。)

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは処理を続行し、このメッセージの抑止も再経路指定も行いません。その代りメッセージ定義域は、最初からメッセージ

言語モジュールに定義されていたかのようにメッセージを出します。

ユーザーの処置: ご使用のメッセージ・ユーザー出口プログラムが正しく作動しており、かつ正しい戻りコードをメッセージ (ME) ドメインに戻していることを確認してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0126 *applid* SYMREC 呼び出しのエラー。
(*applid* Error in SYMREC invocation.)
R15 の戻りコード = X'mmmmm', R0 の理由コード = X'nnnn'. (Return code in R15 = X'mmmmm', Reason code in R0 = X'nnnn'.)

説明: エラー処理中に、CICS は SYS1.LOGREC に症状レコードを書き込もうとしました。

ただし、SYMREC サービスの呼び出しを試行中に、さらなる問題が検出されました。

レジスター 15 の戻りコード 'mmmm' レジスター 0 の理由コード X'nnnn' は、エラーの理由を示しています。これは以下のいずれかである場合があります。

- CICS は、ASREXIT MVS インストール・システム出口によって、SYS1.LOGREC への症状レコードの書き込みを妨げられました。この場合、システム・ダンプは作成されません。
- SYMRBLD マクロ内にエラーがあります。(これは CICS が症状レコードを作成するために使用するマクロです。)
- CICS は、症状レコードへの追加対象として無効なデータを提供しました。
- SYMREC サービス内にエラーがあります。考えられる問題の例として、ストレージ・エラーまたは LOGREC バッファ内内のスペース不足などがあります。
- SYMREC サービスは現在操作不能です。

システムの処置: 処理が継続され、システム・ダンプが作成されることがあります。

CICS が書き込もうとした症状レコードを含むトレース・テーブルに、例外トレース項目 (pointid=X'0806') が作成されます。

ユーザーの処置: エラーの原因が、CICS によって作成

された症状レコードのフォーマットの問題であるか、SYMREC サービスの問題であるかを判別します。

戻りコードと理由コードの意味および SYMREC サービスに関する追加情報は、「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 ABE-HSP」マニュアルに記載されています。

戻りコード 0010 または 0014 は、SYMREC サービス内の問題を示しています。これは、MVS システム管理者に報告する必要があります。

戻りコード 000C および理由コード 0F1C は、ASREXIT インストール・システム出口が、CICS による症状レコードの書き込みを妨げたことを示しています。これは、インストール・エラーが原因である可能性があります。問題を MVS システム管理者に報告してください。

その他の戻りコードは、症状レコードが SYMREC サービスに対して無効であることを示しています。

例えば、問題が単独の機能不良として発生した場合や、特定のメッセージの生成に関して発生したにすぎない場合、このエラーの影響は必ずしも重大ではありません。このような場合、このメッセージは無視できます。

ただし、問題が継続する場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEWS

宛先: コンソール

DFHME0127 *applid* A severe error (code X'code') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'code' は、エラーが検出された場所を意図的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。しかし、このエラーは重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は即時には終了しません。

症状ストリングに関するモジュール内でエラーが発生したため、このメッセージに対して症状ストリングは作成されません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してく

ださい。このメッセージは、CICS コード内に重大なエラーがあることを示しています。ただし、モジュール DFHMEWS は CICS 機能に不可欠ではないため、このエラーの影響は重大ではありません。

問題が再発する場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEWS

宛先: コンソール

DFHME0128 *applid* Message *msgno* has an invalid route code.

説明: コンソール・メッセージを出すルーチンが、メッセージ *msgno* に関連付けられた無効な経路コードを検出したので、コンソール・メッセージを出すことができませんでした。有効な経路コードは、1 から 28 の番号です。

このエラーは、コンソール・メッセージ DFHSUWT を出すルーチンに渡される際に経路コードが破壊された場合に限り発生します。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは例外トレース項目を出します。メッセージ *msgno* は出されません。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0129 *applid* Unable to format console message *msgno* as it contains invalid DBCS characters.

説明: コンソール・メッセージ *msgno* の形式設定を試みたルーチンは、このコンソール・メッセージに無効な 2 バイト (DBCS) 文字が入っていたために、それを実行することができませんでした。例えば、隣接するまたはアンマッチのシフトイン文字およびシフトアウト文字は、DBCS テキスト・ストリング内では無効です。

メッセージに挿入部があり、それが、例えばシフトインおよびシフトアウト文字を含んでいて、その間に 2 バイト文字が入っていない場合に、この状態は発生します。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは処理を続行しますが、メッセージ *msgno* は形式設定できないので出されません。メッセージ形式設定ルーチン DFHMEFO が例外トレース項目を出します。コンソール・

ール・メッセージ DFHSUWT を出すルーチンも、例外トレース項目を出します。

ユーザーの処置: 端末から入力したメッセージ挿入部として使用できる 2 バイト情報が、正しく入力してあることを確認してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0130 *applid* Message *msgno* has an invalid descriptor code.

説明: コンソール・メッセージを出すルーチンが、メッセージ *msgno* に関連付けられた無効な記述子コードを検出したので、コンソール・メッセージを出すことができませんでした。有効な記述子コードは、1 から 16 の番号です。

このエラーは、記述子コードが、コンソール・メッセージ DFHSUWT を出すルーチンに渡される際に破壊された場合に限り発生します。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは例外トレース項目を出します。メッセージ *msgno* は出されません。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0131 *applid* Unable to calculate length of message *msgno* due to message table corruption, code(code)

説明: メッセージ言語モジュールが破壊された可能性があるために、メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* の長さを計算することができません。

システムの処置: 戻りコードがメッセージ (ME) ドメインの呼び出し側に送られます。メッセージ *msgno* は出されません。

ユーザーの処置: 正しいレベルのメッセージ・データ・モジュールを使用していることを確認してください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブによってアクセスされるライブラリー連結に正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。例えば、エラーは 1 回しか

DFHME0132 • DFHME0135

発生しない場合や、メッセージ番号 *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。問題が重大でないと思われる場合には、問題を解決するのに都合のよい時がくるまで、メッセージ *msgno* なしでシステムの実行を続行することができます。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0132 *applid* The User's Message Exit program has failed while processing message *msgno*

説明: ユーザーのメッセージ出口プログラムがループに入っているか、またはプログラム・チェックで失敗しました。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは処理を続行し、メッセージ *msgno* をその元の宛先に出します。ユーザー出口サービス・モジュール DFHAPEX は、ユーザーのメッセージ出口プログラムが失敗したことを示すために例外トレース項目を発行します。このモジュールは、メッセージ (ME) ドメインを介してモジュール自体のエラー・メッセージを出すことはしません。なぜなら、このアクションによって CICS がループに入ってしまうためです。

ユーザーの処置: メッセージ出口プログラムを使用不可にし、プログラムが正しく作動することを確認してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0133 *applid* Message *msgno* could not be found in module DFHMEMGT

説明: メッセージ・ドメインが、それ自体のエラー・メッセージの 1 つを出して、そのメッセージ・ドメインにエラーが発生したことを示そうとしました。しかし、メッセージ・ドメインは、それ自体の内部メッセージ・テーブル DFHMEMGT 内に、出そうとしたメッセージを見つけることはできませんでした。

システムの処置: トレース・テーブル内に、メッセージ・ドメインにより例外項目が作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーでない可能性があるため、たとえ終了するようダン

プ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コード内にエラーがあることを示しています。ただし、その影響はそれほど深刻ではない可能性があります。

問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSUME

宛先: コンソール

DFHME0134 *applid* Message *msgno* has been truncated because it was too long.

説明: メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* の出力を試みましたが、そのメッセージが長すぎたため、切り捨てました。メッセージ *msgno* はオペレーターへの会話メッセージであり、最大サイズである 119 文字を超えました。

システムの処置: ME ドメインは、メッセージを出す前にそれを 119 バイトに切り捨てます。例外トレース項目が作成され、ダンプがとられますが、処理は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、*msgno* のメッセージ・テーブル内の定義が正しくないこと、またはそのメッセージに提供された挿入部により、会話メッセージに課されたサイズ制限を超えたことを示します。切り捨てられたメッセージから十分な情報が得られる場合には、エラーの影響はそれほど重大ではありません。必要に応じて、問題の解決に都合が良いときまで、このメッセージなしでシステムの実行を続行することができます。

問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0135 *applid* The default language *language* specified in the SIT NATLANG parameter is invalid. It has been defaulted to E.

説明: デフォルトの言語は、NATLANG システム初期設定パラメーターの先頭文字です。デフォルト言語 *language* は、有効な CICS 言語接尾部のリストにありません。

システムの処置: CICS はデフォルト言語の E (米国英語) で続行します。

ユーザーの処置: デフォルト言語の E を使用したくない場合は、NATLANG システム初期設定パラメーターの先頭文字を、別の有効な CICS 言語接尾部に変更してください。有効な CICS 言語接尾部については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHMESR

宛先: コンソール

DFHME0136 applid Message msgno is missing from national language module modname. Searching the English message table for the message text.

説明: 各国語モジュール *modname* 内に *msgno* メッセージが見つからないため、指定の言語でこのメッセージを出すことができません。

この原因としては、メッセージ *msgno* を含んでいる PTF がモジュール *modname* に適用されていないことが考えられます。その場合には、欠落したメッセージのテキストは、英語のメッセージ・テーブル DFHMET1E 内にあります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。メッセージ・ドメインは、英語のメッセージ・テーブル内でそのメッセージを探します。そのメッセージが英語のメッセージ・テーブル内にもなかった場合には、メッセージ DFHME0108 が出され、続いてシステム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: MEU PTF 更新処理を実行して、言語テーブル *modname* に新規メッセージが適用されたことを確認し、このテーブルを再作成します。この手引きについては CICS の資料を参照してください。

このメッセージの後にメッセージ DFHME0108 が出た場合は、CICS コードにエラーがあります。IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMEIN

宛先: コンソール

DFHME0137 applid Message msgno cannot be rerouted to a transient data destination by the message user exit XMEOUT.

説明: メッセージ・ユーザー出口点 XMEOUT を使用してメッセージ *msgno* を一時データ宛先に再経路指定できません。これは、この操作によって CICS がループに入ってしまうことがあるためです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ出口により戻されたキュー宛先を無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* に定義された元の宛先をとります。

ユーザーの処置: メッセージ・ユーザー出口プログラムを変更して、メッセージ *msgno* が一時データ宛先に再経路指定されないようにしてください。メッセージ・ドメインが未再経路指定標識を出口に渡すため、出口プログラムは、特定のメッセージを再経路指定することができます。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0138 Message msgno not issued by module because MVS WTO is short on storage

説明: MVS がストレージ不足であり、MVS WTO がメッセージを発行しようとしたときに異常終了コード 878、80A、または 804 で異常終了したため、メッセージ *msgno* をコンソールに書き込むことができません。メッセージを発行しようとしたメッセージ・ドメイン・モジュールは *module* です。

システムの処置: メッセージ・ドメインによって例外トレース項目が書き込まれ、ダンプ・コード ME0138 のダンプが取られます。別の異常終了の発生を避けるために、メッセージ DFHME0138 はコンソールに送信されるのではなく、ダンプ要約のメッセージ・テキスト部分に書き込まれます。

ユーザーの処置: MVS 用のストレージが十分にあることを確認するか、または 16MB より下の CICS システムのストレージ要件を削減してください。CICS 動的ストレージ域 (DSA) の限界を小さくするか、または MVS 領域サイズを大きくしてみてください。MVS 領域サイズを増やすには、CICS を終了し、MVS JCL REGION パラメーターを変更する必要があります。これを行う方法についての詳細は、「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHMEME、DFHSUME

宛先: SYSPRINT

DFHME0139 applid (モジュール:modname) メッセージ msgno は、KILL 処理によって抑制されています。

説明: 強制終了中のタスクについてのメッセージ *msgno* が抑止されました。

タスクを強制終了しようとしたことによってエラーが発

生したため、メッセージおよびシステム・ダンプ要求が抑止されました。

システムの処置: タスクの強制終了の試行は続行されません。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHMEME

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *msgno*

宛先: コンソール

DFHME0140 *applid* 英語のメッセージ・テーブル *modname* が見つからないため、CICSplex SM メッセージを発行できません。

説明: メッセージ・ロード・モジュール *modname* が CICS ジョブの STEPLIB に見つかりませんでした。このロード・モジュールは、CICSplex SM メッセージに必要です。

システムの処置: 例外項目が、CICS トレース・テーブル内に作成されます。メッセージ・ドメインはこのメッセージの処理を停止し、CICSplex SM に災害時応答を返します。CICSplex SM はそのメッセージ・モジュールがロードされていないため、引き続きメッセージを出すことができません。

ユーザーの処置: このエラーは、CICSplex SM 許可ライブラリー (デフォルトのメッセージ・ロード・モジュールが含まれている) が CICS ジョブの JCL に含まれていないために発生した可能性があります。CICS JCL の STEPLIB 連結に正しいライブラリーが含まれていることを確認し、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: コンソール

DFHME0141 Message *msgno* not issued by module because MVS WTOR is short on storage.

説明: MVS がストレージ不足であり、MVS WTOR がメッセージを発行しようとしたときに異常終了コード D23 で異常終了したため、メッセージ *msgno* をコンソールに書き込むことができません。メッセージを発行しようとしたメッセージ・ドメイン・モジュールは *module* です。

システムの処置: メッセージ・ドメインによって例外トレース項目が書き込まれ、ダンプ・コード ME0141 のダンプが取られます。別の異常終了の発生を避けるため

に、メッセージ DFHME0141 はコンソールに送信されるのではなく、ダンプ要約のメッセージ・テキスト部分に書き込まれます。

ユーザーの処置: MVS 用のストレージが十分にあることを確認するか、または 16MB より下の CICS システムのストレージ要件を削減してください。CICS 動的ストレージ域 (DSA) の限界 DSALIM を小さくするか、または MVS 領域サイズを大きくしてみてください。MVS 領域サイズを増やすには、CICS を終了し、MVS JCL REGION パラメーターを変更する必要があります。これを行う方法についての詳細は、「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHMEME

宛先: SYSPRINT

DFHME0213 *applid* Incorrect parameters used in call to DFHME64 for message *msgno*.

説明: メッセージ *msgno* のメッセージ (ME) ドメインの呼び出しが、無効な組み合わせのパラメーターで行われました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、ダンプがとられます。

たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ言語モジュールをロードするようにしてください。つまり、正しい言語が NATLANG システム初期設定パラメーターに指定されており、CICS ジョブがアクセスするライブラリー連結に正しいメッセージ言語モジュールが含まれていることを確認してください。

このメッセージは、CICS コード内に重大なエラーがあることを示しますが、エラーの影響は重大でない場合があります。例えば、エラーが 1 回しか発生しない場合や、メッセージ *msgno* なしで続行するようユーザーが決定する場合もあります。

問題が解決されない場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0215 *applid modname* **Message module for language *language* not found. The default module *modnameb* is used.**

説明: 使用可能なモジュールのリストから、言語 *language* 用のメッセージ言語モジュール *modname* が見つかりません。CICS プログラムが特定言語のメッセージをメッセージ・ドメインから呼び出しましたが、メッセージ・ドメインがその言語のメッセージを見つけないことができません。

該当するメッセージ言語モジュールの LOAD が初期設定時に失敗したために、メッセージ言語モジュールを使用できない可能性があります。この場合には、その失敗した LOAD について、前に出されたメッセージがあるはずですが、あるいは、端末またはユーザー ID 定義で指定された言語が SIT で指定されていなかったか、または誤って指定されていたために、このモジュールを使用できない可能性もあります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、ダンプがとられます。この状態は重大でない可能性があるため、たとえ終了するようダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、CICS は終了しません。

モジュール *modname* 内の言語 *language* で表示されなければならないすべてのメッセージは、代わりにシステム・デフォルト言語 *modnameb* で表示されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、メッセージにデフォルト言語を使用することが許容できるかどうかによって異なります。許容可能な場合、CICS の実行を継続し、都合のよい時間に問題を解決できます。端末定義またはユーザー ID 定義の変更が必要な場合があります。

デフォルト言語の使用が許容されず、かつモジュール *modname* が初期設定時にロードに失敗した場合、取られる処置については、失敗した LOAD に関する前のメッセージを参照してください。

それ以外の場合、CICS をダウンさせ、SIT でモジュール *modname* を指定するか、言語モジュールのリストを指定変更パラメーターとして再指定します。その後で CICS を再始動してください。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0217 *applid* **The Message User Exit point XMEOUT is unavailable for message *msgno*.**

説明: メッセージ (ME) ドメインがメッセージ *msgno* の処理時に、メッセージ・ユーザー出口点 'XMEOUT'

を使用することができません。これはおそらく、CICS 初期設定で出口点の呼び出しが早過ぎたことが原因です。ユーザー出口サービス・モジュール DFHAPEX は、KERNERROR の応答をメッセージ (ME) ドメインに返します。

システムの処置: このエラーは重大ではないため、メッセージ (ME) ドメインは処理を続行します。メッセージ・ユーザー出口は、メッセージ *msgno* の抑止も再経路指定も行いません。メッセージは、メッセージ *msgno* について定義された元の宛先に出されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。エラーが初期設定であまりにも早く発生したため、メッセージ *msgno* を抑止することはできません。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0218 *applid* **An error has occurred when calling the Message User Exit for message *msgno*.**

説明: メッセージ (ME) ドメインが DFHAPEX から間違った応答を受け取りました。DFHAPEX は、メッセージ・ユーザー出口を呼び出したプログラムです。

システムの処置: このエラーは重大ではないため、メッセージ (ME) ドメインは処理を続行します。メッセージ (ME) ドメインが作成しようとしていたメッセージ *msgno* は、抑止も再経路指定もされず、元の宛先に出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、メッセージ・ユーザー出口内で起こりうるエラーを示しています。メッセージ・ユーザー出口プログラムが正しく動作していることを確認してください。

あるいは、ユーザー出口サービス・モジュール DFHAPEX が破損している可能性があります。DFHAPEX は例外トレース項目を出してエラーがあることを示しますが、メッセージ (ME) ドメインを介して DFHAPEX 自体のエラー・メッセージを出すことはしません。なぜなら、このアクションによって CICS がループに入ってしまうためです。この場合には、IBM サポートにお問い合わせください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0220I applid Message msgno has been rerouted to its original destination.

説明: メッセージ・ドメイン・ユーザー出口点 XMEOUT が、CICS の静止中または終了中に、一時データ (TD) キューへのメッセージ *msgno* の経路指定を試みました。CICS シャットダウンの開始後は、元の宛先が TD キューであった場合に限り、メッセージを TD キューに再経路指定できます。

システムの処置: メッセージは、元の宛先に再経路指定されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。XMEOUT ユーザー出口のプログラミング情報については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHME64

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *msgno*

宛先: コンソール

DFHME0222 applid The Message User Exit has returned invalid route code information for message number msgno.

説明: メッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* の宛先として無効な経路コードを設定しました。有効な経路コードは、番号 1 から 28 です。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは、無効な経路コードを無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* について定義された元の宛先をとります。

ユーザーの処置: ユーザーのメッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* に対して有効な経路コード情報を設定しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0223 applid The Message User Exit has returned invalid TD queue information for message number msgno.

説明: メッセージ・ユーザー出口プログラムは、メッセージ *msgno* の宛先として無効なキュー名を設定しました。有効なキュー名は、4 文字の英数字から成ります。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは、無効

なキュー名を無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* について定義された元の宛先をとります。

ユーザーの処置: ユーザーのメッセージ・ユーザー出口プログラムが、メッセージ *msgno* に対して有効なキュー名情報を設定しているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0225 applid The Message User Exit has returned an invalid return code rc for message msgno.

説明: メッセージ・ユーザー出口プログラムがメッセージ *msgno* の処理時に、0 でも 4 でもない戻りコード *rc* を戻しました。(戻りコード 4 は、メッセージを抑止する必要があることを示しています。)

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは処理を続行し、このメッセージの抑止も再経路指定も行いません。その代りメッセージ定義域は、最初からメッセージ言語モジュールに定義されていたかのようにメッセージを出します。

ユーザーの処置: ご使用のメッセージ・ユーザー出口プログラムが正しく作動しており、かつ正しい戻りコードをメッセージ (ME) ドメインに戻していることを確認してください。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0232 applid The User's Message Exit program has failed while processing message msgno.

説明: ユーザーのメッセージ出口プログラムがループに入っているか、またはプログラム・チェックで失敗しました。

システムの処置: メッセージ (ME) ドメインは処理を続行し、メッセージ *msgno* をその元の宛先に出します。ユーザー出口サービス・モジュール DFHAPEX は、ユーザーのメッセージ出口プログラムが失敗したことを示すために例外トレース項目を発行します。このモジュールは、メッセージ (ME) ドメインを介してモジュール自体のエラー・メッセージを出すことはしません。なぜなら、このアクションによって CICS がループに入ってしまうためです。

ユーザーの処置: メッセージ出口プログラムを使用不可にし、プログラムが正しく作動することを確認してください。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0237 *applid* Message *msgno* cannot be rerouted to a transient data destination by the message user exit XMEOUT.

説明: ユーザー出口点 XMEOUT を使用して、メッセージ *msgno* を一時データ宛先に再経路指定できません。これは、この操作によって CICS がループに入ってしまうことがあるためです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ出口により戻されたキュー宛先を無視して、デフォルトとして、メッセージ言語モジュールのメッセージ *msgno* に定義された元の宛先をとります。

ユーザーの処置: メッセージ・ユーザー出口プログラムを変更して、メッセージ *msgno* が一時データ宛先に再経路指定されないようにしてください。メッセージ・ドメインが未再経路指定標識を出口に渡すため、出口プログラムは、特定のメッセージを再経路指定することが有効かどうかを調べることができます。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0240 *applid* 英語のメッセージ・テーブル *modname* が見つからないため、CICSplex SM メッセージを発行できません。

説明: メッセージ・ロード・モジュール *modname* が CICS ジョブの STEPLIB に見つかりませんでした。このロード・モジュールは、CICSplex SM メッセージに必要です。

システムの処置: 例外項目が、CICS トレース・テーブル内に作成されます。メッセージ・ドメインはこのメッセージの処理を停止し、CICSplex SM に災害時応答を返します。CICSplex SM はそのメッセージ・モジュールがロードされていないため、引き続きメッセージを出すことができません。

ユーザーの処置: このエラーは、CICSplex SM 許可ライブラリー (デフォルトのメッセージ・ロード・モジュールが含まれている) が CICS ジョブの JCL に含まれていないために発生した可能性があります。CICS JCL の STEPLIB 連結に正しいライブラリーが含まれていることを確認し、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHME64

宛先: コンソール

DFHME0500 メッセージ番号を入力してください。

(PLEASE ENTER A MESSAGE NUMBER.)

説明: ENTER キーを押したときにコンポーネント ID およびメッセージ番号フィールドの両方がブランクであったため、メッセージおよびコード・ファイルの検索が行われませんでした。

システムの処置: トランザクションはこのメッセージとともにメインメニューを再表示します。

ユーザーの処置: 有効なメッセージ番号または異常終了コードを入力してください。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME0501 無効なオプションが入力されました。(AN INVALID OPTION HAS BEEN ENTERED.)

説明: F3 または ENTER 以外のキーが押されました。

システムの処置: トランザクションはこのメッセージとともにメインメニューを再表示します。

ユーザーの処置: 有効なメッセージ番号または異常終了コードを入力して ENTER を押すか、有効なファンクション・キーを押してください。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME0502 THE CMAC FILE IS DISABLED.

説明: CMAC ファイルは、以下のいずれかの理由で使用不可になっています。

- ファイルが最初に使用不可と定義され、それ以降使用可能になっていない
-

ファイルは EXEC CICS SET コマンドまたは CEMT トランザクションによって使用不可になっている。

システムの処置: トランザクションはこのメッセージとともにメインメニューを再表示します。

ユーザーの処置: CMAC ファイルが使用不可として定義されている場合、CEMT トランザクションを使用してファイルを使用可能にします。

CMAC ファイルが使用不可になっている場合、理由を判別してください。保守または更新のために使用不可になっている場合があります。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME0503 CMAC ファイルは **CICS** に定義されていません。

説明: CMAC ファイルが CICS に定義されていません。

システムの処置: トランザクションはこのメッセージとともにメインメニューを再表示します。

ユーザーの処置: CMAC ファイルが定義され、インストールされていることを確認してください。手引きについては、「CICS TS のインストール」を参照してください。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME0504 CMAC ファイルのリソース・セキュリティ検査に失敗しました。 (**RESOURCE SECURITY CHECK FAILED ON CMAC FILE.**)

説明: リソース・セキュリティ検査が失敗しました。

システムの処置: トランザクションはこのメッセージとともにメインメニューを再表示します。

ユーザーの処置: リソース・セキュリティ・クラスが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME0505 THE CMAC FILE IS CLOSED OR UNENABLED.

説明: 以下のいずれかが起こりました。

- 要求ファイルが **CLOSED** および **UNENABLED** である。 **OPEN ENABLED** ファイルに対してクローズ要求が受け取られ、そのファイルが使用されなくなったあとに、**CLOSED**、**UNENABLED** 状態になります。この状態は、**RDO** オプション **STATUS = UNENABLED** および **OPENTIME = FIRSTREF** を使用してファイルを定義することによって、初期状態として指定することができます。

- 要求されたファイルは **OPEN** および **UNENABLED** で、他のトランザクションにより使用されていますが、そのファイルに対するクローズ要求が受信されました。

システムの処置: トランザクションはこのメッセージとともにメインメニューを再表示します。

ユーザーの処置: **CEMT** トランザクションを使用して、CMAC ファイルが **OPEN ENABLED** 状態であることを確認してください。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME0506 要求されたメッセージ番号/異常終了コードが見つかりません (**REQUESTED MESSAGE NUMBER/ABEND CODE NOT FOUND**)

説明: 指定されたメッセージ番号または異常終了コードを検索しようとしたましたが、失敗しました。

システムの処置: トランザクションはこのメッセージとともにメインメニューを再表示します。

ユーザーの処置: 正しいメッセージ番号または異常終了コードが入力されていることを確認してください。

メッセージ番号または異常終了コードがすべて無効である可能性がある場合は、正しい **DSName** が CMAC ファイル定義で指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME0507 正しい **DSNAME** が使用されていることを確認してください。 (**CHECK THAT THE CORRECT DSNAME IS BEING USED.**)

説明: CMAC データ・セットからレコードを取得しようとしたますが、CMAC **DSName** が正しく指定されていないため失敗しました。

システムの処置: トランザクションはこのメッセージとともにメインメニューを再表示します。

ユーザーの処置: 正しい **DSName** が CMAC ファイル定義で指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME0508 THE CMAC TRANSACTION IS INVALID FOR THE CONSOLE.

説明: **CONSOLE** から CMAC トランザクションを呼び出そうとした。これは許可されていません。

システムの処置: CMAC トランザクションは終了し、このメッセージが出されます。

ユーザーの処置: CONSOLE として使用されていない端末から、CMAC が呼び出されていることを確認してください。

モジュール: DFHCMAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME9993I UNABLE TO DETERMINE LENGTH OF MESSAGE *msgno - response reason*

説明: メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ DFH *msgno* を、メッセージ・テーブルから見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMGPME

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME9994I UNABLE TO RETRIEVE MESSAGE *msgno - response reason*

説明: メッセージ (ME) ドメインは、メッセージ DFH *msgno* をメッセージ・テーブルから検索できませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 問題がなくならない場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMGPME

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME9996I MESSAGE PARAMETER LIST ERROR - CHECK PLIST

説明: メッセージ生成処理のためのパラメーター・リストが無効です。

システムの処置: CICS は続行されますが、エラーが起こったメッセージは出されません。

ユーザーの処置: そのメッセージの DFHMGT 項目が正しく作成されていることを確認してください。

モジュール: DFHMGP00

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME9997I MESSAGE FIND ERROR - CHECK THE MESSAGE MODULE

説明: 出そうとしているメッセージは、メッセージ生成処理において、このメッセージ・セットの DFHMGT テーブル項目内に検出できませんでした。

システムの処置: CICS は続行されますが、エラーが起こったメッセージは出されません。

ユーザーの処置: 適切な DFHMGT テーブル内に、そのメッセージ番号の項目が存在することを確認してください。

モジュール: DFHMGP00

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME9998I MESSAGE NUMBERS GREATER THAN 9999 ARE INVALID

説明: 出そうとしているメッセージのメッセージ番号が、9999 より大きい番号です。メッセージ番号は 1 から 9999 の範囲でなければなりません。

システムの処置: CICS は続行されますが、エラーが起こったメッセージは出されません。

ユーザーの処置: メッセージ番号を再定義してください。

モジュール: DFHMGP00

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHME9999I THE MESSAGE INDEX MODULE 'DFHMGT' IS MISSING

説明: メッセージ生成処理は、出そうとしているメッセージの DFHMGT テーブル内に、索引モジュールを検出できません。これは、宛先がコンソールまたは TDQ であると定義されたメッセージを、端末エンド・ユーザー・メッセージとして出そうとした場合に起こります。

システムの処置: CICS は続行されますが、エラーが起こったメッセージは出されません。

ユーザーの処置: 出されるメッセージの宛先が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHMGP00

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMLnnnn メッセージ

DFHML0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHML1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

に必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHMLDC、DFHMLPC、DFHMLTF、DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHML0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行でき

ない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHMLDC、DFHMLST、DFHMLTF、DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHML0100 *date time applid tranid* **Call to z/OS XML System Services parser for function *function* failed with return code *X'return_code'* and reason code *X'reason_code'*.**

説明: メッセージに示されている関数についての呼び出しが z/OS System Services パーサーに出されました。この呼び出しは、メッセージに指定された戻りコードおよび理由コードで応答するパーサーによって失敗しました。

システムの処置: CICS による XML データのブロックを構文解析する試行が失敗しました。例外トレースが出されます。SOAP メッセージの処理時にこのメッセージが出された場合、SOAP 障害がクライアントに返されません。

ユーザーの処置: パーサーによって返された戻りコードおよび理由コードの意味を判別するには、z/OS 資料の「XML System Services ユーザーズ・ガイドおよび解説書」マニュアルを参照してください。

例えば、戻りコードが「4」に設定され、理由コードが「1301」に設定された場合、「入力バッファの終わりに到達した」ため「警告」を暗黙に意味します。さらに、予期される終了タグが見つかる前に XML ブロックの終わりに到達したことを示している場合もあります。

XML を生成したアプリケーションまたはプロセスによってエラーが発生した可能性があります。z/OS システム・サービス・パーサーは、入力 XML の形式が適切であることを確認します。XML の形式が正しくない場合、このメッセージが出されることがあります。XML を調べて、拒否された理由を確認してください。

モジュール: DFHMLPC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *function*
6. *X'return_code'*
7. *X'reason_code'*

宛先: CMLO およびコンソール

DFHML0101 *date time applid tranid* **Call to z/OS XML System Services parser for function *function* failed with return code *X'return_code'* and reason code *X'reason_code'* at data offset *X'error_offset'*.**

説明: メッセージに示されている関数についての呼び出しが z/OS System Services パーサーに出されました。この呼び出しは、メッセージに指定された戻りコードおよび理由コードで応答するパーサーによって失敗しました。パーサーは、XML データ内のオフセット *error_offset* で問題が検出されたことを示しています。

システムの処置: CICS による XML データのブロックを構文解析する試行が失敗しました。例外トレースが出されます。SOAP メッセージの処理時にこのメッセージが出された場合、SOAP 障害がクライアントに返されます。

ユーザーの処置: パーサーによって返された戻りコードおよび理由コードの意味を判別するには、z/OS 資料の「XML System Services ユーザーズ・ガイドおよび解説書」マニュアルを参照してください。

例えば、戻りコードが「4」に設定され、理由コードが「1301」に設定された場合、「入力バッファの終わりに到達した」ため「警告」を暗黙に意味します。さらに、予期される終了タグが見つかる前に XML ブロックの終わりに到達したことを示している場合もあります。

XML を生成したアプリケーションまたはプロセスによってエラーが発生した可能性があります。z/OS システム・サービス・パーサーは、入力 XML の形式が適切であることを確認します。XML の形式が正しくない場合、このメッセージが出されることがあります。XML を調べて、拒否された理由を確認してください。

モジュール: DFHMLPC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

DFHML0500 • DFHML0503

5. *function*
6. *X'return_code'*
7. *X'reason_code'*
8. *X'error_offset'*

宛先: CMLO およびコンソール

DFHML0500 *date time applid userid tranid*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
for {*BUNDLE* | *ATOMSERVICE*}
owner_name **has been added.**

説明: XMLTRANSFORM *xmltransform_name* が作成されました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *xmltransform_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=*BUNDLE*,
2=*ATOMSERVICE*

8. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0501 *date time applid userid tranid*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
for {*BUNDLE* | *ATOMSERVICE*}
owner_name **has been deleted.**

説明: XMLTRANSFORM *xmltransform_name* が削除されました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

5. *tranid*
6. *xmltransform_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=*BUNDLE*,
2=*ATOMSERVICE*

8. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0502 *date time applid userid tranid*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
for {*BUNDLE* | *ATOMSERVICE*}
owner_name **has been** (*ENABLED* | *DISABLED*).

説明: XMLTRANSFORM *xmltransform_name* が状態を変更しました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *xmltransform_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=*BUNDLE*,
2=*ATOMSERVICE*

8. *owner_name*

9. 以下のオプションから選択される値。

1=*ENABLED*,
2=*DISABLED*

宛先: CMLO

DFHML0503 *date time applid userid tranid*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
for {*BUNDLE* | *ATOMSERVICE*}
owner_name **cannot be installed as a duplicate XMLTRANSFORM resource with the same name already exists.**

説明: 同じ名前の別の XMLTRANSFORM リソースが

CICS 領域に既に存在するため、XMLTRANSFORM *xmltransform_name* は作成されませんでした。

システムの処置: XMLTRANSFORM は作成されず、関連する BUNDLE は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: XMLTRANSFORM リソースの名前を変更して再試行してください。

モジュール: DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *xmltransform_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=BUNDLE,
2=ATOMSERVICE

8. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0504 *date time applid userid tranid*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
for {BUNDLE | ATOMSERVICE}
owner_name cannot be {ENABLED |
 DISABLED | DISCARDED} **because it**
is in the {ENABLING | ENABLED |
 DISABLING | DISABLED |
 DISCARDING | PERMANENTLY
 DISABLED | UNKNOWN} **state.**

説明: XMLTRANSFORM *xmltransform_name* は適切な状態ではないため状態を変更できません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: リソースが最初にインストールされたときにその XSDBind ファイルの構文解析に問題があった場合、XMLTRANSFORM リソースは PERMANENTLY_DISABLED 状態になります。リソースを使用可能にするには、XSDBind ファイルを使用して問題を修正し、BUNDLE を再インストールすることが必要な場合があります。

モジュール: DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *tranid*
6. *xmltransform_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=BUNDLE,
2=ATOMSERVICE

8. *owner_name*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=ENABLED,
2=DISABLED,
3=DISCARDED

10. 以下のオプションから選択される値。

1=ENABLING,
2=ENABLED,
3=DISABLING,
4=DISABLED,
5=DISCARDING,
6=PERMANENTLY DISABLED,
7=UNKNOWN

宛先: CMLO

DFHML0505 *date time applid userid tranid*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
for {BUNDLE | ATOMSERVICE}
owner_name has an unsupported
runtime level.

説明: その XSDBind ファイルで指定されているランタイム・レベルがこのバージョンの CICS でサポートされていないため、XMLTRANSFORM *xmltransform_name* は作成されませんでした。

システムの処置: XMLTRANSFORM は作成されず、関連する BUNDLE は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: サポートされているランタイム・レベルで XSDBind ファイルを再生成してください。

モジュール: DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *xmltransform_name*

DFHML0506 • DFHML0508

7. 以下のオプションから選択される値。

1=BUNDLE,
2=ATOMSERVICE

8. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0506 *date time applid trannum*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
cannot link to PROGRAM
program_name because {the program
abended | there is a problem with the
resource definition | the program cannot
be loaded | an unspecified problem
occurred}.

説明: XMLTRANSFORM *xmltransform_name* は
PROGTAM *program_name* にリンクしようとした。
問題が発生しました。

システムの処置: XML 変換を続行することができず、
INVREQ 応答が呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置: 指定されたプログラムがローカル
CICS 領域で使用可能であること、および適切なリソー
ス定義が存在することを確認してください。

モジュール: DFHMLTF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *xmltransform_name*
6. *program_name*

7. 以下のオプションから選択される値。

1= プログラムが異常終了した,
2= リソース定義に問題がある,
3= プログラムをロードできない,
4= 詳細不明の問題が発生した

宛先: CMLO

DFHML0507 *date time applid trannum* **Validation of**
XML data for XMLTRANSFORM
xmltransform_name **failed. The**
validation process returned the
following message: 'message'.

説明: XMLTRANSFORM *xmltransform_name* の妥当性

検査が要求されました。検証は試行されましたが、失敗
しました。構文解析された XML が XML スキーマと
一致しないか、生成された XML が XML スキーマと
一致しません。

システムの処置: INVREQ が呼び出し元に戻されま
す。

ユーザーの処置: 詳細 *message* を確認してください。
これはこの問題の性質を示しています。これには通常、
妥当性検査を実行するために使用される XML パーサー
からのメッセージが含まれ、XML 内で違反している規
則を示します。CICS によって構文解析される XML から
問題が生じる場合、XML の発信元を変更して問題を
訂正します。CICS によって生成される XML から問題
が生じる場合、CICS アプリケーションを変更すること
によって問題を修正できるかどうかを判断します。問題
の原因が CICS にある場合は、IBM サポート担当員に
連絡してさらに支援を受けてください。

XML スキーマ文書が見つからないことが *message* に示
されている場合、XMLTRANSFORM リソースが、使用
する 'XMLSCHEMA' を指定していないことが原因の場
合もあります。

モジュール: DFHMLTF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *xmltransform_name*
6. *message*

宛先: CMLO

DFHML0508 *date time applid trannum* **Validation of**
XML data for XMLTRANSFORM
xmltransform_name **was successful.**

説明: XMLTRANSFORM *xmltransform_name* の妥当性
検査が要求されました。検証は正常に実行されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMLTF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *xmltransform_name*

宛先: CMLO

DFHML0509 *date time applid userid tranid*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
for {BUNDLE | ATOMSERVICE}
owner_name cannot be installed as one
or more invalid characters exist in the
resource name.

説明: 候補リソース名が無効であるため、XMLTRANSFORM *xmltransform_name* は作成されませんでした。

システムの処置: XMLTRANSFORM は作成されず、関連する BUNDLE は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: XMLTRANSFORM リソースの名前を変更して再試行してください。

モジュール: DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *xmltransform_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=BUNDLE,
2=ATOMSERVICE

8. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0510 *date time applid userid tranid*
XMLTRANSFORM *xmltransform_name*
for {BUNDLE | ATOMSERVICE}
owner_name is incompatible with the
LOCALCCSID.

説明: 関連する XML バインディングが、LOCALCCSID システム初期設定パラメーターで指定された CCSID と互換性がないため、XMLTRANSFORM *xmltransform_name* は作成されませんでした。CCSID を指定せずに XML バインディングが生成されたため、バインディングは US EBCDIC と互換性があるように処理されます。この CICS 領域の LOCALCCSID 値は、US EBCDIC と互換性がありません。

システムの処置: XMLTRANSFORM は作成されず、関連する BUNDLE は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: XML 支援機能で、CCSID パラメーターの正しい値を指定する XML バインディングを再生成します。

モジュール: DFHMLXT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *xmltransform_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=BUNDLE,
2=ATOMSERVICE

8. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0600 *date time applid userid tranid BUNDLE*
owner_name の **JSONTRANSFRM**
jsontransfrm_name が追加されました。

説明: JSONTRANSFRM *jsontransfrm_name* が作成されました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMLJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *jsontransfrm_name*
7. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0601 *date time applid userid tranid BUNDLE*
owner_name の **JSONTRANSFRM**
jsontransfrm_name が削除されました。

説明: JSONTRANSFRM *jsontransfrm_name* が削除されました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

DFHML0602 • DFHML0604

モジュール: DFHMLJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *jsontransfrm_name*
7. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0602 *date time applid userid tranid* **BUNDLE**
owner_name の **JSONTRANSFRM**
jsontransfrm_name が {*ENABLED* |
DISABLED} になりました。

説明: JSONTRANSFRM *jsontransfrm_name* の状態が変更されました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMLJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *jsontransfrm_name*
7. *owner_name*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=*ENABLED*,
2=*DISABLED*

宛先: CMLO

DFHML0603 *date time applid userid tranid* 同じ名前の
重複する **JSONTRANSFRM** リソースが
すでに存在するため、**BUNDLE**
owner_name の **JSONTRANSFRM**
jsontransfrm_name をインストールできません。

説明: 同じ名前の別の JSONTRANSFRM リソースが
CICS 領域に既に存在するため、JSONTRANSFRM
jsontransfrm_name は作成されませんでした。

システムの処置: JSONTRANSFRM は作成されず、関
連する BUNDLE は *DISABLED* 状態になります。

ユーザーの処置: JSONTRANSFRM リソースの名前を
変更して再試行してください。

モジュール: DFHMLJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *jsontransfrm_name*
7. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0604 *date time applid userid tranid* **BUNDLE**
owner_name の **JSONTRANSFRM**
jsontransfrm_name は {*ENABLING* |
ENABLED | *DISABLING* | *DISABLED*
| *DISCARDING* | *PERMANENTLY*
DISABLED | *UNKNOWN*} 状態にあるた
め、{*ENABLED* | *DISABLED* |
DISCARDED} にすることができません。

説明: JSONTRANSFRM *jsontransfrm_name* は適切な状
態ではないため状態を変更できません。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: リソースが最初にインストールされ
たときにその JSBind ファイルの構文解析に問題があった
場合、JSONTRANSFRM リソースは
PERMANENTLY_DISABLED 状態になります。リソー
スを使用可能にするには、JSBind ファイルを使用して
問題を修正し、BUNDLE を再インストールすることが
必要な場合があります。

モジュール: DFHMLJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *jsontransfrm_name*
7. *owner_name*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=ENABLED,
2=DISABLED,
3=DISCARDED

9. 以下のオプションから選択される値。

1=ENABLING,
2=ENABLED,
3=DISABLING,
4=DISABLED,
5=DISCARDING,
6=PERMANENTLY DISABLED,
7=UNKNOWN

宛先: CMLO

DFHML0605 *date time applid userid tranid BUNDLE*
owner_name の **JSONTRANSFRM**
jsontransfrm_name のランタイム・レベル
はサポートされていません。

説明: その JSBind ファイルで指定されているランタイム・レベルがこのバージョンの CICS でサポートされていないため、JSONTRANSFRM *jsontransfrm_name* は作成されませんでした。

システムの処置: JSONTRANSFRM は作成されず、関連する BUNDLE は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: サポートされているランタイム・レベルで JSBind ファイルを再生成してください。

モジュール: DFHMLJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *jsontransfrm_name*
7. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0609 *date time applid userid tranid* リソース名
に 1 つ以上の無効文字が存在するため、
BUNDLE *owner_name* の
JSONTRANSFRM *jsontransfrm_name* を
インストールできません。

説明: 候補リソース名が無効であるため、JSONTRANSFRM *jsontransfrm_name* は作成されませんでした。

システムの処置: JSONTRANSFRM は作成されず、関連する BUNDLE は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: JSONTRANSFRM リソースの名前を変更して再試行してください。

モジュール: DFHMLJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *jsontransfrm_name*
7. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHML0610 *date time applid userid tranid BUNDLE*
owner_name の **JSONTRANSFRM**
jsontransfrm_name は、LOCALCCSID と
互換性がありません。

説明: 関連付けられた XML バインディングが、LOCALCCSID システム初期設定パラメーターで指定された CCSID と互換性がないため、JSONTRANSFRM *jsontransfrm_name* は作成されませんでした。CCSID を指定せずに XML バインディングが生成されたため、バインディングは US EBCDIC と互換性があるように処理されます。この CICS 領域の LOCALCCSID 値は、US EBCDIC と互換性がありません。

システムの処置: JSONTRANSFRM は作成されず、関連する BUNDLE は DISABLED 状態になります。

ユーザーの処置: XML 支援機能で、CCSID パラメーターの正しい値を指定する XML バインディングを再生成します。

モジュール: DFHMLJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *jsontransfrm_name*
7. *owner_name*

宛先: CMLO

DFHMNnnnn メッセージ

DFHMN0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* 内で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーがあることを示しています。他にも、予期しないデータが入力されたか、またはストレージが上書きされたことが考えられます。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを「z/OS MVS システム・コード」資料で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMNAD, DFHMNDM, DFHMNHS, DFHMNMN, DFHMNNT, DFHMNOD, DFHMNSM,

DFHMNSR, DFHMNST, DFHMNSU, DFHMNSY, DFHMNTD, DFHMNTI, DFHMNUE, DFHMNXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHMN0002 *applid* **A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性あることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *module* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

に必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMNAD, DFHMNDM, DFHMNHS, DFHMNMN, DFHMNNT, DFHMNOD, DFHMNSM, DFHMNSR, DFHMNST, DFHMNSU, DFHMNSY, DFHMNTD, DFHMNTI, DFHMNUE, DFHMNXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHMN0003 *applid* モジュール *modname* に、
Getmain (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。(applid
Insufficient storage to satisfy Getmain
(code *X'code'*) in module *modname*.)

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。これはクリティカル・エラーです。

DFHMNDM がこのメッセージを出した場合には、たとえダンプ・テーブル内で CICS が終了しないよう指定されていても、CICS は終了します。

DFHMNMN、DFHMNST または DFHMNXM がこのメッセージを出した場合には、例外トレースおよびシステム・ダンプがとられ、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関係のある終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからのもの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くのストレージを使用できるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合に

は、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHMNDM, DFHMNMN, DFHMNST, DFHMNXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHMN0004 *applid* **A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、

SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMNDM, DFHMNMN, DFHMNSR, DFHMNST, DFHMNSU, DFHMNTI, DFHMNUE, DFHMNXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHMN0005 *applid* **A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.**

説明: モジュール *modname* の実行中に、ハードウェア・エラーが発生しました。MVS ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これはおそらくハードウェア・エラーです。まず MVS ストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手

引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMNDM, DFHMNMN, DFHMNST, DFHMNUE, DFHMNXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHMN0011 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* 内で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーがあることを示しています。他にも、予期しないデータが入力されたか、またはストレージが上書きされたことが考えられます。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプが取られて CICS が終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: MVS コードがある場合は、そのコードを「z/OS MVS システム・コード」資料で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMNSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHMN0101 *applid* SMF エラー - SMF 戻りコード *X'rc'*。(applid SMF error - SMF return code *X'rc'*.)

説明: モニター・ドメイン許可サービス・ルーチンが SMFEWTM マクロを出して、レコードを MVS システム管理機能 (SMF) データ・セットに書き込み、非ゼロ 戻りコードを検出しました。

システムの処置: この要求は無視され、SMF レコードは失われます。例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。CICS 操作は続行されます。

同じエラー条件が継続して発生する場合には、これらのエラー・メッセージは抑止されますが、トレースは続行されます。異なるエラー条件が発生した場合、またはメッセージが最後に出力されて以来、ゼロの戻りコードが受け取られた場合に、メッセージは再発行されます。

ユーザーの処置: 戻りコードの詳しい説明については、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」マニュアルを参照してください。

モジュール: DFHMNSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rc'*

宛先: コンソール

DFHMN0103I *applid* Monitoring control table for suffix '*xx*' not found.

説明: 接尾部 *xx* に関するモニター管理テーブルが、DFHRPL DD ステートメントに記述されたライブラリーにありませんでした。この接尾部は、システム初期設定パラメーターとして指定されています。

システムの処置: 制御がパラメーター・マネージャーに戻され、オペレーターと対話が行えるようになります。追加のアクションは、指定されている PARMERR= パラメーターによって異なります。オペレーターは別の接尾部を入力するか、またはシステム初期設定を続行することができます。

初期設定がオーバーライドなしで続行される場合、モニター・ドメインはデフォルトのモニター管理テーブルを使用します。

ユーザーの処置: このエラーには、3 つの原因が考えられます。

- モニター管理テーブルがライブラリーにない。
- モニター管理テーブル名のつづりが誤っていた。
- 正しくない接尾部がスタートアップ時に使用された。

正しい接尾部が指定されていて、かつ DFHRPL DD ステートメントに記述されているライブラリーに、指定されたモニター管理テーブルのコピーが含まれていることを確認してください。

接尾部に誤りがあり、PARMERR=INTERACT が指定されている場合には、オペレーターは代替りの接尾部を入力するよう促されます。

接尾部に誤りがあり、PARMERR=IGNORE が指定してある場合には、モニター・ドメインはデフォルトのモニター管理テーブルを使用します。

モニター管理テーブルが欠落しているかまたはつづりが誤っていて、しかもこれを再インストールしたい場合には、CICS を終了する必要があります。モニター管理テーブルを関係のあるライブラリーにアセンブルし直してください。

モジュール: DFHMNSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xx*

宛先: コンソール

DFHMN0104 *applid* Monitoring Control Table with suffix '*xx*' required for restart not found.

説明: モニター・ドメインは、最後の CICS 実行からモニター管理テーブルの接尾部 *xx* を決定しましたが、DFHRPL DD ステートメントに記述されたライブラリー内のモニター管理テーブルを見つけることができませんでした。また、指定変更接尾部が指定されていません。

CICS のこれ以降の実行では、SIT で接尾部が変更されるまで、引き続きメッセージに示されている接尾部が使用されます。

システムの処置: 初期設定は、デフォルトのモニター管理テーブルを使用して、モニター・ドメインで続行されます。

ユーザーの処置: DFHRPL DD ステートメントに記述

されたライブラリーに、指定されたモニター管理テーブルのコピーが含まれていることを確認してください。モニター管理テーブルが欠落している場合には、それは削除されたに違いありません。テーブルを再インストールしたい場合には、CICS を終了させる必要があります。モニター管理テーブルを関係のあるライブラリーにアセンブルし直してください。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xx*

宛先: コンソール

DFHMN0105I *applid* Using default Monitoring Control Table.

説明: モニター・ドメインは、デフォルトのモニター管理テーブルの設定値で初期設定を行っています。これは次のいずれかの場合に発生します。

1. ユーザーが MCT=NO を指定した場合
2. メッセージ DFHMN0104 の後
3. メッセージ DFHMN0103 またはメッセージ DFHMN0106 が出されたが訂正の処置はとられなかった場合

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHMN0106 *applid* Unable to read the catalog record for the Monitoring Domain.

説明: モニター・ドメインが、モニター・クラスの状態、および CICS の最後の実行時にモニター・ドメインが実行されていたときのモニター管理テーブルの接尾部の再設定を試みました。しかし、グローバル・カタログからレコードを正常に読み取ることができませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

システム初期設定は、与えられたシステム初期設定パラメーターで続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: (例えば、VSAM または MVS から) 出されたダンプまたは他の診断メッセージを使用して、エラーの原因を調べてください。

入出力エラーによって生じた問題の場合には、前に出されたカタログからの CICS メッセージがあるはずです。このメッセージに関するユーザーの処置に従ってください。

問題が無効なデータ長によって生じた場合には、トレース・テーブル内の例外トレース項目があるはずです。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHMN0107 *applid* Unable to update the catalog record for the Monitoring Domain.

説明: モニター・ドメインが、モニター・クラスの状態、または CICS グローバル・カタログ内のモニター管理テーブル接尾部のいずれかの更新を試みましたが、この要求を正常に完了することができませんでした。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成され、CICS 操作は更新値で続行されます。再始動が行われた場合、更新は保管されないで、CICS の次の実行は更新が適用される前に記録された値で再始動されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: (例えば、VSAM または MVS から) 出されたダンプまたは他の診断メッセージを使用して、エラーの原因を調べてください。

入出力エラーによって生じた問題の場合には、前に出されたカタログからの CICS メッセージがあるはずです。このメッセージに関するユーザーの処置に従ってください。

問題が無効なデータ長によって生じた場合には、トレース・テーブル内に例外トレース項目があります。

モジュール: DFHMNSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHMN0108I *applid* Using Monitoring Control
Table suffix 'xx'.

説明: この CICS 実行については、接尾部 xx の付いたモニター管理テーブルが使用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xx*

宛先: コンソール

DFHMN0109I *applid* CICS Monitoring is active.

説明: CICS モニター機能は、CICS のこの実行について現在活動状態になっています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHMN0110I *applid* CICS Monitoring is inactive.

説明: CICS モニター機能は、CICS のこの実行について、現在非活動状態になっています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHMN0112 I *date time applid* CICS Monitoring
compression status has been changed
to {NOCOMPRESS | COMPRESS} by
USERID *userid*.

説明: この通知メッセージで示されたように、CICS モニター機能の圧縮状況がユーザー ID *userid* によって変更されました。

システムの処置: 処理を続行します。圧縮状況が COMPRESS の場合、今後書き込まれるモニター・データ・レコードは圧縮されます。圧縮状況が NOCOMPRESS の場合、レコードは圧縮されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMNSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=NOCOMPRESS,

2=COMPRESS

5. *userid*

宛先: CSMT

DFHMN0115I *applid* CICS Server z/OS WLM のヘルス・パーセンテージは現在 *n* です。
(*applid* CICS Server z/OS WLM Health percentage is now *n*.)

説明: このメッセージは、このサーバーの z/OS MVS ワークロード・マネージャーに新しいヘルス要因が報告されたことを示します。

CICS は、特に CICS の初期設定の完了直後の期間に、CICS 領域への作業のフローを制御する手段として z/OS WLM ヘルス API (IWM4HLTH) を使用します。これは、領域が完全に作動可能になるまで作業を抑制できるウォーム・アップ期間を設ける手段を提供する、WLMHEALTH SIT パラメーターおよび SET WLMHEALTH SPI を介して制御されます。TCP/IP 構成オプションによって新しい接続を抑えることができ、CPSM ワークロード・マネージャーは領域に送信される作業を調節でき、MQ トリガー・モニターは、読み取るメッセージの数つまり開始するタスクの数を調節できます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMNDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *n*

宛先: コンソール

DFHMN0201 S Invalid parameter. The equals sign is missing.

説明: 等号を含まない SYSIN パラメーターが検出されました。等号は、モニター辞書ユーティリティがサポートするすべてのキーワードについて必須です。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 等号を持たない SYSIN キーワードを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。
DFHMNDUP キーワードの構文についての詳細は、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0202 S Invalid parameter. MCT incorrectly specified

説明: MCT= キーワードの等号の後に 2 文字のオペランドまたは 1 つの区切り文字が必要です。しかし、そのいずれもありませんでした。2 文字のオペランドは、ロードする MCT の接尾部として処理されます。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: MCT= キーワードを、有効なオペランドまたは区切り文字を使用して訂正してください。

特定の MCT から作成された辞書レコードが不要な場合には、等号の後にブランクまたはコンマを指定するか、あるいは MCT=NO を指定して、デフォルト MCT イメージを使用できます。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0203 S Invalid parameter. SYSID must be four characters or less.

説明: 4 文字を超える SYSID、またはオペランドを持たない SYSID キーワードが指定されました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 最高 4 文字までの有効な SYSID を指定してください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0204 S Invalid parameter. GAPPLID must be eight characters or less.

説明: 8 文字を超える総称 APPLID (GAPPLID)、またはオペランドを持たない GAPPLID キーワードが指定されました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 最高 8 文字までの有効な GAPPLID を指定してください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0205 S Invalid parameter. SAPPLID must be eight characters or less.

説明: 8 文字を超える特定の APPLID (SAPPLID) が指定されました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 最高 8 文字までの有効な SAPPLID を指定するか、または SAPPLID を指定しないことによって SAPPLID がデフォルトとして GAPPLID をとるようにしてください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0206 S Invalid parameter. DATE must be of format yyddd or yyyyddd.

説明: 日付が正しく指定されていません。これには、3 つの理由が考えられます。

- 指定された日付が正しい形式 yyddd または yyyyddd ではない。

- 日付に非数値文字が含まれている。

- 「ddd」が 1 から 366 の範囲内に入っていない。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 日付が形式「yyddd」または「yyyyddd」になっていて、しかもこれらの値が有効であることを確認してください。

DATE がデフォルトとして現行日をとるようにしたい場合には、このパラメーターを指定しないでください。詳

しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0207 S Invalid parameter. TIME must be of format hhmmss.

説明: 時間が正しく指定されていません。これには、3つの理由が考えられます。

-
- 6 文字を超える文字が指定された。
-
- 指定した値に非数字の文字が含まれている。
-
- 時間 (hh)、分 (mm)、または秒 (ss) が、有効範囲外の値になっている。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 指定した時間が形式「hhmmss」になっていて、しかもこれらの値が有効であることを確認してください。

TIME がデフォルトとして現行時間をとるようにしたい場合には、このパラメーターを指定しないでください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0208 S Invalid parameter. Keyword is unknown.

説明: SYSIN パラメーターが処理され、認識されないキーワードが含まれているのが見つかりました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 認識されないキーワードの名前を変更してください。サポートされるキーワードの完全なリストは、CICS の資料を参照してください。また、SYSIN データ・セット内のどのキーワードの前にもブランクがないことを確認してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0209 S No SYSIN parameters have been specified.

説明: JCL 内に SYSIN パラメーターが指定されていません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: SYSIN パラメーターが JCL にあるかどうかを調べてください。SYSIN がないか、またはパラメーターを持っていない場合、DFHMNDUP パラメーターのコーディングについて、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0210 S APPLID Load for MCT has failed. MCT cannot be found. A dump will be provided.

説明: DFHMNDUP が STEPLIB から「DFHMCTxx」のロードを試みました。ここで、「xx」は MCT= キーワードで提供される接尾部です。この MCT は、STEPLIB 連結内で見つかりませんでした。

システムの処置: ジョブ・ステップは異常終了して、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: MCT 接尾部が正しいこと、およびこの接尾部を含むライブラリーがそのジョブ・ステップの STEPLIB 連結に入っていることを確認してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: コンソール

DFHMN0211 S 制御ブロックの Getmain ストレージが失敗しました。(Getmain storage for control blocks has failed.)

説明: ユーティリティ・グローバル・ストレージに対する MVS GETMAIN が失敗しました。領域内には境界より下の MVS ストレージが十分にありません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: JCL の REGION= パラメーターを増やして再試行してください。それが失敗した場合は、MVS システム・プログラマーに相談してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0212 S 出力レコードの **Getmain** ストレージが失敗しました。(Getmain storage for output record has failed.)

説明: 32KB レコード・バッファ・ストレージに対する MVS GETMAIN が失敗しました。領域内には境界より下の MVS ストレージが十分にありません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: JCL の REGION= パラメーターを増やして再試行してください。それが失敗した場合は、MVS システム・プログラマーに相談してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0213 S MVS TIME マクロが失敗しました。(The MVS TIME macro has failed.)クロック・エラーがあります。(There is a clock error.)

説明: DATE または TIME (あるいはその両方) が指定されていないため、DFHMNDUP は TIME マクロを使用して MVS から現行の DATE または TIME (あるいはその両方) を取得しようとした。TIME マクロは MVS クロックが損傷していることを報告しました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 障害を MVS システム・プログラマーに通知してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0214 S Invalid parameter. Missing delimiter detected.

説明: DFHMNDUP パラメーター構文では、キーワード/オペランドの対を、コンマまたはブランク・スペースの形式の区切り文字で分離する必要があります。区切り文字がキーワード/オペランドに欠落しています。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: SYSIN データ・セットが、1 行に複数のパラメーターが入るようにコーディングされている場合には、各パラメーターの間にブランクまたはコンマが 1 つ入っていることを確認してください。SYSIN データ・セットが、1 行に 1 つのパラメーターしか入らないようにコーディングされている場合には、そのパラメーターがブランクまたはコンマで終わっていることを確認してください。DFHMNDUP パラメーターの構文の

詳しいガイダンスについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0215 S 必須の SYSIN パラメーターが欠落しています。(Mandatory SYSIN parameter(s) missing.)

説明: 2 つの必須パラメーターは、総称 APPLID (GAPPLID) および MVS システム識別名 (SYSID) 用のパラメーターです。これらの 2 つのパラメーターが指定されておらず、しかもデフォルト也没有ありません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 以下について指定してください。

- DFHMNDUP が辞書レコードを作成する予定の CICS システムの総称アプリケーション ID
- 処理する予定のモニター・パフォーマンス・クラス・レコードを作成した MVS システムの MVS システム識別名

DFHMNDUP パラメーターの構文の詳しいガイダンスについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0216 S Invalid parameter. JOBNAME must be eight characters or less.

説明: 8 文字を超えた JOBNAME が指定されています。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 8 文字以下の有効な JOBNAME を指定してください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0217 S Invalid parameter. JOBDATE must be of format yyddd or yyyyddd.

説明: JOBDATE パラメーターが正しく指定されていません。これには、3 つの理由が考えられます。

-

指定された日付が正しい形式 yyddd または
yyyyddd ではない。

- 非数字が指定されている。
- 日数の「ddd」が、1 から 366 の範囲内にない。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: JOBDAT が「yyddd」または「yyyyddd」の形式の有効な文字で構成されていることを確認してください。

JOBDAT がデフォルトとして現行日をとるようにしたい場合には、このパラメーターを指定しないでください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0218 S Invalid parameter. JOBTIME must be of format hhmmss.

説明: JOBTIME パラメーターが正しく指定されていません。これには、3 つの理由が考えられます。

- 6 文字を超えて指定されている。
- 非数字が指定されている。
- 時間 (hh)、分 (mm)、または秒 (ss) が、有効範囲外の値になっている。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: JOBTIME が「hhmmss」の形式の有効な文字で構成されていることを確認してください。

JOBTIME がデフォルトとして現行時間をとるようにしたい場合には、このパラメーターを指定しないでください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMPnnnn メッセージ

DFHMP0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログ

DFHMN0219 S Invalid parameter. USERID must be eight characters or less.

説明: 8 文字を超えた USERID が指定されています。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 8 文字以内の有効な USERID を指定してください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: SYSPRINT

DFHMN0220 DFHMNDUP CANNOT OPEN THE SYSPRINT FILE.

説明: SYSPRINT DD ステートメントが欠落しているか、または正しく定義されていないため、SYSPRINT ファイルがオープンできません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: SYSPRINT DD ステートメントが正しく定義されていることを確認してください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: コンソール

DFHMN0221 DFHMNDUP CANNOT OPEN THE SYSIN FILE.

説明: SYSIN DD ステートメントが欠落しているか、または正しく定義されていないため、SYSIN ファイルがオープンできません。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: SYSIN DD ステートメントが正しく定義されていることを確認してください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

モジュール: DFHMNDUP

宛先: コンソール

ラム・チェックが発生しました。この異常終了またはプログラム・チェックは、CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされました。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合、コード内の最初の 3 文字は 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。このコードにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの正しい処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、都合のよい時間に CICS を終了させて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS を終了させる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHMPAC, DFHMPDD, DFHMPDM, DFHMPIB, DFHMPRL, DFHMPMO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHMP0002 *applid* モジュール *modname* で重大エラー (コード *X'code'*) が発生しました。

説明: モジュール *modname* でエラーが発生しました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルでダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。この例外項目は、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了しない場合があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、都合のよい時間に CICS を終了させて問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されたり、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHMPAC, DFHMPDD, DFHMPDM, DFHMPIB, DFHMPRL, DFHMPMO, DFHMPST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHMP0100I *applid* 管理対象プラットフォーム・ドメインの初期化が開始されました。

説明: DFHMP0100I は管理対象プラットフォーム・ドメインの初期化の開始を示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHMPDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHMP0101I *applid* **Managed platform domain initialization has ended.**

説明: 管理対象プラットフォーム・ドメインの初期化が正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHMPDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHMP1000 *date time applid* 無効なパラメーター・リストが **MP** ドメイン・モジュール *modname* に渡されました。

説明: 要求の処理中に管理対象プラットフォーム (MP) ドメインのモジュール *modname* に対する呼び出しが実行されましたが、パラメーター・リストが有効ではありませんでした。この無効なパラメーター・リストは、おそらくストレージの上書きまたは呼び出し側コンポーネントの内部エラーが原因です。

システムの処置: 例外トレースが MP ドメインによって作成され、システム・ダンプが取られ、進行中のタスクは異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、呼び出し側コンポーネントの障害を判別してください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modname*

宛先: CMPO

DFHMP1001 *date time applid* **BUNDLE** リソース *bundle* におけるポリシー *policyname* の操作 *operation* のポリシー有効範囲が正常にインストールされました。

説明: BUNDLE リソース *bundle* におけるポリシー *policyname* の操作 *operation* のポリシー有効範囲が正常にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHMPDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *operation*
5. *policyname*
6. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP1002 *date time applid* **BUNDLE** リソース *bundle* におけるポリシー *policyname* の操作 *operation* のポリシー有効範囲が正常に破棄されました。

説明: BUNDLE リソース *bundle* におけるポリシー *policyname* の操作 *operation* のポリシー有効範囲が正常に破棄されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHMPDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *operation*
5. *policyname*
6. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP1004 *date time applid BUNDLE* リソース *bundle* からポリシー *policyname* が正常にインストールされました。

説明: BUNDLE リソース *bundle* からポリシー *policyname* が正常にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHMPDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP1005 *date time applid BUNDLE* リソース *bundle* からポリシー *policyname* が正常に破棄されました。

説明: BUNDLE リソース *bundle* からポリシー *policyname* が正常に破棄され、このシステムから除去されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHMPDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP1007 *date time applid Policy policyname from BUNDLE resource bundle successfully enabled.*

説明: BUNDLE リソース *bundle* からポリシー *policyname* が正常に有効にされました。すべてのポリシー・ルールがアクティブになり、すべての適格な新規タスクに適用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHMPDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP1008 *date time applid Policy policyname from BUNDLE resource bundle successfully disabled.*

説明: BUNDLE リソース *bundle* からポリシー *policyname* が正常に無効にされました。すべてのポリシー・ルールは新規タスクには適用されませんが、アクティブ・タスクには (それらが終了するまで) 引き続き適用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHMPDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP2003 *date time applid The CICS managed platform domain failed to create the policy policyname in BUNDLE resource bundle because {the length of policy name is invalid. | the policy name contains invalid characters. | the XML data for the policy could not be parsed.}*

説明: BUNDLE リソース *bundle* 内でポリシー *policyname* を作成する際に、エラーが発生しました。次の理由が考えられます。

ポリシー名の長さが無効

ポリシー名の長さが 1 から 64 文字の間ではありません

ポリシー名に無効な文字が含まれている

指定されたポリシー名に無効な文字が含まれています。有効な文字は、A から Z、a から z、0 から 9、および _ です。ポリシー名は 1 から 64 文字の長さです。空白文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることはできません。名前は、0 から 9、_、または文字列 xml (小文字または大文字) で始めてはなりません。

ポリシーの XML データを解析できない

直前の DFHPIInnnn メッセージに、問題の原因に関する追加情報が記述されています。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: 関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムの MP ポリシー・スキーマと照らし合わせて、XML を検証します。ポリシー XML を訂正し、バンドルを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*
6. 以下のオプションから選択される値。

3= ポリシー名の長さが無効です,
1= ポリシー名に無効文字が含まれています,
2= ポリシーの XML データを解析できませんでした。

宛先: CMPO

DFHMP2004 *date time applid* **The CICS managed platform domain failed to create policy *policyname* in BUNDLE resource bundle because the {policy schema level is not supported | USERTAG contains invalid characters | policySchemaVersion is invalid | policySchemaRelease is invalid}; error_data.**

説明: BUNDLE リソース *bundle* 内でポリシー *policyname* を作成する際に、エラーが発生しました。次の理由が考えられます。

ポリシー・スキーマ・レベル *error_data* がサポートされていない

ポリシー *policyname* の *policySchemaVersion* および *policySchemaRelease* は、CICS のこのリリースでサポートされるスキーマ・レベルよりも高いものであってはなりません。

USERTAG *error_data* に無効な文字が含まれている

1 から 8 文字からなるユーザー・タグの許容される文字は A から Z、a から z、0 から 9、および _ です。名前は英字で始まる必要があります。

policySchemaVersion *error_data* が無効である

指定される 1 から 2 文字の文字列は数字のみ (つまり 0 から 9) で構成され、1 から 99 の範囲である必要があります。

policySchemaRelease *error_data* が無効である

指定される 1 から 2 文字の文字列は数字のみ (つまり 0 から 9) であり、0 から 99 の範囲である必要があります。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: この原因としては、ポリシー XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。BUNDLE リソースをインストールする先の CICS システムの MP ポリシー・スキーマと照らし合わせて、ポリシーを検証します。ポリシー XML を訂正し、バンドルを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= ポリシー・スキーマ・レベルはサポートされていません,
2= USERTAG に無効な文字が含まれています,
3= *policySchemaVersion* が無効です,
4= *policySchemaRelease* が無効です

7. *error_data*

宛先: CMPO

DFHMP2005 *date time applid The CICS managed platform domain failed to create policy policyname in BUNDLE resource bundle because the rule rulename { is a duplicate of another rule in the same policy. | contains invalid characters in its name. | has an event action but no EP adapter or adapter set name is specified.}*

説明: 規則 *rulename* に問題があるため、バンドル *bundle* 内でポリシー *policyname* を作成する際にエラーが発生しました。次の理由が考えられます。規則が同じポリシー内の別の規則と重複している

ポリシーに同じ名前の別のルールがあります。規則に無効な文字が含まれている

1 から 64 文字からなる規則名の許容される文字は、A から Z、a から z、0 から 9、*_*、*-*、*@* および *#* です。名前は英字で始まる必要があります。

イベント・アクションは含まれているが、**EP** アダプターまたはアダプター・セット名が指定されていない

ポリシー規則にイベント・アクションは含まれていますが、EP アダプターまたはアダプター・セット名が指定されていません。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: この原因としては、ポリシー XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのポリシー・スキーマと照らし合わせて、ポリシーを検証します。ポリシーを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*
6. *rulename*

7. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 同じポリシー内の別の規則と重複しています、
- 2= その名前の無効文字が含まれています、
- 3= イベント・アクションは含まれていますが、EP アダプターまたはアダプター・セット名が指定されていません。

宛先: CMPO

DFHMP2006 *date time applid CICS 管理対象プラットフォーム・ドメインが、BUNDLE リソース bundle にポリシー policyname を作成することに失敗しました。理由: 規則 rulename { の規則タイプが無効です | に無効な規則タイプの条件名があります | に無効な項目名があります | に無効なオペレーター値があります | に無効なストレージ単位があります | に無効なカウンタ単位があります | に無効な時間単位があります | に無効な異常終了コードがあります | に無効な EP アダプター名があります | に無効な EP アダプター・セット名があります | に欠落した XML エレメントがあります | に無効な規則グループ名があります | に無効なイベント名があります} : 'error_data'.*

説明: 規則 *rulename* に問題があるため、BUNDLE リソース *bundle* 内でポリシー *policyname* を作成する際にエラーが発生しました。次の理由が考えられます。

規則タイプが無効である

規則タイプ *error_data* は、CICS のこのリリースではサポートされていません。このメッセージは、タスク規則とシステム規則が同じポリシーで定義されており、このリリースの CICS ではそのタスク規則がサポートされていない場合に、DFHMP2004 の代わりに発生する場合があります。

規則タイプに対して条件名が無効である

指定された規則タイプに対して条件名 *error_data* が無効です。

規則タイプに対して項目名が無効である

指定された規則タイプに対して項目 *error_data* は、CICS のこのリリースではサポートされていません。

演算子が無効である

演算子 *error_data* が無効です。指定できる演算子は次のとおりです。

•

GT - より大

ストレージ単位が無効である

ストレージ単位 *error_data* が無効です。指定できる単位は次のとおりです。

- B - バイト
- K - Kb
- M - Mb
- G - Gb

カウント単位が無効である

カウント単位 *error_data* が無効です。指定できる単位は次のとおりです。

- "" - 単位なし
- K - 千

時間単位が無効である

時間単位 *error_data* が無効です。指定できる単位は次のとおりです。

- S - 秒
- M - ミリ秒
- O - マイクロ秒

異常終了コードが無効である

アクション異常終了コード *error_data* に無効な文字が含まれています。有効な文字は、A から Z、a から z、0 から 9、. _ - @ および # です。

無効な EP アダプター名

EP アダプター名 *error_data* に無効な文字が含まれています。有効な文字は、A から Z、a から z、0 から 9、および _ です。ブランク文字を先頭にしたり、埋め込んだりすることは無効です。名前は、0 から 9、_、または文字列 xml (小文字または大文字) で始めてはなりません。

無効な EP アダプターセット名

EP アダプター・セット名 *error_data* に無効な文字が含まれています。有効な文字は、A から Z、a から z、0 から 9、および _ です。ブランク文字を先頭にしたり、埋め込んだりすること

とは無効です。名前は、0 から 9、_、または文字列 xml (小文字または大文字) で始めてはなりません。

XML エlementが欠落している

すべてのポリシー規則は複数の必須要素で構成されます。XML Element *error_data* が欠落しています。

無効な規則グループ名

規則グループ *error_data* が無効です。指定できる値は次のとおりです。

- TASK
- SYSTEM

Invalid event name

イベント・データ項目 *error_data* の名前に無効な文字が含まれています。イベント名 (1 から 32 文字) に使用できるのは、A から Z、a から z、0 から 9、および _ です。名前は、0 から 9、_、または文字列 xml (小文字または大文字) で始めてはなりません。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: この原因としては、ポリシー XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのポリシー・スキーマと照らし合わせて、ポリシーを検証します。ポリシーを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*
6. *rulename*
7. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 規則タイプが無効です,
 2= 無効な規則タイプの条件名があります,
 3= 無効な項目名があります,
 4= 無効なオペレーター値があります,

5= 無効なストレージ単位があります,
 6= 無効なカウント単位があります,
 7= 無効な時間単位があります,
 8= 無効な異常終了コードがあります,
 9= 無効な EP アダプター名があります,
 10= 無効な EP アダプター・セット名があります,
 11= 欠落した XML エレメントがあります,
 12= 無効な規則グループ名があります,
 13= 無効なイベント名があります

8. error_data

宛先: CMPO

DFHMP2007 *date time applid* ポリシーがルールを定義していないため、**CICS** 管理対象プラットフォーム・ドメインが、**BUNDLE** リソース *bundle* でのポリシー *polycynname* の作成に失敗しました。

説明: ポリシー *polycynname* が規則を定義していないため、バンドル *bundle* 内でポリシー *polycynname* を作成する際にエラーが発生しました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: この原因としては、ポリシー XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのポリシー・スキーマと照らし合わせて、ポリシーを検証します。ポリシーを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycynname*
5. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP2008 *date time applid* The CICS managed platform domain failed to create the policy resource *polycynname* in **BUNDLE** resource *bundle* because one of its rules does not specify a name.

説明: ポリシー *polycynname* がブランクの規則名で規則を定義したため、バンドル *bundle* 内でポリシー *polycynname* を作成する際にエラーが発生しました。規則名は、少なくとも 1 文字の長さが必要です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: この原因としては、ポリシー XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのポリシー・スキーマと照らし合わせて、ポリシーを検証します。ポリシーを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycynname*
5. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP2009 *date time applid* ルール *rulename* が *threshold* に無効なしきい値を指定しているため、**CICS** 管理対象プラットフォーム・ドメインが、**BUNDLE** リソース *bundle* でのポリシー *polycynname* の作成に失敗しました。

説明: ポリシー *polycynname* が無効なしきい値 *threshold* を持つ規則 *rulename* を定義したため、バンドル *bundle* 内でポリシー *polycynname* を作成する際にエラーが発生しました。しきい値の最大値は、以下のように規則タイプと指定される項目によって異なります。

- storage: 各項目の最大値は以下のとおりです。
 - task24 または shared24: 16777215 バイト (16MB -1)
 - task31 または shared31: 2147483647 バイト (2GB -1)
 - task64 または shared64: 4294967295 ギガバイト

databaserequest、filerequest、programrequest、および storagerequest: すべての項目について、要求の最大値は 4294967295 です。

time: しきい値の最大値は 86400 秒です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: この原因としては、ポリシー XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのポリシー・スキーマと照らし合わせて、ポリシーを検証します。ポリシーを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycynname*
5. *bundle*
6. *rulename*
7. *threshold*

宛先: CMPO

DFHMP2010 *date time applid BUNDLE* リソース *bundle* に定義された操作 *operation* の既存のポリシー有効範囲と重複するため、**CICS** 管理対象プラットフォーム・ドメインが、**BUNDLE** リソース *bundle* に定義されたポリシー *polycynname* のポリシー有効範囲の作成に失敗しました。両方の **BUNDLE** リソースの有効範囲が、**platform(platformname)**、**application(applicationname)**、および **version(majorversion.minorversion.microversion)** になっています。

説明: **BUNDLE** リソース *bundle* 内の操作 *operation* の既存のポリシー有効範囲と重複するため、**BUNDLE** リソース *bundle* に定義されたポリシー *polycynname* のポリシー有効範囲を作成中にエラーが発生しました。両方のバンドルが、プラットフォーム *platformname*、アプリケーション *applicationname*、およびアプリケーション・

バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の有効範囲でインストールされました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシーの有効範囲の作成は終了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージがあるかどうか、MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。ポリシー XML を訂正し、アプリケーションを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycynname*
5. *bundle*
6. *operation*
7. *bundle*
8. *platformname*
9. *applicationname*
10. *majorversion*
11. *minorversion*
12. *microversion*

宛先: CMPO

DFHMP2011 *date time applid* **The CICS managed platform domain failed to create the policy scope for policy *polycynname* defined in BUNDLE resource *bundle* because policy *polycynname* is undefined. The BUNDLE resource was installed with a scope of platform(*platformname*), application(*applicationname*), and version (*majorversion.minorversion.microversion*).**

説明: 以下のいずれかの条件が原因で、**BUNDLE bundle** に定義されているポリシー *polycynname* のポリシー有効範囲の作成中にエラーが発生しました。

- 参照されたポリシー *polycynname* が CICS に定義されていません
- ポリシー *polycynname* が CICS に定義されていますが、有効範囲が異なっています

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシーの有効範囲の作成は終了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージがあるかどうか、MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。ポリシー XML を訂正し、アプリケーションを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycynname*
5. *bundle*
6. *polycynname*
7. *platformname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*

宛先: CMPO

DFHMP2012 *date time applid BUNDLE* リソース *bundle* に定義されている同じ名前と有効範囲の既存のポリシーと重複するため、**CICS** 管理対象プラットフォーム・ドメインが、**BUNDLE** リソース *bundle* に定義されたポリシー *polycynname* の作成に失敗しました。両方の **BUNDLE** リソースの有効範囲が、**platform(platformname)**、**application(applicationname)**、および **version (majorversion.minorversion.microversion)** になっています。

説明: **BUNDLE** リソース *bundle* 内の同じ名前の既存のポリシーと重複するため、**BUNDLE** リソース *bundle* に定義されたポリシー *polycynname* の作成中にエラーが発生しました。両方のバンドルが、プラットフォーム *platformname*、アプリケーション *applicationname*、およびアプリケーション・バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の有効範囲でインストールされました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージがあるかどうか、MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。ポリシー XML を訂正し、アプリケーションを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycynname*
5. *bundle*
6. *bundle*
7. *platformname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*

宛先: CMPO

DFHMP2013 *date time applid* The CICS managed platform domain failed to create the policy scope for operation operation defined in BUNDLE resource bundle because the policy name polycynname is invalid. The BUNDLE resource was installed with a scope of platform(platformname), application(applicationname), and version (majorversion.minorversion.microversion).

説明: ポリシー名 *polycynname* の長さが無効であるため、**BUNDLE** *bundle* に定義されている操作 *operation* のポリシーの有効範囲の作成中にエラーが発生しました。ポリシー名の長さは 1 文字以上 64 文字以下でなければなりません。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージがあるかどうか、MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。ポリシー XML を訂正し、アプリケーションを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *operation*
5. *bundle*
6. *policyname*
7. *platformname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*

宛先: CMPO

DFHMP2014 *date time applid* The CICS managed platform domain failed to create the policy scope for policy *policyname* defined in BUNDLE resource *bundle1* because it duplicates an existing policy scope for the operation *operation* which was defined in BUNDLE resource *bundle2*.

説明: 別の BUNDLE リソース *bundle2* 内に定義されている操作 *operation* の既存のポリシー有効範囲と重複するため、BUNDLE リソース *bundle1* に定義されたポリシー *policyname* のポリシー有効範囲を作成中にエラーが発生しました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシーの有効範囲の作成は終了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージがあるかどうか、MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。ポリシー XML を訂正し、BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle1*
6. *operation*

7. *bundle2*

宛先: CMPO

DFHMP2015 *date time applid* CICS 管理対象プラットフォーム・ドメインが、BUNDLE リソース *bundle* に定義されているポリシー *policyname* の有効範囲を作成することに失敗しました。ポリシー *policyname* が未定義であるためです。

説明: 以下のいずれかの条件が原因で、BUNDLE *bundle* に定義されているポリシー *policyname* のポリシー有効範囲の作成中にエラーが発生しました。

- 参照されたポリシー *policyname* が CICS に定義されていません

•

ポリシー *policyname* が CICS に定義されていますが、有効範囲が異なります

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシーの有効範囲の作成は終了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージがあるかどうか、MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。ポリシー XML を訂正し、BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *policyname*
5. *bundle*
6. *policyname*

宛先: CMPO

DFHMP2016 *date time applid* The CICS managed platform domain failed to create the policy scope for operation *operation* defined in BUNDLE resource *bundle* because the policy name *policyname* is invalid.

説明: ポリシー名 *policyname* の長さが無効であるため、BUNDLE *bundle* に定義されている操作 *operation* のポリシーの有効範囲の作成中にエラーが発生しまし

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycyname*
5. *bundle*
6. *rulename*
7. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 静的データ項目の名前が無効です
 2= 静的データ項目の値が無効です
 3= 次の名前の静的データ項目が複数定義されています

8. *staticname*

宛先: CMPO

DFHMP2020 *date time applid* The CICS managed platform domain failed to create the policy *polycyname* in BUNDLE resource *bundle* because the system policy rule *rulename* specifies a predicate *predicate* which is not supported for a rule type of *ruletype*.

説明: BUNDLE リソース *bundle* 内でポリシー *polycyname* をインストールする際に、エラーが発生しました。システム・ポリシー規則 *rulename* は、規則タイプ *ruletype* でサポートされていない述部 *predicate* を指定します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: この原因としては、ポリシー XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのポリシー・スキーマと照らし合わせて、ポリシーを検証します。ポリシーを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycyname*

5. *bundle*
6. *rulename*
7. 述部
8. *ruletype*

宛先: CMPO

DFHMP2021 *date time applid* The CICS managed platform domain failed to create the system policy *polycyname* in BUNDLE resource *bundle* because the predicate *predicate* for rule *rulename* specifies an invalid {filter operator | numeric filter value | status value}: 'error_data'.

説明: システム・ポリシー規則 *rulename* に対して指定されている述部 *predicate* に問題があるため、BUNDLE リソース *bundle* 内でポリシー *polycyname* を作成する際にエラーが発生しました。次の理由が考えられます。

Invalid operator

指定された演算子は、指定された規則タイプには無効です。

無効な数値

述部に指定された数値が無効です。

無効な状況値

述部に指定された状況値は、指定された規則タイプには無効です。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: この原因としては、ポリシー XML 内でエラーまたは矛盾が生じていることが考えられます。関連したトレース項目またはメッセージがあるかどうか、CICS トレースと MP ドメイン・メッセージ・ログを調べます。バンドルをインストールする先の CICS システムのポリシー・スキーマと照らし合わせて、ポリシーを検証します。ポリシーを修正し、バンドルを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycyname*
5. *bundle*
6. 述部

7. *rulename*

8. 以下のオプションから選択される値。

1= フィルター演算子,

2= フィルター数値,

3= 状況値

9. *error_data*

宛先: CMPO

DFHMP2022 *date time applid* The CICS managed platform domain failed to create the policy *polycname* in BUNDLE resource bundle with a scope of platform *platformname*, application *applicationname*, and version *majorversion.minorversion.microversion* because the policy defines a system policy rule *rulename*.

説明: プラットフォーム *platformname*、アプリケーション *applicationname*、およびアプリケーション・バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の有効範囲を使用してインストールされた BUNDLE リソース *bundle* 内のポリシー *polycname* には、システム・ポリシー規則 *rulename* が含まれています。システム・ポリシー規則を定義するポリシーは、スタンドアロンの CICS 領域または CICS プラットフォームにのみインストールできます。アプリケーション有効範囲を使用して定義することはできません。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシー作成は終了します。

ユーザーの処置: 原因としては、システム・ポリシー規則が、CICS アプリケーション・バンドルによって参照されるポリシー内に定義されたことが考えられます。指定されたポリシーからシステム・ポリシー規則を除去し、アプリケーションを破棄して再インストールします。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *polycname*
5. *bundle*
6. *platformname*

7. *applicationname*8. *majorversion*9. *minorversion*10. *microversion*11. *rulename*

宛先: CMPO

DFHMP2023 *date time applid* The CICS managed platform domain failed to create the policy scope for operation *operation* because the referenced policy *polycname* which is defined in BUNDLE resource *bundle* defines system policy rules.

説明: ポリシー *polycname* に 1 つ以上のシステム・ポリシー規則が含まれているため、BUNDLE *bundle* に定義されている操作 *operation* のポリシーの有効範囲の作成中にエラーが発生しました。ポリシーの有効範囲は、システム・ポリシー規則を定義するポリシーには適用できません。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

例外応答はこのドメインの呼び出し元に戻され、ポリシーの有効範囲の作成は終了します。

ユーザーの処置: システム規則を除去することによってポリシー XML を訂正し、バンドルを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHMPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *operation*
5. *polycname*
6. *bundle*

宛先: CMPO

DFHMP3001 *date time applid* Task *trannum*(*trandid*) exceeded a policy threshold. BundleId=*bundleid*, PolicyName=*polycname*, RuleName=*rulename*, RuleType=*ruletype*, Category=*category*, Threshold=*threshold* (Value=*value*, Unit=*unit*)、CurrentCount=*currentcount*.

説明: バンドル *bundleid* に定義されているポリシー *policyname* によって定義された規則 *rulename* で指定されているしきい値を超過しました。タイプの規則 *ruletype* およびカテゴリー *category* によって、しきい値 *threshold* が指定されます。しきい値は、値 *value* および単位 *unit* でポリシー内に指定されました。この規則の現在のカウント値は *currentcount* です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の情報を使用して、識別されたタスクが大量の CICS リソースを使用しているかどうかを判別し、タスクをパーズするなどの適切な処置をとってください。このメッセージが頻繁に発生する場合は、指定されたポリシーのしきい値を大きくすることを検討してください。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *bundleid*
7. *policyname*
8. *rulename*
9. *ruletype*
10. *category*
11. *threshold*
12. *value*
13. *unit*
14. *currentcount*

宛先: CMPO

DFHMP3002 *date time applid Task trannum(tranid)*
exceeded a policy threshold and is
abended with abend code *abcode*.
BundleId=*bundleid*、
PolicyName=*policyname*、
RuleName=*rulename*、
RuleType=*ruletype*、**Category=***category*、
Threshold=*threshold* (**Value=***value*、
Unit=*unit*)
、CurrentCount=*currentcount*。

説明: バンドル *bundleid* に定義されているポリシー *policyname* によって定義された規則 *rulename* で指定されているしきい値を超過し、タスク *trannum* は異常終了コード *abcode* で異常終了しました。タイプの規則

ruletype およびカテゴリー *category* によって、しきい値 *threshold* が指定されます。しきい値は、値 *value* および単位 *unit* でポリシー内に指定されました。この規則の現在のカウント値は *currentcount* です。

システムの処置: タスクは異常終了コード *abcode* で異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ内の情報を使用して、識別されたタスクが大量の CICS リソースを使用しているかどうかを判別してください。このメッセージが頻繁に発生する場合は、指定されたポリシーのしきい値を大きくすることを検討してください。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *abcode*
7. *bundleid*
8. *policyname*
9. *rulename*
10. *ruletype*
11. *category*
12. *threshold*
13. *value*
14. *unit*
15. *currentcount*

宛先: CMPO

DFHMP3003 *date time applid* タスク *trannum(tranid)*
 のイベント発行が失敗しました。理由:
EPADAPTER リソース *adaptername* { が
 使用できません | が、サポートされてい
 ないトランザクション・イベントを指定し
 ています | が、サポートされていない同
 期イベント発行を指定しています}。
BundleId=*bundleid*、
BundleName=*bundlename*、
PolicyName=*policyname*、
RuleName=*rulename*。

説明: 規則 *rulename* のポリシー *policyname* のイベント出力ができません。次の理由が考えられます。

EP アダプターが使用できない

指定された EP アダプターは、使用不可であるかインストールされていません。
トランザクション・イベントがサポートされていない

EP アダプターは、サポートされていないトランザクション・イベントを指定しています。
同期イベント出力がサポートされていない

EP アダプターが、サポートされていない同期イベント出力を指定しています。

システムの処置: 処理は続行されますが、この規則のポリシー・イベントは破棄されます。

ユーザーの処置: EPADAPTER リソース *epadapter* をインストールして使用可能にするか、EP アダプターの定義からトランザクション・オプションを除去するか、非同期イベントを指定します。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *adaptername*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用不可能です,
2= サポートされていないトランザクション・イベントを指定しています,
3= サポートされていない同期イベント出力を指定しています

8. *bundleid*
9. *bundlename*
10. *policyname*
11. *rulename*

宛先: CMPO

DFHMP3004 *date time applid* タスク *trannum(tranid)* のイベント発行が失敗しました。理由:
EPADAPTERSET リソース *adaptersetname* { が使用できません | の 1 つ以上のアダプターを使用できません }。
BundleId=*bundleid*、
BundleName=*bundlename*、
PolicyName=*policyname*、
RuleName=*rulename*。

説明: 規則 *rulename* のポリシー *policyname* のイベン

ト出力ができません。次の理由が考えられます。

EP アダプター・セットが使用できない

指定された EP アダプター・セットは、使用不可であるかインストールされていません。

1 つ以上の **EP** アダプターが使用できない

EP アダプター・セット内の 1 つ以上の EP アダプターが使用できません。CICS は、内部障害のために、使用できない EP アダプターの名前を DFHMP3005 メッセージに報告できません。

システムの処置: 処理は続行されますが、この規則のすべてまたは一部のポリシー・イベントは破棄されます。

ユーザーの処置: EPADAPTERSET リソース *epadapterset* が使用できない場合、これをインストールして使用可能にします。使用できない EP アダプター名について詳しくは、CICS トレースを参照してください。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *adaptersetname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用不可能です,
2= 使用不可のアダプターが 1 つ以上含まれています

8. *bundleid*
9. *bundlename*
10. *policyname*
11. *rulename*

宛先: CMPO

DFHMP3005 *date time applid* タスク *trannum(tranid)* のイベント発行が失敗しました。理由:
EPADAPTERSET *adaptersetname* に含まれる **EPADAPTER** リソース *adaptername* { が使用できません | が、サポートされていないトランザクション・イベントを指定しています | が、サポートされていない同期イベント発行を指定しています }。
BundleId=*bundleid*、
BundleName=*bundlename*、
PolicyName=*policyname*、

RuleName=*rulename*。

説明: 規則 *rulename* のポリシー *polycynname* のイベント出力ができません。次の理由が考えられます。

EP アダプターが使用できない

EP アダプターは、使用不可であるかインストールされていません。

トランザクション・イベントがサポートされていない

EP アダプターは、サポートされていないトランザクション・イベントを指定しています。

同期イベント出力がサポートされていない

EP アダプターが、サポートされていない同期イベント出力を指定しています。

システムの処置: 処理は続行されますが、この規則のポリシー・イベントは破棄されます。

ユーザーの処置: EPADAPTER リソース *epadapter* をインストールして使用可能にするか、EP アダプターの定義からトランザクション・オプションを除去するか、非同期イベントを指定します。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *adaptername*
7. *adaptersetname*
8. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用不可能です、

2= サポートされていないトランザクション・イベントを指定しています、

3= サポートされていない同期イベント出力を指定しています

9. *bundleid*
10. *bundlename*
11. *polycynname*
12. *rulename*

宛先: CMPO

DFHMP3006 *date time applid* **Event emission has been successful after previous failure(s) to emit an event through {EPADAPTER | EPADAPTERSET} name. BundleId=***bundleid*, **BundleName=***bundlename*, **PolicyName=***polycynname*, **RuleName=***rulename*。

説明: EP アダプター・リソースが更新され、ポリシー *polycynname* の規則 *rulename* のイベントが正常に出力されました。DFHMP3003、DFHMP3004、DFHMP3005のうち 1 つ以上のメッセージによって以前報告されたエラーが解決されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=EPADAPTER,
2=EPADAPTERSET

5. *name*
6. *bundleid*
7. *bundlename*
8. *polycynname*
9. *rulename*

宛先: CMPO

DFHMP3007 *date time applid* **Task trannum(tranid) for operation init_operation of application init_application, version init_applversion on platform init_platform has exceeded a policy threshold. BundleId=***bundleid*, **PolicyName=***polycynname*, **RuleName=***rulename*, **RuleType=***ruletype*, **Category=***category*, **Threshold=***threshold* (**Value=***value*, **Unit=***unit*)、**CurrentCount=***currentcount*。

説明: バンドル *bundleid* で定義され、プラットフォーム *init_platform* 上のアプリケーション *init_application*、バージョン *init_applversion* でデプロイされるポリシー *polycynname* の規則 *rulename* に指定されたしきい値が、

タスク *tr anum* によって超過されました。タイプの規則 *ruletype* およびカテゴリー *category* によって、しきい値 *threshold* が指定されます。しきい値は、値 *value* および単位 *unit* でポリシー内に指定されました。この規則の現在のカウンタ値は *currentcount* です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の情報を使用して、識別されたタスクが大量の CICS リソースを使用しているかどうかを判別し、タスクをページするなどの適切な処置をとってください。このメッセージが頻繁に発生する場合は、指定されたポリシーのしきい値を大きくすることを検討してください。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *init_operation*
7. *init_application*
8. *init_applversion*
9. *init_platform*
10. *bundleid*
11. *policyname*
12. *rulename*
13. *ruletype*
14. *category*
15. *threshold*
16. *value*
17. *unit*
18. *currentcount*

宛先: CMPO

DFHMP3008 *date time applid Task trannum(tranid) for operation init_operation of application init_application, version init_applversion on platform init_platform has exceeded a policy threshold and is abended with abend code abcode.*
BundleId=*bundleid*、
PolicyName=*policyname*、
RuleName=*rulename*、
RuleType=*ruletype*、**Category=***category*、
Threshold=*threshold* (**Value=***value*、
Unit=*unit*)
、CurrentCount=*currentcount*。

説明: バンドル *bundleid* で定義され、プラットフォーム *init_platform* 上のアプリケーション *init_application*、バージョン *init_applversion* でデプロイされるポリシー *policyname* の規則 *rulename* に指定されたしきい値が超過され、タスク *tr anum* は異常終了コード *abcode* で異常終了しました。タイプの規則 *ruletype* およびカテゴリー *category* によって、しきい値 *threshold* が指定されます。しきい値は、値 *value* および単位 *unit* でポリシー内に指定されました。この規則の現在のカウンタ値は *currentcount* です。

システムの処置: タスクは異常終了コード *abcode* で異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ内の情報を使用して、識別されたタスクが大量の CICS リソースを使用しているかどうかを判別してください。このメッセージが頻繁に発生する場合は、指定されたポリシーのしきい値を大きくすることを検討してください。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *init_operation*
7. *init_application*
8. *init_applversion*
9. *init_platform*
10. *abcode*
11. *bundleid*
12. *policyname*
13. *rulename*
14. *ruletype*

15. *category*
16. *threshold*
17. *value*
18. *unit*
19. *currentcount*

宛先: CMPO

DFHMP3009 *date time applid Task tranum (tranid)*
has triggered a ruletype system rule
rulename (ruledetails) defined by policy
policyname in bundle bundleid.

説明: トランザクション *tranid* は *ruletype* システム規則の評価をトリガーし、バンドル *bundleid* のポリシー *policyname* によって定義される規則 *rulename* は *true* に評価されました。

挿入部 *ruledetails* には、1 つから 3 つまでの名前と値のペアで構成され、*{resourcetype=resourcename,}* *{FROM=fromstate, TO=tostate}* というフォーマットを持つ規則固有情報が含まれています。

このメッセージは、以下の場合にメッセージを出すようにシステム規則が要求する場合に出されます。

- リソース状態の変更が発生した (例えば、FILE がオープンされた場合)
- しきい値を超過した場合 (例えば、TRANCLASS のアクティブ・タスクが MAXACTIVE 値の 90% を超えた場合)
- 異常なシステム状態またはアクションが検出された場合 (例えば、MESSAGE が発行された場合)

メッセージに示されているトランザクション *tranid* は、*ruletype* システム規則の評価をトリガーしたトランザクションの名前であり、CICS システム・タスクの場合もあります。例えば、端末でのトランザクションの開始によって *taskThreshold* 規則がトリガーされた場合、指定されたトランザクションは CSTP システム・タスクになります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の情報を使用して、識別されたシステムの状態の変更に応答します。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *ruletype*
7. *rulename*
8. *ruledetails*
9. *policyname*
10. *bundleid*

宛先: CMPO

DFHMP3010 *date time applid Task tranum (tranid)*
has triggered a ruletype system rule
rulename (ruledetails) defined by policy
policyname in bundle bundleid installed
on platform platformname.

説明: トランザクション *tranid* は *ruletype* システム規則の評価をトリガーし、プラットフォーム *platformname* にインストールされたバンドル *bundleid* のポリシー *policyname* によって定義される規則 *rulename* は *true* に評価されました。

挿入部 *ruledetails* には、1 つから 3 つまでの名前と値のペアで構成され、*{resourcetype=resourcename,}* *{FROM=fromstate, TO=tostate}* というフォーマットを持つ規則固有情報が含まれています。

このメッセージは、以下の場合にメッセージを出すようにシステム規則が要求する場合に出されます。

- リソース状態の変更が発生した (例えば、FILE がオープンされた場合)
- しきい値を超過した場合 (例えば、TRANCLASS のアクティブ・タスクが MAXACTIVE 値の 90% を超えた場合)
- 異常なシステム状態またはアクションが検出された場合 (例えば、MESSAGE が発行された場合)

メッセージに示されているトランザクション *tranid* は、*ruletype* システム規則の評価をトリガーしたトランザクションの名前であり、CICS システム・タスクの場合もあります。例えば、端末でのトランザクションの開始によって *taskThreshold* 規則がトリガーされた場合、指定されたトランザクションは CSTP システム・タスクになります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の情報を使用して、識別されたシステムの状態の変更に応答します。

DFHMP3011 • DFHMP3013

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *ruletype*
7. *rulename*
8. *ruledetails*
9. *policyname*
10. *bundleid*
11. *platformname*

宛先: CMPO

DFHMP3011 *date time applid* **Event processing status is STOPPED. Policy events will be lost.**

説明: イベント処理が停止しました (例: CEMT SET EVENTPROCESS STOPPED)。このため、イベント処理が再開されるまで、すべてのポリシー・イベントは破棄されます。

システムの処置: 処理は続行されますが、すべてのポリシー・イベントは破棄されます。イベント処理が再開されると、メッセージ DFHMP3012 が出力されます。

ユーザーの処置: イベント処理を再開して (例: CEMT SET EVENTPROCESS STARTED)、ポリシー・イベントのキャプチャーおよび出力を再度有効化します。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMPO

DFHMP3012 *date time applid* **Event processing status is STARTED. Policy events will now be emitted.**

説明: イベント処理が再開され、ポリシー・イベントの出力が再開されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMPO

DFHMP3013 *date time applid* 指定されたしきい値 *threshold* を超えたため、タスク *trannum* (*tranid*) によって、バンドル *bundleid* のポリシー *policyname* で定義された *ruletype* システム規則 *rulename* がトリガーされました。 **(Task *trannum* (*tranid*) has triggered a *ruletype* system rule *rulename* defined by policy *policyname* in bundle *bundleid* because the specified threshold of *threshold* has been exceeded.)**

説明: トランザクション *tranid* は *ruletype* システム規則の評価をトリガーし、バンドル *bundleid* のポリシー *policyname* で定義された規則 *rulename* で指定されたしきい値 *threshold* を超えたため、その規則が *true* に評価されました。このメッセージは、メッセージを出すようにシステム規則で要求されていて、過去 30 秒間にその規則が *true* に評価されなかった場合にのみ生成されます。過去 30 秒間にその規則が *true* に評価された場合、このメッセージは抑制されます。

メッセージに示されているトランザクション *tranid* は、*ruletype* システム規則の評価をトリガーしたトランザクションの名前です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の情報を使用して、識別されたシステムの状態の変更に応答します。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *ruletype*
7. *rulename*
8. *policyname*
9. *bundleid*
10. *threshold*

宛先: CMPO

DFHMP3014 *date time applid* 指定されたしきい値 *threshold* を超えたため、タスク *trannum* (*tranid*) によって、プラットフォーム *platformname* にインストールされたバンドル *bundleid* のポリシー *polycynname* で定義された *ruletype* システム規則 *rulename* がトリガーされました。 (**Task *trannum* (*tranid*) has triggered a *ruletype* system rule *rulename* defined by policy *polycynname* in bundle *bundleid* installed on platform *platformname* because the specified threshold of *threshold* has been exceeded.**)

説明: トランザクション *tranid* は *ruletype* システム規則の評価をトリガーし、プラットフォーム *platformname* にインストールされたバンドル *bundleid* のポリシー *polycynname* で定義された規則 *rulename* で指定されたしきい値 *threshold* を超えたため、その規則が *true* に評価されました。このメッセージは、メッセージを出すようにシステム規則で要求されていて、過去 30 秒間にその規則が *true* に評価されなかった場合にのみ生成されます。過去 30 秒間にその規則が *true* に評価された場合、このメッセージは抑制されます。

メッセージに示されているトランザクション *tranid*

は、*ruletype* システム規則の評価をトリガーしたトランザクションの名前です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の情報を使用して、識別されたシステムの状態の変更に応答します。

モジュール: DFHMPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannum*
5. *tranid*
6. *ruletype*
7. *rulename*
8. *polycynname*
9. *bundleid*
10. *platformname*
11. *threshold*

宛先: CMPO

DFHMQnnnn メッセージ

DFHMQ0100 E *date time applid* **Cannot retrieve data from a START command.**
EIBFN=X'eibfn' **EIBRESP=eibresp**
EIBRESP2=eibresp2.

説明: CKTI が、CICS START コマンドからデータを取り出そうとしたが、失敗に終わった。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。これらのフィールドに含まれる値を使用して、問題を解決し、再試行する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0101 E *date time applid* 開始キューをオープンできません。MQCC=*mqcc*
MQRC=*mqrc*.

説明: CKTI が開始キューをオープンしようとしたが、(例えば、そのキューが定義されていなかったために) 試みが失敗に終わった。mqcc と mqrc は、問題の理由を示す。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: mqcc および mqrc について「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照し、CKQC を使用して CKTI を再始動する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

DFHMQ0102 E • DFHMQ0105 E

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0102 E *date time applid Cannot start the CICS transaction tran-id.*
EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp
EIBRESP2=eibresp2.

説明: 開始する CICS トランザクションを定義する開始キューから、トリガー・メッセージが取り出された。しかし、そのトランザクションを開始することができない (例えば、そのトランザクションが見つからない)。

システムの処置: トリガー・メッセージは送達不能キューに送られる。CKTI は次のメッセージを処理する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。問題の理由を判別し、トランザクションを再始動する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tran-id*
5. *X'eibfn'*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0103 E *date time applid CKTI has read a trigger message with an incorrect MQTM-StrucId of struc-id.*

説明: トリガー・メッセージが検索されたが、メッセージの構造体 ID が MQTM_STRUC_ID ではないので、DFHMQTSK のこのバージョンとの互換性がない。

システムの処置: トリガー・メッセージは送達不能キューに送られる。CKTI は次のメッセージを処理する。

ユーザーの処置: 送達不能キューにあるメッセージのヘッダーを調べる。これにより、トリガー・メッセージがどこから出されたかがわかる。トリガー・メッセージを作成したプロセスを訂正する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *struc-id*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0104 E *date time applid CKTI does not support version version-id.*

説明: トリガー・メッセージが取り出されたが、MQTM 内のバージョン ID がバージョン 1 ではないので、DFHMQTSK のこのバージョンと互換性がない。

システムの処置: トリガー・メッセージは送達不能キューに送られる。CKTI は次のメッセージを処理する。

ユーザーの処置: 送達不能キューにあるメッセージのヘッダーを調べる。これにより、トリガー・メッセージがどこから出されたかがわかる。トリガー・メッセージを作成したプロセスを訂正する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *version-id*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0105 E *date time applid CKTI cannot start a process type of process-type.*

説明: トリガー・メッセージが取り出されたが、MQTM 内のプロセス・タイプが CICS ではないので、DFHMQTSK のこのバージョンでは処理できない。

システムの処置: トリガー・メッセージは送達不能キューに送られる。CKTI は次のメッセージを処理する。

ユーザーの処置: 送達不能キューにあるメッセージのヘッダーを調べる。これにより、トリガー・メッセージがどこから出されたかがわかる。トリガー・メッセージを作成したプロセスを訂正する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *process-type*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0106D *date time applid MQGET failure.*
CKTI は終了します。 **MQCC=mqcc**
MQRC=mqrc。

説明: 開始キューに関する MQGET 呼び出しを発行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: *mqcc* および *mqrc* について「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照し、CKQC を使用して CKTI を再始動する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0107 I *date time applid A request to end*
CKTI has been received. CKTIは終了しました。

説明: CKTI を終了する要求が CICS-MQ アダプターから送信された。これは、CKTI の正常終了である。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0108D *date time applid Unexpected*
invocation. CKTIは終了しました。

説明: CKCN または CKSQ 以外から、CKTI を始動する試みがなされた。 This is not allowed.

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: CKCN または CKSQ のいずれから、CKTI を始動する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0109D *date time applid MQCLOSE failed.*
MQCC=mqcc MQRC=mqrc。

説明: キューのクローズが試みられたが、MQCLOSE 呼び出しが成功しなかった。このメッセージの後にメッセージ DFHMQ0110 が出され、そのキューの名前が示される。

システムの処置: トランザクションの終了時に、キューの暗黙クローズが行われる。

ユーザーの処置: 「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して *mqcc* および *mqrc* について調べ、問題の原因を判別する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0110 I *date time applid* キュー名 =
q-name. (date time applid Queue name =
q-name)

説明: このメッセージは、キューに関する操作 (例えば、MQOPEN) が失敗に終わった場合に、エラーのキューを示すために出される。付随するメッセージに、問題の原因が示される。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 前のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *q-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0111D *date time applid* **CKTI has read a trigger message with an incorrect length of length.**

説明: このメッセージは、トランザクション CKTI が、MQTM 制御ブロックに一致しないトリガー・メッセージを受け取った場合に出される。

システムの処置: トリガー・メッセージは送達不能キューに送られる。CKTI は次のメッセージを処理する。

ユーザーの処置: 送達不能キューにあるメッセージを調べ、なぜ MQTM と一致しなかったかを判別する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *length*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0112D *date time applid* **MQOPEN error.**
MQCC=mqcc MQRC=mqrc.

説明: MQOPEN 呼び出しで、キューをオープンできなかった。このメッセージの後にメッセージ DFHMQ0110 が出され、そのキューの名前が示される。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: 「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して *mqcc* および *mqrc* について調べ、問題の原因を判別する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0113 I *date time applid* **This message cannot be processed.**

説明: MQ API 呼び出しを使用したメッセージの処理に失敗したため、そのメッセージを送達不能キューに入れようとした。これも失敗に終わったため、message-id がシステム・コンソールに送られた。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージの前のコンソールに出力されたメッセージを見て、送達不能キューが使用できない理由を調べる (送達不能キューが定義されていなかった場合には、この問題に関連する他のメッセージは出されない)。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0114D *date time applid* **MQINQ failed.**
MQCC=mqcc MQRC=mqrc.

説明: MQINQ 呼び出しを使用して、キューの属性を照会しようとしたが、失敗した。このメッセージの後にメッセージ DFHMQ0110 が出され、そのキューの名前が示される。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: 「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して *mqcc* および *mqrc* について調べ、そのキューに対して MQINQ 呼び出しを行うことができなかった理由を判別する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0116D *date time applid Cannot open the queue manager. MQCC=mqcc MQRC=mqrc.*

説明: キュー・マネージャーに対する MQOPEN 呼び出しが失敗した。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: 「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して *mqcc* および *mqrc* について調べ、問題の原因を判別する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0117D *date time applid Cannot query the queue manager. MQCC=mqcc MQRC=mqrc.*

説明: キュー・マネージャーに対する MQINQ 呼び出しが失敗した。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: 「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して *mqcc* および *mqrc* について調べ、問題の原因を判別する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0118 I *date time applid MsgID=X'msg-id'.*

説明: このメッセージは、メッセージ DFHMQ0113 の後に出され、処理できなかったメッセージの 16 進数の ID を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 前の DFHMQ0113 メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'msg-id'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0119D *date time applid CICS detected an IRC failure. トランザクション tran-id を開始できません。*

説明: トリガー・メッセージが、開始する CICS トランザクションを定義した開始キューから取得された。トランザクションは、リモート CICS 領域で実行するように定義されている。このトランザクションに対する EXEC CICS START 要求は、ローカルおよびリモート CICS 領域間の IRC 接続に失敗したため異常終了する。

システムの処置: トリガー・メッセージが送達不能キューに送られ、CKTI は次のメッセージの処理を続行する。

ユーザーの処置: IRC 障害の理由を調べる。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tran-id*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0120D *date time applid MQPUT failed. MQCC=mqcc MQRC=mqrc.*

説明: MQPUT 呼び出しによってキューにメッセージを入れようとしたが、失敗した。このメッセージの後にメッセージ DFHMQ0110 が出され、そのキューの名前が示される。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: 「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して *mqcc* および *mqrc* について調べ、そのキューに対して MQPUT 呼び出しを行うことができなかった理由を判別する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqr*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0121D *date time applid* **No dead-letter queue defined for queue manager.**

説明: 送達不能キューが、キュー・マネージャーに定義されていない。

システムの処置: トリガー・メッセージは破棄され、プロセスを開始することはできない。

ユーザーの処置: 必要であれば、送達不能キューを定義する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0122D *date time applid* **Cannot close the queue manager. MQCC=mqcc MQRC=mqr.**

説明: 送達不能キューについて照会した後で、CKTI がキュー・マネージャーをクローズできない。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: 「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して *mqcc* および *mqr* について調べ、問題の原因を判別する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqr*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0123D *date time applid* **The dead-letter queue is not of type local.**

説明: 定義された送達不能キューのタイプがローカルではない。このメッセージの後にメッセージ

DFHMQ0110 が出され、そのキューの名前が示される。

システムの処置: このメッセージは、送達不能キューには入れられない。

ユーザーの処置: 送達不能キューをローカル・キューとして定義する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0124D *date time applid* **The dead-letter queue is not of usage normal.**

説明: 定義された送達不能キューが、通常使用タイプのものではない。このメッセージの後にメッセージ

DFHMQ0110I が出され、そのキューの名前が示される。

システムの処置: このメッセージは、送達不能キューには入れられない。

ユーザーの処置: 送達不能キューを通常使用タイプとして定義する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0125 E *date time applid* **Cannot retrieve data from a START command.**
EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp
EIBRESP2=eibresp2.

説明: CKTI は関連する MQMONITOR の開始を設定

しようとしたが、コマンドが失敗する。

システムの処置: CKTI は終了する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。これらのフィールドに含まれる値を使用して、問題を解決し、再試行する。

モジュール: DFHMQTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0209 E *date time applid Unable to INQUIRE on MQCONN. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.*

説明: MQCONN 定義を照会しようとしたが、失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。問題の理由を判別し、CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、接続処理を再試行する。

モジュール: DFHMQPUL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0210 E *date time applid Unable to INQUIRE on MQMON. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.*

説明: MQMON 定義を照会しようとしたが、失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。問題の理由を判別し、CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、接続処理を再試行する。

モジュール: DFHMQPUL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0211 E *date time applid Unable to LINK to program DFHMQPRM. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.*

説明: DFHMQPRM へのリンクの試みが失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。問題の理由を判別し、CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、接続処理を再試行する。

モジュール: DFHMQPUL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHMQ0218 W • DFHMQ0223 E

1. *X'eibfn'*
2. *eibresp*
3. *eibresp2*
4. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0218 W *date time applid* **Obsolete**
INITPARM for program DFHMQPRM
detected. DFHMQPRM INITPARMの値
はすべて無視されます。

説明: DFHMQQCEN が WebSphere MQ に接続しようとしたが、システム初期設定テーブル (SIT) (あるいは SIT 指定変更 INITPARM ステートメント) のプログラム DFHMQPRM で廃止された INITPARM を検出した。

システムの処置: 接続プロセスは続行される。

INITPARM 設定は無視され、値はインストールされた MQCONN 定義から代わりに取得される。

ユーザーの処置: SIT または SIT 指定変更値の INITPARM ステートメントから、DFHMQPRM キーワードとその値を除去する。

モジュール: DFHMQQCEN、DFHMQPUL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0220 E *date time applid* **Unable to LINK to**
program DFHMQCON. EIBFN=X'eibfn'
EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: DFHMQCON へのリンクの試みが失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、接続処理を再試行する。

モジュール: DFHMQQCEN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0221 E *date time applid* **Unable to**
INQUIRE SYSTEM CICSSTATUS.
EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp
EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: EXEC CICS INQUIRE SYSTEM CICSSTATUS を発行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS システム・プログラミング・リファレンス」を参照してください。CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、接続処理を再試行する。

モジュール: DFHMQQCEN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0223 E *date time applid* **Unable to LINK to**
program DFHMQQCEN. EIBFN=X'eibfn'
EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: DFHMQQCEN へのリンクの試みが失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、接続を実行する。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcoef'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0230 E *date time applid Unable to receive input. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcoef'.*

説明: CICS アダプターが、CKQC トランザクションからの入力を受信することができない。

システムの処置: 要求された機能は実行されません。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。DFHMQCTL

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcoef'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0232 E *date time applid Unable to RETURN TRANSID tran-id IMMEDIATE. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcoef'.*

説明: EXEC CICS RETURN TRANSID *tran-id* IMMEDIATE コマンドを実行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: この機能は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、コマンドを再発行してください。

モジュール: DFHMQRET

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tran-id*
5. *X'eibfn'*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *X'eibrcoef'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0235 E *date time applid Unrecognizable screen. CKQCを再実行依頼してください。*

説明: CICS は、現在表示されている画面の ID を判別できない。このため、画面の内容 (入力フィールドを含む) を解釈することができない。

システムの処置: CKQC を再実行し、CICS トランザクションを最初から再始動させる。この問題が頻繁に発生する場合は、IBM サポートに問い合わせる。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBAS、DFHMQPOP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0236 E *date time applid Display functions only supported using panel interface.*

説明: 表示機能が要求されました。この機能は CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクシ

DFHMQ0237 E • DFHMQ0241 E

ョン) からのみ使用できます。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: CICS-MQ アダプター制御パネルを使用して、表示機能にアクセスします。

モジュール: DFHMQCTL、DFHMQDIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0237 E *date time applid* Panel interface not supported on console.

説明: CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) は、コンソールではサポートされない。

システムの処置: パネル要求は無視される。

ユーザーの処置: 3270 装置を使用して、CICS-MQ アダプター制御パネルを表示する。

モジュール: DFHMQCTL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0239 E *date time applid* Unable to LINK to program DFHMQBAS. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: DFHMQBAS にリンクできないために、CKQC はパネルを表示できなかった。

システムの処置: CKQC は終了する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」マニュアルを参照し、操作を再試行する。

モジュール: DFHMQCTL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*

5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0240 I *date time applid* Task not associated with a terminal. Request rejected.

説明: 端末と関連付けられていないタスクから、要求が出されました。これは許可されません。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: 3270 装置またはコンソールと関連付けられているタスクから、要求を再発行します。

モジュール: DFHMQDIS, DFHMQDSC, DFHMQDSL, DFHMQQCN, DFHMQRS, DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0241 E *date time applid* Unable to receive input. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: システムが画面から入力を受け取ることができない。

システムの処置: 入力は無視され、トランザクションは終了する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。問題の理由を判別して、操作を再試行する。

モジュール: DFHMQDIS, DFHMQDSL, DFHMQQCN, DFHMQRS, DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0242D *date time applid* **Invalid input.** 接続はリジェクトされました。

説明: 無効なパラメーターを指定した接続要求が出されました。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用してこの機能を要求するか、「CICS-MQ アダプターの管理」で要求構文を調べて要求を再入力します。

モジュール: DFHMQQCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0243D *date time applid* **Unsupported terminal type.** コンソールまたは3270装置でなければなりません。

説明: コンソールまたは 3270 装置と関連付けられていないタスクから、要求が行われる。

システムの処置: 要求は無視される。

ユーザーの処置: 3270 装置またはコンソールと関連付けられているタスクから、要求を再発行する。

モジュール: DFHMQDIS, DFHMQDSC, DFHMQDSL, DFHMQQCN, DFHMQRS, DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0244 E *date time applid* **CICS** が静止しています。接続はリジェクトされました。

説明: WebSphere MQ への接続が試行されたが、CICS は終了中であるため、接続要求は拒否された。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQQCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0245 *date time applid terminal* **The CICS-MQ Adapter is already active. CICS is connected to queue manager**
qmgr-name **release** *vrrr* { | *group* }
qsg-name

説明: CICS-MQ アダプターは既にアクティブで、QMGR に接続されている。

システムの処置: 接続プロセスは続行されない。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQQCN, DFHMQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *qmgr-name*
6. *vrrr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= ,
2= グループ

8. *qsg-name*

宛先: CMQM および端末エンド・ユーザー

DFHMQ0300 I *date time applid* **Already connected to queue manager** *qmgr-name*. 接続はリジェクトされました。

説明: キュー・マネージャーへの接続が試行されたが、CICS は既に別のキュー・マネージャーに接続されているため、接続要求は拒否された。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: 新しいキュー・マネージャーに接続するには、現行の接続をシャットダウンしてから、接続要求を再発行する。

モジュール: DFHMQQCN

DFHMQ0301 I • DFHMQ0304 E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0301 I *date time applid API exit CSQCAPX*
found and will be used.

説明: CICS API 出口プログラム CSQCAPX が活動化されます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0302 E *date time applid Unable to*
EXTRACT EXIT DFHMQTRU.
EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp
EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: CICS-MQ TRUE DFHMQTRU コマンドについて EXEC CICS EXTRACT EXIT を発行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: この機能は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」マニュアルを参照し、適切な処置を取る (例えば、CKQC を使用して接続を再始動する)。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*

6. *eibresp2*

7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0303 E *date time applid tranid Module*
modname could not be found.

説明: CICS-MQ アダプターの初期設定時に、指定されたモジュールを探してロードしようとしたが、MVS BLDL を介して MVS にアクセス可能などのライブラリーにも見つかりません。

システムの処置: CICS-MQ 接続機能の初期化が完了しません。

ユーザーの処置: CICS JOBLIB/STEPLIB を検査し、必要な WebSphere MQ SCSQAUTH ライブラリーがそこに定義されていることを確認してください。あるいは、必要な WebSphere MQ ライブラリーが MVS リンク・リストにあることを確認してください。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *modname*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0304 E *date time applid Failed to ENABLE*
DFHMQTRU. EIBFN=X'eibfn'
EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: 接続処理中に EXEC CICS ENABLE DFHMQTRU コマンドを実行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcoef'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0305 E *date time applid Unable to INQUIRE MAXTASKS. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcoef'.*

説明: EXEC CICS INQUIRE MAXTASKS コマンドを実行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcoef'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0306 E *date time applid Unable to START transaction CKTI. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcoef'.*

説明: 接続処理中に、CICS-MQ アダプターは CKTI を始動できない。

システムの処置: キュー・マネージャーは接続されるが、CKTI は始動されない。

ユーザーの処置: CKQC トランザクションを発行して、問題の原因を訂正した後で、パネルを使用して CKTI を始動させる。

EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれて

いる。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcoef'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0307 I *date time applid Successful connection to queue manager qmgr-name release vrr { | group } qsg-name*

説明: キュー・マネージャー *qmgr-name* への接続が成功した。WebSphere MQ のリリースは *vrr*。これがグループ接続の場合、*qsg-name* が表示される。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr-name*
5. *vrr*
6. 以下のオプションから選択される値。
1= ,
2= グループ
7. *qsg-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0308 I *date time applid MQNAME id is stopped. Connect request deferred.*

説明: MQNAME *id* に接続しようとしたが、失敗しました。*id* がキュー・マネージャーの名前の場合、キュー・マネージャーはアクティブではありません。

DFHMQ0309 E • DFHMQ0311 E

RESYNCMEMBER(GROUPRESYNC) が指定されている場合、*id* はキュー共用グループの名前です。キュー共用グループ内のすべてのキュー・マネージャーが非アクティブです。

システムの処置: キュー・マネージャーがアクティブになったとき、またはキュー共用グループのキュー・マネージャーがアクティブになったときに、CICS は自動的に接続します。

ユーザーの処置: 正しい名前を入力したことを確認してください。キュー・マネージャーを開始して自動的に接続されるようにするか、キュー・マネージャーを切断して別のアクティブなキュー・マネージャーに再接続することができます。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *id*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0309 E *date time applid* **Unable to connect using MQNAME *id*. MQCC=*mqcc* MQRC=*mqrc*.**

説明: MQNAME *id* を使用して WebSphere MQ に接続しようとしたが、失敗した。*id* はこのシステムに定義されているキュー・マネージャーの名前またはキュー共用グループの名前でなければならない。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: *mqcc* と *mqrc* について「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して、適切な処置を行います。理由コード

2298、MQRC_FUNCTION_NOT_SUPPORTED の場合、MQCONN リソース定義の RESYNCMEMBER 属性が GROUPRESYNC を指定しているが、WebSphere MQ キュー・マネージャーが GROUP UR 機能をサポートしていないことが原因である可能性がある。

モジュール: DFHMQCON、DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *id*
5. *mqcc*

978 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0310 I *date time applid* **Duplicate connect to queue manager *qmgr-name*. 接続はリジェクトされました。**

説明: キュー・マネージャーへの接続が試行されたが、このキュー・マネージャーはすでに接続されているため、試みが失敗する。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQQCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0311 E *date time applid* **Unable to start alert monitor CKAM. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=*eibresp* EIBRESP2=*eibresp2* EIBRCODE=X'eibrcode'.**

説明: 接続処理中に、CICS-MQ アダプターがアラート・モニター CKAM を始動できない。

システムの処置: キュー・マネージャーは接続されるが、CKAM が開始されていないため、CICS-MQ アダプターの機能は制限される。

ユーザーの処置: アラート・モニターがないと、CICS-MQ アダプターは、次の機能を実行することができない。

- 据え置き状態の接続を処理できない
- キュー・マネージャー障害に対応できない
- 待機を必要とする場合に、ウォーム・シャットダウンまたは即時シャットダウンを実行できない (すなわち、最後のタスクがシャットダウンを実行する)

CKQC を使用して、CICS アダプターの強制シャットダウンを使用した接続の終了を行うことが推奨される。

EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0312 E *date time applid* **Unable to GETMAIN DFHMQLOC storage.**
EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp
EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: CICS-MQ アダプターが、DFHMQLOC 制御ブロックのストレージを入手できない。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。これはおそらく CICS のストレージ不足による問題である。ご使用のシステムに用意されている手順を使用して、問題を解決する。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0313 I *date time applid* ***UOWID=conn-name.X'uow-id' is in doubt.**

説明: このメッセージは、接続時に出される。示された作業単位が未確定である。作業単位 ID の前のアスタリスクは、その作業単位が自動的に解決されないことを示す。

システムの処置: 作業単位は、リモート・キューイングが開始されると、分散キューイング・コンポーネントによって解決される。

ユーザーの処置: 未確定の CICS 作業単位に関連した WebSphere MQ リカバリー単位を解決する方法については、「IBM MQ for z/OS の管理」を参照。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *conn-name*
5. *X'uow-id'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0314 I *date time applid* **UOWIDs highlighted with * will not be automatically resolved.**

説明: このメッセージは、未解決の未確定作業単位がある場合に表示される。メッセージ DFHMQ0313I を参照。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0315 E *date time applid* **Unable to LOAD API exit CSQCAPX. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.**

説明: CICS-MQ アダプターが、API 切り替え出口プログラム CSQCAPX を使用することができない。これ

DFHMQ0316 I • DFHMQ0319 E

は、API 切り替え出口を使用しない場合には正常な状態であり、プログラム CSQCAPX が使用不能になる。

システムの処置: API 切り替え出口は使用されない。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。API 切り替え出口を使用しようとしている場合には、これらのフィールドに入っているデータを使用して問題を解決する。

モジュール: DFHMQCON、DFHMQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0316 I *date time applid* **More messages.**
Check console for full display.

説明: このメッセージは、画面に入りきらないほど多くのメッセージが出された場合に表示される。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: コンソールを調べ、後続のメッセージを見る。

モジュール: DFHMQDIS, DFHMQDSC, DFHMQDSL, DFHMQQCN, DFHMQRS, DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0317 *date time applid* **CICS-MQ command is invalid. MQCONN**はインストールされていません。

説明: CICS-MQ の開始、停止、表示、またはリセットが発行されましたが、MQCONN 定義がインストールされていません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 必要な MQCONN をインストールしてから、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0318 I *date time applid* **UOWID=conn-name.X'uow-id' created by Transid transid Taskid taskid is in doubt.**

説明: このメッセージは、接続時に出される。示された作業単位が未確定である。

システムの処置: 作業単位は、CICS との再同期によって解決される。

ユーザーの処置: 未確定の CICS 作業単位に関連した WebSphere MQ リカバリー単位を解決する方法については、「IBM MQ for z/OS の管理」を参照。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *conn-name*
5. *X'uow-id'*
6. *transid*
7. *taskid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0319 E *date time applid* **Unable to INQUIRE SYSTEM RELEASE.**
EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp
EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: EXEC CICS INQUIRE SYSTEM RELEASE コマンドを実行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照

し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0320I *date time applid* **The CICS-MQ Adapter cannot find MQNAME id.**

説明: CICS-MQ アダプターは MQNAME *id* が見つからなかったため接続に失敗した。*id* が、このシステムに定義されているキュー・マネージャーの名前またはキュー共用グループの名前でない。

システムの処置: CICS-MQ 接続機能が非アクティブ。

ユーザーの処置: MQCONN 定義の MQNAME パラメーターを変更して、有効なキュー・マネージャー名またはキュー共用グループの名前を指定する。なし。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *id*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0321 I *date time applid* **There is no active connection. Stop connection rejected.**

説明: 接続のシャットダウンが試みられたが、アクティブな接続がなかった。これは、次のいずれかが原因である。

- 接続が行われていなかった。
- 接続がすでに終了されている。

接続が行われている最中 (すなわち、保留状態) である。

システムの処置: 要求は無視され、制御は CICS に戻される。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0322D *date time applid* **Invalid input. Stop connection rejected.**

説明: CICS-MQ アダプターのシャットダウンが要求されたが、シャットダウン要求の構文が無効であるため、拒否される。

システムの処置: 要求は無視される。

ユーザーの処置: 要求を再発行する。正しい構文の詳細については、「CICS-MQ アダプターの管理」を参照。

モジュール: DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0323 I *date time applid command* **received from TERMID=termid TRANID=tranid USERID=userid.**

説明: 接続または切断を要求するコマンドを、端末 *termid* から受け取った。開始トランザクションは *tranid* (これはおそらく CKAM) である。 *userid* は、この端末を使用して操作を開始したオペレーターのユーザー ID である。このメッセージは、監査証跡の目的でコンソールにも出力される。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQQCN, DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

DFHMQ0324 I • DFHMQ0331 I

2. *time*
3. *applid*
4. *command*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *userid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0324 I *date time applid All queue managers in queue sharing group qsg-name are inactive.*

説明: グループ内のすべてのキュー・マネージャーが非アクティブであるため、キュー共用グループ *qsg-name* のキュー・マネージャーに対する CICS-MQ グループの接続要求が失敗した。

システムの処置: CICS-MQ アダプターは、各キュー・マネージャーへの接続を順に試行し、このシステム上でグループ内のキュー・マネージャーがアクティブになると、接続が実行される。

ユーザーの処置: MQCONN 定義または CKQC コマンドの MQNAME パラメーターに正しいグループ名を入力したことを確認する。キュー・マネージャーを開始すると、接続が自動的に実行される。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qsg-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0325 I *date time applid Call to CICS SVC for CICS-MQ function failed.*

説明: CICS-MQ アダプターは、CICS-MQ グループ接続処理中に CICS SVC への呼び出しを発行した。CICS SVC への呼び出しが失敗した。

システムの処置: CICS-MQ 接続が失敗する。CICS-MQ アダプターは例外トレースを出し、システム・ダンプを取る。

ユーザーの処置: 正しいレベルの CICS SVC DFHCSVC が使用中であることを確認する。SVC を変更するには、MVS IPL でそれをアクティブにする必要がある。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0326 E *date time applid Connection status {Connecting | Pending | Connected | Quiescing | Stopping-Force | Disconnected | Inactive | Unknown} is not valid for command Command rejected.*

説明: CICS-MQ アダプターをシャットダウンする要求が出されたが、STOP FORCE シャットダウンが既に要求されていたため拒否される。

システムの処置: 要求は無視される。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= 接続中,
2= 保留,
3= 接続済み,
4= 静止中,
5= 強制停止中,
6= 切断済み,
7= 非アクティブ,
8= 不明

5. *command*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0331 I *date time applid Adapter shutdown completed. Unable to disconnect from queue manager qmgr-name release vrrr { | group } qsg-name*

説明: CICS-MQ アダプターがシャットダウンされます。ただし、*qmgr-name* から切断できません (例えば、キュー・マネージャーが既にシャットダウンしているため)。WebSphere MQ のリリースは *vrrr* です。接続に

グループ接続が使用されていた場合、*qsg-name* が表示されます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS-MQ アダプターを WebSphere MQ から切断できなかった理由を説明する他のメッセージを探してください。

モジュール: DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr-name*
5. *vrrr*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= ,
2= グループ

7. *qsg-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0332 I *date time applid* キュー・マネージャー *qmgr-name* はすでに停止しています。
MQCC=mqcc MQRC=mqrc。

説明: CICS-MQ アダプターのシャットダウンが要求されたが、キュー・マネージャーは既にシャットダウンされている。例えば、オペレーターは、キュー・マネージャーと CICS-MQ アダプターを同時に終了する。キュー・マネージャーが最初に停止すると、CICS アダプターからの切断要求を受け取ることができなくなる。

システムの処置: アダプターの終了処理が続行される。

ユーザーの処置: キュー・マネージャーがすでにシャットダウンされている場合は、このメッセージは無視してよい。*mqcc* と *mqrc* について「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して、適切な処置を行います。

モジュール: DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr-name*
5. *mqcc*
6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0333 E *date time applid* **Unable to disconnect from queue manager**
qmgr-name . MQCC=mqcc
MQRC=mqrc。

説明: キュー・マネージャー *qmgr-name* からの切断が要求されたが、失敗に終わった。

システムの処置: アダプターの終了処理が続行される。

ユーザーの処置: キュー・マネージャーがすでにシャットダウンされている場合は、このメッセージは無視してよい。*mqcc* と *mqrc* について「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して、適切な処置を行います。

モジュール: DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr-name*
5. *mqcc*
6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0334 I *date time applid* **Successful disconnection from queue manager**
qmgr-name release vrrr { | group }
qsg-name

説明: キュー・マネージャー *qmgr-name* からの切断が正常に完了しました。WebSphere MQ のリリースは *vrrr* です。接続にグループ接続が使用されていた場合、*qsg-name* が表示されます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr-name*
5. *vrrr*
6. 以下のオプションから選択される値。

DFHMQ0336 I • DFHMQ0343 E

1= ,
2= グループ

7. *qsg-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0336 I *date time applid command* **received from a PLT program.**

説明: PLT プログラムから *command* 要求を受け取りました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQQCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *command*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0337 I *date time applid command* **received from DFHMQCOD.**

説明: MQCONN システム初期設定パラメーターが値 YES で指定されていたため、*command* 要求を DFHMQCOD (CICS-WebSphere MQ アダプター・プログラム) から受け取りました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQQCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *command*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0341 I *date time applid shutdown-type* **requested by alert monitor CKAM.**

説明: CICS-MQ アダプターをシャットダウンする要求がアラート・モニター CKAM によって出されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

984 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

モジュール: DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *shutdown-type*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0342 I *date time applid request* **received from alert monitor.**

説明: アラート・モニター (CKAM) から、要求 *request* を受け取りました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQQCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *request*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0343 E *date time applid* **MQOPEN failed. MQCC=mqcc MQRC=mqrc.**

説明: キュー・マネージャー・オブジェクトに対する MQOPEN 呼び出しが失敗しました。CICS-MQ アダプターは、WebSphere MQ のリリースを判別するためにキュー・マネージャー・オブジェクトをオープンします。

システムの処置: 接続は WebSphere MQ リリースを判別せずに続行されます。

ユーザーの処置: *mqcc* と *mqrc* について「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して、適切な処置を行います。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0344 E *date time applid MQINQ failed.*
MQCC=mqcc MQRC=mqrc.

説明: キュー・マネージャー・オブジェクトに対する MQINQ 呼び出しが失敗しました。CICS-MQ アダプターは、WebSphere MQ のリリースを判別するために照会を発行します。

システムの処置: 接続は WebSphere MQ リリースを判別せずに続行されます。

ユーザーの処置: *mqcc* と *mqrc* について「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して、適切な処置を行います。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0345 E *date time applid MQCLOSE failed.*
MQCC=mqcc MQRC=mqrc.

説明: キュー・マネージャー・オブジェクトに対する MQCLOSE 呼び出しが失敗しました。CICS-MQ アダプターは、WebSphere MQ のリリースを判別するための照会に続いて、キュー・マネージャー・オブジェクトをクローズします。

システムの処置: 接続は続行されます。

ユーザーの処置: *mqcc* と *mqrc* について「IBM MQ メッセージ」マニュアルを参照して、適切な処置を行います。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0350 I *date time applid Unable to LOAD*
API exit CSQCAPX. プログラムが見つかりません。

説明: API 切り替え出口プログラム CSQCAPX が見つからないため、CICS-MQ アダプターはその出口プログラムを使用できない。これは、API 切り替え出口を使用しない場合には正常な状態である。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQCON、DFHMQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0351 I *date time applid Unable to LOAD*
API exit CSQCAPX. プログラムが使用不可になっています。

説明: キュー・マネージャー *ssnm* への接続が成功した。API 切り替え出口プログラム CSQCAPX が使用不可にされているため、CICS-MQ アダプターはその出口プログラムを使用できない。API 切り替え出口を使用しないため、プログラム CSQCAPX を使用不可にした場合、これは正常な状態です。

システムの処置: API 切り替え出口は使用されない。

ユーザーの処置: API 切り替え出口を使用する場合、以下を行う。

- CSQCAPX が DFHRPL 連結内にあるようにする
- CICS コマンドの CEMT SET PROGRAM (CSQCAPX) NEWCOPY ENABLE を実行する
- CKQC トランザクションの「Modify Connection (接続の変更)」オプションを使用して、出口を活動化する

モジュール: DFHMQCON、DFHMQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0360D *date time applid* **Unable to RETRIEVE RTRANSID.** モニターは終了しました。 **EIBFN=X'eibfn'**
EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: EXEC CICS RETRIEVE RTRANSID を発行しようとしたが、失敗に終わった (例えば、許可されていないユーザーがアラート・モニターを開始しようとしたため)。

システムの処置: 処理が継続される (すでに実行されているアラート・モニターがあれば、それも含まれる)。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0361D *date time applid* **Unexpected invocation.** モニターは終了しました。

説明: 認識されていないトランザクションが、アラート・モニターを開始しようとした。

システムの処置: 要求は無視される。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0362D *date time applid* **Unable to EXTRACT EXIT DFHMQTRU.** モニターは終了しました。 **EIBFN=X'eibfn'**
EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: CICS-MQ TRUE DFHMQTRU について EXEC CICS EXTRACT EXIT コマンドを実行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: アラート・モニターは終了する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」マニュアルを参照し、適切な処置を取る (例えば、CKQC を使用して CICS-MQ アダプターを再始動する)。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0363D *date time applid* **Unable to perform WAIT EXTERNAL.** モニターは終了しました。 **EIBFN=X'eibfn'** **EIBRESP=eibresp**
EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: EXEC CICS WAIT EXTERNAL を実行する試みが失敗に終わった。

システムの処置: アラート・モニターは終了する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*

5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0364 I *date time applid* **Monitor terminated normally.**

説明: 活動状態の接続または据え置き状態の接続が残っていないため、アラート・モニターが終了した。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0365 E *date time applid* **Unable to LINK to program DFHMQQCN. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.**

説明: アラート・モニターが、据え置き状態の接続が活動化されたことを検出したが、DFHMQQCN にリンクすることができない。

システムの処置: 接続処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、接続を実行する。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0366 E *date time applid* プログラム **DFHMQDSC** に **LINK** できません。
EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp
EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: アラート・モニターが、CICS-MQ アダプターが終了できる状況にあることを検出したが、DFHMQDSC にリンクすることができない。

システムの処置: 切断処理が続行し、制御は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、WebSphere MQ から切断する。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0368 E *date time applid* **Invalid PEB type X'type' at location X'location'. PEBは無視されました。**

説明: 保留中のイベントは、アラート・モニターが予想したタイプのものではない。

システムの処置: 保留中のイベントは破棄される。

ユーザーの処置: この問題が頻繁に起こる場合には、次の診断情報を集め、IBM サポートに問い合わせる。

- メッセージで戻された値のメモ
- 収集したトレース情報

モジュール: DFHMQMON

DFHMQ0369 E • DFHMQ0380 E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'type'*
5. *X'location'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0369 E *date time applid* **More than 99
notify messages outstanding. This
message is postponed temporarily.**

説明: 99 を超える保留中のイベントがある (例えば、99 を超える実行されていないシステムに接続しようとする)。

システムの処置: 他の 99 のイベントの 1 つが満了するまで、このイベントは処理されない。

ユーザーの処置: システムのクリーンアップを行いたい場合は、CICS をシャットダウンして再始動する。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0370 I *date time applid* **MQMONITOR** は
現在、*type* が原因で、1秒あたり *type*
MQGETに制限されています。

説明: CICS アドレス・スペースのための現行の z/OS WLM サーバー・ヘルス・インディケーターが 100% でないか、CICS が最大タスク (MXT) になっているため、MQMONITOR タスクが発行できる 1 秒当たりの MQGET の数は、現在制限されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *type*

988 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0371 I *date time applid* **MQMONITOR** に
は、*type* が原因となる 1 秒あたりの発行
可能 **MQGET** 数の制限がなくなりました。

説明: CICS アドレス・スペースのための現行の z/OS WLM サーバー・ヘルス・インディケーターが 100% でないか、CICS が最大タスク (MXT) になっていることが原因となる、MQMONITOR タスクが 1 秒当たりに発行できる MQGET 数の制限が、MQMONITOR においてなくなりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQMON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0380 E *date time applid* **No active
connection. {STARTCKTI | STOPCKTI
| RESET | DISPLAY}** はリジェクトされ
ました。

説明: CICS と WebSphere MQ の間にアクティブな接続がないため、CKTI を開始または停止する試み、あるいは DISPLAY/RESET 機能を使用する試みが失敗しました。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: 接続を確立し、要求を再発行します。

モジュール: DFHMQDIS, DFHMQDSL, DFHMQRS,
DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=STARTCKTI,
2=STOPCKTI,
3=RESET,

4=DISPLAY

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0381D *date time applid* **No initiation queue name specified at connect time.**
 {STARTCKTI | STOPCKTI} は拒否されます。

説明: デフォルトのキュー名を使用して、CKTI を開始または停止しようとしたが、デフォルトのキュー名が見つからなかった。これは、現行の接続に関連付けられている開始キュー名がないためである。

システムの処置: 要求は無視される。

ユーザーの処置: キュー名を明示的に指定する。デフォルトのキュー名が必要であれば、接続処理を実行するときにデフォルトのキュー名を指定しておく。

モジュール: DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=STARTCKTI,
2=STOPCKTI

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0382D *date time applid* **CKTI with the same initiation queue name is being started.** {STARTCKTI | STOPCKTI} は拒否されます。

説明: 開始されている別の CKTI が使用する開始キューの名前を指定して、CKTI を開始しようとした。

システムの処置: 要求は無視される。

ユーザーの処置: コンソールを調べて詳細な情報を示す DFHMQ0100 から DFHMQ0109 までの範囲のメッセージがないか確認するか、または CICS オペレーター・コマンド (CEMT INQ TASK など) を使用して、以前に開始された CKTI が実行されていない理由を判別する。以前の CKTI が終了していることが示された場合、同じ開始キュー名を指定して STOP CKTI を発行する。これにより保留中の開始が解決され、同じ開始キュー名についての START CKTI の再発行が可能になる。

モジュール: DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=STARTCKTI,
2=STOPCKTI

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0383D *date time applid* **Another CKTI with the same initiation queue name is still running.** {STARTCKTI | STOPCKTI} は拒否されます。

説明: まだ実行中の CKTI によってすでに使用されている開始キューの名前を指定して、CKTI を開始しようとした。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: 必要であれば、CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して、既存の CKTI を停止させて再始動します。

モジュール: DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=STARTCKTI,
2=STOPCKTI

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0384D *date time applid* **Another CKTI with the same initiation queue name is being stopped.** {STARTCKTI | STOPCKTI} は拒否されます。

説明: 次のいずれかです。

- 現在停止中のキュー名と同じ開始キュー名を指定して、CKTI を開始しようとした。
-

すでに停止処理中の開始キューを停止しようとした。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: 必要に応じて、その開始キューが停止されるまで待ち、開始コマンドを再発行します。

モジュール: DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=STARTCKTI,
2=STOPCKTI

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0385D *date time applid CKTI not found.*
{STARTCKTI | STOPCKTI} は拒否されます。

説明: 指定されたキュー名が見つからなかったため、CKTI を停止する試みが失敗に終わった。この理由は、次のいずれかである。

- 開始キューの名前が正しく指定されていない。
- CKTI がすでに停止している。

システムの処置: 要求は無視される。

ユーザーの処置: 開始キューの名前を確認し、必要であれば要求を再発行する。

モジュール: DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=STARTCKTI,
2=STOPCKTI

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0386 I *date time applid {STARTCKTI | STOPCKTI | RESET} initiated from*
TERMID=termid TRANID=tranid
USERID=userid and is accepted.

説明: CICS-MQ アダプターが *command* 要求を処理した。ただし、CICS タスクはまだ処理を完了していない可能性がある (例えば、CKTI は、停止する前に特定のイベントの発生を待機する場合がある)。*command* に指定できるのは、STARTCKTI、STOPCKTI、または RESET である。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQRS, DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=STARTCKTI,
2=STOPCKTI,
3=RESET

5. *termid*
6. *tranid*
7. *userid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0389 I *date time applid Invalid input.*
CKTIの開始/停止はリジェクトされました。

説明: 入力された CICS アダプター要求の構文が正しくない。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: 正しい構文の詳細についてCICS-MQ アダプターの管理を参照するか、CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して機能を要求してください。

モジュール: DFHMQSSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0390 E *date time applid MQMONITOR*
mqmonitor に関連付けられたトランザクション *transid* を **START** できません。
(Unable to START transaction transid associated with MQMONITOR mqmonitor.)EIBFN=X'eibfn'
EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'

説明: 接続プロセス中に、CICS-MQ アダプターが指定された MQMONITOR に関連付けられたトランザクションを開始できない。

システムの処置: キュー・マネージャーは接続されるが、MQMONITOR は始動されない。

ユーザーの処置: 問題の原因を修正したら、CEMT SET MQMONITOR トランザクションまたは EXEC CICS START コマンドを使用して MQMONITOR の再始動を試行します。

EIB フィールドには、発行されているコマンドおよび問題の原因に関する情報が含まれています。これらの値の説明については、CICS Knowledge Center を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQCON、DFHQMCMNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *mqmonitor*
6. *X'eibfn'*
7. *eibresp*
8. *eibresp2*
9. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0391 I *date time applid mqmonitor*
mqmonitor、トランザクション *transid* に対する開始が要求されました。**(Start requested for mqmonitor mqmonitor, transaction transid.)**

説明: このメッセージは、指定された mqmonitor を開始する要求が正常に処理された場合に発行される。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHQMCMNS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqmonitor*
5. *transid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0392 I *date time applid mqmonitor*
mqmonitor、トランザクション *transid* に対する停止が要求されました。**(Stop requested for mqmonitor mqmonitor, transaction transid.)**

説明: このメッセージは、指定された mqmonitor を停止する要求が正常に処理された場合に発行される。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqmonitor*
5. *transid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0400 I *date time applid UOWID=conn-name.X'uow-id'*

説明: このメッセージは、次のいずれかのメッセージとともに表示され、接続名と作業単位 ID を示す。

- DFHMQ0402
- DFHMQ0403
- DFHMQ0404
- DFHMQ0405
-

DFHMQ0402 I • DFHMQ0405 E

DFHMQ0406

•

DFHMQ0407

接続名は、WebSphere MQ コマンド (例えば RESOLVE INDOUBT) を用いるときに使用できる。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *conn-name*
5. *X'uwow-id'*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0402 I *date time applid* **Resolved with COMMIT.**

説明: 付随する DFHMQ0400 メッセージで示された作業単位がコミットされたことを、同期点コーディネーターが WebSphere MQ に通知した。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0403 I *date time applid* **Resolved with BACKOUT.**

説明: 付随する DFHMQ0400 メッセージで示された作業単位がバックアウトされたことを、同期点コーディネーターが WebSphere MQ に通知した。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0404 E *date time applid* **Resolve failed.**
MQCC=mqcc MQRC=mqrc.

説明: 同期点コーディネーターが、付随する DFHMQ0400 メッセージで示された作業単位をコミットまたはバックアウトするように要求した。しかし、WebSphere MQ がこの要求を実行できない。*mqrc* は問題の理由を示す。

システムの処置: 作業単位は未確定のままである。

ユーザーの処置: 作業単位を解決したい場合は、次の処置をとる。

•

問題の原因を診断して修正し (*mqcc* および *mqrc* については IBM MQ メッセージを参照)、CICS-MQ アダプター制御パネル (CKQC トランザクション) を使用して WebSphere MQ に再接続する。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0405 E *date time applid* **Execute resolve failed. MQCC=mqcc MQRC=mqrc.**

説明: 同期点コーディネーターが、作業単位の解決を実行するように要求した。しかし、WebSphere MQ がこの要求を実行できなかった。

システムの処置: 作業単位は未確定のままである。

ユーザーの処置: IBM MQ メッセージを参照して *mqcc* および *mqrc* について調べ、問題の原因を判別する。CICS 作業単位に関連した WebSphere MQ リカバリ単位を解決する方法については、CICS-MQ アダプターの管理を参照。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *mqcc*

5. *mqrc*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0406 E *date time applid* 解決できません。同期点処理が失われました。

説明: 同期点コーディネーターが初期始動の対象となり、作業単位に関する情報が失われた (同期点状況 UERTDGCS)。コーディネーターは、メッセージ DFHMQ0400 により示される作業単位をコミットするのかバックアウトするのかを CICS-MQ アダプターに通知することができない。UERTDGCS の詳細については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照。

システムの処置: 作業単位は未確定のままである。

ユーザーの処置: 未確定の作業単位の解決方法を判別する。CICS 作業単位に関連した WebSphere MQ リカバリー単位を解決する方法については、CICS-MQ アダプターの管理を参照。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0407 E *date time applid* 解決できません。同期点処理が不明です。

説明: 同期点コーディネーターが、付随する DFHMQ0400 メッセージで示された作業単位の解決方法を決定できなかった。(同期点状況 UERTDGNK) コーディネーターは、作業単位をコミットするのかバックアウトするのかを CICS-MQ アダプターに通知することができない。UERTDGNK の詳細については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照。

システムの処置: 作業単位は未確定のままである。

ユーザーの処置: 未確定の作業単位の解決方法を判別する。CICS 作業単位に関連した WebSphere MQ リカバリー単位を解決する方法については、CICS-MQ アダプターの管理を参照。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0408 I *date time applid* Only partial resynchronization achieved. Check previous messages.

説明: 全体的な再同期が行われず、一部の作業単位が未確定のままである。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 解決されなかった作業単位を示す、このメッセージの前に受け取ったメッセージを処理します。未確定の作業単位がなくなると、メッセージ DFHMQ0409 が発行されます。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0409 I *date time applid* Resynchronization completed successfully.

説明: 再同期が正常に完了した。すべての作業単位が解決された。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0410 I *date time applid* CICS immediate shutdown detected. Adapter terminated.

説明: CICS が、即時シャットダウン中であることを、CICS-MQ アダプターに通知した。

システムの処置: CICS-MQ アダプターは、即時シャットダウンを開始する。WebSphere MQ を使用している未完了のタスクは、CICS が接続を切断した時点で、バックアウトされる。

ユーザーの処置: CICS-MQ アダプターのシャットダウンについて詳しくは、CICS-MQ アダプターの管理を参照する。

モジュール: DFHMQTRU

DFHMQ0411 I • DFHMQ0416 I

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0411 I *date time applid CICS warm shutdown detected. Adapter is quiescing.*

説明: CICS が、ウォーム・シャットダウンを開始したことを CICS-MQ アダプターに通知した。

システムの処置: CICS-MQ アダプターが静止シャットダウンを開始する。

ユーザーの処置: CICS-MQ アダプターのシャットダウンについて詳しくは、CICS-MQ アダプターの管理を参照する。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0412 I *date time applid CICS abend detected. Adapter terminated.*

説明: CICS-MQ アダプターが CICS 異常終了を検出した。

システムの処置: CICS-MQ アダプターが終了する。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0414 I *date time applid Abending task ID task-id Abend Code abend-code.*

説明: 参照タスクがオペレーターによって強制的にパージされ、示されている異常終了コードで異常終了する。

システムの処置: 未解決のタスクは完了し、それがコミット必須状態にないので、CICS-MQ アダプターは、タスクを異常終了させる。CICS の異常終了コードについ

て詳しくは、診断リファレンスを参照。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *task-id*
5. *abend-code*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0415 I *date time applid Task ID task-id will continue. Force purge ignored.*

説明: 参照タスクがオペレーターによって強制的にパージされる。

システムの処置: 未解決のタスクは完了したが、それがコミット必須状態 (例えば、同期点) にあるために、CICS-MQ アダプターはタスクを終了させない。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *task-id*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0416 I *date time applid Address X'address' is out of range. Area of length length is not traced.*

説明: アプリケーションから渡されたアドレス *address* が、以下のいずれかの理由で範囲外になっている。

- アドレスにトレースすべき区域の長さを加えた値が、2GB のアドレッシング限界を超えている。
- そのアドレスが、z/OS によって CICS 領域の専用ストレージと見なされるストレージ内にない。

このため、CICS トレース機能は、その区域をトレースできない。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: そのアドレスにエラーがある場合に

は、アプリケーションを訂正する。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *length*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0418 E *date time applid* **Unable to LOAD program CSQAVICM. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.**

説明: CSQAVICM をロードしようとしたが、失敗した。

システムの処置: 処理は終了し、制御権は CICS に戻される。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0420 E *date time applid* **Unable to send map map-id mapset DFHMQ1x. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.**

説明: プログラムが、マップ・セット DFHMQ1x のマップ *map-id* を画面に送信できない。

システムの処置: タスクは終了します。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照

し、適切に処置してください。

モジュール:

DFHMQBAS,DFHMQPOP,DFHMQPUL,DFHMQRET

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *map-id*
5. *X'eibfn'*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0421 I *applid* タブ・カーソルが有効なオブジェクト上にありませんでした。

説明: ENTER キーが押されたときのカーソルの位置が誤っている。

システムの処置: 入力を見捨てます。

ユーザーの処置: タブ・キーを使用して、カーソルを有効な位置に移動します。

モジュール: DFHMQBAS

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0422 E *date time applid* **Unable to RETURN TRANSID CKBM. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.**

説明: EXEC CICS RETURN TRANSID CKBM コマンドを発行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: トランザクションは終了し、制御は CICSに戻る。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQBAS, DFHMQPOP, DFHMQPUL, DFHMQRET

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHMQ0423 E • DFHMQ0431 E

4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0423 E *date time applid* **Unable to XCTL to program *pgm-name*. EIBFN=*X'eibfn'* EIBRESP=*eibresp* EIBRESP2=*eibresp2* EIBRCODE=*X'eibrcode'*.**

説明: プログラム *pgm-name* へ制御権を移動しようとしたが、失敗した。

システムの処置: トランザクションは終了し、制御は CICSに戻る。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQBAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pgm-name*
5. *X'eibfn'*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0424 I *applid* 無効なキーが入力されました。

説明: EXEC CICS RETURN TRANSID CKBM コマンドを発行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: そのキーは無視される。

ユーザーの処置: パネルの下部に示されているファンクション・キーの 1 つを使用する。

モジュール: DFHMQBAS, DFHMQPOP, DFHMQPUL, DFHMQRET

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0425 E *applid* この関数にはパラメーター・ウィンドウはありません。

説明: パラメーター・ウィンドウの表示が試行されている。選択された機能にはパラメーターがないので、パラメーター・ウィンドウは表示されない。

システムの処置: The request is ignored.

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQRET

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0430 E *date time applid* **Unknown map name *map-id*. EIBFN=*X'eibfn'* EIBRESP=*eibresp* EIBRESP2=*eibresp2* EIBRCODE=*X'eibrcode'*.**

説明: CICS が、指定されたマップを見つけることができない (例えば、そのマップがインストール手順で定義されていないため)。*map-name* は、問題のマップの名前である。

システムの処置: トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQPUL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *map-id*
5. *X'eibfn'*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0431 E *applid* アクション番号が無効です。再入力してください。

説明: 指定されたアクション番号が、使用可能な範囲内の番号でない。

システムの処置: The request is ignored.

ユーザーの処置: 表示されている範囲内のアクション番号を指定する。

モジュール: DFHMQPUL

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0432 E *applid* タスク番号が無効です。再入力してください。

説明: 指定されたタスク番号が、要求された範囲内でない。

システムの処置: The request is ignored.

ユーザーの処置: 表示されている範囲内のタスク番号を指定する。

モジュール: DFHMQPUL

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0433 E *date time applid* **Invalid option.**
1、2、または3でなければなりません。

説明: 入力された値が 1、2、または 3 でなかった。

システムの処置: その値は拒否される。

ユーザーの処置: ポップアップ画面で、1、2、または 3 の値を入力する。

モジュール: DFHMQPOP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0434 E *date time applid* **Queue manager name missing.** 入力してください。

説明: 接続パラメーター・パネルでキュー・マネージャー名が指定されていない。

システムの処置: 接続要求が拒否されます。

ユーザーの処置: そのパネルに、必要なキュー・マネージャーまたはキュー共用グループの名前を入力します。

モジュール: DFHMQPOP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0439 E *date time applid* **Invalid Stop option.** 1または2でなければなりません。

説明: シャットダウン・オプション番号が有効な値ではない。

システムの処置: The request is ignored.

ユーザーの処置: 1 または 2 を指定する。

モジュール: DFHMQPOP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0440 E *date time applid* **Unable to send map map-id mapset DFHMQHx.**
EIBFN=X'eibfn' **EIBRESP=eibresp**
EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: プログラムが、マップ・セット DFHMQHx のマップ *map-id* を画面に送信できない。

システムの処置: タスクは終了します。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQBAS, DFHMQPOP, DFHMQPUL, DFHMQRET

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *map-id*
5. *X'eibfn'*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0443 E *date time applid* **Unable to RETURN TRANSID CKRT.**
EIBFN=X'eibfn' **EIBRESP=eibresp**
EIBRESP2=eibresp2
EIBRCODE=X'eibrcode'.

説明: EXEC CICS RETURN TRANSID CKRT コマンドを発行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQRET

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*

DFHMQ0451 I • DFHMQ0455 E

5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0451 I *date time applid* **Nothing to reset.**
リセットは完了しました。

説明: リセット要求が出されたが、何をリセットすべきかを示す値が指定されていない。

システムの処置: 何もリセットされない。

ユーザーの処置: 何らかのリセットが必要な場合は、必要なフィールドに値を指定する。

モジュール: DFHMQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0452 I *date time applid* **Invalid input.** リセットはリジェクトされました。

説明: CICS-MQ アダプター制御パネルを使用せずに、リセット機能に対する要求が行われたが、構文が誤っている。

システムの処置: The request is ignored.

ユーザーの処置: 正しい構文の詳細については、CICS-MQ アダプターの管理を参照。

モジュール: DFHMQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0453 I *date time applid* **Status of connection to qmgr-name is {Connecting | Pending | Connected | Quiescing | Stopping-Force | Disconnected | Inactive | Unknown}, number tasks are in flight.**

説明: このメッセージは、CKQC DISPLAY コマンドに対する応答として出され、キュー・マネージャー

qmgr-name への接続状況と、その接続上で未完了となっているタスクの数を示す。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQDSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr-name*
5. 以下のオプションから選択される値。

1 =接続中,
2=保留,
3=接続済み,
4 =静止中,
5 =強制停止中,
6=切断済み,
7=非アクティブ,
8=不明

6. *number*

宛先: CMQM および端末エンド・ユーザー

DFHMQ0455 E *date time applid* **Unable to WRITEQ TS. EIBFN=X'eibfn' EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2 EIBRCODE=X'eibrcode'.** キュー名は *q-name* です。

説明: EXEC CICS WRITEQ TS コマンドを発行しようとしたが、失敗した。

システムの処置: 表示機能は終了する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照し、適切に処置してください。

モジュール: DFHMQDIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'eibfn'*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *X'eibrcode'*

8. *q-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0456 I *applid* タスクが見つかりません。表示は完了しました。

説明: タスクを表示する要求が行われたが、現行タスクの中に、WebSphere MQ サービスを使用しているタスクがない。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQDIS

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0457 I *applid CKTI* が見つかりません。表示はリジェクトされました。

説明: CKTI を表示する要求が行われたが、開始されている CKTI のインスタンスがない。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQDIS

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0458 E *date time applid Invalid input.* 表示はリジェクトされました。

説明: 表示機能の要求が試行されているが、CICS-MQ アダプター制御パネルが使用されていない。これはサポートされていない。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: CICS-MQ アダプター制御パネルを使用して、表示機能を要求する。

モジュール: DFHMQCON, DFHMQDIS, DFHMQDSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM および端末エンド・ユーザー

DFHMQ0460 I *applid* 表示の終わり。

説明: 下方へのスクロールが試行されているが、既に表示の最下部に達している。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQRET

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0461 I *applid* 表示の始まり。

説明: 上方へのスクロールが試行されているが、既に表示の最上部に達している。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQRET

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0462 E *date time applid Invalid input.*
Request rejected.

説明: 端末からの直接入力、または別の無効な方法により、内部トランザクション CKRT の発行が試行されている。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: この方法で CKRT を使用してはならない。

モジュール: DFHMQRET

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CMQM および端末エンド・ユーザー

DFHMQ0480 E *date time applid MQCC=mqcc*
MQRC=mqrc QRPL at X'qrpl-address'
FRB at X'frb-address'.

説明: 予期しないエラーが発生した場合、CICS-MQ アダプター・ダンプの前にこのメッセージが発行される。

システムの処置: 処理は続行される。

ユーザーの処置: ダンプを参照する。

モジュール: DFHMQTRU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*
6. *X'qrpl-address'*

7. *X'frb-address'*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ0481 *date time applid Unexpected error.*
MQCC=mqcc MQRC=mqrc FRB アドレス *X'frb-address'*。

説明: このメッセージは、予期しないエラーが起こった場合に、CICS-MQ アダプター・ダンプのタイトルとして使用される。*frb-address* は、機能要求ブロックのアドレスである。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQCON、DFHMQDSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mqcc*
5. *mqrc*
6. *X'frb-address'*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0500 {接続中 | 保留 | 接続済み | 静止中 | 強制停止中 | 切断済み | 非アクティブ | 不明 }

説明: IBM 内部で使用。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0501 {開始キュー名:}

説明: IBM 内部で使用。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0502 {続く - + | 続く - | 続く +}

説明: IBM 内部で使用。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0503 {Off | On | はい | いいえ }

説明: IBM 内部で使用。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0504 {In Queue | Msg Wait | Purged | Between | Running | Normal | Shutdown | Starting | Stopping}

説明: IBM 内部で使用。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0505 {(接続時に指定されていません) }

説明: IBM 内部で使用。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0506 {タスク・イニシエーターの開始 | タスク・イニシエーターの終了}

説明: IBM 内部で使用。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHMQ0700 I *date time applid tranid trannum*
CICS-MQ bridge initialization in progress.

説明: CICS-MQ ブリッジの初期化が進行中である。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0702 I *date time applid tranid trannum*
CICS-MQ bridge monitor initialization complete.

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターの初期化が正常に完了した。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0703 I *date time applid tranid trannum*
WaitInterval=interval, Auth=auth-option
Q=q-name.

説明: これは CICS-MQ ブリッジ・モニター開始オプションを確認する。WAIT パラメーターは秒数で提供されるが、Interval はミリ秒で表示されている。-1 は WaitUnlimited を暗黙指定する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *interval*
7. *auth-option*
8. *q-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0704 E *date time applid tranid trannum*
EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2
returned for EXEC CICS call.
EIBFN=eibfn.

説明: CICS-MQ ブリッジによって発行された CICS 呼び出しでエラーが発生した。

システムの処置: CICS のインフォメーション・センターで、トピックを参照する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、CICS アプリケーション開発のリファレンスの EIB フィールドに関するトピックを参照する。このメッセージが EXEC CICS GET CONTAINER (EIBFN=3414) に対して返されたエラーを示す場合は、ユーザー・プログラムが応答コンテナを返すのに失敗したかどうかを確認する。失敗した場合は、ユーザー・プログラムを訂正する。

モジュール: DFHMQBP1, DFHMQBP2, DFHMQBR0, DFHMQBP3, DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *eibfn*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0705 E *date time applid tranid trannum*
Parameter at offset nn in input string
is invalid.

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターの開始パラメーター・ストリングのオフセットにあるパラメーター nn が無効である。誤ったパラメーターがメッセージ DFHMQ0784 に示される。

システムの処置: タスクは終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正して、CICS-MQ ブリッジ・モニターを再始動します。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *nn*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0707 I *date time applid tranid trannum*
CICS-MQ bridge is not supported on
non-z/OS platforms.

説明: CICS-MQ ブリッジが z/OS 以外のプラットフォームで実行されている。これはサポートされていない。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・モニターが異常終了する。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0710 E *date time applid tranid trannum*
MQCC=mqcc MQRC=mqrc returned for
mq-call.

説明: CICS-MQ ブリッジによって発行された WebSphere MQ API 呼び出しでエラーが発生した。

システムの処置: エラーの性質に応じて、処理が続行されるか、タスクが終了するか、タスクが異常終了する可能性がある。

ユーザーの処置: *mqcc* および *mqrc* については、IBM MQ メッセージを参照する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP2, DFHMQBR0, DFHMQBP3, DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *mqcc*
7. *mqrc*
8. *mq-call*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0711 E *date time applid tranid trannum*
Unable to open bridge queue q-name.

説明: 指定された CICS-MQ ブリッジ・キューが、キュー・マネージャーに認識されない。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・タスクは終了します。

ユーザーの処置: CICS-MQ ブリッジ・キューが正しく定義され、CKBR の CICS-MQ ブリッジ開始の Q= パラメーターに指定されているかどうかを確認します。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *q-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0712 I *date time applid tranid trannum*
CICS-MQ bridge quiescing.

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターの静止が開始されている。通常これは、CICS またはキュー・マネージャーがシャットダウン中か、またはオペレーターが CICS-MQ ブリッジ・キュー GET(DISABLED) を設定したためである。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0713 I *date time applid tranid trannum*
CICS-MQ bridge terminated normally.

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターのシャットダウンが正常に完了した。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0714 I *date time applid tranid trannum*
CICS-MQ bridge task starting.

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターが開始されている。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0715 E *date time applid tranid trannum*
Invalid COMMAREA length length in message.

説明: CICS-MQ ブリッジによって計算された COMMAREA の長さが無効である。おそらく最大長 32767 を超えている。このエラーは、負の長さが計算された場合にも発生することがある。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・タスクが異常終了する。

ユーザーの処置: MQCIH 内に OutputDataLength が設定されている場合、それが 32759 (プログラム名として 8 バイトを許可) を超えていないかどうかを調べる。設定されていない場合は、要求メッセージ全体の長さ (この場合もプログラム名として 8 バイトを許可) を調べる。MQCIH の長さは 32767 を超えてはならない。MQCIH の長さは、MQCIH の長さフィールドから取られることに注意する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *length*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0716 E *date time applid tranid trannum*
MQCIH required for UOW middle and last messages.

説明: CICS-MQ ブリッジ・タスクが、複合作業単位内の 2 番目以降の MQGET 呼び出しに関するメッセージを受信した。その関連 ID は、作業単位内の最初のメッセージのメッセージ ID と一致するが、そのメッセージには、MQCIH が含まれていない。

DFHMQ0717 E • DFHMQ0720 E

システムの処置: この作業単位はバックアウトされる。

ユーザーの処置: 複合作業単位内のすべてのメッセージに MQCIH が含まれていることを確認する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0717 E *date time applid tranid trannum*
UOW first or only received when
UOW middle or last expected.

説明: CICS-MQ ブリッジ・タスクが、複合作業単位内の 2 番目以降の MQGET 呼び出しに関するメッセージを受信した。相関 ID は作業単位内の最初のメッセージのメッセージ ID と一致しているが、MQCIH の UOWControl フィールドが無効である。

MQCUOWC_MIDDLE、MQCUOWC_LAST、MQCUOWC_COMMIT、または MQCUOWC_BACKOUT が指定された場合、これは MQCUOWC_FIRST または MQCUOWC_ONLY に設定される。

システムの処置: この作業単位はバックアウトされる。

ユーザーの処置: UOWControl フィールドを訂正する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0718 E *date time applid tranid trannum*
UOW middle or last received when
UOW first or only expected.

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターは、新しい作業単位の要求メッセージを受信し、相関 ID は MQCL_NEW_SESSION に設定されているが、MQCIH

1004 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

内の UOWControl フィールドは、MQCUOWC_FIRST または MQCUOWC_ONLY 以外に設定されている。

システムの処置: タスクが異常終了する。

ユーザーの処置: UOWControl フィールドを訂正する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3, DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0719 E *date time applid tranid trannum*
Invalid request link type for
DFHMQBP3.

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターがプログラム DFHMQBP3 を開始する TransactionId が含まれた要求メッセージを受け取ったが、MQCIH 内の LinkType フィールドが MQCLT_PROGRAM 値に設定されていない。

システムの処置: タスクが異常終了する。

ユーザーの処置: LinkType フィールドを訂正するか、WebSphere MQ メッセージで CICS 3270 トランザクションを実行する場合は TransactionID を訂正する。

モジュール: DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0720 E *date time applid tranid trannum*
Authentication option IDENTIFY or
VERIFY_ requires a security manager
to be active.

説明: AUTH=IDENTIFY または VERIFY_ で CICS-MQ ブリッジ・モニターを始動しようとしたが、

セキュリティは CICS システムで活動状態になっていない。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・モニターは終了します。

ユーザーの処置: セキュリティを活動化するか、別の認証オプションを選択する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0721 E *date time applid trandid trannum*
Invalid MQCIH.

説明: MQFMT_CICS の MQMD 形式フィールドで CICS-MQ ブリッジによりメッセージが受信されたが、データは有効な MQCIH で開始していない。StrucId、Version、または StrucLength が誤りである。

システムの処置: タスクが異常終了する。

ユーザーの処置: ヘッダーのバージョンを調べて、CICS-MQ ブリッジでサポートされるレベルと比較する。形式またはユーザー・データを適切に訂正する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3, DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0724 E *date time applid trandid trannum*
bridge queue q-name is not defined as local.

説明: 指定された CICS-MQ ブリッジ・キューは、ローカル・キューとして定義されない。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・タスクは終了します。

ユーザーの処置: CICS-MQ ブリッジ要求キューをローカル・キューとして再定義する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*
6. *q-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0725 I *date time applid trandid trannum*
Messages on bridge queue are not persistent by default.

説明: CICS-MQ ブリッジ・キューは、DEFPSIST(NO) で定義される。要求メッセージは、必ず処理されるように固定表示でなければならない。これは単なる通知メッセージである。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要に応じてキュー定義を変更してください。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0726 I *date time applid trandid trannum*
CICS-WMQ bridge message incompatible with WebSphere MQ AMS configuration - bridge terminated.

説明: CICS アプリケーションを介してアクセスされている WebSphere MQ キューの保護に WebSphere MQ Advanced Message Security を使用しているが、キューにアクセスしたことにより、WebSphere MQ AMS から理由 2063 のメッセージ DRQZS0209I が返された。

DFHMQ0727 I • DFHMQ0731 I

システムの処置: CICS-WMQ ブリッジが終了する。

ユーザーの処置: 理由コード 2063 の原因について WebSphere MQ AMS の資料を調査する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0727 I *date time applid trandid trannum*
CICS-MQ ブリッジのオープンは、**IBM MQ AMS** がセキュリティ環境を作成できなかったため失敗しました。

説明: CICS アプリケーションを介してアクセスされている IBM MQ キューの保護に IBM MQ Advanced Message Security を使用していますが、MQOpen 要求で IBM MQ AMS から理由 2217 が返されました。

システムの処置: CICS-WMQ ブリッジは開きません。

ユーザーの処置: 理由コード 2217 の原因について IBM MQ AMS の資料を調査する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0729 I *date time applid trandid trannum* **No dead-letter queue defined to queue manager.**

説明: キュー・マネージャーに定義された送達不能キューはない。エラーが発生して、メッセージが送達不能キューに送信されると、CICS-MQ ブリッジは終了する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 送達不能処理が必要な場合は、キュー・マネージャーを変更して、送達不能キューを定義する。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0730 I *date time applid trandid trannum*
Unable to open dead-letter queue.
MQRC=mqrc.

説明: キュー・マネージャーに定義された送達不能キューをオープンすることができない。エラーが発生して、メッセージが送達不能キューに送信されると、CICS-MQ ブリッジは終了する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*
6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0731 I *date time applid trandid trannum*
Unable to inquire on dead-letter queue, MQRC=mqrc.

説明: 送達不能キューでの MQINQ 呼び出しが失敗した。エラーが発生して、メッセージが送達不能キューに送信されると、CICS-MQ ブリッジは終了する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0732 I *date time applid tranid trannum*
Unable to put message to dead-letter queue. MQRC=mqrc.

説明: 送達不能キューへの MQPUT が失敗した。

システムの処置: このエラーが CICS-MQ ブリッジ・タスクで発生すると、作業単位がバックアウトされる。このエラーが CICS-MQ ブリッジ・モニターで発生すると、CICS-MQ ブリッジ・モニターは異常終了する。応答メッセージが送達不能キューに送信される。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照する。

モジュール: DFHMQBP2, DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0733 I *date time applid tranid trannum*
Dead-letter queue not defined with USAGE(NORMAL).

説明: 送達不能キューが正しく定義されない。エラーが発生して、メッセージが送達不能キューに送信されると、CICS-MQ ブリッジは終了する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0734 I *date time applid tranid trannum*
Dead-letter queue max message length length is too small.

説明: 送達不能キューに許可された最大メッセージ長は、その送達不能ヘッダー MQDLH のサイズより小さい。エラーが発生して、メッセージが送達不能キューに送信されると、CICS-MQ ブリッジは終了する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 送達不能キューの MAXMSGL を、最低でも MQDLH のサイズまで大きくするが、効率上、MQDLH に加えて、予期される最大要求メッセージを十分保持できるサイズにする。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *length*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0735 I *date time applid tranid trannum*
CICS or queue manager quiesced before bridge task started.

説明: CICS-MQ ブリッジ・タスクが、要求キューの MQOPEN 呼び出し、または作業単位内の最初のメッセージへの MQGET 呼び出しから静止戻りコードを受信した。

システムの処置: 要求は、CICS、キュー・マネージャー、または CICS-MQ ブリッジ・モニターが再始動されたときに処理される。

ユーザーの処置: CICS、キュー・マネージャー、または CICS-MQ ブリッジ・モニターを再始動する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHMQ0736 I • DFHMQ0739 E

3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0736 I *date time applid tranid trannum* bridge quiesced before task started.

説明: CICS-MQ ブリッジ・タスクが作業単位内で最初のメッセージを取得する前に、CICS-MQ ブリッジは静止した。

システムの処置: 要求は、CICS-MQ ブリッジ・モニターが再始動されたときに処理される。

ユーザーの処置: CICS-MQ ブリッジ・モニターを再始動する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0737 E *date time applid tranid trannum* CICS or queue manager quiesced, bridge task backed out.

説明: CICS-MQ ブリッジ・タスクは、作業単位内で 2 番目以降のメッセージへの MQGET 呼び出しから静止戻りコードを受信した。

システムの処置: 作業単位はバックアウトされ、CICS-MQ ブリッジ・タスクは終了する。

ユーザーの処置: CICS およびキュー・マネージャーのいずれかまたは両方の再始動時に再試行する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0738 E *date time applid tranid trannum* CICS-MQ bridge quiesced, task backed out.

説明: メッセージの取得にあたってキューが使用可能になっていなかったため、CICS-MQ ブリッジ・タスクが、作業単位内で 2 番目以降のメッセージの取得を待機している間、CICS-MQ ブリッジ・タスクは静止していた。

システムの処置: 作業単位はバックアウトされ、CICS-MQ ブリッジ・タスクは終了する。

ユーザーの処置: CICS およびキュー・マネージャーのいずれかまたは両方の再始動時に再試行する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0739 E *date time applid tranid trannum* bridge terminated, timeout interval expired before middle or lastUOW message received.

説明: CICS-MQ ブリッジ・タスクは、CICS-MQ ブリッジ・モニター始動時に指定された待機間隔内で (または、作業単位の最初の要求でオーバーライドされて) 作業単位の 2 番目以降のメッセージを受信しなかった。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・タスクは終了します。

ユーザーの処置: 以下のいずれかを実行してください。

- CICS-MQ ブリッジ・モニター始動時に WAIT パラメーターを増やす。

- 失敗したプログラムを訂正して、作業単位への後続の要求を送信する。

- 直前の要求で UOWControl フィールドを正しく設定する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0740 E *date time applid trandid trannum*
Client application requested backout.

説明: クライアントから MQCUOWC_BACKOUT 要求を受信した。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・タスクは作業単位をバックアウトした。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0745 E *date time applid trandid trannum*
Unable to put message to reply queue.
MQRC=mqrc.

説明: 応答先キューへの MQPUT 呼び出しが失敗した。

システムの処置: 応答メッセージが送達不能キューに送信される。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3, DFHMQBP2, DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

5. *trannum*

6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0746 E *date time applid trandid trannum*
Invalid CCSID. ccsid1 expected but ccsid2 received.

説明: MQMD の CCSID フィールドの無効値のある要求メッセージが受信された。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: MQMD を訂正して、要求を再発行する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*
6. *ccsid1*
7. *ccsid2*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0747 E *date time applid trandid trannum*
Invalid encoding. encoding1 が必要ですが、encoding2 を受け取りました。

説明: MQMD のエンコード・フィールドの無効値のある要求メッセージが受信された。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: MQMD を訂正して、要求を再発行する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*
6. *encoding1*
7. *encoding2*

DFHMQ0748 E • DFHMQ0751 E

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0748 E *date time applid tranid trannum*
Message removed from the request queue during backout processing.

説明: CICS-MQ ブリッジは、バックアウト処理中にこの要求メッセージを送達不能キューに送信した。

システムの処置: タスクがバックアウトされる。

ユーザーの処置: 関連メッセージを調べて、問題の原因を判別する。

モジュール: DFHMQBP2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0749 E *date time applid tranid trannum*
**Authentication error. EIBRESP=resp
EIBRESP2=resp2 Userid=user-id.**

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターは、AUTH=VERIFY_UOW または AUTH=VERIFY_ALL で実行されている。ユーザー ID の検証が失敗した。

システムの処置: タスクは終了します。

ユーザーの処置: 正しいユーザー ID が指定されたこと、および適切な許可がそのユーザー ID に対して定義されているようにする。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3, DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *resp*
7. *resp2*
8. *userid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0750 E *date time applid tranid trannum*
CICS-MQ bridge internal error.

説明: 予期しない状態が CICS-MQ ブリッジで検出された。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・モニターが異常終了する。

ユーザーの処置: 問題が解決されない場合は、IBM サポートに連絡する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0751 E *date time applid tranid trannum*
**EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2
.Unable to LINK to program
program-name.**

説明: ユーザーが要求したプログラムへの EXEC CICS LINK コマンドが失敗した。

システムの処置: CICS のインフォメーション・センターで、トピックを参照する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *program-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0753 E *date time applid tranid trannum*
**Message has been processed
 previously and returned to the queue
 using backout.**

説明: CICS-MQ ブリッジはすでにこの要求を処理しようとしたが、要求は失敗して、バックアウトされた。これは、おそらく異常終了した CICS-MQ ブリッジ・タスクでバックアウト処理が失敗したか、この要求が進行中であったときに CICS 障害が発生したためである。再度要求を処理する試みは行われていない。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: CSMT ログでこのメッセージの前のエラー・メッセージを調べて、直前の障害の原因を判別します。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0754 E *date time applid tranid trannum*
**bridge task abend abend-code in
 program program-name.**

説明: CICS-MQ ブリッジ・タスクが異常終了した。

システムの処置: タスクは終了します。

ユーザーの処置: 問題判別をしやすいするために関連トランザクション・ダンプを使用できる。プログラム名が DFHMQB で始まり、問題が解決されない場合は、IBM サポートに連絡する。

モジュール: DFHMQBP1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *abend-code*
7. *program-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0755 E *date time applid tranid trannum*
bridge queue is not shareable.

説明: CICS-MQ ブリッジ要求キューには、SHARE 属性がない。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・モニターは終了します。

ユーザーの処置: キュー定義を変更して、CICS-MQ ブリッジ・モニターを再始動する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0756 E *date time applid tranid trannum*
Dead-letter queue not defined as local.

説明: 送達不能キューがローカル・キューとして定義されていない。エラーが発生して、メッセージが送達不能キューに送信されると、CICS-MQ ブリッジは終了する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 送達不能キューをローカル・キューとして再定義する。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0757 E *date time applid tranid trannum*
**Unable to open reply-to queue.
 MQRC=mqrc.**

説明: 示された応答先キューは、キュー・マネージャーに認識されない。

DFHMQ0758 E • DFHMQ0760 I

システムの処置: 応答メッセージが送達不能キューに送信される。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *mqr*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0758 E *date time applid tranid trannum*
Unable to START bridge task.
EIBRESP=eibresp EIBRESP2=eibresp2。 ユーザー ID *userid* は許可されていません。

説明: CICS-MQ ブリッジ・モニターは、IDENTIFY または VERIFY 許可オプションで実行されている。ユーザー ID が CICS-MQ ブリッジ・トランザクションを開始する許可を受けていなかったか、またはユーザー ID が取り消されたために、NOTAUTH または USERIDERR により CICS-MQ ブリッジ・タスクの EXEC CICS START コマンドが失敗した。

システムの処置: タスクが異常終了する。

ユーザーの処置: EIB フィールドに、問題の原因に関する情報が含まれている。これらの値の説明については、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。このユーザー ID が、CICS-MQ ブリッジを使用して要求を実行する許可を受ける必要がある場合は、セキュリティ定義を訂正する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *userid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0759 E *date time applid tranid trannum*
Transaction transid is not defined to CICS.

説明: リストされたトランザクションを実行する要求は受信されたが、この CICS システムに定義されていない。

システムの処置: CICS のインフォメーション・センターで、トピックを参照する。

ユーザーの処置: 要求を訂正するか、またはトランザクションを定義する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *transid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0760 I *date time applid tranid trannum*
MsgId=msgid.

説明: このメッセージは、直前のエラー・メッセージが関係しているメッセージの ID を提供する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *msgid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0761 I *date time applid tranid trannum*
CorrelId=CorrelId.

説明: このメッセージは、直前のエラー・メッセージが関係しているメッセージの相関 ID を提供する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *CorrelId*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0762 I *date time applid tranid trannum*
Queue name=q-name.

説明: このメッセージは、直前のエラー・メッセージが関係しているキューの名前を提供する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQBR0, DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *q-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0763 I *date time applid tranid trannum*
Queue manager=queue-manager-name.

説明: このメッセージは、直前のエラー・メッセージが関係しているキュー・マネージャーの名前を提供する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージを参照してください。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *queue-manager-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0764 E *date time applid tranid trannum*
Invalid userid. user-id1 expected but
user-id2 received.

説明: AUTH=VERIFY_ALL の使用中は、すべての要求メッセージにユーザー ID が必要である。これは、1つの作業単位内のすべての要求について同じでなければならない。このメッセージは、CICS-MQ ブリッジ・タスクが不明ユーザー ID を検出したか、ユーザー ID を変更したときに出される。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・タスクが異常終了する。

ユーザーの処置: ユーザー ID を訂正する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *user-id1*
7. *user-id2*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0766 I *date time applid tranid trannum*
bridge queue not defined with
INDXTYPE(CORRELID).

説明: CICS-MQ ブリッジ・キューは、索引タイプ CORRELID で定義する必要がある。これは、キューが共用キューである場合は必須であり、専用キューの場合でも推奨される。

DFHMQ0767 I • DFHMQ0770 I

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・キューが共有されていると、CICS-MQ ブリッジ・モニターは始動しない。それ以外の場合、処理が続行される。

ユーザーの処置: キュー定義を変更して必要な索引タイプを指定し、CICS-MQ ブリッジ・モニターを再始動する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0767 I *date time applid trandid trannum*
Unable to open backout-requeue queue. MQRC=mqrc.

説明: CICS-MQ ブリッジ・キューに定義されたバックアウト・リキュー・キューをオープンすることができなかった。

システムの処置: 代わりに、メッセージは送達不能キューに送信される。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照する。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*
6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0768 E *date time applid trandid trannum*
Backout-requeue queue not defined as local.

説明: バックアウト・リキュー・キューがローカル・キューとして定義されていない。

システムの処置: 代わりに、メッセージは送達不能キューに送信される。

ユーザーの処置: バックアウト・リキュー・キューをローカル・キューとして再定義する。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0769 I *date time applid trandid trannum*
Unable to inquire on backout-requeue queue. MQRC=mqrc.

説明: バックアウト・リキュー・キューでの MQINQ 呼び出しが失敗した。

システムの処置: 代わりに、メッセージは送達不能キューに送信される。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照する。

モジュール: DFHMQBP2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*
6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0770 I *date time applid trandid trannum*
Backout-requeue queue not defined with USAGE(NORMAL).

説明: バックアウト・リキュー・キューが正しく定義されていない。

システムの処置: 代わりに、メッセージは送達不能キューに送信される。

ユーザーの処置: バックアウト・リキュー・キューが伝送キューとして定義されていないようにする。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0771 I *date time applid trandid trannum*
Unable to put message to
backout-queue queue. MQRC=mqrc.

説明: バックアウト・リキュー・キューへの MQPUT が失敗した。

システムの処置: 代わりに、メッセージは送達不能キューに送信される。

ユーザーの処置: *mqcc* については、IBM MQ メッセージを参照する。

モジュール: DFHMQBP2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*
6. *mqrc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0772 E *date time applid trandid trannum*
Invalid FacilityLike value xxx in
message.

説明: 入力メッセージの MQCIH ヘッダーの FacilityLike フィールドが無効だったため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_FACILITYLIKE_INVALID を戻した。このフィールドは、CICS-MQ ブリッジ機能のモデルとして使用されるインストール済み端末に対応していなければならない。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: FacilityLike フィールドを訂正して、CICS システムにインストールされている端末の名前を指定するか、または必要な名前を指定して端末をインストールする。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*
6. *xxx*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0773 E *date time applid trandid trannum*
Invalid or expired Facility token in
message.

説明: 入力メッセージの MQCIH ヘッダーの Facility フィールドが無効だったため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード

BRIHRC_INVALID_FACILITYTOKEN または BRIHRC_FACILITYTOKEN_IN_USE を戻した。一連の 3270 CICS-MQ ブリッジ・メッセージの最初の要求時に、値をゼロにする必要がある。以降のメッセージでは、応答メッセージに戻される値を使用しなければならない。最初のメッセージの FacilityKeepTime フィールドに指定された時間が経過すると、トークンの有効期限が切れる。複数の CICS-MQ ブリッジ・メッセージがトークンを使用することはできない。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: アプリケーションを検査して、正しい Facility トークンが使用されていることと、期限切れになっていないようにする。必要に応じて、一連のメッセージが処理される前にトークンが期限切れにならないよう、FacilityKeepTime を増やす。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0774 E *date time applid tranid trannum*
Unable to start transaction on CICS
system sys-name.

説明: MQCIH メッセージ・ヘッダーの RemoteSysId フィールドは非ブランクであるが、指定された名前 sys-name が CICS に認識されていないか、または対象リモート・システムへの CICS 接続で活動状態のものがない。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: 指定された CICS システムが稼働していて、CICS-MQ ブリッジ・モニターを実行するシステムからそのシステムへの活動状態の CICS システム間連絡接続が存在するようにする。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *sys-name*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0775 I *date time applid tranid trannum*
Unable to start transaction on this
CICS system.

説明: MQCIH メッセージ・ヘッダーの RemoteSysId フィールドはブランクだが、指定された Facility トークンが CICS に認識されていない。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・モニターは、トークンを割り振った CICS システムを認識していないため、別の CICS-MQ ブリッジ・モニターが処理するメッセージをキューに残す。トークンが無効または期限切れの場合、メッセージは処理されない。処理を続行します。

ユーザーの処置: すべてのメッセージ (先頭メッセージを除く) の RemoteSysId フィールドに、以前の応答メッセージに戻された RemoteSysId が含まれるようにする。これにより確実に、メッセージが正しい CICS 領域に直接経路指定され、パフォーマンスが向上し、メッセージが処理されない場合が回避される。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0776 E *date time applid tranid trannum*
Invalid FacilityKeepTime value xxx in
message.

説明: MQCIH メッセージ・ヘッダーの FacilityKeepTime フィールドがゼロまたは許容される最大保持時間 (BRMAXKEEPTIME CICS システム初期設定パラメーターに制御される) より大きいため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_INVALID_KEEPTIME を戻した。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: 3270 トランザクション順序の先頭メッセージの FacilityKeepTime フィールドに、有効範囲内の値が含まれるようにする。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *xxx*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0777 E *date time applid tranid trannum*
Link3270 error. RC=code.

説明: CICS Link3270 プログラム DFHL3270 は予期しない戻りコードを戻した。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: CICS COBOL コピーブック DFHBRIHO を使用して、メッセージに報告された数値 code から戻りコードの記号名を検出する。CICS の資料

の『BRIH-RETURN CODE 値』を参照して、DFHL3270 からの戻りコードの意味を判別する。それに応じて入力メッセージを訂正する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *code*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0778 E *date time applid tranid trannum*
Abend abend-code in transaction tran-id.

説明: link3270 CICS-MQ ブリッジで実行されているトランザクションで、CICS の異常終了が発生した。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: 通常の CICS 診断手法を使用して、異常終了の原因を判別し、根本的な問題を訂正する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *abend-code*
7. *tran-id*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0779 E *date time applid tranid trannum*
Mapset does not match. mapset-id1 が必
要ですが、mapset-id2 を受け取りました。

説明: 受信マップ・ベクトルのマップ・セット名が、要求された名前と一致していない。CICS-MQ ブリッジ・タスクは、アプリケーション・データ構造体を解釈できない。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リ

キュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: 入力メッセージのマップ・セット名が、CICS トランザクションに予期されていた名前、および直前の受信マップ要求ベクトルに戻された名前と一致しているようにする。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *mapset-id1*
7. *mapset-id2*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0780 E *date time applid tranid trannum* **Map**
name does not match. map-id1 が必
要ですが、map-id2 を受け取りました。

説明: 受信マップ・ベクトルのマップ名が、要求された名前と一致していない。CICS-MQ ブリッジ・タスクは、アプリケーション・データ構造体を解釈できない。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: 入力メッセージのマップ名が、CICS トランザクションに予期されていた名前、および直前の受信マップ要求ベクトルに戻された名前と一致しているようにする。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *map-id1*
7. *map-id2*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0781 E *date time applid tranid trannum*
Invalid bridge vector.

説明: CICS-MQ ブリッジ入力ベクトルが無効だった。
 以下のエラーが考えられる。

- ベクトル長がメッセージ長より長い。
- ベクトル・タイプが認識されていない。
- フィールド長が、定義されている長さより長い。
- フィールド入力データ長が、定義されているフィールドの長さより長い。

MQCIH ヘッダーの ErrorOffset フィールドが、メッセージ内のエラーが検出された位置を示している (しかし、実際のエラーは、メッセージ内のさらに前の問題により発生した可能性がある)。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: CICS-MQ ブリッジ入力ベクトルが正しく定義されていることを確認する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0782 E *date time applid tranid trannum* **File DFHBRNSF is not available.**

説明: 名前空間ファイル DFHBRNSF が CICS で使用できなかったため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_DHFBRNSF_UNAVAILABLE を戻した。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされる。

ユーザーの処置: DFHBRNSF ファイルが定義されていて、CICS がそれを使用できるようにする。このファイルの定義方法については、CICS の資料を参照する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0783 I *date time applid tranid trannum*
Msg=BOTH, PassTktA=applid.

説明: これは CICS-MQ ブリッジ・モニター開始オプションを確認する。ユーザー設定 MSG= は無視され、MSG=BOTH が常に使用される。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *applid*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0784 E *date time applid tranid trannum* 入力
 =parm_string. (**Input=parm_string.**)

説明: CICS-MQ ブリッジ開始入力パラメーターでエラーが見つかった。parm_string は、エラーが検出されたポイントで開始された入力パラメーターを示す。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・モニターは終了します。

ユーザーの処置: エラーのパラメーターを訂正して、CICS-MQ ブリッジ・モニターを再始動する。

モジュール: DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *trannum*
6. *parm_string*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0785 E *date time applid tranid trannum*
Link3270 routing failed - not supported by CICS system.

説明: Link3270 をサポートしない CICS システムに Link3270 要求が経路指定されたため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_ROUTING_BACKLEVEL_CICS を返した。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・トランザクションが異常終了する。

ユーザーの処置: CICS トランザクション経路指定定義を訂正する。ターゲット CICS システムは、CICS Transaction Server バージョン 2 リリース 2 以上でなければならない。Link3270 については、CICS の資料を参照する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0786 E *date time applid tranid trannum*
Link3270 routing failed - connection error.

説明: 接続エラーにより Link3270 要求がリモート領域に経路指定されなかったため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_ROUTING_CONNECTION を戻した。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・トランザクションが異常終了する。

ユーザーの処置: CICS トランザクション経路指定定義を訂正する。ターゲット CICS システムは活動状態で、接続済みでなければならない。Link3270 については、CICS の資料を参照する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0787 E *date time applid tranid trannum*
Link3270 routing failed - TERMERR.

説明: DFHL3270 からターゲット領域への EXEC CICS LINK が TERMERR で失敗したため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_ROUTING_TERMERR を戻した。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・トランザクションが異常終了する。

ユーザーの処置: CICS トランザクション経路指定定義を訂正する。Link3270 については、CICS の資料を参照する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0788 E *date time applid tranid trannum*
Link3270 routing failed - TRANDEF error.

説明: 経路指定領域の TRANSACTION リソース定義により、選択されたターゲット領域にトランザクションが経路指定されなかったため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_ROUTING_TRANDEF_ERROR を戻した。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・トランザクションが異常終了する。

ユーザーの処置: CICS トランザクション経路指定定義を訂正する。Link3270 については、CICS の資料を参照する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

DFHMQ0789 E • DFHMQ0792 I

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0789 E *date time applid tranid trannum*
Link3270 routing failed - URM error.
RC=code CompCode=compcode.

説明: 動的経路指定ユーザー置き換え可能モジュール (URM) へのリンクが失敗したか、URM に拒否されたため、CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_ROUTING_URM_LINK_FAILED または BRIHRC_ROUTING_URM_REJECTED を戻した。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・トランザクションが異常終了する。

ユーザーの処置: CICS トランザクション経路指定定義を訂正する。Link3270 からのコード *code* および *compcode* については、CICS の資料を参照する。

モジュール: DFHMQBP0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *code*
7. *compcode*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0790 E *date time applid tranid trannum*
Transaction not running.

説明: CICS Link3270 プログラム DFHL3270 がコード BRIHRC_TRANSACTION_NOT_RUNNING を戻した。これは、ブリッジ機能で現在実行されているトランザクションがなかったため、WebSphere MQ メッセージのデータをトランザクションに渡すことができなかったためである。

システムの処置: CICS-MQ ブリッジ・トランザクションが異常終了する。

ユーザーの処置: CICS システムの状態を調べる。Link3270 については、CICS の資料を参照する。

モジュール: DFHMQBP0

1020 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0791 E *date time applid tranid trannum*
Invalid header format found in message.

説明: ヘッダーの長さフィールドが、最小ヘッダー長より短い、実際のメッセージ長より長い。

システムの処置: タスクが異常終了する。

ユーザーの処置: 入力メッセージに、有効な WebSphere MQ ヘッダーのみが含まれているようにする。CICS-MQ ブリッジ・メッセージでは、MQCIH ヘッダーとアプリケーション・データのいずれかまたは両方の前に、標準ヘッダー・チェーン・フィールドを持つ MQH タイプのヘッダーのみが表示される場合がある。MQMD を訂正して、要求を再発行する。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBP3, DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *format*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0792 I *date time applid tranid trannum*
RouteMEM=routemem

説明: これは、CICS-MQ ブリッジ開始モニター・オプションを確認する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBP0, DFHMQBR0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *routemem*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0793 E *date time applid tranid trannum A*
SYNCPOINT command was driven
into rollback because a remote system
was unable to commit. Any changes
made to recoverable resources in the
current unit of work are backed out.

説明: CICS-WebSphere MQ ブリッジが SYNCPOINT コマンドを発行したが、リモート・システムがコミットできなかった。その結果、このコマンドはロールバックされた。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連メッセージを調べ、WebSphere MQ メッセージが再処理されたか、それとも別のキューに移動されたかを判別してください。リモート・システムがコミットできなかった理由が前のメッセージで説明されている可能性があります。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ0999 I *date time applid tranid trannum*
Trace point: trfunc

説明: このメッセージは、トレース中の関数の名前を表示する。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQBR2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *trannum*
6. *trfunc*

宛先: CMQM、コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHMQ2064 *date time applid* **Resynchronization**
outstanding for queue manager qmgr1
after CICS-MQ group attach has
connected to queue manager qmgr2.

説明: CICS-MQ グループ接続がキュー・マネージャー *qmgr2* に接続した後、キュー・マネージャー *qmgr1* で再同期が未解決になっていることを CICS が示している。

システムの処置: CICS が WebSphere MQ キュー・マネージャー *qmgr2* に接続されるが、WebSphere MQ キュー・マネージャー *qmgr1* で UOW は未解決のままになる。

ユーザーの処置: MQCONN 定義で RESYNCMEMBER(NO) が指定されているか、または RESYNCMEMBER(YES) が指定されているが、CICS により、未解決の UOW がすべて未確定で中断されており、WebSphere MQ との再同期を即座に実行できないことが検出された。どちらの状況でもグループ接続は続行でき、その結果、CICS は以前と異なる WebSphere MQ キュー・マネージャーに接続した。ユーザーは手動で元の WebSphere MQ キュー・マネージャーに再接続する必要があり、これによって未解決の (中断されていない) 作業単位が自動的に再同期される。CICS が元の WebSphere MQ キュー・マネージャーに接続されると、中断されていた作業単位は、再同期が行われる時点で中断が解除されるのを待機する。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr1*
5. *qmgr2*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ2065 *date time applid* **Resynchronization**
outstanding for queue manager qmgr
after CICS-MQ group attach has
connected to queue-sharing group qsg.

説明: CICS-MQ グループ接続がキュー共用グループ

qmgr に接続した後、キュー・マネージャー *qmgr* で再同期が未解決になっていることを CICS が示している。

システムの処置: CICS が WebSphere MQ キュー共用グループ *qsg* に接続されるが、WebSphere MQ キュー・マネージャー *qmgr* で UOW は未解決のままになる。

ユーザーの処置: MQCONN 定義で RESYNCMEMBER(GROUPRESYNC) が指定されているが、以前は RESYNCMEMBER(NO) または RESYNCMEMBER(YES) が指定されていたため、その以前の接続で未解決の UOW が CICS に存在する。

未解決の UOW を解決するには、CICS を WebSphere MQ から切断して、RESYNCMEMBER の設定を YES または NO に変更し、MQNAME を *qmgr* を指定するように変更する。その後、CICS を WebSphere MQ に接続すると、未解決の UOW が解決される。この作業が完了すると、RESYNCMEMBER および MQNAME を以前の設定に戻すことができる。

今後この問題が発生しないようにするには、WebSphere MQ に未解決の未確定 UOW がある場合に RESYNCMEMBER の設定を変えないようにする。

注: 中断された UOW への影響はない。これらの UOW は CICS が解決を受け取るまで解決することはできない。CICS が元の WebSphere MQ キュー・マネージャーに接続されると、これらの UOW は、再同期が行われる時点で中断が解除されるのを待機する。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qmgr*
5. *qsg*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ2066 *date time applid* **Resynchronization outstanding for queue-sharing group *qsg* after CICS-MQ group attach has connected to queue manager *qmgr*.**

説明: CICS がキュー・マネージャー *qmgr* に接続した後、キュー共用グループ *qsg* で再同期が未解決になっていることを CICS が示している。

システムの処置: CICS が WebSphere MQ キュー・マネージャー *qmgr* に接続されるが、WebSphere MQ キュー共用グループ *qsg* で UOW は未解決のままになる。

ユーザーの処置: MQCONN 定義で

RESYNCMEMBER(NO) または RESYNCMEMBER(YES) が指定されているが、以前は RESYNCMEMBER(GROUPRESYNC) が指定されていたため、その以前の接続で未解決の UOW が CICS に存在する。未解決の UOW を解決するには、CICS を WebSphere MQ から切断して、RESYNCMEMBER の設定を GROUPRESYNC に変更し、MQNAME を *qsg* を指定するように変更する。その後、CICS を WebSphere MQ に接続すると、未解決の UOW が解決される。この作業が完了すると、RESYNCMEMBER および MQNAME を以前の設定に戻すことができる。

今後この問題が発生しないようにするには、WebSphere MQ に未解決の未確定 UOW がある場合に RESYNCMEMBER の設定を変えないようにする。

注: 中断された UOW への影響はない。これらの UOW は CICS が解決を受け取るまで解決することはできない。CICS が元の WebSphere MQ キュー・マネージャーに接続されると、これらの UOW は、再同期が行われる時点で中断が解除されるのを待機する。

モジュール: DFHMQCON

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *qsg*
5. *qmgr*

宛先: CMQM およびコンソール

DFHMQ2100 *applid* **Program DFHMQRP cannot be found.**

説明: CICS が CICS-MQ リスタート・プログラム (DFHMQRP) にリンクできない。

CICS が、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内で連結されているどのデータ・セットでも DFHMQRP を見つけることができない。

システムの処置: CICS の初期設定が終了して、メッセージ DFHSI1521 が出され、ダンプがとられます。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントの区分データ・セット内に DFHMQRP を配置する。

モジュール: DFHMQIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHMQ2101 *date time applid terminal userid tranid*
MQCONN *mqconn-name* **has been added.**

説明: これは、INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して MQCONN *mqconn-name* が CICS システムに追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

CICS システムに一度にインストールできる MQCONN は 1 つのみです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *mqconn-name*

宛先: CMQM

DFHMQ2102 *date time applid terminal userid tranid*
MQCONN *mqconn-name* **has been replaced.**

説明: これは、INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して MQCONN *mqconn-name* が置き換えられたことを示す監査ログ・メッセージです。ここで、

-

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

-

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

-

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *mqconn-name*

宛先: CMQM

DFHMQ2103 *date time applid terminal userid tranid*
MQCONN *mqconn-name* **has been deleted.**

説明: これは、DISCARD コマンドを使用して MQCONN *mqconn-name* が CICS システムから削除されたことを示す監査ログ・メッセージです。ここで、

-

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

-

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

-

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

MQCONN の削除は、環境全体が削除されることを意味します。このメッセージは、現在インストールされている MQCONN に定義によって常に関連付けられている

DFHMQ2107 • DFHMQ2109

る、現在インストールされている MQMON が削除されたことを示すメッセージの後に表示されます。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *mqconn-name*

宛先: CMQM

DFHMQ2107 *date time applid terminal userid tranid*
MQMON mqmon-name has been added.

説明: これは、MQCONN の INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して MQMON *mqmon-name* が CICS システムに追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。MQCONN の定義に *initqname* が含まれている場合、MQMON は暗黙的にインストールされます。ここで、

•

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

•

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*

6. *tranid*

7. *mqmon-name*

宛先: CMQM

DFHMQ2108 *date time applid terminal userid tranid*
MQMON mqmon-name has been replaced.

説明: これは、MQCONN の INSTALL コマンドまたは EXEC CICS CREATE を使用して MQMON *MQMON-name* が置き換えられたことを示す監査ログ・メッセージです。MQCONN の定義に *initqname* が含まれている場合、MQMON は暗黙的にインストールされます。ここで、

•

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

•

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *mqmon-name*

宛先: CMQM

DFHMQ2109 *date time applid terminal userid tranid*
MQMON mqmon-name has been deleted.

説明: これは、MQCONN に対する DISCARD コマンドを使用して MQMON *mqmon-name* が CICS システムから削除されたことを示す監査ログ・メッセージです。MQCONN が破棄されると、暗黙的にインストールされた MQMON もすべて破棄されます。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

DFHMSnnnn メッセージ

DFHMS0101 S 誤った数のランタイム・パラメーターが指定されました。(INCORRECT NUMBER OF RUNTIME PARAMETERS SUPPLIED.)

説明: 誤った数のパラメーターを使用してスキャナーが呼び出された。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: スキャナーの正しい使用法について資料を参照してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0102 S 1 次パラメーター *PARAMETER* が認識されませんでした。(PRIMARY PARAMETER *PARAMETER* WAS NOT RECOGNIZED.)

説明: スキャナーが、最初に渡されたパラメーターを認識できなかった。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: スキャナーの正しい使用法について資料を参照してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0103 S 2 次パラメーター *PARAMETER* が認識されませんでした。(SECONDARY PARAMETER *PARAMETER* WAS NOT RECOGNIZED.)

モジュール: DFHMQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *mqmon-name*

宛先: CMQM

説明: スキャナーが、2 番目に渡されたパラメーターを認識できなかった。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: スキャナーの正しい使用法について資料を参照してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0104 S UNABLE TO OPEN INPUT FILE LIST *FILELIST*.

説明: スキャナーが、データ・セット *FILELIST* 内のモジュールのリストをスキャンするよう要求されたが、データ・セットを開くことができなかった。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 呼び出し JCL の DD DFHLIST の定義を確認してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0105 S DD の 完全修飾 *DSNAME* への変換が失敗しました。(CONVERT OF DD TO FULLY QUALIFIED *DSNAME* FAILED.)

説明: メンバーにアクセスするには、スキャナーは、DD に指定された名前をその完全修飾名に変換して戻す必要がある。この変換プロセスが失敗した。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。

DFHMS0106 S • DFHMS0112 S

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0106 S DD の変換中に *PDS* を開くことができませんでした。(FAILED TO OPEN *PDS* DURING DD CONVERT.)

説明: *PDS PDS* を開いてその完全修飾名を取得しようとした際に、スキャナーでエラーが発生した。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: スキャナーの正しい使用法について資料を参照してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0107 S PDS: *N* バイトの MALLOC が失敗しました。(PDS, MALLOC FAILED FOR NBYTES.)

説明: *PDS* の処理中に、*N* バイトを割り振るのに十分なメモリーが残っていなかった。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 実行時にスキャナーに割り振られる領域のサイズを増やします。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0108 S PDS: *PDS PDS* を開くことができませんでした。(PDS, FAILED TO OPEN *PDS: PDS*.)

説明: スキャナーが *PDS PDS* を処理するように要求されたが、アクセスのために *PDS* を開くことができなかった。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: JCL に指定されているデータ・セットのアクセス可能性を確認してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0109 S PDS: *PDS* の読み取りに失敗しました。(PDS, FAILED TO READ *PDS*.)

説明: スキャナーが *PDS* を処理するように要求されたが、その *PDS* からデータを取得できなかった。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: JCL に指定されているデータ・セッ

トに対するアクセス権限がスキャナーにあることを確認してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0110 S UNABLE TO OPEN THE FILTER INPUT DATASET: *FILTER*.

説明: スキャナーが、フィルター入力テーブルとしてデータ・セット *FILTER* を使用するよう指示されたが、そのデータ・セットを処理のために開くことができなかった。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: JCL に指定されている DD *DFHFLTR* に対するアクセス権限がスキャナーにあることを確認してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0111 S フィルターの検証で *FILTERLINE* に関する警告が発生しています。(FILTER VALIDATION HAS WARNINGS ABOUT *FILTERLINE*.) 適用される警告: WARNINGS。(THE FOLLOWING WARNINGS APPLY: WARNINGS.)

説明: 指定されたフィルターの検証中にスキャナーが問題を検出した。フィルター行 *FILTERLINE* で次の警告が発生している。WARNINGS

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 問題が発生しているフィルター行でエラーを訂正し、スキャナーを再実行します。フィルターの指定方法については、資料を参照してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0112 S FILTER VALIDATION HAS FAILED TO VALIDATE *FILTERLINE*. THE FOLLOWING PROBLEMS WERE FOUND: PROBLEMS.

説明: 指定されたフィルターの検証中にスキャナーが問題を検出した。フィルター行 *FILTERLINE* で次の問題が発生している。PROBLEMS

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 問題が発生しているフィルター行でエラーを訂正し、スキャナーを再実行します。フィルターの指定方法については、資料を参照してください。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0113 S パラメーターが指定されていない、予期しない **VERB VERB** が検出されました。(UNEXPECTED VERB VERB WITH NO PARAMETERS FOUND.)

説明: スキャナーで、Verb VERB に関する内部エラーが発生した。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHMS0114 S INSUFFICIENT STORAGE
SCANNING MODULE, NUMBER
SCANNED.

説明: MODULE をスキャン中に、スキャナーがスキャンを完了するのに十分なストレージを割り振ることができず、停止した。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: スキャナー・ジョブの領域サイズを増やすか、スキャン対象のモジュール数を減らします。

モジュール: DFHEISUP

宛先: SYSPRINT

DFHNCnnnn メッセージ

DFHNC0101I 名前付きカウンター・サーバーの初期設定が進行中です。(Named counter server initialization is in progress.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのプログラムが実行を開始した。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0102I プール *poolname* の名前付きカウンター・サーバーがアクティブになりました。(Named counter server for pool *poolname* is now active.)

説明: 指定したプールの名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが初期設定を完了し、接続を受け入れる準備ができた。

システムの処置: サーバーは接続要求またはオペレーター・コマンドを待機します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0103 POOLNAME パラメーターが指定されていないため、名前付きカウンター・サーバーの初期設定が失敗しました。(Named counter server initialization failed because the POOLNAME parameter was not specified.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのプログラムは、初期設定を完了するために、関連付けられた名前付きカウンター・プールの名前を認識する必要があるが、SYSIN パラメーターまたは PARM フィールド・パラメーターにプール名が指定されていなかった。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: パラメーター **POOLNAME= name** が SYSIN パラメーターまたはサーバーの JCL の PARM フィールドのいずれかに指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHNCMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0104 プログラム **DFHNCMN** が **APF** 許可されていないため、名前付きカウンター・サーバーの初期設定が失敗しました。(Named counter server initialization failed because program DFHNCMN is not APF authorized.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのメインプログラム **DFHNCMN** が、APF 許可で実行されていないため、初期設定を完了できない。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのプログラム **DFHNCMN** が APF 許可ライブラリーからロードされ、オプション **AC(1)** を指定してリンク・エディットされていることを確認してください。

モジュール: DFHNCMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0105 プログラム DFHNCMN を使用するためのライセンス交付を受けていないため、名前付きカウンター・サーバーの初期設定が失敗しました。 (**Named counter server initialization failed because program DFHNCMN is not licensed for use.**)

説明: ライセンスの妥当性検査が失敗したため、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのメインプログラム DFHNCMN が初期設定を完了できない。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 必要なライセンス交付データ・セットを STEPLIB DD ステートメントに追加することにより、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのプログラム DFHNCMN を使用するためのライセンス交付を受けるようにします。

モジュール: DFHNCVL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0111I プール *poolname* の名前付きカウンター・サーバーを終了しています。 (**Named counter server for pool *poolname* is terminating.**)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが終了処理を開始したため、これ以上の要求は処理されない。

システムの処置: 終了処理が続けられる。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0112I 名前付きカウンター・サーバーが終了しました。戻りコード *retcode*、理由コード *rsncode*。 (**Named counter server has terminated, return code *retcode*, reason code *rsncode*.**)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが終了処理を完了しました。正常終了の場合、戻りコードと理由コードはともにゼロです。終了の原因がエラーである場合、戻りコードは 8、理由コードは終了の理由を示している前の DFHNCnnnn メッセージの番号になります。

システムの処置: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのプログラムが、ジョブ・ステップ終了のため

に (AXM 終了ルーチンを使用して) 制御を MVS に戻します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0113 名前付きカウンター・サーバーの完了コードは *cmpcode*、理由コードは *rsncode* です。 (**Named counter server completion code is *cmpcode*, reason code *rsncode*.**)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが、異常終了 (ABEND) 要求をインターセプトした後に終了しました。完了コードがシステム完了コードである場合は、3 桁の 16 進数字として示され、それ以外の場合は、ユーザー完了コードを表す 4 桁の 10 進数字として示されます。関連する理由コードは、4 バイトの 16 進値として示され、理由コードが提供されなかった場合はゼロになります。

システムの処置: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのプログラムが、ジョブ・ステップ終了のために (AXM 終了ルーチンを使用して) 制御を MVS に戻す。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0121I &SYSCclone がシスプレックス内で固有でない可能性があるため、自動リスタートのサポートは使用できません。 (**Automatic restart support is not available because &SYSCclone may not be unique within the sysplex.**)

説明: サーバーが、MVS システムを識別するために 1 文字または 2 文字の &SYSCclone 値を使用して、自動リスタートの登録で使用するデフォルト ARM エlement ID を生成しようとしていました。通常、MVS は、始動時に、&SYSCclone がシスプレックス内で固有であるかを検証します。ただし、サーバーが稼働しているレベルの MVS では、この確認がオプションとなっていて実行されていないため、サーバーは固有の Element ID を生成できません。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 通常、固有の &SYSCclone 値を強制しない MVS のレベルでサーバーを実行してはなりません。ただし、サーバー ARMELEMENT パラメーターで明示的に ARM Element 名を指定することで、この問題を回避できます。

モジュール: DFHNCRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0122 IXCARM REQUEST=*reqtype* が失敗しました。戻りコード *retcode*、理由コード *rsncode*。

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する要求で、予期しない戻りコードが返されました。戻りコードおよび理由コードは、16 進表記で示されています。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXCARM マクロを参照してください。

モジュール: DFHNCRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0123 IXCARM REQUEST=*reqtype* が失敗しました。戻りコード *retcode*、理由コード *rsncode*。

説明: 自動リスタートのサポートは使用できません。MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) が戻りコードおよび理由コードを返し、ARM サービスが使用可能でないことが示されました。ただし、理由は意図的または不可避である可能性があるため、サーバーは、自動リスタート・サポートなしで実行し続けることが許可されます。戻りコードおよび理由コードは、16 進表記で示されています。

システムの処置: サーバーは、自動リスタート・サポートなしで初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXCARM マクロを参照してください。

モジュール: DFHNCRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0201I *type* の *parameters* を処理中
(Processing *type parameters*)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター処理ルーチンが、指定されたパラメーター・ストリングを解釈しています。最初のワードはパラメーターのタイプ (SYSIN/PARM/SET/DISPLAY/PRINT) を示しており、残りは、指定されたパラメーターであり、オプションでその後に 1 つ以上のスペース

の後に説明コメント・テキストが続きます。パラメーターがアスタリスクまたはスペースで始まる場合、行全体が説明コメントと見なされます。

システムの処置: 指定されたすべてのパラメーターが処理されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0202 Unknown parameter keyword: *keyword*

説明: このパラメーター・キーワードが、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーに対して定義されたいずれのパラメーター・キーワードとも一致しなかった。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター・キーワードを訂正し (または誤ったパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0203 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be a name of up to *maxlength* characters.

説明: この名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター値は、示された文字数以内の文字を含む名前に指定する必要があった。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0204 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be a decimal number.

説明: この名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター値は 10 進数で指定する必要があったが、有効な形式で指定されなかった。(数値パラメーターには、オプションとして、1024 の該当する累乗を示すために文字 K、M、G、または T を続けることができます)。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0205 Value *value* for parameter *keyword* is greater than the maximum allowed value *maximum*.

説明: この名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター値が、メッセージに示されている最大許容値を超えた。接尾部「K」、「M」、「G」または「T」を使用して最大許容値より大きい値を指定できる場合でも、10 進数の数値の部分が符号なし 32 ビットの整数の最大値 (4294967295) を超えていると、このメッセージが出されます。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0206 Value *value* for parameter *keyword* is less than the minimum allowed value *minimum*.

説明: この名前付きカウンター・シーケンス番号サーバー

のパラメーター値が、メッセージに示されている最小許容値より小さかった。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0207 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. *hh:mm:ss* または *hh:mm* 形式の時間、あるいは秒数を指定する必要があります。(It should be a time *hh:mm:ss* or *hh:mm* or a number of seconds.)

説明: この名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター値が、時間間隔の正しい構文に準拠していなかった。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0208 Parameter *keyword* *keyword* is not supported for *command*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター・キーワードが、このキーワードが有効でないコンテキストで指定された (初期設定時にのみ指定可能なパラメーターの **SET** が試行された場合や、**DISPLAY** でのみ有効なパラメーターの指定が初期設定時に試行された場合など)。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: 初期設定時にエラーが発生した場合

は、誤ったパラメーターを削除して、サーバーを再始動します。サーバー・コマンドでエラーが発生した場合は、そのコマンドおよびパラメーターが正しく入力されているかどうかを確認します。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0209 Parameter text contains invalid character: text

説明: ルーチンを処理している名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーターで、パラメーター処理の試行中に、予期しないテキストが一部検出された。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し (または誤ったパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0210 Parameter keyword *keyword* should not have a value for *command*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター・キーワードが、*keyword=value* 形式を予期していないコンテキスト (**DISPLAY** コマンドなど) で、この形式を使用して指定された。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。

ユーザーの処置: 表示するパラメーターの値を指定せずに、コマンドを再入力します。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0211I Parameter value: *keyword=value*

説明: このメッセージは、**DISPLAY** コマンドまたは **PRINT** コマンドの応答として、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター設定の現行値を示すために発行される。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0212 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be one of *validlist*.

説明: この名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのパラメーター値が認識されませんでした。示されている値リストのいずれかとして指定する必要がありますがありました。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター値を修正し、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0213 Value for parameter *keyword* is missing. The correct form is *keyword=value*.

説明: パラメーター・キーワードが、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの **SET** コマンド、あるいは SYSIN または PARM のパラメーター・ストリングで、関連するパラメーター値を使用せずに指定された。パラメーター・キーワードとその対象の値の間に入れられる文字は、等号のみです。また、スペースを含めてはならない点に注意してください。

システムの処置: 現行パラメーター・ストリング (コマンド・パラメーター・リスト、PARM フィールドまたは SYSIN 入力行) の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: 正しい形式 *keyword=value* のパラメーター指定を再入力してください。

モジュール: DFHNCPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0301I コンソール・オペレーター *consname* が次のコマンドを発行しました: *command* (Console operator *consname* issued *command: command*)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの

オペレーター・コマンドが、MVS の **MODIFY** コマンドまたは **STOP** コマンドによって発行された。このメッセージには、コマンドを発行するために使用されたコンソール名 (または TSO ユーザー ID) と、コマンドのテキストが示されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCOP

宛先: SYSPRINT

DFHNC0302I *command command ignored because no valid parameters were given.*

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのコマンドが、有効なパラメーターが指定されずに発行された。しかし、それを除けば構文上は有効であった。このコマンドは何も行いませんでした。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドが正しく入力されたことを確認します。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0303I *command command has been processed.*

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのコマンドが正常に処理された。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0304I *STOP command is waiting for connections to be closed. Number of active connections = connections.*

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの **STOP** コマンドが発行された (MVS **STOP** コマンド、またはテキスト **STOP** を指定した MVS **MODIFY** コマンドを使用)。しかし、サーバーとのアクティブな接続が引き続き存在しているため、この **STOP** コマンドはまだ有効になっていない。

システムの処置: サーバーはこれ以上の新しい接続の確立を拒否しますが、既存の接続に対する要求の処理は続行します。接続が終了するたびに、アクティブな接続が残っている限り、このメッセージは繰り返し表示されます。

ユーザーの処置: まだアクティブな接続に関する詳細情報は、コマンド **DISPLAY?CONNECTIONS** を使用して取得できます。

接続がクローズされるのを待機せずにサーバーをシャットダウンする必要がある場合は、サーバーの **CANCEL** コマンドを発行します。これによりアクティブな接続はすべて即座に終了し、そのサーバーに対する以降の要求に対しては **SYSIDERR** 標識が付与されることに注意してください (MVS **CANCEL** コマンドも使用できますが、サーバーが通常の終了統計およびレポートを作成できなくなるため、このコマンドは使用しないことをお勧めします)。

なお、サーバーの接続または切断処理の進行中に **CICS** 領域が異常終了した場合、または (例えば、**FORCE** コマンドを使用して) タスクの最後の処理を完了せずに終了した場合、接続が終了したことがサーバーに通知されない可能性がわずかにあります。この場合、サーバーの **STOP** コマンドを使用してサーバーを終了できず、終了できるのはサーバーの **CANCEL** コマンドのみです。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0305I *STOP command has been processed.*

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの **STOP** コマンドの処理が正常に完了した。これは、アクティブな接続が存在しなくなり、サーバーを終了できる状態になったことを意味します。

システムの処置: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが終了処理を開始します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0306 *名前付きカウンター・サーバーはこのコマンドをサポートしていません: command (Named counter server does not support this command: command)*

説明: オペレーター・コマンドが、MVS **MODIFY** コマンドを使用して名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーにアドレス指定されたが、**MODIFY** パラメーター・テキストの最初のワードが、認識されるサーバー・コマンド (**SET**、**DISPLAY**、**PRINT**、**STOP**、**CANCEL** またはこれらのいずれかの受け入れられる省略形) ではない。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0307I CANCEL *parm* command has been processed. Number of active connections = *connections*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの **CANCEL** コマンドが、オペレーター・コンソールから発行されたか、カップリング・ファシリティ障害などの重大エラーに応答してサーバーによって内部的に発行された。このメッセージには、コマンドで指定された再始動パラメーター、およびこのコマンドによって影響される可能性があるアクティブ接続の数が含まれています。

システムの処置: サーバーは、接続のクローズを待機せずに即時に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0308 名前付きカウンター・サーバーは **CICS** コマンドをサポートしていません。
(Named counter server does not support CICS commands.) これをクローズするには、**STOP** コマンドを使用できます。(To close it down, you can use the **STOP** command.)

説明: CICS コマンドと思われるオペレーター・コマンド (形式「CExx」の 4 文字のトランザクション・コード) が、MVS **MODIFY** コマンドを使用して名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーにアドレス指定された。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。サーバーを終了する意図の場合は、サーバーの **STOP** または **CANCEL** コマンドを使用してください。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0309 Parameter *parm* on CANCEL command is incorrect. The only valid parameters are RESTART=YES or RESTART=NO.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの **CANCEL** コマンドが、有効なパラメーター・キーワードに一致しないパラメーターを指定して発行された。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0310 Parameter *parm* on STOP command is incorrect. No parameters should be specified.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの **STOP** コマンドがパラメーターを指定して発行されたが、**STOP** コマンドはいずれのパラメーターもサポートしない。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHNCOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0351I 接続: ジョブ *jobname* アプリケーション ID (Applid) *applid* アイドル (Idle) *idletime*

説明: これは、サーバー・コマンド **DISPLAY CONNECTIONS** または **PRINT CONNECTIONS** に応答して、CICS 領域から名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーへの単一の接続を示している。この情報では、ジョブ名、総称アプリケーション ID、およびこの接続を使用して発行された最も新しい要求から経過した時間 (時間、分、および秒) が示される。

システムの処置: 現行サーバーへのアクティブな接続ごとにこの形式のメッセージが発行され、次にメッセージ **DFHNC0352I** がアクティブな接続の合計数を示すために発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCCN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0352I このサーバーへの合計接続数: (Total connections to this server:) *connections*.

説明: これは、サーバー・コマンド **DISPLAY CONNECTIONS** または **PRINT CONNECTIONS** に応答して、CICS 領域から名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーへのアク

DFHNC0361I • DFHNC0401I

ティブな接続の合計数を示している。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCCN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0361I カウンター名: *counter1 counter2*
(Counter names: *counter1 counter2*)

説明: このメッセージは、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのコマンド **DISPLAY COUNTERS** または **PRINT COUNTERS** に応答して、1 つまたは 2 つのカウンター名をリストしている。

システムの処置: このメッセージはすべての現行カウンター名をリストするのに必要な回数発行され、次にメッセージ DFHNC0362I がカウンターの合計数を示すために発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0362I プール内の名前付きカウンターの合計数は *counters* です。(The total number of named counters in the pool is *counters*.)

説明: これは、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのコマンド **DISPLAY COUNTERS** または **PRINT COUNTERS** に応答して、プール内のカウンターの合計数を示している。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0363I 名前付きカウンター *counter* の詳細:
(Details for named counter *counter*.)

説明: このメッセージは、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのコマンド **DISPLAY COUNTER= name** または **PRINT COUNTER= name** に応答して、カウンターの詳細を示している。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

Current value	Minimum value	Maximum value
<i>n</i>	<i>n</i>	<i>n</i>
Options: x y		

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この出力は、現行カウンター値、割り

当て可能な最小カウンター値、および割り当て可能な最大カウンター値を示しています。最大値が割り当てられると、カウンターはそのしきい値に達します。しきい値は、割り当て可能な最大値より 1 大きい値です。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0364 *counter* に一致する名前付きカウンターが見つかりませんでした。(No named counter was found matching *counter*.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのコマンド **DISPLAY COUNTER= name** または **PRINT COUNTER= name** に指定されたカウンター名が、プール内の既存のカウンターのいずれとも一致しなかった。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: カウンター名が正しく入力されたこと、およびコマンドが正しいプール・サーバーにアドレス指定されたことを確認してください。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0365I *counter* に一致するプール内の名前付きカウンターの数は *counters* です。(The number of named counters in the pool matching *counter* is *counters*.)

説明: これは、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのコマンド **DISPLAY COUNTERS** または **PRINT COUNTERS** でカウンター名に 1 つ以上のワイルドカード文字が含まれていた場合に、これらのコマンドに応答して詳細が表示された、プール内の一致する名前付きカウンターの数を示している。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0401I Connected to CF structure *strname*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが、IXLCONN マクロを使用して、名前付きカウンター・プール用のカップリング・ファシリティ・リスト構造への接続を正常に確立した。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0402I CF structure *strname* was allocated by this connection.

説明: 名前付きカウンター・プールのリスト構造が以前に存在しておらず、接続プロセスの一部として割り当てられていた。

システムの処置: 必要に応じて、リスト構造の初期設定が実行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0403 Connection to CF structure *strname* failed, IXLCONN return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーをそのプール・リスト構造に接続するための IXLCONN マクロが失敗した。

システムの処置: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028)で IXLCONN マクロの資料を参照してください。理由コードが、構造の割り振り失敗を示す xxxx0C08 という形式の場合、このメッセージの後にメッセージ DFHNC0409 が発行され、割り振りが試行されたカップリング・ファシリティーごとにファシリティー理由コードが示されます。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0404 CF structure *strname* cannot be used because it has been allocated with attribute *attribute*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーがそのプール・リスト構造に正常に接続されたが、その構造が、サーバーによってサポートされていない IXLCONN 構造属性キーワードを使用して割り振られたことが検出された。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: これは、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバー・プログラム以外の何らかのプログラムによって構造が割り振られた、または変更されたことをおそらく示しています。この場合は、サーバーの再始動時に構造が正しく再割り振りされるように、誤った構

造を削除 (MVS SETXCF?FORCE コマンドを使用) する必要があります。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0406 CF 構造 *strname* の初期設定が、応答 *response* で失敗しました。(Initialization failed for CF structure *strname* with response *response*.)

説明: プール・リスト構造を初期設定するための名前付きカウンター・シーケンス番号サーバー処理が、異常な内部応答コードで失敗した。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 応答コードが 6 (I/O エラー) の場合、IXLLIST マクロが異常な戻りコードを返したことを示しています。この場合は、先に DFHNC0441 メッセージが発行されており、IXLLIST の戻りコードおよび理由コードが示されています。この応答コードが他の値の場合、リスト構造が発生すべきでない状態にあり、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバー以外のプログラムによってこのリスト構造が割り振られた、または変更されたことをおそらく示しています。この場合は、サーバーの再始動時に構造が再割り振りされるように、構造を削除 (MVS SETXCF?FORCE コマンドを使用) する必要があります。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0407 CF structure *strname* is not available for shared use.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号のプールは、別のジョブ (プールのアンロード・ジョブや再ロード・ジョブなど) による排他使用のために現在ロックされている (この逐次化では、有効範囲 SYSTEMS、大分類名「SYSZDFH」、および構造名「DFHNCLS_poolname」と同じ小分類名を指定した MVS ENQ が使用される)。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: プール保守ジョブが現在実行されているかどうかを確認してください。実行されている場合は、終了するまで待機してから、サーバーの始動を再度試行してください。次の MVS コマンドを使用して、現在プールを使用しているジョブを確認できます。

DISPLAY GRS,RES=(SYSZDFH,'DFHNCLS_poolname')

このコマンドではプール名は 8 文字ちょうどでなければならず、必要に応じて末尾スペースを埋め込む必要があることに注意してください。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0408 CF structure *strname* is not available for exclusive use.

説明: 現行の名前付きカウンター・シーケンス番号のアンロード・ジョブまたは再ロード・ジョブでプールを排他使用する必要があるが、既にそのプールを共用使用または排他使用する別のジョブが実行されている。(この逐次化では、有効範囲 SYSTEMS、大分類名

「SYSZDFH」、および構造名「DFHNCLS_*poolname*」と同じ小分類名を指定した MVS ENQ が使用される)。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバー、または保守ジョブが現在実行されているかどうかを確認します。実行されている場合は、終了するまで待機してから、現行ジョブの実行を再度試行してください。次の MVS コマンドを使用して、現在プールを使用しているジョブを確認できます。

```
DISPLAY GRS,RES=(SYSZDFH,'DFHNCLS_<poolname>')
```

このコマンドではプール名は 8 文字ちょうどでなければならず、必要に応じて末尾スペースを埋め込む必要があることに注意してください。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0409 CF 構造 *strname* をファシリティー *cfname* に割り振ることができませんでした。理由コード *rsncode*。(CF structure *strname* could not be allocated in facility *cfname*, reason code *rsncode*.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの前のメッセージ DFHNC0403 が、構造を割り振れなかったことが原因で IXLCONN の失敗を示した場合、割り振りが試行されたカップリング・ファシリティーごとにこのメッセージが発行され、構造の割り振りが失敗した理由を示すファシリティー理由コードが示されます。理由コードがサーバーで認識されている場合、理由コードの名前 (MVS マクロ IXLYCONA で定義されている名前から「ConaRsn」接頭部を除去したもの) が示されます。それ以外の場合は、理由コードの 10 進値が示されます。

応答に InvalidStructureSize が示されている場合、(サーバー POOLSIZE パラメーターまたは CFRM ポリシ

ーの INITSIZE パラメーターで指定される) 初期リスト構造サイズが、必要な構造制御情報を格納するのに十分な大きさでないことを意味します。制御情報のサイズは、CFRM ポリシーで指定された構造の最大サイズに影響されます。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: さらに詳細情報が必要な場合は、接続応答領域をマップしている MVS マクロ IXLYCONA のソースで、理由コードの説明を参照してください。

応答が InvalidStructureSize の場合は、サーバー POOLSIZE パラメーターまたは CFRM ポリシーの INITSIZE パラメーターで指定される初期構造サイズを増やし、構造制御情報に加え、他のデータにも十分なスペースが確保されるようにしてください。また、CFRM ポリシーで指定された構造の最大サイズが不必要に大きくなっていないことも確認します。プール・サイズを見積もる方法について詳しくは、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0411I 現在、CF 構造 *strname* の percentage % のエントリーが使用中です。(CF structure *strname* now has percentage% of entries in use.)

説明: このメッセージは、リスト構造内で使用中のリスト・エントリーの割合が、設定された特定のしきい値レベルを超過するまで増加したか、以前高いレベルになっていた割合がしきい値レベルを下回るまで減少した場合に、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーによって発行されます。このメッセージは構造の変更要求が完了した直後にも発行され、構造サイズの変更が割合にどのように影響したのかを示します。パーセントの計算は、正常に行われたカップリング・ファシリティー・アクセス要求から返された情報を使用して行われるため、メッセージが構造変更の完了によってトリガーされ、現行サーバーが正常に行われた要求を最近処理していない場合、情報は正確でないことがあります。

システムの処置: 警告しきい値は、使用量が増加しているのか減少しているのかに応じて、次のレベルに引き上げられる (通常、95 % 未満の場合は 5 %、それ以外の場合は 1 % 引き上げられる) か、以前の低いレベルに引き下げられます。

ユーザーの処置: 構造がすぐに満杯になり、新しいカウンターが作成されない可能性があることに注意してください。構造の現在の割り振りが最大サイズを下回っていて、カップリング・ファシリティーに十分なフリー・スペースがある場合、START,ALTER オプションを指定

して MVS SETXCF コマンドを使用することで、構造のサイズを動的に大きくすることができます。そうすると、アクティブ・サーバーは、増やされたスペースを即時に使用できるようになります。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0417I Alter request completed normally for CF structure *strname*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーに対して、構造の変更要求が正常に完了したことをシステムが通知した。

システムの処置: 構造のサイズおよびエントリー数の新規値が保管されます。このメッセージの後にメッセージ DFHNC0411 が発行され、新しい使用率が示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0418I CF 構造 *strname* の変更要求が、状況 *status* で異常終了しました。(Alter request ended abnormally for CF structure *strname* with status *status*.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーに対して、構造の変更要求が異常終了したことをシステムが通知しました。このメッセージに含まれている 2 バイトの状況情報は、(MVS マクロ IXL YEEPL で定義された) イベント出口パラメーター・リスト内の EEPLALTERENDSTATEFLAGS から取得されます。

システムの処置: この通知の結果としてアクションは実行されませんが、変更要求が失敗する原因となった問題の結果、他の関連する問題が発生することがあります。

ユーザーの処置: 詳細情報が必要な場合は、システム・ログで、構造変更要求の失敗の理由を示している MVS メッセージを探してください。状況フラグに関する詳細については、MVS マクロ IXL YEEPL のソースを参照してください。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0419I Alter request ended normally for CF structure *strname* but target was not attained.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーに対して、構造の変更要求が正常に終了したが、ターゲット・サイズに達しなかったことをシステムが通知した。

システムの処置: 構造のサイズおよびエントリー数の新規値が保管されます。このメッセージの後にメッセージ DFHNC0411 が発行され、新しい使用率が示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0424 Connectivity has been lost to CF structure *strname*. 名前付きカウンター・サーバーを続行できません。(The named counter server cannot continue.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーに対して、プール・リスト構造が含まれているカップリング・ファシリティーに対する接続が失われたことが、システムによって通知された。

システムの処置: サーバーは、内部 CANCEL コマンドを発行して即時に終了します。

ユーザーの処置: 現行システムからのカップリング・ファシリティーへの接続が再度確立されたら、サーバーを再始動します。接続が他のシステムからまだ使用可能な場合、影響を受けるプールへのアクセスを必要とする CICS トランザクションは、可能であればそのようなシステムに送信する必要があります。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0425 CF structure *strname* has failed. 名前付きカウンター・サーバーを続行できません。(The named counter server cannot continue.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーに対して、カップリング・ファシリティー構造の障害が原因で名前付きカウンター・プールのリスト構造が失われたことが、システムによって通知されました。プール内のすべての名前付きカウンターが失われました。

システムの処置: 影響を受けるプールの各サーバーは、内部の CANCEL コマンドを発行して、即時に終了します。

ユーザーの処置: 別のカップリング・ファシリティーが使用可能で、障害のある構造の CFRM 優先リストに含まれている場合は、サーバーを再始動して、リスト構造の新しいコピーが代替カップリング・ファシリティーに割り振られるようにしてください。使用可能な別のカップリング・ファシリティーがない場合は、元のカップリング・ファシリティーが再び使用可能になるまで待機してから、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0431I CF 構造 *strname* のアクセス統計:
(Access statistics for CF structure *strname*)

説明: このメッセージには、カップリング・ファシリティのアクセス統計情報の要約が示されます。このメッセージは、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの、**CFSTATS** パラメーターを含む **DISPLAY** コマンドまたは **PRINT** コマンドへの応答として発行され、統計オプションにプリント・ファイル出力が含まれる場合は、間隔統計時に SYSPRINT ファイル上でも作成されることがある。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

```
Requests: Create Get Set Delete Inquire Browse
           n  n  n  n  n  n  n
Responses: Asynch Unavail
           n  n  n
Normal Not fnd Vers chk List chk Str Full I/O err
           n  n  n  n  n  n  n  n  n  n  n
```

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この統計の詳細な記述は、DFHNC54D データ域にあります。各ファイルの意味は、以下のとおりです。

•

応答数:

Asynch (非同期)

完了が非同期であった要求の数。

使用不可

構造が一時的に使用不可だった (例えば、システム管理下の再ビルドが進行中であったため) ことが原因で、要求が据え置かれた回数。

正常

通常応答の数。

Not fnd (無検出)

指定されたエントリー (テーブルまたは項目) が検出されなかった。

Vers chk (バージョン確認)

更新中のエントリーのバージョンチェックが失敗した。これは、新規エントリーの作成中に重複した名前が検出された場合、割り当て要求でカウンターがその制限に達したことが検出された場合、あるいは比較およびスワップ・タイプの要求 (増分による割り当て、巻き戻し、または更新) で新規値の設定を試行する前にカウンターが変更されたことが検出され

た場合に発生する。この場合、要求は成功するまで再試行される。

List chk (リスト確認)

リスト権限の比較が失敗した。これが発生するのは、サーバーの初期設定時のみである。

Str full (構造フル)

リスト構造がフルになった。

I/O err (I/O エラー)

IXLLIST により他のエラー・コードが戻された。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0432I CF 構造 *strname* のプール統計: (Pool statistics for CF structure *strname*.)

説明: このメッセージは、名前付きカウンター・プールのリスト構造の使用量統計についての要約を提供する。このメッセージは、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの、**POOLSTATS** パラメーターを含む **DISPLAY** コマンドまたは **PRINT** コマンドへの応答として発行され、統計オプションにプリント・ファイル出力が含まれる場合は、間隔統計時に SYSPRINT ファイル上でも作成されることがある。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

```
Structure: Size Max size
           nK      nK
Entries: Total In use Max used Free Min free
           n      n      n      n      n
           100%   n%     n%     n%     n%
```

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 統計の詳細は、DFHNC56D データ域に記述されます。プール使用量の統計は、最近のカップリング・ファシリティ要求によって返された情報から計算されますが、常に正確であるとは限りません (特に、プールが現行サーバーによって最近アクセスされていない場合)。

各ファイルの意味は、以下のとおりです。

•

構造:

Size (サイズ)

リスト構造の現在の割り振りサイズ。

Max size (最大サイズ)

この構造を変更することができる最大サイズ。

•

エントリー:

Total (合計)

現在割り振られている構造内のエントリーの合計 (構造の接続時に初期設定され、構造の変更要求の完了時に更新される)。

In Use (使用中)

現在使用中のエントリーの数。

Max Used (最大使用数)

使用中の最大数 (最終リセット以降)。

Free (フリー)

現在フリーなエントリーの数 (合計数から使用中のエントリーを減算)。

Min Free (最小フリー)

フリー・エントリーの最小数 (最終リセット以降)。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHNC0441 CF structure *strname* request failed,
IXLLIST return code *retcode*, reason
code *rsncode*.**

説明: IXLLIST マクロを使用して名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーによって発行されたカップリング・ファシリティのアクセス要求が、異常な戻りコードを返した。

システムの処置: 失敗した要求に対して、カップリング・ファシリティのアクセス・エラーを示す戻りコードが返されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXLLIST マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHNC0442 CF structure *strname* request failed,
structure is full.**

説明: IXLLIST マクロを使用して名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーによって発行されたカップリング・ファシリティのアクセス要求が、新しい名前付きカウンターを作成するためのフリー・エントリーがないことが原因で失敗した。

システムの処置: 失敗した要求に対して、プールに使用可能なスペースがないことを示す戻りコードが返されます。このメッセージは、使用中のエントリー数が警告し

きい値を大幅に下回るまでは、以降の失敗では発行されません。

ユーザーの処置: 使用されなくなった名前付きカウンターを削除して、スペースを再利用できるようにする必要があります。構造の現在の割り振りが最大サイズを下回っていて、カップリング・ファシリティに十分なフリー・スペースがある場合、**START,ALTER** オプションを指定して **MVS SETXCF** コマンドを使用することで、構造のサイズを動的に大きくすることができます。そうすると、アクティブ・サーバーは、増やされたスペースを即時に使用できるようになります。ただし、このアクションが可能な場合は、通常、構造がいっぱいになる前に、以前の警告メッセージに対する応答としてこのアクションを実行したはずです。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHNC0451 Purge for CF structure *strname* failed,
IXLPURGE return code *retcode*, reason
code *rsncode*.**

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号のアクセス要求が異常終了し、サーバーが IXLPURGE マクロを発行して、I/O バッファが解放される前にすべてのアクティブな IXLLIST 要求がパージされるようにしたが、IXLPURGE マクロがゼロ以外の戻りコードを返した。

システムの処置: このエラーは、要求が既に異常終了されている場合にのみ発生するため、無視されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXLPURGE マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHNC0461I Disconnected from CF structure
strname.**

説明: 終了中に、名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが、プール・リスト構造から (IXLDISC マクロを使用して) 正常に切断された。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0462 Disconnect from CF structure *strname* failed, IXLDISC return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーをそのプール・リスト構造から切断するための IXLDISC マクロが失敗した。

システムの処置: 切断はサーバーがすでに終了している場合にのみ行われるため、このエラーは無視されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXLDISC マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHNCCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0481I Waiting for structure *strname* to become available.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが、前の DFHNC0403 メッセージで説明されている環境エラー (構造が使用できないなど) が原因で、そのカップリング・ファシリティ構造に接続できなかった。サーバーは現在この問題が修正されるのを待機しており、特定の構造が使用可能になった可能性がある、または一般的なカップリング・ファシリティ・リソースの状況の変更が発生したと ENF ファシリティから通知を受けると、接続要求を再試行します。

システムの処置: サーバーは、関連イベントが通知されるのを待機します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただしオプションで、待機中のサーバーが不要になった場合は、MVS CANCEL コマンドを使用してサーバーを終了できます。

モジュール: DFHNCEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0482I Retrying connection to structure *strname*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが、そのリスト構造が使用可能になった、あるいは一部の汎用カップリング・ファシリティ・リソースの状況に変更が発生したと ENF を介して通知されたため、サーバーは構造への接続をもう一度試行しようとしている。

システムの処置: 元の IXLCONN 要求が再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0491 ENFREQ ACTION=*action* failed, return code *retcode*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーによって発行された ENF 要求が、予期しない戻りコードを返した。

システムの処置: これが ENFREQ ACTION=LISTEN 要求で発生し、その後サーバーがリスト構造に接続できない場合、サーバーは、構造が使用可能になるのを待機するのではなく、終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)」(GC28-1765) で ENFREQ マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHNCEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0601I *lasttime* 以降の間隔の統計収集を開始しています。(Starting statistics collection for interval since *lasttime*.)

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが、間隔統計、1 日の終わり統計、または終了統計を収集しようとしている。このメッセージは、統計が適用される時間間隔の開始 (サーバーが始動された時刻、あるいは間隔統計または 1 日の終わり統計が生成されるごとに発生する最終リセットの時刻) を示します。タイム・スタンプの形式は、yyyy-mm-dd hh:mm:ss です。

システムの処置: サーバーが、統計収集を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCST

宛先: SYSPRINT

DFHNC0602I Statistics collection completed, reset performed.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの統計が収集され、カウンターがリセットされた。これは、間隔統計および 1 日の終わり統計に対して行われます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCST

宛先: SYSPRINT

DFHNC0603I Statistics collection completed.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの統計が収集されたが、カウンターがリセットされていない。これは通常、サーバーの停止時に行われます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0604 Timer SET failed, return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーでの統計サブタスクで、タイマー待機間隔の設定が試行されたが、失敗した。

システムの処置: 間隔統計機能は、メッセージ DFHNC0606 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードを確認してください。戻りコード 4 は、複数のタイマー間隔を同時に設定しようとしたことを意味します。これは、サーバー内の論理エラーです。この場合の理由コードは、既存のタイマー間隔に対する MVS STIMERM ID です。戻りコード 8 は、MVS STIMERM マクロが失敗したことを示します。この場合、理由コードは、STIMERM SET から受け取った戻りコードを示します。

モジュール: DFHNCST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0605 Timer CANCEL failed, return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーでの統計サブタスクで、タイマー待機間隔を取り消そうとしたが、失敗した。

システムの処置: 間隔統計機能は、メッセージ DFHNC0606 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードを確認してください。戻りコード 4 は、存在しないタイマー間隔を取り消そうとしたことを意味します。これは、サーバー内の論理エラーです。戻りコード 8 は、MVS STIMERM マクロが失敗したことを示します。この場合、理由コードは、STIMERM CANCEL から受け取った戻りコードを示します。

モジュール: DFHNCST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0606 Statistics collection function is no longer available.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーでの統計収集サブタスクが処理を続行できず、終了した。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: 間隔統計サブタスクは終了し、サーバーのこの実行に対して、これ以上の間隔統計または 1 日の終わり統計は作成されません。

ユーザーの処置: サブタスクの終了理由を示す先行のメッセージを確認してください。

モジュール: DFHNCST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0610I Statistics written to SMF, return code was *retcode*.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの統計が SMF に送信されました。このメッセージには、SMFEWTM マクロからの戻りコードが示されています。通常、ゼロ以外の戻りコードは、現行の SMF オプションまたはインストール・システム出口により SMF の記録が抑止されていることを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードがゼロ以外だが、SMF 統計が正常に書き込まれることが予期されていた場合は、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」(GC88-6594) で SMFEWTM マクロの資料を参照し、戻りコードの詳細を確認してください。

モジュール: DFHNCST

宛先: SYSPRINT

DFHNC0701I Named counter pool *poolname* is to be unloaded.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのプログラムが、名前付きカウンター・プールを順次データ・セットにアンロードすることを要求する UNLOAD オプションを使用して開始された。

システムの処置: サーバーは、アンロード要求の処理を開始します。この場合、仮想記憶間サーバー初期設定の残りは、不要になるためバイパスされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0702I Named counter pool *poolname* has been successfully unloaded.

説明: 名前付きカウンター・プールが正常にアンロードされた。

システムの処置: サーバーは正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0703I アンロードされたカウンターの数: *counters*。(Number of unloaded counters: *counters*.)Blocks written: *blocks*.

説明: このメッセージは、名前付きカウンター・プールのアンロード・プロセスの結果に関する追加情報を提供し、アンロードされた名前付きカウンターの数と、アンロードされた名前付きカウンター・プールのデータ・セットに書き込まれた 4K データ・ブロックの数を示す。

システムの処置: サーバーの終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0704 DFHNCUL data set for unload could not be opened.

説明: アンロードされた名前付きカウンター・プールを格納するためのデータ・セットをオープンできなかった。

システムの処置: アンロード処理が終了し、サーバーがメッセージ DFHNC0706 でクローズします。

ユーザーの処置: アンロード・ジョブの JCL に DFHNCUL DD ステートメントが存在することを確認します。

モジュール: DFHNCUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0705 CF 構造 *strname* へのアンロード・アクセスが応答 *response* で失敗しました。(Unload access to CF structure *strname* failed with response *response*.)

説明: 名前付きカウンター・プールのアンロード・プロセスが、カップリング・ファシリティー・アクセスの問題が原因で失敗した。

システムの処置: アンロード処理が終了し、サーバーがメッセージ DFHNC0706 でクローズします。

ユーザーの処置: 応答コードが 6 の場合、予期されない IXLLIST エラーが発生したことを示します。このエラーに対しては、先にメッセージ DFHNC0441 が発行されています。それ以外の応答コードは内部論理エラーを示します。

モジュール: DFHNCUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0706 Unload for named counter pool *poolname* was unsuccessful.

説明: 名前付きカウンター・プールのアンロード・プロセスが失敗した。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: アンロードの失敗理由を示す先行のメッセージを確認してください。この場合に生成されたアンロード・データ・セットは不完全となり、再ロード目的のために有効にならないので注意してください。

モジュール: DFHNCUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0801I Named counter pool *poolname* is to be reloaded.

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのプログラムが、**UNLOAD** オプションを使用して生成された順次データ・セットから名前付きカウンター・プールを再ロードすることを要求する **RELOAD** オプションを使用して開始された。

システムの処置: サーバーは再ロード要求の処理を開始します。この場合、仮想記憶間サーバー初期設定の残りは、不要になるためバイパスされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0802I Named counter pool *poolname* has been successfully reloaded.

説明: 名前付きカウンター・プールが正常に再ロードされた。

システムの処置: サーバーは正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0803I Counters reloaded: counters. Counters bypassed: duplicates. Blocks read: blocks.

説明: このメッセージは、名前付きカウンター・プールの再ロード・プロセスの結果に関する追加情報を提供します。アンロードされたデータ・セット上の名前付きカウンターは、これらがプール内に既に存在する場合 (スペース不足のために完了できなかった前の再ロードの結果などが原因) は、再ロード処理中にバイパスされます。

システムの処置: サーバーの終了処理が続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0804 DFHNCRL data set for reload could not be opened.

説明: 再ロード対象の名前付きカウンター・プールが含まれているデータ・セットがオープンできなかった。

システムの処置: 再ロード処理が終了し、サーバーがメッセージ DFHNC0808 でクローズします。

ユーザーの処置: 再ロード・ジョブの JCL に DFHNCRL DD ステートメントが存在することを確認します。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHNC0805 CF 構造 strname への再ロード・アクセスが応答 response で失敗しました。
(Reload access to CF structure strname failed with response response.)**

説明: 名前付きカウンター・プールの再ロード・プロセスが、カップリング・ファシリティ・アクセスの問題が原因で失敗した。

システムの処置: 再ロード処理が終了し、サーバーがメッセージ DFHNC0808 でクローズします。

ユーザーの処置: 応答コードが 6 の場合、予期されない IXLIST エラーが発生したことを示します。このエラーに対しては、先にメッセージ DFHNC0441 が発行されています。それ以外の応答コードは内部論理エラーを示します。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0806 Unexpected end of file encountered on reload data set.

説明: アンロードされたデータの論理終了に達する前に、アンロードされた名前付きカウンター・プールを含むデータ・セット上でファイルの終わりに達した。

システムの処置: 再ロード処理が終了し、サーバーがメッセージ DFHNC0808 でクローズします。

ユーザーの処置: これは、アンロードされたデータ・セットが不完全であることを示しています。アンロード・プロセスが異常終了したことがその理由である可能性があります。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0807 再ロード・データ・セットのブロック block、オフセット offset 近辺に誤ったデータが含まれています。(Reload data set contains incorrect data near block block, offset offset.)

説明: 名前付きカウンター・プールの再ロード・プロセスが、アンロードされたプールのデータ・セットが正しい形式ではないことが原因で失敗した。

システムの処置: 再ロード処理が終了し、サーバーがメッセージ DFHNC0808 でクローズします。

ユーザーの処置: 正しいデータ・セットが使用されていること、およびアンロード・プロセスが正常に完了したことを確認してください。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0808 Reload for named counter pool poolname was unsuccessful.

説明: 名前付きカウンター・プールの再ロード・プロセスを完了できなかった。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: そのプログラムは終了します。

ユーザーの処置: 再ロードの失敗理由を示す先行のメッセージを確認してください。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHNC0809 Reload for CF structure *strname* failed, structure is full.

説明: 名前付きカウンター・プールの再ロード処理が、構造に新規データを保管するためのフリーのエントリーまたはエレメントが不十分なことが原因で失敗した。

システムの処置: 再ロード処理が終了し、サーバーがメッセージ DFHNC0808 でクローズします。

ユーザーの処置: 構造の現在の割り振りが最大サイズを下回っていて、カップリング・ファシリティに十分なフリー・スペースがある場合、**START,ALTER** オプションを指定して **MVS SETXCF** コマンドを使用することで、構造のサイズを動的に大きくすることができます。その後、変更要求が完了するとすぐに、再ロード・ジョブを再実行できるようになります。その場合、既に正常に再ロードされている重複情報はスキップされます。構造がその最大サイズに達している場合は、**MVS SETXCF?FORCE** コマンドを使用して構造を削除します。その後、現行 CFRM ポリシーの **SIZE** および **INITSIZE** の各パラメーターを増やして、更新されたポリシーをアクティブ化し、再ロード・ジョブを再実行します。再ロードできなかった情報のおおよその量は、後続のメッセージ DFHNC0803 で示される読み取られたブロック数および再ロードされた名前付きカウンターの数と、アンロード・ジョブのメッセージ DFHNC0703 の対応する数を比較することで概算できます。

モジュール: DFHNCRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHNC0911I R12=prov RQ Entry function
Name=counter Job=region Task=task**

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの要求トレースがアクティブになっており、NCRQ パラメーター・リストの情報が要求モジュール DFHNCRQ への入り口でトレースされている。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: SYSPRINT

**DFHNC0912I R12=prov RQ Exit response
Name=counter Job=region Task=task**

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの要求トレースがアクティブになっており、NCRQ パラメーター・リストの情報が要求モジュール DFHNCRQ

からの出口でトレースされている。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: SYSPRINT

**DFHNC0913I R12=prov RQ parameter Hex=hex
Dec=decimal**

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの要求トレースがアクティブになっており、NCRQ パラメーター・リストのパラメーターまたは結果の値が、要求モジュール DFHNCRQ によって 16 進表記および 10 進表記でトレースされている。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: SYSPRINT

DFHNC0914I R12=prov RQ Options options

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの要求トレースがアクティブになっており、NCRQ パラメーター・リストのオプション・パラメーターまたは結果の値が、要求モジュール DFHNCRQ によってトレースされている。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHNCRQ

宛先: SYSPRINT

**DFHNC0941I R12=prov CF Entry request
Name=counter R1=parmlst**

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのカップリング・ファシリティ・アクセスのトレースがアクティブになっており、要求インターフェース・パラメーター・リストの情報が、カップリング・ファシリティ・インターフェース・モジュール DFHNCCEF への入り口でトレースされている。

•

CF インターフェース要求:

INI

サーバー接続を初期化する

CRE

作成のカウンター

GET

割り当ておよび増分のカウンター

SET

カウンターを新規値に設定する

DEL

削除のカウンター

KEQ

単一のカウンターに関する問い合わせ

KGE

ブラウズの問い合わせ

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHNCCF

宛先: SYSPRINT

DFHNC0942I R12=prv CF IXLLIST
REQUEST=request REASON=rsncode

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのカップリング・ファシリティ・アクセスのトレースがアクティブになっており、IXLLIST マクロの結果がトレースされている。トレース対象の情報には、実行中の要求のタイプの省略語およびマクロによって返される理由コードが含まれます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHNCCF

宛先: SYSPRINT

DFHNC0943I R12=prv CF IXLLIST keyword=value

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのカップリング・ファシリティ・アクセスのトレースがアクティブになっており、IXLLIST パラメーターまたは結果の値 (キー、権限値、バージョン、または付加属性

領域) が 16 進形式および (該当する場合は) 文字形式でトレースされている。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHNCCF

宛先: SYSPRINT

DFHNC0944I R12=prv CF 出口 response 名=counter

説明: 名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーのカップリング・ファシリティ・アクセスのトレースがアクティブになっており、要求インターフェース・パラメーター・リストの情報が、CF 要求モジュール DFHNCCF からの出口でトレースされている。

•

応答コード:

OK

正常完了。

LEN ERROR

読み取るデータがバッファー長を超えています。

NOT FOUND

指定されたキーの項目が見つかりませんでした。

DUPLICATE

カウンター名が既に存在するため、追加が拒否されました。

WRONG VER

バージョンが一致しなかったため、変更は拒否されました。

AUTH FAIL

リスト権限値が一致しませんでした。

I/O ERROR

上記以外の IXLLIST エラー。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: DFHNCCF

宛先: SYSPRINT

DFHNC0999I トレース *text* (**Trace** *text*)

説明: このメッセージは、複数のモジュールでの不特定のデバッグ・トレースのために名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーが使用し、サービス担当者によって使用されることを目的としています。デバッグ・トレースが意図的に活動化されている場合、または内部ログブック・エラーが検出された場合を除き、通常の実行では出現しません。

DFHNQnnnn メッセージ

DFHNQ0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べ、詳しいガイダンスを確認してください。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステム

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは IBM サポート・センターからのアドバイスとして、主に診断目的で使用するものです。

モジュール: 各種

宛先: SYSPRINT

を実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHNQDM、DFHNQED、DFHNQIB、DFHNQNC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHNQ0002 *applid* **A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、

CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHNQDM、DFHNQED、DFHNQIB、DFHNQNQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHNQ0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

(XDUREQ 出口のユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止により) 特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS 処理は、CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、エラーは存在しない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* の実行が終了し、CICS は続行することを意味します。

SIT で ICVR=0 を指定しており、しかもモジュール

modname がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

モジュール DFHNQIB でランナウェイが発生している場合、その原因はおそらく UOWENQ ブラウズが長期間実行されたためです。システムに多数のエンキューが存在する場合 (特にその多くが同一タスクで所有されている場合)、CICS はブラウズの処理に長時間を要することがあります。この問題は、ブラウズを実行しているタスクに関連付けられたランナウェイ間隔を長くすることで解決できます。そのためには、関連付けられたトランザクション定義の RUNAWAY 属性を変更します。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、IBM のサポートが必要になることがあります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHNQDM、DFHNQED、DFHNQIB、DFHNQNQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHNQ0101 DATE TIME APPLID ENQMODEL
model has been installed.

説明: ENQMODEL リソース *model* がローカル・システムにインストールされた。

システムの処置: *enqmodel* はインストールされ、CICS は通常どおり続行されます。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHNQRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. *model*

宛先: CSMT

DFHNQ0102 *DATE TIME APPLID ENQMODEL*
model has been discarded.

説明: ENQMODEL リソース *model* がローカル・システムから破棄された。

システムの処置: enqmodel は破棄され、CICS は通常どおり続行されます。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHNQRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *model*

宛先: CSMT

DFHNQ0103 *DATE TIME APPLID* **The limit for the number of concurrent sysplex resource ENQ requests has been reached. Transaction *tran* detected return code *X'code'* from MVS ENQ.**

説明: トランザクション *tran* がシスプレックス全体にわたるリソースのエンキューを試行したときに、コード *X'code'* が MVS によって返された。これは、シスプレックス・リソースに対する同時 ENQ 要求数が制限に達したことを示している。

システムの処置: そのタスクはリソースの制御権を持っていません。EXEC ENQ 要求を発行しているタスクが ABCODE ANQC で異常終了します。

ユーザーの処置: 1 回または複数回トランザクションを再試行します。問題が継続する場合は、システム・プログラマーに相談します。制限を超えないようにシステムを調整できる場合があります。

モジュール: DFHNQED

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *tran*
5. *X'code'*

宛先: CSMT

DFHNQ0104 *applid* トランザクション *tran* がシスプレックス全体にわたるリソースのエンキューを試行したときに、MVS がコード *X'code'* を返しました。(*applid* **MVS returned code *X'code'* when transaction *tran* attempted to enqueue on a sysplex-wide resource.**) これは、予期しない環境エラーが検出されたことを示します。(This indicates that an unexpected environmental error has been detected.)

説明: トランザクション *tran* が シスプレックス全体にわたるリソースのエンキューを試行したときに、コード *code* が MVS によって返された。これは、予期しない環境エラーが検出されたことを示します。(This indicates that an unexpected environmental error has been detected.)

システムの処置: そのタスクはリソースの制御権を持っていません。EXEC ENQ 要求を発行しているタスクが ABCODE ANQD で異常終了します。

ユーザーの処置: 1 回または複数回トランザクションを再試行します。問題が解決しない場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHNQED

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *tran*

宛先: コンソール

DFHNQ0105 *DATE TIME APPLID ENQMODEL*
*model was either disabled or in the waiting state when transaction *tran* attempted to enqueue on a matching resource name.*

説明: EXEC ENQ が、enqmodel が無効になっているか待機状態のリソースに対して発行された。

システムの処置: ENQ 要求は拒否され、発行元タスクが異常終了コード ANQE ENQ_DISABLED で異常終了します。

ユーザーの処置: 複数のトランザクションが異常終了しないようにするために、このようなトランザクションを無効化してから enqmodel を無効にする必要があります。

モジュール: DFHNQRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *model*
5. *tran*

宛先: CSMT

DFHNQ0106 *DATE TIME APPLID ENQMODEL*
model has been replaced.

説明: ENQMODEL リソース *model* がローカル・システムで置換された。

システムの処置: *enqmodel* が置換され、CICS は通常どおり続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHNQRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *model*

宛先: CSMT

DFHNQ0107 *DATE TIME APPLID ENQMODEL*
model1 must be disabled before

DFHOTnnnn メッセージ

DFHOT0001 *applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.*

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。
- ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックがあった。

コード *aaa* は、該当する場合、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コードです (例えば、0C1 または D37)。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは

enabling ENQMODEL model2.

説明: *enqmodel* を有効化しようとしたが、より具体性の低い *enqmodel* が有効化されていることが原因で失敗した。ネストされた汎用 *enqname* を形成している *enqmodel* は、具体性の高いものから順に有効化する必要がある。

ENQMODEL *model2* を有効化する前に、ENQMODEL *model1* を無効化する必要がある。

システムの処置: 当該 *enqmodel* はインストールされませんが、CICS は通常どおり続行されます。

ユーザーの処置: *enqmodel* 定義を確認します。AB* が含まれている *enqmodel* が有効になっている場合は、ABCD* が含まれている *enqmodel* を有効化する前に、これを無効化する必要があります。AB* および ABC* が含まれている *enqmodel* がインストールされている場合は、ABCD* が含まれている *enqmodel* をインストールする前に、これを廃棄する必要があります。

モジュール: DFHNQRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *model1*
5. *model2*

宛先: CSMT

3 つのハイフンで埋められます。aaa の後に続く 4 桁コード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトのいずれかによって作成されたユーザー異常終了コードです。

X'offset' に値 X'FFFF' が入っている場合には、異常終了時にモジュール *modname* に制御があったことを意味しますが、プログラム状況ワード (PSW) はこのモジュールをアドレッシングしていませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症

状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS コード *aaa* がある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

modname 挿入部に値 *????* が入っている場合には、どのモジュールが異常終了したのか CICS が判別できなかったことを意味します。この場合、システム・ダンプを調べて、コードのどの部分がプログラム・チェックを発生させたのかを判別してください。

ユーザーは他のメッセージを調べて、このメッセージを出したモジュールが異常終了発生時に何をしていたかを判別してください。これらのメッセージから、どのプロダクトが異常終了コード *bbbb* を出したのかを論理的に推測することができます。 *bbbb* が CICS コードとして識別された場合には、英数字または数値のいずれかになります。

- CICS コードが英数字 (例えば AKEA) の場合には、CICS トランザクション異常終了コードを表している。

- CICS コードが数値 (たとえば、1310) の場合には、CICS メッセージを表している (たとえば、DFHTS1310)。

ユーザー異常終了コードが別のプロダクトからのコード (例えば、IMS) である場合には、該当するメッセージおよびコードの資料を参照して、異常終了の原因を判別してください。

該当する資料の各項目は、ユーザーにエラーの性質に関する手引きを提供します。さらに、適切なユーザー処置に関する手引きについても提供することがあります。

注: ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックが発生した可能性があります。この場合には、通常、プログラム・チェックの次に ASRA トランザクション異常終了または ASRB トランザクション異常終了が続き、さらにトランザクション・ダンプが作成されます。

ASRA 異常終了および ASRB 異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、CEMT コマンドまたは EXEC CICS コマンドを使用して、ダンプ・テーブル内の項目にこれを指定する必要があります。システム・ダンプの抑止についての詳細は、「構成」で説明されています。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHOTxx

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHOT0002 APPLID A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *module*.

説明: OT ドメインが、CICS の他の部分から予期しないエラー応答を受け取りました。OT によって要求された操作は、コード *X'code'* で記述されています。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1. 他の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2. 症状ストリングを調べる。
3. ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHOTDM, DFHOTTR, DFHOTCO, DFHOTSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *X'code'*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHOT0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるため、これはエラーではない可能性があります。また、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。

通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR パラメーターはミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了しており、それがランナウェイ機能ではないと考えられる場合は、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からサポートを受けてこの問題を解決してください。

モジュール: DFHOTRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHOT0101 *APPLID* A severe error has occurred. The description is '*description*'. The error occurred in class *classname/methodname*.

説明: OT ドメインの Java クラスが予期しないエラー状態を検出した。エラーの説明は *description* に記述されている。クラスおよびメソッドは *classname* および *methodname* に記述されている。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1. 他 の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2. 症状ストリングを調べる。
3. ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHOTDM, DFHOTTR, DFHOTCO, DFHOTSU, dfhjts.jar

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *description*
3. *classname/methodname*

宛先: コンソール

DFHOT0102 *APPLID Task running transaction
tranid could not be purged for OTS
timeout. Transaction
token:X'tran_token'.*

説明: トランザクション・トークン *tran_token* を持つタスクが、未完了 OTS トランザクションでそのタイムアウト値を超える時間にわたり実行されている。タスクのページが試行されたが、その時点でタスクがページされないように保護されていたか、または *tranid* のトランザクション定義で SPURGE(NO) が指定されていることが原因で失敗した。

システムの処置: タスクは、これ以上タスクのページを試行せずに続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: *tranid* のトランザクション定義で SPURGE(YES) を指定することを確認してください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHOTIS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *tranid*
3. *X'tran_token'*

宛先: コンソール

DFHOT0103 *APPLID A system exception has occurred while processing a GIOP request. The server that was processing the request can be identified by the hostname hostname.*

説明: このサーバーによって GIOP 要求が処理されていたときに、システム例外がスローされた。サーバーは *hostname* で識別される。

システムの処置: システム例外は GIOP 要求のクライアントに返されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1.
 - 他の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。特に DFHEJxxx メッセージまたは DFHIIxxx メッセージを確認してください。
- 2.

トレースが使用できる場合は、OT、EJ、または II の例外トレース・ポイントを調べます。

また、II トレース・ポイント 0132、0714、および 0201 も調べてください。II 0132 および II 0714 は GIOP の要求と応答をトレースします。応答にシステム例外が含まれている場合、II 0132 または II 0714 の後に、トレース解釈で SYSTEM_EXCEPTION を示す II 0201 が続きます。

問題が解決できない場合は、IBM からの支援が必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: dfhjts.jar

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *hostname*

宛先: コンソール

DFHOT0105 *APPLID Task running transaction
tranid has been purged as it exceeded
its specified OTS timeout. Transaction
token:X'tran_token'.*

説明: トランザクション・トークン *tran_token* を持つタスクが、未完了 OTS トランザクションでそのタイムアウト値を超える時間にわたり実行されている。

システムの処置: タスクはページされます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: トランザクション定義に指定された OTSTimeout 値をトランザクションが超過した理由を調査します。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHOTIS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *tranid*
3. *X'tran_token'*

宛先: コンソール

DFHPAnnnn メッセージ

DFHPA0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: 予期せぬプログラム・チェック、または異常終了コード *aaa/bbbb* のオペレーティング・システム異常終了が、モジュール *modname* のオフセット *X'offset'* で発生しました。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊が原因である場合があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 特に抑止されていない限り、このシステム異常終了コードについてのシステム・ダンプがとられます。さらに、ダンプ・テーブルを介して終了が要求されていない限り、システムは操作を続行しようとしません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプ、異常終了コード、トレース・テーブル、発行されている可能性があるその他の診断メッセージを使用して、異常終了またはプログラム・チェックの原因を調べます。

モジュール:

DFHPAGP、DFHPADM、DFHPAIO、DFHPAIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHPA0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。

コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、

合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHPA0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージで示された CICS モジュールが終了し、CICS が続行することを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPADM、DFHPAIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*

3. *modname*

宛先: コンソール

DFHPA1100 *applid* OVERRIDE PARAMETERS

FROM JCL EXEC STATEMENT: *parm*

説明: CICS 初期設定中にこのメッセージが表示され、CICS ジョブ用の JCL EXEC ステートメントの PARM パラメーターから取得される SIT の指定変更を示します。パラメーター・ストリング *parm* に 40 文字以下の文字が含まれる場合は、このメッセージに示されます。それ以外の場合は、このメッセージの後の DFHPA1927 メッセージに示されます。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

DFHPA1101 *applid* DFHSITxx IS BEING LOADED.

説明: これは、CICS 初期設定時に表示される通知メッセージです。

xx (存在する場合) は、使用中の SIT に関する 1 文字ないし 2 文字の接尾部を表しています。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1102 *applid* OVERRIDE PARAMETERS

FROM SYSIN:

説明: このメッセージは、SYSIN データ・セットから取得された SIT 指定変更値が表示される前に、CICS 初期設定中に表示されます。このメッセージの後に、SYSIN レコードの実際の内容を示す一連の DFHPA1927 メッセージが出されます。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユ

ユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。
このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

DFHPA1103 *applid* END OF FILE ON SYSIN.

説明: これは、CICS が SYSIN データ・セットの最後に達したときに表示される通知メッセージです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。
このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

DFHPA1104 *applid* SPECIFY ALTERNATIVE SIT PARAMETERS, IF ANY, AND THEN TYPE '.END'.

説明: 『CONSOLE』 または 『CN』 という単語が、CICS JCL の EXEC ステートメント上のパラメーター入力ストリーム、または SYSIN データ・セット内のいずれかで検出された場合、このプロンプト・メッセージは、パラメーター (PA) マネージャーがコンソールの指定変更値を受け入れる準備が整ったときに表示されます。

システムの処置: システム初期設定プログラムは、オペレーターからの応答を待ちます。

ユーザーの処置: 必要なパラメーターの変更 (コンマで区切る) を入力してください。「.END」を入力して応答を終了してください。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

DFHPA1105 *applid* CONTINUE SPECIFYING SIT PARAMETERS AND THEN TYPE '.END'.

説明: SIT 指定変更値をコンソール上に入力している間に、このプロンプト・メッセージは、前の行が

「.END」で終らなかった場合に、もっと指定変更値を要求するために表示されます。

システムの処置: システム初期設定プログラムが、オペレーターにより指定変更値パラメーターがさらに入力されるのを待機します。

ユーザーの処置: 必要なパラメーターの変更を引き続き入力して、コンマで区切ってください。「.END」を入力して応答を終了してください。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

DFHPA1106 *applid* MODULE DFHSITxx COULD NOT BE LOADED. SPECIFY NEW SUFFIX, 'NONE'(UNSUFFIXED) OR 'CANCEL'.

説明: PA ドメイン初期設定時に、接尾部 *xx* を持った SIT をロードすることができませんでした。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。
このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: PA ドメイン初期設定ルーチンは、オペレーターが、別の 1 文字ないし 2 文字の接尾部を入力するか、接尾部なしの SIT を要求するために YES を入力するか、または CANCEL を入力するのを待ちます。CANCEL が入力されると、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 接尾部が正しいかどうかを確認してください。正しくない場合には、正しい接尾部を入力するか、もしくは「YES」を入力して接尾部なしのものにしてください。それ以外の場合には「CANCEL」を入力して、(モジュールを該当するライブラリーに追加することにより) エラーを修正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1107 *applid* A level VERSION OF MODULE DFHSITxx WAS LOADED. CICS CAN ONLY INITIALIZE WITH THE CURRENT LEVEL SIT.

説明: PA ドメイン初期設定時に、接尾部 *xx* およびリリース・レベル *level* の SIT がロードされました。このバージョンは現行 CICS コードと互換性がないので、CICS は異常終了します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユ

ユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するには、現行の CICS レベルで SIT をアセンブルし直してください。新しいリリースで必要な場合がある SIT の変更については、CICS TS for z/OS のアップグレードを参照してください。次に、CICS を再始動する必要があります。

他にも、システムが間違った SIT を指し示している場合があります。この 2 番目の問題を訂正するには、立ち上げ JCL を調べて、「SIT=」指定変更が正しいことを確認してください。システム初期設定パラメーターのコーディングの詳細については、構成を参照してください。さらに、ライブラリー検索順序を調べて、はぐれた SIT (知らないうちに存在する可能性がある) が除去または名前変更されていることを確認してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1108 *applid* DFHSITxx HAS BEEN LOADED. (GENERATED AT MM/DD= mm/dd HH/MM= hh/mm).

説明: これは、CICS 初期設定時に表示される通知メッセージです。これは、ロードされたシステム初期設定テーブルが生成された日時を表示します。

- *xx* は、使用される SIT の接尾部です。
- *mm/dd* は、その SIT が生成された日付 (月日) です。
- *hh/mm* は、その SIT が生成された時刻 (24 時間表示の時と分) です。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1901 *applid modname* COULD NOT BE FOUND OR IS IN A NON-APF LIBRARY/CONCATENATION. CICS IS TERMINATED.

説明: DFHPASYL または DFHPAIO のいずれかのロードを試みている間に、エラーが発生しました。

1056 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: ロードに失敗したモジュールの問題を訂正してください。

たとえば、モジュール *modname* が、CICS により使用されるプログラム・ライブラリーの中に実際に存在するかどうかを調べてください。JCL を調べて、正しい名前、正しいライブラリー、およびライブラリー内の正しいメンバーが使用されていることを確認してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1902 *applid* UNABLE TO OPEN SYSIN DATA SET. CICS IS TERMINATED.

説明: SYSIN データ・セットのオープンを試みている間に、エラーが発生しました。これは、SYSIN データ・セットが存在しない場合に発生します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SYSIN データ・セットが存在しており、しかもそれが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

DFHPA1903 *applid* ERROR WHILE READING FROM SYSIN DATA SET. CICS IS TERMINATED.

説明: SYSIN データ・セットからのレコードの読み取りを試みている間に、エラーが発生しました。これは、SYSIN データ・セットが破壊されたか、または正しく定義されていない場合 (例えば、論理レコード長 LRECL が 80 で定義されていない場合) に、発生する可能性があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SYSIN データ・セットの問題を訂正してください。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

DFHPA1907 *applid* データ *data* は、キーワード *keyword* に対して無効です。 **KEYWORD IS IGNORED.**

説明: このメッセージは、SIT のキーワードまたは SIT 指定変更値のいずれかについて指定されたデータが無効である場合、そして PARMERR=IGNORE オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

- *data* は無効なデータのことです。

システムの処置: このキーワードは無視されます。
CICS は、エラーになっているキーワードを使用しないで初期設定を試みます。

ユーザーの処置: CICS の再始動を行う前に、SIT 内または CICS 入力 JCL 内のいずれかに指定されているキーワードについて有効な値を指定して、エラーを訂正してください。これを行う方法については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1908 *applid* データ *data* は、キーワード *keyword* に対して無効です。 **CICS IS TERMINATED.**

説明: このメッセージは、SIT のキーワードまたは SIT 指定変更値のいずれかについて指定されたデータが無効である場合、そして PARMERR=ABEND オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

- *data* は無効なデータのことです。

このメッセージは、キーワード MCT 用のデータがエラーになっている場合にのみ出されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: CICS の再始動を行う前に、SIT 内または CICS 入力 JCL 内のいずれかに指定されているキーワードについて有効な値を指定して、エラーを訂正してください。構成を参照してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1909 *applid* **DATA INVALID FOR 'keyword'. RESPECIFY KEYWORD AND DATA OR BYPASS WITH '.END': 'data'.**

説明: このメッセージは、SIT のキーワードまたは SIT 指定変更値のいずれかについて指定されたデータが無効である場合、そして PARMERR=INTERACT オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

- *data* は無効なデータのことです。この値は、長すぎて表示できない場合は切り捨てられる場合があります。

注: PARMERR=INTERACT は、無効なキーワード・データのためのデフォルトの処置です。

システムの処置: CICS は、オペレーターがコンソール上で訂正済みキーワードおよびデータを指定変更値として入力するのを待ってから、この指定変更値の分析を行います。

ユーザーの処置: コンソール上で、訂正済み SIT キーワードおよびデータを入力します。小文字データを入力するには、SDSF コマンド行に / を単独で入力するか、/ コマンドの後に + を追加してシステム・コマンド拡張機能を起動します。その後、指定変更値を入力し、キーワードとデータの両方をアポストロフィーで囲みます。キーワード自体は大文字で入力する必要があることに留意してください。コマンドは引き続きジョブ・ログに大文字でエコーされますが、SDSF は値を大/小文字混合で処理します。

バイパスするには「.END」を入力するか、ブランク行を入力します。あるいは、「CANCEL」と入力して CICS を終了します。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1910 *applid* SIT OVERRIDE *keyword* IS NOT RECOGNIZED. OVERRIDE IS IGNORED. (MODULE *modname*).

説明: このメッセージは、入力指定変更パラメーター・ストリームに指定されているキーワードが無効で、しかも PARMERR=IGNORE オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。挿入部 *keyword* は無効なキーワードのことです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: キーワードが無視され、CICS はエラーのキーワードを使用しないで初期設定を試みます。

ユーザーの処置: 指定されたキーワードが正しいことを確認し、CICS の次の初期設定を行う前に、訂正したキーワードで CICS 入力 JCL を更新してください。

モジュール: DFHPADM、DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1911 *applid* SIT OVERRIDE *keyword* IS NOT RECOGNIZED. CICS IS TERMINATED.

説明: このメッセージは、入力指定変更パラメーター・ストリームに指定されているキーワードが無効で、しかも PARMERR=ABEND オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。挿入部 *keyword* は無効なキーワードのことです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SIT 指定変更値内に有効なキーワードを指定することによりエラーを訂正して、CICS を再始動してください。構成を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1912 *applid* SIT OVERRIDE *keyword* IS NOT RECOGNIZED. SPECIFY CORRECT SIT OVERRIDE.

説明: このメッセージは、入力指定変更パラメーター・ストリームに指定されているキーワードが無効で、しかも PARMERR=INTERACT オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。挿入部 *keyword* は無効なキーワードのことです。PARMERR=INTERACT は、無効な SIT 指定変更値のためのデフォルトの処置であることに注意してください。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、オペレーターがコンソール上で訂正済み指定変更値を入力するのを待ってから、この指定変更値の分析を行います。

ユーザーの処置: コンソール上で訂正済み SIT 指定変更値を入力するか、「.END」と入力してエラーになっている指定変更値および後続のすべての指定変更値をバイパスするか、またはブランク行を入力してエラーになっている指定変更値のみをバイパスします。

小文字データを入力するには、SDSF コマンド行に / を単独で入力するか、/ コマンドの後に + を追加してシステム・コマンド拡張機能を起動します。その後、指定変更値を入力し、キーワードとデータの両方をアポストロフィーで囲みます。キーワード自体は大文字で入力する必要があることに留意してください。コマンドは引き続きジョブ・ログに大文字でエコーされますが、SDSF は値を大/小文字混合で処理します。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1913 *applid* INVALID DATA HAS BEEN DETECTED FOR SIT OVERRIDE *keyword* BY MODULE *modname*. OVERRIDE IS IGNORED.

説明: このメッセージは、次のような状態の場合に出されます。

•

SIT 指定変更のために与えられたデータが構文上無効であり、かつ PARMERR=IGNORE システム初期設定パラメーターが指定されている場合。挿入部 *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードを示します。

•

PARMERR=INTERACT が指定されているが、ユーザーが前の無効な SIT キーワードまたは値を訂正しようと試みている場合に、無効なデータへの応答として。この場合には、メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 がこのメッセージの次に表示され、最初に出されたエラーに対する訂正を入力するよう催促します。

•

無効なデータが、コンソールから入力できない (そのため、コンソールとの対話で訂正することができない) キーワードに関して PARM または SYSIN で渡されたとき、PARMERR=INTERACT が指定されている場合。これは通常、セキュリティ・キーワードに当てはまります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: キーワードが無視され、CICS はエラーのキーワードを使用しないで初期設定を試みます。

ユーザーの処置: 指定された値が正しいことを確認し、CICS の次の初期設定を行う前に、訂正したキーワードで CICS 入力 JCL を更新してください。

モジュール: DFHPADM、DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1914 *applid* INVALID DATA HAS BEEN
DETECTED FOR SIT OVERRIDE
keyword. CICS IS TERMINATED.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更値のために指定されたデータが構文上無効で、しかも PARMERR=ABEND オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。

挿入部 *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードを示します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SIT 指定変更値内に有効なキーワードの値を指定することによりエラーを訂正して、CICS を再始動してください。

これを行う方法については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1915 *applid* INVALID DATA HAS BEEN
DETECTED FOR SIT OVERRIDE
keyword. RESPECIFY THE OVERRIDE.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更のために指定されたデータが構文上無効であるか、または 2 ギガバイト以上の数値である場合に表示されます。これは、PARMERR=INTERACT オプションが SIT 内に、または指定変更として指定されている場合にのみ表示されます。

挿入部 *keyword* は、その値がエラーになっているキーワードを示します。

注: PARMERR=INTERACT は、無効な SIT 指定変更値のためのデフォルトの処置です。

システムの処置: CICS は、オペレーターがコンソール上で訂正済み指定変更値を入力するのを待ってから、この指定変更値の分析を行います。

ユーザーの処置: 訂正済み SIT 指定変更値をコンソール上で入力するか、または「END」を入力してパイパスするか、または単にブランク行を入力してください。

小文字データを入力するには、SDSF コマンド行に / を単独で入力するか、/ コマンドの後に + を追加してシステム・コマンド拡張機能を起動します。その後、指定変更値を入力し、キーワードとデータの両方をアポストロフィーで囲みます。キーワード自体は大文字で入力する必要があることに留意してください。コマンドは引き続きジョブ・ログに大文字でエコーされますが、SDSF は値を大/小文字混合で処理します。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1916 *applid* SIT OVERRIDE DATA *data* IS
OUT OF RANGE FOR KEYWORD
keyword. OVERRIDE IS IGNORED.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更値に与えられたデータが有効な範囲外で、しかも PARMERR=IGNORE オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

•

keyword は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

-

data は無効なデータのことです。

システムの処置: このキーワードは無視されます。
CICS は、エラーになっているキーワードを使用しないで初期設定を試みます。

ユーザーの処置: 指定された値が正しいことを確認し、CICS の次の初期設定を行う前に、訂正したキーワードで CICS 入力 JCL を更新してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1917 *applid* SIT OVERRIDE DATA *data* IS OUT OF RANGE FOR KEYWORD *keyword*. CICS IS TERMINATED.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更値に指定されたデータが有効な範囲外で、しかも PARMERR=ABEND オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

-

keyword は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

-

data は無効なデータのことです。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SIT 指定変更値内に有効なキーワードの値を指定することによりエラーを訂正して、CICS を再始動してください。

これを行う方法については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1918 *applid* SIT OVERRIDE DATA *data* IS OUT OF RANGE FOR KEYWORD *keyword*. RESPECIFY THE OVERRIDE.

説明: このメッセージは、SIT 指定変更値に指定されたデータが有効な範囲外で、しかも PARMERR=INTERACT オプションを SIT 内に、もしくは指定変更値として指定している場合に表示されます。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

-

keyword は、その値がエラーになっているキーワードのことです。

-

data は無効なデータのことです。

注: PARMERR=INTERACT は、無効な SIT 指定変更値に対するデフォルトの処置です。

システムの処置: CICS は、オペレーターがコンソール上で訂正済み指定変更値を入力するのを待ってから、この指定変更値の分析を行います。

ユーザーの処置: 訂正済み SIT 指定変更値をコンソール上で入力するか、または「.END」を入力してパイパスするか、または単にブランク行を入力してください。

小文字データを入力するには、SDSF コマンド行に / を単独で入力するか、/ コマンドの後に + を追加してシステム・コマンド拡張機能を起動します。その後、指定変更値を入力し、キーワードとデータの両方をアポストロフィーで囲みます。キーワード自体は大文字で入力する必要があることに留意してください。コマンドは引き続きジョブ・ログに大文字でエコーされますが、SDSF は値を大/小文字混合で処理します。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1919I *applid* SPECIFIED DATA IS INCORRECT. ALL SUBSEQUENT OVERRIDES ON THIS LINE IGNORED.

説明: キーワードの無効値が、メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 が出された後で入力されました。CICS は、無効な値に続く指定変更値を分析することができません。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 を使用して、引き続き訂正済み指定変更値を入力するよう催促します。

ユーザーの処置: 訂正済みの SIT 指定変更値を入力し、データがそのキーワードの有効範囲内にあることを確認してください。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することはできません。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

**DFHPA1920I *applid* SIT KEYWORD *keyword* AND
ALL SUBSEQUENT OVERRIDES ON
THIS LINE IGNORED.**

説明: メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 に応答して、無効なキーワードが入力されました。CICS は、無効な値に続く指定変更値を分析することができません。

挿入部 *keyword* は無効なキーワードのことです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、メッセージ DFHPA1912 またはメッセージ DFHPA1915 を使用して、引き続き訂正済みキーワードを入力するよう催促します。

ユーザーの処置: 訂正済みの SIT 指定変更値を入力してください。その際、キーワードが有効であることを確認してください。

これを行う方法については、「構成」を参照してください。

このメッセージは、SIT パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができません。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

**DFHPA1921 *applid* PLEASE SPECIFY THE
REQUIRED SIT SUFFIX, OR SPECIFY
'NONE'(UNSUFFIXED).**

説明: システム初期設定テーブル (SIT) は、CICS が初期設定を行うために必要な情報を保持しています。これは、事前初期設定時にロードされます。ユーザーは 1 文字または 2 文字の接尾部を指定して、どちらの SIT をロードするかを識別します。接尾部なしのデフォルト SIT を使用するには、「SIT=NO」と応答します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システムは、指定された SIT (見つけられた場合) をロードし、使用します。それ以外の場合には、ユーザーは有効な接尾部を入力するよう催促されます。

ユーザーの処置: このメッセージに応答して「SIT=xx」を入力してください。ここで、xx は使用される SIT 接

尾部を表しています。(「NO」の接尾部により、接尾部なしの SIT をシステムにロードさせます。)

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

**DFHPA1922I *applid* SPECIAL KEYWORD *keyword*
HAS BEEN REPEATED AND IS
IGNORED.**

説明: 2 つの特殊なキーワードがあり、それぞれに省略形があります。最初のキーワードは SYSIN で、省略形は SI です。2 番目のキーワードは CONSOLE で、省略形は CN です。これらのキーワードは、SYSIN データ・ストリームおよびコンソールからそれぞれ SIT 指定変更値を読み取るように CICS に対して指示します。

システムは、これらのキーワードの 1 つに重複を見つけました。JCL を修正する必要があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 指定された特殊なキーワードの 2 番目のものを削除することにより、JCL を訂正してください (CICS システム初期設定パラメーターのコーディングの詳細については、CICS の資料を参照してください)。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することはできません。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

**DFHPA1923I *applid* SPECIAL KEYWORD *keyword*
HAS BEEN DEFINED OUT OF
CONTEXT.**

説明: 2 つの特殊なキーワードがあり、それぞれに省略形があります。最初のキーワードは SYSIN で、省略形は SI です。2 番目のキーワードは CONSOLE で、省略形は CN です。これらのキーワードは、SYSIN データ・ストリームおよびコンソールからそれぞれ SIT 指定変更値を読み取るように CICS に対して指示します。

SYSIN は、SYSIN データ・ストリームまたはコンソールのいずれからでも指定することができません。

CONSOLE は、コンソールから指定することができません。

システムが、上記で説明した状態のいずれかにある指定キーワード *keyword* を検出しました。したがって、JCL は修正する必要があります。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 指定されている特殊キーワードを除去して JCL を訂正してください (CICS システム初期設定パラメーターのコーディングの詳細については、CICS の資料を参照してください)。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することはできません。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1924I *applid* Initialization parameter *parm1* exceeds *parm2*. Both are defaulted. (module *modname*).

説明: 以下の 2 つの状態のどちらかが発生した可能性がある。

- - 1 つ目は、パラメーター *parm1* が、指定変更により、パラメーター *parm2* より大きく設定された。
- - 2 つ目は、パラメーター *parm1* が SIT マクロで特定のレベルに設定された可能性があるが、パラメーター *parm2* が、パラメーター *parm1* より小さくなるよう指定変更で変更された。

いずれの場合も、この条件は無効です。したがって、デフォルト値が両方のパラメーターに適用されます。

システムの処置: 両方のパラメーターがそれぞれのデフォルト値に設定され、システム初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: CICS の次の立ち上げのために *parm2* が *parm1* よりも大きくなるように、システム初期設定パラメーターを変更する必要があります (システム初期設定パラメーターのコーディングの詳細については、構成を参照してください)。

CICS 初期設定は、デフォルト値で続行されます。その後、ユーザーは、CICS 提供のトランザクションを使用してデフォルト値を変更することができます。

このメッセージがメッセージ・ドメインを介して DFHPAGP から発行された場合を除いて、このメッセ

ージをシステム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することはできません。

モジュール: DFHPADM、DFHPAGP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *parm1*
3. *parm2*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHPA1926 *applid* A MISSING DELIMITER HAS BEEN DETECTED FOR OVERRIDE *keyword* (MODULE *modname*).

説明: SIT 指定変更値 *keyword* に与えられたデータが、正しく区切られていませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: SYSIN データ・セットのデータにオープンまたはクローズの区切り文字を入力することによって、データ・セット内の指定済み指定変更値を訂正してください。

CICS を再始動してください。

キーワード *keyword* の必須区切り文字については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1927 *applid* text

説明: このメッセージは CICS の初期設定中に表示され、DFHSIT マクロにコーディングされたシステム初期設定パラメーターを指定変更するパラメーターを示します。このメッセージがメッセージ DFHPA1100 の後に出される場合、*text* は、JCL EXEC ステートメントからの PARM パラメーターの内容を示します。このメッセージがメッセージ DFHPA1102 の後に出される場合、*text* は、SYSIN データ・セットから読み取られたレコードの内容を示します。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAIO

宛先: コンソール

DFHPA1928 *applid* IF XRF=YES, THE GENERIC
AND SPECIFIC APPLIDS MUST BE
DIFFERENT. CICS IS TERMINATED.

説明: XRF CICS システムでは、総称 *applid* および特定の *applid* を定義する必要があります。これらは固有なものでなければなりません。

このメッセージは、これらの両方の *applid* (SIT 指定変更値として定義されている) が XRF 環境内で同一であることがわかった場合に表示され、CICS は終了します。

このメッセージは、総称 *applid* のみが定義された場合にも表示されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 総称および特定の *applid* の両方を SIT 指定変更値として定義することにより、エラーを訂正してください。これらが固有であることを確認してください。これを行う方法の詳細については、構成を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1929 *applid* CSDBKUP=DYNAMIC には
CSDRECOV=ALL が必要です。(applid
CSDBKUP=DYNAMIC REQUIRES
CSDRECOV=ALL.)CSDBKUP は
STATIC にデフォルト設定されました。
(CSDBKUP HAS BEEN DEFAULTED
TO STATIC.)

説明: CSDBKUP キーワードに値 DYNAMIC が指定されている場合、CSDRECOV キーワードに値 ALL を指定する必要があります。しかし、指定変更パラメーター・ストリームが SIT 値を指定変更したために、この要件が満たされませんでした。

システムの処置: 初期設定を続行するために、CSDBKUP がデフォルト値 STATIC に設定されます。CSDBKUP が STATIC に設定されるため、入力 JCL 内、または動的割り振りによって定義されている CICS CSD は、更新のためオープンされている間はバックアップに適格ではありません。

ユーザーの処置: 次の CICS の初期設定を行う前に、CSDBKUP キーワードおよび CSDRECOV キーワードに正しい値を与えて CICS 入力 JCL を更新してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1930 *applid* CSDFRLOG=nn HAS BEEN
IGNORED AS CSDRECOV=ALL HAS
NOT BEEN SPECIFIED.

説明: 順方向リカバリー・ログ値を CSDFRLOG キーワードに指定した場合、CSDRECOV キーワードには値 ALL を指定する必要があります。しかし、指定変更パラメーター・ストリームが SIT 値を指定変更したために、この要件が満たされませんでした。

システムの処置: 初期設定の続行を可能にするために、CSDFRLOG 値は無視されました。CSDFRLOG が無視されたため、入力 JCL 内、または動的割り振りによって定義されている CICS CSD は順方向リカバリー・ロギングに適格ではありません。

ユーザーの処置: 次の CICS の初期設定を行う前に、CSDFRLOG キーワードおよび CSDRECOV キーワードに正しい値を与えて CICS 入力 JCL を更新してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1931 *applid* keyword IS A SECURITY
KEYWORD AND CANNOT BE
ENTERED AT THE CONSOLE. THE
KEYWORD IS IGNORED.

説明: SIT 指定変更値がコンソールから入力されましたが、これは一連のセキュリティ・システム初期設定パラメーターのメンバーであると思われます。セキュリティ・システム初期設定パラメーターは、コンソールからは入力できません。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS はセキュリティ SIT 指定変更値を無視し、初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: CICS 入力 JCL を更新して、次の CICS の初期設定の前に、セキュリティ・キーワードが SIT、SYSIN または PARM に含まれるようにしてください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1932 *applid* A PSDINT VALUE GREATER THAN ZERO WAS SPECIFIED WITH XRF=YES. PSDINT HAS BEEN RESET TO 0.

説明: オプションの対立が検出されました。ユーザーは、PSDINT システム初期設定パラメーターに非ゼロ値を指定して、持続セッション・サポートを要求しました。このパラメーターは、持続セッションの遅延間隔を設定するために使用されます。しかし、ユーザーは XRF=YES を指定することによって、XRF サポートも要求しました。持続セッション・サポートと XRF は、同時に指定することはできません。

システムの処置: PSDINT 値はデフォルトとして 0 をとります。CICS は XRF サポートを使用して続行を試みます。

ユーザーの処置: 次回の CICS の初期設定を行う前に、PSDINT=0 または XRF=NO のいずれかになるようにシステム初期設定パラメーターを変更してください。詳細については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1934I *applid* START TYPE CHANGED TO type.

説明: SIT で指定された開始タイプが、メッセージに示されている開始タイプに変更された。

システムの処置: 新しい開始タイプを使用して初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAGP

宛先: コンソール

DFHPA1935 *applid* keyword IS A SECURITY KEYWORD. THIS KEYWORD AND ALL SUBSEQUENT KEYWORDS ON THIS LINE ARE IGNORED.

説明: SIT 指定変更値がコンソールから入力されましたが、これは一連のセキュリティ・システム初期設定パラメーターのメンバーであると思われます。セキュリティ・システム初期設定パラメーターは、コンソールからは入力できません。CICS は、セキュリティ・キーワードに続く指定変更値を分析することができません。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場

合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は、セキュリティ SIT 指定変更値、およびこれ以降この行に入力されるすべての指定変更値を無視します。初期設定を続行します。

ユーザーの処置: CICS 入力 JCL を更新して、次の CICS の初期設定の前に、セキュリティ・キーワードが SIT、SYSIN または PARM に含まれるようにしてください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1936 *applid* A VALUE WAS SPECIFIED FOR GRNAME WITH XRF=YES. GRNAME HAS BEEN RESET TO BLANKS.

説明: オプションの対立が検出されました。ユーザーが、GRNAME システム初期設定パラメーターに値を指定して、汎用リソース・サポートを要求しました。このパラメーターは、CICS を VTAM 汎用リソースとして登録するために使用されます。しかし、ユーザーは XRF=YES を指定することによって、XRF サポートも要求しました。汎用リソース・サポートと XRF は、同時に指定することはできません。

システムの処置: GRNAME 値はブランクにリセットされます。CICS は、汎用リソース・サポートを使用せずに、XRF のサポートを使用して続行しようとしします。

ユーザーの処置: 次回の CICS の初期設定を行う前に、GRNAME を指定しないようにするか、XRF=NO を指定するようにシステム初期設定パラメーターを変更してください。詳細については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1937 *applid* GRNAME SPECIFIED WITH SPECIFIC AND GENERIC APPLIDS. THE GENERIC APPLID HAS BEEN SET EQUAL TO THE SPECIFIC.

説明: オプションの対立が検出されました。ユーザーが、GRNAME システム初期設定パラメーターに値を指定して、汎用リソース・サポートを要求しました。このパラメーターは、CICS を VTAM 汎用リソースとして登録するために使用されます。しかし、ユーザーにより、汎用アプリケーション ID と特定アプリケーション ID に対して異なる値が指定されました。汎用リソー

ス・サポートでは、APPLID パラメーターに 1 つの値のみを指定する必要があります。

システムの処置: 汎用アプリケーション ID は、特定アプリケーション ID の値に設定されます。CICS は続行し、VTAM 汎用リソースとしての登録を試行します。

ユーザーの処置: CICS を VTAM 汎用リソースとして登録することを意図していた場合は、処置は不要です。そうでない場合は、次のシステムの初期設定の前に、GRNAME パラメーターを削除します。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1938 *applid* GRNAME AND APPLID ARE THE SAME. GRNAME RESET TO BLANKS.

説明: オプションの対立が検出されました。ユーザーが、GRNAME システム初期設定パラメーターに値を指定して、汎用リソース・サポートを要求しました。このパラメーターは、CICS を VTAM 汎用リソースとして登録するために使用されます。しかし、GRNAME に対して指定された値が CICS アプリケーション ID と同じものになっています。VTAM では、汎用リソース名は CICS アプリケーション ID と異なるものにする必要があります。

システムの処置: 汎用リソース名はブランクに設定されます。CICS は VTAM 汎用リソースとしての登録を試行しません。

ユーザーの処置: CICS を VTAM 汎用リソースとして登録することを意図していた場合は、次のシステムの初期設定時に正しい GRNAME を指定します。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1940 *applid* CSDINTEG=CONSISTENT AND CSDINTEG=REPEATABLE REQUIRE CSDRLS=YES. CSDINTEG HAS BEEN SET TO UNCOMMITTED.

説明: CICS システム定義 (CSD) ファイルの読み取り保全性が、CSDINTEG=CONSISTENT または CSDINTEG=REPEATABLE を指定して要求されました。しかし、CSD が非 RLS モードでオープンされるように定義されているため、これらの読み取り保全性オプションを使用できません。読み取り保全性は、RLS モードに定義されているファイルに対してのみ使用可能です。

システムの処置: CICS の始動は続行します。CSD を

読み取り整合性なしで読み取ります。

ユーザーの処置: 以下のいずれかを行って、エラーを訂正してください。

•

CSDRLS=YES を指定して、CSD を RLS モードでオープンできるようにします。

•

CSD を RLS モードでオープンしない場合は、CSDINTEG キーワードを削除します。

モジュール: DFHPADM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPA1941 *applid* VTAM=NO HAS BEEN SPECIFIED BUT NO UOWNETQL PARAMETER HAS BEEN SPECIFIED. A DEFAULT UOWNETQL WILL BE USED.

説明: VTAM=NO がシステム初期設定パラメーターとして設定されましたが、UOWNETQL システム初期設定パラメーターが欠落しています。

非 VTAM システムでは、リカバリー・マネージャー・ドメインに渡されるデフォルトの修飾 LUNAME を作成するために、CICS に UOWNETQL パラメーターが必要です。VTAM システムでは、この名前は OPEN ACB 時に取得されます。リカバリー・マネージャーは、作業単位 (UOW) ID の作成時にデフォルトの修飾 LUNAME を使用します。

システムの処置: これが初期始動である場合、CICS はダミーのデフォルト UOWNETQL である

「9UNKNOWN」を使用して処理を続行します。このダミーの UOWNETQL は、最初の文字が数字であるため無効です。問題をハイライトするために、UOWNETQL にこの無効な名前が指定されます。

これがコールド・スタート、ウォーム・スタート、または緊急スタートである場合は、前の実行で使用された名前が復元され、使用されます。

ユーザーの処置: 有効な UOWNETQL システム初期設定パラメーターを指定します。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1942 *applid* CSDRLS=YES BUT RLS=NO.
CSDRLS=NO WILL BE USED.

説明: システム初期設定パラメーター CSDRLS=YES が指定されましたが、RLS=YES が指定されていません。この場合、初期設定がこれらのパラメーター設定を使用して続行されると、レコード・レベル共用 (RLS) モードでの CSD のオープンが失敗します。これは、RLS がシステムで使用できないためです。

CICS では、CSDRLS=YES を指定した場合は、RLS=YES を指定して RLS を有効にしなければなりません。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、CSDRLS=NO が強制的に指定されます。

ユーザーの処置: CSDRLS が必要な場合は、RLS=YES を指定して CICS を立ち上げます。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1943 *applid* START=COLD または
START=INITIAL を OFFSITE=YES と
ともに指定することはできません。
(START=COLDOR START=INITIAL
MAY NOT BE SPECIFIED WITH
OFFSITE=YES.)CICS IS
TERMINATED.

説明: システム初期設定の指定変更値 OFFSITE=YES が指定されましたが、START=COLD または START=INITIAL も指定されました。OFFSITE=YES は CICS がオフサイト・リカバリー・モードで再始動中であることを意味しますが、コールド・スタートまたは初期始動ではリカバリーを行うことはできないため、このシステム初期設定パラメーターの組み合わせは両立しません。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: CICS をオフサイト・リカバリー・モードで再始動する場合は、START=AUTO を指定する必要があります。

コールド・スタートまたは初期始動を実行することを意図しており、誤って OFFSITE=YES を指定した場合は、OFFSITE 指定変更値を NO に変更するか、この値を削除してデフォルトで NO に設定するようにします。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1944 *applid* CSDRLS=NO の場合、
CSDRECOV=ALL を CSDFRLOG を使
用せずに指定することはできません。
(CSDRECOV=ALL CANNOT BE
SPECIFIED WITHOUT A CSDFRLOG
IF CSDRLS=NO.)CICS IS
TERMINATED.

説明: システム初期設定パラメーター CSDRECOV=ALL が CSDRLS=NO とともに指定されましたが、CSDFRLOG が指定されていないか、NO に指定されています。

CSD に非 RLS モード (CSDRLS=NO) でアクセスし、順方向リカバリーを指定する (CSDRECOV=ALL) 場合、CSDFRLOG システム初期設定パラメーターを使用して順方向リカバリー・ログも指定する必要があります。

CSD に RLS モード (CSDRLS=YES) でアクセスする場合、リカバリー属性が VSAM カタログから取得され、CSDRECOV および CSDFRLOG は無視されます。そのため、CSDRECOV=ALL の場合に CSDRLS=YES が指定されていると、CSDFRLOG のチェックは実行されません。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: CSDRECOV=ALL と CSDRLS=NO を同時に指定した場合は、CSDFRLOG=nn を指定する必要があります。ここで、nn は 1 から 99 までの数字です。

CSD に非 RLS モードでアクセスする必要があるが、VSAM カタログで CSD のリカバリー属性を指定することを選択した場合、CSD リカバリー属性に関連したシステム初期設定パラメーターは使用されません。ただし、引き続きこれらのパラメーターの整合性のあるセットを持っている必要があります。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1945 *applid sitname* MUST BE LINKEDITED
WITH THE NORENT OPTION. CICS
IS TERMINATED.

説明: システム初期設定テーブル *sitname* が RENT オプションを指定してリンク・エディットされました。これは、CICS がこのテーブルへの書き込みアクセス権限を持たないことを意味します。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: NORENT オプションを指定して、システム初期設定テーブルを再リンクする必要があります。

モジュール: DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1946 *APPLID* **APPLID is already in use by another CICS in the sysplex. CICS is terminated. (CICS is terminated.)**

説明: SIT または SIT 指定変更値に指定された特定の *applid* が、シスプレックス内の別の CICS によって既に使用されています。シスプレックス内の異なる CICS システムに対する特定のアプリケーション ID は固有でなければなりません。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: シスプレックス内の各 CICS システムに対して固有のアプリケーション ID が提供されていることを確認してください。

モジュール: DFHPADM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHPA1947 *applid* **A PSDINT VALUE GREATER THAN ZERO WAS SPECIFIED WITH PSTYPE=NOPS. PSDINT HAS BEEN RESET TO 0.**

説明:

A conflict has been detected. PSTYPE=NOPS has been specified during CICS startup together with a non-zero value for PSDINT. PSTYPE=NOPS disables VTAM persistent session support. Therefore, a non-zero PSDINT value is mutually exclusive with PSTYPE=NOPS.

システムの処置:

The PSDINT value defaults to 0. CICS attempts to continue with VTAM persistent session support disabled.

ユーザーの処置:

Before you next initialize CICS, alter the system initialization parameters so that either PSDINT=0 or PSTYPE=SNPS or MNPS. 詳細については、「構成」を参照してください。

モジュール:

DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1948 *applid* **MORE THAN FOUR PARAMETERS SPECIFIED FOR SIT OVERRIDE GRPLIST. ADDITIONAL PARAMETERS ARE IGNORED.**

説明:

The system initialization parameter GRPLIST has been specified with more than the permitted four parameters and the PARMERR=ABEND SIT option is not set.

システムの処置:

The additional parameter(s) are ignored and system initialization is続行される。

ユーザーの処置:

Before you next initialize CICS, alter the GRPLIST system initialization parameters so that a maximum of four resource definition groups are specified. 詳細については、「構成」を参照してください。

モジュール:

DFHPADM

宛先: コンソール

DFHPA1949 *applid* **CANCEL reply received. CICS が終了中である。**

説明: CANCEL 応答が受信されました。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 前のメッセージを参照して、行う処置を決めてください。

モジュール: DFHPAGP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPA1950I *applid* 機能切り替えファイル: *filename* を読み取り中 (**READING FEATURE TOGGLE FILE: *filename***)

説明: 指定された機能切り替えファイルの読み取りを試行しています。

システムの処置: CICS の始動は続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *filename*

DFHPA1951I • DFHPA1956I

宛先: コンソール

DFHPA1951I *applid* FEATURE TOGGLE FILE COULD NOT BE FOUND: *path*

説明: 指定されたパスで機能切り替えファイルを見つけることができませんでした。CICS の初期設定を続行します。

システムの処置: CICS の始動は続行します。

ユーザーの処置: 少なくとも、空の `groupfeaturetoggle.properties` ファイルおよび空の `featuretoggle.properties` ファイルを、それらをオープンするための正しい権限が付与されているディレクトリに作成する必要があります。機能切り替えが必要な場合は、必要なファイルに機能切り替えを追加します。

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *path*

宛先: コンソール

DFHPA1952 W *applid* THE FEATURE TOGGLE FILE COULD NOT BE OPENED.

説明: 機能切り替えファイルが見つかりましたが、オープンできませんでした。

システムの処置: CICS の始動は続行します。

ユーザーの処置: 機能切り替えファイルが正しい場所にあり、ファイルをオープンするための正しい権限が付与されていることを確認してください。

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPA1953 W *applid* THE FEATURE TOGGLE FILE COULD NOT BE READ.

説明: 機能切り替えファイルがオープンされましたが、読み取ることができませんでした。

システムの処置: CICS の始動は続行します。

ユーザーの処置: 機能切り替えファイルを読み取るための正しい権限が付与されていることを確認してください。

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPA1954 W *applid* THE FEATURE TOGGLE FILE IS INCORRECTLY FORMATTED.

説明: 機能切り替えファイルに、有効な名前と値のペアのリストが含まれていません。

システムの処置: CICS の始動は続行します。機能切り替えファイルに指定された機能切り替えは適用されません。

ユーザーの処置:

機能切り替えファイルの内容を訂正してください。
If the associated DFHPA1956I message contains unreadable output, make sure that the feature toggle file contents are saved in the EBCDIC file encoding on UNIX System Services.

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPA1955 W *applid* INSUFFICIENT STORAGE TO PROCESS FEATURE TOGGLES.

説明: 使用できる十分なストレージがないため、機能切り替えファイルを処理できませんでした。

システムの処置: CICS の始動は続行します。機能切り替えファイルに指定された機能切り替えは適用されません。

ユーザーの処置: 機能切り替えが必要な場合は、この領域で利用できる 2 GB 境界より上のストレージ量を増やしてください。

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPA1956I *applid* text

説明: このメッセージは CICS の初期設定中に使用され、この領域で使用される機能切り替えを示します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *text*

宛先: コンソール

DFHPA1957 W *applid* **FEATURE TOGGLE NOT APPLIED. IT HAS BEEN FINALIZED:**
text

説明: このメッセージは、CICS の初期設定中に表示され、機能切り替えが別の切り替えファイルでファイナライズされたため、機能切り替えが適用されなかったことを示します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

DFHPCnnnn メッセージ

DFHPC0401 *applid* **Abend abcode issued by yyy task.**

説明: CICS が、CICS トランザクション異常終了コード *abcode* を出して異常終了しました。*yyy* は、たとえば TCP (端末管理) のように、タスクを識別するものです。

タスクの異常終了が、システム・タスクに対して要求されました。システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abcode* の説明を参照してください。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *yyy*

宛先: コンソール

DFHPC0402 *APPLID* **Error with kernel error code errorcode has occurred while processing transactionabend abcode in transaction tranid**

2. *text*

宛先: コンソール

DFHPA1958I *applid* **FILE DOES NOT CONTAIN FEATURE TOGGLES.**

説明: メッセージ DFHPA1950 で指定されたファイルが空であるか、このファイルに機能切り替えが含まれていません。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 機能切り替えが必要な場合は、それらを指定されたファイルに追加してください。機能切り替えが不要な場合、処置は必要ありません。

モジュール: DFHPAFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

説明: トランザクション異常終了の処理中に、プログラム・チェック、異常終了、ループ、または 2 番目のトランザクション異常終了が起これ、CICS は最初のトランザクション異常終了を完了することができません。

システムの処置: CICS 処理は終了します。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部処理における重大エラーです。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *errorcode*
3. *abcode*
4. *tranid*

宛先: コンソール

DFHPC0405 *applid* **Abend abcode2 has been issued while processingabend abcode1 for the same task, transaction tranid.**

説明: トランザクション *tranid* が異常終了コード *abcode1* を出して異常終了しました。CICS がトランザクション *tranid* をバックアウトしているときに、別の異常終了 (すなわち、*abcode2*) が起きました。そのた

DFHPC0408 • DFHPD0102

め、CICS は、先に起こった異常終了 *abcode* を正しく処理できませんでした。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 異常終了 *abcode1* が起こった原因を調べてください。CICS 異常終了処理内のエラーが原因となっている可能性もあります。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode2*
3. *abcode1*
4. *tranid*

宛先: コンソール

DFHPC0408 *applid* **Abend *abcode* has been issued during post commit processing, transaction *tranid*.**

説明: トランザクション *tranid* のコミット後の処理中に、トランザクションが異常終了 *abcode* を発行しました。トランザクションのコミット後の処理中に発生する異常終了は、リソース・マネージャーが同期点処理を正しく行えず、そのためデータの整合性が不確かであることを意味します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abcode* の説明を参照してください。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHPDnnnn メッセージ

DFHPD0101 **Pointer to xxxxxxxx at offset X'offset' is invalid.**

説明: タイプ xxxxxxxx のブロック (そのアドレスは、形式設定されたばかりのブロックのオフセット *offset* である) を指すポインターが無効です。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 要求された区域を指すポインターが破壊されているか、ポインターが初期設定されていなかったか、またはアドレスは有効でもその区域がダンプに存在しなかったかのいずれかです。後者では、この区域が問題を診断する上で不可欠である場合には、欠落した区

1. *applid*
2. *abcode*
3. *tranid*

宛先: コンソール

DFHPC0409 *applid* **Abends *abcode2* and *abcode3* have been issued while processingabend *abcode1* for the same task, transaction *tranid*.**

説明: タスクは異常終了し、異常終了コード *abcode1* が出されました。この異常終了の処理中に、そのタスクは異常終了コード *abcode2* および *abcode3* の順序で (CICS コードで) さらに 2 回異常終了しました。永続異常終了ループに入っている可能性があります。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abcode1* の説明を参照してください。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHABAB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode2*
3. *abcode3*
4. *abcode1*
5. *tranid*

宛先: コンソール

域を含む新規のダンプを得る必要があります。

ストレージがダンプ内に存在し、ポインターがそのアドレスで初期設定されているが、ストレージが CICS コードによって参照されていないということもあります。ダンプ内のこのアドレスのストレージを走査検索して、この点を検査することができます。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT、DFHXRDUF

宛先: SYSPRINT

DFHPD0102 **Pointer to xxxxxxxx at offset X'offset' is zero.**

説明: タイプ xxxxxxxx のブロック (そのアドレスは、

形式設定されたばかりのブロック内のオフセット *offset* である) を指すポインターがゼロです。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: この区域は破壊されているか、もしくは正しく設定されていません。ゼロ値が有効である可能性もあります。これはダンプ収集の環境やタイミングによります。例えば、ゼロ値はブロックが初期設定される前には有効です。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT、DFHXRDUF
宛先: SYSPRINT

DFHPD0103 xxxxxxxx address X'address' is invalid.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックのアドレス *address* が無効です。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 要求された区域を指すポインターが破壊されているか、ポインターが初期設定されていなかったか、またはアドレスは有効でもその区域がダンプに存在しなかったかのいずれかです。後者では、この区域が問題を診断する上で不可欠である場合には、欠落した区域を含む新規のダンプを得る必要があります。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT、DFHXRDUF
宛先: SYSPRINT

DFHPD0104 Address of xxxxxxxx is zero.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックのアドレスがゼロです。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: この区域は破壊されているか、もしくは正しく設定されていません。ゼロ値が有効である可能性もあります。これはダンプ収集の環境やタイミングによります。例えば、ゼロ値はブロックが初期設定される前には有効です。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT、DFHXRDUF
宛先: SYSPRINT

DFHPD0105 A loop has been detected. xxxxxxxx at address X'address' already encountered.

説明: 形式設定プログラムは、重複したアドレスがないかどうかを調べることにより、破壊された制御ブロック連鎖によるループが生じないようにします。アドレス *address* のブロック xxxxxxxx がすでに検出され、すでに形式設定されていた可能性があります。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: すでに処理されている同じタイプの制御ブロックのチェーン・フィールドを調べてください。それが原因ではない場合、例えば、ブロックが初期設定される前にこれが起きたときには、ダンプ収集のタイミングによって問題が引き起こされた可能性があります。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT
宛先: SYSPRINT

DFHPD0106 An error has occurred while formatting xxxxxxxx.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックの形式設定時にエラーが発生しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: そのブロックのデータを形式設定していなかった場合には、そのブロック・アドレスが無効だったことが考えられます。この場合には、メッセージ DFHPD0101 を参照してください。

ブロックの一部が正常に形式設定されている場合には、制御ブロックの長さが正しくないことが考えられます。長さが上書きされている場合があります。これが、問題に対する手掛かりになる可能性があります。

モジュール: DFHDUFUT、DFHDUFFT
宛先: SYSPRINT

DFHPD0107 Eyecatcher for xxxxxxxx at X'address' is invalid.

説明: アドレス *address* のタイプ xxxxxxxx の制御ブロックの目印フィールドの値が正しくありません。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 目印が上書きされた理由または制御ブロックが正しく設定されなかった理由を調べてくださ

い。ストレージの上書きの問題を解決する方法については、トラブルシューティングおよびサポートを参照してください。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT

宛先: SYSPRINT

DFHPD0108 Unable to start browse of xxxxxxxx.

説明: タイプ xxxxxxxx のテーブルのブラウズを開始しようとしたときに、エラーが発生しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、テーブル・マネージャー・プログラム (TMP) の制御ブロックが無効であることが考えられます。問題のテーブルの TMP 制御ブロックを検査してください。

モジュール: DFHDUFUT

宛先: SYSPRINT

DFHPD0109 Unable to get next entry in xxxxxxxx table.

説明: タイプ xxxxxxxx のテーブルの次の項目にアクセスしようとしたときに、エラーが発生しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、テーブル・マネージャー・プログラム (TMP) の制御ブロックが無効であることが考えられます。問題のテーブルの TMP 制御ブロックを検査してください。

モジュール: DFHDUFUT

宛先: SYSPRINT

DFHPD0110 Unable to access data for xxxxxxxx

説明: 対話式問題管理システム (IPCS) サービス・ルーチン ADPLMEMA が、ダンプ内の制御ブロック xxxxxxxx に関して要求されたデータを見つけることができませんでした。

システムの処置: ダンプの形式設定は、データがないことによって影響を受けたセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 要求された区域を指すポインターが破壊されているか (そのこと自体が問題に対する手掛かりになるかもしれませんが)、またはアドレスは有効でもその区域がダンプに存在しなかったかのいずれかです。後

者では、この区域が問題を診断する上で不可欠である場合には、欠落した区域を含む新規のダンプを得てください。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

DFHPD0111I Pointer to xxxxxxxx at offset X'offset' is zero.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロック (そのアドレスは、形式設定されたばかりのブロック内のオフセット *offset* である) を指すポインターがゼロです。

システムの処置: ダンプの形式設定は、ゼロ・ポインターにより影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、ダンプがとられたときにその区域がゼロだったことを示す通知メッセージです。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT、DFHXRDUF

宛先: SYSPRINT

DFHPD0112I Address of xxxxxxxx is zero.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックのアドレスがゼロです。

システムの処置: ダンプの形式設定は、ブロックによって影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、ダンプがとられたときにその区域にアドレスが含まれていなかったことを示す通知メッセージです。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT、DFHXRDUF

宛先: SYSPRINT

DFHPD0113 This block has already been processed.

説明: 見出し行が印刷されたばかりのこのブロックが、ダンプのこのセクションですでに形式設定されていました。

システムの処置: このブロックはもう一度形式設定され、起こりうる制御ブロック・チェーン・ループによって影響を受ける可能性のあるすべてのセクションはスキップされます。

ユーザーの処置: これまで処理された制御ブロック内のチェーン・フィールドを検査してください。これが、問題に対する手掛かりになる可能性があります。

モジュール: DFHPD720

宛先: SYSPRINT

DFHPD0114 キーワード *keyword* が無効です

説明: cics720 verb のキーワード *keyword* は無効です。

システムの処置: このキーワードは無視されます。

ユーザーの処置: キーワードを訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHPDKW

宛先: SYSPRINT

DFHPD0115 CICS job not found during ASCB scan.

説明: ダンプ形式設定プログラムが、指定された JOB 基準 (存在する場合) を満たす CICS ジョブのダンプを探索しましたが、見つかりませんでした。

システムの処置: このメッセージの後にメッセージ DFHPD0120 が続くのは、重大な問題の場合のみです。

ユーザーの処置: これが重大なエラーである場合は、ダンプが正しいものであること、JOB キーワードが正しく指定されていること、ダンプに必要な MVS および CICS のデータ域が含まれていることを確認してください。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

DFHPD0116 AFCB にアクセスできません。(Cannot access the AFCB.)

説明: 形式設定プログラムが AFCB のデータにアクセスできませんでした。

システムの処置: 形式設定は実行されません。

ユーザーの処置: ダンプが正しいものであること、ダンプに必要な MVS データ域が含まれていることを確認してください。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

DFHPD0117 An error has occurred while formatting xxxxxxxx.

説明: タイプ xxxxxxxx のブロックの形式設定時にエラーが発生しました。

原因は次のいずれかです。ユーザーがストレージに対して GETMAIN を実行しましたが、ストレージが参照されませんでした。参照されないストレージは、ダンプ内

に存在することはできません。

または、ブロック・アドレスが無効です。

または、制御ブロックの長さが正しくありません。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このブロックに対してデータが形式設定されていない場合には、このストレージが参照されていないか、またはブロック・アドレスが無効です。ブロック・アドレスが無効だった場合には、メッセージ DFHPD0101 を参照してください。

ブロックの一部が正常に形式設定されている場合には、制御ブロックの長さが正しくないことが考えられます。長さが上書きされている場合があります。これが、問題に対する手掛かりになる可能性があります。

モジュール: DFHDUFFT、DFHDUFUT

宛先: SYSPRINT

DFHPD0118 Invalid argument for JOB=, CURRENT assumed

説明: cics720 verb の JOB オペランドの引数が無効です。

システムの処置: このキーワードは無視されます。

ユーザーの処置: 無効な引数を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHPDKW

宛先: SYSPRINT

DFHPD0119 Duplicate keyword *keyword* found. Value *value* accepted

説明: cics720 のキーワード *keyword* が既に検出されています。

システムの処置: メッセージに指定された値 *value* は、キーワード *keyword* に以前に指定されたすべての値を指定変更します。処理は、新しい値 *value* で続行されます。

ユーザーの処置: cics720 verb で指定されている重複キーワードを削除してください。

モジュール: DFHPDKW

宛先: SYSPRINT

DFHPD0120 CICS IPCS exit is terminating.

説明: CICS 出口が終了中です。

システムの処置: 出口が、要求された機能を実行せずに対話式問題管理システム (IPCS) に戻ります。前に出されたメッセージには、この理由が示されています。

ユーザーの処置: どのような処置が必要かを判別するには、ダンプ上のこのメッセージの直前のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

DFHPD0121I Formatting control blocks for job *jobname*

説明: これは、ダンプがとられた CICS システムのジョブ名を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

DFHPD0122I End of dump for job *jobname*

説明: これは、CICS 印刷ダンプ出口からの出力の最後を示します。

システムの処置: None. 形式設定ジョブがちょうど完了したところです。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

DFHPD0123 A program check has occurred while processing keyword *keyword*

説明: メッセージに示されているキーワードの処理時にプログラム・チェックが起きました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

このメッセージの最大発生可能回数は、5 回であることに注意してください。6 度目のプログラム・チェックが発生した場合、ダンプ形式設定プログラムは異常終了し、DFHPD720 異常終了コードが出されます。

ユーザーの処置: このメッセージとともにダンプが作成されるはずですが、ダンプが作成されない場合は、JCL ジョブ・ストリームに //DFHSNAP DD SYSOUT=A

を含めてジョブを再実行してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

DFHPD0124 Storage violation detected at X'address'. Leading SAA is invalid.

説明: アドレス X'address' のユーザー記憶素子の最初の 8 バイトのストレージ・アカウンティング域 (SAA) が無効であることがわかりました。しかし、後書き SAA は有効です。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: ストレージが上書きされた理由または正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法については、トラブルシューティングおよびサポートを参照してください。

モジュール: DFHDUFUT

宛先: SYSPRINT

DFHPD0125 Storage violation detected at X'address'. Trailing SAA is invalid.

説明: アドレス X'address' のユーザー記憶素子の最初の 8 バイトのストレージ・アカウンティング域 (SAA) が無効であることがわかりました。しかし、先行 SAA は有効です。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: ストレージが上書きされた理由または正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法については、トラブルシューティングおよびサポートを参照してください。

モジュール: DFHDUFUT

宛先: SYSPRINT

DFHPD0126 Storage violation detected at X'address'. Leading and trailing SAAs are invalid.

説明: アドレス X'address' のユーザー記憶素子の最初と

最後の 8 バイトのストレージ・アカウントング域 (SAA) が無効です。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: ストレージが上書きされた理由または正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法については、トラブルシューティングおよびサポートを参照してください。

モジュール: DFHDUFUT

宛先: SYSPRINT

**DFHPD0127 Storage violation detected at X'address'.
Leading and trailing SAAs differ.**

説明: アドレス X'address' のユーザー記憶素子の最初と最後の 8 バイトにあるストレージ・アカウントング域 (SAA) は有効ですが、それらが一致しません。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: ストレージが上書きされた理由または正しく設定されなかった理由を調べてください。ストレージの上書きの問題を解決する方法については、トラブルシューティングおよびサポートを参照してください。

モジュール: DFHDUFUT

宛先: SYSPRINT

**DFHPD0128 アドレス X'address' に対して無効なデータ長 X'length' が指定されました。
(Invalid data length X'length' specified
for address X'address'.)**

説明: オフライン・ユーティリティ DFHPD720 は、システム・ダンプの形式設定を行っている間に、無効な長さ X'length' のデータ・ブロックを求める要求を検出しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、通常、このエラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コード内にエラーがある可能性を示しています。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDUFUT、DFHDUFFT

宛先: SYSPRINT

**DFHPD0129 CICS Domain Anchor Blocks not
found for AFCB. Scan will continue.**

説明: ダンプ・フォーマッターが TCB チェーン内の CICS ダンプの検出を試みましたが、失敗しました。スキャンは続行されます。これは、DFHPD720 が CICS ドメイン・アンカー・ブロックのアドレスをカーネル・グローバル・ストレージ内に見つけることができなかったためです。この原因としては、次のものが考えられます。

- TCB チェーン上の誤った TCB をスキャンした。スキャンは続行されます。
- カーネル・グローバル・ストレージが上書きされているか、FREEMAIN されている。
- ダンプが CICS 初期設定で早期にとられたため、カーネル・グローバル・ストレージがまだ設定されていなかった。

システムの処置: このメッセージの後にメッセージ DFHPD0120 が続くのは、重大な問題の場合のみです。

ユーザーの処置: 重大エラーである場合には、元のエラーを再現し、ダンプ・フォーマッターを再実行できる有効なシステム・ダンプを作成してください。

問題が再発する場合には、IBM のサポートが必要になります。ダンプ・フォーマッターからの sysprint 出力を集めて、関係のあるすべてのメッセージを書き留めてください。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

**DFHPD0130 Keyword keyword1 is no longer valid.
Replace with keyword keyword2**

説明: CICS TS 5.5 で、キーワード keyword1 が cics720 verb の keyword2 によって置換されました。

例えば、キーワード PCP が PG で置換されています。

システムの処置: キーワード keyword1 は無視されます。

ユーザーの処置: キーワードを訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHPDKW

宛先: SYSPRINT

DFHPD0131 CICS job *jobname* is for CICS version *version1*. CICS IPCS exit is for CICS version *version2*.

説明: ダンプ形式設定プログラムが処理している CICS ジョブ *jobname* は、CICS バージョン *version1* で実行されていましたが、このダンプ形式設定プログラムは、CICS バージョン *version2* と一緒に配布されたプログラムでした。

システムの処置: CICS ジョブに対してダンプ形式設定が続行されます。

ユーザーの処置: MRO 制御ブロックが形式設定されていない場合は、CICS バージョン *version1* のダンプ形式設定プログラムを使用して、CICS ジョブのダンプ形式設定を再試行してください。

モジュール: DFHPDX1

宛先: SYSPRINT

DFHPD0133 Specified task not found.

説明: taskid キーワード・パラメーターで指定されたタスク ID のトランザクションが見つかりませんでした。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: 無効な taskid を訂正して再試行します。

モジュール: DFHPD720

宛先: SYSPRINT

DFHPD0134 Link to module CEEERRIP has failed.

説明: ダンプ・データの形式設定中に、言語環境 IPCS Verbexit プログラム CEEERRIP への関係が試行されました。関係は失敗しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: CEEERRIP は SYS1.MIGLIB で提供されます。SYS1.MIGLIB が MVS リンク・リストまたは LPA の連結に存在することを確認してください。

モジュール: DFHPD720

宛先: SYSPRINT

DFHPD0135 Program check occurred with CEEERRIP in control.

説明: ダンプ・データの形式設定中に、言語環境 IPCS verbexit モジュール CEEERRIP でプログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は、エラーの影響を受けたすべてのセクションをスキップした後で続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージとともにダンプが作成されます。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPD720

宛先: SYSPRINT

DFHPD0136 An error occurred creating the Error Message Index. The list of pages containing severity messages is incomplete.

説明: ダンプ・データの形式設定中に、メッセージが含まれているページのリストが破損しました。

システムの処置: ダンプの形式設定は続行され、破損していないすべての既知のページ番号がリストされます。

ユーザーの処置: 各メッセージを確認するには、ダンプ形式設定出力を参照してください。

モジュール: DFHPD720

宛先: SYSPRINT

DFHPGnnnn メッセージ

DFHPG0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを、で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行でき

ない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPGAI, DFHPGAQ, DFHPGDD, DFHPGDM, DFHPGEX, DFHPGHM, DFHPGIS, DFHPGLD, DFHPGLK, DFHPGLU, DFHPGPG, DFHPGRP, DFHPGST, DFHPGXM.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHPG0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール

modname を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPGAI, DFHPGAQ, DFHPGDD, DFHPGDM, DFHPGEX, DFHPGHM, DFHPGIS, DFHPGLD, DFHPGLK, DFHPGLU, DFHPGPG, DFHPGRP, DFHPGST, DFHPGXM.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHPG0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール

modname が終了し、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 が宣言されており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPGAI, DFHPGAQ, DFHPGDD, DFHPGDM, DFHPGEX, DFHPGHM, DFHPGIS, DFHPGLD, DFHPGLK, DFHPGLU, DFHPGPG, DFHPGRP, DFHPGST, DFHPGXM.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHPG0101 *date time applid terminal userid tranid*
Resource definition for *progrname* has been added.

説明: これは、INSTALL コマンドを使用してプログラム項目 *progrname* が追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progrname*

宛先: CSPL

DFHPG0102 *date time applid terminal userid tranid*
Resource definition for progrname has been deleted.

説明: これは、プログラム項目 *progrname* が、**DISCARD** コマンドを使用して削除されたことを示す監査ログ・メッセージです。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progrname*

宛先: CSPL

DFHPG0103 *date time applid terminal userid tranid*
Resource definition for progrname has been replaced.

説明: これは、プログラム項目 *progrname* が、**INSTALL** コマンドを使用して置換されたことを示す監査ログ・メッセージです。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progrname*

宛先: CSPL

DFHPG0104 *date time applid* **Program progrname is defined with DATALOCATION(ANY) but is linkedited with AMODE(24).**

説明: プログラム項目 *progrname* がロードされました。これは (RDO を使用して、またはプログラム自動インストールによって) **DATALOCATION(ANY)** で定義されていますが、**AMODE(24)** でリンク・エディットされています。SET オプションを使用して **EXEC CICS** コマンドによりプログラムへ戻されるアドレスは、16MB 境界を超えるため **AMODE(24)** プログラムによるアクセスができないことがあります。

この定義は、プログラムが **AMODE(31)** でリンク・エディットされている別のプログラムヘストレージを渡すことができるときに、受け入れられます。「リソースの定義」の **DATALOCATION** の説明を参照してください。

DFHPG0105 • DFHPG0111

定義された後、このメッセージは、プログラムが初めてロードされるとき、リンクされるとき、または XCTL されるときに出されます。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGLD、DFHPGLE、DFHPGLK、DFHPGLU、DFHPGPG、DFHPGXE、DFHPGEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progrname*

宛先: CSPL

DFHPG0105 *date time applid terminal userid tranid*
progrname のリソース定義が更新されました。

説明: これは、プログラム・エントリー *progrname* がグループ・リスト内のプログラム定義によって更新されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを発行したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを発行したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを発行したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progrname*

宛先: CSPL

DFHPG0111 *date time applid terminal userid tranid*
Resource definition for *progrname* in application *applicationname*, version *majorversion.minorversion.microversion* of platform *platformname* has been installed.

説明: これは、プラットフォーム *platformname* で、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のアプリケーション *applicationname* に属しているプログラム項目 *progrname* がインストールされたことを示す監査ログ・メッセージです。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progrname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0112 *date time applid terminal userid tranid*
Resource definition for progname in
application applicationname, version
majorversion.minorversion.microversion of
platform platformname has been
discarded.

説明: これは、プラットフォーム *platformname* で、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のアプリケーション *applicationname* に属しているプログラム項目 *progname* が破棄されたことを示す監査ログ・メッセージです。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0113 *date time applid terminal userid tranid* **An**
application entry point for operation
operationname of application
applicationname, version
majorversion.minorversion.microversion, on
platform platformname has been set
{disabled and unavailable | disabled}
because PROGRAM programname has
been {replaced | deleted}.

説明: プラットフォーム *platformname* で、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のアプリケーション *applicationname* の *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントが無効にされ、使用不可にされました。これは、アプリケーションがプログラム・エントリー・ポイントとして採用した公開プログラム *programname* が削除されたか、置換されたことが原因です。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを再び使用可能にするには、まずプログラムを再インストールし、バンドルを有効化して使用可能に設定します。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *operationname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*
13. 以下のオプションから選択される値。

1 =無効にされ、使用不可,
 2 =無効

14. *programname*
15. 以下のオプションから選択される値。

1 =置換されました,
 2 =削除されました

宛先: CSPL

DFHPG0114 *date time applid terminal userid tranid* **An application entry point for operation operationname has been set {disabled and unavailable | disabled} because PROGRAM programname has been {replaced | deleted}.**

説明: *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントが無効にされ、使用不可にされました。これは、アプリケーションがプログラム・エントリー・ポイントとして採用した公開プログラム *programname* が削除されたか、置換されたことが原因です。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを再び使用可能にするには、まずプログラムを再インストールし、バンドルを有効化して使用可能に設定します。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *operationname*
8. 以下のオプションから選択される値。

1 =無効にされ、使用不可,
2 =無効

9. *programname*
10. 以下のオプションから選択される値。

1 =置換されました,
2 =削除されました

宛先: CSPL

DFHPG0201 *date time applid terminal userid tranid* **Program autoinstall exit urmname indicated that program progname should not be installed.**

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール出口は、プログラムがインストールでき

ないことを示す戻りコードを設定しました。 ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。 EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *urmname*
8. *progname*

宛先: CSPL

DFHPG0202 *date time applid terminal userid tranid* **Program autoinstall exit urmname has abended with code abcode. The program autoinstall function has been disabled.**

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム自動インストール出口プログラムは、コード *abcode* で異常終了しました。 ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。自動インストール機能は使用不可になります。

ユーザーの処置: プログラムの自動インストールなしで処理を続行するか、または自動インストール出口プログラムのエラーを訂正し、CEMT または SPI を使用して自動インストール機能を再び使用可能にしてください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *urmnname*
8. *abcode*

宛先: CSPL およびコンソール

DFHPG0203 *date time applid terminal userid tranid*
Program autoinstall exit *urmnname*
failed, reason: reason. The program
autoinstall function has been disabled.

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム自動インストール出口プログラムが正しく定義されていないか、またはロード・ライブラリーに見つかりません。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
-

reason は次のいずれかです。

- Program not defined (プログラムが定義されていない)
- Program not enabled (プログラムが使用可能でない)
- Program not loadable (プログラムがロード可能でない)
- Remote program (リモート・プログラム)
- AMODE error (AMODE エラー)
- Invalid COMMAREA (COMMAREA が無効)
- Recursion in autoinstall exit (自動インストール出口における再帰)

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。自動インストール機能は使用不可になります。

ユーザーの処置: プログラム自動インストールなしで処理を続行するか、または問題を訂正し、CEMT または SPI を使用して自動インストール機能を再び使用可能にしてください。次のように適切な処置をとって問題を訂正してください。

Program not defined (プログラムが定義されていない)

自動インストール出口プログラムをインストールしてください。

Program not enabled (プログラムが使用可能でない)

自動インストール出口プログラムの状況をリセットしてください。

Program not loadable (プログラムがロード可能でない)

自動インストール出口プログラムがロード・ライブラリーにあることを確認してください。

Remote program (リモート・プログラム)

自動インストール出口プログラムがローカル・プログラムとして定義されていることを確認してください。

AMODE error (AMODE エラー)

自動インストール出口プログラムが AMODE 31であることを確認してください。

Invalid COMMAREA (COMMAREA が無効)

プログラム自動インストール出口プログラムが COMMAREA を別のプログラムに渡す場合に、COMMAREA が正しく渡されることを確認してください。

Recursion in autoinstall exit

自動インストール・ユーザー置き換え可能モジュールが、XCTL へのリンク、または定義されていない別のプログラムのロードを試行しました。自動インストールは自動インストール出口では試みることはできません。参照先のプログラムが、RDO を使用して定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *urmmname*
8. *reason*

宛先: CSPL およびコンソール

DFHPG0204 *date time applid terminal userid tranid*
Autoinstall for program progname failed. プログラム自動インストール・モデル *modelname* が定義されていません。

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール用に選択されたモデルが定義されていません。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 自動インストール機能用のモデルとして使用されるすべてのプログラムが定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progname*
8. *modelname*

宛先: CSPL

DFHPG0205 *date time applid terminal userid tranid*
Invalid value: value returned by program autoinstall exit urmmname for field fieldname.

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム自動インストール出口はプログラム定義フィールドに対して無効値を戻したか、または共通域を経由して戻りコードを戻しました。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。
- *value* は戻り値です。これが無効であるか、または指定されたロード属性とモデル・プログラムのロード・タイプとの間に対立がある可能性があります。プログラム・タイプが共用である場合は、ロード属性は常駐でなければなりません。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し

側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 自動インストール出口プログラムによって戻されたデータが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *value*
8. *urmname*
9. *fieldname*

宛先: CSPL

DFHPG0206 *date time applid terminal userid tranid*
Autoinstall for program *progname*
failed. Programs starting with 'DFH'
cannot be defined as remote programs.

説明: リモート属性でリンク、XCTL、ロード、または出口処理を行っている間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、そのプログラムは文字 'DFH' で始まっています。ここで、

•

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

•

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 'DFH' で始まるプログラム用に選択された自動インストール・モデル・プログラムがローカル・プログラムとして定義されていること、およびプログラム自動インストール出口プログラムによってリモート属性が指定されていないことを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progname*

宛先: CSPL

DFHPG0207 *date time applid terminal userid tranid*
Autoinstall for program *progname*
failed. The program name is not valid.

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム名に無効文字が含まれています。ここで、

•

terminal は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

•

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: プログラム名が有効であることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progname*

宛先: CSPL

DFHPG0208 *date time applid terminal userid tranid*
Autoinstall for program progname
failed.

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、定義のインストールが失敗しました。 AMODE/RMODE の組み合わせが無効であるか、またはロード属性とタイプの組み合わせが無効であるかのいずれかです。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。 EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: AMODE と RMODE が互換性があること、さらにプログラム・タイプが共用である場合には、プログラム属性が常駐として指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progname*

宛先: CSPL

DFHPG0209 *date time applid terminal userid tranid*
Resource definition for progname has
been autoinstalled using model
modelname.

説明: これは、プログラム項目 *progname* が、モデル *modelname* を使用して、AUTOINSTALL 機能により追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。

ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progname*
8. *modelname*

宛先: CSPL

DFHPG0210 *date time applid terminal userid tranid*
progname のリソース定義がシステム自動インストールされました。

説明: これは、プログラム項目 *progname* が、システム AUTOINSTALL 機能により追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。

ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。 トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *progrname*

宛先: CSPL

DFHPG0211 *date time applid terminal userid trandid*
Autoinstall for program *progrname*
failed. プログラム自動インストール・モデル *modelname* は使用不可です。

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール用に選択されたモデルは使用不可です。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *trandid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 自動インストール機能用のモデルとして使用されるすべてのプログラムが使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *progrname*
8. *modelname*

宛先: CSPL およびコンソール

DFHPG0221 *date time applid terminal userid trandid* プログラムの自動インストール出口 *urnname* によって、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のプログラム *progrname* をインストールすべきでないことが示されました。

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール出口は、プログラムがインストールできないことを示す戻りコードを設定しました。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *trandid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *urnname*
8. *progrname*

9. *applicationname*
10. *majorversion*
11. *minorversion*
12. *microversion*
13. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0224 *date time applid terminal userid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のプログラム *programe* の自動インストールが失敗しました。プログラム自動インストール・モデル *modelname* が定義されていません。

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール用に選択されたモデルが定義されていません。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 自動インストール機能用のモデルとして使用されるすべてのプログラムが定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *programe*

8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*
13. *modelname*

宛先: CSPL

DFHPG0226 *date time applid terminal userid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のプログラム *programe* の自動インストールが失敗しました。 **Programs starting with 'DFH' cannot be defined as remote programs.**

説明: リモート属性でリンク、XCTL、ロード、または出口処理を行っている間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、そのプログラムは文字 'DFH' で始まっています。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 'DFH' で始まるプログラム用に選択された自動インストール・モデル・プログラムがローカル・プログラムとして定義されていること、およびプログラム自動インストール出口プログラムによってリモート属性が指定されていないことを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*

5. *userid*
6. *tranid*
7. *progrname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0227 *date time applid terminal userid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のプログラム *progrname* の自動インストールが失敗しました。 **The program name is not valid.**

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、プログラム名に無効文字が含まれています。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: プログラム名が有効であることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*

7. *progrname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0228 *date time applid terminal userid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のプログラム *progrname* の自動インストールが失敗しました。

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、定義のインストールが失敗しました。AMODE/RMODE の組み合わせが無効であるか、またはロード属性とタイプの組み合わせが無効であるかのいずれかです。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: AMODE と RMODE が互換性があること、さらにプログラム・タイプが共用である場合には、プログラム属性が常駐として指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*

6. *tranid*
7. *progrname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0229 *date time applid terminal userid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の *progrname* のリソース定義が、モデル *modelname* を使って自動インストールされました。

説明: これは、プラットフォーム *platformname* で、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のアプリケーション *applicationname* に属しているプログラム項目 *progrname* が、モデル *modelname* を使用して、AUTOINSTALL 機能によって追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。

ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*

7. *progrname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*
13. *modelname*

宛先: CSPL

DFHPG0230 *date time applid terminal userid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の *progrname* のリソース定義が、システムによって自動インストールされました。

説明: これは、プラットフォーム *platformname* で、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のアプリケーション *applicationname* に属しているプログラム項目 *progrname* が、システムの AUTOINSTALL 機能によって追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。

ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *progrname*

8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0231 *date time applid terminal userid tranid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のプログラム *programe* の自動インストールが失敗しました。プログラム自動インストール・モデル *modelname* は使用不可です。

説明: リンク、XCTL、ロード、または出口処理の間にプログラムの自動インストールが試みられましたが、自動インストール用に選択されたモデルは使用不可です。ここで、

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: 制御は、エラー応答とともに呼び出し側へ戻されます。EXEC コマンドの場合は、EIBRESP が PGMIDERR に設定され、EIBRESP2 はエラーの原因を示すように設定されます。

ユーザーの処置: 自動インストール機能用のモデルとして使用されるすべてのプログラムが使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHPGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *programe*

8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*
13. *modelname*

宛先: CSPL およびコンソール

DFHPG0300 *date time applid BUNDLE bundlename*
has successfully installed PROGRAM
programname.

説明: CICS バンドル *bundlename* が正常に PROGRAM *programname* をインストールしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *programname*

宛先: CSPL

DFHPG0301 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install PROGRAM
programname because {the definition is invalid | of an installation failure | the program name cannot begin with 'DFH' | an internal error occurred}.

説明: CICS バンドル *bundlename* が PROGRAM *programname* のインストールに失敗しました。エラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可であり、PROGRAM は作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。以前のメッセージを確認してください。失敗の理由について、以下のような詳細情報をユーザーに提供する可能性があります。

定義が無効である

先行する DFHCAnnnn メッセージを調べます。例えば、REMOTENAME 属性が指定されているが REMOTESYSTEM 属性が指定されていない場合は、DFHCA5504 が出力されます。

インストールの失敗

先行する DFHAMnnnn コンソール・メッセージを調べます。例えば、同じ名前の PROGRAM が既に存在している場合は DFHAM4950 が出力されます。

BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *programname*
6. 以下のオプションから選択される値。

1 =定義が無効である,
2=インストール失敗,
3=プログラム名の先頭文字は'DFH'にできない,
4 =内部エラーが発生した

宛先: CSPL

DFHPG0302 *date time applid Program name was not specified or is too long in BUNDLE bundlename.*

説明: CICS バンドル *bundlename* が、リソース名が指定されていなかったか、その名前が長すぎたことが原因で、PROGRAM をインストールできませんでした。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可であり、PROGRAM は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイルでプログラム・リソースの名前を訂正します。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CSPL

DFHPG0303 *date time applid BUNDLE*

currentbundlename は **PROGRAM** *resourcename* をエントリー・ポイントとして設定できませんでした。そのリソースは **BUNDLE** *bundlename* によって既にエントリー・ポイントとして定義されているためです。

説明: CICS BUNDLE *currentbundlename* はリソースをエントリー・ポイントとして定義できませんでした。そのリソースは、BUNDLE *bundlename* によって既にエントリー・ポイントとして識別されているためです。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、エントリー・ポイントは更新されません。

ユーザーの処置: エントリー・ポイントを更新するには、BUNDLE *bundlename* を使用不可にして、BUNDLE *currentbundlename* を使用可能にしてください。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *currentbundlename*
5. *resourcename*
6. *bundlename*

宛先: CSPL

DFHPG0304 *date time applid BUNDLE bundlename* は、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の操作 *operationname* のエントリー・ポイントとして **PROGRAM** *programname* を使用可能にしました。

説明: CICS バンドル *bundlename* は、プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の操作 *operationname* のエントリー・ポイントとして PROGRAM *programname* を正常に使用可能にしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *programname*
6. *operationname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0305 *date time applid BUNDLE bundlename*
 は、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のエントリー・ポイントとして
PROGRAM *programname* を使用不可にしました。

説明: CICS バンドル *bundlename* は、プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のエントリー・ポイントとして **PROGRAM** *programname* を正常に使用不可にしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *programname*
6. *applicationname*
7. *majorversion*
8. *minorversion*
9. *microversion*
10. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0306 *date time applid BUNDLE bundlename*
unable to enable PROGRAM
programname as an entry point for operation operationname as {the PROGRAM does not exist. | the PROGRAM failed to autoinstall. | an internal error occurred. | the PROGRAM name is invalid. | the named PROGRAM is remote. | the named resource is a MAPSET. | the named resource is a PARTITIONSET. | the PROGRAM has the same name as an existing public PROGRAM.}

説明: CICS バンドル *bundlename* は、操作 *operationname* のエントリー・ポイントとして **PROGRAM** *programname* を使用可能にできませんでした。このエラーの理由も示されています。

システムの処置: **BUNDLE** リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。バンドル・マニフェスト・ファイルの <modify> ステートメントを更新する必要がある場合は、**BUNDLE** を破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *programname*
6. *operationname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=PROGRAM が存在しない。
 2=PROGRAM の自動インストールに失敗した。
 3=内部エラーが発生した。
 4=PROGRAM 名が無効である。
 5=指定された PROGRAM がリモートである。
 6=指定されたりソースが MAPSET である。
 7=指定されたりソースが PARTITIONSET である。
 8=PROGRAM の名前が既存の共通 PROGRAM の名前と同じである。

宛先: CSPL

DFHPG0307 *date time applid* **Install of PROGRAM *programname* has failed because a PROGRAM of that name has already been installed by a BUNDLE.**

説明: PROGRAM *programname* はインストールされませんでした。その名前の PROGRAM は BUNDLE によって既にインストールされているためです。BUNDLE によってインストールされた PROGRAM を直接変更することはできません。

システムの処置: 新規バージョンの PROGRAM リソースはインストールされません。CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 命名の競合の原因を調査して訂正してください。PROGRAM の属性を更新する必要がある場合は、CICS バンドル変更してください。

モジュール: DFHPGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *programname*

宛先: CSPL

DFHPG0308 *date time applid* **BUNDLE *bundlename* has associated an application entry point for operation *operationname* of application *applicationname*, version *majorversion.minorversion.microversion*, on platform *platformname* with PROGRAM *programname***

説明: CICS バンドル *bundlename* は、プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントを PROGRAM *programname* に正常に関連付けました。

どの時点においても、PROGRAM リソースに関連付けることができるアプリケーション・エントリー・ポイントは 1 つのみです。アプリケーション・エントリー・ポイントを PROGRAM リソースに関連付けまたは関連付け解除するには、CICS バンドルをそれぞれ使用可能または使用不可にする必要があります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントとして指定された PROGRAM リソースを呼び出し元が使用できるようにするには、CICS バンドルが含ま

れているアプリケーションを使用可能にしてください。アプリケーション・エントリー・ポイントとプログラム・リソースの関連付けを解除するには、CICS バンドルを使用不可にしてください。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *operationname*
6. *applicationname*
7. *majorversion*
8. *minorversion*
9. *microversion*
10. *platformname*
11. *programname*

宛先: CSPL

DFHPG0309 *date time applid* **BUNDLE *bundlename* は、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の操作 *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントと PROGRAM *programname* との関連付けを解除しました。**

説明: CICS バンドル *bundlename* は、プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントと PROGRAM *programname* との関連付けを正常に解除しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *operationname*
6. *applicationname*
7. *majorversion*

8. *minorversion*
9. *microversion*
10. *platformname*
11. *programname*

宛先: CSPL

DFHPG0310 *date time applid BUNDLE bundlename
unable to make available PROGRAM
programname as an application entry
point for operation operationname of
application applicationname, version
majorversion.minorversion.microversion, on
platform platformname as {the
PROGRAM name is invalid. | the
PROGRAM does not exist. | the
PROGRAM has the same name as an
existing public PROGRAM. | the
operation is not unique within the
application. | an internal error occurred.}*

説明: CICS バンドル *bundlename* は、プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の操作 *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントとして PROGRAM *programname* を使用可能にできませんでした。このエラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。バンドル・マニフェスト・ファイルの <modify> ステートメントを更新する必要がある場合は、BUNDLE を破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *programname*
6. *operationname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. 以下のオプションから選択される値。

- 1=PROGRAM 名が無効である。
- 2=PROGRAM が存在しない。
- 3=PROGRAM の名前が既存の共通 PROGRAM の名前と同じである。
- 4=操作がアプリケーション内で固有ではない。
- 5=内部エラーが発生した。

宛先: CSPL

DFHPG0311 *date time applid BUNDLE bundlename
has made the PROGRAM programname
available as an application entry point
for operation operationname.*

説明: CICS バンドル *bundlename* は、操作 *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントとして PROGRAM *programname* を正常に使用可能にしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *programname*
6. *operationname*

宛先: CSPL

DFHPG0312 *date time applid BUNDLE bundlename
has associated an application entry
point for operation operationname with
PROGRAM programname.*

説明: CICS バンドル *bundlename* は、*operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントを PROGRAM *programname* に正常に関連付けました。

どの時点においても、PROGRAM リソースに関連付けることができるアプリケーション・エントリー・ポイントは 1 つのみです。アプリケーション・エントリー・ポイントを PROGRAM リソースに関連付けまたは関連付け解除するには、CICS バンドルをそれぞれ使用可能または使用不可にする必要があります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを PROGRAM リソースに関連付けた後、バンドルを使用可能にしてアプリケーション操作を PROGRAM

DFHPG0313 • DFHPG0500

リソースで設定できるようにするか、バンドルを使用不可にして、アプリケーション・エントリー・ポイントと PROGRAM リソースとの関連付けを解除してください。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *operationname*
6. *programname*

宛先: CSPL

DFHPG0313 *date time applid BUNDLE bundlename*
has made the PROGRAM *programname*
unavailable as an application entry
point for operation *operationname*.

説明: CICS バンドル *bundlename* は、操作 *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントとして PROGRAM *programname* を正常に使用不可にしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *programname*
6. *operationname*

宛先: CSPL

DFHPG0314 *date time applid BUNDLE bundlename*
has disassociated an application entry
point for operation *operationname* with
PROGRAM *programname*.

説明: CICS バンドル *bundlename* は、*operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントと PROGRAM *programname* との関連付けを正常に解除しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *operationname*
6. *programname*

宛先: CSPL

DFHPG0400 *applid tranid trannum Channel storage*
exceeds 5% of MEMLIMIT.

説明: CICS は、チャンネルに割り振られた総ストレージが MEMLIMIT の 5% を超えているため、コンテナへのデータの保管を拒否しました。

システムの処置: PUT 呼び出しがアプリケーションによって発行された場合、CICS はコード APGC でトラザクションを異常終了します。PUT 呼び出しが CICS により発行された場合、エラー処理が発生します。

ユーザーの処置: PROGRAM のストレージ要件を確認してください。データのボリュームが適切な場合、チャンネルから不要なコンテナを削除するか、プログラムで使用可能ストレージの 5% を超えるストレージが使用されないように MEMLIMIT を増加してください。

モジュール: DFHPGCR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *trannum*

宛先: コンソール

DFHPG0500 *date time applid The public version of*
the application entry point program
programname* for operation *operationname
of application *applicationname* on
platform *platformname* is version
***majorversion.minorversion.microversion*.**

説明: プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname* の操作 *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイント・プログラム *programname* のバージョン *majorversion.minorversion.microversion* が使用可能になり、アプリケーションのプログラム・エントリー・ポイントのパブリック・バージョンになりました。プログラム・アプリケーション・エントリー・ポイントのパブリック・バージョンは、そのプログラムが EXEC CICS

LINK コマンドまたは EXEC CICS XCTL コマンドに指定されるか、TRANSACTION の初期プログラムとして指定されている場合に呼び出されるプログラムのバージョンを規定します。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *programname*
5. *operationname*
6. *applicationname*
7. *platformname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*

宛先: CSPL

DFHPG0501 *date time applid* **The public version of the application entry point program *programname* for operation *operationname* of application *applicationname* on platform *platformname* has changed from version *majorversion.minorversion.microversion* to version *majorversion.minorversion.microversion*.**

説明: 新しいバージョンのアプリケーション *applicationname* が使用可能になったか、既存のバージョンのアプリケーションが使用不可になりました。その結果、プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname* の操作 *operationname* のアプリケーション・エン트리・ポイント・プログラム *programname* のパブリック・バージョンは、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* からバージョン *majorversion.minorversion.microversion* に変更されました。プログラム・アプリケーション・エン트리・ポイントのパブリック・バージョンは、そのプログラムが EXEC CICS LINK コマンドまたは EXEC CICS XCTL コマンドに指定されるか、TRANSACTION の初期プログラムとして指定されている場合に呼び出されるプログラムのバージョンを規定します。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *programname*
5. *operationname*
6. *applicationname*
7. *platformname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *majorversion*
12. *minorversion*
13. *microversion*

宛先: CSPL

DFHPG0502 *date time applid* プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname* の操作 *operationname* のすべてのバージョンのアプリケーション・エン트리・ポイント・プログラム *programname* が現在使用不可です。

説明: プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname* のアプリケーション・エン트리・ポイント・プログラム *programname* の使用可能な最後のバージョンが使用不可になりました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *programname*
5. *operationname*
6. *applicationname*
7. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPG0503 *date time applid* **The public version of the application entry point program *programname* for operation *operationname* of application *applicationname* has changed to version *majorversion.minorversion.microversion* on platform *platformname* superseding the version on platform *platformname*.**

説明: アプリケーション *applicationname* バージョン *majorversion.minorversion.microversion* のバージョンがプラットフォーム *platformname* 上で使用可能になり、アプリケーション・エントリー・ポイントのパブリック・バージョンとしてプラットフォーム *platformname* にインストールされていたバージョンが置き換えられました。プログラム・アプリケーション・エントリー・ポイントのパブリック・バージョンは、そのプログラムが EXEC CICS LINK コマンドまたは EXEC CICS XCTL コマンドに指定されるか、TRANSACTION の初期プログラムとして指定されている場合に呼び出されるプログラムのバージョンを規定します。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPGIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *programname*
5. *operationname*
6. *applicationname*
7. *majorversion*
8. *minorversion*
9. *microversion*
10. *platformname*
11. *platformname*

宛先: CSPL

DFHPInnnn メッセージ

DFHPI0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャ DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPICA、DFHPIDM、DFHPIWT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*

3. *X'offset'*

4. *modname*

宛先: コンソール

DFHPI0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHPICA、DFHPIDM、DFHPIST、DFHPIWT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *X'code'*

3. *modname*

宛先: コンソール

DFHPI0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるため、これはエラーではない可能性があります。また、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。

通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR パラメーターはミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了しており、それがランナウェイ機能ではないと考えられる場合は、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をダウンさせる必要があります。CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、

DFHPI0110 • DFHPI0112

IBM からサポートを受けてこの問題を解決してください。

モジュール: DFHPIRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHPI0110 *date time applid* **An attempt to start program DFHPIDSH by something other than an attach request from web domain has been made. This is not allowed.**

説明: Web ドメインからのトランザクション接続以外の方法で、プログラム DFHPIDSH の開始が試行されました。このプログラムは通常、トランザクション CPIH から開始されます。トランザクション CPIH はシステム・タスクであるため、端末からは入力できません。

システムの処置: トランザクションは開始されていません。

ユーザーの処置: 端末や他の何らかのデバイスから CPIH (または、プログラム DFHPIDSH を指定する他のトランザクション) の入力を試みないでください。PIPELINE 要求が TCP/IP 接続クライアント経由で行われた場合に、CICS はトランザクションを開始します。ユーザー処置は不要です。

モジュール: DFHPIDSH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CPIO

DFHPI0111 *date time applid tranid* **Call to WebSphere MQ function *function* returned with reason code *reason_code*.**
トランザクションは異常終了しました。

説明: トランザクション CPIL により発行された WebSphere MQ 関数呼び出しが失敗し、ゼロ以外の理由コードが設定されました。トランザクション CPIL は、WebSphere MQ から受信したメッセージの PIPELINE の開始に使用されます。

システムの処置: トランザクションは、異常終了コード APIJ で異常終了します。

ユーザーの処置: MQ の資料「」で WebSphere MQ 理由コードを確認し、トレースを調べて MQ 関数呼び出しが失敗した理由を判別してください。この問題を解決するために、IBM の支援が必要になる場合があります。

モジュール: DFHPILSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *function*
6. *reason_code*

宛先: CPIO

DFHPI0112 *date time applid tranid* **Unable to locate URIMAP to match HOST *hostname* and PATH *pathname*.** インバウンドMQメッセージを処理できません。

説明: WebSphere MQ メッセージが、キュー *hostname* 上の *targetService* または SOAPJMS_ *targetService pathname* のいずれかで受信されましたが、このホストとパスを持つ URIMAP の検出を試みたときに一致するものが見つかりませんでした。この WebSphere MQ メッセージではパイプライン処理を実行できません。

システムの処置: インバウンド・メッセージが送達不能キューに入れられ、レポート・メッセージが ReplyTo キューに送信されます。

ユーザーの処置: PIPELINE (および、オプションで WEBSERVICE) を識別するこのホストとパスの組み合わせに一致する適切な URIMAP を定義してインストールし、キュー名と *targetService* または SOAPJMS_ *targetService* のこの組み合わせを使用して要求を処理してください。

モジュール: DFHPILSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostname*
6. *pathname*

宛先: CPIO

DFHPI0113 *date time applid tranid URIMAP urimapname has been located for HOST hostname and PATH pathname, but does not have USAGE(PIPELINE).* インバウンドMQメッセージを処理できません。

説明: WebSphere MQ メッセージが、キュー *hostname* 上の *targetService* または *SOAPJMS_targetService pathname* のいずれかで受信され、一致する *URIMAP urimapname* が見つかりました。しかし、この *URIMAP* は *USAGE(PIPELINE)* で定義されていませんでした。そのため、この WebSphere MQ メッセージではパイプライン処理を実行できません。

システムの処置: インバウンド・メッセージが送達不能キューに入れられ、レポート・メッセージが *ReplyTo* キューに送信されます。

ユーザーの処置: *PIPELINE* (および、オプションで *WEBSERVICE*) を識別する *USAGE(PIPELINE)* を用いて、このホストとパスの組み合わせに一致する適切な *URIMAP* を定義してインストールし、このキュー名と *targetService* または *SOAPJMS_targetService* の組み合わせを使用して要求を処理してください。

モジュール: DFHPILSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *urimapname*
6. *hostname*
7. *pathname*

宛先: CPIO

DFHPI0114 *date time applid tranid The pipeline MQ transport mechanism failed because a call to WebSphere MQ function function returned with reason code reason_code.*

説明: パイプライン MQ トランスポート機構により発行された WebSphere MQ 関数呼び出しが失敗し、ゼロ以外の理由コードが設定されました。

システムの処置: パイプライン MQ トランスポート機構により、さらにエラー処理を実行するパイプライン・マネージャーに例外応答が返されます。

ユーザーの処置: MQ の資料「」で WebSphere MQ 理由コードを確認し、トレースを調べて MQ 関数呼び

出しが失敗した理由を判別してください。この問題を解決するために、IBM の支援が必要になる場合があります。

モジュール: DFHPITQ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *function*
6. *reason_code*

宛先: CPIO

DFHPI0115 *date time applid tranid The service provider pipeline has returned a response message to the MQ transport, but the inbound request did not expect a response.* 応答メッセージは無視されます。

説明: WebSphere MQ トランスポート・モジュールが、応答を返すためにプロバイダー・パイプラインによって呼び出されました。しかし、インバウンド要求は応答を必要としていなかったため、片方向要求として送信されました。応答を配置する応答先キューがありません。サービスのサービス・リクエスターの定義とサービス・プロバイダーの定義が一致していない可能性があります。サービス・リクエスターにより、要求が片方向要求であることが指定されたためです。

システムの処置: 応答は、WebSphere MQ トランスポート・モジュールにより無視されます。トランスポート・モジュールは、エラー通知なしでパイプライン・マネージャーに制御を戻し、パイプライン処理は正常に完了します。

ユーザーの処置: サービス・リクエスターとサービス・プロバイダーの Web サービスの定義を確認し、両方とも片方向要求を示していること、または両方とも応答が必要なことを示していることを確認してください。

モジュール: DFHPITQ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CPIO

DFHPI0116 *date time applid* **A one-way request has been received as a WebSphere MQ persistent message, but the provider pipeline has abended or backed out changes to recoverable resources.** プロセス・タイプ *processtype* の **BTS** プロセス *processname* は状況が **ABENDED** として完了しました。このプロセスは、再試行することも障害を報告する情報を提供するために使用することもできます。

説明: 片方向の SOAP メッセージが持続 WebSphere MQ メッセージとして受信されましたが、プロバイダー・パイプラインが異常終了したか、リカバリー可能リソースへの変更を強制的にバックアウトしました。応答先キューがないため、リクエスターに障害を通知する方法がありません。完了状態 **ABENDED** の **BTS** プロセス「*processname*」には、元の WebSphere MQ メッセージに関する情報が含まれており、このプロセスとそのコンテナを使用して、障害が発生したプロバイダー・パイプラインを再試行するか、障害を適切に報告することができます。

システムの処置: CICS は、名前が示されているプロセス内にある障害発生中のプロバイダー・パイプラインの再試行に必要な情報を保持しました。CICS は、このプロセスに対してこれ以上のアクションは取りません。

ユーザーの処置: ユーザー作成トランザクションにより、メッセージに示されたプロセスを獲得 (**ACQUIRE**) し、インストール・システム定義の適切なアクションを実行できます。これには、以下の 1 つ以上を含めることができます。

- **RESET ACQPROCESS** およびその後に **RUN ACQPROCESS ASYNC** を発行して、障害が発生したプロセスを再試行します。当然ながら、まったく同じ方法でプロセスが再度失敗する可能性があるため、インストール・システムでは再試行回数の制限を行う場合があります。これを行うには、再試行カウント (試行が行われるたびに増分されます) を含めるコンテナを使用し、カウントがインストール・システム定義のしきい値を超えると異なるアクションが実行されるようにします。

- 受信した元の WebSphere MQ メッセージに関する情報を回復し、インストール・システム定義のログ・ファイルにその情報を記録します。プロセスに関連付けられた次のような複数のコンテナがあります。**DFHMQORIGINALMSG** には WebSphere MQ から受信したメッセージが含まれ、**DFHMQMSG** には **RFH2** ヘッダーが除去されたインバウンド・メッセ

ージ (つまり、SOAP メッセージ) が含まれています。**DFHMQCONT** には、WebSphere MQ トランSPORTを処理する **CICS** パイプラインによって発行された **MQGET** に関連するデータが格納された **MQMD** 制御ブロックが含まれています。障害をレポートまたはログ記録するために必要な情報を回復したら、プロセスを取り消すことができます (**CANCEL ACQPROCESS**)。

モジュール: **DFHPIDSQ**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *processname*
5. *processtype*

宛先: **CPIO**

DFHPI0117 *date time applid* **BTS Process processname of processtype processtype, which has completed with status ABENDED, has been cancelled.** 持続 WebSphere MQ メッセージで開始されたプロバイダー・パイプラインが異常終了またはバックアウトしましたが、応答はリクエスターに送信されました。

説明: 持続 WebSphere MQ メッセージによりプロバイダー・パイプラインが開始されたため、システム障害により情報が失われることがないように **BTS** プロセスが作成されました。プロバイダー・パイプラインが異常終了したか、リカバリー可能リソースの変更をバックアウトし、**BTS** プロセスは **ABENDED** 状態で完了しました。応答メッセージがリクエスターに返されたため (応答先キューの WebSphere MQ メッセージ)、リクエスターは障害を認識し、適切なアクションを取ることができます。プロバイダー・システムの **BTS** プロセスは、これ以上保持する必要がなくなったため取り消されました。前のメッセージ **DFHBA0104** では、プロセスの **ABENDED** 状態が報告されました。

システムの処置: CICS は、**ABENDED** 状態で完了したプロセスを取り消します。プロセスに関連付けられたすべてのデータが除去されます。

ユーザーの処置: **None**. これは通知メッセージで、**ABENDED** 状態で完了したプロセスが取り消されたことを示します。CICS は、障害が発生したことを示す応答をリクエスターに送信しました。

モジュール: **DFHPIDSQ**

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *processname*
5. *processtype*

宛先: CPIO

DFHPI0118 *applid* CICS has attempted to use BTS processes to support pipelines started with WebSphere MQ persistent messages. この試みは失敗しました。(This attempt failed.) CICS will continue, using channel based containers for the pipeline, but there is a risk of data loss in the event of a system failure. BTS プロセス・タイプ、リポジトリ、およびローカル要求キューが正しく定義されてインストールされていることを確認してください。

説明: CICS プロバイダー・パイプラインを開始するための持続 WebSphere MQ メッセージが受信され、CICS は、プロバイダー・パイプラインが完了するまでメッセージ・データを確実に保持するための BTS プロセスの作成を試みました。しかし、BTS プロセスを作成しようとしたときにエラーが発生しました。CICS は、チャンネル・ベースのコンテナを使用して、プロバイダー・パイプラインを開始するための持続 WebSphere MQ メッセージの処理を続行しますが、システム障害が発生した場合に持続メッセージからのデータが失われる可能性があるというリスクがあります。

システムの処置: CICS は、プロバイダー・パイプラインを駆動するために引き続きインバウンドの WebSphere MQ 持続メッセージを処理しますが、システム障害が発生した場合、持続メッセージからのデータが失われることがあります。このメッセージは、障害が最初に発生したときに、BTS プロセスを作成するために一度出されます。このような障害が発生するたびに当該メッセージが出されるわけではありません。

ユーザーの処置: 「CICS Web サービス・ガイド」という資料の『Web サービスに応じた CICS システムの構成』セクションに記載されている手順が実行されていることを確認してください。

モジュール: DFHPILSQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPI0119 *date time applid* The XML Toolkit could not be loaded. CICS提供のWS-Security ハンドラーの構成の一部を使用できません。

説明: CICS は、XML Toolkit for z/OS v1.10 が使用できないことを検出しました。CICS 提供の WS-Security ハンドラーの構成の一部を使用できません。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: CICS 提供の WS-Security ハンドラーを使用する予定の場合、XML Toolkit for z/OS v1.10 をインストールして、CICS で使用できるようにしてください。

モジュール: DFHPIDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CPIO

DFHPI0200 *date time applid* **BUNDLE** *bundlename* has successfully installed PIPELINE pipeline in the {Disabled state. 有効にするプロセスを開始しました | 無効な状態です}。

説明: CICS バンドル *bundlename* は、PIPELINE pipeline を正常にインストールしました。

システムの処置: PIPELINE を使用可能にすることが定義で指定されている場合、処理は続行され、PIPELINE を使用可能にしようと試みます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *pipeline*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=無効な状態です。有効にするプロセスを開始しました、
2=無効な状態です

宛先: CPIO

DFHPI0201 *date time applid BUNDLE bundlename
has failed to install PIPELINE pipeline
because {the definition is invalid | of an
installation failure | an internal error
occurred}.*

説明: CICS バンドル *bundlename* は PIPELINE *pipeline* をインストールできませんでした。このエラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可になり、PIPELINE は作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。以前のメッセージを確認してください。失敗の理由について、以下のような詳細情報をユーザーに提供する可能性があります。

定義が無効である

先行する DFHCAnnnn メッセージを調べます。例えば、DFHCA5547 は、CONFIGFILE 属性に指定された値が無効な場合の出力です。

インストールの失敗

先行する DFHAMnnnn コンソール・メッセージを調べます。例えば、DFHAM4950 は、同じ名前の PIPELINE が既に存在する場合の出力です。

BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPIRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *pipeline*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=定義が無効である

2=インストール失敗の

3=内部エラーが発生した

宛先: CPIO

DFHPI0202 *date time applid PIPELINE name was
not specified or is too long in
BUNDLE bundlename.*

説明: リソース名が指定されていなかったか長すぎたため、CICS バンドル *bundlename* は PIPELINE をインストールできませんでした。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可になり、PIPELINE は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイルの PIPELINE リソースの名前を訂正してください。

BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPIRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CPIO

DFHPI0203 *date time applid CONFIGFILE path in
PIPELINE pipeline is too long in
BUNDLE bundlename.*

説明: CONFIGFILE パスが長すぎるため、CICS バンドル *bundlename* は PIPELINE をインストールできませんでした。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可になり、PIPELINE は作成されません。

ユーザーの処置: PIPELINE 定義ファイル内の CONFIGFILE パスを訂正してください。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPIRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pipeline*
5. *bundlename*

宛先: CPIO

DFHPI0204 I *date time applid userid PIPELINE
Pipeline is now ENABLED and is
ready for use.*

説明: PIPELINE は初期設定を完了し、使用する準備ができています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *Pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0220 *date time applid BUNDLE bundlename*
は、**WEBSERVICE** *webservice* を正常にインストールしました。{無効な状態です。有効にするプロセスを開始しました | 無効な状態です}。

説明: CICS バンドル *bundlename* は、**WEBSERVICE** *webservice* を正常にインストールしました。

システムの処置: **WEBSERVICE** を使用可能にすることが定義で指定されている場合、処理は続行され、**WEBSERVICE** を使用可能にしようと試みます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *webservice*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=無効な状態です。有効にするプロセスを開始しました、
2=無効な状態です

宛先: CPIO

DFHPI0221 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install WEBSERVICE
webservice because {the definition is invalid | of an installation failure | an internal error occurred}.

説明: CICS バンドル *bundlename* は **WEBSERVICE** *webservice* をインストールできませんでした。このエラーの理由も示されています。

システムの処置: **BUNDLE** リソースは使用不可になり、**WEBSERVICE** は作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。詳細情報について前のメッセージを確認してください。また、同じ名前の **WEBSERVICE** が既に存在して

いないか確認してください。**BUNDLE** リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPIRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *webservice*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=定義が無効である、
2= インストール失敗の
3=内部エラーが発生した

宛先: CPIO

DFHPI0222 *date time applid WEBSERVICE name*
was not specified or is too long in
BUNDLE bundlename.

説明: リソース名が指定されていなかったか長すぎたため、CICS バンドル *bundlename* は **WEBSERVICE** をインストールできませんでした。

システムの処置: **BUNDLE** リソースは使用不可になり、**WEBSERVICE** は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイルの **WEBSERVICE** リソースの名前を訂正してください。**BUNDLE** リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPIRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CPIO

DFHPI0223 E *date time applid attribute path in*
WEBSERVICE webservice is too long in
BUNDLE bundlename.

説明: *attribute* パスが長すぎるため、CICS バンドル *bundlename* は **WEBSERVICE** をインストールできませんでした。

システムの処置: **BUNDLE** リソースは使用不可になり、**WEBSERVICE** は作成されません。

DFHPI0300 • DFHPI0301

ユーザーの処置: WEBSERVICE 定義ファイルの *field* パスを訂正してください。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPIRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *attribute*
5. *webservice*
6. *bundlename*

宛先: CPIO

DFHPI0300 *date time applid CICS could not invoke WEBSERVICE WebService because it was unable to find container container_name.*

説明: コンテナ *container_name* が見つからなかったため、WEBSERVICE *WebService* を起動できませんでした。コンテナを取得するプログラムからの例外応答が受信されました。

システムの処置: INVOKE WEBSERVICE を要求した EXEC インターフェース・モジュールに例外応答が返されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPPIW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *WebService*
5. *container_name*

宛先: CPIO

DFHPI0301 *date time applid CICS was unable to link to PROGRAM program_name while attempting to invoke WEBSERVICE WebService. {The program abended. | The program was not defined. | The program was not enabled. | The program was not loadable. | これ以上の詳細はありません。}*

説明: CICS は Web サービス *WebService* に対して INVOKE WEBSERVICE コマンドを実行しようとしたが、示されているプログラム *program_name* にリン

クできなかったか、リンクされたプログラム *program_name* が異常終了しました。

システムの処置: リンクは中止され、INVOKE WEBSERVICE コマンドは該当する EIBRESP コードと EIBRESP2 コードをアプリケーション・プログラムに返します。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: *program_name* のプログラム定義が正しいことを確認してください。メッセージに示されている問題を修正します。さらに表示可能な情報がないことがメッセージで報告されている場合は、トレースを参照できます。

モジュール: DFHPPIW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program_name*
5. *WebService*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=プログラムが異常終了しました。
2=プログラムが定義されていません。
3=プログラムが使用可能になっていません。
4=プログラムをロードできません。
5=これ以上の詳細はありません。

宛先: CPIO

DFHPI0400 *date time applid tranid* **The CICS pipeline HTTP transport mechanism failed to send a request because {the request was using an invalid host codepage | there was a socket error (IO_ERROR) | the URL was invalid | the connection was closed | a socket request timed out | a proxy error was detected | there was an HTTP error | an invalid media type was used | there was an authorization problem | there was a problem with the client certificate | there was a URIMAP problem | SSL is not supported in CICS | there was a error with exit XWBAUTH | the URIMAP is disabled | there was a socket error (ADDRESS_IN_USE) | there was a socket error (ADDRESS_NOT_AVAILABLE) | there was a socket error (ALREADY_ASSOCIATED) | the connection was refused | there was a socket error (INVALID_OPTION) | there was a socket error (MAX_PORTS_REACHED) | there was a socket error (MISSING_OPTION) | there was a socket error (NEVER_ASSOCIATED) | there was a socket error (NO_CONNECTION) | there was a socket error (NO_SOCKET_AVAILABLE) | there was a socket error (NOT_PENDING) | there was a socket error (NOTIFIED) | there was a socket error (SCHEDULED) | there was a socket error (SOCKET_IN_USE) | there was a socket error (STATE_ERROR) | there was a socket error (TASK_CANCELLED) | there was a socket error (TCP_NOT_ACTIVE)}.**
Problem occurred for URI URI .

説明: CICS パイプライン HTTP トランスポート機構は、以下のいずれかの理由によりアウトバウンド要求を正常に処理できませんでした。

- トランスポート機構でソケット・エラーが検出されました (エラー理由コード)。
- 要求が使用しようとした接続がクローズされていました。

ソケット要求がタイムアウトしました。

- 無効なコード・ページが使用されたため、書き込み要求が失敗しました。
- 構文解析中の URL が無効でした。これは、入力として指定された URL で無効なエスケープ文字が検出されたためです。
- HTTP プロキシとの通信に問題が発生しました。
- HTTP プロトコル・エラーが発生しました。
- 無効なメディア・タイプが検出されました。
- 現行ユーザーには、要求を実行依頼する権限がありません。
- クライアント SSL 証明書に問題がありました。
- 使用された URIMAP が見つからないか、無効です。
- SSL が CICS で有効化されていません。
- グローバル・ユーザー出口プログラム XWBAUTH で問題が発生しました。
- 使用された URIMAP が使用不可です。
- 接続が拒否されました。

システムの処置: 要求は送信されません。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: メッセージに示されているエラーに応じて、使用しているホスト・コード・ページが正しいことを確認するか、ソケット (SO) ドメインから発行される例外トレース項目を調べてソケット・エラーが示されていないか確認するか、入力として指定された URI に無効な文字またはヌル区切り文字が含まれていないか確認するか、または XWBAUTH グローバル・ユーザー出口プログラムでこの要求の処理に関する問題が発生していないか確認してください。

モジュール: DFHPITH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=要求で無効なホスト・コードページが使われていた、
 2=ソケット・エラー (IO_ERROR) が発生した、
 3=URL が無効である、
 4=接続がクローズされた、
 5=ソケット要求がタイムアウトした、
 6=プロキシ・エラーが検出された、
 7=HTTP エラーが発生した、
 8=無効なメディア・タイプが使用された、
 9=許可の問題が発生した、
 10=クライアント証明書に問題があった、
 11=URIMAP の問題が発生した、
 12=CICS で SSL がサポートされていない、
 13=出口 XWBAUTH でエラーが発生した、
 14=URIMAP が使用不可になっている、
 15=ソケット・エラー (ADDRESS_IN_USE) が発生した、
 16=ソケット・エラー (ADDRESS_NOT_AVAILABLE) が発生した、
 17=ソケット・エラー (ALREADY_ASSOCIATED) が発生した、
 18=接続が拒否された、
 19=ソケット・エラー (INVALID_OPTION) が発生した、
 20=ソケット・エラー (MAX_PORTS_REACHED) が発生した、
 21=ソケット・エラー (MISSING_OPTION) が発生した、
 22=ソケット・エラー (NEVER_ASSOCIATED) が発生した、
 23=ソケット・エラー (NO_CONNECTION) が発生した、
 24=ソケット・エラー (NO_SOCKET_AVAILABLE) が発生した、
 25=ソケット・エラー (NOT_PENDING) が発生した、
 26=ソケット・エラー (NOTIFIED) が発生した、
 27=ソケット・エラー (SCHEDULED) が発生した、
 28=ソケット・エラー (SOCKET_IN_USE) が発生した、
 29=ソケット・エラー (STATE_ERROR) が発生した、
 30=ソケット・エラー (TASK_CANCELLED) が発生した、
 31=ソケット・エラー (TCP_NOT_ACTIVE) が発生した

6. *URI*

宛先: CPIO

DFHPI0401 *date time applid tranid* The CICS pipeline HTTP transport mechanism failed to send a response or receive a request because {the codepage was not found | there was a socket error | the connection was closed | the client codepage was invalid | an HTTP chunking error occurred}.

説明: CICS パイプライン HTTP トランスポート機構は、メッセージに示されている 4 つの理由のいずれか 1 つが原因でインバウンド要求を正常に処理できませんでした。例えば、トランスポートは、接続がクローズしているか、ソケット・エラーが発生したことが原因で応答を送信できないことがあります。また、無効または検出されなかったコード・ページを指定する要求によって、エラーが発生する可能性もあります。

システムの処置: 応答は送信されません。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: メッセージに示されているエラーに応じて、使用しているコード・ページが正しいこと、および使用中の接続が開かれていることを確認するか、ソケット (SO) ドメインから発行される例外トレース項目を調べてソケット・エラーが示されていないか確認してください。

モジュール: DFHPITH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=コードページが見つからない、
 2=ソケット・エラーが発生した、
 3=接続がクローズされた、
 4=クライアント・コード・ページが無効、
 5=HTTP チャンク・エラーが発生した

宛先: CPIO

DFHPI0402 *date time applid tranid* The CICS pipeline HTTP transport mechanism failed to send a request because the URI specified an unknown host: *hostname*.

説明: URI に指定されたホスト *hostname* が不明のため、CICS パイプライン HTTP トランスポート機構はアウトバウンド要求を正常に処理できませんでした。

システムの処置: 要求は送信されません。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: URI に指定されたホストが既知かつ使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHPITH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostname*

宛先: CPIO

DFHPI0403 *date time applid tranid* **The CICS pipeline HTTP transport mechanism failed to receive a response because {the socket receive was timed out | the task was purged}. Problem occurred for URI *URI*.**

説明: CICS パイプライン HTTP トランスポート機構は、メッセージに示されている理由が原因で、アウトバウンド要求への応答を正常に受信できませんでした。

- ソケット受信タイムアウト。
- タスクがパージされました。

システムの処置: 要求は中止されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: タイムアウト・エラーの場合: リモート・サーバーが適時に応答できなかった理由を調べてください。これらの Web サービス要求を処理するパイプラインの RESPWAIT 値の変更を検討してください。タスク・パージ・エラーの場合: AEXY 異常終了からのトランザクション・ダンプを使用して、タスクがパージされた理由を明確にしてください。

モジュール: DFHPITH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=ソケット受信タイムアウト、
2=タスクがパージされました

6. URI

宛先: CPIO

DFHPI0404 *date time applid tranid* **A failure occurred in the CICS pipeline HTTP transport mechanism for PIPELINE *pipeline_name* WEBSERVICE *webservice_name*.**

説明: 名前が示されている PIPELINE および WEBSERVICE の CICS パイプライン HTTP トランスポート機構で障害が発生しました。

システムの処置: 要求は送信されません。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: 後続のメッセージで詳細を確認して、名前が示されている PIPELINE および WEBSERVICE に関する問題を訂正してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *pipeline_name*
6. *webservice_name*

宛先: CPIO

DFHPI0450 *date time applid tranid* **The CICS transport mechanism in the pipeline was unable to successfully handle the request because of an invalid URI.**

説明: URIが無効であるため、パイプラインのCICSトランスポート機構で要求を正常に処理できませんでした。

システムの処置: 要求は送信されません。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: URI のパラメーターとオプションが有効であること、および URI に無効な文字やヌル区切り文字が含まれていないことを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CPIO

DFHPI0451 *date time applid tranid* The CICS transport manager encountered an error while trying to link to program *program_name*.

説明: CICS トランスポート・マネージャー DFHPITS は、示されているプログラムにリンクできなかったか、リンクされたプログラムが異常終了しました。

システムの処置: エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: 前に出されたメッセージを参照して、プログラム定義が正しいことを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*

宛先: CPIO

DFHPI0452 *date time applid tranid* The CICS transport manager encountered an error while trying to locate URIMAP with **HOST=localhost** and **PATH=urimap_path**.

説明: CICS トランスポート・マネージャー DFHPITS は、指定されたパスで URIMAP を検出できませんでした。

システムの処置: エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: URIMAP に **HOST=localhost** 属性が指定されていること、および指定された **PATH** が存在することを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *urimap_path*

宛先: CPIO

DFHPI0453 *date time applid tranid* The CICS transport manager encountered an error while trying to use URIMAP *urimap_name*.

説明: CICS トランスポート・マネージャー DFHPITS は、メッセージに示されている URIMAP を使用できませんでした。

システムの処置: エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: URIMAP が **USAGE=PIPELINE** と定義され、使用可能になっていることを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *urimap_name*

宛先: CPIO

DFHPI0454 *date time applid tranid* The CICS transport manager encountered an error while trying to use provider pipeline *pipeline_name*.

説明: CICS トランスポート・マネージャー DFHPITS は、メッセージに名前が示されているプロバイダー・パイプラインを使用できませんでした。

システムの処置: エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: パイプラインがプロバイダー・パイプラインであり、PIPELINE リソースが使用可能になっていることを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *pipeline_name*

宛先: CPIO

DFHPI0455 *date time applid tranid* The CICS transport manager encountered an error while trying to use requester pipeline *pipeline_name*.

説明: CICS トランスポート・マネージャー DFHPITS は、メッセージに名前が示されているリクエスター・パイプラインを使用できませんでした。

システムの処置: エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: パイプラインがリクエスター・パイプラインであり、PIPELINE リソースが使用可能になっていることを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *pipeline_name*

宛先: CPIO

DFHPI0456 *date time applid tranid* The CICS transport manager encountered an error with the input data being greater than the maximum COMMAREA length.

説明: 入力データがCOMMAREAの最大長よりも大きいため、CICSトランスポート・マネージャーでエラーが発生しました。

システムの処置: 要求は送信されません。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: 入力データがターゲット・プログラムに適していること、および URI に指定された最大 COMMAREA 長が正しいことを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CPIO

DFHPI0457 *date time applid tranid* The CICS transport manager was unable to successfully handle the request because of the missing *targetServiceUri* parameter in the URI.

説明: URIのtargetServiceUriパラメーターが欠落しているため、CICSトランスポート・マネージャーは要求を正常に処理できませんでした。

システムの処置: 要求は送信されません。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: 指定された宛先タイプに必要なすべてのパラメーターが URI に含まれていることを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CPIO

DFHPI0500 *date time applid tranid* The CICS Pipeline Manager DFHPIPM encountered an error while trying to link to program *program_name*. {The program abended. | The program was not defined. | The program was not enabled. | The program was not loadable. | No further details are available.} **PIPELINE:** *pipeline*.

説明: CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM は、示されているプログラムにリンクできなかったか、リンクされたプログラムが異常終了しました。

システムの処置: リンクは中止されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: プログラム定義が正しいことを確認してください。メッセージに示されている問題を修正します。さらに表示可能な情報がないことがメッセージで報告されている場合は、トレースを参照できます。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *program_name*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=プログラムが異常終了しました。
 2=プログラムが定義されていません。
 3=プログラムが使用可能になっていません。
 4=プログラムをロードできません。
 99=これ以上の詳細はありません。

7. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0501 *date time applid tranid The CICS Pipeline Manager cannot proceed as the pipeline is unusable. {The pipeline was not found. | The pipeline is disabled. | The pipeline was of the wrong type. | The pipeline is configured for z/OS Connect.}* **PIPELINE:** *pipeline.*

説明: CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM は、呼び出し対象となるパイプラインが使用できないため、処理を開始できませんでした。メッセージにパイプラインのタイプが違うことが示されている場合、このメッセージは、プロバイダー・パイプラインが必要な場所でリクエスター・パイプラインが使用されたこと、またはリクエスター・パイプラインの代わりにプロバイダー・パイプラインが使用されたことを意味します。

システムの処置: リクエスターの場合は、トランザクションは異常終了コード APIB で異常終了します。プロバイダーの場合は、トランザクションは異常終了コード API1 で異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージに示されている問題を修正します。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=パイプラインが見つかりません。
 2=パイプラインが使用不能です。
 3=パイプラインのタイプが違います。
 4=パイプラインが z/OS Connect 用に構成されていません。

6. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0502 *date time applid tranid The CICS Pipeline Manager has failed to receive a request from the underlying transport. TRANSPORT:* *transport,* **PIPELINE:** *pipeline.*

説明: CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM は、基礎トランスポートから要求を受信できませんでした。これは、当該トランスポートのエラーによるものです。

システムの処置: トランザクションは異常終了コード API2 で異常終了します。

ユーザーの処置: トランスポートによって出された前のメッセージを調べて、問題の原因を特定してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *transport*
6. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0503 *date time applid tranid The CICS Pipeline Manager has failed to send a response on the underlying transport. TRANSPORT:* *transport,* **PIPELINE:** *pipeline.*

説明: CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM は、基礎トランスポートで応答を送信できませんでした。これは、当該トランスポートで発生した前のエラーによるものです。

システムの処置: 要求は中止されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: トランスポートによって出された前のメッセージを調べて、問題の原因を特定してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *transport*
 6. *pipeline*
- 宛先: CPIO

DFHPI0504 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager has failed to communicate with a service provider due to an error in the underlying transport. TRANSPORT: *transport*, PIPELINE: *pipeline*.**

説明: CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM は、基礎トランスポートのエラーのため、サービス・プロバイダーと通信できませんでした。

システムの処置: 要求は中止されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: トランスポートによって出された前のメッセージを調べて、問題の原因を特定してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *transport*
6. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0505 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager has failed to communicate with a remote server as no URI was provided. PIPELINE: *pipeline*.**

説明: CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM は、URI が指定されていないため、リモート・サーバーと通信できませんでした。CICS がリモート・サーバーに要求を行うには、そのサーバーを識別する URI が事前に指定されている必要があります。この URI は、コンテナ「DFHWS-URI」またはパイプライン構成ファイルのいずれかに指定されている必要があります。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: URI が指定されるようにアプリケーション・ロジックまたは構成ファイルを修正してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0506 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager has failed to communicate with a remote server due to an invalid URI scheme being specified. URI: *uri*, PIPELINE: *pipeline*.**

説明: 無効なスキームの URI が指定されたため、CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM はリモート・サーバーと通信できませんでした。CICS がリモート・サーバーに要求を行うには、そのサーバーを識別する URI が事前に指定されている必要があります。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: サポートされるスキームを持つ URI が指定されるようにアプリケーション・ロジックまたは構成ファイルを修正してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *uri*
6. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0507 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager has failed to receive a response from an application handling task. {The request timed out. | The application task abended. | The connection to the application task was closed.} PIPELINE: *pipeline*.**

説明: CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM は、アプリケーション・タスクから応答を受信できませんでした。コンテキスト・スイッチが要求されたため、アプリケーション・ハンドラーに別個のタスクが使用さ

DFHPI0508 E • DFHPI0510 E

れました。このメッセージに、応答が受信されなかった理由が示されています。

システムの処置: 要求は失敗として扱われ、エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・タスクが実行されている領域のメッセージ・ログを調べて、問題の詳細な原因を判別してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=要求はタイムアウトしました。

2=アプリケーション・タスクは異常終了しました。

3=アプリケーション・タスクへの接続がクローズされました。

6. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0508 E *date time applid* **The pipeline manager is unable to create or join a request stream because it is unable to reach the target for transaction *tranid* with userid *userid*.**

説明: CICS パイプライン・マネージャーは、トランザクション *tranid* の要求ストリームを作成または結合しようとした。トランザクションは、接続できない REMOTESYSTEM を指定しています。これは、IRC が開かれていないか、ターゲット・システムが使用できないことが原因である可能性があります。

システムの処置: この要求ストリームの作成を試みている SOAP ハンドラーは、クライアントに返すための SOAP サーバー障害を作成します。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: *tranid* 定義からリモート・システム名を判別してください。IRC が開かれていて、指定された IRC 接続がサービス状態であることを確認してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*
5. *userid*

宛先: CPIO

DFHPI0509 E *date time applid* **The pipeline manager is unable to create or join a request stream because transaction *tranid* is not installed.**

説明: CICS パイプライン・マネージャーは、インストールされていないトランザクション *tranid* の要求ストリームを作成または結合しようとした。

システムの処置: この要求ストリームの作成を試みた SOAP ハンドラーは、クライアントに返すための SOAP サーバー障害を作成します。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: プログラム名 DFHPIAP を使用して *tranid* の RDO 定義を追加してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CPIO

DFHPI0510 E *date time applid* **The pipeline manager is unable to create or join a request stream because it has encountered a severe error for transaction *tranid* with userid *userid*.**

説明: CICS パイプライン・マネージャーは、トランザクション *tranid* の要求ストリームを作成または結合しようとした。CICS は重大エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。この要求ストリームの作成を試みている SOAP ハンドラーは、クライアントに返すための SOAP サーバー障害を作成します。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
 5. *userid*
- 宛先: CPIO

DFHPI0511 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager has failed to receive a response from the target Secure Token Service: *sts_uri*. 応答メッセージを解析できませんでした。**

説明: CICS パイプライン・マネージャー・トラスト・ハンドラー DFHPITC は、示されたセキュリティー・トークン・サービスからの応答を構文解析できませんでした。

システムの処置: 障害が作成され、パイプラインはその障害をリクエストに返します。

ユーザーの処置: CICS トレースおよびセキュア・トークン・サービス・ログを調べて、XML エラーの原因を特定してください。

モジュール: DFHPITC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sts_uri*

宛先: CPIO

DFHPI0512 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager has received a fault from the target Secure Token Service: *sts_uri*. エラーのエラー・コードは *fault_code* でした。**

説明: CICS パイプライン・マネージャー・トラスト・ハンドラー DFHPITC は、示されたセキュリティー・トークン・サービスから障害メッセージを受信しました。セキュア・トークン・サービスで問題が発生した可能性があります。

システムの処置: 障害が作成され、パイプラインはその障害をリクエストに返します。

ユーザーの処置: CICS トレースおよびセキュア・トークン・サービス・ログを調べて障害の原因を特定し、必要に応じて障害を修正してください。

モジュール: DFHPITC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sts_uri*
6. *fault_code*

宛先: CPIO

DFHPI0513 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager has failed to find the required credentials in a response from the Secure Token Service: *sts_uri*.**

説明: CICS パイプライン・マネージャー・トラスト・ハンドラー DFHPITC は、示されたセキュア・トークン・サービスからの応答内に必要な資格情報を検出できませんでした。この問題は一般的に、UsernameToken が必要とされているときに、UsernameToken 以外のトークンが返されたことが原因で発生します。

システムの処置: 障害が作成され、パイプラインはその障害をリクエストに返します。

ユーザーの処置: CICS トレースおよびセキュア・トークン・サービス・ログを調べて、エラーの原因を特定してください。

モジュール: DFHPITC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sts_uri*

宛先: CPIO

DFHPI0514 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager has failed to find the required credentials in a request. An element : *local_name* , in namespace: *namespace*, was expected.**

説明: CICS パイプライン・マネージャー・トラスト・ハンドラー DFHPITC は、特定のタイプの ID トークンが必要とされているときに、必要な資格情報を要求内に検出できませんでした。この問題は一般的に、必要なトークン・タイプがメッセージ内に存在しないことが原因で発生しますが、セキュリティー・ハンドラーの構成エラーによる場合もあります。

システムの処置: 障害が作成され、パイプラインはその障害をリクエストに返します。

ユーザーの処置: CICS トレースおよびセキュリティ・ハンドラー構成を調べて、エラーの原因を特定してください。

モジュール: DFHPITC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *local_name*
6. *namespace*

宛先: CPIO

DFHPI0515 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager cannot run a CICS supplied WS-Security handler in pipeline: pipeline. XML Toolkit**を使用できませんでした。

説明: CICS パイプライン・マネージャーは、CICS WS-Security ハンドラーを呼び出そうとしましたが、ハンドラーのメッセージ内容と構成には XML Toolkit for z/OS が必要です。CICS の資料を参照して、必要な Toolkit のバージョンを確認してください。CICS は、XML Toolkit が使用できないことを検出しました。要求を処理できません。

システムの処置: パイプラインはエラー・モードで駆動されます。

ユーザーの処置: XML Toolkit ライブラリーが CICS で使用可能なことを確認し、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHPITC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0516 *date time applid tranid* **SAML request saml_function to endpoint saml_endpoint on JVM server jvmserver has failed because {of an invalid token. | of a container error. | a required input container is missing. | the JVM server is not enabled. | the JVM server cannot be found. | the DFHSAML-FUNCTION container is not DATATYPE(CHAR). | the DFHSAML-TOKEN container is not found. | the DFHSAML-TOKEN container is not DATATYPE(CHAR). | the DFHSAML-JVM container is not DATATYPE(CHAR). | the DFHSAML-FILTER container is not DATATYPE(CHAR). | the DFHSAML-SIGNED container is not DATATYPE(CHAR). | of an error in parsing the token. | the DFHSAML-FILTER container has invalid data. | the DFHSAML-FUNCTION container has invalid data. | the DFHSAML-SIGNED container has invalid data. | the DFHSAML-OUTTOKEN container is not found. | the certificate has expired. | the token is no longer valid. | the certificate in the token is not trusted. | the input container is not readonly. | a signature element is not specified in the Security Token Service configuration file. | an error has occurred while adding an attribute to the token. | at least one of the attribute input containers is not DATATYPE(CHAR). | the value of an attribute is missing. | the name of an attribute is missing. | the KEYRING SIT parameter is not set. | the certificate was not found in the keyring. | the transaction channel DFHTRANSACTION cannot be found. | the JVM server is not configured for SAML. | the DFHSAML-RESPONSE container cannot be found. | of an internal error.}**

説明: CICS SAML セキュリティー・トークン・サービス DFHSAML へのリンク中に、CICS パイプライン・ハンドラーでエラーが発生しました。

システムの処置: 障害が作成され、パイプラインはその障害をリクエストに返します。

ユーザーの処置: 有効なセキュリティ・トークンが指定され、SAML セキュリティー・トークン・サービス

が正しく構成されていることを確認してください。

モジュール: DFHPITC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *saml_function*
6. *saml_endpoint*
7. *jvmserver*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=無効なトークン。(of an invalid token.)
 2=コンテナ・エラー。(of a container error.)
 3=必須入力コンテナがない。
 6=JVM サーバーが使用可能でない。
 7=JVM サーバーが見つからない。
 9=DFHSAML-FUNCTION コンテナが DATATYPE(CHAR) でない。
 10=DFHSAML-TOKEN コンテナが見つからなかった。
 11=DFHSAML-TOKEN コンテナが DATATYPE(CHAR) でない。
 12=DFHSAML-JVM コンテナが DATATYPE(CHAR) でない。
 13=DFHSAML-FILTER コンテナが DATATYPE(CHAR) でない。
 14=DFHSAML-SIGNED コンテナが DATATYPE(CHAR) でない。
 15=トークンの構文解析中のエラー。(of an error in parsing the token.)
 16=DFHSAML-FILTER コンテナに無効データがある。
 17=DFHSAML-FUNCTION コンテナに無効データがある。
 18=DFHSAML-SIGNED コンテナに無効データがある。
 19=DFHSAML-OUTTOKEN コンテナが見つからなかった。
 21=証明書の有効期限が切れていた。
 22=トークンが無効になった。
 23=トークンの証明書が信頼できない。
 24=入力コンテナが読み取り専用でない。
 25=セキュリティー・トークン・サービス構成ファイルで署名エレメントが指定されていない。
 26=属性をトークンに追加しているときにエラーが発生した。
 27=属性入力コンテナの少なくとも 1 つが DATATYPE(CHAR) でない。
 28=属性の値が欠落している。
 29=属性の名前が欠落している。

30=KEYRING SIT パラメーターが設定されていない。
 31=証明書が鍵リング内に見つからなかった。
 32=トランザクション・チャネル DFHTRANSACTIONが見つからない。
 33=JVM サーバーが SAML 向けに構成されていない。
 98=DFHSAML-RESPONSE コンテナが見つからない。
 99=内部エラー。(of an internal error.)

宛先: CPIO

DFHPI0517 *date time applid tranid* **The CICS Pipeline Manager DFHPIPM encountered an error while trying to link to program *program_name*. Abend, *abend_code*, has been issued.**

説明: CICS パイプライン・マネージャー DFHPIPM は、ターゲット・プログラムにリンクできなかったか、ターゲット・プログラムが異常終了しました。

システムの処置: リンクは中止されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: ターゲット・プログラム定義が正しいことを確認してください。異常終了コードを使用して、修正アクションを判別してください。

モジュール: DFHPIRI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *abend_code*

宛先: CPIO

DFHPI0600 *date time applid* **The CICS SOAP handler has been passed a container that is not DATATYPE(CHAR).**

説明: コンテナにデータ・タイプ CHAR がないため、CICS SOAP ハンドラー DFHPISN はコンテナを UTF-8 に変換できませんでした。

システムの処置: SOAP ハンドラーは入力を処理できないため、クライアントまたは送信側に SOAP 障害を返します。

ユーザーの処置: DFHREQUEST コンテナおよび DFHWS-BODY コンテナが、EXEC CICS PUT CONTAINER 呼び出しで DATATYPE(CHAR) オプシ

ョンを使用するようにしてください。

モジュール: DFHPISN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CPIO

DFHPI0601 *date time applid* **The CICS SOAP handler has been passed data that does not begin with a '<' character.**

説明: CICS SOAP ハンドラー DFHPISN は、コンテナ DFHWS-BODY で渡されたデータが「<」文字で開始されていないことを検出しました。

システムの処置: SOAP ハンドラーは、DFHWS-BODY コンテナの内容を使用して処理を続行しようとしません。

ユーザーの処置: DFHWS-BODY コンテナの内容が「<」文字で開始されることが想定されていない場合は、これ以上のアクションは不要です。DFHWS-BODY コンテナの内容を「<」文字で開始する必要がある場合は、コンテナに入力されたデータが正しいこと、および、fromccsid パラメーターが適切に設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHPISN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CPIO

DFHPI0602 *date time applid tranid trannum* **The CICS SOAP handler failed to parse a message. The parser error code is errcode. The error was found at offset offset into the message. Further information: {a GETMAIN failure has occurred | an unspecified error has been detected in DFHPIEP | a non-SOAP tag has been found in the SOAP envelope | an in-line DTD has been found in the SOAP envelope | an unspecified error has occurred | the namespace of the SOAP envelope is not recognized | an XML processing instruction has been found | the SOAP envelope is not well formed | an unqualified attribute has been found on a SOAP tag | the PL/I XML parser returned a fatal error code | an unspecified error has occurred | a problem occurred processing a tag in DFHPIEP | a problem occurred processing an attribute in DFHPIEP}.**

説明: CICS SOAP ハンドラー DFHPISN は、メッセージの構文解析に失敗しました。

システムの処置: SOAP ハンドラーは、SOAP メッセージの処理を停止し、SOAP 障害を作成してリクエスト者に返します。

ユーザーの処置: 「Enterprise PL/I プログラミング・ガイド」のパーサー・エラー・コード *errcode* を参照して、構文解析の失敗のタイプを確認してください。パーサー・エラー・コードが 0 の場合、XML は有効ですが、SOAP は無効です。SOAP メッセージへのオフセット *offset* を使用して、失敗の正確な位置を決定してください。一部のシナリオでは、問題のある SOAP メッセージを保持しているコンテナの内容が SOAP 障害メッセージに置き換えられていることがあります。この状態が発生したときは、CICS への到達時に SOAP メッセージが表示されるように、トレースを取ることが必要になる場合があります。

モジュール: DFHPISN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *errcode*
7. *offset*

8. 以下のオプションから選択される値。

- 1=GETMAIN 障害が発生しました、
- 2=DFHPIEP で詳細不明のエラーが検出されました、
- 3=SOAP エンベロープに SOAP 以外のタグが見つかりました、
- 4=SOAP エンベロープにインライン DTD が見つかりました
- 5=詳細不明のエラーが発生しました、
- 6=SOAP エンベロープの名前空間が認識されません、
- 7=XML 処理命令が見つかりました、
- 8=SOAP エンベロープは整形形式ではありません、
- 9=SOAP タグに非修飾属性が見つかりました、
- 10=PL/I XML パーサーは致命的エラーのコードを返しました、
- 11=詳細不明のエラーが発生しました、
- 12=DFHPIEP のタグの処理中に問題が発生しました、
- 13=DFHPIEP の属性の処理中に問題が発生しました

宛先: CPIO

DFHPI0603 I *date time applid* **The CICS SOAP handler has received an unexpected HTTP GET for URI *Uri*.**

説明: CICS SOAP ハンドラーが、URI *Uri* を使用して HTTP GET メソッドで呼び出されました。CICS Web サービス・サポートで扱うことができるのは HTTP POST メソッドのみです。この URI で WSDL ファイルの検出を試みる場合、URIMAP リソースが欠落している可能性があります。

システムの処置: SOAP ハンドラーは入力を処理できず、SOAP 障害をリクエスターに返します。

ユーザーの処置: 要求で Web サービスの WSDL を検出しようとしている場合、WSDL の場所への URI のパスと一致させることができる URIMAP リソースがインストールされていることを確認してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. *Uri*

宛先: CPIO

DFHPI0604 *date time applid tranid* **The CICS SOAP handler encountered an error while trying to link to program *program_name*. {The program abended. | The program was not defined. | The program was not enabled. | The program was not loadable. | No further details are available.}** **PIPELINE:** *pipeline*.

説明: SOAP ハンドラーは指定されたプログラムにリンクできなかったか、リンクされたプログラムが異常終了しました。

システムの処置: リnkは中止されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: プログラム定義が正しいことを確認してください。メッセージに示されている問題を修正します。さらに表示可能な情報がないことがメッセージで報告されている場合は、トレースを参照できます。

モジュール: DFHPISH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. *tranid*
- 5. *program_name*
- 6. 以下のオプションから選択される値。

- 1=プログラムが異常終了しました。
- 2=プログラムが定義されていません。
- 3=プログラムが使用可能になっていません。
- 4=プログラムをロードできません。
- 99=これ以上の詳細はありません。

7. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0700 S *date time applid userid* **PIPELINE *pipeline* failed to install completely because PL/I support is not available and is required for pipeline usage.**

説明: PL/I サポートがこの領域で使用不可のため、PIPELINE *pipeline* のインストールの最終段階で失敗しました。PL/I 言語サポートは、パイプラインを使用するための前提条件です。

システムの処置: PIPELINE は使用不可になりますが、CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: PL/I 言語サポートを領域に追加して、CICS を再始動してください。この操作を行う方法

DFHPI0701 I • DFHPI0704 I

については、「z/OS V1R4.0 言語環境プログラム カスタマイズ」を参照してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0701 I *date time applid userid PIPELINE*
pipeline has been created.

説明: パイプライン *pipeline* が作成されました。このパイプラインは、すぐに解決処理を実行する必要があります。これを実行するための CIPR トランザクションが自動的に追加されます。解決が完了したら、パイプラインは使用可能になります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0702 E *date time applid userid PIPELINE*
pipeline encountered an error in the
configuration file filename for pipeline
at offset X'offset'. エレメント名:
elementname.

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。このエラーは示されたオフセットにあり、示されたエレメント名で開始されます。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (*pipeline*) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*
7. *X'offset'*
8. *elementname*

宛先: CPIO

DFHPI0703 I *date time applid userid PIPELINE*
pipeline is about to scan the WSDIR
directory.

説明: パイプライン *pipeline* のスキャンを開始しようとしています。これにより、パイプラインの WSDIR パラメーターに指定されているディレクトリーにある *wsbind* ファイルごとに *WebService* が作成されます。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0704 I *date time applid userid PIPELINE*
pipeline Implicit scan has completed.
WSDIR ディレクトリー内の **wsbind** ファイル数: *num_files*。正常に作成された **Web** サービス数: *num_ok*。作成に失敗した **Web** サービス数: *num_failed*。

説明: パイプライン *pipeline* のスキャンが完了しました。WSDIR パラメーターによってこのパイプラインに指定されたディレクトリーにある *wsbind* ファイルの数は、*num_files* によって報告されます。WebService リソース作成の成功数は *num_ok* で報告され、WebService リソース作成の失敗数は *num_failed* で報告されます。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: *num_failed* がゼロ以外の値の場合、直

前のメッセージをエラーを探すと、エラーについて説明されている可能性があります。問題の診断を支援するために、PI ドメイン・トレース項目も作成されます。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *num_files*
7. *num_ok*
8. *num_failed*

宛先: CPIO

DFHPI0705 E *date time applid userid PIPELINE pipeline cannot copy the configuration file to the derived shelf directory derived_shelf.*

説明: パイプライン *pipeline* の構成ファイルをシェルフにコピーしているときに、zFS から不適切な応答コードを受信しました。関連する zFS ディレクトリー名は *derived_shelf* です。

システムの処置: PIPELINE リソースは使用不可になり、CICS は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題の原因に関する詳細については、関連する DFHDH0300 コンソール・メッセージを参照してください。その問題を訂正した後、PIPELINE リソースを破棄してから再インストールしてください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *derived_shelf*

宛先: CPIO

DFHPI0706 E *date time applid userid PIPELINE pipeline resolution failed because it cannot be determined if this is a requester or provider pipeline.*

説明: パイプラインが作成された後、そのパイプライン

は別のトランザクションで解決処理を実行します。CICS は、パイプラインがリクエスターかプロバイダーか判断できませんでした。最初のエレメント名は、*requester_pipeline* または *provider_pipeline* でなければなりません。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルが正しいことを確認してください。構成ファイルが正しい場合、言語環境プログラムのリソース定義が当該バージョンの z/OS に適していることを確認してください。構成ファイルが正しくない場合は、その構成ファイルを修正してください。PIPELINE リソース *pipeline_name* を破棄してから再インストールする必要があります。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0707 E *date time applid userid PIPELINE pipeline resolution failed because namespace prefixes are not supported in the XML configuration file.*

説明: 名前空間接頭語が指定された XML エレメントが検出されました。これはサポートされていない。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン *pipeline_name* を破棄してから、再インストールしてください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0708 E *date time applid userid PIPELINE
pipeline resolution failed because the
XML configuration file cannot be
found.*

説明: パイプラインが作成された後、そのパイプラインは別のトランザクションで解決処理を実行します。このトランザクションは、リソース定義の CONFIGFILE パラメーター、または EXEC CICS CREATE PIPELINE コマンドに指定されたファイルを検出できませんでした。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定されます。

ユーザーの処置: zFS ファイル名が正しく指定されていることを確認してください。完全修飾名を使用する必要があります。zFS に関する通常の制限事項 (大/小文字の区別やアクセス権限など) がファイル名に適用されません。PIPELINE 定義の CONFIGFILE パラメーターについて詳しくは、IBM Knowledge Center での PIPELINE 属性を参照してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0710 I *date time applid userid PIPELINE
pipeline was successfully discarded.*

説明: PIPELINE は正常に破棄され、使用できなくなりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0711 E *date time applid userid PIPELINE
pipeline resolution failed because the
SAX parser returned error code
X'errcode'. The error was at offset
X'offset' in the CONFIGFILE. The first
eight bytes of data at this offset are:
'hexdata'.*

説明: パイプラインが作成された後、そのパイプラインは別のトランザクションで解決処理を実行します。このトランザクションは SAX パーサーを起動します。このパーサーは、RDO コマンドまたは EXEC CICS CREATE PIPELINE コマンドで指定された CONFIGFILE に対するオフセット *offset* でエラー (*errcode*) を検出しました。問題の解決に役立つように、データの最初の 8 バイト (*hexdata*) が 16 進数で出力されます。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 終了例外コード *errcode* については、「Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイド」を参照してください。構成ファイルを訂正してください。パイプライン *pipeline_name* を破棄してから、再インストールしてください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *X'errcode'*
7. *X'offset'*
8. *hexdata*

宛先: CPIO

DFHPI0712 E *date time applid userid PIPELINE
pipeline failed to install due to
insufficient access rights to a zFS file.*

説明: このパイプラインの構成ファイル (CONFIGFILE) を読み取ろうとしたときに、NOTAUTH 条件が発生しました。

システムの処置: パイプラインは使用不可になり、CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: ユーザー ID のアクセス権限を訂正するか、このパイプラインのインストールに正しいユーザー ID が使用されるようにしてください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0713 E *date time applid userid PIPELINE*
pipelinename The pipeline resolution
transaction CPIR did not attach.

説明: パイプラインが作成された後、そのパイプラインは別のトランザクションで解決処理を実行します。しかし、このトランザクションは正常に接続されませんでした。パイプラインはインストールされません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 接続エラーの原因を示す例外トレース項目を調べてください。CICS システムに CPIR トランザクションが定義およびインストールされていることを確認するとともに、プログラム DFHPIITL も定義されて使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipelinename*

宛先: CPIO

DFHPI0714 E *date time applid userid PIPELINE*
pipeline failed to install. The directory
specified in the WSDIR parameter is
invalid.

説明: WSDIR パラメーターに指定された zFS ディレクトリが無効です。

システムの処置: パイプラインはインストールされません。CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 指定されたデータを検査し、そのデータが正しいかどうか確認してください。zFS ファイル名を指定するときに大/小文字が重要になることに注意してください。訂正したら、パイプラインを再インストールしてください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0715 I *date time applid userid PIPELINE*
pipeline explicit scan has completed.
WSDIR ディレクトリ内の **wsbind** ファイル数: *num_files*。作成または更新された **WEBSERVICE** 数: *num_ok*。更新を必要としない **WEBSERVICE** 数: *num_nun*。作成または更新に失敗した **WEBSERVICE** 数: *num_failed*。

説明: パイプライン *pipeline* の明示スキャンが完了しました。WSDIR パラメーターによってこのパイプラインに指定されたディレクトリにある **wsbind** ファイルの数は、*num_files* によって報告されます。WebService リソースの作成または更新の成功数は *num_ok* で報告され、更新が必要なかった数は *num_nun* で報告され、WebService の作成の失敗数は *num_failed* で報告されます。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: *num_failed* がゼロ以外の値の場合、直前のメッセージをエラーを探すと、エラーについて説明されている可能性があります。問題の診断を支援するために、PI ドメイン・トレース項目も作成されます。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *num_files*
7. *num_ok*
8. *num_nun*
9. *num_failed*

宛先: CPIO

DFHPI0716 E *date time applid userid* **Unable to dynamically create a WEBSERVICE for PIPELINE pipeline.** 完全なWSBINDファイル名が長すぎます。

説明: WSDIR ディレクトリーにある wsbind ファイルの名前を使用して、webservice を動的に作成しようとした。完全修飾ファイル名の長さが最大の 255 文字を超えています。

システムの処置: webservice は作成されません。CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: WSDIR ディレクトリーに短い値を使用してください。WSDIR パラメーターが変更され、すべての wsbind ファイルがその新規ディレクトリーにコピーまたは再生成されたら、パイプラインを破棄して、再インストールする必要があります。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0717 E *date time applid userid* **PIPELINE pipeline resolution failed because the XML configuration file is empty.**

説明: パイプラインが作成された後、そのパイプラインは別のトランザクションで解決処理を実行します。このトランザクションは、リソース定義の CONFIGFILE パラメーター、または EXEC CICS CREATE PIPELINE コマンドに指定されたファイルを読み取れませんでした。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定されます。

ユーザーの処置: zFS ファイル名が正しく指定されていることを確認してください。完全修飾名を使用する必要があります。zFS に関する通常の制限事項 (大/小文字の区別やアクセス権限など) がファイル名に適用されます。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*

5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0720 E *date time applid userid* **PIPELINE pipeline encountered an error in the configuration file filename at offset X'offset'. Found : element_found yet expected : {<service> | <transport> or <service> | a transport handler list | <service_handler_list> or <terminal_handler> | <handler> | <program> | <handler_parameter_list> | <name> | <cics_soap_1.1_handler> | <cics_soap_1.2_handler> | <header_program> | <service> | <service_handler_list> | <default_target> or a default handler list | <program_name> | <namespace> | <localname> | <mandatory> | true, false, 1 or 0 | <terminal_handler> | <service_parameter_list> | <service>, <transport> or <service_parameter_list> | / | <localname>value</localname> | <namespace>valid value for namespace</namespace> | a tag that is valid within <service_handler_list> | <jvmserver> tag within <cics_soap_1.n_handler_java> | <jvmserver>value</jvmserver> | <repository>value</repository> | <apphandler> | </provider_pipeline_json>}**

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。エラーがオフセット *offset* で発生しました。*element_expected* が想定されていたときに *element_found* が検出されました。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (*pipeline*) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*
7. *X'offset'*
8. *element_found*
9. 以下のオプションから選択される値。

```

1=<service>、
2=<transport> または <service>、
3=トランスポート・ハンドラー・リスト、
4=<service_handler_list> または <terminal_handler>、
5=<handler>、
6=<program>、
7=<handler_parameter_list>、
8=<name>、
9=<cics_soap_1.1_handler>、
10=<cics_soap_1.2_handler>、
11=<header_program>、
12=<service>、
13=<service_handler_list>、
14=<default_target> またはデフォルト・ハンドラー・リスト、
15=<program_name>、
16=<namespace>、
17=<localname>、
18=<mandatory>、
19=true、false、1、または 0、
20=<terminal_handler>、
21=<service_parameter_list>、
22=<service>、<transport>、または
<service_parameter_list>、
23=/、
24=<localname>値</localname>、
25=<namespace>名前空間の有効な値</namespace>、
26=<service_handler_list> 内の有効なタグ、
27=<cics_soap_1.n_handler_java> 内の <jvmserver> タグ、
28=<jvmserver>値</jvmserver>、
29=<repository>値</repository>、
30=<apphandler>、
31=</provider_pipeline_json>

```

宛先: CPIO

DFHPI0721 E *date time applid userid PIPELINE*
pipeline encountered an error in the
configuration file filename for pipeline
at offset X'offset'. 属性 *attribname* の値
attribvalue が無効です。

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。このエラーは、示されたオフセットに

あります。示されている属性が検出されましたが、その値は許可されていない値です。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (*pipeline*) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。スキーマを確認して、有効な値を見つけることができます。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*
7. *X'offset'*
8. *attribvalue*
9. *attribname*

宛先: CPIO

DFHPI0722 E *date time applid userid PIPELINE*
pipeline encountered an error in the
configuration file filename for the
pipeline. WSSE_Handler構成に、このパイプラインでは無効なモードとトラストが指定されています。

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。mode 属性と trust 属性に指定された値の組み合わせは、このパイプラインでは使用できません。使用できる組み合わせは、プロバイダー・パイプラインとリクエスター・パイプラインで異なります。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (*pipeline*) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*

宛先: CPIO

DFHPI0723 E *date time applid userid PIPELINE*
pipeline encountered an error in the
configuration file filename for the
pipeline. *element* に指定されたアルゴリズムの値はサポートされていません。

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。指定されたアルゴリズム URI は、CICS ではサポートされていません。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (*pipeline*) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。サポートされるアルゴリズムを資料で確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*
7. *element*

宛先: CPIO

DFHPI0724 E *date time applid userid PIPELINE*
pipeline encountered an error in the
configuration file filename for the
pipeline. WSSE_Handler構成に
 <authentication>および
 <sts_authentication>の両方のエレメント
 が指定されています。これらのエレメント
 のうち1つだけを指定してください。

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。<authentication> エレメントと
 <sts_authentication> エレメントを両方指定すると、エラーになります。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設

定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (*pipeline*) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*

宛先: CPIO

DFHPI0725 E *date time applid userid PIPELINE*
pipeline encountered an error in the
configuration file filename for the
pipeline. エレメント *element* を指定する
 必要があります。

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。現在の構成値に基づいて、CICS は示されたエレメントが存在しないと判断しました。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (*pipeline*) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。サポートされるアルゴリズムを資料で確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*
7. *element*

宛先: CPIO

DFHPI0726 E *date time applid userid PIPELINE pipeline encountered an error in the configuration file filename for the pipeline.* エレメント *element* が重複しているか、またはエレメントが認識できません。

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。現在の構成値に基づいて、CICS は示されたエレメントが既存エレメントの重複であるか、認識できないエレメントであると判断しました。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (*pipeline*) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。サポートされるエレメントを資料で確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*
7. *element*

宛先: CPIO

DFHPI0727 E *date time applid userid PIPELINE pipeline cannot be installed as it requires support for ICRX based identity tokens and these are not supported by the platform.*

説明: このパイプラインでは ICRX ベースの ID トークンのサポートが必要です。このサポートを提供するには、z/OS 1.11 以降が必要です。CICS は、使用中の z/OS のバージョンがパイプラインのインストールに適切ではないと判断しました。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: パイプライン構成ファイル内の別の形式の ID トークンに切り替えるか、新しいバージョンの z/OS にアップグレードしてください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0728 E *date time applid userid PIPELINE pipeline encountered an error in the configuration file filename for the pipeline. CICS がリポジトリ Axis2 構成ファイル element にアクセスできません。*

説明: パイプライン解決処理中に、CICS はパイプライン構成ファイルを構文解析し、エラーを検出しました。CICS は、Java SOAP パイプライン・リポジトリ用に指定されたファイルを検出できません。

システムの処置: PIPELINE リソースは DISABLED 状態に設定され、処理は続行されます。

ユーザーの処置: パイプライン構成ファイルが、リポジトリの有効な場所を指していることを確認してください。リポジトリの場所がパイプライン構成ファイルに指定されていない場合、CICS は USSHOME システム初期設定パラメーターを使用して、リポジトリを見つけてます。指定されたファイルがリポジトリに存在し、CICS がその読み取り権限を持っていることを確認してください。問題を修正したら、PIPELINE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*
7. *element*

宛先: CPIO

DFHPI0729 E *date time applid userid PIPELINE pipeline encountered an error in the pipeline configuration file filename at offset X'offset'. CICS Java SOAP ハンドラーを中間メッセージ・ハンドラーとすることはできません。*

説明: パイプライン解決処理中に、CICS はパイプライン構成ファイルを構文解析し、エラーを検出しました。CICS Java SOAP ハンドラーを中間メッセージ・ハンドラーとして指定することはできません。

システムの処置: PIPELINE リソースは DISABLED 状態に設定され、処理は続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合に、CICS Java SOAP ハンドラーは、<cics_soap_1.1_handler_java> エlement または <cics_soap_1.2_handler_java> Element を使用して、パイプライン構成ファイルに指定されます。プロバイダー・パイプラインでは、このElement は端末ハンドラーとして指定する必要があります。リクエスト・パイプラインでは、このElement は、<service_handler_list> Element の最初のメッセージ・ハンドラーとして指定する必要があります。パイプライン構成ファイルを訂正し、PIPELINE リソースを再インストールしてください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. *filename*
7. *X'offset'*

宛先: CPIO

DFHPI0730 *date time applid* **An attempt to register a remote Web service as a participant in unit of work - X'uwoid' has failed.**

説明: ローカル作業単位の調整の下でリモート Web サービスをアトミック・トランザクションの参加者として登録しようとしているときに、エラーが検出されました。

システムの処置: ローカル作業単位がリモート Web サービスのリンクで更新されず、登録応答がリモート Web サービスの登録エンドポイントに送信されません。その後、リモート Web サービスはタイムアウトになり、行われたすべてのリカバリー可能な更新がバックアウトされます。

ユーザーの処置: この問題は、登録メッセージがその実行元の領域に送信される前に、調整を行っている作業単位がタイムアウトした結果として発生した可能性があります。この場合、調整トランザクションの DTIMOUT 値を長くするか (設定されている場合)、または、DTIMOUT が NO に設定されている場合は、調整領域

の FTIMOUT 設定を長くすることを検討してください。問題が解決しない場合、この問題の解決のために IBM からのサポートが必要になります。

モジュール: DFHPIRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uwoid'*

宛先: CPIO およびコンソール

DFHPI0731 *date time applid* **An attempt to register unit of work - X'uwoid' with a remote WSAT coordinating transaction has failed.**

説明: リモートのリカバリー単位の調整の下でローカル Web サービスをアトミック・トランザクションの参加者として登録しようとしているときに、エラーが検出されました。

システムの処置: ローカル作業単位がリモート調整トランザクションのリンクで更新されず、ローカル Web サービスが呼び出されませんでした。代わりに、SOAP 障害が調整トランザクションに返されます。

ユーザーの処置: この問題は、ローカル領域が使用するパイプライン・リソースの 1 つに構成エラーがあるために発生した可能性があります。DFHWSATR パイプラインは登録要求の送信に使用され、DFHWSATP パイプラインは登録応答の受信に使用されます。これらのいずれかがインストールされていないか、使用不可か、または適切に構成されていない場合、それらのパイプラインで意図されたメッセージ処理が行われないことがあります。または、登録応答が受信される前に参加トランザクションがタイムアウトになったためにエラーが発生することもあります。この間隔は、登録が試行された調整コンテキスト内の wscor:Expires の値によって制御されます。登録が正常に完了するように、この時間を長くすることを検討してください。問題が解決しない場合、この問題の解決のために IBM からのサポートが必要になります。

モジュール: DFHPIRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uwoid'*

宛先: CPIO およびコンソール

DFHPI0732 *date time applid* **A request to rollback unit of work - X'uwoid' has been received from a remote WS-AT coordinating transaction.**

説明: アトミック・トランザクションの処理中に、リモートの WS-AT 調整タスクにより、指定された作業単位を CICS でロールバックするよう要求されました。

システムの処置: 指定された作業単位はロールバックされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uwoid'*

宛先: CPIO

DFHPI0733 *date time applid* **A transaction timed out while waiting for a Prepare message from a remote WS-AT coordinator. The unit of work - X'uwoid' will be rolled back.**

説明: リモートの WS-AT コーディネーターからの準備メッセージを待機している CICS トランザクションがタイムアウトしました。

システムの処置: 指定された作業単位はロールバックされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'uwoid'*

宛先: CPIO

DFHPI0734 E *date time applid* **Error 'exception' occurred whilst configuring PIPELINE pipeline within a JVMSERVER.**

説明: CICS が JVM サーバーの PIPELINE pipeline を構成しようとしているときに、Java 例外がキャッチされました。例外に関連付けられたメッセージは *exception* です。

システムの処置: 関連付けられた PIPELINE リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 例外で報告された問題を修正してから、PIPELINE リソースを再インストールしてください。

モジュール:

com.ibm.cicsts.axis2.PipelineConfigurationHandler

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *exception*
5. *pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0735 E *date time applid* **Error 'exception' occurred whilst configuring WEBSERVICE webservice within a JVMSERVER.**

説明: CICS が JVM サーバーの WEBSERVICE *webservice* を構成しようとしているときに、Java 例外がキャッチされました。例外に関連付けられたメッセージは *exception* です。

システムの処置: 関連付けられた WEBSERVICE は使用不可です。

ユーザーの処置: 例外で報告された問題を修正してから、WEBSERVICE リソースを再インストールしてください。

モジュール:

com.ibm.cicsts.axis2.CICSAxis2ApplicationHandler

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *exception*
5. *webservice*

宛先: CPIO

DFHPI0736 E *date time applid* **PIPELINE pipeline encountered an error in the configuration file filename for the pipeline. このファイルでは、<apphandler>エレメントと<apphandler_class>エレメントの両方が指定されています。いずれか一方のエレメ**

ントだけを指定できます。

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。<apphandler> エlementと<apphandler_class> Elementを両方指定すると、エラーになります。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (pipeline) を破棄して再インストールする前に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pipeline*
5. *filename*

宛先: CPIO

DFHPI0737 *date time applid PIPELINE pipeline encountered an error in the configuration file filename for the pipeline. Configuration for {endpoint cics://PROGRAM/DFHSAML | sts_authentication attribute extract | sts_authentication attribute token_signature | jvmserver element | auth_token_type namespace for SAML 1.1 or SAML 2.0 assertions | sts_authentication attribute tran_channel} implies configuration for the SAML security token service. This requires {a provider mode pipeline. | sts_authentication element attribute action=validate. | auth_token_type namespace for SAML 1.1 or SAML 2.0 assertions.}*

説明: パイプライン解決処理中に構成ファイルが解析され、制御ブロックが作成されます。この処理中にエラーが発生しました。CICS セキュリティー・トークン・サービスに非互換の構成Elementまたは属性が指定されました。

システムの処置: パイプラインは DISABLED 状態に設定され、通常処理は続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。パイプライン (pipeline) を破棄して再インストールする前

に、訂正されたファイルが検証済みであることを確認してください。

モジュール: DFHPIPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pipeline*
5. *filename*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=エンドポイント *cics://PROGRAM/DFHSAML*、
2=*sts_authentication* 属性 *extract*、
3=*sts_authentication* 属性 *token_signature*、
4=*jvmserver* Element、
5=SAML 1.1 または SAML 2.0 アサーション用の *auth_token_type* 名前空間、
6=*sts_authentication* 属性 *tran_channel*

7. 以下のオプションから選択される値。

1=プロバイダー・モードのパイプライン。
2=*sts_authentication* Element属性 *action=validate*。
3=SAML 1.1 または SAML 2.0 アサーション用の *auth_token_type* 名前空間。

宛先: CPIO

DFHPI0800 E *date time applid userid Atomic Transaction processing failed because the SAX parser returned error code X'errcode'. エラーは SOAP メッセージのオフセット X'offset' にあります。*

説明: アトミック・トランザクションの処理中に、SOAP メッセージは SAX パーサーによって構文解析されます。このパーサーは、メッセージへのオフセット *offset* でエラー (*errcode*) を検出しました。問題の解決に役立つように、データの最初の 8 バイト (*hexdata*) が出力されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: トレース項目 (PI ドメインではレベル 2 が必要です) を取得し、IBM サービス担当員に渡してください。

この問題を解決するためには IBM からのサポートが必要になります。これに対する処置については、「トラブルシューティングおよびサポート」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHPIAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *X'errcode'*
6. *X'offset'*

宛先: CPIO

DFHPI0801I E *date time applid A one way message has been found in an atomic transaction message exchange for transaction TRAN.*

説明: パイプライン内の Web サービス・アトミック・トランザクション・ヘッダー・ハンドラーが、アトミック・トランザクション・メッセージ・フローの一部として片方向のメッセージ・フローが送信されたことを検出しました。これは許可されていません。

システムの処置: Web サービス・アトミック・トランザクション・ハンドラーがトレースを発行して、異常終了しました。CICS がエラーを検出したことを示す SOAP 障害メッセージもクライアントに送信されました。

ユーザーの処置: 無効なアトミック・トランザクション・メッセージを CICS に送信したクライアントでエラーが発生しました。クライアント・システムを制御できる場合は、クライアント・システムがアトミック・トランザクションの一部として片方向のメッセージを使用しようとした理由を調べてください。

モジュール: DFHWSATH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *TRAN*

宛先: CPIO およびコンソール

DFHPI0901 I *date time applid userid New WEBSERVICE WebService is being created during a scan against PIPELINE Pipeline.*

説明: スキャン中に、新しい WSBIND ファイルが zFS で検出されました。そのファイルを表すために、対応する CICS WEBSERVICE リソースが自動的に作成されています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPISC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0902 I *date time applid userid WEBSERVICE WebService is being updated during a scan against PIPELINE Pipeline.*

説明: WEBSERVICE リソースの更新が検出されました。CICS は、zFS 上の WSBIND ファイルの最終変更時刻を、WEBSERVICE リソース定義に保管された最終変更時刻と比較します。zFS 上の WSBIND ファイルが現在インストールされているリソースより新しい場合は、WEBSERVICE リソースが更新されます。このプロセスでは、既存の定義を破棄して、新規定義をインストールする処理が行われます。

システムの処置: この WEBSERVICE に対する未解決の「未完了」アクティビティーがある場合、そのワークロードの終了後に更新が完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPISC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0903 I *date time applid userid New URIMAP UriMap is being created during a scan against PIPELINE Pipeline for WEBSERVICE WebService.*

説明: PIPELINE のスキャン中に新規 URIMAP リソースがインストールされています。

システムの処置: なし。

DFHPI0904 I • DFHPI0906 E

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPISC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *UriMap*
6. *Pipeline*
7. *WebService*

宛先: CPIO

DFHPI0904 I *date time applid userid URIMAP*
UriMap could not be created for
WEBSERVICE *WebService in PIPELINE*
Pipeline. 割り振れなかった URI: 'Uri'

説明: スキャンされた WEBSERVICE に対して URIMAP を自動的に作成しようとしたが、失敗しました。これはおそらく、wsbind ファイルで指定された URI が別の URIMAP によって既に使用されていることが原因と考えられます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPISC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *UriMap*
6. *WebService*
7. *Pipeline*
8. *Uri*

宛先: CPIO

DFHPI0905 E *date time applid userid WEBSERVICE*
WebService within PIPELINE Pipeline
cannot check for archive file because
the WSDL name Name is too long.

説明: WEBSERVICE *WebService* の作成中に、CICS は、WSDIR ディレクトリー内で WSDL アーカイブ・ファイルを見つけようとします。アーカイブ・ファイルの名前は WSDL 名に基づいており、ファイル名拡張子は「.zip」に置き換えられます。完全修飾ファイル名

が、最大長の 255 文字より長くなっています。

システムの処置: WEBSERVICE リソースのインストールは続行されますが、ARCHIVEFILE 属性は設定されません。

ユーザーの処置: WSDIR ディレクトリーまたは WSDL ファイル名に短い値を使用してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*
7. 名前

宛先: CPIO

DFHPI0906 E *date time applid userid WEBSERVICE*
WebService within PIPELINE Pipeline
cannot generate URIMAP for WSDL
discovery because URI Uri is too long.

説明: CICS は、WEBSERVICE *WebService* の WSDL を検出する URIMAP リソースを生成できません。生成された URIMAP リソースのパスは、URI に照会ストリング「?wsdl」を付加したものに基いています。生成されたパスが、最大長の 255 文字より長くなっています。

システムの処置: WEBSERVICE リソースのインストールは続行されますが、WSDL ディスカバリー用の URIMAP は生成されません。

ユーザーの処置: 短い URI を使用するか、WSDL を検出するための適切なパスを使用する URIMAP を手動で作成してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*
7. *Uri*

宛先: CPIO

DFHPI0910 I *date time applid userid* **WEBSERVICE**
WebService within PIPELINE Pipeline
has been created.

説明: WEBSERVICE が作成され、現在 INITING 状態です。INSERVICE 状態になるまでは使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。WEBSERVICE は間もなくインストールを完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIWR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0911 E *date time applid userid* **WEBSERVICE**
WebService within PIPELINE Pipeline
was not created because: {there is
insufficient storage | there is a directory
domain error | the specified PIPELINE is
not installed | a lock cannot be obtained |
there is a duplicate resource error}.

説明: WEBSERVICE *WebService* は作成されませんでした。指定された PIPELINE がインストールされていない場合に、このエラーが発生することがあります。

システムの処置: WEBSERVICE は作成されません。

ユーザーの処置: 指定された PIPELINE リソースがインストールされていることを確認し、再試行してください。

モジュール: DFHPIWR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=ストレージ不足、
 2=ディレクトリー・ドメイン・エラー、

3=指定された PIPELINE がインストールされていない、
 4=ロックを取得できなかった、
 5=重複リソース・エラー

宛先: CPIO

DFHPI0912 I *date time applid userid* **WEBSERVICE**
WebService was successfully discarded.

説明: WEBSERVICE は正常に破棄され、使用できなくなりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIWR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*

宛先: CPIO

DFHPI0913 I *date time applid userid* **WEBSERVICE**
WebService is being discarded.

説明: WEBSERVICE の破棄が開始されましたが、「未完了」の作業が未解決であるため、この時刻に完了できません。

システムの処置: 「未完了」のアクティビティーが終了すると、WEBSERVICE の破棄は完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIWR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*

宛先: CPIO

DFHPI0914 E *date time applid userid* **WEBSERVICE**
WebService is UNUSABLE because: {the
WSBind file was not found | CICS is not
authorized to read the WSBind file | there
is insufficient storage to load the WSBind
file | the zFS read for the WSBind file
failed | writing the WSBind file to the
shelf failed | the PIPELINE is
incompatible with this WEBSERVICE |
the CPIR resolution transaction could not
be attached | the direction of the
PIPELINE can't be determined | the
WSBind file is corrupt | the WSBind file
has an invalid version number | the
WSBind file has an out of date version
number | the WSBind file product number
was not recognized | the PIPELINE is not
a SOAP PIPELINE | the PIPELINE does
not support SOAP version 1.2 | the
PIPELINE is not configured for SOAP
version 1.1 | the WSBind file is
incompatible with the LOCALCCSID | it
is incompatible with a Bundle defined
PIPELINE | the associated JVMSERVER
does not support CICS z/OS Connect |
the WSBind file defines too many
operations for JSON | the WSBind file
could not be configured for JSON | the
WSBind file specifies an unsupported
CCSID | the WSBind file specifies
RESTful. This is not supported in
non-Java JSON processing}.

説明: WEBSERVICE は初期設定を完了できませんでした。

システムの処置: WEBSERVICE は UNUSABLE 状態に置かれています。

ユーザーの処置: CICS 領域 ID に、PIPELINE リソースのシェルフ・ディレクトリー構造への書き込み権限があることを確認してください。WSBind ファイルが存在し、CICS がその読み取り権限を持っていることを確認してください。WSDL ファイルが存在し (指定されている場合)、CICS がその読み取り権限を持っていることを確認してください。

WEBSERVICE がインストールされている PIPELINE リソースが使用可能で有効になっていることを確認してください。現在使用中のバージョンの言語環境プログラムの正しい定義が CICS CSD に存在していることを確認してください。

WSBind ファイルが作成された方法を検討してください

い。有効な WSBind ファイルとして認識される必要があります。このファイルがシステム間で転送される場合は、ファイルの破壊を避けるために、転送をバイナリー・モードで行う必要があります。

バージョン番号が無効な場合、WSBind ファイルはこのバージョンの CICS と互換性がありません。このバージョンの CICS に適したランタイム・レベルを使用して、WSBind ファイルを再生成してください。

LOCALCCSID で問題が報告される場合は、Web サービス支援機能を使用して WSBind ファイルを再生成し、CCSID パラメーターを追加してください。デフォルトでは、WSBind ファイルは US EBCDIC との互換性を持つように作成されます。CICS は LOCALCCSID が US EBCDIC と互換性がないことを検出したため、WSBind ファイルを再生成する必要があります。

WSBind ファイルでサポートされない CCSID が報告される場合、Web サービス支援機能を使用して WSBind ファイルを再生成し、サポートされる CCSID 値を指定してください。

WEBSERVICE が、WebService を実装する CICS 内のアプリケーションを表す場合、PIPELINE もプロバイダー・モードで構成されることを確認してください。これとは反対に、WEBSERVICE が、リモート・サーバーで実行されている WebService を表す場合、PIPELINE はリクエスター・モードで構成されます。PIPELINE がエラーなしでインストールされたことを確認してください。

プロバイダー・モードの WEBSERVICE は、PROGRAM が指定された Web サービスです。リクエスター・モードの WEBSERVICE は、PROGRAM が指定されていない Web サービスです。PROGRAM 名 (必要な場合) は、WSBind ファイルが生成されるときに指定する必要があります。

PIPELINE がバンドル定義の場合、WEBSERVICE に互換性があり、BUNDLE または PIPELINE SCAN で作成されていることを確認してください。

適切な WSBind ファイルを使用していることを確認してください。例えば、SOAP Web サービス用に生成された WSBind ファイルを JSON Web サービスで使用しようとしていないことを確認してください。

WEBSERVICE を破棄して再インストールしてください。

問題が解決しない場合、トレース機能を使用して、問題の原因を判別することが必要な場合があります。

モジュール: DFHPIWR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=WSBind ファイルが見つからない、
 2=CICS が WSBind ファイルの読み取りを許可されていない、
 3=WSBind ファイルをロードするストレージが不足している、
 4=WSBind ファイルの zFS 読み取りに失敗した、
 5=シェルフへの WSBind ファイルの書き込みに失敗した、
 6=PIPELINE とこの WEBSERVICE に互換性がない、
 7=CPIR 解決トランザクションが付加できなかった、
 8=PIPELINE の方向が判別できなかった、
 9=WSBind ファイルが壊れている、
 10=WSBind ファイルのバージョン番号が無効、
 11=WSBind ファイルのバージョン番号が古い、
 12=WSBind ファイルの製品番号が認識できない、
 13=PIPELINE が SOAP PIPELINE ではない、
 14=PIPELINE が SOAP バージョン 1.2 をサポートしていない、
 15=PIPELINE が SOAP バージョン 1.1 に構成されていない、
 16=WSBind ファイルと LOCALCCSID に互換性がない、
 17=バンドル定義 PIPELINE との互換性がない、
 18=関連する JVMSERVER が CICS z/OS Connect をサポートしていない、
 19=WSBind ファイルで定義した JSON の操作が多すぎる、
 20=WSBind ファイルを JSON のために構成できなかった、
 21=WSBind ファイルで、サポートされない CCSID を指定している、
 22=WSBind ファイルで RESTful を指定している。これは Java ではない JSON 処理ではサポートされていません。

宛先: CPIO

DFHPI0915 I *date time applid userid* **WEBSERVICE**
WebService **is now INSERVICE and is ready for use.**

説明: WEBSERVICE は初期化を完了し、使用する準備ができています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPIWR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*

宛先: CPIO

DFHPI0916 E *date time applid userid* **WEBSERVICE**
WebService **within PIPELINE Pipeline was not created because it clashes with another WEBSERVICE of the same name in PIPELINE Pipeline.**

説明: WEBSERVICE *WebService* は作成されませんでした。このエラーは、既にインストールされている既存の WEBSERVICE との名前競合が原因で発生しました。同じ wsbind ファイルが 2 つの異なる PIPELINE にインストールされている場合、または wsbind ファイルが任意の PIPELINE にある十分に似た名前の別の wsbind ファイルと一致する場合に、競合が発生する可能性があります。

システムの処置: WEBSERVICE は作成されず、PIPELINE SCAN 処理は続行されます。

ユーザーの処置: wsbind ファイルの名前を変更し、操作を再試行してください。

モジュール: DFHPISC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*
7. *Pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0917 W *date time applid userid*
WEBSERVICE *WebService* **might perform unpredictably as the PIPELINE Pipeline is non-SOAP.**

説明: WEBSERVICE が SOAP 以外の PIPELINE にインストールされており、予想通りに動作しない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: PIPELINE 定義を調べて、SOAP サ

DFHPI0918 E • DFHPI0996

ポートが正しく構成されているかどうか確認してください。

モジュール: DFHPIWR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0918 E *date time applid userid* **WEBSERVICE**
WebService within PIPELINE Pipeline
can not be set as INSERVICE because
the specified PIPELINE is not
installed.

説明: WEBSERVICE *WebService* は、INSERVICE として設定されませんでした。指定された PIPELINE がインストールされていない場合に、このエラーが発生します。

システムの処置: WEBSERVICE は作成されません。

ユーザーの処置: 指定された PIPELINE リソースがインストールされていることを確認し、再試行してください。

モジュール: DFHPIWR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *WebService*
6. *Pipeline*

宛先: CPIO

DFHPI0919 E *date time applid userid* **The WSDL**
file filename for WEBSERVICE
WebService cannot be read because:
{CICS is not authorized to read the file |
the zFS read for the file failed}.

説明: PIPELINE SCAN 中に WSDL 文書の読み取りで問題が発生しました。

システムの処置: SCAN 処理は続行されます。

ユーザーの処置: CICS に WSDL ファイルの読み取り

権限があることを確認してください。

WSDL ファイルが適切に保管されていることを確認してください。

モジュール: DFHPISC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *filename*
6. *WebService*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=CICS は、ファイルの読み取りを許可されていません、

2=ファイルの zFS 読み取りに失敗しました

宛先: CPIO

DFHPI0996 *date time applid* **The Outbound Router**
program, DFHPIRT, has received a
non-NORMAL response while
attempting to read a container. 結果の
エラー・コードは *X'code'* で、コンテナ
一名は *container_name* です。

説明: アウトバウンド・ルーター・プログラム DFHPIRT は、必要なコンテナを読み取れなかったため、トラスト・クライアントとして正常に機能できませんでした。NORMAL でない応答が EXEC CICS GET CONTAINER 呼び出しから返されました。*code* が '099D'X の場合は、CONTAINERERR が返されました。*code* '099E'X は、LENGERR が返されたことを示しています。

システムの処置: プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: アウトバウンド・ルーター・プログラムにリンクする前に、名前が示されているコンテナが正しく作成され、データが適切に設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHPIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'code'*
5. *container_name*

宛先: CPIO

DFHPI0997 *date time applid tranid PIPELINE pipeline WEBSERVICE webservice The CICS pipeline manager has encountered an error: {PIPELINE not found | PIPELINE not active | PIPELINE mode mismatch | unhandled node failure | context switch failed | request stream creation failure | request stream transport error | target program unavailable or abended | channel error | channel not found | URI not found | invalid URI | authorization failure | programabend | unidentified problem | timeout occurred | no request message | there was a problem with file PIDIR | attempt to register a WS-AT context twice | empty DFHREQUEST container returned from a handler | req and resp containers both returned from a handler | empty DFHRESPONSE container returned from a handler | chunking request from non-terminal node | chunking request is incompatible with MTOM/XOP | chunking request not supported for this transport | transport function failed | bad mime type | failure to receive request | failure to send response to WS-Addressing endpoint}.*

説明: パイプライン・マネージャーは、メッセージを処理しようとしているときに、問題を検出しました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- 構成エラーまたは予期しないイベント。
- DTIMEOUT の超過が原因で中止された接続の試行。これにより、メッセージ DFHPI0400 が出されます。
- 応答待機中の RESPWAIT タイムアウトの超過。
- パイプライン上のハンドラー・プログラムからの予期しない応答。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: トレースおよび前に出されたメッセージを調べて、パイプライン・マネージャーが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHPIPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *pipeline*
6. *webservice*
7. 以下のオプションから選択される値。

- 1=PIPELINE が見つかりません、
- 2=PIPELINE がアクティブではありません、
- 3=PIPELINE モードが一致しません、
- 4= 未処理ノード障害、
- 5= コンテキスト・スイッチに失敗しました、
- 6=要求ストリーム作成に失敗しました、
- 7=要求ストリーム・トランスポート・エラー、
- 8=ターゲット・プログラムが使用不可または異常終了しました、
- 9=チャンネル・エラー、
- 10=チャンネルが見つかりません、
- 11=URI が見つかりません、
- 12=URI が無効です、
- 13=許可障害、
- 14=プログラム異常終了、
- 15=未確認の問題、
- 16=タイムアウト発生、
- 17=要求メッセージがありません、
- 18=ファイル PIDIR で問題発生、
- 19=WS-AT コンテキストを 2 回登録しようとした、
- 20=ハンドラーから空の DFHREQUEST コンテナが返された、
- 21=ハンドラーから req コンテナと resp コンテナの両方が返された、
- 22=ハンドラーから空の DFHRESPONSE コンテナが返された、
- 23=非端末ノードからのチャンク要求、
- 24=チャンク要求と MTOM/XOP に互換性がありません、
- 25=このトランスポートではチャンク要求はサポートされていません、
- 26=トランスポート関数が失敗しました、
- 27=誤った MIME タイプ、
- 28=要求の受信に失敗しました、
- 29=WS-Addressing エンドポイントへの応答の送信に失敗しました

宛先: CPIO

DFHPI0998 *date time applid* **The Outbound Router program, DFHPIRT, has received a non-NORMAL response while attempting to get the pipeline name from the DFHWS-PIPELINE container. The resulting error code is X'code'.**

説明: アウトバウンド・ルーター・プログラム DFHPIRT は、DFHWS-PIPELINE コンテナからパイプライン名を取得できなかったため、パイプラインを正常に開始できませんでした。NORMAL でない応答が EXEC CICS GET CONTAINER 呼び出しから返されました。code が '099D'X の場合は、CONTAINERERR が返されました。code '099E'X は、LENGERR が返されたことを示しています。

システムの処置: プログラムは APIC 異常終了で終了します。

ユーザーの処置: トレースを調べて、アウトバウンド・ルーターが失敗した理由を判別してください。アウトバウンド・ルーター・プログラム DFHPIRT にリンクする前に DFHWS-PIPELINE コンテナが正しく作成され、このコンテナに設定されたパイプライン名が 8 文字を超えていないことを確認してください。

モジュール: DFHPIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. X'code'

宛先: CPIO

DFHPI0999 *date time applid tranid* **The CICS pipeline manager has encountered a problem with file DFHPIDIR: {the file was not found | the file key length was too small | the file record size was too small | the file is full | the file control record is full | file recovery mode was not backout | there was an internal error | file failed to open or connect}.**

説明: パイプライン・マネージャーは、ファイル DFHPIDIR を開こうとしているときに問題を検出しました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- ファイルが存在しない可能性があります。
-

ファイル定義がインストールされていない可能性があります。

-
- ファイルのキー長が短すぎます。
- ファイル・レコード長が短すぎます。
-
- ファイルがいっぱいです。
-
- ファイル制御レコードがいっぱいです。
-
- ファイル・リカバリー・モードがバックアウトとして指定されませんでした。
-
- ファイルに接続できなかったか、ファイルを開くことができませんでした。
-
- 内部エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は打ち切られます。SOAP 障害がクライアントに返されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、パイプライン・マネージャーが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHPIIM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=ファイルが見つからない、
 2=ファイルのキー長が短すぎた、
 3=ファイルのレコード・サイズが小さすぎた、
 4=ファイルがいっぱい、
 5=ファイル制御レコードがいっぱい、
 6=ファイル・リカバリー・モードがバックアウトされていない、
 7=内部エラー、
 8=ファイルのオープンまたは接続に失敗した

宛先: CPIO

DFHPI1000 *date time applid* **The Outbound Router program, DFHPIRT, has detected an invalid URI in the DFHWS-STSACTION container. The URI was: 'uri'.**

説明: アウトバウンド・ルーター・プログラム DFHPIRT は、トラスト・クライアントとして正常に動作できませんでした。DFHWS-STSACTION コンテナに含まれる @QKC URI を認識できませんでした。

システムの処置: プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: アウトバウンド・ルーター・プログラムにリンクする前に、DFHWS-STSACTION コンテナが正しく作成され、データが適切に設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHPIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *uri*

宛先: CPIO

DFHPI1001 *date time applid* **Validation of a {request | response} message for WEBSERVICE webservicename and operation operationname failed. The failure response contains the following message: 'message'.**

説明: WEBSERVICE *webservicename* の操作 *operationname* の検証が要求されました。検証は試行されましたが、失敗しました。着信 SOAP メッセージが指定された WSDL と一致しないか、WSDL の読み取り中に問題が発生しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 詳細 *message* を確認してください。これはこの問題の性質を示しています。通常、このメッセージには検証の実行に使用される XML パーサーからの @QKC メッセージが含まれ、SOAP メッセージによって中断されたルールが示されています。問題が CICS に送信される SOAP メッセージにある場合、SOAP メッセージを修正するようにパートナー・システムを変更してください。問題が CICS によって生成された SOAP メッセージにある場合は、CICS アプリケーションを変更することにより問題を修正できるかどうか判断してください。問題の原因が CICS にある場合は、IBM サポート担当員に連絡してさらに支援を受けてください。

message に WSDL 文書が見つからないことが示されている場合、使用する「Wsdlfile」が WEBSERVICE リソースに示されていないことが原因の可能性があります。WEBSERVICE リソースの作成時に、WSDL 文書を指定する必要があります。PIPELINE スキャン機構を使用して、WEBSERVICE リソースを作成する場合は、WSDL のコピーが WSBind ファイルとともに PIPELINE の「Wsdir」ディレクトリーに格納されていることを確認してください。

モジュール: DFHPITL、DFHPIIW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=要求、
2=応答

5. *webservicename*
6. *operationname*
7. *message*

宛先: CPIO

DFHPI1002 *date time applid* **Validation of a {request | response} message for WEBSERVICE webservicename and operation operationname was successful.**

説明: Web サービス *webservicename* の特定の操作 *operationname* の検証が要求されました。検証は正常に実行されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPITL、DFHPIIW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=要求、
2=応答

5. *webservicename*
6. *operationname*

宛先: CPIO

DFHPI1003 *date time applid* **No current channel located. Validation cannot occur.**

説明: 特定の操作の検証が要求されました。この検証を行うには、コンテナを持つチャネルが存在している必要があります。現行チャネルが見つかりませんでした。この状態では検証を実行できません。

システムの処置: 検証は試行されません。アプリケーション・プログラムは、検証が要求されなかった場合と同様に起動されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPITL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CPIO

DFHPI1004 *date time applid* **The attempt to link to DFHPIVAL to perform validation failed.**

説明: 特定の操作の検証が要求されました。この検証を行うには、プログラム DFHPIVAL へのリンクが必要です。このプログラムへのリンクが失敗しました。このプログラムなしでは検証を実行できません。

システムの処置: 検証は試行されません。処理を続行します。アプリケーション・プログラムは、検証が要求されなかった場合と同様に起動されます。

ユーザーの処置: 使用中の CSD に DFHPIVAL の定義が含まれていることを確認してください。

モジュール: DFHPITL、DFHPIIW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CPIO

DFHPI1005 *date time applid* **Attempt to link to program progname failed. SOAP変換を実行できません。Module: modname.**

説明: CICS アプリケーションに適した形式への SOAP 変換が失敗しました。ベンダー提供プログラム *progname* へのリンクが失敗しました。Web サービスはこのプログラムなしでは使用できません。

システムの処置: Web サービスを使用する試みは打ち

切られます。SOAP 障害がクライアントに返されます。INVOKE WEBSERVICE API コマンド中に障害が発生する場合、つまり、このメッセージの発行元モジュールが DFHPIIW の場合は、対応する EIBRESP コードおよび EIBRESP2 コードがアプリケーション・プログラムに返されます。

ユーザーの処置: WEBSERVICE 定義が正しい WSBIND ファイルを参照していること、および必要なベンダー・プログラム *progname* が CICS で使用できることを確認してください。

モジュール: DFHPITL、DFHPIIW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progname*
5. *modname*

宛先: CPIO

DFHPI1006 *date time applid* **The WSBIND file used for WEBSERVICE WebService is not a type which CICS can use. Module: modname.**

説明: WSBIND ファイルを作成した製品は、CICS で処理方法が認識されている製品ではありません。そのため、Web サービス *WebService* を呼び出すことはできません。

システムの処置: Web サービスを使用する試みは打ち切られます。SOAP 障害がクライアントに返されます。INVOKE WEBSERVICE API コマンド中に障害が発生する場合、つまり、このメッセージの発行元モジュールが DFHPIIW の場合は、対応する EIBRESP コードおよび EIBRESP2 コードがアプリケーション・プログラムに返されます。

ユーザーの処置: *WebService* の WEBSERVICE 定義が正しい WSBIND ファイルを参照し、そのファイルが適切に生成されていることを確認してください。

モジュール: DFHPITL、DFHPIIW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *WebService*
5. *modname*

宛先: CPIO

DFHPI1007 *DATE TIME APPLID TRANID*
TRANNUM 入力が正しくなかった
 ({XML_FORMAT_ERROR |
 UNEXPECTED_CONTENT |
 HEADER_FORMAT_ERROR |
 UNDEFINED_ELEMENT |
 UNDEFINED_NAME_SPACE |
 ARRAY_OVERFLOW |
 NAME_TOO_LONG |
 PREFIX_TOO_LONG |
 NAME_SPACE_TOO_LONG |
 UNEXPECTED_XOP_INCLUDE |
 XOP_INCLUDE_ERROR |
 DUPLICATE_CHOICE |
 MISSING_XSI_TYPE |
 UNKNOWN_XSI_TYPE |
 MISSING_ATTRIBUTE |
 MIXED_CONTENT |
 MISSING_EQUALS_ATTR |
 MISSING_CLOSE_TAG_CHAR |
 MISSING_QUOTE_OR_APOSTROPHE |
 MISSING_END_QUOTE |
 DUPLICATE_ATTRIBUTE |
 MISMATCHED_TAGS |
 UNSUPPORTED_ENTITY |
 INVALID_UNICODE_DATA}
error_qualifier) ため、{XML | JSON} からデータへの変換に失敗しました (対象:
 {WEBSERVICE | XMLTRANSFORM |
 BUNDLE | EVENTBINDING |
 SCACOMPOSITE | JVMSEVER *pipeline*
handler program | EPADAPTER |
 OSGIBUNDLE | PROGRAM | POLICY
 | EPADAPTERSET | APPLDEF |
 TRANSACTION | URIMAP | PLATDEF
 | LIBRARY | WARBUNDLE |
 EBABUNDLE | TCPIPSERVICE |
 JVMSEVER | FILE | PIPELINE |
 JSONTRANSFRM | EARBUNDLE |
 PACKAGESET | NODEJSAPP | TYPE
 UNKNOWN} *resource_name*)。

説明: CICS が一部の XML データまたは JSON データをアプリケーション・データに変換できませんでした。XML の場合、これはパートナー・プロセスから受信した SOAP メッセージの本文である可能性があります。失敗の理由は、XML の内容に問題があることです。XML の形式が正しくないか、XML スキーマに対して無効であるか、CICS XML または JSON 変換サービスの内部制約のいずれかに準拠していません。問題の原因を特定するために役立つ *error_qualifier* が示される

場合があります。場合によっては、*error_qualifier* は空になります。

このメッセージに関連付けられている可能性のあるエラー・コードと修飾子は次のとおりです。

XML_FORMAT_ERROR *error_type*

XML または JSON の形式が正しくありません。詳しくは、トレースを参照してください。

UNEXPECTED_CONTENT

2 つの XML タグの間に文字データが見つかりましたが、その場所では文字データのテキストは予期されていませんでした。

HEADER_FORMAT_ERROR

XML 名前空間コンテナからの名前空間属性の読み取りで問題が発生しました。

UNDEFINED_ELEMENT *element_name*

XML に予期しない XML タグが含まれているか、JSON に予期しない JSON オブジェクトが含まれています。

UNDEFINED_NAME_SPACE *name_space*

XML に、定義されていない XML 名前空間接頭部が含まれています。

ARRAY_OVERFLOW *array_name*

XML で検出されたタグの配列またはリストのインスタンスの数が多すぎます。

NAME_TOO_LONG

255 文字より長い XML タグ名が検出されました。

PREFIX_TOO_LONG

255 文字より長い XML 名前空間接頭部が検出されました。

NAME_SPACE_TOO_LONG

255 文字より長い XML 名前空間名が検出されました。

UNEXPECTED_XOP_INCLUDE

xop:Include エレメントは、base64binary フィールドのデータの代わりとしてのみ表示されるべきですが、他の何らかのコンテキストで検出されました。

XOP_INCLUDE_ERROR

xop:include エレメントは有効なコンテキストで検出されましたが、参照される添付ファイルが見つかりませんでした。

DUPLICATE_CHOICE *element_name*

相互に排他的なオプション・グループから 2 番目の項目が見つかりました。検出された最初のオプションのみが予期されていました。

MISSING_XSI_TYPE *element_name*

xsi:type 属性が XML タグで必要とされていましたが、見つかりませんでした。

UNKNOWN_XSI_TYPE type_name

サポートされないデータ・タイプで xsi:type 属性が見つかりました。データ・タイプは、元の XML スキーマに存在した場合にのみサポートされます。

MISSING_ATTRIBUTE attribute_name element_name namespace

指定された名前と名前空間を持つ必須属性が必要でしたが、指定された XML タグから欠落しています。この属性のデフォルト値が認識されません。名前空間が指定されていない場合、XML 属性を名前空間で修飾してはなりません。

MIXED_CONTENT element_name

示されたエレメントに、XML タグでマークアップされていない文字データが含まれていました。これらの文字は、XML スキーマでエレメントに mixed="true" が指定されている場合にのみ許容されます。

MISSING_EQUALS_ATTR attribute_name element_name

示されたエレメントに、値の前に等号文字がない属性が含まれています。例えば、<tag attribute="value">ではなく、<tag attribute="value">となっています。

MISSING_CLOSE_TAG_CHAR element_name

示されたエレメントに「>」文字がありません。このタグは、通常は <tag/> という形式を取る自己終了タグの可能性がありますが。

MISSING_QUOTE_OR_APOSTROPHE attribute_name element_name

示されたエレメントに、値の区切り文字がない属性が含まれています。例えば、<tag attribute="value">ではなく、<tag attribute=value">となっています。

MISSING_END_QUOTE attribute_name element_name

示されたエレメントに、値の終了区切り文字がない属性が含まれています。例えば、<tag attribute="value">ではなく、<tag attribute="value>となっています。

DUPLICATE_ATTRIBUTE attribute_name element_name

示されたエレメントに、同じ名前を持つ 2 つの属性が含まれています。

MISMATCHED_TAGS start_tag_name end_tag_name

XML の開始タグと終了タグのペアが一致していません。例えば、<open></open>ではなく、<open></close>となっています。

UNSUPPORTED_ENTITY entity_name

サポートされないエンティティが XML で見つかりました。

INVALID_UNICODE_DATA element_name

XML タグに無効な Unicode データが含まれています。

システムの処置: XML または JSON の変換プロセスは停止します。

CICS が Web サービス・プロバイダーとして動作している場合、SOAP 障害メッセージ (SOAP の場合) またはエラー・メッセージ (JSON の場合) がリクエストに返されます。CICS が Web サービス・リクエストとして機能している場合は、応答コード INVREQ が RESP2 コード 14 とともに呼び出し元アプリケーション・プログラムに返されます。CICS が TRANSFORM コマンドを処理している場合、INVREQ が RESP2 コード 3 とともに返されます。

例外項目がトレース・テーブルに書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳細情報について、例外トレース項目を調べます。XML がスキーマに対して有効であることをテストするために、WEBSERVICE または XMLTRANSFORM のどちらかの妥当性検査オプションを使用することを検討してください。

XML には大/小文字の区別があります。XML 内で使用される XML エレメント、属性、および名前空間名が、XML を記述するスキーマと照らし合わせて正しいことを確認します。

パートナー・プロセスを修正または変更して、CICS に送信された XML が、CICS によるコンシュームに適していることを確認します。

CICS パイプライン処理の過程で SOAP または JSON メッセージがハンドラー・プログラムによって変更された場合は、ハンドラーがこの問題の原因となっていないことを確認します。このパイプラインが要求データに適していること (例えば、JSON データは SOAP パイプラインによって処理されてはならないこと、または DFHPITP などのアプリケーション・ハンドラー・プログラムが端末ハンドラーとして使用されないこと) を確認してください。

モジュール: DFHPICCC、DFHPIJP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID

4. TRANID
5. TRANNUM
6. 以下のオプションから選択される値。

1=XML,
2=JSON

7. 以下のオプションから選択される値。

1=XML_FORMAT_ERROR、
2=UNEXPECTED_CONTENT、
3=HEADER_FORMAT_ERROR、
4=UNDEFINED_ELEMENT、
5=UNDEFINED_NAME_SPACE、
6=ARRAY_OVERFLOW、
7=NAME_TOO_LONG、
8=PREFIX_TOO_LONG、
9=NAME_SPACE_TOO_LONG、
10=UNEXPECTED_XOP_INCLUDE、
11=XOP_INCLUDE_ERROR、
12=DUPLICATE_CHOICE、
13=MISSING_XSI_TYPE、
14=UNKNOWN_XSI_TYPE、
15=MISSING_ATTRIBUTE、
16=MIXED_CONTENT、
17=MISSING_EQUALS_ATTR、
18=MISSING_CLOSE_TAG_CHAR、
19=MISSING_QUOTE_OR_APOSTROPHE、
20=MISSING_END_QUOTE、
21=DUPLICATE_ATTRIBUTE、
22=MISMATCHED_TAGS、
23=UNSUPPORTED_ENTITY、
24=INVALID_UNICODE_DATA

8. *error_qualifier*

9. 以下のオプションから選択される値。

1=WEBSERVICE、
2=XMLTRANSFORM、
3=BUNDLE、
4=EVENTBINDING、
5=SCACOMPOSITE、
6=JVMSEVER パイプライン・ハンドラー・プログラム、
7=EPADAPTER、
8=OSGIBUNDLE、
9=PROGRAM、
10=POLICY、
11=EPADAPTERSET、
12=APPLDEF、
13=TRANSACTION、
14=URIMAP、
15=PLATDEF、
16=LIBRARY、
17=WARBUNDLE、

18=EBABUNDLE、
19=TCPIPSERVICE、
20=JVMSEVER、
21=FILE、
22=PIPELINE、
23=JSONTRANSFRM、
24=EARBUNDLE、
25=PACKAGESET、
26=NODEJSAPP、
99=TYPE UNKNOWN

10. *resource_name*

宛先: CPIO

DFHPI1008 DATE TIME APPLID TRANID
TRANNUM {WEBSERVICE |
XMLTRANSFORM | BUNDLE |
EVENTBINDING | SCACOMPOSITE |
JVMSEVER pipeline handler program |
EPADAPTER | OSGIBUNDLE |
PROGRAM | POLICY |
EPADAPTERSET | APPLDEF |
TRANSACTION | URIMAP | PLATDEF
| LIBRARY | WARBUNDLE |
EBABUNDLE | TCPIPSERVICE |
JVMSEVER | FILE | PIPELINE |
JSONTRANSFRM | EARBUNDLE |
PACKAGESET | NODEJSAPP | TYPE
UNKNOWN} *resource_name* において入力
が正しくなかった
({ARRAY_CONTAINER_TOO_SMALL |
DATA_STRUCTURE_TOO_SMALL |
ARRAY_TOO_LARGE |
ARRAY_TOO_SMALL |
CONTAINER_NOT_FOUND |
CONTAINER_NOT_BIT |
CONTAINER_NOT_CHAR |
BAD_CHOICE_ENUM |
LENGTH_TOO_LONG |
LITTLE_ENDIAN_BOM |
INVALID_UNICODE_DATA}
error_qualifier) ため、{XML | JSON} 生
成に失敗しました。

説明: CICS アプリケーションから受信したデータに問題があるため、CICS は XML または JSON を生成できませんでした。問題の原因を特定するために役立つ *error_qualifier* が示される場合があります。場合によっては、*error_qualifier* は空になります。

このメッセージに関連付けられている可能性のあるエラー・コードと修飾子は次のとおりです。

ARRAY_CONTAINER_TOO_SMALL *array_name*

CICS コンテナには、必要とされるデータのインスタンス数、およびデータの 1 つのインスタンスの長さを考慮した十分なデータが保持されていません。

DATA_STRUCTURE_TOO_SMALL expected_length

CICS に渡されるコンテナが、必要な量のデータを保持していません。この問題には、以下のような原因が考えられます。

- バインディング・ファイルとアプリケーションが一致していません。例えば、CICS は、バージョン 1 のアプリケーションと整合性のあるデータを必要としていますが、アプリケーションはバージョン 2 に更新されているとします。この場合、バインディング・ファイルの更新および再デプロイが必要になります。
- プロバイダー・モードの Web サービスが、終了する前にデータ・コンテナにデータを設定できなかった可能性があります。CICS は、最初に入力として Web サービスに渡したデータと同じデータを出力として受信している可能性があります。
- アプリケーションが、CICS に渡すデータを故意に切り捨てている可能性があります。

ARRAY_TOO_LARGE array_name

XML スキーマに指定された最大値を考慮すると、コンテナに提供されている構造体のインスタンス数が多すぎます。

ARRAY_TOO_SMALL array_name

XML スキーマに指定された最小値を考慮すると、コンテナに提供されている構造体のインスタンス数が少なすぎます。

CONTAINER_NOT_FOUND container_name

入力構造体に指定されたコンテナが見つかりません。

CONTAINER_NOT_BIT container_name

入力構造体に指定されたコンテナは存在しますが、タイプが間違っています。このコンテナは、CHAR モードではなく、BIT モードで作成する必要があります。

CONTAINER_NOT_CHAR container_name

入力構造体に指定されたコンテナは存在しますが、タイプが間違っています。このコンテナは、BIT モードではなく、CHAR モードで作成する必要があります。

BAD_CHOICE_ENUM enum_name

入力構造体の列挙値が無効な値に設定されています。

LENGTH_TOO_LONG field_name

このフィールドに指定された長さの値が、フィールドに許可されている最大長より長い値になっています。例えば、フィールドの最大長が 255 文字の場合に、16448 文字のデータを示す x'4040' に長さが初期設定されています。

LITTLE_ENDIAN_BOM field_name

UTF-16 フィールドのバイト・オーダー・マークに予期しないリトル・エンディアン BOM が含まれています。BOM 文字が使用される場合、ビッグ・エンディアンでなければなりません。

INVALID_UNICODE_DATA field_name

UTF-16 フィールドに無効なコード・ポイントが含まれていました。

システムの処置: XML または JSON の変換プロセスは停止します。

CICS が Web サービス・プロバイダーとして動作している場合、SOAP 障害メッセージ (SOAP の場合) またはエラー・メッセージ (JSON の場合) がリクエスターに返されます。CICS が Web サービス・リクエスターとして機能している場合は、応答コード INVREQ が RESP2 コード 14 とともに呼び出し元アプリケーション・プログラムに返されます。CICS が TRANSFORM コマンドを処理している場合、INVREQ が RESP2 コード 5 とともに返されます。

例外項目がトレース・テーブルに書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳細情報について、例外トレース項目を調べます。

CICS に提示されたデータが XML または JSON への変換に適するように、CICS アプリケーションを修正してください。

モジュール: DFHPPIII、DFHPIIJG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *TRANID*
5. *TRANNUM*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=XML,
2=JSON

7. 以下のオプションから選択される値。

1=ARRAY_CONTAINER_TOO_SMALL、
 2=DATA_STRUCTURE_TOO_SMALL、
 3=ARRAY_TOO_LARGE、
 4=ARRAY_TOO_SMALL、
 5=CONTAINER_NOT_FOUND、
 6=CONTAINER_NOT_BIT、
 7=CONTAINER_NOT_CHAR、
 8=BAD_CHOICE_ENUM、
 9=LENGTH_TOO_LONG、
 10=LITTLE_ENDIAN_BOM、
 11=INVALID_UNICODE_DATA

8. *error_qualifier*

9. 以下のオプションから選択される値。

1=WEBSERVICE、
 2=XMLTRANSFORM、
 3=BUNDLE、
 4=EVENTBINDING、
 5=SCACOMPOSITE、
 6=JVMSEVER パイプライン・ハンドラー・プログラム、
 7=EPADAPTER、
 8=OSGIBUNDLE、
 9=PROGRAM、
 10=POLICY、
 11=EPADAPTERSET、
 12=APPLDEF、
 13=TRANSACTION、
 14=URIMAP、
 15=PLATDEF、
 16=LIBRARY、
 17=WARBUNDLE、
 18=EBABUNDLE、
 19=TCPIPSERVICE、
 20=JVMSEVER、
 21=FILE、
 22=PIPELINE、
 23=JSONTRANSFRM、
 24=EARBUNDLE、
 25=PACKAGESET、
 26=NODEJSAPP、
 99=TYPE UNKNOWN

10. *resource_name*

宛先: CPIO

DFHPI1009 *DATE TIME APPLID TRANID*
TRANNUM {XML | JSON} からデータ
 への変換に失敗しました。
{WEBSERVICE | XMLTRANSFORM |
BUNDLE | EVENTBINDING |
SCACOMPOSITE | JVMSEVER pipeline
handler program | EPADAPTER |
OSGIBUNDLE | PROGRAM | POLICY
| EPADAPTERSET | APPLDEF |
TRANSACTION | URIMAP | PLATDEF
| LIBRARY | WARBUNDLE |
EBABUNDLE | TCPIPService |
JVMSEVER | FILE | PIPELINE |
JSONTRANSFRM | EARBUNDLE |
PACKAGESET | NODEJSAPP | TYPE
UNKNOWN} *resource_name* のフィールド
fieldname の変換時に変換エラー
((UNKNOWN_CONVERSION |
INPUT_TOO_LONG |
OUTPUT_OVERFLOW |
NEGATIVE_UNSIGNED |
NO_FRACTION_DIGITS |
FRACTION_TOO_LONG |
INVALID_CHARACTER |
ODD_HEX_DIGITS | INVALID_BASE64
| NOT_PURE_DBCS |
INVALID_FIELD_SIZE |
EXPONENT_OVERFLOW |
EXPONENT_UNDERFLOW |
ABSTIME_INVALID |
ADDITIONAL_PROPERTIES)) が発生し
 ました。

説明: CICS が一部の XML データまたは JSON データをアプリケーション・データに変換できませんでした。XML の場合、これはパートナー・プロセスから受信した SOAP メッセージの本文である可能性があります。失敗の理由は、XML 内または JSON 内の値の変換で問題が発生したことです。

このメッセージに関連付けられている可能性のあるエラー・コードは次のとおりです。

INPUT_TOO_LONG

数値として宣言された XML タグの値に 31 桁を超える数値が含まれています。

OUTPUT_OVERFLOW

XML タグまたは JSON プロパティーに、通信域の関連フィールドに収まらない長さの値が含まれているか、通信域内の関連フィールドに許容された範囲内でない数値が含まれています。

NEGATIVE_UNSIGNED

符号なしとして宣言された XML タグまたは JSON プロパティに負の数値が検出されました。

NO_FRACTION_DIGITS

XML タグまたは JSON プロパティに小数点を含む数値が含まれていますが、有効な小数桁がその後に続いていません。

FRACTION_TOO_LONG

XML タグに、XML スキーマで許可される数より多くのゼロでない小数桁を持つ数値が含まれています。

INVALID_CHARACTER

XML タグまたは JSON プロパティに、宣言されたタイプの当該タグと矛盾する文字が含まれています。例えば、hexBinary として宣言されたタグに、0 から 9、a から f、および A から F の範囲にない値が含まれています。

ODD_HEX_DIGITS

hexBinary として宣言された XML タグに、奇数の 16 進文字が含まれています。

INVALID_BASE64

base64Binary として宣言された XML タグに、base64 エンコードと整合性のない値が含まれています。

NOT_PURE_DBCS

純粋な DBCS 言語構造フィールドにマップされる XML タグに、純粋な DBCS で表現できない値が含まれています。

INVALID_FIELD_SIZE

サポートされていない精度レベルの浮動小数点型が検出されました。

EXPONENT_OVERFLOW

浮動小数点値の変換中にオーバーフロー条件が検出されました。

EXPONENT_UNDERFLOW

浮動小数点値の変換中にアンダーフロー条件が検出されました。

ABSTIME_INVALID

xsd:dateTime を CICS ABSTIME 値に変換しようとしたが、失敗しました。この原因として、XML の値が RFC3339 に準拠していないか、表わされた値が CICS ABSTIME 値として表現できない場合があることが考えられます。

ADDITIONAL_PROPERTIES

追加の JSON プロパティが存在することが可能になるように構成された WEBSERVICE において追加のプロパティが見つかりました

が、この機能は JSON パーサーでは無効になっています。JVM プロファイルに com.ibm.cics.json.enableAxis2Handlers プロパティが設定されている場合は、それを削除することを検討してください。

UNKNOWN_CONVERSION

認識されない変換タイプが要求されました。

システムの処置: XML または JSON の変換プロセスは停止します。

CICS が Web サービス・プロバイダーとして動作している場合、SOAP 障害メッセージ (SOAP の場合) またはエラー・メッセージ (JSON の場合) がリクエストに返されます。CICS が Web サービス・リクエストとして機能している場合は、応答コード INVREQ が RESP2 コード 14 とともに呼び出し元アプリケーション・プログラムに返されます。CICS が TRANSFORM コマンドを処理している場合、INVREQ が RESP2 コード 4 とともに返されます。

例外項目がトレース・テーブルに書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳細情報について、例外トレース項目を調べます。XML がスキーマに対して有効であることをテストするために、WEBSERVICE または XMLTRANSFORM のどちらかの妥当性検査オプションを使用することを検討してください。

パートナー・プロセスを修正または変更して、CICS に送信された XML が、CICS によるコンシュームに適していることを確認します。

CICS PIPELINE 処理の過程で SOAP メッセージがハンドラー・プログラムによって変更された場合は、ハンドラーがこの問題の原因となっていないことを確認します。

モジュール: DFHPICC、DFHPIJP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. TRANID
5. TRANNUM
6. 以下のオプションから選択される値。

1=XML,
2=JSON

7. 以下のオプションから選択される値。

99=UNKNOWN_CONVERSION,
1=INPUT_TOO_LONG、

2=OUTPUT_OVERFLOW、
 3=NEGATIVE_UNSIGNED、
 4=NO_FRACTION_DIGITS、
 5=FRACTION_TOO_LONG、
 6=INVALID_CHARACTER、
 7=ODD_HEX_DIGITS、
 11=INVALID_BASE64、
 12=NOT_PURE_DBCS、
 14=INVALID_FIELD_SIZE、
 15=EXPONENT_OVERFLOW、
 16=EXPONENT_UNDERFLOW、
 17=ABSTIME_INVALID、
 18=ADDITIONAL_PROPERTIES

8. *fieldname*

9. 以下のオプションから選択される値。

1=WEBSERVICE、
 2=XMLTRANSFORM、
 3=BUNDLE、
 4=EVENTBINDING、
 5=SCACOMPOSITE、
 6=JVMSERVER パイプライン・ハンドラー・プログラム、
 7=EPADAPTER、
 8=OSGIBUNDLE、
 9=PROGRAM、
 10=POLICY、
 11=EPADAPTERSET、
 12=APPLDEF、
 13=TRANSACTION、
 14=URIMAP、
 15=PLATDEF、
 16=LIBRARY、
 17=WARBUNDLE、
 18=EBABUNDLE、
 19=TCPIPService、
 20=JVMSERVER、
 21=FILE、
 22=PIPELINE、
 23=JSONTRANSFRM、
 24=EARBUNDLE、
 25=PACKAGESET、
 26=NODEJSAPP、
 99=TYPE UNKNOWN

10. *resource_name*

宛先: CPIO

DFHPI1010 *DATE TIME APPLID TRANID*
TRANNUM {XML | JSON} 生成に失敗しました。 {WEBSERVICE | XMLTRANSFORM | BUNDLE | EVENTBINDING | SCACOMPOSITE | JVMSERVER pipeline handler program | EPADAPTER | OSGIBUNDLE | PROGRAM | POLICY | EPADAPTERSET | APPLDEF | TRANSACTION | URIMAP | PLATDEF | LIBRARY | WARBUNDLE | EBABUNDLE | TCPIPService | JVMSERVER | FILE | PIPELINE | JSONTRANSFRM | EARBUNDLE | PACKAGESET | NODEJSAPP | TYPE UNKNOWN} *resource_name* のフィールド *fieldname* の変換時に変換エラー ({UNKNOWN_CONVERSION | NEGATIVE_UNSIGNED | INVALID_CHARACTER | INVALID_PACKED_DEC | INVALID_ZONED_DEC | INCOMPLETE_DBCS | ODD_DBCS_BYTES | INVALID_FIELD_SIZE | EXPONENT_OVERFLOW | EXPONENT_UNDERFLOW | ABSTIME_INVALID}) が発生しました。

説明: CICS は、アプリケーション提供のデータを使用して XML または JSON を生成できませんでした。失敗の理由は、アプリケーション・データからの値の変換で問題が発生したことです。

このメッセージに関連付けられている可能性のあるエラー・コードは次のとおりです。

NEGATIVE_UNSIGNED

符号なしとして宣言されたアプリケーション・データに負数が検出されました。

INVALID_CHARACTER

XML タグまたは JSON プロパティに、宣言されたタイプと矛盾する文字が含まれています。例えば、hexBinary として宣言されたタグに、0 から 9、a から f、および A から F の範囲にない値が含まれています。

INVALID_PACKED_DEC

アプリケーション・データのパック 10 進数フィールドに、XML に変換できない正しくない値が含まれています。

INVALID_ZONED_DEC

アプリケーション・データのゾーン 10 進数フィールドに、XML に変換できない正しくない値が含まれています。

INCOMPLETE_DBCS

アプリケーション・データ内の DBCS シーケンスにシフトイン (SI) 文字がありません。

ODD_DBCS_BYTES

アプリケーション・データ内の DBCS シーケンスが奇数バイトの長さです。

INVALID_FIELD_SIZE

サポートされていない精度レベルの浮動小数点型が検出されました。

EXPONENT_OVERFLOW

浮動小数点値の変換時にオーバーフロー条件が検出されました。

EXPONENT_UNDERFLOW

浮動小数点値の変換時にアンダーフロー条件が検出されました。

ABSTIME_INVALID

ABSTIME 値を RFC3339 値に変換中に問題が発生しました。

UNKNOWN_CONVERSION

認識されない変換タイプが要求されました。

システムの処置: XML または JSON の変換プロセスは停止します。

CICS が Web サービス・プロバイダーとして動作している場合、SOAP 障害メッセージ (SOAP の場合) またはエラー・メッセージ (JSON の場合) がリクエストに返されます。CICS が Web サービス・リクエストとして機能している場合は、応答コード INVREQ が RESP2 コード 14 とともに呼び出し元アプリケーション・プログラムに返されます。CICS が TRANSFORM コマンドを処理している場合、INVREQ が RESP2 コード 6 とともに返されます。

例外項目がトレース・テーブルに書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳細情報について、例外トレース項目を調べます。

CICS に提示されたデータが XML または JSON への変換に適するように、CICS アプリケーションを修正してください。

モジュール: DFHPIII、DFHPIJG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID

4. TRANID
5. TRANNUM
6. 以下のオプションから選択される値。

1=XML,
2=JSON

7. 以下のオプションから選択される値。

99=UNKNOWN_CONVERSION、
3=NEGATIVE_UNSIGNED、
6=INVALID_CHARACTER、
8=INVALID_PACKED_DEC、
9=INVALID_ZONED_DEC、
10=INCOMPLETE_DBCS、
13=ODD_DBCS_BYTES、
14=INVALID_FIELD_SIZE、
15=EXPONENT_OVERFLOW、
16=EXPONENT_UNDERFLOW、
17=ABSTIME_INVALID

8. *fieldname*

9. 以下のオプションから選択される値。

1=WEBSERVICE、
2=XMLTRANSFORM、
3=BUNDLE、
4=EVENTBINDING、
5=SCACOMPOSITE、
6=JVMSEVER パイプライン・ハンドラー・プログラム、
7=EPADAPTER、
8=OSGIBUNDLE、
9=PROGRAM、
10=POLICY、
11=EPADAPTERSET、
12=APPLDEF、
13=TRANSACTION、
14=URIMAP、
15=PLATDEF、
16=LIBRARY、
17=WARBUNDLE、
18=EBABUNDLE、
19=TCPIPSERVICE、
20=JVMSEVER、
21=FILE、
22=PIPELINE、
23=JSONTRANSFRM、
24=EARBUNDLE、
25=PACKAGESET、
26=NODEJSAPP、
99=TYPE UNKNOWN

10. *resource_name*

宛先: CPIO

DFHPI1020 E *date time applid tranid* The CICS handling program for the SCACOMPOSITE type failed to create resource *resource_name* in the BUNDLE resource *bundle_name* because CICS failed to parse the SCDL resource definition *scdl_path_name* specified in bundle root directory *bundle_root*. {The SCDL is not valid. | SCDL の変換に失敗しました。}

説明: CICS がバンドル・ルート・ディレクトリー *bundle_root* にある SCDL リソース定義 *scdl_path_name* を構文解析できなかったため、「http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、BUNDLE リソース *bundle_name* にリソース *resource_name* を作成できませんでした。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL が CICS による構文解析の対象として有効なことを確認してください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *scdl_path_name*
8. *bundle_root*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=SCDL が無効です。

2=SCDL の変換に失敗しました。

宛先: CRLO

DFHPI1100 E *date time applid userid* PIPELINE *pipeline* encountered an error while processing an inbound MIME message. MIME メッセージを伴う問題: {無効文字を含んでいる | 無効ヘッダーがある | 無効 MIME ヘッダーがある | 境界エラーがある | ルート部分を含んでいない | サポートされないエンコード方式を使用した | 予期しない応答を行った }。

説明: インバウンド MIME 要求の HTTP 処理中に、CICS は MIME メッセージの形式または内容にエラーがあることを検出しました。この原因として考えられる理由は以下のとおりです。

- 無効文字を含んでいる
- 無効ヘッダーがある
- 無効MIMEヘッダーがある
- 境界エラーがある
- ルート部分を含んでいない
- サポートされないエンコード方式を使用した
- 予期しない応答を行った

メッセージに、このエラーの具体的な原因が示されています。

システムの処置: PIPELINE はエラーで戻されます。プロバイダー PIPELINE の場合、HTTP 接続はクローズされます。例外トレース・ポイントがエラーの詳細とともに発行されます。

ユーザーの処置: トレースで MIME エラーの詳細を確認してください。このエラーは送信側の MIME 生成で訂正する必要があります。

モジュール: DFHPITH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*

6. 以下のオプションから選択される値。

- 1=無効文字を含んでいる、
- 2=無効ヘッダーがある、
- 3=無効 MIME ヘッダーがある、
- 4=境界エラーがある、
- 5=ルート部分を含んでいない、
- 6=サポートされないエンコード方式を使用した、
- 7=予期しない応答を行った

宛先: CPIO

DFHPI1101 E *date time applid userid PIPELINE pipeline encountered an error while processing an inbound MIME message in compatibility mode. The problem with the MIME message was it contained: {a body that could not be parsed | an include for which there was no attachment}.*

説明: CICS は、互換モードでのインバウンド MIME 要求の HTTP 処理中に、MIME メッセージの内容にエラーがあることを検出しました。このエラーの原因として、MIME メッセージに構文解析できない本文または添付のないインクルードが含まれていることなどが考えられます。発行されるメッセージに、エラーの原因が示されます。

システムの処置: PIPELINE はエラーで戻されます。プロバイダー PIPELINE の場合、HTTP 接続はクローズされます。例外トレース・ポイントがエラーの詳細とともに発行されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、MIME エラーの詳細を取得してください。このエラーは送信側の MIME 生成で訂正する必要があります。

モジュール: DFHPITH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. *userid*
- 5. *pipeline*
- 6. 以下のオプションから選択される値。

- 1=構文解析できない本文、
- 2=添付のないインクルード

宛先: CPIO

DFHPI1102 E *date time applid userid PIPELINE pipeline encountered an error while processing an outbound MIME message in compatibility mode. Generation of the MIME message failed because: {it contained a body that could not be parsed | a container had an invalid ccsid | a container had the wrong type}.*

説明: CICS は、アウトバウンド MIME 要求を互換モードで HTTP 処理している際に、MIME メッセージまたはパイプライン・チャンネルの内容にエラーがあることを検出しました。この障害の理由としては、メッセージに構文解析できない本文が含まれていた、無効な ccsid を持つ MIME コンテナがチャンネルに含まれていた、または間違ったタイプのコンテナがチャンネルに含まれていたことなどが考えられます。発行されたメッセージにエラーの原因が示されます。

システムの処置: PIPELINE はエラーで戻されます。プロバイダー PIPELINE の場合、HTTP 接続はクローズされます。例外トレース・ポイントがエラーの詳細とともに発行されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、MIME エラーの詳細を取得してください。このエラーは送信側の MIME 生成で訂正する必要があります。

モジュール: DFHPITH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. *userid*
- 5. *pipeline*
- 6. 以下のオプションから選択される値。

- 1=構文解析できない本文を含んでいる、
- 2=コンテナに無効な ccsid がある、
- 3=コンテナのタイプに誤りがある

宛先: CPIO

DFHPI1103 E *date time applid userid PIPELINE pipeline encountered an error while processing an outbound message in MIME compatibility mode. The problem with the MIME message was: {it contained a body that could not be parsed | it had an include for which there was no attachment | it caused an unexpected exception}.*

説明: CICS は、互換モードでのアウトバウンド MIME 要求の WebSphere MQ の処理中に、MIME メッセージの内容にエラーがあることを検出しました。このエラーの原因として、メッセージに構文解析できない本文または添付のないインクルードが含まれていたことが考えられます。その他の内部の MIME 構文および処理の問題が原因になることもあります。メッセージには、これらのどの原因によりメッセージが発行されたかが示されます。

システムの処置: PIPELINE はエラーで戻されます。例外トレース・ポイントがエラーの詳細とともに発行されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、MIME エラーの詳細を取得してください。このエラーは送信側の MIME 生成で訂正する必要があります。

モジュール: DFHPITQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *pipeline*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=構文解析できない本文を含んでいる、
2=添付のないインクルードがある、
3=予期しない例外を発生させた

宛先: CPIO

DFHPI1201 *date time applid Container DFHHTTPMETHOD does not contain POST.*

説明: JSON 要求を受け取りましたが、DFHHTTPMETHOD コンテナに POST が含まれていません。これは無効です。

システムの処置: JSON メッセージは処理できません。

ユーザーの処置: 要求されたメソッドが POST ではな

い理由を調べてください。これは、CICS に要求を送信中のクライアントのエラーと考えられます。

モジュール: DFHPIJW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CPIO

DFHPI1202 *date time applid Container DFHMEDIATYPE does not contain application/json.*

説明: JSON 要求を受け取りましたが、DFHMEDIATYPE コンテナに application/json が含まれていません。これは無効です。

システムの処置: JSON メッセージは処理できません。

ユーザーの処置: メディア・タイプが application/json ではない理由を調べてください。これは、CICS に要求を送信中のクライアントのエラーと考えられます。

モジュール: DFHPIJW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CPIO

DFHPI1203 *date time applid Container containername could not be found.*

説明: パイプライン・チャネル内で指定されたコンテナを検出しようとしたましたが、そのコンテナが存在しないため失敗しました。

システムの処置: JSON メッセージは処理できません。

ユーザーの処置: コンテナが欠落している可能性がある原因を調べてください。

モジュール: DFHPIJW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *containername*

宛先: CPIO

DFHPI2000 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** {A WEBSERVICE wsbind file was not found. | A WEBSERVICE name was a duplicate. | A URIMAP has an invalid path. | A URIMAP has a duplicate path. | A binding combination was invalid. | A binding did not provide required values. | A Service required for wiring was not found. | A Reference required for wiring was not found. | A wire target was already wired. | A service or reference name was a duplicate. | A service or reference has multiple bindings. | A reference target was not found. | A reference target was invalid. | An implementation was not found.}

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: 指定する場合、参照ターゲットがコンポーネント参照にワイヤリングされるようにしてください。コンポーネント・サービスを記述するように実装が定義されていることを確認してください。SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=WEBSERVICE *wsbind* ファイルが見つかりませんでした。

2=WEBSERVICE 名が重複していました。

3=URIMAP に無効なパスがありました。

4=URIMAP に重複したパスがありました。

5=バインディングの組み合わせが無効でした。

6=バインディングによって必要な値が提供されませんでした。

7=ワイヤリングに必要なサービスが見つかりませんでした。

8=ワイヤリングに必要な参照が見つかりませんでした。

9=ワイヤー・ターゲットはワイヤリング済みでした。

10=サービス名または参照名が重複していました。

11=サービスまたは参照に複数のバインディングがあります。

12=参照ターゲットが見つかりませんでした。

13=参照ターゲットが無効でした。

14=インプリメンテーションが見つかりませんでした。

宛先: CPIO

DFHPI2001 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** バインド・ファイルの読み取りができませんでした。 **Bindfile:** *bindfile_name* ,**Binding:***binding_name* .

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。バインディング *binding_name* に、読み取りできないファイル・パス *bindfile_name* を指定するバインド・ファイル属性が含まれていました。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *bindfile_name*
8. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2002 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** 重複した **WEBSERVICE** 名がバインディングに使用されました。
WEBSERVICE: *webservice_name*
,Binding:*binding_name* .

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。バインディング *binding_name* に、既存の **WEBSERVICE** の重複であった *webservice_name* を指定する *wsRes* 属性が含まれていました。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *webservice_name*
8. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2003 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** 重複した **URIMAP** パスがバインディングに使用されました。 **Path:** *path_name* **,Binding:***binding_name* .

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。バインディング *binding_name* に、既存の **URIMAP** パスの重複であ

る値 *path_name* を指定する URI 属性が含まれていました。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *path_name*
8. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2004 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** 無効な **URIMAP** パスがバインディングに使用されました。 **Path:** *path_name* **,Binding:***binding_name* **./参照:** | サービス:} *element_name* .

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。バインディング *binding_name* に、無効な値 *path_name* を指定する URI 属性が含まれていました。障害のあるエレメント *element_name* のタイプは *value_type* でした。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *path_name*
8. *binding_name*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=参照、
2=サービス:

10. *element_name*

宛先: CPIO

DFHPI2005 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE *resource_name* in the BUNDLE resource *bundle_name* did not complete successfully.** バインディングは互換性のないバインディング・タイプを使用してターゲットにワイヤリングしようとした。 **Target:** *target* ,**Binding:***binding_name*

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。バインディング *binding_name* は、互換性のないバインディング・タイプを持つサービスまたは参照にワイヤリングしようとした。このエラーの最も一般的な原因は、*binding.ws* と *binding.cics* を混用しようとしたことです。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *target*

8. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2006 W *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE *resource_name* in the BUNDLE resource *bundle_name* contained a wired binding that did not provide required value.** 後から複合によって値が提供されない限り、バインディングを使用することはできません。 **Value Type:**{*pipeline* | *uri* | *bindfile*} ,**Binding:** *binding_name* .

説明: 「http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、BUNDLE リソース *bundle_name* にリソース *resource_name* を作成しました。ワイヤリング時に必要な属性の値がサービスからも参照からも提供されませんでした。操作可能にするには、2 つのワイヤード・バインディングのいずれかにこの属性の値を指定する必要があります。この値は、別の複合を後で実装することにより指定できます。欠落している属性のタイプは *value_type* です。

システムの処置: リソースは正常にインストールされます。値が指定されるまで、バインディングは使用できません。

ユーザーの処置: 欠落している値が以降の複合で指定されるようにするか、SCDL を調べて値が指定されていない理由を確認してください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=パイプライン、
2=URI、
3=バインド・ファイル

8. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2007 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** ワイヤード・バインディングがターゲットとするサービスは見つかりませんでした。 **Target:** *target_name* ,**Binding:** *binding_name* .

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。バインディング *binding_name* は、見つからないサービスにワイヤリングしようとしてしました。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *target_name*
8. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2008 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** ワイヤード・バインディングがターゲットとする参照は見つかりませんでした。 **Target:** *target_name* ,**Binding:** *binding_name* .

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。バインディン

グ *binding_name* は、見つからない参照にワイヤリングしようとしてしました。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *target_name*
8. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2009 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** ワイヤード・バインディングのターゲットのサービスまたは参照は、すでにワイヤリングされていました。 **Target:** *target_name* ,**Binding:** *binding_name* .

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。バインディング *binding_name* は、既にワイヤリングされているサービスまたは参照にワイヤリングしようとしてしました。各サービスまたは参照は、1 つのワイヤーのターゲットにしかありません。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *target_name*
8. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2011 E *date time applid tranid The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.* 複合インプリメンテーション *impl_comp* にサービスまたは参照が見つかりませんでした。

説明: 「<http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE>」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、複合インプリメンテーション *impl_comp* にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。少なくとも 1 つのサービスまたは少なくとも 1 つの参照が含まれていなければなりません。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: 複合インプリメンテーション内に少なくとも 1 つのサービスまたは少なくとも 1 つの参照を定義してください。BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *impl_comp*

宛先: CPIO

DFHPI2012 E *date time applid tranid The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.* 前提条件の複合インプリメンテーション *impl_comp* が見つかりませんでした。

説明: 「<http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE>」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、前提条件の複合インプリメンテーション *impl_comp* が見つからなかったため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: 複合インプリメンテーションが使用可能であることを確認してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *impl_comp*

宛先: CPIO

DFHPI2015 E *date time applid tranid A attempt to directly invoke a service service_name failed. {The service is internal. | The service cannot be invoked directly. | The composite that defines the service is disabled. | The service uses the web services binding.}*

説明: INVOKE SERVICE を使用して、デプロイされた SCA サービス *service_name* をターゲットにしようとしたが、バインディングを確立できませんでした。一致するサービス名が見つかりましたが、そのサービスは方向の呼び出しに適していませんでした。この問題には、以下のような原因が考えられます: ターゲット・サービスが複合の内部にある。ターゲット・サービスが、マッピングにバインド・ファイルを使用する。ターゲット・サービスが使用不可の複合にある。ターゲット・サービスが Web サービス・バインディングを使用

しており、Web サービスとして呼び出される必要がある。

システムの処置: INVOKE SERVICE は NOTFOUND を返します。

ユーザーの処置: いくつかの可能な解決策があります。SCDL を調べて、問題を訂正してください。この方法で呼び出すことができるサービスをターゲットにするようアプリケーションを変更してください。当該サービスをターゲットにできる要求タイプ (Web サービス) を使用するようアプリケーションを変更してください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *service_name*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=内部的なサービスです。

2=このサービスは直接起動できません。

3=このサービスを定義する複合が無効です。

4=このサービスは Web サービス・バインディングを使用します。

宛先: CPIO

DFHPI2016 E *date time applid tranid The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.* Web サービス・バインディングが、サービスへの内部参照をワイヤリングするために使用されました。バインディング: *binding_name*。

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。Web サービス・バインディング *binding_name* が、サービスへの内部参照をワイヤリングするために使用されました。内部ワイヤリングに使用できるのは、SCA または CICS バインディングのみです。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソ

ースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールします。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *binding_name*

宛先: CPIO

DFHPI2018 E *date time applid tranid The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.* リソース名と複合名は同じでなければなりません。コンポジット名: *composite_name*。

説明: 「http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、マニフェストの内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。リソース名と複合名 *composite_name* は同じでなければなりません。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: マニフェスト内のリソース名を訂正してください。BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *composite_name*

宛先: CPIO

DFHPI2019 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** SCDLエンコードは無効です。

説明: 「<http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE>」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL のエンコードにエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。SCDL はバイナリーで保管する必要があります。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL エンコードを訂正してください。BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*

宛先: CPIO

DFHPI2020 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** SCDLは無効です。

説明: '<http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE>' タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: SCDL が CICS でサポートされる SCA スキーマに準拠していることを確認してください。BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*

宛先: CPIO

DFHPI2021 W *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name might not complete successfully.** {A composite name was not provided. | An internal reference name was not provided. | An internal reference target was not provided. | An internal service name was not provided. | An external reference name was was not provided. | An external reference promote was not provided. | An external reference target was not provided. | An external service name was not provided. | An external service promote was not provided.}

説明: 「<http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE>」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、SCDL の内容に 1 つ以上の属性値が指定されていないため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できなかった可能性があります。

システムの処置: この警告メッセージが出されます。リソースは無効状態に設定される場合があります。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されることがあります。

ユーザーの処置: SCDL に属性値が正しく指定されていることを確認してください。指定されたリソースが使用可能であり、有効になっていることを確認してください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

- 1=複合名が提供されませんでした。
- 2=内部参照名が提供されませんでした。
- 3=内部参照ターゲットが提供されませんでした。
- 4=内部サービス名が提供されませんでした。
- 5=外部参照名が提供されませんでした。
- 6=外部参照プロモートが提供されませんでした。
- 7=外部参照ターゲットが提供されませんでした。
- 8=外部サービス名が提供されませんでした。
- 9=外部サービス・プロモートが提供されませんでした。

宛先: CPIO

DFHPI2022 W *date time applid tranid* The
SCACOMPOSITE *resource_name in the*
BUNDLE resource *bundle_name defined*
an unsupported attribute in the SCDL.
 属性:{policySets. | requires.} {Composite
 | Service | Reference | Component |
 Implementation | Binding}:element_name.

説明: 「http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/
 bundle/SCACOMPOSITE」タイプの CICS 処理プロ
 グラム DFHPICA は、サポートされない属性が SCDL の
 内容に定義されていることを検出しました。

システムの処置: この警告メッセージが出されます。属
 性は処理されません。

ユーザーの処置: サポートされる属性セットが SCDL
 の内容で使用されていることを確認してください。サポ
 ートされない属性: policySets、requires。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=policySets.
 2=requires.

8. 以下のオプションから選択される値。

1=Composite、
 2=Service、
 3=Reference、
 4=Component、
 5=Implementation、
 6=Binding

9. *element_name*

宛先: CPIO

DFHPI2023 E *date time applid tranid* The
installation of SCACOMPOSITE
resource_name in the BUNDLE resource
bundle_name did not complete
successfully. {参照 | サービス }
element_name および {参照 | サービス }
element_name のマッピング・モードは、
 同じでなければなりません。

説明: 'http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/
 bundle/SCACOMPOSITE' タイプの CICS 処理プロ
 グラム DFHPICA は、SCDL の内容にエラーがあるた
 め、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース
resource_name を作成できませんでした。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。
 関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: 以下の場合に、マッピング・モードが
 同一であることを確認してください。

- 内部参照を内部サービスにワイヤリングする場合。
- 参照から内部参照をプロモートする場合。
- サービスから内部サービスをプロモートする場合。

SCDL を修正するか、示されたりソースの問題を修正し
 てください。BUNDLE を破棄して、再インストールし
 てください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=参照、
 2=サービス

8. *element_name*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=参照、
2=サービス

10. *element_name*

宛先: CPIO

DFHPI2024 *date time applid tranid* **BUNDLE resource *bundle_name* cannot be enabled because one or more resources in the BUNDLE were not created successfully.**

説明: BUNDLE リソース *bundle_name* を使用可能にしようとしたが、失敗しました。これは、BUNDLE 内の 1 つ以上のリソースが正常に作成されなかったことが原因です。BUNDLE リソースは、無効としてインストールされました。

システムの処置: BUNDLE リソースは無効状態のままです。

ユーザーの処置: SCDL を修正するか、示されたリソースの問題を修正してください。BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*

宛先: CPIO

DFHPI2025 W *date time applid tranid* **An INVOKE SERVICE call failed because it used an unwired reference. Reference: *reference_name* , Scope: *scope_name* .**

説明: INVOKE SERVICE コマンドは、直接または別の内部参照を介して、外部参照にワイヤリングされていない SCA 参照を使用しようとした。ワイヤリングされていない参照は使用できません。使用された参照は、スコープ *scope_name* 内の *reference_name* でした。

システムの処置: NOTFOUND 応答が返されます。

ユーザーの処置: デプロイされた SCDL 内で参照がワイヤリングされているか、ワイヤリングを提供する別の複合がデプロイされていることを確認してください。SCA 複合を含む BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPPIW

1160 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *reference_name*
6. *scope_name*

宛先: CPIO

DFHPI2026 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** 前提条件の複合インプリメンテーション *impl_comp* には、定義されているコンポーネントがありません。

説明: 「<http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE>」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、前提条件の複合インプリメンテーション *impl_comp* にコンポーネントが定義されていないため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。インプリメンテーションとして使用される複合には、少なくとも 1 つのコンポーネントが含まれている必要があります。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: 複合インプリメンテーションが適切であることを確認してください。BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*
7. *impl_comp*

宛先: CPIO

DFHPI2027 E *date time applid tranid* **The installation of SCACOMPOSITE resource_name in the BUNDLE resource bundle_name did not complete successfully.** 複合名が、既存の複合と重複しています。

説明: 「<http://www.ibm.com/xmlns/prod/cics/bundle/SCACOMPOSITE>」タイプの CICS 処理プログラム DFHPICA は、複合名が同スコープ内の既存の複合と重複しているため、BUNDLE リソース *bundle_name* 内にリソース *resource_name* を作成できませんでした。

システムの処置: リソースは無効状態に設定されます。関連付けられた BUNDLE は無効状態に設定されます。

ユーザーの処置: 複合名が固有であることを確認してください。BUNDLE を破棄して、再インストールしてください。

モジュール: DFHPICA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *bundle_name*

宛先: CPIO

DFHPI9000 E **ResourceBundle** が見つからないため、次のメッセージが発行されました: *value*。

説明: Web サービス支援機能用のメッセージが見つかりません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行しますが、他のメッセージは発行されません。

ユーザーの処置: さらに支援が必要な場合は、IBM サポート担当員にお問い合わせください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9001 E メッセージが見つからないため、次のメッセージが発行されました: *value*。

説明: メッセージ番号 *value* は欠落しているため、発行できません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: さらに支援が必要な場合は、IBM サポート担当員にお問い合わせください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9002 E **A WSDL operation name is too long to be supported by CICS: value.**

説明: CICS は、WSDL 文書の各操作名の最大長に制限を課しています。この制限は 255 文字です。操作名 *value* は長すぎます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL 文書を編集し、操作名の長さを短くしてください。DFHWS2LS ジョブを再実行依頼し、WSDL を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9003 E **WSDL 部分名が CICS でサポートされる長さを超えています: value.**

説明: CICS は、WSDL 文書の各部分名の最大長に制限を課しています。この制限は 255 文字です。部分名 *value* は長すぎます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL 文書を編集し、部分名の長さを短くしてください。DFHWS2LS ジョブを再実行依頼し、WSDL を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9004 E **WSDL が文書のスタイル値を指定しており、XML タイプを参照する部分名を含んでいます。文書スタイルの WSDL は、XML エレメントのみを参照している必要があります。**

説明: WSDL 文書にエラーがあります。WSDL バインディング・エレメントは、「文書」スタイルのエンコードの使用を指定していますが、関連付けられたメッセージ・エレメントは XML タイプを指しています。文書スタイルのバインディングが使用される場合は、メッセー

ジ・エレメントは XML エレメントを指すことのみできます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL 文書を訂正してから、DFHWS2LS ジョブを再実行依頼して WSDL を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9010 E 単純データ・タイプ *type* がアトミックではありません。リスト・データ・タイプと結合データ・タイプはサポートされていません。

説明: DFHWS2LS および DFHSC2LS は、マッピング・レベル 1.0 の単純なプリミティブ XML データ・タイプをサポートします。タイプ *type* は、list データ・タイプまたは union データ・タイプです。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 1.1 以上の MAPPING-LEVEL の指定を検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9011 E タイプ *base_type* に、サポートされないスーパータイプ *super_type* が見つかりました。

説明: XML データ・タイプ *base_type* は、XML データ・タイプ *super_type* から派生しています。このスーパータイプは支援機能ではサポートされません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9012 E スキーマ・ワイルドカード (**<any>** タグ) は、マッピング・レベル 2.1 以降でのみサポートされます。**(Schema wild cards (<any> tags) are only supported at mapping level 2.1 and later.)**

説明: 入力文書内で参照されている XML スキーマに「any」タグが含まれています。「any」タグはサポートされていますが、マッピング・レベル 2.1 以降でしかサポートされていません。現在、2.1 より前のマッピング・レベルが使用されています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: マッピング・レベル 2.1 以降の使用を指定することを検討してください。

マッピング・レベル 2.1 では、CICS は、「any」タグに関連付けられた XML データが実行時に保管されるコンテナを割り振ります。この動作を許容できない場合は、実行時に使用される可能性があるオプションをすべてリストする「choice」構造体を指定するよう XML @QKC スキーマを変更することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9013 E **maxOccurs** または **minOccurs** が 1 でないスキーマ・モデル・グループはサポートされていません。タイプ *value* に問題が見つかりました。

説明: 出現情報を指定する WSDL 文書から参照される XML スキーマ内に XML モデル・グループが見つかりました。「モデル・グループ」という用語は、XML タグの「all」、「sequence」、または「choice」のいずれかを指しています。DFHWS2LS は、これらのタグが **minOccurs** 値も **maxOccurs** 値も指定していない場合に、そのタグをサポートします。この問題は、データ・タイプ *value* 内で識別されました。

マッピング・レベル 2.1 では、モデル・グループで **minOccurs**="0" がサポートされています。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、**xsd:any** 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBIND ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9014 E モデル・グループ定義 *definition* にモデル・グループがありません。

説明: XML スキーマにエラーがあります。モデル・グループ定義 *definition* に必要なモデル・グループが見つかりません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: XML スキーマを訂正してから、DFHWS2LS ジョブまたは DFHSC2LS ジョブを再実行依頼して WSDL 文書を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9015 E A schema particle with unrecognized content has been found: *value*.

説明: XML スキーマにエラーがあります。認識されない内容が含まれた XML パーティクル *value* が見つかりました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: XML スキーマを訂正してから、DFHWS2LS ジョブまたは DFHSC2LS ジョブを再実行依頼して入力文書を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9016 E 必須のスキーマ・エレメント *element* が見つかりませんでした。

説明: XML スキーマにエラーがあります。参照されているスキーマ・エレメントが見つかりません。欠落しているエレメントは *element* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: XML スキーマまたは WSDL を訂正してから、DFHWS2LS ジョブまたは DFHSC2LS ジョブを再実行依頼して WSDL 文書を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9017 E スキーマ・エレメント *element* に、サポートされていない属性 *attribute* が見つかりました。

説明: サポートされない属性が XML スキーマで見つかりました。DFHWS2LS および DFHSC2LS は、スキーマ属性「substitutionGroup」、「abstract」、および「fixed」をサポートしていません。サポートされない属性がスキーマ・エレメント *element* で見つかりました。

抽象エレメントは、マッピング・レベル 2.1 でサポートされています。固定値は、マッピング・レベル 2.2 でサポートされています。置換グループは、マッピング・レベル 2.2 でサポートされています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9018 E スキーマ・エレメント *element* にタイプ定義がありません。

説明: XML スキーマにエラーがあります。XML スキーマ・エレメント *element* は、XML タイプを参照していません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: XML スキーマを訂正してから、DFHWS2LS ジョブまたは DFHSC2LS ジョブを再実行依頼して入力文書を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9019 E スキーマ・タイプ *type* はサポートされていません。

説明: XML スキーマに、DFHWS2LS および DFHSC2LS でサポートされていない XML タイプが含まれています。サポートされない XML タイプは *type* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9020 W スキーマ属性 *attribute* が見つかりましたが、タイプ *type* では無視されます。

説明: XML スキーマに、属性を持つ XML タイプ定義が含まれています。マッピング・レベル 1.0 では、XML 属性は許容されていますが、サポートはされていません。XML 属性はマッピング・レベル 1.1 で完全にサポートされています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。実行時に CICS に送信される SOAP メッセージに属性が存在する場合、その属性は無視されます。

ユーザーの処置: 1.1 以上の MAPPING-LEVEL の指定を検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9021 E 認識されない内容を含むスキーマ・タイプが見つかりました: *value*。

説明: XML スキーマにエラーがあります。認識されない内容が含まれた XML タイプ *value* が見つかりました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: XML スキーマを訂正してから、DFHWS2LS ジョブまたは DFHSC2LS ジョブを再実行依頼して入力文書を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9022 W 操作 *operation* の応答メッセージでは、スキーマ・タイプ *type* は合計 *value* 桁に制限されています。

説明: XML スキーマに、タイプ定義 *type* が含まれています。このタイプは、サポート対象のターゲット・プログラミング言語には長すぎる総桁数を指定しています。DFHWS2LS は、タイプ定義を合計 *value* 桁に制限します。このタイプは、操作 *operation* の応答メッセージに出現します。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。実行時に、言語構造内のターゲット・フィールドには大きすぎる値が含まれた SOAP メッセージを受信すると、変換エラーが示されます。

ユーザーの処置: 許可されるより多くの桁数を必要とする数値をサポートできるようにする必要があるかどうか検討してください。CICS がこの最大長を課すことを許容できる場合は、このメッセージを無視しても問題ありません。

この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBIND ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9023 W 操作 *operation* に関するスキーマ・タイプ *type* は合計 *value* 桁に制限されています。

説明: WSDL 文書から参照されている XML スキーマにタイプ定義 *type* が含まれています。このタイプは、

サポート対象のターゲット・プログラミング言語には長すぎる総桁数を指定しています。DFHWS2LS は、タイプ定義を合計 *value* 桁に制限します。このタイプは、操作 *operation* の要求メッセージに出現します。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。実行時に、言語構造内のターゲット・フィールドには大きすぎる値が含まれた SOAP メッセージを受信すると、変換エラーが示されます。

ユーザーの処置: DFHWS2LS マッピングで許可されるより多くの桁数を必要とする数値をサポートできるようにする必要がありますかどうか検討してください。CICS がこの最大長を課すことを許容できる場合は、このメッセージを無視しても問題ありません。

この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに變更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBIND ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9024 E タイプ *type* 内での再帰はサポートされていません。

説明: XML スキーマに、再帰的に定義されたタイプ定義が含まれています。DFHWS2LS および DFHSC2LS は、再帰的定義をサポートしていません。再帰的に定義されたタイプは *type* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに變更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBIND ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9025 E 必須のスキーマ・タイプ *type* が見つかりませんでした。

説明: XML スキーマにエラーがあります。スキーマ・タイプ定義が見つかりません。欠落しているタイプは *type* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: XML スキーマまたは WSDL 文書を訂正してから、DFHWS2LS ジョブまたは DFHSC2LS ジョブを再実行依頼して入力文書を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9026 E URI *uri* cannot be resolved.

Consider checking that the HTTP Proxy is correct.

説明: 名前空間参照を解決できません。DFHWS2LS または DFHSC2LS は、参照を解決するために名前空間からの URI を使用しようとしたが、実行できませんでした。これは、HTTP プロキシ・サービスが指定されていないか、URI で示された場所に使用可能なコンテンツがないことが原因と考えられます。URI は *uri* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: HTTPPROXY パラメーターで使用する HTTP プロキシの場所を使用してください。正しいプロキシが既に指定されている場合、または、URI で示された場所に使用可能なコンテンツがまったくない場合は、WSDL またはスキーマに `schemaLocation` XML 属性を追加して、名前空間を解決できるようにしてください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9027 E XML パーサーがエラーを検出しました : 文書 *document* 内の行 *line* および列 *column* の値 *value*。

説明: XML スキーマの読み取りに使用する XML パーサーで問題が検出されました。この問題は、文書 *document* の行 *line* および列 *column* で見つかりました。XML パーサーによって出されたメッセージは、*value* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正してから、DFHWS2LS ジョブまたは DFHSC2LS ジョブを再実行依頼して入力文書を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9028 E スキーマ・エレメント *element* の長さが *value* 文字に設定されています。CICS では、最大 *value2* 文字までの長さしかサポートされません。

説明: XML スキーマにエレメント *element* が含まれています。このエレメントは、DFHWS2LS または DFHSC2LS がサポートするには大きすぎる最大サイズを指定しています。XML スキーマは最大 *value* 文字の長さを要求しましたが、サポートされる最大の数値は *value2* 文字です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、`xsd:any` 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBIND ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9029 E PL/I では暗黙的な埋め込み (遊びバイト) はサポートされていません。すべての遊びバイトが明示的に参照され、最上位の構造がダブルワードの境界で開始されるように言語構造を変更してください。フィールド *field* の近くまたは周囲には遊びバイトが必要です。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、および DFHLS2JS は、言語構造を定義するために PL/I が使用される際に遊びバイト (充てん文字バイトとも呼ばれます) を配置する場所を決定できません。1 つ以上の遊びバイトがフィールド *field* に近い場所 (正確な位置は不明です) に必要であると判断されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: すべてのバイトが明示的に参照され、言語構造の最初の項目がダブルワード境界で開始されるように、言語構造を変更してください。これらの要件を満たすために充てん文字フィールドを配置すべき場所を正確に予測できない場合は、フィールドに UNALIGNED というマークを付け、アプリケーションを再コンパイルすることを検討してください。

言語構造内の副構造が、構造内の最も厳密に位置合わせされた項目と同じ配置で開始される必要があります。

DFHLS2WS を使用している場合、代替の解決策はラッパー・プログラムを作成することです。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムに必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9030 E PL/I では暗黙的な埋め込み (遊びバイト) はサポートされていません。すべての遊びバイトが明示的に参照され、最上位の構造がダブルワードの境界で開始されるように言語構造を変更してください。構造 *structure* の近くまたは周囲には遊びバイトが必要です。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、および DFHLS2JS は、言語構造を定義するために PL/I が使用される際に遊びバイト (充てん文字バイトとも呼ばれます) を配置する場所を決定できません。1 つ以上の遊びバイトが構造 *structure* に近い場所 (正確な位置は不明です) に必要であると判断されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: すべてのバイトが明示的に参照され、言語構造の最初の項目がダブルワード境界で開始されるように、言語構造を変更してください。これらの要件を満たすために充てん文字フィールドを配置すべき場所を正確に予測できない場合は、フィールドに UNALIGNED というマークを付け、アプリケーションを再コンパイルすることを検討してください。

言語構造内の副構造が、構造内の最も厳密に位置合わせされた項目と同じ配置で開始される必要があります。

DFHLS2WS を使用している場合、代替の解決策はラッパー・プログラムを作成することです。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムに必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9031 E 構造または配列が、予期せずに空になっています。

説明: DFHLS2WS または DFHLS2SC は、言語構造の構文解析中に問題を検出しました。DFHLS2WS または DFHLS2SC は、言語構造の末尾に到達し、オープン・ステートメントの数に一致するクローズ・ステートメントの数が不足していることを検出したか、空の副構造を検出したか、または全体が FILLER フィールドで構成される COBOL 言語構造を検出しました。このメッセージは、IBM のフィックスを必要とする内部処理エラーが発生したことを示している可能性があります。

DFHLS2WS または DFHLS2SC は、空の副構造、FILLER で埋められた副構造、または閉じられていない副構造が言語構造のどの行で開始されたか判断できません。このメッセージは、エラーのある WSBind ファイルが CICS にデプロイされることを防ぐための防止策条件として生成されます。

このメッセージが発行される可能性のある条件は次のとおりです。

- PL/I 言語構造のフィールドが、データ・タイプを指定せずに定義された。このシナリオでは、支援機能によって、フィールドが空の副構造の開始点であるとみなされる可能性があります。
-

言語構造内に副構造が存在しているが、副構造内の各項目がサポートされていない。

- COBOL の副構造が FILLER フィールドのみで構成されている。

- DFHLS2WS または DFHLS2SC が言語構造内の項目を解釈できなかった。この問題は、言語構造内のレベルの誤り、またはサポートされないキーワードの存在が原因で発生したと考えられます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造を変更して、報告されたその他の問題を訂正してください。デフォルトの特性で定義されたすべてのフィールドに対して明示的な定義を行ってください。

言語構造が適切な形式になっていることを確認してください。コンパイラーが言語構造を解釈できるかどうか確認してください。

COBOL の副構造全体を、同じ全長の単一の FILLER に置き換えてください。

これらの変更を行っても問題が解決しない場合は、IBM サポート担当員に連絡して支援を受けてください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9032 W スキーマ属性のワイルドカード

(**<anyAttribute>** タグ) はサポートされていません。

説明: XML スキーマにスキーマ属性ワイルドカード (**<anyAttribute>** XML スキーマ・タグ) が含まれていません。DFHWS2LS および DFHSC2LS は、この方法で参照される属性をサポートしていません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行し、スキーマ属性ワイルドカードは無視されます。実行時に、認識されない属性を含むメッセージが受信されると、それらの属性は無視されます。

ユーザーの処置: これらの属性の値がご使用のアプリケーションにとって重要かどうか検討してください。CICS がこれらの属性を無視することを許容できる場合は、このメッセージを無視しても問題ありません。

この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされてい

るため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBIND ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9033 E Duplicate elements with the same name in the same scope are not supported. The duplicated name is name.

説明: XML エlementまたは JSON Elementが、同じ構成内に 2 回定義されています。この状態は、minOccurs 属性と maxOccurs 属性を使用する場合を除き、支援機能ではサポートされていません。CICS は、同じ名前の Elementの配列をサポートしますが、同じ名前の 2 つ以上の Elementのシーケンスはサポートしません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他の

ほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9034 W Schema type *type* is being restricted to a total of *value* digits.

説明: XML スキーマ文書に、タイプ定義 *type* が含まれています。このタイプは、サポート対象のターゲット・プログラミング言語には長すぎる総桁数を指定しています。DFHSC2LS は、タイプ定義を合計 *value* 桁に制限します。

システムの処置: XML 支援機能は処理を続行します。実行時に、言語構造内のターゲット・フィールドには大きすぎる値が含まれた XML 文書が処理されると、変換エラーが示されます。

ユーザーの処置: DFHSC2LS マッピングで許可されるより多くの桁数を必要とする数値をサポートできるようにする必要があるかどうか検討してください。CICS がこの最大長を課すことを許容できる場合は、このメッセージを無視しても問題ありません。

この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は

DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9035 E 文書 *document* に XML スキーマ・エレメントが見つかりません。

説明: 指定された文書内に XML スキーマが見つかりません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL 入力パラメーターまたは SCHEMA 入力パラメーターを、XML スキーマを含む有効な文書を指すように修正してください。

この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運

用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9036 W 抽象データ・タイプはサポートされていません。エレメント *element* 内のタイプ *type* に問題が発生している可能性があります。

説明: XML スキーマに抽象データ・タイプが含まれています。抽象データ・タイプは、マッピング・レベル 2.2 でサポートされています。それより前のマッピング・レベルでは、これらのデータ・タイプは許容されませんが、使用されたマッピングは受け入れられない可能性があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行し、抽象データ・タイプは非抽象データ・タイプとして扱われます。

ユーザーの処置: マッピング・レベル 2.2 の使用を検討してください。

この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使

用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9037 E <choice> 構造内では XML スキーマ・モデル・グループはサポートされていません。タイプ *type* で問題が見つかりました。

説明: XML モデル・グループ (xsd:choice、xsd:sequence、xsd:all、または xsd:group) が xsd:choice 構造内で見つかりました。これは、マッピング・レベル 2.1 以下ではサポートされていません。これらの制約事項の一部は、マッピング・レベル 2.2 で除去されます。

Xsd:choice 構造は、あらゆるマッピング・レベルの他の xsd:choice 構造内ではサポートされません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは

WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9038 E オプションの列挙セットに含まれるオプションの数が、サポートされる最大値の **255** を超えています。

説明: 入力文書内で参照されている XML スキーマに、255 個を超える可能な置換可能値を持つ列挙構造が含まれています。これは、xsd:choice 構造、置換グループ、または抽象データ・タイプの可能性があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9039 E **xsd:choice** 構造内の置換グループはサポートされていません。置換グループ名は *name* です。

説明: 置換グループを持つ xsd:element が xsd:choice 構造内で見つかりました。この構造の組み合わせはサポートされていません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind フ

ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。

- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9040 E 配列 *name* が *occurs* 回出現します。サポートされる最大値は *max* です。

説明: 内部制限により、配列でサポートされる最大サイズが制限されます。この最大値より大きい配列が入力データに存在します。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBInd ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。

- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS, DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9500 E 内部エラーが発生しました。IBM サポートに連絡してください。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能は予期しない例外をキャッチしました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 支援機能から発行されたその他のメッセージを確認してください。これらのメッセージに問題の解決策が示されている場合は、それらを実行してください。

その他の問題をすべて解決した後も、このメッセージが引き続き出される場合は、IBM サポート担当員に連絡してさらに支援を受けてください。その際、支援機能で生成された LOGFILE を提供するように依頼される可能性があります。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9501 E HTTPPROXY パラメーターが無効です。正しいフォーマットは **proxy.hostname.com:8080** のようになります。

説明: HTTPPROXY パラメーターの値が無効です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: HTTPPROXY パラメーターを訂正するか除去してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9502 E 1 つ以上の正しくないパラメーターが指定されました。

説明: 入力パラメーターで 1 つ以上のエラーが検出されたため、Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行できません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は失敗し、戻りコード 8 が返されます。

ユーザーの処置: 入力パラメーターのエラーを訂正してください。前に出されたメッセージに当該エラーの詳細が示されています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9503 E 必須パラメーター *parameter* がありません。

説明: 入力パラメーターに必須パラメーターがありません。欠落しているパラメーターは *parameter* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 欠落しているパラメーターに値を指定してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9504 E パラメーター *parameter* が指定されましたが、プログラム *program* にとって無効です。

説明: 予期されていないパラメーターが指定されました。例えば、DFHLS2WS の BINDING パラメーターに値が指定されている可能性があります。BINDING は DFHWS2LS に対する入力としてのみ有効です。予期しないパラメーターは *parameter* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 予期しないパラメーターを除去してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9505 E Invalid value specified for the LANG parameter. Valid values are: COBOL, PLI-ENTERPRISE, PLI-OTHER, C or CPP.

説明: LANG パラメーターに無効な値が指定されています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: LANG パラメーターの値を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9506 E パラメーター *parameter* が、有効な最大長の *max* 文字を超えています。提供された値は *value* です。

説明: パラメーター *parameter* の値が長すぎます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: *max* 文字より長くならないように値 *value* を変更してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9507 W パラメーター *parameter* が設定されていないので、パラメーター *parameter2* は無視されます。

説明: パラメーター *parameter* が設定されていないため、パラメーター *parameter2* は無視されました。例えば、PGMINT 値は、PROGRAM 値も指定されている場合のみ意味を持ちます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 予期しないパラメーターを除去することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9509 E パラメーター *parameter* に無効文字が含まれています。

説明: 1 つ以上の無効な文字がパラメーター *parameter* で見つかりました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9510 W **PGMINT** パラメーターに無効な値が指定されました。有効な値は **CHANNEL** または **COMMAREA** です。デフォルト値 **CHANNEL** が想定されます。

説明: PGMINT パラメーターに無効な値が指定されています。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: PGMINT パラメーターの値を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9511 W パラメーター **PGMINT** が **CHANNEL** に設定されていますが、パラメーター **CONTID** が設定されていません。デフォルト値 *value* が想定されます。

説明: プログラム・インターフェースが「チャネル」として定義されましたが、CICS が実行時にデータを設定すべきコンテナの名前を示すコンテナ名が指定されていません。デフォルト値 *value* が想定されます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルトのコンテナ名が受け入れ可能であるかどうかを検討してください。Web サービスとして既存のチャネル・ベース・アプリケーションを有効にする場合、デフォルトのコンテナ名が正しくない可能性があります。デフォルトのコンテナ名を許容できる場合は、このメッセージを無視しても問題ありません。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9512 W パラメーター **CONTID** が設定されていますが、**PGMINT=COMMAREA** の場合は必要ありません。パラメーター **CONTID** は無視されます。

説明: CONTID 入力パラメーターが指定されましたが、プログラム・インターフェースが通信域として定義されているため、無視されます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CONTID パラメーターの除去、または PGMINT から CHANNEL への変更を検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9513 W パラメーター *parameter* の値にファイル拡張子がありません。*extension* が想定されます。(The value of parameter *parameter* is missing a file extension, *extension* is assumed.)

説明: バインディング・ファイルにファイル拡張子が指定されていません。WSBind ファイルから

WEBSERVICE リソースを自動的に作成するための PIPELINE スキャン機構を使用する場合、拡張子

「.wsbind」を使用する必要があります。この拡張子は WSBind ファイルで想定されます。拡張子「.xsdbind」は XSDBind ファイルで想定されます。

システムの処置: Web サービス支援機能または XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSBIND パラメーターの末尾に「.wsbind」を追加するか、XSDBIND パラメーター値の末尾に「.xsdbind」を追加することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9514 W パラメーター *parameter* の値により *extension* 以外のファイル拡張子が指定されました。(The value of parameter *parameter* specified a file extension other than *extension*.)

説明: デフォルトのファイル拡張子以外のファイル拡張子が、バインディング・ファイルで使用されています。WSBind ファイルから WEBSERVICE リソースを自動的に作成するための PIPELINE スキャン機構を使用する場合、拡張子「.wsbind」を使用する必要があります。XSDBind ファイルのデフォルトの拡張子は「.xsdbind」です。

システムの処置: Web サービス支援機能または XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSBIND パラメーターの拡張子を「.wsbind」に変更するか、XSDBIND パラメーターの値を「.xsdbind」に変更することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9515 E PDS ライブラリー *library* が見つかりませんでした。

説明: PDSLIB 入力パラメーターに指定された PDS ライブラリーが見つかりません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: PDSLIB 入力パラメーターを訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9516 E PDS ライブラリー *library* は存在しますが、読み取れません。

説明: PDSLIB 入力パラメーターに指定された PDS ライブラリーは存在しますが、読み取れません。これは、Web サービスまたは XML 支援機能を実行しているユーザー ID に PDS の表示権限がないか、別のプロセスで排他ロックが保持されていることが原因と考えられます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 支援機能に PDSLIB からの読み取りを許可する権限が割り当てられていることを確認してください。他のプロセスが PDSLIB でロックを保持していないことを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9517 E PDS ライブラリー *library* は存在しますが、書き込めません。

説明: PDSLIB 入力パラメーターに指定された PDS ライブラリーは存在しますが、書き込めません。これは、Web サービスまたは XML 支援機能を実行しているユーザー ID に PDS の変更権限がないか、別のプロセスで排他ロックが保持されていることが原因と考えられます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 支援機能に PDSLIB の変更を許可する権限が割り当てられていることを確認してください。他のプロセスが PDSLIB でロックを保持していないことを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9518 W PDS ライブラリー *library* に 80 文字未満のレコード長が指定されています。出力が切り捨てられる可能性があります。

説明: PDSLIB 入力パラメーターに指定された PDS ライブラリーが、80 文字未満のレコード長を指定しています。DFHWS2LS および DFHSC2LS では言語構造の作成に 80 文字を必要とするため、切り捨てが行われる可能性があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 80 文字の論理レコード長を持つ固定レコード・データ・セットに PDSLIB を変更することを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9519 E コード・ページ *codepage* は認識されません。

説明: PDSCP 入力パラメーターに示されたコード・ページが認識されません。Web サービスまたは XML 支援機能は、Java に組み込まれたコード・ページ・サポートを使用しますが、Java は指定されたコード・ページを認識しません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: PDSCP パラメーターを除去するか、訂正してください。PDSCP パラメーターが設定されて

いない場合、PDS ライブラリーに対する読み取りおよび書き込み時に、zFS に対する読み取りおよび書き込み時と同じコード・ページが使用されます。このコード・ページは、Unix システム・サービスに構成されているデフォルトのコード・ページに従って決定されます。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9520 E パラメーター **RESPMEM** とパラメーター **REQMEM** には異なる値を指定する必要があります。

説明: 要求メッセージと応答メッセージの両方に、同じ言語構造名が使用されています。DFHWS2LS では、生成された言語構造が同一である可能性がある場合でも、これらの名前は固有である必要があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: REQMEM 入力パラメーターと RESPMEM 入力パラメーターのいずれかを変更して、それらが固有になるようにしてください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9521 E PDS メンバー *member* は、レコード・フォーマットが **FB**、レコード長が **80** でなければなりません。

説明: 言語構造に対する書き込みまたは読み取りが行われる場所が、固定ブロック PDS メンバーではありません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: FB データ・セットを示すように、PDSLIB 入力パラメーターの場所を変更してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9522 E ファイル *file* を読み取れません。

説明: ファイル *file* は存在しますが、読み取れません。これは、支援機能を実行しているユーザー ID に、指定されたリソースへのアクセス権がないことが原因と考えられます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を解決してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9523 E ファイル *file* の処理中に予期しないエラーが発生しました。問題: *value*。

説明: ファイル *file* の処理を試行中に例外がキャッチされました。この例外には、*value* に示された問題を識別するメッセージが含まれていました。一部のエラー・メッセージでは、単にファイル名が繰り返されます。

DFHJS2LS, DFHWS2LS、および DFHSC2LS では、言語構造の書き込み先の区分データ・セットに対する排他ロックを必要とします。排他ロックが現在使用可能でないか、ファイルのアクセス権が正しくない場合に、このメッセージが出されることがあります。

システムの処置: Web サービス、JSON、または XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を調べて、支援機能を実行しているユーザー ID に書き込み権限があることを確認してください。他のアプリケーションまたはユーザーが PDS にアクセスしていないことを確認してください。示された問題を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9524 E ファイル *file* に書き込めません。

説明: ファイル *file* は存在しますが、書き込めません。これは、DFHWS2LS または DFHSC2LS を実行しているユーザー ID に、指定されたリソースへの書き込み権限がないことが原因と考えられます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を解決してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9525 E ディレクトリー *directory* が存在しないため、ファイルを書き込めません。

説明: ディレクトリー *directory* が存在しません。そのため、Web サービスまたは XML 支援機能は、そのディレクトリーに書き込まれる出力ファイルを作成できません。

DFHPI9526 E • DFHPI9531 E

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ディレクトリーを作成するか、別の出力位置を示すように入力パラメーターを変更してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9526 E ディレクトリー *directory* が書き込み不可になっているため、ファイルを書き込めません。

説明: ディレクトリー *directory* は存在しますが、Web サービスまたは XML 支援機能を実行しているユーザー ID に、そのディレクトリー内に新規ファイルを作成するための書き込み権限がありません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ディレクトリーのアクセス権を変更するか、別の出力位置を示すように入力パラメーターを変更してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9527 E ログ・ファイルに書き込めません。 *file* は書き込み不可です。

説明: ファイル *file* は存在しますが、Web サービスまたは XML 支援機能を実行しているユーザー ID に、そのファイルを変更するための書き込み権限がありません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を変更するか、別の出力位置を示すように入力パラメーターを変更してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9528 E ファイル *file* が見つからないか、読み取れません。

説明: ファイル *file* が存在しないか、Web サービスまたは XML 支援機能を実行しているユーザー ID にそのファイルの読み取り権限がありません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を変更するか、別の入力ファイルを示すように入力パラメーターを訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9529 W 行 *line* の、列 *column* を超える文字が切り捨てられました。

説明: 入力パラメーターは 72 文字を超えています。メッセージに示されている問題のある行は *line* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 72 文字未満のデータを使用するか、「*」行継続文字を使用するように当該行を変更し、次の行に進んでください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9530 I パラメーター *parameter* は認識されていないため無視されました。

説明: 入力パラメーターの中に認識されないパラメーターが見つかりました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 指定されたパラメーターを除去することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9531 E パラメーター **STRUCTURE** の先頭または末尾の位置には (または) 文字のみが含まれていなければなりません。

説明: STRUCTURE 入力パラメーターの形式が正しくありません。値の先頭と末尾には括弧文字のみ含めることができます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: STRUCTURE 入力パラメーターの値を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9532 E パラメーター **STRUCTURE** の形式は **STRUCTURE=(request_structure_name, response_structure_name)** でなければなりません。

説明: STRUCTURE 入力パラメーターの形式が正しくありません。次の例に示すように、このパラメーターには、コンマで区切られ、全体が丸括弧で囲まれている 2 つの構造名が含まれている必要があります。

STRUCTURE=
(request_structure_name,response_structure_name)。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: STRUCTURE 入力パラメーターの値を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9533 E パラメーター *parameter* の値 *value* の *position* の位置に無効な文字 *character* が含まれています。

説明: パラメーターに無効な文字 *character* が見つかりました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 指定された入力パラメーターの値を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9534 E 非固有の操作シグニチャーが見つかりました: *value*。

説明: 2 つ以上の WSDL 操作のワイヤー・シグニチャーが同一です。CICS では、どの操作が呼び出されているかを判別するために、ワイヤー・シグニチャーが異なっている必要があります。

ワイヤー・シグニチャーは、SOAP 本体タグの直接の子エレメントによって決定されます。RPC スタイルの SOAP メッセージが使用される場合、WSDL 操作の名前が SOAP メッセージに含まれるため、CICS は実行

時に呼び出される操作を判別することができます。文書スタイルの WSDL が使用される場合は、WSDL が「ラップされた」パターンに準拠するときのみ操作名は SOAP メッセージに含まれます。この場合、SOAP エンベロープの本体にある最初のタグが操作の名前になります。

操作名が SOAP メッセージに含まれていない場合、CICS では WSDL での各操作に固有のシグニチャーを必要とします。操作の要求メッセージが空の場合は、シグニチャーは「ヌル」として報告されます。複数の操作が同じシグニチャーを共用している場合に、このメッセージが出されます。この要件は、ほとんどの Web サービス実装環境で WSDL を使用できるようにする場合に順守すべきルールを定義する WSi Basic Profile 仕様にも存在します。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: いずれかの WSDL 操作を除去または除外するか、RPC エンコードを指定するように WSDL を変更するか、「ラップされた文書」スタイルのエンコードに準拠するようにしてください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9535 E WSDL 操作 *operation* の操作シグニチャーは長さが *value* 文字を超えているため、CICS ではサポートされません。

説明: WSDL 文書内の操作 *operation* のワイヤー・シグニチャーが *value* 文字より長くなっています。DFHWS2LS はこの操作を処理できません。ワイヤー・シグニチャーは、実行時に SOAP:body エレメント内で見つかった XML 子エレメントの順序に基づいて呼び出される操作の決定に使用されます。このような子エレメントが多数あるか、子エレメントの名前が異常に長い場合、生成されるシグニチャーが長すぎる場合があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます

す。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBInd ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9536 E ユーザー定義タイプ *type* が見つかりません。

説明: DFHLS2WS または DFHLS2SC は、C または C++ ヘッダー・ファイルで必要なユーザー定義タイプを検出できません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要なユーザー定義タイプを組み込むように、C ヘッダー・ファイルを変更してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9537 W コンパイラー指示 *directive* が無視されました。

説明: DFHLS2WS または DFHLS2SC は、C または C++ のヘッダー・ファイル内でコンパイラー・ディレクティブを検出しました。コンパイラー・ディレクティブはサポートされていません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ヘッダー・ファイルからコンパイラー・ディレクティブを除去することを検討してください

い。コンパイラー・ディレクティブが、コンパイラーによるヘッダー・ファイル内の構造の処理方法にとって重要である場合、DFHLS2WS または DFHLS2SC がコンパイラー・ディレクティブを正確に解釈できるように、それらの構造を変更することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9538 E 必須の構造体項目が見つかりません。

説明: DFHLS2WS または DFHLS2SC は、C または C++ のヘッダー・ファイルで参照される必須の構造を検出できません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 必須の構造を組み込むように、C ヘッダー・ファイルを変更してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9539 E 無効文字 *character* が見つかりました。

説明: 無効文字が C または C++ のヘッダー・ファイルで検出されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ヘッダー・ファイルを訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9540 E サポートされないキーワード *keyword* が見つかりました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、現在サポートされていないキーワード *keyword* を検出しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされないキーワードを入力ファイルから除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、そのキーワードがメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマッ

プします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9541 E 固定小数点 10 進タイプはサポートされていません。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ ヘッダー・ファイルでサポートされないデータ・タイプを検出しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされないデータ・タイプを入力ファイルから除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、そのデータ・タイプがメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9542 E サポートされていないマクロ *macro* が見つかりました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ のヘッダー・ファイル内でマクロを検出しました。マクロはサポートされません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされないマクロを入力ファイルから除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、そのマクロがメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9543 E 配列の次元では定数 *constant* はサポートされていません。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、配列宣言内に定数を検出しました。これはサポートされていない。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされない定数を入力ファイルから除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、その定数がメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9544 W サポートされないキーワード *keyword* が見つかり、無視されました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、現在サポートされていないキーワード *keyword* を検出しました。このキーワードは無視されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このキーワードが無視されても問題ないかどうか検討してください。問題ない場合は、このメッセージを無視しても構いません。

DFHLS2WS を使用しているときに、この制限が受け入れられない場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9545 W 代入演算子が見つかりましたが、無視されました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ のヘッダー・ファイル内で代入演算子を検出しましたが、無視しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ヘッダー・ファイルから代入演算子を除去することを検討してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9546 W 初期化演算子が見つかりましたが、無視されました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ のヘッダー・ファイル内で初期化演算子を検出しましたが、無視しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ヘッダー・ファイルから初期化演算子を除去することを検討してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9547 E 最上位の変数はサポートされていません : *value*。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ のヘッダー・ファイル内で構造の一部でもタイプ定義の一部でもない変数 *value* を検出しました。これはサポートされていない。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ヘッダー・ファイルから指定された変数を除去することを検討してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9548 E C および C++ では、最上位構造 *structure* の名前は *value* にするか、「**STRUCTURE**」パラメーターを使用して指定する必要があります。**(Top-level structure structure for C and C++ must be named value or must be specified using the 'STRUCTURE' parameter.)**

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ のヘッダー・ファイル内で要求された構造を検出できませんでした。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: STRUCTURE 入力パラメーターの値を訂正するか指定してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9549 E インスタンスとラベルを持たないタイプ定義が見つかりました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ のヘッダー・ファイル内でラベルまたはインスタンス名が欠落しているタイプ定義を検出しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ヘッダー・ファイルを訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9550 E 重複するタイプ名 *name* が見つかりました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ のヘッダー・ファイル内で重複したタイプ定義を検出しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ヘッダー・ファイルを訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9551 E 構造体 *structure* が見つかりません。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、C または C++ のヘッダー・ファイル内でメイン構造を検出できませんでした。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: STRUCTURE 入力パラメーターの値を訂正するか指定してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9552 E 値 *value* はファイル「*fileName*」で有効な整数ではありません。(Value *value* is not a valid integer in file '*fileName*'.)

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、数値ではあるが、有効な整数ではない可能性のある値を検出しました。問題のある値は *value* です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造を訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9553 E PICTURE *picture* is not supported for BINARY fields, or DISPLAY fields before mapping level 1.2.

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、BINARY データ・タイプまたは DISPLAY データ・タイプで現在サポートしていない PICTURE 節を検出しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされない PICTURE を入力ファイルから除去することを検討してください。

より新しいマッピング・レベルに切り替えることを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、PICTURE がメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9554 E PICTURE *picture* はサポートされていません。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、現在サポートしていない PICTURE 節を検出しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされない PICTURE を入力ファイルから除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、PICTURE がメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9555 E メインの構造体の中に最上位の構造体が見つかりました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は言語構造の 1 つでエラーを検出しました。01 レベルの ID はメインの言語構造内に存在してはなりません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造内から 01 レベルの ID を除去してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9556 E ファイル *file* への書き込み中に予期しないエラーが発生しました。問題: *value*。

説明: ファイル *file* への書き込みを試行中に例外がキャッチされました。この例外には、*value* に示された問題を識別するメッセージが含まれていました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 示された問題を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9557 E ファイル *file* の処理中に **ERRORS** および **WARNINGS** が生成されました。

説明: 1 つ以上のエラー・メッセージ、および 1 つ以上の警告メッセージが Web サービスまたは XML 支援機能により発行されました。

DFHPI9558 E • DFHPI9562 E

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は失敗し、戻りコード 12 が返されます。

ユーザーの処置: 直前に出されたエラー・メッセージを解決し、警告メッセージへの対処を検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9558 E ファイル *file* の処理中に **ERRORS** が生成されました。

説明: 1 つ以上のエラー・メッセージが Web サービスまたは XML 支援機能により発行されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は失敗し、戻りコード 12 が返されます。

ユーザーの処置: 直前に発行されたエラー・メッセージを解決してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9559 W 名前の先頭に正しくない文字 *character* が見つかったため、**X** に置き換えられました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、言語構造内のフィールド名の先頭に XML で無効な文字を検出しました。この文字は置換文字に置き換えられました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 新しい名前が XML で公開するのに適切かどうか検討してください。選択した名前が適切ではない場合、言語構造を変更してジョブを再実行するか、XML を変更して、その XML に対して DFHWS2LS または DFHSC2LS を実行できます。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9560 W 名前の中に正しくない文字 *character* が見つかったため、**X** に置き換えられました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、言語構造内のフィールド名に XML で無効な文字を検出しました。この文字は置換文字に置き換えられました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 新しい名前が XML で公開するのに適切かどうか検討してください。選択した名前が適切ではない場合、言語構造を変更してジョブを再実行するか、XML を変更して、その XML に対して DFHWS2LS または DFHSC2LS を実行できます。

@QKC

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9561 I **ID identifier** が操作 *operation* で名前の競合を生成しました。後続の宣言では、名前の固有性が確保されるように名前が変更されました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、XML への変換時に他の名前と競合するフィールド名を言語構造内で検出しました。この競合が発生しないように、この名前は変更されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 新しい名前が XML で公開するのに適切かどうか検討してください。選択した名前が適切ではない場合、言語構造を変更してジョブを再実行するか、XML を変更して、その XML に対して DFHWS2LS または DFHSC2LS を実行できます。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9562 E パラメーター **PGMINT** に値 **COMMAREA** が指定されましたが、**COMMAREA** に必要なデータが多すぎます。

説明: DFHLS2WS または DFHLS2JS は、通信域ベースの PROGRAM の言語構造の処理を求められました。処理される言語構造では 32K を超えるデータが必要になるため、通信域で使用するには大きすぎます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: PGMINT 入力パラメーターを **COMMAREA** ではなく **CHANNEL** に変更することを検討してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9563 E サポートされない **PL/I** ソース・コード
が行 *line* で検出されました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、サポートしていない **PL/I** ベースのコード行を行
line で検出しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされない行を入力ファイルから
除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、その行がメモリー
内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・
プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパ
ー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式で
の入力を許可するプログラムであり、許可された入力
をターゲット・プログラムに必要な形式にマップします。
次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に
 応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラム
に発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9564 W 終端の ; が欠落しています。ファイル
の終わりにはこの文字があるものと想定さ
 れています。

説明: 言語構造の終了文字が欠落しています。ファイル
の終わりが言語構造の終わりを示していると想定されま
 す。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造を訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9565 E **ALIGNED** および **UNALIGNED** キー
ワードは、構造体全体でサポートされてい
 ません。

説明: **ALIGNED** キーワードまたは **UNALIGNED** キー
ワードが **PL/I** 言語構造の構造体に適用されました。
これは DFHLS2WS または DFHLS2SC ではサポート
 されていません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: **ALIGNED** または **UNALIGNED** を
個別に指定するように言語構造内の各項目を変更してく
 ださい。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9566 E **FIXED** および **FLOAT** 属性の両方とも
欠落しています: *value*。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、**PL/I** 言語構造内の **DECIMAL** フィールドまたは
BINARY フィールドが **FIXED** タイプであるか **FLOAT**
タイプであるかを宣言していないと判断しました。
DFHLS2WS および DFHLS2SC では、言語構造でデー
タ・タイプを明示的に示す必要があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: **FIXED** または **FLOAT** のいずれかを
明示的に指定するようにフィールドを変更してくださ
い。**FLOAT** データ・タイプは、1.2 以上のマッピング
グ・レベルが指定された場合にのみサポートされます。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9567 E Too many digits have been specified
for a packed decimal field: *value*。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、**PL/I** 言語構造内でエラーを検出しました。パック
10 進数フィールドに、当該言語でサポートできる桁数
より多い桁数が指定されています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造を訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9568 E **PLI-ENTERPRISE** を指定しないと、
UNSIGNED 属性はサポートされません:
value。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、**PL/I** 言語構造内でエラーを検出しました。
UNSIGNED キーワードが使用されています。このキー
ワードは、Enterprise レベルの **PL/I** より前のレベルで
は使用できません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造を訂正するか、**LANG** 入力
パラメーターを変更して、**PLI-ENTERPRISE** を指定し
 てください。

DFHPI9569 E • DFHPI9573 E

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9569 E サポートされない **PL/I** ソース・コード
が行 *line* の後に検出されました。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、サポートしていない **PL/I** ベースのコード行を行
line の後に検出しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされない行を入力ファイルから
除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、その行がメモリー
内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・
プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパ
ー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式で
の入力を許可するプログラムであり、許可された入力を
ターゲット・プログラムに必要な形式にマップします。
次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答
を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラム
に発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9570 E **PLI-ENTERPRISE** を指定しないと、**31**
を超える長さの **FIXED BINARY** タイプ
はサポートされません: *value*。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、**PL/I** 言語構造内でエラーを検出しました。**31** を超
える長さの **FIXED BINARY** が指定されています。こ
れは、Enterprise **PL/I** より前のバージョンの **PL/I** で
は許可されていません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造を訂正するか、**LANG** 入力
パラメーターを変更して、**PLI-ENTERPRISE** を指定し
てください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9571 W **ORDINAL** 参照は常に **SIGNED**
FIXED BINARY (7) データ・タイプとし
て扱われます。これが正しくない場合は、
ORDINAL 参照を同等の **FIXED**
BINARY 変数に置き換えてください:
value。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、**PL/I** 言語構造内で **Ordinal** データ・タイプを検出
しました。これらは常に、**SIGNED FIXED BINARY**
(7) データ・タイプであるかのように扱われます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: この想定が適切かどうかを検討して
ください。適切でない場合は、言語構造を変更するか、
ordinal データ・タイプを同等のデータ・タイプに置き
換えてください。

DFHLS2WS を使用している場合は、ラッパー・プログ
ラムを作成できます。ラッパー・プログラムは
DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可する
プログラムであり、許可された入力をターゲット・プロ
グラムに必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS
での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前
に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9572 E **ORDINAL types are only supported**
if PLI-ENTERPRISE is specified: value.

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、**PL/I** 言語構造内でエラーを検出しました。**ordinal**
データ・タイプが指定されています。これは、
Enterprise **PL/I** より前のバージョンの **PL/I** では許可
されていません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造を訂正するか、**LANG** 入力
パラメーターを変更して、**PLI-ENTERPRISE** を指定し
てください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9573 E **BIT fields are only supported if**
they are in multiples of 8: value.

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS
は、8 で割り切れないビット数を指定する **BIT** フィ
ールドを **PL/I** 言語構造で検出しました。これは
DFHLS2WS ではサポートされません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能
は処理を続行します。

ユーザーの処置: 言語構造を変更してこのフィールドを
除去するか、長さを 8 の倍数に変更することを検討し
てください。

DFHLS2WS を使用している場合は、ラッパー・プログラムの作成を検討してください。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9574 E Lengths less than one are not supported for array data types:
dataType.

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、言語構造内で問題を検出しました。データ・タイプで、1 バイトまたは 1 文字未満の長さの配列が指定されています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を解決してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9575 E PICTURE の長さが見つかりません:
value.

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、PL/I 言語構造内で問題を検出しました。PICTURE 節の長さを判別できません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を解決してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9576 E (p,q) の形式で倍率が指定された FIXED BINARY データ・タイプで、q=0 ではないものはサポートされません:
value.

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、PL/I 言語構造内でサポートされないデータ・タイプを検出しました。FIXED BINARY の倍率はサポートされません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされないデータ・タイプを入力ファイルから除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、そのデータ・タイプがメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9577 E Precision factor factor is out of supported range: value.

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、PL/I 言語構造内でエラーを検出しました。精度係数が大きすぎるか、小さすぎてサポートできません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を解決してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9578 E (p,q) の形式で倍率が指定された FIXED DECIMAL データ・タイプで、q が p より大きいものはサポートされません:
value.

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、PL/I 言語構造内でサポートされないデータ・タイプを検出しました。CICS は、(p,q) の形式の倍率で、q が p より大きいものはサポートできません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされないデータ・タイプを入力ファイルから除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、そのデータ・タイプがメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムで必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

DFHPI9579 E • DFHPI9583 E

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9579 E (p,q) の形式で倍率が指定された **FIXED DECIMAL** データ・タイプで、q が 0 より小さいものはサポートされません: *value*。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、PL/I 言語構造内でサポートされないデータ・タイプを検出しました。CICS は、(p,q) の形式の倍率で、q が 0 より小さいものはサポートできません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされないデータ・タイプを入力ファイルから除去することを検討してください。

DFHLS2WS を使用しているときに、そのデータ・タイプがメモリー内の言語構造の形状にとって重要な場合は、ラッパー・プログラムの作成が必要になることがあります。ラッパー・プログラムは DFHLS2WS での使用に適した形式での入力を許可するプログラムであり、許可された入力をターゲット・プログラムに必要な形式にマップします。次に、DFHLS2WS での使用にも適した出力形式に応答を変換しなおす前に、LINK をターゲット・プログラムに発行します。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9580 I PDS メンバー *member* が置き換えられました。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能は既存の PDS メンバー *member* を置き換えました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー処置は不要です。このメッセージは無視しても問題ありません。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9581 E PDS への書き込み中に予期しない例外が発生しました。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能は、PDS ライブラリーに書き込むことができませんでした。これは、別のプロセスが PDS でロックを保持していることが原因の可能性があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: PDS でロックを保持している他のすべてのプロセスが、それらのロックを解放するようにしてください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9582 I ファイル *file* が置き換えられました。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能は既存のファイル *file* を置き換えました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー処置は不要です。このメッセージは無視しても問題ありません。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9583 E The supplied WSDL contains an element with different minOccurs and maxOccurs values. This is only supported when PGMINT is set to CHANNEL or when 'INLINE-MAXOCCURS-LIMIT' is set to a higher value than maxOccurs.

説明: DFHWS2LS は、SOAP メッセージ内に未知の回数出現する XML エlementを検出しました。これは、INLINE-MAXOCCURS-LIMIT パラメーターが maxOccurs 値より大きい値に設定されている場合に、マッピング・レベル 2.1 でサポートされます。

maxOccurs が「unbounded」に設定されている場合、または、マッピング・レベルが 2.1 より低い場合、または INLINE-MAXOCCURS-LIMIT が maxOccurs より小さい場合は、DFHWS2LS によりランタイム・データが別個のコンテナに保管されます。この場合、PGMINT=CHANNEL を使用する必要があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: INLINE-MAXOCCURS-LIMIT の値を変更することを検討してください。

これが適切な処置ではない場合は、PGMINT 入力パラメーターの値を CHANNEL に変更してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9584 E WSDL ファイルには少なくとも 1 つの要求メッセージが含まれていますが、**REQMEM** パラメーターが設定されていません。

説明: DFHWS2LS は、要求メッセージ用に 1 つ以上の言語構造を生成する必要がありますが、REQMEM 入力パラメーターが設定されていません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: REQMEM 入力パラメーターの値を指定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9585 E WSDL ファイルには少なくとも 1 つの応答メッセージが含まれていますが、**RESPMEM** パラメーターが設定されていません。

説明: DFHWS2LS は、応答メッセージ用に 1 つ以上の言語構造を生成する必要がありますが、RESPMEM 入力パラメーターが設定されていません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: RESPMEM 入力パラメーターの値を指定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9586 W A reserved word *word* has been detected in the input document, it has been changed to *value*.

説明: ターゲット・プログラミング言語のキーワードとして無効なエレメント名が、WSDL スキーマ、XML スキーマ、または JSON スキーマの文書で検出されました。この名前は、示されたとおりに名前変更されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは無視しても問題ありません。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9587 I プログラム *program* は正常に完了しました。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を完了しました。エラー・メッセージも警告メッセージも出されていません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は戻りコード 0 で終了します。

ユーザーの処置: このメッセージは無視しても問題ありません。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9588 E WSDL バインディング *binding* には、**WSDL** 内に操作エレメントがありません。

説明: DFHWS2LS は、WSDL バインディング *binding* に関連付けられた WSDL 操作を検出しませんでした。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL 文書を訂正するか、BINDING 入力パラメーターに別の値を指定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9589 E 提供された **WSDL** には、**CICS Commarea** に必要なデータが多すぎます。**PGMINT** パラメーターを **CHANNEL** に設定しなければなりません。

説明: 支援機能は、通信域ベースの PROGRAM の言語構造を生成するよう求められました。生成する言語構造では 32K を超えるデータが必要になるため、通信域で使用するには大きすぎます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: PGMINT 入力パラメーターを COMMAREA ではなく CHANNEL に変更することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9590 E WSDL 操作 *operation* にスタイル属性が指定されていません。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書でエラーを検出しました。WSDL 操作 *operation* のバインディングには、指定された「スタイル」がなければなりません。指定できるスタイルは「rpc」または「document」です。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9591 E WSDL 操作 *operation* に入力メッセージが見つかりませんでした。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書で問題を検出しました。操作 *operation* に WSDL 入力メッセージがありません。DFHWS2LS は応答のみの Web サービスをサポートしません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL 文書 を訂正するか、別の BINDING 入力パラメーターを指定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9592 W WSDL 操作 *operation* に、予期された **soapAction** 属性がありません。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書でエラーを検出しました。WSDL バインディングに操作 *operation* の **soapAction** 属性がありません。WSDL 2.0 で、「action」という属性を使用して **soapAction** が指定されました。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: **soapAction** がないことが問題になるかどうか検討してください。ご使用のアプリケーションで **soapAction** 属性を必要としない場合は、このメッセージを無視しても問題ありません。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9593 W WSDL 操作 *operation* に、予期しない **soapAction** 属性が見つかりました。この属性は **SOAP** バージョン **1.1** のみ使用できます。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書でエラーを検出しました。WSDL バインディングは、SOAP 1.2 で使用する **soapAction** 属性を指定しています。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: **soapAction** 属性を除去するか、SOAP 1.1 の使用を指示するように WSDL を変更することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9594 E WSDL 操作 *operation* に、予期しない **soapAction** 属性が見つかりました。この属性は **SOAP** バージョン **1.1** のみ使用できます。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書でエラーを検出しました。WSDL バインディングは、SOAP バージョン 1.1 にのみ適用される概念である **soapAction** 属性を指定しています。しかし、WSDL バインディングは SOAP バージョン 1.2 の使用を要求しています。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: **soapAction** 属性を WSDL 文書から除去してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9595 E WSDL バインディングに、**rpc** および文書スタイル属性が混在しています。これはサポートされていない。

説明: DFHWS2LS は、WSDL 文書の処理で問題を検出しました。WSDL バインディングに、「rpc」スタイルのメッセージと「document」スタイルのメッセージが混在して指定されています。DFHWS2LS はバインディング内でのスタイルの混在をサポートしていません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポー

トされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9596 E 操作 *operation* の WSDL バインディングに入力メッセージがありません。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書で問題を検出しました。操作 *operation* のバインディング *binding* に WSDL 入力バインディングがありません。DFHWS2LS は応答のみの Web サービスをサポートしません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL 文書 を訂正するか、別の BINDING 入力パラメーターを指定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9597 E WSDL ファイルに 'use' 属性値 *value* が指定されています。リテラルの WSDL だけがサポートされます。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書で問題を検出しました。WSDL バインディングは「use」属性値 *value* を指

定しています。DFHWS2LS は値「literal」のみサポートします。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9598 E WSDL バインディング *binding* が複数のトランスポート・プロトコルを参照しています。プロトコルは 1 つしかサポートされません。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書で問題を検出しました。WSDL バインディングが複数のトランスポート・プロトコルを指定しています。DFHWS2LS は、バインディングごとに 1 つのトランスポート・プロトコルしかサポートしません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9599 E WSDL バインディング *binding* にトランスポート・プロトコルが関連付けられていません。

説明: DFHWS2LS は WSDL 文書で問題を検出しました。WSDL バインディングがトランスポート・プロトコルを指定していません。DFHWS2LS は、バインディングごとに 1 つのトランスポート・プロトコルを必要とします。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してく

ださい。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBind ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9600 E WSDL ファイルに複数のバインディング・エレメントが含まれています。使用するエレメントを指定するためには、**BINDING** パラメーターを設定する必要があります。

説明: WSDL 文書に複数のバインディング・エレメントが含まれています。BINDING 入力パラメーターが設定されていなかったため、DFHWS2LS は処理対象の WSDL バインディングを決定できません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: BINDING 入力パラメーターの値を指定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9601 E WSDL ファイル内にバインディング・エレメント *element* が見つかりません。
以下の値のいずれか **1** つだけを指定できます: *value*。

説明: BINDING 入力パラメーターの値が、WSDL 文書内のバインディング・エレメントを示していません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: BINDING 入力パラメーターの値を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9602 E WSDL バインディング *binding* が SOAP バインディングではありません。

説明: DFHWS2LS は、WSDL バインディングが SOAP の使用を示していないことを検出しました。
DFHWS2LS は、SOAP を使用する Web サービスのみサポートします。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、*xsd:any* 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBIND ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナー内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャンネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9603 E **1** つのバインディング・エレメントに対して複数の WSDL サービス・エレメントが存在します。'WSDL-SERVICE' パラメーターが設定されていない場合は **1** つしかサポートされません。

説明: DFHWS2LS は、WSDL 文書の処理で問題を検出しました。WSDL が、WSDL バインディングで使用する複数の WSDL サービス・エレメントを指定しています。DFHWS2LS は、バインディングごとに **1** つの WSDL サービスしかサポートしません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 使用する特定の WSDL サービス・エレメントを指定してください。これを指定するには、WSDL-SERVICE パラメーターに適切な値を設定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9604 E **File file does not contain valid XML.**

説明: WSDL またはスキーマ文書に XML が含まれていないようです。転送中に破損したか、間違ったファイルが指定されている可能性があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL または SCHEMA の入力パラメーターの値が正しいファイルを示していることを確認してください。そのファイルが正しいコード・ページに保管されていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9605 E **The value of the XML encoding attribute must match that of the underlying file system.** 例えば、値 **UTF-8** が該当する可能性があります。

説明: WSDL スキーマ文書または XML スキーマ文書のプロローグ内の XML エンコード疑似属性が正しくな

い可能性があります。この属性の値は、WSDL 文書がファイル・システムに保管される際に使用されるエンコードと一致する必要があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: エンコード属性を訂正するか、除去してください。正しい値は UTF-8 である可能性があります。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9606 E The value of the XML encoding attribute must match that of the underlying file system. For example, the value EBCDIC-CP-US may be appropriate.

説明: WSDL スキーマ文書または XML スキーマ文書のプロログ内の XML エンコード疑似属性が正しくない可能性があります。この属性の値は、WSDL 文書がファイル・システムに保管される際に使用されるエンコードと一致する必要があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: エンコード属性を訂正するか、除去してください。正しい値は EBCDIC-CP-US である可能性があります。例えば、`<?xml version="1.0"`

`encoding="EBCDIC-CP-US"?>` のようになります。FTP を使用してプラットフォーム間で WSDL スキーマ文書および XML スキーマ文書を転送する場合は、バイナリー・モードでこれを行うことを検討してください。これにより、ソース・プラットフォームで使用されていたエンコードでファイルが到着するようになり、文書内の正しいエンコード属性が保たれます。初期文書内にインポートまたは組み込まれた追加の WSDL スキーマ文書または XML スキーマ文書についても、同様の取り扱いが必要になります。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9607 E WSDL 操作 operation の処理中に予期しないエラーが発生しました。問題: value.

説明: 支援機能は、WSDL スキーマ文書または XML スキーマ文書の処理中に問題を検出しました。value にその詳細が示されたメッセージを含む例外がキャッチされました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 示された問題を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS, DFHSJ2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9608 W ファイル file の処理中に WARNINGS が生成されました。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能が完了し、1 つ以上の警告メッセージを発行しました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は戻りコード 4 で終了します。

ユーザーの処置: 前に出された警告メッセージを参照し、実行すべき処置 (存在する場合) を決定してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9609 I パラメーター parameter に値 value があります。

説明: パラメーター parameter の値は value です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは無視しても問題ありません。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9610 W プラットフォーム platform は、この API でサポートされているプラットフォームではありません。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能は、現在サポートされていないプラットフォーム上で実行されていることを検出しました。このプラットフォームで Web サービス支援機能を実行しているときに問題が発生した場合、IBM から受けるサポートのレベルが低下する可能性があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされるプラットフォーム (z/OS など) 上で Web サービスまたは XML 支援機能をホスティングすることを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9611 W 行 *line* の最初の ';' より後の内容はすべて無視されます。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、PL/I コードの行と思われる行の途中で行終了文字を検出しました。その行の残りの部分は処理されません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 行の終わりを無視することが適切かどうか検討してください。処理すべき重要なデータがまだ存在する場合は、DFHLS2WS または DFHLS2SC が理解できる形式でデータを提供するように入力ファイルを編集してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9612 E 複数の操作を伴うプロバイダー・モードの Web サービスでは、'**PGMINT=CHANNEL**' を指定する必要があります。

説明: DFHWS2LS は、WSDL 文書内のバインディングに関連付けられた操作が複数あると判断しました。プロバイダー・モードの WEBSERVICE によってサポートされる操作が複数ある場合、Web サービスを実装する CICS アプリケーションは、DFHWS-OPERATION コンテナの内容を使用して呼び出される操作を判別する必要があります。

このコンテナは、CICS アプリケーションが通信域ではなくチャンネルにリンクされている場合にのみ使用可能です。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: PGMINT 入力パラメーターを COMMAREA ではなく CHANNEL に変更することを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9613 E マッピング・レベル *level* は認識されません。

説明: MAPPING-LEVEL パラメーターに指定された値が無効です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: MAPPING-LEVEL パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9614 I マッピング・レベル *old* が要求されました。使用可能な最新のマッピング・レベルは *new* です。

説明: 古いマッピング・レベルが要求されました。より新しいマッピング・レベルは、要求されたマッピング・レベルでは使用できない可能性がある XML および言語構造の拡張サポートを備えています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 最新のマッピング・レベルに切り替えることを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9615 E 使用中の **Java** のバージョンは *current* です。最低限必要な **Java** のバージョンは *required* です。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能で Java を実行するには、より新しいバージョンの Java が必要です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: Java の正しい最小バージョンがインストールされていることを確認してください。Web サービス支援機能の起動に使用する JCL プロシーチャーの「JAVADIR」オプションを使用することで、デフォルト以外の Java のバージョンを指定できます。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9616 W National characters in COBOL are assumed to be DBCS characters: line.

説明: 支援機能によって処理される言語構造に、国別文字を含めるために宣言されるフィールドが含まれています。国別文字は、部分的にしかサポートされていません。支援機能は、国別文字の値を含めるために定義されるすべてのフィールドでは DBCS が使用されると想定します。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: これらのフィールドに純粋な DBCS データを含めるかどうかを検討してください。そのようにする場合は、このメッセージを無視しても問題ありません。フィールドに UTF-16 データを含める予定の場合、Web サービスまたは XML 支援機能を使用してアプリケーションを Web サービスとして公開することはできません。代わりに、独自の XML 対応の SOAP「apphandler」の作成を検討できます。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9617 E The input data contains an element with unknown length content which should be stored in a separate CONTAINER. This is only supported when PGMINT is set to CHANNEL.

説明: DFHWS2LS は、コンテナにマップする必要があるコンテンツを持つスキーマ・エレメントを検出しました。これは、PGMINT 入力パラメーターが CHANNEL に設定されている場合にのみサポートされます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: PGMINT 入力パラメーターの値を CHANNEL に変更してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9618 E keyword キーワードが指定されています。この場合、**LANG=PLI-ENTERPRISE** を使用する必要があります。

説明: DFHLS2WS、DFHLS2SC、または DFHLS2JS は、Enterprise PL/I より前のバージョンの PL/I では無効な PL/I データ・タイプを検出しました。LANG 入力パラメーターが PLI-OTHER に設定されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: LANG 入力パラメーターの値を PLI-ENTERPRISE に変更してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9619 E パラメーター *parameter* が指定されています。これはマッピング・レベル *level* ではサポートされていません。

説明: 要求されたマッピング・レベルではサポートされていないパラメーターが指定されています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: パラメーターがサポートされているレベルにマッピング・レベルを変更するか、パラメーターを除去してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9620 E CCSID *CCSID* は認識されません。

説明: CCSID パラメーターの値が、有効な CCSID として認識されません。Web サービスまたは XML 支援機能は、CCSID の前に「Cp」を追加することにより、CCSID に関連付けられたコード・ページ名を決定しようとしています。結果のコード・ページ名が Java でサポートされていない場合、このメッセージが発行されます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CCSID パラメーターの値を Java でサポートされるものに変更してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9621 W CCSID *CCSID* は EBCDIC *CCSID* として認識されません。この *CCSID* を使用すると、**Web** サービスの実行時に問題が発生する可能性があります。

説明: CCSID パラメーターの値が、EBCDIC コード・ページ・ファミリーの 1 つとして認識されません。CICS XML 変換サービスは、EBCDIC コード・ページのみサポートします。

要求された CCSID を使用すると、CICS で正しくない動作が発生する可能性があります、場合によっては、Web サービスまたは XML 支援機能によって内部エラー・メッセージが出されることがあります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CCSID パラメーターの値を変更することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9622 E *parameter* パラメーターに無効値が指定されました。*min* から *max* までの間の正整数で長さを指定しなければなりません。

説明: パラメーターに指定された値が無効です。この値は、指定された最小値から指定された最大値の間の数値でなければなりません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9623 E **CHAR-VARYING** パラメーターに無効な値が指定されました。有効な値は **NULL**、**NO**、または **YES** です。

説明: CHAR-VARYING パラメーターに指定された値が無効です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CHAR-VARYING パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9624 E **Invalid value specified for the FLOAT parameter. Valid values are: IEEE, HEX or HEXADEC.**

説明: FLOAT パラメーターに指定された値が無効です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: FLOAT パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9625 E **CHAR-VARYING** パラメーターに無効な値が指定されました。有効な値は次のとおりです: **NULL**、**NO**、**COLLAPSE**、または **BINARY**。

説明: CHAR-VARYING パラメーターに指定された値が無効です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CHAR-VARYING パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9626 W パラメーター *parameter* が指定されましたが、このパラメーターは、パラメーター *parameter2* が設定されているときは無効です。このパラメーターは無視されます。

説明: パラメーター *parameter2* が設定されているため、パラメーター *parameter* は無視されました。例えば、LANG パラメーターの値が PLI-ENTERPRISE の場合、CHAR-VARYING 値は使用できません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 予期しないパラメーターを除去することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9627 E 最小ランタイム・レベル *level* は認識されません。

説明: MINIMUM-RUNTIME-LEVEL パラメーターの値が無効です。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: MINIMUM-RUNTIME-LEVEL パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS,

DFHPI9628 E • DFHPI9632 E

DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9628 E パラメーター *parameter* が指定されましたが、このパラメーターは、指定されている最小ランタイム・レベルと互換性がありません。

説明: パラメーター *parameter* は、指定された最小ランタイム・レベルで使用することはできません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 予期しないパラメーターを除去するか、MINIMUM-RUNTIME-LEVEL パラメーターに別の値を指定してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9629 I この Web サービスに必要な最小ランタイム・レベルは *level* です。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能によって作成される Web サービス・バインディング・ファイルまたは XML バインディング・ファイルは、特定の最小レベルの CICS のランタイム機能を必要とします。この最小レベルの機能は「最小ランタイム・レベル」と呼ばれています。*level* のランタイム・レベルをサポートしていない CICS のバージョンにバインディング・ファイルをインストールしようとすると、エラー・メッセージが出されます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9630 W *parameter* パラメーターを使用しているため、この Web サービスに必要な最小ランタイム・レベルがマッピング・レベルを超えています。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能によって作成される Web サービス・バインディング・ファイルまたは XML バインディング・ファイルは、特定の最小レベルの CICS のランタイム機能を必要とします。このランタイム機能のレベルが、MAPPING-LEVEL パラメーターの値に基づいて想定されるレベルより高いレベルに

なっています。例えば、MAPPING-LEVEL は 1.0 に設定されていますが、必要なランタイム・レベルは 1.2 の場合があります。

この矛盾は、*parameter* 入力パラメーターの値が原因で発生します。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 選択したランタイム・レベルが適切かどうかを検討してください。このメッセージを抑止したい場合は、MINIMUM-RUNTIME-LEVEL パラメーターの値を設定してください。選択した最小ランタイム・レベルが受け入れられない場合、入力パラメーターから *parameter* パラメーターを除去してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9631 E フィールド *field* には文字配列の長さとして *length* が必要ですが、*language* で使用可能な長さの最大値は *maxlength* です。

説明: ターゲット・プログラミング言語には文字配列の最大長があります。この長さを超える文字配列が必要とされています。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題に対処するには、いくつかのオプションがあります。LANG パラメーターの値を、この長さの文字配列をサポートする言語に変更することを検討してください。より高いレベルが使用可能であれば、MAPPING-LEVEL の変更を検討してください。このメッセージをトリガーしたフィールドの XML スキーマを、より短い *length* または *maxLength* を示すように変更することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9632 E URI *uri* is invalid. 報告された問題: *problem*。

説明: 無効な URI が指定されました。これは、WSDL 文書内または XML スキーマ内の URI パラメーターの値または URI の場合があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: URI の値を訂正する必要があります。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS,
DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9633 E SOAPVER パラメーターに無効な値が指定されました。有効な値は **1.1**、**1.2**、または **ALL** です。

説明: SOAPVER パラメーターに指定された値が無効です。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: SOAPVER パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9634 E WSDL 文書内に **WSDL** サービス・エレメント *service* が見つかりません。

説明: SERVICE パラメーターによって定義された WSDL サービス・エレメントが WSDL 文書に見つかないか、要求された BINDING に関連付けられていません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: SERVICE パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9635 E WSDL 再使用可能バインディング *binding* は、**WSDL-SERVICE** パラメーターが指定されている場合にのみ使用できません。

説明: 指定された BINDING が特定の WSDL インターフェースに関連付けられていません。BINDING とともに使用するインターフェースを指示するために、WSDL-SERVICE パラメーターも設定する必要があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL-SERVICE パラメーターの値を指定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9636 E WSDL 操作 *operation* が見つかりません。

説明: OPERATIONS パラメーターを使用して指定された操作が WSDL 文書内で見つかりません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: OPERATIONS パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9637 W プロバイダー・モードの **Web** サービスで処理されなかった **WSDL** 操作が **1** つ以上あります。

説明: 複数の操作を持つ WSDL サービスが DFHWS2LS によって処理されました。OPERATIONS パラメーターの値が原因で、WSDL 文書内に記述された 1 つ以上の WSDL 操作が無視されました。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 無視された操作のいずれかに対する要求を CICS に送信することが許容されるかどうか、または許可されるかどうかを検討してください。無視された操作のいずれかに対する要求が CICS に送信されると、CICS はその要求を処理できません。

許容できない場合は、OPERATIONS パラメーターの除去を検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9638 W WSDL 2.0 を使用しているため、この **Web** サービスに必要な最小ランタイム・レベルがマッピング・レベルを超えています。

説明: DFHWS2LS は WSDL 2.0 文書に対して実行されました。生成された WSBind ファイルは、ランタイム・レベル 2.0 以上の CICS 領域にのみインストールできます。2.0 より前のマッピング・レベルが要求されました。これは、前のバージョンの CICS との後方互換性が必要になることを意味します。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: Web サービスでランタイム・レベル 2.0 が必要になることを許容できるかどうか検討してください。ランタイム 2.0 環境の機能を利用するマッピン

グ・レベルの使用を検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9639 E WSDL 2.0 が使用されていますが、指定された最小ランタイム・レベルと互換性がありません。

説明: DFHWS2LS は WSDL 2.0 文書に対して実行されました。生成された WSBind ファイルは、ランタイム・レベル 2.0 以上の CICS 領域にのみインストールできます。2.0 より前の最小ランタイム・レベルが要求されました。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 最小ランタイム・レベルを変更して、ランタイム・レベル 2.0 の機能を使用できるようにしてください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9640 I この Web サービスは、SOAP バージョン *soapver* を使用する PIPELINE にインストールする必要があります。

説明: この Web サービスの WSDL は、特定のバージョンの SOAP が必要であることを指定しています。この要求を満たすために、生成された WSBind ファイルを適切に構成された PIPELINE にインストールする必要があります。

CICS は、WSBind ファイルが CICS にインストールされるときにこの要件を適用することがあります。

SOAPVER 値 ALL を指定して DFHLS2WS が使用された場合、WSBind ファイルは SOAP 1.2 PIPELINE にインストールする必要があります。これは、SOAP 1.2 用のプロバイダー・モードの PIPELINE は、SOAP 1.2 と SOAP 1.1 の両方を同時にサポートできるためです。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、Web サービスのデプロイ時における特定の SOAP バージョンの要件に注意してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9641 E 操作 *operation* の処理中に、サポートされないメッセージ・コンテンツ・モデル *contentModel* が見つかりました。

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL 操作が、CICS でサポートされていないコンテンツ・モデルを指定しています。CICS は「ELEMENT」および「NONE」のコンテンツ・モデルのみサポートします。他の値は、XML スキーマ以外のコンテンツ・モデルが使用されることを意味します。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS Web サービス支援機能を使用して、この WSDL 文書を処理することはできません。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9642 E WSDL メッセージ交換パターン *mep* はサポートされていません。操作 *operation* に関してこのパターンが指定されています。

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL 操作が、CICS でサポートされていないメッセージ交換パターンを指定しています。CICS は「In-Only」、「Robust-In-Only」、「In-Optional-Out」、および「In-Out」の MEP のみサポートします。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされない操作を WSDL 文書から除去することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9643 I This Web service requires a capability implied by URI *uri*. 適切な PIPELINE にインストールする必要があります。(It must be installed into an appropriate PIPELINE.)

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL サービスは、そのサービスに特定のランタイム機能が必要であることを示しています。この機能は URI で識別されます。この機能は必須です。

@QKC WSDL で識別される可能性のある機能の例として、MTOM/XOP の使用があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、URI で示された機能を特定し、適切に構成された PIPELINE に WSBind ファイルがインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9644 I This Web service supports a capability implied by URI uri.

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL サービスは、そのサービスで特定のランタイム機能がサポートされていることを示しています。この機能は URI で識別されます。この機能はオプションです。

@QKC WSDL で識別される可能性のある機能の例として、MTOM/XOP の使用があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、URI で示された機能を特定し、この機能を実装するように構成された PIPELINE に WSBind ファイルをデプロイすることを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9645 I Operation operation requires a capability implied by URI uri. 適切な PIPELINE にインストールする必要があります。(It must be installed into an appropriate PIPELINE.)

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL 操作は、その操作に特定のランタイム機能が必要であることを示しています。この機能は URI で識別されます。この機能は必須です。

@QKC WSDL で識別される可能性のある機能の例として、MTOM/XOP の使用があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、URI で示された機能を特定し、適切に構成された PIPELINE に WSBind ファイルがインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9646 I Operation operation supports a capability implied by URI uri.

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL 操作は、その操作で特定のランタイム機能がサポートされていることを示しています。この機能は URI で識別されます。この機能はオプションです。

@QKC WSDL で識別される可能性のある機能の例として、MTOM/XOP の使用があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、URI で示された機能を特定し、この機能を実装するように構成された PIPELINE に WSBind ファイルをデプロイすることを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9647 I The request message for operation operation requires a capability implied by URI uri. 適切な PIPELINE にインストールする必要があります。(It must be installed into an appropriate PIPELINE.)

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL メッセージは、そのメッセージに特定のランタイム機能が必要であることを示しています。この機能は URI で識別されます。この機能は必須です。

@QKC WSDL で識別される可能性のある機能の例として、MTOM/XOP の使用があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、URI で示された機能を特定し、適切に構成された PIPELINE に WSBind ファイルがインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9648 I The request message for operation operation supports a capability implied by URI uri.

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL メッセージは、そのメッセージで特定のランタイム機能がサポートされていることを示しています。この機能は URI で

識別されます。この機能はオプションです。

@QKC WSDL で識別される可能性のある機能の例として、MTOM/XOP の使用があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、URI で示された機能を特定し、この機能を実装するように構成された PIPELINE に WSBind ファイルをデプロイすることを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9649 I The response message for operation *operation* requires a capability implied by URI *uri*. 適切な PIPELINE にインストールする必要があります。(It must be installed into an appropriate PIPELINE.)

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL メッセージは、そのメッセージに特定のランタイム機能が必要であることを示しています。この機能は URI で識別されます。この機能は必須です。

@QKC WSDL で識別される可能性のある機能の例として、MTOM/XOP の使用があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、URI で示された機能を特定し、適切に構成された PIPELINE に WSBind ファイルがインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9650 I The response message for operation *operation* supports a capability implied by URI *uri*.

説明: DFHWS2LS で処理されている WSDL メッセージは、そのメッセージで特定のランタイム機能がサポートされていることを示しています。この機能は URI で識別されます。この機能はオプションです。

@QKC WSDL で識別される可能性のある機能の例として、MTOM/XOP の使用があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報提供のみを目的とするものです。Web サービスのデプロイメント担当者は、URI で示された機能を特定し、この機能を実装するように構成された PIPELINE に WSBind ファイルをデプロイすることを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9651 E パラメーター *parameter1* の値がパラメーター *parameter2* の値と両立しません。

説明: Web サービスまたは XML 支援機能の入力パラメーターに、競合する 2 つのパラメーター値が指定されました。処理を継続するには、これらの値の少なくとも 1 つを変更する必要があります。

例えば、WSDL_1_1 パラメーターと WSDL_2_0 パラメーターの両方に同じファイル名を指定することはできません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 指定された入力パラメーターを訂正し、操作を再試行してください。

モジュール: DFHWS2LS DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9652 W 必須なのにサポートされていない WSDL 拡張性エレメントが検出されました。エレメントのタイプは *type* です。

説明: DFHWS2LS は、認識されない拡張機能が含まれる WSDL 文書処理しました。これらの拡張機能は、それらが必ず認識されることを要求しています。

DFHWS2LS は、これらの WSDL 拡張機能の意味を認識しません。これらは、Web サービスのランタイム動作に影響を与える可能性があります。例えば、これらの拡張機能により、何らかの形式の追加処理が必要になることが示されている場合があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL に示された必須の拡張機能が重要かどうか検討してください。重要な場合、WSBind ファイルがデプロイされている PIPELINE に対して追加構成を実行することが必要になることがあります。

WSDL 文書で必須と示されている処理を実行するために、PIPELINE にハンドラー・プログラムを実行することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9653 W An unresolved PolicyReference element has been found and ignored. The URI associated with this PolicyReference is *uri*.

説明: DFHWS2LS は、WS-Policy PolicyReference エレメントが含まれる WSDL 文書処理しました。これらの参照の 1 つに、DFHWS2LS が解決できない場所を指す URI が含まれています。

DFHWS2LS は、現行の WSDL 文書内のポリシーに解決される PolicyReference URI のみをサポートします。このエレメントは、ルート XML エレメントの子である必要があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。未解決のポリシー参照は CICS WS-Policy ファイルに含まれません。

ユーザーの処置: ターゲット・ポリシーが重要かどうか検討してください。重要である場合、WSDL 文書を変更して、ターゲット・ポリシーがローカルに解決されるようにするか、該当する CICS WS-Policy ファイルを手動で編集して、関連する WS-Policy ステートメントを含めることができます。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9654 W サポートされていない Policy エレメントが見つかりました。このエレメントは、名前空間 *namespace* 内のタイプ *type* です。

説明: DFHWS2LS は、WS-Policy Policy エレメントが含まれる WSDL 文書処理しました。これらの Policy エレメントの 1 つは、CICS で直接サポートされていないタイプのエレメントです。

CICS は、WS-Security ポリシーに対するサポートのみ実装します。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。サポートされない Policy エレメントは CICS WS-Policy ファイルに含まれます。

ユーザーの処置: ポリシー・ステートメントの要件が適用されるようにするために、WSBind ファイルがデプロイされる PIPELINE の構成が必要になる場合があります。これには、PIPELINE 用の新規ハンドラー・プログラムの作成が必要になることがあります。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9655 E 提供された WSDL ファイルに **in-opt-out** のメッセージ交換パターンが含まれています。This is only supported when PGMINT is set to CHANNEL.

説明: DFHWS2LS は、オプションの応答を持つものとして定義された操作が含まれる WSDL 文書処理しました。この形式の WSDL 操作では、CICS チャンネルの使用が必要になります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CHANNEL の値を指定するように PGMINT パラメーターの値を変更してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9656 E WSDL ファイルにバインディング・エレメントが含まれていません。少なくとも 1 つの WSDL バインディングが必要です。

説明: DFHWS2LS は、バインディング・エレメントが含まれていない WSDL 文書処理しました。DFHWS2LS では、少なくとも 1 つの SOAP バインディングが WSDL 文書に存在する必要があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL バインディングを含むように WSDL 文書を変更してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9657 W WSDL ファイルに *elementType* エレメントが含まれていますが、*parameter* パラメーターが指定されていません。これらのエレメントは無視されます。

説明: DFHWS2LS または DFHSC2LS は、特定の入力パラメーターが設定されている場合にのみサポートされるタイプのコンテンツが含まれる WSDL スキーマ文書または XML スキーマ文書処理しました。例えば、WS-Policy コンテンツは、WSPOLICY-DIRECTORY が設定されている場合にのみサポートされます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。サポートされないコンテンツは無視されます。

ユーザーの処置: WSDL スキーマ文書または XML スキーマ文書が完全に処理されるようにするために、指定

DFHPI9658 E • DFHPI9663 E

されたパラメーターを使用することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9658 E ディレクトリー *directory* が読み取れません。

説明: UNIX ファイル・システムのディレクトリーにアクセスできません。これは、Web サービスまたは XML 支援機能の実行に使用されているユーザー ID にそのディレクトリー (または、その親ディレクトリーの 1 つ) の読み取り権限がないことが原因と考えられます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 使用されるユーザー ID に、示されたディレクトリーの読み取り権限が付与されていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9659 E ディレクトリー *directory* は有効なディレクトリーではありません。

説明: UNIX ファイル・システム内のディレクトリーが無効です。これは、指定された名前が、ディレクトリーではなく特定のファイルを示していることが原因と考えられます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 使用されるディレクトリーが有効であることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9660 I WS-Policy ファイル *file* が処理されました。

説明: WSPOLICY-DIRECTORY ファイルからの WS-Policy ファイルが DFHLS2WS によって処理されました。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この通知メッセージは無視しても問題ありません。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9661 E ファイル *file* は CICS WS-Policy ファイルではありません。

説明: 指定されたファイルの内容は、CICS WS-Policy ファイルとして認識されません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSPOLICY-DIRECTORY 内のファイルは、すべて CICS WS-Policy ファイルである必要があります。ファイルの訂正またはディレクトリーからの除去を検討してください。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9662 E WS-Policy ファイル *file* の処理中に例外がスローされました。例外メッセージ: *exception*。

説明: CICS WS-Policy @QKC ファイルの処理中に問題が発生しました。問題の性質が例外に示されています。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 例外からのメッセージを検討してください。そのメッセージに、修正を必要とする WS-Policy ファイル内の問題が示されている可能性があります。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9663 E 操作 *Operation* で SOAP MEP *specified_MEP* が指定されました。サポートされている SOAP MEP は *supported_MEP* のみです。

説明: WSDL 2.0 文書に、サポートされていない SOAP メッセージ交換パターン (MEP) を指定した操作が含まれていました。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: サポートされる SOAP メッセージ交換パターンを使用するように WSDL 文書を変更することを検討してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

**DFHPI9664 E The value specified for parameter
parameter is invalid. Valid values are:
values.**

説明: Web サービスまたは XML 支援機能のパラメーターの 1 つに無効な値が指定されました。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 再試行する前に、CICS Web サービスまたは XML 支援機能に渡されるパラメーター値を訂正してください。このパラメーターの許容値の詳細は、CICS Web サービスまたは XML 支援機能のログ・ファイル、および CICS Web サービスの資料に記載されています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS, DFHSC2LS, DFHLS2SC, DFHJS2LS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

**DFHPI9665 E The WSDL Binding for operation
Operation specifies an invalid message.
MessageFound was found, but
MessageExpected was expected.**

説明: WSDL 文書に、操作のバインディングが含まれていました。BindingOperation に指定されたメッセージと Operation に指定されたメッセージとの間に不一致があります。WSDL 文書は無効です。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WSDL 文書内のエラーを訂正し、DFHWS2LS を使用してその文書を再処理してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

**DFHPI9666 E A complexType can not contain
more than one 'any' type. Problem
found in type: 'typeName'.**

説明: XML の「any」が、XML スキーマ内の同じ構造内に 2 度定義されています。この状態は、minOccurs 属性と maxOccurs 属性を使用する場合を除き、DFHWS2LS および DFHSC2LS ではサポートされていません。

このメッセージは、2 つの xsd:any 構造が同じ xsd:sequence に出現する場合に出されることがあります。また、xsd:any であるかのように処理される構造がそのシーケンス内に出現する場合にもこのメッセージが出されることがあります。例えば、置換グループを持た

ない抽象 xsd:element が xsd:any を持つ同じシーケンスに出現すると、このメッセージが出されます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、WSDL 文書または XML スキーマを変更することを検討してください。例えば、問題のある XML 構成体を、サポートされる別のものに変更できます。一例として、xsd:any 構成体は DFHWS2LS と DFHSC2LS の両方でサポートされているため、マッピング・レベル 2.1 以降の他のほとんどの構成体の代わりとして使用できます。通常、このタイプの変更は、元の XML スキーマまたは WSDL 文書を使用して実装されているパートナー・プロセスとの相互運用性を損なわずに行うことができます。XML スキーマまたは WSDL の変更や簡素化が許容されない場合は、以下の他のオプションがあります。

- DFHWS2LS を使用している場合、ランタイム・レベル 2.1 以降では、XML-ONLY パラメーターを使用して、CICS 提供の XML 変換サービスをオプトアウトできます。これにより、生成される WSBIND ファイルは、アプリケーションが DFHWS-BODY コンテナ内の SOAP 本文を直接処理することを CICS に示します。
- Web サービス・プロバイダー・アプリケーションを実装している場合は、独自の XML 対応 SOAP アプリケーション・ハンドラーの作成を検討できます。
- Web サービス・リクエスター・アプリケーションを実装している場合は、DFHPIRT チャネルにリンク可能な SOAP インターフェースを使用する XML 対応アプリケーションの作成を検討できます。

問題のある XML 構成体を処理または省略するのに役立つ、他の製品が存在する可能性もあります。例えば、IBM の Rational Developer for System Z (RDz) 製品は、特定の XML 構成体を省略可能な「中間突き合わせ型」マッピング・シナリオをサポートしています。

モジュール: DFHWS2LS, DFHSC2LS, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

**DFHPI9667 E The supplied WSDL contains an
'any' or 'anyType' element. This is
only supported when 'PGMINT' is set
to 'CHANNEL'.**

説明: DFHWS2LS または DFHSC2LS は、xsd:any エレメントまたは xsd:anyType エレメントが含まれる XML スキーマを処理しました。これらの構造はサポートされていますが、XML コンテンツが実行時に別のコンテナに保管される結果となります。この場合、PGMINT=CHANNEL を使用する必要があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CHANNEL の値を指定するように PGMINT パラメーターの値を変更してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9668 E XML-ONLY パラメーターに無効な値が指定されました。有効な値は **TRUE** または **FALSE** です。

説明: XML-ONLY パラメーターに指定された値が無効です。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: XML-ONLY パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9669 E Global XML Element *element* not found.

説明: 指定されたグローバル・エレメントが、入力 WSDL スキーマ文書にも XML スキーマ文書にも見つかりません。

システムの処置: XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: ELEMENTS 入力パラメーターの値を訂正してください。

モジュール: DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9670 E No Global XML Elements or Types have been processed.

説明: 入力 WSDL 文書または XML スキーマに、処理すべき XML エレメントもタイプも含まれていませんでした。XSDBind ファイルを作成できません。

システムの処置: XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: エレメントまたはタイプが含まれる新規入力文書を提供してください。

モジュール: DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9671 E Mismatch between WS-Addressing Action and SOAP Action for operation operation.

説明: 示された操作に指定された WS-Addressing アクションが、SOAP アクション・エレメントの値と一致しません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WS-Addressing アクションと SOAP アクションとの操作間の不一致を訂正するか、SOAP アクションを除去してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9672 E Mismatch between WS-Addressing Endpoint Reference address and port address.

説明: WS-Addressing エンドポイント参照アドレスがポート・アドレスと一致しません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WS-Addressing エンドポイント参照アドレスとポート・アドレスの間の不一致を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9673 E WS-Addressing エンドポイント参照アドレスとエンドポイント・アドレスが一致しません。**(Mismatch between WS-Addressing Endpoint Reference address and endpoint address.)**

説明: WS-Addressing エンドポイント参照アドレスがエンドポイント・アドレスと一致しません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WS-Addressing エンドポイント参照アドレスとエンドポイント・アドレスの間の不一致を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9674 E Non-Abstract global XML Type *type* not found.

説明: 示されているグローバル・タイプは、入力 WSDL スキーマ文書にも XML スキーマ文書にも見つかりません。DFHSC2LS は、*type* という名前の `xsd:simpleType` または `xsd:complexType` を検出することを予想しています。この XML タイプは抽象タイプとして定義してはなりません。

システムの処置: XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: TYPES 入力パラメーターの値を訂正してください。

モジュール: DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9675 E Multiple WS-Addressing Endpoint References exist.

説明: 複数の WS-Addressing エンドポイント参照が、1 つの参照しか許可されていない選択済みサービス・バインディングで検出されました。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 無関係な WS-Addressing エンドポイント参照をサービス・エンドポイントまたはポートから除去してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9676 E The input data contains constructs that are only supported when 'PGMINT' is set to 'CHANNEL'.

説明: DFHWS2LS は、CICS コンテナが使用される結果となる構造が含まれる XML スキーマを処理しました。この場合、PGMINT=CHANNEL を使用する必要があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: CHANNEL の値を指定するように PGMINT パラメーターの値を変更してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9677 E Invalid WS-Addressing Endpoint Reference element *element*.

説明: サービス・バインディング内の WS-Addressing エンドポイント参照は、エンドポイント参照として正しい形式ではありません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を停止します。

ユーザーの処置: WS-Addressing エンドポイント参照の形式を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9679 E Invalid WS-Addressing Endpoint Reference element, 'address' element not found.

説明: サービス・バインディング内の WS-Addressing エンドポイント参照に、必須の「address」エレメントが含まれていません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を停止します。

ユーザーの処置: WS-Addressing エンドポイント参照の形式を訂正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9680 W The MINIMUM-RUNTIME-LEVEL is less than 3.0, the WS-Addressing content in the WSDL is ignored.

説明: WSDL に WS-Addressing エlementが含まれていますが、MINIMUM-RUNTIME-LEVEL が 3.0 未満です。WS-Addressing 拡張を処理するには、ランタイム・レベル 3.0 以上が必要です。生成される WSBind ファイルには、WS-Addressing 情報は含まれません。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: WS-Addressing 情報が必要な場合、MINIMUM-RUNTIME-LEVEL を 3.0 に設定してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9681 E 'WSADDR-EPR-ANY' パラメーターに無効な値が指定されました。有効な値は 'TRUE' または 'FALSE' です。

説明: WSADDR-EPR-ANY パラメーターに無効な値が指定されました。有効な値は TRUE または FALSE です。

値に TRUE を指定すると、WS-Addressing エンドポイント参照は xsd:Any タイプとして扱われます。値に FALSE を指定すると、エンドポイント参照は言語構造エレメントに分割されます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を停止します。

ユーザーの処置: WSADDR-EPR-ANY パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9682 W 'DFH' で開始するコンテナ名は、チャンネル記述文書で使用できません。問題は、コンテナ 'containerName' で生じています。

説明: 「DFH」で始まるコンテナ名を含むチャンネル記述文書が処理されました。この接頭部は、CICS が使用するために予約されており、アプリケーションで使用すると、予測不能な問題が発生する場合があります。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。サポートされないコンテンツは無視されます。

ユーザーの処置: 「DFH」コンテナをアプリケーション・インターフェースの一部として公開することが適切かどうかを検討してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC

宛先: SYSPRINT

DFHPI9683 W Bundle directory *dirName* already exists and may contain files that are inconsistent with the new Bundle manifest file.

説明: バンドル・ディレクトリーが、ファイル・システム内に既に存在するディレクトリーの上に作成されています。このディレクトリーにファイルが含まれている場合、それらのファイルは出力バンドル内に引き続き存在します。バンドルのマニフェスト・ファイルは、これらのファイルを参照しません。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能

は処理を続行します。サポートされないコンテンツは無視されます。

ユーザーの処置: バンドル・ディレクトリーから不要なファイルを除去することを検討してください。

モジュール: DFHLS2SC, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9684 W The value of the XSDBIND parameter indicates a directory name of *dirName*. This is ignored as the XSDBind file is being generated into a Bundle.

説明: XSDBind ファイルがバンドルに追加されています。XSDBind ファイルの名前が XSDBIND 入力パラメーターに指定され、さらに XSDBind ファイルのパスも指定されています。

BUNDLE の値を指定せずに XML 支援機能を使用されると、ファイルは指定されたパスに保管されます。BUNDLE の値が指定されている場合、XSDBind ファイルは、指定されたディレクトリーではなく BUNDLE 内に保管されます。

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: XSDBIND パラメーターの値からパスを除去することを検討してください。

モジュール: DFHLS2SC, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9685 E A language structure cannot be parsed. Please ensure that the statement terminator characters are correct and that any brackets are matched.

説明: DFHLS2WS 内のループを発生させる問題が見つかりました。この問題は、ソース・ファイル内の括弧の不一致が原因と考えられます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を停止します。

ユーザーの処置: コンパイラーを使用して言語構造を検証してください。報告されているエラー・メッセージをすべて修正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9686 W Structure *structureName* is ignored for container *containerName* as the container is defined as type 'char'.

説明: 構造化されたコンテンツを持つ文字ベースのコンテナを含むチャネル記述文書が処理されました。構造化されたコンテンツは、ビット・モード・コンテナでのみサポートされます。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を続行しますが、言語構造は無視されます。

ユーザーの処置: コンテナをビット・モードに変更することを検討してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9687 W Unexpected text *text* found in columns *start_column* to *end_column*. Text is ignored.

説明: 使用してはならない予期しないデータが列に含まれた言語構造が構文解析されました。This data is ignored.

システムの処置: Web サービスまたは XML 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連するプログラミング言語の通常の規則に従うように言語構造をフォーマット設定することを検討してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9688 E Unexpected End of Line condition encountered for line '*line*' of file *filename*.

説明: ファイル *filename* からの入力データの行が予期せずに終了しました。これは、言語構造内のエラーを示している可能性があります。

システムの処置: Web サービス支援機能は処理を停止します。

ユーザーの処置: 入力データを訂正してください。

このエラーの考えられる原因の 1 つは、COBOL PICTURE 節でピリオド文字が使用されていることです。これは現在サポートされておらず、後続の処理が正しく行われなくなることがあります。その結果、このメッセージが出される場合があります。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9689 E Bundle *directory*/*dirName* already exists and will not be replaced because OVERWRITE-OUTPUT=NO is specified.

説明: XML 支援機能は、BUNDLE パラメーターによって指定された場所に CICS バンドルが既に存在することを検出しました。OVERWRITE-OUTPUT=NO が指定されたか、デフォルト値を取るように設定されました。これにより、新しいバンドルを作成できなくなっています。

システムの処置: XML 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: バンドルを置き換える場合は、OVERWRITE-OUTPUT=YES を指定して XML 支援機能を再実行してください。既存のバンドルを置換しない場合は、BUNDLE パラメーターに別の場所を指定して再実行してください。

モジュール: DFHLS2SC, DFHSC2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9690 E File '*filename*' does not contain valid JSON. The problem is: '*exception*'.

説明: JSON スキーマ支援機能は、ファイル *filename* の内容が有効な JSON ではないことを検出しました。例外メッセージ *exception* で問題が識別されています。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正するか、関連する JSON_SCHEMA_xxx パラメーターのファイル名を変更してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9691 E JSON スキーマはサポートされていません。JSON スキーマでは JSON オブジェクトまたは JSON 配列が記述されていなければなりません。

説明: JSON スキーマ支援機能はサポートされない JSON スキーマを検出しました。JSON スキーマのルートは、単純なデータ・タイプや単純なデータ・タイプの配列ではなく、JSON オブジェクトまたは JSON オブジェクトの配列でなければなりません。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: JSON スキーマを変更することを検討してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9692 E JSON スキーマはサポートされていません。JSON スキーマでは、オブジェクト 'name' の単一ストリング値を持つ **"type"** キーワードが必要です。(A JSON schema requires a "type" keyword with a single string value for object 'name'.)

説明: JSON スキーマ支援機能は、サポートされないフィーチャーが JSON スキーマに含まれていることを検出しました。JSON スキーマでは、単一ストリング値を持つ **"type"** キーワードが必要です。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。各 JSON サブスキーマに、サポートされる単一の JSON 「type」を持つ「type」キーワードが含まれていることを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9693 E JSON スキーマが無効です。これには、未定義 JSON スキーマ **"type"** としての 'typevalue' が含まれます。

説明: JSON スキーマ支援機能は無効な JSON スキーマを検出しました。typevalue の JSON スキーマ「type」は定義されていません。予期される値は、「object」、「array」、「string」、「boolean」、「integer」および「number」です。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。typevalue の JSON スキーマ「type」を有効な値に置き換えてください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9694 E JSON スキーマはサポートされていません。JSON スキーマの **"type"** としての 'typevalue' はサポートされていません。

説明: JSON スキーマ支援機能は、サポートされないフィーチャーが JSON スキーマに含まれていることを検出しました。JSON スキーマの **"type"** としての typevalue はサポートされていません。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。typevalue の JSON スキーマ「type」をサポートされる値に置き換えてください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9695 E JSON スキーマはサポートされていません。JSON スキーマの **"type"** として **"properties"** キーワードを持たない **"object"** はサポートされていません。

説明: JSON スキーマ支援機能は、サポートされないフィーチャーが JSON スキーマに含まれていることを検出しました。「object」の JSON スキーマ「type」は、「properties」キーワードとともに指定した場合のみサポートされます。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。「object」の有効な「properties」キーワードを JSON サブスキーマに追加してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9696 E JSON スキーマが無効です。**"properties"** キーワードの値はオブジェクトである必要があります。

説明: JSON スキーマ支援機能は無効な JSON スキーマを検出しました。**"properties"** キーワードの値はオブジェクトである必要があります。このオブジェクトの各値は 1 つのオブジェクトでなければならない、各オブジェクトは有効な JSON スキーマでなければならない。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。すべての「properties」キーワードの値が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9697 E JSON スキーマが無効です。**"required"** キーワードの値は配列である必要があります。

説明: JSON スキーマ支援機能は無効な JSON スキーマを検出しました。**"required"** キーワードの値は配列である必要があります。この配列には 1 つ以上のエレメントが含まれていなければなりません。この配列のエレメントはストリングでなければならない、固有でなければならない。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。すべての「required」キーワードの値が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9698 E JSON スキーマはサポートされていません。**JSON** スキーマ **"type"** **"array"** で **"items"** キーワードのないものは、配列 **"arrayName"** ではサポートされていません。(A JSON schema "type" of "array" without an "items" keyword is not supported for array "arrayName".)

説明: JSON スキーマ支援機能は、サポートされないフィーチャーが JSON スキーマに含まれていることを検出しました。「type」は「array」であるが、単一の JSON サブスキーマを含む「items」キーワードのない JSON スキーマはサポートされていません。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。「array」に対する有効な「items」キーワードを JSON サブスキーマに追加してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9699 E COMP-1 フィールドと **COMP-2** フィールドでは、**PICTURE** ストリングはサポートされていません。フィールド **"fieldName"** で問題が見つかりました。

説明: タイプが COMPUTATIONAL-1 または COMPUTATIONAL-2 のいずれかで、PICTURE ストリングを含む COBOL フィールドが検出されました。この組み合わせはサポートされていません。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: COBOL フィールドを訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9700 E JSON スキーマはサポートされていません。**JSON** スキーマ **"type"** として **"additionalProperties"** キーワードを持つ **"object"** は、値 **false** でのみサポートされています。

説明: JSON スキーマ支援機能は、サポートされないフィーチャーが JSON スキーマに含まれていることを検出しました。「type」が「object」の JSON スキーマでは、false の値が指定された「additionalProperties」キーワードのみがサポートされます。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。

「additionalProperties」キーワードの値を false に変更してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9701 E JSON スキーマはサポートされていません。**JSON** スキーマのキーワード **'keyword'** はサポートされていません。

説明: JSON スキーマ支援機能は、サポートされないキーワードが JSON スキーマに含まれていることを検出しました。JSON スキーマ・キーワード「:mv.keyword:emv.」はサポートされていません。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。「:mv.keyword:emv.」キーワードを除去してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9702 E JSON スキーマはサポートされていません。**JSON** スキーマ **"type"** として **"additionalItems"** キーワードを持つ **"array"** は、値 **false** でのみサポートされています。

説明: JSON スキーマ支援機能は、サポートされないフィーチャーが JSON スキーマに含まれていることを検出しました。「type」が「array」の JSON スキーマで

は、false の値が指定された「additionalItems」キーワードのみがサポートされます。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。
「additionalItems」キーワードの値を false に変更してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9703 E JSON スキーマが無効です。JSON スキーマのキーワード 'keyword' を使用するには、キーワード 'required' が存在する必要があります。

説明: JSON スキーマ支援機能は、JSON スキーマにキーワード「:mv.keyword:emv.」が含まれているにもかかわらず、必須キーワード「:mv.required:emv.」が欠落していることを検出しました。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。
「:mv.keyword:emv.」キーワードを除去するか、必須キーワード「:mv.required:emv.」を追加してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9704 W JSON スキーマのキーワード 'keyword' は認識されず、無視されます。

説明: JSON スキーマ支援機能は、JSON スキーマに認識されないキーワード「:mv.keyword:emv.」が含まれていることを検出しました。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は続行し、このキーワードを無視します。

ユーザーの処置: 「:mv.keyword:emv.」キーワードが支援機能で処理される必要がない場合、このメッセージは無視して構いません。そうでない場合は、キーワードのスペルが正しく、大文字化が適切かどうかを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9705 E JSON スキーマが無効です。JSON スキーマのキーワード "required" には、"properties" キーワードにないエレメント 'missing' が含まれています。

説明: JSON スキーマ支援機能は、JSON スキーマの「required」キーワードに「properties」にないエレメントが含まれていることを検出しました。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: ファイルを訂正してください。
「required」キーワードから「:mv.missing:emv.」エレメントを除去するか、それらのエレメントを「porpoerties」キーワードに追加してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9706 E JSON スキーマが無効です。配列の JSON スキーマのキーワード 'keyword' の値が正しくありません。

説明: JSON スキーマ支援機能は、JSON スキーマのキーワード「:mv.keyword:emv.」に正しくない値が含まれていることを検出しました。配列のサイズを制限するには、キーワード「maxItems」の値 (存在する場合) を必ず 0 より大きい値に設定する必要があります。この値が存在しない場合は、配列のサイズが無制限であることを意味します。キーワード「minItems」の値 (存在する場合) は、0 以上かつ「maxItems」の値以下でなければなりません。この値が存在しない場合は、配列はオプションであり、エレメントが含まれていない可能性があることを意味します。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 「:mv.keyword:emv.」キーワードまたは関連するキーワードの値を訂正または除去して、値が有効であることを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9707 E JSON スキーマが無効です。整数の JSON スキーマ・キーワード "maximum" または "minimum" の値が正しくありません。

説明: JSON スキーマ支援機能は、JSON スキーマの「maximum」キーワードまたは「minimum」キーワードに正しくない値が含まれていることを検出しました。整数の値を制限するには、「minimum」キーワードが存在しないか負の値の場合は、キーワード

「maximum」の値は 9223372036854775807 以下で、キーワード「minimum」の値は -9223372036854775808 以上でなければなりません。「minimum」キーワードの値が正の値の場合、キーワード「maximum」の値は

18446744073709551615 以下でなければなりません。

「maximum」キーワードと「minimum」キーワードの両方が存在する場合は、「maximum」キーワードの値は「minimum」キーワードの値以上でなければなりません。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 「:mv.keyword:emv.」キーワードまたは関連するキーワードの値を訂正または除去して、値が有効であることを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9708 W タイプ '*type*' のオブジェクト '*name*' の JSON スキーマ形式 '*format*' は認識されておらず、無視されます。(The JSON schema *format* '*format*' for object '*name*' of type '*type*' has not been recognized and will be ignored.)

説明: JSON スキーマ支援機能は、「type」が「:mv.type:emv.」のエレメントを処理しているときに、JSON スキーマの「format」キーワードに認識されない値「:mv.format:emv.」が含まれていることを検出しました。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は続行し、このキーワードを無視します。

ユーザーの処置: 「:mv.keyword:emv.」キーワードが支援機能で処理される必要がない場合、このメッセージは無視して構いません。そうでない場合は、キーワードのスペルが正しく、大文字化が適切かどうかを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9709 E JSON スキーマが無効です。ストリングの JSON スキーマのキーワード "**maxLength**" または "**minLength**" の値が正しくありません。

説明: JSON スキーマ支援機能は、JSON スキーマの「maxLength」キーワードまたは「minLength」キーワードに正しくない値が含まれていることを検出しました。ストリングの長さを制限するには、「minLength」キーワードが存在する場合は、その値を 0 以上の値にする必要があります。「maximum」キーワードが存在する場合は、その値を必ず 0 より大きい値にする必要があります。「maxLength」と「minLength」の両方のキーワードが存在する場合は、「maxLength」キーワー

ドの値を「minLength」キーワードの値以上に設定する必要があります。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 「:mv.keyword:emv.」キーワードまたは関連するキーワードの値を訂正または除去して、値が有効であることを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9710 E JSON スキーマが無効です。JSON スキーマのキーワード '*keywords*' に JSON スキーマ "**format**" '*format*' との互換性がありません。

説明: JSON スキーマ支援機能は、「format」の値「:mv.format:emv.」と矛盾するキーワード「:mv.keywords:emv.」が JSON スキーマに含まれていることを検出しました。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: キーワード「:mv.keywords:emv.」を除去してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9711 W 正しくない可能性がある整数が読み取られました。数値 '*number*' は整数 '*integer*' に丸められます。

説明: JSON スキーマ支援機能は、JSON スキーマで整数が必要な場所に数値「:mv.number:emv.」を検出しました。支援機能はその値を整数「:mv.integer:emv.」に丸めました。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 値「:mv.integer:emv.」が JSON スキーマで使用されている元の値と同じであることを確認してください。これが同じ値ではなく、元の絶対値が非常に大きい値である場合は、その数値を二重引用符文字で囲ってみてください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9712 W JSON スキーマ **"type"** が **"decimal"** 形式の **"number"** の場合、表示が 18 桁に制限されます。

説明: JSON スキーマ支援機能は、「type」が「number」、および「format」が「decimal」であり、同じ数の10進数に表すことができず、合計で 18 桁しか使用できない「maximum」値と「minimum」値を持つエレメントを検出しました。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は、合計の最大桁数が 18 桁になるように、10 進数の桁数を減らしました。

ユーザーの処置: 「decimal」形式の数値タイプで 사용되는「maximum」値と「minimum」値が同じ精度で書き込まれることを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9713 E JSON スキーマ **"type"** が **"decimal"** 形式の **"number"** の場合、絶対値が **1.0E19** に制限されます。

説明: JSON スキーマ支援機能は、「type」が「number」、および「format」が「decimal」であり、18 桁で表すことができない「maximum」値または「minimum」値を持つエレメントを検出しました。これは、10 進数の絶対値のサイズに関する制限事項です。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 「decimal」形式の数値タイプで 사용되는「maximum」値と「minimum」値が、1.0E19 より小さいこと、すなわち 18 桁を超えないことを確認してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9714 E JSON スキーマ・エレメント **'element'** は、マルチディメンション配列を定義しています。このため、少なくともマッピング・レベル 4.3 を有効にする必要があります。**(JSON schema element 'element' defines a multi-dimensional array, this requires at least mapping level 4.3 to be enabled.)**

説明: JSON スキーマ支援機能は、「type」が「array」であるエレメント **:mv.element:emv.** が、「type」が「array」であるサブスキーマで定義されてい

ることを検出しました。これは、4.3 未満のマッピング・レベルではサポートされません。

システムの処置: JSON スキーマ支援機能は終了します。

ユーザーの処置: MAPPING-LEVEL=4.3 を指定することを検討してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9715 E 予期していたキーワード **'keyword'** が行 **'line'** にありません。

説明: 予期していたキーワードが言語構造内にありません。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 言語構造を訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9716 E フィールド **'name'** が配列 **'array'** で見つかりませんでした。

説明: COBOL 言語構造内の OCCURS DEPENDING ON 節のターゲット・フィールドが見つかりません。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 言語構造を訂正してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9717 E OCCURS DEPENDING ON フィールド **'name'** の後に、サポートされない内容が見つかりました。

説明: CICS 支援機能は、複合ではない OCCURS DEPENDING ON 節のみサポートします。この制限は、OCCURS DEPENDING ON フィールドが配列内に出現してはならないこと、およびこのフィールドの後にさらにフィールドが存在してはならないことを意味します。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: COBOL 言語構造を簡素化して、複合 OCCURS DEPENDING ON 節を除去してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9718 E OCCURS DEPENDING ON を使用するには、**DATA-TRUNCATION=ENABLED** を使用する必要があります。

説明: COBOL で OCCURS DEPENDING ON フィールドを使用するには、DATA-TRUNCATION パラメーターが ENABLED に設定されている必要があります。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: DATA-TRUNCATION=ENABLED を指定して、支援機能を再実行してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9719 E OCCURS DEPENDING ON 節を指定したグループ項目 'name' の後に、サポートされない内容が見つかりました。

説明: CICS 支援機能は、複合ではない OCCURS DEPENDING ON 節のみサポートします。この制限は、OCCURS DEPENDING ON 節を持つ構造が配列内に出現してはならないこと、およびこのフィールドの後にさらにフィールドが存在してはならないことを意味します。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: COBOL 言語構造を簡素化して、複合 OCCURS DEPENDING ON 節を除去してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9720 E Unsupported keyword
"UNBOUNDED" found in an
OCCURS clause.

説明: CICS 支援機能は「OCCURS」節で「UNBOUNDED」キーワードをサポートしません。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 「UNBOUNDED」キーワードを、アプリケーションで予期されるテーブルの最大サイズを指定する整数値で置き換えてください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9721 W assistant を使用する際には、パラメーター **CCSID=1200** はサポートされません。

説明: パラメーター CCSID=1200 (UTF-16BE) は、

DFHJS2LS、DFHSC2LS、または DFHWS2LS が使用されている場合のみサポートされます。

システムの処置: 支援機能は処理を続行し、パラメーターを無視して、CCSID をデフォルト値に設定します。

ユーザーの処置: DFHLS2JS、DFHLS2SC、または DFHLS2WS で UTF-16 ストリングを使用するには、CCSID を EBCDIC コード・ページに設定し、言語構造内の該当するフィールド定義を使用してください。

モジュール: DFHLS2WS, DFHLS2SC, DFHLS2JS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9722 E パラメーター CHAR-
MULTIPLIER=value と CCSID=1200 を
 組み合わせて指定することはできません。

説明: CHAR-MULTIPLIER パラメーターの値は、CCSID=1200 (UTF-16BE) が指定されている場合、2 または 4 でなければなりません。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: CHAR-MULTIPLIER パラメーターの値を訂正し、支援機能を再実行してください。

モジュール: DFHJS2LS, DFHSC2LS, DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9723 E パラメーター LANG=PLI-OTHER を
 使用する際には、**UTF-16** はサポートされません。

説明: CCSID=1200 が指定されています。しかし、パラメーター LANG=PLI-OTHER を使用する場合は、UTF-16 はサポートされません。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: LANG パラメーターまたは CCSID パラメーターの値を訂正し、支援機能を再実行してください。

モジュール: DFHJS2LS, DFHSC2LS, DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9724 E タイプ ¥"type¥" に必要な最小マッピング
 グ・レベルは ¥"required-mapping-level¥"
 ですが、マッピング・レベル
 ¥"actual-mapping-level¥" が指定されまし
 た。(Type ¥"type¥" requires a
 minimum mapping level of
 ¥"required-mapping-level¥", but mapping
 level ¥"actual-mapping-level¥" was
 specified.)

説明: 指定されたマッピング・レベルではサポートされていないデータ・タイプが言語構造で使用されました。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: マッピング・レベルを高くするか、サポートされないデータ・タイプを除去してください。

モジュール: DFHLS2JS, DFHLS2SC, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9725 W CICS abstime データ・タイプが使用されました。(A CICS abstime data type has been used.) このデータ・タイプは、タイム・ゾーン関連データの変換エラーを引き起こす可能性があります。(This data type can experience time-zone related data conversion errors.)

説明: CICS abstime データ・タイプが使用されました。データ変換時に CICS 領域のタイム・ゾーンおよび夏時間調整の特性を考慮する必要があるため、このデータ・タイプは問題がある可能性があります。タイム・ゾーン構成が異なる環境でデータ変換が発生する場合、データ値が破損する恐れがあります。例えば、CICS JVMSERVER でデータ変換が行われる場合、JVM は CICS と同じタイム・ゾーンを使用するように構成されている必要があります。

システムの処置: 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: DATETIME=UNUSED (DFHLS2JS の場合) または DATETIME=STRING (DFHJS2LS の場合) を指定することを検討してください。

モジュール: DFHLS2JS, DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9726 E 最小境界 "*minimum*" が最大境界 "*maximum*" より大きいです。(Minimum bound "*minimum*" is greater than maximum bound "*maximum*".)

説明: 最小境界が最大境界より大きい無効な TO フィールドを含む COBOL 言語構造が処理されました。

システムの処置: 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: COBOL 言語構造の問題を訂正してください。

モジュール: DFHLS2JS, DFHLS2SC, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9727 E 最小境界 "*minimum*" がゼロ未満です。(Minimum bound "*minimum*" is less than zero.)

説明: 最小境界がゼロより小さい無効な TO フィールドを含む COBOL 言語構造が処理されました。

システムの処置: 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: COBOL 言語構造の問題を訂正してください。

モジュール: DFHLS2JS, DFHLS2SC, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9728 E JSON ポインターは、ローカル参照 ¥"*pointer*¥" に解決される場合にのみサポートされます。(JSON Pointers are only supported if they resolve to a local reference: ¥"*pointer*¥".)

説明: 外部ドキュメントに解決される JSON ポインターがスキーマ内に見つかりました。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: サポートされていないポインターを除去してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9729 E JSON ポインターを解決できませんでした: ¥"*pointer*¥"。(JSON Pointer could not be resolved: ¥"*pointer*¥".)

説明: 解決できなかった JSON ポインターが検出されました。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 未解決のポインターを訂正してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9730 E CICS コンテナの使用は禁止されているため、選択した入力パラメーターを使用して入力スキーマを処理できません。

説明: JSON スキーマの処理で、生成された言語構造内の CICS コンテナを使用する必要が生じました。これは、ユーザー・エージェントによって明示的に禁止されています。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 処理対象の JSON スキーマを変更するか、他の入力パラメーターを使用して処理をカスタマイズすることにより、コンテナの使用を回避できる可能性があります。コンテナが JSON 配列に使用されるのを回避するには、DEFAULT-ARRAY-MAXITEMS パラメーターと INLINE-MAXOCCURS-LIMIT パラメーターの使用を検討してください。コンテナが長いデータ値に使用されるのを回避するには、DEFAULT-CHAR-MAXLENGTH パラメーターと CHAR-VARYING-LIMIT パラメーターの使用を検討してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9731 E 空の列挙リストは、オブジェクト `\name\` ではサポートされていません。
(Empty enum lists are not supported for object `\name\`.)

説明: JSON スキーマに、有効なメンバーがない列挙が含まれています。この制約はサポートされていません。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: JSON スキーマを確認し、問題のある列挙を訂正してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9732 E 列挙コンテンツ・タイプ `\type\` は、オブジェクト `\name\` ではサポートされていません。(Unsupported enum content type of `\type\` for object `\name\`.)

説明: JSON スキーマに、JSON オブジェクトや JSON 配列など、サポートされないタイプのコンテンツが指定された列挙が含まれています。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: JSON スキーマを確認し、問題のある列挙のコンテンツを変更することを検討してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9733 E オブジェクト `\name\` の列挙に、競合するデータ・タイプが含まれています。
(Enum for object `\name\` contains conflicting data types.)

説明: JSON スキーマに、さまざまなコンテンツ・タイプの列挙が含まれています。列挙は、そのコンテンツが

同じデータ・タイプ (例えば、各値が String) である場合にのみサポートされます。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: JSON スキーマを確認し、問題のある列挙のコンテンツを変更することを検討してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9734 E オブジェクト `\name\` の列挙の処理中に予期しない問題が発生しました:
`\exception\`。(Unexpected problem processing enum for object `\name\`: `\exception\`.)

説明: JSON スキーマの列挙の処理中に、予期しない問題が発生しました。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: さらに支援が必要な場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9735 E `\object\` 内のキー `\key\` で一致しない値が見つかりました。値 `\value1\` と `\value2\` に互換性がありません。
(Mismatching values found for key `\key\` within `\object\`, values `\value1\` and `\value2\` are not compatible.)

説明: JSON オブジェクトの同じ属性において、競合する 2 つの値が見つかりました。DFHJS2LS は、両方の値を設定する操作をサポートしていません。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: 問題のある値を避けるために、JSON スキーマを単純化することを検討してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9736 E オブジェクト `\object\` のプロパティの処理中に予期しない問題が発生しました:
`\exception\`。(Unexpected problem processing properties for object `\object\`: `\exception\`.)

説明: JSON オブジェクトの処理中に例外がキャッチされました。

システムの処置: 支援機能は終了します。

DFHPI9737 W • DFHPI9802 E

ユーザーの処置: さらに支援が必要な場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9737 W オブジェクト `\parent\` 内のオブジェクト `\child\` で複数のプロパティ・セットが見つかりました。マージすると不完全なマッピングになる可能性があります。**(Multiple property sets have been found for object `\child\` within object `\parent\`. Merging may result in an imperfect mapping.)**

説明: JSON オブジェクトで複合定義が検出されました。DFHJS2LS は、関連するスキーマ特性を複合フォームにマージしようとします。

システムの処置: 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題のある値を避けるために、JSON スキーマを単純化することを検討してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9738 W オブジェクト `\object\` 内のキーワード `\key\` で複数の値が見つかりました。マージすると不完全なマッピングになる可能性があります。**(Multiple values have been found for keyword `\key\` within object `\object\`. Merging may result in an imperfect mapping.)**

説明: JSON オブジェクトで複合定義が検出されました。DFHJS2LS は、関連するスキーマ特性を複合フォームにマージしようとします。

システムの処置: 支援機能は処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題のある値を避けるために、JSON スキーマを単純化することを検討してください。

モジュール: DFHJS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9739 E レベルの増分 `\levelInc\` を使用すると、無効な COBOL レベル番号 `\levelNumber\` が指定されます。**(Using a level increment of `\levelInc\` gives an invalid COBOL level-number of `\levelNumber\`.)**

説明: COBOL データ構造を作成するときに、汎用レベル番号が COBOL で許可される限度の 49 より大きい

フィールドが検出されました。

システムの処置: 支援機能は終了します。

ユーザーの処置: レベルの増分が 1 より大きい場合は、SERVICE="LEVELINC=n" パラメーターを使用してレベルの増分を n に指定した値まで減らし、支援機能を再実行してください。

モジュール: DFHJS2LS, DFHSC2LS, DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9800 E サービス・レジストリー・クライアントが初期化されていません。**(The Service Registry Client has not been initialized.)**

説明: WSRR クライアントが初期化されていないため、WSRR Web サービス要求を送信できません。

システムの処置: WSRR との対話は実行されませんでした。

ユーザーの処置: IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9801 E 名前、名前空間、およびバージョンが一致している文書がレジストリー内に既に存在します。公開のステップは実行されませんでした。

説明: 生成された WSDL 文書の公開を試みているときに、同じ名前、名前空間、およびバージョンの別の WSDL 文書が見つかりました。

システムの処置: WSDL 文書は WSRR に公開されません。

ユーザーの処置: 別の WSRR-VERSION パラメーター値を使用してツールを実行するか、WSRR に保管されている WSDL 文書が正しくない場合は、それを除去してからツールを再実行してください。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9802 E レジストリー・エンドポイントの設定に失敗しました。

説明: エンドポイントの設定に失敗しました。

システムの処置: WSRR との対話は実行されませんでした。DFHWS2LS の処理は実行されませんでした。Web サービス・バインディング・ファイルおよび生成

された WSDL 文書がファイル・システムに存在しません。

ユーザーの処置: WSRR-SERVER パラメーター値が正しいホストおよびポートに設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9803 W 250 を超えるカスタム・プロパティーが定義されています。先頭から **250** 番目までが使用されます。

説明: 250 個を超えるカスタム・プロパティーがツール入力で指定されました。サポートされるプロパティーの最大数は 250 です。

システムの処置: 最初の 250 個のカスタム・プロパティーを使用して、公開が継続されます。

ユーザーの処置: ツール入力に指定するカスタム・プロパティーの数を減らしてください。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9804 E When retrieving a document from a registry a fault was returned with message *faultMessage*.

説明: WSRR によって SOAP 障害が返されました。

システムの処置: WSRR との対話は実行されませんでした。DFHWS2LS の処理は実行されませんでした。

ユーザーの処置: WSRR-SERVER パラメーター値が正しいホストおよびポートに設定されていることを確認してください。SOAP 障害で返されるメッセージを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9805 E An attempt to retrieve a document from a registry failed with reason *failReason*.

説明: WSRR への Web サービス要求が失敗しました。

システムの処置: WSRR との対話は実行されませんでした。DFHWS2LS の処理は実行されませんでした。

ユーザーの処置: WSRR-SERVER パラメーターで指定されたサーバーが実行されていることを確認してください。WSRR-SERVER パラメーター値が正しいホストおよびポートに設定されていることを確認してください。

セキュリティを使用している場合、無効な資格情報が原因でこのエラーが発生する可能性があります。

WSRR-USERNAME と WSRR-PASSWORD が正しく設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9806 E 指定された場所に **WSDL** ファイルが見つかりませんでした。

説明: 生成された WSDL 文書が見つかりませんでした。

システムの処置: WSDL 文書は WSRR に公開されません。

ユーザーの処置: IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9807 E 指定された **CCSID** で **WSDL** ファイルを読み取れません。**(The WSDL file can not be read in the ccsid specified.)**

説明: 生成された WSDL 文書を読み取れませんでした。

システムの処置: WSDL 文書は WSRR に公開されません。

ユーザーの処置: サポートされている CCSID に CCSID パラメーター値を設定してください。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9808 E The WSDL file could not be used due to an IOException.

説明: 生成された WSDL 文書を読み取れませんでした。

システムの処置: WSDL 文書は WSRR に公開されません。

ユーザーの処置: 生成された WSDL が書き込まれるディレクトリーのアクセス権が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9809 E When querying a registry a fault was returned with message *faultMessage*.

説明: WSRR によって SOAP 障害が返されました。

システムの処置: WSRR との対話は実行されませんでした。DFHWS2LS の処理は実行されませんでした。DFHLS2WS では、Web サービス・バインディング・ファイルおよび生成された WSDL 文書がファイル・システムに存在します。

ユーザーの処置: WSRR-SERVER が正しいホストおよびポートに設定されていることを確認してください。SOAP 障害で返されるメッセージを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9810 E An attempt to query a registry failed with reason *failReason*.

説明: WSRR への Web サービス要求が失敗しました。

システムの処置: WSRR との対話は実行されませんでした。DFHWS2LS の処理は実行されませんでした。DFHLS2WS では、Web サービス・バインディング・ファイルおよび生成された WSDL 文書がファイル・システムに存在します。

ユーザーの処置: WSRR-SERVER パラメーター値で指定されたサーバーが実行されていることを確認してください。WSRR-SERVER パラメーター値が正しいホストおよびポートに設定されていることを確認してください。セキュリティを使用している場合、無効な資格情報が原因でこのエラーが発生する可能性があります。WSRR-USERNAME と WSRR-PASSWORD のパラメーター値が正しく設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9811 I The document *docName* has been found in the registry with unique identifier *docURL*.

説明: 名前が示されている文書がレジストリーで見つかりました。

システムの処置: 処理は通常どおりに続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9812 W 照会に一致する文書が複数見つかりました。最初のものが使用されます。

説明: レジストリーの照会時に名前、名前空間、およびバージョンに一致する複数の文書が見つかりました。最初の文書が使用されます。

システムの処置: WSRR によって返された最初の文書を使用して処理は続行されます。

ユーザーの処置: 言語構造を作成するために正しい WSDL 文書が使用されていることを確認してください。使用されている WSDL 文書が正しくない場合は、WSRR-NAMESPACE パラメーターと WSRR-VERSION パラメーターを使用して、レジストリーの照会時に検出された WSDL 文書の数減らしてください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9813 E When publishing to a registry a fault was returned with message *faultMessage*.

説明: WSRR によって SOAP 障害が返されました。

システムの処置: WSRR との対話は実行できません。Web サービス・バインディング・ファイルおよび生成された WSDL 文書が作成されました。

ユーザーの処置: WSRR-SERVER パラメーターが正しいホストおよびポートに設定されていることを確認してください。SOAP 障害で返されるメッセージを確認してください。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9814 E An attempt to publish to a registry failed with reason *failReason*.

説明: WSRR への Web サービス要求が失敗しました。

システムの処置: WSRR との対話は実行できません。Web サービス・バインディング・ファイルおよび生成された WSDL 文書が作成されました。

ユーザーの処置: WSRR-SERVER パラメーターに指定されたサーバーが実行されていることを確認してください。WSRR-SERVER パラメーターが正しいホストおよびポートに設定されていることを確認してください。セキュリティを使用している場合、無効な資格情報が原因でこのエラーが発生する可能性があります。

WSRR-USERNAME パラメーターと WSRR-PASSWORD パラメーターの値が正しく設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9815 I Starting requesttype Web service request.

説明: Web サービス要求が送信されることを示すメッセージがログに書き込まれます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9816 I Response received for requesttype Web service request.

説明: Web サービス要求が応答を正常に受信したことを示すメッセージがログに書き込まれます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9817 I The WSRR-SERVER location is wsrrserver.

説明: WSRR-SERVER パラメーターが設定された値を示すメッセージがログに書き込まれます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9818 I Custom property set with name propertyname and value propertyvalue.

説明: カスタム・プロパティの名前と値を示すメッセージがログに書き込まれます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9819 I Starting write of file filename.

説明: WSRR から取得した、名前が示されているファイルが、ファイル・システムに書き込まれようとしています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9820 E An IOException occurred when attempting to write file filename.

説明: WSRR から取得したファイルが、メッセージに示された場所に書き込まれませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ツールの書き込み権限を許可するように、メッセージに示されたディレクトリーのアクセス権を変更してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9821 E No document matched name filename, namespace xmlns, and version version.

説明: パラメーター WSRR-NAME、WSRR-NAMESPACE、および WSRR-VERSION に指定された値に一致する WSDL 文書が WSRR に見つかりませんでした。

システムの処置: 処理する WSDL 文書がありません。処理は終了します。

ユーザーの処置: パラメーター WSRR-NAME、WSRR-NAMESPACE、および WSRR-VERSION の値を、WSRR 内の WSDL 文書に一致する値に変更してください。

モジュール: DFHWS2LS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9822 E The parameter parameterName has an invalid value of value.

説明: 名前が示されているパラメーターが無効な値に設定されています。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 有効な値を使用するようにパラメーターを変更してください。WSRR-SERVER のフォーマットは「protocol://hostname:port」です。

DFHPI9823 W • DFHPR0105I

モジュール: DFHWS2LS, DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPI9823 W Publishing of WSDL 2.0 documents to WSRR is not supported. The document *documentName* has not been published.

説明: 生成された WSDL 2.0 文書が WSRR に公開されていません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: WSRR への WSDL 2.0 文書の公開は、CICS Web サービス支援機能ではサポートされていません。生成された Web サービス・バインディング・ファイルおよび WSDL 2.0 文書は使用可能な状態です。

モジュール: DFHLS2WS

宛先: SYSPRINT

DFHPRnnnn メッセージ

DFHPR0101I *date time applid* The table entry for partner *ptnrname* has been replaced.

説明: これは、パートナー・リソース・マネージャーが、*ptnrname* パートナー用の既存のテーブル項目を新しいテーブル項目に置き換えたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPRPT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ptnrname*

宛先: CSRL

partner *ptnrname* has been deleted.

説明: これは、パートナー・リソース・マネージャーが *ptnrname* パートナーのテーブル項目を削除したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPRPT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ptnrname*

宛先: CSRL

DFHPR0102I *date time applid* The table entry for partner *ptnrname* has been added.

説明: これは、パートナー・リソース・マネージャーが *ptnrname* パートナーの新規テーブル項目を追加したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPRPT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ptnrname*

宛先: CSRL

DFHPR0104I *applid* Partner resource manager initialization has started.

説明: これは、パートナー・リソース・マネージャーの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHPRIN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPR0105I *applid* Partner resource manager initialization has ended.

説明: これは、パートナー・リソース・マネージャーの初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、SIT パラ

DFHPR0103I *date time applid* The table entry for

1222 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

メーターの MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHPRIN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPR0106I *applid* Partner resource manager initialization has failed.

説明: パートナー・リソース・マネージャーの初期設定が失敗しました。

システムの処置: このメッセージの後にメッセージ DFHSH1522 が出されます。CICS は、メッセージ DFHSH1522 に対するオペレーターの応答によって、終了するか、または初期設定を続行します。障害の検出時に例外トレース項目が書き込まれます。パートナ

DFHPSnnnn メッセージ

DFHPS5366 *applid* The system spooling interface initialization program DFHPSIP is not present.

説明: CICS は DFHPSIP ヘリンクしようとしたが、DFHPSIP が CICS プログラム・ライブラリー内になかったため、その試みは失敗しました。

システムの処置: CICS は、システム・スプーラーの初期設定を終了します。

ユーザーの処置: DFHPSIP を CICS プログラム・ライブラリーに入れてください。

モジュール: DFHSHJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHPS5393 *date time applid* トランザクション *tranid* は、システム・スプール上のデータ・セットをクローズせずに終了しました。(date time *applid* Transaction *tranid* ended without closing data set on system spool.)

説明: トランザクション *tranid* は、JES インターフェース・データ・セットをクローズしませんでした。JES 入力インターフェースを使用できるトランザクションは 1 度に 1 つだけなので、他のトランザクションは不必要に遅れることがあります。

システムの処置: CICS は、入力データ・セットに KEEP オプションを指定するか、出力データ・セットに

ー・リソース・マネージャーの初期設定によって呼び出された他の CICS コンポーネントも、メッセージを出したり、またはトレース項目を書き込む場合があります。

ユーザーの処置: CICS がパートナー・リソース・マネージャーなしで実行を続行することができるかどうかを判断し、それにしたがってメッセージ DFHSH1522 に応答してください。例外トレース項目に含まれるデータを手始めに、パートナー・リソース・マネージャーが初期設定に失敗した理由についても調べる必要があります。

モジュール: DFHPRIN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DELETE オプションを指定して、デフォルトの CLOSE を実行します。

ユーザーの処置: トランザクションが終了する前、できれば入力データ・セット上で ENDFILE 条件が発生した直後に、トランザクションが SPOOLCLOSE を発行するようプログラムを変更してください。

モジュール: DFHPSPDW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHPS5394 *date time applid* A storage error has occurred in JES interface subtask, the JES interface has been disabled.

説明: CICS JES インターフェース・サブタスクによって発行された MVS FREEMAIN マクロが失敗しました。動的ストレージ域 (DSA) ストレージを使用可能な状態に保つために、CICS は、MVS ユーザー異常終了 0170 によって JES インターフェース・サブタスクを終了しました。

システムの処置: CICS は、NOSPOOL 応答により後続の SPOOL コマンドを拒否します。

ユーザーの処置: CICS は引き続き正常に実行され (SPOOL コマンドの拒否以外)、スプーリング要件が重大でない限り CICS の実行を継続することができます。

JES インターフェースを再始動するには、CICS をシャットダウンして、ウォーム・リスタート (SIT で START=AUTO を指定するか、初期設定の指定変更として) を実行します。MVS ダンプを使用して、問題の原因を突き止めてください。ダンプでは、レジスター 6 は ABEND の前の命令をアドレス指定します。通常、レジスター 2 にはアドレスが格納され、レジスター 0 には解放される領域の長さが格納されます。

DFHPTnnnn メッセージ

DFHPT0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。
- ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックがあった。

コード *aaa* は、該当する場合、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コードです (例えば、0C1 または D37)。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁コード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトのいずれかによって作成されたユーザー異常終了コードです。

X'offset' に値 *X'FFFF'* が入っている場合には、異常終了時にモジュール *modname* に制御があったことを意味しますが、プログラム状況ワード (PSW) はこのモジュールをアドレッシングしていませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。 たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。 この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

モジュール: DFHPSPST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS コード *aaa* がある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

modname 挿入部に値 *????* が入っている場合には、どのモジュールが異常終了したのか CICS が判別できなかったことを意味します。この場合、システム・ダンプを調べて、コードのどの部分がプログラム・チェックが発生させたのかを判別してください。

ユーザーは他のメッセージを調べて、このメッセージを出したモジュールが異常終了発生時に何をしていたかを判別してください。 これらのメッセージから、どのプロダクトが異常終了コード *bbbb* を出したのかを論理的に推測することができます。 *bbbb* が CICS コードとして識別された場合には、英数字または数値のいずれかになります。

- CICS コードが英数字 (例えば AKEA) の場合には、CICS トランザクション異常終了コードを表している。
- CICS コードが数値 (たとえば、1310) の場合には、CICS メッセージを表している (たとえば、DFHTS1310)。

ユーザー異常終了コードが別のプロダクトからのコード (例えば、IMS) である場合には、該当するメッセージおよびコードの資料を参照して、異常終了の原因を判別してください。

該当する資料の各項目は、ユーザーにエラーの性質に関する手引きを提供します。さらに、適切なユーザー処置に関する手引きについても提供することがあります。

注: ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックが発生した可能性があります。 この場合には、通常、プログラム・チェックの次に ASRA トランザクション異常終了または ASRB トランザクション異常終了が続き、さらにトランザクション・ダンプが作成されます。

ASRA 異常終了および ASRB 異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、CEMT コマンドまたは EXEC CICS コマンドを使用して、ダンプ・テーブル内の項目にこれを指定する必要があります。システム・ダンプの抑止についての詳細は、「構成」で説明されています。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPTDM, DFHPTTW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHPT0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: トレース・テーブル内に例外項目が作成されます (メッセージ内の *X'code'*)。ダンプ・テーブル

ルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム管理者に知らせてください。この障害は、CICS 内に重大エラーがあることを示しています。ダンプ・テーブルで終了を要求していなければ、CICS を終了させることもできます。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHPTDM, DFHPTTW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHRDnnnn メッセージ

DFHRD0101 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL PROGRAM(*progrname*)

説明: プログラム *progrname* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*

7. *progrname*

宛先: CRDI

DFHRD0102 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL MAPSET(*mapsetid*)

説明: マップ・セット *mapsetid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*

5. *userid*
6. *tranid*
7. *mapsetid*

宛先: CRDI

DFHRD0103 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL PARTITIONSET(*partitionsetid*)

説明: 区分セット *partitionsetid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *partitionsetid*

宛先: CRDI

DFHRD0104 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL TRANSACTION(*transid*)

説明: トランザクション *transid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *transid*

宛先: CRDI

DFHRD0105 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL PROFILE(*profilid*)

説明: プロファイル *profilid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *profilid*

宛先: CRDI

DFHRD0106 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL FILE(*fileid*)

説明: ファイル *fileid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *fileid*

宛先: CRDI

DFHRD0107 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL LSRPOOL(*lsrname*)

説明: Lsrpool *lsrname* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *lsrname*

宛先: CRDI

DFHRD0108 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL PARTNER(*partner-name*)

説明: パートナー *partner-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *partner-name*

宛先: CRDI

DFHRD0109 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL TRANCLASS(*traclassid*)

説明: トランザクション・クラス *traclassid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *traclassid*

宛先: CRDI

DFHRD0110 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL TDQUEUE(*tdqueueid*)

説明: 一時データ・キュー *tdqueueid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tdqueueid*

宛先: CRDI

DFHRD0111 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL JOURNALMODEL
(*journalmodelid*)

説明: ジャーナル・モデル *journalmodelid* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*

7. *journalmodelid*

宛先: CRDI

DFHRD0112 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL DB2CONN(*db2conn-name*)

説明: DB2CONN *db2conn-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2conn-name*

宛先: CRDI

DFHRD0113 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL DB2ENTRY(*db2entry-name*)

説明: DB2ENTRY *db2entry-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2entry-name*

宛先: CRDI

DFHRD0114 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL DB2TRAN(*db2tran-name*)

説明: DB2TRAN *db2tran-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *db2tran-name*

宛先: CRDI

DFHRD0115 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL PROCESSTYPE(*processtype-name*)

説明: PROCESSTYPE *processtype-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *processtype-name*

宛先: CRDI

DFHRD0116 *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL TSMODEL(*tsmodel-name*)

説明: TSMODEL *tsmodel-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *tsmodel-name*

宛先: CRDI

DFHRD0117 *date time applid terminal userid trandid*
INSTALL ENQMODEL(*enqmodel-name*)

説明: ENQMODEL *enqmodel-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *enqmodel-name*

宛先: CRDI

DFHRD0118 I *date time applid terminal userid trandid*
INSTALL REQUESTMODEL(*rqmodel-name*)

説明: REQUESTMODEL *rqmodel-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *rqmodel-name*

宛先: CRDI

DFHRD0119 I *date time applid terminal userid trandid*
INSTALL DOCTEMPLATE(*doctemplate-name*)

説明: DOCTEMPLATE *doctemplate-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *doctemplate-name*

宛先: CRDI

DFHRD0120 I *date time applid terminal userid trandid*
INSTALL TCPIPService(*tcipSERVICE-name*)

説明: TCPIPService *tcipSERVICE-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*

6. *tranid*
7. *tcpipservice-name*

宛先: CRDI

DFHRD0121 I *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL CORBASERVER(*corbaserver-name*)

説明: CORBASERVER *corbaserver-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *corbaserver-name*

宛先: CRDI

DFHRD0122 I *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL DJAR(*djar-name*)

説明: DJAR *djar-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *djar-name*

宛先: CRDI

DFHRD0123 I *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL URIMAP(*urimap-name*)

説明: URIMAP *urimap-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *urimap-name*

宛先: CRDI

DFHRD0124 I *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL PIPELINE(*pipeline-name*)

説明: PIPELINE *pipeline-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *pipeline-name*

宛先: CRDI

DFHRD0125 I *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL WEBSERVICE(*webservice-name*)

説明: WEBSERVICE *webservice-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *webservice-name*

宛先: CRDI

DFHRD0126 I *date time applid terminal userid trandid*
INSTALL IPCONN(*ipconn-name*)

説明: IPCONN *ipconn-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *ipconn-name*

宛先: CRDI

DFHRD0127 I *date time applid terminal userid trandid*
INSTALL LIBRARY(*library-name*)

説明: LIBRARY *library-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *library-name*

宛先: CRDI

DFHRD0128 I *date time applid terminal userid trandid*
INSTALL BUNDLE(*bundle-name*)

説明: BUNDLE *bundle-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *bundle-name*

宛先: CRDI

DFHRD0129 I *date time applid terminal userid trandid*
INSTALL ATOMSERVICE(*atomservice-name*)

説明: ATOMSERVICE *atomservice-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *trandid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *trandid*
7. *atomservice-name*

宛先: CRDI

DFHRD0130 I *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL MQCONN(mqconn-name)

説明: MQCONN *mqconn-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *mqconn-name*

宛先: CRDI

DFHRD0131 I *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL JVMSERVER(jvmserver-name)

説明: JVMSERVER *jvmserver-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *jvmserver-name*

宛先: CRDI

DFHRD0132 I *date time applid terminal userid tranid*
INSTALL MQMONITOR(mqmonitor-name)

説明: MQMONITOR *mqmonitor-name* が、ユーザー ID *userid* によって、端末 *terminal* でトランザクション *tranid* を使用して CICS にインストールされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *mqmonitor-name*

宛先: CRDI

DFHRLnnnn メッセージ

DFHRL0001 *applid* **An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで

埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。 このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、実行を続行し、適当な時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを続行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRLBR, DFHRLDM, DFHRLPK, DFHRLRG, DFHRLRS, DFHRLVP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHRL0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイ

ン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性あることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRLBR, DFHRLDM, DFHRLPK, DFHRLRG, DFHRLRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHRL0101 E *date time applid tranid* The CICS resource lifecycle manager encountered an error while trying to link to program *program_name*. {The program abended. | The program was not defined. | The program was not enabled. | The program was not loadable. | これ以上の詳細はありません。}

説明: CICS リソース・ライフサイクル登録クラス DFHRLRG がプログラム *program_name* にリンクできなかったか、リンクされたプログラムが異常終了しました。

システムの処置: リnkは中止されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: リンクされたプログラムの PROGRAM リソース定義が正しいことを確認してください。さらに表示可能な情報がないことをメッセージが

DFHRL0102 E • DFHRL0104 E

報告している場合は、トレースを参照してください。

モジュール: DFHRLRG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *program_name*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=プログラムが異常終了しました。
2=プログラムが定義されていません。
3=プログラムが使用可能になっていません。
4=プログラムをロードできません。
5=これ以上の詳細はありません。

宛先: CRLO

DFHRL0102 E *date time applid trandid* **The CICS resource lifecycle manager failed to create the resource *resource_name* and returned with reason *reason*.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・リソース・クラス DFHRLRS は、リソース *resource_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、リソースは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: メッセージに示されている問題を修正します。さらに表示可能な情報がないことをメッセージが報告している場合は、トレースを参照してください。

モジュール: DFHRLRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *resource_name*
6. *reason*

宛先: CRLO

DFHRL0103 E *date time applid trandid* **The CICS resource lifecycle manager failed to create the BUNDLE resource *bundle_name* because the manifest *manifest_file* {was not found. | is invalid.}**

説明: バンドル・ルート・ディレクトリー内のマニフェスト *manifest_file* が見つからなかったか無効なため、CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は BUNDLE リソース *bundle_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、BUNDLE リソースは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: BUNDLE リソース定義にルート・ディレクトリーが正しく指定され、マニフェストが有効であることを確認してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *bundle_name*
6. *manifest_file*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=見つからなかったことが原因です。
2=無効だったことが原因です。

宛先: CRLO

DFHRL0104 E *date time applid trandid* **The CICS resource lifecycle manager failed to create the BUNDLE resource *bundle_name* because CICS is not authorized to read the resource *path_name* defined in the bundle manifest.**

説明: バンドル・マニフェストに定義されているリソース *path_name* に対するアクセス権が不十分なため、CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は BUNDLE リソース *bundle_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、BUNDLE リソースは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: ルート・ディレクトリーのマニフェスト定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. *path_name*

宛先: CRLO

DFHRL0105 E *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager failed to create the BUNDLE resource *bundle_name* because the resource *path_name* defined in the bundle manifest was not found.**

説明: バンドル・マニフェストに定義されているリソース *path_name* が見つからなかったため、CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は BUNDLE リソース *bundle_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、BUNDLE リソースは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: ルート・ディレクトリーのマニフェスト・ファイル定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. *path_name*

宛先: CRLO

DFHRL0106 E *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager failed to create the BUNDLE resource *bundle_name* because CICS is not authorized to read the manifest *manifest_file* in the root directory of the bundle.**

説明: バンドルのルート・ディレクトリー内のマニフェスト *manifest_file* に対するアクセス権が不十分なため、CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は BUNDLE リソース *bundle_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、BUNDLE リソースは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行します。

ユーザーの処置: バンドル定義のルート・ディレクトリーが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. *manifest_file*

宛先: CRLO

DFHRL0107 I *date time applid userid* **The CICS resource lifecycle manager has started to create the BUNDLE resource *bundle_name*.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* の作成を開始しました。これはバンドルを作成するために、ルート・ディレクトリー内にあるマニフェストを読み取って、必要なリソースを作成します。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *bundle_name*

宛先: CRLO

DFHRL0108 I *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager is in the process of creating the BUNDLE resource *bundle_name* and the BUNDLE is in the state state.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・リソース・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* を作成中で、BUNDLE は *state* 状態にあります。

システムの処置: CICS は BUNDLE の作成を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. *state*

宛先: CRLO

DFHRL0109 I *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager has created the BUNDLE resource *bundle_name* and the BUNDLE is in the *state* state.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・リソース・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* の作成を完了しました。BUNDLE は *state* 状態にあります。

インストールされているバンドルが ENABLED 状態である場合、使用する準備ができています。

バンドルが DISABLED 状態でインストールされている可能性がある理由は、いくつかあります。

- BUNDLE リソースが STATUS(DISABLED) と定義されている可能性がある。
- バンドルの内容に問題があった可能性がある。
- バンドル内で定義されているリソースの作成に問題があった可能性がある。
- バンドルで参照された依存関係に問題があった可能性がある。

依存関係が満たされていないために BUNDLE リソースを有効な状態でインストールできなかった場合、BUNDLE リソースの状態は、欠落している依存関係が満たされると自動的に変更されることがあります。この理由で BUNDLE リソース状態が変更された場合は、メッセージ DFHRL0127 が発行されます。

システムの処置: 作成プロセスが終了しました。CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: BUNDLE リソースが ENABLED の場合、これ以上の処置は不要です。

BUNDLE リソースが DISABLED の場合、CICS は問題を文書化した他のメッセージを発行します。それらのメッセージを探して、問題を修正してください。

インポート済みリソースへの依存性が満たされていない場合、インポート済みリソースを、それを参照する BUNDLE リソースよりも前に CICS にインストールすると、このメッセージは回避できます。

欠落しているインポート済みリソースが後でインストールされて ENABLED になると、BUNDLE リソースの状態は、次のリフレッシュ時に ENABLED に変更されます。BUNDLE リソースを参照または照会することで、状態のリフレッシュを起動できます。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. *state*

宛先: CRLO

DFHRL0110 E *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager has failed to create the BUNDLE resource *bundle_name*.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスが終了しました。エラー処理は続行されます。

ユーザーの処置: 詳細については、以前に発行された DFHRLXXXX メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*

宛先: CRLO

DFHRL0111 E *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager failed to create the resource *resource_name* because the resource type *resource_type* has not been registered.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・リソース・クラス DFHRLRS は、*resource_type* リソース・タイプを処理するためのプログラムが登録されていないため、リソース *resource_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、リソースは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行されます。

ユーザーの処置: リソース・タイプを処理するためのプログラムが CICS リソース・ライフサイクル・マネージャーに登録されていることを確認してください。

モジュール: DFHRLRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *resource_type*

宛先: CRLO

DFHRL0112 E *date time applid tranid* **The encoding of the manifest *manifest_name* in the root directory of the bundle *bundle_name* is not valid.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、バンドルのルート・ディレクトリー内のマニフェスト *manifest_name* のエンコード方式が有効でないため、バンドル *bundle_name* の作成に失敗しました。予期される値は UTF-8 です。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、バンドルは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行されます。

ユーザーの処置: マニフェストのエンコード方式が UTF-8 であることを確認してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *manifest_name*

6. *bundle_name*

宛先: CRLO

DFHRL0113 E *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager failed to create the BUNDLE resource *bundle_name* because CICS failed to parse the manifest *manifest_name* specified in the bundle root directory.**
{The manifest is not valid. | Failed to convert the manifest. | The specified bundleVersion is not supported. | The specified bundleRelease is not supported. | The specified id contains invalid characters. | The specified bundleMajorVer is invalid. | The specified bundleMinorVer is invalid. | The specified bundleMicroVer is invalid. | Bundle ID mismatch. | Bundle version mismatch.}

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、バンドルのルート・ディレクトリー内のマニフェスト *manifest_name* を CICS が構文解析できなかったため、バンドル *bundle_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、バンドルは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行されます。

ユーザーの処置: マニフェストが CICS による構文解析の対象として有効であることを確認してください。マニフェスト要素の属性が正しく指定されていることを確認してください。

- *bundleVersion* のサポートされる値は 1 です。
- *bundleRelease* のサポートされる値は 0 です。
- *bundleMajorVer*、*bundleMinorVer*、および *bundleMicroVer* は、正の整数値です。

詳細については、このメッセージおよび以前に発行された DFHPIXXXX メッセージで報告される情報を参照してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *bundle_name*
6. *manifest_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= マニフェストは有効ではありません。
 2= マニフェストの変換に失敗しました。
 3= 指定された *bundleVersion* はサポートされていません。
 4= 指定された *bundleRelease* はサポートされていません。
 5= 指定された *ID* には無効文字が含まれています。
 6= 指定された *bundleMajorVer* は無効です。
 7= 指定された *bundleMinorVer* は無効です。
 8= 指定された *bundleMicroVer* は無効です。
 9= バンドル *ID* が一致しません。
 10= バンドル・バージョンが一致しません。

宛先: CRLO

DFHRL0114 W *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager detected a missing import for BUNDLE *resource_name*. Import name: *import_name* type: *import_type* .**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・クラス DFHRLRS は、BUNDLE *resource_name* に、現在使用可能かつ有効でないインポート済みリソースに対する依存関係が含まれていることを検出しました。依存関係は、アクティブな警告メッセージで定義されています。インポート済み依存関係名は *import_name* であり、そのタイプは *import_type* です。

システムの処置: インポート済み依存関係が必須として定義されている場合、インポートが使用可能かつ有効になるまで BUNDLE は無効な状態です。

ユーザーの処置: この問題を回避するために、インポート済みリソースが、それを参照する BUNDLE リソースをインストールする前に CICS にインストールされていることを確認してください。

インポート済みリソースの名前とタイプが、BUNDLE マニフェスト・ファイルに正しく指定されていることを確認してください。

欠落しているインポート済みリソースが後でインストールされて ENABLED になると、BUNDLE リソースの状態は、次のリフレッシュ時に ENABLED に変更される場合があります。BUNDLE リソースを参照または照会することで、状態のリフレッシュを起動できます。これが発生した場合、メッセージ DFHRL0126 が発行されます。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *import_name*
7. *import_type*

宛先: CRLO

DFHRL0115 W *date time applid tranid* **BUNDLE *bundle_name* を {使用可能に | 使用不可に | 破棄} しようとしたが、失敗しました。そのバンドルの定義済みのリソースが 1 つ以上 {ENABLED の状態になっている | UNUSABLE の状態になっている | DISABLED の状態でない} ことが原因です。**

説明: BUNDLE *bundle_name* に対して要求された操作を実行できませんでした。BUNDLE で定義されている 1 つ以上のリソースが、この操作を許可しない状態にあります。

システムの処置: この警告メッセージが出されます。操作は実行されません。

ユーザーの処置: 1 つ以上のリソースが ENABLED 状態である場合、操作を再試行する前に BUNDLE を無効にしてください。1 つ以上のリソースが UNUSABLE 状態である場合、実行できるのは BUNDLE を無効にして破棄することのみです。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 有効
 2= 無効
 3= 破棄

6. *bundle_name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= ENABLED 状態
 2= UNUSABLE 状態
 3= DISABLED 状態

宛先: CRLO

DFHRL0116 E *applid* The CICS resource lifecycle bundle class failed to re-create the BUNDLE resource *bundle_name* because the manifest *manifest_file* specified in the bundle was not found.

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、マニフェスト *manifest_file* がバンドル META-INF サブディレクトリーで検出されなかったため、BUNDLE リソース *bundle_name* をリカバリーできませんでした。

システムの処置: 再作成プロセスが終了し、BUNDLE リソースが CICS カタログから削除されます。

ユーザーの処置: バンドルを再デプロイしてください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *bundle_name*
3. *manifest_file*

宛先: コンソール

DFHRL0117 E *applid* The CICS resource lifecycle bundle class failed to re-create the BUNDLE resource *bundle_name* because CICS is not authorized to read the manifest *manifest_file*.

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、バンドルの META-INF サブディレクトリー内のマニフェスト *manifest_file* に対する十分なアクセス権限がないため、BUNDLE リソース *bundle_name* の再作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスが終了し、BUNDLE リソースが CICS カタログから削除されます。

ユーザーの処置: バンドルを再デプロイしてください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *bundle_name*
3. *manifest_file*

宛先: コンソール

DFHRL0118 E *applid* The CICS resource lifecycle bundle class has failed to re-create the BUNDLE resource *bundle_name*.

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* の再作成に失敗しました。

システムの処置: BUNDLE リソースは再作成されず、CICS カタログから削除されます。

ユーザーの処置: バンドルを再デプロイしてください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *bundle_name*

宛先: コンソール

DFHRL0119 E *applid* The CICS resource lifecycle bundle class failed to re-create the BUNDLE resource *bundle_name* because of failed consistency checks with the manifest *manifest_file*.

説明: マニフェスト・ファイル *manifest_file* の整合性検査が失敗したため、CICS は BUNDLE リソース *bundle_name* の再作成に失敗しました。整合性検査は、同じバージョンの BUNDLE が以前に CICS で使用されていたように再インストールされたことを検査するために使用されます。このメッセージは、CICS が以前にインストールされたバージョンをリカバリーできないことを示します。

このメッセージは、新しいバージョンのバンドルが zFS にコピーされてはいても、CICS の再始動前にインストールされていなかったために出されることがあります。更新されたバンドルの内容で古い zFS ファイルが置き換えられたため、CICS は以前使用されていたバージョンにリカバリーすることができません。このような問題は通常、バンドルにバージョン番号付けスキームを使用することで回避できます。更新されたバンドルのバージョン番号が新しい場合は、通常、別の zFS ディレクトリーにデプロイされ、CICS は再始動後に古いバージョンをリカバリーすることができます。

インストール済みバンドルの zFS ディレクトリー構造を上書きすると、システム保全性のリスクが生じることがあります。一部のシステム・プログラマーのアクションが原因で、CICS が構成ファイルを zFS から再読み取りする場合があります。zFS 構造が上書きされた場合、CICS は、予期したバージョンより新しいバージョンのファイルを読み取る可能性があります。インストール済みバンドルに対して安全に更新を行うための 2 つ

の手段があります。1) BUNDLE リソースを破棄してから再インストールする。2) BUNDLE PHASEIN メカニズムを使用する。これらの手段により、CICS の再始動時に DFHRL0119 メッセージが発行されることなくシステム保全性が維持されるような方法で、バンドルがリフレッシュされます。

これらの手段が使用されない場合、既にインストールされたバンドルの zFS ディレクトリーが更新されると、更新された zFS 構造からの構成ファイルが、システム・プログラマーのアクションの副次作用として CICS にプルされる場合があります。例えば、BUNDLE を無効化してから有効化すると、一部のファイルが再読み取りされる場合があります。JVMSERVER を無効化してから有効化すると、OSGIBUNDLE および関連パーツが再ロードされる場合があります。これにより、CICS の一部分では更新されたバンドル・コンテンツが使用され、CICS の他の部分では古いバンドル・コンテンツが使用される、というシナリオになる場合があります。このシナリオは、後で CICS を再始動したときに DFHRL0119 メッセージが出されるまで検出されない可能性があります。

システムの処置: BUNDLE は DISABLED 状態で作成されます。

ユーザーの処置: BUNDLE を破棄し、再インストールしてください。新しいバージョンのバンドルの開発に使用するプロセスを変更することを検討してください (例えば、バンドルのバージョン番号を更新します)。新しいバージョンのバンドルをデプロイするためのプロセスを変更することを検討してください (例えば、新しいバージョンを zFS にコピーする前に CICS 内の BUNDLE を破棄します)。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *bundle_name*
3. *manifest_file*

宛先: コンソール

DFHRL0120 W *date time applid tranid* **The import of resource *resource_name* of type *type_name* for BUNDLE resource *bundle_name* failed as the resource was not available in an enabled state.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・クラス DFHRLRS は、タイプ *type_name* のインポート・リソース *resource_name* が使用可能かつ有効ではないことを検出しました。

システムの処置: この警告メッセージが出されます。

ユーザーの処置: リソースが使用可能かつ有効ではない理由を調べてください。リソースがその後に使用可能になると、バンドルの状態は変更される可能性があり、メッセージ DFHRL0126 が発行されます。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *type_name*
7. *bundle_name*

宛先: CRLO

DFHRL0121 W *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager detected a <{define | import | export | modify}> name was not provided for BUNDLE *bundle_name* with resource type *type_name*.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・クラス DFHRLPK は、BUNDLE *bundle_name* にリソース定義が含まれており、その名前が指定されていないことを検出しました。

システムの処置: この警告メッセージが出されます。BUNDLE は無効な状態でインストールされている可能性があります。

ユーザーの処置: コンポジット名が BUNDLE マニフェスト・ファイル内で正しく指定されていることを確認してください。指定されたリソースが使用可能かつ有効な状態であることを確認してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 定義
2= インポート
3= エクスポート
4= 変更

6. *bundle_name*

7. *type_name*

宛先: CRLO

DFHRL0122 E *applid* The CICS resource lifecycle manager failed to re-create the resource *resource_name* for BUNDLE resource *bundle_name*.

説明: CICS リソース・ライフサイクル・リソース・クラス DFHRLRS は、BUNDLE リソース *bundle_name* のリソース *resource_name* の再作成に失敗しました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。このリソースは再作成されませんが、処理は続行されます。

ユーザーの処置: バンドルを再デプロイしてください。

モジュール: DFHRLRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resource_name*
3. *bundle_name*

宛先: コンソール

DFHRL0123 E *applid* The CICS resource lifecycle manager failed to acquire PROGRAM *program_name* for BUNDLE resource *bundle_name*.

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* の PROGRAM *program_name* の獲得に失敗しました。CSD グループの DFHRL および DFHPIPE は、すべての BUNDLE リソースがインストールされる前にインストールする必要があります。これらのグループの 1 つが GRPLIST システム初期設定パラメーターから欠落している可能性があります。

システムの処置: バンドルのインストールは失敗しますが、エラー処理は続行されます。

ユーザーの処置: 必要なリソース定義がインストールされていることを確認してください。定義が GRPLIST システム初期設定パラメーターのリストからインストールされている場合は、指定された定義が、BUNDLE リソースを含むどのグループよりも前にリストされていることを確認してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *program_name*

3. *bundle_name*

宛先: コンソール

DFHRL0124 E *date time applid tranid* The CICS resource lifecycle manager failed to create resource *resource_name* of type *type_name* for BUNDLE *bundle_name*.

説明: CICS リソース・ライフサイクル・マネージャーは、BUNDLE *bundle_name* に対してタイプ *resource_type* のリソース *resource_name* を作成できませんでした。

システムの処置: バンドルは無効な状態でインストールされています。

ユーザーの処置: 詳細については、前のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHRLPK, DFHRLRG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *resource_name*
6. *type_name*
7. *bundle_name*

宛先: CRLO

DFHRL0125 I *date time applid userid* BUNDLE resource *bundle_name* is being created with BUNDLEID *bundle_id* and version *bundle_major_ver.bundle_minor_ver.bundle_micro_ver*.

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* を、BUNDLEID *bundle_id* およびバージョン *bundle_major_ver.bundle_minor_ver.bundle_micro_ver* を指定して作成します。BUNDLEID およびバージョンは、BUNDLE のルート・ディレクトリーにあるマニフェスト・ファイルから抽出されます。バージョンは、MAJORVERSION.MINORVERSION.MICROVERSION と指定されます。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *bundle_name*
6. *bundle_id*
7. *bundle_major_ver*
8. *bundle_minor_ver*
9. *bundle_micro_ver*

宛先: CRLO

DFHRL0126 I *date time applid tranid* **The {import | modifier} of resource resource_name of type type_name for BUNDLE resource bundle_name has changed to {enabled | disabled} state.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・クラス DFHRLRS は、タイプ *type_name* のリソース *resource_name* が状態を変更したことを検出しました。

リソースはインストール済み、有効、無効、または破棄のいずれかになっている可能性があります。CICS は BUNDLE リソースの状態を断続的に (通常は BUNDLE に対する INQUIRE または BROWSE アクション中に) リフレッシュします。このメッセージは、状態変更が検出されたことを示します。変更は、BUNDLE 状態が最後にリフレッシュされて以降、およびこのメッセージが発行される前までの、いずれかの時点で発生した可能性があります。

システムの処置: バンドル・パーツ・リソースへの変更がバンドルの総合的な状態に影響を与える場合は、BUNDLE リソースの状態が変更されます。これが発生した場合、メッセージ DFHRL0127 が発行されます。

例えば、インポートされたリソースが無効になった場合、BUNDLE リソースも無効になります。ただし、インポートされたリソースが有効である場合、BUNDLE リソースは BUNDLE に他の未解決の問題がない場合にのみ、有効になります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRLRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

- 1= インポート
2= 修飾子

6. *resource_name*
7. *type_name*
8. *bundle_name*
9. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 有効
2= 無効

宛先: CRLO

DFHRL0127 I *date time applid tranid* **The state of BUNDLE bundle_name has changed to {enabled | disabled} state.**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* が状態を変更したことを検出しました。

CICS は BUNDLE リソースの状態を断続的に (通常は BUNDLE に対する INQUIRE または BROWSE アクション中に) リフレッシュします。変更は、BUNDLE 状態が最後にリフレッシュされて以降、およびこのメッセージが発行される前までの、いずれかの時点で発生した可能性があります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 発行された他のメッセージを参照して、バンドルの状態が変更された理由を把握してください。このメッセージは、メッセージ DFHRL0126 と一緒に発行されることがよくあり、それが詳細情報を示している可能性もあります。

モジュール: DFHRLRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 有効
2= 無効

宛先: CRLO

DFHRL0128 I *date time applid userid* **CICS** リソース・ライフ・サイクル・マネージャーは、**BUNDLE** *bundle_name* の作成を開始しました。バンドル **ID** は *bundle_id*、バージョンは *bundle_major_ver*.
bundle_minor_ver.*bundle_micro_ver*、アプリケーション *application_id* のバージョンは *appl_major_ver*.*appl_minor_ver*.
appl_micro_ver、プラットフォームは *platform_id* です。

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* の作成を、プラットフォーム *platform_id* 上で、アプリケーション (ID *application_id*、バージョン *appl_major_ver.appl_minor_ver.appl_micro_ver*) の一部として、バンドル (ID *bundle_id*、バージョン *bundle_major_ver.bundle_minor_ver.bundle_micro_ver*) から開始しました。これはバンドルを作成するために、ルート・ディレクトリー内にあるマニフェストを読み取って、必要なリソースを作成します。CICS は BUNDLE リソースの固有有名を動的に生成しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *bundle_name*
6. *bundle_id*
7. *bundle_major_ver*
8. *bundle_minor_ver*
9. *bundle_micro_ver*
10. *application_id*
11. *appl_major_ver*
12. *appl_minor_ver*
13. *appl_micro_ver*
14. *platform_id*

宛先: CRLO

説明: バンドル定義の BASESCOPE 属性が無効であるため、CICS リソース・ライフサイクル・マネージャーは BUNDLE *bundle_name* の作成に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、バンドルは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行されます。

ユーザーの処置: BASESCOPE 属性を修正し、BUNDLE を再インストールしてください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*

宛先: CRLO

DFHRL0130 *date time applid userid tranid bundlename*
の **BUNDLE** 定義が破棄されました。

説明: これは、BUNDLE 定義 *bundlename* が破棄されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *bundlename*

宛先: CRLO

DFHRL0129 E *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager failed to create BUNDLE *bundle_name* because the BASESCOPE attribute is invalid.**

DFHRL0131 E *date time applid tranid BUNDLE bundle_name failed to update the resource resource_name of type resource_type because CICS does not support {entry points | policy scopes} for this resource type.*

説明: CICS リソース・ライフサイクル・リソース・クラス DFHRLRS は、CICS がタイプ *resource_type* のリソースによるエントリー・ポイントおよびポリシーの有効範囲に対する更新をサポートしていないため、バンドル *bundle_name* 内のリソース *resource_name* の更新に失敗しました。

システムの処置: 作成プロセスは終了し、リソース修飾子は失敗状態に設定されます。エラー処理は続行されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイル内の関連する <modify> ステートメントを修正してください。BUNDLE を破棄し、再インストールしてください。

モジュール: DFHRLRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. *resource_name*
7. *resource_type*
8. 以下のオプションから選択される値。

1= エントリー・ポイント
2= ポリシーの有効範囲

宛先: CRLO

DFHRL0132 I *date time applid tranid All defined resources for BUNDLE bundle_name are now in the {enabled | disabled} state.*

説明: 示された BUNDLE に定義されているすべてのリソースが、有効な状態または無効な状態のいずれかに達しました。

リソースがすべて有効な状態であっても、インポートされたいずれかのリソースが使用不可であれば、BUNDLE の総合的な状態は無効のままになることがあります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

1244 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 有効
2= 無効

宛先: CRLO

DFHRL0133 E *date time applid tranid path_name 定義ファイルが空だったため、CICS リソース・ライフ・サイクル・マネージャーは BUNDLE リソース bundle_name を作成できませんでした。*

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・クラス DFHRLPK は、*path_name* 定義ファイルが空であったため、BUNDLE リソース *bundle_name* を作成できませんでした。

システムの処置: 作成プロセスが終了し、バンドル・パーツは UNUSABLE になります。エラー処理は続行されます。

ユーザーの処置: ルート・ディレクトリー内の定義ファイルが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *bundle_name*
6. *path_name*

宛先: CRLO

DFHRL0134 I *date time applid userid The CICS resource lifecycle manager has started to create BUNDLE bundle_name with bundle ID bundle_id and version bundle_major_ver.bundle_minor_ver.bundle_micro_ver on platform platform_id.*

説明: CICS リソース・ライフサイクル・バンドル・ク

ラス DFHRLPK は、BUNDLE リソース *bundle_name* の作成を、プラットフォーム *platform_id* 上で、バンドル (ID *bundle_id*、バージョン *bundle_major_ver.bundle_minor_ver.bundle_micro_ver*) から開始しました。これはバンドルを作成するために、ルート・ディレクトリー内にあるマニフェストを読み取って、必要なリソースを作成します。CICS は BUNDLE リソースの固有名を動的に生成しました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRLPK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *bundle_name*
6. *bundle_id*
7. *bundle_major_ver*
8. *bundle_minor_ver*
9. *bundle_micro_ver*
10. *platform_id*

宛先: CRLO

DFHRL0135 E *date time applid tranid* **The CICS resource lifecycle manager failed to associate {an entry point | a policy scope} for resource_type resource resource_name in BUNDLE bundle_name because CICS does not support platform {entry points. | policy scopes.}**

説明: CICS リソース・ライフサイクル・マネージャーは、CICS がプラットフォームの一部としてデプロイしたエントリー・ポイントおよびポリシーの有効範囲をサポートしていないため、BUNDLE *bundle_name* 内のリソース *resource_name* の関連付けに失敗しました。このエラーは、ユーザーがプラットフォーム定義 (PLATDEF) を有効にしようとしたことが原因で発生した可能性があります。ここでプラットフォームには、エントリー・ポイントまたはポリシーの有効範囲の定義のいずれかが含まれているバンドルがあります。

システムの処置: 使用可能化プロセスは終了し、リソースは失敗状態に設定されます。エラー処理は続行されます。

ユーザーの処置: エントリー・ポイントまたはポリシーの有効範囲の関連 <modify> ステートメントを、バン

ドル・マニフェスト・ファイルから削除することを検討してください。または、バンドルがプラットフォームに含まれている場合は、バンドルをプラットフォームから削除することを考慮してください。ポリシーの有効範囲またはエントリー・ポイントがアプリケーションに関連付けられている場合は、バンドルをアプリケーションに追加してから、アプリケーションをプラットフォームにインストールしてください。

モジュール: DFHRLRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= エントリー・ポイント

2= ポリシーの有効範囲

6. *resource_type*
7. *resource_name*
8. *bundle_name*
9. 以下のオプションから選択される値。

1= エントリー・ポイント

2= ポリシーの有効範囲

宛先: CRLO

DFHRL2002 S DFHDPLOY は CICSplex SM API 環境を初期化できませんでした。

説明: CICSplex SM API REXX 環境を初期設定できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: 出力と JCL を調べて、環境を初期設定できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2003 E 不明なコマンド *unknowncommand* が スクリプト内で検出されました。

説明: DFHDPLOY スクリプトに、認識されないコマンドが含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY スクリプトから不明なコマンドを削除してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2004 E Unable to connect to CICSplex
CICSplexname at any supported
connection level.**

説明: DFHDPLOY は、CICSplex SM API のいずれのサポート対象バージョンでも CICSplex に接続できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ジョブ・ステップで使用されている SEYUAUTH ライブラリーが、DFHDPLOY ジョブ・ステップで参照されている CICSplex を管理する CMAS によって使用されているものと同じであることを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2005 E SYSIN data definition was not
found or is empty.**

説明: DFHDPLOY ジョブの実行依頼に使用された JCL 内に SYSIN データ定義が見つかりませんでした。SYSIN データ定義が必要です。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: JCL を修正して有効な SYSIN データ定義を指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2006 E Definition name of parameter is too
long. Maximum length is maximum.**

説明: 示されたパラメーターの値が、許容最大長を超えています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: メッセージに示された許容最大長を超えないように値を修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2007 I 処理が完了しました。

説明: DFHDPLOY は処理を終了しており、実行を停止します。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティが実行を停止します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2008 E Parameter parameter is too long.
Maximum length is maximum.**

説明: 示されたパラメーターの値が、許容最大長を超えています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: メッセージに示された許容最大長を超えないように値を修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2009 E Invalid value for parametername
parameter of invalidvalue. Valid values
are validvalues.**

説明: 示されたパラメーターの値が無効です。値は、メッセージで示されたいずれかの値でなければなりません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: 示された値のリストから、有効な値をパラメーターに指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2010 E Invalid value for parametername
parameter of invalidvalue. Valid range
is a whole number from minimumvalue
to maximumvalue, inclusive.**

説明: 示されたパラメーターの値が無効です。値は、メッセージに示された範囲内の整数でなければなりません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: 許容できる範囲内の値をパラメーターに指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2011 E Mandatory parameter *parametername* was not included as part of the *commandname* command.

説明: メッセージによって示されたパラメーターはコマンドに必須です。それはコマンドに指定する必要があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: 必須パラメーターが含まれるようにコマンドを修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2012 I DEPLOY コマンドが正常に完了しました。

説明: DEPLOY コマンドは正常に完了しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2013 I Connection to CICSplex *CICSplexname* successful.

説明: DFHDPLOY は、指定された CICSplex に正常に接続しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2014 I Disconnecting from CICSplex *CICSplexname*.

説明: DFHDPLOY スクリプトが CICSplex から切断しています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーが実行を停止します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2015 E 無効なパラメーター *parametername* がコマンド *commandname* に指定されています。

説明: メッセージに示されたパラメーターは、コマンドの有効なパラメーターではありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: コマンドから無効なパラメーターを削除してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2016 I SET コマンドが正常に完了しました。

説明: SET コマンドは正常に完了しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2017 E Parameter *parametername* and parameter *parametername* are mutually exclusive as part of the *commandname* command.

説明: メッセージに示されたパラメーターは相互排他的で、両方をこのコマンドの一部にすることはできません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: エラーのパラメーターを削除し、DFHDPLOY スクリプトを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2018 E CICSplex *CICSplexname* is a CMAS and not a valid CICSplex.

説明: CICSplex パラメーターの値に、CICSplex ではなく、CMAS の名前が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリテ

イーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICSplex パラメーターで有効な CICSplex 名を指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2019 E Unable to read contents of file
filename. Security failure reading file.**

説明: ファイルのセキュリティ権限により DFHDPLOY を実行するユーザーはファイルにアクセスできないため、ファイルを読み取ることができません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: ユーザー ID がファイルにアクセスできるように、ファイル・セキュリティのプロパティを変更してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2020 E Unable to read contents of file
filename. File could not be found.**

説明: 示されたファイルが見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 指定されたディレクトリー内にファイルが存在することを確認するか、有効なファイルを指すように、ファイルのディレクトリーを指定したパラメーターを修正してください。必須ディレクトリー内に、必要なすべてのバンドルまたはアプリケーション成果物 (manifest.xml ファイルなど) が作成されていることを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2021 E {Deploy | Set | Undeploy} of
application applicationname cannot
continue. The CICSplex SM
maintenance point is not available.**

説明: CICSplex の保守ポイント CMAS が現在使用不可であるため、このコマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2022 E {Deploy | Set | Undeploy} of
bundle bundlename cannot continue.
The CICSplex SM maintenance point
is not available.**

説明: CICSplex の保守ポイント CMAS が現在使用不可であるため、このコマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2023 E Quiesce of tasks for application
applicationname version versionnumber
completed.**

説明: TIMEOUT しきい値に達する前に、アプリケーションに属する一部のアクティブ・タスクは完了しませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーションに属するアクティブ・タスクを調べて、それらが TIMEOUT しきい値に達する前に完了しなかった理由を判別してください。必要な場合は、TIMEOUT 値を増やしてください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2024 I BUNDLE definition
bundledefinitionname version
versionnumber successfully created.**

説明: BUNDLE 定義は、示されたバージョン番号で正常に作成されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2025 W No RESGROUP or CSDGROUP
parameter specified. DFHDPLOY will
not attempt to remove the bundle
definition from EYUDREP or CSD.**

説明: UNDEPLOY BUNDLE は正常に実行され、BUNDLE 定義は EYUDREP および CSD から削除されていません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2026 E No platform was found within the application binding
applicationbindingname.

説明: BINDDIR パラメーターに指定されているアプリケーション・バインディングは、プラットフォームを含んでいないため無効です。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: BINDDIR パラメーターで有効なアプリケーション・バインディングを指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2027 E Unable to read contents of file
filename.

説明: 示されたファイルの内容を読み取ることができませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: ファイルとそのプロパティーを調べて、ファイルを読み取れなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2028 E Platform definition not found for platform platformname.

説明: PLATFORM パラメーターで指定された値に関連するプラットフォーム定義が見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: 既存のインストール済みプラットフォームを指定するように PLATFORM 値を修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2029 E Internal structure creation of object
objectname failed.

説明: 予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2032 E Resource group resourcegroupname cannot be created. Error code is
errorcode.

説明: リソース・グループを作成しようとしたときに、DFHDPLOY が予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICSplex SM リソース・テーブル参照内の RESGROUP リソース・テーブルでエラー・コードを検索して、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2033 E Unable to set application
applicationname to state of targetstate.
Error code is errorcode.

説明: アプリケーションの状態を設定しようとしたときに、DFHDPLOY が予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICSplex SM リソース・テーブル参照内の APPLCTN リソース・テーブルでエラー・コードを検索して、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2034 E CICS application definition
applicationdefinitionname cannot be removed. Error code is errorcode.

説明: アプリケーション定義を削除しようとしたときに、DFHDPLOY が予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICSplex SM リソース・テーブル参照内の APPLDEF リソース・テーブルでエラー・コードを検索して、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2036 E Bundle definition
bundledefinitionname cannot be removed. Error code is errorcode.

説明: バンドル定義を削除しようとしたときに、DFHDPLOY が予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICSplex SM リソース・テーブル参照内の BUNDDEF リソース・テーブルでエラー・コードを検索して、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2037 I UNDEPLOY コマンドが正常に実行されました。

説明: UNDEPLOY コマンドは正常に完了しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2039 W The command failed to complete within the specified TIMEOUT period of timeout seconds.

説明: コマンドがタイムアウトになりました。処理の最終ステップ時にタイムアウトになった場合は戻りコード 4 が発行されますが、DFHDPLOY はすべてのバンドルまたはアプリケーションが目標の状態に達したかどうかを照会する必要があります。処理の最終ステップが開始される前にタイムアウトになると、戻りコード 8

が発行されます。詳細については、DFHDPLOY ユーティリティーのトラブルシューティングのページを参照してください。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けて戻りコード 4 を発行するか、処理を停止して戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、コマンドがタイムアウトになった理由を判別してください。必要に応じて、TIMEOUT パラメーターの値を増やしてください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2040 I TIMEOUT has occurred before application applicationname versionnumber has reached state targetstate .

説明: アプリケーションが最終ターゲット段階に遷移する前に、コマンドがタイムアウトしました。最終ターゲット状態に到達しませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、コマンドがタイムアウトになった理由を判別してください。必要に応じて、TIMEOUT パラメーターの値を増やしてください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2041 E TIMEOUT has occurred before bundle bundlename has reached state targetstate.

説明: バンドルが最終ターゲット段階に遷移する前に、コマンドがタイムアウトしました。最終ターゲット状態に到達しませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、コマンドがタイムアウトになった理由を判別してください。必要に応じて、TIMEOUT パラメーターの値を増やしてください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2042 I *resourcename* を破棄しています。

説明: 示されたりソースは破棄されています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2043 I 処理は完了しましたが、警告が出されました。

説明: DFHDPLOY が処理を完了しました。処理中に警告メッセージが発行されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログを調べて、発行された警告メッセージを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2044 I CICS application definition
applicationdefinitionname created.

説明: 示されたアプリケーション定義は正常に作成されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2045 I CICS application definition
applicationdefinitionname installed on
platform *platformname*.

説明: 示されたアプリケーション定義は、示されたプラットフォームに正常にインストールされました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2046 I Setting application state to
targetstate.

説明: アプリケーションは、示された状態に設定されています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2047 I バンドル *bundlename* の PHASEIN を
実行しています。

説明: バンドルの PHASEIN が開始されました。PHASEIN は、CICS バンドルのルート・ディレクトリにあるすべての OSGi バンドルの最上位のセマンティック・バージョンを判別し、そのバージョンを OSGi フレームワークに登録します (まだ登録されていない場合)。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2049 I Creating bundle definition.

説明: バンドル定義は DEPLOY コマンドの一部として作成されています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2050 I Creating Resource Group.

説明: リソース・グループは DEPLOY コマンドの一部として作成されています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2051 I Creating bundle definition on the CSD in system *targets*system.

説明: バンドル定義が、示されたシステムの CSD 上に作成されています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。注: CSDGROUP が指定されており、ロックされた CSD の解放を DFHDPLOY が待機している場合に、スクリプトが停止する可能性があります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2052 I Installing bundle definition.

説明: バンドルはインストール中です。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2054 I Setting bundle state to *target*state.

説明: バンドルは、示された状態に設定されています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2055 I Errors have occurred. 処理が終了しました。

説明: DFHDPLOY は、以前のエラーが原因で処理を停止しようとしています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログにある、前のメッセージを調べて、処理が終了した理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2056 I CICS application definition for application *applicationname* has been removed.

説明: 示されたアプリケーション定義は正常に削除されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2057 E DFHDPLOY is unable to connect to CICSplex *CICSplexname*.

説明: DFHDPLOY は、示された CICSplex への接続を確立できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 保守ポイント CMAS ログを調べて、示された CICSplex が有効であり、報告されたエラーがないことを確認してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2060 E The *commandname* command cannot complete because the version number for application *applicationname* contains non-numeric characters.

説明: 無効な値がアプリケーション・バージョンに指定されています。アプリケーションのバージョン番号は、*majorversion.minorversion.microversion* の形式の数値でなければなりません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バージョン番号を修正して、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2061 I Quiesce of tasks for application
applicationname version versionnumber
completed successfully.

説明: DFHDPLOY は TASKASSC リソースを照会し、示されたアプリケーションに関連するすべてのタスクがアプリケーション・コンテキスト・データを使用して完了するのを待機します。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2062 E Commands cannot be processed because a SET CICSplex command has not been issued.

説明: SET CICSplex コマンドが発行されていないため、コマンドを処理できません。SET CICSplex コマンドは DFHDPLOY スクリプト内の最初のコマンドでなければなりません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY スクリプトを修正し、SET CICSplex が最初に発行されるコマンドになるようにします。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2063 I No processing was completed. The application state is *currentstate*.

説明: アプリケーションの状態は、現在 DISCARDING または FAILED であるため、変更できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは実行を続けます。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログ、CMAS ログ、および CICS システム・ログを調べて、アプリケーションが現在の状態に達した理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2064 I アプリケーション *applicationname*、バージョン *versionnumber* は *currentstate* であり、可用性は *currentavailability* です。

説明: このメッセージは、アプリケーションの現在の状態と可用性を示します。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2066 E The command name *command* cannot complete because the bundle *bundle name* in scope *targetscope* cannot be found.

説明: 示されたバンドルが見つからないため、要求されたコマンドは完了できません。バンドル名が誤っているか、別のプロセスまたはユーザーによって削除された可能性があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 正しいバンドル名を指定するか、または CICS システム・ログを調べて、バンドルが削除された理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2067 W バンドル *bundlename* は *targetstate* 状態に達しませんでした。The current state is *currentstate*.

説明: バンドルが要求された状態に達することができませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは実行を続けます。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、バンドルが目的の状態に達しなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2068 I Waiting for *taskcount* tasks to complete for application *applicationname* version *versionnumber*.

説明: このメッセージは、引き続き処理中のアクティブ・タスクの数を示します。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2069 W The bundle *bundlename* cannot be set to AVAILABLE because it contains no entry points.

説明: 示されたバンドルにはエントリー・ポイントがないため、AVAILABLE 状態にすることができませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2070 E Unable to connect to CICSplex *CICSplexname* at version *versionnumber*. CPSM API スタブ・プログラムはこの接続をサポートしていません。

説明: DFHDPLOY が接続されている CMAS は、示されているバージョンをサポートしません。これは、DFHDPLOY が CMAS よりも高い CICS バージョンを使用して接続していることが原因である可能性があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2071 I Unable to connect to CICSplex *CICSplexname* at version *versionnumber*.

説明: 示されたバージョンで使用可能な CMAS が存在しないため、DFHDPLOY は CICSplex に接続できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2072 E A security exception occurred while attempting to connect to CICSplex *CICSplexname*. Refer to message in the JOBLOG for further details.

説明: DFHDPLOY ジョブを実行しているユーザー ID には、CICSplex に接続するために必要な権限がありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2073 E Bundle definition *bundledefinitionname* cannot be created. Error code is *errorcode*.

説明: DFHDPLOY が予期しないバンドル作成エラーを検出しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICSplex SM リソース・テーブル参照内の BUNDDEF テーブルでエラー・コードを検索して、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2074 W Application *application name* version *versionnumber* is unable to transition to *targetstate*.

説明: アプリケーションは、示された状態に遷移できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、アプリケーションが必要な状態に遷移できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2075 I CICS application definition for application *applicationname* version *versionnumber* does not exist.

説明: UNDEPLOY コマンドの実行中に、アプリケーション定義が見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2076 I リソース・グループ *resourcegroupname* 内のバンドル *bundle name* のバンドル定義がシステム *targets system* に存在しません。

説明: UNDEPLOY コマンドの実行中に、示されたシステム内でバンドルが見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2077 I バンドル *bundle name* がスコープ *target scope* から破棄されました。

説明: 示されたバンドルがスコープから正常に破棄されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。注: CSDGROUP が指定されており、ロックされた CSD の解放を DFHDPLOY が待機している場合に、スクリプトが停止する可能性があります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2078 I アプリケーション *application name*、バージョン *version number* は、プラットフォーム *target platform* から破棄されています。

説明: 示されたアプリケーションはプラットフォームから正常に破棄されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2079 E 状態 *target state* への遷移は、プラットフォーム *target platform* 上にアプリケーション *application name*、バージョン *version number* が見つからなかったため、完了できませんでした。

説明: アプリケーションがプラットフォーム内で見つからなかったため、示された状態にアプリケーションを設定できませんでした。アプリケーションは別のプロセスまたはユーザーによって削除された可能性があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 既存のアプリケーションを正しく指定するか、または CICS システム・ログを調べて、アプリケーションの削除の理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2080 E CSDGROUP と RESGROUP のパラメーターを同時に指定することはできません。

説明: CSDGROUP パラメーターと RESGROUP パラメーターを同時に 1 つのコマンドに指定することはできません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: CSDGROUP パラメーターまたは RESGROUP パラメーターのいずれかをコマンドから削除してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2081 I プラットフォーム *target platform* にアプリケーション *application name*、バージョン *version number* が存在しません。

説明: UNDEPLOY コマンドの実行中に、示されたプラットフォームでアプリケーションが見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2082 I スコープ *targetscope* 内にバンドル *bundle name* が存在しません。

説明: UNDEPLOY コマンドの実行中に、示されたスコープ内でバンドルが見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2083 E Transition to state *target state* cannot complete because bundle *bundle name* in scope *targetscope* cannot be found.

説明: スコープ内にバンドルが見つからなかったため、示された状態にバンドルを設定できませんでした。バンドルは、別のプロセスまたはユーザーによって削除された可能性があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 既存のバンドルを正しく指定するか、または CICS システム・ログを調べて、バンドルの削除の理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2085 I DEPLOY コマンドは警告を出して完了しました。

説明: DEPLOY コマンドは完了しましたが、警告メッセージが発行されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: 発行された警告の詳細については、DFHDPLOY ログを調べてください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2086 I SET コマンドは警告を出して完了しました。

説明: SET コマンドは完了しましたが、警告メッセージが発行されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: 発行された警告の詳細については、

DFHDPLOY ログを調べてください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2087 I UNDEPLOY コマンドは警告を出して完了しました。

説明: UNDEPLOY コマンドは完了しましたが、警告メッセージが発行されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: 発行された警告の詳細については、DFHDPLOY ログを調べてください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2088 E Scope cannot be a CICSplex.

説明: コマンドに指定される SCOPE パラメーターは、CICSplex と同じ名前の値にすることはできません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: CICSplex 内の特定の領域、または領域のグループに関連する SCOPE の値を指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2089 E Unable to connect to CICSplex

CICSplexname at version *versionnumber*.

このバージョンは CICSplex でサポートされていません。

説明: 示されたバージョンのアクティブ CMAS が CICSplex の管理に参加していないため、SET CICSplex コマンドは完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2090 W Application *applicationname* cannot be set to *targetstate* because it contains no entry points.

説明: アプリケーションにエントリー・ポイントがないため、示された状態にアプリケーションを設定できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2091 I No active tasks found for application *applicationname* version *versionnumber*.

説明: 示されたアプリケーションに属するすべてのアクティブ・タスクは完了しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2092 I アプリケーション *application name*、バージョン *version number* が、プラットフォーム *targetplatform* 上で見つかりました。

説明: UNDEPLOY コマンドに指定されたアプリケーションが、示されたプラットフォーム上で見つかりました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2093 I Bundle *bundle name* found in scope *targetscope*.

説明: UNDEPLOY コマンドに指定されたバンドルが、示されたスコープ内で見つかりました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2094 I Application

operationapplicationoperationname
has *taskcount* tasks still to complete for application *applicationname* version *versionnumber*.

説明: アプリケーションには、完了すべきアクティブ・タスクがまだあります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2095 E Bundle *bundle name* in scope *targetscope* does not exist.

説明: コマンドで指定されたスコープ内でバンドルが見つからなかったため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2096 E Processing of application *applicationname* cannot continue because the CICSplex SM API has timed out the request.

説明: 要求を処理するためにかかった時間が、要求を処理する CMAS 上の TOBATCHREQ パラメーターで指定された時間を超過しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2097 E Processing of bundle *bundlename* cannot continue because the CICSplex SM API has timed out the request.

説明: 要求を処理するためにかかった時間が、要求を処理する CMAS 上の TOBATCHREQ パラメーターで指

DFHRL2098 E • DFHRL2105 E

定された時間を超過しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2098 E Unable to perform *commandname* command due to security restriction for the current userid.

説明: DFHDPLOY を実行しているユーザー ID が正しいレベルの権限を持っていないため、コマンドを処理できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2099 S このコマンドを実行する CMAS にアクセスできません。これ以上は処理できません。

説明: DFHDPLOY からのコマンドを処理していた CMAS がアクティブではなくなりました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2100 S 内部エラーが発生しました。これ以上は処理できません。

説明: 重大な内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2101 E バンドル *bundlename* は既に、CSD グループ *CSDgroup* 内の CSD に定義があります。

説明: BUNDLE パラメーターと同じ名前のバンドルが、現在 CSD に定義されています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルに別の名前を使用するか、CSD から既存のバンドルを削除してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2102 E バンドル *bundlename* は、リソース・グループ名に無効文字が含まれているため、デプロイできません。

説明: RESGROUP パラメーターで指定された値に無効文字が含まれているため、デプロイメントを続行できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: RESGROUP パラメーター値を修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2105 E バンドル *bundle name* は、インストール済みバンドル *bundlename2* によってバンドル ID *bundleID* が既に使用されているため、スコープ *targetscope* にデプロイできません。(Bundle *bundle name* cannot be deployed to scope *targetscope* as the bundle ID *bundleID* is already used by installed bundle *bundlename2*.)

説明: 指定されたスコープ内に同じ ID のバンドルが現在インストールされているため、デプロイメントを続行できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 新規スコープを指定するか、または現在指定されているスコープから既存のバンドルを削除してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2106 E バンドル *bundle name* は、バンドル・ディレクトリー *bundledir* が存在しないため、デプロイできません。

説明: BUNDDIR パラメーターで指定されたバンドル・ディレクトリーが存在しないため、デプロイメントを続行できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: BUNDDIR パラメーターに正しいバンドル・ディレクトリーを指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2107 E バンドル *bundle name* は、同じ名前のバンドルが既にインストールされているため、スコープ *targetscope* にデプロイできません。

説明: 示されたスコープ内に同じ名前のバンドルが現在インストールされているため、デプロイメントを続行できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 新規スコープを指定するか、または現在指定されているスコープから既存のバンドルを削除してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2108 W バンドル *bundle name* はスコープ *targetscope* に部分的にデプロイされています。バンドルが既にインストールされている最初のシステムは *systemname* です。

説明: 1 つ以上のシステムにバンドルが既にインストールされているため、示されたスコープの一部にしかバンドルがデプロイされなかった可能性があるため、デプロイを続行できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 新規スコープを指定するか、または現在のスコープから既存のバンドル定義を削除してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2109 I リソース・グループ *resourcegroupname* 内でバンドル *bundle name* は見つかりませんでした。

説明: バンドル定義が存在しないため、削除できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2111 E Unable to install the bundle *bundle name* to scope *targetscope*. **Response code:** *responsecode*. **Reason code:** *reasoncode*.

説明: バンドル定義をインストールしようとしていたときに、予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2112 I CSD グループ *CSDgroupname* 内のバンドル *bundle name* のバンドル定義がシステム *targetsystem* 内に存在しません。

説明: バンドル定義が存在しないため、削除できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2113 I BUNDLE definition *bundledefinitionname* version *versionnumber* in resource group *resourcegroupname* has been removed.

説明: バンドル定義は正常に削除されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2114 I CSD グループ *CSDgroupname* 内のバンドル *bundlename* のバンドル定義がシステム *targetsystm* から削除されています。

説明: バンドル定義が削除されました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2115 E バンドル *bundlename* は現在 **DISABLED** であるため、**AVAILABLE** にすることができません。

説明: バンドルは現在 **DISABLED** 状態であるため、**AVAILABLE** にすることはできません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルを **AVAILABLE** にする前に、**ENABLED** に設定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2116 E バンドル *bundle name* をスコープ *targetscope* にインストールできませんでした。**There are no systems available in the scope.**

説明: バンドルには、アクティブな CICS システムが含まれていないため、バンドルを **SCOPE** パラメーターで指定されたスコープにインストールできませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡するか、別のスコープを指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2117 W **Application *applicationname* cannot be set to *targetstate* because it contains no bundles.**

説明: アプリケーションにバンドルが含まれていないため、アプリケーションの状態を変更できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2118 E バンドル *bundlename* には **UNUSABLE** 部分が含まれているため、それを 1 つ以上の CICS 領域で *targetstate* に設定できません。

説明: バンドルに **UNUSABLE** 状態である部分があるため、バンドルの状態を変更できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルを無効にして廃棄する必要があります。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2119 I **Connection to CMAS *CMASname* successful.**

説明: DFHDPLOY は、SET CICSplex コマンドの CMAS パラメーターで指定された CMAS に正常に接続しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2120 S **DFHDPLOY is unable to connect to CMAS *CMASname* because an active CMAS at version *versionnumber* cannot be found.**

説明: 示された CICS バージョンで実行中のアクティブ CMAS が見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡するか、別の CMAS を指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2121 S CMAS *CMASname* is a CICSplex and not a valid CMAS name.

説明: SET CICSplex コマンドの CMAS パラメーターの値は CICSplex 名であり、有効な CMAS 名ではありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: CMAS パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2122 I アプリケーション *applicationname*、バージョン *versionnumber* に関連するタスクの完了を待機しています。

説明: アプリケーションに関連するタスクの完了を待機しています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2123 E バンドル *bundlename* を CSD 上で定義できませんでした。There are no systems available in the scope.

説明: DEPLOY BUNDLE コマンドの SCOPE パラメーターで指定されたスコープには、アクティブな CICS システムが含まれていません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡するか、別のスコープを指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2124 W BUNDLE(*bundlename*) contains UNUSABLE parts.

説明: バンドルに定義された一部のリソースを作成できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: バンドルのバンドル・パーツおよび CICS システム・ログを調べて、一部のバンドルが使用不可である理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2125 E SYSIN could not be read from the USS file *atfilename*.

説明: メッセージに示されている場所の USS 内で、有効な DFHDPLOY スクリプトを検出できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 12 を発行します。

ユーザーの処置: 有効なデプロイメント・スクリプトが含まれている USS の場所を指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2126 E BUNDLE PHASEIN is not supported in CICSplex(*CICSplexname*).

説明: バンドルの PHASEIN が CICS TS バージョン 5.2 以下で試行されました。PHASEIN は CICS TS バージョン 5.3 でのみサポートされます。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS TS 5.2 以下で PHASEIN を試行しないように、DFHDPLOY スクリプトを変更してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2127 I DFHDPLOY starting PHASEIN of BUNDLE(*bundlename*) in regions where bundle is ENABLED in SCOPE(*targetscope*).

説明: PHASEIN アクションは、スコープ内のすべての有効なバンドルで実行されています。

システムの処置: 処理を続行します。

DFHRL2128 E • DFHRL2137 E

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2128 E DFHDPLOY cannot PHASEIN BUNDLE(*bundlename*) in SCOPE(*targetscope*), it is not enabled.

説明: バンドルがスコープ内のどのシステムでも有効になっていないため、PHASEIN を実行できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルが有効になっていない理由を判別して、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2129 I SCOPE (*targetscope*) 内の count CICS 領域でバンドル *bundlename* の状態が *state* です。

説明: これは、スコープ内の示された状態にあるバンドルの数を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2130 I BUNDLE(*bundlename*) installed in *installcount* of region *count* in SCOPE(*targetscope*).

説明: これは、スコープ内の、バンドルをインストールしたシステムの現在の数を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2131 I Waiting for BUNDLE(*bundlename*) to be installed in active regions in SCOPE(*targetscope*).

説明: DFHDPLOY は、バンドルのインストール・アクションの完了を待機しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2132 I CICS 領域と CSD 属性を分析しています。

説明: CSDGROUP パラメーターが DEPLOY BUNDLE スクリプトに指定されると、DFHDPLOY は SCOPE オプションで指定されたすべての CICS 領域を分析し、バンドル定義の追加が必要な CSD グループの最小セットを決定します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2133 W PLATFORM *platformname* cannot be set to *targetstate* as it contains no bundles.

説明: 予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2137 E Action *action_name* is invalid for resource *name*.

説明: コマンドで指定されたアクションは、現在のリソースではサポートされていません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 有効なリソースまたはアクション (あるいはその両方) を指定して、失敗したコマンドを修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2138 E Unable to perform *actionname*
as *resource* is not available.**

説明: リソースは有効なアクションを実行できる状態ではありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: リソースの状態を修正し、DFHDPLOY コマンドを再実行依頼してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2139 E The SCOPE parameter has been
specified on the command and it is
not required.**

説明: 入力されたコマンドは SCOPE パラメーターを指定していますが、このコマンドには必要ありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: スクリプト内のコマンドから STATE パラメーターを削除し、DFHDPLOY ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2140 I PERFORM command completed
successfully.**

説明: PERFORM コマンドは正常に完了しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2144 E Unable to open USS file *filename* .
ERRNO=*errno* ERRNOJR=*errnojr* .**

説明: 示されたファイルにアクセスしようとしたときに、DFHDPLOY が失敗しました。返されたエラー番号および理由は、失敗のタイプを示します。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: zOS Knowledge Center からの情報を使用して DFHDPLOY が失敗した理由を判別してく

ださい。問題を解決し、DFHDPLOY スクリプトを再実行依頼してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2148 E Unable to find *resource* (*resource name*)
in SCOPE (*scope*).**

説明: DFHDPLOY は、スコープ内の任意のアクティブ領域で、指定されたタイプの、示されたリソースを見つけることができませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: リソース名、タイプ、およびスコープが正しいかどうかを判別し、DFHDPLOY ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2149 E Region(*region*) command resource
(*resource name*) *action name*). CICS
returned RESP(*resp*) RESP2(*resp2*).**

説明: DFHDPLOY は、示された領域内のリソースに対して、示されたアクションを実行しようとしたましたが、失敗しました。返された RESP 値と RESP2 値が示されています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: Knowledge Center からエラー条件を判別し、DFHDPLOY JCL を再実行依頼する前に、適切な処置をとってください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

**DFHRL2201 E Unable to install Application
application name. これは既にインストール
されています。**

説明: APPLICATION パラメーターで指定された値と同じ名前を持つアプリケーションが現在インストールされています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 既存のアプリケーションを削除するか、または APPLICATION パラメーターに別の値を指定して、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2202 E 無効なリソース・タイプ。

説明: アプリケーション定義に関連付けられているリソース・タイプが無効です。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。問題を解決できない場合は、IBM サポートに連絡する。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2203 E Unable to install Application
applicationname. CICS アプリケーション定義が見つかりません。

説明: 別のユーザーまたはプロセスが、現在のコマンドによって使用されているアプリケーション定義を削除しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、削除の理由を判別し、必要に応じてコマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2204 E Unable to install Application
applicationname. Attribute data invalid.

説明: コマンド、アプリケーション・バンドル、またはアプリケーション・バインディングのいずれかの属性に、無効な値が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、無効な値を判別し、修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2205 E Unable to install Application
applicationname. CICSplex が見つかりません。

説明: アプリケーションがインストールされているプラットフォームを管理する CICSplex を使用できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2206 E Unable to install Application
applicationname. 無効なアプリケーション・レコード。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2207 E Unable to install Application
applicationname. 無効なアプリケーションのアクション。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2208 E Unable to install Application

applicationname. 無効な CICS アプリケーション定義名。

説明: APPLICATION パラメーターに指定された値が無効です。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: APPLICATION パラメーターに指定された値を修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2209 E Unable to install Application

applicationname. 一部の領域に CICS バンドルをインストールできませんでした。

説明: アプリケーション内の一部のバンドルがインストールできなかったため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、一部のバンドルがインストールされなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2210 E Unable to install Application

applicationname. CICS Bundles were not installed in any regions.

説明: アプリケーション内のバンドルがインストールできなかったため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、バンドルがインストールされなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2211 E Unable to install Application

applicationname. ユーザー ID が zFS ファイルへのアクセスを許可されていません。

説明: DFHDPLOY を実行中のユーザー ID には、APPLDIR または BINDDIR のいずれかのパラメーター

で指定されたファイルにアクセスするための正しい権限がありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2212 E アプリケーションまたはバインディング・バンドル・ファイルが見つかりません。

説明: APPLDIR パラメーターまたは BINDDIR パラメーターで指定されたディレクトリー内に有効なファイルが見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: APPLDIR パラメーターおよび BINDDIR パラメーターが有効なアプリケーションおよびアプリケーション・バインディングを指していることを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2213 E Unable to install Application

applicationname. Invalid XML in application or binding bundle.

説明: APPLDIR パラメーターで指定されたアプリケーション・バンドルまたは BINDDIR パラメーターで指定されたアプリケーション・バインディングが無効です。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: APPLDIR パラメーターおよび BINDDIR パラメーターが有効なアプリケーションおよびアプリケーション・バインディングを指していることを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2214 E Platform *targetplatform* not found.

説明: アプリケーション・バインディングで指定されたプラットフォームは、現在インストールされていません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: プラットフォームがインストールされていることを確認してください。またはアプリケーション・バインディング内のプラットフォーム名を修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2215 E Unable to install Application

applicationname. 無効なリソース・タイプ。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2216 E Unable to install Application

applicationname. 無効なプラットフォーム定義名。

説明: コマンドの PLATFORM パラメーターの値には、無効な値が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: PLATFORM パラメーターの値を修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2217 E Unable to install Application

applicationname. 無効なメジャー・バージョン。

説明: アプリケーション・バンドルで指定されたメジャー・バージョンまたは VERSION パラメーターに無効な値が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・バンドルのメジャー・バージョン番号または VERSION パラメーターを修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2218 E Unable to install Application

applicationname. 無効なマイナー・バージョン。

説明: アプリケーション・バンドルで指定されたマイナー・バージョンまたは VERSION パラメーターに無効な値が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・バンドルのマイナー・バージョン番号または VERSION パラメーターを修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2219 E Unable to install Application

applicationname. 無効なマイクロ・バージョン。

説明: アプリケーション・バンドルで指定されたマイクロ・バージョンまたは VERSION パラメーターに無効な値が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・バンドルのマイクロ・バージョン番号または VERSION パラメーターを修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2220 E Unable to install Application

applicationname. CICS のアプリケーション定義とアプリケーション・バージョンが " " 異なっています。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2221 E CICS application definition

applicationdefinitionname already exists.
Command cannot continue.

説明: 同じ名前のアプリケーションが既に存在しているため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 別のアプリケーション名を使用してコマンドを再実行するか、または既存のアプリケーション定義を削除してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2222 E Unable to install Application

applicationname. バインディングで領域タイプが見つかりませんでした。

説明: アプリケーション・バインディングで領域タイプが見つかりませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・バンドルまたはアプリケーション・バインディング内のエラーを修正し、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2223 E Unable to install Application

applicationname. **Resource definition already changed.**

説明: アプリケーション定義への現在の変更がコミットされる前に、別のユーザーがアプリケーション定義を変更しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーション定義の変更を再検討し、必要に応じて、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2224 E Unable to install Application

applicationname. インストールに失敗しました。

説明: アプリケーションをインストールできなかったため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、アプリケーションのインストールが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2225 E Unable to install Application

applicationname. **The application is busy for another action.**

説明: アプリケーションが現在、別のアクションを処理しているため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーションが現在のアクションの処理を終了したら、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2251 E Application *applicationname* not found.

説明: コマンドが完了する前に別のプロセスによってアプリケーションが削除されたため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、アプリケーションが削除された理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2252 E Unable to disable Application

applicationname. 一部の領域で **CICS** バンドルは使用不可にされませんでした。

説明: アプリケーション内の一部のバンドルが無効な状態でないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、一部のバンドルが無効な状態でない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2253 E Unable to discard Application
applicationname. 一部の領域で **CICS** バンドルは破棄されませんでした。

説明: アプリケーション内の一部のバンドルが破棄されなかったため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、一部のバンドルが破棄されなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2254 E Unable to discard Application
applicationname. どの領域からも **CICS** バンドルは破棄されませんでした。

説明: アプリケーション内のバンドルを破棄できなかったため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、バンドルが破棄されなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2255 E Unable to enable Application
applicationname. 一部の領域で **CICS** バンドルは使用可能にされませんでした。

説明: アプリケーション内の一部のバンドルが有効な状態でないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、一部のバンドルが有効な状態でない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2256 E Unable to enable Application
applicationname. どの領域でも **CICS** バンドルは使用可能にされませんでした。

説明: アプリケーション内のどのバンドルも有効な状態ではないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、どのバンドルも有効な状態ではない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2257 E Unable to disable Application
applicationname. どの領域でも **CICS** バンドルは使用不可にされませんでした。

説明: アプリケーション内のどのバンドルも無効な状態ではないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、どのバンドルも無効な状態ではない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2258 E アプリケーション *application name* は状態を *applicationstate* に変更できません。別のアクションまたはイベントのために、アプリケーションの状況が" "変化しています。

説明: アプリケーションは現在、別のアクションまたはイベントのアクションによって、その状態を変更しています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーションが状態の変更を終了したら、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2259 E Performing action action on Application applicationname has encountered an error. アプリケーションが **DISABLED** 状態ではありません。

説明: アプリケーションが現在、無効な状態でないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、アプリケーションが無効な状態でない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2260 E Performing action action on Application applicationname has encountered an error. アプリケーションは別のアクションの処理中でビジーです。

説明: アプリケーションが現在、別のアクションを処理しているため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: アプリケーションが現在のアクションの処理を終了したら、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2261 E Performing action action on Application applicationname has encountered an error. どの領域でも CICS バンドルは選択可能にされませんでした。

説明: アプリケーション内のどのバンドルも使用可能状態ではないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、どのバンドルも使用可能状態ではない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2262 E Performing action action on Application applicationname has encountered an error. 一部の領域で CICS バンドルは選択可能にされませんでした。

説明: アプリケーション内の一部のバンドルが使用可能状態でないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、一部のバンドルが使用可能状態でない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2263 E Performing action action on Application applicationname has encountered an error. どの領域でも CICS バンドルは選択不可にされませんでした。

説明: アプリケーション内のどのバンドルも使用不可状態ではないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、どのバンドルも使用不可状態ではない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2264 E Performing action action on Application applicationname has encountered an error. 一部の領域で CICS バンドルは選択不可にされませんでした。

説明: アプリケーション内の一部のバンドルが使用不可状態でないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、一部のバンドルが使用不可状態でない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2265 E Performing action *action* on Application *applicationname* has encountered an error. アプリケーションは引き続き選択可能です。

説明: アプリケーションが現在、使用不可状態でないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、アプリケーションが使用不可状態でない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2266 E Performing action *action* on Application *applicationname* has encountered an error. アプリケーションが **ENABLED** 状態ではありません。

説明: アプリケーションが現在、有効な状態でないため、コマンドを完了できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、アプリケーションが有効な状態でない理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2300 E バンドル *bundlename* をデプロイできません。 **The reason for the failure could not be determined.**

説明: バンドルをデプロイできませんでしたが、失敗の時点では、失敗の原因を判別できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2301 E バンドル *bundlename* は、属性 *invalidattributes* に無効文字が含まれているため、デプロイできません。

説明: コマンドで指定された 1 つ以上のパラメーター

に無効文字が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 無効文字が含まれているパラメーターを修正して、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2302 E バンドル *bundlename* をインストールできません。バンドル定義が見つかりませんでした。

説明: コマンドが完了する前に、別のユーザーまたはプロセスがバンドルを削除しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルの削除の原因を判別し、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2304 E バンドル *bundlename* をインストールできません。同じ名前のバンドルが既に存在しています。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2305 E バンドル *bundlename* をインストールできません。 **The definition has been changed by another process.**

説明: バンドル定義への現在の変更がコミットされる前に、別のユーザーがバンドル定義を変更しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドル定義の変更を再検討し、必要に応じて、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2306 E バンドル *bundlename* をインストールできません。無効なリソース・タイプ。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2307 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**The definition version limit has been reached.**

説明: 同じ名前の最大で 15 のバンドル定義を定義できます。この制限に達していると、同じ名前のバンドル定義をさらに作成することはできません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 同じ名前の複数のバンドルが定義されている理由を判別してください。既存のバンドルを削除するか、またはデプロイするバンドルに別の名前を使用してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2308 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**The bundle name contains invalid characters.**

説明: バンドル名に 1 つ以上の無効文字が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドル名を修正して、コマンドを再実行してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2311 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**The Maintenance point CMAS is not available.**

説明: CICSplex の管理を担う保守ポイント CMAS が、アクティブでないか、アクセスできません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2312 E バンドル *bundlename* をインストールできません。コンテキストが見つかりません。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2313 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**Inconsistent set condition.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2314 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**Resource group not found.**

説明: RESGROUP パラメーターで指定されたリソース・グループは、それに対して DFHDPLOY がバンド

DFHRL2321 E • DFHRL2326 E

ル定義を追加できるようになる前に削除されていました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY スクリプトを再実行依頼して、リソース・グループを再作成してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2321 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid action.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2322 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid record address.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2323 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid record length.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照

してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2324 E Deployment of bundle *bundlename* cannot continue because a bundle of the same name is already associated with resource group *resourcegroupname*.

説明: DEPLOY BUNDLE コマンドに指定されたリソース・グループには、コマンドに指定された名前と一致する名前を持つバンドルが既に含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 一致する名前のバンドルが既にリソース・グループ内に存在する理由を判別してください。既存のバンドルを削除するか、別のリソース・グループを指定するか、またはコマンドで指定されたバンドルの名前を変更してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2325 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Early name list end.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2326 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid name list.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照

してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2327 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid bundle name.

説明: バンドル名に無効文字が含まれているため、コマンドが失敗しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドル名を確認して修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2328 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid minor name.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2329 E バンドル *bundlename* をインストールできません。通知。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2330 E Bundle *bundlename* is only partially installed.

説明: バンドルに含まれている一部のリソースをインストールできませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2331 E Bundle *bundlename* did not install any resources.

説明: バンドルに含まれているリソースはいずれもインストールできませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: DFHDPLOY ログおよび CICS システム・ログを調べて、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2332 E バンドル *bundlename* をインストールできません。ターゲットがありません。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2333 E バンドル *bundlename* をインストールできません。No related systems.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で

DFHRL2334 E • DFHRL2339 E

DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2334 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid target scope.

説明: 示されたスコープが無効であるかまたは見つかりません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: スコープを修正し、DFHDPLOY スクリプトを再実行してください。問題が解決しない場合は、IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2335 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid related scope.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2336 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid usage.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照

してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2337 E バンドル *bundlename* をインストールできません。無効なモード。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2338 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid state check.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2339 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid force install.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きに

ついて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2340 E パンドル *bundle*name をインストールできません。**Invalid notify.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2341 E パンドル *bundle*name をインストールできません。**Invalid over type.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2342 E パンドル *bundle*name をインストールできません。**Invalid override block.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2343 E パンドル *bundle*name をインストールできません。**Invalid override string.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2344 E パンドル *bundle*name をインストールできません。**Invalid string term.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2345 E パンドル *bundle*name をインストールできません。**Invalid embedded terminator.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2346 E パンドル *bundlename* をインストールできません。 **Invalid attribute.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2347 E パンドル *bundlename* をインストールできません。 **Invalid literal.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2348 E パンドル *bundlename* をインストールできません。 **Invalid override string.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2349 E パンドル *bundlename* をインストールできません。 **Scope required.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2350 E パンドル *bundlename* をインストールできません。 **Usage conflict.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2351 E パンドル *bundlename* をインストールできません。 **No definitions selected.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2352 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**More than one related system.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2353 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**Missing related system identifier.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2354 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**Scope conflict.**

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2355 E バンドル *bundlename* をインストールできません。**Bundle name is invalid, the bundle already exists, or the CSD is read only.**

説明: バンドル名に無効文字が含まれている、同じ名前のバンドルが既に存在している、または CSD が読み取り専用に設定されている、のいずれかの理由でコマンドが失敗しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドル名と CICS システムを調べて、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2356 E バンドル *bundlename* は、**CSDGROUP** 名に無効文字が含まれているため、デプロイできません。

説明: CSDGROUP パラメーターで指定された値に無効文字が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CSDGROUP パラメーターに、無効文字を含まない値を指定してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2357 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。**The bundle definition could not be removed.**

説明: バンドル定義レコードを削除できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、失敗の原因を判別してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2358 E バンドル *bundlename* をインストールできません。無効なリソース。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2359 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Invalid CICS restype.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2360 E バンドル *bundlename* をインストールできません。Partial action.

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2361 E バンドル *bundlename* をインストールできません。アクションが何も行われませんでした。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2362 E バンドル *bundlename* をインストールできません。TO_CSDGROUP および AS_RESOURCE は相互に排他的です。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2363 E バンドル *bundlename* をインストールできません。TO_CSDGROUP または AS_RESOURCE のいずれかが必須です。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2364 E バンドル *bundle name* は、CSD にアクセスしようとしたときにエラーが発生したため、デプロイできません。

説明: DFHDPLOY はエラーを検出したときに、CSD 上でバンドル定義を作成しようとしていました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログを調べて、CSD アクセスが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2404 E バンドル *bundle name* の処理を続行できません。ENABLESTATUS に対して無効な CVDA 値が指定されました。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2406 E バンドル *bundle name* でのアクション *action* の実行でエラーが検出されました。バンドルは無効状態になっています。

説明: バンドルは無効な状態であるため、ENABLED または DISABLED に設定できません。これは、バンドルにリソースが含まれていないことが理由である可能性があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルの現在の状態と CICS システム・ログを調べて、失敗の原因を判別してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2407 E バンドル *bundle name* の処理を続行できません。CICS が、登録されたバンドル・コールバック・プログラムへのリンクに " " 失敗しました。

説明: バンドルはコールバック・プログラムを使用して、ユーザー定義のリソース・タイプの作成を管理します。バンドル SET プロセスは、バンドル内の登録済みプログラムにリンクできませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: コールバック・プログラムの状態を判別するか、バンドル内の登録済みプログラムを修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2409 E バンドル *bundle name* の処理を続行できません。The bundle resource cannot be enabled.

説明: バンドルの状況を ENABLED に設定できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログで追加の診断情報を確認してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2410 E >Performing action *action* on Bundle *bundle name* has encountered an error. バンドルにエントリー・ポイントが含まれていません。

説明: バンドルの使用可能状況は、バンドルにエントリー・ポイントが含まれている場合にのみ設定できます。エントリー・ポイントを含まないバンドルの使用可能状況は NONE です。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2411 E バンドル *bundlename* は、バンドルが **ENABLED** でないため使用可能にできませんでした。

説明: 状況が **ENABLED** でない場合には、バンドルを使用可能にできません。バンドルを使用可能にするには、まずバンドルを **ENABLED** に設定する必要があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルを使用可能にする前に、バンドルが **ENABLED** になっていることを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2412 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。 **The availability of the bundle cannot be set..**

説明: バンドルの使用可能状況を設定できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システム・ログで追加の診断情報を確認してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2413 E バンドル *bundlename* は、バンドルが現在使用可能であるため無効にできませんでした。

説明: バンドルの使用可能状況が **UNAVAILABLE** および **NONE** でない場合、バンドルは無効にできません。バンドルは、無効にする前にまず **UNAVAILABLE** にする必要があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルを無効にする前に、バンドルが **UNAVAILABLE** になっていることを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2414 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。 **AVAILSTATUS** に対して無効な **CVDA** 値が指定されました。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2415 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。コマンドに **ENABLESTATUS** と **AVAILSTATUS** の両方が指定されました。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2416 E DFHDPLOY は **Bundle** *bundlename* を要求されたすべての領域に **PHASEIN** できません。 **SCOPE** *scope* 内のすべてのアクティブな領域内で使用可能になっていません。

説明: バンドルに対して **PHASEIN** が試行されましたが、示されたスコープの一部となるすべての領域でバンドルが使用可能になったわけではありません。バンドルは **ENABLED** 状態でなければならず、そうでない場合 **PHASEIN** は失敗します。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。要求された **SCOPE** 内のすべての領域に **PHASEIN** コマンドが発行されましたが、追加のコマンドは発行されません。

ユーザーの処置: PHASEIN を試行する前に、スコープ内のアクティブな CICS 領域にバンドルがインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2417 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。同じコマンドに **COPY** と **AVAILSTATUS** または **ENABLESTATUS** の両方が指定されました。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2418 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。**COPY** に対して無効な **CVDA** 値が指定されました。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2419 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。バンドルがインストール済みのプラットフォームまたはアプリケーションの一部になっているため、**COPY** オプションを使用することはできません。

説明: DFHDPLOY で内部エラーが発生しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリテ

ィーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2420 E The PHASEIN of Bundle *bundlename* cannot continue. CICS バンドルに OSGi バンドル参照が含まれていません。

説明: PHASEIN コマンドが、OSGi バンドル参照が含まれていないバンドルに対して発行されました。PHASEIN は、OSGi バンドルに対してのみ発行できます。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2421 E The PHASEIN of Bundle *bundlename* has failed.

説明: PHASEIN コマンドがバンドルに対して発行されましたが、失敗しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2435 E Unable to discard Bundle *bundlename*. バンドルは使用不可ではありません。

説明: バンドルは、DISABLED 状態の場合にのみ破棄できます。バンドルは現在、DISABLED 状態ではありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルの破棄を試行する前に、バンドルが DISABLED 状態であることを確認してください。

DFHRL2436 E • DFHRL2452 E

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2436 E Unable to discard Bundle

bundlename. バンドルは使用不可ではありません。

説明: バンドルは、DISABLED 状態の場合にのみ破棄できます。バンドルは現在、DISABLED 状態ではありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: バンドルの破棄を試行する前に、バンドルが DISABLED 状態であることを確認してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2437 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。CICS が、登録されたバンドル・コールバック・プログラムへのリンクに " " 失敗しました。

説明: バンドルはコールバック・プログラムを使用して、ユーザー定義のリソース・タイプの作成を管理します。バンドル・インストール・プロセスは、バンドル内の登録済みプログラムにリンクできませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: コールバック・プログラムの状態を判別するか、バンドル内の登録済みプログラムを修正してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2438 E Unable to discard Bundle

bundlename. バンドルは、インストールされたプラットフォームまたはアプリケーションの " " 一部です。

説明: UNDEPLOY コマンドまたは SET コマンドで指定されたバンドルは、プラットフォームまたはアプリケーションの一部としてインストールされたため破棄できません。プラットフォームまたはアプリケーションの一部としてインストールされたバンドルは、それらが属するプラットフォームまたはアプリケーションを破棄することによってのみ破棄できます。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2450 E バンドル *bundlename* をインストールできません。同じ名前のバンドルが既に存在しています。

説明: 同じ名前のバンドルが CICS システムに現在存在しているため、バンドルをインストールできませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システムに認識されていない別のリソース名を選択してください。あるいは、同じリソース名を使用する場合は、まずそのリソースを破棄する必要があります。リソースは、破棄または更新する前に使用不可にする必要がある場合があります。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2451 E The resources in Bundle *bundlename* cannot be installed. バンドル・マニフェストが無効です。

説明: バンドルのインストール中に、バンドルの META-INF ディレクトリー内のマニフェスト・ファイルが有効でないことを CICS が検出しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: BUNDLEDIR パラメーターで指定されたパスに有効なバンドルを配置してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2452 E The resources in Bundle *bundlename* cannot be installed. バンドルのマニフェストがありません。

説明: バンドルのインストール中に、マニフェスト・ファイルが含まれていないことを CICS が検出しました。バンドルの META-INF ディレクトリーには、有効な cics.xml ファイルが含まれている必要があります。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: BUNDLEDIR パラメーターで指定されたパスに有効なバンドルを配置してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2453 E バンドル *bundle*name をインストールできません。予期しないリソース・エラーが発生しました。

説明: バンドルのインストールが失敗し、CICS は原因を判別できませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: CICS システムの CICS システム・ログを調べて、失敗の原因を判別してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2454 E バンドル *bundle*name は、同じ名前のリソースが既に存在するため、リソースをインストールできませんでした。

説明: DEPLOY BUNDLE コマンドに指定されたバンドルは、同じ名前のバンドルが既にシステム上にインストールされているため、インストールできませんでした。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システムに認識されていない別のリソース名を選択してください。あるいは、同じリソース名を使用する場合は、まずそのリソースを破棄する必要があります。リソースは、破棄または更新する前に使用不可にする必要がある場合があります。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2455 E バンドル *bundle*name の処理を続行できません。Unknown response code received

説明: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは不明の応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center で DFHDPLOY のトラブルシューティング・ページを参照してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きに

ついて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2456 E バンドル *bundle*name の処理を続行できません。CSD の読み取りはできません。

説明: CSD から読み取る権限がありません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2457 E バンドル *bundle*name の処理を続行できません。CSD は読み取り専用です。

説明: CSD は、読み取り専用アクセスを許可するように定義されています。CSD 上にバンドル・リソースを作成することはできません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2458 E バンドル *bundle*name の処理を続行できません。CSD は満杯です。

説明: CSD データ・セットはそのストレージ割り振り制限に達したため、追加のバンドル・リソースを保管できません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2459 E バンドル *bundle*name の処理を続行できません。CSD は別の CICS システムで使用中で、共用できるように構成されていません。

説明: CSD は現在、別の CICS システムによって使用中であり、CSD は複数のシステムからのアクセスを許可するように構成されていません。

DFHRL2460 E • DFHRM0001

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2460 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。 **Insufficient VSAM strings (CSDSTRNO system initialization parameter value) are available to run the EXEC CICS CSD command.**

説明: CSD にアクセスできる並行処理数の制限に達しました。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2461 E **BUNDLE** *bundlename* cannot be deployed to SCOPE *scope* as a bundle of the same name already exists in CSDGROUP *csdgroup* on System *systemname*.

説明: DEPLOY BUNDLE コマンドで指定されたのと同じ名前を持つバンドルが、CSDGROUP パラメーターで指定されたグループ内に既に存在します。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 別のバンドル名またはグループ名を使用してください。

モジュール: DFHDPLOY

DFHRMnnnn メッセージ

DFHRM0001 *applid* An abend (code *code*) has occurred at offset *X'offset'* in module *module*.

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了が発生して、異常終了コード *aaa/bbbb* が出されました。

プログラム・チェック時のプログラム状況ワード (PSW) または異常終了は、CICS がモジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で実行していたことを示しています。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊により引き起こされた可能性があります。

宛先: SYSPRINT

DFHRL2462 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。指定されたグループは存在しませんでした。同じ名前のリストが **CSD** に既に存在するため、グループを作成できませんでした。

説明: DEPLOY BUNDLE コマンドに指定された CSDGROUP 値が、CSD 上の LIST の名前と同じです。CSD GROUP は、CSD LIST と同じ名前を持つことはできません。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 既存のリスト名と同じでない CSDGROUP 名を使用してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

DFHRL2463 E バンドル *bundlename* の処理を続行できません。 **GROUP** オプションには無効な文字が 1 つ以上含まれています。

説明: DEPLOY BUNDLE コマンドまたは UNDEPLOY BUNDLE コマンドに指定された RESGROUP 属性または CSDGROUP 属性に、無効な値が含まれています。

システムの処置: DFHDPLOY バッチ・ユーティリティーは処理を停止し、戻りコード 8 を発行します。

ユーザーの処置: 有効な文字のみを使用するように GROUP 値を更新してください。

モジュール: DFHDPLOY

宛先: SYSPRINT

システムの処置: ダンプ・テーブルの項目で指示しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供したシステム・ダンプおよび前に出力されたすべての診断情報を使用して、プログラム・チェックまたは異常終了の原因を調べてください。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必

要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRMCD, DFHRMCD1, DFHRMCD2, DFHRMCI2, DFHRMCI3, DFHRMCI4, DFHRMDM, DFHRMLKQ, DFHRMLK1, DFHRMLK2, DFHRMLK3, DFHRMLK5, DFHRML1D, DFHRMLN, DFHRMRS, DFHRMLSF, DFHRMLSP, DFHRMLSD, DFHRMLSO, DFHRMLSS, DFHRMLSU, DFHRMNM, DFHRMNM1, DFHRMNS1, DFHRMNS2, DFHRMOFI, DFHRMRO, DFHRMROO, DFHRMROV, DFHRMRO1, DFHRMROS, DFHRMROU, DFHRMRO2, DFHRMRO3, DFHRMRO4, DFHRMR1D, DFHRMR1E, DFHRMR1K, DFHRMR1S, DFHRMSL, DFHRMSLF, DFHRMSLJ, DFHRMSLL, DFHRMSLD, DFHRMSLV, DFHRMSL1, DFHRMSL2, DFHRMSL3, DFHRMSL4, DFHRMSL5, DFHRMSL6, DFHRMSL7, DFHRMST, DFHRMST1, DFHRMUO, DFHRMUW, DFHRMUWB, DFHRMUWE, DFHRMUWF, DFHRMUWH, DFHRMUWJ, DFHRMUWL, DFHRMUWN, DFHRMUWP, DFHRMUWQ, DFHRMUWS, DFHRMUWU, DFHRMUWV, DFHRMUWW, DFHRMUW0, DFHRMUW1, DFHRMUW2, DFHRMUW3, DFHRMU1C, DFHRMU1D, DFHRMU1E, DFHRMU1F, DFHRMU1G, DFHRMU1J, DFHRMU1K, DFHRMU1N, DFHRMU1R, DFHRMU1S, DFHRMU1U, DFHRMU1V, DFHRMU1W, DFHRMU1Q, DFHRMU1L, DFHRMVP1, DFHRMXNE, DFHRMXN2, DFHRMXN4, DFHRMXN5

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *code*
3. *X'offset'*
4. *module*

宛先: コンソール

DFHRM0002 APPLID A severe error (code X'code') has occurred in module module.

説明: リカバリー・マネージャー・ドメインが、CICS の他の部分から予期しないエラー応答を受け取りました。リカバリー・マネージャーが要求した操作は、コード X'code' で記述されています。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1. 他の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2. 症状ストリングを調べる。
3. ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRMDM, DFHRMCD1, DFHRMCD, DFHRMCI2, DFHRMCI3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *X'code'*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHRM0100 APPLID Global catalog data set is not initialized for this release of CICS.

説明: リカバリー・マネージャー・ドメイン初期設定モジュール DFHRMDM は、グローバル・カタログ式データ・セットが、現行リリース・バージョンの DFHRMUTL ユーティリティ・プログラムで初期設定されていないことを検出しました。有効なグローバル・カタログは、CICS を正しく初期設定するために不可欠です。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: このリリースのバージョンの DFHRMUTL を使用して、グローバル・カタログ式データ・セットを初期設定してください。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHRM0104 *date time applid* **Intersystem communication failure.** リソースの更新はコミットされています。ローカル・リソースがリモート・システム上のリソースと同期していない可能性があります。
Failure date *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name** *transaction tranid task number tranum* **terminal termid user userid network** **UOW netuowid local UOW** *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は中断されました。リモート・システムにはこの作業単位のコディネーターが含まれており、分散作業単位の結果の通知は受け取られていません。

作業単位は、コディネーター・システムの戻りを待たずに、ローカル・リソースの更新を一方的にコミットしています。作業単位は、以下のいずれかの理由で中断されない場合があります。

- トランザクション定義が WAIT(NO) を指定している。
- 作業単位に WAIT(YES) オプションをサポートしないバックレベル CICS システムへの MRO セッションが含まれており、作業単位内のそのセッションの役割がコディネーター・システムの戻りを待機できない役割である。
- 作業単位に LU6.1 セッションが含まれており、作業単位内のそのセッションの役割がコディネーター・システムの戻りを待機できない役割である。
- 作業単位に、INDOUBTWAIT オプションの指定で有効になっていないタスク関連ユーザー出口ルーチンが含まれている。
- 作業単位が WAIT(NO) を指定して定義されたリカバリ可能一時データ宛先を更新している。
- 作業単位に、CSD (CICS システム定義) ファイルからの CICS リソース定義のインストールが含まれている。

作業単位が中断された場合でも、以下のいずれかの理由により一方的なアクションが取られます。

•

トランザクション定義に指定された WAITTIME が満了した。

- 再同期よりも以下のいずれかが優先されている。
 - リモート・システムとの NOTPENDING による接続の設定。
 - リモート・システムとの NORECOVDATA による接続の設定。
 - FORCE を指定するリモート・システムの接続定義の XLNACTION 属性。
 - 作業単位の強制。

ローカル・リソースの更新は、以下のいずれかが以降からコミットされています。

- 作業単位が明示的にコミットを強制された。
- ローカルに実行されているトランザクションの定義の ACTION 属性に COMMIT が指定された。

一方のシステムではそのリソース更新がコミットされ、他方のシステムではバックアウトされたため、更新が非同期のままとなることがあります。このことは、通信の再確立時に検査され、以下のいずれかのメッセージが発行されます。

DFHRM0110
 DFHRM0111
 DFHRM0112
 DFHRM0113
 DFHRM0114
 DFHRM0115
 DFHRM0116
 DFHRM0117
 DFHRM0118
 DFHRM0119
 DFHRM0120
 DFHRM0121
 DFHRM0122
 DFHRM0123

元の障害情報には、このメッセージとその後続メッセージとの相互関係が示されます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をコミットし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: データ保全性を保護するためのユーザー定義の処置があれば、リモート・データとローカル・データの同期がとれるまで、その処置を実行してください。

モジュール: DFHRMLSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0105 *date time applid Intersystem communication failure.* リソースの更新はバックアウトされています。ローカル・リソースがリモート・システム上のリソースと同期していない可能性があります。

Failure date *mm/dd/yy failure time* *hh:mm:ss remote system name*
transaction *tranid task number trannum*
terminal *termid user userid network*
UOW *netuowid local UOW*
X'localuowid'.

説明: リモート・システムとの通信は中断されました。リモート・システムにはこの作業単位のコーディネーターが含まれており、分散作業単位の結果の通知は受け取られていません。

作業単位は、コーディネーター・システムの戻りを待たずに、ローカル・リソースの更新を一方的にバックアウトしています。作業単位は、以下のいずれかの理由で中断されない場合があります。

- トランザクション定義が WAIT(NO) を指定している。
- 作業単位に WAIT(YES) オプションをサポートしないバックレベル CICS システムへの MRO セッションが含まれており、作業単位内のそのセッションの役割がコーディネーター・システムの戻りを待機できない役割である。
- 作業単位に LU6.1 セッションが含まれており、作業単位内のそのセッションの役割がコーディネーター・システムの戻りを待機できない役割である。
- 作業単位に、INDOUBTWAIT オプションの指定で有効になっていないタスク関連ユーザー出口ルーチンが含まれている。
- 作業単位が WAIT(NO) を指定して定義されたリカバリー可能一時データ宛先を更新している。
- 作業単位に、CSD (CICS システム定義) ファイルからの CICS リソース定義のインストールが含まれている。

ンが含まれており、作業単位内のそのセッションの役割がコーディネーター・システムの戻りを待機できない役割である。

- 作業単位に LU6.1 セッションが含まれており、作業単位内のそのセッションの役割がコーディネーター・システムの戻りを待機できない役割である。
- 作業単位に、INDOUBTWAIT オプションの指定で有効になっていないタスク関連ユーザー出口ルーチンが含まれている。
- 作業単位が WAIT(NO) を指定して定義されたリカバリー可能一時データ宛先を更新している。
- 作業単位に、CSD (CICS システム定義) ファイルからの CICS リソース定義のインストールが含まれている。

作業単位が中断された場合でも、以下のいずれかの理由により一方的なアクションが取られます。

- トランザクション定義に指定された WAITTIME が満了した。
- 再同期よりも以下のいずれかが優先されている。
 - リモート・システムとの NOTPENDING による接続の設定。
 - リモート・システムとの NORECOVDATA による接続の設定。
 - FORCE を指定するリモート・システムの接続定義の XLNCTION 属性。
 - 作業単位の強制。

ローカル・リソースの更新は、以下のいずれかが以降からバックアウトされています。

- 作業単位が明示的にバックアウトを強制された。
- ローカルに実行されているトランザクションの定義の ACTION 属性に BACKOUT が指定された。

一方のシステムではそのリソース更新がコミットされ、他方のシステムではバックアウトされたため、更新が非

DFHRM0106

同期のままとなることがあります。このことは、通信の再確立時に検査され、以下のいずれかのメッセージが発行されます。

DFHRM0110
DFHRM0111
DFHRM0112
DFHRM0113
DFHRM0114
DFHRM0115
DFHRM0116
DFHRM0117
DFHRM0118
DFHRM0119
DFHRM0120
DFHRM0121
DFHRM0122
DFHRM0123

元の障害情報には、このメッセージとその後続メッセージとの相互関係が示されます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: データ保全性を保護するためのユーザー定義の処置があれば、リモート・データとローカル・データの同期がとれるまで、その処置を実行してください。

モジュール: DFHRMLSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0106 *date time applid Intersystem*

communication failure. リソースの更新は、セッションがリカバリーされるまでコミットまたはバックアウトされません。

Failure date *mm/dd/yy* **failure time**

hh:mm:ss remote system name

transaction *tranid task number trannum*

terminal *termid user userid network*

UOW *netuowid local UOW*

X'localuowid'.

説明: リモート・システムとの通信は中断されました。この作業単位のコーディネーターが含まれているリモート・システムがエラーになり、分散作業単位の結果の通知を受け取っていません。ローカルに実行しているトランザクションの定義は WAIT(YES) を指定しているため、ローカル・リソースの更新はロックされたままになっています。リモート・システムとの通信が再確立されると、他のシステムの処置に応じてリソース更新はコミットまたはバックアウトされ、以下のいずれかのメッセージが発行されます。

DFHRM0108
DFHRM0109
DFHRM0112
DFHRM0113
DFHRM0115
DFHRM0116
DFHRM0118
DFHRM0119
DFHRM0121
DFHRM0122

通信が再確立される前に、ローカルに実行しているトランザクションのトランザクション定義で WAITTIME によって指定された時間が経過すると、ACTION 属性に従ってリソース更新がコミットまたはバックアウトされ、以下のいずれかのメッセージが発行されます。

DFHRM0104
DFHRM0105

ローカル・システムで再同期アクティビティを優先することが、以下のいずれかによって決定されたとしします。

- リモート・システムとの NOTPENDING による接続の設定。
- リモート・システムとの NORECOVDATA による接続の設定。
-

FORCE を指定するリモート・システムの接続定義の XLNACTION 属性。

- 作業単位の強制。

この場合にも、それに応じてリソース更新がコミットまたはバックアウトされて、以下のいずれかのメッセージが発行されます。

DFHRM0125

DFHRM0126

システムの処置: 処理を続行します。リソース更新に関連するロックは保持されます。

ユーザーの処置: 可能なかぎり速やかにリモート・システムとの通信を再確立してください。

モジュール: DFHRMLSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0107 *date time applid Intersystem*

communication failure. リソースの更新は同期しない可能性があります。**Failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'**.

説明: リモート・システムとの通信は中断されました。これは、リモート・システムに対するセッションの障害、または CFDT サーバー・システムの障害が原因である可能性があります。ローカル・システムのリソース更新はコミットまたはバックアウトされます。分散作業単位の結果の通知がリモート・システムおよびサーバーに到達しない可能性があります。一方のシステムはそのリソース更新をコミットするものの、他方のシステムは

バックアウトし、更新が同期しないままになるという場合があります。このことは、セッションまたはサーバーのリカバリー時に検査され、以下のいずれかのメッセージが発行されます。

DFHRM0110

DFHRM0111

DFHRM0114

DFHRM0117

DFHRM0120

DFHRM0123

DFHRM0135

ローカル・システムで再同期アクティビティを優先することが、以下のいずれかによって決定されたとし

- リモート・システムとの NOTPENDING による接続の設定。

- リモート・システムとの NORECOVDATA による接続の設定。

- FORCE を指定するリモート・システムの接続定義の XLNACTION 属性。

- 作業単位の強制。

この場合にも、それに応じてリソース更新がコミットまたはバックアウトされて、DFHRM0127 が発行されます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をコミットまたはバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。情報はリモート・システムとの再同期ができるように保持されます。

ユーザーの処置: 可能なかぎり速やかにリモート・システムとの通信を再確立してください。

モジュール: DFHRMLSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*

10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0108 *date time applid Intersystem communication recovery.* 中断されたりソースの更新はこれからコミットされます。**Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.*

説明: このメッセージは、メッセージ DFHRM0106 の続きとして、システム間連絡リカバリー中に発行されます。この作業単位のコーディネーターであるリモート・システムとの通信は再確立されており、再同期が実行されています。これで、リモート・システムが同期点を完了したことが確認されました。ローカル・リソースの更新は、これに応じてコミットされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をコミットし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0109 *date time applid Intersystem communication recovery.* 中断されたりソースの更新はこれからバックアウトされます。**Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.*

説明: これは、メッセージ DFHRM0106 の続きとして、システム間連絡リカバリー中に発行される通知メッセージです。この作業単位のコーディネーターであるリモート・システムとの通信は再確立されており、再同期が実行されています。これで、リモート・システムが同期点を完了しなかったことが確認されました。ローカル・リソースの更新は、これに応じてバックアウトされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: 必要であれば、割り込まれたトランザクションを再始動してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0110 *date time applid Intersystem communication recovery.* 作業単位は同期化しています。**Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.*

説明: 作業単位内の従属するリモート・システムとの再同期が、通信の再開、またはローカル・システム上の作業単位のシャント解除に続いて実行されました。ローカル・システムまたはリモート・システム (あるいはその両方) が、分散作業単位のその部分に対して決定を既に行っていたことが検出されました。ローカル・システムとリモート・システムの決定が同期していることが確認されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0111 *date time applid Intersystem communication recovery.* 分散作業単位は同期化していません。 **Original failure date** *mm/dd/yy failure time* *hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'*.

説明: 作業単位内の従属するリモート・システムとの再同期が、通信の再開、またはローカル・システム上の作業単位のシャント解除に続いて実行されました。ローカル・システムまたはリモート・システム (あるいはその両方) が、分散作業単位のその部分に対して決定を既に行っていたことが検出されました。ローカル・システムとリモート・システムの決定が同期していないことが確認されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0112 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムは再初期化されました。ローカル作業単位はコミットされています。 **Original failure date** *mm/dd/yy failure time* *hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。リモート・システムが再初期設定されており、作業単位に関する情報がないことが検出されました。リモート・システム内の分散作業単位のリソース更新が、コミットまたはバックアウトされた可能性があります。

セッションが CICS より前のトランザクション・サーバー・システムに対する MRO セッションである場合、このメッセージは、リモート・システムが再初期設定されていなかった場合でも発行されることがあります。これは、接続以降、最初の作業単位でセッションが失敗した場合にのみ発生する可能性があります。

ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。これが受信されることはありません。

ローカル作業単位は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってコミットされます。

システムの処置: システムは作業単位をコミットし、すべてのリソース更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0113 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムは再初期化されました。ローカル作業単位はバックアウトされています。
Original failure date *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.*

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。リモート・システムが再初期設定されており、作業単位に関する情報がないことが検出されました。リモート・システム内の分散作業単位のリソース更新が、コミットまたはバックアウトされた可能性があります。

セッションが CICS より前のトランザクション・サーバー・システムに対する MRO セッションである場合、このメッセージは、リモート・システムが再初期設定されていなかった場合でも発行されることがあります。これは、接続以降、最初の作業単位でセッションが失敗した場合にのみ発生する可能性があります。

ローカル・システム内の作業単位は、分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。これが受信されることはありません。

ローカル作業単位は、トランザクション定義の

ACTION 属性に従ってバックアウトされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0114 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムは再初期化されました。**Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.*

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。リモート・システムが再初期設定されており、作業単位に関する情報がないことが検出されました。リモート・システム内の分散作業単位のリソース更新が、コミットまたはバックアウトされた可能性があります。ローカル・システム内の作業単位は、以前にコミットまたはバックアウトされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0115 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムは混じり合ったヒューリスティック結果を送信しました。リソースの更新はコミットされます。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW** *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。分散作業単位内で一部のリソース更新がコミットされ、一部がバックアウトされていることが検出されました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。受け取った通知は、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定しません。ローカルに実行しているトランザクションの定義が、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定するために使用されます。ローカル・リソース更新は、トランザクション定義の **ACTION** 属性に従ってコミットされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をコミットし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0116 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムは混じり合ったヒューリスティック結果を送信しました。作業単位はバックアウトされます。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW** *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。分散作業単位内で一部のリソース更新がコミットされ、一部がバックアウトされていることが検出されました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。受け取った通知では、リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかは判別されません。ローカル作業単位は、トランザクション定義の **ACTION** 属性に従ってバックアウトされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*

5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0117 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムは混じり合ったヒューリスティック結果を送信しました。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name** **transaction tranid** **task number** *trannum* **terminal termid** **user userid** **network UOW** *netuowid* **local UOW** *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。分散作業単位内で一部のリソース更新がコミットされ、一部がバックアウトされていることが検出されました。ローカル・システムのリソース更新は、以前にコミットまたはバックアウトされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0118 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムからの再同期の情報は、作業単位の結果を判断するには不十分です。リソースの更新はコミットされます。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name** **transaction tranid** **task number** *trannum* **terminal termid** **user userid** **network UOW** *uowid* **local UOW** *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。リモート・システムから受け取った情報は、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定しませんでした。

ローカルに実行しているトランザクションの定義が、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定するために使用されます。ローカル・リソース更新は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってコミットされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をコミットし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *uowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0119 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムからの再同期の情報は、作業単位の結果を判断するには不十分です。リソースの更新はバックアウトされます。**Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.**

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。リモート・システムから受け取った情報は、リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定しませんでした。

ローカルに実行しているトランザクションの定義が、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定するために使用されます。ローカル・リソース更新は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってバックアウトされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0120 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムからの再同期の情報は、作業単位の結果を判断するには不十分です。**Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.**

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。リモート・システムから受け取った情報は、分散作業単位内のリソース更新がコミットされているかバックアウトされているかは判別しませんでした。ローカル・システムのリソース更新は、以前にコミットまたはバックアウトされています。リモート・システムが CFDT サーバーである場合、取られたアクションをリモート・システムが記録していないとしても、リソース更新は整合性を持つようになります。CFDT リソースは後から削除された可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。リモート・システムが CFDT サーバーである場合は、これ以上の処置は不要です。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0121 *date time applid* **Intersystem**

communication recovery. リモート・システムとの再同期の間に、プロトコル違反が検出されました。リソースの更新はコミットされます。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction tranid task number** *trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW* *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。再同期中にローカル・システムがプロトコル違反を検出しました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。ローカル・システムは、分散作業単位内の他のリソース変更と整合性を持たせるために、リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定できません。ローカルに実行しているトランザクションの定義が、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定するために使用されます。ローカル・リソース更新は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってコミットされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をコミットし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0122 *date time applid* **Intersystem**

communication recovery. リモート・システムとの再同期の間に、プロトコル違反が検出されました。リソースの更新はバックアウトされます。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction tranid task number** *trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW* *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。再同期中にローカル・システムがプロトコル違反を検出しました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。ローカル・システムは、分散作業単位内の他のリソース変更と整合性を持たせるために、リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定できません。ローカルに実行しているトランザクションの定義が、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定するために使用されます。ローカル・リソース更新は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってバックアウトされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0123 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムとの再同期の間に、プロトコル違反が検出されました。 **Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number tranum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.*

説明: リモート・システムとの通信は再開されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。再同期中にローカル・システムがプロトコル違反を検出しました。ローカル・システムのリソース更新は、以前にコミットまたはバックアウトされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *tranum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0124 *date time applid Intersystem communication recovery.* リソースの更新が同期していません。 **network UOW netuowid remote system name.**

説明: システム間連絡リカバリーが進行中です。リモート・システムが作業単位を再同期しようとしたますが、ローカル・システムはその作業単位をもう認識していません。これは、最終エージェントまたは推定される異常終了プロトコルが使用されており、ローカル・システムが作業単位に関連するリソース更新をバックアウトしたためです。リモート・システムは、リモート・システ

ム内のリソース更新がバックアウトされなかったという通知を送信しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netuowid*
5. *name*

宛先: CSMT

DFHRM0125 *DATE TIME APPLID Clear pending issued.* リモート・システムとの接続が **NOTPENDING** に設定されました。リソースの更新はコミットされます。 **Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number tranum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.*

説明: リモート・システムとの接続が **NOTPENDING** または **NORECOVDATA** に設定されているか、あるいは接続が **XLNACTION(FORCE)** を指定して定義されています。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。リモート・システムとの接続を **NOTPENDING** または

NORECOVDATA に設定することは、リモート・システムからの結果の通知よりも優先されます。ローカルに実行しているトランザクションの定義が、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定するために使用されます。ローカル・リソース更新は、トランザクション定義の **ACTION** 属性に従ってコミットされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をコミットし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。

モジュール:

DFHRMLN、DFHRMLK4、DFHRMLSO、DFHRMLSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. mm/dd/yy
5. hh:mm:ss
6. name
7. tranid
8. trannum
9. termid
10. userid
11. netuowid
12. X'localuowid'

宛先: CSMT

DFHRM0126 DATE TIME APPLID Clear pending issued. リモート・システムとの接続が NOTPENDING に設定されました。リソースの更新はバックアウトされます。
Original failure date mm/dd/yy **failure time** hh:mm:ss **remote system name** transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.

説明: リモート・システムとの接続が NOTPENDING または NORECOVDATA に設定されているか、あるいは接続が XLNACTION(FORCE) を指定して定義されています。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。リモート・システムとの接続を NOTPENDING または NORECOVDATA に設定することは、リモート・システムからの結果の通知よりも優先されます。ローカルに実行しているトランザクションの定義が、ローカル・リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかを決定するために使用されます。ローカル・リソース更新は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってバックアウトされます。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期をとり直してください。

モジュール:

DFHRMLN、DFHRMLK4、DFHRMLSO、DFHRMLSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. mm/dd/yy
5. hh:mm:ss
6. name
7. tranid
8. trannum
9. termid
10. userid
11. netuowid
12. X'localuowid'

宛先: CSMT

DFHRM0127 DATE TIME APPLID Clear pending issued. リモート・システムとの接続が NOTPENDING に設定されました。
Original failure date mm/dd/yy **failure time** hh:mm:ss **remote system name** transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.

説明: システム間の通信は、以前に同期点で失敗しました。システム間の再同期が優先されました。リモート・システムとの接続が、以下のように設定されています。

- NOTPENDING に設定されている。
- NORECOVDATA に設定されている。
- 再確立され、XLNACTION(FORCE) を指定して定義されている。

ローカル・システム内の作業単位が分散作業単位の結果について未確定であった場合、ローカル・リソース更新は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってコミットまたはバックアウトされます。

リモート・システムとの再同期は試行されていないので、ローカル・システムとリモート・システムのリソース更新は同期していない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー定義の処置をとって、ローカ

ル・システムおよびリモート・システムのリソースの同期を取り直してください。

モジュール:

DFHRMLN、DFHRMLK4、DFHRMLSO、DFHRMLSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0128 *date time applid Intersystem communication failure.* リソースの更新はコミットされています。ローカル・リソースがリモート・システム上のリソースと同期していない可能性があります。
Failure date *mm/dd/yy failure time* *hh:mm:ss remote system name*
transaction *tranid task number trannum*
terminal *termid user userid network*
UOW *netuowid local UOW*
X'localuowid'.

説明: リモート・システムとの通信は失敗しました。ローカル・システムのリソース更新はコミットされています。分散作業単位の結果の通知がリモート・システムに到達しない可能性があります。一方のシステムはそのリソース更新をコミットするものの、他方のシステムはバックアウトし、更新が同期しないままになるという場合があります。リモート・システムはローカル・システムに再同期情報を提供しないので、ローカル・システムとリモート・システムの再同期時には解決メッセージはありません。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をコミットし、それらの更新に関連したロックを解放します。情報はリモート・システムとの再同期ができるように保持されます。

ユーザーの処置: 可能なかぎり速やかにリモート・システムとの通信を再確立してください。ローカル・システ

ムはコーディネーターであり、通信が再確立されるときに、リモート・システムの未確定解決情報を提供します。リモート・システムが作業単位に関してヒューリスティック判定を下した場合、そのことを示す診断情報を提供しているはずです。

モジュール: DFHRMLSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0129 *date time applid Intersystem communication failure.* リソースの更新はバックアウトされています。ローカル・リソースがリモート・システム上のリソースと同期していない可能性があります。
Failure date *mm/dd/yy failure time* *hh:mm:ss remote system name*
transaction *tranid task number trannum*
terminal *termid user userid network*
UOW *netuowid local UOW*
X'localuowid'.

説明: リモート・システムとの通信は失敗しました。ローカル・システムのリソース更新はバックアウトされています。分散作業単位の結果の通知がリモート・システムに到達しない可能性があります。一方のシステムはそのリソース更新をコミットするものの、他方のシステムはバックアウトし、更新が同期しないままになるという場合があります。リモート・システムはローカル・システムに再同期情報を提供しないので、ローカル・システムとリモート・システムの再同期時には解決メッセージはありません。

システムの処置: システムは、ローカル・リソースの更新をバックアウトし、それらの更新に関連したロックを解放します。情報はリモート・システムとの再同期ができるように保持されます。

DFHRM0130 • DFHRM0133

ユーザーの処置: 可能なかぎり速やかにリモート・システムとの通信を再確立してください。ローカル・システムはコーディネーターであり、通信が再確立されるときに、リモート・システムの未確定解決情報を提供します。リモート・システムが作業単位に関してヒューリスティック判定を下した場合、そのことを示す診断情報を提供しているはずです。

モジュール: DFHRMLSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0130 *applid* **Recovery manager has successfully quiesced.**

説明: リカバリー・マネージャーは静止しました。

ウォーム・キーポイントが取られています。

システムの処置: シャットダウンが続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0131 *applid* **Resynchronization required with protocol resources.**

説明: シャットダウンが実行されたときに、このシステムには非静止状態が含まれていました。状態は、作業単位またはログ名で構成されている場合があります (ログ名は、通信プロトコル IPIC (ISCU)、IRC (IRC)、および APPC (LU62) についてのみ存在します)。いずれかの分散作業単位の結果を解決するには、このシステムは他のシステムとの再同期を実行することが必要な場合があります。

あります。これは、後続の CICS システムの作業の一部として実行できます。

再同期が必要な対象システムは、メッセージ DFHRM0132 または DFHRM0133 で報告されます。

カタログおよびシステム・ログ・データを再初期設定する後続の CICS 始動は、作業単位またはログ名 (あるいはその両方) を破棄し、データ保全性が失われる原因となる可能性があります。

システムの処置: シャットダウンが続けられます。

ユーザーの処置: データ保全性を維持するには、自動始動を実行して、適切なシステムと再同期できるようにしてください。

モジュール: DFHRMNS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *protocol*

宛先: コンソール

DFHRM0132 *date time applid* **Resynchronization is required with protocol system system.**

説明: シャットダウン時にシステム内でアクティブな作業単位は、示されたシステムとの再同期を必要とします。作業単位は分散作業単位の一部でしたが、結果を解決するには再同期が必要です。

カタログおよびシステム・ログ情報が再初期設定されない限り、再同期は後続の開始後に起きます。

システムの処置: シャットダウンが続けられます。

ユーザーの処置: 必要な場合は、データ保全性を保護するためのユーザー定義の処置を、リモート・データとローカル・データの同期がとれるまで実行してください。

モジュール: DFHRMLKQ, DFHRMNS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *protocol*
5. *system*

宛先: CSMT

DFHRM0133 *date time applid* **Resynchronization may be required with protocol system system.**

説明: このシステムはログ名をリモート・システムと交

換したため、そのシステムとの再同期が必要となる場合があります。

カタログまたはシステム・ログ情報が再初期設定されない限り、再同期は後続の CICS 開始後に起きます。

システムの処置: シャットダウンが続けられます。

ユーザーの処置: 必要場合は、データ保全性を保護するためのユーザー定義の処置を、再同期が行われるまで実行してください。

モジュール: DFHRMNS2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *protocol*
5. *system*

宛先: CSMT

DFHRM0134 *applid* **Recovery manager domain failed reading the global catalog, or did not find its control record.**

説明: グローバル・カタログの読み取り中にリカバリー・マネージャー・ドメインが失敗しました。CICS の最終実行の終了時にシステムの状況を確認しようとしていたが制御レコードが欠落していたか無効であったか、またはカタログを正常に読み取れなかったかのいずれかです。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: (例えば、VSAM または MVS から) 発行されたダンプまたは他の診断メッセージを使用して、エラーの原因を調べてください。

入出力エラーによって問題が発生した場合は、カタログから既に発行されている CICS メッセージの説明を手引きとして参照してください。

無効なデータ長によって問題が発生した場合は、トレース・テーブル内の例外トレース項目を参照してください。

制御レコードの欠落によって問題が発生した場合は、カタログはリカバリー可能始動に適しておらず、初期始動を実行する必要があります。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0135 *date time applid* **Intersystem**

communication recovery. リソースの更新は同期化しています。 **Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction** *tranid* **task number** *trannum* **terminal** *termid* **user** *userid* **network UOW** *netuowid* **local UOW** *X'localuowid'*.

説明: 作業単位内の従属するリモート・システムとの再同期が、通信の再開、またはローカル・システム上の作業単位のシャット解除に続いて実行されました。リモート・システムが分散作業単位内でのそのローカル・リソース更新を既に決定していたか、またはリモート・システムがこのシステムからの決定を待機していたかのいずれかです。どちらの場合も、ローカル・システムとリモート・システムのリソース更新が同期していることが確認されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0136 *applid* **The applid has changed from old_applid to new_applid.** リカバリーを続行できません。

説明: リカバリーが要求されましたが、CICS カタログからリカバリー・ドメイン・マネージャーによってリカバリーされたアプリケーション ID が、システムに対して指定されているものとは異なっています。これは、ネ

DFHRM0137 • DFHRM0141

ットワーク上のシステムの ID が変更されたことを暗黙に示しています。システムは、他のシステムとの間で実行される再同期について、ネットワーク上に同じ ID を維持する必要があります。

システムの処置: システムは終了します。

ユーザーの処置: リカバリーおよび再同期が必要な場合は、SIT のアプリケーション ID を修正し、システムを再始動してください。CICS システムの ID を変更する場合を除き、カタログおよびシステム・ログ情報は再初期設定しないでください。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *old_applid*
3. *new_applid*

宛先: コンソール

DFHRM0137 *applid* **Recovery of local logname failed.** リカバリーを続行できません。

説明: リカバリーが要求されましたが、ローカル・ログ名は、CICS カタログからリカバリー・マネージャー・ドメインによってリカバリーできませんでした。

システムの処置: システムは終了します。

ユーザーの処置: 必要なデータを CICS カタログから読み取ること失敗した、考えられる原因を調査してください。正しいカタログ・データ・セットを使用しましたか。カタログ・データ・セットが破損していた可能性はありますか。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0139 *date time applid* **UOWLINK deleted by user action. Original failure date**
mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote
system name transaction tranid task
number trannum terminal termid user
userid network UOW netuowid local
UOW *X'localuowid'*.

説明: このメッセージは、CEMT または EXEC CICS SET UOWLINK ACTION(DELETE) コマンドによる UOW リンク (UOWLINK) の削除を確認するために発行されます。このコマンドは、破棄された後の接続によって作成されたリンクを削除するために使用されます。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0140 *APPLID* リカバリー・マネージャーが自動始動指定変更の値 '*autofield*' を検出しました。

説明: リカバリー・マネージャーが、グローバル・カタログ式データ・セット内に自動始動指定変更レコードを見つけました。この値は、AUTOINIT、AUTOCOLD、または AUTOASIS のいずれかです。

システムの処置: システムは続行します。これが AUTO 始動である場合は、メッセージ内の自動始動指定変更値が使用され、実行される開始のタイプが決定されます。

ユーザーの処置: 処置は必要ない。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *autofield*

宛先: コンソール

DFHRM0141 *APPLID* **Recovery manager autostart override record is not present.** 通常の処理を続行します。

説明: グローバル・カタログ式データ・セット内に自動始動指定変更レコードがありません。ユーティリティー DFHRMUTL を使用したことがない場合、このメッセージは AUTO 始動では正常なものであり、問題を表してはいません。

システムの処置: デフォルトの自動始動処理は続行されます。これは、自動始動指定変更レコードの AUTOASIS 値に相当します。

ユーザーの処置: 処置は必要ない。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHRM0142 *APPLID* Recovery manager autostart override record found to be: 'autofield', and this is not a valid value. AUTOASIS is assumed instead.

説明: リカバリー・マネージャーが、グローバル・カタログ式データ・セット内に自動始動指定変更レコードを見つけました。これは、AUTOINIT、AUTOCOLD、および AUTOASIS のどの値も持ちません。

システムの処置: AUTOASIS が想定され、ダンプが取られ、システムが続行されます。指定変更レコードは、通常どおり開始時に削除されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。自動始動指定変更レコードを正しく設定するには、CICS を開始する前にユーティリティ DFHRMUTL を使用する必要があります。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

2. *autofield*

宛先: コンソール

DFHRM0143 *APPLID* Recovery manager autostart override record is invalid. 'AUTOASIS' is assumed.

説明: リカバリー・マネージャーが、グローバル・カタログ式データ・セット内に自動始動指定変更レコードを見つけましたが、長さが無効であるかまたは形式が誤っています。

システムの処置: ダンプが取られ、システムは続行されます。自動始動指定変更値は AUTOASIS であると想定されます。自動始動指定変更レコードは、通常どおり始動時にカタログから削除されます。

ユーザーの処置: グローバル・カタログ式データ・セットが誤って変更された理由を調べてください。CICS を開始する前に、DFHRMUTL ユーティリティを使用して自動始動指定変更レコードを正しく設定します。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHRM0144 *applid* Recovery manager catalog record indicates that no recovery is possible. An initial start is required.

説明: リカバリー・マネージャーはグローバル・カタログ式データ・セットからカタログ・レコードを読み取りましたが、これはリカバリーが不可能であることを示します。最も可能性が高い理由は、CICS が最後の CICS シャットダウンの前に破損したログを検出したことです。始動はこれらの始動パラメーターでは続行できません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS 始動ジョブがグローバル・カタログ式データ・セットを正しく識別するかどうかを判断してください。正しく識別する場合、システム・ログは使用できない可能性があり、CICS の初期始動を実行する必要があります。

グローバル・カタログ式データ・セットが誤って識別された場合は、正しいグローバル・カタログ式データ・セットを使用してジョブを再実行してください。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0145 *applid* Recovery manager does not recognize the form of start requested by SIT parameters and overrides.

説明: リカバリー・マネージャーは、どのような種類の CICS 始動を実行するかを決定できません。SIT のパラメーターおよびカタログ式データ・セットから読み取られたすべての設定は、有効な始動タイプと不整合です。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この失敗は、CICS の内部不整合が原因です。この問題を解決するために IBM からのサポー

トがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0146D *applid* Global catalog data set recovery data not found. System log data will be lost. Reply GO or CANCEL.

説明: コールド・スタートが要求されましたが、グローバル・カタログ式データ・セット内にリカバリー管理レコード情報が見つかりませんでした。今回がグローバル・カタログ式データ・セットを使用した CICS の最初の実行であるか、誤ったグローバル・カタログ式データ・セットが使用されているか、またはグローバル・カタログ式データ・セットがリカバリーに必要な情報なしで初期設定されているかのいずれかです。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 今回がグローバル・カタログ式データ・セットを使用した初めての CICS の実行であった場合、またはシステム・ログからすべてのリカバリー情報を削除することを意図している場合は、「GO」と応答してください。これにより、前の CICS 実行からのシステム・ログ情報を保持せずに初期始動を強制できます。特に、リモート CICS システムとの再同期に使用された情報と、すべてのローカル・リカバリー情報は消去されます。

これが初めてではない場合、またはシステム・ログ情報を保持して別のグローバル・カタログ式データ・セットを使用して試行したい場合は、「CANCEL」と応答してこの CICS 実行を強制終了してください。この場合には、何も破棄されません。グローバル・カタログ式データ・セットを確認し、再試行してください。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. GO
3. CANCEL

宛先: コンソール

DFHRM0147 *applid* 応答 CANCEL を受け取りました。

説明: メッセージ DFHRM0146 に対して、「CANCEL」の応答を受け取りました。

システムの処置: CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0148 *date time applid Intersystem communication recovery.* リソースの更新は同期しています。network UOW id netuowid remote system name.

説明: システム間連絡リカバリーが進行中です。リモート・システムが作業単位を再同期しようとしたしましたが、ローカル・システムはその作業単位を認識しなくなっています。これは、ローカル・システムがコーディネーターであり、最終のエージェントまたは推定された異常終了プロトコルが使用されていたことが原因です。作業単位に関連付けられていたすべてのローカル・リソース更新はバックアウトされました。リモート・システムが、リモート・システム内のリソース更新がまだ未確定である(再同期に続いてバックアウトされる)または既にバックアウトされているという通知を送信しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netuowid*
5. *name*

宛先: CSMT

DFHRM0149I *APPLID* Recovery manager autostart override record will be deleted.

説明: リカバリー・マネージャーが、グローバル・カタログ・データ・セット内に自動始動指定変更レコードを見つけました。これは、診断実行でない限り、正しい始

動タイプが決定されると削除されます。これが診断実行である場合は、リカバリー・マネージャーのグローバル・カタログ・レコードは変更されません。

システムの処置: これが診断実行でない限り、レコードはグローバル・カタログ・データ・セットから削除され、後続の始動に影響を与えることはありません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHRM0150 *APPLID* Diagnostic run due to AUTODIAG override is finished. CICS will now terminate.

説明: リカバリー・マネージャーが診断実行を行い、ダンプをとって終了するところです。これは自動指定変更レコード内の AUTODIAG 指定変更の結果です。

システムの処置: システムは終了します。ダンプがとられます。

ユーザーの処置: これ以上の処置は必要ありません。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHRM0151 *APPLID* Diagnostic run is initiated. A simulated AUTO start is performed for diagnostic purposes only.

説明: リカバリー・マネージャーは、グローバル・カタログ上に診断実行指定変更 (AUTODIAG) を検出しました。この CICS の実行では、アプリケーション処理は実行されず、診断のみを目的としています。

システムの処置: システムは続行します。後で終了前にダンプがとられます。

ユーザーの処置: この時点ではこれ以上の処置は不要です。診断実行を行う理由の詳細、および同時に維持する他の診断については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHRM0152 *APPLID* Recovery manager autostart override record is set to AUTODIAG.

説明: グローバル・カタログのリカバリー・マネージャー自動指定変更レコードは AUTODIAG に設定されており、次の初期始動の前の診断実行が許可されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。診断実行を行う方法については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHRMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHRM0154 *applid* Uncommitted local resource updates found on the System Log. COLD start is NOT preserving data integrity.

説明: コールド・スタートが要求されましたが、コミットされていないローカル・リソース更新が含まれる作業単位がシステム・ログに見つかりました。コールド・スタートではこの情報は無視されるため、影響を受けるリソースに対してデータ保全性は維持されません。

システムの処置: コールド・スタートは続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHRMU1E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0156 *applid* This COLD start will NOT cause any damage to local resources.

説明: リカバリー・マネージャーは、CICS の前の実行からの、システム・ログに記録されているコミットされていないリソース更新がないことを確認しました。したがって、必要なローカル・リカバリーはありません。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0200 *applid indoubt_uows indoubt UOWs*
were reconstructed.

説明: このメッセージは、ウォーム・リスタート時または緊急再始動時に再構成された未確定作業単位 (UOW) の数 *indoubt_uows* を表示します。

これは、未確定の UOW が少なくとも 1 つある場合にのみ出されます。これは、再構成されたいずれかの UOW がシャント解除されて並列で処理される前に出されます。

システムの処置: システムはシステム・ログの逆方向スキップの実行を完了し、さらに処理を必要とする UOW のシャント解除を開始しようとしています。

未確定であり、以下のいずれかの条件が適用される UOW をシステムはコミットまたはバックアウトします。

- トランザクションが WAIT(NO) で定義されている。
 - トランザクションが WAIT(YES) で定義されており、WAITTIME の有効期限が切れている。
- 注: WAITTIME がゼロの場合は、無期限に待機することを意味します。

コーディネーター・システムとの通信が可能な場合、UOW はシャント解除され、更新はローカル・システム上でコミットまたはバックアウトされます。これらの更新は、コーディネーター・システム上で行われた更新と同期されます。

コーディネーター・システムとの通信がすぐに実行できない場合、コーディネーター・システムとの再同期が可能になるまで、または WAITTIME が満了するまで、UOW は保持されます。これらの未確定 UOW の中断により、更新されたリカバリー可能リソースは、後続の更新に対してはロックされたままになります。

ユーザーの処置: なし。

さらに調査が必要な場合は、CICS が初期設定された後に、CEMT INQUIRE UOW INDOUBT コマンドと CEMT INQUIRE UOWENQ RETAINED コマンドを使用してください。これらのコマンドは、未確定 UOW および関連する保持されたエンキューの詳細を示します。

モジュール: DFHRMU1E。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *indoubt_uows*

宛先: コンソール

DFHRM0201 *date time applid bfail_uows backout-failed and cfail_uows commit-failed UOWs*
were reconstructed. The number of
UOWs reconstructed to await a forget
flow for resolution with a remote
system was *forget_uows*.

説明: このメッセージは、ウォーム・リスタートまたは緊急再始動時に再構成されたバックアウト失敗作業単位 (UOW) の数 *bfail_uows*、およびコミット失敗 UOW の数 *cfail_uows* を表示します。さらにこれは、リモート・システムで FORGET または解決を待機している UOW の数 *forget_uows* も表示します。

このメッセージは、そのような UOW が少なくとも 1 つある場合にのみ出されます。これは、再構成されたいずれかの UOW がシャント解除されて並列で処理される前に出されます。

注: このメッセージは、コミットに失敗したかまたはバックアウトに失敗した UOW が処理される前に出されます。これらの UOW の多くは、CICS の初期設定中に解決される可能性があります。真にコミットに失敗したかまたはバックアウトに失敗した UOW は、CICS の初期設定中に追加のメッセージにより明らかにされます。また、CICS が完全に初期設定されたら、マスター端末トランザクション (CEMT) を使用して、コミットに失敗したかまたはバックアウトに失敗した未解決の UOW があるかどうかを判別できます。

ローカルにコミットまたはバックアウトされて、リモート・システムからの FORGET 確認をまだ待っていたすべての UOW は、参照目的で報告されます。

システムの処置: システムはシステム・ログの逆方向スキップの実行を完了し、さらに処理を必要とする UOW のシャント解除を開始しようとしています。

ローカルなバックアウトまたはローカルなコミットに失敗した UOW が再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bfail_uows*

5. *cfail_uows*
6. *forget_uows*

宛先: CSMT

DFHRM0202 *date time applid inflight_uows inflight UOWs were reconstructed.*

説明: このメッセージは、緊急再始動時に再構成された不完了作業単位 (UOW) の数 *inflight_uows* を表示します。

これは、未完了の UOW が少なくとも 1 つある場合にのみ出されます。これは、再構成されたいずれかの UOW がシャント解除されて並列で処理される前に出されます。

システムの処置: システムはシステム・ログの逆方向スキップの実行を完了し、さらに処理を必要とする UOW のシャント解除を開始しようとしています。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1E。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *inflight_uows*

宛先: CSMT

DFHRM0203 *applid indoubt_uows* の未確定 UOW、*cfail_uows* のコミット失敗 UOW、および *bfail_uows* のバックアウト失敗 UOW があります。

説明: このメッセージは、通常シャットダウン時の CICS システム内の未確定作業単位 (UOW) 数 *indoubt_uows*、バックアウト失敗 UOW 数 *bfail_uows*、およびコミット失敗 UOW 数 *cfail_uows* を表示します。

これは、そのような UOW が少なくとも 1 つある場合にのみ出されます。何もない場合は、メッセージ DFHRM0204 が代わりに出されます。

メッセージ DFHRM0203 および DFHRM0204 を参照して、通常シャットダウンに続いて再同期情報を失わずに CICS のコールド・スタートを安全に実行できるかどうかを判別できます。詳細については、DFHRM0204 を参照してください。

システムの処置: シャットダウン処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1K

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *indoubt_uows*
3. *cfail_uows*
4. *bfail_uows*

宛先: コンソール

DFHRM0204 *applid There are no indoubt, commit-failed or backout-failed UOWs. The number of UOWs awaiting a forget flow for resolution with a remote system was forget_uows.*

説明: 通常シャットダウン時に、CICS システム内に未確定、コミット失敗、またはバックアウト失敗の作業単位 (UOW) はありません。

そのような作業単位がある場合には、メッセージ DFHRM0203 が発行されます。

ローカルにコミットまたはバックアウトされて、リモート・システムからの FORGET 確認をまだ待っていたすべての UOW も、参照目的で報告されます。

このメッセージは、再同期情報を失わずに CICS のコールド・スタート (初期始動ではない) を安全に実行できることを示します。

システムの処置: シャットダウン処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1K

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *forget_uows*

宛先: コンソール

DFHRM0205 *date time applid An activity keypoint has been successfully taken.*

説明: CICS はアクティビティ・キーポイントを正常に取得しました。このメッセージは、シャットダウン・キーポイントに対しても出されます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMR1K

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHRM0208 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート再同期のためのためにリカバリーされた作業単位は、これからコミットされます。ローカル・リソースは作業単位と同期化していません。**Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'*.

説明: このメッセージは、メッセージ DFHRM0106 の続きとして、システム間連絡リカバリー中に発行されます。この作業単位のコーディネーターであるリモート・システムとの通信は再確立されており、再同期が実行されています。これで、リモート・システムが同期点を完了したことが確認されました。この作業単位はコールド・スタートの一部としてリカバリーされたため、この再同期を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースはこの決定と同期しません。

システムの処置: システムは、リモート・システムとの再同期のための作業単位のコミットを許可します。ローカル・リソースは変更されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0209 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート再同期のためのためにリカバリーされた作業単位は、これからバックアウトされます。ローカル・リソースは作業単位と同期化していません。**Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'*.

説明: このメッセージは、メッセージ DFHRM0106 の続きとして、システム間連絡リカバリー中に発行されます。この作業単位のコーディネーターであるリモート・システムとの通信は再確立されており、再同期が実行されています。これで、リモート・システムが同期点を完了しなかったことが確認されました。この作業単位はコールド・スタートの一部としてリカバリーされたため、この再同期を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースはこの決定と同期しません。

システムの処置: システムは、リモート・システムとの再同期のための作業単位のバックアウトを許可します。ローカル・リソースは変更されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0212 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムは再初期化されました。作業単位はコミット済みとして扱われます。**Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.**

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。リモート・システムが再始動しており、作業単位に関する情報がないことが検出されました。リモート・システム内の分散作業単位が、コミットまたはバックアウトされた可能性があります。

ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。これが受信されることはありません。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、この決定を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースは分散作業単位と同期しません。作業単位は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってコミット済みとして扱われます。

通信が MRO セッションを介して CICS のトランザクション・サーバー・システムよりも前のシステムに対して行われた場合、このメッセージは、リモート・システムが再始動されていなかった場合でも発行されることがあります。これは、接続以降、最初の作業単位でセッションが失敗した場合にのみ発生する可能性があります。

システムの処置: システムは続行します。これ以降のリモート再同期では、この作業単位はコミット済みとして扱われます。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*

8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0213 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムは再初期化されました。作業単位はバックアウトとして扱われます。**Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.**

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。リモート・システムが再始動しており、作業単位に関する情報がないことが検出されました。リモート・システム内の分散作業単位が、コミットまたはバックアウトされた可能性があります。ローカル・システム内の作業単位は、分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。これが受信されることはありません。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、この結果を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースは分散作業単位と同期しません。

ローカル作業単位は、ローカル・トランザクション定義の ACTION 属性に従ってバックアウト済みとして扱われます。

通信が MRO セッションを介して CICS のトランザクション・サーバー・システムよりも前のシステムに対して行われた場合、このメッセージは、リモート・システムが再初期設定されていなかった場合でも発行されることがあります。これは、接続以降、最初の UOW でセッションが失敗した場合にのみ発生する可能性があります。

システムの処置: システムは続行します。これ以降のリモート再同期では、この作業単位はバックアウト済みとして扱われます。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

DFHRM0214 • DFHRM0215

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0214 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムは再初期化されました。**Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.**

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。リモート・システムが再始動しており、作業単位に関する情報がないことが検出されました。リモート・システム内の分散作業単位が、コミットまたはバックアウトされた可能性があります。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされ、決定を保留してロックされたローカル・リソースはなかったため、ローカル・リソースは分散作業単位と同期しません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*

6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0215 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムは混じり合ったヒューリスティック結果を送信しました。作業単位はコミット済みとして扱われます。**Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.**

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。分散作業単位内で一部のリソース更新がコミットされ、一部がバックアウトされていることが検出されました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。受け取った通知では、作業単位をコミットするかまたはバックアウトするかは判別されません。作業単位は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってコミット済みとして扱われます。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、この結果を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースはこの決定と同期しません。

システムの処置: システムは続行します。これ以降のリモート再同期では、この作業単位はコミット済みとして扱われます。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*

5. *hh:mm:ss*
 6. *name*
 7. *tranid*
 8. *trannum*
 9. *termid*
 10. *userid*
 11. *netuowid*
 12. *X'localuowid'*
 宛先: CSMT

DFHRM0216 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムは混じり合ったヒューリスティック結果を送信しました。作業単位はバックアウトとして扱われます。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss*
remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。分散作業単位内で一部のリソース更新がコミットされ、一部がバックアウトされていることが検出されました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。受け取った通知では、リソース更新をコミットするかまたはバックアウトするかは判別されません。ローカル作業単位は、トランザクション定義の **ACTION** 属性に従ってバックアウト済みとして扱われます。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、この決定を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースは分散作業単位と同期しません。

システムの処置: システムは続行します。これ以降のリモート再同期では、この作業単位はバックアウト済みとして扱われます。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *mm/dd/yy*
 5. *hh:mm:ss*
 6. *name*
 7. *tranid*
 8. *trannum*
 9. *termid*
 10. *userid*
 11. *netuowid*
 12. *X'localuowid'*
 宛先: CSMT

DFHRM0218 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムからの再同期の情報は、作業単位の結果を判断するには不十分です。ローカル・リソースは同期化していません。分散作業単位はコミットされています。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW** *uowid local UOW* *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。リモート・システムから受け取った情報では、作業単位をコミットするかまたはバックアウトするかは判別されませんでした。

作業単位は、ローカル・トランザクション定義の **ACTION** 属性に従ってコミットされます。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、作業単位の解決を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースはこのコミットと同期しません。

これ以降のリモート再同期では、この作業単位はコミット済みとして扱われます。

システムの処置: システムは、リモート再同期のために、作業単位をコミットします。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *uowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0219 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムからの再同期の情報は、作業単位の結果を判断するには不十分です。分散作業単位はバックアウトされています。ローカル・リソースは同期化していません。

Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。リモート・システムから受け取った情報では、作業単位をコミットするかまたはバックアウトするかは判別されませんでした。

作業単位は、ローカル・トランザクション定義の ACTION 属性に従ってバックアウトされます。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、作業単位の問題を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースはこのバックアウトと同期しません。

これ以降のすべてのリモート再同期では、この作業単位はバックアウト済みとして扱われます。

システムの処置: システムは、リモート再同期のために、作業単位をバックアウトします。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0220 *date time applid Intersystem*

communication recovery. リモート・システムからの再同期の情報は、作業単位の結果を判断するには不十分です。Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。リモート・システムから受け取った情報では、分散作業単位がコミットされたかバックアウトされたかは判別されませんでした。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、この作業単位の問題を保留する、ローカル・リソースに対するロックは保持されず、ローカル・リソースは分散作業単位と同期しません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*

7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0221 *date time applid Intersystem communication recovery*. リモート・システムとの再同期の間に、プロトコル違反が検出されました。分散作業単位はコミット済みとして扱われます。 **Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。再同期中にローカル・システムがプロトコル違反を検出しました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。ローカル・システムは、分散作業単位がコミットされているかまたはバックアウトされているかを判別できません。

分散作業単位は、ローカル・トランザクション定義の ACTION 属性に従ってコミット済みとして扱われます。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、解決を保留してロックされたローカル・リソースはなく、この決定と同期するローカル・リソースはありません。

これ以降のリモート再同期では、この作業単位はコミット済みとして扱われます。

システムの処置: システムは処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*

5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0222 *date time applid Intersystem communication recovery*. リモート・システムとの再同期の間に、プロトコル違反が検出されました。分散作業単位はバックアウトとして扱われます。ローカル・リソースは同期化していません。 **Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。再同期中にローカル・システムがプロトコル違反を検出しました。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。ローカル・システムは、分散作業単位がコミットされているかまたはバックアウトされているかを判別できません。

分散作業単位は、トランザクション定義の ACTION 属性に従ってバックアウト済みとして扱われます。

システムの処置: システムは続行します。これ以降のすべてのリモート再同期では、この作業単位はバックアウト済みとして扱われます。

ユーザーの処置: 必要場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*

7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0223 *date time applid Intersystem communication recovery.* リモート・システムとの再同期の間に、プロトコル違反が検出されました。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW** *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの通信は再確立されました。リモート・システムとの再同期が試行されました。再同期中にローカル・システムがプロトコル違反を検出しました。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、ローカル・リソースは同期せず、この場合には分散作業単位の結果を判別できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0225 *DATE TIME APPLID Clear pending issued.* リモート・システムとの接続が **NOTPENDING** に設定されました。分散作業単位はコミット済みとして扱われます。ローカル・リソースは同期化していません。**Original failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW** *X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの接続が **NOTPENDING** または **NORECOVDATA** に設定されているか、あるいは接続が **XLNACTION(FORCE)** を指定して定義されています。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。リモート・システムとの接続を **NOTPENDING** または **NORECOVDATA** に設定することは、リモート・システムからの結果の通知よりも優先されます。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、解決を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースはこの決定と同期しません。

分散作業単位は、ローカル・トランザクション定義の **ACTION** 属性に従ってコミット済みとして扱われます。

システムの処置: システムは続行します。これ以降のリモート再同期では、作業単位はコミット済みとして扱われます。

ユーザーの処置: 必要場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLK4

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*

12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0226 *DATE TIME APPLID Clear pending issued.* リモート・システムとの接続が **NOTPENDING** に設定されました。分散作業単位はバックアウトとして扱われます。ローカル・リソースは同期化していません。**Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの接続が **NOTPENDING** または **NORECOVDATA** に設定されているか、あるいは接続が **XLNACTION(FORCE)** を指定して定義されています。ローカル・システムは分散作業単位の結果について未確定であり、リモート・システムから結果の通知を受信することを予期していました。リモート・システムとの接続を **NOTPENDING** または **NORECOVDATA** に設定することは、リモート・システムからの結果の通知よりも優先されます。

この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、解決を保留してロックされたローカル・リソースはなく、ローカル・リソースはこの決定と同期しません。

分散作業単位は、ローカル・トランザクション定義の **ACTION** 属性に従ってバックアウト済みとして扱われます。

システムの処置: システムは続行します。これ以降のリモート再同期では、この作業単位はバックアウト済みとして扱われます。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLK4

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*

9. *termid*

10. *userid*

11. *netuowid*

12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0227 *DATE TIME APPLID Clear pending issued.* リモート・システムとの接続が **NOTPENDING** に設定されました。**Original failure date** *mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number trannum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'*.

説明: リモート・システムとの接続が **NOTPENDING** に設定されました。作業単位はコミット済みまたはバックアウト済みと記録されていますが、この作業単位はリモート再同期に対してのみリカバリーされたため、ローカル・リソースはこの決定と同期しない可能性があります。

ローカル・システムは、リモート・システムが作業単位の結果の通知を受け取ったという確認応答を受け取っていません。

このリモート・システムとのこれ以上の再同期は試行されず、ローカル・システムとリモート・システムの分散作業単位は同期しない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、ユーザー定義の処置をとって、ローカル・システムおよびリモート・システムのリソースを再同期してください。

モジュール: DFHRMLK4

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0228 *applid indoubt_uows* の未確定 **UOW** がリモート再同期のためにリカバリーされました。ローカル・リソースはこれらの**UOW**と同期化していません。

説明: このメッセージは、リモート・システムとの再同期のためにリカバリーされた未確定作業単位 (UOW) の数 *indoubt_uows* を表示します。このメッセージは、コールド・スタートでのみ出されます。ローカル・リソースは、CICS がコールド・スタートするため、リモート・リソースとの同期を維持できない場合があります。

これは、未確定の UOW が少なくとも 1 つある場合にのみ出されます。これは、再構成されたいずれかの UOW がシャント解除されて並列で処理される前に出されます。

システムの処置: システムはシステム・ログの逆方向スキップの実行を完了し、再同期が可能な UOW のシャント解除を開始しようとしています。

リモート・システムとの通信がすぐに実行できない場合、再同期が可能になるまで、または WAITTIME (トランザクション定義で定義されている) が満了するまで、UOW は保持されます。

このメッセージに続いて、UOW がコミットされている場合にはメッセージ DFHRM0208 が出され、UOW がリモート・システム上でバックアウトされている場合は DFHRM0209 が出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1E。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *indoubt_uows*

宛先: コンソール

DFHRM0229 *date time applid bfail_uows backout-failed and cfail_uows commit-failed UOWs have been recovered for the purpose of remote resynchronization. Local resources are not synchronized with these UOWs. The number of UOWs reconstructed to await a forget flow for resolution with a remote system was forget_uows.*

説明: このメッセージは、リモート・システムとの再同期のためにリカバリーされたバックアウト失敗作業単位 (UOW) の数 *bfail_uows*、およびコミット失敗作業単位 (UOW) の数 *cfail_uows* を表示します。コールド・ス

ート・リカバリー処理後に、これらの UOW はバックアウト待機状態またはコミット待機状態になっている可能性があります。このメッセージは、コールド・スタートでのみ出されます。ローカル・リソースは、CICS がコールド・スタートするため、リモート・リソースとの同期を維持できない場合があります。

ローカルにコミットまたはバックアウトされて、リモート・システムからの FORGET 確認をまだ待っていたすべての UOW は、参照目的で報告されます。このような UOW の数が *forget_uows* です。

このメッセージは、そのような UOW が少なくとも 1 つある場合にのみ出されます。これは、再構成されたいずれかの UOW が処理される前に出されます。

システムの処置: システムはシステム・ログの逆方向スキップの実行を完了し、再同期を必要とする UOW の再同期を開始しようとしています。

リモート・システムとの通信がすぐに実行できない場合、再同期が可能になるまで、または WAITTIME (トランザクション定義で定義されている) が満了するまで、UOW は保持されます。

このメッセージに続いて、UOW がコミットされている場合にはメッセージ DFHRM0208 が出され、UOW がリモート・システム上でバックアウトされている場合は DFHRM0209 が出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bfail_uows*
5. *cfail_uows*
6. *forget_uows*

宛先: CSMT

DFHRM0230 *date time applid inflight_uows inflight UOWs have been recovered for the purpose of remote resynchronization. ローカル・リソースはこれらのUOWと同期化していません。*

説明: このメッセージは、リモート・システムとの再同期のためにリカバリーされた未完了作業単位 (UOW) の数 *inflight_uows* を表示します。このメッセージは、コールド・スタートでのみ出されます。ローカル・リソースは、CICS がコールド・スタートするため、リモート・リソースとの同期を維持できない場合があります。

これは、未完了の UOW が少なくとも 1 つある場合にのみ出されます。これは、再構成されたいずれかの UOW がシャント解除されて並列で処理される前に出されます。

システムの処置: システムはシステム・ログの逆方向スキップの実行を完了し、再同期が可能な UOW のシャント解除を開始しようとしています。

リモート・システムとの通信がすぐに実行できない場合、再同期が可能になるまで、または WAITTIME (トランザクション定義で定義されている) が満了するまで、UOW は保持されます。

このメッセージに続いて、UOW がコミットされている場合にはメッセージ DFHRM0208 が出され、UOW がリモート・システム上でバックアウトされている場合は DFHRM0209 が出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1E。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *inflight_uows*

宛先: CSMT

DFHRM0235 *date time applid Intersystem communication recovery.* ローカル・リソースは同期化していません。 **Original failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system name transaction tranid task number tranum terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.**

説明: この作業単位の従属であるリモート・システムとの通信が失敗し、再確立されました。リモート・システムとの再同期が発生しました。リモート・システムが分散作業単位内でのそのローカル・リソース更新について既に決定を行っていたか、またはリモート・システムがこのシステムからの決定を待機していたかのいずれかです。どちらのケースでも、この作業単位はリモート再同期に対してのみカバーされたため、ローカル・リソースは同期しません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: Take action to resynchronize resources in the local and remote systems, if necessary.

モジュール: DFHRMLN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *name*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHRM0300 KEYWORD 'keyword' IS INVALID OR MISUSED.

説明: DFHRMUTL の SYSIN データ・セットには、認識されないキーワードまたは誤って使用されているキーワードが含まれています。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: 無効なキーワードを訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0301 APPLID Force purge of transaction ID tranid task number taskno has been deferred because unit of work X'uowid' is in post commit syncpoint processing.

説明: CICS が、タスク *taskno* の強制除去の要求を受け取りました。強制除去要求のターゲットと関連付けられている作業単位 *uowid* は、同期点処理の重要なフェーズにあります。この状態にある場合には、ターゲット・タスクは除去できません。

システムの処置: CICS は、ターゲット・タスクの除去の保護が解除されるまで、除去を遅らせようとします。

同期点がタスクの最後にある場合、タスクは除去から永続的に保護されます。

ユーザーの処置: 通常、タスクが同期点のこの重要なフェーズにあるのはごく短時間です。ターゲット・タスクがまだ終了していない場合には、作業単位 *uowid* がま

だ同期点処理を完了していない理由を調査してください。

タスク待機の診断の手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHRMU1N

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *trandid*
3. *taskno*
4. *X'uwoid'*

宛先: コンソール

DFHRM0302 ERROR {OPENING | READING | WRITING | CLOSING} THE {DFHGCD | NEWGCD} DATA SET RETURN CODE: X'vsam_retcode', REASON: X'vsam_reason'.

説明: VSAM データ・セットの処理時にエラーが発生しました。VSAM の戻りコードと理由コードは X'vsam_retcode' と X'vsam_reason' です。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの意味については、「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」資料を参照してください。関連するデータ・サービス・メッセージについて、syslog を調べてください。

NEWGCD データ・セットのオープンでエラーが発生した場合は、VSAM クラスターが次の状態であることを確認してください。

- REUSE 属性がある。
- JCL 内に DD カードがある。
- データ・セットの名前が DFHGCD DD カードと同じではない。
- 現在別のジョブに対して開かれていない。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0303 ERROR {OPENING | READING | WRITING} THE {SYSIN | SYSPRINT} DATA SET.

説明: QSAM データ・セットの処理中にエラーが発生しました。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: データ・セット DD カードが正しく定義されていることを確認してください。関連する syslog メッセージを探して、問題の原因を特定してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0304 INVALID OR MISSING SET_AUTO_START PARAMETER.

説明: DFHRMUTL の SYSIN データ・セット内の SET_AUTO_START パラメーターが欠落しているか、または誤って指定されています。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: パラメーターが SYSIN の最初の行内にあることと、キーワードがコンマで区切られ、間にブランクが挿入されていないことを確認します。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0305 SYSIN DATA SET CAN HAVE AT MOST ONE RECORD.

説明: SYSIN データ・セットには、レコードを含めないか、または DFHRMUTL のパラメーターを指定する単一のレコードを含める必要があります。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: SYSIN データ・セット内のレコードを訂正し、再試行してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0306 制御情報がない GCD をコピーできません。

説明: COLD_COPY キーワードが、リカバリー・マネージャー制御情報を持っていないグローバル・カタログ・データ・セットに対して指定されています。空のカタログから、縮小した新規カタログを作成することはできません。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: COLD_COPY は、CICS によって使用されているカタログをコピーするためにのみ使用してください。初期始動用のカタログを初期設定するには、COLD_COPY を使用してコピーしようとせずに、SET_AUTO_START=AUTOINIT パラメーターを指定した DFHRMUTL を使用します。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0307 KEYWORD 'keyword' IS REPEATED IN THE SYSIN DATA SET.

説明: キーワード *keyword* が、DFHRMUTL の SYSIN データ・セットの最初の行で繰り返されています。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: 重複するキーワードを削除し、再試行してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0308 SET_AUTO_START=AUTOASIS が無効です。GCD は COLD_COPY であり、CICS により使用されていません。

説明: キーワード SET_AUTO_START で AUTOASIS を指定しましたが、データ・セット DFHGCD で提供されたグローバル・カタログは DFHRMUTL COLD_COPY 機能によってコピーされており、CICS ではまだ使用されていません。緊急再始動またはウォーム・スタートを可能にする必要なレコードがカタログからなくなったため、この変更は許可されません。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: 緊急再始動またはウォーム・スタートを行う必要がある場合、COLD_COPY を実行した DFHRMUTL の実行前に取られた、グローバル・カタログの復元コピーを使用してください。緊急再始動またはウォーム・スタートが必要ない場合は、パラメーターを AUTOINIT または AUTOCOLD に変更して再試行してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0309 GCD HAS NOT BEEN USED BY CICS. YOU MUST SPECIFY SET_AUTO_START=AUTOINIT

説明: キーワード SET_AUTO_START で AUTOCOLD または AUTOINIT を指定しましたが、データ・セット DFHGCD で提供されたグローバル・

カタログは CICS によって使用されたことはありません。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: SET_AUTO_START パラメーターを AUTOINIT に変更して、再試行してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0311 COLD_COPY キーワードは SET_AUTO_START=AUTOASIS により無効です。

説明: 入力パラメーターでキーワード COLD_COPY が指定されていますが、SET_AUTO_START=AUTOASIS も含まれています。この組み合わせはサポートされません。CICS は、すべての定義レコードが削除されているので、コールド・コピーされたカタログ・データ・セットを使用した COLD スタートまたは INITIAL 始動しか実行できないためです。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: AUTOCOLD または AUTOINIT のいずれかを SET_AUTO_START 値として指定するか、または COLD_COPY キーワードを削除して再試行してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0312 AUTODIAG WITH COLD_COPY NOT ALLOWED.

説明: DFHRMUTL ジョブのパラメーターで、オプション COLD_COPY が SET_AUTO_START=AUTODIAG と一緒に指定されていました。This is not allowed.

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターを指定してジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0313 AUTODIAG CANNOT BE USED.

説明: キーワード SET_AUTO_START で AUTODIAG を指定しましたが、データ・セット DFHGCD で提供されたグローバル・カタログは DFHRMUTL COLD_COPY 機能によってコピーされており、CICS ではまだ使用されていません。診断実行を可能にする必

要なレコードがカタログからなくなったため、この変更は許可されません。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは終了します。

ユーザーの処置: 診断実行を行う必要がある場合、COLD_COPY を実行した DFHRMUTL の実行前に取られた、グローバル・カタログの復元コピーを使用してください。診断実行が必要ない場合は、パラメーターを AUTOINIT または AUTOCOLD に変更して再試行してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0315I AUTOCOLD OR AUTOINIT SHOULD NOT BE USED.

説明: これは通知メッセージです。

グローバル・カタログは、CICS の直前のシャットダウンが制御されていない (つまりウォーム・シャットダウンでない) ことを示しています。または、中断された作業単位 (UOW) に関連するログ情報がシステム・ログに存在することを示しています。どちらの場合も、CICS はコールドまたは初期で再始動しないでください。そのようにすると、データ保全性が侵害される可能性があるためです。そのような理由により、AUTOCOLD と AUTOINIT は、SET_AUTO_START キーワードを使用して指定しないでください。

システムの処置: DFHRMUTL ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0316 DFHRMUTL は、このレベルのオペレーティング・システムではサポートされていません。(DFHRMUTL NOT SUPPORTED ON THIS LEVEL OF OPERATING SYSTEM.)

説明: オペレーティング・システムのリリース・レベルが CICS DFHRMUTL の実行に必要な前提条件リリース・レベルより前のものであること、またはオペレーティング・システムに必要な保守が適用されていないことが検出されました。

システムの処置: CICS DFHRMUTL ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 16 が戻されます。

ユーザーの処置: CICS TS プログラム・ディレクトリを参照し、前提条件となるオペレーティング・システム・リリース・レベル以上をインストールしてください。

い。また、オペレーティング・システムの前提条件となるリストされた保守が適用されていることも確認してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0317 CICS DFHRMUTL は、このレベルのハードウェアではサポートされていません。(CICS DFHRMUTL IS NOT SUPPORTED ON THIS LEVEL OF HARDWARE.)

説明: ハードウェアのリリース・レベルが CICS DFHRMUTL の実行に必要な前提条件より前であることが検出されました。

システムの処置: CICS DFHRMUTL ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 16 が戻されます。

ユーザーの処置: 必要な前提条件ハードウェアを確認するには、CICS TS プログラム・ディレクトリを参照してください。

モジュール: DFHRMUTL

宛先: SYSPRINT

DFHRM0400 applid A unit of work was incompletely reconstructed from the system log.

説明: 作業単位は一部だけがシステム・ログのログ・レコードから再構成されました。

作業単位の処理が同期点処理を完了していませんでしたが、作業単位がシステム・ログに書き込んだ最初のログ・レコードは、CICS 再始動時に参照されませんでした。

原因としては、1 次システム・ログ・ストリームが誤って切り捨てられたか、または 2 次システム・ログ・ストリームが誤って切り捨てられたか削除されたことが考えられます。あるいは、どちらかのログ・ストリーム上のデータが破損しており、作業単位を表すチェーンが CICS の再始動時に完全には処理されなかった可能性があります。

これらの影響の原因としては、CICS の実行間でログ・ストリームが変更されている、MVS ロガーに問題がある、または CICS そのものに問題があるなどが考えられます。最も可能性が高い原因は、CICS の実行間でログ・ストリームが削除または変更されたということです。削除された場合、CICS の再始動時に CICS ロガーはログ・ストリームを作成していることを報告するメッセージを出しています。

システムの処置: CICS は、問題が検出された作業単位

を含む例外トレース項目を作成し、このメッセージを発行し、ダンプをとり、異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 1 次および 2 次のシステム・ログ・ストリームが有効であることを確認してください。問題を訂正できる場合は、CICS の自動始動を再度実行してください。

問題を訂正できない場合は、CICS の初期始動を実行する必要があります。

CICS 実行間にシステム・ログ・ストリームが削除されたり変更されたりしていないことが確実である場合、MVS ロガーまたは CICS にエラーがある可能性があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。失敗したログ・ストリームまたはその内容のレポートを保持しておく役立つ場合があります。

モジュール: DFHRMU1E。

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0401 *applid* There is no system log or an empty system log has been detected.

説明: リカバリー処理にログを必要とする CICS 再始動で、空のシステム・ログが検出されました。CICS が以前に開始したときに、システム・ログ上に必ず 1 つ以上のログ・レコードがあるため、これは予期されていない結果です。あるいは、ログ・ストリームの定義に DUMMY が指定されているために CICS システム・ログがなく、有効なシステム・ログを必要とする開始が要求されています。

原因としては、1 次システム・ログ・ストリームが誤って破棄または消去されたことが考えられます。1 次ログ・ストリーム上のデータは破損している可能性があるため、CICS ロガーはそこから有効なレコードを見つけられませんでした。あるいは、システム・ログが DUMMY ログとして不適切に定義されています。

これらの影響の原因としては、CICS の実行間でログ・ストリームが変更されている、MVS ロガーに問題がある、または CICS そのものに問題があるなどが考えられます。最も可能性が高い原因は、CICS の実行間でログ・ストリームが削除されたかまたは空にされたということです。削除された場合、CICS の再始動時に CICS ロガーはログ・ストリームを作成していることを報告するメッセージを出しています。

システムの処置: CICS は、問題が検出された作業単位を含む例外トレース項目を作成し、このメッセージを発行し、ダンプをとり、異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 1 次システム・ログ・ストリームが有効であること、および DUMMY として定義されていないことを確認してください。問題を訂正できる場合は、再度 CICS を同じ方法で始動してください。

問題を訂正できない場合は、CICS の初期始動を実行してください。

CICS 実行間にシステム・ログ・ストリームが削除されたり変更されたりしていないことが確実である場合、MVS ロガーまたは CICS にエラーがある可能性があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。失敗したログ・ストリームまたはその内容のレポートを保持しておく役立つ場合があります。

モジュール: DFHRMSL5

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRM0402 *date time applid* UOWID:X'luowid' found.

説明: 未完了、未確定、コミット失敗、およびバックアウト失敗の作業単位をリカバリーおよび解決するためにシステム・ログが読み取られています。示された作業単位の最初の形跡であるレコードが読み取られました。

システムの処置: リカバリー処理は続行されます。CICS はこの作業単位に関係するすべてのレコードを検出すると、作業単位を解決するためにさらに処理が必要であるかどうか、または作業単位が完了して後続の処理は不要であるかどうかについて通知する DFHRM0403 または DFHRM0404 のいずれかのメッセージを発行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1D

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'luowid'*

DFHRM0403 • DFHRM0405

宛先: CSMT

DFHRM0403 *date time applid UOWID:X'luowid'*
recovered for resolution, current
status:uowstatus, tasknum:tasknum,
trandid:trandid, Net UOWID:networkuowid

説明: 未完了、未確定、コミット失敗、またはバックアウト失敗の作業単位をリカバリーおよび解決するためにシステム・ログが読み取られています。示された作業単位に関連するすべてのレコードが読み取られました。この作業単位は、未完了、未確定、コミット失敗、またはバックアウト失敗であることが検出されたため、それを解決するためにさらに処理が必要です。

以前、同じ作業単位のリカバリー処理中に発行された、一致する DFHRM0402 メッセージがあります。

システムの処置: リカバリー処理は続行されます。リカバリー処理が完了すると、CICS はこの作業単位を処理し、その解決を確実なものにします。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1D

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'luowid'*
5. *uowstatus*
6. *tasknum*
7. *trandid*
8. *networkuowid*

宛先: CSMT

DFHRM0404 *date time applid UOWID:X'luowid' is*
resolved, status:uowstatus,
tasknum:tasknum, trandid:trandid, Net
UOWID:networkuowid

説明: 未完了、未確定、コミット失敗、およびバックアウト失敗の作業単位をリカバリーおよび解決するためにシステム・ログが読み取られています。示された作業単位に関連するログ上のすべてのレコードが読み取られました。この作業単位は完了していることが検出され、これ以上の処理は必要ありません。

以前、同じ作業単位のリカバリー処理中に発行された、一致する DFHRM0402 メッセージがあります。

システムの処置: リカバリー処理は続行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1D

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'luowid'*
5. *uowstatus*
6. *tasknum*
7. *trandid*
8. *networkuowid*

宛先: CSMT

DFHRM0405 *date time applid Keypoint recovered.* 関連するすべてのUOWが特定されました。完全リカバリーのためにスキャンを続行します。

説明: キーポイント・レコードの完全セットがシステム・ログからリカバリーされています。CICS は、すべてのアクティブな作業単位が、少なくとも 1 つのレコードをキーポイントに書き込むことを確実なものにします。これは、リカバリー処理中に、完全なキーポイントがリカバリーされると、システム・ログでまだ検出されていない未完了、未確定、コミット失敗、またはバックアウト失敗の作業単位がないことを意味します。潜在的に解決を必要とするすべての作業単位を示している DFHRM0402 メッセージが発行されます。

システムの処置: システムのリカバリー処理は続行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRMU1D

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHRPnnnn メッセージ

DFHRP0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性あることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

に必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHRP0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を意図的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

- 9F49 - C 環境のエラー
- 9F4A - RPC 呼び出し側でストレージがない
- 9F4C - TCP/IP for MVS への **socket** 呼び出しのエラー
- 9F4D - TCP/IP for MVS への **gethostid** 呼び出しのエラー
- 9F4F - TCP/IP for MVS への **select** 呼び出しのエラー
- 9F55 - TCP/IP for MVS への **svc_register** 呼び出しのエラー
- 9F58 - TCP/IP for MVS への **svcudp_create** 呼び出しのエラー
- 9F59 - TCP/IP for MVS への **svctcp_create** 呼び出しのエラー
- 9F5B - TCP/IP for MVS への **svc_sendreply** 呼び出しのエラー
- 9F5C - クライアントからの無効な **aup_gids**
- 9F5D - クライアントからのマシン名が長すぎます

- 9F5E - TCP/IP for MVS への **svc_getargs** 呼び出しのエラー
- 9F5F - TCP/IP for MVS への **svc_freeargs** 呼び出しのエラー
- 9F60 - TCP/IP for MVS への **getsockopt** 呼び出しのエラー
- 9F63 - TCP/IP for MVS への **maxdesc** 呼び出しのエラー (不明エラー)
- 9F64 - TCP/IP for MVS への **maxdesc** 呼び出しのエラー (ソケットが不足)
- 9F65 - TCP/IP for MVS への **maxdesc** 呼び出しのエラー (EFAULT)
- 9F66 - TCP/IP for MVS への **maxdesc** 呼び出しのエラー (EALREADY)
- 9F67 - TCP/IP for MVS への **maxdesc** 呼び出しのエラー (EINVAL)
- 9F68 - TCP/IP for MVS への **maxdesc** 呼び出しのエラー (EMFILE)
- 9F69 - TCP/IP for MVS への **maxdesc** 呼び出しのエラー (ENOMEM)
- 9F6A - TCP/IP for MVS への **maxdesc** 呼び出しのエラー (EIBMIUCVERR)
- 9F6B - TCP/IP for MVS への **svcerr_auth** 呼び出しのエラー
- 9F6C - TCP/IP for MVS への **svcerr_decode** 呼び出しのエラー
- 9F6D - TCP/IP for MVS への **svcerr_noproc** 呼び出しのエラー
- 9F6E - TCP/IP for MVS への **svcerr_systemerr** 呼び出しのエラー
- 9F6F - **dfhsvc_getreqset** のエラー。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード

X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。クライアント要求が処理中で、コードが 9F4A の場合、クライアントに応答は送信されません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 以下の特定の *code* 値に対しては、いくつかの固有のユーザー処置をとることができます。

- 9F4A: 可能であれば現在のアクションを再試行してください。ストレージ不足が続く場合には、並行して実行できるタスク数を減らすか、または DSA 制限を引き上げてください。
- 9F49: C ランタイム環境が、インストール時にリンク・エディットに使用されていたものと同じ製品、バージョン、およびリリースから派生していることを確認してください。
- 9F5C: TCP/IP for MVS 構成およびリリース・レベルを確認してください。
- 9F5D: TCP/IP for MVS 構成およびリリース・レベルを確認してください。
- 9F6A: TCP/IP for MVS が開始されたことを確認してください。

他の TCP/IP for MVS の問題については、TCP/IP for MVS の診断を参照してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。 続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHRP0102 *date time applid tranid CICS ONC RPC*
 別名は別名初期設定時に **CICS** に対して
 行った呼び出しで、正しくない応答を受け
 取りました。

説明: 別名は、CICS を呼び出して初期設定情報を設定
 しているときに、別名の論理エラーを示す応答を受け取
 りました。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答は
 クライアントに送信されません。システム・ダンプがと
 られます。この別名プログラムは異常終了コード
 ARPK で異常終了します。この問題の症状ストリングが
 含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題診断については、関連する CICS
 メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0103 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has been started incorrectly.

説明: 別名が、サーバー制御プログラム以外の手段によ
 って (おそらく端末のユーザーによって) 呼び出されま
 した。

システムの処置: 処理するクライアント要求はありません
 でした。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ
 で異常終了します。

ユーザーの処置: 別名が端末ユーザーにより開始され
 ていることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0104 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has received an incorrect
response on a call made to CICS
during alias initialization.

説明: 別名は、CICS を呼び出してその初期設定情報を
 設定しているときに、別名がサーバー制御プログラムに
 よって開始されていない可能性があることを示す応答を
 受け取りました。

システムの処置: 処理するクライアント要求はありません
 せん。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異
 常終了します。

ユーザーの処置: 別名がサーバー制御プログラム以外の
 手段によって開始されていないことを確認してくださ
 い。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0105 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has received an incorrect
response on a call made to CICS
during alias initialization.

説明: CICS が一時記憶域から初期設定情報を別名に渡
 そうとしていたときに一時エラーが発生したことを示す
 応答を、別名が受け取りました。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答は
 クライアントに送信されません。この別名プログラムは
 異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 問題診断については、関連する CICS
 メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0106 *date time applid tranid A CICS ONC*
**RPC alias has received an incorrect
 response on a call made to CICS
 during alias initialization.**

説明: 別名は CICS 一時記憶域内にその初期設定情報を見つけれられません。これはおそらく、別のアプリケーションによる一時記憶域からのデータの取り出しが原因です。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。この別名プログラムは異常終了コード ARPF で異常終了します。

ユーザーの処置: 他のどのアプリケーションもこの別名と同じ一時記憶域キューを使用していないことを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0107 *date time applid tranid CICS ONC RPC*
 別名は別名初期設定時に CICS に対して行った呼び出しで、正しくない応答を受け取りました。

説明: 別名は、CICS を呼び出して初期設定情報を設定しているときに、別名の論理エラーを示す応答を受け取りました。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題診断については、関連する CICS メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0108 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has been started incorrectly.

説明: 初期設定情報の妥当性検査を行っているときに別名がエラーを検出しました。これはおそらく、別名がサーバー制御プログラム以外の手段によって開始されたことを意味します。

システムの処置: 処理するクライアント要求はありませんでした。この別名プログラムは異常終了コード ARPF で異常終了します。

ユーザーの処置: 別名が一時データ・トリガー・レベルまたは CECI ユーザーによって開始されていないことを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0113 *date time applid tranid A CICS ONC*
**RPC alias is unable to continue
 processing because the corresponding
 alias list entry has been deleted.**
**Client IP address: clientaddr Host IP
 address: hostaddr Program: X'prognum'
 Version: X'versnum' Procedure:
 X'procnum' Protocol: protocol Port:
 X'port' Socket: X'socket'.**

説明: 別名は、正常に開始したことを示すために、その別名リスト項目を更新しようとして失敗しました。別名リスト・コンポーネントが NOT FOUND 応答を返しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPF で異常終了します。

ユーザーの処置: この状態は、ほぼ間違いなく、CICS ONC RPC の即時使用不能化の後に開始された別名、またはその別名リスト項目が接続マネージャーによって明示的に削除された後に開始された別名が原因です。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *X'port'*
12. *X'socket'*

宛先: CRPO

DFHRP0114 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing because it is unable to update the corresponding alias list entry. Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol* **Port:** *X'port'* **Socket:** *X'socket'*.

説明: 別名は、正常に開始したことを示すために、その別名リスト項目を更新しようとしていました。別名リスト・コンポーネントが NOT FOUND 以外のエラー応答を返しました。これは、CICS の別のコンポーネントのエラーが原因です。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: エラーの CICS コンポーネントによって発行されたメッセージに示されているとおりに続行します。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *X'port'*
12. *X'socket'*

宛先: CRPO

DFHRP0118 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket*.

説明: 別名は、このクライアント要求がサーバー制御プログラムによってスケジュールされて以降、CICS ONC RPC が使用不可になっている可能性があることを検出しました。これは CICS ONC RPC により使用される GWA への誤った参照により示されます。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。この別名プログラムは異常終了コード ARPH で異常終了します。

ユーザーの処置: このクライアント要求が最初にスケジュールされて以降、CICS ONC RPC が使用不可にされていないことを確認してください。この問題は、長時間実行される CICS プログラムが使用されるときに発生する可能性があります。さらにこれは、CICS ONC RPC が使用不可にされて再び即時に使用可能にされる場合にも、発生する可能性があります。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0119 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing because it cannot authenticate this client request. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: このクライアント要求を認証しようとしているときに外部セキュリティ・マネージャーから返された応答で、別名がエラーを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャーがまだ使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0120 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing because this client request is not authenticated. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名は、このクライアント要求に関連付けられているユーザー ID とパスワードを認証中に、このクライ

アント要求が CICS に対して認証されていないことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 AUTH_TOOWEAK を使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPL で異常終了します。

ユーザーの処置: このクライアント要求に関連付けられたユーザー ID/パスワードの組み合わせを確認してください。問題診断に役立てるために、セキュリティ・エラーに関係する、関連の CICS メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0121 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing because it cannot authenticate this client request. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名は、このクライアント要求に関連付けられているユーザー ID とパスワードを認証中に、外部セキュリティ・マネージャーがユーザー ID を認識しないことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 AUTH_TOOWEAK を使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: このクライアント要求に関連付けられたユーザー ID を確認してください。問題診断に役立て

るために、セキュリティー・エラーに関係する、関連の CICS メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0122 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名は、このクライアント要求に関連付けられているユーザー ID とパスワードを認証中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPK で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0123 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: リソース・チェッカーとの通信中に、別名がリモート CICS 領域内で一時エラーを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: リモート CICS 領域内のエラーを調べてください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0124 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing this client request. Client
IP address: *clientaddr* Host IP address:
hostaddr Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: *protocol* Port: *port* Socket:
socket.

説明: 別名は、リソース・チェッカーにリンクしようとしたときに内部エラーを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0125 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing as it cannot link to the
resource checker program. Client IP
address: *clientaddr* Host IP address:
hostaddr Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: *protocol* Port: *port* Socket:
socket.

説明: 別名は、リソース・チェッカーにリンクしようとしたときに、リソース・チェッカーが CICS に定義されていないことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: リソース・チェッカーが CICS に定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0126 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing as it cannot link to the
resource checker program. Client IP
address: *clientaddr* Host IP address:
hostaddr Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: *protocol* Port: *port* Socket:
socket.

説明: 別名は、リソース・チェッカーにリンクしようとしたときに、プログラムが置かれているリモート・シス

テムが CICS で定義されていないかまたは使用不可であることを示す応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: リソース・チェッカーが置かれているリモート CICS 領域が CICS に定義されていることを確認してください。定義されている場合は、CICS により接続が使用できることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0127 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: リモート CICS 領域内のリソース・チェッカーで別名がロールバックを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: リモート CICS 領域内の問題を調べてください。リソース・チェッカーを変更して、それが CICS リカバリー可能リソースを更新しないようにすることを検討してください (その当初の設計意図ではないためです)。クライアント要求を再試行してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0128 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing because it cannot link to the resource checker program. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: 別名は、リソース・チェッカーにリンクしようとしたときに、そうすることが許可されていないことを示す応答を受け取りました。このエラーが起きた原因は、ローカル別名トランザクションが RESSEC=YES を指定して定義されているか、またはリソース・チェッカーがリモート CICS 領域内にあり、リモート領域内のミラー・トランザクションが RESSEC=YES を指定して定義されているかのいずれかです。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: 別名またはミラー・トランザクションを、RESSEC=YES を指定して実行する必要がある場合は、ユーザーがリソース・チェッカーにアクセスすることを許可するプロファイルを外部セキュリティ・マネージャーに追加してください。CICS プログラムでリソース・レベル・セキュリティを必要としない場合は、別名またはミラー・トランザクション定義で RESSEC=NO を設定してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0129 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket*.

説明: 別名は、リソース・チェッカーにリンクしようとしたときに誤った応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPK で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*

8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0130 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing. 資源検査プログラムはこのクライアント要求を拒否しました。
Response: *response* **Reason:** *reason*.
Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'*
Version: *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'* **Protocol:** *protocol* **Port:** *port*
Socket: *socket*.

説明: リソース・チェッカーが応答コード *response* と理由コード *reason* を返しました。このクライアント要求は続行が許可されません。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 AUTH_BADCRED を使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPL で異常終了します。

ユーザーの処置: リソース・チェッカーからの応答コードと理由コードの意味を判別し、必要場合はプログラムを修正してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *response*
6. *reason*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0131 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request as it cannot query the authorization of the CICS program *program*. EIBRESP2: *eibresp2* Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名が EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを CICS プログラム *program* に対して出しましたが、INVREQ 応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: EIBRESP2 値を使用して、問題の正確な原因を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *eibresp2*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0132 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request as it cannot query the authorization of the CICS program *program*. EIBRESP2: *eibresp2* Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*

Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名が EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを CICS プログラム *program* に対して出しましたが、NOTFND 応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: EIBRESP2 値を使用して、問題の正確な原因を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *eibresp2*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0133 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: クライアントの許可レベルをテストしようとしたときに、別名が CICS への呼び出しで誤った応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法

DFHRP0134 • DFHRP0135

の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0134 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request because the client is not authorized to access the CICS program *program*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: クライアントが CICS プログラム *program* へのアクセスを許可されていないため、別名はこのクライアント要求を拒否しました。

システムの処置: **svccerr_auth** 呼び出しと理由値 **AUTH_TOOWEAK** を使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード **ARPL** で異常終了します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0135 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名は、このクライアント要求の処理中にサーバー制御プログラムにより渡されたパラメーターで内部演算エラーを検出し、CICS プログラムにリンクできません。

システムの処置: クライアント要求は中止され、**SYSTEMERR** 応答がクライアントに送信されます。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード **ARPI** で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*

8. *X'versnum'*
 9. *X'procnum'*
 10. *protocol*
 11. *port*
 12. *socket*
- 宛先: CRPO

DFHRP0136 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing this client request. Client
IP address: clientaddr Host IP address:
hostaddr Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: protocol Port: port Socket:
socket.

説明: CICS プログラムとの通信中に、別名がリモート CICS 領域内で一時エラーを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: リモート CICS 領域内の問題を調べてください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0137 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing this client request. Client
IP address: clientaddr Host IP address:
hostaddr Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: protocol Port: port Socket:
socket.

説明: 別名は、CICS プログラムにリンクしようとしたときに内部エラーを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0138 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing as it cannot link to the CICS program program. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: 別名は、CICS プログラム *program* にリンクしようとしたときに、そのプログラムが CICS に対して定義されていないことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS プログラムが CICS に対して定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0139 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing as it cannot link to the CICS program program. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: 別名は、CICS プログラム *program* にリンクしようとしたときに、プログラムが置かれているリモー

ト・システムが CICS で定義されていないかまたは使用不可であることを示す応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: サーバー・プログラムが置かれているリモート CICS 領域が CICS に定義されていることを確認してください。定義されている場合は、CICS により接続が使用できることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0140 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: リモート CICS 領域内の CICS プログラムで別名がロールバックを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS プログラムがロールバックした理由を調べてください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0141 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing as it cannot link to the CICS program program. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: 別名は、CICS プログラム *program* にリンクしようとしたときに、そうすることが許可されていないことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS プログラムをリソース・レベル・セキュリティで実行する必要がある場合は、CICS プログラムへのアクセス権限をそのクライアントに付与するプロファイルを、外部セキュリティ・マネージャーに追加してください。CICS プログラムでリソース・レベル・セキュリティを必要としない場合は、別名またはミラー・トランザクション定義で RESSEC=NO を設定してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*

8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0142 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: 別名は、CICS プログラムにリンクしようとしたときに誤った応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPK で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0143 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名が内部エラーを検出しましたが、応答をクライアントに送信する方法を決定できません。CICS プログラムは正常に実行され、CICS リソースを更新した可能性があります。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0144 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send a reply to the client because of a length error.

説明: 通信域の長さがゼロであるため、別名はクライアントに応答を送信できませんが、クライアントはデータ

が応答で送信されることを予期していました。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題診断については、関連する CICS メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0145 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send a reply to the client due to an error in TCP/IP for MVS svc_sendreply processing. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名はクライアントに応答を送信できません。TCP/IP for MVS の **svc_sendreply** 処理で問題が発生しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*

9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0146 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send a reply to the client due to an error in send reply processing. トランスポート・ハンドドルが無効か、または見つかりませんでした。**Client IP address:** *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol*
Port: *port* **Socket:** *socket*.

説明: 別名はクライアントに応答を送信できません。応答の送信処理中に問題が発生しました。トランスポート・ハンドドルがエラーになっているか、または見つかりませんでした。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0147 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send a reply to the client because CICS ONC RPC is disabling. **Client IP address:** *clientaddr*
Host IP address: *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol*
Port: *port* **Socket:** *socket*.

説明: CICS ONC RPC が使用不可であるため、別名は応答をクライアントに送信できません。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0148 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send a reply to the client due to an error in send processing. **Client IP address:** *clientaddr*
Host IP address: *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol*
Port: *port* **Socket:** *socket*.

説明: 別名は、クライアントに応答を送信することはできません。別名は RPC 呼び出し側から予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0149 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send a reply to the client. Client IP address: *clientaddr*
Host IP address: *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol*
Port: *port* **Socket:** *socket*.

説明: 別名は、クライアントに応答を送信することはできません。別名は RPC 呼び出し側から予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0150 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send data to the client.

説明: 別名はクライアントに応答を送信できません。予期しない応答が RPC 呼び出し側から返されました。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 問題診断については、関連する CICS メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0151 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has encountered a severe internal error while processing this client request. Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr*
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket*.

説明: 別名は、クライアントへの応答の送信を許可するように TCB モードを切り替えることができません。RP TCB がアクティブではありません。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード

ARPN で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の診断に役立つ、関連する CICS メッセージを参照してください。TCB モードを切り替えることができなかった理由を判別できない場合、この問題を解決するには IBM のサポートがさらに必要です。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0155 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias encountered an error while attempting to access the converter
converter_program_name. Host IP
address: *hostaddr Program:* *X'prognum'*
Version: *X'versnum' Procedure:*
X'procnum' Protocol: *protocol Port:* *port*
Socket: *socket Client IP address:*
clientaddr.

説明: エラーにより別名はコンバーター *converter_program_name* にアクセスできませんでした。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し

てください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*
13. *clientaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0156 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias could not link to converter
converter_program_name. Client IP
address: *clientaddr Host IP address:*
hostaddr Program: *X'prognum' Version:*
X'versnum' Procedure: *X'procnum'*
Protocol: *protocol Port:* *port Socket:*
socket.

説明: 別名がコンバーター *converter_program_name* に対して EXEC CICS LINK を使用してエンコード機能を実行しましたが、PGMIDERR 応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: CEDA を使用して、CICS に対してコンバーター・プログラムが正しく定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*

6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0157 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias could not link to converter
converter_program_name because it is
remote. Client IP address: *clientaddr*
Host IP address: *hostaddr* **Program:**
X'prognum' **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol*
Port: *port* **Socket:** *socket*.

説明: 別名は、リモート CICS 領域にあるコンバーターで作業できません。データ・ポインターはコンバーターとの間でやり取りされ、参照されるデータは、コンバーターがローカル CICS 領域で実行されている場合にのみ使用できます。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: コンバーターは、CICS ONC RPC と同じ CICS 領域内でインストールおよび定義してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0159 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is not authorized to link to
converter *converter_program_name. Client*
IP address: *clientaddr* **Host IP address:**
hostaddr **Program:** *X'prognum'* **Version:**
X'versnum' **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:**
socket.

説明: 別名がコンバーターにアクセスできません。許可エラーが発生しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 別名トランザクションを RESSEC=NO で再定義するか、またはユーザーにコンバーターへのアクセスを許可するように外部セキュリティー・マネージャーを変更してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0160 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias received an incorrect
response from CICS when attempting
to access the converter
converter_program_name. Client IP
address: *clientaddr* **Host IP address:**
hostaddr **Program:** *X'prognum'* **Version:**
X'versnum' **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:**
socket.

説明: 別名は、エンコード処理のためにコンバーターにリンクしようとしたときに、予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題診断のために、CICS によって発行された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0161 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias encountered an error during
Encode processing in the converter
program. Client IP address: clientaddr
Host IP address: hostaddr Program:
X'prognum' Version: X'versnum'
Procedure: X'procnum' Protocol: protocol
Port: port Socket: socket.

説明: エンコード機能が **URP_EXCEPTION** を戻しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0162 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias encountered an error during
Encode processing in the converter
program. Client IP address: clientaddr
Host IP address: hostaddr Program:
X'prognum' Version: X'versnum'
Procedure: X'procnum' Protocol: protocol
Port: port Socket: socket.

説明: エンコード機能が **URP_INVALID** を戻しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0163 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias encountered an error during
Encode processing in the converter
program. Client IP address: clientaddr
Host IP address: hostaddr Program:
X'prognum' Version: X'versnum'
Procedure: X'procnum' Protocol: protocol
Port: port Socket: socket.

説明: エンコード機能が予期しない戻りコードを返しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0164 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send an error
reply to the client due to a logic
error. Client IP address: clientaddr Host
IP address: hostaddr Program:
X'prognum' Version: X'versnum'
Procedure: X'procnum' Protocol: protocol
Port: port Socket: socket.

説明: 別名は論理エラーが原因でクライアントにエラー応答を送信できません。

システムの処置: クライアントに応答は送信されません。システム・ダンプがとられます。この別名プログ

ラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0166 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send a reply to
the client because the transport handle
was invalid or was not found. Client
IP address: clientaddr Host IP address:
hostaddr Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: protocol Port: port Socket:
socket.

説明: 別名はクライアントに応答を送信できません。トランスポート・ハンドルが無効か、または見つかりませんでした。

システムの処置: クライアントに応答は送信されません。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0167 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send an error reply to the client. CICS ONC RPCは使用不能です。Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr*
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket*.

説明: CICS ONC RPC が使用不可であるため、別名は応答をクライアントに送信できません。

システムの処置: クライアントに応答は送信されません。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*

11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0168 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to send an error reply to the client. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr*
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket*.

説明: 別名はクライアントに応答を送信できません。別名は RPC 呼び出し側からエラー応答を受け取りました。

システムの処置: クライアントに応答は送信されません。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0169 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias encountered an error during
Encode processing in the converter
program. Client IP address: clientaddr
Host IP address: hostaddr Program:
X'prognum' Version: X'versnum'
Procedure: X'procnum' Protocol: protocol
Port: port Socket: socket.

説明: エンコード機能が URP_DISASTER を戻しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0170 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected an error.

説明: 別名プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0171 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected a FREEMAIN
error.

説明: CICS プログラムが使用する通信域を解放するときに、別名が FREEMAIN エラーを検出しました。この FREEMAIN は、エンコード処理の後に起きます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0172 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected a FREEMAIN
error.

説明: 別名が、エンコード処理によって作成されたデータ域を解放中にエラーを検出しました。FREEMAIN は、アウトバウンド XDR 処理の後に起きます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0173 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias cannot find its alias list entry for deletion at task end. Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *X'port'* **Socket:** *X'socket'.*

説明: 別名は、タスク終了時にその別名リスト項目を削除しようとしていました。別名リスト・コンポーネントが NOT FOUND 応答を返しました。これは、接続マネージャーのユーザーが即時の使用不能化処理を開始したか、または接続マネージャーのユーザーが項目を削除したためです。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *X'port'*
12. *X'socket'*

宛先: CRPO

DFHRP0174 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias received an error response while attempting to delete its alias list entry. Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol* **Port:** *X'port'* **Socket:** *X'socket'.*

説明: 別名は、タスク終了時にその別名リスト項目を削除しようとしていました。これは重大エラーが起きたことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *X'port'*
12. *X'socket'*

宛先: CRPO

DFHRP0175 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias sent an error reply to the client, but cannot free storage associated with the error call to the client. Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket.*

説明: 別名はエラー応答をクライアントに送信しました。この応答が送信された後に、別名は、クライアントへのエラー呼び出しに関連したストレージを解放しようとしたときにエラー応答を受け取りました。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。問題が解決しない場合、解決するには IBM のサポートがさらに必要です。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

DFHRP0176 • DFHRP0180

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0176 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias sent a reply to the client, but cannot free storage associated with the svc_sendreply call. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名は応答をクライアントに送り返しました。この応答が送信された後に、別名は、**svc_sendreply** 呼び出しに関連したストレージを解放しようとしたときにエラー応答を受け取りました。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*

8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0180 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected an abend issued by the resource checker program. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 別名は、リソース・チェッカーによる異常終了を検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPO で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0181 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected an abend
issued by the CICS program *program*.
Client IP address: *clientaddr* **Host IP**
address: *hostaddr* **Program:** *X'prognum'*
Version: *X'versnum'* **Procedure:**
X'procnum' **Protocol:** *protocol* **Port:** *port*
Socket: *socket*.

説明: 別名は、クライアント要求を処理した CICS プログラムによる異常終了を検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPO で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0182 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected an abend
issued in the Encode function of the
converter *program*. **Client IP address:**
clientaddr **Host IP address:** *hostaddr*
Program: *X'prognum'* **Version:**
X'versnum' **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:**
socket.

説明: 別名は、コンバーター・エンコード機能による異常終了を検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラ

ムは異常終了コード ARPO で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0183 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected an abend.
Client IP address: *clientaddr* **Host IP**
address: *hostaddr* **Program:** *X'prognum'*
Version: *X'versnum'* **Procedure:**
X'procnum' **Protocol:** *protocol* **Port:** *port*
Socket: *socket*.

説明: 別名プログラムが異常終了を検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPO で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*

9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0184 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has found that the resource checker has rejected this client request. Response: *response* **Reason:** *reason. Client IP address:* *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'* **Protocol:** *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket.*

説明: リソース・チェッカーが応答 *response* および理由 *reason* を返しました。このクライアント要求は続行が許可されません。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 **AUTH_TOOWEAK** を使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード **ARPL** で異常終了します。

ユーザーの処置: リソース・チェッカーにエラーがあると思われる場合は、応答コードと理由コードを参照してデバッグしてください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *response*
6. *reason*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0185 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected an error in the resource checker. Response: *response* **Reason:** *reason. Client IP address:* *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'* **Protocol:** *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket.*

説明: リソース・チェッカーが応答 *response* および理由 *reason* を返しました。このクライアント要求は続行が許可されません。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード **ARPM** で異常終了します。

ユーザーの処置: リソース・チェッカーにエラーがあると思われる場合は、応答コードと理由コードを参照してデバッグしてください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *response*
6. *reason*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0186 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected an error in the resource checker program. Response: *response* **Reason:** *reason. Client IP address:* *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'* **Protocol:** *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket.*

説明: リソース・チェッカーが応答 *response* および理由 *reason* を返しました。このクライアント要求は続行が許可されません。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPM で異常終了します。

ユーザーの処置: リソース・チェッカーにエラーがあると思われる場合は、応答コードと理由コードを参照してデバッグしてください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *response*
6. *reason*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0187 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias detected an error in the resource checker. Response: *response*
Reason: *reason*. **Client IP address:** *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr*
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket*.

説明: リソース・チェッカーが応答 *response* および理由 *reason* を返しました。このクライアント要求は続行が許可されません。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPM で異常終了します。

ユーザーの処置: リソース・チェッカーにエラーがあると思われる場合は、応答コードと理由コードを参照してデバッグしてください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *response*
6. *reason*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0188 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias has detected an error in the resource checker. Response: *response*
Reason: *reason*. **Client IP address:** *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr*
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket*.

説明: リソース・チェッカーが応答 *response* および理由 *reason* を返しました。このクライアント要求は続行が許可されません。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPM で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: リソース・チェッカーにエラーがあると思われる場合は、応答コードと理由コードを参照してデバッグしてください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *response*
6. *reason*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0189 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request as it cannot load the CICS program program. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: セキュリティー検査のために CICS プログラム *program* の EXEC CICS LOAD を実行しようとしたときに、別名が INVREQ 応答を受け取りました。これはプログラム・マネージャー・ドメインがまだ初期設定されておらず、最初のステージの PLT でこの要求が行われたことがその原因である可能性を示しています。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: プログラム・マネージャー・ドメインが初期設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*

12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0190 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue processing this client request as it cannot load the CICS program program. EIBRESP2: eibresp2 Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.

説明: セキュリティー検査のために CICS プログラム *program* の EXEC CICS LOAD を実行しようとしたときに、別名が PGMIDERR 応答を受け取りました。これはプログラムが見つからないか、または自動インストールできないことを示します。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: ロード・モジュールが DFHRPL 連結内にあり、自動インストールできることを確認してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *eibresp2*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0191 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing this client request as it
cannot load the CICS program
program. EIBRESP2: eibresp2 Client IP
address: clientaddr Host IP address:
hostaddr Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: protocol Port: port Socket:
socket.

説明: セキュリティー検査のために CICS プログラム *program* の EXEC CICS LOAD を実行しようとしたときに、別名が PGMIDERR 応答を受け取りました。これは、プログラム自動インストール制御プログラムが失敗したことを示しています。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPJ で異常終了します。

ユーザーの処置: EIBRESP2 値を使用して、プログラム自動インストール制御プログラムが失敗した理由を判別し、問題を訂正してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *eibresp2*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0192 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing this client request as it
cannot load the CICS program
program. Client IP address: clientaddr
Host IP address: hostaddr Program:
X'prognum' Version: X'versnum'
Procedure: X'procnum' Protocol: protocol
Port: port Socket: socket.

説明: セキュリティー検査のために CICS プログラム *program* をロードしようとしたときに、別名が内部エラーを検出しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0193 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing this client request as it
cannot load the CICS program
program. Client IP address: clientaddr
Host IP address: hostaddr Program:
X'prognum' Version: X'versnum'
Procedure: X'procnum' Protocol: protocol
Port: port Socket: socket.

説明: セキュリティー検査のために CICS プログラム *program* の EXEC CICS LOAD を実行しようとしたときに、別名が NOTAUTH 応答を受け取りました。これは、このプログラムへのアクセスが許可されていないことを示します。このエラーは、ローカル別名トランザクションが RESSEC=YES を指定して定義されていることが原因で起きた可能性があります。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この別名プログラムは異常終了コード ARPG で異常終了します。

ユーザーの処置: 別名トランザクションを、RESSEC=YES を指定して実行する必要がある場合は、ユーザーがプログラムにアクセスすることを許可するプロファイルを外部セキュリティ・マネージャーに追加してください。リソース・レベル・セキュリティを必要としない場合は、別名トランザクション定義で RESSEC=NO を設定してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0194 *date time applid tranid A CICS ONC*
RPC alias is unable to continue
processing this client request as it
cannot load the CICS program
program. Client IP address: clientaddr
Host IP address: hostaddr Program:
X'prognum' Version: X'versnum'
Procedure: X'procnum' Protocol: protocol
Port: port Socket: socket.

説明: 別名は、セキュリティ検査のために CICS プログラム *program* をロードしようとしたときに、誤った応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード ARPI で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0500 *date time applid tranid CICS ONC RPC*
enable processing is complete. Host IP
address: hostaddr.

説明: 「使用可能にする」処理が正常に完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO およびコンソール

DFHRP0501 *date time applid trandid CICS ONC RPC*
normal disable processing has started.
Host IP address: hostaddr.

説明: 接続マネージャー・ユーザーによる要求に続いて、サーバー制御プログラムが通常の使用不能化処理を開始しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0502 *date time applid trandid CICS ONC RPC*
immediate disable processing has
started. Host IP address: hostaddr.

説明: 接続マネージャー・ユーザーによる要求に続いて、サーバー制御プログラムが即時の使用不能化処理を開始しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0503 *date time applid trandid CICS ONC RPC*
disable processing is complete.

説明: サーバー制御プログラムは、使用不能化処理を完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO およびコンソール

DFHRP0508 *date time applid trandid The CICS ONC*
RPC task related user exit
(DFHRPTRU) has been disabled
before the server controller could start.

説明: DFHRPTRU は使用可能処理中に接続マネージャーによって使用可能にされます。しかし、サーバー制御プログラムの開始時に DFHRPTRU が使用不可にされていることが検出されました。これはオペレーターが手動で DFHRPTRU を使用不可にしたことが原因と考えられます。

システムの処置: サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可のままです。システム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC を再び使用可能にしてください。TRUE への今後の手動干渉を防ぐための手段を講じることを検討してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP0509 *date time applid tranid* **CICS ONC RPC has received an incorrect response on a call made to CICS during server controller startup.**

説明: CICS ONC RPC は、CICS のエラーを示す応答を受け取りました。

システムの処置: サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可のままです。システム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題診断については、関連する CICS メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0510 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC task related user exit (DFHRPTRU) has been deleted or disabled before the server controller could start.**

説明: DFHRPTRU は使用可能処理中に接続マネージャーによって使用可能にされますが、サーバー制御プログラムは以下を示す通知を受け取りました。

- DFHRPTRU が CICS に対して定義されていない。または、
- ロード・モジュールがない。または、
- ロード・モジュールが使用不可になっている。

これはオペレーター介入が原因である可能性があります。

システムの処置: サーバー制御プログラムは異常終了コード ARPQ で異常終了します。システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC を再び使用可能にしてください。今後のオペレーターの干渉を防ぐための手段を講じることを検討してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0513 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller could not link to the converter *converter_program_name*. EIBRESP2: *resp2val*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: サーバー制御プログラムがコンバーター *converter_program_name* に対して EXEC CICS LINK を使用してデコードを実行しましたが、PGMIDERR 応答を受け取りました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: コンバーター名が誤っている場合は、接続マネージャーを使用して 4 タプルを登録抹消し、正しいコンバーター名で再登録してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *resp2val*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0516 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller obtained data length information from the Decode function of converter *converter_program_name* that gives a communication area length that is too great. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: **decode_server_data_format**、**decode_server_input_data_len**、および **decode_server_output_data_len** の各パラメーターから計算された通信域の長さが、許可された最大値を超えています。デコード機能とそのパラメーターの詳細については、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: エラーのあるコンバーターを修正し、置き換えてください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0517 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller does not have resource-level security authorization to start alias transaction *alias-tranid*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: サーバー制御プログラムは、必要なリソース・レベルのセキュリティー許可を持っていないため、別名を開始できません。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 **AUTH_TOOWEAK** を使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: サーバー制御プログラムが開始のためのリソース・レベルのセキュリティー許可を持つ別名トランザクション ID のみを指定してください。CICS ONC RPC が次に使用不可にされたときに、サーバー制御プログラム・トランザクションを **RESSEC=NO** で再定義してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias-tranid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0518 *date time applid tranid* **CICS ONC RPC cannot process a client request because the associated terminal ID *alias_termid* is not in the terminal control table.**
Client IP address: *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr* **Program:** *X'prognum'*
Version: *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'* **Protocol:** *protocol* **Port:** *port*
Socket: *socket*.

説明: クライアント要求が着信し、対応する 4 タプルは端末制御テーブルにない端末 ID を参照しています。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: 欠落している端末を定義するか、または端末制御テーブル内にある端末 ID を参照するように 4 タプル定義を変更してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias_termid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0520 *date time applid tranid* **A CICS ONC RPC internal error has occurred while the server controller was polling for client work. Host IP address:** *hostaddr*.

説明: これは内部エラーです。

システムの処置: CICS ONC RPC は例外使用不能化処理を開始します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。

ります。 続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0521 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller detected an internal error while accessing an internal table. Client IP address:** *clientaddr* **Host IP address:** *hostaddr*
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol* **Port:** *port* **Socket:** *socket*

説明: 内部テーブルへのアクセス中に、サーバー制御プログラムで内部エラーが発生しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0522 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller detected an internal error while accessing an internal table. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket***

説明: 内部テーブルへのアクセス中に、サーバー制御プログラムで内部エラーが発生しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0528 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller detected an initialization error.**

説明: これは内部エラーです。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可のままです。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0540 *date time applid* **The CICS ONC RPC server controller received an error response from TCP/IP for MVS after an *svc_freeargs* call issued for XDR routine: *xdrname* Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'progname'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: サーバー制御プログラムは、インバウンド XDR ルーチンによって割り振られたストレージを解放できません。 **svc_freeargs** がエラー応答を返しました。これは、呼び出しに関連付けられているクライアントがタイムアウトになり、ストレージが TCP/IP for MVS によって既に解放されていることが原因である可能性があります。

システムの処置: サーバー制御プログラムはこのクライアント要求の処理を続行します。このメッセージがクライアントのタイムアウトの結果でない場合には、要求に関連する MVS ストレージは解放されません。この種のエラーが頻繁に発生する場合は、ストレージの問題につながる可能性があります。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。ユーザー作成の XDR ルーチンが使用されている場合、FREE 関数に関連するコード内にエラーがある可能性があります。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xdrname*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'progname'*

8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0545 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller is unable to send an error reply to the client due to an error in reply processing. トランスポート・ハンドルが無効であるか、または見つかりませんでした。Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: トランスポート・ハンドルが無効であるため、サーバー制御プログラムはエラー応答をクライアントに送信できません。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0546 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller is unable to send an error reply to the client because CICS ONC RPC is disabling. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: サーバー制御プログラムはクライアントにエラー応答を送信できません。CICS ONC RPCは使用不能です。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、使用不能化要求の理由を判別してください。

モジュール: DFHRPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0547 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller is unable to send an error reply to the client. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: サーバー制御プログラムは、RPC 呼び出し側からエラー応答を受け取ったため、応答をクライアントに送信できません。

システムの処置: クライアント要求は中止され、応答はクライアントに送信されません。サーバー制御プログラムは、他のクライアントからの要求を処理しようとしませんが、さらに RPC 呼び出し側エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 例外トレースを調べて、エラーの理由を判別してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0548 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller sent an error reply to the client but cannot free storage associated with the client call. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: サーバー制御プログラムはエラー応答をクライアントに送信しました。この応答が送信された後に、サーバー制御プログラムは、クライアント呼び出しに関連したストレージを解放しようとしたときにエラー応答を受け取りました。

システムの処置: 処理は、エラーが発生しなかったかのように続行されます。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判

別してください。この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0559 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller has encountered an internal error while trying to disable its task related user exit.**

説明: 使用不能化処理中にタスク関連ユーザー出口ルーチンを使用不可にしようとしたしましたが、内部エラーのために失敗しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理の続行を無効にします。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0570 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller found that the RP task control block is not available. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: RP TCB は使用不可です。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0574 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller has encountered an internal error while waiting for work. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: CICS ONC RPC は、サーバー制御プログラムの内部エラーのため、続行できません。

システムの処置: 場合によっては、システム・ダンプがとられます。CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0589 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller cannot enable CICS ONC RPC because it is not defined with the authority to access the task-related user exit.**

説明: サーバー制御プログラムがタスク関連ユーザー出口ルーチンにアクセスできません。このエラーは、サーバー制御プログラムに指定された定義が変更された場合にのみ発生することがあります。

システムの処置: サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可のままです。

ユーザーの処置: サーバー制御プログラムに対して指定された定義が使用されていることを確認し、CICS ONC RPC を再度使用可能にしてください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0590 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller has received an unexpected response on a call to CICS during CICS ONC RPC enable processing.**

説明: CICS にエラーがあったため、CICS ONC RPC の使用可能化処理を続行できません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可のままです。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法

の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0591 *date time applid tranid* **CICS ONC RPC could not be enabled because of an internal error in the server controller.**

説明: 内部エラーのためにサーバー制御プログラムを開始できません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可のままです。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0592 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller detected an error while polling for client work. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: 内部エラーのためにサーバー制御プログラムを続行できません。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用不可です。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0618 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller cannot link to remote converter *converter_program_name*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: デコード処理のためにサーバー制御プログラムは EXEC CICS LINK を使用してコンバーターにアクセスしましたが、コンバーターがリモートと定義されたことを示すエラー応答を受け取りました。データ・ポインターはコンバーターとの間でやり取りされ、参照されるデータは、コンバーターがローカル CICS 領域で実行されている場合にのみ使用できます。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

svcerr_systemerr 呼び出しを使用してクライアントに回答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: コンバーター・プログラムは、CICS ONC RPC と同じ CICS 領域内でインストールおよび定義してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*

8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0620 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller received an unexpected response from CICS when attempting to access converter** *converter_program_name. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.*

説明: CICS にエラーがあったため、クライアント要求は失敗しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
svcerr_systemerr 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0621 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller is not authorized to link to converter** *converter_program_name. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.*

説明: サーバー制御プログラムがコンバーターにアクセスできません。このエラーは、サーバー制御プログラムに指定された定義が変更された場合にのみ発生することがあります。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
svcerr_systemerr 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: サーバー制御プログラムに対して指定された定義が使用されていることを確認し、CICS ONC RPC を再度使用可能にしてください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0625 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller encountered an error during Decode processing in converter** *converter_program_name. Client IP address: clientaddr Host IP address: hostaddr Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol Port: port Socket: socket.*

説明: デコード機能が予期しない応答を戻しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: 問題となっているコンバーター・プログラムを訂正し、置き換えてください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0626 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller encountered an error during Decode processing in converter *converter_program_name*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: デコード機能が URP_EXCEPTION を理由 URP_CORRUPT_CLIENT_DATA とともに戻しました。

システムの処置: **svcerr_decode** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: クライアント・プログラムとコンバーター・プログラムを比較し、データ・フォーマットが一貫するようにどちらか一方を変更してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0628 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller encountered an error during Decode processing in converter *converter_program_name*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: デコード機能が URP_EXCEPTION を理由 URP_AUTH_BADCRED とともに戻しました。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 AUTH_BADCRED を使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: クライアントがこの要求を行うことを許可されている必要がある場合には、クライアント・プログラムとコンバーターを比較して、認証要件が一致するようにどちらか一方を変更してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*

13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0629 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller encountered an error during Decode processing in converter *converter_program_name*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: デコード機能が URP_EXCEPTION を理由 URP_AUTH_TOOWEAK とともに戻しました。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 AUTH_TOOWEAK を使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: クライアントがこの要求を行うことを許可されている必要がある場合には、クライアント・プログラムとコンバーターを比較して、認証要件が一致するようにどちらか一方を変更してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0631 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller encountered an error in Decode processing in converter *converter_program_name*. The response was URP_EXCEPTION, but the reason *decode_reason* was not recognized. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: デコード機能は、URP_EXCEPTION を、認識されない理由コードとともに戻しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: 返される理由コードにユーザー定義の意味がある場合は、それに応じて処置します。理由コードにユーザー定義の意味がない場合は、コンバーターでの問題を修正し、置き換えます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *decode_reason*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0632 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller encountered an error during Decode processing in converter *converter_program_name*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: デコード機能が URP_INVALID を戻しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: **Decode** パラメーター域がトレースされます。渡された値が正しく、エラーがコンバーターにある場合は、コンバーターを訂正して置き換えてください。渡された値が誤っていた場合、問題を解決するには IBM のサポートがさらに必要です。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0635 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller encountered an error during Decode processing in converter *converter_program_name*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: デコード機能が URP_DISASTER を戻しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: コンバーターを訂正し、置き換えてください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0636 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller was unable to process an incoming client request due to lack of storage. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: 着信クライアント要求は、使用可能なストレージが不十分であったため、処理できませんでした。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: このエラーが繰り返起きる場合、ストレージの不足を解決するために CICS システムをカスタマイズすることが必要になる場合があります。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0637 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller was unable to process an incoming client request due to an internal error.*clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 内部エラーが起きたため、CICS ONC RPC はクライアント要求を中止せざるをえませんでした。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0638 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller was unable to process an incoming client request due to an unexpected error detected when acquiring storage. *eibresp eibresp2 eibresp2* Client IP address *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: 着信クライアント要求は、要求を処理するためのストレージの取得中に予期しないエラーが発生したため、処理できませんでした。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からサポートを受ける必要があります。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp*
6. *eibresp2*
7. *clientaddr*
8. *hostaddr*
9. *X'prognum'*
10. *X'versnum'*
11. *X'procnum'*
12. *protocol*
13. *port*
14. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0639 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller received an incorrect response on a call made to CICS.

説明: サーバー制御プログラムは、CICS を呼び出して初期設定情報を設定しているときに論理エラーを示す応答を受け取りました。

システムの処置: サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0640 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC server controller has been started
incorrectly.

説明: サーバー制御プログラム・トランザクション CRPM は、接続マネージャー・プログラム以外の手段(おそらく端末のユーザー)によって開始されました。

システムの処置: サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP5 で異常終了します。

ユーザーの処置: CRPM トランザクション ID が端末ユーザーによって入力されていないことを確認してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0663 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC server controller could not start
alias transaction *alias_tranid*. Host IP
address: *hostaddr* Program: *prognum*
Version: *versnum* Protocol: *protocol* Port:
port Socket: *socket* Client IP address:
clientaddr

説明: 内部エラーのため、サーバー制御プログラムは別名トランザクションを開始できませんでした。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias_tranid*
6. *hostaddr*
7. *prognum*
8. *versnum*
9. *protocol*
10. *port*
11. *socket*
12. *clientaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0686 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC server controller encountered an
internal error while attempting to start
an alias transaction. Client IP address:
clientaddr Host IP address: *hostaddr*
Program: X'*prognum*' Version:
X'*versnum*' Procedure: X'*procnum*'
Protocol: *protocol* Port: *port* Socket:
socket.

説明: 内部エラーのため、サーバー制御プログラムは別名トランザクションを開始できませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

svcerr_systemerr 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

DFHRP0687 • DFHRP0688

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0687 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller could not start alias transaction *alias_tranid* because the CICS default temporary storage data set is full. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: サーバー制御プログラムは、一時記憶域が使用できないため、別名トランザクションを開始できません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

svcerr_systemerr 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: デフォルトの CICS 一時記憶域データ・セットが満杯である理由を判別してください。データ・セットを拡大するか、CICS ロードを変更してそのスペースを解放してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias_tranid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*

9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0688 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller detected an error while starting alias transaction *alias_tranid*. エラーは、トランザクションがリモートであることを示しています. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: 別名トランザクションはリモートとして定義されますが、別名は CICS ONC RPC と同じ CICS 領域内で実行する必要があります。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

svcerr_systemerr 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 別名をローカル・トランザクションとして定義します。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias_tranid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0689 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller tried to start alias transaction *alias-tranid*, but the surrogate user security check failed. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: セキュリティチェックが原因で、別名トランザクションにアクセスするためのユーザー ID による試行が失敗しました。関係するクライアントを別名トランザクションにアクセスさせないようにするのであれば、これはエラーでない可能性があります。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 AUTH_TOOWEAK を使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: ユーザー ID で別名にアクセスできるようにするには、CRPM ユーザー ID に別の値を指定して CICS ONC RPC を再度使用可能にするか、または代理ユーザー ID テーブルを変更してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias-tranid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0690 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller received an unexpected response from CICS while starting alias transaction *alias-tranid*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: CICS にエラーがあったため、クライアント要求は失敗しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

svcerr_systemerr 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias-tranid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0691 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller found that the user ID attempting to access alias transaction *alias-tranid* is not known to the external security manager. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.

説明: サーバー制御プログラムは、ユーザー ID が外

部セキュリティ・マネージャーに認識されていないため、そのユーザー ID を使用して別名を開始できませんでした。

システムの処置: **svcerr_auth** 呼び出しと理由値 **AUTH_TOOWEAK** を使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: このユーザー ID で別名を実行した場合は、外部セキュリティ・マネージャーに対してユーザー ID を定義し、代理ユーザー ID テーブルを変更してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias-tranid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0692 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller found that the external security manager cannot validate the user ID for alias transaction *alias-tranid*. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: 別名ユーザー ID を使用して別名を開始しようとしたが、ユーザー ID が有効であるかどうかを外部セキュリティ・マネージャーが判別できないため、失敗しました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャーがこの要求を実行できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias-tranid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0694 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC server controller could not start alias transaction *alias_tranid* because it is not defined. Client IP address: *clientaddr* Host IP address: *hostaddr* Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol* Port: *port* Socket: *socket*.**

説明: 別名トランザクション *alias_tranid* が欠落しているか、または正しく定義されていません。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: 別名トランザクションを正しく定義するか、またはそれを参照する 4 タブルの定義を変更してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *alias_tranid*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*

10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0697 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller has started exception disable of CICS ONC RPC. Host IP address: *hostaddr*.

説明: サーバー制御プログラムが、操作中のエラーに続いて、CICS ONC RPC の例外無効化を開始しました。このエラーは、既に報告されています。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: エラーの詳細情報については、関連する診断を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0723 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller has detected an error when attempting to shut down the RPC caller.

説明: CICS ONC RPC 使用不能化処理中に、サーバー制御プログラムは RPC 呼び出し側をシャットダウンしますが、エラー応答を受け取りました。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0724 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller has detected an error when attempting to issue a FREEMAIN for the RPC caller program.

説明: CICS ONC RPC 使用不能化処理中に、サーバー制御プログラムは、記憶域から削除するために RPC 呼び出し側プログラムに対して FREEMAIN を発行しましたが、エラー応答を受け取りました。これは CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある)、または CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: CICS を再始動せずに CICS ONC RPC を再度使用可能にすることはできない場合があります。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0725 *date time applid tranid* CICS ONC RPC サーバー制御プログラムが、別名リスト・プログラムに RELEASE を発行しようとしてエラーを検出しました。

説明: CICS ONC RPC 使用不能化処理中に、サーバー制御プログラムは別名リスト・プログラムを解放しますが、エラー応答を受け取りました。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: CICS を再始動せずに CICS ONC RPC を再度使用可能にすることはできない場合があります。このエラーが他のエラーと関連しない場合、この

問題を解決するには IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0726 *date time applid tranid* During disable processing, the CICS ONC RPC server controller found that the task-related user exit was already disabled.

説明: 使用不能処理中に、サーバー制御プログラムは、タスクに関連したユーザー出口ルーチンが既に使用不可であるかまたは出口として定義されていないことを検出しました。これはオペレーター介入の結果である可能性があります。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: タスクに関連したユーザー出口ルーチンへのオペレーターによる干渉を防ぐための手段を講じてください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0727 *date time applid tranid* During disable processing, the CICS ONC RPC server controller found that the task-related user exit is in use by another task.

説明: 使用不能化処理中に、サーバー制御プログラムは、タスク関連ユーザー出口ルーチンが別のタスクで現在呼び出されていることを検出しました。これは一時的な状態である可能性があります。またはタスク関連ユーザー出口ルーチンが既に使用不可になっている可能性があります。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: オペレーターがタスク関連ユーザー出

口ルーチン DFHRPTRU を何らかの理由で使用不可にしたかどうかを調べてください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0728 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller received an unexpected response from CICS while disabling the task-related user exit.

説明: CICS ONC RPC 使用不能化処理中にサーバー制御プログラムがタスク関連ユーザー出口ルーチンを使用不可にしようとしたときに、CICS でエラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理の続行を無効にします。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0729 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller has detected an internal error during disable processing.

説明: CICS ONC RPC は、使用不能化の処理中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: 問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0730 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC server controller does not have
authorization to access the task-related
user exit.

説明: 使用不可処理中に、サーバー制御プログラムは、タスク関連ユーザー出口ルーチンにアクセスする権限がないことを検出しました。この問題は、サーバー制御プログラムの提供された定義が変更された場合に発生します。これらの定義に対する変更は許可されません。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: サーバー制御プログラムに対して指定された定義が使用されていることを確認し、CICS ONC RPC を再度使用可能にしてください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0731 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC server controller has detected an
internal error during disable
processing.

説明: CICS ONC RPC は、使用不能化の処理中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: 問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0732 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC server controller has detected an
internal error during disable
processing.

説明: 使用不能化処理中に、サーバー制御プログラムは問題判別のために登録抹消しようとしたが、エラー応答を受け取りました。

システムの処置: 処理の続行を無効にします。

ユーザーの処置: 問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0735 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC server controller HANDLE
ABEND code was entered as a result
of an error in the Decode function in
converter *converter_program_name*. Client
IP address: *clientaddr* Host IP address:
hostaddr Program: X'*prognum*' Version:
X'*versnum*' Procedure: X'*procnum*'
Protocol: *protocol* Port: *port* Socket:
socket.

説明: コンバーター *converter_program_name* の **Decode** でエラーが発生しました。コンバーターに HANDLE ABEND ロジックが含まれていないため、エラーがサーバー制御プログラムにパーコレートされました。

システムの処置: **svcerr_systemerr** 呼び出しを使用してクライアントに応答を送信します。

ユーザーの処置: コンバーターのエラーを訂正してください。

DFHRP0736 • DFHRP0741

さい。独自のエラーを処理できるようにコンバーターに
HANDLE ABEND ロジックを追加し、それを置き換えます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *clientaddr*
7. *hostaddr*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *port*
13. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0736 *date time applid tranid* **The CICS ONC
RPC server controller has encountered
an internal error while processing a
client request. Client IP address:
clientaddr Host IP address: hostaddr
Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: protocol Port: port Socket:
socket.**

説明: 内部エラーが起きたため、CICS ONC RPC は
クライアント要求を中止せざるをえませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

svcerr_systemerr 呼び出しを使用してクライアントに応
答を送信します。この問題の症状ストリングが含まれる
メッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM から
さらにサポートを受ける必要があります。続行する方法
の手引きについては、「外部インターフェース・ガイ
ド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し
てください。メッセージ DFHME0116 に示されている
症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問
題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*
7. *X'prognum'*
8. *X'versnum'*
9. *X'procnum'*
10. *protocol*
11. *port*
12. *socket*

宛先: CRPO

DFHRP0737 *date time applid tranid* **The CICS ONC
RPC server controller has encountered
an internal error. Host IP address:
hostaddr.**

説明: サーバー制御プログラムで内部エラーが発生した
ため、続行できません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状スト
リングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成され
ます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM から
さらにサポートを受ける必要があります。続行する方法
の手引きについては、「外部インターフェース・ガイ
ド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し
てください。メッセージ DFHME0116 に示されている
症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問
題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP0741 *date time applid tranid* **The CICS ONC
RPC server controller is abending with
abend code ARP4.**

説明: サーバー制御プログラムでエラーが発生したた
め、続行できません。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用不可です。
CICS ONC RPC は既に、エラーに関する詳細情報を示す他の診断を出しています。サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP4 で異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、関連する診断と異常終了コード ARP4 の説明を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0746 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller is abending with abend code ARP2.

説明: サーバー制御プログラムでエラーが発生したため、続行できません。

システムの処置: サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可です。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、関連する診断と異常終了コード ARP2 の説明を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0747 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller is abending with abend code ARP2.

説明: サーバー制御プログラムでエラーが発生したため、続行できません。

システムの処置: サーバー制御プログラムは異常終了コード ARP2 で異常終了します。CICS ONC RPC は使用不可です。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、関連する診

断と異常終了コード ARP2 の説明を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP0749 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC server controller has encountered an internal error when no client request was being processed. Host IP address: *hostaddr*.

説明: サーバー制御プログラムで内部エラーが発生しました。クライアント要求は影響を受けません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。サーバー制御プログラムは続行されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPMS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1000 *date time applid* The CICS ONC RPC RPC caller is initializing.

説明: サーバー制御プログラムが RPC 呼び出し側の初期設定を開始しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPRP

DFHRP1001 • DFHRP1505

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CRPO

DFHRP1001 *date time applid* **The CICS ONC RPC
RPC caller has been initialized
successfully.**

説明: RPC 呼び出し側が初期設定されて、使用できる状態になっています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CRPO

DFHRP1002 *date time applid* **The CICS ONC RPC
RPC caller is shutting down.**

説明: RPC 呼び出し側の終了が開始されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CRPO

DFHRP1003 *date time applid* **The CICS ONC RPC
RPC caller has successfully shutdown.**

説明: RPC 呼び出し側の終了が完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

宛先: CRPO

DFHRP1500 *date time applid tranid* **Invalid data has
been entered in field *fieldname*.**

説明: 無効なデータが接続マネージャー・パネルの *fieldname* フィールドに入力されました。

システムの処置: パネルが再表示され、エラーのフィールドが強調表示されます。

ユーザーの処置: 示されたフィールドに有効なデータを入力してください。詳しい手引きについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール:

DFHRPC06、DFHRPC10、DFHRPC0A、DFHRPC1B

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1501 *date time applid tranid* **The value
entered in field *fieldname* exceeds the
maximum allowed.**

説明: 接続マネージャー・パネルの *fieldname* フィールドに入力された値が、許容される最大値を超えています。

システムの処置: パネルが再表示され、エラーのフィールドが強調表示されます。

ユーザーの処置: 示されたフィールドに有効なデータを入力してください。詳しい手引きについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHRPC0B

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1505 *date time applid tranid* **The CICS ONC
RPC connection manager has not been
started correctly.**

説明: この接続マネージャーは非 BMS 端末から開始されましたが、CICS ONC RPC を使用可能または使用不可にするためには使用されていません。

システムの処置: 接続マネージャーは終了します。

ユーザーの処置: 接続マネージャーは非 BMS 端末から以下のように使用できます。

•

CICS ONC RPC が使用不可の場合、自動使用可能化を CICS ONC RPC データ・セットで YES に設定するか、または自動使用可能化に対して YES を指

定したファスト・パス・コマンドを入力するかのいずれかで、接続マネージャーを自動使用可能化に使用できます。

•

CICS ONC RPC が使用可能の場合、有効な使用不能化ファスト・パス・コマンドを入力することで、接続マネージャーを使用不能化に使用できます。

接続マネージャーを開始する方法の手引きについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1506 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error attempting to retrieve any fast path data. EIBRESP: eibresp.**

説明: 接続マネージャーは、開始時に指定されていた可能性があるすべてのファスト・パス・コマンドを検索しようとしていました。接続マネージャーは EXEC CICS GETMAIN コマンドを発行しましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは処理を続行しますが、すべてのファスト・パス・コマンドは無視されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1507 *date time applid trandid* **An invalid CICS ONC RPC fast path command has been entered: fastpath_command**

説明: ファスト・パス・コマンドを入力することで接続マネージャーが開始されましたが、コマンドの形式が無効でした。

システムの処置: 接続マネージャーは開始されましたが、ファスト・パス・コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 有効なファスト・パス・コマンドを入力してください。詳しい手引きについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *fastpath_command*

宛先: CRPO

DFHRP1508 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager has not been started correctly.**

説明: 接続マネージャーは、開始時に指定されていた可能性があるすべてのファスト・パス・コマンドを検索しようとしていましたが、無効な STARTCODE 標識を検出しました。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、すべてのファスト・パス・コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 接続マネージャーを開始する方法の手引きについては、CICS の資料を参照してください。接続マネージャーが正しく開始した場合、問題を解決するには IBM のサポートがさらに必要です。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1509 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an error attempting to retrieve any fast path data. EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは、EXEC CICS START コマンドを使用した開始時に指定されていた可能性があるすべてのファスト・パス・コマンドを検索しようとしていました。接続マネージャーは EXEC CICS RETRIEVE コマンドを発行しましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは処理を続行しますが、すべてのファスト・パス・コマンドは無視されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1510 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*. EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セット、CICS ファイル *filename* にアクセスできませんでした。EXEC CICS READ が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。データ・セットは、以下のいずれかの理由で CICS に対して正しく定義されていません。

-

filename のファイル定義が見つかりませんでした。したがって、CICS ONC RPC は正しくインストールされていません。

-

ファイルに対する READ 操作が許可されません。

-

ファイル定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが DISABLED になっています。

-

ファイルが正しく定義されていないか、またはオペレーター介入によって閉じられているため、ファイルを開けません。

-

接続マネージャー・トランザクション、またはそれを実行しているユーザーには、ファイルにアクセスするための必要なレベルの権限がありません。

システムの処置: 要求された操作は実行されません。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1511 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has detected a logic error accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セットの CICS ファイル *filename* へのアクセス中に予期しないエラーを受け取りました。これは論理エラーです。接続マネージャーが EXEC CICS コマンドに続いて予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。要求された操作は実行されませんでした。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM から

さらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1512 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager cannot access the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セット、CICS ファイル *filename* にアクセスできませんでした。データ・セットは、以下のいずれかの理由で CICS に対して正しく定義されていません。

- *filename* のファイル定義が見つかりませんでした。したがって、CICS ONC RPC は正しくインストールされていません。
- ファイルに対する READ 操作が許可されません。
- データ・セット定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが使用不可になっています。
- ファイルが正しく定義されていないか、またはオペレーター介入によって閉じられているため、ファイルを開けません。
- 接続マネージャー・トランザクション、または接続マネージャーを実行しているユーザーには、ファイルにアクセスするための必要なレベルの権限がありません。

システムの処置: メッセージは端末で表示されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC のすべての CEDA グループが正しくインストールされていることを確認してください。

オペレーターが何らかの理由でファイルの状況を変更したかどうかを調べてください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1513 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has detected invalid data in the definition record of the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーが、CICS ONC RPC データ・セット内の定義レコードにエラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。

CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: データ・セット内の最初のレコードが正しく初期設定されていることを確認してください。これは、手動でレコードを更新するか (詳しい手引きについては CICS 資料を参照)、またはデータ・セット内の最初のレコードを削除して、接続マネージャーを再実行することにより、行うことができます。これにより、デフォルト設定を使用して新規定義レコードが作成されます。レコードは、続いて、接続マネージャー・パネルを使用して更新できます。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1514 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has detected that the CICS ONC RPC global work area does not have the expected length.

DFHRP1515 • DFHRP1518

説明: 接続マネージャーは、関連するグローバル作業域の長さが正しくないことを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC は使用不可です。問題が解決されるまで、CICS ONC RPC を使用可能にすることはできません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ユーザー作成バージョンのプログラム DFHRPTRU が使用されていないことを確認してください。CICS ONC RPC 提供のプログラムのみ、CICS ONC RPC で使用できます。同様に、CICS ONC RPC 提供のタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU は、接続マネージャーによってのみ使用可能および使用不可にしてください。他の方法で DFHRPTRU を使用可能または使用不可にする必要はありません。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1515 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.
EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セット、CICS ファイル *filename* にアクセスできませんでした。EXEC CICS READ が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

- ファイルはリモートとして定義され、所有システムへの接続にエラーがあります。
- VSAM は予期しない応答を CICS に返しました。
- READ で入出力エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。要求された操作は実行されませんでした。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を

確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1516 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager cannot access the feature definition record in the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC 定義レコードが CICS ONC RPC データ・セットの CICS ファイル *filename* から欠落していることを、このレコードの更新要求を処理中に検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。CICS ONC RPC 定義レコードは更新できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このレコードが存在しない理由を調べてください。接続マネージャーで新規 CICS ONC RPC 定義レコードを作成する必要があります。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1518 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager cannot find the global work area.

説明: 接続マネージャーは、そのグローバル作業域にアクセスできません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは処理を続行しますが、CICS ONC

RPC は使用可能にできません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 接続マネージャーを終了します。
CICS ONC RPC 定義を含むすべての CEDA グループが正しくインストールされていることを確認してください。その後、接続マネージャーを再度実行してみてください。

オペレーターがタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU を使用不可にしたかどうかを調べてください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1519 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager cannot find the task-related user exit.**

説明: 接続マネージャーは、以下のいずれかの理由でそのタスク関連ユーザー出口ルーチンにアクセスできません。

- DFHRPTRU が CICS に対して定義されていない。
- DFHRPTRU が CICS ロード・ライブラリー内にな
ない。
- DFHRPTRU が使用不可になっている。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 接続マネージャーを終了します。
CICS ONC RPC 定義を含むすべての CEDA グループが正しくインストールされていることを確認してください。その後、接続マネージャーを再度実行してみてください。

CICS ONC RPC が正しくインストールされている場合は、オペレーターが DFHRPTRU を使用不可にしていることを確認してください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1520 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager is not authorized to access its task related user exit. EIBRESP2: eibresp2.**

説明: 接続マネージャーはタスク関連ユーザー出口ルーチンを見つけるために EXEC CICS EXTRACT EXIT を使用しましたが、NOTAUTH 応答を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: EIBRESP2 値を使用して問題を識別してください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp2*

宛先: CRPO

DFHRP1521 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager cannot access its task related user exit.**

説明: 接続マネージャーは、タスク関連ユーザー出口ルーチンにアクセスできません。EXEC CICS EXTRACT EXIT 呼び出しに対する予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている

DFHRP1522 • DFHRP1525

症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1522 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager has been
started against an invalid terminal.

説明: 接続マネージャーが、サポートされていない端末(例えば、LUTYPE6 端末) に対して開始されました。

システムの処置: 接続マネージャーは異常終了コード ARPX で異常終了します。

ユーザーの処置: 有効な端末に対して接続マネージャーを開始してください。接続マネージャーの開始に関する詳しい手引きについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1523 *date time applid tranid* CICS ONC RPC
cannot be enabled because the
connection manager cannot access the
task-related user exit DFHRPTRU.

説明: 接続マネージャーは、タスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU へのアクセス中にエラーが発生したため、CICS ONC RPC を使用可能にできませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。この接続マネージャーのインスタンスは、CICS ONC RPC データ・セットを照会または更新するためにのみ使用できます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: エラーの性質を示すメッセージについて CRPO 一時データ・キューを参照し、適切な処置をとってください。接続マネージャー・トランザクション

を再始動して、使用可能化オプションを再度選択してください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1524 *date time applid tranid* CICS ONC RPC
cannot be enabled because the server
controller is already running.

説明: 接続マネージャーはタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU が使用不可になっていることを検出しましたが、サーバー制御プログラム・トランザクションは引き続き実行しています。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。この接続マネージャーのインスタンスは、CICS ONC RPC データ・セットを照会または更新するためにのみ使用できます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC を使用不可にしようとした最後の試行が正常に完了しなかった理由を調べてください。オペレーター介入の可能性を調べてください。

続行しても安全であるという確証が得られたら、CEMT SET TASK または EXEC CICS SET TASK を使用してサーバー制御プログラムを除去してください。次に接続マネージャーを再度実行して、CICS ONC RPC を使用可能にしてください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1525 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager received an
unexpected response from CICS.

説明: 接続マネージャーは論理エラーを検出しました。接続マネージャーは、CICS コマンドに対する予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1526 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager found that the task-related user exit is enabled, but the server controller is not running.**

説明: 接続マネージャーはタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU が使用可能であることを検出しましたが、サーバー制御プログラムは実行していません。これは、CICS ONC RPC が不確定状態にあることを意味します。

システムの処置: この接続マネージャーのインスタンスは、CICS ONC RPC データ・セットを照会または更新するためにのみ使用できます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC を使用不可にしようとした以前の試行が正常に完了したかどうかを調べてください。あるいは、サーバー制御プログラム・タスクがオペレーターにより強制消去された可能性があります。

続行しても安全であるという確証が得られたら、接続マネージャーを再実行し、CICS ONC RPC を使用可能にしてみてください。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1527 *date time applid tranid* **CICS ONC RPC cannot be enabled because disable processing has not completed.**

説明: CICS ONC RPC は使用不可にされています。

システムの処置: CICS ONC RPC の現在のインスタンスは使用不可です。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC の使用可能化を再試行する前に、使用不能化が完了するのを待機してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO および端末エンド・ユーザー

DFHRP1528 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error while initializing the RPC caller component during CICS ONC RPC enable processing.**

説明: RPC 呼び出し側を開始できませんでした。

システムの処置: 有効化の試みは中止されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO および端末エンド・ユーザー

DFHRP1529 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error in enable processing.** ホスト IP アドレス: *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC の使用可能化を試行したときにストレージの問題を検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。

ストレージ問題の扱い方に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO および端末エンド・ユーザー

DFHRP1530 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected a CICS short on storage condition during initialization of the RPC caller component.** ホスト IP アドレス: *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーがストレージ不足状態を検出しました。

システムの処置: 有効化の試みは中止されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。ストレージ問題の扱い方に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

ストレージ不足の問題が解決した時点で、CICS ONC RPC の使用可能化を再試行してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO および端末エンド・ユーザー

DFHRP1531 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file filename.** **EIBRESP:** *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セット、CICS ファイル *filename* にアクセスできませんでした。EXEC CICS WRITE が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

- ファイルのファイル定義が見つかりませんでした。これは CICS ONC RPC が正しくインストールされなかったことを意味します。
- 書き込み操作は許可されません。これは CICS ONC RPC が正しくインストールされなかったことを意味します。
- ファイル定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが DISABLED になっています。
- ファイル定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが NOTOPEN になっています。
- 書き込み操作は許可されません。これはセキュリティが正しくセットアップされていないことを意味します。

システムの処置: 要求された操作は実行されない。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1532 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.**
EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セット、CICS ファイル *filename* にアクセスできませんでした。EXEC CICS WRITE が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

-
- ファイルはリモートとして定義され、所有システムへの接続にエラーがあります。
-
- VSAM は予期しない応答を CICS に返しました。
-
- WRITE で入出力エラーが発生しました。
-
- データ・セットが含まれている DASD デバイス上に十分な使用可能スペースがありません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。要求された操作は実行されませんでした。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1533 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected a logic error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.**

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS WRITE を使

用して CICS ONC RPC データ・セットを更新しようとしたが、予期しない応答を受け取りました。これは論理エラーです。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。要求された操作は実行されませんでした。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1534 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.**
EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セット、CICS ファイル *filename* にアクセスできませんでした。EXEC CICS WRITE が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

-
- ファイルはリモートとして定義され、所有システムへの接続にエラーがあります。
-
- VSAM は予期しない応答を CICS に返しました。
-
- WRITE で入出力エラーが発生しました。
-
- このファイルが含まれている DASD デバイス上に十分な使用可能スペースがありません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。4 タプル定義はデータ・セットに保管されません。この問

DFHRP1536 • DFHRP1539

題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1536 *date time applid tranid* **There was no entry for this 4-tuple in the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.**

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・セット内でこの 4 タプルを見つけられませんでした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 既にデータ・セットに保管されている 4 タプルを入力してください。

モジュール: DFHRPC09

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1537 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while registering 4-tuples from the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.**

説明: CICS ONC RPC データ・セットからの 4 タプルの登録の要求を処理中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。登録されている 4 タプルがありません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1538 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager found no records on the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.**

説明: 接続マネージャーは、4 タプルを登録する要求を処理していましたが、CICS ONC RPC データ・セット上にレコードが見つかりませんでした。CICS ONC RPC 定義レコードがありません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。登録されている 4 タプルがありません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: レコードが存在しない理由を調べてください。接続マネージャーを使用して、新規にレコードを作成する必要があります。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1539 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*, while registering 4-tuples from the data set. EIBRESP: *eibresp*.**

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・セットにアクセスできませんでした。

データ・セットからの 4 タプルを登録する要求の処理中にエラーが発生しました。登録された 4 タプルの数を示す、関連メッセージ DFHRP1545 が発行された可能性があります。

EXEC CICS STARTBR、EXEC CICS READNEXT、または EXEC CICS ENDBR が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

- ファイルのファイル定義が見つかりませんでした。これは CICS ONC RPC が正しくインストールされなかったことを意味します。
- BROWSE 操作または READ 操作は許可されません。これは CICS ONC RPC が正しくインストールされなかったことを意味します。
- ファイル定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが DISABLED になっています。
- ファイル定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが NOTOPEN になっています。
- BROWSE 操作または READ 操作は許可されません。これはセキュリティが正しくセットアップされていないことを意味します。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーはデータ・セットからの 4 タブルを登録できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1540 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected a logic error.

説明: 接続マネージャーが EXEC CICS コマンドに続

いて予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは異常終了コード ARPV で異常終了します。CICS ONC RPC の他のコンポーネントは続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1541 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected a logic error.

説明: 接続マネージャーが EXEC CICS コマンドに続いて予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1542 *date time applid tranid* CICS ONC RPC detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*, while registering 4-tuples from the data set. EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・セットにアクセスできませんでした。

データ・セットからの 4 タブルを登録する要求の処理中にエラーが発生しました。登録された 4 タブルの数を示す、関連メッセージ DFHRP1545 が発行された可能性があります。

EXEC CICS STARTBR、EXEC CICS READNEXT、または EXEC CICS ENDBR が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

- ファイルはリモートとして定義され、所有システムへの接続にエラーがあります。

- VSAM は予期しない応答を CICS に返しました。

- BROWSE コマンドまたは READ コマンドで入出力エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーはデータ・セットからの 4 タブルを登録できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1543 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected a logic error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*, while registering 4-tuples from the data set.

説明: CICS ONC RPC データ・セットへのアクセス中に、接続マネージャーがエラーを検出しました。接続マネージャーが EXEC CICS STARTBR、EXEC CICS READNEXT、または EXEC CICS ENDBR コマンドに続いて予期しない応答を CICS から受け取ったので、これは論理エラーです。

データ・セットからの 4 タブルを登録する要求の処理中にエラーが発生しました。登録された 4 タブルの数を示す、関連メッセージ DFHRP1545 が発行された可能性があります。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーはデータ・セットからの 4 タブルを登録できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1544 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager found no records in the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーは、4 タブルを登録する要求を処理していましたが、CICS ONC RPC データ・セット内にレコードが見つかりませんでした。これは、CICS ONC RPC 定義レコードが欠落していることを示しています。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。登

録されている 4 タプルがありません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: レコードが存在しない理由を調べてください。接続マネージャーを使用して、新規 CICS ONC RPC 定義レコードを作成する必要があります。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1545 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has completed registration of 4-tuples from the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*. 成功した登録の数: *count1*
失敗した登録の数: *count2*

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セット、CICS ファイル *filename* からの 4 タプルの登録を終了しました。 *count1* は、正常に登録された 4 タプルの数を示します。 *count2* は、登録されなかった 4 タプルの数を示します。

システムの処置: これ以上の処置は不要です。

ユーザーの処置: これ以上の処置は不要です。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *count1*
7. *count2*

宛先: CRPO

DFHRP1546 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager found no 4-tuple records on the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データか

らの 4 タプルの登録の要求を処理していましたが、データに 4 タプル・レコードが見つかりませんでした。

システムの処置: 登録されている 4 タプルがありません。

ユーザーの処置: このオプションを要求する前に、データ・セット内にいくつかの 4 タプル定義を保管してください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1547 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while registering 4-tuples from the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: CICS ONC RPC データ・セットからの 4 タプルの登録の要求を処理中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。関連メッセージ DFHRP1545 は、登録された 4 タプルの数を示しています。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1548 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error attempting to retrieve any fast path data. EIBRESP: eibresp.**

説明: 接続マネージャーは、端末からの開始時に指定されていた可能性があるすべてのファスト・パス・コマンドを検索しようとしていました。接続マネージャーは EXEC CICS RECEIVE コマンドを発行しましたが、フィールド *eibresp* で応答を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC の始動は続行されますが、すべてのファスト・パス・コマンドは無視されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1549 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager received an error response while registering with CICS for problem determination.**

説明: 接続マネージャーが問題判別のために登録を試行中に、予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS の機能トレースおよびダンプ形式設定は、CICS ONC RPC に対しては使用できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている

症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1550 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager received an error response while registering with CICS for problem determination.**

説明: 接続マネージャーが問題判別のために登録を試行中に、予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1551 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager could not enable CICS ONC RPC because of a CICS short on storage condition.**

説明: 接続マネージャーは使用可能化処理中にストレージの要求を行いました。CICS がストレージ不足であることを示す応答を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した

関連する診断を参照してください。この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1552 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during enable processing.**

説明: 使用可能化処理中に検出された内部エラーにより、接続マネージャーは CICS ONC RPC を使用可能にできませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1554 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager is not authorized to use the CICS SPI.**

説明: 接続マネージャーは、CICS システム・プログラミング・インターフェース・コマンドを実行するために

必要な権限で定義されていません。その権限がないと機能できません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。

ユーザーの処置: この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。CICS SPI を使用できる適切なレベルのセキュリティを指定して、接続マネージャー・トランザクションおよびその関連プログラム DFHRPC00 を再定義してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1555 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager is not authorized to use the program DFHRPTRU.**

説明: 接続マネージャーが DFHRPTRU に対して EXEC CICS ENABLE PROGRAM コマンドを使用しましたが、DFHRPTRU を使用するために必要な権限で定義されていませんでした。その権限がないと機能できません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC 提供のタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU を使用できる適切なレベルのセキュリティを指定して、接続マネージャーおよびその関連プログラムを再定義してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1556 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during enable processing.**

説明: 使用可能化処理中に接続マネージャーによって検出された内部エラーによって、CICS ONC RPC は有効化できませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1557 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during enable processing.**

説明: 使用可能化処理中に接続マネージャーによって検出された内部エラーによって、CICS ONC RPC は有効化できませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1558 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager could not find the task-related user exit, program DFHRPTRU.**

説明: 接続マネージャーは、以下のいずれかの理由でタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU を見つけれません。

- DFHRPTRU が CICS に対して定義されていない。
- DFHRPTRU が CICS ロード・ライブラリー内にな
い。
- DFHRPTRU が使用不可になっている。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC のすべての CEDA グループが正しくインストールされていることを確認し、それから使用可能化要求を再試行してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1559 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager could not enable CICS ONC RPC because of a CICS short on storage condition.**

説明: 接続マネージャーは使用可能化処理中にストレージの要求を行いましたが、CICS がストレージ不足であることを示す応答を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。CICS のストレージ

問題を扱うための手引きについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1560 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during enable processing.**

説明: 使用可能化処理中に接続マネージャーによって検出された内部エラーによって、CICS ONC RPC は有効化できませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1561 *date time applid trandid* **CICS ONC RPC**
接続マネージャーは、タスク関連ユーザー
出口ルーチンであるプログラム
DFHRPTRU が既に使用可能になっている
ことを検出しました。

説明: 接続マネージャーは、タスクに関連したユーザー出口ルーチン、DFHRPTRU がすでに使用可能であることを発見しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリング

が含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: タスク関連ユーザー出口ルーチンへのオペレーター介入を防ぐための手段を講じてから、使用可能化要求を再試行してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1564 *date time applid trandid* **CICS ONC RPC could not be enabled due to an internal error while starting the server controller. Host IP address: hostaddr.**

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS START コマンドを出してサーバー制御プログラムを開始しようとしたが、返された応答を判別できませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1565 *date time applid trandid* **CICS ONC RPC cannot be enabled because the connection manager is not authorized to start the server controller. EIBRESP: eibresp. Host IP address: hostaddr.**

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS START コマンドを出してサーバー制御プログラムを開始しようとし

DFHRP1566 • DFHRP1568

したが、NOTAUTH 応答が返されました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: *eibresp* で返される値の意味については、「CICS システム・プログラミング・リファレンス」を参照してください。CEDA を使用して、CICS ONC RPC 提供のプログラムおよびトランザクションのリソース定義が、正しいレベルのセキュリティで定義されていることを確認してください。接続マネージャーは、CICS ONC RPC が正常に使用可能化されるように、サーバー制御プログラムを開始するための正しいレベルの権限を持っている必要があります。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp*
6. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1566 *date time applid tranid CICS ONC RPC cannot be enabled due to an error starting the server controller. EIBRESP: eibresp. Host IP address: hostaddr.*

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS START コマンドを出してサーバー制御プログラムを開始しようとしたが、TRANSIDERR 応答が返されました。

eibresp で返される値の意味については、「CICS システム・プログラミング・リファレンス」を参照してください。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CEDA を使用して、CICS ONC RPC 提供のプログラムおよびトランザクションのリソース定義が、正しいレベルのセキュリティで定義されていることを確認してください。接続マネージャーは、CICS ONC RPC を使用可能化するために、サーバー制御プログラムを開始するための正しいレベルの権限を持っている必要があります。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

1396 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp*
6. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1567 *date time applid tranid CICS ONC RPC could not be enabled due to a security error starting the server controller. User ID userid is unknown. Host IP address: hostaddr.*

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS START USERID コマンドを出してサーバー制御プログラムを開始しようとしたが、USERIDERR 応答が返されました。

サーバー制御プログラムに指定されたユーザー ID が、外部セキュリティ・マネージャーに認識されていません。

システムの処置: 有効化の試みは中止されます。

ユーザーの処置: CRPM ユーザー ID に有効なユーザー ID が指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *userid*
6. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1568 *date time applid tranid CICS ONC RPC could not be enabled due to a security error starting the server controller. Host IP address: hostaddr.*

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS START USERID コマンドを出してサーバー制御プログラムを開始しようとしたが、USERIDERR 応答が返されました。

外部セキュリティ・マネージャーは、サーバー制御プログラムに指定したユーザー ID を検証できない状態です。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリング

が含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャーがこの要求を実行できない理由を調べてください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1569 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager has detected
an internal error during enable
processing.

説明: 使用可能化処理中に接続マネージャーによって検出された内部エラーによって、CICS ONC RPC は有効化できませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1570 *date time applid tranid* CICS ONC RPC
storage subpool token not saved.

説明: ストレージ・サブプール・トークンの保管中に、接続マネージャーがエラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。CICS ONC RPC は通常どおり続行されます。ただし、CICS ONC RPC が異常終了すると、CICS を再始動せずに CICS ONC RPC を再度使用可能にすることはできない場合があります。この問題の症状ストリングが含

まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1571 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager is not
authorized to load module *module*.

説明: 接続マネージャーは、示されたモジュールに対して EXEC CICS LOAD コマンドを出すために必要な権限を指定して定義されていません。

システムの処置: 有効化の試みは中止されます。

ユーザーの処置: 示された CICS ONC RPC プログラムに対して EXEC CICS LOAD コマンドを出すことができる適切なレベルのセキュリティを指定して、接続マネージャーおよびその関連プログラムを再定義してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *module*

宛先: CRPO

DFHRP1572 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected an
error while loading *module*.

説明: 接続マネージャーはモジュールをロードしようとしたが、EXEC CICS LOAD に対する応答が PGMIDERR でした。

システムの処置: 有効化の試みは中止されます。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを使用して、接続マネージャー (プログラム DFHRPC00) および示されたプログラムが正しく定義されていることを確認してください。正しいプログラム定義については、CICS の資料を参照してください。

DFHRP1574 • DFHRP1577

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *module*

宛先: CRPO

DFHRP1574 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager load for module returned an unexpected response.**

説明: 接続マネージャーはモジュールを記憶域にロードできませんでした。NOTAUTH でも PGMIDERR でもない応答が EXEC CICS LOAD コマンドに返されました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・ダンプを使用して、LOAD が機能しなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *module*

宛先: CRPO

DFHRP1575 *date time applid tranid* **CICS ONC RPC could not be enabled due to an internal error starting the server controller. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS START コマンドを出してサーバー制御プログラムを開始しようとしたが、予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し

てください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1576 *date time applid tranid* **CICS ONC RPC could not be enabled due to an internal error starting the server controller. EIBRESP: *eibresp*. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS START コマンドを出してサーバー制御プログラムを開始しようとしたが、INVREQ 応答が返されました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp*
6. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1577 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager cannot access its task-related user exit DFHRPTRU.**

説明: 接続マネージャーが、使用可能化処理中に、その

タスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU にアクセスできませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。有効化の試みは中止されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: タスク関連ユーザー出口ルーチンがオペレーター介入によって使用不可になっていないことを確認してください。問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1579 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while registering 4-tuples from the CICS ONC RPC data set, CICS file filename.**

説明: CICS ONC RPC データ・セットからの 4 タプルの登録の要求を処理中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。正常に登録された 4 タプルの数を示す、関連メッセージ DFHRP1545 が発行された可能性があります。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。データ・セットからの 4 タプルの登録は続行されません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1580 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager cannot establish whether security is active or obtain the default CICS user ID.**
EIBRESP: eibresp.

説明: 接続マネージャーは、CICS に関する状況情報を取得できなかったため、セキュリティがアクティブであるかどうかを確認できないか、またはデフォルトの CICS ユーザー ID を取得できません。

EXEC CICS INQUIRE SYSTEM が発行されましたが、メッセージに示されている応答を受信しました。

システムの処置: 処理は、アクティブなセキュリティがないという前提で続行されます。

ユーザー ID が CICS ONC RPC データ・セットに保管されていない限り、CRPM ユーザー ID フィールドにユーザー ID がないパネル DFHRP02 が表示されます。

ユーザーの処置: CICS システム・プログラミング・インターフェース・コマンドを使用するための正しいレベルのセキュリティが接続マネージャーにあることを確認してください。

モジュール: DFHRPC42

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1581 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file filename.**

説明: CICS ONC RPC データ・セットへのアクセス中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。パネルが再表示される。更新できるレコードはありません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイ

DFHRP1582 • DFHRP1584

ド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC03, DFHRPC05

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1582 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: CICS ONC RPC データ・セットへのアクセス中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC03, DFHRPC05

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1583 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager found no entry for this 4-tuple in the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・

セット *filename* でこの 4 タプルを検出ませんでした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 既にデータ・セットに保管されている 4 タプルを入力してください。

モジュール: DFHRPC09

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1584 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.
EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・セットにアクセスできませんでした。EXEC CICS DELETE が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。データ・セットは、以下のいずれかの理由で CICS に対して正しく定義されていません。

- *filename* のファイル定義が見つかりませんでした。したがって、CICS ONC RPC は正しくインストールされていません。
- ファイルに対する DELETE 操作が許可されません。
- ファイル定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが使用不可になっています。
- ファイルが正しく定義されていないか、またはオペレーター介入によって閉じられているため、ファイルを開けません。
- 接続マネージャー、またはそれを実行しているユーザーには、ファイルにアクセスするための必要なレベルの権限がありません。

システムの処置: 要求された操作は実行されませんでした。接続マネージャーはデータ・セットへのアクセスが必要な操作を実行できません。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

オペレーターが何らかの理由でデータ・セットの状況を変更したかどうかを調べてください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1585 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected an
error while accessing the CICS ONC
RPC data set, CICS file *filename*.
EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セット、CICS ファイル *filename* にアクセスできませんでした。EXEC CICS DELETE が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

- ファイルはリモートとして定義され、所有システムへの接続にエラーがあります。
- VSAM は予期しない応答を CICS に返しました。
- DELETE で入出力エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。要求された操作は実行されませんでした。接続マネージャーはデータ・セットへのアクセスを必要とする機能を実行できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1586 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected a
logic error accessing the CICS ONC
RPC data set *filename*.

説明: CICS ONC RPC データ・セットへのアクセス中に、接続マネージャーが予期しないエラーを検出しました。これは論理エラーです。接続マネージャーが EXEC CICS コマンドに続いて予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・セットへのアクセスを必要とする機能を実行できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC09

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1596 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager cannot
continue enable processing because it
cannot determine the status of CICS
ONC RPC.

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC を使用可能にしようとしたが、無効なグローバル作業域アドレスを検出したか、または CICS ONC RPC が使用可能になっていることを検出しました。

システムの処置: 有効化の試みは中止されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC が使用不可になっているかどうかを調べてください。オペレーター・コマンドがタスク関連ユーザー DFHRPTRU に対して出されたかどうかを調べてください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHRP1600 • DFHRP1603

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1600 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has completed backout of enable processing.

説明: CICS ONC RPC は使用可能にできません。これは使用可能化処理中に接続マネージャーによって検出されたエラーの結果であるか、または CICS シャットダウンが原因である可能性があります。接続マネージャーは使用可能化処理のバックアウトを完了しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1601 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager cannot continue enable processing because it has detected that CICS is shutting down.

説明: CICS がシャットダウン状態の場合は、CICS ONC RPC は使用可能にできません。

システムの処置: 接続マネージャーは使用可能化処理のバックアウトを開始します。これが即時 CICS シャットダウンの場合、トランザクション CRPC は終了します。

ユーザーの処置: トランザクション CRPC を終了して、CICS のシャットダウンが続行できるようにしてください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1602 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during backout of enable processing.

説明: 接続マネージャーは、RPC 呼び出し側をシャットダウンしようとしているときに、エラーを検出しました。これは、失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に発生しました。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1603 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has detected an error when attempting to issue a FREEMAIN for the RPC caller program.

説明: 接続マネージャーは、記憶域から削除するために RPC 呼び出し側プログラムに対して FREEMAIN を発行する際にエラーを検出しました。これは、失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に発生しまし

た。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1604 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an error when attempting to issue a RELEASE for the alias list program.**

説明: 接続マネージャーは、別名リスト・プログラムに対して RELEASE を発行する際にエラーを検出しました。これは、失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に発生しました。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1605 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during backout of enable processing.**

説明: 失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1606 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during backout of enable processing.**

説明: 失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理

のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1607 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an error when attempting to disable the ONC RPC TRUE (DFHRPTRU).**

説明: タスク関連ユーザー出口ルーチン (TRUE) を使用不可にしようとしているときに、接続マネージャーがエラーを検出しました。これは、失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に発生しました。TRUE が既に使用不可になっている可能性があります。これは、オペレーター介入の結果であることが考えられます。あるいは、これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。オペレーターによる TRUE への干渉を防ぐための手段を講じてください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1608 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during backout of enable processing.**

説明: タスク関連ユーザー出口ルーチン (TRUE) を使用不可にしようとしているときに、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。これは、失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に発生しました。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1609 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager is not authorized to disable the task-related user exit (DFHRPTRU) during backout of enable processing.**

説明: 接続マネージャー・トランザクションには CICS システム・プログラミング・インターフェースを使用するための必要な権限がなく、タスク関連ユーザー出口ルーチン (TRUE) を使用不可にすることができません。これは、失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に発生しました。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理

のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1610 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager is not authorized to disable the task-related user exit (DFHRPTRU) during backout of enable processing.**

説明: 接続マネージャー・トランザクションには、タスク関連ユーザー出口ルーチン (TRUE) を使用不可にするための必要な権限がありません。これは、失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に発生しました。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1611 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error during backout of enable processing.**

説明: 問題判別のために登録抹消しようとしているときに、接続マネージャーがエラーを検出しました。これは、失敗した使用可能化要求に応じて、接続マネージャーによって開始された使用可能化処理のバックアウト中に発生しました。これは CICS ONC RPC の問題の結果であるか (他の CICS ONC RPC 診断に反映される可能性がある)、または CICS の問題の結果であるか (CICS 診断に反映される可能性がある) のいずれかであると考えられます。

システムの処置: CICS ONC RPC は使用可能化処理のバックアウトを続行します。

ユーザーの処置: 使用可能化要求が失敗した原因については、関連するメッセージを参照してください。問題がさらに広範囲にわたる問題の徴候でない場合は、この問題を解決するために IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC4C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*

宛先: CRPO

DFHRP1650 *date time applid trandid* **The CICS ONC RPC connection manager found that CICS ONC RPC is disabled. Requests to disable CICS ONC RPC are ignored.**

説明: CICS ONC RPC を使用不可にする要求が行われましたが、現在の状況は、それが既に使用不可になっているか、または使用不可にする過程であることを示しています。

システムの処置: 要求は無視されます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。

ユーザーの処置: 別のオプションを要求してください。

モジュール: DFHRPC01, DFHRPC04

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1651 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected a
logic error.

説明: 接続マネージャーが EXEC CICS コマンドに続
いて予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。 接
続マネージャーは異常終了コード ARPV で異常終了し
ます。 CICS ONC RPC の残りの部分は続行されま
す。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM から
さらにサポートを受ける必要があります。続行する方法
の手引きについては、「外部インターフェース・ガイ
ド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し
てください。 メッセージ DFHME0116 に示されている
症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問
題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC04

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1652 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected a
logic error.

説明: 接続マネージャーが EXEC CICS コマンドに続
いて予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。 要
求された操作は実行されませんでした。接続マネージャ
ーは処理を続行します。この問題の症状ストリングが含
まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM から
さらにサポートを受ける必要があります。続行する方法
の手引きについては、「外部インターフェース・ガイ
ド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し
てください。 メッセージ DFHME0116 に示されている
症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問
題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC04

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1750 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager has
unregistered the 4-tuple. Program:
X'prognum' Version: *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*.
Host IP address: *hostaddr*.

説明: 4 タプルは登録抹消されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1751 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected an
error while accessing an internal table.
Host IP address: *hostaddr*

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC に登録
されている 4 タプルのリストへのアクセス中にエラー
を検出しました。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示さ
れます。要求されたアクションは実行されません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM から
さらにサポートを受ける必要があります。続行する方法
の手引きについては、「外部インターフェース・ガイ
ド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し
てください。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1752 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected an
error while accessing an internal table.
Host IP address: *hostaddr*

説明: CICS ONC RPC に登録された 4 タブルのリストへのアクセス中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1753 *date time applid tranid* A CICS ONC
RPC operation could not be performed
because CICS is short on storage.
Host IP address: *hostaddr*.

説明: CICS がストレージ不足のため、接続マネージャーは登録抹消操作を実行できませんでした。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS ストレージ問題が解決したら、登録抹消操作を再試行してください。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1754 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected an
internal error when unregistering a
4-tuple. Host IP address: *hostaddr*.

説明: 4 タブルの登録抹消時に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1755 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager could not
perform an unregister operation
because CICS ONC RPC is not
enabled. *X'prognum'* バージョン:
X'versnum' プロシーチャー: *X'procnum'*
プロトコル: *protocol*.

説明: 接続マネージャーは、CICS ONC RPC が使用可能でないため、現在の登録抹消操作を完了できません。これは別の接続マネージャー・トランザクションによって使用不可にされている可能性があります。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、登録抹消操作は完了しません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHRP1756 • DFHRP1758

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*

宛先: CRPO

DFHRP1756 *date time applid tranid CICS ONC RPC*
is being disabled. 要求された操作は実行されませんでした。 **Program:**
X'prognum' **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol.*
Host IP address: *hostaddr.*

説明: CICS ONC RPC が使用不能化処理中であるため、接続マネージャーは現在の登録抹消操作を完了できません。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、現在実行されている登録抹消操作は完了しません。

ユーザーの処置: None. 登録抹消は、使用不能化処理の一部として実行されます。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1757 *date time applid tranid The CICS ONC*
RPC connection manager cannot
unregister the requested 4-tuple
because it is not registered. **Program:**
X'prognum' **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol.*
Host IP address: *hostaddr.*

説明: 接続マネージャーは、要求された 4 タプルが登

録されていないため、現在の登録抹消操作を完了できません。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、現在実行されている登録抹消操作は完了しません。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1758 *date time applid tranid The CICS ONC*
RPC connection manager detected an
error when freeing storage associated
with the requested 4-tuple. **Program:**
X'prognum' **Version:** *X'versnum'*
Procedure: *X'procnum'* **Protocol:** *protocol.*
Host IP address: *hostaddr.*

説明: 4 タプルに関連した記憶域の解放中にエラーが発生したため、接続マネージャーは現在の登録抹消操作を完了できません。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行します。要求された 4 タプルが、TCP/IP for MVS に登録された特定のプログラム/バージョン/プロトコルの 3 タプルの唯一のインスタンスであった場合、この 3 タプルは TCP/IP for MVS で登録抹消されています。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS および TCP/IP for MVS が発行した関連する診断を参照してください。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1759 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager could not perform an unregister operation because an invalid global work area was detected. Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*.**

説明: 無効なグローバル作業域アドレスを検出したため、接続マネージャーは登録抹消操作を完了できません。CICS ONC RPC は別の接続マネージャー・トランザクションによって使用不可にされている可能性があります。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、登録抹消操作は完了しません。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*

宛先: CRPO

DFHRP1760 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error while unregistering a program-version pair with TCP/IP for MVS. Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: 接続マネージャーは、TCP/IP for MVS でのプ

ログラムとバージョンのペアの登録抹消時にエラーを検出し、現在の登録抹消操作を完了することができません。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、登録抹消操作は完了しません。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS および TCP/IP for MVS が発行した関連する診断を参照してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1761 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manger could not unregister a 4-tuple as it was not registered Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: 4 タプルは登録されていないので、登録抹消することができません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*

DFHRP1762 • DFHRP1765

9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1762 *date time applid tranid* Enter the Program Number, Version Number, Procedure Number and Protocol for the 4-tuple to be unregistered.

説明: 登録抹消する 4 タプルを識別するために必要な情報が完全に入力されていません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要なデータを入力してください。

モジュール: DFHRPC06

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1763 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager cannot display the requested 4-tuple because it is not registered with CICS ONC RPC. Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*. Host IP address: *hostaddr*.

説明: 4 タプルは表示されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPC06

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1764 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while processing 4-tuple definitions on the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: データ・セット上の 4 タプルへのアクセス中

1410 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。要求された操作は実行されませんでした。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1765 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager found no records in the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*, when processing a request to access 4-tuple definitions.

説明: 接続マネージャーは、4 タプル定義へのアクセス要求の処理時に、データ・セットにレコードを検出できませんでした。これは、CICS ONC RPC 定義レコードが欠落していることを示しています。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが表示されます。4 タプルは表示されません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: レコードが存在しない理由を調べてください。接続マネージャーを使用して、新規 CICS ONC RPC 定義レコードを作成する必要があります。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1766 *date time applid tranid* The CICS ONC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*. EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・セットにアクセスできませんでした。

データ・セットからの 4 タプル定義を表示する要求の処理中にエラーが発生しました。

EXEC CICS STARTBR、EXEC CICS READNEXT、または EXEC CICS ENDBR が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

- DFHRPCD のファイル定義が見つかりませんでした。これは CICS ONC RPC が正しくインストールされなかったことを意味します。
- BROWSE 操作または READ 操作は許可されません。これは CICS ONC RPC が正しくインストールされなかったことを意味します。
- ファイル定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが DISABLED になっています。
- ファイル定義が正しくないかまたはオペレーター介入のいずれかが原因で、ファイルが NOTOPEN になっています。
- BROWSE 操作または READ 操作は許可されません。これはセキュリティが正しくセットアップされていないことを意味します。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。データ・セットにアクセスできないと、CICS ONC RPC は 4 タプル定義を表示できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1767 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*. EIBRESP: *eibresp*.

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・セットにアクセスできません。

データ・セットからの 4 タプル定義を表示する要求の処理中にエラーが発生しました。

EXEC CICS STARTBR、EXEC CICS READNEXT、または EXEC CICS ENDBR が出されましたが、応答 *eibresp* を受け取りました。エラーは以下のいずれかの理由で発生することがあります。

- ファイルはリモートとして定義され、所有システムへの接続にエラーがあります。

VSAM は予期しない応答を CICS に返しました。

- BROWSE コマンドまたは READ コマンドで入出力エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。データ・セットにアクセスできないと、CICS ONC RPC は 4 タプル定義を表示できません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS アプリケーション開発のリファレンス 資料の付録 A を使用して EIBRESP 値の意味を確認し、適切に処置してください。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

6. *eibresp*

宛先: CRPO

DFHRP1768 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected a logic error while accessing the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーは CICS ONC RPC データ・セットにアクセスできませんでした。接続マネージャーが EXEC CICS STARTBR、EXEC CICS READNEXT、または EXEC CICS ENDBR コマンドに続いて予期しない応答を CICS から受け取ったので、これは論理エラーです。

データ・セットからの 4 タプル定義を表示する要求の処理中にエラーが発生しました。

データ・セットにアクセスできないと、接続マネージャーはデータ・セットからの情報を表示する要求を処理できません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1769 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager found no records on the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*, when processing a request to access 4-tuple information.

説明: 接続マネージャーは、4 タプル定義にアクセスする要求を処理中に、CICS ONC RPC データ・セット上

にレコードを見つけられませんでした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: レコードが存在しない理由を調べてください。接続マネージャーを使用して、新規 CICS ONC RPC 定義レコードを作成する必要があります。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1770 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager found no 4-tuple definitions in the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: 接続マネージャーは、4 タプル定義にアクセスする要求を処理中に、CICS ONC RPC データ・セット内に 4 タプル定義を見つけられませんでした。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。4 タプル定義は表示されません。

ユーザーの処置: 接続マネージャーを使用して、データ・セット内に 4 タプル定義を保管してください。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1771 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while accessing 4-tuple definitions in the CICS ONC RPC data set, CICS file *filename*.

説明: CICS ONC RPC データ・セット内の 4 タプル定義へのアクセス要求を処理中に、接続マネージャーが

内部エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*

宛先: CRPO

DFHRP1772 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager could not complete the requested operation. It could not obtain the required CICS storage.**

説明: CICS ONC RPC データ・セット内に定義されている 4 タブルのリストを作成するために接続マネージャーによって発行された GETMAIN がエラー応答を返しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS は一時的なストレージ不足の可能性があり、操作を再試行してください。この状態が続く場合は、システム管理者に連絡して CICS ストレージに問題があるかどうかを確認してください。CICS がストレージ不足になっていない場合、この問題を解決するには IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1773 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error when freeing storage.**

説明: 接続マネージャーによって発行された FREEMAIN はエラー応答を返しました。接続マネージャーは、CICS ONC RPC データ・セットで定義された 4 タブルのリストの作成に使用されたストレージを解放しようとした。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1774 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager cannot display the requested 4-tuple because it is not saved to the CICS ONC RPC data set. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol.**

説明: 4 タブルは表示されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

DFHRP1775 • DFHRP1801

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*

宛先: CRPO

DFHRP1775 *date time applid tranid CICS ONC RPC*
接続マネージャーは **CICS ONC RPC** が
使用不可であるため 4 タブルを登録でき
ません。

説明: 要求の実行時に **CICS ONC RPC** が使用可能に
なっていなかったため、4 タブルを登録する要求は実行
できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: **CICS ONC RPC** を使用可能にしま
す。

モジュール: DFHRPC0A

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1800 *date time applid tranid The CICS ONC
RPC connection manager has purged
an alias task. Task status: status
Program: X'prognum' Version:
X'versnum' Procedure: X'procnum'
Protocol: protocol. Host IP address:
hostaddr.*

説明: 4 タブルの別名は、接続マネージャーによって除
去されています。

システムの処置: *Status* は、除去要求が発行された
ときの別名タスクの状況を示します。以下のアクションが
行われます。

•

Running は、別名タスクが実行されていたことを示
します。接続マネージャーは、別名リストから項目を
除去します。この別名プログラムは、異常終了コード
ARPJ で異常終了し、メッセージ DFHRP0173 が発
行されます。

•

Scheduled は、別名タスクが実行をスケジュールされ
ており、まだそのようになっている可能性があること
を示します。接続マネージャーは、別名リストから項
目を除去します。この別名プログラムは異常終了コー
ド ARPJ で異常終了し、メッセージ DFHRP0113 お
よび DFHRP0173 が発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *status*
6. *X'prognum'*
7. *X'versnum'*
8. *X'procnum'*
9. *protocol*
10. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1801 *date time applid tranid The CICS ONC
RPC connection manager has detected
an internal error while processing the
alias list.*

説明: 別名リストの項目を表示または除去する要求を処
理中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しまし
た。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接
続マネージャー・パネルが再表示されます。別名タスク
は表示または除去されません。この問題の症状ストリン
グが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されま
す。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM から
さらにサポートを受ける必要があります。続行する方法
の手引きについては、「外部インターフェース・ガイ
ド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し
てください。メッセージ DFHME0116 に示されている
症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問
題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1802 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager has detected
an internal error while processing the
alias list.

説明: 別名リストの項目を表示または除去する要求を処理中に、接続マネージャーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1803 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager received an
error response while attempting to
browse the alias list.

説明: 接続マネージャーは別名リストの表示を開始しようとしたが、重大エラーが起きたことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。別名タスクは表示されません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1804 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager could not
process the alias list. It could not
obtain the required CICS storage.

説明: 別名リストを作成するために接続マネージャーによって発行された GETMAIN がエラー応答を返しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャー・パネルが再表示されます。別名タスクは表示されません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS は一時的なストレージ不足の可能性があります。操作を再試行してください。この状態が続く場合は、システム管理者に連絡して CICS ストレージに問題があるかどうかを確認してください。CICS がストレージ不足になっていない場合、この問題を解決するには IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*2. *time*3. *applid*4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1805 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager has detected
an error when freeing storage.

説明: 別名リストを作成するために使用されたストレージを解放するために接続マネージャーによって出された FREEMAIN がエラー応答を返しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

DFHRP1806 • DFHRP1861

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1806 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager received an error response while attempting to retrieve an entry from the alias list.

説明: 接続マネージャーは別名リストから項目を取得しようとしたが、重大エラーが発生したことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1807 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager received an error response while attempting to complete its browse of the alias list.

説明: 接続マネージャーは別名リストの表示を終了しようとしたが、重大エラーが起きたことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1810 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager received an error response while attempting to delete an entry from the alias list.

説明: 接続マネージャーは別名リストから項目を削除しようとしたが、重大エラーが発生したことを示す応答を受け取りました。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC10

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1861 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error while accessing an internal table. Host IP address: *hostaddr*.

説明: 内部テーブルへのアクセス中に、接続マネージャーで内部エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。 処

理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1862 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while accessing an internal table.**

説明: 接続マネージャーは、内部テーブルへのアクセス中にエラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。CICS ONC RPC 使用可能化処理中にエラーが発生すると、CICS ONC RPC は使用不可のままになります。クライアント要求の処理中にエラーが発生した場合、**svcerr_systemerr** 呼び出しを使用して応答がクライアントに送信されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1863 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error while accessing an internal table. Host IP address: hostaddr.**

説明: 内部テーブルへのアクセス中に、接続マネージャーで内部エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1864 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error while accessing an internal table. Host IP address: hostaddr.**

説明: 内部テーブルへのアクセス中に、接続マネージャーで内部エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHRP1865 • DFHRP1868

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1865 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error while accessing an internal table. Host IP address: *hostaddr*.

説明: 内部テーブルへのアクセス中に、接続マネージャーで内部エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1866 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while accessing an internal table. Host IP address: *hostaddr*.

説明: 内部テーブルへのアクセス中に、接続マネージャーで内部エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し

て下さい。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1867 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager could not complete the requested operation as an invalid CICS ONC RPC global work area address has been detected.

説明: 接続マネージャーは登録済み 4 タブルのリストへのアクセスまたは初期設定を試行しましたが、無効なグローバル作業域アドレスを検出しました。これは CICS ONC RPC が使用不可であることを示している可能性があります。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。要求された操作は完了していません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC が使用可能であるときに操作を再試行してください。使用可能化処理中にこれが発生した場合は、別の接続マネージャー・トランザクションが CICS ONC RPC を使用不可にしてい

ないことを確認してください。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1868 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager could not complete the requested operation. It could not obtain the required CICS storage. Host IP address: *hostaddr*.

説明: 登録済み 4 タブルのリストを作成するために接続マネージャーによって発行された GETMAIN がエラー応答を返しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS は一時的なストレージ不足の可能性がありえます。操作を再試行してください。この状態が続く場合は、システム管理者に連絡して CICS ストレージに問題があるかどうかを確認してください。CICS がストレージ不足になっていない場合、この問題を解決するには IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1869 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an error when freeing storage.Host IP address: *hostaddr*.

説明: 登録済み 4 タブルのリストを作成するために使用されたストレージを解放するために接続マネージャーによって出された FREEMAIN がエラー応答を返しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1879 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager has detected an internal error while accessing an internal table. Host IP address: *hostaddr*.

説明: 内部テーブルへのアクセス中に、接続マネージャーで内部エラーが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC08

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1900 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager could not find the global work area.

説明: 接続マネージャーは、グローバル作業域を検出できませんでした。タスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU が誤って定義されています。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。CICS ONC RPC は使用不可のままです。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC のすべての CEDA グループが正しくインストールされていることを確認し、それから CICS ONC RPC の使用可能化を再試行してください。

オペレーターが何らかの理由で DFHRPTRU を使用不可にしたかどうかを調べてください。

DFHRP1901 • DFHRP1903

モジュール: DFHRPC0B

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1901 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager could not find the task-related user exit, program DFHRPTRU.**

説明: 接続マネージャーは、以下のいずれかの理由でタスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU を見つけられません。

- DFHRPTRU が CICS に対して定義されていない。
- DFHRPTRU が CICS ロード・ライブラリー内にな
- DFHRPTRU が使用不可になっている。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC は使用不可のままです。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC のすべての CEDA グループが正しくインストールされていることを確認し、それから使用可能化要求を再試行してください。

モジュール: DFHRPC0B

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1902 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager does not have sufficient authority to issue the EXEC CICS EXTRACT EXIT command. EIBRESP2: eibresp2.**

説明: 接続マネージャーは、EXEC CICS EXTRACT EXIT 特権コマンドを発行するための正しい権限を持っ

ていません。その権限がないと機能できません。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは異常終了コード ARPZ で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: EIBRESP2 値を使用して問題を識別してください。接続マネージャーおよびその関連プログラムの DFHRPC00 が、CICS ONC RPC タスク関連ユーザー出口ルーチン DFHRPTRU に対して EXEC CICS EXTRACT EXIT コマンドを発行するための必要なセキュリティ・レベルを持っていることを確認してください。

モジュール: DFHRPC0B

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp2*

宛先: CRPO

DFHRP1903 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has received an unexpected response from CICS.**

説明: 接続マネージャーは、CICS からの予期しない応答を EXEC CICS コマンドで受け取りました。

これは論理エラーです。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC0B

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1906 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager found an
error in the length of the CICS ONC
RPC global work area.

説明: 接続マネージャーは、そのグローバル作業域の長さが正しくないことを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC は使用不可です。DFHRPTRU が
CICS に対して正しく定義されるまで、CICS ONC
RPC を使用可能にすることはできません。この問題の
症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が
生成されます。

ユーザーの処置: DFHRPTRU がオペレーター・コマ
ンドにより使用可能になっていないことを確認してくださ
い。

モジュール: DFHRPC0B

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1907 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager found
invalid data in the global work area.

説明: この接続マネージャーは、グローバル作業域で無
効なデータを検出しました。これは、ストレージの上書
きが原因である可能性があります。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。
CICS ONC RPC は使用不可です。この問題の症状スト
リングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成され
ます。

ユーザーの処置: ストレージ上書きの理由を調べてくだ
さい。

モジュール: DFHRPC0B

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CRPO

DFHRP1950 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager detected a
logic error. Program: *X'prognum'*
Version: *X'versnum'* Procedure:
X'procnum' Protocol: *protocol*. Host IP
address: *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーが EXEC CICS コマンドに続
いて予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。現
在処理中の 4 タブルの登録ができません。4 タブルは
登録されていません。この問題の症状ストリングが含ま
れるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM から
さらにサポートを受ける必要があります。続行する方法
の手引きについては、「外部インターフェース・ガイ
ド」および「IBM との協力による問題解決」を参照し
てください。メッセージ DFHME0116 に示されている
症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問
題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1951 *date time applid tranid* The CICS ONC
RPC connection manager could not
load the requested XDR program
xdrname. EIBRESP: *eibresp* EIBRESP2:
eibresp2 Program: *X'prognum'* Version:
X'versnum' Procedure: *X'procnum'*
Protocol: *protocol*. Host IP address:
hostaddr.

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS LOAD を、処
理中の 4 タブルに対する XDR ルーチンとして要求さ
れた CICS プログラム *xdrname* に対して使用しまし
たが、エラー応答を受け取りました。

システムの処置: 4 タブルは登録されていません。

DFHRP1952 • DFHRP1953

ユーザーの処置: この問題はおそらく、要求されたプログラム *xdrname* の CICS への定義でのエラーか、または 4 タプルの XDR ルーチン名が誤って定義されていることが原因です。 *eibresp* および *eibresp2* で示された値を使用して、LOAD のエラーの理由を特定し、CICS CEDA トランザクションまたは接続マネージャーを使用して問題を訂正してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *xdrname*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1952 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager could not load the XDR routine *xdrname*.
EIBRESP: *eibresp* **EIBRESP2:** *eibresp2*
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS LOAD を、処理中の 4 タプルに対する XDR ルーチンとして要求された *xdrname* という名前の CICS プログラムに対して使用しましたが、エラー応答を受け取りました。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: EIBRESP および EIBRESP2 で示された値を使用して、LOAD のエラーの理由を特定してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *xdrname*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1953 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected a logic error when loading XDR routine *xdrname*. **EIBRESP:** *eibresp* **EIBRESP2:** *eibresp2* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーは EXEC CICS LOAD を、処理中の 4 タプルに対する XDR ルーチンとして要求された CICS プログラム *xdrname* に対して使用しましたが、予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。4 タプルは登録されていません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *xdrname*
6. *eibresp*
7. *eibresp2*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*

11. *protocol*
 12. *hostaddr*
- 宛先: CRPO

DFHRP1954 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected a logic error detected while registering a 4-tuple. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.**

説明: 接続マネージャーが EXEC CICS コマンドに続いて予期しない応答を CICS から受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは異常終了コード ARPV で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1955 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager could not register a 4-tuple because of an internal error. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.**

説明: 接続マネージャーは、XDR ルーチン名を内部テーブルに追加できませんでした。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: 4 タプルの登録を再試行してください。この状態が続く場合、この問題を解決するには IBM のサポートがさらに必要です。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1956 *date time applid tranid* **CICS ONC RPC is being disabled. 要求された操作は実行されませんでした。Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.**

説明: CICS ONC RPC が使用不能化処理中であるため、接続マネージャーは現在の登録操作を完了できません。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC が使用不能化処理を完了したら、接続マネージャーを使用して再度使用可能にして、登録操作を再試行してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

DFHRP1957 • DFHRP1959

宛先: CRPO

DFHRP1957 *date time applid tranid* **CICS ONC RPC is not enabled, so the register operation could not be performed. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.**

説明: CICS ONC RPC が現在使用可能でないため、接続マネージャーは現在の登録操作を完了できません。これは別の接続マネージャー・トランザクションによって使用不可にされている可能性があります。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: 接続マネージャーを使用して CICS ONC RPC を使用可能にし、登録操作を再試行してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1958 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager could not register the 4-tuple because it was already registered. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.**

説明: 接続マネージャーは、要求された 4 タプルが既に登録されているため、現在の登録操作を完了できません。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: これは一時的な状態である可能性があります。そのため、登録を再試行してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

1424 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

ます。この状態が続く場合は、続行方法のさらに詳しい手引きについて、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1959 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error while registering a 3-tuple with TCP/IP for MVS. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.**

説明: エラーが TCP/IP for MVS により返されたため、接続マネージャーは現在の登録操作を完了できません。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS および TCP/IP for MVS が発行した関連する診断を参照してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1960 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an error while registering a 3-tuple with TCP/IP for MVS. Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: エラーが TCP/IP for MVS により返されたため、接続マネージャーは現在の登録操作を完了できません。これは **svcudp_create** 操作または **svctcp_create** 操作に関するものである可能性があります。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS および TCP/IP for MVS が発行した関連する診断を参照してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1961 *date time applid tranid* **Data entered in field *fieldname1* is incompatible with data entered in field *fieldname2*.**

説明: データが接続マネージャー・パネルの *fieldname1* に入力されましたが、*fieldname2* に入力されたデータと非互換です。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示され、エラーのフィールドが強調表示されます。

ユーザーの処置: 示されたフィールドに、互換性のあるデータを入力してください。

モジュール: DFHRPC0D、DFHRPC05

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1962 *date time applid tranid* **Enter the Program Number, Version Number, Procedure Number and Protocol for the 4-tuple to be displayed.**

説明: CICS ONC RPC データ・セット内の 4 タプルに関する情報を取得するには、プログラム番号、バージョン番号、プロシーチャー番号、およびプロトコルを指定する必要があります。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 必要なデータを入力してください。

モジュール: DFHRPC0D、DFHRPC03

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1963 *date time applid tranid* **Enter the following fields before register or save to data set: Program Number, Version Number, Procedure Number, XDR Routines, and Program Name.**

説明: 4 タプルを登録または保管する前に、次のフィールドへの入力が必要です。プログラム番号、バージョン番号、プロシーチャー番号、インバウンド XDR ルーチン、アウトバウンド XDR ルーチン (ブロッキングの RPC 呼び出しタイプの場合)、およびプログラム名。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。

ユーザーの処置: 示されたフィールドに有効なデータを入力してください。

モジュール: DFHRPC0D、DFHRPC05

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1964 *date time applid tranid* **Data entered in the Getlengths field is incompatible with data entered in the Server Input Length or Server Output Length fields.**

説明: Getlengths に YES を指定し、サーバー入力長またはサーバー出力長に情報を入力したか、あるいは Getlengths に NO を指定したものの、サーバー入力長およびサーバー出力長に情報を入力しませんでした。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。

ユーザーの処置: このパネル、またはこの 4 タプルのコンバーターの **Getlengths** 関数のどちらで長さを指定するかを決定してください。

モジュール: DFHRPC0D、DFHRPC05

DFHRP1965 • DFHRP1968

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1965 *date time applid tranid* **With Server Data Format of CONTIGUOUS, the Server Input Length and Server Output Length together must not exceed 32767 Bytes.**

説明: 無効なサーバー・データ長が CRPC パネルで検出されました。別名と、クライアント要求を処理する CICS プログラムとの間で渡すことができる最大合計データ長は、32767 です。CONTIGUOUS のサーバー・データ形式が指定されている場合、サーバー入力長とサーバー出力長の合計は、この値を超えてはなりません。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示されます。

ユーザーの処置: 有効なデータをフィールドに入力してください。

モジュール: DFHRPC0D、DFHRPC05

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1966 *date time applid tranid* **Procedure Number of 0 is not allowed.**

説明: ゼロの値が「プロシーチャー番号」フィールドに入力されています。This is not allowed.

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示され、エラーのフィールドが強調表示されます。

ユーザーの処置: 示されたフィールドに有効なデータを入力してください。

モジュール: DFHRPC0D、DFHRPC05、DFHRPC06

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRP1967 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while trying to register a 4-tuple. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.**

説明: 接続マネージャーは、4 タプルを登録しようとした際に内部エラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。接続マネージャーは処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 4 タプルが登録されたかどうかを調べるには、関連するメッセージを参照してください。この

問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1968 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has not performed a register operation because it detected an invalid global work area. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.**

説明: 無効なグローバル作業域アドレスを検出したため、接続マネージャーは現在の登録操作を完了できません。CICS ONC RPC は別の接続マネージャー・トランザクションによって使用不可にされている可能性があります。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しますが、4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: 接続マネージャーを使用して CICS ONC RPC を使用可能にし、登録操作を再試行してください。メッセージ DFHRP0002 がコンソールに出力された場合、そのメッセージの説明に詳しい情報が含まれている可能性があります。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *X'prognum'*
 6. *X'versnum'*
 7. *X'procnum'*
 8. *protocol*
 9. *hostaddr*
- 宛先: CRPO

DFHRP1969 *date time applid tranid* The CICS ONC
 RPC connection manager detected an
 abend in converter *progname* during
 Getlengths processing. Program:
X'prognum' Version: *X'versnum'*
 Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*.
 Host IP address: *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーは、**Getlengths** 関数に対して
 コンバーターを呼び出したときにコンバーターでの異常
 終了を検出したため、現在の登録操作を完了できませ
 ん。

システムの処置: 接続マネージャーは処理を続行しま
 すが、4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: CICS 診断を使用して、コンバーター
 を訂正してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *progname*
6. *X'prognum'*
7. *X'versnum'*
8. *X'procnum'*
9. *protocol*
10. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1970 *date time applid tranid* The CICS ONC
 RPC connection manager has
 registered the 4-tuple. Program:
X'prognum' Version: *X'versnum'*
 Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*.
 Host IP address: *hostaddr*.

説明: 4 タプルは登録されています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1980 *date time applid tranid* The CICS ONC
 RPC connection manager cannot
 register the 4-tuple because it has
 already been registered. Program:
X'prognum' Version: *X'versnum'*
 Procedure: *X'procnum'* Protocol: *protocol*.
 Host IP address: *hostaddr*.

説明: 4 タプルは既に登録されています。

システムの処置: 接続マネージャー・パネルが再表示さ
 れます。

ユーザーの処置: 登録のために新規の 4 タプルを入力
 してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'prognum'*
6. *X'versnum'*
7. *X'procnum'*
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1981 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error while registering a 4-tuple. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.

説明: 接続マネージャーは、4 タプルの登録中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. X'prognum'
6. X'versnum'
7. X'procnum'
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1982 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an internal error detected while registering a 4-tuple. Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.

説明: 接続マネージャーは、4 タプルの登録中に内部エラーを検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1428 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. X'prognum'
6. X'versnum'
7. X'procnum'
8. *protocol*
9. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1983 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager detected an error while linking to the converter converter_program_name. EIBRESP: eibresp EIBRESP2: resp2val Program: X'prognum' Version: X'versnum' Procedure: X'procnum' Protocol: protocol. Host IP address: hostaddr.

説明: 接続マネージャーは、コンバーターに対して EXEC CICS LINK を使用して、4 タプルの **Getlengths** 処理を実行しました。応答は PGMIDERR でした。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: EIBRESP2 値を使用して問題を識別してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *eibresp*
7. *resp2val*
8. X'prognum'
9. X'versnum'
10. X'procnum'
11. *protocol*
12. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1984 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager cannot link to converter** *converter_program_name* **because it is remote. EIBRESP:** *eibresp* **EIBRESP2:** *resp2val* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'* **Protocol:** *protocol*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーは、コンバーターに対して EXEC CICS LINK を使用して **Getlengths** 処理を実行しましたが、応答が TERMERR または SYSIDERR でした。接続マネージャーはポインターをコンバーターに渡します。したがって、コンバーターは CICS ONC RPC と同じ CICS 領域に配置されている必要があります。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: コンバーター・プログラムは、CICS ONC RPC と同じ CICS 領域内でインストールおよび定義してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *eibresp*
7. *resp2val*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1985 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager received an unexpected response from CICS while linking to converter** *converter_program_name. EIBRESP:* *eibresp* **EIBRESP2:** *resp2val* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'* **Protocol:** *protocol*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーは、コンバーターに対して

EXEC CICS LINK を使用して **Getlengths** 処理を実行しましたが、予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: 問題判別のために CICS が発行した関連する診断を参照してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *eibresp*
7. *resp2val*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1986 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager is not authorized to link to converter** *converter_program_name. EIBRESP:* *eibresp* **EIBRESP2:** *resp2val* **Program:** *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'* **Protocol:** *protocol*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: 接続マネージャーは、コンバーターに対して EXEC CICS LINK を使用して **Getlengths** 処理を実行しましたが、NOTAUTH 応答を受け取りました。

システムの処置: 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: CICS ONC RPC が次に使用不可にされたときに、接続マネージャーを RESSEC=NO で再定義してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*

6. *eibresp*
7. *resp2val*
8. *X'prognum'*
9. *X'versnum'*
10. *X'procnum'*
11. *protocol*
12. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1988 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager encountered an error in Getlengths processing in converter *converter_program_name*.
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: **Getlengths** が URP_EXCEPTION を返しました。

システムの処置: **Getlengths** パラメーター域がトレースされます。 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: トレース情報を使用して、コンバーターを訂正してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *X'prognum'*
7. *X'versnum'*
8. *X'procnum'*
9. *protocol*
10. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1989 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager encountered an error in Getlengths processing in converter *converter_program_name*.
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: **Getlengths** が URP_INVALID を返しました。

システムの処置: **Getlengths** パラメーター域がトレースされます。 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: トレース情報を使用して、コンバーターを訂正してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *X'prognum'*
7. *X'versnum'*
8. *X'procnum'*
9. *protocol*
10. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1990 *date time applid tranid* The CICS ONC RPC connection manager encountered an error during Getlengths processing in converter *converter_program_name*.
Program: *X'prognum'* **Version:** *X'versnum'* **Procedure:** *X'procnum'*
Protocol: *protocol*. **Host IP address:** *hostaddr*.

説明: **Getlengths** が URP_DISASTER を返しました。

システムの処置: **Getlengths** パラメーター域がトレースされます。 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: トレース情報を使用して、コンバーターを訂正してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *X'prognum'*
7. *X'versnum'*
8. *X'procnum'*
9. *protocol*

10. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1991 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an invalid server data length returned by the Getlengths function of converter *converter_program_name*.
Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'*
Protocol: *protocol*. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: *glength_server_data_format*、*glength_server_input_data_len*、および *glength_server_output_data_len* の各パラメーターから計算された通信域の長さが、32 767 を超えています。

システムの処置: **Getlengths** パラメーター域がトレースされます。 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: トレース情報を使用して、コンバーターを訂正してください。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *X'prognum'*
7. *X'versnum'*
8. *X'procnum'*
9. *protocol*
10. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP1992 *date time applid tranid* **The CICS ONC RPC connection manager has detected an invalid server data format returned by the Getlengths function of converter *converter_program_name*.
Program: *X'prognum'* Version: *X'versnum'* Procedure: *X'procnum'*
Protocol: *protocol*. Host IP address: *hostaddr*.**

説明: 返された *glength_server_data_format* には、URP_CONTIGUOUS または URP_OVERLAID の値がなければなりません。

システムの処置: **Getlengths** パラメーター域がトレースされます。 4 タプルは登録されていません。

ユーザーの処置: **glength_server_data_format** は URP_CONTIGUOUS または URP_OVERLAID に設定するか、未変更のままにしておく必要があります。未変更の場合、4 タプルの登録時にパネル DFHRP5 で指定された値が使用されます。

モジュール: DFHRPC0E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *converter_program_name*
6. *X'prognum'*
7. *X'versnum'*
8. *X'procnum'*
9. *protocol*
10. *hostaddr*

宛先: CRPO

DFHRP2000 *date time applid tranid* **A browse of the CICS ONC RPC alias list could not be performed because another browse is active.**

説明: 一度に 1 つのタスクのみが別名リストをブラウズできます。これは接続マネージャーでの ENQ の使用によって強制されます。一方で、別名リスト・コンポーネントがブラウズを開始するために呼び出されており、既にアクティブなブラウズがあることが検出されています。これは、CICS ONC RPC コード内の論理エラー、またはストレージ上書きのいずれかが原因です。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。ブラウズ要求は拒否されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因がストレージの上書きにある場合は、ほぼ確実に、他の CICS 機能に理由不明確のエラーがあります。これが当てはまらない場合、この問題を解決するには IBM のサポートがさらに必要になることがあります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHRPAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
- 宛先: CRPO

DFHRSnnnn メッセージ

DFHRS0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性あることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRSDM, DFHRSDU, DFHRSSR, DFHRSSM, DFHRSTP, DFHRSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHRS0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性あることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

例外トレース・ポイント ID の X'code' およびそれに含まれるデータについての説明は、「CICS Trace Entries」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRSDM, DFHRSDU, DFHRSSM, DFHRSSR, DFHRSTP, DFHRXXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHRS0004 *applid* A possible loop has been detected at offset X'offset' in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'offset' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

XDUREQ 出口のユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止により、特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS 処理は、CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は CPU 時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。その場合には、エラーはないことがあります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーターで指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* の実行が終了し、CICS は続行することを意味します。

システム初期設定パラメーター ICVR=0 を指定しており、しかもモジュール *modname* がループしていると確信している場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと確信している場合には、ICVR システム初期設定パラメーターの値を増やす

必要があります。CEMT トランザクションを使用して、CICS の実行中に ICVR 時間間隔を変更できます。ICVR 時間間隔を永続的に変更するには、CICS をシャットダウンし、新しい設定で再始動します。

ICVR の値を増やしても問題が解決しない場合には、問題を解決するために IBM のサポートがさらに必要になることがあります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHRSDU, DFHRSSM, DFHRSTP, DFHRXXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'offset'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHRS0007E *applid* RS ドメインの長時間実行タスクが異常終了しました。

説明: 領域状況 (RS) ドメイン長時間実行タスクは、予期しないエラーが発生したために終了しました。このタスクは、領域が、ワークロード・マネージャー (WLM) の最適化のためにアクティブ化された CICSplex/SM (CPSM) WLM ターゲット領域として実行されているために開始されました。

システムの処置: XDUREQ 出口のユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止により、特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS 処理は、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、RS ドメイン長時間実行タスクなしで続行します。

ユーザーの処置: 出された他のエラー・メッセージを調べ、適切な処置をとってください。問題が解決しない場合は、IBM サポート担当員に連絡して支援を要請し、完全なジョブ出力、auxtrace データ・セット、およびダンプを提供してください。

RS ドメイン長時間実行タスクは、ストレージ不足 (SOS) 状態、システム・ダンプ (SDUMP) 状態、またはトランザクション・ダンプ (TDUMP) 状態が終了すると、それに続いて領域が正常であるとマーク付けする役割を担当することに注意してください。このタスクが実行されなくなると、領域内の他の処理がこの機能を担当します。ただし領域内のアクティビティによっては、正常な状況に戻るには最大 15 秒遅延する場合があります。

タスクは以下のいずれかの方法で再開できます。

- 領域の停止および再始動。
- 領域内の CPSM MAS エージェントの停止および再始動。COSH トランザクションを使用してエージェントを停止し、COLM トランザクションを使用してエージェントを再始動することができます。
- 領域内の WLM 最適化の使用不可化および使用可能化。CPSM MAS リソース・テーブルの SET アクションは、これらの機能を実行するために使用できません。

モジュール: DFHRSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRS2110 *date time applid* **Abnormal reply to exchange log name request received from system *sysid*, netname *netname*, protocol *protocol*.**

説明: セッション障害に続いて、またはシステム再始動後の最初のセッション開始時に、送信されたログ名交換要求に対する応答として、異常応答を受け取りました。この異常応答は、以下のことを示している場合があります。

- リモート・システムがウォームまたはコールドの不一致、あるいはログ名の不一致を検出した。
- リモート・システムは、それに対して送信されたログ名交換データの解釈に失敗した。

システムの処置: APPC プロトコルの場合、同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これにより 2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられます。

IRC プロトコルの場合、このメッセージは再同期が試行されて失敗したことを示します。

ユーザーの処置: このメッセージの最も可能性が高い原因は、リモート・システムに未解決の再同期作業がある場合の、このシステムの初期始動です (緊急再始動またはそれと同等のものとは異なります)。これがコールド/ウォームの不一致またはログ名の不一致である場合、ローカル・システムの他の診断メッセージがエラーの理由を示している可能性があります。そうでない場合、診断情報を生成したリモート・システムのログ (異常応答の理由を記述している) を調べてください。

ログ名の不一致が疑われる APPC プロトコルの場合、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを発行して、エラー状態をオーバーライドしてください。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

IRC の場合、このメッセージは、他方のシステムに未解決の再同期がある場合のもう一方のシステムの初期始動 (初期始動が実行される前に再同期が開始され、無効になる) を示している場合があります。関連する作業単位は、CEMT SET UOW を使用してコミットすることが必要な場合があります。このメッセージは繰り返し発行されることはありません。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2111 *date time applid* **Cold/Warm restart mismatch with system *sysid*,netname *netname*,protocol *protocol*.**

説明: ログ名交換シーケンス中に、リモート・システムからコールド・スタート指示を受け取りました。しかし、このシステムには、前回の実行からの再同期化を必要とする作業単位があります。ログ名交換シーケンスは、セッション障害の後か、またはシステム再始動後の最初のセッション開始時に開始されます。ローカル・システムとリモート・システムの両方が同時にシーケンスを開始する場合があります。

システムの処置: 同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー活動が妨げられることを意味します。

ユーザーの処置: 失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NOTPENDING コマンドを出すことで、エラーをオーバーライドしてください。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS はリモート・システムとの APPC 再同期を行いません。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2112 *date time applid Log name mismatch with system sysid, netname netname, protocol protocol.* 予期される **LUNAME.LOGNAME** は *local_logname*、受け取った **LUNAME.LOGNAME** は *remote_logname* です。

説明: セッション障害の後、またはシステム再始動後の最初のセッションの開始時点のいずれかに実行される、ログ名交換プロセスで障害が発生しました。このシステムのメモリーにあるリモート・システムのログ名は、リモート・システムによって送信されたログ名と競合します。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

APPC プロトコルの場合、同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

IRC プロトコルの場合、再同期が試行されて失敗しています。

ユーザーの処置: APPC の場合、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを発行してエラーをオーバーライドします。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。このメッセージは、CICS またはリモート・システムの

論理エラーを示している場合があります。また、再発を防止するために IBM の支援が必要になる場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

IRC の場合、このメッセージは、他方のシステムに未解決の再同期がある場合のもう一方のシステムの初期始動 (初期始動が実行される前に再同期が開始され、無効になる) を示している場合があります。関連する作業単位は、CEMT SET UOW を使用してコミットすることが必要な場合があります。このメッセージは繰り返し発行されることはありません。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*
7. *local_logname*
8. *remote_logname*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2113 *date time applid Log name mismatch with system sysid, netname netname, protocol protocol, local LOGNAME local_logname , received LOGNAME remote_logname .*

説明: このメッセージは、以前のセッション障害に続く再同期前に実行される、ログ名交換プロセスで障害が発生したときに発行されます。システム *sysid* は、このシステムのログ名 (*local_logname*) のリモート・システムのメモリー (*remote_logname*) が含まれたログ名交換要求を送信しました。

このシステムは、ログ名の不一致を検出しました。これは、システム *sysid* およびこのシステムは再同期用の正しいログを持たないことを示します。

システムの処置: APPC プロトコルの場合、同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

IRC プロトコルの場合、このメッセージは再同期が試行されて失敗したことを示します。

ユーザーの処置: APPC の場合、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを発行してエラーをオーバーライドします。このコマ

ンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。このメッセージは、CICS またはリモート・システムの論理エラーを示している場合があります。また、再発を防止するために IBM の支援が必要になる場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

IRC の場合、このメッセージは、他方のシステムに未解決の再同期がある場合のもう一方のシステムの初期始動 (初期始動が実行される前に再同期が開始され、無効になる) を示している場合があります。関連する作業単位は、CEMT SET UOW を使用してコミットすることが必要な場合があります。このメッセージは繰り返し発行されることはありません。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*
7. *local_logname*
8. *remote_logname*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2114 *date time applid* **Abnormal termination of exchange log names sequence received from system *sysid*, netname *netname*, protocol *protocol*.**

説明: このメッセージは、ログ名交換応答に対する応答として FMH7 を受け取った場合に発行されます。ログ名交換シーケンスは、セッション障害の後か、またはシステム再始動後の最初のセッション開始時に送信されます。リモート・システムはシーケンスを開始しましたが、FMH7 応答はリモート・システムがそれに対して送信されたログ名交換応答データの解釈に失敗したことを示しています。

システムの処置: APPC プロトコルの場合、同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

IRC プロトコルの場合、このメッセージは再同期が試行されて失敗したことを示します。通信は続行されます。

ユーザーの処置: システム・ダンプを使用してエラーの原因を調べてください。トレース・ドメインと端末管理プログラムの制御ブロックを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこのログ名交換会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。IRC の場合、TIOA には同等のデータが含まれています。ログ名交換応答 GDS 変数の形式と突き合わせてデータを確認してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

リモート・システムのログを調べてください。プロトコル違反が検出された場合には、リモート・システム自体が、原因の診断に役立てることができる診断情報を生成している可能性があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2115 *date time applid protocol* **protocol support mismatch with system *sysid*, netname *netname*. Expected support byte *X'ww'*, received support byte *X'xx'*, expected extended support bytes *X'yyyy'*, received extended support bytes *X'zzzz'*.**

説明: リモート・システムと以前に折衝したシステム・メモリーのプロトコルが、ログ名交換変数で送信された標識と競合しています。

システムの処置: APPC プロトコルの場合、同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

IRC プロトコルの場合、再同期は失敗します。通信は通常どおり続行されます。

ユーザーの処置: APPC プロトコルの場合、CICS Transaction Server システムから予期される標識は、基本サポートは X'70'、拡張サポートは X'C000' です。CICS/ESA 4.1 の場合、予期される標識は、基本サポートは X'40'、拡張サポートは X'0000' です。この 4 つの標識フィールドの組み合わせがメッセージに表示される場合は、CICS/ESA 4.1 からの移行時に CICS Transaction Server レベルでパートナー・システムが初期始動されているか、または CICS Transaction Server の実行後に CICS/ESA 4.1 システムがコールド・スタートされているかをまず確認してください。この可能性を除外できる場合、このメッセージは、CICS またはリモート・システムの論理エラーを示している場合があります。また、再発を防止するために IBM の支援が必要になる場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

障害が起きた接続に対して CEMT SET CONN(sysid) NORECOV DATA コマンドを発行して、エラー状態をオーバーライドできます。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

IRC プロトコルでは、CEMT SET UOW コマンドを使用して、通常の再同期プロセスによって解決できない作業単位の状態を解決することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHCCRYSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *protocol*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *X'ww'*
8. *X'xx'*
9. *X'yyyy'*
10. *X'zzzz'*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2116 *date time applid* **Abnormal termination of exchange log names sequence received from system sysid, netname netname, protocol protocol.** 接続はコールド状態にありました。

説明: ログ名交換応答に対する応答で FMH7 が受け取られました。ログ名交換シーケンスは、セッション障害の後か、またはシステム起動後の最初のセッション開始時に送信されます。このシステムは、SIT パラメーターの START=INITIAL を指定して開始されたか、または CEMT SET CONN(sysid) NORECOV DATA が発行されたかのいずれかです。そのどちらの場合も接続の状態がリセットされます。これはつまり、リモート・システムに対してログ名が保管されていないということです。

APPC プロトコルの場合、FMH7 応答は次の 2 つの原因のいずれかを示す場合があります。

- ・ リモート・システムは、同期点処理時に会話の以前の障害に続く未解決の再同期作業があり、コールド/ウォームの不一致を検出した。
- ・ リモート・システムは、それに対して送信されたログ名交換応答データの解釈に失敗した。

IRC プロトコルの場合、問題の原因は、リモート・システムがログ名交換応答データの解釈に失敗したことです。

システムの処置: APPC プロトコルの場合、同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

IRC プロトコルの場合、このメッセージは再同期が試行されて失敗したことを示します。通信は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの最も可能性が高い原因は、他のシステムに未解決の再同期作業がある場合の、このシステムの初期始動です (緊急再始動またはそれと同等のものとは異なります)。これは、リモート・システムのメッセージ・ログを調べることで確認できます。

APPC プロトコルでは、リモート・システム上の接続は、このシステムの接続項目に対して CEMT SET CONN(sysid) NOTPENDING コマンドを発行してリセットすることが必要になる場合があります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。

IRC プロトコルの場合、考えられる原因はプロトコル違反または論理エラーのみです。

コールド/ウォームの不一致がエラーの原因から除外される場合は、IBM からサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2117 *date time applid* **Abnormal reply to exchange log names received from system *sysid*, netname *netname*, protocol *protocol*.** このシステムの接続はコールド状態にありました。

説明: このメッセージは、ログ名交換要求に対する応答として異常応答を受け取った場合に出されます。ログ名交換シーケンスは、セッション障害の後か、またはシステム起動後の最初のセッション開始時に送信されます。このシステムは、SIT パラメーター START=INITIAL を指定して開始されたか、または CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA が発行され、リモート・システムに対してログ名が保管されていません。異常応答は、APPC プロトコルのケースでは、次の 2 つの原因の 1 つを示している場合があります。

- リモート・システムは、同期点処理時に会話の以前の障害に続く未解決の再同期作業があり、コールド/ウォームの不一致を検出した。
- リモート・システムは、それに対して送信されたログ名交換データの解釈に失敗した。

IRC プロトコルの場合、問題の原因は、リモート・システムがログ名交換データの解釈に失敗したことです。

システムの処置: APPC プロトコルの場合、同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

IRC プロトコルの場合、このメッセージは再同期が試行

されて失敗したことを示します。通信は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの最も可能性が高い原因は、他のシステムに未解決の再同期作業がある場合の、このシステムの初期始動です (緊急再始動またはそれと同等のものとは異なります)。これは、リモート・システムのメッセージ・ログを調べることで確認できません。

APPC プロトコルでは、リモート・システム上の接続は、このシステムの接続項目に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NOTPENDING コマンドを発行してリセットすることが必要な場合があります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待機しているリソースをすべて一方的にコミットします。

IRC プロトコルの場合、考えられる原因はプロトコル違反または論理エラーのみです。

コールド/ウォームの不一致がエラーの原因から除外される場合は、IBM からさらにサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2118 *date time applid* **Abnormal termination of exchange log names sequence received from system *sysid*, netname *netname*, protocol *protocol*.** 以前、そのシステムと通信が行われました。

説明: このメッセージは、ログ名交換応答に対する応答として FMH7 を受け取った場合に発行されます。

ログ名交換シーケンスは、セッション障害の後か、またはシステム起動後の最初のセッション開始時に送信されます。どちらのシステムも前のアクセスの記録があり、リモート・システムによって開始された、ログ名交換プロトコルによって検証されたログ名が保管されています。

FMH7 は、次の 2 つの原因のいずれかを示している可能性があります。

- ・ リモート・システムが、送信されたログ名交換応答で示された、ログ名またはプロトコル・サポートの不一致を検出した。

- ・ リモート・システムは、それに対して送信されたログ名交換応答データの解釈に失敗した。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

LU6.2 プロトコルの場合、同期レベル 2 のタスク生成は禁止されています。これは、2 つのシステム間のリカバリ可能活動が妨げられることを意味します。

IRC プロトコルの場合、このメッセージは再同期が試行されて失敗したことを示します。通信は続行されます。

ユーザーの処置: APPC プロトコルの場合、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを出して、接続のリセットが必要になることがあります。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

エラーの原因は、リモート・システムによって生成される診断情報によって示されることがあります。ローカル・システムによってとられたシステム・ダンプは、ログ名交換応答 GDS でのエラーの可能性を調査するために使用できます。

トレース・ドメインと端末管理プログラムの制御ブロックを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこのログ名交換会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。IRC の場合、TIOA には同等のデータが含まれています。ログ名交換応答 GDS 変数の形式と突き合わせてデータを確認してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2134 *date time applid* セッション *sessid* でリモート・システム *sysid*、ネット名 *netname*、プロトコル *protocol* へのログ名交換要求の送信中にエラーが発生しました。

説明: リモート・システムへのログ名交換要求の伝送時に、エラーが起きました。CICS はパートナーとの最初の通信で接続を確立しようとしたか、または同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で分散リソースを再同期しようとした。

このメッセージは、送信を実行するために使用されるセッションの障害を示します。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

多くの場合、CICS は正常に操作を続行し、セッション障害を解消しようとして再同期または接続の確立が再試行されます。ただし APPC プロトコルの場合、繰り返される障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、ローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられる結果になった可能性があります。

IRC プロトコルの場合、再同期が失敗しましたが、接続は通常の操作を続行します。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(*sysid*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合、ログ名交換プロセスは、CEMT SET CONN(*sysid*) RESYNC コマンドを出して再試行できます。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。さらに、リモート・システムのログを調べてください。プロトコル違反が検出された場合には、リモート・

システム自体が診断情報を生成している可能性があります。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこのログ名交換会話に使用されていたかを判別してください。

内部トレース・テーブルが使用可能な場合は、それを使用してセッションに対して出されたコマンドをトラックし、ユーザー状態マシンの状態遷移が正しいかどうかを調べてください。状態遷移が無効である場合は、CICS 論理エラーが起きた可能性があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2135 *date time applid* **An error has occurred while sending a compare states request on session *sessid* to remote system *sysid*, netname *netname*, protocol *protocol*.**

説明: リモート・システムへの状態比較要求の伝送時に、エラーが起きました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムが、ローカル・システムのログ名交換 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。
- 通信で何らかの他のエラーが発生した。

システムの処置: APPC プロトコル接続 (IRC プロトコルではない) の場合、この障害によりログ名交換プロトコルの完了が妨げられた可能性があり、それによりローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられています。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: APPC プロトコルの場合は、接続の状態を調べてください。CEMT INQUIRE CONN(*sysid*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合、ログ名交換プロセスは、CEMT SET CONN(*sysid*) RESYNC コマンドを出して再試行できます。システム間の正常な接続が以前にあった場合には、接続を元の状態にリセットして再試行できます。状態は CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA を出すことによってリセットできます。このコマンドを、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

エラーの原因は、リモート・システムによって生成される診断情報によって示されることがあります。ローカル・システムによってとられたシステム・ダンプを使用して、GDS 変数のエラーの可能性を調査してください。

トレース・ドメインと端末管理プログラムの制御ブロックを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこのログ名交換会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。IRC の場合、TIOA には同等のデータが含まれています。ログ名交換および状態比較の各 GDS 変数の形式と比較してデータを確認してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*

6. *netname*

7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2136 *date time applid An error has occurred while receiving an exchange log names reply on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: リモート・システムからログ名交換応答データを受け取ろうとしたときに、エラーが発生しました。

CICS は接続を初期設定しようとしたか、または同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で分散リソースを再同期しようとしたしました。

このメッセージは以下のことを意味しています。

- ・
- リモート・システムが、ローカル・システムのログ名交換 GDS 変数または状態比較 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出し、エラーを示す FMH7 を送信しました。
- ・
- 通信の何らかの他のエラーがローカル・システムまたはリモート・システムのどちらかで発生しました。

システムの処置: APPC プロトコルの場合、ログ名交換の障害は、同期レベル 2 のタスク生成が禁止されていることを意味することがあります。これは、2 つのシステム間のリカバリー可能活動が妨げられることを意味します。

IRC プロトコルの場合、このメッセージは再同期が試行されて失敗したことを示します。通信は続行されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: APPC プロトコルの場合は、接続の状態を調べてください。CEMT INQUIRE CONN(*sysid*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合、ログ名交換プロセスは、CEMT SET CONN(*sysid*) RESYNC コマンドを出して再試行できます。システム間の正常な接続が以前にあった場合には、接続を元の状態にリセットして再試行できます。状態は CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA を出すことによってリセットできます。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

エラーの原因は、リモート・システムによって生成される診断情報によって示されることがあります。ローカル・システムによってとられたシステム・ダンプを使用して、GDS 変数のエラーの可能性を調査してください。

トレース・ドメインと端末管理プログラムの制御ブロックを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこのログ名交換会話に使用されていたかを判別してください。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。IRC の場合、TIOA には同等のデータが含まれています。ログ名交換および状態比較の各 GDS 変数の形式と比較してデータを確認してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2137 *date time applid An error has occurred while receiving a compare states reply on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: リモート・システムからの状態比較応答の受信時に、エラーが起きました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしたしました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

・

リモート・システムが、ローカル・システムの状態比較 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。

•

CICS APPC 処理に内部エラーがあった。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。

ユーザーの処置: 受け取ったデータに関する診断情報が生成されている可能性がある、リモート・システムのログをまず調べて、エラーの原因を調査してください。この問題は、システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した以前に出力済みの診断情報を使用して、ローカルに調査できます。

トレース・ドメインと端末管理プログラムに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

内部トレース・テーブルが使用可能な場合は、それを使用してセッションに対して出されたコマンドをトラックし、ユーザー状態マシンの状態遷移が正しいかどうかを調べてください。状態遷移が無効である場合は、CICS 論理エラーが起きた可能性があります。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。同様の情報が IRC セッションの TIOA に含まれています。問題のセッションのデータを見つけ、バッファの内容が正しいかどうかを調べてください。バッファには状態比較 GDS 変数が含まれています。この SNA 定義データの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*

6. *netname*

7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2138 *date time applid Invalid exchange log names reply data has been received on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: ローカル・システムはデータを受け取り、ログ名交換応答 GDS 形式を使用して構文解析しようとした。データを構文解析できなかったか、または無効なデータが検出されました。

このシステムは同期レベル 2 の作業用の接続を初期設定しようとしたか、または同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で分散リソースを再同期しようとした。ログ名交換が送信されましたが、無効な応答を受け取りました。

この障害は、リモート・システムでのエラーまたは CICS 論理エラーを意味しています。

システムの処置: 再同期が試行されていた場合、再同期は失敗しており、次の機会に再試行されます。

APPC プロトコル接続 (IRC プロトコルではない) の場合、この障害によりログ名交換プロトコルの完了が妨げられ、それによりローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられる可能性があります。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: APPC プロトコルの場合は、接続の状態を調べてください。CEMT INQUIRE CONN(*sysid*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合、ログ名交換プロセスは、CEMT SET CONN(*sysid*) RESYNC コマンドを出して再試行できます。システム間の正常な接続が以前にあった場合には、接続を元の状態にリセットして再試行できます。状態は CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA を出すことによってリセットできます。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

例外トレース項目には受け取ったデータが含まれ、障害の理由が解釈されます。ログ名交換応答 GDS 変数の形式を確認してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2139 *date time applid* **Invalid compare states
reply data has been received on
session *sessid* from remote system
sysid, *netname* *netname*, *protocol*
protocol.**

説明: ローカル・システムはデータを受け取り、状態比較応答 GDS 形式を使用して構文解析しようとした。データを構文解析できなかったか、または無効なデータが検出されました。

同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、ローカル・システムは分散リソースを再同期しようとした。状態比較への応答で受け取ったリモート・システムからのデータが無効でした。

この障害は、リモート・システムでのエラーまたは CICS 論理エラーを意味しています。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

この障害により、分散リソースの再同期の完了が妨げられます。

ユーザーの処置: CEMENT INQUIRE UOWLINK SYSID(*sysid*) コマンドを使用して、再同期が未解決になっている作業単位を調べてください。リモート・システムで同じコマンドを使用して、作業単位をコミットするかまたはバックアウトするかを決定してください。あるいは、APPC 接続の場合、失敗した接続に対して CEMENT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを発行して再同期をオーバーライドすることもできます。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの再同期活動を行いません。

システム・ダンプを使用してエラーの原因を調べてください。トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

例外トレース項目には受け取ったデータが含まれ、障害の理由が解釈されます。状態比較応答 GDS 変数の形式を確認してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2140 *date time applid* **A protocol violation
has occurred while resynchronizing
with remote system *sysid*, *netname*
netname, *protocol* *protocol*, via session
sessid.** 再同期は、ローカル・システムによって開始されました。

説明: ローカル・システムが、リモート・システムとの再同期中にプロトコル違反を検出しました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は分散リソースを再同期しようとした。再同期は、ローカル・システムによって開始されました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムによってエラーが検出され、再同期シーケンスが異常終了しました。
- 無効データを送信する原因となっている論理エラーがリモート・システム内に存在しています。
- CICS 論理エラー

システムの処置: CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ローカル CICS システム、アクセス方式、またはオペレーティング・システムにより診断が出力された可能性があります。さらに、リモート・システムでのエラーの原因を調べてください。再同期シーケンスが終了した理由を示す診断メッセージが生成されている可能性があります。

再同期シーケンスは、トレース・ドメインに属する制御ブロックを表示するようにシステム・ダンプを形式設定することで、ローカルに分析できます。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

DFHCRRSY プログラムのトレース項目は、使用されていた会話の状態と、受け取ったデータを示します。障害時点では、シーケンスの最終フローとしてリモート・システムからの確認が予期されましたが、受け取りませんでした。

再同期フローを、「z/OS Communications Server: SNA プログラマーズ LU 6.2 解説書」資料 (SC27-3670-00) で説明されているものと比較してください。リモート・システムが正しいプロトコルを順守しなかったことがエラーの原因として考えられます。リモート・システムでの調査が必要になる場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*

5. *netname*

6. *protocol*

7. *sessid*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2141 *date time applid* **A protocol violation has occurred while resynchronizing with remote system *sysid*, netname *netname*, protocol *protocol*, via session *sessid*.** 再同期は、リモート・システムによって開始されました。

説明: ローカル・システムが、リモート・システムとの再同期中にプロトコル違反を検出しました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は分散リソースを再同期しようとしてしました。再同期は、リモート・システムによって開始されました。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムによってエラーが検出され、再同期シーケンスが異常終了しました。
- 無効データを送信する原因となっている論理エラーがリモート・システム内に存在しています。
- CICS 論理エラー

システムの処置: CICS は正常な操作を続行し、再同期は次の機会に再試行されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ローカル CICS システム、アクセス方式、またはオペレーティング・システムによる診断出力を参照してください。さらに、リモート・システムでのエラーの原因についても調査してください。再同期シーケンスが終了した理由を示す診断メッセージが生成されている可能性があります。

再同期シーケンスは、トレース・ドメインに属する制御ブロックを表示するようにシステム・ダンプを形式設定することで、ローカルに分析できます。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこの再同期会話に使用されていたかを判別してください。

DFHCRRSY プログラムのトレース項目は、使用されていた会話の状態と、受け取ったデータを示します。障害

時点では、シーケンスの 3 番目のフローとしてリモート・システムからの要求確認メッセージが予期されましたが、受け取りませんでした。

再同期フローを、「z/OS Communications Server: SNA プログラマーズ LU 6.2 解説書」資料 (SC27-3670-00) で説明されているものと比較してください。リモート・システムが正しいプロトコルを順守しなかったことがこのエラーの原因として考えられます。リモート・システムでの調査が必要になる場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*
7. *sessid*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2142 *date time applid* セッション *sessid* で、状態比較要求データをリモート・システム *sysid*、ネット名 *netname*、プロトコル *protocol* から受け取れませんでした。

説明: ローカル・システムがリモート・システムからログ名交換要求を受け取りましたが、状態比較 GDS 変数であると想定された後続のデータを受け取ろうとしたときに失敗しました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、リモート・システムが分散リソースを再同期しようとした可能性があります。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- ・ リモート・システムでのエラー
- ・ 再同期中のセッション障害
- ・ CICS 論理エラー

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

再同期は、リモート・システムによって次の機会に再試行されることになります。ただし、APPC プロトコル接続の場合、この障害によりログ名交換のフローが正常に行われなくなり、それによりローカル・システムとリ

モート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられることになります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE CONN(*sysid*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合、エラー状態は CEMT SET CONN(*sysid*) RESYNC を発行して訂正できる可能性があります。この方法で問題を解決できない場合は、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを発行することで、APPC 接続の再同期を取り消すことができます。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの再同期活動を行いません。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

DFHCRRSY プログラムの例外トレース項目を見つけて、リモート・システムによって送信されたデータを調べてください。さらに、障害が起きた時点の会話の状態を調べてください。これは受信状態である必要がありました。

リモート・システムが有効なデータを送信しなかったか、または状態比較のプロトコルに従うことに失敗したことが原因として考えられます。再同期フローを、「z/OS Communications Server: SNA プログラマーズ LU 6.2 解説書」資料 (SC27-3670-00) で説明されているものと比較してください。リモート・システムでの調査が必要になる場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2143 *date time applid Do_know confirmation was not received on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: ローカル・システムが Do_know GDS 変数をリモート・システムに送信しましたが、有効な応答を受け取りませんでした。これは同期点処理と作業単位の解決時の、保護会話の以前の障害を示しています。このシステムは、Do_know GDS 変数を使用して、リモート・システムにより再同期が開始されるようにしました。

これは、リモート・システムでのエラーまたは CICS 論理エラーを意味しています。

システムの処置: 再同期は、リモート・システムによって次の機会に再試行されることになります。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CEMT SET CONN(sysid) RESYNC を発行して、再同期が再試行されるようにします。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

DFHCRRSY プログラムの例外トレース項目を見つけて、リモート・システムによって送信されたデータを調べてください。さらに、障害が起きた時点の会話の状態を調べてください。

リモート・システムが有効なデータを送信しなかったか、または Do_Know のプロトコルに従うことに失敗したことが原因として考えられます。そのようなケースでは、リモート・システムから診断資料をさらに取得することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*

6. *netname*7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2144 *date time applid System_restart confirmation was not received on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: ローカル・システムが System_restart GDS 変数をリモート・システムに送信しましたが、有効な応答を受け取りませんでした。これはローカル・システムが再始動しており、再同期プロトコルの開始の一部としてリモート・システムに以前はアクセスしていないことを示しています。

これは、リモート・システムでのエラーまたは CICS 論理エラーを示しています。

システムの処置: 次の接続の初期設定時にメッセージの送信が再試行されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CEMT SET CONN(sysid) RESYNC を発行して、送信が再試行されるようにします。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

DFHCRRSY プログラムの例外トレース項目を見つけて、リモート・システムによって送信されたデータを調べてください。さらに、障害が起きた時点の会話の状態を調べてください。

リモート・システムが有効なデータを送信しなかったか、または System_restart メッセージのプロトコルに従うことに失敗したことが原因として考えられます。そのようなケースでは、リモート・システムから診断資料をさらに取得することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2145 *date time applid Invalid exchange log names data has been received on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: ローカル・システムはデータを受け取り、ログ名交換 GDS 形式を使用して構文解析しようとした。データを構文解析できなかったか、または無効なデータが検出されました。

リモート・システムは同期レベル 2 の作業用の接続を初期設定しようとしたか、または同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で分散リソースを再同期しようとした。ログ名交換は、これらの両方の場合に送信されます。

この障害は、リモート・システムでのエラーまたは CICS 論理エラーを示しています。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

再同期が試行されていた場合、再同期は失敗しており、次の機会に再試行されます。

APPC プロトコル接続 (IRC プロトコルではない) の場合、この障害によりログ名交換プロトコルの完了が妨げられます。それによりローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられます。

ユーザーの処置: APPC プロトコル接続の場合、CEMT INQUIRE CONN(*sysid*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかったがシステム間の以前の通信があった場合は、接続の状態をリセットすることでエラーをオーバーライドできます。これを行うには、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを出します。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待機しているリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した以前に出力済みの診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

例外トレース項目には受け取ったデータが含まれ、障害の理由が解釈されます。ログ名交換 GDS 変数の形式を確認してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

GDS 変数の形式が間違っているため、エラーの原因を突き止める必要があります。リモート・システムが有効な GDS 変数を送信しなかったことが原因として考えられます。そのようなケースでは、リモート・システムから診断資料をさらに取得することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2146 *date time applid Invalid compare states data has been received on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: ローカル・システムはデータを受け取り、状態比較 GDS 形式を使用して構文解析しようとした。データを構文解析できなかったか、または無効なデータが検出されました。

同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、リモート・システムは分散リソースを再同期しようとした。

この障害は、リモート・システムでのエラーまたは CICS 論理エラーを示しています。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

この障害により、分散リソースの再同期の完了が妨げられます。

ユーザーの処置: コマンド CEMT INQUIRE UOWLINK SYSID(*sysid*) を使用して、再同期が未解決になっている作業単位を調べてください。リモート・システムで同じコマンドを使用して、作業単位をコミットするかまたはバックアウトするかを決定してください。あるいは、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを発行して再同期をオーバーライドできます。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの再同期活動を行いません。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

例外トレース項目には受け取ったデータが含まれ、障害の理由が解釈されます。状態比較 GDS 変数の形式を確認してください。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

GDS 変数の形式が間違っているため、エラーの原因を突き止める必要があります。リモート・システムが有効な GDS 変数を送信しなかったことが原因として考えられます。そのようなケースでは、リモート・システムから診断資料をさらに取得することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

1448 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2147 *date time applid* セッション *sessid* で、リモート・システム *sysid*、ネット名 *netname*、プロトコル *protocol* へのログ名交換応答の送信に続いて、認識されないデータを受け取りました。

説明: ログ名交換要求が別のシステムから受け取られ、応答が送信されました。他のシステムからさらにデータを受け取ることを予期していましたが、これはログ名交換プロトコルの一部として認識されませんでした。

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムが、ローカル・システムのログ名交換応答 GDS 変数にプロトコル違反があることを検出した。

CICS 処理で内部エラーがあった。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

APPC プロトコルの場合、この障害により、ログ名交換のフローが正常に行われなくなり、ローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられる結果になった可能性があります。

IRC プロトコルの場合、再同期は失敗する可能性があります。通信リンクはアクティブのままです。

ユーザーの処置: APPC プロトコルを使用するリンクの場合、CEMT INQUIRE CONN(*sysid*) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかった場合、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(*sysid*) NORECOVDATA コマンドを発行することでエラー状態をオーバーライドできます。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。リモート・システムはさらに、受け取ったデータ内にエラーを検出した場合に診断メッセージを作成した可能性があります。

ローカル・システムによって送信されたデータは、システム・ダンプを形式設定して、トレース・ドメインおよび端末管理プログラムに属する制御ブロックを表示することで調査できます。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこのログ名交換会話に使用されていたかを判別してください。

内部トレース・テーブルが使用可能な場合は、それを使用してセッションに対して出されたコマンドをトラックし、ユーザー状態マシンの状態遷移が正しいかどうかを調べてください。状態遷移が無効である場合は、CICS 論理エラーが起きた可能性があります。

セッションのための APPC 送信または受信バッファは、ダンプ内で明確にラベル付けされ、それらが属するセッションの TCTTE の下に印刷されます。TIOA には IRC の類似情報が含まれています。問題のセッションの送信/受信バッファを見つけ、バッファの内容が正しいかどうかを調べてください。バッファには、有効なログ名交換 GDS 応答変数が含まれている必要があります。この SNA 定義フィールドの正しい形式は、Systems Network Architecture Formats (GA27-3136) で説明されています。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2148 *date time applid* **Resynchronization with system sysid, netname netname, protocol protocol was attempted but was terminated because no partner log name was found.**

説明: 同期点処理中に、保護会話の失敗に続いて、CICS が再同期シーケンスを開始しました。パートナー・システムに有効なログ名が見つかりませんでした。再同期を続行できませんでした。

このメッセージは、CEMT SET CONNECTION NORECOV DATA コマンドが、パートナー・システムとの再同期が完了する前に発行されたことを示しています。

す。未解決の作業を記述する UOW および UOWLINK も削除されています。

システムの処置: なし この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、通知メッセージです。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *protocol*

宛先: CSMT

DFHRS2149 *date time applid* **Resynchronization/Exchange log names with system netname (protocol protocol) could not be executed because no suitable connection entry was found.**

説明: 同期点処理中に、保護会話の失敗に続いて、CICS が再同期シーケンスを開始しました。会話を記述するデータが存在していますが、パートナー・システムに対する適切な接続定義が見つかりませんでした。通信を確立できなかったため、再同期を続行できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この状態は、接続定義の破棄が原因であるか、CICS によって接続定義が削除されることになったコールド・スタートが原因である可能性があります。定義は自動インストールされた可能性があります。自動インストールされた定義は、システム内の後続のアクティビティによって再インストールできます。あるいは、適切な定義を CEDA を使用して手動でインストールすることもできます。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *protocol*

宛先: CSMT

DFHRS2150 *date time applid Invalid data has been received during the resynchronization sequence on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: ローカル・システムはデータを受け取り、以下のいずれかのタイプの SNA GDS データとして構文解析しようとした。

ログ名交換
Do_know
System_restart

データを認識できませんでした。

リモート・システムは同期レベル 2 の作業用の接続を初期設定しようとしたか、または同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で分散リソースを再同期しようとした。

この障害は、次のいずれかを意味します。

- リモート・システムによってエラーが検出され、エラー通知が FMH7 で送信された。
- リモート・システムでエラーが発生した。
- CICS 論理エラーが発生した。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

再同期が試行されていた場合、再同期は失敗しており、次の機会に再試行されます。

APPC プロトコル接続 (IRC プロトコルではない) の場合、この障害によりログ名交換プロトコルの完了が妨げられ、それによりローカル・システムとリモート・システムとの間で同期レベル 2 のタスク生成が妨げられます。

ユーザーの処置: APPC プロトコル接続の場合、CEMT INQUIRE CONN(sysid) を出して、XOK フィールドを調べてください。ログ名交換が行われていなかったがシステム間の以前の通信があった場合は、接続の状態をリセットすることでエラーをオーバーライドできます。これを行うには、失敗した接続に対して CEMT SET CONN(sysid) NORECOVDATA コマンドを出します。このコマンド (または同等コマンド) を、接続の両方の側に出さなければならない場合もあります。

注: このコマンドが出された場合には、CICS は、APPC の再同期を待っている可能性があるリソースをすべて一方的にコミットします。さらに、CICS は、リモート・システムとの APPC 再同期活動を行いません。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

トレース項目には、受け取ったデータが含まれています。このデータの形式を確認してください。SNA 定義フィールドの正しい形式は、「Systems Network Architecture Formats (GA27-3136)」資料で説明されています。

リモート・システムが有効な GDS 変数を送信しなかったことが原因として考えられます。そのようなケースでは、リモート・システムから診断資料をさらに取得することが必要な場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2151 *date time applid Invalid data has been received during the resynchronization sequence on session sessid from remote system sysid, netname netname, protocol protocol.*

説明: ローカル・システムはデータを再同期シーケンスの一部として受け取ろうとしたが、会話が誤った状態であるか、またはエラー FMH を受け取りました。

リモート・システムは同期レベル 2 の作業用の接続を初期設定しようとしたか、または同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で分散リソースを再同期しようとした。

この障害は、以下のいずれかを意味しています。

- リモート・システムによってエラーが検出され、エラー通知が FMH7 で送信された。
- エラーがリモート・システムで発生した。
- CICS 論理エラーが発生した。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

再同期が試行されていた場合、再同期は失敗しており、次の機会に再試行されます。

ユーザーの処置: 再同期シーケンスは、CEMT SET CONN(*sysid*) RESYNC を出すことで再試行できます。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが既に出している診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このトレース項目は、リモート・システムとの会話の状態、およびリモート・システムで検出されたエラーを示すエラー FMH の着信を示します。必要な場合には、リモート・システムから診断資料をさらに取得してください。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2152 *date time applid* リモート・システム *sysid*、ネット名 *netname*、プロトコル *protocol* に対して開始されたセッション *sessid* で、再同期シーケンス中に会話エラーが発生しました。

説明: ローカル・システムが、パートナー・システムと

の再同期交換シーケンスを開始し、その 1 つ以上を完了しています。会話は、プロセスを継続するのに適切な状態ではありません。

この障害は、リモート・システムでのエラーまたは CICS 論理エラーを示しています。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

再同期が試行されていた場合、再同期は失敗しており、次の機会に再試行されます。

ユーザーの処置: 再同期シーケンスは、CEMT SET CONN(*sysid*) RESYNC を出すことで再試行できます。

システム・ダンプ、および CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供した診断情報を使用して、エラーの原因を調べてください。

トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このトレース項目は、リモート・システムとの会話の状態を示します。エラー FMH の着信は、はリモート・システムのエラーを示します。そのようなケースでは、リモート・システムから診断資料をさらに取得することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2153 *date time applid* An error has occurred while sending a system_restart request on session *sessid* to remote system *sysid*, *netname netname*, *protocol protocol*.

説明: リモート・システムへの System_restart 要求の伝送時に、エラーが起きました。同期点処理時に、前の保護会話障害が起きた後で、CICS は、分散リソースを再同期しようとしてしました。

DFHRS2154 • DFHRS2155

このことは、次のいずれかを意味しています。

- リモート・システムが、先行するログ名交換シーケンス中にプロトコル違反を検出した。
- 通信で何らかの他のエラーが発生した。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: エラーの原因は、リモート・システムによって生成される診断情報によって示されることがあります。ローカル・システム、アクセス方式、またはオペレーティング・システムにより出された診断が、障害の理由を示している場合があります。トレース・ドメインに属している制御ブロックを示すようにシステム・ダンプを形式設定してください。(この方法に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。)

このメッセージから、どのセッションがこのログ名交換会話に使用されていたかを判別してください。

内部トレース・テーブルが使用可能な場合は、それを使用して、メッセージで報告されている、セッションに対して発行されたコマンドを追跡してください。ユーザー状態マシンの状態遷移が正しいこと、およびエラー発生時に会話が送信状態であったことを確認してください。いずれかの状態遷移が無効である場合は、CICS 論理エラーが起きた可能性があります。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *sysid*
6. *netname*
7. *protocol*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRS2154 *date time applid* **A logic error has occurred during resynchronization with system *sysid*, *netname* *netname*.**

説明: パートナー・システムとの再同期中に論理エラーが発生しました。

再同期に関連付けられているローカル・データが処理の

開始時にロックされましたが、終了時にアンロックできませんでした。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

再同期を処理するトランザクションによって ASQL 異常終了が続いて発行され、トランザクション・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*

宛先: CSMT

DFHRS2155 *date time applid* **Affinity changed by partner resource known as connection *sysid*, *netname* *netname*. 古い LUNAME は *old-luname*、新しい LUNAME は *new-luname* です。**

説明: パートナー・システムに関連付けられている総称リソース・メンバーの変更が発生しましたが、ローカル・システムには完了すべき再同期作業があります。

ローカル・システムは、接続 *sysid* (ネット名 *netname*) として知られている総称リソースと以前に通信しており、同期レベル (2) 作業は、*old-luname* で示される割り当て済みメンバーで交換されています。その時点から、*old-luname* とのアフィニティーは、リモート・システムでのアクションによって *new-luname* に変更されています。同期レベル (2) 作業の再同期は実行できません。

システムの処置: システムのアクションはとられません。しかし、後続のメッセージで、同期レベル (2) 作業での接続の使用を妨げた可能性がある、ログ名交換障害が示されている場合があります。あるいは、メッセージで、接続定義での XLN ACTION 設定の結果として、再同期作業がその後に CICS により消去されたことが示されている場合があります。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *old-luname*
7. *new-luname*

宛先: CSMT

DFHRS2156 *date time applid A logic error occurred during resynchronization with system sysid, netname netname.*

説明: CLS2 トランザクションが、ネット名 *netname* によって識別される接続済みパートナーのログ名交換または再同期処理していました。このネット名に関連付けられている接続項目は *sysid* であり、見つけられてロックされましたが、後続の処理ではアンロックできませんでした。これは CICS の内部論理エラーを示します。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

再同期を処理するトランザクションによって ASQK 異常終了が続いて発行され、トランザクション・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: この状態は、CICS テーブル・マネージャーのエラー (独自の例外トレース・レコードを生成した可能性があります)、または再同期プログラム自体のエラーを示しています。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*

宛先: CSMT

DFHRS2157 *date time applid A logic error has occurred during resynchronization with system sysid, netname netname.*

説明: CLS2 トランザクションはログ名交換を実行しており、CICS リカバリー・マネージャー・ドメインを呼び出すことによって、システム *sysid* (ネット名 *netname*) から受け取ったログ名を保管しようとししました。この操作は、リカバリー・マネージャー・ドメインまたは再同期プログラム内の CICS 内部エラーが原因で失敗しました。

システムの処置: トランザクションは終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。その後、異常終了 ASQI が出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*

宛先: CSMT

DFHRS2158 *date time applid A logic error has occurred during resynchronization with system sysid, netname netname.*

説明: CLS2 トランザクションは、ログ名交換またはシステム *sysid* (ネット名 *netname*) との再同期を実行していました。CICS 内部エラーによって操作が正常に完了しませんでした。

システムの処置: トランザクションは終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。その後、異常終了 ASQB が出される可能性があります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*

宛先: CSMT

DFHRTnnnn メッセージ

DFHRT0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを「z/OS MVS システム・コード」資料で調べてください。

次に、CICS 異常終了コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

code についての詳細は、トラブルシューティングおよびサポート を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRTSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHRT0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRTSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHRT4401 *time applid* No transaction identification specified. Please try again.

説明: 端末オペレーターは、このトランザクションの ID を入力していません。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なトランザクション ID を入力してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4402 *time applid* You cannot use a Program Function key to start transactions on other systems.

説明: プログラム・ファンクション・キーの使用により、経路指定トランザクション (CRTE) を用いて別のシステムでトランザクションを開始することはできません。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なトランザクション ID を入力してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4403 *time applid* The routing session to system *sysid* has been terminated. Further transactions will not be routed to the connected system.

説明: ルーティング・セッションが終了しました。後続のトランザクション ID は、接続されたシステムに送られません。

システムの処置: CICS 処理は、システム *sysid* への接続を行わずに続行されます。

ユーザーの処置: システム *sysid* を使用する必要がある場合には、ルーティング・セッションが終了した理由を調べてください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

**DFHRT4404 *time applid* Please change format of request to CRTE
SYSID=XXXX,TRPROF=YYYYYYYY.**

説明: ルーティング・トランザクション CRTE に対する要求に、誤った構文が含まれていました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 正しい構文を使用して、ルーティング・トランザクション CRTE に対する要求を入力し直してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4405 *time applid* System *sysid* cannot be found. Please check that you have used the correct system name.

説明: システム *sysid* が、CICS に対して定義されていません。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 正しいシステム名を使用したかどうかを検査してください。正しいシステム名を指定して要求を入力し直すか、または CICS に対してシステム *sysid* を定義してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4406 *time applid* **System sysid is released, back-level or is not in service.**

説明: システム *sysid* は解放されているか、バックレベルであるか、またはサービス状態にありません。

システムの処置: CICS 処理を続行します。ルーティング・セッションは、接続が利用不能になる前に確立されていた場合は、ユーザーが CANCEL を入力するまで有効なままです。その実行の前に接続が使用できるようになった場合は、トランザクションは再び経路指定されます。このメッセージが初期 CRTE コマンドに対する応答として出された場合は、有効なルーティング・セッションはなく、後続の端末入力についてはルーティングは試みられません。CRTE トランザクションで IPIC を使用している場合、パートナー・システムはこのルーティング・サービスをサポートしない CICS リリースを実行しています。

ユーザーの処置: MRO を使用している場合は、システム *sysid* が使用可能になるまで待ってください。既存のルーティング・セッションを終了するには、CANCEL を入力してください。IPIC を使用している場合は、CICS システムが、IPIC 接続を介したトランザクション・ルーティングがサポートされるリリース・レベルであることを確認してください。このサポートは、CTS 4.1 以上のレベルのシステムにあります。CICS システム間での MRO 接続のセットアップを検討してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4407 *time applid* **This system does not include support of Intersystem Communication.**

説明: このシステムは、システム間通信に対するサポートなしで生成されています。

システムの処置: CICS 処理は、システム間通信のサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: システム間通信をサポートするシステムを生成してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4408 *time applid* **Terminal termid is not of the type supported by routing transaction tranid.**

説明: ルーティング・トランザクションが、使用されている端末のタイプをサポートしていません。

システムの処置: CICS 処理は、端末 *termid* に対するサポートがないまま続行されます。

ユーザーの処置: ルーティング・トランザクションがサポートしているタイプの端末 (すなわち、3270 ディスプレイ端末またはコンソール) を使用してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4409 *time applid* **The routing session to system sysid has been started.**

説明: 経路指定セッションが開始されました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4410 *time applid* **System sysid is unavailable. The routing session to it is terminated.**

説明: システムが使用不能になったため、ルーティング・トランザクションが終了しました。後続のトランザクション ID は、接続されたシステムに送られません。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 適切であれば、システム *sysid* に対するルーティング・セッションが使用可能になったときに、トランザクションを再入力してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4411 *time applid* **The Communication Profile cannot be found.**

説明: このメッセージの宛先となる端末から呼び出されたトランザクションについて指定されたプロファイルが、CICS に対して定義されていません。

システムの処置: CICS は、トランザクションの初期設定を停止します。

ユーザーの処置: CICS に対して通信プロファイルを定義して、トランザクションの呼び出しをやり直してください。プロファイルの定義方法の詳細については、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4412 *time applid* **The transaction code is not defined on the remote system.**

説明: リモート CICS システムに経路指定されたトランザクション識別が、リモート・システムにおいてインストール済みトランザクション定義になっていません。CICS は、このメッセージをトランザクション識別が入力された端末に送ります。

このメッセージは、ローカル・システムの DFHAC2001 と類似しています。

システムの処置: CICS は、トランザクションの初期設定を停止します。

ユーザーの処置: 有効なトランザクション ID を入力するか、またはトランザクションをリモート・システムにインストールしてください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4413 *time applid* **The transaction has been disabled on the remote system.**

説明: リモート CICS システムへ経路指定されたトランザクションが、リモート・システムのインストール済みトランザクション定義で使用不可能になっています。CICS は、このメッセージをトランザクション識別が入力された端末に送ります。

このメッセージは、ローカル・システムの DFHAC2008 と類似しています。

システムの処置: CICS は、トランザクションの初期設定を停止します。

ユーザーの処置: リモート・システム上のトランザクションを使用可能にしてください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4414 *time applid* **Transaction tranid cannot run. CICS shutdown is in progress in the remote system.**

説明: トランザクション *tranid* が、静止されつつあったリモート CICS システムに経路指定されました。CICS は、このメッセージをトランザクション識別が入力された端末に送ります。

このメッセージは、ローカル・システムの DFHAC2007 と類似しています。

システムの処置: リモート CICS システムは、静止を続行します。

ユーザーの処置: リモート CICS システムが通常の実行モードのときに、トランザクションを再入力してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4415 *time applid* **Transaction CXRT was invoked directly by terminal input. This is not allowed.**

説明: 内部 CICS トランザクション用に予約されているトランザクション・コード CXRT が端末から入力されました。

システムの処置: トランザクションは実行されますが、何の結果も生じません。

ユーザーの処置: トランザクション・コード CXRT を端末から入力してはなりません。

モジュール: DFHCRT

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4416 *date time applid* **Abend abcode has occurred in the {Dynamic | Distributed} Routing Program. Module name: modname.**

説明: 動的ルーティング・プログラムまたは分散ルーティング・プログラムのいずれかが、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。

システムの処置:

1. トランザクション・ルーティング - 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。
2. 動的分散プログラム・リンク - PGMIDERR 条件が、Link コマンドを出したプログラムに返されます。
3. 非端末動的ルーティング開始要求 - 通常のトランザクション異常終了処理は、異常終了がタスク終了中に起きたのでない限り、続行します。この場合には、メッセージ DFHRT4423 が出されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

そのコードが CICS トランザクション異常終了コードでない場合には、それはユーザー異常終了コードです。この分野を担当するプログラマーに説明を求めてください。

DFHRT4417 • DFHRT4418

モジュール:

DFHAPRT、DFHEIIC、DFHEPC、DFHICXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *abcode*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 動的
2= 分散

6. *modname*

宛先: CSMT

DFHRT4417 *date time applid Abend abcode in*
modname - {Dynamic | Distributed}
routing program must be AMODE=31.

説明: CICS は、動的ルーティング・プログラムまたは分散ルーティング・プログラムのいずれかへのリンクに失敗しました。そのプログラムが AMODE 31 でないためです。

システムの処置:

1. トランザクション・ルーティング - 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。
2. 動的分散プログラム・リンク - PGMIDERR 条件が、Link コマンドを出したプログラムに返されます。
3. 非端末動的ルーティング開始要求 - 通常のトランザクション異常終了処理は、異常終了がタスク終了中に起きたのでない限り、続行します。この場合には、メッセージ DFHRT4423 が出されます。

ユーザーの処置: 動的ルーティング・プログラムを再コンパイルおよび再アセンブルして、AMODE 31 にリンク・エディットしてください。

モジュール:

DFHAPRT、DFHEIIC、DFHEPC、DFHICXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *abcode*

5. *modname*

6. 以下のオプションから選択される値。

1= 動的
2= 分散

宛先: CSMT

DFHRT4418 *date time applid Abend abcode in*
modname - {Dynamic | Distributed}
routing program resource definition
not found.

説明: CICS は、動的ルーティング・プログラムまたは分散ルーティング・プログラムのいずれかの PROGRAM リソース定義を見つけることができませんでした。

システムの処置:

1. トランザクション・ルーティング - 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。
2. 動的分散プログラム・リンク - PGMIDERR 条件が、Link コマンドを出したプログラムに返されます。
3. 非端末動的ルーティング開始要求 - 通常のトランザクション異常終了処理は、異常終了がタスク終了中に起きたのでない限り、続行します。この場合には、メッセージ DFHRT4423 が出されます。

ユーザーの処置: 以下のいずれかであることを確認してください。

1. システム初期設定パラメーター DTRPGM=*program name*、または EXEC CICS SET SYSTEM DTRPROGRAM(*program name*) のいずれかによって指定された動的ルーティング・プログラムが、CICS に対して正しく定義されている。
2. システム初期設定パラメーター DSRTPGM=*program name*、または EXEC CICS SET SYSTEM DSRTPROGRAM(*program name*) のいずれかによって指定された分散ルーティング・プログラムが、CICS に対して正しく定義されている。

モジュール:

DFHAPRT、DFHEIIC、DFHEPC、DFHICXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *abcode*
5. *modname*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 動的
2= 分散

宛先: CSMT

DFHRT4419 *date time applid Abend abcode in
modname - Fetch for {dynamic |
distributed} routing program failed.*

説明: CICS は動的ルーティング・プログラムまたは分散ルーティング・プログラムのいずれかをロードできませんでした。

システムの処置:

1.
トランザクション・ルーティング - 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。
2.
動的分散プログラム・リンク - PG MIDERR 条件が、Link コマンドを出したプログラムに返されます。
3.
非端末動的ルーティング開始要求 - 通常のトランザクション異常終了処理は、異常終了がタスク終了中に起きたのでない限り、続行します。この場合には、メッセージ DFHRT4423 が出されます。

ユーザーの処置: 以下のいずれかであることを確認してください。

1.
システム初期設定パラメーター DTRPGM=*program name*、または EXEC CICS SET SYSTEM DTRPROGRAM(*program name*) のいずれかによって指定された動的ルーティング・プログラムが正しく定義されている。さらに、CICS がアクセスできるロード・ライブラリーに、動的経路指定プログラムが入っていることを確認してください。
2.
システム初期設定パラメーター DSRTPGM=*program name*、または EXEC CICS SET SYSTEM DSRTPROGRAM(*program name*) のいずれかによって指定された分散ルーティング・プログラムが正しく定義されている。さらに、CICS がアクセスでき

るロード・ライブラリーに、動的経路指定プログラムが入っていることを確認してください。

モジュール:

DFHAPRT、DFHEIIC、DFHEPC、DFHICXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *abcode*
5. *modname*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 動的
2= 分散

宛先: CSMT

DFHRT4420 *date time applid Abend abcode in
modname - Link to the {dynamic |
distributed} routing program failed.*

説明: 動的ルーティング・プログラムへのリンクから予期しない戻りコードが戻されました。

システムの処置:

1.
トランザクション・ルーティング - 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。
2.
動的分散プログラム・リンク - PG MIDERR 条件が、Link コマンドを出したプログラムに返されます。
3.
非端末動的ルーティング開始要求 - 通常のトランザクション異常終了処理は、異常終了がタスク終了中に起きたのでない限り、続行します。この場合には、メッセージ DFHRT4423 が出されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHAPRT、DFHEIIC、DFHEPC、DFHICXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *abcode*
5. *modname*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 動的
2= 分散

宛先: CSMT

DFHRT4421 *date time applid* **Unable to Delete remote Terminal *termid* that is connected to system *sysid*.**

説明: *termid* のリモート端末定義、システム *sysid* に削除のフラグが付けられましたが、DELETE が失敗したため、トランザクションを開始できませんでした。これは、端末上でトランザクションがループしていることを示している場合があります。

システムの処置: ユーザー・トランザクションが異常終了し、異常終了コード AZTI が出されます。

ユーザーの処置: 詳細については、関連した DFHZCxxxx メッセージを参照してください。訂正すれば、トランザクションを再び実行することができません。

モジュール: DFHZTSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *sysid*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRT4422 *time applid* **The connection to system *sysid* does not support transaction routing. Please check that you have used the correct system name.**

説明: システム *sysid* への接続は、MRO 接続でも APPC 接続でもありません。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 正しいシステム名を使用したかどうかを検査してください。正しいシステム名を指定して要求を再入力するか、MRO 接続または APPC 接続としてシステム *sysid* への接続を定義してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4423 *date time applid* **An error has occurred while attempting to invoke the distributed routing program.**

説明: 非端末開始要求に対して分散ルーティング・プログラムを呼び出そうとしたときにエラーが検出されました。このエラーは、通常はトランザクション異常終了になりますが、この場合は異常終了は出されません。そのようにするとタスクが無期限に中断されることになるためです。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、先行の DFHRTxxxx メッセージを参照してください。

モジュール: DFHICXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRT4424 *time applid* **Use of EDF is not supported with IPIC communication to system *sysid*.** ルーティング・セッションは活動状態のままです。ルーティング・セッションを終了するにはCANCELと入力してください。

説明: 示されたシステムへのトランザクション・ルーティングで EDF を使用しようとしたましたが、そのシステムに対して IPIC 通信が使用されています。システム *sysid* への IPIC 通信での EDF の使用はサポートされていません。示されたシステムは、IPIC 通信での EDF の使用をサポートしない CICS リリースを実行しています。

システムの処置: CICS 処理を続行します。CRTE ルーティング・セッションが確立されていた場合は、ユーザーが CANCEL を入力するまで有効な状態のままです。

ユーザーの処置: CICS システム間での MRO 接続または ISC 接続のセットアップを検討してください。または示されているシステムにローカル接続される端末から EDF を使用してください。

モジュール: DFHRTE

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRT4480 *time applid* The CSSF transaction is no longer supported. Please use CESF.

説明: ユーザーが CSSF トランザクションの実行を試みました。CSSF トランザクションは、CRTE 取り消し処理のために CICS によってのみ内部的に呼び出されます。

システムの処置: トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: CESF トランザクションを使用してサインオフしてください。

モジュール: DFHRTC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHRUnnnn メッセージ

DFHRU2816 *applid* Exit program *progrname* is not available

説明: ユーザー定義のグローバル出口プログラム *progrname* は、以下のいずれかの状態です。

- 未定義である。
- 使用不可である。
- プログラム・ライブラリーから欠落している。

システムの処置: CICS は、リカバリー管理再始動タス

クを異常終了させ、トランザクション異常終了コード ARCB が出されます。そして、CICS が異常終了します。

ユーザーの処置: プログラム *progrname* を使用可能にしてください。

モジュール: DFHRCEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progrname*

宛先: コンソール

DFHRXnnnn メッセージ

DFHRX0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることがで

きます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することでもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRXDM

DFHRX0002 • DFHRX0102

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHRX0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

1462 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

宛先: コンソール

DFHRX0100I *applid* RX domain initialization has started.

説明: これは、RX ドメイン初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRX0101I *applid* RX domain initialization has ended.

説明: RX ドメインの初期設定は正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRX0102 *applid* Errors were encountered during initialization of the RX domain. Domain initialization has ended.

説明: CICS 初期設定中に、リソース・リカバリー・サービス (RX) ドメインによってエラーが検出されました。一緒に出されるメッセージがエラーの性質について説明しています。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: リソース・リカバリー・サービスに依存するサービスを CICS システムが使用しない場合は、処置は必要ありません。使用している場合は、CICS をシャットダウンし、前のメッセージで特定された問題が訂正されてから再始動する必要があります。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRX0103 *applid* 予期しない戻りコード *X'rc'* を **RRMS** サービス *xxxxxxx* から受信しました。

説明: CICS がリカバリー可能リソース管理サービス (RRMS) への要求を発行したときに、予期しない戻りコードを受信しました。メッセージに含まれている RRMS サービスの名前は、以下のように RRMS のコンポーネントを示しています。

CRGxxxx

登録サービス

CTXxxxx

コンテキスト・サービス

ATRxxxx

リソース・リカバリー・サービス (RRS)

このメッセージは RRMS の問題を示している可能性があります。

システムの処置: CICS は続行しますが、サービスおよび戻りコードによっては、RRMS に依存する CICS サービスが使用できない場合があります。後続のメッセージで詳細情報が提供されます。

ユーザーの処置: RRMS サービスの名前と戻りコードを記録してください。RRMS 戻りコードは、「z/OS MVS プログラミング: リソース・リカバリー」に記載されています。

この情報から問題の原因を判別できないときには、IBM からのサポートが必要な場合があります。これに対する処置については、「トラブルシューティングおよびサポート」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHRXDM、DFHRXUW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *X'rc'*

3. *xxxxxxx*

宛先: コンソール

DFHRX0104I *applid* リソース・リカバリー・サービス (**RRS**) 出口ルーチン・マネージャー *aaaaaaaaaaaaaaaa* が使用可能になりました。

説明: このメッセージは、リソース・リカバリー・サー

ビス (RRS) 出口ルーチン・マネージャーが使用可能であることを CICS が検出したときに出されます。挿入部 *aaaaaaaaaaaaaaaa* は、出口ルーチン・マネージャーの名前です。

システムの処置: CICS は、RRS での再始動処理を開始します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター *MSGVL=0* で抑止することができます。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *aaaaaaaaaaaaaaaa*

宛先: コンソール

DFHRX0105I *applid* リソース・リカバリー・サービス (**RRS**) 出口ルーチン・マネージャー *aaaaaaaaaaaaaaaa* が使用不可になりました。

説明: このメッセージは、リソース・リカバリー・サービス (RRS) 出口ルーチン・マネージャーが使用不可であることを CICS が検出したときに出されます。挿入部 *aaaaaaaaaaaaaaaa* は、出口ルーチン・マネージャーの名前です。更新を調整するために RRS を使用するトランザクションは正常に実行できません。

システムの処置: CICS を続行します。出口ルーチン・マネージャーが再度使用可能になったときにメッセージ DFHRX0104 が発行されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター *MSGVL=0* で抑止することができます。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *aaaaaaaaaaaaaaaa*

宛先: コンソール

DFHRX0106I *applid* Restart processing with Resource Recovery Services (RRS) is beginning.

説明: このメッセージは、CICS がリソース・リカバリー・サービス (RRS) での再始動処理を開始したときに出されます。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム

DFHRX0107I • DFHRX0110

初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRX0107I *applid* Restart processing with Resource Recovery Services (RRS) has ended.

説明: このメッセージは、リソース・リカバリー・サービス (RRS) での再始動処理が終了したときに発行されます。RRS が再始動処理中に使用不可になった場合 (メッセージ DFHRX0105 により示される)、再始動処理は完了していない可能性があります。

システムの処置: CICS を続行します。RRS が使用不可になった場合、CICS は RRS が再度使用可能になったときに再始動処理を再開します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRX0108 *date time applid* Log name mismatch with Resource Recovery Services. Expected Log name *logname*. Received Log name *logname*.

説明: リソース・リカバリー・サービス (RRS) 再始動時に実行された、RRS を使用したログ名の交換中に、このシステム・メモリーの RRS ログ名が、RRS から取得されたログ名と一致しませんでした。RRS はコールド・スタートを実行した可能性があります。

システムの処置: CICS の実行は続行されます。RRS との再同期を待機している作業単位は、自動的に解決されません。

ユーザーの処置: 関連する作業単位は、CEMT SET UOW を使用して解決することが必要な場合があります。このメッセージは繰り返し発行されることはありません。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *logname*

5. *logname*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHRX0109 *date time applid* Invalid pass token received on connection *sysid* session *termid*.

説明: 拡張外部 CICS インターフェース (EXCI) を使用するバッチ・プログラムが、SYNCONRETURN オプションが含まれていない DPL 要求を発行しました。ただし、バッチ領域から受け取ったパス・トークンの値は、バッチ領域のリカバリー可能リソース管理サービス (RRMS) に存在するパス・トークンの値と一致していません。

システムの処置: DFHRXUW は、コンソール・メッセージ DFHRX0002 と、場合によっては (ダンプ・テール内のオプションに応じて) システム・ダンプを提供します。トランザクション DPL 要求は処理されず、要求を発行したバッチ・ジョブはタイムアウトになるまで中断される可能性があります。

ユーザーの処置: パス・トークンが誤っていた理由を調べてください。無許可ユーザーが、RRMS リカバリー単位に参与を示す作業単位の結果に影響を与えるために、パス・トークンの値を推測しようとした可能性があります。

パス・トークンに干渉する試行はなかったと確信している場合は、IBM からのサポートがさらに必要となることがあります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRXUW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *sysid*

5. *termid*

宛先: CISC およびコンソール

DFHRX0110 *applid* リソース・リカバリー・サービス (RRS) での再始動処理が、誤ったシステム上で試行されました。

説明: リソース・リカバリー・サービス (RRS) は、シスプレックス内の別のシステム上にこの CICS アプリケーション ID に関連付けられた未完了リカバリー可能作

業があるため、再始動処理の開始要求を拒否しました。

システムの処置: CICS の実行は続行しますが、RRS に依存する CICS サービスは問題が訂正されるまで使用できません。

ユーザーの処置: RRS に依存するサービスを CICS システムが使用しない場合は、処置は必要ありません。使用している場合は、CICS をクローズして、シスプレックス内の正しいシステムで再始動してください。RRS ISPF パネルを使用して、CICS を再始動する正しいシステムを見つけるために、RRS リソース・マネージャーのデータ・ログをスキャンしてください。

何らかの理由でシスプレックス内の別のシステム上で CICS の再始動ができない場合は、以下の手順を実行できます。ただし、これを実行すると、リソースが同期しなくなる可能性があります。

1. RRS リカバリー単位リスト・パネルを使用して、未完了のリカバリー可能作業を強制的に完了させます。
2. CICS または RRS を再始動します。
3. RRS からの解決を待っている CICS 作業単位を強制的に完了させます。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHRX0111 *applid* Resource Recovery Services (RRS) has lost logged data. Resynchronization information may be missing.

DFHRZnnnn メッセージ

DFHRZ0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。

説明: ログから再同期情報をリカバリーしようとしているときに、リソース・リカバリー・サービス (RRS) が、一部のデータが欠落していることを検出しました。これは、RRS ログ・ストリームに問題があることが原因です。

システムの処置: RRS を使用した CICS 再始動処理は続行しますが、RRS は、すべての未確定作業単位に対する決定を提供できない可能性があります。この場合、対応するトランザクション定義内の ACTION 属性に従って、ローカル・リソースの更新はコミットまたはバックアウトされます。

リカバリー・マネージャー・ドメインは、影響を受ける各作業単位に対して、結果を示す以下のいずれかのメッセージを発行します。

DFHRM0112

DFHRM0113

ユーザーの処置: リカバリー・マネージャー・メッセージで提供された情報を使用して、必要な処置を決定してください。ローカル・システムとリモート・システムのリソースを再同期するためのステップを実行することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHRXDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

- ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックがあった。

コード *aaa* は、該当する場合、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コードです (例えば、0C1 または D37)。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁コード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトのいずれかによって作成されたユーザー異常終了コードです。

X'offset' に値 X'FFFF' が入っている場合には、異常終了時にモジュール *modname* に制御があったことを意味しますが、プログラム状況ワード (PSW) はこのモジュールをアドレッシングしていませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS コード *aaa* がある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

modname 挿入部に値 '????' が入っている場合には、どのモジュールが異常終了したのか CICS が判別できなかったことを意味します。この場合、システム・ダンプを調べて、コードのどの部分がプログラム・チェックを発生させたのかを判別してください。

ユーザーは他のメッセージを調べて、このメッセージを出したモジュールが異常終了発生時に何をしていたかを判別してください。これらのメッセージから、どのプロダクトが異常終了コード *bbbb* を出したのかを論理的に推測することができます。*bbbb* が CICS コードとして識別された場合には、英数字または数値のいずれかになります。

- CICS コードが英数字 (例えば AKEA) の場合には、CICS トランザクション異常終了コードを表している。
- CICS コードが数値 (たとえば、1310) の場合には、CICS メッセージを表している (たとえば、DFHTS1310)。

ユーザー異常終了コードが別のプロダクトからのコード (例えば、IMS) である場合には、該当するメッセージおよびコードの資料を参照して、異常終了の原因を判別してください。

該当する資料の各項目は、ユーザーにエラーの性質に関する手引きを提供します。さらに、適切なユーザー処置に関する手引きについても提供することがあります。

注: ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックが発生した可能性があります。この場合には、通常、プログラム・チェックの次に ASRA トランザクション異常終了または ASRB トランザクション異常終了が続き、さらにトランザクション・ダンプが作成されます。

ASRA 異常終了および ASRB 異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、CEMT コマンドまたは EXEC CICS コマンドを使用して、ダンプ・テーブル内の項目にこれを指定する必要があります。システム・ダンプの抑止についての詳細は、「構成」で説明されています。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRZxx

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. X'offset'
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHRZ0002 APPLID A severe error (code X'code') has occurred in module module.

説明: RZ ドメインが、CICS の他の部分から予期しないエラー応答を受け取りました。リカバリー・マネージャーが要求した操作は、コード X'code' で記述されています。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1. 他の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2. 症状ストリングを調べる。
- 3.

ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHRZRT1, DFHRZRT2, DFHRZDM, DFHRZRM, DFHRZRG2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *X'code'*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHRZ0201 *date time applid* **The call to invoke the Distributed Routing Program, *program*, has failed. The program was not defined.**

説明: DSRTPGM SIT パラメーターで識別された分散ルーティング・プログラムへのリンクを試行したときにエラーが発生しました。

システムの処置: 障害のタイプによっては、ARZU ダンプが作成される場合があります。

ユーザーの処置: 分散ルーティング・プログラムがシステムで使用可能であることを確認してください。これはプログラム・マネージャーに対して定義する必要があります。あるいは、SET SYSTEM DSRTPROGRAM を使用して、または CEMT から、新規分散ルーティング・プログラムの名前を付けてください。

モジュール: DFHRZRT2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*

宛先: CSSH

DFHRZ0202 *date time applid* **The Distributed Routing Program, *program*, has returned a bad response.**

説明: DSRTPGM SIT パラメーターによって識別される分散ルーティング・プログラムが、正常でない応答を返しました。要求は処理されません。

システムの処置: ダンプはとられません。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHRZRT2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*

宛先: CSSH

DFHRZ0203 *date time applid* **The call to invoke the Distributed Routing Program, *program*, has failed. The Distributed Routing Program has abnormally terminated with abend Code *abcode*.**

説明: 分散ルーティング・プログラムは、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。

システムの処置:

1.
 - トランザクション・ルーティング - 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。
2.
 - 動的分散プログラム・リンク - 異常終了条件が呼び出し側プログラムに返されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

そのコードが CICS トランザクション異常終了コードでない場合には、それはユーザー異常終了コードです。この分野を担当するプログラマーに説明を求めてください。

モジュール: DFHRZRT2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*
5. *abcode*

宛先: CSSH

DFHRZ0204 *date time applid* **The call to invoke the Distributed Routing Program, *program*, has failed due to an invalid AMODE.**

説明: DSRTPGM SIT パラメーターで識別された分散ルーティング・プログラムへのリンクを試行したときに

エラーが発生しました。プログラムに無効な AMODE が指定されています。

システムの処置: ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 分散ルーティング・プログラム定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHRZRT2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*

宛先: CSSH

DFHRZ0205 *date time applid* **The call to invoke the Distributed Routing Program, program, has failed.** プログラムがロード可能ではありませんでした。

説明: DSRTPGM SIT パラメーターで識別された分散ルーティング・プログラムへのリンクを試行したときにエラーが発生しました。

DFHSHnnnn メッセージ

DFHSH0001 *applid* **An abend (code code) has occurred at offset X'offset' in module module.**

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了が発生して、異常終了コード *aaa/bbbb* が出されました。

プログラム・チェック時のプログラム状況ワード (PSW) または異常終了は、CICS がモジュール *modname* 内のオフセット X'offset' で実行していたことを示しています。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊により引き起こされた可能性があります。

システムの処置: ダンプ・テーブルの項目で指示しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供したシステム・ダンプおよび前に出力されたすべての診断情報を使用して、プログラム・チェックまたは異常終了の原因を調べてください。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM と

システムの処置: 障害のタイプによっては、ARZU ダンプが作成される場合があります。

ユーザーの処置: 分散ルーティング・プログラムがシステムで使用可能であることを確認してください。これはプログラム・マネージャーに対して定義する必要があり、DFHRPL ライブラリー連結内に存在している必要があります。あるいは、SET SYSTEM DSRTPROGRAM を使用して、または CEMT から、新規分散ルーティング・プログラムの名前を付けてください。

モジュール: DFHRZRT2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*

宛先: CSSH

の協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSHRT1, DFHSHRT2, DFHSHDM, DFHSHPR, DFHSHRQ, DFHSHSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *code*
3. X'offset'
4. *module*

宛先: コンソール

DFHSH0002 *APPLID* **A severe error (code X'code') has occurred in module module.**

説明: SH ドメインが、CICS の他の部分から予期しないエラー応答を受け取りました。リカバリー・マネージャーが要求した操作は、コード X'code' で記述されています。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1. 他の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2. 症状ストリングを調べる。
3. ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSHRT1, DFHSHRT2, DFHSHDM, DFHSHPR, DFHSHSY, DFHSHRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *X'code'*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHSH0101 *date time applid* **The call to invoke the Distributed Routing Program, program, has failed. DFHSH0105を参照してください。**

説明: DSRTPGM SIT パラメーターで識別された分散ルーティング・プログラムへのリンクを試行したときにエラーが発生しました。

システムの処置: 障害のタイプによっては、ASHU ダンプが作成される場合があります。

ユーザーの処置: 分散ルーティング・プログラムがシステムで使用可能であることを確認してください。これはプログラム・マネージャーに対して定義する必要があります。あるいは、SET SYSTEM DSRTPROGRAM を使用して、または CEMT から、新規分散ルーティング・プログラムの名前を付けてください。

モジュール: DFHSHRT2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *program*

宛先: CSSH

DFHSH0102 *date time applid* **The Distributed Routing Program, program, has returned a bad response. 以下のメッセージDFHSH0105を参照してください。**

説明: DSRTPGM SIT パラメーターによって識別される分散ルーティング・プログラムが、正常でない応答を返しました。要求は即時に処理されない可能性があります。

システムの処置: ダンプはとられません。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHSHRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*

宛先: CSSH

DFHSH0103 *date time applid* **The call to invoke the Distributed Routing Program, program, has failed. The Distributed Routing Program has abnormally terminated with abend Code abcode.**

説明: 分散ルーティング・プログラムは、異常終了コード *abcode* で異常終了しました。

システムの処置:

1. トランザクション・ルーティング - 通常のトランザクション異常終了処理が続行されます。
2. 動的分散プログラム・リンク - 異常終了条件が呼び出し側プログラムに返されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了コード *abcode* の説明を参照してください。

そのコードが CICS トランザクション異常終了コードでない場合には、それはユーザー異常終了コードです。この分野を担当するプログラマーに説明を求めてください。

モジュール: DFHSHRT2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *program*
5. *abcode*

宛先: CSSH

DFHSH0104 *date time applid* **The call to invoke the Distributed Routing Program, *program*, has failed due to an invalid AMODE.**

説明: DSRTPGM SIT パラメーターで識別された分散ルーティング・プログラムへのリンクを試行したときにエラーが発生しました。プログラムに無効な AMODE が指定されています。

システムの処置: ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 分散ルーティング・プログラム定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHSHRT2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*

宛先: CSSH

DFHSH0105 *date time applid* **Request (Id: *requestid*, Processtype: *processtype*, Processname: *processname*, Activityname: *activityname*, Transaction: *tranid*) cannot be serviced. It will be retried every minute and will be purged after 24 hours if not serviced then.**

説明: 要求を即時に処理できません。これは、DSRTPGM SIT パラメーターによって識別される分散ルーティング・プログラムが、要求を経路指定できないことを示す応答を返したか、または要求をローカルで処理することを試行中に一時エラーが発生したかのいずれかが原因です。

要求は、要求 ID *id* (ローカル要求キュー・データ・セット (DFHLRQ) の要求のキー)、プロセス・タイプ *processtype*、プロセス名 *processname*、アクティビティ名 *activityname*、およびトランザクション ID *tranid* によって識別されます。

システムの処置: ダンプはとられません。要求は処理不能とマークされ、処理されるか 24 時間が経過するまで毎分再試行されます (24 時間が経過すると要求は消去され、メッセージ DFHSH0107 が発行されます)。

要求が処理できない間は、メッセージ DFHSH0106 が 1 時間ごとに出版されます。要求が正常に処理された場合は、メッセージ DFHSH0108 が出版されます。

ユーザーの処置: 要求を処理できない理由を調べてください。以下のいずれかが原因である場合があります。

- ローカル要求キューが使用不可である。
- 要求が、使用不可のリソース (アクティビティまたはプロセス) を参照している。
- 要求の経路指定先のシステムがダウンしているか、またはリンクがダウンしている。
- 分散ルーティング・プログラムに障害が発生しているか、または分散ルーティング・プログラムから無効なターゲット・システムが返される。

モジュール: DFHSHRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *requestid*
5. *processtype*
6. *processname*
7. *activityname*
8. *tranid*

宛先: CSSH およびコンソール

DFHSH0106 *date time applid* **Request (Id: *requestid*, Processtype: *processtype*, Processname: *processname*, Activityname: *activityname*, Transaction: *tranid*) still cannot be serviced. It will be retried every minute and will be purged after *hours* hours if not serviced successfully.**

説明: メッセージ DFHSH0105 に続いて、要求を正常に処理できない間、このメッセージが 1 時間ごとに発行されます。

要求は、要求 ID *requestid* (ローカル要求キュー・データ・セット (DFHLRQ) の要求のキー)、プロセス・タイプ *processtype*、プロセス名 *processname*、アクティビティ名 *activityname*、およびトランザクション ID *tranid* によって識別されます。

システムの処置: ダンプはとられません。要求は正常に

処理されるまで、またはメッセージ DFHSH0105 が発行されてから 24 時間が経過するまで、毎分再試行されます (24 時間が経過すると要求は消去され、メッセージ DFHSH0107 が発行されます)。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSH0105 を参照してください。

モジュール: DFHSHRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *requestid*
5. *processtype*
6. *processname*
7. *activityname*
8. *tranid*
9. *hours*

宛先: CSSH およびコンソール

DFHSH0107 *date time applid Request (Id: requestid, Processtype: processtype, Processname: processname, Activityname: activityname, Transaction: tranid) has remained unserviceable for 24 hours and has now been purged.*

説明: 要求は 24 時間に渡って処理不能であったため、消去されました。このメッセージの前に、メッセージ DFHSH0105 が出され、さらにメッセージ DFHSH0106 が複数回出されます。

要求は、要求 ID *requestid* (ローカル要求キュー・データ・セット (DFHLRQ) の要求のキー)、プロセス・タイプ *processtype*、プロセス名 *processname*、アクティビティ名 *activityname*、およびトランザクション ID *tranid* によって識別されます。

システムの処置: ダンプはとられません。要求は削除されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSH0105 を参照してください。

モジュール: DFHSHRQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *requestid*

5. *processtype*
6. *processname*
7. *activityname*
8. *tranid*

宛先: CSSH およびコンソール

DFHSH0108 *date time applid Previously unserviceable request (Id: requestid, Processtype: processtype, Processname: processname, Activityname: activityname, Transaction: tranid) has now been successfully serviced.*

説明: 以前は処理不能であった要求が、現在は正常に処理されました。このメッセージの前に、メッセージ DFHSH0105 が出され、さらに場合によってはメッセージ DFHSH0106 が 1 回以上出されます。

要求は、要求 ID *requestid* (ローカル要求キュー・データ・セット (DFHLRQ) の要求のキー)、プロセス・タイプ *processtype*、プロセス名 *processname*、アクティビティ名 *activityname*、およびトランザクション ID *tranid* によって識別されます。

システムの処置: ダンプはとられません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSHRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *requestid*
5. *processtype*
6. *processname*
7. *activityname*
8. *tranid*

宛先: CSSH およびコンソール

DFHSH0109 *date time applid An error has occurred when attempting to access the Local Request Queue data set (DFHLRQ). {The file could not be found. | The file was closed. | The file was disabled. | There was insufficient space. | An I/O error occurred. | The data set is being copied.} The Local Request Queue is now unavailable.*

説明: ローカル要求キュー・データ・セット

DFHSH0110 • DFHSH0111

(DFHLRQ) にアクセスしようとして、以下のいずれかのエラーが検出されました。

- ファイルが見つかりませんでした。
- ファイルがクローズしていました。
- ファイルが使用可能ではありませんでした。
- スペースが十分にありませんでした。
- 入出力エラーが発生しました。
- データ・セットがコピーされています。

システムの処置: ローカル要求キューは使用不可になります。次に CICS は、データ・セットへのアクセスを毎分試行します。成功すると、データ・セットが使用可能になったことを示すメッセージ DFHSH0110 が出されます。

ユーザーの処置: ローカル要求キューが使用不可になる原因となったエラーを調べてください。

モジュール: DFHSHRE、DFHSHRQ、DFHSHSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

- 1= ファイルが見つかりませんでした
2= ファイルがクローズしていました
3= ファイルが使用可能ではありませんでした
4= スペースが十分にありませんでした
5= 入出力エラーが発生しました
6= データ・セットはコピー中です

宛先: CSSH およびコンソール

DFHSH0110 *date time applid* **The Local Request Queue data set (DFHLRQ) is now available.**

説明: 以前は使用不可であったローカル要求キュー・データ・セット (DFHLRQ) は、現在使用可能です。メッセージ DFHSH0109 を参照してください。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSHSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSSH およびコンソール

DFHSH0111 *date time applid tranid trannum userid* **An error has occurred in Scheduler Services during the prepare phase of syncpoint.**

説明: スケジューラー・サービス・ドメインは、同期点の準備フェーズ中にエラーを検出しました。

システムの処置: スケジューラー・サービスは、リカバリー・マネージャーに NO の応答を返します。トランザクションは ASP7 異常終了コードで異常終了します。

ユーザーの処置: エラーの原因を示す可能性がある他のスケジューラー・サービス・メッセージについて確認してください。例えば、メッセージ DFHSH0109 は、ローカル要求キューの問題を示しています。

モジュール: DFHSHRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *userid*

宛先: CSSH およびコンソール

DFHSInnnn メッセージ

DFHSI0914I *applid* Unable to initiate transaction CSFU. Files will not be opened at initialization.

説明: モジュール DFHSIJ1 は、トランザクション CSFU を開始することができませんでした。DFHIC TYPE=INITIATE マクロの実行に失敗しました。CSFU がインストール済みトランザクション定義でないか、もしくは DFHFCU がインストール済みプログラム定義でないためです。

システムの処置: CICS は、初期設定時にいかなるファイルもオープンしません。ファイルが初期設定時にオープンされるように定義されている場合は、CICS は最初の参照時にファイルをオープンします。

ユーザーの処置: トランザクション CSFU とプログラム DFHFCU を実行できるようにしてください。DFHLIST のグループ DFHOPCLS には、ファイルのオープンとクローズ (初期設定時だけでなく動的にも) に必要なすべての定義が入っています。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1250 *applid* VSAM error processing SHOWCAT for intrapartition data set dsetname R15=xxxx.

説明: 区画内データ・セット *dsetname* の SHOWCAT 処理中に、VSAM がエラーを検出し、戻りコード *xxxx* を出しました。

システムの処置: CICS は、ダンプを作成して、異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 「z/OS DFSMSStvs Administration Guide」で戻りコードを調べて、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSID1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dsetname*

3. *xxxx*

宛先: コンソール

DFHSI1499 *applid* Unable to acquire special storage.

説明: CICS 初期設定の一環として、取り出し保護サブプールからストレージの領域の獲得が試みられます。この試みが失敗しました。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、ユーザーのオペレーティング・システムに重大な問題があることを示しています。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSIB1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1500 *applid* element startup is in progress for CICS Transaction Server Version *version*

説明: これは、*element* のスタートアップが進行中であることを示す通知メッセージです。

Element は、CICS トランザクション・サーバー・バージョン *version* の一部です。

Element = CICS バージョン = 1.3.0

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは抑止できません。

モジュール: DFHAPSIP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *element*

3. *version*

宛先: コンソール

DFHSI1501I *applid* Loading CICS nucleus.

説明: これは、CICS の中核がロードされていることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

DFHSI1502I • DFHSI1519I

モジュール: DFHSIB1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1502I *applid* **CICS startup is {Cold | Warm | Emergency | Initial}.**

説明: CICS の初期設定時に再始動のタイプが判別され、そのタイプがこのメッセージによってオペレーターに伝えられます。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIC1、DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= コールド
2= ウォーム
3= 緊急
4= 初期

宛先: コンソール

DFHSI1503I *applid* **Terminal data sets are being opened.**

説明: これは、端末データ・セットがオープンされていることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1506 *applid* **Unable to OPEN the global catalog.**

説明: 初期設定時に、CICS はグローバル・カタログ DFHGCD データ・セットに対して OPEN を出しましたが、OPEN は失敗しました。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: OPEN の障害の理由については、前に出された VSAM メッセージを調べてください。

1474 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

START=AUTO を指定する場合、またはジャーナル・サポート付きシステムを定義する場合には、JCL でグローバル・カタログ・データ・セットを与えなければならないことに注意してください。

モジュール: DFHSIC1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1511I *applid* **Installing group list grplist.**

説明: グループ・リスト *grplist* がインストールされようとしています。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAMPIL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *grplist*

宛先: コンソール

DFHSI1517 *applid* **Control is being given to CICS.**

説明: 制御が CICS に与えられようとしていることを示す通知メッセージです。

applid は、このメッセージを出す CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1519I *applid* **XCF グループ *xcfgroup* で領域間通信セッションが正常に開始されました。**

説明: これは、領域間通信 (IRC) セッションが正常に開始され、特定の xcf グループのメンバーであることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *xcfgroup*

宛先: コンソール

DFHSI1521 *applid CICS unable to continue for reasons given above.*

説明: 1 つまたは複数の重大なエラーがあるために、CICS の初期設定を続行することができません。このメッセージの前に、エラーを記述する 1 つまたは複数のメッセージが出されています。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 問題の判別とそれらの解決方法についての手引きは、このメッセージの前に出されたいずれかのメッセージを参照してください。エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSII1、DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1522D *applid Restart errors reported above. Reply GO or CANCEL.*

説明: このメッセージの前に、1 つまたは複数のエラー・メッセージが出されています。CICS は低下モードでのみ初期設定を続行することができます。

システムの処置: このメッセージに対する応答に応じて CICS は、終了するかまたは低下モードで初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 報告されたエラーとそれらの影響を考慮して、CICS を低下モードで続行させるかどうかを判断してください。続行させる場合には、「GO」と応答してください。それ以外の場合には、「CANCEL」と応答してください。エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. GO
3. CANCEL

宛先: コンソール

DFHSI1530 *applid Purge of non-executable ATI request inoperative.*

説明: CICS は、自動トランザクション開始 (ATI) 除去遅延間隔よりも長い時間受け入れられなかった ATI 要求をシステムから削除する CRSQ タスクを、開始することができません。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: ATI の除去が必要な場合には、次の CICS の初期設定時に CRSQ タスクが使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1531 *applid Terminal control incompatibility. macro VTAM return code: retcode error code: errcode (modname: DFHZRPL).*

説明: CICS が端末管理の初期設定時に矛盾を見つけました。macro は、失敗した VTAM マクロの名前です。retcode は、レジスター 15 内の VTAM 16 進戻りコードです。errcode には、レジスター 0 の内容が含まれ、この内容は、関連する 16 進数のエラー・コードです。VTAM 戻りコード retcode および VTAM エラー・コード errcode の詳細な説明については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」資料を参照してください。

この矛盾は、(おそらくデフォルトにより) VTAM=YES が SIT に指定されているものの、VTAM マクロの GENCB および SHOWCB を使用できないことが原因と考えられます。

システムの処置: このメッセージを出した後、システム・ダンプが作成され、CICS システム初期設定が異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この VTAM 戻りコードとエラー・コードを使用して、VTAM マクロ macro 内での失敗の原因を判別してください。「z/OS Communications Server: SNA Programming」資料を使用してエラーを訂正し、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHZRPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *macro*

DFHSI1533 • DFHSI1537D

3. *retcode*

4. *errcode*

宛先: コンソール

DFHSI1533 *applid modname loaded at X'address'.*

説明: これは、CICS がアドレス *address* においてモジュール *modname* をロードしたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHAPSIP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *modname*

3. *address*

宛先: コンソール

DFHSI1534 *applid Unable to link to program DFHAMP - GRPLIST parameter ignored.*

説明: DFHAMP プログラムがロード・ライブラリーに見つかりませんでした。GRPLIST パラメーターを処理できないので、このパラメーターは無視されます。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: DFHAMP プログラムがロード・ライブラリーにあることを確認してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1535 *applid Severe error detected in DFHAMP - CICS is terminating.*

説明: GRPLIST パラメーターの処理中に重大エラーが検出されました。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: これは、おそらく DFHAMP での論理エラーです。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1536D *applid GRPLIST grplist does not exist. Enter alternative name, GO or CANCEL.*

説明: グループ・リスト *grplist* を CSD ファイル上に見つけることができません。

システムの処置: CICS は応答を待ちます。CANCEL と応答すると、CICS は終了します。GO と応答すると、CICS は指定された GRPLIST を無視して次のものをインストールしようとします。有効なリスト名を指定すると、CICS 初期設定は続行され、リストがインストールされます。

ユーザーの処置: 「GO」、「CANCEL」、または有効な GRPLIST を入力してください。

モジュール: DFHAMPIL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *grplist*

3. GO

4. CANCEL

宛先: コンソール

DFHSI1537D *applid GRPLIST grplist does not exist. Enter alternative name or CANCEL.*

説明: グループ・リスト *grplist* を CSD ファイル上に見つけることができません。

システムの処置: CICS は応答を待ちます。CANCEL と応答すると、CICS は終了します。有効なリスト名を指定すると、CICS 初期設定は続行され、リストがインストールされます。

ユーザーの処置: 「CANCEL」または有効な GRPLIST を入力してください。

モジュール: DFHAMPIL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *grplist*

3. CANCEL

宛先: コンソール

DFHSI1538D *applid* **Install GRPLIST Errors. Is startup to be continued - Enter GO or CANCEL.**

説明: GRPLIST を CICS 初期設定時にインストールしている間に、DFHAMP にエラーが検出されました。一緒に出されるメッセージがエラーの性質について説明しています。

システムの処置: CICS は応答を待ちます。CANCEL と応答すると、CICS は終了します。GO と応答すると、CICS の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: これらのエラーについての詳細は、関連するメッセージを参照してください。GO または CANCEL と応答してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. GO
3. CANCEL

宛先: コンソール

DFHSI1539 *Applid* **Error attaching the CESC (Terminal Timeout) transaction.**

説明: 代替 XRF 領域の初期設定中に、CESC トランザクションが開始に失敗しました。CICS は初期設定を続行しますが、引き継ぎがタイムアウトにならなかった後も、端末はサインオンされたままです。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は初期設定を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、トランザクションを開始することができなかった理由を調査してください。システムのストレージが不足していたか、またはトランザクションが使用不能であったなどの理由が考えられます。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Applid*

宛先: コンソール

DFHSI1542 *applid* **Takeover by the CICS alternate system has failed. Emergency restart could not be performed.**

説明: この CICS 代替システムは、その関連アクティブ CICS システムからの引き継ぎを試行していますが、リカバリー・マネージャー・コンポーネントは、システ

ム・ログ障害が原因で初期始動が必要であることを示しています。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: アクティブな CICS システムによって発行された、ログ障害の性質が示されているコンソール・メッセージを探してください。そのようなメッセージが発行されていない場合は、内部 CICS エラーが発生した可能性があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1543 *applid* **Time-Of-Day clock inoperative.**

説明: システム初期設定で、CICS 用の時刻機構の値を設定することができませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されます。

ユーザーの処置: 時刻機構は、CICS 実行の範囲外にあって、使用を禁止されている場合があります。時刻機構を使用できるようにして、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1547 *applid* **デフォルト修飾 LUNAME のリカバリー・マネージャー・ドメインへの通知が失敗しました。**

説明: VTAM=NO が指定された状態で CICS が実行されているか、または VTAM ACB を開く試行が失敗しました。

VTAM=NO が指定されている場合、CICS は UOWNETQL システム初期設定パラメーターを使用して、リカバリー・マネージャーに渡すデフォルト修飾 LUNAME を形成します。VTAM ACB を開けなかった場合、CICS は UOWNETQL を使用してデフォルト修飾 LUNAME を形成します。UOWNETQL が指定されていない場合、CICS は UOWNETQL を無効な値 '9UNKNOWN' に設定して問題を明らかにします。

次にシステムのデフォルト修飾 LUNAME を、作業単位 (UOW) ID の構成に使用するためにリカバリー・マネージャー・ドメインに転送することが試行されました。この試行は失敗し、重大エラーが示されています。

システムの処置: CICS を続行します。リカバリー・マネージャー・ドメインによって構成された UOW ID には、修飾された LUNAME は含まれていません。

ユーザーの処置: リカバリー・マネージャー・ドメインによって作成された例外トレース・データを保持します。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1548 *applid* VTAM ACB を開いた後に、CICS は完全修飾 LUNAME のリカバリー・マネージャー・ドメインへの転送に失敗しました。

説明: VTAM を介した通信を可能にするために CICS によって VTAM ACB が開かれました。次にシステムの完全修飾 LUNAME の転送が試行されました。LUNAME は、作業単位 (UOW) ID の構成に使用するために、VTAM によってリカバリー・マネージャー・ドメインに提供されます。この試行は失敗し、重大エラーが示されています。

システムの処置: CICS を続行します。リカバリー・マネージャー・ドメインによって構成された作業単位 ID には、完全修飾された LUNAME は含まれていません。

ユーザーの処置: リカバリー・マネージャー・ドメインによって作成された例外トレース・データを保持します。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZSL5

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1549 *applid* Logic error when building TCT module list.

説明: モジュール

DFHZCA、ZCB、ZCP、ZCW、ZCX、ZCY、ZCZ、および ZCXR の形式が、予期された形式ではありませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが提供されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージの理由としては、以下のことが考えられます。

1.

リストされたモジュールは VTAM 機能なしで生成されたが、システム初期設定テーブル (SIT) は VTAM=YES を指定している。

2.

リストされたモジュールの入り口点が正しくない。

3.

リストされた各モジュール内のモジュール・リストが正しくない。

理由 1 の場合は、エラーを訂正してください。それ以外の場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1550 *applid* A severe error has occurred while making a domain domain call with response (X'response') and reason (X'reason').

説明: 指定されたドメインから予期しないエラーが戻されました。応答と理由コードが示されます。

システムの処置: 障害のあるドメインが前に診断を受けていない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム管理者に知らせてください。この障害は、CICS 内に重大なエラーがあることを示しています。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSI1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *domain*
3. *X'response'*
4. *X'reason'*

宛先: コンソール

DFHSI1551 *applid* **The CICS region userid *userid* is not authorized to use the PLTPIUSR parameter *userid* *userid*. Initialization cannot continue, so CICS is terminated.**

説明: CICS 領域に対するジョブ制御ステートメントに指定されたユーザー ID は、PLTPIUSR システム初期設定パラメーターに指定されたユーザー ID の使用を許可されていません。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: PLT 処理に対して正しいユーザー ID が指定されていることを確認してください。

CICS 領域用のユーザー ID に、必要な許可があることを確認してください。これにはセキュリティ管理者のサポートが必要なことがあります。

必要な訂正が行われたら、CICS ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHSI1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *userid*
3. *userid*

宛先: コンソール

DFHSI1552 *applid* **Userid *userid* specified for the PLTPIUSR parameter has not been defined correctly to the external security manager (ESM). SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).**

説明: PLTPIUSR 初期設定パラメーターに指定されたユーザー ID が、正しく定義されていません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: PLT 処理用に適したユーザー ID が指定されていること、および外部セキュリティー・マネージャー (ESM) の定義が正しく指定されていることを確認してください。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティー・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

CICS や外部セキュリティー・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSI1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *userid*
3. *X'safresp'*
4. *X'safreas'*
5. *X'esmresp'*
6. *X'esmreas'*

宛先: コンソール

DFHSI1553 *applid* **UOWNETQL** パラメーターにより指定された作業単位ネットワーク修飾子は、無効文字が含まれているかまたは先頭が数字です。ダミー修飾子が代用されます。

説明: UOWNETQL システム初期設定パラメーターが誤って指定されています。UOWNETQL パラメーターは、大文字 (A から Z) または 0 から 9 の範囲内の数字で構成する必要があります。先頭文字は文字でなければなりません。

VTAM=NO が指定された状態で CICS が実行されているか、または VTAM ACB を開く試行が失敗しました。

VTAM=NO が指定されている場合、CICS は UOWNETQL を使用して、リカバリー・マネージャーに渡すデフォルト修飾 LUNAME を形成します。

VTAM ACB を開けない場合、CICS は UOWNETQL

を使用してデフォルト修飾 LUNAME を形成します。

システムの処置: CICS は続行しますが、UOWNETQL を意図的に無効な値 '9UNKNOWN' に設定して問題を明らかにします。

ユーザーの処置: UOWNETQL システム初期設定パラメーターを訂正してください。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1556 *applid* SKRP {A | F} x disabled due to extension of PGRET value.

説明: 初期設定オプションとして指定された新規 PGRET 値により、すべての単一キー検索値が再作成されました。メッセージに示された値が 16 バイトを超えています。x には、A の場合は 1 から 3 の値、F の場合は 1 から 12 の値が示されます。

システムの処置: メッセージに示されているキー (それぞれ PA1 から PA3 および PF1 から PF12) が使用不可になります。

ユーザーの処置: コンソールを使用して初期設定指定変更値を入力できることが (PARM によって) 指定されていれば、PGRET または SKRxxxxx (あるいはその両方) の初期設定オプションを入力し直すことができます。

モジュール: DFHPASY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=A,
2=F

3. x

宛先: コンソール

DFHSI1558 *applid* Program *progrname* cannot be found.

説明: プログラム *progrname* は、CICS の初期設定を正しく行うために不可欠なものですが、始動ジョブ・ストリームで指定されたグループ・リストにより参照されるグループ内に定義されていませんでした。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: このプログラムが、始動ジョブ・スト

リームで指定されたグループ・リストにより参照されるグループ内に定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progrname*

宛先: コンソール

DFHSI1559 *applid* Profile DFHCICSE cannot be found.

説明: DFHCICSE プロファイルは、CICS の初期設定を正しく行うために不可欠なものです。しかし、これがスタートアップ・ジョブ・ストリームで指定されたグループ・リスト内に定義されていませんでした。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: DFHCICSE プロファイルが、スタートアップ・ジョブ・ストリームで指定されたグループ・リスト内に定義されていることを確認してください。DFHCICSE の定義は、CICS システム定義 (CSD) ファイル上の DFHSTAND グループ内に与えられています。

モジュール: DFHXCPA、DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1562 *applid* Unable to initialize application domain statistics.

説明: CICS 初期設定時に、アプリケーション・ドメイン (AP) 統計制御モジュール DFHSI11 の初期設定が行われている間に、エラーが検出されました。CICS の AP コンポーネントで問題が発生した可能性があります。

システムの処置: 例外トレース項目がトレース・テーブル内に作成され、CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このエラーは、CICS のカーネル (KE) ドメインによって検出された以前のエラーのために発生した可能性があります。KE ドメインから出された DFHKExxxx で始まる以前のメッセージ、接頭部 KE を持つ CICS トレース・テーブル項目、およびダン

プを探してください。これらは、エラーのタイプととるべき処置を示します。

KE コンポーネントによって以前にエラーが検出されていない場合には、DFHSII1 は例外項目をトレース・テーブル内に作成し (id=X'0700')、CICS を異常終了させ、コード=1562 を出し、システム・ダンプが作成されます。この場合には、IBM のサポートがさらに必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1569I *applid 3270 datastream validation is active for BMS.*

説明: これは、BMS 3270 Intrusion Detection Service が使用可能であることを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1572 *applid Unable to OPEN VTAM ACB - RC=xxxxxxx ACB Code=yy.*

説明: システムの初期設定時に、VTAM ACB のオープンを試みているときにエラーが起きました。RC=xxxxxxx は、レジスター 15 にある VTAM エラー・コードです。yy は、16 進数の ACB の内容です。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: ACB エラー・フィールドの値および戻りコードに関する詳細については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」を参照してください。

これらの値と戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。

取り消すか続行するかを決定してください。(このメッセージは、VTAM を立ち上げる前に CICS を立ち上げたときに出力されます。)

この CICS 実行中に VTAM 端末を使用したいときには、VTAM を活動化させなければなりません。VTAM ACB は、CEMT SET VTAM OPEN コマンドによって

オープンすることができます。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xxxxxxx*
3. *yy*

宛先: コンソール

DFHSI1573 *date time applid Terminal Control is unavailable due to an unsupported access method.*

説明: ACB/TCAM、およびバージョン 3 より前の VTAM のリリースは、CICS のこのリリースではサポートされていません。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アクセス方式を更新してください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1574 *APPLID TCTUA Subpool not added in DFHZRPL. CICS initialization cannot continue.*

説明: ストレージ・マネージャーがサブプールの追加を試みて失敗しました。非 VTAM 端末に関連付けられた TCTUA の使用のためにサブプールを追加しようとしたときに、モジュール DFHZRPL が失敗しました。サブプールは必要なときに存在していなければならないので、これは重大エラーです。

システムの処置: サブプールの追加を試みた CICS システムの初期設定が異常終了します。サブプールを追加できない場合には、CICS を正しく実行することはできません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHSI1575 *APPLID* Getmain failed for TCTUA subpool in module DFHZRPL. CICS initialization cannot continue.

説明: TCTUA サブプールが使用できるようストレージを GETMAIN しようとしているときに、モジュール DFHZRPL が失敗しました。このサブプールはすでに追加されていますが、そのためのストレージがまだありません。これは重大なエラーです。

システムの処置: 初期設定の手順の途中で、GETMAIN 障害が早すぎたため、CICS 初期設定を続行することができません。GETMAIN の実行を試みて失敗した CICS システムが終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRPL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*

宛先: コンソール

DFHSI1576 *applid* Unable to find VTAM ACB.

説明: システムの初期設定時に、VTAM ACB の検出を試みているときにエラーが起きました。

システムの処置: CICS は初期設定を続行しますが、VTAM は使用できません。

ユーザーの処置: VTAM サポートが必要でない場合には、このメッセージは無視してかまいません。

システムに VTAM がインストールしてある場合には、VTAM=NO がシステム初期設定パラメーターとして指定されていないことを確かめてください。VTAM=YES が指定されている場合には、自分のシステムで現在 VTAM が使用できない理由を調べてください。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1578D *applid* PLTPI specified cannot be found. Reply GO or CANCEL.

説明: 初期設定後プログラム・リスト・テーブル (PLTPI) のソースが、PARMLIB と DFHTABLE のいずれのライブラリー連結内でも見つかりません。

システムの処置: 応答が「CANCEL」の場合には、CICS は終了します。応答が「GO」の場合には、PLT は処理されずに処理が続行されます。

ユーザーの処置: 「GO」または「CANCEL」と応答してください。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. GO

3. CANCEL

宛先: コンソール

DFHSI1579D *applid* モジュール *modname* { *PLT* | *connection* } プログラム *progrname* が見つかりません。Reply GO or CANCEL.

説明: このメッセージは、初期設定後プログラム・リスト・テーブル (PLTPI) に定義されているプログラムが見からないか、または CICSplex SM、DBCTL、DB2、あるいは MQ への接続時に使用される接続プログラムが見つからないかのいずれかを示しています。SIT 内での CPSMCONN=CMAS、CPSMCONN=LMA5、CPSMCONN=WUI、DBCTLCON=YES、DB2CONN=YES、または MQCONN=YES のコーディングにより、接続プログラムの呼び出しが試行されます。

PLT プログラムの場合、メッセージが初期設定の最初の PLT フェーズ中に出された場合、プログラムは CICS プログラム・ライブラリー内に存在していません。メッセージが初期設定後 PLT フェーズ中に出される場合は、インストール済みで使用可能なプログラム項目がプログラムになかったか、またはプログラムが CICS プログラム・ライブラリー内に見つかりませんでした。

接続プログラムの場合、インストール済みプログラム項目がプログラムになかったか、またはプログラムが CICS プログラム・ライブラリーの中に見つかりませんでした。

modname は、どのモジュールがそのメッセージを出したかを示します。*progrname* は、見つけれなかったプログラムの名前です。

システムの処置: 応答が「CANCEL」の場合には、CICS は終了します。応答が「GO」の場合には、そのプログラムはバイパスされます。

ユーザーの処置: 「CANCEL」または「GO」と応答してください。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. 以下のオプションから選択される値。

1= *PLT*

2= 接続

4. *progrname*

5. *GO*

6. *CANCEL*

宛先: コンソール

DFHSI1580D *applid { PLT | Connection } プログラム program-name がコード abcode で異常終了しました。Reply GO or CANCEL.*

説明: CICS が初期設定プログラム・リスト・テーブル (PLT) を処理していたときに PLT プログラム *program-name* が異常終了コード *abcode* で異常終了したか、または CICS が接続プログラム *program-name* を処理していたときにそのプログラムが異常終了コード *abcode* で異常終了したかのいずれかです。

システムの処置: 応答が「CANCEL」の場合には、CICS は終了します。応答が「GO」の場合には、そのプログラムはバイパスされます。

ユーザーの処置: 「CANCEL」または「GO」と応答してください。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1= *PLT*

2= 接続

3. *program-name*

4. *abcode*

5. *GO*

6. *CANCEL*

宛先: コンソール

DFHSI1582 *applid* ローカル DLI PSB が PDIR 内に存在しています。CICS はローカル DLI をサポートしません。

説明: CICS はローカル PSB がユーザー指定の PDIR 内に存在していることを検出しました。CICS はローカル DLI をサポートしなくなりました。PDIR はリモート DLI にのみ必要で、リモート PSB 定義のみを含んでいる必要があります。PDIR は、DBCTL には必要ありません。

システムの処置: CICS 異常終了ダンプが作成されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: リモート DLI が必要な場合は、ローカル PSB を削除して PDIR を訂正してください。その後、PDIR を再アセンブルおよび再リンク・エディットし、CICS ジョブを再サブミットします

リモート DLI サポートが必要ない場合は、システム初期設定テーブル (SIT) を変更して PDIR=NO を指定してください。

モジュール: DFHSIH1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1589 *applid VTAM is not currently active.*

説明: VTAM が活動状態ではないため、CICS 初期設定で VTAM アクセス方式制御ブロック (ACB) を OPEN することができません。

システムの処置: これが代替システムである場合は、CICS は 15 秒間待った後、無期限に OPEN を再試行します。

これが代替システムではない場合は、CICS は初期設定の残りを続行します。Open VTAM Retry (オープン VTAM 再試行) トランザクション COVR がタスク生成され、OPEN の再試行が 5 秒ごとに 10 分間繰り返されます。

ユーザーの処置: 代替システムの場合には、VTAM が起動中であることを確認してください。そうでなければ、この代替システムを取り消すことができます。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1590 *applid* XRF alternate cannot proceed without VTAM.

説明: CICS 初期設定で、VTAM アクセス方式制御ブロック (ACB) を OPEN することができません。ACB エラー・コードは、前に出されているメッセージ DFHSI1572 の中に見つけることができます。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

ユーザーの処置: DFHSI1572 を参照し、その情報を使用して、エラーの原因を解決してください。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1591 *applid* トランザクション CFCT を接続できません。(*applid Unable to attach transaction CFCT.*)

説明: CICS 初期設定では、ファイル制御レプリカ生成ロギングに使用されるトランザクション CFCT を接続できません。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。

ユーザーの処置: CICS 初期設定によって生成されたダンプを保持します。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1592 *applid* CICS applid not (yet) active to VTAM.

説明: VTAM が、アプリケーション ID を認識しないので (VTAM エラー X'5A')、CICS 初期設定で VTAM アクセス方式制御ブロック (ACB) を OPEN することができません。これは、(たとえば、SIT 指定変更の) アプリケーション ID の値にユーザー・エラーがあるか、またはアプリケーション ID を含んでいるアプリケーション・サブエリアが VTAM 内で活動状態にない可能性があります。また、VTAM がまだ起動中である可能性もあります。この場合には、VTAM の初期設定が完了

した時点で、この問題は自然に訂正される可能性があります。

システムの処置: これが代替 CICS の場合には、15 秒間待った後で、OPEN をいつまでも再試行し続けます。代替 CICS でない場合には、CICS は残りの初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 代替システムの場合には、VTAM が起動中であることを確認してください。VTAM が起動中であれば、必要なアプリケーション・サブエリアが VTAM 内で活動状態にあることを確認してください。活動状態にある場合には、この代替を取り消しても構いません。これが代替ではない場合は、CICS が初期設定されたときに CEMT を使用して OPEN を再試行することができます。

モジュール: DFHSIF1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1594 *applid* A xxxx level of module *progrname* is being loaded.

説明: このシステムは、CICS トランザクション・サーバー・プロダクトの CICS の現行レベルに対してアセンブルされなかったレベルのモジュール *progrname* を、ロードしています。レベル xxxx は、使用するモジュールのレベルを示します。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: モジュール *progrname* の旧レベルの使用が有効であるかを確認してください。通常は、使用する CICS の現行レベルに合わせてモジュールをアセンブルし直すことが必要になります。

モジュール: DFHAPSIP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. xxxx

3. *progrname*

宛先: コンソール

DFHSI1596 *applid* Nucleus module *progrname* cannot be located.

説明: 中核をロードする際に、CICS ライブラリー内に中核モジュール *progrname* が検出できませんでした。

システムの処置: AP ドメイン初期設定ルーチンは、残りの中核モジュールをロードする試みを続行します。

すべての中核モジュールのロードを試みた後、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 欠落したモジュール *progrname* を適切なライブラリーに追加して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHAPSIP、DFHSID1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progrname*

宛先: コンソール

DFHSI1597 *applid* VTAM=YES invalid with a non VTAM TCT - VTAM=NO forced.

説明: ロードされた TCT が ACCMETH=NONVTAM でアセンブルされたものの、VTAM=YES が SIT で指定されました。

システムの処置: CICS は VTAM サポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: VTAM を使用するには、ACCMETH=NONVTAM を TCT マクロから削除してください。

モジュール: DFHZINT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1599 *applid* 領域/区画のサイズが一時データの初期設定に不十分です。

説明: ストレージ・マネージャーのサブプールの作成を試みて失敗したか、またはストレージを獲得する試みが失敗したため、一時データ初期設定が失敗しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS が異常終了します。

ユーザーの処置: CICS が使用可能な領域サイズを増やしてください。

モジュール: DFHSID1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1600I *applid* VTAM High Performance

Option is active.

説明: CICS は z/OS Communications Server の高性能オプションを正常にアクティブ化しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZINT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1601 *applid* VTAM High Performance

Option activation failed.

説明: CICS は z/OS Communications Server の高性能オプションをアクティブ化しようとして失敗しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: CICS タイプ 6 の SVC 番号が、SRBSVC SIT パラメーターまたは SIT 指定変更により正しく定義されているかどうかを確認してください。

SVC が「CICS TS のインストール」で説明されているとおりに正しくインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHZINT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI1784 *applid* The user shutdown assist transaction *tranid* has not been defined as a shutdown enabled local transaction.

説明: このメッセージは CICS 初期設定時に発行され、システム初期設定テーブル (SIT) に指定されたユーザー・シャットダウン補助トランザクションが、シャットダウン対応ローカル・トランザクションとして定義されていないことを示します。

システムの処置: アクションはとられません。

TRANSIDERR が PERFORM SHUTDOWN に対して返される可能性があります。

ユーザーの処置: 以下のいずれかを行ってください。

•

シャットダウン・トランザクション定義を訂正する。

- SIT SDTRAN オプションを変更または削除する。

- CEMT または EXEC CICS PERFORM SHUTDOWN SDTRAN オプションを使用する。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *trandid*

宛先: コンソール

DFHSI1800I *applid* CICS は、アセンブルされた PLT テーブルをサポートしなくなりました。
PLT *pltname* にプログラム名が含まれていません。 (CICS no longer supports assembled PLT tables. PLT *pltname* does not contain any program names.)

説明: PLT *pltname* には、PROGRAM=xxxxxxx エントリーが含まれていません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: PLT がアセンブルされていないことと、呼び出す PLT プログラムの PROGRAM= エントリーがそこに含まれていることを確認してください。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *pltname*

宛先: コンソール

DFHSI2810 *applid* CANCEL reply received. CICS is terminating.

説明: CANCEL 応答が受信されました。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 前のメッセージを参照して、行う処置を決めてください。

モジュール:

DFHSII1、DFHSIPLT、DFHAMPIL、DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI2813 *applid* Program DFHRCEX cannot be found.

説明: CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内の連結されたどのデータ・セットでも DFHRCEX を見つけられません。

システムの処置: CICS 初期設定が終了し、ダンプが提供されます。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントの区分データ・セット内に DFHRCEX を配置してください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI8420I *applid* About to link to PLT programs during the second stage of initialization.

説明: 初期設定の第 2 段階で、PLTPI システム初期設定パラメーターに定義したユーザー PLT プログラムに、CICS がリンクしようとしています。

システムの処置: 制御は、ユーザー PLT プログラムに渡されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI8421I *date time applid* PLT program *progrname* has been invoked during the second stage of initialization.

説明: 初期設定の第 2 段階で、CICS がユーザー PLT プログラム *progrname* を呼び出しました。

システムの処置: 制御は CICS に戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *progrname*

宛先: CSSL

DFHSI8424I *applid* Control returned from PLT programs during the second stage of initialization.

説明: 制御が CICS に戻されて、システム初期設定が続行されます。

システムの処置: 制御は CICS に戻されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI8430I *applid* About to link to PLT programs during the third stage of initialization.

説明: 初期設定の第 3 段階で、PLTPI SIT パラメーターで定義したユーザー PLT プログラムに CICS がリンクしようとしています。

システムの処置: 制御は、ユーザー PLT プログラムに渡されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI8431I *date time applid* PLT program *progrname* has been invoked during the third stage of initialization.

説明: 初期設定の第 3 段階で、CICS がユーザー PLT プログラム *progrname* を呼び出しました。

システムの処置: 制御は CICS に戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *progrname*

宛先: CSSL

DFHSI8434I *applid* Control returned from PLT programs during the third stage of initialization.

説明: 制御が CICS に戻されて、システム初期設定が続行されます。

システムの処置: 制御は CICS に戻されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI8440I *applid* Initiating connection to *resmanager*.

説明: CICS は、初期設定の第 3 段階で、PLT プログラムを実行する直前に、指定されたリソース・マネージャーに接続しようとしています。リソース・マネージャーは、CICSplex SM、DBCTL、DB2、または MQ です。CPSMCONN=CMAS、CPSMCONN=LMA5、CPSMCONN=WUI、DBCTLCON=YES、DB2CONN=YES、または MQCONN=YES が SIT に指定されているため、接続が開始されます。

システムの処置: 制御はリソース・マネージャー接続プログラムに渡されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *resmanager*

宛先: コンソール

DFHSI8441I *applid* Connection to *resmanager* qualifier successfully completed.

説明: CICS は、初期設定の第 3 段階で、PLT プログラムを実行する直前に、指定されたリソース・マネージャーに正常に接続しました。リソース・マネージャー修

飾子とともにリソース・マネージャー名が表示されます。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resmanager*
3. *qualifier*

宛先: コンソール

DFHSI8442 *applid* Connection to *resmanager* has failed.

説明: CICS は、初期設定の第 3 段階で、PLT プログラムを実行する直前にリソース・マネージャー *resmanager* に接続できませんでした。リソース・マネージャーは、DBCTL、DB2、または MQ です。DBCTLCON=YES、DB2CONN=YES、または MQCONN=YES が SIT に指定されているため、接続が開始されました。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS またはリソース・マネージャー・アダプターによって以前に発行されたメッセージを参照し、接続試行が失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resmanager*

宛先: コンソール

DFHSI8443 *applid* Connection to *resmanager* not completed. アダプターが *resmanager* の初期設定を待機しています。

説明: CICS は、初期設定の第 3 段階で、PLT プログラムを実行する直前にリソース・マネージャー *resmanager* への接続を完了できませんでした。リソース・マネージャーは、DBCTL、DB2、または MQ です。DBCTLCON=YES、DB2CONN=YES、または MQCONN=YES が SIT に指定されているため、接続が開始されました。

リソース・マネージャー・アダプターは、リソース・マネージャーが初期設定されるのを待機しています。

システムの処置: CICS 処理を続行します。 初期接続

の試行前にリソース・マネージャーがシステムに定義されていれば、リソース・マネージャーの初期設定時に接続が完了します。

ユーザーの処置: 接続が完了するタイミングを判別するには、関連するリソース・マネージャー・アダプターが発行するメッセージを参照してください。

モジュール: DFHSIPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *resmanager*
3. *resmanager*

宛先: コンソール

DFHSI8445 *applid* An attempt to getmain storage intended for the Language Interface work area failed.

説明: 言語インターフェース作業域用のストレージを GETMAIN しようとしたのですが、失敗しました。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS が使用できる境界より下のストレージを増やしてください。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSI8446 *applid* CICS 領域ユーザー ID *userid* は、**PARM** パラメーターまたは **SYSIN** パラメーターの {HPO} を使用することが許可されていません。CICS は終了しました。(The CICS region *userid* *userid* is not authorized to use PARM or SYSIN parameter {HPO}. CICS is terminated.)

説明: 初期設定中、メッセージに示されるシステム初期設定パラメーターが JCL の PARM パラメーターまたは SYSIN パラメーターで指定できないことが CICS によって検出されました。この操作が外部セキュリティ・マネージャーによって許可されていないためです。このパラメーターを JCL の PARM パラメーターまたは SYSIN パラメーターで許可するには、外部セキュリティ・マネージャーによって CICS 領域ユーザー ID が許可されている必要があります。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *userid*

DFHSJnnnn メッセージ

DFHSJ0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: 予期しないプログラム・チェックまたは異常終了が発生して、異常終了コード *aaa/bbbb* が出されました。

プログラム・チェック時のプログラム状況ワード (PSW) または異常終了は、CICS がモジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で実行していたことを示しています。これは、CICS コードまたは制御ブロックの破壊により引き起こされた可能性があります。

システムの処置: ダンプ・テーブルの項目で指示しない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供したシステム・ダンプおよび前に出力されたすべての診断情報を使用して、プログラム・チェックまたは異常終了の原因を調べてください。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHSJDM、DFHSJIN、DFHSJIS、DFHSJRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHSJ0002 *applid* **A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *module*.**

説明: リカバリー・マネージャー・ドメインが、CICS の他の部分から予期しないエラー応答を受け取りまし

3. 以下のオプションから選択される値。

1=HPO

宛先: コンソール

た。リカバリー・マネージャーが要求した操作は、コード *X'code'* で記述されています。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: ダンプ・テーブル項目で特に禁止されない限り、システム・ダンプがとられ、システムは操作を続行しようとします。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を次の手順で調べてください。

1. 他の CICS コンポーネントから以前に出されたメッセージによってこの問題を説明できるかどうかを調べる。
2. 症状ストリングを調べる。
3. ダンプを調べる。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHSJDM、DFHSJIN、DFHSJIS、DFHSJRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHSJ0004 *applid* **A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。こ

これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

XDUREQ 出口のユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止により、特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS 処理は、CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は CPU 時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。その場合には、エラーはないことがあります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーターで指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* の実行が終了し、CICS は続行することを意味します。

システム初期設定パラメーター ICVR=0 を指定しており、しかもモジュール *modname* がループしていると確信している場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと確信している場合には、ICVR システム初期設定パラメーターの値を増やす必要があります。これを永続的に行うには、適当な時間に CICS をクローズする必要があります。CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR の値を増やしても問題が解決しない場合には、問題を解決するために IBM のサポートがさらに必要になることがあります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHSJ0005 *applid* 予期しない異常終了が
JVMSERVER: *jvmserver* の初期
PTHREAD TCB で発生しました。

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* の初期 pthread TCB は予期せずに異常終了しました。

システムの処置: CICS は、ダンプ・コード KERNDUMP でシステム・ダンプを取ろうとします。

ユーザーの処置: JVMSERVER リソース *jvmserver* は応答しなくなり、再始動できなくなります。JVM サーバーなしで実行できない場合は、CICS を取り消してください。

モジュール: DFHSJPTI

宛先: コンソール

DFHSJ0006 *applid* 予期しない異常終了が
NODEJSAPP: *nodejsapp* の初期
PTHREAD TCB で発生しました。

説明: NODEJSAPP リソース *nodejsapp* の初期 pthread TCB は予期せずに異常終了しました。

システムの処置: CICS は、ダンプ・コード KERNDUMP でシステム・ダンプを取ろうとします。

ユーザーの処置: CICS、アクセス方式、またはオペレーティング・システムが提供したシステム・ダンプおよび前に出力されたすべての診断情報を使用して、プログラム・チェックまたは異常終了の原因を調べてください。

問題が解決できない場合は、IBM からのサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSJNDI

宛先: コンソール

DFHSJ0101I *applid* The JVM (SJ) domain for Java
 has started initializing. Java is a
 trademark of Oracle and/or its
 affiliates.

説明:

This is an informational message indicating that SJ domain domain initialization has started.

システムの処置:

システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置:

None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGVL=0 で抑止することができます。

モジュール:

DFHSJDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSJ0102I *applid SJ* ドメインの初期化が終了しました。

説明: SJ ドメインが正しく初期化されました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置:

None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSJ0103 *applid SJ* ドメインの初期化に失敗しました。

説明: SJ ドメインが正しく初期設定されませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 CICS は、呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) がシャットダウンすることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、CICS コードにエラーの可能性あることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS はシャットダウンされていない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、しかもドメインが CICS システムの実行に不可欠ではない場合には、初期設定を続行し、適当な時間に CICS をシャットダウンして問題を解決することもできます。

メッセージが繰り返し表示されるか、または SJ ドメインを最大限に利用しないと続行できない場合には、制御

シャットダウンで CICS をシャットダウンします。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSJ0207 *Date time applid JVMSERVER jvmserver is running Java version version.*

説明: このメッセージは、各 JVMSERVER が実行している Java のバージョンを示しています。これは、Java 仮想マシンが開始されるたびに出されます。実行時に見つかったバージョンは *version* です。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Date*

2. *time*

3. *applid*

4. *jvmserver*

5. *version*

宛先: CSMT

DFHSJ0210 *date time applid JVMSERVER* リソース *jvmserver* の **JVM** を開始しようとしたが、失敗しました。理由コード:
{JVMPROFILE_ERROR |
OPEN_JVM_ERROR |
JNI_CREATE_NOT_FOUND |
SETUP_CLASS_NOT_FOUND |
TERMINATION_CLASS_NOT_FOUND |
CREATE_JVM_FAILED |
CHANGE_DIRECTORY_CALL_FAILED |
WORK_DIR_READ_ONLY |
ERROR_LOCATING_MAIN_METHOD |
ATTACH_JNI_THREAD_FAILED |
SETUP_CLASS_TIMEDOUT |
ENCLAVE_INIT_FAILED |
USS_WORKDIR_CHECK_FAILED |
REDIRECT_IO_FAILED |
ANGEL_UNAVAILABLE |
ERROR_CODE_UNRECOGNIZED |
WORKDIR_TOO_LONG}.

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* の JVM を開始しようとしたのですが、失敗しました。理由コードに、JVM が開始できなかった理由の詳細が説明されています。

ANGEL_UNAVAILABLE

Liberty エンジェル・プロセスは使用できません。

ATTACH_JNI_THREAD_FAILED

スレッドを接続して、JVM サーバーのセットアップ・クラスまたは終了クラスを実行しようとしたのですが、失敗しました。

CHANGE_DIRECTORY_CALL_FAILED

zFS 作業ディレクトリを変更しようとしたのですが、失敗しました。

CREATE_JVM_FAILED

JVM を作成しようとしたのですが、失敗しました。追加の診断メッセージが標準エラー・ストリームに出力されました。

ENCLAVE_INIT_FAILED

言語環境エンクレーブは初期設定を正常に行えませんでした。標準エラー・ストリームの中で追加の診断メッセージがないか調べてください。

ERROR_CODE_UNRECOGNIZED

START_JVM は、処理されなかったというエラーを返しました。

ERROR_LOCATING_MAIN_METHOD

セットアップ・クラスまたは終了クラスで main メソッドを見つけようとしたのですが、失敗しました。例外が標準エラー・ストリームに出力されました。

JNI_CREATE_NOT_FOUND

JNI の作成が見つかりません。このエラーは、JVM プロファイル内の JAVA_HOME 値が Java の正しいインストール場所を指定していないために発生する可能性があります。

JVMPROFILE_ERROR

JVM プロファイルの処理中にエラーが発生しました。追加の診断メッセージが標準エラー・ストリームに出力されました。通常、標準エラー・ストリームは JVM プロファイルの WORK_DIR パラメーターによって指定された、zFS 上の場所にリダイレクトされます。ただし、リダイレクトの前の初期障害については、標準エラー・ストリームは SYSPRINT か、

CICS 動的に生成された DD 名として CICS ログに置かれている場合があります。

OPEN_JVM_ERROR

JVM DLL を開いているときにエラーが発生しました。このエラーは、JVM プロファイル内の JAVA_HOME 値が Java の正しいインストール場所を指定していないために発生する可能性があります。

REDIRECT_IO_FAILED

JVM の stdout 出力、stderr 出力、または jvmtrace 出力をリダイレクトしようとしたのですが、失敗しました。追加の診断メッセージが、zFS 上、SYSPRINT 内、または CICS ログ内 (動的に生成された DD 名として) の標準エラー・ストリームいずれかに出力されました。

SETUP_CLASS_NOT_FOUND

JVM プロファイルに指定されたセットアップ・クラスが見つかりません。例外が標準エラー・ストリームに出力されました。

SETUP_CLASS_TIMEDOUT

セットアップ・クラスは適度な時間内に戻らなかったため、取り消されました。

WORK_DIR_READ_ONLY

USS 作業ディレクトリに書き込もうとしたのですが、失敗しました。最も可能性の高い理由として、CICS ジョブが、JVM プロファイル内の WORK_DIR で指定されたディレクトリーに対して読み取り権限しか持たないことが挙げられます。

TERMINATION_CLASS_NOT_FOUND

JVM プロファイルに指定された終了クラスが見つかりません。例外が標準エラー・ストリームに出力されました。

USS_WORKDIR_CHECK_FAILED

USS 作業ディレクトリに書き込もうとしたのですが、失敗しました。この理由として、ファイル・システムが満杯であるか、JVM プロファイルの WORK_DIR で指定されたディレクトリーに書き込む十分な権限が CICS 領域にない可能性があります。

USS_WORKDIR_TOO_LONG

JVM プロファイル内の WORKDIR 項目の値が、サポートされる最大値より大きくなっています。

システムの処置: CICS は JVM を作成できなかった

め、呼び出し元モジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: 理由コード *msg_reason* を調べて JVM の作成が失敗した理由を判別し、必要に応じて以下のいずれかのユーザー処置を実行します。

JVMPROFILE_ERROR

標準エラー・ストリームの追加メッセージを使用して、問題の原因を判別してください。リダイレクトの前に出力されるメッセージは、SYSPRINT または CICS ログの動的に生成された DD 名を見つけることができます。

OPEN_JVM_ERROR

JVM プロファイル内の JAVA_HOME 値が Java の正しいインストール場所を指定していることを確認してください。

JNI_CREATE_NOT_FOUND

JVM プロファイル内の JAVA_HOME 値が Java の正しいインストール場所を指定していることを確認してください。

SETUP_CLASS_NOT_FOUND

次のことを確認してください。

- セットアップ・クラスが含まれるディレクトリーまたはアーカイブが、CLASSPATH_SUFFIX JVM プロファイル・オプションを使用してクラスパスに追加されている。
- セットアップ・クラスは完全修飾されている。

標準エラー・ストリームへの例外出力を使用して、問題の原因を判別してください。

TERMINATION_CLASS_NOT_FOUND

次のことを確認してください。

- 終了クラスが含まれるディレクトリーまたはアーカイブが、CLASSPATH_SUFFIX JVM プロファイル・オプションを使用してクラスパスに追加されている。
- 終了クラスは完全修飾されている。

標準エラー・ストリームへの例外出力を使用して、問題の原因を判別してください。

CREATE_JVM_FAILED

標準エラー・ストリームへの診断メッセージ出力を使用して、問題の原因を判別してください。

CHANGE_DIRECTORY_CALL_FAILED

CICS ジョブに、JVM プロファイル内の WORK_DIR で指定されたディレクトリーに対する読み取り権限、書き込み権限、および実行権限があることを確認します。

STDOUT/STDERR_ACCESS_FAILED

CICS ジョブに、JVM プロファイル内の WORK_DIR で指定されたディレクトリーに対する読み取り権限および書き込み権限があることを確認します。

ERROR_LOCATING_MAIN_METHOD

標準エラー・ストリームの例外を使用して、問題の原因を判別してください。

ATTACH_JNI_THREAD_FAILED

IBM サポートにお問い合わせください。

SETUP_CLASS_TIMEDOUT

セットアップ・クラスが長時間実行しないで、適度な時間制限内に JVM から戻るようにしてください。

ENCLAVE_INIT_FAILED

問題の原因を判別するためには、SYSPRINT または CICS ログを確認して、言語環境によって出力されたエラー・メッセージを調べてください。言語環境で使用できるストレージが不足している可能性があります。その他の情報については、メッセージ DFHSJ0216 で入手できません。

USS_WORKDIR_CHECK_FAILED

WORK_DIR ディレクトリーに設定された USS 許可を確認します。ファイル・システムが満杯である場合は、追加スペースを割り振るか、または作業ディレクトリーから不要になったファイルを削除またはアーカイブすることを検討してください。

ANGEL_UNAVAILABLE

付随する DFHSJ1400E、DFHSJ1401E、DFHSJ1402W、DFHSJ1403W、または DFHSJ1404D の各メッセージのアクションを検討します。

REDIRECT_IO_FAILED

標準エラー・ストリームの例外を使用して、問題の原因を判別してください。

ERROR_CODE_UNRECOGNIZED

IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHSJIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=JVMPROFILE_ERROR
 2=OPEN_JVM_ERROR
 3=JNI_CREATE_NOT_FOUND
 4=SETUP_CLASS_NOT_FOUND
 5=TERMINATION_CLASS_NOT_FOUND
 6=CREATE_JVM_FAILED
 7=CHANGE_DIRECTORY_CALL_FAILED
 8=WORK_DIR_READ_ONLY
 9=ERROR_LOCATING_MAIN_METHOD
 10=ATTACH_JNI_THREAD_FAILED
 11=SETUP_CLASS_TIMEDOUT
 12=ENCLAVE_INIT_FAILED
 13=USS_WORKDIR_CHECK_FAILED
 14=REDIRECT_IO_FAILED
 15=ANGEL_UNAVAILABLE
 20=ERROR_CODE_UNRECOGNIZED
 21=WORKDIR_TOO_LONG

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0211 *date time applid* **An exception has been thrown by the main method of a setup class, which was running in the JVM belonging to the JVMSERVER resource *jvmserver*.**

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* に属する JVM 内で実行していたセットアップ・クラスの main メソッドによって、例外がスローされました。この例外は、JVM サーバーの初期設定中に発生しました。

システムの処置: CICS はアクションを標準エラー・ストリームに書き込み、JVM サーバーの初期設定を続行します。

ユーザーの処置: JVM によってスローされた例外を調べて、問題の原因を判別してください。例外は標準エラー・ストリームに出力されています。

モジュール: DFHSJIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0212 *date time applid* **An error occurred while terminating the JVM belonging to the JVMSERVER resource *jvmserver*. Reason code: {TERMINATION_CLASS_NOT_FOUND | ERROR_LOCATING_MAIN_METHOD | ERROR_CODE_UNRECOGNIZED | TERMINATION_CLASS_TIMED_OUT | TERMINATION_TIMED_OUT}**

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* に属する JVM を終了するときに、エラーが発生しました。JVM が正しく終了できなかった理由の詳細は、理由コードで説明されています。

TERMINATION_CLASS_NOT_FOUND

JVM プロファイルに指定された終了クラスが見つかりません。例外が標準エラー・ストリームに出力されます。

ERROR_LOCATING_MAIN_METHOD

終了クラスで main メソッドを見つけようとしていましたが、失敗しました。例外が標準エラー・ストリームに出力されます。

ERROR_CODE_UNRECOGNIZED

TERMINATE_JVM は、処理されなかったというエラーを返しました。

TERMINATION_CLASS_TIMED_OUT

JVM プロファイルに指定された終了クラスは、CICS の許容時間内に実行を完了しませんでした。クラスの実行は停止されました。

TERMINATION_TIMED_OUT

TERMINATE_JVM がタイムアウトになりました。

システムの処置: CICS は JVM の終了を続行し、呼び出し元モジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: 理由コード *msg_reason* を調べて、JVM 終了中にエラーが発生した理由を判別し、必要に応じて以下のいずれかのユーザー処置を実行します。

TERMINATION_CLASS_NOT_FOUND

JVM プロファイルで以下を確認します。

•

終了クラスが含まれるディレクトリーまたはアーカイブが、CLASSPATH_SUFFIX オプションを使用してクラスパスに追加されている。

•

終了クラスが完全修飾されている。

標準エラー・ストリームへの例外出力を使用して、問題の原因を判別してください。

ERROR_LOCATING_MAIN_METHOD

標準エラー・ストリームへの例外出力を使用して、問題の原因を判別してください。

ERROR_CODE_UNRECOGNIZED

IBM サポートにお問い合わせください。

TERMINATION_CLASS_TIMED_OUT

JVM プロファイルに指定されたクラスがタスクを長時間実行しないで、適度な時間内に終了するようにしてください。

TERMINATION_TIMED_OUT

SYSOUT/SYSPRINT または JVM サーバーの標準エラー・ストリームを確認して、サーバーが正常に終了できなかった理由を判別してください

モジュール: DFHSJIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=TERMINATION_CLASS_NOT_FOUND
2=ERROR_LOCATING_MAIN_METHOD
3=ERROR_CODE_UNRECOGNIZED
4=TERMINATION_CLASS_TIMED_OUT
5=TERMINATION_TIMED_OUT

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0213 *date time applid* **An exception has been thrown by the main method of a termination class, which was running in the JVM belonging to the JVMSERVER resource *jvmserver*.**

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* に属する JVM 内で実行していた終了クラスの main メソッドによって、例外がスローされました。この例外は、JVM サー

バーの破棄中に発生しました。

システムの処置: CICS はこのアクションを標準エラー・ストリームに書き込み、JVM サーバーの破棄と、その JVM の終了を継続します。

ユーザーの処置: JVM によってスローされた例外を調べて、問題の原因を判別してください。例外は標準エラー・ストリームに出力されています。

モジュール: DFHSJIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0214 *date time applid JVMSERVER jvmserver*
内のクラスが **System.exit()** を起動しました。**CICS**は直ちにシャットダウンします。

説明: JVM サーバー内のクラスが System.exit() メソッドを呼び出しました。これにより、JVM はシャットダウンします。CICS は、データ保全性を保持するために、即時にシャットダウンする必要があります。

システムの処置: CICS はシステム・ダンプをとり、即時にシャットダウンします。

ユーザーの処置: invoking System.exit() を呼び出す代わりに、正常に戻るよう Java クラスを変更します。あるいは、System.exit() を呼び出す Java クラスの実行を試みる際に、Java セキュリティー・マネージャーが例外を返すことができるようにします。System.exit() の呼び出し元を識別するには、JVM プロファイルでオプション '-Xtrace:trigger=method{java/lang/System.exit,sysdump}' を指定して、System.exit() が呼び出されるときのシステム・ダンプを JVM で生成します。

モジュール: DFHSJSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0215 *date time applid* **The JVM server
jvmserver failed to initialize the OSGi
framework. JVMは強制終了されます。**

説明: OSGi フレームワークの初期設定が失敗しました。

システムの処置: JVMSERVER リソースは使用不可にされています。

ユーザーの処置: JVM サーバー・ログ・ファイル調べて、エラー・メッセージを確認してください。ログ・ファイルは、zFS の JVM サーバー作業ディレクトリーにあります。

モジュール: DFHSJSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0216 *Date time applid jvmserver* **A call to
CELQPIPI with function code
INIT_SUB has failed. (Return code -
X'rc').**

説明: JVM サーバーは、事前に初期設定されたインターフェースを使用して、言語環境エンクレーブを初期設定しようとした。この試みは、戻りコード *rc* で失敗しました。

システムの処置: CICS が言語環境エンクレーブを初期設定できなかったため、呼び出し元モジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: STDERR ログを確認して、障害の発生前に出されていた可能性があるメッセージを調べてください。STDERR ファイルの場所は、JVM プロファイルで定義されています。エラーが初期設定の早い段階で発生した場合、STDERR が CICS ジョブ・ログの SYSOUT または SYSnnnnn に書き込まれます。

言語環境メッセージについては、SYSOUT または CESE の宛先を調べてください。CELQPIPI 関数については、z/OS Language Environment プログラミング・ガイドを調べて、その関数の戻りコード (レジスター 15) の説明を確認してください。

SCEERUN2 および SCEERUN が RPL 連結内にあることを確認してください。

OMVS セグメントが、CICS 領域を実行しているユーザ

ー ID に対してセットアップされていることを確認します。

OMVS RACF (またはそれと同等の) セグメントが、CICS 領域を実行しているユーザー ID に対して定義されていることを確認します。

問題がなくなる場合には、IBM サポート担当員と連絡を取る必要がある場合もあります。

モジュール: DFHSJIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *X'rc'*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0600 W *date time applid userid termid tranid
program_name* **256 unclosed FileBrowse
browse sessions exist for task trannum.**

説明: 256 com.ibm.cics.server.FileBrowse セッションが、同じ CICS タスクでクローズされていない状態でアクティブ化されています。CICS は、これらの FileBrowse セッションが現在使用されているのか、暗黙の SYNCPOINT のために終了したのかを判別できません。

システムの処置: 後続の FileBrowse セッションは、既存の REQID 値を再使用します。これにより、新規の FileBrowse セッションが既存のアクティブな FileBrowse セッションを結合する可能性があります。

ユーザーの処置: FileBrowse オブジェクトが不要になったら、それに対して end() メソッドを呼び出すように、呼び出し元アプリケーションを変更してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *trannum*

宛先: CSMT

DFHSJ0901 I *Date time applid JVMSERVER
jvmserver Java full version is:
current_ver.*

説明: Java のフル・バージョンは情報提供のみを目的として表示されています。このメッセージを抑止するには、JVM プロファイルで

DISPLAY_JAVA_VERSION=FALSE オプションを設定します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

モジュール: com.ibm.cics.server.Wrapper

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *current_ver*

宛先: CSMT

DFHSJ0903 *date time applid userid termid tranid
program_name Exception exception
occurred invoking main method in
class className.*

説明: jcics ラッパー・クラスは、クラス *className* で main メソッドを呼び出そうとして、例外 *exception* をキャッチしました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成され、タスクが異常終了されます。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、タスクを再実行してください。

モジュール: DFJCICS
(com.ibm.cics.server.Wrapper.java)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *exception*
9. *className*

宛先: CCZM

DFHSJ0904 *ldate time applid userid termid tranid
program_name Exception 'exception'
occurred creating object reference for
class className.*

説明: 予期しない実行時例外またはエラーがスローされ、CICS Java ラッパー・クラスでキャッチされました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成され、タスクが異常終了されます。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、タスクを再発行してください。

モジュール: com.ibm.cics.server.Wrapper

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *exception*
9. *className*

宛先: CCZM

DFHSJ0905 *date time applid userid termid tranid
program_name Class name className is
invalid.*

説明: クラス名 *className* は無効です。これは、多くの場合、「.」文字または「/」文字が誤って先行していることが原因です。

システムの処置: 例外トレース項目が作成され、タスクが異常終了されます。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、タスクを再実行してください。

モジュール: com.ibm.cics.server.Wrapper

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*

8. *className*

宛先: CCZM

DFHSJ0906 *Date time applid* **The CICS Java Wrapper class failed to find the requested plugin *plugin*.**

説明: CICS JVM は、要求されたプラグイン・クラス *plugin* をインスタンス化しようとしたが、JVM はクラスパスでこのクラスを検出できませんでした。

システムの処置: プラグインはインストールされません。

ユーザーの処置: 現行プログラムで使用されている JVM プロファイルで `CLASSPATH_SUFFIX` に設定された値を確認します。要求されたプラグインへのパスは、`CLASSPATH_SUFFIX` の一部として存在している必要があります。

モジュール: `com.ibm.cics.server.Wrapper`

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plugin*

宛先: CSMT

DFHSJ0907 *Date time applid tranid program_name trannum userid termid* **CICS Java** ラッパー・プラグイン *plugin* が、例外 *exception* をスローしました。

説明: CICS JVM Java ラッパー・クラスは、プラグイン *plugin* からスローされた例外をキャッチしました。

システムの処置: JVM はユーザー・アプリケーションの処理を続行しようとしています。

ユーザーの処置: *plugin* のベンダーに連絡してさらにサポートを求めるか、プラグインの本文で例外をキャッチしてください。

モジュール: `com.ibm.cics.server.Wrapper`

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. *trannum*
7. *userid*

8. *termid*

9. *plugin*

10. *exception*

宛先: CSMT

DFHSJ0910 *date time applid userid* **JVMSERVER *jvmserver* has been created.**

説明: JVMSERVER が作成され、現在 ENABLING 状態です。ENABLED 状態になるまでは使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。JVMSERVER は間もなくインストールを完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ0911 *date time applid userid* **JVMSERVER *jvmserver* was not created because {there is insufficient storage. | there is a directory domain error. | a lock cannot be obtained. | there is a duplicate resource error. | it is a duplicate of one that already exists. | the PROFILEDIR is over the maximum length of 240 characters.}**

説明: JVMSERVER *JVMSERVER* は作成されませんでした。このエラーは、さまざまな理由で発生します。詳細はメッセージに示されています。

システムの処置: JVMSERVER は作成されません。

ユーザーの処置: 報告された問題を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. 以下のオプションから選択される値。

- 1= ストレージ不足。
- 2= ディレクトリー・ドメイン・エラー。
- 3= ロックを取得できなかった。
- 4= 重複リソース・エラー。
- 5= 既に存在するものと重複している。
- 6= PROFILEDIR が最大長 240 文字を超えている。

宛先: CSMT

DFHSJ0912 *date time applid userid JVMSERVER*
jvmserver was successfully discarded.

説明: JVMSERVER は正常に破棄され、これ以上使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ0913 *date time applid userid JVMSERVER*
jvmserver is being discarded.

説明: JVMSERVER リソースを破棄中ですが、実行中の作業が未解決であるため、この時点では完了できません。

システムの処置: 実行中の活動が完了すると、CICS は JVMSERVER リソースを破棄します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ0914 E *date time applid userid JVMSERVER*
jvmserver は **DISABLED** としてインストールされました。理由 {JVM サーバーが見つからなかった。| CICS が JVM プロファイルの読み取りを許可されていない。| CJSR トランザクションを接続できなかった。| 使用可能なストレージが不足している。| 活動化モードで障害が発生した。| TP TCB の追加に失敗した。| TP TCB に対する変更モードで障害が発生した。| 言語環境エンクレープが作成されなかった。| ランタイム・オプションで障害が発生した。| JVMProfile テーブルの更新に失敗した。| 使用可能なスレッドが不足していた。| CJSI トランザクションを接続できなかった。| CJSI ThreadJoiner クラスを作成できなかった。}

説明: JVMSERVER は初期設定を完了することができませんでした。

システムの処置: JVMSERVER は DISABLED 状態にされました。

ユーザーの処置: CICS 領域 ID に、JVM プロファイルおよび LERUNOPTS プログラムへのアクセス権限があることを確認してください。障害に関するより具体的な理由については、メッセージを参照してください。

問題が解決しない場合は、トレース機能を使用して問題の原因を判別することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. 以下のオプションから選択される値。

- 1= JVM サーバーが見つからなかった。
- 2= CICS が JVM プロファイルの読み取りを許可されていない。
- 3= CJSR トランザクションを接続できなかった。
- 4= 使用可能なストレージが不足している。
- 5= 活動化モードで障害が発生した。
- 6= TP TCB の追加に失敗した。
- 7= TP TCB に対する変更モードで障害が発生した。
- 8= 言語環境エンクレープが作成されなかった。
- 9= ランタイム・オプションで障害が発生した。
- 10= JVMProfile テーブルの更新に失敗した。

11= 使用可能なスレッドが不足していた。
 12= CJSI トランザクションを接続できなかった。
 13= CJSI ThreadJoiner クラスを作成できなかった。

宛先: CSMT

DFHSJ0915 *date time applid userid JVMSERVER*
jvmserver is now enabled and is ready
for use.

説明: JVMSERVER が初期設定を完了し、作動可能です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0916 W *date time applid userid the requested*
thread limit for JVMSERVER jvmserver
exceeds the maximum available. スレ
 ヲド限界は、使用可能な最大値に設定されま
 す。

説明: JVMSERVER リソースの要求された
 THREADLIMIT 値が、使用可能なスレッド数を超えて
 います。

システムの処置: JVMSERVER リソースの
 THREADLIMIT 値は、現在 CICS 領域で使用可能なス
 レッドの最大値に設定されています。

ユーザーの処置: 新しいスレッド限界が受け入れ可能か
 どうかを確認してください。新しい値が受け入れられな
 い場合の唯一のオプションは、CICS 領域内の他の
 JVMSERVER リソースの THREADLIMIT 値を小さく
 して、更新を再試行することです。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

5. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ0917I *date time applid userid JVMSERVER*
jvmserver is disabled.

説明: JVMSERVER は使用不可にされています。

システムの処置: JVMSERVER は DISABLED 状態に
 されました。

ユーザーの処置: なし

なし

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ0918 *date time applid userid JVMSERVER*
jvmserver is being disabled due to a
{PHASEOUT | PURGE |
FORCEPURGE | KILL} request.

説明: JVMSERVER リソースは無効化中ですが、実行
 中の作業が未解決であるため、この時点では完了できま
 せん。

システムの処置: 実行中の活動が完了すると、CICS は
 JVMSERVER リソースを無効にします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=PHASEOUT

2=PURGE

3=FORCEPURGE

4=KILL

宛先: CSMT

DFHSJ0919 I *date time applid userid JVMSERVER
jvmserver is processing any queued
bundles.*

説明: JVM サーバーは、以前にインストールされたいずれかの OSGi バンドルまたは WAR バンドルを処理しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ0921 *date time applid userid A servlet request
processed by JVMSERVER jvmserver
failed to run because tranid tranid is
disabled*

説明: JVMSERVER でのサーブレット要求が、無効にされているトランザクションにその要求をマップした URIMAP に一致しました。

システムの処置: CICS は、HTTP 503 サービス使用不可エラーにより要求を拒否します。

ユーザーの処置: このサービスが使用可能になったら、トランザクションを有効にします。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. *tranid*

宛先: CSMT

DFHSJ0922 *date time applid userid JVMSERVER
jvmserver によって処理された要求は、
tranid tranid ;が見つからなかったため実
行できませんでした*

説明: JVMSERVER に対する要求には、インストール

されていないトランザクションが必要です。このトランザクションは、アプリケーション・コードによって指定されているか、または Web 要求での URIMAP の突き合わせの結果である可能性があります。

システムの処置: CICS は要求を拒否します。これが Web 要求であった場合は、「HTTP 500 内部サーバー・エラー」になる可能性があります。

ユーザーの処置: トランザクションをインストールするか、または利用可能なトランザクションを使用するように URIMAP か要求元アプリケーションを更新してください。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. *tranid*

宛先: CSMT

DFHSJ0923 *date time applid userid URIMAP urimap
が無効であるため、JVMSERVER
jvmserver によって処理されたサーブレッ
ト要求の実行に失敗しました。*

説明: JVMSERVER でのサーブレット要求が、無効にされている URIMAP に一致しました。

システムの処置: CICS は、HTTP 503 サービス使用不可応答により要求を拒否します。

ユーザーの処置: 今後の要求を処理するには、URIMAP リソースを有効にします。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. *urimap*

宛先: CSMT

DFHSJ0924 *date time applid userid* **A servlet request processed by JVMSERVER *jvmserver* failed to run because the scheme in URIMAP *urimap* does not match the scheme in the URL.**

説明: JVMSERVER でのサーブレット要求が、正しくないスキームを使用する URIMAP に一致しました。

システムの処置: CICS は、HTTP 500 内部サーバー・エラーにより要求を拒否します。

ユーザーの処置: URIMAP リソースの SCHEME 値またはポート定義を変更します。ポート定義は、JVM サーバーの *server.xml* ファイルまたは JVM プロファイルで変更できます。JVM プロファイルを変更する場合は、JVM サーバーを再始動して変更を有効にする必要があります。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. *urimap*

宛先: CSMT

DFHSJ0925 *date time applid userid termid tranid program_name* **Exception '*exception*' occurred instantiating the Java class referenced by '*class_identifier*'.**

説明: CICS は、*class_identifier* によって参照されるクラスのインスタンスをインスタンス化しようとして、例外 *exception* をキャッチしました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成され、タスクが異常終了されます。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、タスクを再実行してください。考えられる原因の 1 つは、クラスに引数コンストラクターがないことです。これは、CICS がクラスのインスタンスを作成できるようにするために必要です。

モジュール: com.ibm.cics.server.Wrapper

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *exception*
9. *class_identifier*

宛先: CCZM

DFHSJ0926 *date time applid userid termid tranid program_name* **Exception '*exception*' occurred invoking the link() method of the class referenced by '*class_identifier*'.**

説明: CICS は、*class_identifier* によって参照されるクラスの *link()* メソッドによってスローされた例外 *exception* をキャッチしました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成され、タスクが異常終了されます。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、タスクを再実行してください。

モジュール: com.ibm.cics.server.Wrapper

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *tranid*
7. *program_name*
8. *exception*
9. *class_identifier*

宛先: CCZM

DFHSJ1001 *date time applid userid* **An attempt to attach a thread to JVMSERVER *jvmserver* has failed. 戻りコード: *return_code*.**

説明: JNI スレッドを、JVMSERVER *jvmserver* に属する JVM に接続しようとしたましたが、JNI 戻りコード *return_code* で失敗しました。

システムの処置: CICS は JVMSERVER で指定されたクラスを実行できなかったため、呼び出し元のモジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHSJSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. *return_code*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1002 *date time applid userid* **The class *classname* that was specified to be run in JVMSERVER *jvmserver* cannot be found.**

説明: JVM サーバー *jvmserver* を実行するために指定されたクラス *classname* が見つかりません。例外が標準エラー・ストリームに出力されます。

システムの処置: CICS は JVM サーバーで指定されたクラスを実行できなかったため、呼び出し元のモジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: 以下のことを確認してください。

- PROGRAM リソースに完全修飾クラス名が含まれており、正しい JVM サーバーを指しているようにしてください。
- クラスが OSGi バンドル内にある場合は、その OSGi バンドルを STARTING 状態または ACTIVE 状態にするようにしてください。CICS-MainClass マニフェスト項目にこのクラスが指定されている必要があります。
- アプリケーションがリンク可能インターフェースを使用している場合は、このクラスを含むディレクトリーまたはアーカイブをクラスパスに追加するようにしてください。JVM サーバーの JVM プロファイルには、CLASSPATH_SUFFIX オプションが含まれている必要があります。

標準エラー・ストリームの情報を使用して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHSJSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *classname*
6. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ1003 *applid* **An attempt to locate the *method_name* method with signature *signature* in class *classname* has failed, for JVMSERVER *jvmserver*.**

説明: JVMSERVER *jvmserver* で、シグニチャー *signature* を持つ *method_name* メソッドをクラス *classname* で見つけようと試みましたが、失敗しました。例外が標準エラー・ストリームに出力されます。

システムの処置: CICS は JVMSERVER の所定のクラスの指定されたメソッドを実行できなかったため、呼び出し元モジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: 標準エラー・ストリームからの例外出力を使用して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHSJSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *method_name*
3. *signature*
4. *classname*
5. *jvmserver*

宛先: コンソール

DFHSJ1004 *date time applid userid* **An exception has been thrown by the *method_name* method of class *classname* running in JVMSERVER *jvmserver*. 例外 '*exception*'.**

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* に属する JVM 内で実行していた、クラス *classname* の *method_name* によって例外がスローされました。

システムの処置: CICS は例外を標準エラー・ストリームに書き込み、呼び出し元のモジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: JVM によってスローされた例外を調べて、問題の原因を判別してください。例外は標準エラー・ストリームに出力されています。

モジュール: DFHSJSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *method_name*
6. *classname*
7. *jvmserver*
8. *exception*

宛先: CSMT

DFHSJ1005 *date time applid userid* **An attempt to detach a thread from JVMSERVER *jvmserver* has failed.** 戻りコード: *return_code*.

説明: JNI スレッドを、JVMSERVER *jvmserver* に属する JVM から切り離そうとしましたが、JNI 戻りコード *return_code* で失敗しました。

システムの処置: CICS は呼び出し元モジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHSJSC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. *return_code*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1006 E *date time applid userid* **An attempt to attach to JVMSERVER *jvmserver* has failed because {the channel name used is invalid | the JVMSERVER name is missing | the JVMSERVER name is too long | the userclass name is missing | the user channel is invalid | the XML in the PIPELINE configuration file is invalid | the JVMSERVER does not exist | the JVMSERVER is not enabled | the wrapper class cannot be found | the transaction abended | the attach of the thread failed | the wrapper method was not found | the detach of the thread failed | the JVM threw an exception | the DFH-HANDLERPLIST container is missing | the thread was forced to terminate abnormally | the thread could not be created | the JVMSERVER failed to start the OSGi service | the Liberty link request listener is not available | of an error invoking the Liberty class | the Liberty link request has timed out}.**

説明: JVMSERVER に接続しようとしたことが、失敗しました。

システムの処置: CICS は JVMSERVER に接続できなかったため、呼び出し元のモジュールにエラーを返します。

ユーザーの処置: エラー・コードを確認してください。メッセージが構成エラーを示している場合は、適切な訂正を行います。

エラーが「ラッパー」クラスへのアクセスに失敗したことを示している場合、これは OSGi 対応の JVM サーバーが誤って使用されていることを示している可能性があります。JVM サーバーの JVM プロファイルに JAVA_PIPELINE=YES を追加します。

メッセージが障害を示している場合は、詳細情報について、CICS によって発行されたその他のメッセージを調べます。その他のエラー・メッセージが発行されなかった場合は、JVM の stderr 宛先を見つけて詳細を調べます。

DFHSJJI を使用して JVMSERVER に接続している場合は、DFHSJJI に渡されたパラメーターが有効であり、ターゲット JVMSERVER が使用可能になっていることを確認します。JVMSERVER で実行されているアプリケーションが失敗した場合は、その問題の診断を見つけます。

問題が解決しない場合は、トレース機能を使用して問題の原因を判別しなければならない場合があります。

モジュール: DFHSJJI、DFHAPLJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 使用されているチャンネル名が無効である
- 2= JVMSERVER 名が欠落している
- 3= JVMSERVER 名が長すぎる
- 4= ユーザー・クラス名が欠落している
- 5= ユーザー・チャンネルが無効である
- 6= PIPELINE 構成ファイルの XML が無効である
- 51= JVMSERVER が存在しない
- 52= JVMSERVER が使用可能ではない
- 53= ラッパー・クラスが見つからない
- 54= トランザクションは異常終了しました
- 55= スレッドの接続に失敗した
- 56= ラッパー・メソッドが見つからなかった
- 57= スレッドの切り離しに失敗した
- 58= JVM が例外を *throw* した
- 59= DFH-HANDLERPLIST コンテナーが欠落している
- 60= 異常終了するようにスレッドが強制された
- 61= スレッドを作成できなかった
- 62= JVMSERVER が OSGi サービスの開始に失敗した
- 63= *Liberty* リンク要求リスナーが使用不可である
- 64= *Liberty* クラス呼び出し中のエラー
- 65= *Liberty* リンク要求がタイムアウトした

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1007 W *date time applid tranid trannum*
**JVMSERVER *jvmserver* is being
 disabled and restarted by CICS
 because it is in an inconsistent state.**

説明: JVMSERVER *jvmserver* は不整合状態にあるため、CICS によって再始動されています。CICS はさまざまな理由で JVMSERVER リソースを使用不可にする可能性があります。例えば、ユーザー JNI コードで 0Cx 異常終了が発生した、OutOfMemoryError エラーにより 0Cx 異常終了が発生した、JVM スレッドで 0Cx 異常終了が発生した、タスク・ページによって JVM スレッドが終了されたなどの理由です。

システムの処置: CICS は、異常終了により、JVM が不整合状態のままであることを検出しました。CICS は、PHASEOUT オプションを使用して JVMSERVER リソースを使用不可にします。PHASEOUT オプションは、JVM 内の既存の作業は可能な限り実行できるようにし、新しい作業は JVM を使用して行われなように

します。JVMSERVER が正常に使用不可にされると、メッセージ DFHSJ1008 が出されます。CICS は、リソースを再び使用可能にして、新しい JVM を作成しようとします。

ユーザーの処置: JVM 出力と CICS ログを調べて、異常終了の原因を判別してください。ユーザー JNI コードの異常終了の場合は、JNI ソース・コードを訂正します。OutOfMemoryError エラーの場合は、JVM で構成されている最大ヒープ・サイズまたはスタック・サイズが小さすぎるか、Java プログラムにメモリー・リークがあるためにエラーが発生している可能性があります。標準 JVM モニター・ツールを使用して、原因を判別してください。JVM スレッドに 0Cx がある場合、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: DFHSJTH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1008 W *date time applid CICS is enabling
 JVMSERVER *jvmserver* after
 successfully disabling the resource.*

説明: CICS は、JVMSERVER *jvmserver* を正常に使用不可にした後で、このリソースを有効にしています。このメッセージは、メッセージ DFHSJ1007 または DFHPI1009 の後に出されます。

システムの処置: CICS は、正常に使用不可にした JVMSERVER を有効にします。

ユーザーの処置: CICS が JVMSERVER リソースを使用不可にした理由を確認するには、メッセージ DFHSJ1007 または DFHPI1009 を参照してください。

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ1009 W *date time applid tranid trannum*
JVMSERVER *jvmserver* is being disabled and restarted by CICS because a task running in a JVMSERVER has triggered a runaway condition, leaving the JVMSERVER in an inconsistent state.

説明: JVMSERVER *jvmserver* は不整合状態にあるため、CICS によって再始動されています。タスクのランナウェイ状態が発生し、JVM が不整合状態のままになっています。

システムの処置: CICS は、PHASEOUT オプションを使用して JVMSERVER リソースを使用不可にします。PHASEOUT オプションは、JVM 内の既存の作業は可能な限り実行できるようにし、新しい作業は JVM を使用して行われないようにします。JVMSERVER が正常に使用不可にされると、メッセージ DFHSJ1008 が出されます。CICS は、リソースを再び使用可能にして、新しい JVM を作成しようとします。

ユーザーの処置: タスクがランナウェイ処理を起動した理由を判別してください。

モジュール: DFHSJTH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *trannum*
6. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1100 *date time applid* **An attempt to install the bundletype bundle with symbolic name *symbolicname*, version *version* into JVM server *jvmserver* has failed with reason code**
 {**ERROR_CODE_UNRECOGNIZED** |
JVMSERVER_NOT_FOUND |
EXCEPTION_FROM_JVMSERVER |
JVMSERVER_NOT_OSGI_ENABLED |
INTERNAL_ERROR |
DUPLICATE_RESOURCE_FOUND |
JVMSERVER_NOT_LIBERTY_SERVER |
JVMSERVER_IS_LIBERTY_SERVER}.

説明: JVM サーバー *jvmserver* で、シンボル名 *symbolicname*、バージョン *version* の OSGi、WAR、EBA、または EAR のバンドルをインス

トールしようとしたましたが、失敗しました。このエラーは、OSGi、WAR、EBA、または EAR のバンドルを 1 つ以上含む CICS BUNDLE リソースをインストールする際に発生する可能性があります。理由コードに、バンドルのインストールが失敗した理由の詳細が説明されています。*version* は、WAR、EBA、および EAR の各バンドルの場合は 1.0.0 と表示されます。

ERROR_CODE_UNRECOGNISED

予期しないエラーが発生しました。

JVMSERVER_NOT_FOUND

ターゲット JVM サーバーは使用不可です。

EXCEPTION_FROM_JVMSERVER

バンドルのインストール時に JVM サーバーで例外がスローされました。

JVMSERVER_NOT_OSGI_ENABLED

JVM サーバーは、OSGi をサポートするように構成されていません。

INTERNAL_ERROR

これは内部システム・エラーです。

DUPLICATE_RESOURCE_FOUND

同じ名前とバージョンのリソースが既に JVM サーバーにインストールされています。

JVMSERVER_NOT_LIBERTY_SERVER

WAR バンドルを、Liberty プロファイルを実行していない JVM サーバーにインストールしようとした。

JVMSERVER_IS_LIBERTY_SERVER

OSGi バンドルを、Liberty プロファイルを実行している JVM サーバーにインストールしようとした。

システムの処置: CICS は、OSGi、WAR、EBA、または EAR のバンドルをインストールできませんでした。CICS BUNDLE リソースのバンドル部分は UNUSABLE 状態になり、CICS BUNDLE リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 理由コードを調べて、OSGi、WAR、EBA、または EAR のバンドルのインストールが失敗した原因を判別してください。必要に応じて、以下のいずれかのアクションを実行します。

ERROR_CODE_UNRECOGNIZED

IBM サポートにお問い合わせください。

JVMSERVER_NOT_FOUND

ターゲット JVM サーバーが正しいことを確認してください。正しくない場合は、CICS Explorer SDK を使用して、正しい JVM サーバーを指定してください。正しい JVM サーバーが指定されている場合は、指定された JVMSERVER リソースがインストールされ、有効になっているようにしてください。

EXCEPTION_FROM_JVMSERVER

他の DFHSJ メッセージと、zFS に関する JVM サーバー診断情報を確認して、例外の原因を判別してください。

JVMSERVER_NOT_OSGI_ENABLED

JVM サーバーが、JVMSERVER リソースで指定されている JVM プロファイルで正しく構成されていることを確認してください。

JAVA_PIPELINE、STS、および CLASSPATH_SUFFIX などの JVM プロファイル・オプションが指定されていると、OSGi フレームワークがロードできなくなります。

INTERNAL_ERROR

IBM サポートにお問い合わせください。

DUPLICATE_RESOURCE_FOUND

リソースに正しいシンボル名およびバージョンがあるようにしてください。リソースが別の BUNDLE リソースに既にインストールされていないことを確認してください。

JVMSERVER_NOT_LIBERTY_SERVER

JVM サーバーが Liberty プロファイルを実行しているようにしてください。

JVMSERVER_IS_LIBERTY_SERVER

JVM サーバーが Liberty プロファイルを実行していないようにしてください。

問題を訂正したら、CICS BUNDLE リソースを破棄してから再インストールしてください。

モジュール: DFHSJRL, DFHSJBD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *symbolicname*
6. *version*
7. *jvmserver*
8. 以下のオプションから選択される値。

```
1=ERROR_CODE_UNRECOGNIZED
2=JVMSERVER_NOT_FOUND
3=EXCEPTION_FROM_JVMSERVER
4=JVMSERVER_NOT_OSGI_ENABLED
5=INTERNAL_ERROR
6=DUPLICATE_RESOURCE_FOUND
7=JVMSERVER_NOT_LIBERTY_SERVER
8=JVMSERVER_IS_LIBERTY_SERVER
```

宛先: CSMT

DFHSJ1101 *date time applid* **An attempt to enable the bundletype bundle with symbolic name symbolicname, version version in JVM server jvmserver has failed with reason code {ERROR_CODE_UNRECOGNIZED | EXCEPTION_FROM_JVMSERVER}.**

説明: JVM サーバー *jvmserver* で、シンボル名 *symbolicname*、バージョン *version* の OSGi バンドルまたは WAR バンドルを有効にしようとしたましたが、失敗しました。このエラーは、1 つ以上の OSGi バンドルまたは WAR バンドルを含む CICS BUNDLE リソースをインストールするか有効化すると発生する可能性があります。インストール時のエラーは、CICS BUNDLE が有効としてインストールされる場合に発生する可能性があります。理由コードに、CICS がバンドルの有効化に失敗した理由の詳細が説明されています。

ERROR_CODE_UNRECOGNIZED

予期しないエラーが発生しました。

EXCEPTION_FROM_JVMSERVER

バンドルを有効にするときに JVM サーバーで例外がスローされました。OSGi フレームワークでの OSGi バンドルの活動化に失敗したか、WAR バンドルの有効化に失敗しました。

システムの処置: CICS は OSGi バンドルまたは WAR バンドルの有効化に失敗しました。CICS BUNDLE リソースのバンドル部分は DISABLED 状態になり、CICS BUNDLE リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 理由コードを調べて、バンドルの有効化が失敗した原因を判別してください。必要に応じて、以下のいずれかのアクションを実行します。

ERROR_CODE_UNRECOGNIZED

IBM サポートにお問い合わせください。:

EXCEPTION_FROM_JVMSERVER

UNIX ファイル・システムが満杯になっていないことを確認してください。他の DFHSJ メッセージと、JVM サーバー診断情報を確認して、例外の原因を判別してください。

問題を訂正したら、CICS BUNDLE リソースを有効にします。CICS は、OSGi バンドルまたは WAR バンドル、および有効にされていないその他のバンドル部分を有効にする要求を発行します。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *symbolicname*
6. *version*
7. *jvmserver*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=ERROR_CODE_UNRECOGNIZED
2=EXCEPTION_FROM_JVMSEVER

宛先: CSMT

DFHSJ1102 *date time applid* **An attempt to disable the bundletype bundle with symbolic name *symbolicname*, version *version* in JVM server *jvmserver* has failed with reason code {ERROR_CODE_UNRECOGNIZED | EXCEPTION_FROM_JVMSEVER}.**

説明: CICS は、JVM サーバー *jvmserver* にインストールされている、シンボル名 *symbolicname*、バージョン *version* の OSGi バンドルまたは WAR バンドルの無効化に失敗しました。

システムの処置: バンドル部分および CICS BUNDLE リソースは前の状態のままになっています。

ユーザーの処置: 理由コードを調べて、バンドルの無効化が失敗した原因を判別してください。必要に応じて、以下のいずれかのアクションを実行します。

ERROR_CODE_UNRECOGNIZED

IBM サポートにお問い合わせください。:

EXCEPTION_FROM_JVMSEVER

他の DFHSJ メッセージと、zFS に関する JVM サーバー診断情報を確認して、例外の原因を判別してください。

問題を訂正したら、CICS BUNDLE リソースを無効にします。CICS は、OSGi バンドルまたは WAR バンドル、および無効にされていないその他のバンドル部分を無効にする要求を発行します。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *symbolicname*
6. *version*
7. *jvmserver*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=ERROR_CODE_UNRECOGNIZED
2=EXCEPTION_FROM_JVMSEVER

宛先: CSMT

DFHSJ1104I W *date time applid* **The bundletype bundle with symbolic name *symbolicname*, version *version* has not been {installed | enabled} because the JVM server *jvmserver* is not enabled.**

説明: JVM サーバー *jvmserver* が有効にされていないため、シンボル名 *symbolicname*、バージョン *version* の OSGi バンドルまたは WAR バンドルをインストールまたは有効化できません。

システムの処置: JVM サーバーが有効にされると、CICS は直ちに OSGi バンドルまたは WAR バンドルをインストールして適切なステータスに設定します。CICS BUNDLE リソースのバンドル部分は DISABLED 状態になり、CICS BUNDLE リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 問題を訂正したら、CICS BUNDLE リソースを破棄してから再インストールしてください。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *symbolicname*
6. *version*

7. 以下のオプションから選択される値。

1= インストール (*installed*)
2= 使用可能化 (*enabled*)

8. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ1105 *date time applid bundletype bundle
bundlepartname version version from
BUNDLE bundlename has been
installed as {Enabled | Disabled}.*

説明: CICS BUNDLE *bundlename* からの OSGi バンドル・リソースまたは WAR バンドル・リソース *bundlepartname* バージョン *version* のインストールが完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *bundlepartname*
6. *version*
7. *bundlename*

8. 以下のオプションから選択される値。

1= 有効
2= 無効

宛先: CSMT

DFHSJ1106 *date time applid bundletypeBUNDLE
bundlepartname version version from
BUNDLE bundlename has been
discarded.*

説明: CICS BUNDLE *bundlename* からの OSGi バンドル・リソース *bundlepartname* バージョン *version* の破棄が完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *bundlepartname*
6. *version*
7. *bundlename*

宛先: CSMT

DFHSJ1107 *date time applid シンボル名 symbolicname
バージョン version の bundletype バンド
ルが {有効 | 無効} になりました。*

説明: OSGi バンドル・リソースまたは WAR バンドル・リソース *symbolicname* バージョン *version* が有効または無効になりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *symbolicname*
6. *version*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 有効
2= 無効

宛先: CSMT

DFHSJ1108 *date time applid An attempt to install
the bundletype bundle with symbolic
name symbolicname referenced by
bundle part bundlepartname of BUNDLE
bundlename into JVMSERVER jvmserver
has failed with reason code
{INVALID_VERSION_RANGE}.*

説明: CICS BUNDLE *bundlename* の OSGi バンドル・プロジェクト参照 *bundlepartname* が無効な *versionRange=* 属性を指定しているため、シンボル名 *symbolicname* の OSGi バンドルを JVMSERVER *jvmserver* にインストールできませんでした。理由コードに、バンドルのインストールが失敗した理由の詳細が説明されています。

INVALID_VERSION_RANGE

OSGi バンドル・プロジェクト参照
bundlepartname の *versionRange=* 属性は無効な形式です。次の形式にする必要があります。

```
{ [ | ( } minimumVersion, maximumVersion { ] | ) }
```

先頭、末尾、または埋め込みスペースはすべて無視されます。

システムの処置: CICS は OSGi バンドルを OSGi フレームワークにインストールできませんでした。バンドル部分 *bundlepartname* は UNUSABLE 状態になり、CICS BUNDLE リソース *bundlename* は使用不可になります。

ユーザーの処置: OSGi バンドル・プロジェクト参照 *bundlepartname* の *versionRange=* 属性に指定された値を訂正し、CICS BUNDLE リソース *bundlename* を破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *symbolicname*
6. *bundlepartname*
7. *bundlename*
8. *jvmserver*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=INVALID_VERSION_RANGE

宛先: CSMT

DFHSJ1109 *date time applid* **An attempt to determine the highest semantic version of the *bundletype* bundle with symbolic name *symbolicname* referenced by bundle part *bundlepartname* of BUNDLE *bundlename* to install into JVMSERVER *jvmserver* has failed with reason code {JVMSERVER_NOT_FOUND | JVMSERVER_NOT_ENABLED | NO_BUNDLE_IN_VERSION_RANGE | EXCEPTION_FROM_JVMSERVER | INTERNAL_ERROR}.**

説明: CICS BUNDLE リソース *bundlename* のバンド

ル部分 *bundlename* によって参照される、シンボル名 *symbolicname* の OSGi バンドルの最新セマンティック・バージョンを判別しようとしたが、失敗しました。このエラーは、1 つ以上の OSGi バンドルを含む CICS BUNDLE リソースをインストールしたときか、SET BUNDLE PHASEIN コマンドを発行した後に発生する可能性があります。理由コードに、バンドルのインストールが失敗した理由の詳細が説明されています。

JVMSERVER_NOT_FOUND

ターゲット JVMSERVER は使用不可です。

JVMSERVER_NOT_ENABLED

ターゲット JVMSERVER は有効にされていません。

NO_BUNDLE_IN_VERSION_RANGE

シンボル名 *symbolicname* の OSGi バンドルのバージョンが、それが関連付けられている OSGi バンドル・プロジェクト参照の *versionRange=* 属性によって定義されているバージョン範囲に見つかりませんでした。

EXCEPTION_FROM_JVMSERVER

シンボル名 *symbolicname* の OSGi バンドルの最新セマンティック・バージョンを判別するために JAR ファイルを読み取っているときに、JVM が例外をスローしました。

INTERNAL_ERROR

これは内部システム・エラーです。

システムの処置: CICS は OSGi バンドルを OSGi フレームワークにインストールできませんでした。CICS BUNDLE リソース *bundlename* の OSGi バンドル・プロジェクト参照 *bundlepartname* は UNUSABLE 状態になり、CICS BUNDLE リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 理由コードを調べて、OSGi バンドルのインストールが失敗した原因を判別してください。必要に応じて、以下のいずれかのアクションを実行します。

JVMSERVER_NOT_FOUND

CICS BUNDLE *bundlename* の OSGi バンドル・プロジェクト参照 *bundlepartname* 内の *jvmserver=* 属性で指定されたターゲット JVM サーバー *jvmserver* が正しいことを確認してください。正しくない場合は、CICS Explorer SDK を使用して、正しい JVM サーバーを指定してください。正しい JVM サーバーが指定されている場合は、それがインストールされ、有効になっていることを確認してください。

JVMSERVER_NOT_ENABLED

ターゲット JVMSERVER *jvmserver* を使用可能にしてください。

NO_BUNDLE_IN_VERSION_RANGE

CICS BUNDLE *bundlename* の OSGi バンドル・プロジェクト参照 *bundlepartname* 内の **versionRange=** 属性で指定されたバージョン範囲が正しいこと、または OSGi バンドルの jar が、それが関連付けられている *.osgibundle* バンドル部分と同じディレクトリーにエクスポートされていること、あるいはその両方を確認します。

EXCEPTION_FROM_JVMSERVER

他の DFHSJ メッセージのシステム・ログと、zFS に関する JVM サーバー診断情報を確認して、例外の原因を判別してください。

INTERNAL_ERROR

IBM サポートにお問い合わせください。

問題を訂正したら、CICS BUNDLE リソース *bundlename* を破棄してから再インストールしてください。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *symbolicname*
6. *bundlepartname*
7. *bundlename*
8. *jvmserver*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=JVMSERVER_NOT_FOUND
 2=JVMSERVER_NOT_ENABLED
 3=NO_BUNDLE_IN_VERSION_RANGE
 4=EXCEPTION_FROM_JVMSERVER
 5=INTERNAL_ERROR

宛先: CSMT

DFHSJ1110 *date time applid* **The phasein of a new version of the *bundletype* bundle with symbolic name *symbolicname* has completed successfully. Version *oldversion* has been replaced by version *newversion*.**

説明: OSGi バンドル *symbolicname*、バージョン *oldversion* は、OSGi フレームワーク内で新規バージョン *newversion* に正常に置き換えられ、すべての新規サービス呼び出しに使用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundletype*
5. *symbolicname*
6. *oldversion*
7. *newversion*

宛先: CSMT

DFHSJ1200 *date time applid* **BUNDLE *bundlename* は、JVMSERVER *jvmserver* を正常にインストールしました。{無効な状態です。有効にするプロセスを開始しました | 無効な状態です}。**

説明: CICS バンドル *bundlename* は、JVMSERVER *jvmserver* を正常に無効な状態でインストールしました。

システムの処置: JVMSERVER を有効にすることが定義で指定されている場合、JVMSERVER の有効化を試みる処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *jvmserver*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 無効な状態です。有効にするプロセスを開始しました
 2= 無効な状態です

宛先: CSMT

DFHSJ1201 *date time applid BUNDLE bundlename*
 は、{JVMSEVER | NODEJSAPP} *name*
 のインストールに失敗しました。{定義が
 無効である | インストール失敗の | 内
 部エラーが発生した} ためです。

説明: CICS バンドル *bundlename* は、JVMSEVER または NODEJSAPP *jvmserver* のインストールに失敗しました。エラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、リソースは作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。詳細情報について前のメッセージを確認してください。また、同じ名前およびタイプのリソースが既に存在していないか確認してください。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHSJRL, DFHSJNR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=JVMSEVER
 2=NODEJSAPP

6. *name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 定義が無効である
 2= インストール失敗の
 3= 内部エラーが発生した

宛先: CSMT

DFHSJ1202 *date time applid BUNDLE bundlename* に
 おいて {JVMSEVER | NODEJSAPP} が
 指定されていなかったか、その名前が長すぎます。

説明: リソース名が指定されなかったか、長すぎたため、CICS バンドル *bundlename* がリソースをインストールできませんでした。

1512 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、リソースは作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイル内のリソースの名前を修正します。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=JVMSEVER
 2=NODEJSAPP

5. *bundlename*

宛先: CSMT

DFHSJ1203 *date time applid DISABLE request for*
JVMSEVER *jvmserver* has been
rejected.

説明: JVMSEVER *jvmserver* は BUNDLE リソースで定義されています。PURGE/FORCEPURGE/KILL は、JVMSEVER が使用不可にされている場合にのみ発行できます。

システムの処置: JVMSEVER は使用不可にできません。

ユーザーの処置: BUNDLE を使用不可にしてください。この処置で JVMSEVER を無効にできない場合は、JVMSEVER PURGE 要求を発行することを検討してください。

モジュール: DFHSJRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ1204 *date time applid* クラス名 *class*、メソッド *method* を持つ **JVMSEVER** *jvmserver* 内のプログラム *program* のリンク可能サービスが登録されています。(**A linkable service has been registered for program *program* in JVMSEVER *jvmserver* with classname *class*, method *method*.**)

説明: Liberty JVM サーバーでアプリケーションをインストールしているときに、CICS は @CICSProgram という注釈付きのメソッドを検出しました。リンク可能サービスが登録されていたため、このメソッドは EXEC CICS LINK PROGRAM(*program*) を使用して呼び出すことができます。

システムの処置: リンク可能サービスが登録され、PROGRAM リソースが存在しない場合は定義されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.link.impl.LinkableServicesManager

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*
5. *jvmserver*
6. *class*
7. *method*

宛先: CSMT

DFHSJ1205 *date time applid* リンク可能サービスは、別のリンク可能サービスがそのプログラム名で既に登録されているため、**JVMSEVER** *JVMSEVER* 内のプログラム *program* に登録されませんでした。(**A linkable service was not registered for program *program* in JVMSEVER *JVMSEVER* because another linkable service is already registered with that program name.**) クラス名は *class*、メソッド名は *method* でした (**The class name was *class*, method name *method***)

説明: Liberty JVM サーバーでアプリケーションをインストールしているときに、CICS は @CICSProgram という注釈付きのメソッドを検出しました。しかし、それは以前に検出された別のリンク可能サービスと同じプログラム名を指定していました。

システムの処置: リンク可能サービスは登録されていませんが、Web アプリケーションのインストール処理を続行します。

ユーザーの処置: クラス *class* の @CICSProgram 注釈で定義されているプログラム名を、競合しないように変更してください。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.link.impl.LinkableServicesManager

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*
5. *JVMSEVER*
6. *class*
7. *method*

宛先: CSMT

DFHSJ1206 *date time applid* **Liberty JVM** サーバーのアプリケーションへのリンクを試行しましたが、次の理由で失敗しました:
{USER_CLASS_NOT_FOUND | PROXY_CLASS_NOT_FOUND | COULD_NOT_INSTANTIATE_CLASS | NO_SERVICE_MATCHING_PROGRAM | BAD_SERVICE_NAME}。(**An attempt to LINK to an application in a Liberty JVM server failed because {USER_CLASS_NOT_FOUND | PROXY_CLASS_NOT_FOUND | COULD_NOT_INSTANTIATE_CLASS | NO_SERVICE_MATCHING_PROGRAM | BAD_SERVICE_NAME}.**) 目的とするターゲットは、クラス名 *class*、メソッド *method* を持つ **JVMSEVER** *JVMSEVER* のプログラム *program* でした (**The intended target was program *program* in JVMSEVER *JVMSEVER* with classname *class*, method name *method***)

説明: Liberty JVM サーバーでユーザー・アプリケーション内のメソッドを呼び出そうとしましたが、失敗しました。理由コードに、メソッドの呼び出しが失敗した理由の詳細が説明されています。

USER_CLASS_NOT_FOUND

ターゲット・クラス *class* が見つからなかったか、ロードできませんでした。

PROXY_CLASS_NOT_FOUND

プロキシ・セッション Bean *class* が見つかりませんでした。

COULD_NOT_INSTANTIATE_CLASS

ターゲット・クラス *class* をインスタンス化できませんでした。

NO_SERVICE_MATCHING_PROGRAM

プログラム *program* のリンク可能サービスが見つかりませんでした。

BAD_SERVICE_NAME

program のリンク可能サービスが見つかりましたが、*class* または *method* がプログラム・リソース内のサービス名と一致しなかった、サービス名が無効でした。

システムの処置: CICS は Liberty アプリケーションにリンクできませんでした。

ユーザーの処置: 理由コードおよび JVM サーバーの標準エラー・ログを調べて、アプリケーションを呼び出せなかった理由を判別してください。Liberty アプリケーションのターゲット・メソッドおよびクラスを確認して、@CICSProgram 注釈が正しく使用されているようにしてください。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.link.impl.ProPOJOLinkableTarget

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=USER_CLASS_NOT_FOUND
 2=PROXY_CLASS_NOT_FOUND
 3=COULD_NOT_INSTANTIATE_CLASS
 4=NO_SERVICE_MATCHING_PROGRAM
 5=BAD_SERVICE_NAME

5. *program*
6. *JVMSEVER*
7. *class*
8. *method*

宛先: CSMT

DFHSJ1207 *date time applid JVMSEVER jmsrver*
 のプログラム名 *program* のリンク可能サービスが見つかりませんでした。

説明: Liberty JVM サーバーのプログラムに対して EXEC CICS LINK を実行しようとした。しかし、このプログラム名のリンク可能サービスが定義されていませんでした。

システムの処置: Liberty アプリケーションは呼び出されません。

ユーザーの処置: Liberty アプリケーションがプログラム名 *program* で @CICSProgram 注釈を使用していることを確認します。アプリケーションがインストール済みで、開始されていることを確認します。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.link.mdb.CICSMessageListenerImpl

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*
5. *jmsrver*

宛先: CSMT

DFHSJ1208 *date time applid* 既存の定義は **PROGRAM** *program* にインストールされました。{JVM(YES) がありません。| 正しい JVMSEVER が指定されていません。| 正しい JVMCLASS が指定されていません。| 動的に置き換えはされません。}のため、リンク可能サービスでの使用には適していません。必要な値は *expected* ですが、見つかった値は *found* です。

説明: Liberty JVM サーバーでアプリケーションをインストールしているときに、CICS は *program* にインストールされている既存の PROGRAM 定義を検出しました。この既存の定義には、リンク可能サービスとの互換性がありませんでした。その定義の対象が、Java、正しい JVMSEVER、または正しい JVMCLASS でないか、動的に置換できなかったためです。CICS は、プログラムが以前に自動インストールされており、ロードされていない場合のみ、そのプログラムを動的に置き換えます。

システムの処置: 既存の PROGRAM 定義がインストールされたままですが、そのリンク可能サービスは使用できなくなります。

ユーザーの処置: @CICSProgram 注釈で定義されているプログラム名を、競合しないように変更するか、PROGRAM 定義を訂正してください。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.link.impl.ProgramGenerator

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *program*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= JVM(YES) がありません。
 2= 正しい JVMSERVER が指定されていません。
 3=正しい JVMCLASS が指定されていません。
 4=動的に置き換えはされません。

6. *expected*
7. *found*

宛先: CSMT

DFHSJ1300 *date time applid userid NODEJSAPP*
nodesapp が作成されました。

説明: NODEJSAPP が作成され、現在 ENABLING 状態です。ENABLED 状態になるまでは使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。NODEJSAPP は間もなくインストールを完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *nodesapp*

宛先: CSMT

DFHSJ1301 *date time applid userid NODEJSAPP*
nodesapp は作成されませんでした。理由:
 {an internal error occurred. | 既にインストールされているものと重複している。| 開始スクリプトが見つからない。| プロファイルが見つからない。| CICS に開始スクリプトへの読み取り権限がない。| CICS にプロファイルへのアクセス権限がない。| 開始スクリプトのファイル名が長すぎる。| プロファイルのファイル名が長すぎる。| リソース名が無効である。}

説明: NODEJSAPP NODEJSAPP は作成されませんでした。このエラーは、さまざまな理由で発生します。詳細はメッセージに示されています。

システムの処置: NODEJSAPP は作成されません。

ユーザーの処置: 報告された問題を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *nodesapp*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=内部エラーが発生した。,
 2=既にインストールされているものと重複している。,
 3=開始スクリプトが見つからない。
 4=プロファイルが見つからない。
 5=CICSに開始スクリプトへの読み取り権限がない。,
 6=CICSにプロファイルへのアクセス権限がない。,
 7=the start-script file name is too long。,,
 8=プロファイルのファイル名が長すぎる。
 9=リソース名が無効である。

宛先: CSMT

DFHSJ1302 *date time applid userid NODEJSAPP*
nodesapp は破棄されませんでした。理由:
 {内部エラーが発生した。| それが見つからなかった。} (NODEJSAPP *nodesapp*
was not discarded because {an internal error occurred. | it was not found.})

説明: NODEJSAPP NODEJSAPP は廃棄されませんでした。このエラーは、さまざまな理由で発生します。詳細はメッセージに示されています。

DFHSJ1303 • DFHSJ1304 E

システムの処置: NODEJSAPP は廃棄されません。

ユーザーの処置: 報告された問題を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *nodejsapp*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=内部エラーが発生した。,

2=それが見つからなかった。

宛先: CSMT

DFHSJ1303 *date time applid userid NODEJSAPP nodejsapp* が {有効になりました | 無効になりました | 破棄されました}。
(**NODEJSAPP nodejsapp has been**
{*enabled* | *disabled* | *discarded*}.)

説明: NODEJSAPP リソースの状態が変更されました。バンドルの有効化または無効化などのオペレーターの操作が原因である可能性もありますし、Node.js アプリケーションなどのアプリケーション・アクティビティが完了まで実行されて終了したことが原因である可能性もあります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *nodejsapp*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 有効

2= 無効

3= 破棄

宛先: CSMT

DFHSJ1304 E *date time applid userid NODEJSAPP nodejsapp* は戻りコード *retcode* で異常終了しました。

説明: NODEJSAPP リソースの処理が異常終了しました。早期終了を要求するアプリケーションが原因となった可能性もありますし、Node.js ランタイム環境で検出されたエラーが原因となった可能性もあります。

システムの処置: NODEJSAPP は無効な状態になります。Node.js プロセスが追加の診断をキャプチャーしている可能性があります。

ユーザーの処置: Node.js アプリケーションやランタイムで生成されるその他の診断情報については、NODEJSAPP リソースの **STDERR** 宛先を確認してください。*retcode* は、アプリケーションまたは Node.js ランタイムのいずれかで設定できます。アプリケーションで (`process.exit()` システム呼び出しを使用して) コードを設定した場合、その意味はアプリケーションで定義されます。Node.js ランタイムで使用するための応答コードのセットが定義されています。詳細については、Node.js 製品資料を参照してください。より一般的な出口コードの例を以下に示します。

- 1. キャッチされていない致命的例外。
- 3. 内部 JavaScript 解析エラー。
- 4. 内部 JavaScript 評価の失敗。
- 5. 致命的エラー。
- 6. 関数以外の内部例外ハンドラー。
- 7. 内部例外ハンドラー・ランタイムの失敗。
- 9. 引数が無効です。
- 10. 内部 JavaScript ランタイムの失敗。
- 12. デバッグ引数が無効です。
- >128. 信号が終了します。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *nodejsapp*
6. *retcode*

宛先: CSMT

DFHSJ1305 E *date time applid userid tranid* **Unix** シグナル *signal* を送信して **ID PID** を処理しようとしたが、エラー・コード {EINVAL | EMVSSAF2ERR | EPERM} で失敗しました。

説明: CICS が USS 信号をプロセスに送信しようとしたときに、エラー応答を受け取りました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: EMVSSAF2ERR と EPERM のコードは、CICS タスクに信号を出す許可がなかったことを暗黙に示しています。EINVAL コードは、信号が無効であったことを暗黙に示します。

モジュール: DFHSJRT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *signal*
7. *PID*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=EINVAL
2=EMVSSAF2ERR
3=EPERM

宛先: CSMT

DFHSJ1306 E *date time applid userid tranid* **LE RUNOPTS** モジュール *name* をロードしようとしたが、失敗しました。{ロードできない | コンテンツが長すぎる | 内部エラーの} ためです。(**An attempt to load LE RUNOPTS module name has failed because {it cannot be loaded | the contents are too long | of an internal error}.**)

説明: CICS は、要求された LE RUNOPTS モジュー

ルをロードできないか、処理できません。ファイルは DFHRPL 連結上に存在し、ロード可能で、コンテンツの長さが十分に短くなければなりません。CICS は追加の LE 構成パラメーターをコンテンツに追加しますが、追加後の合計が 255 文字を超えることはできません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 要求されたファイルが DFHRPL 連結の一部として使用可能で、コンテンツが最大長を超えていないことを確認してください。

モジュール: DFHSJRT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= ロードできない
2= コンテンツが長すぎる
3= 内部エラー

宛先: CSMT

DFHSJ1307 I *date time applid userid tranid* **NODEJSAPP** *name* はまだ終了していません。**SIGKILL** シグナルが発行されます。

説明: CICS が NODEJSAPP プロセスを停止するために SIGTERM シグナルを送信し、プロセスが終了するのを待機しています。まだ終了していないので、このプロセスに関して SIGKILL シグナルが発行されます。そのため、NODEJSAPP プロセスは制御されない方法で即時に終了します。

システムの処置: CICS が SIGKILL シグナルを発行します。

ユーザーの処置: Node.js アプリケーション内でシグナル・ハンドラーを実装することを考慮してください。アプリケーションで適切な SIGTERM シグナル・ハンドラーを実装すると、アプリケーション処理を正常な方法で終了することによって、このシグナルに応答できません。正常な終了には、開いているリソースのクローズ、サーバー・プロセスの終了、永続ソケットの解放といった操作が含まれる可能性があります。

モジュール: DFHSJRT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHSJ1308 I

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *name*

宛先: CSMT

DFHSJ1308 I *date time applid userid tranid*

NODEJSAPP *name* を使用可能に設定できませんでした。{メモリー割り振りが失敗した | スレッドを開始できなかった | スレッドを結合できなかった | プロファイルの構文解析エラーの | 未確認のエラーの | 作業ディレクトリを変更しようとして失敗した | CICS に作業ディレクトリへの書き込み権限がない | 作業ディレクトリが満杯であるか、CICS がそこに書き込めない | 入出力ストリームをリダイレクトしようとして失敗した | プロファイル内の *NODE_HOME* が定義されていないか、空である | プロファイル内の *NODE_HOME* が無効である | *NODE_HOME/lib* ディレクトリが無効である | *NODE_HOME/bin* ディレクトリが無効である | プロファイル内の *LIB_PREFIX* が無効である | プロファイル内の *LIB_SUFFIX* が無効である | プロファイル内の *NODEJSAPP_DISABLE_TIMEOUT* が無効である | プロファイル内の *NODEJSAPP_DISABLE_TIMEOUT* が小さすぎる | プロファイル内の *NODEJSAPP_DISABLE_TIMEOUT* が大きすぎる | プロファイル内のコマンド行オプションが多すぎる | zFS の外部に *STDERR* をリダイレクトできない | zFS の外部に *STDOUT* をリダイレクトできない | プロファイル内の *WORKDIR* 値が長すぎる} ためです。

説明: **NODEJSAPP** リソースの処理が異常終了しました。この方法で **NODEJSAPP** プロセスを終了すると、リソース (共用メモリー割り振りを含む) が割り振られたままでリカバリー不能になる可能性があります。

システムの処置: **NODEJSAPP** リソースは無効な状態になります。**Node.js** プロセスが追加の診断をキャプチャしている可能性があります。

ユーザーの処置: **Node.js** アプリケーションやランタイムで生成されるその他の診断情報については、

SYSPRINT と *STDERR* の宛先を確認してください。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *name*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=メモリー割り振りが失敗した
2=スレッドを開始できなかった,
3=スレッドを結合できなかった,
4=プロファイルの構文解析エラー
5=未確認のエラー
6=作業ディレクトリを変更しようとして失敗した,
7=CICSに作業ディレクトリへの書き込み権限がない,
8=作業ディレクトリが満杯であるか、CICSがそこに書き込めない,
9=入出力ストリームをリダイレクトしようとして失敗した,
10=プロファイル内の*NODE_HOME*が定義されていないか、空である,
11=プロファイル内の *NODE_HOME* が無効である
12=*NODE_HOME/lib* ディレクトリが無効である
13=*NODE_HOME/bin* ディレクトリが無効である
14=プロファイル内の *LIB_PREFIX* が無効である
15=プロファイル内の *LIB_SUFFIX* が無効である
16=プロファイル内の
NODEJSAPP_DISABLE_TIMEOUT が無効である
17=プロファイル内の
NODEJSAPP_DISABLE_TIMEOUT が小さすぎる
18=プロファイル内の*NODEJSAPP_DISABLE_TIMEOUT* が大きすぎる,
19=プロファイル内のコマンド行オプションが多すぎる,
20=zFSの外部に*STDERR*をリダイレクトできない,
21=zFSの外部に*STDOUT*をリダイレクトできない,
22=プロファイル内の*WORKDIR*値が長すぎる

宛先: CSMT

DFHSJ1309 W *date time applid userid tranid*
URIMAP *name* に対する **NODEJSAPP** *nodejsapp* からの起動要求は失敗しました。**URIMAP** が {無効である | *USAGE(PIPELINE)* を指定していない} ためです。**(An invoke request from NODEJSAPP nodejsapp for URIMAP name has failed because the URIMAP {is disabled | does not specify USAGE(PIPELINE)}.)**

説明: NODEJSAPP から WEBSERVICE を起動しようとしたが、構成エラーのために失敗しました。

システムの処置: エラー・コードが Node.js アプリケーションに返されます。

ユーザーの処置: 構成の問題の原因を調べてください。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *nodejsapp*
7. *name*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=無効である

2=*USAGE(PIPELINE)*を指定していない

宛先: CSMT

DFHSJ1310 W *date time applid userid tranid*
URIMAP *uriname* および **TRANID** *tranid* に対する **NODEJSAPP** *nodejsapp* からの起動要求は失敗しました。**TRANID** が {見つからない} ためです。**(An invoke request from NODEJSAPP nodejsapp for URIMAP uriname and TRANID tranid has failed because the TRANID {cannot be found}.)**

説明: NODEJSAPP から WEBSERVICE を起動しようとしたが、構成エラーのために失敗しました。

システムの処置: エラー・コードが Node.js アプリケーションに返されます。

ユーザーの処置: 構成の問題の原因を調べてください。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *nodejsapp*
7. *uriname*
8. *tranid*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=見つからない

宛先: CSMT

DFHSJ1311 W *date time applid userid tranid*
NODEJSAPP *nodejsapp* からの起動要求は失敗しました。**URI** に一致する **URIMAP** が見つかりませんでした: *uri*。

説明: NODEJSAPP から WEBSERVICE を起動しようとしたが、構成エラーのために失敗しました。

システムの処置: エラー・コードが Node.js アプリケーションに返されます。

ユーザーの処置: 構成の問題の原因を調べてください。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *nodejsapp*
7. *uri*

宛先: CSMT

DFHSJ1312 E *date time applid userid* **NODEJSAPP** *nodejsapp* は、戻りコードを設定せずに異常終了しました。

説明: NODEJSAPP リソースの処理が異常終了しました。早期終了を要求するアプリケーションが原因となった可能性もありますし、Node.js ランタイム環境で検出されたエラーが原因となった可能性もあります。戻りコードは設定されていません (または、戻りコードがゼロに設定されました)。

DFHSJ1400E • DFHSJ1401E

システムの処置: NODEJSAPP は無効な状態になります。Node.js プロセスが追加の診断をキャプチャーしている可能性があります。

ユーザーの処置: Node.js アプリケーションやランタイムで生成されるその他の診断情報については、NODEJSAPP リソースの STDERR 宛先を確認してください。

モジュール: DFHSJNA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *nodejsapp*

宛先: CSMT

DFHSJ1400E *date time applid JVMSERVER jvmserver*
Liberty エンジェル・プロセスを使用できません。

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* の JVM プロファイルには、次の「Liberty angel process required」Java プロパティーが含まれます。

`-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=true`

また、Liberty エンジェル・プロセス・チェック API は、実行中の Liberty エンジェル・プロセスをこの LPAR で見つけることができません。

このメッセージは、オペレーターがメッセージ

DFHSJ1404 に対して「N」を応答するときにも出されます。

システムの処置: JVMSERVER リソースは使用不可にされています。

ユーザーの処置: 以下のことを確認してから、JVMSERVER を再度有効にしてください。

- Liberty の名前なしエンジェル・プロセスが開始していて、この LPAR で使用可能であることを確認してください。

名前なしエンジェル・プロセスは、次のエンジェル・プロセス開始タスクのメッセージ **CWWKB0056I** の末尾に名前がないことで識別されます

CWWKB0056I INITIALIZATION COMPLETE FOR ANGEL

•

Liberty エンジェル・プロセスが不要な場合、JVM プロファイルの Java プロパティーを次のように設定する必要があります

`-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=false`

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1401E *date time applid JVMSERVER jvmserver*
Liberty エンジェル・プロセス
angel_name を使用できません。

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* の JVM プロファイルには、次の Java プロパティーが含まれます。

•

Liberty angel process required

`-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=true`

•

Liberty named angel process

`-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelName=angel_name`

また、Liberty エンジェル・プロセス・チェック API は、実行中の Liberty 名前付きエンジェル・プロセス *angel_name* をこの LPAR で見つけることができません。

このメッセージは、オペレーターがメッセージ

DFHSJ1404 に対して「N」を応答するときにも出されます。

システムの処置: JVMSERVER リソースは使用不可にされています。

ユーザーの処置: 以下のことを確認してから、JVMSERVER を再度有効にしてください。

•

Liberty の名前付きエンジェル・プロセス *angel_name* が開始していて、この LPAR で使用可能であることを確認してください。

名前付きエンジェル・プロセスは、エンジェル・プロセス開始タスクのメッセージ **CWWKB0056I** によって識別されます

CWWKB0056I INITIALIZATION COMPLETE FOR ANGEL *angel_name*

•

JVMSERVER リソース *jvmserver* の JVM プロファイルで *angel_name* の正しい値が指定されていることを確認してください

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelName=*angel_name*

•

Liberty エンジェル・プロセスが不要な場合、JVM プロファイルの Java プロパティを次のように設定する必要があります

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=false

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *angel_name*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1402W *date time applid* **JVMSERVER**

jvmserver **Liberty** エンジェル・プロセスを使用できません - CICS は 30 秒後に再試行します。

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* の JVM プロファイルには、次の「Liberty angel process required」Java プロパティが含まれます。

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=true

また、Liberty エンジェル・プロセス・チェック API は、実行中の Liberty エンジェル・プロセスをこの LPAR で見つけることができません。

システムの処置: JVMSERVER リソースの初期設定では、30 秒間待機した後に Liberty エンジェル・プロセス・チェック API が再度呼び出されます。

API が、実行中のエンジェル・プロセスをこの LPAR で見つけることができない場合は、メッセージ **DFHSJ1402** が再度出されます。

試行が 5 回失敗すると、メッセージ **DFHSJ1404** が出されます。

ユーザーの処置:

•

Liberty の名前なしエンジェル・プロセスが開始していて、この LPAR で使用可能であることを確認してください。

名前なしエンジェル・プロセスは、次のエンジェル・プロセス開始タスクのメッセージ **CWWKB0056I** の末尾に名前がないことで識別されます

CWWKB0056I INITIALIZATION COMPLETE FOR ANGEL

•

Liberty エンジェル・プロセスが不要な場合、JVM プロファイルの Java プロパティを次のように設定する必要があります

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=false

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1403W *date time applid* **JVMSERVER**

jvmserver **Liberty** エンジェル・プロセス *angel_name* を使用できません - CICS は 30 秒後に再試行します。

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* の JVM プロファイルには、次の Java プロパティが含まれます。

•

Liberty angel process required

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=true

•

Liberty named angel process

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelName=*angel_name*

また、Liberty エンジェル・プロセス・チェック API は、実行中の Liberty 名前付きエンジェル・プロセス *angel_name* をこの LPAR で見つけることができません。

システムの処置: JVMSERVER リソースの初期設定では、30 秒間待機した後に Liberty エンジェル・プロセス・チェック API が再度呼び出されます。

API が、実行中の Liberty エンジェル・プロセス *angel_name* をこの LPAR で見つけることができない場合、メッセージ **DFHSJ1403** が再度出されます。

試行が 5 回失敗すると、メッセージ **DFHSJ1404** が出されます。

ユーザーの処置:

•

Liberty の名前付きエンジェル・プロセス *angel_name* が開始していて、この LPAR で使用可能であることを確認してください。

名前付きエンジェル・プロセスは、エンジェル・プロセス開始タスクのメッセージ **CWWKB0056I** によって識別されます

CWWKB0056I INITIALIZATION COMPLETE FOR ANGELangel_name

•

JVMSERVER リソース *jvmserver* の JVM プロファイルで *angel_name* の正しい値が指定されていることを確認してください

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelName=angel_name

•

Liberty エンジェル・プロセスが不要な場合、JVM プロファイルの Java プロパティーを次のように設定する必要があります

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=false

モジュール: DFHSJJS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *angel_name*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSJ1404D *applid JVMSERVER jvmserver* The Liberty angel is unavailable. Reply 'Y' to continue waiting or 'N' to cancel

説明: JVMSERVER リソース *jvmserver* の JVM プロファイルには、次の「Liberty angel process required」Java プロパティーが含まれます。

-Dcom.ibm.ws.zos.core.angelRequired=true

また、Liberty エンジェル・プロセス・チェック API は、実行中の Liberty エンジェル・プロセスをこの LPAR で検索しましたが、5 回失敗しました。

システムの処置: JVMSERVER リソースの初期設定では、オペレーターの応答を待機します。

ユーザーの処置:

•

Liberty エンジェル・プロセスがこの LPAR で使用可能になるまで待機するには、「Y」と応答します。

•

Liberty エンジェル・プロセスの待機を停止し、JVMSERVER リソースを無効にするには、「N」と応答します。

モジュール: DFHSJJS

宛先: コンソール

DFHSJ1405I *date time applid JVMSERVER jvmserver* is running liberty_product process ID liberty_pid.

説明: JVMSERVER *jvmserver* が、バージョン *liberty_product* をプロセス ID *liberty_pid* で実行中です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

モジュール: com.ibm.cics.server.Wrapper

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *liberty_product*
6. *liberty_pid*

宛先: CSMT

DFHSJ1406E *date time applid JVMSERVER jvmserver* は Liberty バージョンを判別できません。cause'。

説明: JVMSERVER *jvmserver* は Liberty バージョンを判別できませんでした。cause

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 例外の原因を調査してください。

STDERR ログにさらに詳しい情報があります。

モジュール: com.ibm.cics.server.Wrapper

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *cause*

宛先: CSMT

DFHSJ1407W *date time applid JVMSERVER jvmserver* 複数のユーザー・エージェン ト・ホワイトリスト・ファイルが提供されました。最初のファイルのみが使用されま す。

説明:

```
-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list
```

JVM プロファイルの Java プロパティに、ファイルのコンマ区切りリストが含まれています。

システムの処置:

```
-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list
```

Java プロパティにリストされている最初のファイルのみが使用されます。処理を続行します。

ユーザーの処置:

```
-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list
```

Java プロパティに、ファイルが 1 つのみリストされていることを確認してください。

モジュール:

```
com.ibm.cics.wlp.cmci.feature.whitelist.UserAgentWhiteList
```

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*

宛先: CSMT

```
DFHSJ1408E date time applid JVMSERVER jvmserver
           User-agent whitelist file {not supplied |
           not found | has no entries | contains
           non-ASCII data}. User-agent whitelist
           processing disabled. file-name
```

説明:

```
-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list
```

JVM プロファイルに Java プロパティが指定され、ユーザー・エージェント・ホワイトリスト処理が、以下のいずれかの理由で無効になりました。

- ファイル名が指定されていません。
- ファイルが見つかりません。
- ファイルには項目が含まれていません。
- ファイルに非 ASCII データが含まれています。

システムの処置: ユーザー・エージェントのホワイトリスト処理は無効になり、CMCI サーバーへのアクセスは許可されません。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストを確認してください。詳細情報は STDERR ログで確認できます。必要に応じて、以下のいずれかのユーザー・アクションを実行し、JVMSERVER を再度有効にします。

が提供されていません

JVM プロファイルのユーザー・エージェント・ホワイトリスト・プロパティ

```
-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list
```

の値を指定してください。

非検出

JVM プロファイルのユーザー・エージェント・ホワイトリスト・プロパティ

```
-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list
```

にリストされているファイルを使用できることと、CICS 領域のユーザーに読み取りアクセスがあることを確認してください。

にエントリーがありません

JVM プロファイルのユーザー・エージェント・ホワイトリスト・プロパティ

```
-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list
```

にリストされているファイルに有効なデータが含まれていることを確認してください。「#」記号で始まる行は、コメントとして処理されます。

に非ASCIIデータが含まれています

JVM プロファイルのユーザー・エージェント・ホワイトリスト・プロパティ

```
-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list
```

にリストされているファイルに、ASCII コード・ページの有効なデータが含まれていることを確認してください。

モジュール:

```
com.ibm.cics.wlp.cmci.feature.whitelist.UserAgentWhiteList
```

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 指定されていません

2= 見つかりません

3= エントリーがありません

4= 非 ASCII データが含まれています

6. *file-name*

宛先: CSMT

DFHSJ1409I *date time applid JVMSERVER jvmserver*
User-agent whitelist file {*created* |
modified | *deleted*}. *file-name*

説明: JVMSERVER*jvmserver* *info*

システムの処置: ユーザー・エージェント・ホワイトリスト・ファイルのモニタリングによって、ファイル *file-name* が作成、変更、または削除されたことが通知されました。ホワイトリストにあるユーザー・エージェント値の現行キャッシュは削除され、ファイルは再解析されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.cmci.feature.whitelist.UserAgentWhiteList

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 作成されました
 2= 変更されました
 3= 削除されました

6. *file-name*

宛先: CSMT

DFHSJ1410I *date time applid JVMSERVER jvmserver*
User-agent added to the whitelist.
'user_agent'

説明: ユーザー・エージェント *user-agent* がホワイトリスト・キャッシュに追加されました。この値に一致するユーザー・エージェント HTTP ヘッダーを持つクライアントは、この CMCI サーバーへのアクセスが許可されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.cmci.feature.whitelist.UserAgentWhiteList

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *user_agent*

宛先: CSMT

DFHSJ1411I *date time applid JVMSERVER jvmserver*
User-agent whitelist enabled. *file-name*

説明: ファイル *file-name* が JVM プロファイルの

-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list

Java プロパティーで指定されました。ファイルは正常に解析されました。前の DFHSJ140I メッセージにリストされた項目が指定されたホワイトリスト処理が有効になります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.cmci.feature.whitelist.UserAgentWhiteList

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *file-name*

宛先: CSMT

DFHSJ1412E *date time applid userid JVMSERVER*
jvmserver **Access to the CMCI server**
denied. User-agent is not in whitelist.
'user_agent'.

説明: ユーザー・エージェント・ホワイトリスト処理が有効になりましたが、JVM プロファイルの

-Dcom.ibm.cics.jvmserver.cmci.user.agent.white.list

Java プロパティーで指定されたファイルに値 *user-agent* がリストされていません。

システムの処置: ユーザー *userid* は、ユーザー・エージェント HTTP ヘッダー *user_agent* を持つクライアントを使用してこの CMCI サーバーにアクセスする操作が拒否されます。

ユーザーの処置: ファイルにユーザー・エージェントがリストされている有効なクライアントを使用してこの

CMCI サーバーに接続するか、ファイルに *user-agent* を追加してください。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.cmci.feature.whitelist.UserAgentWhiteList

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*
6. *user_agent*

宛先: CSMT

DFHSJ1413E *date time applid userid JVMSERVER*

jvmserver ユーザー・エージェント・ホワイ
トリストが無効です。CMCIサーバーへ
のアクセスが拒否されました。

説明: ユーザー・エージェント・ホワイトリスト処理が
無効になりました。この CMCI サーバーへのアクセス
は許可されません。

システムの処置: この CMCI サーバーへのすべてのア
クセスは拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザー・エージェント・ホワイトリ
スト処理が無効になった理由を調べてください。メッセ
ージ DFHSJ1408E がないか確認してください。

STDERR ログにさらに詳しい情報があります。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.cmci.feature.whitelist.UserAgentWhiteList

DFHSKnnnnn メッセージ

DFHSK1101 *applid* **General purpose subtask
terminated abnormally - system
completion code = X'xxxx'**

説明: DFHSKP によって生成されたサブタスクが異常
終了しました。

システムの処置: CICS は低下モードで続行されます。

ユーザーの処置: サブタスクが失敗した理由を調べてく
ださい。xxxx はオペレーティング・システム完了コー
ドです。

モジュール: DFHSKP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'xxxx'*

宛先: コンソール

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *jvmserver*

宛先: CSMT

DFHSJ1414I *date time applid JVMSERVER jvmserver*
CMCI JVM サーバー HTTP エンドポイ
ントが *httpEndPoint* で使用可能になりま
した

説明: HTTP エンドポイントが有効になり、CMCI サ
ーバーが使用可能になりました。

システムの処置: 再開された HTTP エンドポイント
httpEndPoint が使用可能になりました。

ユーザーの処置: クライアントは、*httpEndPoint* 上の
CMCI サーバーに接続できるようになりました。

モジュール:

com.ibm.cics.wlp.cmci.feature.impl.CMCIServerEndpointController

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jvmserver*
5. *httpEndPoint*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHSK1102 *applid* **Unable to attach general
purpose subtask - system return code
= X'xxxx'**

説明: DFHSKP がオペレーティング・システム・サブ
タスクの生成を試みました。この ATTACH は失敗し
ました。

システムの処置: CICS は低下モードで続行されます。

ユーザーの処置: タスク生成が失敗した原因を突き止め
てください。xxxx はオペレーティング・システム完了
コードです。

モジュール: DFHSKP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'xxxx'*

DFHSK1103 • DFHSK1106I

宛先: コンソール

DFHSK1103 *applid* ESTAE macro failed in general purpose subtask - system return code = X'xxxx'

説明: 汎用サブタスクが MVS ESTAE マクロを発行しました。xxxx は MVS からの非ゼロ応答です。

システムの処置: CICS は低下モードで続行されます。

ユーザーの処置: マクロが失敗した理由を調べてください (これは MVS での障害です)。応答コードがメッセージとともに出力されます。

モジュール: DFHSKP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'xxxx'

宛先: コンソール

DFHSK1104I *applid* General purpose subtask terminated because error threshold has been reached

説明: 汎用サブタスクが、その独自のコードを実行中に、何回かにわたって障害を起こしました。CICS がこのタスクを終了させました。

システムの処置: CICS は低下モードで続行されます。

ユーザーの処置: サブタスクが失敗した理由を調べてください。

モジュール: DFHSKP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSK1106I *applid* Unable to authorize a general purpose subtask - RC=*nn*

説明: CICS サブタスク・プログラムは、MVS サブタスクの TCB に対して CICS 許可を与えるための CICS SVC を出しました。SVC は、エラー応答コード *nn* を戻してきました。可能な *nn* の値およびこれらの意味は、次のとおりです。

nn 意味

01

SVC サービスは許可されません。

02

DFHASV のロードに失敗しました。

1526 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

03

CICS SVC の内部エラーです。

04

CICS SVC の内部エラーです。RB 検査は失敗しました。

10

DFHAUTH TYPE=CHECK マクロが失敗しました。

14

無効な TCB アドレスが DFHASV に渡されました。

18

DFHAUTH TYPE= サブタスク AFCB ストレージが失敗しました。

1C

サブタスク AFCB ストレージのための GETMAIN が失敗しました。

20

メインタスク AFCB バージョンは CICS 1.7 以前です。

24

メインタスク AFCB バージョンが、使用中の SVC バージョンに対して大きすぎます。

その他

SVC は、「CICS TS のインストール」で説明されているとおりに定義およびインストールされていません。

システムの処置: CICS を続行します。CICS SVC は、汎用サブタスクによって再度呼び出された場合に失敗する可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージ内の応答コードを使用して、失敗の原因を判別してください。

モジュール: DFHSKP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *nn*

宛先: コンソール

DFHSMnnnn メッセージ

DFHSM0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

に必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSMAD, DFHSMAR, DFHSMCK, DFHSMMDM, DFHSMGF, DFHSMCCI, DFHSMC2, DFHSMME, DFHSMMG, DFHSMPPQ, DFHSMPP, DFHSMRS, DFHSMST, DFHSMSTU, DFHSMSTY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHSM0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

例外トレース・ポイント ID の X'code' およびそれに含まれるデータについての説明は、「CICS Trace Entries」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSMAD, DFHSMAR, DFHSMCK, DFHSMGF, DFHSMC2, DFHSMMF, DFHSMMG, DFHSMPO, DFHSMPP, DFHSMSCP, DFHMSR, DFHSMST, DFHMSU, DFHMSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHSM0004 *applid* A possible loop has been detected at offset X'offset' in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'offset' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャ DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール

modname が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSMCI, DFHSMST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'offset'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHSM0006 *applid* モジュール *modname* に、Getmain (コード X'code') を満たす十分なストレージがありません。MVS コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード X'code' は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます (コード X'code')。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャ DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連する終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからの) を探し出し、これらのメッセージで推奨されているユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、すべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

例外トレース・ポイント ID の *X'code'* およびそれに含まれるデータについての説明は、「CICS Trace Entries」を参照してください。

関連する MVS コードの資料を参照して、MVS 戻りコードの診断情報を得ることができます。

CICS 動的ストレージ域 (DSA) の限界を小さくするか、MVS 領域サイズを大きくしてみてください。

CICS DSA は、CEMT 発信端末コマンドに DSALIM および EDSALIM パラメーターを使用して、動的に変更することができます。MVS 領域サイズを大きくするには、CICS をダウンさせて、MVS JCL REGION パラメーターを変更します。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*
4. *mvscode*

宛先: コンソール

DFHSM0102 *applid tranid tranum A storage violation (code X'code') has been detected by module modname.*

説明: モジュール *modname* により記憶保護違反が検出されました。コード *X'code'* は、記憶保護違反のタイプを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内の *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。例外トレース・ポイント ID の *X'code'* を使用して、記憶保護違反の原因を調べてください。例外トレース・ポイント ID およびその中に含まれるデータは、「CICS Trace

Entries」で説明されています。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ストレージ・リカバリーを (システム初期設定パラメーター STGRVCY=YES を指定することにより) 使用可能にした場合、CICS は記憶保護違反の修理を試みます。それ以外の場合には、ストレージは変更されないままとなります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 例外トレース・ポイント ID の *X'code'* を使用して、記憶保護違反の原因を調べてください。例外トレース・ポイント ID およびその中に含まれるデータの説明については、「CICS Trace Entries」を参照してください。

モジュール: DFHSMAR、DFHSMCK、DFHSMGF、DFHSMMC2、DFHSMMF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *tranum*
4. *X'code'*
5. *modname*

宛先: コンソール

DFHSM0103 *applid* 記憶保護違反 (コード *X'code'*) が記憶保護違反トラップにより検出されました。**Trap is now inactive.**

説明: 記憶保護違反が記憶保護違反トラップによって検出されました。このトラップは、システム初期設定パラメーター CHKSTSK または CHKSTRM を介して、もしくは CSFE トランザクションを介して使用可能にすることができます。コード *X'code'* は、検出された記憶保護違反のタイプを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: CICS は、記憶保護違反トラップを使用禁止にします。例外項目 (メッセージ内の *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

ストレージ・リカバリーを (システム初期設定パラメーター STGRVCY=YES を指定することにより) 使用可能

DFHSM0113I • DFHSM0121I

にした場合、CICS は記憶保護違反の修理を試みます。
それ以外の場合には、ストレージは変更されないままとなります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

注: CICS がストレージを修理できたとしても、記憶保護違反トラップは非活動状態のまま存在します。

ユーザーの処置: 例外トレース・ポイント ID の
X'code' を使用して、記憶保護違反の原因を調べてください。
例外トレース・ポイント ID およびその中に含まれるデータの説明については、「CICS Trace Entries」を参照してください。

モジュール: DFHSMCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'

宛先: コンソール

DFHSM0113I *applid* Storage protection is not active.

説明: これは、ストレージ保護が要求されておらず (STGPROT=NO)、この CICS の実行ではストレージ保護が実施されないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。ストレージ保護は、システム初期設定パラメーター STGPROT=YES を指定することで使用可能にできます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0114 *applid* Storage protection was requested but the support is not available.
Storage protection is not active.

説明: ストレージ保護が要求されましたが、この CICS の実行についてはストレージ保護が実施されないことを示す通知メッセージです。これは、必要なハードウェアまたはオペレーティング・システム (あるいは両方) のサポートが使用できないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0115I *applid* Storage protection is active.

説明: これは、ストレージ保護が要求され (STGPROT=YES)、この CICS の実行でストレージ保護が実施されることを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0120I *applid* Reentrant programs will not be loaded into read-only storage.

説明: これは、この CICS の実行について、読み取り専用プログラムが、読取専用記憶装置にロードされないことを示す通知メッセージです。これは、RENTPGM=NOPROTECT がシステム初期設定パラメーターとして指定されたためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

故意にプログラムを上書きする必要がない限り (例えば、テスト中にブレークポイントを設定するためなど)、RENTPGM=NOPROTECT を指定してはなりません。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0121I *applid* Reentrant programs will be loaded into read-only storage.

説明: これは、この CICS の実行について、読み取り専用プログラムが、読取専用記憶装置にロードされることを示す通知メッセージです。これは、RENTPGM=PROTECT がシステム初期設定パラメーターとして指定されたためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0122I *applid* Limit of DSA storage below 16MB is *dsalimit*K.

説明: このメッセージは、16MB 未満の動的ストレージ域 (DSA) の限界 *dsalimit* を示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dsalimit*

宛先: コンソール

DFHSM0123I *applid* Limit of DSA storage above 16MB is *edsalimit*M.

説明: このメッセージは、16MB を超える動的ストレージ域 (DSA) の限界 *edsalimit* を示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *edsalimit*

宛先: コンソール

DFHSM0124 *applid* Transaction isolation was requested but the support is not available or storage protection is not active. トランザクション分離はアクティブではありません。

説明: システム初期設定パラメーター STGPROT(NO) と TRANISO(YES) の組み合わせは無効です。CICS のウォーム・スタート時または緊急スタート時は、カタログ式システム初期設定パラメーターは SIT オーバーライドとの互換性がありません。トランザクション分離が

要求されましたが、この CICS の実行については実施されません。これは、必要なハードウェアまたはオペレーティング・システム、あるいはその両方のサポートが使用できないか、ストレージ保護がアクティブでないか、あるいはその両方のためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0125I *applid* Transaction isolation is active.

説明: トランザクション分離が要求され (TRANISO=YES)、この CICS の実行で実施されます。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0126I *applid* Transaction isolation is not active.

説明: トランザクション分離は要求されておらず (TRANISO=NO)、この CICS の実行では実施されません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。トランザクション分離は、システム初期設定パラメーターとして TRANISO=YES を指定することにより使用可能にできます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0127 applid Insufficient storage to allocate requested size for DSA limit storage below 16MB (dsalimitK).

説明: CICS は、16MB 未満の DSA ストレージの要求された制限 *dsalimit* に対して MVS GETMAIN を発行しましたが、GETMAIN 要求が失敗しました。

システムの処置: 要求されたサイズがデフォルトよりも大きい場合には、CICS は、DSALIM パラメーターにデフォルトのサイズを使用して MVS GETMAIN 要求を出し直します。

要求されたサイズがデフォルト以下である場合は、ストレージ・マネージャーによりトレース・テーブルに例外項目が作成されます。エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHDMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し元) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーが CICS を終了させる場合があります。その場合、そのことを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: DSALIM システム初期設定パラメーターが正しく指定されていることを確認してください。

CICS ジョブの REGION パラメーターが十分な大きさになるようにしてください。

REGION パラメーターでのストレージの指定についての詳細は、「z/OS MVS JCL 解説書」を参照してください。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsalimit*

宛先: コンソール

DFHSM0128 applid Insufficient storage to allocate requested size for DSA limit storage above 16MB (dsalimitM).

説明: CICS は、16MB を超える DSA ストレージの要求された制限 *dsalimit* に対して MVS GETMAIN を発行しましたが、この GETMAIN 要求は失敗しました。

システムの処置: 要求されたサイズがデフォルトよりも大きい場合には、CICS は、EDSALIM パラメーターにデフォルトのサイズを使用して MVS GETMAIN 要求を出し直します。

要求されたサイズがデフォルト以下である場合は、ストレージ・マネージャーによりトレース・テーブルに例外項目が作成されます。エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHDMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し元) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーは、CICS を終了させます。その場合、そ

のことを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: EDSALIM パラメーターが正しく指定されていることを確認してください。

CICS ジョブの REGION パラメーターが十分な大きさになるようにしてください。

REGION パラメーターでのストレージの指定についての詳細は、「z/OS MVS JCL 解説書」を参照してください。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsalimit*

宛先: コンソール

DFHSM0129 applid Insufficient storage to allocate default size for DSA limit storage below 16MB (dsalimitK).

説明: メッセージ DFHSM0127 が出された後、CICS は DSALIM システム初期設定パラメーターのデフォルト・サイズまで MVS GETMAIN 要求を減らしましたが、それでも GETMAIN 要求は失敗しました。

システムの処置: ストレージ・マネージャーは、トレース・テーブル内に例外項目を作成します。

エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHDMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し元) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーが CICS を終了させる場合があります。その場合、そのことを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHSM0127 を参照してください。

CICS ジョブの REGION パラメーターが十分な大きさになるようにしてください。

REGION パラメーターでのストレージの指定についての詳細は、「z/OS MVS JCL 解説書」を参照してください。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsalimit*

宛先: コンソール

DFHSM0130 applid Insufficient storage to allocate default size for DSA limit storage above 16MB (dsalimitM).

説明: メッセージ DFHSM0128 が出された後、CICS は EDSALIM システム初期設定パラメーターのデフォルト・サイズまで MVS GETMAIN 要求を減らしましたが、それでも GETMAIN 要求は失敗しました。

システムの処置: ストレージ・マネージャーは、トレース・テーブル内に例外項目を作成します。

エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHDMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し元) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーが CICS を終了させる場合があります。その場合、そのことを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHSM0128 を参照してください。

CICS ジョブの REGION パラメーターが十分な大きさになるようにしてください。

REGION パラメーターでのストレージの指定についての詳細は、「z/OS MVS JCL 解説書」を参照してください。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsalimit*

宛先: コンソール

DFHSM0131 applid CICS is under stress (short on storage below 16MB).

説明: このメッセージは、いずれかの 16 MB 未満の動的ストレージ域 (DSA) 内のストレージ域が不足しているときに出力されます。1 つの DSA 内の最大のフリー域が、その DSA 用に内部で定義されたクッションのサイズよりも小さいか、連続するフリー・ストレージが不十分のために延期されたトランザクションが少なくとも 1 つあるかのいずれかです。

システムの処置: イベントを記録するために、トレース・テーブル内に例外項目が作成されます。

CICS は操作を継続しますが、新しいタスクの開始率を下げたり、現在使用中でないプログラムによって占められているストレージを解放したりするなどして、状態を緩和するための手段をとります。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、その問題が続く場合には、(可能であれば) DSALIMIT パラメーターの値を大きくするか、ユーザ

ーの CICS システムの 16 MB より下のストレージ要件を小さくすることができます。これを行う方法についての詳細は、「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0132 applid CICS is no longer short on storage below 16MB.

説明: メッセージ DFHSM0131 により報告されたストレージ不足状態は解消されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0133 applid CICS is under stress (short on storage above 16MB).

説明: 16MB を超える動的ストレージ域 (DSA) の 1 つでストレージが不足しています。1 つの DSA 内の最大のフリー域が、その DSA 用に内部で定義されたクッションのサイズよりも小さいか、連続するフリー・ストレージが不十分のために延期されたトランザクションが少なくとも 1 つあるかのいずれかです。

システムの処置: イベントを記録するために、トレース・テーブル内に例外項目が作成されます。

CICS は操作を継続しますが、新しいタスクの開始率を下げたり、現在使用中でないプログラムによって占められているストレージを解放したりするなどして、状態を緩和するための手段をとります。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、この問題が続く場合には、可能であれば EDSALIMIT パラメーターの値を大きくするか、16MB を超える CICS システムのストレージ要件を小さくすることができます。この方法に関する手引きについては、「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0134 applid CICS is no longer short on storage above 16MB.

説明: メッセージ DFHSM0133 により報告されたストレージ不足状態は解消されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHMSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0135 applid Insufficient storage to allocate the requested size of dsasizeK for the dsaname.

説明: CICS は、動的ストレージ域 *dsaname* に要求サイズ *dsasize* を割り振ろうとしましたが、その要求を満たすためのストレージが不足しています。

注: SIT オーバーライドで指定された 16MB 未満の動的ストレージ域 (DSA) のサイズは、256KB (またはトランザクション分離が有効な場合、UDSA については 1MB) の倍数に切り上げられます。SIT オーバーライドで指定された 16MB を超える動的ストレージ域 (DSA) のサイズは、1MB の倍数に切り上げられます。

システムの処置: エラー戻りコードが、ドメイン・マネージャー DFHDMDM (ストレージ・マネージャーの呼び出し元) に送られます。その後、ドメイン・マネージャーが CICS を終了させる場合があります。その場合、そのことを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: DSASZE パラメーターで指定された値を小さくするか、DSALIM パラメーターで指定された値を大きくしてください。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsasize*
3. *dsaname*

宛先: コンソール

DFHSM0136I applid The size of the dsaname was specified as dsasizeK.

説明: これは、動的ストレージ域 (DSA) *dsaname* のサイズ *dsasize* を示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dsaname*
3. *dsasize*

宛先: コンソール

DFHSM0137 applid CICS で使用できる MVS ストレージの量が少なくなっています。

説明: MVS ストレージが言語環境から JVM によって要求されると、CICS はその要求を代行受信します。このメッセージは、MVS が使用できる 16MB を超えるストレージの最大連続未割り振りブロックのサイズが、システム定義のしきい値を下回っている場合に作成されます。

システムの処置: イベントを記録するために、トレース・テーブル内に例外項目が作成されます。

CICS は操作を継続しますが、現在非アクティブな JVM を削除して、状態を緩和するための手段をとります。これには、非アクティブな JVM が保持している MVS ストレージを解放する効果があります。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、問題が解決しない場合、および Java トランザクションのユーザーの場合は、MAXJVMTCB パラメーターの値を小さくすることができます。これにより、CICS 内に同時に存在する JVM の数が少なくなります。これを行う方法についての詳細は、「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHSMVN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0138 applid CICS で使用できる MVS ストレージの量が少ない状態から脱しました。

説明: メッセージ DFHSM0137 によって報告された MVS ストレージ不足が終了しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMVN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0139 *applid* CICS で使用できる MVS ストレージの量がほとんどありません。

説明: このメッセージは、ストレージの MVS 要求を満たすのに十分な大きさのストレージに未割り振りブロックがないときに出されます。MVS ストレージが言語環境から JVM によって要求されると、CICS はこれらの要求を代行受信します。このメッセージは、MVS ストレージ要求を満たすために使用できる連続ストレージが不足していることを意味します。CICS が、予約している MVS ストレージ・クッションからストレージを解放することで要求を満たそうとするように強制されているか、連続するフリー・ストレージが不十分なために延期されたトランザクションが 1 つ以上あるかのいずれかです。

システムの処置: イベントを記録するために、トレース・テーブル内に例外項目が作成されます。

CICS は操作を継続しますが、JVM を所有するプログラムが完了したらそれを削除し、ストレージ不足が解消されるまで新しい JVM を開始しないことにより、状態を緩和するための手段をとります。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、問題が解決しない場合、および Java トランザクションを実行する場合は、MAXJVMTCBS パラメーターを小さくすることができます。これを行う方法についての詳細は、「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHSMVN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0140 *applid* CICS で使用できる MVS ストレージの量がほとんどない状態から脱しました。

説明: メッセージ DFHSM0139 によって報告された MVS ストレージ不足が解消されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMVN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0141 *applid* CICS is still under stress (short on storage below 16MB).

説明: このメッセージは、16MB 未満の動的ストレージ域 (DSA) にストレージ不足状態がまだ存在していることを示します。このメッセージは約 30 秒ごとに出されます。

システムの処置: CICS は、ストレージ不足のリカバリーに関連付けられた処置を続行します。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、その問題が続く場合には、DFHSM0131 で詳述されている処置を取ってください。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0142 *applid* CICS is still under stress (short on storage above 16MB).

説明: このメッセージは、16MB を超える動的ストレージ域 (DSA) にストレージ不足状態がまだ存在していることを示します。このメッセージは約 30 秒ごとに出されます。

システムの処置: CICS は、ストレージ不足のリカバリーに関連付けられた処置を続行します。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、この問題が続く場合には、DFHSM0133 で詳述されている処置を取ってください。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0143 *applid* The amount of MVS above the bar storage available to CICS is still critically low.

説明: このメッセージは、2 GB 境界より上の動的ストレージ域 (DSA) にストレージ不足状態がまだ存在していることを示します。このメッセージは約 30 秒ごとに出されます。

システムの処置: CICS は、ストレージ不足のリカバリーに関連付けられた処置を続行します。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、この問題が続く場合には、DFHSM0606 で詳述されている処置を取ってください。

DFHSM0300 • DFHSM0602

モジュール: DFHMSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0300 DFHSMUTL ERROR REPORT

説明: これは、ローカル・カタログ・ストレージ・マネージャー・ドメインのサブプール・レコード操作プログラム DFHSMUTL からのレポートです。レポートは、次のように数行にわたって書き込まれる場合があります: DFHSM0300 DFHSMUTL REPORT レポートの見出し。ADD SUBPOOL=xxxxxxx PROCESSED SUCCESSFULLY ADD SUBPOOL=xxxxxxx が正常に処理されました。DEL SUBPOOL=xxxxxxx PROCESSED SUCCESSFULLY DEL SUBPOOL=xxxxxxx が正常に処理されました。FOUND DFHLCDC RECORD SMSUBPOL=xxxxxxx LST コマンドによりサブプール・レコードが検出されました。ERROR OPENING DFHLCDC ローカル・カタログ・データ・セットをオープン中にエラーが起きました。そのプログラムは終了します。UNRECOGNISED VERB xxx IN INPUT ADD、DEL、および LST のみが許可されます。ステートメントは無視されます。UNRECOGNISED OPERAND xxxxxxxx IN INPUT ADD SUBPOOL=xxxxxxx または DEL SUBPOOL=xxxxxxx のみが許可されます。ステートメントは無視されます。ERROR PROCESSING 'ADD SUBPOOL=xxxxxxx'. R15 = X'yy'. RPL FEEDBACK CODE = X'zz'.SEE DFSMS/MVS MACRO INSTRUCTIONS FOR DATA SETS ADD SUBPOOL=xxxxxxx コマンドの処理中に、VSAM エラーが発生しました。VSAM コードの意味については、『z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets』(SC26-4913) を参照してください。そのプログラムは終了します。ERROR PROCESSING 'DEL SUBPOOL=xxxxxxx'. R15 = X'yy'. RPL FEEDBACK CODE = X'zz'.SEE DFSMS/MVS MACRO INSTRUCTIONS FOR DATA SETS DEL SUBPOOL=xxxxxxx コマンドの処理中に、VSAM エラーが発生しました。VSAM コードの意味については、『z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets』(SC26-4913) を参照してください。そのプログラムは終了します。END OF DFHSMUTL REPORT レポートの後書き。

システムの処置: 説明を参照してください。

ユーザーの処置: エラーが報告された場合、原因を訂正して、再試行してください。

モジュール: DFHSMUTL

宛先: SYSPRINT

1536 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

DFHSM0601I *applid* **2 GB** 境界より上のストレージの使用可能量の制限は、*gdsaloc* から *gdsalimit gdsaunits {NOLIMIT | }* です。

説明: このメッセージは、2 GB 境界より上のストレージの使用可能量の *gdsaunits* (M = メガバイト、G = ギガバイト、T = テラバイト、P = ペタバイト、E = エクサバイト) の制限 *gdsalimit* の値と制限のソース *gdsaloc* を示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *gdsalimit*
3. *gdsaunits*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=NOLIMIT

2=

5. *gdsaloc*

宛先: コンソール

DFHSM0602 *applid* **2 GB** 境界より上のメモリー・オブジェクトの最小サイズを割り振れるだけのストレージがありません。

説明: これは、2 GB 境界より上のストレージの使用可能量が CICS の初期設定に必要な最小量 (10GB) より少ないことを示すエラー・メッセージです。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: CICS を開始するために使用される JCL プロシージャ内の MEMLIMIT 値を 10GB 以上に設定します。MEMLIMIT パラメーターを使用したストレージの指定についての詳細は、「z/OS MVS JCL 解説書」を参照してください。

モジュール: DFHSMMDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0606 *applid* CICS が使用できる 2 GB 境界より上の MVS ストレージの量がほとんどありません。

説明: このメッセージは、CICS が 2 GB 境界より上のストレージ要求を満たせないときに表示されます。このメッセージは、MVS ストレージ要求を満たすために使用できる 2 GB 境界より上のストレージが不足していることを意味します。2 GB 境界より上の空きストレージが不十分であるため、CICS は進行中のトランザクションを中断するか、新規トランザクションの開始を拒否するように強制されています。

システムの処置: イベントを記録するために、トレース・テーブル内に例外項目が作成されます。CICS は操作を継続しますが、状態を緩和するための手段をとり、2 GB 境界より上のストレージ不足が解消されるまで、新しいトランザクションを開始しません。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。ただし、この問題が続く場合には、ストレージ不足状態が発生している理由を調べることができます。DSA でのストレージ不足状態についての詳細は、「パフォーマンス

ンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSM0607 *applid* CICS が使用できる 2 GB 境界より上の MVS ストレージの量がほとんどない状態から脱しました。

説明: メッセージ DFHSM0606 によって報告された MVS ストレージ不足が解消されました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSMYSY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSNnnnn メッセージ

DFHSN0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、CICS 英数字コードの説明を調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSNUS, DFHSNAS, DFHSNPU, DFHSNSU, DFHSNTU, DFHSNXR,

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHSN0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in program *progrname*.

説明: CICS が、モジュール *progrname* の実行中に重大エラーを検出しました。このエラーは、例外トレース・ポイント ID *code* に関連したエラーです。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: サインオンを出しているタスクは異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSNUS, DFHSNAS, DFHSNPU, DFHSNSU, DFHSNTU, DFHSNXR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *progrname*

宛先: コンソール

DFHSN0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイ

ン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、この問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSNUS, DFHSNAS, DFHSNPU, DFHSNSU, DFHSNTU, DFHSNXR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHSN1100 *date time applid* Signon at {*netname* | *console* | *terminal* } *portname* by user *userid* in group *groupid* is complete.

説明: 端末 *portname* はサインオンされました。これでこの端末には、グループ *groupid* 内でユーザー ID *userid* のセキュリティー属性が与えられました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *portname* のユーザーは、グループ *groupid* 内でこのユーザー ID に使用できる CICS トランザクションを使用できるようになりました。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*
7. *groupid*

宛先: CSCS

DFHSN1101 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname has failed. User userid not recognized.*

説明: ESM に知られていないユーザー ID *userid* が指定されて、端末 *portname* からサインオンが出されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: これが、調査を必要とするセキュリティの違反を意味する場合以外は、そのユーザー ID が ESM に認識されるように、セキュリティ管理者に連絡してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1102 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed. Password not recognized.*

説明: 間違ったパスワードが指定されて、端末 *portname* からサインオンが出されました。

これはおそらく、パスワードのつづりが誤っているか、パスワードがこのユーザー ID には無効であるためです。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1103 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed. OID card damaged or not authorized.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが、無許可のまたは損傷のあるオペレーター識別 (OID) カードが使用されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1104 *date time applid* **Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed. New password not allowed.**

説明: 端末 *portname* からサインオンが出され、パスワードを外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が許可しない値に変更しようとした。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1105 *date time applid* **Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid requires a password.**

説明: パスワードを指定せずに端末 *portname* からサインオンが出されました。ユーザー *userid* にはパスワードが必要であるため、サインオンは拒否されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1106 *date time applid* **Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid requires a new password.**

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) はそのパスワードの有効期限が切れたことを示しています。

これはセキュリティ違反を意味するものではありません。これは、ESM パスワードの有効期限が切れたことを示す正規応答です。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: CICS サインオン・プロセス、EXEC CICS CHANGE PASSWORD API、EXEC CICS CHANGE PHRASE API、あるいはその他の使用可能な方法で、パスワードを変更してください。あるいはセキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1107 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid requires an OID card.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) がオペレーター識別 (OID) カードの使用を必要とすることを示しているときにそれが使用されませんでした。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には別です。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1108 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出され、それは外部セキュリティ・マネージャー (ESM) に拒否されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*
7. *X'safresp'*
8. *X'safreas'*
9. *X'esmresp'*
10. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHSN1112 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because the terminal has preset security.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されました。この端末は、固定セキュリティ属性で CICS に対して定義されました。これは、サインオンはサポートしません。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には、その限りではありません。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1113 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because the terminal was already signed on.*

説明: まだ以前のサインオンがこの端末に対して有効である間に、端末 *portname* からサインオンが出されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には別です。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1114 *date time applid Signon by user userid has failed because there is no terminal associated with the requesting task.*

説明: 端末を使用しないで開始されたタスクからユーザー *userid* によりサインオンが出されました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 端末に関連付けられていないタスクからサインオンが出された理由を調べてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1115 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed. Signon is not allowed at a surrogate terminal except by use of the CRTE transaction.*

説明: CICS は、代理端末装置のサインオンをサポートしません。ただし、CRTE ルーティング・セッション時に行った場合を除きます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーがトランザクション・ルーティングを介してサインオンの使用を試みている理由とその方法について調べてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1116 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because the national language to be used is not supported in this run of CICS.*

説明: 指定された各国語は、有効な IBM 各国語として認識されました。しかし、この言語は CICS 初期設定に対して有効な各国語として指定できないか、CICS は現行の実行においてこの言語を指定して初期設定されていません。

使用するよう CICS で初期設定できる各国語リストについては、「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照してください。

システムの処置: サインオンは失敗します。

ユーザーの処置: 使用するよう CICS で初期設定された各国語で、サインオンを再試行してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1117 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because an invalid national language was selected.*

説明: 指定された言語が IBM 各国語として認識されないため、サインオンは失敗しました。

システムの処置: サインオンは失敗します。

ユーザーの処置: 正しい言語の値でもう一度サインオンを試みてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1118 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because the user is not authorized to use the terminal.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが失敗しました。このユーザーは、この端末の使用許可を持っていません。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、そ

のユーザーが端末 *portname* の使用を許可されているか調べてください。

特に、その日時にユーザーがシステムにアクセスすることが可能であるのか、およびその日時にその端末を使用することが可能であるのかを調べてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1119 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because the user is not authorized to use application applname.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが失敗しました。このユーザーは、このアプリケーション *applname* の使用許可を持っていません。

•

VTAM 汎用リソース関数を使用している場合、*applname* は GRNAME システム初期設定パラメーターで指定されている汎用リソース名です。

•

XRF を使用する場合は、*applname* は、APPLID システム初期設定パラメーターの第 1 オペランドとして指定された総称アプリケーション ID です。

•

それ以外の場合は、*applname* は APPLID システム初期設定パラメーターの単一オペランドとして指定されたアプリケーション ID です。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、そのユーザーがアプリケーション *applid* の使用を許可されているか調べてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*
7. *applname*

宛先: CSCS

DFHSN1120 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because the {userid | group access} has been revoked.*

説明: ユーザー ID またはそれを含む ESM グループへのユーザーのアクセスが、ESM によって取り消されました。これは通常、無効なパスワードでサインオンを繰り返し試みた結果生じます。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 取り消されたユーザー ID については、ALTUSER RESUME 関数を発行して取り消されたユーザー ID を再許可することができるセキュリティ管理者に連絡してください。取り消されたユーザー・グループについては、CONNECT RESUME 関数を発行してユーザーのグループへのアクセスを復元することができるセキュリティ管理者に連絡してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= ユーザー ID
2= グループ・アクセス

宛先: CSCS

DFHSN1129 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because the user is already signed on elsewhere.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが、そのユーザーは既に、SNSCOPE システム初期設定パラメーターの現行の設定により課された制限のもとでサインオンされています。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザーが現行のサインオンの有効範囲内に 2 回サインオンを試みた理由を調べてください。

SNSCOPE パラメーターについての詳細は、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1130 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid failed because the userid was not found in the specified group.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが失敗しました。ユーザー ID が指定されたグループ内にはないか、このユーザーがサインオン後に関連付けられるように指定されたグループが ESM に知られていません。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 指定されたグループ ID が正しいか調べてください。正しい場合は、セキュリティ管理者に連絡し、このグループが適切に定義されていること、およびこのユーザーがこのグループに接続されていることを確認してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1131 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because security is not active in this CICS region.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されましたが失敗しました。これは、この CICS 領域が、セキュリティーを活動状態にせずに実行されているためです。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1132 *date time applid Signon at terminal termid by user userid has failed because the terminal is a session.*

説明: 端末 *termid* からサインオンが出されましたが、端末はセッションです。セッションのセキュリティー属性は、有効な FMH-5 付加ヘッダーが受信されたときのみ変更されます。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザーがセッションにサインオンの使用を試みている理由とその方法について調べてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1133 *date time applid Signon at {netname | console | terminal } portname by user userid has failed because of an error during SNSCOPE checking.*

説明: 端末 *portname* からサインオンが出されました。SNSCOPE 初期設定パラメーターのため、一度に複数の端末にサインオンすることはできません。SNSCOPE 検査時に内部障害が起きると、ユーザーが既に別の端末にサインオンしているかどうかを CICS が確認できないこととなります。同時 MVS ENQ 要求の限界に達したため、障害が起きました。

システムの処置: サインオン要求は拒否されます。メッセージ DFHUS0120 がコンソールに書き込まれているはずです。詳細については、このメッセージの説明を参照してください。

ユーザーの処置: この問題を CICS システム・プログラマーに報告してください。

SNSCOPE パラメーターについての詳細は、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*

DFHSN1200 • DFHSN1213

宛先: CSCS

DFHSN1200 *date time applid Signoff at {netname | console | terminal } portname by user userid is complete. tt transactions entered with nn errors.*

説明: 端末 *portname* はサインオフされました。この端末は、現在、デフォルトのセキュリティ属性を持っています。

nn は、発生したエラーの数を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*
7. *tt*
8. *nn*

宛先: CSCS

DFHSN1211 *date time applid Signoff at terminal termid has failed because the terminal is a session.*

説明: 端末 *termid* からサインオフが出されましたが、端末はセッションです。セッションのセキュリティ属性は、有効な FMH-5 付加ヘッダーが受信されたときにのみ変更されます。

システムの処置: サインオフ要求は拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザーがセッションにサインオフの使用を試みている理由とその方法について調べてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

1546 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

4. *termid*

宛先: CSCS

DFHSN1212 *date time applid Signoff at {netname | console | terminal } portname has failed because the terminal has preset security.*

説明: 端末 *portname* からサインオフが出されましたが、その端末は固定セキュリティ属性で CICS に対して定義されているので、サインオフをサポートしません。

システムの処置: サインオフ要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には別です。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*

宛先: CSCS

DFHSN1213 *date time applid Signoff at {netname | console | terminal } portname has failed because the terminal was not signed on.*

説明: 前のサインオンが実行されていないときに、端末 *portname* からサインオフが出されました。

システムの処置: サインオフ要求は拒否されます。

ユーザーの処置: なし - ただし、これが調査を必要とするセキュリティ違反を意味する場合には別です。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名

2= コンソール
3= 端末

5. *portname*

宛先: CSCS

DFHSN1214 *date time applid* **An attempted signoff by transaction *tranid* has failed because there was no terminal associated with the requesting task.**

説明: 端末を使用しないで開始されたタスクからサインオフが出されました。

システムの処置: サインオフ要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 端末に関連付けられていないタスクからサインオフが出された理由を調べてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSCS

DFHSN1215 *date time applid* **Signoff at {*netname* | console | terminal } *portname* has failed. Signoff is not allowed at a surrogate terminal except by use of the CRTE transaction.**

説明: CICS は、代理端末装置のサインオフをサポートしません。ただし、CRTE ルーティング・セッション時に行った場合を除きます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーがトランザクション・ルーティングを介してサインオフの使用を試みている理由とその方法について調べてください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*

宛先: CSCS

DFHSN1300 *date time applid* **An attempt to reschedule BMS pages for operator *opid* at {*netname* | console | terminal } *portname* has failed following a timeout. Pages on temporary storage queue *X'hexqueueid'* may require cleanup.**

説明: オペレーター *opid* が、BMS ページの表示中に端末 *netname* でタイムアウトになりました。CICS は、オペレーターが再びサインオンしたときに使用できるように、それらのページのスケジュール変更を試みましたが、失敗しました。

これらのページは、一時ストレージ・キュー *hexqueueid* にあります。このキューは、明示的に廃棄されるまで存在し続けます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: まだこのデータを表示する必要がある場合は、BMS ページを作成した処理と同じ処理を繰り返してください。

モジュール: DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *opid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

6. *portname*
7. *X'hexqueueid'*

宛先: CSCS

DFHSN1400 *date time applid* **Session signon for session *session* by user *userid* is complete.**

説明: 2 つの CICS システムは接続済みで、MRO/ISC セッションにはユーザー *userid* のセキュリティ権限が与えられています。

DFHSN1401 • DFHSN1501

システムの処置: MRO/ISC セッションがサインオンされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *session*
5. *userid*

宛先: CSCS

DFHSN1401 *date time applid Session signon for session session by user userid has failed. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').*

説明: ユーザー *userid* がサインオンを試みましたが、MRO/ISC サインオンは、メッセージに示された理由により失敗しました。

システムの処置: このセッションはサインオンされません。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。これらの資料を調べて、コードの原因を見つけてください。

モジュール: DFHSNSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *session*
5. *userid*
6. *X'safresp'*
7. *X'safreas'*
8. *X'esmresp'*
9. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHSN1410 *date time applid Session signon for session session with default security attributes is complete.*

説明: 2 つの CICS システムは接続済みで、MRO/ISC セッションにはデフォルト・ユーザーのセキュリティ権限が与えられています。

システムの処置: MRO/ISC セッションがサインオンされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *session*

宛先: CSCS

DFHSN1500 *date time applid Session signoff for session session is complete. tt transactions entered with nn errors.*

説明: MRO/ISC セッションはサインオフされます。

nn は、発生した異常終了の数を示しています。

システムの処置: セッションからセキュリティ権限が除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *session*
5. *tt*
6. *nn*

宛先: CSCS

DFHSN1501 *date time applid Session signoff for session session has failed. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').*

説明: MRO/ISC サインオフが試みられましたが、メッセージに示された理由により失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。これらの資料を調べて、コードの原因を見つけてください。

モジュール: DFHSNSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *session*
5. *X'safresp'*
6. *X'safreas'*
7. *X'esmresp'*
8. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHSN1604 *date time applid* **Attach header signon at terminal *termid* by user *userid* has failed. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).**

説明: ユーザー *userid* は、接続セキュリティの暗黙のサインオンに失敗しました。

システムの処置: 接続は失敗します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。これらの資料を調べて、コードの原因を見つけてください。

モジュール: DFHSNUS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *userid*
6. *X'safresp'*
7. *X'safreas'*
8. *X'esmresp'*
9. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHSN1605 *date time applid* **Attach header signon at terminal *termid* has failed. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).**

説明: ローカル・ユーザー・セキュリティのための暗黙のサインオンが失敗しました。

システムの処置: 接続は失敗します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。これらの資料を調べて、コードの原因を見つけてください。

モジュール: DFHSNUS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *X'safresp'*
6. *X'safreas'*
7. *X'esmresp'*
8. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHSN1606 *date time applid* **Attach header signoff at terminal termid has failed. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: ユーザーは接続セキュリティの暗黙のサインオフに失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。これらの資料を調べて、コードの原因を見つけてください。

モジュール: DFHSNUS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *X'safresp'*
6. *X'safreas'*
7. *X'esmresp'*
8. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHSN1800 *date time applid* **Signon at {netname | console | terminal } portname by preset user userid in group groupid is complete.**

説明: 事前設定セキュリティ端末 *portname* に指定されたユーザー *userid* が、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) にサインオンしました。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティ属性が、この端末に対して出されるすべてのセキュリティ要求で使用されます。

端末はこのユーザー ID で、その持続期間全体にわたって事前設定されたことになります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNPU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール
3= 端末

5. *portname*
6. *userid*
7. *groupid*

宛先: CSCS

DFHSN1801 *date time applid* **Signon at {netname | console | terminal } portname by preset user userid has failed. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: 事前設定セキュリティ端末 *portname* に指定されたユーザー *userid* が、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) にサインオンすることができませんでした。

システムの処置: サインオン要求は拒否され、端末を使用することはできません。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。これらの資料を調べて、コードの原因を見つけてください。

モジュール: DFHSNPU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール

3= 端末

5. *portname*
6. *userid*
7. *X'safresp'*
8. *X'safreas'*
9. *X'esmresp'*
10. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

DFHSN1850 *date time applid Signoff at preset*
{netname | console | terminal } portname
is complete.

説明: 事前設定セキュリティー端末 *portname* が、削除されている途中でサインオフされました。この端末のセキュリティーは除去されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSNPU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
 2= コンソール
 3= 端末

5. *portname*

宛先: CSCS

DFHSN1851 *date time applid Signoff at preset*
{netname | console | terminal } portname
has failed. SAF codes are
(X'safresp',X'safreas'). ESM codes are

DFHSOnnnn メッセージ

DFHSO0001 *applid An abend (code aaa/bbbb) has*
occurred at offset X'offset' in module
modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上

(X'esmresp',X'esmreas').

説明: 事前設定セキュリティー端末 *portname* は、削除されている途中でサインオフはできませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティー・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。これらの資料を調べて、コードの原因を見つけてください。

モジュール: DFHSNPU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
 2= コンソール
 3= 端末

5. *portname*
6. *X'safresp'*
7. *X'safreas'*
8. *X'esmresp'*
9. *X'esmreas'*

宛先: CSCS

書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA

は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHSO0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

トレース・テーブルに作成された例外項目に値が *X'0425'* のトレース ID がある場合、メッセージ DFHKE0501 が CICS の初期設定の初期段階で CICS カーネルによって出されています。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

トレース・テーブルに作成された例外項目に値が *X'0425'* のトレース ID がある場合、CICS の初期設定の初期段階で CICS カーネルによって出されたメッセージ DFHKE0501 に詳細が含まれている可能性があります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSODM、DFHSOL、DFHSOCK、DFHSORD、DFHSOIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHSO0004 *applid* A possible loop has been detected at offset X'offset' in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット X'offset' で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

(XDUREQ 出口のユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止により) 特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS 処理は、CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能は CPU 時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。その場合には、エラーはないことがあります。通常、CICS は、ユーザーが ICVR システム初期設定パラメーターで指定したランナウェイ・タスク時間間隔を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* の実行が終了し、CICS は続行することを意味します。

システム初期設定パラメーター ICVR=0 を指定しており、しかもモジュール *modname* がループしていると考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではなかったと考えられる場合には、ICVR システム初期設定パラメーターの値を大きくする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をクローズする必要があります。CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、IBM のサポートが必要になることがあります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSOCK、DFHSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'offset'

3. *modname*

宛先: コンソール

DFHSO0100I *applid* Sockets domain initialization has started.

説明: これは、ソケット・ドメインの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSO0101I *applid* Sockets domain initialization has ended.

説明: これは、ソケット・ドメインの初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSO0102 *date time applid* A UNIX System Services Assembler Callable Service error (code X'code') has occurred on receipt of a severe TCP/IP return code; the TCPIPService *tcipservice* on port *portnumber* at IP address *ipaddress* will be closed.

説明: DFHSOLS でエラーが検出されました。このエラーの原因は、TCP/IP から受け取った重大戻りコードです。

システムの処置: 例外項目 X'code' がトレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを要求しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

指定された IP アドレスのポート *portnumber* で TCIPSERVICE *tcipservice* がシャットダウンされました。これが完了すると、メッセージ DFHSO0108 が出されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 例えば TCP/IP がシャットダウンされている場合、このエラーが返されると考えられます。どのサービス・ルーチンが呼び出されたか、戻された戻り値が何であったかは例外トレース項目から分かります。「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」資料を参照して、エラーの原因を判別してください。

TCIPSERVICE *tcipservice* はクローズされ、TCP/IP 領域が再始動された後、TCIPSERVICE は再オープンされます。この時点で、通常の作業を TCIPSERVICE で再開することができます。

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'code'*
5. *tcipservice*
6. *portnumber*
7. *ipaddress*

宛先: CSOO およびコンソール

DFHSO0104 *applid* Secure sockets program *pgmname* could not be loaded. Secure Sockets Layer is not available.

説明: SSL を実装するために必要なプログラム・モジュール *pgmname* をロードできませんでした。

pgmname が GSKCMS、GSKSSL、または GSKX509 の場合、z/OS の System SSL コンポーネントが正しくインストールされていません。

システムの処置: システムの初期設定を続行しますが、SSL のサポートは使用可能になりません。

ユーザーの処置: *pgmname* が GSKCMS、GSKSSL、または GSKX509 の場合は、CICS が System SSL ライブラリーを使用できるようにします。このライブラリーは *prefix..SIEALNKE* であり、*prefix* はインストール済み環境によって定義されます。ライブラリーは、システム・リンク・リストにインストールされているか、CICS JCL の STEPLIB 連結で参照されているようにする必要があります。ライブラリーが CICS STEPLIB に含まれる場合は、APF 許可を受ける必要があります。

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *pgmname*

宛先: コンソール

DFHSO0106 *date time applid* A UNIX System Services Assembler Callable Service error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードまたは呼び出されたアセンブラの呼び出し可能サービス・ルーチンにエラーの可能性のあることを示しています。どのサービス・ルーチンが呼び出されたか、戻された戻り値が何であったかは例外トレース項目から分かります。「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」資料を参照して、エラーの原因を判別してください。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *X'code'*
5. *modname*

宛先: CSOO およびコンソール

DFHSO0107 *date time applid* **TCPIPSERVICE**
tcipSERVICE has been opened on port
portnumber at IP address ipaddress.

説明: 指定された IP アドレスのポート *portnumber* で TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* がオープンされました。

低位 IPv6 アドレスを指定した場合、すなわちアドレスの最初の 6 セグメント以上が先行ゼロである場合、CICS は IPv6 アドレスを IPv4 フォーマットで格納および表示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *portnumber*
6. *ipaddress*

宛先: CSOO

DFHSO0108 *date time applid* **TCPIPSERVICE**
tcipSERVICE on port portnumber at IP
address ipaddress has been closed.

説明: 指定された IP アドレスのポート *portnumber* で TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* がクローズされました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *portnumber*
6. *ipaddress*

宛先: CSOO

DFHSO0109 *date time applid* **The TCPIP SERVICE**
tcipSERVICE could not be opened
because the port *portnumber* is already
in use on the IP address *ipaddress* .

説明: このメッセージは、TCPIP SERVICE のオープンが完了できなかったときに出されます。指定されたポート番号は、既に IP アドレスと組み合わせて使用中です。TCP/IP では、どの時点においても、ポートで *listen* できるサーバーはデフォルトで 1 つだけです。

具体的には、このメッセージは、TCP/IP バインド呼び出しが戻りコード EADDRINUSE を戻して失敗したときに出されます。

システムの処置: TCPIP SERVICE はオープンされず、クローズされたままです。TCP/IP バインド呼び出しからの戻り値を詳述した例外トレース項目が書き込まれます。EXEC API を使って TCPIP SERVICE をオープンに設定するアプリケーションは RESP(INVREQ) RESP2(9) を受信します。

ユーザーの処置: 失敗した TCPIP SERVICE と同じポート番号、同じ IP アドレスを使って他の TCPIP SERVICE がオープンされていないかを確認してください。そのポートを使って他の TCPIP SERVICE がオープンされている場合、新規の TCPIP SERVICE をオープンする前に以前の TCPIP SERVICE をクローズしなければなりません。

要求されたポートを使用している TCPIP SERVICES がない場合は、TCP/IP サーバーとして機能している別のアプリケーションが、既にそのポートで *listen* している可能性があります。TSO コマンド NETSTAT を使用して、システム上の TCP/IP サーバーを表示してください。この TCPIP SERVICE には、使用されていないポートを選択してください。

システムに複数の TCP/IP スタックがある場合は、TCPIP SERVICE 定義に他のスタックの IP アドレスを指定することができます。そうすることで、それぞれが同じポート番号を使用する複数の TCPIP SERVICE をインストールすることができます。また、単一システムの仮想 IP アドレス用の TCP/IP のサポートを構成することもできます。そうすることでも、複数の TCPIP SERVICE が同じポートを共用できるようになります。

最後に、TCP/IP をポート共用で構成できます。これにより、着信接続をポートのサーバー群に誘導するロード・バランシングを使用することで、複数のサーバー (TCPIP SERVICE) が TCP/IP で同じポートを使用することができます。ポート共用が使用可能にされている場合で、ポート共用が TCPIP SERVICE リソース定義で指

定されたプロトコルによってサポートされている場合は、同じ IP アドレスと同じポートで複数の TCPIP SERVICE のそれぞれを開くことができます。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *portnumber*
6. *ipaddress*

宛先: CSOO

DFHSO0110 *date time applid* **The TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* cannot be opened on the IP address *ipaddress* because the address is unknown to TCP/IP.**

説明: 定義に指定されている IP アドレスが TCP/IP で認識されていないため、TCPIP SERVICE のオープンが失敗しました。

このメッセージは、TCP/IP バインド呼び出しが戻り値 EADDRNOTAVAIL で失敗したときに出されます。

システムの処置: IP アドレスは、TCP/IP が認識する有効なアドレスでなければなりません。また、TCP/IP スタックがサポートするアドレスでもある必要があります。IPv6 アドレスは、スタックが二重モードであり、したがって IPv4 アドレスと IPv6 アドレスをサポートする場合にのみサポートされます。単一の OS/390 システムに対して複数の TCP/IP スタックを構成することも、単一のスタック上に仮想 IP アドレスを割り当てることもできます。システムに IP アドレスが 1 つしかない場合、TCPIP SERVICE 定義の IP アドレス・フィールドはブランクのままにするか、ANY と指定することができます。このようにすると、バインドはシステムのデフォルト IP アドレスを使用します。別のアドレスを使用するには、有効なアドレスを指定しなければなりません。

ユーザーの処置: TCPIP SERVICE 定義に指定されているアドレスが、システムの TCP/IP で認識されているかどうかを検査してください。

低位 IPv6 アドレスを指定した場合、すなわちアドレスの最初の 6 セグメント以上が先行ゼロである場合、CICS は IPv6 アドレスを IPv4 フォーマットで格納および表示します。

IPv6 アドレスが使用されている場合は、TCP/IP スタックが IPv6 をサポートすることを確認してください。Netstat を使用してスタックに関する情報を見つける方

法について、「z/OS Communications Server IP Diagnosis Guide」を参照してください。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *ipaddress*

宛先: CSOO

DFHSO0111 *date time applid* **Opening the TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* has failed because the region jobname is not authorized to bind to port *portnumber*.**

説明: 領域のジョブ名に、指定されたポート番号を使用する権限がないため、TCPIP SERVICE のオープンは失敗しました。

1024 より下のポート番号にバインドするには、TCP/IP 構成ディレクティブが TCP/IP に対して CICS ジョブ名を指定し、それを指定されたポートに関連付ける必要があります。これは 1024 より大きいポートに対しても行うことができます。つまり、1024 より大きいポートが別のジョブに関連付けられていると、CICS 領域はそのポートをオープンできない場合もあるということです。

このメッセージは、TCP/IP バインド呼び出しが戻り値 EPERM で失敗したときに出されます。

システムの処置: TCPIP SERVICE はオープンされません。アプリケーションが EXEC API を使って TCPIP SERVICE をオープンしようとした場合、アプリケーションは RESP(INVREQ) RESP2(3) 値を受け取ります。

ユーザーの処置: CICS 領域のジョブ名には、指定されたポートをオープンする権限がなければなりません。これを行う方法について詳しくは、「z/OS Communications Server IP 構成ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*
5. *portnumber*

宛先: CSOO

DFHSO0112 *date time applid* **TCPIP SERVICE**
tcipSERVICE cannot be opened because
TCPIP status is not OPEN.

説明: TCPIP が現在オープンされていないので、TCPIP SERVICE のオープンが失敗しました。SIT に TCPIP=NO が指定されていたか、CEMT または SPI コマンドを使って、TCPIP が動的にクローズされました。

システムの処置: TCPIP SERVICE はオープンされません。アプリケーションが EXEC API を使って TCPIP SERVICE をオープンしようとした場合、アプリケーションは RESP(INVREQ) RESP2(4) 値を受け取ります。

ユーザーの処置: TCPIP をオープンし、TCPIP SERVICE を再オープンしてください。

モジュール: DFHSORD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*

宛先: CSOO

DFHSO0113 *applid* **The IP address *ip_address* cannot be resolved to a host name by the BPX1GNI function. UNIX System Services return code *X'retcode'*, reason code *X'rc'*.**

説明: CICS は、IP アドレス *ip_address* をホスト名に解決するために Unix System Services 機能 BPX1GNI を発行しましたが、その呼び出しが失敗しました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。CICS は、これ以降の要求でネーム・サーバーにアクセスしようとし続けます。

ユーザーの処置: BPX1GNI 機能は、IP アドレスをホスト名に解決するためには、通常、ネーム・サーバーの逆ルックアップを実行します。CICS がネーム・サーバーに接続できない場合、これは失敗する可能性があります。

SYSTCPD DD 名が CICS ジョブに定義されている場合、その名前が参照するファイルがネーム・サーバーを正しく定義していることを確認します。SYSTCPD が使用されない場合、/etc/resolv.conf ファイルで TCP/IP に対して定義されているネーム・サーバーが有効であ

り、正しく応答していることを確認してください。TSO NSLOOKUP コマンドを発行して、ネーム・サーバーを照会することができます。CICS にネーム・サーバーが正しく定義されているならば、管理者に連絡して、IP アドレスのルックアップがなぜ失敗したかを判別してください。

TCP/IP RESOLVERTIMEOUT パラメーターを使用して、BPX1GNI 呼び出しの期間を制御できます。

モジュール: DFHSOIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ip_address*
3. *X'retcode'*
4. *X'rc'*

宛先: コンソール

DFHSO0114 *date time applid* **The socket listener cannot attach the transaction *transaction*, the TCPIP SERVICE *tcipSERVICE* will be closed.**

説明: TCP/IP listener タスクがクライアントから接続を受け取りましたが、TCPIP SERVICE 定義で関連付けられているトランザクションの接続が失敗しました。この関連トランザクションがインストールされていないか、TCPIP SERVICE 定義が誤ったトランザクションを指定している可能性があります。

システムの処置: 接続が到着したポートで定義されている TCPIP SERVICE はクローズされます。そのクライアントに受け入れられたソケットはクローズされます。

ユーザーの処置: トランザクションの接続がなぜ失敗したのか判別してください。エラーを訂正して、TCPIP SERVICE を再オープンしてください。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transaction*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CSOO

DFHSO0115 *date time applid* CICS has registered the group name *groupname* with Workload Manager. The TCP/IP host name *genericname* will become available for DNS connection optimization.

説明: ドメイン・ネーム・サービス (DNS) の接続最適化のためにグループ名がワークロード・マネージャーに登録されました。これは、名前が文字 'D' で始まる TCPIPSERVICE がオープンされたときに行われます。新しい総称 TCP/IP ホスト名は、CICS システムにアクセスするためにクライアントが使用するためと、この名前のグループ名に登録してある他のものすべてが使用できます。

システムの処置: メッセージに示されたグループ名を DNS の接続最適化のために登録するために、CICS はワークロード・マネージャーのマクロ IWMSRSRG を出しました。これは、TCPIPSERVICE の名前が 'D' で始まるときのみ行われます。ワークロード・マネージャーの登録は、特定のグループ名に関して 1 回だけ行われます。複数の TCPIPSERVICES が同じグループ名を定義していても、登録は 1 回行われるだけです。

登録されるグループ名は、TCPIPSERVICE の名前の一部と、その TCPIPSERVICE に定義されているトランザクションを組み合わせて作られます。名前のドット「.」以降の文字がトランザクション ID と連結されて、グループ名を形成します。例えば、TCPIPSERVICE の名前が D1.CICS であり、それがトランザクション IIOP で定義されているとします (IIOP トランザクションは、CICS 提供の CIRR トランザクションの別名です)。生成されるグループ名は 'CICSHIOP' です。TCPIPSERVICE の名前にドットが含まれない場合、トランザクション ID だけが使われます。例えば、TCPIPSERVICE の名前が 'DYNWEB' であって、トランザクションが WWW の場合、グループ「WWW」が登録されます。

登録されたグループ名は、シスプレックスの TCP/IP ドメイン内の新規名前になります。シスプレックス内の複数の CICS システムがそれぞれ同じグループ名で登録されているとき、DNS サーバーはグループ名を、ワークロード・マネージャーを使って、関連システムの IP アドレスの 1 つに解決します。戻される IP アドレスは、ワークロード・マネージャーのロード・バランシング規則に基づいて選ばれた、最も適格なシステムの IP アドレスです。例えば、シスプレックス内の 2 つの OS/390 システムが mvsl1.plex.hursley.ibm.com と mvsl2.plex.hursley.ibm.com であるとし、それぞれのシステムで、CICS がグループ名 cicsiiop で登録されているものとします。新しい名前 cicsiiop.plex.hursley.ibm.com が DNS ネーム・サーバー・テーブルに動的に追加されます。クライアントの

TCP/IP アプリケーションは、具体的な OS/390 イメージの名前ではなく、この名前を使用します。クライアントが DNS を使ってこの名前を IP アドレスに解決すると、最も適格なシステムの IP アドレスが得られます。DNS はシステムの登録と登録解除を動的に認識するので、追加 CICS システムを必要に応じて登録し、グループ名に関して戻される利用可能な IP アドレスのリストを拡張することができます。システムに障害が起こると、その IP アドレスは、それが登録されていたすべてのグループに関する関連アドレスの DNS サーバーのリストから削除されます。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は必要ありません。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *groupname*
5. *genericname*

宛先: CSOO

DFHSO0116 *date time applid* CICS has deregistered the group name *groupname* with Workload Manager.

説明: グループ名が Workload Manager から登録解除されました。この CICS システムは、今後、メッセージに示されたグループ内の接続最適化で使用されません。これは、名前が文字 'D' で始まる TCPIPSERVICE がクローズされたときに行われます。

システムの処置: グループ名を登録解除するためにワークロード・マネージャー IWMSRDRS 呼び出しが行われます。これにより、このグループ名に関連付けられている DNS サーバーのテーブルからシステムの IP アドレスが除去されます。

オープン中の 2 つ以上の TCPIPSERVICE が同じグループ名を共用している場合、WLM の登録解除は、最後の TCPIPSERVICE がクローズされたときに行われるだけです。

ユーザーの処置: ネーム・サーバーが使用可能であるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *groupname*

宛先: CSOO

DFHSO0117 *applid* TCP/IP ホスト名を判別できません。UNIX System Services return code *X'retcode'*, reason code *X'rc'*.

説明: `gethostname` 呼び出しは、Listener の初期設定時にゼロ以外の戻りコードまたは理由コードを受け取ったか、ブランクのホスト名を返しました。

システムの処置: Listener の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: `gethostname` が失敗した理由を判別してください。メッセージ・テキストで示される戻りコードおよび理由コードについては、資料 *z/OS UNIX System Services* メッセージおよびコードの中で説明しています。

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'retcode'*
3. *X'rc'*

宛先: コンソール

DFHSO0118 *applid* The BPX1GNI call to resolve IP address *ip_address* to a host name took over 3 seconds to complete.

説明: CICS は、IP アドレス *ip_address* をホスト名に解決するために Unix System Services 機能 BPX1GNI を発行しました。この呼び出しは 3 秒より長くなりました。その間、ソケット TCB がブロックされたため、ソケット入出力が不可能になりました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: BPX1GNI 機能は、IP アドレスをホスト名に解決するためには、通常、ネーム・サーバーの逆ルックアップを実行します。この呼び出しは、完了するのに 3 秒以上かかります。BPX1GNI 機能は、EXEC CICS EXTRACT TCPIP CLIENTNAME によって実行されるのが最も一般的です。

SYSTCPD DD 名が CICS ジョブで定義されている場合、その名前が参照するファイルがネーム・サーバーを正しく定義していることを確認します。SYSTCPD が使用されない場合、`/etc/resolv.conf` ファイルで TCP/IP に対して定義されているネーム・サーバーが有効であり、正しく応答していることを確認してください。TSO NSLOOKUP コマンドを発行して、ネーム・サーバーを照会することができます。ネーム・サーバーが CICS に対して正しく定義されている場合、管理者に連絡して、IP アドレスのルックアップが 3 秒以内に完了しなかった理由を判別してください。

TCP/IP RESOLVERTIMEOUT パラメーターを使用して、BPX1GNI 呼び出しの期間を制御できます。

モジュール: DFHSOIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ip_address*

宛先: コンソール

DFHSO0119 *applid* Unable to register servicename for WLM DDNS on host *hostname*.

説明: TCPIPSERVICE を活動化していたとき、ソケット・ドメインが TCP/IP ホスト名を見つけることができませんでした。ホスト名がないと、CICS は、WLM DDNS への登録に必要な情報を入手することができません。

システムの処置: TCPIPSERVICE の活動化は続行されますが、このサービスは WLM DDNS に登録されません。

ユーザーの処置: ホスト名が返されなかった理由を判別してください。このメッセージの前にメッセージ DFHSO0113 が出されている可能性があります。問題が訂正されたら、TCPIPSERVICE を再インストールしてください。

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *servicename*
3. *hostname*

宛先: コンソール

DFHSO0120 *applid* numtcbs TCBs are initialized for SSL processing.

説明: 指定された数 (*numtcbs*) の TCB が接続され、CICS 用の SSL の処理を行うように初期設定されました。

システムの処置: CICS は、*numtcbs* 個の同時 SSL セッションを扱うことができます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSOSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *numtcbs*

宛先: コンソール

DFHSO0121 *applid* No TCBs have been initialized for SSL processing. Secure Sockets Layer has been deactivated.

説明: TCP/IP SSL を扱うためには、CICS は少なくとも 1 つの TCB が正しく初期設定されている必要がありますが、どれも初期設定できませんでした。

システムの処置: CICS は SSL セッションを扱うことができず、そのため、SSL(YES) または SSL(CLIENTAUTH) を指定する TCPIPService をオープンしようとする試みは失敗します。

ユーザーの処置: CICS アドレス・スペースの REGION サイズが、CICS SSL を初期設定するには小さすぎることが考えられます。REGION サイズを大きくして CICS を再始動してください。なし。

モジュール: DFHSSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSO0122 *date time applid* SSL request from *ipaddr* on TCPIPService(*service*) rejected because of insufficient TCBs.

説明: アドレス *ipaddr* のクライアントからの Secure Sockets Layer 接続が TCPIPService(*service*) で受信されましたが、その要求の処理に使用可能な TCB がありませんでした。

システムの処置: その接続のためのソケットはクローズされます。クライアントは、応答は SSL で暗号化されるものと期待しているのに、SSL サービスが提供できないので、メッセージはクライアントに送られません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合、MAXSSLTCBS システム初期設定パラメーターの値を大きくすることを検討してください。

モジュール: DFHSSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *ipaddr*

5. *service*

宛先: CSOO

DFHSO0123 *date time applid* Return code *rc* received from function {*unknown* | *gsk_environment_init* | *gsk_environment_open* | *gsk_environment_close* | *gsk_secure_socket_init* | *gsk_secure_socket_open* | *gsk_secure_socket_close* | *gsk_secure_socket_read* | *gsk_secure_socket_write* | *gsk_attribute_set_buffer* | *gsk_attribute_set_callback* | *gsk_attribute_set_enum* | *gsk_attribute_set_numeric_value*} of **System SSL**. Reason: {Unrecognized return code | Key database not found | Key database access not authorized | Invalid password for key database | Expired password for key database | Stashed password file not found | Session timeout value is invalid | An I/O error occurred | An unknown error occurred | Invalid distinguished name | No common ciphers negotiated | No certificate available | Certificate validation failed | Root certificate authority not supported | Unsupported operation | Invalid certificate signature | SSL protocol violation | Not authorized | Self-signed certificate | Invalid session state | Handle creation failed | No private key | Untrusted Certificate Authority | Certificate date invalid | Invalid cipher suite | Handshake abandoned by peer | Cannot open key database | Host certificate not yet valid | Certificate parsing error | Certificate is revoked | LDAP server is inactive | Unknown Certificate Authority | Internal error on partner | Unknown alert received | Client authentication alert | Incorrect key usage | Server name not recognized | Bad message length | Cryptographic error detected | Export restriction | TLS extension mismatch | No Negotiation | Signature algorithm not in signature algorithm pairs list | Certificate key algorithm is not in signature algorithm pairs list | GSKCMS Error}. Peer: *peeraddr*, TCPIPService: *tcpipservice*.

説明: 記載されている z/OS System SSL サービスの関数から、ゼロ以外の戻りコード *rc* が受信されまし

た。戻りコードの簡単な解説が示されます。サービスは、IP アドレス *peeraddr* のパートナーと TCIPSERVICE *tcipservice* との接続を処理していました。エラーの理由が証明書に関連している場合、TCIPSERVICE リソースで指定された CERTIFICATE が検査されます。

システムの処置: セキュア・ソケット操作は中止されます。ソケット・ドメインの重大エラー・メッセージである DFHSO0002 が、エラー・コード X'080C' とともに生成される場合があります。

ユーザーの処置: このメッセージに伴ってメッセージ DFHSO0002 が出されない場合、エラーは接続されたパートナーによる何らかの予期しない処置によるものである可能性があり、このメッセージは単なる通知のために出されます。このメッセージに伴ってメッセージ DFHSO0002 が出される場合、エラーは何らかの構成エラーによるものである可能性があります。メッセージに Peer: 0.0.0.0, TCIPSERVICE: *NONE* と表示される場合、エラーは恐らく PERFORM SSL REBUILD 障害によるものです。PERFORM SSL REBUILD 障害では、古い SSL 環境が保持されている可能性があります。メッセージの説明を使用して、問題のある箇所を判別してください。戻りコード *rc* (これは 10 進数で、16 進数への変換が必要な場合があります) の説明については、z/OS Cryptographic Services: System Secure Sockets Layer プログラミング (SD88-6252) を参照してください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

戻りコードの簡単な解説が「証明書日付が無効です」である場合、証明書の有効期限が切れているかまだ有効でない、および証明書がローカル証明書かリモート・パートナーの証明書のいずれかを参照している可能性があります。

戻りコードの簡単な解説が「使用可能な証明書がありません」である場合、証明書は最近鍵リングに追加された可能性があります。PERFORM SSL REBUILD を発行して、SSL 環境を更新してください。

戻りコードの簡単な解説が「証明書の検証が失敗しました」である場合、サーバー証明書またはクライアント証明書 (クライアント証明書が使用されている場合) のいずれかが無効である可能性があります。

モジュール: DFHSOSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rc*
5. 以下のオプションから選択される値。

0= 不明
 11=gsk_environment_init
 12=gsk_environment_open
 13=gsk_environment_close
 14=gsk_secure_socket_init
 15=gsk_secure_socket_open
 16=gsk_secure_socket_close
 17=gsk_secure_socket_read
 18=gsk_secure_socket_write
 19=gsk_attribute_set_buffer
 20=gsk_attribute_set_callback
 21=gsk_attribute_set_enum
 22=gsk_attribute_set_numeric_value

6. 以下のオプションから選択される値。

0= 戻りコードが認識されません
 1= キー・データベースが見つかりません
 2= キー・データベースのアクセスが許可されません
 3= キー・データベースのパスワードが無効です
 4= キー・データベースのパスワードの有効期限が切れています
 5= *stash* したパスワード・ファイルが見つかりません
 6= セッション・タイムアウト値が無効です
 7= 入出力エラーが発生しました
 8= 不明なエラーが発生しました
 16= 識別名が無効です
 17= 共通の暗号がネゴシエーションされません
 18= 使用可能な証明書がありません
 19= 証明書の検証に失敗しました
 20= ルート証明書の権限はサポートされません
 21= 操作はサポートされません
 22= 証明書署名が無効です
 23= SSL プロトコル違反
 24= 許可されません
 25= 自己署名の証明書
 26= セッション状態が無効です
 27= ハンドル作成に失敗しました
 28= 秘密鍵がありません
 29= 認証局が信頼できません
 30= 証明書日付が無効です
 31= 暗号の組が無効です
 32= ハンドシェークがピアによって中止されました
 33= キー・データベースをオープンできません
 34= ホスト証明書がもう有効ではありません
 35= 証明書構文解析エラー
 36= 証明書が取り消されました
 37= LDAP サーバーが非アクティブです
 38= 認証局が不明です
 39= パートナーの内部エラー
 40= 不明アラートを受け取りました
 41= クライアント認証アラート
 42= 間違った鍵の使用
 43= サーバー名が認識されません
 44= 不正なメッセージ長

45= 暗号エラーが検出されました
 46= エクスポートの制限
 47= TLS 拡張の不一致
 48= ネゴシエーションなし
 49= 署名アルゴリズムのペア・リストにない署名アルゴリズムです
 50= 証明書の鍵アルゴリズムが署名アルゴリズムのペアのリストにありません、
 51= GSKCMS エラー

7. *peeraddr*
 8. *tcpiptservice*

宛先: CSOO

DFHSO0124 *APPLID* **MAXSOCKETS** システム初期設定パラメーターの値 *mmmmmm* が、**MAXFILEPROC** 値 *nnnnn* を超えています。(The **MAXSOCKETS** system initialization parameter has a value of *mmmmmm* which exceeds the **MAXFILEPROC** value of *nnnnn*.) **MAXSOCKETS** 値は、より小さい値に設定されました。(The **MAXSOCKETS** value has been set to the lower value.)

説明: **MAXSOCKETS** システム初期設定パラメーターに指定された値が、z/OS UNIX システム・サービスの **MAXFILEPROC** オプションに指定された値より大きいです。

CICS は、**MAXFILEPROC** 値より大きい **MAXSOCKETS** 値を設定しようとしたますが、CICS を実行しているユーザー ID にスーパーユーザー権限がないため、設定できませんでした。

システムの処置: CICS は、**MAXFILEPROC** 値に等しく設定された **MAXSOCKETS** 値を使用して実行を続行します。

ユーザーの処置: 以下が可能です。

- **MAXFILEPROC** を超えない **MAXSOCKETS** の値を指定して CICS を再始動します。これにより、CICS が一度にアクティブにできるソケットの数が制限されます。
- **MAXFILEPROC** の値を大きくしてから、CICS を再始動します。これにより、このシステム内のすべての z/OS UNIX システム・サービスの処理が影響を受けます。
-

スーパーユーザー権限をもつユーザー ID で CICS を再始動します。

モジュール: DFHSOIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *mmmmmm*
3. *nnnnn*

宛先: コンソール

DFHSO0125 *APPLID* カタログから取得された **MAXSOCKETS** パラメーターの値 *mmmmmm* が、**MAXFILEPROC** 値 *nnnnn* を超えています。(APPLID The **MAXSOCKETS** parameter retrieved from the catalog has a value of *mmmmmm* which exceeds the **MAXFILEPROC** value of *nnnnn*.) **MAXSOCKETS** 値はより小さい値に設定されました。(The **MAXSOCKETS** value has been set to the lower value.)

説明: ウォーム・リスタート時または緊急時再始動時にカタログから取得された **MAXSOCKETS** システム初期設定パラメーターの値が、z/OS UNIX システム・サービスの **MAXFILEPROC** オプションで指定された値より大きいです。

CICS は **MAXFILEPROC** 値より大きい **MAXSOCKETS** 値を設定しようとしたますが、CICS を実行しているユーザー ID にスーパーユーザー権限がないため、設定できませんでした。

この状態は、以下の場合に発生する可能性があります。

- CICS は以前はスーパーユーザー権限を持つユーザー ID で実行されていたが、別のユーザー ID で再始動された
- CICS は以前はスーパーユーザー権限を持つユーザー ID で実行されていたが、CICS の再始動の前に権限が変更された
- CICS は以前はスーパーユーザー権限を持たないユーザー ID で実行されていたが、CICS の再始動の前に **MAXFILEPROC** の値が小さくされた

システムの処置: CICS は、**MAXFILEPROC** 値に等しく設定された **MAXSOCKETS** 値を使用して実行を続行します。

ユーザーの処置: 以下が可能です。

- MAXFILEPROC を超えない MAXSOCKETS の値を指定して CICS を再始動します。これにより、CICS が一度にアクティブにできるソケットの数が制限されます。
- MAXFILEPROC の値を大きくしてから、CICS を再始動します。これにより、このシステム内のすべての z/OS UNIX システム・サービスの処理が影響を受けます。
- スーパーユーザー権限をもつユーザー ID で CICS を再始動します。

モジュール: DFHSOIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *mmmmm*
3. *nnnnn*

宛先: コンソール

DFHSO0126 W *applid* An attempt to create a socket has failed because the MAXSOCKETS limit has been reached.

説明: tcpip ソケットを作成しようとしたが、システム内のオープン・ソケットの数が現行の MAXSOCKETS 値を超えたため、失敗しました。

システムの処置: ソケットはオープンされず、失敗が報告されます。

ユーザーの処置: この動作が望ましくない場合、CEMT SET TCPIP を使用して、システム内のソケットの数を増やしてください。

モジュール: DFHSOMG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSO0128A *applid* LDAP サーバーへのバインドを指定する情報を、CRLPROFILE *profile* の PROXY セグメントから入手できません。

説明: CRLPROFILE システム初期設定パラメーターが指定されましたが、CICS と System SSL が LDAP サーバーへのバインドを実行するために必要な情報を、そのパラメーターが特定したプロファイルから取得できません。

CICS は、外部セキュリティ・マネージャーのデータベースの LDAPBIND クラスにあるプロファイル *profile* の PROXY セグメントから以下の情報を抽出しようとした。

LDAPHOST

証明書の失効情報が含まれる LDAP サーバーの Uniform Resource Locator (URL)。

BINDDN

指定された LDAP サーバー内の証明書失効リストへのアクセスが許可されているユーザーの LDAP 識別名。

BINDPW

BINDDN によって指定されたユーザーの認証に使用されるパスワード。

指定されたプロファイルが存在しないか、CICS にプロファイルにアクセスする権限がないか、必要なコンポーネントの 1 つ以上がプロファイルから欠落しているかのいずれかです。

システムの処置: CICS SSL 機能は、証明書が失効しているかどうかを判別するための証明書失効リストを取得できません。他のエラー・メッセージが発行されないようにするために、CRLPROFILE 機能は無効にされました。そのため、CICS は SSL 証明書が失効しているかどうかを確認できません。

ユーザーの処置: セキュリティー・マネージャーの LDAPBIND クラスの *profile* プロファイルが、必要なコンポーネントが 3 つすべて含まれている PROXY セグメントに定義されていることを確認してください。また、CICS 領域ユーザー ID にプロファイルに対する READ アクセス権限があることを確認してから、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSOSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *profile*

宛先: コンソール

DFHSO0129A *applid* CRLPROFILE から取得された名前の LDAP サーバーが非アクティブになっています。証明書の失効チェックが無効になっています。

説明: CRLPROFILE システム初期設定パラメーターによって指定された、外部セキュリティ・マネージャーのプロファイルの PROXY セグメントから取得された名前の LDAP サーバーにアクセスできません。

システムの処置: CICS SSL 機能は、証明書が失効しているかどうかを判別するための証明書失効リストを取得できません。他のエラー・メッセージが発行されないようにするために、CRLPROFILE 機能は無効にされました。CICS は、これ以上 LDAP サーバーから証明書失効リストを取得しようとしません。そのため、CICS は SSL 証明書が失効しているかどうかを確認できません。

ユーザーの処置: 証明書失効リストの検査を再度有効にするには、CRLPROFILE 内で指定された LDAP サーバーを再始動する必要があります。このサーバーを参照する CRLPROFILE 定義を指定するすべての CICS システムも再始動する必要があります。

モジュール: DFHSOSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSO0130 *date time applid* **A TCP/IP ACCEPT call has failed. The TCPIP SERVICE *tcipservice* on port *portnumber* at IP address *ipaddress* will be closed. The values returned are *bpx_return_value*(*bpx_return_value*), *bpx_return_code*(*bpx_return_code*), and *bpx_reason_code*(*X'bpx_reason_code'*).**

説明: TCP/IP ACCEPT 呼び出しがエラーを戻しました。

システムの処置: 例外トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを要求しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

指定された IP アドレスのポート *portnumber* で TCPIP SERVICE *tcipservice* がシャットダウンされました。このシャットダウンが完了すると、メッセージ DFHSO0108 が出されます。

Unix システム・サービスによってレポートされる戻り値、戻りコード、および理由コードが表示され、診断をサポートします。

ユーザーの処置: ACCEPT 障害の理由を判別してください。メッセージ・テキストで示される戻りコードおよび理由コードについては、資料 *z/OS UNIX System Services* メッセージおよびコード の中で説明しています。このエラーの原因としては、TCP/IP が MAXSOCKETS に達したことが考えられます。システム・コンソールで TCP/IP によって出されたメッセー

ジがないか確認し、指示されるリカバリー処置を取ってください。

TCPIP SERVICE *tcipservice* はクローズされ、TCP/IP の問題が解決された後、クローズされた TCPIP SERVICE は再オープンされます。

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipservice*
5. *portnumber*
6. *ipaddress*
7. *bpx_return_value*
8. *bpx_return_code*
9. *X'bpx_reason_code'*

宛先: コンソール

DFHSO0131 *date time applid* **The TCPIP SERVICE *tcipservice* cannot be opened on the IP address *ipaddress* because the maximum number of ports has been reached.**

説明: 許可されるポートの最大数に達したため、TCPIP SERVICE のオープンは失敗しました。

このメッセージは、TCP/IP バインド呼び出しが、戻り値 EADDRNOTAVAIL、理由コード *X'744C7231'* で失敗したときに出力されます。

システムの処置: TCPIP SERVICE をオープンする要求は、ポートが使用可能になるまで失敗します。

ユーザーの処置: ポートが使用可能になったら、要求を再試行する必要があります。

モジュール: DFHSOCK

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipservice*
5. *ipaddress*

宛先: CSOO

DFHSO0132 無効な関数が **DFHSOLX** に渡されました。

説明: ソケット TCPIP 出口プログラムで、内部エラーが検出されました。DFHSOLX に渡された関数を検出できませんでした。

システムの処置: CICS が発行するこのメッセージは、エラーをトラップし、さらに詳しい診断を行う目的でダンプをとるために使用できます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。

モジュール: DFHSOLX

宛先: コンソール

DFHSO0133 *date time applid TCIPSERVICE tcpipservice has been installed.*

説明: これは、INSTALL コマンドを使用して TCIPSERVICE *tcpipservice* をシステムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSOAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcpipservice*

宛先: CSOO

DFHSO0134A *applid TCIPSERVICE tcpipservice was not restored because certificate certificate {is expired | is not yet current | does not have a private key | is not trusted | is not found}*

説明: TCIPSERVICE *tcpipservice* は、リソースのインストール時は有効でしたが、証明書が使用できないため、CICS の再始動時は無効でした。メッセージの説明部分にその理由が示されます。

有効期限が切れている

証明書が有効でなくなる日時が既に過ぎています。

現行ではない

証明書が有効になる日時に到達していません。
秘密鍵がない

指定された証明書に秘密鍵が含まれていません。

このエラーは、ユーザーが

IRR.DIGTCERT.GENCERT へのアクセス権限を持たないため秘密鍵にアクセスできない場合に発生することがあります。

信頼できない

証明書には、セキュリティ管理者によって NOTRUST 属性が付与されています。これは、証明書が使用されないことを示します。

見つからない

証明書が見つかりません。

システムの処置: TCIPSERVICE はカタログから復元されません。

ユーザーの処置: 鍵リングにある証明書を使用可能な証明書に置き換えるか、別の証明書を指定してください。それから、TCIPSERVICE *tcpipservice* を手動で再インストールしてください。

「秘密鍵がない」というメッセージ挿入部分がある場合は、システム・ログを調べて、IRR.DIGTCERT.GENCERT にアクセスする権限がないことを示す RACF メッセージを確認してください。

モジュール: DFHSOTD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcpipservice*
3. *certificate*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= 有効期限が切れている

2= 現行ではない

3= 秘密鍵がない

4= 信頼できない

5= 見つからない

宛先: コンソール

DFHSO0135 W *date time applid An attempt to switch to an S8 SSL TCB has failed because the request has timed out.*

説明: S8 SSL TCBへ切り替えようとしたますが、要求がタイムアウトになったため失敗しました。

システムの処置: SSL 要求は実行されず、タスクはページされます。

ユーザーの処置: SIT 内で、または CEMT SET DISPATCHER コマンドを使用して MAXSSLTCBS 値を変更し、CICS ソケット・ドメインに使用可能な S8

SSL TCB の数を増やしてください。

モジュール: DFHSOSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSOO

DFHSO0136 *applid* **PERFORM SSL REBUILD** コマンドが正常に完了しました。

説明: SSL 環境は、鍵リングの現在の状態を反映するように正常に再作成されました。

システムの処置: 後続のすべての SSL ハンドシェークは、更新された鍵リングからの証明書を使用します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSOSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSO0137 *date time applid BUNDLE bundlename*
has successfully installed
TCPIPService *tcpipservice* **as** {*Enabled*
| *Disabled*}.

説明: CICS バンドル *bundlename* は、TCP/IP サービス *tcpipserivce* を正常にインストールしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSORM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *tcpipservice*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 有効
2= 無効

宛先: CSOO

DFHSO0138 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install TCPIPService
tcpipservice **because** {*the definition is*
invalid | *of an installation failure* | *an*
internal error occurred}.

説明: CICS バンドル *bundlename* は TCPIPService *tcpipservice* のインストールに失敗しました。エラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、TCPIPService は作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。以前のメッセージを確認してください。失敗の理由について、以下のような詳細情報をユーザーに提供する可能性があります。
定義が無効である

先行する DFHCAnnnnn メッセージを調べます。例えば、必要な属性 PORTNUMBER が指定されていない場合は DFHCA5501 です。

インストールの失敗

先行する DFHAMnnnnn コンソール・メッセージを調べます。例えば、同じ名前の TCPIPService が既に存在する場合は、DFHAM4950 が出力されます。

BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHSORM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *tcpipservice*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 定義が無効である
2= インストール失敗の
3= 内部エラーが発生した

宛先: CSOO

DFHSO0139 *date time applid* **Tcpipserivce name was**
not specified or is too long in
BUNDLE *bundlename*.

説明: リソース名が指定されていないか、長すぎるため、CICS バンドル *bundlename* は TCPIPService のインストールに失敗しました。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、TCPIPSERVICE は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイルの *tcpipservice* リソースの名前を訂正してください。
TCPIPSERVICE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHSORM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CSOO

DFHSO0140 *DATE TIME APPLIDIMMCLOSE*
request for TCPIPSERVICE *tcpipservice*
has been rejected.

説明: TCPIPSERVICE *tcpipservice* は BUNDLE リソースで定義されています。IMMCLOSE アクションを TCPIPSERVICE で実行する前に、BUNDLE が使用不可になっている必要があります。

システムの処置: TCPIPSERVICE をクローズできません。

ユーザーの処置: BUNDLE を使用不可にしてください。この処置で TCPIPSERVICE をクローズできない場合は、IMMCLOSE 要求の再発行を検討してください。

モジュール: DFHSOTD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *tcpipservice*

宛先: CSOO

DFHSO0141 *W DATE TIME APPLID* **Parse of**
ciphers file *cipherfile* has failed.

説明: 暗号スイート・コードが含まれるファイルを解析しようとしたことが、失敗しました。

システムの処置: 暗号ファイルに依存するリソースを有効にすることはできません。

ユーザーの処置: 暗号ファイルが有効であり、zFS 上の正しい場所にあることを確認してください。暗号ファイルで検出されたエラーに応じて、DFHPIxxxx メッセージが発行されます。このメッセージは、xml エラーに関

する詳細を提供します。暗号ファイルの訂正に役立つ情報については、このメッセージを参照してください。

モジュール: DFHSOIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *cipherfile*

宛先: CSOO

DFHSO0142A *applid TCPIPSERVICE *tcpipservice**
was not restored because its cipher
list could not be installed.

説明: TCPIPSERVICE *tcpipservice* で指定された暗号リストは、リソースのインストール時は有効でしたが、CICS の再始動時は無効でした。

システムの処置: TCPIPSERVICE はカタログから復元されません。

ユーザーの処置: 暗号リストが無効になった理由を調べて、有効な暗号リストに置き換えてください。それから、TCPIPSERVICE *tcpipservice* を手動で再インストールしてください。

モジュール: DFHSOTD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcpipservice*

宛先: コンソール

DFHSO0143A *applid Opening TCPIPSERVICE*
**tcpipservice* has failed because its*
specific TCPIPSERVICE *specifctcps* is
not installed.

説明: TCPIPSERVICE *tcpipservice* は、必要とする特定の TCPIPSERVICE *specifctcps* がインストールされていないため、オープンできませんでした。

システムの処置: リソースはインストールされますが、クローズされた状態になります。

ユーザーの処置: 汎用 TCPIPSERVICE の名前を変更し、カタログ内で、それが参照する特定の TCPIPSERVICE の後に見つかるようにすることを検討してください。

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *tcipSERVICE*3. *specifTCPS*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHSO0144 *applid* MINTLSLEVEL は、
NISTSP800131A=CHECK に準拠するた
めに TLS12 に設定されました。

説明: MINTLSLEVEL システム初期設定パラメーター
は、NISTSP800131A=CHECK のときは TLS12 でなけ
ればなりません。

システムの処置: MINTLSLEVEL は TLS12 に設定さ
れます。

ユーザーの処置: None. NISTSP800131A=CHECK SIT
パラメーターには MINTLSLEVEL=TLS12 が必要で
す。MINTLSLEVEL を TLS12 に変更すると、このメッ
セージは表示されなくなります。

モジュール: DFHSODM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSO0145 W *DATE TIME APPLID An*
installation using ciphers
ciphersourcetype ciphersource has resulted
in number ciphers being removed from
the cipher list.

説明: 使用する暗号を指定する暗号リストまたは暗号フ
ァイルを使用してリソースをインストールしている際
に、いくつかの暗号は、この CICS 領域で要求されてい
るセキュリティ環境の System SSL でサポートされ
ないために削除されました。

このメッセージの後に、それらの暗号をリストする
DFHSO0146 メッセージが 1 つ以上続きます。

システムの処置: リスト内の暗号が 1 つでも有効であ
れば、インストールは正常に続行します。

ユーザーの処置: 暗号リストまたは暗号ファイルには、
有効な暗号だけが指定されているようにしてください。

モジュール: DFHSOIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*2. *TIME*3. *APPLID*4. *ciphersourcetype*5. *ciphersource*6. *number*

宛先: CSOO

DFHSO0146 I *DATE TIME APPLID Ciphers*
removed: cipherlist.

説明: このメッセージは、サポートされない暗号をリス
トしたメッセージ DFHSO0145 の後に出されます。

システムの処置: リスト内の暗号が 1 つでも有効であ
れば、インストールは正常に続行します。

ユーザーの処置: 暗号リストまたは暗号ファイルには、
有効な暗号だけが指定されているようにしてください。

モジュール: DFHSOIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*2. *TIME*3. *APPLID*4. *cipherlist*

宛先: CSOO

DFHSO0147 W *applid A non-secure client*
connection has been received for
ATTLASWARE TCPIPService
tcipSERVICE. Client IP address: clientaddr.
TTLS_IOCTL 値 X'ttlioclt'

説明: TCP/IP リスナー・タスクは、セキュアでないク
ライアントからの接続を受け取りました。

TCPIPService は SSL(ATTLASWARE) を指定して定
義されているため、新規接続は AT-TLS で保護する必
要があります。

システムの処置: CICS は、SSL(ATTLASWARE)
TCPIPService での非セキュア接続について、クライ
アントに常に HTTP 403 エラー応答を送信します。こ
のメッセージは、アクティブな TCPIPService ごとに
1 度だけ出されます。

ユーザーの処置: TCPIPService によって使用される
ポートが、アクティブな AT-TLS ポリシーによって保
護されるようにする必要があります。

このメッセージを受け取った後で TCPIPService ポー
トで AT-TLS をアクティブにする場合、
TCPIPService をクローズしてから再オープンする必
要があります。

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*2. *tcipSERVICE*

3. *clientaddr*
4. *X'ttlsiocctl'*

宛先: コンソール

DFHSO0148 *date time applid* **The use of TCPIPService *tcipSERVICE* may result in a violation of NIST SP800-131A.**

説明: SSL(ATTLSAWARE) TCPIPService *tcipSERVICE* がオープンされました。NIST SP800-131A セキュリティー標準への準拠を要求する SIT パラメーター NISTSP800131A=CHECK が設定されています。

この警告メッセージは、この TCPIPService をサポートする暗号環境が AT-TLS ポリシーによって設定されているために出されています。このポリシーが NIST SP800-131A セキュリティー標準に準拠していることを確認する必要があります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: NIST SP800-131A の準拠に対処する方法については、CICS 製品資料の NIST SP800-131A のセクションを参照してください。

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipSERVICE*

宛先: CSOO

DFHSO0149 *W applid* **CLIENTAUTHTYPE (PASSTHRU) を使用するクライアント接続が ATTLSAWARE TCPIPService *tcipSERVICE* で検出されました。(A client connection using CLIENTAUTHTYPE (PASSTHRU) has been detected for ATTLSAWARE TCPIPService *tcipSERVICE*.) TTLS_IOCTL value *X'ttlsiocctl'*. The TCPIPService will be closed.**

説明: TCP/IP リスナー・タスクは、CLIENTAUTHTYPE(PASSTHRU) を使用する AT-TLS ポリシーによって保護されているクライアントからの接続を受け取りました。SSL(ATTLSAWARE) を指定して定義されている CICS TCPIPService 定義は、CLIENTAUTHTYPE として PASSTHRU をサポートしません。なぜなら、この設定は証明書の検証をバイパスするからです。

システムの処置: CICS はクライアント接続をクローズし、TCPIPService もクローズします。

ユーザーの処置: TCPIPService によって使用されるポートが、CLIENTAUTHTYPE(PASSTHRU) を使用しない AT-TLS ポリシーによって保護されていることを確認する必要があります。

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *X'ttlsiocctl'*

宛先: コンソール

DFHSO0150A *applid* **TCPIPService *tcipSERVICE* was not restored because the KEYRING has no default certificate.**

説明: TCPIPService *tcipSERVICE* はリソースのインストール時は有効でしたが、CICS の再始動時は無効でした。このメッセージは、TCPIPService に CERTIFICATE 属性で指定された証明書ラベルがなく、デフォルトの証明書がこの CICS システムの鍵リングに存在しないために出されます。

システムの処置: TCPIPService はカタログから復元されません。

ユーザーの処置: 有効な証明書ラベルを TCPIPService の CERTIFICATE 属性で指定するか、鍵リング内の証明書のいずれかをデフォルトとして指定してください。

モジュール: DFHSOTD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*

宛先: コンソール

DFHSO0151A *applid* **TCPIPService *tcipSERVICE* was not restored because its host hostname is unknown.**

説明: TCPIPService *tcipSERVICE* で指定された証明書に、インストール時に不明なホスト名が含まれていました。

システムの処置: TCPIPService はカタログから復元されません。

ユーザーの処置: 証明書に不明なホストが含まれている理由を調べてください。それから、TCPIPService *tcipSERVICE* を手動で再インストールしてください。

モジュール: DFHSOTD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tcipSERVICE*
3. *hostname*

宛先: コンソール

DFHSO0223 *date time applid* **Return code** *rc* **received from function** {*unknown* | *gsk_environment_init* | *gsk_environment_open* | *gsk_environment_close* | *gsk_secure_socket_init* | *gsk_secure_socket_open* | *gsk_secure_socket_close* | *gsk_secure_socket_read* | *gsk_secure_socket_write* | *gsk_attribute_set_buffer* | *gsk_attribute_set_callback* | *gsk_attribute_set_enum* | *gsk_attribute_set_numeric_value*} **of System SSL. Reason:** {*Unrecognized return code* | *Key database not found* | *Key database access not authorized* | *Invalid password for key database* | *Expired password for key database* | *Stashed password file not found* | *Session timeout value is invalid* | *An I/O error occurred* | *An unknown error occurred* | *Invalid distinguished name* | *No common ciphers negotiated* | *No certificate available* | *Certificate rejected by peer* | *Root certificate authority not supported* | *Unsupported operation* | *Invalid certificate signature* | *SSL protocol violation* | *Not authorized* | *Self-signed certificate* | *Invalid session state* | *Handle creation failed* | *No private key* | *Untrusted Certificate Authority* | *Certificate date invalid* | *Invalid cipher suite* | *Handshake abandoned by peer* | *Cannot open key database* | *Host certificate not yet valid* | *Certificate parsing error* | *Certificate is revoked* | *LDAP server is inactive* | *Unknown Certificate Authority* | *Internal error on partner* | *Unknown alert received* | *Client authentication alert* | *Incorrect key usage* | *Server name not recognized* | *Bad message length* | *Cryptographic error detected* | *Export restriction*}. **Peer:**

peeraddr, **TCIPSERVICE:** *tcipSERVICE*.

説明: 記載されている z/OS System SSL サービスの関数から、ゼロ以外の戻りコード *rc* が受信されました。戻りコードの簡単な解説が示されます。サービスは、IP アドレス *peeraddr* のパートナーと TCIPSERVICE *tcipSERVICE* との接続を処理していました。

システムの処置: セキュア・ソケット操作は中止されます。ソケット・ドメインの重大エラー・メッセージである DFHSO0002 が、エラー・コード X'080C' とともに生成される場合があります。

ユーザーの処置: このメッセージに伴ってメッセージ DFHSO0002 が出されない場合、エラーは接続されたパートナーによる何らかの予期しない処置によるものである可能性があり、このメッセージは単なる通知のために出されます。このメッセージに伴ってメッセージ DFHSO0002 が出される場合、エラーは何らかの構成エラーによるものである可能性があります。メッセージに Peer: 0.0.0.0, TCIPSERVICE: *NONE* と表示される場合、エラーは恐らく PERFORM SSL REBUILD 障害によるものです。PERFORM SSL REBUILD 障害では、古い SSL 環境が保持されている可能性があります。メッセージの説明を使用して、問題のある箇所を判別してください。戻りコード *rc* の説明については、「z/OS Cryptographic Services: System Secure Sockets Layer プログラミング」(SD88-6252) を参照してください。詳しいガイダンスについては、CICS 資料を参照してください。

戻りコードの簡単な解説が「証明書日付が無効です」である場合、証明書の有効期限が切れているかまだ有効でない、および証明書がローカル証明書かりモート・パートナーの証明書のいずれかを参照している可能性があります。

戻りコードの簡単な解説が「使用可能な証明書がありません」である場合、証明書は最近鍵リングに追加された可能性があります。PERFORM SSL REBUILD を発行して、SSL 環境を更新してください。

モジュール: DFHSOSE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rc*
5. 以下のオプションから選択される値。

0= 不明

11=*gsk_environment_init*

12=*gsk_environment_open*

```

13=gsk_environment_close
14=gsk_secure_socket_init
15=gsk_secure_socket_open
16=gsk_secure_socket_close
17=gsk_secure_socket_read
18=gsk_secure_socket_write
19=gsk_attribute_set_buffer
20=gsk_attribute_set_callback
21=gsk_attribute_set_enum
22=gsk_attribute_set_numeric_value

```

6. 以下のオプションから選択される値。

```

0= 戻りコードが認識されません
1= キー・データベースが見つかりません
2= キー・データベースのアクセスが許可されません
3= キー・データベースのパスワードが無効です
4= キー・データベースのパスワードの有効期限が切れています
5= stashしたパスワード・ファイルが見つかりません
6= セッション・タイムアウト値が無効です
7= 入出力エラーが発生しました
8= 不明なエラーが発生しました
16= 識別名が無効です
17= 共通の暗号がネゴシエーションされません
18= 使用可能な証明書がありません
19= 証明書がピアによってリジェクトされました
20= ルート証明書の権限はサポートされません
21= 操作はサポートされません
22= 証明書署名が無効です
23= SSLプロトコル違反
24= 許可されません
25= 自己署名の証明書
26= セッション状態が無効です
27= ハンドル作成に失敗しました
28= 秘密鍵がありません
29= 認証局が信頼できません
30= 証明書日付が無効です
31= 暗号の組が無効です
32= ハンドシェークがピアによって中止されました
33= キー・データベースをオープンできません
34= ホスト証明書がもう有効ではありません
35= 証明書構文解析エラー
36= 証明書が取り消されました
37= LDAP サーバーが非アクティブです
38= 認証局が不明です
39= パートナーの内部エラー
40= 不明アラートを受け取りました
41= クライアント認証アラート
42= 間違った鍵の使用
43= サーバー名が認識されません
44= 不正なメッセージ長
45= 暗号エラーが検出されました
46= エクスポートの制限

```

```

7. peeraddr
8. tcpipsservice

```

宛先: コンソール

DFHSO1000 *date time applid* **A request for TCP/IP communication failed (code X'*code*') for IPCONN *ipconn* using applid *applid*. z/OS UNIX system services supplied bpx_return_value(*bpx_return_value*) bpx_return_code(*bpx_return_code*), and bpx_reason_code(X'*bpx_reason_code*').**

説明: TCP/IP 通信用の z/OS UNIX システム・サービスに対する要求が失敗しました。要求は、IPCONN *ipconn* および applid *applid* を使用した別の CICS 領域との IPIC 通信用に行われました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを識別する SO ドメインの例外トレース・ポイント ID です。例えば、次のようになります。

- 0E02 BPX1AIO asyncio failure
- 0E03 BPX1AIO asyncio request failure
- 0E09 BPX1GIV give socket failure
- 0E0C BPX1TAK take socket failure
- 0E0F BPX1GCL get client id failure
- 0E13 BPX1SOC socket failure
- 0E16 BPX1BND bind failure
- 0E19 BPX1LSN listen failure
- 0E1C BPX1GNM get socket name failure
- 0E1F BPX1IOC ioctl failure
- 0E20 BPX1AIO asyncio return failure
- 0E23 BPX1OPT socketopt failure

システムの処置: 例外トレース項目 (メッセージ内のコ

ード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。

このメッセージは、CICS が IPIC 通信を使用した通信の実行中にエラーが発生したことを示しています。CICS は続行しますが、IPCONN *ipconn* を使用した IPIC 通信は一時的または永続的に失敗した可能性があります。

この失敗した要求が IPIC 通信に及ぼす影響を報告するために、追加のエラー・メッセージが生成されます

ユーザーの処置: 例外トレース項目は、どの z/OS UNIX システム・サービスが呼び出されたかを示します。「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」資料を参照して、エラーの原因を判別してください。z/OS UNIX システム・サービスの理由コード *bpx_reason_code* の値がゼロでない場合は、z/OS UNIX システム・サービス・コマンド BPXMTEXT を使用して、詳細情報を取得できる可能性があります。

この障害の影響は、そのとき実行されている IPIC 処理によって異なります。詳細情報を得るには、指定された IPCONN を使用する IPIC 通信に関するその他のメッセージを参照してください。

その後、IPCONN *ipconn* 通信を使用する IPIC 通信が通常の操作を正常に再開しない場合、IPCONN およびその関連 TCPIPService リソース定義に、インストール済み環境に適した属性があることを確認してください。また、これらのリソース定義が、このメッセージを発行した CICS 領域、および IPIC 通信が試行されている CICS 領域で正しいことを確認してください。さらに、z/OS Communications Server のパラメーター定義がこの IPCONN の操作にとって正しいことを確認する必要がある場合もあります。これを行う際は、このメッセージを発行した CICS 領域が実行される z/OS システムと、IPIC 通信が試行される z/OS システムを考慮してください。

モジュール: DFHSOSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. X'code'
5. *ipconn*
6. *applid*
7. *bpx_return_value*
8. *bpx_return_code*
9. X'*bpx_reason_code*'

宛先: CSOO

DFHSO1001 *date time applid* **A Communications Server TCP/IP callable NMI error (code X'code') has occurred in module modname.**

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'code' は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポインタ ID です。以下に例を示します。

- 043A statistics SVC call abended
- 043B statistics SVC call rejected
- 043C statistics NMI INQUIRE failed
- 0CA6 SVC call rejected
- 0CA7 SVC call abended
- 0CA8 NMI INQUIRE failed

TCPIPService 属性 BACKLOG とともに使用する z/OS Communications Server TCP/IP パラメーター SOMAXCONN の値を取得するために、NMI INQUIRE が使用されます。これは、TCPIPService リソース統計のためにドロップされたソケット・バックログおよび接続に関する情報を取得するためにも使用されます。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このエラーの原因としては、CICS タイプ 3 SVC のセットアップが正しくないことが考えられます。CICS タイプ 3 SVC が正しくインストールされていることを確認してください。例外トレース項目は、レジスター 15 内の CICS タイプ 3 SVC によって戻される値を示すことがあります。-1 および 0 以外の値は、CICS タイプ 3 SVC 自体への呼び出しが失敗したことを示します。これは、CICS タイプ 3 SVC セッ

トアップが正しくない場合に発生する可能性があります。

あるいは、CICS タイプ 3 SVC が正しくインストールされている場合は、CICS コードまたは呼び出された Communications Server TCP/IP NMI 要求にエラーの可能性を示しています。レジスター 15 で戻された値が -1 または 0 である場合には、これが当てはまる可能性があります。どの要求が呼び出されたか、戻された応答値が何であったかは、例外トレース項目から分かります。詳細は、「z/OS Communications Server IP Programmer's Guide and Reference」で提供されています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

NMI INQUIRE が SOMAXCONN の取得に失敗した場合 (コード 0CA6-8)、TCPIPService 属性 BACKLOG に使用される値は、z/OS Communications Server TCP/IP パラメーター SOMAXCONN の値に設定できません。NMI INQUIRE が TCPIPService リソース統計の取得に失敗した場合 (コード 043A-C)、統計では該当するスタックの以下のフィールドに 0 が報告されます。

- SOR_CURR_BACKLOG
- SOR_CURR_MAX_BACKLOG
- SOR_CONNS_DROPPED
- SOR_CONN_LAST_DROPPED

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'code'*
5. *modname*

宛先: CSOO およびコンソール

DFHSO1002 *date time applid* CICS is unable to determine the secure state of a new connection received on ATTLSAWARE TCPIPService *tcipsservice* from client IP address *ipaddress*. UNIX System Services values returned are *bpx_return_value*(*bpx_return_value*), *bpx_return_code*(*bpx_return_code*), and *bpx_reason_code*(*X'bpx_reason_code'*).

説明: Web クライアントが、Application Transparent Transport Layer Security (AT-TLS) を認識する TCPIPService によって保護されている CICS 領域に接続しようとした。

ソケット・リスナーのタスク (CSOL) は、UNIX BPXICTL 呼び出しを実行して新しい接続に関連する情報を取得しようとしたが、呼び出しは失敗しました。

システムの処置: 例外トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特に要求されていなければ、システム・ダンプはとられません。

CICS を終了させるようダンプ・テーブルで指定されていなければ、CICS は続行します。

そのクライアントに受け入れられたソケットはクローズされます。

ユーザーの処置: 「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード資料を参照して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHSOLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tcipsservice*
5. *ipaddress*
6. *bpx_return_value*
7. *bpx_return_code*
8. *X'bpx_reason_code'*

宛先: CSOO

DFHSRnnnn メッセージ

DFHSR0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in program *progrname*.

説明: プログラム *progrname* で異常終了 (ABEND) またはプログラム・チェックが起きました。異常終了またはプログラム・チェックの起きたとき、記憶保護が活動状態であり、CICS が USER キーで実行していました。

コード *aaa* は、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。*aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトにより出されたユーザー異常終了コードです。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

システムの処置: エラーの詳細を示す例外トレース項目が作成されます。ダンプ・テーブル内でそのダンプ・コードのダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプ SR0001 がとられます。

CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行し、トランザクションを異常終了させます。トランザクション異常終了コードは、ASRA、ASRB、ASRD、または ASRE です。

ユーザーの処置: 実行キーが USER キーであった場合には、*modname* は、おそらくカスタマー・アプリケーション・プログラムです。このプログラムを検討して、エラーを訂正してください。

このエラーが、CICS DSA を上書きしようとしたために起きた 0C4 プログラム・チェックであった場合には、例外トレース項目は、そのプログラムが上書きしようとした DSA を示すことに注意してください。この場合には、メッセージ DFHSR0622 の説明も参照してください。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

実行キーが USER であるときに、ASRA、ASRB、ASRD、または ASRE の異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、ダンプ・テーブル内でシステム・ダンプ・コード SR0001 の項目にそのことを指定する必要があります。CEMT コマンドか EXEC CICS コマンドのいずれかを使用し

てください。これについての詳しい手引きは、「構成」で説明されています。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *progrname*

宛先: コンソール

DFHSR0002 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in program *progrname* of application *application*, version *applversion*, on platform *platform*.

説明: プラットフォーム *platform* のアプリケーション *application*、バージョン *applversion* のプログラム *progrname* で、異常終了 (ABEND) またはプログラム・チェックが発生しました。異常終了またはプログラム・チェックの起きたとき、記憶保護が活動状態であり、CICS が USER キーで実行していました。

コード *aaa* は、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。*aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトにより出されたユーザー異常終了コードです。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

システムの処置: エラーの詳細を示す例外トレース項目が作成されます。ダンプ・テーブル内でそのダンプ・コードのダンプを特に抑止しない限り、システム・ダンプ SR0001 がとられます。

CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行し、トランザクションを異常終了させます。トランザクション異常終了コードは、ASRA、ASRB、ASRD、または ASRE です。

ユーザーの処置: 実行キーが USER キーであった場合には、*modname* は、おそらくカスタマー・アプリケーション・プログラムです。このプログラムを検討して、エラーを訂正してください。

このエラーが、CICS DSA を上書きしようとしたために起きた 0C4 プログラム・チェックであった場合には、例外トレース項目は、そのプログラムが上書きしようとした DSA を示すことに注意してください。この

場合には、メッセージ DFHSR0622 の説明も参照してください。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

実行キーが USER であるときに、ASRA、ASRB、ASRD、または ASRE の異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、ダンプ・テーブル内でシステム・ダンプ・コード SR0001 の項目にそのことを指定する必要があります。CEMT コマンドか EXEC CICS コマンドのいずれかを使用してください。これについての詳しい手引きは、「構成」で説明されています。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *progrname*
5. *application*
6. *applversion*
7. *platform*

宛先: コンソール

DFHSR0601 *applid* Program interrupt occurred with system task *taskid* in control

説明: システム・タスクでプログラム・チェックが検出されました。 *taskid* は、フィールド TCAKCTTA に設定されたシステム・タスク ID (TCP、III など) です。

システムの処置: CICS が異常終了し、プログラム・チェックのカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0601 が作成されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、プログラム・チェックの原因を判別してください。このプログラム・チェックの原因としては、CICS モジュールでのエラーか、ユーザー作成 PLT プログラムでのエラーが考えられます。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *taskid*

宛先: コンソール

DFHSR0602 *applid* Program interrupt routine has been entered while processing program interrupt for same task

説明: プログラム・チェックが発生しました。別のプログラム・チェックが発生したときに、CICS がタスクの異常終了処理を開始して、異常終了コード ASRA が出されました。これはおそらく反復的な状況であるために、DFHSRP が CICS を終了させます。

システムの処置: CICS が異常終了し、各プログラム・チェックのカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0602 が作成されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 最初のプログラム・チェックが発生した場所と理由を突き止めるようにしてください。原因としては、アプリケーション・プログラム内のエラーがまず第一に考えられます。2 回目のプログラム・チェックは、タスクを終了している間の CICS エラーが原因である可能性があります。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSR0603 *applid* Program interrupt has occurred

説明: プログラム・チェックが発生しましたが、システム初期設定テーブル内に、または始動時にオペレーターにより SRT=NO が指定されているので、CICS はリカバリーを試みませんでした。

システムの処置: CICS は異常終了し、プログラム・チェックのカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0603 が作成されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: まず、SRT=NO の指定が正しいかどうかを調べてください。正しくない場合には、「構成」で説明されているようにそれを変更してください。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

DFHSR0605 • DFHSR0613

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSR0605 *applid* Error from KE Domain - DFHSRP initialization

説明: モジュール DFHSRP が、CICS の初期設定段階で重大エラーを検出しました。エラーが検出され、訂正されるまで、リカバリー機能はおそらく実行できません。

システムの処置: CICS が異常終了し、システム・ダンプ SR0605 が作成されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、可能であれば問題の原因を判別し、これを訂正するためにとるべき処置を判別してください。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSR0606 *applid* Abend (code *aaa/bbbb*) has been detected.

説明: DFHSRP は、CICS が完全に処理することのできない異常終了を検出しました (例えば、SRT で異常終了コードが見つからないなど)。この場合、異常終了したのは、単にトランザクションではなく CICS システムです。

コード *aaa* は、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。*aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトにより出されたユーザー異常終了コードです。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。異常終了コードに応じて、このメッセージに伴ってシステム・ダンプ (ダンプ・コード SR0606) がとられることがあります。例外トレース項目が作成され、異常終了のカーネル・エラー・データを提供します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、異常終了を判別し、その原因を調べてください。

モジュール: DFHSRP

1576 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*

宛先: コンソール

DFHSR0612 *applid* Abend recovery has been entered by same task

説明: オペレーティング・システム異常終了が発生しました。別のオペレーティング・システム異常終了が起きたときに、CICS が、異常終了コード ASRB を出して、タスクの異常終了を開始しました。これはおそらく反復的な状況であるために、DFHSRP が CICS を終了させます。

システムの処置: CICS が異常終了し、各オペレーティング・システム異常終了のカーネル・エラー・データを提供する例外トレース項目およびシステム・ダンプ SR0612 が作成されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 2 番目のオペレーティング・システム異常終了の原因としては、XSRAB 出口で実行されているグローバル・ユーザー出口プログラム内のエラーが考えられます。これはグローバル・ユーザー出口であり、SRT で異常終了コードが見つかったときに呼び出すことができます。そのようなプログラムが実行されていた場合には、2 回目の異常終了の原因を調べて、再発を防止する処置を取ってください。

XSRAB 出口で実行中のグローバル・ユーザー出口プログラムが、ループ (ランナウェイ) 状態に入った場合、または認識されない XPI 呼出し (カーネル・エラー) を出した場合には、このメッセージも出されることに注意してください。2 番目の例外トレース項目が、これを診断するのに役立ちます。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSR0613 *applid* Abend has occurred with system task *taskid* in control

説明: システム・タスクでオペレーティング・システム異常終了が検出されました。*taskid* は、フィールド TCAKCTTA に設定されたシステム・タスク ID (TCP、III など) です。

システムの処置: CICS が異常終了し、オペレーティン

グ・システム異常終了のカーネル・エラー・データを提供
する例外トレース項目およびシステム・ダンプ
SR0613 が作成されます。この問題の症状ストリングが
含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して異常終了の原因を判
別し、それを訂正するための処置を取ってください。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシュ
ーティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *taskid*

宛先: コンソール

DFHSR0615 *applid* Program interrupt has occurred
in recovery task

説明: オペレーティング・システム異常終了が発生しま
した。プログラム・チェックが発生したときに、CICS
はタスクの異常終了処理を開始して、異常終了コード
ASRB が出されました。DFHSRP は CICS を終了させ
ます。

システムの処置: CICS が異常終了し、オペレーティ
ング・システム異常終了のカーネル・エラー・データとプ
ログラム・チェックを提供する例外トレース項目および
システム・ダンプ SR0615 が作成されます。この問題の
症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が
生成されます。

ユーザーの処置: このプログラム・チェックの原因とし
ては、XSRAB 出口で実行中のグローバル・ユーザー出
口プログラム内のエラーがまず第一に考えられます。
これはグローバル・ユーザー出口で、SRT で異常終了コ
ードが見つかったときに呼び出すことができます。その
ようなプログラムが実行されていた場合には、プログラ
ム・チェックの原因を判別して、これを訂正してくださ
い。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシュ
ーティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSR0618 *applid* An illegal macro call or
reference to the CSA or TCA has
caused the abend which follows

説明: 現在はサポートされていないアセンブラー・マク
ロが入ったユーザー・プログラム、CICS TCA または
CSA を不正な方法で参照するユーザー・プログラム、
または適切な exec インターフェース・スタブとリン
ク・エディットされていないユーザー・プログラムが実
行されていました。

このエラーは、0C4 プログラム・チェックとして示され
ます。

システムの処置: 次のいずれかです。 トランザクショ
ンが異常終了し、異常終了コード ASRD が出されま
す。このメッセージに続いて、メッセージ DFHAP0001
または DFHSR0001 が出されます。このメッセージに
は、エラーのあるプログラムの名前と、エラーが起きた
そのプログラムへのオフセットが示されます。

または、これはクリティカル・エラーであり、CICS は
終了します。このメッセージに続いてメッセージ
DFHSR06xx が出され、終了の理由を示します。

ユーザーの処置: このプログラムを検討して、エラーを
訂正してください。

エラーがモジュール DFHUEHC 内にある場合は、
UEPCSA および UEPTCA が使用されていないことを
確認してください。これらは取り出し保護ストレージを
参照するからです。

プログラムがフィールド CSAQRTCA (以前の名前は
CSACDTA) を使用していないことを確認してくださ
い。これは取り出し保護ストレージを参照するからで
す。

アプリケーション・プログラムが適切な exec インター
フェース・スタブとリンク・エディットされているよう
にしてください。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシュ
ーティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHSR0619 *date time applid* An illegal reference to
the RCT has caused the abend which
follows.

説明: ユーザー・プログラムが実行され、RCT を不正
な方法で参照していました。このエラーは、0C4 プログ
ラム・チェックとして示されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了コード ASRE で異常終了します。このメッセージに続いて、メッセージ DFHAP0001 または DFHSR0001 が出力されます。このメッセージには、エラーのあるプログラムの名前と、エラーが起きたそのプログラムへのオフセットが示されます。

ユーザーの処置: CICS 提供の SPI コマンドを使用して CICS DB2 リソース定義に関する情報を取得することにより、プログラムを調べてエラーを訂正してください。

問題判別に関する注意事項については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CDB2 およびコンソール

DFHSR0622 *applid* An attempt to {overwrite | access} the *dsaname* has caused the abend which follows

説明: 0C4 プログラム割り込み (記憶保護例外) が起こりました。CICS は、0C4 の原因を DSA *dsaname* 内のストレージに対する *access* または *overwrite* の試行と診断しました。DSA は、*overwrite* の場合は CDSA、RDSA、UDSA、ECDSA、ERDSA、ETDSA、EUDSA、または GCDSA のいずれかであり、*access* の場合は UDSA または EUDSA のいずれかです。

dsaname が CDSA、ECDSA、ETDSA、または GCDSA である場合:

CICS は、ストレージ保護をアクティブにして実行中です。そのため、CDSA、ECDSA、ETDSA、および GCDSA には CICS キー・ストレージが含まれます。これらは、User キーで実行されているユーザー・プログラムから書き込み保護されています。0C4 が起きた最大の原因としては、次のものが考えられます。

- CICS キーで実行されるプログラムが、CDSA、ECDSA、ETDSA、または GCDSA 内の CICS キー・ストレージのアドレスを User キーで実行されるユーザー・プログラムに渡し、このユーザー・プログラムがこのストレージに書き込みを行おうとした。

- User キーで実行されるプログラムにエラーがあり、このプログラムが誤って CDSA、ECDSA、ETDSA、または GCDSA 内の CICS キー・ストレージに書き込みを行おうとした。
- User キーで実行されるユーザー・プログラムが、CDSA、ECDSA、ETDSA、または GCDSA 内の CICS キー・ストレージに故意に書き込みを行おうとした。

dsaname が ERDSA または RDSA である場合:

CICS は、ストレージ保護をアクティブにして実行されている場合もあり、そうでない場合もあります。ERDSA または RDSA に含まれるのは、再入可能 CICS とユーザー・プログラムだけです。RENTPGM=PROTECT がシステム初期設定パラメーターとして指定された場合は、ERDSA または RDSA は、CICS キーとユーザー・キーの両方で実行されるプログラムから書き込み保護されています。RENTPGM=NOPROTECT の場合、ERDSA または RDSA はユーザー・キーで実行されるユーザー・プログラムからのみ、書き込み保護されています。0C4 が起きた最大の原因としては、次のものが考えられます。

- ERDSA または RDSA にあるユーザー・プログラムが、そのプログラム固有のストレージを修正しようとした (つまり、そのプログラムは再入可能ではありません)。
- ユーザー・プログラムにエラーがあり、そのプログラムが誤って ERDSA または RDSA 内のプログラム・ストレージを上書きしようとした。

dsaname が EUDSA または UDSA である場合:

CICS がストレージ保護とトランザクション分離の両方をアクティブにして実行しています。EUDSA および UDSA には、USER キーの非共用ストレージのみが含まれます。0C4 が起きた最大の原因としては、次のものが考えられます。

- 処置が *overwrite* の場合、プログラムは別のトランザクションに属する非共用ストレージを修正しようとした。
-

処置が *access* の場合、プログラムはストレージを読み取ろうとしたか、別のトランザクションの非共用ストレージ内の命令を実行しようとした。

システムの処置: 次のいずれかです。 トランザクションが異常終了し、異常終了コード ASRA が出されます。このメッセージに続いて、メッセージ DFHAP0001 または DFHSR0001 が出されます。このメッセージには、エラーのあるプログラムの名前と、エラーが起きたそのプログラムへのオフセットが示されます。さらに、プログラム、オフセット、実行キーおよび問題の DSA を示す例外トレース項目が取られます。

または、これはクリティカル・エラーであり、CICS が終了します。このメッセージに続いてメッセージ DFHSR06xx が出され、終了の理由を示します。

ユーザーの処置: 原因と *dsaname* に応じて、次のいずれかを行ってください。

- プログラム中のエラーをすべて訂正する。
- ストレージを共用する必要がある ISOLATE(NO) を指定して、トランザクションを再定義する。

DFHSTnnnn メッセージ

DFHST0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

注: DFHSTUP モジュールの場合は *applid* がありません。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

モジュール DFHSTST および DFHSTTI については、

- プログラムが CICS キー (および基本スペース) で実行されるように、プログラム・リソース定義を変更する。

- RENT オプションを指定してリンク・エディットを行わないことにより、プログラムが ERDSA にロードされないようにする。

モジュール: DFHSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=*overwrite*

2=*access*

3. *dsaname*

宛先: コンソール

ダンプがとられ、収集間隔は 24 時間に設定されます。メッセージ DFHST0101 も出されます。

モジュール DFHSTDM については、処置は、ドメイン (DM) マネージャーが使用する初期設定エラー処置の値によって異なります。通常の処置では、CICS は終了し、ダンプが作成されます。

モジュール DFHSTUE については、処理が続行されます。

モジュール DFHSTWR、DFHSTRD、および DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール) については、ジョブ・ステップは終了し、ダンプが作成されます。

すべてのモジュールの場合に、ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを「z/OS MVS システム・コード」資料で調べてください。次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、ランナウェイ、またはパーコレーションのどれで

あったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されることもあります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI、DFHSTUE、DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール)、DFHSTWR、DFHSTRD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHST0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブル

シューティングおよびサポート」を参照してください。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:
DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI、DFHSTUE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHST0003 *applid* モジュール *modname* に、GETMAIN (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。このエラーは、16 MB 境界より上で発生しました。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます (メッセージ内のコード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連する終了メッセージ (例えば、ドメイ

ン・マネージャーからの) を探し出し、これらのメッセージで推奨されているユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、より多くのストレージを使用できるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、すべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

DSA または EDSA のサイズの限界を大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHSTDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHST0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

DFHSTUP モジュールの場合は *applid* は含まれないことに注意してください。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

モジュール DFHSTST および DFHSTTI については、システム・ダンプがとられ、収集間隔は 24 時間に設定されます。メッセージ DFHST0101 も出されます。

モジュール DFHSTDM については、処置は、ドメイン (DM) マネージャーが使用する初期設定エラー処置の値によって異なります。通常の処置では、CICS は終了し、ダンプが作成されます。

モジュール DFHSTUE については、処理が続行されます。

モジュール DFHSTWR、DFHSTRD、および DFHSTUx

(DFHSTUP 内のモジュール) については、ジョブ・ステップは終了し、ダンプが作成されます。

すべてのモジュールの場合に、ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発生した可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI、DFHSTUE、DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール)、DFHSTWR、DFHSTRD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHST0005 *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.

説明: STCK マシン語命令の実行の結果、非ゼロ条件コードが出されました。

システムの処置: システム・ダンプがとられ、間隔の収集は取り消されました。メッセージ DFHST0102 も出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これはおそらくハードウェア・エラーです。まず MVS ストア・クロック機構を調べて、正しく作動しているかどうかを確認してください。ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHST0101I *applid* The Statistics Domain has set the collection interval to 24 hours.

説明: 問題が統計 (ST) ドメインによって検出されたか、もしくは統計 (ST) ドメインに戻されました。結果として、収集間隔は最大値に設定されました。1 日の終わりの収集時間は変更されません。

問題を説明しているメッセージは、エラーになっているモジュールによって既に出されています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 元の問題の解決の手引きについては、関連したメッセージを参照してください。

問題が解決されたなら、CEMT SET STATISTICS を使用して、間隔をリセットしてください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHST0102I *applid* The Statistics Domain has cancelled interval collections.

説明: 問題が統計 (ST) ドメインによって検出されたか、もしくは統計 (ST) ドメインに戻されました。問題を説明しているメッセージが、エラーになっているモジュールによって既に出されている可能性があります。

この問題の発生頻度を減らすために、間隔の収集が取り消されました。1 日の終わりの収集時間は変更されません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 元の問題の解決の手引きについては、関連したメッセージを参照してください。

関連したメッセージが発行されていない場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTST、DFHSTDM、DFHSTTI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHST0103 *applid* An SMF error has occurred with return code *X'rc'*.

説明: SMF が統計 (ST) ドメインに戻り、SMFEWTM マクロからのエラー戻りコード *X'rc'* が出されました。

システムの処置: 他の CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードの意味の詳しい説明については、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」資料を参照してください。

モジュール: DFHSTST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rc'*

宛先: コンソール

DFHST0201 S An attempt to open the statistics data set has failed.

説明: DFHSTUP が、アンロードされた SMF データ・セットをオープンしようとして失敗しました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: ジョブの JCL が正しいかどうかを確認してください。DFHSTUP ユーティリティーを実行

するための JCL のサンプル・セットは、CICS の資料にあります。

間違った JCL が問題の原因ではない場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTRD

宛先: SYSPRINT

DFHST0202 S A read error on the statistics data set has occurred

説明: アンロードされた SMF データ・セット上で読み取りエラーが検出されました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。まず、ジョブの JCL が正しいかどうかを調べてください。DFHSTUP ユーティリティを実行するための JCL のサンプル・セットは、CICS の資料にあります。ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHSTRD

宛先: SYSPRINT

DFHST0203 W The statistics data set is empty.

説明: アンロードされた SMF データ・セットを最初に読み取ろうとしたときにファイルの終わり条件が検出されたか、アンロードされた SMF データ・セットにどの CICS システムからの CICS 統計も含まれていませんでした。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了します。

ユーザーの処置: 原因としては、SMF データ・セットをアンロードする JCL 内のエラーが最も考えられます。まず、JCL が正しいかどうかを検査してください。SMF データ・セットをアンロードするための JCL のサンプル・セットは、CICS の資料にあります。また、正しい SMF データ・セットをアンロードしたかどうかを確認してください。ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHSTIN

宛先: SYSPRINT

DFHST0204 S 統計データ・セットに無効なレコード ID "recid" が検出されました。

説明: アンロードされた SMF データ・セットで無効なレコード ID *recid* が検出されました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: アンロードされた SMF データ・セットに統計レコードが入っているかどうかを検査してください。CICS 統計レコードは、SMF レコード・タイプ 110 のサブタイプ 2 です。詳細については、「CICS Data Areas」を参照してください。

SMF データ・セットに統計レコードが入っている場合には、問題の最大の原因として SMF データ・セットが破壊されていることが考えられます。SMF データ・セットをもう一度アンロードして、DFHSTUP ユーティリティを再実行してください。問題がなくなる場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール)

宛先: SYSPRINT

DFHST0206 S An invalid parameter ("*parameter*") has been specified for the DFHSTUP utility.

説明: SYSIN データ・セットに指定された 1 つ以上のパラメーターが間違っていました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了します。

ユーザーの処置: メッセージに示されている誤りのあるパラメーターを訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSPRINT

DFHST0207 W 統計データ・セットに不完全なデータ・レコードが検出されました。

説明: アンロードされた SMF データ・セットからのレコード入力は、このデータ・セットに含まれるデータが不完全であることを示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不完全なデータ・レコードが検出されたということは、CICS の実行にエラーがあったに違いありません。これは例外トレースを引き起こすことになり、さらにダンプが出されることになるはずですが。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTUx (DFHSTUP 内のモジュール)

宛先: SYSPRINT

DFHST0208 S SYSINデータ・セットのオープンに失敗しました。

説明: DFHSTUP が、SYSIN データ・セットをオープンしようとして失敗しました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: ジョブの JCL が正しいかどうかを確認してください。DFHSTUP ユーティリティを実行するための JCL のサンプル・セットは、CICS の資料にあります。

間違った JCL が問題の原因ではない場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTRD

宛先: SYSPRINT

DFHST0209 S SYSINデータ・セットに読み取りエラーが発生しました。

説明: SYSIN データ・セット上で読み取りエラーが検出されました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

問題を解決するには、ダンプおよびすべての関連メッセージを集めて、読み取りが失敗した理由を判別してください。ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHSTRD

宛先: SYSPRINT

DFHST0210 I No statistics are available for applid *applid*.

説明: アンロードされた SMF データ・セット内には、アプリケーション ID *applid* の統計データ・レコードが存在しません。これは、

- アプリケーション ID *applid* が不明である。または、
- 間違った SMF データ・セットをアンロードした。または、
-

そのアプリケーション ID *applid* が統計を持たない COLLECTION TYPE= パラメーターを指定した。または、

•

アプリケーション ID *applid* について CICS 統計レコードが書き込まれていない。

システムの処置: ジョブ・ステップを続行します。

ユーザーの処置: 正しいアプリケーション ID を指定してあるかどうか検査してください。必要な、正しいアプリケーション ID を指定し直してください。正しい SMF データ・セットをアンロードしたかどうかを検査してください。必要な、正しい SMF データ・セットをアンロードしてください。正しいアプリケーション ID を指定し、正しい SMF データ・セットをアンロードした場合には、アプリケーション ID *applid* に関する統計データ・レコードはありません。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSPRINT

DFHST0211 S Processing terminated. ストレージ不足状態のため、**getmain**が失敗しました。

説明: 作業用ストレージを獲得している間に、DFHSTUP ユーティリティが GETMAIN マクロからエラーを検出しました。その原因は、DFHSTUP が使用可能なストレージを使い果たしたことによります。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: DFHSTUP ユーティリティを実行するために使用される EXEC JCL コマンドで、正しい REGION サイズが指定されていることを確認してください。DFHSTUP ユーティリティを実行するための JCL のサンプル・セットは、CICS の資料にあります。

正しい REGION サイズが指定されている場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: すべての DFHSTUP モジュール

宛先: SYSPRINT

DFHST0212 S Processing terminated. DFSORTメッセージ・データ・セット(DD=SYSOUT)が欠落しています。

説明: メッセージを出力するために DFSORT ユーティリティによって使用されたデータ・セットが欠落しています。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: DFHSTUP ユーティリティを実行するために使用される JCL を調べて、SYSOUT DD が正しく指定されていることを確認してください。

DFHSTUP ユーティリティを実行するための JCL のサンプル・セットは、CICS の資料にあります。

正しい SYSOUT DD ステートメントが指定されている場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSPRINT

DFHST0213 S Processing terminated. Error detected by DFSORT. DFSORTメッセージを検査してください。

説明: DFSORT ユーティリティによってエラーが検出され、DFHSTUP ユーティリティは終了しました。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: ユーザーは、DFSORT メッセージ・データ・セットを調べて、DFSORT ユーティリティの障害の理由を示すメッセージがないかどうか探する必要があります。DFSORT によって出されるメッセージの詳細な説明は、「z/OS DFSORT アプリケーション・プログラミング・ガイド」(SC88-7061) で説明されています。

DFSORT エラー・メッセージを分析した後、適切な修正処置を取り、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSPRINT

DFHST0214 S Processing terminated. Failure to obtain system time and date.

説明: DFHSTUP ユーティリティは、CICS カーネルからシステム時刻および日付を入手することができませんでした。

システムの処置: ダンプがとられ、ジョブ・ステップが終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSPRINT

DFHST0216 W 非互換の統計レコードのバージョン番号 "version" が、モジュール "module" によって検出されました。

説明: 統計レコードのバージョン番号は、DFHSTUP ユーティリティが予期しているバージョン番号と互換性がないことを、統計ユーティリティ・プログラムが検出しました。

システムの処置: 無効なバージョン番号の入っている統計レコードは無視されます。その直後の、同じタイプのもので、しかも無効なバージョン番号が入っている統計レコードも無視されます。処理を続行します。

ユーザーの処置: SMF データ・セットのダンプを入手してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: すべての DFHSTUP モジュール

宛先: SYSPRINT

DFHST0217 S DFHSTWRKデータ・セットのオープンに失敗しました。

説明: 非要約統計処理の際、DFHSTWRK データ・セットのオープンを試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWRK データ・セットが指定されているかどうか、およびデータ・セットの属性が正しいかどうか確認してください。

モジュール: DFHSTU17

宛先: SYSPRINT

DFHST0218 S DFHSTWRKデータ・セットに書き込みエラーが発生しました。

説明: 非要約統計処理の際、DFHSTWRK データ・セットへの書き込みを試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWRK データ・セットが指定されていること、データ・セットの属性が正しいこと、およびデータ・セットの大きさが十分であることを確認してください。

DFHST0219 S • DFHST0224 I

モジュール: DFHSTU17

宛先: SYSPRINT

DFHST0219 S DFHSTWRKデータ・セットに読み取りエラーが発生しました。

説明: 非要約統計処理の際、DFHSTWRK データ・セットからの読み取りの試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWRK データ・セットが指定されていること、データ・セットの属性が正しいこと、およびデータ・セットの大きさが十分であることを確認してください。

モジュール: DFHSTU17

宛先: SYSPRINT

DFHST0220 S DFHSTWRKデータ・セットのオープンに失敗しました。

説明: 要約統計処理の際、DFHSTWRK データ・セットのオープンを試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWRK データ・セットが指定されているかどうか、およびデータ・セットの属性が正しいかどうか検査してください。

モジュール: DFHST17X

宛先: SYSPRINT

DFHST0221 S DFHSTWRKデータ・セットに書き込みエラーが発生しました。

説明: 要約統計処理の際、DFHSTWRK データ・セットへの書き込みの試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWRK データ・セットが指定されていること、データ・セットの属性が正しいこと、およびデータ・セットの大きさが十分であることを確認してください。

モジュール: DFHST17X

宛先: SYSPRINT

DFHST0222 S DFHSTWRKデータ・セットに読み取りエラーが発生しました。

説明: 要約統計処理の際、DFHSTWRK データ・セットからの読み取りの試行中に、統計ユーティリティ・プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: 統計ユーティリティ・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブに DFHSTWRK データ・セットが指定されていること、データ・セットの属性が正しいこと、およびデータ・セットの大きさが十分であることを確認してください。

モジュール: DFHST17X

宛先: SYSPRINT

DFHST0223 I There are no data table statistics to report.

説明: 現在処理中のデータに、データ・テーブルとしてアクセスされるファイルのための統計レコードが含まれている場合は、「Data Table Requests Information」という、DFHSTUP レポートのファイル・サブセクションには、形式設定済みの情報のみが含まれています。このメッセージは、統計レポートのこのセクション内にデータ・テーブル統計がないことをユーティリティ・プログラムが検出した際に、DFHSTUP レポートに書き込まれます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: DFHSTUP レポートにデータ・テーブル統計があることが予期される場合以外は、何の処置もとりません。この場合、処理しようとしている統計が扱う時間枠内で、データ・テーブル機能が使用されていることを確認してください。

モジュール: DFHSTU17、DFHST17X

宛先: SYSPRINT

DFHST0224 I 報告する区画内キューはありません。

説明: 「一時データ - 区画内 (Transient Data - Intrapartition)」というタイトルの DFHSTUP レポートの一時データ・サブセクションにデータがありません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: DFHSTUP レポートに TD 区画内統計があることが予期される場合以外は、何の処置も取りません。

モジュール: DFHSTUTQ、DFHSTTQX

宛先: SYSPRINT

DFHST0225 I 報告する区画外キューはありません。

説明: 「一時データ - 区画外 (Transient Data - Extrapartition)」というタイトルの DFHSTUP レポートの一時データ・サブセクションにデータがありません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: DFHSTUP レポートに TD 区画外統計があることが予期される場合以外は、何の処置も取りません。

モジュール: DFHSTUTQ、DFHSTTQX

宛先: SYSPRINT

DFHST0226 I 報告する間接キューはありません。

説明: 「一時データ - 間接 (Transient Data - Indirect)」というタイトルの DFHSTUP レポートの一時データ・サブセクションにデータがありません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: DFHSTUP レポートに TD 間接統計があることが予期される場合以外は、何の処置も取りません。

モジュール: DFHSTUTQ、DFHSTTQX

宛先: SYSPRINT

DFHST0227 I 報告するリモート・キューはありません。

説明: 「一時データ - リモート (Transient Data - Remote)」というタイトルの DFHSTUP レポートの一時データ・サブセクションにデータがありません。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: DFHSTUP レポートに TD リモート統計があることが予期される場合以外は、何の処置も取りません。

モジュール: DFHSTUTQ、DFHSTTQX

宛先: SYSPRINT

DFHST0228 S An invalid extract parameter ("parameter") has been specified for the DFHSTUP utility.

説明: SYSIN データ・セットに指定された EXTRACT コマンドの 1 つ以上のパラメーターが間違っていました。

システムの処置: ジョブ・ステップは終了します。

ユーザーの処置: メッセージに示されている誤りのある

パラメーターを訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSPRINT

DFHST0229 W 重複抽出コマンドが検出されました。コマンドが無視されました。

説明: 重複する EXTRACT USERPROGRAM コマンドが検出されました。

システムの処置: 重複するコマンドは無視され、最初のコマンドで指定された抽出出口プログラムが使用されます。処理を続行します。

ユーザーの処置: 誤りのあるコマンドを削除してください。

モジュール: DFHSTUP1

宛先: SYSPRINT

DFHST0230 E Unable to locate the extract library member *member*.

説明: メンバーが、JCL で指定されたライブラリーにありません。

システムの処置: ユーティリティは、ライブラリー・メンバー *member* へのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: メンバーがライブラリーに正しくリンク・エディットされていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHSTUP

宛先: SYSPRINT

DFHST0231 E Unable to load the extract library member *member*.

説明: DFHSTUP は、抽出ライブラリー・メンバー *member* をロードできませんでした。

システムの処置: ユーティリティは、ライブラリー・メンバーへのアクセスを必要とするコマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: メンバーがライブラリーに正しくリンク・エディットされていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHSTUP

宛先: SYSPRINT

DFHST0232 S An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred in extract exit program *modname*. 抽出出口処理が終了しました。

説明: EXTRACT コマンドの処理中に、プログラム・チェックまたは異常終了 *aaa/bbbb* が抽出出口プログラム *modname* で発生しました。

コード *aaa/bbbb* は、該当する場合は、3 桁の 16 進 MVS システム完了コード *aaa* (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、該当する場合は、抽出出口プログラムによって作成されたユーザー異常終了コードです。ユーザー異常終了コードが該当しない場合は、このフィールドは 4 つのハイフンで埋められます。

システムの処置: EXTRACT コマンドは終了します。

ユーザーの処置: プログラム・チェックの場合は、前のメッセージを参照して、抽出出口プログラムのエラーを解決してください。ユーザー異常終了コードの場合は、ユーザー出口プログラムの関連資料を調べて、エラーを判別してください。

モジュール: DFHSTUP

宛先: SYSPRINT

DFHST0233 I DFHSTUP レポートは、中止されました。レポート・オプションで、**EXTRACT** ユーザー・プログラムの呼び出しのみが要求されました。

説明: EXTRACT 出口プログラムが指定され、他のレポート・オプションは指定されなかったため、DFHSTUP によってレポートは生成されませんでした。DFHSTUP は、統計レコードを処理するために出口プログラムを呼び出して、すべてのレポートを抑止します。

システムの処置: EXTRACT 処理を続行します。

ユーザーの処置: 指定された EXTRACT 出口から生成されたレポートの他に DFHSTUP レポートが必要な場合、必要な DFHSTUP レポート・オプションを指定してください。

モジュール: DFHSTUP

宛先: SYSPRINT

DFHST0234 S EXTRACT terminated at user's request RC=*retcode*.

説明: バッチ・ジョブが DFHSTUP ユーティリティ EXTRACT コマンドを出しました。この EXTRACT コマンドは、抽出ユーザー出口プログラムから戻ったとき

のレジスター 15 の値がゼロ以外であったため、終了しました。

システムの処置: ユーティリティ EXTRACT コマンドの実行を終了します。

ユーザーの処置: 与えられた戻りコード *retcode* およびユーザー出口プログラムの関連資料を使用して、ユーザー出口プログラムにより検出されたエラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHSTUP

宛先: SYSPRINT

DFHST0235 S An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred in program *modname*.

説明: DFHSTUP コマンドの処理中に、プログラム・チェックまたは異常終了 *aaa/bbbb* がモジュール *modname* で発生しました。

コード *aaa/bbbb* は、該当する場合は、3 桁の 16 進 MVS システム完了コード *aaa* (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁のコード *bbbb* は、該当する場合は、言語環境異常終了コードです。異常終了コードが該当しない場合は、このフィールドは 4 つのハイフンで埋められます。

システムの処置: DFHSTUP コマンドは終了します。

ユーザーの処置: MVS コードがある場合は、そのコードを「z/OS MVS システム・コード」資料で調べてください。言語環境異常終了コードについては、「」資料で調べてください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSTUP

宛先: SYSPRINT

DFHST0236 I DFHSTUP がレポート制限である 2000 アプリケーション ID に達したため、それ以降のアプリケーション ID のレポートは現在中止されています。

説明: DFHSTUP が、レポートを作成できるアプリケーション ID の数の制限である 2000 に達しました。後続のアプリケーション ID のレポートは抑制されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 統計データ内のアプリケーション ID の数を減らすことを検討してください。

モジュール: DFHSTOT

宛先: SYSPRINT

DFHSZnnnn メッセージ

DFHSZ4001 I *date time applid* **FEPI initialization has started.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を初期設定中です。

これは、CSZI トランザクション - FEPI - の実行が開始されたことを意味します。システム初期設定パラメーター FEPI を YES に設定すると、CSZI は CICS システム初期設定の一部として開始されます。

FEPI=YES を指定した場合に CICS 初期設定時にこのメッセージが表示されないときには、CSZI の開始が失敗しました。この理由として最も普通に考えられるのは、GRPLIST システム初期設定パラメーターによって指定されたリストに、グループ DFHFEPI が含まれていないことです。

メッセージ DFHSZ4001 の後にメッセージ DFHSZ4002 が出されない場合は、FEPI の開始は失敗しました。この場合、メッセージ DFHSZnnnn が出されてエラーを示します。

システムの処置: FEPI 初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4002 I *date time applid* **FEPI initialization has ended.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) の初期設定が終了しました。

システムの処置: EXEC CICS FEPI コマンドが使用可能になります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4003 I *date time applid* **FEPI termination complete.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が終了しました。

メッセージ DFHSZnnnn がメッセージ DFHSZ4003 の前に出されて、FEPI が終了した原因を示すことがあります。

システムの処置: EXEC CICS FEPI コマンドが使用不能になります。

ユーザーの処置: メッセージが示す問題を解決してから CICS を再始動してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4004 E *date time applid* **FEPI cannot be started: FEPI=YES not specified in the SIT.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を開始できません。これは、FEPI システム初期設定パラメーターを NO (FEPI が必要ないことを示します) に設定したためです。

通常、このメッセージは、ユーザーが FEPI トランザクション (CSZI) を手動で開始しようとしたが、それを実行するための正しい環境を設定しなかったことを意味します。

システムの処置: FEPI トランザクションは実行されません。

ユーザーの処置: CICS システムに FEPI が必要な場合には、システム初期設定パラメーター FEPI=YES を指定して CICS を再始動してください。FEPI トランザクションを手動で開始する必要はありません。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4005 E *date time applid* **FEPI cannot be started: FEPI is already active, in state X'ssssssss'.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を開始できません。これは、FEPI がシステム内で既に活動状態になっているためです。

通常、このメッセージは、ユーザーが FEPI トランザクション (CSZI) を実行して FEPI の新しいインスタンスを手動で開始しようとしたが、何らかの理由により前の FEPI のインスタンスが失敗して「active」標識がエラーのまま残されたことを示します。

考えられる FEPI 状態 (X'ssssssss') は以下のとおりです。

状態 意味

X'00000002'

FEPI は初期設定中です。

X'00000003'

FEPI は活動中です。

X'00000004'

CICS が通常シャットダウンされるため、FEPI は終了します。

X'00000005'

CICS が即時シャットダウンされるため、FEPI は終了します。

X'00000006'

CICS が異常シャットダウンされるため、FEPI は終了します。

システムの処置: 新しい FEPI のインスタンスの開始要求が拒否されます。

ユーザーの処置: 前の FEPI のインスタンスが失敗したことを状態が示唆している場合には、CICS を再始動して問題を解決する必要があります。FEPI トランザクションを手動で開始する必要はありません。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'ssssssss'*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4006 E *date time applid* **FEPI initialization failed: enqueue failure, code X'rr'.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を初期設定できません。これは、FEPI 待機名 SZENQRMI で待機を試みて失敗したためです (FEPI が既にシステム内で活動中であることを示します)。FEPI 初期設定は、このシステムに別の FEPI のインスタンスが存在しないようにするために、このエンキューを出します。

通常、このメッセージは、FEPI トランザクション (CSZI) を手動で開始しようとしたが、前の CSZI のインスタンスがまだ実行中であることを意味します。

考えられる X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

コード 意味

X'31'

SZENQRMI で重複する待機を試みました。

X'32'

エンキュー処理中に障害が発生しました。

システムの処置: 別の FEPI のインスタンスの開始要求が拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'rr'*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4007 E *date time applid* **FEPI initialization failed: storage ADD_SUBPOOL failure for subpool pppppppp, reason X'rr' response X'ee'.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を開始できません。これは、FEPI で使用するための、メッセージに示されたストレージ・サブプールの作成が失敗したためです。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由 意味

X'01'

サブプールに使用できるストレージが不足しています。

X'03'

無効な固定長でサブプールが要求されました。

X'04'

無効な境界合わせでサブプールが要求されました。

X'05'

エレメントの無効な先頭の番号でサブプールが要求されました。

X'06'

無効な名前でサブプールが要求されました。

X'08'

要求されたサブプールが既に存在しています。

X'11'

ストレージ・マネージャーへのアクセスが拒否されました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01'

要求が正常に完了しました。

X'02'

例外応答が生成されました。

X'03'

災害時応答が生成されました。

X'04'

無効な応答が生成されました。

X'05'

カーネル・エラーが検出されました。

X'06'

要求が除去されました。

システムの処置: FEPI 初期設定が終了します。EXEC CICS FEPI コマンドは使用できません。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: ユーザーがとれる処置は、ストレージが不足しているとき、再始動時に CICS が使用できるストレージを大きくすることだけです。

その他のすべてのエラーはシステム障害です。システム・プログラマーに問い合わせてください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *X'rr'*
6. *X'ee'*

宛先: CSZL およびコンソール

**DFHSZ4008 E *date time applid* FEPI initialization
failed: Non-runaway task setting
failure, reason *X'rr'* response *X'ee'*.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を初期設定できません。FEPI は長期実行中のトランザクション (CSZI) なので、ランナウェイ・タスク・タイムアウトの対象であってはなりません。これを防止する要求が失敗しました。

X'rr' の値 (失敗の理由) は、必ず X'00' です。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01'

要求が正常に完了しました。

X'02'

例外応答が生成されました。

X'03'

災害時応答が生成されました。

X'04'

無効な応答が生成されました。

システムの処置: FEPI 初期設定が終了し、EXEC CICS FEPI コマンドは使用できなくなります。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHSZ4009 E • DFHSZ4010 E

4. X'rr'

5. X'ee'

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4009 E *date time applid* **FEPI initialization**
failed: change-priority failure, response
X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) を初期設定できません。これは、FEPI のトランザクション (CSZI) のディスパッチング優先順位の変更が失敗したためです。

FEPI はトランザクションとして実行されるので、高い優先順位が必要です。このディスパッチング優先順位を設定する要求が失敗しました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01'

要求が正常に完了しました。

X'03'

災害時応答が生成されました。

X'04'

無効な応答が生成されました。

X'05'

カーネル・エラーが検出されました。

システムの処置: FEPI 初期設定が終了し、EXEC CICS FEPI コマンドは使用できなくなります。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. X'ee'

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4010 E *date time applid* **FEPI initialization**
failed: SZ TCB swap failure, response
X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、通常、CICS SZ TCB のもとで実行されます。QR TCB のもとで実行される FEPI トランザクション (CSZI) を、SZ TCB のもとに転送しようとして失敗しました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01'

要求が正常に完了しました。

X'02'

例外応答が生成されました。

X'03'

災害時応答が生成されました。

X'04'

無効な応答が生成されました。

X'05'

カーネル・エラーが検出されました。

システムの処置: FEPI 初期設定が終了し、EXEC CICS FEPI コマンドは使用できなくなります。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: SZ TCB は、初期の CICS 初期設定の一部として作成されます。コンソール・ログを検査して、TCB 作成障害を示すメッセージが生成されなかったかどうかを調べてください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. X'ee'

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4011 E *date time applid FEPI storage*
GETMAIN failed in subpool NB,
reason X'rr' response X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、NIB が使用するための SZSPFCNB ストレージ・サブプールの GETMAIN ストレージ要求を発行しましたが、失敗しました。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由 意味

X'01'

要求に対するストレージが不足しています。

X'02'

無効なサブプール・トークンが与えられました。

X'04'

エレメントの無効な長さが要求されました。

X'05'

エレメントの長さを指定していません。

X'08'

ストレージ・サブプールへのアクセスが拒否されました。

X'11'

無効な初期イメージが提供されました。

X'12'

ストレージ・マネージャーに異常終了が発生しました。

X'13'

ストレージ・マネージャーにループが検出されました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01'

要求が正常に完了しました。

X'02'

例外応答が生成されました。

X'03'

災害時応答が生成されました。

X'04'

無効な応答が生成されました。

X'05'

カーネル・エラーが検出されました。

X'06'

要求が除去されました。

これらすべての応答は、システム・エラーが発生したことを示します。

システムの処置: 例外トレース項目が生成されます。

FEPI は、要求を再試行することにより、このエラーからのリカバリーを試みます。ただし、複数回の発生を防止する処置はとりません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合には、再始動する前に、CICS システムのダンプをとってください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZZNG)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'rr'*
5. *X'ee'*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4012 E *date time applid FEPI storage*
GETMAIN failed in subpool DA,
reason X'rr' response X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、一般的な使用のための SZSPVCDA ストレージ・サブプールの GETMAIN ストレージ要求を発行しましたが、失敗しました。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由 意味

X'01'

要求に対するストレージが不足しています。

X'02'

無効なサブプール・トークンが与えられました。

X'04'

エレメントの無効な長さが要求されました。

X'05'

DFHSZ4013 E

エレメントの長さを指定していません。

X'08'

ストレージ・サブプールへのアクセスが拒否されました。

X'11'

無効な初期イメージが提供されました。

X'12'

ストレージ・マネージャーに異常終了が発生しました。

X'13'

ストレージ・マネージャーにループが検出されました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01'

要求が正常に完了しました。

X'02'

例外応答が生成されました。

X'03'

災害時応答が生成されました。

X'04'

無効な応答が生成されました。

X'05'

カーネル・エラーが検出されました。

X'06'

要求が除去されました。

これらの応答はすべて、システム・エラーが発生したことを示します。

システムの処置: 例外トレース項目が生成されます。

FEPI は、要求を再試行することにより、このエラーからのリカバリーを試みます。ただし、複数回の発生を防止する処置はとりません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合には、再始動する前に、CICS システムのダンプをとってください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZZAG)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'rr'*
5. *X'ee'*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4013 E *date time applid* **FEPI storage**
GETMAIN failed in subpool RP,
reason X'rr' response X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、RPL が使用するための SZSPPCRП ストレージ・サブプールの GETMAIN ストレージ要求を発行しました。要求は失敗しました。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由 意味

X'01'

要求に対するストレージが不足しています。

X'02'

無効なサブプール・トークンが与えられました。

X'04'

エレメントの無効な長さが要求されました。

X'05'

エレメントの長さを指定していません。

X'08'

ストレージ・サブプールへのアクセスが拒否されました。

X'11'

無効な初期イメージが提供されました。

X'12'

ストレージ・マネージャーに異常終了が発生しました。

X'13'

ストレージ・マネージャーにループが検出されました。

X'ee'の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01'

要求が正常に完了しました。

X'02'

例外応答が生成されました。

X'03'

災害時応答が生成されました。

X'04'

無効な応答が生成されました。

X'05'

カーネル・エラーが検出されました。

X'06'

要求が除去されました。

これらの応答はすべて、システム・エラーが発生したことを示します。

システムの処置: 例外トレース項目が生成されます。

FEPI は、要求を再試行することにより、このエラーからのリカバリーを試みます。ただし、複数回の発生を防止する処置はとりません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合には、再始動する前に、CICS システムのダンプをとってください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZZRG)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'rr'*
5. *X'ee'*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4014 E *date time applid* **FEPI storage**
FREEMAIN failed in subpool
DA|NB|RP, reason *X'rr'* **response**
X'ee'.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、SZSPxxxx ストレージ・サブプールの FREEMAIN ストレージ要求を発行しました。要求は失敗しました。

X'rr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

理由 意味

X'02'

無効なサブプール・トークンが与えられました。

X'03'

解放するエレメントのアドレスが無効です。

X'06'

エレメントの無効な長さが指定されました。

X'07'

エレメントの長さを指定していません。

X'08'

ストレージ・サブプールへのアクセスが拒否されました。

X'10'

指定したストレージ・サブプールが空でした。

X'12'

ストレージ・マネージャーに異常終了が発生しました。

X'13'

ストレージ・マネージャーにループが検出されました。

X'ee' の値 (失敗した要求に対する応答) は、以下のとおりです。

応答 意味

X'01'

要求が正常に完了しました。

X'02'

例外応答が生成されました。

X'03'

災害時応答が生成されました。

X'04'

無効な応答が生成されました。

X'05'

カーネル・エラーが検出されました。

X'06'

要求が除去されました。

これらの応答はすべて、システム・エラーが発生したことを示します。

システムの処置: 要求は拒否され、再試行は行われません (おそらく、後でアクセスできないストレージが残さ

DFHSZ4015 I • DFHSZ4101 I

れます)。例外トレース項目が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZZFR)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'rr'*
5. *X'ee'*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4015 I *date time applid FEPI {normal | immediate | forced} termination has started.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) がシャットダウン要求を確認しました。終了を開始します。

FEPI が終了を完了すると、メッセージ DFHSZ4003 が出されます。

FEPI は、CICS シャットダウン要求 (CEMT PERFORM SHUTDOWN など) に対する応答の場合のみ、終了します。CICS シャットダウンのタイプによっては、DFHSZ4015 メッセージが 2 回以上出されることになる場合があります。

システムの処置: ある特定の EXEC CICS FEPI コマンドが、FEPI の終了時に使用不能になります。

正常終了では、FEPI リソースを使用するすべてのトランザクションは、FEPI 自体が終了する前に終了することができます。ただし、新たに FEPI リソースを使用することができません。

即時終了では、FEPI 機能の使用は即時に停止されますが、通信機能は制御シャットダウンが行われます。

強制終了では、FEPI 機能の使用が即時に停止され、通信機能のシャットダウンが可能な限り即時に行われます (多数の VTAM メッセージが発行される場合があります)。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 通常
2= 即時
3= 強制

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4099 E *date time applid FEPI ended abnormally.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が異常終了しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。すべての EXEC CICS FEPI コマンドが使用不能になります。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZSIP)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSZL およびコンソール

DFHSZ4101 I *date time applid FEPI node nnnnnnnnn installed, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードを正常にインストールしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRRII)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnnn*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4102 W *date time applid FEPI node*
 nnnnnnnnn installation failed, code rrr,
 for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードをインストールすることができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI INSTALL NODE コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnnn*
5. *rrr*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4103 I *date time applid FEPI node nnnnnnnnn*
 discarded, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードを正常に廃棄しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDN)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnnn*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4104 I *date time applid FEPI node nnnnnnnnn*
 discard scheduled, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードの廃棄操作をスケジュールしました。

システムの処置: 処理を続行します。このノードは、非活動状態になったときに廃棄されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnnn*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4105 W *date time applid FEPI node*
 nnnnnnnnn discard failed, code rrr, for
 transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードを廃棄することができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DISCARD NODE コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnnn*
5. *rrr*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4106 I *date time applid FEPI pool ppppppppp*
 (with property set yyyyyyyyyy) installed,
 for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプールを正常にインストールしました。このプールは、メッセージに示された登録情報セットの特性を持っています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRII)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHSZ4107 W • DFHSZ4110 W

3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *yyyyyyyyy*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4107 W *date time applid FEPI pool pppppppp*
(with property set yyyyyyyy)
installation failed, code rrr, for
transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプールをインストールすることができません。このプールは、メッセージに示された登録情報セットの特性を持っています。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI INSTALL POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRRII)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *yyyyyyyyy*
6. *rrr*
7. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4108 I *date time applid FEPI pool pppppppp*
discarded, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプールを正常に廃棄しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDG)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*

5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4109 I *date time applid FEPI pool pppppppp*
discard scheduled, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプールの廃棄操作をスケジュールしました。

システムの処置: 処理を続行します。このプールは、非活動状態になったときに廃棄されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4110 W *date time applid FEPI pool pppppppp*
discard failed, code rrr, for transaction
xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたプールを廃棄することができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DISCARD POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRID)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *rrr*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4111 I *date time applid FEPI target tttttttt*
installed, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットを正常にインストールしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRRII)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4112 W *date time applid FEPI target tttttttt*
installation failed, code rrr, for
transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたターゲットをインストールすることができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI INSTALL TARGET コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRRII)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*
5. *rrr*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4113 I *date time applid FEPI target tttttttt*
discarded, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットを正常に廃棄しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDT)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4114 I *date time applid FEPI target tttttttt*
discard scheduled, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットの廃棄操作をスケジュールしました。

システムの処置: 処理を続行します。このターゲットは、非活動状態になったときに廃棄されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDI)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4115 W *date time applid FEPI target tttttttt*
discard failed, code rrr, for transaction
xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたターゲットを廃棄することができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DISCARD TARGET コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRDI)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*

5. *rrr*
 6. *xxxx*
 宛先: CSZL

DFHSZ4116 I *date time applid FEPI property set
 yyyyyyyy installed, for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示された登録情報セットを正常にインストールしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1I)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *yyyyyyyy*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4117 W *date time applid FEPI property set
 yyyyyyyy installation failed, code rrr,
 for transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示された登録情報セットをインストールすることができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI INSTALL PROPERTYSET コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1I)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *yyyyyyyy*
5. *rrr*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4118 I *date time applid FEPI property set
 yyyyyyyy discarded, for transaction
 xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示された登録情報セットを正常に廃棄しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1D)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *yyyyyyyy*
5. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4119 W *date time applid FEPI property set
 yyyyyyyy discard failed, code rrr, for
 transaction xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示された登録情報セットを廃棄することができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DISCARD PROPERTYSET コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1D)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *yyyyyyyy*
5. *rrr*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4120 I *date time applid FEPI node nnnnnnnnn
 added to pool ppppppppp, for transaction
 xxxx.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードをメッセ

ージに示されたプールに正常に追加しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1I)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnn*
5. *pppppppp*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4121 W *date time applid FEPI node*
nnnnnnnn not added to pool pppppppp,
code rrr, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたノードをメッセージに示されたプールに追加することができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI ADD POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1I)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnn*
5. *pppppppp*
6. *rrr*
7. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4122 I *date time applid FEPI node nnnnnnnn*
deleted from pool pppppppp, for
transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードをメッセージに示されたプールから正常に削除しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1D)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnn*
5. *pppppppp*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4123 W *date time applid FEPI node*
nnnnnnnn not deleted from pool
pppppppp, code rrr, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたノードをメッセージに示されたプールから削除することができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DELETE POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1D)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnnnnnn*
5. *pppppppp*
6. *rrr*
7. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4124 I *date time applid FEPI target tttttttt*
added to pool pppppppp, for transaction
xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットをメッセージに示されたプールに正常に追加しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1I)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

DFHSZ4125 W • DFHSZ4128 W

2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*
5. *ppppppppp*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4125 W *date time applid FEPI target tttttttt*
not added to pool pppppppp, code rrr,
for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたターゲットをメッセージに示されたプールに追加することができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI ADD POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1I)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*
5. *ppppppppp*
6. *rrr*
7. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4126 I *date time applid FEPI target tttttttt*
deleted from pool pppppppp, for
transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたターゲットをメッセージに示されたプールから正常に削除しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1D)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*

5. *ppppppppp*
6. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4127 W *date time applid FEPI target tttttttt*
not deleted from pool pppppppp, code
rrr, for transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたターゲットをメッセージに示されたプールから削除することができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DELETE POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1D)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttttttt*
5. *ppppppppp*
6. *rrr*
7. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4128 W *date time applid FEPI delete from*
pool pppppppp failed, code rrr, for
transaction xxxx.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたプールでの削除操作を行うことができません。コードは理由を示します。これは、EXEC CICS FEPI DELETE POOL コマンドによって戻される RESP2 値です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 障害を調査し、訂正してください。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1D)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *rrr*

6. xxxx
宛先: CSZL

DFHSZ4151 I *date time applid* **Unsolicited data received for FEPI pool pppppppp target tttttttt node nnnnnnnnn. Transaction xxxx started.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についての非送信請求データを受信し、このデータを処理するメッセージに示されたトランザクションを開始しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBUN)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppppppp*
5. *tttttttt*
6. *nnnnnnnn*
7. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4152 I *date time applid* **Begin-session processing required for FEPI pool pppppppp target tttttttt node nnnnnnnnn. Transaction xxxx started.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたトランザクションを開始することにより、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてのセッション開始処理を呼び出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBSI)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppppppp*
5. *tttttttt*
6. *nnnnnnnn*

7. xxxx
宛先: CSZL

DFHSZ4153 I *date time applid* **STSN processing required for FEPI pool pppppppp target tttttttt node nnnnnnnnn. Transaction xxxx started.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたトランザクションを開始することにより、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についての STSN 処理を呼び出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBST)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppppppp*
5. *tttttttt*
6. *nnnnnnnn*
7. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4154 W *date time applid* **FEPI session setup in pool pppppppp to target tttttttt and node nnnnnnnnn failed with a reason code of X'rrrrrrrr'. Setup will be retried later.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてのセッション・セットアップ時に、エラーを検出しました。このエラーについて記述されている理由コード (エラー・コードまたはセンス・コード) の説明は、「z/OS Communications Server: SNA Messages」または「Systems Network Architecture Formats (GA27-3136)」を参照してください。

システムの処置: 処理が続行されます。短い間隔をあけてから、使用可能であれば別のノードを使用して、セッション・セットアップが再試行されます。要求セッションにエラーが発生する場合、FEPI は要求を 60 秒以内に再試行します。

ユーザーの処置: なし。

DFHSZ4155 W • DFHSZ4157 W

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBLO)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *ttttttt*
6. *nnnnnnnnn*
7. *X'rrrrrrrr'*

宛先: CSZL

DFHSZ4155 W *date time applid FEPI session in pool ppppppppp to target ttttttt and node nnnnnnnn ended with a reason code of X'rrrrrrrr'.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) は、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてこの VTAM イベントを検出しました。このイベントについて記述されている理由コード (エラー・コードまたはセンス・コード) の説明は、「z/OS Communications Server: SNA Messages」または「Systems Network Architecture Formats (GA27-3136)」を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージの理由コードはゼロであることがあります。理由コードがゼロであるメッセージが発行されないようにしたい場合には、XMEOUT グローバル・ユーザー出口を使用して、それを抑止することをお勧めします。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBLO)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *ttttttt*
6. *nnnnnnnnn*
7. *X'rrrrrrrr'*

宛先: CSZL

DFHSZ4156 I *date time applid End-session processing required for FEPI pool ppppppppp target ttttttt node nnnnnnnn. Transaction xxxx started.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたトランザクションを開始することにより、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてのセッション終了処理を呼び出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBFT)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *ttttttt*
6. *nnnnnnnnn*
7. *xxxx*

宛先: CSZL

DFHSZ4157 W *date time applid FEPI session setup in pool ppppppppp to target ttttttt and node nnnnnnnn failed with a reason code of X'rrrrrrrr'. Setup will not be retried.*

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたプール - ターゲット - ノードの接続についてのセッション・セットアップ時に、エラーを検出しました。このエラーについて記述されている理由コード (エラー・コードまたはセンス・コード) の説明は、「z/OS Communications Server: SNA Messages」または「Systems Network Architecture Formats (GA27-3136)」を参照してください。この接続についてのセッションのセットアップが数回失敗しました。

システムの処置: 処理は続行されますが、この接続についてのセッション・セットアップは再試行されません。

ユーザーの処置: ありませんが、オペレーターが介入してその接続を使用可能にする必要がある場合があります。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZBLO)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ppppppppp*
5. *ttttttt*

- 6. nnnnnnnnn
- 7. X'rrrrrrrr'

宛先: CSZL

DFHSZ4158 W *date time applid* **The VTAM OPEN request for FEPI node nnnnnnnnn failed with a reason code of X'rrrrrrrr'. This operation will be retried.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードについての VTAM OPEN 処理時に、エラーを検出しました。

考えられる X'rrrrrrrr' の値 (障害の理由) は以下のとおりです。

コード 意味

X'00000000'

VTAM TPEND が起きて、エラー・コード 0 が出されました。

X'00000004'

VTAM TPEND が起きて、エラー・コード 4 が出されました。

X'00000008'

VTAM TPEND が起きて、エラー・コード 8 が出されました。

X'0000000C'

VTAM SETLOGON が失敗しました。

その他の値

VTAM OPEN が失敗して、エラー・コードが与えられました。

これらのエラー・コードについての説明は、z/OS Communications Server: SNA Programmingを参照してください。

システムの処置: 処理は続行され、そのノードについての VTAM OPEN が、短い間隔をあけて繰り返されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRIO)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. nnnnnnnnn
- 5. X'rrrrrrrr'

宛先: CSZL

DFHSZ4159 W *date time applid* **The VTAM OPEN request for FEPI node nnnnnnnnn failed with a reason code of X'rrrrrrrr'. This operation will not be retried.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) が、メッセージに示されたノードについての VTAM OPEN 処理時に、エラーを検出しました。理由コードは、VTAM OPEN 操作で戻されるエラー・コードです。これらのエラー・コードについての説明は、z/OS Communications Server: SNA Programmingを参照してください。

システムの処置: 処理は続行され、そのノードについての VTAM OPEN は繰り返されません。

ユーザーの処置: ありませんが、オペレーターが介入してそのノードを使用可能にする必要がある場合があります。

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRIO)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. nnnnnnnnn
- 5. X'rrrrrrrr'

宛先: CSZL

DFHSZ4201 I *date time applid* **FEPI node nnnnnnnnn now has status {INSERVICE | OUTSERVICE | GOINGOUT}, {ACQUIRED | RELEASED | ACQUIRING | RELEASING}.**

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) ノードの状況が、EXEC CICS FEPI SET NODE または CEMT SET FENODE コマンドによって変更されました。現在は、上記のとおりです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZRIO)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. nnnnnnnnn
- 5. 以下のオプションから選択される値。

DFHSZ4202 I • DFHTA0001

1=INSERVICE,
2=OUTSERVICE,
3=GOINGOUT

6. 以下のオプションから選択される値。

4=ACQUIRED,
5=RELEASED,
6=ACQUIRING,
7=RELEASING

宛先: CSZL

DFHSZ4202 I *date time applid FEPI pool pppppppp*
now has status {INSERVICE |
OUTSERVICE | GOINGOUT}.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) プールの状況が、EXEC CICS FEPI SET POOL または CEMT SET FEPOOL コマンドによって変更されました。現在は、上記のとおりです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1W)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppppppp*

5. 以下のオプションから選択される値。

1=INSERVICE,
2=OUTSERVICE,

3=GOINGOUT

宛先: CSZL

DFHSZ4203 I *date time applid FEPI target ttttttt*
now has status {INSERVICE |
OUTSERVICE | GOINGOUT}.

説明: フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) ターゲットの状況が、EXEC CICS FEPI SET TARGET または CEMT SET FETARGET コマンドによって変更されました。現在は、上記のとおりです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHSZRMP(DFHSZR1W)

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ttttttt*

5. 以下のオプションから選択される値。

1=INSERVICE,
2=OUTSERVICE,
3=GOINGOUT

宛先: CSZL

DFHTAnnnn メッセージ

DFHTA0001 *applid An abend (code aaa/bbbb) has*
occurred at offset X'*offset*' **in module**
modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで

埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTADM、DFHTASO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHTA0002 *applid* **A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTADM、DFHTASO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHTA0100I *applid* **TA** ドメインの初期化が開始されました。

説明: これは、初期設定が TA ドメインに対して開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHTADM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTA0101I *applid* **TA** ドメインの初期化が終了しました。

説明: これは、初期設定が TA ドメインに対して正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム

DFHTC1001 • DFHTC1011

初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHTADM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHTCnnnn メッセージ

DFHTC1001 applid Terminal control initialization failed (modname).

説明: 必要なステップが失敗したため、CICS 端末管理再始動タスクを完了させることができませんでした。このタスクでは、必要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体が異常終了して、コード ATC1 が出されました。

システムの処置: CICS は、端末管理再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを書き込みます。CICS は、2 つのメッセージをコンソールへ送ります。1 つは、端末管理再始動タスクによって検出されたエラーを識別するものであり、もう 1 つは、タスクが失敗に終わったことを示す DFHTC1001 です。これらのメッセージに続いて、ダンプが作成されて CICS が異常終了したことを示すか、あるいは GO または CANCEL の応答を要求する 3 番目のメッセージが発行されます。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが発行されることもあります。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。「GO」と応答した場合には、CICS の処理は続行されますが、端末管理は行われません。「CANCEL」と応答した場合には、CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSII1、DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHTC1002 applid Unable to link to program DFHTCRP.

説明: CICS 端末管理リカバリー・プログラム

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTCRP が使用できません。CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内の連結されたデータ・セットに DFHTCRP を検出できません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントの区分データ・セットに DFHTCRP を入れてください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1004 applid Program DFHTORP cannot be found. Typeterms cannot be initialized

説明: CICS 端末オブジェクト解決プログラム DFHTORP が使用できません。CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内の連結されたデータ・セットに DFHTORP を検出できません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントの区分データ・セットに DFHTORP を入れてください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1011 applid Unable to load xxxxxx

説明:

システムの処置: CICS の初期設定が続行されます。ただし、たとえ初期設定が完了したとしても VTAM リソースの初期設定は、モジュール DFHxxxxx の機能に応じて、何らかの点で正しくないものとなります。

ユーザーの処置: CICS が初期設定を完了した場合に

は、VTAM リソースの処理は無効になります。CICS を取り消して、モジュール DFHxxxxx を使用できるようにし、それから CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. xxxxxx

宛先: コンソール

DFHTC1012 applid Failure in installing VTAM resources

説明: コールド・スタート時または初期始動時に、CICS は CICS に対して定義されたすべての VTAM リソースをインストールできませんでした。CICS は、インストールできなかったリソースを識別する他のメッセージ (複数の場合もある) を出しました。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: アンインストールされたリソースが必須なものであった場合には、RDO を使用してそれを使用できるようにするか、CICS を取り消してください。このメッセージの理由としては、以下のことが考えられます。

- CICS が前にエラー・メッセージ、例えば、DFHTC1011 などを出している。または
- CICS コードに論理エラーが含まれている。

CICS にエラーがあると思われる場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid

宛先: コンソール

DFHTC1013 applid Restore failed for xxxxxx

説明: ウォーム再始動時または緊急時再始動時に、CICS はリソース xxxxxx を復元できませんでした。

システムの処置: CICS の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: リソース xxxxxx がシステムに必須である場合、CICS を取り消してください。この問題は、おそらく CICS の論理エラーによって起こると考えられます。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについ

て、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. xxxxxx

宛先: コンソール

DFHTC1014 DATE TIME APPLID Communication resource definition for (resname) was not restored from the catalog because the resource definition for (highname) was not installed.

説明: 緊急時再始動時に、CICS はリソース resname をカタログから復元できませんでした。これは、そのリソースが依存する別のリソース highname の定義が存在しないためです。通常、resname はセッションまたはモードグループで、highname は接続です。

システムの処置: CICS は再始動を続行し、このリソースを CICS カタログから削除します。前回の CICS が失敗したときに、参照先の定義がインストールされていた場合は、再始動の後で両方の定義がシステム・ログから復元されます。

ユーザーの処置: リソース resname がシステムに不可欠であり、後に初期設定で復元されない場合は、最初にそのリソースが依存するリソースをインストールしてから、リソースを再インストールできます。このメッセージは以下の原因により発生します。

- CICS が失敗したときに完了しなかったインストール。この場合、後でリソースはシステム・ログから順方向にリカバリーされるため、処置は必要ありません。

- 前回の実行でウォーム・シャットダウン時に発生した障害。この場合、自動インストールされ、ウォーム・シャットダウンによりアンカタログされなかった接続についてのメッセージが生成されます。このとき、ウォーム・シャットダウンが完了すればカタログから削除されることになっていた、自動インストールされた接続はリカバリーされますが、このメッセージの原因となった接続はリカバリーされません。

- 破損した CICS カタログ。関連のないリソースが大量に欠落しており、前回の CICS の実行で障害発生時にウォーム・キープポイント処理が行われていなかった場合、カタログは破損している可能性があります。

CICS は続行されますが、定義を既知の状態にするために初期始動を行うこともできます。

•

CICS 論理エラー この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *resname*
5. *highname*

宛先: CSMT

DFHTC1015 *applid* TCT load module contains obsolete entries

説明: CICS の初期設定時に、TCT ロード・モジュール DFHTCTxx (xx は接尾部です) に、このリリースの CICS 用のアセンブリー・マクロによって生成されなかった項目が含まれていることが判明しました。このテーブルを使用することはできません。

システムの処置: 立ち上げは中止されます。

ユーザーの処置: 正しくない TCT 接尾部が指定または暗黙指定されたか、間違っただけのレベルの CICS マクロで TCT がアセンブルされたかのどちらかです。別の接尾部を指定するか、正しいマクロに対してアセンブルされた TCT を使って、立ち上げを再試行してください。

モジュール: DFHAPSIP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1022 *applid* Error for XRF tracking record - Type: *type* - Key: *key*

説明: XRF 追跡時にエラーがあったために、リソースに対する変更の追跡が失敗しました。このリソースのタイプは *type* であり、キー *key* に関連しています。

type は追跡レコード・タイプを表しています。これは、以下のいずれかになります。

TCT

CONTENTS

ZCP

セッション

key は TCTTE 階層内のオブジェクトの位置です。

システムの処置: 関連したリソースが、正しくない状態にあるか、欠落しているか、もしくは引き継ぎ終了時に削除されていませんでした。

ユーザーの処置: この名前の付いたリソースが重要なものであるかどうかを判断して、問題を解決できるかどうかを判断してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *type*
3. *key*

宛先: コンソール

DFHTC1023 *applid* Logic error in tracking condition

説明: XRF 追跡中に、設計意図上起こりえない条件が検出されました。挿入部は、検査される条件のうちのどれが検出されたかを示しています。

1.

ブロードキャスト・メッセージは、追跡時のみ受け入れられます。DFHTCRP の GETMSG ルーチンは、ブロードキャスト・メッセージと、フィールド GETMSPEC 内の ID と一致する ID を持つメッセージだけを受け入れます。このフィールドは、追跡時のみ設定されます。

2.

ヌル・キーを持つブロードキャスト・メッセージ。ヌル・キー・レコードは、そのレコードが到着する先のキャッチアップ・ストリームが完全であることを示します。これは、活動側が通常の (ウォーム) シャットダウンを行ったばかりのときには、ブロードキャスト追跡ストリームにしか起こりません。

システムの処置: 当該メッセージは無視されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *condition*

宛先: コンソール

DFHTC1024I applid XRF takeover while catching up.

説明: このメッセージを発行した代替 CICS は開始されたばかりです。活動 CICS は、代替 CICS が活動 CICS の TCT リソースに関するすべての情報を取得する前に失敗したようです。欠落している可能性のある情報タイプ、または不完全である可能性のある情報タイプについての詳細は、メッセージ DFHTC1034 から DFHTC1036 を参照してください。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: さらに出されるメッセージがないかどうか注意してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1034I applid TCT contents incomplete. Will read catalog.

説明: DFHTC1024 がこのメッセージの背景情報を提供します。活動 CICS は、代替 CICS が活動システムの TCT 内にある追跡可能なりソースのすべてについて定義を取得する前に失敗したようです。この時点では、欠落している定義がある場合もあります。ただし、活動システム内の CICS カタログには、再始動データ・セット内に、より完全な定義一式が入っている場合もあります。これらの定義が、ウォーム・リスタート用または緊急時再始動用として読み取られることになります。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: CICS カタログの読み取り中に、エラーが発生しないか注意してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1035E applid Session states may be incorrect

説明: DFHTC1024 がこのメッセージの背景情報を提供します。活動 CICS は、代替 CICS が活動 CICS の TCT 内にあるすべての追跡可能なりソースのセッション状態を取得する前に失敗したようです。この時点では、正しくない状態になっている場合もあります。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: 古い活動 CICS で獲得された一部の

論理装置 (LU) については、引き継ぎの後にならないように準備をしてください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1036I applid Unimplemented tracking-type incomplete: xxxx

説明: DFHTC1024 がこのメッセージの背景情報を提供します。活動 CICS は、まだ実装されていないリソースの種類に関するすべての情報が代替 CICS に送られる前に失敗したようです。そのような情報は廃棄されるため、これによって重大な結果にいたることはありません。ただし、このような状況は、古い活動システムと現在のシステムとの間にある程度の非互換性が存在することを示しています。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: 暗黙のレベル非互換性が存在しているか、予想されるかを判別してください。DFHTCRP

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *xxxx*

宛先: コンソール

DFHTC1040I applid nnnn Terminal control tracking records received.

説明: 代替が待機中であり、その CICS が *nnnn* の端末管理追跡メッセージを活動 CICS から受信しました。

システムの処置: トレースが続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *nnnn*

宛先: コンソール

DFHTC1041I applid Terminal control tracking started.

説明: 代替 CICS が初期設定中であり、それが活動システムからのメッセージの受け入れを開始しようとしています。メッセージ DFHTC1044 が短時間のうちに表示されるはずです。

DFHTC1042I • DFHTC1046I

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1042I *applid* Waiting for terminal control tracking to drain.

説明: 代替システムが引き継ぎを行っている最中であり、そのシステムが活動システムからの追跡レコードの残りのいくつかを処理しているところです。処理を完了させるために引き継ぎが中断され、その間、このメッセージが 15 秒おきに出されます。これはエラーである可能性があります、特にこのメッセージが異常に何回も繰り返し出される場合はそうです。原因としては、VTAM の STANDBY BIND または STANDBY UNBIND の処理の遅延、または CICS の論理エラーが考えられます。システムはこのメッセージを 2 回出してから、メッセージ DFHTC1046 で述べられているように、未解決の追跡活動をフラッシュします。

システムの処置:

ユーザーの処置: メッセージ DFHTC1046 を探してください。

モジュール: DFHZXQO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1043I *applid* Terminal control tracking ended - *nnn* records received.

説明: XRF 代替システムが引き継ぎを行っています。障害を起こしている活動システムからの最後の端末管理追跡レコードは受信済みで、現在処理されているところです。

システムの処置: 引き継ぎが続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *nnn*

宛先: コンソール

DFHTC1044I *applid* Terminal control catch-up started.

説明: XRF 代替システムが待機の準備を行っているところです。この代替システムは、自分が開始される前にインストールまたはバインド (またはその両方) が行われた端末管理リソースについての情報が入った最初のメッセージを、活動システムから受信しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1045I *applid* Terminal control catch-up complete.

説明: XRF 代替システムが待機中です。この代替システムは、自分が開始される前に活動システムでインストールまたはバインド (またはその両方) が行われた端末管理リソースについて自分が必要とするすべての端末管理情報を受信したところです。

システムの処置: 通常のトレースが続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1046I *applid* Flushing terminal control tracking.

説明: 代替システムが引き継ぎを行っている最中であり、そのシステムが活動システムからの追跡レコードの残りのいくつかを処理しているところです。メッセージ DFHTC1042 が 2 回出されました。DFHZXQO が未解決の活動の制御されたフラッシュを行っています。

システムの処置: CICS は、保留の解除において、2 秒ごとに 1 つの未解決の処置を通知します。最初の処置についてののみ、システム・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: この処理は、エラーまたは予測しない状況が発生したときに限って行われます。問題が再発するような場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZXQO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTC1047I *applid* Higher node missing. Record dropped for key

説明: XRF 代替システムが活動 CICS から追跡メッセージを受信しましたが、この端末用の関連システム項目が存在しないか、再始動データ・セットにある端末カタログ・レコードの順序が間違っています (エラーが発生した端末は、関連するシステム項目の前にあります)。

key は TCTTE 階層内のオブジェクトの位置です。この状態は、アクティブ CICS システムが自分のトレース・メッセージをすべて送信できない場合に発生します。その結果、システム項目が送信されないことがあります。

システムの処置: トレース・メッセージは廃棄されます。したがって、関連した処置 (INSTALL または LOGON) は行われません。

ユーザーの処置: CAVM メッセージ・データ・セットが十分な大きさであることを確認してから、代替システムを再始動してください。活動 CICS ジョブが正しい再始動データ・セットを参照しているかどうか検査してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *key*

宛先: コンソール

DFHTC1060 *applid* Insufficient storage - code(X'code') in module DFHTCRP.

説明: ストレージの要求をモジュール DFHTCRP で満たすことができませんでした。具体的なエラーは、メッセージに含まれている X'code' によって識別されます。これは、動的ストレージ域 (DSA) のサイズが小さすぎることを意味します。X'code' は、例外トレース・レコードを特定します。

システムの処置: 端末制御初期設定が終了して、システム・ダンプが作成され、メッセージ DFHTC1001 が出力されます。

ユーザーの処置: 最小サイズの DSA 内からでも十分なストレージを確保できるはずなので、これは CICS 内の論理エラーを意味している可能性があります。システム初期設定テーブル (SIT) の CDSASZE パラメーターを大きくしてみてください。この問題を解決するために

IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'

宛先: コンソール

DFHTC1575 *applid* No TCT entry for *termid*

説明: このメッセージは、システムの初期設定において、一致する端末管理テーブル (TCT) 項目のないウォーム・スタート・レコードが読み取られたときに出力されます。*termid* は、欠落している端末の名前です。

システムの処置: そのレコードを無視します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* が必要とされた場合には、システムの初期設定を取り消す必要があります。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *termid*

宛先: コンソール

DFHTC1600 *applid* SYSIDNT の値 *sysid1* が、前回のコールド・スタートまたは初期始動で指定された値 *sysid2* と一致しません。CICS の通常操作に影響する可能性があります。

説明: CICS のウォーム・スタートまたは緊急始動時に、SYSIDNT が SIT 内に指定されたか、システム初期設定パラメーターの指定変更として指定されました。この SYSIDNT の値は、最後のコールド・スタート時または初期始動時に指定された値と一致しません。SYSIDNT は、コールド・スタート時または初期始動時にのみ更新する必要があります。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: CICS の緊急始動またはウォーム・スタートの場合、SYSIDNT の値が最後のコールド・スタート時または初期始動時に指定された値と同じになるようにしてください。CICS が正しく動作するようにするため、SYSIDNT パラメーターに適切な値を指定した状態で CICS を再初期設定することをお勧めします。

モジュール: DFHTCRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

DFHTC2500 • DFHTC2502

2. *sysid1*

3. *sysid2*

宛先: コンソール

DFHTC2500 *date time applid* {回線 | CU | 端末 }サービス休止 {Term | W/Term } *termid*

説明: このメッセージは、DFHTACP でのエラー処理の完了時に、サービス不能状態になったことを示します。このような条件は、エラーが検出される前に既に発生していた可能性があります。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1= 回線

2=CU

3= 端末

5. 以下のオプションから選択される値。

1=Term

2=W/Term

6. *termid*

宛先: CSMT

DFHTC2501 **Msg too long, please resubmit**

説明: 端末オペレーターがこの READ について予期された量以上のデータをキー入力しました。

システムの処置: 進行中のトランザクションが終了します。

ユーザーの処置: TRANSACTION HAS BEEN ABENDED というメッセージが出たあとで、端末をリセットし、トランザクションを再始動してください。

モジュール: DFHTACP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTC2502 *date time applid TCT search error* {on line w/term | at term } *termid* {, trans |, dest } *tranid\destid* {, rel line=} *rr,time*

説明: 端末 *termid* によって識別された回線上で、無効なアドレスが受信されました。このエラーは、通常、2980 または 3270 などの制御装置上でのみ発生します。その理由は、CICS では一括ポーリングが使用されるため、制御装置上のすべての端末が CICS に定義されているわけではないからです。他の条件は、すべて未定義です。メッセージのオプション部分 『 **dest destid** 』は TCAM にのみ適用されます。宛先 *destid* は、TCTTE の生成時に指定されたどのネットワーク名 (netnames) ととも一致しない場合に指定されます。

システムの処置: 制御装置がサービス不能状態に置かれるか、一括ポーリングの対象装置でなければ、回線がサービス不能状態に置かれます。

ユーザーの処置: エラーが起こった制御装置のすべての端末が、CICS に定義されるようにしてください。

該当する場合は、TCAM MCP 端末生成名が CICS DFHTCT TYPE=TERMINAL NETNAME パラメーターと一致するようにしてください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=*on line w/term*

2=*at term*

5. *termid*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=, *trans*

2=, *dest*

7. *tranid\destid*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=, *rel line=*

9. *rr*

10. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2506 *date time applid* **Output event rejected**
return code *zz {on line w/term | at term*
} termid {, trans } tranid {, rel line=} rr
time

説明: 出力操作が試行されましたが、入出力ルーチンにより停止され、SAM 戻りコード *zz* が出されました。READ または WRITE マクロ命令の後で異常条件を検出した場合には、操作は開始されず、制御は、READ または WRITE マクロ命令に続く命令でユーザー・プログラムに戻されます。

システムの処置: 回線はサービス不能状態に置かれます。

ユーザーの処置: シャットダウン時にシステム・ダンプが出され、エラーが文書化されていることを確かめてください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *zz*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=on line w/term
2=at term

6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=, trans

8. *tranid*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=, rel line=

10. *rr*
11. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2507 *date time applid* **Input event rejected**
return code *zz {on line w/term | at term*
} termid {, trans } tranid {, rel line=} rr,time

説明: 入力操作が試行されましたが、入出力ルーチンにより停止され、SAM 戻りコード *zz* が出されました。READ マクロ命令または WRITE マクロ命令の後で異

常条件を検出した場合には、操作は開始されず、制御は、READ マクロ命令または WRITE マクロ命令に続く命令でユーザーのプログラムに戻されます。

システムの処置: 回線はサービス不能状態に置かれます。

ユーザーの処置: シャットダウン時にシステム・ダンプが出され、障害が文書化されていることを確かめてください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *zz*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=on line w/term
2=at term

6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=, trans

8. *tranid*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=, rel line=

10. *rr*
11. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2511 *date time applid* **Invalid write request**
{on line w/term | at term } termid {,
trans } tranid {, rel line=} rr,time

説明: このメッセージは、次のいずれかが発生した場合に出されます。

1.

トランザクションが、現在入力状況にある端末機能に対して、書き込み要求を出しました。
2.

トランザクションが、ファイル終わり (EOF) 条件を受け取る前に、バッチ伝送中の 3735 に対して書き込み要求を出しました。

システムの処置: その書き込み要求は実行されず、トラ

DFHTC2513 • DFHTC2514

ンザクションは異常終了します。 CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、発生した条件によって異なります。 条件については次のとおりです。

1.

トランザクションが、入力状況の端末に対して書き込み要求を出さないようにしてください。

2.

3735 パッチ・トランザクションが、必ず EOF 条件を受け取ってから最初の書き込み要求を出すようにしてください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=*on line w/term*

2=*at term*

5. *termid*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=, *trans*

7. *tranid*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=, *rel line=*

9. *rr*

10. *time*

宛先: CSTL

DFHTC2513 *date time applid* **Output length zero** {*on line w/term | at term* } *termid* {, *trans* } *tranid* {, *rel line=*} *rr,time*

説明: 書き込み操作で、TIOATDL 内のデータ長が正の値ではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラム内のゼロまたは負のデータ長指定を訂正してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=*on line w/term*

2=*at term*

5. *termid*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=, *trans*

7. *tranid*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=, *rel line=*

9. *rr*

10. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2514 *date time applid* **No output area**
provided {*on line w/term | at term* }
termid {, *trans* } *tranid* {, *rel line=*}
rr,time

説明: トランザクション *tranid* が端末 *termid* で書き込みを要求しました。しかし、その TCTTEDA フィールドの初期設定は行われませんでした。

システムの処置: その書き込み要求は実行されず、トランザクションは異常終了します。 CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* が必要なストレージを取得して、TCTTEDA フィールドの初期設定を行うことを確認してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=*on line w/term*

2=*at term*

5. *termid*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=, *trans*

7. *trandid*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=*rel line=*

9. *rr*

10. *time*

宛先: CSTL

DFHTC2515 *date time applid* **Output area exceeded**
{on line w/term | at term } termid {,
trans } trandid {, rel line=} rr,time

説明: 以下のいずれかが起こりました。

•

端末入出力域 (TIOA) が、データとキャリア制御文字の両方を入れるのに十分な大きさではありません。

•

TIOA データの長さが、DFHTCT TYPE=SDSCI マクロで指定された TCAM ブロック・サイズより大きいです。

•

アプリケーションには、32767 バイトを超える TIOA が必要です。

システムの処置: その書き込み要求は実行されません。(可能であれば) その端末書き込みストレージは解放され、トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムが TIOATDL の値を TIOA GETMAIN サイズよりも大きく設定しないように、および TIOA データの長さが TCAM ブロック・サイズより大きくならないようにしてください。また、アプリケーション・プログラムが 32767 バイトを超える TIOA を求めないようにもしてください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=*on line w/term*

2=*at term*

5. *termid*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=*trans*

7. *trandid*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=*rel line=*

9. *rr*

10. *time*

宛先: CSTL

DFHTC2516 *date time applid* **Unit check SNS=ss** *{on line w/term | at term } termid {, trans } trandid {, rel line=} rr,time*

説明: 端末 *termid* によって定義された回線上で装置チェック・エラーが起こりました。センス・コード (SNS=ss) が出ています。D/T 3275 ダイアル呼び出しの場合には、回線上に何の活動も生じなければ、2 分後に自動タイムアウトが生じます。

システムの処置: 回線は SAM 回線でサービス不能状態に置かれます。

交換回線上の介入エラーの場合には、タスクが異常終了し、回線は、論理上切断されます。非交換回線上のダミーの (定義されていない) 端末での介入エラーの場合には回線は、サービス不能状態に置かれます。実際の端末で介入エラーが起これば、端末はサービス不能状態に置かれ、トランザクションは異常終了します。

データ・チェック・エラーがダミーの端末で起こった場合には、回線はサービス不能状態に置かれます。実際の端末の場合には、端末がサービス不能状態に置かれ、トランザクションは異常終了します。

データ脱落エラーが READ,TEXT コマンドで起こった場合には、MESSAGE TOO LONG という応答がその端末に送信され、トランザクションは異常終了します。

タイムアウト・エラーが READ,TEXT コマンドで起こった場合には、MESSAGE TOO LONG という応答が端末に送られます。タイムアウト・エラーが起こった場合には、回線はサービス不能状態に置かれます。実際の端末の場合には、端末がサービス不能状態に置かれ、トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーについて、SAM が生成したシステム・コンソール・ログ・メッセージを調べて、装置エラーを訂正してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHTC2517 • DFHTC2518

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ss*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=*on line w/term*
2=*at term*

6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=*, trans*

8. *tranid*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=*, rel line=*

10. *rr*
11. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2517 *date time applid Unit check SNS=ss, S.N.O. {on line w/term | at term } termid {, trans } tranid {, rel line=} rr,time*

説明: 端末 *termid* によって定義された回線上で装置チェック・エラーが起きました。SAM は、このエラーを未定義、つまり S.N.O (発生しないはずである) として示します。センス・コード (SNS=ss) が出ています。

システムの処置: 回線は SAM 回線でサービス不能状態に置かれます。

交換回線上の介入エラーの場合には、タスクが異常終了し、回線は、論理上切断されます。非交換回線上のダミーの (識別されていない) 端末での介入エラーであれば、端末はサービス不能状態に置かれ、トランザクション (タスク) は異常終了します。実際の端末で介入エラーが起これば、端末はサービス不能状態に置かれ、トランザクションは異常終了します。

データ・チェック・エラーがダミーの端末で起こった場合には、回線はサービス不能状態に置かれます。実際の端末の場合には、端末がサービス不能状態に置かれ、トランザクションは異常終了します。

タイムアウト・エラーが READ,TEXT コマンドで起こった場合には、MESSAGE TOO LONG という応答が端末に送られます。タイムアウト・エラーが起こった場合には、回線はサービス不能状態に置かれます。実際

の端末の場合には、端末がサービス不能状態に置かれ、トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーについて、SAM が生成したシステム・コンソール・ログ・メッセージを調べて、装置エラーを訂正してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ss*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=*on line w/term*
2=*at term*

6. *termid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=*, trans*

8. *tranid*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=*, rel line=*

10. *rr*
11. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2518 *date time applid Unit exception on {on line w/term | at term } termid {, trans } tranid {, rel line=} rr,time*

説明: 端末 *termid* によって定義された回線上で装置例外エラーが起きました。

システムの処置: それぞれの場合の処置内容:

- 交換回線の場合、トランザクションが異常終了し、回線は論理上切断されます。
- ダミーの端末の場合、回線はサービス不能状態に置かれます。
- 実際の端末の場合、端末がサービス不能状態に置かれ、トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーについて、SAM が生成したシステム・コンソール・ログ・メッセージを調べて、

装置エラーを訂正してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=on line w/term

2=at term

5. *termid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=, trans

7. *tranid*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=, rel line=

9. *rr*
10. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2519 *date time applid* **Unit exception S.N.O.**
{on line w/term | at term } termid {,
trans } tranid {, rel line=} rr,time

説明: 端末 *termid* によって定義された回線上で装置例外エラーが起きました。SAM は、このエラーを未定義、つまり S.N.O (発生しないはずである) として示します。

システムの処置: それぞれの場合の処置内容:

- 交換回線の場合、トランザクションが異常終了し、回線は論理上切断されます。
- ダミーの端末の場合、回線はサービス不能状態に置かれます。
- 実際の端末の場合、端末がサービス不能状態に置かれ、トランザクションは 異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーのために SAM が生成したシステム・コンソール・ログ・メッセージを調べてください。装置エラーを訂正してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=on line w/term

2=at term

5. *termid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=, trans

7. *tranid*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=, rel line=

9. *rr*
10. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2521 *date time applid* **Undetermined unit error**
{on line w/term | at term } termid {,
trans } tranid {, rel line=} rr,time

説明: 端末 *termid* によって定義された回線で、(装置チェック、装置例外、または否定応答以外) の入出力エラーが発生しました。

システムの処置: 端末 *termid* と関連した回線は使用されなくなります。

ユーザーの処置: このエラーのために SAM が生成したシステム・コンソール・ログ・メッセージを調べてください。装置エラーを訂正してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=on line w/term

2=at term

5. *termid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=, trans

DFHTC2522 • DFHTC2534

7. *tranid*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=, *rel line*=

9. *rr*
10. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2522 *date time applid* 次の端末でインターセプトが要求されました: *termid* {トランザクション} *tranid*, *time*

説明: 端末 *termid* およびトランザクション *tranid* に関連付けられたタスクが異常終了するところでしたが、このタスクの CSD 定義に TPURGE(NO) が指定されていました。

システムの処置: 端末はサービス不能状態に置かれます。

ユーザーの処置: マスター端末機能を用いて、通知割り込みを行うか、タスクを終了してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= トランザクション

6. *tranid*
7. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2529 *date time applid* **Unsolicited input** {*on line w/term* | *at term* } *termid* {, *trans* } *tranid* {, *rel line*=} *rr,time*

説明: 制御装置 (一括ポーリング) で入力が行われましたが、この制御装置の端末 *termid* がサービス不能状態であるか、そのタスクから DFHTC TYPE=READ マクロが出されていませんでした。

システムの処置: CICS は何の処置もとりません。制御がユーザー作成端末エラー・プログラム DFHTEP に渡されます。

ユーザーの処置: 環境上の必要性に基づいて、DFHTEP をコーディングしてください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=*on line w/term*

2=*at term*

5. *termid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=, *trans*

7. *tranid*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=, *rel line*=

9. *rr*
10. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2534 *date time applid* **Invalid destination at term** *termid* {, *trans* } *tranid,time*

説明: 無効な宛先が端末 *termid* から TCAM に渡されました。

システムの処置: 書き込みは停止され、タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 宛先が TCAM メッセージ制御プログラム (MCP) に定義されているようにしてください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=, *trans*

6. *tranid*
7. *time*

宛先: CSMT

DFHTC2536 *date time applid* **Link to DFHTEP from DFHTACP failed because {module DFHTEP is not AMODE 31 | module DFHTEP could not be loaded | there is no resource definition for program DFHTEP}.**

説明: 非 VTAM 端末のエラーの処理中に、CICS が、ユーザー置換可能モジュール DFHTEP への関係を試みました。関係は失敗しました。メッセージ DFHTC2538 で説明されている 1 つ以上のデフォルトの処置がとられました。

システムの処置: DFHTACP が設定したデフォルト処置がとられます。

ユーザーの処置: 実施されたデフォルト処置についての説明は、メッセージ DFHTC2538 を参照してください。

解決策としては、以下のものが考えられます。

- DFHTEP が AMODE 31 で関係されていることを確認してください。
- DFHTEP が、DFHRPL DD ステートメントで連結されたデータ・セットの 1 つに含まれており、正しい名前が付けられていることを確認してください。
- モジュール DFHTEP の PROGRAM リソース定義がインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

- 1= モジュール DFHTEP が AMODE 31 ではない
 2= モジュール DFHTEP をロードできなかった
 3= プログラム DFHTEP のリソース定義がない

宛先: CSMT

DFHTC2537 *date time applid* **Abend abcode has occurred in module DFHTEP.**

説明: 非 VTAM 端末のエラーの処理中に、ユーザー置き換え可能モジュール DFHTEP に関係が行われ、プログラムが異常終了して *abcode* が出されました。メッセージ DFHTC2538 で説明されている 1 つ以上のデフォルトの処置がとられました。

システムの処置: 呼び出し元モジュール DFHTACP に制御が戻されます。DFHTACP は、DFHTEP が呼び出される前に設定されたデフォルトの処置を復元します。それから処置がとられます。

ユーザーの処置: 実施されたデフォルト処置についての説明は、メッセージ DFHTC2538 を参照してください。最初に出されたエラーについての詳細は、異常終了コード *abcode* を参照してください。問題を解決するには、異常終了コード *abcode* で示されたユーザーの処置に従ってください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *abcode*

宛先: CSMT

DFHTC2538 *date time applid* **Default actions actions have been taken for message number related message.**

説明: 非 VTAM 端末のエラーの処理時に問題が発生し、メッセージ *msgno* が出されました。とられる可能性のあるすべてのデフォルト処置についての説明を以下に示します。

アクション
意味

LINEOS

回線を使用停止状態にする。

NONPRGT

除去不可能なタスク

TERMOS

端末を使用停止状態にする。

ABENDT

端末上のタスクを異常終了させる。

ABORTWR

書き込みを打ち切り、端末ストレージを解放する。

RELTIOA

TCAM 着信メッセージを解放する。

SIGNOFF

エラーのある端末のサインオフ・プログラムを呼び出す。

システムの処置: システム処置は、メッセージ *related message* に示されています。

ユーザーの処置: メッセージ *related message* のユーザーの処置の項に示されている手引きに従ってください。

モジュール: DFHTACP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *actions*
5. *relatedmessage*

宛先: CSMT

DFHTC8510 *date time applid SNA protocol violation detected in query response at termid termid*

DFHTDnnnn メッセージ

DFHTD0001 *applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.*

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。TS1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを「Z/OS MVS

説明: CICS が、装置 *termid* からの照会応答に SNA プロトコルの違反を検出しました。

システムの処置: DFHQRY は、影響を受けることなく実行されます。

ユーザーの処置: 無効な照会応答が CICS に送られた理由を突き止めてください。

モジュール: DFHQRY

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

システム・コード」資料で調べてください。その後、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えばエラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイのいずれであるかなどがわかります。さらに、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが提供されることがあります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないと実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール:

DFHTDA、DFHTDB、DFHTDRM、DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHTD0002 *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード X'*code*' は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'*code*') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このエラーの重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール:

DFHTDA、DFHTDB、DFHTDRM、DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*code*'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHTD0100I *applid* Transient Data initialization has started.

説明: これは、一時データの初期設定が開始されたことを通知するメッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTD0101I *applid* Transient Data initialization has ended.

説明: これは、一時データ初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTD0102 *applid* Transient Data initialization has failed.

説明: 一時データ初期設定が失敗しました。

一時データ初期設定タスクの異常終了後に DFHTDRP にある SETXIT ルーチンに入りました。

あるいは、データ区画内データ・セットをオープンしようとして失敗しました。

システムの処置: 以後 CICS の初期設定を妨げるような重大エラーがない限り、初期設定時にどのようなエラーが他に発生したかによって、CICS は 2 つのメッセージのいずれかを出します。

DFHSI1521 が出された場合には、CICS 初期設定が終了します。DFHSI1522 が出された場合には、低下モードで CICS 初期設定を続行するか、終了するかを決定してください。

初期始動時またはコールド・スタート時でなく、CICS の再始動の一環として、区画内データ・セットが正常にオープンされない場合、前回の CICS の実行で正常にオープンされていると、メッセージ DFHSI1521 が出されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: 前のコンソール・メッセージを調べてください。そのなかの 1 つで、一時データ初期設定が失敗した理由を説明しているはずです。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTD0103I *applid* Transient Data initialization has been suspended pending takeover.

説明: これは、引き継ぎの保留中に、一時データ初期設定が中断されたことを示す通知メッセージです。一部の一時データ初期設定は、CICS が待機モードで動作している間に実行することができます。しかし、残りの初期設定は、引き継ぎが完了するまで実行することができません。なぜなら、一時データ・セット (DFHCXRF データ・セットを除く) は、受動的に共用されると想定されているからです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、SIT パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTD0104I *applid* Transient Data initialization has been resumed following takeover.

説明: これは、一時データ初期設定が引き継ぎに続いて再開されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTD0105I *applid* 一時データ区画内キューは空で 初期設定されます。これは、TDINTRA SIT パラメーターで EMPTY として指定 されているためです。

説明: これは、一時データが、SIT で指定されている TDINTRA=EMPTY で初期設定されることを示す通知メッセージです。これには、空の状態のすべての区画内 TD キューを初期設定する効果があります。TDINTRA SIT パラメーターは、コールド・スタート時または初期始動時は無視されます。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTD0170 *applid* 区画内データ・セットが破損しています。(The intrapartition data set has been corrupted.)

説明: ウォーム・リスタート時または緊急時再始動時に、CICS は区画内データ・セットの内容が、CICS によって記録された内容と矛盾していることを検出しました。区画内データ・セットが破損している可能性があります。

システムの処置: ダンプを生成して例外トレースを作成した後、CICS は終了します。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0170 のシステム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 区画内データ・セットを再初期設定してください。

CICS のコールド・スタートまたは初期始動を実行してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTD0180 *applid* Unexpected response (code *X'response'*) and reason (code *X'reason'*) from a *dfhxxzym* call.

説明: 一時データ・モジュールは、ドメイン *xx* への *dfhxxzym* 呼び出しの失敗を受けて、処理を続行できません。

応答 (コード *X'response'*) および理由 (コード *X'reason'*) は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xxzy_response* および *xxzy_reason*)。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0180 のシステム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール:

DFHTDA、DFHTDB、DFHTDOC、DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'response'*
3. *X'reason'*
4. *dfhxxzym*

宛先: コンソール

DFHTD0182 *applid* Unexpected response (code *X'response'*) and reason (code *X'reason'*) from a *dfhxxzym* call.

説明: モジュール DFHTDRP は、ドメイン *xx* の *dfhxxzym* 呼び出しに失敗した後は、処理を続行することができません。

応答 (コード *X'response'*) および理由 (コード *X'reason'*) は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xxzy_response* および *xxzy_reason*)。

システムの処置: これはクリティカル・エラーです。

CICS は、ダンプを作成して、異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'response'*
3. *X'reason'*
4. *dfhxxzym*

宛先: コンソール

DFHTD0183 *applid Unexpected response (code X'response') and reason (code X'reason') from a dfhxxym call during processing of intrapartition queue queue.*

説明: 区画内一時データ・キュー *queue* のトリガー・レベルに達しました。

モジュール DFHTDB または DFHTDRM は、ドメイン *xx* の *dfhxxym* 呼び出しの応答の後に、関連したトランザクションを開始することができませんでした。

応答 (コード X'response') および理由 (コード X'reason') は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xxym_response* および *xxym_reason*)。

関連したトランザクションの開始は失敗しました。

システムの処置: これは、おそらく CICS 論理エラーです。

その後一時データ・キューへ書き込むたびにトランザクションの開始が試みられますが、失敗します。ただし、このメッセージは、最初にエラーが検出されたときのみ出されます。

CICS はダンプを作成して、処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'response'
3. X'reason'
4. *dfhxxym*
5. *queue*

宛先: コンソール

DFHTD0240 *applid Queue queue (DD name ddname) is full.*

説明: 区画外キュー *queue* には、これ以上データを書き込むことができません。

DD 名 *ddname* のデータ・セットの処理時に、システム

異常終了、MVS code X'37' が発生しました。

システムの処置: EXEC CICS WRITEQ TD コマンドの処理時にシステム異常終了が発生した場合には、NOSPACE 条件が戻されます。

EXEC CICS SET TDQUEUE CLOSED コマンドの処理時にシステム異常終了が発生した場合には、データ・セットはクローズされないで、IOERR 条件が戻されます。

2 回目のデータ・セットをクローズする試みは成功することに注意してください。

ユーザーの処置: CICS を再始動する前に、データ・セットにより多くのスペースを割り振ることを検討してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDA, DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *queue*
3. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0242 *applid Abend abcode has been detected during processing for queue queue (DD name ddname).*

説明: 区画外キュー *queue* (つまり、DD 名 *ddname* のデータ・セット) での処理時にシステム異常終了、MVS コード *abcode* が発生しました。

システムの処置: ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0242 のシステム・ダンプがとられます。

これはクリティカル・エラーでない可能性があるので、CICS は終了しないで、IOERROR 条件が戻されます。

ユーザーの処置: CICS ジョブ・ログを調べてください。QSAM は、システム異常終了の理由を説明するメッセージを発行します。このメッセージについての説明は、「z/OS MVS システム・メッセージ 第 1 巻 (ABA-AOM)」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDA, DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *queue*
4. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0244 *applid* An I/O error has occurred during an output operation to an extrapartition dataset for queue *queue*. (DD name = *ddname*).

説明: キュー *queue* 上の区画外データ・セット *ddname* に対する出力操作の処理時に、入出力エラーが発生しました。

システムの処置: IOERR 条件が戻されます。 後続の書き込み要求には、IOERR が戻されます。

ユーザーの処置: CEMT を使用してデータ・セット *ddname* をクローズしてください。後続のオープンの後にも入出力エラーがなくなる場合には、おそらくこのデータ・セットを異なったボリュームに再割り振りの必要があります。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDA、DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *queue*
3. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0245 *applid* 区画内データ・セット (DD 名 *ddname*) への PUT で NOSPACE 状態が発生しました。The RBA of the next CI would have exceeded 2 gigabytes.

説明: DD 名 *ddname* の区画内一時データ・セットに書き込みを試みましたが、NOSPACE 状態のため失敗しました。CICS はデータ・セットを拡張しようとしたましたが、次の制御インターバル (CI) (追加された場合) の相対バイト・アドレス (RBA) が 2 ギガバイト (x'7FFFFFFF') を超えたようです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: 不要な一時データ・キューを区画内データ・セットから削除してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0246 *applid* An I/O error has occurred during an input operation to an extrapartition dataset for queue *queue*. (DD name = *ddname*).

説明: キュー *queue* 上の区画外データ・セット *ddname* に対する入力操作の処理時に、入出力エラーが発生しました。

システムの処置: IOERR 条件が戻されます。 後続の書き込み要求には、IOERR が戻されます。

ユーザーの処置: CEMT を使用してデータ・セット *ddname* をクローズしてください。後続のオープンの後にも入出力エラーがなくなる場合には、おそらくこのデータ・セットを異なったボリュームに再割り振りの必要があります。

区画外一時データ・キューの定義を確認してください。無効なブロック・サイズまたはレコード・サイズの指定が原因で入出力エラーが発生した可能性があります。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDA、DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *queue*
3. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0247 *applid* 区画内データ・セット (DD 名 *ddname*) への PUT で NOSPACE 状態が発生しました。データ・セットがいっぱいです。

説明: DD 名 *ddname* の区画内一時データ・セットに書き込みを試みましたが、NOSPACE 状態のため失敗しました。CICS はデータ・セットを拡張しようとした

したが、2 次スペースが定義されていないか、使用できませんでした。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: 区画内データ・セットから不要な一時データ・キューを削除するか、追加の 2 次ストレージ割り振ることで区画内データ・セットを再定義することを検討してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0250 *applid* **Dynamic allocation of queue
queue failed. Return code** *X'rrrr',X'cccc'*
in module *module*.

説明: キュー *queue* を動的に割り振っているときに、CICS 一時データが MVS DYNALLOC マクロを発行しました。DYNALLOC は、戻りコード *cccc* で失敗しました。*rrrr* は、レジスター 15 内の追加の戻りコードです。

システムの処置: CICS は、キュー *queue* がクローズされた状態で続行します。

ユーザーの処置: DYNALLOC 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *queue*
3. *X'rrrr'*
4. *X'cccc'*
5. *module*

宛先: コンソール

DFHTD0251 *applid* **Dynamic deallocation of queue
queue failed. Return code** -
X'rrrr',X'cccc' **in module** *module*.

説明: キュー *queue* をクローズしているときに、CICS 一時データが MVS マクロ、DYNALLOC を発行して、キューの割り振りを動的に解除しました。割り振り解除は、MVS 戻りコード、*cccc* で失敗しました。*rrrr* は、レジスター 15 内の戻りコードです。

システムの処置: CICS は、キューがクローズされているものの、まだ割り振られている状態で、続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 一時データ・キューのリソース定義で DSNAME 属性を変更し、同一の CICS の実行でそのキューを再オープンすると、CICS は元のデータ・セットをオープンする可能性があります。MVS 戻りコードの説明については、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *queue*
3. *X'rrrr'*
4. *X'cccc'*
5. *module*

宛先: コンソール

DFHTD0252 *applid* キュー *queue* のオープンに失敗しました。**DSNAME** は、**JCL** またはリソース定義から使用することはできません。モジュール *module*。

説明: CICS はキュー *queue* をオープンしようとしたが、そのキューの JCL にもリソース定義にもデータ・セット名が指定されていないために、オープンに失敗しました。

CICS 一時データは、以下の理由でキュー *queue* をオープンしていません。

•

初期設定時に、スタートアップ JCL に DD ステートメントが入っていない。

- ユーザーがサブミットしたルーチンがキューを動的に割り当てていない。
-

TDQUEUE リソース定義に、CICS によるファイルの動的割り振りを可能にする DSNAME 属性が入っていない。

システムの処置: CICS は、キュー *queue* がクローズされた状態で処理を続行します。

ユーザーの処置: このトランザクションを再サブミットする前に、データ・セット名を JCL またはリソース定義に与えます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDOC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *queue*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHTD0340 *applid* Transaction *transid* initiated when the trigger level is reached for Transient Data queue *queue* is defined as REMOTE. The transaction initiation has failed.

説明: 一時データ・キュー *queue* のトリガー・レベルに達しました。キューに関連付けられたトランザクションはリモートですが、これはトリガー・トランザクションについては無効です。したがって、トランザクションの開始は失敗しました。

システムの処置: エラーを訂正するまで、一時データ・キューに対して以後書き込みを行うたびに、トランザクションを開始する試みがさらに行われますが、これは失敗します。しかし、ログがメッセージで一杯にならないように、このメッセージは、エラーを最初に検出したときにのみ出されます。

ユーザーの処置: TDQUEUE リソース定義で指定されたトランザクション ID が正しくない場合、リソース定義を修正して、ローカルのトランザクションを指定してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *transid*
3. *queue*

宛先: コンソール

DFHTD0341 *applid* Transaction *transid* associated with the trigger level for Transient Data queue *queue* has not been initiated.

説明: 一時データ・キュー *queue* のトリガー・レベルに達しました。システム・セットアップでのエラーのために関連トランザクションの開始が失敗しました。

システムの処置: エラーを訂正するまで、一時データ・キューに対して以後書き込みを行うたびに、トランザクションを開始する試みがさらに行われ、それに失敗します。しかし、ログがメッセージで一杯にならないように、このメッセージは、エラーを最初に検出したときにのみ出されます。

ユーザーの処置: 一時データ・キューの TDQUEUE リソース定義を確認してください。キューには、キューに関連付けられたトランザクションがなければなりません。そのトランザクションは既存のもので、ローカルとして定義され、しかもインストール済みであるものです。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *transid*
3. *queue*

宛先: コンソール

DFHTD0342 *applid* Transaction *transid* associated with the trigger level for Transient Data queue *queue* has not been scheduled.

説明: 一時データ・キュー *queue* のトリガー・レベルに達しました。システム・セットアップでのエラーのために、関連トランザクションのスケジュールが失敗しました。

システムの処置: エラーを訂正するまで、一時データ・キューに対して以後書き込みを行うたびに、トランザクションをスケジュールする試みがさらに行われますが、これは失敗します。しかし、ログがメッセージで一杯にならないように、このメッセージは、エラーを最初に検出したときにのみ出されます。

ユーザーの処置: 次の点について検査し、必要なら修正を加えてください。

- キューには、キューに関連付けられたトランザクションがなければなりません。そのトランザクションは既存のもので、ローカルとして定義され、しかもインストール済みであるものです。リモート属性がトランザクション定義に設定されていなかったため、トランザクションはローカルでした。しかし、動的 parm はそれがリモートである可能性を示していました。

- ATIFACILITY 属性に SYSTEM または TERMINAL を指定して定義された一時データ・キューについては、指定された機構が必ず存在し、必要なシステム・リンクがすべてインストール済みで、しかも使用可能でなければなりません。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *queue*

宛先: コンソール

DFHTD0343 *DATE TIME APPLID Automatic transaction restart for transaction tranid processing TD queue queue-name has failed.*

説明: TD トリガー・レベルに達したときに接続されたトランザクションが異常終了しようとしており、このトランザクションの自動トランザクション再始動がユーザー置き換え可能モジュール DFHREST を介して要求されました。CICS がトランザクションを再始動しようとしたときに、重大エラーが発生しました。

システムの処置: 再始動の失敗の原因となった重大エラーに関して、メッセージ DFHAP0002 が出され、ダンプがとられます。再始動が要求されたトランザクションの異常終了は続行されます。トランザクションは自動的に再始動されません。

この TD キューに対する次の TD 要求が受信され、トリガー・レベルに達したか、超えたときに、システムはトリガー・レベル・トランザクションを再接続しようとします。

ユーザーの処置: 最初の重大エラーが起きた理由を調べてください。詳細については、メッセージ DFHAP0002 を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *tranid*
5. *queue-name*

宛先: コンソール

DFHTD0360 *applid Logical I/O error occurred during a GET request to the intrapartition data set (DD name ddname); VSAM return codes are R15=X'retcode', FDBK=X'fdbkcode'.*

説明: DD 名 *ddname* の区画内データ・セットからの制御インターバルの読み取りを試みましたが、論理入力エラーが発生したために失敗しました。*retcode* は、レジスター 15 の中の戻りコードで、*fdbkcode* は、要求パラメーター・リスト (RPL) のフィードバック・フィールドの値です。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0360 のシステム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。メッセージ内のコードの意味については、「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさら

に必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. *X'retcode'*
4. *X'fdbkcode'*

宛先: コンソール

DFHTD0361 *applid* Logical I/O error occurred during a PUT request to the intrapartition data set (DD name *ddname*); VSAM return codes are R15=*X'retcode'*, FDBK=*X'fdbkcode'*.

説明: DD 名 *ddname* の区画内データ・セットへの制御インターバルの書き込みまたは再書き込みを試みましたが、論理入出力エラーが発生したために失敗しました。*retcode* は、レジスター 15 の中の戻りコードで、*fdbkcode* は、要求パラメーター・リスト (RPL) のフィードバック・フィールドの値です。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0361 のシステム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ内のコードの意味については、「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. *X'retcode'*
4. *X'fdbkcode'*

宛先: コンソール

DFHTD0362 *applid* Physical I/O error occurred during a GET request to the intrapartition data set (DD name *ddname*); VSAM return codes are R15=*X'retcode'*, FDBK=*X'fdbkcode'*.

説明: DD 名 *ddname* の区画内データ・セットからの制御インターバルの読み取りを試みましたが、物理入出力エラーが発生したために失敗しました。*retcode* は、レジスター 15 の中の戻りコードで、*fdbkcode* は、要求パラメーター・リスト (RPL) のフィードバック・フィールドの値です。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0362 のシステム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: メッセージ内のコードの意味については、「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」を参照してください。

VSAM によって生成された物理エラー・メッセージのコピーが、システム・ダンプ内の (いずれかの) 一時データ VSAM エラー・メッセージ域 (1 つまたは複数) に表示されます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. *X'retcode'*
4. *X'fdbkcode'*

宛先: コンソール

DFHTD0363 *applid* Physical I/O error occurred during a PUT request to the intrapartition data set (DD name *ddname*); VSAM return codes are **R15=X'retcode', FDBK=X'fdbkcode'**.

説明: DD 名 *ddname* の区画内データ・セットへの制御インターバルの書き込みまたは再書き込みを試みましたが、物理入出力エラーが発生したために失敗しました。*retcode* は、レジスター 15 の中の戻りコードで、*fdbkcode* は、要求パラメーター・リスト (RPL) のフィールドバック・フィールドの値です。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0363 のシステム・ダンプがとられます。

CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ユーザーの処置: メッセージ内のコードの意味については、「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」を参照してください。

VSAM によって生成された物理エラー・メッセージのコピーが、システム・ダンプ内の (いずれかの) 一時データ VSAM エラー・メッセージ域 (1 つまたは複数) に表示されます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. X'retcode'
4. X'fdbkcode'

宛先: コンソール

DFHTD0380 *applid* Illegal attempt to read control interval 0 for the intrapartition data set (DD name *ddname*).

説明: 区画内データ・セット内の制御インターバル 0 は、一時データ管理情報用に予約済みです。アプリケーション・プログラム要求のために一時データ処理により決められたとおりにキューのデータを保持するように、残りの制御インターバルが割り振られます。

DD 名 *ddname* の区画内データ・セットの制御インター

バル 0 を読み取ろうとする無効な試みが行われました。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、ダンプ・コード TD0380 のシステム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 区画内一時データ・キューの各 CICS レコードには、*ddname* の区画内データ・セットに関連付けられた相対バイト・アドレス (RBA) であるポインターが入っています (キューが空でない場合)。

さらに、(最初のは別として) 割り振られた各制御インターバルには、キュー制御レコードだけでなく 1 つ以上のユーザー・レコードが入っています。このキュー制御レコード (制御インターバル内の最初のもの) には、キュー用のデータの入った次の制御インターバルのための順方向チェーン・ポインターまたは RBA が入っています。

いずれの場合も、一時データは、RBA が区画内データ・セット内のレコード境界をアドレッシングすると想定しています。

この想定はいくつかの形で違反になる可能性があります。違反のタイプは、次の方法で判断します。

- 区画内データ・セットの制御インターバル印刷
- アクセス方式サービス・プログラムの使用
- システム・ダンプの使用

違反のタイプには次のものがあります。

- 誤った区画内データ・セットが使用された - 誤ったデータ・セットを使用した場合、つまり、この CICS のスタートアップに使用したデータ・セットが、前の CICS のスタートアップに使用されていなかった場合には、区画内一時データ・キューの CICS レコード内のほとんどの RBA が区画内データ・セット内のレコード境界をアドレッシングしない可能性が高いです。CICS のコールド・スタートまたは初期始動を実行する必要があります。
- 区画内データ・セットが変更された - レコードが移動された場合 (おそらくデータ・セット圧縮により) には、制御インターバル 0 に複数のレコードが含ま

れ、しかも区画内一時データ・キューの CICS レコード内のほとんどの RBA が区画内データ・セット内のレコード境界をアドレッシングしない可能性が高いです。CICS のコールド・スタートまたは初期始動を実行する必要があります。

区画内一時データ・キューの CICS レコードが破損した - 区画内一時データ・キューの CICS レコードが破損した場合には、1 つか 2 つの RBA が区画内データ・セット内のレコード境界をアドレッシングしない可能性が高いです。問題のプログラムを識別するために、特殊トラップを必要とする場合があります。

CICS の再始動を行うことができます。一時データの緊急時再始動により、RBA はシステム・ログおよび区画内データ・セットから再構成されることになります。

エラーの発生からその検出までの間に活動キーポイントが取られた場合には、CICS のコールド・スタートまたは初期始動の実行が必要となる可能性があります。

入出力バッファが破壊された - 入出力バッファが破壊された場合には、区画内一時データ・キューの CICS レコード内の RBA の 1 つが、入出力バッファ内のレコード境界をアドレッシングしない可能性が高くなります。問題のプログラムを識別するために、特殊トラップを必要とする場合があります。

CICS の再始動を行うことができます。一時データの緊急時再始動により、RBA はシステム・ログおよび区画内データ・セットから再構成されることになります。

注: 入出力バッファの内容が、エラーの発生からその検出までの間に区画内データ・セットに書き込まれた場合には、CICS のコールド・スタートまたは初期始動の実行が必要となる可能性があります。

CICS 論理エラーが発生した - この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0381 *applid* Invalid attempt to (re)write control interval 0 for the intrapartition data set (DD name *ddname*).

説明: 区画内データ・セット内の制御インターバル 0 は、一時データ管理情報用に予約済みです。アプリケーション・プログラム要求のために一時データ処理により決められたとおりにキューのデータを保持するように、残りの制御インターバルが割り振られます。

DD 名 *ddname* の区画内データ・セットの制御インターバル 0 を (再) 書き込みしようとする無効な試みが行われました。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0381 のシステム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0382 *applid* The output pointer for queue *qqqq* does not match the contents of the intrapartition data set (DD name *ddname*).

説明: キュー *qqqq* の出力ポインターは、DD 名 *ddname* の区画内データ・セットのレコード境界をアドレッシングしません。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード

DFHTD0383 • DFHTD0385

TD0382 のシステム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *qqqq*
3. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0383 *applid* The input pointer for queue *qqqq* does not match the contents of the intrapartition data set (DD name *ddname*).

説明: キュー *qqqq* の入力ポインターは、DD 名 *ddname* の区画内データ・セットのレコード境界をアドレッシングしません。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0383 のシステム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *qqqq*
3. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0384 *applid* A forward chain pointer for queue *qqqq* does not match the contents of the intrapartition data set (DD name *ddname*).

説明: キュー *qqqq* の順方向チェーン・ポインターは、DD 名 *ddname* の区画内データ・セットで無効です。

システムの処置: CICS が終了しないようにダンプ・テーブルで指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0384 のシステム・ダンプがとられます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *qqqq*
3. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0385 *applid* Invalid attempt to allocate/deallocate CI 0 for the intrapartition data set (DD name *ddname*).

説明: 区画内データ・セット *ddname* 内の制御インターバル (CI) 0 は、一時データ管理情報用に予約済みです。アプリケーション・プログラム要求のために一時データ処理により決められたとおりにキューのデータを保持するように、残りの制御インターバルが割り振られます。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、ダンプ・コード TD0385 のシステム・ダンプがとられます。

これはクリティカル・エラーです。CICS が終了しないようダンプ・テーブル内で指定したとしても、CICS は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTD0380 のユーザーの処置も参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDB, DFHTDRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD0386 *applid* The high RBA value of the primary extent for inpartition data set (DD name *ddname*) is X'*highrba*'. This exceeds the maximum allowable value of 2GB, and will be capped to a value of X'80000000' minus the CI size of the data set.

説明: 区画内データ・セット (DD 名 *ddname*) の 1 次エクステントの高 RBA 値は X'*highrba*' です。これは 2GB の最大許容値を超えています。

システムの処置: 上限を設定する承認を得るためにメッセージ DFHTD0387 が発行されました。

ユーザーの処置: 区画内データ・セットの 1 次エクステントのサイズを減らすことを検討してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. X'*highrba*'

宛先: コンソール

DFHTD0387D *applid* Allow the inpartition data set to be capped - Enter GO or CANCEL.

説明: 区画内データ・セットの 1 次エクステントの高 RBA 値が、最大許容値の 2GB を超えています。このメッセージの前に出されるメッセージ DFHTD0386 で詳細を確認してください。

システムの処置: GO と応答すると、CICS は、使用できる領域の上限を、X'80000000' からデータ・セットの CI サイズを引いた値に制限します。

CANCEL と応答すると、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 区画内データ・セットの 1 次エクステントのサイズを減らすことを検討してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. GO
3. CANCEL

宛先: コンソール

DFHTD0401 *date time applid terminal userid tranid*
TDQUEUE entry for *queue*name has been deleted.

説明: これは、一時データ・キュー定義 *tdqueue*name が DISCARD コマンドを使用してシステムから削除されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを発行しているトランザクションに関連付けられた端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを発行しているトランザクションに関連付けられたユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを発行しているトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTDTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *queue*name

宛先: CSQL

DFHTD0402 *date time applid terminal userid tranid*
TDQUEUE entry for tdqueuename has
been added.

説明: これは、一時データ・キュー定義 *tdqueuename* が INSTALL コマンドを使用して追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを発行しているトランザクションに関連付けられた端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを発行しているトランザクションに関連付けられたユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを発行しているトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTDTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tdqueuename*

宛先: CSQL

DFHTD0403 *date time applid terminal userid tranid*
TDQUEUE entry for tdqueuename has
been replaced.

説明: これは、INSTALL コマンドを使用して一時データ・キュー定義 *tdqueuename* が置き換えられたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを発行しているトランザクションに関連付けられた端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

- *userid* は、メッセージを発行しているトランザクションに関連付けられたユーザーのユーザー ID です。

- *tranid* は、メッセージを発行したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTDTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tdqueuename*

宛先: CSQL

DFHTD1210 *applid* **DCT index in error, xxxx failed**

説明: 操作 *xxxx* (INSTALL) CICS の実行中に、CICS は宛先管理テーブル (DCT) 索引内にエラーを検出しました。このメッセージは、一時データがグローバル・カタログから項目をインストールしている場合に、ウォーム・リスタート時または緊急時再始動時に出されます。このエラーの最も可能性の高い原因は、次のとおりです。

1. 記憶保護違反。
アプリケーション・プログラムが索引を上書きしました。
または
2. CICS 論理エラー。
CICS ディレクトリー・ドメインが誤って索引を作成しました。または
3. グローバル・カタログ・エントリーの破損。
グローバル・カタログが破損しています。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出力され、メッセージ DFHSI1522 が出力されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

グローバル・カタログの内容を調べて、インストールに失敗している DCTE のカタログ項目が破損しているかどうか判断してください。

エラーがストレージ違反であり、トレース機能が活動化されている場合は、DFHTDP による DCT へのアクセスで正常に行われなかったものをトレースから見つけてください。次に、その前に最後に成功したアクセスを見つけてください。これにより、これら 2 つのアクセスの間に実行中であったプログラムに検索範囲が狭まります。それらのプログラムを調べて、ストレージ違反を起こしたエラーを見つけてください。

トレースが活動化されていなかった場合でも、エラーを再現することができる場合には、トレースを活動化し、エラーを再現して、上記の処置を取ってください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xxxx*

宛先: コンソール

DFHTD1217 *applid* 一時データ・キュー *xxxx* のリソース定義をインストールできません。

説明: ウォーム・リスタート時または緊急時再始動時に、CICS は一時データ・キュー *xxxx* のリソース定義をインストールできませんでした。

システムの処置: CICS は定義を無視し、初期設定を続行します。

ユーザーの処置: このインストールの失敗の原因は、一時データ (TD) コンポーネントから出された先行メッセージで示されている場合があります。DFHINTRA データ・セットをオープンできなかったか、定義に含まれているユーザー ID に関連するセキュリティ・エラーの結果である可能性があります。後者の場合、CICS が初期設定されたら、項目の RDO 定義を正しいユーザー ID で作成し、CEDA トランザクションを使用してそれをインストールすることが可能です。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xxxx*

宛先: コンソール

DFHTD1221 *applid* 一時データ・キューの定義が復元されません。*xxxx* が失敗しました。

説明: ウォーム・スタート時に、操作 *xxxx* (STARTBROWSE、GETNEXT または ENDBROWSE) を実行しているときに、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) が一時データ・キュー定義のカタログ・テーブルでエラーを検出しました。

このエラーの原因として、カタログ・データ・セット内の入出力エラー、または CICS モジュール DFHCCCC 内の論理エラーが考えられます。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出力され、メッセージ DFHSI1522 が出力されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

カタログ・データ・セットの入出力エラーを判別し、これらを訂正してください。カタログ・データ・セットを復元できない場合、または DFHCCCC に CICS 論理エラーがあるかもしれないと思われる場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xxxx*

宛先: コンソール

DFHTD1260 *applid* No DD statement for intrapartition data set *ddname*

説明: DD ステートメントが与えられていなかったため、CICS は区画内データ・セット *ddname* をオープンできません。

DFHTD1261 • DFHTD1262

システムの処置: コールド・スタート時または初期始動時に、あらゆる一時データ・キューのリソース定義が処理されるまで、一時データの初期設定は続行されます。検出された区画内キューはいずれもインストールされず、インストールの失敗が検出されるたびにメッセージ DFHTD1217 が発行されます。TD の初期設定の終了時に、メッセージ DFHTD0102 が発行されます。その他の初期設定エラーが発生しない場合は、メッセージ DFHSH1522 が発行されます。

それ以外のスタートの場合、TD はカタログを調べて、前回の CICS の実行で DFHINTRA が正常にオープンしたかどうかを確認します。正常にオープンした場合、初期設定は終了します。そうでない場合、TD の初期設定は通常どおり続行します。

ユーザーの処置: コールド・スタート時または初期始動時に、メッセージ DFHSH1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

CICS JCL を修正して、区画内データ・セット (DFHINTRA) を定義する DD ステートメントを追加してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD1261 *applid* Intrapartition data set *ddname*
not defined as VSAM ESDS

説明: 区画内データ・セット *ddname* が VSAM ESDS として定義されていないため、CICS はそれをオープンできません。

システムの処置: コールド・スタート時または初期始動時に、あらゆる一時データ・キューのリソース定義が処理されるまで、一時データの初期設定は続行します。検出された区画内キューはいずれもインストールされず、インストールの失敗が検出されるたびにメッセージ DFHTD1217 が発行されます。TD の初期設定の終了時に、メッセージ DFHTD0102 が発行されます。その他の初期設定エラーが発生しない場合は、メッセージ DFHSH1522 が発行されます。

それ以外のスタートの場合、TD はカタログを調べて、前回の CICS の実行で DFHINTRA が正常にオープンしたかどうかを確認します。正常にオープンした場合、

初期設定は終了します。そうでない場合、TD の初期設定は通常どおり続行します。

ユーザーの処置: コールド・スタート時または初期始動時に、メッセージ DFHSH1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

区画内データ・セットを VSAM ESDS として再作成してから、CICS を再始動してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*

宛先: コンソール

DFHTD1262 *applid* Intrapartition data set *ddname*
not formatted

説明: 区画内データ・セット *ddname* は形式設定されていません (空です)。CICS がコールド・スタートまたは初期始動される際に、初期形式設定が行われます (必要な場合)。

システムの処置: CICS は、一時データ・キューのすべてのリソース定義がインストールされるまで、初期設定を続行します。グローバル・カタログから読み取られる区画内定義は、元々の障害のため、インストールできません。DFHTDRP が処理を完了すると、CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSH1522 が出されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSH1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

CICS の次の起動時に、コールド・スタートまたは初期始動を実行します。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*

宛先: コンソール

**DFHTD1263 *applid* Invalid control record for
Intrapartition data set *ddname***

説明: 区画内データ・セット *ddname* が区画内一時データに対して初期設定されていません。この理由としては、以下によってデータが破損したことが考えられます。

- VSAM のエクスポートおよびインポート
- DFHSM のマイグレーションおよび再呼び出し

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSI1522 が出されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

区画内データ・セットを再初期設定してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*

宛先: コンソール

**DFHTD1271 *applid* VSAM error processing
SHOWCB for intrapartition data set
ddname, R15=*retcode***

説明: VSAM は、区画内データ・セット *ddname* の SHOWCB 処理時にエラーを検出し、VSAM 戻りコード *retcode* を戻しました。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSI1522 が出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」で戻りコードを確認してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. *retcode*

宛先: コンソール

**DFHTD1272 *applid* VSAM error processing OPEN
for Intrapartition data set *ddname*,
R15=*retcode*, RC=*errorcode***

説明: VSAM は、区画内データ・セット *ddname* の OPEN 処理時にエラーを検出しました。 *retcode* は VSAM 戻りコードであり、*errorcode* は VSAM エラー・コードです。

システムの処置: CICS はダンプを作成し、初期設定を続行しようとします。コールド・スタートまたは初期始動が行われている場合、区画内キューを除くすべての一時データ・キューのリソース定義がインストールされます。これらのいずれかが検出された場合、インストールが失敗するたびにメッセージ DFHTD1217 が出されます。TDRP が処理を完了すると、メッセージ DFHTD0102 が出され、その後にメッセージ DFHSI1522 が出されます。

その他のタイプのスタートでは、DFHINTRA が CICS の前回の実行中に失敗した場合、処理は通常どおりに続行します。前回の実行で DFHINTRA がオープンした場合、CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: コールド・スタート時または初期始動時に、メッセージ DFHSI1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照して、戻りコードとエラー・コードを調べてください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *ddname*
3. *retcode*
4. *errorcode*

宛先: コンソール

**DFHTD1273 *applid* VSAM error processing CLOSE
for intrapartition data set *ddname*,
R15=*retcode***

説明: VSAM は、区画内データ・セット *ddname* の CLOSE 処理時にエラーを検出しました。 *retcode* は VSAM 戻りコードです。

システムの処置: CICS はダンプを作成し、初期設定を続行しようとします。コールド・スタートまたは初期始動が行われている場合、区画内キューを除くすべての一時データ・キューのリソース定義がインストールされます。これらのいずれかが検出された場合、インストールが失敗するたびにメッセージ DFHTD1217 が出されます。TDRP が処理を完了すると、メッセージ DFHTD0102 が出され、その後にメッセージ DFHSD1522 が出されます。

その他のタイプのスタートでは、DFHINTRA が CICS の前回の実行中に失敗した場合、処理は通常どおりに続行します。前回の実行で DFHINTRA がオープンした場合、CICS は終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: コールド・スタートまたは初期始動の場合、メッセージ DFHSD1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」で戻りコードを確認してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. *retcode*

宛先: コンソール

**DFHTD1274 *applid* VSAM error processing PUT for
intrapartition data set *ddname*,
R15=*retcode*, RC=*errorcode***

説明: VSAM は、区画内データ・セット *ddname* の PUT 処理時にエラーを検出しました。 *retcode* は VSAM 戻りコードであり、*errorcode* は VSAM エラー・コードです。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSD1522 が出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSD1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参照して、戻りコードとエラー・コードを調べてください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. *retcode*
4. *errorcode*

宛先: コンソール

**DFHTD1275 *applid* VSAM error processing GET for
intrapartition data set *ddname*,
R15=*retcode*, RC=*errorcode***

説明: VSAM は、区画内データ・セット *ddname* の GET 処理時にエラーを検出しました。 *retcode* は VSAM 戻りコードであり、*errorcode* は VSAM エラー・コードです。

システムの処置: CICS はダンプを作成します。トランザクションは異常終了して、異常終了コード ATDY が出され、メッセージ DFHSD1522 が出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHSD1522 に対して GO または CANCEL と応答してください。

z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets を参

照して、戻りコードとエラー・コードを調べてください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *ddname*
3. *retcode*
4. *errorcode*

宛先: コンソール

DFHTD1278 *applid* ユーザー ID *userid* の区画内キュー *queue*name の初期設定中にエラーが発生しました。(An error occurred during initialization of intrapartition queue *queue*name for *userid* *userid*.) キューはインストールされていません。

説明: 自動トランザクション開始用の区画内キューのインストール中に、一時データの初期設定で、ユーザー ID *userid* のエラーが検出されました。

指定されたユーザー ID は、一時データ・トリガーによって開始された非端末トランザクション用のこの CICS ジョブによる使用には有効ではありません。

このエラーの原因を示すメッセージが前に出されていることがあります。

システムの処置: 一時データの初期設定は続行されます。

区画内キュー定義はインストールされていません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

ユーザー ID が無効である場合は、区画内キューのリソース定義に指定されているユーザー ID を訂正してください。

ユーザー ID が有効である場合は、区画内キューのトリガーによって開始された非端末トランザクションがそれを使用できることを確認してください。手引きについては、「CICS セキュリティー」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *queue*name
3. *userid*

宛先: コンソール

DFHTD1279 *applid* Unexpected response (code *X'response'*) and reason (code *X'reason'*) from a *dfhxxym* call.

説明: モジュール DFHTDTM が、USERID が含まれる区画内項目のインストール中に、ドメイン *xx* への *dfhxxym* 呼び出しの失敗を検出しました。

応答 (コード *X'response'*) および理由 (コード *X'reason'*) は、ドメイン呼び出しから戻されたものです (つまり、*xxyy_response* および *xxyy_reason*)。

これは CICS 論理エラーによるものである可能性があります。

システムの処置: 一時データの初期設定時にエラーが発生した場合は、可能であればこの処理は続行します。処理を続行できない場合、ダンプが取られ、異常終了 ATDY が出されます。

ユーザーの処置: 前に出たメッセージと、ドメイン *xx* により作成されたダンプを参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'response'*
3. *X'reason'*
4. *dfhxxym*

宛先: コンソール

DFHTD1280 *applid* An attempt to establish security has failed for *userid* *userid*. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: ユーザー ID *userid* のセキュリティを確立し

ようとしたが、この試みは、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により拒否されました。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDTM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *userid*
3. *X'safresp'*

4. *X'safreas'*
5. *X'esmresp'*
6. *X'esmreas'*

宛先: コンソール

DFHTD1290 *applid* Program DFHTDRP cannot be found.

説明: CICS は、一時データ・リカバリー・プログラム (DFHTDRP) にリンクできません。

CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内の連結されたデータ・セットに DFHTDRP を検出できません。

システムの処置: 一時データ・キューをリカバリーできないため、CICS は終了されます。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントの区分データ・セットに DFHTDRP を入れてください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHTDX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTFnnnn メッセージ

DFHTF0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。エラーが重要な XM ドメイン・モジュール内で発生した場合、状況によっては、CICS はただちに終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを、で調べてください。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTFIQ, DFHZSUP, DFHTFRF, DFHTFAL, DFHTFXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHTF0002 *applid* **A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。エラーがクリティカル・エラーである場合、状況によっては、CICS はただちに終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行でき

ない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTFIQ, DFHZSUP, DFHTFRF, DFHTFAL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHTF0100 *date time applid nnnn* **AIDs canceled for terminal *termid*. *nnnn* AIDs remain.**

説明: 端末 *termid* をキューイングしている AID が取り消されました。これは端末が削除されたためか、SPI あるいは CEMT SET TERMINAL(*termid*) CANCEL コマンドの結果です。この操作の後に残っているすべての AID も、このメッセージに列挙されます。CICS SET TERMINAL のプログラミング情報については、「CICS システム・プログラミング・リファレンス」を参照してください。同等の CEMT コマンドについては、「CICS Supplied Transactions」を参照してください。

システムの処置: 端末をキューイングしている AID として表された要求は、システムから除去されました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHALP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnn*
5. *termid*
6. *nnnn*

宛先: CSMT

DFHTF0101 *date time applid nnnn* **AIDs {canceled | force-canceled} for connection *conname*. *nnnn* AIDs remain.**

説明: 接続 *conname* をキューイングしている AID に対して、以下のいずれかの理由で取り消しまたは強制取り消しが行われました。

.

接続の再インストール

- SPI または CEMT SET CONNECTION(*conname*) の CANCEL コマンドあるいは FORCECANCEL コマンド
- IPCONN(*conname*) が獲得され、パートナー・システムがリモート・スケジュール要求をサポートしていない

取り消されていない、または強制的に取り消されていない AID もこのメッセージに列挙されます。詳細については、CICS システム・プログラミング・リファレンスを参照してください。

システムの処置: 接続をキューイングしている AID として表された要求は、システムから除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHALP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnn*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 取り消し

2= 強制的に取り消し

6. *conname*

7. *nnnn*

宛先: CSMT

DFHTF0200 *date time applid termid netname userid tranid IP アドレス ipaddr マップ・セット mapset マップ map フィールド field 属性 attr* クライアントからの 3270 データ・ストリームが無効です (**Invalid 3270 datastream from client**)

説明: 端末エミュレーター・クライアントから受信された 3270 データ・ストリームが、保護されたフィールドをオーバーライドしようとした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 端末エミュレーターが正しく機能していることを確認してください。

モジュール: DFHTFIQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *netname*
6. *userid*
7. *tranid*
8. *ipaddr*
9. *mapset*
10. *map*
11. *field*
12. *attr*

宛先: CSMT

DFHTInnnn メッセージ

DFHTI0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *module* で異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字 CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで

埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、呼び出し元 (例えば、ドメイン・マネージャ DFHMDM) が CICS を終了させることができ

ます。このことを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。次に、この資料で CICS 英数字コードを、で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもあります。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTISR、DFHTIDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHTI0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。

す。この場合、呼び出し元 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が CICS を終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTISR、DFHTIDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHTI0005 *applid* A hardware error has occurred (module *modname*, code *X'code'*). The Time-of-Day clock is invalid.

説明: モジュール *modname* の実行中にエラーが発生しました。MVS ストア・クロック機構は、オペレーティング・システムのためのタイミング機構です。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定されていない限り、可能なら CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、呼び出し元 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が CICS を終了させることができます。 このことを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。 まず、MVS ストア・クロックを調べて、それが正しく作動しているかどうか確認してください。 ストア・クロックに原因がある場合には、修理または交換などの適切な処置を行う必要があります。

これが万一ハードウェアの問題ではない場合には、IBM からのサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTISR、DFHTIDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. X'code'

宛先: コンソール

DFHTI0100 *applid* これは **CICS TS** のベータ版であり、*date* に有効期限が切れます。

説明: ベータ・プログラムの一部としてリリースされた CICS Transaction Server のバージョンを実行しています。 このバージョンは、CICS の発表レターに説明されている使用条件に基づいて使用することができます。 ベータ版は、メッセージに示されている *beta_enddate* まで使用できます。

システムの処置: CICS は *beta_enddate* まで続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTIDM、DFHAPTIM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *date*

宛先: コンソール

DFHTI0101 *applid* **CICS** が初期化に失敗しました。
CICS TS のベータ版は *date* で有効期限が切れました。

説明: ベータ・プログラムの一部としてリリースされた CICS Transaction Server のバージョンを実行しようとしています。 このプログラムは終了しました。

システムの処置: CICS は終了します。 CICS Transaction Server のベータ版は初期化されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTIDM、DFHAPTIM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *date*

宛先: コンソール

DFHTI0102 *applid* **CICS Transaction Server Value Unit Edition**

説明: CICS Transaction Server Value Unit Edition は、zNALC LPAR で稼働しています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTIDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTI0103 *applid* **CICS Transaction Server Value Unit Edition** は、zNALC LPAR 以外で稼働しています (**CICS Transaction Server Value Unit Edition running on a non zNALC LPAR**)

説明: CICS Transaction Server Value Unit Edition は、zNALC LPAR 以外で稼働しています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTIDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTI0200 *applid* これは CICS Transaction Server Developer Trial であり、date に有効期限が切れます。

説明: CICS Transaction Server Developer Trial の特定のバージョンを稼働しています。このバージョンは、CICS の発表レターに説明されている使用条件に基づいて使用することができます。ご使用の CICS Transaction Server Developer Trial のバージョンは、メッセージに示されている試用期間の終了日まで使用できます。

システムの処置: CICS は、試用期間の終了日まで続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTIDM、DFHAPTIM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *date*

宛先: コンソール

DFHTMnnnnn メッセージ

DFHTM1703 *applid product is being terminated by userid userid in transaction tranid {at netname | at terminal } terminal.*

説明: このメッセージは、PERFORM SHUT IMMEDIATE 要求の後で出されます。

システムの処置: 終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *product*
3. *userid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= 端末

6. *terminal*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHTM1707I *applid Program DFHWKP cannot be found. No warm keypoint taken.*

説明: CICS はウォーム・キーポイントをとることがで

DFHTI0201 *applid* CICS Transaction Server Developer Trial の初期化に失敗しました。CICS Transaction Server Developer Trial は date で有効期限が切れました。

説明: CICS Transaction Server Developer Trial の特定のバージョンを稼働しようとしています。この試用版の有効期限は切れています。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTIDM、DFHAPTIM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *date*

宛先: コンソール

きません。なぜなら、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内に連結されたどのデータ・セットからも CICS モジュール DFHWKP を検出できなかったためです。

システムの処置: CICS は、制御をユーザー・フェーズ 1 PLT プログラムに渡します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1709I *applid About to link to PLT programs.*

説明: DFHSTP が、システム初期設定テーブル内のユーザー PLT プログラムの PLTSD パラメーターにリンクしようとしているところです。このメッセージは、PLTSD=NO が使用されている場合でも出される可能性があることに注意してください。これは、CPSMCONN=WUI が指定されているために、暗黙の PLT プログラム EYU9VKIT が実行された場合に発生します。

システムの処置: 制御は、ユーザー PLT プログラムに渡されます。

DFHTM1710I • DFHTM1718I

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1710I *applid* Control returned from PLT programs.

説明: 制御が DFHSTP に戻されて、システム終了が続行されます。このメッセージは、PLTSD=NO が使用されている場合でも出される可能性があることに注意してください。これは、CPSMCONN=WUI が指定されているために、暗黙の PLT プログラム EYU9VKIT が実行された場合に発生します。

システムの処置: 制御は DFHSTP に戻されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1711I *applid* About to link to phase 2 PLT programs.

説明: DFHSTP が、システム初期設定テーブル内の PLTSD パラメーターによって定義されたフェーズ 2 PLT プログラムにリンクしようとしています。

システムの処置: CICS は、制御をフェーズ 2 ユーザー PLT プログラムに渡します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1712I *applid* Control returned from phase 2 PLT programs.

説明: CICS が制御を DFHSTP に戻して、システム・シャットダウンを続行できるようにします。

システムの処置: CICS は、制御を DFHSTP に戻します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1715 *applid product* is being quiesced by *userid userid in transaction tranid {at netname | at terminal } terminal*.

説明: このメッセージは、PERFORM SHUT 要求の後で出されます。

システムの処置: CICS の静止が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *product*
3. *userid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名

2= 端末

6. *terminal*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHTM1718I *date time applid* About to link to user PLT program *progrname* during the first stage of shutdown.

説明: CICS は、シャットダウンの第 1 フェーズ中にユーザー PLT プログラム *progrname* を呼び出そうとしています。

システムの処置: *progrname* は実行されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progrname*

宛先: CSSL

DFHTM1719I *date time applid* **About to link to user PLT program *progrname* during the second stage of shutdown.**

説明: CICS は、シャットダウンの第 2 フェーズ中にユーザー PLT プログラム *progrname* を呼び出そうとしています。

システムの処置: *progrname* は実行されます。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。 DFHSTP

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progrname*

宛先: CSSL

DFHTM1720I *applid* **CICS no longer supports assembled PLT tables. PLT *pltname* does not contain any program names.**

説明: PLT *pltname* には、PROGRAM=xxxxxxx エントリーが含まれていません。

システムの処置: PLT プログラムは呼び出されません。

ユーザーの処置: PLT がアセンブルされていないことと、呼び出す PLT プログラムの PROGRAM= エントリーがそこに含まれていることを確認してください。

モジュール: DFHEIPSH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *pltname*

宛先: コンソール

DFHTM1752 *applid* **PLT - program *progrname* not available.**

説明: シャットダウン用に指定したプログラム・リスト・テーブル (PLT) には、プログラム *progrname* が入っていますが、次のいずれかが起きたために、CICS がそのプログラムにリンクすることができません。

•

プログラムの実行可能コピーがストレージに入れられませんでした。

•

プログラムのインストール済み定義が使用不能です。

•

プログラムのインストール済み定義はありません。

このメッセージは、PLTSD=NO が使用されている場合でも出される可能性があることに注意してください。これは、CPSMCONN=WUI が指定されているために、暗黙の PLT プログラム EYU9VKIT が実行された場合に発生します。

システムの処置: プログラム *progrname* を実行せずに、CICS の終了処理が続行されます。

ユーザーの処置: 次の実行時に、PLT に指定されたそれぞれのプログラムが、始動ジョブ・ストリーム内の DFHRPL DD ステートメントに連結されたデータ・セットとして含まれていることを調べてください。また、プログラムが定義されて使用可能にされていることを確認してください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progrname*

宛先: コンソール

DFHTM1780 *applid* **Abend has occurred while processing program *progrname* during termination, code=*abcode*.**

説明: シャットダウン用のプログラム・リスト・テーブル (PLT) に指定されたプログラム *progrname* が異常終了しました。 *abcode* は異常終了コードです。このメッセージは、PLTSD=NO が使用されている場合でも出される可能性があることに注意してください。これは、CPSMCONN=WUI が指定されているために、暗黙の PLT プログラム EYU9VKIT が実行された場合に発生します。

システムの処置: 制御は、PLT に指定された次のプログラムに渡され、調査できるよう CICS ダンプが提供されます。

ユーザーの処置: エラーについての詳細は、異常終了コード *abcode* を参照してください。プログラム *progrname* の訂正を試みてください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progrname*
3. *abcode*

宛先: コンソール

DFHTM1781 *applid* CICS shutdown cannot complete because some non-system user tasks have not terminated.

説明: このメッセージは、CICS セッションのシャットダウン時に出され、1 つ以上の CICS タスクがまだアクティブ状態にあるために CICS の正常な終了が遅延していることを示します。

システムの処置: CICS シャットダウンは、すべてのアクティブ・タスクが正常に終了するまで待機します。

デフォルトのシャットダウン・トランザクション (CESD) がアクティブである場合は、遅延の後に、すべてのアクティブ・タスクを消去してバックアウトしようとします。通常は、これにより、オペレーター介入なしに、CICS が数分以内に正常終了します。

ユーザーの処置: デフォルトのシャットダウン・トランザクション (CESD) がアクティブでない場合は、CEMT INQUIRE TASK コマンドを使用してまだ実行中の CICS タスクを判別し、それらを終了させるために必要な手順を実行してください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1782I *applid* All non-system tasks have been successfully terminated.

説明: このメッセージは、以前に終了を妨げていたすべてのアクティブ・タスクをユーザーが正常に終了させた後、CICS セッションのシャットダウン時に出されます。

システムの処置: CICS のシャットダウンは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1783 *applid* CICS shutdown cannot complete because a system task which prevents normal shutdown has not terminated.

説明: このメッセージは、CICS セッションのシャットダウン時に出され、CICS システム・トランザクション CLS1 がまだ活動状態にあるため、CICS の正常な終了が妨げられていることを示します。

システムの処置: CICS シャットダウンは、アクティブ・タスクが正常に終了されるまで待機します。

ユーザーの処置: CLS1 トランザクションを遅らせている理由 (例えば他の CICS ジョブやシステムが停止しているなど) を判別し、その状態を解決するために必要な処置を取ってください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1784 *applid* The user shutdown assist transaction *tranid* cannot be started.

説明: このメッセージは CICS のシャットダウン中に、システム初期設定テーブル (SIT) で指定されたユーザー・シャットダウン補助トランザクション、または CEMT オプションあるいは EXEC CICS PERFORM SHUTDOWN SDTRAN オプションで指定されたユーザー・シャットダウン補助トランザクションを開始できなかったことを示します。

システムの処置: CICS のシャットダウンは、シャットダウン補助トランザクションを始動しないで続行されます。

ユーザーの処置: 以下のいずれかを行ってください。

- シャットダウン・トランザクションが開始できなかった理由を判別する。
- SIT SDTRAN オプションを変更または削除する。
- CEMT オプションまたは EXEC CICS PERFORM SHUTDOWN SDTRAN オプションを変更または削除する。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *tranid*

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

DFHTM1785 *date time applid* The user shutdown assist transaction *tranid* cannot be started.

説明: このメッセージは CICS のシャットダウン中に、システム初期設定テーブル (SIT) で指定されたユーザー・シャットダウン補助トランザクション、また

は CEMT オプションあるいは EXEC CICS PERFORM SHUTDOWN SDTRAN オプションで指定されたユーザー・シャットダウン補助トランザクションを開始できなかったことを示します。

システムの処置: TRANIDERR が戻され、CICS のシャットダウンは実行されません。

ユーザーの処置: 以下のいずれかを行ってください。

- シャットダウン・トランザクション定義を訂正する。
- SIT SDTRAN オプションを変更または削除する。
- CEMT オプションまたは EXEC CICS PERFORM SHUTDOWN SDTRAN オプションを変更または削除する。

モジュール: DFHEIPSH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CSMT

DFHTM1786I *date time applid* CICS shutdown cannot complete because some JVMSERVERs have not been disabled.

説明: このメッセージは、CICS 領域のシャットダウン時に、1 つ以上の JVMSERVER がまだアクティブの状態にあるために CICS の正常な終了が遅れていることを示します。

システムの処置: CICS シャットダウンは、アクティブな JVMSERVER リソースが正常に無効になるまで待機します。

デフォルトのシャットダウン・トランザクション (CESD) がアクティブである場合は、遅延の後に、すべての JVMSERVER の消去が試行されます。通常は、これにより、オペレーター介入なしに、CICS が数分以内に正常終了します。

ユーザーの処置: デフォルトのシャットダウン・トランザクション (CESD) がアクティブでない場合は、CEMT INQUIRE JVMSERVER コマンドを使用してまだ有効になっている JVMSERVER リソースを判別し、それらを無効にするために必要な手順を実行してください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1787I *date time applid* All JVMSERVERs have been successfully disabled.

説明: このメッセージは、CICS 領域のシャットダウン時に、以前に終了を妨げたすべてのアクティブな JVMSERVER リソースを正常に終了させた後に出されます。

システムの処置: CICS のシャットダウンは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1788I *applid* CICS shutdown cannot complete because some NODEJSAPP resources have not been disabled.

説明: このメッセージは、CICS 領域のシャットダウン時に、1 つ以上の NODEJSAPP リソースがまだアクティブの状態にあるために CICS の正常な終了が遅れていることを示します。

システムの処置: CICS シャットダウンは、アクティブな NODEJSAPP リソースが正常に無効になるまで待機します。

デフォルトのシャットダウン・トランザクション (CESD) がアクティブである場合は、遅延の後に、すべての NODEJSAPP リソースの無効化が試行されます。通常は、これにより、オペレーター介入なしに、CICS が数分以内に正常終了します。

ユーザーの処置: デフォルトのシャットダウン・トランザクション (CESD) がアクティブでない場合は、CEMT INQUIRE NODEJSAPP コマンドを使用してまだ有効になっている NODEJSAPP リソースを判別し、それらを無効にするために必要な手順を実行してください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1789I *applid* All NODEJSAPP resources have been successfully disabled.

説明: このメッセージは、CICS 領域のシャットダウン時に、以前に終了を妨げたすべてのアクティブな NODEJSAPP リソースを正常に終了させた後に出されます。

システムの処置: CICS のシャットダウンは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1797 *applid* System termination program has abended.

説明: CICS の終了処理を行っているときに、CICS システム終了プログラム (DFHSTP) が異常終了しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

DFHTOnnnn メッセージ

DFHTO6000 E *date time applid* The definition for **TERMINAL** *termdef* refers to an undefined **TYPETERM** *termtype*.

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は存在しない TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照している TERMINAL 定義 (*termdef*) を検出しました。

システムの処置: TERMINAL はインストールされません。

ユーザーの処置: TERMINAL 定義を訂正するか、上記の TYPETERM を定義してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*

ユーザーの処置: DFHSTP が終了した理由を調べてください。問題を解決できない場合は、ダンプを保存し、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTM1798 *applid* Requested dump in progress.

説明: このメッセージは、CICS の終了時に、要求されたダンプが開始される前に出されます。

システムの処置: CICS がシステム・ダンプを作成し、シャットダウンが続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

5. *termtype*

宛先: CSMT

DFHTO6001 E *date time applid* The definition for **pooled TERMINAL** *termdef* refers to an undefined **TYPETERM** *termtype*.

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、存在しない TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照している TERMINAL 定義 (*termdef*) を検出しました。

システムの処置: TERMINAL はインストールされません。

ユーザーの処置: TERMINAL 定義を訂正するか、上記の TYPETERM を定義してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*
5. *termtype*

宛先: CSMT

DFHTO6002 E *date time applid* **The definition for SESSIONs *sesdef* refers to an undefined CONNECTION *condef*.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、存在しない CONNECTION 定義 (*condef*) を参照している SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しました。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: SESSIONS 定義を訂正するか、上記の CONNECTION を定義してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sesdef*
5. *condef*

宛先: CSMT

DFHTO6003 E *date time applid* **TERMINAL *termdef* specifies CONSNAME but refers to TYPETERM *termtype* which does not specify DEVICE=CONSOLE.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、CONSNAME=*name* と一緒に指定された TERMINAL 定義 (*termdef*) が

DEVICE=CONSOLE の指定なしの TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照していることを検出しました。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*
5. *termtype*

宛先: CSMT

DFHTO6004 E *date time applid* **TERMINAL *termdef* does not specify a CONSNAME but refers to TYPETERM *termtype* which specifies DEVICE=CONSOLE.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK コマンド、CEDA INSTALL コマンド、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は CONSNAME=*name* が指定されていない TERMINAL 定義 (*termtype*) が、DEVICE=CONSOLE が指定されている TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照していることを検出しました。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*
5. *termtype*

宛先: CSMT

DFHTO6005 E *date time applid* **PRINTER or ALTPRINTER for TERMINAL *termdef* is invalid for the DEVICE specified in TYPETERM *termtype*.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、PRINTER または ALTPRINTER (あるいはその両方) の指定されている TERMINAL 定

義 (*termdef*) が 3270、3275、3270P、LUTYPE2、または LUTYPE3 のいずれの DEVICE も指定していない TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照していることを検出しました。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*
5. *termtype*

宛先: CSMT

DFHTO6006 E *date time applid* **PRINTERCOPY or ALTPRINTCOPY for TERMINAL *termdef* is invalid for the DEVICE specified in TYPETERM *termtype*.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、互換性のない TERMINAL および TYPETERM 定義を検出しました。この TERMINAL 定義 *termdef* は、PRINTERCOPY または ALTPRINTCOPY (あるいはその両方) を指定しましたが、LUTYPE2 または LUTYPE3 装置を指定した TYPETERM 定義 *termtype* を参照しています。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*
5. *termtype*

宛先: CSMT

DFHTO6007 E *date time applid* **AUTINSTMODEL YES|ONLY for TERMINAL *termdef* is invalid for the DEVICE specified in TYPETERM *termtype*.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、AUTINSTMODEL=(YES|ONLY) を指定した TERMINAL 定義 (*termdef*) を検出しましたが、これは、DEVICE=3614|TLX|TWX を指定した TYPETERM 定義 (*termtype*) を参照しているか、PIPELINE 端末でした。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。(TYPETERM 定義はインストールされるので、別の互換性のある TERMINAL 定義によって参照することができます。)

ユーザーの処置: TERMINAL または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*
5. *termtype*

宛先: CSMT

DFHTO6009 E *date time applid* **The definition for SESSIONs *sesdef* refers to CONNECTION *condef* which specifies a different PROTOCOL.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しましたが、これは、異なる PROTOCOL を指定した CONNECTION 定義 (*condef*) を参照していました。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: SESSIONS または CONNECTION 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *sesdef*
5. *condef*

宛先: CSMT

DFHTO6010 E *date time applid* **The definition for SESSIONs *sesdef* must specify PROTOCOL LU61 as it refers to an MRO CONNECTION *condef*.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、LU61 の指定されていない SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しましたが、この定義が ACCESSMETHOD=(IRC|XM) (MRO) を指定した CONNECTION 定義 (*condef*) を参照していました。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: SESSIONS または CONNECTION 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sesdef*
5. *condef*

宛先: CSMT

DFHTO6011 E *date time applid* **SESSIONs *sesdef* must specify both SENDCOUNT and RECEIVECOUNT as it refers to an MRO CONNECTION *condef*.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしようとしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、SENDCOUNT=0 または RECEIVECOUNT=0 のいずれかを指定した SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しましたが、この定義は、ACCESSMETHOD=(IRC|XM) (MRO) を指定した CONNECTION 定義 (*condef*) を参照していました。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: SESSIONS または CONNECTION 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sesdef*
5. *condef*

宛先: CSMT

DFHTO6012 *date time applid* **The catalog dataset is not available. RDO function is restricted.**

説明: コールド・スタートまたは初期始動のための初期設定時に、CICS はグローバル・カタログ・データ・セットを見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS の処理は続行されるものの、RDO 機能に対して次のような制約が生じます。

- TYPETERM 定義は、これを参照する TERMINAL 定義と同一グループ内になければなりません。
- MODEL 定義を保管することができないため、AUTOINSTALL は使用できません。

ユーザーの処置: これ以降の CICS の実行で RDO 機能に対する上記の制約をなくしたい場合には、グローバル・カタログ・データ・セットを作成し、CICS スタートアップ・ジョブ・ストリームの DFHGCDD DD ステートメントを使用して CICS がそれを使用できるようにしてください。

モジュール: DFHTORP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHTO6013 E *date time applid* **No SESSIONs definition refers to CONNECTION *condef*.**

説明: 初期設定時の GRPLIST のインストール中、GROUP コマンド、CHECK コマンド、または EXEC CICS CREATE コマンドの CEDA INSTALL の実行中に、有効な SESSIONS 定義のない CONNECTION 定

義が検出されました。これは INDIRECT または REMOTE 接続関係の場合にだけ有効です。

システムの処置: CONNECTION はインストールされません。

失敗の原因が 1 つ以上の無効な SESSIONS 定義である場合は、CICS は正しくない定義を示す別のメッセージを発行します。原因が SESSIONS 定義がないことによる場合は、これが唯一のメッセージになります。

ユーザーの処置: 状況に応じて CONNECTION 定義を訂正するか、SESSIONS 定義を作成するか、あるいは既存の SESSIONS 定義 (複数の場合も) を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *condef*

宛先: CSMT

DFHTO6014 E *date time applid* **POOL is required for TERMINAL termdef as it refers to TYPETERM typedef which specifies SESSIONTYPE=PIPELINE.**

説明: 端末のインストールが試みられました。その端末の TYPETERM は SESSIONTYPE=PIPELINE を指定していたが、その端末定義は POOL を指定していませんでした。

システムの処置: CICS 初期設定は続行されますが、TERMINAL *termdef* はインストールされません。

ユーザーの処置: TERMINAL 定義または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*
5. *typedef*

宛先: CSMT

DFHTO6015 E *date time applid* **TRANSACTION for TERMINAL termdef is invalid for the DEVICE specified in TYPETERM typedef.**

説明: TRANSACTION を指定した TERMINAL 定義をインストールしようとしたましたが、その定義は装置 APPC を指定する TYPETERM を参照していました。

システムの処置: CICS 初期設定は続行されますが、TERMINAL *termdef* はインストールされません。

ユーザーの処置: TERMINAL 定義または TYPETERM 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termdef*
5. *typedef*

宛先: CSMT

DFHTO6016 E *date time applid* **The MRO CONNECTION condef is referenced by more than one SESSIONs definition, including sesdef.**

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、ACCESSMETHOD=(IRC|XM) を指定した CONNECTION 定義 *condef* を検出しましたが、それはこの定義が MRO 接続であることを意味しています。この CONNECTION は複数の SESSIONS 定義によって参照され、そのうちの 1 つが *sesdef* でした。MRO 接続が持つ (MRO 接続を参照する) SESSIONS 定義は 1 つだけです。この CONNECTION を参照する他の SESSION 定義名は、このメッセージが次に出されたときにその中にリストされます。

システムの処置: CONNECTION 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: CONNECTION 定義または SESSIONS 定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *condef*
5. *sesdef*

宛先: CSMT

DFHTO6017 E *date time applid REMOTESYSTEM*
for TERMINAL 'termid' is invalid for
the DEVICE specified in TYPETERM
'typeterm'.

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS はリモートとして定義されている CONSOLE を検出しました。これは無効なオプションです。

システムの処置: CONSOLE はインストールされません。

ユーザーの処置: リモートとして定義された CONSOLE を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *typeterm*

宛先: CSMT

DFHTO6018 E *date time applid TERMINAL 'termid'*
refers to TYPETERM 'typeterm' which
has an invalid ALTSCREEN.

説明: TYPETERM 定義は、無効な ALTSCREEN を含んでいます。ALTSCREEN には、2 つのコンポーネント、すなわち幅および高さがあります。これらのコンポーネントの 1 つはゼロで、もう 1 つは非ゼロです。この組み合わせは無効です。初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、または CEDA CHECK、CEDA INSTALL、EXEC CICS CREATE のいずれかのコマンドを実行しているときに、CICS は TERMINAL 定義でこの問題を検出しました。

システムの処置: TERMINAL 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 参照されている TYPETERM を訂正するか、TERMINAL 定義内で別の TYPETERM を参照してください。有効な ALTSCREEN 値についての詳細は、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *typeterm*

宛先: CSMT

DFHTO6019 E *date time applid User userid is not*
authorized to install TERMINAL tttt
with preset security.

説明: ユーザー *userid* が端末 *tttt* をインストールしようとしたが、ユーザー ID の権限が不足していました。これは、TERMINAL が事前設定セキュリティーを備えているためです (TERMINAL *tttt* の定義が USERID 値を指定しています)。事前設定セキュリティーを持つリソースをインストールするには、特殊な許可を必要とします。

システムの処置: リソース・セキュリティー違反メッセージが、CSCS 一時データ・キューおよびシステム・コンソールに記録されます。リソースはインストールされません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: このリソースをインストールするには、次のいずれかを行ってください。

- CESN トランザクションを使用して、事前設定セキュリティーを持つ端末をインストールすることを許可されているユーザー ID でサインオンする。
- ユーザー *userid* に対して、事前設定セキュリティーを持つ端末をインストールする許可を与えるようにセキュリティー管理者に依頼する。
- リソース定義から USERID 指定を除去して、事前設定セキュリティーを持たないリソースをインストールする。

モジュール: DFHTOATM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tttt*

宛先: CSMT

DFHTO6020 E *date time applid SESSIONS sesdef*
refers to single-session CONNECTION
condef but has an invalid MAXIMUM
option specified.

説明: *condef* は単一セッションとして定義されているので、SESSIONS 定義 *sesdef* の MAXIMUM オプションに指定された値は、CONNECTION 定義 *condef* と互換性がありません。このことは、初期設定での GRPLIST のインストール時、GROUP の CEDA INSTALL 時やまたは CHECK コマンドを出した後、あるいは EXEC CICS CREATE コマンドの間に、*sesdef* が *condef* を参照したときに検出されました。

SESSION 定義が単一セッション CONNECTION 定義を参照している場合には、MAXIMUM オプションの値は (1,0) でなければなりません。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには 2 つの方法があります。

- CEDA あるいは CSD バッチ更新ユーティリティ DFHCSDUP のいずれかを使用して、MAXIMUM(1,0) と指定して SESSIONS 定義を訂正する。
- 単一セッションではなくなるように、SINGLESESS=NO を指定して CONNECTION 定義を再定義する。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sesdef*
5. *condef*

宛先: CSMT

DFHTO6023 E *date time applid Connection*
definition @BCH detected. Batch
shared database connections are not
supported.

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、または CEDA CHECK、CEDA INSTALL、EXEC CICS CREATE のいずれかのコマンドを実行しているときに、CICS は @BCH という CONNECTION 定義を検出しました。前回のリリース

では、この接続定義はバッチ共用データベース・サポートで使用するために予約されており、IRC 接続に対する送信セッション数をゼロに定義することを許可していません。CICS TS 5.4 では、バッチ共用データベースはサポートされません。また、関連付けられているセッション定義で送信セッション数をゼロに指定することも許可されません。

システムの処置: @BCH セッションのインストールは失敗します。

ユーザーの処置: バッチ共用データベース用の SESSIONS 定義および CONNECTION 定義を削除してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHTO6025 E *date time applid The definition for*
LU6.1 SESSIONs sesdef specifies a
send or receive count with no prefix.

説明: 初期設定時に GRPLIST をインストールしているとき、あるいは CEDA CHECK、CEDA INSTALL、または EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているときに、CICS は、送信接頭部なしの送信カウントまたは受信接頭部なしの受信カウントを指定している LU6.1 SESSIONS 定義 (*sesdef*) を検出しました。LU6.1 には、必ず接頭部を指定しなければなりません。

システムの処置: SESSIONS 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: メッセージに示されている定義を訂正してください。

モジュール: DFHTOR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sesdef*

宛先: CSMT

DFHTPnnnn メッセージ

DFHTP4101 Cannot reset from temporary paging to autopaging.

説明: 端末が、その状況を一時ページング状況から自動ページング状況へリセットするよう要求しました。しかし、その端末はページング端末として定義されているか、このメッセージに、オペレーターが除去する必要があることを示すマークが付けられています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末が除去端末として定義されている場合には、マスター端末プログラムを使用して、端末の状況を変更してください。

メッセージに上記のようなマークが付けられている場合には、オペレーターはこのメッセージを除去する必要があります。そうすれば、システムは自動的に状況を自動ページングにリセットします。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4102 nnnn messages are queued for immediate delivery.

説明: オペレーターは、nnnn 個のメッセージをページ検索コマンド・キューを介して送達するように要求しました。

システムの処置: このオペレーターまたは端末についてキューイングされているメッセージのカウン트가表示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4103 PURGE、COPYまたはCHAINの試行中ですが、現在この端末に接続されているページはありません。

説明: 現在、この端末に対して生成されたタスクはありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4104 ページング要求を受信しましたが、表示装置用のページがありません。

説明: CICS ページング・コマンド (CSPG) またはページング要求がトランザクション状況の端末から入力されましたが、その端末で表示すべきページがありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4105 The specified message is not recognized.

説明: 端末オペレーターは、メッセージ ID を用いて (現在のメッセージもしくは次に使用可能メッセージではなく) 特定のメッセージを検索または除去しようとしてしました。指定したメッセージが存在しないか、この端末を宛先とするものではありません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4106 You are not allowed to RETRIEVE or PURGE this message.

説明: 端末オペレーターは、メッセージ ID を用いて (現在のメッセージもしくは次に使用可能メッセージではなく) 特定のメッセージを検索または除去しようとしてしました。指定されたメッセージは、このオペレーター ID を宛先としていません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4107 Chain value chain is less than 1 or greater than the level of chaining allowed.

説明: ページ検索コマンドによって指示されたチェーンの値 *chain* が 1 よりも小さいか、その端末でのチェーンのレベルよりも大きくなっています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

DFHTP4108 • DFHTP4111

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4108 Requested page *pageno* does not exist (it is less than 1 or more than the number of pages in the message).

説明: ページ検索コマンドによって指示されたページ *pageno* が 1 よりも小さいか、メッセージのページ数よりも大きくなっています。これは、例えば最初のページの後に前のページを要求したり、最後のページの後に次のページを要求したりすることによって起こります。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: ページング・セッションは、有効なページ値を使用して続行することができます。表示された最後の有効なページが、そのまま現行ページとなります。例えば、表示されている最後の有効ページを再呼び出しするには、現在のページを取得するために用いるページ検索コマンドを使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4109 The requested command *command* was not recognized. Check that you have the correct value.

説明: トランザクション CSPG が端末から入力されましたが、その後に続くものはページング・コマンドとして識別できません。 *command* は、CSPG の後に続く最初の 4 個の非ブランク文字を表します。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4110 *function* is not valid. Page RETRIEVE function must be A, C, L, N, P, Q, or a number.

説明: *function* によって表されているページ検索機能が、A、C、L、N、P、Q、または、前に + (正符号) か - (負符号) の付く数値のいずれかになっていません。

機能 意味

A

その端末を宛先とし、その端末に表示されているすべての論理メッセージ

C

現行 (レベル) の論理メッセージ

L

最後のページ

N

次のページ

P

前のページ

Q

(照会) この端末を宛先とするすべての論理メッセージの ID が表示されます。メッセージのセキュリティが行われている場合には、その ID が表示されるのは、サインオンが行われたオペレーターに関するオペレーター ID およびクラスが、メッセージの中のオペレーター ID およびクラスと一致したときだけです。ID は、1 から 6 桁の 16 進数から成っており、任意でメッセージの表題も含まれています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なページ検索機能を使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4111 *function* is not valid. Page PURGE function must be A, B, C, H, or R.

説明: *function* によって表されているページ除去機能が、A、B、C、H、または R のいずれかになっていません。関数は次の意味を持ちます。

機能 意味

A

その端末を宛先とし、その端末に表示されているすべての論理メッセージ

B

その端末に表示されている論理メッセージ、およびその論理メッセージに連鎖されたすべての論理メッセージ

C

現行 (レベル) の論理メッセージ

H

その端末に表示されている基本論理メッセージに連鎖されたすべての論理メッセージ

R

端末への即時送達 (経路指定) のためにキューイングされているすべての論理メッセージ

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なページ除去機能を使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4112 The terminal identifier *termid* is unknown or is not supported.

説明: *termid* で示されている端末 ID が存在しないか、基本マッピング・サポート (BMS) ではサポートされていません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効な端末 ID を使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4113 *date time applid msgno termtype pageno* I/O error on MCR or Page (MODULE NAME: *modname*).

説明: メッセージ制御レコード (MCR) またはメッセージのページを検索しようとしているときに、一時記憶域入出力エラーが起きました。*msgno* は、メッセージ番号を 16 進数で表したものです。*termtype* は、端末タイプです。*pageno* は、MCR についてエラーが起こったのであればゼロとなり、それ以外の場合はページ番号となります。示されているメッセージまたはページは、この端末または他の端末 (あるいはその両方) から失われている可能性があります。

システムの処置: ページが自動ページング端末で表示されている場合には、次のページがあれば、それが表示されます。次のページがなければ、処置は行われません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *msgno*
5. *termtype*

6. *pageno*

7. *modname*

宛先: CSMT

DFHTP4114 新しいトランザクションの発行前に、端末からメッセージを除去してください。

説明: メッセージが端末に表示されているときに、オペレーターが誤って、または新しいトランザクションを開始するために、ページング・コマンド以外のデータを入力しました。しかし、端末上のメッセージの少なくとも 1 つに、新しいトランザクションを開始する前にオペレーターが特別にそのメッセージを除去しなければならないというマークが付いています。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: この端末 (T/A) に表示されているすべてのメッセージを除去するか、チェーン・コマンドを使用して希望するトランザクションをチェーンングさせてください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4115 You must purge the message from your terminal to continue.

説明: トランザクションが端末にページを表示しています。このトランザクションを続けるためには、オペレーターはこのメッセージを除去しなければなりません。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 現行メッセージ (T/C) を除去してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4116 他のメッセージの表示処理中は、メッセージ要求を実行することができません。

説明: メッセージが表示されているときに、オペレーターが、別の特定のメッセージ (例えば P/1,xxx) に対する要求を入力したか、表示されるのを待っているメッセージ (P/Q) のメッセージ ID を要求しました。CICS は、他のメッセージが表示されている間は、この要求を処理することができません。xxx は、表示されるのを待っているメッセージのうちの 1 つのメッセージ ID です。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要であれば、端末にメッセージが表示されていないときに要求を入力し直してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4117 Purge display % after viewing.

説明: 3270 のオペレーターが、表示されるのを待っているメッセージ ID の表示を要求しました。これに対する応答は、一時記憶に保管される 1 つ以上のページとして構成されるので、他のページ・メッセージと同様にそれを表示することができます。% はページ番号認識です。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 見終わったら、メッセージを除去してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4118 メッセージ制御レコード(MCR)か、メッセージ・ページの検索中に識別エラーが起きました。Message *bmsid*, terminal type *termtype*, page *pageno*.

説明: CICS は、ID エラーが出されたときに、一時記憶域からメッセージのページ *pageno* を検索しようとしていました。

あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、ID エラーが出されたときにメッセージ制御レコード (MCR) の検索を試みていた可能性があります。このエラーの原因としては、メッセージがスケジュールまたは保管された後に、一時記憶域がコールド・スタートされていたことが考えられます。そうでない場合は、メッセージは既に除去されています。

挿入部 *bmsid* は BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。挿入部 *termtype* は、端末タイプを識別します。

システムの処置: メッセージまたはページが脱落している可能性があります。その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4119 メッセージ制御レコード(MCR)か、ページの検索中に無効の要求がありました。Message *bmsid*, terminal type *termtype*, page *pageno*.

説明: 一時ストレージ無効要求エラーが起きたとき、

CICS はメッセージのページ *pageno* の保管または検索を試みていました。あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、一時記憶域無効エラーが出されたときに、メッセージ制御レコード (MCR) の保管または検索を試みていた可能性があります。

メッセージまたはページが脱落している可能性があります。原因としては、一時ストレージがロードされていなかったことが考えられます。*bmsid* は、BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。*termtype* は端末タイプです。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・プログラムがロードされていることを確かめてください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4120 Unable to interpret input. Please try again.

説明: オペレーターが、解釈できないデータを入力しました。

システムの処置: 入力は無効とされます。

ユーザーの処置: 入力が既存の条件のもとで有効であることを確認してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4121 メッセージ制御レコードか、メッセージ・ページの検索中に入出力エラーが起きました。Message *bmsid*, terminal type *termtype*, page *pageno*.

説明: 一時記憶域入出力エラーが起きたとき、CICS は、メッセージのページ *pageno* を検索しようとしていました。あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、一時記憶域入出力エラーが発生したときに、メッセージ制御レコード (MCR) の保管または検索を試みていた可能性があります。

メッセージまたはページが脱落している可能性があります。*bmsid* は、BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。*termtype* は端末タイプです。

システムの処置: ページが自動ページング端末で表示されている場合には、次のページがあれば、それが表示されます。次のページがなければ、処置は行われません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4122 Requested purge completed successfully.

説明: CICS は、その端末から要求されたページ除去機能を完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4123 Terminal is now Autopaging.

説明: 端末オペレーターは、一時的にページング状況にある端末を自動ページング状況にリセットすることを CICS に要求しました。

システムの処置: そのメッセージ内の残りのページが表示されます。残されたページがなく、自動的に除去することができるときは、そのメッセージは除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4124 Page copied from terminal *termid* (Message number *msgno*).

説明: このメッセージは、表示されるのを待っているメッセージ (P/Q) の表示の中に現れ、複写されたページを識別します。 *msgno* は複写されたページのメッセージ番号であり、*termid* は、そのメッセージがキューイングされている端末です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4126 *msgno* has been copied.

説明: このメッセージは、別の端末へコピーする要求に対する応答として出されます。 *msgno* は、表示されているメッセージのメッセージ番号です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4127 *nnnn* must be a number. Please try again.

説明: 文字 *nnnn* は無効です。システムは、ページまたはチェーン番号には 10 進数、メッセージ番号には 16 進数を予期していました。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: ページング・コマンドを再入力してください。有効な番号を使用してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4128 *command* is undefined for page retrieval.

説明: オペレーターは、ページ検索 (PR) セッションが開始された後に PA または PF キーを押しましたが、そのキーについては、PR コマンドが SIT の中に定義されていませんでした。

システムの処置: コマンドは無視されます。表示状況ビットは変更されません。

ユーザーの処置: 問題の PR コマンドが、SIT に定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4130 You have used an unrecognized logical device. The valid names are *xxx,yyy*.

説明: 無効な論理装置簡略記号を含んでいるページング・コマンドが入力されました。 *xxx,yyy,...* は、要求された論理メッセージのための有効な論理装置簡略記号を示しています。

システムの処置: 入力は廃棄され、他の処理が続行されます。

ユーザーの処置: メッセージにリストされているものから論理装置簡略記号を選択し、ページング・コマンドを再入力してください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4131 Requested page cannot be copied to that terminal.

説明: オペレーターが、外部形式を参照するページを端末にコピーしようとしたが、

- 外部形式をサポートしない端末、または
- 外部形式をサポートしてはいるが、複写元の端末とページ幅が異なるかそれよりもページの行数の少ない端末

システムの処置: ページング要求は無視されます。

ユーザーの処置: 次のいずれか該当する方の処置を実行してください。

- 問題のページを、外部形式の設定をサポートする端末へコピーする。
- 参照されている形式を非外部形式にする。
- 問題のページを、外部形式の設定をサポートし、コピー元の端末と同じページ・サイズの端末へコピーする。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4132 No pages have been built for this partition.

説明: これは、ページ検索セッション時に出される通知メッセージです。このメッセージは、ページが作成されていない画面の区画に現れます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 影響を受けた区画で表示が予想されていないかぎり、処置は不要です。表示が予想されている場合には、オペレーターまたはアプリケーションのエラーがないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHTPR

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4133 date time applid bmsid termtype pageno ID error on MCR or page.

説明: CICS は、ID エラーを受け取ったときに、メッセージのページ *pageno* を検索しようとしていました。あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、ID エラーを受け取ったときに、メッセージ制御レ

コード (MCR) の検索を試みていた可能性があります。メッセージまたはページが脱落している可能性があります。

この原因としては、メッセージがスケジュールまたは保管された後に一時記憶がコールド・スタートされたか、あるいはメッセージが既に除去されていたことが考えられます。

bmsid は、BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。

termtype は端末タイプです。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bmsid*
5. *termtype*
6. *pageno*

宛先: CSMT

DFHTP4134 date time applid bmsid termtype pageno Invalid request on MCR or page.

説明: CICS は、一時ストレージ無効要求エラーが発生したときに、メッセージのページ *pageno* の保管または検索を試みていました。あるいは、ページ *pageno* がゼロの場合には、CICS は、一時ストレージ無効要求エラーを受け取ったときに、メッセージ制御レコード (MCR) の保管または検索を試みていた可能性があります。メッセージまたはページが脱落している可能性があります。

原因としては、一時記憶がロードされていなかったことが考えられます。

bmsid は、BMS 論理メッセージ ID です。これは、固有の 16 進数の ID で、このページまたはメッセージを保管するための TS キーの生成に使用されます。

termtype は端末タイプです。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・プログラムがロードされていることを確かめてください。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bmsid*
5. *termtype*
6. *pageno*

宛先: CSMT

DFHTP4150 *date time applid ID error on MCR.*

説明: 遅延送達メッセージの処理時に、一時記憶の識別エラーが起きました。このメッセージは、すべての宛先端末について失われます。一時記憶は、メッセージが最初にスケジュールされた後で、コールド・スタートされたと考えられます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHTP4151 *date time applid I/O error on MCR.*

説明: 遅延送達メッセージの処理時に、一時記憶の入出力エラーが起きました。このメッセージは、すべての宛先端末について失われます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHTP4152 *date time applid Invalid request on MCR.*

説明: 遅延送達メッセージの処理時に、一時記憶の無効要求エラーが起きました。このメッセージは、すべての宛先端末について失われます。システムが一時記憶なしで初期設定されたものと考えられます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: システムが一時記憶ありで初期設定されていることを確認してください。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHTP4160 *date time applid Message msgno purged as undeliverable from nnnn terminal(s).*

説明: *msgno* の番号をもつメッセージが端末で表示されるのを待っていました。しかし、これらの端末の *nnnn* 台は使用されていないために、そのメッセージを表示することができません。このメッセージは、マスター端末オペレーターに送られます。

システムの処置: システム・パフォーマンスの低下を避けるために、インストール・システムで定めた時間よりも長い間待っているメッセージは除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *msgno*
5. *nnnn*

宛先: CSMT

DFHTP4161 *Message msgno was not delivered. It was purged from terminal(s) termid. Message title was title.*

説明: *msgno* の番号を持つメッセージは、システムが定義した時間制限内に送達されなかったために、除去されました。

title はメッセージ *msgno* の表題ですが、これはそのメッセージに表題がある場合に限り表示されます。 *termid* は、メッセージが除去された端末です。

システムの処置: メッセージはシステムから除去されます。メッセージを引き渡す試みはこれ以上行われません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTPQ

DFHTP4162 • DFHTP4166

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4162 *date time applid nnnn BMS system messages purged as undeliverable from error notification terminal.*

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) のシステム・メッセージ (例えば、DFHTP4161) がエラー通知端末で表示されるのを待機していました。しかし、その端末の状況がメッセージの状況と一致していないか、通信量が過剰な状態であったために、メッセージを表示することができません。

nnnn は除去された BMS システム・メッセージの数であり、*termid* はエラー通知端末の ID です。

システムの処置: システムのパフォーマンスに影響が及ばないようにするために、インストール済み環境で指定された時間よりも長く待っているメッセージは除去されます。

ユーザーの処置: メッセージを表示できるように端末の状況を変更するか、CICS システム初期設定時に除去遅延時間を延長してください。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnn*

宛先: CSMT

DFHTP4164 *date time applid termid cannot accept message DFHTP4161. It is undefined or does not support paging.*

説明: *termid* は、メッセージを送達することができなかった場合に通知を受け取るように指定された端末の ID です。しかし、この *termid* が、現在、TCT の中に存在していないか、BMS がサポートする端末として定義されていません。このメッセージに続いて、エラー通知を含むメッセージ DFHTP4161 が出されます。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージに続いて出されるメッセージ DFHTP4161 の内容を端末 *termid* に知らせてください。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. *termid*

宛先: CSMT

DFHTP4165 *Undeliverable messages are being purged.* 端末は使用可能です。

説明: このメッセージは、宛先 CSMT に送られます。また、トランザクション CSPQ が発信元の端末から開始された場合には、その端末にも送られます。プログラム DFHTPQ が、配信不能と考えられるすべてのメッセージを除去するために、時間指定で開始されています。

システムの処置: 非端末タスクが開始され、配信不能なメッセージは除去されます。

ユーザーの処置: None. 端末が使用可能であることを示すメッセージが端末に表示されます。

モジュール: DFHTPQ

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4166 *date time applid BMS has received an error return code retcode from CICS macro {TS PURGE | BMS TEXTBLD | BMS PAGEOUT | TS PUT}.*

説明: BMS は、CICS システム・マクロ要求を出した後、エラー戻りコードを受け取りました。*retcode* は戻りコードであり、*macro* はマクロ要求です。

システムの処置: この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTPQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *retcode*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=TS PURGE
2=BMS TEXTBLD
3=BMS PAGEOUT
4=TS PUT

宛先: CSMT

DFHTP4170 *date time applid Request from system
sysid to route message number msgno
to terminal termid was not executed.*

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。その要求を実行できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの端末に関連するリソース定義に整合性があることを確認してください。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *msgno*
6. *termid*

宛先: CSMT

DFHTP4171 *date time applid Request from system
sysid to route message number msgno
to terminal termid was not
executed.Terminal not valid.*

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。このシステムで端末 *termid* が定義されていないため、要求を実行できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの端末に関連するリソース定義に整合性があることを確認してください。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *msgno*
6. *termid*

宛先: CSMT

DFHTP4172 *date time applid Request from system
sysid to route message number msgno
to terminal termid was not
executed.Terminal not supported by
BMS.*

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。端末 *termid* は BMS でサポートされないタイプであるため、その要求を実行することができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの端末に関連するリソース定義に整合性があることを確認してください。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *msgno*
6. *termid*

宛先: CSMT

DFHTP4173 *date time applid Request from system
sysid to route message number msgno
to terminal termid was not
executed.Invalid LDC specified.*

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を端末 *termid* へ指定する要求を、システム *sysid* から受け取りました。LDC の指定が無効であったため、要求を実行できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの端末に関連するリソース定義に整合性があることを確認してください。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *msgno*
6. *termid*

宛先: CSMT

DFHTP4174 *date time applid* **Message routing has failed for terminal *termid*. The *termid* was invalid or could not be located.**

説明: BMS は、メッセージを端末 *termid* に経路指定する要求を受け取りました。この要求は、端末 *termid* が無効であるか、検出できないために、実行することができませんでした。

このメッセージは、おそらく CMSG で ALL オプションを使用することにより、CICS がデフォルト定義またはサンプル定義を提供する端末の一部に経路指定しようとした場合に作成されます。例えば、デフォルトの 3270 ブリッジのテンプレート端末 CBRF は、定義が提供されていない REMOTESYSTEM(CBR) で定義されているため、経路指定に失敗します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージの原因に応じて、いくつかの可能な処置があります。

- 端末定義を削除するか、訂正する。
- 経路指定リストから端末を削除する。
- 端末がサンプルまたはデフォルト定義である場合は、メッセージを無視する。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

説明: BMS は、メッセージ *msgno* の経路を指定する要求で、メッセージが送達されなかった場合には端末 *termid* へ通知することを指定した要求を、システム *sysid* から受け取りました。端末 *termid* は端末管理テーブルの中で定義されていません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 2 つのシステムの端末に関連するリソース定義に整合性があることを確認してください。

モジュール: DFHTPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *msgno*
6. *sysid*

宛先: CSMT

DFHTP4190 カーソルのある区画に、データをもう一度入力してください。

説明: 端末オペレーターは、予定された入力区画以外の区画からデータを入力しました。予定された入力区画がアクティブ化されているので (つまり、その区画内にカーソルが移動されているので)、端末オペレーターはその区画にデータを入力し直す必要があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 端末オペレーターが正しい区画にデータを入力するのを確認してください。

モジュール: DFHPHP

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHTP4180 *date time applid* **Terminal *termid* specified as error terminal for message *msgno* from system *sysid* invalid and ignored.**

DFHTRnnnn メッセージ

DFHTR0001 *applid* **An abend (code *abcode*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *abcode* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで

埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを、で調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHTRSR, DFHTRPT, DFHTRDM, DFHTRFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHTR0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。CICS 例外トレース項目についての詳

細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

システムの処置: 例外項目 (コード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHTR0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に

作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味しています。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHTRSR、DFHTRPT、DFHTRDM、DFHTRFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHTR0103 TRACE TABLE SIZE IS K.

説明: CICS 初期設定時に獲得した内部トレース・テーブルのテーブル・サイズは、*nn* KB です。

これは、SIT の TRTABSZ キーワードで指定されたサイズと同じか、もしくはコンソール上でこのメッセージの前にメッセージ DFHTR0123 が出されています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTRDM

宛先: コンソール

DFHTR0104 *applid* No buffer storage available for auxiliary trace data set. Auxiliary trace is inoperative.

説明: 4KB 出力バッファ用 MVS から使用できるストレージが不足していたために、補助トレースを開始する試みが失敗しました。

システムの処置: ダンプ・コード TR0104 の CICS システム・ダンプがとられます。その後、CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 16MB を超える MVS ストレージがそれほど不足している理由を判別し、可能であれば再試行してください。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR0105 AUXILIARY TRACE DATA SET *dataset* COULD NOT BE OPENED - AUXILIARY TRACE INOPERATIVE.

説明: 補助トレースを開始するか、補助トレース・エクステンントを切り替える試みが失敗しました。これは、BSAM に対するデータ・セット *dataset* のオープン要求が失敗したためです。

システムの処置: 2 つの状況があります。

- (エクステンントの切り替えとは異なり) 補助トレースを開始させる明示的な要求の後でエラーが発生した場合には、ダンプ・コード TR0105 の CICS システム・ダンプがとられます。その後、CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

補助トレースが既に活動状態のとき (つまり、補助トレースが開始されたときの明示的な切り替え要求、または自動切り替えが活動状態になっているエクステンント終了) にエラーが発生した場合、ダンプ・コード KERNDUMP の SDUMP がとられます。このタイプのダンプは、ダンプ・テーブルを使用した抑止または修正の対象にはなりません。

ユーザーの処置: データ・セット *dataset* の DD ステートメントが存在しているかどうか検査してください。

存在している場合には、システム・ダンプを形式設定して、TR ドメイン情報を調べてください。補助トレース・データ・セットに関する DCB が存在しているはずですが。これを使用して、オープン障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHTRSR、DFHTRSU

宛先: コンソール

**DFHTR0106 applid DFHTRAO could not be loaded.
Auxiliary trace is inoperative.**

説明: CICS モジュール DFHTRAO (補助トレース・データ・セットへの書き込みに使用される) をロードできないために、補助トレースを開始する試みが失敗しました。

システムの処置: ローダー・ドメイン (LD) が必要に応じてメッセージおよびダンプを発行します。CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、関連したローダー・ドメイン・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHTR0107 ABEND X'abcode' ON AUXILIARY
TRACE DATA SET dataset -
AUXILIARY TRACE STOPPED.**

説明: BSAM に対する要求の後で、指定された補助トレース・データ・セット *dataset* の DCB 異常終了出口が駆動されました。

3 桁の異常終了コードが X'abcode' として示されています。

システムの処置: CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 異常終了コード X'abcode' については、z/OS MVS システム・コードを参照してください。

モジュール: DFHTRAO

宛先: コンソール

**DFHTR0108 I/O ERROR ON AUXILIARY TRACE
DATA SET dataset - AUXILIARY
TRACE STOPPED.**

説明: BSAM に対する要求の後で、補助トレース・データ・セット *dataset* の SYNAD 出口が駆動されました。

システムの処置: CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージと任意の BSAM メッセージを使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHTRAO

宛先: コンソール

**DFHTR0109 AUXILIARY TRACE DATA SET
dataset FULL -AUXILIARY TRACE
HAS BEEN STOPPED.**

説明: 補助トレース・データ・セット *dataset* がいっぱいです。自動切り替えが活動状態になっていないので、補助トレースが停止されました。

システムの処置: CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: これで、補助トレース・データ・セット *dataset* を、印刷ルーチン DFHTU720 で処理することができます。

モジュール: DFHTRSU

宛先: コンソール

**DFHTR0110 AUXILIARY TRACE DATA SET
dataset1 FULL - SWITCHING TO
dataset2.**

説明: 補助トレース・データ・セット *dataset1* がいっぱいです。自動切り替えを要求したために、データ・セット *dataset2* 上で補助トレースが続行されています。

システムの処置: CICS は、データ・セット *dataset2* 上で補助トレース活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 必要ならデータ・セット全体を処理してください。

モジュール: DFHTRSU

宛先: コンソール

**DFHTR0111 applid GTF バッファ用ストレージを
獲得できません。GTF トレースは作動不
能です。(Unable to acquire storage for
GTF buffer - GTF trace inoperative.)**

DFHTR0112 • DFHTR0114

説明: 必要な 256 バイト・バッファ用 MVS から使用できるストレージが不足していたために、MVS 汎用トレース機能 (GTF) に対して CICS トレースを開始する試みが失敗しました。

このメッセージは、GTFTR=ON が SIT オーバーライドまたは始動オーバーライドで指定されている場合には CICS 初期設定中に DFHTRDM によって発行されます。または、GTF の開始要求が CICS の稼働後に行われた場合には DFHTRSU によって発行されます。

システムの処置: CICS は、GTF トレースを非アクティブにして続行します。

ユーザーの処置: 256 バイトのストレージでさえ獲得できない場合は、CICS 領域が停止状態である可能性があります。これを解決するには、MVS ストレージのユーザーの一部を削除するか、領域サイズを大きくして CICS を再始動するしか方法はありません。

モジュール: DFHTRDM、DFHTRSU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR0112 *applid* Bad data passed for tracing to module *modname*.

説明: 内部トレース・テーブル、補助トレース・データ・セット、または GTF トレースに追加するためにトレース (TR) ドメインに渡された一部のデータが原因で、このデータにアクセスしようとしたときに、プログラム・チェックが発生しました。

これは、CICS システム・コードによって行われた要求か、あるいは API または XPI を介してユーザー・プログラムが行った要求の結果である可能性があります。

トランザクション分離がアクティブである場合、トランザクションが別のトランザクションのストレージを CICS に渡すと、このメッセージが発行される可能性があります。このストレージは取り出し保護されているため、CICS がこれをトレースしようすると、プログラム・チェックが発生します。

システムの処置: ダンプ・コード TR0112 のシステム・ダンプがとられます。

このメッセージが DFHTRPT によって出された場合、ダンプには、DFHTRPT に渡されたエラーのあるパラメーター・リストを含んでいる例外トレース項目 (ポイント ID TR0102) が入っています。

このメッセージが DFHTRFT によって出された場合、ダンプには DFHTRFT に渡されたエラーのあるパラメーター・リストを含んでいる例外トレース項目 (ポイント ID TR0402) が入っています。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 解釈された例外トレース項目を調べて、呼び出しと項目の ID を出したドメインを判別してください。それから、妥当な値が入っているかどうかを調べるために、データ *n* フィールド内に指定されたアドレスおよび長さを見てください。障害は、トレース呼び出しのためにこれらのフィールドを設定するモジュールの中にあります。

トランザクション分離がアクティブである場合は、呼び出し元ドメインのパラメーター・リスト、*data2* を調べて、別のトランザクションに属するストレージを確認してください。障害のあるアプリケーション・プログラムを訂正してください。別のトランザクションのストレージを渡していることがないようにしてください。あるいは、アプリケーションの定義を変更して、別のトランザクションのストレージに有効にアクセスできるようにしてください。定義を変更する方法の詳細については、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHTRPT、DFHTRFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *modname*

宛先: コンソール

DFHTR0113 *applid* Auxiliary trace is being started on data set *dataset*.

説明: 補助トレースを開始する要求が正常に処理されました。トレース・レコードがデータ・セット *dataset* に書き込まれています。

システムの処置: CICS は、補助トレースが活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *dataset*

宛先: コンソール

DFHTR0114 AN ABEND HAS OCCURRED DURING INITIALIZATION OF TRACE IN MODULE *modname*.

説明: トレース (TR) ドメインの事前初期設定時に、モジュール *modname* のリカバリー・ルーチンが制御を受け取りました。これは、モジュール *modname* にプログラム・チェックが発生したことを示しています。

この条件には、3 つの原因が考えられます。

1. 主ストレージでモジュールが上書きされた。
2. モジュールが、残りの CICS モジュールのレベルと互換性がない。
3. モジュール内にエラーがある。

システムの処置: ダンプ・コード KERNDUMP のシステム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

ダンプを使用して、この条件の原因を判別してください。

モジュール: DFHTRDM、DFHTRSR

宛先: コンソール

DFHTR0115 AN ABEND HAS OCCURRED IN THE AUXILIARY TRACE MODULE DFHTRAO.

説明: モジュール DFHTRAO のリカバリー・ルーチンが制御を受け取りました。

これは、DFHTRAO 内でプログラム・チェックまたは MVS 異常終了が発生したことを示しています。

この条件には、3 つの原因が考えられます。

- 主ストレージで DFHTRAO が上書きされた。
- DFHTRAO が、残りの CICS モジュールのレベルと互換性がない。
- DFHTRAO 内にエラーがある。

システムの処置: ダンプ・コード KERNDUMP のシス

テム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール DFHTRAO が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を継続し、都合の良いときにダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し出されるか、すべてのモジュール DFHTRAO を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

ダンプを使用して、この条件の原因を判別してください。

モジュール: DFHTRAO

宛先: コンソール

DFHTR0116 AN ABEND HAS OCCURRED IN THE TRACE SUBROUTINES MODULE DFHTRSU.

説明: トレース・ドメイン・モジュール DFHTRSU に属するリカバリー・ルーチンが制御を受け取りました。

これは、そのモジュール内でプログラム・チェックまたは MVS 異常終了が発生したことを示しています。

この条件には、3 つの原因が考えられます。

- 主ストレージで DFHTRSU が上書きされた。
- DFHTRSU が、残りの CICS モジュールのレベルと互換性がない。
- DFHTRSU にエラーがある。

システムの処置: ダンプ・コード KERNDUMP のシステム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。

メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール DFHTRSU が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を継続し、都合の良いときにダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し出されたり、あるいはモジュール DFHTRSU を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

ダンプを使用して、この条件の原因を判別してください。

モジュール: DFHTRSU

宛先: コンソール

DFHTR0117 *applid* Auxiliary trace on data set dataset has been stopped.

説明: 補助トレース・データ・セット *dataset* への CICS トレースを停止するためのオペレーター要求またはアプリケーション・プログラム要求が、正常に処理されました。

システムの処置: CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: これで、補助トレース・データ・セット *dataset* を、印刷ルーチン DFHTU720 で処理することができます。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dataset*

宛先: コンソール

DFHTR0118 *applid* Auxiliary trace is being switched from dataset1 to dataset2.

説明: 補助トレースが活動状態のときに補助トレース・データ・セット上でエクステンントを切り替えるためのオペレーター要求またはアプリケーション・プログラム要求が処理されました。

システムの処置: CICS は、最初に指定されたデータ・セット *dataset1* 上でのトレースを停止し、2 番目に指定されたデータ・セット *dataset2* でのトレースを再開します。

ユーザーの処置: これで、最初に指定された補助トレース・データ・セット *dataset1* は、印刷ルーチン DFHTU720 によって処理することができます。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dataset1*
3. *dataset2*

宛先: コンソール

DFHTR0119 *applid* No DCB storage available for auxiliary trace data set. Auxiliary trace is inoperative.

説明: 補助トレース・データ・セット DCB 用に MVS から使用できるストレージが不足していたために、補助トレースを開始する試みが失敗しました。

システムの処置: ダンプ・コード TR0119 の CICS システム・ダンプがとられます。その後、CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 16MB 未満の MVS ストレージがそれほど不足している理由を判別し、可能であれば再試行してください。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR0120 *applid* DFHTRAOX could not be loaded. Auxiliary trace is inoperative.

説明: CICS モジュール DFHTRAOX (補助トレースの DCB 異常終了出口) をロードできなかったために、補助トレースを開始する試みが失敗しました。

システムの処置: ローダー・ドメイン (LD) が必要に応じてメッセージおよびダンプを発行します。CICS は、補助トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、関連したローダー・ドメイン・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR0122 STORAGE FOR INTERNAL TRACE TABLE NOT AVAILABLE -TRACE INOPERATIVE.

説明: CICS 初期設定時に、内部トレース・テーブルの 2 GB 境界より上のストレージの最小サイズ (1MB) でさえ割り振りに使用できないほどストレージが不足しています。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 初期設定のこの段階で 2 GB 境界よ

り上のストレージを 1 MB でさえ割り振ることができないということは、CICS の他の領域およびシステム機能が、操作に必要なストレージを取得できないことを意味します。したがって、システムは完全に初期設定を行うことはできないと思われます。考えられる解決方法は、MEMLIMIT パラメーターの値を大きくすることです。

モジュール: DFHTRDM

宛先: コンソール

DFHTR0123 REQUESTED TRACE TABLE SIZE NOT AVAILABLE.

説明: CICS は、内部トレース・テーブル・ストレージを得るために MVS に対して GETSTOR 要求を発行します。このメッセージは、TRTABSZ パラメーターで指定されたトレース・テーブルのサイズの割り振りに使用できる、2 GB 境界より上のストレージが不足していることを示します。しかし、これ以降の 1MB の最小可能サイズの要求は成功しました。

このメッセージに続いて出されるメッセージ DFHTR0103 に、使用されるトレース・テーブルの実サイズが示されています。

システムの処置: CICS は、メッセージ DFHTR0103 で示されたサイズの内部トレース・テーブルで続行されます。

ユーザーの処置: 処置としては、3 つの方法が考えられます。

- 減らしたテーブル・サイズで CICS を実行させることが適当と思われる場合には、それを実行してください。
- システムを終了し、CICS が使用できる 64 ビット・ストレージの MEMLIMIT パラメーターを大きくした後で再初期設定してください。
- システムが初期設定されたなら、CETR を用いて必要な値までテーブル・サイズを増やしてください。

モジュール: DFHTRDM

宛先: コンソール

DFHTR0124 applid UNABLE TO BUILD TRACE CELL POOL IN 64-BIT STORAGE.

説明: 64 ビット・ストレージに使用できるストレージが不足していたために、トレース用のセル・プールを割り振る試みが失敗しました。このセル・プールは、グローバル・トラップ・トレース出口、DFHTRAP、および

GTF トレース用バッファの作業用ストレージを割り振るために使用されます。したがって、これらの機能はどれも使用できません。

システムの処置: CICS は続行されますが、DFHTRAP はアクティブ化できず、また GTF トレースは無効にされます。

ユーザーの処置: 次の 2 つの処置が可能です。1. DFHTRAP も GTF トレースも不要の場合、CICS に続行を許可します。2. DFHTRAP または GTF トレースが必要な場合、MEMLIMIT パラメーターを大きくして、CICS がより多くの 64 ビット・ストレージにアクセスできるようにします。その後で CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTRDM

宛先: コンソール

DFHTR0130 applid Internal trace is being started.

説明: 内部トレースを開始する要求が正常に処理されました。

システムの処置: CICS は、内部トレースが活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR0131 applid Internal trace has been stopped.

説明: 内部トレースを停止する要求が正常に処理されました。

システムの処置: CICS は、内部トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR0140 applid GTF trace is being started.

説明: GTF トレースを開始する要求が正常に処理されました。

システムの処置: CICS は、GTF トレースが活動状態のまま続行されます。

DFHTR0141 • DFHTR1002

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR0141 *applid* GTF trace has been stopped.

説明: GTF トレースを停止する要求が正常に処理されました。

システムの処置: CICS は、GTF トレースが非活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTRSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR1000 *applid* CICS abend requested by global trap exit DFHTRAP in module *modname*.

説明: フィールド開発グローバル・トラップ出口プログラム (DFHTRAP) が CICS の終了を要求しました。

システムの処置: CICS は、トラップ出口を使用不可にしてその出口に再入力が行われないようにしてから CICS を終了します。

ユーザーの処置: DFHTRAP がシステム終了を要求した理由を判別し、それにしたがって処置を取ってください。グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHTRPT、DFHTRFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *modname*

宛先: コンソール

DFHTR1001 *applid* Program check occurred within global trap exit - DFHTRAP now marked unusable by module *modname*.

説明: トレース項目を作成した後で、CICS トレース・ドメイン (TR) が、フィールド開発グローバル・トラップ出口プログラム (DFHTRAP) を呼び出しました。DFHTRAP の実行中にプログラム・チェックが起きました。

1676 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

システムの処置: CICS は、現在活動状態の DFHTRAP のバージョンに使用不可のマークを付けて、以後 TR ドメインの呼び出しのときにそれを無視します。それから、CICS は、システム・ダンプ・コード TR1001 のダンプをとり、実行を続行します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、プログラム・チェックの原因を見つけてください。現在活動中であっても使用することができない DFHTRAP のバージョンを、CICS プログラム・ライブラリーからの新しいバージョンに置き換えるために、次の順序でコマンドを出してください。

CSFE DEBUG,TRAP=OFF (現行トラップを非活動化する)

CEMT SET PROGRAM(DFHTRAP) NEWCOPY (CICS にとって既知のトラップ・ディスク・アドレスを更新する)

CSFE DEBUG,TRAP=ON (トラップの新しいバージョンを活動化する)

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHTRPT、DFHTRFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *modname*

宛先: コンソール

DFHTR1002 *applid* Program DFHTRAP is not available - global trap not activated

説明: CICS の初期設定での TRAP=ON SIT キーワードまたは指定変更値の処理時に、CICS がフィールド開発グローバル・トラップ出口プログラム DFHTRAP を活動状態にすることができませんでした。これは、ほぼ間違いなく DFHTRAP がプログラム・ライブラリーに存在しないためです。

システムの処置: CICS は、ダンプ・コード TR1002 のシステム・ダンプをとり、グローバル・トラップが活動状態になっていないまま続行されます。

ユーザーの処置: DFHTRAP が RDO に定義されており、プログラム・ライブラリーで使用可能になっていることを確認してください。

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHTRDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTR1003 *applid* CICS system dump requested by global trap exit DFHTRAP in module *modname*.

説明: ユーザーによりコーディングされたグローバル・トラップ出口プログラム (DFHTRAP) が、その戻り処置設定値でシステム・ダンプを要求しました。

システムの処置: CICS は、ダンプ・コード TR1003 のシステム・ダンプをとり、グローバル・トラップが活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 要求されたダンプを分析してください。

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール: DFHTRPT、DFHTRFT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHTR1004 *applid* CICS system dump requested whilst holding the trace lock by global trap exit DFHTRAP in module *modname*.

説明: ユーザーによりコーディングされたグローバル・トラップ出口プログラム (DFHTRAP) が、トレース・ロックを保持したままシステム・ダンプをとることを、その戻り処置設定値で要求しました。

システムの処置: CICS は、ダンプ・コード TR1004 のシステム・ダンプをとり、グローバル・トラップが活動状態のまま続行されます。

ユーザーの処置: 要求されたダンプを分析してください。

グローバル・トラップ出口の使用にあたっては、必ず IBM サポート担当員と相談するようにしてください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHTR2000 INCOMPLETE ENTRY IGNORED.

説明: GTF の長さ制限のために、256 バイトより長い CICS トレース項目は、複数の汎用トレース機能 (GTF) 項目に分割する必要があります。CICS 項目はヘッダー

項目になり、その後に 1 つ以上の継続項目が続きます。GTF 印刷出力のこのメッセージは、256 バイトより長い GTF 上の CICS 項目は印刷されなかったことを示します。なぜなら、直前の分割項目のすべての継続項目が受信される前に、同じ MVS TCB から新しいヘッダー項目が検出されたからです。

システムの処置: 不完全な項目は無視されます。

ユーザーの処置: この状況は、次の 2 つのうちいずれかの場合に起こる可能性があります。

•

最初の分割トレース項目を作成している MVS TCB が、継続項目の書き込み中に異常終了しました。

これにより、CICS の実行中にメッセージが発行され、システム・ダンプが発生します。

詳細および手引きについては、関連付けられたメッセージを参照してください。ダンプを使用して、問題を判別し、解決してください。

•

内部エラーのため、GTF は 1 つ以上の継続項目を記録できませんでした。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTRPRG

宛先: SYSPRINT

DFHTR2001 INSUFFICIENT STORAGE FOR RECONSTRUCTION BUFFER.

説明: 256 バイトより長い CICS 項目は、汎用トレース機能 (GTF) の 1 つのヘッダー・レコードおよび 1 つ以上の継続レコードに分割されました。MVS はセグメント化された項目を再構成できるようにするための十分な作業用ストレージ・バッファを割り振れなかったため、この CICS 項目を形式設定できません。

システムの処置: 項目は 16 進数で印刷され、印刷ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: 領域サイズを大きくして、GTF 印刷ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHTRPRG

宛先: SYSPRINT

DFHTR2002 INVALID ENTRY PASSED FOR FORMATTING.

説明: CICS フォーマット ID (X'EF') を持つ GTF 項目が CICS GTF 印刷ルーチンに渡されましたが、そこ

に含まれるデータが有効な CICS トレース項目の一部ではありません。

システムの処置: 無効な項目は 16 進数で印刷され、印刷ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: その原因の手掛かりについて、項目を調べてください。

モジュール: DFHTRPRG

宛先: SYSPRINT

DFHTR2003 UNEXPECTED CONTINUATION ENTRY ENCOUNTERED.

説明: GTF の長さ制限のために、256 バイトより長い CICS トレース項目は、複数の GTF 項目に分割する必要があります。CICS 項目はヘッダー項目になり、その後 1 つ以上の継続項目が続きます。この GTF 印刷出力のメッセージは、GTF 項目が CICS のセグメント化された項目の先頭ではない CICS GTF 印刷ルーチンに渡され、項目タイプは、現時点で継続項目が予期されていないものであることを示します。

システムの処置: 無効な項目は 16 進数で印刷され、印刷ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: この状況は、GTF がデータ・セット内のスペースを通常どおり循環再利用するために、セグメント化された項目のヘッダー・レコードが上書きされる場合に発生する可能性があります。この場合、無効な項目が印刷出力の先頭に近接しています。

そうでない場合は、その原因の手掛かりについて、項目を調べてください。

モジュール: DFHTRPRG

宛先: SYSPRINT

DFHTR2004 最大バッファ数 (nn) が割り振られました。 (THE MAXIMUM NUMBER OF BUFFERS (nn) HAVE BEEN ALLOCATED.) 再利用のための空きス ペースがありません。(NONE ARE FREE FOR REUSE.)

説明: 256 バイトより長い CICS トレース項目が、汎用トレース機能 (GTF) の 1 つのヘッダー・レコードおよび 1 つ以上の継続レコードに分割されました。ただし、特定のタイプのセグメント化された項目の再構成に許可されたバッファの最大数に達したため、形式設定できません。この最大値は、現在 nn に設定されています。特定のタイプのバッファの数は、トレース項目を GTF トレース・データ・セットに書き込んでいる領域またはシステムの数と直接関係があります。書き込み中に、さまざまな領域またはシステムの一部のセグメント

化された項目がデータ・セット内で交互に配置される可能性があります。項目が完全かつ正しく形式設定されるようにするには、トレース項目がこのように交互に配置されている領域またはシステムごとにバッファを使用可能にする必要があります。トレース・タイプおよびセグメント化された項目についての詳細は、「CICS 診断リファレンス」のトレース形式設定のセクションを参照してください。

システムの処置: 項目は 16 進数で印刷され、印刷ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: なし。ただし、この状況が定期的に発生する場合は、IBM サポートに連絡して、最大値の設定が低すぎるかどうか問い合わせてください。

モジュール: DFHTRPRG

宛先: SYSPRINT

DFHTR2005 THE LOAD FAILED FOR LOAD MODULE *modname*. PLACE MODULE IN THE LINK LIST AND TRY AGAIN.

説明: 汎用トレース機能 (GTF) のトレース・フォーマッターが、処理中のトレース項目の正しいリリース用のトレース・フォーマッターをロードしようとしてしました。

システムの処置: ジョブはトレース項目の印刷を 16 進数でのみ続行します。

ユーザーの処置: 指定されたトレース・フォーマッターのロード・モジュールをリンク・リストに入れて、ジョブを再実行してください。指定されたトレース・フォーマッターが使用できない場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTRPRG

宛先: SYSPRINT

DFHTR2006 不明な項目がフォーマット設定のために渡 されました。

説明: 不明な CICS GTF トレース項目が CICS GTF 印刷ルーチンに渡されました。この理由として、使用されている CICS GTF 形式設定ルーチンが前の CICS リリースのものであるため、現在のリリースの項目を認識しないことが考えられます。

システムの処置: 不明な項目は 16 進数で印刷され、印刷ジョブは続行されます。

ユーザーの処置: その原因の手掛かりについて、項目を調べてください。GTF 形式設定ルーチン DFHTGxxx

(xxx は現在の CICS リリース・レベル) を実行しているようにしてください。

モジュール: DFHTRPRG

宛先: SYSPRINT

DFHTR3001 ERROR IN OPENING DFHAXPRT FILE.

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720 は、印刷出力を受け取るように定義されたデータ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: DFHTU720 ジョブに、正しい DFHAXPRT の DD ステートメントが存在するようにしてください。

モジュール: DFHTRPRA

宛先: コンソール

DFHTR3002 ERROR IN OPENING DFHAUXT FILE.

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720 は、処理される予定であった補助トレース・データ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: DFHTU720 ジョブに、正しい DFHAUXT の DD ステートメントが存在するようにしてください。

モジュール: DFHTRPRA

宛先: コンソール

DFHTR3003 ERROR IN OPENING DFHAXPRM FILE.

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720 は、パラメーター入力データ・セット DFHAXPRM をオープンできませんでした。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: DFHAXPRM の DD ステートメントが DFHTU720 ジョブに存在し、正しいことを確認するか、EXEC ステートメントの PARM キーワードに入力パラメーターを指定してください。

モジュール: DFHTRPRA

宛先: コンソール

DFHTR3004 トレース要約テーブル用の MVS ストレージがありません。(NO MVS STORAGE FOR TRACE SUMMARY TABLE.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720 は、トレース要約テーブルの生成に必要なストレージを取得できませんでした。

システムの処置: 印刷ジョブは続行されますが、トレース要約テーブルは生成されません。

ユーザーの処置: システムのストレージが不足している理由を調べてください。

モジュール: DFHTRPRA

宛先: コンソール

DFHTR3010 ERROR IN TRACE DATA - ENTRIES MAY HAVE BEEN LOST.

説明: 形式化されているトレース・ブロックに、無効な長さフィールドまたは無効なポインター・フィールド (またはその両方) が入っています。トレース・テーブルが誤って上書きされた場合に生じる可能性があります。

システムの処置: トレース形式設定コードは、ブロックをスキャンして、有効な項目を探そうとします。探し出された有効な項目は印刷されます。残りのデータは無視されます。

ユーザーの処置: 内部トレース・テーブルの上書きが生じた理由を判別してください。

正しくないデータが含まれている可能性があるため、印刷出力内のこのメッセージの直前および直後のトレース項目を無視してください。

モジュール: DFHTRFPB

宛先: SYSPRINT

DFHTR4001 位置 *position*、ブランク・レコードです。(Pos *position*, Blank record.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。有効な選択トレース印刷パラメーターが見つかりませんでした。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: DFHAXPRM の DD ステートメントが印刷ジョブに存在し、正しいことを確認するか、

EXEC ステートメントの PARM キーワードに入力パラメーターを指定してください。ジョブ制御ステートメントへの入力としてブランク行が検出されました。このジョブ制御ステートメントに少なくとも 1 つの有効な選択パラメーターを指定し、印刷ジョブを再実行してください。有効なトレース印刷選択パラメーターのリストについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4002 位置 *position*、キーワードが無効です。

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。制御ステートメントの *position* にあるキーワードが有効なトレース選択パラメーターではないか、誤って指定されています。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: 有効な選択トレース印刷パラメーターを指定して、ジョブを再実行してください。有効なトレース印刷選択パラメーターのリストについては、CICS の資料を参照してください。DFHTRFPP

モジュール:

宛先: SYSPRINT

DFHTR4003 位置 *position*、予期しないデータの終わりです。(Pos *position*, Unexpected end of data.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。予期しないデータの終わりが検出されました。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: DFHAXPRM の DD ステートメントが印刷ジョブに存在し、正しいことを確認するか、EXEC ステートメントの PARM キーワードに入力パラメーターを指定してください。トレース選択パラメーターを正しく指定してください。これを行う方法について詳しくは、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4004 位置 *position*、括弧が欠落しています。(Pos *position*, Missing parenthesis.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。指定されたキーワードには対になる括弧が必要ですが、一方が欠落しています。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: 選択に複数の項目を指定するには、項目のリストを括弧に入れる必要があります。例えば、*tranid* ABRQ、AORD、および MYTR を選択するには、*TRANID*=(ABRQ,AORD,MYTR) を指定します。必要に応じて、対になる括弧が指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4005 位置 *position*、NULL データです。(Pos *position*, Null data.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。トレース選択パラメーター・ステートメントの *position* に NULL データが検出されました。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: トレース選択パラメーターに有効なデータを入力するようにしてください。有効なトレース印刷選択パラメーターについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4007 位置 *position*、区切り記号が無効です。(Pos *position*, Invalid separator.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。無効な区切り記号が *position* で検出されました。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: リスト内のキーワードと項目を区切る

には、コンマを使用する必要があります。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4008 位置 *position*、パラメーター長が無効です。(Pos *position*, Parameter length *invalid*.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。トレース選択パラメーターが、正しくない長さで指定されました。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: 指定されたトレース選択パラメーターの長さが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4009 位置 *position*、パラメーター値が無効です。(Pos *position*, Parameter value *invalid*.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。指定されたトレース選択パラメーターは、*position* で無効な値が設定されています。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: 誤ったパラメーター値を訂正してください。有効なトレース印刷選択パラメーターの手引きについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4010 位置 *position*、パラメーター範囲が無効です。(Pos *position*, Parameter range *invalid*.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。このパラメーターの有効な範囲外である値が *postion* に指定されています。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: 指定された値が、この選択パラメーターに適した範囲内にあることを確認してください。有効なトレース印刷選択パラメーターの手引きについては、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4011 位置 *position*、ページ・サイズ範囲が無効です。(Pos *position*, Invalid page size *range*.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、またはシステム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。PAGESIZE=(value) 選択パラメーターの *position* に指定された値が、許可された有効な範囲外にあります。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: PAGESIZE=(value) の値は、ページごとに 20 ~ 9999 行の範囲で指定してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR4012 位置 *position*、FULL、ABBREV、および SHORT のトレースの組み合わせが無効です。(Pos *position*, Invalid combination of FULL, ABBREV and SHORT trace.)

説明: 補助トレース印刷プログラム DFHTU720、システム・ダンプ印刷プログラム DFHPD720、または GTF トレース印刷プログラム DFHTR720 のいずれかのトレース選択パラメーターが適切に指定されていません。複数の選択パラメーター、ABBREV、SHORT、または FULL が一緒に指定されています。これらのパラメーターは相互に排他的です。

システムの処置: 印刷ジョブは終了して、戻りコード 8 が戻されます。

ユーザーの処置: ABBREV、SHORT、FULL のいずれかを指定して、印刷ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHTRFPP

宛先: SYSPRINT

DFHTR5001 機能プログラムのロードが失敗しました。
(THE LOAD FOR A FEATURE
PROGRAM HAS FAILED.)

説明: 機能形式設定プログラムのロードが失敗しました。これは、ジョブに指定されたデータ・セットのいずれかにプログラム・テキストが含まれていない場合に発生する可能性があります。

システムの処置: トレース形式設定は、機能トレースを行わないで続行されます。

ユーザーの処置: ロード・エラーの原因を調べて、判別してください。

モジュール: DFHTRFFE

宛先: SYSPRINT

**DFHTR5002 FEATURE FORMATTING PROGRAM
HAS FAILED.**

説明: 機能形式設定プログラムが失敗しました。

システムの処置: トレース形式設定は、機能トレースを行わないで続行されます。

ユーザーの処置: 機能に付属する資料を参照してください。

モジュール: DFHTRFFE

宛先: SYSPRINT

DFHTSnnnn メッセージ

DFHTS0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コー

ドの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することでもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTSAM, DFHTSBR, DFHTSDM, DFHTSPT, DFHTSQR, DFHTSRM, DFHTSSH, DFHTSSR, DFHTSST, DFHTSWQ.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHTS0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがど

ここで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード X'code') が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTSAM, DFHTSBR, DFHTSDM, DFHTSPT, DFHTSQR, DFHTSRM, DFHTSSH, DFHTSSR, DFHTSST, DFHTSWQ.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'code'
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHTS0100I *applid* Temporary Storage initialization has started.

説明: これは、一時記憶域ドメイン初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム

初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS0101I *applid* Temporary Storage initialization has ended.

説明: 一時記憶域ドメイン初期設定は正常に完了しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS0102I *applid* About to format the temporary storage data set (*numcis* control intervals).

説明: 一時ストレージは新規のデータ・セットでコールド・スタートが行われました。このメッセージは、データ・セットの形式設定が開始されたときに出され、形式設定される制御インターバルの数 *numcis* を示します。

システムの処置: CICS を続行します。メッセージ DFHTS0101 は、一時ストレージの初期設定が完了すると出されます。データ・セットが大きいと形式設定にかなりの時間がかかることがあることに注意してください。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、メッセージ・レベル・システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHTSDM.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *numcis*

宛先: コンソール

DFHTS0103 *applid* 一時記憶での TST と RDO の切り替えの試行は無効です。(Invalid attempt to switch between a TST and RDO for Temporary Storage.)この試行は無視されます。(The attempt is ignored.)

説明: 一時記憶は、TS キューでの TST と RDO の使用を切り替える暗黙的な試行を検出しましたが、CICS はコールド・スタートされていません。

TS キューでの TST と RDO の使用の切り替え (またはその逆) は、CICS のコールド・スタートまたは初期始動でのみ許可されます。

システムの処置: CICS を続行します。切り替えの試行は無視されます。CICS は、前回の CICS 実行時のように、TS キューに TST モデル (指定されている場合) または RDO モデルを使用します。

ユーザーの処置: 切り替えを完了するために、初期始動またはコールド・スタートを指定して CICS を再始動することができます。

モジュール: DFHTSAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS0104 *date time applid terminal userid tranid*
TSMODEL entry for *tsmodelname* has been added.

説明: これは、一時記憶域モデル *tsmodelname* が、INSTALL コマンドを使用してシステムに追加されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを発行したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

- *userid* は、メッセージを発行したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

- *tranid* は、メッセージを発行したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTSAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tsmodelname*

宛先: CSMT

DFHTS0105 *date time applid terminal userid tranid*
TSMODEL entry for *tsmodelname* has been replaced.

説明: これは、一時記憶域モデル項目 *tsmodelname* が、INSTALL コマンドを使用してシステムで置き換えられたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを発行したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

- *userid* は、メッセージを発行したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

- *tranid* は、メッセージを発行したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTSAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tsmodelname*

宛先: CSMT

DFHTS0106 *date time applid terminal userid tranid*
TSMODEL entry for tsmodelname has been discarded.

説明: これは、一時記憶域モデル *tsmodelname* が、DISCARD コマンドを使用してシステムから削除されたことを示す監査ログ・メッセージです。各部の説明は、以下のとおりです。

- *terminal* は、メッセージを発行したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを発行したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを発行したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTSAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tsmodelname*

宛先: CSMT

DFHTS1301 *applid {READ | WRITE}* **Error detected by temporary storage. RPL feedback area is X'yyyyyy'.**

説明: 一時ストレージで入出力エラーが検出されました。次のいずれかが原因です。

- タスクが一時ストレージ・データ・セットにアクセスしているときに、ハードウェア・エラーが検出された。または、
- VSAM がその要求の中に論理エラーを検出した。原因としては、データ・セットが正しく定義されていないことが考えられます。

システムの処置: 異常終了 ATSD または ATSU がアプリケーション・プログラムに戻されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・データ・セットの定義が正しいか確認してください。論理エラーの場合は、RPL フィードバック・コードの解釈の手引きとして「z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets」資料を参照してください。

一時ストレージの問題を扱う際の詳しい手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHTSAM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 以下のオプションから選択される値。

1=READ,
2=WRITE

3. *X'yyyyyy'*

宛先: コンソール

DFHTS1310 *applid* **Temporary storage data set does not match bit map**

説明: 一時ストレージ・ドメインがその制御ブロック間に不整合を検出しました。不整合は、入出力バッファの圧縮中に検出されたか、TS トレース・レベル 3 によって有効にされている TS 制御ブロック検査によって検出されました。

不整合の原因としては、次のことが考えられます。

- 正しくない一時ストレージ・データ・セット (DFHTEMP) が使用された。
- 一時ストレージ・データ・セットの制御インターバル・サイズ (CISIZE) が CICS の各実行間に変更された。
- ストレージ・オーバーレイが発生した。
- 内部エラーが TS ドメイン内で発生した。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するために、次の事項を調べてください。

- 正しいデータ・セットが使用されたかどうか。
- DFHTEMP の CISIZE が、CICS の各実行間に変更されなかったかどうか (CISIZE が変更された場合には、一時ストレージはコールド・スタートされていなければなりません)。

エラーの原因に関係なく、この時点で一時ストレージをコールド・スタートする必要があります。

一時ストレージの問題を扱う際の詳しい手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。オーバーレイが起きている場合には、IBM のサポートを得る必要があります。

続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTSAM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1311 *applid* Temporary storage data set is full and cannot be extended

説明: 一時ストレージ・データ・セットがいっぱいです。CICS は、その拡張に失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

いずれかのタスクがその後に一時ストレージ・データ・セットへの書き込みを試行し、(その間にデータ・セットが拡張されたかどうかにかかわらず) スペース不足状態が続く場合、メッセージ DFHTS1311 は再発行されます。ただし、メッセージ DFHTS1311 は、5 分に 1 回以上出されることはありません。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・データ・セット用にスペース割り振りを増やす必要があるか検討してください。

モジュール: DFHTSAM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1315 *applid* The temporary storage data set has exceeded the maximum number of control intervals supported.

説明: 一時記憶域書き込み要求の際に、一時記憶データ・セットに新たな制御インターバルを追加する試みが行われました。一時記憶データ・セットには、既にサポートされる制御インターバルが最大数含まれており、拡張できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 一時記憶データ・セットに対する制御インターバルのサイズを増やす必要があるかどうか考慮してください。一時記憶データ・セットの定義に関する手引きについては、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHTSAM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1340 *applid* No DD statement provided for temporary storage data set.

説明: DD ステートメントがないため、CICS は補助一時記憶データ・セットをオープンすることができません。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1341 *applid* VSAM error processing SHOWCAT for temporary storage data set.

説明: 補助一時記憶データ・セットに対する SHOWCAT 処理中に、VSAM がエラーを検出しました。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1342 *applid* Invalid VSAM definition for temporary storage data set.

説明: CICS は、補助一時記憶データ・セットをオープンすることができません。そのデータ・セットが VSAM ESDS として定義されていないためです。

システムの処置: ダンプが提供されて、CICS が終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1362 *applid* Temporary storage data set not formatted

説明: 補助一時ストレージ・データ・セットが形式設定されていません。データ・セットが空です。初期形式設定が必要な場合には、一時ストレージがコールド・スタートされるときに実行されます。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1363 *applid* Invalid control record for temporary storage data set

説明: 補助一時ストレージ・データ・セットが一時ストレージ用に初期設定されていませんでした。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1371 *applid* VSAM error processing SHOWCB for temporary storage data set, RC=X'retcode'

説明: 補助一時記憶データ・セットの SHOWCB 処理中に、VSAM がエラーを検出しました。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 該当する VSAM の資料で、戻りコードを確認してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. X'retcode'

宛先: コンソール

DFHTS1372 *applid* VSAM error processing OPEN for temporary storage data set, R15=X'retcode', RC=X'errorcode'

説明: 補助一時記憶域データ・セットの OPEN 処理中に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は、戻りコードとエラー・コードを示します。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 該当する VSAM の資料で、戻りコードおよびエラー・コードを確認してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. X'retcode'

3. X'errorcode'

宛先: コンソール

DFHTS1373 *applid* VSAM error processing CLOSE for temporary storage data set, R15=X'retcode', RC=X'errorcode'

説明: 補助一時記憶データ・セットの CLOSE 処理中に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は、戻りコードとエラー・コードを示します。

DFHTS1374 • DFHTS1390

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 該当する VSAM の資料で、戻りコードおよびエラー・コードを確認してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'retcode'*
3. *X'errorcode'*

宛先: コンソール

DFHTS1374 *applid* VSAM error processing PUT for temporary storage data set,
R15=X'retcode', RC=X'errorcode'

説明: 補助一時記憶データ・セットの PUT 処理中に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は、戻りコードとエラー・コードを示します。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 該当する VSAM の資料で、戻りコードおよびエラー・コードを確認してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'retcode'*
3. *X'errorcode'*

宛先: コンソール

DFHTS1375 *applid* VSAM error processing GET for temporary storage data set,
R15=X'retcode', RC=X'errorcode'

説明: 補助一時記憶データ・セットの GET 処理中に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は、戻りコードとエラー・コードを示します。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 該当する VSAM の資料で、戻りコードおよびエラー・コードを確認してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'retcode'*
3. *X'errorcode'*

宛先: コンソール

DFHTS1376 *applid* VSAM error processing MODCB for temporary storage data set,
R15=X'retcode'

説明: 補助一時記憶データ・セットの MODCB 処理中に、VSAM がエラーを検出しました。挿入された項目は戻りコードを示します。

システムの処置: 一時ストレージ初期設定タスクは異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 該当する VSAM の資料で、戻りコードおよびエラー・コードを確認してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'retcode'*

宛先: コンソール

DFHTS1390 *date time applid* TSQUEUE *name*
(*X'hexval'*) not recovered. Time last
referenced: *hh:mm:ss mm/dd/yy*. TSAGE:
tsage

説明: 緊急始動時に、リカバリー可能な一時記憶域キュー (TSQUEUE) *name* がリカバリーされませんでした。これは、最後の参照以降の経過時間が、DFHTST マクロの TSAGE *tsage* の値で指定された一時記憶域データの経時制限を超えたためです。

システムの処置: このキューはリカバリーされませんが、処理は続行されます。

ユーザーの処置: DFHTST マクロに指定される TSAGE の値が適切であるようにしてください。

モジュール: DFHTSRM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*

5. *X'hexval'*
6. *hh:mm:ss*
7. *mm/dd/yy*
8. *tsage*

宛先: CSMT

DFHTS1576 *applid* Temporary storage format error

説明: CICS が VSAM 要求パラメーター・リスト (RPL) の作成を試みているときに、VSAM マクロ GENCB からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1599 *applid* Region/Partition size insufficient to initialize CICS.

説明: 一時記憶域ドメインは、初期設定中に独自の制御ブロックに十分なストレージの GETMAIN を実行できませんでした。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 領域/区画サイズを大きくして、再試行します。システム・ダンプと併せて「CICS Data Areas」を使用すると、関係のある制御ブロックのサイズおよび発生回数に関する情報を得ることができます。

モジュール: DFHTSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1601 *applid* Main temporary storage usage has reached xx% of TSMALIMIT storage.

説明: 2 GB 境界より上の一時記憶域キューによって使用される主ストレージの量が、TSMALIMIT 設定で指定されている最大許容ストレージ使用量のメッセージ

に示されている割合に達しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 長時間アクセスされていない一時記憶域キューの一部を削除できるかどうか、または TSMALIMIT を大きくできるかどうか検討してください。

モジュール: DFHTSMN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xx*

宛先: コンソール

DFHTS1602 *applid* Main temporary storage has attempted to exceed the TSMALIMIT storage limit.

説明: TSMALIMIT ストレージ制限を超えようとしてしました。これは、主一時記憶域キューが使用できる、2 GB 境界より上のストレージの最大量を指定します。

システムの処置: 記憶域が使用可能になるまで、主記憶域内の一時記憶域キューへの書き込みは失敗します。

ユーザーの処置: 長時間アクセスされていない一時記憶域キューの一部を削除できるかどうか、または TSMALIMIT を大きくできるかどうか検討してください。

モジュール: DFHTSMN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1603 *applid* The TSMALIMIT storage limit has been changed from xxxx Mb to yyyy Mb.

説明: TSMALIMIT 設定が変更されました。TSMALIMIT を小さくすることを要求した場合、新規の値は、要求された値か、現在の使用率に 33% を加えた値のいずれかになります。要求した値が現在の使用率の 33% を空きとして残さない場合、CICS は、現在の使用率の 33% をバッファーとして残すように値を変更し、TSMALIMIT が大きくならないようにします。これは、新規の制限の 25% が空いていることを意味します。小さくすることを要求する場合、TSMALIMIT は大きくなりません。TSMALIMIT を大きくすることを要求する場合、有効な値が要求されれば、新規の値は要求された値になります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 制限を小さくしたときに、CICS が新規の値を要求された値より高く設定した場合、一時記憶域キューをいくつか削除し、コマンドを再発行して、TSMMAINLIMIT の値を小さくすることを検討してください。

モジュール: DFHTSMN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xxxx*
3. *yyyy*

宛先: コンソール

DFHTS1604 *applid* Main temporary storage usage has fallen below 70% of TSMMAINLIMIT.

説明: 主一時記憶域キューによる現在の記憶域使用率が、TSMMAINLIMIT 設定の 70% 未満になりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTSMN, DFHTSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1605 *DATE TIME APPLID* Scan of temporary storage queues completed. XXXX temporary storage queues were scanned and YYYY were deleted.

説明: 一時記憶域キューのスキャンが実行され、ゼロ個以上が削除されました。削除するかどうかの決定は、最後に使用された時間に基づいています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHTSCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *XXXX*
5. *YYYY*

宛先: CSMT

DFHTS1606 *APPLID* The TSMMAINLIMIT has been left unchanged at *xxxx* Mb.

説明: このメッセージは、TSMMAINLIMIT の設定を小さくしようとするときに出される可能性があります。要求された値には、後で使用するためのバッファースとして、現在の記憶域使用量の 33% しか残っていません。一時記憶域書き込み要求によって TSMMAINLIMIT にすぐに到達してしまうのを避けるため、CICS は制限をこのレベルより低く下げることはありません。TSMMAINLIMIT は未変更です。このメッセージは、要求された TSMMAINLIMIT が現在の設定と同じである場合にも発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: TSMMAINLIMIT を小さくする必要がある場合は、一時記憶域キューを削除してからこのコマンドを再発行して、TSMMAINLIMIT の値を小さくすることを検討してください。

モジュール: DFHTSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *xxxx*

宛先: コンソール

DFHTS1607 *DATE TIME APPLID* An attempt to increase TSMMAINLIMIT has failed. TSMMAINLIMIT設定は未変更のままです。

説明: TSMMAINLIMIT 設定を大きくしようとしたことが、失敗しました。これは、要求された値が MEMLIMIT 設定値の 25% を超えてしまうためです。これは許可されていません。

システムの処置: TSMMAINLIMIT は変更されていません。

ユーザーの処置: TSMMAINLIMIT は MEMLIMIT の 25% 以下の値までしか大きくすることができません。TSMMAINLIMIT を大きくする必要がある場合、許容されている上限を計算して、再試行してください。

モジュール: DFHTSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*

宛先: CSMT

DFHTS1608 *applid* TS domain initialization has failed because an attempt was made to set TSMALIMIT to a value greater than 25% of MEMLIMIT.

説明: TSMALIMIT 値を設定しようとしたが、失敗しました。これは、要求された値が MEMLIMIT 設定値の 25% を超えてしまうためです。これは許可されていません。

システムの処置: TS ドメインの初期設定が失敗しました。これにより、CICS の初期設定は終了されます。

ユーザーの処置: TSMALIMIT には、MEMLIMIT の 25% 以下の値のみ設定できます。TSMALIMIT の SIT オーバーライド設定と、ご使用の領域の MEMLIMIT の値を確認してください。

モジュール: DFHTSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHTS1609 *DATE TIME APPLID* TSキュー・クリーンアップ・タスクは既に実行中のため開始できません。

DFHUPnnnn メッセージ

DFHUP0201 *applid* ANOTHER PRODUCT HAS ALREADY REGISTERED FOR THIS DOMAIN. IFAUSAGE RC 4 が発行されました。モジュール *module*

説明: IFAUSAGE マクロ呼び出しに対する応答で、戻りコード 4 が出されました。この IFAUSAGE ドメインのリソース使用情報を収集するために、別の製品が既に登録されています。*module* は、IFAUSAGE を使用して登録されているモジュールを示します。

システムの処置: 現在の要求は受け入れられますが、両方の製品についてデータの重複記録があります。

ユーザーの処置: タイプ 89 の SMF レコードを調べて、ドメインへの重複登録の原因となっている製品を判別してください。

戻りコードの説明については、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」資料を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP, DFHDRPA, DFHDUP, DFHJUP, DFHKETCB, DFHMNDUP, DFHMSCAN, DFHSTUP, DFHTUP, DFHWOS

宛先: コンソール

説明: このタスクの前のインスタンスがまだ実行中であるため、TS クリーンアップ・タスクを実行しようとしたが失敗しました。TS クリーンアップ・タスクの実行に長時間かかるのは異常な状態です。これは、キューにロックが保持されている場合に起こる場合があります。

システムの処置: TS キューの自動削除は実行されません。まず、既に実行中のクリーンアップ・タスクを完了させる必要があります。

ユーザーの処置: TS キューに問題の兆候があるかどうかを確認してください。CICS Knowledge Center のセクション「Automatic deletion of temporary storage queues」を参照してください。

モジュール: DFHTSCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*

宛先: CSMT

DFHUP0202 *applid* THE UNAUTHORIZED REQUEST LIMIT HAS BEEN EXCEEDED. IFAUSAGE RC 8 が発行されました。(IFAUSAGE RC 8 HAS BEEN ISSUED.) モジュール *module*

説明: IFAUSAGE マクロ呼び出しに対する応答で、戻りコード 8 が出されました。この無許可の要求により、そのような要求の数が無許可の要求制限を超えることになります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードの説明については、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」資料を参照してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP, DFHDRPA, DFHDUP, DFHJUP, DFHKETCB, DFHMNDUP, DFHMSCAN, DFHSTUP, DFHTUP, DFHWOS

宛先: コンソール

DFHUP0203 *applid* 使用状況データ収集機能はこのシステムでは使用できません。IFAUSAGE RC 16 が発行されました。モジュール *module*

説明: IFAUSAGE マクロ呼び出しに対する応答で、戻りコード 16 が出されました。使用状況データ収集機能はこのシステムでは使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: SMF の使用状況処理がこのシステムで使用できない場合 (例えば、`apar 0W02855` がインストールされない場合など)、このメッセージを無視できます。

戻りコードの説明については、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」資料を参照してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHTUP、DFHWOS、DFHKETCB、DFHSIP

宛先: コンソール

DFHUP0204 *applid* 無効な要求が出されました。(AN INVALID REQUEST HAS BEEN MADE.) IFAUSAGE 戻りコード *X'code'*。(IFAUSAGE RETURN CODE

X'code'.) モジュール *module*

説明: IFAUSAGE マクロ呼び出しに対する応答で、戻りコード *X'code'* が出されました。無効な要求または内部パラメーター・エラーが発生しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: SMF の使用状況処理がこのシステムで使用できない場合 (例えば、`apar 0W02855` がインストールされない場合など)、このメッセージを無視できます。

戻りコードの説明については、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」資料を参照してください。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP, DFHDRPA, DFHDUP, DFHJUP, DFHKETCB, DFHMNDUP, DFHMSCAN, DFHSTUP, DFHTUP, DFHWOS

宛先: コンソール

DFHUSnnnn メッセージ

DFHUS0001 *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性あることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に

作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終

了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHUSAD、DFHUSDM、DFHUSFL、DFHUSIS、DFHUSST、DFHUSXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHUS0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname*

が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHUSAD、DFHUSDM、DFHUSFL、DFHUSIS、DFHUSST、DFHUSXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHUS0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用するこ

とがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHUSAD、DFHUSDM、DFHUSFL、DFHUSIS、DFHUSST、DFHUSXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHUS0006 *applid* モジュール *modname* に、**Getmain** (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。 **MVS** コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に

作成されます (コード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関係のある終了メッセージ (例えば、ドメイン・マネージャーからのもの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、すべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

関連する MVS コードの資料を参照して、MVS 戻りコードの診断情報を得ることができます。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHUSDM、DFHUSAD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*
4. *mvscode*

宛先: コンソール

DFHUS0050 *applid* The default userid *userid1* cannot be used by this CICS job with region userid *userid2*.

説明: システム初期設定パラメーター DFLTUSER に指定されたデフォルトのユーザー ID を、この CICS ジョブは使用することができません。

この CICS ジョブの領域ユーザー ID は、DFLTUSER システム初期設定パラメーターに指定されているユーザー ID の使用を許可されていません。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: デフォルトのユーザー ID と、CICS 領域のユーザー ID が正しいことを確認してください。

両方のユーザー ID が正しい場合は、必要な許可を取得し、CICS 領域ユーザー ID がデフォルトのユーザー ID を使用できるようにしてください。これにはセキュリティ管理者のサポートが必要なことがあります。

前にジョブによって作成されたメッセージがあり、追加情報が示されていることもあります。

モジュール: DFHUSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *userid1*
3. *userid2*

宛先: コンソール

DFHUS0070 *applid* CICS 領域のユーザー ID (*userid*) のセキュリティ検査が失敗しました。
SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*).
ESM コード: (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).
USAD 理由コード: (*reason*).

説明: CICS 領域ユーザー ID のセキュリティを確立しようとしたのですが、これは外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。メッセージ内の応答および理由コードの意味については、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」(SA22-7608) および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解

説書」(SA88-8621) を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

ESM コードおよび SAF コードで問題が十分に説明されていない場合、IBM サポートで USAD 応答コードの分析が行うことが可能です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHUSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *userid*
3. *X'safresp'*
4. *X'safreas'*
5. *X'esmresp'*
6. *X'esmreas'*
7. *reason*

宛先: コンソール

DFHUS0100 *applid*CICS は ENF イベント 71 を **listen** できません。ユーザーの RACF 属性の変更が有効になるのは、USRDELAY タイムアウトの後だけです。

説明: CICS は、z/OS に登録して ENF イベント 71 を **listen** することができませんでした。このイベントは、適格なユーザー ID が次回使用されるときに新規プロファイルが適用されるようにするため、ユーザーの RACF プロファイルが変更されると、CICS に通知します。

システムの処置: ダンプ・テーブルでこのダンプ・コードのダンプを明確に使用不可にしていない限り、システム・ダンプがとられます。RACF プロファイルの変更は、セッションの USRDELAY 期間が満了した場合にのみ有効になります。このメカニズムについての説明は、USRDELAY SIT パラメーターを参照してください。

ユーザーの処置: エラー情報は、この障害の例外トレース・ポイント DMDM 0090 で提供されます。イベントの説明については、「MVS Authorized Assembler Services Guide」を参照してください。

モジュール: DFHUSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHUS0120 *applid* **An error occurred when performing SNSCOPE checking for a signon request.**

説明: SNSCOPE 検査の一部として発行される MVS ENQ が失敗しました。戻りコードは、CICS ジョブが同時リソース要求の制限に達したことを示します。

システムの処置: ダンプ・テーブルでこのダンプ・コードのダンプを特に使用可能にしていない限り、システム・ダンプは抑止されます。サインオン要求は拒否されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: MVS ENQ 制限を大きくする方法についての詳細は、「OS/390 MVS Programming Authorized Assembler Services Guide」を参照してください。MVS ENQ は CICS により無許可の状態で発行されます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHUSAD、DFHUSFL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHUS0150 *applid* **An attempt to establish security has failed for userid *userid* in group *groupid*, {no terminal, | *netname* | *console* } *portname* *applid* *applid*. Unable to initialize the transaction *tranid*. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').**

説明: 端末またはコンソール *portname* およびアプリケーション *applid* に対して許可されているリソース・アクセスに関して、グループ *groupid* のユーザー ID *userid* のセキュリティを確立する試みがなされました。この試みは、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により拒否されました。

トランザクション *tranid* を初期設定することはできません。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティ

は確立されませんでした。トランザクションの初期設定の試みは失敗しました。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHUSXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *userid*
3. *groupid*
4. 以下のオプションから選択される値。

99 = 端末なし

1= ネット名

2= コンソール

5. *portname*
6. *applid*
7. *tranid*
8. X'safresp'
9. X'safreas'
10. X'esmresp'
11. X'esmreas'

宛先: コンソール

DFHUS0200 *date time applid* **User *userid* in group *groupid* { at *netname* | at *console* } *portname* has been timed out.**

説明: グループ *groupid* のユーザー *userid* (該当する場合は、端末 *portname* の) は、この CICS システムから

除去されました。このユーザー ID が使用されないでいる期間が、USRDELAY システム初期設定パラメーターに指定された期間を超えたためです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: USRDELAY についての詳細は、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHUSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *groupid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名
2= コンソール

7. *portname*

宛先: CSCS

DFHUS0300 *date time applid* **An ICRX has been supplied without a realm for DNAME='dname'.**

説明: ICRX 内の CICS に識別名とともに分散 ID が提供されましたが、レルムが指定されていません。これは、ICRX を提供したクライアントの構成エラーです。*dname* で指定された識別名を使用して、分散ユーザーを識別できます。

システムの処置: ICRX は拒否されます。

ユーザーの処置: 構成エラーを訂正して、ICRX を定義してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dname*

DFHW2nnnn メッセージ

DFHW20001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログ

宛先: CSCS

DFHUS0350 *applid* **The KERBEROSUSER *userid* has not been defined correctly to the external security manager (ESM). SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'safreas'*).**

説明: システム初期設定パラメーター

KERBEROSUSER に指定された Kerberos ユーザー ID が無効です。

システムの処置: CICS 初期設定が終了し、ダンプが提供されます。

ユーザーの処置: システム初期設定パラメーター

KERBEROSUSER に指定された Kerberos ユーザー ID が正しいことを確認してください。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ・リファレンス」を参照してください。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

エラーを訂正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHUSDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *userid*
3. *X'safresp'*
4. *X'safreas'*
5. *X'esmresp'*
6. *X'safreas'*

宛先: コンソール

ラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性あることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該

当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHW2AC, DFHW2AT, DFHW2DM, DFHW2FD, DFHW2RP, DFHW2SD, DFHW2UE, DFHW2W2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHW20002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHW2AC, DFHW2AT, DFHW2DM, DFHW2FD, DFHW2RP, DFHW2SD, DFHW2ST, DFHW2UE, DFHW2W2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHW20004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されないときは、この問題を解決するために IBM のサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHW2AC, DFHW2AT, DFHW2FD, DFHW2RP, DFHW2SD, DFHW2UE, DFHW2W2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHW20006 *applid* モジュール *modname* に、**Getmain** (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。 **MVS** コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS 戻りコードの診断情報は、関連する MVS コードの資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で説明されています。

DSA または EDSA の全体のサイズ制限を小さくするようにしてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHW2DM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*

3. *modname*4. *mvscode*

宛先: コンソール

DFHW20100I *applid* Web2.0 domain initialization has started.

説明: これは、初期設定が Web2.0 ドメインに対して開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHW2DM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHW20101I *applid* Web2.0 domain initialization has ended.

説明: これは、初期設定が Web2.0 ドメインに対して正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHW2DM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHW20110 *date time applid userid* ATOMSERVICE *atomservice* has been created.

説明: これは、ATOMSERVICE *atomservice* を、INSTALL コマンドを使用してシステムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHW2AT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *userid*5. *atomservice*

宛先: CWBO

DFHW20111 *date time applid userid* ATOMSERVICE *atomservice* was successfully discarded.

説明: これは、ATOMSERVICE *atomservice* が DISCARD コマンドを使用してシステムから除去されたことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHW2AT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *userid*

5. *atomservice*

宛先: CWBO

DFHW20120 *date time applid* Configuration file *filename* is being analyzed for ATOMSERVICE *atomservice*.

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイル *filename* の XML ステートメントが分析されています。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *filename*

5. *atomservice*

宛先: CWBO

DFHW20121 *date time applid* Configuration file *filename* for ATOMSERVICE *atomservice* was not found.

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイル *filename* が見つかりませんでした。

システムの処置: ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: ATOMSERVICE CONFIGFILE 属性内の名前に対応するファイルを z/OS UNIX ファイル・システムに作成してください。

モジュール: DFHW2AC、DFHW2SD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*
5. *atomservice*

宛先: CWBO

DFHW20122 *date time applid* **The XML in the configuration file for ATOMSERVICE *atomservice* is not well-formed. Response codes from the XML System Services parser are (X'return-code', X'reason-code').**

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイルの XML は整形形式ではありません。z/OS XML System Services パーサーから戻りコード *return-code* および理由コード *reason-code* が戻されました。

システムの処置: ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: パーサーによって返された戻りコードおよび理由コードの意味を判別するには、z/OS 資料の「XML System Services ユーザーズ・ガイドおよび解説書」マニュアルを参照してください。

例えば、戻りコードが「4」に設定され、理由コードが「1301」に設定された場合、「入力バッファの終わりに到達した」ため「警告」を暗黙に意味します。さらに、予期される終了タグが見つかる前に XML ブロックの終わりに到達したことを示している場合もあります。

構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *X'return-code'*
6. *X'reason-code'*

宛先: CWBO

DFHW20123 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE *atomservice*. Namespace URI *ns-uri* is not recognized.**

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、XML 名前空間 URI *ns-uri* が検出されました。この名前空間はこの構成ファイルでは無効です。

システムの処置: ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *ns-uri*

宛先: CWBO

DFHW20124 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE *atomservice*. XML エlement *element* が認識されません。**

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、認識されない XML エlement (タグ名) が検出されました。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *element*

宛先: CWBO

DFHW20125 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE** *atomservice*. XML ルート・エレメントは無効です。

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイル进行分析しているときに、XML 文書のルート・エレメント (最初の XML タグ) は無効であることが検出されました。ルート・エレメントは <atomservice> でなければなりません。

システムの処置: ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*

宛先: CWBO

DFHW20126 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE** *atomservice*. 子エレメント *prefix1:element1* はエレメント *prefix2:element2* 内で無効です。

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイル进行分析しているときに、XML エレメント階層エラーが発生しました。エレメント *prefix1:element1* は、それが含まれているエレメント *prefix2:element2* の子エレメントとして無効です。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *prefix1*
6. *element1*
7. *prefix2*
8. *element2*

宛先: CWBO

DFHW20127 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE** *atomservice*. 属性 *prefix1:attr1* はエレメント *prefix2:element2* で無効です。

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイル进行分析しているときに、無効な属性が検出されました。属性 *prefix1:attr1* は、それが含まれているエレメント *prefix2:element2* で無効です。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *prefix1*
6. *attr1*
7. *prefix2*
8. *element2*

宛先: CWBO

DFHW20128 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE** *atomservice*. エレメント *prefix2:element2* の属性 *prefix1:attr1* に不正な値 *attrval* が含まれています。

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイル进行分析しているときに、無効な属性値が検出されました。値 *attrval* は、エレメント *prefix2:element2* の属性 *prefix1:attr1* には無効です。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC、DFHW2AT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *atomservice*
5. *prefix1*
6. *attr1*
7. *prefix2*
8. *element2*
9. *attrval*

宛先: CWBO

DFHW20129 *date time applid Configuration error for ATOMSERVICE atomservice.* 必須属性 *prefix1:attr1* がエレメント *prefix2:element2* で見つかりませんでした。

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、必要な XML 属性が省略されていることが検出されました。属性 *prefix1:attr1* は、*prefix2:element2* エレメントに指定する必要があります。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *prefix1*
6. *attr1*
7. *prefix2*
8. *element2*

宛先: CWBO

DFHW20130 *date time applid Configuration error for ATOMSERVICE atomservice. Required element prefix1:element1 { with attributes } attrib-list was not found within element prefix2:element2.*

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、必要な XML エレメントが省略されていることが検出されました。必要なエレメント *prefix1:element1* が、それが含まれているエレメント *prefix2:element2* の子エレメントとして見つかりませんでした。場合によっては、省略されたエレメントのインス

タンスには、特定の属性が必要な場合があります。その場合、これらは「属性」という句の後の *attrib-list* にリストされています。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *prefix1*
6. *element1*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 属性

8. *attrib-list*
9. *prefix2*
10. *element2*

宛先: CWBO

DFHW20131 *date time applid Configuration error for ATOMSERVICE atomservice.* 子エレメント *prefix1:element1* がエレメント *prefix2:element2* 内に複数回出現します。

説明: ATOMSERVICE *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、XML エレメント階層エラーが発生しました。エレメント *prefix1:element1* は、それが含まれているエレメント *prefix2:element2* の子エレメントとして既に存在しますが、このエレメントの重複インスタンスは許可されていません。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *atomservice*
 5. *prefix1*
 6. *element1*
 7. *prefix2*
 8. *element2*
- 宛先: CWBO

DFHW20133 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE** *atomservice*. エレメント *prefix2:element2* の属性 *attr1* の値が、**ATOMSERVICE** 定義の属性の値 *attr3* と一致しません。

説明: **ATOMSERVICE** *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、無効な属性値が検出されました。エレメント *prefix2:element2* の属性 *attr1* の値が、**ATOMSERVICE** 定義の属性 *attr2* の値と一致しません。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、**ATOMSERVICE** はインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイルまたは **ATOMSERVICE** 定義内の XML 構文を訂正してください。

モジュール: DFHW2AC、DFHW2AT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *attr1*
6. *prefix2*
7. *element2*
8. *attr3*

宛先: CWBO

DFHW20134 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE** *atomservice*. 構成ファイル内のバージョン番号 *version* は、このレベルの **CICS** ではサポートされていません。

説明: **ATOMSERVICE** リソース *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、「*version*」属性について無効な値が検出されました。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成には無効のマークが付けられ、**ATOMSERVICE** リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイルは、この **CICS** のリリースでは使用できません。構成ファイルの *version* 属性の値を変更するか、構成ファイルのこのバージョンをサポートする **CICS** のリリースに **ATOMSERVICE** をデプロイしてください。

モジュール: DFHW2AC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *version*

宛先: CWBO

DFHW20135 *date time applid* **Configuration error for ATOMSERVICE** *atomservice*. エレメント *prefix:element* の属性 *attr1* は、バージョン *version* の構成ファイルでは使用不可です。

説明: **ATOMSERVICE** リソース *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、無効な属性値が検出されました。エレメント *prefix:element* に対して属性 *attr1* を使用するには、**ATOMSERVICE** リソースの構成ファイルに、より高いバージョン番号を指定する必要があります。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成は無効としてマークされ、**ATOMSERVICE** リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内のバージョン番号を訂正してください。

モジュール: DFHW2AT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *attr1*
6. *prefix*
7. *element*
8. *version*

宛先: CWBO

DFHW20136 *date time applid Configuration error for ATOMSERVICE atomservice. エレメント prefix2:element2 内のエレメント prefix1:element1 は、バージョン version の構成ファイルでは使用不可です。*

説明: ATOMSERVICE リソース *atomservice* の構成ファイルを分析しているときに、無効なエレメントが検出されました。エレメント *prefix2:element2* に対してエレメント *prefix1:element1* を使用するには、ATOMSERVICE の構成ファイルに、より高いバージョン番号を指定する必要があります。

システムの処置: 構成ファイルの分析は続行されますが、構成は無効としてマークされ、ATOMSERVICE リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: 構成ファイル内のバージョン番号を訂正してください。

モジュール: DFHW2AT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. *prefix1*
6. *element1*
7. *prefix2*
8. *element2*
9. *version*

宛先: CWBO

DFHW20137 *date time applid Install for ATOMSERVICE atomservice has failed because {an ATOMSERVICE with the same name already exists | an authorization error occurred | of a problem with the ATOMSERVICE configuration file | the URIMAP could not be created | an unspecified error occurred}.*

説明: ATOMSERVICE は BUNDLE からインストールできません。

システムの処置: BUNDLE は DISABLED 状態でインストールされます。

ユーザーの処置: 構成ファイルに問題がある場合、別の CICS メッセージが発行されている必要があります。そのメッセージを確認して、報告された問題を訂正してください。

URIMAP の問題がある場合、これは別の URIMAP が同じ PATH を使用して既にインストールされていることを示す可能性があります。別の PATH を使用することを検討してください。

モジュール: DFHW2RL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *atomservice*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 同名の ATOMSERVICE がすでに存在する

2= 許可エラーが発生した

3= ATOMSERVICE 構成ファイルの問題

4= URIMAP を作成できなかった

5= 詳細不明のエラーが発生した

宛先: CWBO

DFHW20141 *date time applid The bind file filename for ATOMSERVICE atomservice was not found.*

説明: ATOMSERVICE *atomservice* のバインド・ファイル *filename* が見つかりませんでした。

システムの処置: ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: CICS XML アシスタントを使用して、ATOMSERVICE BINDFILE 属性内の名前に対応するファイルを z/OS UNIX ファイル・システムに作成してください。

モジュール: DFHW2AT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*
5. *atomservice*

宛先: CWBO

DFHW20142 *date time applid CICS is not authorized to access {CONFIGFILE | BINDFILE} filename for ATOMSERVICE atomservice.*

説明: CICS 領域ユーザー ID はファイル *filename* へのアクセスが許可されていません。このファイルは、ATOMSERVICE *atomservice* の CONFIGFILE または

DFHW20151 • DFHW20161

BINDFILE として使用されています。

システムの処置: ATOMSERVICE はインストールされません。

ユーザーの処置: CICS 領域ユーザー ID がアクセスできる別のファイルの名前を指定するか、UNIX System Services のファイル許可機能 (chmod コマンドなど) を使用して、指定したファイルにアクセスするための許可を CICS 領域ユーザー ID に付与してください。

モジュール: DFHW2AT、DFHW2SD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=CONFIGFILE,
2=BINDFILE

5. *filename*
6. *atomservice*

宛先: CWBO

DFHW20151 *date time applid Service program
service-prog terminated abnormally with
abend code abcode processing req-method
for ATOMSERVICE atomserv.*

説明: ATOMSERVICE *atomserv* のサービス・ルーチンとして使用されているプログラム *service-prog* は、異常終了コード *abcode* を出して異常終了しました。ATOMSERVICE は、HTTP メソッド *req-method* の要求を処理していました。

システムの処置: 一部の Atom 応答は生成されますが、障害が起きたプログラムによって提供されていたはずの内容は含まれません。

ユーザーの処置: トレースまたはダンプなどの診断情報を調べて、プログラムに障害が起きた理由を突き止めてください。サービス・プログラムが CICS によって提供されている場合 (つまり、その名前が DFH または EYU で始まる場合)、IBM に連絡してサポートを求めてください。

モジュール: DFHW2FD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *service-prog*

5. *abcode*
6. *req-method*
7. *atomserv*

宛先: CWBO

DFHW20160 *W date time applid ファイル filename
は access アクセスを NO に設定して
います。ATOMSERVICE atomserv の
httpmeth 要求を満たすことができませ
ん。*

説明: ファイル *filename* は *access* アクセスを NO に設定しています。ATOMSERVICE *atomserv* の *httpmeth* 要求を満たすことができません。

システムの処置: エラー応答がクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: 今後の ATOM 要求が正常に完了できるようにするには、ファイル定義に対するアクセス許可を変更する必要があります。ATOM フィードの場合、ファイルは READ 要求および BROWSE 要求のアクセスを許可する必要があります。ATOM コレクションの場合、HTTP 要求の POST、PUT、および DELETE は、ファイル定義でそれぞれ ADD、UPDATE、および DELETE も許可する必要があります。

モジュール: DFHW2FI、DFHW2FR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filename*
5. *access*
6. *httpmeth*
7. *atomserv*

宛先: CWBO

DFHW20161 *date time applid Referenced resource
resource has a type that is not
supported for delivering feeds.
ATOMSERVICE atomservice が無効にな
りました。*

説明: ATOMSERVICE *atomservice* によって参照される CICS リソース *resource* は、Atom フィードとしてのアクセス用にサポートされているタイプで定義されていません。例えば、非固有キーを持つ代替索引によって参照される BDAM ファイルや VSAM ファイルである可能性があります。これらのファイル・タイプにはフィード

としてアクセスできません。

システムの処置: ATOMSERVICE リソースは使用不可です。

ユーザーの処置: ATOMSERVICE によって参照されるリソースを、フィードの配信用にサポートされているリソースに変更してください。その後、ATOMSERVICE を使用可能に設定してください。

モジュール: DFHW2FD

DFHWBnnnn メッセージ

DFHWB0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性あることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です (例えば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです)。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがあるならば、それを関連する MVS コードの資料で調べてください。

次に、CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。ま

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *atomservice*

宛先: CWBO

た、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBWB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHWB0002 applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBST, DFHWBTC, DFHWBDM, DFHWBQM, DFHWSR, DFHWSBM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHWB0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとしても、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ終了されていない場合には、その

問題が CICS を終了させる程重大であるのかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* が終了され、CICS が続行されることを意味します。

SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されないときは、この問題を解決するために IBM のサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBST, DFHWBTC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHWB0006 *applid* モジュール *modname* に、Getmain (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。MVS コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

初期設定時に、CICS は SIT 内にコーディングされたユーザーの *applid* にアクセスできない場合があります。このような状況で CICS がこのメッセージを作成する場

合、CICS はデフォルトの *applid* 値 DBDCCICS を使用します。

システムの処置: CICS は終了し、システム・ダンプが作成されます。例外項目 (メッセージ内のコード *code*) がトレース・テーブルに作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS 戻りコードの診断情報は、関連する MVS コードの資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で説明されています。

DSA または EDSA の全体のサイズ制限を小さくするようにしてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。まだ CICS が終了していない場合には、これを実行するために CICS をダウンさせる必要があります。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHWBST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*
4. *mvscode*

宛先: コンソール

DFHWB0100 *date time applid tranid CICS Web* インターフェイス・プログラムはプログラム **DFHWBBLI** にリンクできません。
EIBRESP: *eibresp*. **EIBRESP2:** *resp2val*.
 ホスト **IP アドレス:** *hostaddr*. クライアント **IP アドレス:** *clientaddr*. |
TCPIPService: } *tcpipservice*

説明: 別名プログラムが EXEC CICS LINK を使用しましたが、プログラム DFHWBBLI にリンクできませんでした。

システムの処置: リンクは中止されます。Web ブラウザーに HTTP 応答コードの 500 (内部サーバー・エラー) が戻されます。この別名プログラムは異常終了コード AWBL で異常終了します。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを使用して、プログラム DFHWBBLI の定義およびインストールが正しく行われていることを確認してください。

モジュール: DFHWBBA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp*
6. *resp2val*
7. *hostaddr*
8. *clientaddr*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPService*:

10. *tcpipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0101 *date time applid tranid CICS Web* インターフェイス別名プログラム **DFHWBBA** はプログラム **DFHWBBLI** で障害を検出しました。**Host IP address:** *hostaddr*. クライアント **IP アドレス:** *clientaddr*. |
TCPIPService: } *tcpipservice*

説明: プログラム DFHWBBLI がこの別名プログラムにエラー応答を戻しました。

システムの処置: 要求は中止されます。プログラム DFHWBBLI によって戻されるエラー応答が HTTP 応答に入れられて Web ブラウザーに戻されます。

403

要求に関連付けられているユーザー ID は、要求したコンバーター・プログラムまたは要求したサーバー・プログラムを呼び出す権限がありません。

404

CICS が、要求されたプログラムを見つけることができなかったため、変換プログラムまたはサーバー・プログラムとのリンクは失敗しました。

500

変換プログラムまたはサーバー・プログラムへのリンクは、予期しないエラーが起きて失敗しました。

503

変換プログラムまたはサーバー・プログラムへのリンクは以下のいずれかの理由で失敗しました。

- サーバー・プログラムが「リモート」として定義されているが、このプログラムとのリンクが SYSID エラーで失敗したので、リモート接続が正しく定義されていないか、活動状態になっていない。
- 変換プログラムまたはサーバー・プログラムへのリンクが ROLLEDBACK 応答で失敗した。

別名は、URM DFHWBEP によって抑止されない限り、異常終了コード AWBM で異常終了します。

ユーザーの処置: プログラム DFHWBBLI と、それが呼び出すプログラムを検査してください。

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCPIPSERVICE:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0102 *date time applid tranid* **The CICS Web Interface alias program has received an incorrect response on a call made to CICS during alias initialization.**
EIBRESP: *eibresp* **EIBRESP2:** *resp2val*.{ | TCPIPSERVICE: } *tcipSERVICE*

説明: この別名プログラムは、別名の初期設定時に CICS に対して行った呼び出しで予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード AWBI で異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。 続行する

方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *eibresp*
6. *resp2val*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCPIPSERVICE:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0103 *date time applid tranid* **CICS Web** インターフェース別名プログラムは、別名の初期化の間に **CICS** に対して行われた呼び出しで、エラー応答 (コード X'*code*') を受け取りました。{ | TCPIPSERVICE: } *tcipSERVICE*

説明: この別名プログラムがこの要求の START データを見つけることができなかったか、START データが無効でした。エラー応答コード X'*code*' は、どのエラーが発生したかを一意的に識別する例外トレース・ポイント *id* です。コード '4565'X は START データが欠落していることを意味し、コード '4566'X は START データが無効であったことを意味します。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード AWBF で異常終了し、トレース項目がトレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: 別名プログラム DFHWBA は、CICS Web インターフェースによって開始された別名トランザクションに対してのみ使用されます。ユーザー作成のアプリケーションは、別名トランザクションに渡されるデータが期待される形式になっていないので、別名トランザクションを開始すべきではありません。

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *X'code'*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCIPSERVICE*:

7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0106 *date time applid tranid* **The CICS Web Interface program DFHWBA has detected an error.**{ | *TCIPSERVICE*: } *tcipSERVICE*

説明: 別名プログラムがエラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。この別名プログラムは異常終了コード AWBH で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCIPSERVICE*:

6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0108 *date time applid tranid* **CICS Web** インターフェイス別名プログラムは異常終了を検出しました。ホスト **IP** アドレス: *hostaddr*。クライアント **IP** アドレス: *clientaddr*。{ | *TCIPSERVICE*: } *tcipSERVICE*

説明: 別名プログラムが異常終了を検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは異常終了コード AWBK で異常終了します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHWBA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCIPSERVICE*:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0109I *applid* **Web domain initialization has started.**

説明: これは、Web ドメイン初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHWBDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWB0110I *applid* **Web domain initialization has ended.**

説明: Web ドメインの初期設定は正常に完了しました。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHWBDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWP0111 *applid* **WB Domain initialization failed.**
Reason Code: *X'rc'*.

説明: CICS の Web ドメイン初期設定は、理由コード *rc* で失敗しました。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

CICS Web 環境のコンポーネントをこれ以降呼び出して、その呼び出しは失敗します。

ユーザーの処置: 理由コード *rc* を使用して、初期設定が失敗した理由を判別してください。次の理由が考えられます。

- 1
Web アンカー・ブロックのためのストレージを取得できませんでした。
- 5
状態管理機能アンカー・ブロックのためのストレージを取得できませんでした。
- 6
状態トークン・ディレクトリーの作成が失敗しました。
- 7
状態管理に必要なサブプールを追加できませんでした。
- 8
HTTP バッファに必要サブプールを追加できませんでした。
- 9
Web 状態管理機能のロックの追加が失敗しました。
- A
3270 バッファに必要サブプールを追加できませんでした。

B
Web 要求クラスの初期設定が失敗しました。

モジュール: DFHWPBDM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rc'*

宛先: コンソール

DFHWP0114 *date time applid tranid* **HTTP** サービスが非 **HTTP** 要求を受信しました。要求は拒否されました。ホスト **IP** アドレス: *hostaddr*。クライアント **IP** アドレス: *clientaddr*。{ | **TCPIP**SERVICE: } *tcpipservice*

説明: CICS Web サポートは、HTTP **TCPIP**SERVICE に対する 非 HTTP 要求または SSL 要求を受け取りました。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: **TCPIP**SERVICE 定義を、送信されている要求のタイプに適合するように訂正してください。特定の領域に CICS Explorer を接続しようとしているときにこのメッセージを受け取る場合、正しい領域に接続していること、および SIT で **CPSMCONN**=**LMAS** が指定されていないことを確認してください。

モジュール: DFHWPBXN、DFHWPBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= **TCPIP**SERVICE:

8. *tcpipservice*

宛先: CWBO

DFHWP0117 *date time applid tranid* **The CICS Web Interface program DFHWPBBLI has received a corrupt parameter list from the converter program** *program_name* **during** {*Decode* | *Encode*} **processing.**{ | **TCPIP**SERVICE: } *tcpipservice*

説明: プログラム DFHWPBBLI はデコードまたはエンコード処理中にコンバーター・プログラム *program_name* からエラー応答を受け取り、受け取り中のパラメーター・リストが壊れていました。

システムの処置: クライアントにエラー・メッセージが送られ、例外トレース項目がトレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: 使用されているコンバーター・プログ

ラムが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*
6. 以下のオプションから選択される値。

4= デコード
5= エンコード

7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCIPSERVICE*:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0118 *date time applid tranid The CICS Web Interface program DFHWBBLI has detected an error.{ | TCIPSERVICE: } tcipSERVICE*

説明: プログラム DFHWBBLI がエラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。トランザクションは異常終了コード AWBR で異常終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCIPSERVICE*:

6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0119 *date time applid tranid The CICS Web Interface program DFHWBBLI has been started incorrectly.{ | TCIPSERVICE: } tcipSERVICE*

説明: 初期設定情報の妥当性検査を行っているときにプログラム DFHWBBLI がエラーを検出しました。原因は、このプログラムが正しく始動されなかったことが考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了コード AWBQ で異常終了します。

ユーザーの処置: プログラムが一時データ・トリガー・レベルで始動されなかったのか、CECI ユーザーによって始動されなかったのかを検査してください。

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCIPSERVICE*:

6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0120 *date time applid tranid The CICS Web Interface program DFHWBBLI cannot link to program program_name. EIBRESP: eibresp EIBRESP2: resp2val.{ | TCIPSERVICE: } tcipSERVICE*

説明: プログラム DFHWBBLI が EXEC CICS LINK を使用しましたが、所定のプログラムにリンクすることができず、EIB 応答が戻されました。

システムの処置: リnkは中止されます。

ユーザーの処置: プログラム定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program_name*

6. *eibresp*
7. *resp2val*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCIPSERVICE*:

9. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWP0121 *date time applid tranid* The CICS Web Interface program DFHWPBLL encountered an error during Decode processing in the converter program.
Response code: *respcode*, **reason code:** *reasoncode*.{ | *TCIPSERVICE*: }
tcipservice

説明: コンバーター・プログラムのデコード機能がエラーを戻しました。

システムの処置: クライアントにエラー・メッセージが送られます。

ユーザーの処置: 挿入される応答コードは、コンバーター・プログラムによって戻された応答コードです。挿入される理由コードは、コンバーター・プログラムによって戻された理由コードです。

これらのフィールドに CICS が定義している値は、コピーブック DFHWPUCD の中で定義されています。応答コードに CICS が定義している値は次のとおりです。

0

OK

4

例外

8

与えられたデータが無効

16

災害

理由コードに CICS が定義している値は次のとおりです。

1

セキュリティー障害

2

クライアント・データが壊れている

ユーザーは分析機能から戻される応答コードおよび理由コードに独自の値を定義することができますが、使用する値は、CICS 提供のコピーブック DFHWPUCD に定義されている値以外でなければなりません。

戻された応答コードと理由コードを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHWPBLL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *tranid*

5. *program*

6. *respcode*

7. *reasoncode*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCIPSERVICE*:

9. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWP0122 *date time applid tranid* The CICS Web Interface program DFHWPBLL encountered an error during Encode processing in the converter program.
Response code: *respcode*, **reason code:** *reasoncode*.{ | *TCIPSERVICE*: }
tcipservice

説明: コンバーター・プログラムのエンコード機能がエラーを戻しました。

システムの処置: クライアントにエラー・メッセージが送られます。

ユーザーの処置: 挿入される応答コードは、コンバーター・プログラムによって戻された応答コードです。挿入される理由コードは、コンバーター・プログラムによって戻された理由コードです。

これらのフィールドに CICS が定義している値は、コピーブック DFHWPUCD の中で定義されています。応答コードに CICS が定義している値は次のとおりです。

0

OK

4

例外

8

与えられたデータが無効

16

災害

理由コードに CICS が定義している値は次のとおりです。

1

セキュリティ障害

2

クライアント・データが壊れている

ユーザーは分析機能から戻される応答コードおよび理由コードに独自の値を定義することができますが、使用する値は、CICS 提供のコピーブック DFHWBUCD に定義されている値以外でなければなりません。

戻された応答コードと理由コードを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHWBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. *respcode*
7. *reasoncode*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCIPSERVICE:

9. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0123 *date time applid tranid* The CICS Web Interface program DFHWBA1 has detected an error.{ | TCIPSERVICE: } *tcipservice*

説明: プログラム DFHWBA1 がエラーを検出しました。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。 トランザクションは異常終了コード AWBR で異常終了します。 この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHWBA1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCIPSERVICE:

6. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0124 *date time applid tranid* The CICS Web Interface program DFHWBA1 has been started incorrectly.{ | TCIPSERVICE: } *tcipservice*

説明: 初期設定情報の妥当性検査を行っているときにプログラム DFHWBA1 がエラーを検出しました。原因は、このプログラムが正しく始動されなかったことが考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了コード AWBQ で異常終了します。

ユーザーの処置: プログラムが一時データ・トリガー・レベルで始動されなかったのか、CECI ユーザーによって始動されなかったのかを検査してください。

モジュール: DFHWBA1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCIPSERVICE:

6. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWP0125 *date time applid tranid* **The CICS Web Interface program DFHWPBBLI has detected an abend issued by the program *program.* | TCPIPService: } tcpipservice**

説明: プログラム DFHWPBBLI が、要求を処理していたプログラムによる異常終了を検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは制御を呼び出し元に戻します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHWPBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIPService:

7. *tcpipservice*

宛先: CWBO

DFHWP0126 *date time applid tranid* **The CICS Web Interface program DFHWPBBLI has detected an abend issued by Encode in converter program *program.* | TCPIPService: } tcpipservice**

説明: プログラム DFHWPBBLI が、エンコード処理中に要求を処理していたプログラムによる異常終了を検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは制御を呼び出し元に戻します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHWPBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

5. *program*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIPService:

7. *tcpipservice*

宛先: CWBO

DFHWP0127 *date time applid tranid* **The CICS Web Interface program DFHWPBBLI has detected an abend issued by Decode in converter program. *| TCPIPService: } tcpipservice***

説明: プログラム DFHWPBBLI が、デコード処理中に要求を処理していたコンバーターによる異常終了を検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは制御を呼び出し元に戻します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHWPBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIPService:

7. *tcpipservice*

宛先: CWBO

DFHWP0128 *date time applid tranid* **An error has been detected by program *program.* | TCPIPService: } tcpipservice**

説明: プログラム DFHWPBBLI がエラーを検出しました。

システムの処置: この別名プログラムは制御を呼び出し元に戻します。

ユーザーの処置: 診断情報を調べて、エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHWPBBLI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *program*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

7. *tcipSERVICE*

宛先: *CWBO*

DFHWB0130 *date time applid tranid No state token*
passed to program DFHWBLT.{ |
TCPIPSERVICE: } tcipSERVICE

説明: プログラム DFHWBLT が、期待していた状態トークンを渡されませんでした。

システムの処置: トランザクションはコード AWC2 で異常終了し、例外トレース項目 410C が書き込まれます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

6. *tcipSERVICE*

宛先: *CWBO*

DFHWB0131 *date time applid tranid An error code*
X'code' occurred in DFHWBLT while
accessing the Web state data for this
transaction.{ | TCPIPSERVICE: }
tcipSERVICE

説明: Web ブリッジ出口プログラム DFHWBLT が、このトランザクション用に保持されている Web 状態データにアクセスしようとしていたときにエラーを検出しました。

システムの処置: 例外トレース項目が、トレース・テーブル内にコード *X'code'* を使って作成されます。ブリッジ出口が CICS Web インターフェース別名トランザクションとのパートナー関係を確立しようとしていた場合には、トランザクションは異常終了コード AWC1 で異常終了します。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* を使用して、障害の理由を判別してください。

4106

関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションとのパートナー関係を確立できません。

4107

DFHWBLT のこのインスタンスと、それに関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションの間のパートナー関係を終了させるための呼び出しが失敗しました。

4108

DFHWBLT のこのインスタンスに関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションを待つための呼び出しが失敗しました。

4109

DFHWBLT のこのインスタンスに関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションを再活動化するための呼び出しが失敗しました。

4112

このトランザクションの状態データを更新するための呼び出しが失敗しました。

4113

このトランザクションの状態データを検索するための呼び出しが失敗しました。

4114

DFHWBLT のこのインスタンスに関連付けられている別名タスクが、必要な状態になっていませんでした。

4116

DFHWBLT のこのインスタンスと、それに関連付けられた CICS Web インターフェース別

DFHWB0132 • DFHWB0133

名トランザクションの間のパートナー関係を中断させるための呼び出しが失敗しました。

411B

DFHWBLT のこのインスタンス用の状態データを破棄するための呼び出しが失敗しました。

このエラーの最大の原因として、Web 状態データのタイムアウト間隔を超えてしまい、関連する状態データが削除されたことが考えられます。状態データのタイムアウト間隔が適切な値に設定されているかを確認してください。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'code'*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0132 *date time applid tranid Program*
DFHWBLT terminated due to storage
problems.{ | *TCPIPSERVICE*: }
tcipSERVICE

説明: DFHWBLT から出されたストレージの GETMAIN が失敗しました。ストレージがないので、処理を続行できません。

システムの処置: トランザクションはコード AWC5 で異常終了し、例外トレース項目 410D が書き込まれます。

ユーザーの処置: このエラーが繰り返し起きる場合、CICS システムのストレージのセットアップを調べる必要があるかもしれません。CICS ストレージの制御についての詳細は、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHWBLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1718 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0133 *date time applid tranid Error X'code'*
occurred during CICS Web 3270
transaction processing.{ |
TCPIPSERVICE: } *tcipSERVICE*

説明: プログラム DFHWBTTA が、Web ブリッジ・トランザクションを接続しようとしていたときにエラーを検出したか、Web 3270 ブリッジ出口プログラム DFHWBLT が内部エラーを検出しました。

システムの処置: トランザクションは HTTP クライアントに内部サーバー・エラー (HTTP 応答 500) を戻します。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* は、この障害に対応する CICS トレース項目を識別します。この項目から Web ブリッジ・トランザクションのトランザクション ID、さらにその特性を判別することができます。

CICS トレース出力を収集してください。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBTTA、DFHWBLT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'code'*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0134 *date time applid tranid Error X'code'*
 occurred resolving the AID from
 HTTP forms data in the CICS Web
 terminal translation application.{ |
 TCPIPService: } *tcipSERVICE*

説明: プログラム DFHWBTTA が、Web ブラウザーから戻された HTTP 書式データからアテンション ID を解決することができません。DFHWBTTA は HTTP 書式データを、この要求の宛先である CICS 端末向けトランザクションに必要な、正しい 3270 形式に変換します。アテンション ID (AID) はこの形式では必須部分です。DFHWBTTA は、CICS Web インターフェースで定義された命名規則に従って AID を表す *name=value* のペアを HTTP フォーム・データ内に見つけられないため、端末向けトランザクションに AID 値を返すことができません。

システムの処置: DFHWBTTA は HTTP クライアントに内部サーバー・エラー (HTTP 応答 500) を戻し、端末向けトランザクションとの交換を終了させます。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* は、この障害に対応する CICS トレース項目を識別します。HTTP フォーム・データはトレース・データとして生成されます。CICS トレース出力を収集してください。HTTP 書式データを調べて、Web ブラウザーから何が戻されたかを判別してください。Web ブラウザーが HTML フォームをサブミットしたのはどの HTML 入力タイプによるものであるかを識別してください。HTTP 書式データが壊れていることが問題の原因である可能性があります。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBTTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'code'*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIPService:

7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0135 *date time applid tranid Error X'code'*
 occurred resolving the next transaction
 identifier from HTTP forms data in
 the CICS Web terminal translation
 application.{ | TCPIPService: }
tcipSERVICE

説明: プログラム DFHWBTTA が、Web ブラウザーから戻された HTTP フォーム・データから次のトランザクション ID を解決することができません。

DFHWBTTA は HTTP 書式データを変換し、次に実行するトランザクションの ID を取り出します。HTTP 書式データの中で、CICS が定義した命名規則に合った、次のトランザクション ID を表すための *name=value* ペアが見つからないので、DFHWBTTA は、どの端末向けトランザクションを開始すべきかを判別できません。

システムの処置: DFHWBTTA は HTTP クライアントに内部サーバー・エラー (HTTP 応答 500) を戻します。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* は、この障害に対応する CICS トレース項目を識別します。HTTP フォーム・データはトレース・データとして生成されます。CICS トレース出力を収集してください。HTTP 書式データを調べて、Web ブラウザーから何が戻されたかを判別してください。HTTP 書式データが壊れていることが問題の原因である可能性があります。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBTTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'code'*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIPService:

7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0136 *date time applid tranid* **An error code**
X'code' has occurred as a result of the
Web State Garbage Collection process.{
 | *TCPIP**SERVICE:* } *tcpip**service*

説明: プログラム DFHWBLT が、このトランザクション用に保持されている Web 状態データにアクセスしようとしていたときにエラーを検出しました。 トランザクション待ち時間がガーベッジ収集の制限を超えて、状態ブロックがガーベッジ収集処理によって削除されました。

システムの処置: このエラーが DFHWBLT 内で起きた場合、アプリケーションに TERMERR 条件が戻され、処理は続行されます。 このエラーが DFHWBTTA 内で起きた場合、ブラウザにエラー応答が送られ、処理は続行されます。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* を使用して、どのモジュールがエラーを受け取ったかを判別してください。

4108

このエラーは DFHWBLT 内で発生しました。

420B

このエラーは DFHWBTTA 内で発生しました。

このエラーの原因は、Web 状態データのガーベッジ収集間隔を超えたために、関連する状態データが削除されたことです。状態データ用のガーベッジ収集間隔が適切な値に設定されていることを確認してください。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBLT、DFHWBTTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'code'*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIP**SERVICE:*

7. *tcpip**service*

宛先: CWBO

DFHWB0137 *date time applid tranid* **An error code**
X'code' occurred in DFHWBTTA while
 accessing the Web state data for this
 transaction.{ | *TCPIP**SERVICE:* }
*tcpip**service*

説明: Web 端末変換アプリケーション・プログラム DFHWBTTA が、このトランザクション用に保持されている Web 状態データにアクセスしようとしていたときにエラーを検出しました。

システムの処置: 例外トレース項目が、トレース・テーブル内にコード *X'code'* を使って作成されます。

ユーザーの処置: エラー・コード *code* を使用して、障害の理由を判別してください。

4203

関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションとのパートナー関係を確立できません。

4204

関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションとのパートナー関係を初期設定できません。

4205

DFHWBTTA のこのインスタンスに関連付けられている別名タスクが、必要な状態になっていませんでした。

4206

DFHWBTTA のこのインスタンス用の状態データを作成するための呼び出しが失敗しました。

4207

DFHWBTTA のこのインスタンス用の状態データを破棄するための呼び出しが失敗しました。

4208

DFHWBTTA のこのインスタンス用の状態データを検索するための呼び出しが失敗しました。

4209

関連付けられたトランザクションと DFHWBTTA の間に確立されているパートナー関係を切断するための呼び出しが失敗しました。

420A

DFHWBTTA のこのインスタンスに関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションを再活動化するための呼び出しが失敗しました。

420B

DFHWBTTA のこのインスタンスに関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションを待つための呼び出しが失敗しました。

420C

DFHWBTTA のこのインスタンスと、それに関連付けられた CICS Web インターフェース別名トランザクションの間のパートナー関係を終了させるための呼び出しが失敗しました。

4213

このトランザクションの状態データを更新するための呼び出しが失敗しました。

このエラーの最大の原因として、Web 状態データのタイムアウト間隔を超えてしまい、関連する状態データが削除されたことが考えられます。状態データのタイムアウト間隔が適切な値に設定されているかを確認してください。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBTTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'code'*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0150 *date time applid tranid* **The CICS HTML template manager could not locate template *template_name* in the HTML template data set.**{ | *TCPIPSERVICE*: } *tcipSERVICE*

説明: CICS HTML テンプレート管理機能 DFHWBTL が HTML データ・セットの中でテンプレート名 *template_name* を見つけられませんでした。

システムの処置: 3270 と HTML 間変換はこのテンプレ

レートなしで実行することはできないので、CICS はアプリケーションに TERMERR 条件を戻します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このテンプレートがテンプレート・ライブラリーの中に存在していることを確認してください。HTML テンプレートの作成方法については、CICS の資料を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWBTC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *template_name*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0151 *date time applid tranid* **CICS Web インターフェース 3270** エミュレーション・コードは、渡されたデータを処理できませんでした。{ | *TCPIPSERVICE*: } *tcipSERVICE*

説明: 3270 データ・ストリームを HTML に、さらにその逆に変換する CICS Web インターフェース・ルーチンがエラーを検出しました。これは、おそらく、EXEC CICS SEND コマンドで無効な 3270 データ・ストリームが渡されたか、ブラウザーが、EXEC CICS RECEIVE コマンドへの応答として扱うことができないデータを戻したことが原因です。

システムの処置: トランザクションはコード AEIP (INVREQ) で異常終了します。Web 状態管理コードが異常終了したタスクについて整理するときに、さらにメッセージが出されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CEDX またはトレースを使ってエラーになったデータを見て、送信しているアプリケーションを訂正してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWBTC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCPIP SERVICE:

6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0152 E *DATE TIME APPLID client_ip_addr tcipSERVICE* **The request receiver SOCB notify gate is unable to attach transaction transaction.**

説明: ソケット・ドメインは、TCPIP サービスに対して PROTOCOL HTTP、USER、または ISC が指定された要求を受け取りました。ただし、ソケットは、モジュール DFHWBSO のゲートが、TCPIP サービス定義で指定されたトランザクションに接続できなかったことを通知します。

システムの処置: 例外トレース・ポイント 0B07 が出されます。

ユーザーの処置: TCPIP サービス内の定義および指定されたトランザクションを確認してください。

モジュール: DFHWBSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *client_ip_addr*
5. *tcipSERVICE*
6. *transaction*

宛先: CWBO

DFHWB0153 E *DATE TIME APPLID client_ip_addr tcipSERVICE* **The web asynchronous socket receive failed with an IO error.**

説明: Web ソケットは、未解決の非同期ソケットが、入出力エラーで終了した要求を受け取ったため、アクション・コード ERROR でゲートが駆動されたことを通知します。

システムの処置: 例外トレース・ポイント 0B05 が出

されます。ソケットはクローズされ、要求は終了します。

ユーザーの処置: このポート上で入出力エラーが発生した理由を判別してください。

モジュール: DFHWBSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *client_ip_addr*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0154 E *DATE TIME APPLID client_ip_addr tcipSERVICE* **The request receiver SOCB notify gate is unable to obtain storage.**

説明: ソケット・ドメインは、PROTOCOL(ISC) を指定した TCPIP サービスに対する要求を受け取りました。ただし、ソケットは、モジュール DFHWBSO のゲートがストレージを取得できなかったことを通知します。これは、ストレージ不足 (SOS) 状態により GETMAIN が失敗したからです。

システムの処置: 例外トレース・ポイント 0B09 が出されます。

ユーザーの処置: SOS 条件が起きた理由を調べてください。SOS 条件の処理についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

後で、要求を再試行してください。

モジュール: DFHWBSO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *client_ip_addr*
5. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0360 *date time applid* **An attempt to establish security for userid *userid* has failed. Transaction *tranid* cannot be started. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM コード: (X'esmresp',X'esmreas'). Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: ユーザー ID *userid* に関してセキュリティを確立しようとしたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

トランザクション *tranid* を開始するためには、CICS Web 接続処理は、ユーザー ID *userid* に関して、TCPIPSERVICE *tcipSERVICE* 用に指定された分析機能 URM によってこのトランザクションに選択されているとおりにセキュリティが確立される必要があります。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。トランザクション開始の試行が失敗しました。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」および「z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」(SC28-1366) で説明されています。コードの説明については、これらの資料を参照してください。

CICS や外部セキュリティ・マネージャー (ESM) により、さらにメッセージが作成され、さらに情報を得られることがあります。

モジュール: DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *X'safresp'*
7. *X'safreas'*
8. *X'esmresp'*
9. *X'esmreas'*
10. *hostaddr*
11. *clientaddr*
12. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0361 *date time applid* **An attempt to attach a CICS Web alias transaction for userid *userid* has failed because the user is not authorized to execute transaction *tranid*. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: ユーザー ID *userid* によってトランザクション *tranid* を開始しようとしたが、その試みが拒否されました。

CICS Web 接続処理は、*userid* *userid* にトランザクション *tranid* を実行する権限がないため、トランザクション ID *tranid* の処理を開始できませんでした。このトランザクションは、TCPIPSERVICE *tcipSERVICE* 用に指定された分析機能 URM によって、この HTTP 要求のために選択されたものです。

システムの処置: トランザクション *tranid* の接続は失敗し、処理が続行されます。

ユーザーの処置: 分析機能 URM がなぜトランザクション *tranid* を選択したかを調べるか、許可トランザクション ID を選択するように分析機能 URM を変更してください。

モジュール: DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *hostaddr*
7. *clientaddr*
8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0362 *date time applid* **CICS Web alias transaction *tranid* could not be started due to an unexpected error. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: トランザクション *tranid* を開始しようとしたが、予期しないエラーのためにその接続は失敗しました。

CICS Web 接続処理は、予期しないエラーのために、トランザクション ID *tranid* の処理を開始できませんでした。

システムの処置: トランザクション *tranid* の接続は失敗し、処理が続行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0363 *date time applid tranid* クライアント証明書が必要ですが、提供されていません。

Host IP address: *hostaddr*. **Client IP address:** *clientaddr*. **TCPIP SERVICE:** *tcipservice*.

説明: IP アドレス *clientaddr* のクライアントが、オプション AUTHENTICATE(CERTIFICATE) を指定した TCPIP SERVICE の CICS に接続しようとしたが、クライアントがクライアント証明書を提供していません。

システムの処置: 接続は、HTTP 403 (禁止) 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: クライアントが有効な証明書を持っていることを確認してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0364 *date time applid* An attempt to establish security for userid *userid* has failed. 要求された静的応答を返すことができません。 **SAF codes are** (*X'safresp'*,*X'safreas'*). **ESM コード:** (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*). **Host IP address:** *hostaddr*. **Client IP address:** *clientaddr*. **TCPIP SERVICE:** *tcipservice*.

説明: ユーザー ID *userid* に関してセキュリティを確立しようとしたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって拒否されました。

CICS Web サポートが要求された静的応答を返すためには、ユーザー ID *userid* のセキュリティが確立されている必要があります。

システムの処置: このユーザー ID のセキュリティは確立されませんでした。要求された静的応答を返すことができません。

ユーザーの処置: システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY または RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide、および z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書を参照してください。

CICS または ESM が、詳細情報を含む追加のメッセージを生成した可能性があります。

モジュール: DFHWBSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *X'safresp'*
6. *X'safreas'*
7. *X'esmresp'*
8. *X'esmreas'*
9. *hostaddr*
10. *clientaddr*
11. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0365 *date time applid tranid* A client has connected to a TCPIP SERVICE defined with SSL(ATTLSAWARE) but the connection has not been secured by AT-TLS. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcipservice*.

説明: IP アドレス *clientaddr* のクライアントが、オプション SSL(ATTLSAWARE) を指定した TCPIP SERVICE の CICS に接続しようとしたが、CICS は接続が AT-TLS によって保護されていないことを検出しました。

システムの処置: 接続は、HTTP 403 (禁止) 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: TCPIP SERVICE ポートが、アクティブな AT-TLS ポリシーによって保護されていることを確認してください。どのクライアントも必ずポートに AT-TLS を使用する必要があります。

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0366 *date time applid tranid* クライアント証明書が提供されていますが、使用できません。理由: {ESM に認識されていない | UNTRUSTED としてマークされている}。Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcipservice*。証明書のシリアル番号: *certsernum*。証明書の共通名: *certcomname*。

説明: IP アドレス *clientaddr* のクライアントが、クライアント証明書を必要とする TCPIP SERVICE の CICS に接続しようとしたが、提供された証明書を使用できません。メッセージの説明部分にその理由が示されます。

ESM に認識されていない

証明書は外部セキュリティー・マネージャー (ESM) に認識されていません。

UNTRUSTED としてマークされている

証明書には、セキュリティー管理者によって NOTRUST 属性が付与されています。これは、証明書が使用されないことを示します。

システムの処置: 接続は、HTTP 403 (禁止) 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: クライアントが、ESM にインストールされた有効な証明書を持っており、trusted としてマークされていることを確認してください。

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= ESM に認識されていない

2= UNTRUSTED としてマークされている

6. *hostaddr*
7. *clientaddr*
8. *tcipservice*
9. *certsernum*
10. *certcomname*

宛先: CWBO

DFHWB0367 *date time applid tranid* An HTTP request was received and matched URIMAP *urimapname*. This URIMAP had scheme(HTTPS). The request was rejected. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcipservice*.

説明: IP アドレス *clientaddr* のクライアントが HTTP 要求を送信しましたが、使用されている URIMAP に scheme(HTTPS) があります。

システムの処置: 接続は、HTTP 403 (禁止) 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: HTTPS 要求を送信するようにクライアントを変更するか、scheme(HTTP) を指定するように URIMAP を変更してください。

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *urimapname*
6. *hostaddr*
7. *clientaddr*
8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0500I *date time applid tranid* CICS Web
Interface enable processing is
complete. Host IP address: *hostaddr*.

説明: 「使用可能にする」処理が正常に完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*

宛先: CWBO およびコンソール

DFHWB0551 *date time applid tranid* CICS Web インタ
ーフェイス・サーバー・コントローラー
は、クライアント *clientaddr* からの要求
処理で異常終了 **ACN1** を検出しました。
Host IP address: *hostaddr*.

説明: 着信データにデータ変換を行うプログラム
DFHCCNV を呼び出した後、HTTP 呼び出し元がエラ
ーを検出しました。

システムの処置: DFHCCNV テーブルが定義されてい
ないと、CICS Web インターフェイスは着信データにデー
タ変換を行うことができません。CICS Web インターフ
ェースの「例外使用禁止」が開始されます。この問題の
症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が
生成されます。

ユーザーの処置: DFHRPL ライブラリー連結の中のラ
イブラリーの 1 つに、有効な DFHCCNV テーブルがリ
ンク・エディットされていることを確認してください。

モジュール: DFHWBWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *hostaddr*

宛先: CWBO

DFHWB0723 *date time applid tranid* The CICS Web
analyzer program returned an error
response. Program name: *progrname*.
RESPONSE: *response*. REASON: *reason*.
Host IP address: *hostaddr*. クライアント
IP アドレス: *clientaddr*.{ |
TCIPSERVICE: } *tcipSERVICE*

説明: CICS Web 接続処理は、要求の通常処理の一部
として、必要な処置を調整するためにユーザー置き換え
可能分析機能呼び出します。このプログラムは
RESPONSE 値と REASON 値を戻します。CICS 提供
のサンプル分析機能を使用されている場合、
RESPONSE コード値として戻される値は次のとおりで
す。

0

OK

4

例外

8

無効

12

災害

REASON コード値として戻される値は次のとおりで
す。

1

着信 HTTP 要求の URL が短すぎます。

2

HTTP 要求の URI に "/" 文字がありません。

3

この要求に関して受信するデータがまだありま
す。

4

変換プログラム名の長さが 1 バイト未満か、8
バイトを超えています。

5

別名トランザクション ID の長さが 1 バイト未満か、4 バイトを超えています。

6

サーバー・プログラム名の長さが 1 バイト未満か、8 バイトを超えています。

7

この要求で照会ストリング・データとして渡されたユーザー・トークンが無効です。

8

この要求で渡された URL が無効です。

ユーザーは分析機能から戻される応答コードおよび理由コードに独自の値を定義することもできますが、使用する値は、CICS 提供のコピーブック DFHWBUCD に定義されている値以外でなければなりません。

このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが使用不可の場合、これらのアドレスはメッセージの中で「UNKNOWN」と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: メッセージ内の RESPONSE および REASON コード値を調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *progrname*
6. *response*
7. *reason*
8. *hostaddr*
9. *clientaddr*
10. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCPIPService:

11. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0724 *date time applid tranid CICS Web attach processing detected an error linking to the codepage conversion module*
DFHCCNV. Host IP address: *hostaddr.*
 クライアント IP アドレス: *clientaddr.* |
 TCPIPService: } *tcipSERVICE*

説明: プログラム DFHCCNV へのリンクでエラーが起きたため、CICS Web 接続処理はクライアントの要求を中止せざるを得ませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCPIPService:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0725 *date time applid tranid CICS Web attach processing detected an error linking to the analyzer user replaceable module*
progrname. Host IP address: *hostaddr.* ク
 ライアント IP アドレス: *clientaddr.* |
 TCPIPService: } *tcipSERVICE*

説明: 分析機能ユーザー置き換え可能モジュール (URM) へのリンクでエラーが起きたため、CICS Web

接続処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。tcpipSERVICE はオープンされたままですが、使用できません。

ユーザーの処置: 指定されたプログラムが正しくインストールされていて、CICS に定義されていることを確認してください。ユーザー置き換え可能モジュール (URM) が CEMT を使うか、SPI コマンドを使って動的に設定された場合、そのモジュールが CICS に定義されていて使用可能になっていること、または自動インストールがアクティブならば、そのモジュールがライブラリーに入っていることを確認してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *progrname*
6. *hostaddr*
7. *clientaddr*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCIPSERVICE:

9. *tcpipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0726 *date time applid tranid CICS Web attach processing cannot link to the analyzer user replaceable program. No analyzer specified. Host IP address: hostaddr. クライアント IP アドレス: clientaddr.{ | TCIPSERVICE: } tcpipSERVICE*

説明: 処理中の要求に関連付けられている TCIPSERVICE に関して何も指定されていないので、CICS Web 接続処理は分析機能ユーザー置き換え可能モジュール (URM) を呼び出すことができません。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題の症状ストリングが含ま

れるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CEMT SET TCIPSERVICE を使って URM パラメーターに分析機能名を指定してください。保管されている定義を変更するには CEDA を使用します。CICS Web TCIPSERVICE (トランザクション ID として CWXN が指定されている TCIPSERVICE です) 用の URM 名は、URM キーワードに有効な分析プログラム名を指定しなければなりません。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCIPSERVICE:

8. *tcpipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0727 *date time applid tranid CICS Web Interface attach processing could not attach the requested alias transaction tranid. Userid: userid. Host IP address: hostaddr. クライアント IP アドレス: clientaddr.{ | TCIPSERVICE: } tcpipSERVICE*

説明: Web 接続処理が、要求された別名トランザクション ID *tranid* を持つ新規タスクを生成することができませんでした。クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は異常終了コード AWB2 で終了します。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置:

ユーザーの処置: 分析機能ユーザー置き換え可能プログラムで提供される別名トランザクション ID が CICS に対して定義されていることを確認してください。あるいは、URIMAP を使用して別名トランザクションを提供している場合は、URIMAP およびトランザクションがインストールされていることを確認してください。

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *tranid*
6. *userid*
7. *hostaddr*
8. *clientaddr*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIPSERVICE:

10. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0728 *date time applid tranid CICS Web attach processing detected a storage error within the Web receive module*
DFHWBSR. Host IP address: *hostaddr*.
 クライアント IP アドレス: *clientaddr*.{ |
 TCPIPSERVICE: } *tcipSERVICE*

説明: プログラム DFHWBSR 内でストレージ・エラーが起きたため、CICS Web 接続処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが使用不可の場合、これらのアドレスは「UNKNOWN」と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。

ユーザーの処置: このエラーの原因は、クライアントの要求を処理するストレージが不足していることが最も考えられます。この障害は、EDSA のサイズ制限を大きくする必要があることを表している可能性があります。EDSA のストレージ制限は、EDSALIM システム初期設定パラメーターで指定します。EDSALIM の詳細については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*

7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIPSERVICE:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0729 *date time applid tranid CICS Web attach processing detected an abend in the analyzer user replaceable module*
progrname. Host IP address: *hostaddr*. ク
 ライアント IP アドレス: *clientaddr*.{ |
 TCPIPSERVICE: } *tcipSERVICE*

説明: 分析機能ユーザー置き換え可能モジュールで異常終了が発生したため、CICS Web 接続処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは「UNKNOWN」と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。

ユーザーの処置: 指定されたプログラムが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *progrname*
6. *hostaddr*
7. *clientaddr*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIPSERVICE:

9. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0730 *date time applid tranid CICS Web attach processing encountered an internal error while processing a client request.*
 Host IP address: *hostaddr* Client IP
 address: *clientaddr*.{ | TCPIPSERVICE: }
tcipSERVICE

説明: 内部エラーが起きたため、CICS Web 処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが使用不可の場合、これらのアドレスは「UNKNOWN」と表示されます。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIP SERVICE:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0731 *date time applid tranid CICS Web attach processing detected an HTTP header longer than 32767 bytes. Host IP address: hostaddr. クライアント IP アドレス: clientaddr.{ | TCPIP SERVICE: } tcipSERVICE*

説明: HTTP 要求を受信中に、DFHWBSR が、要求のヘッダー・データが、現在サポートされている最大の 32767 バイトを超えたことを検出しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: Web 要求ブロックを含むトレース項目 0418 が出力されます。HTTP ヘッダー・データの長さは、*user_data_offset* フィールドから推定できます。

ユーザーの処置: 入力された HTTP 要求を調べて、許可された制限内になるようにヘッダー情報の長さを減らしてください。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCPIP SERVICE:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0732 *date time applid tranid CICS Web attach processing encountered a sockets I/O error while receiving a client request. Host IP address: hostaddr. クライアント IP アドレス: clientaddr.{ | TCPIP SERVICE: } tcipSERVICE*

説明: ソケット入出力エラーが起きたため、CICS Web 処理はクライアントの要求を中止せざるをえませんでした。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: Web エラー・プログラム DFHWBEP が起動されますが、クライアントにエラー応答を送ることはできません。要求を打ち切ります。

ユーザーの処置: 関連のソケット・ドメイン・エラー・メッセージがないか検査してください。発生したエラーに関する詳細がそのメッセージに示されているかもしれません。このエラーは、CICS が要求を処理し終える前にユーザーが Web ブラウザーを終了させたために起きた可能性があります。また、このエラーはユーザーが非 SSL HTTP 要求を SSL 対応の CICS 領域に送信したために発生した可能性もあります。この問題が解決しない場合、TCP/IP ネットワークに問題があることが考えられます。SSL 要求の送信時に、HTTP の置き換えに HTTPS が使用されていることを確認してください。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」を参照してください。

ス・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCIPSERVICE:

8. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0733 *date time applid tranid CICS Web attach processing failed because there were no available SSL TCBs. Host IP address: hostaddr. クライアント IP アドレス: clientaddr.{ | TCIPSERVICE: } tcipservice*

説明: アドレス *ipaddr* とクライアントからの SSL との接続が TCIPSERVICE(service) で受信されましたが、その要求を処理するための使用可能な TCB がありませんでした。

システムの処置: その接続のためのソケットはクローズされます。クライアントは、応答は SSL で暗号化されるものと期待しているのに、SSL サービスが提供できないので、メッセージはクライアントに送られません。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に出される場合、MAXSSLTCBS システム初期設定パラメーターの値を大きくすることを検討してください。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*

7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCIPSERVICE:

8. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0734 *date time applid tranid CICS Web attach processing failed because the SSL handshake with the client has failed. Host IP address: hostaddr. クライアント IP アドレス: clientaddr.{ | TCIPSERVICE: } tcipservice*

説明: アドレス *ipaddr* のクライアントからの Secure Sockets Layer 接続が TCIPSERVICE(service) で受信されましたが、SSL ハンドシェイクが失敗しました。

システムの処置: その接続のためのソケットはクローズされます。クライアントは、応答は SSL で暗号化されるものと期待しているのに、SSL サービスが提供できないので、メッセージはクライアントに送られません。ハンドシェイクの失敗の理由は、直前の DFHSO0123 メッセージに表示されている可能性があります。

ユーザーの処置: DFHSO0123 メッセージが CICS の構成エラーを示す場合は、それを訂正してください。それ以外の場合は、問題はクライアント・エラーであると考えられるため、無視して問題ありません。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= TCIPSERVICE:

8. *tcipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0736 *date time applid tranid* **The method in the received HTTP request is not implemented by the server. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPService: *tcipSERVICE*.**

説明: CICS Web サポートは、通常の要求処理の一部として、要求の HTTP バージョンおよびサーバーによってサポートされる HTTP のバージョンとともに提供されるメソッドを確認します。CICS によってサポートされる HTTP のバージョンは、サーバー・アプリケーションが稼働しているバージョンによって決まります。また、メソッドは有効であるが、提供されたヘッダーのいずれかが正しくない場合、CICS はこのエラーを報告する場合があります。これは、CICS がメソッドを実装できないことを意味するためです。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: 要求内のメソッドを、使用中の HTTP のバージョンおよびサーバー・アプリケーションが稼働できるバージョンによってサポートされるメソッドに訂正してください。サーバーのバージョンは、HTTP 応答で提供されたものです。メソッドが正しい場合、要求で提供されたすべてのヘッダーが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0737 *date time applid tranid* **CICS Web support has detected that the version of the incoming HTTP request is higher than the version that CICS supports. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPService: *tcipSERVICE*.**

説明: CICS Web サポートは、通常の要求処理の一部として、着信 HTTP 要求のバージョンを確認します。これが CICS がサポートするバージョンより大きく、メソッドが認識されない場合、要求は拒否されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: HTTP 応答のバージョンを調べて、サポートされる HTTP バージョンを判別してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0738 *date time applid tranid* **CICS Web Support has detected that the incoming HTTP request has a version that is at least HTTP/1.1 but has no host header. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPService: *tcipSERVICE*.**

説明: CICS Web サポートは、通常の要求処理の一部として、着信 HTTP 要求のバージョンを確認します。これが HTTP/1.1 以上で、ホスト・ヘッダーがない場合は、要求は仕様準拠していないため、拒否されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: ホスト・ヘッダーを追加してから、要求を再発行してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0739 *date time applid tranid* **An invalid EXPECT header has been received. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPService: *tcipSERVICE***

説明: EXPECT ヘッダーの処理中に、CICS は値が 100-continue ではないことを検出しました。

システムの処置: 要求は、HTTP/1.1 ステータス 417 Expectation Failed で拒否されます。

ユーザーの処置: HTTP/1.1 クライアントを訂正してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0740 *date time applid tranid* **An HTTP/1.0 client has sent an EXPECT header which is not supported. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPService: *tcipSERVICE***

説明: EXPECT ヘッダーの処理中に、CICS はクライアントが HTTP バージョン 1.1 を使用していないことを検出しました。

システムの処置: 要求は、HTTP/1.0 ステータス・コード 400 Bad Request で拒否されます。

ユーザーの処置: HTTP クライアントを訂正してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0741 *date time applid tranid* **An HTTP socket receive request has timed out. Client IP address: *clientaddr*. TCPIPService: *tcipSERVICE***

説明: このメッセージに関して、考えられる理由が 2 つあります。

- クライアントからデータを受信中に、CICS がタイムアウトになりました。
- CICS は、EXPECT: ヘッダーへの応答として 100 Continue ヘッダーを送信しましたが、クライアントがメッセージ本体を送信する前に要求がタイムアウトになりました。

システムの処置: 考えられる原因は次のとおりです

- TCPIPService の SOCKETCLOSE パラメーターの値が小さすぎます
 - クライアントが誤った Content-Length ヘッダーを送信しました
 - クライアントが要求の本体を送信していません
- ユーザーの処置: 解決策としては、以下のものが考えられます。
- TCPIPService の SOCKETCLOSE パラメーターの値を大きくします。
 - HTTP クライアントを訂正してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWP0742 *date time applid tranid* **Conversion of HTTP header failed. Host IP address:**
hostaddr. クライアント IP アドレス:
clientaddr.{ | *TCPIP*SERVICE: }
*tcip*service

説明: インバウンド HTTP ヘッダーの変換が失敗しました。これにより、CICS Web 処理は要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 例外トレース項目は、エラーの原因を判別するのに役立つことがあります。そうでなければ、この問題を解決するために、IBM からのサポートが必要になる場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWPBXN、DFHWPBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCPIP*SERVICE:

8. *tcip*service

宛先: CWBO

DFHWP0743 *date time applid tranid* **The CICS Web character set codepage is invalid. Host IP address:** *hostaddr*. クライアント IP アドレス: *clientaddr*.{ | *TCPIP*SERVICE: }
*tcip*service

説明: CICS Web 文字セット・コード・ページは無効です。これにより、CICS Web 処理は要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスお

およびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するのに、例外トレースが役立つ可能性があります。そうでなければ、この問題を解決するために、IBM からのサポートが必要になる場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWPBXN、DFHWPBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=
2= *TCPIP*SERVICE:

8. *tcip*service

宛先: CWBO

DFHWP0744 *date time applid tranid* **The CICS Web host codepage is invalid. Host IP address:** *hostaddr*. クライアント IP アドレス: *clientaddr*.{ | *TCPIP*SERVICE: }
*tcip*service

説明: CICS Web ホスト・コード・ページは無効です。これにより、CICS Web 処理は要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するのに、例外トレースが役立つ可能性があります。そうでなければ、こ

の問題を解決するために、IBM からのサポートが必要になる場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCIPSERVICE:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0745 *date time applid tranid* **Conversion of user data failed. Host IP address: hostaddr. クライアント IP アドレス: clientaddr.{ | TCIPSERVICE: } tcipSERVICE**

説明: インバウンド・ユーザー・データの変換が失敗しました。これにより、CICS Web 処理は要求を中止しました。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 例外トレース項目は、エラーの原因を判別するのに役立つことがあります。そうでなければ、この問題を解決するために、IBM からのサポートが必要になる場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= TCIPSERVICE:

8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0746 *date time applid tranid* **The maximum length of data that can be received has been exceeded. Client IP address: clientaddr. TCIPSERVICE: tcipSERVICE**

説明: クライアントによって送信されたデータ量が、TCP/IP サービスで定義された限度を超えました。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: 2 つの原因が考えられます

- TCIPSERVICE の MAXDATALEN パラメーターの値が小さすぎます

-

クライアントにエラーがあります

次の 2 つの解決方法が考えられます。

-

TCIPSERVICE の MAXDATALEN パラメーターの値を増やします。

-

HTTP クライアントを訂正します。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0747 *date time applid tranid* **A Content-Length and Transfer-Encoding conflict has been detected. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcipSERVICE***

説明: クライアントは、Content-Length ヘッダーおよび Transfer-Encoding ヘッダーを含む要求を送信しました。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: クライアントを訂正してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0748 *date time applid tranid* **An invalid Chunk Size header has been received. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcipSERVICE***

説明: クライアントは、無効なチャンク・サイズ・ヘッダーを含む要求を送信しました。有効な値は 0 から 9、A から F で、長さは最大 8 文字です。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: クライアントを訂正してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0749 *date time applid tranid* **An invalid Trailer has been received. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcipSERVICE***

説明: 長さが 32767 バイトを超えるトレーラーが要求に含まれています。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: クライアントを訂正してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0750 *date time applid tranid* **HTTP warning request header received. 警告: *warnvalue*. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: CICS Web サポートにより、着信 HTTP 要求で警告ヘッダーが受信されました。この内容は、監査目的のためにこのメッセージに書き込まれます。

システムの処置: 要求の処理は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 警告を確認し、処置が必要かどうか判断してください。

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *warnvalue*
6. *hostaddr*
7. *clientaddr*
8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBW

DFHWB0751 *date time applid tranid* **A precondition specified by an If-Unmodified-Since header has failed. Client IP address: *clientaddr*. TCPIP SERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: 要求に If-Unmodified-Since ヘッダーが含まれており、前提条件が失敗しました。

注: CICS が動的コンテンツまたは静的コンテンツ (文書テンプレート) を返す場合、どの If-Unmodified-Since 前提条件も満たされないことが想定されます。

システムの処置: 要求は、HTTP/1.1 412 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcpipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0752 *date time applid tranid* **HTTP Warning response header received. Warning: warnvalue Client IP address: clientaddr Server IP address: serveraddr.**

説明: クライアントとして CICS によって送信された HTTP 要求への応答として警告ヘッダーが受信されました。この内容は、監査目的のためにこのメッセージに書き込まれます。

システムの処置: 要求の処理は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 警告を確認し、処置が必要かどうか判断してください。

モジュール: DFHWBCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *warnvalue*
6. *clientaddr*
7. *serveraddr*

宛先: CWBW

DFHWB0753 *date time applid* **Transaction tranid chunked request incomplete.** セッション・トークン: *X'sesstoken'*

説明: トランザクションは、クライアントとして CICS

によって送信された不完全なチャンク要求で終了しました。

システムの処置: トランザクションの終了処理は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 警告を確認し、処置が必要かどうか判断してください。

モジュール: DFHWBCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *X'sesstoken'*

宛先: CWBO

DFHWB0754 *date time applid tranid* **An invalid Chunk has been received. Client IP address: clientaddr. TCPIPService: tcpipservice**

説明: クライアントがチャンク要求を送信しましたが、チャンクは予期された CRLF 文字で終了していません。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: クライアントを訂正してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcpipservice*

宛先: CWBO

DFHWB0756 *date time applid tranid* **The host on the received HTTP request is invalid. Client IP address: clientaddr. TCPIPService: tcpipservice**

説明: CICS によって受信された HTTP 要求のホストが無効です。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: クライアントを訂正してください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWP0757 *date time applid tranid* **A precondition specified by an If-Modified-Since header has failed. Client IP address: *clientaddr*. TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: 要求に If-Modified-Since ヘッダーが含まれており、前提条件が失敗しました。

注: CICS は、静的応答の送信時に、If-Modified-Since ヘッダーによって指定された前提条件のみ検査します。動的応答の場合、前提条件が満たされていると想定されます。

システムの処置: 要求は、HTTP/1.1 304 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: 処置は不要。

モジュール: DFHWPBXN、DFHWPBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWP0758 *date time applid tranid* **An attempt to access static data *data* has failed because the transaction user does not have READ access to the resource. Client IP address: *clientaddr*. TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: トランザクション・ユーザーは、CICS 文書テンプレートまたは *data* によって示された zFS ファイルに対する読み取り権限を持っていません。

システムの処置: 要求は、HTTP/1.1 403 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、ユ

ーザー ID に必要なリソースの許可を取得してください。

モジュール: DFHWPBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *data*
6. *clientaddr*
7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWP0759 *date time applid tranid* **An attempt to access static data *data* has failed because the resource is not found. Client IP address: *clientaddr*. TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: CICS 文書テンプレートまたは *data* によって示された zFS ファイルが見つかりません。

システムの処置: 要求は、HTTP/1.1 404 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: 必要なリソース定義され、インストールされているようにしてください。

モジュール: DFHWPBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *data*
6. *clientaddr*
7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWP0760 *date time applid tranid* **An attempt to read zFS file *filename* has failed. Client IP address: *clientaddr*. TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: 許可ユーザーは zFS ファイル *filename* の読み取りに失敗しました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

要求は、HTTP/1.1 500 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび可能な限りのダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *filename*
6. *clientaddr*
7. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0761 *date time applid tranid* **An attempt to send a static response has failed due to an internal error. Client IP address: *clientaddr* TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: ユーザーは、内部エラーのため、静的応答の送信に失敗しました。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

要求は、HTTP/1.1 500 応答で拒否されます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび可能な限りのダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHWBXN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *clientaddr*
6. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0762 *date time applid tranid* **The received HTTP request specifies the OPTIONS method but cannot be handled by CICS. Status code: *statuscode*. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. TCIPSERVICE: *tcipSERVICE*.**

説明: CICS Web サポートは、通常の要求処理の一部として、指定されたメソッドの要求の妥当性を検査します。この場合、メソッドは OPTIONS ですが、CICS は要求を処理できません。状況コード *statuscode* は、この理由を以下のように示しています。

- 400 : 要求は無効な HTTP/1.1 です
- 405 : 要求は、HTTP/1.1 の面では有効ですが、CICS によってOPTIONS メソッドには許可されていません。例えば、CICS はパスに対して OPTIONS をサポートしていません。CICS は、パスの指定時に CICS がサポートするメソッドを示す、ALLOW ヘッダーが含まれる HTTP 応答を返します。

システムの処置: 状況コード *statuscode* のエラー応答がクライアントに送信され、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: HTTP 要求を訂正する必要があります。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *statuscode*
6. *hostaddr*
7. *clientaddr*
8. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB0763 *date time applid tranid* **The URIMAP associated with the HTTP request is disabled. Host IP address: *hostaddr*. クライアントの IP アドレス: *clientaddr*.**

説明: HTTP 要求に関連した URIMAP は無効です。このエラーが発生したときにホスト IP アドレスおよびクライアント IP アドレスが不明の場合、これらのアドレスは "UNKNOWN" と表示されます。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求は終了します。

ユーザーの処置: HTTP 要求内のホストおよびパスの情報により、使用される URIMAP 定義が決定されます。その URIMAP 定義が無効にされた理由を判別してください。URIMAP が無効にされており、これらの HTTP 要求を処理できない場合、URIMAP 定義を有効にしてください。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *hostaddr*
6. *clientaddr*

宛先: CWBO

DFHWB0764 *date time applid tranid* **An attempt was made to use URIMAP urimap which is disabled.**

説明: 指定された URIMAP を使用しようとしたしましたが、URIMAP が無効にされているため、失敗しました。また、失敗した要求を示す別のメッセージが出される可能性があります。

システムの処置: 処理は続行しますが、その後、現在の要求は失敗します。

ユーザーの処置: URIMAP が無効にされている理由を確認し、必要に応じて URIMAP を有効にしてください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *urimap*

宛先: CWBO

DFHWB0765I *applid URIMAP urimap* **was not restored because its cipher list could not be installed.**

説明: URIMAP *urimap* で指定された暗号リストは、リソースのインストール時には有効でしたが、CICS の再始動時には無効でした。

システムの処置: URIMAP はカタログから復元されません。

ユーザーの処置: 暗号リストが無効になった理由を調べて、有効な暗号リストに置き換えてください。その後、URIMAP *urimap* を手動で再インストールしてください。

モジュール: DFHWBRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *urimap*

宛先: コンソール

DFHWB0800 *date time applid BUNDLE bundlename* **has successfully installed URIMAP urimdef as {Enabled | Disabled}.**

説明: CICS バンドル *bundlename* は、URIMAP *urimapname* を正常にインストールしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *urimdef*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 有効

2= 無効

宛先: CWBO

DFHWB0801 *date time applid BUNDLE bundlename* **has failed to install URIMAP urimdef because {the definition is invalid | of an installation failure | an internal error occurred}.**

説明: CICS バンドル *bundlename* は、URIMAP *urimdef* のインストールに失敗しました。エラーの理由も示されます。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、URIMAP は作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。以前のメッセージを確認してください。失敗の理由について、以下のような詳細情報をユーザーに提供する可能性があります。
定義が無効である

先行する DFHCAnnnn メッセージを調べます。例えば、必須属性 HOST が指定されていない場合、DFHCA5501 が出力されます。

インストールの失敗

先行する DFHAMnnnn コンソール・メッセージを調べます。例えば、同じ名前の URIMAP が既に存在する場合は、DFHAM4950 が出力されます。

BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *urimdef*
6. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 定義が無効である
 2= インストール失敗の
 3= 内部エラーが発生した

宛先: CWBO

DFHWB0802 *date time applid* **Urimap name was not specified or is too long in BUNDLE bundlename.**

説明: リソース名が指定されていないか、長すぎるため、CICS バンドル *bundlename* は URIMAP のインストールに失敗しました。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、URIMAP は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイルの *urimap* リソースの名前を訂正してください。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CWBO

DFHWB0803 E *date time applid* **HFSFILE path in URIMAP urimap is too long in BUNDLE bundlename.**

説明: HFSFILE パスが長すぎるため、CICS バンドル

bundlename は URIMAP のインストールに失敗しました。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、URIMAP は作成されません。

ユーザーの処置: URIMAP 定義ファイル内の HFSFILE パスを訂正してください。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *urimap*
5. *bundlename*

宛先: CWBO

DFHWB0804 *date time applid* **BUNDLE bundlename was unable to set URIMAP resource urimap as an application entry point because CICS does not support {USAGE(CLIENT) | USAGE(ATOM)} for this resource type.**

説明: CICS バンドル *bundlename* は *urimap* をアプリケーション・エントリー・ポイントとして設定できませんでした。なぜなら、CICS はこのリソース・タイプに USAGE(CLIENT) または USAGE(ATOM) をサポートしていないためです。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、エントリー・ポイントは更新されません。

ユーザーの処置: URIMAP 定義ファイル内の USAGE を訂正してください。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *urimap*
6. 以下のオプションから選択される値。

- 1=USAGE(CLIENT)
 2=USAGE(ATOM)

宛先: CWBO

DFHWB0805 *date time applid BUNDLE currentbundlename* **was unable to set the URIMAP resourcename as an entry point because the resource is already defined as an entry point by BUNDLE bundlename.**

説明: CICS BUNDLE *currentbundlename* は、リソースをエントリー・ポイントとして定義できませんでした。そのリソースは、BUNDLE *bundlename* によって既にエントリー・ポイントとして識別されているためです。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、エントリー・ポイントは更新されません。

ユーザーの処置: エントリー・ポイントを更新するには、BUNDLE *bundlename* を使用不可にして、BUNDLE *currentbundlename* を使用可能にしてください。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *currentbundlename*
5. *resourcename*
6. *bundlename*

宛先: CWBO

DFHWB0806 *date time applid BUNDLE bundlename* は、プラットフォーム *platformname* のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の操作 *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントと URIMAP *urimapname* との {関連付け| 関連付け解除} を実行しました。

説明: CICS バンドル *bundlename* は、操作 *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントと URIMAP *urimapname* との関連付け、または関連付け解除を正常に実行しました。

URIMAP リソースと関連付けることができるアプリケーション・エントリー・ポイントは、常に 1 つのみです。アプリケーション・エントリー・ポイントと URIMAP リソースとの関連付け、または関連付け解除を実行するには、CICS バンドルをそれぞれ使用可能、または使用不可にする必要があります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイ

ントと URIMAP リソースの関連付けを実行した後、バンドルを使用可能にして、アプリケーションの操作を URIMAP リソースで設定できるようにするか、バンドルを使用不可にして、アプリケーション・エントリー・ポイントと URIMAP リソースとの関連付けを削除します。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 関連付け

2= 関連付け解除

6. *operationname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. *urimapname*

宛先: CWBO

DFHWB0807 *date time applid BUNDLE bundlename* **has made {available | unavailable} the application entry point for URIMAP urimapname with operation operationname for application applicationname, version majorversion.minorversion.microversion on platform platformname.**

説明: CICS バンドル *bundlename* は、URIMAP *urimapname* のアプリケーション・エントリー・ポイントを正常に使用可能または使用不可にしました。

アプリケーション・エントリー・ポイントが使用可能である場合、CICS は URIMAP リソースを使用してタスクにアプリケーション・コンテキストを設定します。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを使用不可にすると、バンドルが使用不可にされるまで、エントリー・ポイントは URIMAP リソースと関連付けられたままになります。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能
2= 使用不可

6. *urimapname*
7. *operationname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*

宛先: CWBO

DFHWB0808 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to set URIMAP urimapname
as an entry point because {the
URIMAP does not exist. | an internal
error occurred. | the URIMAP resource
name is invalid. | the URIMAP resource
is already defined as an application entry
point.}

説明: CICS バンドル *bundlename* は、URIMAP *urimapname* をエントリー・ポイントとして設定できませんでした。このエラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。バンドル・マニフェスト・ファイルの <modify> ステートメントを更新する必要がある場合は、BUNDLE を破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *urimapname*
6. 以下のオプションから選択される値。

- 1= URIMAP が存在しない。
- 2= 内部エラーが発生した。
- 3= URIMAP リソース名が無効である。
- 4= URIMAP リソースが既にアプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されている。

宛先: CWBO

DFHWB0809 *date time applid BUNDLE bundlename*
has {associated | disassociated} an
application entry point for operation
operationname with URIMAP
urimapname.

説明: CICS バンドル *bundlename* は、操作 *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントと URIMAP *urimapname* との関連付け、または関連付け解除を正常に実行しました。

URIMAP リソースと関連付けることができるアプリケーション・エントリー・ポイントは、常に 1 つのみです。アプリケーション・エントリー・ポイントと URIMAP リソースとの関連付け、または関連付け解除を実行するには、CICS バンドルをそれぞれ使用可能、または使用不可にする必要があります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントと URIMAP リソースの関連付けを実行した後、バンドルを使用可能にして、アプリケーションの操作を URIMAP リソースで設定できるようにするか、バンドルを使用不可にして、アプリケーション・エントリー・ポイントと URIMAP リソースとの関連付けを削除します。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1= 関連付け
2= 関連付け解除

6. *operationname*
7. *urimapname*

宛先: CWBO

DFHWB0810 *date time applid BUNDLE bundlename*
has made the URIMAP urimapname
{available | unavailable} as an
application entry point for operation
operationname.

説明: CICS バンドル *bundlename* は、URIMAP *urimapname* をアプリケーション・エントリー・ポイントとして正常に使用可能、または使用不可にしました。

アプリケーション・エントリー・ポイントが使用可能である場合、CICS は URIMAP リソースを使用してタスクにアプリケーション・コンテキストを設定します。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを使用不可にすると、バンドルが使用不可にされるまで、エントリー・ポイントは URIMAP リソースと関連付けられたままになります。

モジュール: DFHWBRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *urimapname*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能
 2= 使用不可

7. *operationname*

宛先: CWBO

DFHWB1007 *applid* **Initializing CICS Web environment.**

説明: CICS Web 3270 環境を初期設定するためにモジュール DFHWBIP が呼び出されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBIP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWB1008 *applid CICS Web environment*
initialization is complete.

説明: CICS Web 3270 環境が初期設定されて、Web 関連の作業を処理する準備が整いました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBIP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWB1009 *applid CICS Web environment*
initialization failed. Reason Code:
X'rc'.

説明: CICS Web 3270 環境の初期設定は、理由コード *rc* で失敗しました。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

CICS Web 環境のコンポーネントをこれ以降呼び出しても、その呼び出しは失敗します。

ユーザーの処置: 理由コード *rc* を使用して、初期設定が失敗した理由を判別してください。次の理由が考えられます。

1

Web アンカー・ブロックのためのストレージを取得できませんでした。

3

モジュール DFHWBST のロードが失敗しました。

4

モジュール DFHWTB のロードが失敗しました。

5

状態管理機能アンカー・ブロックのためのストレージを取得できませんでした。

6

状態トークン・ディレクトリーの作成が失敗しました。

7

状態管理に必要なサブプールを追加できませんでした。

8

HTTP バッファに必要サブプールを追加できませんでした。

9

WBST ロックの追加が失敗しました。

A

モジュール DFHWBIP のロードが失敗しました。

理由コード 1 から 9 は DFHWBIP で発生します。理由コード A は DFHSIJ1 で発生します。

モジュール: DFHWBIP、DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rc'*

宛先: コンソール

DFHWB1020 *date time applid CICS Web State*
Manager could not find state data for state token *token* for a {destroy | retrieve | store} request.{ | TCPIPService: } tcpipservice

説明: CICS Web 状態管理機能が状態トークン *token* 用の状態データを見つけることができなかったか、与えられた状態トークン *token* が存在しません。

システムの処置: Web 状態管理機能は、要求された状態データを破棄、更新、または検索できません。例外トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: 与えられた状態トークン *token* が正しいことを確認してください。使用中の CICS 領域上では、このエラーの原因は、Web 状態管理機能が状態データをアクセスする前に、Web ガーベッジ収集プロセスによって状態データが廃棄されたことが最も考えられます。システム初期設定の *WEBDELAY* パラメーターが適切な値であることを確認してください。Web ガーベッジ収集間隔および Web 端末タイムアウト間隔の値の設定については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHWBST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *token*
5. 以下のオプションから選択される値。

- 1= 破棄
- 2= リトリブ
- 3= 保管

6. 以下のオプションから選択される値。

- 1=
- 2= *TCPIPService:*

7. *tcpipservice*

宛先: CWBO

DFHWB1021 *date time applid CICS Web State*
Manager could not find state data for state token *token* in order to perform the {initialize partnership | make partnership | break partnership | trigger partner | wait for partner | query partner | terminate partnership} request for task number *taskid*, CICS unit of work id *X'cuowid'*.{ | TCPIPService: } tcpipservice

説明: CICS Web 状態管理機能は、与えられた状態トークン *token* が存在しないので、状態トークン *token* 用の状態データを見つけることができませんでした。実行中のタスクはタスク番号 *taskid* であり、関連の CICS 作業単位 ID は *cuowid* です。

システムの処置: そのため、Web 状態管理機能は、実行中のタスクに対して、要求されたパートナー関係の機能を実行することができません。例外トレース項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

ユーザーの処置: 与えられた状態トークン *token* が正しいことを確認してください。使用中の CICS 領域上では、このエラーの原因は、Web 状態管理機能が実行中のタスク用に状態データをアクセスする前に、Web ガーベッジ収集プロセスによって状態データが廃棄されたことが最も考えられます。システム初期設定の *WEBDELAY* パラメーターが適切な値であることを確認してください。Web ガーベッジ収集間隔および Web 端末タイムアウト間隔の値の設定については、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHWBST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *token*
5. 以下のオプションから選択される値。

- 1= パートナーシップの初期化
- 2= パートナーシップの作成
- 3= パートナーシップの切断
- 4= パートナーのトリガー
- 5= パートナーの待機
- 6= パートナーの照会
- 7= パートナーシップの終了

6. *taskid*

7. *X'cuowid'*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

9. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB1100 E *date time applid* The CICS Web Interface received data from the user application that is longer than expected.

説明: 環境変数プログラムがユーザー・アプリケーションからデータを受信しました。しかし、受信したデータが予期したよりも長いものでした。

システムの処置: 例外トレース・ポイント 4623 が書き込まれます。環境変数プログラムは異常終了コード AWB7 で異常終了します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムから CICS に送られたデータを調べてください。

モジュール: DFHWBENV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*

宛先: CWBO およびコンソール

DFHWB1200 *date time applid tranid* The CICS Web Interface analyzer program set parameter **WBRA_USER_DATA_LENGTH** to more than the maximum. Program name: *progrname*. RESPONSE: *response*. REASON: *reason*. Host IP address: *hostaddr*. Client IP address: *clientaddr*. Data offset: *X'dataoffset'*. Data length: *X'datalength'*. Buffer length: *X'bufferlength'*. | *TCPIPSERVICE: }* *tcipSERVICE*

説明: Web 接続処理は、要求の通常処理の一部として、必要な処置を調整するためにユーザー置き換え可能分析機能呼び出します。このプログラムは、HTTP 要求のユーザー・データ部分の長さをパラメーター **WBRA_USER_DATA_LENGTH** に入れて渡され、それを変更することができます。ただし、変更される値は、データ・バッファ内の使用可能なスペースを表す最大許容値より大きくなります。

システムの処置: クライアントにエラー応答が送られ、要求の処理は終了します。

ユーザーの処置: パラメーター

WBRA_USER_DATA_LENGTH を最大値より大きくしないように分析プログラムを変更してください。データ・オフセットとデータ長の合計がバッファ長を超えてはなりません。

モジュール: DFHWBXN、DFHWBXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. *tranid*
- 5. *progrname*
- 6. *response*
- 7. *reason*
- 8. *hostaddr*
- 9. *clientaddr*
- 10. *X'dataoffset'*
- 11. *X'datalength'*
- 12. *X'bufferlength'*
- 13. 以下のオプションから選択される値。

1=

2= *TCPIPSERVICE*:

14. *tcipSERVICE*

宛先: CWBO

DFHWB1525 *date time applid tranid* **The CICS Web Interface connection manager received an unexpected response from CICS.**

説明: 接続管理機能が CICS コマンドに対して予期しない応答を受信しました。これは論理エラーです。

システムの処置: システム・ダンプがとられます。処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。メッセージ DFHME0116 に示されている症状ストリングの詳細を報告してください。これは、問題判別に役立ちます。

モジュール: DFHWBC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*

宛先: CWBO および端末エンド・ユーザー

DFHWB1551 *date time applid* **The CWBC Transaction is no longer used to manage CICS Web resources.**

説明: CICS 提供のトランザクション CWBC を実行しようとした。このトランザクションは、今では、CICS Web リソースを管理するために使われていません。

システムの処置: None. 処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS Web リソースの管理方法についての詳細は、CICS Internet and External Interfaces Guide および リソースの定義 を参照してください。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWBC01

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CWBO および端末エンド・ユーザー

DFHWB1560 *date time applid userid* **URIMAP urimap has been created.**

説明: これは、URIMAP *urimap* を、INSTALL コマンドを使用してシステムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBUR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *urimap*

宛先: CWBO

DFHWB1570 *date time applid userid* **URIMAP urimap was successfully discarded.**

説明: これは、URIMAP *urimap* が DISCARD コマンドを使用してシステムから除去されたことを示す監査ログ・メッセージです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBUR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *urimap*

宛先: CWBO

DFHWB1580 *date time applid userid* **The availability status of URIMAP urimap has {been set to available | been set to unavailable | reverted to none} following a change to an application entry point.**

説明: これは、URIMAP *urimap* が使用可能かどうかを示す監査ログ・メッセージです。使用可能かどうかは、URIMAP リソースに関連付けられたアプリケーション・エントリー・ポイントにより変更できます。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWPUR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *urimap*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能に設定されました (*been set to available*)
 2= 使用不可に設定されました (*been set to unavailable*)
 3= なしに戻されました (*reverted to none*)

宛先: CWBO

DFHWB1581 *date time applid userid tranid An*
application entry point for operation
operationname of application
applicationname, version
majorversion.minorversion.microversion, on
platform platformname has been set
disabled and unavailable because
URIMAP urimapname has been deleted.

説明: プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname*、バージョン *majorversion.minorversion.microversion* の *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントは、URIMAP *urimapname* が削除されたため、無効および使用不可に設定されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを再度使用可能にするには、まず URIMAP を再インストールし、次にバンドルを有効にして、使用可能に設定してください。

モジュール: DFHWPUR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *operationname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*

11. *platformname*

12. *urimapname*

宛先: CSPL

DFHWB1582 *date time applid userid tranid An*
application entry point for operation
operationname has been set disabled
and unavailable because URIMAP
urimapname has been deleted.

説明: *operationname* のアプリケーション・エントリー・ポイントは、URIMAP *urimapname* が削除されたため、無効および使用不可に設定されました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを再度使用可能にするには、まず URIMAP を再インストールし、次にバンドルを有効にして、使用可能に設定してください。

モジュール: DFHWPUR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *operationname*
7. *urimapname*

宛先: CSPL

DFHWB7001 HTTPD_extract for *envvar* failed.
Processing of this request terminated
rc=retcode.

説明: CICS GWAPI プログラムは、指定された環境変数 *envvar* を取得するために HTTPD_extract 機能を実行したときに、エラー応答 *retcode* を受け取りました。

システムの処置: CICS GWAPI プログラムは終了し、HTTP サーバー・エラー応答 (コード 500) を Web ブラウザーに戻します。

ユーザーの処置: ICSS/390 サーバーが CICS GWAPI DLL を使用するよう正しく構成されているかどうかを調べてください。詳細は、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHWPAPI

宛先: SYSPRINT

**DFHWB7002 HTTP ユーザー・データに対する
HTTPD_read が失敗しました。
(HTTPD_read for HTTP user data
failed.) Processing of this request
terminated rc=retcode.**

説明: CICS GWAPI プログラムは、HTTP 要求とともに送信されたユーザー・データを取得するために HTTPD_read 機能を実行したときに、エラー応答 *retcode* を受け取りました。

システムの処置: CICS GWAPI プログラムは終了し、HTTP サーバー・エラー応答 (コード 500) を Web ブラウザーに戻します。

ユーザーの処置: ICSS/390 サーバーが CICS GWAPI DLL を使用するように正しく構成されているかどうかを調べてください。詳細は、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHWBAPI

宛先: SYSPRINT

**DFHWB7003 Invalid URL passed to DFHWBAPI:
url. Processing of this request
terminated rc=retcode.**

説明: CICS GWAPI プログラムは、Web ブラウザーから受け取った Uniform Resource Locator *url* のパス名セクションを分析しようとしていました。しかし、その構文が、要求を処理する CICS 領域、トランザクション、およびプログラムを決定すると見込まれている標準形式ではないと判断しました。

失敗の理由は、戻りコード *retcode* の以下に示す値のいずれかによって示されます。

- 1
パス名が 8 文字より少なくなっています。
- 2
パス名が先行スラッシュ (「/」) 文字で始まっていません。
- 3
CICS アプリケーション ID が無効です。
- 4
コンバーター名が無効です。
- 5
トランザクション名が無効です。
- 6
サーバー・プログラム名が無効です。

システムの処置: CICS GWAPI プログラムは終了し、HTTP サーバー・エラー応答 (コード 500) を Web ブラウザーに戻します。

ユーザーの処置: ICSS/390 サーバーが CICS GWAPI DLL を使用するように正しく構成されているかどうかを調べてください。詳細は、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHWBAPI

宛先: SYSPRINT

**DFHWB7006 Link to program program_name at
applid applid failed for URL url.
Processing of this request terminated
RESP=resp RESP2=resp2.**

説明: CICS GWAPI プログラムは、CICS 外部呼び出しインターフェース (EXCI) を使用して、*applid applid* の CICS 領域内のビジネス・ロジック・インターフェース・プログラム *program_name* にリンクしようとしていましたが、リンクは成功しませんでした。EXEC CICS LINK コマンドからの EIBRESP および EIBRESP2 の値は *resp* および *resp2* です。

システムの処置: CICS GWAPI プログラムは終了し、HTTP エラー応答を Web ブラウザーに戻します。*resp* および *resp2* が、領域間通信接続の確立に一時的な問題であることを示している場合、HTTP エラー応答は 503 (システムは使用不可) で、それ以外の場合は 500 (サーバー・エラー) です。

ユーザーの処置: ターゲット CICS 領域が、この ICSS/390 サーバー・アドレス・スペースから EXCI 要求を受信するように正しく構成されているかどうかを調べてください。

以下を設定する必要があります。

- ターゲット CICS 領域をアクティブにする必要があります。
- 汎用 EXCI パイプ、または *applid* に固有の EXCI パイプが、ターゲット CICS 領域にインストールされている必要があります。
- ターゲット CICS 領域で領域間通信をアクティブにする必要があります。

詳細は、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHWBAPI

宛先: SYSPRINT

DFHWPB7007 プログラム *program_name* によってエラーが検出されました。**Processing of this request terminated rc=retcode.**

説明: CICS GWAPI プログラムは、CICS 外部呼び出しインターフェース (EXCI) を使用して、CICS 領域内のビジネス・ロジック・インターフェース・プログラム *program_name* にリンクしようとしたましたが、プログラムによりエラー応答が戻されました。戻りコード *retcode* は、*wbbl_response* で戻されたビジネス・ロジック・インターフェース応答です。

システムの処置: CICS GWAPI プログラムは終了し、Web ブラウザーに対する HTTP サーバー応答として *retcode* を戻します。

ユーザーの処置: エラー応答の理由を調べてください。*wbbl_response* で戻される可能性のある値は、CICS の資料に説明されています。これらの値は、一般的にコンバーター・プログラムまたはサーバー・アプリケーション・プログラムのプログラミング・エラーが原因です。

モジュール: DFHWPBAPI

宛先: SYSPRINT

DFHWPB7008 *variable* の HTTPD_set が URL *url* で失敗しました。(HTTPD_set for *variable* failed for URL *url*.) **Processing of this request terminated rc=retcode.**

説明: CICS GWAPI プログラムは、URL *url* の処理中に、指定された変数 *variable* の値を設定するために HTTPD_set 機能を実行したときに、エラー応答 *retcode* を受け取りました。

DFHWUUnnnn メッセージ

DFHWU0001 E *applid* An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは CICS コードにエラーが存在する可能性があることを意味します。

他にも次のことが考えられます。

- 予期しないデータが入力された。
- ストレージが上書きされた。
- ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックがあった。

システムの処置: CICS GWAPI プログラムは終了し、HTTP サーバー・エラー応答 (コード 500) を Web ブラウザーに戻します。

ユーザーの処置: ICSS/390 サーバーが CICS GWAPI DLL を使用するように正しく構成されているかどうかを調べてください。詳細は、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHWPBAPI

宛先: SYSPRINT

DFHWPB7009 HTTP_write が URL *url* で失敗しました。(HTTP_write failed for URL *url*.) **Processing of this request terminated rc=retcode.**

説明: CICS GWAPI プログラムは、URL *url* の HTTP 応答とともに送信されるユーザー・データを書き込むために HTTPD_write 機能を実行したときに、エラー応答 *retcode* を受け取りました。

システムの処置: CICS GWAPI プログラムは終了し、HTTP サーバー・エラー応答 (コード 500) を Web ブラウザーに戻します。

ユーザーの処置: ICSS/390 サーバーが CICS GWAPI DLL を使用するように正しく構成されているかどうかを調べてください。詳細は、CICS の資料を参照してください。

モジュール: DFHWPBAPI

宛先: SYSPRINT

コード *aaa* は、該当する場合、3 桁の 16 進数 MVS システム完了コードです (例えば、0C1 または D37)。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。 *aaa* の後に続く 4 桁コード *bbbb* は、CICS またはユーザー・システム上の別のプロダクトのいずれかによって作成されたユーザー異常終了コードです。

X'offset' に値 *X'FFFF'* が入っている場合には、異常終了時にモジュール *modname* に制御があったことを意味しますが、プログラム状況ワード (PSW) はこのモジュールをアドレッシングしていませんでした。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

次のいずれかとなります。 たとえ CICS が終了しないようにダンプ・テーブル内で指定済みであったとして

も、これはクリティカル・エラーなので CICS は終了します。

または、CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定していない限り、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

MVS コード *aaa* がある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

modname 挿入部に値 *????* が入っている場合には、どのモジュールが異常終了したのか CICS が判別できなかったことを意味します。この場合、システム・ダンプを調べて、コードのどの部分がプログラム・チェックを発生させたのかを判別してください。

ユーザーは他のメッセージを調べて、このメッセージを出したモジュールが異常終了発生時に何をしていたかを判別してください。これらのメッセージから、どのプロダクトが異常終了コード *bbbb* を出したのかを論理的に推測することができます。*bbbb* が CICS コードとして識別された場合には、英数字または数値のいずれかになります。

- CICS コードが英数字 (例えば *AKEA*) の場合には、CICS トランザクション異常終了コードを表している。
- CICS コードが数値 (たとえば、1310) の場合には、CICS メッセージを表している (たとえば、DFHTS1310)。

ユーザー異常終了コードが別のプロダクトからのコード (例えば、IMS) である場合には、該当するメッセージおよびコードの資料を参照して、異常終了の原因を判別してください。

該当する資料の各項目は、ユーザーにエラーの性質に関する手引きを提供します。さらに、適切なユーザー処置に関する手引きについても提供することがあります。

注: ユーザー・プログラム内にプログラム・チェックが発生した可能性があります。この場合には、通常、プログラム・チェックの次に *ASRA* トランザクション異常終了または *ASRB* トランザクション異常終了が続き、さらにトランザクション・ダンプが作成されます。

ASRA 異常終了および *ASRB* 異常終了の前に出されるシステム・ダンプを抑止したい場合には、*CEMT* コマンドまたは *EXEC CICS* コマンドを使用して、ダン

プ・テーブル内の項目にこれを指定する必要があります。システム・ダンプの抑止についての詳細は、「構成」で説明されています。

この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHWU0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー *DFHMDM*) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS 例外トレース項目についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、モジュール

modname を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWUIN1、DFHWURP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHWU0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャ DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが発行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合に

は、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWUIN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHWU0910 I *applid* 命令アドレス *X'aaaaaaaa'*、CSECT *csect* 内のオフセット *X'offset'*。

説明: CICS システムで異常終了が発生した結果、CICSplex SM リカバリー・ルーチンが入力されました。

このメッセージは、CICSplex SM で発生した異常終了の場所について説明します。各部の説明は、以下のとおりです。

applid

異常終了した CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

aaaaaaaa

異常終了の原因となった命令のアドレスです。

offset

異常終了の原因となった、CSECT 内の命令のオフセットです。

csect

異常終了の原因となった命令が含まれる CSECT の名前です。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは、関連する診断情報を収集して、形式設定を試行します。使用可能なすべての情報は、このメッセージに続く DFHWU09nn メッセージに示されています。

ユーザーの処置: 以下の情報を可能な限り多く収集し

て、IBM サポートに連絡してください。

- 異常終了を受け取ったジョブのジョブ・ログ。ジョブ・ログが使用できない場合は、システム・ログを取得します。
- EYULOG ファイル。CMAS が異常終了した場合は、その CMAS の EYULOG ファイルを取得します。CICS システムが異常終了した場合は、CICS システムが接続されていた CMAS の EYULOG ファイルを取得します。
- 形式設定されたトランザクション・ダンプ (取得されていた場合)。
- 形式設定されていない SVC ダンプ (取得されていた場合)。
- AUXTRACE ファイル (使用可能な場合)。CICS システムが異常終了し、AUXTRACE がその CICS システムでアクティブでなかった場合、CICS システムが接続されていた CMAS の AUXTRACE ファイルを取得します。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'aaaaaaaa'*
3. *X'offset'*
4. *csect*

宛先: コンソール

DFHWU0911 I *applid* EC Mode PSW at time of
abend: PSW1 PSW2 PSW3 PSW4

説明: このメッセージは、異常終了時の PSW の状態に関する情報を提供します。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *PSW1*
3. *PSW2*

4. *PSW3*

5. *PSW4*

宛先: コンソール

DFHWU0912 I *applid* Execution key: *key*, **abend**
reason code: *X'reason'*.

説明: このメッセージは、異常終了時の実行キーに関する情報および異常終了の理由コードを提供します。各部の説明は、以下のとおりです。

applid

異常終了した CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

キー

異常終了が発生した時点でタスクが実行していたストレージ・キーです。

reason

異常終了によって提供される理由コードです。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *key*
3. *X'reason'*

宛先: コンソール

DFHWU0913 I *applid* 実行モード: *mode*。BEAR:
X'bear'。

説明: このメッセージは、異常終了時の実行モードおよび Breaking Event Address Register (BEAR) に関する情報を提供します。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *mode*
3. *X'bear'*

DFHWU0914 I • DFHWU0918 I

宛先: コンソール

DFHWU0914 I *applid* **Registers R1-R2: REG1VAL
REG2VAL**

説明: 形式設定された各レジスタの名前がその内容とともに表示されます。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *R1*
3. *R2*
4. *REG1VAL*
5. *REG2VAL*

宛先: コンソール

DFHWU0915 I *applid* **PSW** 用の **R14** を使用して低いアドレスに分岐します。

説明: 呼び出し元プログラムは無効なアドレスを分岐しようとした。CICSplex SM ルーチンは、関連する診断情報の形式設定の試行にレジスタ 14 のアドレスを使用します。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWU0916 I *applid* **Storage around PSW at time of abend:**

説明: 異常終了の発生場所のストレージの内容が形式設定されました。このメッセージは、その後に続く内容レコードのヘッダーになります。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。ストレージの内容は、このヘッダーの直後の DFHWU0917 メッセージに表示されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWU0917 I *applid* **offset location data1 data2
data3 data4**

説明: 次のそれぞれの場所にあるストレージの内容が表示されます。

-0010

PSW の前の 16 バイト

+0000

PSW の開始

+0010

PSW の後の 16 バイト

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *offset*
3. *location*
4. *data1*
5. *data2*
6. *data3*
7. *data4*

宛先: コンソール

DFHWU0918 I *applid* ストレージのダンプ時に異常終了が発生しました。**PSW** が有効でない可能性があります。

説明: 診断情報の収集および形式設定の試行中に、CICSplex SM リカバリー・ルーチンがアクセス不能なアドレスを検出しました。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWU0919 I *applid* トランザクション: *tran*。タスク: *task*。

説明: このメッセージは、異常終了が発生した現時点で実行中のトランザクションおよびタスクに関する情報を提供します。各部の説明は、以下のとおりです。

applid

異常終了した CICS システムの VTAM アプリケーション ID です。

tran

CICS トランザクション ID です。

タスク

CICS タスク番号です。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報の形式設定を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tran*
3. タスク

宛先: コンソール

DFHWU0920 I *applid* 異常終了のリカバリーが正常に完了しました。

説明: CICSplex SM リカバリー・ルーチンは、前の DFHWU09xx メッセージで報告された異常終了の処理を正常に完了しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: メッセージ DFHWU0910 内の指示に従ってください。

モジュール: DFHWUIPG

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWU1000 *date time applid* The *userid* *userid* attempted to access a result cache token belonging to *userid* *cacheuser*.

説明: ユーザーは、別のユーザーに属するキャッシュ・トークンにアクセスしようとしてしました。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWURSM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *cacheuser*

宛先: CSMT

DFHWU2100 *applid* プログラム **DFHWURP** にリンクできません。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースのリカバリー・プログラム DFHWURPが利用できません。CICS は、CICS 始動ジョブ・ストリームの DFHRPL DD ステートメント内の連結されたデータ・セットに DFHWURP を検出できません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーを訂正するには、DFHRPL DD ステートメントの区分データ・セットに DFHWURP を入れてください。

モジュール: DFHWUIN2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHWU4001 指定された **URI** に、許容最大長の 256 バイトを超えるパスが含まれています。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。指定された **URI** に、許容最大長の 256 バイトを超えるパスが含まれています。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: **PATH** の長さが正しい **URI** を指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4002 HTTP 要求の本体が指定されていませんでした。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。HTTP 要求の本体が指定されていませんでした。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: HTTP 要求の本体を指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4003 URI で不明な照会パラメーターが指定されていました。名前:*parmname* 値:*parmvalue*

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。URI で不明な照会パラメーターが指定されていました。システムは要求の処理を停止します。

システムの処置:

ユーザーの処置: 有効な照会パラメーター名と値を指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4005 結果キャッシュ・トークンが **URI** で欠落していました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。結果キャッシュ・トークンが **URI** で欠落していました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 結果キャッシュ・トークンを **URI** に追加して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4006 リソース名が **URI** で欠落していました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。リソース名が **URI** で欠落していました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: リソース名を **URI** に追加して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4007 HTTP 要求の本体が正しく指定されていませんでした。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。HTTP 要求の本体が正しく指定されていませんでした。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: HTTP 要求の本体を訂正して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4008 An action was specified in the HTTP body that was not valid. ACTION value: *action*

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。無効な HTTP 本体で、アクションが指定されました。

「ACTION」値は、無効なアクションの名前です。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: HTTP 本体で有効なアクションを指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4009 キャッシュされていない結果に対して、レコード・インデックスが指定されていました。**RECORDINDEX value: *recordindex***

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。キャッシュされていない結果に対して、レコード・インデックスが指定されていました。「RECORDINDEX」が、指定されたレコード・インデックスです。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: **URI** からレコード・インデックスを除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4010 URI で指定されているレコード・インデックスは、無効です。**RECORDINDEX value: *recordindex***

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。**URI** で指定されているレコード・インデックスは、無効です。

「RECORDINDEX」が、指定されたレコード・インデックスです。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: **URI** 内のレコード・インデックスを

訂正して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4011 The record count specified in the URI was not valid. RECORDCOUNT value: *recordcount*

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。URI で指定されているレコード・カウントは、無効です。

「RECORDCOUNT」が、指定されたレコード・カウントです。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI で正しいレコード・カウントを指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4012 Extraneous data was detected at the end of the URI. EXTRADATA value: *data*

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。無関係なデータが URI の末尾で検出されました。

「EXTRADATA」が、指定された余分なデータです。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI の末尾から無関係なデータを除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4013 複数の CRITERIA 式が URI で検出されました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。複数の CRITERIA 式が URI で検出されました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI から複数の CRITERIA 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4014 複数の PARAMETER 式が URI で検出されました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。複数の PARAMETER 式が URI で検出されました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI から複数の PARAMETER 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4016 複数の NODISCARD 式が URI で検出されました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。複数の NODISCARD 式が URI で検出されました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI から複数の NODISCARD 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4017 NODISCARD は、HTTP GET 要求でのみ有効です。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。

NODISCARD は、HTTP GET 要求でのみ有効です。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI から NODISCARD 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4018 CRITERIA は、HTTP POST 要求で有効ではありません。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。

CRITERIA は、HTTP POST 要求で有効ではありません。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI から CRITERIA 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4019 PARAMETER は HTTP POST 要求では無効です。(PARAMETER is not valid for HTTP POST requests.)

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。

PARAMETER は HTTP POST 要求では無効です。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI から PARAMETER 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4020 複数の **SUMMONLY** 式が **URI** で検出されました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。複数の **SUMMONLY** 式が **URI** で検出されました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: **URI** から複数の **SUMMONLY** 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4021 **CRITERIA is not valid for result cache operations. CRITERIA value: criteria**

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。結果キャッシュ操作では **CRITERIA** は無効です。**CRITERIA** 式に指定された値は *criteria* です。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: **URI** から **CRITERIA** 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4022 **PARAMETER** は、結果キャッシュ操作で有効ではありません。**PARAMETER** 値: *parameter*

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。**PARAMETER** 式の使用は、結果キャッシュ操作では無効です。**PARAMETER** 式に指定された値は *parameter* です。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: **URI** から **PARAMETER** 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4025 このリソースでは指定された属性は無効でした。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。このリソースでは指定された属性は無効でした。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 適切な属性を指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4026 **DEFVER** 属性が指定されなかったか、ゼロの値が指定されました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。**DEFVER** 属性が指定されなかったか、ゼロの値が指定されました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 有効な **DEFVER** 属性を指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4027 指定された属性の値が範囲外にあったか、無効でした。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。指定された属性の値が範囲外にあったか、無効でした。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 有効な属性を指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4029 指定された結果キャッシュ・トークンは、許容最大長を超えていました。
CACHETOKEN 値: *cachetoken*

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。指定された結果キャッシュ・トークンは、許容最大長を超えていました。*cachetoken* は、キャッシュ・トークンに指定された値です。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 正しい長さのキャッシュ・トークン値を指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4030 **URI** でリソース名が指定されていませんでした。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。**URI** でリソース名が指定されていませんでした。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: **URI** 内のリソース名を指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4031 複数の ORDERBY 式が URI で検出されました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。複数の ORDERBY 式が URI で検出されました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI 内の複数の ORDERBY 式を除去して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4032 ORDERBY is only valid for HTTP GET requests.

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。

ORDERBY 式の使用は、HTTP GET 要求でのみ有効です。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: この要求の ORDERBY 式を除去して、再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4033 Multiple
OVERRIDEWARNINGCOUNT
expressions were found in the URI.

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。Multiple OVERRIDEWARNINGCOUNT expressions were found in the URI.

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: URI 内の複数の OVERRIDEWARNINGCOUNT 式を削除して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4300 URI で指定された結果キャッシュ・トークンは、要求を行ったユーザーのものではありません。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。URI で指定された結果キャッシュ・トークンは、要求を行ったユーザーのものではありません。

システムの処置: 指定された結果キャッシュへのアクセスが拒否されました。

ユーザーの処置: 正しい結果キャッシュ・トークンを指定して、要求を再指定してください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4301 この環境では要求を実行できません。この領域は正しく構成されていません。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。この環境では要求を実行できません。この領域は正しく構成されていません。CICS 管理クライアント・インターフェースは、CICSplex SM Web ユーザー・インターフェースまたは単一サーバー (SMSS) 領域でのみ開始してください。

システムの処置:

ユーザーの処置: 要求に適した環境を使用していることを確認してください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4302 The requested record count will exceed the current default warning count limit. current_record_count value: *currcount* default_warning_count value: *warncount* override_warning_count_allowed value: *override_warning_count_allowed*

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。リソース限度を超えたため、要求は拒否されました。要求されたレコード・カウントは、現在のデフォルトの警告カウント制限値を超えてしまいます。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 戻されるレコードの数を減らすために要求を再指定するか、*override_warning_count_allowed* が "YES" に設定されている場合は、OVERRIDEWARNINGCOUNT URI 照会パラメーターを指定してください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4303 CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。要求を処理できません。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。

システムの処置: CICS 管理クライアント・インターフェースへのアクセスが拒否されました。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ全体の説明を参照してください。

DFHWU4400 • DFHWU5002

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4400 URI で指定されたリソースを検出できませんでした。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。URI で指定されたリソースを検出できませんでした。リソース・タイプが、このバージョンの CICS 管理クライアント・インターフェースでサポートされていません。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 指定された CICS リソース名が正しいことを確認してください。URI 内の有効なリソースを指定して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4401 指定された結果キャッシュ・レコードを検出できませんでした。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。結果キャッシュ・レコードのインデックスが範囲外のため、指定された結果キャッシュ・レコードを検出できませんでした。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 指定された結果キャッシュ・レコード索引が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4402 指定された結果キャッシュを検出できませんでした。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。結果キャッシュ・レコード・トークンが見つからないため、指定された結果キャッシュ・レコードを検出できませんでした。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 指定された結果キャッシュ・トークンが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU4500 A method has been specified that is not valid for the URI sent to the CICS management client interface.
METHOD value: *method*

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースでエラーが発生しました。指定された HTTP メソッドはその URI に対しては許可されていません。*method* は、CICS 管理クライアント・インターフェースに送信された URI には無効です。

1760 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: 有効な HTTP メソッドを指定したことを確認して、要求を再サブミットしてください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU5000 要求を完了するために使用できる GCDSA ストレージが不足しています。
(There was insufficient GCDSA storage available to complete the request.)

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースで内部エラーが発生しました。要求を完了するために使用できる GCDSA ストレージが不足しています。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU5001 CICS 管理クライアント・インターフェース・サーバーが、ストレージ不足 (2 GB 境界より下) になりました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースで内部エラーが発生しました。CICS 管理クライアント・インターフェース・サーバーが、ストレージ不足 (2 GB 境界より下) になりました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHWU5002 CICS 管理クライアント・インターフェースで内部エラーが発生しました。

説明: CICS 管理クライアント・インターフェースで内部エラーが発生しました。

システムの処置: システムは要求の処理を停止します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: DFHWUIPG

DFHXAnnnn メッセージ

DFHXA6521I *applid* CICS shutdown initiated by CEBT event

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。

システムの処置: CICS は正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRCF

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXA6526I *applid* MESSAGE RECEIVED FOR UNSUPPORTED QUEUE X'*queue*'.

説明: このメッセージは CAVM TCB から出されます。16 進数名 X' *queue*' のキューに関して追跡メッセージが出されました。しかし、CICS はこのキューを認識していません。

システムの処置: CICS の処理は続行されますが、キュー X' *queue*' の追跡メッセージは無視されます。

ユーザーの処置: XRF に関して、活動 CICS システムおよび代替 CICS システムが同じ機能レベルにあるかどうか検査してください。

両方の CICS システムが同じレベルにある場合には、活動 CICS システムが代替システムにデータを書き込んだ理由を調べてください。

キュー名が破壊されていないことを確かめてください。

モジュール: DFHXRB

宛先: コンソール

DFHXA6528I *applid* Unable to link to program *programe*

説明: このメッセージは CICS TCB から出されます。CICS がプログラム *programe* にリンクできません。

システムの処置: システム・ダンプが作成されて、CICS は異常終了コード 0210 で異常終了します。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、CICS がプログラム *program* にリンクできない理由を判別してください。

指定されたプログラムが、DFHRPL DD ステートメントで連結されたデータ・セットから欠落していないことを確認してください。*programe* が欠落している場合には、プログラムのコピーをとってライブラリーの中に入れてください。さらに、動的ストレージ域用に十分な

ストレージ域が使用できることを確認してください。

モジュール: DFHXRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *programe*

宛先: コンソール

DFHXA6530 *applid* START=STANDBY specified. CICS start-up is terminated because XRF=NO is specified

説明: START=STANDBY と XRF=NO を同時に指定することはできません。

システムの処置: CICS はダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: オペランド START と XRF の矛盾した値を訂正してください。

モジュール: DFHSIC1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXA6540I XRF HAS FAILED. ERROR NUMBER *nm* ON XRF MESSAGE DATA SET IN CONTROL INTERVAL WITH RBA HEX'*xx*'.

説明: XRF メッセージ・マネージャーが、メッセージ・データ・セット内の、ここに示された制御インターバルの内容の問題を検出しました。このメッセージに含まれているエラー番号 *nm* は、次の値のうちいずれか 1 つをとります。

01

CI には XRF メッセージ・マネージャー制御レコードが含まれていない。

02

XRF メッセージ制御レコードには、現在の読み取り周期数よりも小さい周期数が入っている。

03

XRF メッセージ・マネージャーが、予定した個所でメッセージ・レコード境界を見つけられなかった。

04

XRF メッセージ順序番号エラーが存在する。

05

CIDF が無効である (例えば、フリー域の長さが負数)。

06

RDF 内の長さが、メッセージ・レコード・ヘッダーの長さよりも小さいか、メッセージ・レコード・ヘッダー内のデータ長と矛盾している。

07

レコードの終わりが、CIDF のデータ長フィールドで定義されたデータ域の外側にある。

システムの処置: 代替システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: 活動システムと代替システムが XRF 監視用に使用しているデータ・セットの対が同一のものであるかどうかを検査してください。同一であれば、これは、CICS エラーであることはほぼ確実であり、代替システムまたは活動システム (あるいはその両方) に影響を及ぼします。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWMRD

宛先: コンソール

DFHXA6541I XRF HAS FAILED. THE XRF MESSAGE READER IN THE ALTERNATE SYSTEM HAS FALLEN TOO FAR BEHIND.

説明: 代替システムが、活動 CICS が生成するメッセージについていけなくなっています。循環メッセージ・データ・セット内のその読み取り位置が、アクティブ・システムによって「重ね」られています。

システムの処置: 代替システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: 代替システムの遅延の理由を調べて、これを訂正してください。メッセージ・データ・セットが小さすぎて、十分なバッファ操作ができないか、あるいはメッセージ・データ・セットがアクティブ CEC (アクティブ CICS とは限りません) によって予約されている可能性があります。

モジュール: DFHWMRD

宛先: コンソール

DFHXA6560I applid TERMINATION COMMAND FAILED: command.

説明: 活動 CICS を終了させるために引き継ぎ時に代替 CICS によって出されたコマンドが失敗しました。MVS は、プログラム制御のもとで出されたシステム・オペレーター・コマンド *command* を無効として拒否しました。

システムの処置: メッセージ DFHXA6581 または DFHXA6582 も表示されます。代替 CICS は、活動 CICS のジョブの終了を検出するために処理を続行します。

ユーザーの処置: 活動 CICS のジョブが終了することを確認してください。メッセージ DFHXA6581 およびメッセージ DFHXA6582 を参照してください。問題判別には、コンソール・ログのハードコピーが必要になる場合があります。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6561D applid WHEN jesno jobname ENDS REPLY JOB OR WHEN CEC sid HAS FAILED REPLY CEC.

説明: 引き継ぎの試行時に、メッセージを発行した CICS システムは、別の CEC 上で実行されているジョブ *jobname* が終了したかどうかを判別できませんでした。これは、次のいずれかの理由によります。

•

CICS が、メッセージに示されたジョブを取り消すためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを発行することができませんでした。この場合、メッセージ DFHXA6560、DFHXA6569、または DFHXA6570 が作成されています。

•

CICS が CANCEL コマンドを正常に発行したか、ジョブ *jobname* が障害を起こしている DBCTL サブシステムであるかのいずれかです。しかし、初期設定パラメーター JESDI で指定された期間以後もジョブがまだ実行されているようです。

jobname が活動 CICS である場合、*jobname* が終了するまで引き継ぎは続行できません。*jobname* が DBCTL サブシステムの場合、*jobname* が終了するまで、代替 DBCTL は開始できません。

システムの処置: システムは応答を待ちます。その間、メッセージを発行した CICS システムは処理を続行して、ジョブの終了を検出します。

応答が未処理のうちに終了が検出された場合には、この

メッセージは削除されて、メッセージ DFHXA6564 が表示されます。この場合は、応答はもはや必要ありません。

応答が「JOB」の場合には、CICS 自体が終了を検出したかのように処理が続行されます。

応答が「CEC」の場合にもこの状態は発生しますが、同時に CEC がこの時点で操作不能であることを示す内部レコードが作成されます。メッセージに示された CEC 上で実行されているジョブにこのメッセージを発行し、まだ応答を待っている他の代替 CICS は、障害の起きた CEC の内部レコードを検出することになります。その後で、これらの代替システムは、未解決の応答を削除して、メッセージ DFHXA6563 を出します。

ユーザーの処置: オペレーターは、次のいずれかを行ってください。

- JES 番号 *jesno* のジョブ *jobname* が終了したことを確認してから、「JOB」と応答する。
- MVS システム ID *sid* を持つ CEC がこの時点で操作不能であることを、例えばその CEC 上で SYSTEM RESET を選択して確認し、その後「CEC」と応答する。

CICS が上記の説明通り、随時このメッセージを削除する場合には、処置は必要ありません。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6563I *applid* CEC *sid* の障害のため、*jesno jobname* が終了しました。(jesno jobname ENDED DUE TO FAILURE OF CEC *sid*.)

説明: 引き継ぎ時に、MVS システム ID *sid* を持つ CEC が失敗し、そのためにジョブ名 *jobname* および JES ジョブ番号 *jesno* を持つ活動 CICS ジョブが終了したとみなされることを、代替 CICS が検出しました。

システムの処置: 代替 CICS は、引き継ぎ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6564I *applid* TERMINATION OF *jesno jobname* DETECTED.

説明: 引き継ぎ時に、代替 CICS は、指定されたジョブ名および JES ジョブ番号を持つ活動 CICS が終了したことを検出しました。

システムの処置: 代替 CICS は、引き継ぎ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6566I *applid modname* NOT LINK-EDITED REENTERABLE.

説明: モジュール *modname* (CLT または RST が現在使用中) が、再入可能モジュール属性でリンク・エディットされていないことが検出されました。

初期設定オプションの CLT=*xx* または RST=*xx* は、この代替 CICS によって現在使用されている CLT または RST の接尾部を示します。

システムの処置: さらにメッセージが発行されて、CICS が行う処置が説明されます。

ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6567I *applid* APPLID *applid2* NOT FOUND IN *modname*.

説明: モジュール *modname* (この代替 CICS が現在使用している CLT または RST) は、アプリケーション ID *applid2* を含んでいないことが検出されました。

システムの処置: さらにメッセージが発行されて、CICS が行う処置が説明されます。

ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6568I *applid* JOBNAME *jobname* NOT FOUND IN *modname*.

説明: モジュール *modname* は CLT または RST のいずれかです。

モジュールが CLT の場合、この代替 CICS の

APPLID に関連付けられたジョブ名 *jobname* が含まれていないことが検出されました。

モジュールが RST の場合、メッセージに示されている DBCTL サブシステムに関連付けられたジョブ名 *jobname* が含まれていないことが検出されました。

jobname は、引き継ぎ時に代替 CICS が活動 CICS ジョブまたは DBCTL ジョブを取り消すために使用したジョブ名です。

システムの処置: さらにメッセージが発行されて、CICS がとる処置が説明されます。

ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6569I *applid* MVS システム ID *sid* が DFHCLTxx に見つかりません。(MVS SYSTEM IDENTIFIER *sid* NOT FOUND IN DFHCLTxx.)

説明: 現在使用中の CLT は、指定された MVS システム ID *sid* を含んでいないことが検出されました。このシステム ID は、活動 CICS が実行していた CEC を特定するものです。

初期設定オプション CLT=xx は、この代替 CICS が現在使用している CLT の接尾部を指定します。

システムの処置: 代替 CICS によってさらにメッセージが発行され、取られる処置について説明されます。

ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6570I *applid* JES サブシステム名 *jesname* が MVS システム *sid* の DFHCLTxx で見つかりませんでした。(JES SUBSYSTEM NAME *jesname* NOT FOUND IN DFHCLTxx FOR MVS SYSTEM *sid*.)

説明: 現在使用中の CLT は、活動 CICS が実行していた CEC の MVS システム *sid* と関連付けられている JES サブシステム名 *jesname* を含んでいません。

初期設定オプション CLT=xx は、この代替 CICS が現在使用している CLT の接尾部を指定します。

システムの処置: 代替 CICS によってさらにメッセージが発行され、行われる処置について説明されます。

ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6571I *applid* CICS IS NOT DEFINED AS AN MVS SUBSYSTEM.

説明: 代替 CICS は、活動 CICS ジョブが実行していた CEC に障害が起きたかどうかを判別するために、CEC 障害の内部レコードにアクセスしようとした。この情報にアクセスするには、CICS を MVS サブシステムとして定義する必要があります。そのように定義されていないため、この試行は失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None. MVS サブシステムとしての CICS の定義についての詳細は、「CICS TS のインストール」を参照してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6572I *applid* UNABLE TO LOAD *modname*.

説明: このメッセージを発行した代替 CICS が使用するために、CLT または RST によって定義されたモジュール *modname* をロードできません。

システムの処置: 代替 CICS によってさらにメッセージが発行され、取られる処置について説明されます。

ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6573I *applid* LOAD MODULE *modname* IS NOT VALID.

説明: この CICS システムが使用するために CLT または RST が定義したモジュール *modname* は無効です。

システムの処置: 代替 CICS によってさらにメッセージが発行され、取られる処置について説明されます。

ユーザーの処置: 適切な応答は、後続のメッセージによって示されます。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6574I *applid* ERROR FOUND WITH
DFHCLTxx.

説明: このメッセージを発行した代替 CICS が、CLT のロードができないか、もしくは CLT の内容に関して検査を行いエラーを見つけました。指定された CLT がこれ以降の引き継ぎ時に使用された場合、その引き継ぎは正常に行われない場合があります。新規または訂正済み CLT を使用可能にして、これを引き継ぎ時にロードすることができます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 代替 CICS のジョブが活動 CICS の引き継ぎを実行できる許可を持っているかどうかを確認してください。許可されていない場合には、適切な処置を取ってください。

この代替 CICS が前に出したメッセージを見つけてください。そのメッセージには、CLT エラーの詳細が示されています。

この代替 CICS で正しい CLT が使用できるようにするために必要な、適切なソース・コードの編集、アセンブリおよびリンク・エディットのタスクを実行してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6575I *applid* サブシステム名 *subsysid* がこの
APPLID の *rstname* に見つかりません。
(SUBSYSTEM NAME *subsysid* NOT
FOUND IN *rstname* FOR THIS
APPLID.)

説明: これは、SIT を介して選択された RST *rstname* が、この CICS の固有の APPLID *applid* を含んでいるどの RSE にも DBCTL サブシステム *subsysid* の項目を含んでいないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: このメッセージが発行されるとき、直接的な処置は取られません。この検証が失敗した後で、他のメッセージが発行される場合があります。

ユーザーの処置: SIT、RST、および CICS が接続されている DBCTL サブシステムで指定されている RST の接尾部を確認してください。

他のメッセージも発行されている場合には、それも確認してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6576I *applid* CLT PROCESSING NOT
POSSIBLE OWING TO ERROR IN
DFHCLTxx.

説明: 引き継ぎ時に、このメッセージを発行した代替 CICS が CLT の内容に関して検査を行い、エラーを見つけました。

前のメッセージがこのエラーを示しています。

システムの処置: CLT 内のコマンドは、この代替 CICS によっては出されません。他の引き継ぎ処理が続行されます。

ユーザーの処置: 代替 CICS のジョブが活動 CICS の引き継ぎを実行できる許可を持っているかどうかを検査してください。許可を持っていないければ適切な処置を取ってください。

この引き継ぎが正常に行われるようにするためには、システム・オペレーターは、XRF 複合体内の活動 CICS のジョブと代替 CICS のジョブを実行ならびに調整する必要があります。

CLT を訂正するのに必要なソース・コードの編集、アセンブリおよびリンク・エディット・タスクを実行してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6577I *applid* CEC *sid* の *jesno jobname* を取り
消すことは許可されていません。(NOT
AUTHORIZED TO CANCEL *jesno*
jobname ON CEC *sid*.)

説明: メッセージを発行している代替 CICS が、指定された活動 CICS のジョブの引き継ぎを試みています。CLT または RST に、引き継ぎを完全に許可するために必要なデータを見つけることができませんでした。これは、代替がテーブルをロードできないか、あるいは *jobname* が見つからないためです。

- 活動 CICS で、CLT 内にありません。あるいは
- DBCTL サブシステムで、RST 内にありません。あるいは
- CLT または RST が無効であるためです。

後続のメッセージで、CLT または RST でのエラーが示されるか、CLT または RST が無効である理由が明確に示されます。

システムの処置: メッセージを発行している CICS は CANCEL を出すことはできないものの、XRF 制御デー

タ・セットを介して、引き継ぎ要求について活動状態の CICS システムにアラートを出そうとします。ほとんどの場合、これによって活動状態のシステムは終了の実行を開始します。代替 CICS は処理を続行して、ジョブの終了を検出します。

終了が検出されると、メッセージ DFHXA6563 または DFHXA6564 が表示されます。

ユーザーの処置: 代替 CICS のジョブが活動 CICS の引き継ぎを実行できる許可を持っているかどうかを確認してください。代替 CICS ジョブが許可されていない場合には、適切な処置を取ってください。

CLT または RST (またはその両方) には、保守処置が必要な場合があります。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6578I *applid jesno jobname* を取り消すことは許可されていません。(NOT AUTHORIZED TO CANCEL *jesno jobname*.)

説明: メッセージを発行した代替 CICS は、指定された活動 CICS ジョブの取り消しを試みています。CLT または RST に、取り消しを完全に許可するために必要なデータを見つけることができませんでした。これは、代替がテーブルをロードできないか、あるいは *jobname* が見つからないためです。

- 活動 CICS で、CLT 内にありません。あるいは
- DBCTL サブシステムで、RST 内にありません。または
- CLT または RST が無効であるためです。

後続のメッセージで、CLT または RST でのエラーが示されるか、CLT または RST が無効である理由が明確に示されます。

システムの処置: メッセージを発行している CICS は CANCEL を出すことはできないものの、XRF 制御データ・セットを介して、引き継ぎ要求について活動状態の CICS システムにアラートを出そうとします。ほとんどの場合、これによって活動状態のシステムは終了の実行を開始します。代替 CICS は処理を続行して、ジョブの終了を検出します。

終了が検出されると、メッセージ DFHXA6564 が表示されます。

ユーザーの処置: 代替 CICS のジョブが活動 CICS の引き継ぎを実行できる許可を持っているかどうかを確認

してください。代替 CICS ジョブが許可されていない場合には、適切な処置を取ってください。

CLT または RST (またはその両方) には、保守処置が必要な場合があります。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6580I PROGRAM LOGIC ERROR DETECTED.

説明: CICS XRF CAVM 監視プログラム状態処理の続行を妨げる内部エラーが検出されました。

この時点で処理されていた CAVM 監視プログラム状態サービスに応じて、CICS は異常終了する場合としない場合があります。

サービスを処理するための CAVM TCB は、異常終了しました。

ジョブ出力には、SYSABEND DD ステートメントに関連付けられた MVS LSQA のダンプが含まれています。

診断: レジスター 2 は、DFHWTI グローバル・ストレージ用の基底レジスターです。このストレージは、目印フィールド WTISTOR で始まります。このストレージの形式は、ソース・メンバー DFHWTI の DSECT WSTORAGE に定義されています。

グローバル・ストレージに複写された DFHWTI 要求引数は、フィールド WGLODATA から始まります。

ソース・メンバー DFHWTADS は、グローバル・ストレージ引き数の形式を定義します。

フィールド WGLOLOCA には、DFHWTI 内のルーチン用の最初のレジスター保管域のアドレスが収められています。

DFHWTI を呼び出した CICS SVC 呼び出しの SVRB では、FEPARM フィールド内の最初の *fullword* に DFHWTI グローバル・ストレージのアドレスが入っています。

レジスター 4 は、DFHWTI 内の各ルーチン用のローカル・ストレージの基底レジスターです。その形式は、書式 WLOCxxx の名前を持つ DSECT 内に定義されています。ただし、xxx は、ルーチンの短い名前です (ルーチン名のリストについては下記を参照してください)。

これらの DSECT は、ソース・メンバー DFHWTI の中にあります。最初のハーフワードは、ルーチンの内部戻りコードです。内部戻りコードに使用される値は、ソース・メンバー DFHWTADS のフィールド名 WTARRC で定義された DFHWTI 要求理由コードと同じです。

さらに、形式 X'40nn' の内部戻りコードが使用されます。X'40F0' は、「内部論理エラー」変数名 RCLOGERR です。

これと同じ形式を持つその他の内部戻りコードは、ローカル・ストレージ DSECT 内に定義してあります。

CAVM 監視プログラム状態サービスの DFHWTI 要求タイプは、DFHWTI 初期設定および終了ルーチン、フィールド名 WWTIREQ、ソース・メンバー DFHWTI 内の DSECT WLOCWTI に関連付けられたローカル・ストレージに複写されます。

レジスター 6 は、DFHWTI 内の各ルーチン用の基底レジスターです。このレジスターは、設定された場合、ルーチンの長い名前 (以下のルーチン名のリストを参照) の目印フィールドの直後の位置を指し示します。

レジスター 13 は、DFHWTI 内のルーチンに対してローカルなレジスター保管域のための基底レジスターです。これらの保管域の形式は、最初のフルワードにルーチンの短い名前 (名前のリストを参照) が入っていることを除けば、標準の MVS 形式と同じです。これらの保管域は、ルーチンへの入り口に設定され、戻り時にゼロにされる逆方向ポインターおよび順方向ポインターを使用する標準的な方法で連鎖されています。

レジスター保存域の物理的な位置は、ルーチンに対してローカルなストレージよりも前になります。

ルーチンが CLT をアクセスする必要がある場合は、CLT のアドレスはそのルーチンのローカル・ストレージ内にあります。CLT アドレスのフィールド名の書式は、WxxxCLTA です。ただし、xxx はルーチンの短い名前です。

システムの処置: 一般に、この CICS ジョブが出した CAVM 要求は失敗します。失敗がこの CICS ジョブによる処理に及ぼす影響については、この後に出されるメッセージを参照してください。

CAVM XRF 監視プログラム状態処理は、システム異常終了コード 0214 で MVS 異常終了を出し、MVS SYSABEND ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 問題判別のために、ジョブ出力およびコンソール・ログを保存してください。

MVS LSQA の SYSABEND ダンプ、および使用可能であれば MVS 微候ダンプ出力を使用して、レジスター 6 またはレジスター保管域チェーン・フィールドの値から、エラーを検出した DFHWTI ルーチンを見つけてください。

ルーチンのローカル・ストレージに現在設定されている内部戻りコードを見つけてください。

理由コード値、ローカル・ストレージおよびグローバル・ストレージに残っている内容を使用して、ルーチン

によって取られた処置の原因の判別を試みてください。

PRINT NOGEN オプションを指定してアセンブルされた CLT のアセンブリー・リストが必要になる場合もあります。

ルーチン名 長い名前は、次のものについて使用されます。

- ルーチン入り口点の名称
- ルーチン入り口目印

短い名前は、次のものについて使用されます。

- ルーチン・レジスター保管域目印
- ルーチン・ローカル・ストレージ・フィールド名の 2 から 4 番目の文字
- ルーチン・ローカル・ストレージ DSECT 名の 5 から 7 番目の文字
- ルーチン・ラベルの 1 から 3 番目の文字

ルーチンには次のものがあります。

長い名前
短い名前

(1)

WTI

TIPENTRY

TIP

OATERM

OAT

OAWAIT

OAW

VERCLT

VCL

CLPENTRY

CLE

CLPROC

CLP

OPCLT

OCL

CHECKT

CHT
OPCDATA
OPC
INQJES
IJE
TSSENTRY
TSS
MUVENTRY
MUV
VAXENTRY
VAX
SCMENTRY
SCM
DXRENTYR
DXR
IJESSUB(2)

*

1. 標準の DFHVM フィールドを持つモジュール入り口点
2. モジュールの先頭を入り口点として持ち、かつローカル・ストレージに SIJSTOR を使用するサブタスク

エラーの診断の詳しい手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6581I applid ジョブ jesno jobname の状況を判別できません。(UNABLE TO DETERMINE STATUS OF JOB jesno jobname.)

説明: メッセージを発行した CICS システムは、同じ CEC 上で実行されているジョブ jobname が終了したかどうかを判別できませんでした。これは、次のいずれかの理由によります。

1. CICS が、メッセージに示されたジョブを取り消すためにプログラム制御下でシステム・オペレータ

ー・コマンドを発行することができませんでした。この場合、メッセージ DFHXA6560 が作成されません。

2. CICS が取り消しコマンドを正常に出しましたが、そのジョブが、初期設定パラメーター JESDI で指定された期間以後もまだ実行されているようです。
3. ジョブ jobname は障害を起こしている DBCTL サブシステムですが、そのジョブは初期設定パラメーター JESDI で指定された期間以後もまだ実行されているようです。

jobname が活動 CICS の場合、jobname が終了するまで引き継ぎは続行できません。

jobname が DBCTL サブシステムの場合、jobname が終了するまで、代替 DBCTL は開始できません。

システムの処置: メッセージを発行した CICS が指定されたジョブの終了を検出するまで、引き継ぎは中断されます。

終了が検出されると、メッセージ DFHXA6564 が表示されます。

ユーザーの処置: 活動 CICS のジョブが終了することを確認してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6582I applid MVS システム mvsnam(sid) 上のジョブ jesno jobname の状況を判別できません。(UNABLE TO DETERMINE STATUS OF JOB jesno jobname ON MVS SYSTEM mvsnam(sid).)

説明: メッセージを発行した CICS システムは、MVS イメージ mvsnam 上で実行されているジョブ jobname が終了したかどうかを判別できませんでした。これは、次のいずれかの理由によります。

- CICS が、メッセージに示されたジョブを取り消すためにプログラム制御下でシステム・オペレーター・コマンドを発行することができませんでした。この場合、メッセージ DFHXA6560、DFHXA6569、または DFHXA6570 が作成されています。
- CICS が取り消しコマンドを正常に出しましたが、そのジョブが、初期設定パラメーター JESDI で指定された期間以後もまだ実行されているようです。
-

ジョブ *jobname* は障害を起こしている DBCTL サブシステムですが、そのジョブは初期設定パラメーター JESDI で指定された期間以後もまだ実行されているようです。

jobname が活動 CICS の場合、*jobname* が終了するまで引き継ぎは続行できません。

jobname が DBCTL サブシステムの場合、*jobname* が終了するまで、代替 DBCTL は開始できません。

システムの処置: メッセージを発行した CICS が指定されたジョブの終了を検出するまで、引き継ぎは中断されます。

終了が検出されると、メッセージ DFHXA6583 が表示されます。

ユーザーの処置: 活動 CICS のジョブが終了することを確認してください。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXA6583I *applid* MVS システム *mvsname(sid)* 上のジョブ *jesno jobname* の終了が検出されました。(TERMINATION OF JOB *jesno jobname* ON MVS SYSTEM *mvsname(sid)* HAS BEEN DETECTED.)

説明: 引き継ぎ時に、代替 CICS は、MVS イメージ *mvsname* 上で実行されている JES ジョブ番号 *jesno* の活動 CICS ジョブ *jobname* が終了したことを検出しました。

システムの処置: 代替 CICS は、引き継ぎ処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWTI

宛先: コンソール

DFHXCnnnn メッセージ

DFHXC6600I *applid* CAVM DATA SET
INITIALIZATION FAILED.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが CAVM にサインオンしようとしたのですが、CAVM データ・セットを正しく初期設定できないために、サインオン要求が失敗しました。これは次のいずれかによるものです。

-

データ・セット形式設定サブタスクが処理を 2 分以内に完了しなかった。これが起こる可能性があるのは、他の CEC 内で実行されているジョブ (CICS とは限らない) から出される予約が原因で、CAVM データ・セットの DASD ボリュームまたは VSAM カタログが長い時間アクセス不能のままになる場合です。

-

CAVM データ・セットの 1 つが別の CICS ジョブによって既に形式設定されているものの、もう一方のデータ・セットが空であるか、あるいはデータ・セットの別のユーザーと競合しているためにそのデータ・セットをオープンできないことを、SIGNON が見つけた。SIGNON は、もう一方の CICS ジョブがデータ・セットの形式設定を終了するのを待ちましたが、5 分間たっても形式設定は終了しませんでした。これが起こる可能性があるのは、データ・セットの形式設定中に CICS ジョブが障害を起こした場合です。前のメッセージで報告された特定のエラーのために、データ・セット初期設定の完了が妨げられています。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 必要なら JCL を訂正するか、あるいは CAVM データ・セットを再定義して、CICS ジョブを再実行依頼してください。CAVM データ・セットについては、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6601I *applid* DD STATEMENT MISSING
FOR CAVM DATA SET *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしていますが、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6602I *applid* CAVM DATA SET *dsname*
MUST RESIDE ON DASD.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、

CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6603I *applid* CAVM DATA SET *dsname* IS INVALID.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6604I *applid* CAVM DATA SET *dsname* MUST BE A VSAM ESDS.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6605I *applid* CI SIZE OF PAIRED CAVM DATA SETS MUST BE EQUAL.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています、メッ

セージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6606I *applid* CI SIZE OF CAVM DATA SET *dsname* MUST BE AT LEAST 4K.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6607I *applid* SIGNON IS WAITING TO RESERVE OR ACCESS CAVM DATA SET *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM にサインオンを出しました。CAVM は、メッセージ・テキストに示された CAVM データ・セットの予約またはアクセスを試行していますが、かなりの時間、必要なリソースが使用不可であるか、未処理の入出力要求が完了していません。この特定のメッセージが発行される理由は、新しい空の CAVM データ・セットが初めて使用されている場合を除き、条件付き予約要求の失敗である可能性はありません。正常な予約を出した後に、同一の CAVM データ・セットを使用し、サインオン要求、サインオフ要求、または引き継ぎ要求を実行している別の CICS ジョブが入出力の遅延などによって停止されていない限り、予約の試行が失敗することはありません。入出力の遅延が発生する原因として、CAVM データ・セットの DASD ボリュームを一時的にアクセス不能にしている別の CEC で実行されたジョブ (CICS とは限りません) によって出された予約が考えられます。

システムの処置: 短時間の遅延の後、このメッセージを表示した CICS ジョブは、条件付き予約マクロを再発行するか、未解決入出力の完了を検査します。必要なリソースが使用可能になっている場合、あるいは入出力要求

が完了している場合には、通常の処理が続行されます。そうでない場合には、このメッセージが再び出されます。

ユーザーの処置: 条件が続く場合以外は、なし。条件が続く場合、CAVM データ・セットを含む DASD ポリュームを予約した後で、別の CEC に障害が起きた可能性があります。この場合、ご使用のインストール済み環境向けの、共用 DASD の未処理の予約を除去するための操作手順に従ってください。(例えば、障害が起きた CEC でシステム・リセットを発行するなど)。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6608I *applid* I/O ERROR ACCESSING
CAVM DATA SET *dsname* DURING
SIGNON.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットにアクセスしようとしたのですが、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6609I *applid* CAVM DATA SET *dsname* IS
OF THE WRONG TYPE OR ITS
FORMAT IS INCOMPATIBLE WITH
THIS CODE LEVEL.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。しかし、CAVM は、データ・セット制御レコード中の情報が本来の使用法に一致していないか、あるいは互換性のないレベルの CAVM コードによってそこに入れられたことを検出しました。これが起きるのは、次の場合です。

- DD 名 DFHXRCTL を持つデータ・セットは空ではなく、CAVM 制御データ・セット以外のために既に使用されているか、互換性のないレベルの CAVM コードで使用されている。
- DD 名 DFHXRMSG を持つデータ・セットは空ではなく、CAVM メッセージ・データ・セット以外のた

めに既に使用されているか、互換性のないレベルの CAVM コードで使用されている。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6610I *applid* CAVM DATA SET *dsname*
DOES NOT BELONG TO THE
GENERIC APPLID SPECIFIED AT
SIGNON.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。しかし、サインオン要求で指定された総称アプリケーション ID が CAVM データ・セットの制御レコード内に保管されている総称アプリケーション ID と一致していないことを、データ・セットが最初に形式設定されたときに、CAVM が見つけました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6611I *applid* CAVM DATA SETS DO NOT
FORM A VALID PAIR.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。しかし、CAVM は、2 つのデータ・セットが最初にフォーマットされたときにその制御レコードに入れられたタイム・スタンプが一致していないことを検出しました。2 つの CAVM データ・セットが最初に使用されたときに、それらのデータ・セットが単一の CICS ジョブによって 1 対のものとして使用されていない限り、この問題が起こります。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6612I *applid* MULTIPLE VOLUMES ARE NOT SUPPORTED FOR CAVM DATA SET *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています。メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6613I *applid* MULTIPLE UNITS ARE NOT SUPPORTED FOR CAVM DATA SET *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています。メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6614I *applid* CONCATENATION IS NOT SUPPORTED FOR CAVM DATA SET *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています。メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6615I *applid* サインオン中の割り振りの変更、CAVM データ・セット *dsname* ではサポートされていません (ALLOCATION CHANGE DURING SIGNON IS NOT SUPPORTED FOR CAVM DATA SET *dsname*)

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをオープンしようとしています。メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6616I *applid* CAVM 制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セットは固有でなければなりません。(CAVM CONTROL AND MESSAGE DATA SETS MUST BE DISTINCT.)

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は CAVM データ・セットをフォーマットしようとしています。DD 名 DFHXRMSG と DFHXRCTL が同じデータ・セットを参照しています。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

DFHXC6617I *applid* OBTAIN ERROR WHILE FORMATTING CAVM DATA SET *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は、CAVM データ・セットをフォーマットするために排他的アクセスを得ようとしています。CAVM は、データ・セットに割り振られる DASD デバイスを指定して予約マクロを出し、その後、必要に応じてハードウェア予約コマンドが実行されるようにするために、ボリュームの Format-4 DSCB 用の OBTAIN マクロを出しまし

た。OBTAIN の失敗の原因は次のいずれかである可能性があります。

- 指定されたボリュームがマウントされていない。
- 入出力エラー
- VTOC が正しくない。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6618I applid SPACE ALLOCATED TO
CAVM DATA SET dsname IS
INADEQUATE.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが、CAVM に SIGNON を出しました。CAVM は、CAVM データ・セットをフォーマットしようとしていますが、メッセージ・テキストに示されたエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN3

宛先: コンソール

**DFHXC6620I applid SIGNON IS WAITING TO
RESERVE OR ACCESS A CAVM
DATA SET.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM にサインオンを出しました。CAVM は、CAVM 制御データ・セットを予約しようとしているか、制御データ・セットかメッセージ・データ・セットのいずれかにアクセスしようとしています。しかし、かなり長い時間にわたって、必要なリソースが使用不能のままになっているか、未解決の入出力要求が完了していません。正常な予約を出した後に、同一の CAVM データ・セットを使用し、サインオン要求、サインオフ要求、または引き継ぎ要求を実行している別の CICS ジョブが、入出力の遅延などによって停止されていない限り、予約の試行が失敗することはありません。入出力の遅延が発生する原因として、CAVM データ・セットの

DASD ボリュームを一時的にアクセス不能にしている別の CEC で実行されたジョブ (CICS とは限りません) によって出された予約が考えられます。

システムの処置: メッセージ DFHXC6607 を参照。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6607 を参照。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6621I applid CAVM SIGNON CANNOT
PROCEED BECAUSE JES IS EITHER
NOT RUNNING OR NOT
RESPONDING TO JOB STATUS
ENQUIRIES.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、CAVM にサインオンを出しました。この要求を処理するためには、CAVM は制御データ・セット中の項目で識別されるジョブの状況を把握している必要がありますが、メッセージ・テキストに示された理由のために、この情報を得ることができません。

システムの処置: 1 分間の遅延の後に、このメッセージを表示した CICS ジョブは、失敗したジョブの状況照会を出し直します。このときに要求が正常に完了すれば、正常な処理が続行されます。そうでない場合には、このメッセージが再び出されます。

ユーザーの処置: JES が実行されていない場合、可能ならそれを再始動してください。それ以外の場合には、この条件が存続していれば、ジョブ状況照会に対する応答を妨げている問題の訂正を試みてください。場合によっては、単に JES を停止させてから再び再始動するだけで、希望する効果が得られる場合もあります。JES2 環境では、この問題の原因として考えられるのは、チェックポイント・データ・セットの入った DASD ボリュームを予約した後に、別の CEC に障害が起きたことです。メッセージ DFHXC6607 を参照。JES3 環境では、グローバル・プロセッサに障害が起きた場合、ジョブ状況の照会に応答できません。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6622I applid ERROR IN INQUIRE HEALTH
EXIT DURING SIGNON.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブは、CAVM に対して SIGNON を出しましたが、INQUIRE HEALTH 出口 (DFHXRC) がサインオン処理時に呼び出されたときに、この出口によって CAVM に戻された戻りコードが非ゼロであることを見つけました。このメッセージが発行された場合は例外なく、CAVM また

は CICS 内に内部エラーがあることを意味しています。

システムの処置: CAVM SIGNON は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6623I applid CAVM SIGNON IMPOSSIBLE
AT PRESENT BECAUSE ANOTHER
JOB HAS SIGNED ON WITH THE
SAME SPECIFIC APPLID.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 誤った特定の APPLID が新しいジョブとして要求されたり、競合するジョブが誤って開始されない限り、処置は不要です。これらのいずれかに該当する場合は、適切な訂正を加えるか、競合するジョブを取り消した後に、失敗した CICS ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

DFHXC6624I applid SMF は要求したジョブについてアクティブになっていないため、CAVM サインオンを実行できません。(CAVM SIGNON IMPOSSIBLE BECAUSE SMF IS NOT ACTIVE FOR THE REQUESTING JOB.)

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 選択されたシステム・パラメーターに SMF が含まれていることを確認して、MVS システムを再 IPL してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6625I applid CAVM SIGNON IMPOSSIBLE
BECAUSE CAVM DATA SETS ARE
UNUSABLE.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6600 を参照してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6626D applid POSSIBLE CAVM SIGNON
CONFLICT. IS JOB *jobname* *jesno*
RUNNING ON SYSTEM *sid*? REPLY
YES OR NO.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが CAVM への SIGNON を出しましたが、CAVM がこの要求を受け入れても安全であるかどうかを決めるためには、オペレーターの援助が必要です。CAVM は、制御データ・セットが、以下のすべての条件を満たしているジョブを参照していることを検出しました。

- JES は、このジョブがまだ実行中であると考えている。
- JES の判断が正しい場合は、現行のサインオン要求は拒否されなければならない。なぜなら、このジョブの存在が、現行のサインオン要求と競合するからです。
- このジョブは、サインオンを試みている CICS ジョブと同一の CEC 内で実行されていない。
- このジョブの監視信号が存在していない。

このような状況は、競合ジョブが実行されていた CEC が障害を起こしたために生じた可能性があります。その場合には、CAVM は、サインオン要求を拒否する別の理由を見つけない限り、この要求を拒否できません。このメッセージを表示したジョブが CICS 活動ジョブである場合、競合ジョブは、別の活動ジョブか、引き継ぎを開始した代替ジョブです。このメッセージを表示したジョブが CICS 代替ジョブである場合、競合ジョブは、

別の代替ジョブです。競合ジョブのジョブ名、JES ジョブ ID、および CEC SMF ID が、メッセージ・テキストに示されています。

システムの処置: CICS ジョブは応答を待ちます。

ユーザーの処置: このメッセージを表示したジョブが CICS 活動ジョブである場合には、次の場合に限って NO と応答してください。

1.

メッセージ・テキストで示されたジョブが実行中ではないことが確実である場合。ジョブが実行されていた CEC のシステム・リセットを実行して、ジョブが確かに実行されていないことを確認しなければならない場合もあります。

AND

2.

このメッセージを発行したジョブが、自分の CAVM サインオン要求を続行して、CICS 活動ジョブになる必要がある場合。

上記以外の場合は、YES と応答してください。

このメッセージを表示したジョブが CICS 代替ジョブであるときは、次の場合に限って NO と応答してください。

1.

メッセージ・テキストで示されたジョブが実行中ではないことが確実である場合。ジョブが実行されていた CEC のシステム・リセットを実行して、ジョブが確かに実行されていないことを確認しなければならない場合もあります。

AND

2.

そのメッセージを発行したジョブが、自分の CAVM サインオン要求を続行して、CICS 代替ジョブになる必要がある場合。

上記以外の場合は、YES と応答してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6627I applid CAVM SIGNON IMPOSSIBLE
BECAUSE THIS JOB IS CURRENTLY
SIGNED ON OR WAS ONCE AN
ACTIVE SYSTEM.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: このメッセージは、内部エラーが起きたことを示します。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6628I applid CAVM SIGNON IMPOSSIBLE
AT PRESENT BECAUSE
CONFLICTING JOB(S) HAVE NOT
YET SIGNED OFF OR TERMINATED.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNON を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 新しいジョブに対して間違った START オプションが要求されたか、競合するジョブ(複数の場合もある)が誤って始動された場合を除いて、処置は不要です。これらのいずれかに該当する場合は、適切な訂正を加えるか、競合するジョブを取り消した後に、失敗した CICS ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6629I applid CAVM SIGNON IMPOSSIBLE
BECAUSE REQUESTING JOB AND
SIGNED-ON JOB(S) DO NOT SHARE
A COMMON JES JOB QUEUE.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対してサインオンを出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されたために、この要求を受け入れることはできません。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: サインオンしたジョブのいずれかが誤った JES の制御の下で実行されている場合は、それらを取り消してください。すべてのジョブが、単一の JES または共通のジョブ・キューを共用する複数の JES のいずれかの制御の下で実行されていることを確認し、失敗したジョブおよび取り消す必要のあるジョブを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWSSN2

宛先: コンソール

**DFHXC6630I applid TAKEOVER REJECTED
BECAUSE LAST ACTIVE SIGNED
OFF NORMALLY.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6631I applid TAKEOVER REJECTED
BECAUSE LAST ACTIVE INSTANCE
NUMBER DOES NOT MATCH THAT
SPECIFIED.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。この CICS 代替ジョブが前の CICS 活動ジョブからの引き継ぎを試みることを既に決定した後に、新しい CICS 活動ジョブが CAVM にサインオンした場合に、このエラーが起きます。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6632I applid NON PRE-EMPTIVE
TAKEOVER REJECTED BECAUSE
LATEST ACTIVE VERSION NUMBER
DOES NOT MATCH THAT
SPECIFIED.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6633I applid NON PRE-EMPTIVE
TAKEOVER REJECTED BECAUSE A
TAKEOVER IS ALREADY IN
PROGRESS.**

説明: このメッセージを発行した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて発行するメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6634I applid TAKEOVER REJECTED
BECAUSE NECESSARY TOD CLOCK
DIFFERENCE INFORMATION IS
NOT AVAILABLE.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出しましたが、メッセージ・テキストに記述されているエラー条件のため、この要求は拒否されました。このエラーは、次の条件の両方が満たされない限り、起きることはありません。

- CICS 活動ジョブおよび代替ジョブが、互いに異なる CEC 内で実行されている。
- それぞれの TOD 時刻機構の相互間の時間差の最大可能値を推定するために必要とされる短時間 (1 分未満) の間に、活動ジョブの監視信号を代替ジョブが観察する機会を得られないうちに、TAKEOVER が試みられた。

これらの CEC の TOD 時刻機構相互間の時間差が分かっていない限り、引き継ぎを行うことはできません。なぜなら、現在の TOD 時刻機構の表示が、旧 CICS 活動ジョブが終了したときの TOD 時刻機構の表示 (このジョブが実行されていた CEC 内で観察されたもの) よりも後になるまでは、正常な CICS 処理を再開することはできないからです。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6635I *applid* TAKEOVER PROCESSING
TERMINATED BECAUSE ANOTHER
BACKUP HAS STARTED A
PRE-EMPTIVE TAKEOVER.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して引き継ぎ要求を出し、この要求が受け入れられました。しかし、TAKEOVER が完了する前にメッセージ・テキストに記述されているエラー条件が検出されました。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6636I *applid* TAKEOVER PROCESSING
TERMINATED BECAUSE STATUS OF
ACTIVE JOB CANNOT BE
DETERMINED.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に引き継ぎ要求を出し、この要求は受け入れられましたが、CICS SVC が提供する CAVM サービスの使用中にエラーが起きたため、引き継ぎ処理を完了できませんでした。

システムの処置: この CICS ジョブが続いて出すメッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 問題判別については、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。コンソール・ログおよびジョブ出力が必要になる場合があります。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6637I *applid* TAKEOVER IS WAITING TO
RESERVE OR ACCESS THE CAVM
CONTROL DATA SET.**

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが、CAVM に対して TAKEOVER 要求を出しました。CAVM は、この要求を処理するために CAVM 制御データ・セットの予約またはアクセスを試みっていますが、長時間にわたって、必要なリソースが使用できない状態になっているか未解決の入出力要求が完了していません。同一の CAVM データ・セットを使用していて、かつ SIGNON、SIGNOFF、または TAKEOVER 要求を実行している別の CICS ジョブが、正常な予約要求を出した後に入出力の遅延などによって停止されていない限り、この予約の試みが失敗することはありません。

システムの処置: メッセージ DFHXC6607 を参照。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6607 を参照。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

DFHXC6638I *applid* NOTIFY RC= *retcode* - *text*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブは、NOTIFY 出口 (DFHXRIB) により CAVM に戻された戻りコードが非ゼロであることを見つけました。メッセージには、実際の戻りコード値 *retcode* (または 99 よりも大きい値) と、エラー発生時に処理中であったイベントのタイプを示すテキストが含まれています。このメッセージが出された場合は例外なく、CAVM または CICS 内に内部エラーがあるか、あるいはコードまたはデータが破壊されていることを意味しています。

システムの処置: 処理は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSTKV

宛先: コンソール

**DFHXC6640I *applid* ALL STATUS WRITERS ARE
IN I/O WAIT.**

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブで、制御データ・セットとメッセージ・データ・セットに出された自身の最新状況の書き込みの完了に、長い時間がかかっていることが分かりました。このような事態が起こる可能性があるのは、他の CEC 内で実行されていたジョブ (CICS とは限りません) が出した予約要求が、両方の CAVM データ・セットの DASD ボリュームを一時的にアクセス不能にした場合です。

システムの処置: CICS ジョブは、そのジョブの状況書き込みの 1 つが完了するまで、この警告メッセージを一定の間隔で出し直します。その間にも、CICS ジョブは、状況書き込みの完了に依存しないすべての処理の実行を継続します。このメッセージを表示したジョブが CICS 活動ジョブであり、かつこの条件が十分長い時間存続している場合には、代替ジョブ (このジョブは別の CEC 内で実行されているので、CAVM データ・セットを読み取ることができるものと仮定して) が活動システムの監視信号の停止したことを通知するときに、予期しない引き継ぎが開始されてしまう危険があります。

ユーザーの処置: このメッセージが、他には問題が生じていないように思える CICS 活動ジョブによって出され

DFHXC6641I • DFHXC6645I

た場合は、対応する代替ジョブに適切なコマンドを出して、そのジョブが不要な引き継ぎを開始しないようにしておくことをお勧めします。メッセージ DFHXC6607 も参照してください。

モジュール: DFHWSSW

宛先: コンソール

DFHXC6641I *applid* STATUS WRITE I/O ERROR ON *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セットのいずれかに対して自分の最新状況を書き込んでいるときに、入出力エラーを検出しました。

システムの処置: CICS ジョブが、自分の最新状況を制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セットのいずれかに正常に書き込める場合には、処理は続行されます。このエラー条件が一時的なものである場合も考えられるため、障害のあるデータ・セットへの書き込みが後で試みられることもあります。両方のデータ・セットが同時に使用できなくなると、CAVM TCB が異常終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSSW

宛先: コンソール

DFHXC6642I *applid* ALL STATUS READERS ARE IN I/O WAIT.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブで、制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セットに読み取りを出し、そのパートナー・システムの最新の使用可能状況を得ようとしたしましたが、いずれもその完了に時間がかかっていることが分かりました。このような事態が起こる可能性があるのは、他の CEC 内で実行されていたジョブ (CICS とは限りません) が出した予約要求が、両方の CAVM データ・セットの DASD ボリュームを一時的にアクセス不能にした場合です。

システムの処置: CICS ジョブは、状況読み取りの 1 つが完了するまで、時折この警告メッセージを出し直します。その間にも、CICS ジョブは、状況読み取りの完了に依存しないすべての処理の実行を継続します。このメッセージを表示したジョブが CICS 代替ジョブである場合は、活動ジョブが障害を起こしたときに引き継ぎが開始されない危険があります。なぜなら、この代替ジョブは活動ジョブの監視信号が停止したことを検出できないからです。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXC6607 を参照。

モジュール: DFHWSSR

宛先: コンソール

DFHXC6643I *applid* STATUS READ I/O ERROR ON *dsname*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブが、制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セットのいずれかからパートナー・システムの最新の可用性状況を読み取っているときに、入出力エラーを検出しました。*dsname* はデータ・セットの名前です。

システムの処置: 処理は続行されますが、エラーの起きたシステムがパートナーの状況の変化を検出できない可能性があるため、XRF 機能は低下します。さらに、エラー条件が一時的なものであったことも考えられるため、障害を起こしたデータ・セットからの読み取りが後で試みられる可能性があります。代替システムで引き継ぎ要求の処理中にこのエラーが発生した場合、引き継ぎは正常に実行されません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSSR

宛先: コンソール

DFHXC6644I *applid* NOTIFY RC= *retcode* - *text*

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブは、NOTIFY 出口 (DFHXRB) により CAVM に戻された戻りコードが非ゼロであることを見つけました。メッセージには、実際の戻りコード値 *retcode* (または 99 よりも大きい値) と、エラー発生時に処理中であったイベントのタイプを示すテキストが含まれています。このメッセージが出された場合は例外なく、CAVM または CICS 内に内部エラーがあるか、あるいはコードまたはデータが破壊されてしまっていることを意味しています。

システムの処置: 処理は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSSR

宛先: コンソール

DFHXC6645I *applid* ERROR IN INQUIRE HEALTH EXIT.

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブは、INQUIRE HEALTH 出口 (DFHXR) から CAVM に戻された戻りコードが非ゼロであることを見つけまし

た。このメッセージは、CAVM または CICS 内に内部エラーがあるか、あるいはコードまたはデータが破壊されてしまっていることを意味しています。

システムの処置: 処理は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール: DFHWSTI

宛先: コンソール

DFHXC6646I *applid* CICS SVC 呼び出しエラー -
xxxxxxxxxxxx

説明: このメッセージを表示した CICS ジョブは、呼び出し側 CICS の MVS イメージと同じ XCF シスプレックス内にある別の MVS イメージの状況を判断するために、CICS 監視プログラム・コード (SVC) を呼び出しましたが、その呼び出し中にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は続行されますが、おそらく XRF 機能は低下します。

ユーザーの処置: 正しいレベルの CICS SVC が指定されていることを確認してください。また、このエラーは MVS 応答コードの変更が原因で発生することもあるため、MVS が許容される戻りコードを発行していることも確認してください。いずれもエラーの原因でない場合は、CAVM の内部エラーが原因として考えられます。その場合は、IBM からの詳しいガイダンスが必要です。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWSSR

宛先: コンソール

DFHXC6649I *applid* SIGNOFF IS UNABLE TO
RESERVE THE CAVM CONTROL
DATA SET.

説明: このメッセージを出した CICS ジョブが CAVM に対して SIGNOFF 要求を出したか、あるいは CAVM TCB の異常終了によって SIGNOFF 処理が暗黙的に呼び出されました。CAVM は、要求を処理するために CAVM 制御データ・セットを予約しようと試みましたが、要求されたリソースが長時間にわたって使用できない状態になっていました。同一の CAVM データ・セットを使用していて、かつ SIGNON、SIGNOFF、または TAKEOVER 要求を実行している別の CICS ジョブが、正常な予約要求を出した後に入出力の遅延などによって停止されていない限り、この予約の試みが失敗することはありません。

システムの処置: CAVM TCB は、この CICS ジョブがサインオフしたことを示すために、CAVM データ・セットを更新せずに終了します。この CICS ジョブがこの後に出すメッセージがあれば、それも参照してください。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWSSOF

宛先: コンソール

DFHXC6650I *applid* CAVM HAS FAILED, CODE =
code

説明: このメッセージを出した CICS XRF ジョブは、CAVM 処理時に、予期しなかった重大エラーを検出しました。メッセージ内のコード *code* は、エラーおよびそのエラーを検出した CAVM モジュールの両方を識別するものです。これらは次のとおりです。

DFHWSRTR によって検出されるエラー (00XX)

0002

CAVM タスク指名プログラムに、タスク指名の対象となる作動可能プロセスおよび待機の対象となる外部イベントが何もない。

DFHWSSN1 によって検出されるエラー (10XX)

1001

CAVM TCB の ATTACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。

DFHWSSN2 によって検出されるエラー (20XX)

2001

SIGNON パラメーター・ブロック内の機能コードが無効である。

2002

SIGNON パラメーター・ブロック内の機能修飾子が無効である。

2003

SIGNON パラメーター・ブロック拡張の長さが正しくない。

2004

要求された監視間隔が正数ではない。

2005

CAVM TCB のリカバリーを確立するための ESTAE から非ゼロ戻りコードが戻されている。

2006

DFHXC6650I

状態管理レコードの読み取り中に、非同期 VSAM GET または CHECK から非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

2007

状態管理レコードの更新中に、非同期 VSAM PUT または CHECK から非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

2008

監視信号が存在するかどうかの検査を開始させる要求から非ゼロ戻りコードが戻されている。

2009

監視信号が存在するかどうかの検査を完了させる要求から予期しなかった戻りコードが戻されている。

200A

監視信号が存在するかどうか調べるために状況 CI を読み取り中に、非同期 VSAM GET または CHECK から非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

200B

監視信号が存在するかどうかを調べるためのルーチンが、状況 CI の順序番号が減少していることを検出した。

200C

状況 CI の更新のために状況 CI を読み取っているときに、非同期 VSAM GET または CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

200D

状態管理レコードの内容に変化があったが、そのセキュリティ・カウンタは未変更のままである。

200E

制御データ・セット内の状況 CI を更新中に、非同期 VSAM PUT または CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

200F

条件付き RESERVE マクロから予期しない戻りコードが戻されている。

2010

RPL 内の OPTCD を UPD に変更する VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

2011

RPL 内の ACB アドレスを変更する VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

2012

TCB がジョブ STATUS 照会要求を CICS SVC に発行するための ATTACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。

2013

CICS SVC から予期しない戻りコードが戻されている (XRF サポートが含まれるバージョンの DFHCSVC が MVS/ESA システムにインストールされていないか、あるいは誤った SVC 番号が SIT に指定されたかオーバーライドとして指定された可能性があります)。

2014

要求された JES ジョブ STATUS 照会機能から予期しない戻りコードが戻されている。(このエラーは、CICS SVC のどのバージョンにも対応していない誤った SVC 番号を使用している場合にも発生する可能性があります)。

2015

XCF IXCQUERY 機能から予期しない戻りコードが戻されている。

2016

XCF をサポートする MVS のリリースで実行中のジョブの詳細を判断しようと試みた際に、CICS SVC から予期しない応答コードが戻されている。

2017

XCF をサポートする MVS のリリースで実行中のジョブの詳細を判断しようと試みた際に、CICS SVC から予期しない理由コードが戻されている。

DFHWSSN3 によって検出されるエラー (30XX)

3001

RPL を作成する VSAM GENCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

3002

	ACB の長さを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。		データ・セットを形式設定する際に、ACB CI サイズおよび RBA データを入手する VSAM SHOWCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。
3003		300E	
	RPL の長さを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。		
3004			CAVM データ・セットの新しい対を形式設定しているときに、同期 VSAM PUT から非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)
	ACB OPEN エラー・コードを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。	300F	
3005			ACB を作成する VSAM GENCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。
	ACB CI サイズおよび RBA データを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。	3010	
3006			ACB CI サイズおよび RBA データを入手する VSAM SHOWCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。
	CAVM データ・セットの高使用頻度の RBA が空であるはずがないときに、その RBA がゼロになっている。	3011	
3007			RPL 内の ACB アドレスを変更する VSAM MODCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。
	CAVM データ・セットから制御 CI を読み取っているときに、非同期 VSAM GET から非ゼロ戻りコードが戻されている。		DFHWSOF によって検出されるエラー (40XX)
3008		4001	
	ACB 内の STRNO を変更する VSAM MODCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。		RPL (複数) を作成する VSAM GENCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。
3009		4002	
	条件付き RESERVE マクロから予期しない戻りコードが戻されている。		PURGE マクロ (SVC 16) からのエラー戻りコード。
300A		4003	
	TCB が CAVM データ・セットの新しい対を形式設定するための ATTACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。		状態管理レコードを読み取ろうとしているときに、VSAM MODCB マクロまたは同期 GET から非ゼロ戻りコードが戻されているか、あるいは、タイマー出口によって入出力要求が除去された。(入出力エラーによって発生する場合があります。)
300B		4004	
	CAVM データ・セットの新しい対の処理中に発生した内部論理エラー。		MVS/ESA システムには、この CICS XRF ジョブが CAVM にサインオンした時点では存在していた SMF SMCA が現在は存在していない。
300C		4005	
	オープンされている ACB と関連するデータ・セットが ESDS であるかどうかをテストする VSAM TESTCB マクロからの非ゼロ戻りコードが戻されている。		この CICS XRF ジョブには、サインオンの時点では存在していた SMF TCT が現在は存在していない。
300D		4006	

DFHXC6650I

この CICS XRF ジョブには、サインオンの時点では存在していた SMF JMR が現在は存在していない。

4007

状態管理レコードに、この CICS XRF ジョブの無効な重複項目が入っている。

4008

状態管理レコード内におけるこの CICS XRF ジョブの記述の位置は、SMDR1NDX の現行値と矛盾している。

4009

制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セット内でこの CICS XRF ジョブが持つ状況 CI の対の順序番号は等しいが、非ゼロである。

400A

条件付き RESERVE マクロから予期しない戻りコードが戻されている。

400B

制御データ・セットを予約しようと繰り返し試みたが、予約できなかった。

400C

状況 CI を更新しようと試みているときに VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されたか、または同期 PUT から戻りコード 4 が戻された。

400D

状態管理レコードを更新しようとしているときに、VSAM MODCB マクロまたは同期 GET から非ゼロ戻りコードが戻されているか、あるいは、タイマー出口によって入出力要求が除去された。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

DFHWSSR によって検出されるエラー (50XX)

5001

RPL を作成する VSAM GENCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

5002

アクティブ・ジョブがサインオフまたは終了した後で、アクティブ・ジョブの状況 CI がまだ変更中であることを、代替ジョブが検出した。(このエラーは、活動ジョブおよび代替ジョブが共通の JES ジョブ・キューを共用していない無効な XRF 構成によって発生する場合があります)

ます。2 番目のジョブが CAVM にサインオンしたときにはこの問題が見つからなかったのは、最初のジョブの監視信号を検出できなかったためです。)

5003

XRF パートナー・ジョブの状況 CI 内の順序番号が減少した。

5004

制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セット内で活動ジョブが持つ状況 CI の対の順序番号が等しいが非ゼロであることを、代替ジョブが検出した。

5005

いま読み取った状況 CI 中のタイム・スタンプから算出されたアクティブ・ジョブと代替ジョブの TOD 刻時機構の差の下限の予測値が、この差の上限の既存の予測値より大きくなっている。

5006

いま読み取った状況 CI 中のタイム・スタンプから算出されたアクティブ・ジョブと代替ジョブの TOD 刻時機構の差の上限の予測値が、この差の下限の既存の予測値より小さくなっている。

5007

制御データ・セットおよびメッセージ・データ・セット内の XRF パートナー・ジョブが持つ状況 CI の対の順序番号は等しいが、非ゼロである。

5008

XRF パートナー・ジョブの状況 CI 内の順序番号が、この時点では、前に監視された値と矛盾している。

5009

XRF パートナー・ジョブの状況 CI 内のインスタンス番号およびバージョン番号が、この時点では、共通状況域内の対応する値よりも小さい。

500A

XRF パートナー・ジョブの状況 CI 内のインスタンス番号およびバージョン番号には、変更が加えられていないが、ジョブ状況標識は「サインオフ」から「サインオン」に変更された。

500B

	本来この時点では共通状況域に入っているはずのない XRF パートナーに関する有効なデータが、共通状況域に入っているようである。		非同期 VSAM PUT からの非ゼロ戻りコードが戻されている。
500C	共通状況がすでにすべてのパートナーで利用可能になっているときに、別の XRF パートナー・ジョブ用に共通状況が使用可能であることを示そうと試みた。	6004	「状況書き込み完了」イベント・マスクが壊れている。
		6005	WSAGINDEX が破壊されている。
500D	制御データ・セットとメッセージ・データ・セットの両方から続けてアクティブ・ジョブの状況 CI を読み取ろうとしたときに、代替ジョブで入出力エラーが検出された。	6006	RPL を作成する VSAM GENCLIB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。
500E	引き継ぎ中に、アクティブ・ジョブの状況 CI の 1 つを読み取ろうとしたときに、代替ジョブで入出力エラーが検出された。	6007	このジョブの状況 CI のうちの 1 つに含まれる順序番号が、制御データ・セットまたはメッセージ・データ・セット内で破損している。(このエラーは、2 つの活動ジョブまたは 2 つの代替ジョブが共通の JES ジョブ・キューを共用していない無効な XRF 構成によって発生する場合があります。2 番目のジョブが CAVM にサインオンしたときにはこの問題が見つからなかったのは、最初のジョブの監視信号を検出できなかったためです。)
500F	非同期 GET の VSAM CHECK からの論理エラー戻りコードが戻されている。		DFHWSTKV によって検出されるエラー (80XX)
5010	非同期 VSAM GET からの非ゼロ戻りコードが戻されている。	8001	RPL を作成する VSAM GENCLIB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。
5011	おそらくメッセージ伝送に問題があるために、この代替ジョブが活動ジョブによって無効にされた。これは、メッセージ・データ・セットが小さすぎる場合にも起こることがあります。この場合には、メッセージ・データ・セットのサイズを大きくし、代替 CICS の更新が活動 CICS の更新により上書きされる前に、代替 CICS が更新を適用できるようにしてください。	8002	引き継ぎを試みている代替ジョブがすでに引き継ぎロックを保持していることを、状況管理レコードが示している。
DFHWSSW によって検出されるエラー (60XX)		8003	引き継ぎを試みている代替ジョブが活動ジョブの SIGNOFF によって解放されたりリソースをすでに保持していることを、状況管理レコードが示している。
6001	非同期 PUT の VSAM CHECK からの論理エラー戻りコードが戻されている。	8004	引き継ぎを試みている代替ジョブが活動ジョブの終了によって解放されたりリソースをすでに保持していることを、状況管理レコードが示している。
6002	制御データ・セットとメッセージ・データ・セットの両方に、連続してこのジョブの状況 CI を書き込もうと試行する際に、入出力エラーが検出された。	8005	引き継ぎを行っている代替ジョブが活動ジョブの SIGNOFF によって解放されたりリソースを
6003			

DFHXC6651I

すでに獲得した後で、DFHWTI が、活動ジョブの終了を確認しようとしているときにエラーを検出した。

8006

活動ジョブの SIGNOFF によって解放されたリソースをこの代替ジョブがすでに獲得した後で、別の代替ジョブがプリエンティブの引き継ぎを始動させた。

8007

活動ジョブの終了によって解放されたリソースに関連したタイム・スタンプを更新することができない。これは、この代替ジョブが活動ジョブの SIGNOFF によって解放されたリソースをすでに獲得した後で、予期しなかった問題が TOD 刻時機構差のデータに関して発生したためです。

8008

状態管理レコードを読み取る非同期 VSAM GET からのゼロ以外の戻りコード。

8009

状況管理レコードの非同期 GET の VSAM CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

800A

状態管理レコードを更新する非同期 VSAM PUT からのゼロ以外の戻りコード。

800B

状況管理レコードの非同期 PUT の VSAM CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

800C

QUIESCE ルーチン内の状況管理レコードを読み取る非同期 VSAM GET からの非ゼロ戻りコードが戻されている。

800D

QUIESCE ルーチン内の状況管理レコードの非同期 GET の VSAM CHECK からの非ゼロ戻りコードが戻されている。(入出力エラーによって発生する場合があります。)

800E

RPL 内の OPTCD を UPD に変更する VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

800F

RPL 内の OPTCD を NUP に変更する VSAM MODCB マクロから非ゼロ戻りコードが戻されている。

8010

条件付き RESERVE マクロから予期しない戻りコードが戻されている。

8011

CICS SVC に対して XRF 要求を発行するためにサブタスク TCB を生成するルーチンに、無効な要求コードが渡された。

8012

CICS SVC に対して TCB が XRF 要求を発行するための ATTACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。

8013

サブタスク TCB の DETACH から非ゼロ戻りコードが戻されている。

システムの処置: メッセージ DFHXC6650 の中のコードと同じ理由コードで ABEND U0218 が出されます。その結果、CICS XRF ジョブは異常終了します。この CICS XRF ジョブによって出される後続のメッセージがあれば、それも参照してください。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに報告してください。

モジュール:

DFHWSRTR、DFHWSSN1、DFHWSSN2、
DFHWSSN3、DFHWSSOF、
DFHWSSR、DFHWSSW、DFHWSTKV

宛先: コンソール

DFHXC6651I *applid* CAVM HAS DETECTED AN INVALID REQUEST.

説明: CAVM に渡されるパラメーター・ブロックが無効であるか、または要求が適切な時期に行われていないことを、CAVM が見つけました。

システムの処置: 理由コード 1 の ABEND U0218 が出されます。その結果、CICS ジョブは異常終了します。この CICS ジョブによって後に出されたメッセージがあれば、それも参照してください。

ユーザーの処置: 障害を起こした CICS ジョブを再始動して、インストール・システムのシステム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHWSRTR

宛先: コンソール

1784 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

DFHXGnnnn メッセージ

DFHXG6215 *applid progname operation failure,*
response code cccc cccc **keyrange:** rrrr
 { . | key: } key

説明: テーブル作成サービス (DFHTBSS) は、グローバル・カタログ (DFHCCCC) に関する操作に失敗しました。

失敗に終わった操作はメッセージに示されます。それは DELETE、WRITE_NEXT、START_WRITE、または END_WRITE の各要求のいずれかになります。 要求

- cccc cccc は、カタログ・ドメインからの応答および理由コードです。
- rrrr は、カタログ・ドメインに渡された内部 RQ トークンです。
- key は、WRITE または DELETE 操作の場合のみメッセージに現れ、通常、CICS がグローバル・カタログで記録に失敗したリソースの名前が含まれています。

これは通常は内部 CICS エラーですが、シャットダウンの際に発生することもあります。それは、あるタスクが通常シャットダウンを開始し、その直後に別のタスクが即時シャットダウンを開始した場合です。これは、即時シャットダウンにより、通常シャットダウン・タスクで使用されているリソースがクローズされるためです。

これは、グローバル・カタログが大規模なグループのインストールを行うだけの大きさが無い場合にも起こります。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: グローバル・カタログのサイズを検査してください。必要に応じてより大きなカタログを再定義してください。

あるいは、このメッセージは CICS の即時シャットダウンが原因で出された可能性もあります。まだ休止していないタスクが、シャットダウン処理により除去されたサービスへアクセスしようとして異常終了することがあるからです。

モジュール: DFHTBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progname*
3. *operation*

4. *cccc*
5. *cccc*
6. *rrrr*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=、
 2= キー:

8. *key*
- 宛先: コンソール

DFHXG6400I *applid Signing on to the CAVM as*
active with generic APPLID genericid

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CICS 可用性マネージャー (CAVM) に活動システムとしてサインオンしようとしていることを示すものです。メッセージの挿入部分には総称アプリケーション ID が入れられます。

システムの処置: CICS 初期設定は、サインオン要求が処理されるまで延期されます。

通常、この遅延が重要な意味を持つことはありません。この遅延が重要な意味を持つ場合には、CAVM によってメッセージが作成され、理由が示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *genericid*

宛先: コンソール

DFHXG6401I *applid Sign on to the CAVM as*
active accepted

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオン要求 (メッセージ DFHXG6400 を参照) を CAVM が受け入れたことを示しています。

システムの処置: CICS 初期設定が再開されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6402I *applid* Sign on to the CAVM as
active rejected**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオン要求が CAVM によって拒否されたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6400 を参照してください。) CAVM によってメッセージが生成され、要求を拒否した理由が示されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、メッセージ DFHXG6439 を参照してください。エラーを訂正してください。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6403I *applid* Sign on of *specificid* to the
CAVM as alternate detected.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、指定された代替 CICS が CAVM にサインオンしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: 代替 CICS にキーポイント・データを送るために、トランザクション CXCU が生成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *specificid*

宛先: コンソール

**DFHXG6404I *applid* SIGNING OFF NORMALLY
FROM THE CAVM.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CAVM から正常にサインオフしようとしていることを示します。

システムの処置: CICS の終了は、サインオフ要求が処理されるまで延期されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6405I *applid* SIGN OFF NORMAL FROM
THE CAVM ACCEPTED.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオフ要求が CAVM によって受け入れられたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6404 を参照してください。)

システムの処置: CICS の終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6406I *applid* SIGN OFF NORMAL FROM
THE CAVM REJECTED.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CAVM から異常にサインオフしようとしていることを示します。

システムの処置: CICS の終了は、サインオフ要求が処理されるまで延期されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6407I *applid* Sign off normal from the
CAVM detected.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、代替 CICS が CAVM からサインオフしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6408I *applid* SIGNING OFF
ABNORMALLY FROM THE CAVM.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオフ要求が CAVM によって受け入れられたことを示すものです。

システムの処置: CICS の終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6409I *applid* SIGN OFF ABNORMAL
FROM THE CAVM ACCEPTED.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオフ要求が CAVM によって受け入れられたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6408 を参照してください。)

システムの処置: CICS の終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6410I *applid* SIGN OFF ABNORMAL
FROM THE CAVM REJECTED.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオフ要求が CAVM によって拒否されたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6408 を参照してください。)

CAVM によってメッセージが生成され、要求を拒否した理由が示されます。

システムの処置: CICS の終了を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、CAVM が作成したメッセージを参照してください。

モジュール: DFHXRF

宛先: コンソール

**DFHXG6411I *applid* Sign off abnormal from the
CAVM detected.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、代替 CICS が CAVM からサインオフしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: システムは、通常の処理を続行します。ただし、活動 CICS が失敗しても、引き継ぎは行われないので注意してください。

ユーザーの処置: 異常なサインオフが生じた理由を判別してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6415I *applid* CICS is being taken over.
Execution will be terminated.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、代替 CICS からの引き継ぎ要求を CAVM が受け入れたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: CICS は異常終了コード 206 で異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6416I *applid* APPARENT FAILURE OF
ALTERNATE CICS DETECTED.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、代替 CICS が障害を起こしているように見えることが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: システムは、通常の処理を続行します。ただし、活動 CICS が失敗した場合、引き継ぎは行われない可能性があることに注意してください。

ユーザーの処置: 代替 CICS の見かけの障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHXRSP

宛先: コンソール

**DFHXG6417I *applid* Recovery of alternate CICS
detected.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、メッセージ DFHXG6416 で報告された見かけの障害から代替 CICS がリカバリーしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

システムの処置: システムは、通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6422I *applid* Sign off normal from the CAVM assumed.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、CICS が、代替 CICS が CAVM からサインオフしたことを想定していることを示すものです。

これが出される可能性があるのは、活動 CICS が CEC 1 上で実行されていて、しかも次のいずれかが行われている場合です。

1. 代替 CICS が CEC 2 上で開始される。または、
2. CEC 2 が初期プログラム・ロードをし直される。または、
3. 代替 CICS が CEC 2 上で再始動される。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6423I *applid* CAVM failure detected. CICS cannot continue as active.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、CAVM が障害を起こしたことが CICS に通知されたことを示すものです。

障害の理由を示すメッセージが CAVM によって作成されます。

システムの処置: CICS は異常終了コード 212 で異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6427I *applid* Terminal control restart task has failed. CICS execution will be terminated.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、端末管理再始動タスクが障害を起こしたことを示します。そのために、CICS は活

動システムとしても代替システムとしても続行できなくなりました。

障害の理由を示すメッセージが、端末管理再始動タスクによって作成されます。

システムの処置: CICS は異常終了コード 209 で異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6429I *applid* Transaction CXCU cannot be attached.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、CICS がトランザクション CXCU を生成できないことを示しています。そのために、CICS は、追跡メッセージの伝送を開始できません。CXCU を生成できない場合には、引き継ぎに悪影響が現れます。これは以下の場合に発生する可能性があります。

1. CXCU が CICS に定義されていない。または
2. CICS のストレージが不足している。

システムの処置: CICS は、一定の時間間隔で CXCU の生成を試みます。

ユーザーの処置: RDO を使用して CXCU をインストールするか、またはストレージの不足を解消してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6439I *applid* CICS startup is terminated for reasons given above.

説明: これは、CICS の始動が終了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、システム・コンソールに送信された先行メッセージを参照してください。

モジュール: DFHSIC1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6440I I/O ERROR ON XRF MESSAGE
DATA SET. RPL ADDRESS =
HEX'xx'.**

説明: VSAM が XRF メッセージ・データ・セットの物理的な入出力エラーを報告しました。アドレス X'xx'は、エラーを報告した VSAM RPL のアドレスです。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: 新たな一対の監視データ・セットを使用して、活動 CICS システムおよび代替 CICS システムの両方を再始動することが必要です。診断のために、エラーが報告された時点で使用中であった RPL のアドレスがメッセージによって示されます。RPL は、関連した VSAM メッセージ領域を持っています。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6441I LOGICAL ERROR ON XRF
MESSAGE DATA SET. VSAM
FEEDBACK DATA = HEX'xx'.**

説明: VSAM が、XRF メッセージ・データ・セットの論理的なエラーを報告しました。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: これは、CICS システム内のエラーです。診断のために、このエラーの VSAM フィードバック・データがメッセージに示されます。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6442I INTERNAL ERROR IN XRF
MESSAGE MANAGER.**

説明: CICS メッセージ・マネージャーが維持する要求連鎖が不整合な状態になっています。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWMQ5

宛先: コンソール

**DFHXG6443I INTERNAL ERROR IN XRF
SURVEILLANCE COMPONENT.**

説明: XRF 監視コンポーネント中のルーチンに対して正しくない内部呼び出しが実行されました。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWCCS

宛先: コンソール

**DFHXG6444I VSAM REQUEST REJECTED FOR
XRF MESSAGE DATA SET.**

説明: XRF メッセージ・データ・セットに対して出された VSAM PUT 要求または GET 要求が拒否されました。

システムの処置: XRF システムによる監視は停止します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6445I XRF MESSAGE DATA SET
FORMATTING STARTED.**

説明: この XRF メッセージ・データ・セットは新規のため、活動システムから代替システムにメッセージを渡すために使用するには、その前に、フォーマット設定する必要があります。

システムの処置: 通常のサービスが続行されます。

ユーザーの処置: 活動システムから代替システムにメッセージを送れるようになるまでには、メッセージ・データ・セットのサイズに応じて、多少の遅延が生じます。代替システムの始動は、対応するメッセージ DFHXG6446 を受け取るまで据え置くほうがよいかもしれません。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6446I XRF MESSAGE DATA SET
FORMATTING COMPLETED.**

説明: XRF メッセージ・データ・セットの形式設定が完了しました。これで、活動システムから代替システムにメッセージを渡すためにこの XRF メッセージ・データ・セットを使用することができます。

システムの処置: 通常のサービスが続行されます。

ユーザーの処置: None. メッセージ DFHXG6445 を参照してください。

モジュール: DFHWMMT

宛先: コンソール

**DFHXG6447I NON CRUCIAL XRF MESSAGE(S)
DISCARDED.**

説明: XRF メッセージ・データ・セットが満杯です。代替システムがまだ読み取っていないメッセージを上書きすることで、代替システムを無効化する代わりに、一部のメッセージが破棄されています。

システムの処置: 通常のサービスが続行されます。

ユーザーの処置: この状態は、メッセージ DFHXA6541 の説明で示されている状況と同様の状況で発生することがあります。この時点では代替システムはまだ無効にはなっていませんが、無効になる可能性は高く、訂正処置が必要になります。詳しい手引きについては、メッセージ DFHXA6541 を参照してください。

モジュール: DFHWMWR

宛先: コンソール

**DFHXG6450I SVC GETMAIN FAILED IN XRF
SURVEILLANCE.**

説明: CICS 監視コンポーネントによって出された SVC GETMAIN が失敗しました。この GETMAIN は、CICS TCB または XRF TCB のいずれかの下で出された可能性があります。

システムの処置: MVS 異常終了 0190 が発行されます。

ユーザーの処置: GETMAIN は 16 MB 境界を超えるストレージを要求するため、要求を満たせないことはほとんどありません。

システム・エラーが発生した可能性があります。その場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWCCS

宛先: コンソール

**DFHXG6451I SVC GETMAIN FAILED IN XRF
SURVEILLANCE.**

説明: CICS 監視コンポーネントによって出された SVC GETMAIN が失敗しました。この GETMAIN は、CICS TCB または XRF TCB のいずれかの下で出された可能性があります。

システムの処置: MVS 異常終了 0191 が発行されます。

ユーザーの処置: GETMAIN は 16 MB 境界を超えるストレージを要求するため、要求を満たせないことはほとんどありません。

システム・エラーが発生した可能性があります。その場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWLGET

宛先: コンソール

**DFHXG6452I INTERNAL ERROR IN XRF
SURVEILLANCE.**

説明: XRF LIFO ストレージ・マネージャーによって行われた整合性検査が失敗しました。この障害は、CICS TCB または XRF TCB のいずれかの下での実行中に発生した可能性があります。

システムの処置: MVS 異常終了 0192 が発行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWLFRE

宛先: コンソール

**DFHXG6453I INTERNAL ERROR IN XRF
SURVEILLANCE.**

説明: XRF 処理マネージャーによって行われた整合性検査が失敗しました。処理が、正しくない内部ロック要求を出しています。

システムの処置: MVS 異常終了 0193 が発行されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWDWAT

宛先: コンソール

DFHXG6454I PROGRAM CHECK IN XRF

SURVEILLANCE. PSW = HEX'xx' 'xx'.
ADDRESS OF EPIE COPY = HEX'xx'.

説明: プログラム・チェックが発生し、そこから XRF プロセスがリカバリーすることができませんでした。

システムの処置: MVS 異常終了 0194 が発行され、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS システム内のエラーです。メッセージに、プログラム・チェックが発生した PSW が示されています。詳細な情報は、ダンプ内に保存されています。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWDSRP

宛先: コンソール

DFHXG6475 applid iiii Backup simlogon(s) abandoned

説明: XRF 代替システムが引き継ぎ中で、最後のいくつかのセッション追跡要求を処理しています。

CICS は待機セッション用の SIMLOGON を出しましたが、VTAM は、まだログオン要求を CICS の VTAM ログオン出口へ戻していません。

メッセージ DFHXG6480 が 2 回出されているので、ログオンは表示されないものと CICS は想定しました。

処理は正常に続行されます。しかし、バックアップ SIMLOGON を現在保留にしているセッションの状態は、CICS の初期設定の終了時点では予測不能です。

再接続プロセスがこれらのセッションを正常に BIND しようと試みます。

システムの処置: 通常の引き継ぎ処理が続行されます。

ユーザーの処置: CSTL ログおよび CICS トレースを集める必要があります。

モジュール: DFHZXST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. iiii

宛先: コンソール

DFHXG6476I applid XRF catch-up abandoned - all XRF alternates signed off

説明: XRF 代替システムが存在していないために、XRF キャッチアップ・トランザクションの実行が中止されました。障害を起こした代替システムから、メッセージがいくつか出されている可能性があります。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid

宛先: コンソール

DFHXG6477I applid Generic and Specific Ids have same value

説明: CICS システムが、XRF 複合体を表す VTAM USERVAR の再割り当てをするコマンドを出しました。これによって、今後は XRF 複合体へのログオン要求はこの CICS に向けられます。ただし、このシステムは XRF 1 次システムであり、特定 ID 値は、XRF 複合体の総称 ID と同じです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: None。ただし、アプリケーション ID を使用するとき、特別の注意を払う必要があります。つまり、CICS システムを参照するのか、あるいは XRF 複合体を参照するのかを明確にする必要があります。

モジュール: DFHZXSTS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid

宛先: コンソール

DFHXG6479 applid Modify USERVAR issued unsuccessfully. 戻りコード nn

説明: CICS システムが、XRF 複合体を表す VTAM USERVAR を再割り当てするコマンドを出すのに失敗しました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: システム・オペレーターは、CICS に代わってコマンドを出すことができます。その形式は次のとおりです。

F procname,USERVAR,ID=generic-id,VALUE=specific-id

各部の説明は、以下のとおりです。

•

「procname」は、VTAM のプロシージャー名です。

「generic-ID」は、複合体全体の VTAM アプリケーション ID です。

「specific-ID」は、新規 CICS の VTAM アプリケーション ID です。

USERVAR を変更できない場合には、総称 ID の値を指定されたエンド・ユーザーのログオンが引き続き旧特定アプリケーション ID に送られて、予測不能な結果を招くことになります。

(ただし、新しいシステムの特典 ID を指定したログオンは、その新しいシステムに経路指定されることになります。)

モジュール: DFHZXSTS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *nm*

宛先: コンソール

DFHXG6480I *applid* **Waiting for backup simlogon processing to drain**

説明: XRF 代替システムが引き継ぎ中で、最後のいくつかのセッション追跡要求を処理しています。

CICS は待機セッション用の SIMLOGON を出しましたが、VTAM は、まだログオン要求を CICS VTAM ログオン出口に戻していません。

このメッセージは、引き継ぎが停止されている 20 秒の間に 5 秒間隔で出されます。

これは、VTAM エラーまたは CICS 論理エラーのいずれかが発生したことを示しています。

システムの処置: このメッセージが 2 回出されてから、メッセージ DFHXG6475 が出されます。

ユーザーの処置: このメッセージが繰り返し出される場合には、CICS または VTAM の障害を示す他の形跡を探してください。

モジュール: DFHZXQO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6481I *applid* **Autoconnect delayed for hh hours, mm minutes, ss seconds.**

説明: CICS が、次のいずれかを行うために、再接続トランザクション CXRE の実行を、hh 時間、mm 分、ss 秒の時間間隔分だけ延期しました。

CICS の始動後に AUTOCONNECT 端末を獲得するため。または

XRF 引き継ぎ後に端末セッションを獲得し直すため。

遅延の値 (hh 時間、mm 分、ss 秒) は、AUTCONN システム初期設定パラメーターからとられています。

XRF 引き継ぎの場合には、引き継ぎ時に保留されていた待機 BIND の数から値は計算されます。この余分な間隔によって、XRF 以外のセッションが CXRE によって接続し直される前に、XRF 可能端末の切り替えを行うことが可能になります。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *hh*
3. *mm*
4. *ss*

宛先: コンソール

DFHXG6482 *applid* **Unable to issue SETLOGON HOLD (reqcode,reg15,reg0)**

説明: このメッセージが出されるのは、VTAM SETLOGON START が初期設定時に失敗した場合か、または VTAM ログオンのルーティング変更の準備の際に、このシステム (現在 XRF 引き継ぎを行っている) が、これ以上ログオン要求を送ってこないように VTAM に要求しようとした場合です。この試みは失敗し、メッセージには、以下のように失敗の詳細が示されます。最初の挿入部は、次のうちのいずれかです。

「S」: SETLOGON START 要求が失敗した。

「H」: SETLOGON HOLD 要求が失敗した。

2 番目および 3 番目の挿入部は、それぞれ、障害が起きた時点のレジスター 15 およびレジスター 0 の値です。

これらの値の説明については、使用している VTAM リリースの z/OS Communications Server: SNA Programming を参照してください。

メッセージ DFHSI1517 が出される前に CICS に届いたログオンは、有効であっても拒否されることがあります。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージを注意して読んでください。

モジュール: DFHZXSTS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *reqcode*
3. *reg15*
4. *reg0*

宛先: コンソール

DFHXG6483I *applid* This will be the last pass.

説明: 再接続トランザクション CXRE が、最後に行われる (再) 接続の対象となっていた VTAM 端末およびセッションを走査しようとしています。見つかったものはすべてメッセージ DFHXG6486 にリストされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXG6486 にリストされた VTAM 端末またはセッションに重要なものがあれば、このパスの結果それらが正常に接続されているかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZXRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6484I *applid* Autoconnect processing now complete.

説明: 再接続トランザクション CXRE が、すべての VTAM 端末およびセッションを走査したところです。(再) 接続を行う必要があったものがすべて接続されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXRE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6485 *applid* Unable to schedule Autoconnection/Reconnection process.

説明: CICS 初期設定が再接続処理をスケジュールしようと試みましたが、CICS が DFHPC TYPE=LINK 呼び出しを拒否したため、スケジュールできませんでした。

理由については、後続のメッセージ DFHXG6487 または DFHXG6488 を参照してください。

システムの処置: 再接続処理は実行されません。

ユーザーの処置: 個々の端末を望ましい状態に復元するには、CEMT を使用する必要があります。

モジュール: DFHZOPA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6486I *applid termid* may not be acquired after takeover

説明: 再接続トランザクション CXRE は、最後の実行を行っているところですが、前に CICS が障害を起こした実行時と同じ状況でまだバインドされていない端末/セッション *termid* を見つけました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ内の端末識別名 *termid* を記録し、以前の再接続の試みが失敗した理由を調べてください。例えば、端末が物理的に交換されていない可能性があります。問題を明らかにした後で、CEMT を使用して個々の端末を獲得できます。

モジュール: DFHZXRE0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *termid*

宛先: コンソール

DFHXG6487 *applid* Unexpected IC/PC error code X'code'. Module modname

説明: 再接続トランザクション CXRE をスケジュールまたはスケジュール変更できませんでした。これは、DFHIC TYPE=INITIATE または DFHPC TYPE=LINK が、コード X'code' で拒否されたためです。これは CICS 論理エラーが原因です。

DFHXG6488 • DFHXG6490I

このメッセージは、以下のいずれかに続いて出されます。

- DFHXG6485 (CICS が CXRE をスケジュールできなかった場合)

- DFHXG6489 (CICS が CXRE をスケジュール変更できなかった場合)

システムの処置: CICS のとる処置は、エラーが CXRE のスケジュール時に起こったか、CXRE のスケジュール変更時に起こったかにより異なります。

CICS がとる処置に関する詳細については、DFHXG6485 または DFHXG6489 のいずれかのシステム処置を参照してください。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHSIJ1、DFHZOPA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHXG6488 *applid* Required transaction CXRE is not defined to CICS. Module *modname*

説明: 再接続トランザクション CXRE をスケジュール変更することができませんでした。これは、必要なトランザクション・コードに現在はインストール済みトランザクション定義がないか、または必要なプログラムにインストール済みプログラム定義がないかのいずれかです。

このメッセージは、DFHXG6489 または DFHXG6485 の後に outされます。

システムの処置: 再接続トランザクションの現行の実行が最後の実行です。見つかった端末およびセッションのすべてについてメッセージ DFHXG6486 が outされます。

ユーザーの処置: XRF 以外の端末を再接続しようとしている場合には、問題を訂正してください。

モジュール: DFHSIJ1、DFHZOPA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHXG6489 *applid* Unable to schedule Autoconnection / Reconnection transaction CXRE. Module *modname*.

説明: 再接続トランザクション CXRE が、それ自体をスケジュール変更しようと試みましたが、CICS インターバル制御機能が DFHIC TYPE=INITIATE 呼び出しを拒否したために、スケジュールすることはできませんでした。

このメッセージの後に、DFHXG6487 または DFHXG6488 のいずれかが続きます。これらのメッセージに、エラーの原因の詳細が示されます。

システムの処置: 再接続トランザクションの現行の実行が最後の実行です。見つかった端末およびセッションのすべてについてメッセージ DFHXG6486 が outされます。

ユーザーの処置: 後続のメッセージを参照してください。個々の端末を獲得するには、CEMT を使用する必要があるかもしれません。

モジュール: DFHSIJ1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*

宛先: コンソール

DFHXG6490I *applid* Reconnecting VTAM session - pass number *xxxx*

説明: XRF 引き継ぎが行われたすぐ後に、制御が CICS に与えられました。パス番号 *xxxx* に関して、障害が起きた活動システム内でセッション中であった論理装置の獲得処理を開始しようとする再接続トランザクション CXRE が開始されたところです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS が端末およびセッションを再接続しようとするときに発生するエラー・メッセージを書き留めてください。

モジュール: DFHZXRE0

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xxxx*

宛先: コンソール

DFHXG6491 applid Logic error during session tracking. 理由 *rcode terminal/session event*

説明: XRF セッションの追跡で、設計エラーによると考えられる予期しない状況が起きました。理由コード (*rcode*) は、次のいずれかです。

1

POST が呼び出されましたが、端末またはセッションに保留中の処置はありません。

挿入部分 :

-
- 端末またはセッションの名前

2

不良要求値を使って DFHZXST が呼び出されました。

3

XRF 可能セッションに相関 ID が欠落しています。

挿入部分 :

-
- 端末またはセッションの名前
-
- 追跡されるイベントのコード

以下は、DFHSUSX の場合のみ有効です。

-
- X'01' - サインオン・データの送信
-
- X'02' - サインオン・データの送信 (キャッチアップ)
-
- X'03' - サインオン・データの受信

以下は、DFHZXST の場合にのみ有効です。

-
- X'F1' - BIND
-
- X'F2' - LOGON データの解放
-
- X'F3' - UNBIND

4

トレース・メッセージ作成のためのキーを取り出すことができません。

挿入部分 :

-
- 端末またはセッションの名前
-

5

追跡するイベントのコード (上記の 3 を参照)

送信トレース・メッセージを取り出すことができません。

挿入部分 :

-
- 端末またはセッションの名前
-
- 追跡するイベントのコード (上記の 3 を参照)

6

トレース・メッセージで示されたセッションを見つけることができません。

挿入部分 :

-
- 端末またはセッションの名前
-
- 追跡するイベントのコード (上記の 3 を参照)

7

トレース・メッセージに不正項目が示されました。

挿入部分 :

-
- 端末またはセッションの名前
-
- 追跡するイベントのコード (上記の 3 を参照)

8

トレース・メッセージに不良要求コードがあります。

挿入部分 :

-
- 端末またはセッションの名前
-
- 不良要求コード (有効な DFHZXST コードについては上記の 3 を参照)

9

トレース・メッセージの相関関係子の長さが 8 を超えています。

挿入部 :

-
- 端末またはセッションの名前

10

待機 BIND をスケジュールできません。

挿入部：

•

端末またはセッションの名前

システムの処置： 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置： メッセージを注意して読んでください。バックアップへ引き継がれるとすれば、リソースと状態が正しくない可能性があります。これらのメッセージの多くが出されている場合には、より一般的な問題が起きている可能性があります。

モジュール： DFHSUSX、DFHZXST

XMEOUT パラメーター/メッセージ：

1. *applid*
2. *rcode*
3. *terminal/session*
4. *event*

宛先： コンソール

DFHXG6492I *applid* XRF catch-up logic error
reason length

説明： XRF キャッチアップ・プログラムが、おそらく CICS 設計エラーが原因で起こったと考えられる予期せぬ状況を検出しました。最初の挿入部で示される理由は、次のいずれかです。

1

カタログ・レコードの内部的な長さの値が正しくありません。

2

カタログ・レコード形式のエラー。キーが入る余地がありません。

3

カタログ・レコード形式のエラー。キーの長さが 16 を超えています。

4

カタログ・レコードが長すぎて、バッファに入りきりません (変数 CUBUFFER)。必要な長さは 2 番目の挿入に示されます。

5

予期しない ABEND または EXEC CICS コマンドからの応答

6

カタログ・レコード形式のエラー。リソース・マネージャー接頭部がありません。

システムの処置： 上記の 1、2、3、および 6 の場合、正常な処理を続行します。

4 の場合、DFHZXCU が異常終了して、異常終了コード AZXB が出されます。5 の場合、DFHZXCU が異常終了して、異常終了コード AZXA が出されます。

ユーザーの処置： メッセージを注意して読んでください。代替 CICS へ引き継がれるとすれば、リソースと状態が正しくない可能性があります。このメッセージが多く出るようであれば、より広範な問題がある可能性があります。

モジュール： DFHZXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ：

1. *applid*
2. *reason*
3. *length*

宛先： コンソール

DFHXG6493 *date time applid* XRF tracking record
could not be sent *xxxx xxxx xxxx xxxx*
xxxx (Module: modname)

説明： XRF キャッチアップ・プログラムが、XRF メッセージ・マネージャーから好ましくない戻りコードを取得したために、活動 CICS の正しいコピーを取得するために代替 CICS が必要とするレコードを送ることができませんでした。挿入部 (内部的な診断情報) は、次のとおりです。

1.

WMSRETC

DFHWMS 戻りコード。(この戻りコードの値および意味については、「CICS Data Areas」の XRF CICS マネージャー要求インターフェース・ブロック (WMSPS) リストを参照してください。)

2.

WMSREASN

DFHWMS 理由コード。(この理由コードの値および意味については、「CICS Data Areas」の XRF CICS マネージャー要求インターフェース・ブロック (WMSPS) リストを参照してください。)

3.

XTR-KEY-VALUE は追跡レコードのキーです。

4.

XTR-ID はレコード ID です。ただし、

•

ゼロ = 追跡

•

非ゼロ = キャッチアップ

5.

XTR-TYPE はレコード・タイプです (DFHZXTR を参照)。ただし、

- X = 追跡制御
- C = TCT 内容
- S = ZCP セッション追跡
- U = サインオン・データ

メッセージは、モジュール *modname* から出されます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージを注意して読んでください。代替 CICS へ引き継がれるとすれば、リソースと状態が正しくない可能性があります。これらのメッセージの多くが出されている場合には、より一般的な問題が起きている可能性があります。

モジュール: DFHZXCU、DFHZXST、DFHTCRP、DFHTBSSP、DFHSUSX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*
5. *xxxx*
6. *xxxx*
7. *xxxx*
8. *xxxx*
9. *modname*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHXG6494I *date time applid XRF session state*
catch-up ended

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど完了したところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS が、それ自体をバインドまたはアンバインドされたセッション状態に関して最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXG6495I *date time applid XRF session state*
catch-up started

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど開始しようとするところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS が、それ自体をバインドまたはアンバインドされたセッション状態に関して最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXG6496I *date time applid XRF TCT contents*
catch-up ended

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど完了したところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS が、それ自体を TCT の内容に関して最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXG6497I *date time applid XRF TCT contents*
catch-up started

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど開始しようとするところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS が、それ自体を TCT の内容に関して最新のものにすることができます。

DFHXG6498I • DFHXG6502I

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXG6498I *date time applid XRF catch-up ended*

説明: XRF キャッチアップ・プログラムが、メッセージの送信をちょうど完了したところです。これにより、新たにサインオンされた代替 CICS がそれ自体を最新のものにすることができます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXG6499I *date time applid XRF catch-up started*

説明: 新たにサインオンされた代替 CICS が自分自身を最新のものにすることができるようにするためのメッセージを、XRF キャッチアップ・プログラムがちょうど送り始めようとするところです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXCU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXG6500I *applid Signing on to the CAVM as alternate with generic APPLID genericid*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CICS 可用性マネージャー (CAVM) に代替システムとしてサインオン

しようとしていることを示しています。メッセージの挿入部分には総称アプリケーション ID が入れられます。

システムの処置: CICS 初期設定は、サインオン要求が処理されるまで延期されます。通常、この遅延が重要な意味を持つことはありません。この遅延が重要な意味を持つ場合には、CAVM によってメッセージが作成され、理由が示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *genericid*

宛先: コンソール

DFHXG6501I *applid Sign on to the CAVM as alternate accepted*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオン要求が CAVM によって受け入れられたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6500 を参照してください。)

システムの処置: CICS 初期設定が再開されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6502I *applid Sign on to the CAVM as alternate rejected*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、サインオン要求が CAVM によって拒否されたことを示すものです。(メッセージ DFHXG6500 を参照してください。) CAVM によってメッセージが生成され、要求を拒否した理由が示されます。

システムの処置: CICS 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6503I *applid Sign on of specificid to the CAVM as active detected.*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、指定された活動 CICS が CAVM にサインオンしたことが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *specificid*

宛先: コンソール

DFHXG6507I *applid Sign off normal from the CAVM detected.*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、活動 CICS が CAVM からサインオフしたことが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: CICS 処理は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6511I *applid Sign off abnormal from the CAVM detected.*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、活動 CICS が CAVM からサインオフしたことが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: とられる処置は、引き継ぎオプションの現行値によって異なります。この値は、システム初期設定テーブルに指定されています。値を変更するには、CEBT SET TAKEOVER コマンドを使用します。引き継ぎオプションの現行値が AUTOMATIC または MANUAL のいずれかである場合は、引き継ぎ要求が CAVM に渡されることになります。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は (ある場合には)、インストール・システムによって異なります。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6512I *applid Takeover request passed to the CAVM*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、システムが CAVM に引き継ぎの開始を要求しようとしていることを示します。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6513I *applid Takeover request accepted by the CAVM*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、引き継ぎ要求 (メッセージ DFHXG6512 を参照) を CAVM が受け入れたことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6514I *applid Takeover request rejected by the CAVM*

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、引き継ぎ要求 (メッセージ DFHXG6512 を参照) を CAVM が拒否したことを示しています。CAVM によってメッセージが生成され、要求を拒否した理由が示されます。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6516I *applid* Apparent failure of active CICS detected.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、活動 CICS が障害を起こしていると思われることが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: とられる処置は、引き継ぎオプションの現行値によって異なります。この値は、システム初期設定テーブルに指定されています。値を変更するには、CEBT SET TAKEOVER コマンドを使用します。引き継ぎオプションの現行値が AUTOMATIC である場合は、引き継ぎ要求が CAVM に渡されます。現行値が MANUAL の場合には、メッセージ DFHXG6518 がコンソールに送られます。

ユーザーの処置: 活動 CICS の見かけの障害が起きた理由を判別してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6517I *applid* Recovery of active CICS detected.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、メッセージ DFHXG6516 で報告された見かけの障害から活動 CICS がリカバリーしたことが CICS に通知されたことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6518A *applid* APPARENT FAILURE OF ACTIVE CICS DETECTED. REPLY TAKEOVER OR IGNORE

説明: これは、CICS TCB から出されたアクション・メッセージです。このメッセージは、活動 CICS の現行値が障害を起こしたように思われる場合に出されます。

システムの処置: 応答が「TAKEOVER」の場合には、CICS が CAVM に引き継ぎを開始するように要求します。

応答が「IGNORE」の場合には、CICS は次のうちのいずれかを想定します。

- 活動 CICS システムが見かけの障害からリカバリーする。
- 活動 CICS システムが再始動される。
- 引き継ぎを開始するのに CEBT PERFORM TAKEOVER コマンドが使用される。

これ以降に発生するイベントは、メッセージ DFHXG6518A に対してユーザーが応答する必要がないことを意味する場合もあります。その例は次のとおりです。

- メッセージ DFHXG6516 で報告された見かけの障害から活動 CICS システムがリカバリーしたことが CICS に通知される場合には、メッセージ DFHXG6517 および DFHXG6519 がコンソールに送られる。
- 活動 CICS システムが CAVM から異常なサインオフをしたと CICS に通知される場合には、メッセージ DFHXG6511 および DFHXG6519 がコンソールに送られる。
- メッセージ DFHXG6516 で報告された見かけの障害から活動 CICS がリカバリーすると同時に引き継ぎが (代替 CICS システムから) 開始される場合には、メッセージ DFHXG6513 および DFHXG6539 がコンソールに送られてくる。

ユーザーの処置: 活動 CICS に起きた見かけの障害の理由を調べてください。可能な場合には、障害を取り除いて、適切な応答を行ってください。

モジュール: DFHXRSP

宛先: コンソール

DFHXG6519I *applid* The reply to message DFHXG6518 is assumed to be IGNORE.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、ユーザーがメッセージ DFHXG6518 に応答することを CICS がもはや必要としていないことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6520I *applid* CICS shutdown initiated by CAVM event.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。次のような状況で、CICS によって開始されるシャットダウンが起きます。

1.

活動 CICS が CAVM から正常なサインオフを行ったことが CICS に通知された場合。メッセージ DFHXG6507 がコンソールに送られます。

2.

活動 CICS が「インプレース」で再始動されたことが CICS に通知された場合。メッセージ DFHXG6511 がコンソールに送られます。

3.

活動 CICS が CAVM から正常にサインオフしたと CICS が想定した場合。メッセージ DFHXG6522 がコンソールに送られます。

システムの処置: CICS は正常に終了します。ただし、(活動) CICS が障害を起こした場合には、引き継ぎは行われないことに注意してください。

ユーザーの処置: (代替) CICS を再始動することを考慮してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6522I *applid* Sign off normal from the CAVM assumed.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、CICS が、活動 CICS が CAVM からサインオフしたと想定したことを示しています。これが出される可能性があるのは、代替 CICS が CEC 1 上で実行されていて、かつ次のいずれかが行われている場合です。

1.

活動 CICS が CEC 2 上で始動される。

2.

CEC 2 が再初期設定される。

3.

活動 CICS が CEC 2 上で再始動される。

システムの処置: CICS 処理は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6523I *applid* CAVM failure detected. CICS cannot continue as Alternate.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、CAVM が障害を起こしたことが CICS に通知されたことを示すものです。障害の理由を示すメッセージが CAVM によって作成されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。異常終了コードは 207 です。

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXG6524I *applid* CAVM error detected. CICS cannot continue as Alternate.

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、代替システムとして CICS が続行できないようなエラーを CAVM が検出したことが CICS に通知されたことを示しています。

これが該当するようなケースとしては、たとえば、活動 CICS によって生成されたメッセージに代替 CICS がついていけないでいる場合です。

障害の理由を示すメッセージが CAVM によって作成されます。

システムの処置: CICS は異常終了します。異常終了コードは 213 です。

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6539I *applid* The reply to message
DFHXG6518 is assumed to be
TAKEOVER.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。このメッセージは、ユーザーがメッセージ DFHXG6518 に応答することを CICS がもはや必要としていないことを示しています。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6680I *applid* TIME-OF-DAY CLOCK
DIFFERENCE IS AT LEAST *sss*
SECONDS.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。活動 CICS システムおよび代替 CICS システムは別々の CEC 上で実行されており、代替 CEC の時刻機構は活動 CEC の時刻機構より進んでいます。引き継ぎが起こった場合には、代替 CEC の時刻機構が活動 CEC の時刻機構よりも遅くなるまで、CICS 処理の一部を延期しなければならなくなります。CAVM は、時刻機構の時差の下限を見積もりましたが、その差は少なくとも 15 秒です。このメッセージには、見積もられた時差が示されています。CAVM によって処理される監視信号の数が増えるにつれて、この下限が変化する可能性があることに注意してください。この状況は、活動 CICS 開始の最初の 3 つから 5 つの監視信号が処理される間に発生する可能性があります。経過時間は約 10 秒です。必要に応じて、このメッセージが繰り返されることになります。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: それぞれの時刻機構をできるだけ正確に同期化してください。これらの差が大きき場合には、引き継ぎの時間が増える可能性があることに注意してください。

モジュール: DFHXRSP

宛先: コンソール

**DFHXG6681I *applid* TIME-OF-DAY CLOCK
DIFFERENCE IS AT MOST *sss*
SECONDS.**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。活動 CICS システムおよび代替 CICS システ

ムは別々の CEC 上で実行されており、代替 CEC の時刻機構は活動 CEC の時刻機構より進んでいます。引き継ぎが起こった場合には、代替 CEC の時刻機構が活動 CEC の時刻機構よりも遅くなるまで、CICS 処理の一部を延期しなければならなくなります。CAVM は時刻機構の時差の上限を見積もりましたが、その差は少なくとも 15 秒です。このメッセージには、見積もられた時差が示されています。CAVM によって処理される監視信号が増えるにつれて、この上限が変化する可能性があることに注意してください。必要に応じて、メッセージ DFHXG6681 が繰り返されることになります。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: それぞれの時刻機構をできるだけ正確に同期化してください。これらの差が大きき場合には、引き継ぎの時間が増える可能性があることに注意してください。

モジュール: DFHXRSP

宛先: コンソール

**DFHXG6682I *applid* XRF clock synchronization
started**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。代替 CEC の時刻機構は活動 CEC の時刻機構よりも進んでいるため、時刻に依存する処理を延期する必要があります。そのような処理は、活動ジョブが終了したときの活動 CEC の時刻機構よりも代替 CEC の時刻機構が遅くなるまで、延期されます。

システムの処置: 一部の CICS 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: それぞれの時刻機構をできるだけ正確に同期化してください。これらの差が大きき場合には、引き継ぎの時間が増える可能性があることに注意してください。

モジュール: DFHXRRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHXG6683I *applid* XRF clock synchronization
ended**

説明: これは、CICS TCB から出された通知メッセージです。代替 CEC の時刻機構は、この時点では、活動 CEC の時刻機構よりも遅れているため、時刻に依存する処理を再開することができます。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXRA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHXMnnnn メッセージ

DFHXM0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has occurred at offset X'offset' in module modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。エラーが重要な XM ドメイン・モジュール内で発生した場合、状況によっては、CICS はただちに終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べ、詳しいガイダンスを確認してください。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合のよい時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM

1. *applid*

宛先: コンソール

との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMBD、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMMD、DFHXMER、DFHXMFD、DFHXMIQ、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMQC、DFHXMMP、DFHXMSP、DFHXMTP、DFHXMXP、DFHXMXX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHXM0002 applid A severe error (code X'code') has occurred in module modname.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。エラーがクリティカル・エラーである場合、状況によっては、CICS はただちに終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

重大エラー・コードが X'1112' の場合、使用可能なすべてのトランザクション番号が使用中になっているため、新しいトランザクションに割り当てるための空いているトランザクション番号はありません。トランザクション・クラスを使用して、システム内の CICS タスクの数を制限している場合は、大量のトランザクション負荷がかかっているすべてのトランザクション・クラスに対してトランザクション・クラス・ページしきい値 (PURGETHRESH) を指定する必要があります。詳細については、「リソースの定義」および「パフォーマンスの改善」を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMDB、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMMD、DFHXMER、DFHXMFD、DFHXMIQ、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMQC、DFHXMMP、DFHXMSP、DFHXMTP、DFHXMXP、DFHXMXP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHXM0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。

(XDUREQ 出口のユーザー出口プログラム、ダンプ・テーブル、またはグローバル・システム・ダンプ抑止により) 特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS 処理は、CICS が終了するようダンプ・テーブルで指定しない限り、続行されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能が CPU 時間を長く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で発

生した可能性があります。したがって、エラーは存在しない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、モジュール *modname* の実行が終了し、CICS は続行することを意味します。

SIT で ICVR=0 を指定しており、かつモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を増やしても問題が解決されない場合は、IBM のサポートが必要になることがあります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMDB、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMMD、DFHXMER、DFHXMFD、DFHXMIQ、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMQC、DFHXMMP、DFHXMSP、DFHXMTP、DFHXMXP、DFHXMXP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHXM0101 *date time applid terminal userid tranid*
TRANSACTION definition entry for *transname* has been added.

説明: これは、トランザクション定義項目 *transname* を、INSTALL コマンドを使用してシステムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

transid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMxD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *transid*
7. *transname*

宛先: CSKL

DFHXM0103 *date time applid terminal userid transid*
TRANSACTION definition entry for
transname has been deleted.

説明: これは、トランザクション定義項目 *transname* を、DISCARD コマンドを使用してシステムから削除したことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *transid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMDD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *transid*
7. *transname*

宛先: CSKL

DFHXM0105 *date time applid terminal userid transid*
TRANSACTION definition entry for
transname has been replaced.

説明: これは、トランザクション定義項目 *transname* を、INSTALL コマンドを使用してシステム内で置き換えたことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *transid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMxD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *transid*
7. *transname*

宛先: CSKL

DFHXM0110 *date time applid* **Transaction definition**
transid1 has been installed with the
same REMOTENAME and
REMOTESYSTEM as existing
definition transid2.

説明: トランザクション定義 *transid1* が、トランザクション定義 *transid2* と同じ REMOTENAME および REMOTESYSTEM を指定してインストールされました。

この CICS システムが、あるトランザクションを、両方の定義の REMOTESYSTEM として指定された CICS システムへ経路指定し、そのトランザクションが、*transid1* および *transid2* の REMOTENAME として指

定されたトランザクション ID の EXEC CICS START 要求を出した場合、CICS はその START 要求を満たすために、*transid1* と *transid2* のいずれかをローカル・システム上でタスク生成することができます。

システムの処置: トランザクション定義 *transid1* のインストールは正常に続行されます。

リモート・システムで、メッセージの説明で述べられたように EXEC CICS START 要求が出された場合、CICS は *transid2* ではなく、*transid1* をローカル・システム上でタスク生成します。

ただし、CICS は、ウォーム再始動または緊急再始動の後に必ずしも同じようにこのあいまいさを解決するわけではありません。

ユーザーの処置: リモート・システムで正しいトランザクションがタスク生成されるため、通常、この状態により問題が起きることはありません。ただし、ローカル・システムでは正しいトランザクションがタスク生成されていない可能性があり、それは次のような状態として表れます。

- 矛盾した統計がローカル・システムで累積される。
- START 要求をリモート・システムへ戻す際に、誤った TRPROF が使用される。
- CEMT INQUIRE TASK は、ローカル・システムで実行中のトランザクションの組として、誤ったものを表示する。

これらは必ずしも問題であるとは限りませんが、このシステムのリモート・トランザクションの定義を検査して、定義が誤っているということのないようにしたほうがよいでしょう。

説明で述べられたようにリモート START 要求が出され、CICS がローカル・システムでどのトランザクションをタスク生成するのかが問題になる場合は、タスク生成させないトランザクション定義を修正して再インストールしてください。これにより、あいまいな点が除去されます。

モジュール: DFHXMxD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid1*
5. *transid2*

宛先: CSMT

DFHXM0111 *date time applid* **Catalog failure while processing {INSTALL | SET | DISCARD} request for transaction definition *transid*.**

説明: トランザクション定義 *transid* のインストール、設定、または廃棄要求の処理の際、カタログを変更中にエラーが発生しました。

システムの処置: 要求は通常どおり続行されます。

カタログに発生したエラーによっては、CICS のウォーム再始動または緊急再始動が試みられた場合に、重大な問題になることがあります。その場合には、カタログ・ドメインにより、問題の概要を説明するメッセージが出されます。

あるいは、問題はトランザクション定義 *transid* のイメージが含まれているカタログ・レコードに限定されたものであり、以下の問題はウォーム再始動または緊急再始動の際にのみ発生するという可能性もあります。

INSTALL

これが再インストールである場合は、トランザクション定義の古いバージョンがリカバリーされます。インストールである場合は、トランザクション定義はリカバリーされません。

SET

SET により要求された変更はリカバリーされません。代わりにトランザクション定義が、SET 要求が出される前の状態にリカバリーされます。

DISCARD

現在は廃棄されているにもかかわらず、トランザクション定義が再始動の際にリカバリーされます。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。次に CICS を再始動する際に、コールド・スタートまたは初期始動を実行して問題を解決することを考慮してください。コールド・スタートまたは初期始動が適切でなく、かつ問題がトランザクション定義 *transid* のみに限られる場合は、前述のそれぞれの場合の影響を除去してください。

以下に例を示します。

INSTALL

再始動の後にトランザクション・クラス定義を再インストールします。

SET

CICS が再始動した後に SET コマンドを出し直します。

DISCARD

CICS が再始動した後に DISCARD コマンドを出し直します。

再始動の後もカタログの問題が続くようであれば、IBM のサポートが必要です。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXMDD、DFHMXD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=INSTALL,
2=SET,
3=DISCARD

5. *transid*

宛先: コンソールおよび CSMT

DFHXM0112 *date time applid* The install of transaction definition *transid1* has removed ALIAS *alias* of *transid2*.

説明: トランザクション定義 *transid1* が、ALIAS *alias* を指定してインストールされました。しかし、ALIAS *alias* は現在、トランザクション定義 *transid2* を呼び出します。

システムの処置: *transid1* のインストールは、通常どおり続行されます。

ALIAS *alias* は、以前のトランザクション定義 *transid2* ではなく、*transid1* を呼び出すようになりました。

ユーザーの処置: トランザクション定義 *transid2* の ALIAS が除去されることが、予期していたものである場合は、処置は必要ありません。しかし、トランザクション定義 *transid2* は CSD で修正され、この別名を指定しなくなります。

誤って ALIAS が除去された場合には、トランザクション定義 *transid2* を再インストールして、その ALIAS を復元してください。トランザクション定義 *transid1* は CSD で修正され、この ALIAS を指定しなくなります。

モジュール: DFHMXD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid1*
5. *alias*
6. *transid2*

宛先: CSMT

DFHXM0113 *date time applid* The install of transaction definition *transid1* has removed TASKREQ *taskreq* of *transid2*.

説明: トランザクション定義 *transid1* が、TASKREQ *taskreq* を指定してインストールされました。しかし、TASKREQ *taskreq* は、現在、トランザクション定義 *transid2* を呼び出します。

システムの処置: *transid1* のインストールは、通常どおり続行されます。

TASKREQ *taskreq* は、以前のトランザクション定義 *transid2* ではなく、*transid1* を呼び出すようになりました。

ユーザーの処置: トランザクション定義 *transid2* の TASKREQ が除去されることが、予期していたものである場合は、処置は必要ありません。しかし、トランザクション定義 *transid2* は CSD で修正され、この TASKREQ を指定しなくなります。

誤って TASKREQ が除去された場合には、トランザクション定義 *transid2* を再インストールして、その TASKREQ を復元してください。トランザクション定義 *transid1* は CSD で修正され、この TASKREQ を指定しなくなります。

モジュール: DFHMXD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid1*
5. *taskreq*
6. *transid2*

宛先: CSMT

DFHXM0114 *date time applid* The install of transaction definition *transid1* has removed XTRANID *X'xtranid'* of *transid2*.

説明: トランザクション定義 *transid1* が、XTRANID

xtranid を指定してインストールされました。しかし、XTRANID *xtranid* は、現在、トランザクション定義 *transid2* を呼び出します。

システムの処置: *transid1* のインストールは、通常どおり続行されます。

XTRANID *xtranid* は、以前のトランザクション定義 *transid2* ではなく、*transid1* を呼び出すようになりました。

ユーザーの処置: トランザクション定義 *transid2* の XTRANID が除去されることが、予期していたものである場合は、処置は必要ありません。しかし、トランザクション定義 *transid2* は CSD で修正され、この XTRANID を指定しなくなります。

誤って XTRANID が除去された場合には、トランザクション定義 *transid2* を再インストールして、その XTRANID を復元してください。トランザクション定義 *transid1* は CSD で修正され、この XTRANID を指定しなくなります。

モジュール: DFHXMxD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid1*
5. *X'xtranid'*
6. *transid2*

宛先: CSMT

DFHXM0115 *date time applid* **The install of transaction definition *transid1* has removed TPNAME *tpname* of *transid2*.**

説明: トランザクション定義 *transid1* が、TPNAME *tpname* を指定してインストールされました。しかし、TPNAME *tpname* は現在、トランザクション定義 *transid2* を呼び出します。

システムの処置: *transid1* のインストールは、通常どおり続行されます。

TPNAME *tpname* は、以前のトランザクション定義 *transid2* ではなく、*transid1* を呼び出すようになりました。

ユーザーの処置: トランザクション定義 *transid2* の TPNAME が除去されることが、予期していたものである場合は、処置は必要ありません。しかし、トランザクション定義 *transid2* は CSD で修正され、この TPNAME を指定しなくなります。

誤って TPNAME が除去された場合には、トランザクション定義 *transid2* を再インストールして、その TPNAME を復元してください。トランザクション定義 *transid1* は CSD で修正され、この TPNAME を指定しなくなります。

モジュール: DFHXMxD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid1*
5. *tpname*
6. *transid2*

宛先: CSMT

DFHXM0116 *date time applid* **PROGRAM parameter missing from transaction definition *transid*. PROGRAM is required because REMOTESYSTEM is the same as the local system.**

説明: トランザクション定義 *transid* が、PROGRAM パラメーターを指定せずにインストールされました。REMOTESYSTEM がローカル・システムに等しいと指定してこれは定義されているので、このシステムでトランザクションを実行する場合は、プログラムが必要です。

システムの処置: *transid* のインストールは、通常どおり続行されます。リンク先のプログラムがないため、トランザクション *transid* を実行しようとしても、すべて失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージは、通知メッセージです。トランザクション *transid* がこのシステムで実行されなくても、問題はありません。実行できるようにする場合は、*transid* の定義を修正してから再インストールする必要があります。

このトランザクションが実行できないのに、なぜトランザクション定義がインストールされたのかを調べたいことがあるかもしれません。この理由として、このトランザクションが、いくつかの異なる CICS システムの間で共用されている RDO グループに定義されているということが考えられます。例えば *transid* は、次に示す 1 組の定義における TTT1 である可能性があります。この定義は、このローカル・システム CICB へのトランザクション・ルーティングを実施するために使用されるものです。

トランザクション	リモート・システム	リモート・ネーム	プログラム
TTT1	CICB	TTT2	-
TTT2	-	-	PROGA

この例で、トランザクションがこのシステムで同じ名前を持つようにすれば、1 つの定義で十分です。

トランザクション	リモート・システム	リモート・ネーム	プログラム
TTT1	CICB	TTT1	PROGA

モジュール: DFHXMxD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*

宛先: CSMT

DFHXM0201 *date time applid terminal userid tranid*
TRANCLASS definition entry for
tranclassname has been added.

説明: これは、トランザクション・クラス定義項目 *tranclassname* を、INSTALL コマンドを使用してシステムに追加したことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tranclassname*

宛先: CSKL

DFHXM0203 *date time applid terminal userid tranid*
TRANCLASS definition entry for
tranclassname has been deleted.

説明: これは、トランザクション・クラス定義項目 *tranclassname* を、DISCARD コマンドを使用してシステムから削除したことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。
- *userid* は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。
- *tranid* は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tranclassname*

宛先: CSKL

DFHXM0205 *date time applid terminal userid tranid*
TRANCLASS definition entry for
tranclassname has been replaced.

説明: これは、トランザクション・クラス定義項目 *tranclassname* を、INSTALL コマンドを使用してシステム内で置き換えたことを示す監査ログ・メッセージです。

- *terminal* は、メッセージを出したトランザクションに関連した端末の端末 ID またはネット名です。トランザクションに関連した端末がない場合は、端末名は抑止されます。

userid は、メッセージを出したトランザクションに関連したユーザーのユーザー ID です。

•

tranid は、メッセージを出したトランザクションです。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *terminal*
5. *userid*
6. *tranid*
7. *tranclassname*

宛先: CSKL

DFHXM0211 *date time applid* **Catalog failure while processing {INSTALL | SET | DISCARD} request for TRANCLASS definition *tranclassname*.**

説明: トランザクション・クラス定義 *tranclassname* のインストール、設定、または廃棄要求の処理の際、カタログを変更中にエラーが発生しました。

システムの処置: 要求は通常どおり続行されます。

カタログに発生したエラーによっては、CICS のウォーム再始動または緊急再始動が試みられた場合に、重大な問題になることがあります。 その場合には、カタログ・ドメインにより、問題の概要を説明するメッセージが出されます。

あるいは、問題はトランザクション・クラス定義 *tranclassname* のイメージが含まれているカタログ・レコードに限定されたものであり、以下の問題はウォーム再始動または緊急再始動の際にのみ発生するという可能性もあります。

INSTALL

これが再インストールである場合は、トランザクション・クラス定義の古いバージョンがリカバリーされます。 インストールである場合は、トランザクション・クラス定義はリカバリーされませんでした。

SET

SET により要求された変更はリカバリーされません。 代わりにトランザクション・クラス定義が、SET 要求が出される前の状態にリカバリーされます。

DISCARD

現在は廃棄されているにもかかわらず、トランザクション・クラス定義が再始動時にリカバリーされました。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。

問題を完全に解決するためには、次に CICS を再始動する際にコールド・スタートまたは初期始動を実行することを考慮してください。コールド・スタートまたは初期始動が適切でなく、かつ問題がトランザクション・クラス定義 *tranclassname* のみに限られる場合は、それぞれの症状を個別に解決することができます。

以下に例を示します。

INSTALL

CICS が再始動された後にトランザクション・クラス定義を再インストールします。

SET

CICS が再始動した後に SET コマンドを出し直します。

DISCARD

CICS が再始動した後に DISCARD コマンドを出し直します。

再始動の後もカタログの問題が続くようであれば、問題を解決するために IBM のサポートを得なければならない場合があります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXMCL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=INSTALL,
2=SET,
3=DISCARD

5. *tranclassname*

宛先: CSMT およびコンソール

DFHXM0212 *applid Transaction transid has been attached with unknown TRANCLASS tranclassname.*

説明: トランザクション *transid* がたった今タスク生成されました。これはトランザクション・クラス *tranclassname* に属するように定義されていますが、*tranclassname* は存在しません。

このメッセージは、トランザクション *transid* が不明なトランザクション・クラスを指定してタスク生成された最初のときにのみ出されます。

システムの処置: トランザクション *transid* のタスク生成は通常どおり続行されますが、どのトランザクション・クラスのスケジューリング制約にも規制されません。

ユーザーの処置: トランザクション *transid* をトランザクション・クラス *tranclassname* に属させたい場合は、そのトランザクション・クラスをインストールしてください。そうでなければ、*transid* のトランザクション定義を状況に応じて修正し、再インストールしてください。

CEDA CHECK コマンドを使用すると、トランザクション定義により参照される各トランザクション・クラスが、同じスタートアップ GRPLIST 内に定義されていることを確認できます。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHXM02C

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *transid*
3. *tranclassname*

宛先: コンソール

DFHXM0213 *applid Insufficient storage for system attach of transaction transid.*

説明: トランザクション *transid* のタスク生成のために新しいタスクを作成するための、十分なストレージがありません。

新しいタスクに必要なストレージの大部分は DSA ストレージから獲得されるので、CICS は DSA の 1 つでおそらくストレージ不足になります。

システムの処置: そのタスク生成要求は待機させられます。後で使用可能なストレージが増えたときに、再試

行されます。再試行されたタスク生成が失敗した場合は、成功するまで待機と再試行が繰り返されます。

ユーザーの処置: CICS のストレージが不足している場合は、メッセージ DFHSM0133 も出されます。この条件の解決方法については、そのメッセージを参照してください。

メッセージ DFHSM0133 が出されていない場合は、MVS ストレージの不足が原因です。その場合は、システムの EDSALIM を下げて、使用可能な MVS ストレージの量を増やすことを考慮してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHXMAT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *transid*

宛先: コンソール

DFHXM0301 *DATE TIME APPLID An attempt to link to the user-replaceable transaction restart program (DFHREST) has failed for task number tasknum. Transaction restart is not performed for transaction TRANID.*

説明: 再始動可能トランザクションが異常終了し、トランザクション・マネージャーはユーザー置換可能トランザクション再始動プログラム (DFHREST) にリンクしようとしたが、失敗しました。考えられる理由は次のとおりです。

- DFHREST が定義されていない (かつ自動インストールされていない)。
- DFHREST が DFHRPL 連結で指定されたライブラリーに含まれていない。
- DFHREST が AMODE(24) を指定してリンクされた。

システムの処置: トランザクションは再始動されません。

ユーザーの処置: 問題をそのままにしておくと、DFHREST へのリンクが失敗するたびにメッセージが出されます。これを回避するには、DFHREST が正しく定義され、DFHRPL 連結で指定されたライブラリーに

DFHXM0302 • DFHXM0303

含まれていることを確認してください。

ユーザー置換可能プログラムについての詳細は、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHXMTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. tasknum
5. TRANID

宛先: CSMT およびコンソール

DFHXM0302 *applid* **An abend** *abcode* **occurred in the user-replaceable transaction restart program (DFHREST) under task number** *tasknum*. **Transaction restart is not performed for transaction** *TRANID*.

説明: 再始動可能トランザクションが異常終了し、トランザクション・マネージャーはユーザー置換可能トランザクション再始動プログラム (DFHREST) にリンクしました。DFHREST は異常終了しました。

システムの処置: トランザクションは再始動されません。

ユーザーの処置: 問題をそのままにしておくと、DFHREST が異常終了するたびにメッセージが出されます。これを回避するには、DFHREST の問題を修正し、DFHREST が正しく定義され、DFHRPL 連結で指定されたライブラリーに含まれていることを確認してください。

ユーザー置換可能プログラムについての詳細は、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHXMTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *abcode*
3. *tasknum*
4. *TRANID*

宛先: コンソール

DFHXM0303 *applid* **A severe error (code** *X'code'* **) has occurred while initializing task number** *tasknum* **with transaction identifier** *tranid*. **Terminal** *termid* **has not been released. The task is suspended indefinitely.**

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* で初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。このタスクの基本機能は端末です。その端末にはメッセージが送られることはなく、CICS がこの端末を使用することもできません。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

タスクの端末基本機能は、CICS が取り消されるまで、CICS が使用することはできません。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXMTA で中絶状態になります。

ユーザーの処置: このタスクに関連した端末を解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード *X'code'* を書き留めてください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXMTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *tasknum*
4. *tranid*
5. *termid*

宛先: コンソール

DFHXM0304 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred while initializing task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*. Transient data queue *tdqueue* has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。このタスクの基本機能は一時データ・キューです。TD キューは、CICS が終了するまで、別のタスクを生成しません。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0304 で中断状態になります。

ユーザーの処置: このタスクに関連した TD キューを解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード *X'code'* を書き留めてください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHXM0304

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *tasknum*
4. *tranid*
5. *tdqueue*

宛先: コンソール

DFHXM0305 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred while initializing task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*. The interval control element has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。このタスクの基本機能はインターバル制御エレメントです。ICE に関連したすべての開始データは、検索されません。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0305 で中断状態になります。

ユーザーの処置: ICE を破棄する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。すべての開始データは、リカバリー不能でない限り、削除されるまで一時記憶域に残ります。リカバリー不能である場合は、次の CICS のコールド・リスタート、初期再始動、または緊急時再始動の際に消滅します。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード *X'code'* を書き留めてください。この問

題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXMTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *tasknum*
4. *trandid*

宛先: コンソール

DFHXM0306 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred while initializing task number *tasknum* with transaction identifier *trandid*. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *trandid* での初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。このタスクには、基本機能は設定されていません。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXMTA で中断状態になります。

ユーザーの処置: タスクを破棄する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード *X'code'* を書き留めてください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要

な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXMTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *tasknum*
4. *trandid*

宛先: コンソール

DFHXM0307 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred while terminating task number *tasknum* with transaction identifier *trandid*. The terminal *termid* has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *trandid* での終了が失敗しました。タスクを異常終了させたり、その端末基本機能へメッセージを送ることはできません。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

タスクの端末基本機能は、CICS が取り消されるまで、使用することはできません。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXMTA で中断状態になります。

ユーザーの処置: このタスクに関連した端末を解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード *X'code'* を書き留めてください。この問

題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXM0308

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *tasknum*
4. *tranid*
5. *termid*

宛先: コンソール

DFHXM0308 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred while terminating task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*. The transient data queue *tdqueue* has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での終了が失敗しました。タスクの異常終了はできません。このタスクの基本機能は一時データ・キューです。TD キューは、CICS が終了するまで、別のタスクを生成しません。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0308 で中断状態になります。

ユーザーの処置: このタスクに関連した一時データ・キューを解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード *X'code'* を書き留めてください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHXM0309

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *tasknum*
4. *tranid*
5. *tdqueue*

宛先: コンソール

DFHXM0309 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred while terminating task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*. The interval control element has not been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での終了が失敗しました。タスクの異常終了はできません。このタスクの基本機能はインターバル制御エレメントです。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずですが、トランザクション・マネージャーもダンプをとります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0309 で中断状態になります。

ユーザーの処置: このタスクに関連した ICE を破棄す

る必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。すべての開始データは、リカバリー不能でない限り、削除されるまで一時記憶域に残ります。リカバリー不能である場合は、次の CICS のコールド・リスタート、初期再始動、または緊急時再始動の際に消滅します。このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'*code*' を書き留めてください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXM0310

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*code*'
3. *tasknum*
4. *tranid*

宛先: コンソール

DFHXM0310 *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred while terminating task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*. If the task had a principal facility, it has been released. The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での終了が失敗しました。タスクの異常終了はできません。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが出たら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: If the task had a principal facility, it has been released. それが端末であった場合は、その端末は CICS により使用できるはずですが。

タスクは無期限に延期されます。エラーを検出したコンポーネントにより、最初の障害診断が作成されるはずです。トランザクション・マネージャーもダンプをとります。この問題の症状ストリングが含まれるメッセ

ージ DFHME0116 が生成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXM0310 で中断状態になります。

ユーザーの処置: このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'*code*' を書き留めてください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXM0311

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'*code*'
3. *tasknum*
4. *tranid*

宛先: コンソール

DFHXM0311 *applid* A severe error (code X'*code*') has occurred while initializing task number *tasknum* with transaction identifier *tranid*. This task is related to the scheduler resources that are not released. (Scheduler resources associated with the task have not been released.) The task is suspended indefinitely.

説明: 内部エラーのために、タスク番号 *tasknum* の、ID *tranid* での初期設定が失敗しました。

このタスクは実行することも、異常終了することもできません。このタスクの基本機能はスケジューラーです。スケジューラーは、CICS が終了するまで、別のタスクを開始しません。トランザクション・マネージャーは CICS を終了せずに実行を続けさせ、タスクを延期することにより整合性を保持します。

延期されたタスクは、CICS が終了するまで MXT スロットを保留にします。

タスクはリソースを保留しているかもしれないので (ロックや待機など)、できるだけ早く CICS を取り消してください。そうしないと、他のタスクも同じリソースへのアクセスを必要とするために、その実行が妨げられる危険があります。ダンプ・テーブル項目を追加して、このメッセージが生成されたら常に CICS が終了するようにすることもできます。

システムの処置: タスクは無期限に延期されます。エラーを最初に検出したコンポーネントにより、最初の障

害診断が作成されるはずですが。 トランザクション・マネージャーもダンプをとりまします。 この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

タスクは、リソース・タイプ FOREVER およびリソース名 DFHXMSTA で中断状態になります。

ユーザーの処置: このタスクに関連付けられたリソースを解放する必要がある場合は、CICS を取り消さなければなりません。 このタスクは終了しないので、CICS を休止させることはできません。 タスクの除去や強制除去はできません。

エラー・コード X'code' を書き留めてください。 この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

注: このメッセージが出された状況が原因で、このメッセージはコンソールに対してのみ出すことができます。 これを一時データ・キューに再経路指定することはできません。

モジュール: DFHXMSTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. X'code'
3. tasknum
4. tranid

宛先: コンソール

DFHXM0501 *applid* CICS cannot satisfy request for MXT. Value *mxtvalue* has been used instead.

説明: MXT に入力した値をシステムが処理することができません。 *mxtvalue* は、タスク・ストレージとして CICS が獲得できる最大値です。

この場合、必要なタスク・ストレージの大部分は CICS DSA から獲得されます。

システムの処置: システムは MXT 値 *mxtvalue* で稼働を継続します。

ユーザーの処置: MXT に入力した最初の値が正しく入力してあるかどうかを確認してください。 この値が間違っていて入力してある場合には、CEMT を使用して MXT 値を修正してください (値を大きくすることは、通常はできません)。 MXT には現在、ユーザー・タスクのみが含まれているので、以前のリリースと同じ大きさの値に設定する必要はないことを覚えておいてください。

この値 *mxtvalue* が受け入れ可能な場合には、処置は必要ありません。

この値が *mxtvalue* 小さすぎる場合には、CICS 以外のどのプログラムがこの領域内で実行されているのかを調べてください。 ストレージの制約を緩めるには、システムの DSALIM または EDSALIM を大きくして、CICS が独自に使用できるストレージを増やしてください。 初期設定時のストレージ割り振りについての詳細は、「CICS TS のインストール」を参照してください。

モジュール: DFHXMSTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid
2. mxtvalue

宛先: コンソール

DFHXM0502 *applid* A catalog failure has occurred while saving the MXT setting.

説明: 要求された MXT の設定を保管中に、カタログにエラーが発生しました。

システムの処置: 要求された MXT の変更要求は、通常どおり続行されます。

カタログに発生したエラーによっては、CICS のウォーム再始動または緊急再始動が試みられた場合に、重大な問題になることがあります。 その場合には、カタログ・ドメインにより、問題の概要を説明するメッセージが出されます。

あるいは、問題は MXT 値を含んでいるカタログ・レコードに限られ、ウォーム再始動または緊急再始動の際にリカバリーされないだけである可能性もあります。

ユーザーの処置: 即時に処置する必要はありません。 次に CICS を再始動する際に、SIT に指定された必要な MXT 値を適用して、コールド・スタートまたは初期始動を実行することを考慮してください。 コールド・スタートが適切でない場合は、MXT を SIT 指定変更値として追加して、必要な MXT 値を指定してください。

モジュール: DFHXMSTA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. applid

宛先: コンソール

DFHXM0503 *applid* CICS cannot support minimum MXT value of *minmxt*. CICS は終了します。

説明: 重大なストレージ不足により、CICS は最小 MXT 値 *minmxt* を満たせるだけのタスク・ストレージすら獲得することができません。

DFHXM0600 • DFHXM0602

CICS は、*minmxt* 個のユーザー・タスクがなければ、実用的な作業を実行することはできません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: これだけ小さな数のユーザー・タスクを CICS がサポートできないほどストレージが不足している理由を調査してください。

ストレージの制約を緩めるには、システムの DSALIM または EDSALIM を大きくして、CICS が独自に使用できるストレージを増やしてください。初期設定時のストレージ割り振りについての詳細は、「CICS TS のインストール」を参照してください。

モジュール: DFHXMSTR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *minmxt*

宛先: コンソール

DFHXM0600 *date time applid BUNDLE bundlename*
has successfully installed
TRANSACTION *trandef* as {*Enabled* |
Disabled}.

説明: CICS バンドル *bundlename* が TRANSACTION *transname* を正常にインストールしました。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *trandef*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 使用可能,
2= 使用不可

宛先: CSMT

DFHXM0601 *date time applid BUNDLE bundlename*
has failed to install TRANSACTION
trandef **because** {*the definition is invalid*
| *of an installation failure* | *an internal*
error occurred}.

説明: CICS バンドル *bundlename* が TRANSACTION

trandef をインストールできませんでした。このエラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、TRANSACTION は作成されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。以前のメッセージを確認してください。失敗の理由について、以下のような詳細情報をユーザーに提供する可能性があります。

定義が無効である

先行する DFHCAnnnn メッセージを調べます。例えば、必須属性が欠落している場合は DFHCA5529 が出力されます。

インストールの失敗

先行する DFHAMnnnn コンソール・メッセージを調べます。例えば、同じ名前の TRANSACTION がすでに存在している場合は DFHAM4950 が出力されます。

BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *trandef*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=定義が無効である,
2=インストール失敗,
3=内部エラーが発生した

宛先: CSMT

DFHXM0602 *date time applid Transaction name* was
not specified or is too long in
BUNDLE *bundlename*.

説明: リソース名が指定されなかったか、長すぎたため、CICS バンドル *bundlename* が TRANSACTION をインストールできませんでした。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可にされ、TRANSACTION は作成されません。

ユーザーの処置: バンドル・マニフェスト・ファイル内のトランザクション・リソースの名前を修正します。BUNDLE リソースを破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*

宛先: CSMT

DFHXM0603 I *date time applid* バンドルでインストールされた **TRANSACTION** *trandef* の *numICEs* スケジュール済みタスクが取り消されました。 (*numICEs scheduled tasks for Bundle installed TRANSACTION trandef have been cancelled.*)

説明: バンドルでインストールされた **TRANSACTION** *trandef* を使用不可にしています。このプロセスの一環として、トランザクションにスケジュールされているすべての作業がキャンセルされます。

システムの処置: トランザクションに関連付けられているインターバル制御エレメントがキャンセルされます。

ユーザーの処置: これが望ましい動作でない場合は、トランザクションを別のバンドルに再デプロイすることを考慮してください。

モジュール: DFHMXMD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *numICEs*
5. *trandef*

宛先: CSMT

DFHXM0604 *date time applid* **BUNDLE resource** *currentbundlename* **was unable to set the TRANSACTION trandef as an entry point because the resource is already defined as an entry point by BUNDLE bundlename.**

説明: CICS **BUNDLE** リソース *currentbundlename* がリソースをエントリー・ポイントとして定義できませんでした。そのリソースは **BUNDLE** *bundlename* によって既にエントリー・ポイントとして識別されているためです。

システムの処置: **BUNDLE** リソースは使用不可にさ

れ、エントリー・ポイントは更新されません。

ユーザーの処置: エントリー・ポイントを更新するには、**BUNDLE** リソース *bundlename* を使用不可にして、**BUNDLE** リソース *currentbundlename* を使用可能にします。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *currentbundlename*
5. *trandef*
6. *bundlename*

宛先: CSMT

DFHXM0605 *date time applid* **BUNDLE** リソース *bundlename* は、操作 *operationname* によって **TRANSACTION** *trandef* のアプリケーション・エントリー・ポイントを(使用可能 | 使用不可)にしました。

説明: CICS **BUNDLE** リソース *bundlename* は **TRANSACTION** *trandef* に対してアプリケーション・エントリー・ポイントを正常に使用可能または使用不可にしました。

アプリケーション・エントリー・ポイントが使用可能な場合、CICS は **TRANSACTION** に接続されているタスクにアプリケーション・コンテキストを設定します。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを使用不可にすると、そのエントリー・ポイントは、バンドルが使用不可になるまで **TRANSACTION** リソースに関連付けられたままになります。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=使用可能,
2=使用不可

6. *trandef*
7. *operationname*

宛先: CSMT

DFHXM0606 *date time applid* **BUNDLE resource**
bundlename **has** {*associated* | *disassociated*}
an application entry point for
operation *operationname* **with**
TRANSACTION *trandef*.

説明: CICS BUNDLE リソース *bundlename* はアプリケーション・エントリー・ポイントを TRANSACTION *trandef* と正常に関連付けたか、関連付けを解除しました。

TRANSACTION リソースに関連付けることができるアプリケーション・エントリー・ポイントは、常に 1 つのみです。アプリケーション・エントリー・ポイントを TRANSACTION リソースに関連付ける場合は CICS バンドルを使用可能にし、関連付けを解除する場合は使用不可にする必要があります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイントを TRANSACTION リソースに関連付けた後、バンドルを使用可能にしてアプリケーション操作に TRANSACTION リソースを設定できるようにします。または、アプリケーション・エントリー・ポイントと TRANSACTION リソースの関連付けを削除する場合は、バンドルを使用不可にします。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=関連付け,
2=関連付け解除

6. *operationname*
7. *trandef*

宛先: CSMT

DFHXM0607 *date time applid* **BUNDLE resource**
bundlename **unable to enable**
TRANSACTION *trandef* **as an entry**
point for operation *operationname*
because {*the TRANSACTION does not*
exist. | an internal error occurred. | the
TRANSACTION resource name is invalid.
| the TRANSACTION resource is already
defined as an application entry point.}

説明: CICS BUNDLE リソース *bundlename* は、操作 *operationname* のエントリー・ポイントとして TRANSACTION *trandef* を使用可能にすることができませんでした。このエラーの理由も示されています。

システムの処置: BUNDLE リソースは使用不可になります。

ユーザーの処置: 障害の原因を調査して訂正してください。バンドル・マニフェスト・ファイルの <modify> ステートメントを更新する必要がある場合は、BUNDLE を破棄して再インストールしてください。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. *trandef*
6. *operationname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=TRANSACTION が存在しない,
2=内部エラーが発生した,
3=TRANSACTION リソース名が無効である,
4=TRANSACTION リソースが既にアプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されている

宛先: CSMT

DFHXM0608 *date time applid userid* **the availability**
status of TRANSACTION *trandef* **has**
{i*been set to available* | *been set to*
unavailable | *reverted to none*} **following**
a change to an application entry point.

説明: これは、TRANSACTION *trandef* の可用性を示す監査ログ・メッセージです。可用性は、TRANSACTION リソースに関連付けられたアプリケーション・エントリー・ポイントによって変更される場合があります。

システムの処置: システムは正常に続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *trandef*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=使用可能に設定されました (*been set to available*),
 2=使用不可に設定されました (*been set to unavailable*),
 3=ない状態に戻りました (*reverted to none*)

宛先: CSMT

DFHXM0609 *date time applid BUNDLE resource*
bundlename has made {available |
unavailable} the application entry point
for TRANSACTION trandef with
operation operationname for application
applicationname, version
majorversion.minorversion.microversion on
platform platformname.

説明: CICS BUNDLE リソース *bundlename* は
 TRANSACTION *trandef* に対してアプリケーション・
 エントリー・ポイントを正常に使用可能または使用不可
 にしました。

アプリケーション・エントリー・ポイントが使用可能な
 場合、CICS は TRANSACTION に接続されているタス
 クにアプリケーション・コンテキストを設定します。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイ
 ントを使用不可にすると、そのエントリー・ポイン
 トは、バンドルが使用不可になるまで TRANSACTION
 リソースに関連付けられたままになります。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=使用可能,

2=使用不可

6. *trandef*
7. *operationname*
8. *applicationname*
9. *majorversion*
10. *minorversion*
11. *microversion*
12. *platformname*

宛先: CSMT

DFHXM0610 *date time applid BUNDLE* リソース
bundlename は、プラットフォーム
platformname のアプリケーション
applicationname、バージョン
*majorversion.minorversion.microversion*の操
 作 *operationname* のアプリケーション・エ
 ントリー・ポイントと **TRANSACTION**
trandef の(関連付け | 関連付け解除)を実
 行しました。(date time applid **BUNDLE**
resource *bundlename has {associated |*
disassociated} an application entry point
for operation *operationname of*
application *applicationname, version*
majorversion.minorversion.microversion on
platform *platformname with*
TRANSACTION *trandef.*)

説明: CICS BUNDLE リソース *bundlename* はアプリ
 ケーション・エントリー・ポイントを TRANSACTION
trandef と正常に関連付けたか、関連付けを解除しまし
 た。

TRANSACTION リソースに関連付けることができるア
 プリケーション・エントリー・ポイントは、常に 1 つ
 のみです。アプリケーション・エントリー・ポイントを
 TRANSACTION リソースに関連付ける場合は CICS バ
 ンドルを使用可能にし、関連付けを解除する場合は使用
 不可にする必要があります。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリー・ポイ
 ントを TRANSACTION リソースに関連付けた後、バ
 ンドルを使用可能にしてアプリケーション操作に
 TRANSACTION リソースを設定できるようにします。
 または、アプリケーション・エントリー・ポイントと
 TRANSACTIONリソースの関連付けを削除する場合
 は、バンドルを使用不可にします。

モジュール: DFHXMRL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHXM0611 • DFHXM0612

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *bundlename*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=関連付け,
2=関連付け解除

6. *operationname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. *trandef*

宛先: CSMT

DFHXM0611 *date time applid userid tranid An*
application entry point for operation
operationname of application
applicationname, version
majorversion.minorversion.microversion, on
platform platformname has been set
disabled and unavailable because
TRANSACTION trandef has been
{replaced | deleted}.

説明: プラットフォーム *platformname* 上のアプリケーション *applicationname* バージョン

majorversion.minorversion.microversion の *operationname* のアプリケーション・エン트리・ポイントが無効にされ、使用不可になりました。このアプリケーションがトランザクション・エン트리・ポイントとして採用していた共通 TRANSACTION *trandef* が削除または置換されているためです。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エン트리・ポイントを再び使用可能にするには、トランザクションが削除されていた場合はまずそれを再インストールしてから、バンドルを有効にしてアプリケーション・エン트리・ポイントを使用可能に設定します。

モジュール: DFHXMDD、DFHXMxD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *userid*
5. *tranid*
6. *operationname*
7. *applicationname*
8. *majorversion*
9. *minorversion*
10. *microversion*
11. *platformname*
12. *trandef*
13. 以下のオプションから選択される値。

1=置換されました,
2=削除されました

宛先: CSMT

DFHXM0612 *date time applid userid tranid An*
application entry point for operation
operationname has been set disabled
and unavailable because
TRANSACTION trandef has been
{replaced | deleted}.

説明: *operationname* のアプリケーション・エントリ・ポイントが無効に設定され、使用不可になりました。これは、アプリケーションがトランザクションのエントリ・ポイントとして採用した共通の TRANSACTION *trandef* が削除されたか、置換されたことが原因です。

システムの処置: CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・エントリ・ポイントを再び使用可能にするには、トランザクションが削除されていた場合はまずそれを再インストールしてから、バンドルを有効にしてアプリケーション・エントリ・ポイントを使用可能に設定します。

モジュール: DFHXMDD、DFHXMxD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *operationname*
7. *trandef*
8. 以下のオプションから選択される値。

1= 置換されました

2= 削除されました

宛先: CSMT

DFHXOnnnn メッセージ

DFHXO6700 OPTION STARTING xxx HAS ILLEGAL SYNTAX.

説明: オプション xxx の構文が正しくありません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6702 JOB STEP IS NOT APF-AUTHORIZED.

説明: CICS 初期設定の一部は、APF 許可状態で行う必要があります。カーネルは、DFHSIP に APF 許可が与えられていないことを検出しました。

システムの処置: 制御プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブ・ステップに APF 許可が与えられていることを確認してください。STEPLIB 連結に含まれるすべてのライブラリーは APF 許可が与えられていなければなりません。また、DFHSIP を許可コード 1 でリンク・エディットする必要があります。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6703 UNABLE TO SET UP AUTHORIZED FACILITY.

説明: 制御プログラムが必要とする許可済み機能を初期設定するためのストレージが足りません。

システムの処置: 制御プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: REGION パラメーターが十分な大きさを持つようにしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6704 UNABLE TO OPEN DFHLIB.

説明: バッチ・ジョブ・ストリームに DFHLIB の DD ステートメント (ddname) が欠落していました。

システムの処置: 制御プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: JCL を訂正する。

モジュール: DFHWOS

宛先: コンソール

DFHXO6705 xxx OPTION IS MISSING.

説明: オプション xxx を省略することはできません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6706 CYTIM OPTION MUST BE IN RANGE 20 TO 32767.

説明: CYTIM オプションは、20 から 32767 の範囲になければなりません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6707 VALUE OF xxx OPTION IS LONGER THAN 5 DIGITS.

説明: 与えられた数値オプションの値は、5 桁を超えてはなりません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6708 VALUE OF xxx OPTION IS NON-NUMERIC.

説明: オプション xxx の値は数字でなければなりません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析

DFHXO6709 • DFHXQ0102I

の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6709 VALUE OF *xxx* OPTION IS LONGER THAN 8 CHARACTERS.

説明: オプション *xxx* の値は 8 文字以下でなければなりません。

システムの処置: 制御プログラムは、パラメーター分析の完了後、異常終了します。

ユーザーの処置: エラーを訂正して、制御プログラムを再サブミットしてください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6712 *xxx* IS AN INVALID OPTION KEYWORD.

説明: 指定されたキーワード *xxx* は無効なオプションです。

システムの処置: オプション *xxx* は無視されます。

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

モジュール: DFHWOSA

宛先: コンソール

DFHXO6720 CICS XRF 制御プログラムが、サブシステム・インターフェース要求に対する無効な応答を受け取りました。(THE CICS XRF OVERSEER HAS RECEIVED AN INVALID RESPONSE TO A SUBSYSTEM INTERFACE REQUEST.)

説明: 制御サービスは、ジョブ状況の MVS サブシステム・インターフェース要求に対して、矛盾する応答を受け取りました。応答はストレージ不足を示しています

が、示されている必要量を超えるストレージが提供されています。

システムの処置: ダンプが取られ、制御ジョブは MVS ユーザー異常終了コード 224 で異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHWOSB

宛先: コンソール

DFHXO6721 CICS XRF 制御プログラムが、サブシステム・インターフェース要求のストレージを取得できませんでした。(THE CICS XRF OVERSEER HAS BEEN UNABLE TO GET STORAGE FOR A SUBSYSTEM INTERFACE REQUEST.)

説明: XRF 制御アプリケーション・プログラムが DFHWOSM FUNC=JJC、JJS、または QJJS マクロを発行しました。制御サービス・プログラムによって発行された MVS サブシステム・インターフェース要求が、この要求の処理中に失敗しました。応答は、応答域が小さすぎることを示しています。より大きい応答域を取得するための MVS GETMAIN 要求は満たされていません。

システムの処置: DFHWOSM マクロで指定された 256 バイトのサブシステム・オプション・ブロック (SSOB) 戻り域に、ステータス配列が小さすぎる (SSOBRETN=SSCSMALL) ことを示す SSOB が格納されて、呼び出し側に返されます。

ユーザーの処置: 関係する領域は小さいため、この状態は通常は発生しません。この状態が続く場合、またはこの状態によって制御アプリケーションの有効性が妨げられる場合は、制御ジョブをキャンセルし、ダンプを使用してストレージ不足の原因を調査する必要があります。

モジュール: DFHWOSB

宛先: コンソール

DFHXQnnnn メッセージ

DFHXQ0101I 共用 TS キュー・サーバーの初期化が進行中です。(Shared TS queue server initialization is in progress.)

説明: キュー・サーバー・プログラムが実行を開始しました。

システムの処置: 初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0102I プール *poolname* の共用 TS キュー・サーバーがアクティブになりました。(Shared TS queue server for pool

poolname is now active.)

説明: 指定されたプールのキュー・サーバーが初期化を完了し、接続を受け入れられる状態になりました。

システムの処置: サーバーは接続要求またはオペレーター・コマンドを待機します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0103 The pool name parameter is missing.

説明: 共用 TS キュー・サーバーが初期化を完了するためにはキュー・プールの名前が必要ですが、SYSIN または PARM フィールド・パラメーターにプール名が指定されていませんでした。

システムの処置: キュー・サーバーは終了します。

ユーザーの処置: キュー・サーバーの JCL の SYSIN パラメーターまたは PARM フィールドのいずれかに、パラメーター POOLNAME=name が指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHXQMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0104 プログラム DFHXQMN に APF 許可がないため、共用 TS キュー・サーバーの初期化に失敗しました。(Shared TS queue server initialization failed because program DFHXQMN is not APF authorized.)

説明: キュー・サーバーのメインプログラム DFHXQMN は APF 許可を持たずに実行されているため、初期化を完了できません。

システムの処置: キュー・サーバーは終了します。

ユーザーの処置: キュー・サーバー・プログラム DFHXQMN が APF 許可ライブラリーからロードされ、オプション AC(1) を使用してリンク・エディットされていることを確認してください。

モジュール: DFHXQMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0105 プログラム DFHXQMN を使用するライセンスがないため、共用 TS キュー・サーバーの初期化に失敗しました。(Shared TS queue server initialization failed because program DFHXQMN is not licensed for use.)

説明: キュー・サーバーのメインプログラム DFHXQMN は、ライセンスの妥当性検査に失敗したため、初期化を完了できません。

システムの処置: キュー・サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 必要なライセンス交付データ・セットを STEPLIB DD ステートメントに追加して、キュー・サーバー・プログラム DFHXQMN にライセンスを交付し、使用可能にしてください。

モジュール: DFHXQVL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0111I プール *poolname* の共用 TS キュー・サーバーは終了します。(Shared TS queue server for pool *poolname* is terminating.)

説明: キュー・サーバーは終了処理を開始したため、以降の要求は処理されません。

システムの処置: 終了処理が続けられる。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0112I Shared TS queue server has terminated, return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: キュー・サーバーが終了処理を完了しました。終了の原因がエラーである場合、戻りコードはゼロ以外になり、理由コードは通常、終了の理由を説明する先行の DFHXQnnnn メッセージの番号になります。

システムの処置: ジョブ・ステップを終了するために、キュー・サーバー・プログラムが制御を (AXM 終了ルーチンを介して) MVS に戻します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0113 Shared TS queue server completion code is *cmpcode*, reason code *rsncode*.

説明: キュー・サーバーが異常終了 (ABEND) 要求を代行受信した後に終了しました。完了コードがシステム完了コードである場合は、3 桁の 16 進数字として示され、それ以外の場合は、ユーザー完了コードを表す 4 桁の 10 進数字として示されます。

システムの処置: ジョブ・ステップを終了するために、キュー・サーバー・プログラムが制御を (AXM 終了ル

ーチンを介して) MVS に戻します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQMN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0121I &SYSCONE がシスプレックス内で固有でない可能性があるため、自動リスタートのサポートは使用できません。

(Automatic restart support is not available because &SYSCONE may not be unique within the sysplex.)

説明: サーバーが、MVS システムを識別するために 1 文字または 2 文字の &SYSCONE 値を使用して、自動リスタートの登録で使用するデフォルト ARM エlement ID を生成しようとしていました。通常、MVS は、始動時に、&SYSCONE がシスプレックス内で固有であるかを検証します。ただし、サーバーが稼働しているレベルの MVS では、この確認がオプションとなっていて実行されていないため、サーバーは固有の Element ID を生成できません。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 通常、固有の &SYSCONE 値を強制しない MVS のレベルでサーバーを実行してはなりません。ただし、サーバー ARMELEMENT パラメーターで明示的に ARM Element 名を指定することで、この問題を回避できます。

モジュール: DFHXQRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0122 IXCARM REQUEST=reqtype が失敗しました。戻りコード retcode、理由コード rsncode。

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) に対する要求で、予期しない戻りコードが返されました。戻りコードおよび理由コードは、16 進表記で示されています。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXCARM マクロを参照してください。

モジュール: DFHXQRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0123 IXCARM REQUEST=reqtype が失敗しました。戻りコード retcode、理由コード rsncode。

説明: 自動リスタートのサポートは使用できません。MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) が戻りコードおよび理由コードを返し、ARM サービスが使用可能でないことが示されました。ただし、理由は意図的または不可避である可能性があるため、サーバーは、自動リスタート・サポートなしで実行し続けることが許可されます。戻りコードおよび理由コードは、16 進表記で示されています。

システムの処置: サーバーは、自動リスタート・サポートなしで初期設定を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) で IXCARM マクロを参照してください。

モジュール: DFHXQRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0201I type の parameters を処理中 (Processing type parameters)

説明: キュー・サーバーのパラメーター処理ルーチンは、指定されたパラメーター・ストリングを解釈しています。最初のワードはパラメーターのタイプ (SYSIN/PARM/SET/DISPLAY/PRINT) を示しており、残りは、指定されたパラメーターであり、オプションでその後に 1 つ以上のスペースの後に説明コメント・テキストが続きます。パラメーターがアスタリスクまたはスペースで始まる場合、行全体が説明コメントと見なされます。

システムの処置: 指定されたすべてのパラメーターが処理されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQPR

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0202 Unknown parameter keyword: keyword

説明: このパラメーター・キーワードが、キュー・サーバーに定義されているパラメーター・キーワードのいずれにも一致しませんでした。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター・キーワードを訂正し (または誤ったパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0203 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be a name of up to *maxlength* characters.

説明: このパラメーターの値は、示されている文字数を超えない名前として指定されている必要があります。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーター・キーワードを訂正し (または誤ったパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0204 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be a decimal number.

説明: このキュー・サーバー・パラメーターの値は、10 進数として指定されている必要がありますが、値の形式が有効ではありませんでした。(数値パラメーターには、オプションとして、1024 の該当する累乗を示すために文字 K、M、G、または T を続けることができます)。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターの値を修正し (または不正なパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0205 Value *value* for parameter *keyword* is greater than the maximum allowed value *maximum*.

説明: このキュー・サーバー・パラメーターの値が、最大許容値 *maximum* を超えていました。接尾部「K」、

「M」、 「G」または「T」を使用して最大許容値より大きい値を指定できる場合でも、10 進値の数値の部分が符号なし 32 ビットの整数の最大値 (4294967295) を超えていると、このメッセージが出されます。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターの値を修正し (または不正なパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0206 Value *value* for parameter *keyword* is less than the minimum allowed value *minimum*.

説明: このキュー・サーバー・パラメーターの値が、最小許容値 *minimum* を下回っていました。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターの値を修正し (または不正なパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0207 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. hh:mm:ss または hh:mm 形式の時間、あるいは秒数を指定する必要があります。(It should be a time hh:mm:ss or hh:mm or a number of seconds.)

説明: このキュー・サーバー・パラメーターの値が、時間間隔の正しい構文に従っていませんでした。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターの値を修正し (または不正なパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

DFHXQ0208 • DFHXQ0213

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0208 Parameter keyword *keyword* is not supported for *command*.

説明: キュー・サーバーのパラメーター・キーワードが、そのパラメーター・キーワードが有効ではないコンテキストで指定されました。これは通常、初期設定時のみ指定できるパラメーターを SET で動的に設定しようと試みたことを示します。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターの値を修正し (または不正なパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0209 Parameter text contains invalid character: *text*

説明: キュー・サーバーのパラメーター処理ルーチンで、パラメーターの処理を試行中に予期しないテキストが検出されました。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し (または誤ったパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0210 Parameter keyword *keyword* should not have a value for *command*.

説明: その形式が予期されていないコンテキスト (例えば DISPLAY コマンド) において、キュー・サーバーのパラメーター・キーワードが *keyword=value* 形式で指定されました。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメータ

ー処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: 表示されるパラメーターの値を指定せずにコマンドを再入力してください。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0211I Parameter value: *keyword=value*

説明: このメッセージは、DISPLAY または PRINT コマンドに対する応答として、キュー・サーバーのパラメーター設定の現行値を示すために発行されます。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0212 Value *value* for parameter *keyword* is incorrect. It must be one of *validlist*.

説明: このキュー・サーバー・パラメーターの値が認識されませんでした。示されている値リストのいずれかとして指定する必要があります。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメーター処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: パラメーターの値を修正し (または不正なパラメーターを削除し)、コマンドを再入力するか、サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0213 Value for parameter *keyword* is missing. The correct form is *keyword=value*.

説明: キュー・サーバー SET コマンドあるいは SYSIN または PARM パラメーター・ストリング内にパラメーター値が関連付けられていないパラメーター・キーワードが指定されました。パラメーター・キーワードとその対象の値の間に入れられる文字は、等号のみです。また、スペースを含めてはならない点に注意してください。

システムの処置: パラメーターの現在の行の処理は終了します。SYSIN または PARM フィールドで指定されている初期設定パラメーターには、初期設定パラメータ

ー処理の完了時にサーバーを終了する戻りコードが設定されています。

ユーザーの処置: 正しい keyword=value の形式でパラメーターの指定を再入力してください。

モジュール: DFHXQPR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0301I *console operator consname* が
次のコマンドを発行しました: *command*
(**Console operator consname issued**
command: command)

説明: キュー・サーバー・オペレーター・コマンドが、MVS MODIFY または STOP コマンドを介して発行されました。このメッセージには、コマンドを発行するために使用されたコンソール名 (または TSO ユーザー ID) と、コマンドのテキストが示されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQOP

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0302I *command command ignored because*
no valid parameters were given.

説明: 構文的には有効ですが、有効なパラメーターが指定されていないキュー・サーバー・コマンドが発行されました。このコマンドは何も行いませんでした。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドが正しく入力されたことを確認してください。

モジュール: DFHXQOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0303I *command command has been*
processed.

説明: キュー・サーバー・コマンドが正常に処理されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0304I **STOP command is waiting for**
connections to be closed. Number of
active connections = connections.

説明: キュー・サーバー STOP コマンドが (MVS STOP コマンド、またはテキスト STOP を指定した MVS MODIFY コマンドを介して) 発行されましたが、サーバーへのアクティブな接続が存在するため、STOP コマンドはまだ適用されていません。

システムの処置: サーバーはこれ以上の新しい接続の確立を拒否しますが、既存の接続に対する要求の処理は続行します。アクティブな接続が存在しなくなるまで、接続が終了されるたびに、このメッセージが繰り返されます。

ユーザーの処置: まだアクティブな接続についての詳細情報は、DISPLAY CONNECTIONS コマンドを使用して取得できます。

接続の終了を待機せずにサーバーをシャットダウンする必要がある場合は、キュー・サーバー CANCEL コマンドを発行します。これにより、すべてのアクティブな接続が即時終了され、このサーバーに対する以降の要求には、いずれも SYSIDERR が示されることに注意してください。(MVS CANCEL コマンドを使用することもできますが、その場合、システムが通常の終了統計およびレポートを作成できなくなるため、使用しないことが望ましいです)。

なお、サーバーの接続または切断処理の進行中に CICS 領域が異常終了した場合、または (例えば、FORCE コマンドを使用して) タスクの最後の処理を完了せずに終了した場合、接続が終了したことがサーバーに通知されない可能性がわずかにあります。その場合、サーバーをサーバー STOP コマンドで終了することは不可能になり、サーバー CANCEL コマンドが、サーバーを終了する唯一の方法になります。

モジュール: DFHXQOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0305I **STOP command has been processed.**

説明: キュー・サーバー STOP コマンドの処理が正常に完了しました。これは、アクティブな接続が存在しなくなり、サーバーを終了できる状態になったことを意味します。

システムの処置: キュー・サーバーが終了処理を開始します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0306 共用 TS キュー・サーバーがサポートしていないコマンドです: *command* (**Shared TS queue server does not support this command: *command***)

説明: オペレーター・コマンドは、MVS MODIFY コマンドを使用してキュー・サーバーにアドレス指定されましたが、MODIFY テキストの最初のワードは認識されているキュー・サーバー・コマンド (SET、DISPLAY、PRINT、STOP または CANCEL) ではありません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHXQOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0307I **CANCEL *parm* command has been processed. Number of active connections = *connections*.**

説明: キュー・サーバー CANCEL コマンドが、オペレーター・コンソールから、またはサーバー・エラーに対する応答としてキュー・サーバーによって内部で発行されました。このメッセージには、コマンドで指定された再始動パラメーター、およびこのコマンドによって影響される可能性があるアクティブ接続の数が含まれています。

システムの処置: キュー・サーバーは、接続が閉じられるまで待機せずに、即時に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0309 **Parameter *parm* on CANCEL command is incorrect. The only valid parameters are RESTART=YES or RESTART=NO.**

説明: キュー・サーバー CANCEL コマンドが発行されましたが、指定されたパラメーターが有効なパラメーター・キーワードと一致していません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHXQOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0310 **Parameter *parm* on STOP command is incorrect. No parameters should be specified.**

説明: キュー・サーバー STOP コマンドがパラメーターを指定して発行されましたが、いずれのパラメーターも STOP コマンドでサポートされていません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: コマンドを訂正して、再入力してください。

モジュール: DFHXQOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0351I 接続: ジョブ *jobname* アプリケーション *applid* アイドル *idletime* (**Connection: Job *jobname* Appl *applid* Idle *idletime***)

説明: このメッセージは、コマンド DISPLAY CONNECTIONS または PRINT CONNECTIONS への応答として、単一の接続について説明しています。この情報には、ジョブ名、特定の APPLID、および当該接続を使用した最後のキュー要求または照会呼び出し以降の経過時間 (時、分、秒) が示されます。

システムの処置: このメッセージはアクティブな接続ごとに発行され、その後に、アクティブな接続の合計数を示すメッセージ DFHXQ0352I が発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0352I キュー・プール *poolname* のアクティブな接続の合計数: *connections*. (**Queue pool *poolname* total active connections: *connections*.**)

説明: このメッセージは、サーバー・コマンド DISPLAY CONNECTIONS または PRINT CONNECTIONS への応答として、キュー・プール・サーバーへのアクティブな接続の合計数を示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0401I Connected to CF structure *strname*.

説明: キュー・サーバーは、IXLCONN マクロを使用して、キュー・プールのカップリング・ファシリティ・リスト構造への接続を正常に確立しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0402I CF structure *strname* was allocated by this connection.

説明: このリスト構造は、以前は存在していませんでしたが、接続プロセスの一環として割り振られました。

システムの処置: 必要に応じて、リスト構造の初期設定が実行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0403 Connection to CF structure *strname* failed, IXLCONN return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: キュー・サーバーをカップリング・ファシリティ・リスト構造に接続するための IXLCONN マクロが失敗しました。

システムの処置: キュー・サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードと理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028)に記載されている IXLCONN マクロを参照してください。理由コードが、構造割り振り失敗を示す xxxx0C08 形式になっている場合、このメッセージの後に続いて、割り振りが試行された CF ごとのファシリティ理由コードを示すメッセージ DFHXQ0409 が出されます。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0404 CF structure *strname* cannot be used because it has been allocated with attribute *attribute*.

説明: キュー・サーバーはリスト構造に正常に接続しましたが、構造の割り振りに、キュー・サーバーではサポートしていない IXLCONN 構造属性キーワードが使用されていることを検出しました。

システムの処置: キュー・サーバーは終了します。

ユーザーの処置: これはおそらく、キュー・サーバー以外のプログラムによって構造が割り振られたか、変更されたことを意味します。その場合、キュー・サーバーの再始動時に構造が正しく再割り振りされるように、(例えば、SETXCF FORCE コマンドを使用して) 不正な構造を削除してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0405 CF structure *strname* element size *elemsize* is incorrect. It should be a power of 2 in the range 256 to 4096.

説明: キュー・サーバーのリスト構造エレメントのサイズ (ELEMsize 初期設定パラメーターを使用して指定されます) が 2 の累乗ではないか、リスト構造ハードウェアでサポートされるサイズの範囲外です。

システムの処置: キュー・サーバーは終了します (リスト構造への接続試行は行いません)。

ユーザーの処置: ELEMsize パラメーターを修正してから、キュー・サーバーを再始動してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0406 CF 構造 *strname* の初期設定が、応答 *response* で失敗しました。(Initialization failed for CF structure *strname* with response *response*.)

説明: リスト構造の初期化を処理中のキュー・サーバーが、異常な内部応答コードで失敗しました。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 応答コードが 8 (入出力エラー) の場合、IXLLIST マクロが異常な応答コードを返したことを意味します。その場合、このメッセージに先行して、IXLLIST 戻りコードと理由コードを示す DFHXQ0441 メッセージが発行されます。応答コードがこれ以外の値になっている場合は、リスト構造が正常な状態ではないことを示します。これはおそらく、リスト構造がキュー・サーバー以外のプログラムによって割り振られたか、変更されていることを意味します。その場合は、サーバーの再始動時に構造が正しく再割り振りされるように、(SETXCF FORCE を使用して) 構造を削除する必要があります。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0407 CF structure *strname* is not available for shared use.

説明: 現在、キュー・プールは、他のジョブ (キュー・プール・アンロード・ジョブや再ロード・ジョブなど) で排他的に使用するためにロックされています。(この逐次化では、大分類名 SYSZDFH、小分類名 DFHXQLS_poolname のスコープ SYSTEMS を設定した MVS ENQ が使用されます)。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: キュー・プールの保守ジョブが現在実行されているかどうかを調べます。実行されている場合は、終了するまで待機してから、サーバーの始動を再度試行してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0408 CF structure *strname* is not available for exclusive use.

説明: 現行のジョブ (アンロードまたは再ロード) はキュー・プールを排他的に使用する必要がありますが、別の実行中のジョブがすでにプールを共用しているか、排他的に使用しています。(この逐次化では、大分類名 SYSZDFH、小分類名 DFHXQLS_poolname のスコープ SYSTEMS を設定した MVS ENQ が使用されます)。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: キュー・プール・サーバーまたは保守ジョブが現在実行されているかどうかを調べます。実行されている場合は、終了するまで待機してから、現行ジョブの実行を再度試行してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0409 CF 構造 *strname* をファシリティー *cfname* に割り振ることができませんでした。理由コード *rsncode*。(CF structure *strname* could not be allocated in facility *cfname*, reason code *rsncode*.)

説明: 先行するメッセージ DFHXQ0403 に、構造を割り振れなかったことによる IXLCONN 障害が示されていた場合、このメッセージは割り振りが試行された CF ごとに発行され、割り振りが失敗した理由を示すファシリティー理由コードが示されます。理由コードがサーバーに既知のものである場合は、理由コードの (ConaRsn 接頭部なしの) 名前が示されます。そうでない場合は、理由コードの 10 進数 が示されます。

応答に InvalidStructureSize が示されている場合、(サ

ーバー POOLSIZE パラメーターまたは CFRM ポリシーの INITSIZE パラメーターで指定される) 初期リスト構造サイズが、必要な構造制御情報を格納するのに十分な大きさでないことを意味します。制御情報のサイズは、リスト・ヘッダーの数 (サーバー MAXQUEUES パラメーターによって決まります) と構造の最大サイズ (CFRM ポリシー内で指定されます) によって影響されます。

システムの処置: キュー・サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 接続応答域をマップする MVS マクロ IXLXCONA で、理由コードの説明を参照してください。

応答が InvalidStructureSize の場合は、サーバー POOLSIZE パラメーターまたは CFRM ポリシーの INITSIZE パラメーターで指定される初期構造サイズを増やし、構造制御情報に加え、他のデータにも十分なスペースが確保されるようにしてください。また、サーバー MAXQUEUES パラメーターと、CFRM ポリシー内で指定されている構造の最大サイズが不必要に大きくないかを確認してください。一時ストレージ・キューのプール・サイズを見積もる方法について詳しくは、「構成」を参照してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0410 CF 構造 *strname* を使用できません。カップリング・ファシリティーの保守レベルが低すぎます。(CF structure *strname* cannot be used, coupling facility maintenance level is too low.)

説明: 割り振られたリスト構造に対して初期化テスト・ルーチンが実行されましたが、誤った結果が出されました。これは、カップリング・ファシリティー制御コードに、共用一時ストレージをサポートするために必要なすべての保守が含まれていないことを示します。

システムの処置: キュー・サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 必要なレベルのカップリング・ファシリティー保守が適用されていることを確認してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0411I 現在、CF 構造 *strname* の *percentage%* のエントリーが使用中です。(CF structure *strname* now has *percentage%* of entries in use.)

説明: このメッセージは、リスト構造内で使用中のリス

ト・エントリーのパーセンテージが設定済みの特定のしきい値レベルを上回って増加した場合、またはそのパーセンテージが高いレベルになった後、しきい値レベルを下回って減少した場合にキュー・サーバーによって発行されます。また、構造のサイズまたはエントリー対エレメントの比率の変更によるパーセンテージへの影響を示すために、ALTER 要求が完了した直後にもこのメッセージが発行されます。

システムの処置: 警告しきい値は、使用量が増加しているのか減少しているのかに応じて、次のレベルに引き上げられる (通常、95 % 未満の場合は 5 %、それ以外の場合は 1 % 引き上げられる) か、以前の低いレベルに引き下げられます。構造の使用率が増加していて、構造のエレメント対エントリー率が使用可能なスペースをフル活用していない場合、サーバーは、比率を調整するために自動 IXLALTER 要求を発行することがあります。

ユーザーの処置: 構造がすぐにいっぱいになって、キューを作成できなくなる可能性があることに注意してください。最大サイズを下回る構造が割り振られていて、カップリング・ファシリティに十分なフリー・スペースがある場合、START,ALTER オプションを指定した MVS SETXCF コマンドを使用して、構造のサイズを動的に変更できます。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0412I 現在、CF 構造 *strname* の *percentage%* のエレメントが使用中です。(CF **structure *strname* now has *percentage%* of elements in use.**)

説明: このメッセージは、リスト構造内で使用中のリスト・データ・エレメントのパーセンテージが設定済みの特定のしきい値レベルを上回って増加した場合、またはそのパーセンテージが高いレベルになった後、しきい値レベルを下回って減少した場合にキュー・サーバーによって発行されます。また、構造のサイズまたはエントリー対エレメントの比率の変更によるパーセンテージへの影響を示すために、ALTER 要求が完了した直後にもこのメッセージが発行されます。

システムの処置: 警告しきい値は、使用量が増加しているのか減少しているのかに応じて、次のレベルに引き上げられる (通常、95 % 未満の場合は 5 %、それ以外の場合は 1 % 引き上げられる) か、以前の低いレベルに引き下げられます。構造の使用率が増加していて、構造のエレメント対エントリー率が使用可能なスペースをフル活用していない場合、サーバーは、比率を調整するために自動 IXLALTER 要求を発行することがあります。

ユーザーの処置: 構造がすぐにいっぱいになって、キューを作成できなくなる可能性があることに注意してくだ

さい。最大サイズを下回る構造が割り振られていて、カップリング・ファシリティに十分なフリー・スペースがある場合、START,ALTER オプションを指定した MVS SETXCF コマンドを使用して、構造のサイズを動的に変更できます。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0413I Starting ALTER to adjust CF **structure *strname* entry/element ratio to *entries/elements*.**

説明: キュー・サーバーは、フリー・エントリー対フリー・エレメントの比率が、実際に使用されているエントリー対エレメントの比率と著しく異なると判断しました。IXLALTER マクロを発行して、カップリング・ファシリティ・ストレージの使用効率を改善するために、比率を調整するようにカップリング・ファシリティに要求します。

システムの処置: サーバーは IXLALTER マクロを発行して続行します。ALTER 要求が MVS で受け入れられるか拒否された時点で、追加のメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0414I ALTER started for CF structure ***strname*.**

説明: キュー・サーバーが、リスト構造のエントリー対エレメントの比率を変更するための ALTER 要求を正常に開始しました。

システムの処置: ALTER 要求が完了すると、MVS によってキュー・サーバー・イベント終了が通知された後、追加のメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0415I CF 構造 *strname* に対する ALTER が拒否されました。ALTER は既にアクティブです。(ALTER rejected for CF **structure *strname*, ALTER already active.**)

説明: キュー・サーバーが、リスト構造のエントリー対エレメントの比率を変更するための ALTER 要求を開始しようとしたが、別の ALTER が既にアクティブに

なっているため、システムによって要求が拒否されました。

システムの処置: ALTER 要求が完了すると、MVS によってキュー・サーバー・イベント終了が通知された後、追加のメッセージが発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0416 ALTER request failed for CF structure
strname, IXLALTER return code *retcode*,
reason code *rsncode*.

説明: キュー・サーバーが、リスト構造のエントリー対エレメントの比率を変更するための ALTER 要求を開始しようとしたましたが、システムによって要求が拒否され、予期しない戻りコードが返されました。

システムの処置: 現行の ALTER 試行は中止されます。最小変更間隔が経過した後に、別の試行を行うことができます。

ユーザーの処置: 戻りコードと理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) に記載されている IXLALTER マクロを参照してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0417I ALTER completed normally for CF structure *strname*.

説明: キュー・サーバーは、ALTER 要求が正常に完了したことをシステムによって通知されました。

システムの処置: 構造のサイズ、エレメント数、およびエントリー数の新しい値が保管されます。このメッセージの後に、新しい使用率を示す DFHXQ0411 および DFHXQ0412 メッセージが続きます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0418I CF 構造 *strname* に対する ALTER が
状況 *status* で異常終了しました。
(ALTER ended abnormally for CF
structure *strname* with status *status*.)

説明: キュー・サーバーは、ALTER 要求が異常終了したことをシステムによって通知されました。このメッセージに示される状況情報の 2 バイトは、(IXLYEEPL マ

クロ内に定義されている) イベント終了パラメーター・リストの EEPLALTERENDSTATEFLAGS から取得されます。

システムの処置: この通知の結果として取られるアクションはありませんが、ALTER の失敗の原因となった問題により、関連する別の問題が発生する可能性があります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0419I ALTER ended normally for CF structure *strname* but target was not attained.

説明: キュー・サーバーは、ALTER 要求は正常に終了したが、ターゲット比率またはターゲット・サイズは達成されなかったことをシステムによって通知されました。

システムの処置: 構造のサイズ、エレメント数、およびエントリー数の新しい値が保管されます。このメッセージの後に、新しい使用率を示す DFHXQ0411 および DFHXQ0412 メッセージが続きます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0424 Connectivity has been lost to CF structure *strname*. The shared TS queue server cannot continue.

説明: キュー・サーバーは、キュー・サーバーのリスト構造への接続が失われたことをシステムによって通知されました。

システムの処置: サーバーは、内部 CANCEL コマンドを発行して即時に終了します。

ユーザーの処置: 現行システムからサーバーへの接続が再確立されたら、サーバーを再始動してください。他のシステムからの接続がまだ有効であれば、影響を受けたキュー・プールにアクセスする必要がある CICS トランザクションは、可能な場合は、それらのシステムに方向転換されます。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0425 CF structure *strname* has failed. The shared TS queue server cannot continue.

説明: キュー・サーバーは、カップリング・ファシリティの障害により、キュー・サーバーのリスト構造への接続が失われたことをシステムによって通知されました。キュー・プール内のすべてのデータが失われました。

システムの処置: 影響を受けたプールの各キュー・サーバーは、自身を即時に終了するために、内部 CANCEL コマンドを発行します。

ユーザーの処置: 別のカップリング・ファシリティが使用可能で、障害が発生した構造用の CFRM 設定リストにそのカップリング・ファシリティが含まれている場合、障害が発生した構造を削除してからサーバーを再始動し、リスト構造の新しいコピーが代替カップリング・ファシリティに割り振られるようにしてください。使用可能な別のカップリング・ファシリティがない場合は、元のカップリング・ファシリティが再び使用可能になるまで待機してから、サーバーを再始動します。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHXQ0431I CF 構造 *strname* のアクセス統計:
(Access statistics for CF structure *strname*)**

説明: このメッセージには、カップリング・ファシリティのアクセス統計情報の要約が示されます。このメッセージは、CFSTATS パラメーターを含む DISPLAY または PRINT コマンドに対する応答として発行されます。また、統計オプションに印刷ファイル出力が含まれている場合は、間隔統計中に SYSPRINT ファイルでもこのメッセージが生成されます。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

```
Index: Wrt Adjs Writes Reads Deletes Rereads
      n      n      n      n      n
      Read Adjs
      n
Data: Creates Writes Reads Deletes Rereads
      n      n      n      n      n
      Rewrites
      n
Responses: Asynch Unavail Normal Len err
           n      n      n      n      n
           Not fnd Vers chk List chk
           n      n      n      n      n
           List full Str full I/O err
           n      n      n      n      n
```

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 統計の詳細は、DFHXQS1D データ域に記述されます。32K バイトを超えていないキューの場合、データはキュー・インデックスに含まれます。その他の場合、データは分離リストとして保管されます。各フィールドの意味は、以下のとおりです。

インデックス・アクセス回数:

Wrt Adjs (付加属性への書き込み)

インデックスの更新付加属性領域のみへの書き込み回数 (この領域には、小さなキューに対する読み取りカーソルおよび最近の使用データを含むキューの状況が含まれています)。

Writes (書き込み数)

データを含むキューへの (新規または更新) 書き込み回数。

Reads (読み取り数)

キュー・インデックスからの読み取り回数。

削除

キューの削除回数。

Rereads

データがデフォルトのデータ転送サイズよりも大きかったために繰り返す必要があった読み取りの回数。

Read Adjs

状況域のみに対するインデックスの読み取り回数。これは、照会処理に使用されます。また、削除処理中にも、必要な場合はキュー詳細を読み取るために使用されます。

Data access counts: (データ・アクセス回数:)

Creates (作成回数)

分離データ・リストが作成された回数。

Writes (書き込み数)

項目を分離データ・リストに追加するための書き込み回数。

Reads (読み取り数)

分離データ・リストからの読み取り回数。

削除

分離データ・リストが削除された回数。

Rereads

データがデフォルトのデータ転送サイズよりも大きかったために繰り返す必要があった読み取りの回数。

Rewrites (再書き込み数)

分離データ・リスト内の項目を置換するための書き込み回数。

•

応答数:

Asynch (非同期)

完了が非同期であった要求の数。

使用不可

構造が一時的に使用不可だった (例えば、システム管理下の再ビルドが進行中であったため) ことが原因で、要求が据え置かれた回数。

正常

通常応答の数。

Len err (データ長エラー)

入力バッファが小さすぎて、データを収容できなかった。サーバーは、可能な場合、同期読み取りを使用するために 4K のみのバッファ・サイズを設定しようとするのがよくあります。この応答が返されると、サーバーは最大サイズのバッファを設定し、読み取りを再発行します。

Not fnd (無検出)

指定されたエントリー (キューまたは項目) が検出されなかった。

Vers chk (バージョン確認)

更新または作成中のエントリーのバージョン確認が失敗した。これは、別のタスクがそのエントリーを最初に更新したことを示しています。

List chk (リスト確認)

リスト権限の比較が失敗した。これは通常、キューが削除の処理中であることを意味します。

List full (リスト・フル)

キューが項目の最大数に達し、関連するリストがフルであるとマークされた。

Str full (構造フル)

リスト構造がフルになった。

I/O err (I/O エラー)

IXLLIST により他のエラー・コードが戻された。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0432I CF 構造 *strname* のキュー・プール統計
: (Queue pool statistics for CF
structure *strname*.)

説明: このメッセージには、キュー・プール・リスト構造の使用統計の要約が示されます。このメッセージは、POOLSTATS パラメーターを含む DISPLAY または PRINT コマンドに対する応答として発行されます。また、統計オプションに印刷ファイル出力が含まれている場合は、間隔統計中に SYSPRINT ファイルでもこのメッセージが生成されます。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

```
Structure: Size Max size Elem size
           nK      nK      n
Queues: Current Highest
           n      n      n
Lists: Total In use Max used Control Data
       n      n      n      n      n
       100%   n%   n%   n%   n%
Entries: Total In use Max used Free Min free
        n      n      n      n      n
        100%   n%   n%   n%   n%
Elements: Total In use Max used Free Min free
          n      n      n      n      n
          100%   n%   n%   n%   n%
```

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 統計の詳細は、DFHXQS1D データ域に記述されます。プールの使用統計は、カップリング・ファシリティ要求によって返された情報から計算されるため、特に現行サーバーが関連する情報に最近アクセスしていない場合など、常に非常に正確であるとは限りません。各フィールドの意味は、以下のとおりです。

•

構造:

Size (サイズ)

リスト構造の現在の割り振りサイズ。

Max size (最大サイズ)

この構造を変更することができる最大サイズ。

Elem size (エレメント・サイズ)

構造に対して使用されるデータ・エレメントのサイズ。

•

キュー:

Current (現在)

現在存在するキューの数。

Highest (最高位)

キューの最大数 (最終リセット以降常時)。

•

リスト:

Total (合計)

	構造内のリスト・ヘッダーの最大数。
In Use (使用中)	
	現在使用中の数。
Max Used (最大使用数)	
	使用中の最大数 (最終リセット以降)。
Control (制御)	
	制御情報用に使用中のリストの数。
データ	
	キュー・データに使用中のリストの数。
・	
エントリー:	
Total (合計)	
	現在割り振られている構造内の合計エントリー数。(接続時に取得され、ALTER で更新されていることもあります)。
In Use (使用中)	
	現在使用中のエントリーの数。
Max Used (最大使用数)	
	使用中の最大数 (最終リセット以降)。
Free (フリー)	
	現在フリーなエントリーの数 (合計数から使用中のエントリーを減算)。
Min Free (最小フリー)	
	フリー・エントリーの最小数 (最終リセット以降)。
・	
エレメント:	
Total (合計)	
	現在割り振られている構造の合計データ・エレメント (接続時に取得され、ALTER で更新されていることもあります)。
In Use (使用中)	
	現在使用中のエレメントの数。
Max Used (最大使用数)	
	使用中の最大数 (最終リセット以降)。
Free (フリー)	
	現在フリーなエレメントの数 (合計数から使用中のエレメントを減算)。
Min Free (最小フリー)	

フリー・エレメントの最小数 (最終リセット以降)。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0441 CF structure *strname* request failed, IXLLIST return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: IXLLIST マクロによって発行されたカップリング・ファシリティのアクセス要求により、異常な戻りコードが返されました。

システムの処置: 失敗した要求が CICS API 要求から開始された場合、失敗した要求に対して、IOERROR 条件を示す入出力エラー通知が返されます。

ユーザーの処置: 戻りコードと理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028)に記載されている IXLLIST マクロを参照してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0442 CF structure *strname* request failed, structure is full.

説明: IXLLIST マクロによって発行されたカップリング・ファシリティ・アクセス要求が失敗しました。構造内に新しいデータを保管するためのフリーのエントリーまたはエレメントが不足しているためです。

システムの処置: 失敗した要求には、NOSPACE 標識が付与されます (その要求が CICS API 要求からのものである場合)。再ロード処理で自動 ALTER が進行中の場合、要求は ALTER の結果が既知になるまで中断されてから、再試行されます。使用中のエレメントおよびエントリーの数が警告しきい値を十分に下回るまでは、以降の要求が失敗しても、このメッセージが再び発行されることはありません。

ユーザーの処置: 使用されなくなったキューを削除して、スペースを再利用できるようにしてください。構造が最大サイズに達していない場合は、MVS SETXCF コマンドを使用して、サイズを増加するための ALTER 要求を開始することもできます。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0443 CF structure *strname* request failed, all lists are in use.

説明: IXLList マクロによって発行されたカップリング・ファシリティー・アクセス要求が失敗しました。構造内に定義されているすべてのリスト・ヘッダーが現在使用中であるためです。リスト・ヘッダーの数は、構造の割り振り時に MAXQUEUES サーバー初期設定パラメーターによって決まります。

システムの処置: 失敗した要求には、NOSPACE 標識が付与されます (その要求が CICS API 要求からのものである場合)。リスト・エントリーの不足状態が続いている間は、以降の要求が失敗しても、このメッセージが再び発行されることはありません。

ユーザーの処置: 現在使用されていない合計サイズが 32K バイトを上回るキューを削除して、データ・リストを解放してください。リストの数は構造の割り振り時に固定されるため、リストの数を増やす唯一の方法は、構造をアンロードし、SETXCF FORCE を使用して構造を削除してから、MAXQUEUES パラメーターの値を大きくして構造を再ロードすることです。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0444I CF 要求は中断されて、ALTER の完了を待機しています。(CF request has been suspended to await ALTER completion.)

説明: サーバー・アドレス・スペースから (再ロード処理中に) 発行されたカップリング・ファシリティー・アクセス要求により、構造内のスペースが使い果たされましたが、スペースを解放する自動 ALTER 試行が既にアクティブになっているか、この時点で開始されました。そのため、要求は中断され、ALTER 試行の結果を待機しています。

システムの処置: 要求は、ALTER 要求が正常に完了するか異常終了するまで中断された後、再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0445I ALTER の完了後、CF 要求が再試行されています。(CF request is being retried after ALTER completion.)

説明: ALTER が完了または失敗したため、ALTER 要求の完了を待機するために中断されていた要求が、現在再試行されています。

システムの処置: 中断されていた要求が再開されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0451 Purge for CF structure *strname* failed, IXLPURGE return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: キュー・アクセス要求が異常終了し、キュー・サーバーは、I/O バッファを解放する前にアクティブな IXLList 要求がパージされるように IXLPURGE マクロを発行しましたが、IXLPURGE マクロからゼロ以外の戻りコードが返されました。

システムの処置: このエラーは、要求が既に異常終了されている場合にのみ発生するため、無視されます。

ユーザーの処置: 戻りコードと理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) に記載されている IXLPURGE マクロを参照してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0461I Disconnected from CF structure *strname*.

説明: サーバーは (IXLDISC マクロを使用して) CF 構造から正常に切断されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0462 Disconnect from CF structure *strname* failed, IXLDISC return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: キュー・サーバーをカップリング・ファシリティー・リスト構造から切断するための IXLDISC マクロが失敗しました。

システムの処置: 切断はサーバーがすでに終了している場合にのみ行われるため、このエラーは無視されます。

ユーザーの処置: 戻りコードと理由コードの説明については、「z/OS MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」(GD88-6028) に記載されている IXLDISC マクロを参照してください。

モジュール: DFHXQCF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0481I Waiting for structure *strname* to become available.

説明: キュー・サーバーがカップリング・ファシリティ構造に接続できませんでした。その原因は、先行する DFHXQ0403 メッセージで説明されているように、環境エラーです (構造が使用不可になっているなど)。サーバーは現在この問題が修正されるのを待機しており、特定の構造が使用可能になった可能性がある、または一般的なカップリング・ファシリティ・リソースの状況の変更が発生したと ENF ファシリティから通知を受けると、接続要求を再試行します。

システムの処置: サーバーは、関連イベントが通知されるのを待機します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただしオプションで、待機中のサーバーが不要になった場合は、MVS CANCEL コマンドを使用してサーバーを終了できます。

モジュール: DFHXQEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0482I Retrying connection to structure *strname*.

説明: キュー・サーバーは、リスト構造が使用可能になったか、または汎用カップリング・ファシリティ・リソースの状況が変更されたという通知を ENF から受けたため、構造への接続試行を再び実行しようとしています。

システムの処置: 元の IXLCONN 要求が再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ049I ENFREQ ACTION=*action* failed, return code *retcode*.

説明: キュー・サーバーが発行した ENF 要求から、予期しない戻りコードが返されました。

システムの処置: これが ENFREQ ACTION=LISTEN 要求で発生し、その後サーバーがリスト構造に接続できない場合、サーバーは、構造が使用可能になるのを待機するのではなく、終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference (Volume 1)」

(GC28-1765) で ENFREQ マクロの資料を参照してください。

モジュール: DFHXQEN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ050I ストレージ不足です。requested のうち、actual のみのデータ・バッファが割り振られました。(Insufficient storage, only actual of requested data buffers allocated.)

説明: キュー・サーバーは、初期化設定時に指定の数のデータ・バッファ (32K バイト) を割り振ることができませんでした。関連するストレージ・プール (AXMPGANY) が使い果たされていたためです。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: BUFFERS 初期設定パラメーターの値を正常に割り振られた数よりも小さい値に減らしてから (要求を処理するために十分なストレージを残すため)、サーバーを再始動してください。あるいは、キュー・サーバーの領域サイズを増やして、より多くのバッファを割り振ることができるようにするという方法もあります。

モジュール: DFHXQBF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0511I キュー索引バッファ・プール統計: (Queue index buffer pool statistics)

説明: このメッセージには、キュー索引バッファ・プールの使用統計の要約が示されます。キュー索引バッファ・プールは、キュー索引エントリとその関連データの読み取りと書き込みに使用されるだけでなく、カップリング・ファシリティの入出力を減らす目的で、最近アクセスされた索引エントリをストレージに保管するために使用されます。このメッセージは、BUFSTATS パラメーターを含む DISPLAY または PRINT コマンドに対する応答として発行されます。また、統計オプションに印刷ファイル出力が含まれている場合は、間隔統計中に SYSPRINT ファイルでもこのメッセージが生成されます。

詳細なメッセージのレイアウトは以下のとおりです。

```

Buffers: Total Max used Active On LRU Empty
          n      n      n      n      n
Requests: Gets Puts Keeps Frees Purges
          n      n      n      n      n
Results: Got hit Got free Got new Got LRU No buff
(Get)      n      n      n      n      n
Errors: Not freed No purge Not owned
          n      n      n
Waits: Pool lock Buf lock
        n      n

```

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 統計の詳細は、DFHXQS2D データ域

DFHXQ0601I

に記述されます。各フィールドの意味は、以下のとおりです。

- - バッファ:
 - Total (合計)**
プール内のバッファ数。
 - Max used (最大使用数)**
これまでに使用された最大数 (リセットによる影響を受けません)。
 - 活動
現在使用中のバッファ。
 - LRU (On LRU)**
再使用を許可する LRU チェーンの有効な内容を持つバッファ。
 - Empty (空)**
以前使用され、現在は空のバッファ。
- - 要求:
 - Gets (取得数)**
バッファを取得する要求。
 - Puts (書き戻し数)**
有効な内容のバッファを書き戻すための要求回数。
 - Keeps (保持数)**
変更した内容のバッファを書き戻すための要求回数。(現在、この機能はキュー・サーバーで使用されていません)。
 - Frees (フリー数)**
空のバッファを書き戻す要求。
 - Purges (ページ数)**
以前有効だったバッファの内容を廃棄するための要求回数。
- - 結果 (取得):
 - Got hit (ヒットの取得)**
LRU チェーンで有効な一致が見つかった要求。
 - Got free (フリーの取得)**
空のバッファが取得された要求。
 - Got new (新規の取得)**

以前に使用されていないバッファが取得された要求。

- Got LRU (LRU の取得)**
一番古いバッファが廃棄され、再使用された要求。
- No buff (バッファ未取得)**
バッファを取得できなかった要求。
- - エラー:
 - Not freed (未解放)**
所有していないバッファを解放しようとした要求。(この要求は、エラー・リカバリー時に発生します)。
 - No purge (ページなし)**
ページ要求は、一致するバッファを検出ませんでした。
 - Not owned (未所有)**
別のタスクが所有するバッファがヒットしたページ要求。

- - 待機:
 - Pool lock (プール・ロック)**
バッファ・プール・ヘッダー・ロックを待機した回数。
 - Buf lock (バッファ・ロック)**
別の要求がバッファを所有していたため、待機した回数。

モジュール: DFHXQBF

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0601I *lasttime* 以降の間隔の統計収集を開始しています。(Starting statistics collection for interval since *lasttime*.)

説明: キュー・サーバーが、間隔統計、1 日の終わり統計、または終了統計を収集しようとしています。このメッセージは、統計が適用される時間間隔の開始 (サーバーが始動された時刻、あるいは間隔統計または 1 日の終わり統計が生成されるごとに発生する最終リセットの時刻) を示します。タイム・スタンプの形式は、yyyy-mm-dd hh:mm:ss です。

システムの処置: キュー・サーバーが統計収集を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQST

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0602I Statistics collection completed, reset performed.

説明: キュー・サーバー統計情報が収集され、カウンターがリセットされました。これは、間隔統計および 1 日の終わり統計に対して行われます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQST

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0603I Statistics collection completed.

説明: キュー・サーバー統計情報が収集されましたが、カウンターはリセットされていません。これは通常、サーバーの停止時に行われます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQST

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0604 Timer SET failed, return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: キュー・サーバー統計サブタスクがタイマー待機間隔を設定しようとしたことが、失敗しました。

システムの処置: 間隔統計機能が終了し、メッセージ DFHXQ0606 が出されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードを確認してください。戻りコード 4 は、複数のタイマー間隔を同時に設定しようとしたことを意味します。これは、サーバー内の論理エラーです。戻りコード 8 は、MVS STIMERM マクロが失敗したことを示します。この場合、理由コードは、STIMERM SET から受け取った戻りコードを示します。

モジュール: DFHXQST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0605 Timer CANCEL failed, return code *retcode*, reason code *rsncode*.

説明: キュー・サーバー統計サブタスクがタイマー待機間隔を取り消そうとしたことが、失敗しました。

システムの処置: 間隔統計機能が終了し、メッセージ DFHXQ0606 が出されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードを確認してください。戻りコード 4 は、存在しないタイマー間隔を取り消そうとしたことを意味します。これは、サーバー内の論理エラーです。戻りコード 8 は、MVS STIMERM マクロが失敗したことを示します。この場合、理由コードは、STIMERM CANCEL から受け取った戻りコードを示します。

モジュール: DFHXQST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0606 Statistics collection function is no longer available.

説明: キュー・サーバー統計収集サブタスクが処理を続行できず、終了しました。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: 間隔統計サブタスクは終了し、サーバーのこの実行に対して、これ以上の間隔統計または 1 日の終わり統計は作成されません。

ユーザーの処置: サブタスクの終了理由を示す先行のメッセージを確認してください。

モジュール: DFHXQST

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0610I Statistics written to SMF, return code was *retcode*.

説明: キュー・サーバー統計情報が SMF に送信されました。このメッセージには、SMFEWTM マクロからの戻りコードが示されています。通常、ゼロ以外の戻りコードは、現行の SMF オプションまたはインストール・システム出口により SMF の記録が抑止されていることを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードはゼロ以外ではあるが、SMF 統計情報が正常に書き込まれると予期されていた場合は、理由コードの詳細について、「z/OS MVS システム管理機能 (SMF)」(GC28-1457) に記載されている SMFEWTM マクロを参照してください。

モジュール: DFHXQST

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0701I Shared TS queue pool *poolname* is to be unloaded.

説明: キュー・プールの順次データ・セットにアンロードするよう要求する UNLOAD オプションを設定してサーバー・プログラムが開始されました。

DFHXQ0702I • DFHXQ0802I

システムの処置: サーバーはアンロード要求の処理を開始します。この場合、仮想記憶間サーバー初期設定の残りは、不要になるためバイパスされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0702I Shared TS queue pool *poolname* has been successfully unloaded.

説明: キュー・プールが正常にアンロードされました。

システムの処置: サーバーは正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0703I Number of unloaded queues: *queues*. Blocks written: *blocks*.

説明: このメッセージには、アンロード処理に関する追加情報として、アンロードされたキューの数と、アンロードされたキュー・プール・データ・セットに書き込まれた 4K データ・ブロックの数が示されます。

システムの処置: サーバーの終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0704 DFHXQUL data set for unload could not be opened.

説明: アンロードされたキュー・プールを格納するためのデータ・セットを開くことができませんでした。

システムの処置: アンロード処理は終了し、サーバーが終了してメッセージ DFHXQ0706 が出されます。

ユーザーの処置: アンロード・ジョブの JCL 内に DFHXQUL DD ステートメントが存在することを確認してください。

モジュール: DFHXQUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0705 CF 構造 *strname* へのアンロード・アクセスが応答 *response* で失敗しました。 (Unload access to CF structure *strname* failed with response *response*.)

説明: カップリング・ファシリティ・アクセスの問題

により、アンロード処理が失敗しました。

システムの処置: アンロード処理は終了し、サーバーが終了してメッセージ DFHXQ0706 が出されます。

ユーザーの処置: 応答コードが 8 の場合、予期しない IXLIST エラーが発生したことを意味します。そのエラーに対して、先行してエラー・メッセージが発行されているはずですが、それ以外の応答コードは内部論理エラーを示します。

モジュール: DFHXQUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0706 Unload for shared TS queue pool *poolname* was unsuccessful.

説明: キュー・プールのアンロード処理が失敗しました。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: アンロードの失敗理由を示す先行のメッセージを確認してください。この場合に生成されたアンロード・データ・セットは不完全となり、再ロード目的のために有効にならないので注意してください。

モジュール: DFHXQUL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0801I Shared TS queue pool *poolname* is to be reloaded.

説明: RELOAD オプションを設定してサーバー・プログラムが開始されました。この RELOAD オプションでは、UNLOAD オプションを使用して生成された順次データ・セットから、キュー・プールを再ロードするよう要求しています。

システムの処置: サーバーは再ロード要求の処理を開始します。この場合、仮想記憶間サーバー初期設定の残りは、不要になるためバイパスされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0802I Shared TS queue pool *poolname* has been successfully reloaded.

説明: キュー・プールが正常に再ロードされました。

システムの処置: サーバーは正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0803I Queues reloaded: *queues*. Queues bypassed: *duplicates*. Blocks read: *blocks*.

説明: このメッセージは、再ロード処理の結果に関する追加情報を提供します。アンロードされたデータ・セットにあるキューが、(例えば、スペース不足により完了できなかった前の再ロードの結果として) プール内に既に存在する場合、それらのキューは再ロード処理でバイパスされます。

システムの処置: サーバーの終了処理が続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0804 DFHXQRL data set for reload could not be opened.

説明: 再ロードするキュー・プールが含まれているデータ・セットを開くことができませんでした。

システムの処置: 再ロード処理は終了し、サーバーが終了してメッセージ DFHXQ0808 が出されます。

ユーザーの処置: 再ロード・ジョブの JCL 内に DFHXQRL DD ステートメントが存在することを確認してください。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**DFHXQ0805 CF 構造 *strname* への再ロード・アクセスが応答 *response* で失敗しました。
(Reload access to CF structure *strname* failed with response *response*.)**

説明: カップリング・ファシリティ・アクセスの問題により、再ロード処理が失敗しました。

システムの処置: 再ロード処理は終了し、サーバーが終了してメッセージ DFHXQ0808 が出されます。

ユーザーの処置: 応答コードが 8 の場合、予期しない IXLIST エラーが発生したことを意味します。そのエラーに対しては、先行してメッセージ DFHXQ0441 が発行されているはずです。それ以外の応答コードは内部論理エラーを示します。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0806 Unexpected end of file encountered on reload data set.

説明: アンロードされたデータ・セットで、アンロードされたデータの論理終了が検出されるより先に、ファイルの終わりが検出されました。

システムの処置: 再ロード処理は終了し、サーバーが終了してメッセージ DFHXQ0808 が出されます。

ユーザーの処置: これは、アンロードされたデータ・セットが不完全であることを示しています。アンロード・プロセスが異常終了したことがその理由である可能性があります。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0807 再ロード・データ・セットのブロック *block*、オフセット *offset* 近辺に誤ったデータが含まれています。(Reload data set contains incorrect data near block *block*, *offset* *offset*.)

説明: アンロードされたキュー・プール・データ・セットが正しい形式になっていないため、再ロード処理が失敗しました。

システムの処置: 再ロード処理は終了し、サーバーが終了してメッセージ DFHXQ0808 が出されます。

ユーザーの処置: 正しいデータ・セットが使用されていること、およびアンロード・プロセスが正常に完了したことを確認してください。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0808 Reload for shared TS queue pool *poolname* was unsuccessful.

説明: キュー・プールの再ロード処理を完了できませんでした。その理由は、先行するメッセージに示されています。

システムの処置: そのプログラムは終了します。

ユーザーの処置: 再ロードの失敗理由を示す先行のメッセージを確認してください。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0809 Reload for CF structure *strname* failed, structure is full.

説明: 構造内に新しいデータを保管するために使用できるフリーのエントリーまたはエレメントが不足しているため、再ロード処理が失敗しました。

システムの処置: 再ロード処理は終了し、サーバーが終了してメッセージ DFHXQ0808 が出されます。

ユーザーの処置: 構造が最大サイズに達していない場合は、MVS SETXCF FORCE を使用して構造を削除し、再ロード・パラメーターを変更して POOLSIZE パラメーターにより大きい値を指定してから、再ロード・ジョブを再実行してください。再ロードできなかった情報量の概算を見積もるには、この後に続くメッセージ DFHXQ0803 に示される読み取られたブロック数と再ロードされたキュー数を、アンロード・ジョブでのメッセージ DFHXQ0703 に示されている対応する数と比較します。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0810 Reload for CF structure *strname* failed, all lists are in use.

説明: 構造内に定義されているすべてのリスト・ヘッダーが現在使用中であるため、再ロード処理が失敗しました。

システムの処置: 再ロード処理は終了し、サーバーが終了してメッセージ DFHXQ0808 が出されます。

ユーザーの処置: MVS SETXCF FORCE を使用して構造を削除し、再ロード MAXQUEUES パラメーターをより大きい値に変更してから、再ロード・ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHXQRL

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

DFHXQ0911I R12=*prv* RQ 入り口 *function* Len=*len* Item=*itemnum* Q=*qname* Task=*tasknum* region (R12=*prv* RQ Entry *function* Len=*len* Item=*itemnum* Q=*qname* Task=*tasknum* region)

説明: 要求トレースがアクティブになっていて、要求モジュール DFHXQRQ への入り口で要求がトレースされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQRQ

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0912I R12=*prv* RQ 出口 *response* Len=*len* Item=*itemnum* Q=*qname* Task=*tasknum* region (R12=*prv* RQ Exit *response* Len=*len* Item=*itemnum* Q=*qname* Task=*tasknum* region)

説明: 要求トレースがアクティブになっていて、要求モジュール DFHXQRQ からの出口で要求がトレースされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQRQ

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0913I R12=*prv* RQ Qname *hex* *qname*

説明: 要求トレースがアクティブになっていて、トレース対象のキュー名に印刷不能なシンボルが含まれています。このメッセージには、同じキュー名が 16 進形式で示されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQRQ

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0921I R12=*prv* IQ Entry INQUIRE *browsetype* Q=*qname* Task=*tasknum* region

説明: 要求トレースがアクティブになっていて、照会モジュール DFHXQIQ への入り口で要求がトレースされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQIQ

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0922I R12=*prv* IQ Exit *response* Q=*qname* Task=*tasknum* region

説明: 要求トレースがアクティブになっていて、照会モジュール DFHXQIQ からの出口で要求がトレースされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQIQ

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0923I R12=prv IQ Qname hex qname

説明: 要求トレースがアクティブになっていて、トレース対象のキュー名に印刷不能なシンボルが含まれています。このメッセージには、同じキュー名が 16 進形式で示されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQIQ

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0941I R12=prv CF 入り口 request optflgs
modflgs BD=bufdesc Item=itemnum
Q=qname (R12=prv CF Entry request
optflgs modflgs BD=bufdesc Item=itemnum
Q=qname)

説明: CF アクセス・トレースがアクティブになっていて、CF 要求モジュール DFHXQCF への入り口で要求がトレースされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0942I R12=prv CF IXLLIST Cmd=cmdcode
Flg=shlflgs List=listnum Rsn=reason

説明: CF アクセス・トレースがアクティブになっていて、IXLLIST マクロからの結果がトレースされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: SYSPRINT

DFHXSnnnn メッセージ

DFHXS0001 applid An abend (code aaa/bbbb) has
occurred at offset X'offset' in module
modname.

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

DFHXQ0943I R12=prv CF 出口 response Items=items
Item=itemnum Q=qname (R12=prv CF
Exit response Items=items Item=itemnum
Q=qname)

説明: CF アクセス・トレースがアクティブになっていて、CF 要求モジュール DFHXQCF からの出口で要求がトレースされています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0944I R12=prv CF Qname hex qname

説明: CF アクセス・トレースがアクティブになっていて、トレース対象のキュー名に印刷不能なシンボルが含まれています。このメッセージには、同じキュー名が 16 進形式で示されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXQCF

宛先: SYSPRINT

DFHXQ0999I トレース *text (Trace text)*

説明: このメッセージは、複数のモジュール内での非特定デバッグ・トレースのために、サービス担当員が使用するものです。デバッグ・トレースを意図的にアクティブにしない限り、通常の実行では表示されないはずで

す。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: 各種

宛先: SYSPRINT

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。 (たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。 このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを、関連する MVS コード資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で調べてください。

次に、この資料で CICS 英数字コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。また、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもあります。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXSAD, DFHXSCL, DFHXSDM, DFHXSFL, DFHXSIS, DFHXS LU, DFHXS PW, DFHXS RC, DFHXS ST, DFHXS XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHXS0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、それがどこ

で検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。 このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。 その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXSAD, DFHXSCL, DFHXS DM, DFHXS FL, DFHXS IS, DFHXS LU, DFHXS PW, DFHXS RC, DFHXS ST, DFHXS XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHXS0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。 モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。 ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。 該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。 このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。 したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。 続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXSAD, DFHXSCL, DFHXSDM, DFHXSFL, DFHXSIS, DFHXS LU, DFHXSPW, DFHXSRC, DFHXSST, DFHXSXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHXS0006 *applid* モジュール *modname* に、**Getmain** (コード *X'code'*) を満たす十分なストレージがありません。 **MVS** コード *mvscode*。

説明: MVS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

コード *mvscode* は MVS GETMAIN 戻りコードです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます (コード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。 この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS が別のモジュールによって終了させられた場合には、関連した終了メッセージ (たとえば、ドメイン・マネージャーからの) に注意し、これらのメッセージに関して示されたユーザーの処置を調べてください。

CICS がまだ実行中である場合には、問題は一時的なものである可能性があります。その場合には、さらに多くの使用可能なストレージを得られるようになると、問題も自然に解決されます。モジュール *modname* なしで済む場合は、CICS の実行を続行し、都合の良いときにダウンさせて、問題を解決することもできます。メッセージが繰り返し出されるか、またはすべての CICS モジュールを最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

MVS 戻りコードの診断情報は、関連する MVS コードの資料 (このマニュアルの先頭にあるブック・リストで詳述) で説明されています。

DSA または EDSA のサイズの限界を小さくしてみてください。あるいは、それらのサイズがまだ最大になっていない場合には、領域全体のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHXSAD, DFHXSCL, DFHXSDM,
DFHXSFL, DFHXSIS, DFHXS LU, DFHXSPW,
DFHXSRC, DFHXSST, DFHXSXM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*
4. *mvscode*

宛先: コンソール

DFHXS0200I *date time applid* 外部セキュリティ初期設定が正常に追跡されました。(date time *applid* External security initialization has been successfully tracked.)

説明: 活動 CICS システムで (CEMT PERFORM SECURITY、または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して) 実行された外部セキュリティ初期設定が、XRF 代替システムで追跡され、正常に完了しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: None. このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLV=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHXSWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソール

DFHXS0201I *date time applid* External security initialization has been tracked, and has failed with return code *X'xx'* and reason code *X'yy'*.

説明: CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して、活動 CICS システムで外部セキュリティ初期設定が実行されました。

外部セキュリティ初期設定が、XRF 代替システムで追跡されましたが、戻りコード *xx* および理由コード *yy* で失敗しました。

xx および *yy* は、外部セキュリティ・マネージャーによりレジスター 15 およびレジスター 0 に入れられた値です。

システムの処置: CICS は、XRF 代替システムのシス

テム・ダンプを提供し、セキュリティ初期設定の追跡を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この代替システムのセキュリティの特性が、活動システムの特性ともはや一致しません。この代替システムをシャットダウンして、引き継ぎ時にセキュリティを再作成するか、またはその不一致を受け入れてください。

メッセージ内の戻りコードを使用して、セキュリティ初期設定が失敗した理由を判別してください。

コードが無効である場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXSWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'xx'*
5. *X'yy'*

宛先: コンソール

DFHXS0202 *date time applid* An attempt to track external security initialization has failed, tracking data could not be sent.

説明: 外部セキュリティ初期設定が、(CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して) 活動 CICS システムで実行されました。

追跡データを送ることができなかったために、その初期設定は代替システムで追跡されませんでした。

システムの処置: CICS は、活動システムのシステム・ダンプを提供し、セキュリティ初期設定の追跡を続行します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この代替システムのセキュリティの特性が、活動システムの特性ともはや一致しなくなります。この代替システムをシャットダウンして、引き継ぎ時にセキュリティを再作成するか、またはその不一致を受け入れてください。

モジュール: DFHXSWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

宛先: CSCS

DFHXS0203 *date time applid* **An attempt to track external security initialization has failed, tracking data could not be received.**

説明: 外部セキュリティ初期設定が、(CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して) 活動 CICS システムで実行されました。

追跡データを送ることができなかったために、外部セキュリティ初期設定は代替システムで追跡されませんでした。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

システムの処置: CICS は、活動システムのシステム・ダンプを提供し、セキュリティ初期設定の追跡を停止します。

ユーザーの処置: この代替システムのセキュリティの特性が、活動システムの特性ともはや一致しません。この代替システムをシャットダウンして、引き継ぎ時にセキュリティを再作成するか、またはその不一致を受け入れてください。

モジュール: DFHXSWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

宛先: CSCS

DFHXS0204 *date time applid* **An attempt to track external security initialization has failed, tracking data was corrupted.**

説明: 外部セキュリティ初期設定が、(CEMT PERFORM SECURITY または EXEC CICS SECURITY REBUILD を使用して) 活動 CICS システムで実行されました。

外部セキュリティ初期設定は代替システムで追跡されましたが、追跡データが転送中に破壊されました。

システムの処置: CICS は、代替システムのシステム・ダンプを提供し、セキュリティ初期設定の追跡を停止します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この代替システムのセキュリティの特性が、活動システムの特性ともはや一致しません。この代替システムをシャットダウンして、引き継ぎ時にセキュリティを再作成するか、またはその不一致を受け入れてください。

モジュール: DFHXSWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

宛先: CSCS

DFHXS1100I *applid* **Security initialization has started.**

説明: これは、セキュリティ・ドメインの初期設定が開始されたことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHXSWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXS1101I *applid* **Security initialization has ended.**

説明: これは、セキュリティ・ドメインの初期設定が正常に完了したことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHXSWM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXS1102I *applid* **Security is inactive.**

説明: これは、セキュリティが活動状態でないことを示す通知メッセージです。

システムの処置: システム初期設定を続行します。

DFHXS1103I • DFHXS1106

ユーザーの処置: なし。

このメッセージは、システム初期設定パラメーター MSGLVL=0 で抑止することができます。

モジュール: DFHXSADM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXS1103I *applid* Default security for userid *dftuser* has been established.

説明: CICS は、デフォルト・ユーザー ID *dftuser* のためにセキュリティ環境を確立しました。

システムの処置: ほかにユーザー ID が確立されていない場合は、常に外部セキュリティ・マネージャーによりこのユーザー ID に割り当てられた権限が、CICS リソース検査で使用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXSADM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dftuser*

宛先: コンソール

DFHXS1104 *applid* Default security could not be established for userid *dftuser*. The security domain cannot continue, so CICS is terminated. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').

説明: CICS は、デフォルト・ユーザー ID *dftuser* のためにセキュリティ環境を確立できませんでした。セキュリティ・ドメインは、デフォルト・ユーザーなしで続行することはできません。システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=VERIFY マクロによって出されるものです。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=VERIFY 操作が失敗した理由を判別してください。その後で、障害のあるデフォルト・ユーザーのエラーを訂正して CICS を再始動するか、または、異なるデフォルト・ユーザー ID を指定して CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSADM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *dftuser*
3. X'safresp'
4. X'safreas'
5. X'esmresp'
6. X'esmreas'

宛先: コンソール

DFHXS1105 *applid* Resource profiles for class *classname* have been built.

説明: クラス *classname* のセキュリティ・リソース・プロファイルは、外部セキュリティ・マネージャーにより、正常にストレージへロードされました。

システムの処置: プロファイルは、この後のリソース検査で、メッセージに示されたクラスのリソースへのユーザーのアクセス権限を判別するために使用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXSRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *classname*

宛先: コンソール

DFHXS1106 *applid* Resource profiles could not be built for class *classname*. CICS is terminated. SAF codes are (X'safresp',X'safreas'). ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas').

説明: クラス *classname* のセキュリティ・リソース・プロファイルは、外部セキュリティ・マネージャーがストレージへロードできませんでした。システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=LIST マクロによって出されるものです。

プロファイルの作成は、次のいずれかにより要求されました。

- セキュリティ・ドメインの初期設定

- CEMT コマンド PERFORM SECURITY REBUILD

- EXEC CICS PERFORM SECURITY REBUILD コマンドを呼び出すユーザー提供トランザクション

システムの処置: 信頼性のあるリソース保護を提供することができないため、CICS は終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=LIST 操作が失敗した理由を判別してください。外部セキュリティ・マネージャーの問題を修正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *classname*
3. *X'safresp'*
4. *X'safreas'*
5. *X'esmresp'*
6. *X'esmreas'*

宛先: コンソール

DFHXS1107 *applid* Partner-LU profiles for class APPCLU have been built.

説明: クラス APPCLU のパートナー LU プロファイルは、外部セキュリティ・マネージャーにより、正常にストレージへロードされました。

システムの処置: プロファイルは、この後の LU6.2 セッション (その CONNECTION 定義が BINDSECURITY(YES) を指定しているもの) のバインド権限検査に使用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXSRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXS1108 *applid* Partner-LU profiles could not be built for class APPCLU. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: クラス APPCLU のパートナー LU プロファイルは、外部セキュリティ・マネージャーが正常にストレージへロードできませんでした。そのため CICS には、APPCLU セキュリティ・プロファイルがありません。システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、

外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=LIST マクロによって出されるものです。

プロファイルの作成は、次のいずれかにより要求されました。

- 端末管理の VTAM サポートの初期設定
- CEMT コマンド SET VTAM OPEN
- CEMT コマンド PERFORM SECURITY REBUILD
- EXEC CICS SET VTAM OPEN コマンドを呼び出すユーザー提供トランザクション
- EXEC CICS PERFORM SECURITY REBUILD コマンドを呼び出すユーザー提供トランザクション

システムの処置: 障害が発生したのが CICS 初期設定か PERFORM SECURITY REBUILD の際である場合は、CICS は終了します。障害が発生したのが SET VTAM OPEN の際である場合は、VTAM ACB はクローズされ、CICS は続行します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=LIST 操作が失敗した理由を判別してください。外部セキュリティ・マネージャーの問題を修正して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSIS、DFHXSRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'safresp'*
3. *X'safreas'*
4. *X'esmresp'*
5. *X'esmreas'*

宛先: コンソール

DFHXS1109 *applid* APPC PROFILE profile COULD NOT BE AUDITED. SAF CODES ARE (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM CODES ARE (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: パートナー LU 検査の監査要求が、プロファイル *profile* で失敗しました。

APPC セッションの開始時に、各パートナーはもう一方の妥当性を検査できます。この妥当性検査処理の際に、

DFHXS1110 • DFHXS1111

システムは次のことを行います。

- 外部セキュリティ・マネージャーから、関係のある APPCLU プロファイルを検索する。
- セッション・キーがまだ使用可能かどうかを検査する。
- このプロファイルと妥当性検査に関連する監査レコードをシステム管理機能 (SMF) に書き込むように、外部セキュリティ・マネージャーに要求する。

監査対象のイベントは次のとおりです。

- セッション・パートナーの妥当性検査が正しく行われたかどうか
- セッション・パートナーが妥当性検査に失敗したかどうか
- セッション・キーが 5 日以内に有効期限が切れるかどうか
- 検索されたプロファイルが「ロック」されているかどうか
- セッション・キーが空またはすべてゼロであるかどうか
- セッション・キーが有効期限切れになっているかどうか

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=AUDIT マクロによって出されるものです。

システムの処置: CICS システムはこのイベントの影響を受けず、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=AUDIT 操作が失敗した理由を判別してください。外部セキュリティ・マネージャーの問題を訂正してから、該当する場合はセキュリティの再作成を実行してください。

モジュール: DFHXSSB

宛先: コンソール

DFHXS1110 *applid* Security is requested, but the external security manager is inactive.

説明: この領域のセキュリティが要求されましたが、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) は非活動状態でした。SEC システム初期設定パラメーターは YES と指定されているか、またはデフォルト値のままになっています。ESM が活動状態でなければ、CICS はセキュリティ・マネージャーを初期設定することができません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: システムに ESM がインストールされている場合は、CICS を開始する前に、それが活動状態であることを確認してください。インストールされていない場合は、システム初期設定パラメーターとして SEC=NO を指定し、セキュリティなしで CICS を再始動します。SEC パラメーターは、コンソール指定変更として入力できないことに注意してください。

モジュール: DFHXSIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXS1111 *date time applid tranid* Security violation by user *userid* { *at netname* | *at console* } *portname* for resource *resource* in class *classname*. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM コード: (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*). RACF request made was *reqtype*.

説明: リソース・クラス *classname* のリソース *resource* に対する許可検査を実行しているときに、CICS はユーザー *userid* によるセキュリティ違反を検出しました。

違反したユーザー ID が VTAM 端末でサインオンされている場合は、句「*at netname portname*」により、違反の生じたネット名が示されます。違反したユーザー ID がコンソールでサインオンされている場合は、句「*at console portname*」により、違反の生じたコンソール名が示されます。違反したユーザー ID がサインオンされていなかったり、あるいは非端末タスクである場合は、エントリー・ポートは使用不可のため、このメッセージには示されません。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=FASTAUTH または

RACROUTE REQUEST=AUTH マクロによって出されるものです。これらの戻りコードについては、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide および z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書を参照してください。

ユーザーが LOGMESSAGE(LOG) オプションを指定して EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを使用したときにも、CICS はこのメッセージを出します。

システムの処置: CICS は、以下のいずれかの条件の場合は除いて、無効なアクセスを要求するタスクを異常終了させます。

- このコマンドが EXEC CICS HANDLE NOTAUTH コマンドの有効範囲内で出された場合
- このコマンドが EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドの結果として出された場合

ユーザーの処置: セキュリティ違反に注意してください。

モジュール: DFHXSRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *userid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= ネット名で (*at netname*),

2= コンソールで (*at console*)

7. *portname*
8. *resource*
9. *classname*
10. *X'safresp'*
11. *X'safreas'*
12. *X'esmresp'*
13. *X'esmreas'*
14. *reqtype*

宛先: CSCS

DFHXS1112 *applid* The CICS region userid and groupid could not be determined. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: CICS は、この CICS 領域のユーザー ID およびグループ ID を判別することができませんでした。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=EXTRACT マクロによって出されるものです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・コードを使用して、RACROUTE REQUEST=EXTRACT 操作が失敗した理由を判別してください。その後で、障害のある領域のユーザー ID およびグループ ID のエラーを訂正して CICS を再始動するか、または、異なるユーザー ID およびグループ ID を指定して CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'safresp'*
3. *X'safreas'*
4. *X'esmresp'*
5. *X'esmreas'*

宛先: コンソール

DFHXS1113 *applid* The region userid cannot access system transaction *tranid*. SAF codes are (*X'safresp'*,*X'safreas'*). ESM codes are (*X'esmresp'*,*X'esmreas'*).

説明: この CICS システムの領域ユーザー ID は、システム・トランザクション *tranid* をタスク生成する許可を得ていません。CICS 要件として、領域ユーザー ID はこのトランザクションにアクセスできなければなりません。

システム許可機能 (SAF) によって戻される応答および理由コード (*safresp* および *safreas*)、ならびに、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって戻される応答および理由コード (*esmresp* および *esmreas*) は、RACROUTE REQUEST=FASTAUTH または AUTH マクロによって出されるものです。

システムの処置: CICS はメッセージ **DFHXS1404** を出し、終了します。

ユーザーの処置: CICS 領域ユーザー ID に、必要なすべての CICS システム・トランザクションへのアクセス

を許可するか、または必要な権限を持つ別の領域ユーザー ID を指定してください。(必要なトランザクションは、「CICS セキュリティー」で「カテゴリー 1」のトランザクションとして説明されています。領域ユーザー ID にこれらのトランザクションの使用を許可するには、「CICS TS のインストール」で説明している手順に従って、サンプル CLIST (DFH\$CAT1) を実行する必要があります)。

その後で CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *tranid*
3. *X'safresp'*
4. *X'safreas'*
5. *X'esmresp'*
6. *X'esmreas'*

宛先: コンソール

DFHXS1116 *date time applid tranid* **Security violation by user *userid* { at IP address } location for zFS file *zfsfile*. USS codes are (*X'ussvalue'*,*X'ussreturn'*,*X'ussreason'*).**

説明: CICS が、UNIX システム・サービスの zFS ファイル *filename* に対する権限検査を実行しているときに、ユーザー *userid* によるセキュリティ違反を検出しました。

違反したユーザー ID が CICS Web サポートを使用している場合は、「IP アドレス *location*」という句が示されることがあります。そうでない場合には、ロケーションを取得できないため、このメッセージには表示されません。

応答コード *ussvalue*、*ussreturn*、および *ussreason* は、UNIX システム・サービスの **access** 関数 (BPX1ACC) から返されます。これらの応答コードについては、「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」(SA88-8645) を参照してください。

システムの処置: CICS Web サポートの静的 Web コンテンツを配信するために zFS ファイルにアクセスしている場合は、CICS が HTTP 403 (許可されていません) 応答を Web クライアントに返します。それ以外の場合は、無効なアクセスを要求しているタスクが EXEC CICS HANDLE NOTAUTH コマンドで保護されていない限り、CICS はそのタスクを異常終了させます。

ユーザーの処置: セキュリティー違反に注意してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *userid*
6. 以下のオプションから選択される値。

3= IP アドレス

7. *location*
8. *zfsfile*
9. *X'ussvalue'*
10. *X'ussreturn'*
11. *X'ussreason'*

宛先: CSCS

DFHXS1201 *date time applid* **The password supplied in the verification request for *userid* *userid* was invalid. This occurred in transaction *tranid* when *userid* *userid* was signed on at *netname* *netname*.**

説明: ユーザー検査に、無効なパスワードが提供されました。

システムの処置: 外部セキュリティ・マネージャーも、MVS/ESA セキュリティー・コンソール上でメッセージを発行します。

CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを与えるか、あるいはセキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。誤ったパスワードを与え続けると、このユーザー ID は、外部セキュリティ・マネージャーにより取り消されることがあります。取り消されたユーザー ID を復元できるのは、セキュリティ管理者のみです。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *userid*
7. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1202 *date time applid* **The password supplied in the verification request for userid *userid* has expired. This occurred in transaction *tranid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: ユーザー検査に、有効期限切れのパスワードが提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: CICS サインオン・プロセス、EXEC CICS CHANGE PASSWORD API、EXEC CICS CHANGE PHRASE API、あるいはその他の使用可能な方法で、パスワードを変更してください。あるいはセキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *userid*
7. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1203 *date time applid* **The userid supplied in the verification request for userid *userid* is revoked. This occurred in transaction *tranid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: ユーザー検査に、取り消されたユーザー ID が提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

5. *tranid*
6. *userid*
7. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1205 *date time applid* **The userid *userid* supplied in a verification request is not defined in the ESM. This occurred in transaction *tranid* at netname *netname*.**

説明: ユーザー検査に、未定義のユーザー ID が提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1206 *date time applid* **ユーザー ID の検証要求で指定されたパスワード *userid* は有効でした。それまでに *password_failures* 回、試行に失敗しました。**

説明: 複数回の無効な試行の後に、ユーザー検査に有効なパスワードが提供されました。

システムの処置: パスワードの失敗回数のカウントがリセットされます。CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: このパスワードの失敗回数が疑わしい場合は、セキュリティ管理者に連絡してください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *password_failures*

DFHXS1211 • DFHXS1215

宛先: CSCS

DFHXS1211 *date time applid* **The password supplied in a change password request for userid *userid* was invalid. This occurred in transaction *transid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: パスワード変更処理に、無効なパスワードが提供されました。

システムの処置: 外部セキュリティ・マネージャーも、MVS セキュリティ・コンソール上でメッセージを発行します。

CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを与えるか、あるいはセキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。 誤ったパスワードを与え続けると、このユーザー ID は、外部セキュリティ・マネージャーにより取り消されることがあります。 取り消されたユーザー ID を復元できるのは、セキュリティ管理者のみです。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *transid*
6. *userid*
7. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1213 *date time applid* **The userid supplied in a change password request for userid *userid* is revoked. This occurred in transaction *transid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: パスワード変更要求の際に、取り消されたユーザー ID が提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: ユーザー ID を復元してもらって、使用できるようにする必要があります。 セキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1856 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *transid*
6. *userid*
7. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1214 *date time applid* **The new password supplied in a change password request for userid *userid* was not accepted. This occurred in transaction *transid* when userid *userid* was signed on at netname *netname*.**

説明: パスワード変更要求の際に、無効な新規パスワードが提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 適切な新規パスワードを選択して再試行してください。 必要な場合は、セキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *transid*
6. *userid*
7. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1215 *date time applid* **The userid *userid* supplied in a change password request is not defined in the ESM. This occurred in transaction *transid* at netname *netname*.**

説明: パスワード変更要求の際に、未定義のユーザー ID が提供されました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1216 *date time applid* The *userid* *userid* supplied in a change password request has a revoked connection to the default group in the ESM. This occurred in transaction *tranid* at *netname* *netname*.

説明: パスワード変更要求の際に提供されたユーザー ID は、デフォルト・グループへの ESM 接続において取り消されています。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して援助を求めてください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tranid*
6. *netname*

宛先: CSCS

DFHXS1217 *date time applid* ユーザー *userid* のクライアント証明書が正常に登録されました。

説明: Secure Sockets Layer のクライアント認証プロトコルを使用しているクライアントが、有効な X.509 クライアント証明書と、有効なユーザー ID およびパスワードを提示しました。CICS は、指定されたユーザー ID *userid* で証明書を正常に登録しました。

システムの処置: この証明書は、外部セキュリティー・マネージャーのデータベース内で永続的にユーザー ID *userid* と関連付けられます。

ユーザーの処置: クライアント証明書を再度使用すると

きは常に、ユーザー ID とパスワードのプロンプトが再び出されることなく、その証明書にユーザー ID *userid* が割り当てられます。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

宛先: CSCS

DFHXS1218 *applid* CICS 領域ユーザー ID *userid* には、鍵リング *keyring* へのアクセスが許可されていません。(applid The CICS region *userid* *userid* is not authorized to access key ring *keyring*.)

説明: *keyring* という名前の鍵リングを指定するために KEYRING システム初期設定パラメーターが使用されていますが、CICS 領域ユーザー ID (*userid*) には、この鍵リングにアクセスするための十分な権限がありません。

システムの処置: PARMERR=ABEND システム初期設定パラメーターが指定されている場合、CICS 初期設定は終了します。

PARMERR=IGNORE システム初期設定パラメーターが指定されている場合、CICS は鍵リングを使用せずに初期設定を続行します。CICS は Secure Sockets Layer のサポートを初期化しないため、SSL(YES) または SSL(CLIENTAUTH) を指定する TCPIP SERVICE、あるいは CERTIFICATE を指定する CORBASERVER をインストールできません。

PARMERR=INTERACT システム初期設定パラメーターが指定されている場合、ユーザーに新しい鍵リング名を入力するよう求めるプロンプトが出されますが、ユーザーはブランクの名前でしか応答できないため、CICS は鍵リングを使用せずに初期設定を続行します。

ユーザーの処置: CICS が Secure Sockets Layer を後で使用することになっている場合、CICS 領域のユーザー ID に、FACILITY クラスの IRR.DIGTCERT.LIST および IRR.DIGTCERT.LISTRING リソースに対する READ アクセス権限を付与する必要があります。詳細については、「CICS セキュリティー」を参照してください。

モジュール: DFHXSIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

DFHXS1300 • DFHXS1401

2. *userid*
3. *keyring*

宛先: コンソール

DFHXS1300 *date time applid* **The use of violator may result in a violation of NIST SP800-131A.**

説明: CICS がリソースを使用しようとしています、そのリソースを使用すると、CICS が NIST SP800-131A 標準に準拠しなくなる可能性があります。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: NIST SP800-131A 準拠に対処する方法のアドバイスについては、インフォメーション・センターの NIST SP800-131A セクションを参照してください。

モジュール: DFHXSRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *violation*

宛先: CICS

DFHXS1301 *date time applid* **The use of violator will result in a violation of NIST SP800-131A.**

説明: CICS がリソースを使用しようとしています、そのリソースを使用すると、CICS が NIST SP800-131A 標準に準拠しなくなります。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプはとられません。

ユーザーの処置: NIST SP800-131A 準拠に対処する方法のアドバイスについては、インフォメーション・センターの NIST SP800-131A セクションを参照してください。

モジュール: DFHXSRN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *violation*

宛先: CICS

DFHXS1400 *applid* **Kerberos** レルムは *realm* です。
(*applid Kerberos realm is realm.*)

説明: この CICS 領域では、Kerberos レルム *realm* が使用されています。このメッセージは、セキュリティがアクティブな場合に生成されることがあります。

システムの処置: CICS 領域は、Kerberos セキュリティーに当該レルムを使用します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXSIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. 領域

宛先: コンソール

DFHXS1401 *applid* **Kerberos** プリンシパル名は *principal name* です。(*applid Kerberos principal name is principal name.*)

説明: この CICS 領域では、Kerberos プリンシパル名 *principal name* が使用されています。このメッセージは、セキュリティがアクティブな場合に生成されることがあります。

システムの処置: CICS 領域は、Kerberos セキュリティーにこのプリンシパル名を使用します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXSIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *principal name*

宛先: コンソール

DFHXS1402 *date time applid* **A request to inquire the client principal of a kerberos token obtained from a Security Token Service has failed, reason =**
 {R_TICKETSERV service responded not authorized by ESM. | Security not active. | ESM not active. | KDC not active. | KDC not responding. | R_TICKETSERV service responded not a kerberos region. | R_TICKETSERV service responded invalid client principal name. | R_TICKETSERV service responded invalid kerberos token. | R_TICKETSERV service responded ticket expired. | R_TICKETSERV service responded authenticator expired. | Unclassified ESM error. | R_TICKETSERV service responded invalid server principal name. | R_USERMAP service responded no userid for client principal. | R_USERMAP service responded not authorized by ESM. | R_GENSEC ACCEPT service responded attempted replay. | R_GENSEC ACCEPT service did not return an output token. | Kerberos not configured.} **SAF codes are** (X'safresp',X'safreas') **ESM codes are** (X'esmresp',X'esmreas') **Taskid (taskid)** **Tranid (tranid)** **Task userid (userid)**

説明: 外部セキュリティ・マネージャーに対して、セキュリティ・トークン・サービスから取得した Kerberos トークンのクライアント・プリンシパルの照会が要求されましたが、この要求が失敗しました。クライアント・プリンシパルの照会要求により、失敗した可能性のある 1 つ以上の z/OS 呼び出し可能サービスへの呼び出しが実行されます。クライアント・プリンシパルの照会要求を発行できるのは、例えば EXEC CICS VERIFY TOKEN を使用する場合があります。メッセージに示されている理由が、失敗の原因を示しています。

理由:

R_TICKETSERV サービスの応答は **ESM** によって許可されていません

外部セキュリティ・マネージャーが、z/OS R_TICKETSERV 呼び出し可能サービスに対するクライアント・プリンシパルの照会要求を許可しませんでした。

セキュリティがアクティブではありません

CICS セキュリティがアクティブではありません。

ESM がアクティブではありません

外部セキュリティ・マネージャーがアクティブではありません。

KDC がアクティブではありません

鍵配布センターがアクティブではありません。

KDC が応答していません

鍵配布センターが応答していません。

R_TICKETSERV サービスは **Kerberos** 領域で応答しませんでした

z/OS R_TICKETSERV 呼び出し可能サービスに対するクライアント・プリンシパルの照会要求が、この CICS 領域は **Kerberos** を使用するように定義されていないという、外部セキュリティ・マネージャーからの応答を返しました。

R_TICKETSERV サービスは、無効のクライアント・プリンシパル名で応答しました

z/OS R_TICKETSERV 呼び出し可能サービスに対するクライアント・プリンシパルの照会要求が、クライアント・プリンシパル名が無効であるという、外部セキュリティ・マネージャーからの応答を返しました。

R_TICKETSERV サービスは、無効の **Kerberos** トークンで応答しました

z/OS R_TICKETSERV 呼び出し可能サービスに対するクライアント・プリンシパルの照会要求が、**Kerberos** トークンが無効であるという、外部セキュリティ・マネージャーからの応答を返しました。

R_TICKETSERV サービスは、有効期限切れのチケットで応答しました

z/OS R_TICKETSERV 呼び出し可能サービスに対するクライアント・プリンシパルの照会要求が、チケットの有効な間隔の期限が切れたという、外部セキュリティ・マネージャーからの応答を返しました。

R_TICKETSERV サービスは、有効期限切れの認証子で応答しました

z/OS R_TICKETSERV 呼び出し可能サービスに対するクライアント・プリンシパルの照会要求が、外部セキュリティ・マネージャーで認証するには **Kerberos** トークンの時間と現在のシステム時刻の差が制限を超えているという応答を返しました。

分類していない **ESM** エラーです

外部セキュリティ・マネージャーから、CICS で分類されていない応答を受信しました。

R_TICKETSERV サービスは、無効のサーバー・プリンシパル名で応答しました

z/OS **R_TICKETSERV** 呼び出し可能サービスに対するクライアント・プリンシパルの照会要求が、**Kerberos** トークンに含まれるサーバー・プリンシパルが **CICS** 領域のユーザー ID に関連付けられているプリンシパル名と一致していないという応答を返しました。

R_USERMAP サービスは、クライアント・プリンシパルに対するユーザー ID を応答しませんでした

z/OS **R_USERMAP** 呼び出し可能サービスに対する要求が、外部セキュリティ・マネージャーにクライアント・プリンシパル名にマップされているユーザー ID がないという応答を返しました。

R_USERMAP サービスの応答は **ESM** によって許可されていません

外部セキュリティ・マネージャーが、クライアント・プリンシパル名にマップされているユーザー ID を取得するための z/OS **R_USERMAP** 呼び出し可能サービスに対する要求を許可しませんでした。

R_GENSEC ACCEPT サービスが再生試行で応答しました (**R_GENSEC ACCEPT service responded attempted replay**)

外部セキュリティ・マネージャーが、前の要求の再生試行を検出しました。例えば、同じ **Kerberos** トークンに対する **EXEC CICS VERIFY TOKEN KERBEROS ENCRYPTKEY** の実行が 2 回試行されました。

R_GENSEC ACCEPT サービスが出力トークンを返しませんでした (**R_GENSEC ACCEPT service did not return an output token**)

外部セキュリティ・マネージャーが、**EXEC CICS VERIFY TOKEN KERBEROS OUTTOKEN** が予期していたときに出力トークンを返しませんでした。

Kerberos が構成されていません

この **CICS** 領域は **Kerberos** をサポートするように構成されていない。**Kerberos** サポートを有効にするには、**SIT** パラメーターの **KERBEROSUSER** に、サービス・プリンシパルに関連付けられているユーザー ID を指定してください。

システムの処置: **CICS** を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して援助を求めてください。セキュリティ管理者もメッセージ

DFHXS1400 および DFHXS1401 の内容が必要になる場合があります。

モジュール: DFHXSKR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=**R_TICKETSERV** サービスの応答は **ESM** によって許可されていません。 ,
 2=**セキュリティ** がアクティブではありません。 ,
 3=**ESM** がアクティブではありません。 ,
 4=**KDC** がアクティブではありません。 ,
 5=**KDC** が応答していません。 ,
 6=**R_TICKETSERV** サービスは **Kerberos** 領域で応答しませんでした。 ,
 7=**R_TICKETSERV** サービスは、無効のクライアント・プリンシパル名で応答しました。 ,
 8=**R_TICKETSERV** サービスは、無効の **Kerberos** トークンで応答しました。 ,
 9=**R_TICKETSERV** サービスは、有効期限切れのチケットで応答しました。 ,
 10=**R_TICKETSERV** サービスは、有効期限切れの認証子で応答しました。 ,
 11=分類していない **ESM** エラーです。 ,
 12=**R_TICKETSERV** サービスは、無効のサーバー・プリンシパル名で応答しました。 ,
 13=**R_USERMAP** サービスは、クライアント・プリンシパルに対するユーザー ID を応答しませんでした。 ,
 14=**R_USERMAP** サービスの応答は **ESM** によって許可されていません。 ,
 15=**R_GENSEC ACCEPT** サービスが再生試行で応答しました。 (**R_GENSEC ACCEPT service responded attempted replay**),
 16=**R_GENSEC ACCEPT** サービスが出力トークンを返しませんでした。 (**R_GENSEC ACCEPT service did not return an output token**),
 17=**Kerberos** が構成されていません。

5. *X'safresp'*
6. *X'safreas'*
7. *X'esmresp'*
8. *X'esmreas'*
9. *taskid*
10. *tranid*
11. *userid*

宛先: CISC

DFHXS1403 *date time applid A request to a z/OS Callable Service failed during processing for encryption, reason = {R_GENSEC service responded not authorized by ESM. | Security not active. | ESM not active. | KDC not active. | KDC not responding. | Unclassified ESM error. | Invalid security context. | Invalid confidentiality state.}* **SAF codes are (X'safresp',X'safreas')** **ESM codes are (X'esmresp',X'esmreas')** **Taskid (taskid)** **Tranid (tranid)** **Task userid (userid)**

説明: 暗号化に関連する処理を実行中に、z/OS 呼び出し可能サービスに対して要求が出されましたが、その要求は失敗しました。この処理が発生する可能性があるのは、例えば EXEC CICS VERIFY TOKEN コマンドまたは EXEC CICS REQUEST ENCRYPTPTKT コマンドの実行中です。メッセージに示されている理由が、失敗の原因を示しています。

理由:

R_GENSECサービスの応答は**ESM**によって許可されていません

外部セキュリティ・マネージャーが、z/OS R_GENSEC 呼び出し可能サービスに対する要求を許可しませんでした。

セキュリティがアクティブではありません

CICS セキュリティがアクティブではありません。

ESM がアクティブではありません

外部セキュリティ・マネージャーがアクティブではありません。

KDC がアクティブではありません

鍵配布センターがアクティブではありません。

KDC が応答していません

鍵配布センターが応答していません。

分類していない **ESM** エラーです

外部セキュリティ・マネージャーから、CICS で分類されていない応答を受信しました。

コンテキストが無効です

外部セキュリティ・マネージャーが、セキュリティ・コンテキストが無効であるか、有効でなくなっていることを検出しました。無効な値は、ENCRYPTPTOKEN オプションを使用した EXEC CICS コマンドで提供された可能性があります。

無効な機密性状態です (**Invalid confidentiality state**)

外部セキュリティ・マネージャーが暗号化要求に失敗しました。例えば、EXEC CICS REQUEST ENCRYPTPTKT コマンドが実行されたが、その ENCRYPTKEY オプションが、メッセージの機密性をサポートしていないシステムから生成された Kerberos トークンと関連付けられているなどの場合です。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡して援助を求めてください。セキュリティ管理者もメッセージ DFHXS1400 および DFHXS1401 の内容が必要になる場合があります。

モジュール: DFHXSKR DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=R_GENSEC サービスの応答は ESM によって許可されていません。 ,

2=セキュリティがアクティブではありません。 ,

3=ESM がアクティブではありません。 ,

4=KDC がアクティブではありません。 ,

5=KDC が応答していません。 ,

11=分類していない ESM エラーです。 ,

15=無効なセキュリティ・コンテキストです。 ,

16=無効な機密性状態です。 (**Invalid confidentiality state**)

5. *X'safresp'*

6. *X'safreas'*

7. *X'esmresp'*

8. *X'esmreas'*

9. *taskid*

10. *tranid*

11. *userid*

宛先: CSCS

DFHXS1404 *applid The region userid cannot access one or more system transactions. CICS will terminate.*

説明: この CICS システムの領域ユーザー ID は、1 つ以上のシステム・トランザクションを接続する許可がありません。CICS 要件として、領域ユーザー ID はこれらのトランザクションにアクセスできなければなりません。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: CICS 領域ユーザー ID に、必要なすべての CICS システム・トランザクションへのアクセスを許可するか、または必要な権限を持つ別の領域ユーザー ID を指定してください。(必要なトランザクションは、「CICS セキュリティー」で「カテゴリー 1」のトランザクションとして説明されています。領域ユーザー ID にこれらのトランザクションの使用を許可するには、「CICS TS のインストール」で説明している手順に従って、サンプル CLIST (DFH\$CAT1) を実行する必要があります)。

その後で CICS を再始動してください。

モジュール: DFHXSRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHXS1500 *date time applid* **ESM** アプリケーション名 (*esmappname*) でのタスク・ユーザー ID (*userid*) の **PassTicket** 要求は、失敗しました。この要求は **ESM** によって許可されていないためです。Taskid (*taskid*)
Tranid (*tranid*)

説明: 外部セキュリティ・マネージャーに、システム内の ESM アプリケーション名 *esmappname* で使用するタスク・ユーザーID *userid* の PassTicket が要求されましたが、この要求は失敗しました。外部セキュリティ

ー・マネージャーによって権限は付与されませんでした。この要求は、タスク *taskid* でトランザクション ID *tranid* を使用して行われました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: パスチケットを要求するために必要な権限を取得するために、セキュリティ管理者に連絡して支援を求めてください。この権限を取得するためには、外部セキュリティ・マネージャーにタスク・ユーザー ID *userid* の適切な定義が設定されている必要があります。例えば、この ESM が RACF の場合、タスク・ユーザー ID *userid* には、ESM アプリケーション名 *esmappname* に関連付けられている PTKTDATA リソース・クラス内のプロファイルに対する READ アクセス権限が必要です。詳しくは、『セキュア・サインオンのための PassTicket の生成と使用』を参照してください。

モジュール: DFHXSPW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *esmappname*
6. *taskid*
7. *tranid*

宛先: CICS

DFHZCnnnn メッセージ

DFHZC0001 *applid* **An abend (code *aaa/bbbb*) has occurred at offset *X'offset'* in module *modname*.**

説明: モジュール *modname* で、異常終了またはプログラム・チェックが発生しました。これは、CICS コードにエラーの可能性があることを意味します。あるいは、予期しないデータが入力されたか、ストレージが上書きされた可能性があります。

コード *aaa/bbbb* は、3 桁の 16 進数 MVS コード (該当する場合) と、次に続く 4 桁の英数字の CICS コードから成ります。MVS コードは、システム完了コード (例えば、0C1 または D37) です。MVS コードが該当しない場合には、このフィールドは 3 つのハイフンで埋められます。CICS コードは、異常終了コード、または CICS メッセージを表す番号です。(たとえば、AKEA は CICS 異常終了コードです。1310 はメッセージ DFHTS1310 のことです。)

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に

作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャー DFHDMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS がまだ実行中の場合には、CICS を終了するかどうか決定する必要があります。

MVS コードがある場合は、そのコードを「z/OS MVS システム・コード」資料で調べてください。

次に、CICS 異常終了コードを調べてください。これにより、例えば、エラーがプログラム・チェック、異常終了、またはランナウェイであったかがわかります。ま

た、ユーザーの処置に関する何らかの手引きが得られる場合があります。

モジュール *modname* が、ユーザーの CICS システムの実行に不可欠でない場合には、実行を継続し、都合の良い時間に CICS をダウンさせて問題を解決することもできます。

モジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

code についての詳細は、トラブルシューティングおよびサポート を参照してください。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZGBM, DFHZGCA, DFHZGCC, DFHZGCN, DFHZGDA, DFHZGPC, DFHZGRP, DFHZGSL, DFHZGUB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *aaa/bbbb*
3. *X'offset'*
4. *modname*

宛先: コンソール

DFHZC0002 *applid* A severe error (code *X'code'*) has occurred in module *modname*.

説明: モジュール *modname* 内にエラーが検出されました。コード *X'code'* は、エラーが何であり、エラーがどこで検出されたかを一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目 (メッセージ内のコード *X'code'*) が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS を呼び出し側 (例えば、ドメイン・マネージャー DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性があることを示しています。その影響の重大度は、エラー発生時に実行されていた機能の重要度によって異なります。

CICS は終了していない可能性があります。メッセージが出されたのが 1 回であり、かつモジュール *modname* が CICS システムの実行に不可欠でない場合には、CICS の実行を続行し、都合の良い時間にダウンさせて問題を解決することができます。

メッセージが繰り返し表示されるか、またはモジュール *modname* を最大限に利用しないとシステムを実行できない場合には、制御シャットダウンで CICS をダウンさせる必要があります。

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZGCA, DFHZGCC, DFHZGCN, DFHZGDA, DFHZGPC, DFHZGRP, DFHZGSL, DFHZGUB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHZC0003 *applid* Insufficient storage (code *X'code'*) in module *modname*.

説明: CICS GETMAIN がモジュール *modname* によって出されましたが、要求を満足させるための十分なストレージがありません。

コード *X'code'* は、エラーが検出された場所を一意的に識別する例外トレース・ポイント ID です。

システムの処置: 例外項目がトレース・テーブル内に作成されます (メッセージ内のコード *X'code'*)。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。

該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

DSA または EDSA のサイズを大きくしてみてください。CICS ストレージについての詳細は、「構成」または「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHTCRP, DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *X'code'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHZC0004 *applid* A possible loop has been detected at offset *X'offset'* in module *modname*.

説明: CICS 機能は、CICS が予想する以上に処理に時間を要しています。モジュール *modname* 内のオフセット *X'offset'* で、ループの可能性が検出されました。これは、エラー検出時に実行されていた命令のオフセットです。

システムの処置: 例外項目が、トレース・テーブル内に作成されます。ダンプ・テーブルで特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS が終了するようにダンプ・テーブルで指定しない限り、CICS は続行されます。該当する場合には、エラー戻りコードがこのドメインの呼び出し側に送られます。この場合、CICS は呼び出し側 (たとえば、ドメイン・マネージャ DFHMDM) が終了させることができます。このことを示すメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。CICS が終了していない場合には、その問題が CICS をダウンさせるほど重大であるかどうかを判断する必要があります。

一部の CICS 機能はプロセッサ時間を多く使用することがあるので、このメッセージは長時間実行機能が原因で出された可能性があります。したがって、これはエラーではない可能性があります。通常、CICS は、ユーザーが SIT で指定したランナウェイ・タスク時間間隔 (ICVR はミリ秒単位で測定) を超える CICS 機能を除去します。これは、メッセージ内のモジュール *modname* が終了し、CICS が続行されることを意味します。

しかし、SIT で ICVR=0 を宣言しており、しかもモジュール *modname* がループに入ったと考えられる場合には、ランナウェイ機能を終了するために CICS を終了する必要があります。

CICS がモジュール *modname* を終了した場合で、しかもそれがランナウェイではないと考えられる場合には、SIT の ICVR 時間間隔を長くする必要があります。これを永続的に行うには、適切な時間に CICS をダウンさせる必要があります。ただし、CEMT トランザクションを使用して、ICVR 時間間隔を一時的にオンラインで変更することもできます。

ICVR 時間を長くしても問題が解決されない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'offset'*
3. *modname*

宛先: コンソール

DFHZC0101I *date time applid* A predatory takeover has forced VTAM to allow another application to open the ACB which CICS was using.

説明: 強制的な引き継ぎが起きています。これは、CICS システムと同じアプリケーション ID を持つジョブが初期設定していることを意味します。これにより、ネットワークの引き継ぎが開始されます。この処理の通常の一部として、VTAM によって TPEND 出口が駆動されます。

システムの処置: VTAM セッションに関するすべての要求は異常終了し、セッションがクローズされます。そして、CICS 領域と同じアプリケーション ID を使用しているアプリケーションによって VTAM ACB がオープンされます。新しいシステムでは、持続セッションがリカバリーされます。

ユーザーの処置: このネットワークの引き継ぎが意図されたものではなかった場合、RACF を使用して APPLID を保護することで、今後、この引き継ぎが発生しないようにすることができます。その方法について詳しくは、「z/OS Communications Server: SNA Network Implementation Guide」(SC31-6434) の VTAM アプリケーション・セキュリティーに関するセクションを参照してください。

モジュール: DFHZNCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSNE およびコンソール

DFHZC0110 *date time applid* The LU6.2 NIB and the TCTTE/BIND data for session *sessid* did not match during a persistent sessions restart. Reason code *X'n'*.

説明: 持続セッションの再始動時に、ノード初期設定ブロック (NIB) が、VTAM によって CICS に渡されました。CICS は NIB とセッション TCTTE を一致させようとしていました。理由コードで、両者が一致しない原因がわかります。

理由 説明

1

単一/並列セッションの指示が一致しなかった。

2

LU タイプが一致しなかった。

3

LU タイプおよび単一/並列セッションが一致しなかった。

システムの処置: TCTTE を持つ持続セッションを一致させる試みが失敗しました。セッションはアンバインドされます。CICS はこのセッションを無視し、次のセッションがある場合はそれを続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは、VTAM が渡した NIB に一致する、適当なグローバル・カタログ・レコードがないことを意味します。また、正しくないグローバル・カタログが CICS のこの初期設定に使用されているか、カタログ・レコードが破壊されていることも示しています。使用されているグローバル・カタログが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHZGPC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sessid*
5. *X'n'*

宛先: CSNE

DFHZC0111 *date time applid* **No session TCTTE is available to match sysid *sysid* for modename *modename* because VTAM has returned more NIBs than the CNOS session limit values require.**

説明: 持続セッションの再始動時に、現行 CNOS セッション限界値の要求を上回るノード初期設定ブロック (NIB) を、VTAM が戻しました。CICS が失敗したときに、高いセッション限度からより低いセッション限度へと CNOS が進行中であったことが原因と考えられます。

システムの処置: NIB 機能の処理は終了し、セッションはアンバインドされます。CICS はこのセッションを無視し、次のセッションがある場合はそれを続行します。

このような状況になっても、復元された CICS には何の影響もありません。最後にカタログが作成された CNOS 値がリストアされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGPC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *modename*

宛先: CSNE

DFHZC0112 *date time applid* **No TCTME was found for sysid *sysid* modename *modename* during a persistent sessions restart.**

説明: 持続セッションの再始動時にエラーが起きました。VTAM は、メッセージに示されたモード名を含む NIB を CICS に渡しましたが、CICS は対応する TCTME を見つけることができませんでした。

システムの処置: NIB を TCTTE と突き合わせる試みが終了し、セッションはアンバインドされます。

システム・ダンプが作成されます。

このモードグループに関連しない CNOS 値は復元されますが、メッセージに示されたモードグループを復旧することはできません。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZGPC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *modename*

宛先: CSNE

DFHZC0120I applid VTAM sessions persisted for a cold or initial start. Sessions terminated. Inquire issued icount, sessions persisting spcount, sessions terminated stcount.

説明: CICS はコールド・スタートまたは初期始動で初期設定されていますが、VTAM セッションの中にはゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から持続しているものがあります。

CICS は、持続セッションをすべて終了しようとした。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *icount* は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。
 - *spcount* は、持続 VTAM セッションの数を示します。
 - *stcount* は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSESS マクロで終了したセッションの数を示します。これは、*spcount* の値と同じでなければなりません。同じでないと、持続セッションのリカバリーはおそらく失敗しました。前に出されたメッセージで理由が分かります。
- 前にメッセージが出されていない場合は、アクティブ・セッションの数を示す VTAM INQUIRE カウント・マクロから得られたカウントが、VTAM が持続させていたセッションの数とはなかった可能性があります。これは、問題ありません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *icount*
3. *spcount*
4. *stcount*

宛先: コンソール

DFHZC0121I applid VTAM sessions persisted for a WARM start. Sessions terminated. Inquires issued icount, sessions persisting spcount, sessions terminated stcount.

説明: CICS は WARM スタートで初期設定されてい

ますが、VTAM セッションの中には、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から予想外に持続しているものがあります。

CICS は、持続セッションをすべて終了しようとした。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

- *icount* は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。
 - *spcount* は、持続 VTAM セッションの数を示します。
 - *stcount* は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSESS マクロで終了したセッションの数を示します。これは、*spcount* の値と同じでなければなりません。同じでないと、持続セッションのリカバリーはおそらく失敗しました。前に出されたメッセージで理由が分かります。
- 前にメッセージが出されていない場合は、アクティブ・セッションの数を示す VTAM INQUIRE カウント・マクロから得られたカウントが、VTAM が持続させていたセッションの数とはなかった可能性があります。これは、問題ありません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 直前の実行の JOBLOG を調べて、WARM シャットダウンにもかかわらずセッションが持続している理由を判別してください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *icount*
3. *spcount*
4. *stcount*

宛先: コンソール

DFHZC0122I applid VTAM sessions persisted for an EMERGENCY, XRF=YES start. Sessions terminated. Inquires issued icount, sessions persisting spcount, sessions terminated stcount.

説明: CICS は EMERGENCY スタートで初期設定されています。しかし、XRF = YES が指定されており、VTAM セッションの中には、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から予想外に持続しているものがあります。

CICS は、持続しているセッションをすべてクローズし

ようしました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

•

icount は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。

•

spcount は、持続 VTAM セッションの数を示します。

•

stcount は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSSESS マクロで終了したセッションの数を示します。これは、*spcount* の値と同じでなければなりません。同じでないと、持続セッションのリカバリーはおそらく失敗しました。前に出されたメッセージで理由が分かります。

前にメッセージが出されていない場合は、アクティブ・セッションの数を示す VTAM INQUIRE カウント・マクロから得られたカウントが、VTAM が持続させていたセッションの数と同じではなかった可能性があります。これは、問題ありません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: XRF と持続セッションを混合しないでください。XRF を使用したい場合は、コールド・スタートまたは初期始動を行ってください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *icount*
3. *spcount*
4. *stcount*

宛先: コンソール

DFHZC0123I *applid* VTAM sessions persisted when OPEN VTAM ACB issued. Sessions terminated. Inquires issued *icount*, sessions persisting *spcount*, sessions terminated *stcount*.

説明: CICS の実行中に VTAM ACB がオープンされましたが、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から持続している VTAM セッション、もしくは VTAM ACB のクローズ中にも持続していた VTAM セッションがありました。

持続しているセッションは終了しました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

•

icount は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。

•

spcount は、持続 VTAM セッションの数を示します。

•

stcount は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSSESS マクロで終了したセッションの数を示します。これは、*spcount* の値と同じでなければなりません。同じでないと、持続セッションのリカバリーはおそらく失敗しました。前に出されたメッセージに理由が説明されています。

前にメッセージが出されていない場合は、アクティブ・セッションの数を示す VTAM INQUIRE カウント・マクロから得られたカウントが、VTAM が持続させていたセッションの数と同じではなかった可能性があります。これは、問題ありません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *icount*
3. *spcount*
4. *stcount*

宛先: コンソール

DFHZC0124I *applid* VTAM sessions persisted for an EMERGENCY start. Inquires issued *icount*, sessions persisting *spcount*, sessions terminated *stcount*, sessions OPNDSTed *socount*, sessions in error *secount*.

説明: CICS は EMERGENCY スタートで初期設定されていましたが、VTAM セッションの中に、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から持続しているものがあります。

持続しているセッションは、それぞれ復元されたか、終了しました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

•

icount は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。

•

spcount は、持続 VTAM セッションの数を示します。

- *stcount* は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSSESS マクロで終了したセッションの数を示します。OPNDST 障害が NIBLIST 全体にわたって起きた場合 (メッセージ DFHZC0129 を参照)、NIBLIST 内のセッションは終了しました。このカウントはそれらのセッションを含んでいます。
- *socount* は、OPNDST OPTCD=RESTORE マクロで CICS が正常に復元した VTAM セッションの数を示します。
- *secount* は、CICS が復元できなかったセッションの数を示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *icount*
3. *spcount*
4. *stcount*
5. *socount*
6. *secount*

宛先: コンソール

DFHZC0125 *date time applid netname persistent session will be terminated. sense*
 ((instance) **Module name:** {DFHZGRP | DFHZGRP | DFHZGRP})

説明: CICS は EMERGENCY スタートで初期設定されていましたが、VTAM セッションの中に、ゼロ以外の PSDI 値で直前の CICS 実行時から持続しているものがあります。

しかし、*netname* の NETNAME を持つセッションは、メッセージ中の *instance* によって示される以下の理由の 1 つにより、終了します。AP 例外トレース項目が、それぞれの *instance* について以下のように作成されます。

インスタンス

ポイント ID および説明

1

X'FB21' APPC セッションをリカバリーするための十分なストレージがない。

2

1868 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

X'FB22' 端末セッションをリカバリーするための十分なストレージがない。

3

X'FB25' 同じ NETNAME を持つ NIB および TCTTE の LU TYPE が同じではなかった。

システムの処置: 上記のポイント ID を持つ AP 例外トレースが出されます。セッションは終了し、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: メッセージが出された場所を例外トレース・ポイントで識別し、どのような処置を取るかを判別してください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *sense*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZGRP,
 2=DFHZGRP,
 3=DFHZGRP

宛先: CSNE

DFHZC0126I *applid No VTAM sessions persisted for an EMERGENCY restart.*

説明: CICS は EMERGENCY スタートで初期設定されていましたが、直前の CICS 実行時から持続している VTAM セッションはありませんでした。次の理由が考えられます。

- 直前の実行時に持続が指定されていなかった。
- CICS が ACB オープンによって破損したが、セッションは使用されていなかった。
- PSDI 値の有効期限が切れていた。
- セッションが持続するかどうかを、DFHZGRP が判別するより先にエラーが起きた。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHZC0127 *applid* Cannot reestablish persisting sessions - VTAM ACB is closed.

Code: *X'code'*. **Module name:** *module*

説明: ACB がクローズしていたか、すべてのセッションを復元または終了する前にオペレーターの処置によって ACB がクローズされようとしていたにもかかわらず、VTAM ACB がオープンされ、CICS が VTAM 持続セッションを処理しています。

システムの処置: CICS は VTAM ACB のクローズを継続し、VTAM サポートなしで実行されます。

ユーザーの処置: オペレーターが ACB をクローズした理由を判別してから、VTAM なしで継続するか、ACB を動的にオープンするか、または CICS を正常にシャットダウンし再始動してください。

X'code' は、ACB がクローズしているときの VTAM マクロが診断したか、またどこでその診断が出されたかを判別する AP 例外トレース項目です。

モジュール: DFHZGRP、DFHZGUB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'code'*
3. *module*

宛先: コンソール

DFHZC0128 *applid* Cannot reestablish persisting sessions - VTAM not responding.

Module name: *module*

説明: CICS が VTAM 持続セッションを処理しています。しかし、CICS は VTAM マクロを出し、応答を 8 分間待ちました。

システムの処置: 開始中にこのようなことが起きると、CICS は終了します。動的オープン中に起きると、VTAM ACB はクローズし、CICS は VTAM なしで続行されます。

どちらの場合も、このメッセージに関してダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: すぐに CICS を再始動することもできますが、持続セッションのタイムアウトを待ってから CICS を再始動することもできます。

この問題が再発する場合には、VTAM が、(メッセージが DFHZGRP によって出された場合) INQUIRE または OPNDST マクロに対して、または (メッセージが DFHZGUB によって出された場合) CLSDST または TERMSSESS マクロに対して応答していない理由を突き止める必要があります。

どのマクロが応答していないかを判別するには、ダンプの TCP セクションを調べ、PS_RPL とラベル付けされた PS POOL 内の RPL を見てください。最初の RPL は INQUIRE または OPNDST が使用するもので、次の 10 個は CLSDST または TERMSSESS が使用するものです。

モジュール: DFHZGRP、DFHZGUB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *module*

宛先: コンソール

DFHZC0129 *applid* VTAM OPNDST RESTORE failed. All sessions in the NIBLIST will be terminated instead.

RTNCD,FDB2: *X'rc',X'fd'*. **Code:** *X'code'*

説明: CICS は EMERGENCY 再始動中に VTAM 持続セッションを処理していますが、OPNDST OPTCD=RESTORE マクロへの応答の中で、VTAM によって *rc,fd* の RTNCD,FDB2 が戻されました。

システムの処置: AP 例外トレース項目 *X'code'* が作成されます。

ダンプ・テーブル内でダンプが特に抑制されていない限り、このような問題が初めて起きたときにシステム・ダンプがとられます。

CICS は、NIBLIST 内のセッションをすべて復元する代わりに、終了しようとします。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題が初めて発生したときに作成されたダンプまたは例外トレース項目、および「z/OS Communications Server: SNA Programming」を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rc'*
3. *X'fd'*
4. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHZC0130 *applid* VTAM INQUIRE PERSESS
**failed. Cannot restore any persisting
sessions. RTNCD,FDB2: X'rc',X'fd'.**
Code: X'code'

説明: CICS は VTAM 持続セッションを処理していますが、INQUIRE OPTCD=PERSESS マクロへの応答の中で、VTAM によって *rc,fd* の RTNCD,FDB2 が戻されました。

システムの処置: AP 例外トレース項目 *X'code'* が作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

初期設定中にこのような問題が起きると、CICS は終了します。

ACB の動的オープン中に起きると、CICS は ACB をクローズし、VTAM なしで実行が継続されます。

PSDI 値がタイムアウトになるか、VTAM オペレーター・コマンドが出されてセッションが終了するまで、セッションは持続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプまたは例外トレース項目、および「z/OS Communications Server: SNA Programming」を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

初期設定時に問題が起こった場合には、エラーの訂正を試みてから開始を再試行するか、あるいは PSDI 値の時間が満了するまで待ってから CICS を再始動してください。

ACB の動的オープン中にこのような問題が起きた場合は、コマンドをもう一度出して VTAM ACB をオープンするか、PSDI 値の時間が満了するのを待ってからコマンドをもう一度出してください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rc'*
3. *X'fd'*
4. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHZC0131 *date time applid netname termid* VTAM
OPNDST RESTORE failed.

説明: CICS は VTAM 持続セッションを処理しており、NIBLIST に対して OPNDST OPTCD=RESTORE を出しました。しかし、*netname*、および *termid* のセッションまたは端末 ID で識別される NIB は正常にオープンできませんでした。この理由としては、INQUIRE OPTCD=PERSESS が出された後に VTAM オペレーターがセッションを終了したことが考えられます。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 通常の方法でセッションを再オープンしてください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *termid*

宛先: CSNE

DFHZC0132 *applid* VTAM INQUIRE PERSESS
**failed. Cannot restore some persisting
sessions. Network only partially
restored. RTNCD,FDB2: X'rc',X'fd'.**
Code: X'code'

説明: CICS は VTAM 持続セッションを処理していますが、後続の INQUIRE OPTCD=PERSESS マクロへの応答の中で、VTAM によって *rc,fd* の RTNCD,FDB2 が戻されました。

システムの処置: AP 例外トレース項目 *X'code'* が作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS は、部分的なネットワークで続行されます。セッションには使用可能なものとそうでないものがあります。使用可能になっていないものも、PSDI 値がタイムアウトになるか、VTAM オペレーターが失敗したセッションを終了すれば使用できます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ダンプまたは例外トレース項目、および「z/OS Communications Server: SNA Programming」を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

び問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

ネットワークのかなりの部分が利用可能な場合は、PSDI 値が満了するのを待つか、VTAM オペレーター・コマンドを使用してセッションを終了してください。

ネットワークが使用できない場合は、VTAM ACB をいったんクローズしてから再オープンするか、または CICS を再始動してください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'rc'*
3. *X'fd'*
4. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHZC0133A *applid* Persistent session recovery failed.

説明: CICS の初期設定中に、VTAM 持続セッションを処理する試みが失敗しました。理由は、前に出されたメッセージで分かります。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: 前に出されたメッセージと例外トレース項目を調べて、障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHSII1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHZC0134I *applid* VTAM sessions persisted when OPEN ACB issued. Inquires issued *icount*, sessions persisting *spcount*, sessions terminated *stcount*, sessions OPNDSTed *socount*, sessions in error *secount*.

説明: CICS の実行中に VTAM ACB がオープンされ、VTAM の異常終了後も一部の VTAM セッションが持続していました。

持続しているセッションは、それぞれ復元されたか、終了しました。メッセージには、以下の情報が挿入されます。

•

icount は、VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS コマンドが出された回数を示します。

•

spcount は、持続 VTAM セッションの数を示します。

•

stcount は、CICS が CLSDST マクロまたは TERMSESS マクロで終了したセッションの数を示します。OPNDST 障害が NIBLIST 全体にわたって起きた場合 (メッセージ DFHZC0129 を参照)、NIBLIST 内のセッションは終了しました。このカウントはそれらのセッションを含んでいます。

•

socount は、OPNDST OPTCD=RESTORE マクロで CICS が正常に復元した VTAM セッションの数を示します。

•

secount は、CICS が復元できなかったセッションの数を示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *icount*
3. *spcount*
4. *stcount*
5. *socount*
6. *secount*

宛先: コンソール

DFHZC0136 *applid* PSDI value indicated persistence but the run time VTAM does not support persistent sessions.

説明: PSDI 値は非ゼロです。これは、CICS 障害が起きても VTAM セッションが持続するよう指定しています。しかし、このリリースの VTAM では、持続セッションはサポートされていません。

システムの処置: CICS は PSDI 値を 0 に設定し、持続セッションのサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: CICS の持続セッション・サポートを利用するためには、ACF/VTAM リリース 3 バージョン 4 モディフィケーション 1 以降を使用する必要があります。

VTAM の旧リリースの使用時にこのメッセージが出されるのを防ぐには、PSDINT システム初期設定パラメーターをゼロに設定してください。EXEC CICS SET

DFHZC0137 • DFHZC0144

VTAM コマンドの使用時には、省略するか、PSDINTERVAL オペランドにゼロの値を指定してください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHZC0137 *applid* PSDI value indicated persistence but the TCT assemble time VTAM does not support persistent sessions.

説明: PSDI 値は非ゼロです。これは、CICS 障害が起きても VTAM セッションが持続するよう指定しています。ただし、持続セッションをサポートできないリリースの VTAM に対して、DFHTCTxx がアセンブルされました。

システムの処置: CICS は PSDI 値を 0 に設定し、持続セッションのサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: CICS の持続セッション・サポートを利用するためには、ACF/VTAM リリース 3 バージョン 4 モディフィケーション 1 以降に対して TCT を再アセンブルする必要があります。

VTAM の旧リリースの使用時にこのメッセージが出されるのを防ぐには、PSDINT システム初期設定パラメーターをゼロに設定してください。EXEC CICS SET VTAM コマンドの使用時には、省略するか、PSDINTERVAL オペランドにゼロの値を指定してください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHZC0140 *applid* SETLOGON PERSIST failed. RTNCD,FDB2: X'rc',X'fd'. Code: X'code'

説明: CICS が VTAM ACB をオープンしていたか、オペレーター・コマンドからの PSDI 値を設定していたか、あるいは WARM シャットダウンを行っていました。CICS は、VTAM コマンド SETLOGON OPTCD=PERSIST または OPTCD=NPERSIST を出そうと試みました。しかし、VTAM は *rc,fd* の RTNCD,FDB2 を戻しました。

システムの処置: AP 例外トレース項目 *code* が作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

ACB がオープンされていた場合、VTAM セッションは持続し、PSDI 値は 0 に設定されます。

PSDI 値をオペレーターがちょうど変更していたか、終了中にちょうど変更されていた場合には、CICS と VTAM の双方に対して値は変更されません。

VTAM シャットダウンの最中で、まだクローズしていないセッションがあるときにこの問題が起きると、セッションは VTAM 開始時に存在している場合がありますが、その後終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 作成されたダンプまたは例外トレース項目 *code*、および「z/OS Communications Server: SNA Programming」を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

モジュール: DFHZGSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. X'rc'

3. X'fd'

4. X'code'

宛先: コンソール

DFHZC0144 *date time applid sysid termid* Synclevel 2 conversation started by *netname* before completion of exchange lognames. *sense ((instance) Module name: {DFHZGDA})*

説明: CICS は、ログ名の交換の処理が完了する前に、ネット名 *netname* を持つパートナーから同期レベル 2 の会話の付加 FMH5 を受け取りました。

システムの処置: センス・コード 08640001 の Deallocate(Abend) が、この会話に対して出されます。

ユーザーの処置: ログ名の交換が完了するまで、パートナーはさらに他の APPC 同期レベル 2 の会話を開始できません。ログ名の交換が完了したかどうかを判別するには、CEMT を使用して接続の状況を照会してください (詳細については、「CICS Supplied Transactions」を参照してください)。

モジュール: DFHZGDA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *sysid*

5. *termid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZGDA

宛先: CSNE

DFHZC0145 *date time applid netname termid Synclevel*
2 APPC conversation started before
Exchange Lognames completed.
Deallocate(Abend)の実行でエラーが発生
 しました。*sense ((instance) Module*
name: {DFHZGDA | DFHZGDA})

説明: *netname* を持つ APPC セッション *termid* が、CICS 持続セッションの再始動中に持続していました。パートナーは、ログ名交換処理が完了する前に、新しい同期レベル 2 の会話を開始しました。CICS は、この会話に対して Deallocate(Abend) を出そうと試みました。Deallocate(Abend) は、以下のメッセージ内の *instance* が示す理由のため、完了することができませんでした。

インスタンス
説明

01

DFHZGDA が、チェーン有限状態マシンによって、予期しない状態のときに呼び出された。

02

DFHZGDA が、ブラケット有限状態マシンによって、予期しない状態のときに呼び出された。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 持続セッションの再始動後のセッションの状態を判別することはできません。この状態をリセットするため、セッションが非活動化されます。その後、セッションは再活動化されます。

ユーザーの処置: セッションの再活動化がうまくいかなかった場合は、CSNE ログを検査して、新しい BIND が失敗した理由を示しているメッセージを見つけてください。VTAM オペレーターが、セッションを使用できない状態にしている可能性があります。

モジュール: DFHZGDA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *termid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZGDA,
2=DFHZGDA

宛先: CSNE

DFHZC0146 *date time applid* 持続セッションの再始動後に、*termid* の VTAM セッションが正常にリカバリーしました *sense ((instance) モジュール名: {DFHZXRC})(date time applid VTAM session for termid successfully recovered following a persistent sessions restart sense ((instance) Module name: {DFHZXRC}))*

説明: CICS が、持続セッションの再始動後に、端末 *termid* の VTAM 持続セッションを復元しました。

APPC セッションの場合のこれと同等のメッセージは、DFHZC0156 です。

システムの処置: リカバリー通知がこの端末に指定されていると、リカバリー・メッセージが送信されるか、リカバリー通知時に実行されるよう要求されたトランザクションが開始されます。

ユーザーの処置: 必要であれば、NEP をコーディングして、もともとこのセッションの TYPETERM 定義で指定されていたリカバリー通知オプションを上書きしてください。詳細については、「リソースの定義」および「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHZXRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *sense*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZXRC

宛先: CSNE

DFHZC0147 *date time applid sysid termid* 持続セッションのリカバリー中にエラーが発生しました。 *sense ((instance) モジュール名: {DFHZGDA | DFHZGDA | DFHZGDA | DFHZGDA | DFHZGDA | DFHZGDA})* (*date time applid sysid termid* **Error occurred recovering persisting session.** *sense ((instance) Module name: {DFHZGDA | DFHZGDA | DFHZGDA | DFHZGDA | DFHZGDA | DFHZGDA})*)

説明: エラーのため、緊急再始動が行われても持続していた APPC 会話のリカバリーが失敗しました。

termid の端末 ID を持つセッションが終了します。この理由および対応する AP 例外トレース項目は、メッセージ内の *instance* によって示されています。

インスタンス

ポイント ID および説明

1

X'FB79' ブラケット状態が無効なため、SEND が実行されなかった。

2

X'FB7B' セッションのリカバリーのための十分なストレージがなかった。

3

X'FB76' リカバリー状況バイト TCTE_PRSS に予期しない値が含まれている。

4

X'FB7A' ブラケット状態が無効なため、RECEIVE が実行されなかった。

5

X'FB78' 持続セッションのリカバリー中に、予期しないセンスを受け取った。

システムの処置: 上記のポイント ID を持つ AP 例外トレースが出されます。セッションは終了し、CICS は続行されます。

ユーザーの処置: ストレージが足りないためにリカバリーが失敗した場合は、DSA または EDSA のサイズ限界を上げてみてください (「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照)。その他のインスタンスが起こった場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題

解決」を参照してください。

モジュール: DFHZGDA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *termid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZGDA,
2=DFHZGDA,
3=DFHZGDA,
4=DFHZGDA,
5=DFHZGDA

宛先: CSNE

DFHZC0148 *date time applid sysid termid VTAM* **send or receive failed during persistent sessions recovery.** *sense ((instance) Module name: {DFHZGDA | DFHZGDA})*

説明: 持続セッションの再始動後のセッション・リカバリーの一部として、CICS が VTAM SEND または RECEIVE を出しました。VTAM 要求は失敗し、セッションは不明の状態になります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するためには、CSNE ログ内の関連した DFHZCnnnn メッセージを参照してください。このメッセージによって、VTAM 要求の失敗に関するさらに詳しい診断情報が得られます。

モジュール: DFHZGDA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *termid*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZGDA,
2=DFHZGDA

宛先: CSNE

DFHZC0149 *date time applid termid* **Connection**
failure occurred during a persistent
sessions restart *sense ((instance)* **Module**
name: {DFHZNSP})

説明: 持続セッションの再始動中に、CICS の直前のインスタンス中に出されたセッション開始要求が失敗したという通知を、CICS が受け取りました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHZNSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *sense*
6. *instance*

7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNSP

宛先: CSNE

DFHZC0150 *date time applid termid Error processing
the session state data returned after a
persistent sessions restart.* *sense*
((instance) Module name: {DFHZZRC |
DFHZZRC | DFHZZRC | DFHZZRC |
DFHZZRC | DFHZZRC | DFHZZRC |
DFHZZRC | DFHZZRC | DFHZZRC |
DFHZZRC | DFHZZRC | DFHZZRC})

説明: 端末 *termid* の VTAM セッションは CICS 持続セッションの再始動中も持続していましたが、VTAM によって戻されたセッション状態データの処理中にエラーが起きました。その理由は、メッセージ内の *instance* によって以下のように示されます。

インスタンス 説明

01

DFHZXRC が無効な要求によって呼び出された。

02

TCTEDA に、予期されたアドレスの代りにヌル文字が含まれている。

03

予約

04

VTAM によって渡されたデータのベクトル・キーが正しくない。

05

vector_29 データの長さが短すぎる。

06

識別できない終結処置が検出された。

07

識別できないリカバリー・オプションが検出された。

08

RECOVPTION(NONE) に対する終結処置が無効。

09

RECOVPTION(MESSAGE) に対する終結処
置が無効。

10

RECOVOPTION(TRANSACTION) に対する終
結処置が無効。

11

予約済み。

12

DFHZXRC が、LU6 セッションを処理するよう駆動された。

13

XRF または持続セッションのリカバリーが進行状態にない。DFHZXRC の呼び出しがエラー。

DFHZC0151 • DFHZC0152

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 持続セッションの再始動後のセッションの状態を判別することはできません。この状態をリセットするため、セッションが終了します。APPC 以外のセッションが再始動されます。

ユーザーの処置: セッションの再始動がうまくいかなかった場合は、CSNE ログを検査して、新しい BIND が失敗した理由を示しているメッセージを見つけてください。VTAM オペレーターが、セッションを使用できない状態にしている可能性があります。

モジュール: DFHZXRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *sense*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZXRC,
2=DFHZXRC,
3=DFHZXRC,
4=DFHZXRC,
5=DFHZXRC,
6=DFHZXRC,
7=DFHZXRC,
8=DFHZXRC,
9=DFHZXRC,
10=DFHZXRC,
11=DFHZXRC,
12=DFHZXRC,
13=DFHZXRC

宛先: CSNE

DFHZC0151 *date time applid* **Transaction** *transid* **was started invalidly. transid will terminate.**

説明: トランザクション *transid* が不正に開始されました。*transid* は CICS によってのみ接続されなければなりません。端末からのキー入力や、ユーザー・プログラムからの START によって開始してはなりません。

システムの処置: *transid* will terminate.

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHZSGN, DFHZPCT, DFHZRTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *transid*
5. *transid*

宛先: CSNE

DFHZC0152 *date time applid termid* **Signon of user at termid termid failed following a persistent sessions restart. Return code rc was received from the user domain.**

説明: 持続セッションの再始動後に、CICS がユーザーのサインオンを試行しました。ユーザー・ドメインは、次のいずれかの戻りコードで応答しました。

戻りコード

説明

005

ユーザーがすでにサインオンしている。

006

ユーザー ID にこの端末への権限がない。

008

特定のグループへのユーザー・アクセスが取り消されている。

009

ESM 内のこのユーザー ID と関連付けられたセキュリティ・ラベルに、必要な権限がない。

010

このユーザー ID は、指定されたグループに含まれていない。

011

このユーザー ID は取り消されている。

012

このユーザー ID は ESM に認識されていない。

015

SIT で SEC=NO が指定されていた。

016

ESM が応答していない。

017

ESM が応答していない。

018

ESM から返された応答が、CICS セキュリティー・ドメインで認識されませんでした。

27

ユーザー・ドメインが災害時応答を返した。

システムの処置: ポイント ID FB9B の AP 例外トレースが発行されます。

端末は使用可能ですが、ユーザーはサインオンしていません。端末はデフォルト・ユーザーの属性を使用します。

ユーザーの処置: 戻りコードを記録して、必要な処置を行ってください。ESM またはセキュリティ・ドメインによって前に出力されたメッセージを検索します。

モジュール: DFHZSGN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *termid*
6. *rc*

宛先: CSNE

DFHZC0153 *date time applid* A catalog write failed in the restart timer program.

説明: 再始動タイマー・プログラム DFHZRIP がタイマー・レコードをカタログに書き込もうとしましたが失敗しました。カタログに書き込まれているタイマー・レコードがない場合、持続セッションが再始動しても、端末への再サインオンは行われません。

システムの処置: 例外トレースが出力されます。

ユーザーの処置: このエラーの原因を調べてください。
グローバル・カタログに問題がある可能性があります。
その可能性を確認する他のメッセージを探してください。

モジュール: DFHZRTP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSNE

DFHZC0154 *date time applid* Timed start or cancellation of the restart timer program failed.

説明: 再始動タイマー・プログラム DFHZRTP の時限始動または取り消しに失敗しました。これは、タイマー・レコードがグローバル・カタログに書き込まれず、持続セッションが再始動した場合は、端末がタイムアウトになることを意味します。

システムの処置: CICS の初期設定を続行します。 持続セッションが再始動した場合、端末へのサインオンは行われません。

ユーザーの処置: この失敗の理由を示す可能性がある、タイマー・ドメインによって以前に出力されたメッセージとトレース項目を探してください。一般的な理由としては、CICS のストレージが不足していることが考えられます。

モジュール: DFHTCRP, DFHZPCT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSNE

DFHZC0155 *date time applid sysid termid* **Error**
occurred during processing of session
state data returned after restart of
persisting session. sense ((instance

[illegible]

<div> <div>DFHZXPS DFHZXPS DFHZXPS))</div> <div>説明: CICS 持続セッション再始動中も VTAM APPC セッション <i>sysid termid</i> は持続していましたが、OPNDST OPTCD=RESTORE の後に VTAM によって戻されたセッション状態データの処理中にエラーが起きました。</div> <div>エラーをさらに調査する必要がある場合は、ダンプがとられます。</div> <div>前の問題でダンプがすでにとられている場合、またはセッションの持続を許可できないような問題として知られているものである場合には、ダンプはとられません。その例としては、CICS の終了時にこのセッションでのバインド・セキュリティ処理が完了していない場合があります。</div> <div>この理由および対応する AP 例外トレース項目は、メッセージ内の <i>instance</i> に示されています。</div> <div>インスタンス</div> <div>ポイント ID および説明</div> <div>1</div> <div> <div>X'FBFD'</div> <div>拒否接続処理時に、DFHZGDA の呼び出しが行われたが、DFHZGDA は無効な形式または無効な機能のその呼び出しを拒否した。</div> </div> <div>2</div> <div> <div>X'FBFD'</div> <div>拒否接続処理時にエラーが起きた。セッションは不明状態です。</div> </div> <div>3</div> <div> <div>X'FBD2'</div> <div>TCTE_PRSS 状況バイトは 0 に設定されたが、拒否接続処理は行われていなかった。このセッション状態は、DFHZXPS に入るには無効です。</div> </div> <div>4</div> <div> <div>X'FBE4'</div> <div>DEALLOCATE ABEND 処理時にエラーが起きた。これは DFHZGDA によって処理されているはずなので、ダンプはとられませんが、セッションは終了します。</div> </div> <div>5</div> <div> <div>X'FBD2'</div> <div>TCTE_PRSS バイト (持続セッション状況バイト) には、DFHZXPS へ入る際に不明値が入っていた。</div> </div> </div>	<div>6</div> <div>X'FBE6'</div> <div>TCTE_PRSS_CV29_PTR (VTAM によって戻されるデータを指すポインター) には、DFHZXPS に入る際にゼロが入っていた。</div> <div>7</div> <div>X'FBD3'</div> <div>VTAM から戻された CV29 データの長さは、DFHZXPS へ入る際にゼロであった。</div> <div>8</div> <div>X'FBD4'</div> <div>VTAM によって戻された BIS フロー・データは、BIS RQE1 が受け取られたことを示したが、アウトバウンド BIS フローはそれと矛盾していた。</div> <div>9</div> <div>X'FBD4'</div> <div>VTAM によって戻された BIS フロー・データは、BIS RQE3 が受け取られたことを示したが、アウトバウンド BIS フローはそれと矛盾していた。</div> <div>10</div> <div>X'FBD4'</div> <div>VTAM によって戻された BIS フロー・データは、BIS フローが受け取られなかったことを示したが、アウトバウンド BIS フローはそれと矛盾していた。</div> <div>11</div> <div>X'FBD4'</div> <div>VTAM から戻された BIS フロー・データは認識されなかった。</div> <div>12</div> <div>X'FBD5'</div> <div>VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、このセッションがコンテンション勝者である場合に認識されなかった要求を示した。</div> <div>13</div> <div>X'FBD5'</div> <div>VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、X'088B' 否定応答が送信されたことを示したが、セッションが終了中であることを示した。</div>
--	---

	示すものは何もなかった。このセッションはコンテンション勝者です。	21	X'FBD8'	
14	X'FBD5'		VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリーは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはインバウンド要求でした。)	
	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、このセッションがコンテンション勝者である場合に認識されなかった応答を含んでいた。	22	X'FBD8'	
15	X'FBD5'		VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリーは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはアウトバウンド応答でした。)	
	VTAM から戻された送信権要求フロー・データは認識されなかった。このセッションはコンテンション勝者です。	23	X'FBD8'	
16	X'FBD5'		VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリーは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはインバウンド応答でした。)	
	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、このセッションがコンテンション敗者である場合に認識されなかった要求を含んでいた。	24	X'FBD9'	
17	X'FBD5'		DFHZXPS は、VTAM によって戻された CV29 データから最後のフローの方向を判別できなかった。(このセッションは 1 次でした。)	
	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、X'088B' 否定応答を含んでいたが、セッションが終了中であることを示すものは何もなかった。このセッションはコンテンション敗者です。	25	X'FBD8'	
18	X'FBD5'		VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリーは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 2 次であり、最後のフローはインバウンド要求でした。)	
	VTAM によって戻された送信権要求フロー・データは、このセッションがコンテンション敗者である場合、認識されなかった応答を含んでいた。	26	X'FBD8'	
19	X'FBD5'		VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリーは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 2 次であり、最後のフローはアウトバウンド要求でした。)	
	VTAM から戻された送信権要求フロー・データは認識されなかった。このセッションはコンテンション敗者です。	27	X'FBD8'	
20	X'FBD8'		VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリーは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 2 次であり、最後のフローはインバウンド応答でした。)	
	VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリーは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 1 次であり、最後のフローはアウトバウンド要求でした。)	28		

	X'FBD8'		X'FBDA'
	VTAM によって戻された CV29 データ内の RU カテゴリーは、LU6.2 には無効であった。(このセッションは 2 次であり、最後のフローはアウトバウンド応答でした。)		最後のインバウンド・フローは、このブラケットに対するものではない応答であった。(このセッションは 2 次であり、現行ブラケットを開始しませんでした。)
29	X'FBD9'	37	X'FBDA'
	CICS は、VTAM によって戻された CV29 データから最後のフローの方向を判別できなかった。(このセッションは 2 次でした。)		最後のフローは肯定応答アウトバウンドであり、直前の要求に対するものではなかった。
30	X'FBD9'	38	X'FBDB'
	last_thing_to_flow バイトに無効値が入っていた。これは、DFHZXPS に論理エラーがあることを示しています。		最後のフローは、識別できなかったインバウンド LUSTAT コマンドであった。
31	X'FBDA'	39	X'FBDB'
	最後のインバウンド・フローは、直前の要求に対するものではない応答であった。		最後のフローは、送信権要求分析ルーチンによって処理されなかったインバウンド RTR であった。
32	X'FBDA'	40	X'FBDB'
	コマンドに対するものではない否定応答が出された。これは、X'0846' 否定応答ではありませんでした。		最後のフローは、識別できなかったインバウンド・コマンドであった。
33	X'FBDA'	41	X'FBDB'
	最後のインバウンド・フローは、このブラケットに対するものではない応答であった。(このセッションは 1 次であり、現行ブラケットを開始しました。)		最後のフローは、識別できなかったアウトバウンド LUSTAT コマンドであった。
34	X'FBDA'	42	X'FBDB'
	最後のインバウンド・フローは、このブラケットに対するものではない応答であった。(このセッションは 2 次であり、現行ブラケットを開始しました。)		最後のフローは、送信権要求分析ルーチンによって処理されなかったアウトバウンド RTR 要求であった。
35	X'FBDA'	43	X'FEDB'
	最後のインバウンド・フローは、このブラケットに対するものではない応答であった。(このセッションは 1 次であり、現行ブラケットを開始しませんでした。)		最後のフローは、識別できなかったアウトバウンド・コマンド要求であった。
36	X'FBDA'	44	X'FBDC'
	最後のインバウンド・フローは、このブラケットに対するものではない応答であった。(このセッションは 1 次であり、現行ブラケットを開始しませんでした。)		最後のフローは、BIS フロー・データで処理されなかった BIS に対するインバウンド応答であった。
		45	

	X'FBDD'		最後のフローは、識別できなかったコマンドに対するインバウンド肯定応答であった。		フローさせる最後の要求は SIGNAL (急送フロー) であったが、CV29 通常フロー・データ域には通常フロー・データが現れない。
46		55			
	X'FBDA'		最後のフローは、LUSTAT コマンドに対するインバウンド応答であったが、対応するアウトバウンド要求がなかった。		X'FBE1'
47					最後のフローは SIGNAL 要求 (急送フロー) であった。しかし、通常フロー・データの分析では、可能ではない両側での送信が示されている。(アウトバウンド・フローは EC と一緒にありました。)
	X'FBDA'	56	最後のフローは、識別できなかった LUSTAT 要求に対するインバウンド否定応答であった。		X'FBE1'
48					最後のフローは SIGNAL 要求 (急送フロー) であった。しかし、通常フロー・データの分析では、可能ではない両側での送信が示されている。(アウトバウンド・フローはチェーン内にありました。)
	X'FBDC'		最後のフローは、BIS フロー・データに現れなかった BIS 要求に対する否定応答インバウンドであった。	57	
49					X'FBD5'
	X'FBDD'		最後のフローは、識別できなかったコマンドに対する否定応答インバウンドであった。	58	TCTTE 内の tctewin/tctelse ビットが正しく設定されなかった。
50					X'FBDF'
	X'FBDC'		最後のフローは、BIS フロー・データと調和していない BIS に送られる肯定応答アウトバウンドであった。	59	現行トランザクションを ABEND させるための DFHZGDA の呼び出しが必要であることが CV29 データの分析で示されたとき、セッションは CS モードではない。
51					X'FBE7'
	X'FBDD'		最後のフローは、識別できなかったコマンドに送られる肯定応答アウトバウンドであった。	60	DFHZGDA に対する SEND_FMH7 呼び出しは、invalid_format または invalid_function で拒否された。
52					X'FBE7'
	X'FBDC'		最後のフローは、BIS フロー・データと調和していない BIS に送られる否定応答アウトバウンドであった。	61	DFHZGDA での重大エラーにより、DFHZGDA に対する SEND_FMH7 呼び出しが拒否された。
53					X'FBE7'
	X'FBDD'		最後のフローは、識別できなかったコマンドに対するアウトバウンド否定応答であった。	62	DFHZGDA に対する RECEIVE_FMH7 呼び出しは、invalid_format または invalid_function で拒否された。
54					
	X'FBE1'				

X'FBE7'

DFHZGDA での重大エラーにより、
DFHZGDA に対する RECEIVE_FMH7 呼び出しが拒否された。

63

X'FBE0'

DFHZXPS の内部論理エラー。 DFHZGDA に対して呼び出しが行われようとするときの入力パラメーターが無効です。

64

X'FBE5'

ENTRY=DFHZRST1 を指定した DFHTCPCL の呼び出しから、無効な戻りコードが戻された。

65

X'FBDE'

tcte_bid_status バイトは、認識されない値を含んでいた。

システムの処置: ポイント ID を持つ AP 例外トレースが出されます。再始動後のセッションの状態を判別することはできません。この状態をリセットするため、セッションが終了します。その後、セッションは再始動されます。04 を除くすべてのインスタンスについて、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: セッションの再始動がうまくいかなかった場合は、CSNE ログを検査して、新しい BIND が失敗した理由を示しているメッセージを見つけてください。VTAM オペレーターが、セッションを使用できない状態にしている可能性があります。

モジュール: DFHZXPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *termid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZXPS,
2=DFHZXPS,
3=DFHZXPS,
4=DFHZXPS,
5=DFHZXPS,

6=DFHZXPS,
7=DFHZXPS,
8=DFHZXPS,
9=DFHZXPS,
10=DFHZXPS,
11=DFHZXPS,
12=DFHZXPS,
13=DFHZXPS,
14=DFHZXPS,
15=DFHZXPS,
16=DFHZXPS,
17=DFHZXPS,
18=DFHZXPS,
19=DFHZXPS,
20=DFHZXPS,
21=DFHZXPS,
22=DFHZXPS,
23=DFHZXPS,
24=DFHZXPS,
25=DFHZXPS,
26=DFHZXPS,
27=DFHZXPS,
28=DFHZXPS,
29=DFHZXPS,
30=DFHZXPS,
31=DFHZXPS,
32=DFHZXPS,
33=DFHZXPS,
34=DFHZXPS,
35=DFHZXPS,
36=DFHZXPS,
37=DFHZXPS,
38=DFHZXPS,
39=DFHZXPS,
40=DFHZXPS,
41=DFHZXPS,
42=DFHZXPS,
43=DFHZXPS,
44=DFHZXPS,
45=DFHZXPS,
46=DFHZXPS,
47=DFHZXPS,
48=DFHZXPS,
49=DFHZXPS,
50=DFHZXPS,
51=DFHZXPS,
52=DFHZXPS,
53=DFHZXPS,
54=DFHZXPS,
55=DFHZXPS,
56=DFHZXPS,
57=DFHZXPS,
58=DFHZXPS,
59=DFHZXPS,
60=DFHZXPS,

61=DFHZXPS,
62=DFHZXPS,
63=DFHZXPS,
64=DFHZXPS,
65=DFHZXPS

宛先: CSNE

DFHZC0156 *date time applid sysid VTAM APPC session termid successfully recovered following a persistent sessions restart.*
sense ((instance) Module name: {DFHZXPS | DFHZXPS})

説明: 持続セッションの再始動後、CICS が *sysid termid* の VTAM APPC 持続セッションを復元しました。

APPC 以外のセッションの場合のこれと同等のメッセージは、DFHZC0146 です。メッセージ DFHZC0146 に適用される RECOVNOTIFY オプションは、APPC セッションには適用できないことに注意してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *termid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZXPS,
2=DFHZXPS

宛先: CSNE

DFHZC0157 *date time applid sysid VTAM APPC session termid could not be recovered following a persistent sessions restart. The session will be unbound.*
sense ((instance) Module name: {DFHZXPS})

説明: 持続セッションの再始動後、CICS は、*sysid termid* の APPC 持続セッションを復元できませんでした。これには、3 つの理由が考えられます。

1. CICS が障害を起こしたとき、BIND 処理は完了していなかった。
2. CICS が障害を起こしたとき、セッションの再同期は進行中であった。
3. VTAM によって戻されたセッションのリカバリー・データは、複数の解釈が可能であった。

TCTTE と TIOA が参考だけのために出力されます。

システムの処置: セッションはいったんアンバインドされてから、再バインドされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZXPS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *termid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZXPS

宛先: CSNE

DFHZC0158 *date time applid 端末 termid の持続セッションのサインオン・データをカタログに書き込むことができませんでした。(date time applid Persistent sessions signon data for terminal termid could not be written to the catalog.)*

説明: 持続セッションの再始動後にサインオン状況を復旧できるようにするために、CICS が *termid* のサインオン・データをグローバル・カタログに書き込もうと試行しましたが、カタログの書き込みに失敗しました。

システムの処置: 例外トレースが出力されます。データの損失により、持続セッションの再始動後に *termid* のサインオンまたはサインオフが正しく行われない可能性があります。

ユーザーの処置: このエラーの原因を調べてください。このエラーの原因を示す、カタログ・ドメインによって以前に出力されたメッセージとトレース項目を探して

ださい (例えば、カタログがフルになっている可能性があります)。

モジュール: DFHZSGN、DFHZPCT、DFHSNTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSNE

DFHZC0160 *date time applid tranid* **CNOS changes for modename modename to node netname connection sysid are incomplete.**

説明: CICS は、APPC 接続 *sysid* 上のモード名 *modename* に対するセッション数変更 (CNOS) コマンドの実行を 2 回試みました。モード・グループに対して他の活動が行われているため、このコマンドは失敗しました。このような失敗は、非常に混み合っているモード・グループにのみ起こります。CNOS 要求の処理中に、1 つまたは複数のセッションの状態が変更されました。

CNOS コマンドが出された原因として考えられるのは、接続の獲得、接続の解放、もしくは、このシステムまたは接続されたシステムにある特定のモードネームに対する要求などです。接続されたシステムが CICS でない場合は、そのシステムに固有のコマンドが使用された可能性があります。

システムの処置: モード・グループは、2 度目の変更の試みの後の状態のままになります。

ユーザーの処置: CEMT INQUIRE MODENAME コマンドを使用して、モード・グループの現在の状態を判別してください。このコマンドを使用すると、CNOS が正常に完了した際に予期されるモード・グループを表示することができます。これは、このコマンドが、使用可能なアクティブ・セッションのデータを表示するだけであるためです。CICS は、敗者セッションの CNOS 値で問題が起きた可能性があります。これは、CEMT を使用しても明らかにはなりません。値が必要なものと異なっている場合は、元のコマンドを出し直してください。

モジュール: DFHZGCA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *tranid*
5. *modename*
6. *netname*
7. *sysid*

宛先: CSNE

DFHZC0161 *date time applid tranid* **CNOS command for modename modename to node netname connection sysid has failed with code X'code'.**

説明: CICS が、APPC 接続 *sysid* 上のモード名 *modename* に対するセッション数変更 (CNOS) コマンドの実行を試みている間に、エラーが起きました。障害コード X'code' は、以下のいずれかです。

X'FBA2'

modename 用のロック・マネージャー・ロックを作成する要求が失敗した。

X'FBA3'

CICS が、CNOS 折衝会話にセッションを割り振ることができなかった。

X'FBA6'

modename 用のロック・マネージャー・ロックを取得する要求が失敗した。

X'FBAA'

modename が検出されなかったか、予約名 SNASVCMG または CPSVCMG のどちらかで定義されていた。

X'FBAB'

sysid が認識されているが、接続としては認識されていない。

X'FBAC'

指定された接続 *sysid* にモード・グループがない。これは、ストレージの上書きが原因である可能性があります。

X'FBAD'

指定された接続 *sysid* 上の最初のモード・グループにセッションがない。これは、ストレージの上書きが原因である可能性があります。

X'FBAF'

CNOS 応答についての受信コマンドが失敗した。

X'FBB1'

CNOS コマンドまたは CNOS 応答についての送信コマンドが失敗した。

X'FBB2'

単一セッション接続のセッションを検出できなかった。これは、ストレージの上書きが原因である可能性があります。

X'FBB3'

sysid が接続名として認識されていない。

X'FBB4'

接続が、CNOS をサポートするように CICS に定義されていない。これは、ストレージの上書きが原因である可能性があります。

X'FBB9'

CICS は特定のモードネームに対して CNOS コマンドを送信しましたが、パートナー・システムからすべてのモードグループを示す CNOS 応答が返されました。これはプロトコル違反です。

システムの処置: CICS は、ID が APxxxx の例外トレースを作成します。ここで xxxx は、メッセージ内のコードを表します。CICS は、

X'FBA2'、X'FBA3'、X'FBA6'、X'FBAF'、X'FBB1'、および X'FBB9' を除くすべての障害コードについてシステム・ダンプを取ります。要求を完了せずに、CICS は続行されます。タスクは異常終了しません。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 以下のように、エラー・コードによって異なります。

X'FBA2'

先に出されているロック・マネージャーのコンソール・メッセージに関して示されている手順に従ってください。

X'FBA3'

セッションがすべてふさがっている場合は、その内の 1 つを使用可能にして、再試行してください。

X'FBA6'

先に出されているロック・マネージャー・メッセージに関して示されている手順に従ってください。

X'FBAA'

モードネームを訂正して要求を出し直してください。

X'FBAB'

接続名を訂正して要求を出し直してください。

X'FBAC'

ストレージの問題に関する詳しい手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

X'FBAD'

X'FBAC' の場合と同様です。

X'FBAF'

接続されたシステム、またはそのシステムへのリンクが障害を起こしました。出された他のメッセージを参照して、理由を判別してください。

X'FBB1'

X'FBAF' の場合と同様です。

X'FBB2'

X'FBAC' の場合と同様です。

X'FBB3'

接続名を訂正して要求を出し直してください。

X'FBB4'

X'FBAC' の場合と同様です。

X'FBB9'

接続されたシステムが APPC プロトコルに従っていない理由を調査してください。

モジュール: DFHZGCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *modename*
6. *netname*
7. *sysid*
8. *X'code'*

宛先: CSNE

DFHZC0162 *date time applid tranid* CNOS transaction
for connection *sysid* has failed with
code *X'code'* subcode *X'subcode'*.

説明: セッション数変更 (CNOS) トランザクション・プログラム DFHZLS1 が正常に完了しませんでした。エラー・コード *X'code'* は、以下のいずれかです。

X'FB92'

データ、もしくは接続されたシステムからの接続フローによって、トランザクションが IC 要求として開始されなかった。挿入部 *subcode* は XMIQ_START_CODE からの開始コードです。

X'FB93'

トランザクションがデータを使用して開始されたが、データは検出されなかった。

X'FB94'

トランザクションがデータを使用して開始されたが、そのデータは正しいパラメーター・リストの形式に合っていなかった。

X'FB95'

トランザクションが正しい形式のパラメーター・リストを使用して開始されたが、その機能コードは無効だった。

X'FB96'

トランザクションが、接続されたシステムからの接続によって開始されたが、CNOS データがなかった。

X'FB97'

トランザクションが、接続されたシステムからの接続によって開始されたが、関連データは CNOS コマンドではなかった。

X'FB9E'

トランザクションが開始されたが、CICS はシャットダウン中のため、VTAM ACB がクローズされている。

原因として、シャットダウンが実行される前に多数の CLS1 タスクが開始されたが、CICS が MAXTASK 状態であったために、それらのタスクが保留されていたことが考えられます。シャットダウン中に VTAM ACB がクローズされてから、このタスクが開始されました。

システムの処置: CICS は例外トレースを作成します。また、開始が無効だった場合を除いて、システム・ダンプがとられます。タスクは終了します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 以下のように、エラー・コードによって異なります。

X'FB92'

トランザクションは、端末でトランザクション ID を入力して開始されたと考えられます。これは許可されません。

X'FB93'

ダンプを分析して、IC がデータを検出できなかった理由を判別してください。

X'FB94'

ダンプを分析して、データがどのようなものかを判別してください。

X'FB95'

ダンプを分析して、データがどのようなものかを判別してください。

X'FB96'

ダンプを分析して、使用可能なデータがない理由を判別してください。

X'FB97'

ダンプを分析して、データが接続によって正しく送信されなかった理由を判別してください。

X'FB9E'

アクションは不要です。

モジュール: DFHZLS1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *sysid*
6. *X'code'*
7. *X'subcode'*

宛先: CSNE

DFHZC0163 *date time applid termid* 持続セッションの再始動後に、ユーザーは端末 ID *termid* で正常にサインオンしました。(date time applid termid **User signed on successfully at termid termid following a persistent sessions restart.**)

説明: 持続セッションの再始動後に、CICS により、ユーザーが端末 ID *termid* で正常にサインオンされました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSGN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *termid*

宛先: CSNE

DFHZC0164 *date time applid termid* 持続セッションの再始動後に、端末 *termid* は **CICS** によってタイムアウトされました。

説明: 持続セッションの再始動後に、CICS がユーザーのサインオンを試行しました。SIT 内の RSTSIGNTIME 値が有効期限切れであったため、ユーザーはサインオンできませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーは再びサインオンするよう強制されます。

モジュール: DFHZSGN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *termid*

宛先: CSNE

DFHZC0165 *date time applid termid* マルチノードの持続セッションの再始動後に、端末 **ID termid** はタイムアウトになりました。
(*date time applid termid Termid termid* **was timed out after a multinode persistent sessions restart.**)端末はサインオフになっています。

説明: マルチノードの持続セッションの再始動後に、CICS により、ユーザーが端末 ID *termid* でサインオフされました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSGN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *termid*

5. *termid*

宛先: CSNE

DFHZC0167 *date time applid termid* An attempt to sign off a user at *termid termid* failed following a multinode persistent sessions restart. Response code *rc1* and reason code *rc2* were received.

説明: サインオンがタイムアウトになったため、マルチノードの持続セッションの再始動後に、CICS により端末 ID *termid* でユーザーのサインオフが試行されました。サインオン・プログラム DFHSNTU から、以下のいずれかの理由コードが設定された例外または災害時応答を受け取りました。

理由コードは次のとおりです。

説明

002

アクティブな ESM がありません。

003

ESM が応答していない。

010

この操作に無効な端末タイプです。

017

端末にはセキュリティーが事前設定されていません。

019

この CICS に対してセキュリティーがアクティブではありません。

022

端末は代理端末です。

028

ESM から返された応答が、CICS セキュリティー・ドメインで認識されませんでした。

038

サインオン・プログラムが異常終了後にリカバリ状態になりました。

048

サインオン・プログラムがループを検出し、リカバリ状態になりました。

052

サインオン・プログラムがトランザクション・マネージャーから不正な応答を受け取りました。

システムの処置: ポイント ID FB9D の AP 例外トレースが発行されます。

ユーザーの処置: 理由コード 002、003、019、および 028 は、ESM またはセキュリティー・ドメインに問題があることを示します。残りの理由コードは、CICS の内部エラーを示す可能性があります。ESM またはセキュリティー・ドメインによって前に出力されたメッセージを検索します。問題が発生した時点でセキュリティーがアクティブになっていて、ESM またはセキュリティー・ドメインにも問題がなかった場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHZSGN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *termid*
6. *rc1*
7. *rc2*

宛先: CSNE

DFHZC0170I *applid* CICS は VTAM 汎用リソース名 *grname* に正常に登録されました。(applid CICS registered successfully to VTAM generic resource name *grname*.)

説明: CICS は、グループ *grname* 内の VTAM 汎用リソースとして登録されました。

システムの処置: CICS を続行します。汎用リソース名を使用してログオンできるようになっています。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *grname*

宛先: コンソール

DFHZC0171 *applid* CICS をグループ *grname* の VTAM 汎用リソースとして登録できませんでした。(applid CICS registration as a VTAM generic resource in the group *grname* failed.) VTAM return code: *X'rc'*. FDB2: *X'fd'*.

説明: CICS をグループ *grname* 内の VTAM 汎用リソースとして登録できませんでした。

SETLOGON OPTCD=GNAMEADD マクロへの応答として、VTAM によって *rcfd* の RTNCD,FDB2 が返されました。

システムの処置: トレース・ポイント FB8E で、AP 例外トレース項目が出力されます。

CICS は、汎用リソースのサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: 「z/OS Communications Server: SNA Programming」を使用して、RTNCD,FDB2 の意味および問題を訂正するために必要な処置を判別してください。

問題が修正された後、VTAM ACB をクローズして再オープンすることで、汎用リソースとしての CICS の登録を再試行できます。

モジュール: DFHZGSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *grname*
3. *X'rc'*
4. *X'fd'*

宛先: コンソール

DFHZC0172I *applid* CICS は、VTAM 汎用リソース名 *grname* から正常に登録解除されました。(applid CICS deregistered successfully from VTAM generic resource name *grname*.)

説明: CICS は、VTAM 汎用リソース・グループ *grname* から登録解除されました。

システムの処置: None. VTAM ACB がクローズされて再オープンされるまでは、CICS は汎用リソースに再登録されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. *grname*

宛先: コンソール

DFHZC0173 *applid* CICS を VTAM 汎用リソース名 *grname* から登録解除できませんでした。
(*applid* CICS deregistration from VTAM generic resource name *grname* failed.) VTAM return code: X'*rc*'.
FDB2: X'*fd*'.

説明: CICS を VTAM 汎用リソース・グループ *grname* から登録解除できませんでした。

SETLOGON OPTCD=GNAMEDL マクロへの応答として、VTAM によって *rcfd* の RTNCD,FDB2 が返されました。

原因として、シスプレックスの別の部分でのハードウェア障害が考えられます。あるいは、TCT 接頭部が破損していたために、CICS が誤った名前登録解除を試行した可能性もあります。

システムの処置: トレース・ポイント X'FB8E' で、AP 例外トレース項目が出力されます。

ユーザーの処置: 「z/OS Communications Server: SNA Programming」を使用して、VTAM によって出力されたレジスター 15 およびレジスター 0 の値の意味を判別してください。誤ったバージョンの VTAM を使用したことが問題の原因でない場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZGLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *grname*
3. X'*rc*'
4. X'*fd*'

宛先: コンソール

DFHZC0174 *applid* Control block initialization has failed. Generic resource registration or deregistration will not be attempted.
Return codes *r15,r0*.

説明: VTAM 汎用リソースとして登録または登録解除する前にノード初期設定ブロック (NIB) を初期化するための VTAM マクロの呼び出しが失敗しました。

誤ったレベルの VTAM が使用されていると思われる。

システムの処置: VTAM から返されたレジスター 15

とレジスター 0 の値が出力されます。

トレース・ポイント X'FBED' で、AP 例外トレースが出力されます。

登録が試行されようとしていた場合、CICS は、汎用リソースのサポートなしで続行されます。

登録解除が試行されようとしていた場合、ACB のシャットダウンが続行されます。ACB がクローズされた時点で、VTAM は、汎用リソース名のメンバーとしての CICS を削除します。

ユーザーの処置: 「z/OS Communications Server: SNA Programming」を使用して、VTAM によって出力されたレジスター 15 およびレジスター 0 の値の意味を判別してください。誤ったバージョンの VTAM を使用したことが問題の原因でない場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZGLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *r15*
3. *r0*

宛先: コンソール

DFHZC0175 *applid* GRNAME に値が指定されましたが、アセンブル時または実行時の VTAM は汎用リソース登録をサポートしていません。(*applid* A value was specified for GRNAME but the assemble time or run time VTAM does not support generic resource registration.)

説明: GRNAME システム初期設定パラメーターに値が指定されました。これは、CICS を VTAM 汎用リソースとして登録することを意味します。ただし、DFHTCTxx が汎用リソース登録をサポートできない VTAM のリリースに対してアセンブルされているか、CICS がリリース 4 バージョン 2 より前の VTAM で実行されています。

システムの処置: CICS は、汎用リソース名をブランクに設定し、汎用リソース登録を試行せずに続行します。

ユーザーの処置: ACF/VTAM リリース 4 バージョン 2 以降を使用して実行している場合、このレベルの VTAM に対して TCT を再アセンブルして、汎用リソース登録の CICS サポートを利用できるようにしてください。

前のリリースの VTAM の使用時にこのメッセージが発行されないようにするには、GRNAME システム初期設

DFHZC0176 • DFHZC0178

定パラメーターに値を指定しないでください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHZC0176 *date time applid VTAM* は、**CHANGE OPTCD=ENDAFFIN** マクロを実行して、このアプリケーション (汎用リソース *grname* のメンバー) と **NETID** *netid* ネット名 *netname* のリモート **LU** との間の類縁性を終了できませんでした。**VTAM** 戻りコード: *X'rc'*、**FDB2:** *X'fd'*、**R15:** *X'r15'*。

説明: SET CONNECTION ENDAFFINITY または PERFORM ENDAFFINITY コマンドを使用して、この CICS (汎用リソース *grname* のメンバー) と **NETID** *netid* およびネット名 *netname* のリモート **LU** との間の類縁性を終了させる試みが行われました。**VTAM** の問題により、**VTAM CHANGE OPTCD=ENDAFFINITY** マクロを発行できなかったため、この試行は失敗しました。

CHANGE OPTCD=ENDAFFINITY マクロに対する応答として、**VTAM** が戻りコード・フィードバック (RTNCD,FDB2) *X'rc'*,*X'fd'* を発行しました。

R15 *r15* は、**VTAM** から返されたレジスター 15 の値です。

システムの処置: 処理を続行します。 **VTAM** は類縁性を終了させるための試行を行いませんでした。

ユーザーの処置: RTNCD,FDB2 の意味および問題を修正する方法については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」を参照してください。

問題が修正されたら、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHZGCH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *grname*
5. *netid*
6. *netname*
7. *X'rc'*
8. *X'fd'*
9. *X'r15'*

宛先: CSNE

1890 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

DFHZC0177 *date time applid* 接続 *sysid* により、このアプリケーション (汎用リソース *grname* のメンバー) と **NETID** *netid* ネット名 *netname* のリモート **LU** との間の類縁性を作成しました。

説明: 汎用リソース・メンバーが、別の **LU** との APPC 同期レベル 2 接続、APPC 限定リソース接続、または **LU6.1** 接続を確立しました。これらのタイプの接続に対して **VTAM** が作成する類縁性は、**CICS** で所有されるため、終了させるには **CICS** オペレーターが SET CONNECTION ENDAFFINITY または PERFORM ENDAFFINITY コマンドを使用する必要があります。このメッセージは接続が獲得されるたびに出力されますが、接続が獲得されるまでに類縁性が終了されていない限り、獲得された接続に対して類縁性が再作成されることはありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。ただし、パートナー **LU** が別の汎用リソース・メンバーとの接続を確立するには、その前に、類縁性を終了させる必要があることに注意してください。

接続が解放されると、接続静止トランザクションによって自動的に類縁性が終了されます。ただし、システムがクラッシュした場合や、接続がまだ獲得されている間に「即時」にシャットダウンされた場合は、その限りではありません。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *grname*
6. *netid*
7. *netname*

宛先: CSNE

DFHZC0178 *date time applid* このアプリケーション (汎用リソース *grname* のメンバー) と **NETID** *netid* ネット名 *netname* のリモート **LU** との間の類縁性を終了させようとしていましたが、リジェクトされました。
VTAM return code: *X'rc'*。 **FDB2:** *X'fd'*。

説明: SET CONNECTION ENDAFFINITY または PERFORM ENDAFFINITY コマンドを使用して、この CICS (汎用リソース *grname* のメンバー) と **NETID**

netid およびネット名 *netname* のリモート LU との間の類縁性を終了させる試みが行われました。この要求は VTAM により拒否されました。

CHANGE OPTCD=ENDAFFINITY マクロに対する応答として、VTAM が戻りコード・フィードバック (RTNCD,FDB2) X'rc',X'fd' を発行しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: RTNCD,FDB2 コードの意味および問題を修正する方法については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」を参照してください。

問題が修正されたら、必要に応じてコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHZGCH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *grname*
5. *netid*
6. *netname*
7. X'rc'
8. X'fd'

宛先: CSNE

DFHZC0179 I *date time applid* 接続 *sysid* ネット名 *netname* は、汎用リソース *grname* メンバー *membername* へのリンクです。

説明: ネット名 *netname* から汎用リソース *grname* への接続 *sysid* が確立されました。

接続が獲得されるごとに、このメッセージが 1 回発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *grname*
7. *membername*

宛先: CSNE

DFHZC0180 *date time applid* このアプリケーション (汎用リソース *grname* のメンバー) と **NETID** *netid* ネット名 *netname* のリモート LU との間の類縁性が正常に終了しました。

説明: NETID *netid* ネット名 *netname* のリモート LU との類縁性を終了させるための試行に対し、VTAM が肯定的に応答しました。類縁性は、接続解放時に接続静止トランザクションによって暗黙的に終了されたか、SET CONNECTION ENDAFFINITY または PERFORM ENDAFFINITY コマンドによって明示的に終了されました。

システムの処置: 処理を続行します。リモート LU は、別の汎用リソース・メンバーとの接続を確立できる状態になっています。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGCH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *grname*
5. *netid*
6. *netname*

宛先: CSNE

DFHZC0181 *date time applid* このアプリケーション (汎用リソース *grname* のメンバー) と **NETID** *netid* ネット名 *netname* のリモート LU との間に類縁性はありません。
VTAM戻りコード: X'14'、FDB2: X'88'。

説明: SET CONNECTION ENDAFFINITY または PERFORM ENDAFFINITY コマンドを使用して、この CICS (汎用リソース *grname* のメンバー) と NETID *netid* およびネット名 *netname* のリモート LU との間の類縁性を終了させようとしたましたが、その試行は失敗しました。CHANGE OPTCD=ENDAFFINITY マクロに対する応答として、VTAM は戻りコード・フィードバック (RTNCD,FDB2) X'14',X'88' を発行しました。これは、該当する類縁性が存在しないことを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: SET CONNECTION ENDAFFINITY コマンドまたは PERFORM ENDAFFINITY コマンドに入力された値が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHZGCH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *grname*
5. *netid*
6. *netname*

宛先: CSNE

DFHZC0182 *date time applid* **VTAM** は、**INQUIRE OPTCD=NQN** マクロを実行して、論理装置 *luname* のネットワーク修飾ネット名を決定することができませんでした。
VTAM 戻りコード: *X'rc'*、**FDB2:** *X'fd'*、**R15:** *X'r15'*。

説明: CICS が、論理装置 *luname* のネットワーク修飾ネット名を決定しようとした。VTAM の問題により、VTAM **INQUIRE OPTCD=NQN** マクロを発行できなかったため、この試行は失敗しました。

INQUIRE OPTCD=NQN マクロに対する応答として、VTAM が戻りコード・フィードバック (RTNCD,FDB2) *X'rc'*,*X'fd'* を発行しました。

R15 *r15* は、VTAM から返されたレジスター 15 の値です。

システムの処置: 論理装置のネットワーク修飾ネット名を必要とする CICS コンポーネントによって、他に必要となるアクションがあるかどうかが決まります。

ユーザーの処置: RTNCD,FDB2 の意味および問題を修正する方法については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

モジュール: DFHZGIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *luname*
5. *X'rc'*
6. *X'fd'*
7. *X'r15'*

宛先: CSNE

DFHZC0183 *date time applid* 論理装置 *luname* のネットワーク修飾名を決定しようとしたが、**VTAM** によってリジェクトされた。**VTAM return code:** *X'rc'*。 **FDB2:** *X'fd'*。

説明: CICS が、論理装置 *luname* のネットワーク修飾名を決定しようとした。この要求は VTAM により拒否されました。

INQUIRE OPTCD=NQN マクロに対する応答として、VTAM が戻りコード・フィードバック (RTNCD,FDB2) *X'rc'*,*X'fd'* を発行しました。

システムの処置: 論理装置のネットワーク修飾名を必要とする CICS コンポーネントによって、他に必要となるアクションがあるかどうかが決まります。

ユーザーの処置: RTNCD,FDB2 コードの意味および問題を修正する方法については、「z/OS

Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

モジュール: DFHZGIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *luname*
5. *X'rc'*
6. *X'fd'*

宛先: CSNE

DFHZC0184 *date time applid* **VTAM** は、**INQUIRE OPTCD=SESSNAME** マクロを実行して、論理装置 *netid.luname* がログオンしている汎用リソース・セット *grname* のメンバーを決定することができませんでした。**VTAM** 戻りコード: *X'rc'*、**FDB2:** *X'fd'*、**R15:** *X'r15'*。

説明: CICS が、論理装置 *netid.luname* がログオンしている汎用リソース・セット *grname* のメンバーを決定しようとした。VTAM の問題により、VTAM **INQUIRE OPTCD=SESSNAME** マクロを発行できなかったため、この試行は失敗しました。

INQUIRE OPTCD=NQN マクロに対する応答として、VTAM が戻りコード・フィードバック (RTNCD,FDB2) *X'rc'*,*X'fd'* を発行しました。

R15 *r15* は、VTAM から返されたレジスター 15 の値です。

システムの処置: 論理装置のログオン先を認識する必要があります CICS コンポーネントによって、他に必要となるアクションがあるかどうかが決まります。

ユーザーの処置: RTNCD,FDB2 の意味および問題を修正する方法については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

モジュール: DFHZGIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *grname*
5. *netid*
6. *luname*
7. *X'rc'*
8. *X'fd'*
9. *X'r15'*

宛先: CSNE

DFHZC0185 *date time applid* **An attempt to determine the member of generic resource set *grname* to which logical unit *netid.luname* is logged on was rejected by VTAM. VTAM return code: *X'rc'*. FDB2: *X'fd'*.**

説明: CICS が、*grname* 論理装置 *netid.luname* がログオンする汎用リソース・セットのメンバーを決定しようとした。この要求は VTAM により拒否された。

INQUIRE OPTCD=SESSNAME マクロに対する応答として、VTAM が戻りコード・フィードバック (RTNCD,FDB2) *X'rc'*,*X'fd'* を発行しました。

システムの処置: メンバー名を必要とする CICS コンポーネントによって、他に必要となるアクションがあるかどうかが決まります。

ユーザーの処置: RTNCD,FDB2 コードの意味および問題を修正する方法については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

モジュール: DFHZGIN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *grname*
5. *netid*
6. *luname*
7. *X'rc'*
8. *X'fd'*

宛先: CSNE

DFHZC0186 *date time applid* **Connection *sysid* which is a member of generic resource *grname* has a duplicate remote LU *netname* *netname*. *sense* ((*instance*))**
Module name: {DFHZOPN | DFHZOPN})

説明: ノード *nodeid* は、CICS にログオンしようとしたが、このログオンは無効です。

このメッセージに示される *nodeid* は常に、CICS への接続を試行したノードのネット名で始まります。APPC ログオンによって生成されるメッセージの一部のインスタンスでは、ネット名の後に、ドット区切り文字を使用してセッションのモードネームが連結されます。デフォルトのモードネームは 8 つのブランクからなるストリングであるため、その場合のメッセージは特異な形式になります。

このメッセージが DFHZATA によって出されると、CICS は端末または接続の自動インストールに失敗します。

インスタンス *instance* は、以下のいずれかです。

1

2 次セッションの獲得プロセス中に、CICS がパートナーのメンバー名をテーブルに追加しようとしたが、この名前はすでに別の汎用リソース接続に存在しています。

2

2 次セッションの獲得プロセス中に、CICS がパートナーのメンバー名をテーブルに追加しようとしたが、この接続のインストールと同時に発生したインストールで、端末のネット名としてこの名前が現在使用されています。

システムの処置: 接続の獲得が続行されます。

ユーザーの処置: インスタンス番号を使用して、ネット名が既に存在する理由を判別してください。

1

CEMT INQUIRE CONNECTION API を使用して、同じメンバー名を使用している汎用リソースを確認します。

この問題は通常の状態では発生しないため、IBM のサポートが必要になる場合があります。

2

パートナーの LU 名が端末の LU 名と同じになっている理由を調べて、どちらかの定義を削除します。

モジュール: DFHZOPN、DFHZOPN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *grname*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,

2=DFHZOPN

宛先: CSNE

DFHZC0187 *date time applid* このアプリケーションと、汎用リソース名 *grname* メンバー名 *applid* のリモート LU との間の類縁性の終了の後、接続 *sysid* のリセットが失敗しました。The connection was locked by task *taskid*, transaction *tranid*.

説明: 類縁性が正常に終了された後、CICS が接続 *sysid* をリセットできませんでした。タスク *taskid*、トランザクション *tranid* によってロックが保持されていました。

システムの処置: 処理は続行されますが、接続の状態は不明です。タスク *taskid* が終了すると、接続のロックが解放されます。

ユーザーの処置: 必要に応じて、メッセージに示されている情報を使用して接続がロックされていた理由を突き止めてください。接続が獲得不能な状態のままになっている場合は、接続を削除して再インストールしてください。

モジュール: DFHZGCH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

1894 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

3. *applid*
4. *sysid*
5. *grname*
6. *applid*
7. *taskid*
8. *tranid*

宛先: CSNE

DFHZC0199 CICS has recovered after a system failure. Execute recovery procedures. {
Already signed on. | Please sign on.}

説明: CICS の持続セッションが再始動された後、関連する VTAM セッションが正常にリカバリーされると、このメッセージが送信されます。

RECOVNOTIFY(MESSAGE) が装置の TYPETERM で指定されている場合 (「リソースの定義」を参照)、またはノード・エラー・プログラムに指定されている場合 (「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照)、これは CICS によって出されるデフォルト・メッセージです。RECOVNOTIFY(MESSAGE) が使用されている場合は、CICS 提供のサンプル・マップ・セット DFHXMSG を、インストール・リカバリー要件に合うように調整することをお勧めします。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要場合はサインオンを行い、必要なりカバリー処置をとってください。

モジュール: DFHZNAC

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHZC0200 *applid* An attempt by the COVR transaction to OPEN VTAM has failed with return code X'*retcode*'; CICS will retry.

説明: COVR トランザクションが EXEC CICS SET VTAM OPEN を試みましたが、その操作は失敗して、OPEN ACB から戻りコード *retcode* が出されました。

システムの処置: CICS を続行します。COVR トランザクションは、5 秒ごとにこの操作を再試行します。このメッセージは、操作が成功するか 10 分経過するまで、1 分ごとに出力されます。10 分経過すると、メッセージ DFHZC0201 が出力されます。

ユーザーの処置: VTAM を使用できない理由を調べてください。ACB 戻りコードの説明については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

モジュール: DFHZCOVR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'retcode'*

宛先: コンソール

DFHZC0201 *applid* **COVR** トランザクションが **OPEN VTAM** を試行しましたが、戻りコード *X'retcode'* で失敗しました。**COVR** トランザクションは終了します。(applid An attempt by the COVR transaction to OPEN VTAM has failed with return code X'retcode'; the COVR transaction will terminate.)

説明: COVR トランザクションが EXEC CICS SET VTAM OPEN を繰り返し試みましたが、失敗しました。OPEN ACB が、戻りコード *retcode* を出しました。

システムの処置: CICS を続行します。COVR トランザクションは終了し、SET VTAM OPEN は再試行されません。

ユーザーの処置: VTAM を使用できない理由を調べてください。ACB 戻りコードの説明については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

モジュール: DFHZCOVER

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *X'retcode'*

宛先: コンソール

DFHZC2109 E *date time applid* リモート・システム *sysid* との **LU6.1** セッション *termid* の再同期後に、リカバリー・マネージャーから予期しない応答を受信しました。

説明: LU6.1 セッションの再同期中にリカバリー・マネージャーが呼び出されましたが、予期しない応答が返されました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑制しない限り、システム・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *sysid*

宛先: CSNE

DFHZC2114 E *date time applid termid tranid A*
SEND response failed during
receive-any processing. sense ((instance)
Module name: {DFHZRAC |
DFHZRAC})

説明: 受信不特定 RPL で出された SEND 応答が失敗したか、VTAM に受け入れられませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZCxxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ログ内の後続のメッセージには、失敗した理由が示されています。詳しい情報および手引きについては、このメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC,
2=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2115 *applid termid* **Potential CICS hang detected following a SEND to node netname, CID X'cid'.** Investigation is required. ((instance) **Module name: {DFHZRAC})**

説明: CICS が VTAM SEND マクロを出して応答を送

信しましたが、応答が完了したという通知は受信されませんでした。この SEND 操作が完了するまで、限られた受信不特定 RPL の内の 1 つは使用不能のままです (受信不特定 RPL の数は、RAPOOL システム初期設定パラメーターによって定義されています)。

これは重大な状況です。このようにして、受信不特定 RPL がすべて使用不能になってしまうと、CICS は VTAM からの新しい要求を受け入れることができなくなってしまう。同じように、使用可能な受信不特定 RPL の数を減らすと、端末のパフォーマンスおよびトランザクションのスループットに悪影響を与える可能性があります。

さらに、RPL の停止中は、CICS のシャットダウンを正常に完了することができない場合もあります。

CID とは、セッションが確立されたときに割り当てられた、32 ビットの VTAM 通信 ID です。

システムの処置: CICS は、SEND 操作の完了をモニターし続けます。これが発生するまで、CICS は約 3 分ごとにこのメッセージを出します。

ユーザーの処置: このような問題は、通常、SEND の完了を妨げているネットワーク内の障害が原因です。セッションおよび関連する論理装置を検査して、VTAM が SEND 要求を完了するのを妨げるようなエラー条件が起こっていないことを確認してください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *termid*
3. *netname*
4. *X'cid'*
5. *instance*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC

宛先: コンソール

DFHZC2116 E *date time applid* リモート・システム *sysid* との LU6.1 セッション *termid* の再同期に失敗しました。

説明: 以下のいずれかの理由により、リモート・システムとの LU6.1 セッションの再同期を完了できませんでした。

1. 2 つのシステムの間で、シーケンス番号に明らかな矛盾がある。

2. シーケンス番号の交換中に、プロトコル・エラーが発生した。
3. いずれのシステムも再同期を要求しなかったが、中断された作業単位がセッションに関連付けられていた。

システムの処置:

1. ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。
2. エラーが発生したセッションの TCTTE が出力されます。TCTTE で、ローカル・システムのシーケンス番号と、リモート・システムから受信したシーケンス番号または応答を見つけることができます。
3. 再同期の失敗が、リカバリー・マネージャーに報告されます。リカバリー・マネージャーは、この失敗によって影響を受けた作業単位に関連する診断を発行します。

ユーザーの処置:

1. ローカル・システムとリモート・システムとの間で、データの変更が同期されているかどうかを判別する必要があります。それには、リカバリー・マネージャーから発行される診断が役立ちます。必要に応じて、データを再同期するアクションを実行してください。
2. 再同期が失敗した理由を突き止める必要があります。それには、通常は IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRSY、DFHZSCX、DFHZSEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *sysid*

宛先: CSNE

DFHZC2117 E *date time applid termid tranid Data received on pipeline session exceeds RAIA size. ((instance) Module name: {DFHZRAC})*

説明: CICS が、受信不特定 RPL に割り振られた初期入出力域よりも大きいパイプライン・セッションでデータを受け取りました。受信不特定入力域 (RAIA) の大きさは、RAMAX システム初期設定パラメーターで指定されます。

システムの処置: CICS は、データを送信したセッションを終了し、停止状態であることを示すマークを付けます。また、CICS はこのセッションから開始された実行トランザクションを異常終了させようとします。

ユーザーの処置: パイプライン・セッションに指定される最大の (CINIT からの) RUSIZE と少なくとも等しくなるように、RAMAX システム初期設定パラメーターの値を増やしてください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2118 *applid Receive Any stall for netname netname.*

説明: すべての CICS 受信不特定 RPL が追加されましたが、それぞれについての TCTTE は VTAM 端末またはセッションからの応答を待っています。すべての受信不特定 RPL は、TCP タスク (CSTP) の 10 のディスパッチについて停止されました。このメッセージは、この状態にあるそれぞれのセッションに対して出されます。VTAM セッションは、CICS が送った BID や SHUTD などのコマンドに応答しませんでした。これは、通常、プロトコル・エラーによって起こります。

システムの処置: CICS は、システム初期設定パラメーター RAPOOL=(n,n,FORCE) が指定されて実行されていないので、CICS VTAM の活動はコマンドのいずれかが完了するまで延期されます。

ユーザーの処置: *netname* が示すセッションの 1 つまたはそれ以上に対して VTAM コマンド V NET,INACT,ID=*netname*,I を出して、受信不特定 RPL の解放を試みてください。注: セッションが LU6.2 の場合には、上記のコマンドは VTAM のパートナー・アプリケーション ID を非活動状態にします。

停止を引き起こした CICS 端末管理コマンドがなぜ完了しなかったかを調査してください。パートナーまたは装置からのプロトコル・エラーが原因である場合には、プロトコル・エラーの訂正を試みてください。

システム初期設定パラメーター RAPOOL で指定されている受信不特定 RPL の数を増やすことを考慮してください。例えば、古いデフォルトの 2 を使用していたとしたら、それを新しいデフォルトの 50 に増やしてください。

RAPOOL の値を変更してもまだこのメッセージが出されるなら、システム初期設定パラメーター RAPOOL=(n,n,FORCE) を指定して CICS を実行することを考慮してください。そのようにすると、問題になっているセッションまたは端末すべてに CLSDST を出して、受信不特定 RPL をもう一度出すことが試みられます。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *netname*

宛先: コンソール

DFHZC2119 E *date time applid termid tranid LUSTAT received on pipeline session incorrectly requests a definite response. ((instance) Module name: {DFHZRAC})*

説明: CICS は、パイプライン・プロトコルに違反するパイプライン・セッションでデータを受け取りました。確定応答を要求するデバイスから LUSTAT SENSE 08310000 'Device Powered Off' を受け取りましたが、EXC 応答のみが許可されています。

システムの処置: CICS は、データを送信したセッションを終了し、停止状態であることを示すマークを付けます。また CICS は、このセッションから開始された実行トランザクションを異常終了させようとします。

ユーザーの処置: プール・パイプライン端末がプロトコルに違反する理由を判別してください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH2RAC

宛先: CSNE

DFH2C2300 *APPLID* Recovery action requested for connection *sysid*.

説明: 接続に問題がある可能性があるため、XZIQUE グローバル・ユーザー出口プログラムが CICS によって呼び出されました。 グローバル・ユーザー出口が使用した戻りコード UERCAKLL は、接続上のスループットが異常に低く、例外的な処置が必要であることを示しています。 接続のパフォーマンスの低下の原因として、以下が考えられます。

- 受信側の応答が不十分であった。
- 送信側の負荷が増大した。

このような条件は断続的なものです。 続いて、接続がリカバリーされたことを示すメッセージ DFH2C2301 が出されることがあります。

また、接続定義に MAXQTIME と QUEUELIMIT の両方のパラメーターが指定されている場合、XZIQUE グローバル・ユーザー出口が無効にされていても、接続が MAXQTIME の QUEUELIMIT に達するとこのメッセージが出されることがあります。

システムの処置: CICS は、接続の使用を求める未解決の (キューイングされた) 要求を持つすべてのトランザクションを取り消します。

ユーザーの処置: 接続のパフォーマンスの低下の原因を調べてください。また、接続されたシステムの可用性および条件を検査してください。

モジュール: DFH2ISP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *sysid*

宛先: コンソール

DFH2C2301I *APPLID* Connection *sysid* operating normally following recovery action.

説明: この接続に関してメッセージ DFH2C2300 が出されました。 接続はリカバリーされ、正常に働いています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFH2ISP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *sysid*

宛先: コンソール

DFH2C2302 *applid* SETLOGON start command rejected

説明: CICS は、OPEN VTAM ACB が正しく実行された後に SETLOGON START コマンドを出しました。 SETLOGON START コマンドは、次の場合には、拒否されます。

- CICS OPEN VTAM ACB は正常に実行されたが、その後 VTAM が異常終了した。
- CICS OPEN VTAM ACB は正常に実行されたが、SETLOGON START コマンドを満足させられるだけの十分なシステム・ストレージがなかった。
- CICS OPEN VTAM ACB は正常に実行されたが、その後 VTAM が VTAM HALT QUICK コマンドによって終了させられた。

システムの処置: CICS 初期設定時にエラーが発生した場合、システム・ダンプがとられて、CICS は異常終了し、U2302 異常終了コードが出されます。

CEMT または EXEC CICS SET VTAM OPEN の結果としてエラーが起こると、CICS は、異常終了コード ATC2 とトランザクション・ダンプを出して、タスクを異常終了させ、VTAM ACB がクローズされます。

ユーザーの処置: VTAM 戻りコードは、システム・ダンプまたはトランザクション・ダンプ内の、TCTVRVRA からアドレッシングされた RA プール内の最初の RPL の RTNCD-FDBK2 内で見つけることができます。

「z/OS Communications Server: SNA Programming」(SC23-0115-3) を使用して、エラーの原因を判別し、必要な訂正処置をとってください。

エラーを訂正した後に、CICS を再初期設定するか (異常終了コード U2302 の場合)、または異常終了コード ATC2 についての指示に従ってください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHZC2303 *applid* **No storage available when initiating RECEIVE-ANY's. Code: X'code'**

説明: 受信不特定入出力域を獲得しようとしている間に、SETLOGON START VTAM コマンドは、ストレージが使用できないを見つけました。

システムの処置: ダンプが作成され、CICS は終了します。例外項目 *code* がトレース・テーブルに作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

メッセージ DFHZC0133 が出されます。

ユーザーの処置: システム初期設定テーブル (SIT) の RAMAX 値を小さくしてください。

詳細については、「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. X'code'

宛先: コンソール

DFHZC2304 *applid* **RECEIVE-ANY command rejected. Code: X'code'**

説明: このメッセージは、初期設定中または動的オープン中に ACB がオープンされた場合に出されます。

DFHZGRP は、VTAM RECEIVE-ANY を開始していましたが、VTAM のストレージが不足していたか、VTAM HALT QUICK コマンドが出されました。

システムの処置: 例外項目 *code* がトレース・テーブルに作成されます。

ダンプ・テーブル内で特にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプがとられます。

CICS の初期設定中にエラーが起きると、CICS はメッセージ DFHZC0133 を出して終了します。

CEMT または EXEC CICS SET VTAM OPEN の結果

エラーが起きると、CICS は VTAM ACB をクローズします。

ユーザーの処置: VTAM 戻りコードは RPL 中の RTNCD-FDBK2 内にあります。RPL は、例外トレース項目 *code*、またはシステム・ダンプ内の TCTVRVRA からアドレッシングされた RA プールにあります。

「z/OS Communications Server: SNA Programming」(SC31-6436) を使用して、エラーの原因を判別し、必要な訂正処置をとってください。

エラーの訂正後、CICS を初期設定し直すか、VTAM ACB を再オープンしてください。

モジュール: DFHZGRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

2. X'code'

宛先: コンソール

DFHZC2305I *applid* **Termination of VTAM sessions beginning**

説明: CICS または VTAM の終了処理が行われているか、または VTAM ACB の動的クローズが要求されました。

システムの処置: すべての CICS-VTAM セッションはクローズされ、ACB がクローズされます。終了が正常なものでない場合には、活動トランザクションが異常終了します。

ユーザーの処置: VTAM が活動状態である場合には、マスター端末オペレーター・コマンド CEMT SET VTAM OPEN を使用して、通信を再開することができます。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

DFHZC2307 *applid* **CICS VTAM ABNORMALLY QUIESCING (modname).**

説明: VTAM ストレージの不足以外の理由で、RPL 要求が TCTTE トークンなしで完了しました。

システムの処置: CICS が ACB の FORCECLOSE を実行します。

モジュール DFHZRAC とモジュール DFHZSYX の両方がこの条件を検出する可能性があるため、CICS はこのメッセージを 2 回出すこともあります。

DFHZC2308 • DFHZC2312

ユーザーの処置: VTAM が再始動されたときに、CEMT SET VTAM OPEN を出してください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZSYX

宛先: コンソール

DFHZC2308 *applid* TCP Task WAIT failed.
Unexpected response from DSSR
WAIT_OLDW call (RESPONSE X'xx',
REASON X'yy').

説明: TCP タスクの待機が失敗しました。TCP タスク指名プログラム・モジュール DFHZDSP が、DSSR WAIT_OLDW 呼び出しから、応答コード X' xx' および理由コード X' yy' で、予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: CICS は、異常終了コード U1800 で異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TCP タスク待機の失敗の原因を判別してください。そして、他の付随するエラー・メッセージと関連しているダンプ、もしくはタスク指名プログラム・ドメインによって出された可能性がある例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHZDSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. X'xx'
3. X'yy'

宛先: コンソール

DFHZC2309 *APPLID* Recovery action requested for connection *sysid* using mode group *modename*.

説明: 接続に問題がある可能性があるため、XZIQUE グローバル・ユーザー出口プログラムが CICS によって呼び出されました。グローバル・ユーザー出口が使用した戻りコード UERCAKLM は、接続上のスループットが異常に低く、例外的な処置が必要であることを示しています。接続のパフォーマンスの低下の原因として、以下が考えられます。

- 受信側の応答が不十分であった。
- 送信側の負荷が増大した。

このような条件は断続的なものです。続いて、モード・グループがリカバリーされたことを示すメッセージ DFHZC2310 が出されます。

システムの処置: CICS は、このモード・グループの使用を求める未解決の (キューイングされた) 要求を持つすべてのトランザクションを取り消します。

ユーザーの処置: モード・グループのローパフォーマンスの原因を調べてください。また、接続されたシステムの可用性および条件を検査してください。

モジュール: DFHZISP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *sysid*
3. *modename*

宛先: コンソール

DFHZC2310I *APPLID* Connection *sysid* using mode group *modename* operating normally following recovery action.

説明: このモードグループに関して、メッセージ DFHZC2309 が出されました。モードグループはリカバリーされ、正常に操作が行われています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHZISP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *APPLID*
2. *sysid*
3. *modename*

宛先: コンソール

DFHZC2312 * WELCOME TO CICS *****

説明: これは、VTAM LU のための CICS のデフォルトの日常業務開始メッセージです。代わりの GMTEXT がシステム初期設定パラメーターとして指定されるか、*typeterm* 定義ログオン・メッセージ (LOGONMSG) が NO に設定されるまで、このメッセージが表示されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSIT

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHZC2316 applid VTAM ACB is closed

説明: CICS と VTAM が切断されました。考えられる原因は次のとおりです。

- CICS が終了中である。
- VTAM が終了中である。
- CICS マスター端末オペレーターが、以下のコマンドを使用した。

```
SET VTAM {CLOSED|IMMCLOSE|FORCECLOSE}
```

システムの処置: VTAM ACB がクローズされます。

ユーザーの処置: VTAM が終了していなければ、マスター端末オペレーター・コマンドを用いて VTAM との接続を再確立することができます。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*

宛先: コンソール

**DFHZC2318 applid The autoinstall user program
progrname is not enabled. Module
modname.**

説明: VTAM ACB をオープンしているときに、CICS は、SIT に指定された自動インストール・ユーザー・プログラム *progrname* のインストール済みプログラム定義が存在していないことを検出しました。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 自動インストールを使用したければ、SIT に指定された自動インストール・ユーザー・プログラム *progrname* のインストール済みプログラム定義を作成してください。

モジュール: DFHSIJ1、DFHZOPA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *progrname*
3. *modname*

宛先: コンソール

**DFHZC2319 applid Unable to close VTAM ACB
RC=xx error code=yy**

説明: VTAM ACB CLOSE 要求が失敗しました。

システムの処置: ACB がクローズされているかのよう

に扱われて、CICS は継続します。(実際にはクローズされていません。)

ユーザーの処置: 戻りコードとエラー・コードの説明については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

戻りコード *xx* は、レジスター 15 内の VTAM 戻りコードです。エラー・コード *yy* は、ACB エラー・フラグ「ACBERFLG」になります。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *xx*
3. *yy*

宛先: コンソール

**DFHZC2320 CORRUPTED TCTTE ADDRESS
FOUND DURING SHUTDOWN.**

説明: DFHTC CTYPE=LOCATE マクロが、VTAM のシャットダウン中にエラー指示を戻しました。これは、おそらくテーブル管理制御ブロックのオーバーレイによって、TCTTE チェーンが破壊されたことを意味します。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CICS は異常終了します。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHZSHU

宛先: コンソール

**DFHZC2350A Date Time Applid CICS Terminal
Control shutdown threshold (mm
minutes) exceeded. Sessions still
active: sesslist ((instance) Module name:
(DFHZSHU))**

説明: CICS はネットワークのシャットダウンを試みましたが、許可された時間枠内に完了しませんでした。この時間枠 (端末管理シャットダウン待機しきい値) は、TCSWAIT システム初期設定パラメーターによって指定されます。

このメッセージでは、*mm* は TCSWAIT の値を表し、*sesslist* は停止している VTAM 端末の最初の 10 個 (10 個あれば) の VTAM ネットワーク名を表します。

システムの処置: CICS は、このメッセージを CSNE 一時データ・キューと、オペレーティング・システム・コンソールの両方に出します。このメッセージは、

MVS オペレーター宛メッセージ (WTO) メッセージ記述子コード 2 とともに、オペレーティング・システム・コンソールに出されます。これは、オペレーターが削除するまで、メッセージがオペレーティング・システムによって保持される (つまり、画面がロールオフされない) ことを意味します。停止しているそれぞれの VTAM セッションごとに、メッセージ DFHZC2351 も出されます。DFHZC2351 は、セッションのさらに詳しい情報を示しますが、CSNE 一時データ・キューにのみ出されます。CICS が、セッションで FORCECLOSE を試みるか (詳細については、メッセージ DFHZC2351 を参照)、CICS 端末管理シャットダウンが正常なものとして継続されます。

DFHZNAC (ノード異常条件プログラム) は、このメッセージ (DFHZC2350) を処理しません。このため、インストール・システムの DFHZNEP (ノード・エラー・プログラム) で条件を代行受信することはできません。ただし、DFHZC2351 は DFHZNAC によって処理され、インストール・システムの DFHZNEP で代行受信できることに注意してください。

ユーザーの処置: メッセージを書きとめ、MVS CONTROL E (または K E) システム・コマンドを使用しているオペレーティング・システム・コンソールからそのメッセージを削除してください。詳しい手引きについては、メッセージ DFHZC2351 を参照してください。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Date*
2. *Time*
3. *Applid*
4. *mm*
5. *sesslist*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSHU

宛先: CSNE およびコンソール

DFHZC2351 *Date Time Applid termid netname Session still active after TC shutdown threshold expired. Reason: {01 Request in progress | 02 Task still active | 03 Waiting for SHUTC | 04 Waiting for BIS | 05 Waiting for UNBIND | 06 Waiting for RTR | 07 BID in progress | 08 Other TC work pending | 99 Undetermined} sense ((instance) Module name: {DFHZSHU}).*

説明: CICS はネットワークのシャットダウンを試みましたが、許可された時間枠内に完了しませんでした。この時間枠 (端末管理シャットダウン待機しきい値) は、TCSWAIT システム初期設定パラメーターによって指定されます。このメッセージは、時間枠を過ぎても活動状態にある (シャットダウンされていない) VTAM 端末に、それぞれ出されます。

メッセージの中の *termid* および *netname* は、それぞれ CICS 端末 ID と、中断状態の端末の VTAM ネットワーク名です。メッセージ内で中断の理由を表しているのは、以下の内の 1 つです。

01

要求が進行中である。

02

タスクがまだ活動状態である。

03

SHUTC を待っている。

04

BIS を待っている。

05

UNBIND を待っている。

06

RTR を待っている。

07

BID が進行中である。

08

他の TC 作業が保留になっている。

99

未判別

システムの処置: CICS がセッションで FORCECLOSE を試みるか、CICS 端末管理シャットダウンが通常どおり継続されます。CICS が FORCECLOSE を行うかどうかは、以下によって異なります。

- TCSACTN システム初期設定パラメーターのコーディング、および
- インストール・システムの DFHZNEP (ノード・エラー・プログラム) がこの条件を処理する方法

以下の条件のいずれかに当てはまる場合:

- TCSACTN=UNBIND であり、この処置が DFHZNEP で変更されない場合
- TCSACTN=NONE であり、この処置が DFHZNEP によって FORCECLOSE (UNBIND) に変更される場合

CICS 端末管理は VTAM CLSDST を出し、SNA UNBIND コマンドを送信します。どちらの条件も当てはまらない場合は、特に処置はとられません。

注: CLSDST は、あらゆる環境で実行されるとは限りません。

このメッセージによって報告される最初の 10 個の端末 (10 個あれば) は、メッセージ DFHZC2350 にも含まれています。

ユーザーの処置: 端末の状態を検査してください。そして、関連する DFHZC3437 メッセージに CLSDST が含まれているかどうか調べてください。DFHZC3437 に CLSDST が含まれていないか、含まれていても CLSDST がまだ完了していない場合は、CICS の外部で適切な処置をとり、端末をシャットダウンしてください。

適度な間隔をおいても、まだ端末管理シャットダウンが完了しない (メッセージ DFHZC2316 が表示されない) 場合は、以下の処置の内の 1 つを行ってください。

- CICS/VTAM ACB を FORCECLOSE する。
- CICS CEMT PERFORM SHUTDOWN IMMEDIATE を実行する。
- オペレーティング・システム・コンソールから CICS ジョブを取り消す。

警告: 他に適当な処置が見つからないときにのみ、以上の処置を行ってください。

端末がシャットダウンされない原因は、CICS よりも、端末装置またはネットワークにあると考えられます。

シャットダウン処理中に、メッセージ DFHZC2350、DFHZC2351、および DFHZC2352 が出されるのが早すぎたり遅すぎたりした場合は、適切なステップを経て、CICS を今後稼動する際に TCSWAIT システム初期設定パラメーターを変更してください。いったん CICS で初期設定してしまうと、TCSWAIT は変更できません。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *Date*
2. *Time*
3. *Applid*
4. *termid*
5. *netname*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=01 要求が進行中,
2=02 タスクはまだアクティブです,
3=03 SHUTC を待機中,
4=04 BIS を待機中,
5=05 UNBIND を待機中,
6=06 RTR を待機中,
7=07 BID が進行中,
8=08 他の TC 処理を保留中,
99=99 不明

7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSHU

宛先: CSNE

DFHZC2352 *DATE TIME APPLID sysid netname*
Intersystem parallel connection still active after TC shutdown threshold expired. ((instance) Module {DFHZSHU}).

説明: CICS はネットワークのシャットダウンを試みましたが、許可された時間枠内に完了しませんでした。この時間枠 (端末管理シャットダウン待機しきい値) は、TCSWAIT システム初期設定パラメーターによって指定されます。このメッセージは、時間枠を超えてまだ活動状態 (シャットダウンされていない) にある各接続 (LU タイプ 6.1 および LU タイプ 6.2、ただし LU タイプ 6.2 単一セッション APPC 端末は除く) での最

DFHZC2400 E

初の VTAM システム間並列セッションに関して出されます。

メッセージ内の *sysid* および *netname* は、それぞれ CICS システム識別名および VTAM ネットワーク名です。

システムの処置: TCSACTN=FORCE システム初期設定パラメーターが指定されている場合、LU タイプ 6.2 並列セッション接続の CNOS クローズ処理が完了していれば、CICS は CICS VTAM ACB の強制クローズを試みます。そうでない場合、CICS 端末管理シャットダウンが通常どおりに続行されます。DFHZNAC (ノード異常条件プログラム) は、このメッセージを処理しません。このため、インストール・システムの DFHZNEP (ノード・エラー・プログラム) で条件を代行受信することはできません。このメッセージによって報告される並列接続は、メッセージ DFHZC2350 に含まれていません。

ユーザーの処置: TCSACTN=FORCE システム初期設定パラメーターが指定されていないか、指定されていても VTAM ACB がまだクローズしていない場合は、接続の状態を確認してください。そして、この CICS システムの外側で適切な処置を取り、接続をシャットダウンしてください。

シャットダウン処理中に、メッセージ DFHZC2350、DFHZC2351、および DFHZC2352 が出されるのが早すぎたり遅すぎたりした場合は、適切なステップを経て、CICS を今後稼動する際に TCSWAIT システム初期設定パラメーターを変更してください。いったん CICS で初期設定してしまうと、TCSWAIT は変更できません。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSHU

宛先: CSNE およびコンソール

DFHZC2400 E *date time applid termid tranid* **Error not supported. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZSYX})**

説明: CICS が VTAM から予期しないエラー・コードを受け取りました。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

sense データは、*xx yy zzzz* という形式の 3 つの 16 進値からなります。ここで、*xx* は VTAM センス情報バイト、*yy* は VTAM センス修飾バイト、*zzzz* はユーザー・センス情報の 2 バイトを表します。以下が、*xx* の値として考えられる。

xx	意味
X'00'	ユーザー・センス・データのみ (zzzz を参照)
X'08'	要求の拒否
X'10'	要求エラー
X'20'	状態エラー
X'40'	要求ヘッダー (RH) 使用エラー
X'80'	経路エラー

yy の意味については、「Systems Network Architecture Formats (GA27-3136)」を参照してください。

システムの処置: CICS は、セッションを終了します。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 症状ストリングを使用し、必要な場合はさらにトランザクション・ダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX,
2=DFHZSYX,
3=DFHZSYX,
4=DFHZSYX,
5=DFHZSYX,
6=DFHZSYX,
7=DFHZSYX,
8=DFHZSYX,
9=DFHZSYX,
10=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2401 E *date time applid termid tranid RPL*
Active. *sense ((instance) Module name:*
{DFHZRVS | DFHZSDA | DFHZSDL |
DFHZSDS | DFHZSES | DFHZSKR |
DFHZRVL | DFHZSDR | DFHZRVL |
DFHZRVL | DFHZRVL | DFHZSDL})

説明: CICS は、現在活動状態の要求パラメーター・リスト (RPL) を使用して、VTAM サービスの要求を試みました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、セッションを終了します。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 症状ストリングを使用し、必要であればさらにトランザクション・ダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZRVS, DFHZSDA, DFHZSDR, DFHZSDS, DFHZSES, DFHZSDL, DFHZRVL, DFHZSKR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS,
2=DFHZSDA,
3=DFHZSDL,
4=DFHZSDS,
5=DFHZSES,
6=DFHZSKR,
7=DFHZRVL,
8=DFHZSDR,
9=DFHZRVL,
10=DFHZRVL,
11=DFHZRVL,
12=DFHZSDL

宛先: CSNE

DFHZC2402 I *date time applid termid tranid netname*
VTAM has returned error on
synchronous receive. *sense ((instance)*
Module name: {DFHZRAS})

説明: VTAM は、受信不特定の低速処理で DFHZRAS によって出された同期受信が正常に完了しなかったことを示しました。これは、CICS のセッションの状態の見方と VTAM のそれとの間にかなりの不一致があることを示しています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 要求は無視されます。CICS は、関連セッション TCTTE を CSNE 一時データ宛先に出力します。VTAM により戻された RPL は、例外トレース項目 AP FCA2 に含まれています。

ユーザーの処置: 例外トレース項目内のこの RPL をもとして、VTAM がエラーを引き起こした理由を判別してください。

モジュール: DFHZRAS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*

DFHZC2403 E

7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAS

宛先: CSNE

DFHZC2403 E *date time applid termid tranid Bind failure. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX | DFHZSYX})*

説明: セッションを確立する試みが失敗しました。原因として、以下のいずれかの理由により装置への物理経路が見つからないことが考えられます。

- - 装置が存在しない
- - 装置が誤って定義されている
- - 装置がバインドをリジェクトした

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

このセッションが LU62 セッションまたは LU61 セッションで、パートナー LU がセンス・バイト X'0835nnnn' を送信した場合 (nnnn は BIND 内の NETNAME のオフセット)、パートナー LU が適切なセッションを検出できなかったことを意味します。

センス・バイトが X'08010000' である場合は、パートナー LU が接続の自動インストールに失敗した可能性があります。

VTAM RETURN CODE FEEDBACK が X'1018' である場合、VTAM 汎用リソースは使用中ですが、カップリング・ファシリティは使用不可です。

instance が 1 で、*sense* コードが '0805' の場合は、以下のことが当てはまります。

- - このシステム (TOR2) は汎用リソース (GR) のメンバーですが、パートナー (AOR) はそうではありません。
- - 同じ汎用リソース (GR) の別のメンバーと AOR との間の類縁性が既に存在します。

これは、この接続を獲得することはできないことを意味します。通常、このメッセージには、AOR 内の同等のセッションに対する DFHZC2411 インスタンス 36 が伴います。DFHZC2411 は、AOR が TOR2 の実名で定義された接続を見つけられないことを意味します。AOR 接続は、TOR の汎用リソース名で定義されます。

システムの処置: ノードとの通信を確立することができないので、以前に作成された制御ブロックを解放するために VTAM CLSDST マクロが出されます。ノードは使用できない状態にされている可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージに示された VTAM センス・コードを利用して、障害の原因を判別してください。該当する場合には、ノード名がネットワーク制御プログラム/仮想記憶 (NCP/VS) 生成デックに含まれていたことを確認し、不良通信回線の可能性について調べてください。

センス・バイトが X'0835nnnn' (ここで、nnnn は BIND 内の NETNAME のオフセットを表す) だった場合は、パートナー LU が適切なセッションを検出できませんでした。パートナー LU が CICS である場合は、DFHZC2411 のパートナー LU のログ、および同じセッションに関する直前のメッセージを調べてください。セッションが検出されなかった理由が示されているはずです。

LU62 自動インストールが使用中で、センス・バイトが X'08010000' だった場合は、メッセージ DFHZC2411 および DFHZC69xx のパートナー LU のログを調べてください。これらのメッセージには、接続を自動インストールできなかった理由が示されているはずです。

VTAM RETURN CODE FEEDBACK が X'1018' である場合、カップリング・ファシリティが使用可能になった後、ログオンを再試行できます。

instance が 1 で、*sense* が X'0805' である場合、意図的に異なる APPLID と同じ汎用リソース名を使用して TOR2 が開始されたのかどうかを判別します。意図的ではなかった場合は、問題を修正してください。意図的であった場合は、それら 2 つのシステムの間の接続が必要であれば、AOR と TOR1 との間の類縁性を終了させる必要があります。類縁性を終了させるには、以下の方法があります。

1.
 - TOR1 を開始し、接続を獲得してから、接続を解放します。
2.
 - TOR1 を開始し、CEMT SET CONNECTION ENDAFFIN、CEMT PERFORM ENDAFFIN、または EXEC CICS ENDAFFIN コマンドを使用します。
- 3.

「CICS の相互通信」の『アフィニティーを終わらせるバッチ・プログラムの作成』で説明されているバッチ・プログラムを使用します。

ただし、AOR が TOR と同じシスプレックス内にある場合は、APPC ではなく、MRO 接続を使用する必要があります。そうすると、類縁性で問題が起こることはありません。

AOR がシスプレックスの外部にあり、TOR から接続を獲得した場合は、「CICS の相互通信」の『Using a HUB』で説明されている手順に従って HUB を使用して、2 つの TOR が汎用リソース名を使用して同じ AOR への接続を試行しないようにする必要があります。

あるいは、汎用リソース名ではなく実名で TOR2 をアドレス指定するように AOR 接続を変更して、常に AOR から接続を獲得するようにするという方法もあります。この方法は、TOR 接続で AUTOCONNECT を使用できなくなることを意味します。

可能なかぎり速やかに接続を解放してください。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX,
2=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2404 E *date time applid termid trandid VTAM*
Detected Logic Error. *sense ((instance)*
Module name: {DFHZLEX | DFHZLEX
 | DFHZLEX | DFHZLEX | DFHZLEX
 | DFHZLEX})

説明: VTAM が要求の中にエラーを検出しました。要求が不完全であったか、または実行不可能でした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、ノード (CLSDST) との通信を中断し、生成されたすべてのタスクを異常終了させて、そのノードを使用できない状態にして、トランザクション・ダンプを作成します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 並行して実行されているすべてのアプリケーション・プログラムが適切なアドレス可能性を有していることを確認し、それによって、TCTTE または RPL といった CICS 制御ブロックの変更を防止してください。このメッセージが通常の実行時に発生した場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

このメッセージは、VTAM が終了している場合にも発生する可能性があります。こうした条件の下では、深刻な問題ではないので、処置は通常必要ありません。

VTAM 戻りコードについて詳しくは、z/OS 2.1.0 の資料でフィードバック・コードのデータ構造に関するページを参照してください。

モジュール: DFHZLEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLEX,
2=DFHZLEX,
3=DFHZLEX,
4=DFHZLEX,
5=DFHZLEX,
6=DFHZLEX

宛先: CSNE

DFHZC2405 E *date time applid termid trandid Node*
 netname not activated. sense ((instance)
Module name: {DFHZSIM | DFHZSIM
 | DFHZSIM | DFHZSIM | DFHZSIM
 | DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZSYX
 | DFHZSIX | DFHZSYX | DFHZSYX})

説明: ノードが活動化されていないか、ネットワーク・

オペレーターによって非活動化されました。あるいは、同じ汎用リソース内の別のシステムとの汎用リソース類縁性が既に存在します。

インスタンス 6 - パートナーが汎用リソース (TOR2) のメンバーで、このシステム (AOR) はメンバーではなく、TOR1 が異常終了したために AOR と同じ汎用リソース (TOR1) の別のメンバーとの間に類縁性が既に存在する場合、VTAM はこの接続が獲得不可能であることを示しました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。そのノードとの通信を停止させるための VTAM CLSDST マクロが発行され、内部 LOGON が妨げられます。

引き継ぎ時にこのメッセージが出される場合には、最初の試行後、1、2、4、または 8 分の間隔で獲得が再試行されます。これにより、手操作で介入する必要があるセッション用に時間を与えることができ、獲得が成功します。

ユーザーの処置: ノードをネットワークで使用する前に、VTAM VARY コマンドを使用して、そのノードを活動化してください。あるいは、IMS を使用する ISC については、LOGON に対して IMS を有効にしてください。

問題のノードが、以前総称アプリケーション ID (VTAM 用語では USERVAR) として使用されていたことが考えられます。VTAM オペレーター・コマンド DISPLAY USERVAR を使用して、今回がこのケースに当てはまるかどうかを調べてください。このケースに当てはまる場合は、MODIFY USERVAR,OPTION=DELETE,ID=node を使用して USERVAR を削除することができます。

インスタンス 6 - 意図的に異なる APPLID と同じ GR 名を使用して TOR2 が開始されたのかどうかを判別します。意図的ではなかった場合は、問題を修正してください。意図的であった場合は、それら 2 つのシステムの間の接続が必要であれば、AOR と TOR1 との間の類縁性を終了させる必要があります。類縁性を終了させるには、以下の方法があります。

1. TOR1 を開始し、接続を獲得してから、接続を正しく解放します。
2. TOR1 を開始し、CEMT または EXEC CICS を介して ENDAFFIN を使用します。

3. 「CICS の相互通信」の『アフィニティーを終わらせるバッチ・プログラムの作成』で説明されているバッチ・プログラムを使用します。

ただし、AOR が TOR と同じシスプレックス内にある場合は、APPC ではなく、MRO 接続を使用する必要があります。そうすると、類縁性で問題が起こることはありません。

AOR がシスプレックスの外部にあり、TOR から接続を獲得した場合は、「CICS の相互通信」の『Using a HUB』で説明されている手順に従って HUB を使用して、2 つの TOR が汎用リソース名を使用して同じ AOR への接続を試行しないようにする必要があります。

あるいは、汎用リソース名ではなく実名で TOR2 をアドレス指定するように AOR 接続を変更して、常に AOR から接続を獲得するにするとする方法もあります。この方法は、TOR2 接続で AUTOCONNECT を使用できなくなることを意味します。

モジュール: DFHZSYX、DFHZSIX、DFHZSIM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSIM,
2=DFHZSIM,
3=DFHZSIM,
4=DFHZSIM,
5=DFHZSIM,
6=DFHZSYX,
7=DFHZSYX,
8=DFHZSYX,
9=DFHZSIX,
10=DFHZSYX,
11=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2406 E *date time applid termid tranid*
Terminate self command received.
sense ((instance) Module name:
{DFHZSYX})

説明: 論理装置 (LU) がセッションの終了を要求しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのノードとの通信を停止するために、VTAM CLSDST マクロが出されました。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2407 E *date time applid termid tranid*
Permanent channel failure. sense
((instance) Module name: {DFHZSYX |
DFHZSYX})

説明: ネットワーク制御プログラム/仮想記憶 (NCP/VS) がネットワーク・オペレーターによってシャットダウンされたか、異常終了しました。あるいは、チャンネルに障害が起きました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 論理装置との通信が中断されたために、VTAM によって以前に作成された制御ブロックを解放するための VTAM CLSDST マクロ命令が出されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 与えられたダンプを利用して、考えら

れる NCP/VS またはチャンネルの問題を調べてください。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX,

2=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2408 E *date time applid termid tranid*
Apparent VTAM Error. sense ((instance)
Module name: {DFHZSYX | DFHZSYX
| DFHZSYX | DFHZSYX})

説明: VTAM は、それ自体の処理中にエラーを検出しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ノードはサービス休止状態に置かれます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: センス・データを使用して、エラーの性質を判別してください。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

DFHZC2409 I • DFHZC2410 E

1=DFHZSYX,
2=DFHZSYX,
3=DFHZSYX,
4=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2409 I *date time applid termid tranid VTAM*
Recovered Node. LOSTERM Error
Code X'xx'. *sense ((instance) Module*
name: {DFHZLTX | DFHZLTX})

説明: VTAM は、ノードとの通信を正常に再確立しました。LOSTERM 出口に入る理由が xx に示されます。この xx の値は、以下のいずれかになります。

値 意味

0

ダイヤルインでのダイヤル切断

4

ダイヤルアウトでのダイヤル切断

0C

即時非活動化

14

無条件自己終止

1C

セグメント化エラー

20

条件付き自己終止

24

BUFLIM 値の超過

この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、通信を再確立し、ノードを使用できる状態にします。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZLTX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

1910 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

5. *tranid*
6. X'xx'
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLTX,
2=DFHZLTX

宛先: CSNE

DFHZC2410 E *date time applid termid tranid Node*
Unrecoverable. VTAM LOSTERM
Error Code X'xx'. *sense ((instance)*
Module name: {DFHZLTX | DFHZLTX
 | DFHZLTX | DFHZLTX})

説明: ノードとの通信が中断された後、VTAM が通信を再確立できません。LOSTERM 出口に入る理由が、エラー・コード X'xx' に示されます。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: ノード用に以前に作成された制御ブロックを解放するために、VTAM CLSDST マクロが出されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: エラー・コードの説明については、該当する「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

モジュール: DFHZLTX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. X'xx'
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLTX,
2=DFHZLTX,
3=DFHZLTX,
4=DFHZLTX

宛先: CSNE

DFHZC2411 E *date time applid termid tranid nodeid*
attempted invalid logon. sense
 ((instance) **Module name:** {DFHZSCX |
 DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX |
 DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZATA |
 DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX |
 DFHZSCX | | DFHZLGX | DFHZLGX
 | DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX
 | DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX
 | DFHTFP | DFHZLGX | DFHZSCX |
 DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZSCX |
 DFHZLGX | DFHZBLX | DFHZBLX |
 DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX |
 DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX |
 DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZLGX |
 DFHZBLX | DFHZSCX | DFHZBLX})

説明: ノード *nodeid* は、CICS にログオンしようとして
 しましたが、このログオンは無効です。

このメッセージに示される *nodeid* は常に、CICS への
 接続を試行したノードのネット名で始まります。LU6.2
 ログオンによって生成されるメッセージの一部のインス
 タンスでは、「ネット名」の後に、ドット区切り文字を
 使用してセッションのモードネームが連結されます。デ
 フォルトのモードネームは 8 つのブランクからなるス
 トリングであるため、その場合のメッセージは特異な形
 式になります。

このメッセージが DFHZATA によって出されると、
 CICS は端末または接続の自動インストールに失敗しま
 す。

インスタンス *instance* は、以下のいずれかです。

1

LU6.1 に適切な TCTTE が検出できないか、ま
 たはセッションの TCTTE が存在しません。こ
 の問題は、以下のいずれかの理由で発生しま
 す。

1.

バインドにモードネームが含まれていま
 せん。

2.

LU6.1 リンクを介して別の汎用リソースと
 通信する汎用リソースに、メンバー名接続
 の RDO 定義があります。

2

CICS によって処理された LU6.2 バインドで
 PLUNAME が見つかりませんでした。

3

汎用リソース・システムでメンバー名接続の自
 動インストールが試行されましたが、バインド
 は SNA サービス・マネージャーを対象として
 いなかったため、その試行は失敗しました。

4

システムが終了中のため、自動インストールが
 許可されません。

5

VTAM ACB がクローズ中のため、自動インス
 トールが許可されません。

6

SIT で ISC=NO が指定されているため、ISC
 サポートはありません。

7

BIND 不良およびユーザー出口不良といった理
 由のため、DFHZATA によって使用されまし
 た。

8

復元された TCTTE アドレスと NIBSEARCH
 で検出されたアドレスが一致しません。

9

システムが終了中です。

10

VTAM が終了中である。

11

予約済み。

12

予約済み。

13

RPL にアドレスが存在しません。

14

LU6.1 は自動インストールを行うことができま
 せん。

2 つの CICS システムがそれぞれ異なる汎用リ
 ソースとして登録されている場合、互いの汎用
 リソース・ネット名を使用して LU61 接続を
 定義する必要があります。CICS システムはメ
 ンバー名で相互通信することはできません。こ
 の場合、CICS が汎用リソース・ネット名を探
 しましたが、見つけることができませんでした。

- 15 ISC サポートが存在しません。
- 16 APPC 並列セッションの CINIT を着信しました。これはサポートされていません。APPC 並列セッションのすべての入力、BIND を介さなければなりません。また、このネット名の接続は存在していません。
- 17 セッションがバインドされていません。
- 18 使用されません。
- 19 LU が使用可能ではありません。通常、これは、XRF 代替 CICS です。
- 20 同じネット名を持つ別の CINIT が到着しました。
- 21 CATA 異常終了のためにログオンが拒否されました。
- 22 APPC 並列セッションで、SIMLOGON により CINIT が開始されました。一致する接続は存在しますが、その接続の削除が進行中です。削除はキャンセル済みであるか (スケジュールされていたけれども開始されなかった場合)、あるいは削除が試行されるまで SIMLOGON はキューに入れられており、SIMLOGON アクティビティが存在するために削除が失敗するかのいずれかであるため、これは発生してはならない状況です。
- 23 LU6.1 接続の BIND を受け取りました。この CICS は汎用リソースとして登録されていますが、パートナーは汎用リソース名ではなくメンバー名を使用して CICS をアドレス指定しました。
- システムの汎用リソース名のネット名を使用するように、このシステムに対するパートナーの接続定義を変更してください。
- 24 使用されません。
- 25
- 1912 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ
- LU6.1 接続の CINIT を受け取りました。この CICS は汎用リソースとして登録されていますが、パートナーは汎用リソース名ではなくメンバー名を使用して CICS をアドレス指定しました。
- システムの汎用リソース名のネット名を使用するように、このシステムに対するパートナーの接続定義を変更してください。
- 26 LU6.1 接続の BIND を受け取りました。この CICS は、パートナーと同じ汎用リソースとして登録されています。しかし、パートナーは、plex 内通信で使用するべきメンバー名ではなく、汎用リソース名を使用して CICS をアドレス指定しました。
- システムのメンバー名のネット名を使用するように、このシステムに対するパートナーの接続定義を変更してください。
- 27 LU6.1 接続の CINIT を受け取りました。この CICS は、パートナーと同じ汎用リソースとして登録されています。しかし、パートナーは、plex 内通信で使用するべきメンバー名ではなく、汎用リソース名を使用して CICS をアドレス指定しました。
- システムのメンバー名のネット名を使用するように、このシステムに対するパートナーの接続定義を変更してください。
- 28 指定されたネット名の LU62 バインドを受け取りました。CICS は該当するネット名の接続を見つけましたが、その接続は APPC として定義されていませんでした。
- 29 バインドで指定された接続のシステム・エントリが見つかりましたが、そのシステム・エントリには使用可能なセッションがありません。
- 30 バインド内にモードネーム・フィールド UDSS02 が見つかりませんでした。
- 31 セッション TCTTE の検査で、このセッションがサービス休止の非 SNA サービス・マネージャー・セッションであり、関連する接続が解放されていることが示されました。

32

GR 名または XRF 接続の自動インストールが試行されましたが、バインドは SNA サービス・マネージャーを対象としていなかったため、その試行は失敗しました。

33

このバインドは、既存のパートナーに対する SNA サービス・マネージャー要求です。

34

バインド内で指定されているユーザー・データに問題があります。具体的には、以下のいずれかの問題があります。

- ユーザー・データがない。
- 指定されたユーザー・データが短すぎる。
- ユーザー・データが体系化されていない。

35

検出された接続に対して、削除処理が保留中です。この削除処理は、一時的なものではない端末定義を対象に、明示的に要求されました。

36

非汎用リソース要求の場合、バインドの検査で、SNA サービス・マネージャーを対象とした要求ではないことが示されました。

このインスタンスは、パートナーが汎用リソースのメンバーであり、このシステムが汎用リソースのメンバーでない場合は、接続を獲得すべきではないことを示しています。また、このシステムと同じ汎用リソースの別のメンバーとの間に類縁性が既に存在することも示しています。この状況を修正する方法については、パートナーの同等のセッションに対して発行されるメッセージ DFHZC2403 を参照してください。

37

現在のセッション・カウントが、モード・グループ項目に示されている最大セッション数を超過しました。

原因として、VTAM LU 定義に重複するネット名が指定されていることが考えられます。VTAM は、セッション開始時に、同じネット名を持つ 2 つの独立論理装置 (ILU) がある可能性を検出できません。これにより、CICS が

モード・グループで指定されている数より多くのセッションをバインドするよう要求される場合があります。

38

汎用リソース接続を獲得しようとしたが、VTAM が経路指定先として選択した汎用リソース・メンバーにメンバー名接続が定義されているため、その試行が失敗しました。

39

この CICS は汎用リソースから登録解除されていますが、リモート・パートナーは汎用リソース名を使用して APPC セッションをバインドしようとしています。これは、両方の側で VTAM 類縁性が終了されていないことを意味します。

40

この CICS は汎用リソースから登録解除されていますが、リモート・パートナーは汎用リソース名を使用して LU6.1 セッションをバインドしようとしています。これは、両方の側で VTAM 類縁性が終了されていないことを意味します。

41

接続の解放処理中に、APPC SNA サービス・マネージャー・セッションを対象としたバインドを受け取りました。SNASVCMG セッションの最大数は既にゼロに設定されていることから、このバインドを受け入れると、接続が解放中の状態のままになるため、バインドはリジェクトされました。すべてのユーザー・セッションの CLSDST が完了し、接続が解放されてから、接続の獲得を再試行してください。

この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

???????? が nodeid フィールドの後半に表示されている場合は、BIND には無効な長さが指定された SESSION QUALIFIER あるいは MODENAME が含まれている可能性があります。

システムの処置: ログオンは拒否されます。その拒否がダミーの TCTTE を通じて DFHZSCX から出されたものである場合は、失敗した BIND および拒否されたときのセンス・コードをメッセージの一部として印刷する試みが行われます。

ユーザーの処置: インスタンス番号を使用して、試みた

DFHZC2412 E

ログオンが拒否された理由を判別し、適切な処置をとってください。

モジュール: DFHZLGX, DFHZSCX, DFHZATA, DFHZBLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *nodeid*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX,
2=DFHZBLX,
3=DFHZBLX,
4=DFHZBLX,
5=DFHZBLX,
6=DFHZBLX,
7=DFHZATA,
8=DFHZLGX,
9=DFHZLGX,
10=DFHZLGX,
11=DFHZSCX,
12= ,
13=DFHZLGX,
14=DFHZLGX,
15=DFHZLGX,
16=DFHZLGX,
17=DFHZLGX,
18=DFHZLGX,
19=DFHZLGX,
20=DFHZLGX,
21=DFHTFP,
22=DFHZLGX,
23=DFHZSCX,
24=DFHZLGX,
25=DFHZLGX,
26=DFHZSCX,
27=DFHZLGX,
28=DFHZBLX,
29=DFHZBLX,
30=DFHZBLX,
31=DFHZBLX,
32=DFHZBLX,
33=DFHZBLX,
34=DFHZBLX,
35=DFHZBLX,
36=DFHZBLX,
37=DFHZBLX,

38=DFHZLGX,
39=DFHZBLX,
40=DFHZSCX,
41=DFHZBLX

宛先: CSNE

DFHZC2412 E *date time applid termid trandid*
Receive any request failed. sense
((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRAC})

説明: VTAM に対する受信不特定要求は失敗に終わりました。VTAM は終了しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 目視検査できるように、該当の VTAM RPL 制御ブロックが CSMT ログに記録されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 受信不特定要求が失敗に終わった理由を判別してください。まず最初に、VTAM RPL が変更されたかどうかを調べてください。変更された場合は、その変更が何らかの問題を引き起こした可能性があるかどうかを調べてください。明らかなエラーがあれば、それらを訂正してください。問題判別時に「z/OS Communications Server: SNA Programming」(SC23-0115) の資料を参照すると役立つことがあります。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC,
2=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2413 E *date time applid termid tranid nodeid*
CLSDST failed. *sense ((instance)*
Module name: {DFHZATA | DFHZLGX
 | DFHTFP})

説明: *nodeid* で示されているノードに対する CLSDST 要求が失敗に終わりました。VTAM がこの要求のために十分なスペースを持っていなかったものと思われます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: これ以降、そのノードとの通信は開始されません。

ユーザーの処置: VTAM のストレージの問題またはエラー・メッセージが示されていないかどうかを、CSNE、CSMT、および CSTL の各ログで調べてください。入出力の問題を示しているメッセージがないかどうかも調べてください。

モジュール: DFHTFP、DFHZATA、DFHZLGX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *nodeid*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZATA,
 2=DFHZLGX,
 3=DFHTFP

宛先: CSNE

DFHZC2414 E *date time applid termid tranid*
Temporary VTAM Storage Problem.
sense ((instance) Module name:
 {DFHZSYX})

説明: 一時的な VTAM ストレージの問題です。現在、VTAM のストレージが不足しています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 失敗した VTAM 要求は、VTAM が

受け入れ可能になるまで再試行されます。

ユーザーの処置: この状態が繰り返し発生し、問題の原因となる場合は、VTAM 作業用バッファ・ストレージを大きくしてください。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2415 E *date time applid termid tranid Node*
netname out of service. *sense ((instance)*
Module name: {DFHZNAC})

説明: ノード *nodeid* でノード・エラー条件が起きました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのノードを使用できない状態にします。

ユーザーの処置: センス・データを使用して、エラーの性質を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2416 E *date time applid termid tranid VTAM*
is halting. *sense ((instance) Module*
name: {DFHZSYX | DFHZSYX})

説明: SIMLOGON 要求または OPNDST 要求の処理が進行中であるときに、ネットワーク・オペレーターによって VTAM HALT コマンドが入力されました。インスタンス番号は、どのような停止のタイプが要求されたのかを示しています。

1

正常シャットダウン

2

即時シャットダウン

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: VTAM ネットワークは、それ以上の要求を防止するために静止します。ノードはサービス休止状態になります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX,
2=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2417 E *date time applid termid tranid VTAM*
Inactive to TCB. *sense ((instance)*
Module name: *{DFHZOPX | DFHZCLS*
| DFHZOPN | DFHZRLP | DFHZRST
| DFHZRVS | DFHZRVX | DFHZSDA
| DFHZSDL | DFHZSDS | DFHZSES
| DFHZSIM | DFHZSKR | DFHZSLX
| DFHZRAC | DFHZCLX | DFHZRVL
| DFHZSDR | DFHZSIX | DFHZTAX
| DFHZOPX | DFHZSYX})

説明: CICS はその VTAM ACB をオープンしなかったか、または VTAM が停止しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: VTAM ネットワークは静止させられ、これ以降の要求が妨げられ、ダンプが作成されず。

ユーザーの処置: VTAM がネットワーク・オペレーターによって停止されたのではない場合は、出されたダンプを使用して問題を判別してください。

モジュール: DFHZSYX, DFHZCLS, DFHZCLX, DFHZOPN, DFHZOPX, DFHZRAC, DFHZRLP, DFHZRST, DFHZRVL, DFHZRVS, DFHZRVX, DFHZSDL, DFHZSDR, DFHZSDS, DFHZSES, DFHZSIM, DFHZSIX, DFHZSKR, DFHZSLX, DFHZTAX, DFHZSDA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPX,
2=DFHZCLS,
3=DFHZOPN,
4=DFHZRLP,
5=DFHZRST,
6=DFHZRVS,
7=DFHZRVX,
8=DFHZSDA,
9=DFHZSDL,
10=DFHZSDS,
11=DFHZSES,

12=DFHZSIM,
13=DFHZSKR,
14=DFHZSLX,
15=DFHZRAC,
16=DFHZCLX,
17=DFHZRVL,
18=DFHZSDR,
19=DFHZSIX,
20=DFHZTAX,
21=DFHZOPX,
22=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2418 E *date time applid termid tranid*
Unknown command in RPL. sense
((instance) Module name: {DFHZSEX |
DFHZSEX})

説明: CICS SESSIONC 出口ルーチンによって、VTAM 要求パラメーター・リスト (RPL) の中に未知のコマンドが検出されました。RPL アドレスが無効であるか、または RPL が変更されていることが考えられます。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

CLSDST が出されてノードとの通信が停止し、ノードはサービス休止状態になります。

ユーザーの処置: まず、VTAM RPL に無効なアドレスがあるかどうかを調べてください。アドレスが有効である場合には、RPL が変更されていないかどうかを調べてください。変更された場合は、その変更が何らかの問題を引き起こした可能性があるかどうかを調べてください。明らかなエラーがあれば、それらを訂正してください。問題判別を行う際に「z/OS Communications Server: SNA Programming」(SC23-0115) の資料を参照すると役立つことがあります。

モジュール: DFHZSEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSEX,
2=DFHZSEX

宛先: CSNE

DFHZC2419 E *date time applid termid tranid*
Unknown command in RPL. sense
((instance) モジュール名: {DFHZSSX |
DFHZSLX | DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZRAC})

説明: 送信データ・フロー同期出口ルーチンによって、要求パラメーター・リスト (RPL) の中に未知のコマンドが検出されました。RPL アドレスが無効であるか、または RPL が変更されていることが考えられます。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

そのノードとの通信を停止させるための VTAM CLSDST マクロが出され、そのノードは使用されなくなります。

ユーザーの処置: まず最初に、VTAM RPL が無効なアドレスを持っていないかどうかを調べてください。アドレスが有効である場合には、RPL が変更されていないかどうかを調べてください。変更された場合は、その変更が何らかの問題を引き起こした可能性があるかどうかを調べてください。明らかなエラーがあれば、それらを訂正してください。問題判別を行う際に「z/OS Communications Server: SNA Programming」(SC23-0115-3) の資料を参照すると役立つことがあります。

モジュール: DFHZSSX、DFHZSLX、DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHZC2420 E • DFHZC2421 E

3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSSX,
2=DFHZSLX,
3=DFHZRAC,
4=DFHZRAC,
5=DFHZRAC,
6=DFHZRAC,
7=DFHZRAC,
8=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2420 E *date time applid termid trandid*
Unknown command in RPL. *sense*
((instance) Module name: {DFHZSAX})

説明: 送信データ・フロー非同期出口ルーチンによって、RPL の中に未知のコマンドが検出されました。RPL アドレスが無効であるか、または RPL が変更されていることが考えられます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

そのノードとの通信を停止させるための VTAM CLSDST マクロが出され、そのノードは使用されなくなります。

ユーザーの処置: まず最初に、VTAM RPL が無効なアドレスを持っていないかどうかを調べてください。アドレスが有効である場合には、RPL が変更されていないかどうかを調べてください。変更された場合は、その変更が何らかの問題を引き起こした可能性があるかどうかを調べてください。明らかなエラーがあれば、それらを訂正してください。問題判別を行う際に「z/OS Communications Server: SNA Programming」(SC23-0115) の資料を参照すると役立つことがあります。

モジュール: DFHZSAX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSAX

宛先: CSNE

DFHZC2421 E *date time applid termid trandid*
Unsupported command received. *sense*
((instance) Module name: {DFHZRLP |
DFHZRLP | DFHZRVX | DFHZRVX |
DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZRAC | DFHZRAC})

説明: 未知のコマンドまたは要求が検出されたか、RPL に論理装置 (LU) 状況が含まれています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 無効なコマンドまたは要求が検出された場合、未解決の送信および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出され、ノードとの通信が停止します。

ISC セッションの場合には、各ノードで互換性のないセッション・タイプを指定すると、このエラーが起こることがあります。(例えば、あるノードで SESSIONTYPE=SEND が指定され、他のノードで SESSIONTYPE=FASTRECV が指定される場合)。

RPL に論理装置 (LU) 状況が含まれる場合には、DFHZC2461、DFHZC2462、DFHZC2464、DFHZC2465、または DFHZC2466 メッセージの 1 つが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 無効なコマンドまたは要求は、CICS、VTAM または LU6 セッションに接続されたシステム内の、指定された端末定義あるいはセッションの定義が矛盾しているか、またはエラーがあることを示しています。これらの定義が、装置またはセッション特

性に関して一貫性があり、正しいかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRVX, DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP,
2=DFHZRLP,
3=DFHZRVX,
4=DFHZRVX,
5=DFHZRAC,
6=DFHZRAC,
7=DFHZRAC,
8=DFHZRAC,
9=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2422 E *date time applid termid trandid ZCP*
Logic Error. sense ((instance) Module
name: {DFHZDET | DFHZSIM |
 DFHZSIM | DFHZERH | DFHZERH |
 DFHZERH | DFHZERH | DFHZERH |
 DFHZERH | DFHZERH | DFHZERH |
 DFHZERH | DFHZERH | DFHZNAC |
 DFHZERH | DFHZERH | DFHZERH |
 DFHZERH | DFHZSDS | DFHZEV1 |
 DFHZEV1 | DFHZOPN | DFHZOPN |
 DFHZRVS | DFHZRVS | DFHZSKR |
 DFHZSSX | DFHZSLX | DFHZSLX |
 DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZARL | DFHZARL | DFHZEV2 |
 DFHZEV2 | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZOPN})

説明: 端末の処理時に、CICS は DFHZCP の中で無効な内部状態を検出しました。

このメッセージのインスタンス 1 は、パートナー・システムでの持続セッションの再始動後にデータが失われたことが原因で発生することがあります。その場合、更新はバックアウトされるため、論理エラーは発生してい

ません。通常、このインスタンスは、同じセッションに対する AZCD およびパートナー・セッションに対するメッセージ DFHZC0144 の後に続きます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去され、そのタスクは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。そのノードは使用できない状態にされ、TCTTE、RPL、および処置フラグが、デバッグの目的で CSMT 宛先に記録されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。TCTTE が変更されていないければ、ダンプを使用して、エラーの原因を突き止めてください。

何があうまくゆかなかったのかを探る手掛かりを得るには、CSMT ログに印刷されたデバッグ・データを調べると役立ちます。

モジュール: DFHZARL, DFHZDET, DFHZERH, DFHZEV1, DFHZEV2, DFHZOPN, DFHZRAC, DFHZRVS, DFHZSDS, DFHZSIM, DFHZSKR, DFHZSLX, DFHZNAC, DFHZSSX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZDET,
2=DFHZSIM,
3=DFHZSIM,
4=DFHZERH,
5=DFHZERH,
6=DFHZERH,
7=DFHZERH,
8=DFHZERH,
9=DFHZERH,
10=DFHZERH,
11=DFHZERH,
12=DFHZERH,
13=DFHZERH,
14=DFHZNAC,
15=DFHZERH,

DFHZC2423 E • DFHZC2424 E

16=DFHZERH,
17=DFHZERH,
18=DFHZERH,
19=DFHZSDS,
20=DFHZEV1,
21=DFHZEV1,
22=DFHZOPN,
23=DFHZOPN,
24=DFHZRVS,
25=DFHZRVS,
26=DFHZSKR,
27=DFHZSSX,
28=DFHZSLX,
29=DFHZSLX,
30=DFHZRAC,
31=DFHZRAC,
32=DFHZRAC,
33=DFHZRAC,
34=DFHZRAC,
35=DFHZRAC,
36=DFHZRAC,
37=DFHZRAC,
38=DFHZRAC,
39=DFHZARL,
40=DFHZARL,
41=DFHZEV2,
42=DFHZEV2,
43=DFHZRAC,
44=DFHZRAC,
45=DFHZOPN

宛先: CSNE

DFHZC2423 E *date time applid termid tranid* サポートされないコマンドを送信しようとした。*sense ((instance) Module name: {DFHZSDS})*

説明: データを同期的に送信するための要求が不完全でした。この理由としては、次のものが考えられます。

1. TCTTE が変更された。
2. 論理エラーが検出された。
3. TCTTE が誤って送信同期キュー上に置かれた。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、

そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロ命令が出されて、ノードとの通信が終了します。

ユーザーの処置: 上記に記された理由 1 から 3 の場合には、並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。

論理エラー (2) の疑いがある場合には、VTAM RPL が破壊されていないかどうかを検査してください。それでも問題を解決できない場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZSDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDS

宛先: CSNE

DFHZC2424 E *date time applid termid tranid*
SESSIONC command request invalid.
sense ((instance) Module name: {DFHZSES | DFHZSES | })

説明: SESSIONC 要求が不完全であるか、または無効です。この理由としては、次のものが考えられます。

1. TCTTE が変更された。
2. そのコマンド要求ビットが不完全である。
DFHZSES は、TCTEISDT でデータ通信開始 (SDT) コマンドを、TCTEISTS で順序番号設定/テスト (STSN) コマンドを、TCTEICLR で CLEAR コマンドを探します。これらのいずれも見つからなかった場合に、DFHZSES がこのメッセージを出します。
3. 間違った要求が SESSIONC キューに入れられた。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

VTAM CLSDST マクロ命令が出されて、ノードとの通信が終了します。

ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。

TCTTE が変更されていない場合には、条件 2 または条件 3 について検査してください。

モジュール: DFHZSES

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSES,
2=DFHZSES,
3=

宛先: CSNE

DFHZC2425 E *date time applid termid tranid*
ASYNCR command request invalid.
sense ((instance) Module name:
{DFHZSDA | DFHZSDA})

説明: データを非同期的に送信するための要求が不完全であったか、または無効でした。この条件は、TCTTE が変更されたことが原因で起きることがあります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、

そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

VTAM CLSDST マクロ命令が出されて、ノードとの通信が終了します。

ユーザーの処置: TCTTE を検査してください。並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。

モジュール: DFHZSDA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDA,
2=DFHZSDA

宛先: CSNE

DFHZC2426 E *date time applid termid tranid Node*
Status Error. Node is out of service or
receive only. sense ((instance) Module
name: {DFHZATT | DFHZATT |
DFHZATT})

説明: 出力専用または永続的に使用されないものとして識別されているノードから、入力を受け取られました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ノードが使用できない状態にある場合には、マスター端末オペレーターはそれを再び使用できる状態にする必要があります。

モジュール: DFHZATT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

DFHZC2427 I • DFHZC2429 E

2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZATT,
2=DFHZATT,
3=DFHZATT

宛先: CSNE

DFHZC2427 I *date time applid termid tranid NCP*
Restarted. *sense ((instance) Module*
name: {DFHZSYX})

説明: OPNDST に失敗した後で、ネットワーク制御プログラム/仮想記憶 (NCP/VS) が再始動されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: OPNDST 要求が再び出されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2428 E *date time applid termid tranid Send*
DFSYN request incomplete. *sense*
((instance) Module name: {DFHZSDS})

説明: 同期送信要求が出されましたが、コマンドまたはデータの送信であることが示されていません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx

メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 明らかなエラーがあるかどうか VTAM RPL を検査してください。並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。TCTTE が変更されていない場合には、症状ストリングを使用し、必要ならさらにダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZSDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDS

宛先: CSNE

DFHZC2429 E *date time applid termid tranid*
RESETSR request invalid RTYPE. *sense*
((instance) Module name: {DFHZRST |
DFHZRST | DFHZRST})

説明: 無効な RESETSR 要求が、CICS によって出された VTAM マクロで行われました。その無効な要求は、RTYPE が指定されていないか、正しく指定されていないか、または TCTTE が変更されたために生じた可能性があります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ

DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 明らかなエラーがあるかどうか VTAM RPL を検査してください。 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。 TCTTE が変更されていない場合には、症状ストリングを使用し、必要ならさらにダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZRST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRST,
2=DFHZRST,
3=DFHZRST

宛先: CSNE

DFHZC2430 E *date time applid termid trandid* **Send**
response command request invalid.
sense ((instance) Module name:
{DFHZSDR})

説明: 送信応答要求が無効でした。 要求に応答レベル (DR1 または DR2) が指定されていなかったか、または TCTTE が要求されていませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求はすべて除去されます。 タスクが生成されると、タスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成され、そのノードはサービス休止状態にされます。

ユーザーの処置: 明らかなエラーがあるかどうか VTAM RPL を検査してください。 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。 TCTTE が変更されていない場合は、ダンプを使用してエラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZSDR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDR

宛先: CSNE

DFHZC2431 E *date time applid termid trandid*
Request to a released node. sense
((instance) Module name: {DFHZSYX})

説明: CICS は、現在 CICS が「所有している」ノードのための宛先をクローズするように VTAM に要求しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS ACB がオープンされたら、すべての未解決要求は除去されます。そして、タスクが生成されている場合は異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS ACB がオープンされている場合には、ダンプを使用して、エラーの原因を判別してください。 TCTTE が有効であるかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2432 E *date time applid termid tranid*
Exception response received. *sense*
 ((instance) **Module name:** {DFHZRVX |
 DFHZRVX | DFHZRVX | DFHZRVX |
 DFHZRVX | DFHZRVX | DFHZRVX |
 DFHZSSX | DFHZSSX | DFHZSSX |
 DFHZSSX | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC})

説明: CICS が例外応答を受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: このメッセージとともに別の CICS メッセージが出されます。

ユーザーの処置: 関連した CICS メッセージについて示された処置を実行してください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX、DFHZSSX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
 2=DFHZRVX,
 3=DFHZRVX,
 4=DFHZRVX,
 5=DFHZRVX,
 6=DFHZRVX,
 7=DFHZRVX,
 8=DFHZSSX,
 9=DFHZSSX,
 10=DFHZSSX,
 11=DFHZSSX,
 12=DFHZRAC,
 13=DFHZRAC,
 14=DFHZRAC,
 15=DFHZRAC,
 16=DFHZRAC,
 17=DFHZRAC,
 18=DFHZRAC,
 19=DFHZRAC,

20=DFHZRAC,
 21=DFHZRAC,
 22=DFHZRAC,
 23=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2433 E *date time applid termid tranid nodeid*
 自動インストールが使用不可であるため、
 ログオンに失敗しました。 *sense* ((instance)
 モジュール名: {DFHZLGX | DFHZLGX
 | DFHZBLX | DFHZBLX})

説明: ノード *nodeid* が、CICS へのログオンを試みましたが失敗しました。 次の理由が考えられます。

- 自動インストール・システム初期設定パラメーターが正しく定義されていない。
- CICS 端末接続処理中にエラーが検出された。
- システムのストレージが不足している。 いったん SOS 条件が終了するたびに自動インストールは使用可能にされます。

システムの処置: ログオンは拒否されます。

ユーザーの処置: AIQMAX システム初期設定パラメーターの値がゼロより大きいことを確かめてください。システム初期設定パラメーター AIEXIT に自動インストール・ユーザー・プログラムが指定されている場合には、プログラム名が CICS に定義されていることを検査してください。 自動インストール・パラメーターについての詳細は、「構成」を参照してください。

システムのストレージが不足している場合、詳しい手引きについては、関連したメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZLGX、DFHZSCX、DFHZBLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *nodeid*
7. *sense*
8. *instance*

9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLGX,
2=DFHZLGX,
3=DFHZBLX,
4=DFHZBLX

宛先: CSNE

DFHZC2434 E *date time applid termid tranid* **Invalid copy request - Copy not supported.**
sense ((instance) Module name:
{DFHZARQ})

説明: DFHTC TYPE=COPY 要求が、3270 互換モードの論理装置に対して出されました。3270 COPY コマンドは、3270 互換モードの論理装置によってはサポートされないため、この要求は無効です。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: COPY 要求を出さないように、アプリケーション・プログラムを変更してください。

モジュール: DFHZARQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZARQ

宛先: CSNE

DFHZC2435 E *date time applid termid tranid* **RPL missing. sense ((instance) Module name:**
{DFHZRVS})

説明: 要求パラメーター・リスト (RPL) を指定せずに、CICS によって特定受信要求が VTAM に対して出されました。この条件は、次のいずれかの結果であると考えられます。

- RPL が割り振られていない。

- RPL は割り振られたものの、その後解放された。
- TCTERPLA が変更された。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されず。CLSDST マクロが出され、ノードとの通信が終了します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、TCTTE がアプリケーション・プログラムによって変更されたのかどうかを調べてください。TCTTE が更新された場合には、エラーを訂正してください。TCTTE が変更されていない場合には、RPL に潜在的な問題がないか検査してください。

モジュール: DFHZRVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS

宛先: CSNE

DFHZC2436 E *date time applid termid tranid* **TIOA missing. sense ((instance) Module name:**
{DFHZRVS | DFHZRVX | DFHZRVS})

説明: 特定受信要求が処理されているときに、TIOA が欠落していました。この条件は、TIOA が解放されているか、または TCTTEDA が変更されている結果である可能性があります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは

DFHZC2437 E • DFHZC2439 E

異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、TCTTE がアプリケーション・プログラムによって変更されたかどうかを判別してください。

モジュール: DFHZRVS、DFHZRVX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS,
2=DFHZRVX,
3=DFHZRVS

宛先: CSNE

DFHZC2437 E *date time applid termid trandid* **Invalid**
WRITE request to an input only
device. sense ((instance) Module name:
{DFHZSDS})

説明: 入力専用装置として定義されている VTAM 端末に対して出力要求が出されました。TCTTETS が変更されたか、または生成されたタスクが送信要求を出したことが原因と思われます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。端末の状況はそのまま変わりません。

ユーザーの処置: タスクがノードに出力要求を出さないようにしてください。

モジュール: DFHZSDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*

1926 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDS

宛先: CSNE

DFHZC2438 E *date time applid termid trandid* **Invalid**
READ request to an output only
device. sense ((instance) Module name:
{DFHZRVS | DFHZSDS})

説明: 出力専用装置として識別されている VTAM 端末に対して入力要求が出されました。TCTTETS が変更されたか、または生成されたタスクが読み取り要求を出したことが原因と思われます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。端末の状況はそのまま変わりません。

ユーザーの処置: タスクがノードに入力要求を出さないようにしてください。

モジュール: DFHZRVS、DFHZSDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS,
2=DFHZSDS

宛先: CSNE

DFHZC2439 E *date time applid termid trandid* **Invalid**
RESUME request. sense ((instance)
Module name: {DFHZACT})

説明: 無効な再開要求が受け取られました。CICS 走査活動化機能が TCTTE の中に再開要求を検出したものの、その TCTTE はどのトランザクションの一部にもな

っていませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: TCTTE が印刷され、デバッグの目的で CSNE 宛先に記録されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 症状ストリングを使用して、問題の原因を判別してください。印刷され、CSNE 宛先に記録された TCTTE データを調べて、明らかな変更およびエラーがないか確認してください。

モジュール: DFHZACT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZACT

宛先: CSNE

DFHZC2440 I *date time applid termid tranid CICS*
quiesced by node. sense ((instance)
Module name: {DFHZASX})

説明: VTAM 論理装置は、そのノードとのすべての入出力活動を静止するように CICS に要求しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのノードへのすべてのデータ伝送は、CICS が解放静止標識を受け取るまで停止されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZASX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZASX

宛先: CSNE

DFHZC2441 I *date time applid termid tranid CICS*
released by node. sense ((instance)
Module name: {DFHZASX})

説明: CICS は、前に CICS を静止させた VTAM 論理装置から解放静止標識を受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのノードへのデータ伝送が CICS によって再開されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZASX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZASX

宛先: CSNE

DFHZC2442 E *date time applid termid tranid*
Exception response received to a
definite response send. sense ((instance)
Module name: {DFHZRVX |
DFHZRVX})

説明: 確定応答プロトコルが要求されたときに、例外応答が受け取られました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、このメッセージとともに、

DFHZC2443 E • DFHZC2444 E

例外応答の理由を説明する別のメッセージを出してきます。

ユーザーの処置: 受け取った 2 番目の CICS メッセージについて示された処置を実行してください。

モジュール: DFHZRVX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
2=DFHZRVX

宛先: CSNE

DFHZC2443 E *date time applid termid trandid* ノード解放時に要求が未解決になっています。
sense ((instance) モジュール名:
{DFHZRVS | DFHZSDL | DFHZSDS |
DFHZSDS | DFHZSDS | DFHZSHU |
DFHZSHU | DFHZRVL | DFHZSHU})

説明: CICS は、そのノードがセッションの中になかったり、または CLSDST が行われるのを待っているときに、アプリケーション・プログラムから要求を受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の要求はすべて無視されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSDS, DFHZRVL, DFHZRVS,
DFHZSDL, DFHZSHU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*

6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS,
2=DFHZSDL,
3=DFHZSDS,
4=DFHZSDS,
5=DFHZSDS,
6=DFHZSHU,
7=DFHZSHU,
8=DFHZRVL,
9=DFHZSHU

宛先: CSNE

DFHZC2444 E *date time applid termid trandid CICS*
bracket state error. sense ((instance)
Module name: {DFHZRVS |
DFHZSDS})

説明: CICS アプリケーション・プログラムがブラケット・プロトコルに違反しました。おそらく、そのアプリケーション・プログラムは、書き込み (最終) 要求の後に入出力要求を出しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZRVS, DFHZSDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS,
2=DFHZSDS

宛先: CSNE

DFHZC2445 E *date time applid termid tranid* **Output area exceeded. sense ((instance) Module name: {DFHZSDS | DFHZSDS})**

説明: TIOA が、すべての出力データを十分に保持できる大きさではありませんでした。アプリケーション・プログラムが TIOA の設定を誤ったか、または TIOA をオーバーランしたかのいずれかです。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: より大きい TIOA が得られるように、アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZSDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDS,
2=DFHZSDS

宛先: CSNE

DFHZC2446 E *date time applid termid tranid* **Invalid response to a bid. sense ((instance) Module name: {DFHZRVX | DFHZSSX | DFHZRAC})**

説明: 送信権要求に対して、無効な応答が受け取られました。トランザクションがブラケット状態にあるときに、送信権要求標識に対して通常応答が受け取られました。そのコントローラーのアプリケーション・プログラムにエラーがあります。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終

了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロ命令が出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードはサービス休止状態になります。

ユーザーの処置: コントローラーのアプリケーション・プログラムを訂正し、ブラケット状態のときには送信権要求標識に対して例外応答を返し、続いてその送信権要求が受け入れ可能になったときに RTR (受信準備済み) 標識が出されるようにしてください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX、DFHZSSX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
2=DFHZSSX,
3=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2447 E *date time applid termid tranid* **A severe error has occurred as a result of a previous failure. sense ((instance) Module name: {DFHZOPN | DFHZRVS | DFHZSDA | DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZOPN | DFHZOPN | DFHZFRE | DFHZRLP | DFHZACT | DFHZGET | DFHZGET | DFHZOPN})**

説明: ドメイン呼び出しが失敗し、前に起きた障害のためにモジュール *modname* によって応答を処理することができませんでした。関係しているドメインは、その障害についての詳しい情報を示すメッセージをコンソールに出したはずですが、この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 端末 *termid* に対する未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。端末 *termid* は使用できない状態にされ、TCTTE は CSNE 宛先に記録されます。

DFHZC2448 E • DFHZC2449 E

ユーザーの処置: エラーになっているドメインが出したメッセージを参照してください。このメッセージは、元のエラーの原因を示しています。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRVS, DFHZSDA, DFHZOPN, DFHZFRE, DFHZRLP, DFHZACT, DFHZGET

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,
2=DFHZRVS,
3=DFHZSDA,
4=DFHZRAC,
5=DFHZRAC,
6=DFHZOPN,
7=DFHZOPN,
8=DFHZFRE,
9=DFHZRLP,
10=DFHZACT,
11=DFHZGET,
12=DFHZGET,
13=DFHZOPN

宛先: CSNE

DFHZC2448 E *date time applid termid tranid* **Invalid response requested. sense ((instance) Module name: {DFHZRVX | DFHZRAC | DFHZRAC})**

説明: 無効な応答が要求されました。アプリケーション・プログラムは、CICS からの応答を要求せずに、CICS にデータを伝送しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロ命令が出されてノードとの通信が終了し、ノードはサービス不能状態になります。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRVX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
2=DFHZRAC,
3=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2449 E *date time applid termid tranid* **Bracket Error. sense ((instance) Module name: {DFHZRVX | DFHZRVX | DFHZRAC | DFHZRAC})**

説明: トランザクションがブラケット状態にあるにもかかわらず、アプリケーション・プログラムが、ブラケット開始標識またはブラケット終了標識を送信しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードはサービス休止状態になります。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRVX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
2=DFHZRVX,
3=DFHZRAC,
4=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2450 E *date time applid termid tranid* ビッド
が発行されましたが **ATI** が取り消されま
した。sense ((instance) モジュール名:
{DFHZRVX | DFHZRVX | DFHZRVX
| DFHZSSX | DFHZSSX | DFHZSSX
| DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZRAC})

説明: 自動タスク開始 (ATI) 要求が出されましたが、
その端末について保留中の ATI はありません。この組
み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC
xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味について
は、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、独立型のBB-EBを出して、
この BB 保留条件を満たすことになります。

ユーザーの処置: ATI が設定時間にもとづいて開始さ
れる場合には、タイマー値を大きくしてください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX、DFHZSSX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
2=DFHZRVX,
3=DFHZRVX,
4=DFHZSSX,
5=DFHZSSX,
6=DFHZSSX,
7=DFHZRAC,
8=DFHZRAC,
9=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2451 E *date time applid termid tranid*
**Outstanding request when clear was
issued. sense ((instance) Module name:
{DFHZSYX})**

説明: クリア命令が出されたとき、未解決の要求が残っ
ていました。クリア標識が出されたときに、特定受信
要求が保留中でした。クリア標識は、次のいずれかの
条件が生じた場合に送信されます。

- 論理装置が失われている (LOSTERM)。
- CICS が VTAM CLSDST マクロを出す。
- メッセージ再同期の間に、CICS がクリアを出す。

この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して
DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味
については、メッセージ DFHZC2400 を参照してくだ
さい。

システムの処置: 未解決の要求はすべて除去されます。
タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終
了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2452 E *date time applid termid tranid* **Invalid
command received. sense ((instance)
Module name: {DFHZSCX})**

説明: CICS が無効な コマンド (VTAM 標識) を受け
取りました。CICS セッション制御入力出力ルーチン
(SCIP) がリカバリー要求以外の標識を検出しました。
このルーチンは、コントローラー・アプリケーション・
プログラムからリカバリー要求標識を受信した場合に限

DFHZC2453 E • DFHZC2454 E

り、スケジューリングされるべきです。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。セッションは終了し、ノードはサービス休止状態になります。

ユーザーの処置: 明らかなエラーがあるかどうか VTAM RPL を検査してください。ダンプを問題の原因の判別に役立ててください。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC2453 E *date time applid termid tranid*
Request recovery received. sense
((instance) Module name: {DFHZSCX})

説明: リカバリー要求が受け取られました。2 次論理装置からリカバリー要求標識が送られ、メッセージ再同期を要求していますが、メッセージの順序番号が、3601 アプリケーション・プログラムで維持されている順序番号と一致しません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。その後で、CICS によってメッセージ再同期が開始されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

1932 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC2454 E *date time applid termid tranid*
Exception in chain. sense ((instance)
Module name: {DFHZSYX})

説明: POST=RESP チェーン・データ送信で例外応答が戻されました。CICS は、通常、連鎖されたデータを POST=RESP を使用して送信することはありません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 症状ストリングを使用し、必要な場合はさらにトランザクション・ダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2455 E *date time applid termid tranid In CA*
mode - Task attached. sense ((instance)
Module name: {DFHZATT})

説明: 継続不特定 (CA) モードであるにもかかわらず、論理装置 (LU) に対してタスクを生成しようとしていました。しかし、端末 *termid* にすでにタスクが生成されていました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 端末 *termid* にすでに生成されているタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了します。その後、CICS は、SIMLOGON マクロを出して、ノードとの通信を再確立します。

ユーザーの処置: 症状ストリングを使用し、必要な場合はさらにダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。端末 *termid* にすでにタスクが生成されていたにもかかわらず、さらにタスクを生成しようとした理由を判別してください。

モジュール: DFHZATT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZATT

宛先: CSNE

DFHZC2456 E *date time applid termid tranid*
Exception response received to a
command. sense ((instance) Module
name: {DFHZSYX | DFHZSYX |
DFHZSYX | DFHZRAC})

説明: CICS は、論理装置に送信したコマンド (VTAM 標識) に対する例外応答を受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx

メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、このメッセージとともに、例外応答の理由を説明する別のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 受け取った 2 番目の CICS メッセージに示された処置を実行してください。

モジュール: DFHZSYX、DFHZSSX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX,
 2=DFHZSYX,
 3=DFHZSYX,
 4=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2457 E *date time applid termid tranid*
Multiple Errors Encountered. sense
((instance) Module name: {DFHZEMW |
DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZRAC |
DFHZRAC})

説明: あるノードで連続したエラーが検出されました。つまり、ノード異常条件プログラム (NACP) で、最初のエラーを処理しているときに 2 番目のエラーが起きました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了します。最初のエラーには、エラー・メッセージが伴います。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、エラーの原因を判別してください。最初の問題で出されたエラー・メッセージ、ならびにこれまでに出力された VTAM メッセージがあれば、それを参照してください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZSYX、DFHZEMW

DFHXC2458 E • DFHXC2459 E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZEMW,
2=DFHZSYX,
3=DFHZSYX,
4=DFHZRAC,
5=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHXC2458 E *date time applid termid trandid*
Exception response received to an
exception response send. sense
((instance) Module name: {DFHZRVX |
DFHZRVX | DFHZRVX | DFHZRVX |
DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZRAC | DFHZRAC})

説明: CICS は、例外応答が要求された送信に対する例外応答を受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHXC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHXC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、このメッセージとともに、例外応答の理由を説明する別のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 受け取った 2 番目の CICS メッセージに示された処置を実行してください。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRVX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
2=DFHZRVX,
3=DFHZRVX,
4=DFHZRVX,
5=DFHZRAC,
6=DFHZRAC,
7=DFHZRAC,
8=DFHZRAC,
9=DFHZRAC,
10=DFHZRAC,
11=DFHZRAC,
12=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHXC2459 E *date time applid termid trandid No*
TIOA available for send. sense
((instance) Module name: {DFHZSDS |
DFHZSDS})

説明: TCTTEDA が、DFHTC TYPE=WRITE が出される前にロードされていなかったか、または間違っ
て消去されていました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHXC xxxx メッセージに挿入されま
す。*sense* の意味については、メッセージ DFHXC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。その送信は除去されます。

ユーザーの処置: 書き込み命令を出す前に、TCTTEDA に TIOA アドレスがロードされているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHZSDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDS,
2=DFHZSDS

宛先: CSNE

DFHZC2460 E *date time applid termid tranid Sense*
receive not supported. sense ((instance)
Module name: {DFHZNAC})

説明: CICS によってサポートされていないセンス・コードが、論理装置から受け取られました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロ命令が出されてノードとの通信が終了し、ノードはサービス不能状態になります。

ユーザーの処置: ユーザーのノード・エラー・プログラム (DFHZNEP) でセンス・コードを処理することができます。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2461 E *date time applid termid tranid*
Intervention required. sense ((instance)
Module name: {DFHZNAC})

説明: 要求が完了する前に、端末 *termid* の物理コンポーネントについてオペレーターの処置が要求されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: その装置が、介入の要求された後で論理装置状況メッセージを送信する装置でなければ、要求が再試行されます。そのような装置であれば、適切なシステム処置がとられます。

ユーザーの処置: その装置の問題を訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2462 E *date time applid termid tranid Bracket*
Error. sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: 2 次論理装置と CICS の双方が同時に開始ブラケット標識を送りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了します。

ユーザーの処置: コントローラーのアプリケーション・プログラムを訂正し、そのプログラムが開始ブラケット標識を送信できないようにしてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2463 E *date time applid termid tranid Node
nodeid resource pending deletion,
connection request rejected. sense
(instance) Module name: {DFHZBLX |
DFHZBLX | DFHZLGX}*

説明: ノード *nodeid* から CICS への接続が試みられました。CICS は、*termid* の端末定義を削除していたために、その要求を拒否しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS はリソースの変更を継続するか、メッセージのインスタンス 3 については、自動インストール削除トランザクション CATD が再始動されます。

ユーザーの処置: リソースの変更が完了した時点で、接続またはログオン要求を再試行してください。

モジュール: DFHZSCX、DFHZBLX、DFHZLGX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *nodeid*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZBLX,
2=DFHZBLX,
3=DFHZLGX

宛先: CSNE

DFHZC2464 E *date time applid termid tranid
Terminate chain. sense (instance)
Module name: {DFHZNAC}*

説明: 2 次論理装置は、現在のチェーン内のこれ以上のデータの伝送を終了するように CICS に要求しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、

そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。論理装置に対して取り消し標識が出され、現在のチェーン内にあるデータを取り除くことが許されます。

ユーザーの処置: 出されたダンプを使用して、論理装置がチェーンの廃棄を要求した理由を判別してください。

センス・データの意味については、メッセージ DFHZC2461 の説明の段落を参照してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2465 E *date time applid termid tranid
Insufficient resources. sense (instance)
Module name: {DFHZNAC}*

説明: サブシステム・コントローラーのアプリケーション・プログラムには、要求を処理できるだけの十分なリソースがありません。例えば、3601 の場合、3601 ディスケットがいっぱいになっているか、または 3601 のデータ・セグメントがデータ・セットを処理するために十分な大きさではない可能性があります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: サブシステムは一時的に中断されます。

ユーザーの処置: そのコントローラーのアプリケーション・プログラムにこの条件が生じた原因を判別してください。センス・データの意味については、メッセージ DFHZC2461 の説明の段落を参照してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2466 E *date time applid termid trandid*
Function not executable. sense
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: コントローラーのアプリケーション・プログラムが、端末 *termid* ヘメッセージを送ることができません。データ・チェックが発生したか、またはノードを使用できません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。端末の状況はそのまま変わりません。

ユーザーの処置: 出されたダンプを使用して、アプリケーション・プログラムが要求を実行できなかった理由を判別してください。

センス・データの意味については、メッセージ DFHZC2461 の説明の段落を参照してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2467 E *date time applid termid trandid* **Invalid communications ID (CID) detected.**
sense ((instance) Module name: {DFHZLEX})

説明: CICS は、VTAM が認識しない通信 ID (CID) が入っている VTAM 要求を出しました。これは、TCTECID フィールドが変更されたことが原因である可能性があります。あるいは、セッションは、VTAM によってクローズされる最中であり、その処理が完了する前に、CICS がそのセッションを使用しようとしたことが考えられます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。losterm 出口が戻りコード X'0C'、X'10'、または X'14' によって駆動された場合、CICS は VTAM に対して CLSDST を発行します。

ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが、TCTTE の TCTECID フィールドを変更しないようにしてください。セッションはまだ活動状態であること (つまり、通信対象となっているシステムがまだ機能している状態であること) も確認してください。

モジュール: DFHZLEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLEX

宛先: CSNE

DFHZC2468 E *date time applid termid trandid* **Name netname unknown or vary activate required. sense ((instance) Module name: {DFHZLEX})**

説明: ノードが VARY ACTIVATE によって活動化されなかったか、または、CICS が、次のような無効な記

DFHZC2469 E • DFHZC2470 E

号ノード名を含む VTAM 要求を出したかのいずれかです。ここで、

- その名前は、ノード初期設定ブロック (NIB) の中で変更された可能性があります。
- その名前は、VTAM 定義時に指定されたが、それが TCT 内の名前と一致していません。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。ノードはサービス休止状態に置かれます。

ユーザーの処置: そのノードに対して VARY ACTIVATE を出すか、または、並行して実行されているアプリケーション・プログラムが NIB 名を変更しないようにしてください。VTAM 定義時に指定した名前は、CICS 定義内の名前と一致していなければなりません。

モジュール: DFHZLEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLEX

宛先: CSNE

DFHZC2469 E *date time applid termid trandid*
Exception response received. *sense*
((instance) Module name: {DFHZSYX | DFHZSYX})

説明: 2 次論理装置が例外応答 (否定応答) を送信しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の

意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 非 3270 装置の場合、例外応答は、センス・コードと併せてノードに返されます。センス・コードは、VTAM によって、インバウンド・メッセージ用の要求パラメーター・リスト (RPL) に入れられて提供されます。3270 装置の場合、例外要求には、3270 センス/状況が含まれます。

ユーザーの処置: DFHZNEP にあるセンス・コードを分析してください。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX,

2=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2470 E *date time applid termid trandid Task*
active at Shutdown. *sense ((instance)*
Module name: {DFHZASX})

説明: 以下のいずれかが起こりました。

- タスクがまだ生成されていたときに、シャットダウン要求標識が、ノードではなくその制御装置のアプリケーション・プログラムから受け取られた。
-

VTAM シャットダウン時に、タスクがまだ生成されているにもかかわらず、シャットダウン完了標識が、ノードではなくその制御装置のアプリケーション・プログラムから受け取られた。

- VTAM シャットダウン時に、まだ VTAM 3270 に対してタスクが生成されていた (VTAM 3270 は、シャットダウン要求またはシャットダウン完了標識を送ることができません)。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 最初の 2 つの場合には、CICS はコマンドを受け入れます。上記のすべての場合において、未解決の送信要求および受信要求は除去されます。そして、タスクが生成されている場合には、タスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロ命令が出されて、ノードとの通信は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZASX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZASX

宛先: CSNE

DFHZC2471 E *date time applid termid tranid FMH length error. sense ((instance) Module name: {DFHZATT | DFHZATT | DFHZATT | DFHZATT | DFHZATT | DFHZATT | DFHZRAC})*

説明: 機能管理ヘッダー (FMH) の長さが、論理装置から受信したデータの長さを超えています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 受け取られたデータはすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 論理装置内のアプリケーション・プログラムを訂正してください。

注: エラー状態の入出力域の最初の 16 バイトは、エラーの判別に役立てるために、CSNE ログ・データ・セクトに入れられます。

モジュール: DFHZRAC、DFHZATT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZATT,

2=DFHZATT,

3=DFHZATT,

4=DFHZATT,

5=DFHZATT,

6=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2472 E *date time applid termid tranid* 長さ超過のデータを取得できません。*sense ((instance) Module name: {DFHZRAC | DFHZRAC})*

説明: 無条件受信モジュールの入力域の容量を超えた分のデータについての受信要求を、VTAM が受け入れませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての関連データが除去されます。

ユーザーの処置: 要求が失敗した理由を示すメッセージが、ログ内に続けて出されます。詳しい情報および手引きについては、このメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC,

DFHZC2473 E • DFHZC2476 E

2=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2473 E *date time applid termid tranid*
Outbound chaining not supported.
sense ((instance) Module name:
{DFHZSDS | DFHZSDS})

説明: アプリケーション・プログラムが、生成された最大許容長より多くのデータを送信しようとしていました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 端末が (パイプライン・セッションのように) アウトバウンド・データ・チェーニングをサポートしていない場合には、アプリケーション・プログラムを訂正して、端末に送信できるデータの最大許容長を (例えば、装置タイプのチェックなどにより) そのプログラムが認識した上で送信できるようにしてください。

注: 生成された最大許容長は、TCTTE に指定されます。

モジュール: DFHZSDS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDS,
2=DFHZSDS

宛先: CSNE

DFHZC2475 E *date time applid termid tranid* 機能が
LU デバイスによって取り消されました。
sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: 論理装置 (LU) は、そのコンポーネントのうちの

1 つと接続されたすべての処理を終了しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: LU コンポーネントの問題点を訂正し、そのコンポーネントをオンラインに戻してください。この問題の原因としては、次のものが考えられます。

- 装置の電源が入っていない。
- 回線の故障
- ハードウェア問題
- LU6 リンクの場合には、接続されたトランザクション (例えば、CSMI) が異常終了した。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2476 E *date time applid termid tranid*
Resource unavailable. sense ((instance)
Module name: {DFHZNAC})

説明: 論理装置 (LU) の、あるコンポーネントが使用不能になりました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、その

タスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: LU コンポーネントの問題点を訂正し、そのコンポーネントをオンラインに戻してください。この問題の原因としては、次のものが考えられます。

- 装置の電源が入っていない。
- 回線の故障
- ハードウェア問題

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2477 E *date time applid termid tranid*
Chaining not supported. sense
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: 論理装置 (LU) がホストからのデータのチェーニングをサポートしません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: LU に伝送されているデータの最大量が、DFHTCT マクロ命令のバッファ・パラメーターに指定された長さを超えないようにしてください。

注: バッファ・パラメーター値は、LU の最大許容限度までしか増やすことができません。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2478 E *date time applid termid tranid Invalid*
FMH. sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: 論理装置 (LU) に伝送された機能管理ヘッダー (FMH) に対応するものが変換テーブルにありませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。バッチ・データ交換プログラムが使用されていない場合には、そのトランザクションは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。FMH を含む TIOA の最初の部分は、CSNE ログに書き込まれます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正して、対応するものを LU が変換テーブル上に持つようにしてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFH2C2479 E *date time applid termid tranid*
Function not supported. sense ((instance)
Module name: {DFH2NAC})

説明: 論理装置 (LU) が受信した応答単位 (RU) に、この装置がサポートしない要求が含まれています。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFH2C xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFH2C2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: その装置に関する端末管理テーブル (TCT) 生成指定が有効であって、アプリケーション要求を収容できるようにしてください。(例えば、読み取り専用装置を TRANSCEIVE として定義することや送信権要求を装置に送ることなど)。

モジュール: DFH2NAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH2NAC

宛先: CSNE

DFH2C2480 E *date time applid termid tranid* **Retry requested. sense ((instance) Module name: {DFH2NAC})**

説明: 論理装置 (LU) が、例外応答または LU 状況メッセージに含まれたセンス・コードを介して、データの再伝送を要求していることを示しています。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFH2C xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFH2C2400 を参照してください。

システムの処置: データの再送は、保護タスク (メッセージ保全) の場合に限り試みられます。チェーン処理を行っているときに、無保護タスクについて、再試行センス・コードを含む例外応答が受け取られた場合には、その LU に取り消しコマンドが送られて、タスクが再開

されます。CICS がチェーン処理中でなかった場合には、トランザクションが再開されます。

ユーザーの処置: その LU にとってメッセージの再送が必要であった場合には、例外応答に再試行センス・コードが組み入れられるようにしてください。さらに、ホスト・トランザクションが保護タスク (メッセージの保全性) として定義されるようにしてください。

モジュール: DFH2NAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH2NAC

宛先: CSNE

DFH2C2481 E *date time applid termid tranid* **RU Error. sense ((instance) Module name: {DFH2NAC})**

説明: 論理装置 (LU) が受け取った応答単位 (RU) は、変換不能であったか、または長さが無効でした。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFH2C xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFH2C2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この要求は、ノード・エラー・プログラム (NEP) のメカニズムを使って何度か再試行する必要があるかもしれません。これは、このタイプのエラーが不良通信回線から生ずることがあるためです。この再試行が失敗に終わった場合には、端末管理テーブル (TCT) の生成時に、無効または不適切な端末指定が与えられていないかどうかを調べてください。

モジュール: DFH2NAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2482 E *date time applid termid trandid*
Pipeline session bracket error. sense
 ((instance) **Module name:** {DFHZATT})

説明: 端末 *termid* は、パイプライン・セッション・モードで実行されるものとして端末管理テーブル (TCT) に定義されていました。しかし、その定義で BRACKET オペランドが省略されたか、または BRACKET=YES が指定されていました。パイプライン・セッション端末では、ブラケット・プロトコルは実行されません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去され、セッションは終了します。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: BRACKET=NO オペランドを挿入することにより、リソース定義を訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZATT

宛先: CSNE

DFHZC2483 E *date time applid termid trandid*
Receiver in transmit mode. sense
 ((instance) **Module name:** {DFHZNAC})

説明: 通常のデータ・フローが中断されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: WRITE を再試行してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2484 E *date time applid termid trandid*
Component not available. sense
 ((instance) **Module name:** {DFHZNAC})

説明: 必要なコンポーネントを使用できなかったため、アプリケーション要求を満たすことができませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: その端末の環境を調べるか、または症状ストリングを使用し、さらに必要に応じてダンプも使用して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

DFHZC2485 E • DFHZC2487 E

2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2485 E *date time applid termid tranid* **Cancel received in 'CS'-mode. sense ((instance) Module name: {DFHZRVX})**

説明: タスクがアクティブである間に、CANCEL 標識が受信されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZRVX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX

宛先: CSNE

DFHZC2486 E *date time applid termid tranid* **Cancel received in 'CA'-mode. sense ((instance) Module name: {DFHZRAC})**

説明: アクティブ・タスクがないときに CANCEL 標識を受信しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されま

す。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC2487 E *date time applid termid tranid nodeid* **Session connection failed. Node unavailability return code returncode. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX | DFHZLGX})**

説明: 接続要求が拒否されました。CICS は、一時的に接続要求を実行することができません。ノード *nodeid* の TCTTE は、セッションを確立できないことを示しました。*returncode* は、以下のような理由を表します。

1. CLSDST マクロがこのノードにスケジュールされている。
2. ノードが異常条件にある。
3. ノードに対してエラー状態が起きている。
4. ノードがすでに使用されている。
5. CICS が終了中である。
- 6.

VTAM が終了中である。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 接続要求が拒否されます。

ユーザーの処置: ノードが使用可能になったら、接続要求を再試行してください。CLSDST マクロおよびノードの異常条件についての詳細は、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHZLGX、DFHZSCX、DFHZBLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *nodeid*
7. *returncode*
8. *sense*
9. *instance*
10. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX,
2=DFHZSCX,
3=DFHZSCX,
4=DFHZSCX,
5=DFHZSCX,
6=DFHZSCX,
7=DFHZBLX,
8=DFHZBLX,
9=DFHZLGX,
10=DFHZLGX,
11=DFHZLGX,
12=DFHZLGX,
13=DFHZLGX,
14=DFHZLGX,
15=DFHZLGX,
16=DFHZLGX

宛先: CSNE

DFHZC2488 E *date time applid termid tranid nodeid*
logon request rejected as terminal
recovery is in progress. sense ((instance)
Module name: {DFHZLGX | DFHZSCX
 | DFHZBLX})

説明: CICS 端末リカバリー・プログラムがまだ実行中

だったために、接続要求が拒否されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 接続要求が拒否されます。

ユーザーの処置: 接続要求を再試行してください。リカバリー・プログラムが処理を完了すると、メッセージ DFHRU2800 が出されます。

モジュール: DFHZLGX、DFHZSCX、DFHZBLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *nodeid*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLGX,
2=DFHZSCX,
3=DFHZBLX

宛先: CSNE

DFHZC2489 E *date time applid termid tranid 3270 -*
Invalid copy request. sense ((instance)
Module name: {DFHZARQ |
 DFHZARQ | DFHZARQ})

説明: コピーされる情報が含まれている装置 (「コピー元の」装置) の TYPETERM または TERMINAL リソース定義に COPY 機能が指定されていませんでした。または、『コピー元の』装置が以下のいずれかになっていました。

- その装置が CICS に定義されていない。
- その装置が 3270 でなかった。
- その装置が VTAM を介して CICS に接続されていなかった。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

DFHZC2490 E • DFHZC2492 E

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムが装置構成を正しく認識していることを確認してください。さらに、「コピー元」の装置が 3270 装置として CICS に定義されていて、かつ CICS に接続されていることを確認してください。

モジュール: DFHZARQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZARQ,
2=DFHZARQ,
3=DFHZARQ

宛先: CSNE

DFHZC2490 E *date time applid termid trandid*
Request for TOLTEP. *sense ((instance)*
Module name: {DFHZSYX})

説明: TOLTEP の要求時に、受信要求がエラーで終わりました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 現在、トランザクションがタスク生成されている場合、そのトランザクションは異常終了します。端末は、VTAM CLSDST マクロによって CICS から切断され、TOLTEP が終了すると、CICS にログオンするためにキューイングされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*

1946 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC2492 E *date time applid termid trandid*
Intervention required on 3270 printer.
sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: INTERVENTION REQUIRED 条件が 3270 印刷装置上で検出されたときに、このメッセージが CSNE メッセージ・ログに送られます。この条件は、以下に記されたいずれかの理由により発生します。

- トランザクションが、存在しない印刷装置の使用を要求した。
- 印刷装置アダプター機構がない。
- 印刷装置が用紙切れである。
- 印刷装置のカバーが開いたままである。
- 印刷装置がオフラインになっている。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: RPL と TCTTE が印刷されるだけで、他の処置は行われません。

ユーザーの処置: 印刷装置が正しい順序で作動しているかどうかを調べてください。正しい順序で作動している場合は、印刷装置が CICS に正しく定義されていること、およびトランザクションが正しい印刷装置操作を要求していることを確認してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*

7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2493 E *date time applid termid tranid*
Intervention required on 3270 device.
sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: このメッセージは、3270 情報表示システムで要介入条件が発生したときに出されます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 何の処置も行われません。

ユーザーの処置: 介入条件を訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2494 E *date time applid termid tranid* **Error**
status sense received from 3270.
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: エラー状況メッセージ *sense* は、3270 情報表示システムから受け取られました。INTERVENTION REQUIRED 条件により、このメッセージの代わりに「介入要求」メッセージが出されます。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。基本マッピング・サポート (BMS) によって送られた不良データが操作チェックの原因となっている場合には、その不良データが除去されます。

ユーザーの処置: エラー状況コードを分析して、装置エ

ラーまたはプログラム・エラーを訂正するために必要な適切な処置を判別してください。

非 SNA 3270 装置の場合には、センス・コードは、0000 xxxx になります。ここで、xxxx は、3270 装置が接続された制御装置によって戻されたセンス・データです。データ・ストリーム・エラーは、操作チェックで拒否され、コマンドは、コマンド拒否で拒否されました。エラー状況コードについて詳しくは、「」を参照してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC2495 E *date time applid termid tranid* **Printer**
Outserv/int reqd/ineligible. Req
queued. sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: DFHZNAC は、DFHZC2497 の「印刷装置使用不能」条件のため、3270 印刷装置に対してインターバル制御機能 PUT を実行しました。印刷装置は以下のような状態になっています。

- 使用できない状態にある。
- 介入状況にある。
- RECEIVE 状況でも TRANSCEIVE 状況でもない。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 印刷装置を使用できない理由を判別してください。その端末が使用できない状態であれば、使用できる状態に戻してください。その端末が介入状

DFHZNAC E • DFHZNAC E

態になっている場合には、この状態がどのようなものかを判別し、それを訂正してください。端末が RECEIVE または TRANSCEIVE 状況でないときは、RECEIVE または TRANSCEIVE 状況にしてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZNAC E *date time applid termid tranid IC put to printer failed{ | IOERROR | TRNIDER | TRMIDER | INVREQ}.*
sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: DFHZNAC は、DFHZNAC2497「印刷装置使用不能」条件が起きたために、DFHIC TYPE=PUT マクロを実行しようとしたが、失敗しました。このメッセージは、CSNE ログに書き込まれます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZNAC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZNAC2400 を参照してください。

システムの処置: DFHZNAC は、さらに処理を続けることができるように DFHZNAC をもう一度呼び出します。

ユーザーの処置: 次のことを確認してください。

- インターバル制御機能プログラム (ICP) は、DFHZNAC が IOERROR エラーおよび INVREQ エラーの場合に出している要求を処理できる。
- CSPP が TRNIDER エラーに対してインストール済みトランザクション定義になっている。
- DFHZNAC が、TRMIDER エラーの有効な端末アドレスとして DFHZNAC を渡している。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= ,
2= IOERROR,
3= TRNIDER,
4= TRMIDER,
5= INVREQ

7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZNAC2497 E *date time applid termid tranid*
Unavailable printer. *sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 3270 表示装置で印刷機能が要求されました。PRINTTO と ALTPRT のいずれの印刷装置もその情報を受け取るために使用することができませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZNAC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZNAC2400 を参照してください。

システムの処置: NEP アクションの指定がなければ、その印刷要求は停止されます。

ユーザーの処置: 解決策としてとることができるのは、端末項目の TCTTEDA で使用可能なデータを一時データ・キューに入れることにより、後で印刷装置に対して自動タスク開始が行われるようにすることです。この処置は、DFHZNAC で行われます。詳しくは、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*

6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZARQ

宛先: CSNE

DFHZC2498 E *date time applid termid tranid* プリンターへの IC 書き込みに失敗しました。
sense ((instance) Module name: (DFHZARQ))

説明: トランザクション CSPP を開始することができなかったために、3270 の印刷要求が失敗しました。トランザクション CSPP がインストール済みトランザクション定義でないか、または印刷するメッセージを一時ストレージに書き込めないかのいずれかです。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション CSPP がインストール済みトランザクション定義であること、および印刷するデータを十分に収容できるだけの一時ストレージがあるかどうかを確認してください。

モジュール: DFHZARQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZARQ

宛先: CSNE

DFHZC2499 *date time applid* The following message was destined for a read only terminal.
The text is '*msgtext*'

説明: ユーザーが無効な項目を入力し、その入力は拒否されました。この要求は、バックアウトされます。

システムの処置: 端末管理はこの要求をバックアウトし

て、*msgtext* に含まれているエラー情報とともにこのメッセージを出します。

ユーザーの処置: *msgtext* に含まれているエラー情報を読んでから、要求を再入力してください。

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *msgtext*

宛先: CSTL

DFHZC3202 E *date time applid* Transaction CCIN - VTAM netname netname. The value codepage in the codepage parameter is not supported.

説明: CCIN トランザクションが、CICS クライアントから実行されました。CICS クライアントにより要求されたコード・ページはサポートされていません。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: CICS は、要求された文字セットおよびコード・ページで CICS クライアントをサポートするのに必要な変換を実行できません。CICS は処理を続けますが、指定されたコード・ページではなくデフォルトのコード・ページを使用します。デフォルト・コード・ページについての詳細は、「」を参照してください。

CICS クライアントのインストール要求は続行されますが、デフォルトのコード・ページが使用されます。

EXCEPTION の応答コードと INVALIDCODEPAGE の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: サポートされているクライアント・コード・ページの値のリストについては、「」を参照してください。クライアント・ロケールを再構成することが必要な場合があります。

モジュール: DFHZCN2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *codepage*

宛先: CSCC

DFH3C3203 E *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The capabilities parameter is not valid.*

説明: CCIN トランザクションが、CICS クライアントから実行されました。受け取った機能は無効です。CICS クライアントは、CICS クライアントがサポートしないはずの機能をサポートすることを指定しました。CICS クライアントは、CICS クライアント通信アーキテクチャーに違反しています。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP301A が書き込まれます。

CICS クライアントをインストールする要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFH3CN2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFH3C3204 E *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The codepage parameter has not been specified.*

説明: CCIN トランザクションが、CICS クライアントから実行されました。指定しなければならないパラメーターの 1 つとして、CICS クライアントが使用する予定のコード・ページがあります。このパラメーターが欠落しています。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP301B が書き込まれます。

CICS クライアントをインストールする要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFH3CN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFH3C3205 E *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. CICS cannot support the {n.a. | n.a. | n.a. | combination of client and virtual terminal codepage. | client codepage. | virtual terminal codepage.}*

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。

CICS は、CICS クライアントが指定したコード・ページと仮想端末で指定されたコード・ページを検査中でした。しかし、次のいずれかが起こりました。

1 - 3

適用外 — 適用不可で、発生しないはずです。

4

CICS クライアントと仮想端末のコード・ページの組み合わせはサポートされない 2 つのコード・ページは既知であるが、CICS は CICS クライアント・コード・ページと仮想端末コード・ページとの間のデータの変換をサポートしないことを示します。

5

サポートされない CICS クライアント・コード・ページ とは、CICS クライアントにより CCIN または CTIN トランザクションに指定されたコード・ページを CICS がサポートできないことを意味します。

6

サポートされない仮想端末コード・ページ とは、仮想端末コード・ページを定義する CGCSGID パラメーターが CICS データ変換ではサポートされないことを意味します。仮想端末が自動インストールされた場合、CGCSGID は、CICS クライアントによって要求された自動インストール・モデルで指定されています。仮想端末が定義された場合には、

CGCSGID は、仮想端末定義により指定された TYPETERM に定義されています。

CICS は、要求されたコード・ページで CICS クライアントをサポートするのに必要な変換を実行できません。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3035 が書き込まれます。

4

CICS クライアントと仮想端末のコード・ページの組み合わせはサポートされない

応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。仮想端末はインストールされません。

5

CICS クライアント・コード・ページはサポートされない

仮想端末インストールの要求は継続し、無効なコード・ページは、「」に示されているデフォルトに置き換えられます。

EXCEPTION の応答コードと INVALIDCODEPAGE の理由コードがクライアントに送信されます。

6

仮想端末コード・ページはサポートされない

応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。仮想端末はインストールされません。

ユーザーの処置: 「」を参照して、クライアント・コード・ページ値のリストを調べた上で、ワークステーション・ロケールを再構成するか、仮想端末 TYPETERM 定義を訂正してください。

例外トレース・ポイント AP3035 には、CICS クライアント・コード・ページおよび仮想端末 CGCSGID の値が入っています。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

5. *netname*

6. 以下のオプションから選択される値。

- 1=適用外 (*n.a.*),
- 2=適用外 (*n.a.*),
- 3=適用外 (*n.a.*),
- 4=クライアントと仮想端末コード・ページの組み合わせ,
- 5=クライアント・コード・ページ,
- 6=仮想端末コード・ページ

宛先: CCCC

DFHZC3206 E *date time applid Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. The client's terminal install limit has been exceeded.*

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、*netname* の VTAM ネット名をもつ CICS クライアントは、すでに 512 の仮想端末をもっています。

termid は、新しい仮想端末に与えられたはずの名前です。CICS クライアントが名前を指定しなかった場合は、ブランクになります。

システムの処置: 仮想端末のインストール要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CICS クライアントが、そのように多くの CTIN インストール機能を、対応する CTIN アンインストール機能なしに送信した理由を調べてください。

問題を訂正するためには、CICS クライアントは、削除する必要のあるそれぞれの仮想端末ごとに CTIN アンインストールを送信しなければなりません。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CCCC

DFHZC3207 E *date time applid* **Transaction CTIN - VTAM netname netname. The request has failed because CCIN has not been run.**

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、VTAM ネット名が *netname* の CICS クライアントについては、CCIN インストール要求は前に出されていません。CCIN は常に CTIN より前に実行されなければなりません。

これは、CICS 再始動が原因で起こった可能性があります。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 要求の目的が仮想端末のインストールであった場合、要求は、応答コード CTIN_ERROR および理由コード CTIN_CCIN_INACTIVE で拒否されます。

ユーザーの処置: CICS クライアントは、次の CTIN インストールの前に、CCIN アンインストール/インストールを実行しなければなりません。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CISC

DFHZC3208 E *DATE TIME APPLID* **Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. Model modelid cannot be found.**

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、CICS は、モデル *modelid* (CICS_EpiAddTerminal DEVTYPE パラメーターまたは端末エミュレーター MODELID パラメーターで指定) を見つけることができません。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末のインストール要求は拒否されます。ERROR の応答コードと UNKNOWNMODEL の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CICS_EpiAddTerminal 関数の DEVTYPE または端末エミュレーター・パラメーターを訂正するか、または RDO を使用してこの名前のモデルをインストールし、RDO TERMINAL および TYPETERM 定義をもつ自動インストール・モデルを定義してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*
6. *modelid*

宛先: CISC

DFHZC3209 E *date time applid* **Transaction CTIN - VTAM netname netname. CICS cannot supply a terminal name because all available names are in use.**

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。パラメーター・リストに、CICS が名前を提供するはずであることを示すネット名が指定されていません。ただし、使用可能な名前は 46,656 種類しかなく、しかもすべて使用中です。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末のインストール要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 自動インストールされた仮想端末については、CICS クライアントが CTIN アンインストールを出すので、これらの端末 ID は解放されます。

一部の CICS クライアントがオフに切り替えられて、自動インストールされた仮想端末がそのままにされた可能性があります。これらのクライアントは、再びオンにされた際に CCIN インストールを発行します。これによって、使用中でない仮想端末が解放されます。

DISCARD を使用して仮想端末を削除できますが、この措置は慎重に行う必要があります。

SIT VTPREFIX が、自動インストール URM (デフォルト DFHZATDX) により通常の自動インストール端末に割り当てられた端末 ID の先頭文字と一致する場合、一

部の名前が予約されている場合があります。これは、CTIN インストールで同じ名前を用いようとしたとき、自動インストール端末が存在したためです。可能なら、こうしたことは避けてください。これらの名前を解放する方法は、CICS を再始動するしかないからです。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CISC

DFHZC3210 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal *termid* **VTAM**
netname netname. CICSがCITS トランザクションを生成できません。

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。インストール・プロセスの一部として、仮想端末 *termid* を作成するために CITS トランザクションが呼び出されます。しかし、CICS は CITS トランザクションを生成できませんでした。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3025 が書き込まれます。

仮想端末のインストール要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CITS トランザクションおよび DFHZATS プログラムが、IBM 提供グループ DFHSP1 で指定されたとおりに正しく定義され、インストールされているかを確認してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CISC

DFHZC3211 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal *termid* **VTAM**
netname netname. The NetName
parameter starts with an invalid
character.

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。NetName パラメーター *termid* が CICS 標準と矛盾する文字で始まっているか、または終わっています。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末のインストール要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDTERMID がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 別の文字で始まるか終わるように、NetName を変更してください。<、>、および - を除き、通常の端末名に有効な任意の文字で始めることができます。- で終わらせることはできません。ネット名が正しく指定されていた場合は、CTIN トランザクションへの入力をチェックしてください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CISC

DFHZC3212 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal *termid* **VTAM**
netname netname. The transaction has
timed out waiting for CITS to run.

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。インストール・プロセスの一部として、仮想端末 *termid* を作成するために CITS トランザクションが呼び出されます。しかし、CTIN トランザクションが 2 分間待っても、CITS トランザクションが実行されません。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3027 が書き込まれます。

仮想端末のインストール要求は拒否されます。応答コー

ド ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CITS トランザクションを開始できない理由、またはハング状態になっている理由を調べてください。

MAXTASK または CITS TRANCLASS 割り振りを増やす必要があるかもしれません。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3213 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal *termid* **VTAM**
netname netname. CICSがCDTS トランザクションを生成できません。

説明: CICS_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。 削除プロセスの一部として、仮想端末 *termid* を削除するために CDTS トランザクションが呼び出されます。 しかし、CICS が CDTS トランザクションをタスク生成できません。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3028 が書き込まれます。 仮想端末を削除する試みは拒否されます。

ユーザーの処置: CDTS トランザクションおよび DFHZATS プログラムが IBM 提供のグループ DFHSP1 で指定したとおりに正しく定義され、インストールされているか検査してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3214 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal *termid* **VTAM**
netname netname. The CTIN
transaction has timed out waiting for
CDTS to run.

説明: CICS_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。 インストール・プロセスの一部として、仮想端末 *termid* を削除するために、CDTS トランザクションが呼び出されました。 しかし、CTIN トランザクションは、CDTS トランザクションを 2 分間待ってから、このメッセージを出して終了しました。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3029 が書き込まれます。 CDTS による仮想端末削除の試みが続行され、CDTS トランザクションが開始または「中断解除」されたとき、処理が行われます。

ユーザーの処置: CDTS トランザクションを開始できない理由、またはハング状態になっている理由を調べてください。

MAXTASK または CDTS TRANCLASS の割り振りを増やす必要があるかもしれません。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3215 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal *termid* **VTAM**
netname netname. The terminal is in
use by another transaction.

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。 しかし、仮想端末 *termid* は使用中です。 すなわち、この端末に対してトランザクションがまだ実行中であることを、代理 TCTTE が示しています。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP302E が書き込まれます。

仮想端末のインストール要求は拒否されます。ERROR の応答コードと ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 仮想端末に対してトランザクションがまだ実行されている理由を調べてください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. termid
5. netname

宛先: CSCC

DFHZC3216 E DATE TIME APPLID Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. CICSが端末を検出できません。

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CTIN は、事前定義した仮想端末 termid を使用することを指定しましたが、CICS はこれを見つけることができず、ModelId (DevType) が提供されなかったため、自動インストールが実行されませんでした。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末のインストール要求は拒否されます。ERROR の応答コードと

UNKNOWNTERMINAL の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: termid には、事前定義されたインストール済み端末があることを確認してください。この端末は、この CICS クライアント接続の名前を指定したリモート・システム・パラメーター (REMOTESYSTEM) を持っているものです。また、VTAM NETNAME が一致していることも確認してください。そのあと、正しいパラメーターを指定して定義をインストールしてください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME

3. APPLID

4. termid

5. netname

宛先: CSCC

DFHZC3217 E date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The specified function is not valid.

説明: CTIN 要求が、VTAM ネット名 netname を持つ CICS クライアントから受け取られました。ただし、指定された機能は、INSTALL でも UNINSTALL でもありません。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3034 が書き込まれます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: 要求の発信元を判別してください。

入力が破壊されていないことを確認してください。

IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. date
2. time
3. applid
4. netname

宛先: CSCC

DFHZC3218 E DATE TIME APPLID Transaction CTIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. A resource with the same name as the terminal is already installed.

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CTIN では、仮想端末 termid の自動インストールを指定していました。しかし、その名前が解放されたことを CTIN トランザクションが確認した後で、別のリソースが同じ名前 でインストールされました。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3026 が書き込まれます。

仮想端末のインストール要求は拒否されます。ERROR の応答コードと ALREADYINSTALLED の理由コード

DFHZC3219 E • DFHZC3221 E

がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 重複するリソースがどこから送られてきたかを調べてください。 端末/APPC 自動インストール URM が名前を動的に作成した可能性があります。 NetName が CTIN パラメーターで指定されている場合は、CICS クライアント名が既存の CICS 端末名または接続名と競合しないようにしてください。 NetName が指定されていない場合は、SIT VTPREFIX の指定変更を調べて、VTPREFIX 文字で始まる名前を URM が作成しないことを確認してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. termid
5. netname

宛先: CSCC

DFHZC3219 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal termid VTAM
netname netname. The terminal is
already in use.

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。 CTIN から NetName termid が指定されましたが、CICS は、同じ名前を持つリソース (このクライアントの既存の仮想端末、別のクライアントまたは別の CICS 端末または接続リソースの既存の仮想端末のいずれか) を検出しました。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末のインストール要求は拒否されます。ERROR の応答コードと

ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 重複するリソースがどこから送られてきたかを調べてください。 端末/APPC 自動インストール URM が動的に名前を作成した可能性や、CICS クライアントが URM と競合する名前を使用した可能性があります。

また、クライアントが仮想端末を作成した後に、CCIN または CTIN によるアンインストールを介在させずに、それを再使用しようとした可能性もあります。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. termid
5. netname

宛先: CSCC

DFHZC3220 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal termid VTAM
netname netname. The terminal has
already been installed.

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。 CTIN では、仮想端末 termid の自動インストールを指定していました。しかし、この仮想端末はすでにインストールされていました。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末のインストール要求は拒否されます。ERROR の応答コードと

ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: CICS クライアントは、同一の NetName で別の CTIN インストールを出す前に、CTIN アンインストールを出す必要があります。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. DATE
2. TIME
3. APPLID
4. termid
5. netname

宛先: CSCC

DFHZC3221 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal termid VTAM
netname netname. The name specified
is already in use by another CICS
resource.

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。 CTIN では、仮想端末 termid の自動インストールを指定してい

ました。しかし、指定された名前は、別の CICS リソースですでに使用中です。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末のインストール要求は拒否されます。ERROR の応答コードと

ALREADYINSTALLED の理由コードがクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 重複するリソースがどこから送られてきたかを調べてください。端末/APPC 自動インストール URM が名前を動的に作成した可能性があります。

NetName が CTIN インストールで指定されている場合、NetName が他の CICS リソースと競合していないことを確認してください。

NetName が指定されていない場合は、SIT VTPREFIX の指定変更を調べて、VTPREFIX 文字で始まる名前を URM が作成しないことを確認してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3222 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal termid VTAM
netname netname. The CITS task has
terminated abnormally.

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CICS は、仮想端末 *termid* を自動インストールしようとしてしました。ただし、仮想端末をインストールするために生成された CITS タスクが異常終了しました。

この異常終了が AZVE であった場合、同じ名前のリソースがすでに存在しているために起こったことを示します。ただし、これが起こるのは、この CTIN トランザクションが開始され、重複の有無をチェックした後に、重複リソースが追加された場合のみです。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3030 が書き込まれます。

仮想端末のインストール要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: 重複するリソースがどこから送られてきたかを調べてください。端末/APPC 自動インストール URM が名前を動的に作成した可能性があります。

NetName を CTIN インストールに指定していた場合は、名前が矛盾しないようにしてください。

NetName が指定されていない場合は、SIT VTPREFIX の指定変更を調べて、VTPREFIX 文字で始まる名前を URM が作成しないことを確認してください。

他の異常終了については、異常終了コードの説明を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3223 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal termid VTAM
netname netname. The surrogate
TCTTE is in use and cannot be
deleted.

説明: CICS_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。しかし、仮想端末に接続された代理 TCTTE がまだ使用中であり、削除できません。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP302F が書き込まれます。仮想端末を削除する試みは拒否されます。

ユーザーの処置: トランザクションの終了を待つか、トランザクションを PURGE してください。トランザクションが終了すれば、クライアントが CCIN インストールまたはアンインストールを実行した時点で、仮想端末は削除されます。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*

DFHZC3224 E • DFHZC3226 E

2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3224 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal *termid* VTAM
***netname netname*. The terminal**
specified for deletion cannot be found.

説明: CICS_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。しかし、仮想端末 *termid* は、この CICS クライアントのリモート端末として存在していません。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末を削除する試みは拒否されます。

ユーザーの処置: 存在しない仮想端末の削除を CICS クライアントが要求した理由を判別してください。

CTIN アンインストールが正しく要求され、かつ仮想端末が存在しているはずである場合には、CICS ログを調べて、この端末を参照しているメッセージ DFHZC5966 および DFHZC32xx を見つけてください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3225 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - VTAM *netname netname*. The
terminal cannot be deleted because the
NetName parameter is missing.

説明: CICS_EpiDelTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN アンインストール要求が受信されました。しかし、どの仮想端末を削除するかを定義する NETNAME パラメーターが欠落しています。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3037 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。仮想端末を削除する試みは拒否されます。

ユーザーの処置: CTIN への入力を調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3226 E *DATE TIME APPLID Transaction*
CTIN - virtual terminal *termid* VTAM
***netname netname*. CICSが設定されたビ**
ルダー・パラメーターにアクセスできませ
ん。

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CICS は、作成したばかりの仮想端末から詳細を取り出し、それらを CICS クライアントに戻そうとしています。しかし、ビルダー・パラメーター・セット (BPS) 形式で詳細を取り出す試みが失敗しました。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3031 が書き込まれます。

仮想端末のインストール要求は拒否されます。応答コード ERROR および理由コード INSTALLCANCELLED がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3227 E *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The client data is longer than expected.*

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、予期されたより多くのデータが受信されました。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP302D が書き込まれ、データ 2 には受信した長さが入れられます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3228 E *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid group.*

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、ヘッダーに無効なグループが含まれています。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3024 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3229 E *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. CICS has received invalid data from the client.*

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。CICS はこのデータを解析しようとしたましたが、パラメーターの数、パラメーターの長さ、および受け取ったデータの長さの間に矛盾があることを検出しました。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3033 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3230 E *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. CICS has received a client request on an unsupported sync level.*

説明: CTIN 要求は、同期レベル 0 でも 1 でもない会話で受け取られました。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP302B が書き込まれます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントが同期レベル 0

DFH3C3231 E • DFH3C3242 E

または 1 で会話するようにしてください。

モジュール: DFH3CT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFH3C3231 E *date time applid Transaction CTIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid version number.*

説明: CICS_EpiAddTerminal 関数または端末エミュレーター操作の結果として、CICS クライアントから CTIN インストール要求が受信されました。しかし、ヘッダーに無効なバージョン番号が存在します。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3036 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CTIN トランザクションは、異常終了コード AZAI で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントで使用するバージョンは、サーバーで使われるバージョンと一致しなければならないため、どちらかが間違ったレベルである場合、変更しなければなりません。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFH3CT1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFH3C3240 E *DATE TIME APPLID Transaction CCIN - VTAM netname netname. CICS has received a client request on an unsupported sync level.*

説明: CCIN 要求は、同期レベル 0 でも 1 でもない会話で受け取られました。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3003 が書き込まれます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントが同期レベル 0 または 1 で会話するようにしてください。

モジュール: DFH3CN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFH3C3241 E *DATE TIME APPLID Transaction CCIN - VTAM netname netname. The client data is longer than expected.*

説明: CCIN インストール要求が CICS クライアントから受け取られました。しかし、予期されたより多くのデータが受信されました。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3004 が書き込まれ、データ 2 には受信した長さが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFH3CN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFH3C3242 E *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid group.*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。しかし、ヘッダー内に無効なグループが含まれています。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3002 が

書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3243 E *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid version number.*

説明: CCIN インストール要求が CICS クライアントから受け取られました。しかし、ヘッダーに無効なバージョンの値が含まれています。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

CICS クライアントが CCIN ヘッダーを誤ってセットアップしているか、または CICS TS 5.4 ではサポートされない新規バージョンの CICS クライアント・ソフトウェアが使用されているかのいずれかです。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP300B が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントで使用するバージョンは、サーバーで使用するバージョンと一致しなければならないため、どちらかが間違ったレベルである場合、変更しなければなりません。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3244 E *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The client header data contains an invalid function.*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。しかし、ヘッダーに無効な関数が含まれています。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3002 が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れられます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントが不明の関数呼び出しを CCIN に送信した理由を調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3245 E *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. The capabilities parameter has not been specified.*

説明: CCIN トランザクションが、CICS クライアントから実行されました。必要なパラメーターの 1 つに CAPABILITIES パラメーターがあり、これは、CICS クライアントがサポートできる機能を指定します。このパラメーターが欠落しています。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: CICS クライアントをインストールする要求は拒否されます。応答コード DISASTER および理由コード INVALIDREQUEST がクライアントに送信されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3246 *date time applid Transaction CCIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. CICSがCDTS トランザクションを生成できません。*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。処理の一部として、仮想端末 *termid* を削除するために CDTS トランザクションが呼び出されました。しかし、CICS が CDTS トランザクションをタスク生成できません。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 仮想端末の削除の試みは失敗します。これが CCIN インストール要求である場合は、インストールが続行されます。

ユーザーの処置: CDTS トランザクションおよび DFHZATS プログラムが、IBM 提供グループ DFHSPI で指定されたとおりに正しく定義され、かつインストールされているかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHZCN2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3247 *date time applid Transaction CCIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. The CCIN transaction has timed out waiting for CDTS to run.*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。処理の一部として、仮想端末 *termid* を削除するために CDTS トランザクションが呼び出されます。しかし、CCIN トランザクションは、CDTS トランザクションを 2 分間待ってから、タイムアウトになりました。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: CDTS による仮想端末削除の試みが続行され、CDTS トランザクションが開始または「中断解除」されたとき、処理が行われます。

これが CCIN インストール要求である場合は、インストールが続行されます。

ユーザーの処置: CDTS トランザクションを開始できない理由、またはハング状態になっている理由を調べてください。

MAXTASK または CITS TRANCLASS 割り振りを増やす必要があるかもしれません。

モジュール: DFHZCN2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CSCC

DFHZC3248 E *date time applid Transaction CCIN - virtual terminal termid VTAM netname netname. The surrogate TCTTE is in use and cannot be deleted.*

説明: CICS クライアントから CCIN 要求が受信されました。インストールされた仮想端末があつてはなりませんが、1 つまたは複数の端末が見つかりました。しかし、仮想端末に結び付けられた代理 TCTTE はまだ使用中であり、削除できません。これが、クライアントの即時シャットダウンによって引き起こされた場合は、CICS がクライアントの削除を試みる前に、トランザクション異常終了が完了していない可能性があります。

netname は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP301C が書き込まれます。仮想端末を削除する試みは拒否されます。

これが CCIN インストール要求である場合は、インストールが続行されます。

ユーザーの処置: CCIN の実行時に仮想端末がインストールされていた理由を判別してください。

トランザクションの終了を待つか、トランザクションを PURGE してください。トランザクションが完了すれば

ば、次の CCIN インストール/アンインストール時に、仮想端末は削除されます。

モジュール: DFHZCN2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *netname*

宛先: CCCC

DFHZC3249 E *date time applid Transaction CCIN - VTAM netname netname. CICS has received invalid data from the client.*

説明: CCIN インストール要求が CICS クライアントから受け取られました。CICS はこのデータを解析しようとしたが、パラメーターの数、パラメーターの長さ、および受け取ったデータの長さの間に矛盾があることを検出しました。*netname* は、CICS クライアントの VTAM ネット名です。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP300E が書き込まれ、データ 2 には受信したデータが入れます。CCIN トランザクションは、異常終了コード AZAF で異常終了します。

ユーザーの処置: CICS クライアントから CICS に送信されたデータを調べてください。IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCN1

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*

宛先: CCCC

DFHZC3400 E *date time applid termid tranid* チェーンが最大サイズを超えました。*sense*
((instance) モジュール名: {DFHZRVS | DFHZRVS | DFHZRVS | DFHZRVS | DFHZRVX | DFHZRAC | DFHZRAC}).

説明: チェーン・アセンブリー (BUILDCHAIN) が TCTTE に指定されている場合に、アセンブルされるチ

ェーンが最大チェーン (IOAREALEN 値 2) のための IOAREALEN に収まりません。最大チェーンのための IOAREALEN 内の残りのスペースが、最大 RECEIVESIZE よりも小さくなっています。

チェーン・アセンブリー (BUILDCHAIN) が TCTTE に指定されたものの、最大チェーン値がゼロに等しい場合には、作成時にチェーン値が正しく設定されていないか、または値が上書きされたかのいずれかです。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: IOAREALEN (値 2) キーワードを指定した CEDA TYPETERM によって生成される最大チェーン・サイズが、予期される最大チェーンに対して十分な大きさになるようにしてください。

モジュール: DFHZRVS, DFHZRVX, DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS,
2=DFHZRVS,
3=DFHZRVS,
4=DFHZRVS,
5=DFHZRVS,
6=DFHZRVX,
7=DFHZRAC,
8=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC3401 I *date time applid termid tranid*
Resource now available. sense
((instance) **Module name:** {DFHZNAC})

説明: 論理装置 (LU) のリソースが、使用可能になりました。このリソースは、前に一時的に使用不能になっていたか、介入を要求していました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセ

DFHZC3402 E • DFHZC3405 E

ージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の読み取りまたは書き込み操作が再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3402 E *date time applid termid trandid Invalid*
READ with outbound chain control.
sense ((instance) Module name:
{DFHZRVS})

説明: 前に出された DFHTC TYPE=WRITE 要求がチェーンを完了していないにもかかわらず、DFHTC TYPE=READ 要求が処理されています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZRVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS

宛先: CSNE

DFHZC3403 E *date time applid termid trandid Invalid*
SEND after LU6.1 session RTIMOUT.
sense ((instance) Module name:
{DFHZSDX})

説明: CICS は HPO=YES を指定して構成されています。要求後に完了した LU6.1 セッションに対する SEND が、読み取りタイムアウト条件により、異常終了 AZCT で終了されました。端末制御ブロックは、SEND を処理するのに適した状態ではありません。

システムの処置: セッションがクローズされます。

ユーザーの処置: CICS が MAXTASK またはそれに近い状態で実行されていた場合は、MAXTASK 値を大きくすることを検討してください。

モジュール: DFHZSDX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDX

宛先: CSNE

DFHZC3405 E *date time applid termid trandid*
Catastrophic bracket error. sense
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: 論理装置は、ブラケット規則を実施する際に CICS の障害を検出しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。セッションは終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 症状ストリングおよび VTAM トレースを使用し、さらに必要ならダンプも使用して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3406 E *date time applid termid trandid*
Parameter error. sense ((instance))
Module name: {DFHZNAC}

説明: 論理装置 (LU) が受信した要求応答単位 (RU) に、無効なパラメーターを持つ制御機能が含まれています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求および受信要求が除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。TIOA の一部は、CSNE ログに書き込まれます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3407 E *date time applid termid trandid* **READ**
command does not carry change
direction indicator. sense ((instance))
Module name: {DFHZNAC}

説明: 論理装置 (LU) タイプ 2 (3270 互換モード論理装置) へ送られる入力要求 (例えば、READBUF コマンド) には、SNA 方向転換標識が伴っていなければなりません。LU は、そうした要求を受け取りましたが、その標識が設定されていません。

方向転換標識の設定は、端末管理によって完全に制御されているため、このようなメッセージは、内部論理エラーが起きている可能性があることを示しています。このエラーは、必ずしも端末管理にあるのではなく、論理装置その他のネットワーク構成エレメントにある場合もあります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクとその論理装置の VTAM セッションは、異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: エラーを起こした要求を識別し、その原因となったネットワーク構成エレメントを突き止めてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3408 E *date time applid termid tranid* プレゼンテーション・スペースの整合性が失われました。 *sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: 論理装置による画面表示用のデータの内容が変更されました。これは、通常、オペレーターの処置によって起こります。例えば、TEST/NORMAL キーを使用したか、または 3270 SYS REQ キーを押した可能性があります。

例えば 3270 の再生成バッファの障害のような、オペレーターの処置以外の要素が原因となっていることもあります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の要求はすべて取り消されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート端末で障害の原因を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3409 E *date time applid termid tranid*
Unexpected negative response received.
sense ((instance) Module name: {DFHZRAC})

説明: CICS は、通常は否定応答が予測されないコマンドに対して、否定応答を受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はす

べて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。そのノードは使用できない状態にされ、TCTTE、RPL、および処置フラグが CSNE にログ記録されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。そのセッションの SNA フローが有効であるかどうか、また論理装置がプロトコルに違反していないかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC3410 E *date time applid termid tranid* **Invalid input when LU status expected.** *sense ((instance) Module name: {DFHZRVX | DFHZRVX | DFHZRVX})*

説明: 端末ノードでの (おそらく) 修正可能なエラー条件 (例えば、介入要求) を示すシステム・センス・コードで要求が拒否された後に、(論理装置状況メッセージ以外の) 入力を受け取られました。エラー状態が訂正されたのか、または要求が永続的に実行不能であるのかは、この後に出される LU 状況メッセージに示されます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: SNA プロトコルに準拠するために、次に伝送されるのがリソース使用可能 (0001) または機能実行不可 (081C) のいずれかのシステム・センス・コ

ードを伴う LUSTATUS メッセージであることを確認してください。

モジュール: DFHZRVX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
2=DFHZRVX,
3=DFHZRVX

宛先: CSNE

DFHZC3411 E *date time applid termid trandid*
Resource temporarily unavailable. sense
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: 要求を完了させるために必要とされるリソースが、一時的に使用不能になっています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 装置が、「リソース一時使用不能」通知を受け取った後に LUSTATUS メッセージを送ってくる装置でなければ、その要求は再試行されます。

"RESOURCE TEMPORARILY UNAVAILABLE" の通知が受信された場合は、通常、それに関連する VTAM メッセージが出されます。

ユーザーの処置: 関連 VTAM メッセージを参照して、適用可能な場合には、それに示された手引きに従ってください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3412 E *date time applid termid trandid*
Intervention required on secondary
resource. sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: 論理装置 (LU) の 2 次リソースに関してオペレーターの処置が要求されています。しかし、そのようなリソースはすぐには使用できません。3270 互換 LU の場合、このメッセージは、おそらく PRINT 要求に備えて使用できるようにしなければならない印刷装置が要介入状況にあることを意味しています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: システムは論理装置状況メッセージを待ち、そのメッセージを受信すると、適切な処置をとります。

ユーザーの処置: その装置に関する問題を訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3413 E *date time applid termid trandid Logical*
Unit busy. sense ((instance) Module
name: {DFHZNAC})

説明: 論理装置は、リソースが使用中 (例えば、システム・サービス制御点 (SSCP) と通信中) のため要求を処理できないので、その要求を拒否しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、

DFHZC3414 E • DFHZC3415 E

メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: システムは、論理装置状況メッセージを待ってから、適切な処置をとります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3414 E *date time applid termid trandid*
Request not executable. Secondary
resource unavailable. sense ((instance)
Module name: {DFHZNAC})

説明: 論理装置の 2 次リソースが永続的に使用不能になっているため、要求を完了させることができません。3270 互換 LU の場合、このメッセージは、PRINT 要求に使用できる印刷装置がないことを意味しています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: そのリソースがリモート端末では使用できない理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*

7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3415 E *date time applid termid trandid* **No**
data available. sense ((instance) Module
name: {DFHZNAC})

説明: 次のいずれかの理由で、送信すべきデータがないために、論理装置によって受信要求が拒否されました。

- その装置からは入力を行えない。(例えば印刷装置)
- 論理装置がその時点でデータを送信することができない。例えば、その時点では、要求された 3790 データ・セットが使用可能でない場合。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 受信要求は停止されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 要求が正しい装置に出されたかどうか、また、その装置はデータを伝送することができるかどうかを確かめてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3416 E *date time applid termid tranid* **Session failure. A connection request for an invalid node *nodeid* could not be terminated. *sense* ((instance) Module name: {DFHZSCX})**

説明: 要求されたログオンは拒否すべきものであったため、否定応答を送ろうとしましたが、VTAM に拒否されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 無効のノードとの通信を取り止めます。

ユーザーの処置: VTAM のストレージの問題またはエラー・メッセージが示されていないかどうかを、CSNE、CSMT および CSTL の各ログで調べてください。ノードが無効であるかどうかを判別してください。ノードが有効であった場合には、そのノードの CICS リソース定義を更新してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *nodeid*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3417 E *date time applid termid tranid* **Session processing error. A request for synchronization has been ignored. *sense* ((instance) Module name: {DFHZSDR})**

説明: 同期点設定のための要求が無視されました。COMMIT または ABORT が出されていませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するためには、詳しい診断情報を CSNE、CSMT、および CSTL の各ログで調べてください。トランザクション *tranid* も調べてください。

モジュール: DFHZSDR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDR

宛先: CSNE

DFHZC3418 E *date time applid termid tranid* **System generation error. *netname* ログオン要求がリジェクトされました. *sense* ((instance) Module name: {DFHZSCX | DFHZBLX | DFHZLGX})**

説明: ISC セッションのための TCTTE が互換性のない SESSIONTYPE を指定して生成されていたために、ログオン要求は拒否されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: TCTTE 生成を変更して、接続の一端で 2 次論理装置を、別の一端で 1 次論理装置を指定してください。

1 次論理装置には、SESSIONTYPE=SEND または SESSIONTYPE=FASTSEND を指定し、2 次論理装置には SESSIONTYPE=RECEIVE または SESSIONTYPE=FASTRECV を指定する必要があります。

モジュール: DFHZSCX、DFHZLGX、DFHZBLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHZC3419 E

3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX,
2=DFHZBLX,
3=DFHZLGX

宛先: CSNE

DFHZC3419 E *date time applid termid tranid Session*
failure. ノード *netname* の結合パラメータは受け入れられません。 *sense*
((instance) Module name: { | DFHZBLX
| DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZSCX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZSCX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZSCX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX
| DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX))

説明: 接続システムについて指定された特性は受け入れ不能であったために、接続要求が拒否されました。

拒否された理由として、以下のことが考えられます。

- メンバー名接続の場合、CICS に渡されたネットワーク ID (NETID) が、システム・エントリーに既に保管されているものと異なる (インスタンス 39)。
- メンバー名接続の場合、セッション・バインド (UDSS04) に指定されている GRNAME が、システム・エントリーに既に保管されているものと異なる (インスタンス 40)。
- GR 名接続の場合、CICS に渡されたネットワーク ID (NETID) が、システム・エントリーに既に保管されているものと異なる (インスタンス 41)。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 要求は拒否されます。 バインド・パラメーターは、CSNE ログに印刷されます。

ユーザーの処置: 接続元のシステムの特性が正しく指定されているかどうかを判別してください。 正しくなければ要求システムを訂正してください。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1= ,
2=DFHZBLX,
3=DFHZSCX,
4=DFHZSCX,
5=DFHZBLX,
6=DFHZBLX,
7=DFHZSCX,
8=DFHZBLX,
9=DFHZBLX,
10=DFHZBLX,
11=DFHZBLX,
12=DFHZBLX,
13=DFHZBLX,
14=DFHZBLX,
15=DFHZBLX,
16=DFHZBLX,
17=DFHZBLX,
18=DFHZBLX,
19=DFHZSCX,
20=DFHZBLX,
21=DFHZBLX,
22=DFHZBLX,
23=DFHZBLX,
24=DFHZBLX,
25=DFHZBLX,
26=DFHZBLX,
27=DFHZBLX,
28=DFHZBLX,
29=DFHZSCX,

30=DFHZBLX,
31=DFHZBLX,
32=DFHZBLX,
33=DFHZBLX,
34=DFHZBLX,
35=DFHZBLX,
36=DFHZBLX,
37=DFHZBLX,
38=DFHZBLX,
39=DFHZBLX,
40=DFHZBLX,
41=DFHZBLX

宛先: CSNE

DFHZC3420 E *date time applid termid tranid Session*
connection error. Node netname is out
of service. sense ((instance) Module
name: {DFHZOPN | DFHZBLX |
DFHZBLX})

説明: TCTTE がサービス休止状態であるため、ログオン要求は拒否されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 要求はリジェクトされます。

ユーザーの処置: マスター端末プログラムで再び接続要求を出し、端末をサービス可能状態にしてください。

モジュール: DFHZSCX、DFHZOPN、DFHZBLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,
2=DFHZBLX,
3=DFHZBLX

宛先: CSNE

DFHZC3421 E *date time applid termid tranid Session*
shutdown request received. Node
netname is receiving orderly shutdown.
sense ((instance) Module name:
{DFHZASX})

説明: システムに対するシャットダウン要求を受け取りました。正常な終了プロシーチャーが開始されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: セッションの正常終了が開始されます。リモート・システムへのアクセスは、現行トランザクションが終了した後に停止されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZASX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZASX

宛先: CSNE

DFHZC3422 E *date time applid termid tranid*
Connection failure. Request rejected
before a session could be started. sense
((instance) Module name: {DFHZNSP |
DFHZNSP})

説明: 2つのシステムを接続しようとしているときにエラーが起きました。セッションを確立する前に、要求が終了しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 要求を打ち切ります。

ユーザーの処置: VTAM ログを調べて、問題の原因を判別してください。ストレージ不足または別の一時的エラーが原因であった場合は、システムの負荷が小さく

DFHZC3423I • DFHZC3424 E

なったときに再び要求を出してください。

モジュール: DFHZNSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNSP,

2=DFHZNSP

宛先: CSNE

DFHZC3423I *date time applid termid trandid FM*

function not supported. FMD RUで要求された機能を受信側がサポートしていません。 *sense ((instance) Module Name: {DFHZNAC})*

説明: CICS は、否定応答 (VTAM センス・コード 0826) を受け取りました。受信側は、送信側によって要求された機能をサポートしません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の SEND および RECEIVE はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンブが作成されます。

ユーザーの処置: 受信側がサポートしない機能を求める要求が出された理由を調べてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3424 E *date time applid termid trandid Session failure. Session terminated immediately. sense ((instance) Module name: {DFHZNSP | DFHZNSP | DFHZNSP})*

説明: セッション停止が検出されたため、または VTAM VARY INACT コマンドが出されたため、セッション中にノードとの通信が中断しました。

このメッセージの後に同じセッションについて出されたエラー・メッセージは、セッション障害が原因である場合があります、その理由ではない可能性があります。この場合には、これらのメッセージは無視することができます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのセッションは取り消されます。セッションは、後で VTAM によりリカバリーできることがあります。メッセージ DFHZC2409 および DFHZC2410 も参照してください。

ユーザーの処置: 障害の原因が、オペレーターの出した VTAM VARY INACT にあるのかどうかを検査してください。そうでない場合には、センス・データおよび関連したメッセージを使用して、障害の理由を調査してください。

モジュール: DFHZNSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNSP,

2=DFHZNSP,

3=DFHZNSP

宛先: CSNE

DFHZC3426 E *date time applid termid tranid*

Resource unknown. sense ((instance)

Module name: {DFHZNAC})

説明: システム間接続のとき、一致する TCTTE が見つかりませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 要求を打ち切ります。

ユーザーの処置: 要求された TCTTE の名前が、要求システムで正しく指定されていることを確かめてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3427 E *date time applid termid tranid* バインド・エリアに無効なパラメーターがあります。**sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: システム間接続を行っているときに、要求のバインド域に含まれている 1 つまたは複数のパラメーターが無効であったか、またはサポートされていませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 要求を打ち切ります。

ユーザーの処置: バインド域内のどのパラメーターが誤っているのかを判別し、それを訂正してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3429 E *date time applid termid tranid*

Resynch error - CICS did not resynchronize, other logical unit was expecting resynch. sense ((instance)

Module name: {DFHZRSY | DFHZRSY | DFHZRSY | DFHZRSY | DFHZSYX})

説明: 他の LU では再同期処理を予期していましたが、CICS はそれを実行しませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: この再同期の不一致が許容できるものであるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZRSY、DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRSY,
2=DFHZRSY,
3=DFHZRSY,
4=DFHZRSY,
5=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC3433 E *date time applid termid tranid* **FMH7**
was received on ISC session. Sense
code is : xxxxxxxx { *Error log data is :*
| No error log data received. | 使用できる
エラー・ログ・データはなし。}
 xxxxxxxx *sense ((instance) Module name:*
{DFHZRVX | DFHZRAC | DFHZRAC
| DFHZERH})

説明: このトランザクションは、論理装置 (LU) タイプ LU6.1 または LU6.2 と通信しています。

論理装置は、エラー・ログ・データを伝える可能性がある FMH7 を送りました。エラー・ログ・データが含まれている場合には、そのテキストがこのメッセージ内に挿入されます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されません。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: とられる処置は、センス・コードによって異なります。

ユーザーの処置: 受信側のトランザクションがこの状況を取り扱うように設計されている場合には、処置は必要ありません。しかし、そのように設計されていない場合には、センス・コードおよびエラー・ログ・データを使用して、接続された論理装置が FMH7 を送った理由を判別してください。

接続された LU が別の CICS システムである場合には、エラー・ログ・データは CICS メッセージになります。

接続された LU が CICS システムでない場合には、エラー・ログ・データの詳細についてそのプロダクトの資料を参照してください。一部のプロダクトでは、ユーザーがエラー・ログ・データの内容を定義することができます。

モジュール: DFHZRVX、DFHZRAC、DFHZERH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. xxxxxxxx
7. 以下のオプションから選択される値。

1= エラー・ログ・データ;
 2= エラー・ログ・データの受信なし。;
 3= 使用できるエラー・ログ・データはなし。

8. xxxxxxxx
9. *sense*
10. *instance*
11. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVX,
 2=DFHZRAC,
 3=DFHZRAC,
 4=DFHZERH

宛先: CSNE

DFHZC3434 E *date time applid termid tranid*
Unbind received while session still
active. sense ((instance) Module name:
{DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX |
DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX |
DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX |
DFHZSCX})

説明: システム間リンクの片側 (2 次) が、正常終了プロトコルに従わずにアンバインド・コマンドを受け取りました。これは、セッションの異常終了が行われたことを意味します。おそらく、システム間リンクの他方の側が異常終了したことに起因すると考えられます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: CICS トレースおよび CSNE ログにある診断情報を使用して、終了の原因を判別してください。セッションを確立し直してみてください。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX,
 2=DFHZSCX,
 3=DFHZSCX,
 4=DFHZSCX,
 5=DFHZSCX,
 6=DFHZSCX,

7=DFHZSCX,
8=DFHZSCX,
9=DFHZSCX,
10=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3435 E *date time applid termid tranid Path*
error detected. Device cannot be
contacted. sense ((instance) Module
name: {DFHZNAC})

説明: VTAM は、ある装置へのアクセス・パスがないため、その装置への伝送をもちや行えません。これは通常、装置または 3270 の電源が入っていないことが原因で発生します。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロが出されて、そのノードとの通信が終了し、ノードはサービス休止状態になります。セッションは終了します。

ユーザーの処置: 終了の原因を判別してください。セッションを確立し直してみてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3436 E *date time applid termid tranid End*
user not authorized. sense ((instance)
Module name: {DFHZNAC})

説明: 許可されていない要求がリモート・ノードに対して出されたことを示すセンス・コードが受け取られました。The request was rejected. この組み込みストリン

グは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: そのエンド・ユーザーがこの要求を出す許可を受けていない理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3437 I *date time applid termid tranid Node*
netname action taken: action ((instance)
Module name: {DFHZNAC})

説明: DFHZNAC によってエラーが処理された後で、エラーを訂正するための特定の処置がとられる場合があります。このメッセージは、決められた処置を示しています。ノードのタイプおよびエラー発生時のノードの状態によっては、実行される処置が処置セットと異なることがあります。

システムの処置:

アクション
作用

ABRECV

受信を取り消します。

ABSEND

送信を取り消します。

ABTASK

タスクを異常終了させます。

CLSDST

セッションをクローズします。

GMM

日常業務開始メッセージを送信します。

DFH3C3438 E • DFH3C3439 E

OUTSRV

セッションを使用できない状態にします。

CREATE

必要に応じて、ATI がセッションを獲得できるようにします。

NOCREATE

ATI がセッションを獲得できないようにします。

NEG RESP

例外応答を送信します。

SIMLOGON

セッションに対する SIMLOGON 要求を生成します。

CNTASK

タスクを取り消します。

SYSDUMP

システム・ダンプをとります。

PURGEBMS

BMS ページを除去します。

ユーザーの処置: ユーザーの処置は、システムでとられた処置によって異なります。これは、メッセージ・テキストで *action* によって示されています。

モジュール: DFH3NAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *netname*
7. *action*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH3NAC

宛先: CSNE

DFH3C3438 E *date time applid termid trandid* **Device powered off. sense ((instance) Module name: {DFH3NAC})**

説明: 関連する装置の電源が入っていなかったために、

要求は論理装置によって拒否されました。このメッセージは、オペレーターによる処置が原因で出される場合があります。例えば、TEST/NORMAL キーが使用された場合です。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFH3C xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFH3C2400 を参照してください。

システムの処置: システムは論理装置状況メッセージを待機し、メッセージを受信した時点で、適切なシステム処置をとります。

ユーザーの処置: その装置に関する問題を訂正してください。

センス・コードの意味については、メッセージ DFH3C2461 の説明の段落を参照してください。

モジュール: DFH3NAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH3NAC

宛先: CSNE

DFH3C3439 E *date time applid termid trandid*
Negative response received to SDT.
sense ((instance) Module name: {DFH3NAC})

説明: START DATA TRAFFIC(SDT) コマンドに対する否定応答が受け取られました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFH3C xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFH3C2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFH3NAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3440 E *date time applid termid trandid* **Unable to send error message - session in free status. sense ((instance) Module name: {DFHZEMW | DFHZEMW})**

説明: DFHZEMW は別のノードへメッセージを書き込もうとしましたが、セッションが「ブラケット間」状況であったために、それを行うことができませんでした。

この状態では、メッセージを通常の方法で送ることはできません。セッションは解放状況にありましたが、それはアプリケーション・プログラムが LAST オプションを指定した SEND コマンドを出していたためと思われる。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 他のノードがその要求を EXCEPTION 応答モードで送信した理由を調べてください。エラー・メッセージを送信したい場合は、応答モードを DEFINITE に変更してください。

モジュール: DFHZEMW

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZEMW,
2=DFHZEMW

宛先: CSNE

DFHZC3441 I *date time applid* **Orderly termination of VTAM sessions requested. sense ((instance) Module name: {DFHZSHU})**

説明: VTAM セッションを正常にクローズし、続いて CICS VTAM ACB をクローズするための要求が受け取られました。この要求は、CICS マスター端末コマンドにより、または VTAM ネットワークのクローズによって開始されている場合があります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべてのノードが静止し、各セッションは、非活動状態になるとクローズされます。すべてのセッションがクローズされたとき、ACB がクローズされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSHU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sense*
5. *instance*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSHU

宛先: CSNE

DFHZC3442 I *date time applid* **Immediate termination of VTAM sessions requested. sense ((instance) Module name: {DFHZSHU | | DFHZTPX | DFHZSHU})**

説明: すべての VTAM セッションを即時にクローズして、続いて CICS VTAM ACB をクローズするよう求める要求が受け取られました。この要求は、CICS マスター端末コマンドにより、または VTAM ネットワークのクローズによって開始されている場合があります。

このメッセージは、VTAM オペレーターが V NET.ID=...,INACT を出す際にも出されます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: VTAM セッションでのすべての要求は異常終了し、セッションがクローズされます。その後、VTAM ACB がクローズされます。

DFHZC3443 I • DFHZC3444 E

VTAM オペレーターが V NET,ID=...,INACT を出した場合、VTAM はすべてのセッションがクローズするのを待ってから CICS に知らせます。この場合、セッションの異常終了はありません。このメッセージは、DFHZTPX で 1 回、DFHZSHU で 1 回出され、合計 2 回出される場合があります。これらのメッセージはそれぞれ異なるインスタンス番号を持ちます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSHU、DFHZTPX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sense*
5. *instance*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSHU,
2= ,
3= ,
4=DFHZTPX,
5=DFHZSHU

宛先: CSNE

DFHZC3443 I *date time applid* **VTAM has been cancelled or the ACB has been forcedclosed. VTAM sessions terminated.sense ((instance) Module name: {DFHZSHU | DFHZSYX | DFHZTPX | DFHZSHU})**

説明: VTAM は、CICS/VTAM オペレーターによって取り消されたか、または強制的にクローズされました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、その ACB をクローズします。VTAM セッションで実行されているすべてのトランザクションが異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSHU、DFHZTPX、DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *sense*
5. *instance*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSHU,
3=DFHZSYX,
4=DFHZTPX,
5=DFHZSHU

宛先: CSNE

DFHZC3444 E *date time applid termid tranid*
Unexpected condition detected during RECEIVE processing. sense ((instance) Module name: {DFHZRVS | DFHZRAC})

説明: CICS は、端末「termid」からデータを受信中に、32k を超えるデータが送信されていることを検出しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS はセッションを終了して、端末を使用できない状態にします。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このエラーの原因を判別するには、以下のとおりに行ってください。

- 端末の誤動作がないか調べてください。例えば、装置が同じデータを繰り返し送信している可能性があります。
- ネットワークに問題がないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZRVS、DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVS,
2=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC3445 E *date time applid termid tranid State*
error. sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: CICS は、状態エラー否定応答 (VTAM センス・コード 20yy) を受け取りました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロ命令が出されてノードとの通信が終了し、ノードはサービス不能状態になります。

ユーザーの処置: エラーの理由を判別してから、セッションを再始動してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3446 E *date time applid termid tranid*
Request error. sense ((instance) Module
name: {DFHZNAC})

説明: CICS は、要求エラー否定応答 (VTAM センス・コード 10yy) を受け取りましたが、そのマイナー・コード yy を認識できません。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロ命令が出されてノードとの通信が終了し、ノードはサービス不能状態になります。

ユーザーの処置: エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3447 E *date time applid termid tranid*
Request reject error. sense ((instance)
Module name: {DFHZNAC})

説明: CICS は、要求拒否否定応答 (VTAM センス・コード 08yy) を受け取りましたが、そのマイナー・コード yy を認識できません。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。VTAM CLSDST マクロ命令が出されてノードとの通信が終了し、ノードはサービス不能状態になります。

ユーザーの処置: エラーの理由を判別してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*

DFHZC3448 E • DFHZC3450 I

6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3448 E *date time applid termid tranid*
Security identification error. sense
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: CICS は、リソースにアクセスするための要求に対する否定応答を受け取りました。そのアクセスが許可されていなかったためです。その要求が OPNDST (BIND) 要求であった場合には、論理装置で予期されている許可手順を CICS は送信していません。CICS は、バインド時のセキュリティー機能をサポートしません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 論理装置は、サービス休止状態に置かれ、セッションはクローズされます。

ユーザーの処置: CICS は、バインド時のセキュリティー機能をサポートしません。セッションの開始に許可が不要になるように、リモート論理装置の許可パラメーターを変更してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3449 I *date time applid termid tranid* **Leaving unattended mode. sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: CICS は、端末が在席操作になったことを示す状況メッセージを論理装置から受け取りました。

1980 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

在席操作は、デフォルトの操作モードであることに注意してください。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: TCTTE 内の操作モード・ビット TCTEMOPU がリセットされます。

ユーザーの処置: 不在モードで操作できる論理装置の場合、アプリケーション・プログラマーは、端末オペレーターとの会話型シーケンスを開始する前に、操作のモードをテストする必要があります。ビットがオンの場合は、オペレーターによる処置は不要です。

コマンド・レベルの場合には、EXEC CICS ASSIGN UNATTEND (データ域) コマンドを使用して、TCTEMOPU の値を入手してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3450 I *date time applid termid tranid*
Entering unattended mode. sense
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: CICS は、端末はもはや在席操作ではないことを示す状況メッセージを論理装置から受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: TCTTE 内の操作モード・ビット TCTEMOPU が設定されます。

ユーザーの処置: 不在モードで操作できる論理装置の場合、アプリケーション・プログラマーは、端末オペレーターとの会話型シーケンスを開始する前に、操作のモードをテストする必要があります。ビットがオンの場合は、オペレーターによる処置は不要です。

コマンド・レベルの場合には、EXEC CICS ASSIGN UNATTEND (データ域) コマンドを使用して、TCTEMOPU の値を入手してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3451 I *date time applid termid trandid* 現在送信データはありません。sense ((instance)
Module name: {DFHZNAC})

説明: 論理装置に対して READ コマンドを出した後、またはその論理装置と関連したトランザクションの完了後に、CICS は、現在送信すべきデータがないことを示す論理装置からの状況メッセージを受け取りました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: データ交換 (DFHDI) 受信要求が未解決である場合には、その要求は DSSTAT 条件および X'15' の応答コードで完了することになります。

端末に関しては、活動タスクがなく、未解決の作業がない場合には、ソフト CLSDEST 処置フラグが設定されて、DFHZNEP が呼び出されます。DFHZNEP によってリセットされない限り、そのセッションは終了することになります。

ユーザーの処置: 端末にこれ以上受信要求が出されていないことを確かめてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3452 E *date time applid termid trandid* **Signal received - Code** xxxx. sense ((instance)
Module name: {DFHZASX | DFHZASX})

説明: CICS は、論理装置から SIGNAL コマンドを受け取りました。SIGNAL コマンドとともに受け取られた SIGNAL コードは、DFHZNEP ユーザー・プログラムが使用できるようにされます。

タスクが活動状態である場合には、アプリケーション・プログラムへ戻ると SIGNAL 条件が生じます。このメッセージは、SIGNAL コードがノード異常条件プログラム (DFHZNAC) に渡された場合にだけ出されます。CICS がこの処理を行うのは、タイプ 4 論理装置の場合に限られます。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: SIGNAL コードが 0001 0000 (方向転換要求) の場合に、さらに出力要求が行われると IGREQCD 条件が生じることになります。SIGNAL コードはすべて SIGNAL 条件を生じさせます。

ユーザーの処置: CICS が SIGNAL 要求方向転換を強制する論理装置の場合、コードが 0001 0000 であれば、受信要求を出すか、トランザクション trandid を終了させてください。

そのコードが 0001 0000 でない場合には、トランザクション trandid を終了させてください。詳しい手引きについては、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料を参照してください。

モジュール: DFHZASX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *xxxx*
7. *sense*

3=DFHZOPX,
 4=DFHZOPX,
 5=DFHZOPX,
 6=DFHZOPX,
 7=DFHZOPX,
 8=DFHZOPX,
 9=DFHZOPX,
 10=DFHZOPX,
 11=DFHZOPX,
 12=DFHZOPX,
 13=DFHZOPX,
 14=DFHZOPX,
 15=DFHZOPX,
 16=DFHZOPX,
 17=DFHZOPX,
 18=DFHZOPX,
 19=DFHZOPX,
 20=DFHZOPX,
 21=DFHZOPX,
 22=DFHZOPX,
 23=DFHZOPX,
 24=DFHZOPX,
 25=DFHZOPX,
 26=DFHZOPX,
 27=DFHZOPX,
 28=DFHZOPX,
 29=DFHZOPX,
 30=DFHZOPX,
 31=DFHZOPX,
 32=DFHZOPX,
 33=DFHZOPX,
 34=DFHZOPX,
 35=DFHZOPX,
 36=DFHZOPX,
 37=DFHZOPX,
 38=DFHZOPX,
 39=DFHZOPX,
 40=DFHZOPX,
 41=DFHZOPX,
 42=DFHZOPX,
 43=DFHZOPX,
 44=DFHZOPX,
 45=DFHZOPX

宛先: CSNE

DFHZC3455 E *date time applid termid tranid* **Session**
initiation failure. Bind response from
node *netname* contains an invalid
session qualifier pair. *sense* ((*instance*)
Module name: {DFHZOPX |
DFHZOPX | DFHZOPX})

説明: 折衝可能 BIND に対するリモート 2 次側の応答で、ユーザー・データ・フィールドに無効なセッション

修飾子の対が含まれていました。それが無効な形式であったか、または 1 次 SQ が変更されていたかのいずれかです。

sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: セッションの初期設定は失敗します。送受信されたバインド・イメージが CSNE ログに印刷されます。

ユーザーの処置: リモート・システムのエラーを訂正してください。無効な形式があれば、LEN PSQ LEN SSQ に変更してください。

モジュール: DFHZOPX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPX,
 2=DFHZOPX,
 3=DFHZOPX

宛先: CSNE

DFHZC3456 E *date time applid termid tranid No*
outboard formats loaded. *sense*
((*instance*) Module name: {DFHZNAC})

説明: 外部形式が参照されましたが、この論理装置には外部形式がロードされていません。

システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 必要な外部形式をロードしてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*

DFHZC3457 E • DFHZC3459 E

6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3457 E *date time applid termid tranid*
Requested outboard format not loaded.
sense ((instance) Module name:
{DFHZNAC})

説明: 外部形式が参照されましたが、要求された形式はこの論理装置にロードされていません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 要求された外部形式をロードしてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3458 E *date time applid termid tranid* 要求されたフォーマット・グループはロードされていません。*sense ((instance) Module name: {DFHZNAC})*

説明: アウトバウンド形式グループが参照されましたが、その形式グループはこの論理装置にロードされていません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 必要な形式グループをロードしてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3459 E *date time applid termid tranid*
Unsupported data stream. sense
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: 装置へ送られたデータ・ストリームに、その装置ではサポートされない機能についての制御データが含まれています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: トランザクション *tranid* が異常終了します。

ユーザーの処置: トランザクション *tranid* が端末に対して実行されないようにするか、または、そのデータ・ストリームをサポートするような端末に変更してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3460 E *date time applid termid tranid* 要求された文字セットは存在しません。sense
((instance) **Module name:** {DFHZNAC})

説明: 代替文字セット定義に、認識されていない参照論理文字セット ID (LCID) が指定されています。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: トランザクション tranid が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: LCID によって参照される文字セットがロードされていることを確かめてください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3461 I *date time applid termid tranid Node netname session started. sense* ((instance) **Module name:** {DFHZOPX | DFHZOPX | DFHZEV1 | DFHZEV2})

説明: CICS は、ノード netname に対してバインドを正常に出したか、もしくは受け取りました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZOPX、DFHZEV1、DFHZEV2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPX,
2=DFHZOPX,
3=DFHZEV1,
4=DFHZEV2

宛先: CSNE

DFHZC3462 I *date time applid termid tranid Node netname session terminated. sense* ((instance) **Module name:** {DFHZCLS | DFHZCLS})

説明: ノード netname とのセッションがクローズされました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZCLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZCLS,
2=DFHZCLS

宛先: CSNE

DFHZC3463 I *date time applid* **VTAM ACB**
opened. VTAM Return Code = X'rc'.
Time = time sense ((instance) Module
name: {DFHZOPA})

説明: マスター端末オペレーターが、VTAM ACB をオープンするために CEMT または CSMT コマンドを出しました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードに応じて異なります。

- 値がゼロの場合、VTAM セッションを使用可能にすることができます。

- 値が 1 の場合、これは VTAM 戻りコードではありません。ACB が既にオープンにされているときに VTAM OPEN を受け取った場合、この値が DFHZOPA によって挿入されます。

- 戻りコードがその他の値である場合、操作は失敗しています。VTAM ACB がオープンされなかった理由を判別するには、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の『z/OS Communications Server: IP and SNA Codes』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHZOPA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'rc'*
5. *time*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPA

宛先: CSNE

DFHZC3464 I *date time applid termid tranid Node*
netname **released by MT Operator/LU**
Services Manager. sense ((instance)
Module name: {DFHZSTU})

説明: マスター端末オペレーターが、論理装置 (LU) を解放するために CEMT コマンドを出しました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: LU はクローズされます。その論理装置と関連付けられているすべてのタスクは、異常終了するか (マスター端末オペレーターがそのように要求した場合)、または正常に終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSTU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSTU

宛先: CSNE

DFHZC3465 E *date time applid termid tranid*
Unexpected response received. sense
((instance) Module name: {DFHZRLP |
DFHZRVX | DFHZRVX | DFHZRVX |
DFHZRVX | DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZRAC | DFHZRAC})

説明: CICS は、次のいずれかの状況で肯定応答を受け取りました。

- 応答は、例外応答とともに送られたデータに対するものであった。
- 応答は、例外応答とともに送られたコマンドに対するものであった。
-

応答は、応答がすでに送られた送信に対するものであった。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 未解決の送信要求および受信要求はすべて除去されます。タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。そのノードは使用できない状態にされ、TCTTE、RPL、および処置フラグが CSNE にログ記録されます。

ユーザーの処置: 並行して実行されているアプリケーション・プログラムが TCTTE を変更しないことを確認してください。そのセッションの SNA フローが有効であるかどうか、また論理装置がプロトコルに違反していないかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZRVX、DFHZRAC、DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP,
2=DFHZRVX,
3=DFHZRVX,
4=DFHZRVX,
5=DFHZRVX,
6=DFHZRAC,
7=DFHZRAC,
8=DFHZRAC,
9=DFHZRAC,
10=DFHZRAC,
11=DFHZRAC,
12=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC3466 E *date time applid termid trandid* **Out of session during session start up .sense**
(*instance*) **Module name:** {DFHZSEX | DFHZSKR})

説明: セッションの始動が行われているときに、CICS

マスター端末コマンドが使用され、端末 *termid* が使用できない状態にされました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのセッションは終了し、端末 *termid* のための TCTTE は使用できない状態のままにされます。

ユーザーの処置: セッションを使用できるように確立するためには、マスター端末オペレーターが、コマンド CEMT SET TER (XXXX) INS ACQ を出さなければなりません。これにより、端末がサービス中の状態に戻り、セッションが開始されて使用できるようになります。

モジュール: DFHZSEX、DFHZSKR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSEX,
2=DFHZSKR

宛先: CSNE

DFHZC3467 E *date time applid termid trandid*
Permanent insufficient resource. sense
(*instance*) **Module name:** {DFHZNAC})

説明: PS のロードに必要な PS バッファ・リソースが使用可能ではありません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CSNE ログを調べてください。センス受信コード 084C を伴う 2 番目のメッセージが出されているはずです。詳細については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」の資料で、このメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZNAC

DFHZC3468 E • DFHZC3470 E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3468 E *date time applid termid trandid* **CLEAR command received. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})**

説明: ノードが SNA の CLEAR コマンドを受け取りました。セッションのもう一方の側が、何らかの理由で現在の要求を処理することができず、セッションで未処理になっているすべてのメッセージを除去しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのセッションは直ちに取消され、セッションで実行されているトランザクションもすべて異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: セッションのもう一方の側を調べ、CLEAR コマンドが送られた理由を判別してください。他のセッションに接続されている VTAM 領域のバッファが不足しているという理由も考えられます。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3469 E *date time applid termid trandid* **Session re-establishment being awaited. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})**

説明: 2 次 LU が、CLSDST(PASS) を介して新しいアプリケーション・プログラムに渡されています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3470 E *date time applid termid trandid* **LU session failure caused by: {restart/takeover. LU does not support ACTLU(ERP). | route extension to cluster failed. | LU abend, discontact, DACTPU or ANS. } sense ((instance) Module name: {DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSCX})**

説明: LU セッションは、UNBIND コマンドが受け取られたために、失敗しました。

次の理由が考えられます。

- 再始動または引き継ぎ。LU が ACTLU(ERP) をサポートしていません。
- クラスタへの経路拡張の失敗。
-

LU 異常終了、切断、DACTPU、または ANS に起因するセッションの失敗。

この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 使用可能ならば、症状ストリング、VTAM トレース、およびダンプを使用して UNBIND のソースを判別してから、セッションの再確立を試みてください。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=再始動／引き継ぎ。LU は ACTLU(ERP) をサポートしません。
 2=クラスターへの経路拡張の失敗。
 3=LU の異常終了、非接触、DACTPU または ANS。

7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX,
 2=DFHZSCX,
 3=DFHZSCX,
 4=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3471 E *date time applid termid tranid Virtual route inoperative. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX})*

説明: セッションで使用していた仮想経路で障害が発生したため、セッションが切断されました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そ

のタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。APPC セッションの場合、CICS は、障害のあったセッションの再確立を試みます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3472 E *date time applid termid tranid Device end received. sense ((instance) Module name: {DFHZSYX})*

説明: 非 SNA VTAM サポートの 3270 から装置終了を受信しました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 端末がアクティブ・タスクに関連していない場合、「グッド・モーニング」メッセージが表示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC3474 E • DFHZC3477 E

DFHZC3474 E *date time applid termid tranid* **Virtual route deactivated.** *sense ((instance))*
Module name: {DFHZSCX})

説明: 使用中の仮想経路の強制非活動化が発生したため、セッションを非活動化しなければなりませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。その後、CICS は、そのセッションの再確立を試みます。

ユーザーの処置: セッションが失敗した理由を判別し、セッションの再確立を試みてください。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3475 E *date time applid termid tranid* **Unrecoverable LU failure.** *sense ((instance))* **Module name:** {DFHZSCX})

説明: LU が異常終了したため、セッションを非活動化しなければなりませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。セッションの再開は試みられません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

1990 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3476 E *date time applid termid tranid* **Recoverable LU failure.** *sense ((instance))*
Module name: {DFHZSCX})

説明: LU が異常終了したため、セッションを非活動化しなければなりませんでした。セッションのリカバリーが可能な場合もあります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。CICS は、そのセッションの再開を試みます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3477 E *date time applid termid tranid* **Cleanup received.** *sense ((instance))*
Module name: {DFHZSCX})

説明: 送信側の LU が、CICS から応答を受け取る前にハーフ・セッションをリセットしました。セッション

のリカバリーが可能な場合もあります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクが生成されている場合には、そのタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。CICS は、そのセッションの再開を試みます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3479 E *date time applid termid trandid*
Unbind received after session failure detected. sense ((instance) Module name: {DFHZSCX | DFHZSCX})

説明: CICS とセッション中の論理装置がセッション障害を検出し、CICS とのセッションをアンバインドしました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: セッションが終了します。そのセッションを使用していたトランザクションは異常終了するか、戻りコードでセッション終了の通知を受けます。

ユーザーの処置: トレースを使用して、セッション障害の理由を判別してください。CSNE ログを調べて、DFHZC3479 に関連した別のエラー・メッセージを見つけてください。このメッセージは、DFHZC3479 の直後に置かれているはずです。

関連するメッセージに示されているセンス・コードを参照してください。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX,
2=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC3480 E *date time applid termid trandid Session*
could not be started due to insufficient CICS nucleus function - ISC not loaded. sense ((instance) Module name: {DFHZSIM | DFHZBLX | DFHZLGX})

説明: APPC のシステムまたは端末に対してセッション開始が試みられました。CICS ISC 中核モジュールが必要とされたために、セッションを確立することができません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: セッション開始要求は拒否されます。

ユーザーの処置: APPC の接続関係を使用する必要がある場合には、CICS 初期設定に ISC=NO が使用されないようにしてください。

モジュール: DFHZSCX、DFHZLGX、DFHZSIM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSIM,
2=DFHZBLX,
3=DFHZLGX

DFHXC3481 E • DFHXC3484 I

宛先: CSNE

DFHXC3481 E *date time applid termid tranid 3270*
Data Stream protocol error. sense
((instance) Module name: {DFHXRVS |
DFHXRAC})

説明: CICS は、3270 端末として定義されている装置から、長さゼロのデータを受け取りました。これは、3270 装置についてのプロトコル違反です。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHXC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHXC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのセッションと、その端末に生成されたすべてのトランザクションを取り消します。

ユーザーの処置: 3270 端末として定義されている装置から長さゼロのデータを受信した理由を調べて、エラーを訂正してください。

理由としては、端末のためのリソース定義が正しくないこと、または 3270 プロトコルをシミュレートしている端末のプログラミングが正しくないことなどが考えられます。

モジュール: DFHXRAC、DFHXRVS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHXRVS,
2=DFHXRAC

宛先: CSNE

DFHXC3482 E *date time applid tranid ノード nodeid*
からのログオンはリジェクトされました。
自動インストール要求のためのストレージ
が不足しています。sense ((instance) モジ
ュール名: {DFHXLGX | DFHXLGX |
DFHXLBX | DFHXLSCX})

説明: CICS には認識されていないノード *nodeid* でログオンが試みられました。CICS は、自動インストール処理を完了させるための十分なストレージを入手するこ

とができませんでした。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHXC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHXC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのログオン要求を拒否します。

ユーザーの処置: ログオンを再試行してください。

モジュール: DFHXLGX、DFHXLSCX、DFHXLBX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *nodeid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHXLGX,
2=DFHXLGX,
3=DFHXLBX,
4=DFHXLSCX

宛先: CSNE

DFHXC3484 I *date time applid netname is now*
connected to applid. sense ((instance)
Module name: {DFHXLNSP})

説明: ISSUE PASS コマンドが正常に実行されたので、VTAM アプリケーション ID (ネット名) *applid* を持つ VTAM アプリケーションにネットワーク名 *netname* の VTAM 論理装置が渡されました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHXC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHXC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXLNSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *applid*
6. *sense*

7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNSP

宛先: CSNE

DFHZC3485 E *date time applid netname* **A CLSDST**
Pass Procedure error occurred at applid.
Status byte xx Reason byte yy.sense
((instance) Module name: {DFHZNSP})

説明: ISSUE PASS コマンドの実行時に、CICS は、ネットワーク名 *netname* の VTAM 論理装置の制御を、VTAM アプリケーション ID *applid* のシステムに渡そうとしました。VTAM は、CICS に *applid* のエラーを伝えてきました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、VTAM により通知要求単位で渡された状況バイト *xx* と理由バイト *yy* を保管します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージに指定された状況バイト *xx* と理由バイト *yy* を調べれば、エラーの理由を判別することができます。これらのバイトについては、「z/OS Communications Server: SNA Programming」(SC23-0115) の『NSEXIT ルーチン』のセクションで説明されています。

モジュール: DFHZNSP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *applid*
6. *xx*
7. *yy*
8. *sense*
9. *instance*
10. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNSP

宛先: CSNE

DFHZC3486 E *date time applid netname* **The named**
LU cannot be connected for sessions
at applid. sense ((instance) Module name:
{DFHZSYX | DFHZSYX})

説明: ISSUE PASS コマンドの実行時に、CICS は、ネットワーク名 *netname* の VTAM 論理装置の制御を、VTAM アプリケーション ID *applid* のシステムに渡そうとしました。VTAM は、*applid* が現在使用できないことを CICS に伝えてきました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *applid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX,
 2=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC3487 E *date time applid netname* **Unable to**
PASS to node nodeid. CLSDST PASS
is not authorized. sense ((instance)
Module name: {DFHZLEX |
DFHZLEX})

説明: ISSUE PASS コマンドの実行時に、CICS が、ネットワーク名 *netname* の VTAM 論理装置へ制御を渡すことを試みました。VTAM は、この機能の使用は CICS で許可されていないことを CICS に伝えてきました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS を続行します。

CICS は、渡されていた *applid* を表示できる場合と表示できない場合があります。CICS がこの *applid* を表示

DFHZC3488 E • DFHZC3489 E

できる場合には、このメッセージのテキスト内に表示されます。

ユーザーの処置: ISSUE PASS コマンドを使用するには、CICS APPL の VTAM 定義に AUTH=PASS をコーディングしてから、APPL を活動化し直す必要があります。

モジュール: DFHZLEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *nodeid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLEX,
2=DFHZLEX

宛先: CSNE

DFHZC3488 E *date time applid netname* **ISC session connection failure. sense ((instance))**
Module name: {DFHZSIX}}

説明: *netname* が未知であったために、ISC システムに対する *simlogon* 要求が拒否されました。CICS は、*netname* がユーザー変数として定義されていたかどうかを調べるために、INQUIRE OPTCD=USERVAR コマンドを出しました。しかし、USERVAR テーブル内にはそのようなユーザー変数が存在していないために、この INQUIRE コマンドは拒否されました。おそらく、USERVAR が不明または無効であるか、あるいはユーザー変数を定義する MODIFY USERVAR コマンドが出されていなかったことが原因です。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: セッションをリセットするために CLSDST が出されます。

ユーザーの処置: *netname* が正しく CICS に定義されているかどうかを判別してください。*netname* がユーザー変数として使用されることになっている場合は、ユーザー変数を設定するときに MODIFY USERVAR コマンドが出されなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZSIX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1994 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *sense*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSIX

宛先: CSNE

DFHZC3489 E *date time applid netname* **LU はセッションには使用禁止です. sense ((instance))**
Module name: {DFHZSYX}}

説明: CICS が論理装置 (LU) に対してセッションを獲得しようと試みましたが、その LU ではセッションが禁止されているため、VTAM がその要求を拒否しました。

パートナー LU が VTAM マクロ SETLOGON OPTCD=QUIESCE を出したために、そのパートナー LU が使用禁止にされた可能性があります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: この要求は拒否され、これ以上要求が出されないようにするために、このセッションは NOINTLOG 状態に設定されます。

ユーザーの処置: パートナー LU がそれ自体を使用可能にした後で、CICS に対してセッション要求を開始することができます。あるいは、CICS マスター端末オペレーターは、NOINTLOG 状態をリセットして、CICS がセッション要求を開始できるようにすることもできます。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *sense*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSYX

宛先: CSNE

DFHZC3490 E *date time applid netname* **Unable to pass to node** *nodeid. sense ((instance) Module name: {DFHZLEX | DFHZSYX | DFHZCLX})*

説明: ISSUE PASS コマンドの実行時に、CICS が、指名された VTAM 論理装置の制御を、ノード *nodeid* として識別されたシステムに渡すことを試みました。VTAM は、この要求が失敗したことを CICS に通知しました。

この問題は、指定された LUNAME が汎用リソース名であり、この CICS がその名前登録されている唯一のシステムである場合に発生することがあります。その場合、実質的に自分自身に対して端末を渡していることになるためです。

ただし、その汎用リソース名で複数の CICS が登録されていれば、端末は同じリソース内の (VTAM によって選択された) 別のメンバーに正常に渡されるはずで、この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: VTAM CLSDST マクロが出され、ノードとの通信が停止します。

ユーザーの処置: ノード *nodeid* が定義され、VTAM に対して活動状態になるようにしてください。

モジュール: DFHZSYX、DFHZLEX、DFHZCLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *nodeid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLEX,
2=DFHZSYX,
3=DFHZCLX

宛先: CSNE

DFHZC3491 E *date time applid netname* セッションを **XRF** 対応にできません。*sense ((instance) Module name: {DFHZLEX})*

説明: アクティブな CICS システムが OPNDST を出して、セッションを「XRF 対応」にしようとしたことが、拒否されました。ネットワーク制御プログラム (NCP) に、代替 CICS システムからの今後のバックアップ・セッションの制御ブロックを保持するための十分なスペースがないためです。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は SIMLOGON を実行しますが、セッションを「XRF 対応」と見なしません。そのため、CICS はその端末をクラス 2 として扱います。

ユーザーの処置: すぐに処置を行う必要はありません。NCP のバッファ数を増やす必要があるかもしれません。

モジュール: DFHZLEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *sense*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLEX

宛先: CSNE

DFHZC3492 E *date time applid tranid* **Logon for node** *nodeid* **contained invalid NIBUSER token. sense ((instance) Module name: {DFHZLGX})**

説明: 有効な TCTTE アドレスでなくなっているトークンで、DFHZLGX が SIMLOGON に対して駆動されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: SIMLOGON 時に予期しない条件が発生しました。CICS は正常に処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZLGX

DFHZC3493 E • DFHZC3495 E

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trandid*
5. *nodeid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLGX

宛先: CSNE

DFHZC3493 E *date time applid termid trandid* **Invalid device type for a print request. sense**
((instance) Module name : {DFHZARQ})

説明: 3270 情報表示システム上で印刷機能が要求されました。しかし、その印刷機能は適格な印刷装置を見つけることができませんでした。理由は、その機能がその装置タイプをサポートしていないためです。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: ネットワーク・エラー・プログラム (NEP) で他の処置が指定されていない場合には、この印刷要求は停止されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 情報表示システム用に指定された印刷装置が有効であるかどうかを検査してください。有効な装置は 3270P および LUTYPE3 です。

モジュール: DFHZARQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZARQ

宛先: CSNE

DFHZC3494 E *date time applid termid trandid*

Request error sense ((instance) Module name : {DFHZNAC})

説明: 2 次論理装置 (LU) が受け取った要求単位 (RU) に、端末 *termid* が処理できない要求が入っています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: すべての送信要求と受信要求が除去され、トランザクション *trandid* は異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 端末 *termid* の TYPETERM 指定が有効であるかどうかを検査してください。このエラーは、例えば、QUERY=COLD または ALL が指定されて定義された照会不能 3270 に QUERY が送られた場合に起こる可能性があります。

モジュール: DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3495 E *date time applid* **Logon occurred for terminal with netname *netname* before Notify received sense ((instance) Module name : {DFHZLGX})**

説明: CLSDST=NOTIFY を指定した未解決の CLSDST PASS について NOTIFY 要求を受け取る前に、ネット名 *netname* の端末がログオンしました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS 処理を続行します。識別された端末に対する後続の NOTIFY 要求はすべて無視されます。

ユーザーの処置: CLSDST PASS メッセージに関する

すべてのユーザー処理でこのメッセージを処理することをお勧めします。

モジュール: DFHZLGLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *sense*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLGLX

宛先: CSNE

DFHZC3496 E *date time applid* **System dump has been taken for terminal *termid***
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: 端末管理によって、端末 *termid* がエラーになっていることが見つけられました。

エラーの発生時に端末 *termid* にタスクが生成されていなかったために、DFHZNAC は、トランザクションの異常終了を行ってトランザクション・ダンプを作成することができませんでした。

DFHZNAC-DFHZNEP 連絡域内の TWAODNTA フラグが ON に設定されており、DFHZNAC が代わりに端末 *termid* のシステム・ダンプを作成します。

システムの処置: トレース・ポイント FC73 でトレース・テーブル内に例外トレース項目が作成されます。

ダンプ・テーブル内で明示的にダンプを抑止しない限り、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプがとられる要因となった問題の性質を判別するには、CSNE ログを参照してください。その中には、詳しい情報を提供する関連 CICS メッセージが存在するはずです。

TWAODNTA の詳細については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *instance*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3497 E *date time applid* **Link to module DFHZNEP from DFHZNAC failed because {module DFHZNEP is not AMODE 31. | module DFHZNEP could not be loaded. | module DFHZNEP could not be autoinstalled. | of an unexpected error.} ((instance) Module name: {DFHZNAC})**

説明: VTAM 端末のエラーを処理しているときに、CICS がユーザー置換可能モジュール DFHZNEP への関係を試みました。関係は失敗しました。

デフォルト処置またはとるべき処置については、メッセージ DFHZC3437 を参照してください。

システムの処置: デフォルト処置または DFHZNAC によって設定された処置がとられます。

ユーザーの処置: 障害の理由は、このメッセージに示されています。解決策としては、以下のものが考えられます。

- DFHZNEP が AMODE 31 で関係されているようにする。
- DFHRPL DD ステートメントで連結されているデータ・セットのいずれかに、DFHZNEP が正しい名前が含まれるようにする。
- DFHZNEP の有効なりソース定義があることを確認し、DFHZNEP を正常に自動インストールできるようにする。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=モジュール DFHZNEP が AMODE 31 ではない。 ,
 2=モジュール DFHZNEP がロードされていない。 ,
 3=モジュール DFHZNEP が自動インストールされていない。 ,
 4=予期しないエラー。

DFHZC3498 E • DFHZC3499 E

5. *instance*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3498 E *date time applid* **Abend abcode has occurred in module DFHZNEP.**
((instance) Module name: {DFHZNAC})

説明: VTAM 端末のエラーを処理しているときに、ユーザー置換可能モジュール DFHZNEP が連係され、そのプログラムが異常終了コード *abcode* で異常終了しました。とるべきデフォルト処置については、メッセージ DFHZC3437 を参照してください。

システムの処置: 制御が呼び出しモジュール DFHZNAC に戻されます。DFHZNEP が呼び出される前に、DFHZNAC がデフォルト処置の設定を復元します。それから処置がとられます。

ユーザーの処置: 最初に出されたエラーについての詳細は、異常終了コード *abcode* を参照してください。異常終了コードに示されている「ユーザーの処置」に従って、問題を解決してください。

モジュール: DFHZNAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *abcode*
5. *instance*

6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZNAC

宛先: CSNE

DFHZC3499 E *date time applid* **OS Getmain failure in module DFHmodname with return code X'return_code' while attempting to process message DFHZCmessage_number.**
sense ((instance) Module name: {DFHZLEX | DFHZSHU | DFHZSCX | DFHZSCX | DFHZSYX | DFHZSYX | DFHZTPX | DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZATA | DFHZLGX | DFHZLGX})

説明: モジュール *modname* によって、エラーが検出されました。このモジュールによる OS GETMAIN 要求

は失敗して、戻りコード X'*return_code*' が出されました。その結果、元のエラーに関連する診断情報が保管されておらず、DFHZNAC によって処理することができません。

このエラーの診断に使用できる唯一の情報は、*message_number* です。これは、OS GETMAIN 要求が失敗しなかった場合に出されるはずのメッセージの番号です。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、メッセージ *message_number* を参照してください。

OS GETMAIN 戻りコードの意味については、z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Guideを参照してください。

モジュール: DFHZATA, DFHZLGX, DFHZRAC, DFHZSCX, DFHZSHU, DFHZTPX, DFHZLEX, DFHZSYX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modname*
5. X'*return_code*'
6. *message_number*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLEX,
2=DFHZSHU,
3=DFHZSCX,
4=DFHZSCX,
5=DFHZSYX,
6=DFHZSYX,
7=DFHZTPX,
8=DFHZRAC,
9=DFHZRAC,
10=DFHZATA,
11=DFHZLGX,
12=DFHZLGX

宛先: CSNE

DFHZC4900 I *date time applid termid tranid* **CNOS**
{sent to | received from} **Node** *netname*
System *sysid* **Modename** *modename*,
Max = *n1*, **Win**=*n2*, *{race detected |*
successful | values amended | modename
not recognized | modename closed |
CNOS failed}. **((instance) Module name:**
{DFHZGCN})

説明: セッション番号変更コマンドが送信または受信されました。挿入部は、次のものを示しています。

- *sysid* はシステム識別名です。
- *modename* はモードネームです。
- *n1* は最大セッション・カウントです。
- *n2* は最大ソース・コンテンション勝者セッション数です。

「values amended」(値を修正しました) というオプションが表示された場合には、*n1* (最大セッション・カウント) の値と *n2* (最大ソース・コンテンション勝者セッション) の値がターゲット・システムによって再折衝されました。

「race detected」(競争が見つかりました) というオプションが表示される場合、CNOS コマンドを実装することはできませんでした。モードネーム *modename* がすでに他のシステムからの CNOS コマンドのためにロックされていたからです。

ALL のモード名が生成されると、これは CICS によって内部的に送られ、この接続に関するモード・グループはすべて、CNOS コマンドによって影響を受けます。

「CNOS failed」(CNOS は失敗しました) というオプションが表示された場合は、CNOS コマンドは実装することはできませんでした。直前の CNOS 競争条件に続けて、CNOS 競争の勝者として、この CICS によって 2 番目の CNOS コマンドが、送られたときに、モードネーム・ロックが依然としてリモート・システム上で保留されていたためです。

システムの処置: 折衝された値が適用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=送信先 (*sent to*),

2=送信元 (*received from*)

7. *netname*
8. *sysid*
9. *modename*
10. *n1*
11. *n2*
12. 以下のオプションから選択される値。

1=争奪が検出されました,

2=成功しました,

3=値を修正しました,

4=モード名が不明です,

5=モード名がクローズされました,

6=CNOS が失敗しました

13. *instance*

14. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZGCN

宛先: CSNE

DFHZC4901 I *date time applid termid tranid* **Node**
netname **System** *sysid* **Modename**
modename, **Negotiated values:** **Max**=*n1*,
Win=*n2*. **((instance) Module name:**
{DFHZGCN})

説明:

- *modename* はモードネームです。
- *n1* は最大セッション・カウントです。
- *n2* は最大ソース・コンテンション勝者セッション数です。

このメッセージは、最大セッション・カウント (*n1*) と最大ソース・コンテンション勝者セッション数 (*n2*) が再折衝されたとき、メッセージ DFHZC4900 に続いて出されます。

DFHZC4902 E • DFHZC4903 E

ALL のモード名が生成されると、これは CICS によって内部的に送られ、この接続に関するモード・グループはすべて、CNOS コマンドによって影響を受けます。

システムの処置: 折衝された値が適用されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZGCN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sysid*
8. *modename*
9. *n1*
10. *n2*
11. *instance*
12. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZGCN

宛先: CSNE

DFHZC4902 E *date time applid termid tranid Attach*
FMH or subfield length error. sense
((instance) Module name: {DFHZATT |
DFHZATT | DFHZATT | DFHZATT |
DFHZATT | DFHZATT | DFHZATT})

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。しかし、機能管理ヘッダー (FMH) の長さまたはサブフィールドのうちの 1 つの長さにエラーがあります。そのため、CICS は、生成すべきタスクを判別することができません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送信しています。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFHZATT

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZATT,
2=DFHZATT,
3=DFHZATT,
4=DFHZATT,
5=DFHZATT,
6=DFHZATT,
7=DFHZATT

宛先: CSNE

DFHZC4903 E *date time applid termid tranid Attach*
FMH not found. sense ((instance)
Module name: {DFHZATT | DFHZATT
| DFHZRAC})

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。入力データ・ストリームの初めに APPC タスク生成ヘッダーが見つかりませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、有効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) の送信に失敗しました。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFHZATT、DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZATT,

2=DFHZATT,
3=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC4904 E *date time applid termid tranid Bracket*
FSM error. sense ((instance) Module
name: {DFHZRLP | DFHZRLP |
 DFHZRLP | DFHZRLP | DFHZSDL |
 DFHZSDL | DFHZSLX | DFHZSLX |
 DFHZSLX | DFHZSLX | DFHZSLX |
 DFHZSLX | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC})

説明: ブラケット有限状態マシン (FSM) が、APPC ブラケット・プロトコルの使用におけるエラーを報告しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージが持続セッションの再始動後に発生する場合には、詳しい手引きについては、関連するメッセージを参照してください。この問題は一時的なものである可能性があります。

このメッセージが通常のシステム実行時に出された場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRLP, DFHZSDL, DFHZSLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP,
2=DFHZRLP,
3=DFHZRLP,
4=DFHZRLP,

5=DFHZSDL,
6=DFHZSDL,
7=DFHZSLX,
8=DFHZSLX,
9=DFHZSLX,
10=DFHZSLX,
11=DFHZSLX,
12=DFHZSLX,
13=DFHZRAC,
14=DFHZRAC,
15=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC4905 E *date time applid termid tranid Chain*
FSM error. sense ((instance) Module
name: {DFHZRLP | DFHZRLP |
 DFHZRLP | DFHZRLP | DFHZRLP |
 DFHZRLP | DFHZRLP | DFHZDET |
 DFHZERH | DFHZSDL | DFHZSDL |
 DFHZSLX | DFHZSLX | DFHZSLX |
 DFHZSLX | DFHZSLX | DFHZSLX |
 DFHZSLX | DFHZSLX | DFHZSLX |
 DFHZSLX | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC |
 DFHZRAC | DFHZRAC})

説明: チェーン有限状態マシン (FSM) が、APPC チェーニング・プロトコルの使用におけるエラーを報告しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージが持続セッションの再始動後に発生する場合には、詳しい手引きについては、関連するメッセージを参照してください。この問題は一時的なものである可能性があります。

このメッセージが通常のシステム実行時に発生する場合には、障害時にセッションで実行されていたトランザクションを調べてください。APPC DTP アプリケーションの中で、EXEC CICS SEND コマンドを用いて LAST オプションと WAIT オプションの両方を使用したことがエラーの原因と考えられるためです。この 2 つのパラメーターを組み合わせることはお勧めできません。詳細については、CICS の資料を参照してください。上記が問題の原因でない場合には、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きにつ

DFHZC4906 E

いては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRLP, DFHZSDL, DFHZSLX, DFHZERH, DFHZDET

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP,
2=DFHZRLP,
3=DFHZRLP,
4=DFHZRLP,
5=DFHZRLP,
6=DFHZRLP,
7=DFHZRLP,
8=DFHZDET,
9=DFHZERH,
10=DFHZSDL,
11=DFHZSDL,
12=DFHZSLX,
13=DFHZSLX,
14=DFHZSLX,
15=DFHZSLX,
16=DFHZSLX,
17=DFHZSLX,
18=DFHZSLX,
19=DFHZSLX,
20=DFHZSLX,
21=DFHZSLX,
22=DFHZRAC,
23=DFHZRAC,
24=DFHZRAC,
25=DFHZRAC,
26=DFHZRAC,
27=DFHZRAC,
28=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC4906 E *date time applid termid trandid*

Contention FSM error. sense ((instance)

Module name: {DFHZDET | DFHZRAC
| DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC
| DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC
| DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRLP
| DFHZRAC | DFHZRAC | DFHZRAC
| DFHZRAC | DFHZRAC |
DFHZCLS})

説明: コンテンション有限状態マシン (FSM) が、APPC コンテンション・プロトコルの使用におけるエラーを報告しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: このメッセージが持続セッションの再始動後に発生する場合には、詳しい手引きについては、関連するメッセージを参照してください。この問題は一時的なものである可能性があります。

このメッセージが通常のシステム実行時に出された場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRAC, DFHZRLP, DFHZDET, DFHZCLS DFHZCC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZDET,
2=DFHZRAC,
3=DFHZRAC,
4=DFHZRAC,
5=DFHZRAC,
6=DFHZRAC,
7=DFHZRAC,
8=DFHZRAC,

9=DFHZRAC,
10=DFHZRAC,
11=DFHZRLP,
12=DFHZRAC,
13=DFHZRAC,
14=DFHZRAC,
15=DFHZRAC,
16=DFHZRAC,
17=DFHZCLS

宛先: CSNE

DFHZC4907 E *date time applid termid tranid Invalid request to send data routine. sense*
((instance) **Module name:** {DFHZSDL | DFHZSDL | DFHZSDL | DFHZSDL | DFHZSDL})

説明: DFHZSDL が実行されましたが、有効な要求が渡されませんでした。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZSDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDL,
2=DFHZSDL,
3=DFHZSDL,
4=DFHZSDL,
5=DFHZSDL

宛先: CSNE

DFHZC4909 E *date time applid termid tranid Invalid request to receive data routine. sense*
((instance) **Module name:** {DFHZRVL})

説明: DFHZRVL に入りましたが、有効な要求が渡されませんでした。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRVL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVL

宛先: CSNE

DFHZC4910 E *date time applid termid tranid Receive buffer too small. sense*
((instance) **Module name:** {DFHZRVL | DFHZRVL | DFHZRVL | DFHZRVL})

説明: DFHRVL に渡された受信バッファが小さすぎるために、最大サイズ要求単位を収容することができません。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

DFHZC4911 E • DFHZC4913 E

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRVL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRVL,
2=DFHZRVL,
3=DFHZRVL,
4=DFHZRVL

宛先: CSNE

DFHZC4911 E *date time applid termid tranid LU6.2*
exception response received. sense
((instance) Module name: {DFHZRLP})

説明: 非処理レベルの例外応答を受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。VTAM トレース TYPE=IO/BUF を実行して、そのエラーを再現することによって、その回線フローの完全な詳細を得るようにしてください。

モジュール: DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*

2004 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP

宛先: CSNE

DFHZC4912 E *date time applid termid tranid BID*
received with invalid DFC indicators.
sense ((instance) Module name:
{DFHZRLP | DFHZRAC | DFHZRAC})

説明: データを持つ BID が受信されましたが、OIC は受信されませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRAC、DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP,
2=DFHZRAC,
3=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC4913 E *date time applid termid tranid BID*
with data received with invalid DFC
indicators. sense ((instance) Module
name: {DFHZRLP | DFHZRLP |
DFHZRLP | DFHZRLP})

説明: BID が無効状態でデータとともに受け取られましたが、拒否されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入

されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP,
2=DFHZRLP,
3=DFHZRLP,
4=DFHZRLP

宛先: CSNE

DFHZC4914 E *date time applid termid trandid Data*
length exceed max RU size. sense
((instance) Module name: {DFHZRLP})

説明: 受信されたレコードの長さが、バッファの長さを超えています。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP

宛先: CSNE

DFHZC4915 E *date time applid termid trandid EOC*
received with invalid DFC indicators.
sense ((instance) Module name:
{DFHZRLP})

説明: 終了チェーンを無効な DFC 標識とともに受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP

宛先: CSNE

DFHZC4916 E *date time applid termid trandid Send*
response failed. sense ((instance)
Module name: {DFHZRLP})

説明: データが正常に受信されたことを確認するために

DFHZC4917 E • DFHZC4918 E

送られた応答が、VTAM によって拒否されました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP

宛先: CSNE

DFHZC4917 E *date time applid termid trandid* **BIS received with invalid DFC indicators.**
sense ((instance) Module name: {DFHZRLP | DFHZRLP})

説明: ブラケット開始停止 (BIS) を受け取りましたが、DFC フラグが無効です。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 正しくないフローが APPC セッションで受け取られました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

2006 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP,
2=DFHZRLP

宛先: CSNE

DFHZC4918 E *date time applid termid trandid*
Unexpected response received. *sense ((instance) Module name: {DFHZRLP | DFHZRLP | DFHZRLP | DFHZRLP | DFHZRLP})*

説明: 予期しない応答を受け取りました。これは、前のブラケットのデータに対する肯定応答であるか、または論理装置が「特定継続」モードであるときに受け入れることのできないコマンドに対する応答のいずれかででした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: APPC セッションで無効なフローが受信されました。そのフローは、CICS トレースによってさらに詳しく示されます。これを用いれば、VTAM トレース機能 TYPE=IO/BUF を実行して同じエラーを再現させることにより、回線フローの詳細が把握できます。

モジュール: DFHZRLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRLP,

2=DFHZRLP,
3=DFHZRLP,
4=DFHZRLP,
5=DFHZRLP

宛先: CSNE

DFHZC4919 E *date time applid termid tranid Invalid indicators received. sense ((instance) Module name: {DFHZARL | DFHZARL | DFHZARL | DFHZARL | DFHZARER})*

説明: CD、CEB、RQD2、エラー応答のいずれでもない標識を受け取りました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZARL、DFHZARER、DFHZARL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZARL,
2=DFHZARL,
3=DFHZARL,
4=DFHZARL,
5=DFHZARER

宛先: CSNE

DFHZC4920 E *date time applid termid tranid Invalid data received. sense ((instance) Module name: {DFHZERH | DFHZERH | DFHZERH | DFHZERH | DFHZARL | DFHZARL | DFHZARL | DFHZARER | DFHZARER | DFHZARER})*

説明: リモート・システムまたは端末から受信したデータが、正しい汎用データ・ストリーム (GDS) 形式になっていません。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZARL、DFHZARER、DFHZERH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZERH,
2=DFHZERH,
3=DFHZERH,
4=DFHZERH,
5=DFHZERH,
6=DFHZERH,
7=DFHZARL,
8=DFHZARL,
9=DFHZARL,
10=DFHZARER,
11=DFHZARER,
12=DFHZARER

宛先: CSNE

DFHZC4921 E • DFHZC4923 I

DFHZC4921 E *date time applid sysid LU services*
manager failure. R15 =X'xxxxx' R0
=X'yyyyy'

説明: LU サービス管理トランザクション・プログラム (DFHLUP) の操作時にエラー状況が検出されました。

レジスター 15 と 0 は、そのエラーの性質を以下のよう
に示すために設定されます。

レジスター 15 = X'0' タスクが無効な仕方で開催された
レジスター 0 = X'3' ... perm transid によって
レジスター 0 = X'4' ... TD トリガーによって
レジスター 0 = X'5' ... データなしで
レジスター 0 = >X'6' ... このサービスの
a valid start code for this
サービス

レジスター 15 = X'4' 呼び出しコードが、サポートされる
機能 (1-5) と一致しなかった。
レジスター 0 = 呼び出しコード

レジスター 15 = X'8' この機能には無効なパラメーターが
渡された。
レジスター 0 = キーワード #

レジスター 15 = X'0C' このキーワードについての
機能固有の検査が失敗した。
レジスター 0 = キーワード #

レジスター 15 = X'10' 入力データが指定が与えられな
かった。
Register 0 = ^0 The IC_GET for the TS START
IC_GET が失敗した。
レジスター 0 = X'0' LUTYPE6.2 RECEIVE が
データ長 = 0 を戻した。

レジスター 15 = X'14' GDS-ID が XLN 用ではない。
レジスター 0 = GDS-ID

システムの処置: タスクを完了させることはできるもの
の、必要な機能は実行されません。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ
DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 上記に記されたエラーのいずれかが発
生した場合には、障害の理由を突き止めてください。
理由を突き止められなかった場合は、IBM のサポート
が必要になります。続行する方法の手引きについ
ては、「IBM との協力による問題解決」を参照してく
ださい。

モジュール: DFHLUP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *X'xxxxx'*

6. *X'yyyyy'*

宛先: CSNE

DFHZC4922 E *date time applid termid tranid Single*
session shutdown with
DRAIN=CLOSE. sense ((instance)
Module name: {DFHZRAC |
DFHZGDA | DFHZERH})

説明: 接続された論理装置はブラケット開始の停止
(BIS) を送信しました。したがって、以降の処理を受け
入れることはできません。この組み込みストリングは、
sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入
されます。*sense* の意味については、メッセージ
DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 会話がアクティブであった場合、完全
同期点に達していれば (同期点レベル 2)、ロールバック
が行われたかのように扱われます。確認レベル同期点
(同期点レベル 1) の場合は、セッション障害として扱わ
れます。

会話が行われていなかった場合、BID 障害 (0813 セン
ス・コードの場合と同じ) として扱われます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZRAC、DFHZGDA、DFHZERH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC,
2=DFHZGDA,
3=DFHZERH

宛先: CSNE

DFHZC4923 I *date time applid termid tranid*
Conversation abnormally terminated
by transaction end in system sysid

説明: CICS システムとの SNA セッションに関与して
いたトランザクション *tranid* が、会話内のそのトラン
ザクションの現行の状態と矛盾するコマンドを出しまし
た。

システムの処置: 会話は終了します。CICS はこのメッセージを、会話の障害の原因となっていない側に接続された論理装置に送ります。

システム *sysid* 内のアプリケーションは異常終了して、異常終了コードが出されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。エラーが発生したコマンドを見つけるには、「CICS の相互通信」に記載されている状態遷移図を使用してください。

モジュール: DFHZARL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sysid*

宛先: CSMT

DFHZC4924 E *date time applid termid tranid* バインド・セキュリティのパスワードが欠落しているか無効です。 *sense ((instance) モジュール名: {DFHZOPX | DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZBLX | DFHZOPX | DFHZOPX | DFHZOPX | DFHZOPX | DFHZSCX})*

説明: パートナー LU によって CICS に送られるバインド時セキュリティ・データが欠落しているか、または無効となっています。パートナー LU システムに対する CICS のパスワードが、CICS に対するパートナーのパスワードと異なっています。これは、無許可のユーザーによる CICS へのサインオンの試みによって起こることが考えられます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: バインドは拒否されます。

ユーザーの処置: 無許可のユーザーが CICS に対してログオンを試みていないかどうかを検査してください。正常に行われなかった接続が (RDO または DFHTCT マクロを使用して) CICS に対して正しく定義され、そのパートナー LU システムに対しても正しく定義されるようにしてください。セキュリティ要件が双方のパートナーにおいて同一であるか、つまり、どちらもセキュリティをオフにしているか、もしくはオンにしていることを確認してください。ここで双方が一致していないこともメッセージが出される理由の 1 つです。

モジュール: DFHZSCX、DFHZOPX、DFHZBLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPX,
2=DFHZBLX,
3=DFHZBLX,
4=DFHZBLX,
5=DFHZBLX,
6=DFHZOPX,
7=DFHZOPX,
8=DFHZOPX,
9=DFHZOPX,
10=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC4925 E *date time applid termid tranid*
Inconsistent attach security required.
sense ((instance) Module name: {DFHZOPX | DFHZOPN | DFHZOPN | DFHZOPX})

説明: このメッセージは、以下のいずれかの理由により出されます。

1. CICS は、最初のバインドに指定されたものと異なる接続時セキュリティ要件を指定したバインド要求を受け取った。
2. CICS は、持続検査を求めるバインド要求を受け取った。
3. CICS は、SNA 機能管理ヘッダー (FMH12) が含まれていないバインド要求を受け取った。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

DFHZC4926 E • DFHZC4927 E

ユーザーの処置: CICS では、最初のバインドとは異なるセキュリティ要件を指定した後続のバインドは許されません。また、入力に関する持続検査もサポートされません。

適切な場合には、これらの要件に合うようにアプリケーションを変更してください。

モジュール: DFHZOPX、DFHZOPN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPX,
2=DFHZOPN,
3=DFHZOPN,
4=DFHZOPX

宛先: CSNE

DFHZC4926 E *date time applid termid trandid Bind*
security encryption error. sense
((instance) Module name: {DFHZE1 |
DFHZE2 | DFHZE1})

説明: CICS は、暗号化されたバインド・セキュリティ・パスワードを検査しているときに、エラーを検出しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: CSNE ログおよび CSMT ログを調べてください。

無許可のユーザーが CICS に対してログオンを試みたのか、または許可されたユーザーがそのパスワードを正しく入力しなかったのかを見つけてください。

モジュール: DFHZE1、DFHZE2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

2010 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZE1,
2=DFHZE2,
3=DFHZE1

宛先: CSNE

DFHZC4927 E *date time applid termid trandid Bind*
FMH response error. sense ((instance)
Module name: {DFHZRAC | DFHZRAC
| DFHZRAC | DFHZRAC})

説明: CICS は、バインド・セキュリティ付きのバインド要求を FMH12 なしで受け取りました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内または SNA 内のエラーです。CSNE ログおよび CSMT ログを保存してください。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC,
2=DFHZRAC,
3=DFHZRAC,
4=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC4928 E *date time applid termid tranid Bind security GETMAIN of a TIOA failed.*
sense ((instance) Module name: {DFHZEVI})

説明: CICS は、バインド・セキュリティの妥当性検査のために、TIOA 作業域を必要としていましたが、十分なストレージを使用できなかったために GETMAIN は失敗しました。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: CICS 領域のサイズを大きくするか、並行 CICS タスクの数 (システム初期設定テーブルの MXT パラメーターの値) を減らすことを検討してください。

モジュール: DFHZEVI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

- 1. *date*
- 2. *time*
- 3. *applid*
- 4. *termid*
- 5. *tranid*
- 6. *sense*
- 7. *instance*
- 8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZEVI

宛先: CSNE

DFHZC4929 *date time applid termid tranid Invalid or unsupported BIND for logmode logmode. Response X'response', Reason X'reason' ((instance) Module: {DFHZOPN})*

説明: CICS は、LOGMODE=0 または LOGMODE=logmode を指定して定義された CICS typeterm 定義に関して VTAM が提供する BIND の妥当性検査中に、エラーを検出しました。

response コードは以下のとおりです。

X'04'
提供された BIND が TCTTE と一致しない (DFHZBANS が検出)。

X'08'

提供された BIND がサポートされていない (DFHZBANV が検出)。

X'0C'

提供された BIND が無効 (DFHZBANV が検出)。

応答 X'04' の場合の reason コードは以下のとおりです。

X'1B'

サポートされない TCTTE タイプであるか、VTAM ではない。

X'1C'

NIB 記述子が TCTTE からチェーニングしていない。

X'1D'

BMS 拡張子が TCTTE からチェーニングしていない。

X'1E'

理由コード X'1D' の場合と同じ。

X'1F'

LU6.2 BIND だが TCTTE と一致しない。

応答 X'08' または X'0C' の場合の reason コードは以下のとおりです。

理由	無効	説明
16 進数	バイト	
1	3	16 進の 02、03、04 または 07 でなければならない
2-8	4 5 6 7	この FM プロファイルには無効
9	2	16 進の 00、02、03、04、07、13 または 14 でなければならない
0A,0D,10	1	Invalid for LUTYPE 1,2 or 3 - must be hex 01
0B	4 5 6 7	LUTYPE 1 には無効
0C	22	LUTYPE 1 には無効
0E	4 5 6 7	LUTYPE 2 には無効
0F	24	Invalid for LUTYPE 2 should be hex 00, 01, 02, 03, 7E, or 7F
11	4 5 6 7	LUTYPE 3 には無効
12	24	Invalid for LUTYPE 3 should be hex 00, 01, 02, 03, 7E, or 7F
13	16	LUTYPE 6.2 には無効
14	23	LUTYPE 6.2 には無効
15-18	24	LUTYPE 6.2 には無効
19	15	16 進の 00 または 02 でなければならない
1A	14	Should be hex 00, 01, 02, 03, 06
1B and over	User Data	The reason code matches the byte position in the BIND for the error detected. それらは以下のとおり - Session ID length unsupported - should be 3 to 11

DFHZC4930 E • DFHZC4931 E

- PLU/SLU name length unsupported - should be 2 to 19
- PLU/SLU が 2 回定義されている
- 長さが無効
- セッション修飾子の対の長さが一致していない

システムの処置: CICS は、そのログオン要求を拒否します。妥当性検査される BIND がこのメッセージとともに印刷されます。

ユーザーの処置: 関係がある LOGMODE に対する BIND の VTAM 定義とともに、応答コード、理由コード、および印刷された BIND も使用して、拒否された理由を判別してください。

ログモードを変更するか、CICS 要件に合う別のログモードを使用してください。

モジュール: DFHZOPN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *logmode*
7. *X'response'*
8. *X'reason'*
9. *instance*
10. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN

宛先: CSMT

DFHZC4930 E *date time applid termid tranid* **Session unbound following read timeout.** *sense ((instance) Module name: {DFHZARL | DFHZARL | DFHZARER})*

説明: SNA リンク上で READ タイムアウトが起きました。SNA はセッションをアンバインドし、CICS は制御をアプリケーション・プログラムに戻します。これにより、プログラムがシステム処置を指定変更できるようになります (例えば、プログラムによって APPC セッションを解放できます)。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのタスクを異常終了させ、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、おそらくネットワーク・トラフィックのレベルが高いことに起因する、ネットワーク問題と思われます。この問題を避けるためには、ネットワーク通信量のレベルに合った値まで、十分に読み取りタイムアウト (RTIMOUT) を増やしてください。あるいは、この問題は、ただ単にプログラミング・エラーによってパートナー・アプリケーションが応答しなかったために発生したということも考えられます。これが原因である場合は、パートナー・アプリケーションを訂正してから要求を再試行してください。

モジュール: DFHZARL、DFHZARER.

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZARL,
2=DFHZARL,
3=DFHZARER

宛先: CSNE

DFHZC4931 E *date time applid termid tranid* **VTAM** で誤ったログモード名が検出されました。
sense ((instance) Module name: {DFHZLEX})

説明: APPC セッションをバインドしようとしているときに、VTAM に渡された MODENAME が VTAM にとって未知であったか、または VTAM 3270 タイプの端末のログモード名が無効でした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのセッションを永続的に使用できない状態にし、APPC については、モード項目に使用不能のフラグが付けられます。

ユーザーの処置: VTAM に認識されている MODENAME を使ってセッションを再定義するか、または VTAM LOGMODE テーブルに MODENAME を追加してください。あるいは、VTAM 端末用に指定されたログモード名が無効な場合は、正しい名前を使って端末項目を再定義してください。

モジュール: DFHZLEX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZLEX

宛先: CSNE

DFHZC4932 E *date time applid termid trandid Invalid conversation type requested. sense ((instance) Module name: {DFH62XM})*

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。しかし、会話タイプ・フィールドにエラーがあります。それは、TYPE=MAPPED または TYPE=UNMAPPED でなければなりません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: タスクは異常終了し、ダンプが作成されます。セッションはアンバインドされます。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFH62XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH62XM

宛先: CSNE

DFHZC4933 E *date time applid termid trandid Invalid DBA requested. sense ((instance) Module name: {DFH62XM})*

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。DBA フィールドにエラーがあります。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。セッションはアンバインドされます。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFH62XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH62XM

宛先: CSNE

DFHZC4934 E *date time applid termid trandid Invalid syncpoint level requested. sense ((instance) Module name: {DFH62XM})*

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。要求された同期レベルが無効です。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

付加ヘッダー中の同期レベルを BIND 中のそれと比較検査してください。

DFHZC4935 E • DFHZC4936 E

モジュール: DFH62XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH62XM

宛先: CSNE

DFHZC4935 E *date time applid termid tranid Invalid UOWID supplied. sense ((instance) Module name: {DFH62XM | DFH62XM | DFH62XM | DFH62XM | DFH62XM})*

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、作業単位 ID が無効であるか、もしくは同期点レベルが作業単位 ID を要求したときに UOWID が受け取られませんでした。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。セッションはアンバインドされます。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFH62XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH62XM,
2=DFH62XM,

3=DFH62XM,
4=DFH62XM,
5=DFH62XM,
6=DFH62XM

宛先: CSNE

DFHZC4936 E *date time applid termid tranid Attach FMH or subfield length error. sense ((instance) Module name: {DFH62XM | DFH62XM})*

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。しかし、FMH の長さ、またはサブフィールドの 1 つの長さにエラーがあります。このため、CICS はどのタスクを生成すべきかを判別できません。

インスタンス *instance* は、以下のいずれかです。

1

FMH の長さは、固定長部分の長さ + サブフィールドの合計の長さと同しくありません。

2

FMH 内の会話相関子の長さが 8 より大きくなっています。

この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート APPC システムは、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) を送ります。ダンプを使用してエラーを判別し、リモート・システムでの原因を調べてください。

モジュール: DFH62XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH62XM,
2=DFH62XM

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. $X'rf'$
5. $X' r0'$
6. *sense*

宛先: CSNE

1. *date*
2. *time*

DFHZC4939 E • DFHZC4940 E

3. *applid*
4. *X'rf'*
5. *X'r0'*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,
2=DFHZOPN,
3=DFHZE1,
4=DFHZE2

宛先: CSNE

DFHZC4939 E *date time applid* **LU6.2** セキュリティー・データの抽出は、以下の **ESM** 戻りコードで失敗しました。 **RF=** *X'rf'* および理由コード **R0=** *X'r0'* *sense ((instance)* モジュール名: {*DFHZOPN* | *DFHZOPN* | *DFHZE1* | *DFHZE2*})

説明: APPC バインド時セキュリティ情報の抽出要求は失敗して、戻りコード **RF=X'rf'** および理由コード **R0=X'r0'** が戻されます。要求されたプロファイル情報は、あらかじめ外部セキュリティ・マネージャー (ESM) に対して定義されていません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して **DFHZC xxxx** メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ **DFHZC2400** を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: ESM に対して定義されたプロファイルを検査してください。欠落している APPC プロファイル項目を作成してください。

ESM によって生成された戻りコードまたは理由コードの意味について情報を入手するには、ご使用のシステムに応じた ESM の資料を参照してください。

RACF をセキュリティ・マネージャーとして使用している場合、戻りコードと理由コードの意味については、「z/OS Security Server RACF システム・プログラマーのガイド」の資料に記載されている **RACXTRT** マクロの説明を参照してください。

モジュール: *DFHZE1*, *DFHZE2*, *DFHZOPN*

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *X'rf'*

5. *X'r0'*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,
2=DFHZOPN,
3=DFHZE1,
4=DFHZE2

宛先: CSNE

DFHZC4940 E *date time applid* **Bind time failure.**
LU6.2 プロファイルにセッション・キーが見つかりません。 *sense ((instance)*
Module name: {*DFHZOPN* | *DFHZOPN* | *DFHZE1* | *DFHZE2*})

説明: APPC バインド時妥当性検査が失敗しました。要求された APPC プロファイル情報の中には、セッション・キーが見つかりませんでした。2つの論理装置 (LU) 間でバインド時セキュリティが定義されている場合には、暗号化処理に関して有効なセッション・キーが定義されていなければなりません。ヌルのセッション・キー (つまり、キーが定義されていない) は、エラーとみなされます。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して **DFHZC xxxx** メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ **DFHZC2400** を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) に対して定義されているプロファイルを検査してください。適切な APPC プロファイル項目について有効なセッション・キーを作成してください。RACF を使用している場合は、XAPPC セキュリティー・プロファイルに **NOESSKEY** ESM オプションを使用しないでください。

ESM によって生成された戻りコードまたは理由コードの意味について情報を入手するには、ご使用のシステムに応じた ESM の資料を参照してください。

RACF をセキュリティ・マネージャーとして使用している場合、戻りコードと理由コードの意味については、「z/OS Security Server RACF システム・プログラマーのガイド」の資料に記載されている **RACXTRT** マクロの説明を参照してください。

モジュール: *DFHZE1*, *DFHZE2*, *DFHZOPN*

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *sense*
5. *instance*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,
2=DFHZOPN,
3=DFHZEVI,
4=DFHZEVI

宛先: CSNE

DFHZC4941 E *date time applid Bind time failure.*
LU6.2 プロファイルがロックされています。 *sense ((instance) Module name:*
{DFHZOPN | DFHZOPN | DFHZEVI
| DFHZEVI})

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) は、バインド時妥当性検査時にプロファイル情報を要求しましたが、要求したプロファイルがロックされていました。プロファイルがロックされていると、セッションを確立することができません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: ESM に対して定義されたプロファイルを検査してください。システム管理者がプロファイルをロックした可能性があります。そのプロファイルのアンロックを要求してください。そのプロファイルがアンロックされたら、もう一度操作を試みてください。

RACF をセキュリティ・マネージャーとして使用している場合、詳細については、「z/OS Security Server RACF システム・プログラマーのガイド」の資料に記載されている RACXTRT マクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHZEVI、DFHZEVI、DFHZOPN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sense*
5. *instance*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,
2=DFHZOPN,
3=DFHZEVI,
4=DFHZEVI

宛先: CSNE

DFHZC4942 E *date time applid Bind time failure.*
有効期限の切れた **LU6.2** プロファイルが見つかりました。 *sense ((instance)*
Module name: *{DFHZOPN |*
DFHZOPN | DFHZEVI | DFHZEVI})

説明: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) は、バインド時妥当性検査時にプロファイル情報を要求しましたが、要求されたプロファイルの有効期限が切れていました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: ESM に対して定義されたプロファイルを検査してください。システム管理者は、要求されたプロファイルの更新を行う必要があります。そのプロファイルの更新を要求してください。プロファイルが更新されたら、もう一度操作を試みてください。

RACF をセキュリティ・マネージャーとして使用している場合、詳細については、「z/OS Security Server RACF システム・プログラマーのガイド」の資料に記載されている RACXTRT マクロの説明を参照してください。

モジュール: DFHZEVI、DFHZEVI、DFHZOPN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sense*
5. *instance*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,
2=DFHZOPN,
3=DFHZEVI,
4=DFHZEVI

宛先: CSNE

DFHZC4943 E • DFHZC4945 E

DFHZC4943 E *date time applid termid tranid RPL B*
FSM error. sense ((instance) Module
name: {DFHZSDL})

説明: APPC 代替 RPL (RPL 'B') 用の有限状態マシン (FSM) が、RPL の使用に関してエラーを検出しました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、異常終了コード ATNI が出され、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: VTAM の終了処理中にこのメッセージが発生した場合には、重大な問題ではないので、応答は通常必要ありません。

このメッセージが通常のシステム実行時に出された場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZSDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSDL

宛先: CSNE

DFHZC4944 *date time applid termid tranid Protocol*
Violation detected within bind security
indicators. sense ((instance) MODULE
NAME: {DFHZBLX | DFHZBLX |
DFHZOPX | DFHZOPX})

説明: バインド・セキュリティ指定の妥当性検査を行っているときに、CICS がエラーを検出しました。LOCAL セキュリティが指定されましたが、そのバインドには、NON LOCAL セキュリティを示すデータが入っています。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: CICS は、そのバインドを拒否します。

ユーザーの処置: 必要なセキュリティのタイプについての正しいデータがバインドで送られるようにしてください。

モジュール: DFHZSCX、DFHZOPX、DFHZBLX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZBLX,
2=DFHZBLX,
3=DFHZOPX,
4=DFHZOPX

宛先: CSMT

DFHZC4945 E *date time applid termid tranid Session*
unbind request due to the forcepurge
of a task. sense ((instance) Module
name: {DFHZARER})

説明: ISC 要求の完了待ちで中断されている間に、タスクが除去または強制除去されました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: ISC 要求が待ち状態で、タスクが異常終了しているセッションにアンバインドが要求されました。FORCEPURGE コマンドを使用すると、セッションの状態に関係なく、タスクが異常終了します。他の VTAM エラー・メッセージは、この処置が原因で出されることがあります。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーが起きた結果であった可能性があるので、タスクが除去または強制除去された理由を調べてください。また、セッションのアンバインド後の次の ISC 要求で、接続された CICS システム内のパートナー・タスクには、セッション障害通知が戻されます。パートナー・タスクがその状態を処理したかどうかを検査してください。

モジュール: DFHZARER

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZARER

宛先: CSNE

DFHZC4946 E *date time applid termid trandid Invalid*
attach parameter was received. sense
 ((instance) **Module name:** {DFH62XM |
 DFH62XM | DFH62XM})

説明: APPC リンクを介してタスク生成要求を受け取りました。しかし、FMH タスク生成パラメーターにエラーがあります。 バインド・セキュリティー標識が許可していないタスク生成パラメーターが存在しています。

instance データがとる値は以下のとおりです。

instance
 意味

1

バインド・セキュリティー標識により、接続は ATTACHSEC(LOCAL) と定義されていることが示されている。この定義では、パートナー LU からの接続において、LU がセキュリティ・パラメーターを受け入れなくなっています。以下のセキュリティ・パラメーターの内の 1 つまたは複数が出検されました: Userid、Password、Profile、AV、PV1、および PV2。

2

パートナー LU からの接続で、検査済み (AV) 標識を受け取った。しかし、バインド・セキュリティー標識によると、この LU は AV 標識の受信をサポートしていません。

3

パートナー LU からの接続で、持続検査サインオン (PV2) 標識、もしくは持続検査サインオン先 (PV1) 標識を受け取った。しかし、バ

インド・セキュリティー標識によると、この LU は PV 標識の受信をサポートしていません。

システムの処置: タスクが異常終了し、ダンプが作成され、セッションはアンバインドされます。コンポーネント TF の例外トレース・ポイント (番号 1737) が出力され、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) をトレースします。

ユーザーの処置: リモート・システムにあるエラーの原因を調べてください。例外トレース中の FMH5 を使用して、リモート・システムが無効なタスク生成要求を送信した理由を判別してください。

モジュール: DFH62XM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*
8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH62XM,
 2=DFH62XM,
 3=DFH62XM

宛先: CSNE

DFHZC4947 E *date time applid termid trandid* 接続時間セキュリティー検査が失敗しました。
Security not valid. sense ((instance) モジュール名: {DFH62XM | DFH62XM |
 DFH62XM | DFH62XM | DFH62XM |
 DFH62XM | DFH62XM | DFH62XM |
 DFH62XM})

説明: タスクを生成するための要求が APPC リンクを経て受け取られました。しかし、FMH5 付加パラメーターが APPC プロトコルと一致していません。

instance データがとる値は以下のとおりです。

instance
 意味

1

アクセス・セキュリティー・サブフィールドが認識できない。

2

DFHZC4948 E

ユーザー ID のアクセス・セキュリティ・サブフィールドが複数存在する。

3

プロファイルのアクセス・セキュリティ・サブフィールドが複数存在する。

4

パスワードのアクセス・セキュリティ・サブフィールドが複数存在する。

5

ユーザー ID が FMH で要求されたが、受信されなかった。

6

PV1 セキュリティ標識および PV2 セキュリティ標識が両方とも FMH5 に存在する。

7

AV 標識が設定されたときにパスワードを受信した。

8

PV1 標識が設定されたときにパスワードを受信した。

9

パスワードが PV2 に必要だが受信されなかった。

システムの処置: タスク生成要求が拒否され、セッションがアンバインドされます。コンポーネント TF の例外トレース・ポイント (番号 1737) が出力され、無効な付加ヘッダー (FMH タイプ 5) をトレースします。

ユーザーの処置: リモート・システムにあるエラーの原因を調べてください。例外トレース中の FMH5 を使用して、リモート・システムが無効なタスク生成要求を送信した理由を判別してください。

リモート・システムが以前のリリースの CICS であるか、あるいは別のプラットフォームの CICS であって、指定のセンス値が 5 の場合は、USEDFTUSER を設定しなければならない可能性があります。「CICS セキュリティ」の第 12 章に記載されている『Attach Time Security and the USEDFTUSER option』を参照してください。

モジュール: DFH62XM、DFHZGXA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

2020 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

5. *tranid*

6. *sense*

7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFH62XM,
2=DFH62XM,
3=DFH62XM,
4=DFH62XM,
5=DFH62XM,
6=DFH62XM,
7=DFH62XM,
8=DFH62XM,
9=DFH62XM

宛先: CSNE

DFHZC4948 E *date time applid* An error has been detected when processing an{ *unknown* | *inbound* | *outbound*} { *request.* | *Persistent Verify Signoff request.* | *Persistent Verify Timeout request.*} **Transaction tranid is{ continuing. | terminating. | terminating abnormally.}** **Error code: X'xxxxx'** **Connection: yyyy**

説明: トランザクション CLS3 の実行時にエラーが検出されました。各エラー・コードは以下のようなエラーを表しています。

X'01'

トランザクション CLS3 が APPC セッションに出した通信要求が正常に行われなかった。

X'02'

トランザクション CLS3 がデータ付きの START コマンドで開始されたが、データの形式設定が誤っていた。

X'04'

トランザクション CLS3 がサインオフ要求をリモート・システムに送信しようとしたが、リモート・システムへの接続が APPC 接続ではない。

X'06'

トランザクション CLS3 が、端末での入力によっても、START コマンドによっても開始されなかった。

X'09'

トランザクション CLS3 がデータ付きの START コマンドで開始されたが、データが検索できなかった。

X'0A'

トランザクション CLS3 がサインオフ要求をリモート・システムに送信しようとしたが、リモート・システムと接続されていない。

X'0B'

トランザクション CLS3 が APPC セッションをリモート・システムに割り振ろうとしたが失敗した。

システムの処置: メッセージの原因となったイベントの性質によって、トランザクションは、実行の継続、正常な終了、または異常終了を行います。メッセージ・テキストにより、とるべき処置がわかります。

ユーザーの処置: これは、エラー・コードによって違ってきます。

X'01'

APPC セッションでの通信要求が失敗した理由を判別してください。次の理由が考えられます。

- セッションの失敗が起きた。
- 接続されたトランザクションが異常終了した。

このエラーによって作成される例外トレースは、問題が起きた原因を判別するのに役立ちます。

X'02'

トランザクション CLS3 が、アプリケーション・コードではなく、CICS 提供のコードで開始されたことを確認してください。CICS 提供のコードで開始されていてエラーが起きた場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

X'04'

リモート・システムの接続定義を検査してください。APPC 接続が定義されている必要があります。

X'06'

トランザクション CLS3 が、アプリケーション・コードではなく、CICS 提供のコードで開始されたことを確認してください。CICS 提供

のコードで開始されていてエラーが起きた場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

X'09'

データを検索できなかった理由を判別してください。それが不可能である場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

X'0A'

接続が正しく定義されていることを確認してください。

X'0B'

接続が獲得され、使用できる状態になっていることを確認してください。

モジュール: DFHCLS3

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= 不明,
2= インバウンド,
3= アウトバウンド

5. 以下のオプションから選択される値。

1= 要求。,
2= 持続検査のサインオフ要求。,
3= 持続検査のタイムアウト要求。

6. *tranid*
7. 以下のオプションから選択される値。

1= 継続します。,
2= 終了します。,
3= 異常終了します。

8. *X'xxxx'*

9. *yyyy*

宛先: CSNE

DFHZC4949 E *date time applid termid tranid netname*
Receive Any stall - {*data lost.* | *response lost.* | *command lost.*} **CLSDST**
return code *X're'* **sense** ((*instance*)
Module name: {*DFHZRAC* | *DFHZRAC*
 | *DFHZRAC*})

DFHZC4950 E

説明: すべての CICS 受信不特定 RPL が追加されましたが、それぞれについての TCTTE は VTAM 端末またはセッションからの応答を待っています。すべての受信不特定 RPL は、TCP タスク (CSTP) の 10 のディスプレイパッチについて停止されました。このメッセージは、この状態にあるそれぞれのセッションに対して出されます。VTAM セッションは、CICS が送った BID や SHUTD などのコマンドに応答しませんでした。これは、通常、プロトコル・エラーによって起こります。

システムの処置: CICS が、システム初期設定パラメーター RAPOOL=(n,n,FORCE) を指定して実行されていると、CICS はセッションに対して VTAM CLSDST を出します。その結果、TCTTE の RPL が完了し、セッションはアンバインドされます。

デフォルトの NEP アクションは CLSDST です。この場合、保留コマンドが終了した後に CICS は TCTTE をクリーンアップします。

受信された受信不特定データは廃棄され、RA RPL が再び出されます。

ユーザーの処置: コマンドが完了しなかった理由を調査してください。TCTTE RPL がメッセージと共に印刷されます。

DFHZNAC には非同期の性質があるため、前に出された DFHZC4949 メッセージを調べることは重要です。CLSDST が完了していなければ、印刷された RPL はアクティブになり、完了できない RPL を表示します。DFHZNAC の実行時に CLSDST が完了した場合には、印刷された RPL の RTNCD/FDB2 は X'0C0B' となりますが、RPLREQ はどのコマンドが完了しないかを引き続き示します。

CLSDST 戻りコード *rc* が 0 以外の値である場合、CLSDST マクロは DFHZRAC で失敗しました。そしてセッションは停止状態のままです。VTAM コマンド V NET,INACT,ID=netname,I を使用すれば、セッションを解放することができます。CLSDST に関する AP FC90 トレース・ポイントの中の RPL を調べれば、CLSDST 障害の原因を知ることができます。

モジュール: DFHZRAC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=データが失われました。
2=応答が失われました。
3=コマンドが失われました。

8. *X'rc'*
9. *sense*
10. *instance*
11. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZRAC,
2=DFHZRAC,
3=DFHZRAC

宛先: CSNE

DFHZC4950 E *date time applid* An error has occurred when attempting to attach the outbound Connection Quiesce Protocol transaction CQPO on session *termid*. Release of connection *sysid* is continuing. ((*instance*) Module name: {DFHZCLS})

説明: APPC セッションで、接続静止プロトコル (CQPO) に対するアウトバウンド・トランザクションの接続を試行中に、エラーが検出されました。

システムの処置: 接続の解放は続行されますが、接続静止プロトコルが有効になるのは、パートナー・システムがそれを正常に開始した場合のみです。

ユーザーの処置: トランザクション CQPO が接続に失敗した理由を判別してください。トランザクションの正しい定義をインストール済みの場合はこのメッセージが表示されることは決してないため、IBM サポートに連絡して支援を要請する必要があります。

パートナー・システムが接続静止プロトコルを開始しなかった場合、再同期を待機中の作業単位が存在しているかどうか、または接続システムのいずれかを初期始動できるようにするために VTAM 類縁性を終了する必要がありますがあるかどうかを判別する必要があります。

モジュール: DFHZCLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *sysid*
6. *instance*
7. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZCLS

宛先: CSNE

DFHZC4951 E *date time applid* **An error has been detected when processing an{ unknown | inbound | outbound} Connection Quiesce Protocol request. Transaction *tranid* is{ continuing. | terminating. | terminating abnormally.} Error code: X'xxxxx' Connection: yyyy**

説明: トランザクション *tranid* の実行時にエラーが検出されました。各エラー・コードは以下のようなエラーを表しています。

X'01'

トランザクション *tranid* が、端末での入力によっても、内部 CICS コマンドによっても開始されなかった。

X'02'

トランザクション *tranid* はインバウンド FMH5 によって開始されたが、TPN が接続静止プロトコルに適切な値ではなかった。

X'03'

トランザクション *tranid* が APPC セッションに出した通信要求が正常に行われなかった。

X'04'

トランザクション *tranid* はインバウンド FMH5 によって接続されている。しかし、リモート・システムから受信したデータの形式が、接続静止プロトコルのアーキテクチャーに準拠していなかった。

X'05'

トランザクション *tranid* が、リカバリー・マネージャーから予期しない応答を受信した。

X'06'

トランザクション *tranid* が内部 CICS コマンドによって接続され、リモート・システムに接続静止プロトコル要求を送信した。しかし、リモート・システムから受信した応答の形式が、このプロトコルのアーキテクチャーに準拠していなかった。

X'07'

トランザクション *tranid* は開始されたが、その基本機能は端末またはセッションではない。

システムの処置: メッセージの原因となったイベントの

性質によって、トランザクションは、実行の継続、正常な終了、または異常終了を行います。メッセージ・テキストにより、とるべき処置がわかります。

ユーザーの処置: これは、エラー・コードによって違ってきます。

X'01, 02, 07'

トランザクション *tranid* が、アプリケーション・コードではなく、CICS 提供のコードで開始されたことを確認してください。CICS 提供のコードで開始されていてエラーが起きた場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

X'03'

APPC セッションでの通信要求が失敗した理由を判別してください。次の理由が考えられます。

- セッションの失敗が起きた。
 - 接続されたトランザクションが異常終了した。
- このエラーによって作成される例外トレースは、問題が起きた原因を判別するのに役立ちます。

それ以外の場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: DFHCLS5

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1= 不明,
2= インバウンド,
3= アウトバウンド

5. *tranid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1= 継続します。,
2= 終了します。,
3= 異常終了します。

7. X'xxxxx'
8. yyyy

宛先: CSNE

DFHZC4960 I *date time applid* CICS は z/OS Communications Server に、BMS 3270 侵入検知の検出を処理することを通知できませんでした。(date time applid CICS has not been able to notify z/OS Communications Server that it will handle detection of BMS 3270 intrusion detection.)

説明: VTAM は、CICS に BMS 3270 侵入検知の実行を許可できることを示していますが、TCT はバックレベル VTAM マクロでアセンブルされています。

システムの処置: VTAM ACB がオープンされます。z/OS Communication Server と CICS の両方が BMS 3270 侵入検知を実行する可能性があります。

ユーザーの処置: このメッセージは、ユーザー TCT が z/OS Communications Server の 3270 侵入検知サービス機能マクロで再生成されていない場合に発行されます。TCT を再生成して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHZSLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソール

DFHZC5900 E *date time applid* System sysid has shipped definitions but connection cccc is not known to this system.

説明: CICS は、リモート・システム *sysid* から定義を受け取ったものの、*cccc* という名前の接続を見つけることができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: これらの定義を受け入れる場合には、CEDA を使用して必要な接続をインストールし、リモート・システムから定義を再送してください。

モジュール: DFHBSTZ1、DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5901 E *date time applid* Install for resource failed. xxxx could not obtain yyyy storage

説明: リソース *resource* をインストールしているときに、CICS モジュール *xxxx* は、*yyyy* の値によって指定されたエクステントのためのストレージを得ることができませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 可能であれば、CICS アドレス・スペースのサイズを大きくしてください。それができなければ、1 回の CICS の実行で使用されるリソースの数を少なくすることを考慮してください。

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSMPP, DFHBSM62, DFHBSS, DFHBSSZM, DFHBSTS, DFHBSTB, DFHBSTB3, DFHBSTC, DFHBSTZ, DFHBSTZB, DFHBSTZO, DFHBSTZR, DFHBSTZV, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSZZS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *xxxx*
6. *yyyy*

宛先: CSMT

DFHZC5902 E *date time applid* Deletion of terminal termid failed. BMS Paging session still active

説明: BMS ページング・セッションがその端末について活動中であったために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 端末 *termid* にサインオンして、ページを除去してください。

モジュール: DFHBSTB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

**DFHZC5903 E *date time applid* Deletion of
terminal *termid* failed. CICS logic error**

説明: CICS バッチ・データ生成機能 (DIP) がこの端末についてまだ活動中であったために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5903 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSTD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

**DFHZC5904 E *date time applid* Deletion of
terminal *termid* failed. CEDF is still
active**

説明: EDF セッションがこの端末についてまだ活動中であるために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: この端末の EDF を非活動化し、そのグループを再インストールしてください。

モジュール: DFHBSTE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

**DFHZC5905 E *date time applid* Deletion of
terminal *termid* failed. CICS logic error**

説明: コマンド・レベル・インターフェースがこの端末についてまだ活動中であるために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5905 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSTH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

**DFHZC5906 E *date time applid* Install failed
because '*xxxx*' is not a permitted value
for a terminal or connection name**

説明: 16 進数のゼロの名前が TERMINAL または CONNECTION の定義に使われています。

これは予約値です。CICS は、その端末または接続のインストールに失敗しました。

xxxx は、印刷可能な 16 進数に変換された予約値です。このエラーは、おそらく自動インストールを使用したときに生じたものです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 別の有効な名前を使用するように定義を訂正し、そのグループを再インストールしてください。

モジュール: DFHBSS, DFHBSTZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2 DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*

宛先: CSMT

**DFHZC5907 E *date time applid* Deletion of remote
shipped terminal failed for connection
cccc.**

説明: 接続 *cccc* を削除しているときに、その接続が、シップされたりモート端末を持っていることがわかりま

DFHZC5908 E • DFHZC5911 E

した。これらのシップされたりモート端末のうちの 1 つ以上の端末の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。この問題の症状 スtring が含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHZC5915 を参照してください。

CEMT を使用して接続を解放し、サービス休止状態にしてから、その接続のインストールを再試行してください。

モジュール: DFHBSSZ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5908 E *date time applid Install for terminal termid failed.* セキュリティー・マネージャーの戻りコード *retcode* が返されました。

説明: CICS は、端末 *termid* をインストールすることができません。DFHXSMN は、戻りコード *retcode* を出しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 「CICS 用システム・プログラムの開発」で、戻りコード *retcode* の値を調べてください。

モジュール: DFHBST5

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *retcode*

宛先: CSMT

DFHZC5909 E *date time applid Install of resource resource failed. Call to DFHIRP irp_function Return_code did not succeed, See DFHIRSDS for return code.*

説明: リソース *resource* のインストール時に、CICS モジュール DFHBSSZR が、IR サービス *irp_function*

の呼び出しを行いました。メッセージに示された戻りコードのために失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。MRO 接続 *resource* はインストールされません。

ユーザーの処置: 戻りコードの説明については、CICS Data Areas の DFHIRSDS を参照してください。

メッセージ DFHIR3780 のユーザー応答のセクションも参照してください。そこに、IRC を始動できない場合の理由がリストされています。ただし、それらの理由の一部は、IRC がオープンされているときに IRC 接続を追加する場合にも当てはまるようになっています。例えば、新しい接続でクロスメモリーを要求したが、それが既存の接続で使用されていない場合や、CICS DB2 接続が初期化された場合に IRC 接続を追加すると、戻りコード E8 が発行されます。

モジュール: DFHBSSZR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *irp_function*
6. *Return_code*

宛先: CSMT

DFHZC5911 E *date time applid Install for resource resource failed. Connection cccc not found*

説明: CICS は、リソース *resource* と関連した接続 *cccc* を見つけることができませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 接続 *cccc* をインストールしてください。

モジュール: DFHBSMIR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5912 E *date time applid* **Install for terminal
termid failed. It is incompatible with
connection cccc**

説明: 端末 *termid* と接続 *cccc* は互いに矛盾しています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: *termid* または *cccc* の定義を変更してください。

モジュール: DFHBSTZ、DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5913 E *date time applid* **Deletion of node id
failed. {A table entry is locked. | A table
entry was not found. | There was a logic
error.} Table=tablename Key(key)
Module(modname) Instance=inst.**

説明: CICS は、ノード *id* を削除することができません。メッセージでこの障害の理由が説明されています。

1.

この TMP テーブルの項目のうちの 1 つが他のタスクによってロックされています。

2.

TMP テーブル項目が検出できなかったのは、おそらくこのノードが別のタスクによってすでに削除されたためです。

3.

CICS 論理エラーがありました。DFHTM0002 エラー・メッセージも発行されている可能性があります。

TMP テーブル項目は、*tablename* によって識別されます。このテーブルで使用されるキーは、値 *key* を持ちます。メッセージを出したモジュールは、*modname* で識別され、このモジュール内のメッセージのインスタンスは、*inst* で識別されます。

システムの処置: リソースは削除されません。項目がロックされていた場合は、CICS は、1 つ以上の DFHZC5980 メッセージを出します。

ユーザーの処置: メッセージで示されている原因に応じて適切な処置を以下より選択してください。

1.

詳細や手引きについては、メッセージ DFHZC5980 を参照してください。

2.

ノードが削除されている場合は、処置は必要ありません。ノードが存在する場合は、この要求が実行されている間に置換されたかどうかを判別してください。項目が存在し、置換されていない場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

3.

この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSS, DFHBSSZ, DFHBSTZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSTZV, DFHBSTZS, DFHBSTZZ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *id*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=テーブル・エントリーがロックされています。
2=テーブル・エントリーが見つかりませんでした。
3=論理エラーが発生しました。

6. *tablename*
7. *key*
8. *modname*
9. *inst*

宛先: CSMT

DFHZC5914 E *date time applid* **Deletion of
terminal termid found another deletion
of it in progress**

説明: 削除を保留する旨のマークがすでに付けられているために、CICS は、端末 *termid* を削除する試みに失敗しました。

おそらく、CEDA ユーザーがその端末をインストールしています。

DFHZC5915 E • DFHZC5916 E

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEDA ユーザーがその端末をインストールしているかどうかを検査してください。

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSPMP, DFHBSS, DFHBSTZ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5915 E *date time applid* **Deletion of node id failed.** {The node is still in service. | The system entry is still in service. | The node has a task attached.} **Module(modname).**

説明: CICS は、ノード *id* を削除できませんでした。理由はメッセージに示されています。

1. 端末またはセッションは、まだ使用できる状態である。
2. このセッションのシステム項目は、まだ使用できる状態である。
3. この端末またはセッションに、まだ生成されているタスクがある。

このメッセージを出しているモジュールは、*modname* で識別されています。

システムの処置: CICS は継続し、ノードを削除しません。

ユーザーの処置: 削除または置換を再試行する前に、メッセージに示された理由に対応する処置を行ってください。

1. ノードを使用できない状態にする。
2. システム項目を使用できない状態にする。
3. このノードの活動が停止するのを待つ。

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSTZ, DFHBSTZP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *id*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=ノードはまだサービス状態です。
2=システム・エントリーがまだサービス状態です。
3=ノードには生成されたタスクがあります。

6. *modname*

宛先: CSMT

DFHZC5916 E *date time applid* **Deletion of terminal termid failed. It has pending DFHZCP activity**

説明: この端末に関する DFHZCP 活動が保留になっているために、CICS は、リソース *termid* を削除できません。このリソースは、接続に属するセッション、または端末 TCTTE のいずれかです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 例外トレース・ポイント AP FCDE を使用して、どの種の活動が保留になっているか判別してください。

これが VTAM CLSDST コマンドが実行中であることを示す場合、VTAM は、存在しないリソースあるいは利用不能なリソースに接続しようとしている可能性があります (そのリソースの CEDA 定義の NETNAME で示されます)。この場合は、数分待ってから再インストールするか、廃棄してください。JOBLOG にアクセスできる場合は、問題のリソースに関するメッセージ DFHZC3462 によって CLSDST が終了したことが分かります。

このリソースが端末の場合は、CEMT トランザクションを実行して、端末を一時的にサービス状態にしてから、再びサービス休止状態にしてください。

モジュール: DFHBSTZA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5917 E *date time applid* **Deletion of terminal termid failed. Error message writer still active**

説明: エラー・メッセージ書き込み機能が、この端末についてまだ活動中であるために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、その端末を一時的にサービス状態にしてから、再びサービス休止状態にしてください。

モジュール: DFHBTZE

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5918 E *date time applid* **Deletion of terminal termid Console consname failed. It has pending DFHZCP activity.**

説明: MVS コンソール *consname* に、削除できないようにしている未解決の活動があります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: このコンソールに要求された未解決の応答に回答した後で、CEMT トランザクションを使用して、そのコンソールを一時的にサービス状態にしてから、再びサービス休止状態にしてください。

モジュール: DFHBTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *consname*

宛先: CSMT

DFHZC5919 E *date time applid* **Deletion of terminal termid failed. CICS logic error**

説明: リモート端末の切断の際にエラーがあったために、CICS は、端末 *termid* を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5919 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSSZ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5920 E *date time applid* **Install of terminal termid failed. CICS logic error**

説明: この CICS システムが端末 *termid* のインストールに失敗しました。システムがローカル・システム項目を持っていないため、まだ端末を受け入れることができません。おそらく、CICS 初期設定時に障害が起っています。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5920 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBTZ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5921 E *date time applid* **Install of terminal termid failed. VTAM support not loaded.**

説明: CICS が VTAM サポートなしで初期設定されたために、CICS は、端末 *termid* のインストールに失敗しました。

DFHZC5923 E • DFHZC5926 E

システムの処置: CICS の処理を続行します。

ユーザーの処置: VTAM を使用するには、CICS をシャットダウンしてから、システム初期設定パラメーター VTAM=YES、ACCMETH=NONVTAM を指定していない TCT、および該当する RDO 端末定義を使用して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHBSZZV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5923 E *date time applid* Install for terminal *termid* failed. CICS logic error

説明: バインド・イメージが無効だったために、CICS は、端末 *termid* のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5923 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSZZV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5924 E *date time applid* Install for terminal *termid* failed. CICS logic error

説明: TCTTE にノード情報ブロック (NIB) 記述子が含まれていなかったために、CICS は、端末 *termid* のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5924 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

のサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSZZV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5925 E *date time applid* Deletion of connection *cccc* failed. Its AID-Chains are not empty

説明: リモート・システム *cccc* のための AID 連鎖が空でなかったために、CICS は、接続 *cccc* を削除しませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、未解決の AID の処理が行えるように、その接続を使用できる状態にしてください。次に、接続をサービス休止状態にして、削除できるようにしてください。

モジュール: DFHBSSA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5926 E *date time applid* Install for connection *cccc* failed. CICS logic error

説明: DFHZCP が DATASTREAM オペランドを受け取らなかったために、CICS は、接続 *cccc* をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5926 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSSZ6

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5927 E *date time applid* Install for connection *cccc* failed. CICS logic error

説明: DFHZCP が RECORDFORMAT オペランドを受け取らなかったために、CICS は、接続 *cccc* をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5927 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSSZ6

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5930 E *DATE TIME APPLID* リモート接続 (*sysid*) は *number* セッションで使用中のため、削除できませんでした。

説明: リモート接続 *sysid* を削除する時点で、この接続は *number* 個のセッションでまだ使用されていました。

システムの処置: リソースは削除されません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: このリモート接続へのアクセスが静止するまで待ってから、削除を再試行してください。

モジュール: DFHBSZ22

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *sysid*
5. *number*

宛先: CSMT

DFHZC5931 E *date time applid* Install for *modename* *modename* failed. Maximum number of APPC sessions would have been exceeded

説明: 許されているセッションの最大数を超える可能性があったために、CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

セッションの最大数は、APAR PQ27823 にシップされた PTF がインストールされているかどうかによって異なります。基本的な制限数は 46656 で、名前の範囲は -AAA から -999 です。APAR により、この制限数は 2 倍の 93312 になり、AAA- から 999- の範囲が追加されます。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: システムの使用率が少なくなるのを待つか、または、一部の APPC セッションを削除してください。

システム・プログラマーは、CICS TOR の数を増やすことを検討してください。

モジュール: DFHBSM61

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*

宛先: CSMT

DFHZC5932 E *date time applid* Install for *modename* *modename* failed. Connection *cccc* not found

説明: CONNECTION パラメーターの中に未知の名前 *cccc* があったために、CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 接続 *cccc* をインストールしてください。

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHZC5933 E • DFHZC5937 I

4. *modename*

5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5933 E *date time applid* **Install for
modename modename failed.
Connection cccc is not valid here**

説明: この文脈では CONNECTION が有効でないために、CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: リモート・システム *cccc* の定義を変更してください。

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5934 E *date time applid* **Install for
modename modename failed.
Single-session connection cccc is
already in use.**

説明: 単一セッション CONNECTION *cccc* はすでに使用中であるために、CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: *cccc* の定義を変更してください。

モジュール: DFHBSM61、DFHBSM62

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5936 E *date time applid* **Install for
modename modename failed.
Connection cccc has active modegroup
xxxx**

説明: 接続 *cccc* はすでに活動 MODEGROUP *xxxx* が持っていたために、CICS は、MODENAME *modename* を指定した SESSIONS 定義をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、その接続を一時的にサービス状態にしてから、再びサービス休止状態にしてください。

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*
5. *cccc*
6. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHZC5937 I *date time applid* **Deletion of
modename modename found another
deletion of it in progress**

説明: その定義がすでに削除を保留にしていたために、CICS は、MODENAME *modename* を指定した SESSIONS 定義を削除しませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEDA ユーザーが SESSIONS 定義をインストールしようとしていなかったかどうかを調べてください。

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*

宛先: CSMT

DFHZC5938 E *date time applid* **Deletion of modename modename failed. Unable to delete session(s)**

説明: 前のメッセージで 1 つまたは複数のエラーが報告されているために、CICS は、MODENAME *modename* を指定した SESSIONS 定義を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。示されたエラーを訂正してください。

モジュール: DFHBSM61

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*

宛先: CSMT

DFHZC5939 E *date time applid* **Install for name failed. Duplicate session- or modegroup-name for connection sysid**

説明: セッション名またはモードグループ名 *name* が重複しているので、CICS は、セッションまたはモードグループをインストールすることができません。重複する名前を持つのは、別の接続、セッション、モードグループ、または端末の場合があります。ただし、システム初期設定テーブルの SYSIDNT で名前が指定されているローカル接続と名前が重複している可能性もあります。

システムの処置: CICS は処理を続行しますが、セッションまたはモードグループはインストールされません。

ユーザーの処置: 重複しているセッション名またはモードグループ名を変更してください。

モジュール: DFHBSTMIR, DFHBSM62

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *sysid*

宛先: CSMT

DFHZC5940 E *date time applid* **Install for terminal termid failed. Error console cannot be deleted**

説明: エラー・コンソール CERR の置き換えが試みられました。その置き換えは CICS では許されていません。

システムの処置: CICS は、元のエラー・コンソールを使用して処理を続行します。

ユーザーの処置: この制限に注意してください。

モジュール: DFHZCQDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5941 E *date time applid* **Install for terminal termid failed. Console consname has a conversation outstanding**

説明: コンソール *consname* が ECB を通知したため、CICS は、端末 *termid* をインストールすることができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、その端末を一時的にサービス状態にしてから、再びサービス休止状態にしてください。

モジュール: DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *consname*

宛先: CSMT

DFHZC5942 E *DATE TIME APPLID* ノード *nodeid* がインストールされませんでした。 **The addition of key key to table tablename failed. RC=X'return'. Module(modname).**

説明: TMP テーブルへの追加に失敗したために、CICS はノード *nodeid* の定義をインストールすることができません。CICS は、テーブル *tablename* にキー *key* を追加しようとしていました。

TMP からの戻りコードは、*return* に示されています。戻りコードが 4 の場合は、項目が重複しています。この項目と同時に別の項目が追加されて、同一のキーを使用した可能性があります。そうでない場合は、CICS に論理エラーが発生しています。このメッセージを出したモジュールは、*modname* で示されています。

システムの処置: CICS は定義をインストールしません。

ユーザーの処置: 項目が、キーと対立している別の定義とオーバーラップしていなかった場合、あるいは戻りコードが 4 でない場合は、問題を解決するために IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSS, DFHBSTZ, DFHBSTZS, DFHBSTZZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *nodeid*
5. *key*
6. *tablename*
7. *X'return'*
8. *modname*

宛先: CSMT

DFHZC5943 E *DATE TIME APPLID MRO* 接続 *conname* は、IRC がオープンされているため削除できませんでした。

説明: 接続 *conname* が MRO 接続であり、領域間通信 (IRC) がオープン状態のため、CICS はその接続を削除できません。

システムの処置: 接続は削除されません。

ユーザーの処置: IRC 定義をクローズし、削除または置換を再試行してください。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *conname*

宛先: CSMT

DFHZC5944 E *DATE TIME APPLID type(id)* のインストールに失敗しました。これにより、接続定義がループになります。

Module(modname).

説明: CICS は、*id* という名前の *type* の定義をインストールできません。これにより、接続定義がループになるためです。接続 *type* は、間接接続またはリモート接続のいずれかです。間接接続は INDSYS フィールドで他の接続を指し、リモート接続は REMOTESYSTEM フィールドで他の接続を指しています。このメッセージを出したモジュールは、*modname* で示されています。

システムの処置: CICS は定義をインストールしません。

ユーザーの処置: インストール済みの定義またはこの定義のいずれかでループの原因を判別し、訂正してから、この定義の再インストールを試行してください。

モジュール: DFHBSSZI, DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *type*
5. *id*
6. *modname*

宛先: CSMT

DFHZC5945 E *date time applid* Deletion of sessions *ssss* failed. Connection *cccc* is defined to IRC

説明: CONNECTION がまだ IRC に対して定義されているために、CICS は、SESSIONS 定義 *ssss* を削除しませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT SET IRC CLOSED コマンドを出してください。

モジュール: DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ssss*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5946 E *date time applid* **Install for sessions**
ssss failed. Connection cccc is defined
to IRC

説明: CONNECTION がすでに IRC に対して定義されているために、CICS は、SESSIONS 定義 *ssss* をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT SET IRC CLOSED コマンドを出してください。

モジュール: DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ssss*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5947 E *date time applid* **Install for sessions**
ssss failed. CICS logic error

説明: CONNECTION 名が指定されていないために、CICS は、SESSIONS 定義 *ssss* をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5947 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSMIR、DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ssss*

宛先: CSMT

DFHZC5948 E *date time applid* **Install for sessions**
ssss failed. Connection cccc is not
suitable for IRC

説明: 示された CONNECTION が IRC にとって適切

でないために、CICS は、SESSIONS 定義 *ssss* をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: *cccc* の定義を変更してください。

モジュール: DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ssss*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5949 E *date time applid* **Install for sessions**
ssss failed. It is incompatible with
connection cccc

説明: 示された CONNECTION が必要なタイプのセッションをサポートするものでないために、CICS は、SESSIONS 定義 *ssss* をインストールしませんでした。名前は同じでもタイプが異なる接続を置き換えているときに、何か他の理由でインストールが失敗した場合には、このメッセージが出される可能性があります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: *cccc* の定義を変更してください。

モジュール: DFHBSMIR、DFHBSTZS、DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ssss*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5950 E *date time applid* **Install for terminal**
termid failed. Console consname already
exists

説明: コンソール ID *consname* がすでに存在しているために、CICS は、CONSOLE 定義 *termid* をインストールしませんでした。

システムの処置: CICS の処理は続行されますが、その端末はインストールされません。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを使用して、端末定義の CONSNAM に別のコンソール ID を

DFHXC5951 E • DFHXC5957 E

定義し、その端末を再インストールしてください。

モジュール: DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *consname*

宛先: CSMT

DFHXC5951 E *date time applid* **Deletion of connection ssss failed. Unable to delete sessions**

説明: 1 つまたは複数のセッションを削除することができないために、CICS は、CONNECTION 定義 *ssss* を削除しませんでした。前に出された 1 つまたは複数のメッセージにこの失敗の説明が示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSSZR、DFHBSSZ6

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ssss*

宛先: CSMT

DFHXC5952 E *date time applid* **Deletion of terminal termid failed. It needs to be SET RELEASED**

説明: 端末 *termid* の現在の状況では、CICS はその端末を削除することはできません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して端末 *termid* を解放し、サービス休止状態にしてください。

モジュール: DFHBSTZV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

2036 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

宛先: CSMT

DFHXC5953 E *date time applid* **CICS logic error**

説明: インストールされるオブジェクトがバインド・イメージを持っていませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5953 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXC5954 E *date time applid* **Install for resource resource failed. Unable to install sessions component**

説明: CICS は、リソース *resource* のインストールに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSTZC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*

宛先: CSMT

DFHXC5957 E *date time applid* **Arch. User-Data ID X'xx occurs in bind. CICS logic error**

説明: バインド時に X'02' よりも大きな設計済みユーザー・データ ID があるために、インストールされている APPC SESSIONS オブジェクトが無効です。

システムの処置: CICS は、そのオブジェクトをインストールしません。ダンプ・コード ZC5957 のシステ

ム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHBSM62

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xx*

宛先: CSMT

DFHZC5958 E *date time applid xxxx* のインストールに失敗しました。 **This is the name of the local system which must not be replaced.**

説明: CICS の最後の実行時に、端末または接続がローカル・システム項目と同じ名前前で定義されました。ローカル・システム項目は置換できないので、これは許されません。

CICS の現在の実行のコールド・スタート時または初期始動時に、無効な定義を含むグループを CICS がインストールしようとしていました。その時、CICS はこのメッセージを出しました。

システムの処置: CICS は継続しますが、この端末または接続はインストールされません。

ユーザーの処置: CEDA トランザクションを使用して端末の名前または接続の名前を訂正して、そのグループをインストールしてください。

モジュール: DFHBSSZL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHZC5961 E *date time applid* **Deletion of surrogate xxxx failed. CICS logic error**

説明: CICS は、代理 TCT 項目を削除することができません。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード

ZC5961 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSTZ1、DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHZC5962 E *date time applid* **Install for resource resource failed. Modename parameter not found**

説明: MODENAME パラメーターが欠落しているために、CICS は、リソース *resource* のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 欠落しているパラメーターを与えてください。

モジュール: DFHBSTZS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*

宛先: CSMT

DFHZC5963 E *date time applid operation* **RUSIZE xxxx from terminal termid was greater than TYPETERM RUSIZE yyyy.**

説明: 対応する TYPETERM RECEIVESIZE|SENDSIZE よりも大きい値の z/OS Communications Server の RECEIVESIZE を持つ端末 *termid* の自動インストールが試みられました。

システムの処置: CICS を続行します。この自動インストールは拒否されます。

ユーザーの処置: TYPETERM RECEIVESIZE または TYPETERM SENDSIZE を増やすか、あるいは z/OS Communications Server LOGMODE テーブル内の

DFHZC5964 E • DFHZC5967 E

RECEIVESIZE を減らしてください。

モジュール: DFHBSZZV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *operation*
5. *xxxx*
6. *termid*
7. *yyyy*

宛先: CSMT

DFHZC5964 E *date time applid* **Install for sessions**
ssss **failed. CICS logic error.**

説明: BINDPASSWORD の長さが 8 文字の限界を超えているために、CICS は、SESSIONS *ssss* のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5964 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSSZS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ssss*

宛先: CSMT

DFHZC5965 *DATE TIME APPLID* **Pool delete for**
pool *poolid* **failed. Terminal** *termid* **was**
being replaced at the same time.

説明: CICS がプール定義 *poolid* をインストールまたは削除しようとしたましたが、その試行は失敗しました。プールのインストールまたは削除が試行された時点で、プール内の端末 *termid* が削除中でした。その原因として、端末がプールされた端末からプールされていない端末に変更されたか、同じグループ内の端末のプール名が変更されたことが考えられます。端末の変更が完了するまで、CICS はプールの変更を続行できません。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 端末の削除または変更が正常に完了したら、インストールを再試行してください。

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *poolid*
5. *termid*

宛先: CADL

DFHZC5966 I *date time applid* {*INSTALL* | *DELETE*
| *RESTORE*} **started for** *resource*
(termid) **(Module name: modname).**

説明: CICS が *resource* のインストール、削除、または復元を開始しています。*resource* は、端末、接続、モードグループ、セッションまたは *pool_entry* のいずれかである可能性があります。このインストール、削除、または復元が失敗すると、このメッセージの後に続いて別のメッセージが出されます。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHBSTZ, DFHBSMPP, DFHBSM62,
DFHBSS, DFHBSMIR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=*INSTALL*,
2=*DELETE*,
3=*RESTORE*

5. *resource*
6. *termid*
7. *modname*

宛先: CADL

DFHZC5967 E *date time applid* **Install for**
modename *modename* **failed. Unable to**
install sessions

説明: CICS は、MODENAME *modename* を使用している SESSIONS 定義のインストールに失敗しました。

失敗の原因は前のメッセージに示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSM61

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*

宛先: CSMT

DFHZC5968 E *date time applid* **Unable to install LU Services Manager for modename modename**

説明: CICS は、MODEGROUP *modename* のための CONNECTION 定義のインストールに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSSZP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*

宛先: CSMT

DFHZC5969 E *date time applid* **Deletion of dependent modename(s) failed for connection modename**

説明: CICS は、MODEGROUP *modename* のための CONNECTION 定義の置き換えに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSSZS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *modename*

宛先: CSMT

DFHZC5971 E *date time applid* **Delete of resource resource failed. CICS logic error**

説明: 破棄操作時の予期しないサインオン状態のために、CICS は、リソース *resource* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5971 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSTS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*

宛先: CSMT

DFHZC5972 E *date time applid* **Delete of resource resource failed. It is still signed on**

説明: 端末またはセッションがまだサインオン状態であるために、CICS は、TERMINAL または SESSIONS リソース *resource* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: サインオフ・トランザクション CESF を実行して、再試行してください。

モジュール: DFHBSTS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*

宛先: CSMT

DFHZC5973 E *date time applid* **Install for sessions
ssss failed. Max session-count reached
for modename modename**

説明: MODENAME *modename* に関して最大セッション・カウントに達したために、CICS は、SESSIONS 定義 *ssss* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: *modename* 内のセッションのいくつかを削除するか、または大きな最大セッション・カウントで *modename* を再定義してください。

モジュール: DFHBSMZS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ssss*
5. *modename*

宛先: CSMT

DFHZC5974 E *date time applid* **Deletion of pool
pppp failed. Unable to delete pool
entries**

説明: CICS は、POOL *pppp* の削除に失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きおよび情報については、前に出されているメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppp*

宛先: CSMT

DFHZC5975 E *date time applid* **Install for resource
pppp failed. CICS logic error**

説明: 必要な POOLID パラメーターが欠落していたために、CICS は、POOL 定義 *pppp* のインストールに失敗しました。これは、CICS の (おそらくは DFHTRZPP の) 論理エラーです。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5975 のシステム・ダンプがとられます。この問題

の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSMPP、DFHBSZP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppp*

宛先: CSMT

DFHZC5976 E *date time applid* **CICS logic error**

説明: 必要な POOLCNT パラメーターが欠落していたために、CICS は、POOL 定義のインストールに失敗しました。これは、CICS の (おそらくは DFHTRZPP の) 論理エラーです。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5976 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5977 E *date time applid* プール・エントリー
の作成に失敗しました

説明: プール項目を作成しているときに障害があったために、CICS は、POOL 定義のインストールに失敗しました。この失敗の原因は、前に出されているメッセージで説明されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、前に出されているメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5978 E *date time applid* プール *pppp* を置き換えることができません

説明: CICS は、POOL 定義をインストールまたは削除する試みに失敗しました。この失敗の原因は、前に出されているメッセージで説明されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSMPP、DFHBSTZP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppp*

宛先: CSMT

DFHZC5979 E *date time applid* **Deletion of pool *pppp* failed. It still has session *termid***

説明: そのプールにはまだ端末 *termid* のアクティブ・セッションがあったために、CICS は、プール *pppp* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: (CEMT トランザクションを使用して) その端末を使用できない状態にし、再試行してください。

モジュール: DFHBSTZP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppp*
5. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC5980 E *date time applid* **Resource *resource* is in use by task *taskid* Transaction *tranid***

説明: リソース *resource* は使用中です。*taskid* はタスク番号、*tranid* はトランザクション ID です。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: タスク *taskid* の終了を待ってから、操作を再試行してください。

モジュール: DFHBSS, DFHBSSZ, DFHBSTZ,
DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSTZS, DFHBSTZZ,
DFHBST2V

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *taskid*
6. *tranid*

宛先: CSMT

DFHZC5981 E *date time applid* プール *pppp* が見つかりません

説明: POOL *pppp* が存在していないために、CICS は、リソースのインストールに失敗しました。この失敗の原因は、前に出されているメッセージで説明されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されているメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSTZP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppp*

宛先: CSMT

DFHZC5982 E *date time applid* **Deletion of pool *pppp* failed. Pool entry is in use for *termid***

説明: そのプールにはまだ端末 *termid* の使用中の項目があったために、CICS は、POOL *pppp* の削除に失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

DFHHC5983 E • DFHHC5985 E

ユーザーの処置: (CEMT トランザクションを使用して) その端末を使用できない状態にし、再試行してください。

モジュール: DFHBSMPP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *pppp*
5. *termid*

宛先: CSMT

DFHHC5983 E *date time applid resource* を置き換えることができません

説明: リソース *resource* がすでに存在しているか、または前に出されているメッセージで説明された理由のいずれかにより、CICS は、このリソースのインストールに失敗しました。

考えられる理由は以下の通りです。

- 同じ名前で定義されている非 VTAM 端末および VTAM 端末が存在する。非 VTAM 端末がインストールされている場合、CICS は、同じ名前の VTAM 端末は自動インストールしません。
- ユーザー自身の端末、または CEDA コマンドを出すのに使用されている端末と同じ名前の端末を置き換えようとした。
- 同じグループ内の以前の定義と同じ REMOTENAME および REMOTESYSTEM を持つ端末を置き換えようとした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

前にメッセージが出ていない場合は、端末 ID を調べてください。

モジュール: DFHBSS, DFHBSTZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*

宛先: CSMT

DFHHC5984 E *DATE TIME APPLID restype1 resname1* のインストールまたは削除に失敗しました。(DATE TIME APPLID The installation or deletion of *restype1 resname1* has failed.) タスク *taskname taskid* が、関連するシステム定義 *sysname* を更新中です。Module *modname*.

説明: リソース・タイプ *restype1* の通信リソース *resname1* のインストールまたは削除に失敗しました。このリソースは、別のタスクによって更新中のシステム・エントリー *sysname* を参照しています。その別のタスクは、*taskname* および *taskid* で示されています。リソース・タイプ *restype1* は、端末、リモート端末、接続、リモート接続、または間接接続のいずれかです。このメッセージは、モジュール *modname* から出されます。

システムの処置: CICS は続行されますが、インストールまたは削除の影響を取り消します。

ユーザーの処置: 別のタスクが完了するまで待つてから、アクションを再試行してください。

モジュール: DFHBSTZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSSZI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *restype1*
5. *resname1*
6. *taskname*
7. *taskid*
8. *sysname*
9. *modname*

宛先: CSMT

DFHHC5985 E *date time applid* Install for resource *resource* failed. Unable to install connection component

説明: CICS は、リソース *resource* のインストールに失敗しました。失敗の原因は前のメッセージに示されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されたメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSTZC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*

宛先: CSMT

DFHZC5986 E *date time applid* CICS logic error

説明: ウォーム・キーポイント・プログラム (DFHWKP) か照会トランザクション (DFHQRY) のいずれかが無効な要求を出し、それを実施することができませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5986 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCQCH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5987 E *DATE TIME APPLID restype1 resname1* のインストールまたは削除に失敗しました。タスク *taskname taskid* が、*restype2 resname2* を使用する定義を変更中です。Module *modname*.

説明: リソース・タイプ *restype1* の通信リソース *resname1* のインストールまたは削除に失敗しました。別のタスクが、リソース・タイプ *restype2* のリソース *resname2* を使用する定義を更新中であるため、テーブル・ビルダー・サービスは変更を完了できません。その別のタスクは、*taskid* および *taskname* で示されています。*Restype2* は、端末 ID、ネット名、固有のネットワーク修飾 ID、またはパイプライン端末の *pool_name* のいずれかです。*Restype1* は、端末、セッション、リモート端末、接続、リモート接続、またはパイプライン端末のいずれかです。このメッセージは、モジュール *modname* から出されます。

システムの処置: CICS は続行されますが、このインス

トールまたは削除を取り消します。

ユーザーの処置: 別のタスクが完了するまで待ってから、アクションを再試行してください。

モジュール: DFHBSS, DFHBSTZ, DFHBSTZS, DFHBSTZV, DFHBSTZZ, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSPMP, DFHBSTZP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *restype1*
5. *resname1*
6. *taskname*
7. *taskid*
8. *restype2*
9. *resname2*
10. *modname*

宛先: CSMT

DFHZC5988 E *date time applid* Install for resource *resource* failed. VTAM support not generated

説明: CICS は、VTAM サポートなしに初期設定されていたために、リソース *resource* のインストールに失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: VTAM リソースを直ちにインストールする必要がある場合は、CICS をシャットダウンし、システム初期設定パラメーター VTAM=YES と適切な RDO 端末定義を使用して、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHBSSZS, DFHBSSZ6, DFHBSTZV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*

宛先: CSMT

DFHZC5989 E *date time applid* Deletion of resource *resource* failed. Remote deletion in connection *cccc* failed

説明: システム *cccc* でのリモート削除が失敗に終わっ

DFHZC5990 E • DFHZC5993 E

たために、CICS は、リソース *resource* の削除に失敗しました。

この失敗の原因は、前に出されているメッセージで説明されているはずです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 詳細および手引きについては、前に出されているメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSTZ1、DFHBSTZ2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *cccc*

宛先: CSMT

DFHZC5990 E *date time applid* CICS logic error

説明: CICS は、要求コードを認識しないため、INSTALL 要求または DELETE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5990 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCQ00

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5991 E *date time applid* CICS logic error

説明: BIND が与えられなかったために、CICS は、VALIDATE BIND 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5991 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCQ00

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5992 E *date time applid* Resource Types Table does not support recovery record

説明: DFHZCQ のリソース・タイプ・テーブル (DFHZCQRT) が、ログまたは CICS カタログからのリカバリー・レコードと互換性を持っていないために、CICS は、RESTORE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5992 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: CICS はウォーム・スタートを正しく行うことができません。したがって、CICS をシャットダウンして、コールド・スタートまたは初期始動を行う必要があります。

モジュール: DFHZCQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5993 E *date time applid* CICS logic error

説明: DFHZCQ のリソース・タイプ・テーブル (DFHZCQRT) が、ログまたは CICS カタログからのリカバリー・レコードと互換性を持っていないため、CICS は RESTORE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5993 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5994 E *date time applid CICS logic error*

説明: リカバリー・レコードが渡されなかったために、CICS は、RESTORE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5994 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCQRS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5995 E *date time applid CICS logic error.*

**Resource Type Code xxxx Subtype
yyyy not recognized with associated
bind image**

説明: CICS は、リソース・タイプ・コード (RTC) xxxx とサブタイプ yyyy (作成機能パラメーター・セットからのもの) を持つリソースのインストールに失敗しました。それは、リソース・タイプ・コード xxxx、サブタイプ yyyy、および関連した BIND イメージを持つリソースは、作成機能のリソース・タイプでないためです。RTC およびサブタイプは、モジュール DFHZCQRT に定義されます。

これは、CICS の (おそらくは DFHTRZxP の) 論理エラーです。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5995 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCQIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*
5. *yyyy*

宛先: CSMT

DFHZC5996 E *date time applid CICS logic error*

説明: INSTALL 要求内のリソース・タイプ・コードがゼロであったために、CICS はその要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5996 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCQIS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC5997 E *date time applid CICS logic error*

説明: TCT 項目が渡されなかったために、CICS は、INQUIRE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5997 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZCQIQ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXC5998 E *date time applid* インストール時に、置き換えることのできないリソースが指定されました

説明: 渡された項目が削除できないタイプのもの (たとえば、非 VTAM 端末) であったために、CICS は、DELETE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 失敗に終わった削除/置き換えは、INSTALL 要求によって必要とされるものでした。その要求内のリソース・タイプを訂正してください。

モジュール: DFHXCQCH、DFHXCQDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXC5999 E *date time applid CICS logic error.*

説明: DFHXCQCH がこのメッセージを出した場合、必須項目パラメーターが渡されていなかったために、CICS は CATALOG 要求を拒否しました。

DFHXCQDL がこのメッセージを出した場合、必須項目パラメーターが渡されていなかったために、CICS は DELETE 要求を拒否しました。

システムの処置: CICS を続行します。ダンプ・コード ZC5999 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHXCQCH、DFHXCQDL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHXC6201 E *applid CICS* テーブル・ビルダー・サービスが、モジュール *modname*、コード *X'code'* で重大エラーを検出しました。

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル・ビルダー・サービスが重大エラーを検出しました。このエラーは、エラー・コード *code*、モジュール *modname* で示されています。

システムの処置: CICS は要求を拒否し、ダンプを作成します。CICS は、*code* で識別された例外トレース・レコードを作成してから、メッセージ DFHXC6208 を CEDA トランザクションのユーザーに発行するか、要求が CEDA から開始されていない場合は CSMT 一時データ・キューに発行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この障害は、CICS でのエラー、またはストレージ・オーバーレイが発生したことを意味します。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTBSB, DFHTBSD, DFHTBSBP, DFHTBSDP, DFHTBSL, DFHTBSLP, DFHTBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *modname*
3. *X'code'*

宛先: コンソール

DFHXC6202 E *date time applid* パターン *pattern* はビルダーにとって無効です

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、パターン *pattern* が、DFHBSHDR(ENTRY) によって宣言されていない作成機能を挙げていることを検出しました。*pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。ダンプ・コード ZC6202 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール:

DFHTBSB、DFHTBSL、DFHTBSQ、DFHTBSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. パターン

宛先: CSMT

DFHZC6204 E *date time applid* 不当なサブパターンの定義です *pattern*

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、サブパターン *pattern* が、DFHBSHDR(ENTRY) によって宣言されていない作成機能を挙げていることを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているサブパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。 ダンプ・コード ZC6204 のシステム・ダンプがとられます。 この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTBSBP、DFHTBSDP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. パターン

宛先: CSMT

DFHZC6205 E *date time applid* 不当なサブパターンの定義です *pattern*

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、サブパターン *pattern* の定義が無効であることを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているサブパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。 ダンプ・コード ZC6205 のシステム・ダンプがとられます。 この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引き

について、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTBSBP、DFHTBSDP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. パターン

宛先: CSMT

DFHZC6206 E *date time applid* パターン *pattern* は破棄では無効です

説明: DESTROY 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、パターン *pattern* が DESTROY 要求には無効であることを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。 ダンプ・コード ZC6206 のシステム・ダンプがとられます。 この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTBSD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. パターン

宛先: CSMT

DFHZC6207 E *date time applid* Catalog key too long or zero. Pattern *pattern*

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、パターン *pattern* の中で挙げられている作成機能が無効な CC キーを MAKEKEY で戻したことを検出しました。 *pattern* は DFHBSPTTE マクロ内にコーディングされているパターンの名前です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。 ダンプ・コード ZC6207 のシステム・ダンプがとられます。 この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

DFHZC6208 E • DFHZC6210 E

のサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTBSBP, DFHTBSDP, DFHTBSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. パターン

宛先: CSMT

DFHZC6208 E *date time applid* CICS テーブル・ビルダー・サービスが、モジュール *modname*、コード(X'*code*' で重大エラーを検出しました。

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル・ビルダー・サービスが重大エラーを検出しました。このエラーは、エラー・コード *code*、モジュール *modname* で示されています。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。既にメッセージ DFHZC6201 を発行し、*code* で識別された例外トレース・レコードを作成し、ダンプを取っています。

ユーザーの処置: この障害は、CICS でのエラー、またはストレージ・オーバーレイが発生したことを意味します。この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTBSB, DFHTBSD, DFHTBSBP, DFHTBSDP, DFHTBSL, DFHTBSLP, DFHTBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modname*
5. X'*code*'

宛先: CSMT

DFHZC6209 E *date time applid*無効な ZC カタログ要求コード *xxxx*

説明: 要求を実行しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、カタログ要求のためのコード *xxxx* が無効であることを検出しました。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。ダ

ンプ・コード ZC6209 のシステム・ダンプがとられます。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHTBSL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxx*

宛先: CSMT

DFHZC6210 E *date time applid* テーブル・ビルダーは、制御ブロック・コード X'*code*'、モジュール *modname* のためのストレージを獲得できませんでした。

説明: BUILD、DESTROY、または RESTORE 要求の実行時に、CICS テーブル・ビルダー・サービスが制御ブロックのストレージを獲得できませんでした。制御ブロックは、RRAB、RABN、*action_block*、リカバリー・レコード、またはリカバリー・セグメントのいずれかです。エラー・コード *code* は、モジュール *modname* が取得できなかったエレメントを識別します。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。既に、*code* で識別された例外トレース・レコードを作成しています。

ユーザーの処置: この障害は、拡張された動的ストレージ域 (EDSA) が小さすぎる場合の症状であることがあります。その場合には、CICS 領域のサイズを大きくすることによって問題を解決することができます。DSA および CICS 領域のサイズを見積もる方法については、「構成」および「パフォーマンスの改善」を参照してください。例外トレース・レコードをフォーマット設定することによって、獲得できなかった制御ブロックを識別できます。

この障害は、別のトランザクション (たとえば、ループ内で EXEC CICS GETMAIN を指定したループ・プログラム) 中のエラーによって起こることも考えられます。

モジュール: DFHTBSB, DFHTBSD, DFHTBSL, DFHTBSBP, DFHTBSDP, DFHTBSLP, DFHTBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *X'code'*
5. *modname*

宛先: CSMT

DFHZC6212 E *date time applid* **Level mismatch**
with catalog record. DFHBS xxx

説明: ウォーム・スタートまたは緊急スタート時に要求を実行しているときに、CICS テーブル・ビルダー・サービスは、CC レコードとそれが指定するパターンとの間に互換性がないことを検出しました。xxx は作成機能 ID です。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置: CC レコードは、おそらく、以前の CICS のレベルで書き込まれています。つまり、その CC レコードが書き込まれた後、システムに 1 回またはそれ以上の PTF 保守修正が適用されています。この場合は、次のいずれかを行ってください。

- CICS のコールド・スタートまたは初期始動を行う。または
- 適用した保守を除去し、ウォーム・スタートまたは緊急再始動ができるようにする。

モジュール: DFHTBSR、DFHTBSRP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxx*

宛先: CSMT

DFHZC6213 E *date time applid* **Recovery record**
abandoned. Key is key

説明: RESTORE 要求を処理しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、前のメッセージで報告されたエラーを検出しました。key は、放棄されたレコードのためのカタログ・キーです。また、そのキーが CICS にとって未知のものであった場合は、key は単一の文字 ? となります。

システムの処置: 問題の原因については、前に出されたメッセージを参照し、そこで勧められているユーザーの処置をとってください。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHTBSR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *key*

宛先: CSMT

DFHZC6214 E *date time applid* リカバリー・レコード・ストレージを得ることができません

説明: CATALOG 要求を処理しているときに、CICS テーブル作成機能サービスは、リカバリー・レコード・ストレージを取得することができませんでした。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置: この障害は、動的ストレージ域 (DSA) が小さすぎる場合の症状であることがあります。その場合には、CICS 領域のサイズを大きくすることによって問題を解決することができます。DSA および CICS 領域のサイズの見積もりに関する注意事項は、「構成」および「パフォーマンスの改善」を参照してください。

この障害は、別のトランザクション (たとえば、ループ内で EXEC CICS GETMAIN を指定したループ・プログラム) 中のエラーによって起こることも考えられます。

モジュール: DFHTBSLP

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC6216 E *DATE TIME APPLID restype1*
(resname1) のインストールに失敗し、
restype2 (resname2) の **RDO** リソースの
全設定がバックアウトされました。

説明: エラーが原因で、タイプ *restype1*、名前 *resname1* のリソースの RDO 定義をインストールできませんでした。これにより、*resname2* という *restype2* に関連付けられた、インストール可能な RDO 定義のセットがバックアウトされました。

障害が発生した定義のリソース・タイプ *restype1* は、接続、セッション、モードグループ、プール、またはプールされた端末のいずれかです。関連付けられた定義のリソース・タイプ *restype2* は、接続、またはパイプ

DFHXC6301 E • DFHXC6303 E

イン端末の *pool_name* のいずれかです。

システムの処置: CICS は、関連付けられた RDO 定義セットのインストールをバックアウトし、これらの定義なしで続行します。

ユーザーの処置: 先行する DFHXC_{nnnn} メッセージで識別されている定義で、障害が発生した理由を修正してから、インストールを再試行してください。

モジュール: DFHTBSB

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *DATE*
2. *TIME*
3. *APPLID*
4. *restype1*
5. *resname1*
6. *restype2*
7. *resname2*

宛先: CSMT

DFHXC6301 E *date time applid* **Install for *tttt* failed. Duplicate netname *netname* for resource *rrrr* found.**

説明: リソース *tttt* はインストール中でしたが、リソース *rrrr* と同じネットワーク名 *netname* であることが検出されました。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: これらの定義をインストールしたい場合には、CEDA を使用してネットワーク名を訂正して、定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHBSTZV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttt*
5. *netname*
6. *rrrr*

宛先: CSMT

DFHXC6302 E *date time applid* **Install for connection *cccc* failed. Duplicate netname *netname* for resource *rrrr* found.**

説明: 接続 *cccc* はインストール中でしたが、リソース

2050 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

rrrr と同じネットワーク名 *netname* を持っているが検出されました。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: 別の APPC 接続または LU6.1 接続と同じネットワーク名の APPC 接続を持つことはできません。つまり、2 つのシステム間に複数の APPC 接続を持つこと、また、LU6.1 接続と一緒に 2 つのシステム間に APPC 接続をインストールすることはできません。

APPC ネットワーク名も LU6.1 ネットワーク名も、端末のネットワーク名と同じにすることはできません。

また、他の IRC (または XM) 接続と同じネットワーク名の IRC (または XM) 接続を持つこともできません。ただし、IRC ネットワーク名は、VTAM ネットワーク名 (APPC または LU6.1 接続または端末) と同じにすることはできます。

この定義をインストールする場合は、CEDA を使用してネットワーク名を訂正してから、定義を再インストールしてください。

ある接続を別のネットワーク名に置き換える必要がある場合には、その接続の名前は、置き換えようとしているものと同じ接続名でなければなりません。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*
5. *netname*
6. *rrrr*

宛先: CSMT

DFHXC6303 E *date time applid* **Install for *tttt* failed. Duplicate netname *netname* found.**

説明: リソース *tttt* がインストール中でしたが、ネットワーク名 *netname* が重複していることが検出されました。

このメッセージは、次の場合に出されます。

- この定義と同じグループ内に重複した NETNAME があった場合。
-

2 つの CEDA トランザクションが同時に実行されて、別の CEDA トランザクションが、DFHBSTZV の BUILD ルーチンと CONNECT ルーチンの間に NETNAME を追加した場合。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: この定義をインストールする場合は、CEDA を使用してネットワーク名を訂正してから、定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHBSTZV

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttt*
5. *netname*

宛先: CSMT

DFHZC6304 W *date time applid* **Deletion of remote terminal termid failed because it is in use by another transaction.**

説明: CICS がリモート端末 *termid* にログオフ・トランザクションを出しましたが、別のトランザクションがこの端末を使用しているため、削除することができません。

システムの処置: リモート端末は再使用できます。CICS を続行します。

ユーザーの処置: この状態は、通常、リモート CICS がストレス状態にある場合に起こります。さらに多くのリソースを割り振ることを考慮してください。例えば、より多くのストレージを割り振る必要があるかもしれません。

モジュール: DFHBSTZ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CSMT

DFHZC6305 E *date time applid* **Install for EXCI generic connection cccc failed. Duplicate EXCI generic connection rrrr found.**

説明: *protocol(exci)* および *conntype(generic)* を指定した接続 *cccc* がインストールされましたが、既存の総称接続 *rrrr* が検出されました。

システムの処置: リソースはインストールされません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: CICS システムにインストールできる EXCI 総称接続は 1 つだけです。どの EXCI 総称接続定義が必要かを判別し、重複している定義を除去してください。

EXCI 総称接続定義を置き換える必要がある場合には、その接続は、置き換えようとしているものと接続名が同じでなければなりません。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*
5. *rrrr*

宛先: CSMT

DFHZC6307 E *date time applid* **Install for connection cccc failed. Netname netname is the same as the generic resource name.**

説明: 接続 *cccc* のインストールは開始されましたが、ネット名 *netname* が、この CICS の (SIT GRNAME パラメーターで定義されている) 汎用リソース名と同じです。

シスプレックス内 (plex 内) の通信は、メンバー名を使用して行う必要があります。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: この接続がシスプレックス内の通信用である場合、CEDA を使用して、通信で使用する接続のメンバー名にネット名を変更してください。

この接続が 2 つのシスプレックス間の通信用である場合、ネット名をパートナー・システムの汎用リソース名に変更してください。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

DFHZC6308 E • DFHZC6315 E

4. *cccc*
 5. *netname*
- 宛先: CSMT

DFHZC6308 E *date time applid* **Restore for connection *cccc* failed. Netname *netname* is the same as the generic resource name.**

説明: 緊急時再始動またはウォーム・リスタート時に、CICS が接続 *cccc* を復元しようとしてしました。しかし、接続のネット名 *netname* が、この CICS の (GRNAME システム初期設定パラメーターで定義されている) 汎用リソース名と同じです。

原因として、SIT で指定されている GRNAME が変更されていることが考えられます。この変更は、初期始動時にのみ行わなければなりません。

システムの処置: 処理を続行します。リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: この接続がシスプレックス内の通信用である場合、CEDA を使用して、通信で使用する接続のメンバー名にネット名を変更してください。

この接続が 2 つのシスプレックス間の通信用である場合、ネット名をパートナー・システムの汎用リソース名に変更してください。

GRNAME パラメーターを変更する必要がある場合は、必ず、初期始動時に変更してください。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*
5. *netname*

宛先: CSMT

DFHZC6312 E *date time applid* **Install for connection *cccc* failed.** この名前の **IPCONN** は既に存在しており、そのアプリケーション **ID** が *netname* ではありません。

説明: 接続 *cccc* のインストールに失敗しました。この名前の **IPCONN** がシステム内に既にインストールされていますが、その **APPLID** がこの接続のネット名 *netname* と同じでないためです。これは許可されていません。

システムの処置: リソースはインストールされません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: **IPCONN** とそれと同じ名前の接続は、同じシステムへのリンクを表す必要があるため、**IPCONN APPLID** が正しくないか、接続のネット名が正しくないかのいずれかです。どちらが該当するのかを確認し、正しい値で再インストールしてください。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*
5. *netname*

宛先: CSMT

DFHZC6315 E *date time applid* **User *userid* is not authorized to install terminal *tttt* with preset security.**

説明: ユーザー *userid* が端末 *tttt* をインストールしようとしてしましたが、ユーザー ID の権限が不足していました。これは、その端末が事前設定された権限を持っているためです。(端末 *tttt* の定義は、*userid* 値を指定しています。) 事前設定セキュリティを持つリソースをインストールするには、特殊な許可を必要とします。

システムの処置: リソース・セキュリティ違反メッセージが、CSCS 一時データ・キューおよびシステム・コンソールに記録されます。リソースはインストールされません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: このリソースをインストールするには、次のいずれかを行ってください。

- CESN トランザクションを使用して、事前設定セキュリティを持つ端末をインストールすることを許可されているユーザー ID でサインオンする。

- ユーザー ID *userid* に、事前設定セキュリティを持つ端末をインストールする許可を与えるようにセキュリティ管理者に依頼する。手引きについては、「構成」を参照してください。

- リソース定義から **USERID** 指定を除去して、事前設定セキュリティを持たないリソースをインストールする。

モジュール: DFHBSTS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *tttt*

宛先: CSMT

DFHZC6330 E *date time applid* **Install for tttt failed. LDCLIST parameter ldclist not found.**

説明: リソース *tttt* がインストール中でしたが、その LDCLIST *ldclist* が無効であることが検出されました。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: この定義をインストールしたい場合には、DFHTCT TYPE=LDCLIST マクロを使用してリスト名を定義してください。

モジュール: DFHBSBTL

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttt*
5. *ldclist*

宛先: CSMT

DFHZC6331 E *date time applid* **Install for connection tttt failed. Non-VTAM terminal with same name already exists.**

説明: 接続 *tttt* をインストールしようとしたますが、同名の非 VTAM 端末がすでに存在しています。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: その接続の名前を変更して、再インストールしてください。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttt*

宛先: CSMT

DFHZC6332 E *date time applid* **Install for terminal tttt failed. Non-VTAM terminal with same name already exists.**

説明: 端末 *tttt* をインストールしようとしたますが、同名の非 VTAM 端末がすでに存在します。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: その端末の名前を変更して、再インストールしてください。

モジュール: DFHBSBZ

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttt*

宛先: CSMT

DFHZC6333 E *date time applid* **INSTALL for modename modename failed. Zero sessions specified**

説明: 指定されたセッションの最大数が 0 であったために、CICS は、モードグループ *modename* をインストールしませんでした。CEDA SESSION MAXIMUM パラメーターを 0 に設定することはできません。したがって、これは、おそらくストレージの上書きによって引き起こされたか、もしくは、CICS に無効な作成機能パラメーター・セットがシップされたためと思われます。

システムの処置: このインストールは失敗しますが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: 問題となっているビルダー・パラメーター・セットを見つけだして、ZC_MAXSESS_1 を最小値の 1 に設定してください。

モジュール: DFHBBSM61

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *modename*

宛先: CSMT

DFHZC6334 E *date time applid* **Install for connection *tttt* failed.** 同名のセッションがすでに存在します。

説明: 接続 *tttt* をインストールしようとしたが、同名のセッションがすでに存在しています。

システムの処置: そのリソースはインストールされませんが、CICS は継続します。

ユーザーの処置: その接続の名前を変更して、再インストールしてください。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tttt*

宛先: CSMT

DFHZC6340 E *date time applid* **CICS has detected an error in delete processing for *termid*. Module name: *modname*.**

説明: 端末の削除時に、CICS は、TCTTE に連鎖されている端末入出力域 (TIOA) を見つけました。これは、CICS 論理エラーです。

システムの処置: システム・ダンプがとられ、TCTTE が削除され、CICS は継続します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からのサポートがさらに必要な場合、続行する方法の手引きについて、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

システム・ダンプを使用して、TIOA がまだ TCTTE に連鎖されている理由を判別しておけば、IBM サポートの役に立ちます。TIOA は、通常、削除される前に FREEMAIN されます。

次の質問に対する答も役立つでしょう。

- これは、シッパされた TCTTE か。
- TCTTE が削除される理由は何か。
- 正しい TCTTE を削除しようとしているか。

モジュール: DFHBST

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *modname*

宛先: CADL

DFHZC6341 E *date time applid* **Loop or ABEND has been detected in *inmodule* by *module* *bymodule*.**

説明: CICS が、以前にループまたは異常終了を検出しました。モジュール *bymodule* が、ループまたは異常終了の起きたモジュール *inmodule* を呼び出しました。

システムの処置: CICS は、異常終了が検出された場合はメッセージ DFHZC0001 を、ループが検出された場合にはメッセージ DFHZC0004 を出します。実行されているインストールまたは削除はバックアウトされます。CICS を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、関連するメッセージを参照してください。

モジュール: DFHBSM61 DFHBSTZS, DFHBSTZR

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *inmodule*
5. *bymodule*

宛先: CADL

DFHZC6350 I *date time applid* **The type session name BITMAP was corrupt and has been rebuilt.** エラー・コードは AP FB05 です。

説明: 接続がインストールされようとしたが、セッション名の作成に使用する APPC または MRO セッション名 BITMAP が破壊されました。破壊された BITMAP は、再作成されました。

APPC セッション名 BITMAP は常に APPC セッションに使用されますが、MRO セッション名 BITMAP は、セッション名の接頭部が「<」または「>」である場合にのみ使用されます。

システムの処置: ダンプ・コード ZC6350 のダンプがとられます。トレース・ポイント ID AP X'FB05' が作成されます。インストールは続行されます。CICS を続

行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: とられたダンプを使用して、ストレージが上書きされた原因を判別してください。ストレージ問題の扱い方に関する手引きについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHZGBM

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*

宛先: CSMT

DFHZC6360 W *date time applid* **A GETMAIN failed to obtain storage for a message set.**

説明: ZCP のインストールに失敗しました。通常は、この後メッセージが出されます。しかし、メッセージ領域として使用するために CDSA からストレージを取得しようとする GETMAIN は失敗しました。このことは、CDSA 内に使用可能なフリー・ストレージがないことを意味します。

システムの処置: ZCP のインストールが失敗したことを報告するはずであったメッセージは出されません。CDSA 内に使用可能なフリー・ストレージがない場合は、後続のメッセージも出されません。ただし、後続の GETMAIN の試みにより、ストレージが使用できるようになった場合は、後続のメッセージが出されます。

この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: トレースを使用して、問題の原因を判別してください。トレース・ポイント AP FCDD (TBSM 項目) は、出されるはずであったメッセージ番号とメッセージ挿入データを示します。詳しい手引きについては、このメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CSMT

DFHZC6361 E *date time applid* 事前設定ユーザー ID が無効であるため、ユーザー ID *userid* での{ネット名 | コンソール | 端末 | *portname* への{インストール | サインオン}に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。このユーザー ID が、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) で認識されていないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー ID を訂正するか、あるいはセキュリティ管理者に連絡して、認識されていないユーザー ID を ESM に追加してください。その後、リソース定義を再インストールするか、このコンソールを介して CICS への送信を試行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *portname*
7. *userid*

宛先: CSMT

DFHZC6362 E *date time applid* 事前設定ユーザー ID が取り消されたため、ユーザー ID *userid* での{ネット名 | コンソール | 端末 | *portname* への{インストール | サインオン}に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。このユーザー ID が、外部セキュリティ・マネージャー (ESM) によって取り消されているためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡してください。セキュリティ管理者は、ALTUSER RESUME

DFHXC6363 E • DFHXC6364 E

関数を出して、取り消されたユーザー ID を再許可することができます。その後、リソース定義を再インストールするか、影響を受けたコンソールからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *portname*
7. *userid*

宛先: CSMT

DFHXC6363 E *date time applid* 事前設定ユーザー ID のグループ・アクセスが取り消されたため、ユーザー ID *userid* での{ネット名 | コンソール | 端末 } *portname* への{インストール | サインオン}に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。このユーザー ID が含まれるグループに対するユーザー ID のアクセスが、外部セキュリティー・マネージャー (ESM) によって取り消されているためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡してください。セキュリティー管理者は CONNECT RESUME 関数を出して、事前設定されたユーザー ID のグループへのアクセスをリストアすることができます。その後、リソース定義を再インストールするか、コンソールからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *portname*
7. *userid*

宛先: CSMT

DFHXC6364 E *date time applid* 外部セキュリティー・マネージャーが認識されない応答を返したため、ユーザー ID *userid* での{ネット名 | コンソール | 端末 } *portname* への{インストール | サインオン}に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。外部セキュリティー・マネージャー (ESM) から予期しない戻りコードが返されたためです。

システムの処置: CICS を続行します。メッセージ DFHSN1401 または DFHSN1801 が出されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、一緒に出されるメッセージを参照してください。リソース定義を再インストールするか、問題を訂正した後、コンソールからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *portname*
7. *userid*

宛先: CSMT

DFHZC6365 E *date time applid* 外部セキュリティ・マネージャーが非アクティブであるため、ユーザー ID *userid* での {ネット名 | コンソール | 端末 } *portname* への {インストール | サインオン} に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。外部セキュリティ・マネージャー (ESM) がアクティブでなくなっているためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して ESM を再始動してください。リソース定義を再インストールするか、ESM が再びアクティブになった後、コンソールからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *portname*
7. *userid*

宛先: CSMT

DFHZC6366 E *date time applid* ユーザー ID がこの CICS システムにアクセスする権限がないため、ユーザー ID *userid* での {ネット名 | コンソール | 端末 } *portname* への {インストール | サインオン} に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー ID でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。事前設定されたユーザー ID にはアプリケーション *applid* を使用する権限がないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡してください。セキュリティ管理者は、APPL リソース・クラスに対して PERMIT 関数を発行することで、事前設定されたユーザー ID にアプリケーション *applid* へのアクセス許可を与えることができます。その後、リソース定義を再インストールするか、コンソールからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *portname*
7. *userid*

宛先: CSMT

DFHZC6367 E *date time applid SECLABEL* チェックに失敗したため、ユーザー ID *userid* での {ネット名 | コンソール | 端末 } *termid* への {インストール | サインオン} に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。外部セキュリティ・マネージャー (ESM) でこのユーザー ID に関連付けられているセキュリティ・ラベルに必要な権限がないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、新しいセキュリティ・ラベルを事前設定されたユーザー ID に割り当ててもらってください。その後、リソース定義を再インストールするか、コンソールからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*

DFHXC6368 E • DFHXC6370 E

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *termid*

7. *userid*

宛先: CSMT

DFHXC6368 E *date time applid* 外部セキュリティ・マネージャーが静止しているため、ユーザー **ID** *userid* での {ネット名 | コンソール | 端末 } *portname* への{インストール | サインオン}に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー **ID** *userid* でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が「静止」状態に置かれていて、システムへの新しいユーザーの追加が許可されないためです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡して、ESM がまた完全に使用可能になる時期を確認してください。使用可能になったら、リソース定義を再インストールするか、コンソールからコマンドを再実行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3= 端末

6. *portname*

7. *userid*

宛先: CSMT

DFHXC6369 E *date time applid* 各国語 *langcode* が無効なため、{ネット名 | コンソール | 端末 } *portname* への{インストール | サインオン}に失敗しました。

説明: リソース定義で指定されている各国語 *langcode* が認識されないため、リソースをインストールまたはサインオンできませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: リソース定義の各国語を有効な値に変更して、リソース定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO、DFHZSGN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *portname*

7. *langcode*

宛先: CSMT

DFHXC6370 E *date time applid* 各国語 *langcode* が使用可能でないため、{ネット名 | コンソール | 端末 } *portname* への{インストール | サインオン}に失敗しました。

説明: リソース定義で指定されている各国語 *langcode* が実行中の CICS ではサポートされていないため、リソースをインストールまたはサインオンできませんでした。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: リソース定義の各国語を、初期設定された言語に変更してください。その後、リソース定義を再インストールしてください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO、DFHZSGN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,
3=端末

6. *portname*
7. *langcode*

宛先: CSMT

DFHZC6371 E *date time applid* ユーザー ID がこのポート名を使用する権限がないため、ユーザー ID *userid* での{ネット名 | コンソール | 端末 | *portname* への{インストール | サインオン}に失敗しました。

説明: 事前設定されたユーザー ID *userid* でリソースをインストールまたはサインオンできませんでした。指定されたユーザー ID には、そのリソースを使用する権限がないためです。

システムの処置: CICS を続行します。メッセージ DFHSN1401 または DFHSN1801 が出されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、一緒に出されるメッセージを参照してください。リソース定義を再インストールするか、問題を訂正した後、コンソールからコマンドを再試行してください。

モジュール: DFHBSTS、DFHBSTZO

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=インストール,
2=サインオン

5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール,

3=端末

6. *portname*
7. *userid*

宛先: CSMT

DFHZC6380 E *date time applid* Install for connection *cccc* failed. Netname *netname* is the same as the member name of a generic resource connection *grcon* which is already in use.

説明: 接続 *cccc* のインストールは開始されましたが、ネット名 *netname* が、既に使用中の総称リソース接続 *grcon* のメンバー名と同じです。

システムの処置: リソースはインストールされません。CICS を続行します。

ユーザーの処置: ネット名が正しくない場合は、CEDA を使用して変更してください。あるいは、総称リソースとメンバー名で通信する必要がある場合は、VTAM 類縁性を終了させた後、総称リソース接続を破棄して、再試行してください。

モジュール: DFHBSS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cccc*
5. *netname*
6. *grcon*

宛先: CSMT

DFHZC6590 I *date time applid termid tranid* Node *netname* conversation restarted. sense ((instance) Module name: {DFHZZXRC | DFHZZXRC | DFHZZXRC | DFHZZXRC | DFHZZXRC})

説明: XRF 引き継ぎに続いて、示されたノードがこのシステムに切り替えられました。この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZZXRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

DFHZC6591 E • DFHZC6593 I

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZXRC,
2=DFHZXRC,
3=DFHZXRC,
4=DFHZXRC,
5=DFHZXRC

宛先: CSNE

DFHZC6591 E *date time applid termid tranid* **XRF** スイッチ・コマンドの処理中にエラーが起きました。 *sense* ((*instance*) モジュール名: {DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC | DFHZXRC})

説明: XRF 引き継ぎに続いて、端末がこの CICS システムに切り替えられましたが、応答データの処理中にエラーが起きました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 引き継ぎ時のセッションの状態が不明確であり、この状態をリセットするためにセッションが UNBIND されました。セッションは SIMLOGON により、通常の緊急時再始動として進められます。

ユーザーの処置: 通常の緊急再始動として進めてください。

モジュール: DFHZXRC

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *sense*
7. *instance*

8. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZXRC,
2=DFHZXRC,
3=DFHZXRC,
4=DFHZXRC,
5=DFHZXRC,
6=DFHZXRC,
7=DFHZXRC,
8=DFHZXRC,
9=DFHZXRC,
10=DFHZXRC,
11=DFHZXRC

宛先: CSNE

DFHZC6593 I *date time applid termid tranid* **Node** *netname* **backup session started.** *sense* ((*instance*) **Module name:** {DFHZOPX | DFHZOPX})

説明: ノード *netname* が、接続された LU に OPNDST OPTCD=BACKUP コマンドを正常に発行しました。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZOPX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *trandid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPX,
2=DFHZOPX

宛先: CSNE

DFHZC6594 I *date time applid termid tranid* ノード
netname のバックアップ・セッションが再
設定され、アクティブ・セッションが終了
しました。sense ((instance) **Module**
name: {DFHZSCX})

説明: バックアップ・システムは、バックアップ・セ
ッションで、示された端末への「階層リセット」UNBIND
を受信しました。これは、アクティブ・セッションが正
常に終了したことを意味します。この組み込みストリン
グは、sense 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージ
に挿入されます。sense の意味については、メッセージ
DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: バックアップ・セッションの
CLSDST を発行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZSCX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSCX

宛先: CSNE

DFHZC6595 I *date time applid termid tranid* **Node**
netname **backup session not attempted.**
sense ((instance) **Module name:**
{DFHZOPN | DFHZOPN |
DFHZOPN})

説明: OPNDST の発行前に、バックアップ・システム
はバックアップ・セッションを確立しようとする試みを
以下のいずれかの理由により中止しました。

- VTAM に XRF サポートがありません
(TCTVXRFS)。
- TCTTE が 2 次としてフラグを付けられています。
この CICS は BIND を受信しますが、送信しません
(TCTE2RY)。

• TCTTE が、LOGMODE キーワードが端末定義で指
定されていることを示しています。

この組み込みストリングは、sense 挿入を使用して
DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。sense の意味
については、メッセージ DFHZC2400 を参照してくだ
さい。

システムの処置: このシステムが引き継ぎを行うと、自
動接続処理がセッションを獲得しようとしています。この
場合、セッションを使用できるようになるまでに、通常
より時間がかかると思われます。

ユーザーの処置: バックアップ・セッションを試みない
てください。

エラーを訂正するか、またはこの端末に指定されている
リカバリー・オプションのレベルを下げてください。

モジュール: DFHZOPN

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *netname*
7. *sense*
8. *instance*
9. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZOPN,
2=DFHZOPN,
3=DFHZOPN

宛先: CSNE

DFHZC6596 *applid* **CICS terminal control program**
cannot support XRF functions. sense
((instance) **Module name:** {DFHZSEX |
DFHZSLS})

説明: VTAM ACB がオープンされ、端末管理プログ
ラム (ZCP) および VTAM の機能レベルが検査されま
した。CICS のこの実行では、XRF 端末機能をサポー
トできないことが分かりました。

この理由としては、DFHZCx モジュールの 1 つまたは
TCT が VTAM の 3.1 より前のバージョンに対してア
センブルされたか、またはオープンされたばかりの
VTAM のレベルが 3.1 より前のものであることが考え
られます。この組み込みストリングは、sense 挿入を使

DFHZC6598 • DFHZC6902 E

用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。処理は続行されますが、VTAM XRF 機能をサポートすることはできません。

ユーザーの処置: VTAM XRF 機能が必要な場合には、各 DFHZCx モジュールと TCT のアセンブルを検査してください。

アセンブル処理で 3.1 より前のリリースの VTAM が使用されていた場合には、警告 MNOTE が出されているはずです。

このとき、関連するモジュールを、VTAM の正しいレベル用に再アセンブルする必要があります。

すべてのモジュールのアセンブルが正しい場合には、この実行で使用した VTAM が 3.1 より前のリリースであると思われます。

モジュール: DFHZSEX、DFHZSLS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *sense*
3. *instance*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZSEX,
2=DFHZSLS

宛先: コンソール

DFHZC6598 *applid* VTAM Shutdown in XRF
Alternate system. CICS will abend.
sense ((*instance*) **Module name:**
{DFHZTPX})

説明: VTAM がシャットダウンされたために TPEND 出口が駆動されました。これは XRF 代替システムであり、VTAM なしで続行することはできません。この組み込みストリングは、*sense* 挿入を使用して DFHZC xxxx メッセージに挿入されます。*sense* の意味については、メッセージ DFHZC2400 を参照してください。

システムの処置: システムは異常終了します。

ユーザーの処置: VTAM がどのようにシャットダウンされたか、またはその原因を判別してください。

モジュール: DFHZTPX

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *applid*
2. *sense*

2062 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

3. *instance*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=DFHZTPX

宛先: コンソール

DFHZC6901 W *date time applid* **Autoinstall BIND**
for NETNAME *netname* is invalid.
Internal RC(X'response').

説明: リソースの AUTOINSTALL のために渡されたバインドが、バインド・イメージ検査呼び出しでエラーを示しました。BIND の固定部分が印刷されます。(これは、妥当性検査コードが操作を行った部分です。BIND RU についての詳細は、「Systems Network Architecture Formats (GA27-3136)」を参照してください)。内部戻りコード X'*code*' に、BIND を無効にしたモジュール内の場所が示されています。

システムの処置: CICS は継続しますが、セッションはインストールされません。要求は拒否され、メッセージ DFHZC2411 が出されます。VTAM LOGOFF コマンドが出されるまでは端末を使用することができません。

ユーザーの処置: BIND データの固定部分を調べて、拒否された理由を判別してください。内部戻りコードには詳しい情報が示されます。その情報は IBM が使用して、問題の原因を判別する際にユーザーを援助することができます。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. X'*response*'

宛先: CADL

DFHZC6902 E *date time applid* {端末 | コンソール}
モデルが定義されていないため自動インストールに失敗しました。

説明: VTAM 装置またはコンソールの自動インストールが試行されましたが、適切な自動インストール・モデルが定義されていません。

システムの処置: CICS 処理は継続しますが、自動インストール・ログオン試行は拒否されます。

ユーザーの処置: CEDA を使用して自動インストール・モデルを定義します。詳細については、「リソースの定義」を参照してください。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=端末,
2=コンソール

宛先: CADL

DFHZC6903 W *date time applid* モデル *model* を使用する、*resource resid*、{ネット名 | コンソール名} *id* の自動インストールに失敗しました。

説明: 接続が失敗したか、端末またはコンソールのビルド・プロセスが失敗しました。その理由は、同じ *resid* を参照している、後続の DFHZC59xx、DFHZC62xx、または DFHZC63xx メッセージに示されています。これらのメッセージは、メッセージ DFHZC6942 に続いて出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、続いて出されるメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *resid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

7. *id*
8. *model*

宛先: CADL

DFHZC6904 W *date time applid* **Autoinstall for {netname | consolename} id failed. CATA task abended (abend abend).**

説明: タスクが異常終了 *abend* で異常終了した際に、トランザクション CATA が端末またはコンソール *id* を自動インストールしていました。自動インストール中のリソースが端末の場合、このメッセージを発行したモジュールは DFHZATA です。リソースがコンソールであった場合、メッセージを発行したモジュールは DFHZATA2 です。*id* は、ネット名またはコンソール名のいずれかになります。

システムの処置: CICS は継続しますが、リソースはインストールされません。

ユーザーの処置: ログオンを再試行してください。異常終了が TIMEOUT を示しており、かつ、これが頻繁に起こる場合は、CATA DTIMOUT の値を増やしてください。CATA トランザクションがタイムアウトにならないようにするには、CATA の DEFINE TRANSACTION コマンドから DTIMOUT パラメーターを削除します。ただし、このようにすると、このシステムのストレージが不足している場合、他のトランザクションを伴わずに多くの CATA トランザクションが同時に実行されると、デッドロックが発生する可能性があります。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

5. *id*
6. *abend*

宛先: CADL

DFHZC6905 W *date time applid* **Autoinstall delete for resource resid, {netname | consolename} id failed. CATD task abended (abend abend).**

説明: トランザクション CATD (プログラム DFHZATD) が、自動インストールされた *resource resid* を削除していましたが、そのときタスクは異常終了して、異常終了 *abend* が出されました。

システムの処置: CICS を続行します。リソースがまだ

DFHZC6906 • DFHZC6907 I

存在する場合、次に同じ TERMID または SYSID が使用されるときに、そのリソースが再利用されます。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abend* の説明を参照してください。

異常終了が TIMEOUT を示しており、かつ、これが頻繁に起こる場合は、CATD DTIMOUT の値を増やしてください。CATD トランザクションがタイムアウトにならないようにするには、CATD の DEFINE TRANSACTION コマンドから DTIMOUT パラメーターを削除します。ただし、このシステムのストレージが不足している場合、ページ可能なタスクを伴わずに多くの CATD タスクが同時に実行されていると、デッドロックを引き起こす場合があります。

モジュール: DFHZATD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *resid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

7. *id*
8. *abend*

宛先: CADL

DFHZC6906 *date time applid* **Install or delete of remote terminal termid failed. tranid task abended (abend abend).**

説明: DFHZATS の機能のいずれか (トランザクション CITS、CDTS、CMTS または CFTS) が、異常終了 *abend* を出して異常終了しました。

システムの処置: CICS を続行します。

CITS (リモート・インストール) の場合、リモート端末 (骨組み) が実際に作成された場合には、CICS がこれを使用することがあります。

CDTS (リモート削除) の場合、リモート端末 (骨組み) が削除されなかった場合には、これが再利用されることがあります。

CMTS (リモート一括削除) の場合、CMTS によって削除されなかった端末は、後の段階で削除されることがあります。

CFTS (リモート大量フラグ) の場合、削除のフラグが付

けられた端末は、後の段階で削除されることがあります。フラグが付けられなかった端末の場合には、それが再利用されることがあります。このことが、予想外の結果を招く可能性があります。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、異常終了 *abend* の説明を参照してください。

このメッセージが出される理由としては、CITS または CDTS のタイムアウトが最初に考えられます。CITS の場合には、必要に応じてトランザクションを再発行してください。

TIMEOUT が頻繁に発生する場合には、CITS または CDTS の DTIMOUT 値を増やすことを考慮してください。トランザクションがタイムアウトにならないようにするには、CITS または CDTS の DEFINE TRANSACTION コマンドから DTIMOUT パラメーターを削除します。ただし、このシステムのストレージが不足している場合、ページ可能なタスクを伴わずに多くの CITS タスクが同時に実行されると、デッドロックを引き起こす可能性があります。

CFTS および CMTS には DTIMOUT パラメーターがないため、このパラメーターを指定してはならないことに注意してください。これは、CFTS と CMTS はウォーム・リスタートまたは緊急時再始動の後に一度のみ実行されることから、タイムアウトにすることができないためです。

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *tranid*
6. *abend*

宛先: CADL

DFHZC6907 I *date time applid* **Autoinstall starting for netname netname. Network qualified name is netid.realnet.**

説明: 端末または接続を自動インストールするために、CICS が始動されました。このメッセージには、CICS が装置を認識するための *netname* と、リソースの起点を表すネットワーク修飾名 *netid.realnet* が示されています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. これは、通知メッセージです。

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *netid*
6. *realnet*

宛先: CADL

DFHZC6908 I *date time applid* **Autoinstall in progress for netname *netname*. TN3270 IP address is *tnaddr*.**

説明: CICS が端末を自動インストールしています。このメッセージには、CICS が装置を認識するための *netname* と、TN3270 の IP アドレス、ポート番号、ホスト名 (存在する場合) が示されています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: None. これは、通知メッセージです。

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *tnaddr*

宛先: CADL

DFHZC6910 W *date time applid* **Install for remote terminal *termid* failed.**

説明: リモート端末 *termid* の INSTALL が失敗しました。この障害が起きた理由は、関連する DFHZC59xx および DFHZC62xx メッセージに示されています。

システムの処置: DFHZATS は CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい手引きについては、関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *termid*

宛先: CADL

DFHZC6911 W *date time applid* **Delete for remote terminal *termid* failed.**

説明: リモート端末 *termid* の DELETE が失敗しました。原因としては、この端末が既に削除されていたか、他のタスクがこの端末を使用している可能性があります。

このメッセージが何度も繰り返されるときは、さらに重大な問題が起きていることが考えられます。

システムの処置: このメッセージが、メッセージ DFHZC6912 とともに出された場合には、CICS は正常に継続します。メッセージ DFHZC6912 が出されなかった場合には、DFHZATS が異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: このメッセージが、メッセージ DFHZC6912 とともに出された場合には、処置は必要ありません。メッセージ DFHZC6912 が出されなかった場合には、関連する DFHZC59xx、DFHZC62xx、および DFHZC63xx メッセージを参照して、DELETE 障害が起きた理由を調べてください。

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CADL

DFHZC6912 I *date time applid* **Unable to delete remote terminal.**

説明: このメッセージは、ウォーム・リスタートまたは緊急再始動に続く、リモート端末の大量削除の間に出されます。削除のフラグが付けられた端末を、削除することができませんでした。他のタスクがすでにこの端末を削除していたことが考えられます。

関連した DFHZC6911 メッセージにこの端末の ID が示されます。このメッセージが、障害の原因を示す 1 つまたは複数の DFHZC59xx および DFHZC62xx メッセージと一緒に出される場合があります。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: CADL

DFHZC6913 I *date time applid* Remote delete of terminal *termid* failed. Terminal not found.

説明: 別のタスクによって既に削除されている端末に対して、リモート DELETE を行おうとしました。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*

宛先: CADL

DFHZC6914 E *date time applid* Autoinstall for resource *termid*, {*netname* | *consolename*} *id* failed. Bad Return Code (RC = *X'retcode'*) from an internal function call.

説明: 内部関数呼び出しに失敗したため、TCTTE 作成処理が失敗しました。

システムの処置: 端末自動インストール処理が失敗します。CICS 処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: ログオンを再試行してください。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,

2=コンソール名

6. *id*

7. *X'retcode'*

宛先: CADL

DFHZC6915 E *date time applid* Unable to sign off remote terminal *termid*. Bad Return Code (RC = *X'SNUS_RESPONSE'*) from signon domain call.

説明: CRTE のもとで実行されているリモート端末セッションのサインオフ処理の間に、DFHZATS による関数 SIGNOFF_TERMINAL_USER の呼び出しで、予期しない応答 (INVALID、DISASTER または EXCEPTION) が受け取られました。

システムの処置: 端末サインオフ処理は完了できず、端末ユーザーはサインオンしたままになります。CICS 処理を続行します。この問題の症状ストリングが含まれるメッセージ DFHME0116 が生成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *X'SNUS_RESPONSE'*

宛先: CADL

DFHZC6920 E *date time applid* NETNAME *netname* の APPC 自動インストールに失敗しました。RC *x*

説明: APPC NETNAME *netname* をインストールするための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。自動インストール制御プログラムに対する自動インストール・プログラム呼び出しが、戻りコード *x* で失敗しました。

戻りコードは、プログラム・マネージャー LINK_URM の応答および理由からマップされます。障害についてのさらに正確な理由は、トレース・ポイント PG 0A02 から知ることができます。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: どのような応答が適切かは、以下のように戻りコードによって異なります。

1

ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で関係する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に関係されるようにしてください。

2

ユーザー出口プログラムにリソース定義がありません。ユーザー出口プログラムの PROGRAM リソース定義がインストールされていることを確認してください。

3

ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが DFHRPL DD ステートメントで連結されているデータ・セットのいずれかに含まれていて、正しい名前が設定されていることを確認してください。

4

ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

5

何か他の理由により、ユーザー出口プログラムのロードが失敗しました。DFHPGLU 出口トレース項目 (PG 0A02) を検査して、プログラム・マネージャーがプログラムをロードできなかった理由を調べてください。

モジュール: DFHZGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *x*

宛先: CADL

DFHZC6921 W *date time applid* **Autoinstall for NETNAME *netname* has been disallowed by the autoinstall control program. Code X'code'**

説明: CICS に認識されていない APPC 接続で、CICS への接続を試みました。しかし、自動インストール制御プログラムによって、インストールを実行できないことを示す非ゼロ戻りコードが戻されました。

APPC 自動インストールをサポートしていない場合は、

自動インストール制御プログラム (デフォルトの名前は DFHZATDX です) が自動的に非ゼロ戻りコードを戻して、この機能を許可しません。

システムの処置: 例外トレース項目 *code* は、自動インストール制御プログラムのパラメーター・リストを示しています。セッションは終了します。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 障害コード X'*code*' は次のとおりです。

X'FA07'

APPC 自動インストールがサポートされていない場合は、*netname* を使用して、どの装置が自動インストールを試みているかを判別してください。

APPC 自動インストールがサポートされている場合は、自動インストール制御プログラムを調べて、インストールを許可する戻りコードが設定されなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. X'*code*'

宛先: CADL

DFHZC6922 E *date time applid* **Parameter list error during autoinstall for NETNAME *netname*. Code X'code'**

説明: CICS に認識されていない APPC 接続で、CICS への接続を試みました。しかし、自動インストール制御プログラムから、無効なパラメーターか、無効なテンプレートが使用される原因となったパラメーターが返されました。

システムの処置: 例外トレース項目 *code* は、自動インストール制御プログラムのパラメーター・リストを示しています。セッションは終了します。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 障害コード X'*code*' は、以下のいずれかです。

X'FA08'

ネット名またはシステム識別名がテンプレートに提供されていません。自動インストール制

御プログラムを変更して、ネット名かシステム識別名を提供してください。

X'FA09'

新しい接続のシステム識別名に無効文字があります。システム識別名に使用できる文字は、A から Z、a から z、0 から 9 および £ # @ (ここで、£ は X'5B') のみです。自動インストール制御プログラムに含まれる接続名を再定義してください。

X'FA0A'

新しい接続のシステム識別名がすでに存在しています。自動インストール制御プログラムを変更して、固有の名前を与えてください。

X'FA0B'

CICS が、提供されたテンプレートのネット名を見つけることができません。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレート接続をインストールしてください。

X'FA0C'

CICS が、提供されたテンプレートのシステム識別名を見つけることができません。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレートのシステム識別名を提供するか、CEDA を使用してテンプレート接続をインストールしてください。

X'FA0D'

テンプレートが APPC 接続ではありません。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレートを正しく再インストールしてください。

X'FA0E'

並列セッション接続が必要であることを、バインドが示しています。テンプレートは単一セッション接続です。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレートを正しく再インストールしてください。

X'FA0F'

単一セッション接続が必要であることを、バインドが示しています。テンプレートは並列セッション接続です。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレートを正しく再インストールしてください。

X'FA10'

バインド内のモードネームが接続内のモードネームと一致していません。

並列セッションの場合は、SNASVCMG モードグループが欠落しています。テンプレートのインストールは失敗した可能性があります。テンプレート名に言及している CADL メッセージがないか調べてください。テンプレート接続は破壊された可能性があります。テンプレートの再インストールを試みてください。

単一セッションの場合は、ユーザーのモードグループ名が一致していません。自動インストール制御プログラムを変更して、正しいテンプレート名を提供するか、CEDA を使用してテンプレートを正しく再インストールしてください。

X'FA11'

テンプレートに INQUIRE を試みたプログラムが、テンプレート内でエラーを検出し、新しい接続のインストールに使用する BPS を作成することができません。この問題は、テンプレートの初期インストールの失敗が原因である可能性があります。コンソールと CADL ログを調べて、テンプレートが正しくインストールされているかどうかを判別してください。また、CEMT を使用して、CONNECTION が正しいことを確認してください。

X'FA12'

指定されたテンプレートのユーザー・モードグループに INQUIRE を試みたプログラムが、テンプレート内でエラーを検出し、ユーザー・モードグループのインストールに使用する BPS を作成することができません。この問題は、テンプレートの初期インストールの失敗が原因である可能性があります。コンソールと CADL ログを調べて、テンプレートが正しくインストールされているかどうかを判別してください。また、CEMT を使用して、MODEGROUP が正しいことを確認してください。

X'FA13'

テンプレート接続にユーザー・モードグループがありません。この問題は、テンプレートの初期インストールの失敗が原因である可能性があります。コンソールと CADL ログを調べて、テンプレートが正しくインストールされているかどうかを判別してください。また、

CEMT を使用して、MODEGROUP が正しいことを確認してください。

X'FA14'

テンプレート接続は使用できない状態であるため、このインストールは継続できません。インストールの継続が許可されていなければならない場合には、CEMT を使用して、関係のあるテンプレート接続を使用できる状態にしてください。

X'FA15'

着信バインド・ユーザー・データに、PLUNAME ネットワーク名サブフィールド (id 04) がありません。このサブフィールドは必要なもので、PLU がこれを提供している必要があります。

X'FA16'

着信バインド・ユーザー・データに、MODENAME ネットワーク名サブフィールド (id 02) がありません。このサブフィールドは必要なもので、PLU がこれを提供している必要があります。

モジュール: DFHZGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *X'code'*

宛先: CADL

DFHZC6923 E *date time applid* Unacceptable bind parameter during autoinstall for NETNAME *netname*. Code *X'code'*

説明: CICS が、認識されていない APPC ノードから BIND を受け取りました。自動インストール処理は開始されましたが、無効なバインド・パラメーターが検出されました。エラーのあるパラメーターは、障害コード *X'code'* で示されます。それは以下のいずれかです。

X'FA18'

バインド・ユーザー・データにセッション・インスタンス ID フィールドがありませんでした。

X'FA19'

バインド・ユーザー・データに 1 次論理装置 (PLU) 名がありませんでした。

X'FA1A'

バインド・ユーザー・データ内の PLU 名は、この CICS の LU 名と同一です。

X'FA1B'

バインド・ユーザー・データ内でセキュリティ情報 (暗号化シード) が予期されましたが、同データ内に存在しません。

X'FA1C'

セキュリティ情報 (暗号化シード) がバインド・ユーザー・データ内で検出されましたが、その長さが大きすぎて有効ではありません。

X'FA1D'

何も予期されていなかったのに、バインド・ユーザー・データ内でセキュリティ情報 (暗号化シード) が検出されました。

X'FA1E'

折衝可能ではなかったことを示すバインドを受け取りました。このバインドを、APPC 接続が受け入れることはできません。

X'FA1F'

1 次 RU サイズにゼロが指定されたバインドを受け取りました。

X'FA20'

2 次 RU サイズにゼロが指定されたバインドを受け取りました。

X'FA21'

矛盾したアクセス・セキュリティ標識を持つバインドを受け取りました。

X'FA22'

受け取った BIND 内で、予期されたのは 1 つだったにもかかわらず、2 つのセキュリティ情報フィールド (シード・フィールドおよび臨時フィールド) が検出されました。

X'FA23'

誤った長さの臨時フィールドを含んだ BIND を受け取りました。

X'FA24'

臨時フィールドを含まない BIND を受け取りました。

X'FA25'

セキュリティ機構のフィールド長がアーキテクチャーで定義されている最短の長さよりも短い BIND を受け取りました。

X'FA26'

セキュリティー機構フィールドに機構 ID フィールドには無効な長さが含まれている BIND を受け取りました。

システムの処置: トレース・ポイント ID 'AP xxxx' (ここで xxxx は X'code') を持つ例外トレース項目によって、受け取ったバインドが示されます。セッションは終了します。CICS を続行します。

ユーザーの処置: 接続側の LU の定義を変更して、バインド・パラメーターを CICS が受け入れることができるようにしてください。

モジュール: DFHZGAI

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. X'code'

宛先: CADL

DFHZC6935 I *date time applid* モデルまたはテンプレート *model* を使用する {ネット名 | コンソール名} *id* での *restype resid* の自動インストールが正常終了しました。

説明: CICS が、モデルまたはテンプレート *model* を使用して、*id id* のリソース *restype resid* を正常にインストールしました。*restype* は、端末、APPC 接続、またはコンソールのどれが自動インストールされたかによって、TERMINAL、CONNECTION、または CONSOLE になります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*
5. *resid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

7. *id*

2070 CICS TS for z/OS: CICS メッセージ

8. *model*

宛先: CADL

DFHZC6936 I *date time applid* **Autoinstall for NETNAME *netname*, model *modelname* in MTS control vector not known to CICS.**

説明: VTAM MTS 制御ベクトルが、CICS に対して定義されていないモデル名 *modelname* を含んでいました。

システムの処置: CICS を続行します。これは通知メッセージなので、

ユーザーの処置: この問題を訂正するには、4 つの方法が考えられます。

- CEDA トランザクションを使用して、自動インストール・モデルの定義およびインストールを行う。

- VTAM MTS MDLTAB MODEL= 項目を、既存の自動インストール・モデルの名前に変更する。

- 既存の自動インストール・モデルを定義する MODEL= パラメーターを使用して、CICS に対してログオンする。

- 自動インストール・ユーザー・プログラムをコーディングする。例は、「CICS 用システム・プログラムの開発」の『サンプル・プログラムとサンプル集』にあります。

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *modelname*

宛先: CADL

DFHZC6937 I *date time applid* **Autoinstall for NETNAME *netname*, MTS model *modelname* and bind image mismatch.**

説明: 印刷されたモデル名を使用して自動インストールが試みられました。(CICS モデル定義からの) MODEL BIND は、CINIT 内の着信バインドと一致しませんでした。MISMATCH_BITS は、どのバインド・ビットが一致しなかったかを示します。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: この問題を訂正するには、4 つの方法が考えられます。

- CICS 自動インストール MODEL *modelname* を変更して、入力 CINIT と一致するバインドを作成する。
- MTS MDLTAB MODEL= 項目を、この端末用の LOGMODE に定義された CINIT に一致するバインドを持っている、CICS に対して定義されたモデル名に変更する。
- この端末用の VTAM LOGMODE を変更して、選択した CICS MODEL_BIND に一致させる。
- 自動インストール・ユーザー・プログラムをコーディングする。例は、「CICS 用システム・プログラムの開発」の『サンプル・プログラムとサンプル集』にあります。

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *modelname*

宛先: CADL

DFHZC6939 W *date time applid* **Autoinstall for NETNAME *netname*, Invalid length *nn* found in cinit control vector at offset *offset***

説明: CINIT 内の制御ベクトルの形式に関する CICS の検査が失敗しました。

offset は、障害発生の最初のポイントを示しています。これは、128 を超える長さフィールド、もしくは CICS が CINIT ベクトルまたはサブベクトルの終わりをオーバーランするような長さフィールドのいずれかを示しています。

これは、CINIT RU の形式が正しくない (したがって、おそらく VTAM 論理エラー) か、または DFHZATD による CINIT RU の解析が正しくない (これは、CICS 論理エラー) ことが原因です。

システムの処置: CICS を続行します。ログオン要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 拒否されたすべてのログオン要求について、自動インストール・プログラムが取り込んだ CINIT RU の形式を検査してください。CICS の検査が許されているので、障害発生の最初のポイントは、*offset* か、またはそれ以前である可能性があります。

この形式が正しくない場合には、無効な CINIT の発生元を追跡し、そこで問題を解決してください。

その形式が正しい場合には、これは CICS 論理エラーです。この場合には、IBM のサポートがさらに必要になります。続行する方法の手引きについては、「IBM との協力による問題解決」を参照してください。

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *nn*
6. *offset*

宛先: CADL

DFHZC6942 W *date time applid* **Autoinstall for resource resid failed.**

説明: *resource resid* をインストールするための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 失敗の原因については、同じ *resid* を含んでいる前のメッセージを探してください。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *resid*

宛先: CADL

DFHZC6943 W *date time applid* **Autoinstall delete for resource resid, {*netname* | *consolename*} id failed.**

説明: *resource resid* を削除するための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

DFHZC6944 W • DFHZC6945 W

ユーザーの処置: 失敗の原因については、同じ *resid* を含んでいる前のメッセージを探してください。

モジュール: DFHZATD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *resid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

7. *id*

宛先: CADL

DFHZC6944 W *date time applid* **Autoinstall for**
{netname | consolename} id **failed. RC** *x*

説明: 端末 *id* をインストールするための自動インストールの試みが失敗しました。ユーザー出口プログラムに対する自動インストール・プログラム呼び出しが、戻りコード *x* で失敗しました。*id* は、ネット名またはコンソール名のいずれかになります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因およびその解決策の指針については、以下の戻りコードの意味に関するリストに示してあります。

戻りコード

意味と解決策

1

ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で関係する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に関係されるようにしてください。

2

ユーザー出口プログラムにリソース定義がありません。ユーザー出口プログラムの PROGRAM リソース定義がインストールされていることを確認してください。

3

ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが DFHRPL DD ステートメントで連結されている

データ・セットのいずれかに含まれていて、正しい名前が設定されていることを確認してください。

4

ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

5. *id*

6. *x*

宛先: CADL

DFHZC6945 W *date time applid* **Autoinstall delete**
for *{netname | consolename} id* **failed.**
RC *x*

説明: リソース *id* をインストールするための AUTOINSTALL の試みが失敗しました。このメッセージを発行したモジュール (DFHZATA または DFHZATA2) は、DELETE 操作のためにユーザー出口プログラムを呼び出しましたが、戻りコード *x* に示された理由により、ユーザー出口が失敗しました。インストール対象のリソースが端末であった場合、メッセージを発行したモジュールは DFHZATA です。インストール対象がコンソールであった場合は、DFHZATA2 がメッセージを発行したモジュールです。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因およびその解決策の指針については、以下の戻りコードの意味に関するリストに示してあります。

戻りコード

意味と解決策

1

ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で関係する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に関係されるようにしてください。

2

ユーザー出口プログラムにリソース定義がありません。ユーザー出口プログラムの PROGRAM リソース定義がインストールされていることを確認してください。

3

ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが DFHRPL DD ステートメントで連結されているデータ・セットのいずれかに含まれていて、正しい名前が設定されていることを確認してください。

4

ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

5. *id*
6. *x*

宛先: CADL

DFHZC6946 W *date time applid* **Delete user exit**
for autoinstalled resource resid, {netname
| consolename} id failed. RC x.

説明: CICS は、自動インストールされた *resource resid* を削除しました。削除ユーザー出口プログラムの呼び出しが、戻りコード *x* に示された理由により失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因およびその解決策の指針については、以下の戻りコードの意味に関するリストに示してあります。

戻りコード

意味と解決策

1

ユーザー出口プログラムは、AMODE(31) で連絡する必要があります。ユーザー出口が正しい AMODE に連絡されるようにしてください。

2

ユーザー出口プログラムにリソース定義がありません。ユーザー出口プログラムの PROGRAM リソース定義がインストールされていることを確認してください。

3

ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが DFHRPL DD ステートメントで連結されているデータ・セットのいずれかに含まれていて、正しい名前が設定されていることを確認してください。

4

ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZATD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. *resid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

7. *id*
8. *x*

宛先: CADL

DFHZC6948 W *date time applid* **CATD** の開始に失敗したため、接続 *sysid*、**NETNAME** *netname* の削除に失敗しました。モジュール *module*。

説明: CICS は、自動インストールされた APPC 接続 *sysid* を削除しようとしたましたが、CATD トランザクションを開始できなかったため、その試行は失敗しました。具体的な状況は、モジュールによって異なります。

DFHZATR

CICS がトランザクションを再始動した後、自動インストールされた接続を削除するために DFHZATR が実行されましたが、CATD を開始できませんでした。

DFHZCLS

接続 *sysid* が解放されて、接続を削除するために DFHZCLS が CATD トランザクションを開始しようとしたますが、CATD を開始できませんでした。

DFHZGCH

CHANGE ENDAFFIN 要求が成功した後、*sysid* を削除する試行が行われましたが、CATD を開始できませんでした。

システムの処置: 接続は解放された状態のままになります。CICS を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション CATD およびプログラム DFHZATD の定義が正しいことを確認してください。それが原因ではない場合、この接続を削除するには、CEMT DISCARD CONNECTION または EXEC CICS DISCARD CONNECTION を使用してください。

モジュール: DFHZATR、DFHZCLS、DFHZGCH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid*
5. *netname*
6. *module*

宛先: CADL

DFHZC6950 W *date time applid* **Autoinstall for terminal termid failed with RC x.**

説明: 端末 *id* をインストールするための自動インストールの試みが失敗しました。ユーザー出口プログラムに対する自動インストール・プログラム呼び出しが、戻りコード *x* で失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因とその解決方法は次のとおりです。

戻りコード

意味と解決策

1

ユーザー出口プログラムが AMODE(31) で関係していません。ユーザー出口が正しい AMODE に関係されるようにしてください。

2

ユーザー出口プログラムにリソース定義がありません。ユーザー出口プログラムの PROGRAM リソース定義がインストールされていることを確認してください。

3

ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが DFHRPL DD ステートメントで連結されているデータ・セットのいずれかに含まれていて、正しい名前が設定されていることを確認してください。

4

ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZATS

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *x*

宛先: CADL

DFHZC6951 W *date time applid* **Autoinstall for terminal termid failed with RC x.**

説明: 端末 *id* をインストールするための自動インストールの試みが失敗しました。ユーザー出口プログラムに対する自動インストール・プログラム呼び出しが、戻りコード *x* で失敗しました。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: 考えられる問題の原因とその解決方法は次のとおりです。

戻りコード

意味と解決策

1

ユーザー出口プログラムが AMODE(31) で関係していません。ユーザー出口が正しい AMODE に関係されるようにしてください。

2

ユーザー出口プログラムにリソース定義がありません。ユーザー出口プログラムの PROGRAM リソース定義がインストールされていることを確認してください。

3

ユーザー出口プログラムをロードすることができませんでした。ユーザー出口プログラムが DFHRPL DD ステートメントで連結されているデータ・セットのいずれかに含まれていて、正しい名前が設定されていることを確認してください。

4

ユーザー出口プログラムが異常終了しました。ユーザー出口プログラム内にエラーがある可能性があります。異常終了コードが出されていないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZATMD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *termid*
5. *x*

宛先: CADL

DFHZC6958 W *date time applid* {ネット名 | コンソール名} *id*、リソース *X'termid'* の自動インストールに失敗しました。{RESOURCE | PRINTER | ALTPRINTER} **ID** が無効です。RC=*n*。

説明: AUTOINSTALL 出口プログラムによって提供された RESOURCE、PRINTER、または ALTPRINTER ID が無効です。戻りコード *n* は次のいずれかです。

n 意味

1

1 桁目に無効なブランク

2

無効な組み込みブランク

3

無効文字の使用

システムの処置: CICS は継続しますが、オブジェクトのインストールは行われません。

ユーザーの処置: 有効文字のみが含まれる ID が作成されるように AUTOINSTALL 出口プログラムを変更し

てください。有効文字は、「リソースの定義」に示されています。

モジュール: DFHZATA、DFHZATA2

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

5. *id*

6. *X'termid'*

7. 以下のオプションから選択される値。

1=RESOURCE,
2=PRINTER,
3=ALTPRINTER

8. *n*

宛先: CADL

DFHZC6966 I *date time applid* {ネット名 | コンソール名} *id* の *restype resid* の自動インストール削除が正常終了しました。

説明: CICS は、自動インストールされたリソース *restype resid* を正常に削除しました。 *restype* は、端末、APPC 接続、またはコンソールのいずれかになります。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZATD

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*
5. *resid*
6. 以下のオプションから選択される値。

1=ネット名,
2=コンソール名

7. *id*

宛先: CADL

DFHZC6987 W *date time applid* **Autoinstall best failure for NETNAME netname was model model.**

説明: 完全な一致が見られなかったために自動インストールの試みが失敗しました。

netname は、ログオンに失敗した LU のネット名です。

model は、最も近いモデル名です (つまり、VTAM が提供した BIND イメージと異なるビットが最も少なかったモデル名です)。

次の関連情報も、CADL に書き込まれます。

xxxxxxx... は、16 進数字の文字列です。ここで、*xx* は 1 バイトを表し、各バイト位置は BIND イメージでの対応するバイト位置を表します。

CINIT BIND: *xxxxxxx* は、VTAM が提供したバインド・イメージです。

MODEL BIND: *xxxxxxx* は、最良モデルです。

MISMATCH BITS: *xxxxxxx* は、上記の関連ビットとの比較を表しています。「1」に設定されたビットは、VTAM からの BIND イメージとそのモデルに関連した BIND イメージとの間におけるミスマッチを示しています。

システムの処置: CICS を続行します。

ユーザーの処置:

1.

モデル *model* が適切であるかどうかを判断してください。オプションを備えているモデルがいくつかある (TRANSECKEYS など) 場合には、そのようなモデルのうちの最初のモデルだけが上記のメッセージに示されます。ログモード・テーブル項目が訂正されたときには、どれを選択するかはユーザー・プログラムが決めることです。

2.

使用されている VTAM ログモード・テーブル内の項目を識別してください。

3.

このログモード・テーブル項目が、他のアプリケーションで正常に使用されていないかどうかを調べてください。そうしないと、この項目を変更した場合に、他のアプリケーションがこの項目を使用した際に失敗する可能性があります。

4.

一致していない文字列内の「1」ビットに対応するビットを切り替えることにより、ログモード・テーブル項目を修正してください。つまり、*xxxxxxx...* 内で「1」に設定されたビット位置に対応する VTAM バインド・イメージ内のビットが「1」の場合には、それを「0」に設定してください。そのビット位置が「0」の場合には、「1」に設定してください。

詳細については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

バインド・イメージ内の種々のビットの意味の詳細については、「z/OS Communications Server: SNA Programming」(SC27-0611) の資料を参照してください。

VTAM ログモード・テーブル項目の準備の詳細については、「」(SC27-0613) の資料を参照してください。

モジュール: DFHZATA

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *netname*
5. *model*

宛先: CADL

DFHZENnnn メッセージ

DFHZE2600 **Syst.sense** *sysysense,termid,taskid,*
Unidentified sense information

説明: エラー・メッセージ書き込み機能 (DFHEMW) はエラー・メッセージを送信するようスケジュールされましたが、システム・センス・コードを識別できませんでした。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しい情報および手引きについては、

この前に出されている関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZEMW

宛先: 端末エンド・ユーザー

DFHZE2604 **Syst.sense** *0811,termid,taskid,*
Unprocessed data at detach

説明: 切り離されるタスクは、インバウンド・データ・チェーンを完全には処理しませんでした。

システムの処置: チェーン終了 (EOC) または CANCEL を受け取るまで、データの削除が行われ
ます。

ユーザーの処置: なし。

DFHZNnnnn メッセージ

DFHZN2130 *date time applid* **A unit of work has been shunted but the connection with the remote system does not support the shunt protocols. UOWが再同期された後、リモート・システム上の資源と CICS 上の資源の同期が取れなくなる可能性があります。Failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system netname transaction tranid task number tranum operator terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuow'.**

説明: このメッセージに先行して、メッセージ DFHAC2231 が出されます。アプリケーションは EXEC CICS SYNCPOINT を介して、または暗黙的に EXEC CICS RETURN を介して syncpoint を要求しました。同期点のコーディネーターはこの CICS システムではなく、リモートです。

未確定期間中に、トランザクション *tranid* がコーディネーター・システムとの接続を失いました。

システムの処置: トランザクション定義に従って、作業単位は完了しません。コーディネーター・システムとの再同期の待機が許可されます。そのトランザクションは、異常終了コード ASP1 で異常終了します。作業単位は中断され、コーディネーター・システムが戻るのを待機します。

この処理の一環として、CICS は別のパートナー・システムに中断要求を渡そうとしました。ただし、このパートナーは中断プロトコルをサポートしていないため、中断された作業単位とは無関係にリソースへの変更をバックアウトまたはコミットする場合があります。

ユーザーの処置: コーディネーター・システムとの再同期の後、リモート機能シップ・リソースが同期のとれていない状態にないかどうか判別してください。とられる処置は、ローカル手順ならびにそのアプリケーション・プログラムの設計によって異なります。例えば、アプリケーションを再実行することは可能ですが、リモート・リソースに対して更新を行う場合のみです。分散環境での設計に関する考慮事項については、「CICS の相互通信」を参照してください。

モジュール: DFHCR2U

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

モジュール: DFHZDET

宛先: 端末エンド・ユーザー

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *netname*
7. *tranid*
8. *tranum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuow'*

宛先: CSMT

DFHZN2131 *date time applid* **Intersystem session failure during CICS synclevel one commit. ローカル・リソースがリモート・システム上のリソースと同期していない可能性があります。Failure date mm/dd/yy failure time hh:mm:ss remote system netname transaction tranid task number tranum operator terminal termid user userid network UOW netuowid local UOW X'localuowid'.**

説明: CICS アプリケーションが APPC 同期レベル 1 を使用して、リモート機能シップ・リソースを処理していました。このアプリケーションが (暗黙的または明示的に) 同期点を取り、その結果、すべてのローカル・リソースおよび同期レベル 2 パートナーがコミットされました。しかし、同期レベル 1 コミット処理時の重要な時点で、セッション障害が起り、同期レベル 1 機能シップ・リソースは正常にコミットされたか、あるいはバックアウトされた可能性もあります。

システムの処置: CICS 同期レベル 1 のコミット処理は続行されます。この処理の続行は、できるだけ多くの同期レベル 1 のリソースをコミットすることを目的としています。APPC 同期レベル 1 の場合、CICS は、状況をそれ以上解決しようとはしません。

同期点完了した時点で、CICS はユーザー・タスクを異常終了します。

ユーザーの処置: リモート機能シップ・リソースが同期のとれていない状態にないかどうか判別してください。とられる処置は、ローカル手順ならびにそのアプリケーション・プログラムの設計によって異なります。例えば、アプリケーションを再実行することは可能ですが、リモート・リソースに対して更新を行う場合のみです。分散環境での設計に関する考慮事項については、「CICS の相互通信」を参照してください。

モジュール: DFHCR2U

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *netname*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHZN2132 *date time applid* **Rollback received in response to CICS synclevel one commit.** リモート・システム上の資源とローカル・システム上の資源の同期が取れません。**Failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system** *netname* **transaction** *tranid* **task number** *trannum* **operator terminal** *termid* **user** *userid* **network UOW** *netuowid* **local UOW** *X'localuowid'*.

説明: CICS アプリケーションが APPC 同期レベル 1 を使用して、リモート機能シップ・リソースを処理していました。このアプリケーションが (暗黙的または明示的に) 同期点を取り、その結果、すべてのローカル・リソースおよび同期レベル 2 パートナーがコミットされました。しかし、コミット・メッセージを同期レベル 1 の機能シップ・リソースに送ったときに、そのリソースはバックアウトされることになりました。

システムの処置: 同期レベル 1 のコミット処理は、できるだけ多くの同期レベル 1 のリソースをコミットする目的で続行されます。APPC 同期レベル 1 の場合、CICS は、状況をそれ以上解決しようとはしません。

同期点が完了した時点で、CICS はユーザー・タスクを異常終了します。

ユーザーの処置: とられる処置は、ローカル手順ならびにそのアプリケーション・プログラムの設計によって異なります。例えば、アプリケーションを再実行することは可能ですが、リモート・リソースに対して更新を行う場合だけです。分散環境での設計に関する考慮事項については、「CICS の相互通信」を参照してください。

モジュール: DFHCR2U

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mm/dd/yy*
5. *hh:mm:ss*
6. *netname*
7. *tranid*
8. *trannum*
9. *termid*
10. *userid*
11. *netuowid*
12. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHZN2133 *date time applid* **Error detected during CICS synclevel one commit. Reason code** *rc*. ローカル・リソースがリモート・システム上のリソースと同期していない可能性があります。**Failure date** *mm/dd/yy* **failure time** *hh:mm:ss* **remote system** *sysid* **transaction** *tranid* **task number** *trannum* **operator terminal** *termid* **user** *userid* **network UOW** *netuowid* **local UOW** *X'localuowid'*.

説明: CICS アプリケーションが APPC 同期レベル 1 を使用して、リモート機能シップ・リソースを処理していました。このアプリケーションが (暗黙的または明示的に) 同期点を取り、その結果、すべてのローカル・リソースおよび同期レベル 2 パートナーがコミットされました。しかし、コミット・メッセージを同期レベル 1 の機能シップ・リソースに送ったときに、応答によりエラーが起こったことが示されました。理由コードは、エラーの詳細を示し、以下の値を取ります。

01

02

パートナー・システムによるプロトコル違反 -
予期しない FMH データ

03

パートナー・システムによるプロトコル違反 -
予期しない同期点メッセージ・データ

04

異常終了が受け取られた

デッドロックまたは読み取りタイムアウト

システムの処置: CICS 同期レベル 1 のコミット処理は続行されます。この処理の続行は、できるだけ多くの同期レベル 1 のリソースをコミットすることを目的としています。

理由コード 01 の場合、ダンプ・コード ASPI のトランザクション・ダンプがとられます。理由コード 02 の場合、ダンプ・コード ASPJ のトランザクション・ダンプがとられます。同期点が完了した時点で、CICS はユーザー・タスクを異常終了します。

ユーザーの処置: とられる処置は、ローカル手順によって異なります。

理由コード 01 および 02 の場合には、ダンプを調べて、パートナーから何のメッセージ・データが受け取られたかを判別してください。この情報は、端末入出力域のいずれかに保持されます。通信システムにおける障害が、データの破壊を引き起こした可能性があります。

理由コード 03 は、パートナー・システムが異常終了を送ったことを示しています。調べる必要があるエラーがパートナー・システムにあります。

理由コード 04 は、同期レベル 1 コミットに対するパートナー・システムの応答が長くかかりすぎたことを示しています。リモート・システムまたは通信システムに問題が生じた可能性があります。これが再発しないように、デッドロック・タイムアウト値または読み取りタイムアウト値を大きくしなければならない可能性があります。

モジュール: DFHCR2U

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rc*
5. *mm/dd/yy*
6. *hh:mm:ss*
7. *sysid*
8. *tranid*

9. *trannum*
10. *termid*
11. *userid*
12. *netuowid*
13. *X'localuowid'*

宛先: CSMT

DFHZN2200 *date time applid* **FREE IMPLICIT failed during syncpoint processing for session *session id* , remote system *netname*. Transid *transid*. The original abend code was *abend code*.**

説明: 基本機能以外の MRO セッションに対する DFHTC FREE IMPLICIT 要求が失敗しました。

システムの処置: CICS は、コード '0D86' の例外トレース項目を書き込んでから、セッションに対する DFHTC FREE DETACH 要求を発行します。

ユーザーの処置: タスクがオペレーターによってパージされて異常終了 AZI9 が発生した場合、または読み取りタイムアウトによって異常終了 AZIG が発生した場合は、このエラーが期待されるため、他の処置は必要ありません。

それ以外の場合、この障害はエラーを表す可能性があります。詳しく調査するには、システム・ダンプ・コード ZN2200 のシステム・ダンプ・テーブル・エントリーをセットアップしてください。この問題を解決するには、IBM からのサポートがさらに必要な場合があります。これに対する処置については、「トラブルシューティングおよびサポート」の第 4 部を参照してください。

モジュール: DFHCRIU

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *session id*
5. *netname*
6. *transid*
7. *abend code*

宛先: CSMT

DFHZN2701 *date time applid* **Log data sent on ISC session is xxxxxxxx**

説明: これは通知メッセージです。トランザクションは、論理装置タイプ LU6.2 と通信しています。トラン

ザクションが、ログ・データを伴う FMH (機能管理ヘッダー) を送りました。

システムの処置: このトランザクションは処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZERH

XMEOUT パラメーター/メッセージ:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *xxxxxxx*

宛先: CSNE

第 3 章 CICS に関連する IBM Health Checker for z/OS メッセージ

IBM® Health Checker for z/OS® は、可用性に影響が出たり障害が発生したりする前に、CICS 領域の構成についての潜在的な問題を検出します。CICS システム構成のベスト・プラクティスに準拠していない CICS 領域が検出された場合、IBM Health Checker for z/OS は、ユーザーが修正処置を取れるように、準拠していない領域に関する詳細情報を含む警告メッセージを発行します。

ヘルス・チェッカー規則について詳しくは、IBM Health Checker for z/OS による CICS 構成の検査を参照してください。

DFHH0001E 非認証ユーザーが **CEDA** トランザクションにアクセスできる状態です。

説明: デフォルト・ユーザーが IBM 提供のトランザクション **CEDA** にアクセスできる状態です。または、CICS セキュリティーがオフになっています。つまり、以下にリストする CICS 領域の IP アドレスとポート番号に接続できるユーザーであれば誰でも、CICS の構成を変更できます。

以下にリストする領域の RC または RSN に、その領域が検査に失格した理由についてのさらに詳しい情報が入っています。

- 0801 **CEDA** がインストールされていて、SEC=NO です
- 0802 **CEDA** がインストールされていて、DFLTUSER がその **CEDA** を実行可能です
- 0807 検査モジュールにリンクできません

システムの処置: システムは処理を続行します。

オペレーターの応答: このエラーをシステム・プログラマーに報告してください。

システム・プログラマーの応答: 検出されたセキュリティ上の問題を解決してください。

参照資料

ベスト・プラクティスについては、CICS Knowledge Center の『IBM Health Checker for z/OS による CICS 構成の検査』のトピックを参照してください。

DFHH0002E 非認証ユーザーがスプールにアクセスできる状態です。

説明: SPOOL=YES が定義されていて、デフォルト・ユーザーが IBM 提供のトランザクション **CECI** にアクセスできる状態です。または、CICS セキュリティーが

オフになっています。つまり、以下にリストする CICS 領域の IP アドレスとポート番号に接続できるユーザーであれば誰でも、認証を受けることなくリモートから z/OS システムにジョブを実行依頼して実行できます。

以下にリストする領域の RC または RSN に、その領域が検査に失格した理由についてのさらに詳しい情報が入っています。

- 0803 SPOOL=YES で、CECI がインストールされていて、SEC=NO です
- 0804 SPOOL=YES で、CECI がインストールされていて、DFLTUSER がその **CECI** を実行可能です
- 0807 検査モジュールにリンクできません
- 0809 スプール・ジョブの代理ユーザー検査が無効です

システムの処置: システムは処理を続行します。

オペレーターの応答: このエラーをシステム・プログラマーに報告してください。

システム・プログラマーの応答: 検出されたセキュリティ上の問題を解決してください。

参照資料

ベスト・プラクティスについては、CICS Knowledge Center の『IBM Health Checker for z/OS による CICS 構成の検査』のトピックを参照してください。

DFHH0003E 非認証ユーザーが内部読み取りプログラムに定義された **TDQ** にアクセスできる状態です。

説明: デフォルト・ユーザーが内部読み取りプログラムに定義された少なくとも 1 つの **TD QUEUE** および IBM 提供のトランザクション **CECI** にアクセスできる状態です。または、CICS セキュリティーがオフになっています。つまり、以下にリストする CICS 領域の IP

アドレスとポート番号に接続できるユーザーであればだれでも、認証を受けることなくリモートから z/OS システムにジョブを実行依頼して実行できます。

以下にリストする領域の RC または RSN に、その領域が検査に失格した理由についてのさらに詳しい情報が入っています。

- 0805 TDQ が INTRDR にアクセスし、CECI がインストールされていて、DFLTUSER がその CECI を実行可能です
- 0806 SVC99 は SYSOUT の照会をサポートしません
- 0807 検査モジュールにリンクできません
- 0808 TDQ が INTRDR にアクセスし、CECI がインストールされていて、SEC=NO です

システムの処置: システムは処理を続行します。

オペレーターの応答: このエラーをシステム・プログラマーに報告してください。

システム・プログラマーの応答: 検出されたセキュリティー上の問題を解決してください。

参照資料

ベスト・プラクティスについては、CICS Knowledge Center の『IBM Health Checker for z/OS による CICS 構成の検査』のトピックを参照してください。

DFHH0200E エラーのために **CICS** ヘルス・チェッカーを実行できません。

説明: CICS ヘルス・チェッカーは、ヘルス・チェックを記録するために CICS 領域で使用するストレージを検出できませんでした。

システムの処置: システムは処理を続けますが、CICS 領域についての報告は行われません。

オペレーターの応答: このエラーをシステム・プログラマーに報告してください。

システム・プログラマーの応答: ヘルス・チェックのデバッグ・オプションを使用して、問題を詳しく調べてください。問題を IBM サービスに報告してください。

DFHH0301I すべての **CEDA** トランザクションが非認証ユーザーから保護されています。

説明: CEDA の構成に、デフォルト・ユーザーのアクセスを許可してしまうような問題は検出されませんでした。これは、最新のヘルス・チェック期間中に実行されていたこの LPAR 上のすべての CICS 領域に当てはまります。

システムの処置: システムは処理を続行します。

DFHH0302I スプールは非認証ユーザーから保護されています。

説明: スプールの構成に、デフォルト・ユーザーのアクセスを許可してしまうような問題は検出されませんでした。これは、最新のヘルス・チェック期間中に実行されていたこの LPAR 上のすべての CICS 領域に当てはまります。

システムの処置: システムは処理を続行します。

DFHH0303I 内部読み取りプログラムに定義されている **TDQ** には、非認証ユーザーは書き込めません。

説明: 内部読み取りプログラムに定義された TDQ の構成に、デフォルト・ユーザーのアクセスを許可してしまうような問題は検出されませんでした。これは、最新のヘルス・チェック期間中に実行されていたこの LPAR 上のすべての CICS 領域に当てはまります。

システムの処置: システムは処理を続行します。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119 Armonk,
NY 10504-1785
United States of America*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

プログラミング・インターフェース情報

CICS には、プログラミング・インターフェースと見なすことのできる資料と、プログラミング・インターフェースと見なすことのできない資料があります。

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが含まれています。

- アプリケーションの開発
- システム・プログラムの開発
- 保護の概要
- 外部インターフェースに向けた開発
- リファレンス: アプリケーション開発
- リファレンス: システム・プログラミング
- リファレンス: 接続

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェースとして意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が含まれています。

- トラブルシューティングおよびサポート
- リファレンス: 診断

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが以下のマニュアルに含まれています。

- アプリケーション・プログラミング・ガイドおよびアプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Business Transaction Services
- Customization Guide
- C++ OO Class Libraries
- Debugging Tools Interfaces Reference
- Distributed Transaction Programming Guide
- External Interfaces Guide
- Front End Programming Interface Guide
- IMS Database Control Guide
- インストール・ガイド
- セキュリティー・ガイド
- Supplied Transactions
- CICSplex[®] SM Managing Workloads
- CICSplex SM Managing Resource Usage
- CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・ガイドおよび CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Java[™] Applications in CICS

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェース

として意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が以下のマニュアルに含まれています。

- Data Areas
- Diagnosis Reference
- Problem Determination Guide
- CICSplex SM Problem Determination Guide

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商用使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することがで

きます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利 ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（メイン・インターフェース）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（データ・インターフェース）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名またはその他の個人情報を、セッションごとの Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（「Hello World」ページ）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、個人情報を収集しないセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICS Explorer® の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

D

DFHW2 メッセージ 1697

DFHWU メッセージ 1750

